

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-補-024-03 改 03
提出年月日	2023年6月7日

タービン建物の地震応答計算書に関する補足説明資料

2023年6月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

1. 工事計画添付書類に係る補足説明資料

VI-2-2-7「タービン建物の地震応答計算書」の記載内容を補足するための資料を以下に示す。

別紙 1 地震応答解析における既工認と今回工認の解析モデル及び手法の比較

別紙 2 地震応答解析における耐震壁のせん断スケルトン曲線の設定

別紙 2-1 せん断スケルトン曲線の設定に関する影響検討

別紙 2-2 曲げ応答に関する考察

別紙 3 地震応答解析における材料物性の不確かさに関する検討

別紙 3-1 材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動の選定について

別紙 3-2 材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果

別紙 4 床ばねの諸元及び非線形性を考慮した解析

別紙 5 タービン建物と蒸気タービンの基礎の相対変位について

別紙 1 地震応答解析における既工認と今回工認の
解析モデル及び手法の比較

目 次

1. 概要 別紙 1-1
2. 地震応答解析モデル及び手法の比較 別紙 1-2

1. 概要

本資料は、タービン建物の既工認時及び今回工認時の地震応答解析モデル及び手法の比較を示すものである。

2. 地震応答解析モデル及び手法の比較

タービン建物の地震応答解析モデル及び手法の比較を表 2-1 に示す。鉛直方向の地震応答解析モデル（以下「鉛直モデル」という。）の諸元の設定方法を表 2-2 に示す。また、今回工認時の地震応答解析モデルを図 2-1 及び図 2-2 に示す。

地震応答解析モデルの各質点重量は各階床位置に集中するものとして、床スラブの形状、蒸気タービンの基礎による吹抜け及びフレーム構造の範囲を考慮して、図 2-3 に示す重量区分及び図 2-4 に示す剛性区分を設定している。

比較に用いる既工認時の地震応答解析モデル及び手法は、建設工認のものである。

表 2-1 地震応答解析モデル及び手法の比較

項目	内容	既工認 ^{*1}	今回工認	備考
入力地震動の算定法	水平	一次元波動論により算定	一次元波動論により算定	—
	鉛直	— ^{*2}	一次元波動論により算定	—
解析コード		N U P P II	N U P P 4	—
建物のモデル化	モデル	・水平：多軸床柔多質点系モデル ・鉛直：応答解析を実施せず	・水平：多軸床柔多質点系モデル ・鉛直：多軸多質点系モデル	⑤
	材料物性	検討時の規準に基づき設定 ・コンクリートのヤング係数，ポアソン比 E = 2.06 × 10 ⁴ N/mm ² (SI換算) ν = 0.167	適用規準の見直しによる再設定 ・コンクリートのヤング係数，ポアソン比 E = 2.25 × 10 ⁴ N/mm ² ν = 0.2 ・鉄骨のヤング係数，ポアソン比 E = 2.05 × 10 ⁵ N/mm ² ν = 0.3	①，②
	剛性評価	耐震壁及びフレームを考慮	耐震壁及びフレームを考慮	—
	減衰定数	・水平方向：RC：5%	・水平方向：RC：5% ・鉛直方向：RC：5% S（屋根トラス）：2%	—
地盤のモデル化	底面ばね	振動アドミッタンス理論に基づく近似法 ・水平方向：水平及び回転ばねを考慮	振動アドミッタンス理論に基づく近似法 ・水平方向：水平及び回転ばねを考慮 ・鉛直方向：鉛直ばねを考慮	③
	側面ばね	・水平方向：考慮せず	・水平方向：考慮せず ・鉛直方向：考慮せず	—
非線形特性	耐震壁	・水平方向：考慮	・水平方向：考慮 ・鉛直方向：考慮せず	③，④
	底面ばね	・水平方向：考慮	・水平方向：考慮 ・鉛直方向：考慮せず	

注記*1：島根原子力発電所第2号機『工事計画認可申請書第2回 添付書類IV-2-7「タービン建物の耐震性についての計算書」(59資庁第8283号昭和59年9月17日認可)』

*2：既工認時は、水平方向のみ地震応答解析を実施している。

【具体的な反映事項】(表の備考欄に対応)

- ① コンクリートのヤング係数及びポアソン比は、「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説—許容応力度設計法—」((社)日本建築学会, 1999改定)に基づく。
- ② 鉄骨のヤング係数及びポアソン比は、「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—」((社)日本建築学会, 2005改定)に基づく。
- ③ 「原子力発電所耐震設計技術指針 J E A G 4 6 0 1-1991 追補版」((社)日本電気協会)に基づく。
- ④ 耐震壁の非線形特性の設定については、別紙2「地震応答解析における耐震壁のせん断スケルトン曲線の設定」に示す。
- ⑤ 既工認モデルをベースに、蒸気タービン改造(平成27年工事計画届出)による工事に伴う重量変更を反映。なお、今回工認モデルの重量は平成27年工事計画届出(V-5蒸気タービンの基礎に関する説明書)において地震力の算定に用いたモデルと同様。

表 2-2 鉛直モデルの諸元の設定方法

部位	質量	剛性
耐震壁 柱	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛直モデルに対応する水平モデルの質点の質量 	<ul style="list-style-type: none"> ・水平方向モデルにおいて剛性を考慮している耐震壁及び鉛直剛性として考慮できる柱の軸断面積の和より軸剛性を算出 ・耐震壁間の主要な壁のせん断剛性を算出
屋根トラス	<ul style="list-style-type: none"> ・質点の支配面積より算出 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲げ変形とせん断変形を生じる質点系の曲げせん断ばりモデルとして剛性を算出

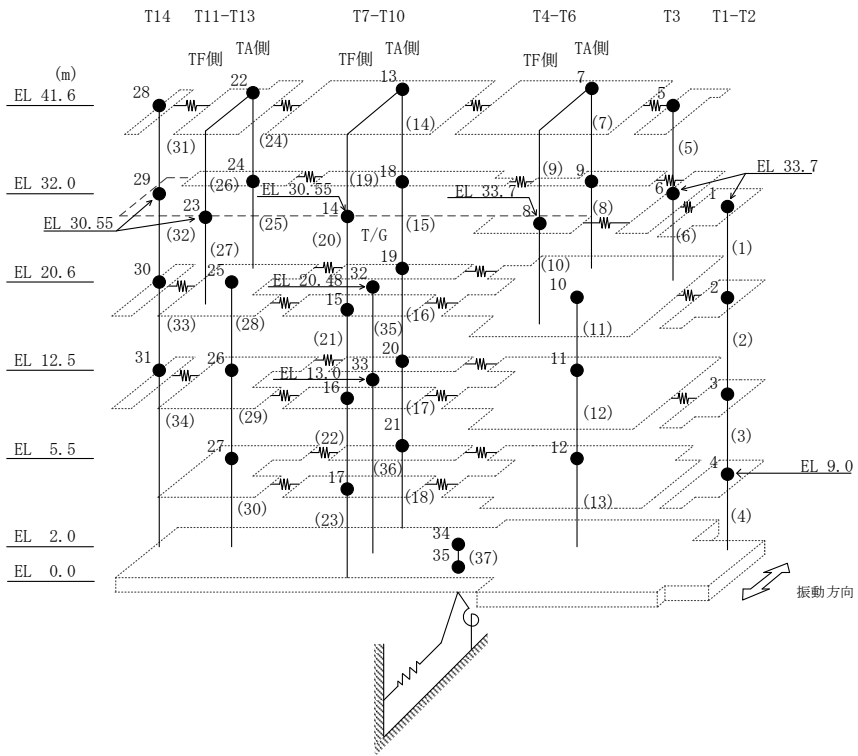


図 2-1 (1) 地震応答解析モデル (NS方向)

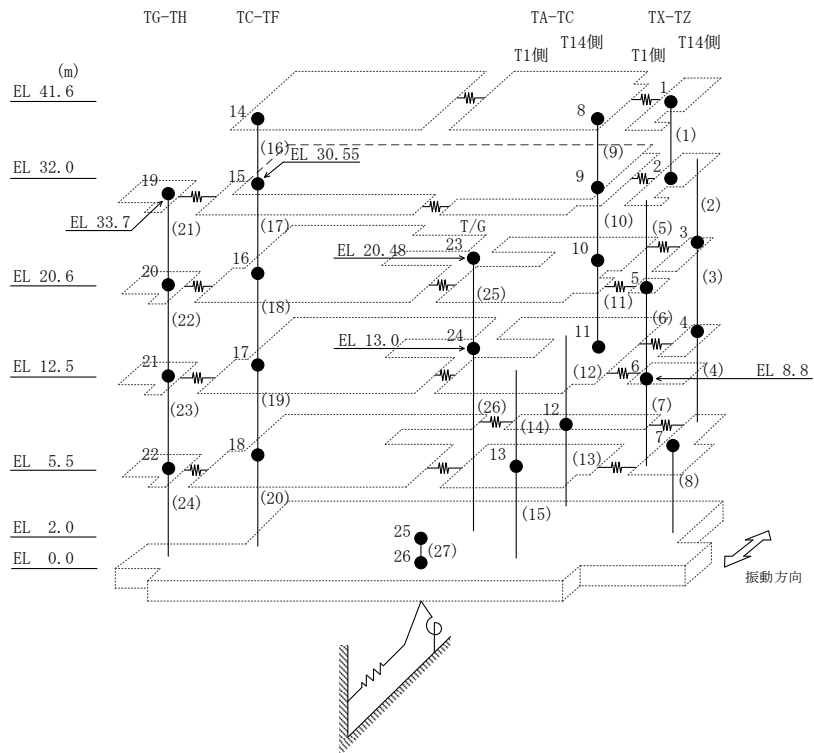


図 2-1 (2) 地震応答解析モデル (EW方向)

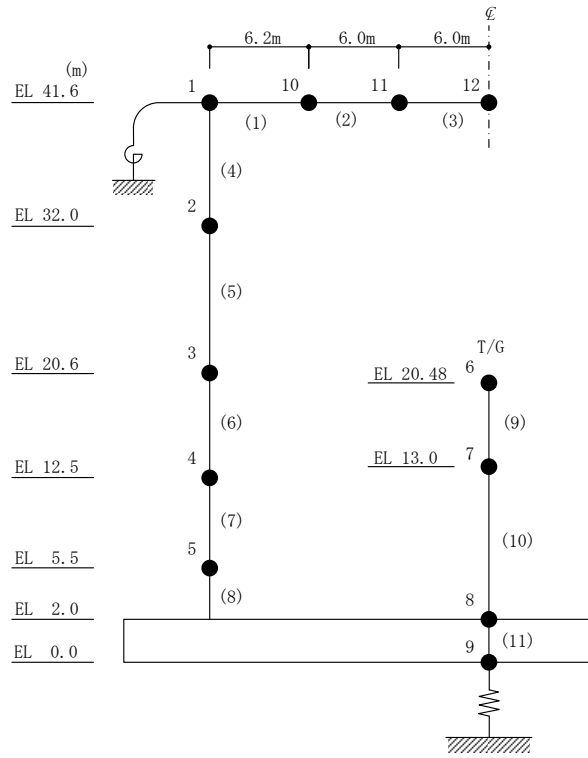
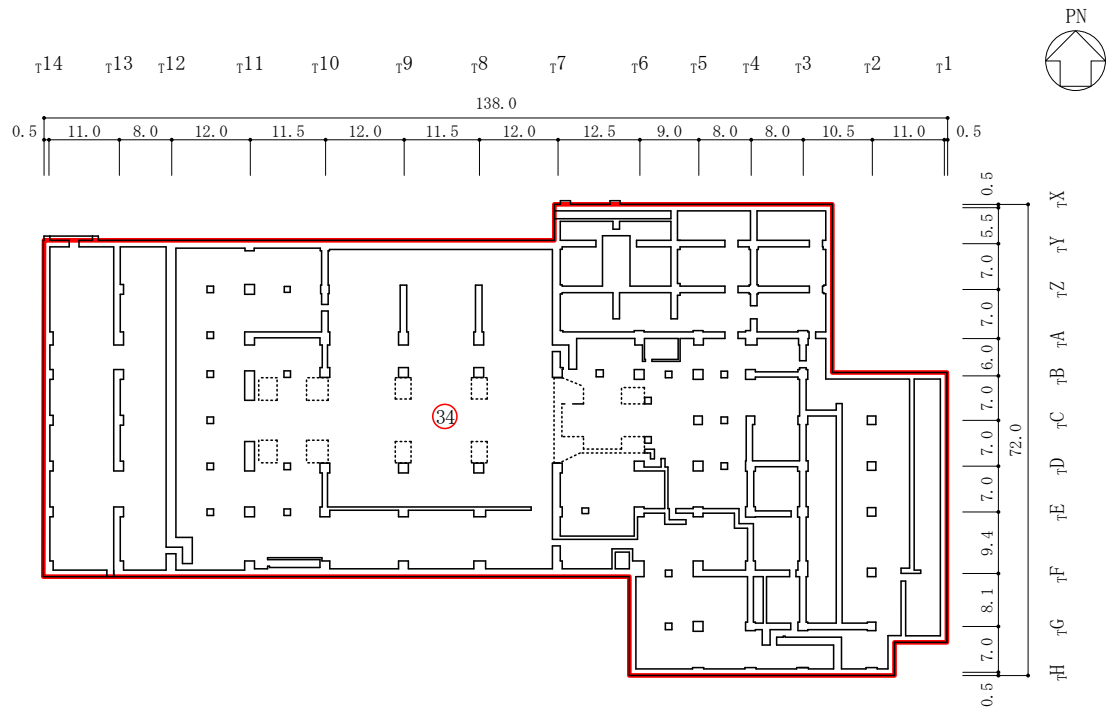
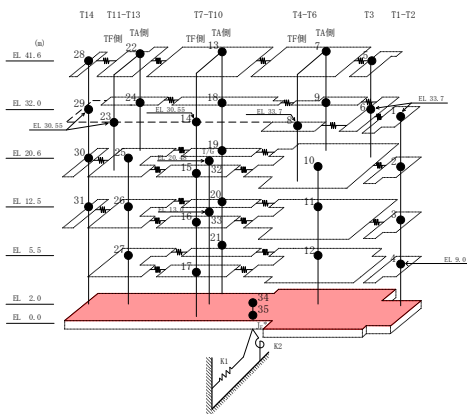


図 2-2 地震応答解析モデル (鉛直方向)



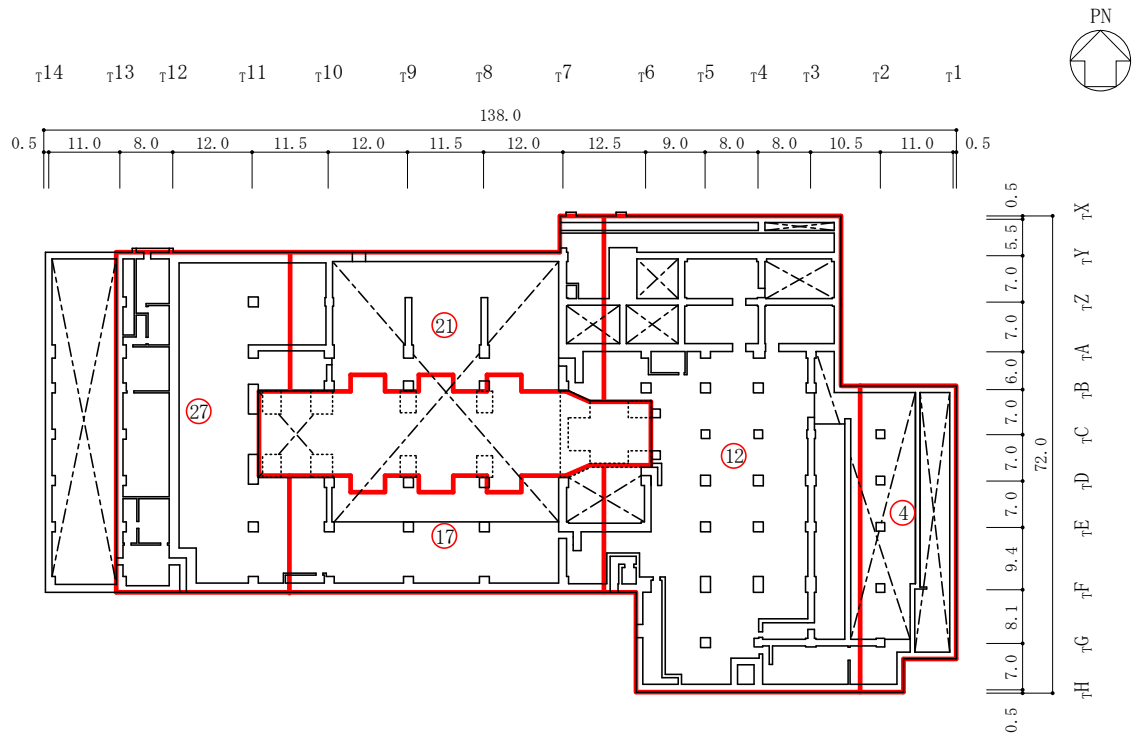
○ 質点番号を示す。

(単位:m)



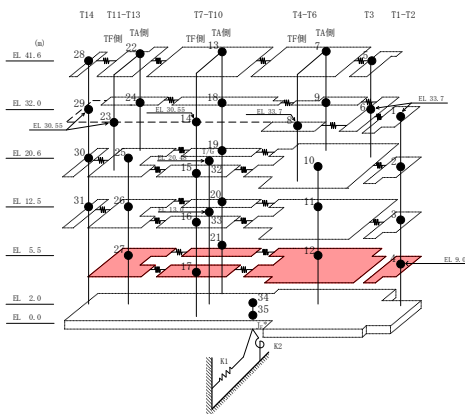
(N S方向, EL 2.0m)

図 2-3(1) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



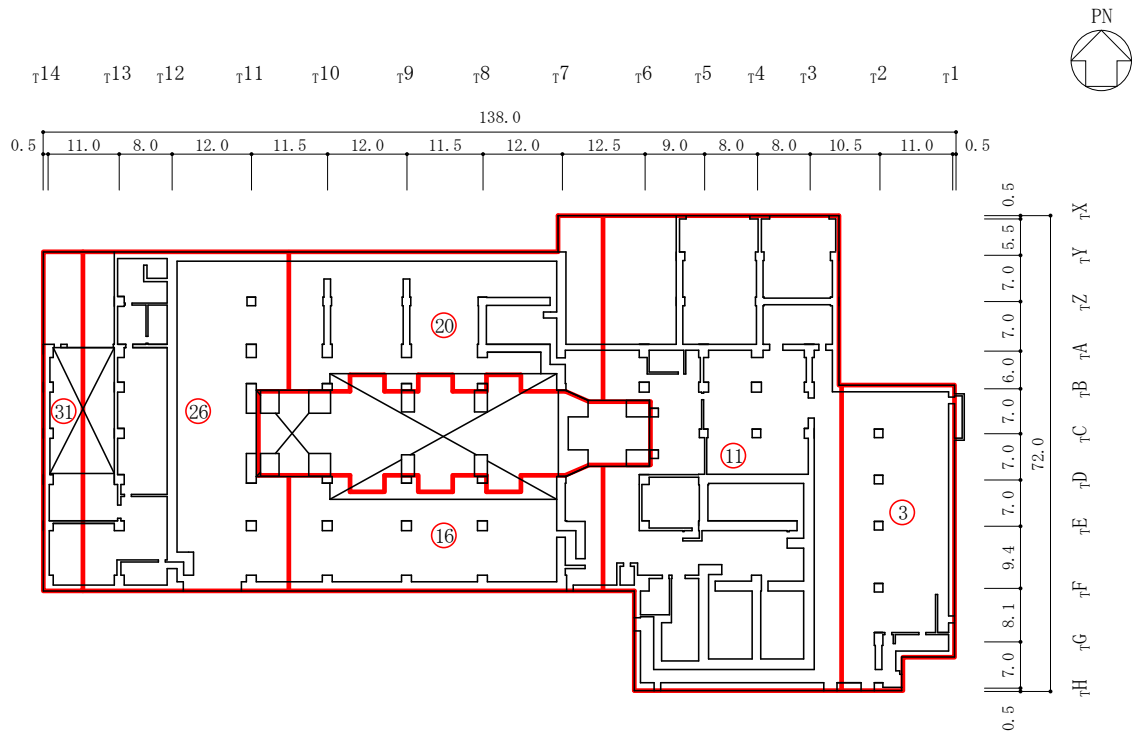
○ 質点番号を示す。

(単位:m)



(NS方向, EL 5.5m)

図 2-3(2) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



○ 質点番号を示す。

(単位:m)

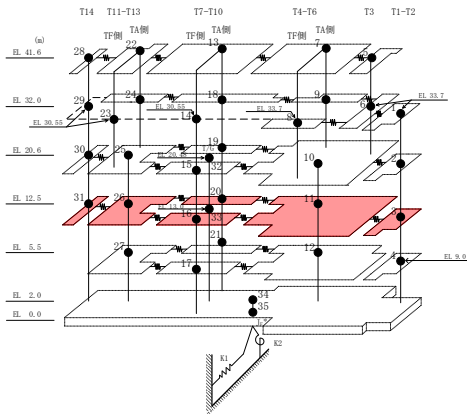
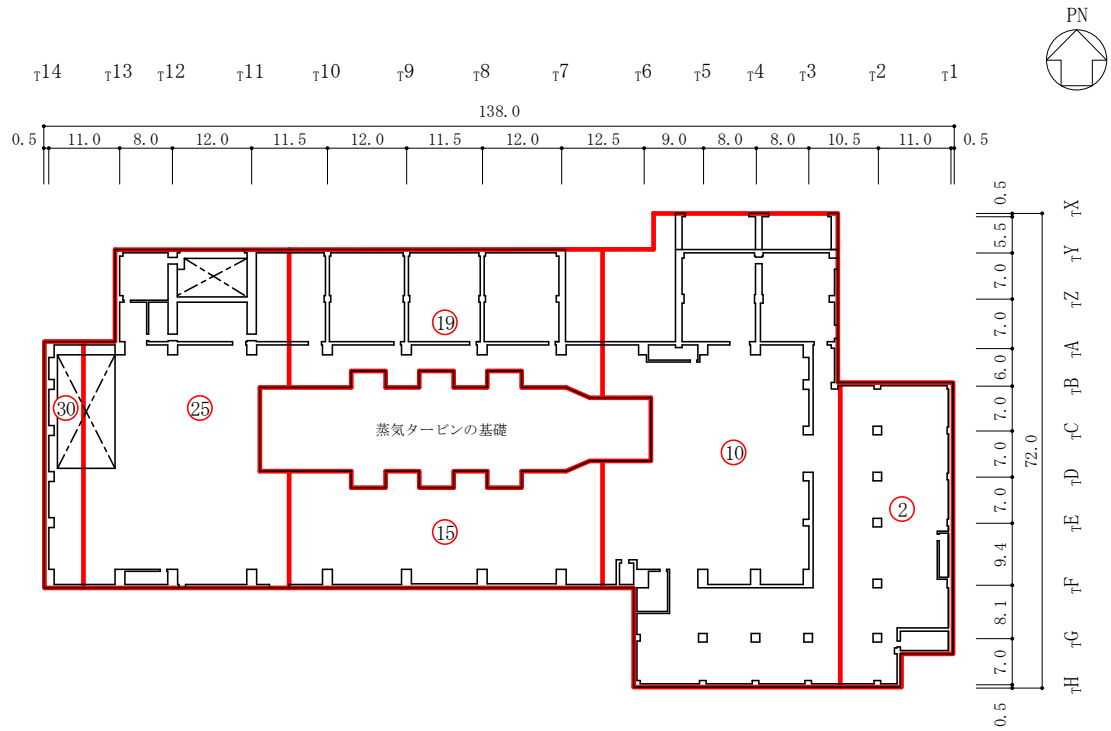
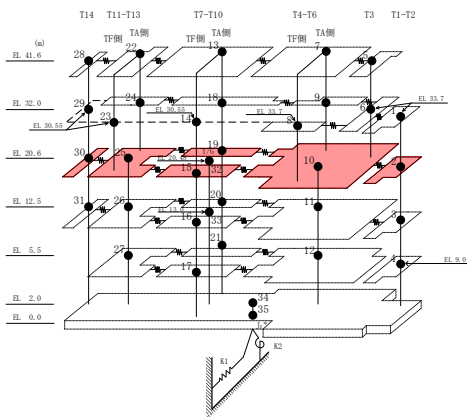


図 2-3 (3) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



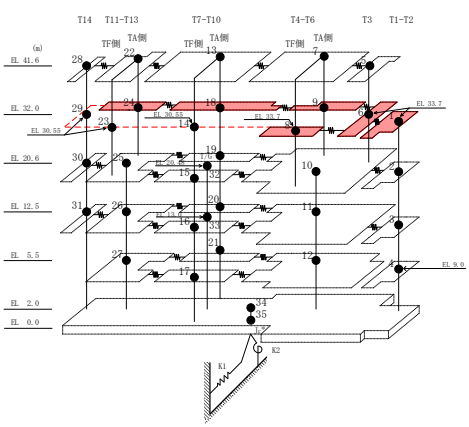
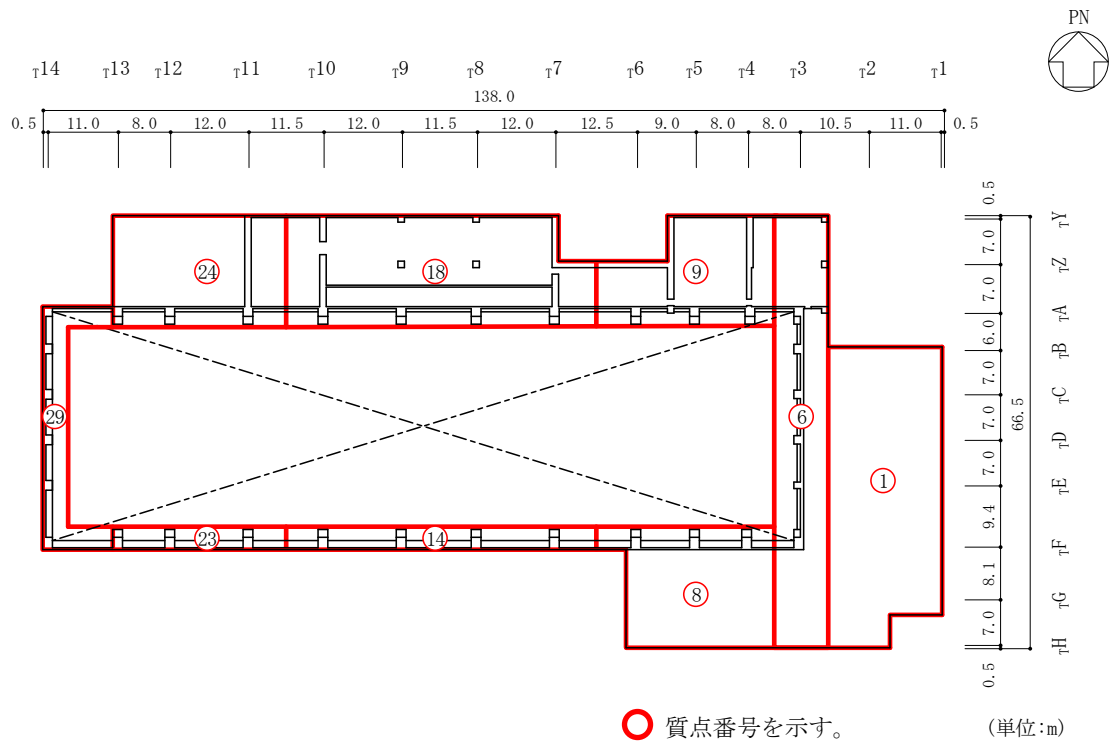
○ 質点番号を示す。

(単位:m)



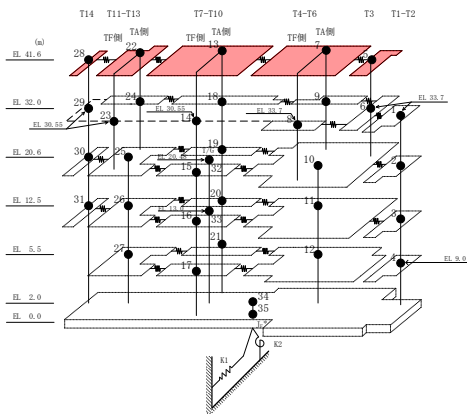
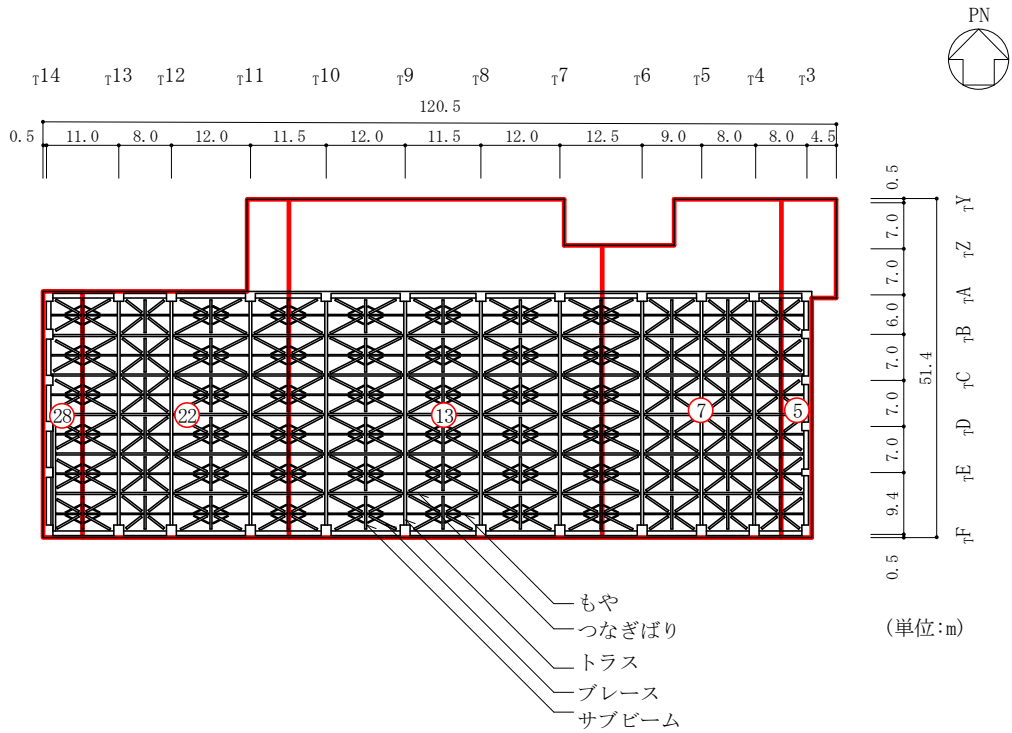
(NS方向, EL 20.6m)

図 2-3(4) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



(NS方向, EL 32.0m)

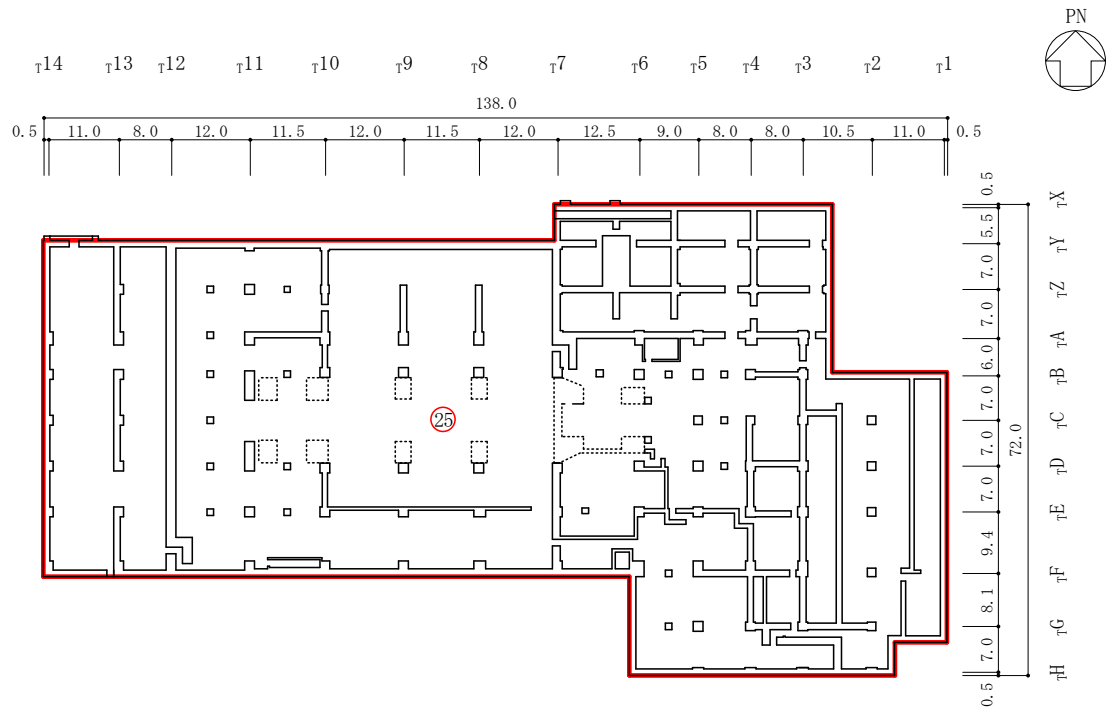
図 2-3(5) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



○ 質点番号を示す。

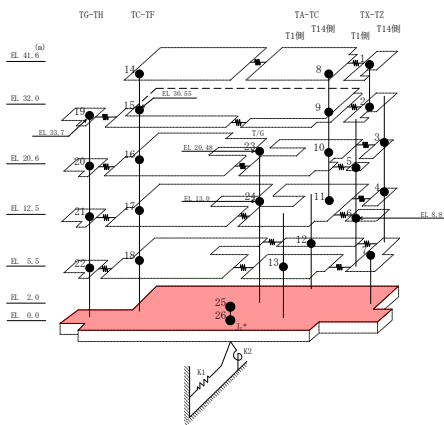
(NS方向, EL 41.6m)

図 2-3(6) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



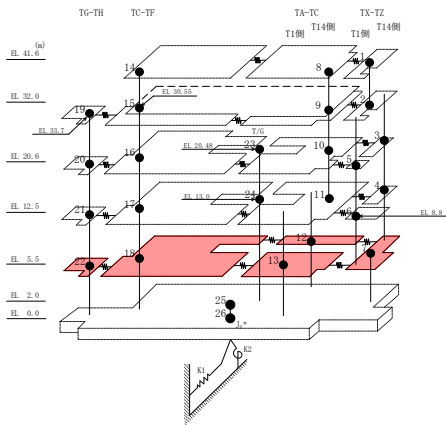
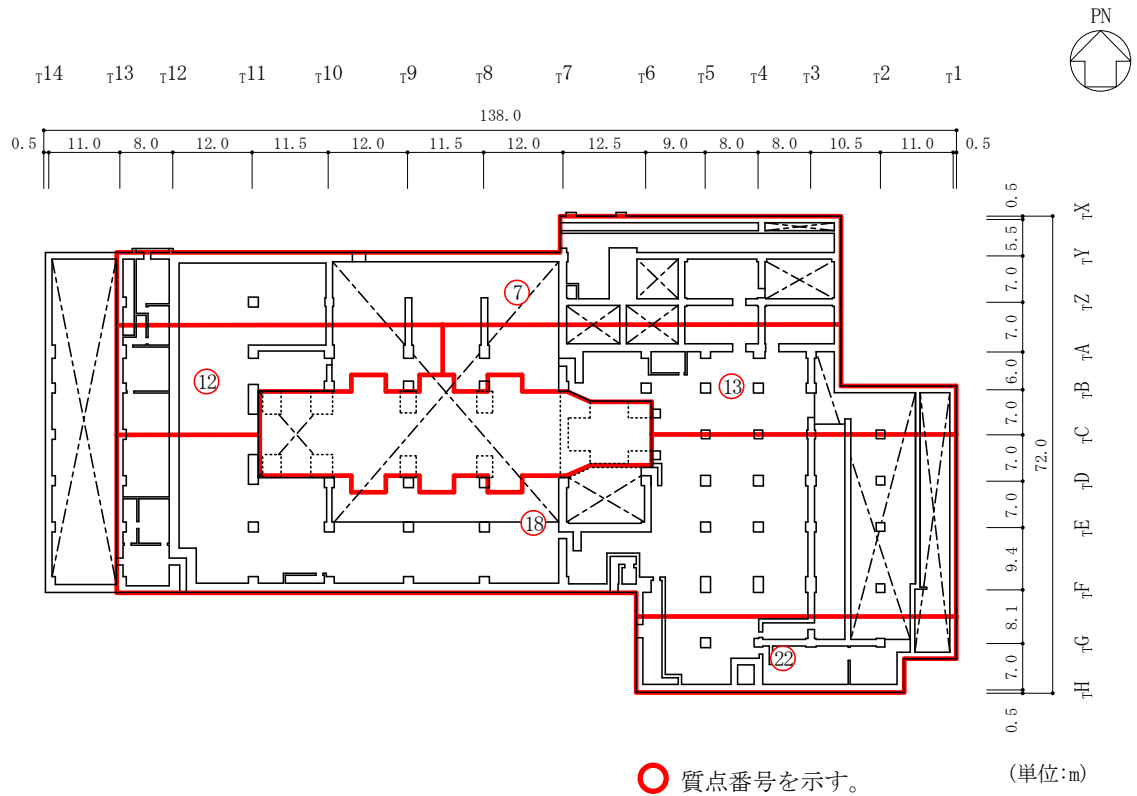
○ 質点番号を示す。

(単位:m)



(EW方向, EL 2.0m)

図 2-3(7) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



(EW方向, EL 5.5m)

図 2-3(8) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図

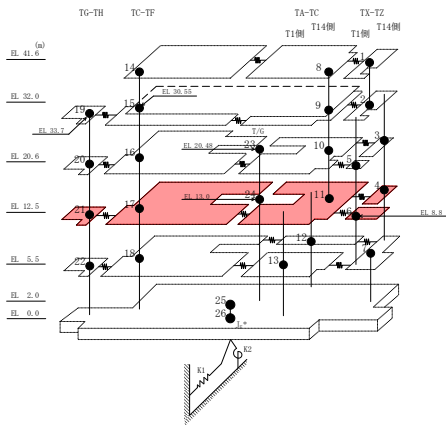
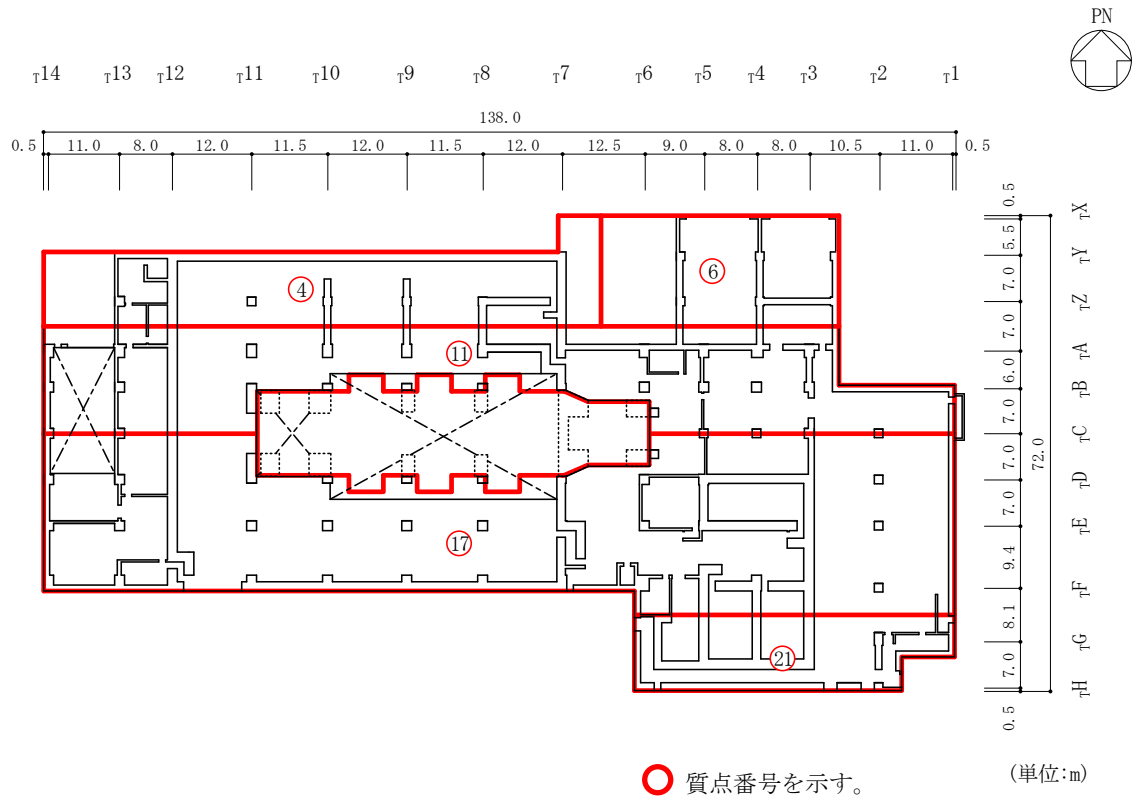
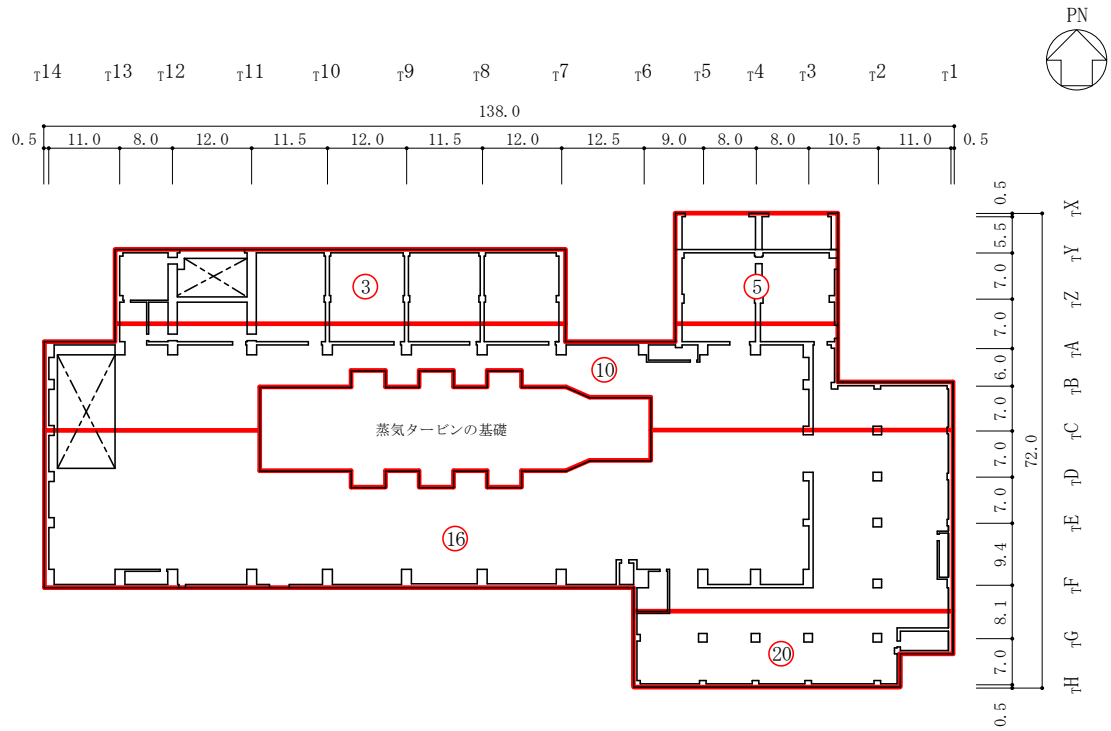
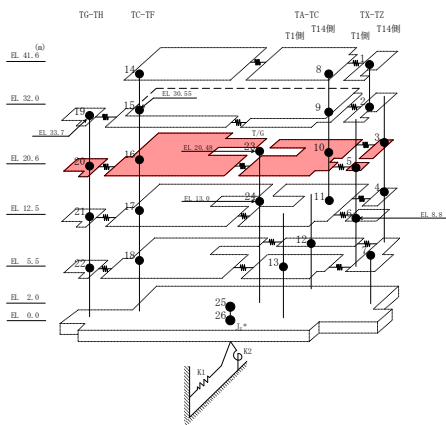


図 2-3(9) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



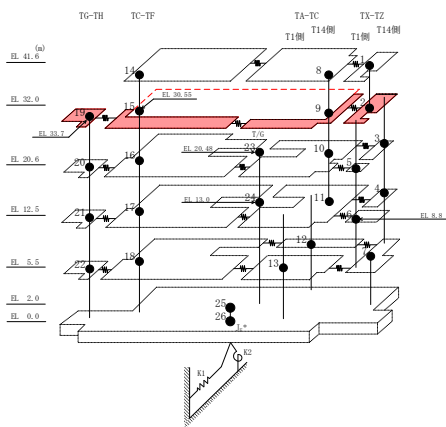
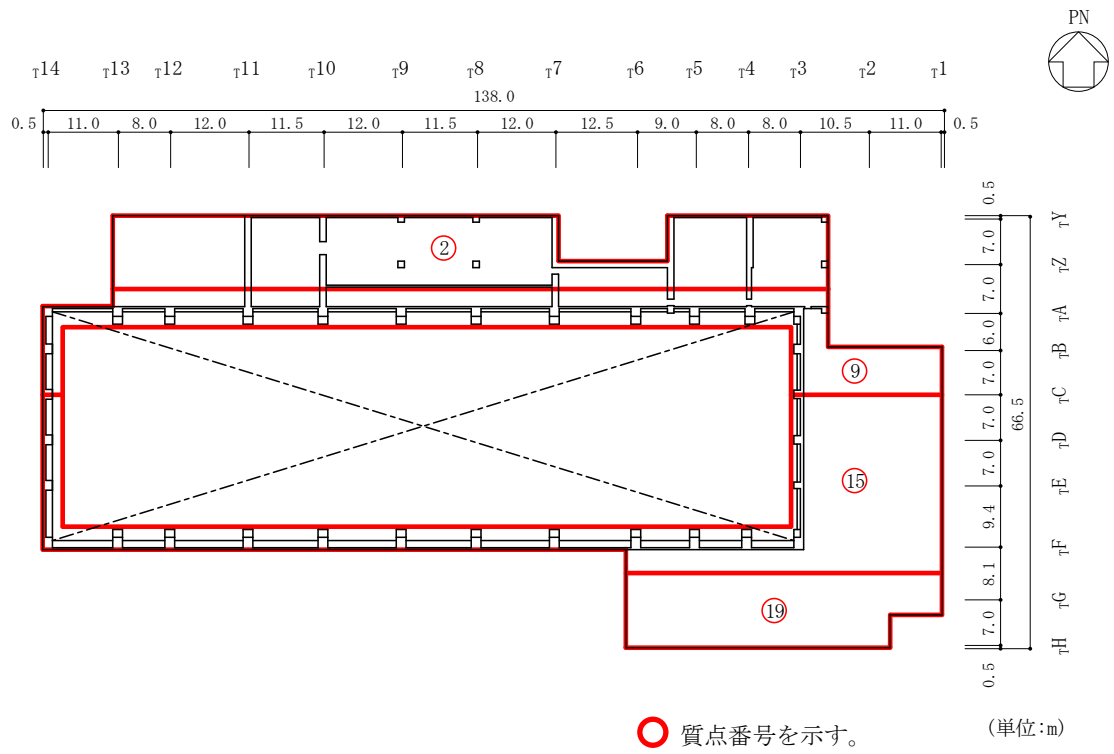
○ 質点番号を示す。

(単位:m)



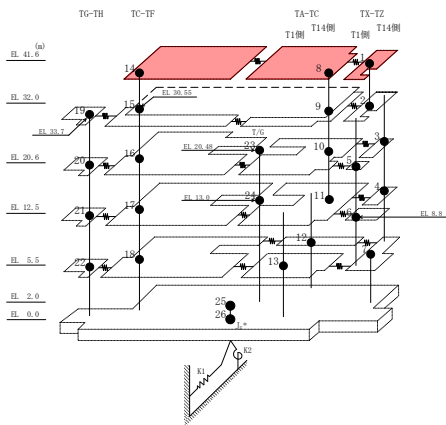
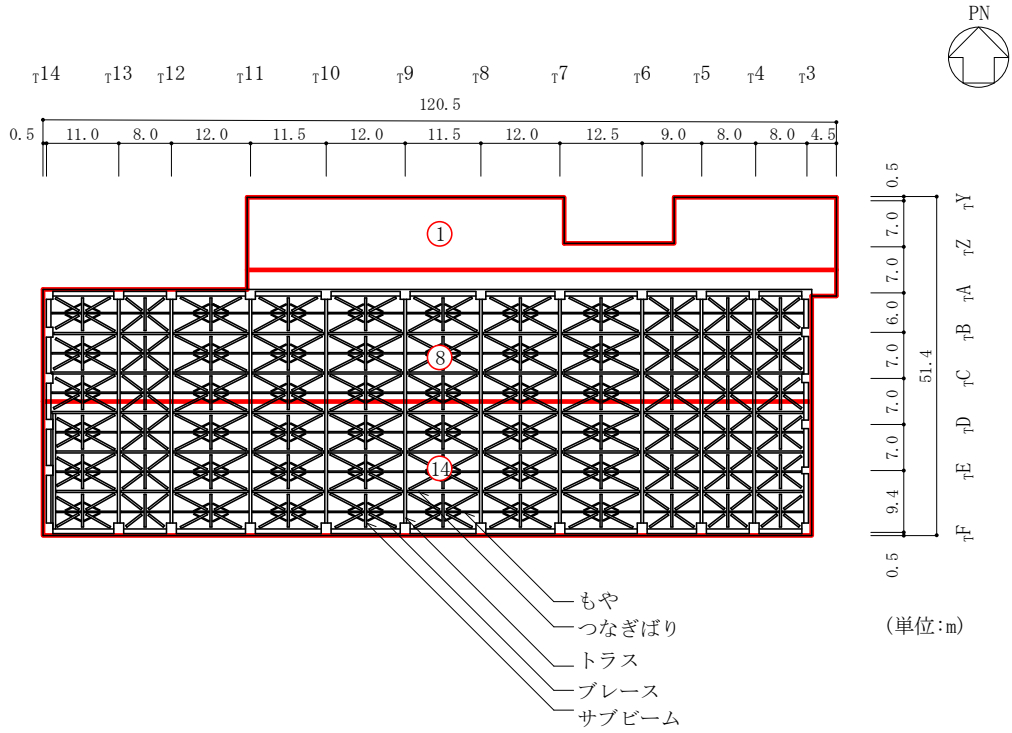
(E W方向, EL 20.6m)

図 2-3(10) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



(EW方向, EL 32.0m)

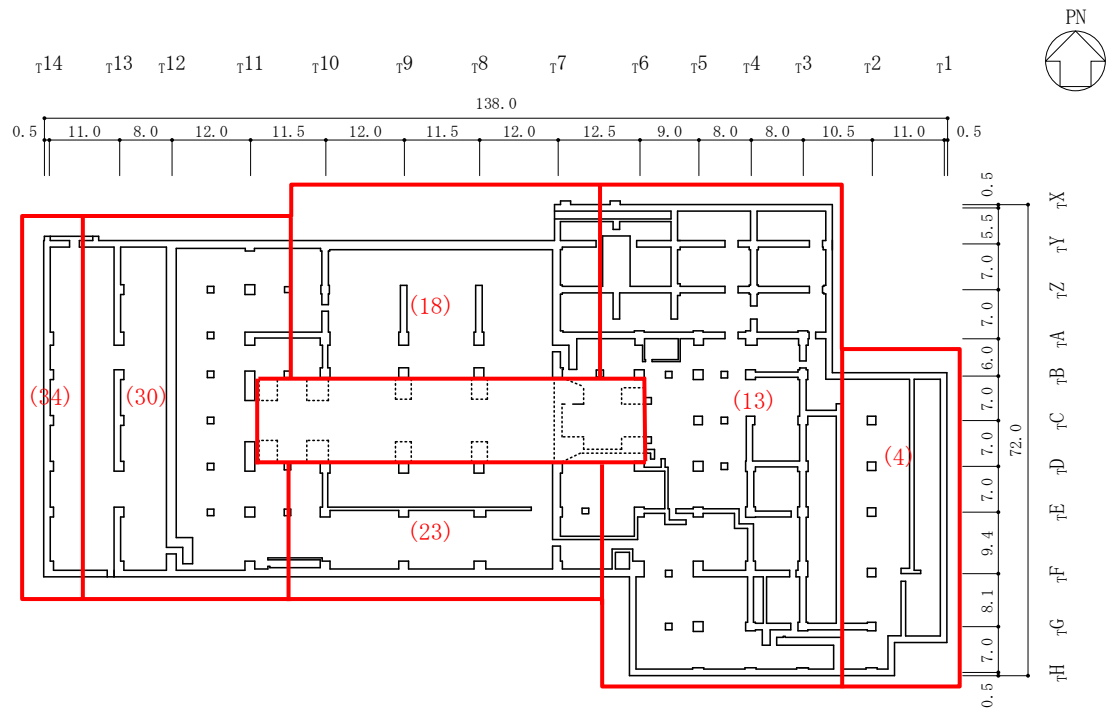
図 2-3(11) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



○ 質点番号を示す。

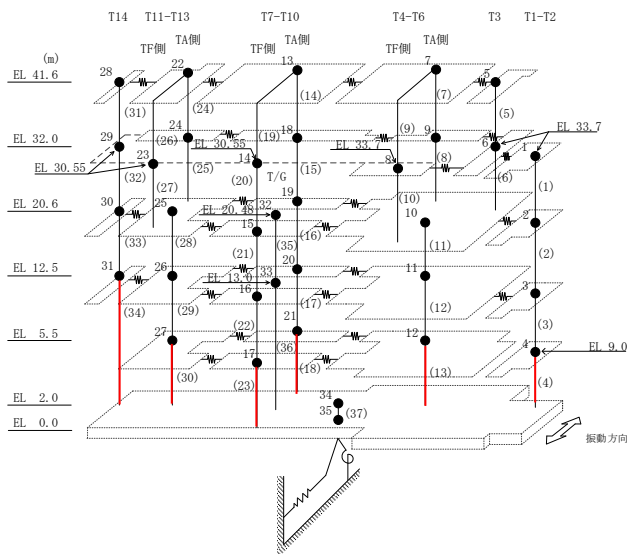
(EW方向, EL 41.6m)

図 2-3(12) タービン建物の地震応答解析モデル 重量区分図



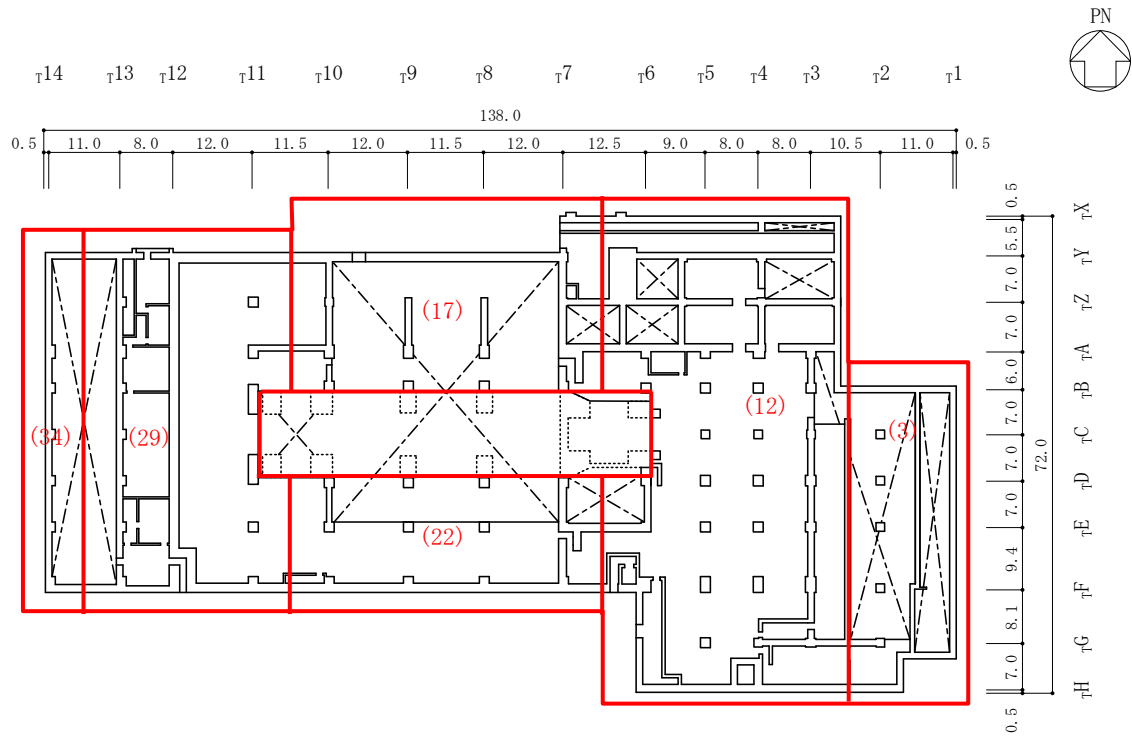
() 要素番号を示す。

(単位:m)



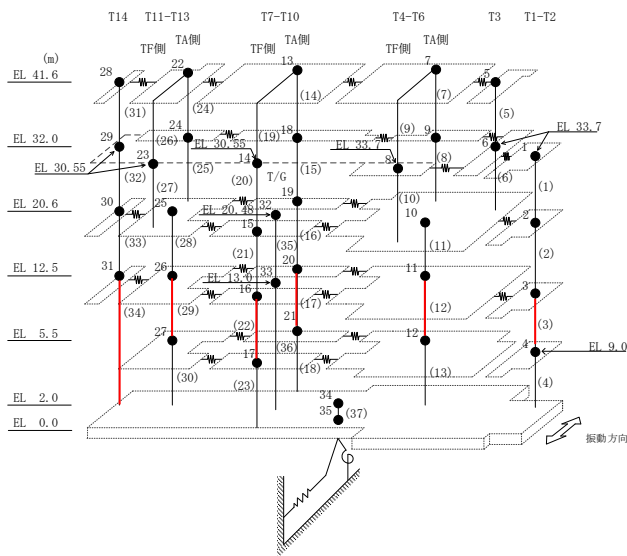
(N S方向, EL 2.0m)

図 2-4(1) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図



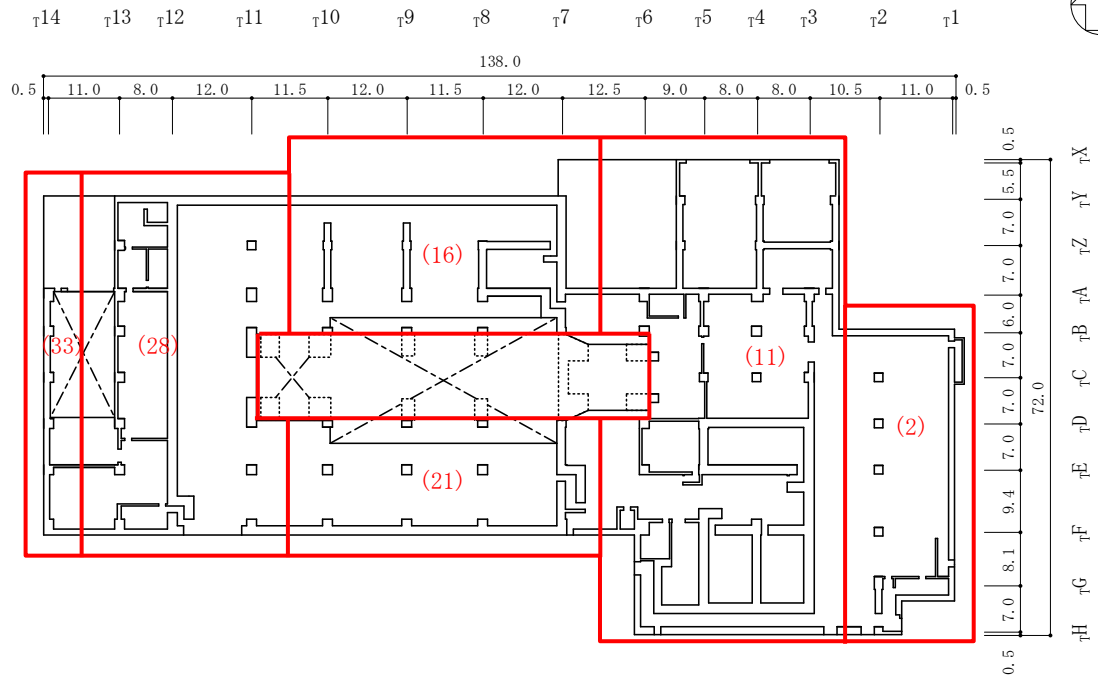
() 要素番号を示す。

(単位:m)



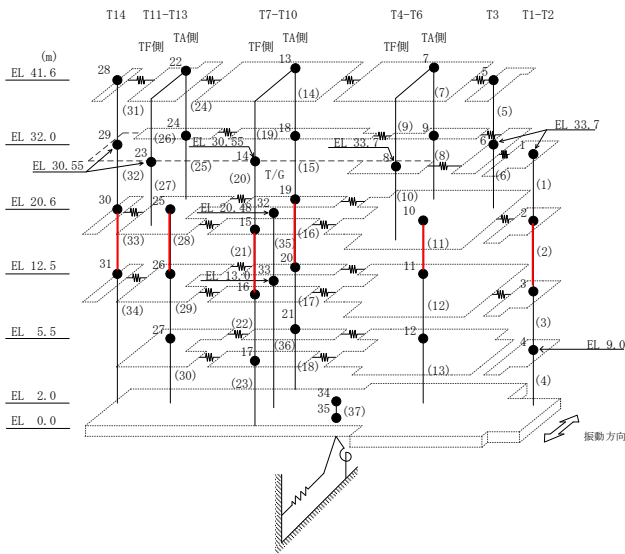
(N S方向, EL 5.5m)

図 2-4(2) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図



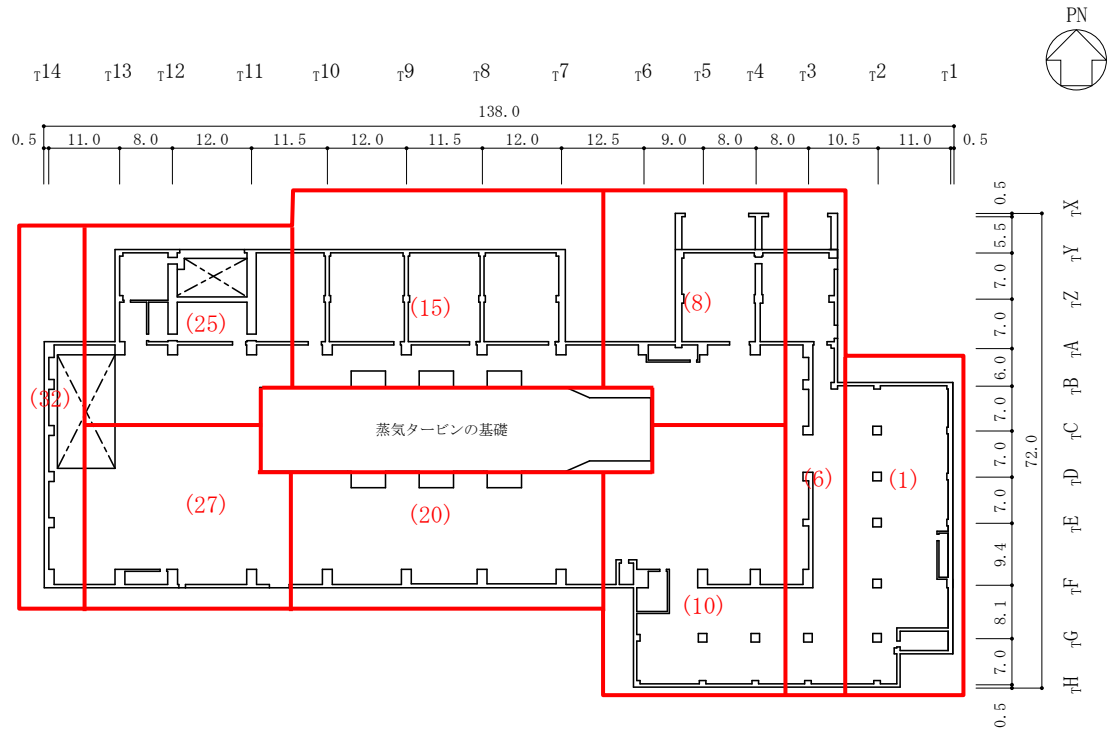
() 要素番号を示す。

(単位:m)



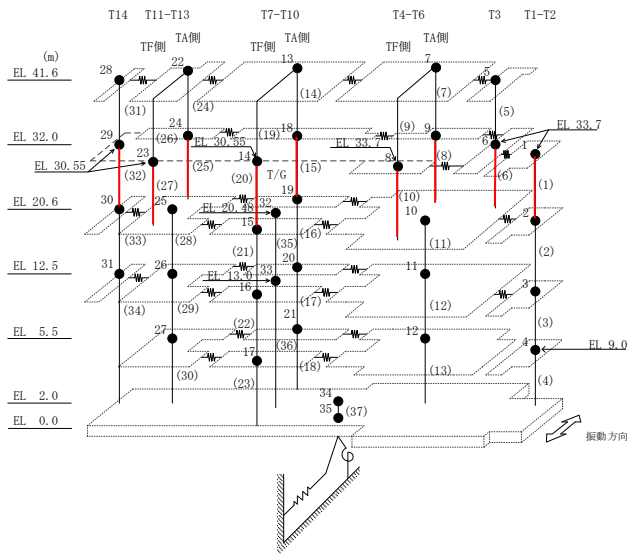
(NS方向, EL 12.5m)

図 2-4(3) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図



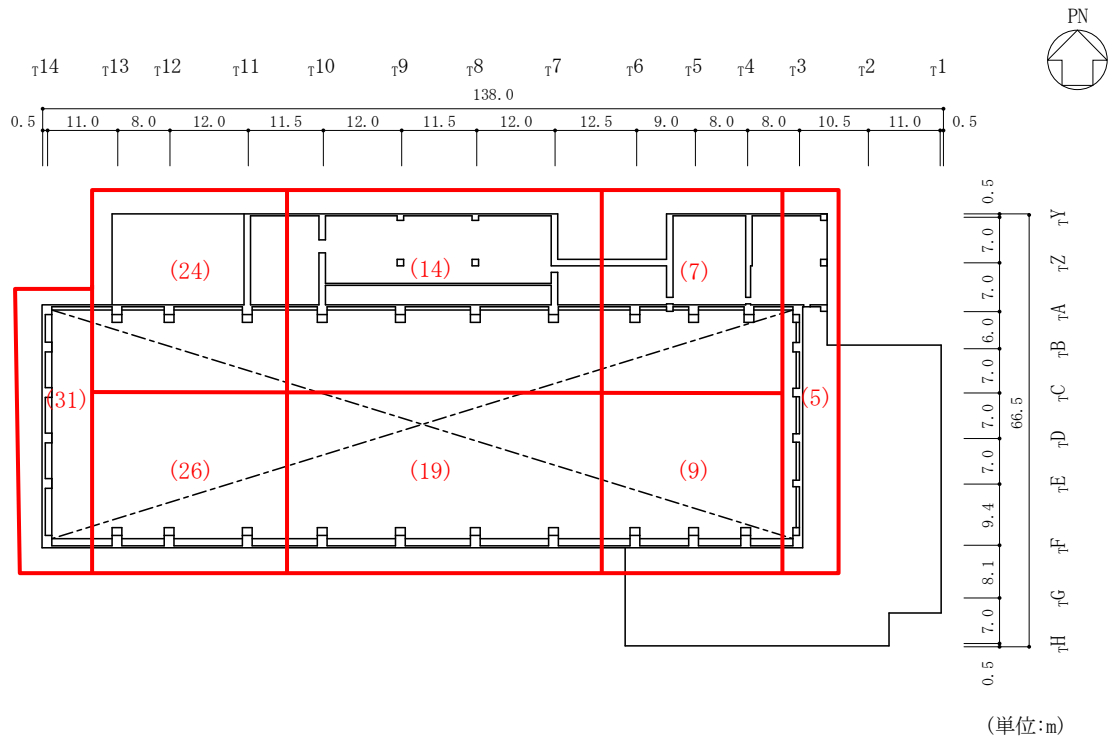
() 要素番号を示す。

(単位:m)

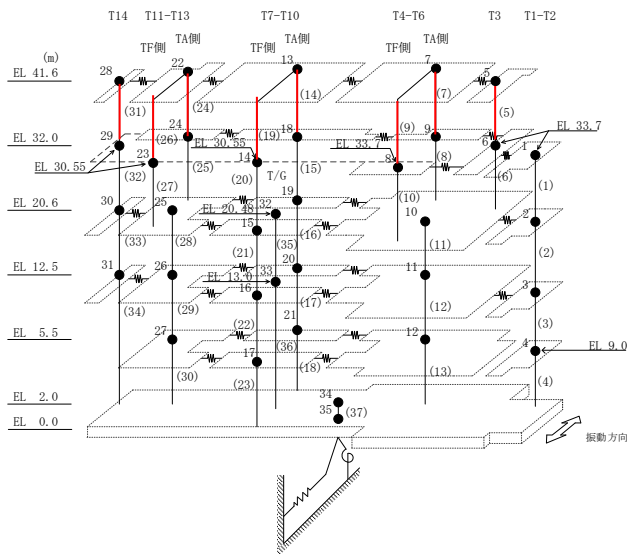


(NS方向, EL 20.6m)

図 2-4(4) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図

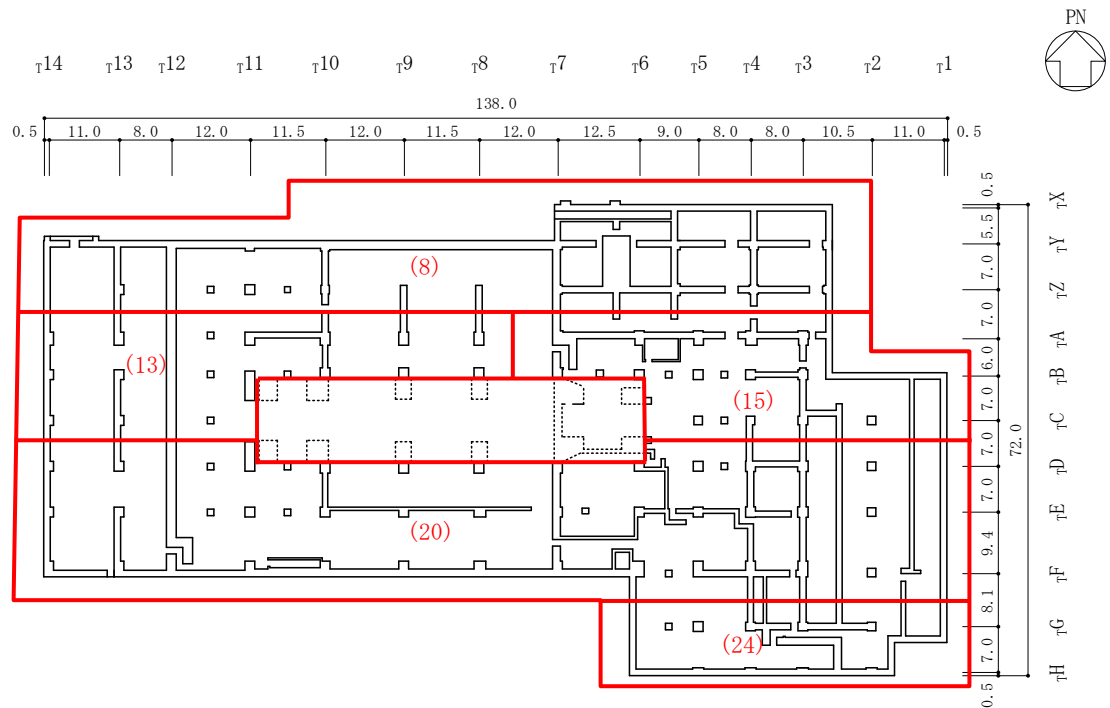


() 要素番号を示す。



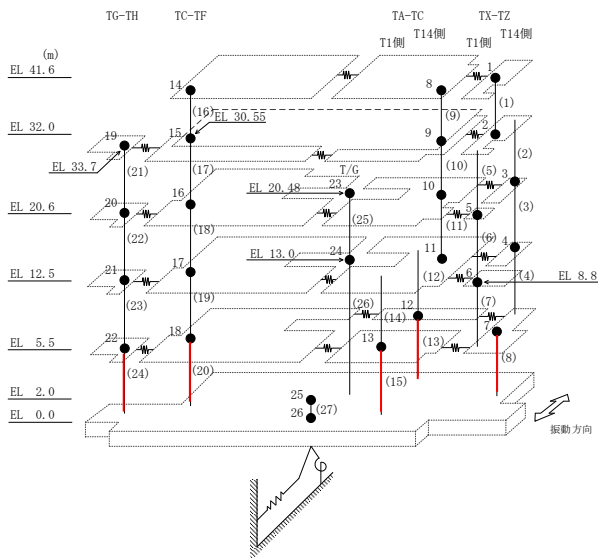
(NS方向, EL 32.0m)

図 2-4(5) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図



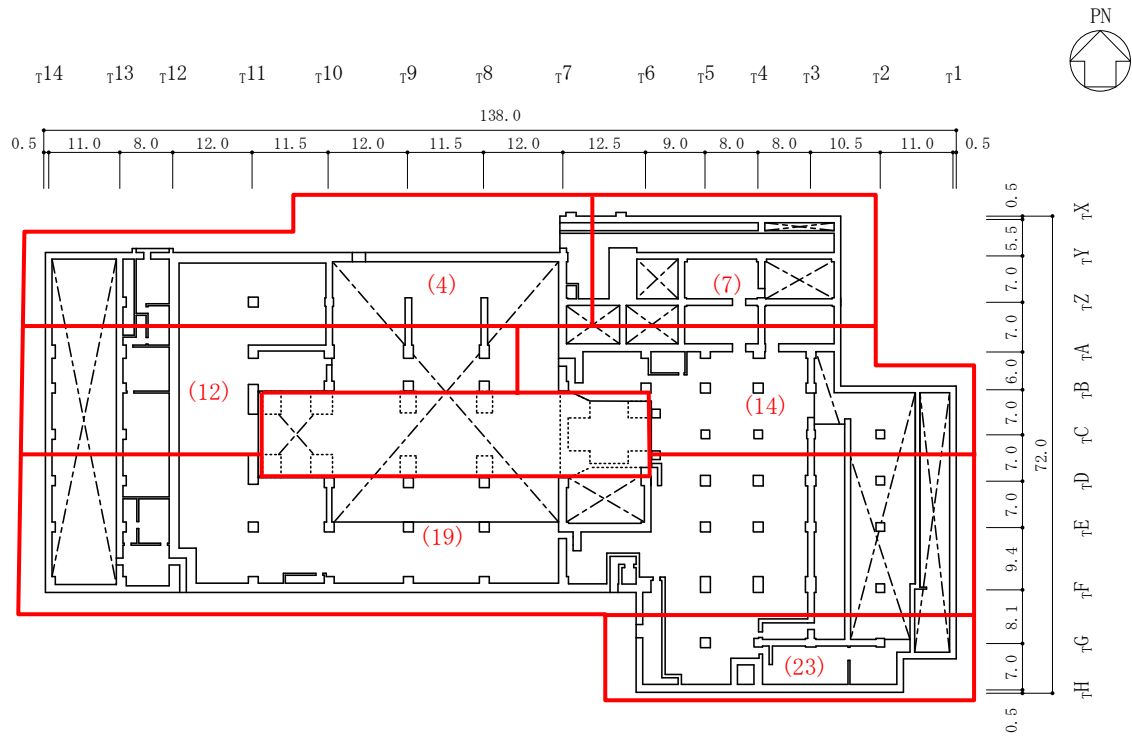
() 要素番号を示す。

(単位:m)



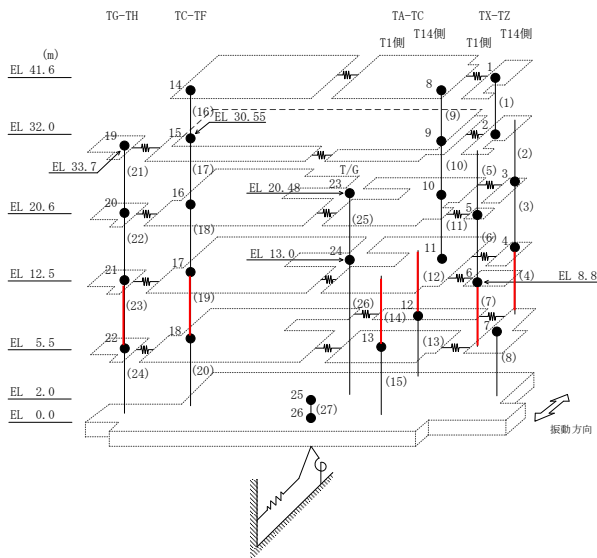
(EW方向, EL 2.0m)

図 2-4(6) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図



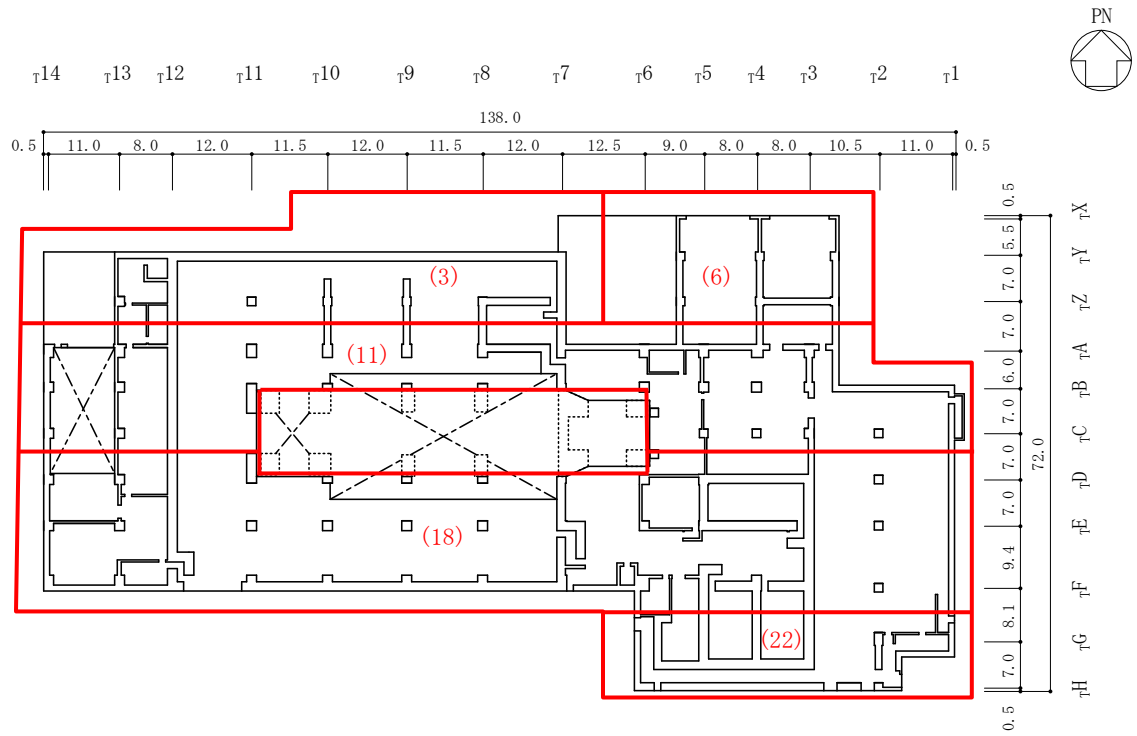
() 要素番号を示す。

(単位:m)



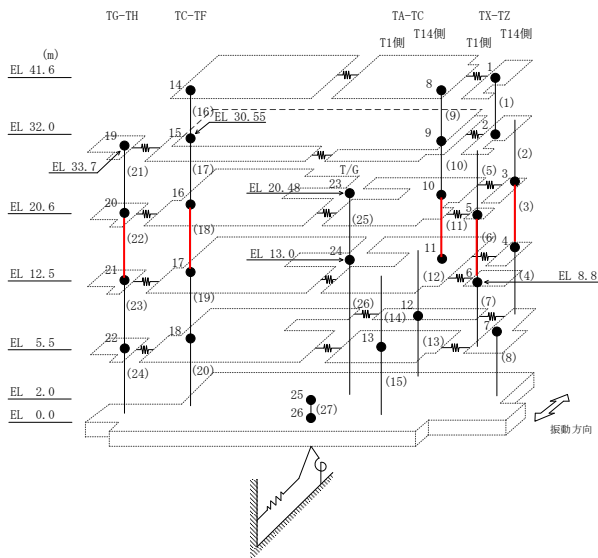
(EW方向, EL 5.5m)

図 2-4(7) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図



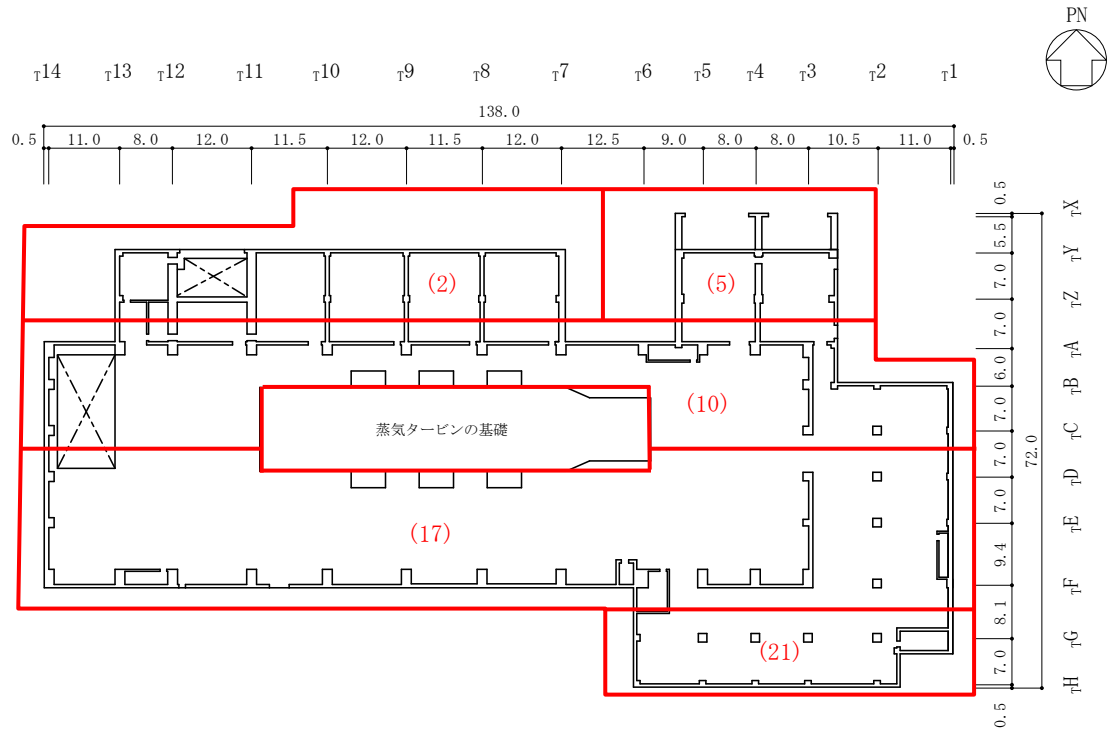
() 要素番号を示す。

(単位:m)



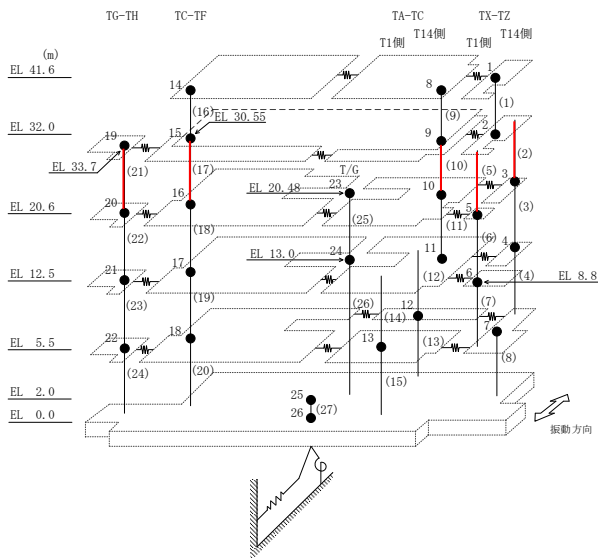
(E W方向, EL 12.5m)

図 2-4(8) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図



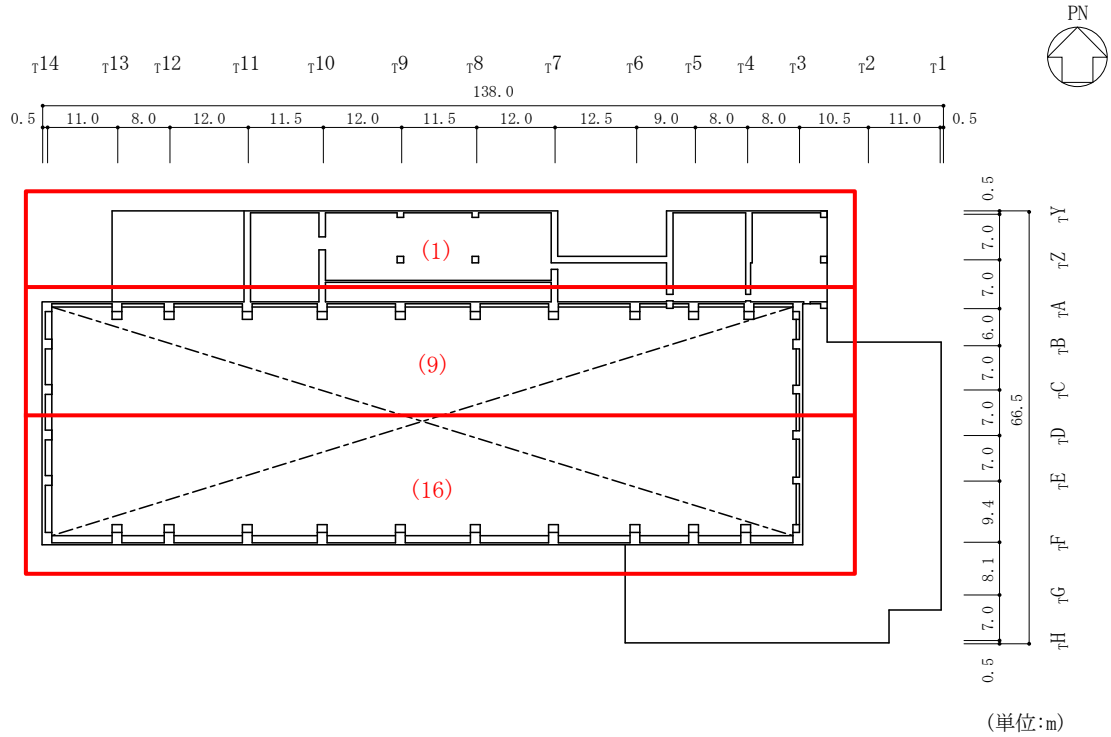
() 要素番号を示す。

(単位:m)

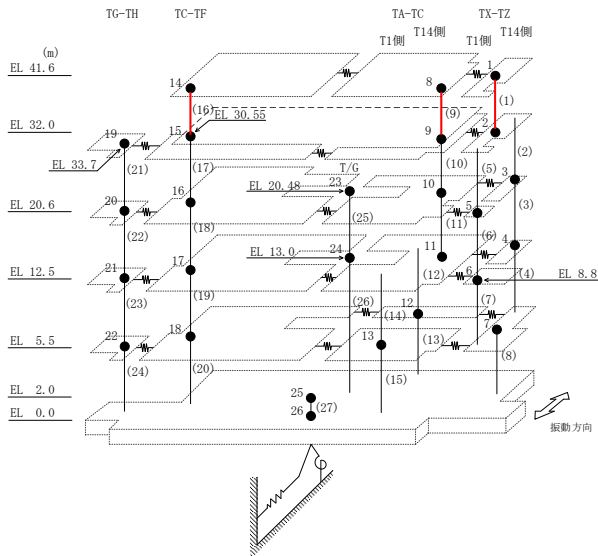


(E W方向, EL 20.6m)

図 2-4(9) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図



() 要素番号を示す。



(EW方向, EL 32.0m)

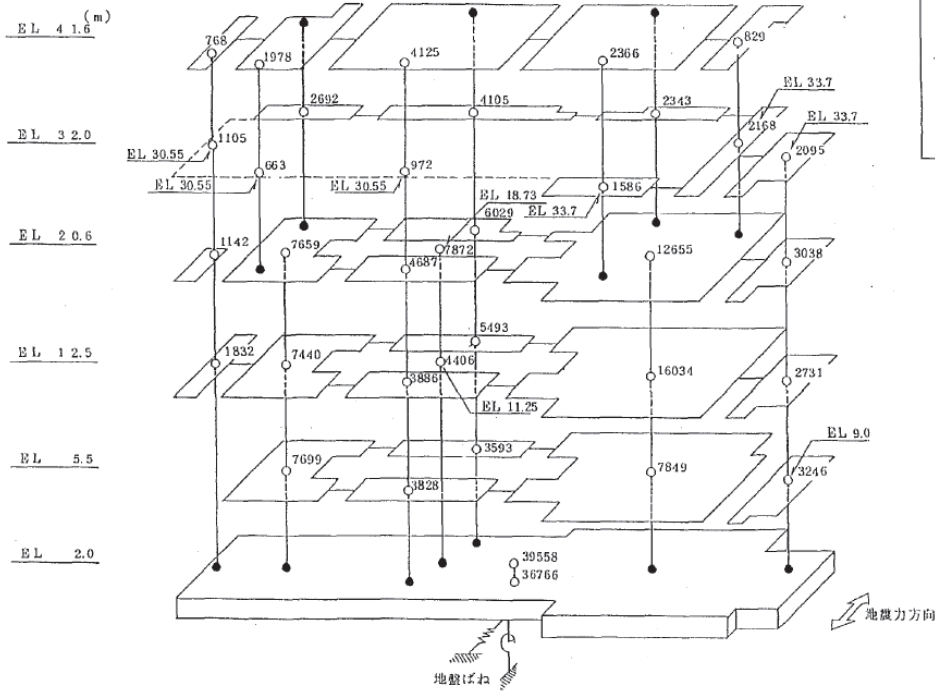
図 2-4(10) タービン建物の地震応答解析モデル 剛性区分図

2.1 SI 単位系への単位換算による変更

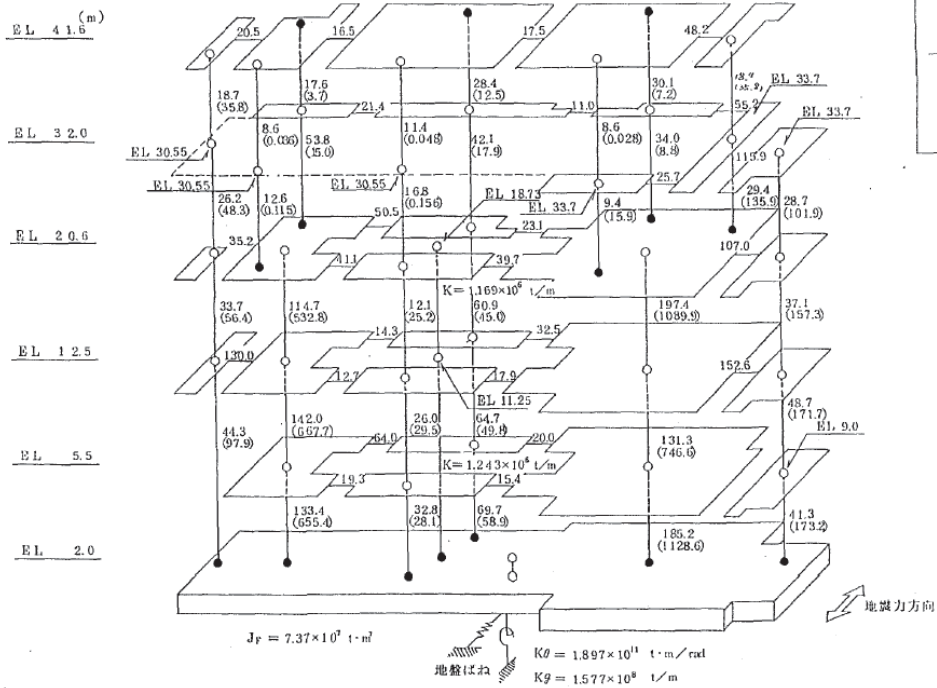
既工認モデルでは重力単位系による重量を用いていたが、今回工認モデルでは SI 単位系へ単位換算する。

2.2 既工認モデルと今回工認モデルの諸元の比較

図 2-5 に既工認モデルと今回工認モデルの諸元の比較を示す。

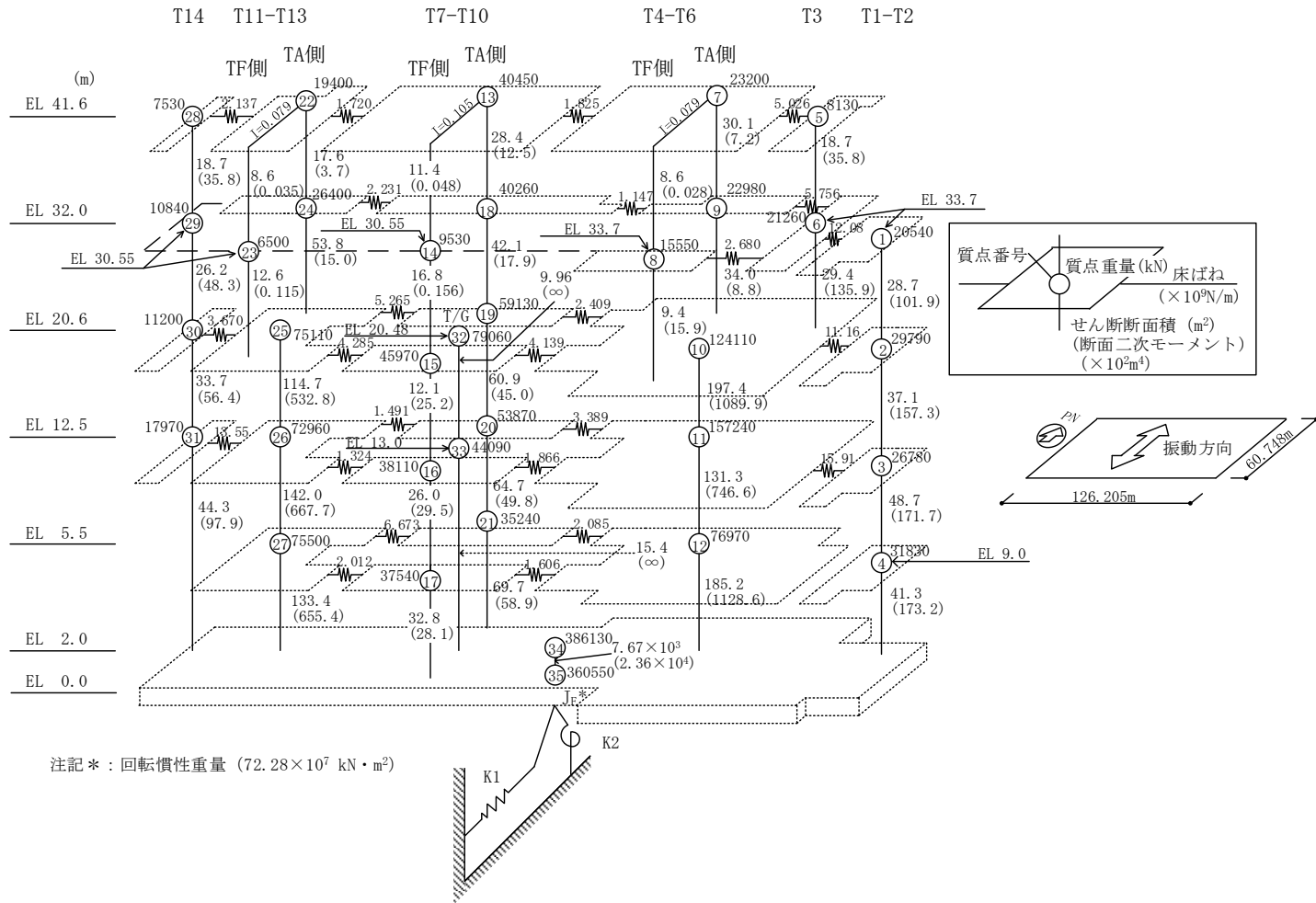


(a) 既工認モデル (質点重量)



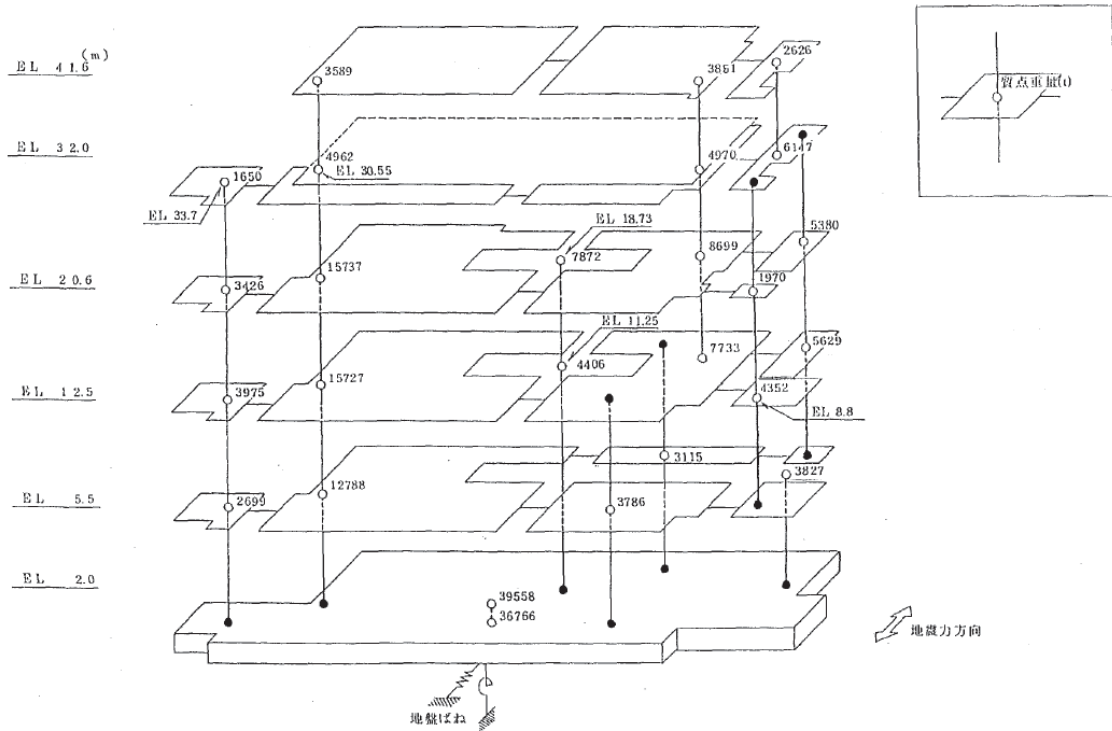
(b) 既工認モデル (剛性)

図 2-5(1) 既工認モデルと今回工認モデルの諸元の比較 (NS方向)

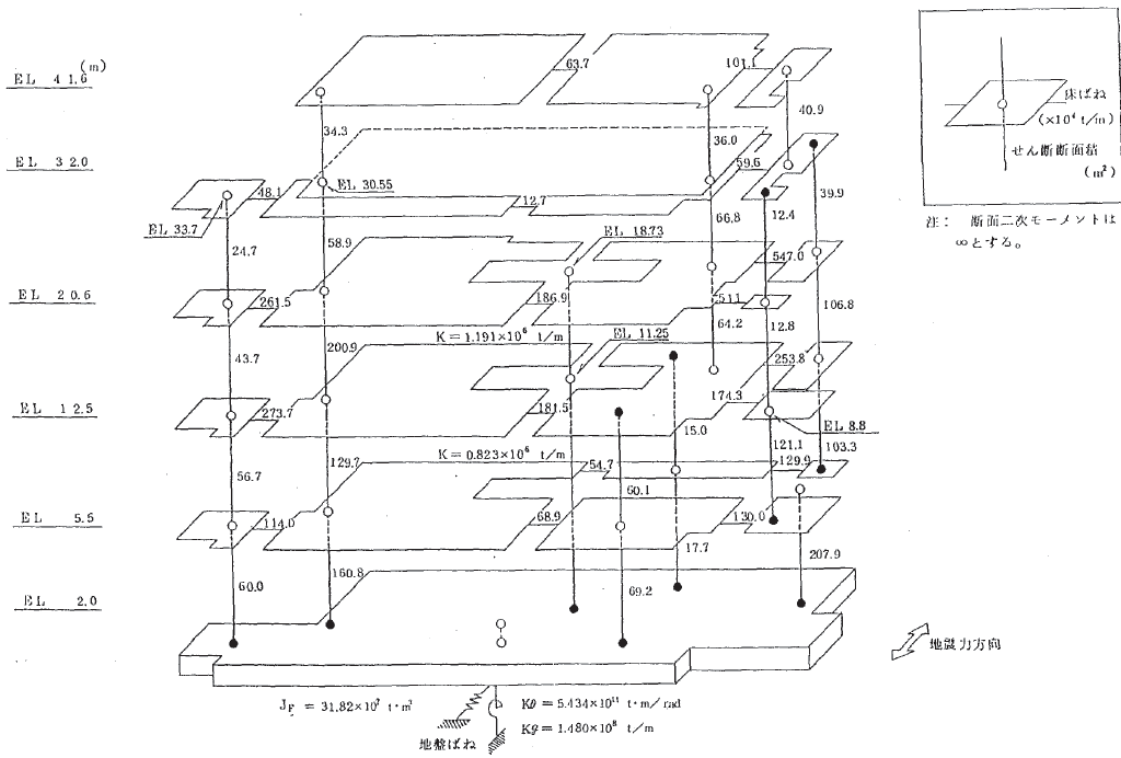


(c) 今回工認モデル

図 2-5(2) 既工認モデルと今回工認モデルの諸元の比較 (N S 方向)

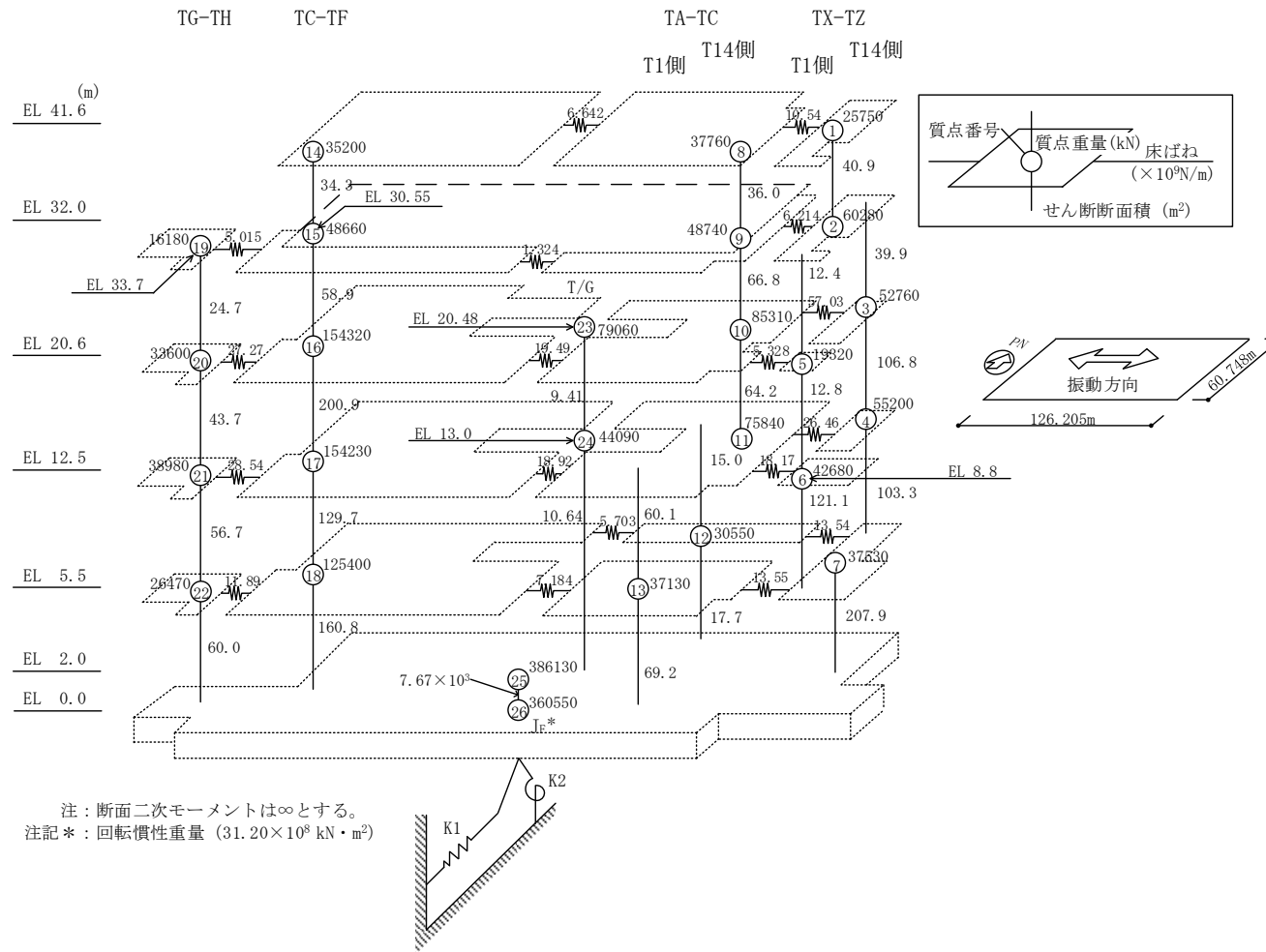


(a) 既工認モデル (質点重量)



(b) 既工認モデル (剛性)

図 2-5(3) 既工認モデルと今回工認モデルの諸元の比較 (EW方向)



(c) 今回工認モデル

図 2-5(4) 既工認モデルと今回工認モデルの諸元の比較 (EW方向)

別紙 2 地震応答解析における耐震壁のせん断スケルトン
曲線の設定

目 次

1. 概要	別紙 2-1
2. 耐震壁の非線形特性の設定について	別紙 2-2
2.1 第 1 折点の設定	別紙 2-3
2.2 第 2 折点の設定	別紙 2-3
2.3 終局点の設定	別紙 2-4
3. せん断スケルトン曲線の設定について	別紙 2-5
3.1 水平方向モデル	別紙 2-5
3.2 使用材料の物性値	別紙 2-8
3.3 RC 造耐震壁のせん断スケルトン曲線の諸数値	別紙 2-9
4. まとめ	別紙 2-35

別紙 2-1 せん断スケルトン曲線の設定に関する影響検討

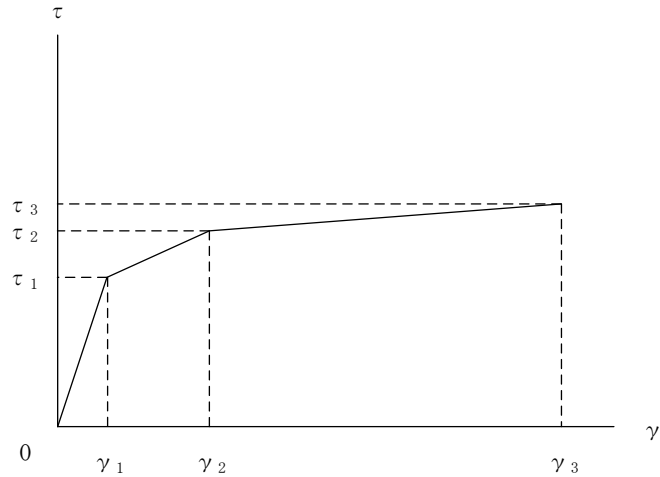
別紙 2-2 曲げ応答に関する考察

1. 概要

タービン建物については、鉄筋コンクリート造の耐震壁を主体とした構造物である。このため、地震応答解析においては、鉄筋コンクリート造耐震壁（以下「RC造耐震壁」という。）の非線形特性を考慮している。本資料は、耐震壁のせん断スケルトン曲線の設定について説明するものである。

2. 耐震壁の非線形特性の設定について

RC造耐震壁のせん断応力度－せん断ひずみ関係（ $\tau - \gamma$ 関係）は、「原子力発電所耐震設計技術指針 J E A G 4 6 0 1-1991 追補版（（社）日本電気協会）」（以下「J E A G 4 6 0 1-1991 追補版」という。）に基づき、トリリニア型スケルトン曲線とする。せん断応力度－せん断ひずみ関係を図2-1に示す。



- τ_1 : 第1折点のせん断応力度
- τ_2 : 第2折点のせん断応力度
- τ_3 : 終局点のせん断応力度
- γ_1 : 第1折点のせん断ひずみ
- γ_2 : 第2折点のせん断ひずみ
- γ_3 : 終局点のせん断ひずみ (4.0×10^{-3})

図2-1 せん断応力度－せん断ひずみ関係

2.1 第1折点の設定

RC造耐震壁におけるせん断スケルトン曲線の第1折点は、「J E A G 4 6 0 1-1991 追補版」に基づき、以下の式より算出している。

$$\tau_1 = \sqrt{\sqrt{F_c} (\sqrt{F_c + \sigma_v})}$$

$$\gamma_1 = \tau_1 / G$$

ここで、

F_c : コンクリートの圧縮強度 (kgf/cm²)

G : コンクリートのせん断弾性係数 (kgf/cm²)

σ_v : 縦軸応力度 (kgf/cm²) (圧縮を正とする。)

2.2 第2折点の設定

RC造耐震壁におけるせん断スケルトン曲線の第2折点は、「J E A G 4 6 0 1-1991 追補版」に基づき、以下の式より算出している。

$$\tau_2 = 1.35 \tau_1$$

$$\gamma_2 = 3\gamma_1$$

2.3 終局点の設定

タービン建物は内壁及び外壁の明確な区分がない複雑な平面形状となっている。RC 造耐震壁は原子炉建物等と同様に、フランジ壁を有する I 型の耐震壁が主体となっている。このようなタービン建物の構造的な特徴を踏まえ、せん断スケルトン曲線の終局点は「J E A G 4 6 0 1-1991 追補版」に基づき、以下の式より算出している。

$\tau_s \leq 4.5\sqrt{F c}$ の場合

$$\tau_3 = \left(1 - \frac{\tau_s}{4.5\sqrt{F c}} \right) \tau_0 + \tau_s$$

$\tau_s > 4.5\sqrt{F c}$ の場合

$$\tau_3 = 4.5\sqrt{F c}$$

$$\gamma_3 = 4.0 \times 10^{-3}$$

ここで、

$$\tau_0 = \left(3 - \frac{1.8M}{QD} \right) \sqrt{F c}$$

ただし、 $M/(QD) > 1$ のとき $M/(QD) = 1$

$$\tau_s = \frac{(P_V + P_H) \cdot {}_s\sigma_y}{2} + \frac{(\sigma_V + \sigma_H)}{2}$$

$F c$: コンクリートの圧縮強度 (kgf/cm²)

P_V, P_H : 縦, 横筋比 (実数)

σ_V, σ_H : 縦, 横軸応力度 (kgf/cm²) (圧縮を正とする。)

${}_s\sigma_y$: 鉄筋降伏応力度 (kgf/cm²)

$M/(QD)$: シアスパン比

なお、終局点を「保有水平耐力の計算方法 (平成 19 年 5 月 18 日国交省告示 594 号第四)」に基づき算出したせん断スケルトン曲線を用いた場合の影響について別紙 2-1 「せん断スケルトン曲線の設定に関する影響検討」に示す。

3. せん断スケルトン曲線の設定について

3.1 水平方向モデル

水平方向は、地盤との相互作用を考慮し、耐震壁等の曲げ及びせん断剛性を評価した多質点系モデルとしている。地震応答解析モデルを図 3-1 に示す。

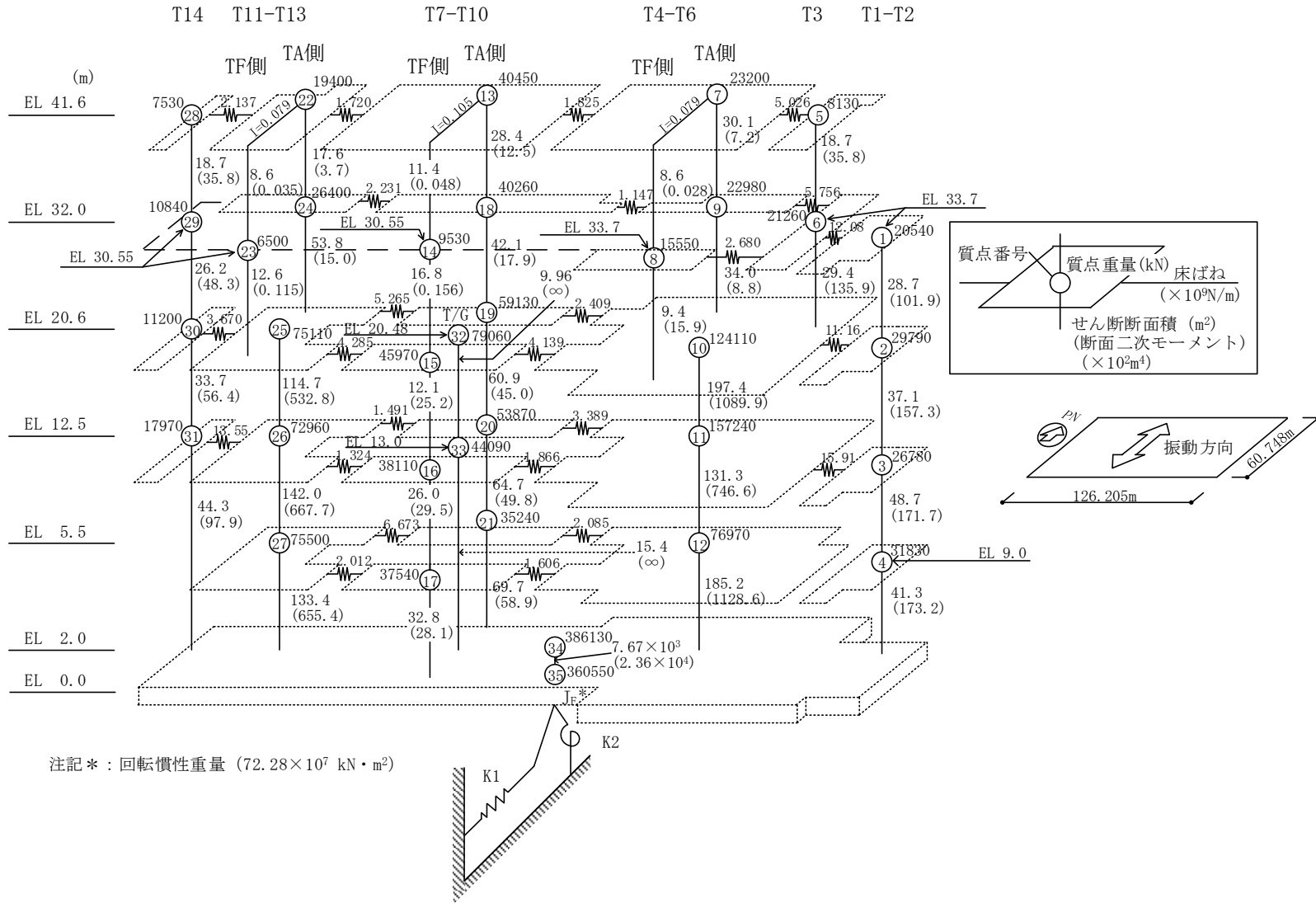


図 3-1(1) 地震応答解析モデル (NS方向)

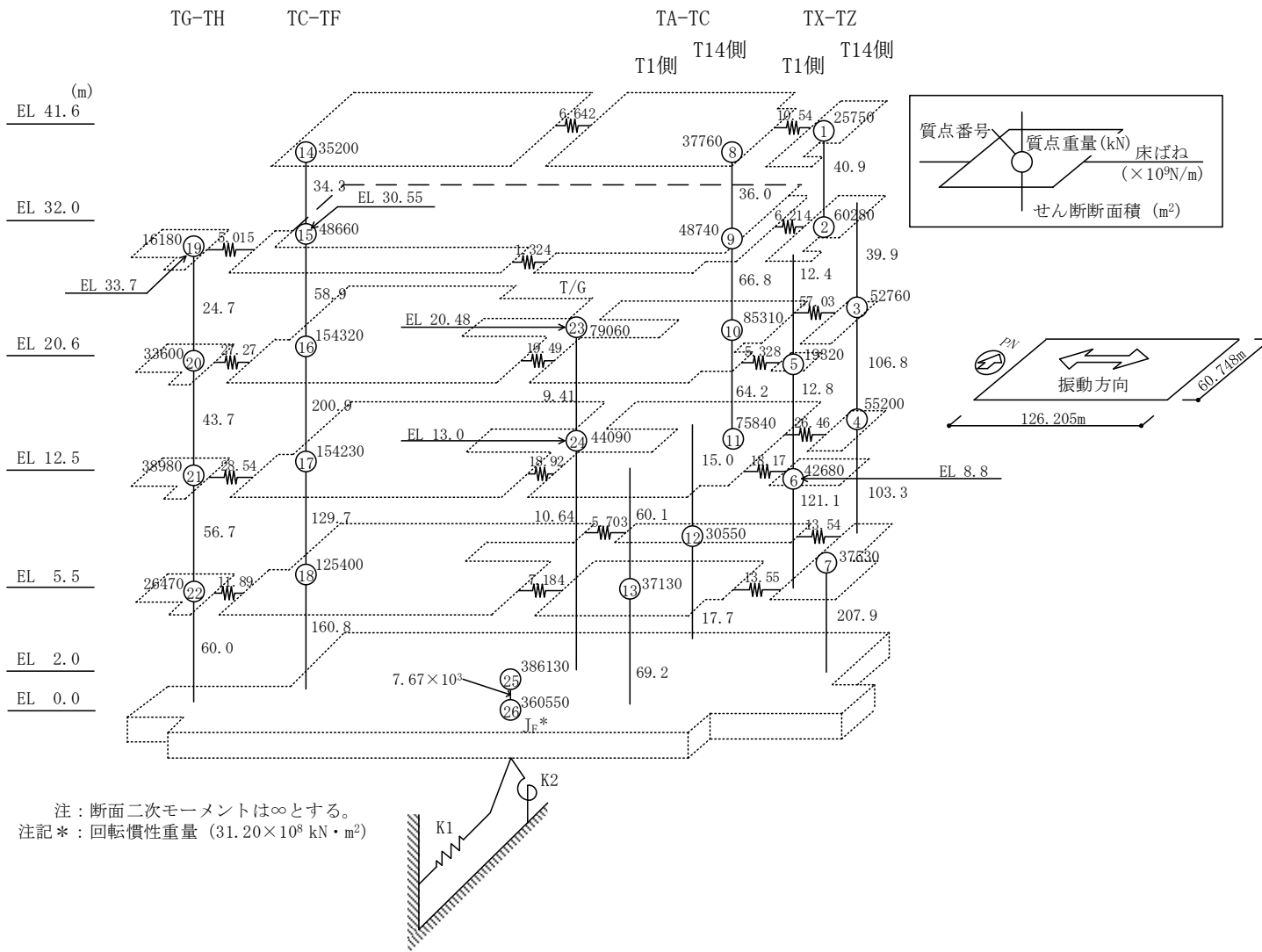


図 3-1(2) 地震応答解析モデル (EW方向)

3.2 使用材料の物性値

地震応答解析に用いるタービン建物の使用材料の物性値を表 3-1 及び表 3-2 に示す。

表 3-1 使用材料の物性値 (コンクリート)

使用材料	ヤング係数 E (N/mm ²)	せん断弾性係数 G (N/mm ²)	減衰定数 h (%)
コンクリート : Fc = 23.5 (N/mm ²) (Fc = 240 (kgf/cm ²))	2.25 × 10 ⁴	9.38 × 10 ³	5

表 3-2 使用材料の物性値 (鉄筋)

使用材料	降伏応力度 σ_y (N/mm ²)
鉄筋 : SD35 (SD345 相当*)	345

注記* : 建設当時の鉄筋の種類は SD35 であるが、現在の規格 (SD345) に読み替えた降伏応力度を示す。

3.3 RC 造耐震壁のせん断スケルトン曲線の諸数値

(1) 第1折点

RC 造耐震壁の各要素におけるせん断スケルトン曲線の第1折点の設定根拠を表 3-3 及び表 3-4 に示す。

表 3-3(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 1 折点) (NS 方向)

T1-T2

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
33.7~20.6	23.5	9.38	28.7	0.18	1.61	0.171
20.6~12.5	23.5	9.38	37.1	0.36	1.69	0.180
12.5~9.0	23.5	9.38	48.7	0.48	1.74	0.186
9.0~2.0	23.5	9.38	41.3	0.66	1.82	0.194

T3

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~33.7	23.5	9.38	18.7	0.25	1.64	0.175
33.7~20.6	23.5	9.38	29.4	0.61	1.80	0.192

T4-T6 (TA側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	23.5	9.38	30.1	0.31	1.67	0.178
32.0~20.6	23.5	9.38	34.0	0.76	1.86	0.198

T4-T6 (TF側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~33.7	23.5	9.38	8.6	—*		
33.7~20.6	23.5	9.38	9.4	0.24	1.64	0.174

注記* : 線形部材

表 3-3(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 1 折点) (NS 方向)

T3-T6

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
20.6~12.5	23.5	9.38	197.4	0.47	1.74	0.185
12.5~5.5	23.5	9.38	131.3	0.92	1.93	0.205
5.5~2.0	23.5	9.38	185.2	0.99	1.95	0.208

T7-T10(TA側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	23.5	9.38	28.4	0.35	1.69	0.180
32.0~20.6	23.5	9.38	42.1	1.12	2.00	0.213
20.6~12.5	23.5	9.38	60.9	1.00	1.95	0.208
12.5~5.5	23.5	9.38	64.7	1.27	2.06	0.220
5.5~2.0	23.5	9.38	69.7	1.49	2.14	0.228

T7-T10(TF側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	23.5	9.38	11.4	—*		
30.55~20.6	23.5	9.38	16.8	—*		
20.6~12.5	23.5	9.38	12.1	0.08	1.56	0.166
12.5~5.5	23.5	9.38	26.0	0.42	1.72	0.183
5.5~2.0	23.5	9.38	32.8	0.60	1.80	0.191

T11-T13(TA側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	23.5	9.38	17.6	0.35	1.69	0.180
32.0~20.6	23.5	9.38	53.8	0.34	1.68	0.179

注記* : 線形部材

表 3-3(3) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 1 折点) (NS 方向)

T11-T13(TF側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	23.5	9.38	8.6		—*	
30.55~20.6	23.5	9.38	12.6		—*	

T11-T13

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
20.6~12.5	23.5	9.38	114.7	0.44	1.73	0.184
12.5~5.5	23.5	9.38	142.0	0.65	1.82	0.193
5.5~2.0	23.5	9.38	133.4	1.00	1.96	0.209

T14

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	23.5	9.38	18.7	0.33	1.67	0.178
30.55~20.6	23.5	9.38	26.2	0.57	1.78	0.190
20.6~12.5	23.5	9.38	33.7	0.69	1.83	0.195
12.5~2.0	23.5	9.38	44.3	0.80	1.88	0.200

注記* : 線形部材

表 3-4(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 1 折点) (E W 方向)

TX-TZ

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	23.5	9.38	40.9	0.35	1.69	0.180

TX-TZ (T14側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
32.0~20.6	23.5	9.38	39.9	0.67	1.82	0.194
20.6~12.5	23.5	9.38	106.8	0.51	1.76	0.187
12.5~5.5	23.5	9.38	103.3	0.70	1.84	0.196

TX-TZ (T1側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
32.0~20.6	23.5	9.38	12.4	0.30	1.66	0.177
20.6~8.8	23.5	9.38	12.8	0.85	1.90	0.202
8.8~5.5	23.5	9.38	121.1	1.28	2.06	0.220

TX-TZ

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
5.5~2.0	23.5	9.38	207.9	0.87	1.91	0.203

TA-TC

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	23.5	9.38	36.0	0.83	1.89	0.201
32.0~20.6	23.5	9.38	66.8	0.95	1.94	0.207
20.6~12.5	23.5	9.38	64.2	0.97	1.94	0.207

表 3-4(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 1 折点) (EW方向)

TA-TC (T14側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
12.5~5.5	23.5	9.38	15.0	2.43	2.45	0.261
5.5~2.0	23.5	9.38	17.7	2.50	2.47	0.263

TA-TC (T1側)

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
12.5~5.5	23.5	9.38	60.1	0.94	1.93	0.206
5.5~2.0	23.5	9.38	69.2	1.20	2.03	0.217

TC-TF

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	23.5	9.38	34.3	0.73	1.85	0.197
30.55~20.6	23.5	9.38	58.9	0.84	1.89	0.202
20.6~12.5	23.5	9.38	200.9	0.70	1.83	0.195
12.5~5.5	23.5	9.38	129.7	0.90	1.92	0.204
5.5~2.0	23.5	9.38	160.8	1.60	2.18	0.232

TG-TH

EL (m)	コンクリート 強度 F_c (N/mm^2)	せん断弾性 係数 G ($\times 10^3 N/mm^2$)	断面積 A_s (m^2)	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	τ_1 (N/mm^2)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)
33.7~20.6	23.5	9.38	24.7	0.27	1.65	0.176
20.6~12.5	23.5	9.38	43.7	0.40	1.71	0.182
12.5~5.5	23.5	9.38	56.7	0.85	1.90	0.202
5.5~2.0	23.5	9.38	60.0	1.31	2.07	0.221

(2) 第2折点

RC造耐震壁の各要素におけるせん断スケルトン曲線の第2折点の設定根拠を表3-5及び表3-6に示す。

表3-5(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第2折点) (NS方向)

T1-T2

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
33.7~20.6	2.17	0.514
20.6~12.5	2.28	0.540
12.5~9.0	2.35	0.557
9.0~2.0	2.45	0.581

T3

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~33.7	2.21	0.524
33.7~20.6	2.43	0.576

T4-T6 (TA側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	2.25	0.534
32.0~20.6	2.51	0.595

T4-T6 (TF側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~33.7	—*	
33.7~20.6	2.21	0.523

注記* : 線形部材

表 3-5(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 2 折点) (NS 方向)

T3-T6

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
20.6~12.5	2.34	0.555
12.5~5.5	2.60	0.616
5.5~2.0	2.63	0.624

T7-T10 (TA側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	2.28	0.539
32.0~20.6	2.70	0.640
20.6~12.5	2.64	0.625
12.5~5.5	2.78	0.659
5.5~2.0	2.89	0.683

T7-T10 (TF側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	—*	
30.55~20.6	—*	
20.6~12.5	2.10	0.498
12.5~5.5	2.32	0.549
5.5~2.0	2.42	0.574

T11-T13 (TA側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	2.28	0.539
32.0~20.6	2.27	0.537

注記* : 線形部材

表 3-5(3) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 2 折点) (NS 方向)

T11-T13 (TF側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	—*	
30.55~20.6	—*	

T11-T13

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
20.6~12.5	2.33	0.552
12.5~5.5	2.45	0.580
5.5~2.0	2.64	0.626

T14

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	2.26	0.535
30.55~20.6	2.41	0.570
20.6~12.5	2.48	0.586
12.5~2.0	2.53	0.600

注記* : 線形部材

表 3-6(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 2 折点) (E W 方向)

TX-TZ

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	2.27	0.539

TX-TZ (T14側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
32.0~20.6	2.46	0.583
20.6~12.5	2.37	0.561
12.5~5.5	2.48	0.587

TX-TZ (T1側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
32.0~20.6	2.24	0.531
20.6~8.8	2.56	0.606
8.8~5.5	2.78	0.659

TX-TZ

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
5.5~2.0	2.57	0.609

TA-TC

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	2.55	0.604
32.0~20.6	2.62	0.620
20.6~12.5	2.62	0.621

表 3-6(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 2 折点) (E W 方向)

TA-TC (T14側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
12.5~5.5	3.31	0.783
5.5~2.0	3.34	0.790

TA-TC (T1側)

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
12.5~5.5	2.61	0.617
5.5~2.0	2.75	0.650

TC-TF

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	2.50	0.592
30.55~20.6	2.56	0.605
20.6~12.5	2.48	0.586
12.5~5.5	2.59	0.612
5.5~2.0	2.94	0.695

TG-TH

EL (m)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)
33.7~20.6	2.23	0.528
20.6~12.5	2.31	0.546
12.5~5.5	2.56	0.607
5.5~2.0	2.80	0.662

(3) 終局点

RC 造耐震壁の終局点は、「2.3 終局点の設定」に基づき、各要素の終局せん断応力度を算出する。 σ_H は安全側に 0.0 としている。

RC 造耐震壁の各要素におけるせん断スケルトン曲線の終局点の設定根拠を表 3-7 及び表 3-8 に示す。また、タービン建物の EL 2.0m~EL 5.5m について、各耐震壁の配筋を示したものを図 3-2 に示す。

表 3-7(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (NS 方向)

T1-T2

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm^2)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
33.7~20.6			2-D22@200	2-D22@200	0.00552	0.00552	0.18	0.286	4.66	4.00
20.6~12.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00563	0.00563	0.36	0.377	4.55	4.00
12.5~9.0			2-D29@200	2-D29@200	0.00642	0.00642	0.48	0.401	4.67	4.00
9.0~2.0			2-D29@200	2-D29@200	0.00642	0.00642	0.66	0.466	4.60	4.00

T3

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm^2)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~33.7			2-D22@200	2-D22@200	0.00774	0.00774	0.25	0.240	5.10	4.00
33.7~20.6			2-D22@200	2-D22@200	0.00617	0.00617	0.61	0.276	4.88	4.00
			2-D22@200	2-D22@200						

表 3-7(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (NS方向)

T4-T6 (TA側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_v	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~32.0			2-D25@200	2-D25@200	0.00538	0.00538	0.31	0.661	3.95	4.00
			2-D25@200	2-D25@200						
32.0~20.6			2-D25@200	2-D25@200	0.00648	0.00648	0.76	1.000	3.73	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						

T4-T6 (TF側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_v	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~33.7			—*							
33.7~20.6			2-D22@200	2-D22@200	0.00774	0.00774	0.24	0.869	4.07	4.00

注記* : 線形部材

表 3-7(3) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (NS 方向)

T3-T6

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_V (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
20.6~12.5			2-D29@200	2-D29@200	0.00609	0.00609	0.47	0.310	4.77	4.00
			2-D25@200	2-D25@200						
			2-D29@200	2-D29@200						
			2-D35@200	2-D35@200						
12.5~5.5			2-D29@200	2-D29@200	0.00642	0.00642	0.92	0.358	4.85	4.00
5.5~2.0			2-D25@200	2-D25@200	0.00625	0.00625	0.99	0.356	4.84	4.00
			2-D25@200	2-D25@200						
			2-D25@200	2-D25@200						
			2-D29@200	2-D29@200						

表 3-7(4) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (NS 方向)

T7-T10 (TA側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_V (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~32.0			2-D25@200	2-D25@200	0.00569	0.00569	0.35	0.643	4.06	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						
32.0~20.6			2-D25@200	2-D25@200	0.00773	0.00773	1.12	1.000	4.18	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						
20.6~12.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00561	0.00561	1.00	1.000	3.60	4.00
			2-D32@200	2-D32@200						
			2-D32@200	2-D32@200						
12.5~5.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00557	0.00557	1.27	1.000	3.69	4.00
			2-D25@200	2-D25@200						
			2-D29@200	2-D29@200						
			2-D29@200	2-D29@200						
5.5~2.0			2-D25@200	2-D25@200	0.00565	0.00565	1.49	1.000	3.79	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						
			2-D25@200	2-D25@200						
			2-D29@200	2-D29@200						
			2-D29@200	2-D29@200						

表 3-7(5) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (NS 方向)

T7-T10(TF側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_V (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~30.55										—*
30.55~20.6										—*
20.6~12.5			2-D32@200	2-D32@200	0.00594	0.00525	0.08	0.584	4.07	4.00
12.5~5.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00555	0.00555	0.42	0.767	3.81	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						
5.5~2.0			2-D25@200	2-D25@200	0.00555	0.00555	0.60	0.906	3.61	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						

注記* : 線形部材

表 3-7(6) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (NS 方向)

T11-T13(TA側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~32.0			2-D29@200	2-D29@200	0.00642	0.00642	0.35	0.664	4.17	4.00
32.0~20.6			2-D22@200	2-D22@200	0.00598	0.00598	0.34	0.788	3.84	4.00
			2-D32@200	2-D32@200						
			2-D32@200	2-D32@200						

T11-T13(TF側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~30.55					—*					
30.55~20.6					—*					

注記* : 線形部材

表 3-7(7) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (NS 方向)

T11-T13

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm^2)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
20.6~12.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00620	0.00620	0.44	0.381	4.66	4.00
			2-D32@200	2-D32@200						
12.5~5.5			2-D32@200	2-D32@200	0.00571	0.00571	0.65	0.471	4.46	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						
5.5~2.0			2-D29@200	2-D29@200	0.00565	0.00565	1.00	0.514	4.47	4.00
			2-D32@200	2-D32@200						

T14

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm^2)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~30.55			2-D22@200	2-D22@200	0.00774	0.00774	0.33	0.303	5.01	4.00
30.55~20.6			2-D22@200	2-D22@200	0.00552	0.00552	0.57	0.521	4.31	4.00
20.6~12.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00563	0.00563	0.69	0.734	3.98	4.00
			2-D32@200	2-D32@200						
12.5~2.0			2-D32@200	2-D32@200	0.00794	0.00794	0.80	0.742	4.50	4.00

注記* : 線形部材

表 3-8(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (EW方向)

TX-TZ

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm^2)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~32.0			2-D16@200	2-D16@200	0.00663	0.00663	0.35	0.240	4.95	4.00

TX-TZ (T14側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm^2)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
32.0~20.6			2-D25@200	2-D25@200	0.01014	0.01014	0.67	0.284	5.49	4.00
20.6~12.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00674	0.00674	0.51	0.240	5.00	4.00
			2-D35@200	2-D35@200						
12.5~5.5			2-D29@200	2-D29@200	0.00643	0.00643	0.70	0.283	4.93	4.00
			2-D35@200	2-D35@200						
			2-D35@200	2-D35@200						

表 3-8(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (EW方向)

TX-TZ (T1側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_V (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
32.0~20.6			2-D25@200	2-D25@200	0.01014	0.01014	0.30	0.485	5.14	4.00
20.6~8.8			2-D32@200	2-D32@200	0.00794	0.00794	0.85	1.000	4.13	4.00
8.8~5.5			2-D32@200	2-D32@200	0.00794	0.00794	1.28	1.000	4.29	4.00

TX-TZ

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_V (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
5.5~2.0			2-D29@200	2-D29@200	0.00681	0.00681	0.87	0.240	5.09	4.00
			2-D32@200	2-D32@200						
			2-D32@200	2-D32@200						
			2-D35@200	2-D35@200						

表 3-8(3) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (EW方向)

TA-TC

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~32.0			2-D16@200	2-D16@200	0.00663	0.00663	0.83	0.240	5.06	4.00
32.0~20.6			2-D22@200	2-D22@200	0.00774	0.00774	0.95	0.240	5.25	4.00
20.6~12.5			2-D19@200	2-D19@200	0.00603	0.00603	0.97	0.240	5.00	4.00
			2-D25@200	2-D25@200						
			2-D29@200	2-D29@200						
			2-D32@200	2-D32@200						

表 3-8(4) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (EW方向)

TA-TC(T14側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm^2)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
12.5~5.5			2-D16@200	2-D16@200	0.00704	0.00704	2.43	1.000	4.49	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						
5.5~2.0			2-D29@200	2-D29@200	0.00713	0.00713	2.50	1.000	4.54	4.00

TA-TC(T1側)

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_v (N/mm^2)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm^2)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
12.5~5.5			2-D29@200	2-D29@200	0.00748	0.00748	0.94	0.327	5.07	4.00
			2-D32@200	2-D32@200						
			2-D35@200	2-D35@200						
5.5~2.0			2-D25@200	2-D25@200	0.00641	0.00641	1.20	0.362	4.91	4.00
			2-D29@200	2-D29@200						

表 3-8(5) セン断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (EW方向)

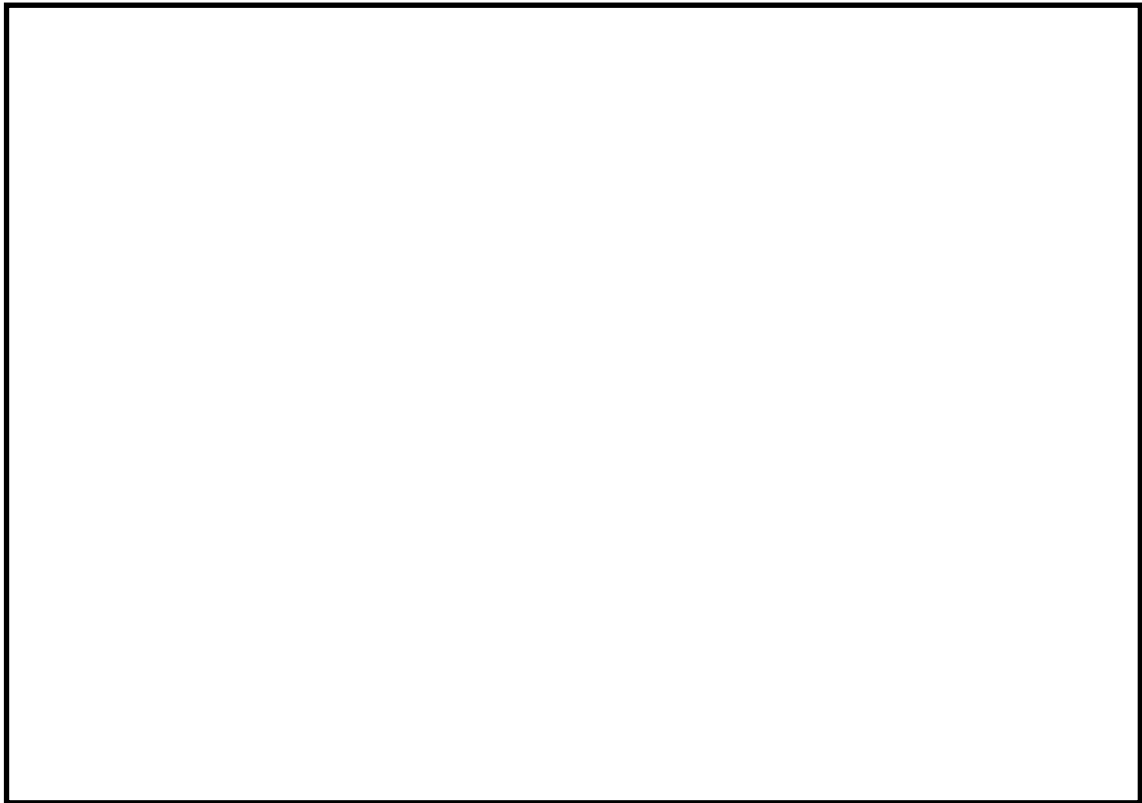
TC-TF

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_V (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
41.6~30.55			2-D16@200	2-D16@200	0.00663	0.00663	0.73	0.240	5.04	4.00
30.55~20.6			2-D22@200	2-D22@200	0.00705	0.00705	0.84	0.240	5.12	4.00
			2-D22@200	2-D22@200						
20.6~12.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00651	0.00651	0.70	0.240	5.01	4.00
			2-D35@200	2-D35@200						
			2-D35@200	2-D35@200						
12.5~5.5			2-D32@200	2-D32@200	0.00693	0.00693	0.90	0.240	5.11	4.00
			2-D32@200	2-D32@200						
			2-D35@200	2-D35@200						
			2-D35@200	2-D35@200						
5.5~2.0			2-D22@200	2-D22@200	0.00673	0.00673	1.60	0.240	5.24	4.00
			2-D25@200	2-D25@200						
			2-D29@200	2-D29@200						
			2-D29@200	2-D29@200						
			2-D32@200	2-D32@200						

表 3-8(6) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 終局点) (EW方向)

TG-TH

EL (m)	壁記号	壁厚 (mm)	配筋		縦筋比 P_V	横筋比 P_H	縦軸応力度 σ_V (N/mm ²)	シアスパン比 M/QD	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
			縦筋□	横筋						
33.7~20.6			2-D22@200	2-D22@200	0.00774	0.00774	0.27	0.359	4.91	4.00
20.6~12.5			2-D32@200	2-D32@200	0.00661	0.00661	0.40	0.362	4.75	4.00
12.5~5.5			2-D25@200	2-D25@200	0.00631	0.00631	0.85	0.392	4.75	4.00
			2-D25@200	2-D25@200						
			2-D32@200	2-D32@200						
5.5~2.0			2-D29@200	2-D29@200	0.00642	0.00642	1.31	0.448	4.80	4.00



記号*	縦筋	横筋
	内：D32@200 外：D32@200	内：D32@200 外：D32@200
	内：D35@200 外：D35@200	内：D35@200 外：D35@200
	内：D29@200 外：D29@200	内：D29@200 外：D29@200
	内：D32@200 外：D32@200	内：D32@200 外：D32@200
	内：D25@200 外：D25@200	内：D25@200 外：D25@200
	内：D29@200 外：D29@200	内：D29@200 外：D29@200
	内：D32@200 外：D32@200	内：D32@200 外：D32@200
	内：D25@200 外：D25@200	内：D25@200 外：D25@200
	内：D29@200 外：D29@200	内：D29@200 外：D29@200
	内：D25@200 外：D25@200	内：D25@200 外：D25@200
	内：D25@200 外：D25@200	内：D25@200 外：D25@200
	内：D22@200 外：D22@200	内：D22@200 外：D22@200

注記*：記号に含まれる数値は壁厚(cm)を表す。

(例：□の場合，壁厚 □cm)

図3-2 耐震壁の配筋図 (EL 2.0m~EL 5.5m)

4. まとめ

タービン建物におけるせん断スケルトン曲線の設定について整理した。算出したせん断スケルトン曲線の諸数値を表 4-1 及び表 4-2 に示す。

表 4-1(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (NS 方向)

T1-T2

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
33.7~20.6	1.61	2.17	4.66	0.171	0.514	4.00
20.6~12.5	1.69	2.28	4.55	0.180	0.540	4.00
12.5~9.0	1.74	2.35	4.67	0.186	0.557	4.00
9.0~2.0	1.82	2.45	4.60	0.194	0.581	4.00

T3

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~33.7	1.64	2.21	5.10	0.175	0.524	4.00
33.7~20.6	1.80	2.43	4.88	0.192	0.576	4.00

T4-T6 (TA側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.67	2.25	3.95	0.178	0.534	4.00
32.0~20.6	1.86	2.51	3.73	0.198	0.595	4.00

T4-T6 (TF側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~33.7	—*					
33.7~20.6	1.64	2.21	4.07	0.174	0.523	4.00

T3-T6

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
20.6~12.5	1.74	2.34	4.77	0.185	0.555	4.00
12.5~5.5	1.93	2.60	4.85	0.205	0.616	4.00
5.5~2.0	1.95	2.63	4.84	0.208	0.624	4.00

注記* : 線形部材

表 4-1(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (NS 方向)

T7-T10 (TA側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.69	2.28	4.06	0.180	0.539	4.00
32.0~20.6	2.00	2.70	4.18	0.213	0.640	4.00
20.6~12.5	1.95	2.64	3.60	0.208	0.625	4.00
12.5~5.5	2.06	2.78	3.69	0.220	0.659	4.00
5.5~2.0	2.14	2.89	3.79	0.228	0.683	4.00

T7-T10 (TF側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	—*					
30.55~20.6	—*					
20.6~12.5	1.56	2.10	4.07	0.166	0.498	4.00
12.5~5.5	1.72	2.32	3.81	0.183	0.549	4.00
5.5~2.0	1.80	2.42	3.61	0.191	0.574	4.00

T11-T13 (TA側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.69	2.28	4.17	0.180	0.539	4.00
32.0~20.6	1.68	2.27	3.84	0.179	0.537	4.00

T11-T13 (TF側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	—*					
30.55~20.6	—*					

注記* : 線形部材

表 4-1(3) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (NS 方向)

T11-T13

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
20.6~12.5	1.73	2.33	4.66	0.184	0.552	4.00
12.5~5.5	1.82	2.45	4.46	0.193	0.580	4.00
5.5~2.0	1.96	2.64	4.47	0.209	0.626	4.00

T14

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	1.67	2.26	5.01	0.178	0.535	4.00
30.55~20.6	1.78	2.41	4.31	0.190	0.570	4.00
20.6~12.5	1.83	2.48	3.98	0.195	0.586	4.00
12.5~2.0	1.88	2.53	4.50	0.200	0.600	4.00

表 4-2(1) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (EW方向)

TX-TZ

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.69	2.27	4.95	0.180	0.539	4.00

TX-TZ (T14側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
32.0~20.6	1.82	2.46	5.49	0.194	0.583	4.00
20.6~12.5	1.76	2.37	5.00	0.187	0.561	4.00
12.5~5.5	1.84	2.48	4.93	0.196	0.587	4.00

TX-TZ (T1側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
32.0~20.6	1.66	2.24	5.14	0.177	0.531	4.00
20.6~8.8	1.90	2.56	4.13	0.202	0.606	4.00
8.8~5.5	2.06	2.78	4.29	0.220	0.659	4.00

TX-TZ

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
5.5~2.0	1.91	2.57	5.09	0.203	0.609	4.00

TA-TC

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~32.0	1.89	2.55	5.06	0.201	0.604	4.00
32.0~20.6	1.94	2.62	5.25	0.207	0.620	4.00
20.6~12.5	1.94	2.62	5.00	0.207	0.621	4.00

表 4-2(2) せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係) (EW方向)

TA-TC (T14側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
12.5~5.5	2.45	3.31	4.49	0.261	0.783	4.00
5.5~2.0	2.47	3.34	4.54	0.263	0.790	4.00

TA-TC (T1側)

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
12.5~5.5	1.93	2.61	5.07	0.206	0.617	4.00
5.5~2.0	2.03	2.75	4.91	0.217	0.650	4.00

TC-TF

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6~30.55	1.85	2.50	5.04	0.197	0.592	4.00
30.55~20.6	1.89	2.56	5.12	0.202	0.605	4.00
20.6~12.5	1.83	2.48	5.01	0.195	0.586	4.00
12.5~5.5	1.92	2.59	5.11	0.204	0.612	4.00
5.5~2.0	2.18	2.94	5.24	0.232	0.695	4.00

TG-TH

EL (m)	τ_1 (N/mm ²)	τ_2 (N/mm ²)	τ_3 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
33.7~20.6	1.65	2.23	4.91	0.176	0.528	4.00
20.6~12.5	1.71	2.31	4.75	0.182	0.546	4.00
12.5~5.5	1.90	2.56	4.75	0.202	0.607	4.00
5.5~2.0	2.07	2.80	4.80	0.221	0.662	4.00

別紙 2-1 せん断スケルトン曲線の設定に関する影響検討

目 次

1. 概要	別紙 2-1-1
2. 検討方針	別紙 2-1-2
3. 検討結果	別紙 2-1-4

1. 概要

タービン建物の RC 造耐震壁は基本的にフランジ壁を有する断面となっていることから、地震応答解析における耐震壁の非線形特性は、終局点を「J E A G 4 6 0 1-1991 追補版」(以下「J E A G 式」という。)に基づき算出したせん断スケルトン曲線を用いている。本資料は、終局点を「保有水平耐力の計算方法(平成 19 年 5 月 18 日国交省告示 594 号第四)」(以下「広沢式」という。)に基づき算出したせん断スケルトン曲線を用いた場合の影響について説明するものである。

2. 検討方針

2.1 検討対象

本検討は基準地震動 S_s に対して行うものとし、最大せん断ひずみを生じさせる基準地震動 $S_s - D$ を代表として実施する。また、VI-2-2-8「タービン建物の耐震性についての計算書」に示す S_s 機能維持要求エリアを含む要素を検討対象とする。検討は終局点を広沢式により算出した場合の影響確認が目的であることから、基本ケース及び材料物性の不確かさを考慮したケース（以下「工認ケース」という。）に対して第2折点を超える要素を検討対象とする。なお、弾性設計用地震動 S_d による解析では第2折点を超えないことを確認している。

2.2 広沢式による終局点の算出

検討対象の要素に対して以下の広沢式に基づく終局点を算出する。

$$\tau_3 = \frac{0.068 P_{te}^{0.23} \cdot (F_c + 18)}{\sqrt{M/QD + 0.12}} + 0.85 \cdot \sqrt{\sigma_{wh} \cdot P_{wh}} + 0.1 \cdot \sigma_0$$

ここで、

F_c : コンクリートの圧縮強度 (N/mm²)

P_{wh} : せん断補強筋比 (実数)

σ_0 : 縦軸応力度 (N/mm²) (圧縮を正とする)

σ_{wh} : 鉄筋降伏応力度 (N/mm²)

M/QD : シアスパン比

P_{te} : 等価引張鉄筋比 (%)

2.3 広沢式によるせん断スケルトン曲線を用いた場合の影響検討方法

J E A G式によるせん断スケルトン曲線上にプロットされた基準地震動 $S_s - D$ によるせん断応力度及びせん断ひずみのうち第2折点を超えたものについて、エネルギー一定則に基づき広沢式によるせん断スケルトン曲線におけるせん断応力度及びせん断ひずみを算出し、影響検討ケースとしてその影響を確認する。なお、影響検討に用いるせん断応力度及びせん断ひずみは工認ケースのうち、せん断ひずみが最大となる場合のせん断応力度及びせん断ひずみとする。エネルギー一定則に基づく広沢式によるせん断応力度及びせん断ひずみの算出方法を図2-1に示す。

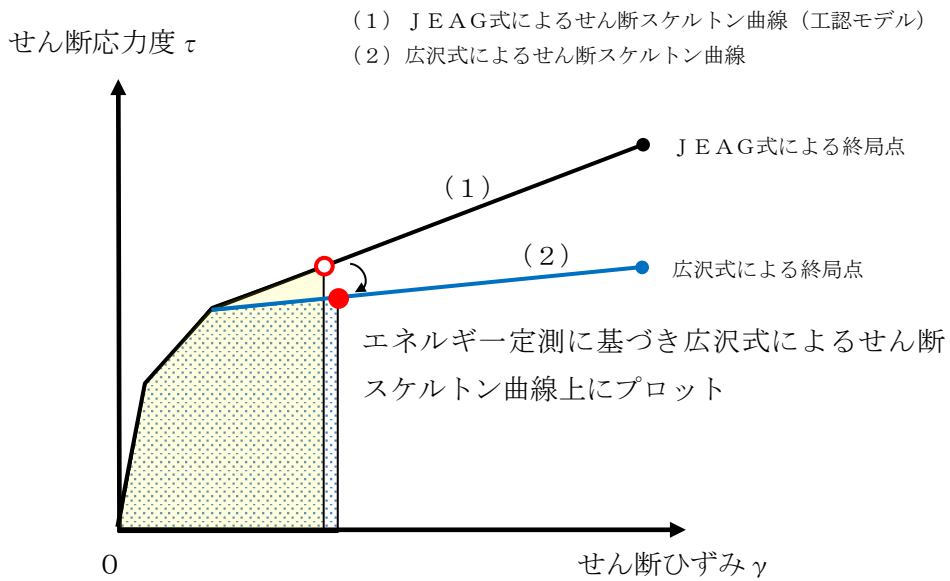


図2-1 エネルギー一定則に基づくせん断応力度及びせん断ひずみの算出方法

3. 検討結果

S s 機能維持要求エリアを含む要素について、工認ケース及び影響検討ケースのせん断ひずみを表 3-1 に、第 2 折点を超える要素におけるエネルギー一定則により算出したせん断スケルトン曲線上のプロット図を図 3-1 に示す。

第 2 折点を超える要素はNS方向で 2 要素，EW方向で 2 要素と限定的であることを確認した。

また、第 2 折点を超えた要素について、エネルギー一定則に基づき算出した広沢式によるせん断ひずみは、工認ケースである J E A G 式によるせん断ひずみと概ね同等の値となっており、広沢式によるせん断スケルトン曲線を用いた場合の影響は小さいことを確認した。

表 3-1(1) 工認ケース及び影響検討ケースのせん断ひずみ (基準地震動 S s - D)

(a) NS方向

要素 番号	第 2 折点 せん断ひずみ $\gamma_2 (\times 10^{-3})$	[工認ケース] (J E A G式) 最大せん断ひずみ $\gamma (\times 10^{-3})$	第 2 折点 超過	[影響検討ケース] (広沢式) 最大せん断ひずみ $\gamma (\times 10^{-3})$
12	0.616	0.625	○	0.625
13	0.624	0.256	-	-
17	0.659	0.211	-	-
18	0.683	0.231	-	-
22	0.549	0.490	-	-
23	0.574	0.749	○	0.749
29	0.580	0.178	-	-
30	0.626	0.325	-	-
34	0.600	0.142	-	-

注：ハッチング部は第 2 折点を超えていないため影響検討対象外とする。

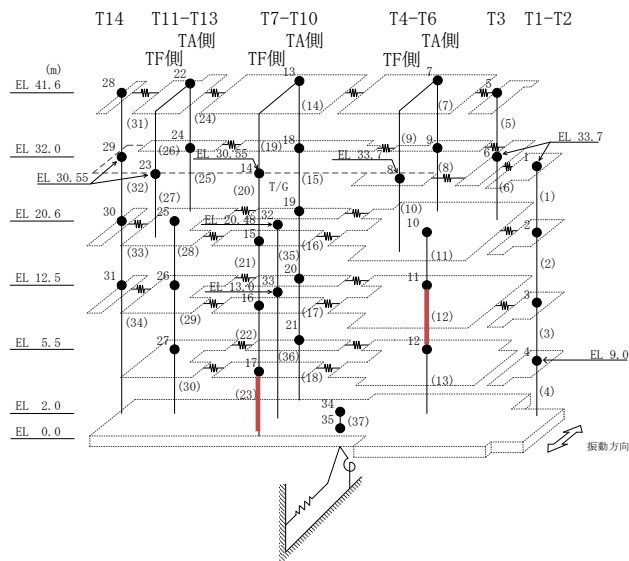
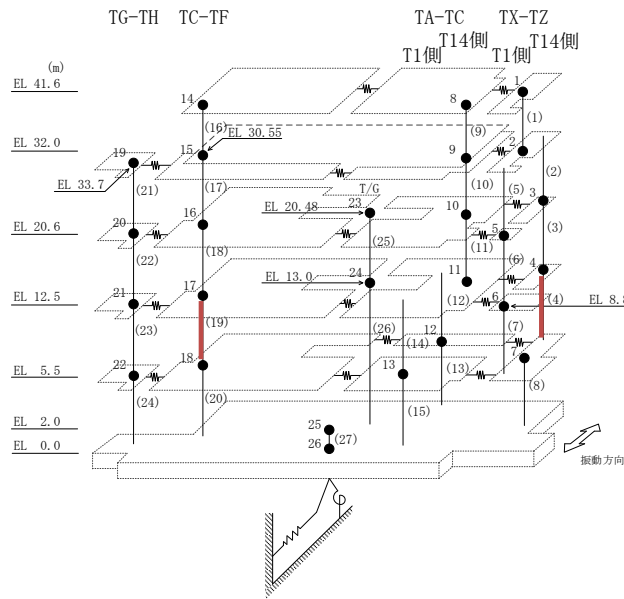


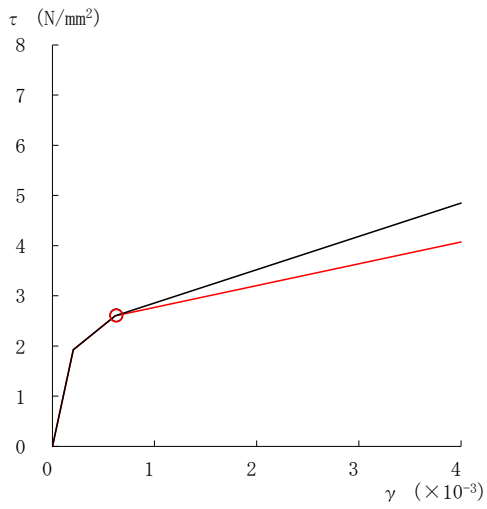
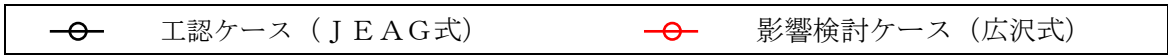
表 3-1(2) 工認ケース及び影響検討ケースのせん断ひずみ (基準地震動 S s - D)

(b) EW方向

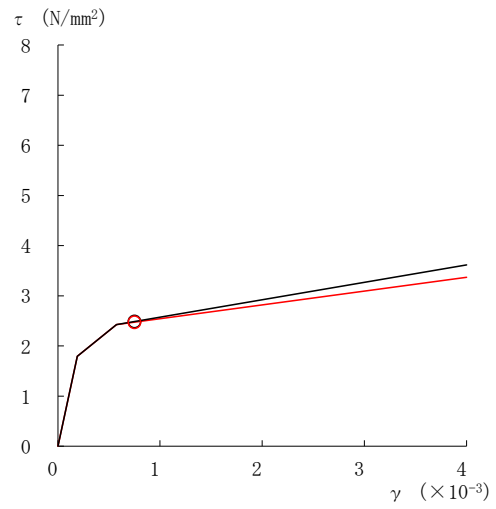
要素 番号	第 2 折点 せん断ひずみ $\gamma_2 (\times 10^{-3})$	[工認ケース] (J E A G 式) 最大せん断ひずみ $\gamma (\times 10^{-3})$	第 2 折点 超過	[影響検討ケース] (広沢式) 最大せん断ひずみ $\gamma (\times 10^{-3})$
4	0.587	0.635	○	0.635
7	0.659	0.113	-	-
8	0.609	0.252	-	-
13	0.790	0.473	-	-
15	0.650	0.420	-	-
19	0.612	0.737	○	0.738
20	0.695	0.510	-	-
23	0.607	0.562	-	-
24	0.662	0.528	-	-

注：ハッチング部は第 2 折点を超過していないため影響検討対象外とする。





要素番号 (12)



要素番号 (23)

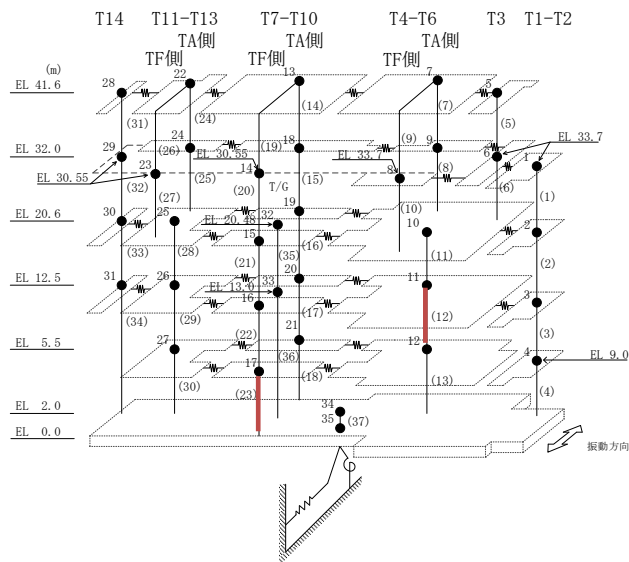
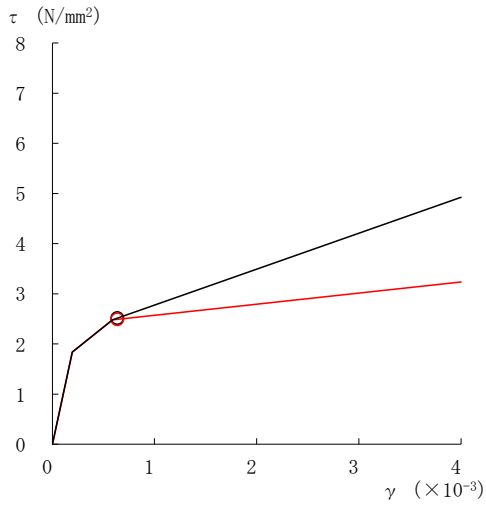


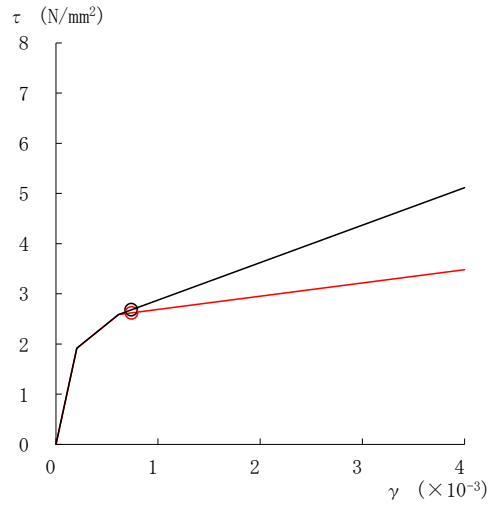
図 3-1(1) せん断スケルトン曲線上のプロット図 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

工認ケース (J E A G式)

 影響検討ケース (広沢式)



要素番号 (4)



要素番号 (19)

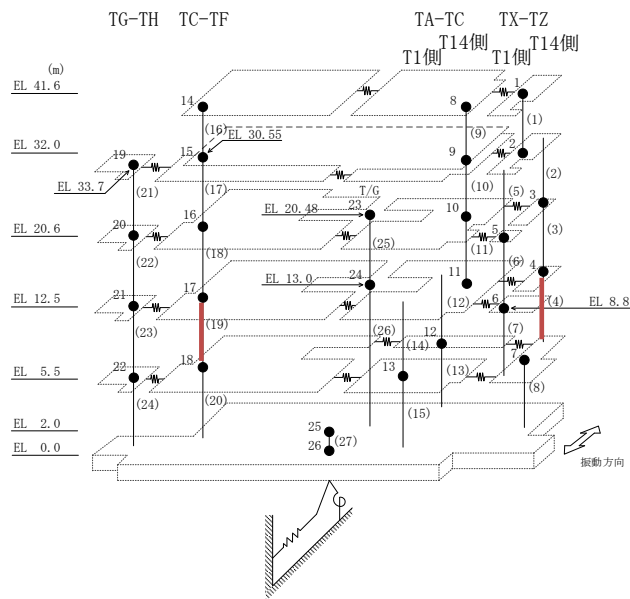


図 3-1 (2) せん断スケルトン曲線上のプロット図 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

別紙 2-2 曲げ応答に関する考察

目 次

1. 概要 別紙 2-2-1
2. 曲げ応答に関する考察 別紙 2-2-1

1. 概要

本資料は、NS方向の曲げスケルトン曲線上の応答値のうち一部の要素で応答が第2折点を超えていることから、その要因の考察を行うものである。

2. 曲げ応答に関する考察

基準地震動 S_s の基本ケースに対する曲げスケルトン曲線上の最大応答値を図2-1に示す。要素番号(8)、(24)、(25)については最大応答値が第2折点を超えている。

これらの要素は全て S_s 機能維持要求エリア外であるオペフロレベル(EL 20.6m)以上の壁となっており、曲げ剛性として考慮できる耐震要素が少ないことから変形角が大きくなっていると推察している。なお、変形角は曲げの終局強度に達していないことを確認している。

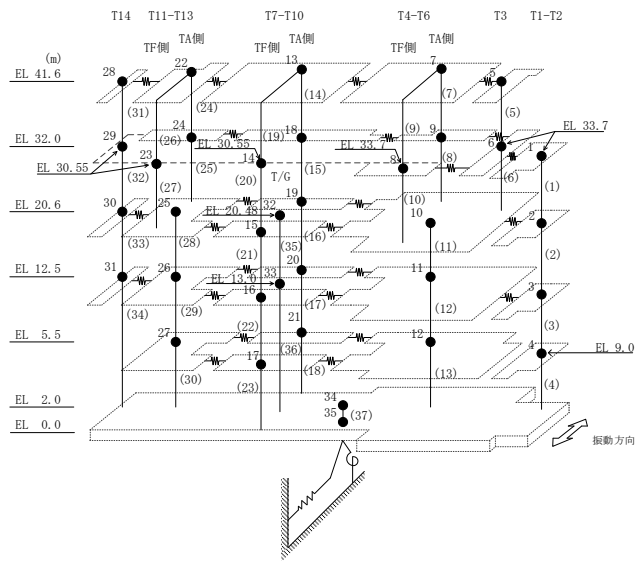
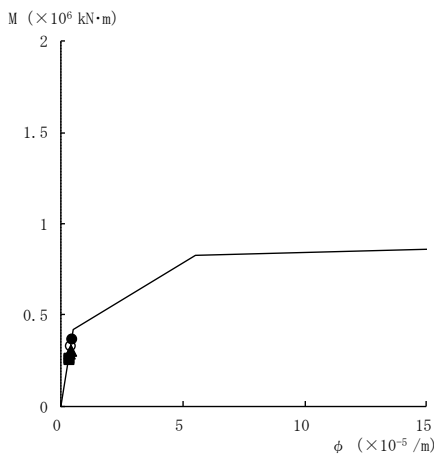
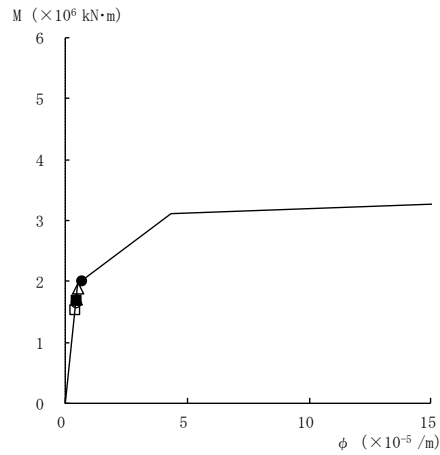
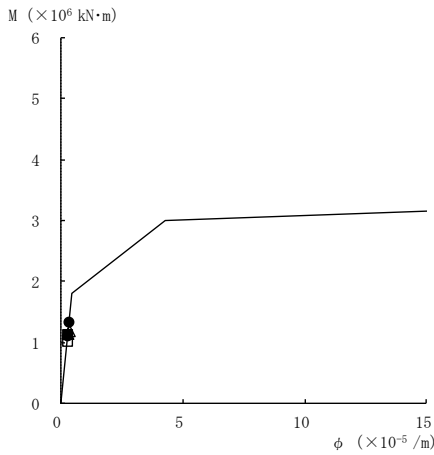
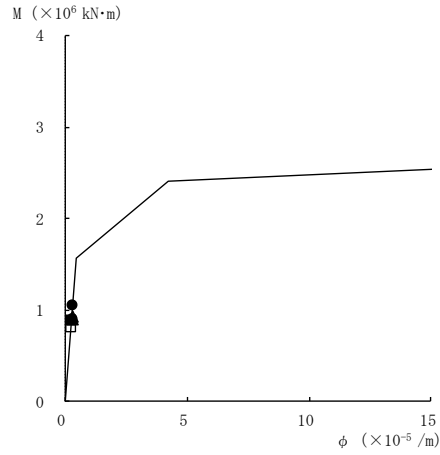
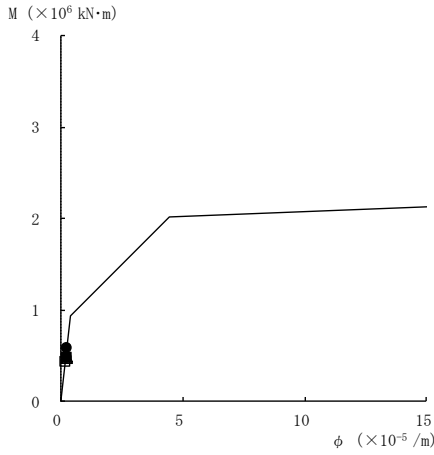
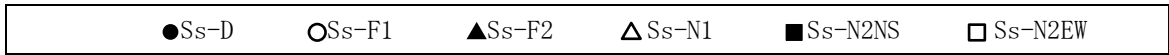
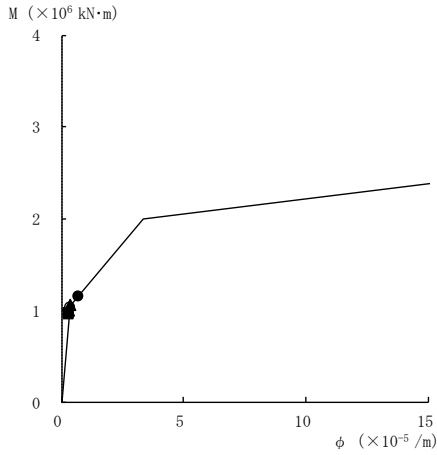
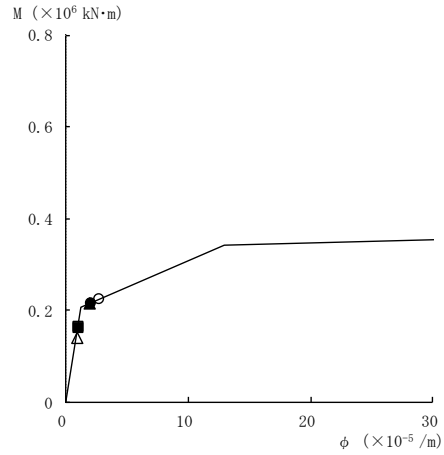


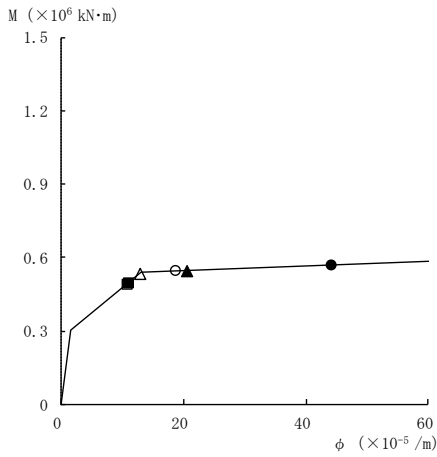
図 2-1(1) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 Ss, NS 方向)



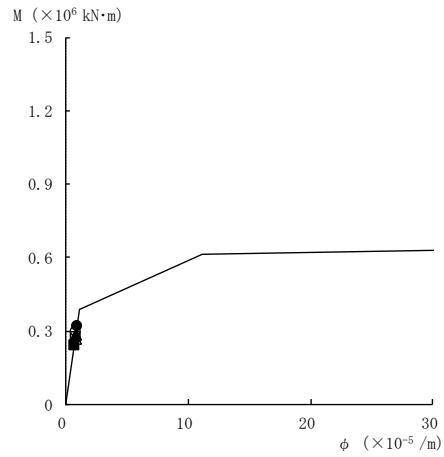
要素番号 (6)



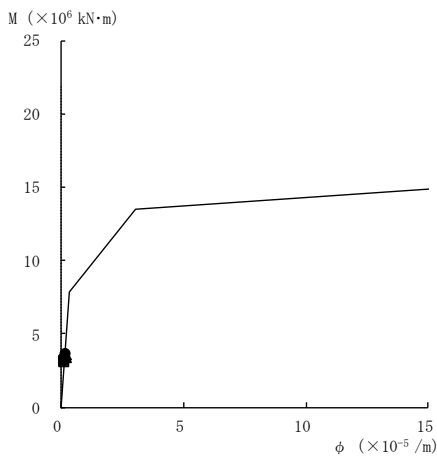
要素番号 (7)



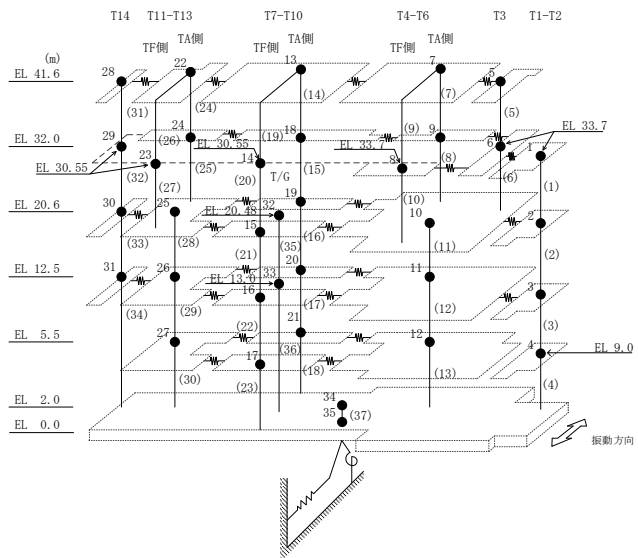
要素番号 (8)



要素番号 (10)



要素番号 (11)



注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-1(2) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 Ss, NS 方向)

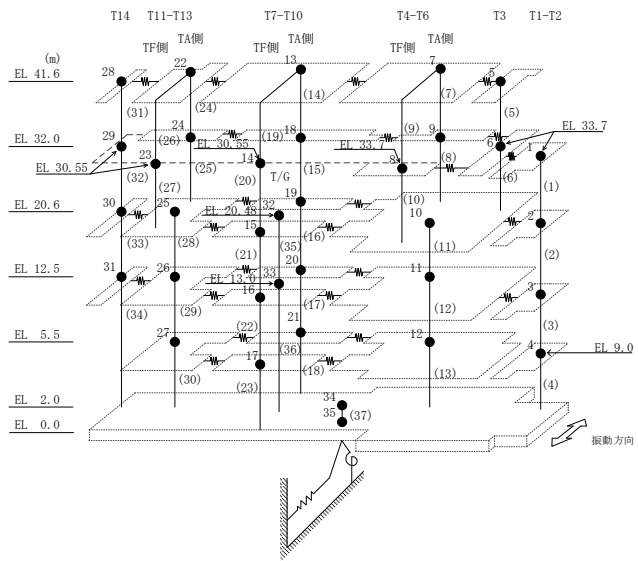
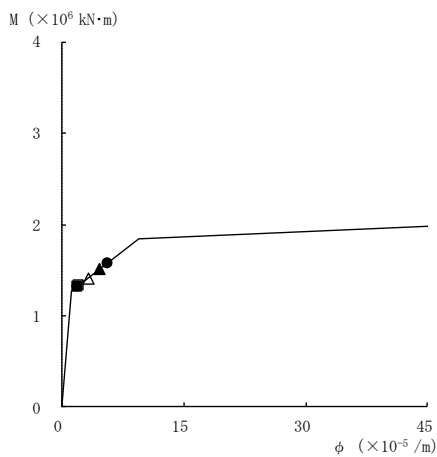
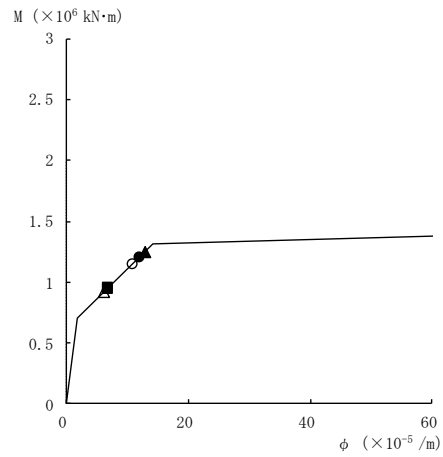
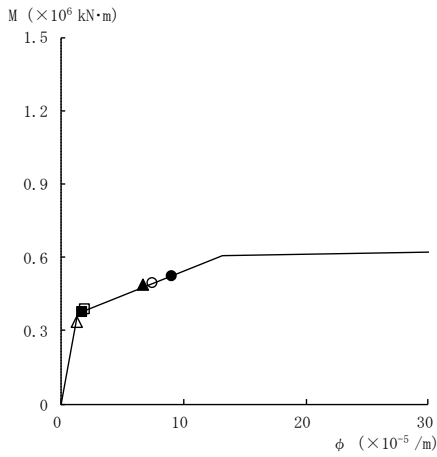
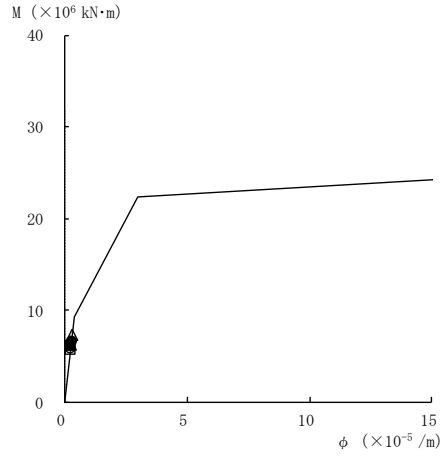
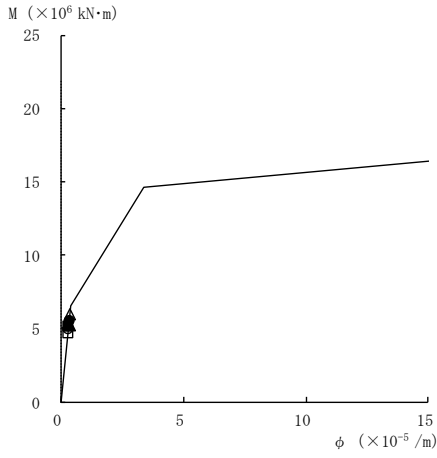
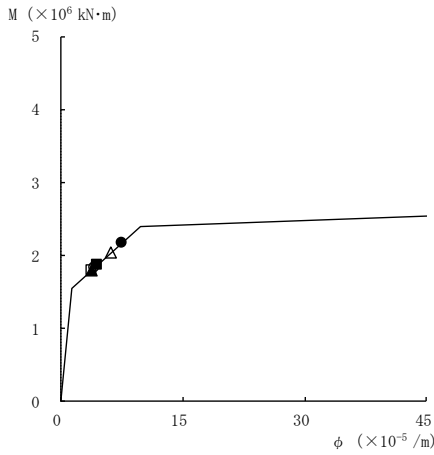
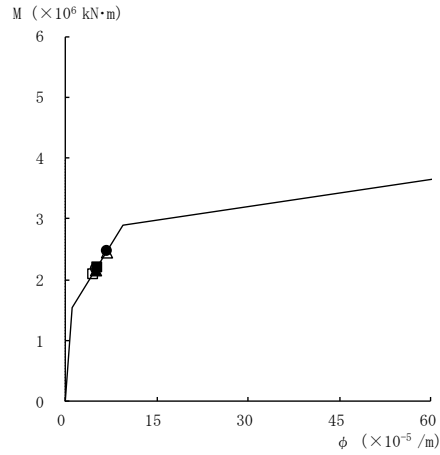


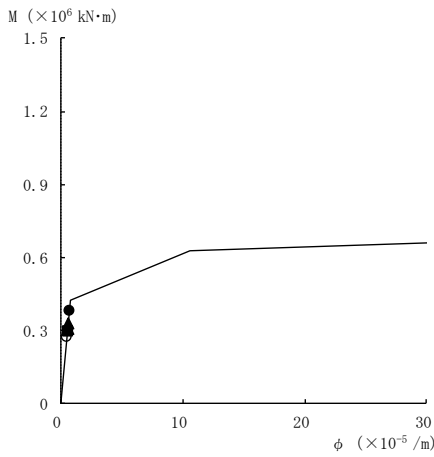
図 2-1(3) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s, NS 方向)



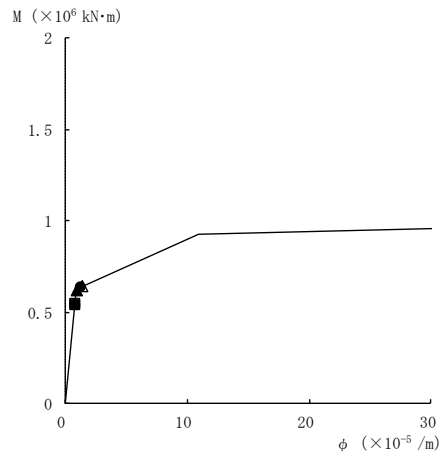
要素番号 (17)



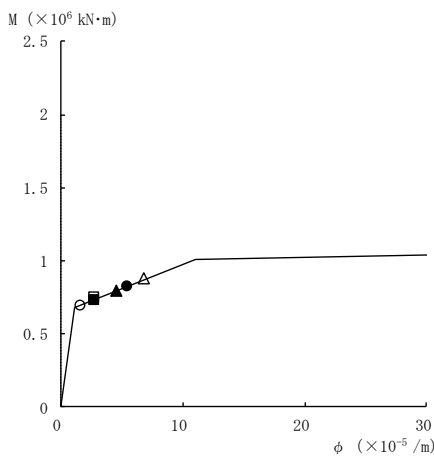
要素番号 (18)



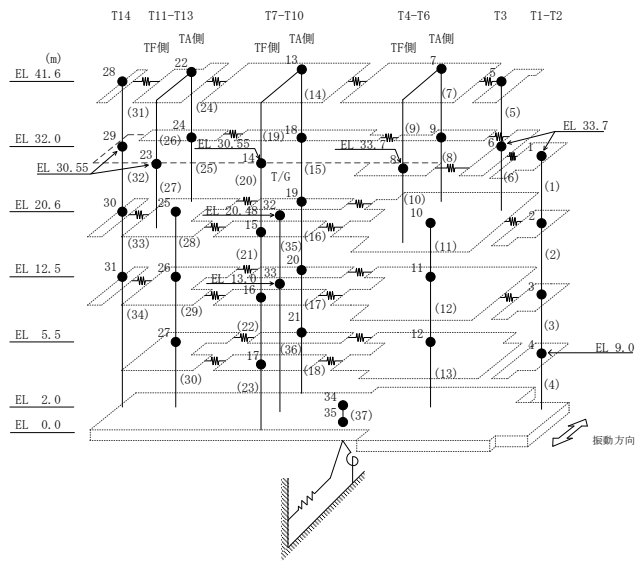
要素番号 (21)



要素番号 (22)

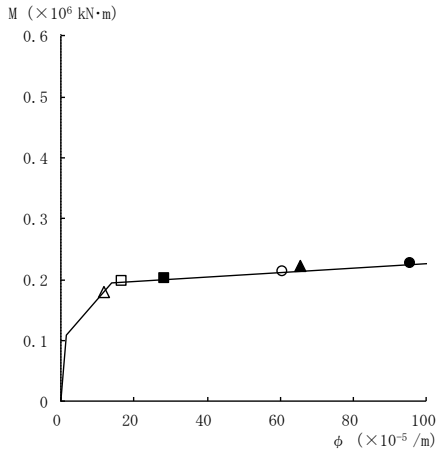


要素番号 (23)

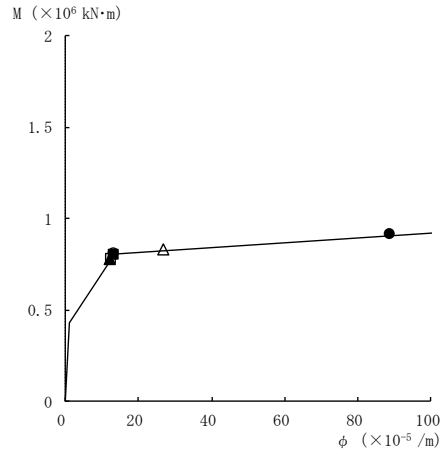


注：要素番号 19, 20 は線形部材。

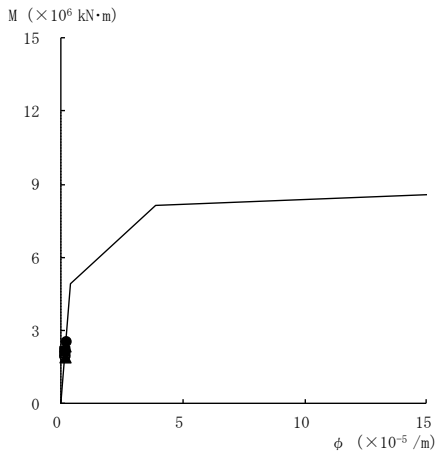
図 2-1(4) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 Ss, NS 方向)



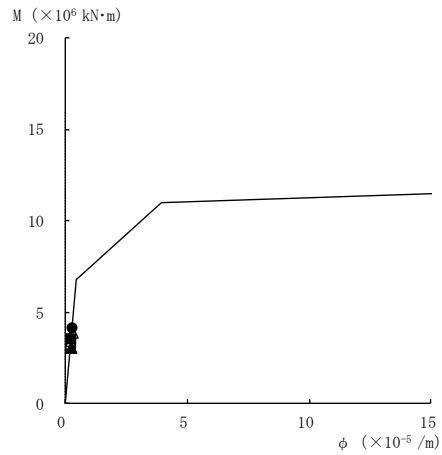
要素番号 (24)



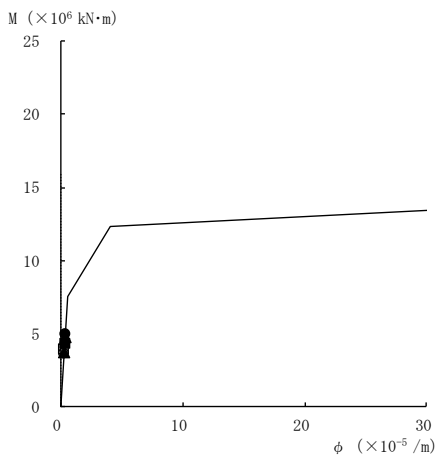
要素番号 (25)



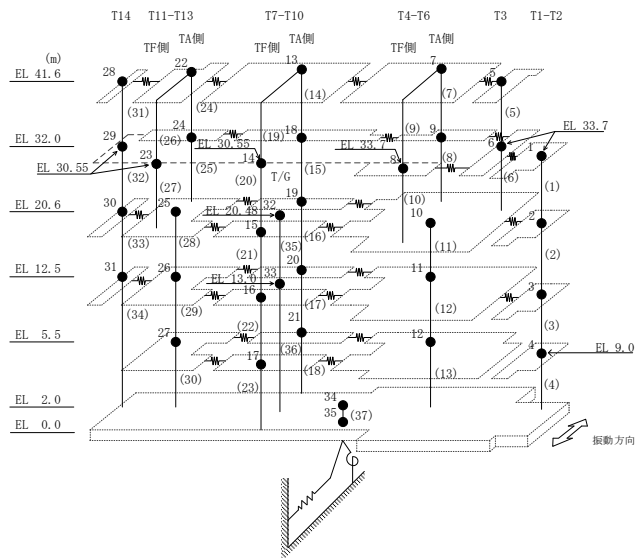
要素番号 (28)



要素番号 (29)

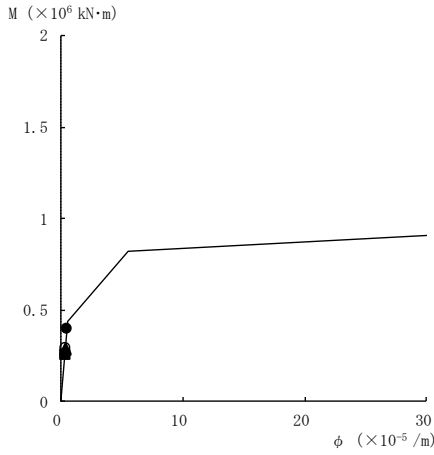


要素番号 (30)

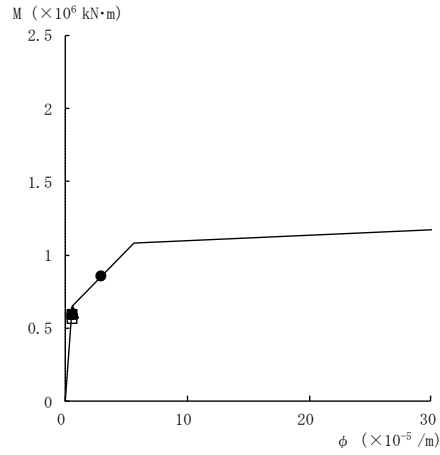


注：要素番号 26, 27 は線形部材。

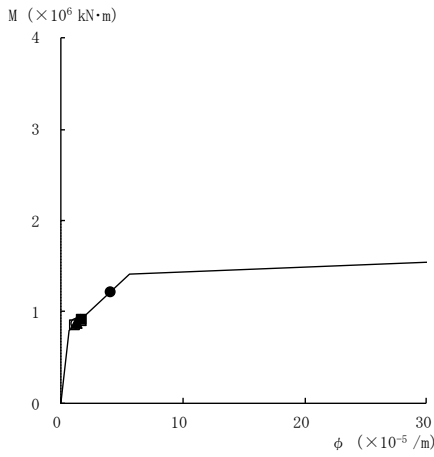
図 2-1(5) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 Ss, NS 方向)



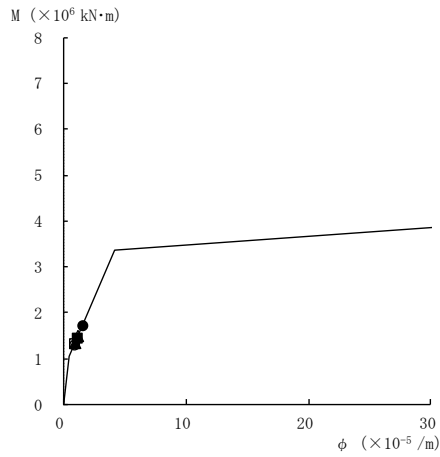
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

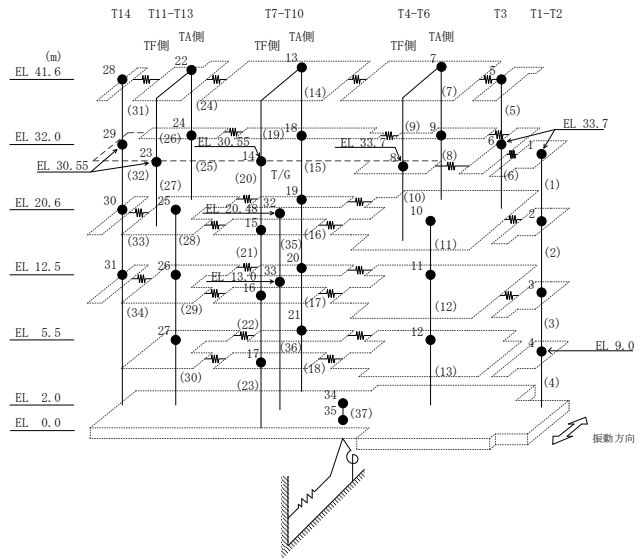


図 2-1(6) 曲げスケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s, NS 方向)

別紙 3 地震応答解析における材料物性の不確かさに関する
検討

目 次

1. 概要	別紙 3-1
1.1 検討概要	別紙 3-1
1.2 検討方針	別紙 3-2
2. 材料物性の不確かさの分析	別紙 3-3
2.1 建物剛性の不確かさ	別紙 3-3
2.2 地盤物性の不確かさ	別紙 3-3
2.3 積雪荷重との組合せ	別紙 3-3
3. 材料物性の不確かさを考慮した設計用地震力の設定	別紙 3-4
3.1 設計用地震力の設定方法	別紙 3-4
3.2 材料物性の不確かさの設定	別紙 3-6
3.2.1 地盤物性の不確かさの設定	別紙 3-6
3.2.2 積雪荷重との組合せの設定	別紙 3-7
4. 地震応答解析による材料物性の不確かさの影響検討	別紙 3-8
4.1 検討概要	別紙 3-8
4.2 不確かさの影響検討	別紙 3-15
4.2.1 地盤物性の変動による影響	別紙 3-15
4.2.2 積雪荷重との組合せによる影響	別紙 3-70
4.3 まとめ	別紙 3-117
5. 機器・配管系評価への影響	別紙 3-118

別紙 3-1 材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動の選定について

別紙 3-2 材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果

1. 概要

1.1 検討概要

本資料は、タービン建物の地震応答解析における材料物性の不確かさに関する検討について「NS2-補-023-013 地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理」に基づき説明するものである。

地震応答解析に用いる材料定数は材料物性の不確かさの変動幅を適切に考慮することとしているが、本資料では、地震応答解析結果に影響を及ぼす建物・構築物の剛性（コンクリート強度、補助壁）及び地盤物性（地盤のS波速度及びP波速度）の不確かさについて検討を行うとともに、その変動幅を設定し、地震応答解析結果における影響を検討する。なお、本資料では積雪荷重との組合せを考慮したケース（以下「積雪ケース」という。）による影響についても検討する。また、検討結果を踏まえ、建物・構築物の耐震性評価において、材料物性の不確かさを考慮して設定する設計用地震力を検討する。さらに、材料物性の不確かさの影響評価として、機器・配管系の評価への影響についても検討する。

1.2 検討方針

建物・構築物の耐震性評価に用いる動的地震力は、各建物・構築物の地震応答解析（時刻歴応答解析法）により求められており、地盤物性、建物・構築物の剛性、地盤のばね定数及び減衰定数、地震動の位相特性などの影響を受ける。特に床応答スペクトルの変動に影響を及ぼす要因は、建物・構築物の剛性及び地盤物性であることが確認されている。*

地震応答解析モデルの建物・構築物の剛性について、鉄筋コンクリート構造物においては、コンクリートの設計基準強度を用いて算出しているが、構造体コンクリートの強度が設計基準強度を上回るよう施工されるため、実構造物と地震応答解析モデルとで剛性が異なることが考えられる。また、地震応答解析モデルの設定に際して、耐震壁として考慮していない壁（以下「補助壁」という。）は剛性算定対象外としていることから、実現象においては補助壁が剛性に寄与することが考えられる。また、建物・構築物と地盤との相互作用を考慮したモデルによる地震応答解析において、地盤物性は地盤調査結果の平均値を基に算出していることから、地盤のS波速度及びP波速度の不確かさが建物・構築物の応答へ影響を及ぼすことが考えられる。

以上より、建物・構築物の剛性（以下「建物剛性」という。）の不確かさ要因としてはコンクリート強度及び補助壁を、地盤物性の不確かさ要因としては地盤のS波速度及びP波速度を考慮することとし、それぞれの不確かさが建物・構築物の地震応答及び耐震安全性に及ぼす影響について考察を行う。また、積雪荷重との組合せを考慮した場合についても考察を行い、耐震性評価における材料物性の不確かさを考慮した設計用地震力の設定について検討する。さらに、地盤物性の不確かさ及び積雪荷重との組合せを考慮したモデルによる地震応答解析を実施し、建物応答並びに建物・構築物及び機器・配管系の耐震安全性に及ぼす影響について確認する。

注記*：第29回耐震設計分科会資料 No. 29-4-5-7「参考資料 4.7 鉛直方向の設計用床応答スペクトルの拡幅率」（（社）日本電気協会（平成20年1月18日））

2. 材料物性の不確かさの分析

2.1 建物剛性の不確かさ

建物剛性の不確かさについては、コンクリート強度を実強度とし、補助壁を剛性に考慮することから、せん断スケルトン曲線の設定諸元のうち、コンクリート強度を実強度とすることによるコンクリート強度及び弾性係数の増加並びに補助壁を加えて設定することにより、剛性が上昇する。

部材の発生応力については、剛性の不確かさを考慮することにより、不確かさを考慮しないケース（以下「基本ケース」という。）に対して変動すると考えられるが、耐力については上昇する。また、変位及びせん断ひずみについては、剛性が上昇することから、基本ケースよりも小さくなると考えられる。

よって、建物・構築物の耐震性評価において、建物剛性の不確かさを考慮しない。

2.2 地盤物性の不確かさ

地盤物性の不確かさについては、地盤のS波速度及びP波速度が変動することにより、地盤物性が変動する。これに対応して、建物への入力地震動の特性が変動し、建物に考慮すべき設計用地震力も変動すると考えられる。よって、タービン建物の耐震性評価において、地盤物性の不確かさを考慮する。

2.3 積雪荷重との組合せ

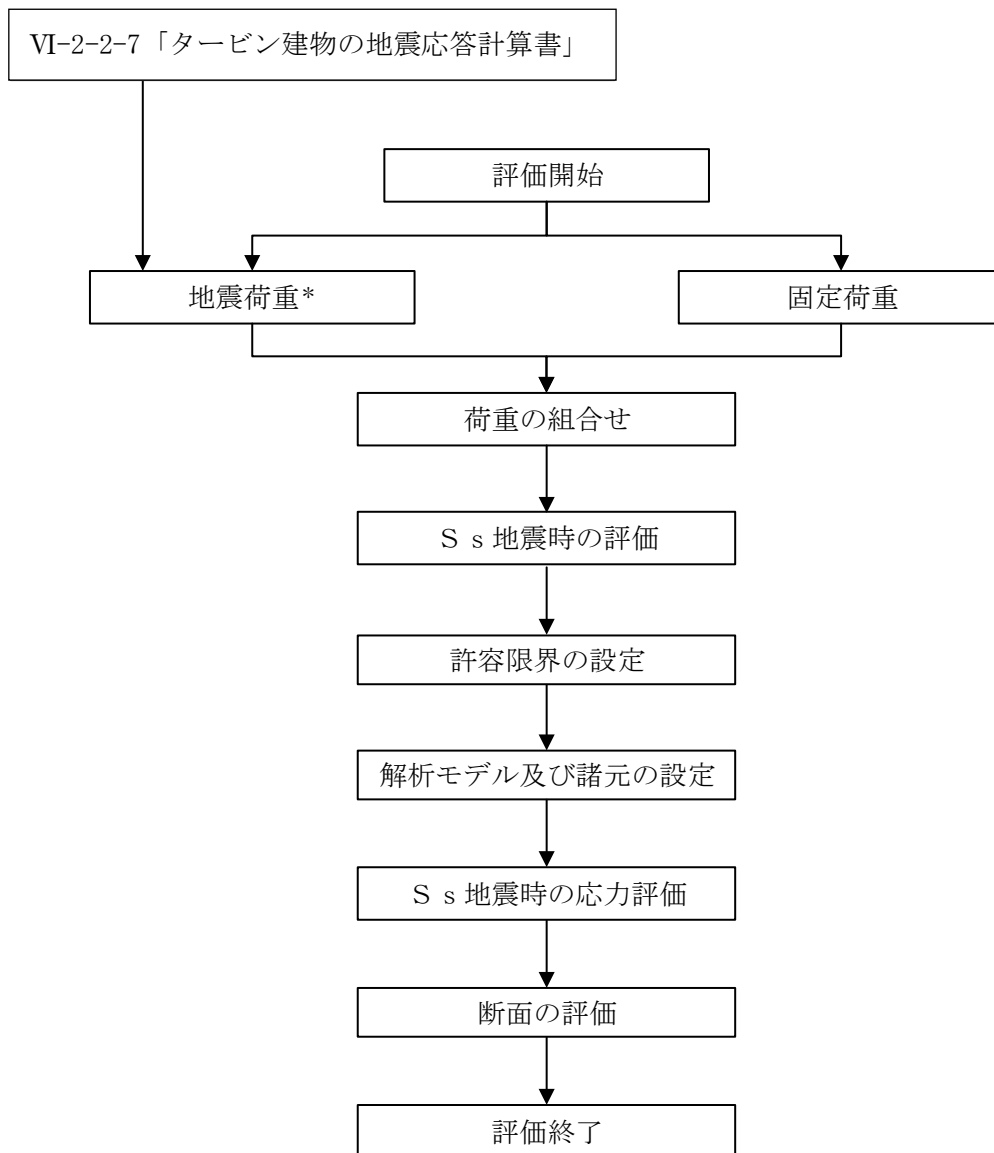
VI-2-1-9「機能維持の基本方針」において、積雪荷重については、積雪による受圧面積が小さい施設、又は埋設構造物等、常時の荷重に対して積雪荷重の割合が無視できる施設を除き、地震荷重と組み合わせることとしており、タービン建物を地震荷重と積雪荷重の組合せの検討対象としている。よって、タービン建物の耐震性評価において、地震荷重と積雪荷重との組合せを考慮する。

3. 材料物性の不確かさを考慮した設計用地震力の設定

3.1 設計用地震力の設定方法

基本ケース、材料物性の不確かさを考慮したケース及び積雪ケースの地震荷重を用いた解析を実施することで、材料物性の不確かさを設計用地震力として考慮する。不確かさを考慮したケースの質点系モデルの応答値の算出に当たっては、基本ケースにおける建物応答を確認したうえで、建物応答への影響の大きい波に対して実施する（別紙 3-1 「材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動の選定について」参照）。材料物性の不確かさを設計用地震力として考慮した建物耐震性評価フローの例（応力解析による評価）を図 3-1 に示す。

応力解析による耐震評価において、地震荷重は、質点系モデルによる地震応答解析より得られた最大応答値から算出する。地震応答解析から得られた最大応答値は、入力地震動ごとに異なるため、保守的な評価として、入力地震動ごとに得られた応答値のうち最大の応答値となる地震荷重を採用することとする。なお、材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果は別紙 3-2 「材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果」に示す。



注記*：地盤物性の不確かさ及び積雪荷重との組合せを考慮する

図 3-1 建物耐震性評価フローの例（応力解析による評価）

3.2 材料物性の不確かさの設定

3.2.1 地盤物性の不確かさの設定

地盤物性の不確かさ影響評価においては、弾性波速度試験結果に基づくS波速度及びP波速度の不確かさを考慮する。

基本ケースでは、地盤調査結果の平均値を基に設定した地盤のS波速度及びP波速度により地盤物性を設定している。地盤物性の不確かさ検討に当たっては、初期のS波速度及びP波速度に対して、標準偏差に相当するばらつき（ $\pm 1\sigma$ ）を考慮する。地盤物性の不確かさを考慮したS波速度及びP波速度を表3-1に示す。

表3-1 地盤物性の不確かさを考慮したS波速度及びP波速度

(a) S波速度

層番号		地盤のS波速度 V_s (m/s)		
		基本ケース	+ σ 相当	- σ 相当
表層①-1	S s	127	153	102
	S d	156	187	125
岩盤②		900	1080	720
岩盤③		1600	1760	1440
岩盤④		1950	2145	1755
岩盤⑤		2000	2200	1800
岩盤⑥		2350	2585	2115

(b) P波速度

層番号		地盤のP波速度 V_p (m/s)		
		基本ケース	+ σ 相当	- σ 相当
表層①-1	S s	422	506	338
	S d	516	620	413
岩盤②		2100	2520	1680
岩盤③		3600	3960	3240
岩盤④		4000	4400	3600
岩盤⑤		4050	4455	3645
岩盤⑥		4950	5445	4455

3.2.2 積雪荷重との組合せの設定

地震荷重と組み合わせる積雪荷重は、VI-1-1-3「発電用原子炉施設の自然現象等による損傷の防止に関する説明書」のうち、VI-1-1-3-1-1「発電用原子炉施設に対する自然現象等による損傷の防止に関する基本方針」の「4. 組合せ」のとおり、発電所敷地に最も近い気象官署である松江地方気象台で観測された観測史上 1 位の月最深積雪 100cm に平均的な積雪荷重を与えるための係数 0.35 を考慮して算出する。

4. 地震応答解析による材料物性の不確かさの影響検討

本章では、地盤物性の不確かさ及び積雪荷重との組合せを考慮したモデルによる地震応答解析を実施し、材料物性の不確かさが建物の応答及び耐震安全性に及ぼす影響について確認する。

4.1 検討概要

地盤物性（地盤のS波速度及びP波速度）の不確かさを考慮して検討ケースを定め、建物応答への影響を確認する。また、積雪ケースによる建物応答への影響についても確認する。

検討ケースを表4-1に、タービン建物の地震応答解析モデルを図4-1及び図4-2に示す。ここで、コンクリート強度を設計基準強度、地盤のS波速度及びP波速度を標準地盤とした検討ケースを基本ケースとする。表中の塗りつぶし部分は、基本ケースと異なる設定をしているパラメータである。

表4-1 検討ケース

検討ケース	建物剛性	地盤物性	備考
	コンクリート強度		
ケース1 (工認モデル)	設計基準強度	標準地盤	基本ケース
ケース2 (地盤物性+ σ)	設計基準強度	標準地盤+ σ (+10%, +20%)*	
ケース3 (地盤物性- σ)	設計基準強度	標準地盤- σ (-10%, -20%)*	
ケース4 (積雪)	設計基準強度	標準地盤	積雪荷重との 組合せを考慮

注記*：VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき、地盤のS波速度 V_s 及びP波速度 V_p の不確かさを設定する。

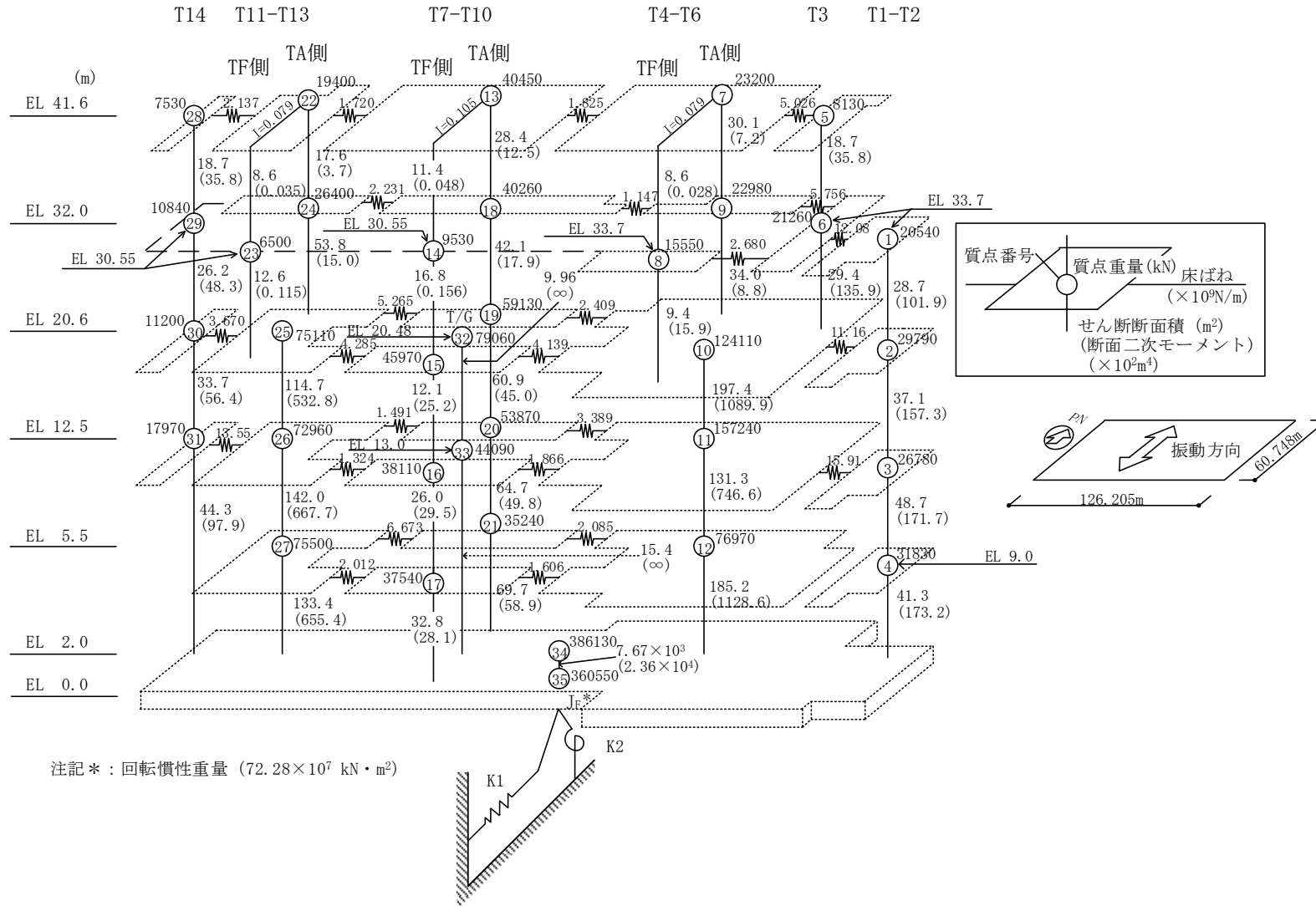


図 4-1(1) タービン建物の地震応答解析モデル (ケース 1~ケース 3) (NS 方向)

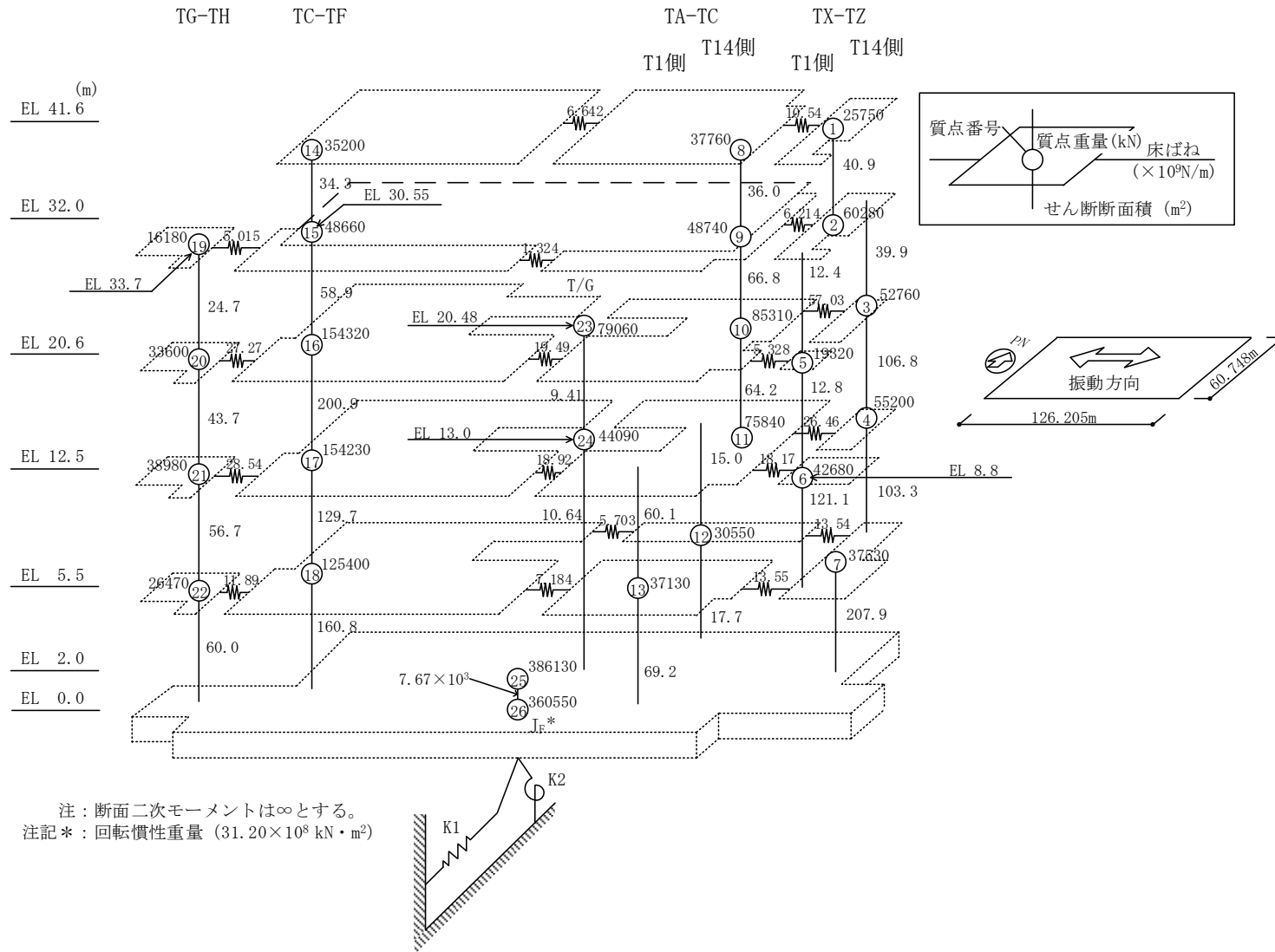
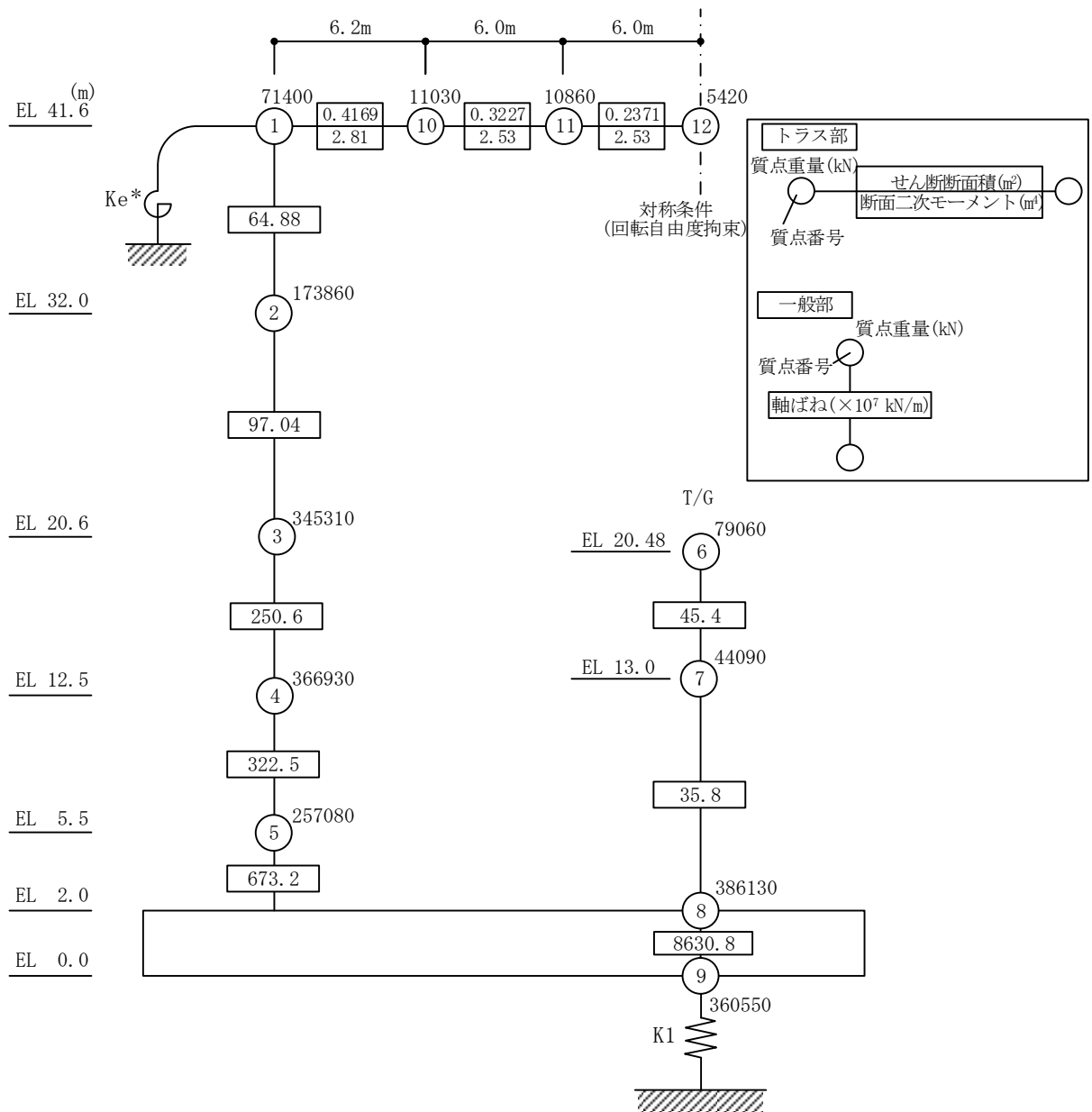


図 4-1 (2) タービン建物の地震応答解析モデル (ケース 1~ケース 3) (EW方向)



注記* : 屋根トラス端部回転拘束ばね ($362.9 \times 10^7 \text{ kN} \cdot \text{m/rad}$)

図 4-1 (3) タービン建物の地震応答解析モデル (ケース 1~ケース 3) (鉛直方向)

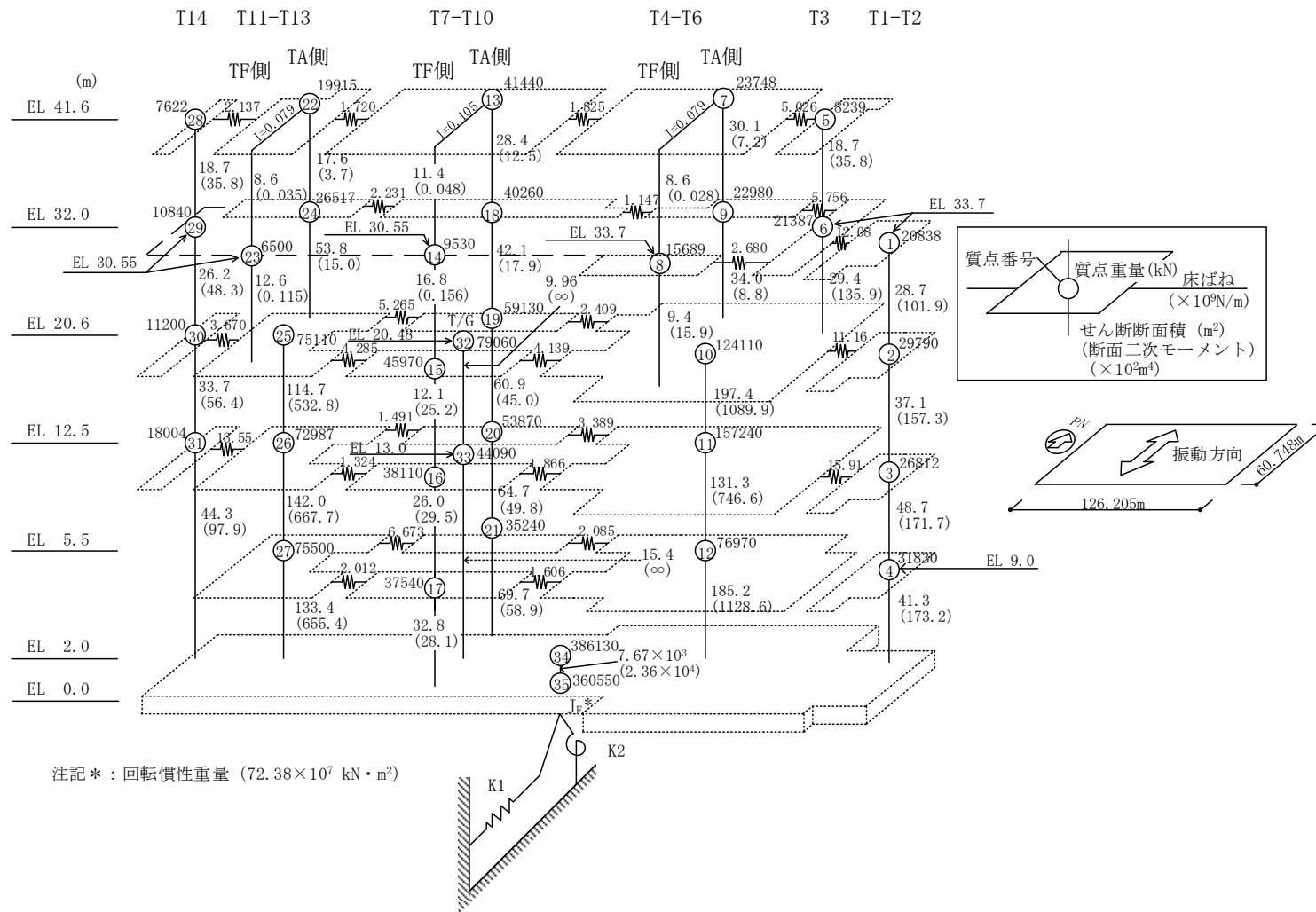


図 4-2(1) タービン建物の地震応答解析モデル (ケース 4) (NS 方向)

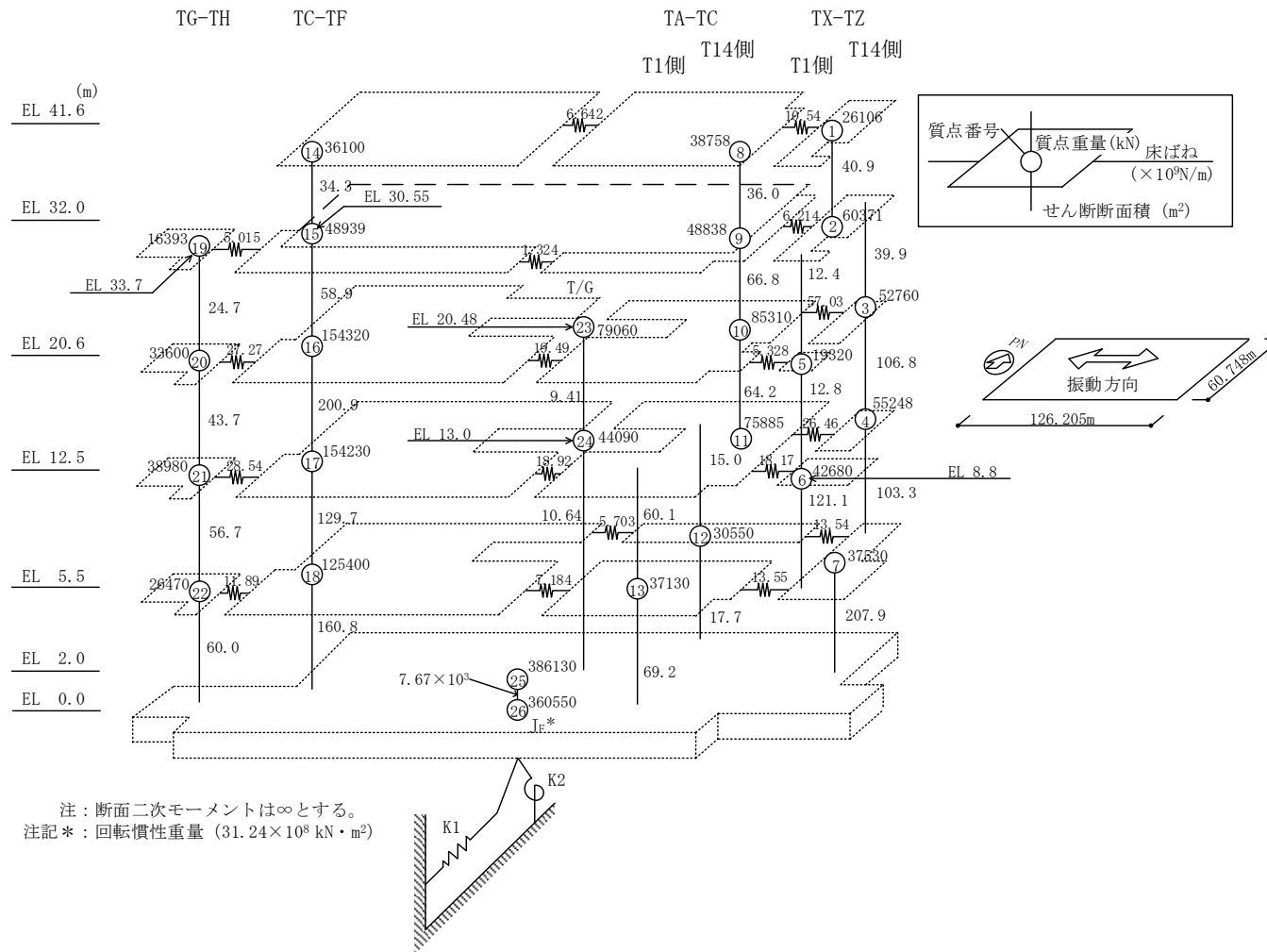
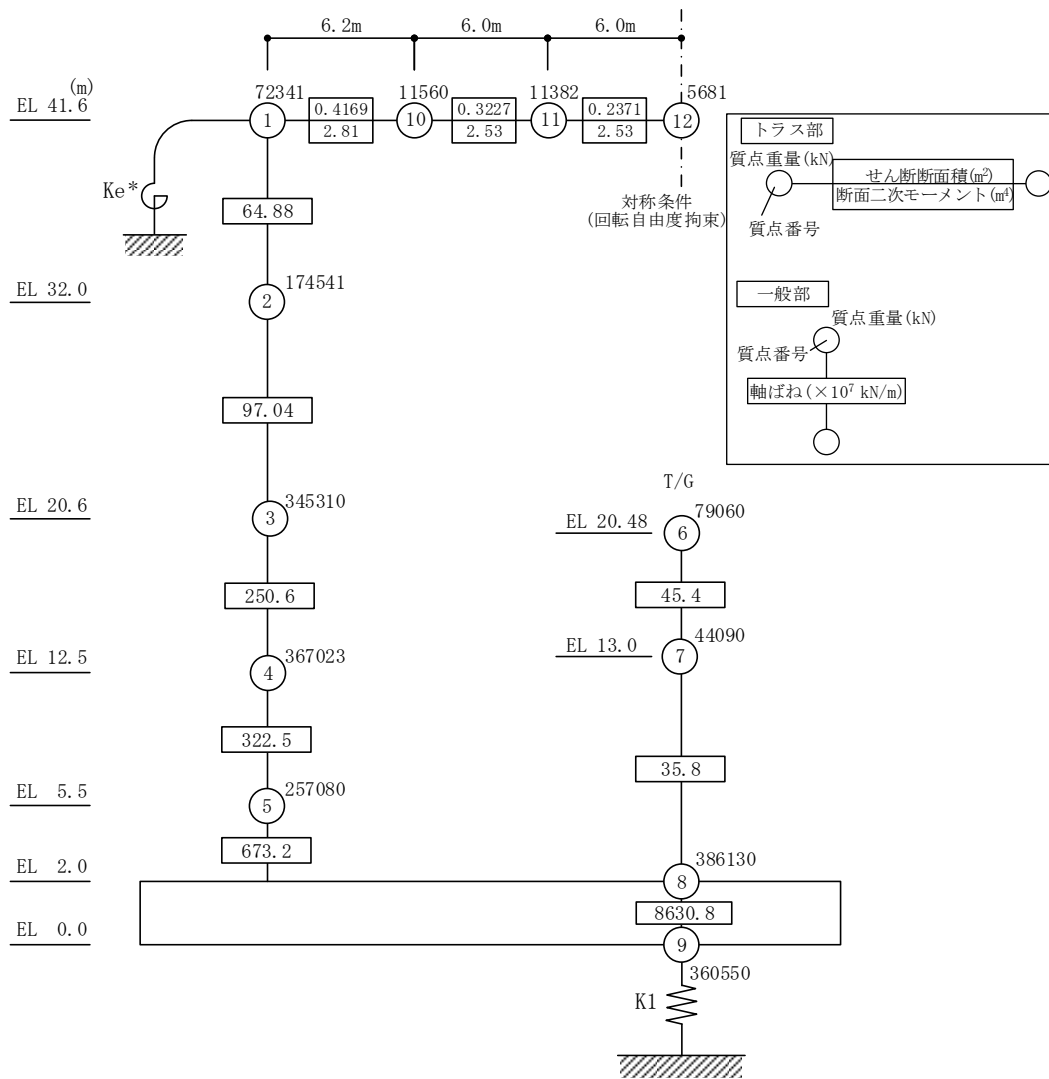


図 4-2(2) タービン建物の地震応答解析モデル (ケース 4) (EW方向)



注記* : 屋根トラス端部回転拘束ばね ($362.9 \times 10^7 \text{kN} \cdot \text{m/rad}$)

図 4-2(3) タービン建物の地震応答解析モデル (ケース 4) (鉛直方向)

4.2 不確かさの影響検討

4.2.1 地盤物性の変動による影響

(1) 影響評価方針

地盤物性を変動させた解析モデルにより固有値解析及び地震応答解析を実施し、地盤物性を変動させたケース（ケース2及びケース3）と基本ケース（ケース1）の比較を実施する。なお、対象とする地震動は、位相特性の偏りがなく、全周期帯において安定した応答を生じさせる基準地震動 $S_s - D$ とする。

(2) 固有値解析結果

地盤物性を変動させた解析モデルにより固有値解析を実施した。固有値解析結果を表4-2、刺激関数図を図4-3～図4-8に示す。

基本ケースに対する地盤物性を変動させた解析モデルの固有振動数の変動幅は、 $-7\% \sim +7\%$ 程度である。

表 4-2 固有値解析結果の比較 (ケース 1~ケース 3)

(a) NS 方向

(単位 : Hz)

次数	ケース 1	ケース 2	ケース 3
1	4.15	4.16 (1.00)	4.13 (0.99)
2	4.85	4.90 (1.01)	4.75 (0.98)
3	7.06	7.13 (1.01)	6.92 (0.98)
4	7.36	7.38 (1.00)	7.35 (1.00)
5	7.75	7.78 (1.00)	7.72 (1.00)
6	9.15	9.19 (1.00)	9.08 (0.99)

(b) EW 方向

(単位 : Hz)

次数	ケース 1	ケース 2	ケース 3
1	3.65	3.65 (1.00)	3.64 (1.00)
2	6.37	6.59 (1.04)	6.01 (0.94)
3	9.53	9.56 (1.00)	9.49 (1.00)
4	11.83	11.86 (1.00)	11.67 (0.99)
5	12.49	12.78 (1.02)	12.09 (0.97)
6	14.18	14.22 (1.00)	14.09 (0.99)

(c) 鉛直方向

(単位 : Hz)

次数	ケース 1	ケース 2	ケース 3
1	3.48	3.48 (1.00)	3.48 (1.00)
2	11.51	11.54 (1.00)	11.32 (0.98)
3	12.97	13.83 (1.07)	12.02 (0.93)
4	16.55	16.56 (1.00)	16.54 (1.00)
5	22.17	22.25 (1.00)	22.08 (1.00)
6	29.40	30.21 (1.03)	28.60 (0.97)

注 : () 内は基本ケース (ケース 1) に対する比率

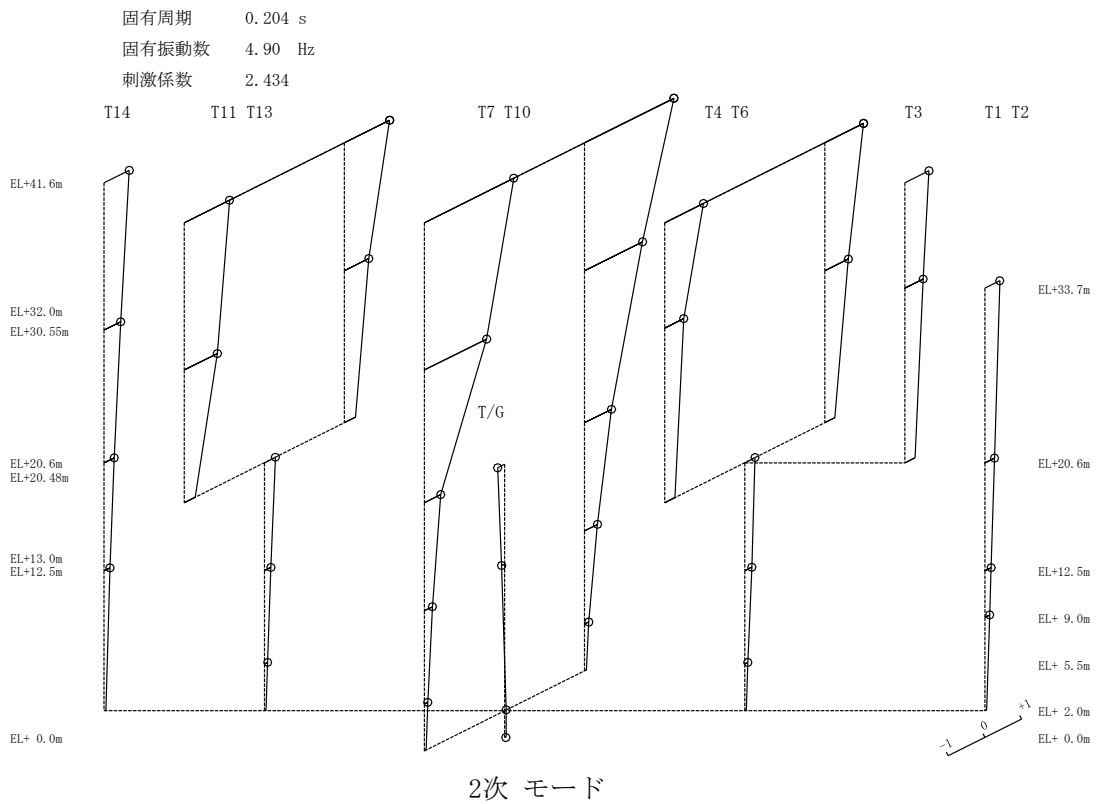
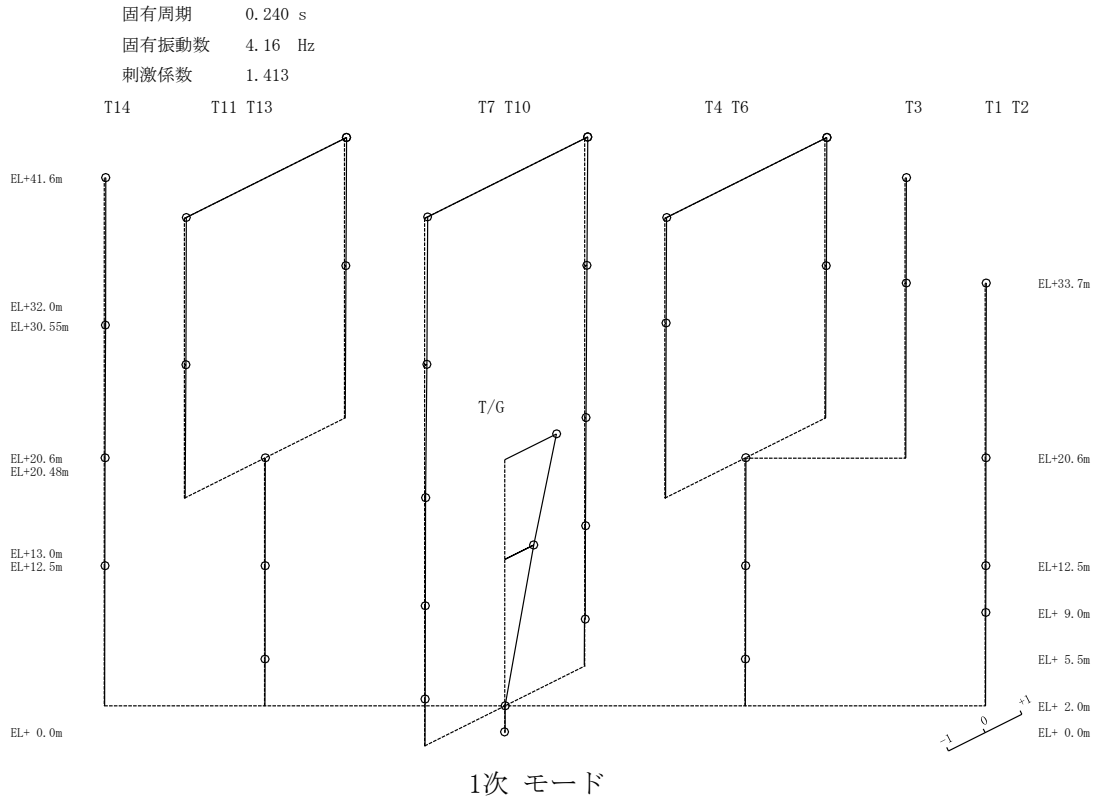
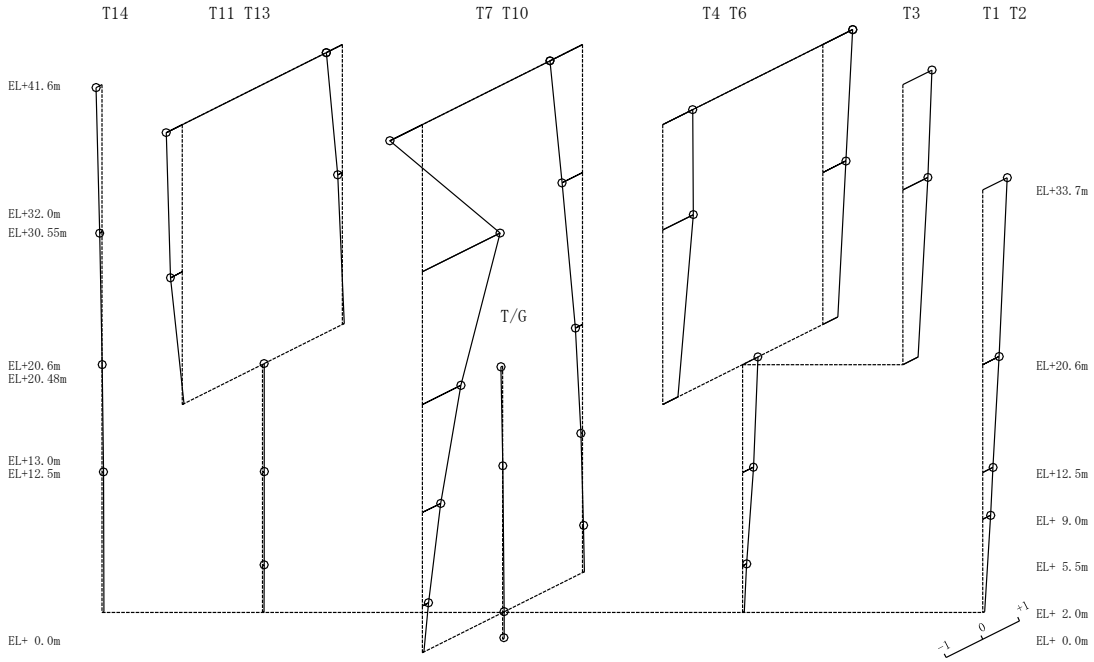


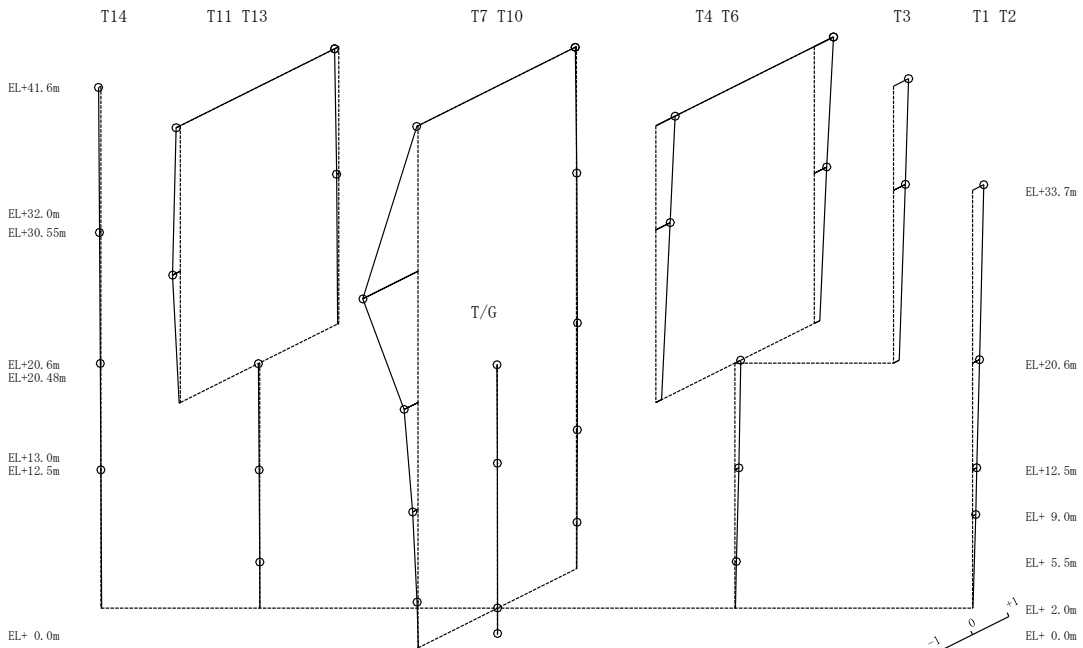
図 4-3(1) 刺激関数図 (ケース 2) (NS 方向)

固有周期 0.140 s
 固有振動数 7.13 Hz
 刺激係数 2.119



3次 モード

固有周期 0.136 s
 固有振動数 7.38 Hz
 刺激係数 -1.518



4次 モード

図 4-3(2) 刺激関数図 (ケース 2) (N S 方向)

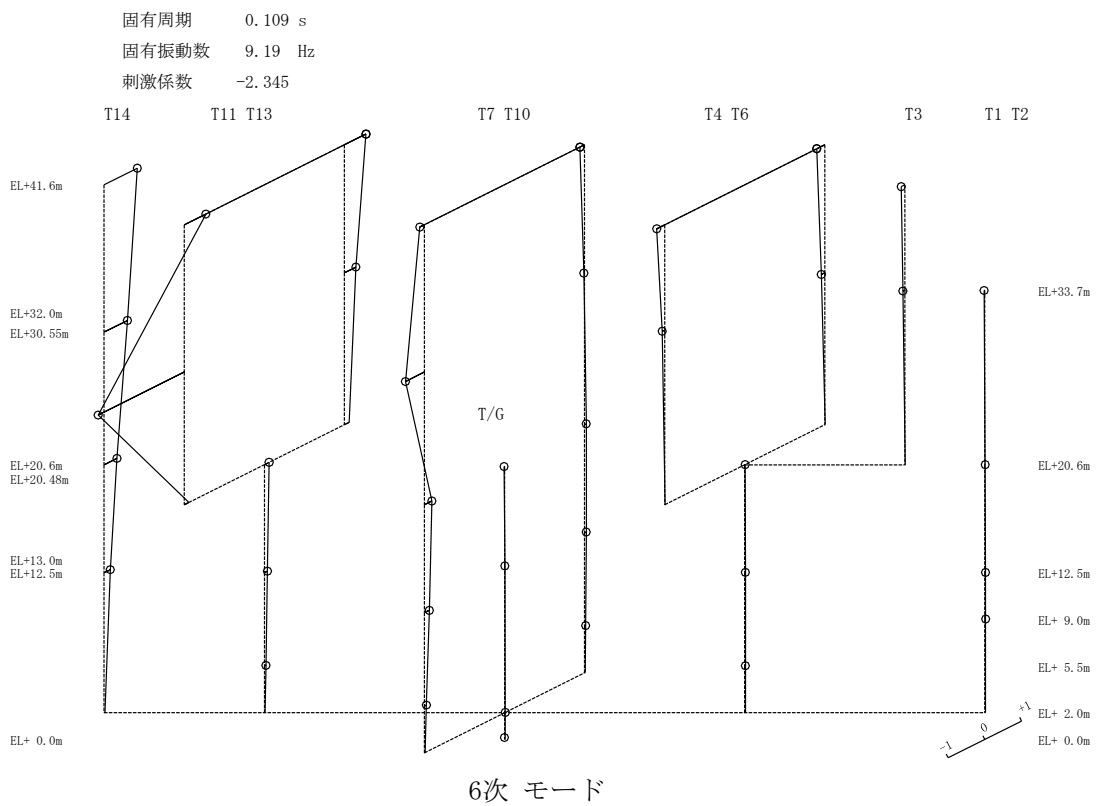
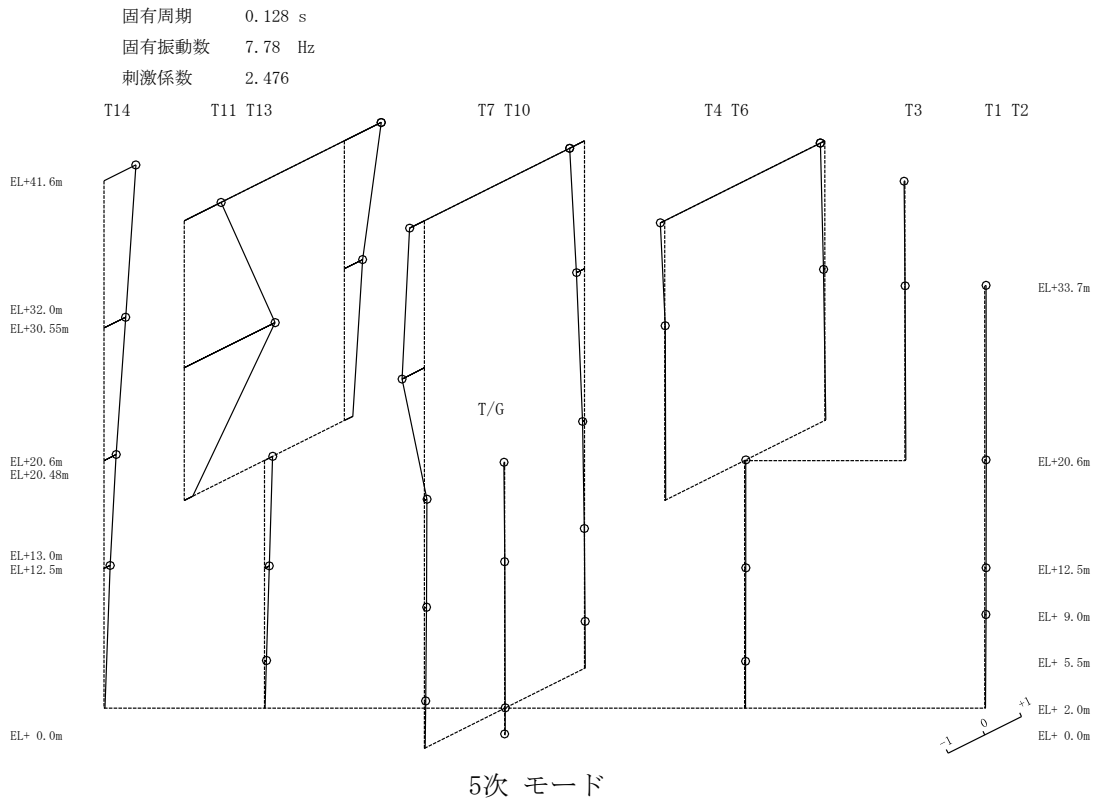
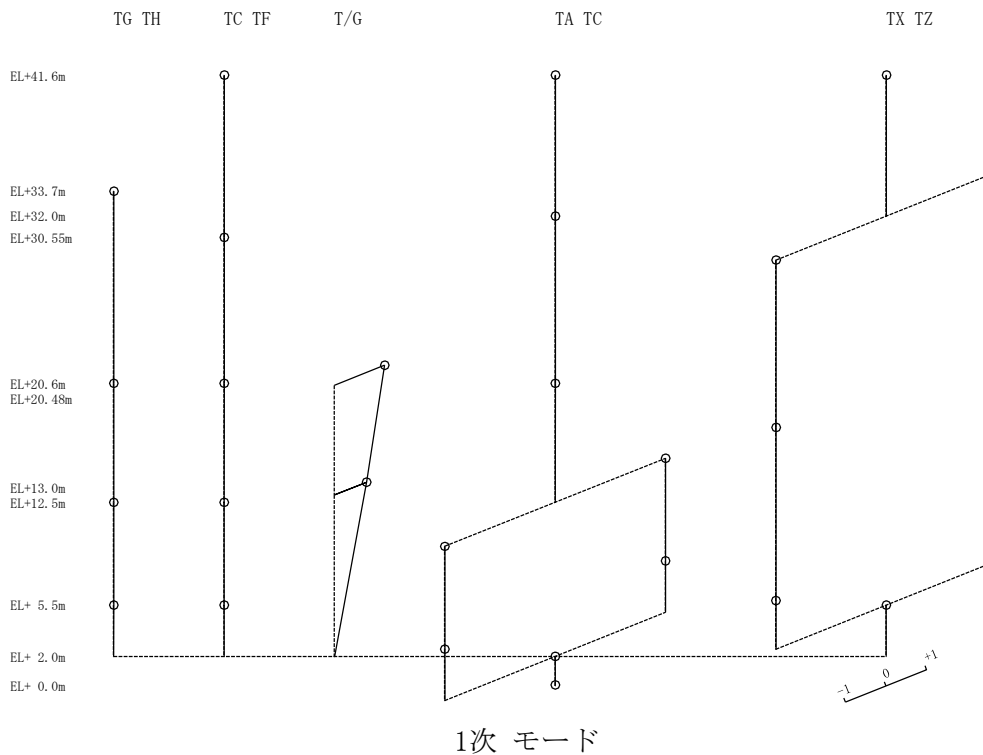


図 4-3 (3) 刺激関数図 (ケース 2) (NS 方向)

固有周期 0.274 s
 固有振動数 3.65 Hz
 刺激係数 1.243



固有周期 0.152 s
 固有振動数 6.59 Hz
 刺激係数 1.827

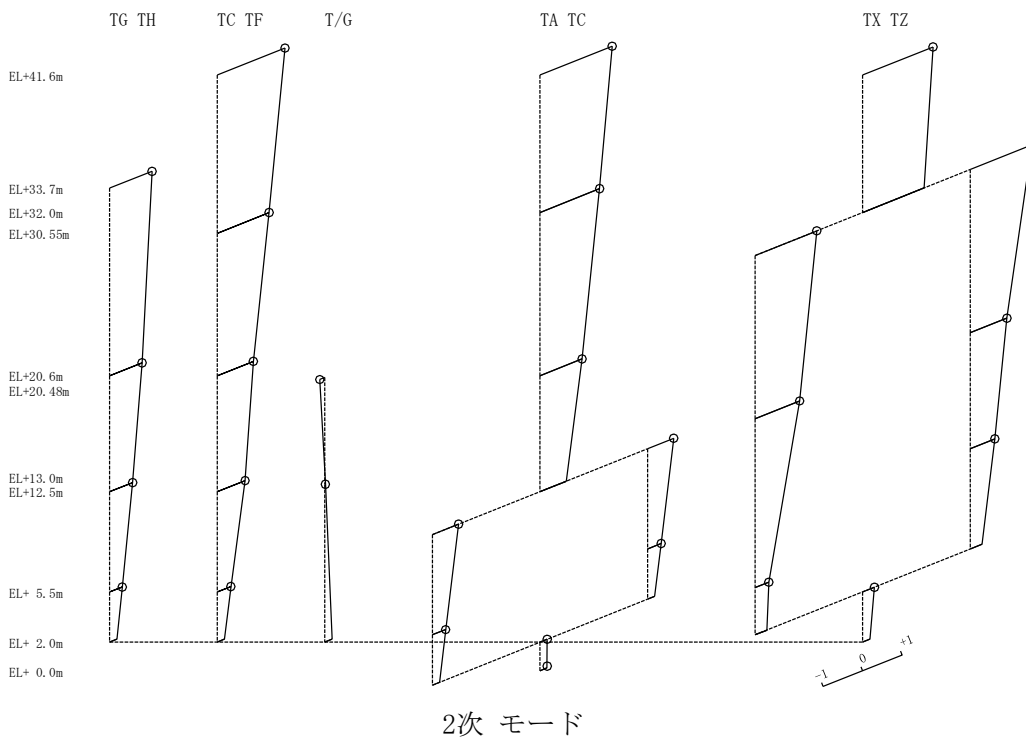
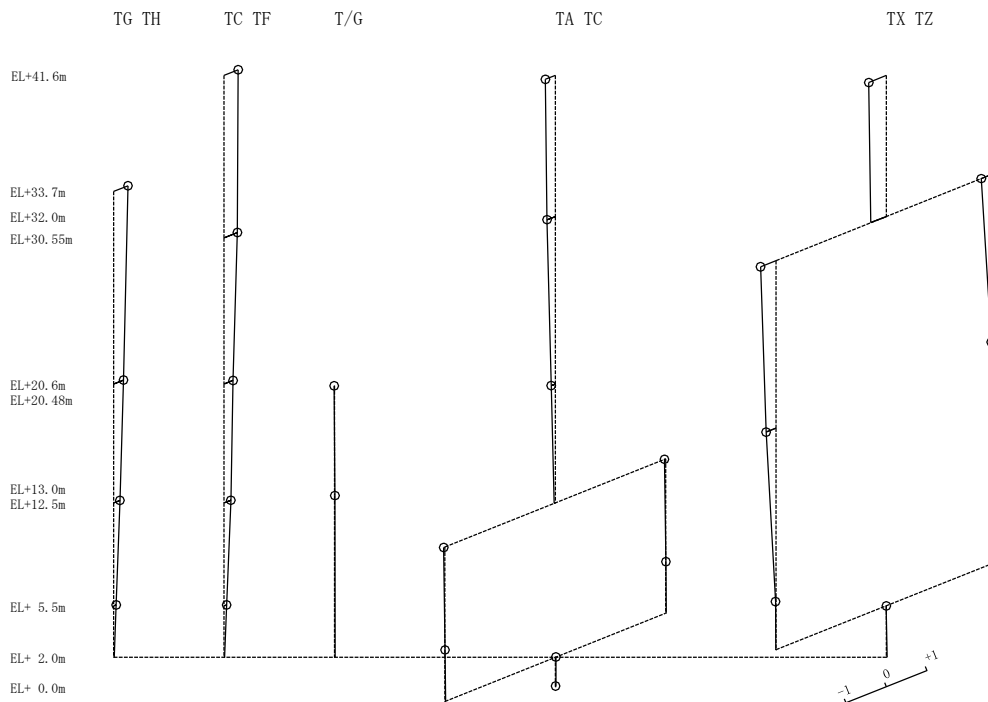


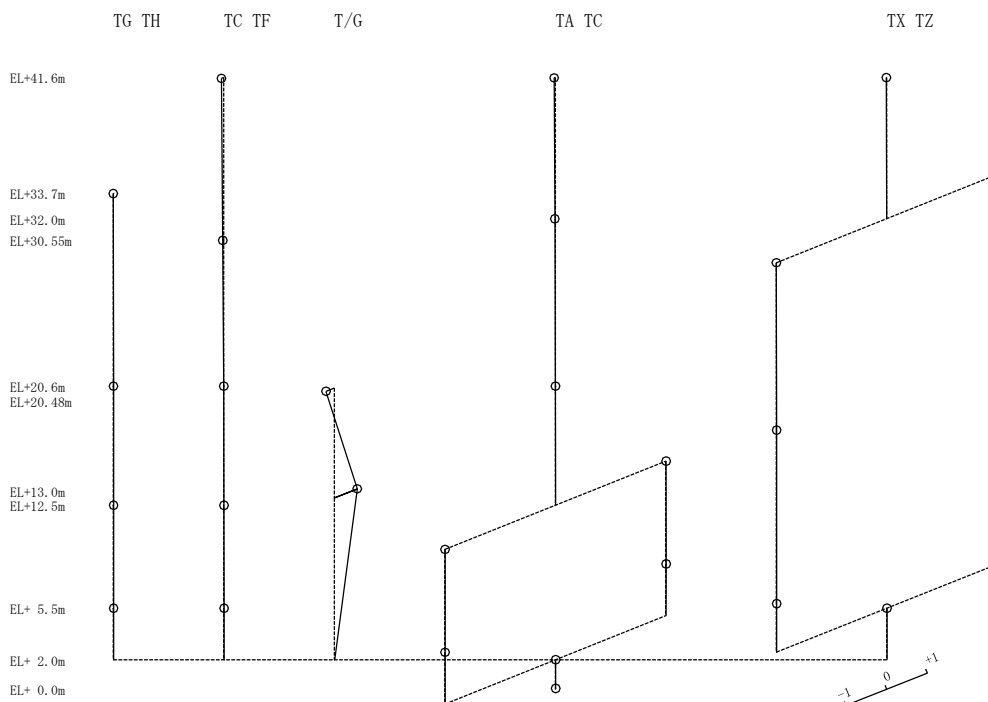
図 4-4(1) 刺激関数図 (ケース 2) (E W方向)

固有周期 0.105 s
 固有振動数 9.56 Hz
 刺激係数 -0.436



3次 モード

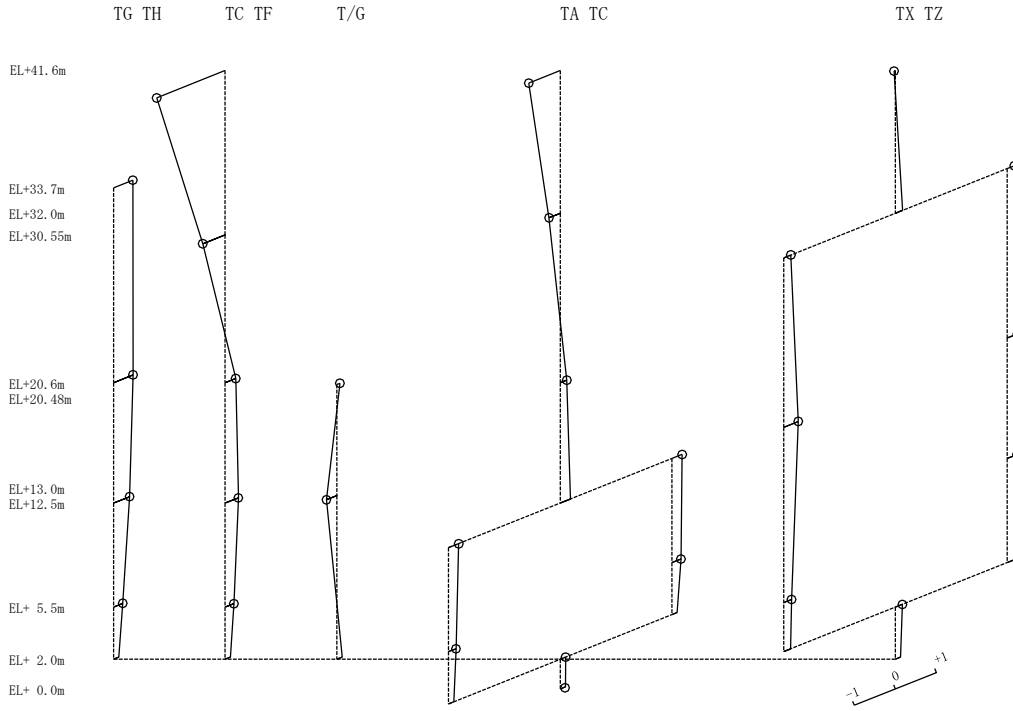
固有周期 0.084 s
 固有振動数 11.86 Hz
 刺激係数 0.568



4次 モード

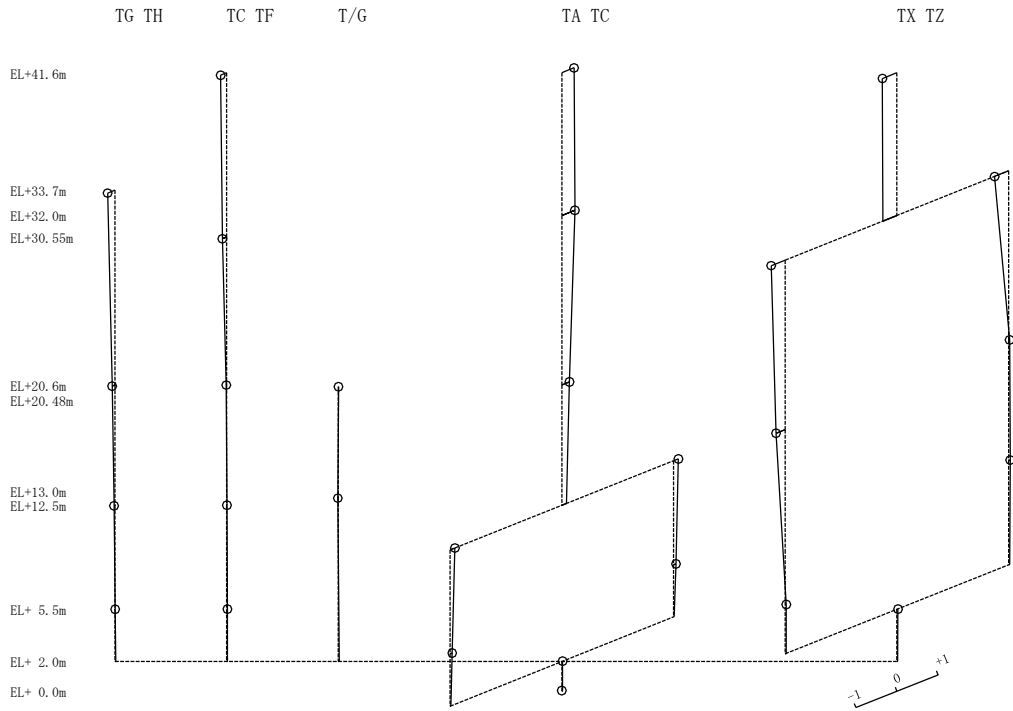
図 4-4(2) 刺激関数図 (ケース 2) (E W方向)

固有周期 0.078 s
 固有振動数 12.78 Hz
 刺激係数 -1.667



5次モード

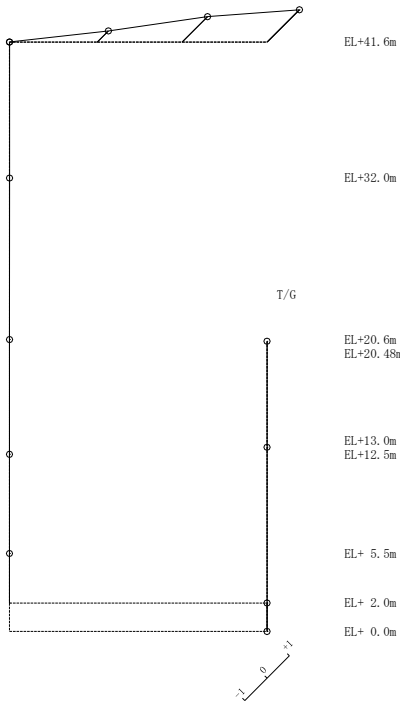
固有周期 0.07 s
 固有振動数 14.22 Hz
 刺激係数 -0.355



6次モード

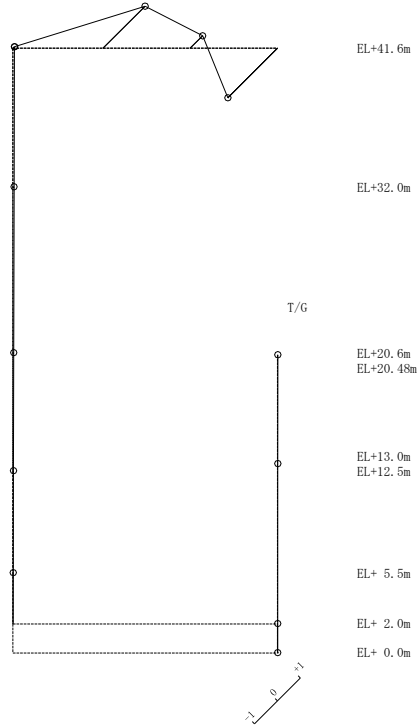
図 4-4(3) 刺激関数図 (ケース 2) (EW方向)

固有周期 0.288 s
固有振動数 3.48 Hz
刺激係数 1.45



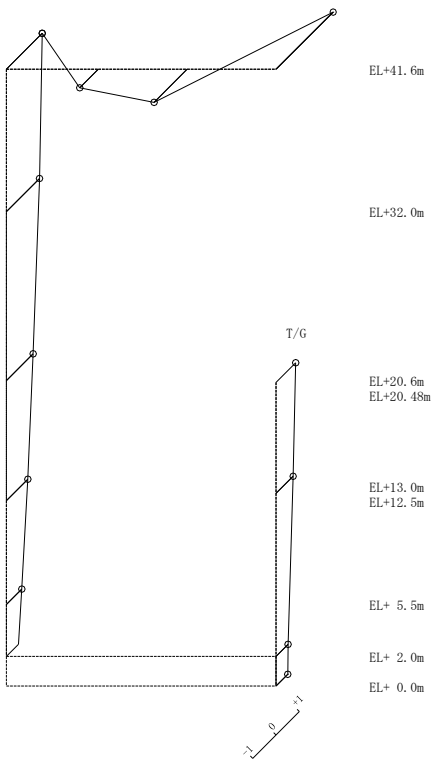
1次モード

固有周期 0.087 s
固有振動数 11.54 Hz
刺激係数 -2.162



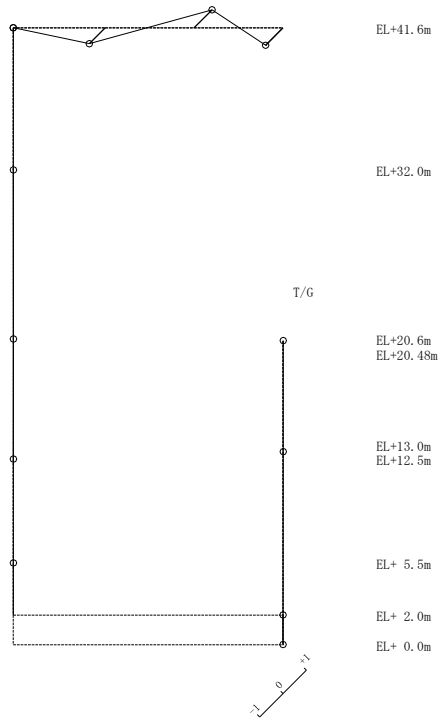
2次モード

固有周期 0.072 s
固有振動数 13.83 Hz
刺激係数 2.446



3次モード

固有周期 0.060 s
固有振動数 16.56 Hz
刺激係数 0.772

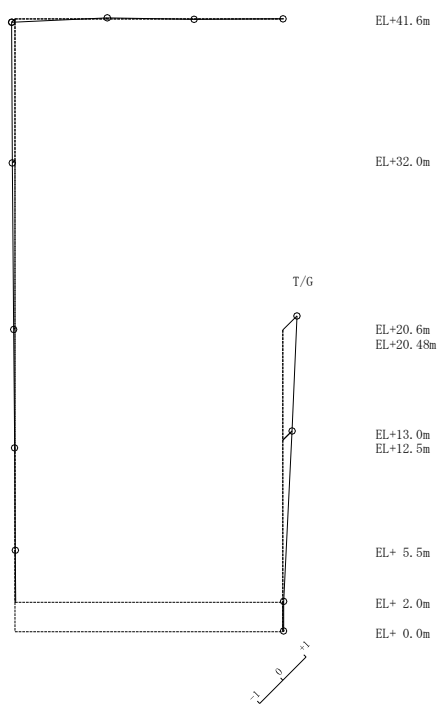


4次モード

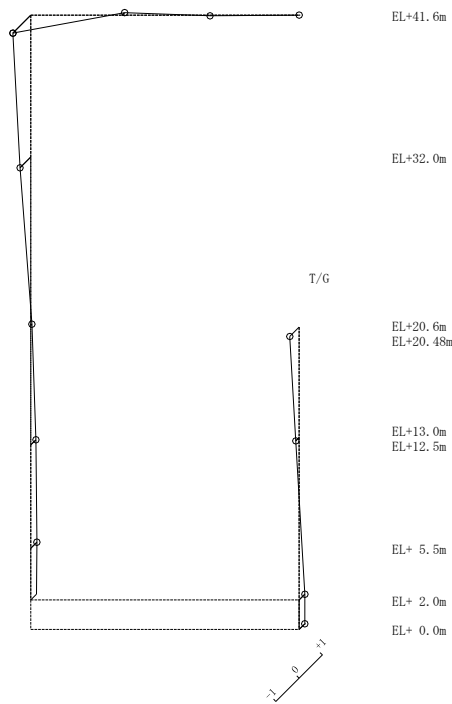
図4-5(1) 刺激関数図 (ケース2) (鉛直方向)

固有周期 0.045 s
 固有振動数 22.25 Hz
 刺激係数 0.607

固有周期 0.033 s
 固有振動数 30.21 Hz
 刺激係数 -0.770



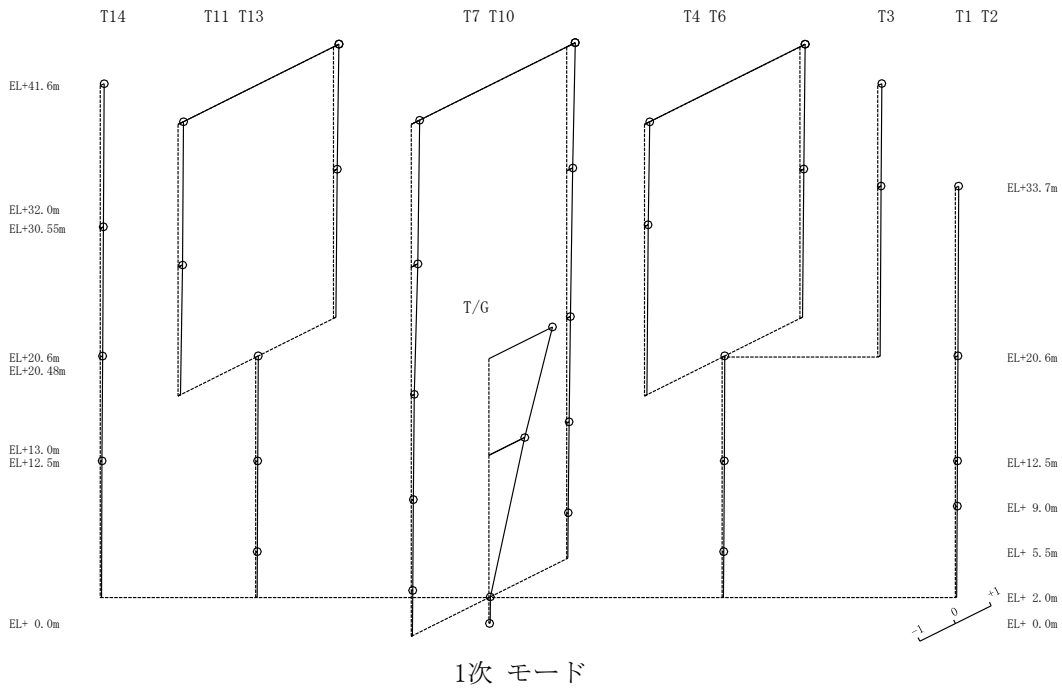
5次 モード



6次 モード

図 4-5 (2) 刺激関数図 (ケース 2) (鉛直方向)

固有周期 0.242 s
 固有振動数 4.13 Hz
 刺激係数 1.783



固有周期 0.21 s
 固有振動数 4.75 Hz
 刺激係数 2.438

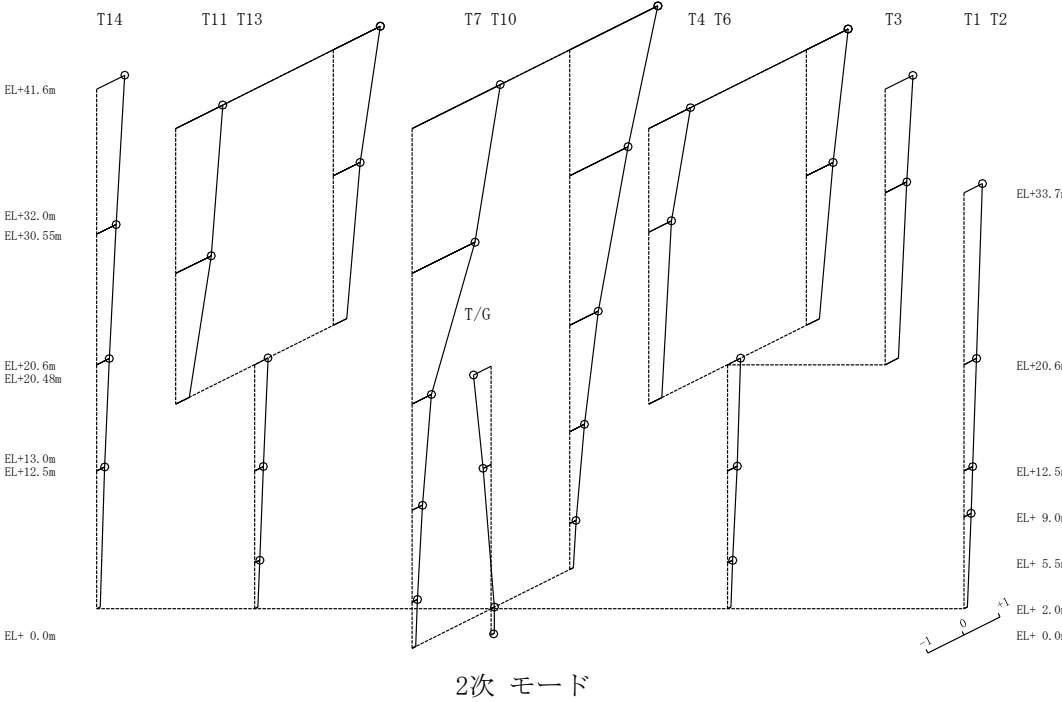
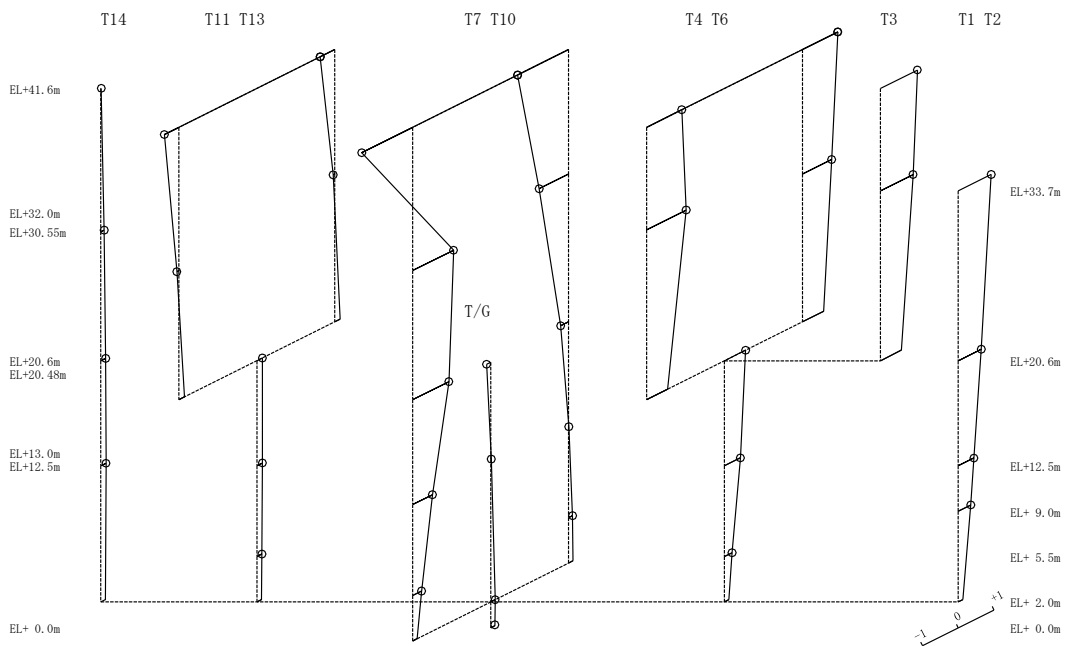


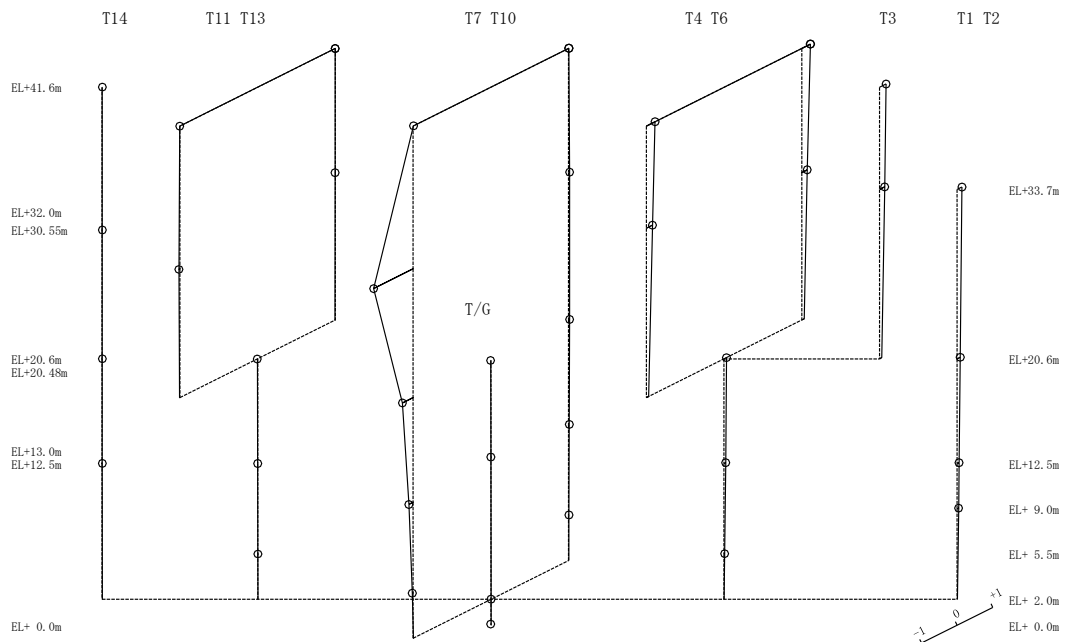
図 4-6(1) 刺激関数図 (ケース 3) (N S 方向)

固有周期 0.145 s
 固有振動数 6.92 Hz
 刺激係数 -1.426



3次 モード

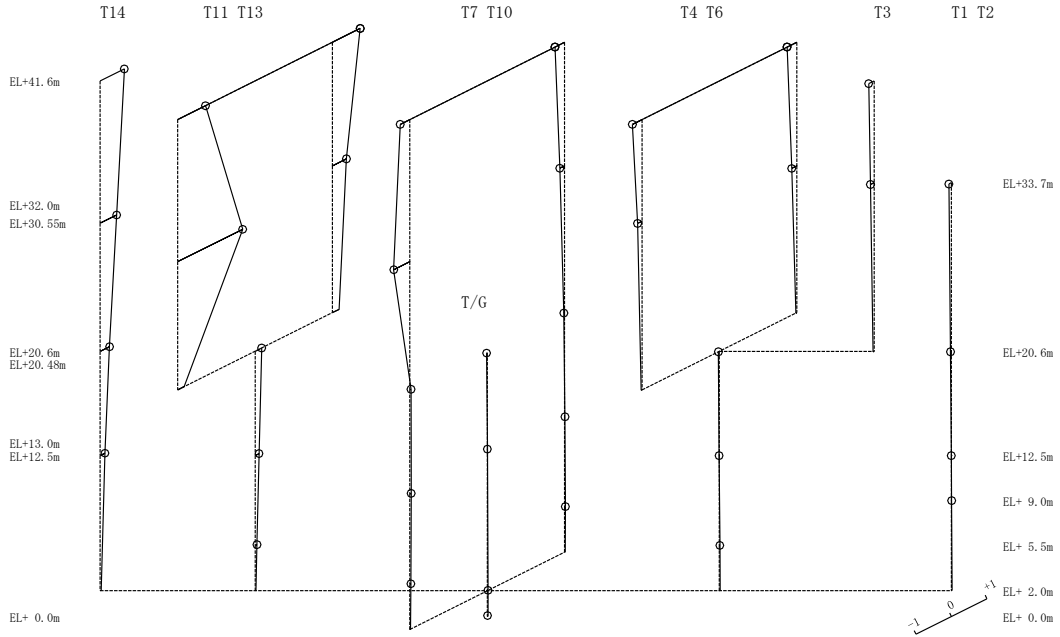
固有周期 0.136 s
 固有振動数 7.35 Hz
 刺激係数 -1.106



4次 モード

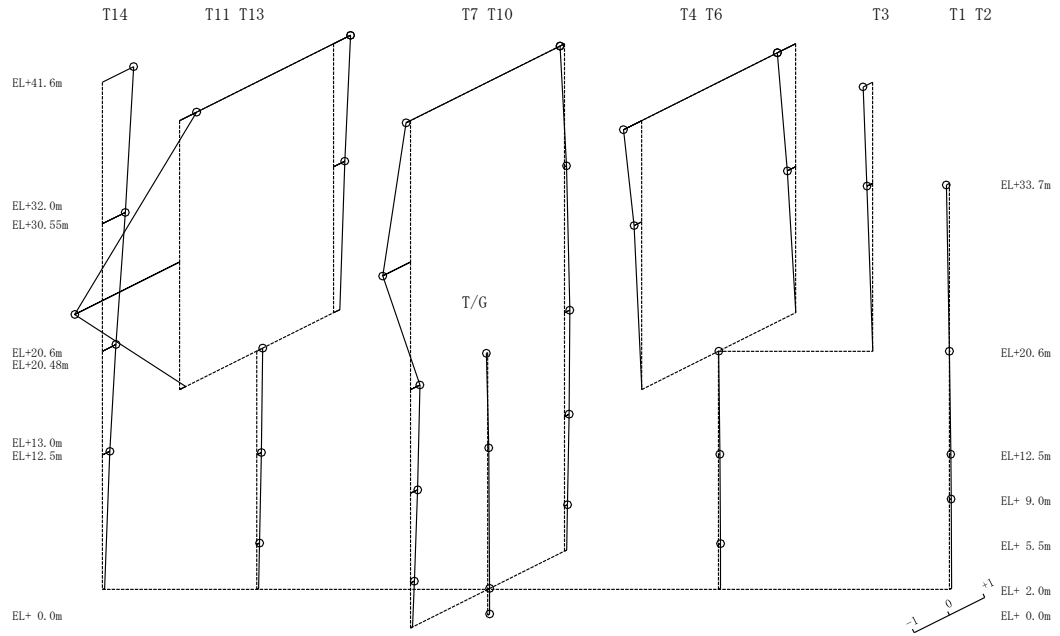
図 4-6(2) 刺激関数図 (ケース 3) (NS 方向)

固有周期 0.130 s
 固有振動数 7.72 Hz
 刺激係数 1.834



5次モード

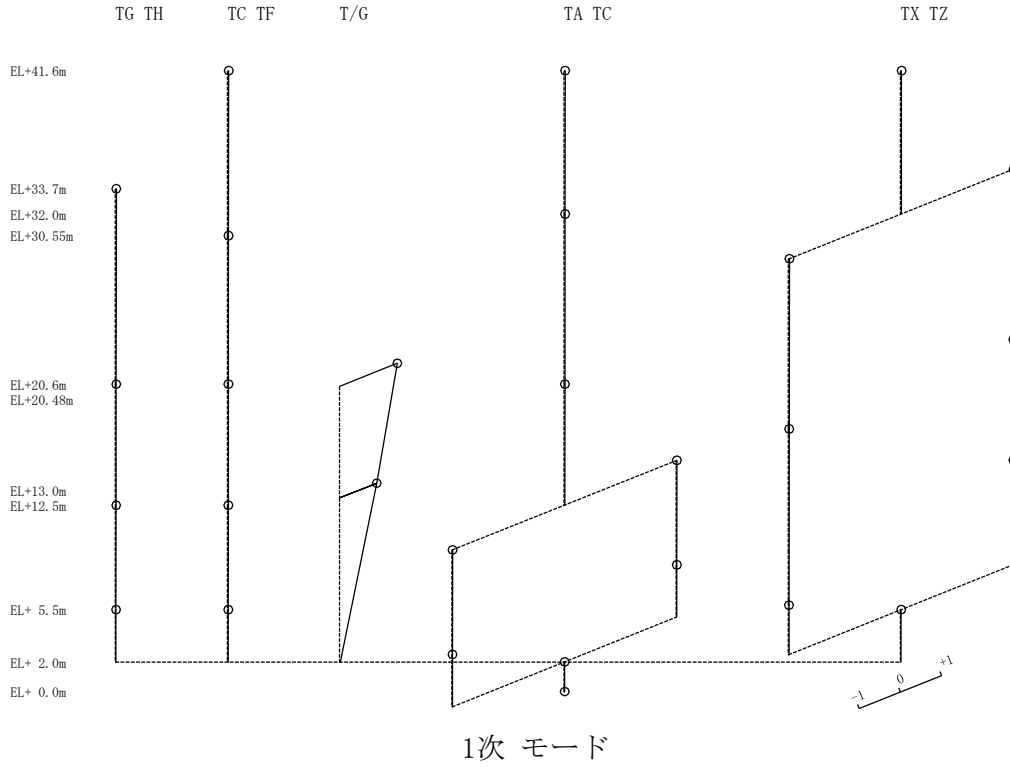
固有周期 0.110 s
 固有振動数 9.08 Hz
 刺激係数 -2.970



6次モード

図 4-6 (3) 刺激関数図 (ケース 3) (NS 方向)

固有周期 0.275 s
 固有振動数 3.64 Hz
 刺激係数 1.4



固有周期 0.167 s
 固有振動数 6.01 Hz
 刺激係数 1.766

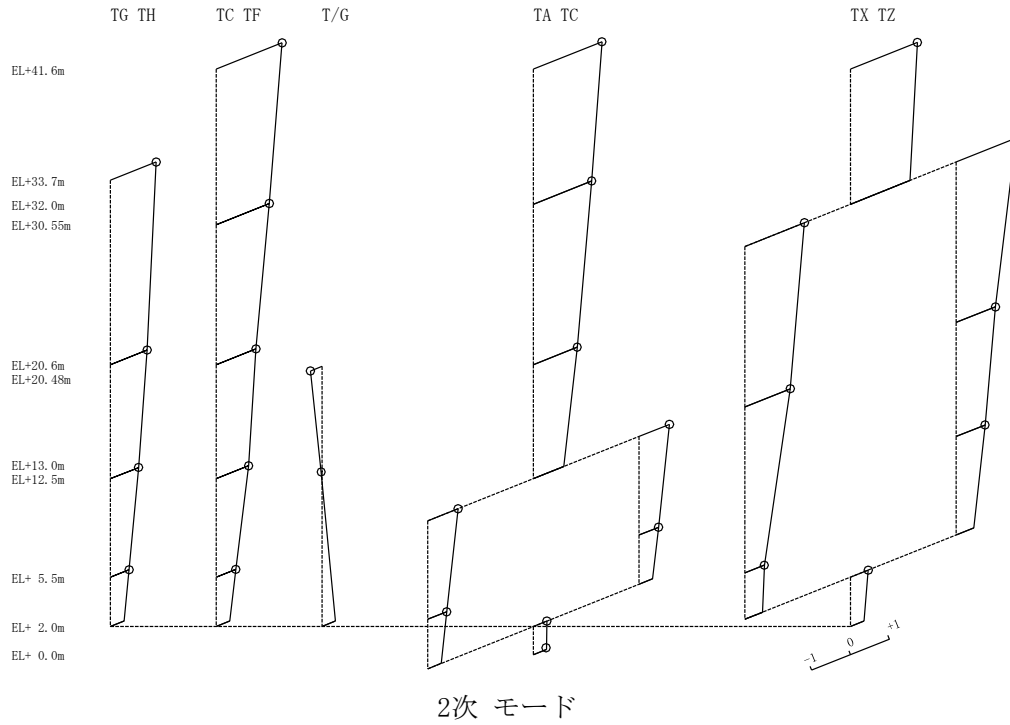
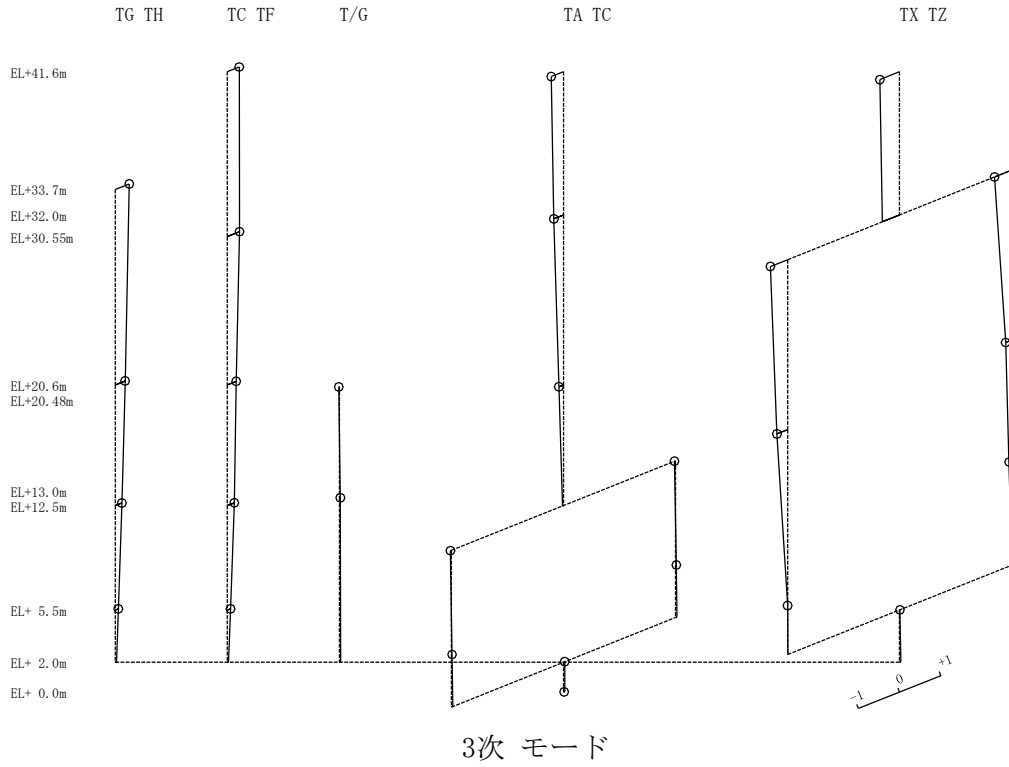


図 4-7(1) 刺激関数図 (ケース 3) (EW方向)

固有周期 0.105 s
 固有振動数 9.49 Hz
 刺激係数 -0.481



固有周期 0.086 s
 固有振動数 11.67 Hz
 刺激係数 1.242

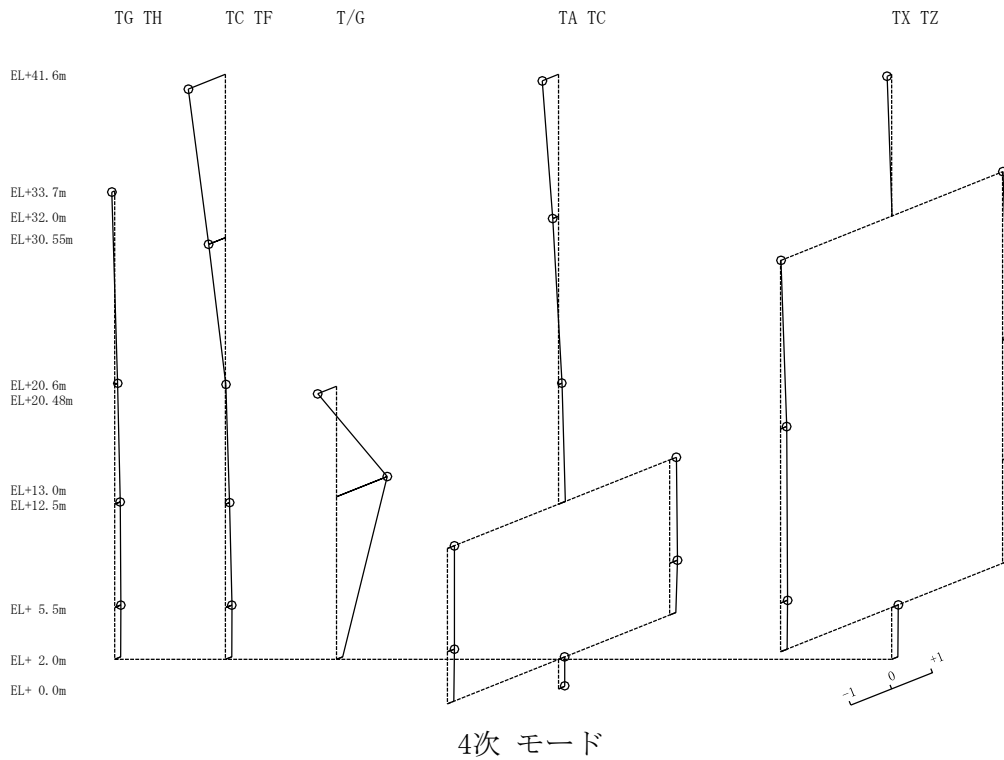
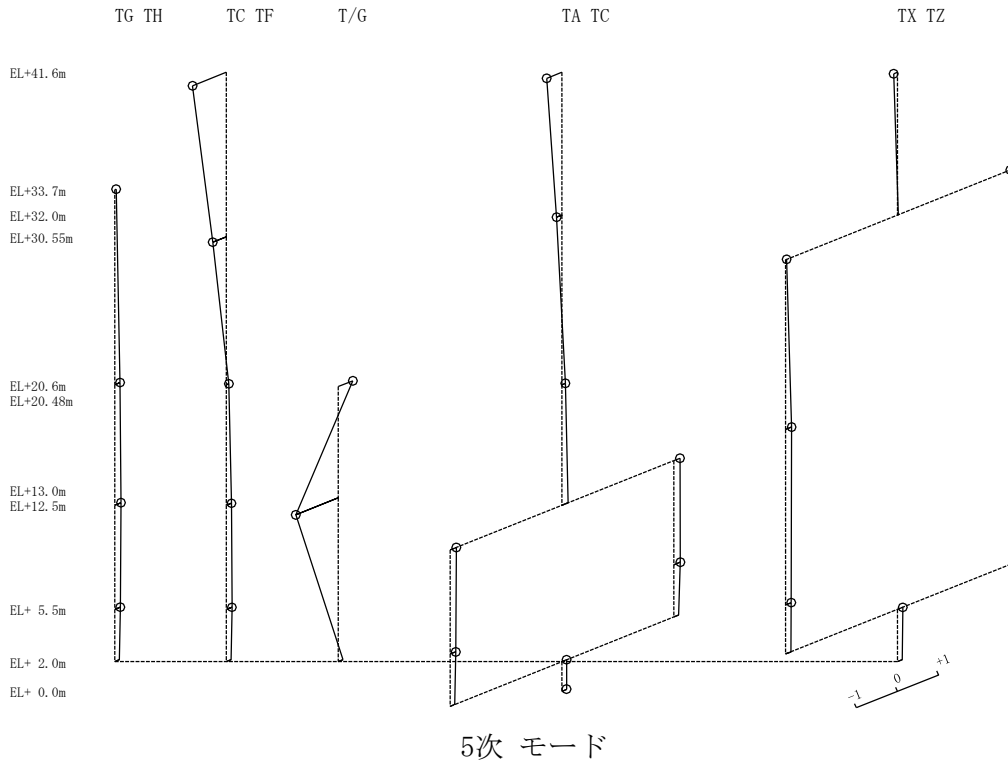


図 4-7(2) 刺激関数図 (ケース 3) (EW方向)

固有周期 0.083 s
 固有振動数 12.09 Hz
 刺激係数 -1.033



固有周期 0.071 s
 固有振動数 14.09 Hz
 刺激係数 -0.297

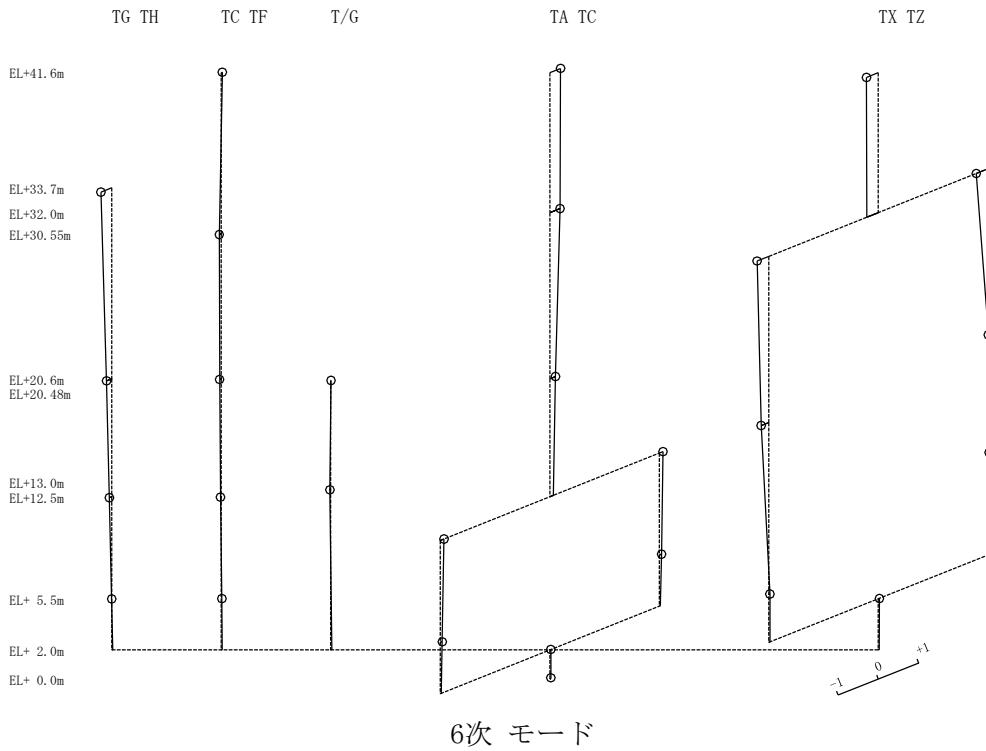
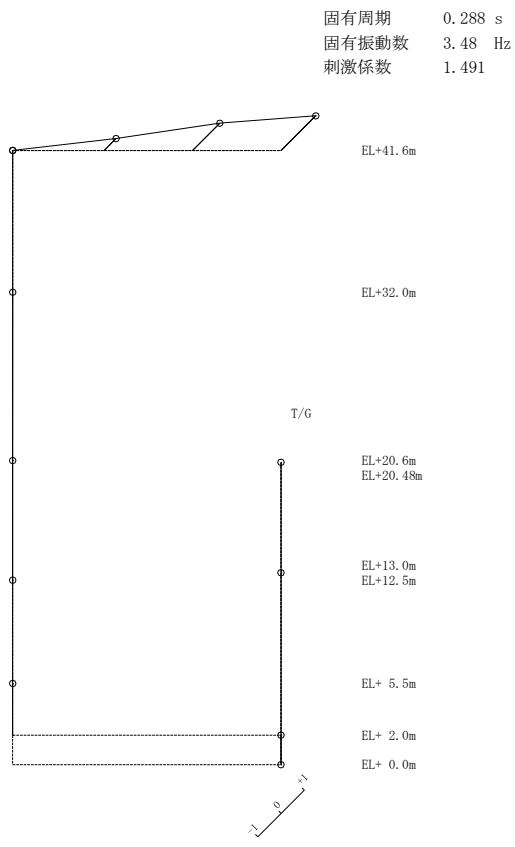
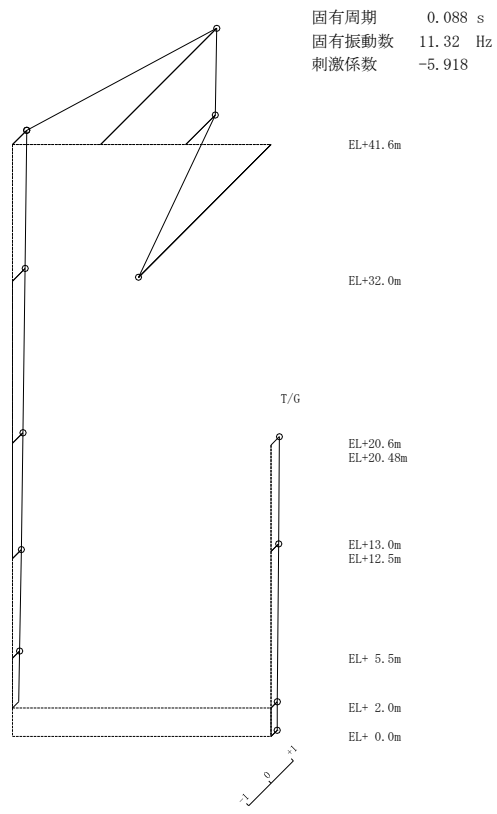


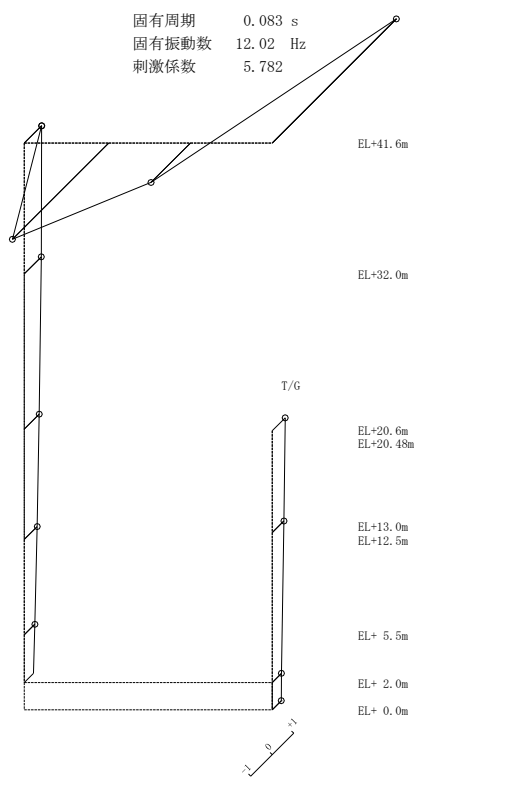
図 4-7(3) 刺激関数図 (ケース 3) (EW方向)



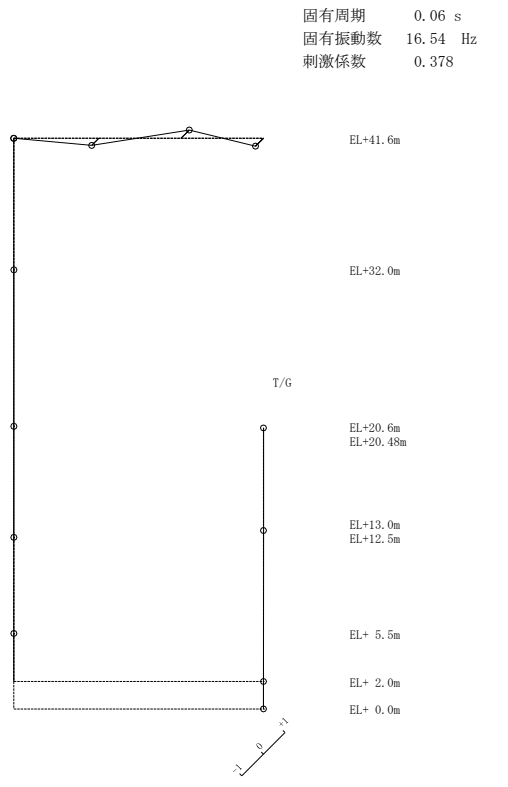
1次 モード



2次 モード



3次 モード

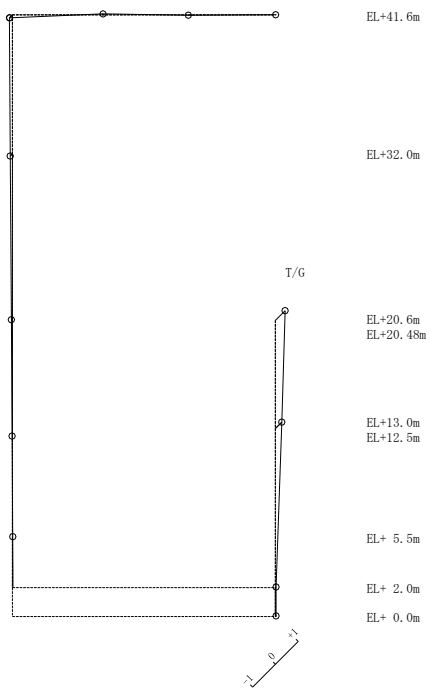


4次 モード

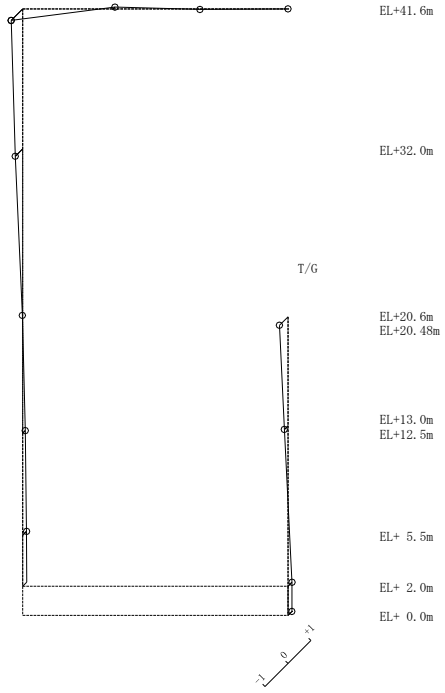
図 4-8(1) 刺激関数図 (ケース 3) (鉛直方向)

固有周期 0.045 s
固有振動数 22.08 Hz
刺激係数 0.424

固有周期 0.035 s
固有振動数 28.60 Hz
刺激係数 -0.501



5次 モード



6次 モード

図 4-8 (2) 刺激関数図 (ケース 3) (鉛直方向)

(3) 地震応答解析結果

地盤物性を変動させた解析モデルによる地震応答解析結果を、不確かさを考慮しない基本ケースの結果と比較した。S s - Dに対する最大応答値の比較を図 4-9～図 4-19 及び表 4-3～表 4-13 に示す。また、S s - Dに対する最大応答値の比較を図 4-20 及び図 4-21 の耐震壁のスケルトン曲線上にプロットして示す。

接地率を表 4-14～表 4-16 に示す。

水平方向については、ケース 1～ケース 3 の最大応答加速度、最大応答せん断力、最大応答曲げモーメントは概ね同程度であり、最大応答変位及び最大応答せん断ひずみは、ケース 2 で概ね同程度若しくは小さくなり、ケース 3 では概ね同程度若しくは大きくなる傾向であることを確認した。

鉛直方向については、最大応答加速度及び最大応答軸力はケース 2 及びケース 3 で概ね同程度若しくは大きくなるが、最大応答変位は、ケース 2 で小さくなり、ケース 3 で大きくなる傾向であることを確認した。

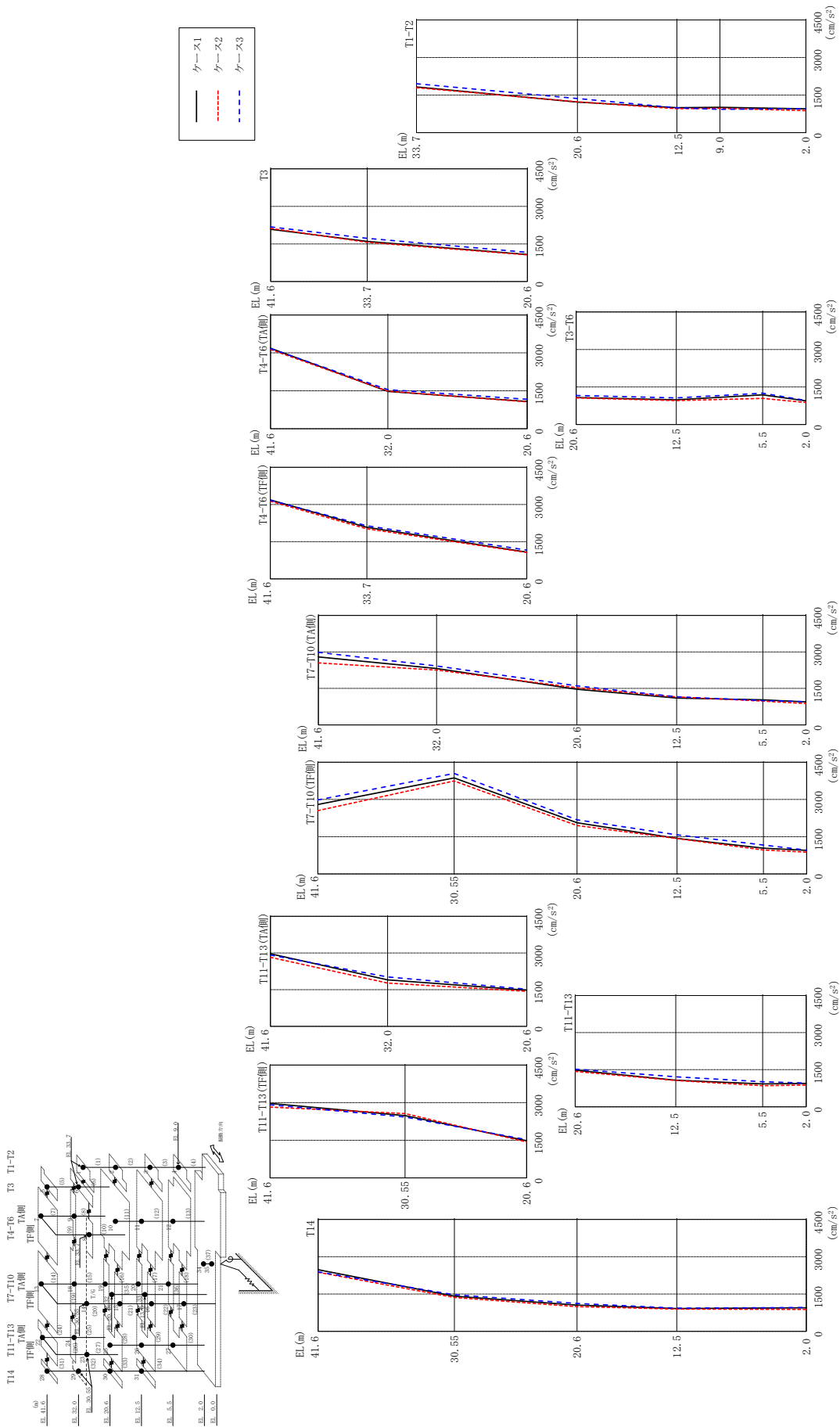
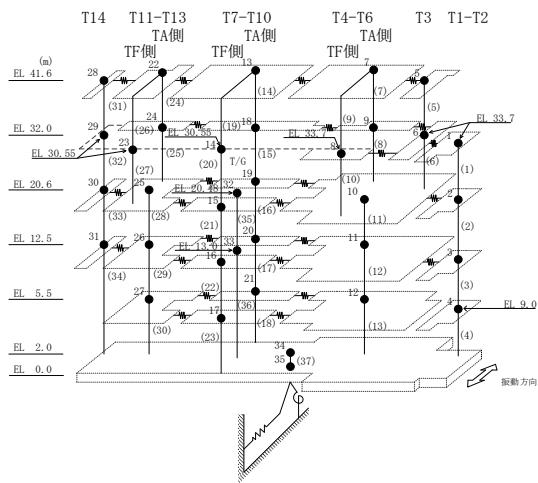


図 4-9 最大応答加速度 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

表 4-3 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	1824	1794	1952
	20.6	2	1217	1231	1360
	12.5	3	995	955	992
	9.0	4	1012	971	929
T3	41.6	5	2085	2120	2179
	33.7	6	1599	1563	1721
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	3132	3166
	32.0	9	1476	1486	1544
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2015	2138
T3-T6	20.6	10	1077	1061	1161
	12.5	11	985	956	1062
	5.5	12	1183	1041	1250
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2549	2983
	32.0	18	2319	2258	2421
	20.6	19	1466	1528	1607
	12.5	20	1106	1149	1159
	5.5	21	1029	980	1001
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3868	3746	4046
	20.6	15	2064	1949	2182
	12.5	16	1430	1428	1576
	5.5	17	1037	962	1166
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2969	2824	2914
	32.0	24	1902	1773	2021
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2482	2566	2428
T11-T13	20.6	25	1481	1431	1524
	12.5	26	1072	1064	1212
	5.5	27	927	852	1012
T14	41.6	28	2478	2378	2392
	30.55	29	1415	1362	1470
	20.6	30	1053	991	1120
	12.5	31	915	896	934
	2.0	34	947	878	960



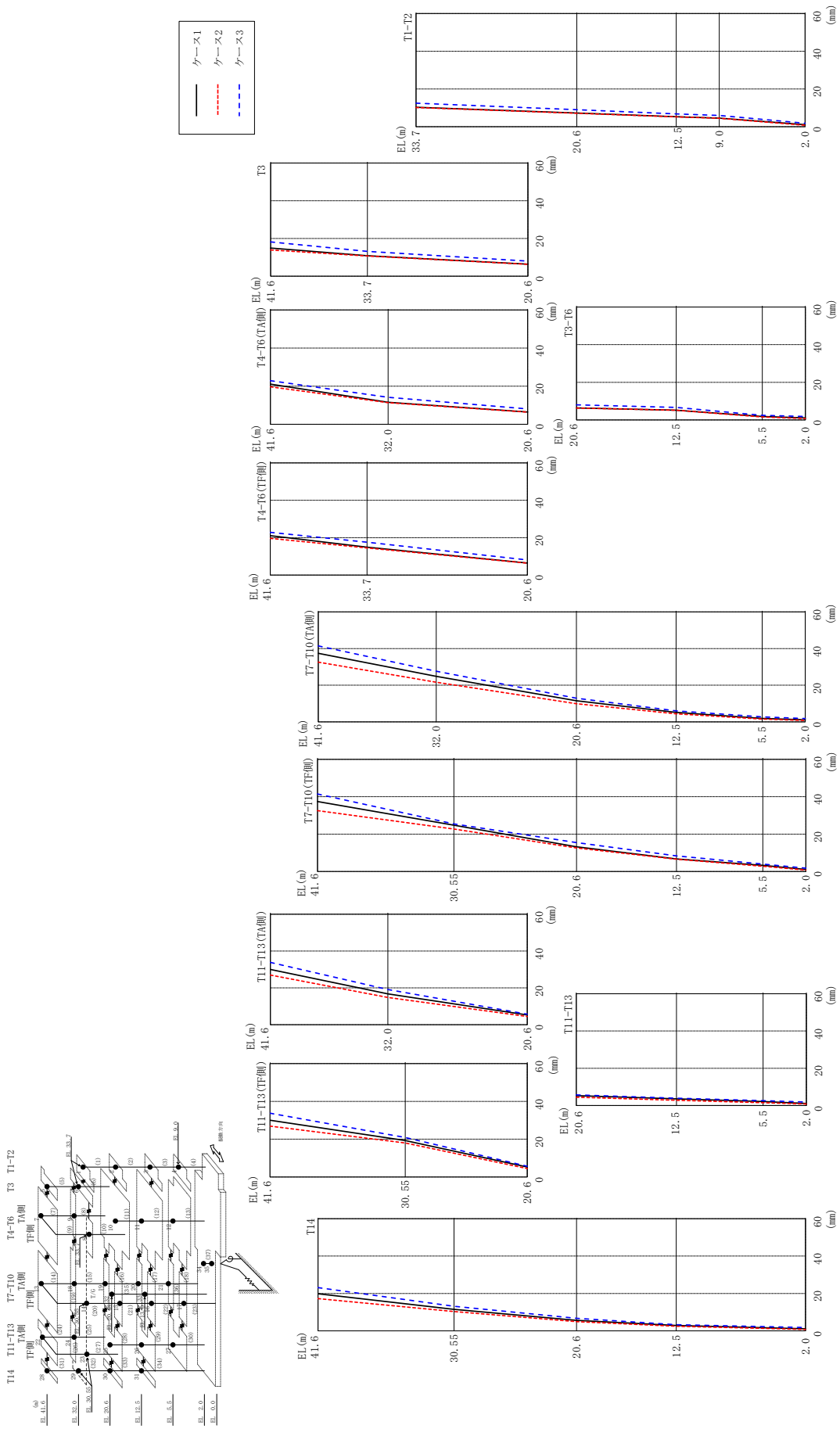
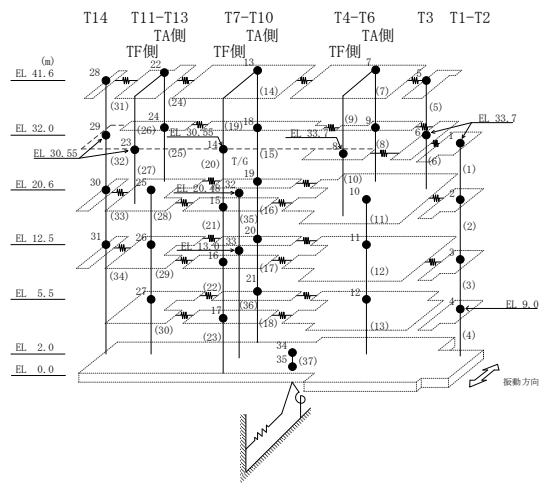


図 4-10 最大応答変位 (基準地震動 S-D, N-S 方向)

表 4-4 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - D$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	10.33	10.18	12.50
	20.6	2	7.28	7.16	9.05
	12.5	3	5.33	5.24	6.77
	9.0	4	4.57	4.49	5.95
T3	41.6	5	14.92	13.93	18.16
	33.7	6	10.87	10.72	13.16
T4-T6 (TA側)	41.6	7	21.08	19.63	22.86
	32.0	9	11.54	11.32	14.16
T4-T6 (TF側)	33.7	8	14.93	14.46	17.55
T3-T6	20.6	10	6.42	6.33	8.04
	12.5	11	5.22	5.16	6.66
	5.5	12	1.87	1.56	2.50
T7-T10 (TA側)	41.6	13	37.40	32.59	41.47
	32.0	18	24.81	21.60	27.66
	20.6	19	11.51	9.93	12.89
	12.5	20	5.15	4.41	6.03
	5.5	21	1.88	1.52	2.74
T7-T10 (TF側)	30.55	14	24.75	22.75	25.49
	20.6	15	13.26	12.62	15.51
	12.5	16	6.72	6.58	8.35
	5.5	17	3.31	2.86	3.97
T11-T13 (TA側)	41.6	22	30.02	26.93	33.79
	32.0	24	16.73	14.76	19.10
T11-T13 (TF側)	30.55	23	19.29	17.99	20.91
	20.6	25	5.27	4.45	5.70
	12.5	26	3.54	2.79	3.91
T14	41.6	28	19.87	17.27	23.12
	30.55	29	11.51	10.34	13.14
	20.6	30	5.66	4.96	6.70
	12.5	31	2.92	2.50	3.33
	2.0	34	1.12	0.79	1.83



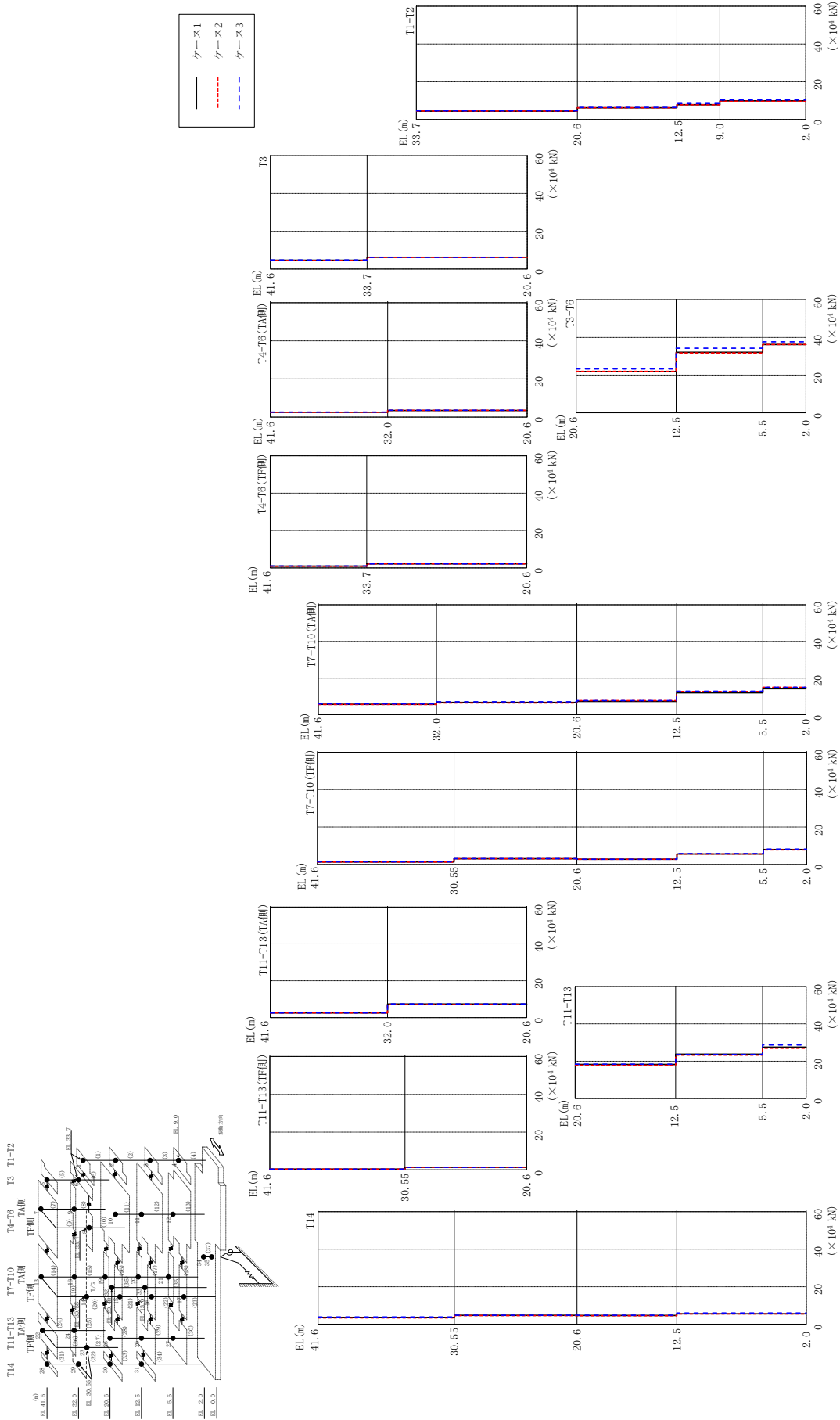
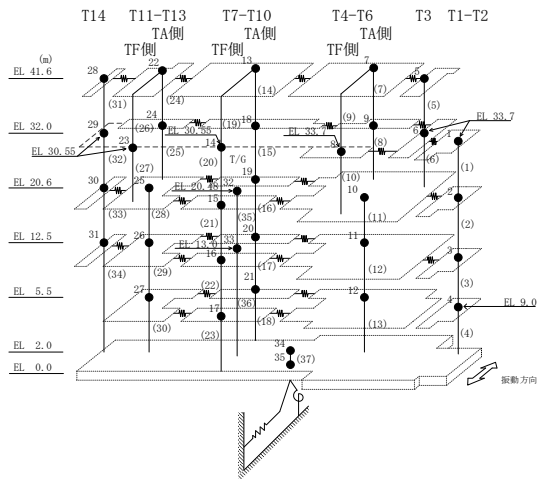


図 4-11 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

表 4-5 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S_s-D, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	4.47	4.62
	20.6~12.5	2	6.26	6.23	6.45
	12.5~9.0	3	7.84	7.80	8.47
	9.0~2.0	4	9.87	9.70	10.4
T3	41.6~33.7	5	4.65	4.57	4.80
	33.7~20.6	6	6.21	6.21	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.51	2.59
	32.0~20.6	8	3.50	3.53	3.63
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.945	0.877	1.02
	33.7~20.6	10	2.20	2.18	2.20
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	21.9	23.3
	12.5~5.5	12	32.1	31.7	34.3
	5.5~2.0	13	36.3	36.2	37.7
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.62	5.99
	32.0~20.6	15	6.71	6.44	7.07
	20.6~12.5	16	7.29	7.72	7.71
	12.5~5.5	17	12.0	12.6	12.8
	5.5~2.0	18	14.2	14.9	14.9
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.29	1.40
	30.55~20.6	20	3.05	3.06	3.14
	20.6~12.5	21	2.77	2.76	2.80
	12.5~5.5	22	5.59	5.56	5.79
	5.5~2.0	23	8.01	7.80	8.16
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.56	2.61
	32.0~20.6	25	7.37	7.09	7.48
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.421	0.424	0.409
	30.55~20.6	27	1.41	1.43	1.40
T11-T13	20.6~12.5	28	18.3	17.8	18.4
	12.5~5.5	29	23.8	23.3	23.6
	5.5~2.0	30	27.5	27.0	28.7
T14	41.6~30.55	31	3.62	3.35	3.83
	30.55~20.6	32	4.68	4.55	4.77
	20.6~12.5	33	4.61	4.47	4.75
	12.5~2.0	34	5.54	5.48	5.92



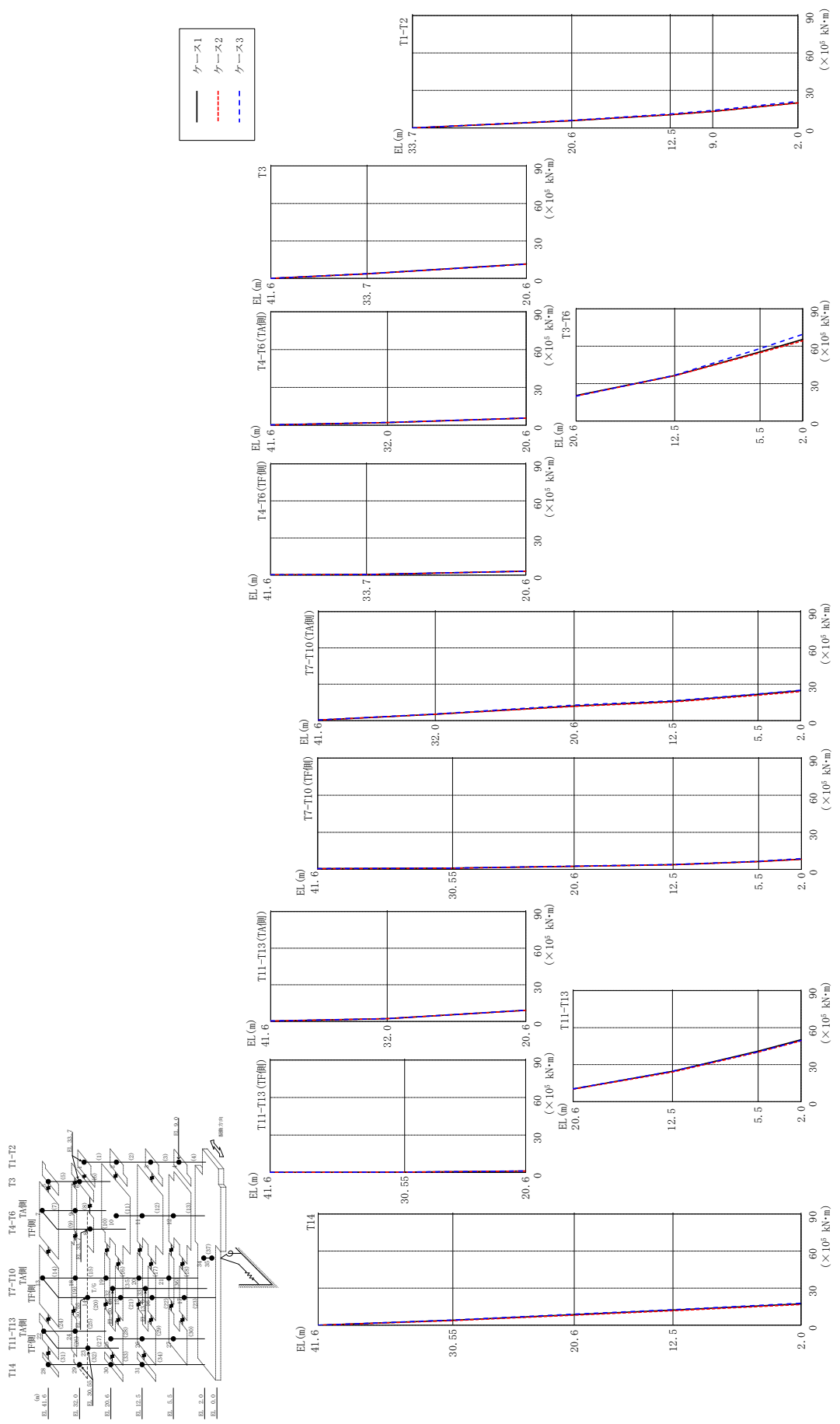


図4-12 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s-D, NS方向)

表 4-6(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s -D, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			5.72	5.86	6.05
	20.6~12.5	2	5.72	5.86	6.05
			10.5	10.5	11.2
12.5~9.0	3	10.5	10.5	11.2	
		13.2	13.2	14.0	
9.0~2.0	4	13.2	13.2	14.0	
		20.1	20.0	21.2	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			3.68	3.61	3.79
33.7~20.6	6	3.68	3.61	3.79	
		11.6	11.4	11.4	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.250	0.280
			2.17	2.16	2.23
32.0~20.6	8	2.17	2.16	2.23	
		5.68	5.63	5.72	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.266	0.306
			0.461	0.427	0.498
33.7~20.6	10	0.461	0.427	0.498	
		3.17	3.12	3.16	
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	20.0	19.9
			36.4	36.3	36.7
	12.5~5.5	12	36.4	36.3	36.7
55.4			54.8	58.1	
5.5~2.0	13	55.4	54.8	58.1	
		65.4	64.4	69.5	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.341	0.454
			5.24	5.19	5.44
	32.0~20.6	15	5.24	5.19	5.44
			12.0	11.7	12.7
	20.6~12.5	16	12.0	11.7	12.7
15.8			15.3	16.4	
12.5~5.5	17	15.8	15.3	16.4	
		21.6	20.9	22.0	
5.5~2.0	18	21.6	20.9	22.0	
			24.7	24.0	25.1

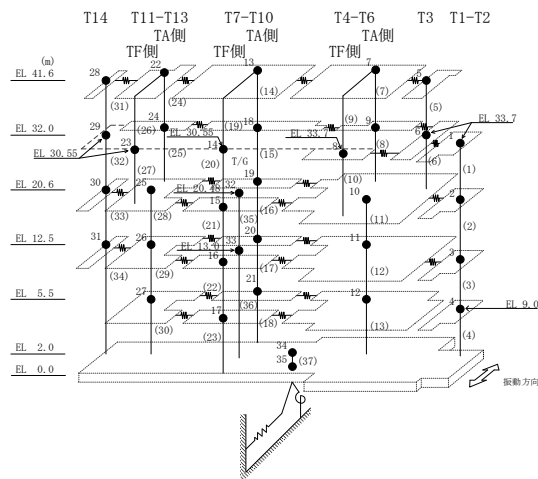
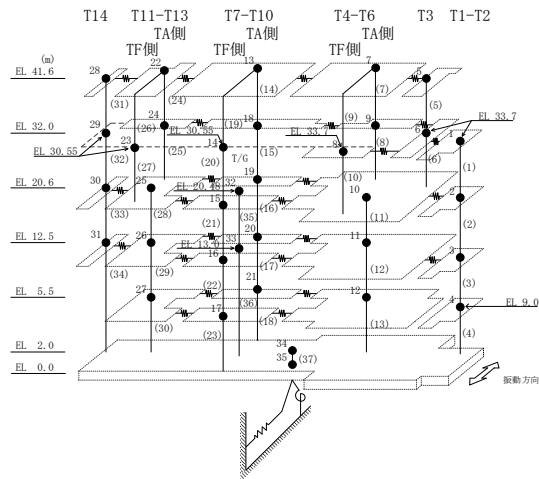


表 4-6(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s -D, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.552	0.522	0.581
			0.941	0.912	0.973
	30.55~20.6	20	0.941	0.912	0.973
			2.44	2.41	2.58
	20.6~12.5	21	2.44	2.41	2.58
3.78			3.65	3.87	
12.5~5.5	22	3.78	3.65	3.87	
		6.33	6.28	6.50	
5.5~2.0	23	6.33	6.28	6.50	
		8.22	8.11	8.72	
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.303	0.281	0.344
			2.25	2.22	2.23
32.0~20.6	25	2.25	2.22	2.23	
		9.08	8.96	9.18	
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.189	0.178	0.222
			0.330	0.343	0.313
30.55~20.6	27	0.330	0.343	0.313	
		1.18	1.13	1.22	
T11-T13	20.6~12.5	28	10.3	10.1	10.4
			24.6	23.9	24.7
	12.5~5.5	29	24.6	23.9	24.7
5.5~2.0	30	41.0	40.1	40.4	
		50.2	49.2	49.6	
		0.00	0.00	0.00	
T14	41.6~30.55	31	4.00	3.70	4.23
			4.00	3.70	4.23
	30.55~20.6	32	8.53	8.12	8.96
			12.2	11.7	12.5
20.6~12.5	33	12.2	11.7	12.5	
		17.2	16.7	17.7	
12.5~2.0	34	12.2	11.7	12.5	
		17.2	16.7	17.7	



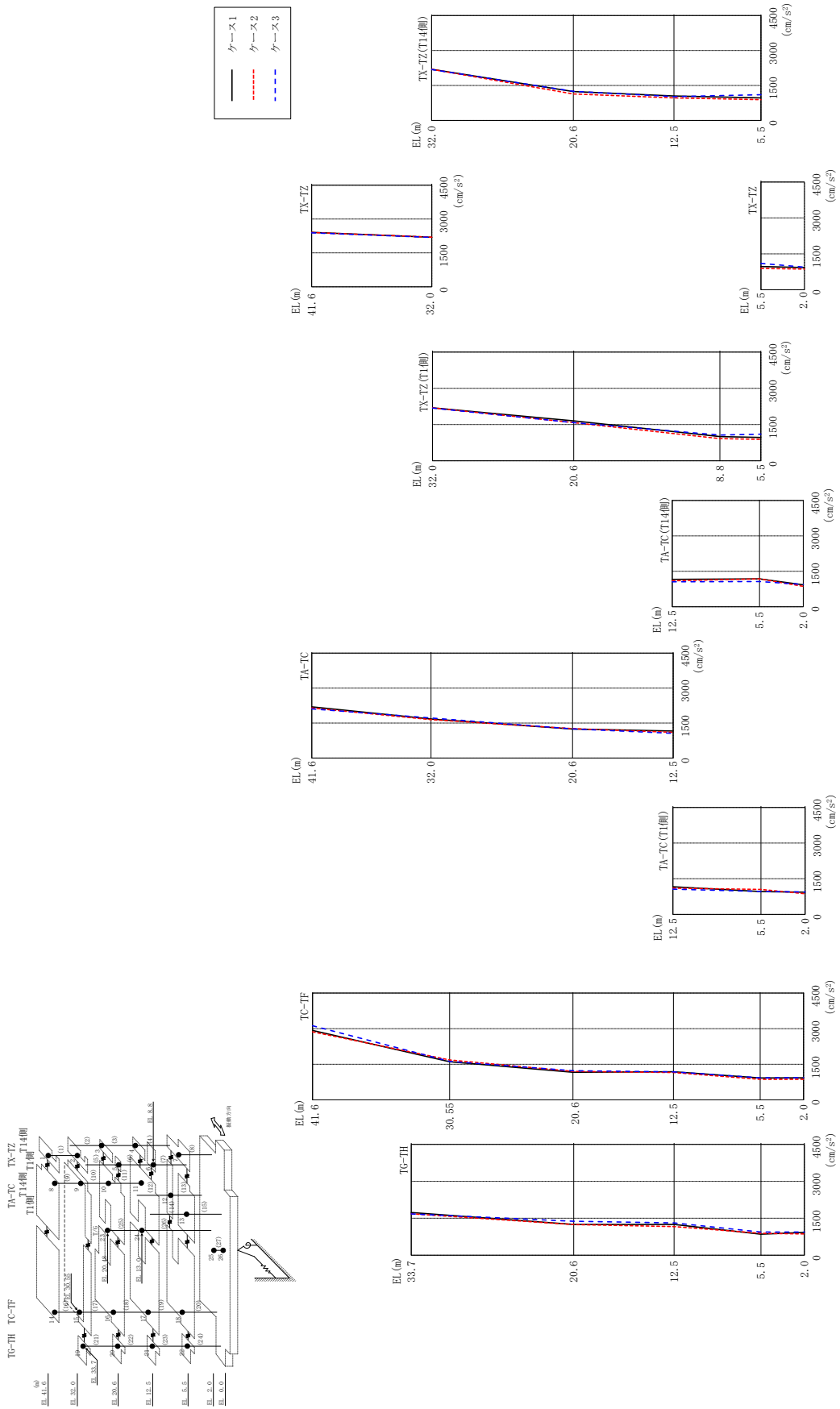
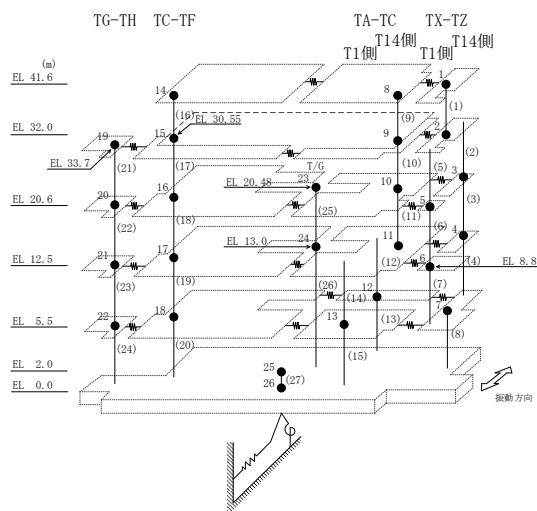


図 4-13 最大応答加速度 (基準地震動 S-D, E-W 方向)

表 4-7 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	2410	2403	2388
	32.0	2	2192	2195	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1239	1137	1246
	12.5	4	1047	967	1019
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1656	1579	1582
	8.8	6	1001	917	1066
TX-TZ	5.5	7	967	889	1103
TA-TC	41.6	8	2194	2145	2107
	32.0	9	1671	1643	1714
	20.6	10	1244	1259	1249
	12.5	11	1158	1100	1057
TA-TC (T14側)	5.5	12	1179	1179	1066
TA-TC (T1側)	5.5	13	959	1051	962
TC-TF	41.6	14	2926	2865	3125
	30.55	15	1605	1683	1625
	20.6	16	1167	1202	1231
	12.5	17	1185	1153	1178
	5.5	18	921	863	929
TG-TH	33.7	19	1735	1682	1678
	20.6	20	1249	1247	1381
	12.5	21	1252	1161	1309
	5.5	22	856	892	939
	2.0	25	928	865	941



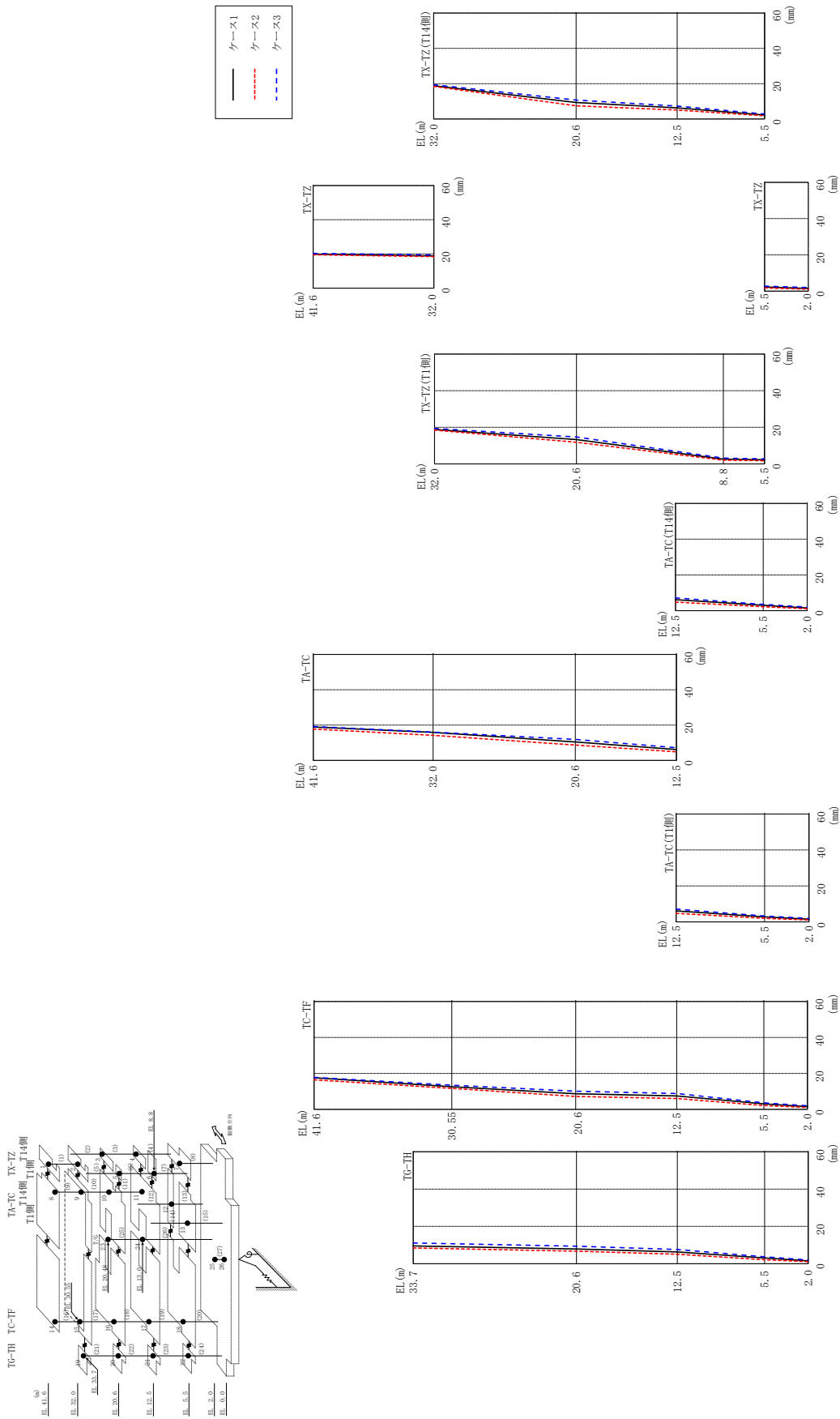
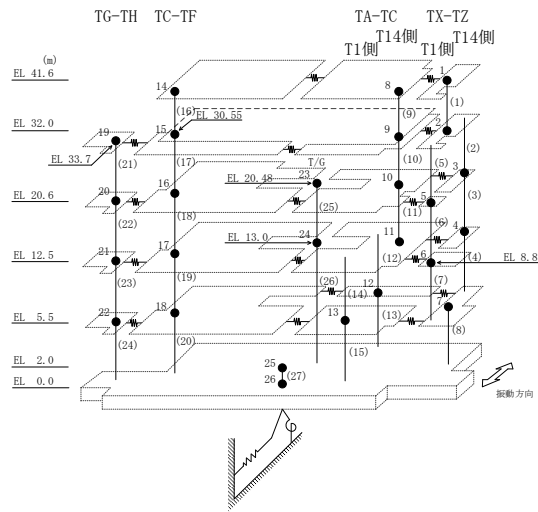


図 4-14 最大応答変位 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

表 4-8 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - D, E W方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	19.88	19.50	20.33
	32.0	2	18.85	18.47	19.37
TX-TZ (T14側)	20.6	3	9.31	7.47	10.73
	12.5	4	6.31	5.02	7.29
TX-TZ (T1側)	20.6	5	13.31	11.82	14.74
	8.8	6	2.60	2.06	3.15
TX-TZ	5.5	7	2.25	1.75	2.78
TA-TC	41.6	8	18.88	17.73	19.16
	32.0	9	15.87	14.18	15.98
	20.6	10	10.41	8.69	11.83
	12.5	11	6.16	4.81	7.12
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.98	2.23	3.51
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.80	2.03	3.32
TC-TF	41.6	14	17.58	16.41	17.79
	30.55	15	12.58	11.69	13.42
	20.6	16	8.69	7.20	10.08
	12.5	17	7.47	6.01	8.82
	5.5	18	3.06	2.14	3.63
TG-TH	33.7	19	9.54	8.46	11.12
	20.6	20	7.87	6.71	9.37
	12.5	21	6.31	5.08	7.62
	5.5	22	3.06	2.14	3.69
	2.0	25	1.51	1.08	1.96



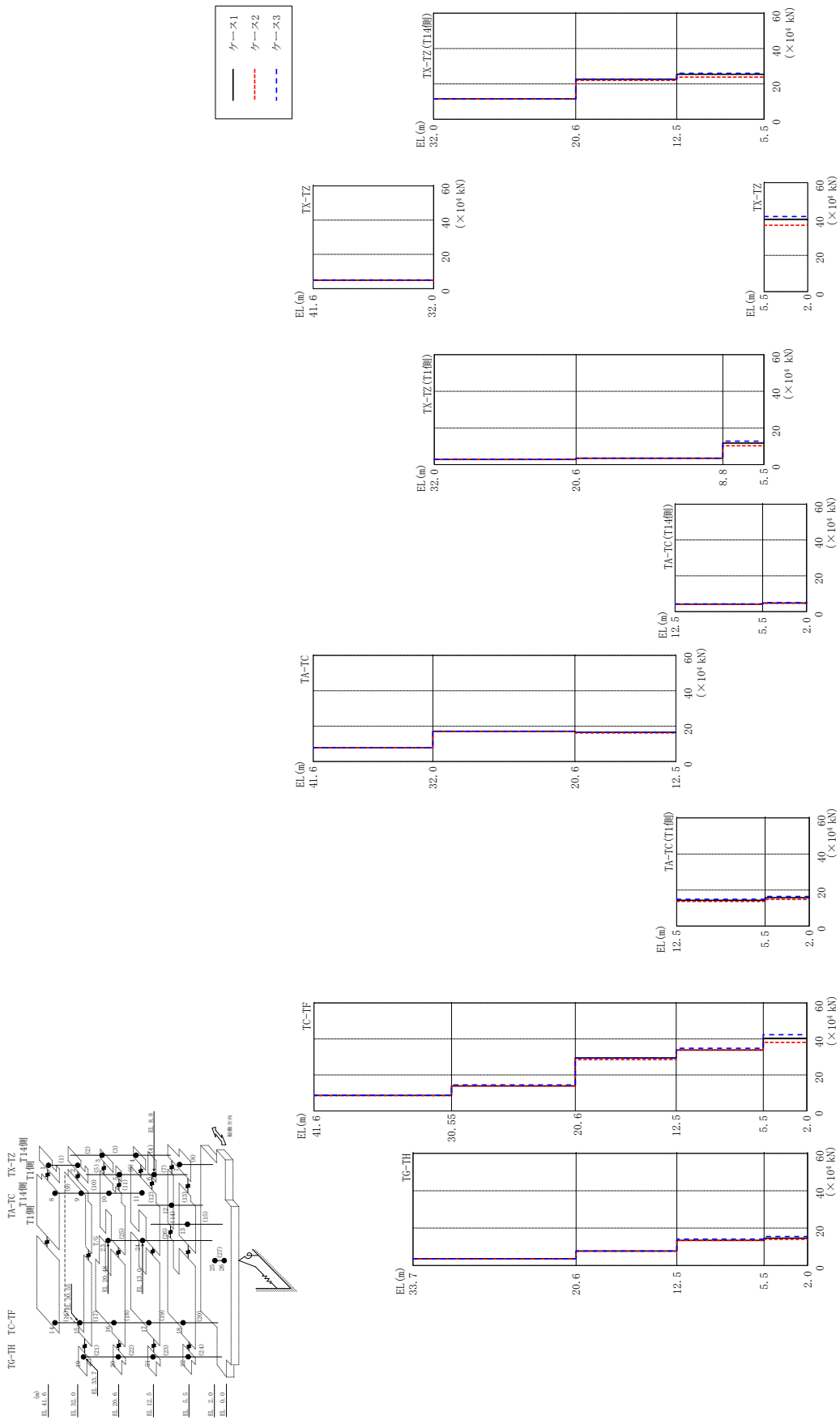
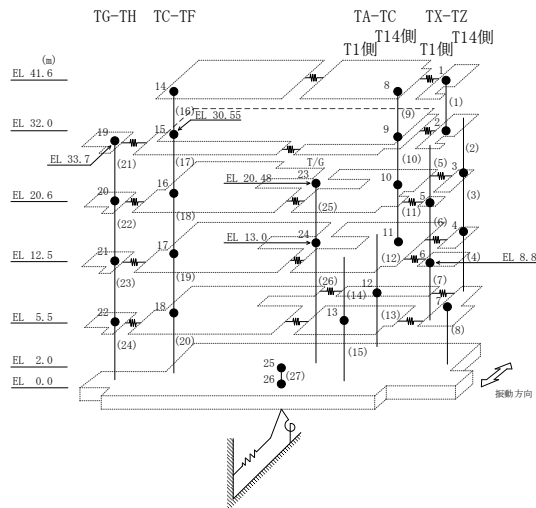


図 4-15 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

表 4-9 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	4.80	5.03
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	11.5	11.4	11.4
	20.6~12.5	3	22.6	22.0	22.8
	12.5~5.5	4	25.4	23.8	26.0
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.84	2.85
	20.6~8.8	6	3.50	3.46	3.53
	8.8~5.5	7	11.7	10.3	12.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	36.6	41.3
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	7.80	7.75
	32.0~20.6	10	17.1	16.9	17.1
	20.6~12.5	11	16.5	16.1	16.5
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.00	4.29
	5.5~2.0	13	4.82	4.62	4.99
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	14.3	13.6	14.9
	5.5~2.0	15	15.7	14.8	16.4
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	8.54	8.69
	30.55~20.6	17	13.9	14.0	14.4
	20.6~12.5	18	29.5	28.5	29.3
	12.5~5.5	19	33.8	33.8	34.8
	5.5~2.0	20	40.4	38.1	42.4
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.59	3.63
	20.6~12.5	22	7.74	7.64	7.78
	12.5~5.5	23	13.5	13.4	14.1
	5.5~2.0	24	14.6	14.0	15.5



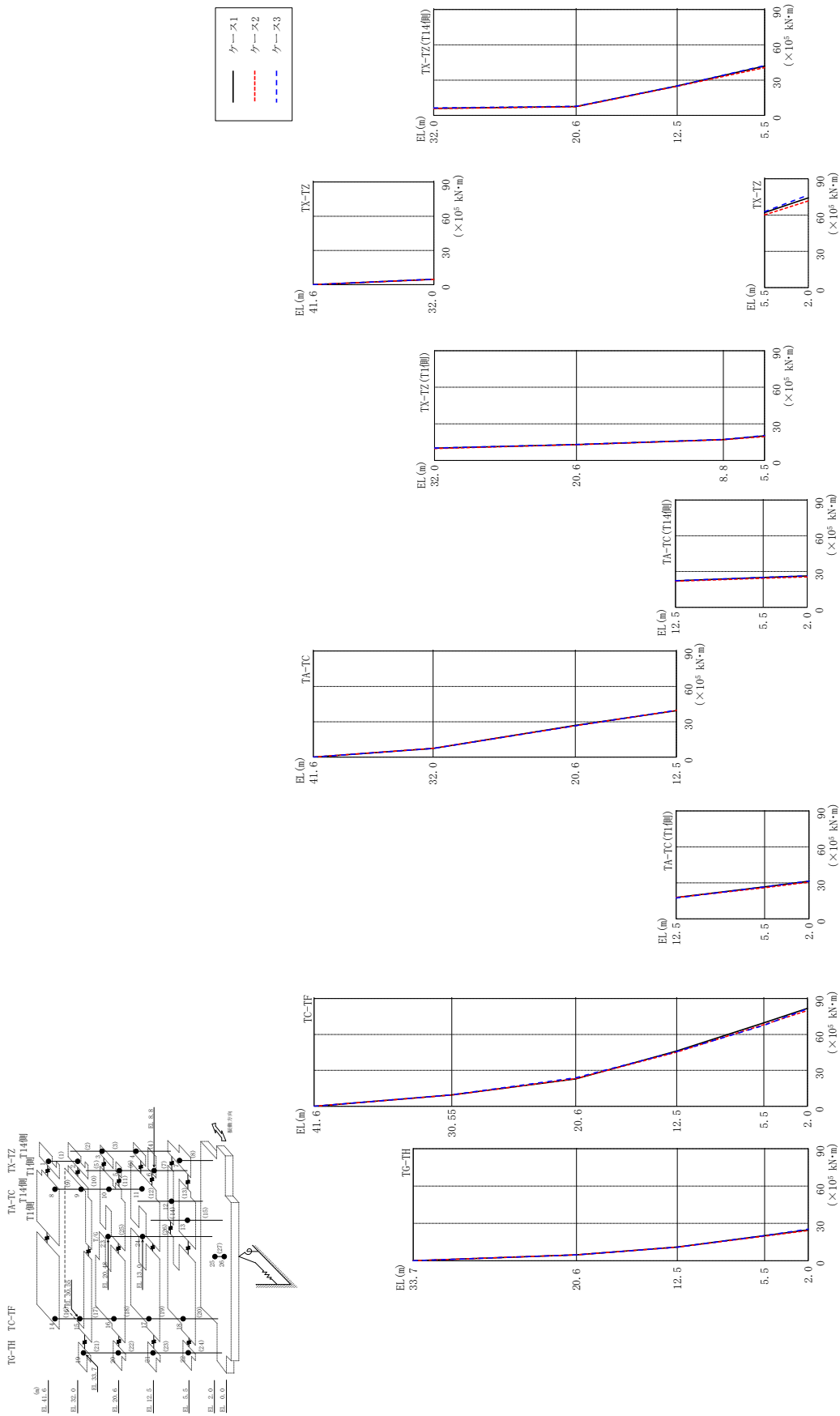


図 4-16 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s-D, EW 方向)

表 4-10(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s-D , EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			4.69	4.60	4.83
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.02	5.75	6.30
	20.6~12.5	3	7.54	7.36	7.75
			25.1	24.7	25.1
	12.5~5.5	4	25.1	24.7	25.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	41.9	40.7	42.3
	20.6~8.8	6	10.1	9.81	10.2
			13.0	12.9	13.1
8.8~5.5	7	13.0	12.9	13.1	
TX-TZ	5.5~2.0	8	17.1	17.0	17.2
			20.2	19.5	20.5
TA-TC	41.6~32.0	9	62.1	60.1	62.8
	32.0~20.6	10	74.2	71.7	76.6
			0.00	0.00	0.00
20.6~12.5	11	7.44	7.49	7.44	
TA-TC	32.0~20.6	10	7.44	7.49	7.44
			26.9	26.7	26.6
TA-TC	20.6~12.5	11	26.9	26.7	26.6
			39.5	39.7	39.7

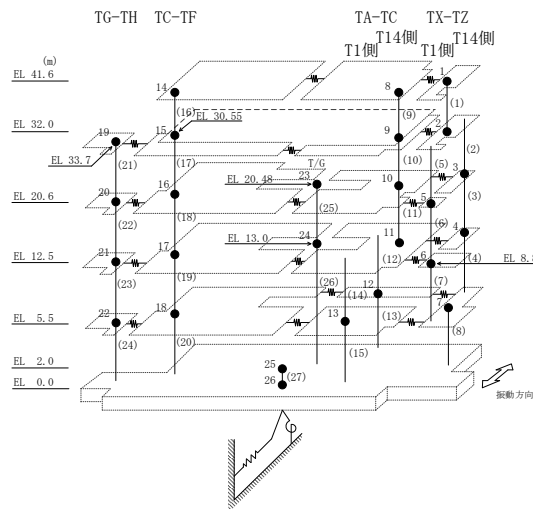
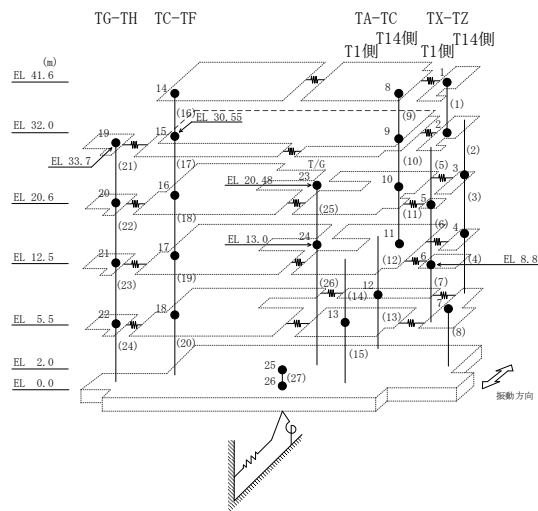


表 4-10(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s-D , EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	22.2 25.0	21.9 24.3	22.3 25.1
	5.5~2.0	13	25.0 26.2	24.3 25.5	25.1 26.4
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	17.8 26.6	17.8 26.0	17.4 26.7
	5.5~2.0	15	26.6 31.4	26.0 30.6	26.7 31.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 9.53	0.00 9.43	0.00 9.60
	30.55~20.6	17	9.53 22.9	9.43 23.1	9.60 23.8
	20.6~12.5	18	22.9 46.1	23.1 45.2	23.8 45.6
	12.5~5.5	19	46.1 69.7	45.2 68.2	45.6 67.5
	5.5~2.0	20	69.7 81.7	68.2 79.9	67.5 81.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 4.79	0.00 4.70	0.00 4.76
	20.6~12.5	22	4.79 11.0	4.70 10.9	4.76 10.9
	12.5~5.5	23	11.0 20.2	10.9 19.8	10.9 20.2
	5.5~2.0	24	20.2 24.8	19.8 24.3	20.2 25.4



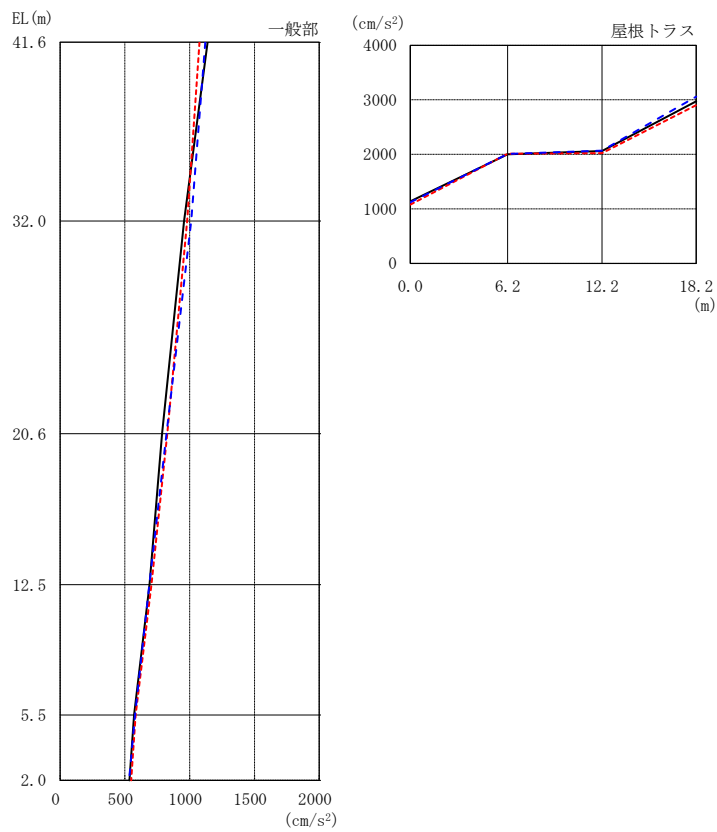
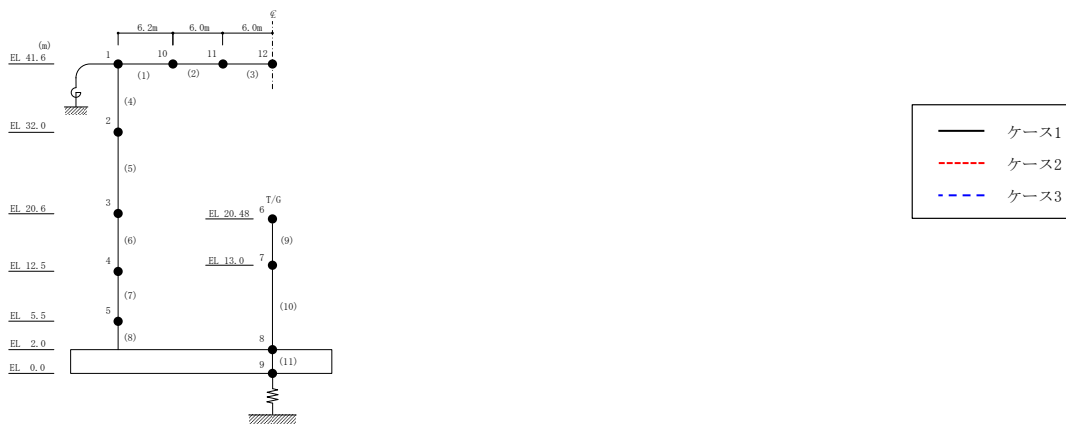
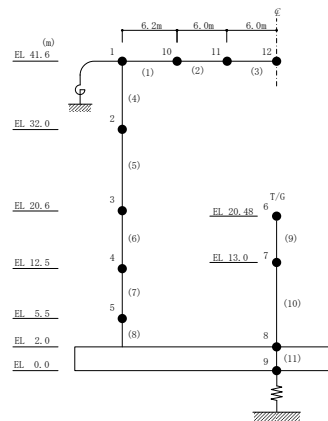


図 4-17 最大応答加速度 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

表 4-11 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	1139	1076	1121
	32.0	2	956	981	1012
	20.6	3	787	828	821
	12.5	4	690	706	689
	5.5	5	571	583	579
	2.0	8	535	549	532
屋根 トラス	0.0	1	1139	1076	1121
	6.2	10	2000	2011	2008
	12.2	11	2060	2021	2068
	18.2	12	2975	2903	3059

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



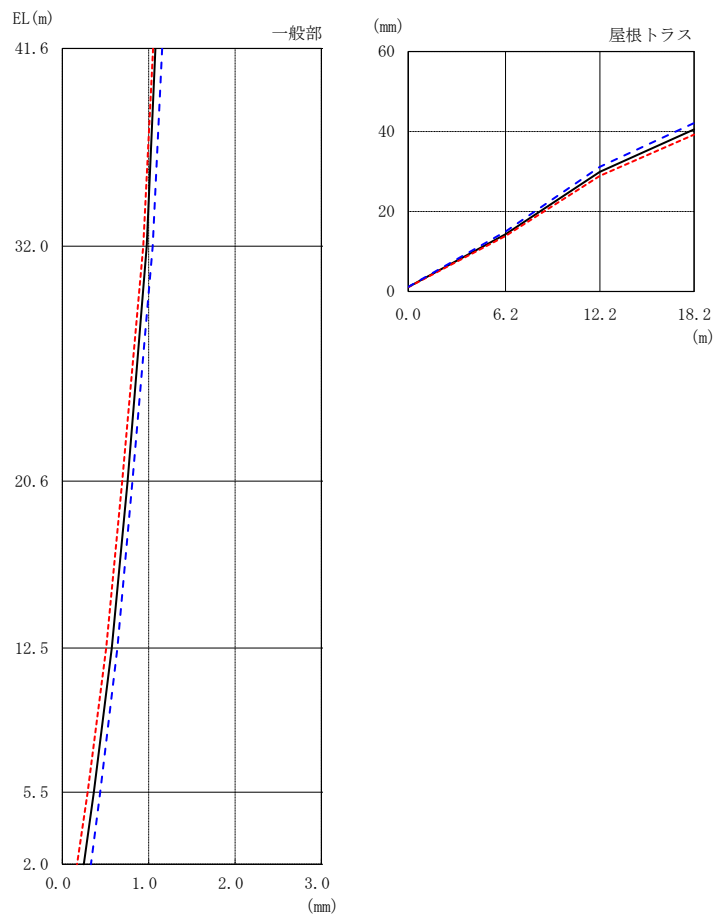
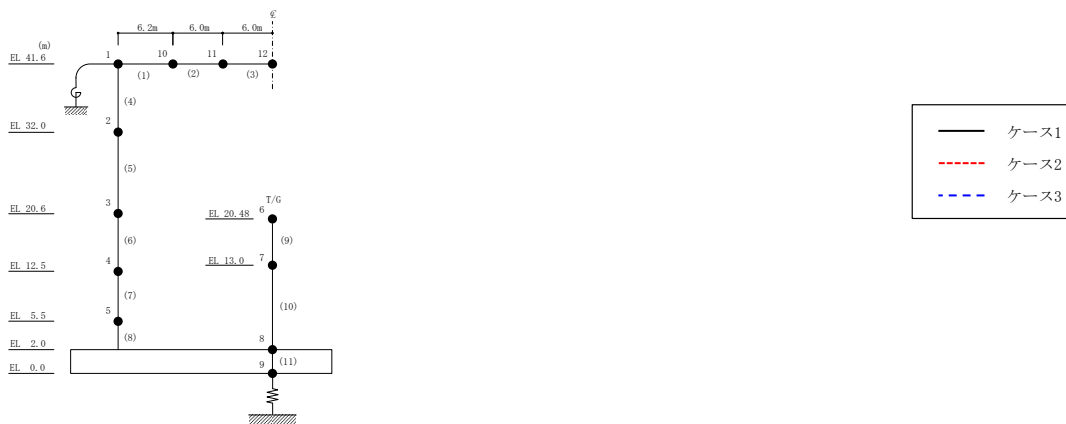
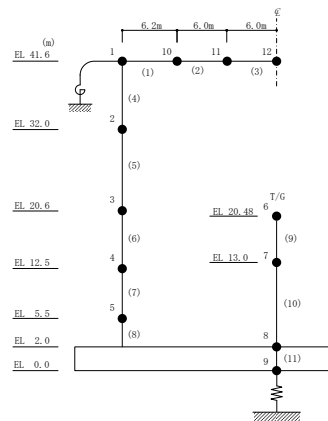


図 4-18 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - D$, 鉛直方向)

表 4-12 最大応答変位一覧（基準地震動 S s - D，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	1.08	1.05	1.16
	32.0	2	0.98	0.94	1.05
	20.6	3	0.76	0.69	0.81
	12.5	4	0.57	0.51	0.64
	5.5	5	0.36	0.29	0.44
	2.0	8	0.25	0.17	0.33
屋根 トラス	0.0	1	1.08	1.05	1.16
	6.2	10	14.30	13.86	15.00
	12.2	11	29.92	28.90	31.17
	18.2	12	40.52	39.23	42.10

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



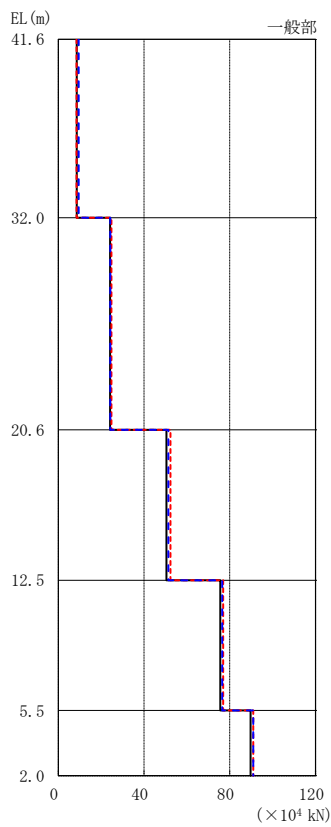
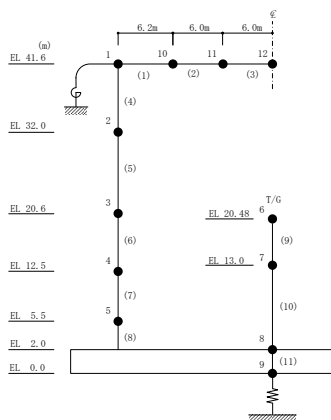
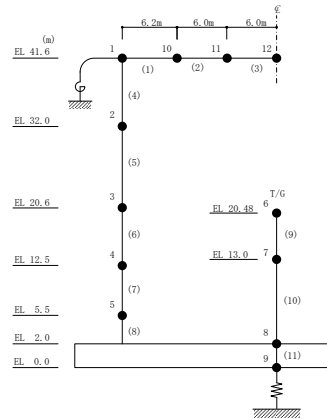


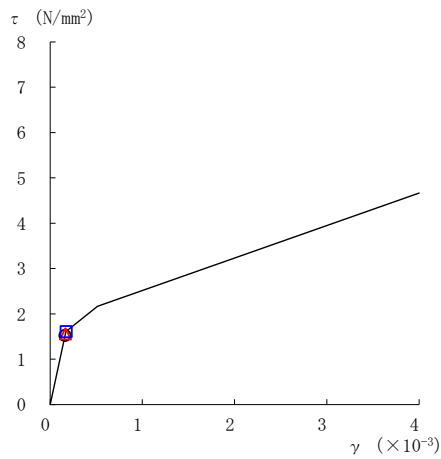
図 4-19 最大応答軸力 (基準地震動 $S_s - D$, 鉛直方向)

表 4-13 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

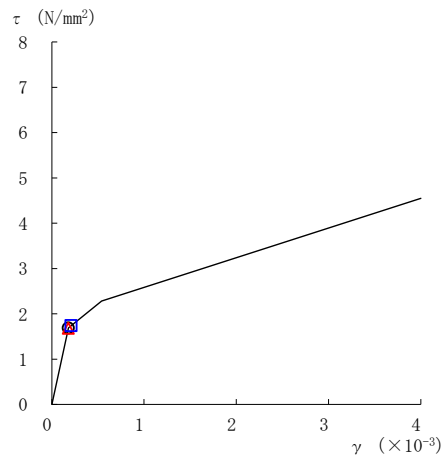
部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	8.65	8.54	9.48
	32.0~20.6	5	24.2	24.8	24.2
	20.6~12.5	6	50.5	52.3	51.3
	12.5~5.5	7	75.6	77.0	76.5
	5.5~2.0	8	89.7	91.0	90.9



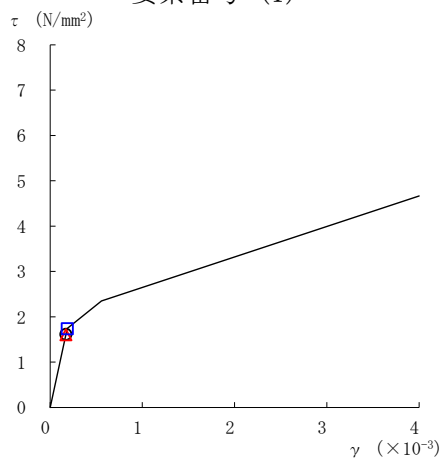
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



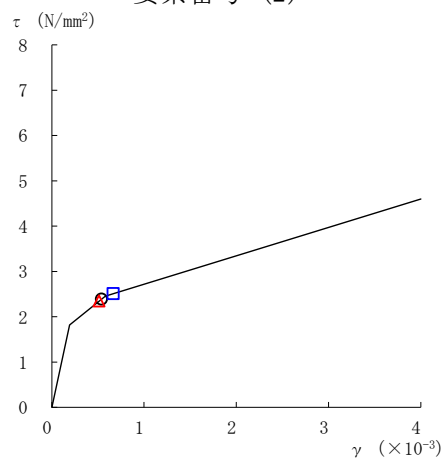
要素番号 (1)



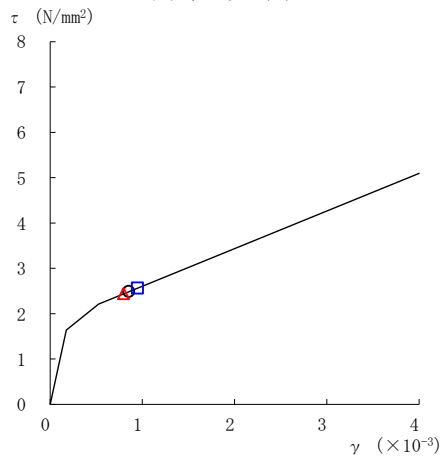
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

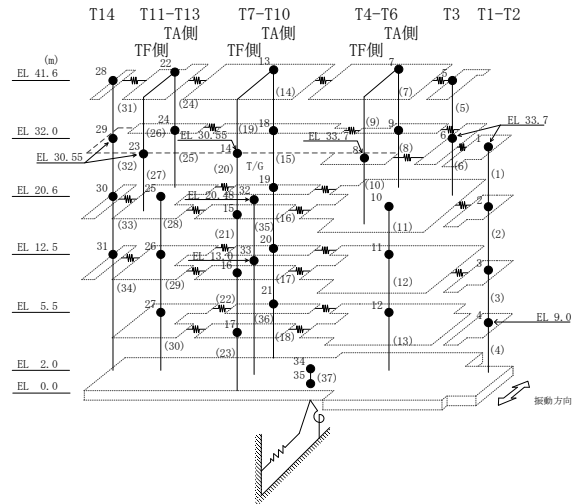
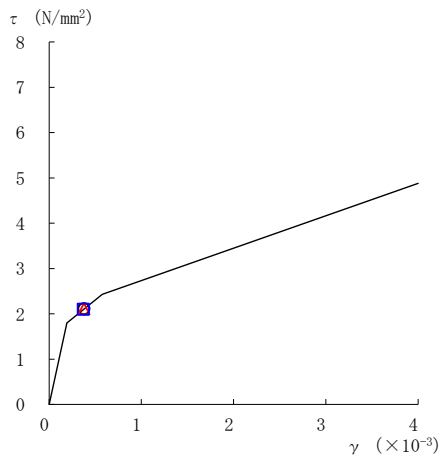
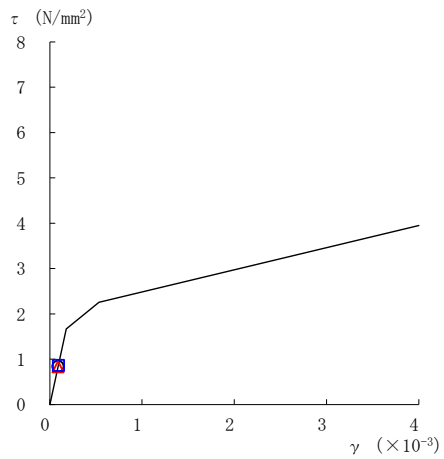


図 4-20(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

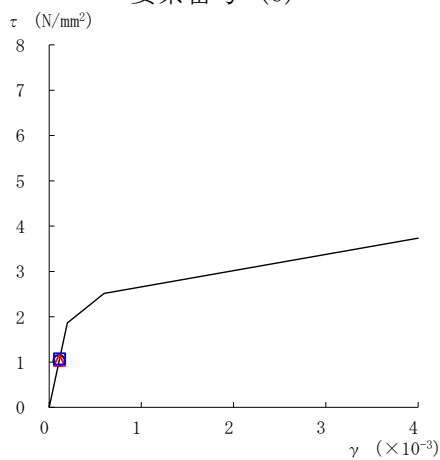
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



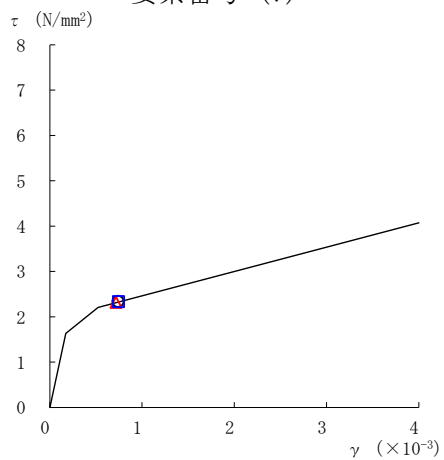
要素番号 (6)



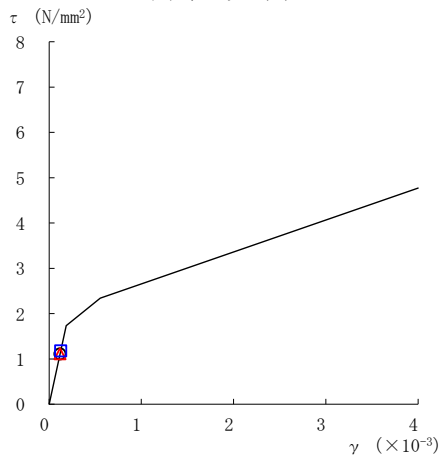
要素番号 (7)



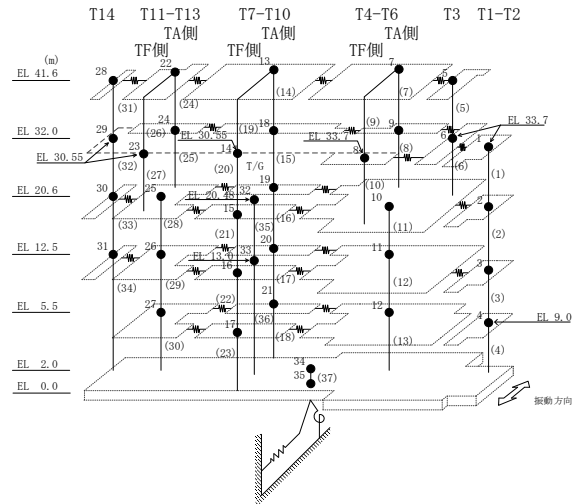
要素番号 (8)



要素番号 (10)



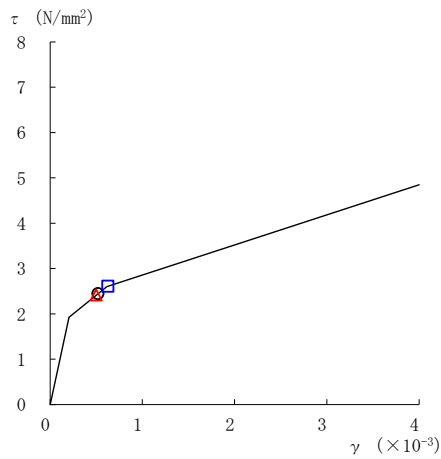
要素番号 (11)



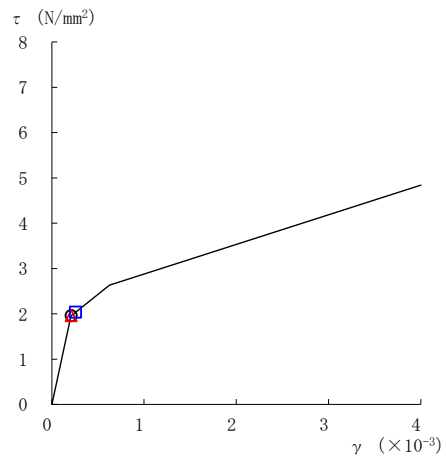
注：要素番号 9 は線形部材。

図 4-20(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s-D, NS 方向)

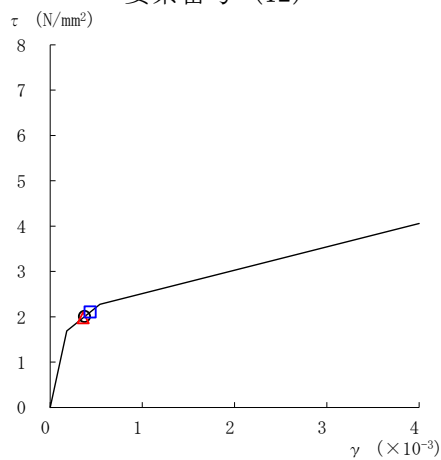
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



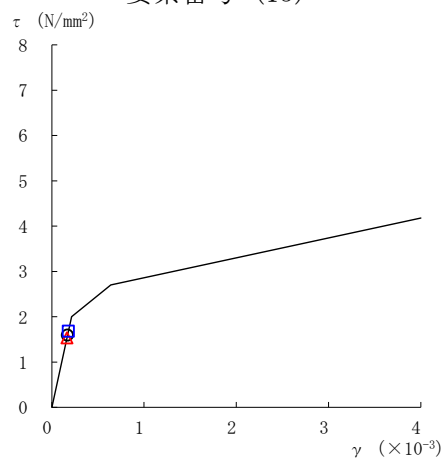
要素番号 (12)



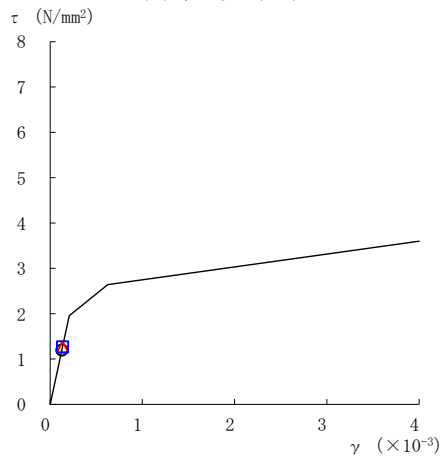
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

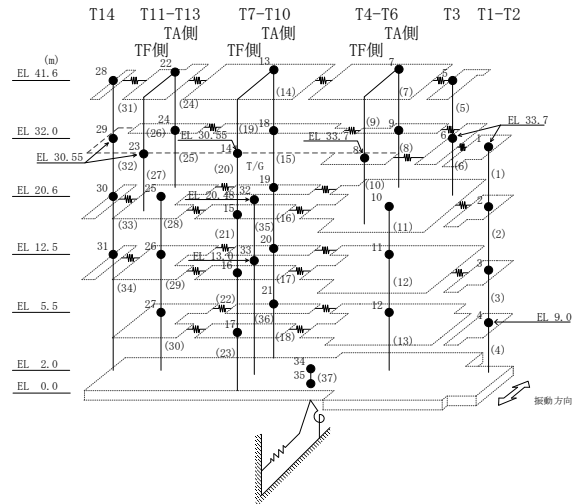
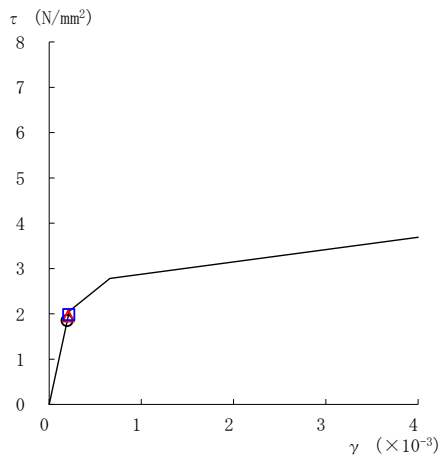
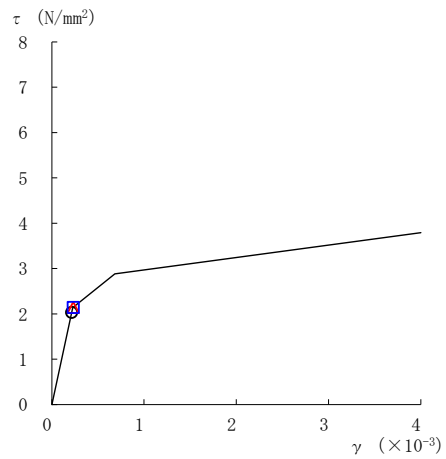


図 4-20(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

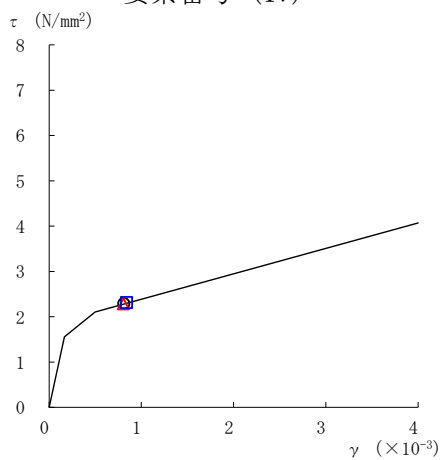
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



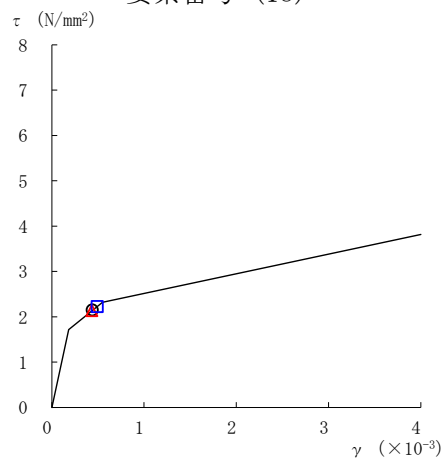
要素番号 (17)



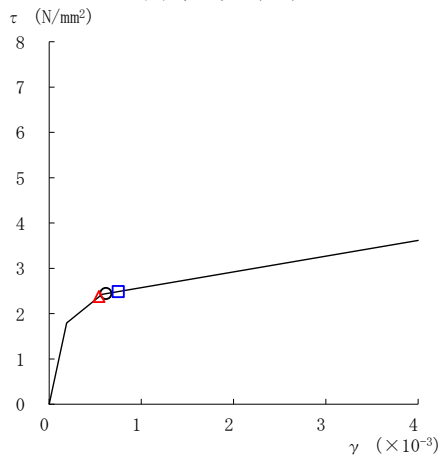
要素番号 (18)



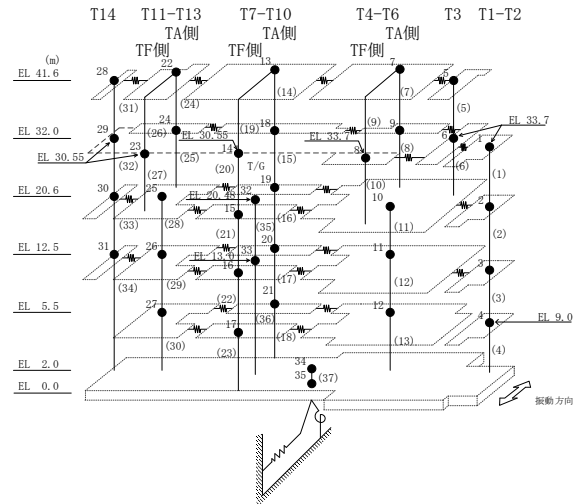
要素番号 (21)



要素番号 (22)



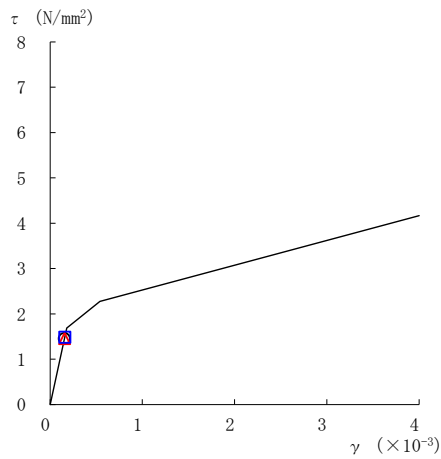
要素番号 (23)



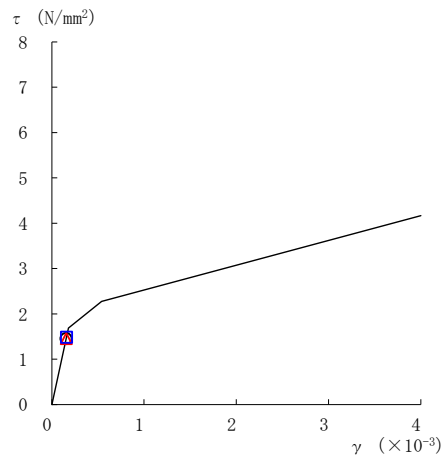
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 4-20(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

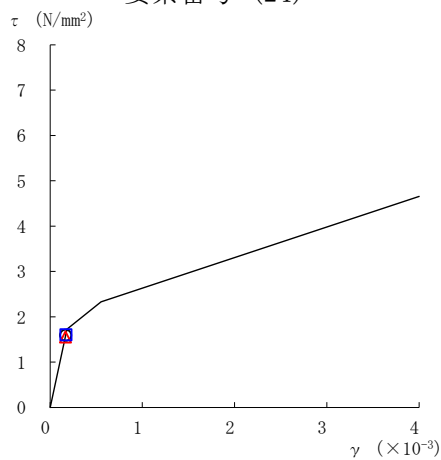
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



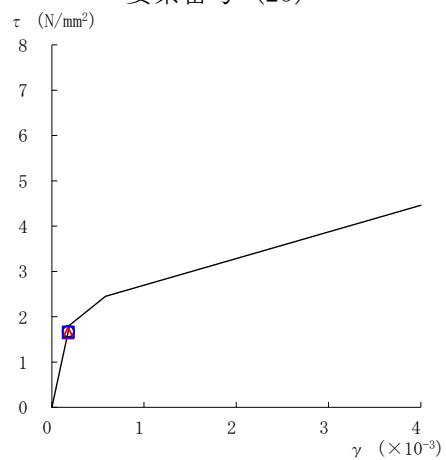
要素番号 (24)



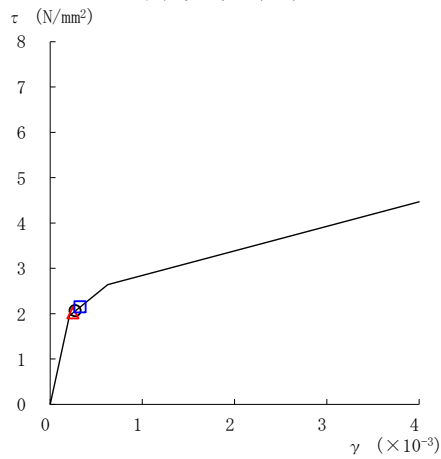
要素番号 (25)



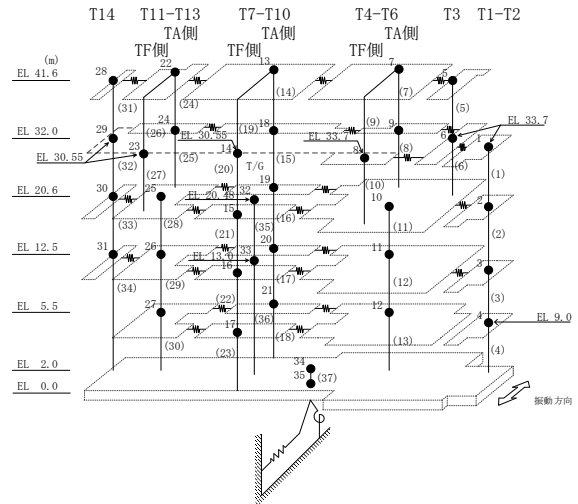
要素番号 (28)



要素番号 (29)



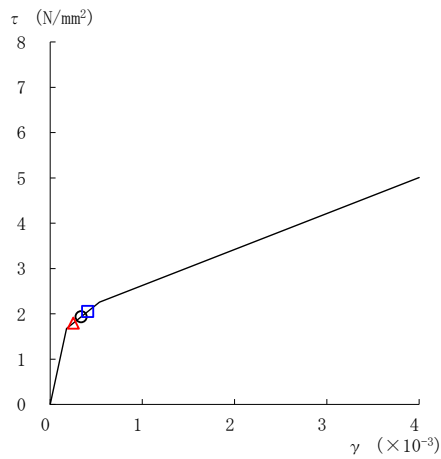
要素番号 (30)



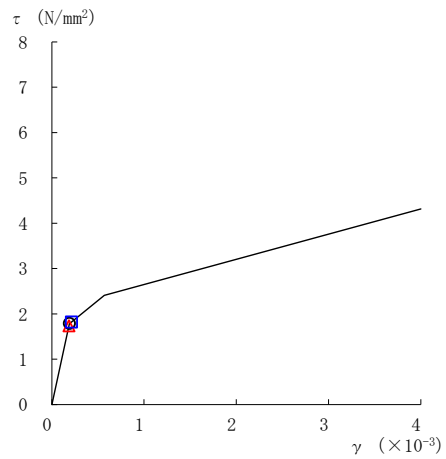
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 4-20(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

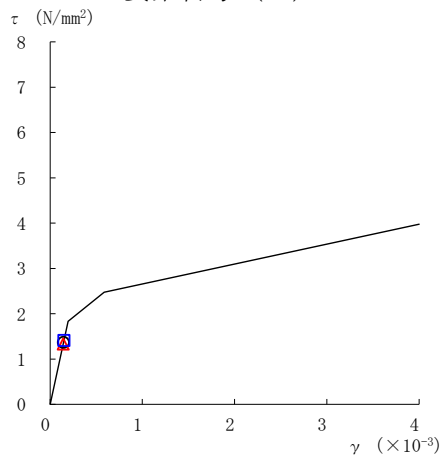
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



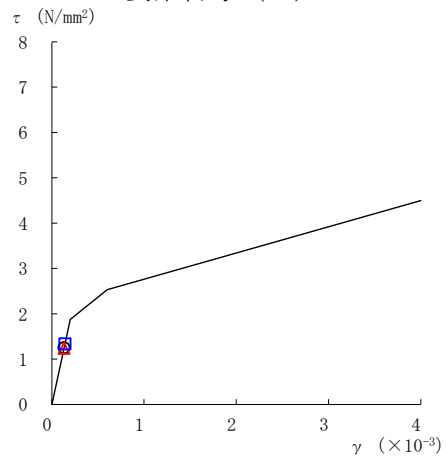
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

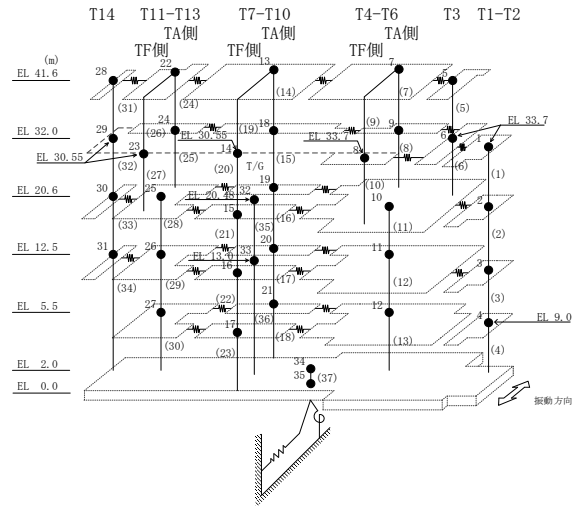
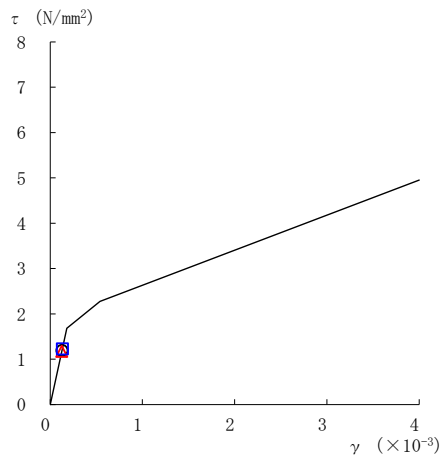
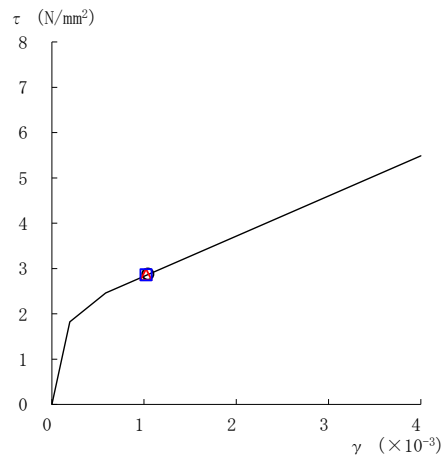


図 4-20(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

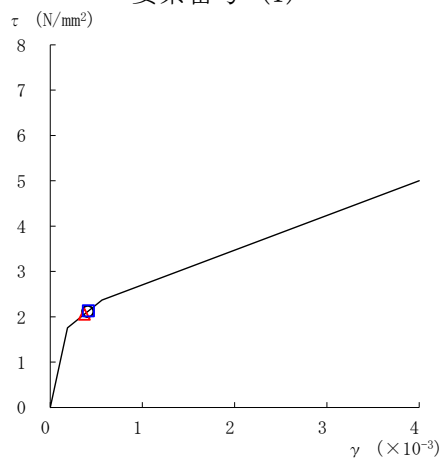
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



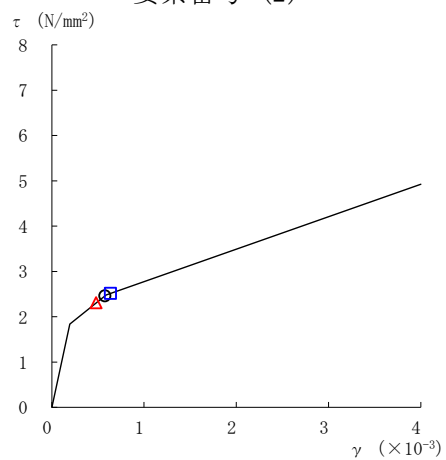
要素番号 (1)



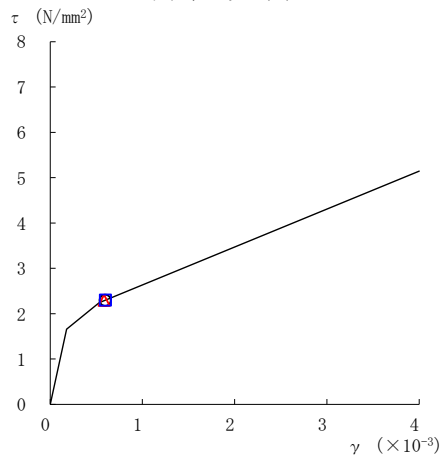
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

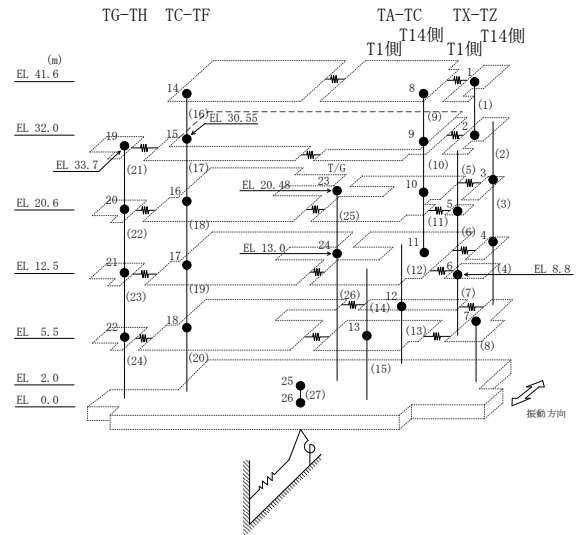
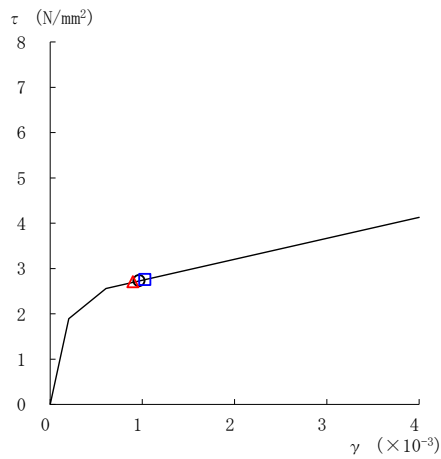
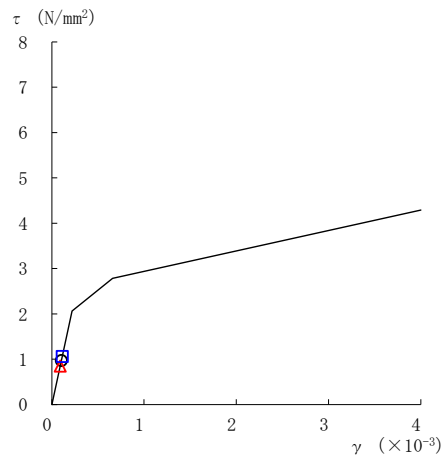


図 4-21(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

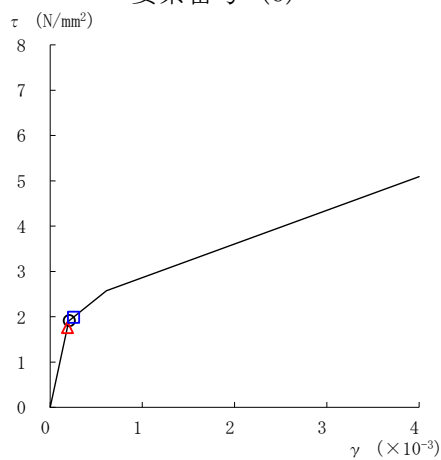
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



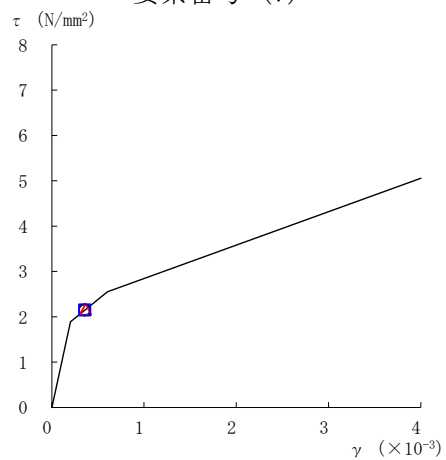
要素番号 (6)



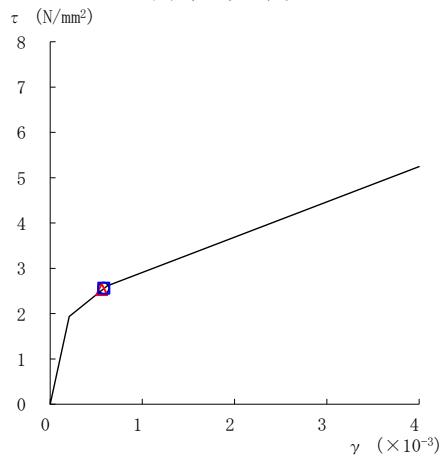
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

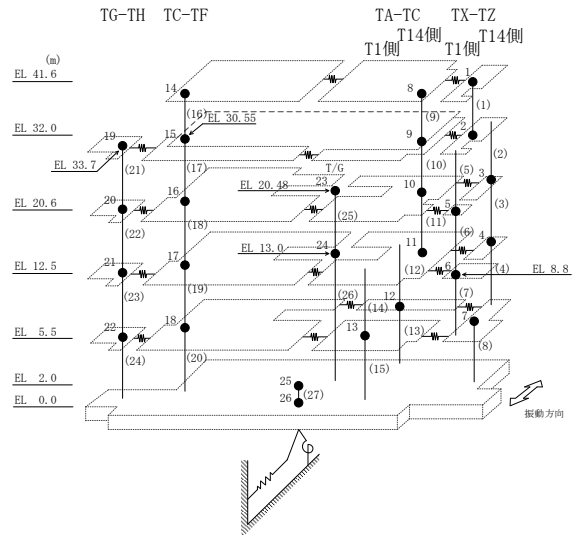
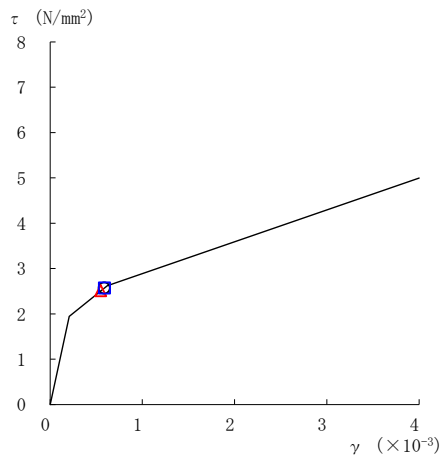
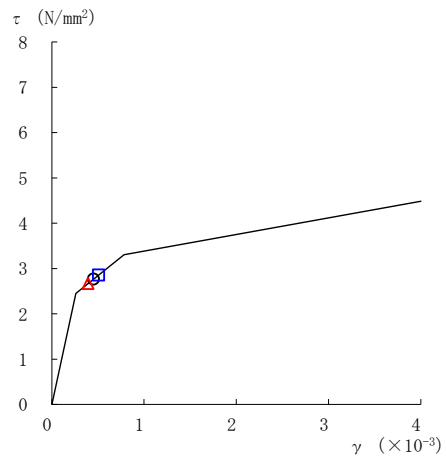


図 4-21(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

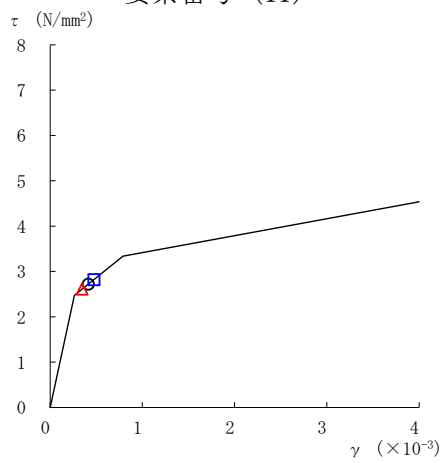
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



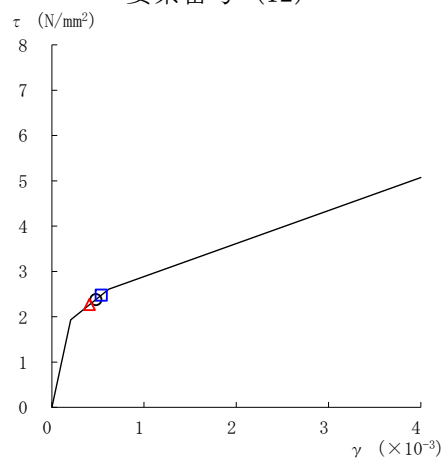
要素番号 (11)



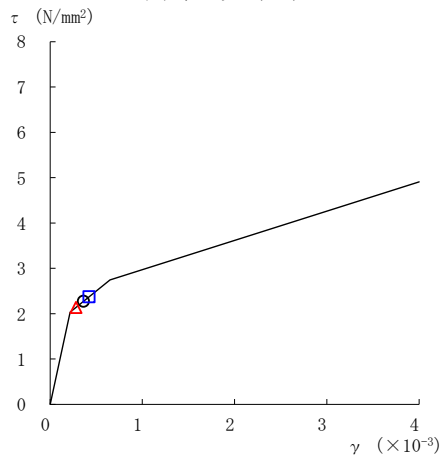
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

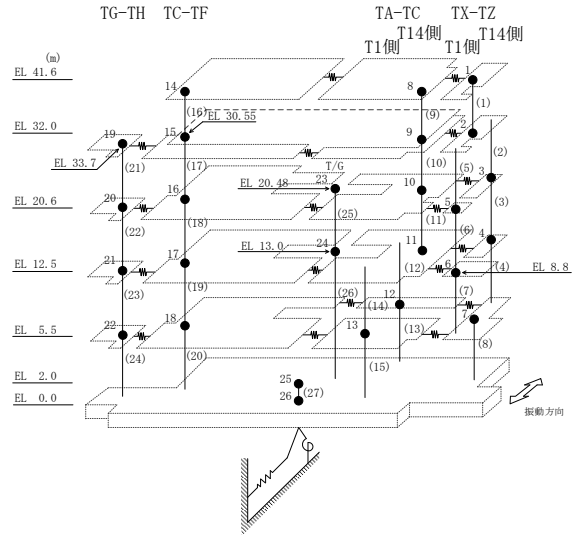
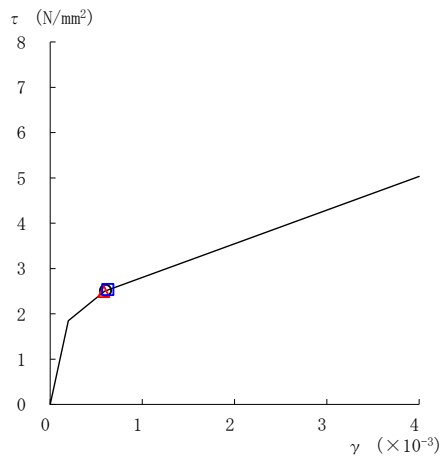
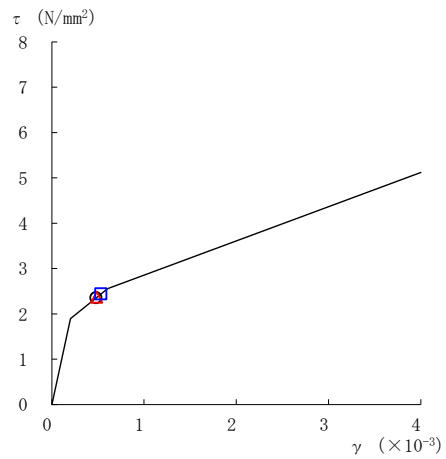


図 4-21(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

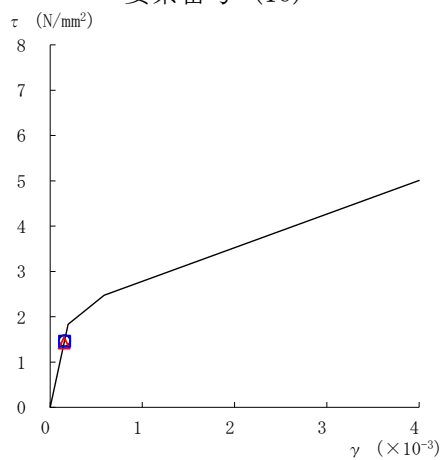
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



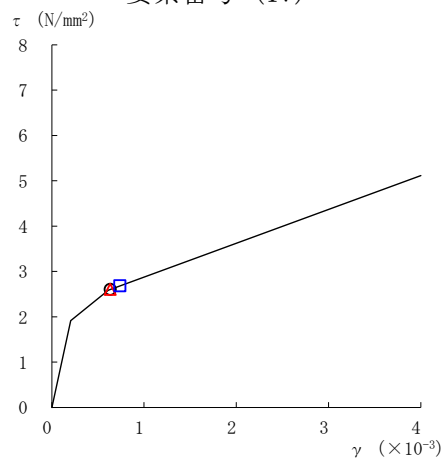
要素番号 (16)



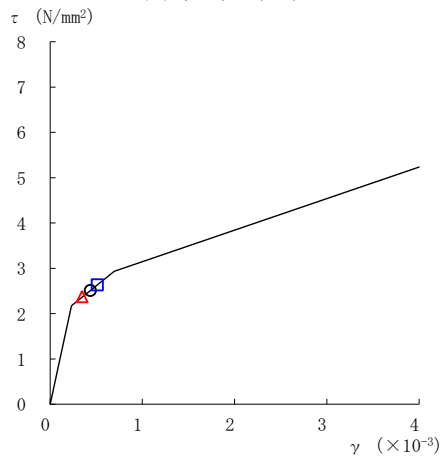
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

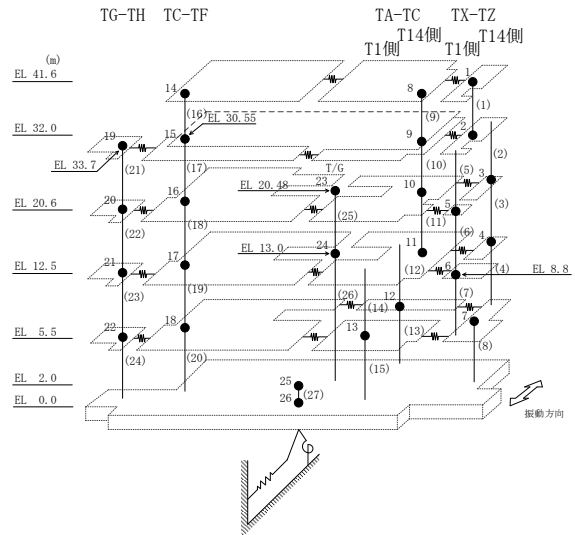
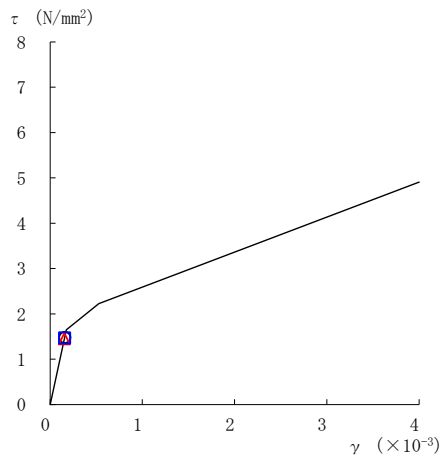
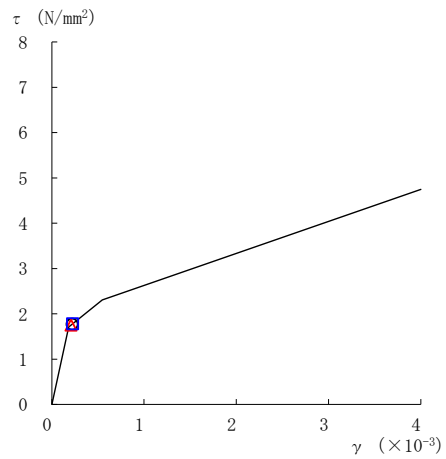


図 4-21(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

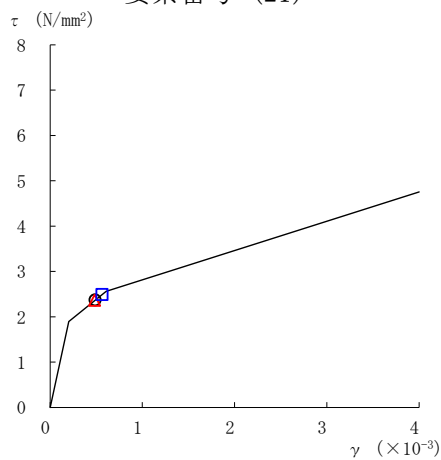
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



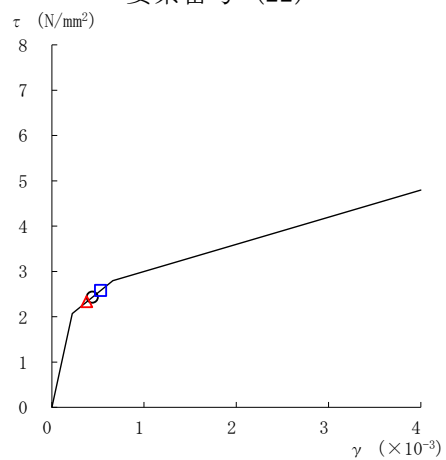
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

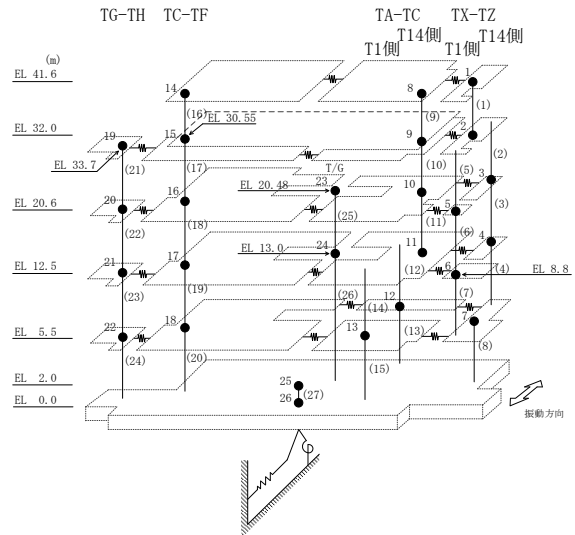


図 4-21(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

表 4-14 地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 1)

(a) NS方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.623	21.5	99.8

(b) EW方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.518	26.4	100

表 4-15 地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 2)

(a) NS方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.615	20.9	100

(b) EW方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.512	25.8	100

表 4-16 地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 3)

(a) NS方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.643	22.9	96.5

(b) EW方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.525	27.4	100

4.2.2 積雪荷重との組合せによる影響

(1) 影響評価方針

積雪荷重との組合せを考慮した解析モデルにより固有値解析及び地震応答解析を実施し、積雪ケース（ケース 4）と基本ケース（ケース 1）の比較を実施する。なお、対象とする地震動は、位相特性の偏りがなく、全周期帯において安定した応答を生じさせる基準地震動 $S_s - D$ とする。

(2) 固有値解析結果

積雪荷重との組合せを考慮した解析モデルにより固有値解析を実施した。固有値解析結果を表 4-17、刺激関数図を図 4-22～図 4-24 に示す。

基本ケースに対する積雪荷重との組合せを考慮した解析モデルの固有振動数の変動幅は、 $-2\% \sim \pm 0\%$ 程度である。

表 4-17 固有値解析結果の比較 (ケース 1 及びケース 4)

(a) NS 方向

(単位 : Hz)

次数	ケース 1	ケース 4
1	4.15	4.15 (1.00)
2	4.85	4.82 (0.99)
3	7.06	7.03 (1.00)
4	7.36	7.35 (1.00)
5	7.75	7.72 (1.00)
6	9.15	9.14 (1.00)

(b) EW 方向

(単位 : Hz)

次数	ケース 1	ケース 4
1	3.65	3.65 (1.00)
2	6.37	6.35 (1.00)
3	9.53	9.50 (1.00)
4	11.83	11.83 (1.00)
5	12.49	12.41 (0.99)
6	14.18	14.13 (1.00)

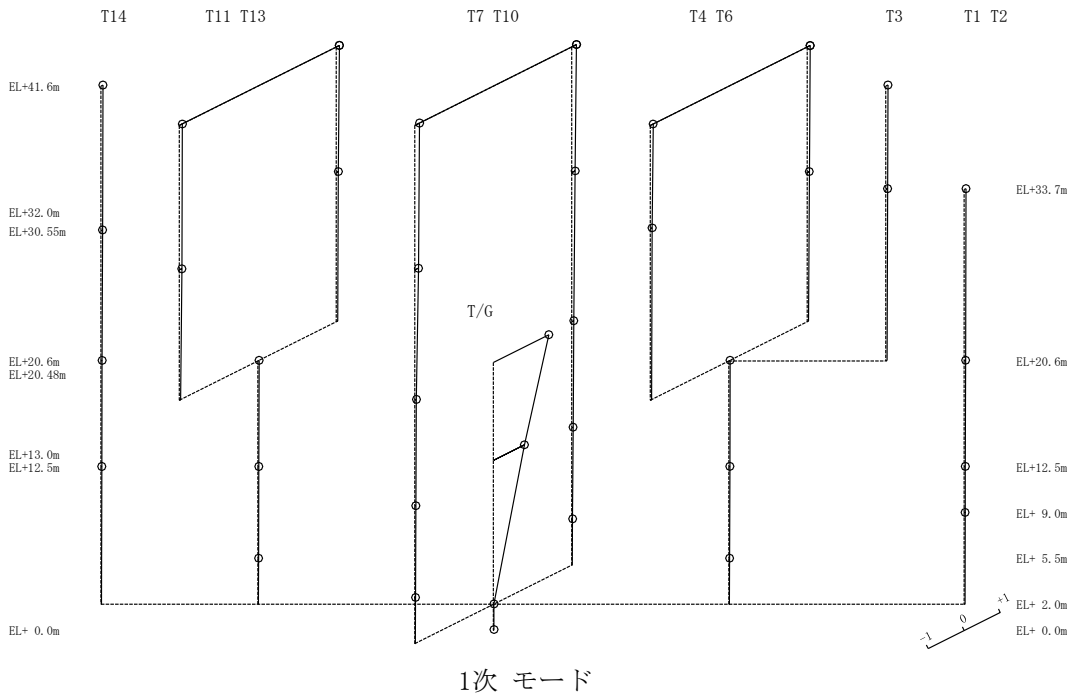
(c) 鉛直方向

(単位 : Hz)

次数	ケース 1	ケース 4
1	3.48	3.40 (0.98)
2	11.51	11.25 (0.98)
3	12.97	12.94 (1.00)
4	16.55	16.17 (0.98)
5	22.17	22.16 (1.00)
6	29.40	29.34 (1.00)

注 : () 内は基本ケース (ケース 1) に対する比率

固有周期 0.241 s
 固有振動数 4.15 Hz
 刺激係数 1.546



固有周期 0.208 s
 固有振動数 4.82 Hz
 刺激係数 2.437

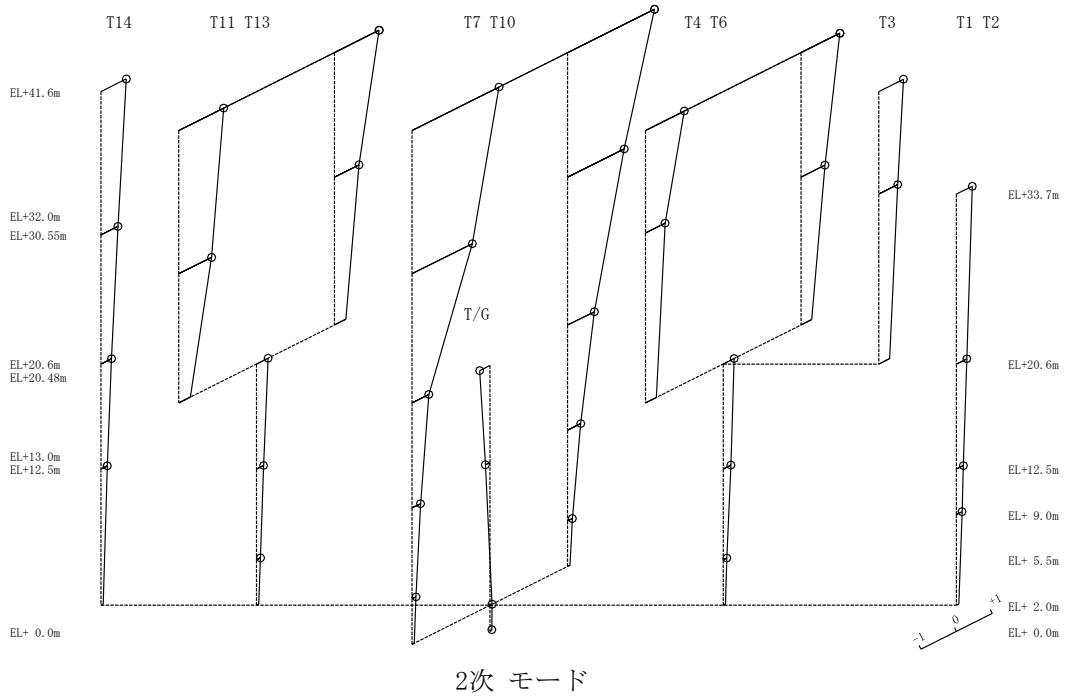
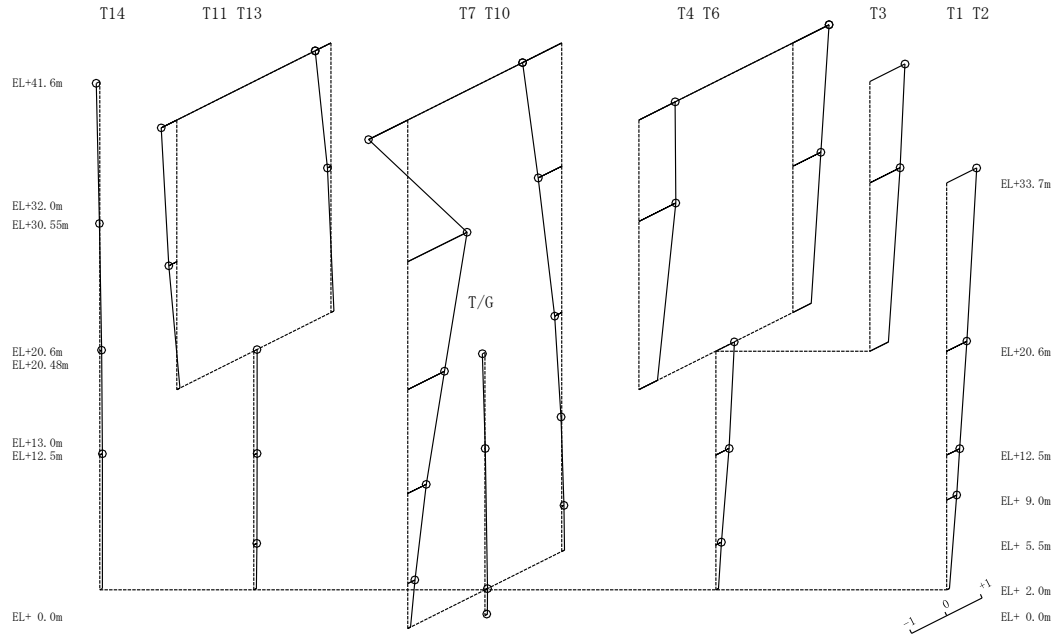


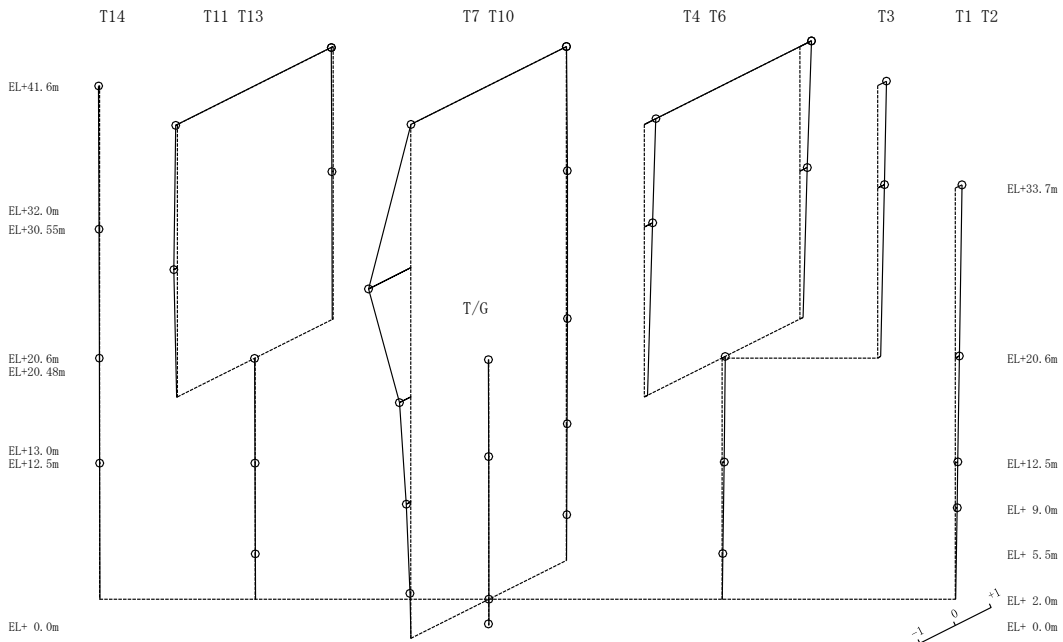
図 4-22(1) 刺激関数図 (ケース 4) (N S 方向)

固有周期 0.142 s
 固有振動数 7.03 Hz
 刺激係数 1.679



3次 モード

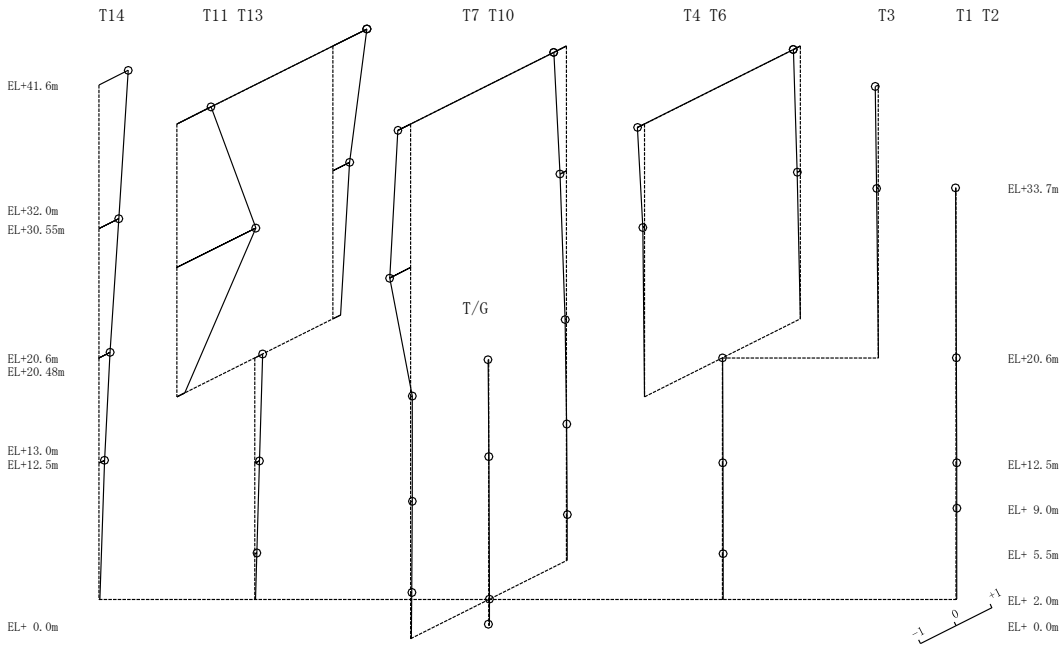
固有周期 0.136 s
 固有振動数 7.35 Hz
 刺激係数 -1.187



4次 モード

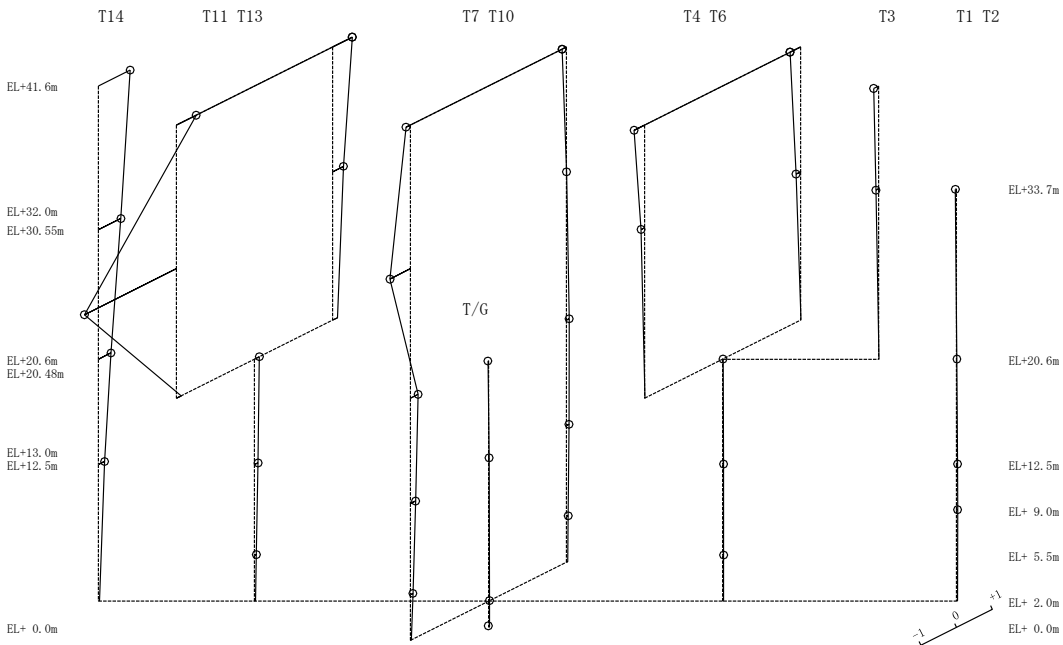
図 4-22(2) 刺激関数図 (ケース 4) (NS 方向)

固有周期 0.130 s
 固有振動数 7.72 Hz
 刺激係数 2.212



5次 モード

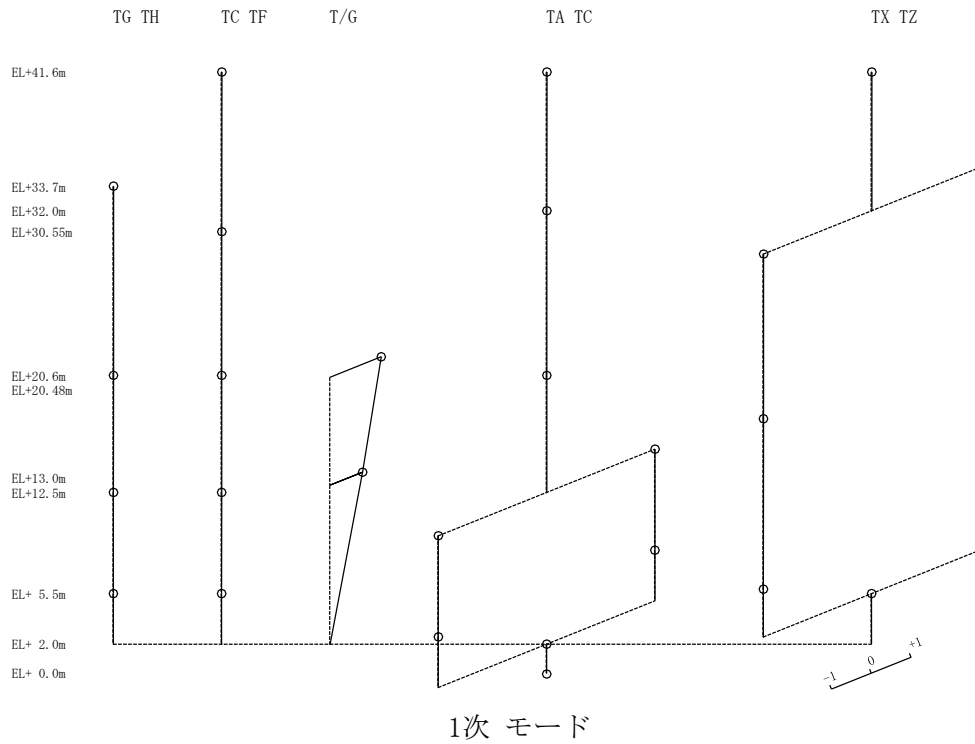
固有周期 0.109 s
 固有振動数 9.14 Hz
 刺激係数 -2.576



6次 モード

図 4-22(3) 刺激関数図 (ケース 4) (NS 方向)

固有周期 0.274 s
 固有振動数 3.65 Hz
 刺激係数 1.298



固有周期 0.158 s
 固有振動数 6.35 Hz
 刺激係数 1.818

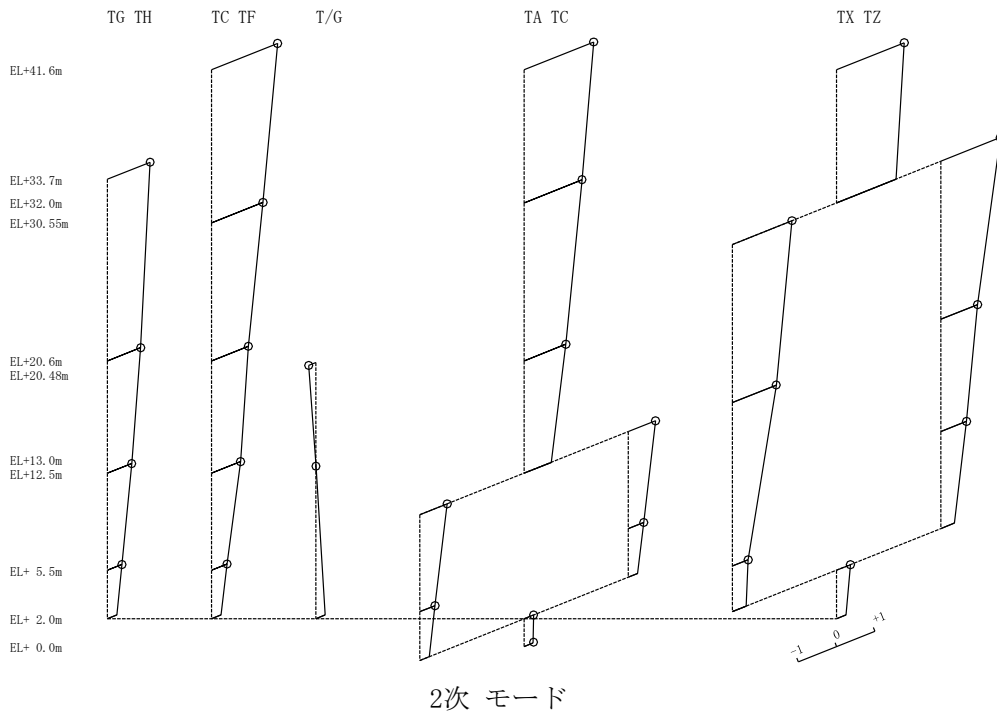
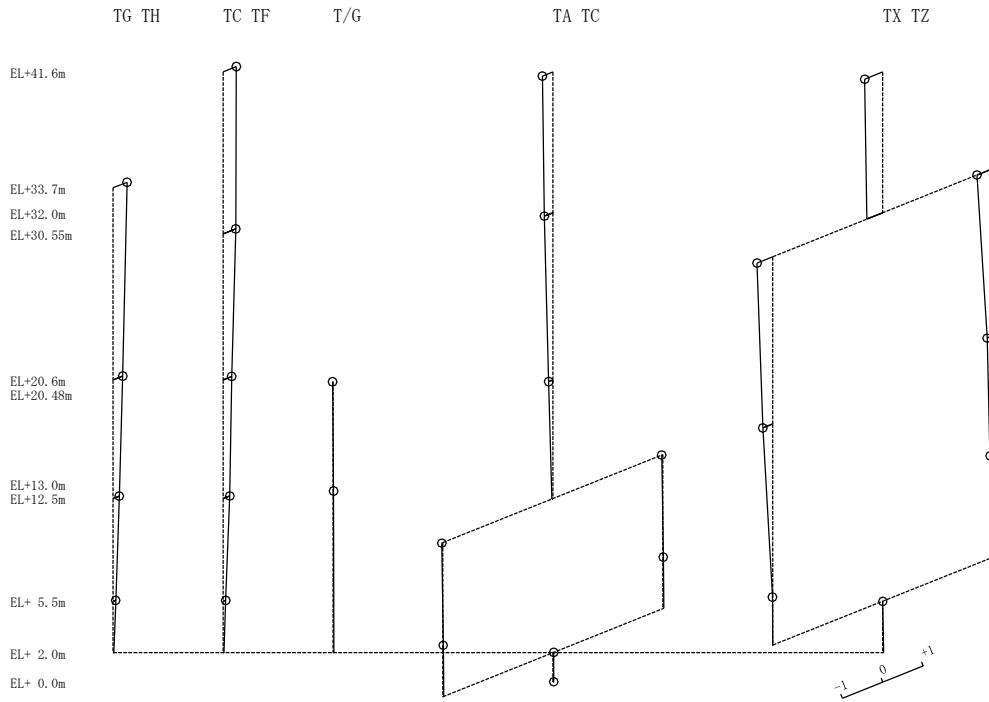


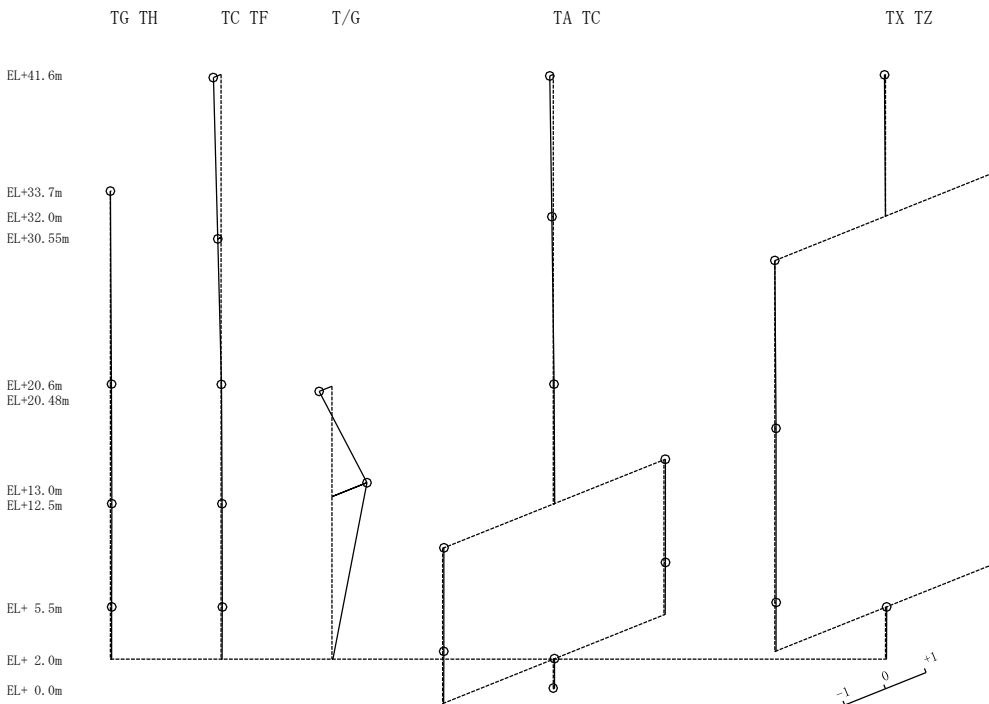
図 4-23(1) 刺激関数図 (ケース 4) (EW方向)

固有周期 0.105 s
 固有振動数 9.50 Hz
 刺激係数 -0.447



3次モード

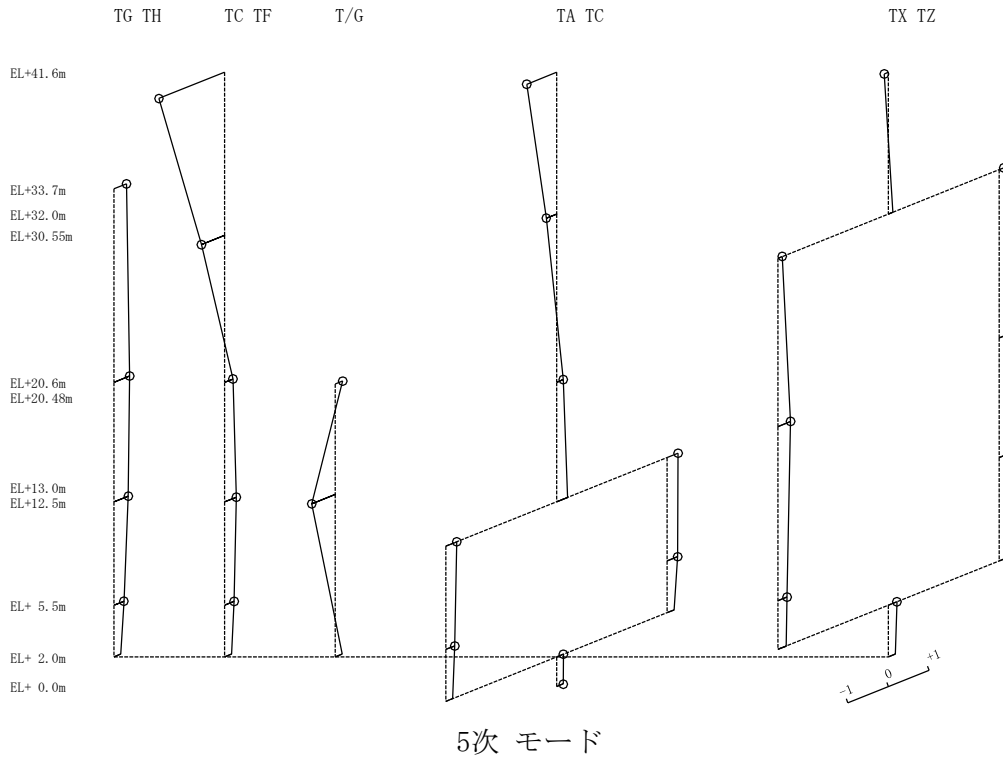
固有周期 0.085 s
 固有振動数 11.83 Hz
 刺激係数 0.864



4次モード

図 4-23(2) 刺激関数図 (ケース 4) (E W方向)

固有周期 0.081 s
 固有振動数 12.41 Hz
 刺激係数 -1.613



固有周期 0.071 s
 固有振動数 14.13 Hz
 刺激係数 -0.337

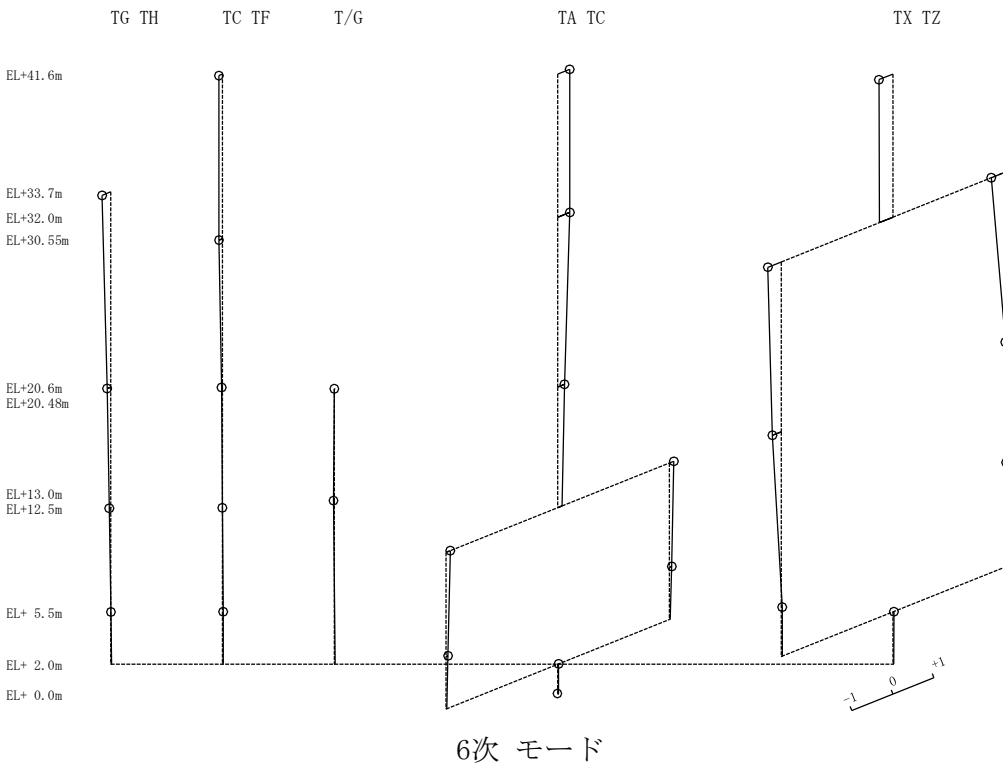
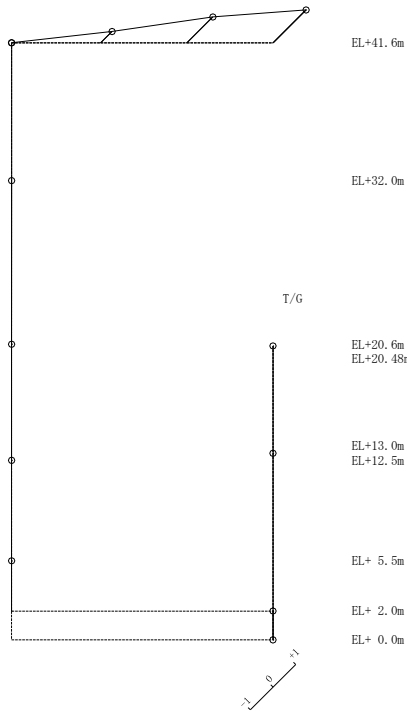


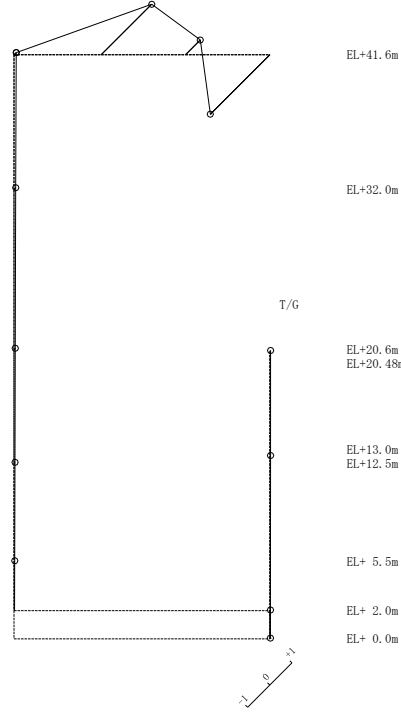
図 4-23(3) 刺激関数図 (ケース 4) (E W方向)

固有周期 0.294 s
固有振動数 3.40 Hz
刺激係数 1.459

固有周期 0.089 s
固有振動数 11.25 Hz
刺激係数 -2.684



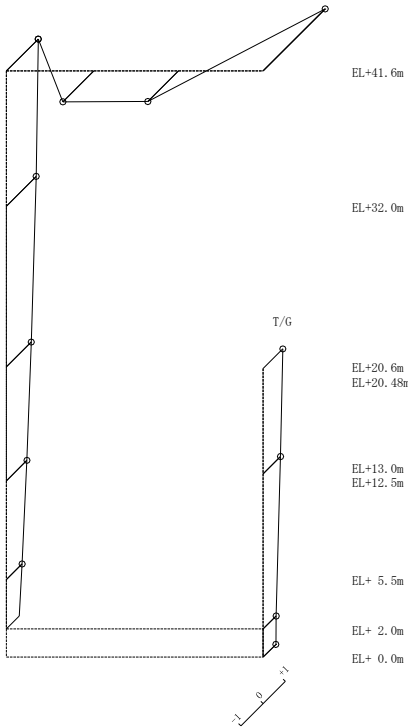
1次 モード



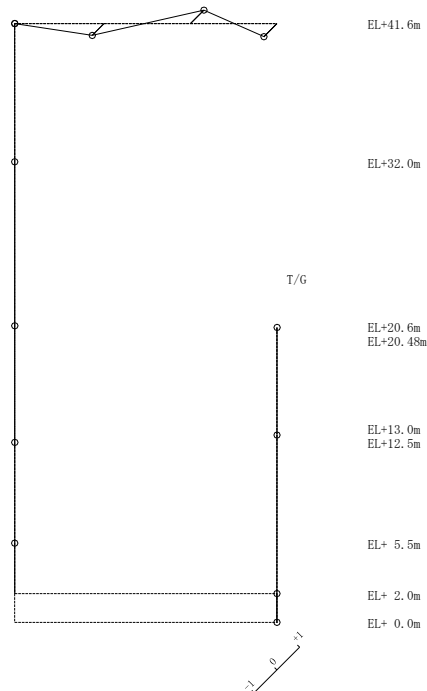
2次 モード

固有周期 0.077 s
固有振動数 12.94 Hz
刺激係数 2.789

固有周期 0.062 s
固有振動数 16.17 Hz
刺激係数 0.593



3次 モード



4次 モード

図 4-24(1) 刺激関数図 (ケース 4) (鉛直方向)

固有周期 0.045 s
 固有振動数 22.16 Hz
 刺激係数 0.528

固有周期 0.034 s
 固有振動数 29.34 Hz
 刺激係数 -0.642

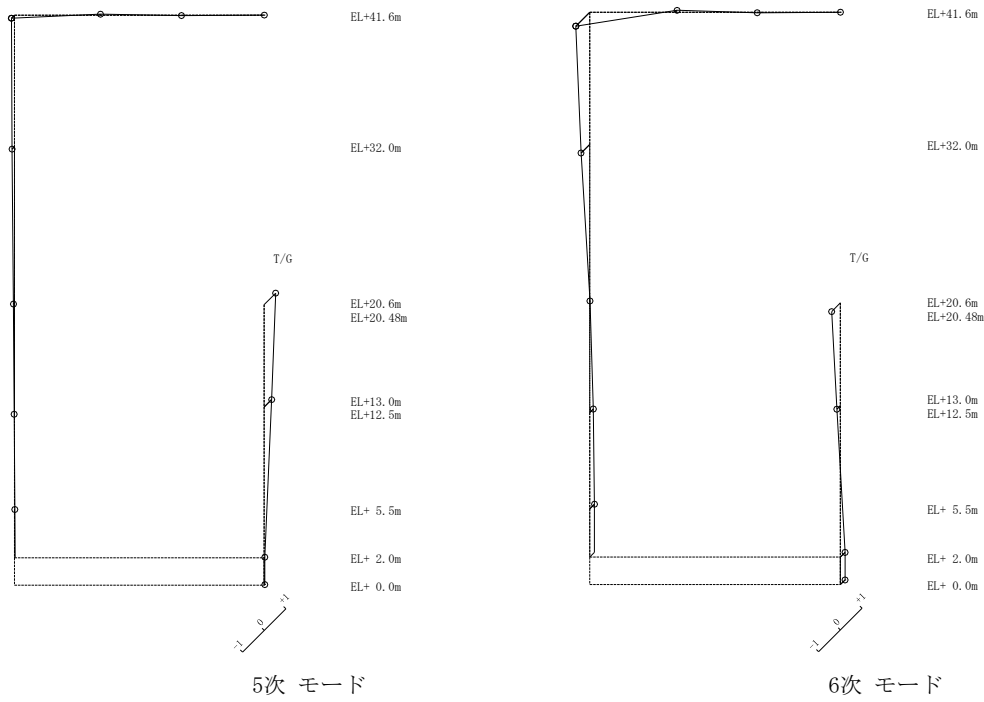


図 4-24(2) 刺激関数図 (ケース 4) (鉛直方向)

(3) 地震応答解析結果

積雪荷重との組合せを考慮した解析モデルによる地震応答解析結果を、不確かさを考慮しない基本ケースの結果と比較した。S s - Dに対する最大応答値の比較を図 4-25～図 4-35 及び表 4-18～表 4-28 に示す。また、S s - Dに対する最大応答値の比較を図 4-36 及び図 4-37 の耐震壁のスケルトン曲線上にプロットして示す。

接地率を表 4-29 及び表 4-30 に示す。

水平方向については、ケース 1 及びケース 4 の最大応答加速度、最大応答変位、最大応答せん断力、最大応答曲げモーメント及び最大応答せん断ひずみは概ね同程度であることを確認した。

鉛直方向についても、ケース 1 及びケース 4 の最大応答加速度、最大応答変位及び最大応答軸力は概ね同程度であることを確認した。

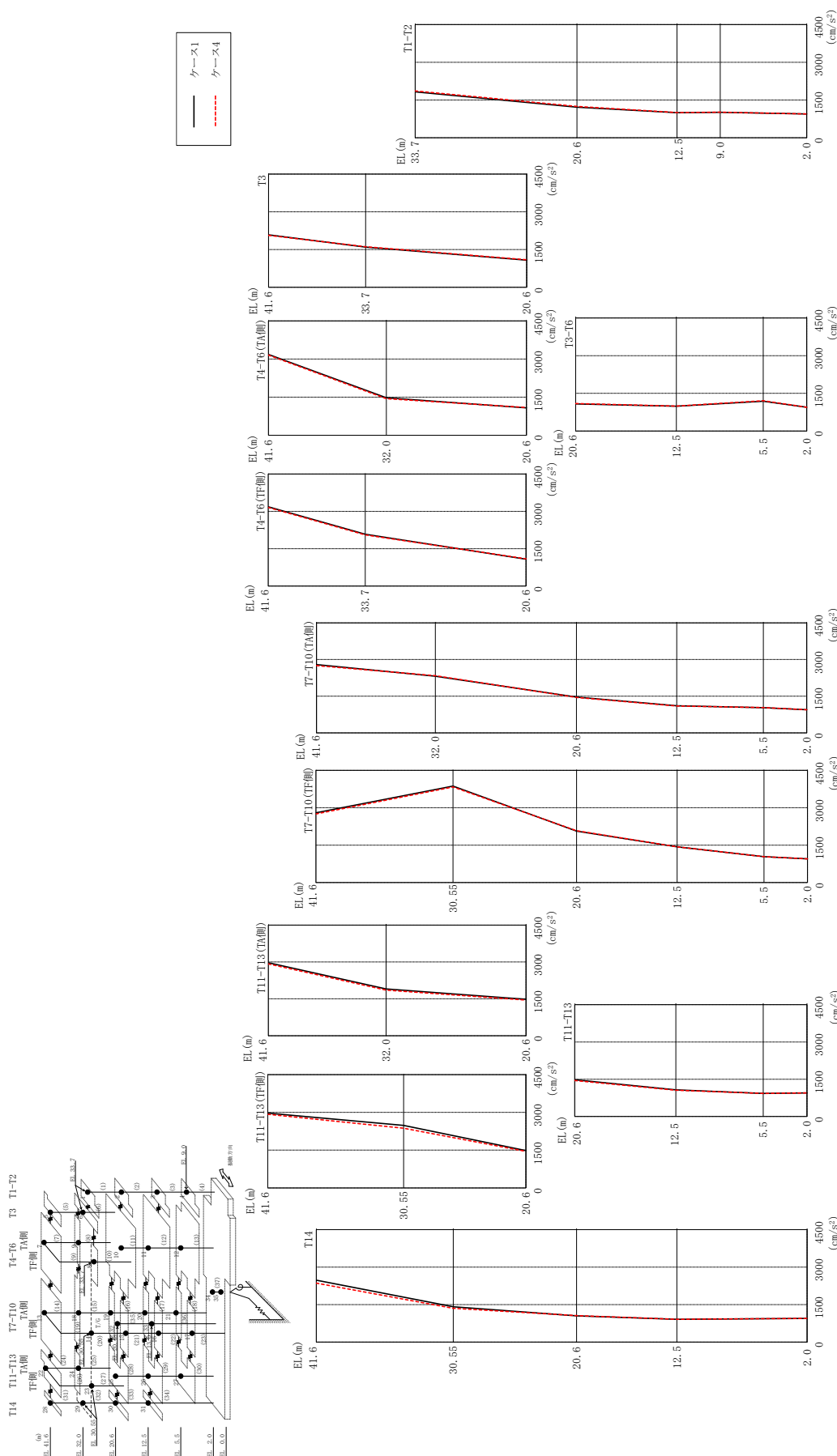
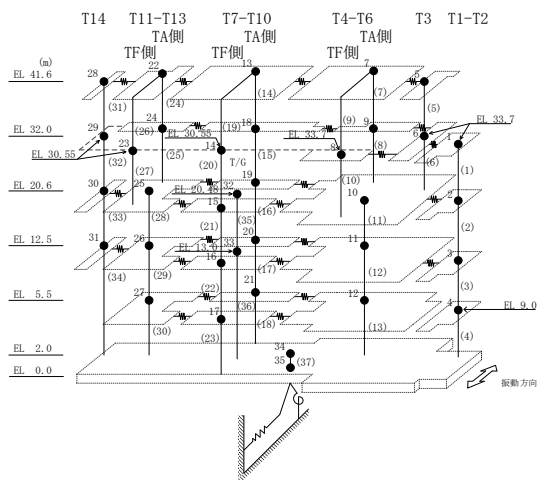


図 4-25 最大応答加速度 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

表 4-18 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	1824	1858
	20.6	2	1217	1246
	12.5	3	995	1003
	9.0	4	1012	1014
T3	41.6	5	2085	2064
	33.7	6	1599	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	3157
	32.0	9	1476	1441
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2052
T3-T6	20.6	10	1077	1092
	12.5	11	985	994
	5.5	12	1183	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2749
	32.0	18	2319	2337
	20.6	19	1466	1449
	12.5	20	1106	1095
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3868	3832
	20.6	15	2064	2078
	12.5	16	1430	1429
	5.5	17	1037	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2969	2923
	32.0	24	1902	1857
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2482	2371
T11-T13	20.6	25	1481	1451
	12.5	26	1072	1059
	5.5	27	927	928
T14	41.6	28	2478	2363
	30.55	29	1415	1353
	20.6	30	1053	1059
	12.5	31	915	911
	2.0	34	947	948



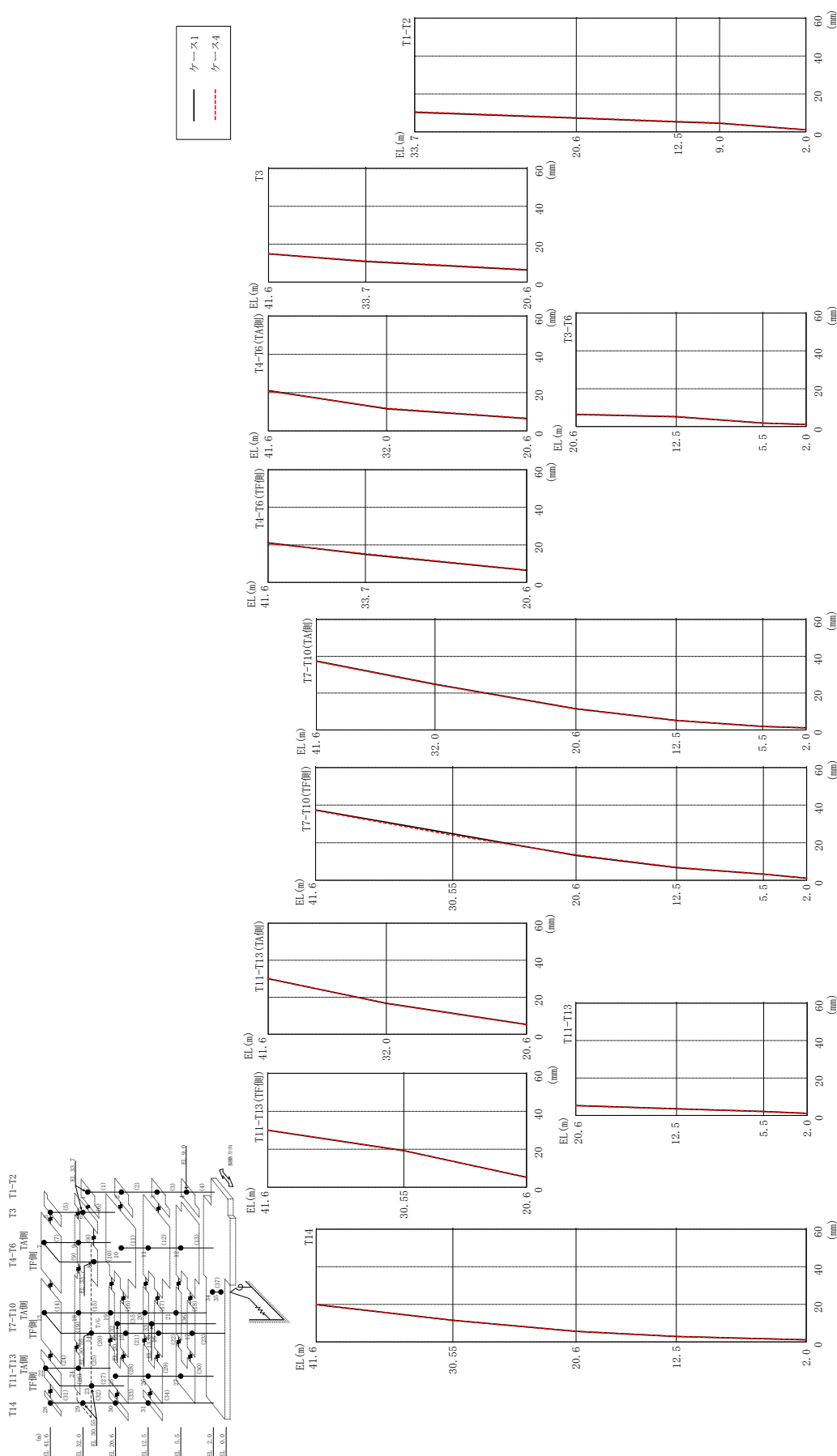
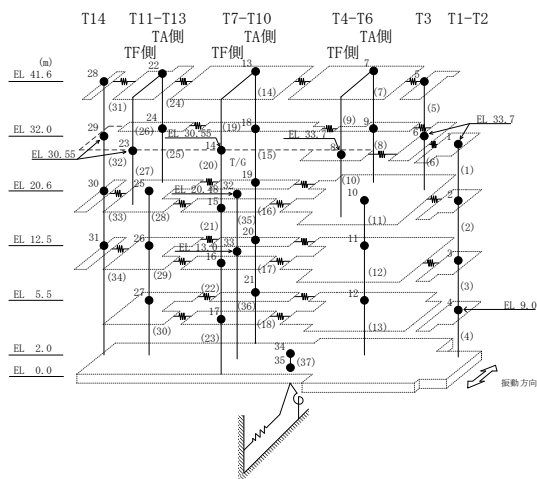


図 4-26 最大応答変位 (基準地震動 S-D, N-S 方向)

表 4-19 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	10.33	10.61
	20.6	2	7.28	7.47
	12.5	3	5.33	5.47
	9.0	4	4.57	4.70
T3	41.6	5	14.92	14.94
	33.7	6	10.87	11.16
T4-T6(TA側)	41.6	7	21.08	20.80
	32.0	9	11.54	11.78
T4-T6(TF側)	33.7	8	14.93	15.23
T3-T6	20.6	10	6.42	6.58
	12.5	11	5.22	5.35
	5.5	12	1.87	1.88
T7-T10(TA側)	41.6	13	37.40	37.20
	32.0	18	24.81	24.62
	20.6	19	11.51	11.36
	12.5	20	5.15	5.07
	5.5	21	1.88	1.90
T7-T10(TF側)	30.55	14	24.75	24.05
	20.6	15	13.26	13.54
	12.5	16	6.72	6.93
	5.5	17	3.31	3.33
T11-T13(TA側)	41.6	22	30.02	30.12
	32.0	24	16.73	16.60
T11-T13(TF側)	30.55	23	19.29	19.25
T11-T13	20.6	25	5.27	5.22
	12.5	26	3.54	3.50
	5.5	27	2.09	2.06
T14	41.6	28	19.87	19.93
	30.55	29	11.51	11.48
	20.6	30	5.66	5.61
	12.5	31	2.92	2.86
	2.0	34	1.12	1.12



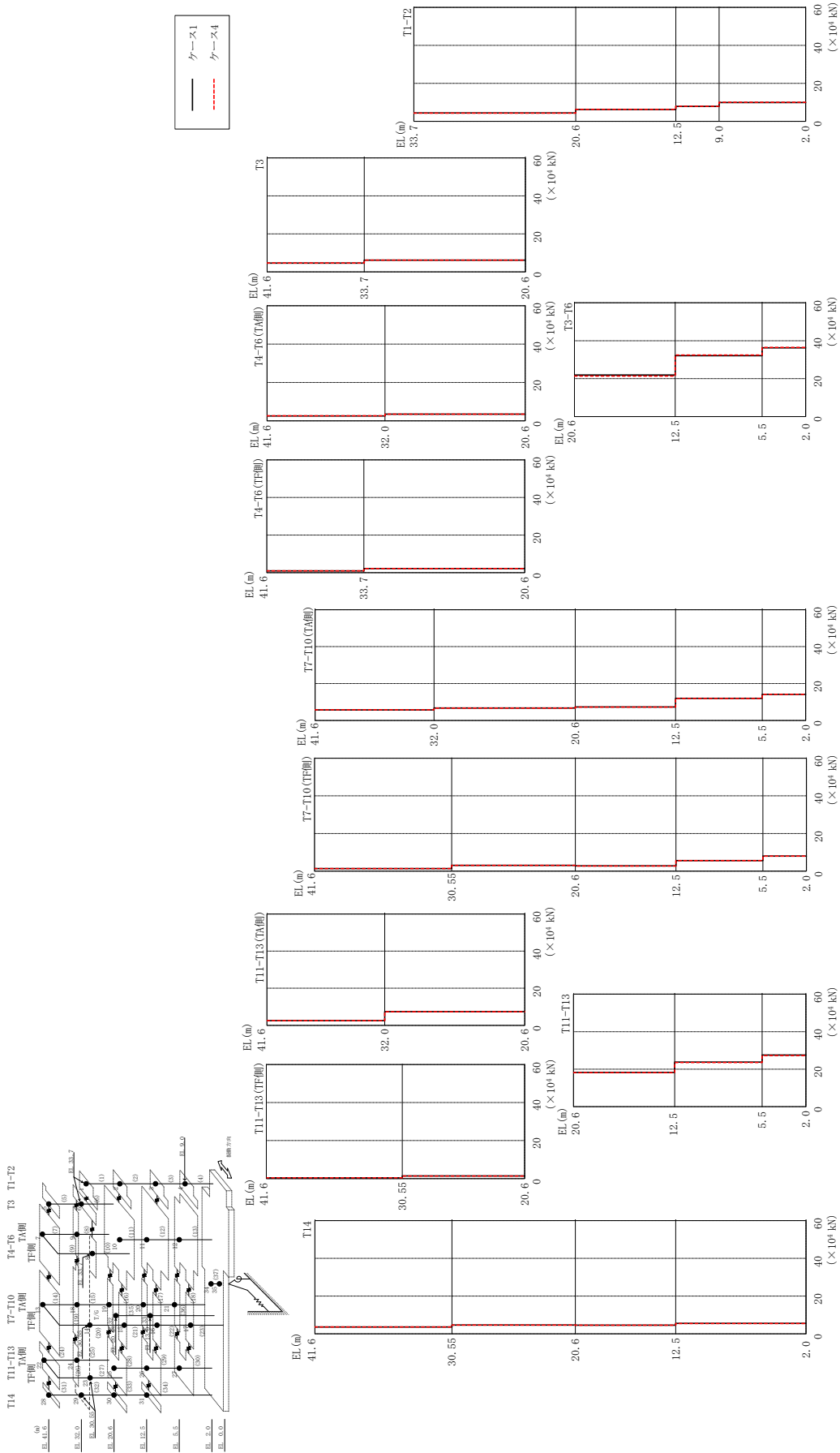
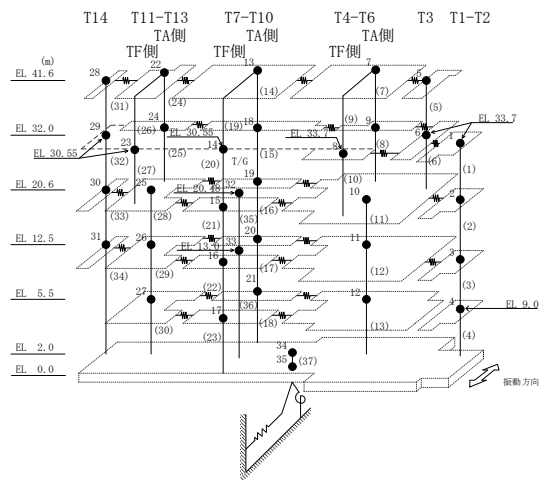


図 4-27 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

表 4-20 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - D$, NS方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	4.34
	20.6~12.5	2	6.26	6.29
	12.5~9.0	3	7.84	7.94
	9.0~2.0	4	9.87	10.0
T3	41.6~33.7	5	4.65	4.69
	33.7~20.6	6	6.21	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.61
	32.0~20.6	8	3.50	3.49
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.945	0.984
	33.7~20.6	10	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	21.4
	12.5~5.5	12	32.1	32.5
	5.5~2.0	13	36.3	36.4
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.79
	32.0~20.6	15	6.71	6.69
	20.6~12.5	16	7.29	7.22
	12.5~5.5	17	12.0	11.9
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.37
	30.55~20.6	20	3.05	3.10
	20.6~12.5	21	2.77	2.77
	12.5~5.5	22	5.59	5.64
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.57
	32.0~20.6	25	7.37	7.32
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.421	0.403
	30.55~20.6	27	1.41	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	18.3	18.1
	12.5~5.5	29	23.8	23.6
	5.5~2.0	30	27.5	27.3
T14	41.6~30.55	31	3.62	3.65
	30.55~20.6	32	4.68	4.69
	20.6~12.5	33	4.61	4.60
	12.5~2.0	34	5.54	5.47



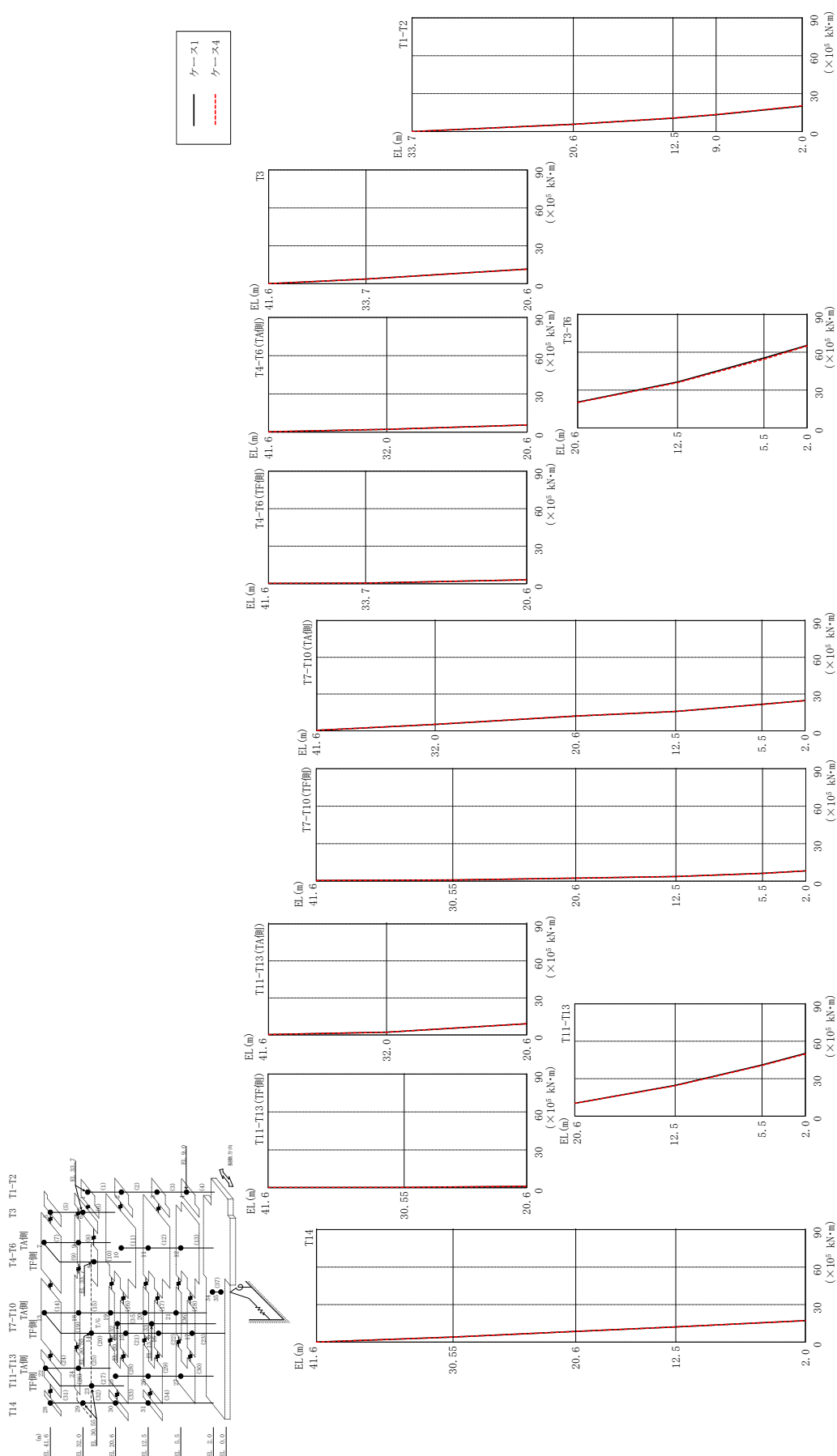


図 4-28 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s-D, NS 方向)

表 4-21(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s-D , NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			5.72	5.69
	20.6~12.5	2	5.72	5.69
			10.5	10.7
12.5~9.0	3	10.5	10.7	
		13.2	13.4	
9.0~2.0	4	13.2	13.4	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
	33.7~20.6	6	3.68	3.71
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.271
	32.0~20.6	8	2.17	2.23
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.296
	33.7~20.6	10	0.461	0.482
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	20.1
			36.4	35.9
	12.5~5.5	12	36.4	35.9
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.387
	32.0~20.6	15	5.24	5.32
	20.6~12.5	16	12.0	12.1
	12.5~5.5	17	15.8	15.7
	5.5~2.0	18	21.6	21.5

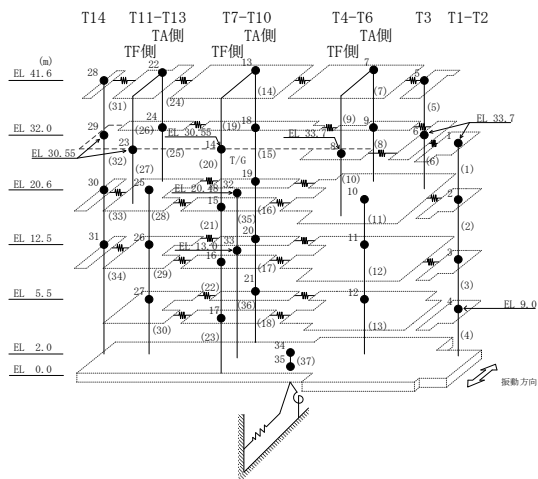
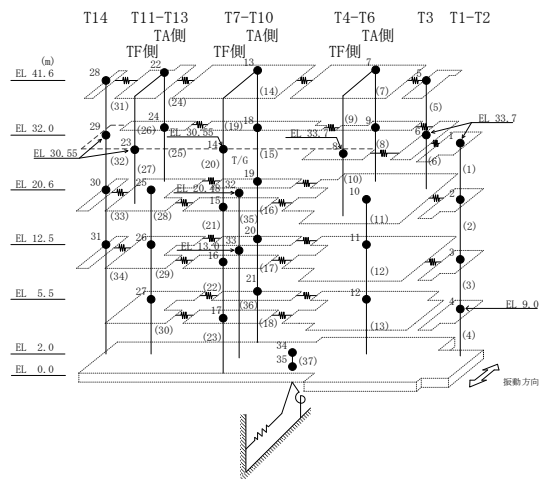


表 4-21(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s-D , NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.552 0.941	0.563 0.954
	30.55~20.6	20	0.941 2.44	0.954 2.48
	20.6~12.5	21	2.44 3.78	2.48 3.74
	12.5~5.5	22	3.78 6.33	3.74 6.24
	5.5~2.0	23	6.33 8.22	6.24 8.30
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.303 2.25	0.309 2.26
	32.0~20.6	25	2.25 9.08	2.26 9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.189 0.330	0.194 0.320
	30.55~20.6	27	0.330 1.18	0.320 1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	10.3 24.6	10.3 24.4
	12.5~5.5	29	24.6 41.0	24.4 40.6
	5.5~2.0	30	41.0 50.2	40.6 49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00 4.00	0.00 4.03
	30.55~20.6	32	4.00 8.53	4.03 8.55
	20.6~12.5	33	8.53 12.2	8.55 12.2
	12.5~2.0	34	12.2 17.2	12.2 17.2



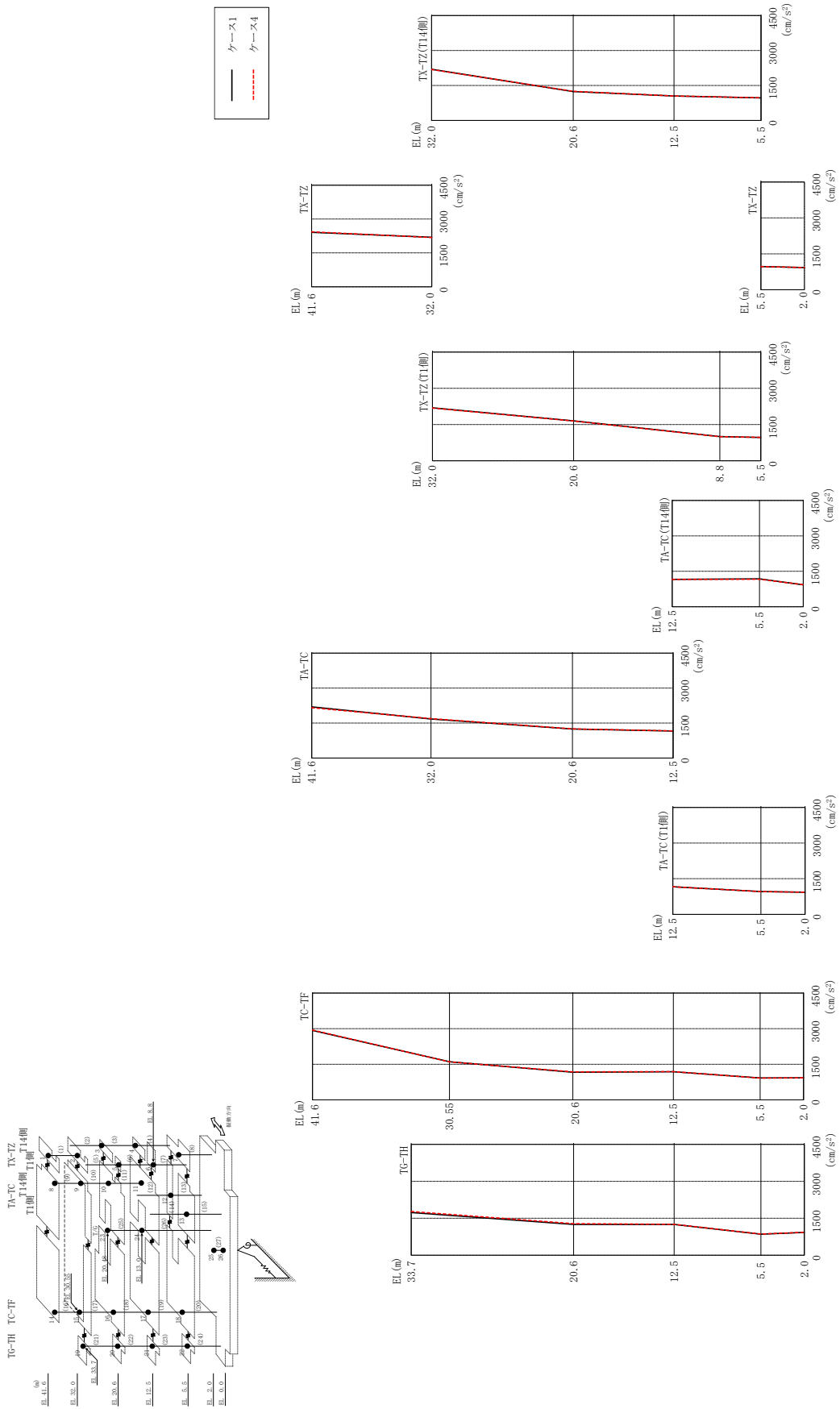
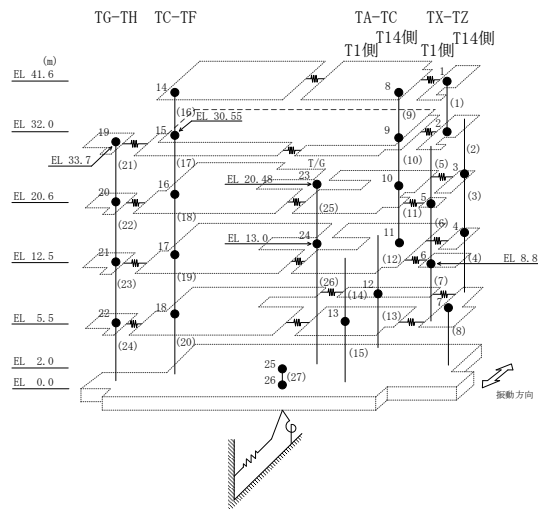


図 4-29 最大応答加速度 (基準地震動 S s - D, E W 方向)

表 4-22 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2410	2431
	32.0	2	2192	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1239	1246
	12.5	4	1047	1047
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1656	1651
	8.8	6	1001	999
TX-TZ	5.5	7	967	970
TA-TC	41.6	8	2194	2157
	32.0	9	1671	1686
	20.6	10	1244	1250
	12.5	11	1158	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	1179	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	959	955
TC-TF	41.6	14	2926	2942
	30.55	15	1605	1600
	20.6	16	1167	1182
	12.5	17	1185	1193
	5.5	18	921	919
TG-TH	33.7	19	1735	1773
	20.6	20	1249	1282
	12.5	21	1252	1256
	5.5	22	856	861
	2.0	25	928	930



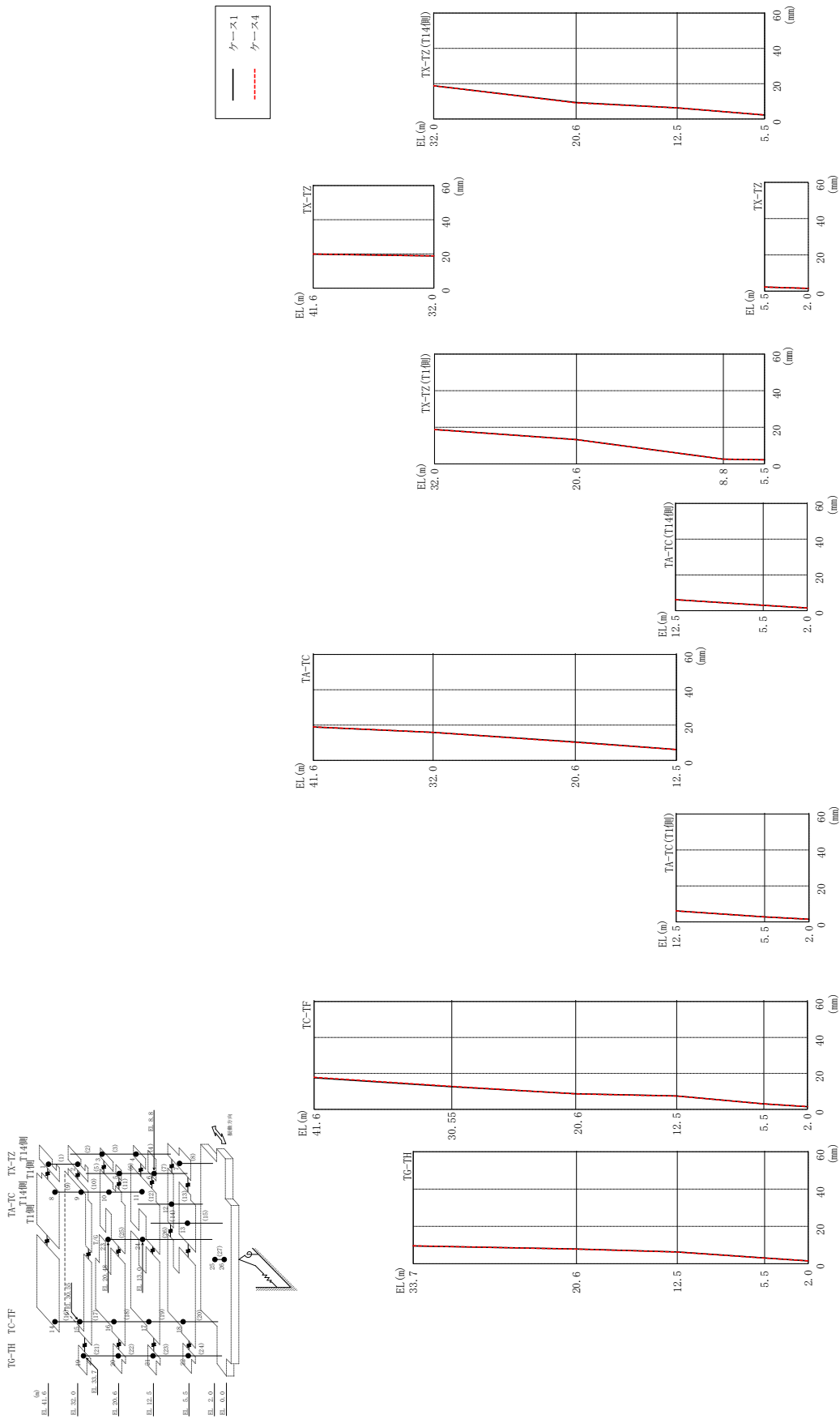
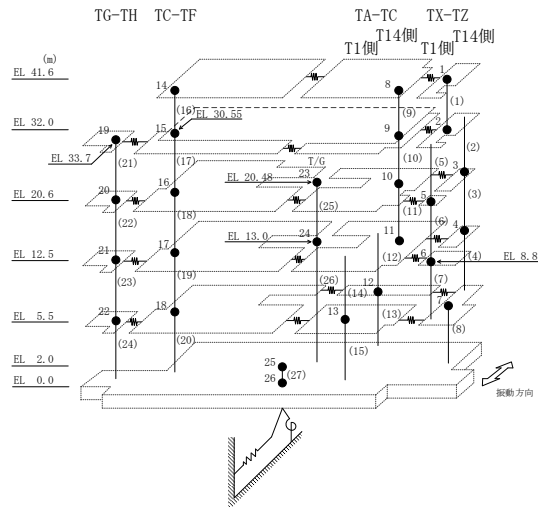


図 4-30 最大応答変位 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

表 4-23 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - D, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	19.88	19.92
	32.0	2	18.85	18.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	9.31	9.12
	12.5	4	6.31	6.25
TX-TZ (T1側)	20.6	5	13.31	13.27
	8.8	6	2.60	2.63
TX-TZ	5.5	7	2.25	2.28
TA-TC	41.6	8	18.88	18.99
	32.0	9	15.87	15.85
	20.6	10	10.41	10.21
	12.5	11	6.16	6.14
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.98	3.00
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.80	2.83
TC-TF	41.6	14	17.58	17.86
	30.55	15	12.58	12.82
	20.6	16	8.69	8.63
	12.5	17	7.47	7.41
	5.5	18	3.06	3.02
TG-TH	33.7	19	9.54	9.63
	20.6	20	7.87	7.80
	12.5	21	6.31	6.23
	5.5	22	3.06	3.01
	2.0	25	1.51	1.53



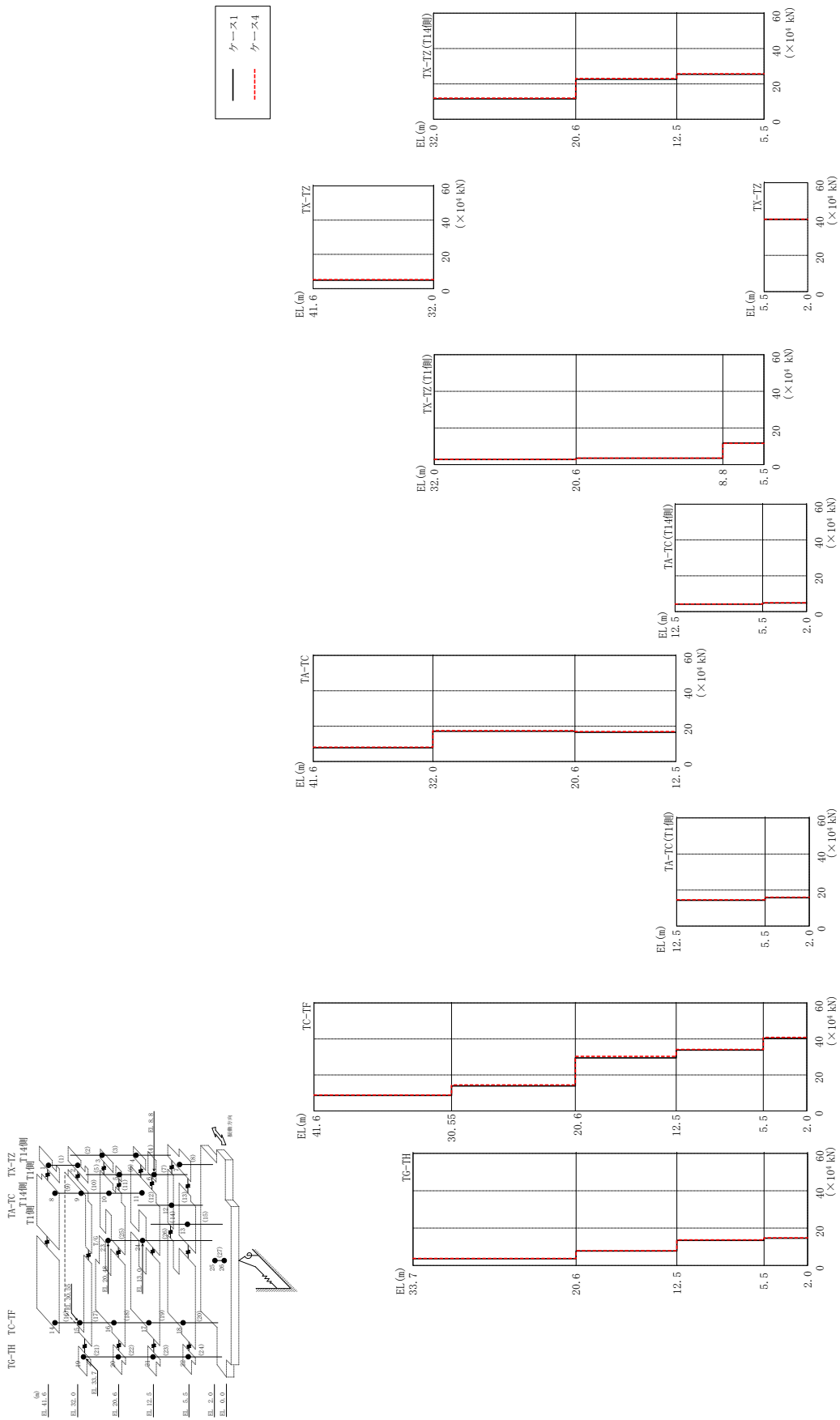
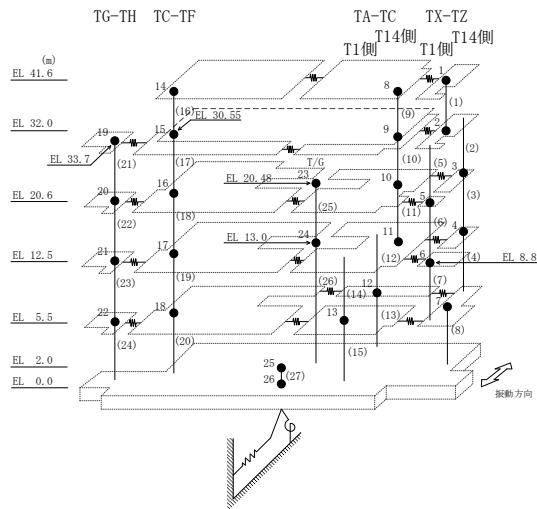


図 4-31 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

表 4-24 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	5.25
	32.0~20.6	2	11.5	12.0
TX-TZ (T14側)	20.6~12.5	3	22.6	23.1
	12.5~5.5	4	25.4	25.7
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.50	3.57
	8.8~5.5	7	11.7	11.6
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	16.5	17.0
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.21
	5.5~2.0	13	4.82	4.91
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.3	14.6
	5.5~2.0	15	15.7	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	8.85
	30.55~20.6	17	13.9	14.4
	20.6~12.5	18	29.5	30.3
	12.5~5.5	19	33.8	34.2
	5.5~2.0	20	40.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.75
	20.6~12.5	22	7.74	7.98
	12.5~5.5	23	13.5	13.7
	5.5~2.0	24	14.6	14.8



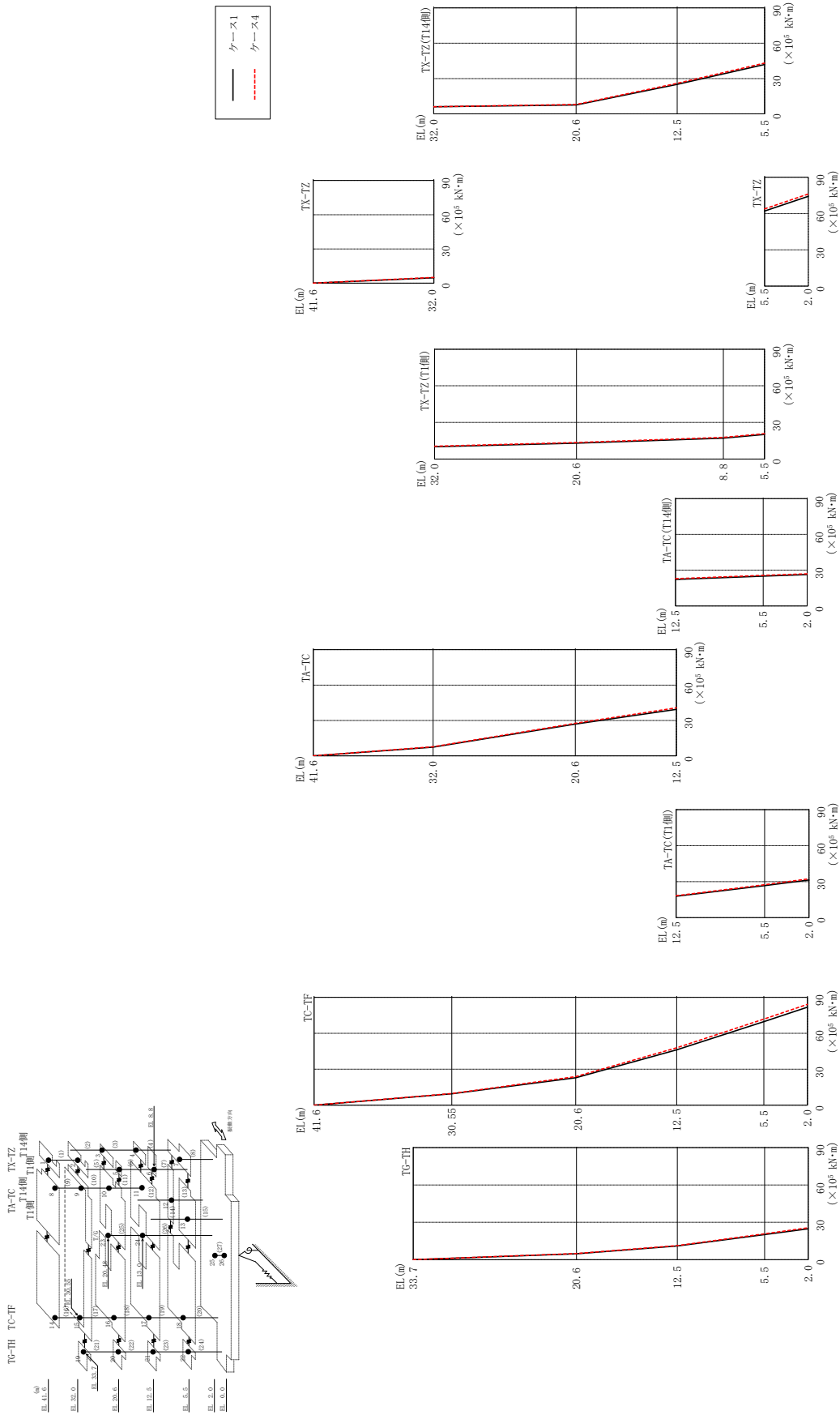


図 4-32 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s-D, EW 方向)

表 4-25(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			4.69	5.04
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	6.02	6.00
			7.54	7.95
	20.6~12.5	3	7.54	7.95
			25.1	25.9
12.5~5.5	4	25.1	25.9	
		41.9	43.1	
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	10.1	10.6
			13.0	13.5
	20.6~8.8	6	17.1	17.7
17.1			17.7	
8.8~5.5	7	20.2	20.8	
		62.1	63.9	
TX-TZ	5.5~2.0	8	74.2	76.1
			0.00	0.00
TA-TC	41.6~32.0	9	7.44	7.74
			7.44	7.74
	32.0~20.6	10	26.9	27.6
20.6~12.5			11	26.9
				39.5

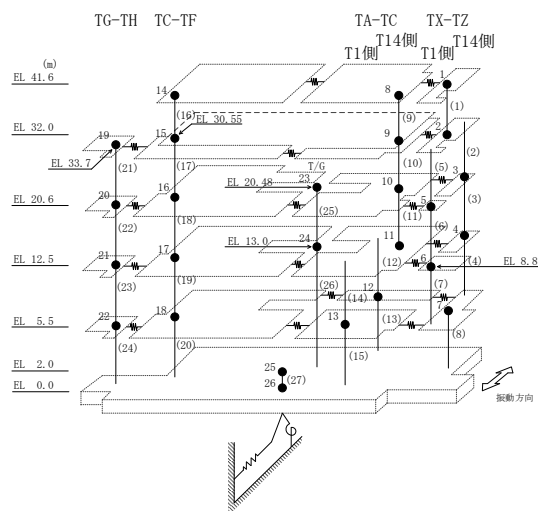
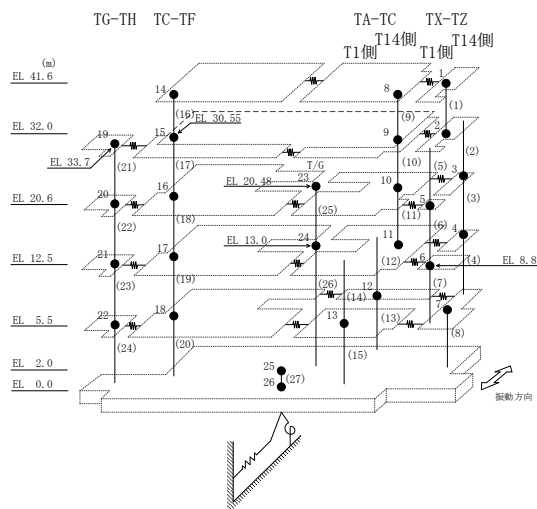


表 4-25(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	22.2 25.0	22.8 25.7
	5.5~2.0	13	25.0 26.2	25.7 26.9
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	17.8 26.6	18.3 27.4
	5.5~2.0	15	26.6 31.4	27.4 32.3
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 9.53	0.00 9.77
	30.55~20.6	17	9.53 22.9	9.77 23.9
	20.6~12.5	18	22.9 46.1	23.9 47.8
	12.5~5.5	19	46.1 69.7	47.8 71.8
	5.5~2.0	20	69.7 81.7	71.8 84.1
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 4.79	0.00 4.91
	20.6~12.5	22	4.79 11.0	4.91 11.3
	12.5~5.5	23	11.0 20.2	11.3 20.8
	5.5~2.0	24	20.2 24.8	20.8 25.6



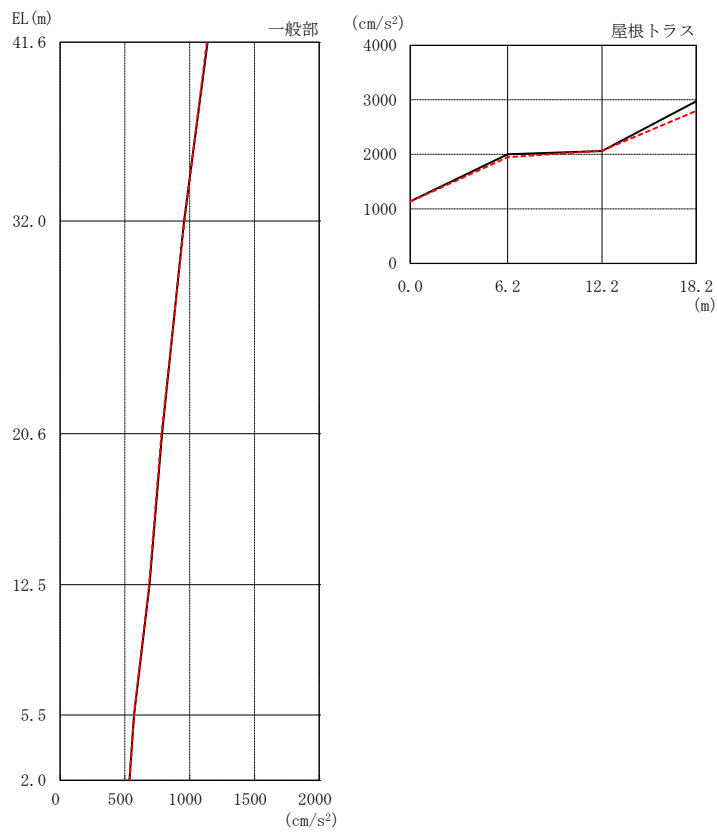
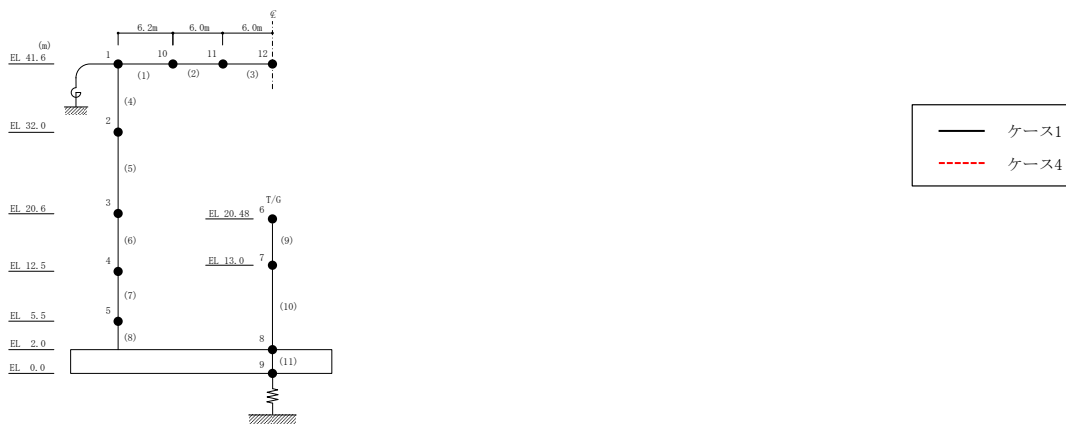
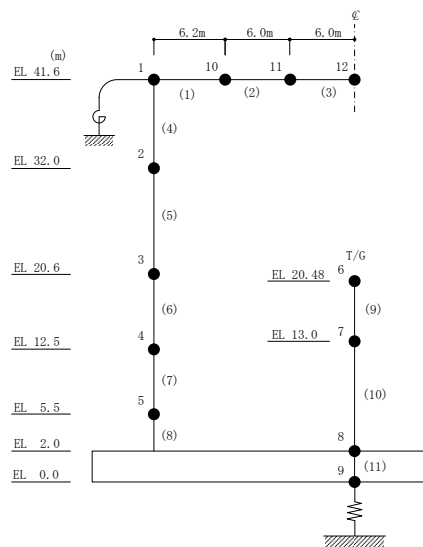


図 4-33 最大応答加速度 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

表 4-26 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	1139	1132
	32.0	2	956	960
	20.6	3	787	783
	12.5	4	690	687
	5.5	5	571	569
	2.0	8	535	536
屋根 トラス	0.0	1	1139	1132
	6.2	10	2000	1947
	12.2	11	2060	2067
	18.2	12	2975	2797

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



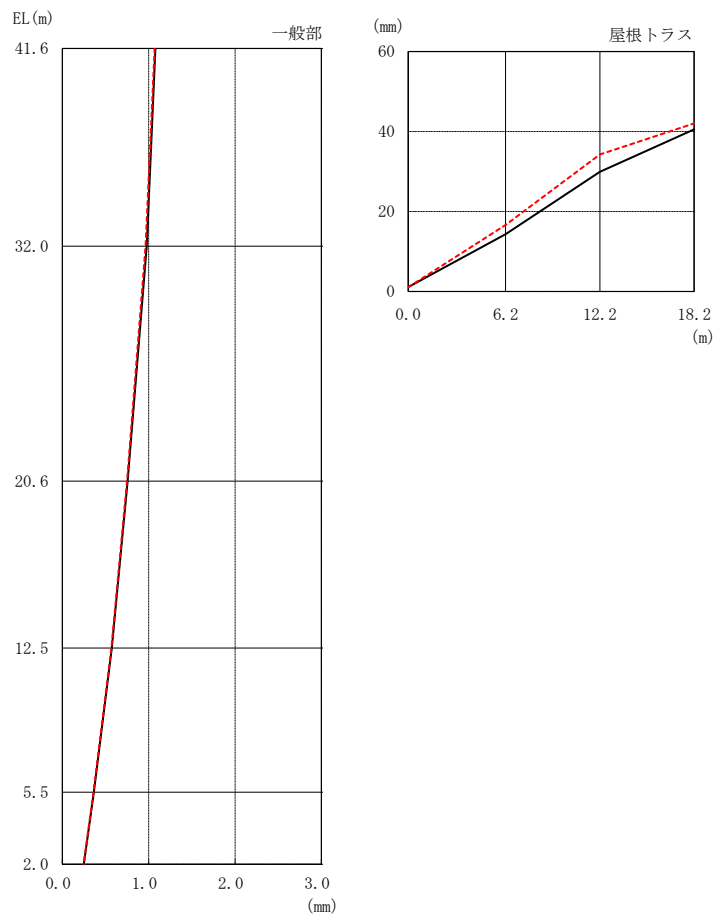
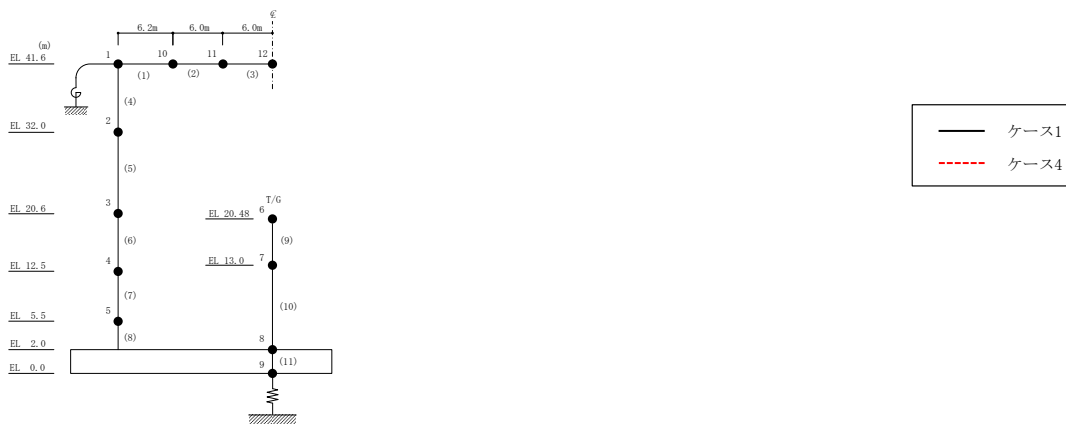
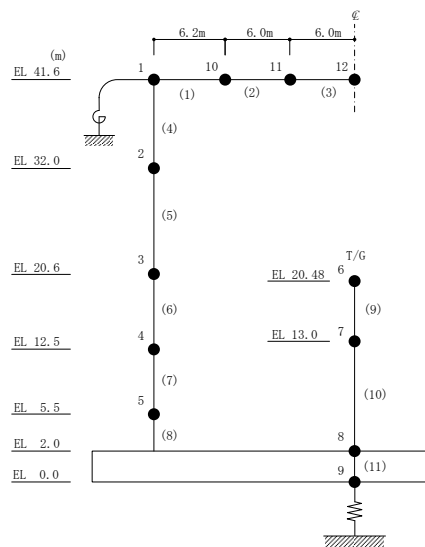


図 4-34 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - D$, 鉛直方向)

表 4-27 最大応答変位一覧（基準地震動 S s - D, 鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	1.08	1.07
	32.0	2	0.98	0.96
	20.6	3	0.76	0.75
	12.5	4	0.57	0.57
	5.5	5	0.36	0.36
	2.0	8	0.25	0.25
屋根 トラス	0.0	1	1.08	1.07
	6.2	10	14.30	16.60
	12.2	11	29.92	34.23
	18.2	12	40.52	

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



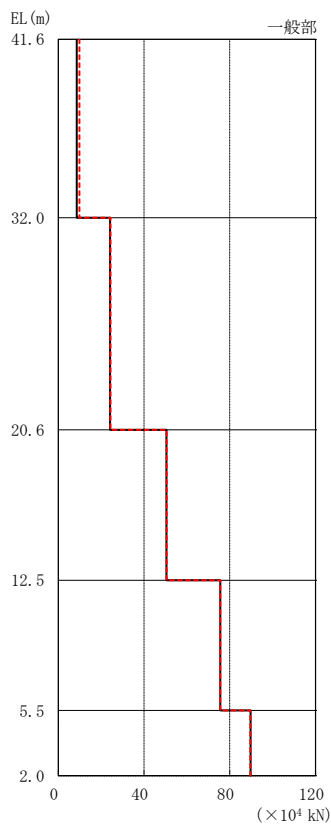
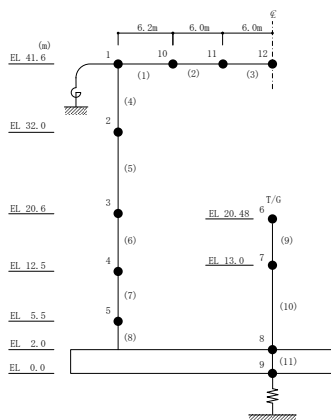
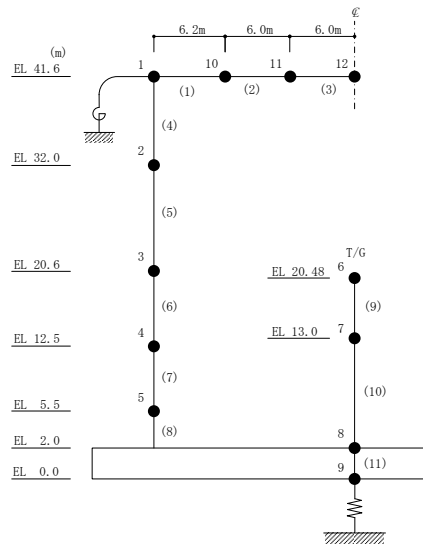


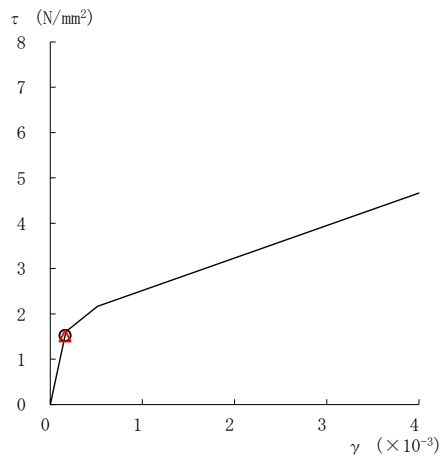
図 4-35 最大応答軸力 (基準地震動 $S_s - D$, 鉛直方向)

表 4-28 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

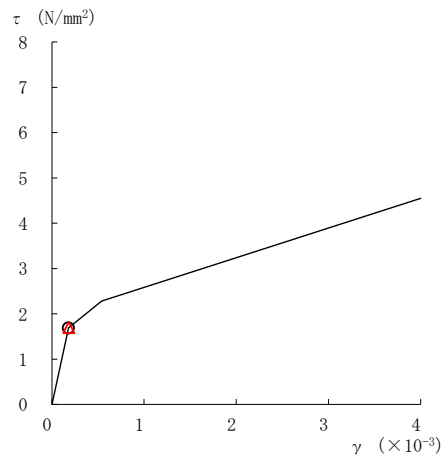
部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	8.65	9.83
	32.0~20.6	5	24.2	24.4
	20.6~12.5	6	50.5	50.6
	12.5~5.5	7	75.6	75.6
	5.5~2.0	8	89.7	89.6



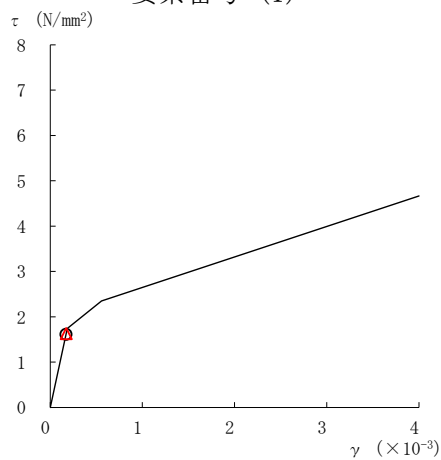
○ ケース 1 △ ケース 4



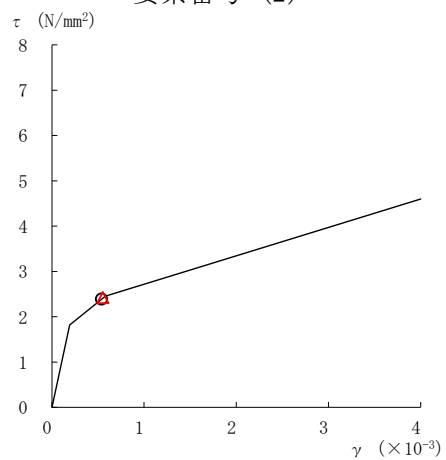
要素番号 (1)



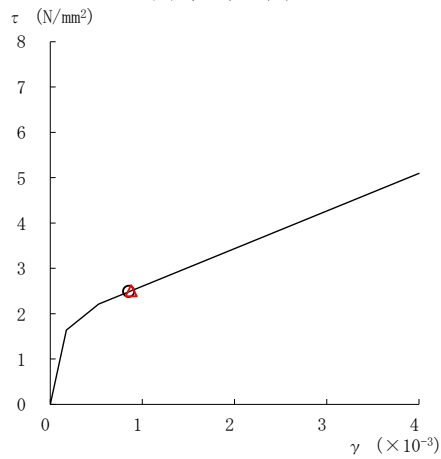
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

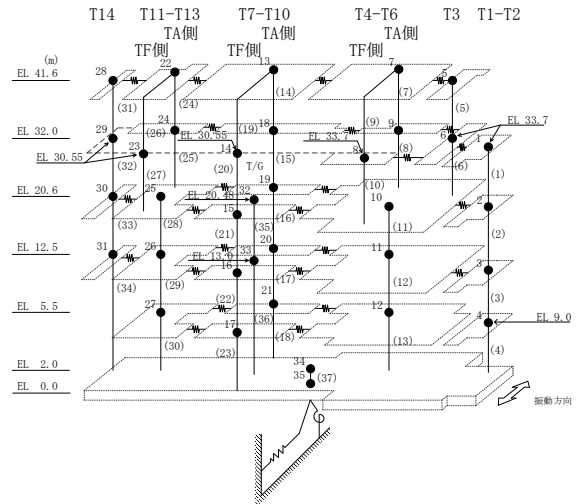
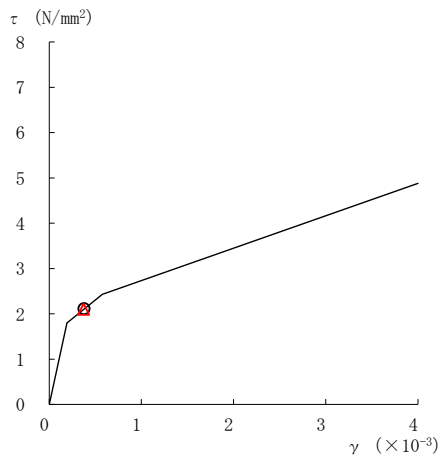
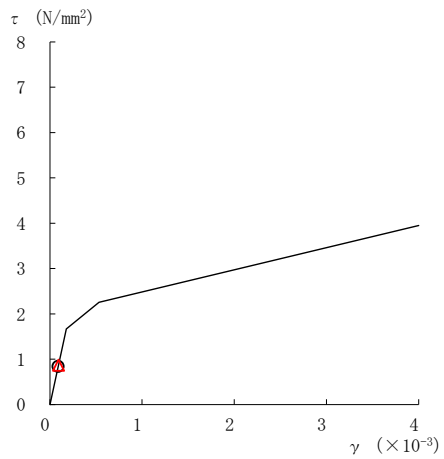


図 4-36(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

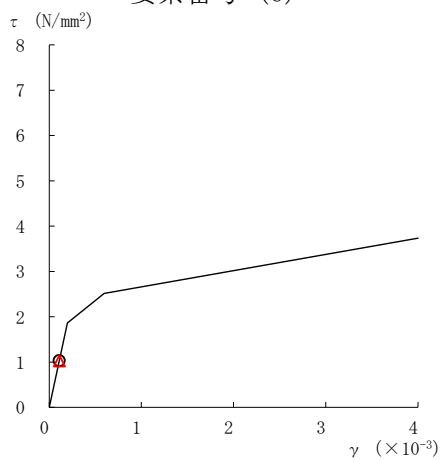
○ ケース 1 △ ケース 4



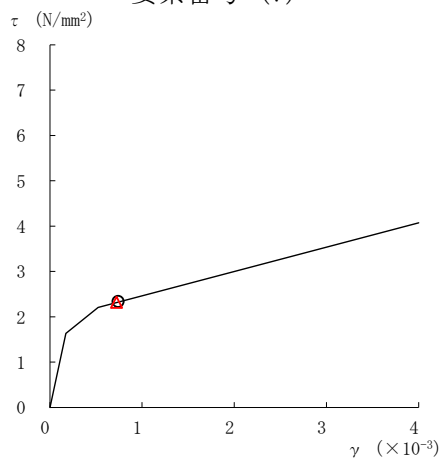
要素番号 (6)



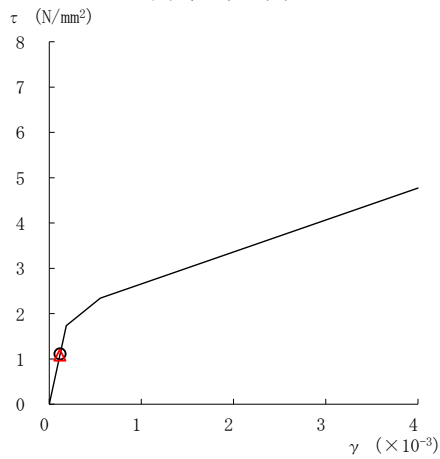
要素番号 (7)



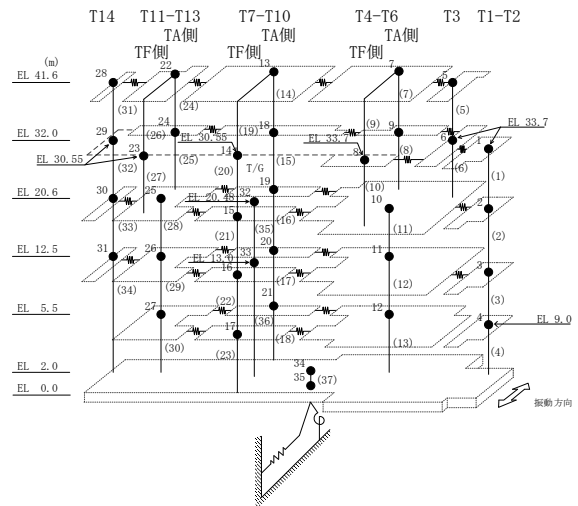
要素番号 (8)



要素番号 (10)



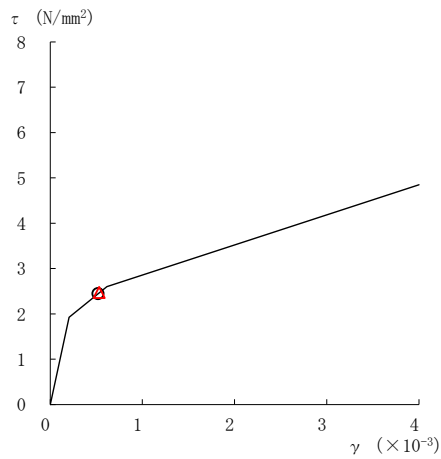
要素番号 (11)



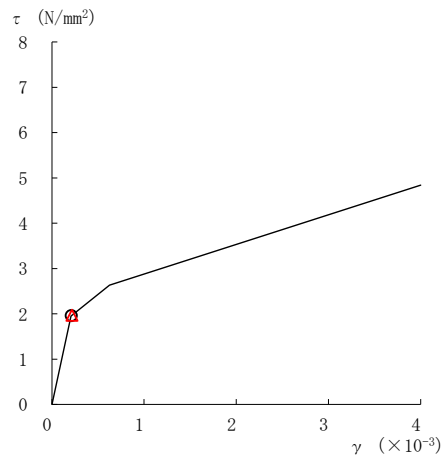
注：要素番号 9 は線形部材。

図 4-36(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

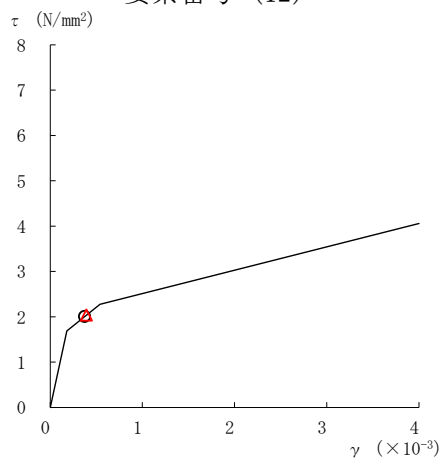
○ ケース 1 △ ケース 4



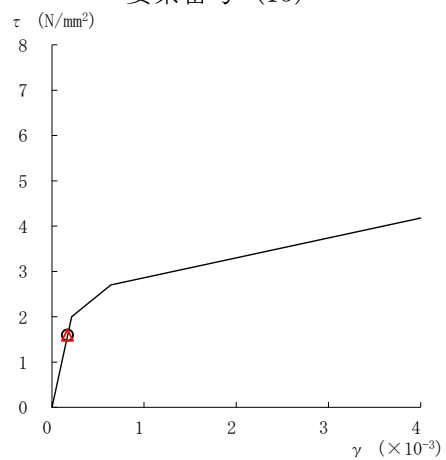
要素番号 (12)



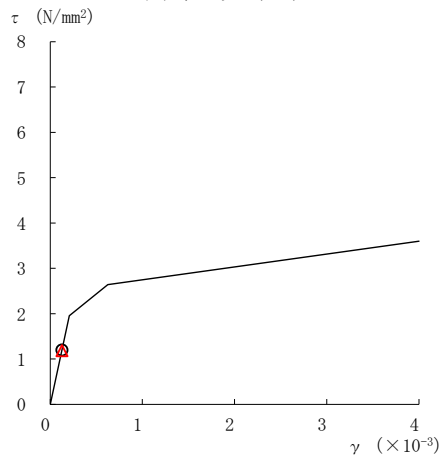
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

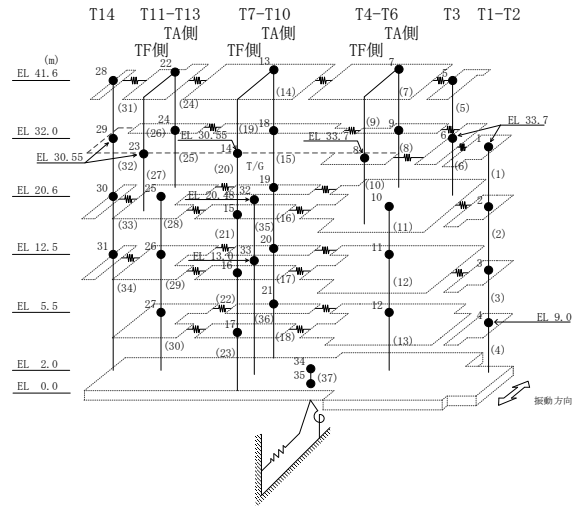
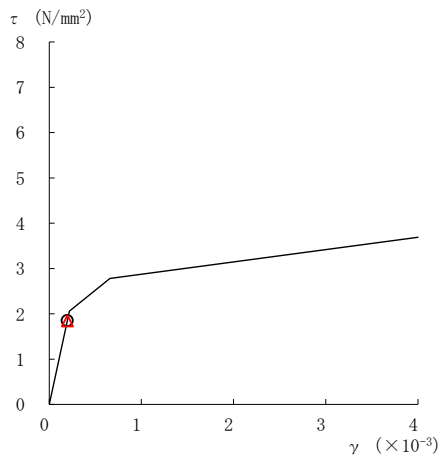
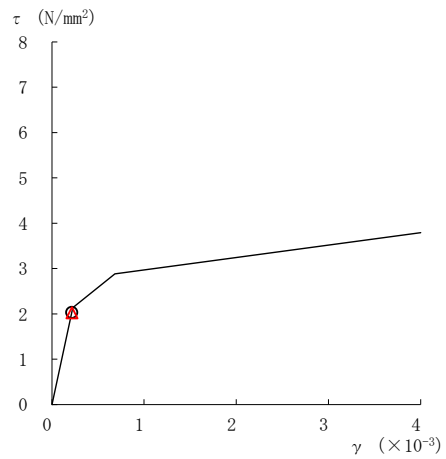


図 4-36(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

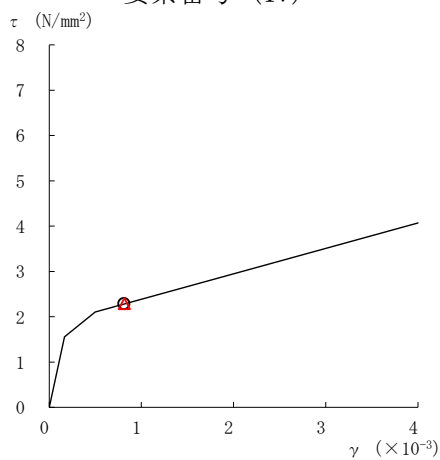
○ ケース 1 △ ケース 4



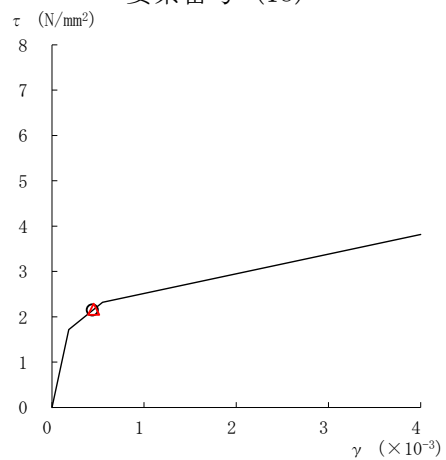
要素番号 (17)



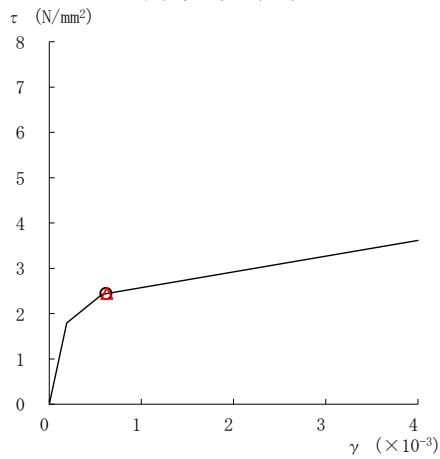
要素番号 (18)



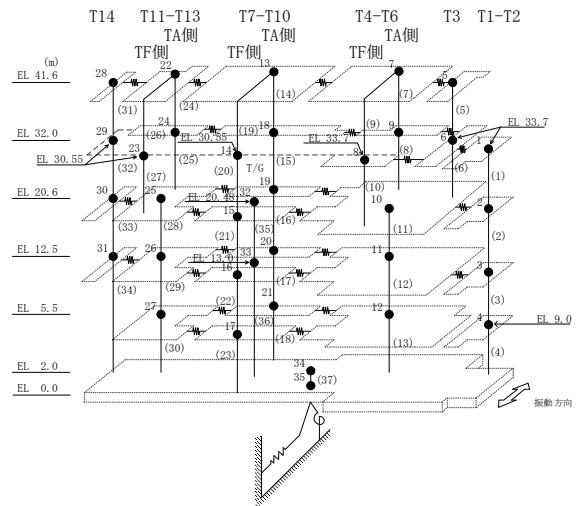
要素番号 (21)



要素番号 (22)



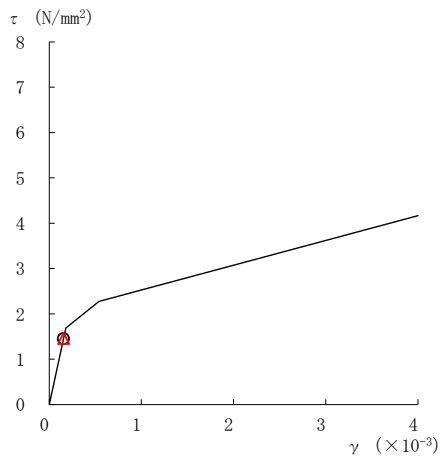
要素番号 (23)



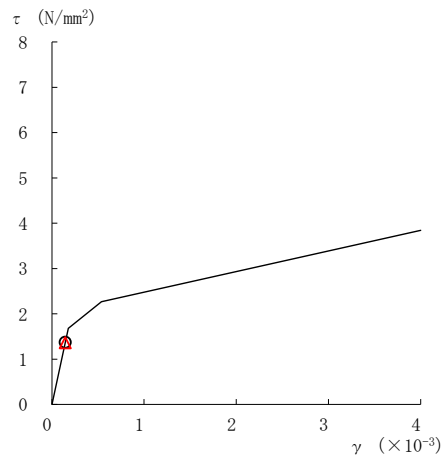
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 4-36(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

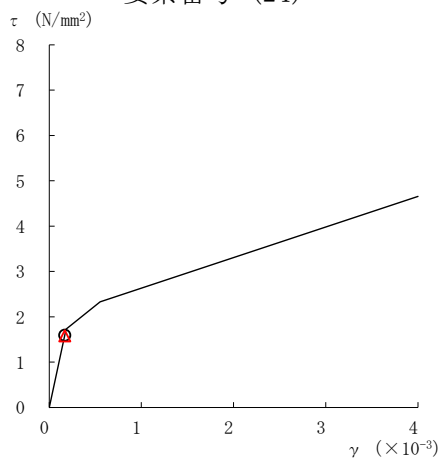
○ ケース 1 △ ケース 4



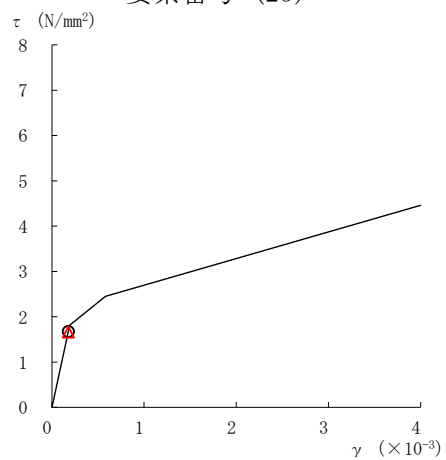
要素番号 (24)



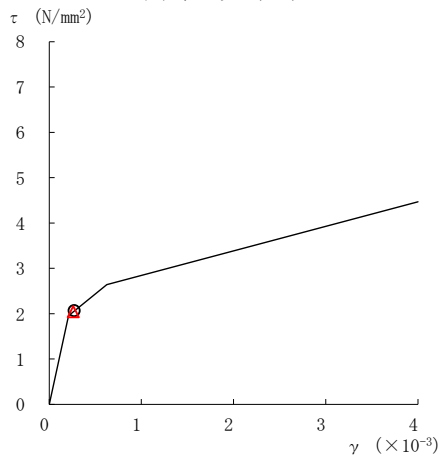
要素番号 (25)



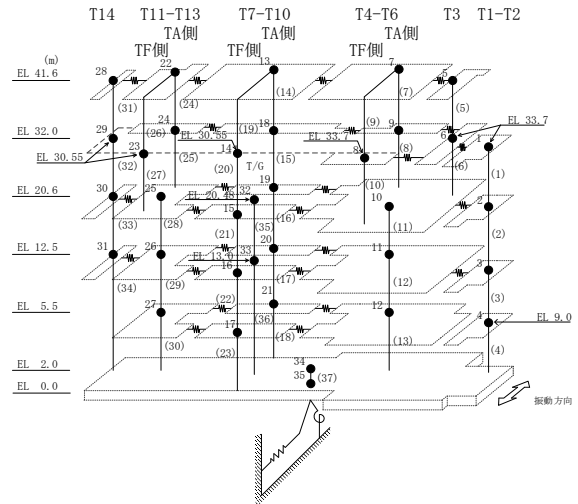
要素番号 (28)



要素番号 (29)



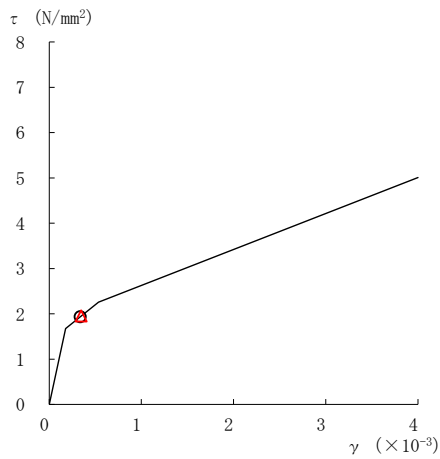
要素番号 (30)



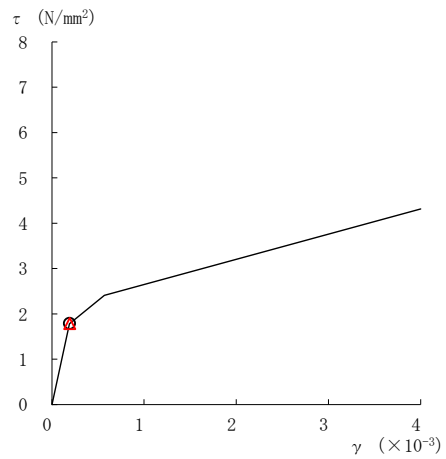
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 4-36(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

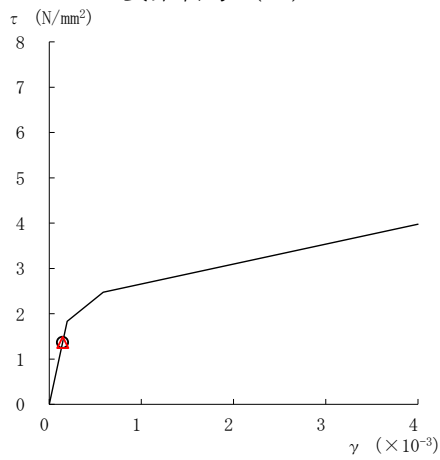
○ ケース 1 △ ケース 4



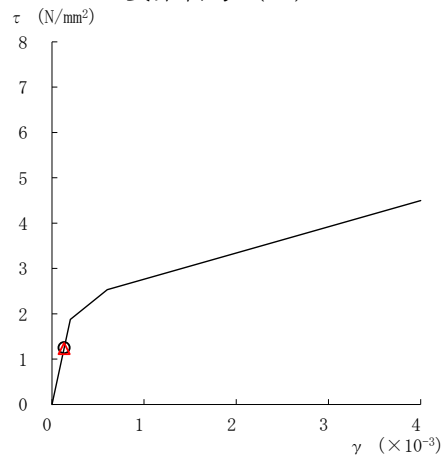
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

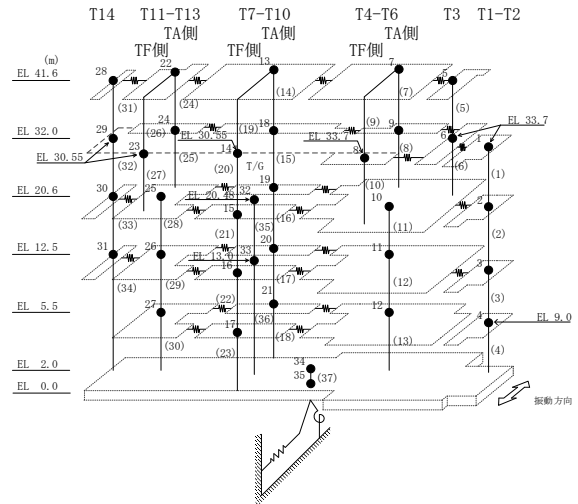
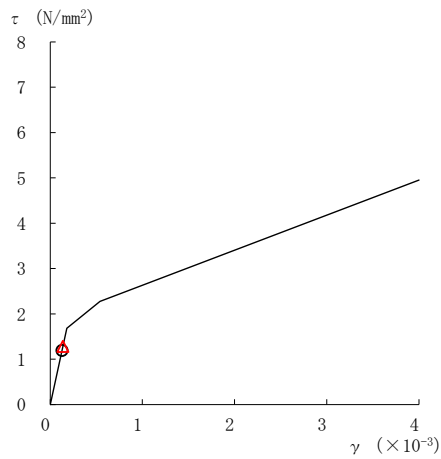
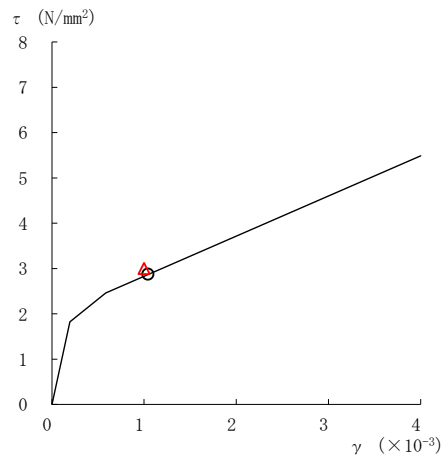


図 4-36(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

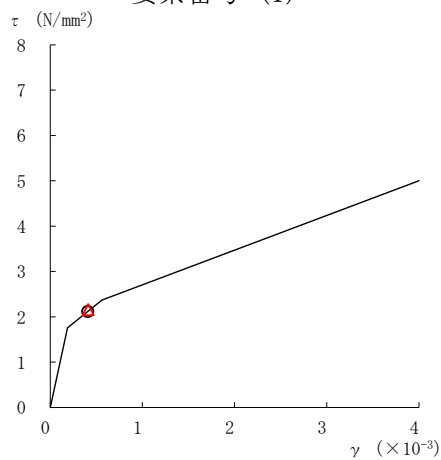
○ ケース 1 △ ケース 4



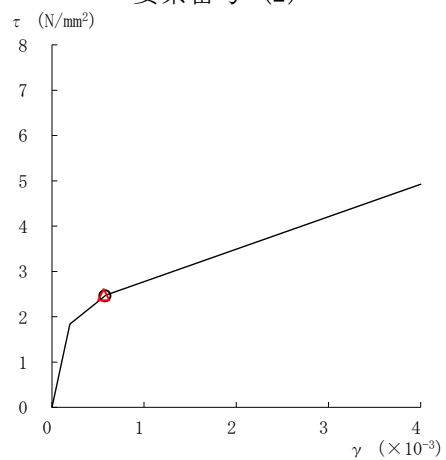
要素番号 (1)



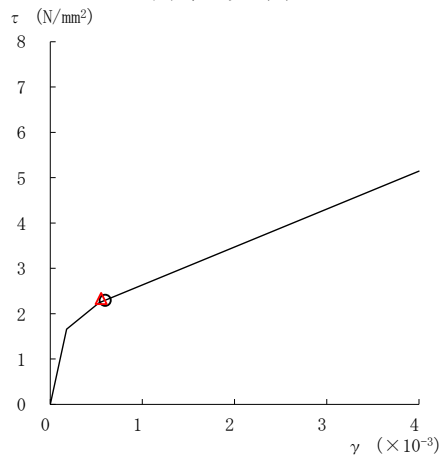
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

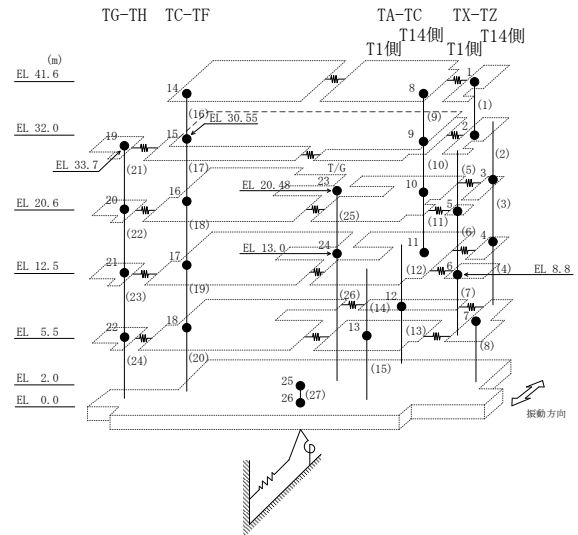
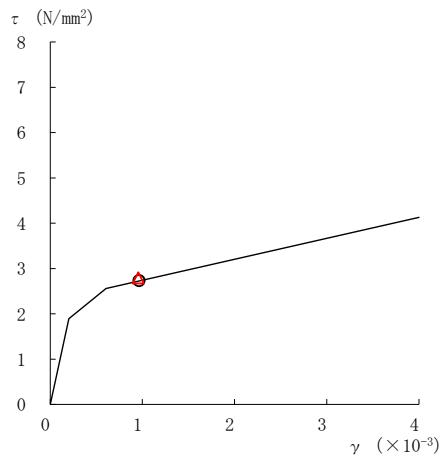
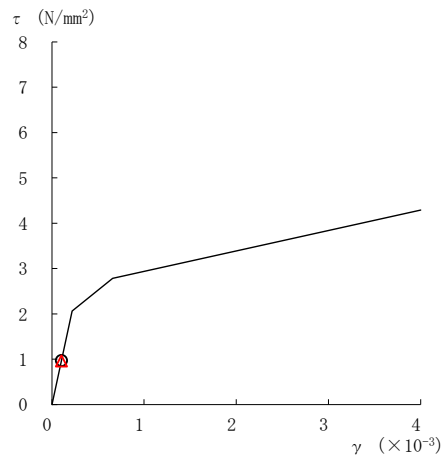


図 4-37(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

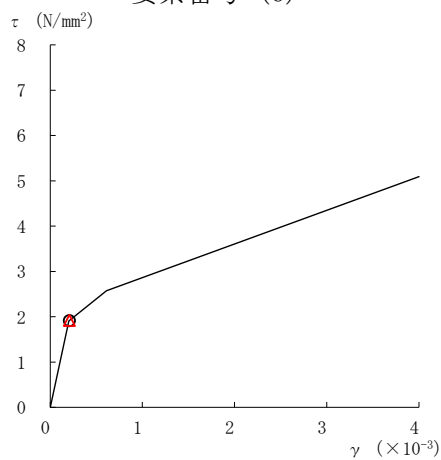
○ ケース 1 △ ケース 4



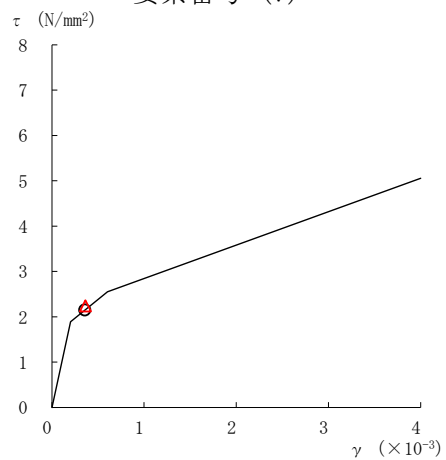
要素番号 (6)



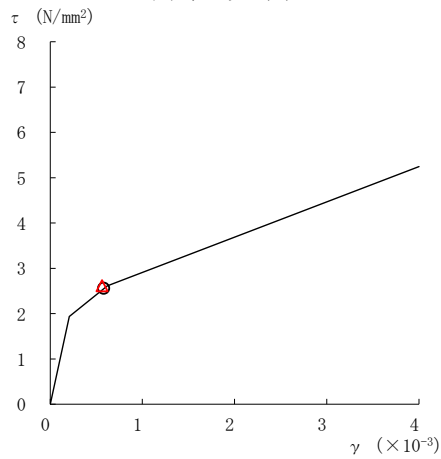
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

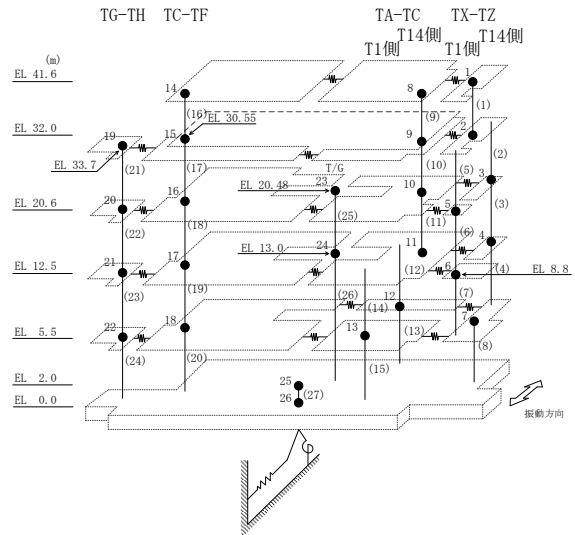
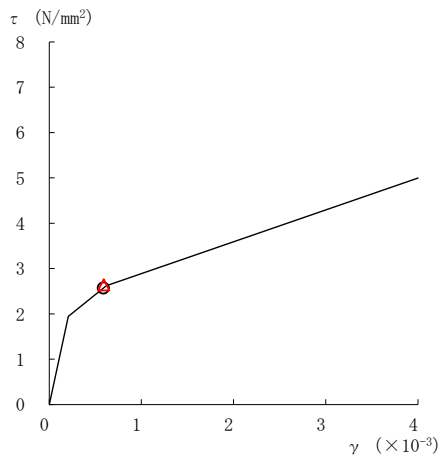
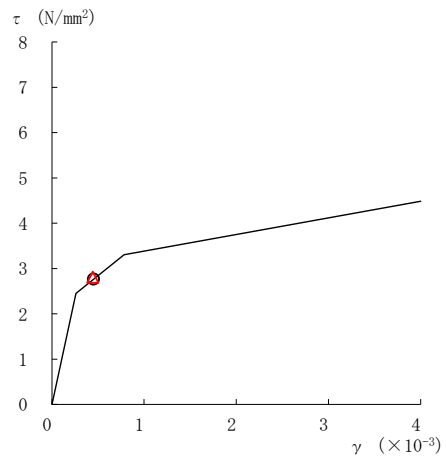


図 4-37(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

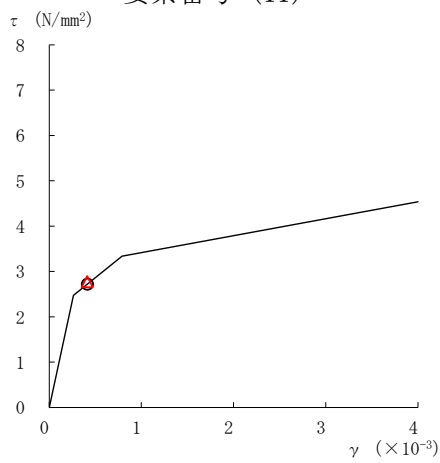
○ ケース 1 △ ケース 4



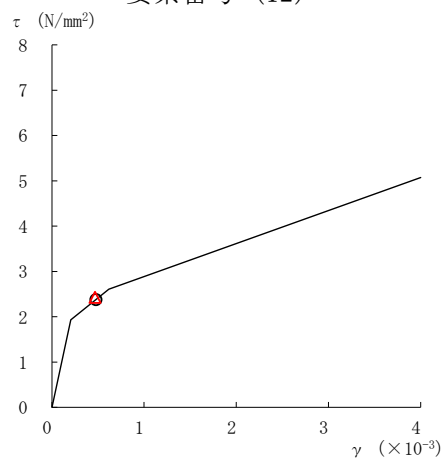
要素番号 (11)



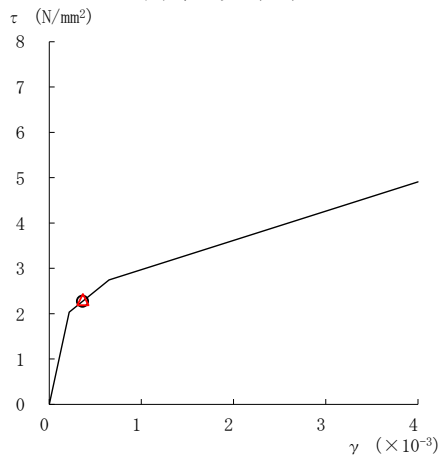
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

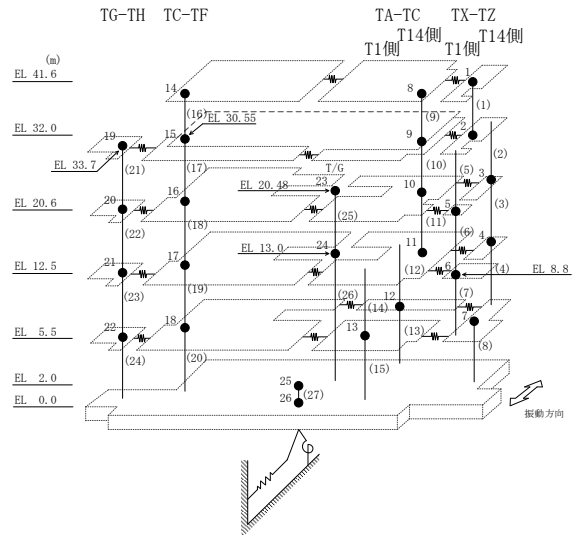
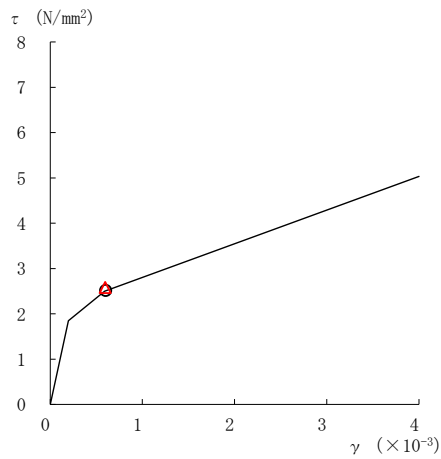
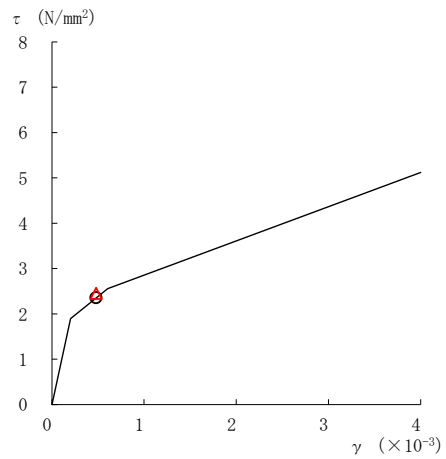


図 4-37(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

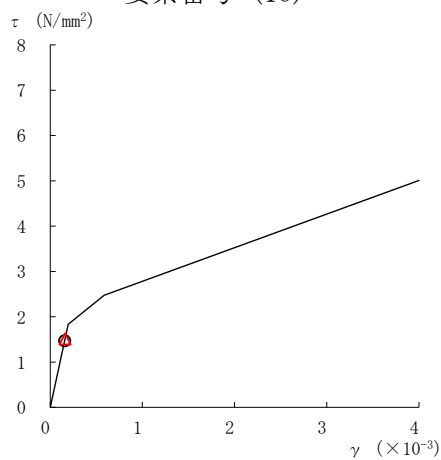
○ ケース 1 △ ケース 4



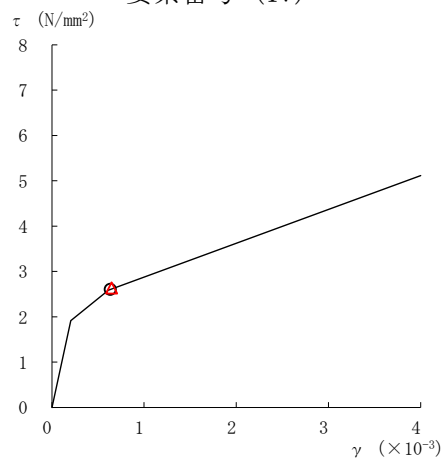
要素番号 (16)



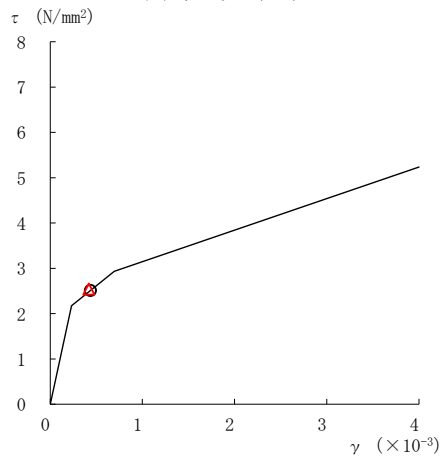
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

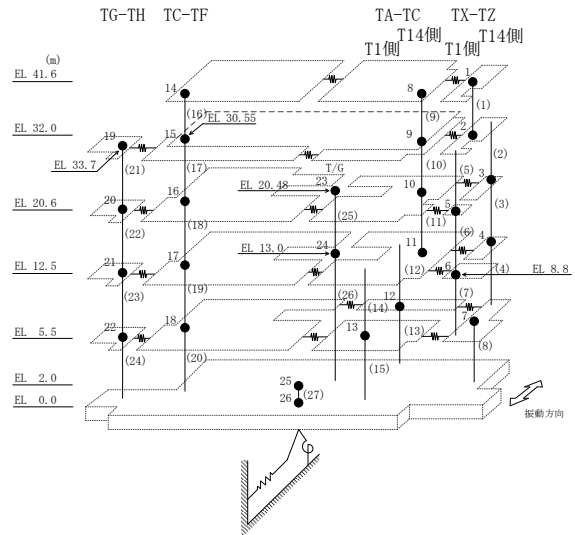
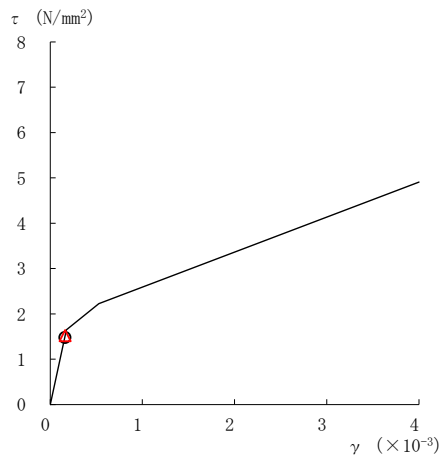
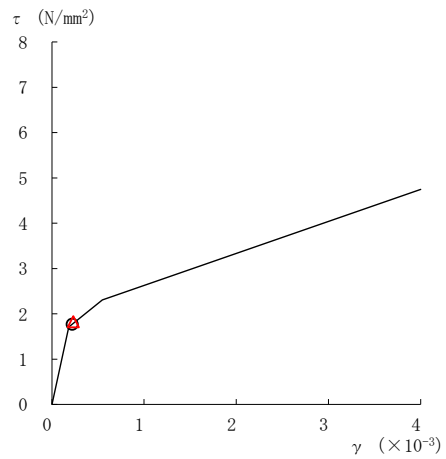


図 4-37(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

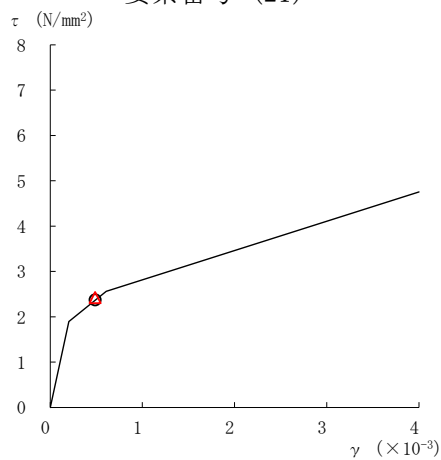
○ ケース 1 △ ケース 4



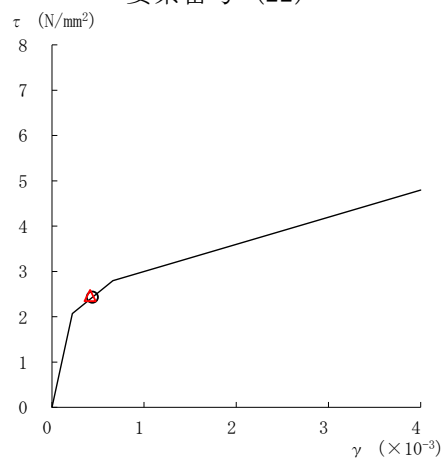
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

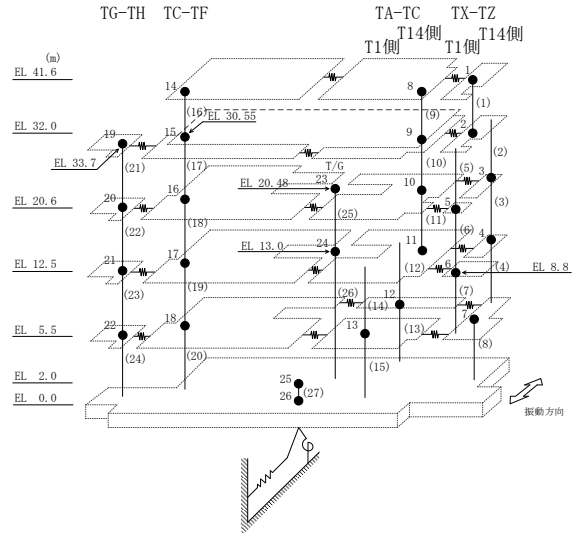


図 4-37(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

表 4-29 地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 1)

(a) NS方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.623	21.5	99.8

(b) EW方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.518	26.4	100

表 4-30 地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 4)

(a) NS方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.621	21.3	100

(b) EW方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S _s -D	0.524	27.3	100

4.3 まとめ

地盤物性の不確かさ及び積雪荷重との組合せを考慮した地震応答解析結果より、以下の傾向を確認した。

- ・地盤物性の不確かさ

地盤物性が大きくなる側（地盤物性 $+\sigma$ ）に変動した場合、水平方向については、発生応力及び加速度に大きな変化はなく、概ね同程度となり、変位は概ね同程度若しくは小さくなる。鉛直方向については、発生応力及び加速度は概ね同程度若しくは大きくなり、変位は小さくなる。

地盤物性が小さくなる側（地盤物性 $-\sigma$ ）に変動した場合、水平方向については、発生応力及び加速度に大きな変化はなく、概ね同程度となり、変位は概ね同程度若しくは大きくなる。鉛直方向については、発生応力及び加速度は概ね同程度若しくは大きくなり、変位は大きくなる。

- ・積雪荷重との組合せ

積雪荷重を組み合わせた場合、発生応力、加速度及び変位に大きな変化はなく、概ね同程度となる。

5. 機器・配管系評価への影響

地盤物性（地盤のS波速度及びP波速度）の不確かさ及び積雪荷重との組合せを考慮したケースに対して設備の評価に与える影響検討を行う。検討ケースを表5-1に示す。ここで、コンクリート強度を設計基準強度、地盤のS波速度及びP波速度を標準地盤とした検討ケースを基本ケースとする。表中の塗りつぶし部分は、基本ケースと異なる設定をしているパラメータを示す。

表5-1に示すとおり、ケース2及び3は耐震計算に用いる耐震条件（設計用条件I）に含めている。また、ケース4の最大応答加速度はケース1と概ね同程度であり、機器・配管系への影響が軽微であることを確認している。

表5-1 検討ケース

検討ケース	建物剛性	地盤物性	備考
	コンクリート強度		
ケース1 (今回工認モデル)	設計基準強度	標準地盤	基本ケース
ケース2 (地盤物性+ σ) *1	設計基準強度	標準地盤+ σ (+10%, +20%) *3	
ケース3 (地盤物性- σ) *1	設計基準強度	標準地盤- σ (-10%, -20%) *3	
ケース4 (積雪) *2	設計基準強度	標準地盤	積雪荷重との組合せを考慮

注記*1：ケース2（地盤物性+ σ ）及びケース3（地盤物性- σ ）については、耐震計算に用いる耐震条件（設計用条件I）に含まれている。詳細については、VI-2-1-7「設計用床応答スペクトルの作成方針」を参照

*2：ケース4（積雪）については、機器・配管系への影響が軽微であることを確認している。詳細については、「NS2-補-027-1 設計用床応答スペクトルの作成方法及び適用方法について」を参照

*3：VI-2-1-3「地盤の支持性能に係る基本方針」に基づき、地盤のS波速度 V_s 及びP波速度 V_p の不確かさを設定する。

別紙 3-1 材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる
地震動の選定について

目 次

1. 概要	別紙 3-1-1
2. 選定方法	別紙 3-1-1
3. 地震動の選定	別紙 3-1-3
4. 材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動	別紙 3-1-32

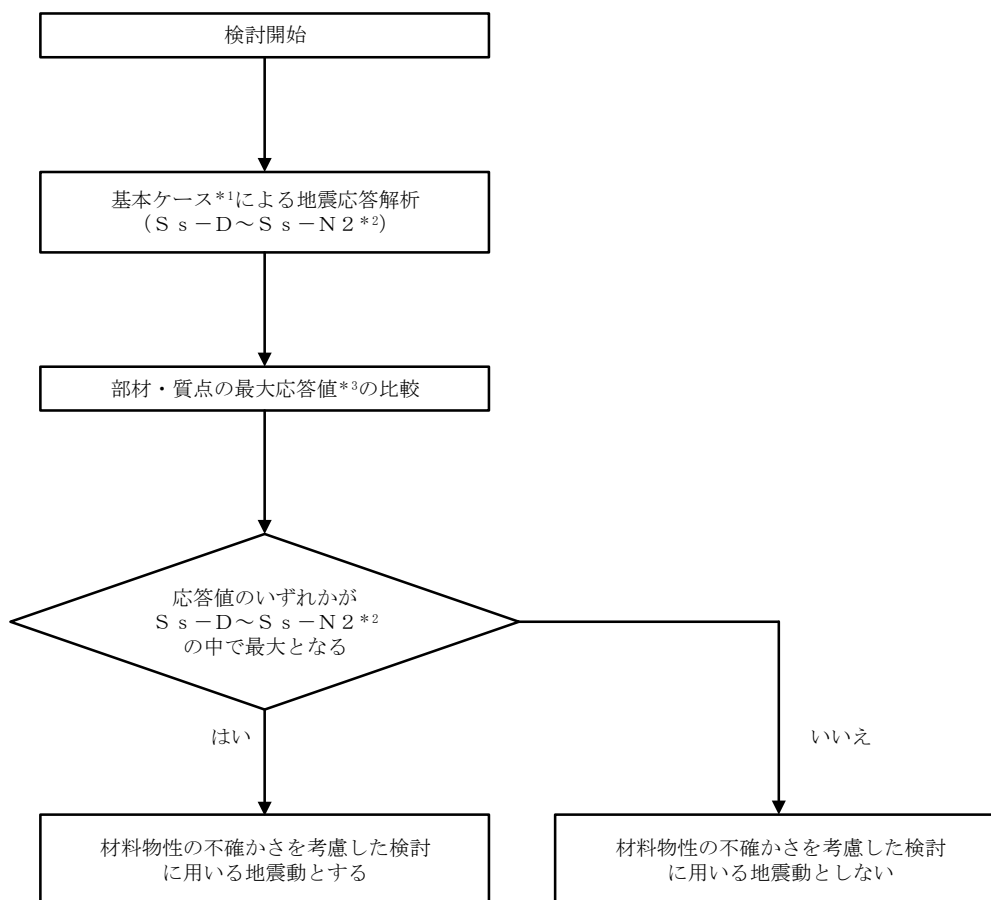
1. 概要

材料物性の不確かさの考慮に当たっては、地震動（基準地震動 S_s 又は弾性設計用地震動 S_d ）ごとの基本ケースにおける建物応答を確認したうえで、建物応答への影響の大きい波に対して検討を実施する。本資料では、材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動の選定方法及び地震動の選定結果について説明する。

2. 選定方法

材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動の選定方法を以下に示す。また、選定方法のフローを図 2-1 に示す。

- ①基本ケース（コンクリート強度：設計基準強度，地盤物性：標準地盤）による地震応答解析を行う。
- ②地震応答解析結果より，部材及び質点の最大応答値の比較を行う。ここで用いる応答値は，基準地震動 S_s については，加速度，変位，せん断力，曲げモーメント，軸力及びせん断ひずみとし，弾性設計用地震動 S_d については，加速度，変位，せん断力，曲げモーメント及び軸力とする。
- ③応答値のいずれかが基準地震動 S_s あるいは弾性設計用地震動 S_d の中で最大となる波を，材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動とする。



注記*1：コンクリート強度：設計基準強度，地盤物性：標準地盤

*2：弾性設計用地震動 S_d による不確かさ検討に用いる地震動の選定の際は，「 $S_s-D \sim S_s-N_2$ 」を「 $S_d-D \sim S_d-1$ 」に読み替える。

*3：応答値は，基準地震動 S_s については，加速度，変位，せん断力，曲げモーメント，軸力及びせん断ひずみとし，弾性設計用地震動 S_d については，加速度，変位，せん断力，曲げモーメント及び軸力とする。

図 2-1 材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動の選定方法のフロー

3. 地震動の選定

タービン建物における基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する地震動の選定を以下に示す。タービン建物の基準地震動 S_s に対する最大応答値を表 3-1～表 3-13 に、弾性設計用地震動 S_d に対する最大応答値を表 3-14～表 3-24 に示す。

「2. 選定方法」に基づき確認した結果、すべての基準地震動 S_s で応答値のいずれかが $S_s-D \sim S_s-N2$ の中で最大となること、 S_d-D 、 S_d-F1 、 S_d-F2 、 S_d-N2 及び S_d-1 については、応答値のいずれかが $S_d-D \sim S_d-1$ の中で最大となることから、不確かさを考慮した検討に用いる地震動とする。

表 3-1 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s , N S 方向）

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
T1-T2	33.7	1	1824	2095	1625	1224	1396	1400	2095
	20.6	2	1217	1363	1220	874	943	1012	1363
	12.5	3	995	1113	1003	903	695	769	1113
	9.0	4	1012	1067	887	893	622	748	1067
T3	41.6	5	2085	2376	1866	1503	1536	1642	2376
	33.7	6	1599	1401	1379	1265	1063	1195	1599
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	2958	2963	1670	1896	2031	3183
	32.0	9	1476	1568	1580	1202	1188	1195	1580
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2125	2052	1224	1540	1699	2125
T3-T6	20.6	10	1077	905	1043	832	754	847	1077
	12.5	11	985	740	816	807	628	669	985
	5.5	12	1183	663	774	863	750	583	1183
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2475	3048	1639	1989	2116	3048
	32.0	18	2319	1555	1574	1368	1273	1195	2319
	20.6	19	1466	1633	1417	1063	939	1373	1633
	12.5	20	1106	1217	1041	870	626	1009	1217
	5.5	21	1029	765	649	732	593	658	1029
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3868	3888	3319	1876	1938	2628	3888
	20.6	15	2064	1668	1494	912	1020	1117	2064
	12.5	16	1430	1219	1114	858	945	1102	1430
	5.5	17	1037	823	815	714	600	684	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2969	2246	2091	1438	1820	1590	2969
	32.0	24	1902	1454	1870	1014	1408	1338	1902
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2482	2240	2487	1714	1757	2559	2559
T11-T13	20.6	25	1481	1048	976	781	854	927	1481
	12.5	26	1072	839	756	702	679	651	1072
	5.5	27	927	665	640	685	581	577	927
T14	41.6	28	2478	1499	1762	1500	1243	1340	2478
	30.55	29	1415	1300	1267	1080	1052	970	1415
	20.6	30	1053	940	871	936	770	714	1053
	12.5	31	915	763	733	819	589	663	915
	2.0	34	947	667	576	640	577	573	947

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

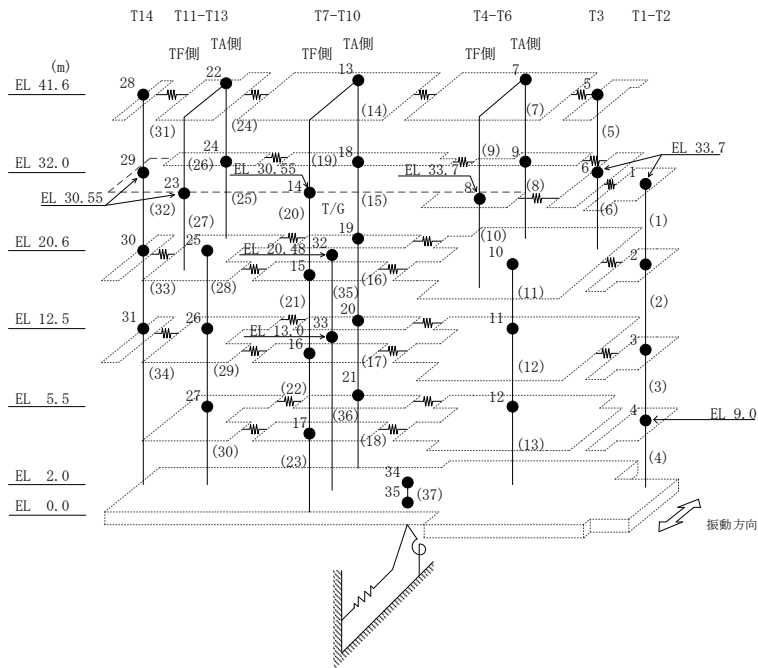


表 3-2 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
T1-T2	33.7	1	10.33	6.88	8.61	10.49	7.87	6.53	10.49
	20.6	2	7.28	4.71	6.28	7.78	5.21	4.10	7.78
	12.5	3	5.33	3.24	4.65	6.05	3.51	2.54	6.05
	9.0	4	4.57	2.74	3.96	5.29	2.82	1.95	5.29
T3	41.6	5	14.92	9.75	12.16	15.05	11.23	9.48	15.05
	33.7	6	10.87	7.35	9.17	11.55	8.68	7.11	11.55
T4-T6 (TA側)	41.6	7	21.08	16.12	18.03	20.19	15.59	14.34	21.08
	32.0	9	11.54	9.11	10.79	13.79	10.49	8.61	13.79
T4-T6 (TF側)	33.7	8	14.93	12.35	12.91	13.07	9.53	9.49	14.93
T3-T6	20.6	10	6.42	4.06	5.98	7.59	5.24	4.00	7.59
	12.5	11	5.22	3.04	4.74	6.21	4.04	2.88	6.21
	5.5	12	1.87	1.42	1.55	1.74	1.67	1.18	1.87
T7-T10 (TA側)	41.6	13	37.40	20.90	32.08	28.68	22.63	21.82	37.40
	32.0	18	24.81	13.08	17.76	19.62	15.16	13.91	24.81
	20.6	19	11.51	7.48	7.37	9.99	8.23	6.45	11.51
	12.5	20	5.15	3.91	3.99	5.35	4.48	3.45	5.35
	5.5	21	1.88	1.46	1.79	1.97	1.75	1.24	1.97
T7-T10 (TF側)	30.55	14	24.75	19.72	19.74	23.50	18.49	17.75	24.75
	20.6	15	13.26	7.96	8.99	10.18	6.52	6.62	13.26
	12.5	16	6.72	3.66	4.26	5.55	3.78	3.13	6.72
	5.5	17	3.31	1.77	2.05	2.42	1.95	1.30	3.31
T11-T13 (TA側)	41.6	22	30.02	18.29	16.81	21.02	17.70	15.82	30.02
	32.0	24	16.73	8.74	8.96	12.08	10.35	8.88	16.73
T11-T13 (TF側)	30.55	23	19.29	14.94	16.13	15.80	14.63	15.17	19.29
	20.6	25	5.27	3.18	3.45	4.85	4.41	3.76	5.27
	12.5	26	3.54	1.94	2.41	3.14	2.93	2.35	3.54
T11-T13	5.5	27	2.09	1.24	1.46	1.73	1.68	1.22	2.09
	41.6	28	19.87	9.71	10.06	11.78	11.47	9.73	19.87
	30.55	29	11.51	6.33	6.73	7.97	7.85	6.54	11.51
T14	20.6	30	5.66	3.61	4.01	5.00	4.81	3.92	5.66
	12.5	31	2.92	1.89	2.28	2.96	2.81	2.21	2.96
	2.0	34	1.12	0.87	0.88	0.89	0.96	0.62	1.12
	2.0	34	1.12	0.87	0.88	0.89	0.96	0.62	1.12

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

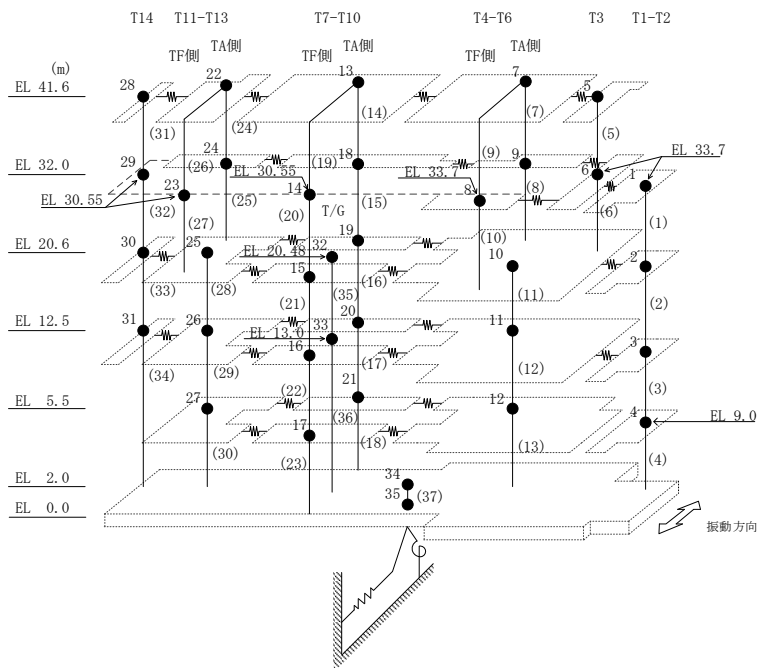


表 3-3 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s, NS 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	3.55	3.66	3.52	3.51	3.24	4.37
	20.6~12.5	2	6.26	5.71	5.40	5.80	5.23	4.88	6.26
	12.5~9.0	3	7.84	6.70	7.32	7.91	7.10	6.16	7.91
	9.0~2.0	4	9.87	8.21	9.28	10.3	7.99	7.57	10.3
T3	41.6~33.7	5	4.65	4.18	3.90	3.68	3.27	3.28	4.65
	33.7~20.6	6	6.21	5.75	5.77	5.52	5.35	5.49	6.21
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.54	2.44	1.61	1.81	1.86	2.54
	32.0~20.6	8	3.50	3.44	3.66	3.49	3.38	3.03	3.66
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.945	0.711	0.806	0.541	0.569	0.553	0.945
	33.7~20.6	10	2.20	2.16	2.10	1.86	1.74	1.98	2.20
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	20.7	21.2	22.7	19.4	18.7	22.7
	12.5~5.5	12	32.1	26.3	30.8	33.9	28.1	25.7	33.9
	5.5~2.0	13	36.3	30.2	35.0	39.9	32.2	27.7	39.9
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.35	5.46	3.62	4.11	4.13	5.70
	32.0~20.6	15	6.71	6.18	6.70	5.50	5.31	5.13	6.71
	20.6~12.5	16	7.29	7.56	8.03	6.76	6.76	7.23	8.03
	12.5~5.5	17	12.0	12.6	11.9	10.7	9.26	12.0	12.6
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.05	0.915	0.292	0.593	0.623	1.35
	30.55~20.6	20	3.05	2.72	2.33	1.61	1.57	2.04	3.05
	20.6~12.5	21	2.77	2.66	2.61	2.38	2.30	2.60	2.77
	12.5~5.5	22	5.59	4.64	4.83	5.00	4.54	4.78	5.59
	5.5~2.0	23	8.01	6.64	6.63	7.08	6.20	5.90	8.01
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.41	2.54	2.02	2.20	2.16	2.56
	32.0~20.6	25	7.37	5.72	6.09	6.06	6.06	5.68	7.37
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.421	0.396	0.376	0.178	0.328	0.402	0.421
	30.55~20.6	27	1.41	1.25	1.34	1.01	0.993	1.34	1.41
T11-T13	20.6~12.5	28	18.3	12.9	13.5	17.5	15.4	14.9	18.3
	12.5~5.5	29	23.8	16.7	17.5	22.1	19.8	18.4	23.8
	5.5~2.0	30	27.5	18.5	20.3	27.1	23.6	20.1	27.5
T14	41.6~30.55	31	3.62	2.67	2.59	2.65	2.30	2.30	3.62
	30.55~20.6	32	4.68	3.23	3.35	3.23	3.45	3.16	4.68
	20.6~12.5	33	4.61	3.67	3.94	4.09	4.07	3.74	4.61
	12.5~2.0	34	5.54	4.47	4.80	5.70	5.08	4.64	5.70

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

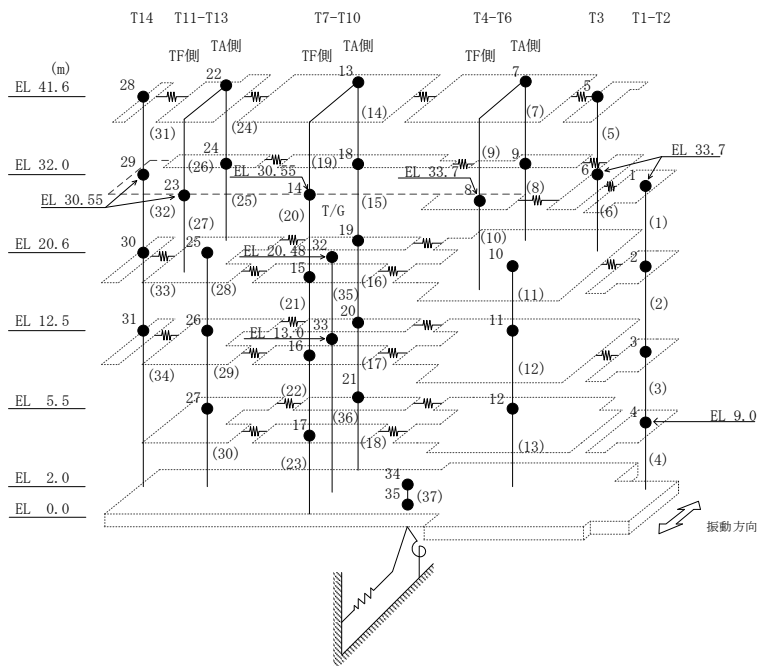


表 3-4(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s, NS 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			5.72	4.65	4.80	4.61	4.60	4.25	5.72
	20.6~12.5	2	5.72	4.65	4.80	4.61	4.60	4.25	5.72
			10.5	8.97	9.09	9.29	8.82	8.12	10.5
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			3.68	3.30	3.08	2.91	2.58	2.59	3.68
	33.7~20.6	6	3.68	3.30	3.08	2.91	2.58	2.59	3.68
			11.6	10.4	10.6	10.0	9.57	9.70	11.6
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.196	0.185	0.162	0.145	0.139	0.264
			2.17	2.25	2.16	1.39	1.61	1.65	2.25
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.213	0.233	0.168	0.171	0.163	0.285
			0.461	0.349	0.404	0.260	0.279	0.274	0.461
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.244	0.344	0.196	0.195	0.181	0.385
			5.24	4.94	4.89	3.36	3.77	3.84	5.24
T7-T10 (TF側)	32.0~20.6	15	5.24	4.94	4.89	3.36	3.77	3.84	5.24
			12.0	11.5	12.4	9.20	9.46	9.51	12.4
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	18.8	18.9	17.8	16.5	17.4	20.4
			36.4	33.7	34.6	36.0	31.7	30.5	36.4
	12.5~5.5	12	36.4	33.7	34.6	36.0	31.7	30.5	36.4
			55.4	49.9	52.4	59.5	51.3	46.9	59.5
5.5~2.0	13	55.4	49.9	52.4	59.5	51.3	46.9	59.5	
		65.4	57.8	62.0	72.9	61.3	55.8	72.9	
T1-T2	33.7~20.6	4	13.2	11.1	11.4	12.1	11.3	10.3	13.2
			20.1	16.4	17.1	19.0	16.9	15.4	20.1
	20.6~12.5	2	10.5	8.97	9.09	9.29	8.82	8.12	10.5
			13.2	11.1	11.4	12.1	11.3	10.3	13.2
	12.5~9.0	3	10.5	8.97	9.09	9.29	8.82	8.12	10.5
			13.2	11.1	11.4	12.1	11.3	10.3	13.2
9.0~2.0	4	13.2	11.1	11.4	12.1	11.3	10.3	13.2	
		20.1	16.4	17.1	19.0	16.9	15.4	20.1	

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

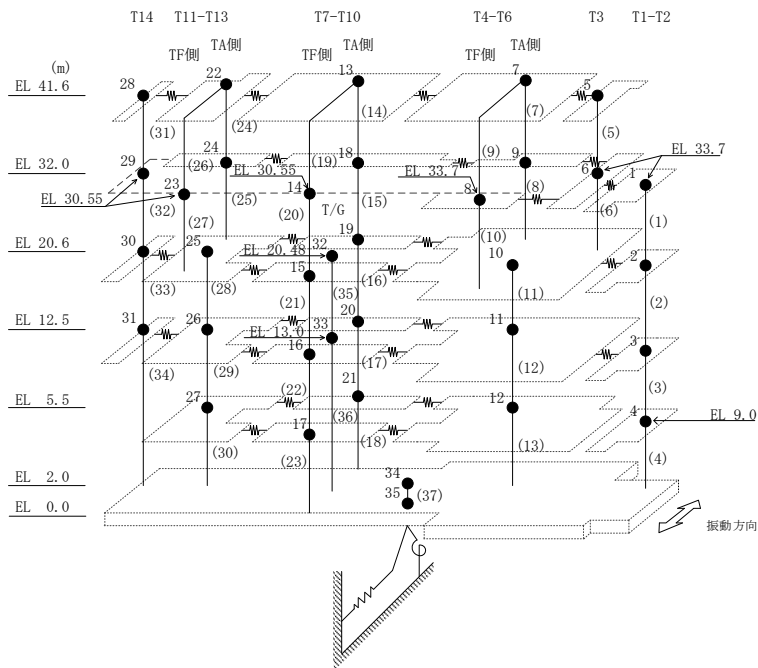


表 3-4(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s, NS 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.552	0.340	0.289	0.176	0.221	0.259	0.552
	30.55~20.6	20	0.941	0.863	0.752	0.313	0.435	0.497	0.941
			2.44	1.86	1.64	1.34	1.22	1.56	2.44
	20.6~12.5	21	2.44	1.86	1.64	1.34	1.22	1.56	2.44
			3.78	2.70	3.32	3.07	2.96	2.97	3.78
12.5~5.5	22	3.78	2.70	3.32	3.07	2.96	2.97	3.78	
		6.33	5.34	6.22	6.38	5.37	5.41	6.38	
5.5~2.0	23	6.33	5.34	6.22	6.38	5.37	5.41	6.38	
		8.22	6.92	7.93	8.79	7.31	7.42	8.79	
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.303	0.195	0.230	0.160	0.140	0.160	0.303
	32.0~20.6	25	2.25	2.12	2.21	1.79	2.00	1.96	2.25
9.08			8.04	7.74	8.31	8.02	7.74	9.08	
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.189	0.139	0.192	0.120	0.118	0.145	0.192
	30.55~20.6	27	0.330	0.303	0.307	0.172	0.258	0.334	0.334
0.330			0.303	0.307	0.172	0.258	0.334	0.334	
T11-T13	20.6~12.5	28	1.18	0.994	1.03	0.836	0.799	1.00	1.18
			10.3	9.03	8.71	9.08	8.81	8.48	10.3
	24.6	18.4	18.6	23.2	21.2	20.2	24.6		
12.5~5.5	29	24.6	18.4	18.6	23.2	21.2	20.2	24.6	
		41.0	29.9	30.3	38.6	34.9	32.8	41.0	
5.5~2.0	30	41.0	29.9	30.3	38.6	34.9	32.8	41.0	
		50.2	36.3	37.3	48.0	42.8	39.7	50.2	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			4.00	2.96	2.86	2.93	2.54	2.54	4.00
	30.55~20.6	32	4.00	2.96	2.86	2.93	2.54	2.54	4.00
			8.53	5.94	6.11	6.14	5.95	5.65	8.53
20.6~12.5	33	8.53	5.94	6.11	6.14	5.95	5.65	8.53	
		12.2	8.73	8.78	9.18	9.20	8.54	12.2	
12.5~2.0	34	12.2	8.73	8.78	9.18	9.20	8.54	12.2	
		17.2	13.0	13.4	14.9	14.4	13.1	17.2	

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

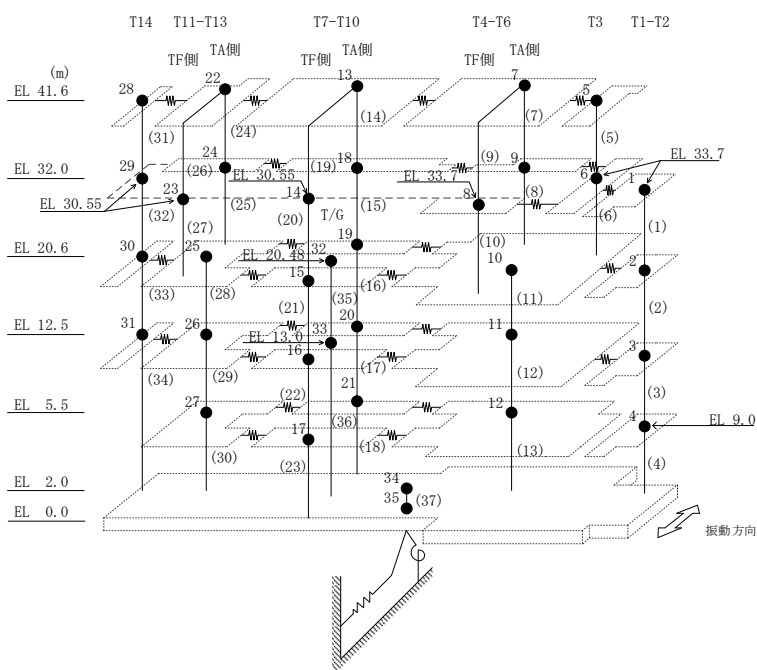


表 3-5 最大応答せん断ひずみ一覧 (基準地震動 S s , N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断ひずみ (×10 ⁻³)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
T1-T2	33.7~20.6	1	0.16	0.13	0.14	0.13	0.13	0.12	0.16
	20.6~12.5	2	0.18	0.16	0.16	0.17	0.15	0.14	0.18
	12.5~9.0	3	0.17	0.15	0.16	0.17	0.16	0.13	0.17
	9.0~2.0	4	0.54	0.29	0.43	0.64	0.26	0.20	0.64
T3	41.6~33.7	5	0.85	0.55	0.42	0.36	0.24	0.24	0.85
	33.7~20.6	6	0.38	0.28	0.28	0.23	0.20	0.21	0.38
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.09	0.09	0.09	0.06	0.06	0.07	0.09
	32.0~20.6	8	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.09	0.11
T4-T6 (TF側)	33.7~20.6	10	0.74	0.69	0.47	0.35	0.30	0.39	0.74
T3-T6	20.6~12.5	11	0.12	0.11	0.11	0.12	0.10	0.10	0.12
	12.5~5.5	12	0.52	0.25	0.45	0.60	0.33	0.22	0.60
	5.5~2.0	13	0.21	0.17	0.20	0.32	0.19	0.16	0.32
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.37	0.30	0.32	0.14	0.15	0.16	0.37
	32.0~20.6	15	0.17	0.16	0.17	0.14	0.13	0.13	0.17
	20.6~12.5	16	0.13	0.13	0.14	0.12	0.12	0.13	0.14
	12.5~5.5	17	0.20	0.21	0.20	0.18	0.15	0.20	0.21
T7-T10 (TF側)	20.6~12.5	21	0.81	0.65	0.51	0.41	0.37	0.48	0.81
	12.5~5.5	22	0.44	0.22	0.25	0.30	0.20	0.24	0.44
	5.5~2.0	23	0.62	0.33	0.30	0.41	0.25	0.19	0.62
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.16	0.15	0.15	0.12	0.13	0.13	0.16
	32.0~20.6	25	0.15	0.11	0.12	0.12	0.12	0.11	0.15
T11-T13	20.6~12.5	28	0.17	0.12	0.13	0.16	0.14	0.14	0.17
	12.5~5.5	29	0.18	0.13	0.13	0.17	0.15	0.14	0.18
	5.5~2.0	30	0.27	0.15	0.16	0.25	0.19	0.16	0.27
T14	41.6~30.55	31	0.34	0.15	0.15	0.15	0.13	0.13	0.34
	30.55~20.6	32	0.19	0.13	0.14	0.13	0.14	0.13	0.19
	20.6~12.5	33	0.15	0.12	0.12	0.13	0.13	0.12	0.15
	12.5~2.0	34	0.13	0.11	0.12	0.14	0.12	0.11	0.14

注 1 : ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注 2 : 要素番号 9, 19, 20, 26, 27 は線形部材。

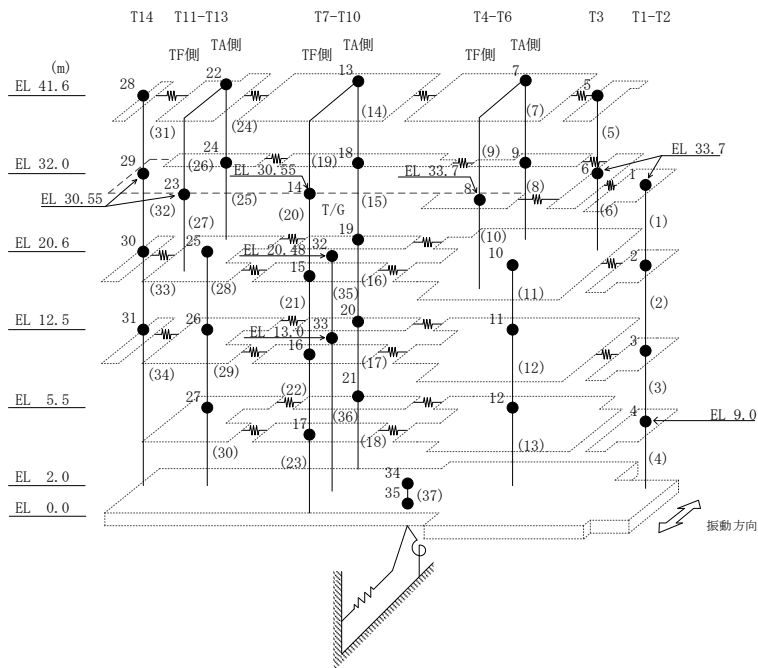


表 3-6 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s , E W 方向）

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
TX-TZ	41.6	1	2410	2307	1807	1377	1605	2051	2410
	32.0	2	2192	2047	1541	1276	1288	1709	2192
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1239	1313	1065	1181	870	973	1313
	12.5	4	1047	1127	912	1073	759	823	1127
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1656	1461	1340	1568	1353	1468	1656
	8.8	6	1001	1106	777	881	673	649	1106
TX-TZ	5.5	7	967	1081	757	893	660	638	1081
TA-TC	41.6	8	2194	2055	1584	1621	1932	1963	2194
	32.0	9	1671	1615	1407	1232	1251	1460	1671
	20.6	10	1244	1173	1052	1015	959	1019	1244
	12.5	11	1158	892	882	860	880	730	1158
TA-TC (T14側)	5.5	12	1179	803	856	722	709	825	1179
TA-TC (T1側)	5.5	13	959	694	754	808	685	660	959
TC-TF	41.6	14	2926	2266	1978	1843	2085	2352	2926
	30.55	15	1605	1422	1355	1081	1084	1239	1605
	20.6	16	1167	1097	973	962	741	972	1167
	12.5	17	1185	1092	967	895	606	749	1185
	5.5	18	921	816	802	885	560	606	921
	33.7	19	1735	1667	1656	1145	1543	1348	1735
TG-TH	20.6	20	1249	1258	1147	970	993	924	1258
	12.5	21	1252	1003	886	930	695	738	1252
	5.5	22	856	605	732	940	578	613	940
	2.0	25	928	616	699	647	581	622	928
	2.0	26	928	616	699	647	581	622	928

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

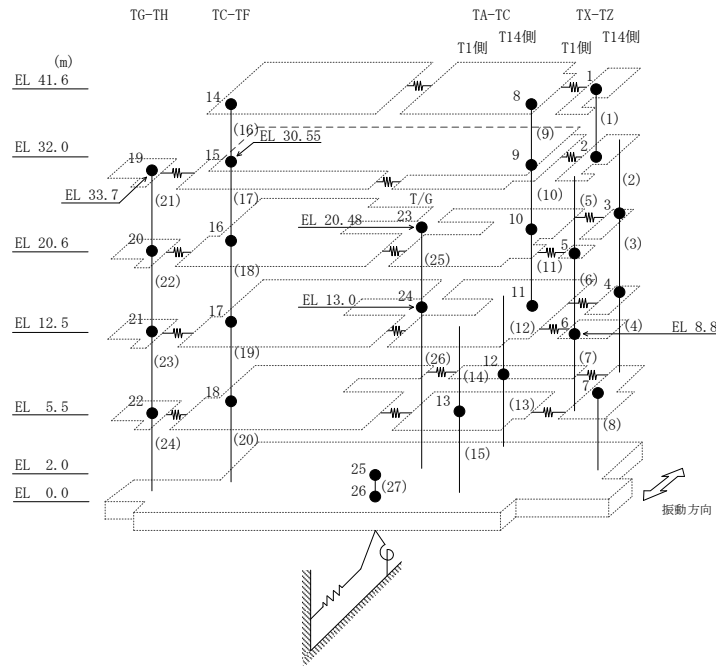


表 3-7 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
TX-TZ	41.6	1	19.88	17.03	12.31	9.86	8.61	11.94	19.88
	32.0	2	18.85	16.09	11.41	9.23	7.92	11.01	18.85
TX-TZ (T14側)	20.6	3	9.31	7.98	6.33	5.61	4.63	4.74	9.31
	12.5	4	6.31	5.69	4.63	4.08	3.31	3.30	6.31
TX-TZ (T1側)	20.6	5	13.31	12.09	9.24	8.00	5.98	8.08	13.31
	8.8	6	2.60	2.24	2.15	1.71	1.92	1.86	2.60
TX-TZ	5.5	7	2.25	1.88	1.89	1.42	1.67	1.66	2.25
TA-TC	41.6	8	18.88	15.42	11.18	9.63	8.36	10.58	18.88
	32.0	9	15.87	13.24	9.60	8.29	7.08	8.28	15.87
	20.6	10	10.41	9.05	7.29	6.38	5.26	5.76	10.41
	12.5	11	6.16	5.40	4.47	4.05	3.55	3.21	6.16
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.98	2.67	2.21	2.03	2.03	1.98	2.98
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.80	2.34	2.10	1.73	1.89	1.83	2.80
TC-TF	41.6	14	17.58	12.75	10.50	9.29	8.00	9.74	17.58
	30.55	15	12.58	10.14	8.22	7.36	5.96	6.68	12.58
	20.6	16	8.69	7.94	6.14	5.80	4.15	4.41	8.69
	12.5	17	7.47	6.79	5.18	4.86	3.36	3.49	7.47
	5.5	18	3.06	2.40	2.10	1.81	1.85	1.85	3.06
TG-TH	33.7	19	9.54	8.58	7.09	6.03	5.03	5.29	9.54
	20.6	20	7.87	7.21	5.66	5.12	3.80	3.97	7.87
	12.5	21	6.31	5.78	4.31	3.90	2.77	2.90	6.31
	5.5	22	3.06	2.50	2.15	1.75	1.69	1.78	3.06
	2.0	25	1.51	1.14	1.31	0.93	1.16	1.21	1.51

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

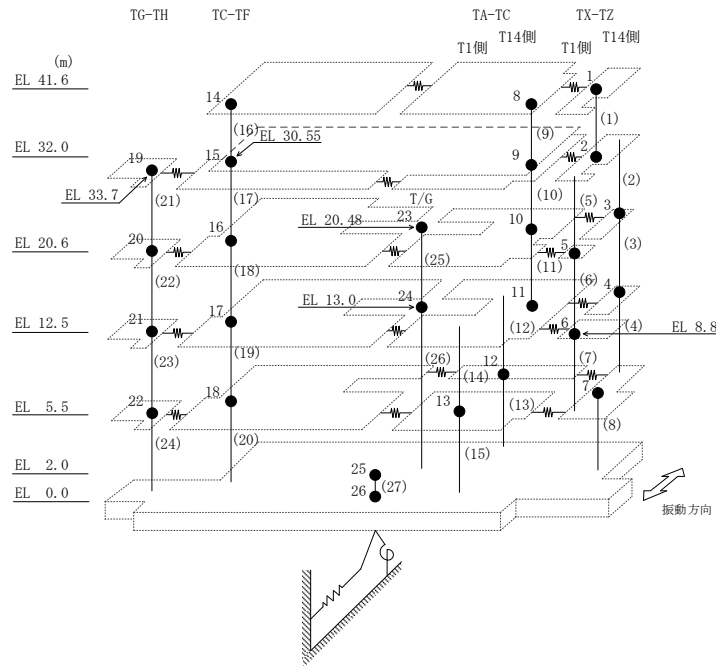


表 3-8 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)						最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	4.99	4.20	3.98	4.27	4.54	4.99
	32.0~20.6	2	11.5	10.5	9.27	8.12	8.32	9.83	11.5
TX-TZ (T14側)	20.6~12.5	3	22.6	22.1	19.2	18.4	15.9	18.5	22.6
	12.5~5.5	4	25.4	25.6	22.4	22.5	19.8	20.9	25.6
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.50	2.12	1.99	2.16	2.36	2.85
	20.6~8.8	6	3.50	3.53	3.30	3.17	2.92	3.28	3.53
	8.8~5.5	7	11.7	11.8	9.79	10.7	8.45	8.54	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.7	32.9	37.3	30.8	30.4	39.7
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	7.23	6.49	5.50	6.76	7.26	7.75
	32.0~20.6	10	17.1	15.0	13.0	11.4	12.7	14.0	17.1
	20.6~12.5	11	16.5	16.2	14.3	13.5	12.7	13.8	16.5
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.15	3.87	3.74	2.98	3.42	4.15
	5.5~2.0	13	4.82	4.86	4.55	4.80	4.28	3.87	4.86
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.3	14.4	13.2	13.0	12.0	12.2	14.4
	5.5~2.0	15	15.7	15.7	14.7	14.9	14.1	13.6	15.7
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	7.30	6.70	6.01	6.49	7.51	8.62
	30.55~20.6	17	13.9	12.8	11.7	10.7	10.8	11.7	13.9
	20.6~12.5	18	29.5	28.0	25.0	21.4	20.2	22.6	29.5
	12.5~5.5	19	33.8	34.1	31.8	29.8	25.1	27.0	34.1
	5.5~2.0	20	40.4	39.1	37.0	38.2	31.0	31.4	40.4
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.26	2.98	2.16	2.51	2.34	3.66
	20.6~12.5	22	7.74	7.60	7.51	6.32	5.50	5.72	7.74
	12.5~5.5	23	13.5	13.7	12.2	11.8	8.27	9.86	13.7
	5.5~2.0	24	14.6	14.4	13.1	13.7	9.14	10.5	14.6

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

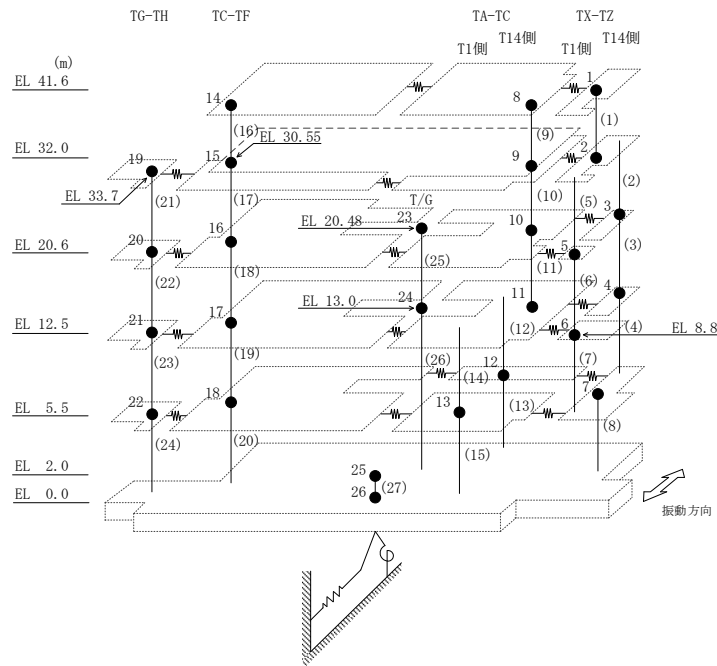


表 3-9(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			4.69	4.79	4.03	3.82	4.10	4.35	4.79
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.02	6.42	5.25	5.34	4.48	5.05	6.42
	20.6~12.5	3	7.54	7.30	6.06	5.00	6.23	6.65	7.54
			25.1	24.0	21.1	18.8	17.8	21.1	25.1
	12.5~5.5	4	25.1	24.0	21.1	18.8	17.8	21.1	25.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	10.1	9.76	8.35	7.63	7.35	8.44	10.1
	20.6~8.8	6	13.0	12.4	10.7	9.89	9.73	11.1	13.0
			17.1	16.6	14.6	13.2	12.7	14.8	17.1
TX-TZ	5.5~2.0	8	17.1	16.6	14.6	13.2	12.7	14.8	17.1
			20.2	20.2	17.4	16.4	15.2	17.5	20.2
TA-TC	41.6~32.0	9	62.1	62.1	54.0	50.3	46.5	52.5	62.1
	32.0~20.6	10	74.2	75.8	65.4	63.1	57.3	63.2	75.8
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
TA-TC	41.6~32.0	9	7.44	6.94	6.23	5.28	6.49	6.97	7.44
			26.9	23.5	20.3	18.1	21.0	22.9	26.9
	20.6~12.5	11	39.5	36.6	31.7	28.7	30.8	33.8	39.5

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

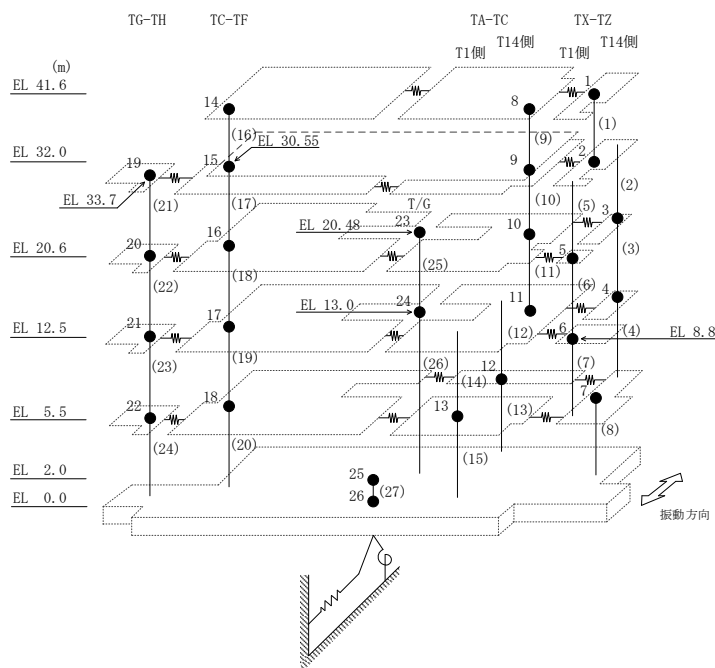


表 3-9(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	22.2 25.0	20.9 23.8	18.2 20.9	16.7 19.2	17.2 18.9	19.2 21.1	22.2 25.0
	5.5~2.0	13	25.0 26.2	23.8 25.2	20.9 22.1	19.2 20.8	18.9 19.8	21.1 22.4	25.0 26.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	17.8 26.6	15.7 25.5	13.9 22.5	12.0 20.7	13.7 20.0	14.7 22.7	17.8 26.6
	5.5~2.0	15	26.6 31.4	25.5 30.8	22.5 26.7	20.7 25.8	20.0 23.7	22.7 27.1	26.6 31.4
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 9.53	0.00 8.06	0.00 7.40	0.00 6.64	0.00 7.17	0.00 8.30	— 9.53
	30.55~20.6	17	9.53 22.9	8.06 20.8	7.40 18.7	6.64 17.3	7.17 17.9	8.30 19.9	9.53 22.9
	20.6~12.5	18	22.9 46.1	20.8 41.7	18.7 37.7	17.3 34.4	17.9 33.4	19.9 35.0	22.9 46.1
	12.5~5.5	19	46.1 69.7	41.7 65.5	37.7 58.9	34.4 53.9	33.4 50.2	35.0 53.7	46.1 69.7
	5.5~2.0	20	69.7 81.7	65.5 78.4	58.9 71.2	53.9 66.4	50.2 59.3	53.7 63.0	69.7 81.7
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 4.79	0.00 4.26	0.00 3.90	0.00 2.83	0.00 3.29	0.00 3.06	— 4.79
	20.6~12.5	22	4.79 11.0	4.26 10.0	3.90 9.99	2.83 7.95	3.29 7.73	3.06 7.57	4.79 11.0
	12.5~5.5	23	11.0 20.2	10.0 19.1	9.99 18.1	7.95 15.7	7.73 13.5	7.57 14.0	11.0 20.2
	5.5~2.0	24	20.2 24.8	19.1 24.1	18.1 22.7	15.7 20.2	13.5 16.6	14.0 17.7	20.2 24.8

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 E W の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

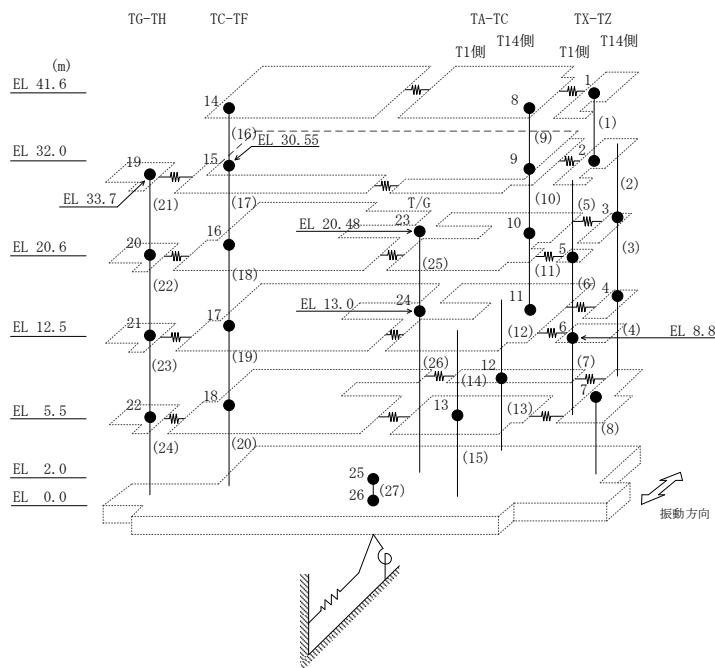


表 3-10 最大応答せん断ひずみ一覧 (基準地震動 S s , EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断ひずみ (×10 ⁻³)						
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW	最大値
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.13	0.13	0.11	0.10	0.11	0.12	0.13
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	1.04	0.72	0.44	0.32	0.33	0.57	1.04
	20.6~12.5	3	0.41	0.34	0.21	0.18	0.16	0.18	0.41
	12.5~5.5	4	0.57	0.54	0.39	0.39	0.23	0.29	0.57
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	0.60	0.38	0.20	0.17	0.21	0.28	0.60
	20.6~8.8	6	0.96	0.87	0.60	0.53	0.38	0.56	0.96
	8.8~5.5	7	0.10	0.10	0.09	0.09	0.07	0.08	0.10
TX-TZ	5.5~2.0	8	0.21	0.20	0.17	0.19	0.16	0.16	0.21
TA-TC	41.6~32.0	9	0.36	0.27	0.19	0.16	0.20	0.25	0.36
	32.0~20.6	10	0.58	0.37	0.21	0.18	0.20	0.27	0.58
	20.6~12.5	11	0.59	0.51	0.35	0.28	0.22	0.32	0.59
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	0.45	0.42	0.32	0.28	0.21	0.24	0.45
	5.5~2.0	13	0.41	0.43	0.30	0.39	0.26	0.23	0.43
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	0.48	0.44	0.34	0.34	0.23	0.26	0.48
	5.5~2.0	15	0.36	0.34	0.24	0.28	0.22	0.21	0.36
TC-TF	41.6~30.55	16	0.60	0.32	0.23	0.19	0.21	0.32	0.60
	30.55~20.6	17	0.48	0.37	0.24	0.19	0.20	0.24	0.48
	20.6~12.5	18	0.16	0.15	0.13	0.11	0.11	0.12	0.16
	12.5~5.5	19	0.63	0.63	0.50	0.43	0.21	0.30	0.63
	5.5~2.0	20	0.44	0.35	0.28	0.35	0.21	0.21	0.44
TG-TH	33.7~20.6	21	0.16	0.14	0.13	0.09	0.11	0.10	0.16
	20.6~12.5	22	0.22	0.19	0.19	0.15	0.13	0.14	0.22
	12.5~5.5	23	0.49	0.48	0.33	0.30	0.16	0.19	0.49
	5.5~2.0	24	0.44	0.39	0.27	0.35	0.16	0.19	0.44

注：ハッチングは S s -D ~ S s -N 2 EW の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

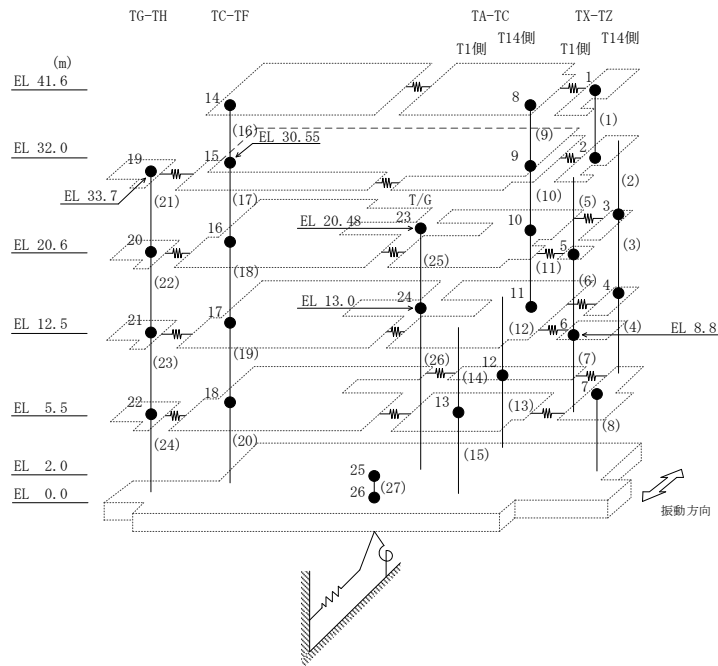


表 3-11 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)					最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2	
一般部	41.6	1	1139	983	874	808	1413	1413
	32.0	2	956	872	771	736	1193	1193
	20.6	3	787	661	615	578	863	863
	12.5	4	690	504	504	459	680	690
	5.5	5	571	396	468	337	541	571
	2.0	8	535	349	458	298	467	535
屋根 トラス	0.0	1	1139	983	874	808	1413	1413
	6.2	10	2000	1499	1302	1054	1915	2000
	12.2	11	2060	1716	1507	1066	2038	2060
	18.2	12	2975	2539	2242	1553	2697	2975

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。

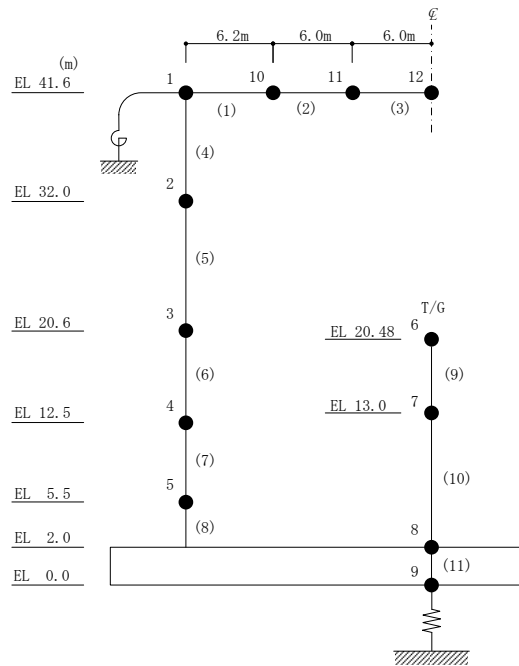


表 3-12 最大応答変位一覧（基準地震動 S s，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)					最大値
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2	
一般部	41.6	1	1.08	0.96	0.90	0.79	1.24	1.24
	32.0	2	0.98	0.85	0.80	0.70	1.10	1.10
	20.6	3	0.76	0.62	0.59	0.50	0.79	0.79
	12.5	4	0.57	0.44	0.43	0.35	0.55	0.57
	5.5	5	0.36	0.25	0.25	0.17	0.32	0.36
	2.0	8	0.25	0.15	0.16	0.12	0.19	0.25
屋根 トラス	0.0	1	1.08	0.96	0.90	0.79	1.24	1.24
	6.2	10	14.30	8.72	9.10	5.97	8.63	14.30
	12.2	11	29.92	19.12	18.80	13.37	19.10	29.92
	18.2	12	40.52	25.61	22.86	18.02	24.58	40.52

注：ハッチングは S s - D ~ S s - N 2 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。

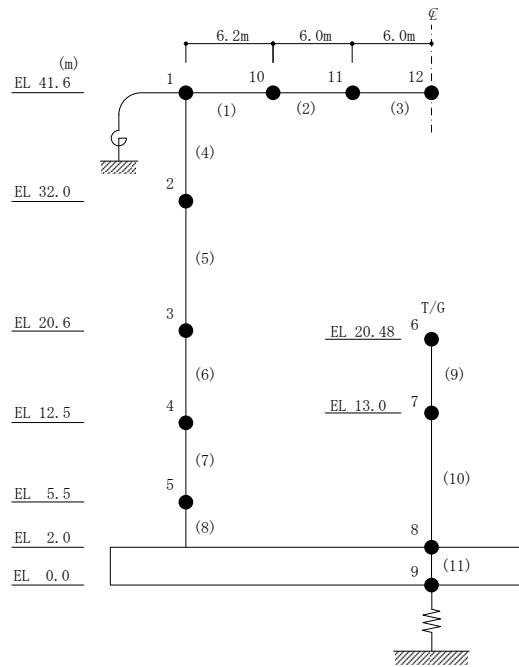


表 3-13 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s , 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)					
			Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2	最大値
一般部	41.6~32.0	4	8.65	7.03	6.68	6.07	9.22	9.22
	32.0~20.6	5	24.2	22.4	20.3	19.1	30.2	30.2
	20.6~12.5	6	50.5	45.3	41.1	39.4	60.6	60.6
	12.5~5.5	7	75.6	64.1	58.6	56.5	85.8	85.8
	5.5~2.0	8	89.7	73.7	67.9	65.2	98.8	98.8

注：ハッチングは S s -D ~ S s -N 2 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

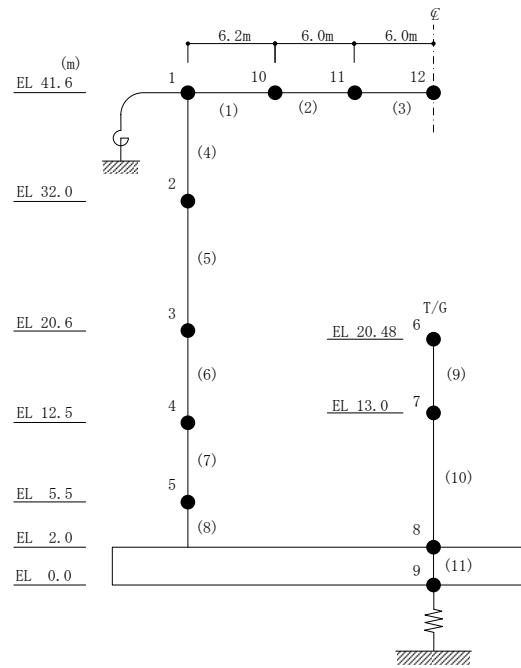


表 3-14 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							Sd-1	最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW			
T1-T2	33.7	1	1014	997	831	685	703	704	1239	1239	
	20.6	2	709	734	731	544	507	526	870	870	
	12.5	3	536	509	619	474	374	386	614	619	
	9.0	4	480	418	543	436	341	368	563	563	
T3	41.6	5	1145	1033	1055	722	854	836	1238	1238	
	33.7	6	942	842	763	666	646	682	1045	1045	
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1745	1889	1648	805	1212	1202	1678	1889	
	32.0	9	1080	988	887	654	680	628	1026	1080	
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1187	1166	1198	888	949	1052	1239	1239	
T3-T6	20.6	10	651	516	560	481	468	492	651	651	
	12.5	11	500	405	470	418	390	396	530	530	
	5.5	12	411	287	311	348	264	280	387	411	
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1586	1499	1343	896	1341	1175	2129	2129	
	32.0	18	1048	815	942	715	826	693	1332	1332	
	20.6	19	930	814	781	541	588	757	1081	1081	
	12.5	20	627	593	607	441	372	578	821	821	
	5.5	21	497	308	349	363	259	345	440	497	
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1800	2313	1918	920	1460	1481	2231	2313	
	20.6	15	1071	1051	1010	546	648	668	1200	1200	
	12.5	16	817	750	899	503	550	517	767	899	
	5.5	17	489	442	416	367	345	419	482	489	
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1301	1064	1014	667	735	737	1482	1482	
	32.0	24	842	558	654	514	528	606	875	875	
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1728	1803	1552	833	1162	1338	1506	1803	
	20.6	25	734	511	530	376	450	519	664	734	
	12.5	26	583	389	393	354	352	376	549	583	
T14	5.5	27	451	311	291	351	281	321	430	451	
	41.6	28	1001	770	767	666	582	686	1162	1162	
	30.55	29	760	503	610	527	433	430	837	837	
	20.6	30	540	404	459	447	357	362	548	548	
	12.5	31	476	346	380	392	315	365	431	476	
2.0	34	439	297	278	344	270	316	369	439		

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

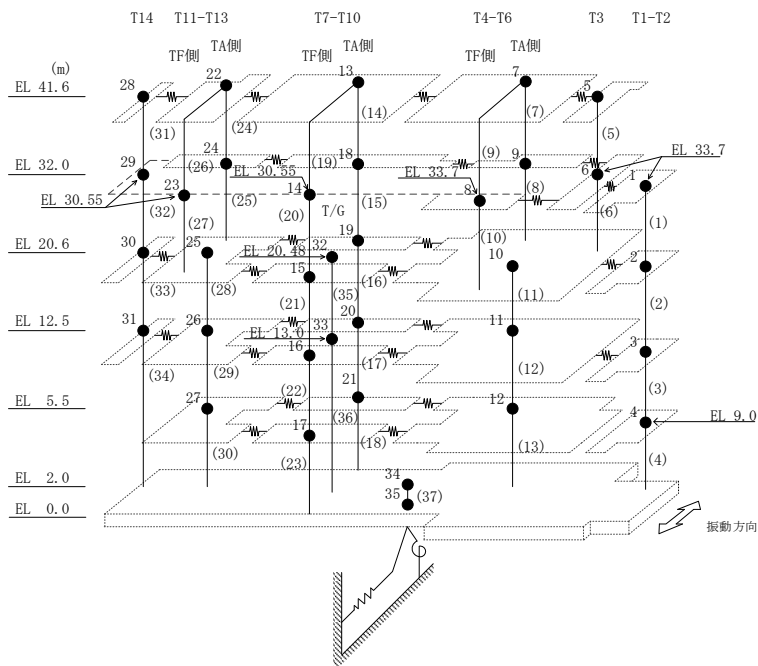


表 3-15 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	最大値
T1-T2	33.7	1	5.26	4.23	3.89	4.25	3.44	3.81	5.82	5.82
	20.6	2	3.43	2.70	2.93	2.92	2.35	2.42	3.91	3.91
	12.5	3	2.16	1.65	2.04	1.92	1.54	1.47	2.54	2.54
	9.0	4	1.64	1.26	1.63	1.48	1.20	1.09	1.98	1.98
T3	41.6	5	6.98	5.81	4.82	5.52	4.64	5.20	8.10	8.10
	33.7	6	5.63	4.57	3.78	4.56	3.72	4.11	6.08	6.08
T4-T6 (TA側)	41.6	7	9.46	8.68	6.55	7.34	6.59	7.50	12.69	12.69
	32.0	9	6.18	5.21	4.21	5.05	4.29	4.70	7.69	7.69
T4-T6 (TF側)	33.7	8	6.87	5.88	5.08	5.42	4.72	4.78	7.57	7.57
T3-T6	20.6	10	3.21	2.46	2.65	2.81	2.24	2.32	3.51	3.51
	12.5	11	2.28	1.66	2.00	2.01	1.60	1.61	2.53	2.53
	5.5	12	0.87	0.64	0.85	0.76	0.62	0.56	1.07	1.07
T7-T10 (TA側)	41.6	13	15.60	9.87	9.90	11.13	11.31	10.34	24.34	24.34
	32.0	18	9.88	6.62	6.72	7.60	7.52	6.60	15.24	15.24
	20.6	19	4.26	3.60	3.75	3.93	3.75	3.26	6.10	6.10
	12.5	20	2.21	1.83	2.03	2.01	1.85	1.76	3.02	3.02
	5.5	21	0.90	0.61	0.73	0.75	0.58	0.60	1.02	1.02
T7-T10 (TF側)	30.55	14	10.04	10.78	8.34	8.72	9.78	9.62	16.32	16.32
	20.6	15	4.98	4.93	4.02	3.98	3.30	3.46	6.12	6.12
	12.5	16	2.38	2.30	2.33	2.20	1.94	1.86	3.27	3.27
	5.5	17	0.95	0.74	0.99	0.87	0.76	0.71	1.32	1.32
T11-T13 (TA側)	41.6	22	10.36	6.83	6.47	6.22	5.80	5.50	14.13	14.13
	32.0	24	5.10	3.42	3.26	3.71	3.19	3.37	7.14	7.14
T11-T13 (TF側)	30.55	23	7.47	8.11	6.85	6.23	5.84	6.69	11.10	11.10
	20.6	25	2.42	1.54	1.72	2.08	1.84	1.92	2.48	2.48
	12.5	26	1.54	0.89	1.04	1.32	1.15	1.16	1.44	1.54
T14	5.5	27	0.77	0.46	0.64	0.67	0.55	0.53	0.79	0.79
	41.6	28	5.44	4.29	4.58	4.42	3.76	3.73	7.88	7.88
	30.55	29	3.70	2.76	3.14	3.16	2.67	2.64	5.14	5.14
	20.6	30	2.25	1.50	1.86	2.02	1.69	1.67	2.85	2.85
	12.5	31	1.30	0.85	1.00	1.20	0.98	0.96	1.39	1.39
2.0	34	0.45	0.29	0.42	0.31	0.27	0.23	0.52	0.52	

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

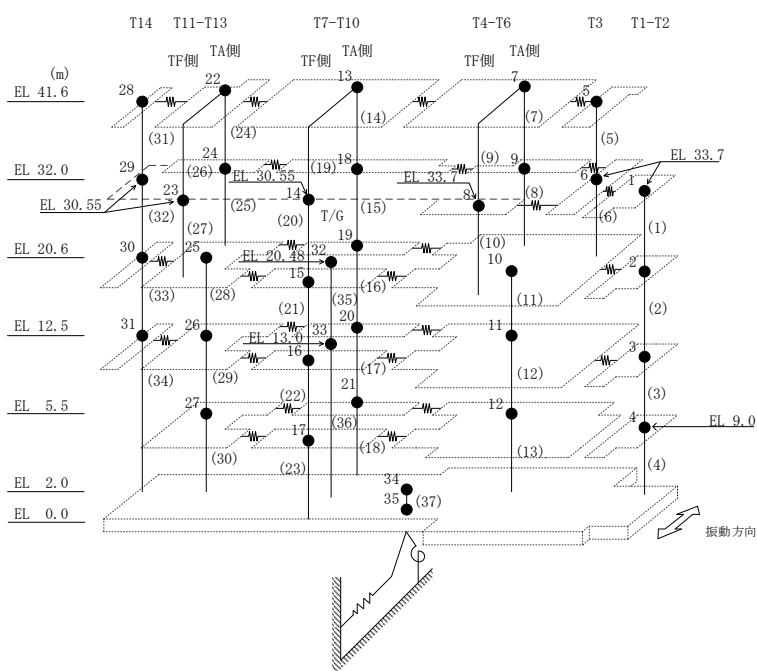


表 3-16 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	最大値
T1-T2	33.7~20.6	1	2.52	2.12	1.59	1.68	1.55	1.84	2.80	2.80
	20.6~12.5	2	4.16	3.44	2.94	3.14	2.72	3.00	4.44	4.44
	12.5~9.0	3	5.41	4.33	4.49	4.57	3.69	3.88	5.85	5.85
	9.0~2.0	4	6.37	5.12	6.19	5.98	4.64	4.55	7.34	7.34
T3	41.6~33.7	5	2.44	2.72	1.82	1.45	1.64	1.86	3.18	3.18
	33.7~20.6	6	4.39	3.62	2.89	2.64	2.51	3.15	5.15	5.15
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.61	1.55	1.09	1.19	1.38	1.66	1.66
	32.0~20.6	8	2.71	2.59	2.18	2.31	2.22	2.33	3.05	3.05
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.437	0.412	0.342	0.206	0.271	0.276	0.513	0.513
	33.7~20.6	10	1.67	1.62	1.37	1.29	1.29	1.36	1.73	1.73
T3-T6	20.6~12.5	11	16.2	13.9	11.3	12.9	10.7	11.8	16.5	16.5
	12.5~5.5	12	22.3	16.9	18.5	19.5	16.2	16.5	22.8	22.8
	5.5~2.0	13	23.1	16.8	20.3	22.1	17.7	17.4	25.5	25.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.54	3.62	3.31	1.85	3.06	2.52	3.96	3.96
	32.0~20.6	15	4.85	4.05	3.70	3.36	4.10	3.23	5.92	5.92
	20.6~12.5	16	5.22	4.88	5.03	4.76	4.88	4.23	6.01	6.01
	12.5~5.5	17	7.65	6.86	7.23	6.51	6.08	6.90	9.70	9.70
T7-T10 (TF側)	5.5~2.0	18	8.60	7.41	7.94	7.36	6.24	7.69	10.9	10.9
	41.6~30.55	19	0.507	0.608	0.553	0.155	0.324	0.309	0.555	0.608
	30.55~20.6	20	1.36	1.64	1.31	0.775	1.09	1.13	1.76	1.76
	20.6~12.5	21	2.22	2.10	2.04	1.77	1.55	1.70	2.25	2.25
	12.5~5.5	22	3.77	4.17	4.08	3.33	3.11	2.97	4.64	4.64
T11-T13 (TA側)	5.5~2.0	23	4.85	4.07	5.27	4.67	3.86	4.25	5.98	5.98
	41.6~32.0	24	1.87	1.65	1.64	1.37	1.56	1.45	1.95	1.95
	32.0~20.6	25	4.02	3.28	3.05	3.08	3.01	2.95	5.13	5.13
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.294	0.292	0.261	0.112	0.199	0.208	0.242	0.294
	30.55~20.6	27	0.853	0.906	0.772	0.441	0.571	0.680	0.857	0.906
T11-T13	20.6~12.5	28	9.43	6.81	7.16	7.52	7.08	7.84	10.6	10.6
	12.5~5.5	29	12.7	8.58	9.12	10.0	9.47	10.0	13.5	13.5
	5.5~2.0	30	15.1	9.91	10.9	12.6	11.4	11.4	15.1	15.1
T14	41.6~30.55	31	1.41	1.11	1.03	0.796	0.868	0.791	1.98	1.98
	30.55~20.6	32	1.97	1.58	1.65	1.35	1.16	1.16	2.82	2.82
	20.6~12.5	33	2.26	1.70	1.98	1.86	1.60	1.62	3.23	3.23
	12.5~2.0	34	3.06	2.07	2.52	2.72	2.33	2.34	3.77	3.77

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

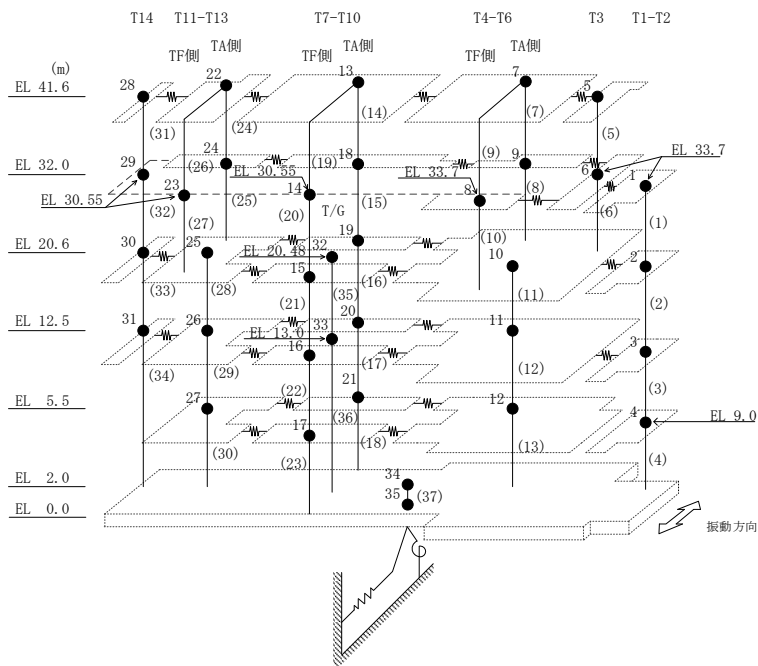


表 3-17(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)								
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	最大値	
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			3.30	2.78	2.08	2.20	2.03	2.41	3.67	3.67	
	20.6~12.5	2	3.30	2.78	2.08	2.20	2.03	2.41	3.67	3.67	
			6.61	5.51	4.25	4.71	4.21	4.79	6.83	6.83	
12.5~9.0	3	6.61	5.51	4.25	4.71	4.21	4.79	6.83	6.83		
		8.45	6.98	5.64	6.28	5.47	6.12	8.87	8.87		
9.0~2.0	4	8.45	6.98	5.64	6.28	5.47	6.12	8.87	8.87		
		12.8	10.4	9.70	10.4	8.46	9.28	14.0	14.0		
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
			1.93	2.15	1.44	1.15	1.29	1.47	2.51	2.51	
	33.7~20.6	6	1.93	2.15	1.44	1.15	1.29	1.47	2.51	2.51	
7.61			6.57	5.08	4.51	4.56	5.51	9.21	9.21		
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0999	0.107	0.0764	0.0569	0.0612	0.0716	0.133	0.133	
			1.45	1.44	1.42	0.994	1.08	1.25	1.46	1.46	
32.0~20.6	8	1.45	1.44	1.42	0.994	1.08	1.25	1.46	1.46		
		4.21	4.30	3.64	3.57	3.60	3.80	4.82	4.82		
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.128	0.124	0.0993	0.0633	0.0781	0.0832	0.154	0.154	
			0.217	0.202	0.171	0.0996	0.136	0.135	0.251	0.251	
33.7~20.6	10	0.217	0.202	0.171	0.0996	0.136	0.135	0.251	0.251		
		2.29	2.21	1.86	1.75	1.73	1.87	2.44	2.44		
T3-T6	20.6~12.5	11	14.1	12.8	10.4	9.73	9.59	11.2	16.4	16.4	
			26.2	23.3	19.0	20.2	18.0	19.8	29.3	29.3	
	12.5~5.5	12	26.2	23.3	19.0	20.2	18.0	19.8	29.3	29.3	
40.6			34.4	29.0	33.8	28.1	30.1	43.5	43.5		
5.5~2.0	13	40.6	34.4	29.0	33.8	28.1	30.1	43.5	43.5		
		48.3	39.9	34.3	41.5	33.4	36.0	51.2	51.2		
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.141	0.120	0.0923	0.0683	0.106	0.0865	0.220	0.220	
			3.32	3.37	3.09	1.72	2.83	2.36	3.60	3.60	
	32.0~20.6	15	3.32	3.37	3.09	1.72	2.83	2.36	3.60	3.60	
			8.47	7.80	7.30	5.54	7.45	5.90	10.3	10.3	
	20.6~12.5	16	8.47	7.80	7.30	5.54	7.45	5.90	10.3	10.3	
12.2			8.95	8.93	9.31	9.86	8.38	14.4	14.4		
12.5~5.5	17	12.2	8.95	8.93	9.31	9.86	8.38	14.4	14.4		
		15.8	12.8	12.5	13.8	13.9	11.6	18.1	18.1		
5.5~2.0	18	15.8	12.8	12.5	13.8	13.9	11.6	18.1	18.1		
			17.9	15.4	15.2	16.3	16.0	13.6	19.9	19.9	

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

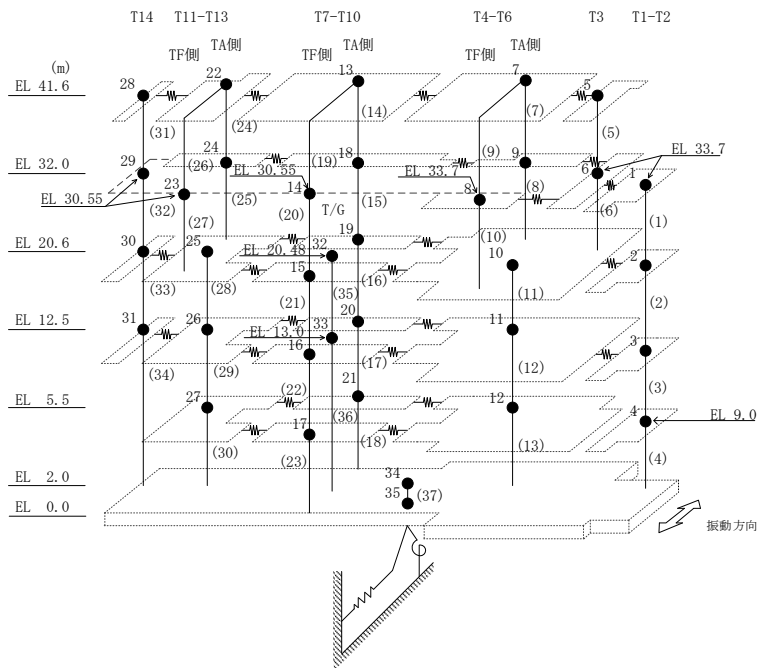


表 3-17(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	最大値
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.177	0.178	0.173	0.0653	0.111	0.112	0.236	0.236
	30.55~20.6	20	0.393	0.504	0.440	0.154	0.288	0.283	0.421	0.504
			0.999	1.13	0.870	0.629	0.810	0.852	1.35	1.35
	20.6~12.5	21	0.999	1.13	0.870	0.629	0.810	0.852	1.35	1.35
			2.27	1.93	1.91	1.80	1.74	1.88	2.71	2.71
12.5~5.5	22	2.27	1.93	1.91	1.80	1.74	1.88	2.71	2.71	
		4.46	4.46	4.06	4.06	3.45	3.69	5.02	5.02	
5.5~2.0	23	4.46	4.46	4.06	4.06	3.45	3.69	5.02	5.02	
		5.81	5.86	5.38	5.69	4.77	5.17	6.80	6.80	
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.0903	0.0554	0.0610	0.0315	0.0504	0.0524	0.143	0.143
	32.0~20.6	25	1.73	1.56	1.52	1.28	1.46	1.38	1.76	1.76
6.23			5.18	4.79	4.79	4.88	4.53	7.38	7.38	
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.0928	0.0953	0.0770	0.0308	0.0565	0.0666	0.118	0.118
	30.55~20.6	27	0.248	0.250	0.221	0.107	0.167	0.184	0.205	0.250
0.601			0.652	0.548	0.332	0.401	0.493	0.688	0.688	
T11-T13	20.6~12.5	28	6.59	5.53	5.02	5.10	5.23	4.68	7.76	7.76
	12.5~5.5	29	13.0	10.6	9.74	10.9	9.69	10.7	16.2	16.2
			21.0	16.5	16.0	17.9	16.3	17.6	25.1	25.1
5.5~2.0	30	21.0	16.5	16.0	17.9	16.3	17.6	25.1	25.1	
		25.9	19.9	19.8	22.3	20.3	21.4	30.3	30.3	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	30.55~20.6	32	1.56	1.22	1.14	0.879	0.959	0.874	2.19	2.19
			3.33	2.80	2.75	2.20	2.03	1.98	4.93	4.93
	20.6~12.5	33	3.33	2.80	2.75	2.20	2.03	1.98	4.93	4.93
5.09			4.18	4.30	3.71	3.21	3.21	7.53	7.53	
12.5~2.0	34	5.09	4.18	4.30	3.71	3.21	3.21	7.53	7.53	
			8.03	5.95	6.78	6.55	5.65	5.58	11.4	11.4

注：ハッチングは S d-D ~ S d-1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

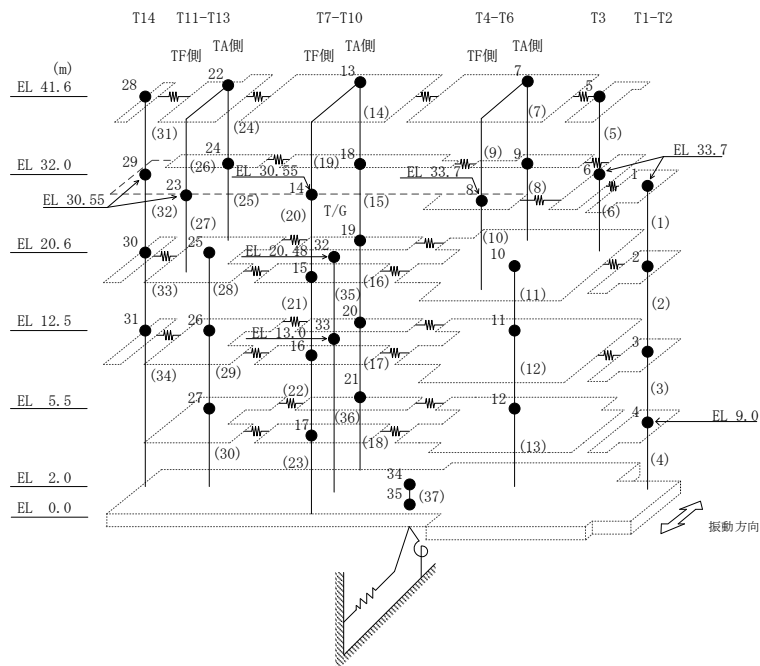


表 3-18 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
TX-TZ	41.6	1	1464	1273	1030	773	756	1077	1531	1531
	32.0	2	1296	975	937	735	633	861	1220	1296
TX-TZ (T14側)	20.6	3	813	630	520	571	538	580	923	923
	12.5	4	492	453	400	453	426	377	656	656
TX-TZ (T1側)	20.6	5	962	874	710	656	626	807	1235	1235
	8.8	6	459	365	370	403	308	331	501	501
TX-TZ	5.5	7	448	346	359	390	291	311	505	505
TA-TC	41.6	8	1636	1372	963	832	965	1152	1682	1682
	32.0	9	1177	1004	987	713	644	795	1314	1314
	20.6	10	766	770	674	620	520	643	925	925
	12.5	11	541	515	448	461	463	403	604	604
TA-TC (T14側)	5.5	12	548	404	423	417	354	419	579	579
TA-TC (T1側)	5.5	13	439	362	362	392	288	295	570	570
TC-TF	41.6	14	1729	1534	1369	931	963	1311	2037	2037
	30.55	15	1083	924	756	634	594	795	1285	1285
	20.6	16	727	755	646	500	388	497	822	822
	12.5	17	594	604	458	437	331	377	770	770
	5.5	18	443	365	367	400	270	291	550	550
TG-TH	33.7	19	1020	1356	813	533	734	840	1189	1356
	20.6	20	709	802	587	457	477	554	879	879
	12.5	21	556	559	439	450	345	397	637	637
	5.5	22	466	330	366	395	284	318	447	466
	2.0	25	435	316	340	366	278	313	395	435

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

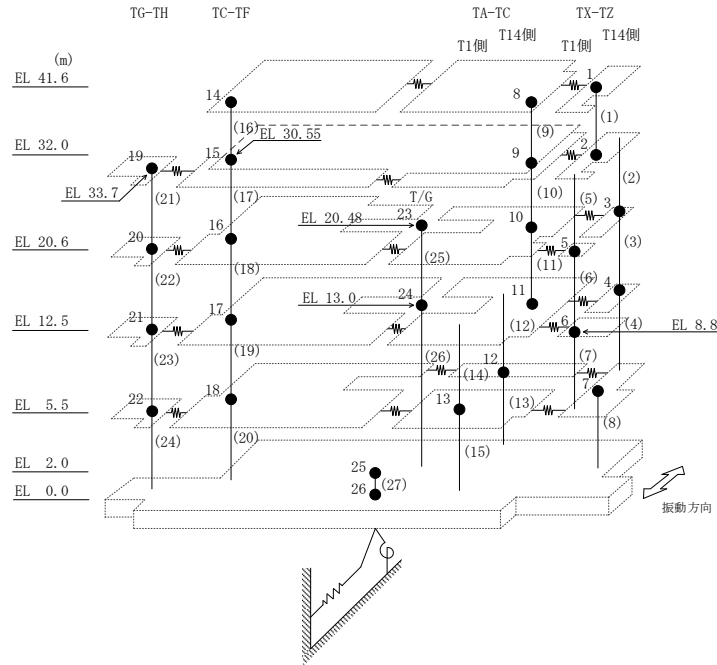


表 3-19 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)							最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	
TX-TZ	41.6	1	8.55	6.61	5.27	4.68	3.93	5.22	9.08	9.08
	32.0	2	7.58	5.78	4.65	4.14	3.46	4.62	8.19	8.19
TX-TZ (T14側)	20.6	3	3.95	3.45	2.60	2.49	2.18	2.74	4.53	4.53
	12.5	4	2.67	2.34	1.80	1.60	1.51	1.83	3.16	3.16
TX-TZ (T1側)	20.6	5	5.58	4.33	3.33	3.03	2.59	3.47	6.58	6.58
	8.8	6	1.50	1.33	1.08	0.81	0.84	1.03	1.69	1.69
TX-TZ	5.5	7	1.31	1.15	0.94	0.71	0.73	0.88	1.48	1.48
TA-TC	41.6	8	8.57	6.72	5.19	4.73	3.98	5.38	9.60	9.60
	32.0	9	6.81	5.58	4.36	4.00	3.30	4.36	7.85	7.85
	20.6	10	4.62	3.98	3.00	2.88	2.44	3.13	5.53	5.53
	12.5	11	2.85	2.51	1.90	1.74	1.60	1.94	3.28	3.28
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.52	1.33	1.11	0.84	0.87	1.00	1.74	1.74
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.46	1.29	1.04	0.79	0.81	0.98	1.68	1.68
TC-TF	41.6	14	8.18	6.26	5.19	4.56	3.78	5.44	10.14	10.14
	30.55	15	5.94	4.76	4.01	3.50	2.84	3.81	7.44	7.44
	20.6	16	3.95	3.49	2.77	2.45	1.93	2.55	4.74	4.74
	12.5	17	3.05	2.72	2.04	1.85	1.52	1.99	3.85	3.85
	5.5	18	1.47	1.36	1.04	0.86	0.83	1.00	1.69	1.69
TG-TH	33.7	19	4.76	4.40	3.31	2.79	2.47	2.99	5.29	5.29
	20.6	20	3.55	3.08	2.46	2.13	1.84	2.23	4.03	4.03
	12.5	21	2.51	2.22	1.68	1.44	1.33	1.61	2.89	2.89
	5.5	22	1.38	1.24	0.99	0.80	0.79	0.91	1.63	1.63
	2.0	25	0.86	0.73	0.63	0.49	0.51	0.57	0.97	0.97

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

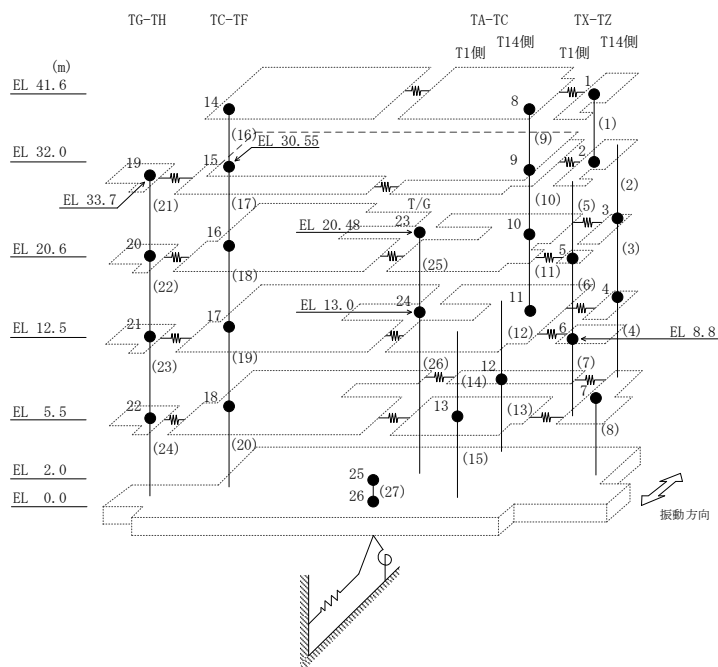


表 3-20 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d , E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	最大値
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.79	3.37	2.60	2.15	2.30	2.96	4.14	4.14
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	8.27	7.48	6.67	5.31	4.62	6.46	8.19	8.27
	20.6~12.5	3	15.8	13.3	11.4	10.6	8.14	11.0	16.8	16.8
	12.5~5.5	4	18.6	16.1	13.3	13.5	10.7	13.2	20.2	20.2
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.06	1.58	1.34	1.15	1.11	1.38	1.96	2.06
	20.6~8.8	6	2.75	2.56	2.45	2.25	1.75	2.44	2.90	2.90
	8.8~5.5	7	6.29	6.02	4.87	5.51	4.30	4.81	7.80	7.80
TX-TZ	5.5~2.0	8	26.2	23.4	18.8	20.7	16.3	18.7	29.9	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	6.01	4.34	3.53	2.85	3.17	3.85	6.20	6.20
	32.0~20.6	10	11.7	9.08	7.56	6.02	5.73	7.65	12.6	12.6
	20.6~12.5	11	12.8	10.7	9.38	8.27	6.39	8.69	13.2	13.2
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	2.69	2.33	2.07	1.89	1.45	1.87	3.19	3.19
	5.5~2.0	13	3.24	2.82	2.43	2.62	2.13	2.23	4.06	4.06
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	10.9	9.58	8.07	8.01	6.29	7.71	12.2	12.2
	5.5~2.0	15	11.6	10.5	8.43	9.17	7.17	8.18	13.9	13.9
TC-TF	41.6~30.55	16	6.44	5.12	4.31	3.18	3.19	4.65	6.60	6.60
	30.55~20.6	17	11.0	9.02	7.36	5.83	5.34	8.06	11.9	11.9
	20.6~12.5	18	20.7	17.2	16.4	13.3	10.2	13.6	23.3	23.3
	12.5~5.5	19	25.4	23.3	21.4	18.6	13.5	17.0	27.9	27.9
	5.5~2.0	20	29.7	26.8	23.1	22.7	15.4	18.8	33.0	33.0
TG-TH	33.7~20.6	21	2.09	2.32	1.50	1.09	1.28	1.59	2.17	2.32
	20.6~12.5	22	5.15	5.08	4.18	3.31	2.72	3.49	5.91	5.91
	12.5~5.5	23	8.44	7.95	6.78	5.85	4.14	5.14	10.2	10.2
	5.5~2.0	24	9.38	8.73	7.33	6.81	4.62	5.55	11.2	11.2

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

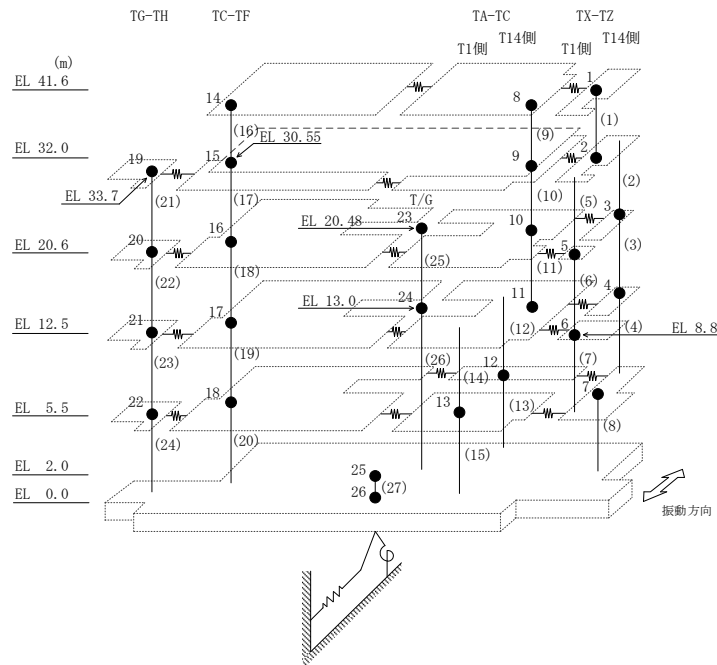


表 3-21(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							Sd-1	最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW			
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
			3.64	3.23	2.49	2.06	2.21	2.84	3.97	3.97	
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.89	3.62	3.17	2.83	2.16	3.05	4.65	4.65	
			5.55	5.21	4.64	3.30	3.39	4.71	5.24	5.55	
	20.6~12.5	3	5.55	5.21	4.64	3.30	3.39	4.71	5.24	5.55	
			18.1	15.6	13.5	11.8	9.48	13.2	18.8	18.8	
12.5~5.5	4	18.1	15.6	13.5	11.8	9.48	13.2	18.8	18.8		
		31.0	26.8	22.6	21.3	16.5	21.9	32.6	32.6		
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.39	6.58	5.53	4.74	3.89	5.45	7.73	7.73	
			9.69	8.36	7.02	6.04	5.15	6.97	9.96	9.96	
	20.6~8.8	6	9.69	8.36	7.02	6.04	5.15	6.97	9.96	9.96	
12.9			11.3	9.89	8.65	6.95	9.70	13.2	13.2		
8.8~5.5	7	12.9	11.3	9.89	8.65	6.95	9.70	13.2	13.2		
		14.9	13.2	11.4	10.5	8.28	11.1	15.8	15.8		
TX-TZ	5.5~2.0	8	45.8	39.8	34.1	31.7	24.8	32.8	48.4	48.4	
			55.0	47.9	40.7	39.0	30.3	39.3	58.7	58.7	
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
			5.77	4.17	3.39	2.74	3.04	3.70	5.95	5.95	
	32.0~20.6	10	5.77	4.17	3.39	2.74	3.04	3.70	5.95	5.95	
19.1			14.5	11.5	9.45	9.56	12.3	20.3	20.3		
20.6~12.5	11	19.1	14.5	11.5	9.45	9.56	12.3	20.3	20.3		
		29.3	22.8	18.8	15.9	14.0	19.2	30.9	30.9		

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

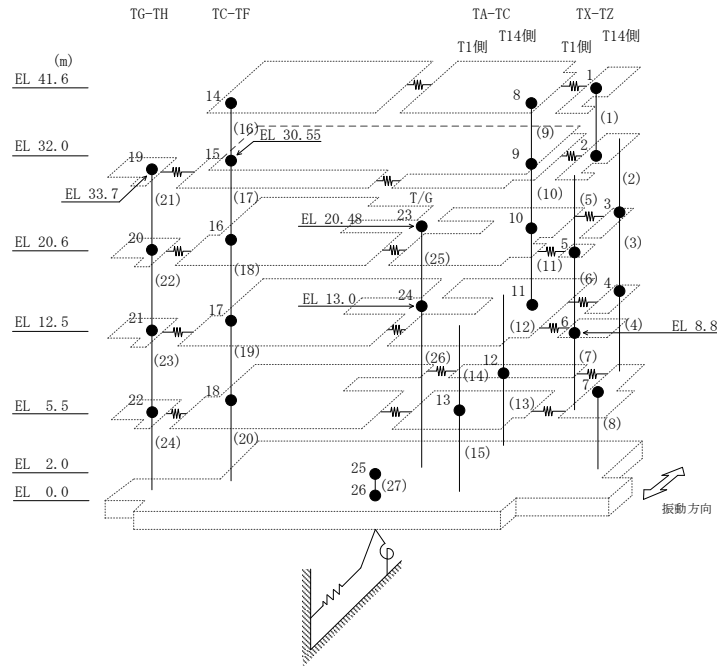


表 3-21(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2NS	Sd-N2EW	Sd-1	最大値
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.8	13.2	10.8	9.55	7.82	11.0	17.8	17.8
	5.5~2.0	13	18.6	14.7	12.2	10.9	8.69	12.2	20.0	20.0
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.5	9.56	7.97	6.38	6.21	8.26	13.1	13.1
	5.5~2.0	15	20.1	15.9	13.2	11.9	9.40	13.1	21.5	21.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	30.55~20.6	17	7.12	5.66	4.76	3.52	3.53	5.13	7.29	7.29
			18.0	14.5	12.1	9.28	8.78	13.1	19.1	19.1
	20.6~12.5	18	18.0	14.5	12.1	9.28	8.78	13.1	19.1	19.1
			33.8	26.9	23.6	19.8	16.2	23.8	37.5	37.5
12.5~5.5	19	33.8	26.9	23.6	19.8	16.2	23.8	37.5	37.5	
		51.3	41.4	38.6	32.6	25.0	34.7	56.4	56.4	
5.5~2.0	20	51.3	41.4	38.6	32.6	25.0	34.7	56.4	56.4	
		60.8	50.1	46.5	40.4	29.8	40.7	67.7	67.7	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
			2.74	3.04	1.96	1.43	1.68	2.09	2.85	3.04
	20.6~12.5	22	2.74	3.04	1.96	1.43	1.68	2.09	2.85	3.04
			6.91	7.10	5.26	4.11	3.87	4.91	7.64	7.64
12.5~5.5	23	6.91	7.10	5.26	4.11	3.87	4.91	7.64	7.64	
		12.7	12.6	10.0	8.21	6.70	8.50	14.6	14.6	
5.5~2.0	24	12.7	12.6	10.0	8.21	6.70	8.50	14.6	14.6	
		16.0	15.6	12.6	10.6	8.19	10.4	18.4	18.4	

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

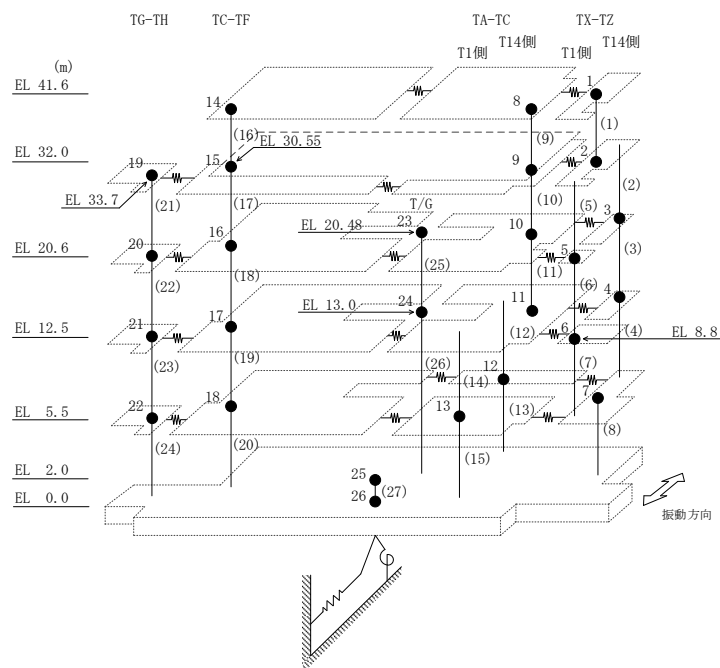


表 3-22 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)						
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2	Sd-1	最大値
一般部	41.6	1	553	473	442	388	642	525	642
	32.0	2	461	420	391	355	559	473	559
	20.6	3	394	320	310	281	402	355	402
	12.5	4	348	253	257	228	324	300	348
	5.5	5	289	214	246	169	254	257	289
	2.0	8	277	189	235	147	220	238	277
屋根 トラス	0.0	1	553	473	442	388	642	525	642
	6.2	10	1030	732	663	514	921	1011	1030
	12.2	11	1008	805	735	498	962	1183	1183
	18.2	12	1544	1230	1166	770	1317	1723	1723

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。

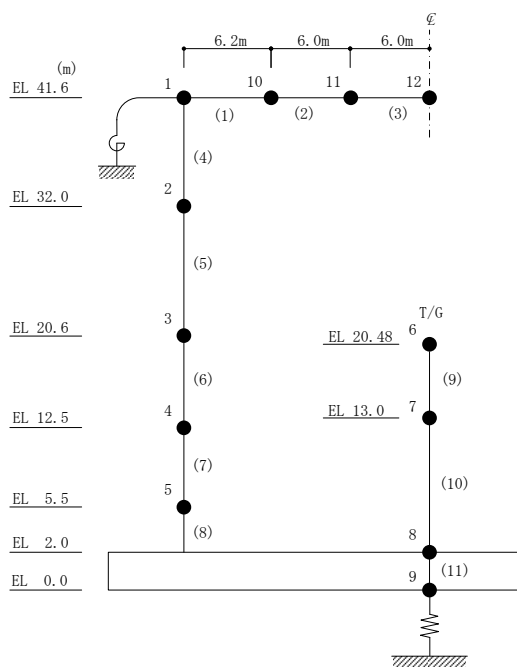


表 3-23 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)						最大値
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2	Sd-1	
一般部	41.6	1	0.52	0.45	0.43	0.38	0.57	0.50	0.57
	32.0	2	0.47	0.40	0.38	0.33	0.51	0.43	0.51
	20.6	3	0.35	0.29	0.27	0.24	0.37	0.31	0.37
	12.5	4	0.26	0.20	0.19	0.16	0.26	0.22	0.26
	5.5	5	0.15	0.11	0.10	0.08	0.14	0.13	0.15
	2.0	8	0.09	0.05	0.07	0.04	0.07	0.08	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.52	0.45	0.43	0.38	0.57	0.50	0.57
	6.2	10	7.24	4.28	4.55	2.96	4.30	10.34	10.34
	12.2	11	14.94	9.60	9.42	6.67	9.49	23.29	23.29
	18.2	12	20.29	12.84	11.48	9.01	12.28	29.86	29.86

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。

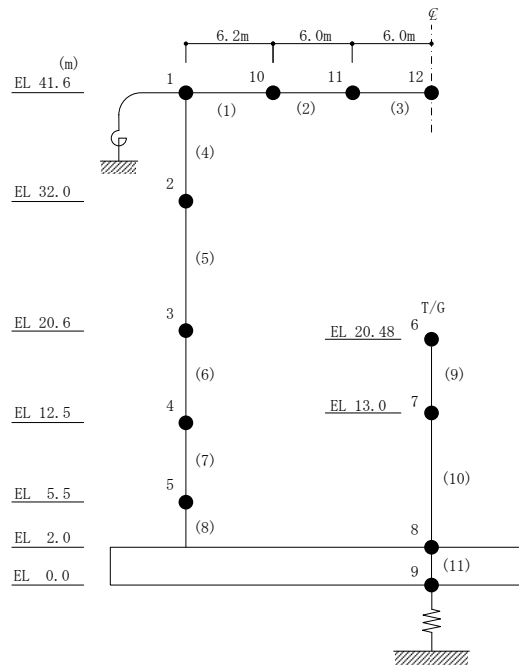
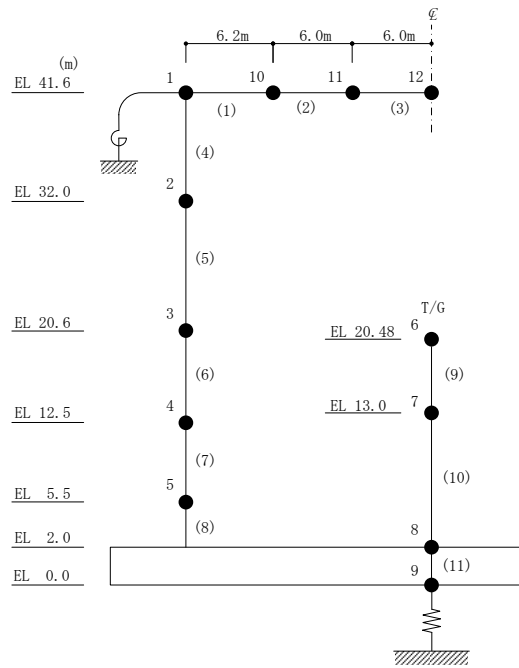


表 3-24 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)						
			Sd-D	Sd-F1	Sd-F2	Sd-N1	Sd-N2	Sd-1	最大値
一般部	41.6~32.0	4	4.20	3.40	3.35	2.93	4.35	4.02	4.35
	32.0~20.6	5	12.0	10.8	10.2	9.21	13.9	12.4	13.9
	20.6~12.5	6	25.2	21.6	20.6	19.1	27.9	24.8	27.9
	12.5~5.5	7	37.9	31.0	29.7	27.6	39.2	34.9	39.2
	5.5~2.0	8	44.9	35.8	34.5	31.9	45.3	39.7	45.3

注：ハッチングは S d - D ~ S d - 1 の最大応答値のうち最も大きい値を表示。



4. 材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動

材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動の選定結果を表 4-1 に示す。地震動の選定にあたり、基本ケースにおける建物応答の確認は、以下の資料に基づき実施した。

- ・ VI-2-2-7 「タービン建物の地震応答計算書」

表 4-1 材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動

建物名	材料物性の不確かさを考慮した検討に用いる地震動	
	基準地震動 S_s	弾性設計用地震動 S_d
タービン建物	$S_s - D, S_s - F 1, S_s - F 2, S_s - N 1, S_s - N 2$	$S_d - D, S_d - F 1, S_d - F 2, S_d - N 2, S_d - 1$

別紙 3-2 材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果

目 次

1. 概要	別紙 3-2-1
2. 地震応答解析結果	別紙 3-2-1
2.1 地盤物性の不確かさ	別紙 3-2-1
2.2 積雪荷重との組合せ	別紙 3-2-416
3. まとめ	別紙 3-2-829

1. 概要

本資料はタービン建物の地震応答解析において、材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果を示すものである。

2. 地震応答解析結果

2.1 地盤物性の不確かさ

地盤物性の不確かさを考慮した基準地震動 S_s に対する地震応答解析結果を図 2-1～図 2-75 及び表 2-1～表 2-66 に、弾性設計用地震動 S_d に対する地震応答解析結果を図 2-76～図 2-150 及び表 2-67～表 2-132 に示す。

以後、基本ケースをケース 1、地盤物性を標準地盤 $+\sigma$ としたケースをケース 2、地盤物性を標準地盤 $-\sigma$ としたケースをケース 3 として示す。

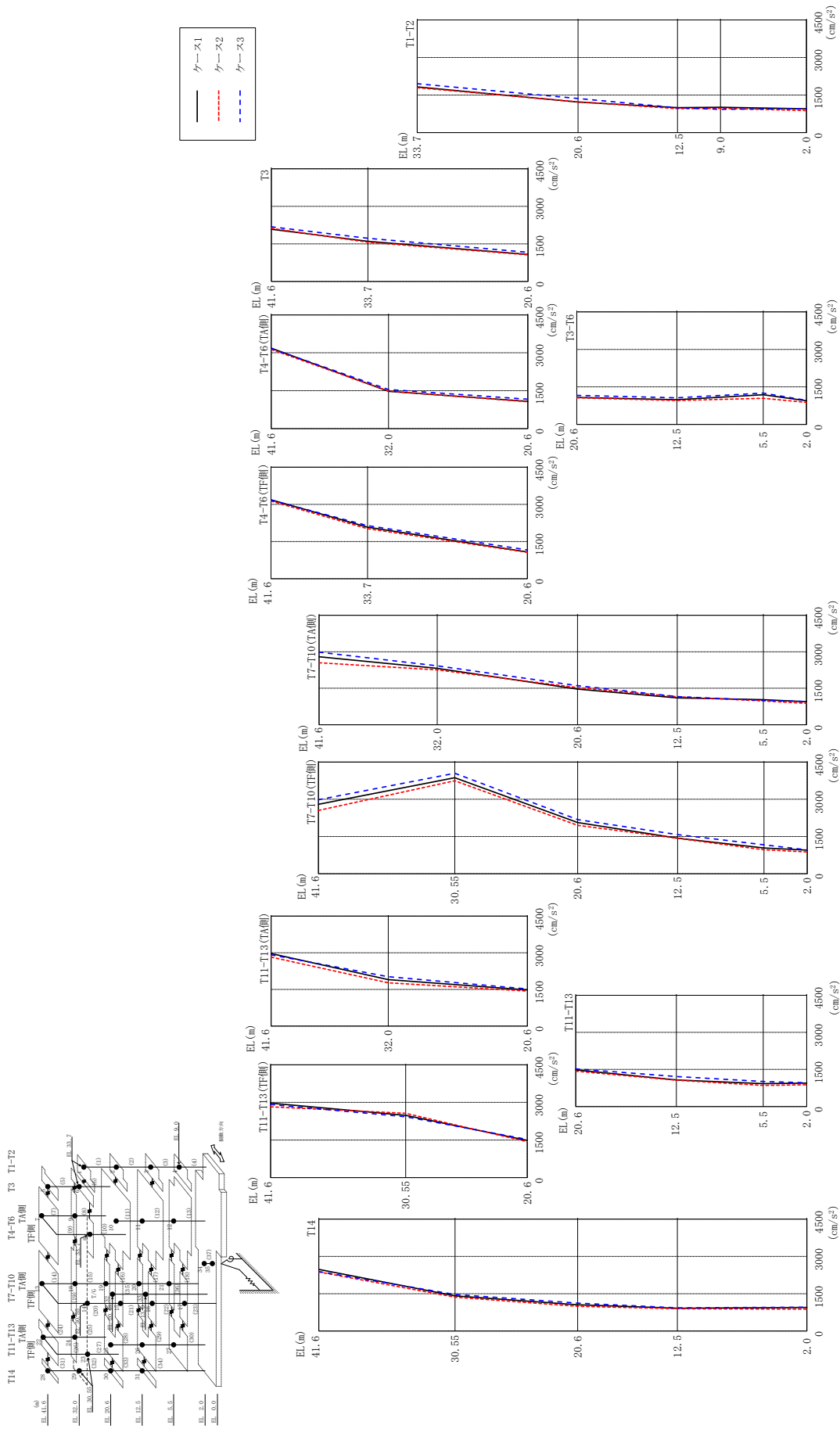
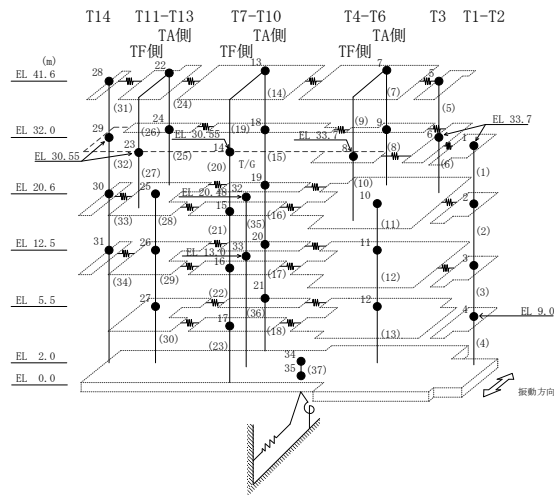


図 2-1 最大応答加速度 (基準地震動 S s-D, N S 方向)

表 2-1 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	1824	1794	1952
	20.6	2	1217	1231	1360
	12.5	3	995	955	992
	9.0	4	1012	971	929
T3	41.6	5	2085	2120	2179
	33.7	6	1599	1563	1721
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	3132	3166
	32.0	9	1476	1486	1544
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2015	2138
T3-T6	20.6	10	1077	1061	1161
	12.5	11	985	956	1062
	5.5	12	1183	1041	1250
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2549	2983
	32.0	18	2319	2258	2421
	20.6	19	1466	1528	1607
	12.5	20	1106	1149	1159
	5.5	21	1029	980	1001
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3868	3746	4046
	20.6	15	2064	1949	2182
	12.5	16	1430	1428	1576
	5.5	17	1037	962	1166
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2969	2824	2914
	32.0	24	1902	1773	2021
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2482	2566	2428
T11-T13	20.6	25	1481	1431	1524
	12.5	26	1072	1064	1212
	5.5	27	927	852	1012
T14	41.6	28	2478	2378	2392
	30.55	29	1415	1362	1470
	20.6	30	1053	991	1120
	12.5	31	915	896	934
	2.0	34	947	878	960



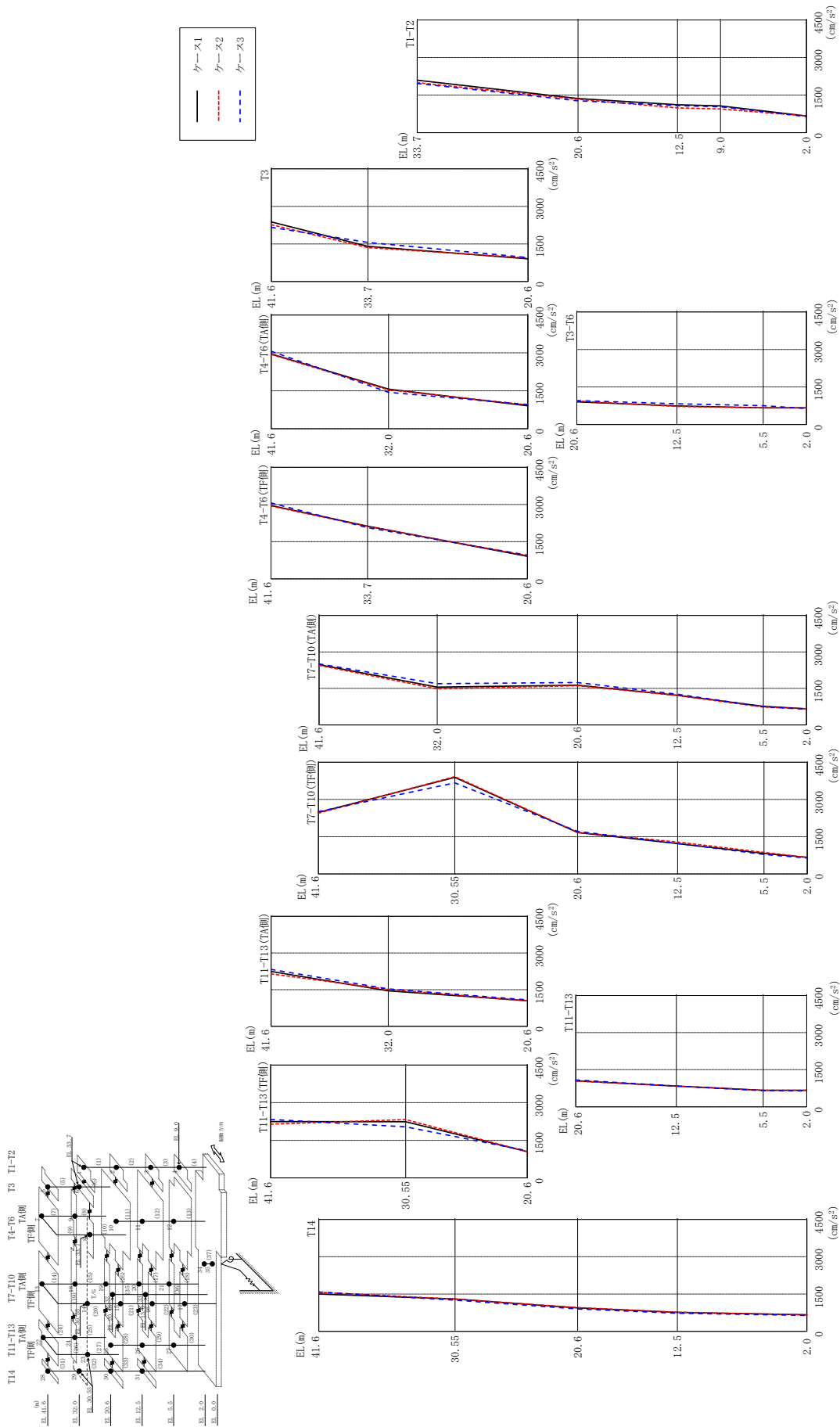
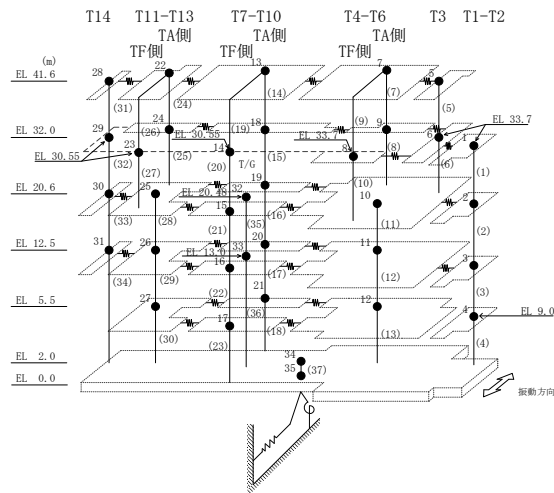


図 2-2 最大応答加速度 (基準地震動 S s - F 1, N S 方向)

表 2-2 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - F1$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	2095	1995	1962
	20.6	2	1363	1333	1270
	12.5	3	1113	983	1078
	9.0	4	1067	944	1032
T3	41.6	5	2376	2264	2161
	33.7	6	1401	1352	1560
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2958	2935	3061
	32.0	9	1568	1535	1439
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2125	2110	2062
T3-T6	20.6	10	905	940	955
	12.5	11	740	722	829
	5.5	12	663	668	753
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2475	2448	2506
	32.0	18	1555	1486	1695
	20.6	19	1633	1610	1744
	12.5	20	1217	1208	1260
	5.5	21	765	732	748
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3888	3919	3666
	20.6	15	1668	1680	1714
	12.5	16	1219	1285	1227
	5.5	17	823	869	783
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2246	2144	2330
	32.0	24	1454	1513	1529
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2240	2327	2035
T11-T13	20.6	25	1048	1044	1084
	12.5	26	839	837	837
	5.5	27	665	669	649
T14	41.6	28	1499	1571	1584
	30.55	29	1300	1298	1253
	20.6	30	940	959	900
	12.5	31	763	768	726
	2.0	34	667	667	641



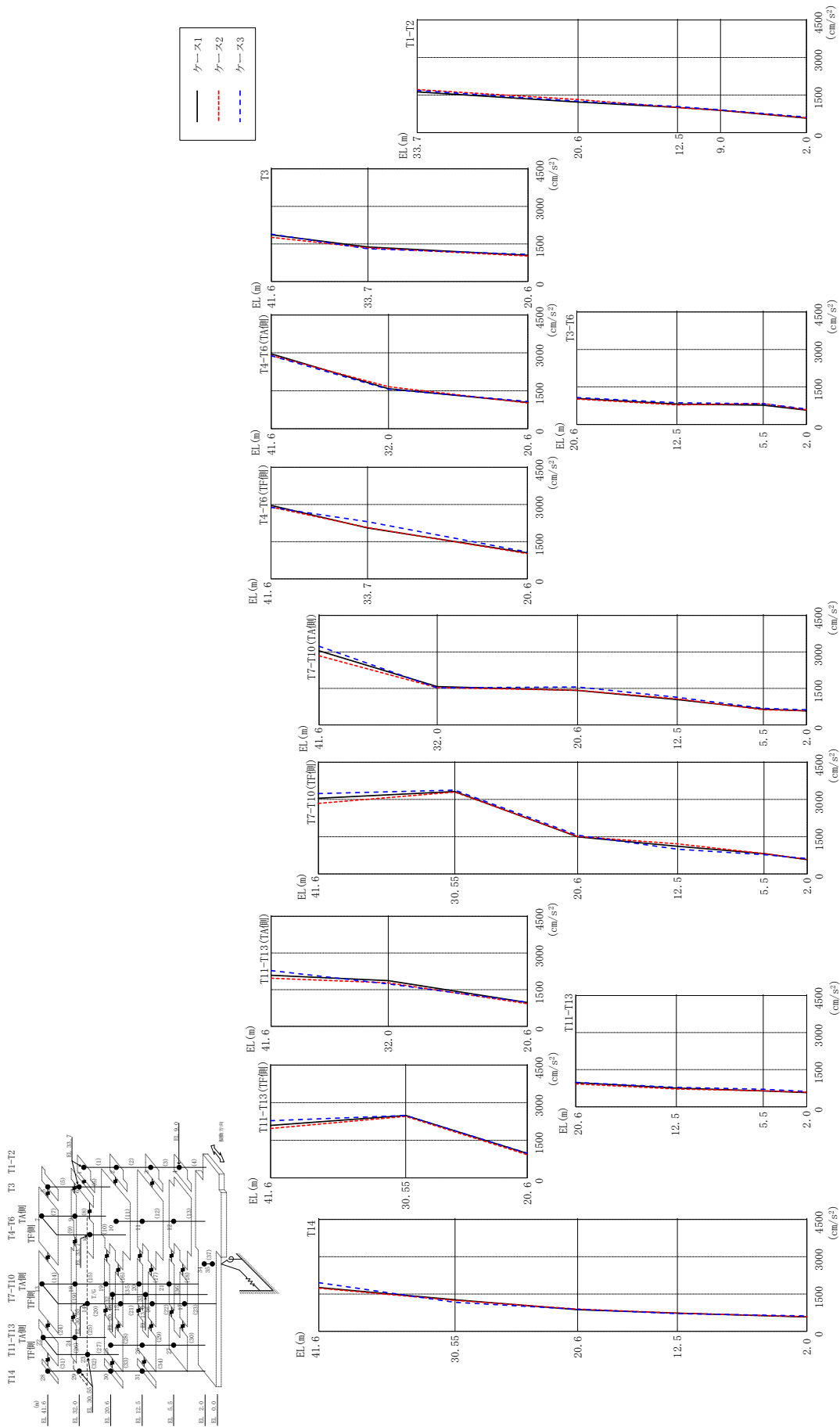
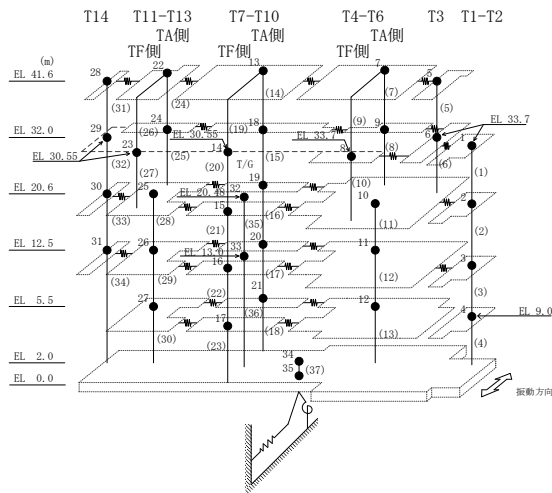


図 2-3 最大応答加速度 (基準地震動 S s - F 2, N S 方向)

表 2-3 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - F2$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	1625	1715	1684
	20.6	2	1220	1323	1253
	12.5	3	1003	999	1040
	9.0	4	887	892	906
T3	41.6	5	1866	1764	1889
	33.7	6	1379	1339	1305
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2963	2896	2887
	32.0	9	1580	1660	1558
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2052	2069	2306
T3-T6	20.6	10	1043	1015	1079
	12.5	11	816	780	872
	5.5	12	774	841	828
T7-T10 (TA側)	41.6	13	3048	2843	3236
	32.0	18	1574	1533	1524
	20.6	19	1417	1424	1561
	12.5	20	1041	1071	1134
	5.5	21	649	621	680
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3319	3300	3377
	20.6	15	1494	1508	1560
	12.5	16	1114	1212	995
	5.5	17	815	821	775
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2091	1970	2281
	32.0	24	1870	1782	1734
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2487	2452	2487
T11-T13	20.6	25	976	926	985
	12.5	26	756	721	788
	5.5	27	640	648	708
T14	41.6	28	1762	1735	1956
	30.55	29	1267	1246	1168
	20.6	30	871	898	887
	12.5	31	733	731	712
	2.0	34	576	588	621



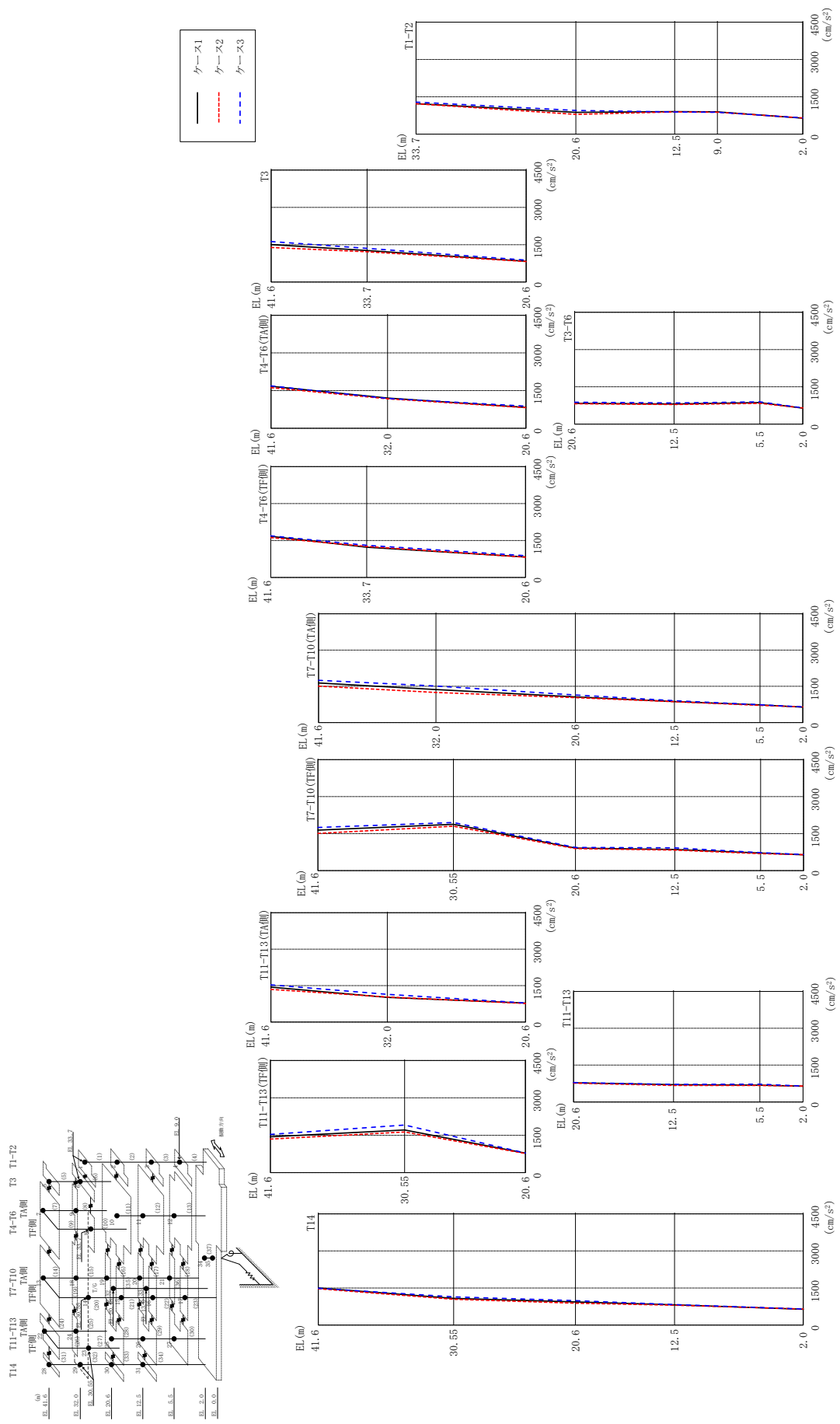
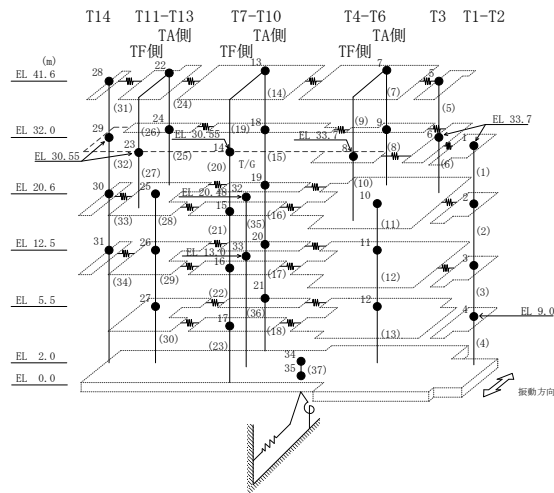


図 2-4 最大応答加速度 (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

表 2-4 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N1$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	1224	1221	1285
	20.6	2	874	792	950
	12.5	3	903	892	890
	9.0	4	893	876	878
T3	41.6	5	1503	1385	1626
	33.7	6	1265	1211	1348
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1670	1618	1687
	32.0	9	1202	1171	1188
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1224	1259	1305
T3-T6	20.6	10	832	820	879
	12.5	11	807	787	851
	5.5	12	863	833	897
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1639	1509	1749
	32.0	18	1368	1244	1511
	20.6	19	1063	1028	1138
	12.5	20	870	863	908
	5.5	21	732	713	737
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1876	1799	1950
	20.6	15	912	894	937
	12.5	16	858	829	925
	5.5	17	714	689	728
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1438	1345	1532
	32.0	24	1014	1033	1141
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1714	1628	1909
T11-T13	20.6	25	781	764	789
	12.5	26	702	671	715
	5.5	27	685	672	726
T14	41.6	28	1500	1471	1492
	30.55	29	1080	1044	1140
	20.6	30	936	886	987
	12.5	31	819	801	828
	2.0	34	640	648	649



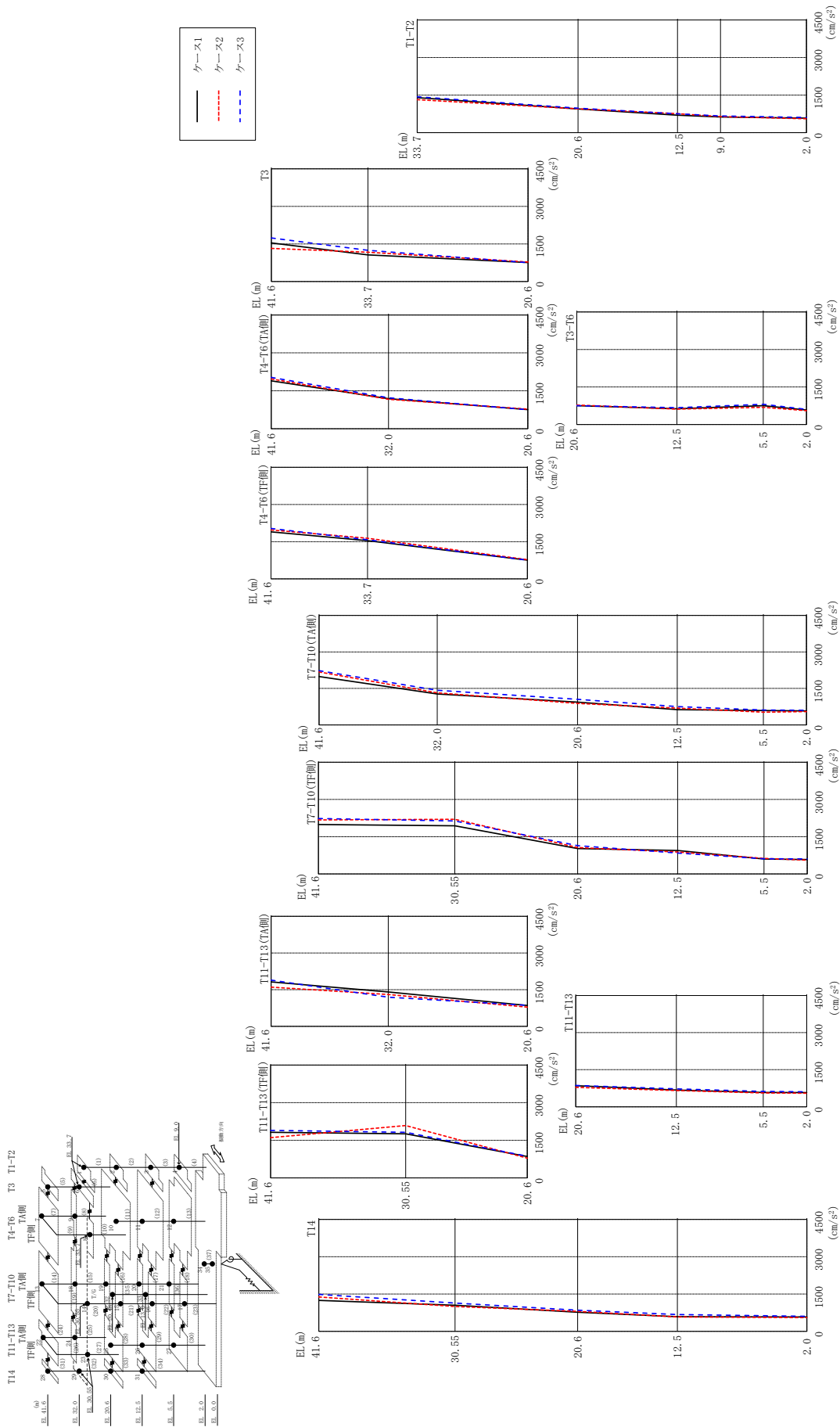
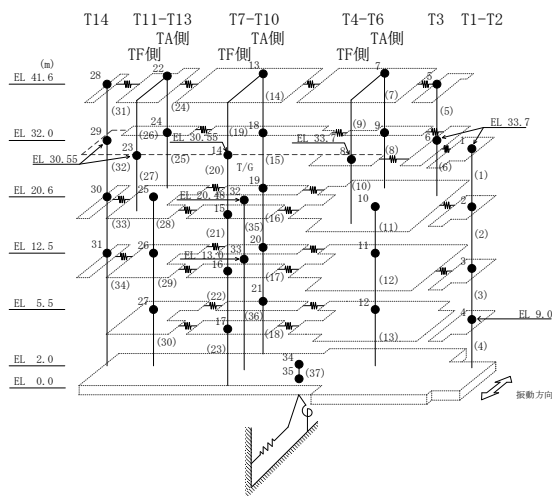


図 2-5 最大応答加速度 (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

表 2-5 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N 2 N S$, $N S$ 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	1396	1316	1431
	20.6	2	943	951	977
	12.5	3	695	757	752
	9.0	4	622	638	666
T3	41.6	5	1536	1321	1737
	33.7	6	1063	1166	1242
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1896	1968	2031
	32.0	9	1188	1163	1225
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1540	1636	1572
T3-T6	20.6	10	754	776	751
	12.5	11	628	616	672
	5.5	12	750	687	807
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1989	2175	2231
	32.0	18	1273	1316	1423
	20.6	19	939	885	1054
	12.5	20	626	688	753
	5.5	21	593	523	612
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1938	2203	2133
	20.6	15	1020	1063	1138
	12.5	16	945	880	841
	5.5	17	600	624	610
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1820	1605	1893
	32.0	24	1408	1303	1195
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1757	2085	1816
T11-T13	20.6	25	854	787	862
	12.5	26	679	655	723
	5.5	27	581	561	623
T14	41.6	28	1243	1381	1483
	30.55	29	1052	996	1137
	20.6	30	770	804	851
	12.5	31	589	576	678
	2.0	34	577	551	603



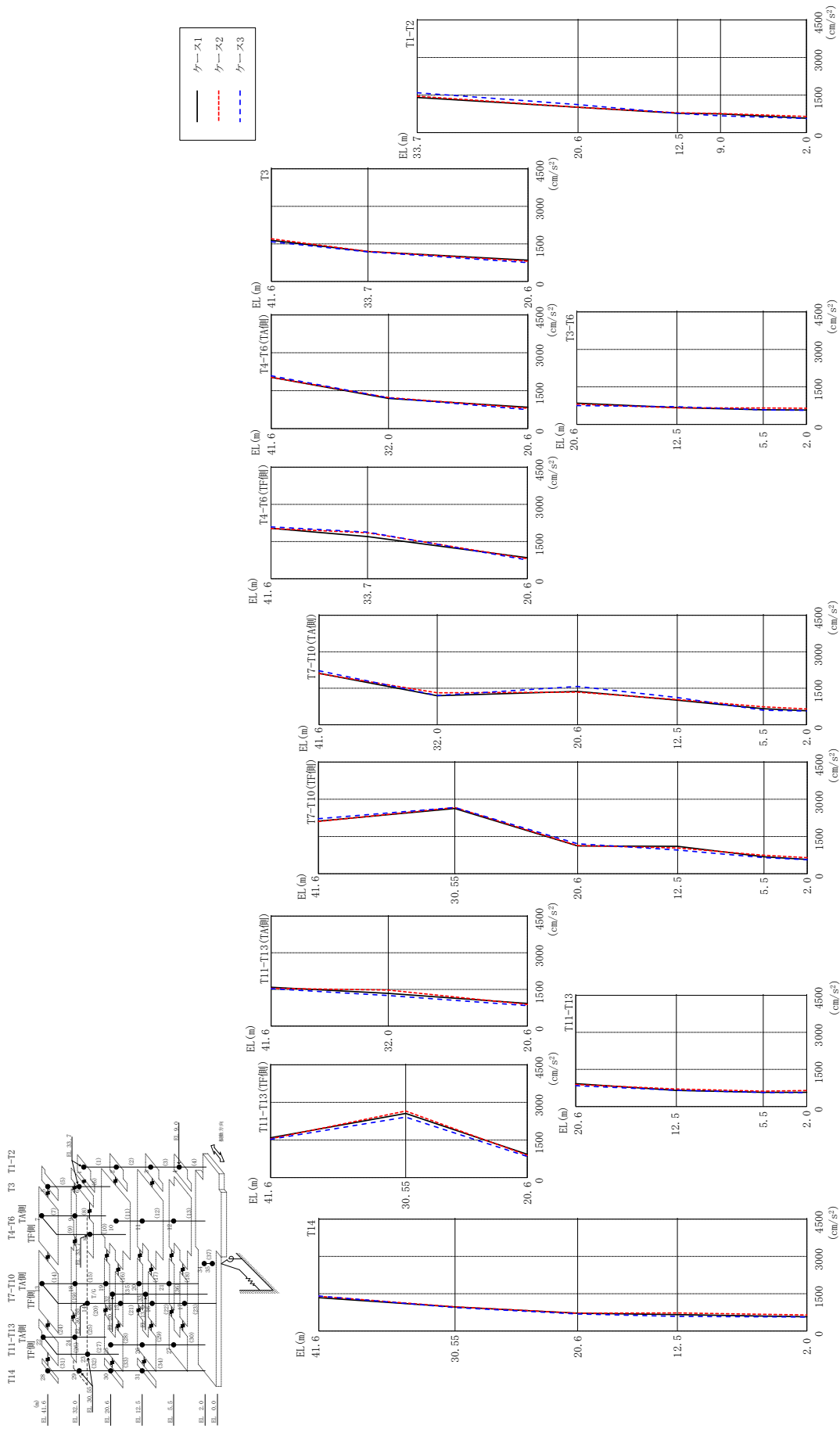
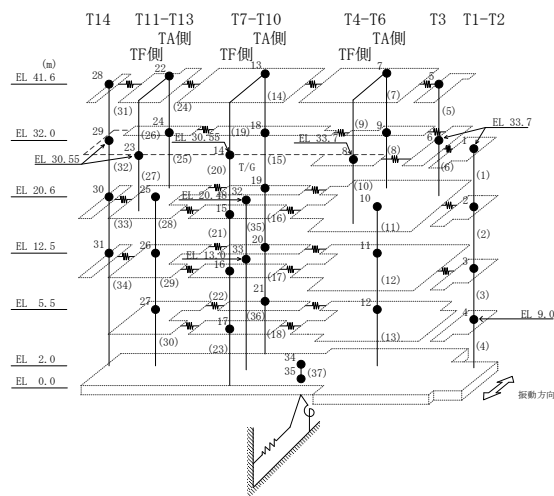


図 2-6 最大応答加速度 (基準地震動 S - N 2 EW, NS 方向)

表 2-6 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N 2 EW, NS$ 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	1400	1455	1591
	20.6	2	1012	1012	1119
	12.5	3	769	791	768
	9.0	4	748	760	671
T3	41.6	5	1642	1703	1585
	33.7	6	1195	1197	1178
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2031	2028	2090
	32.0	9	1195	1230	1215
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1699	1853	1875
T3-T6	20.6	10	847	806	751
	12.5	11	669	659	704
	5.5	12	583	656	581
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2116	2103	2218
	32.0	18	1195	1313	1202
	20.6	19	1373	1341	1576
	12.5	20	1009	1037	1122
	5.5	21	658	740	595
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2628	2669	2666
	20.6	15	1117	1134	1208
	12.5	16	1102	1037	955
	5.5	17	684	741	646
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1590	1547	1529
	32.0	24	1338	1477	1252
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2559	2658	2410
T11-T13	20.6	25	927	887	840
	12.5	26	651	710	656
	5.5	27	577	620	570
T14	41.6	28	1340	1399	1410
	30.55	29	970	971	942
	20.6	30	714	717	685
	12.5	31	663	729	590
	2.0	34	573	646	564



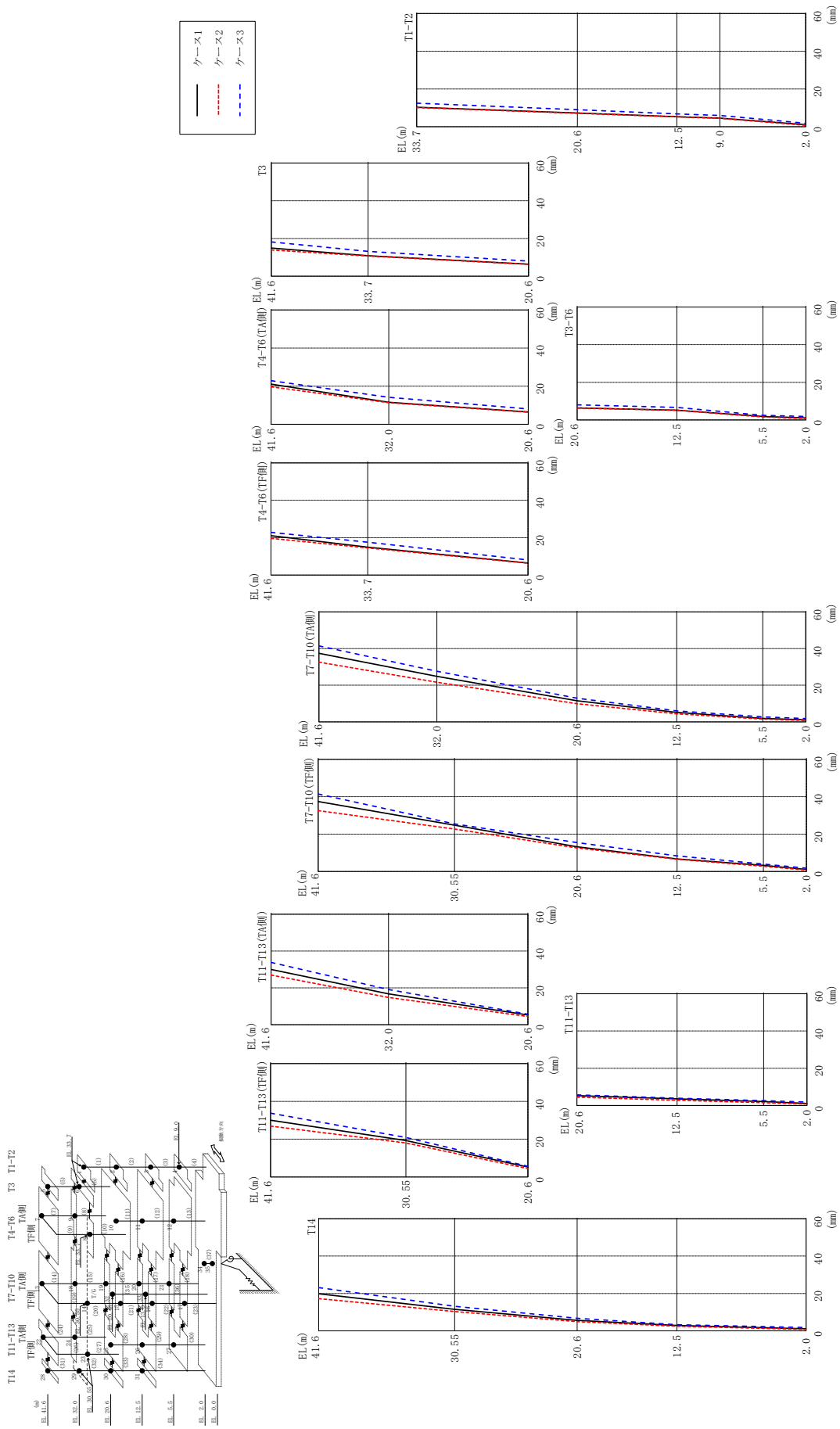
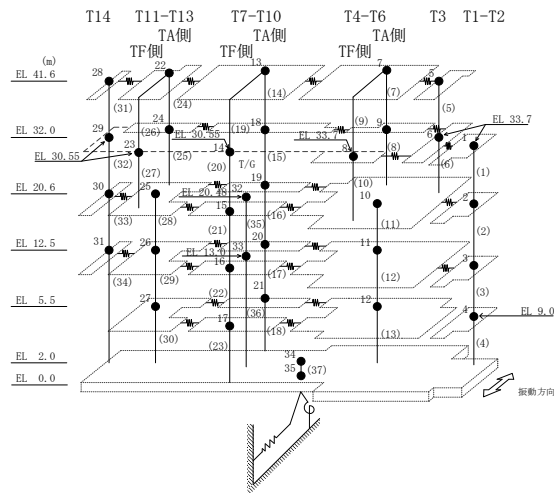


図 2-7 最大応答変位 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

表 2-7 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - D$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	10.33	10.18	12.50
	20.6	2	7.28	7.16	9.05
	12.5	3	5.33	5.24	6.77
	9.0	4	4.57	4.49	5.95
T3	41.6	5	14.92	13.93	18.16
	33.7	6	10.87	10.72	13.16
T4-T6 (TA側)	41.6	7	21.08	19.63	22.86
	32.0	9	11.54	11.32	14.16
T4-T6 (TF側)	33.7	8	14.93	14.46	17.55
T3-T6	20.6	10	6.42	6.33	8.04
	12.5	11	5.22	5.16	6.66
	5.5	12	1.87	1.56	2.50
T7-T10 (TA側)	41.6	13	37.40	32.59	41.47
	32.0	18	24.81	21.60	27.66
	20.6	19	11.51	9.93	12.89
	12.5	20	5.15	4.41	6.03
	5.5	21	1.88	1.52	2.74
T7-T10 (TF側)	30.55	14	24.75	22.75	25.49
	20.6	15	13.26	12.62	15.51
	12.5	16	6.72	6.58	8.35
	5.5	17	3.31	2.86	3.97
T11-T13 (TA側)	41.6	22	30.02	26.93	33.79
	32.0	24	16.73	14.76	19.10
T11-T13 (TF側)	30.55	23	19.29	17.99	20.91
	20.6	25	5.27	4.45	5.70
	12.5	26	3.54	2.79	3.91
T14	41.6	28	19.87	17.27	23.12
	30.55	29	11.51	10.34	13.14
	20.6	30	5.66	4.96	6.70
T14	12.5	31	2.92	2.50	3.33
	2.0	34	1.12	0.79	1.83



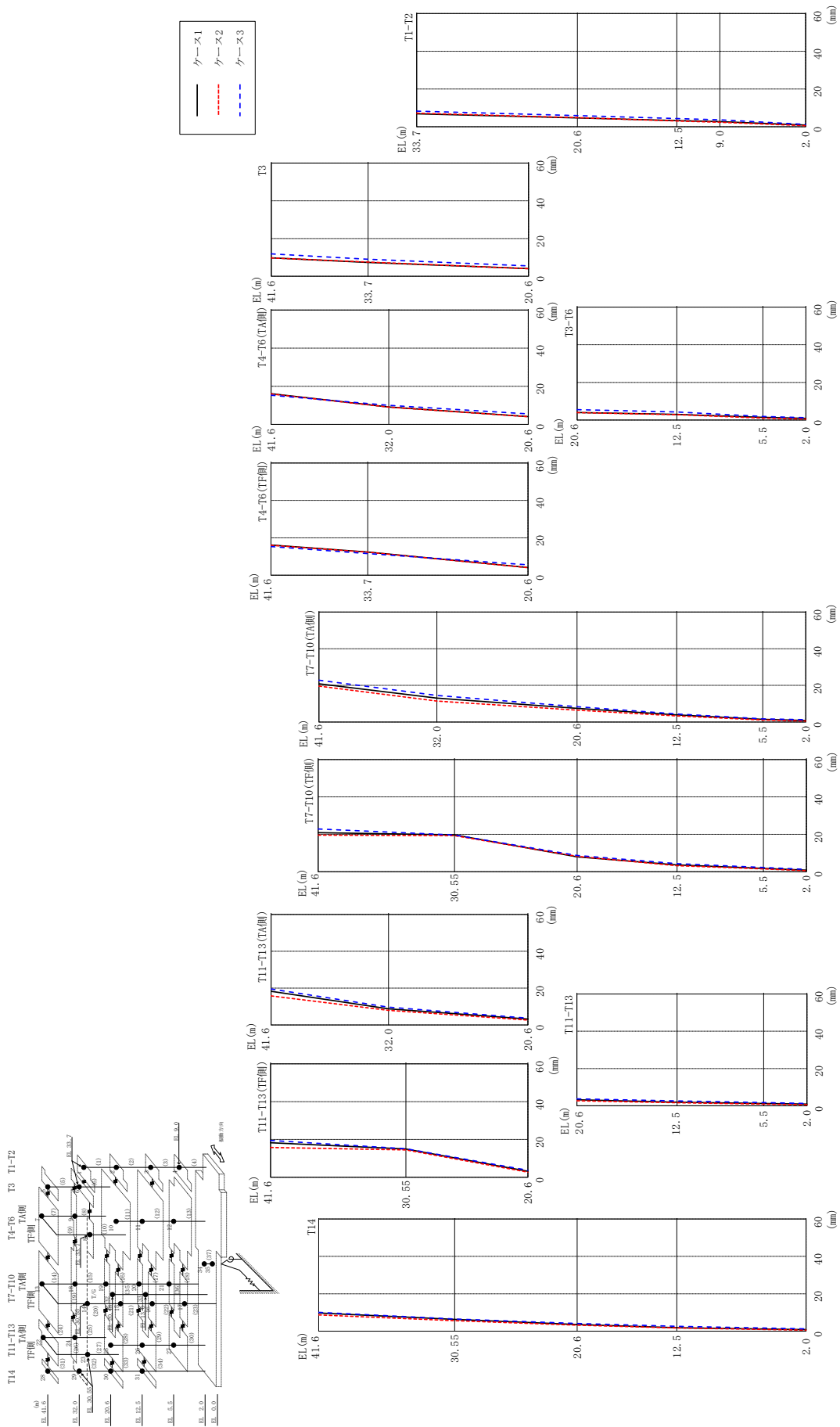
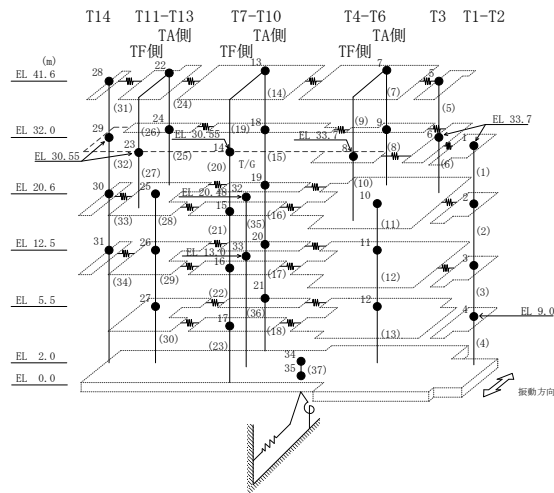


図 2-8 最大応答変位 (標準地震動 S - F 1, NS 方向)

表 2-8 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - F 1, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	6.88	7.18	8.25
	20.6	2	4.71	4.79	5.89
	12.5	3	3.24	3.07	4.32
	9.0	4	2.74	2.41	3.69
T3	41.6	5	9.75	9.73	11.90
	33.7	6	7.35	7.54	9.01
T4-T6 (TA側)	41.6	7	16.12	15.97	15.31
	32.0	9	9.11	9.06	9.99
T4-T6 (TF側)	33.7	8	12.35	12.28	11.52
T3-T6	20.6	10	4.06	3.99	5.49
	12.5	11	3.04	2.87	4.30
	5.5	12	1.42	1.06	1.89
T7-T10 (TA側)	41.6	13	20.90	19.60	22.84
	32.0	18	13.08	11.43	14.54
	20.6	19	7.48	6.51	8.35
	12.5	20	3.91	3.37	4.40
	5.5	21	1.46	1.10	1.78
T7-T10 (TF側)	30.55	14	19.72	19.29	19.65
	20.6	15	7.96	8.23	8.74
	12.5	16	3.66	3.23	4.33
	5.5	17	1.77	1.51	2.31
T11-T13 (TA側)	41.6	22	18.29	15.78	19.48
	32.0	24	8.74	7.92	9.65
T11-T13 (TF側)	30.55	23	14.94	14.47	15.10
T11-T13	20.6	25	3.18	2.67	3.70
	12.5	26	1.94	1.62	2.62
	5.5	27	1.24	0.89	1.71
T14	41.6	28	9.71	8.74	10.09
	30.55	29	6.33	5.63	6.55
	20.6	30	3.61	3.26	4.09
	12.5	31	1.89	1.72	2.60
	2.0	34	0.87	0.54	1.24



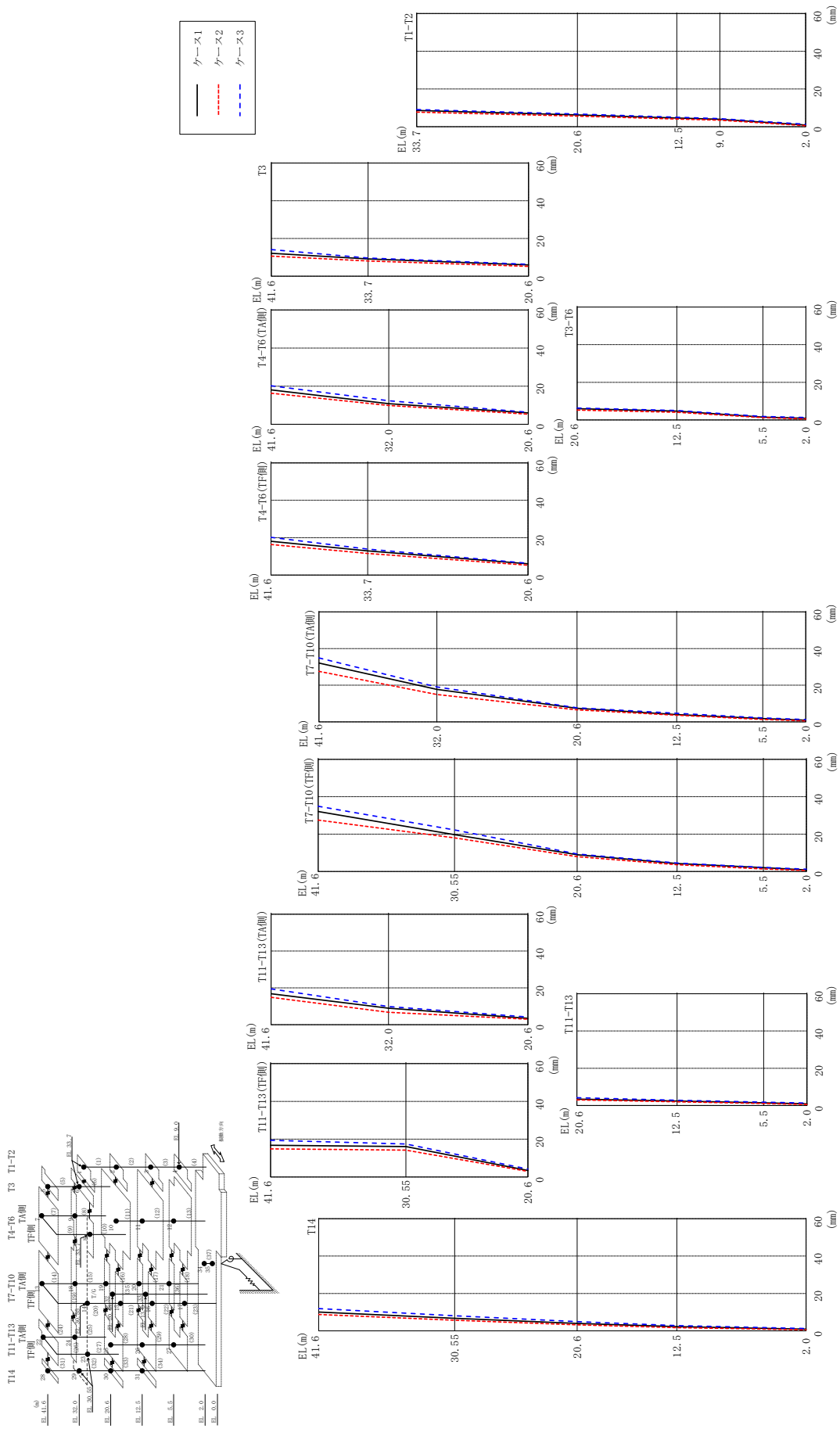
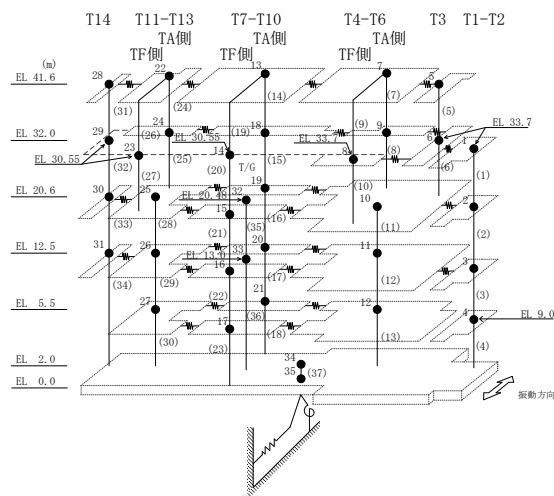


図 2-9 最大応答変位 (基準地震動 S s - F 2, N S 方向)

表 2-9 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - F 2, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	8.61	7.75	9.12
	20.6	2	6.28	5.64	6.72
	12.5	3	4.65	4.11	5.01
	9.0	4	3.96	3.46	4.30
T3	41.6	5	12.16	10.69	14.15
	33.7	6	9.17	8.11	9.66
T4-T6 (TA側)	41.6	7	18.03	16.31	20.19
	32.0	9	10.79	9.85	12.30
T4-T6 (TF側)	33.7	8	12.91	11.56	13.86
T3-T6	20.6	10	5.98	5.25	6.31
	12.5	11	4.74	4.11	5.04
	5.5	12	1.55	1.26	1.88
T7-T10 (TA側)	41.6	13	32.08	27.53	34.92
	32.0	18	17.76	14.91	19.02
	20.6	19	7.37	6.59	7.70
	12.5	20	3.99	3.63	4.69
	5.5	21	1.79	1.32	2.19
T7-T10 (TF側)	30.55	14	19.74	18.02	22.28
	20.6	15	8.99	7.93	9.42
	12.5	16	4.26	3.66	4.52
	5.5	17	2.05	1.41	2.18
T11-T13 (TA側)	41.6	22	16.81	14.85	19.41
	32.0	24	8.96	6.75	9.84
T11-T13 (TF側)	30.55	23	16.13	14.23	17.46
T11-T13	20.6	25	3.45	2.99	4.17
	12.5	26	2.41	1.96	2.82
	5.5	27	1.46	1.06	1.75
T14	41.6	28	10.06	8.79	11.90
	30.55	29	6.73	5.70	8.07
	20.6	30	4.01	3.21	4.92
	12.5	31	2.28	1.71	2.86
	2.0	34	0.88	0.54	1.28



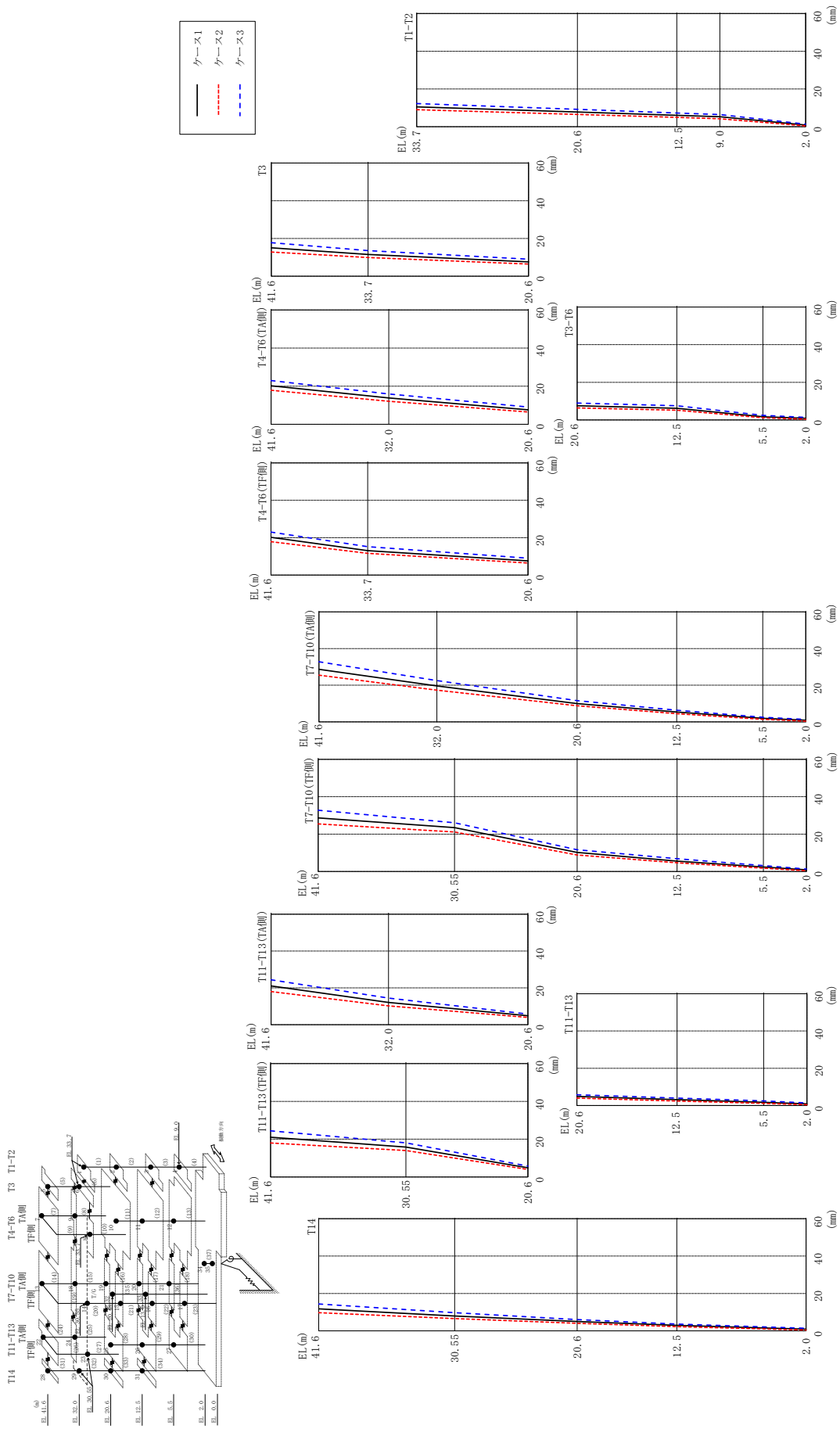
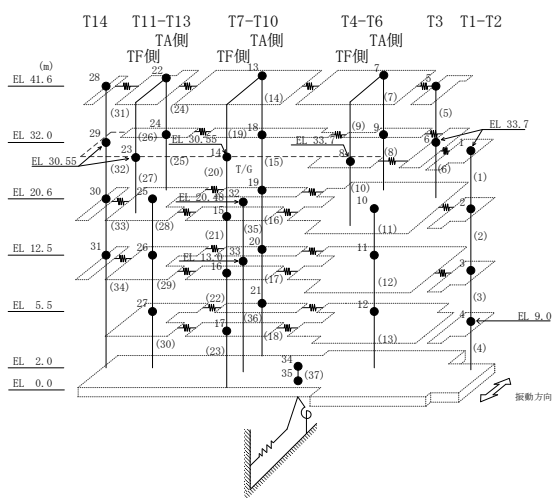


図2-10 最大応答変位 (基準地震動 S - N 1, N S 方向)

表 2-10 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	10.49	9.06	12.29
	20.6	2	7.78	6.54	9.22
	12.5	3	6.05	4.94	7.27
	9.0	4	5.29	4.24	6.43
T3	41.6	5	15.05	12.81	17.77
	33.7	6	11.55	9.93	13.57
T4-T6 (TA側)	41.6	7	20.19	17.85	22.96
	32.0	9	13.79	12.08	15.88
T4-T6 (TF側)	33.7	8	13.07	11.60	15.20
T3-T6	20.6	10	7.59	6.44	9.01
	12.5	11	6.21	5.16	7.53
	5.5	12	1.74	1.21	2.45
T7-T10 (TA側)	41.6	13	28.68	25.49	32.81
	32.0	18	19.62	17.29	22.53
	20.6	19	9.99	8.79	11.62
	12.5	20	5.35	4.47	6.32
	5.5	21	1.97	1.39	2.53
T7-T10 (TF側)	30.55	14	23.50	21.15	26.06
	20.6	15	10.18	8.84	11.65
	12.5	16	5.55	4.70	6.87
	5.5	17	2.42	1.83	3.17
T11-T13 (TA側)	41.6	22	21.02	18.01	24.41
	32.0	24	12.08	10.19	14.47
T11-T13 (TF側)	30.55	23	15.80	13.99	18.09
T11-T13	20.6	25	4.85	3.99	5.76
	12.5	26	3.14	2.43	3.96
	5.5	27	1.73	1.14	2.44
T14	41.6	28	11.78	9.70	14.39
	30.55	29	7.97	6.58	9.71
	20.6	30	5.00	4.04	6.06
	12.5	31	2.96	2.27	3.64
	2.0	34	0.89	0.42	1.36



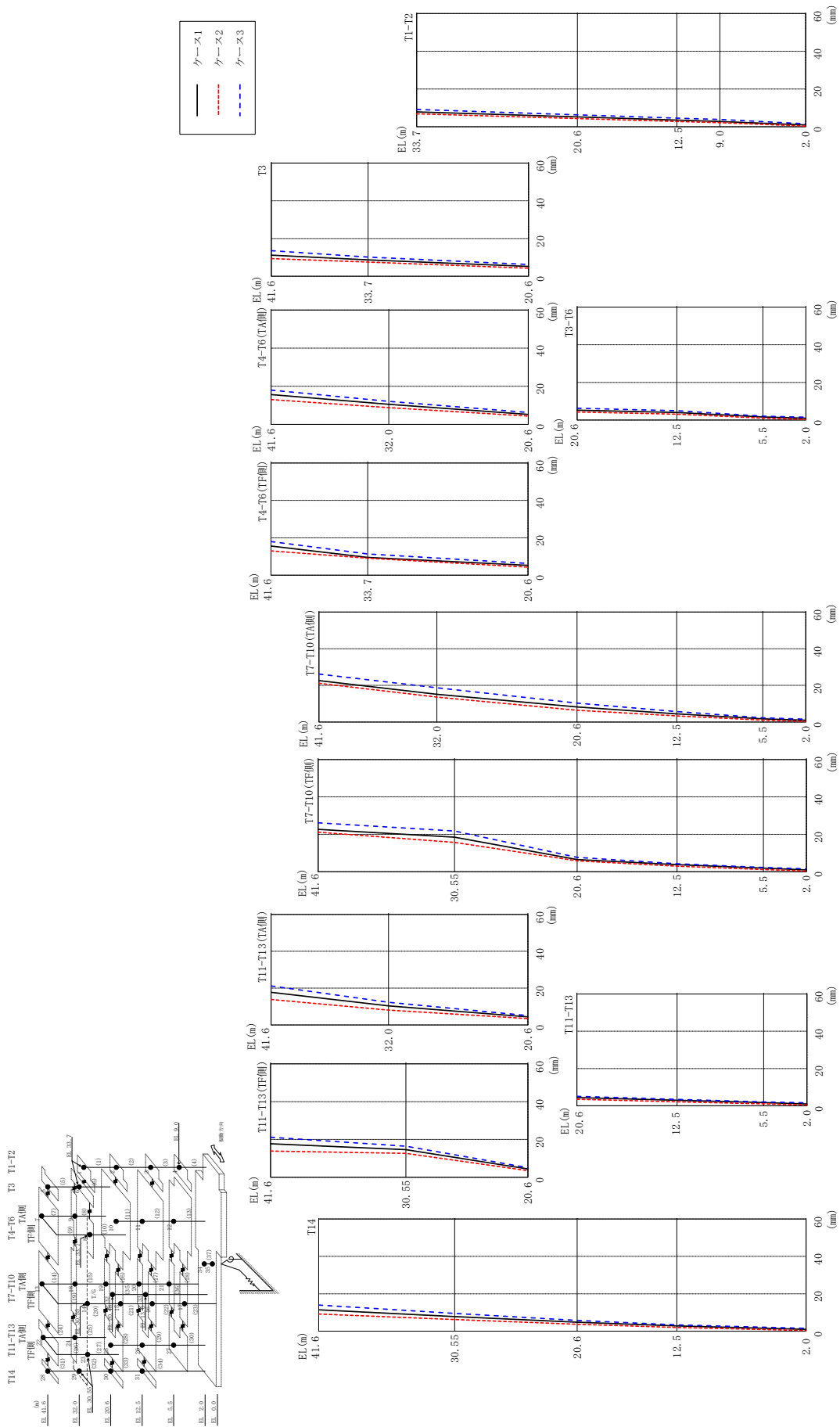
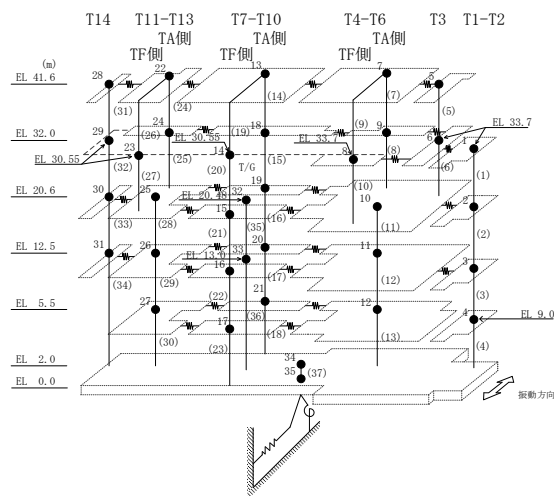


図 2-11 最大応答変位 (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

表 2-11 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	7.87	6.88	9.19
	20.6	2	5.21	4.32	6.34
	12.5	3	3.51	2.77	4.58
	9.0	4	2.82	2.19	3.87
T3	41.6	5	11.23	9.38	13.61
	33.7	6	8.68	7.53	10.21
T4-T6 (TA側)	41.6	7	15.59	13.00	17.98
	32.0	9	10.49	8.78	12.09
T4-T6 (TF側)	33.7	8	9.53	9.11	11.34
T3-T6	20.6	10	5.24	4.31	6.24
	12.5	11	4.04	3.16	4.95
	5.5	12	1.67	1.02	2.07
T7-T10 (TA側)	41.6	13	22.63	21.15	26.13
	32.0	18	15.16	13.63	18.72
	20.6	19	8.23	6.40	10.33
	12.5	20	4.48	3.35	5.70
	5.5	21	1.75	1.06	2.32
T7-T10 (TF側)	30.55	14	18.49	15.71	21.78
	20.6	15	6.52	5.83	7.68
	12.5	16	3.78	2.94	4.27
	5.5	17	1.95	1.20	2.29
T11-T13 (TA側)	41.6	22	17.70	13.85	21.17
	32.0	24	10.35	8.09	12.29
T11-T13 (TF側)	30.55	23	14.63	12.64	16.44
T11-T13	20.6	25	4.41	3.48	5.05
	12.5	26	2.93	2.15	3.40
	5.5	27	1.68	1.01	2.04
T14	41.6	28	11.47	9.21	13.95
	30.55	29	7.85	6.23	9.50
	20.6	30	4.81	3.68	5.78
	12.5	31	2.81	1.98	3.36
	2.0	34	0.96	0.38	1.55



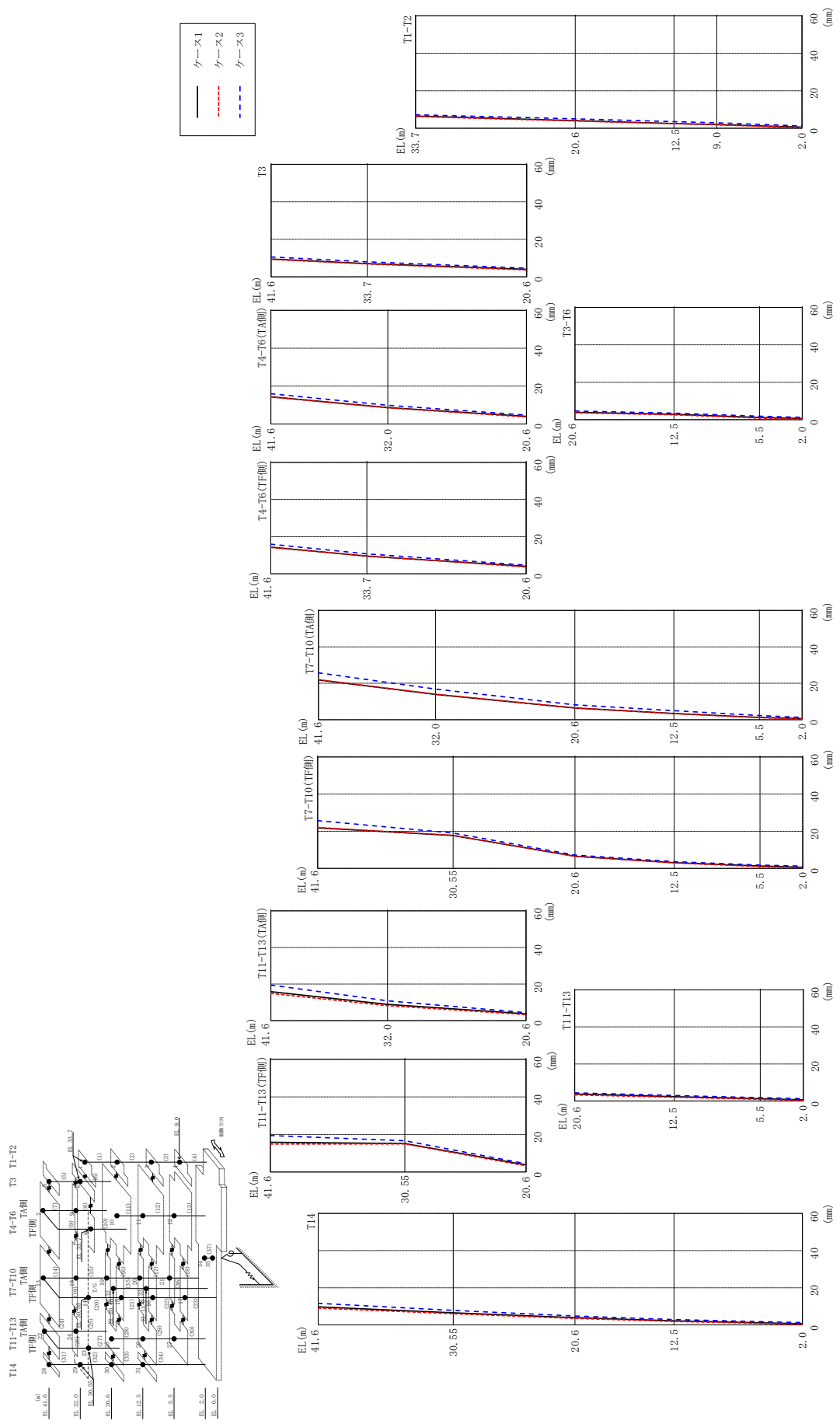
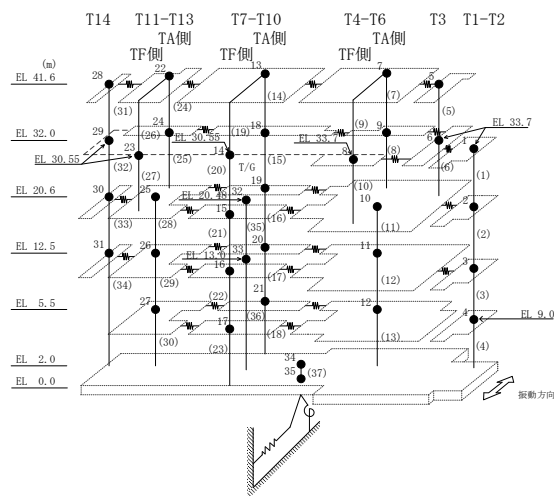


図 2-12 最大応答変位 (基準地震動 S s - N 2 E W, N S 方向)

表 2-12 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - N 2 E W$, NS 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	6.53	6.23	7.17
	20.6	2	4.10	3.91	5.02
	12.5	3	2.54	2.44	3.51
	9.0	4	1.95	1.85	2.90
T3	41.6	5	9.48	9.30	10.60
	33.7	6	7.11	6.86	8.00
T4-T6 (TA側)	41.6	7	14.34	14.18	15.93
	32.0	9	8.61	8.49	9.86
T4-T6 (TF側)	33.7	8	9.49	9.61	10.70
T3-T6	20.6	10	4.00	3.69	4.65
	12.5	11	2.88	2.58	3.48
	5.5	12	1.18	0.87	1.83
T7-T10 (TA側)	41.6	13	21.82	22.01	25.72
	32.0	18	13.91	14.04	16.81
	20.6	19	6.45	6.47	8.15
	12.5	20	3.45	3.34	4.93
	5.5	21	1.24	1.12	2.29
T7-T10 (TF側)	30.55	14	17.75	17.79	19.01
	20.6	15	6.62	6.54	7.23
	12.5	16	3.13	2.99	3.63
	5.5	17	1.30	0.98	1.79
T11-T13 (TA側)	41.6	22	15.82	14.87	19.43
	32.0	24	8.88	8.17	10.84
T11-T13 (TF側)	30.55	23	15.17	14.95	16.65
T11-T13	20.6	25	3.76	3.32	4.40
	12.5	26	2.35	1.97	2.95
	5.5	27	1.22	0.89	1.78
T14	41.6	28	9.73	9.05	11.61
	30.55	29	6.54	6.03	7.83
	20.6	30	3.92	3.51	4.83
	12.5	31	2.21	1.86	2.90
	2.0	34	0.62	0.35	1.25



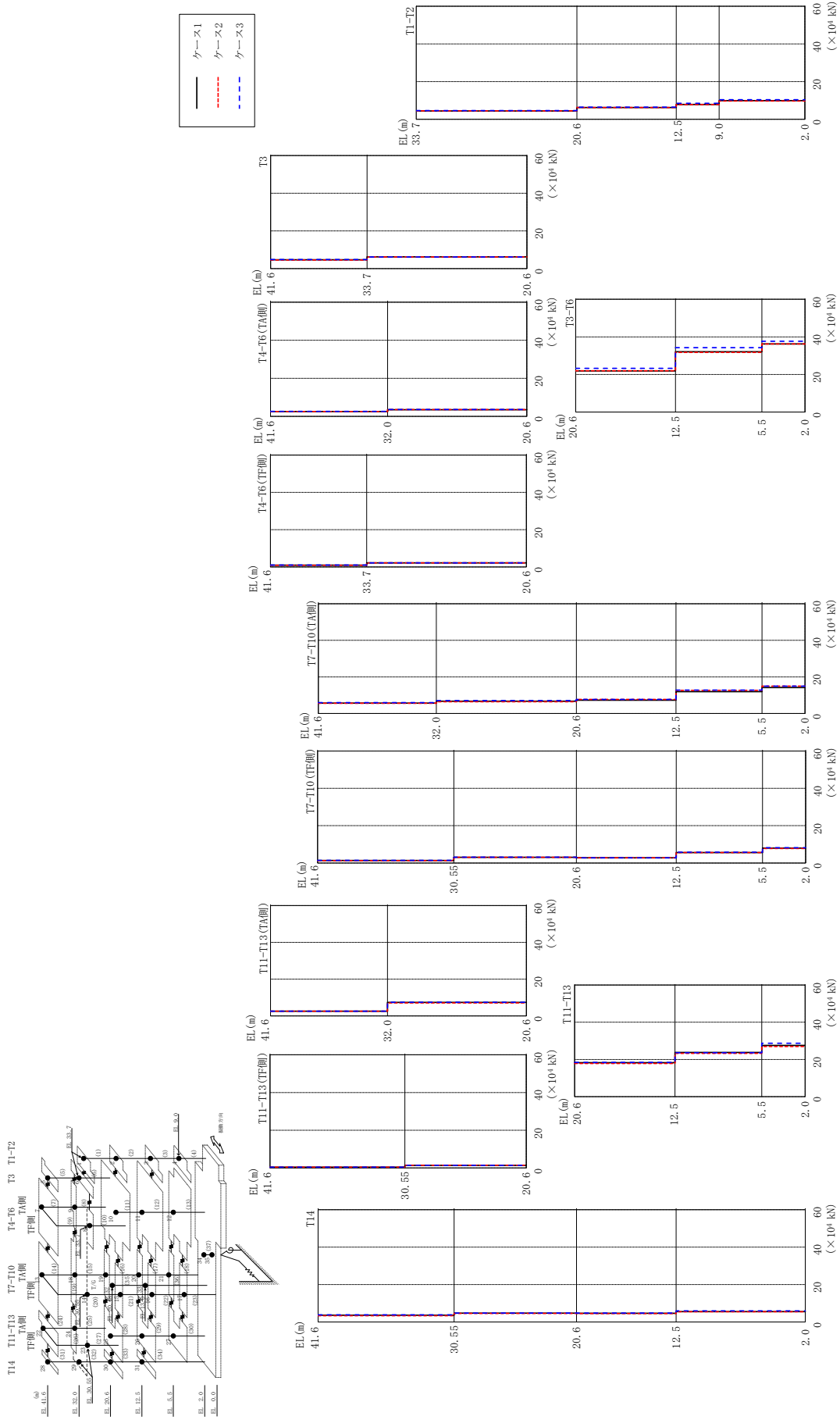
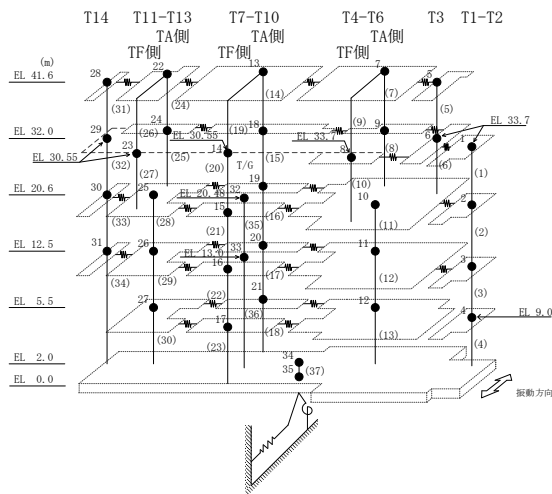


図 2-13 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

表 2-13 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S_s-D, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	4.47	4.62
	20.6~12.5	2	6.26	6.23	6.45
	12.5~9.0	3	7.84	7.80	8.47
	9.0~2.0	4	9.87	9.70	10.4
T3	41.6~33.7	5	4.65	4.57	4.80
	33.7~20.6	6	6.21	6.21	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.51	2.59
	32.0~20.6	8	3.50	3.53	3.63
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.945	0.877	1.02
	33.7~20.6	10	2.20	2.18	2.20
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	21.9	23.3
	12.5~5.5	12	32.1	31.7	34.3
	5.5~2.0	13	36.3	36.2	37.7
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.62	5.99
	32.0~20.6	15	6.71	6.44	7.07
	20.6~12.5	16	7.29	7.72	7.71
	12.5~5.5	17	12.0	12.6	12.8
	5.5~2.0	18	14.2	14.9	14.9
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.29	1.40
	30.55~20.6	20	3.05	3.06	3.14
	20.6~12.5	21	2.77	2.76	2.80
	12.5~5.5	22	5.59	5.56	5.79
	5.5~2.0	23	8.01	7.80	8.16
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.56	2.61
	32.0~20.6	25	7.37	7.09	7.48
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.421	0.424	0.409
	30.55~20.6	27	1.41	1.43	1.40
T11-T13	20.6~12.5	28	18.3	17.8	18.4
	12.5~5.5	29	23.8	23.3	23.6
	5.5~2.0	30	27.5	27.0	28.7
T14	41.6~30.55	31	3.62	3.35	3.83
	30.55~20.6	32	4.68	4.55	4.77
	20.6~12.5	33	4.61	4.47	4.75
	12.5~2.0	34	5.54	5.48	5.92



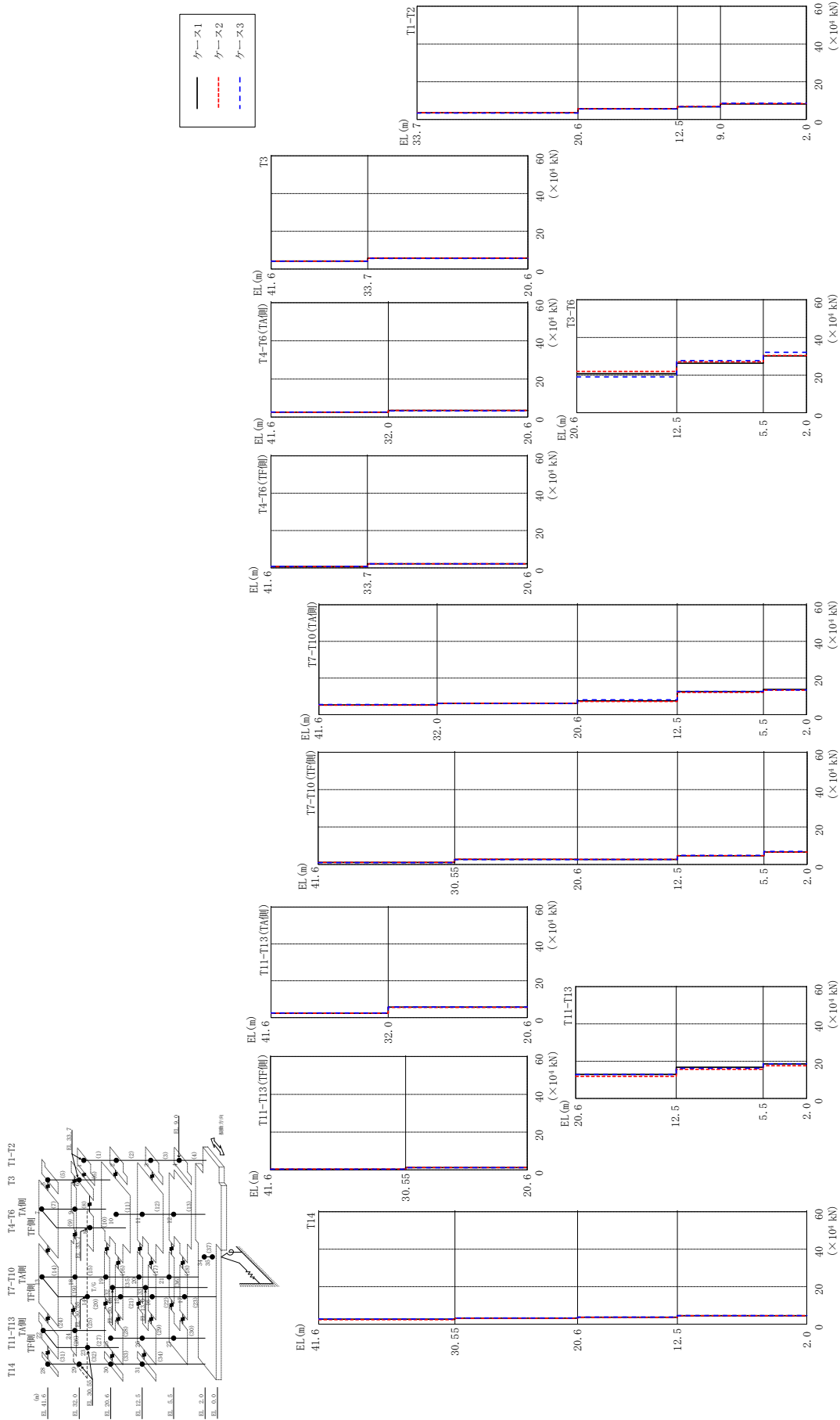
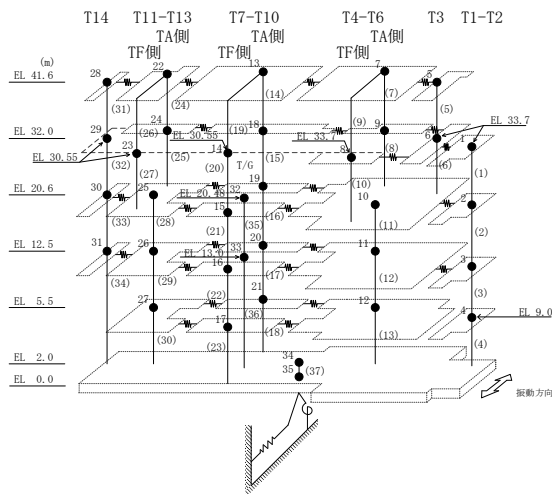


図 2-14 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - F 1, N S 方向)

表 2-14 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S_s-F1, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	3.55	3.62	3.35
	20.6~12.5	2	5.71	5.70	5.52
	12.5~9.0	3	6.70	6.88	6.79
	9.0~2.0	4	8.21	8.41	8.63
T3	41.6~33.7	5	4.18	4.19	4.15
	33.7~20.6	6	5.75	5.86	5.62
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.50	2.58
	32.0~20.6	8	3.44	3.48	3.23
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.711	0.686	0.773
	33.7~20.6	10	2.16	2.18	2.15
T3-T6	20.6~12.5	11	20.7	21.9	19.1
	12.5~5.5	12	26.3	27.1	27.6
	5.5~2.0	13	30.2	30.4	32.1
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.35	5.22	5.57
	32.0~20.6	15	6.18	6.24	6.12
	20.6~12.5	16	7.56	7.23	8.11
	12.5~5.5	17	12.6	12.2	12.8
	5.5~2.0	18	13.7	13.4	13.5
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.05	1.05	0.968
	30.55~20.6	20	2.72	2.76	2.58
	20.6~12.5	21	2.66	2.72	2.67
	12.5~5.5	22	4.64	4.72	4.83
	5.5~2.0	23	6.64	6.58	6.99
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.41	2.36	2.54
	32.0~20.6	25	5.72	5.56	5.79
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.396	0.420	0.355
	30.55~20.6	27	1.25	1.27	1.18
T11-T13	20.6~12.5	28	12.9	11.9	12.8
	12.5~5.5	29	16.7	15.6	16.2
	5.5~2.0	30	18.5	17.6	18.6
T14	41.6~30.55	31	2.67	2.37	2.76
	30.55~20.6	32	3.23	3.10	3.27
	20.6~12.5	33	3.67	3.60	3.74
	12.5~2.0	34	4.47	4.51	4.58



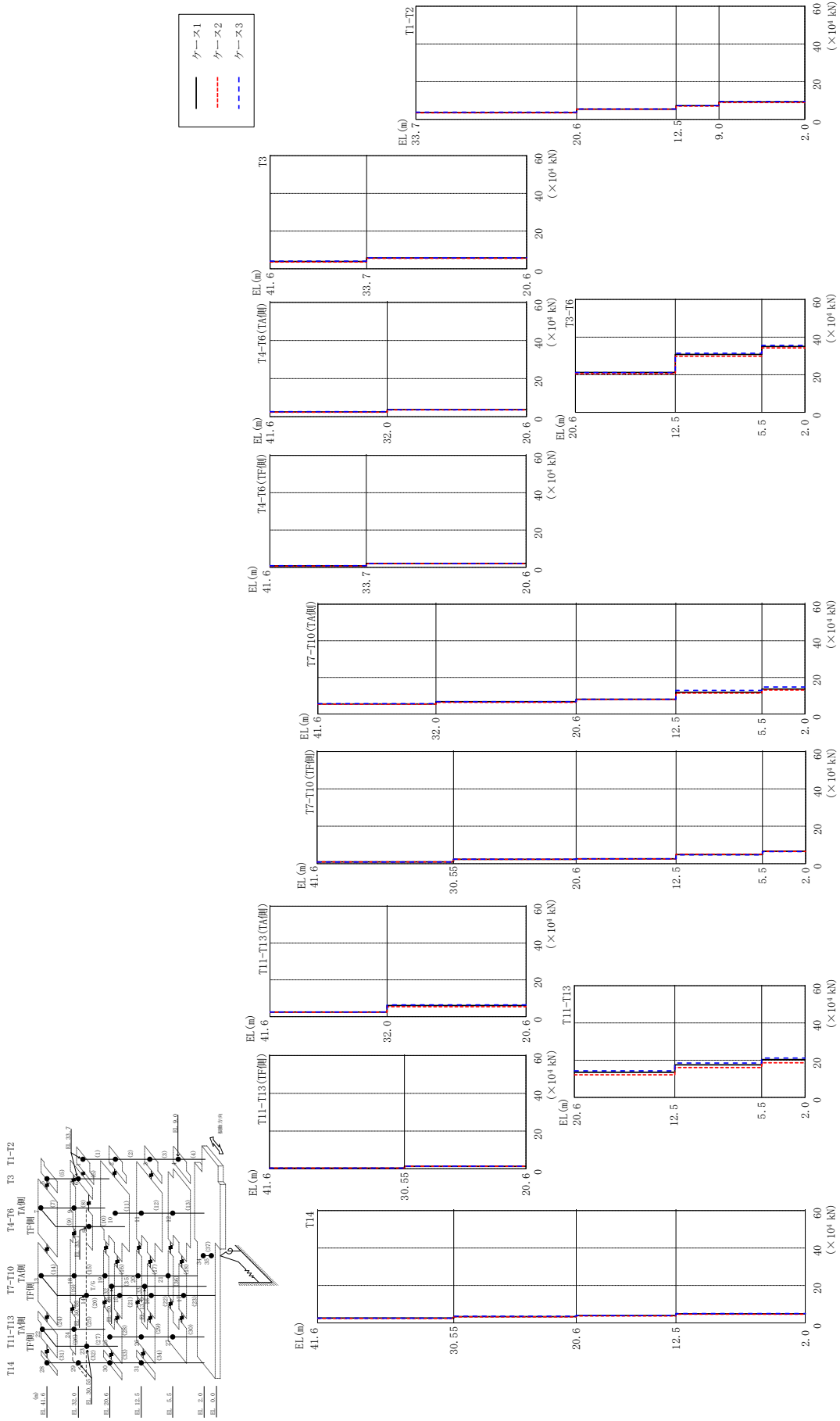
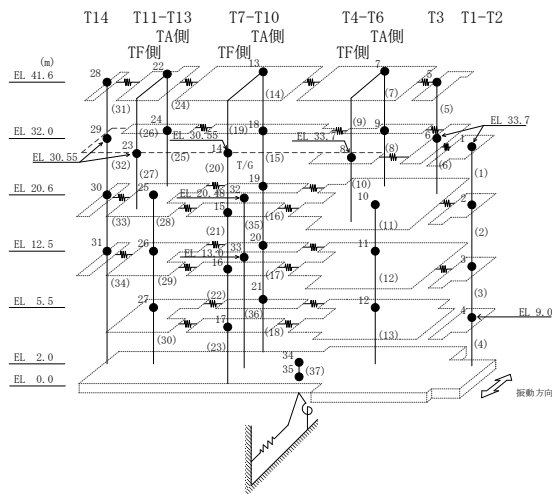


図 2-15 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - F 2, N S 方向)

表 2-15 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S_s-F2, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	3.66	3.46	3.80
	20.6~12.5	2	5.40	5.39	5.46
	12.5~9.0	3	7.32	6.98	7.39
	9.0~2.0	4	9.28	8.95	9.46
T3	41.6~33.7	5	3.90	3.59	4.07
	33.7~20.6	6	5.77	5.55	5.83
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.44	2.30	2.59
	32.0~20.6	8	3.66	3.50	3.60
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.806	0.676	0.864
	33.7~20.6	10	2.10	1.95	2.09
T3-T6	20.6~12.5	11	21.2	20.6	21.1
	12.5~5.5	12	30.8	29.9	31.4
	5.5~2.0	13	35.0	34.3	35.6
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.46	5.31	5.67
	32.0~20.6	15	6.70	6.36	6.72
	20.6~12.5	16	8.03	8.00	8.03
	12.5~5.5	17	11.9	11.4	12.9
	5.5~2.0	18	13.6	13.1	14.7
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.915	0.921	0.893
	30.55~20.6	20	2.33	2.31	2.40
	20.6~12.5	21	2.61	2.51	2.57
	12.5~5.5	22	4.83	4.94	4.70
	5.5~2.0	23	6.63	6.54	6.50
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.54	2.42	2.49
	32.0~20.6	25	6.09	5.42	6.40
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.376	0.398	0.364
	30.55~20.6	27	1.34	1.29	1.37
T11-T13	20.6~12.5	28	13.5	12.1	14.3
	12.5~5.5	29	17.5	16.0	18.4
	5.5~2.0	30	20.3	18.6	21.1
T14	41.6~30.55	31	2.59	2.39	2.54
	30.55~20.6	32	3.35	3.20	3.62
	20.6~12.5	33	3.94	3.68	4.04
	12.5~2.0	34	4.80	4.66	5.00



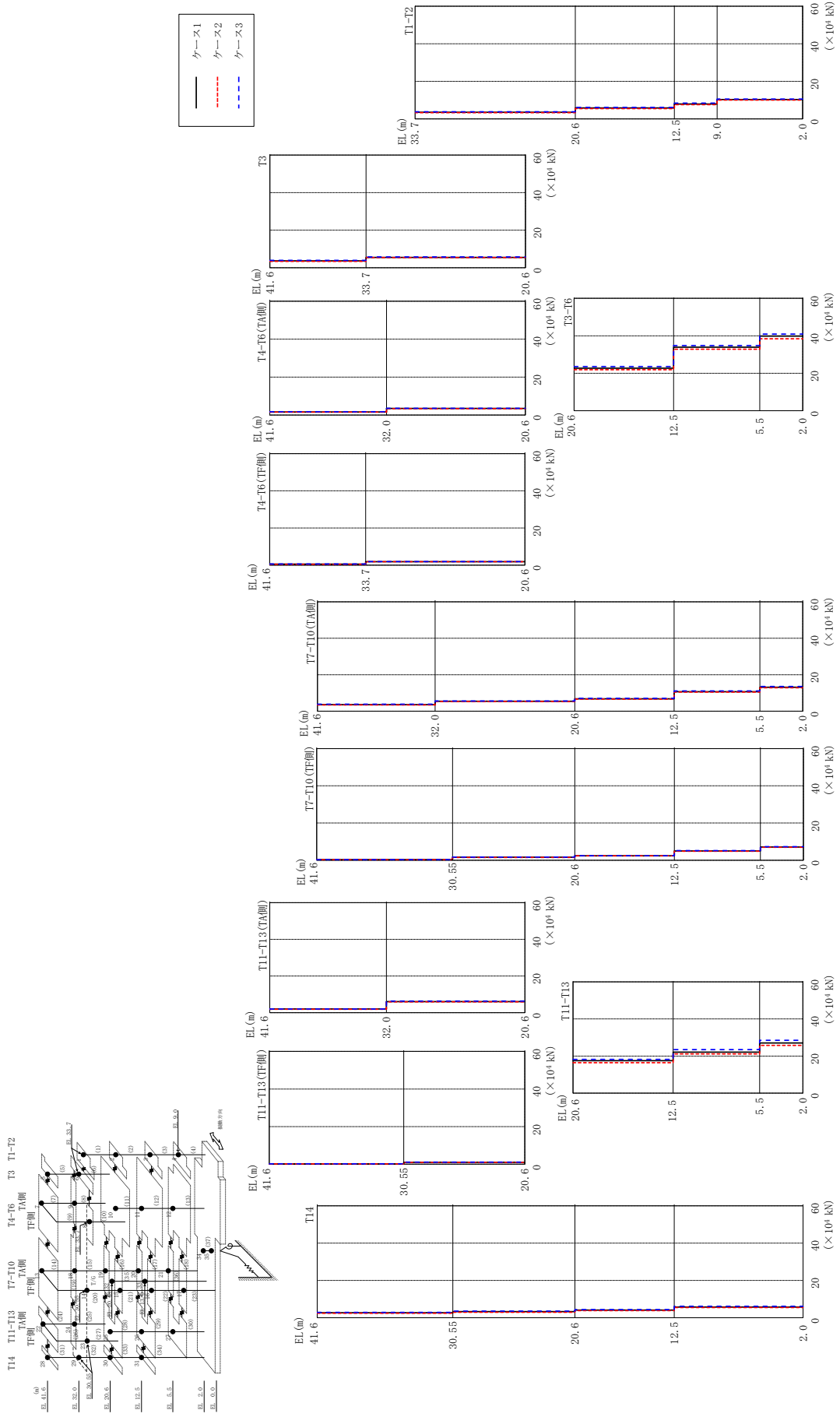
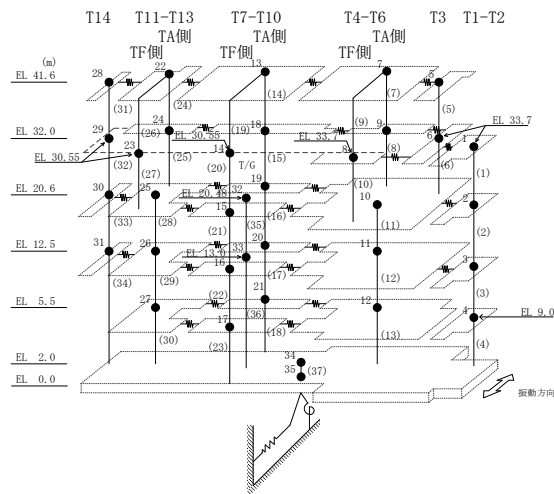


図 2-16 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

表 2-16 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	3.52	3.30	3.80
	20.6~12.5	2	5.80	5.46	6.12
	12.5~9.0	3	7.91	7.59	8.39
	9.0~2.0	4	10.3	10.0	10.6
T3	41.6~33.7	5	3.68	3.42	3.94
	33.7~20.6	6	5.52	5.40	5.74
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.52	1.70
	32.0~20.6	8	3.49	3.35	3.53
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.541	0.484	0.596
	33.7~20.6	10	1.86	1.83	1.91
T3-T6	20.6~12.5	11	22.7	21.9	23.6
	12.5~5.5	12	33.9	32.8	34.8
	5.5~2.0	13	39.9	38.4	40.9
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.62	3.42	3.89
	32.0~20.6	15	5.50	5.36	5.63
	20.6~12.5	16	6.76	6.64	7.06
	12.5~5.5	17	10.7	10.5	11.1
	5.5~2.0	18	13.2	12.9	13.6
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.292	0.277	0.323
	30.55~20.6	20	1.61	1.50	1.68
	20.6~12.5	21	2.38	2.38	2.43
	12.5~5.5	22	5.00	4.87	5.21
	5.5~2.0	23	7.08	6.94	7.33
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.02	1.91	2.02
	32.0~20.6	25	6.06	5.89	6.37
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.178	0.154	0.228
	30.55~20.6	27	1.01	0.944	1.13
T11-T13	20.6~12.5	28	17.5	16.4	18.2
	12.5~5.5	29	22.1	21.1	23.5
	5.5~2.0	30	27.1	25.8	28.5
T14	41.6~30.55	31	2.65	2.37	2.87
	30.55~20.6	32	3.23	2.93	3.57
	20.6~12.5	33	4.09	3.83	4.34
	12.5~2.0	34	5.70	5.45	6.11



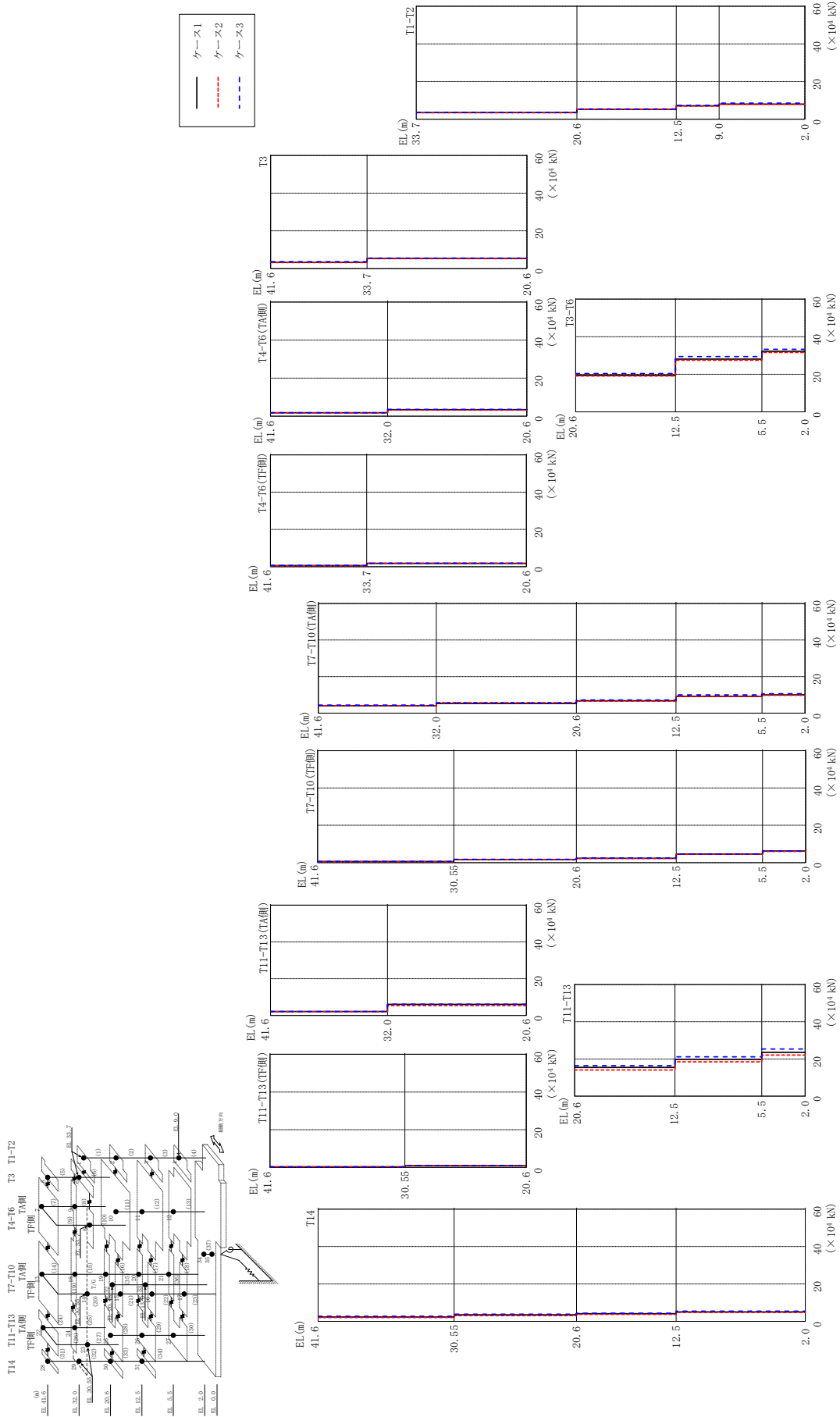
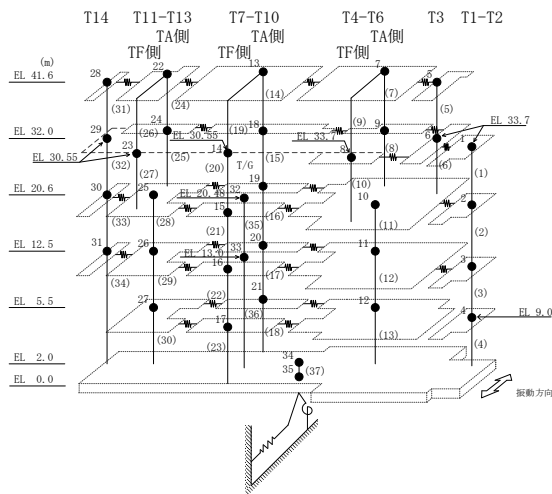


図 2-17 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

表 2-17 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	3.51	3.44	3.64
	20.6~12.5	2	5.23	5.24	5.42
	12.5~9.0	3	7.10	6.94	7.37
	9.0~2.0	4	7.99	7.93	8.54
T3	41.6~33.7	5	3.27	3.13	3.60
	33.7~20.6	6	5.35	5.26	5.50
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.81	1.70	1.81
	32.0~20.6	8	3.38	3.21	3.55
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.569	0.496	0.650
	33.7~20.6	10	1.74	1.81	1.81
T3-T6	20.6~12.5	11	19.4	19.1	20.4
	12.5~5.5	12	28.1	27.5	29.5
	5.5~2.0	13	32.2	31.6	33.3
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	4.11	4.15	4.42
	32.0~20.6	15	5.31	5.76	5.58
	20.6~12.5	16	6.76	6.58	7.19
	12.5~5.5	17	9.26	9.19	9.99
	5.5~2.0	18	9.99	9.81	10.7
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.593	0.541	0.571
	30.55~20.6	20	1.57	1.65	1.76
	20.6~12.5	21	2.30	2.23	2.46
	12.5~5.5	22	4.54	4.53	4.61
	5.5~2.0	23	6.20	6.03	6.24
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.20	2.14	2.17
	32.0~20.6	25	6.06	5.37	6.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.328	0.367	0.282
	30.55~20.6	27	0.993	1.04	1.07
T11-T13	20.6~12.5	28	15.4	14.1	16.4
	12.5~5.5	29	19.8	18.5	21.1
	5.5~2.0	30	23.6	22.1	25.4
T14	41.6~30.55	31	2.30	2.01	2.72
	30.55~20.6	32	3.45	3.06	3.85
	20.6~12.5	33	4.07	3.76	4.34
	12.5~2.0	34	5.08	4.78	5.44



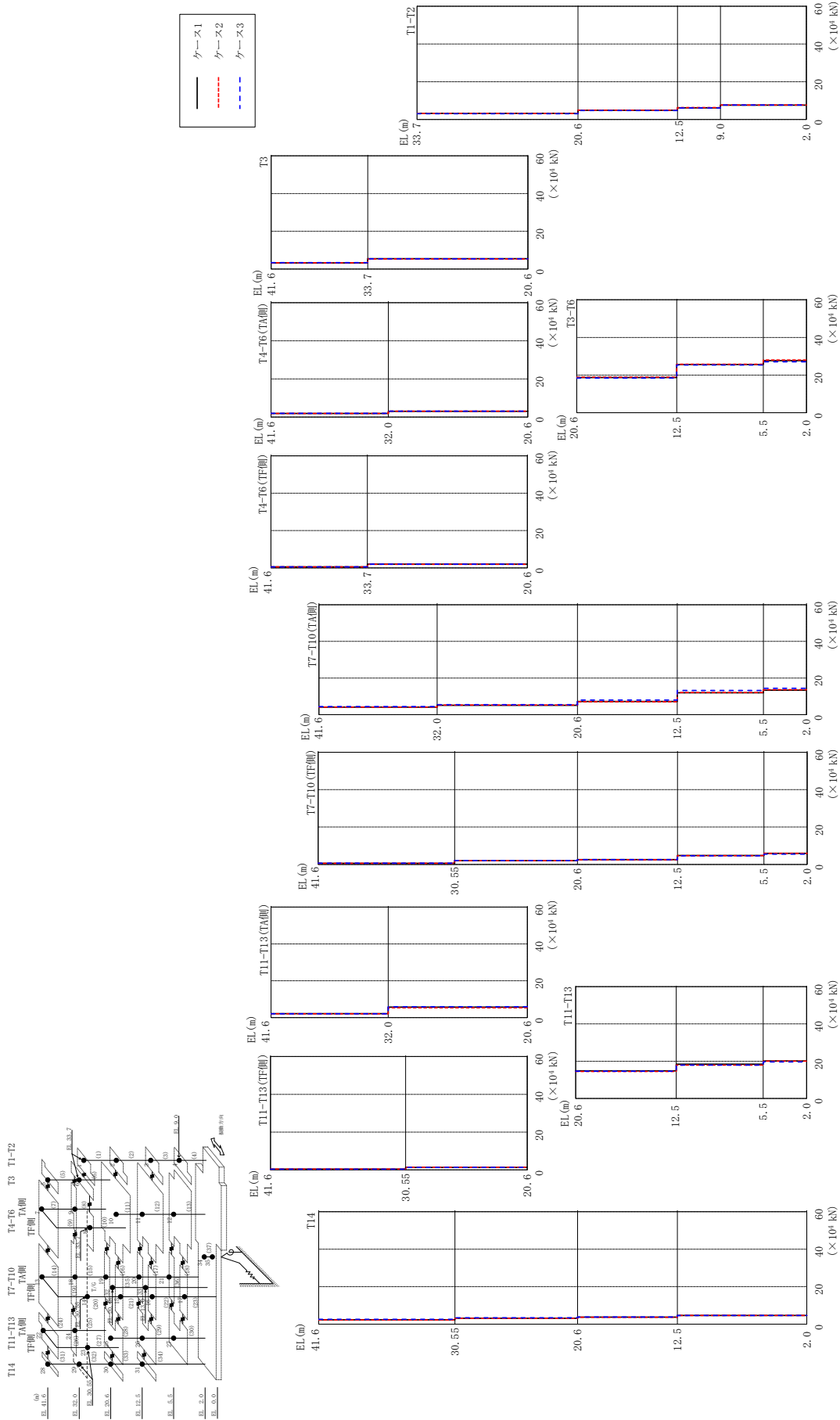
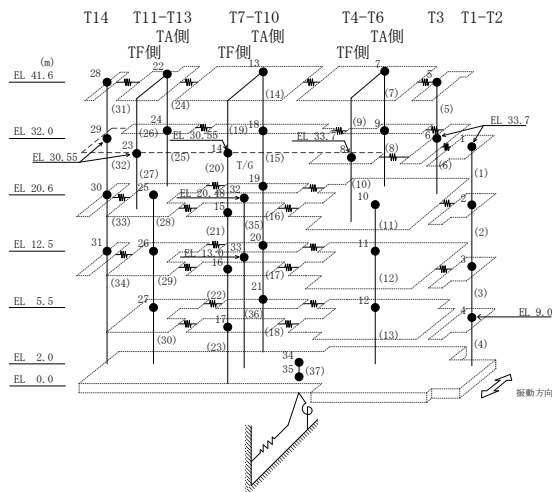


図 2-18 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 2 EW, NS 方向)

表 2-18 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - N2EW$, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	3.24	3.15	3.03
	20.6~12.5	2	4.88	4.92	4.74
	12.5~9.0	3	6.16	6.27	6.07
	9.0~2.0	4	7.57	7.62	7.62
T3	41.6~33.7	5	3.28	3.32	3.38
	33.7~20.6	6	5.49	5.40	5.43
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.86	1.86	1.90
	32.0~20.6	8	3.03	3.07	3.09
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.553	0.532	0.563
	33.7~20.6	10	1.98	1.91	1.95
T3-T6	20.6~12.5	11	18.7	18.9	18.5
	12.5~5.5	12	25.7	25.8	25.4
	5.5~2.0	13	27.7	28.0	27.1
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	4.13	4.15	4.40
	32.0~20.6	15	5.13	5.25	5.47
	20.6~12.5	16	7.23	7.11	7.99
	12.5~5.5	17	12.0	12.1	13.2
	5.5~2.0	18	13.3	13.6	14.4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.623	0.623	0.631
	30.55~20.6	20	2.04	2.06	2.08
	20.6~12.5	21	2.60	2.51	2.56
	12.5~5.5	22	4.78	4.69	4.61
	5.5~2.0	23	5.90	5.92	5.56
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.16	2.08	2.08
	32.0~20.6	25	5.68	5.38	5.90
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.402	0.399	0.388
	30.55~20.6	27	1.34	1.38	1.28
T11-T13	20.6~12.5	28	14.9	14.5	14.6
	12.5~5.5	29	18.4	17.9	17.9
	5.5~2.0	30	20.1	20.1	19.6
T14	41.6~30.55	31	2.30	2.21	2.57
	30.55~20.6	32	3.16	3.09	3.37
	20.6~12.5	33	3.74	3.70	3.82
	12.5~2.0	34	4.64	4.62	4.64



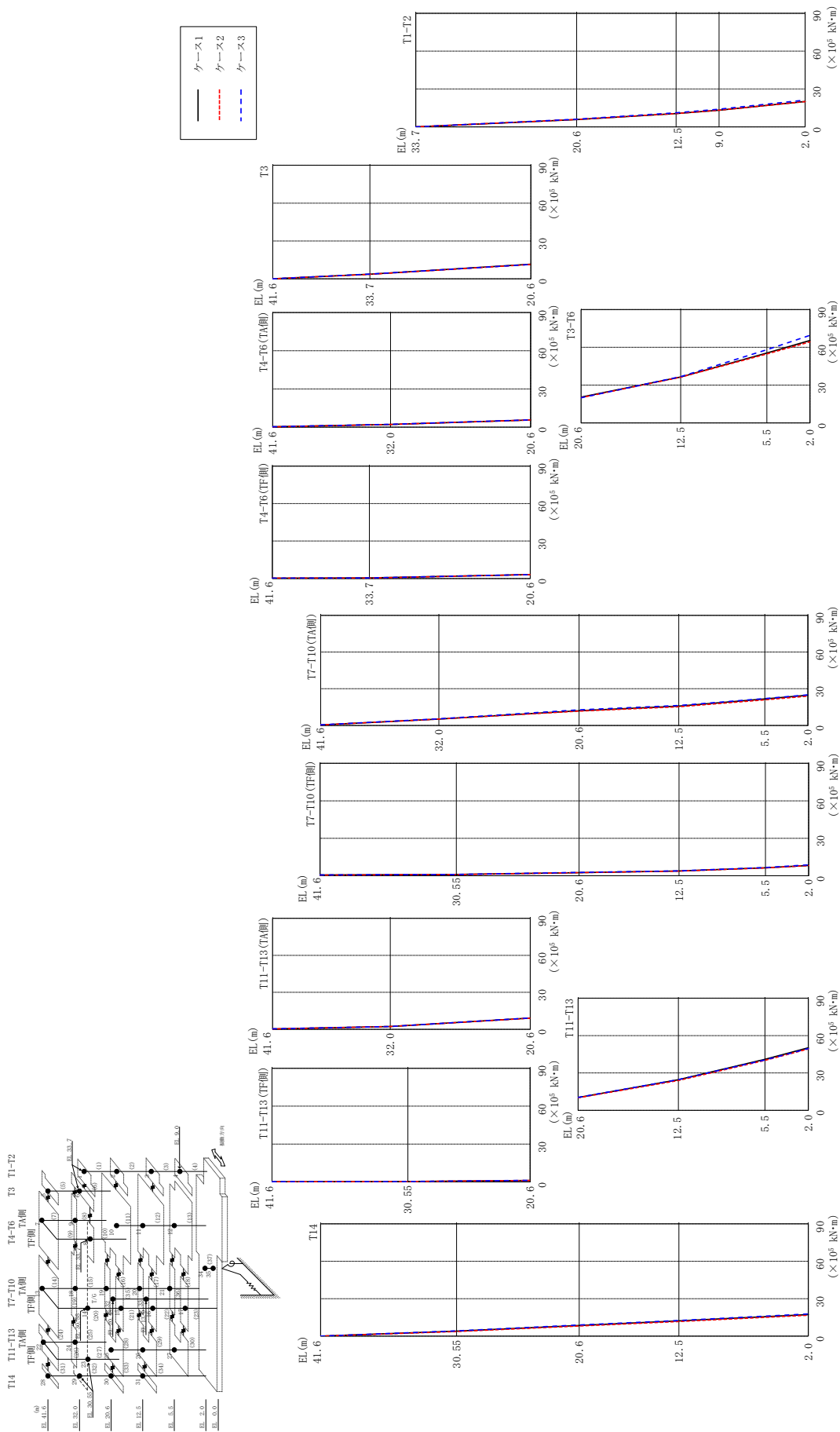


図2-19 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s-D, N S 方向)

表 2-19(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s-D, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			5.72	5.86	6.05
	20.6~12.5	2	5.72	5.86	6.05
			10.5	10.5	11.2
12.5~9.0	3	10.5	10.5	11.2	
		13.2	13.2	14.0	
9.0~2.0	4	13.2	13.2	14.0	
		20.1	20.0	21.2	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			3.68	3.61	3.79
33.7~20.6	6	3.68	3.61	3.79	
		11.6	11.4	11.4	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.250	0.280
			2.17	2.16	2.23
32.0~20.6	8	2.17	2.16	2.23	
		5.68	5.63	5.72	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.266	0.306
			0.461	0.427	0.498
33.7~20.6	10	0.461	0.427	0.498	
		3.17	3.12	3.16	
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	20.0	19.9
			36.4	36.3	36.7
	12.5~5.5	12	36.4	36.3	36.7
55.4			54.8	58.1	
5.5~2.0	13	55.4	54.8	58.1	
		65.4	64.4	69.5	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.341	0.454
			5.24	5.19	5.44
	32.0~20.6	15	5.24	5.19	5.44
			12.0	11.7	12.7
	20.6~12.5	16	12.0	11.7	12.7
15.8			15.3	16.4	
12.5~5.5	17	15.8	15.3	16.4	
		21.6	20.9	22.0	
5.5~2.0	18	21.6	20.9	22.0	
		24.7	24.0	25.1	

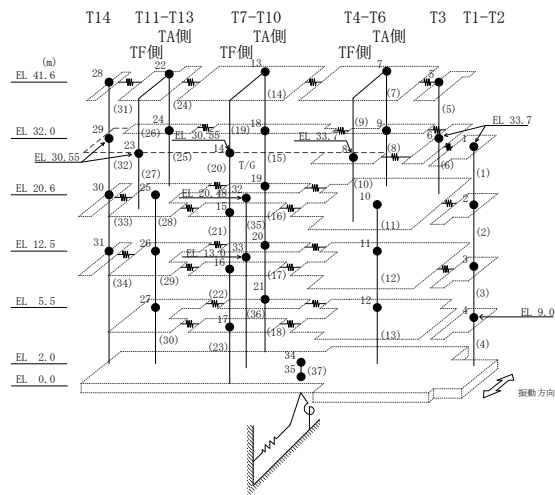
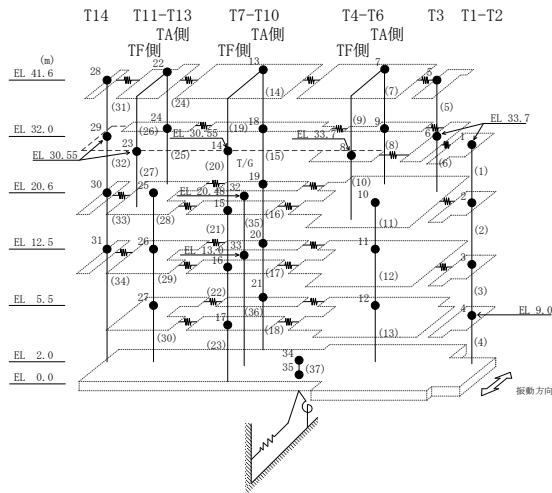


表 2-19(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.552	0.522	0.581
			0.941	0.912	0.973
	30.55~20.6	20	0.941	0.912	0.973
			2.44	2.41	2.58
	20.6~12.5	21	2.44	2.41	2.58
3.78			3.65	3.87	
12.5~5.5	22	3.78	3.65	3.87	
		6.33	6.28	6.50	
5.5~2.0	23	6.33	6.28	6.50	
			8.22	8.11	8.72
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.303	0.281	0.344
			2.25	2.22	2.23
32.0~20.6	25	2.25	2.22	2.23	
		9.08	8.96	9.18	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.189	0.178	0.222
			0.330	0.343	0.313
30.55~20.6	27	0.330	0.343	0.313	
		1.18	1.13	1.22	
T11-T13	20.6~12.5	28	10.3	10.1	10.4
			24.6	23.9	24.7
	12.5~5.5	29	24.6	23.9	24.7
			41.0	40.1	40.4
5.5~2.0	30	41.0	40.1	40.4	
		50.2	49.2	49.6	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			4.00	3.70	4.23
	30.55~20.6	32	4.00	3.70	4.23
			8.53	8.12	8.96
	20.6~12.5	33	8.53	8.12	8.96
12.2			11.7	12.5	
12.5~2.0	34	12.2	11.7	12.5	
			17.2	16.7	17.7



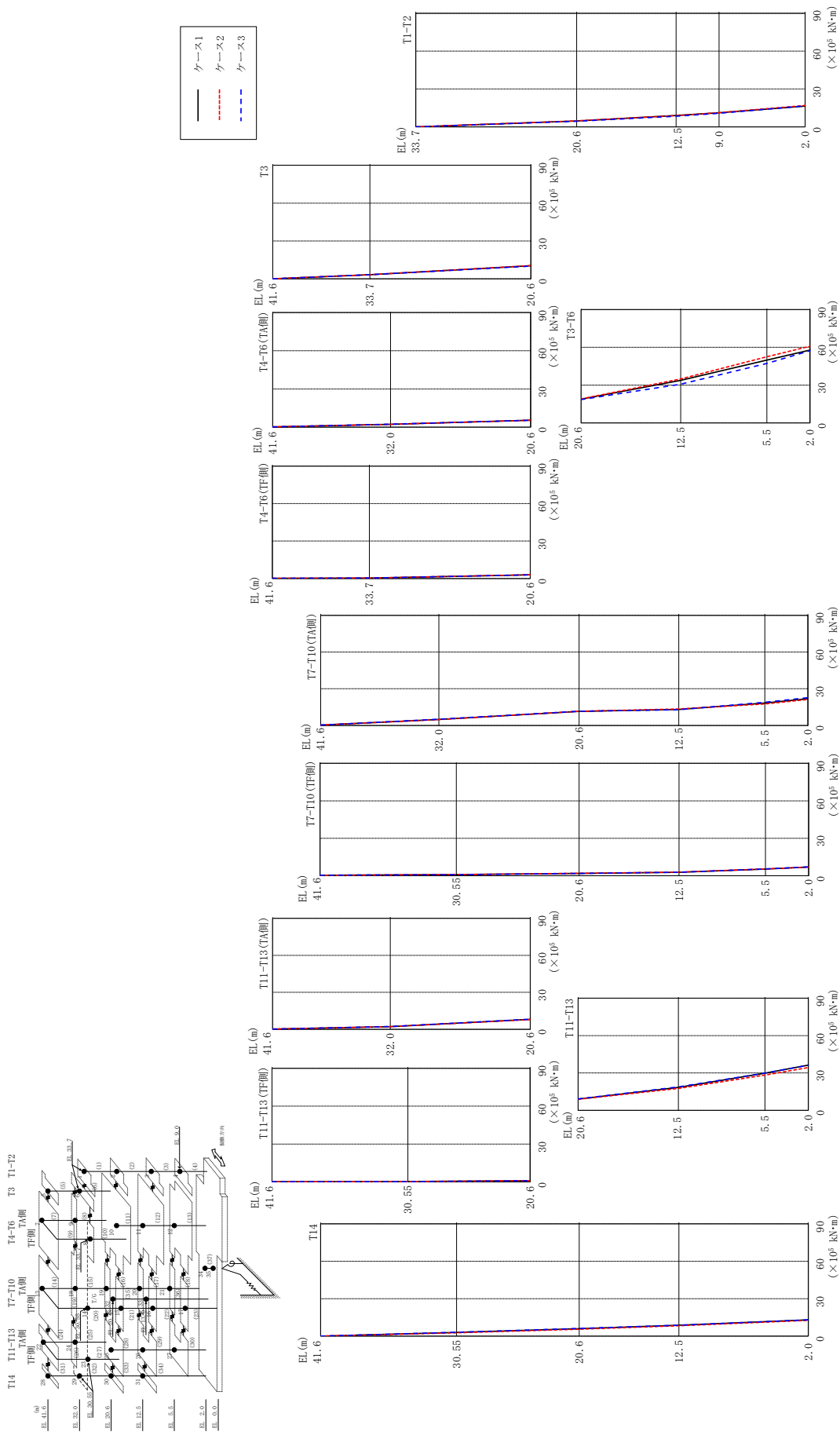


図 2-20 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

表 2-20(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			4.65	4.74	4.39
	20.6~12.5	2	4.65	4.74	4.39
			8.97	8.95	8.36
12.5~9.0	3	8.97	8.95	8.36	
		11.1	11.2	10.7	
9.0~2.0	4	11.1	11.2	10.7	
		16.4	16.9	16.6	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			3.30	3.31	3.28
	33.7~20.6	6	3.30	3.31	3.28
10.4			10.5	10.1	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.196	0.188	0.200
			2.25	2.21	2.28
	32.0~20.6	8	2.25	2.21	2.28
5.44			5.48	5.42	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.213	0.205	0.229
			0.349	0.337	0.382
	33.7~20.6	10	0.349	0.337	0.382
2.99			3.02	2.98	
T3-T6	20.6~12.5	11	18.8	19.0	18.5
			33.7	34.9	30.7
	12.5~5.5	12	33.7	34.9	30.7
			49.9	52.5	47.2
5.5~2.0	13	49.9	52.5	47.2	
		57.8	60.9	57.3	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.244	0.250	0.265
			4.94	4.83	5.11
	32.0~20.6	15	4.94	4.83	5.11
			11.5	11.6	11.6
	20.6~12.5	16	11.5	11.6	11.6
			13.1	13.5	12.9
12.5~5.5	17	13.1	13.5	12.9	
		18.3	17.6	18.9	
5.5~2.0	18	18.3	17.6	18.9	
		21.8	21.3	22.7	

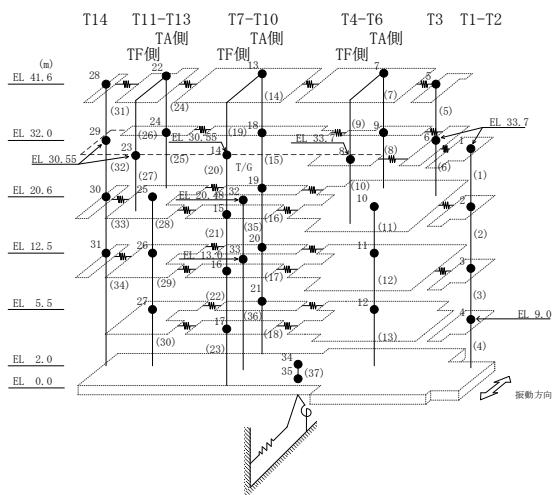
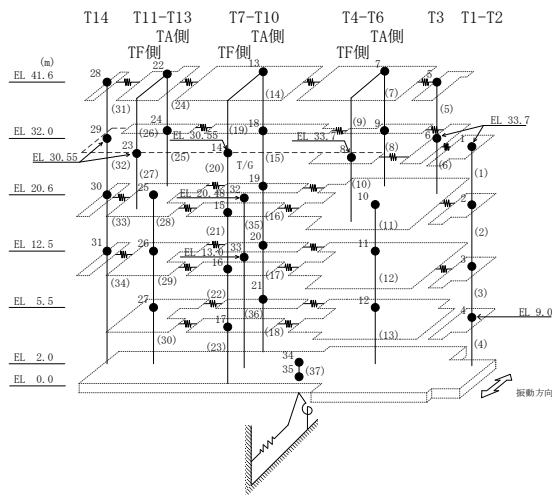


表 2-20(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 1, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.340	0.319	0.362
			0.863	0.864	0.802
	30.55~20.6	20	0.863	0.864	0.802
			1.86	1.88	1.83
	20.6~12.5	21	1.86	1.88	1.83
2.70			2.79	2.77	
12.5~5.5	22	2.70	2.79	2.77	
		5.34	5.38	5.42	
5.5~2.0	23	5.34	5.38	5.42	
		6.92	6.97	7.08	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.195	0.171	0.224
			2.12	2.10	2.22
32.0~20.6	25	2.12	2.10	2.22	
		8.04	7.83	8.17	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.139	0.144	0.131
			0.303	0.324	0.267
	30.55~20.6	27	0.303	0.324	0.267
T11-T13	20.6~12.5	28	9.03	8.81	9.13
			18.4	17.6	18.8
	12.5~5.5	29	18.4	17.6	18.8
			29.9	28.2	29.9
5.5~2.0	30	29.9	28.2	29.9	
		36.3	34.3	36.2	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			2.96	2.62	3.05
	30.55~20.6	32	2.96	2.62	3.05
			5.94	5.53	6.14
20.6~12.5	33	5.94	5.53	6.14	
		8.73	8.33	8.73	
12.5~2.0	34	8.73	8.33	8.73	
		13.0	12.6	13.0	



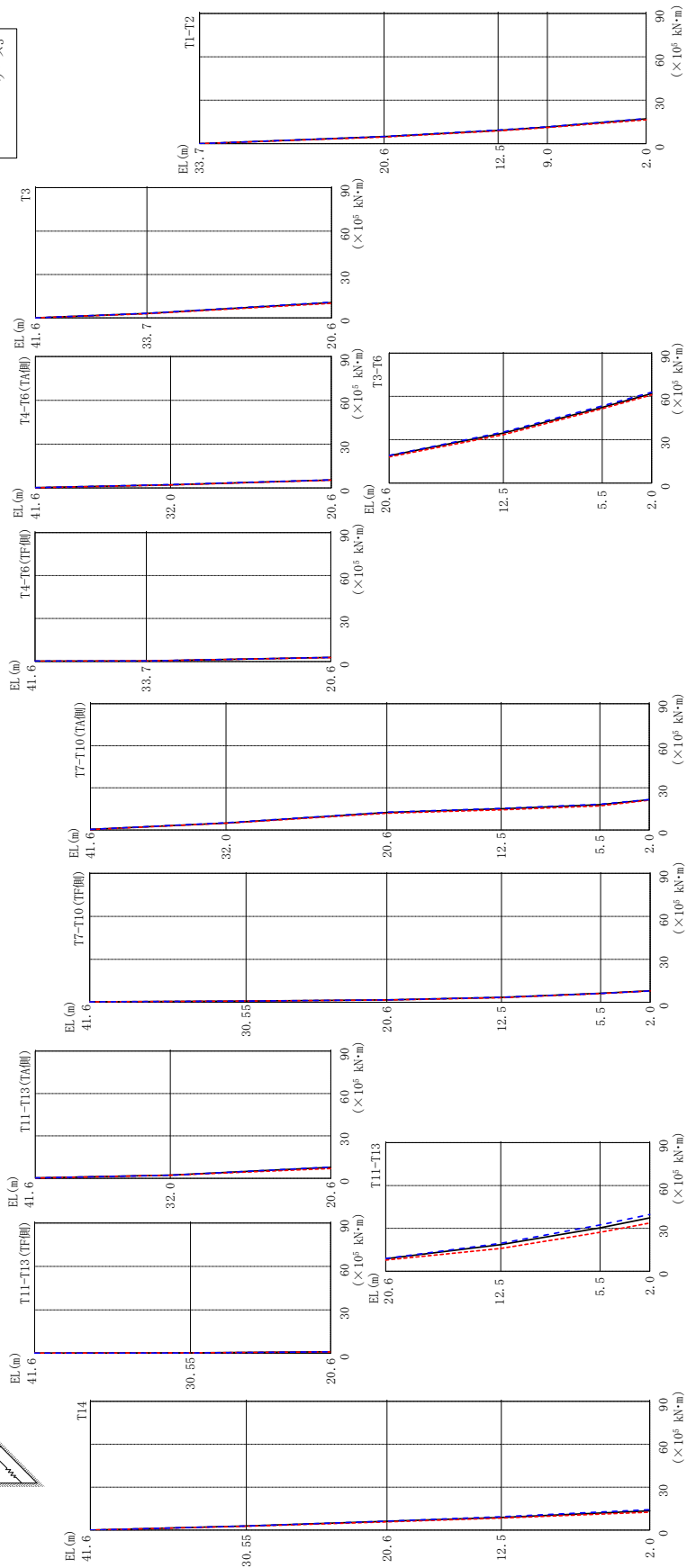
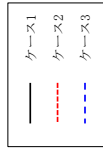
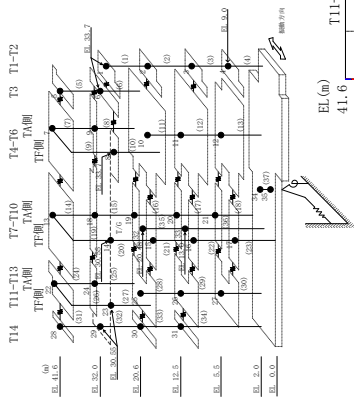


図 2-21 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - F 2, NS 方向)

表 2-21(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 2, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			4.80	4.53	4.98
	20.6~12.5	2	4.80	4.53	4.98
			9.09	8.78	9.37
12.5~9.0	3	9.09	8.78	9.37	
		11.4	11.1	11.7	
9.0~2.0	4	11.4	11.1	11.7	
		17.1	16.4	17.3	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			3.08	2.83	3.21
	33.7~20.6	6	3.08	2.83	3.21
10.6			10.1	10.9	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.185	0.157	0.200
			2.16	2.06	2.29
	32.0~20.6	8	2.16	2.06	2.29
5.47			5.38	5.51	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.233	0.195	0.250
			0.404	0.340	0.433
	33.7~20.6	10	0.404	0.340	0.433
2.83			2.74	2.88	
T3-T6	20.6~12.5	11	18.9	18.1	19.1
			34.6	33.5	35.4
	12.5~5.5	12	34.6	33.5	35.4
			52.4	51.5	53.4
5.5~2.0	13	52.4	51.5	53.4	
		62.0	61.0	62.9	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.344	0.302	0.375
			4.89	4.80	5.07
	32.0~20.6	15	4.89	4.80	5.07
			12.4	12.0	12.6
	20.6~12.5	16	12.4	12.0	12.6
			15.1	14.3	15.3
12.5~5.5	17	15.1	14.3	15.3	
		18.0	17.1	18.3	
5.5~2.0	18	18.0	17.1	18.3	
		21.5	21.3	21.7	

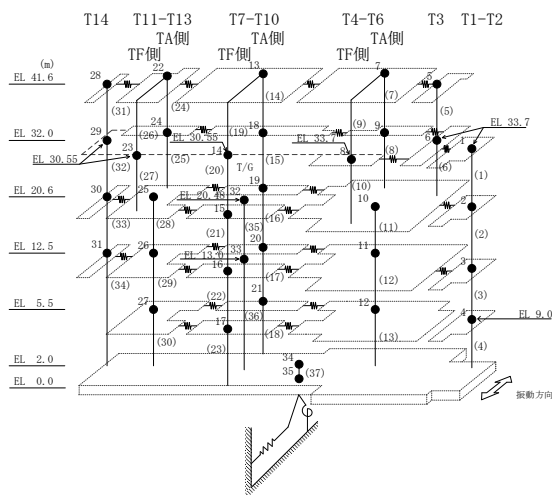
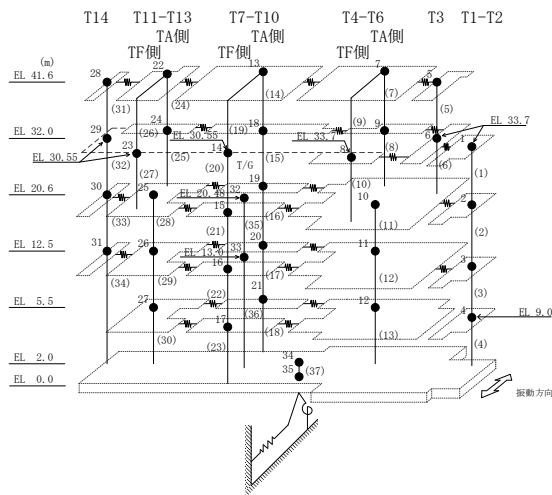


表 2-21(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 2, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.289	0.269	0.316
			0.752	0.750	0.749
	30.55~20.6	20	0.752	0.750	0.749
			1.64	1.55	1.64
	20.6~12.5	21	1.64	1.55	1.64
3.32			3.10	3.41	
12.5~5.5	22	3.32	3.10	3.41	
		6.22	6.04	6.13	
5.5~2.0	23	6.22	6.04	6.13	
		7.93	7.85	7.87	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.230	0.200	0.235
			2.21	2.12	2.16
32.0~20.6	25	2.21	2.12	2.16	
		7.74	6.96	7.96	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.192	0.176	0.195
			0.307	0.331	0.293
30.55~20.6	27	0.307	0.331	0.293	
		1.03	0.967	1.07	
T11-T13	20.6~12.5	28	8.71	7.84	8.98
			18.6	16.0	19.5
	12.5~5.5	29	18.6	16.0	19.5
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			2.86	2.64	2.81
	30.55~20.6	32	2.86	2.64	2.81
6.11			5.77	6.25	
20.6~12.5	33	6.11	5.77	6.25	
		8.78	8.44	9.33	
12.5~2.0	34	8.78	8.44	9.33	
		13.4	12.5	14.3	



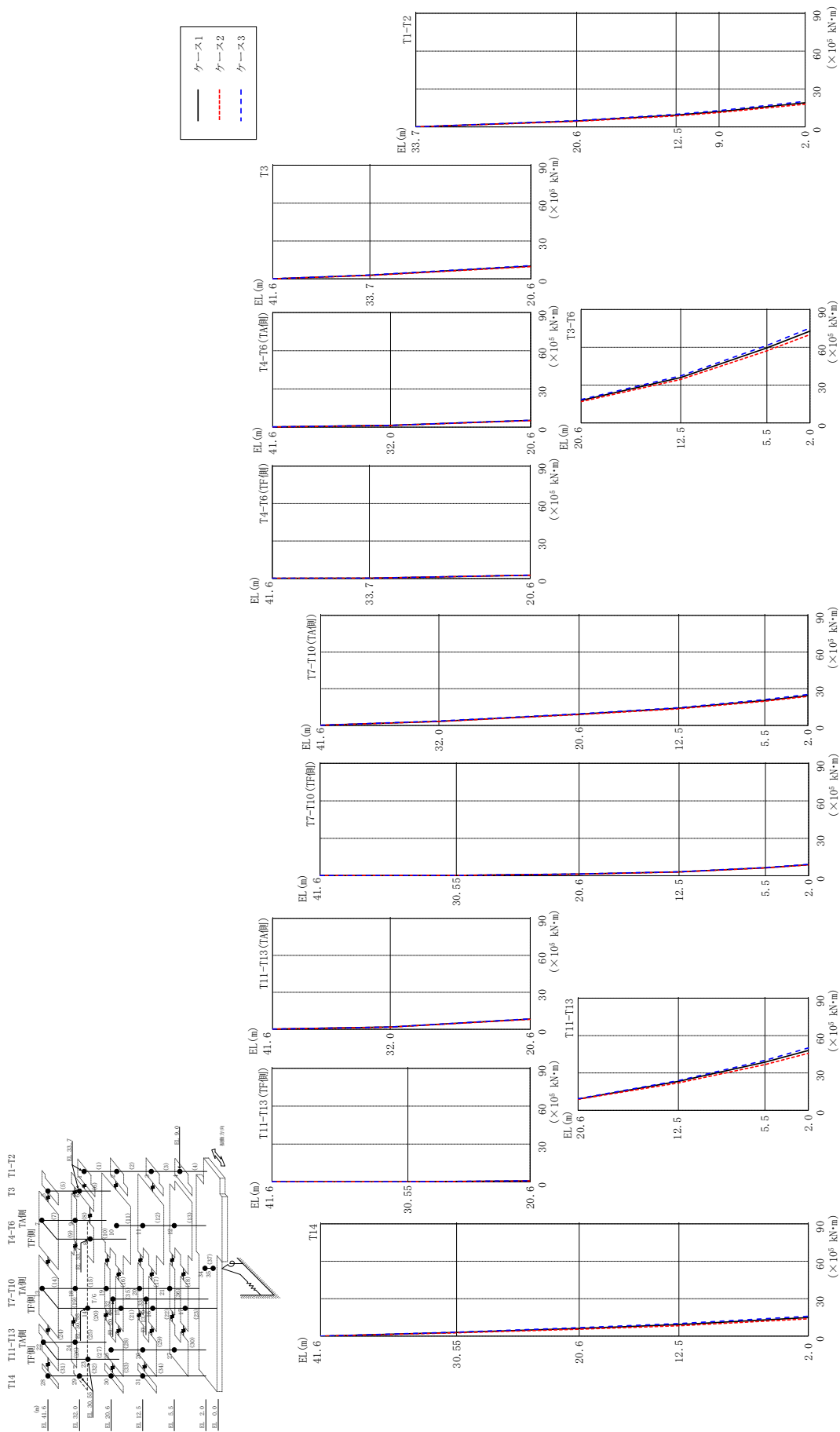


図 2-22 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

表 2-22(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			4.61	4.32	4.97
	20.6~12.5	2	4.61	4.32	4.97
			9.29	8.74	9.90
12.5~9.0	3	9.29	8.74	9.90	
		12.1	11.4	12.8	
9.0~2.0	4	12.1	11.4	12.8	
		19.0	17.9	20.2	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			2.91	2.70	3.11
	33.7~20.6	6	2.91	2.70	3.11
10.0			9.70	10.5	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.162	0.145	0.179
			1.39	1.32	1.45
	32.0~20.6	8	1.39	1.32	1.45
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.168	0.150	0.185
			0.260	0.232	0.286
	33.7~20.6	10	0.260	0.232	0.286
2.68			2.61	2.76	
T3-T6	20.6~12.5	11	17.8	16.9	18.5
			36.0	34.5	37.4
	12.5~5.5	12	36.0	34.5	37.4
			59.5	57.2	61.4
5.5~2.0	13	59.5	57.2	61.4	
		72.9	70.1	75.4	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.196	0.173	0.227
			3.36	3.19	3.61
	32.0~20.6	15	3.36	3.19	3.61
			9.20	8.93	9.56
	20.6~12.5	16	9.20	8.93	9.56
			14.1	13.6	14.6
12.5~5.5	17	14.1	13.6	14.6	
		20.4	19.8	21.1	
5.5~2.0	18	20.4	19.8	21.1	
			24.4	23.8	25.3

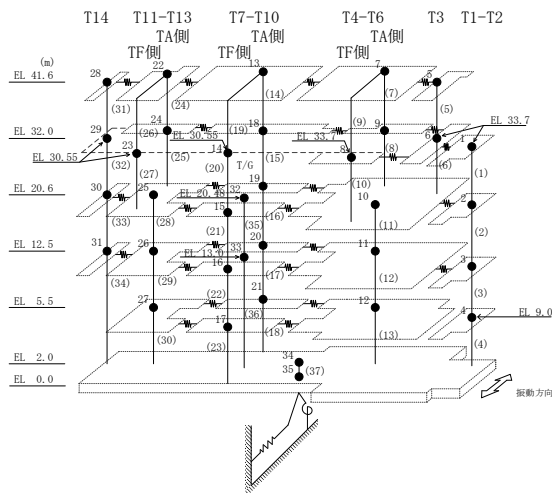
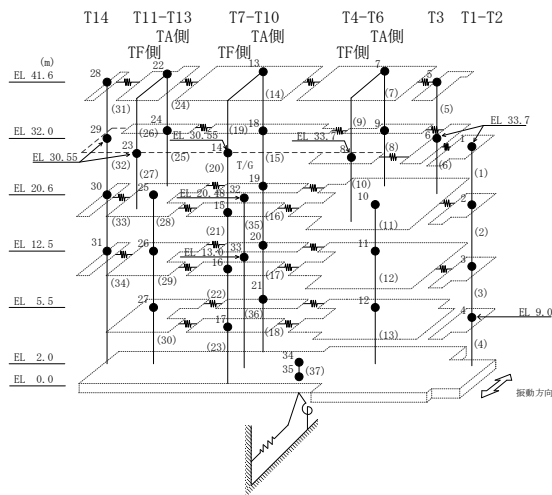


表 2-22(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.176	0.150	0.199
			0.313	0.311	0.317
	30.55~20.6	20	0.313	0.311	0.317
			1.34	1.23	1.40
	20.6~12.5	21	1.34	1.23	1.40
3.07			2.95	3.20	
12.5~5.5	22	3.07	2.95	3.20	
		6.38	6.20	6.55	
5.5~2.0	23	6.38	6.20	6.55	
		8.79	8.59	9.08	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.160	0.140	0.193
			1.79	1.70	1.79
32.0~20.6	25	1.79	1.70	1.79	
		8.31	8.11	8.51	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.120	0.104	0.151
			0.172	0.171	0.190
30.55~20.6	27	0.172	0.171	0.190	
		0.836	0.770	0.938	
T11-T13	20.6~12.5	28	9.08	8.83	9.36
			23.2	22.0	23.9
	12.5~5.5	29	23.2	22.0	23.9
5.5~2.0	30	38.6	36.7	40.2	
		38.6	36.7	40.2	
		48.0	45.7	50.0	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			2.93	2.62	3.17
	30.55~20.6	32	2.93	2.62	3.17
			6.14	5.51	6.71
20.6~12.5	33	6.14	5.51	6.71	
		9.18	8.33	10.0	
12.5~2.0	34	9.18	8.33	10.0	
		14.9	13.9	15.9	



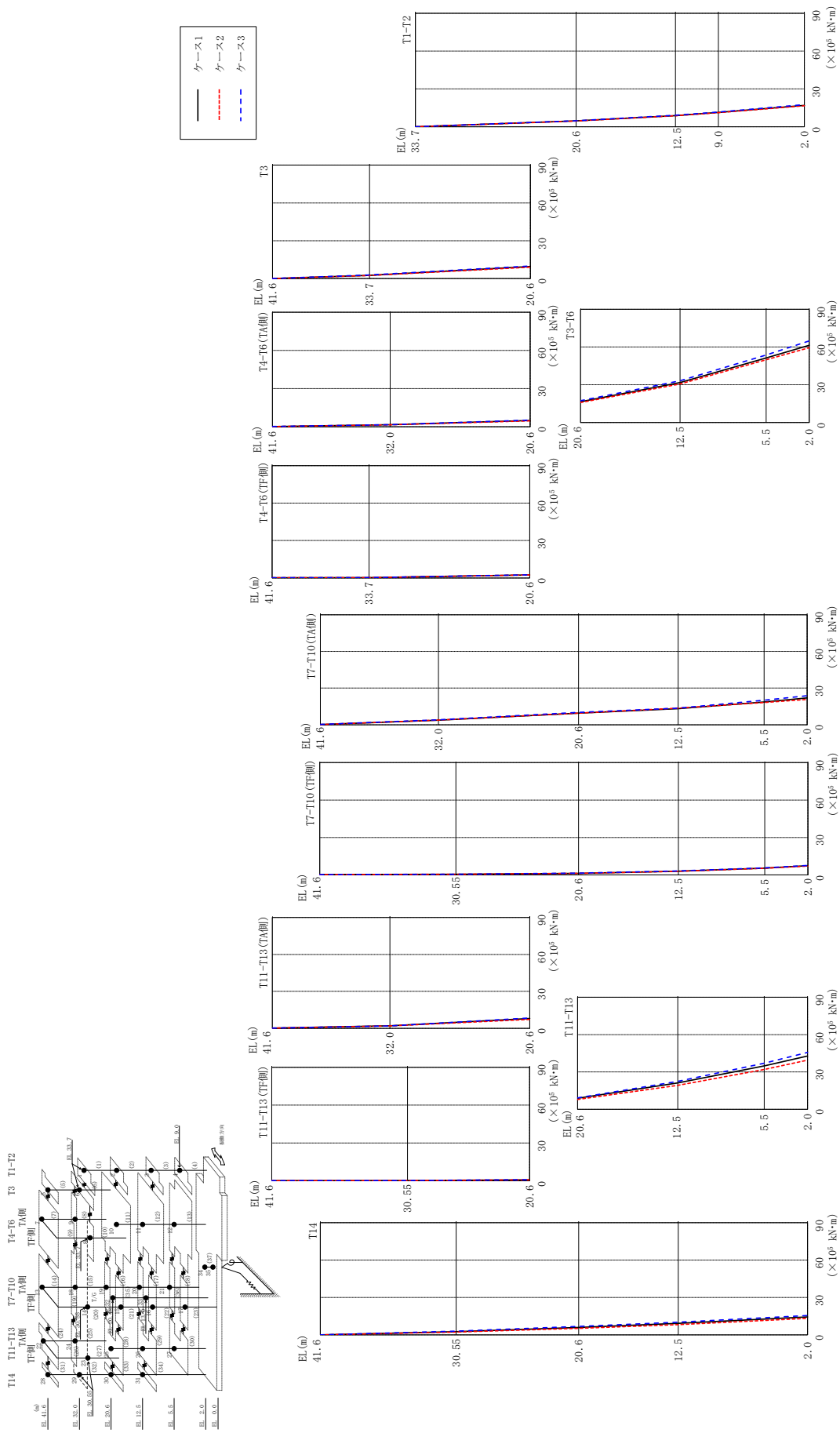


図 2-23 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

表 2-23(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			4.60	4.50	4.76
	20.6~12.5	2	4.60	4.50	4.76
			8.82	8.72	9.11
12.5~9.0	3	8.82	8.72	9.11	
		11.3	11.1	11.7	
9.0~2.0	4	11.3	11.1	11.7	
		16.9	16.6	17.6	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			2.58	2.47	2.84
	33.7~20.6	6	2.58	2.47	2.84
9.57			9.08	10.0	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.145	0.124	0.167
			1.61	1.52	1.63
	32.0~20.6	8	1.61	1.52	1.63
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.171	0.148	0.195
			0.279	0.244	0.320
	33.7~20.6	10	0.279	0.244	0.320
2.40			2.44	2.53	
T3-T6	20.6~12.5	11	16.5	15.8	17.3
			31.7	30.7	33.2
	12.5~5.5	12	31.7	30.7	33.2
			51.3	49.9	53.7
5.5~2.0	13	51.3	49.9	53.7	
		61.3	59.4	64.9	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.195	0.212	0.237
			3.77	3.88	4.02
	32.0~20.6	15	3.77	3.88	4.02
			9.46	9.47	10.2
	20.6~12.5	16	9.46	9.47	10.2
			13.1	13.6	13.6
12.5~5.5	17	13.1	13.6	13.6	
		18.7	18.2	20.1	
5.5~2.0	18	18.7	18.2	20.1	
			22.0	20.7	23.8

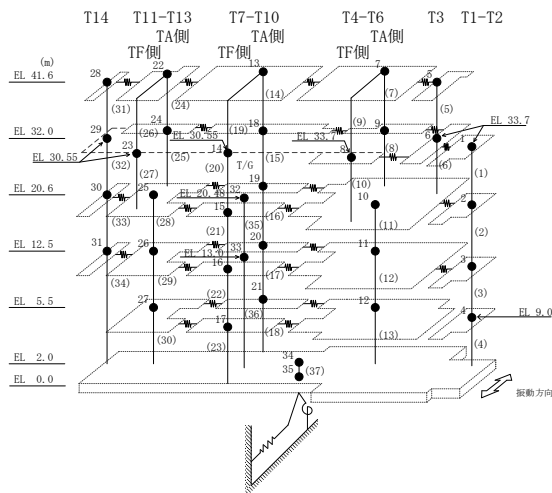
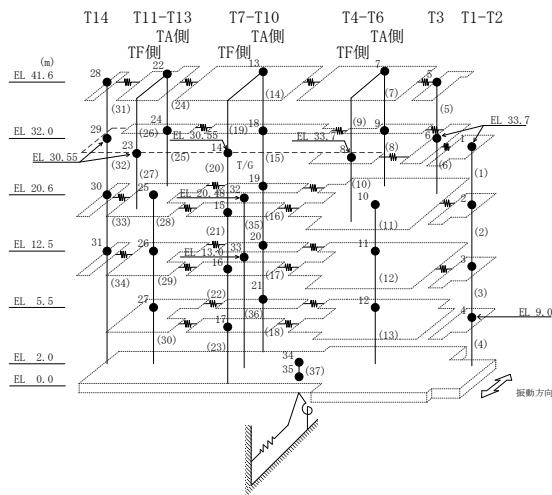


表 2-23(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.221	0.235	0.233
			0.435	0.446	0.429
	30.55~20.6	20	0.435	0.446	0.429
			1.22	1.24	1.40
	20.6~12.5	21	1.22	1.24	1.40
2.96			2.82	3.16	
12.5~5.5	22	2.96	2.82	3.16	
		5.37	5.27	5.66	
5.5~2.0	23	5.37	5.27	5.66	
			7.31	7.06	7.58
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.140	0.134	0.168
			2.00	1.92	1.98
32.0~20.6	25	2.00	1.92	1.98	
		8.02	7.23	8.34	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.118	0.131	0.124
			0.258	0.285	0.236
30.55~20.6	27	0.258	0.285	0.236	
		0.799	0.755	0.874	
T11-T13	20.6~12.5	28	8.81	7.91	9.19
			21.2	19.2	22.4
	12.5~5.5	29	21.2	19.2	22.4
			34.9	32.0	37.0
5.5~2.0	30	34.9	32.0	37.0	
		42.8	39.5	45.6	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			2.54	2.22	3.01
	30.55~20.6	32	2.54	2.22	3.01
			5.95	5.20	6.77
20.6~12.5	33	5.95	5.20	6.77	
		9.20	8.25	10.1	
12.5~2.0	34	9.20	8.25	10.1	
			14.4	13.2	15.5



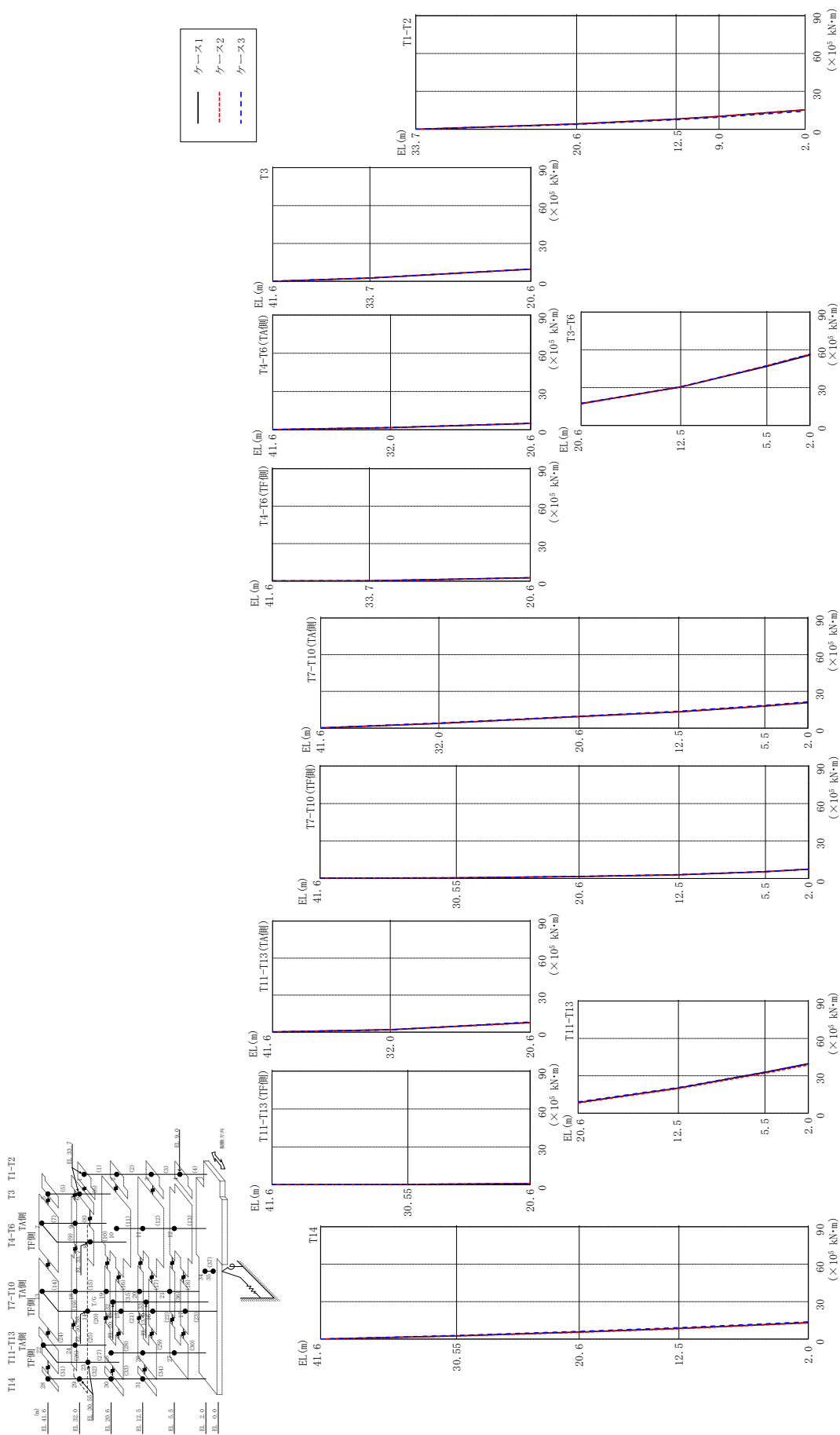


図 2-24 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - N 2 EW, NS 方向)

表 2-24(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 EW, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			4.25	4.13	3.97
	20.6~12.5	2	4.25	4.13	3.97
			8.12	8.01	7.56
12.5~9.0	3	8.12	8.01	7.56	
		10.3	10.2	9.55	
9.0~2.0	4	10.3	10.2	9.55	
		15.4	15.4	14.4	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			2.59	2.62	2.67
	33.7~20.6	6	2.59	2.62	2.67
9.70			9.53	9.76	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.139	0.137	0.143
			1.65	1.65	1.68
	32.0~20.6	8	1.65	1.65	1.68
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.163	0.157	0.166
			0.274	0.264	0.279
	33.7~20.6	10	0.274	0.264	0.279
T3-T6	20.6~12.5	11	17.4	17.1	17.5
			30.5	30.4	30.7
	12.5~5.5	12	30.5	30.4	30.7
			46.9	47.5	47.2
5.5~2.0	13	46.9	47.5	47.2	
		55.8	56.6	56.5	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.181	0.173	0.204
			3.84	3.86	4.12
	32.0~20.6	15	3.84	3.86	4.12
			9.51	9.33	9.76
	20.6~12.5	16	9.51	9.33	9.76
			13.3	13.4	13.8
12.5~5.5	17	13.3	13.4	13.8	
		18.0	18.1	18.6	
5.5~2.0	18	18.0	18.1	18.6	
			20.8	20.9	21.5

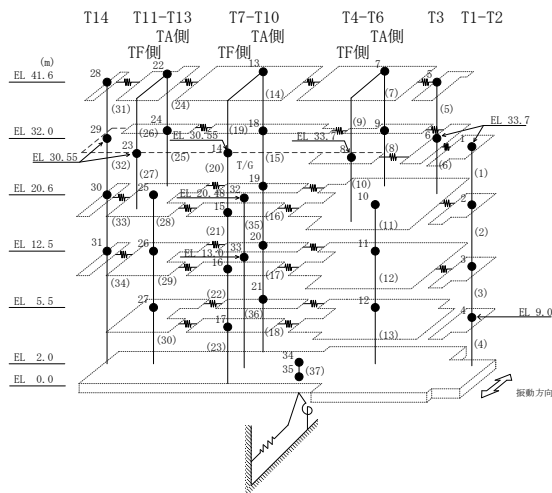
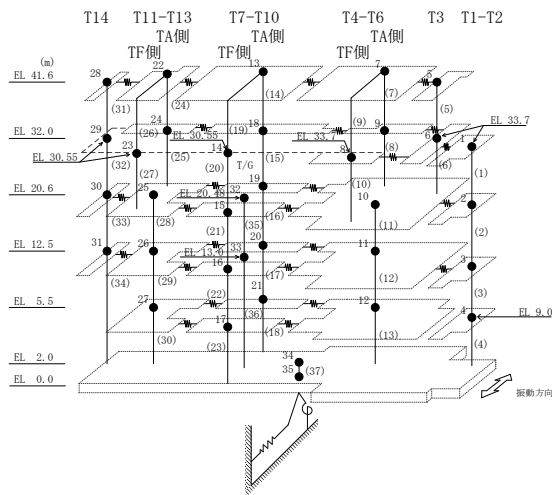


表 2-24(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 EW, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.259	0.253	0.279
			0.497	0.508	0.499
	30.55~20.6	20	0.497	0.508	0.499
			1.56	1.57	1.59
	20.6~12.5	21	1.56	1.57	1.59
2.97			2.91	3.04	
12.5~5.5	22	2.97	2.91	3.04	
		5.41	5.44	5.50	
5.5~2.0	23	5.41	5.44	5.50	
		7.42	7.42	7.32	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.160	0.149	0.178
			1.96	1.93	1.85
32.0~20.6	25	1.96	1.93	1.85	
		7.74	7.53	8.20	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.145	0.148	0.157
			0.334	0.350	0.316
30.55~20.6	27	0.334	0.350	0.316	
		1.00	1.03	0.983	
T11-T13	20.6~12.5	28	8.48	8.24	9.04
			20.2	19.7	20.5
	12.5~5.5	29	20.2	19.7	20.5
5.5~2.0	30	32.8	32.0	32.9	
		32.8	32.0	32.9	
		39.7	38.7	39.6	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			2.54	2.44	2.84
	30.55~20.6	32	2.54	2.44	2.84
			5.65	5.46	6.19
20.6~12.5	33	5.65	5.46	6.19	
		8.54	8.32	9.13	
12.5~2.0	34	8.54	8.32	9.13	
		13.1	12.9	13.7	



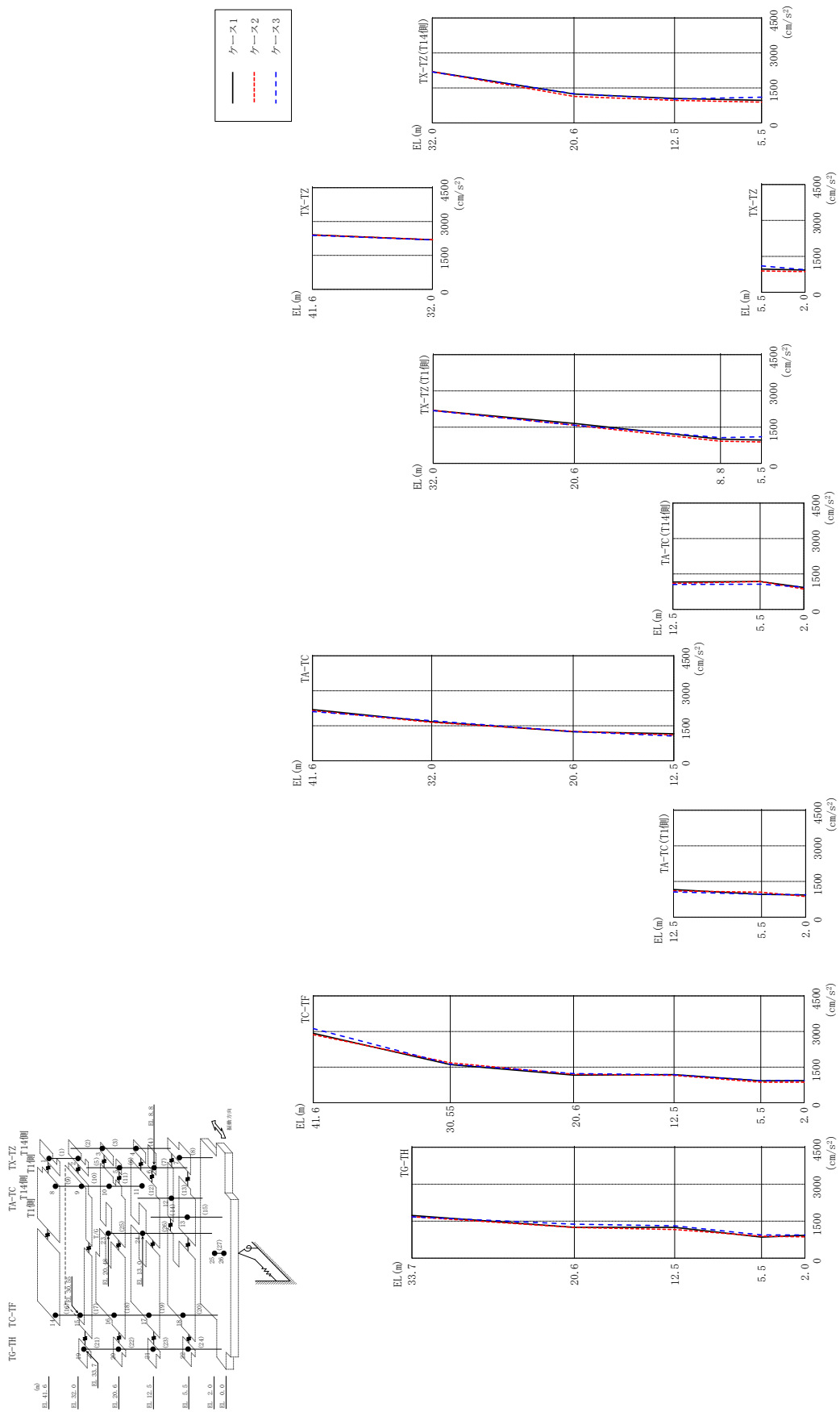
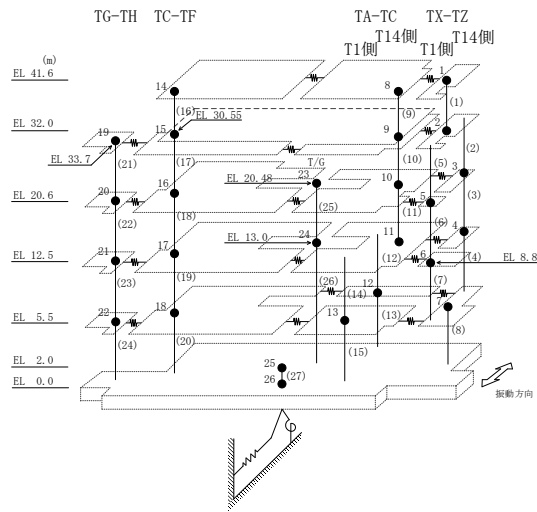


図 2-25 最大応答加速度 (基準地震動 S-D, E-W 方向)

表 2-25 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, E W方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	2410	2403	2388
	32.0	2	2192	2195	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1239	1137	1246
	12.5	4	1047	967	1019
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1656	1579	1582
	8.8	6	1001	917	1066
TX-TZ	5.5	7	967	889	1103
TA-TC	41.6	8	2194	2145	2107
	32.0	9	1671	1643	1714
	20.6	10	1244	1259	1249
	12.5	11	1158	1100	1057
TA-TC (T14側)	5.5	12	1179	1179	1066
TA-TC (T1側)	5.5	13	959	1051	962
TC-TF	41.6	14	2926	2865	3125
	30.55	15	1605	1683	1625
	20.6	16	1167	1202	1231
	12.5	17	1185	1153	1178
	5.5	18	921	863	929
TG-TH	33.7	19	1735	1682	1678
	20.6	20	1249	1247	1381
	12.5	21	1252	1161	1309
	5.5	22	856	892	939
	2.0	25	928	865	941



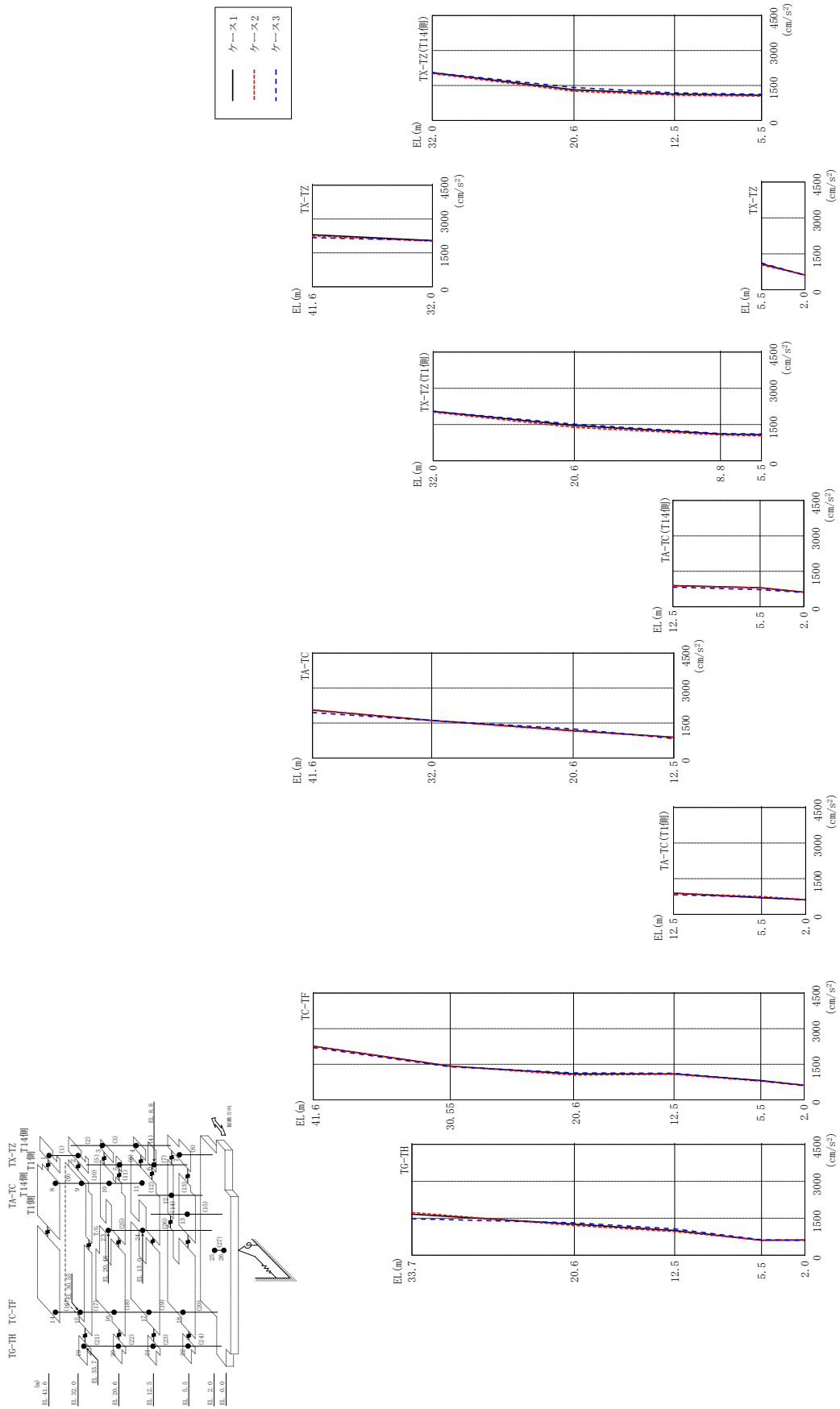
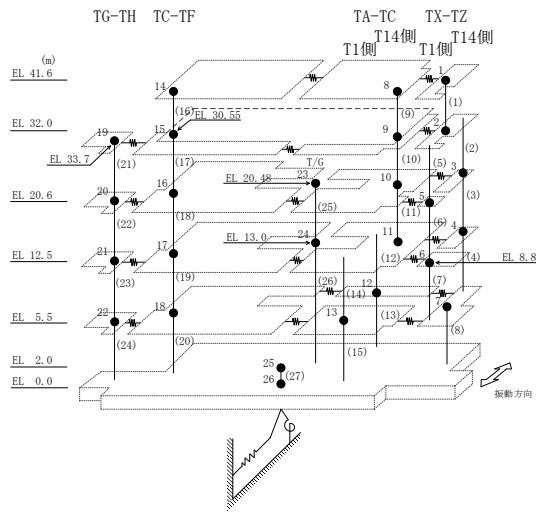


図 2-26 最大応答加速度 (基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

表 2-26 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	2307	2257	2173
	32.0	2	2047	2016	2053
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1313	1252	1409
	12.5	4	1127	1087	1184
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1461	1386	1518
	8.8	6	1106	1072	1130
TX-TZ	5.5	7	1081	1041	1115
TA-TC	41.6	8	2055	2069	1948
	32.0	9	1615	1605	1604
	20.6	10	1173	1157	1249
	12.5	11	892	888	832
TA-TC (T14側)	5.5	12	803	810	725
TA-TC (T1側)	5.5	13	694	750	714
TC-TF	41.6	14	2266	2267	2205
	30.55	15	1422	1426	1393
	20.6	16	1097	1047	1138
	12.5	17	1092	1080	1121
	5.5	18	816	789	800
TG-TH	33.7	19	1667	1733	1482
	20.6	20	1258	1210	1319
	12.5	21	1003	962	1070
	5.5	22	605	613	629
	2.0	25	616	623	605



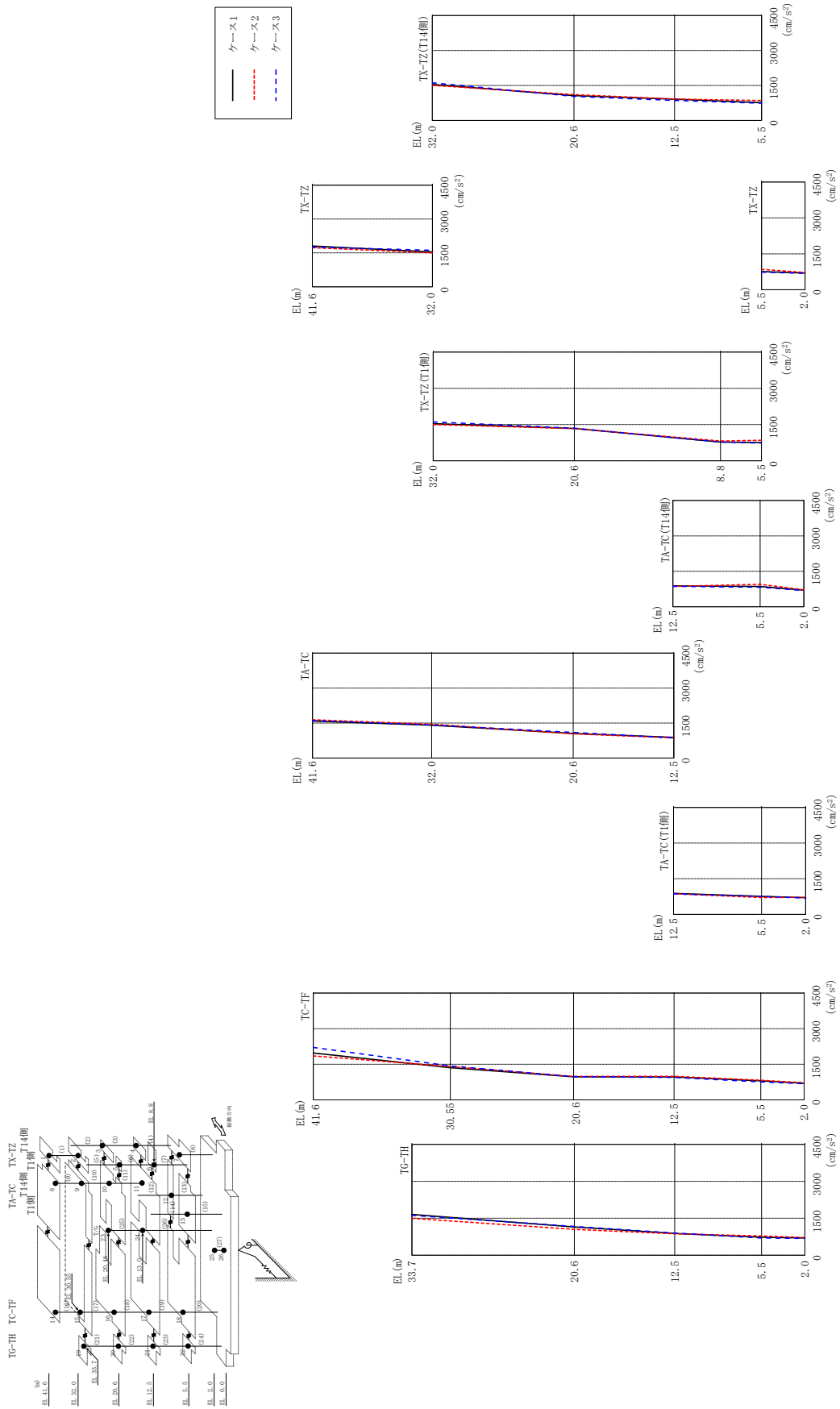
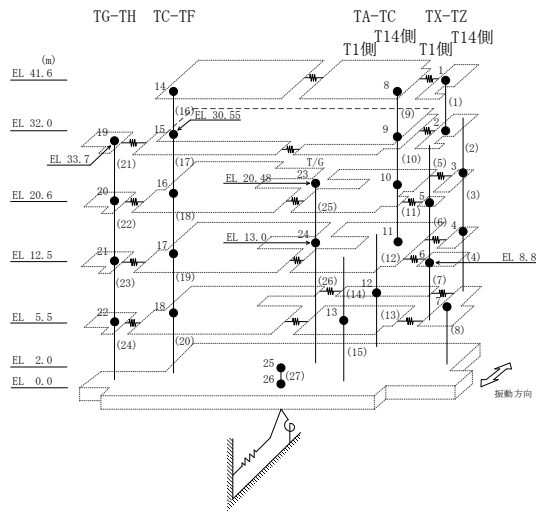


図 2-27 最大応答加速度 (基準地震動 S s - F 2, EW 方向)

表 2-27 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	1807	1730	1762
	32.0	2	1541	1502	1613
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1065	1107	1033
	12.5	4	912	915	856
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1340	1334	1351
	8.8	6	777	818	776
TX-TZ	5.5	7	757	850	735
TA-TC	41.6	8	1584	1640	1609
	32.0	9	1407	1447	1414
	20.6	10	1052	1036	1098
	12.5	11	882	864	861
TA-TC (T14側)	5.5	12	856	949	827
TA-TC (T1側)	5.5	13	754	704	757
TC-TF	41.6	14	1978	1852	2211
	30.55	15	1355	1403	1431
	20.6	16	973	986	977
	12.5	17	967	996	946
	5.5	18	802	827	759
TG-TH	33.7	19	1656	1498	1619
	20.6	20	1147	1050	1169
	12.5	21	886	869	903
	5.5	22	732	783	702
	2.0	25	699	719	683



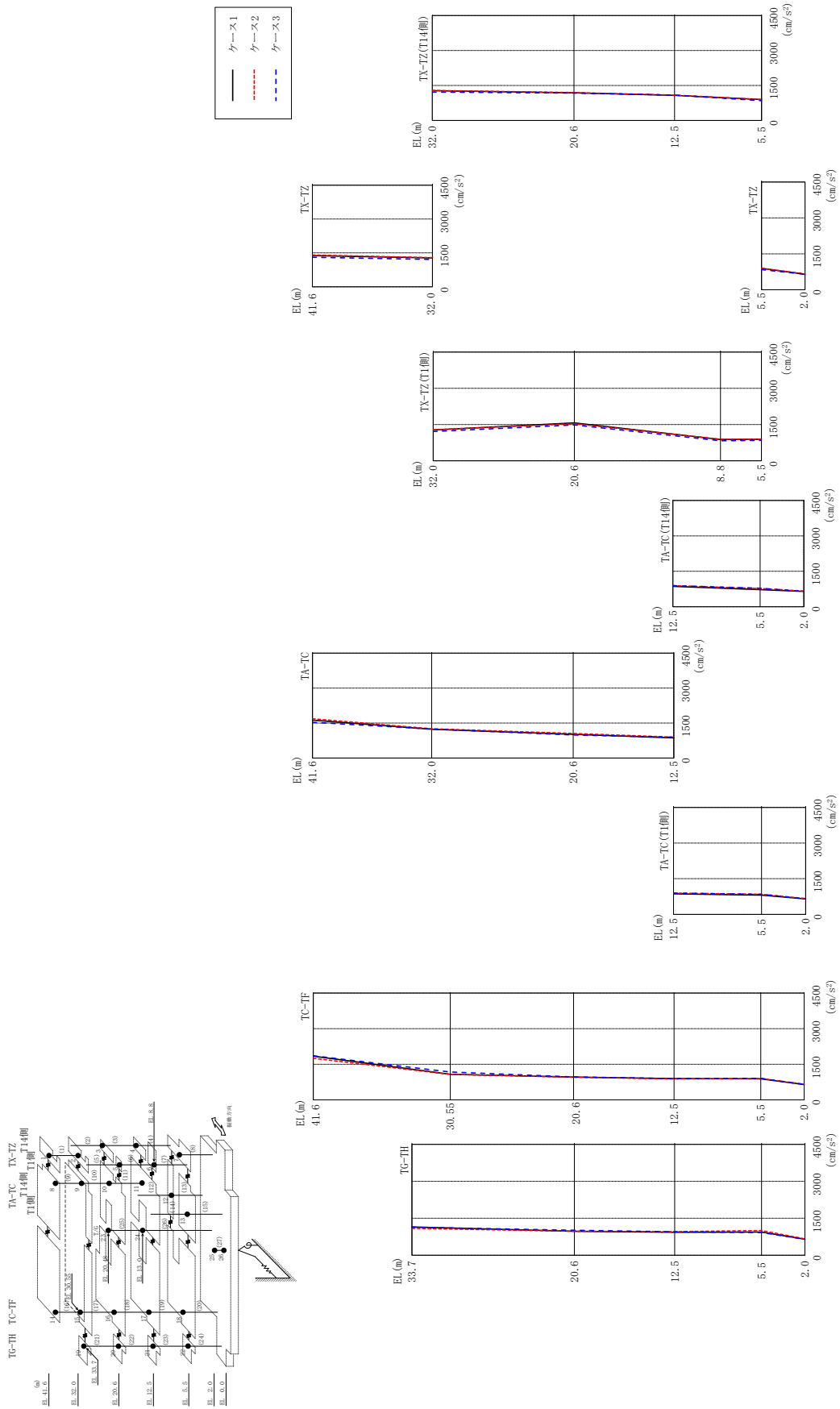
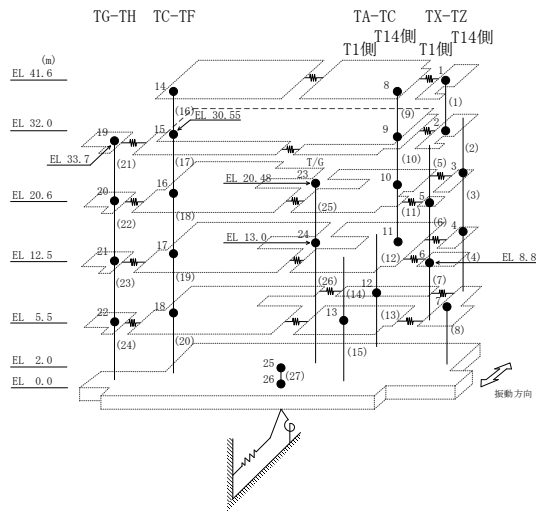


図 2-28 最大応答加速度 (基準地震動 S - N 1, E W 方向)

表 2-28 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - N 1, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	1377	1407	1307
	32.0	2	1276	1288	1213
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1181	1196	1170
	12.5	4	1073	1085	1083
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1568	1535	1487
	8.8	6	881	891	832
TX-TZ	5.5	7	893	897	845
TA-TC	41.6	8	1621	1683	1533
	32.0	9	1232	1254	1242
	20.6	10	1015	1052	988
	12.5	11	860	893	891
TA-TC (T14側)	5.5	12	722	770	782
TA-TC (T1側)	5.5	13	808	845	842
TC-TF	41.6	14	1843	1751	1857
	30.55	15	1081	1075	1177
	20.6	16	962	956	969
	12.5	17	895	882	899
	5.5	18	885	902	909
TG-TH	33.7	19	1145	1091	1135
	20.6	20	970	975	1011
	12.5	21	930	959	954
	5.5	22	940	1002	922
	2.0	25	647	663	647



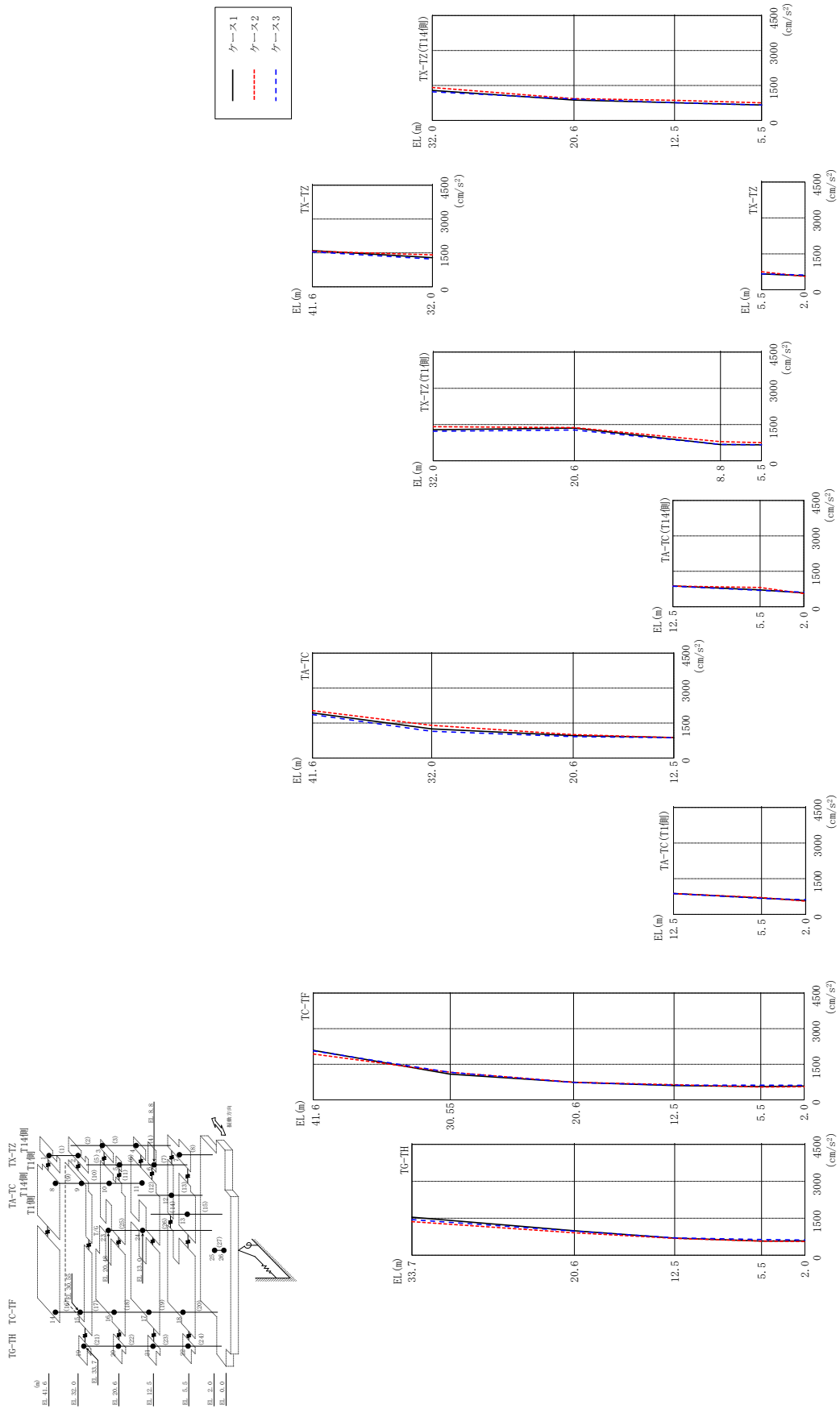
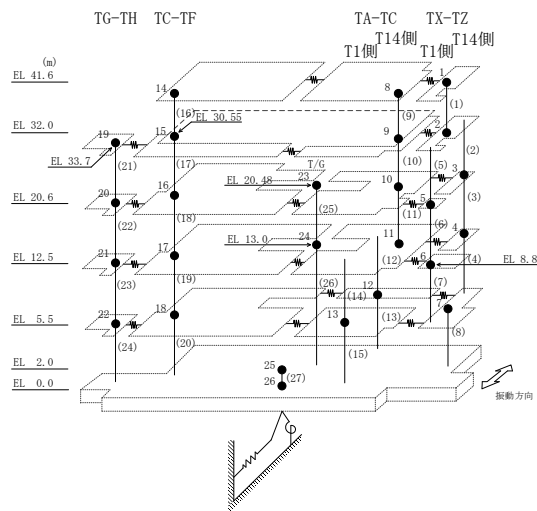


図 2-29 最大応答加速度 (基準地震動 S s - N 2 N S, E W 方向)

表 2-29 最大応答加速度一覧（基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向）

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	1605	1575	1547
	32.0	2	1288	1413	1225
TX-TZ (T14側)	20.6	3	870	932	915
	12.5	4	759	860	756
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1353	1379	1279
	8.8	6	673	794	678
TX-TZ	5.5	7	660	752	662
TA-TC	41.6	8	1932	2033	1860
	32.0	9	1251	1403	1147
	20.6	10	959	1005	917
	12.5	11	880	872	870
TA-TC (T14側)	5.5	12	709	812	690
TA-TC (T1側)	5.5	13	685	706	670
TC-TF	41.6	14	2085	1930	2066
	30.55	15	1084	1166	1158
	20.6	16	741	743	734
	12.5	17	606	639	621
	5.5	18	560	537	619
TG-TH	33.7	19	1543	1363	1444
	20.6	20	993	912	975
	12.5	21	695	683	705
	5.5	22	578	571	641
	2.0	25	581	554	617



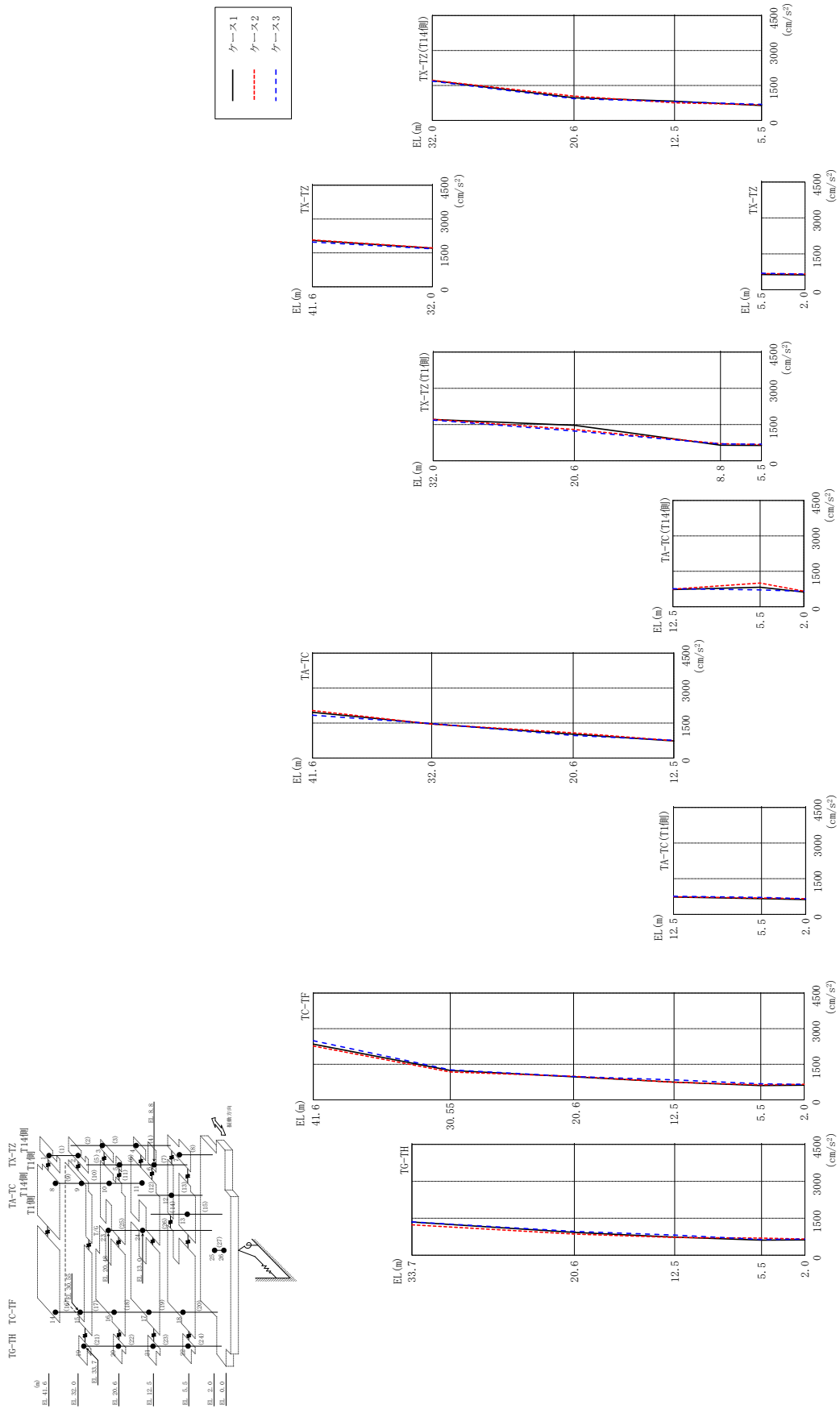
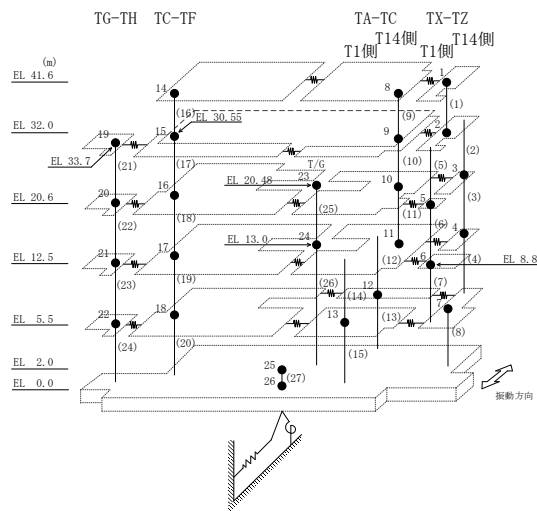


図 2-30 最大応答加速度 (基準地震動 Ss - N 2 EW, EW方向)

表 2-30 最大応答加速度一覧（基準地震動 $S_s - N 2 E W$, $E W$ 方向）

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	2051	2076	1977
	32.0	2	1709	1719	1683
TX-TZ (T14側)	20.6	3	973	1040	932
	12.5	4	823	754	801
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1468	1297	1236
	8.8	6	649	709	698
TX-TZ	5.5	7	638	672	687
TA-TC	41.6	8	1963	2034	1835
	32.0	9	1460	1454	1476
	20.6	10	1019	1078	968
	12.5	11	730	741	760
TA-TC (T14側)	5.5	12	825	1002	713
TA-TC (T1側)	5.5	13	660	685	713
TC-TF	41.6	14	2352	2268	2493
	30.55	15	1239	1176	1267
	20.6	16	972	996	983
	12.5	17	749	742	845
	5.5	18	606	635	679
TG-TH	33.7	19	1348	1235	1351
	20.6	20	924	858	966
	12.5	21	738	723	819
	5.5	22	613	693	639
	2.0	25	622	657	654



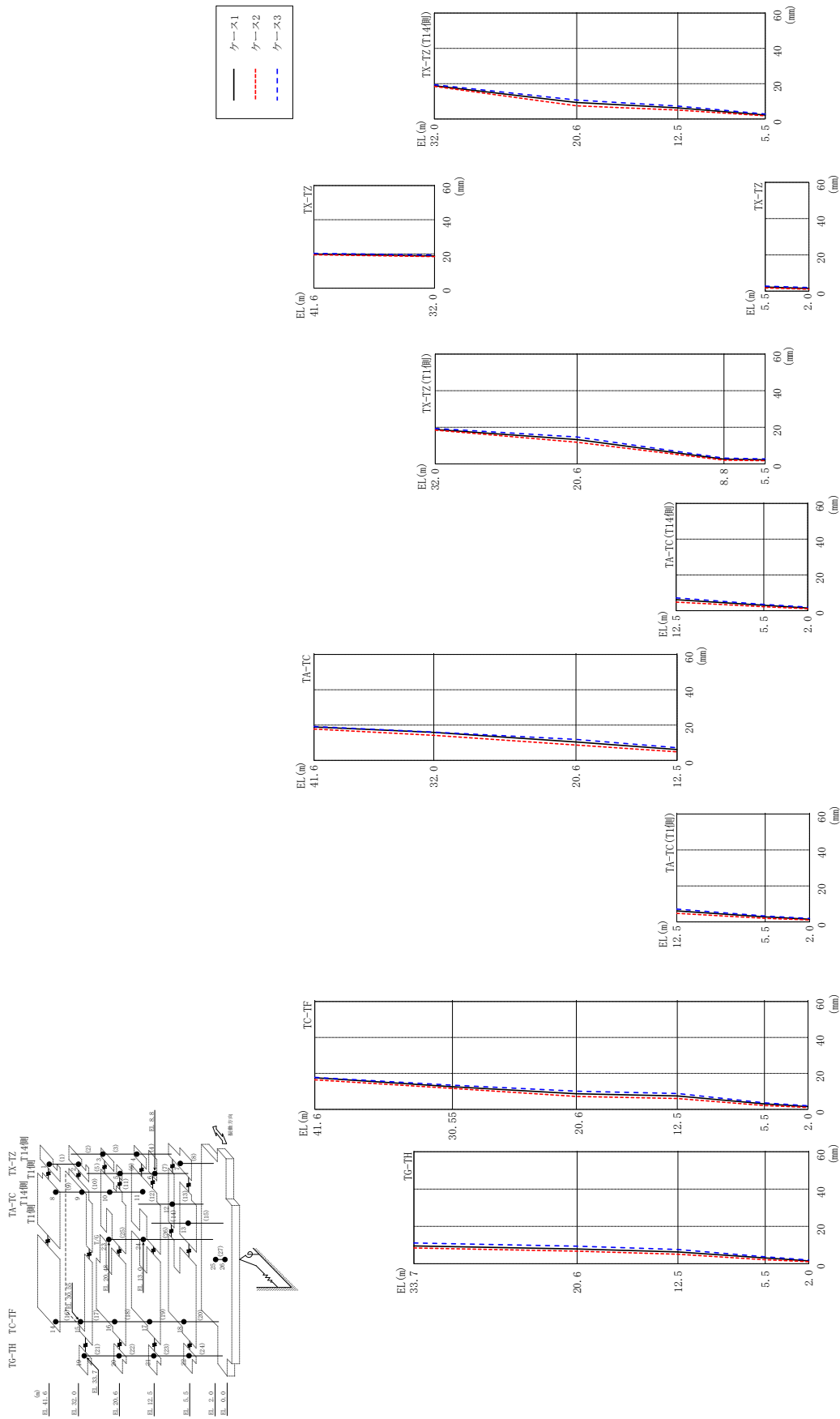
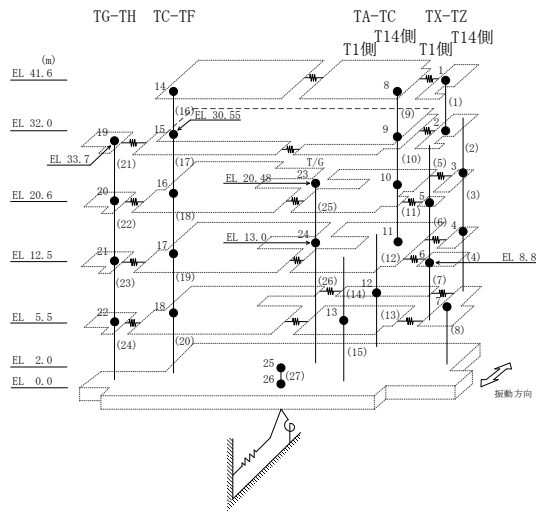


図 2-31 最大応答変位 (基準地震動 S s - D, EW方向)

表 2-31 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - D, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	19.88	19.50	20.33
	32.0	2	18.85	18.47	19.37
TX-TZ (T14側)	20.6	3	9.31	7.47	10.73
	12.5	4	6.31	5.02	7.29
TX-TZ (T1側)	20.6	5	13.31	11.82	14.74
	8.8	6	2.60	2.06	3.15
TX-TZ	5.5	7	2.25	1.75	2.78
TA-TC	41.6	8	18.88	17.73	19.16
	32.0	9	15.87	14.18	15.98
	20.6	10	10.41	8.69	11.83
	12.5	11	6.16	4.81	7.12
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.98	2.23	3.51
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.80	2.03	3.32
TC-TF	41.6	14	17.58	16.41	17.79
	30.55	15	12.58	11.69	13.42
	20.6	16	8.69	7.20	10.08
	12.5	17	7.47	6.01	8.82
	5.5	18	3.06	2.14	3.63
TG-TH	33.7	19	9.54	8.46	11.12
	20.6	20	7.87	6.71	9.37
	12.5	21	6.31	5.08	7.62
	5.5	22	3.06	2.14	3.69
	2.0	25	1.51	1.08	1.96



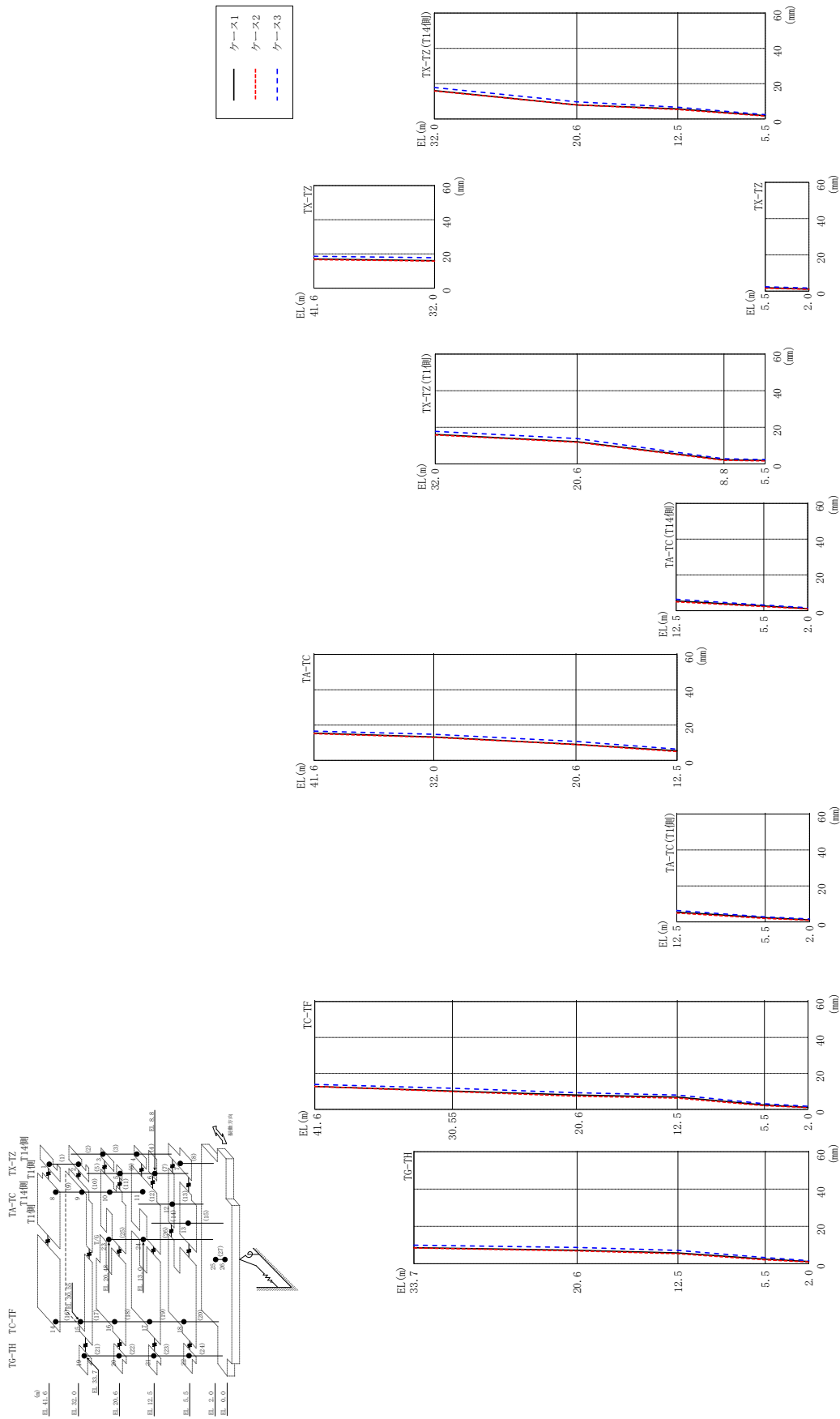
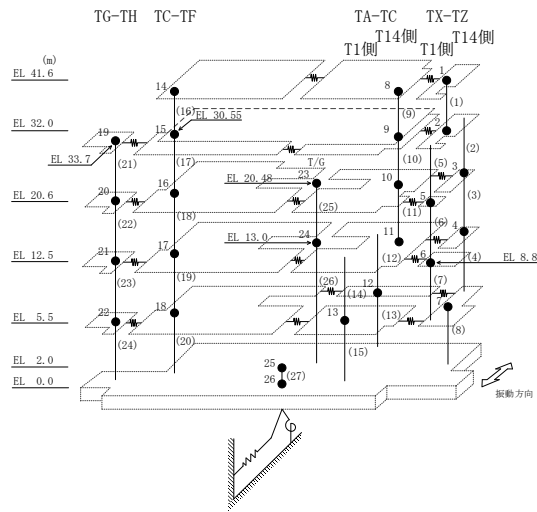


図 2-32 最大応答変位 (基準地震動 S s - F 1 , EW 方向)

表 2-32 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	17.03	16.66	18.61
	32.0	2	16.09	15.84	17.81
TX-TZ (T14側)	20.6	3	7.98	7.96	9.72
	12.5	4	5.69	5.32	6.62
TX-TZ (T1側)	20.6	5	12.09	11.83	13.86
	8.8	6	2.24	1.95	2.80
TX-TZ	5.5	7	1.88	1.62	2.41
TA-TC	41.6	8	15.42	15.10	16.54
	32.0	9	13.24	13.04	14.77
	20.6	10	9.05	8.95	10.71
	12.5	11	5.40	4.94	6.36
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.67	2.29	3.13
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.34	1.98	2.81
TC-TF	41.6	14	12.75	12.74	13.86
	30.55	15	10.14	9.87	11.77
	20.6	16	7.94	7.33	9.24
	12.5	17	6.79	6.23	7.97
	5.5	18	2.40	2.03	3.13
TG-TH	33.7	19	8.58	8.42	9.92
	20.6	20	7.21	6.89	8.74
	12.5	21	5.78	5.32	7.10
	5.5	22	2.50	2.05	3.31
	2.0	25	1.14	0.97	1.67



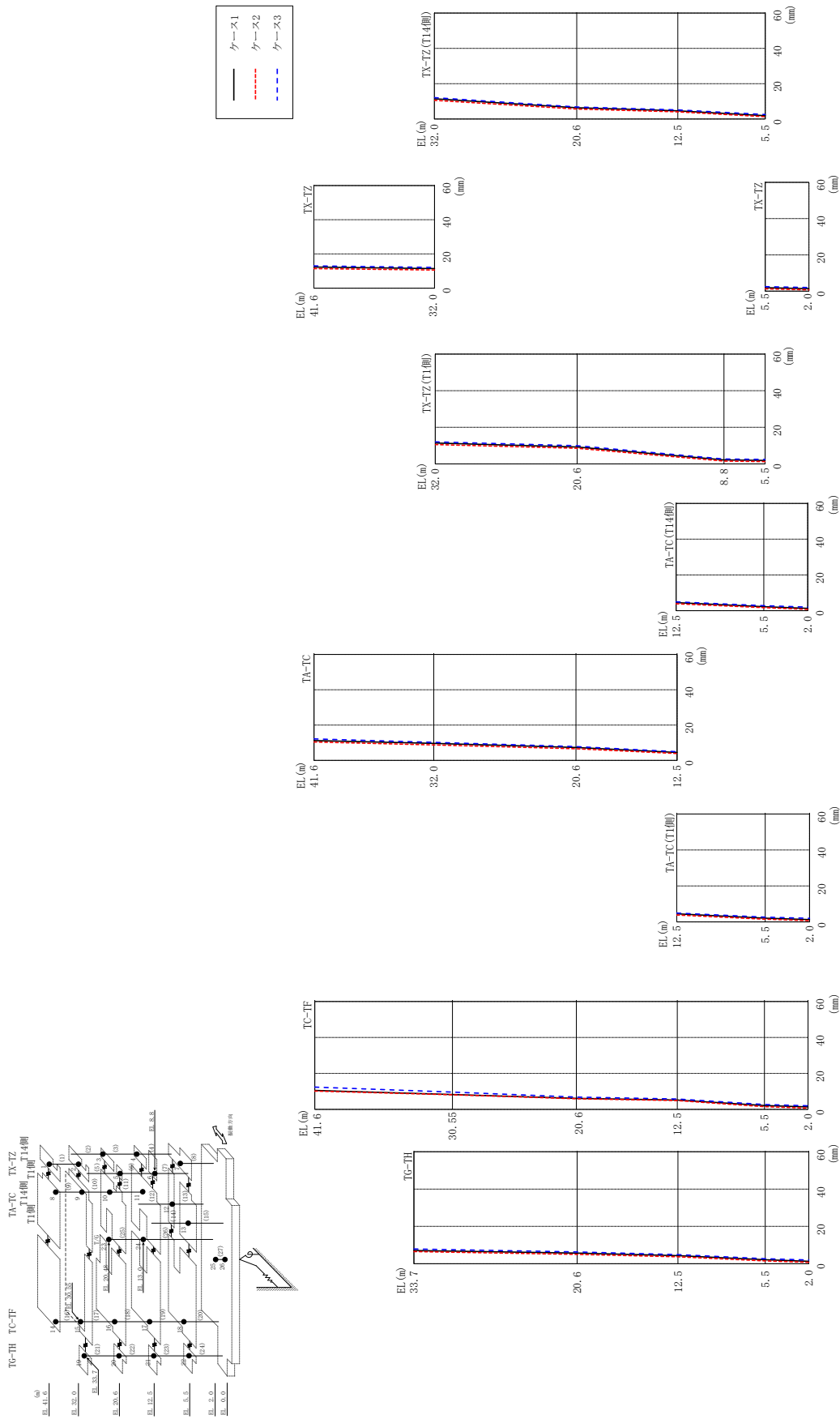
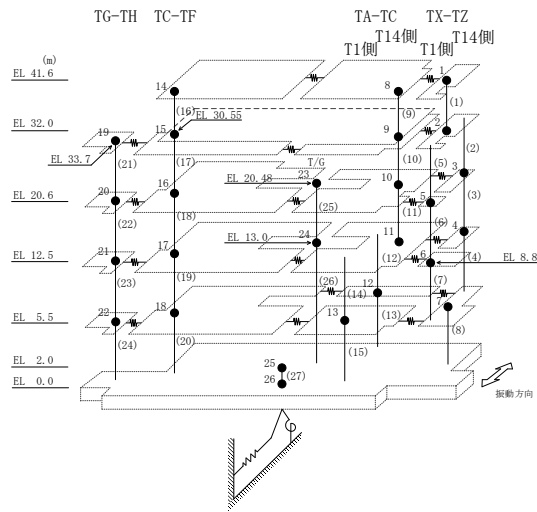


図 2-33 最大応答変位 (基準地震動 S s - F 2, EW方向)

表 2-33 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	12.31	11.40	12.97
	32.0	2	11.41	10.58	12.06
TX-TZ (T14側)	20.6	3	6.33	5.65	6.79
	12.5	4	4.63	4.02	5.10
TX-TZ (T1側)	20.6	5	9.24	8.52	9.94
	8.8	6	2.15	1.56	2.70
TX-TZ	5.5	7	1.89	1.30	2.50
TA-TC	41.6	8	11.18	10.39	12.12
	32.0	9	9.60	8.76	10.20
	20.6	10	7.29	6.58	7.79
	12.5	11	4.47	3.87	4.93
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.21	1.74	2.77
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.10	1.53	2.67
TC-TF	41.6	14	10.50	10.20	12.39
	30.55	15	8.22	8.08	9.63
	20.6	16	6.14	5.87	6.84
	12.5	17	5.18	4.88	5.79
	5.5	18	2.10	1.48	2.72
TG-TH	33.7	19	7.09	6.52	7.90
	20.6	20	5.66	5.03	6.29
	12.5	21	4.31	3.72	4.84
	5.5	22	2.15	1.53	2.71
	2.0	25	1.31	0.73	2.00



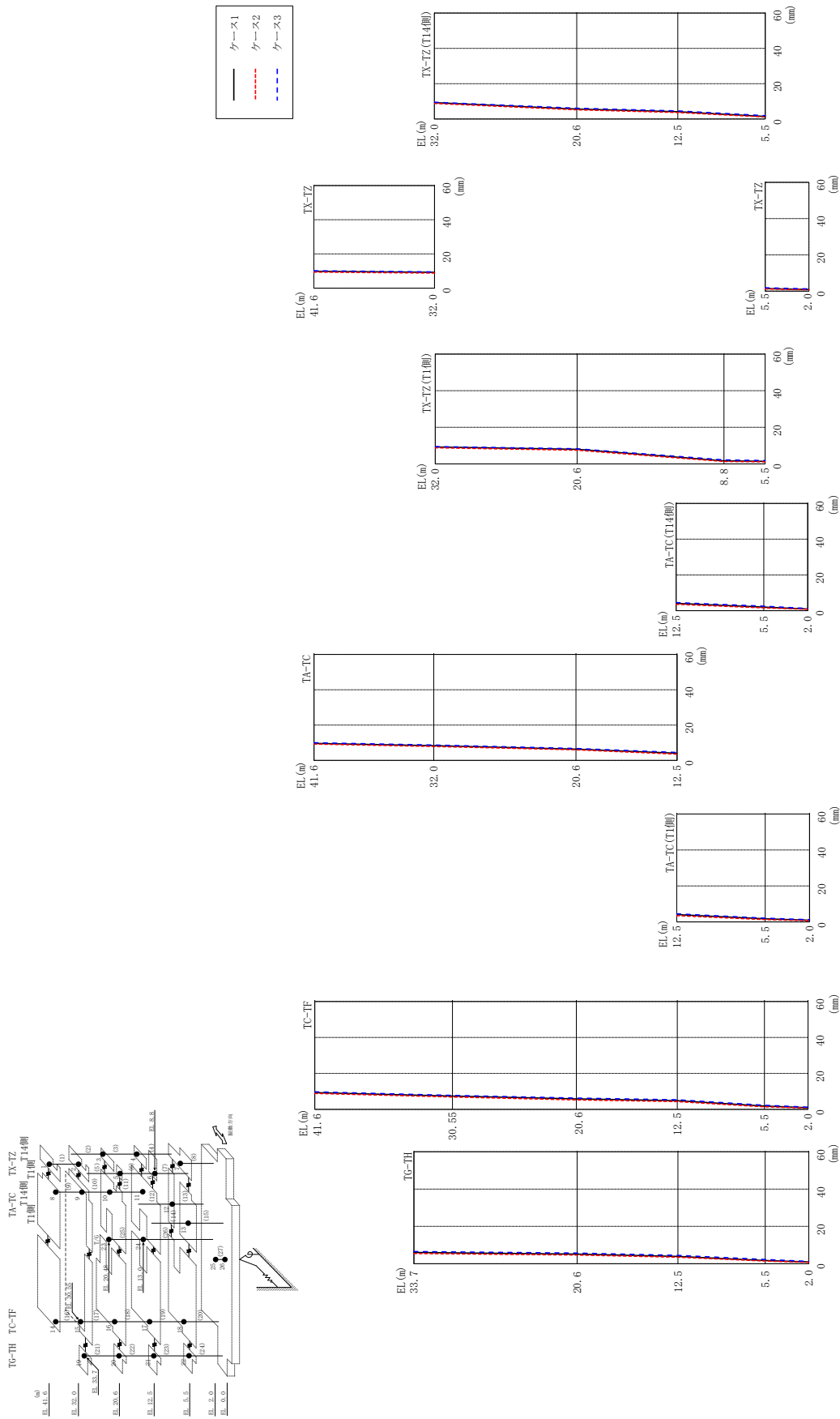
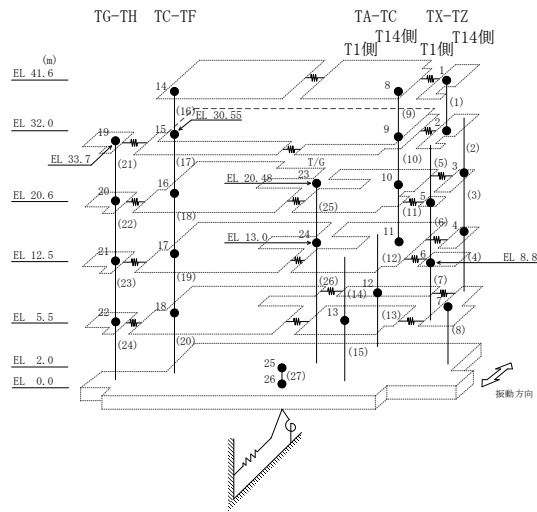


図 2-34 最大応答変位 (基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

表 2-34 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - N 1, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	9.86	9.42	10.13
	32.0	2	9.23	8.80	9.45
TX-TZ (T14側)	20.6	3	5.61	5.19	6.03
	12.5	4	4.08	3.67	4.51
TX-TZ (T1側)	20.6	5	8.00	7.51	8.26
	8.8	6	1.71	1.35	2.15
TX-TZ	5.5	7	1.42	1.16	1.84
TA-TC	41.6	8	9.63	9.22	10.00
	32.0	9	8.29	7.89	8.64
	20.6	10	6.38	5.98	6.74
	12.5	11	4.05	3.54	4.47
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.03	1.54	2.52
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.73	1.32	2.11
TC-TF	41.6	14	9.29	8.87	9.73
	30.55	15	7.36	6.87	7.78
	20.6	16	5.80	5.29	6.24
	12.5	17	4.86	4.36	5.30
	5.5	18	1.81	1.44	2.30
TG-TH	33.7	19	6.03	5.46	6.53
	20.6	20	5.12	4.65	5.66
	12.5	21	3.90	3.47	4.43
	5.5	22	1.75	1.41	2.24
	2.0	25	0.93	0.75	1.21



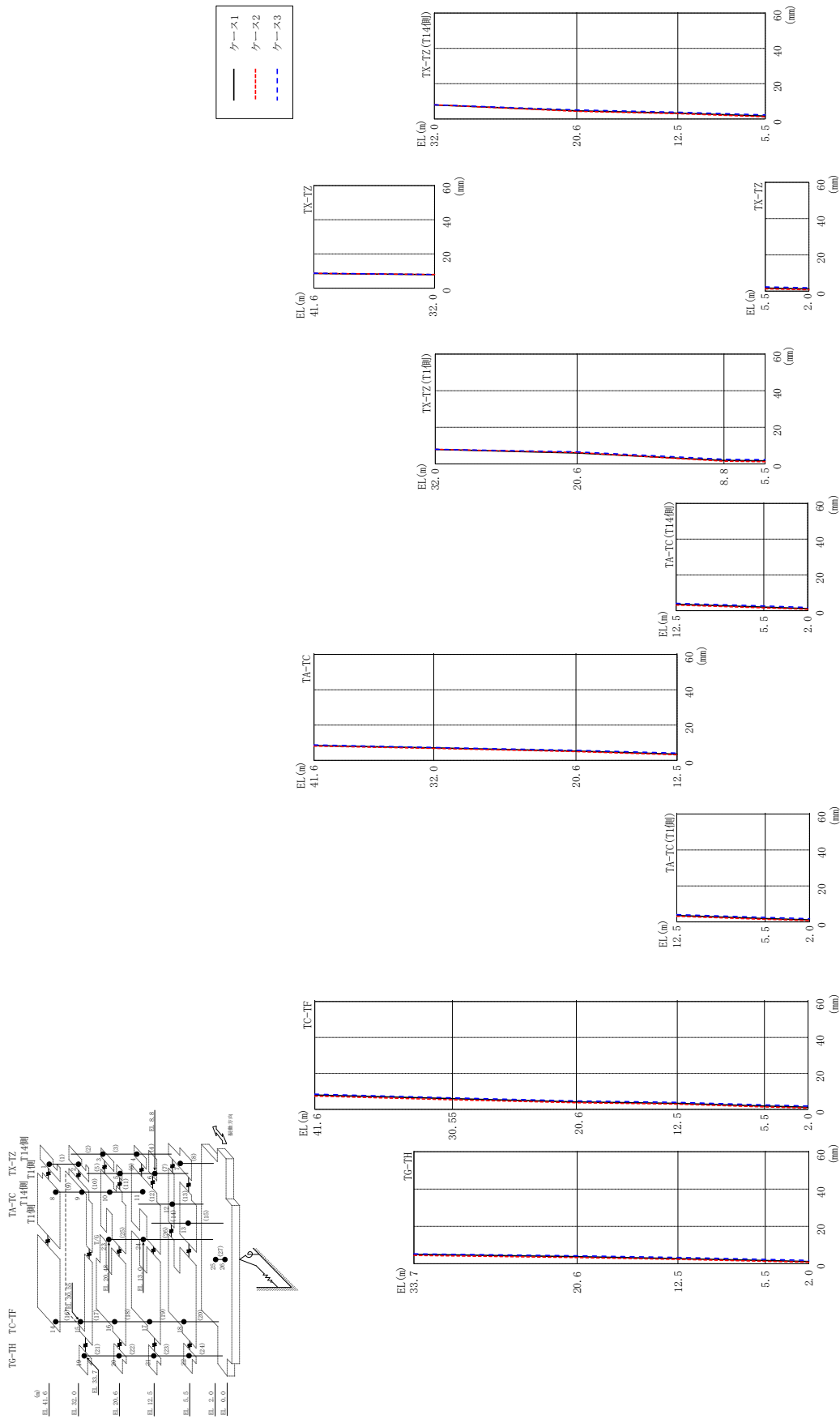
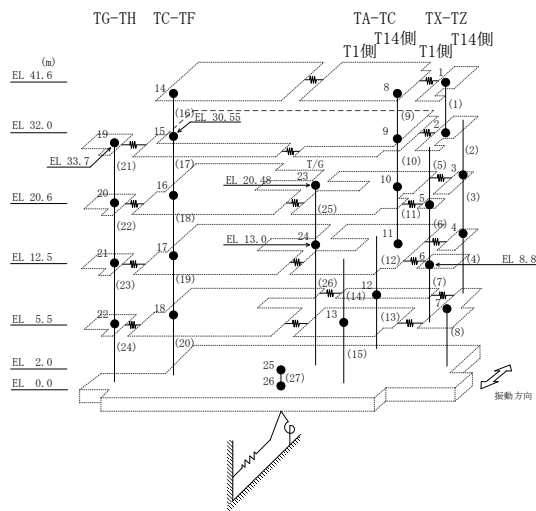


図 2-35 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

表 2-35 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - N 2 N S, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	8.61	8.67	8.76
	32.0	2	7.92	8.00	7.99
TX-TZ (T14側)	20.6	3	4.63	4.36	5.12
	12.5	4	3.31	3.02	3.85
TX-TZ (T1側)	20.6	5	5.98	6.22	6.59
	8.8	6	1.92	1.50	2.54
TX-TZ	5.5	7	1.67	1.23	2.32
TA-TC	41.6	8	8.36	8.08	8.74
	32.0	9	7.08	6.79	7.33
	20.6	10	5.26	4.98	5.67
	12.5	11	3.55	3.15	4.07
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.03	1.54	2.67
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.89	1.44	2.51
TC-TF	41.6	14	8.00	7.40	8.44
	30.55	15	5.96	5.33	6.39
	20.6	16	4.15	3.67	4.69
	12.5	17	3.36	2.89	3.93
	5.5	18	1.85	1.37	2.49
TG-TH	33.7	19	5.03	4.43	5.30
	20.6	20	3.80	3.29	4.27
	12.5	21	2.77	2.32	3.39
	5.5	22	1.69	1.31	2.35
	2.0	25	1.16	0.79	1.81



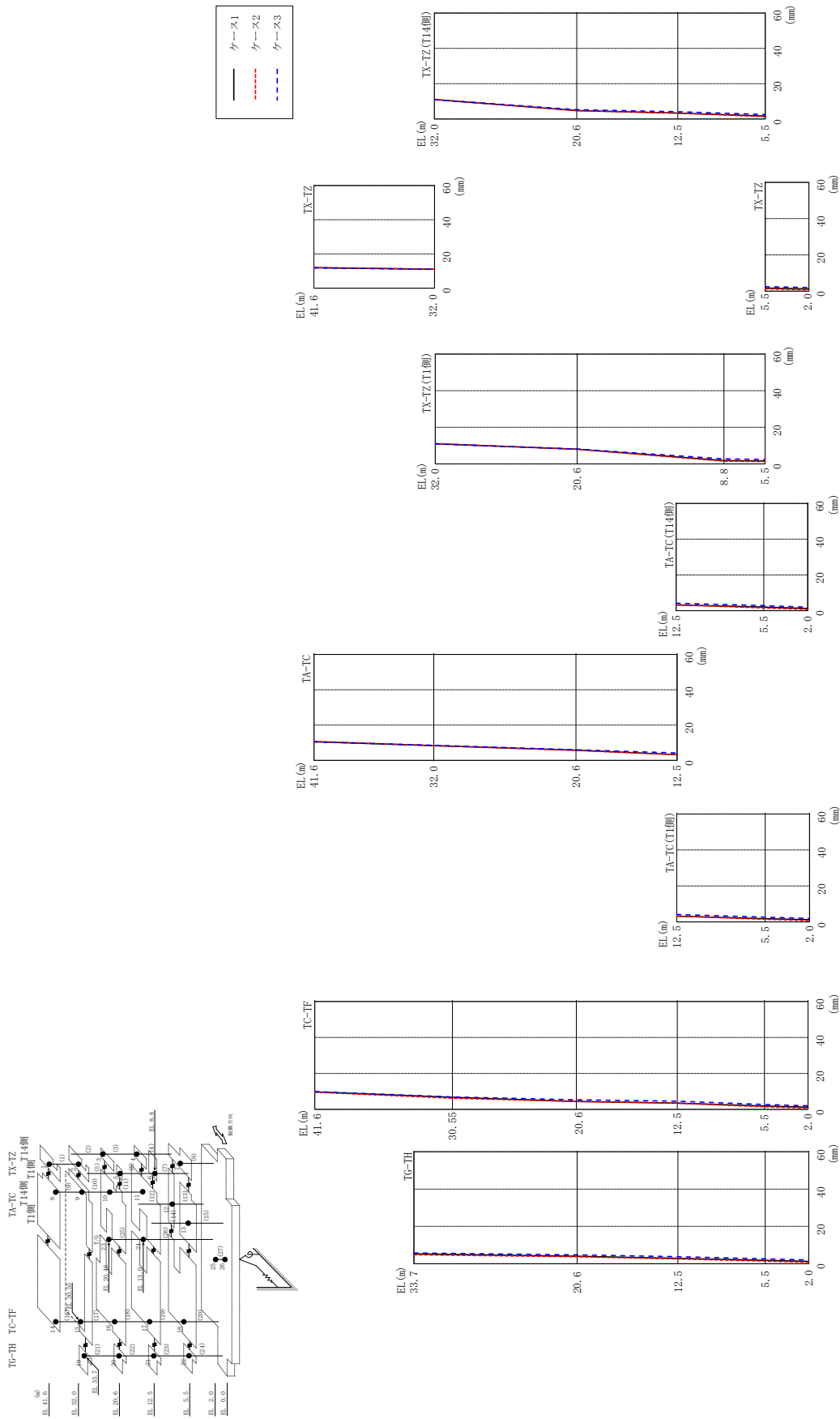
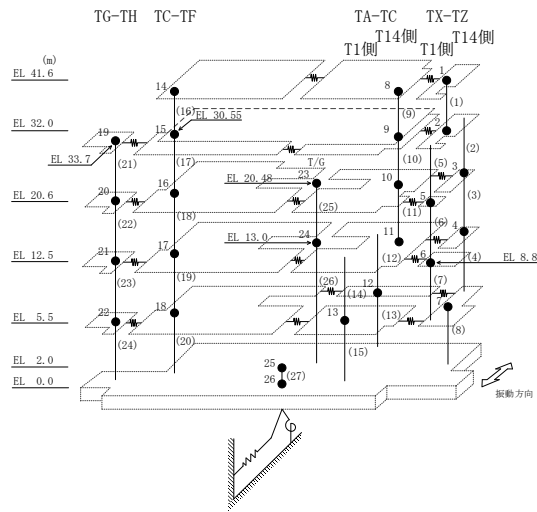


図 2-36 最大応答変位 (基準地震動 S s - N 2 E W, E W 方向)

表 2-36 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - N 2 E W$, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	11.94	12.11	11.86
	32.0	2	11.01	11.14	10.94
TX-TZ (T14側)	20.6	3	4.74	4.71	5.24
	12.5	4	3.30	3.28	4.09
TX-TZ (T1側)	20.6	5	8.08	7.98	8.16
	8.8	6	1.86	1.47	2.74
TX-TZ	5.5	7	1.66	1.25	2.49
TA-TC	41.6	8	10.58	10.77	10.48
	32.0	9	8.28	8.41	8.51
	20.6	10	5.76	5.66	5.96
	12.5	11	3.21	3.21	4.15
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.98	1.53	2.84
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.83	1.42	2.68
TC-TF	41.6	14	9.74	9.51	9.87
	30.55	15	6.68	6.19	6.88
	20.6	16	4.41	4.30	5.31
	12.5	17	3.49	3.38	4.53
	5.5	18	1.85	1.38	2.72
TG-TH	33.7	19	5.29	4.79	5.77
	20.6	20	3.97	3.68	4.73
	12.5	21	2.90	2.57	3.81
	5.5	22	1.78	1.34	2.62
	2.0	25	1.21	0.73	1.96



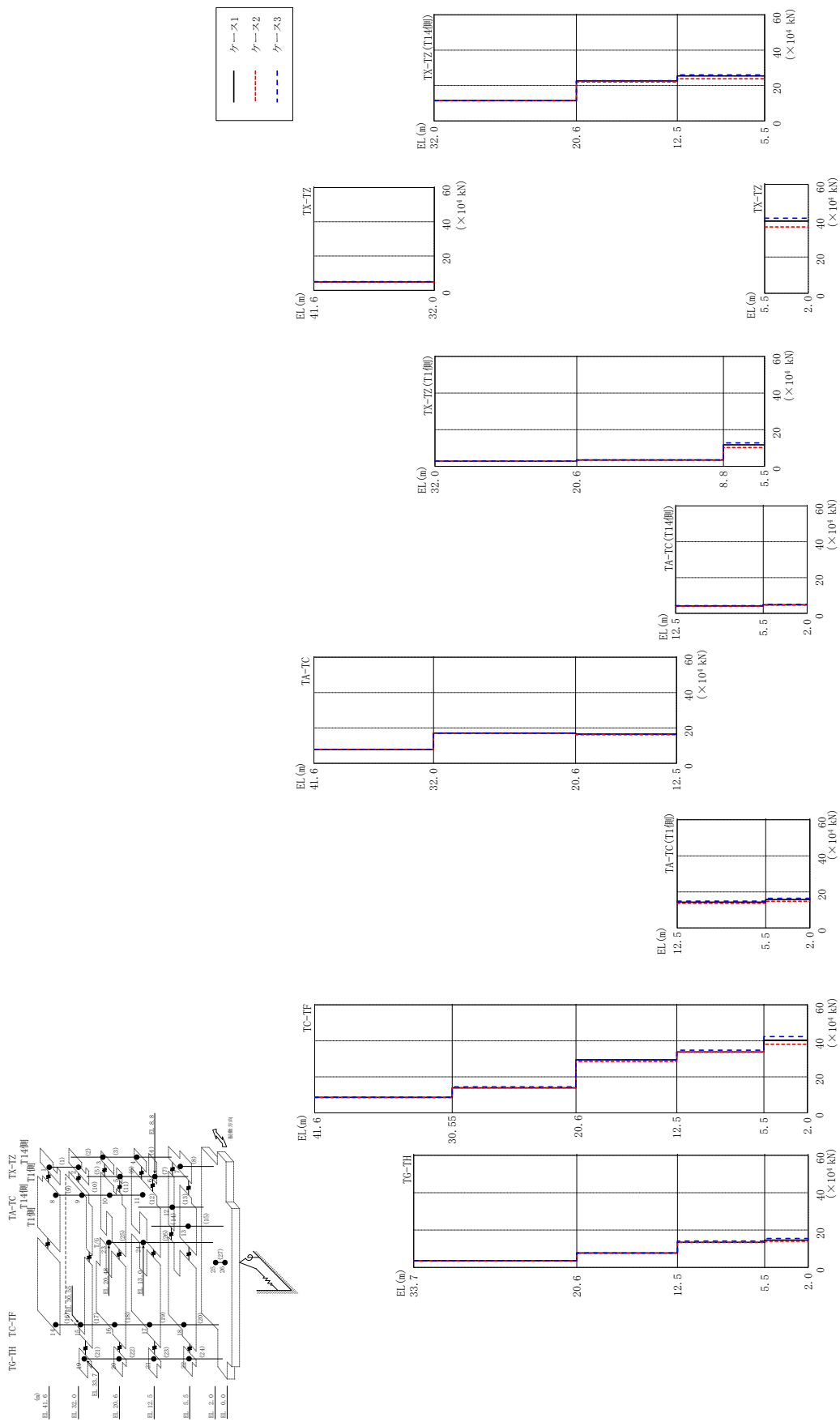
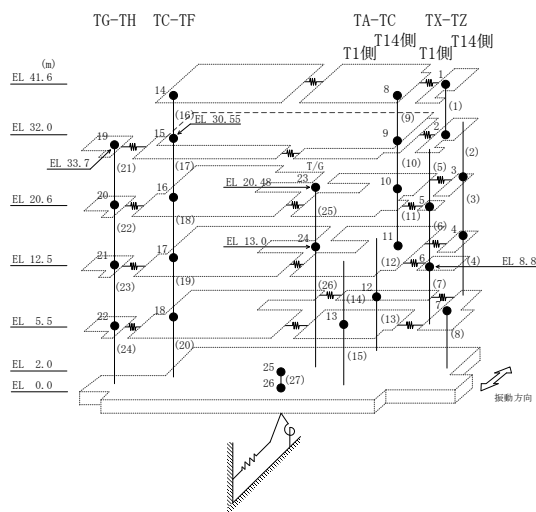


図 2-37 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

表 2-37 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	4.80	5.03
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	11.5	11.4	11.4
	20.6~12.5	3	22.6	22.0	22.8
	12.5~5.5	4	25.4	23.8	26.0
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.84	2.85
	20.6~8.8	6	3.50	3.46	3.53
	8.8~5.5	7	11.7	10.3	12.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	36.6	41.3
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	7.80	7.75
	32.0~20.6	10	17.1	16.9	17.1
	20.6~12.5	11	16.5	16.1	16.5
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.00	4.29
	5.5~2.0	13	4.82	4.62	4.99
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.3	13.6	14.9
	5.5~2.0	15	15.7	14.8	16.4
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	8.54	8.69
	30.55~20.6	17	13.9	14.0	14.4
	20.6~12.5	18	29.5	28.5	29.3
	12.5~5.5	19	33.8	33.8	34.8
	5.5~2.0	20	40.4	38.1	42.4
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.59	3.63
	20.6~12.5	22	7.74	7.64	7.78
	12.5~5.5	23	13.5	13.4	14.1
	5.5~2.0	24	14.6	14.0	15.5



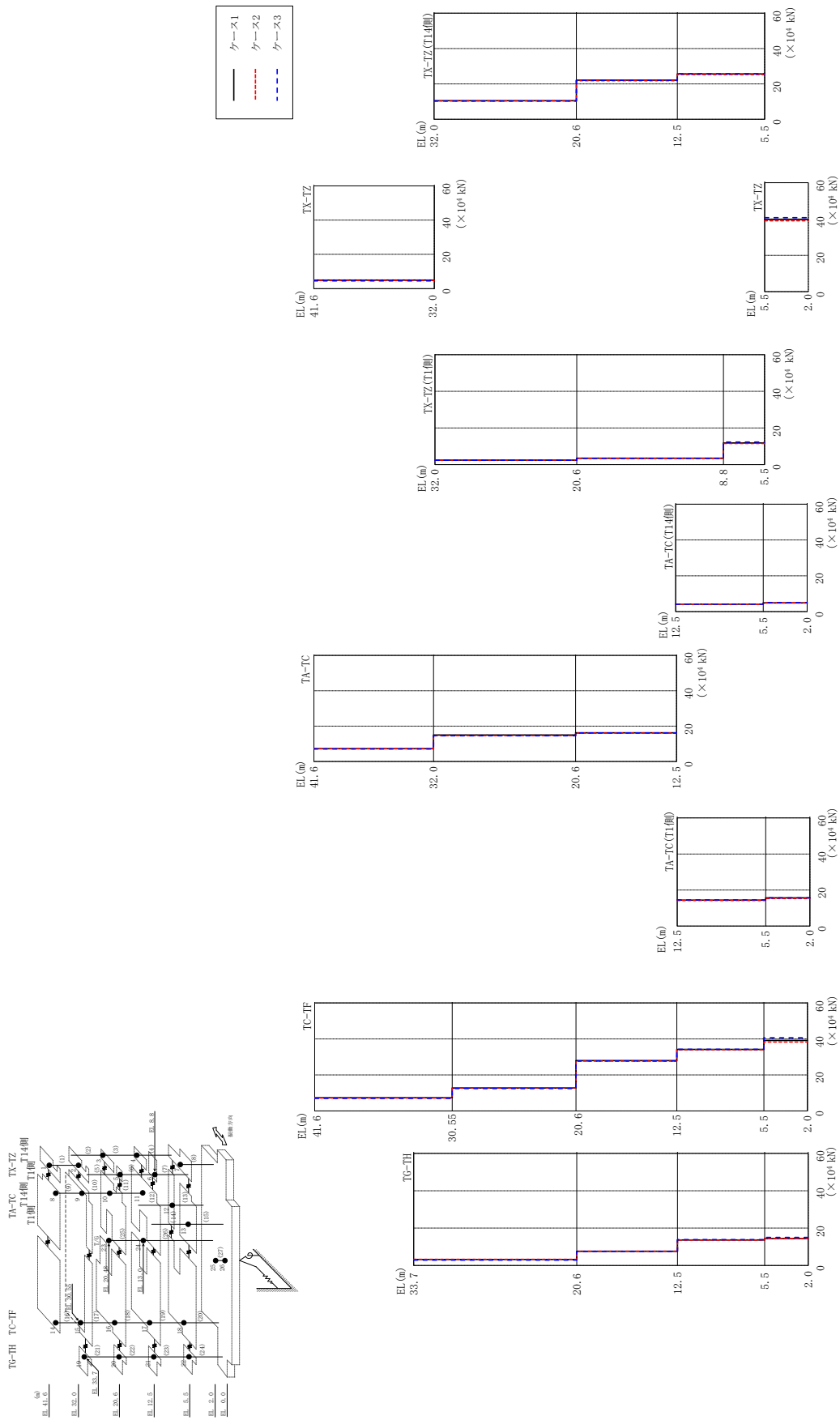
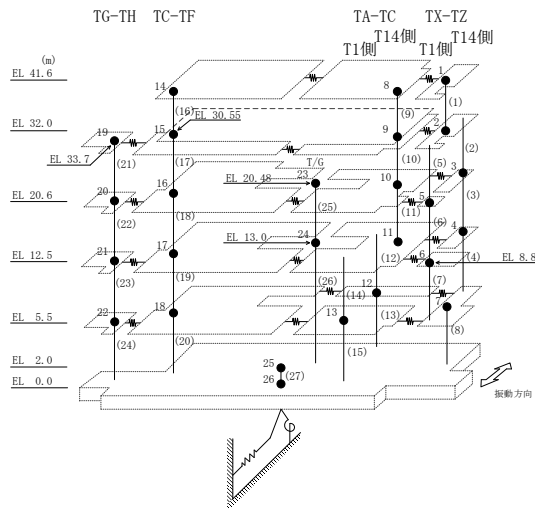


図 2-38 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

表 2-38 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S_s-F1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.99	4.76	4.53
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	10.5	10.3	10.3
	20.6~12.5	3	22.1	21.8	22.0
	12.5~5.5	4	25.6	25.3	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.50	2.45	2.41
	20.6~8.8	6	3.53	3.45	3.48
	8.8~5.5	7	11.8	11.6	12.3
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.0	40.7
TA-TC	41.6~32.0	9	7.23	7.26	7.05
	32.0~20.6	10	15.0	14.6	14.6
	20.6~12.5	11	16.2	16.1	16.2
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.16	4.17
	5.5~2.0	13	4.86	4.86	4.97
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	14.4	14.2	14.6
	5.5~2.0	15	15.7	15.3	15.7
TC-TF	41.6~30.55	16	7.30	7.20	7.00
	30.55~20.6	17	12.8	12.8	12.4
	20.6~12.5	18	28.0	27.7	27.8
	12.5~5.5	19	34.1	34.0	34.3
	5.5~2.0	20	39.1	38.3	40.7
TG-TH	33.7~20.6	21	3.26	3.27	2.86
	20.6~12.5	22	7.60	7.59	7.57
	12.5~5.5	23	13.7	13.6	13.9
	5.5~2.0	24	14.4	14.4	15.0



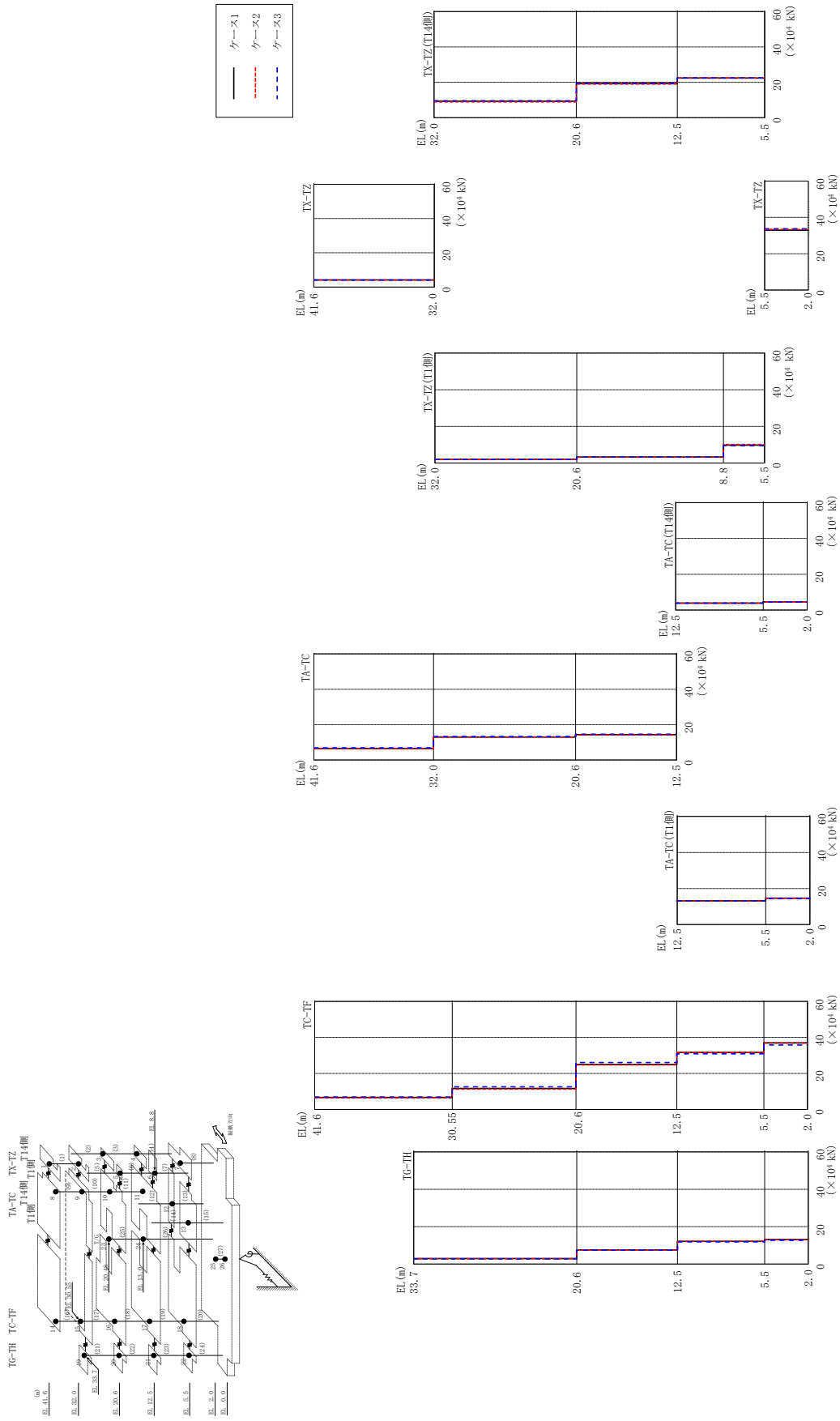
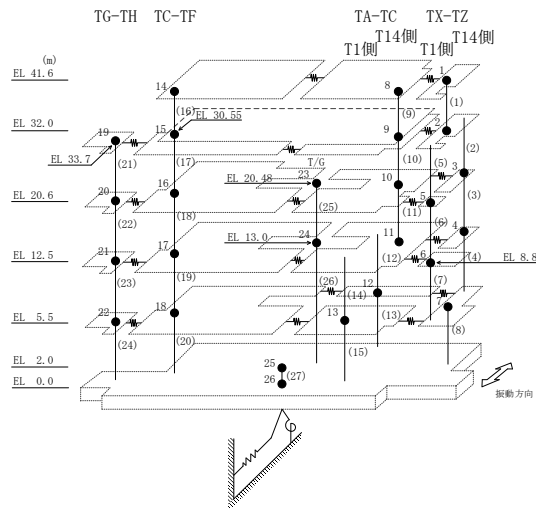


図 2-39 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - F 2, EW 方向)

表 2-39 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S_s-F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.20	4.11	4.09
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	9.27	8.92	9.57
	20.6~12.5	3	19.2	19.0	19.5
	12.5~5.5	4	22.4	22.5	22.5
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.12	2.10	2.12
	20.6~8.8	6	3.30	3.26	3.37
	8.8~5.5	7	9.79	10.2	9.52
TX-TZ	5.5~2.0	8	32.9	33.4	33.7
TA-TC	41.6~32.0	9	6.49	6.40	6.89
	32.0~20.6	10	13.0	13.0	13.3
	20.6~12.5	11	14.3	14.1	14.5
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.87	3.85	3.85
	5.5~2.0	13	4.55	4.58	4.44
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.2	13.1	13.2
	5.5~2.0	15	14.7	14.6	14.4
TC-TF	41.6~30.55	16	6.70	6.44	6.86
	30.55~20.6	17	11.7	11.3	12.6
	20.6~12.5	18	25.0	24.8	26.0
	12.5~5.5	19	31.8	31.7	30.9
	5.5~2.0	20	37.0	36.8	35.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.98	2.80	2.73
	20.6~12.5	22	7.51	7.48	7.38
	12.5~5.5	23	12.2	12.2	11.9
	5.5~2.0	24	13.1	13.0	12.7



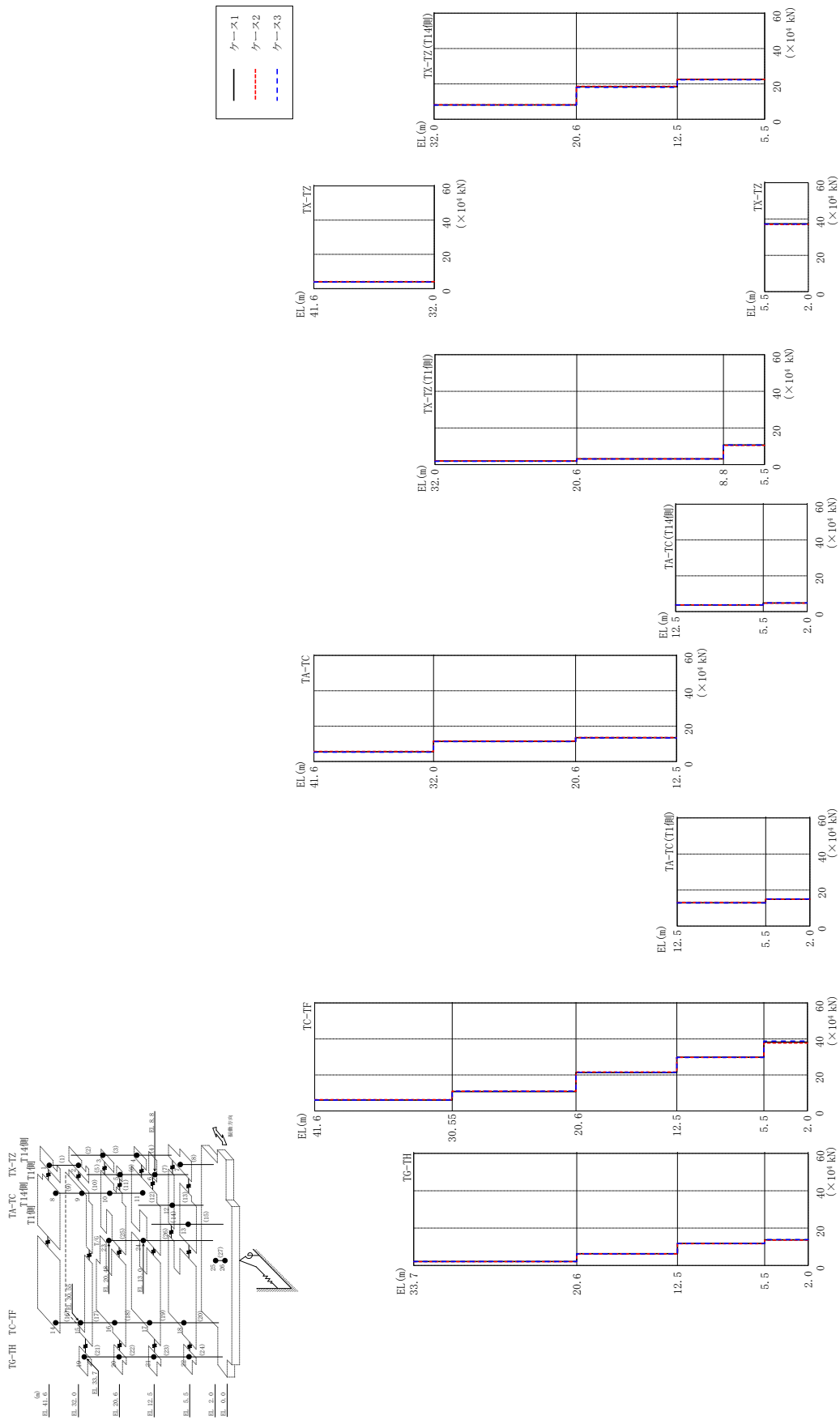
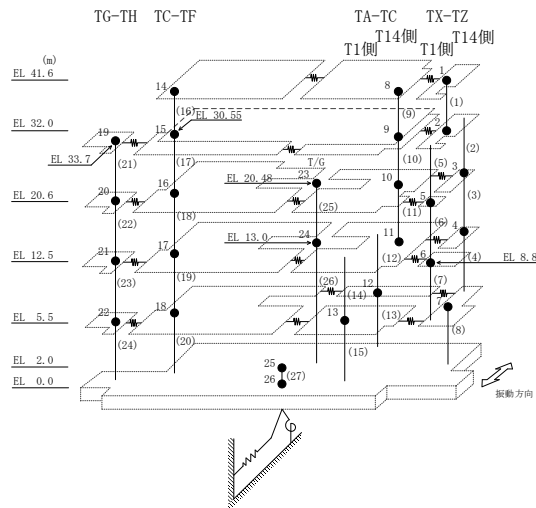


図 2-40 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

表 2-40 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - N 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.98	4.06	3.86
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.12	8.20	8.05
	20.6~12.5	3	18.4	18.6	18.0
	12.5~5.5	4	22.5	22.5	22.3
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.99	2.02	1.87
	20.6~8.8	6	3.17	3.18	3.09
	8.8~5.5	7	10.7	10.5	10.7
TX-TZ	5.5~2.0	8	37.3	36.9	37.2
TA-TC	41.6~32.0	9	5.50	5.73	5.27
	32.0~20.6	10	11.4	11.6	11.2
	20.6~12.5	11	13.5	13.5	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.74	3.73	3.72
	5.5~2.0	13	4.80	4.70	4.84
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.0	13.0	12.9
	5.5~2.0	15	14.9	14.9	15.0
TC-TF	41.6~30.55	16	6.01	6.29	6.05
	30.55~20.6	17	10.7	11.0	11.0
	20.6~12.5	18	21.4	21.6	21.4
	12.5~5.5	19	29.8	29.7	29.8
	5.5~2.0	20	38.2	37.7	38.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.16	2.09	2.14
	20.6~12.5	22	6.32	6.24	6.26
	12.5~5.5	23	11.8	11.7	11.8
	5.5~2.0	24	13.7	13.6	13.9



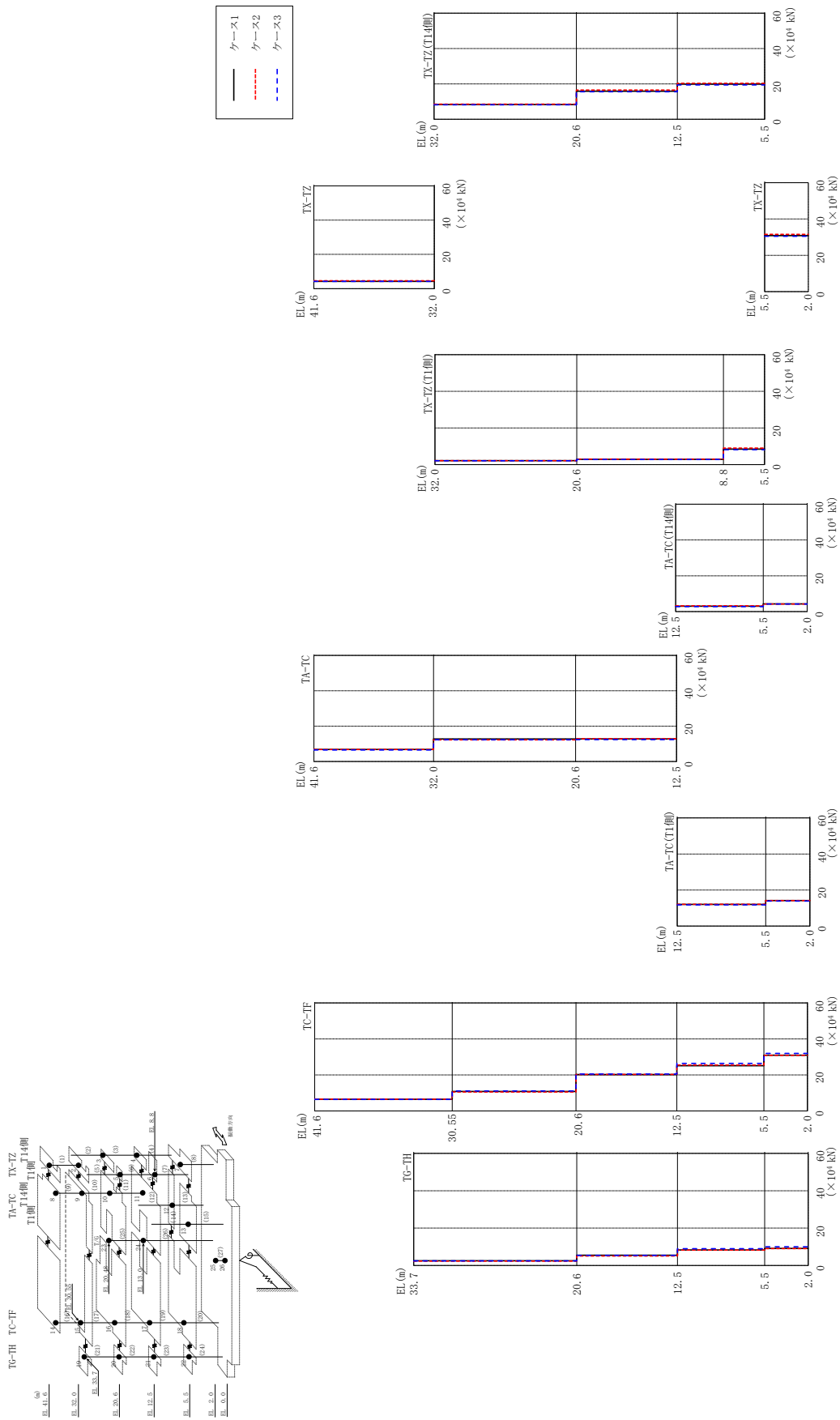
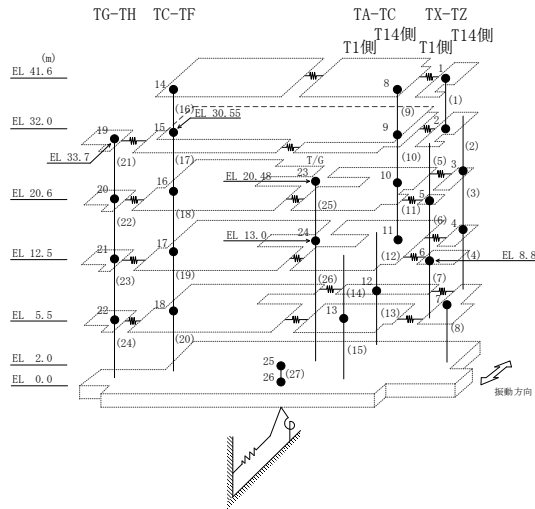


図 2-41 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 2 N S, EW 方向)

表 2-41 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.27	4.60	4.23
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.32	8.52	8.16
	20.6~12.5	3	15.9	16.5	15.6
	12.5~5.5	4	19.8	20.4	19.4
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.16	2.16	2.11
	20.6~8.8	6	2.92	3.06	2.79
	8.8~5.5	7	8.45	9.07	8.15
TX-TZ	5.5~2.0	8	30.8	31.6	30.5
TA-TC	41.6~32.0	9	6.76	6.78	6.52
	32.0~20.6	10	12.7	12.2	12.3
	20.6~12.5	11	12.7	12.9	12.4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.98	3.20	2.79
	5.5~2.0	13	4.28	4.19	4.21
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.0	12.1	11.7
	5.5~2.0	15	14.1	14.2	13.9
TC-TF	41.6~30.55	16	6.49	6.52	6.43
	30.55~20.6	17	10.8	10.5	11.1
	20.6~12.5	18	20.2	20.3	20.5
	12.5~5.5	19	25.1	25.5	26.4
	5.5~2.0	20	31.0	30.9	32.0
TG-TH	33.7~20.6	21	2.51	2.31	2.45
	20.6~12.5	22	5.50	5.10	5.45
	12.5~5.5	23	8.27	8.21	8.99
	5.5~2.0	24	9.14	9.02	9.99



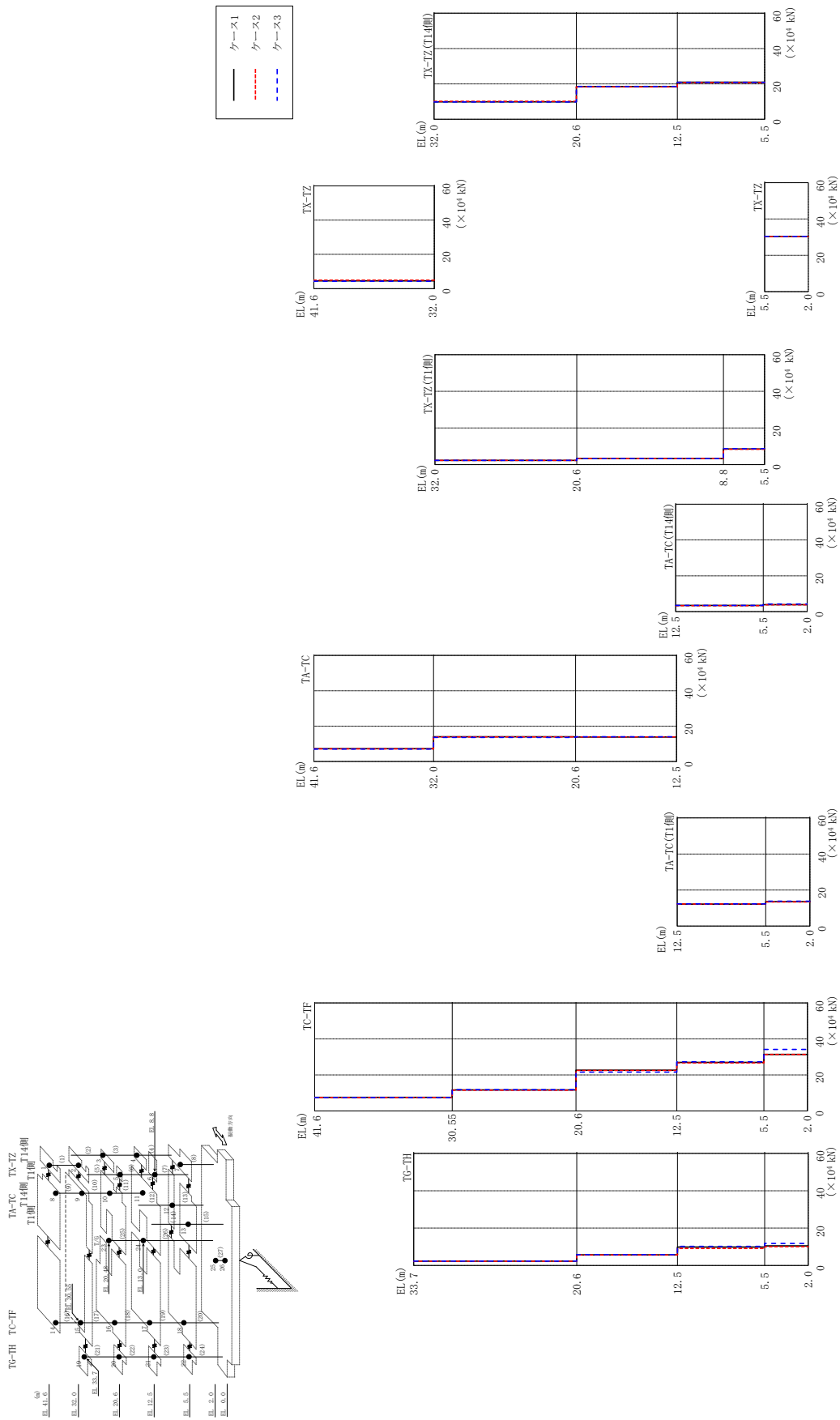
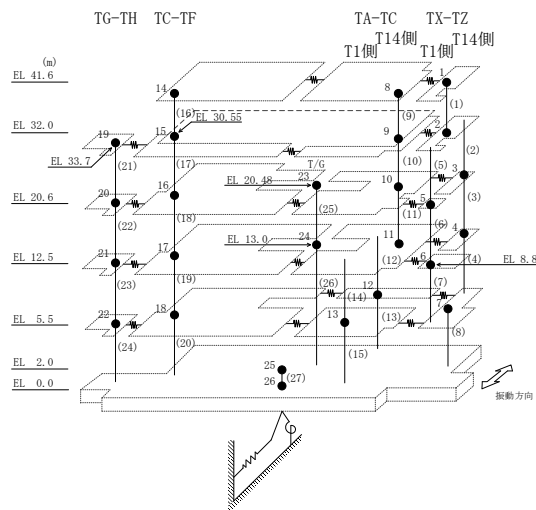


図 2-42 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 2 EW, E W 方向)

表 2-42 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.54	4.89	4.34
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	9.83	10.1	9.78
	20.6~12.5	3	18.5	18.3	18.5
	12.5~5.5	4	20.9	20.7	20.9
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.36	2.33	2.31
	20.6~8.8	6	3.28	3.27	3.27
	8.8~5.5	7	8.54	8.43	8.74
TX-TZ	5.5~2.0	8	30.4	30.2	30.4
TA-TC	41.6~32.0	9	7.26	7.19	7.01
	32.0~20.6	10	14.0	13.9	13.6
	20.6~12.5	11	13.8	13.9	13.9
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.42	3.32	3.41
	5.5~2.0	13	3.87	3.82	4.25
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.2	12.3
	5.5~2.0	15	13.6	13.4	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	7.51	7.44	7.46
	30.55~20.6	17	11.7	11.6	11.8
	20.6~12.5	18	22.6	22.5	21.5
	12.5~5.5	19	27.0	26.7	27.3
	5.5~2.0	20	31.4	31.4	34.2
TG-TH	33.7~20.6	21	2.34	2.27	2.31
	20.6~12.5	22	5.72	5.60	5.86
	12.5~5.5	23	9.86	9.13	10.2
	5.5~2.0	24	10.5	10.1	11.8



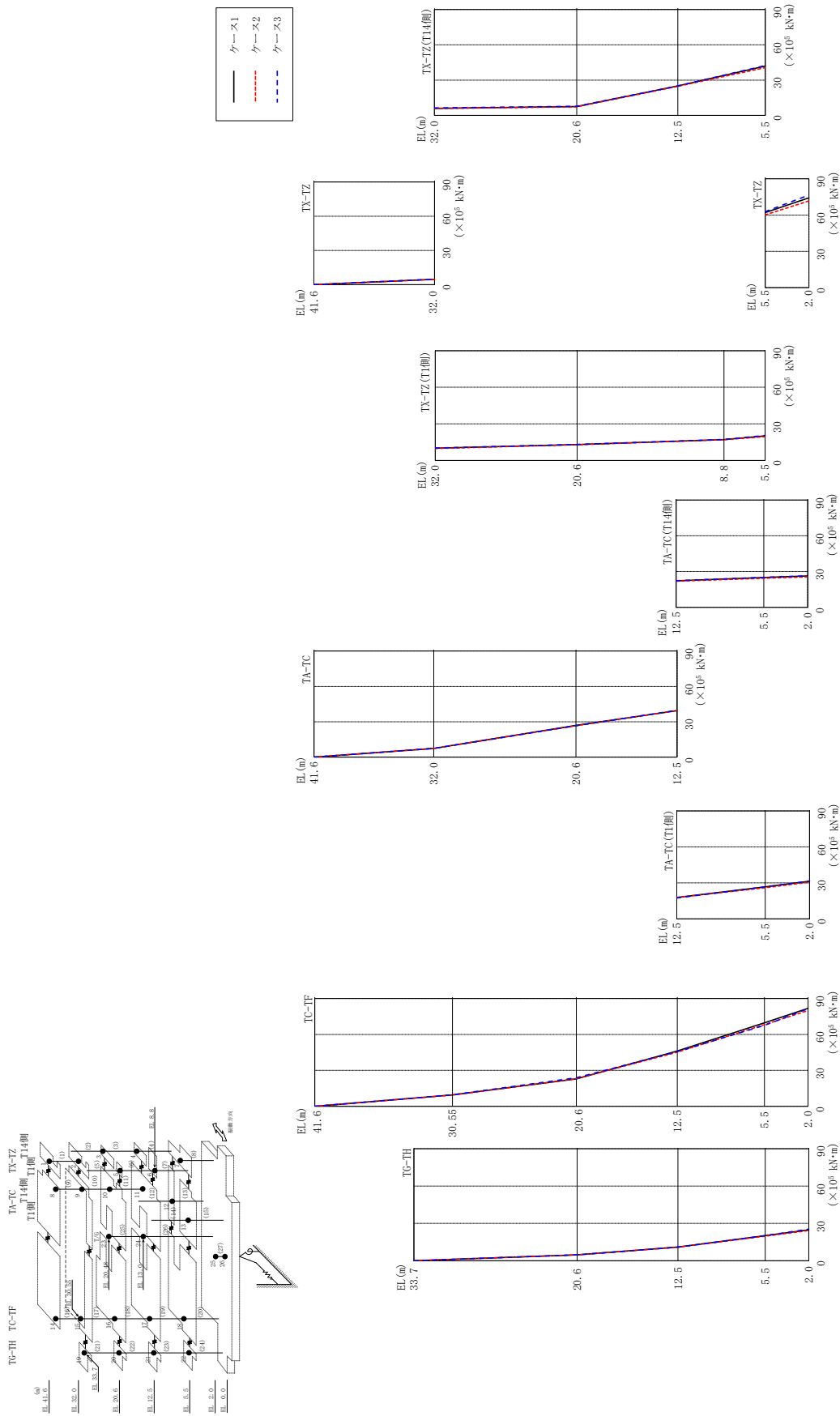


図 2-43 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s-D, EW 方向)

表 2-43(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			4.69	4.60	4.83
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.02	5.75	6.30
			7.54	7.36	7.75
	20.6~12.5	3	7.54	7.36	7.75
			25.1	24.7	25.1
12.5~5.5	4	25.1	24.7	25.1	
		41.9	40.7	42.3	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	10.1	9.81	10.2
			13.0	12.9	13.1
	20.6~8.8	6	13.0	12.9	13.1
17.1			17.0	17.2	
8.8~5.5	7	17.1	17.0	17.2	
		20.2	19.5	20.5	
TX-TZ	5.5~2.0	8	62.1	60.1	62.8
			74.2	71.7	76.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			7.44	7.49	7.44
	32.0~20.6	10	7.44	7.49	7.44
26.9			26.7	26.6	
20.6~12.5	11	26.9	26.7	26.6	
		39.5	39.7	39.7	

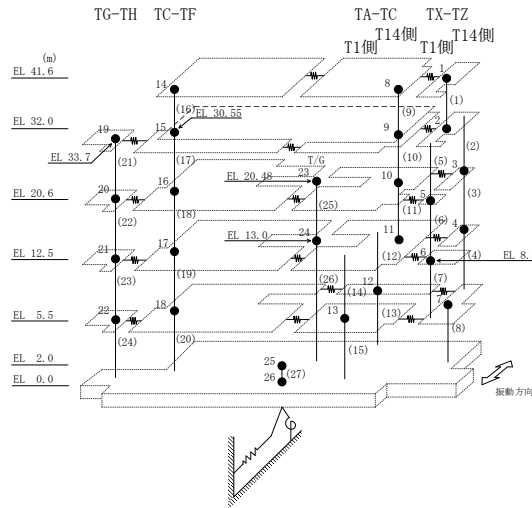
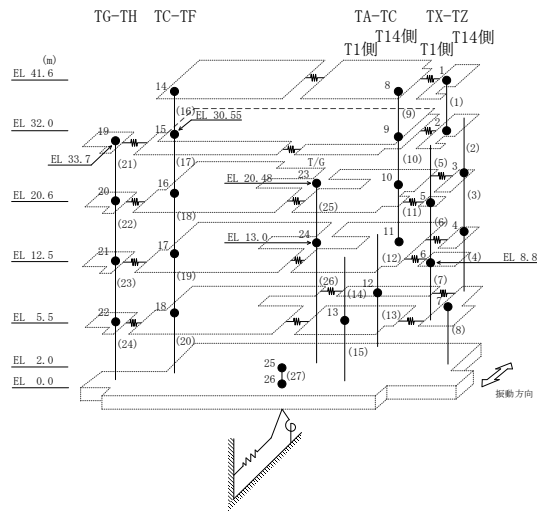


表 2-43(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s-D , EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	22.2 25.0	21.9 24.3	22.3 25.1
	5.5~2.0	13	25.0 26.2	24.3 25.5	25.1 26.4
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	17.8 26.6	17.8 26.0	17.4 26.7
	5.5~2.0	15	26.6 31.4	26.0 30.6	26.7 31.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 9.53	0.00 9.43	0.00 9.60
	30.55~20.6	17	9.53 22.9	9.43 23.1	9.60 23.8
	20.6~12.5	18	22.9 46.1	23.1 45.2	23.8 45.6
	12.5~5.5	19	46.1 69.7	45.2 68.2	45.6 67.5
	5.5~2.0	20	69.7 81.7	68.2 79.9	67.5 81.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 4.79	0.00 4.70	0.00 4.76
	20.6~12.5	22	4.79 11.0	4.70 10.9	4.76 10.9
	12.5~5.5	23	11.0 20.2	10.9 19.8	10.9 20.2
	5.5~2.0	24	20.2 24.8	19.8 24.3	20.2 25.4



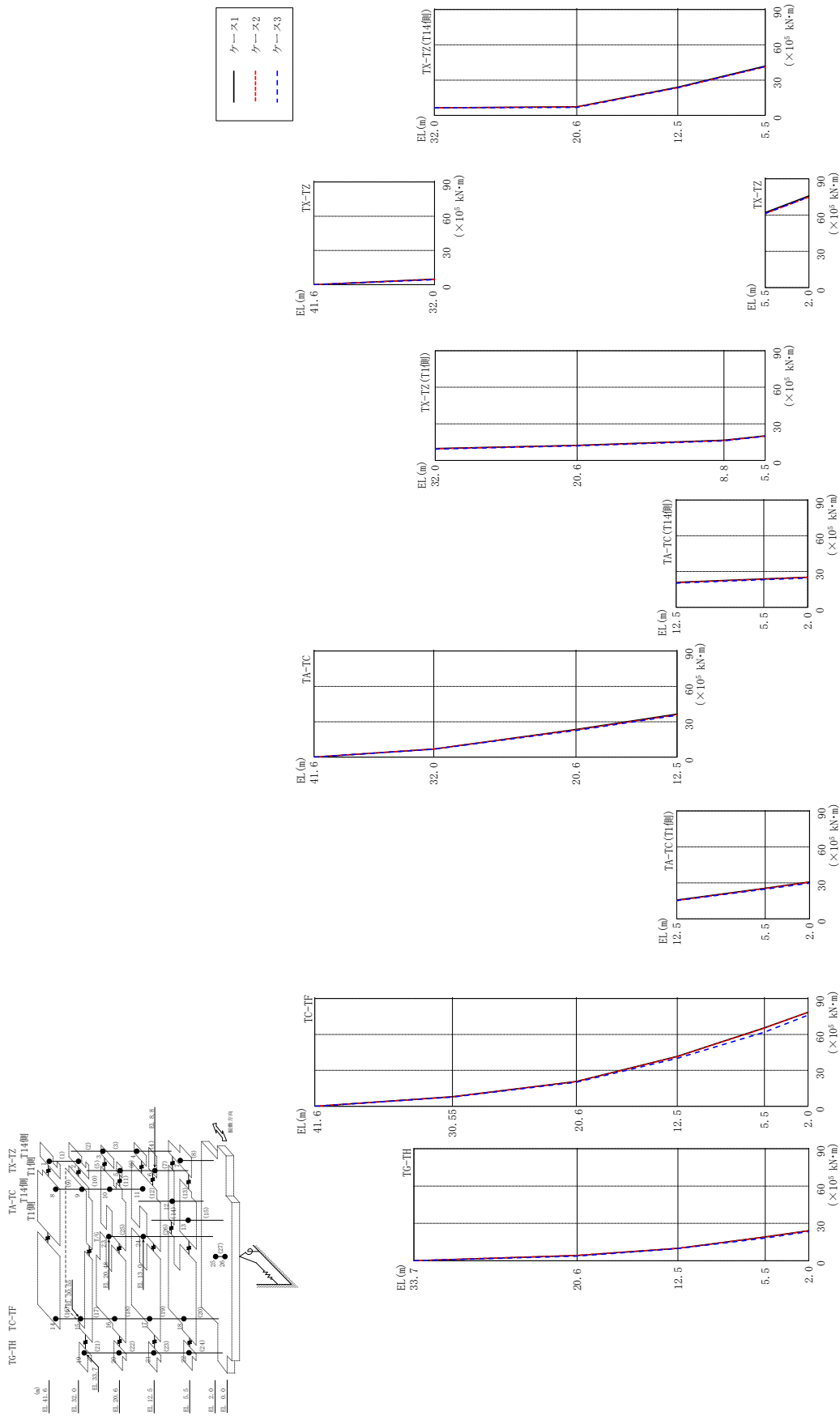


図 2-44 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

表 2-44(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			4.79	4.56	4.34
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.42	6.47	6.47
			7.30	7.18	6.80
	20.6~12.5	3	7.30	7.18	6.80
			24.0	23.5	23.6
12.5~5.5	4	24.0	23.5	23.6	
		41.9	41.2	41.5	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	9.76	9.61	9.33
			12.4	12.2	12.0
	20.6~8.8	6	12.4	12.2	12.0
16.6			16.3	16.1	
8.8~5.5	7	16.6	16.3	16.1	
		20.2	20.0	19.9	
TX-TZ	5.5~2.0	8	62.1	61.2	61.3
			75.8	74.9	75.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			6.94	6.97	6.77
	32.0~20.6	10	6.94	6.97	6.77
23.5			23.2	22.6	
20.6~12.5	11	23.5	23.2	22.6	
		36.6	35.9	35.5	

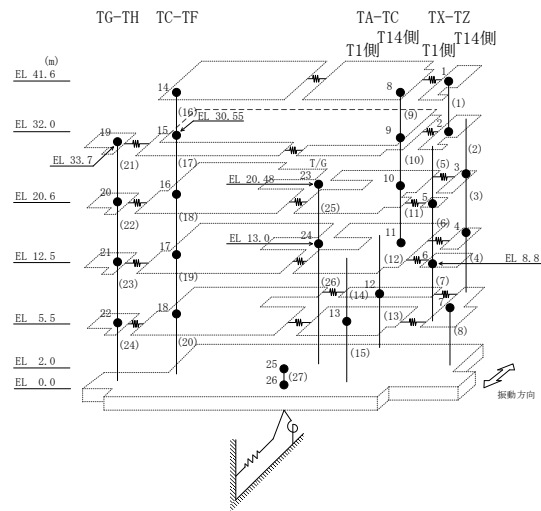
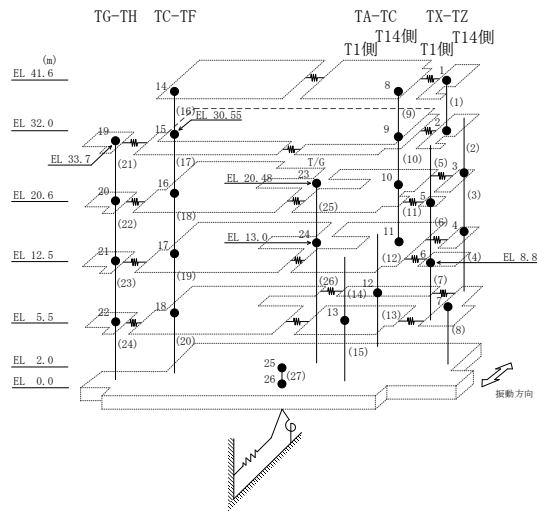


表 2-44(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	20.9 23.8	20.6 23.5	20.3 23.1
	5.5~2.0	13	23.8 25.2	23.5 25.1	23.1 24.5
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	15.7 25.5	15.3 25.3	15.2 24.7
	5.5~2.0	15	25.5 30.8	25.3 30.6	24.7 29.8
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 8.06	0.00 7.96	0.00 7.74
	30.55~20.6	17	8.06 20.8	7.96 20.7	7.74 20.1
	20.6~12.5	18	20.8 41.7	20.7 41.5	20.1 40.1
	12.5~5.5	19	41.7 65.5	41.5 65.3	40.1 61.9
	5.5~2.0	20	65.5 78.4	65.3 78.5	61.9 76.1
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 4.26	0.00 4.29	0.00 3.75
	20.6~12.5	22	4.26 10.0	4.29 10.0	3.75 9.79
	12.5~5.5	23	10.0 19.1	10.0 19.0	9.79 18.3
	5.5~2.0	24	19.1 24.1	19.0 24.0	18.3 23.4



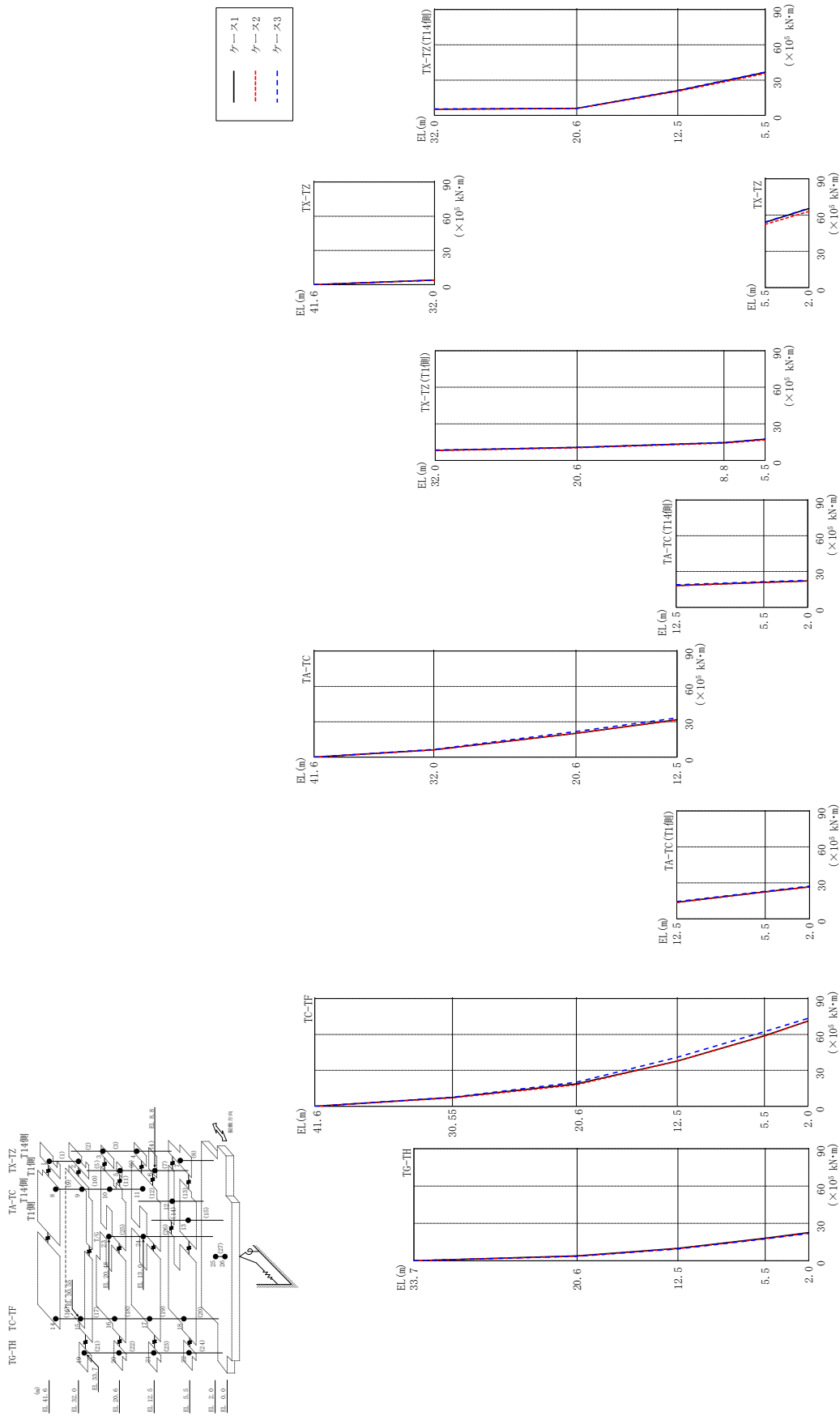


図 2-45 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - F 2, EW 方向)

表 2-45(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			4.03	3.95	3.93
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	5.25	5.18	5.42
			6.06	5.90	5.95
	20.6~12.5	3	6.06	5.90	5.95
			21.1	20.5	21.4
12.5~5.5	4	21.1	20.5	21.4	
		36.6	35.6	36.8	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	8.35	8.12	8.49
			10.7	10.4	10.8
	20.6~8.8	6	10.7	10.4	10.8
14.6			14.2	14.8	
8.8~5.5	7	14.6	14.2	14.8	
		17.4	16.8	17.6	
TX-TZ	5.5~2.0	8	54.0	52.3	54.2
			65.4	63.1	65.7
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			6.23	6.15	6.61
	32.0~20.6	10	6.23	6.15	6.61
20.3			20.2	21.7	
20.6~12.5	11	20.3	20.2	21.7	
		31.7	31.4	33.2	

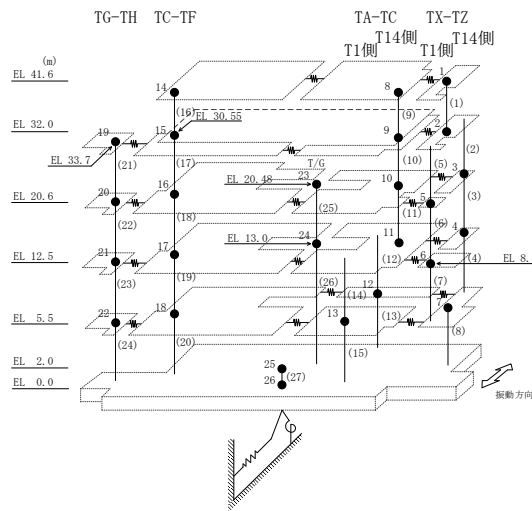
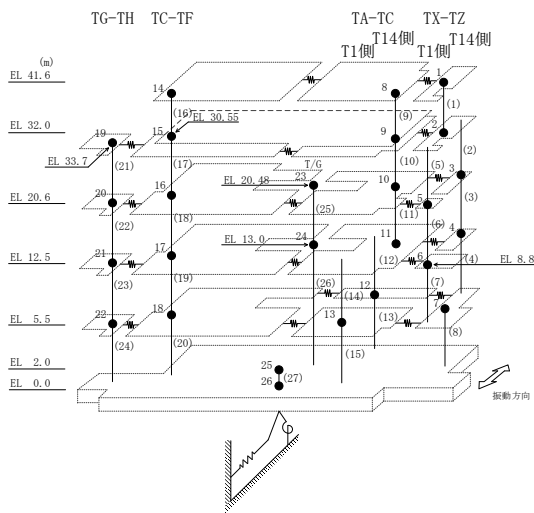


表 2-45(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	18.2 20.9	18.1 20.7	18.8 21.4
	5.5~2.0	13	20.9 22.1	20.7 21.9	21.4 22.6
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	13.9 22.5	13.6 22.4	14.5 22.9
	5.5~2.0	15	22.5 26.7	22.4 26.5	22.9 27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.40	0.00 7.11	0.00 7.58
	30.55~20.6	17	7.40 18.7	7.11 18.0	7.58 20.1
	20.6~12.5	18	18.7 37.7	18.0 37.7	20.1 40.9
	12.5~5.5	19	37.7 58.9	37.7 58.6	40.9 62.3
	5.5~2.0	20	58.9 71.2	58.6 71.0	62.3 73.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 3.90	0.00 3.66	0.00 3.58
	20.6~12.5	22	3.90 9.99	3.66 9.71	3.58 9.52
	12.5~5.5	23	9.99 18.1	9.71 17.7	9.52 17.6
	5.5~2.0	24	18.1 22.7	17.7 22.2	17.6 21.9



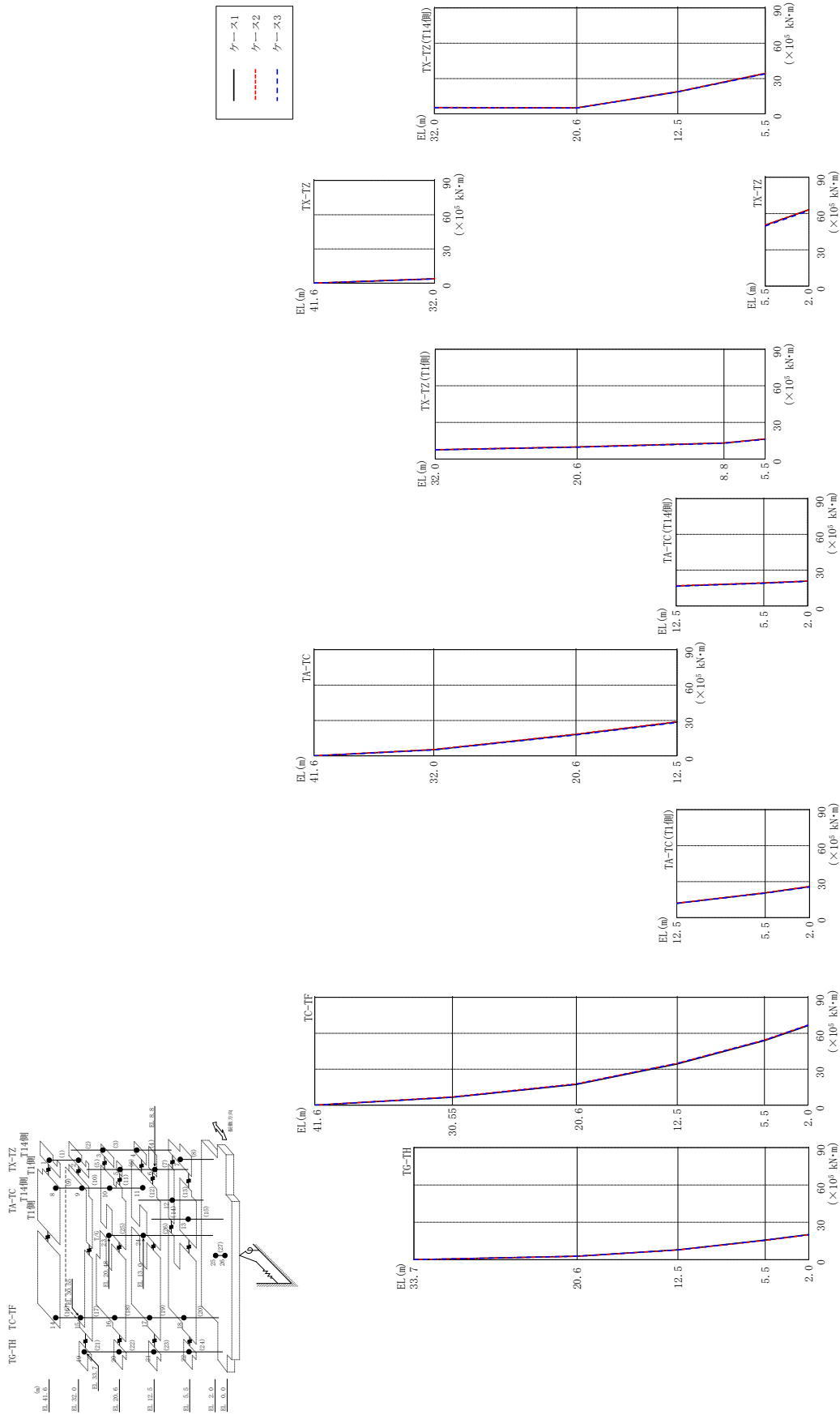


図 2-46 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - N 1, E W 方向)

表 2-46(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			3.82	3.90	3.71
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	5.34	5.33	5.23
			5.00	5.13	4.91
	20.6~12.5	3	5.00	5.13	4.91
			18.8	18.9	18.6
12.5~5.5	4	18.8	18.9	18.6	
		34.3	34.5	33.8	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.63	7.69	7.60
			9.89	9.97	9.73
	20.6~8.8	6	9.89	9.97	9.73
13.2			13.3	13.0	
8.8~5.5	7	13.2	13.3	13.0	
		16.4	16.5	16.1	
TX-TZ	5.5~2.0	8	50.3	50.6	49.7
			63.1	63.2	62.4
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			5.28	5.50	5.06
	32.0~20.6	10	5.28	5.50	5.06
18.1			18.5	17.8	
20.6~12.5	11	18.1	18.5	17.8	
		28.7	29.1	28.3	

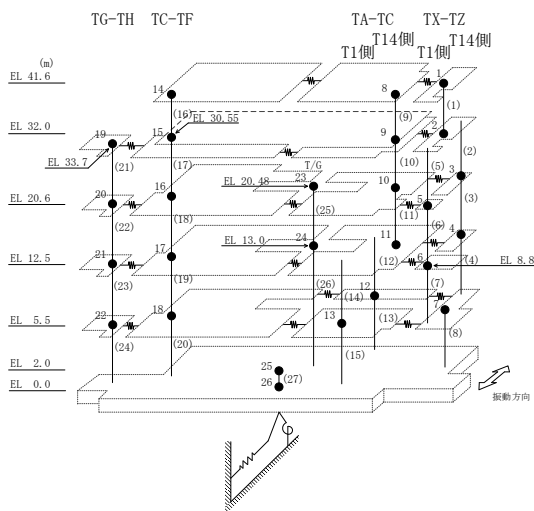
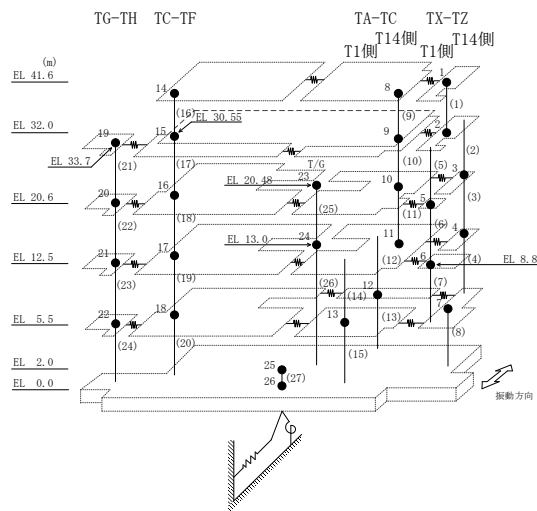


表 2-46(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.7 19.2	16.9 19.4	16.5 19.0
	5.5~2.0	13	19.2 20.8	19.4 21.0	19.0 20.6
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.0 20.7	12.1 20.9	11.8 20.4
	5.5~2.0	15	20.7 25.8	20.9 26.0	20.4 25.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 6.64	0.00 6.95	0.00 6.68
	30.55~20.6	17	6.64 17.3	6.95 17.8	6.68 17.6
	20.6~12.5	18	17.3 34.4	17.8 35.0	17.6 34.9
	12.5~5.5	19	34.4 53.9	35.0 54.4	34.9 54.2
	5.5~2.0	20	53.9 66.4	54.4 66.9	54.2 66.6
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.83	0.00 2.73	0.00 2.80
	20.6~12.5	22	2.83 7.95	2.73 7.78	2.80 7.87
	12.5~5.5	23	7.95 15.7	7.78 15.5	7.87 15.6
	5.5~2.0	24	15.7 20.2	15.5 20.0	15.6 20.1



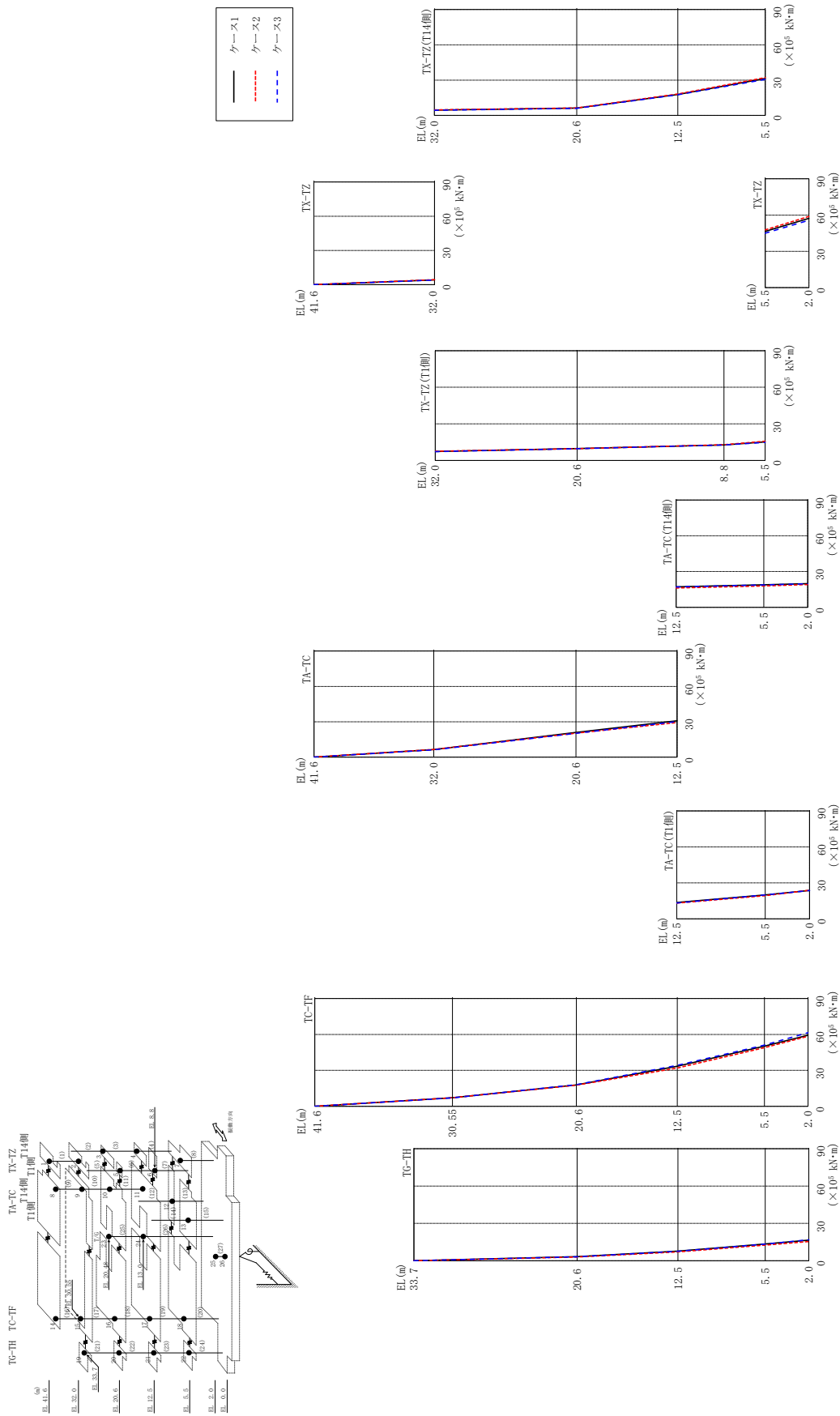


図 2-47 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S-N2NS, EW方向)

表 2-47(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 N S, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			4.10	4.42	4.06
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	4.48	4.74	4.39
			6.23	6.34	5.98
	20.6~12.5	3	6.23	6.34	5.98
			17.8	18.3	17.5
12.5~5.5	4	17.8	18.3	17.5	
		31.3	32.1	30.7	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.35	7.60	7.30
			9.73	9.68	9.68
	20.6~8.8	6	9.73	9.68	9.68
12.7			12.9	12.7	
8.8~5.5	7	12.7	12.9	12.7	
		15.2	15.7	14.8	
TX-TZ	5.5~2.0	8	46.5	47.8	45.1
			57.3	58.9	55.7
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			6.49	6.51	6.26
	32.0~20.6	10	6.49	6.51	6.26
			21.0	20.4	20.3
20.6~12.5	11	21.0	20.4	20.3	
		30.8	29.3	30.3	

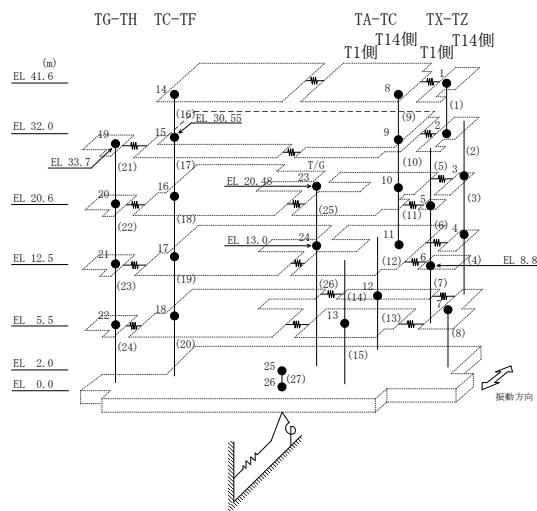
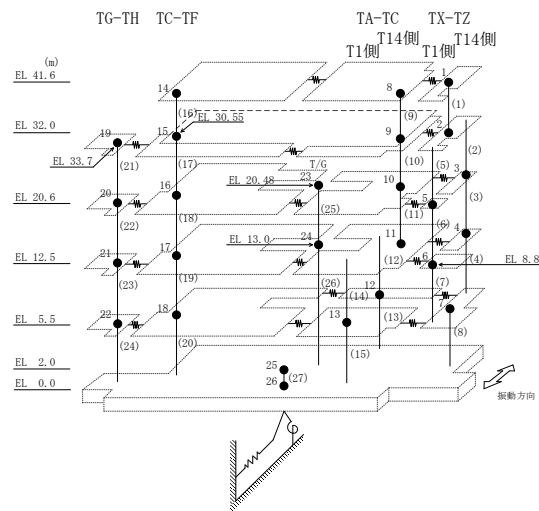


表 2-47(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	17.2 18.9	16.2 17.9	17.0 18.7
	5.5~2.0	13	18.9 19.8	17.9 19.1	18.7 19.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	13.7 20.0	13.2 19.4	13.3 20.0
	5.5~2.0	15	20.0 23.7	19.4 23.9	20.0 23.6
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.17	0.00 7.20	0.00 7.10
	30.55~20.6	17	7.17 17.9	7.20 17.6	7.10 18.1
	20.6~12.5	18	17.9 33.4	17.6 32.0	18.1 34.2
	12.5~5.5	19	33.4 50.2	32.0 49.0	34.2 51.1
	5.5~2.0	20	50.2 59.3	49.0 58.4	51.1 61.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 3.29	0.00 3.03	0.00 3.21
	20.6~12.5	22	3.29 7.73	3.03 7.16	3.21 7.62
	12.5~5.5	23	7.73 13.5	7.16 12.6	7.62 13.4
	5.5~2.0	24	13.5 16.6	12.6 15.4	13.4 16.8



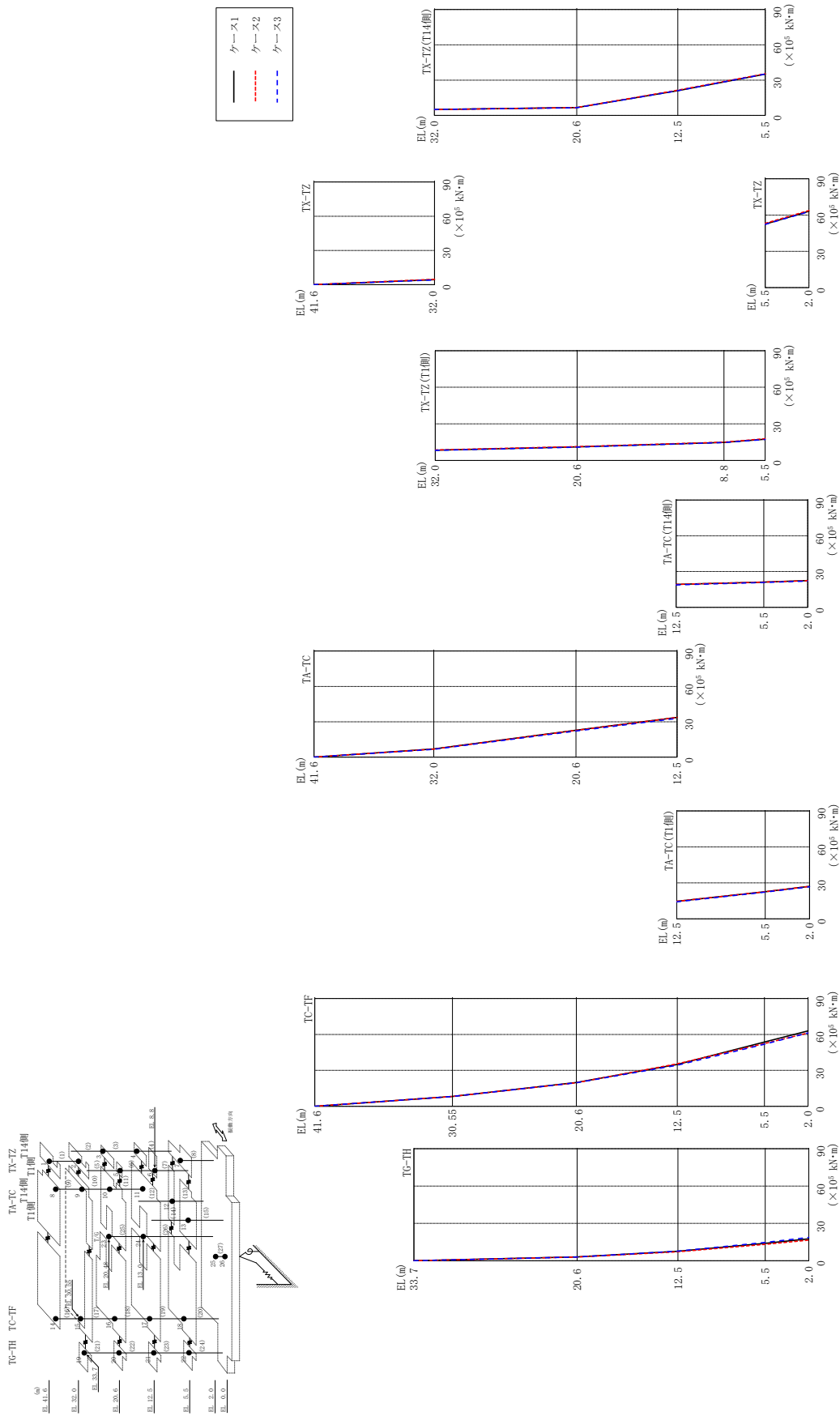


図 2-48 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S-N 2 EW, EW 方向)

表 2-48(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 EW, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			4.35	4.70	4.17
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	5.05	4.98	4.99
			6.65	6.70	6.53
	20.6~12.5	3	6.65	6.70	6.53
			21.1	21.5	21.0
12.5~5.5	4	21.1	21.5	21.0	
		35.1	35.4	35.1	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	8.44	8.68	8.35
			11.1	11.3	11.0
	20.6~8.8	6	11.1	11.3	11.0
14.8			15.1	14.7	
8.8~5.5	7	14.8	15.1	14.7	
		17.5	17.8	17.2	
TX-TZ	5.5~2.0	8	52.5	53.2	52.4
			63.2	63.8	62.8
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			6.97	6.90	6.73
	32.0~20.6	10	6.97	6.90	6.73
22.9			22.7	22.2	
20.6~12.5	11	22.9	22.7	22.2	
		33.8	33.7	32.9	

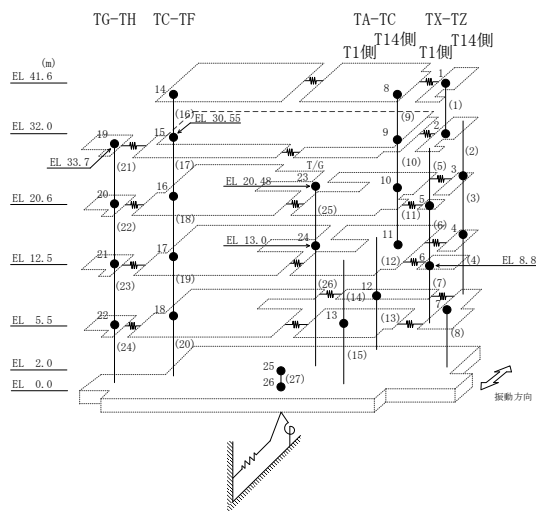
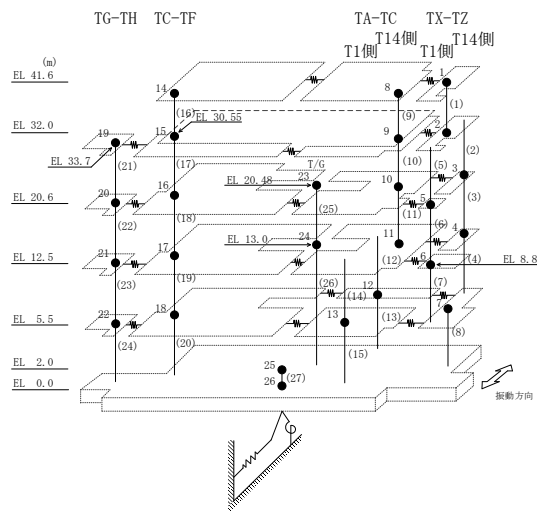


表 2-48(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - N2$ EW, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	19.2 21.1	19.2 21.1	18.8 20.8
	5.5~2.0	13	21.1 22.4	21.1 22.3	20.8 22.0
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.7 22.7	14.6 22.7	14.2 22.3
	5.5~2.0	15	22.7 27.1	22.7 27.1	22.3 26.7
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 8.30	0.00 8.22	0.00 8.24
	30.55~20.6	17	8.30 19.9	8.22 19.7	8.24 19.6
	20.6~12.5	18	19.9 35.0	19.7 35.5	19.6 34.3
	12.5~5.5	19	35.0 53.7	35.5 52.4	34.3 51.8
	5.5~2.0	20	53.7 63.0	52.4 61.2	51.8 61.3
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 3.06	0.00 2.98	0.00 3.02
	20.6~12.5	22	3.06 7.57	2.98 7.24	3.02 7.76
	12.5~5.5	23	7.57 14.0	7.24 13.2	7.76 14.8
	5.5~2.0	24	14.0 17.7	13.2 16.6	14.8 18.8



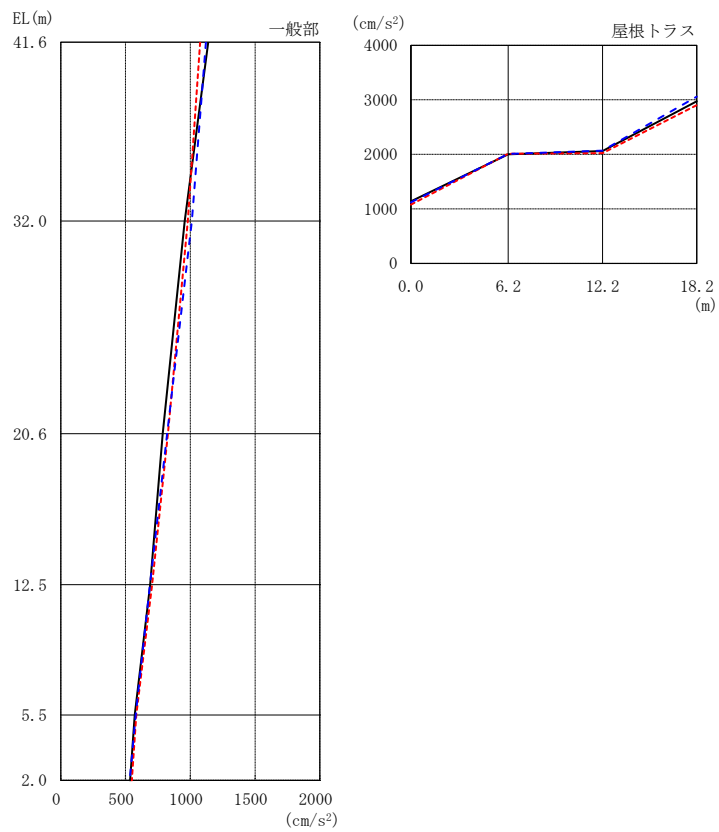
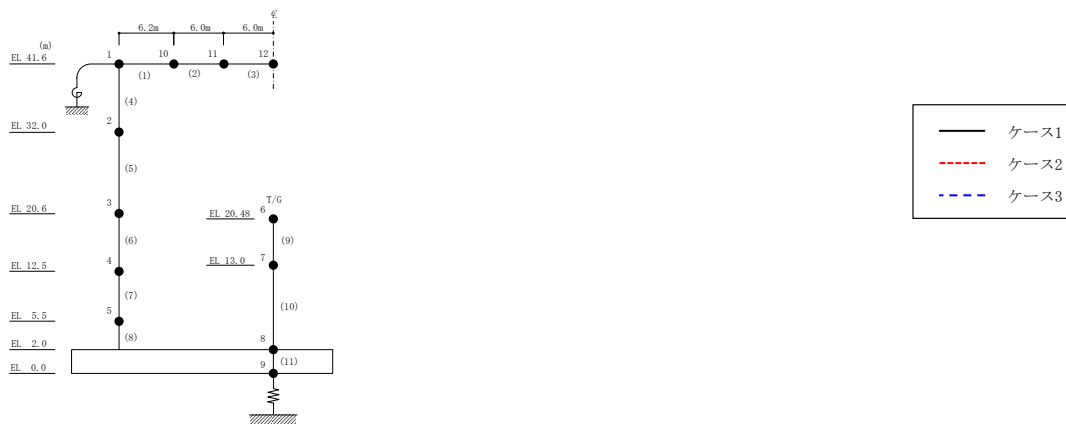
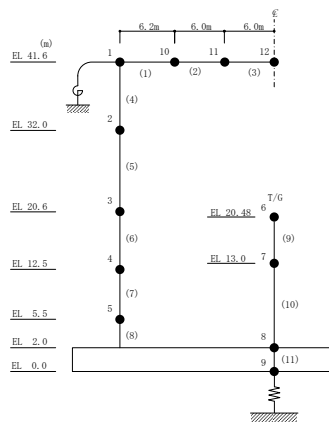


図 2-49 最大応答加速度 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

表 2-49 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	1139	1076	1121
	32.0	2	956	981	1012
	20.6	3	787	828	821
	12.5	4	690	706	689
	5.5	5	571	583	579
	2.0	8	535	549	532
屋根 トラス	0.0	1	1139	1076	1121
	6.2	10	2000	2011	2008
	12.2	11	2060	2021	2068
	18.2	12	2975	2903	3059

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



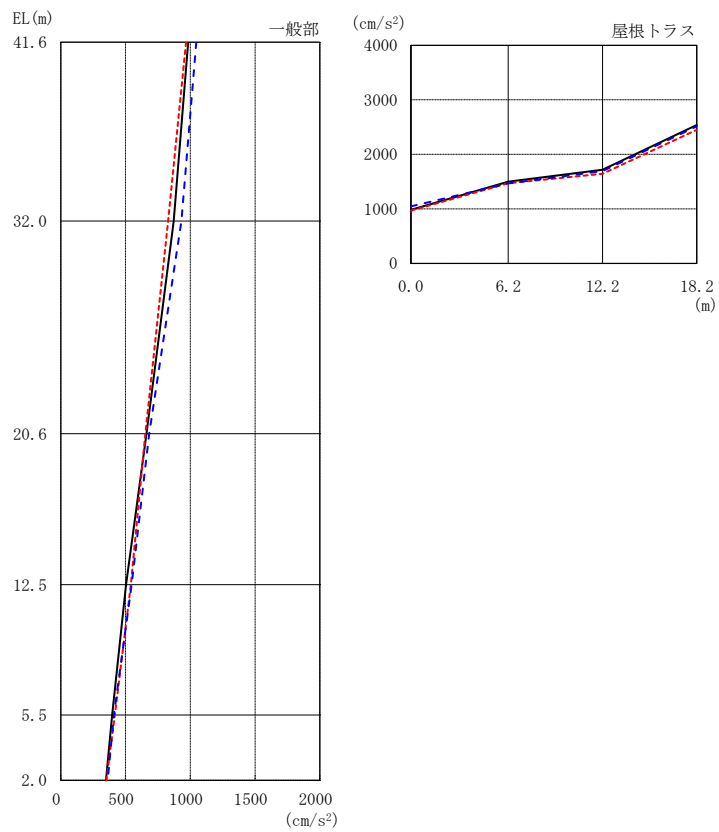
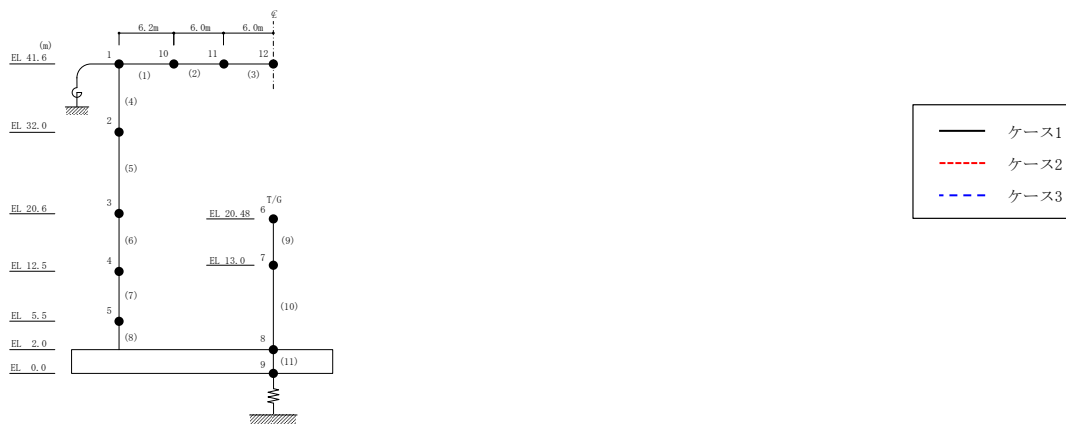
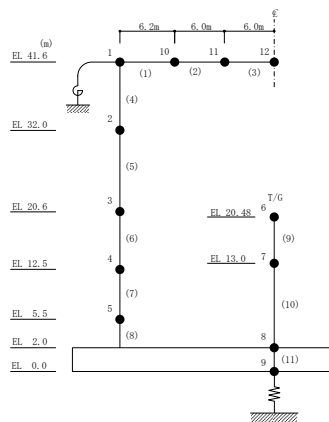


図 2-50 最大応答加速度 (基準地震動 S_s-F 1, 鉛直方向)

表 2-50 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s - F 1，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	983	968	1046
	32.0	2	872	828	931
	20.6	3	661	653	683
	12.5	4	504	541	547
	5.5	5	396	418	410
	2.0	8	349	352	363
屋根 トラス	0.0	1	983	968	1046
	6.2	10	1499	1470	1465
	12.2	11	1716	1643	1693
	18.2	12	2539	2450	2514

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



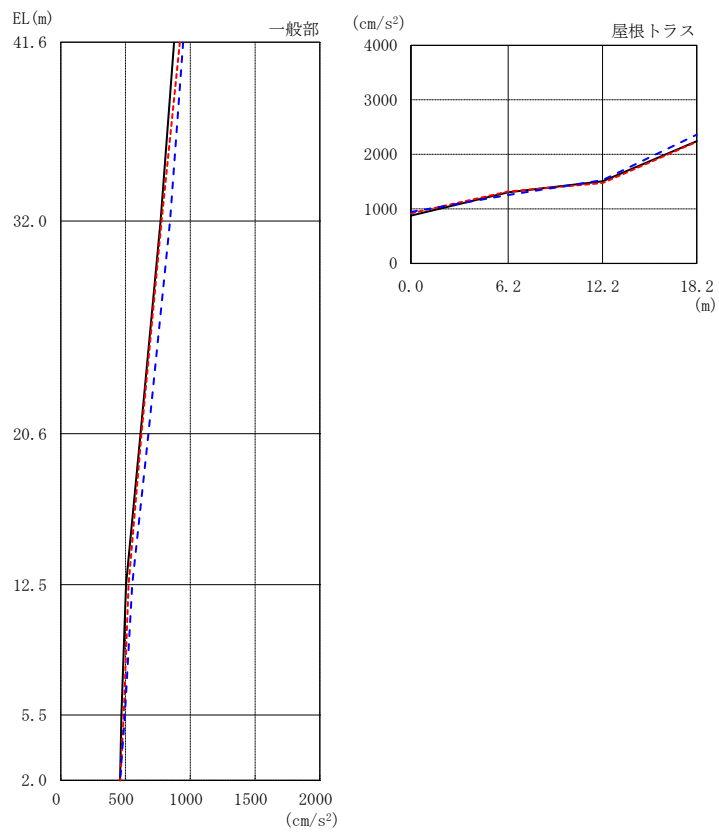
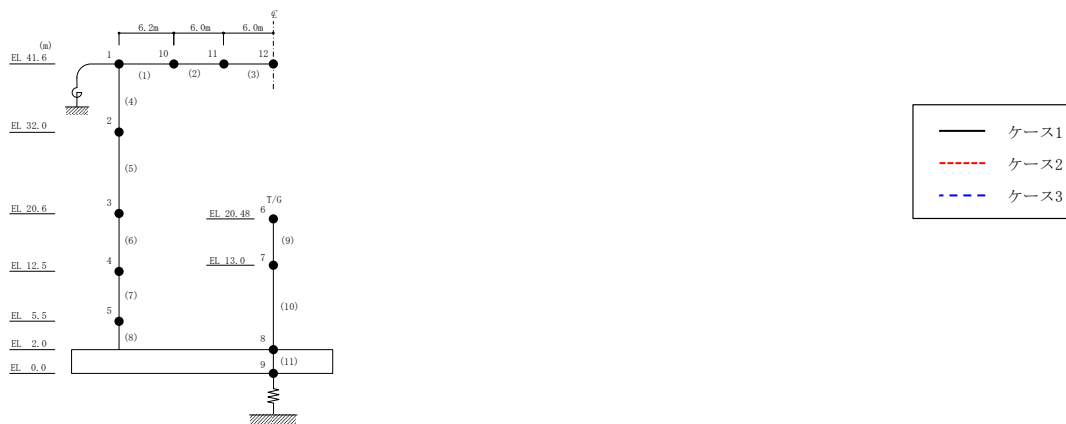
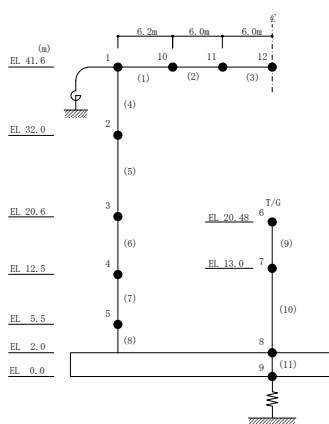


図 2-51 最大応答加速度（基準地震動 $S_s - F2$ ，鉛直方向）

表 2-51 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s - F 2，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	874	920	944
	32.0	2	771	778	844
	20.6	3	615	623	677
	12.5	4	504	523	552
	5.5	5	468	487	495
	2.0	8	458	459	458
屋根 トラス	0.0	1	874	920	944
	6.2	10	1302	1319	1256
	12.2	11	1507	1475	1526
	18.2	12	2242	2231	2361

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



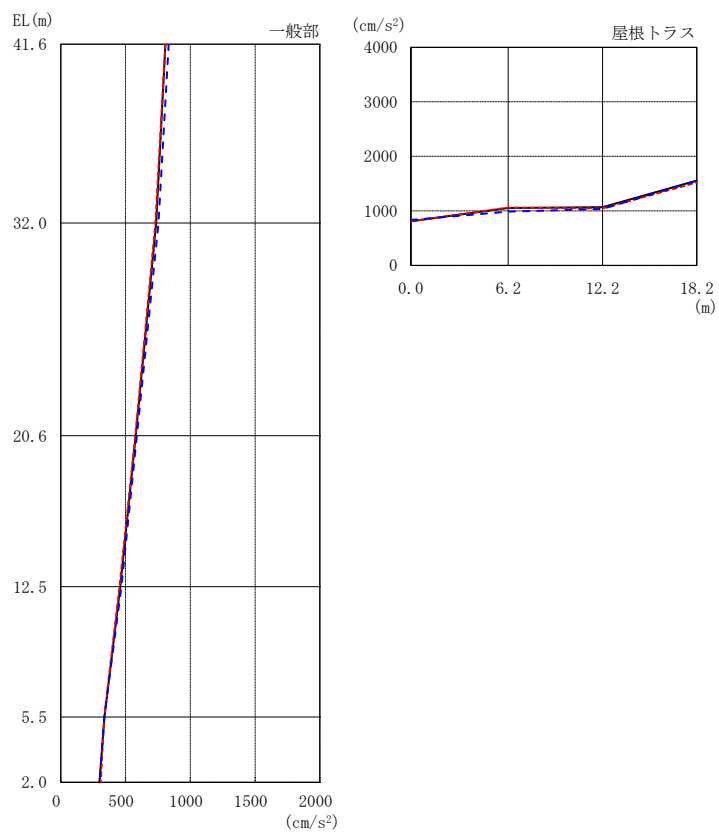
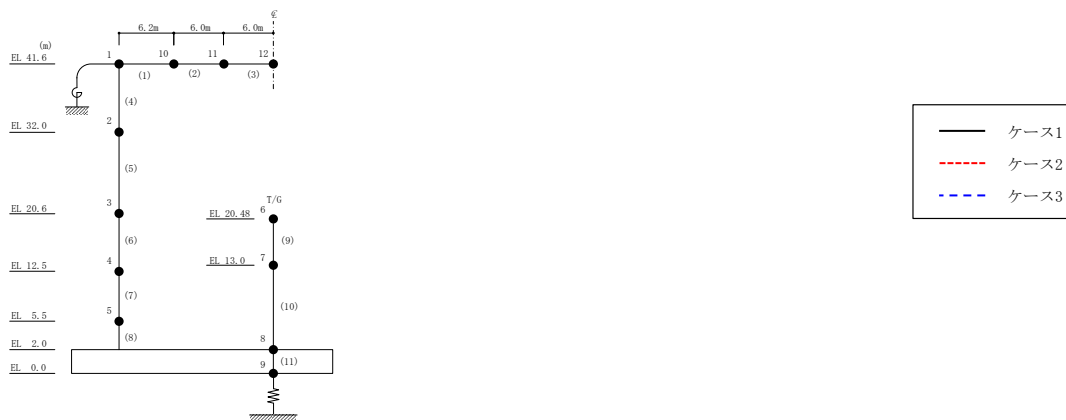
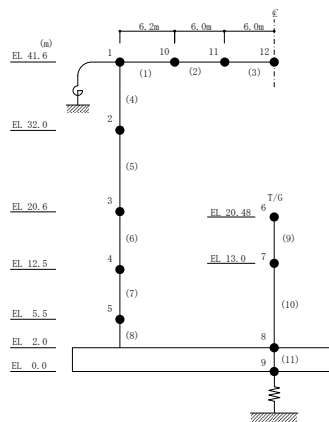


図 2-52 最大応答加速度 (基準地震動 S_s-N 1, 鉛直方向)

表 2-52 最大応答加速度一覧（基準地震動 $S_s - N1$ ，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	808	808	834
	32.0	2	736	730	754
	20.6	3	578	575	587
	12.5	4	459	453	469
	5.5	5	337	336	336
	2.0	8	298	309	300
屋根 トラス	0.0	1	808	808	834
	6.2	10	1054	1059	985
	12.2	11	1066	1044	1035
	18.2	12	1553	1518	1550

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



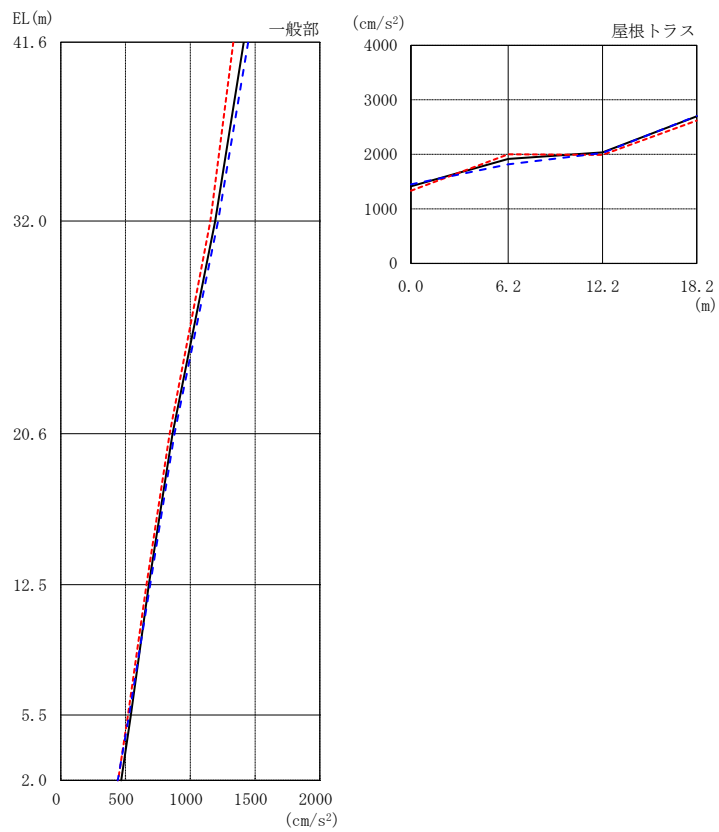
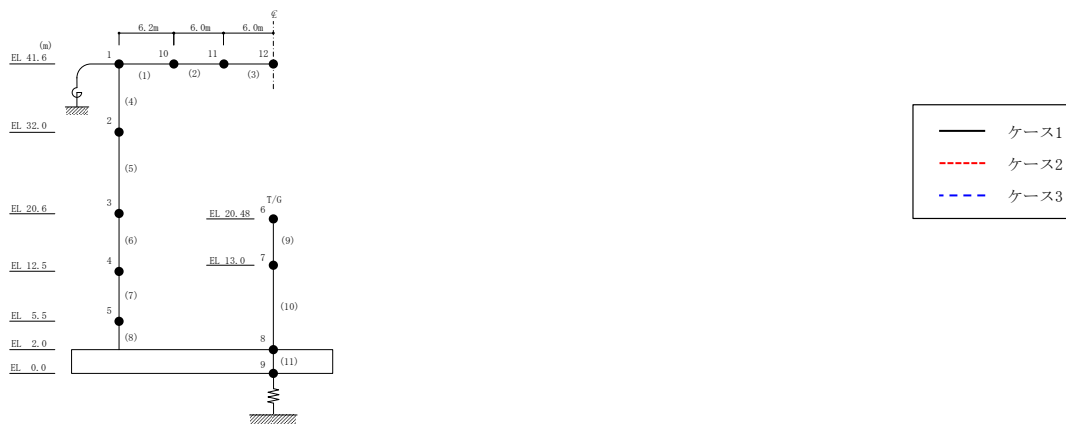
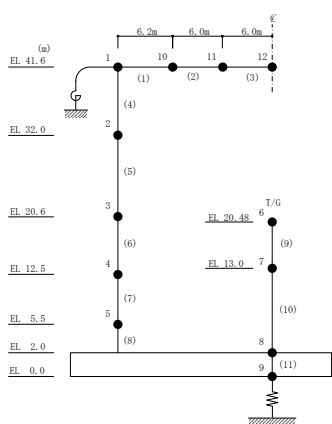


図 2-53 最大応答加速度（基準地震動 $S_s - N2$ ，鉛直方向）

表 2-53 最大応答加速度一覧（基準地震動 $S_s - N2$ ，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	1413	1332	1447
	32.0	2	1193	1155	1215
	20.6	3	863	840	878
	12.5	4	680	662	691
	5.5	5	541	519	527
	2.0	8	467	443	440
屋根 トラス	0.0	1	1413	1332	1447
	6.2	10	1915	2002	1817
	12.2	11	2038	1988	2027
	18.2	12	2697	2618	2705

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



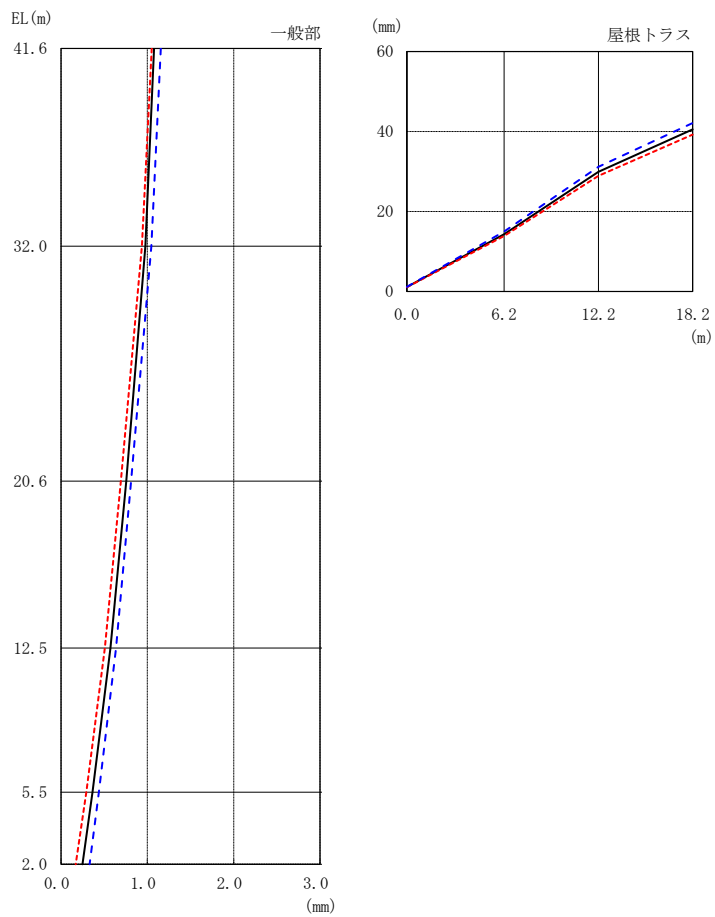
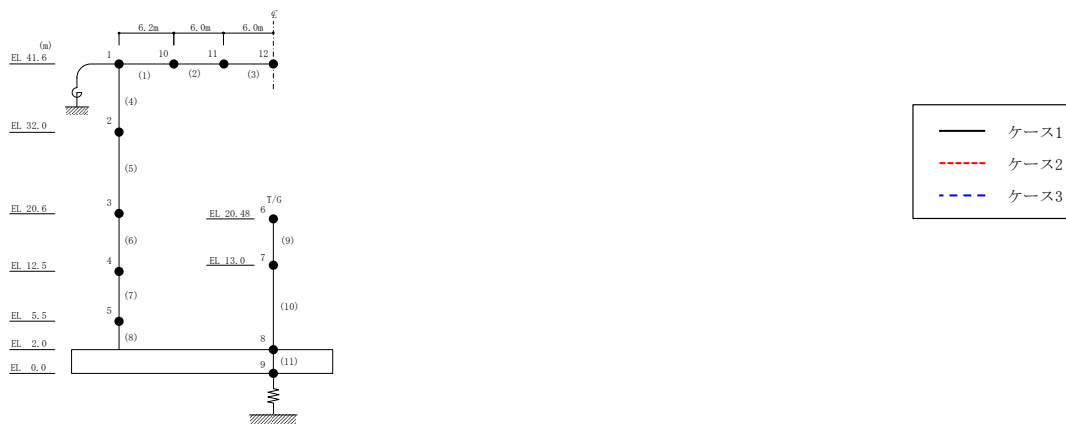
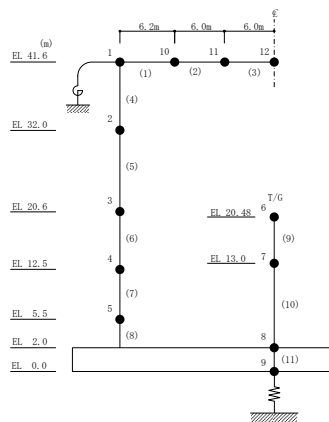


図 2-54 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - D$, 鉛直方向)

表 2-54 最大応答変位一覧（基準地震動 S s - D，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	1.08	1.05	1.16
	32.0	2	0.98	0.94	1.05
	20.6	3	0.76	0.69	0.81
	12.5	4	0.57	0.51	0.64
	5.5	5	0.36	0.29	0.44
	2.0	8	0.25	0.17	0.33
屋根 トラス	0.0	1	1.08	1.05	1.16
	6.2	10	14.30	13.86	15.00
	12.2	11	29.92	28.90	31.17
	18.2	12	40.52	39.23	42.10

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



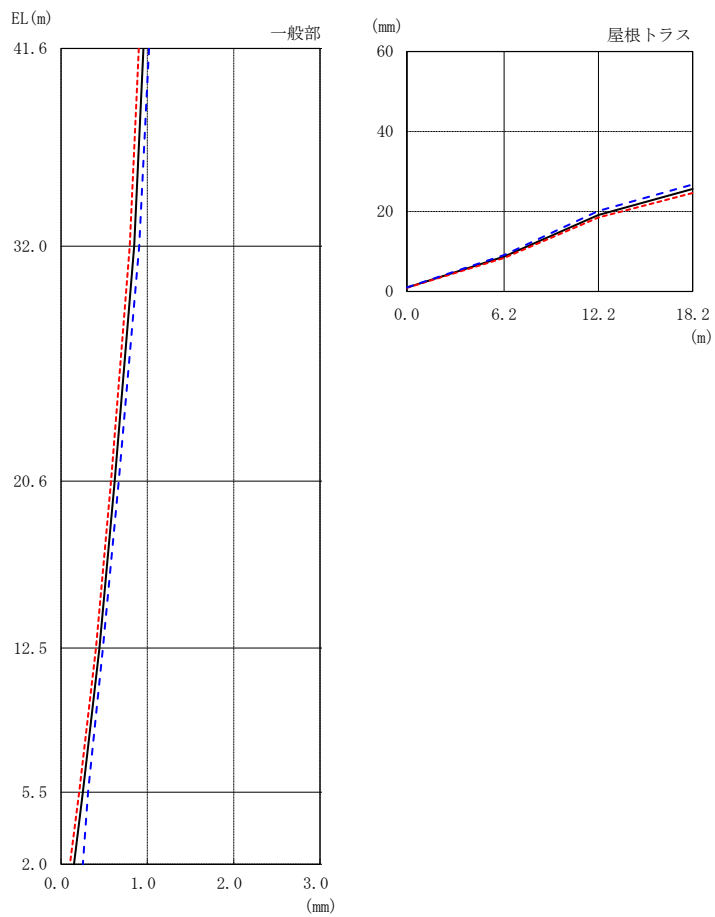
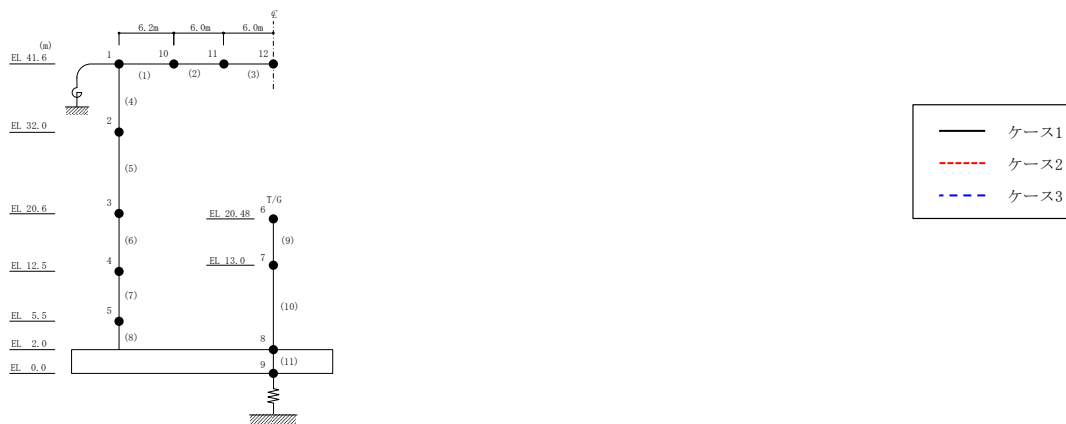
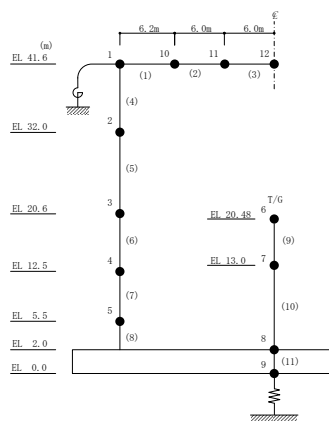


図 2-55 最大応答変位 (基準地震動 S s - F 1, 鉛直方向)

表 2-55 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - F 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	0.96	0.90	1.02
	32.0	2	0.85	0.80	0.91
	20.6	3	0.62	0.58	0.67
	12.5	4	0.44	0.41	0.49
	5.5	5	0.25	0.21	0.31
	2.0	8	0.15	0.10	0.25
屋根 トラス	0.0	1	0.96	0.90	1.02
	6.2	10	8.72	8.37	9.08
	12.2	11	19.12	18.49	20.15
	18.2	12	25.61	24.63	26.74

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



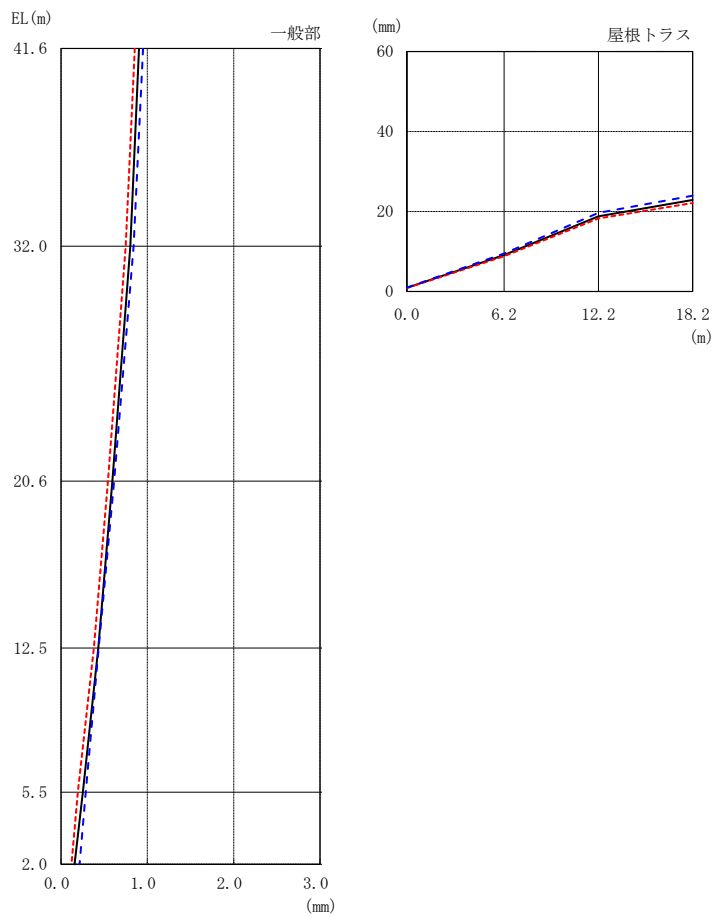
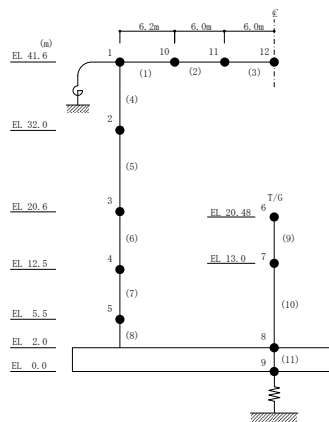


図 2-56 最大応答変位 (基準地震動 S_s-F 2, 鉛直方向)

表 2-56 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - F 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	0.90	0.85	0.95
	32.0	2	0.80	0.75	0.84
	20.6	3	0.59	0.54	0.61
	12.5	4	0.43	0.38	0.44
	5.5	5	0.25	0.20	0.29
	2.0	8	0.16	0.12	0.21
屋根 トラス	0.0	1	0.90	0.85	0.95
	6.2	10	9.10	8.81	9.48
	12.2	11	18.80	18.25	19.65
	18.2	12	22.86	22.10	23.96

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



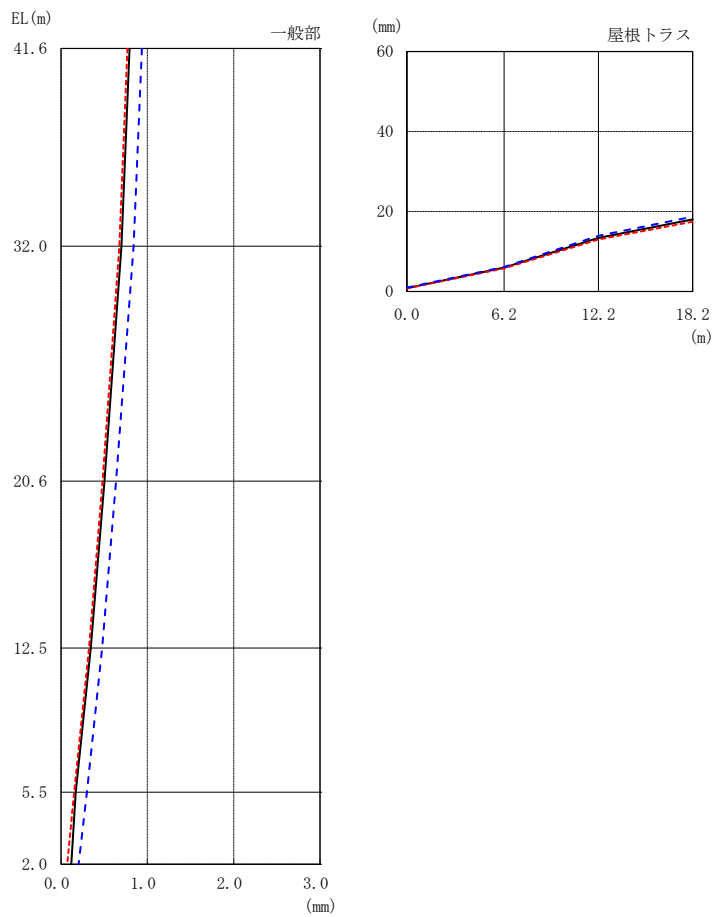
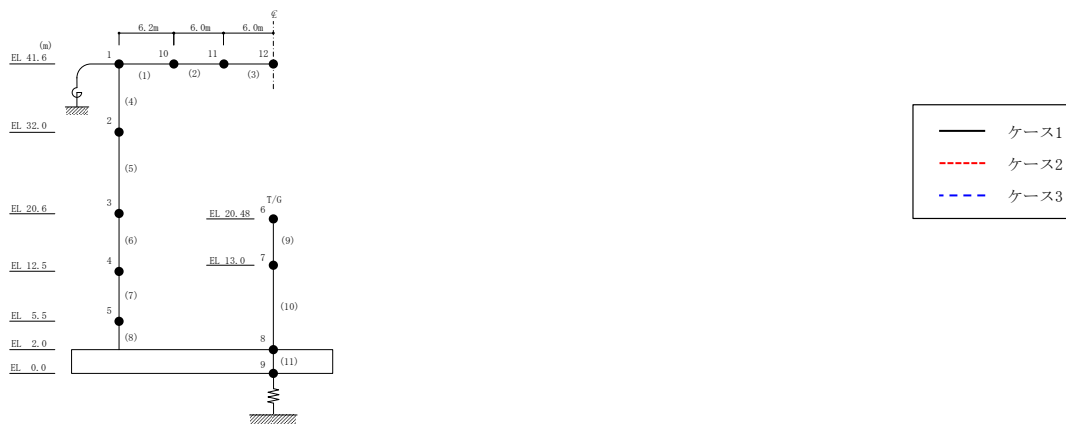
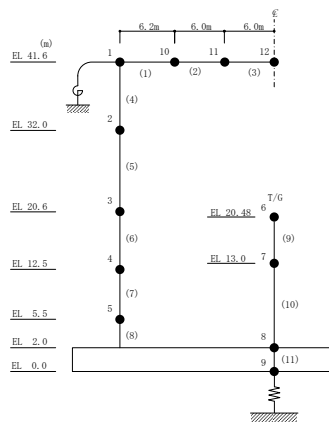


図 2-57 最大応答変位 (基準地震動 S s - N 1, 鉛直方向)

表 2-57 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - N 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	0.79	0.77	0.94
	32.0	2	0.70	0.68	0.84
	20.6	3	0.50	0.48	0.64
	12.5	4	0.35	0.32	0.48
	5.5	5	0.17	0.15	0.30
	2.0	8	0.12	0.07	0.20
屋根 トラス	0.0	1	0.79	0.77	0.94
	6.2	10	5.97	5.75	6.10
	12.2	11	13.37	13.01	13.93
	18.2	12	18.02	17.41	18.67

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



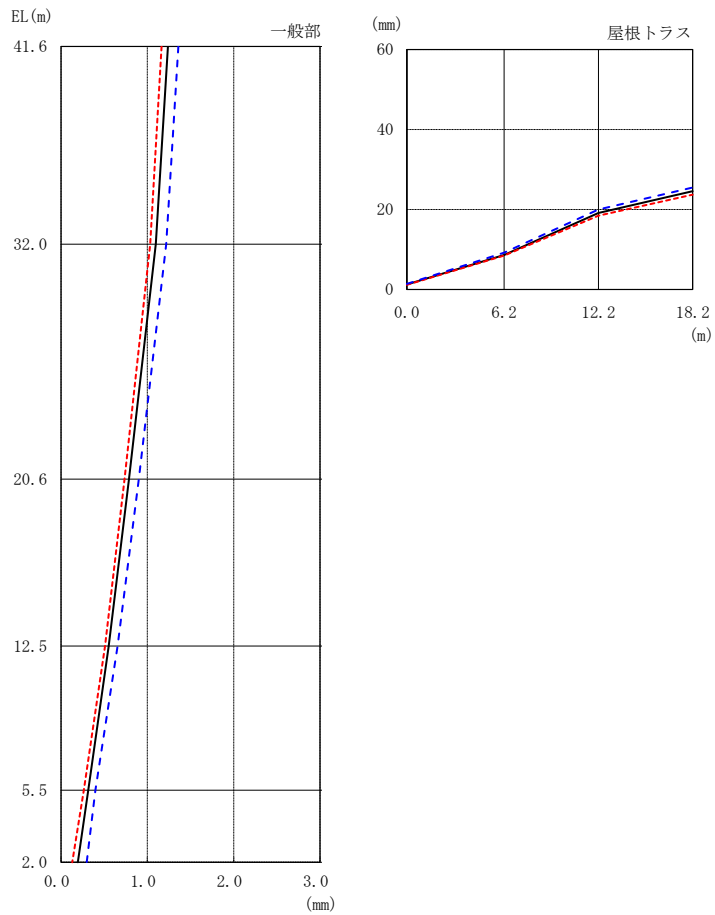
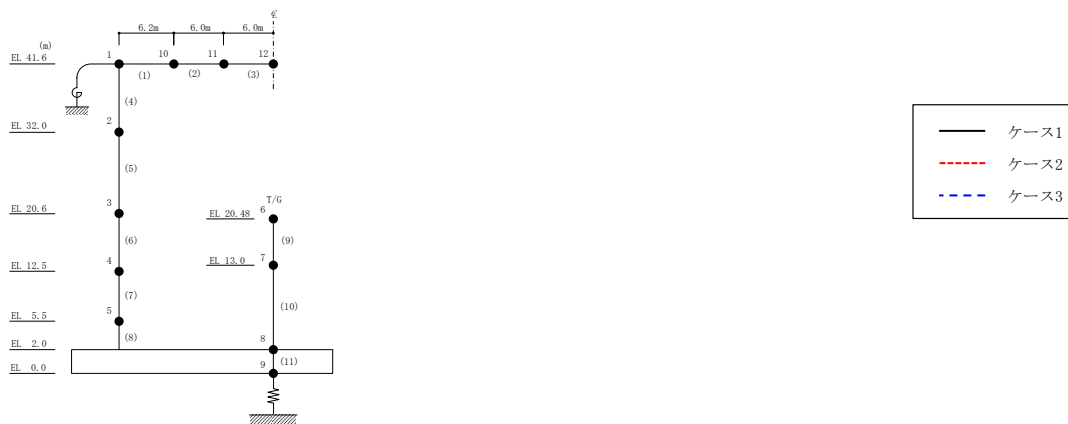
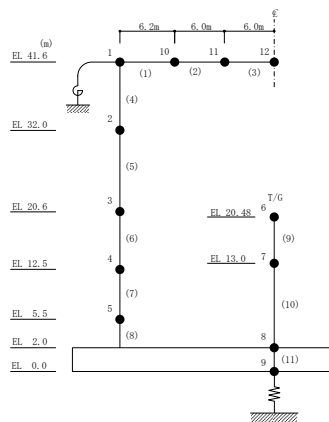


図 2-58 最大応答変位 (基準地震動 S_s-N 2, 鉛直方向)

表 2-58 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - N 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	1.24	1.16	1.36
	32.0	2	1.10	1.03	1.22
	20.6	3	0.79	0.74	0.90
	12.5	4	0.55	0.51	0.66
	5.5	5	0.32	0.26	0.40
	2.0	8	0.19	0.13	0.30
屋根 トラス	0.0	1	1.24	1.16	1.36
	6.2	10	8.63	8.46	9.18
	12.2	11	19.10	18.42	19.96
	18.2	12	24.58	23.72	25.46

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



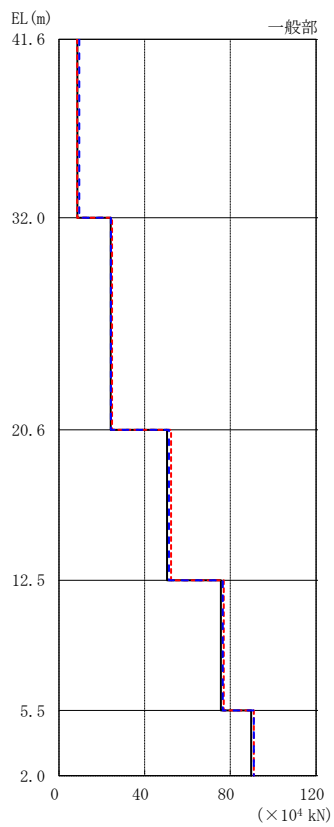
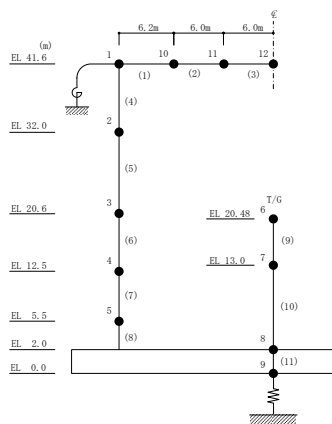
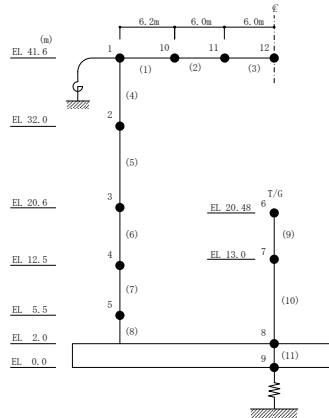


図 2-59 最大応答軸力（基準地震動 $S_s - D$ ，鉛直方向）

表 2-59 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力(×10 ⁴ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	8.65	8.54	9.48
	32.0~20.6	5	24.2	24.8	24.2
	20.6~12.5	6	50.5	52.3	51.3
	12.5~5.5	7	75.6	77.0	76.5
	5.5~2.0	8	89.7	91.0	90.9



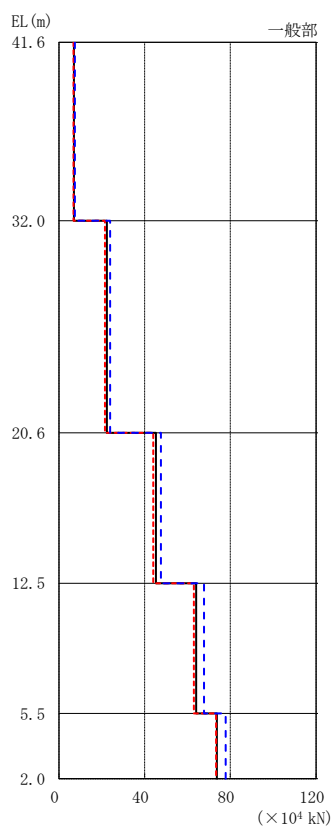
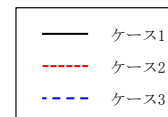
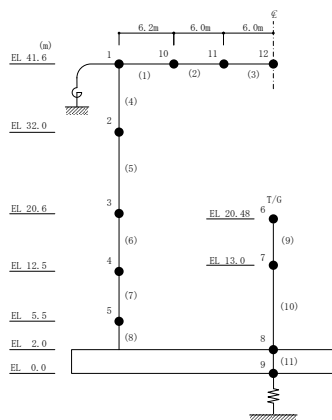
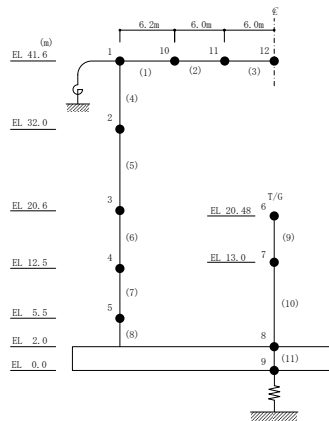


図 2-60 最大応答軸力 (基準地震動 S_s-F 1, 鉛直方向)

表 2-60 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - F 1, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	7.03	6.86	7.45
	32.0~20.6	5	22.4	21.5	23.9
	20.6~12.5	6	45.3	44.1	47.6
	12.5~5.5	7	64.1	63.0	67.7
	5.5~2.0	8	73.7	73.4	77.9



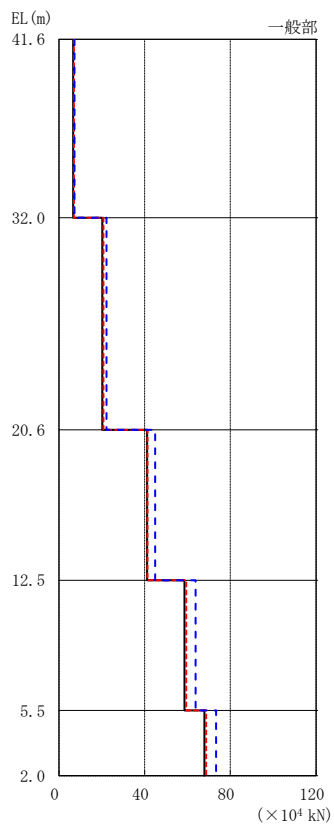
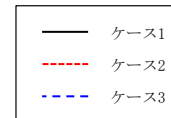
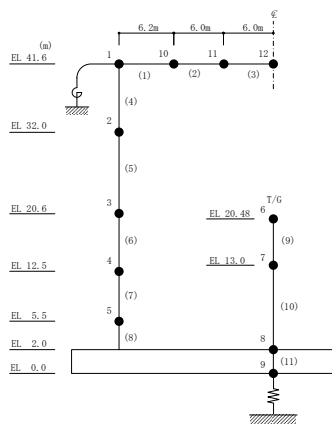
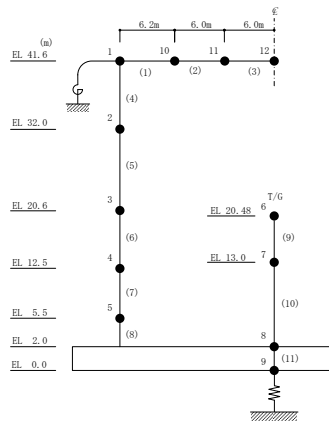


図 2-61 最大応答軸力 (基準地震動 S_s-F 2, 鉛直方向)

表 2-61 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - F 2, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	6.68	7.00	7.25
	32.0~20.6	5	20.3	20.8	22.2
	20.6~12.5	6	41.1	41.4	44.9
	12.5~5.5	7	58.6	59.4	63.8
	5.5~2.0	8	67.9	68.7	73.3



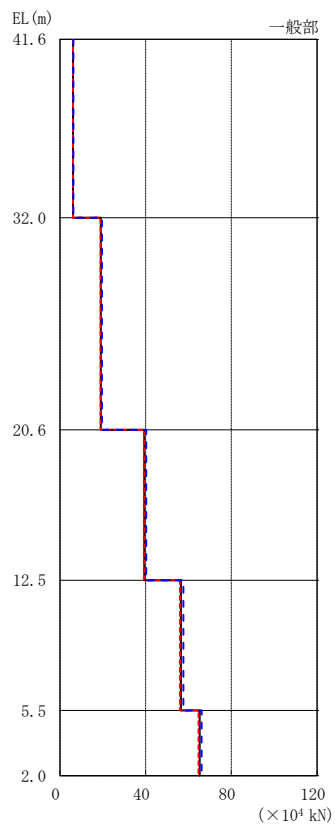
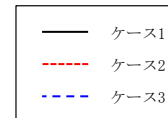
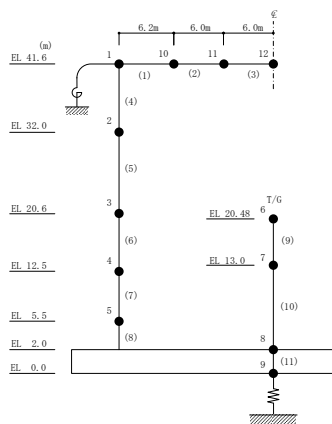
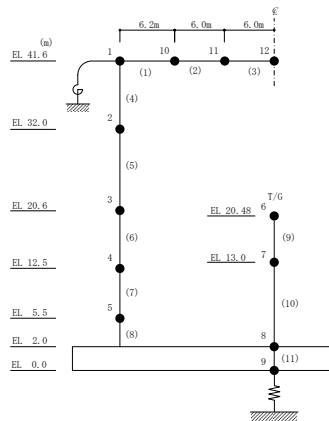


図 2-62 最大応答軸力 (基準地震動 S_s-N 1, 鉛直方向)

表 2-62 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - N 1, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	6.07	6.07	6.25
	32.0~20.6	5	19.1	19.0	19.6
	20.6~12.5	6	39.4	39.2	40.2
	12.5~5.5	7	56.5	56.0	57.6
	5.5~2.0	8	65.2	64.6	66.1



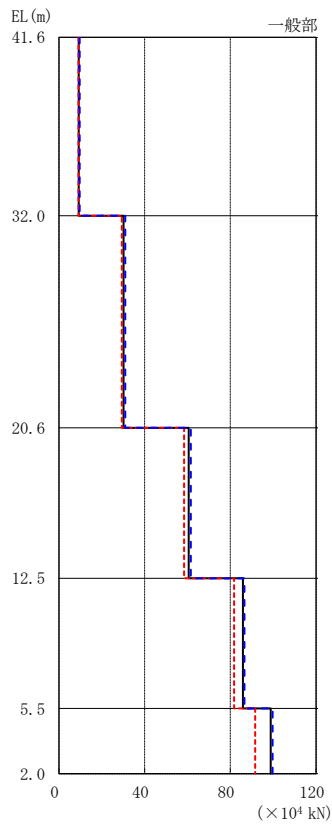
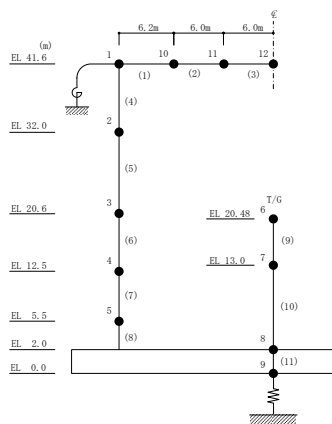
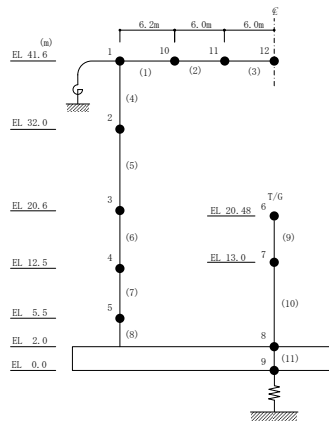


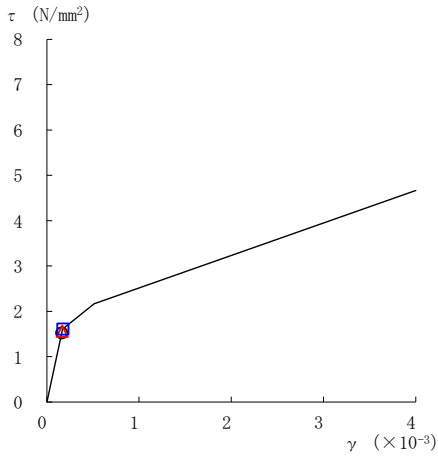
図 2-63 最大応答軸力 (基準地震動 S_s-N 2, 鉛直方向)

表 2-63 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - N 2, 鉛直方向)

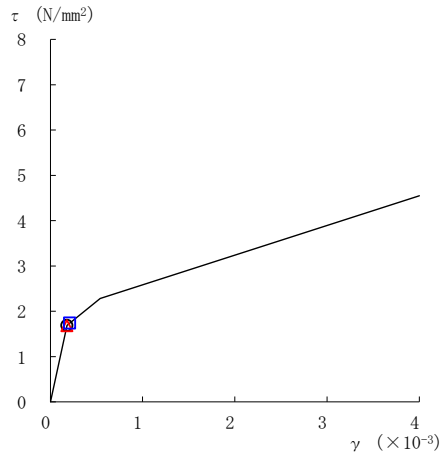
部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	9.22	9.17	9.68
	32.0~20.6	5	30.2	29.3	31.0
	20.6~12.5	6	60.6	58.4	61.5
	12.5~5.5	7	85.8	81.8	86.6
	5.5~2.0	8	98.8	91.6	99.7



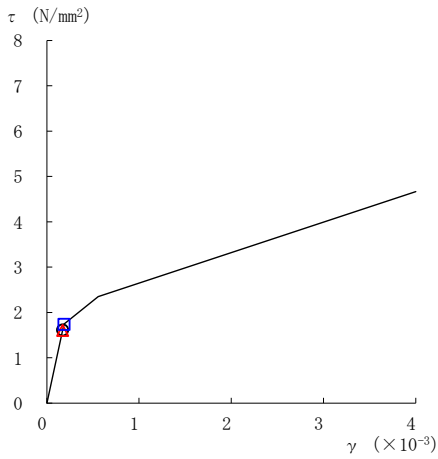
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



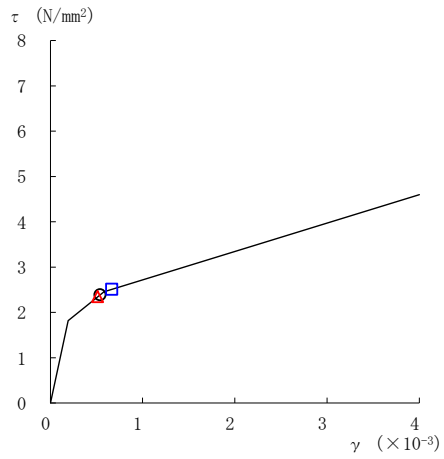
要素番号 (1)



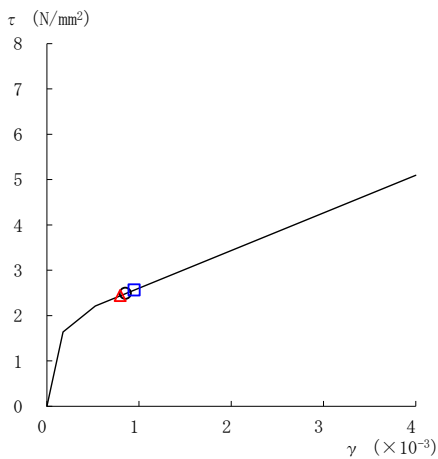
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

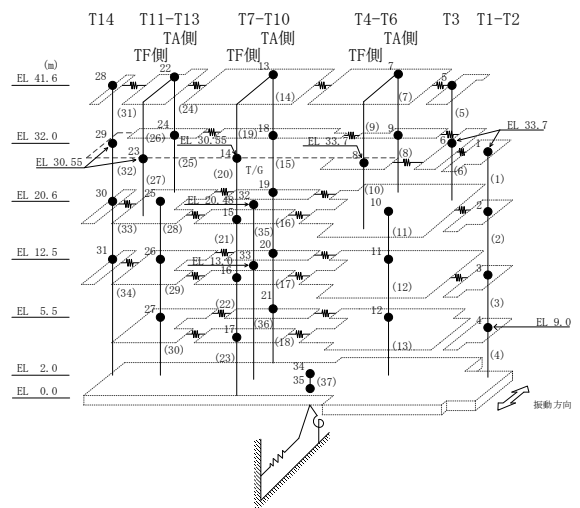
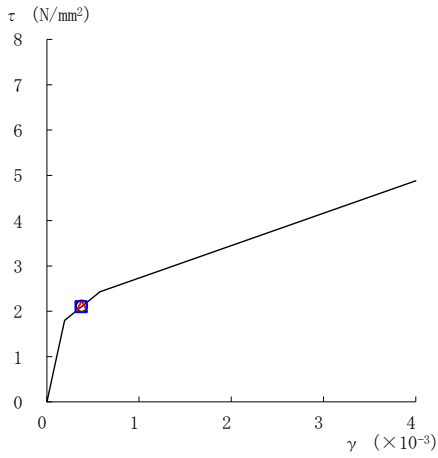
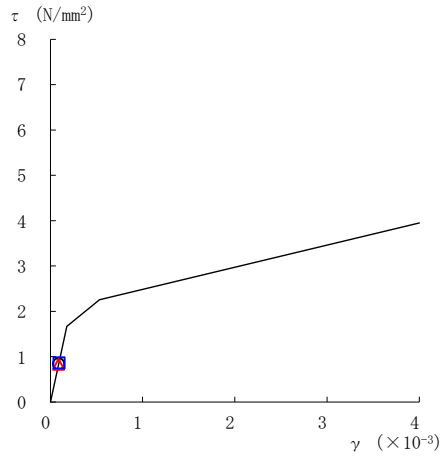


図 2-64(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

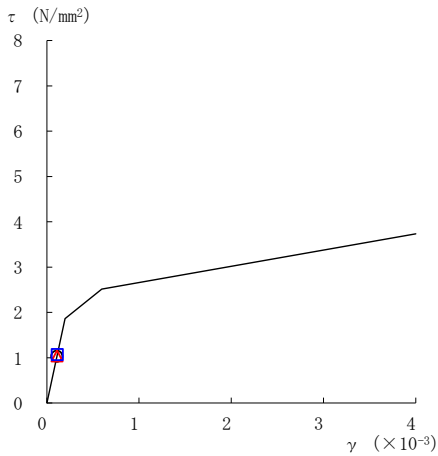
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



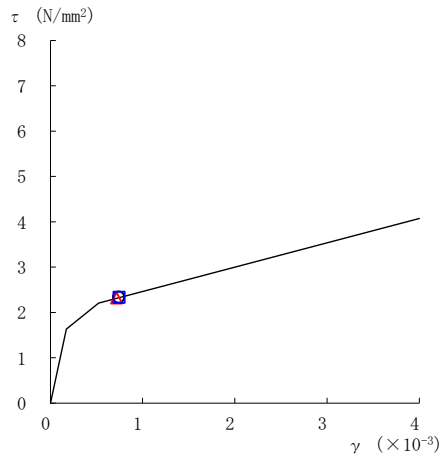
要素番号 (6)



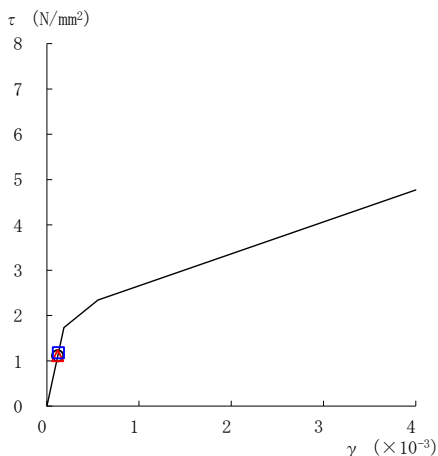
要素番号 (7)



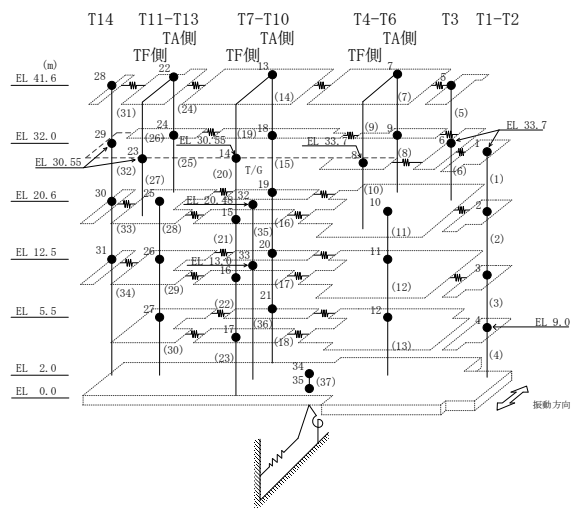
要素番号 (8)



要素番号 (10)



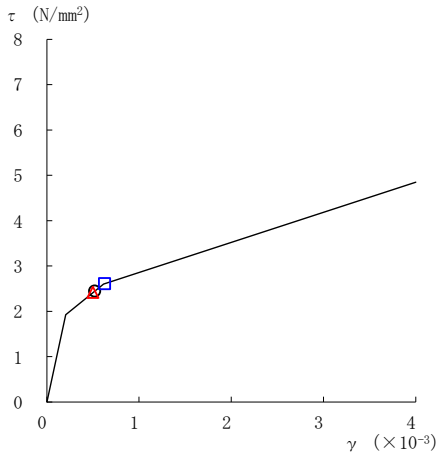
要素番号 (11)



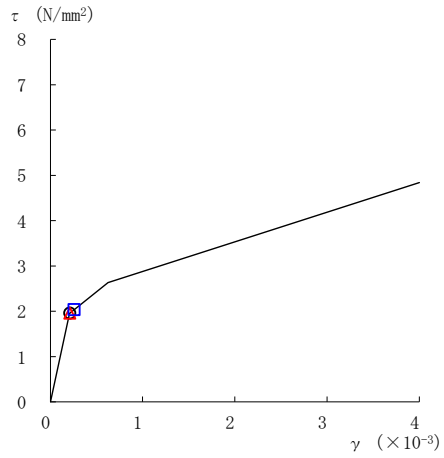
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-64(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

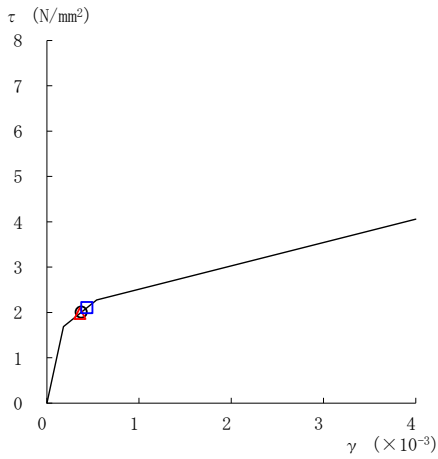
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



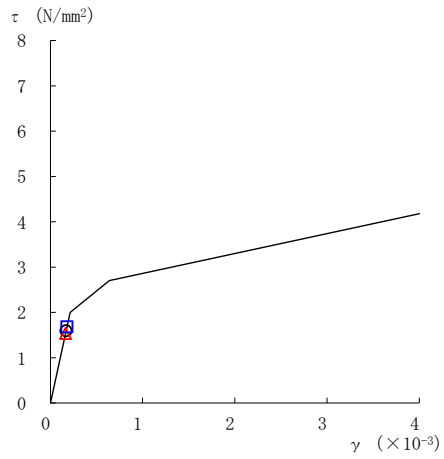
要素番号 (12)



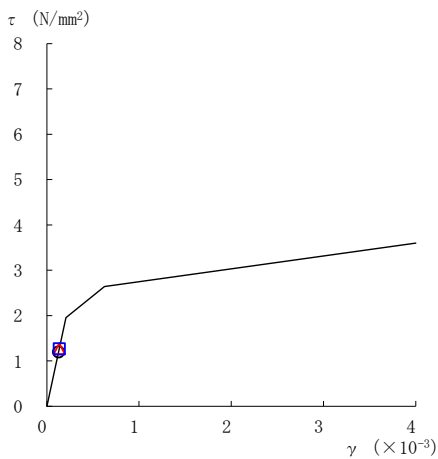
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

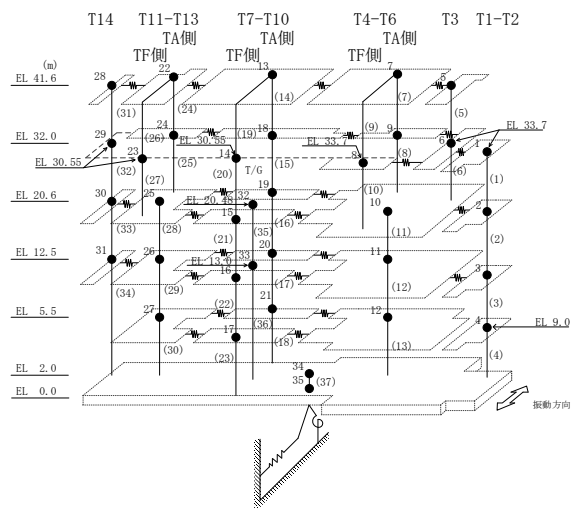
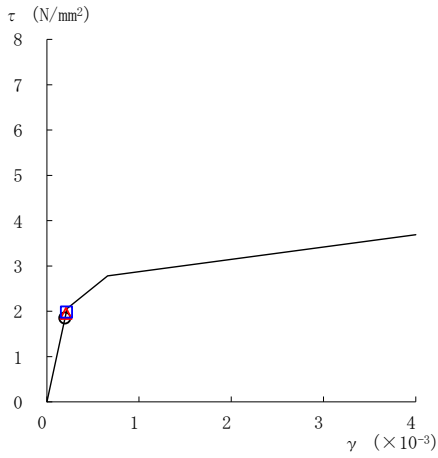
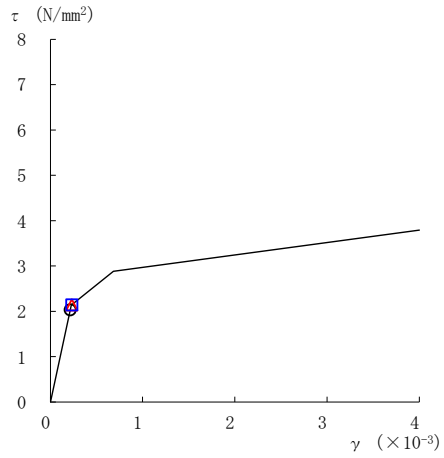


図 2-64(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

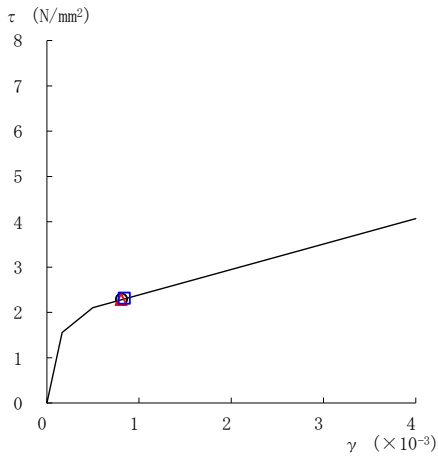
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



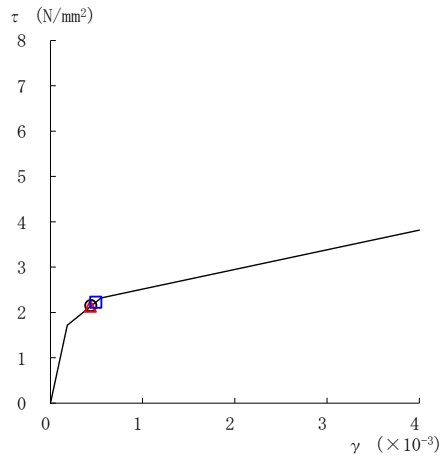
要素番号 (17)



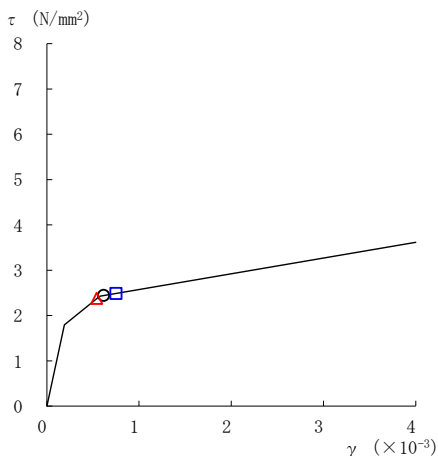
要素番号 (18)



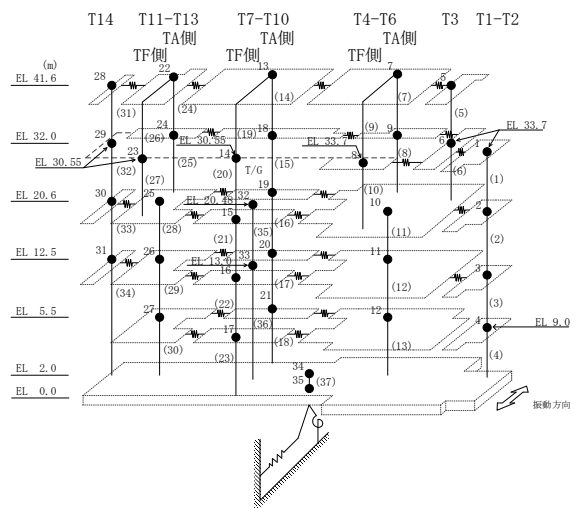
要素番号 (21)



要素番号 (22)



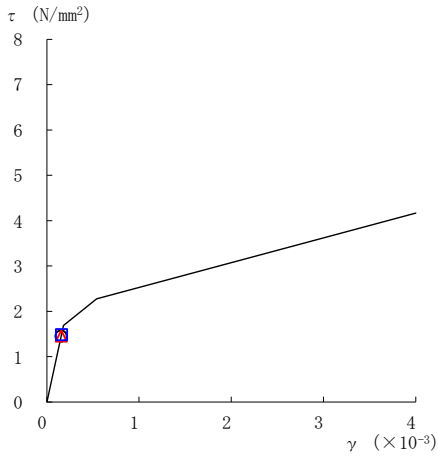
要素番号 (23)



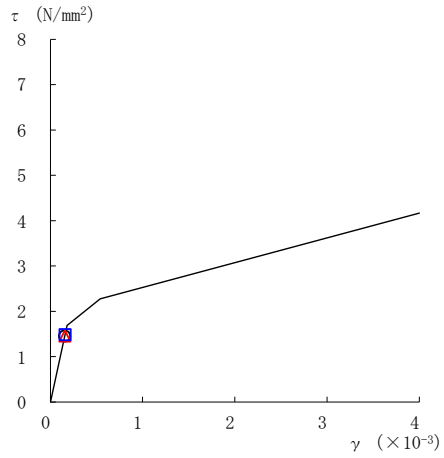
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-64(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

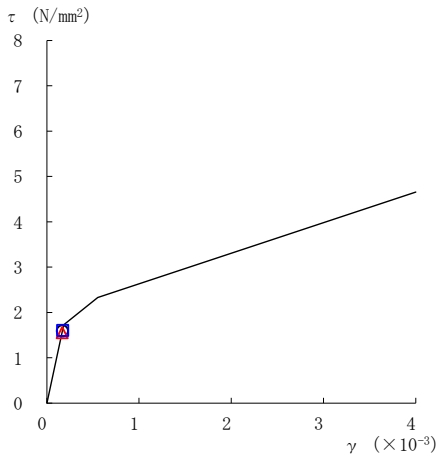
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



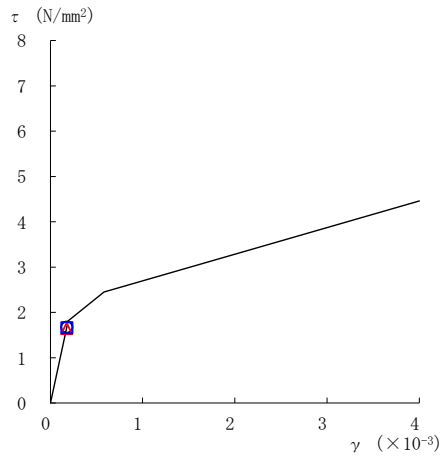
要素番号 (24)



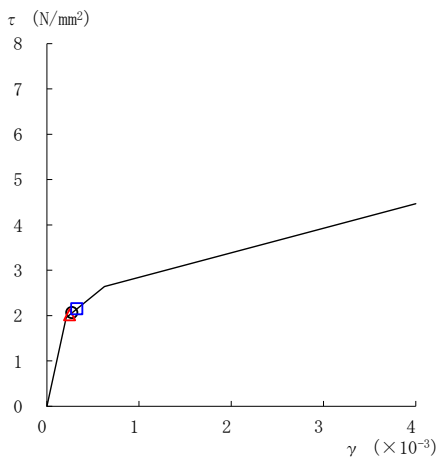
要素番号 (25)



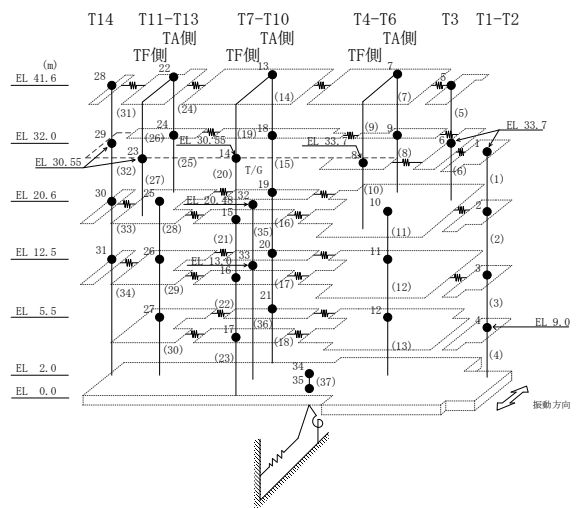
要素番号 (28)



要素番号 (29)



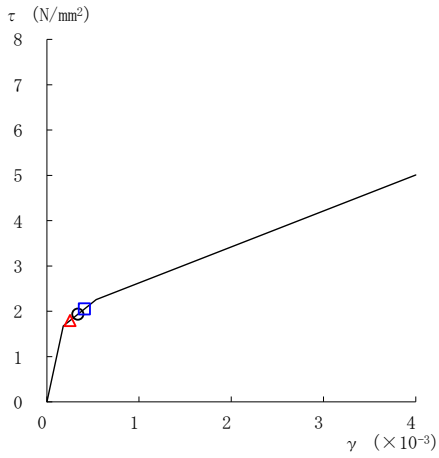
要素番号 (30)



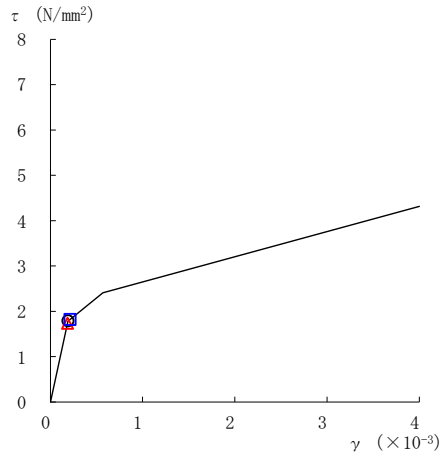
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-64(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

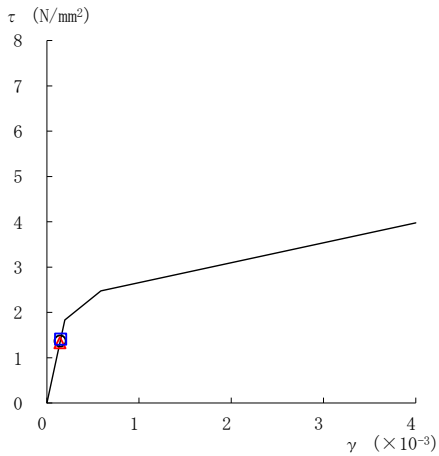
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



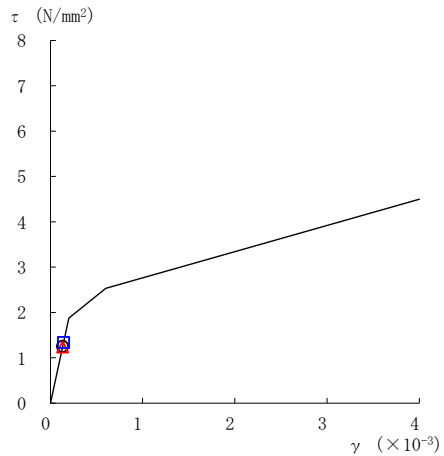
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

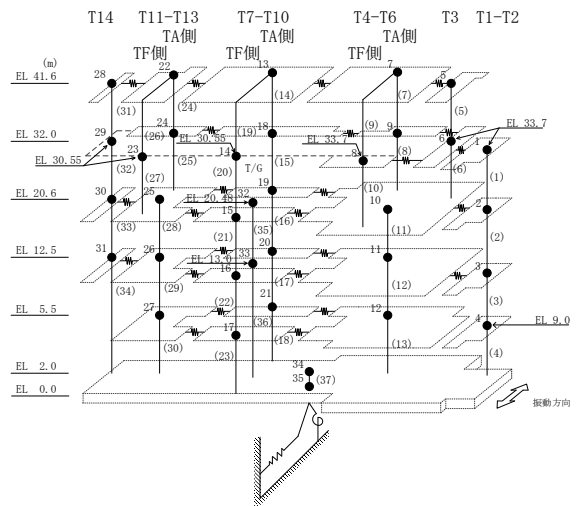
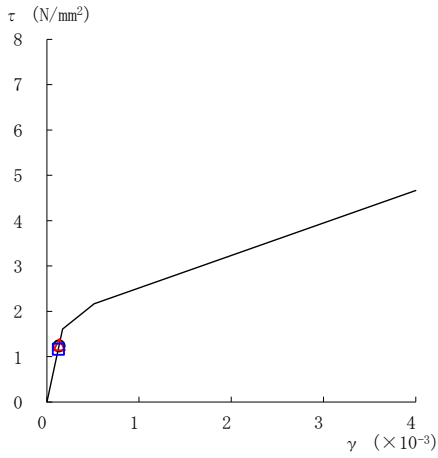
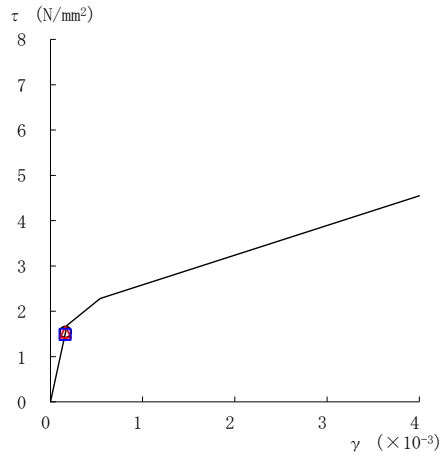


図 2-64(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

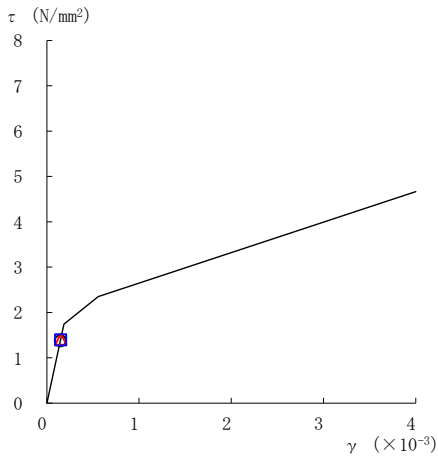
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



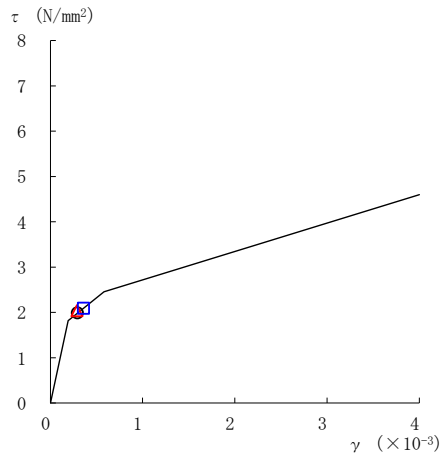
要素番号 (1)



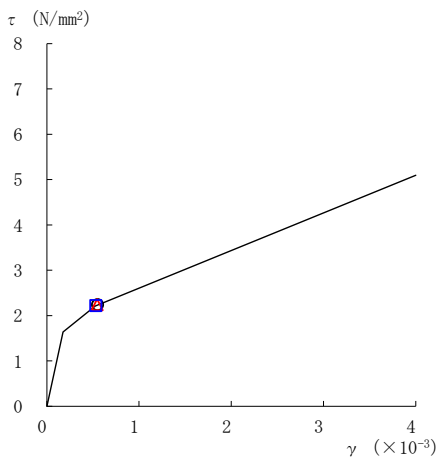
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

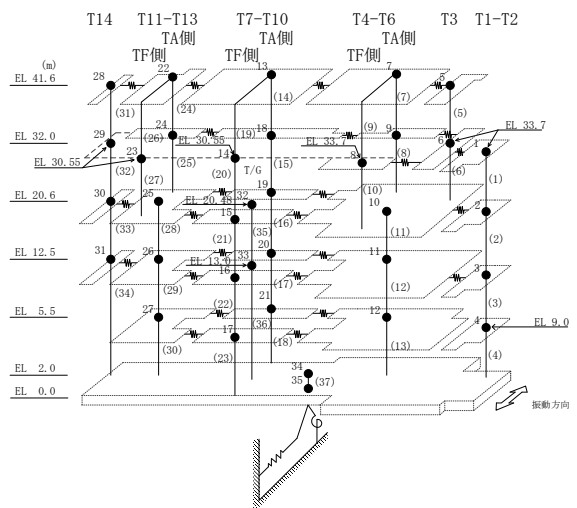
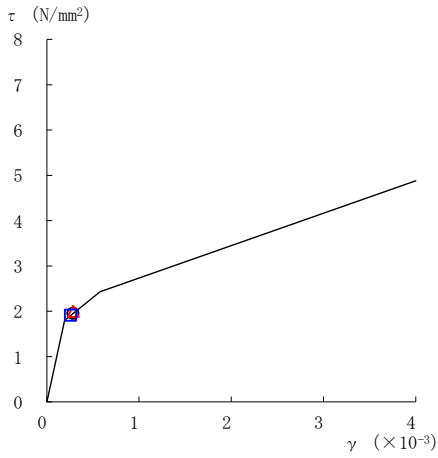
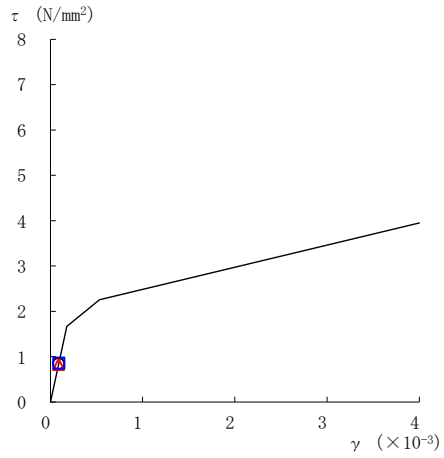


図 2-65(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

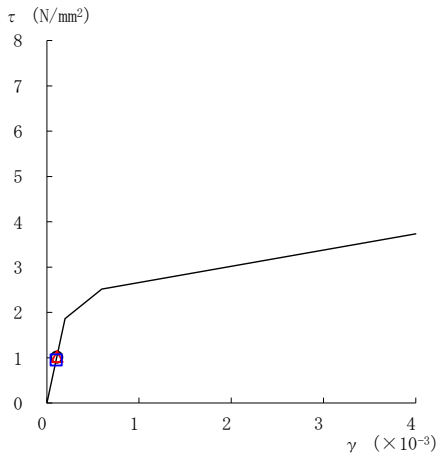
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



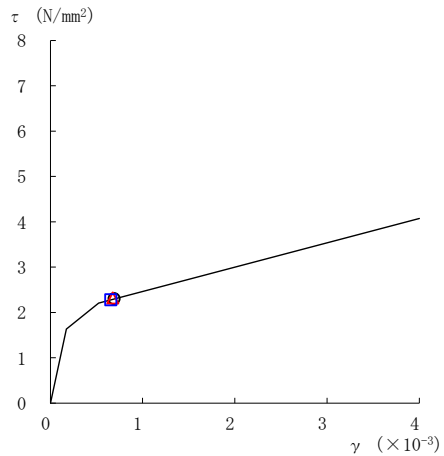
要素番号 (6)



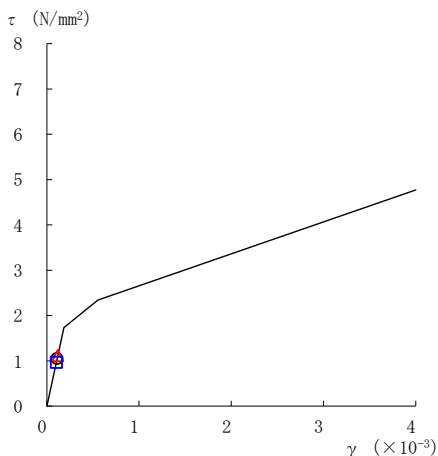
要素番号 (7)



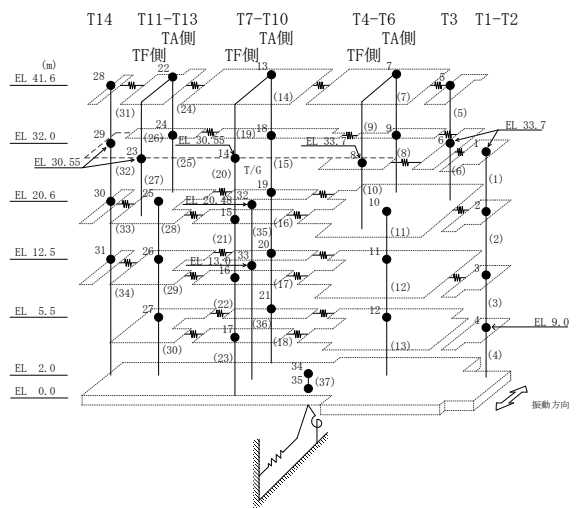
要素番号 (8)



要素番号 (10)



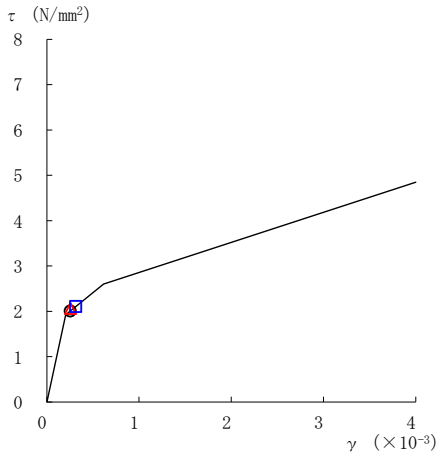
要素番号 (11)



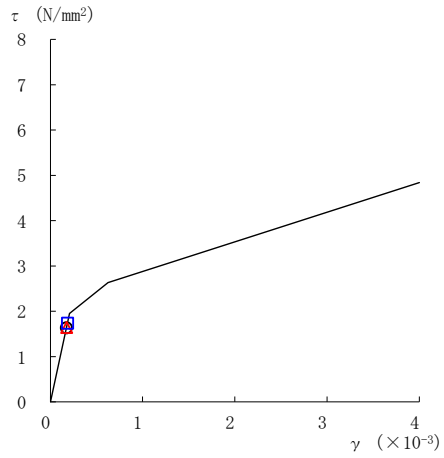
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-65(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

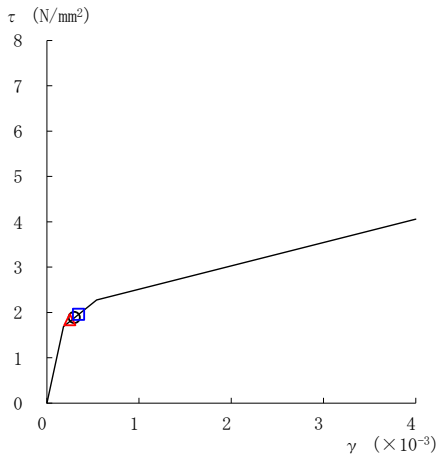
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



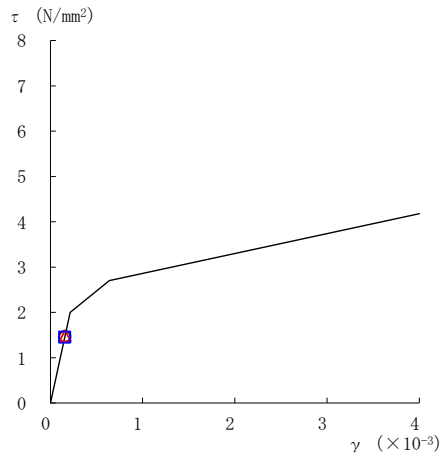
要素番号 (12)



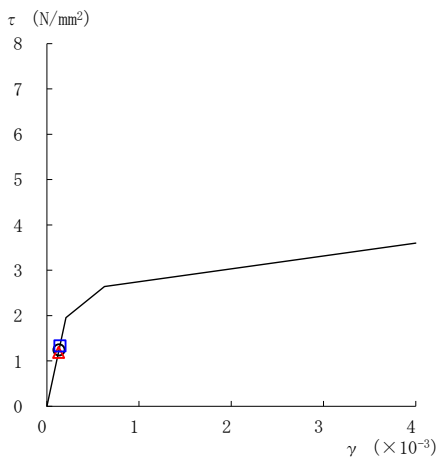
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

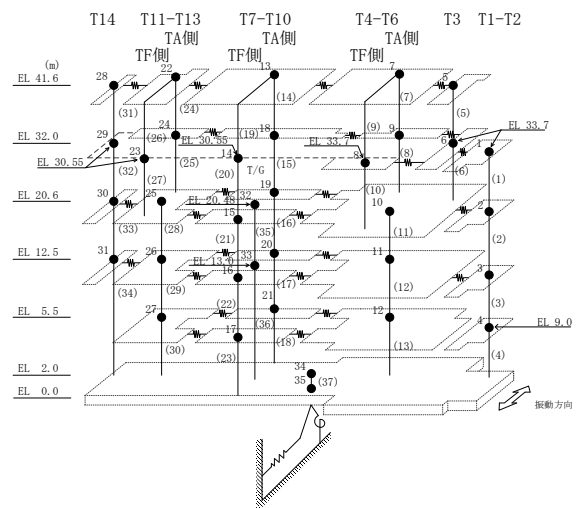
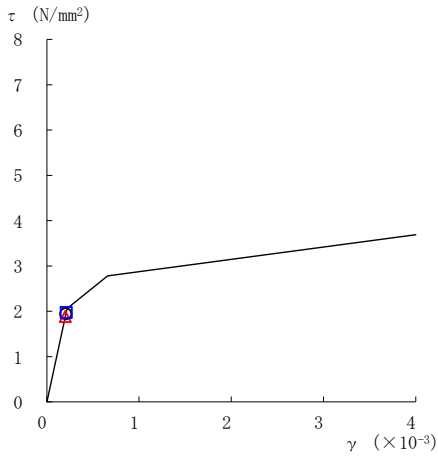
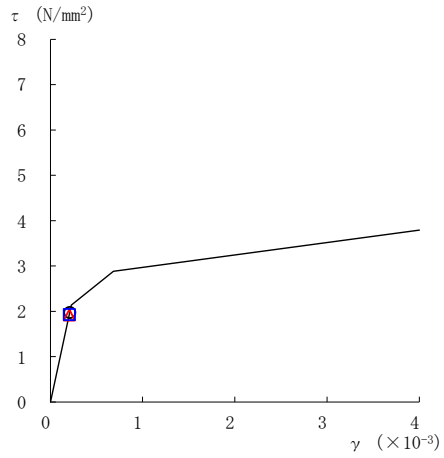


図 2-65(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

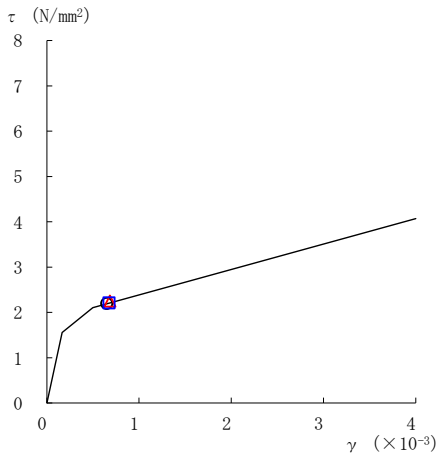
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



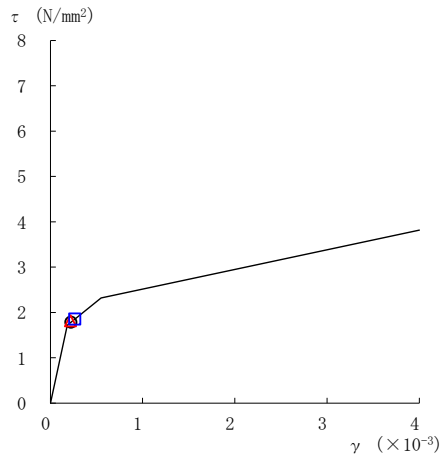
要素番号 (17)



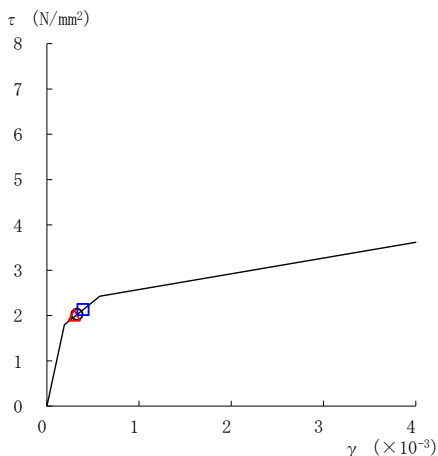
要素番号 (18)



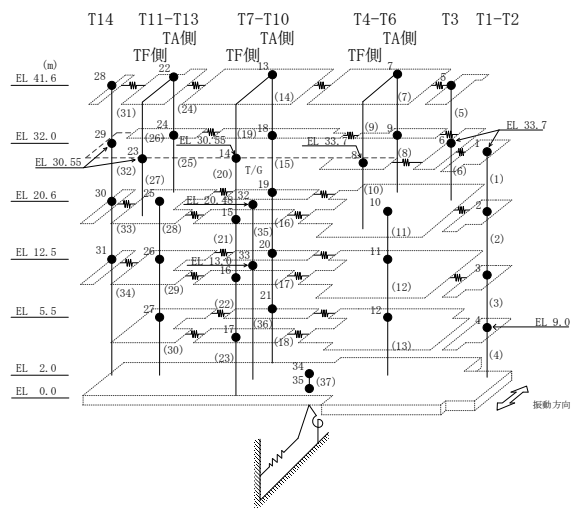
要素番号 (21)



要素番号 (22)



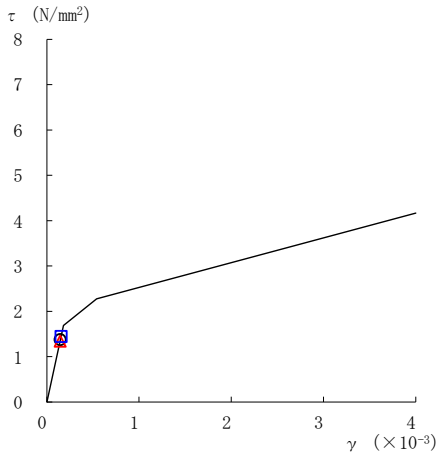
要素番号 (23)



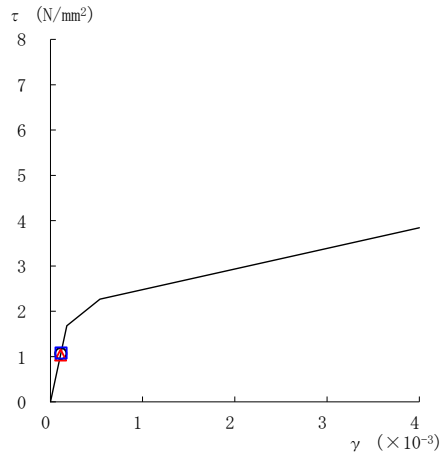
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-65(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

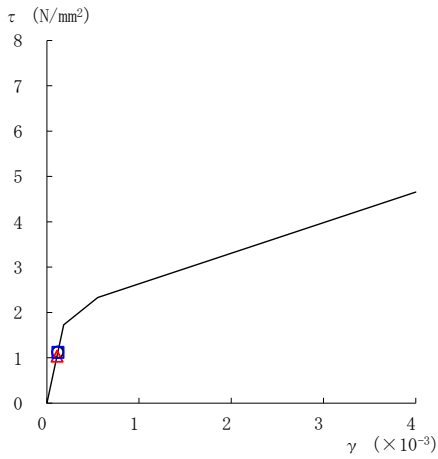
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



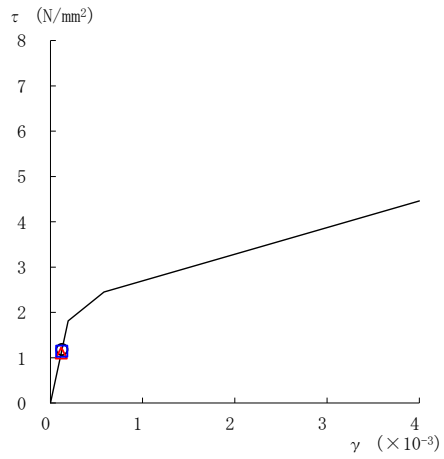
要素番号 (24)



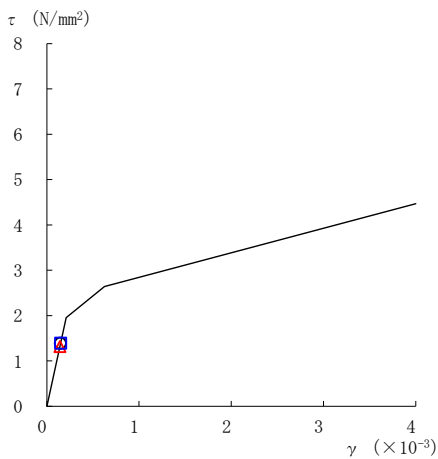
要素番号 (25)



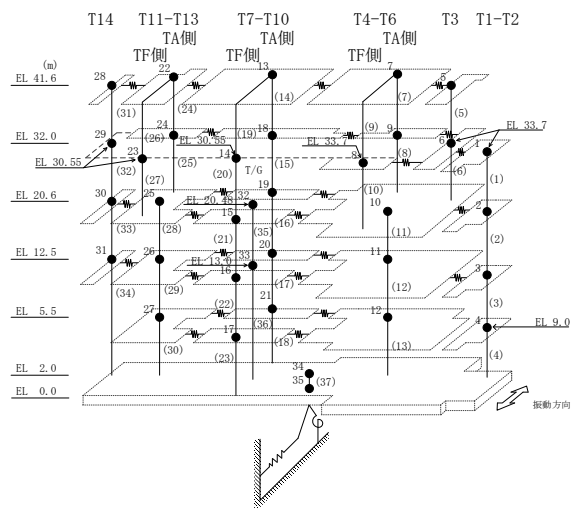
要素番号 (28)



要素番号 (29)



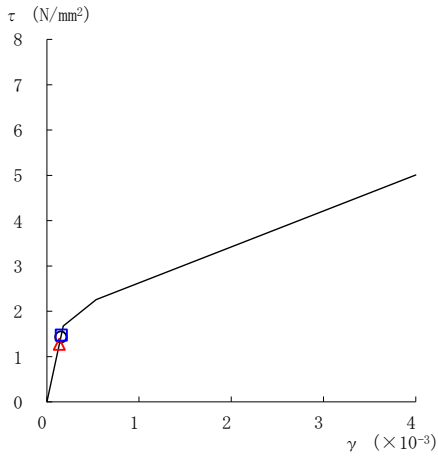
要素番号 (30)



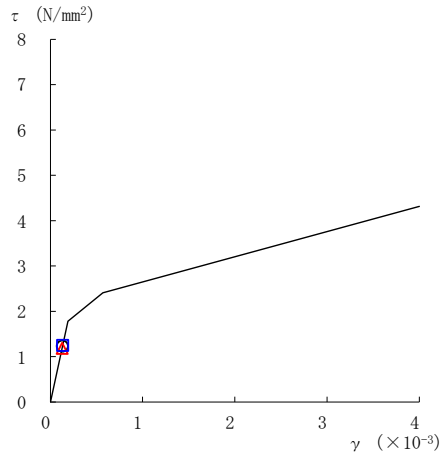
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-65 (5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

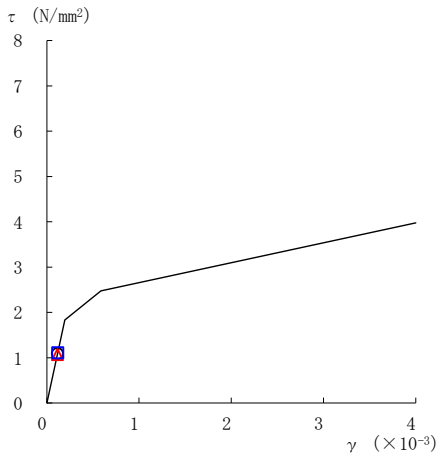
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



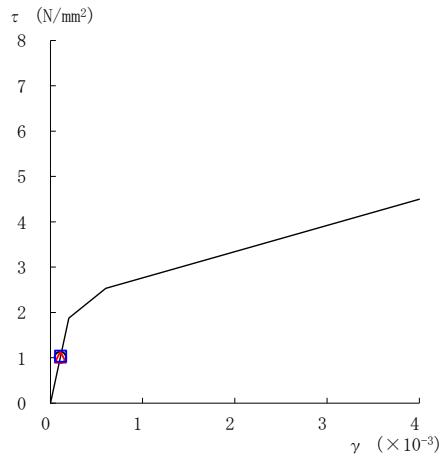
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

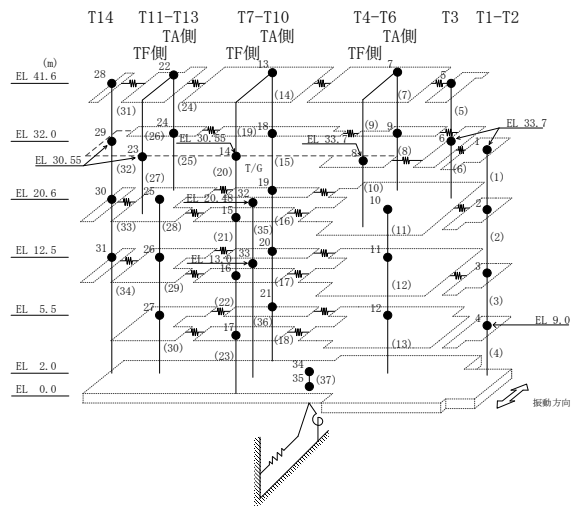
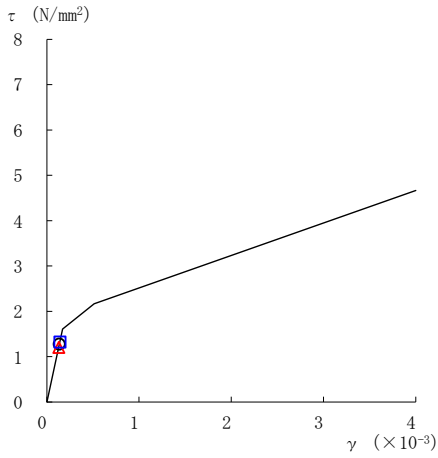
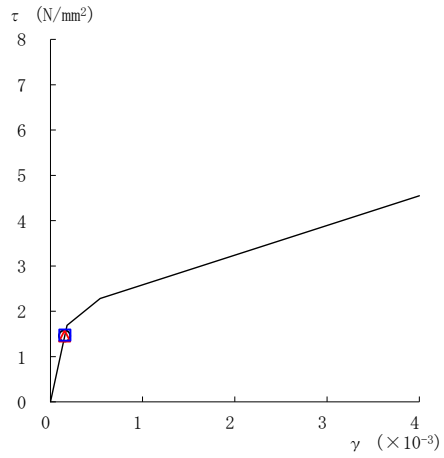


図 2-65(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 1, NS 方向)

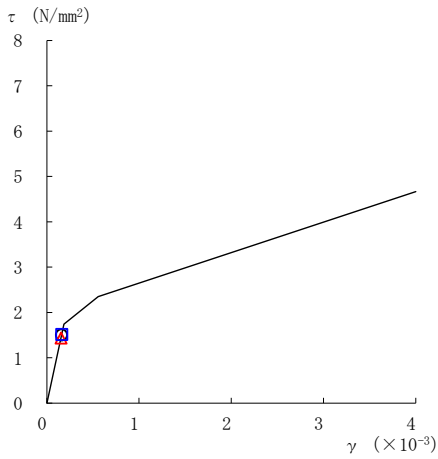
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



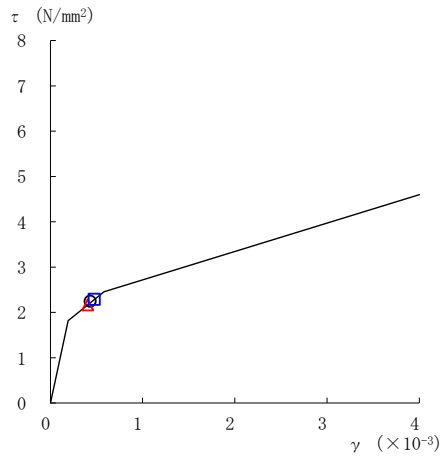
要素番号 (1)



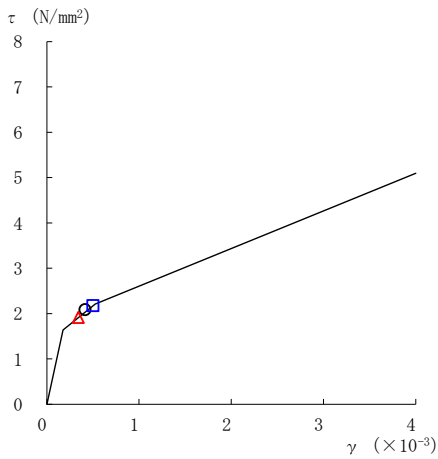
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

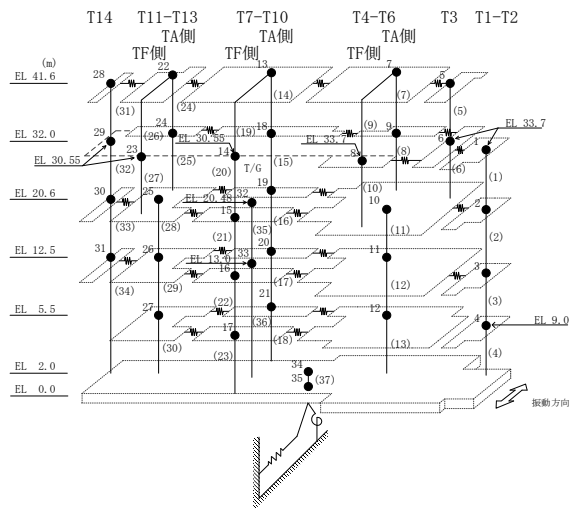
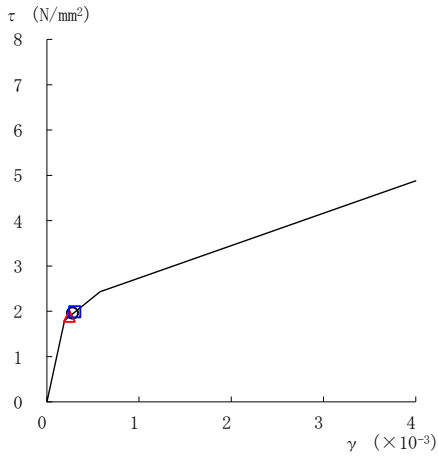
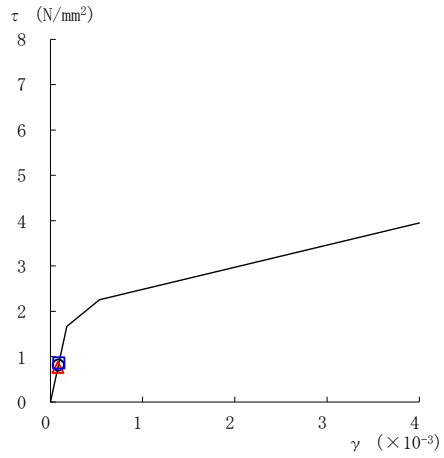


図 2-66(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 2, NS 方向)

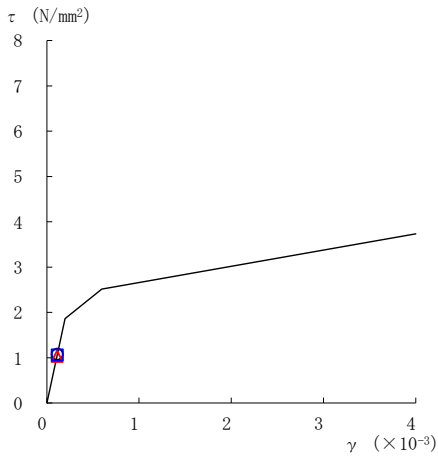
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



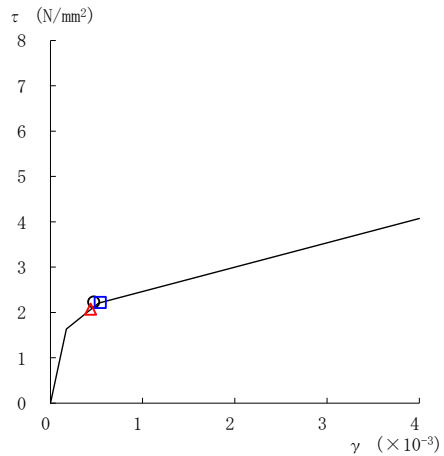
要素番号 (6)



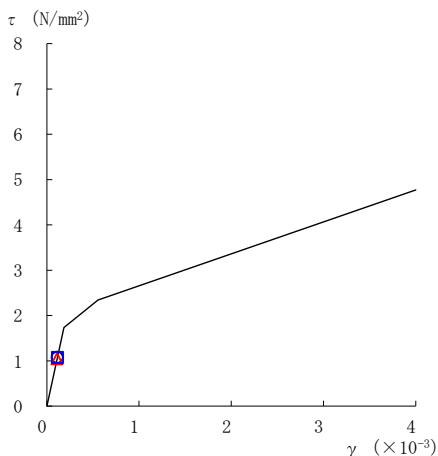
要素番号 (7)



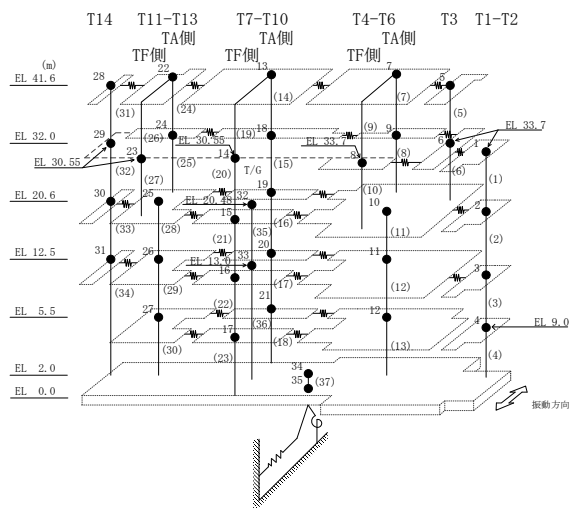
要素番号 (8)



要素番号 (10)



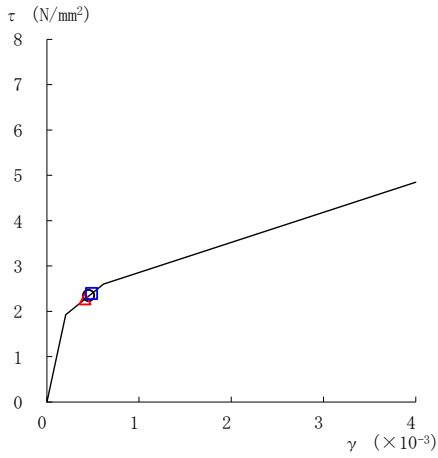
要素番号 (11)



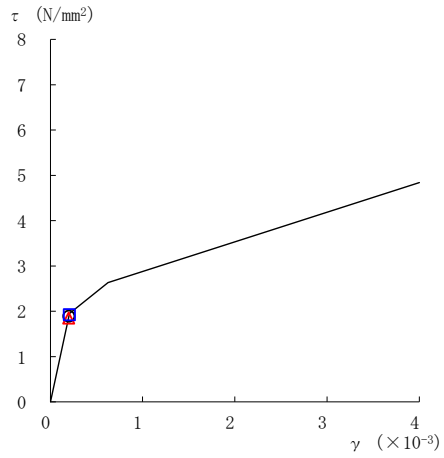
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-66(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, NS 方向)

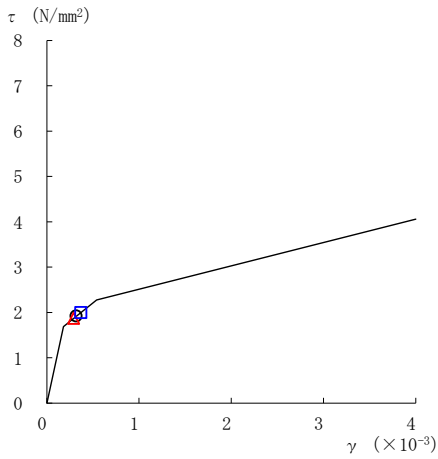
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



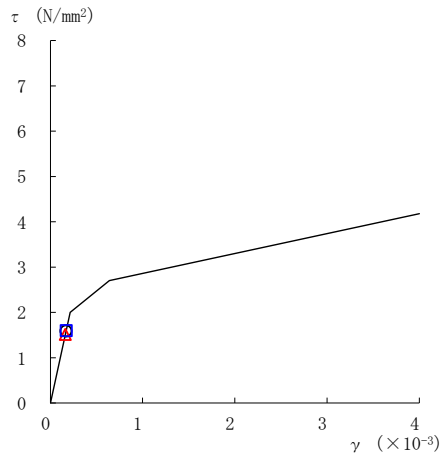
要素番号 (12)



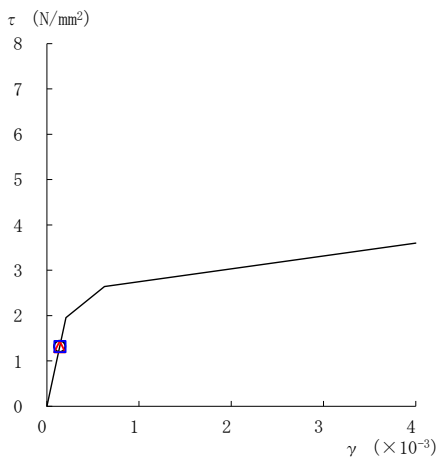
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

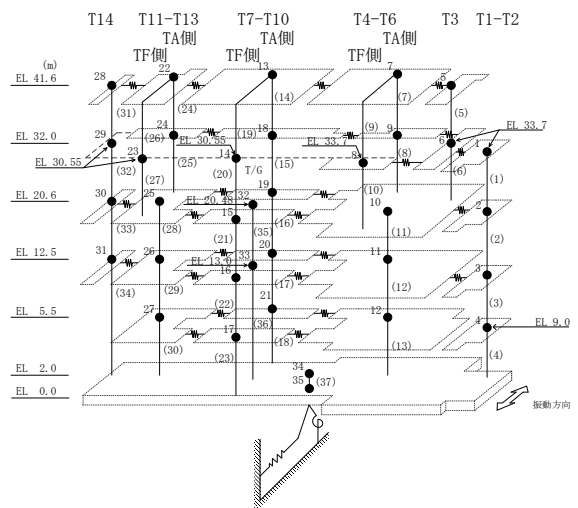
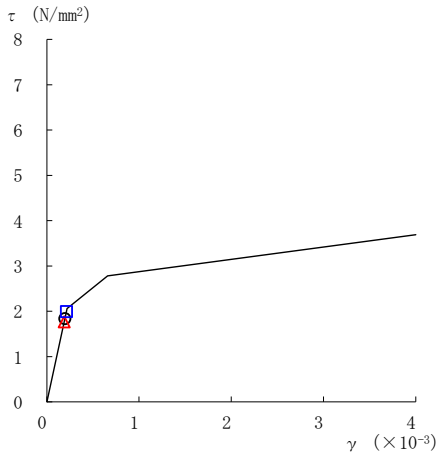
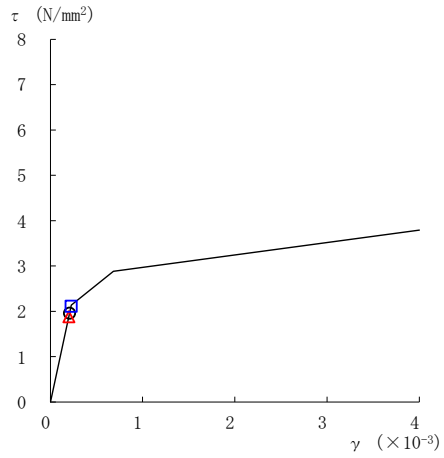


図 2-66(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 2, NS 方向)

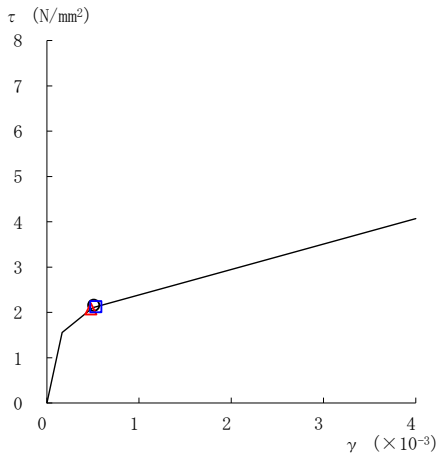
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



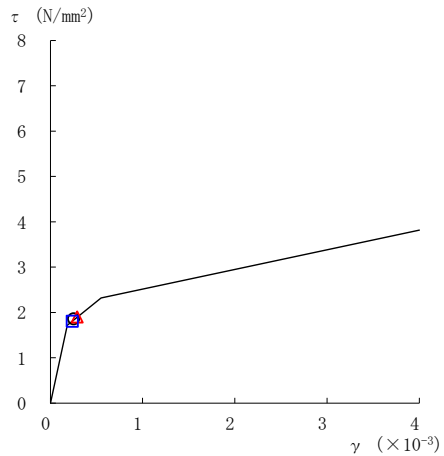
要素番号 (17)



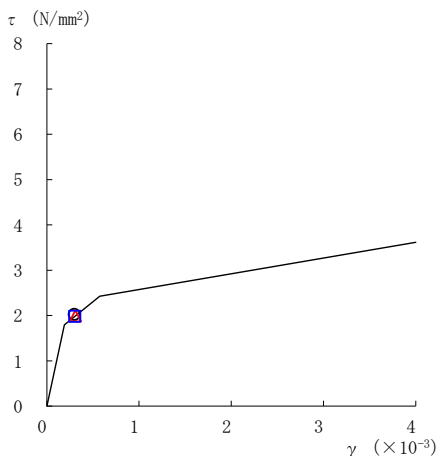
要素番号 (18)



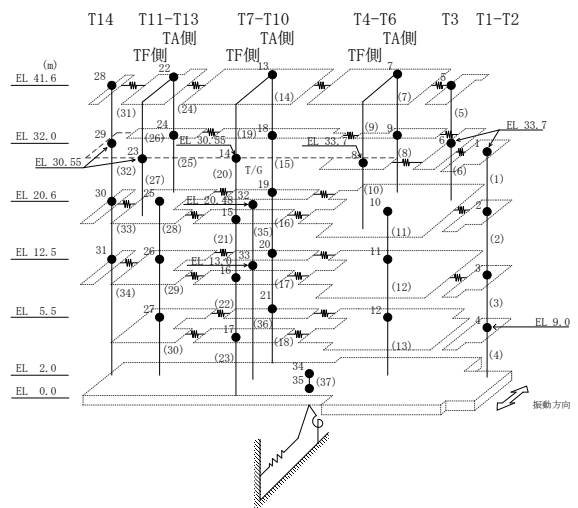
要素番号 (21)



要素番号 (22)



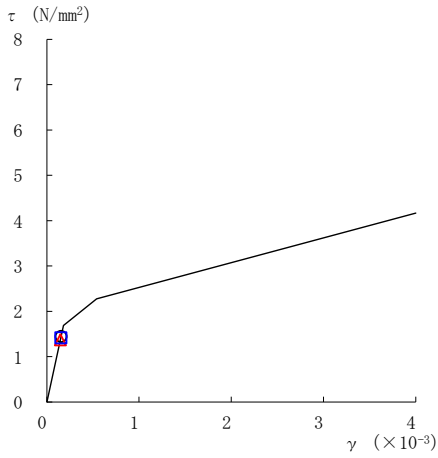
要素番号 (23)



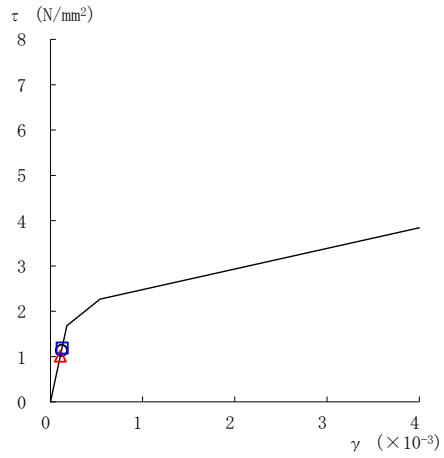
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-66(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, NS 方向)

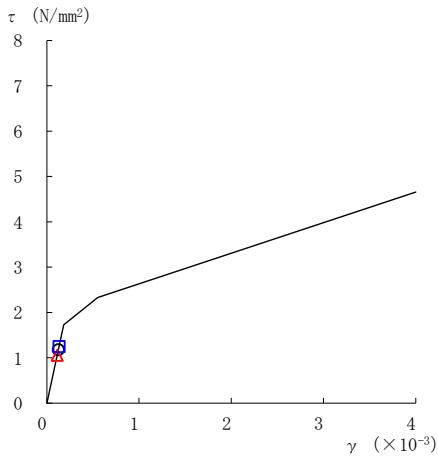
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



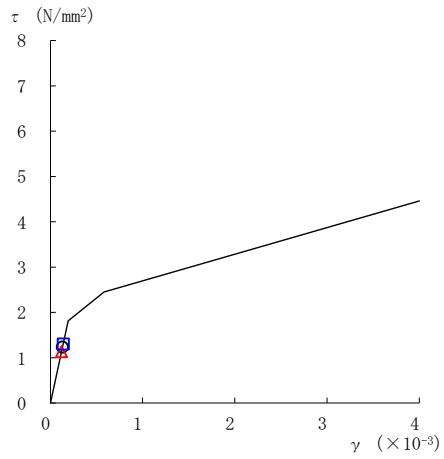
要素番号 (24)



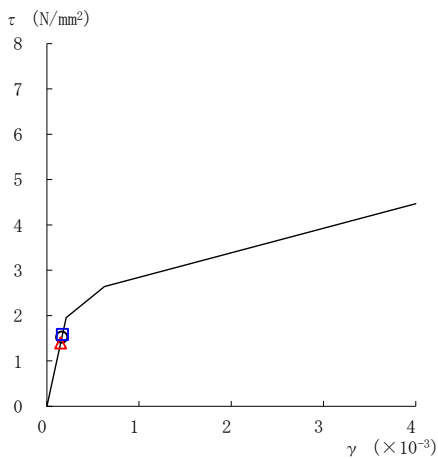
要素番号 (25)



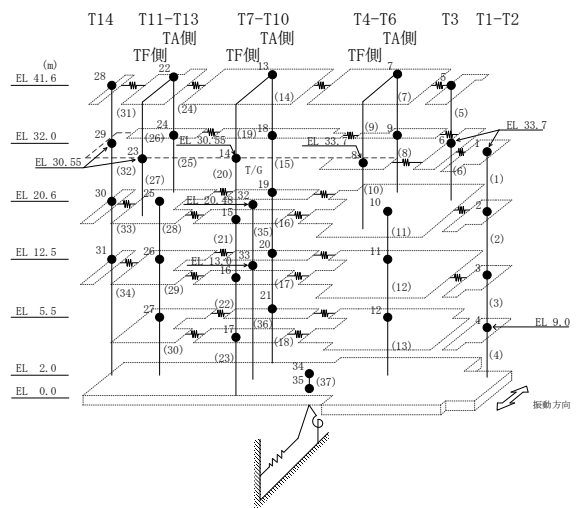
要素番号 (28)



要素番号 (29)



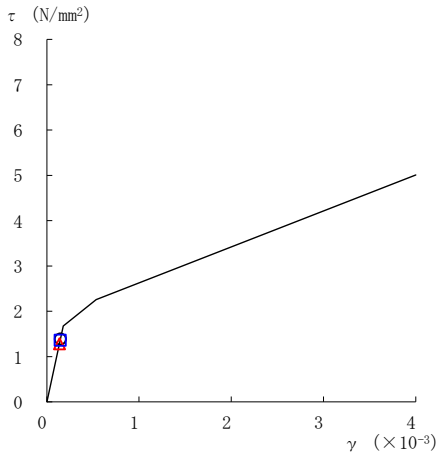
要素番号 (30)



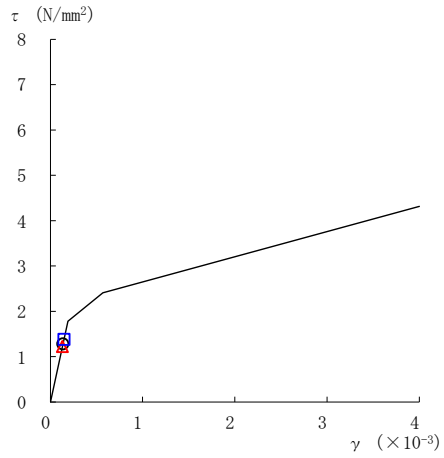
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-66(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, NS 方向)

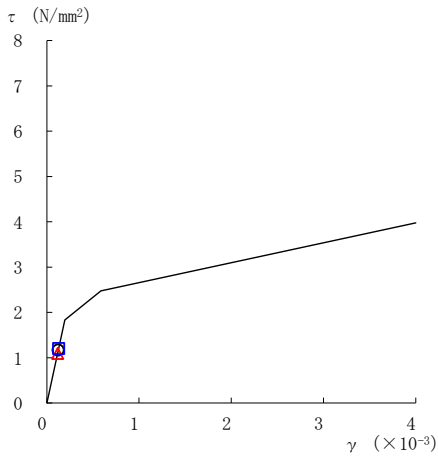
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



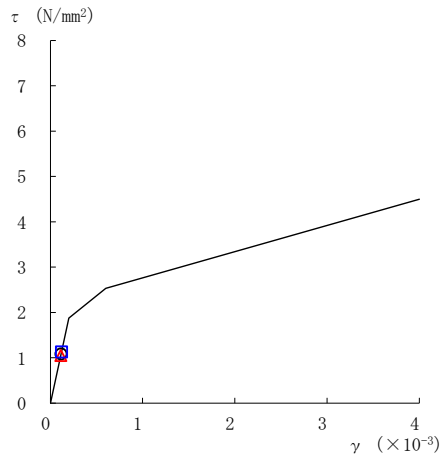
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

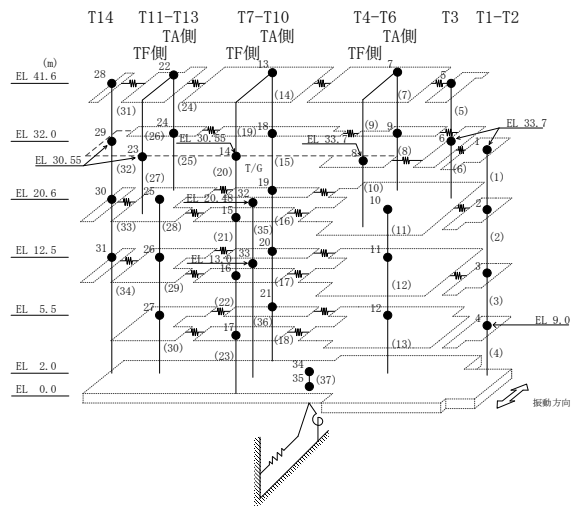
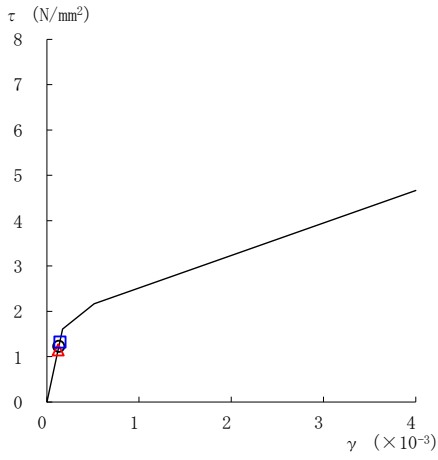
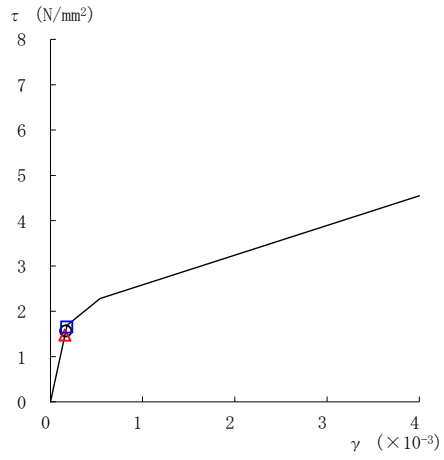


図 2-66(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, NS 方向)

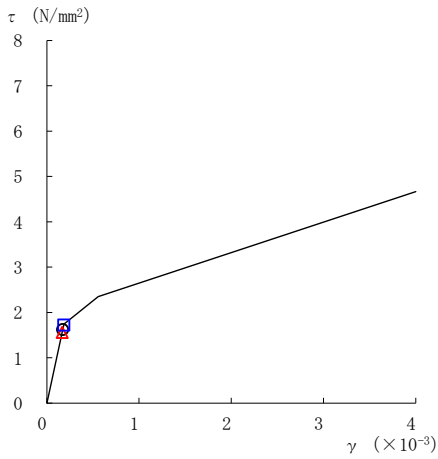
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



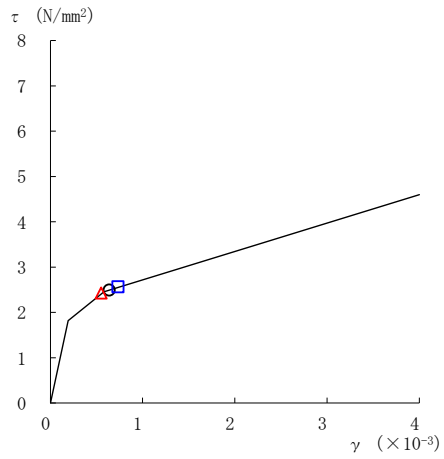
要素番号 (1)



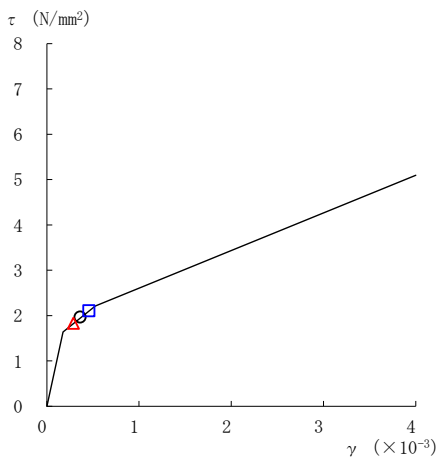
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

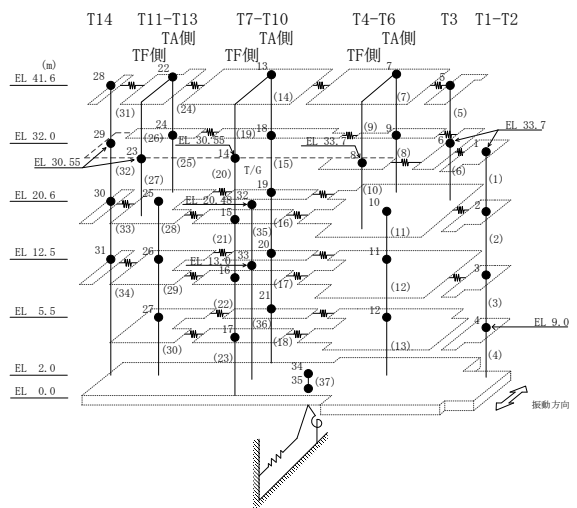
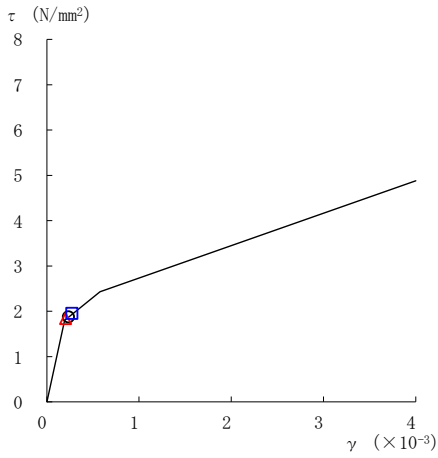
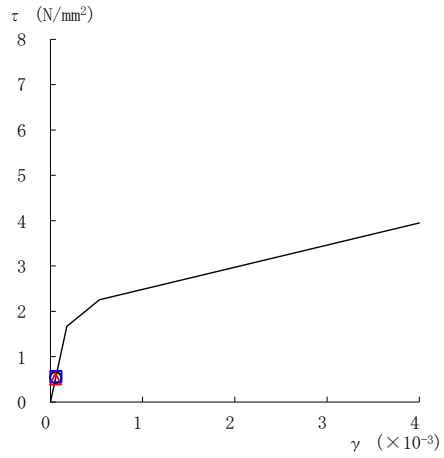


図 2-67(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

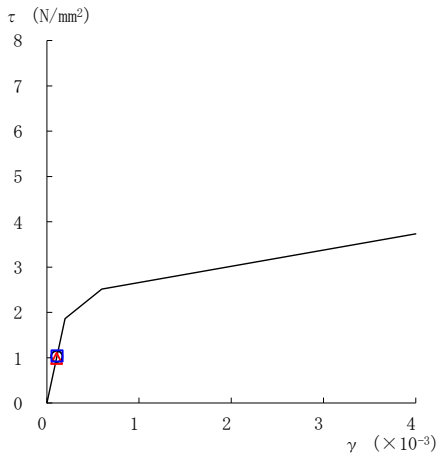
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



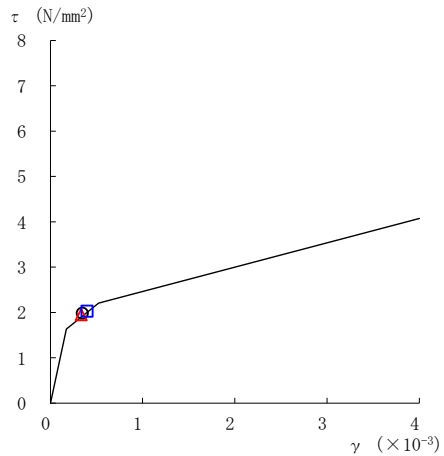
要素番号 (6)



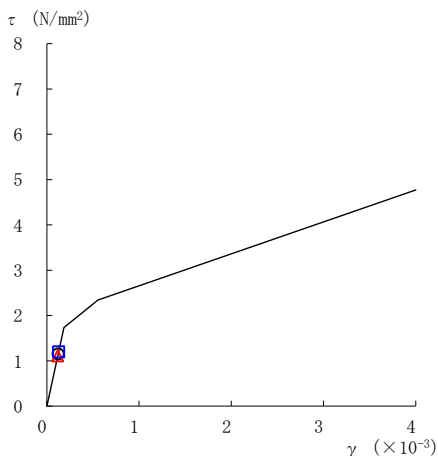
要素番号 (7)



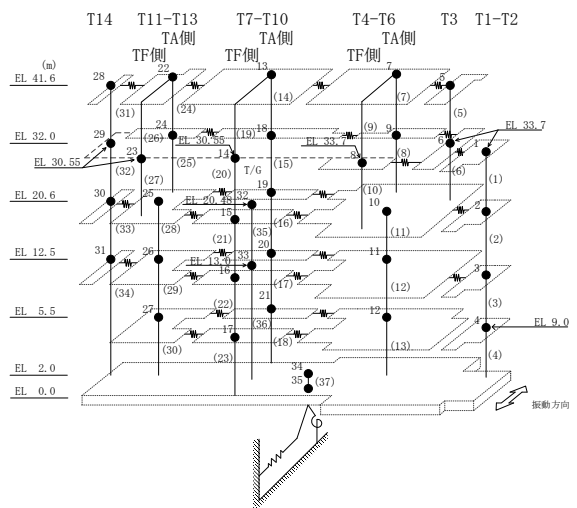
要素番号 (8)



要素番号 (10)



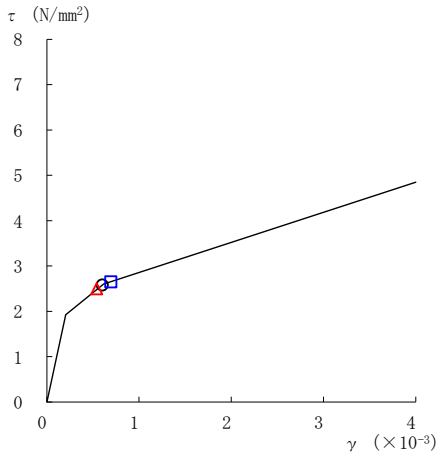
要素番号 (11)



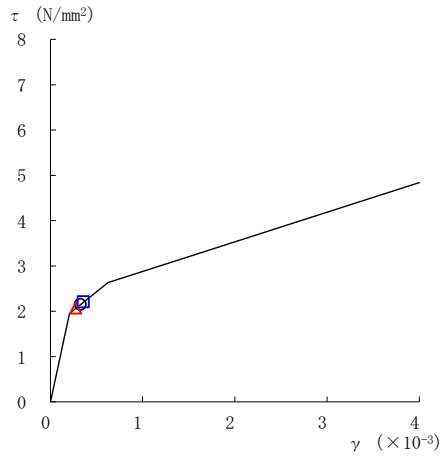
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-67(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-N1, NS 方向)

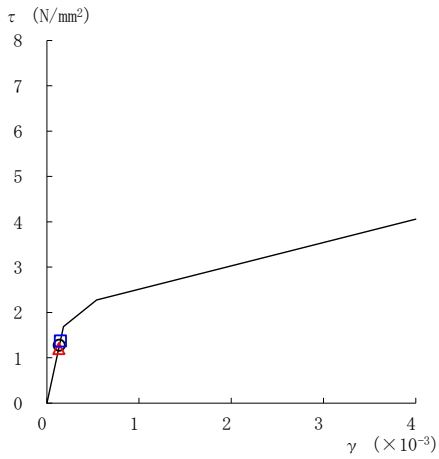
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



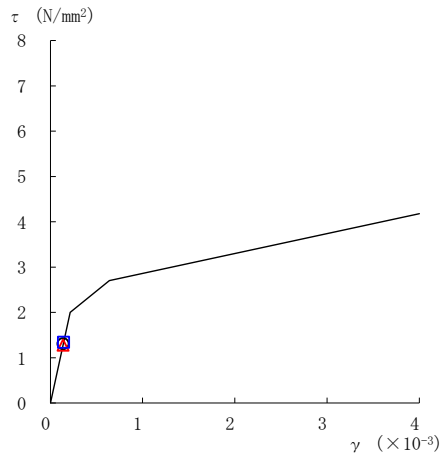
要素番号 (12)



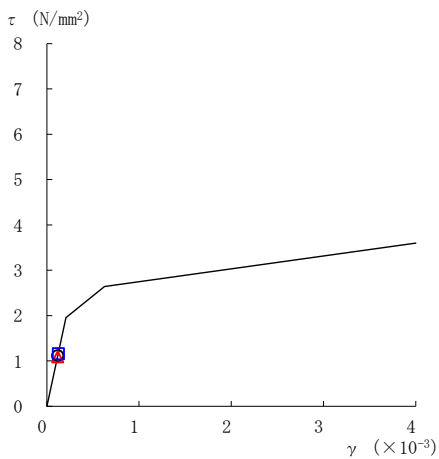
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

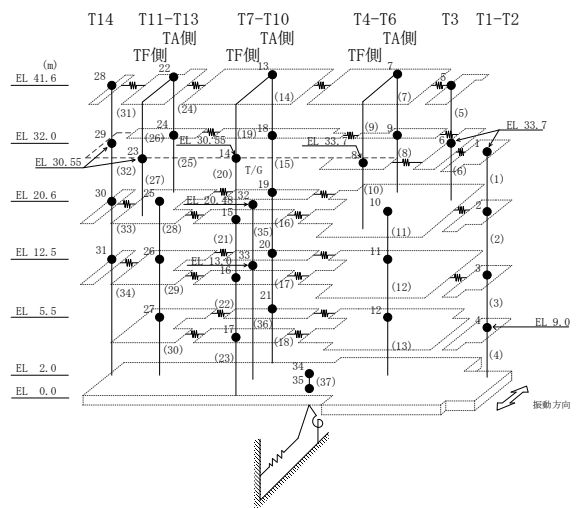
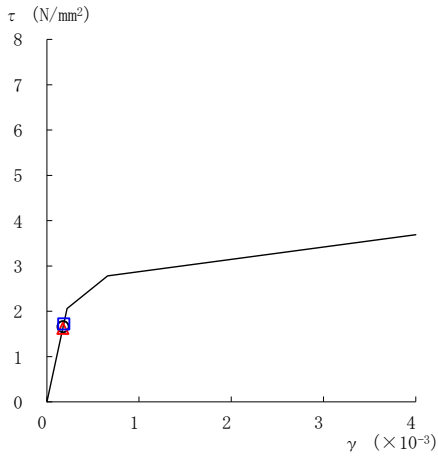
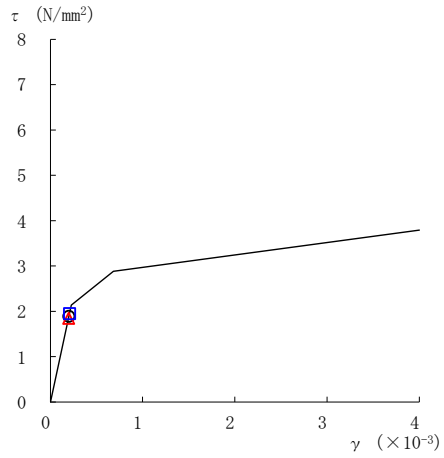


図 2-67(3) セン断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

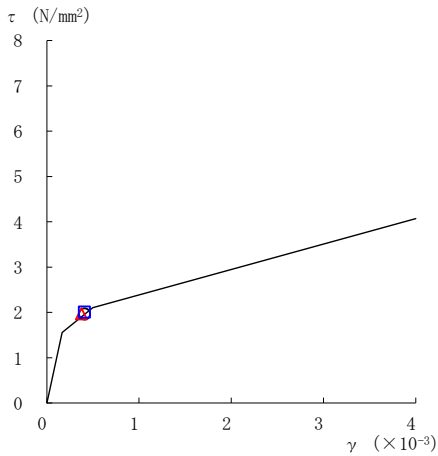
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



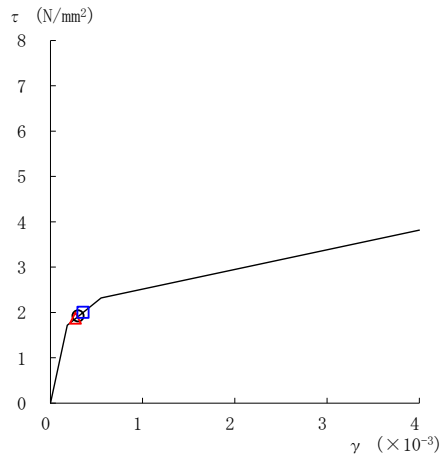
要素番号 (17)



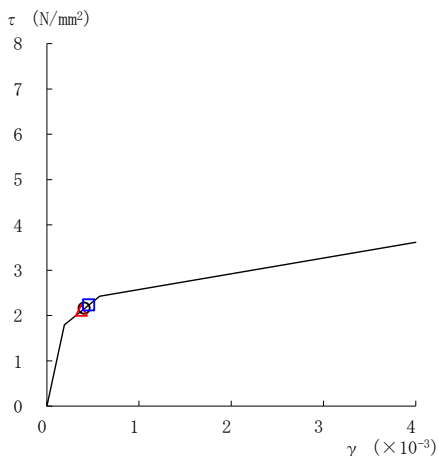
要素番号 (18)



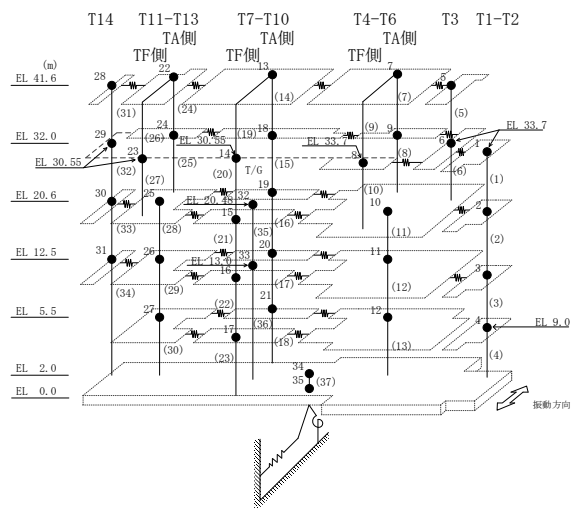
要素番号 (21)



要素番号 (22)



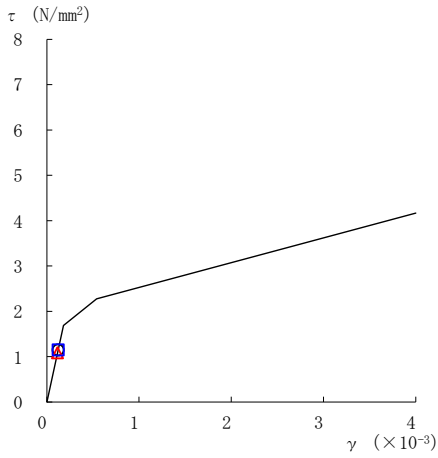
要素番号 (23)



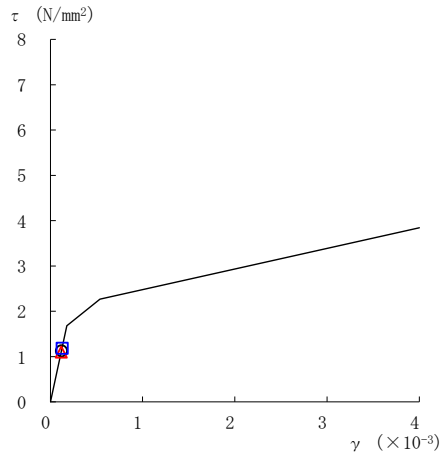
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-67(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

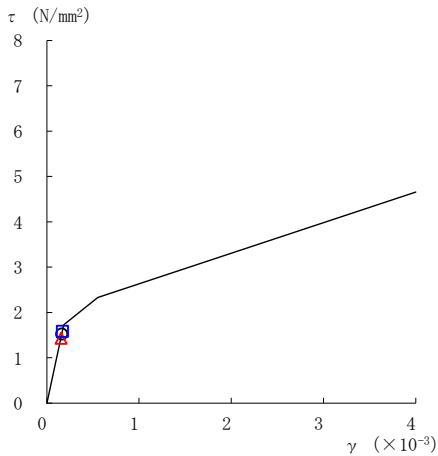
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



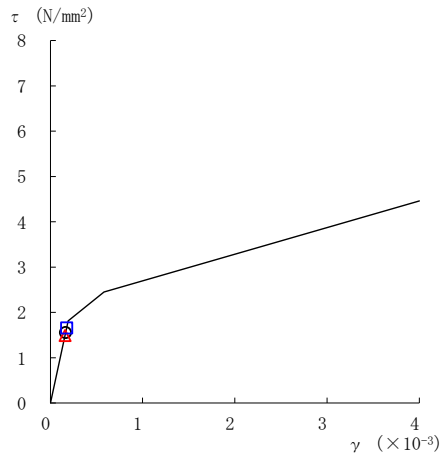
要素番号 (24)



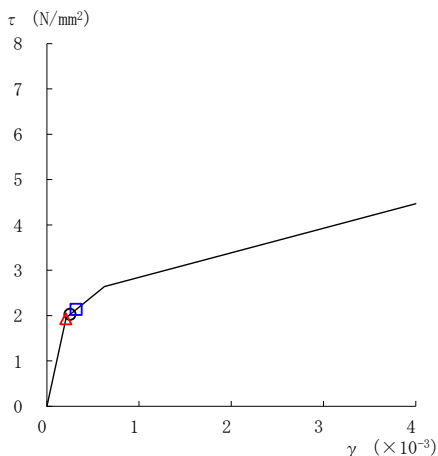
要素番号 (25)



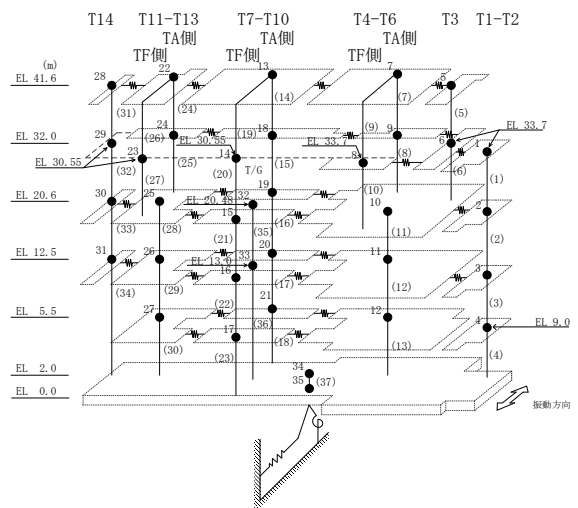
要素番号 (28)



要素番号 (29)



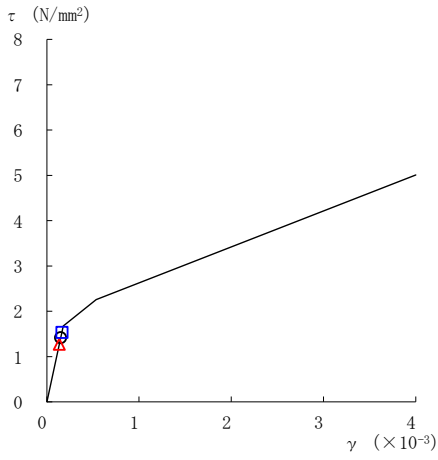
要素番号 (30)



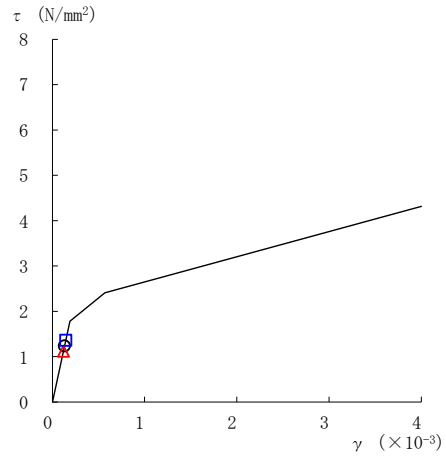
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-67(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

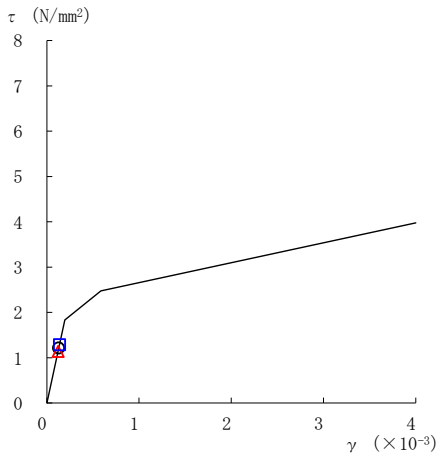
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



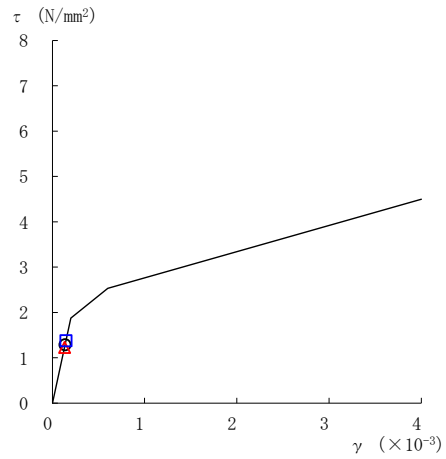
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

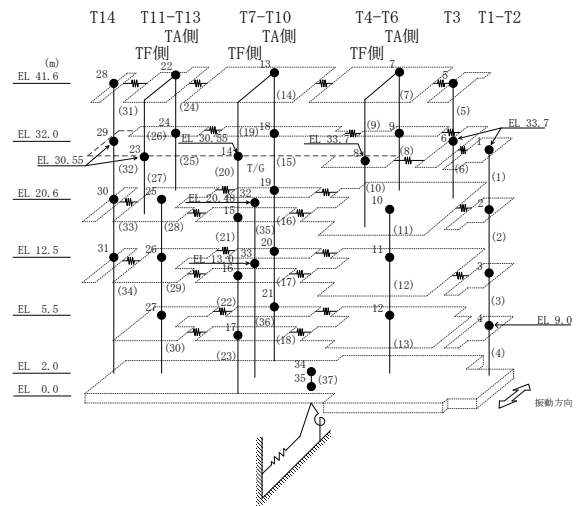
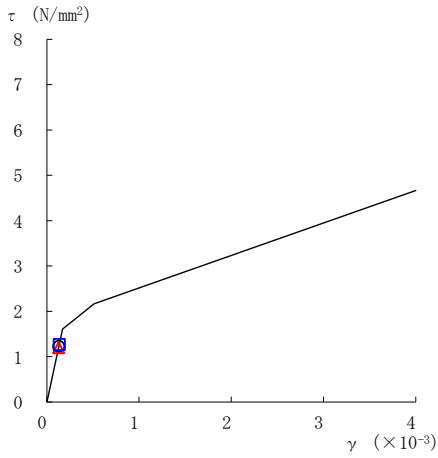
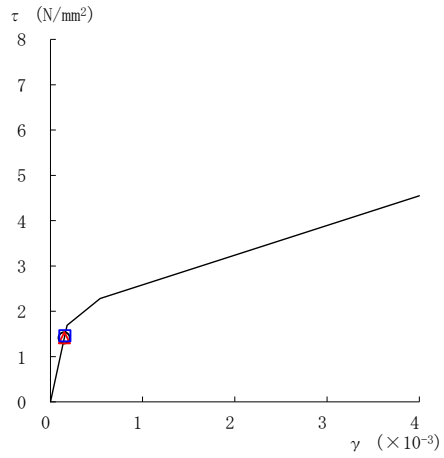


図 2-67(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-N1, NS 方向)

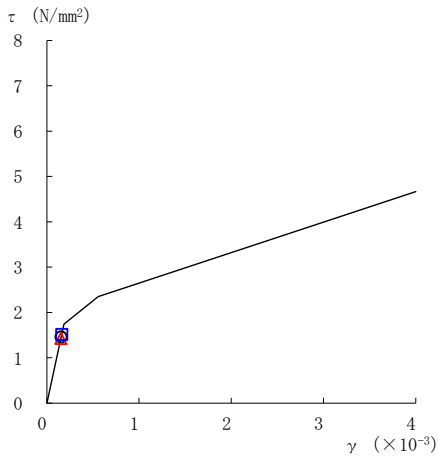
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



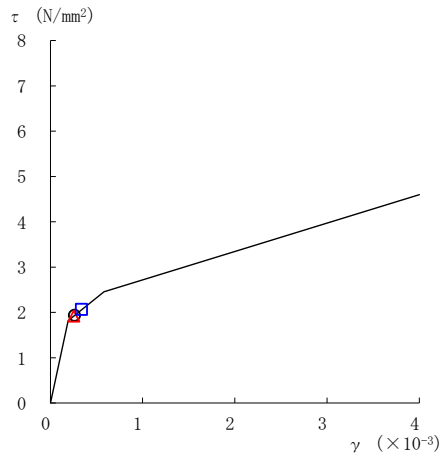
要素番号 (1)



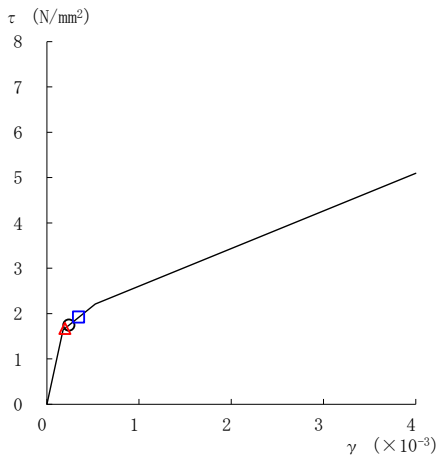
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

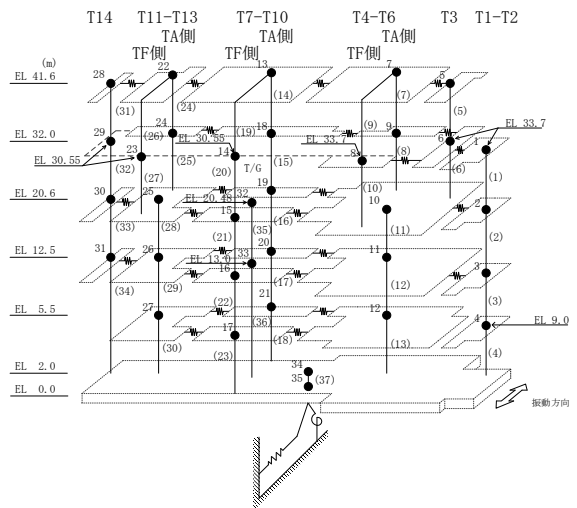
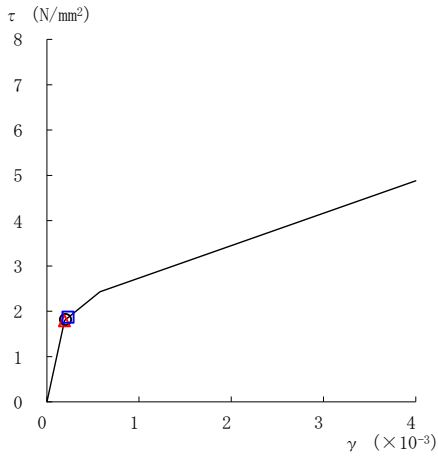
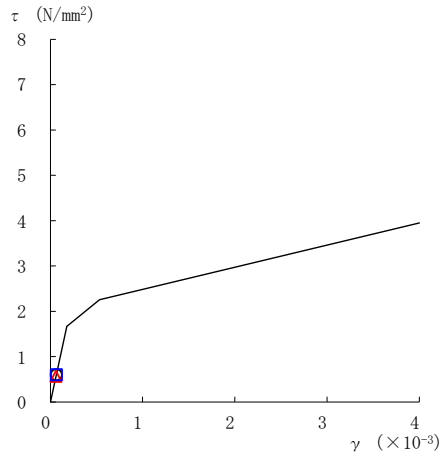


図 2-68(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

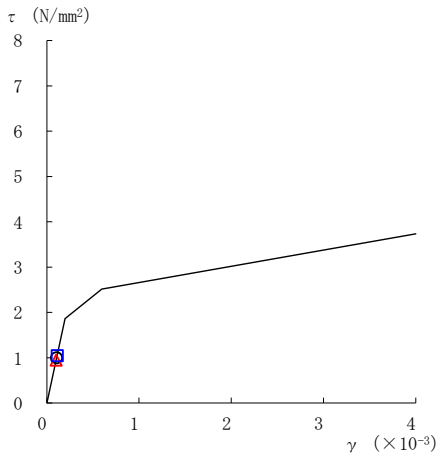
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



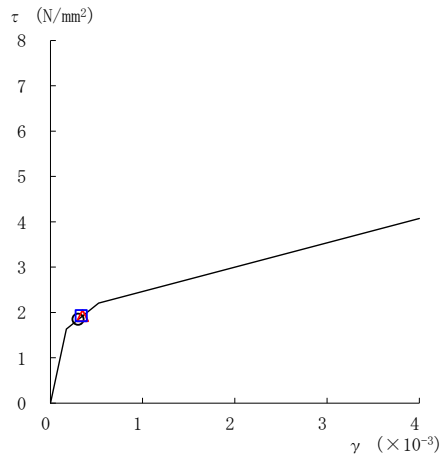
要素番号 (6)



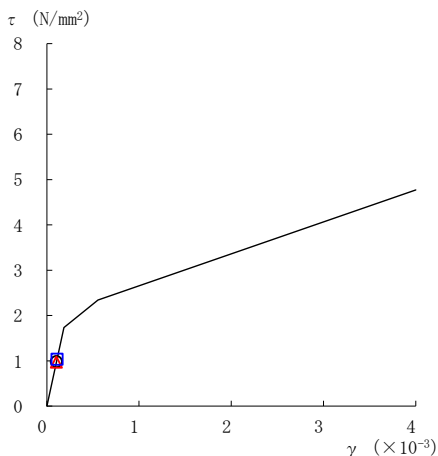
要素番号 (7)



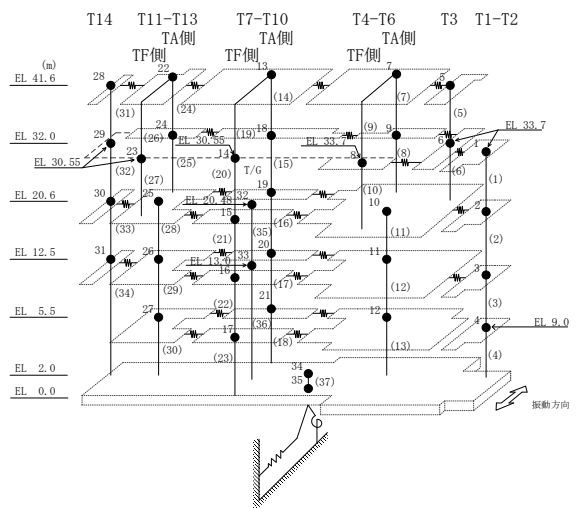
要素番号 (8)



要素番号 (10)



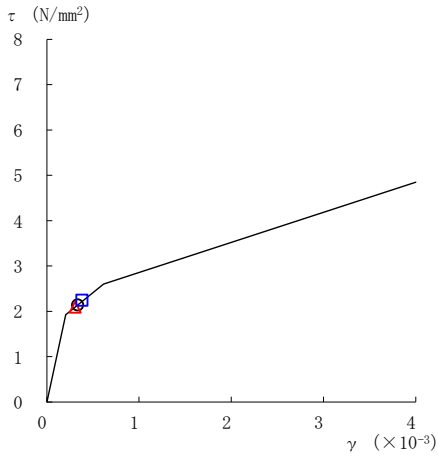
要素番号 (11)



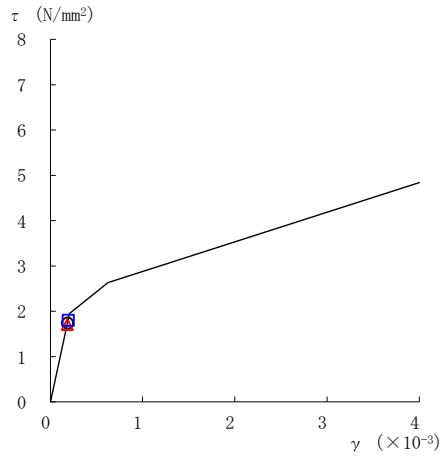
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-68(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

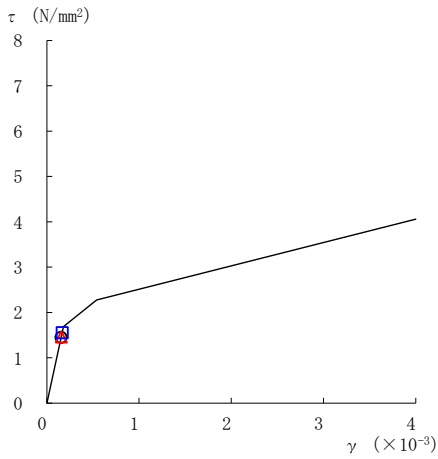
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



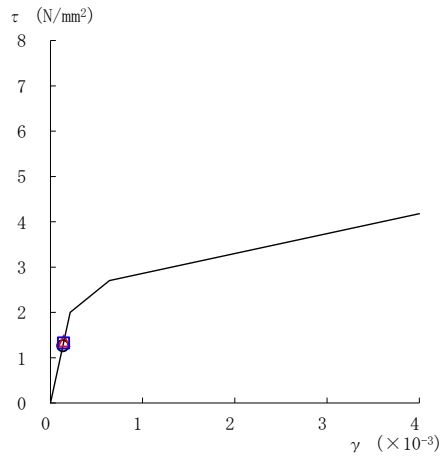
要素番号 (12)



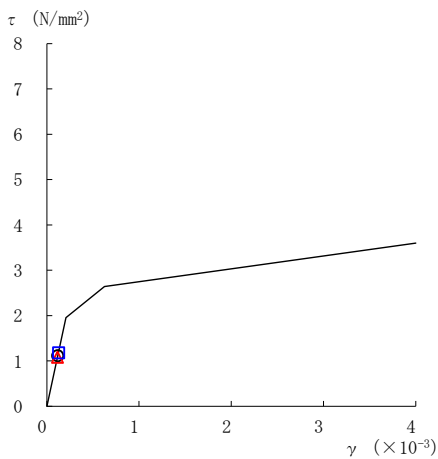
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

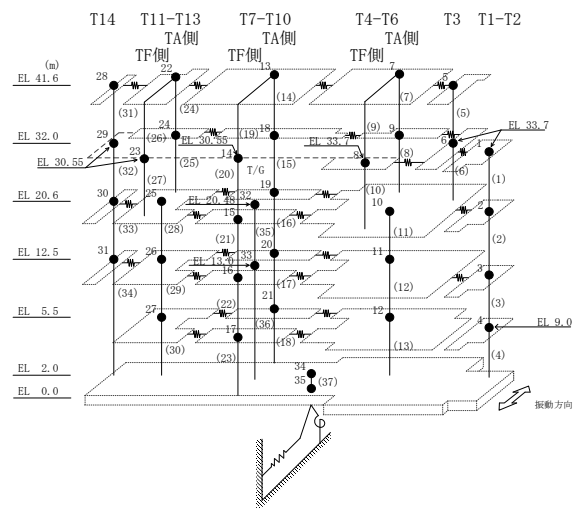
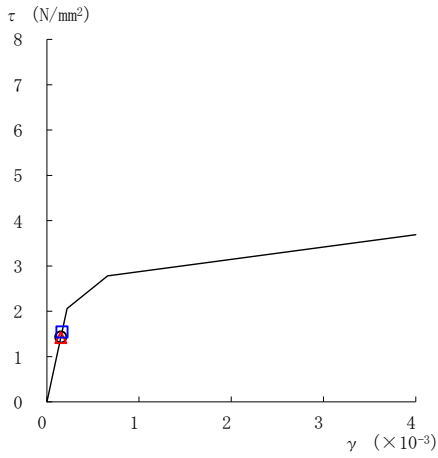
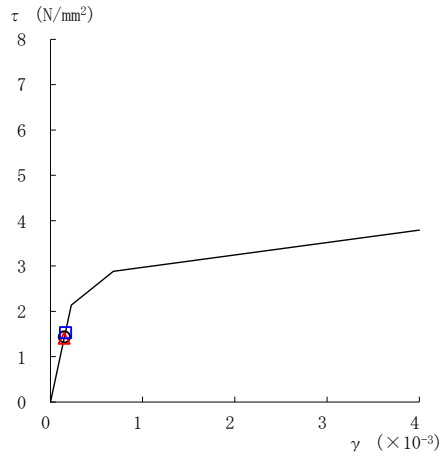


図 2-68(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

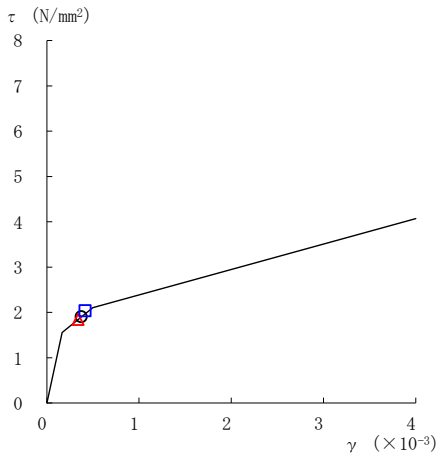
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



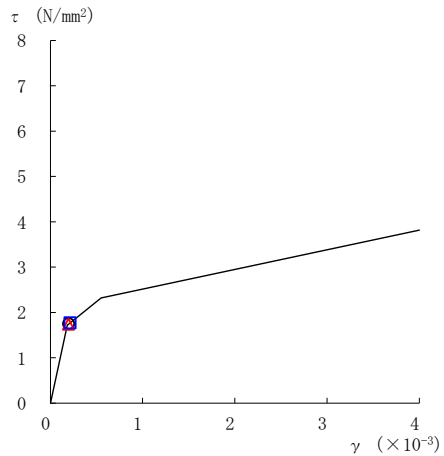
要素番号 (17)



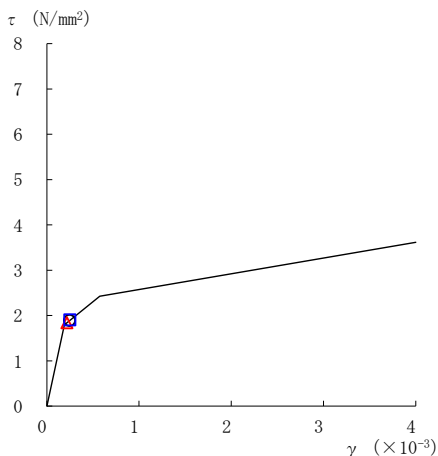
要素番号 (18)



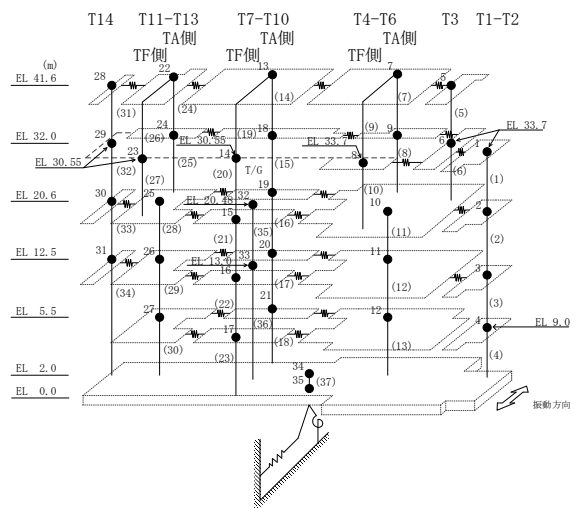
要素番号 (21)



要素番号 (22)



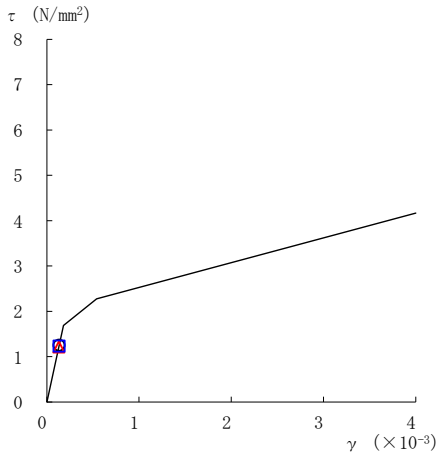
要素番号 (23)



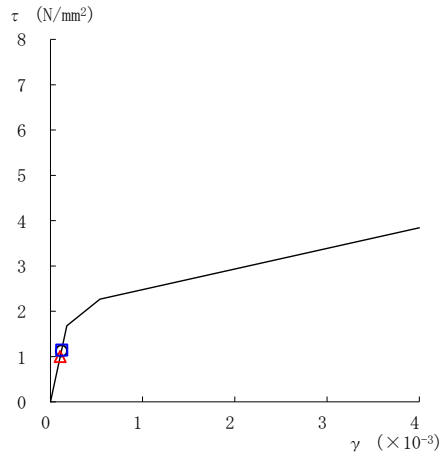
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-68(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

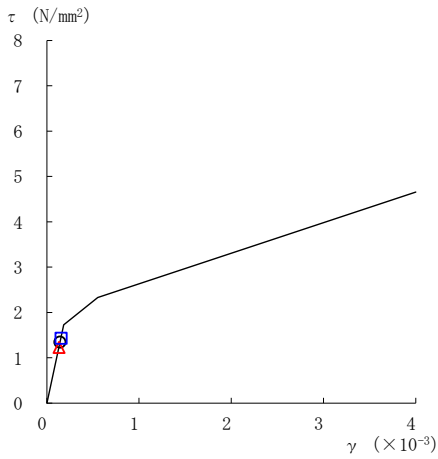
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



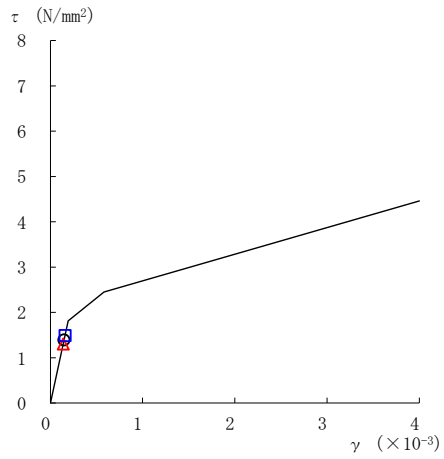
要素番号 (24)



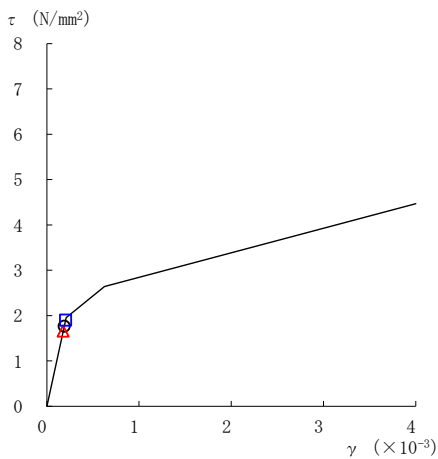
要素番号 (25)



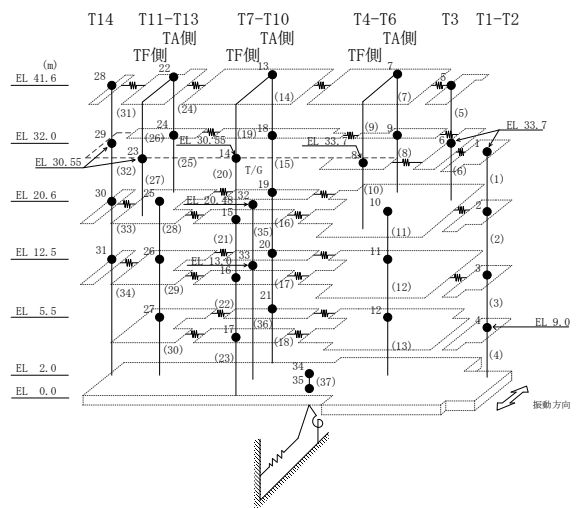
要素番号 (28)



要素番号 (29)



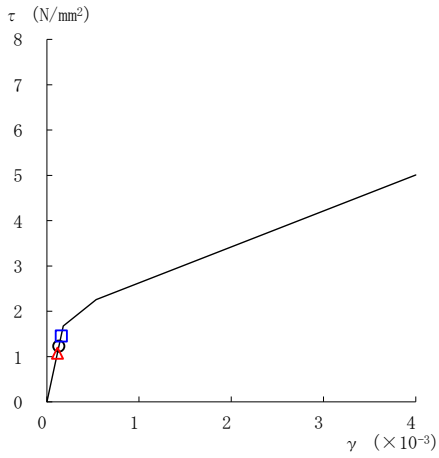
要素番号 (30)



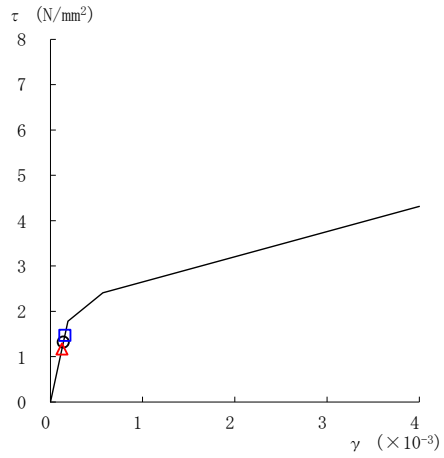
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-68(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

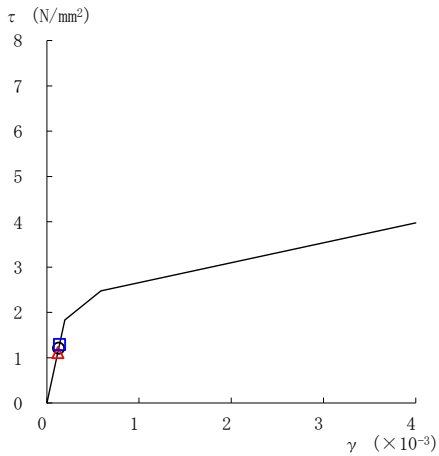
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



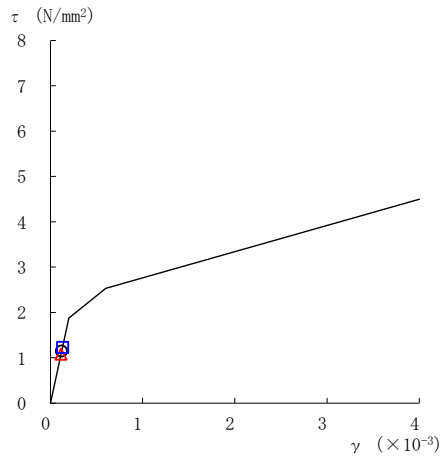
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

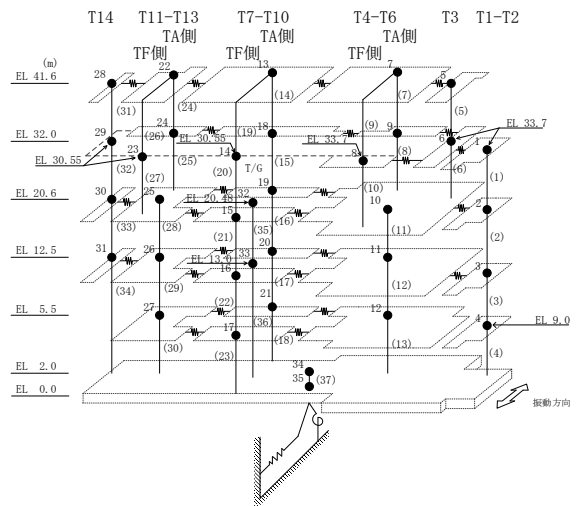
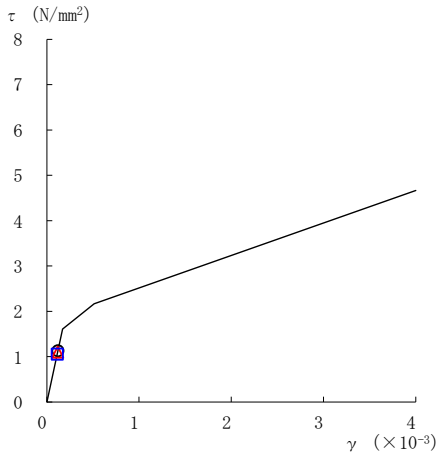
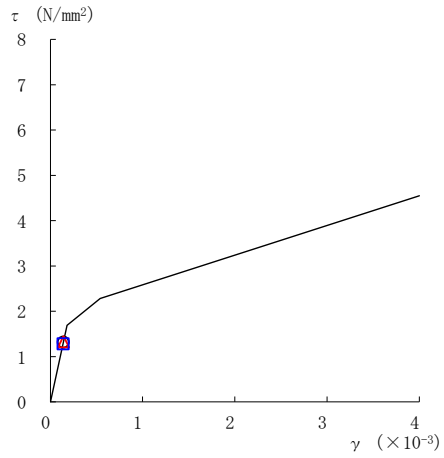


図 2-68(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

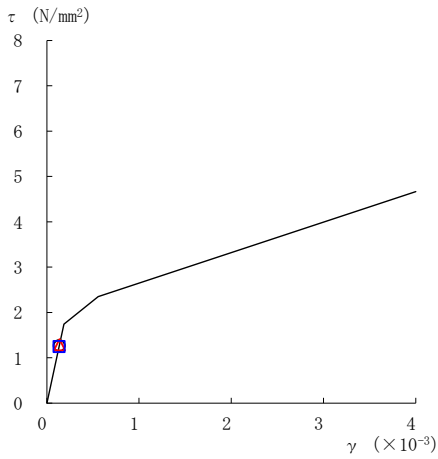
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



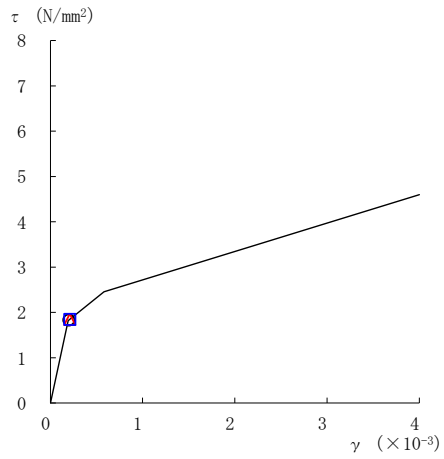
要素番号 (1)



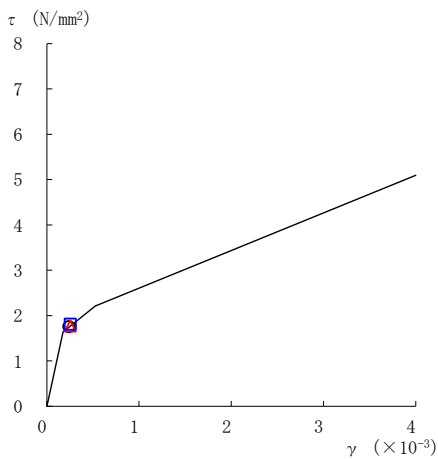
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

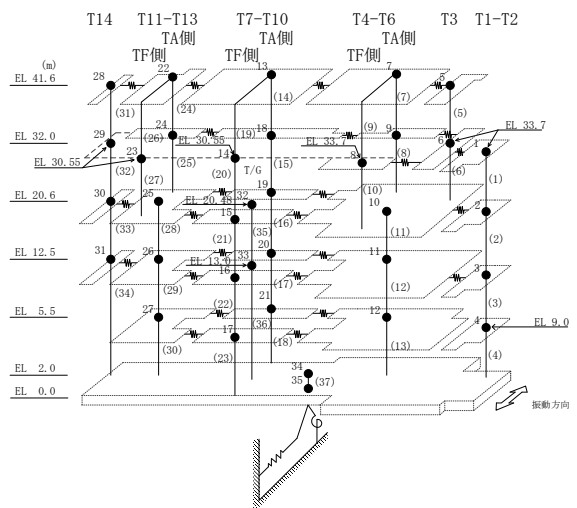
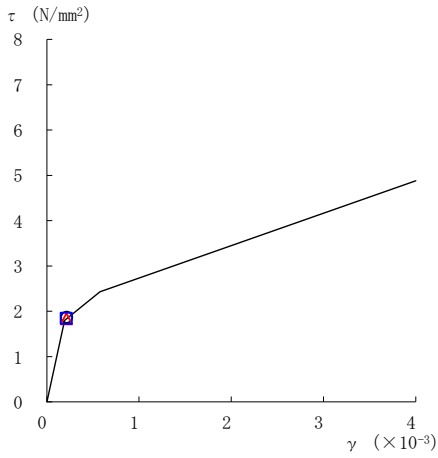
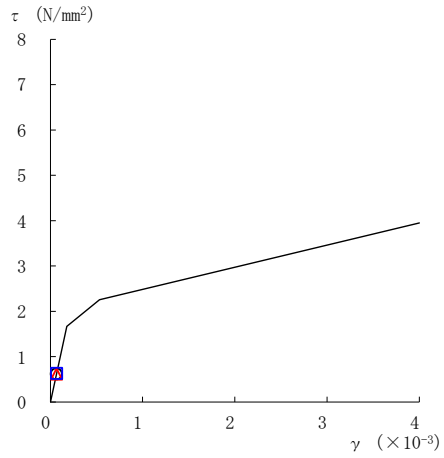


図 2-69(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

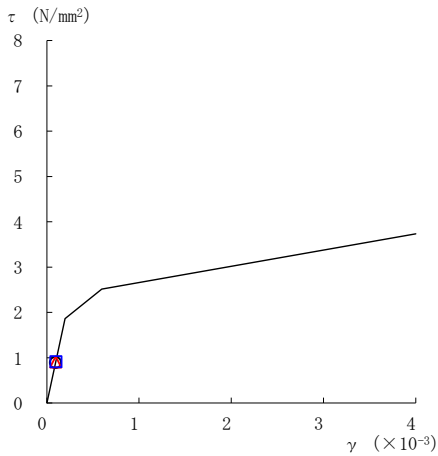
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



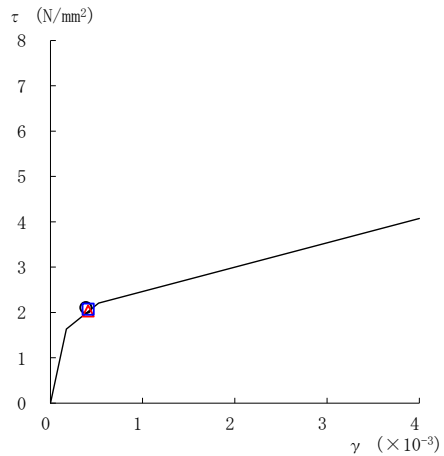
要素番号 (6)



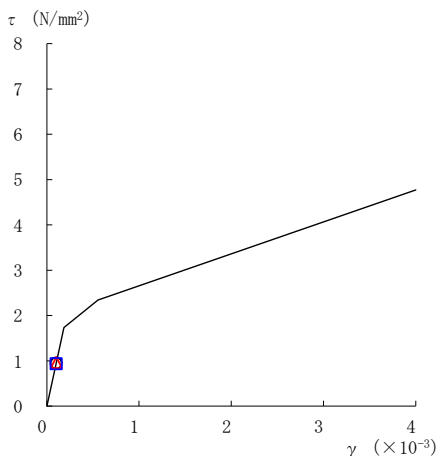
要素番号 (7)



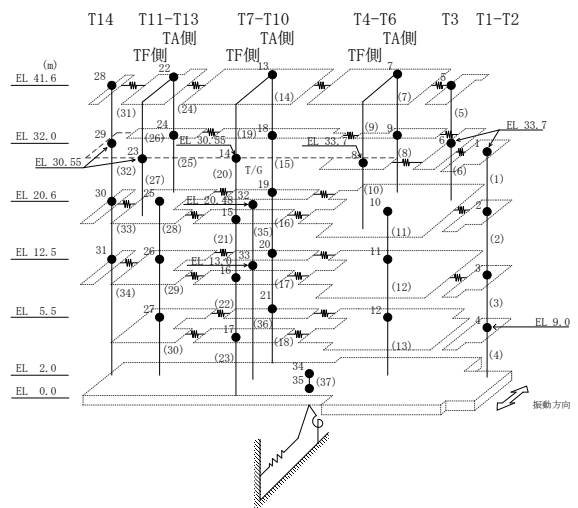
要素番号 (8)



要素番号 (10)



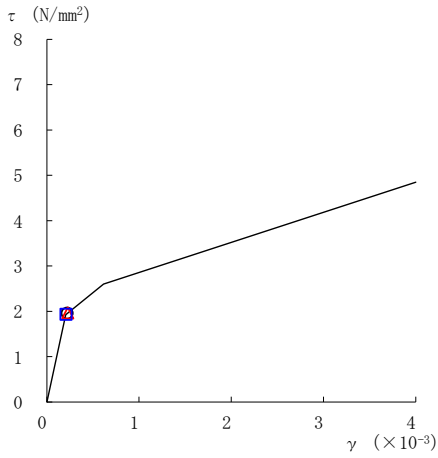
要素番号 (11)



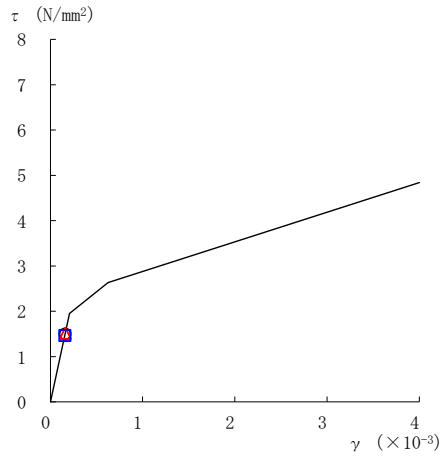
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-69(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

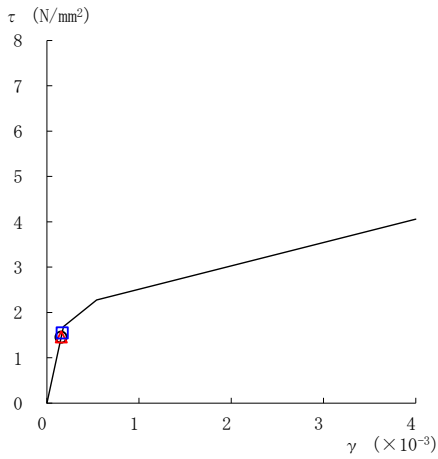
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



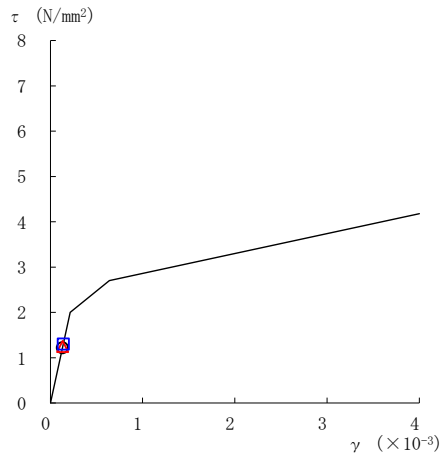
要素番号 (12)



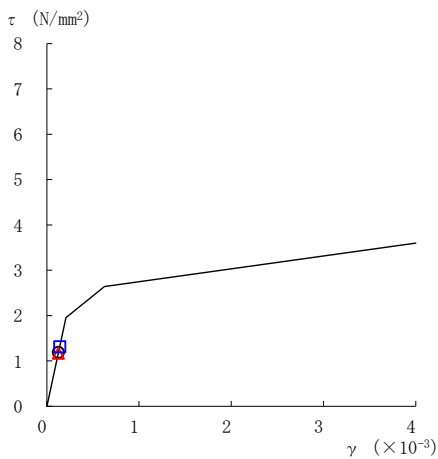
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

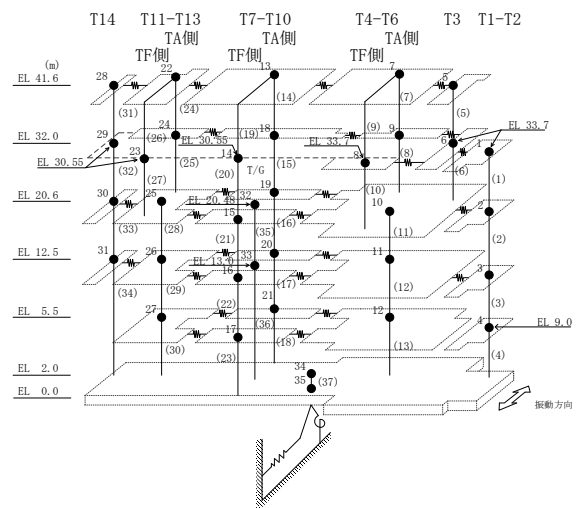
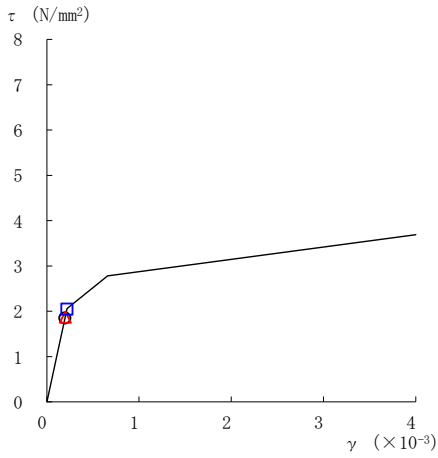
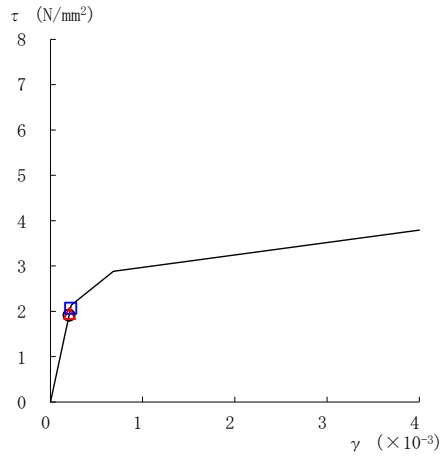


図 2-69(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

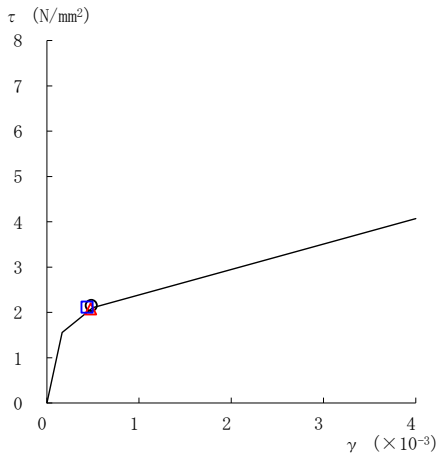
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



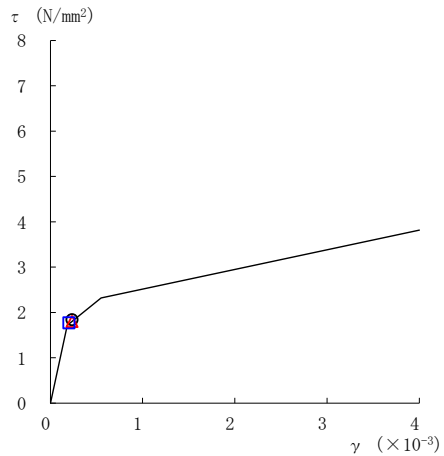
要素番号 (17)



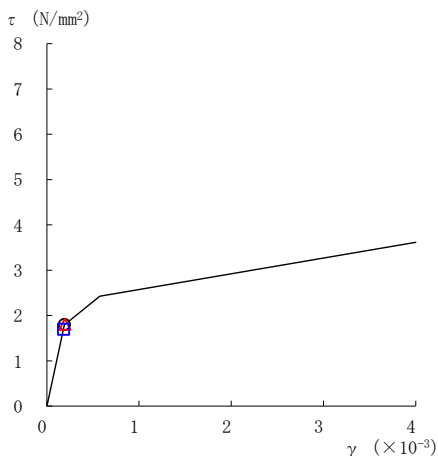
要素番号 (18)



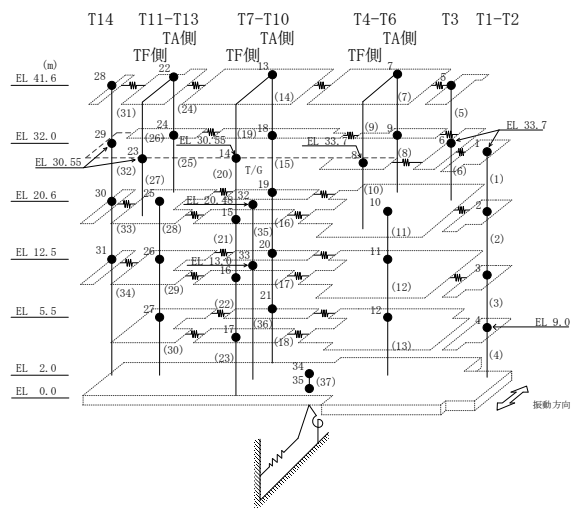
要素番号 (21)



要素番号 (22)



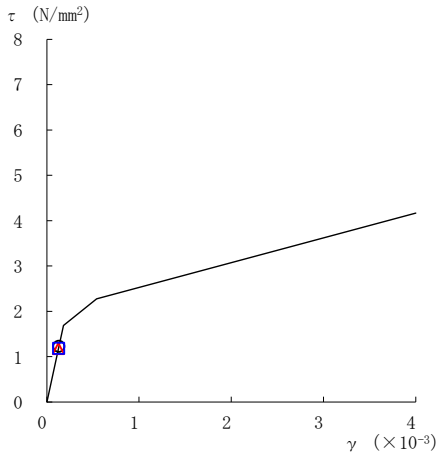
要素番号 (23)



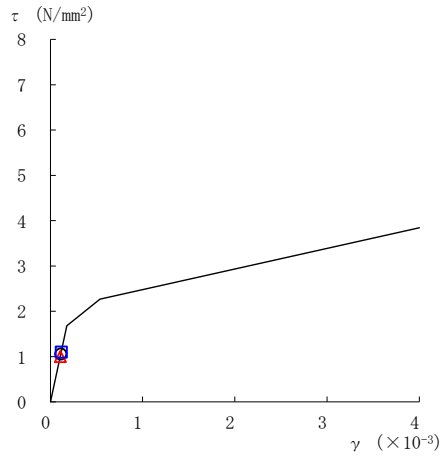
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-69(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

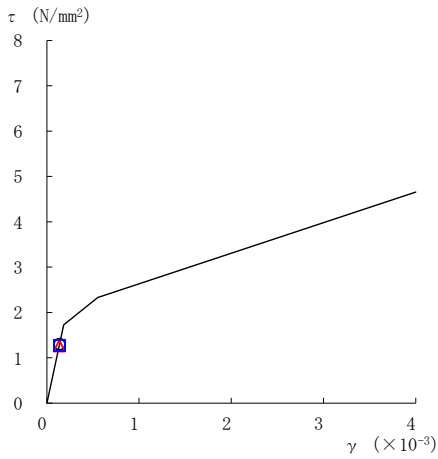
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



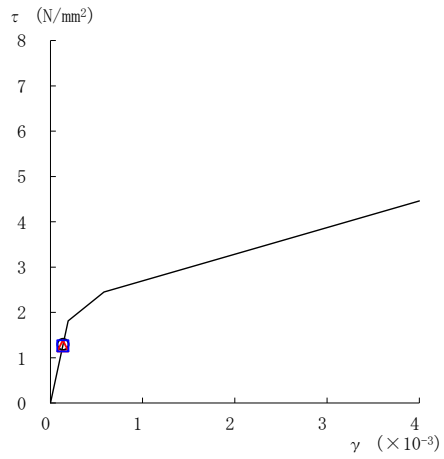
要素番号 (24)



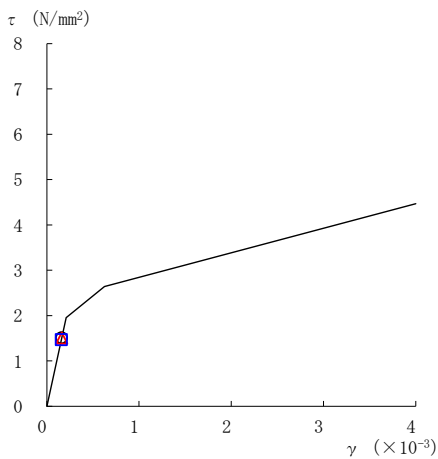
要素番号 (25)



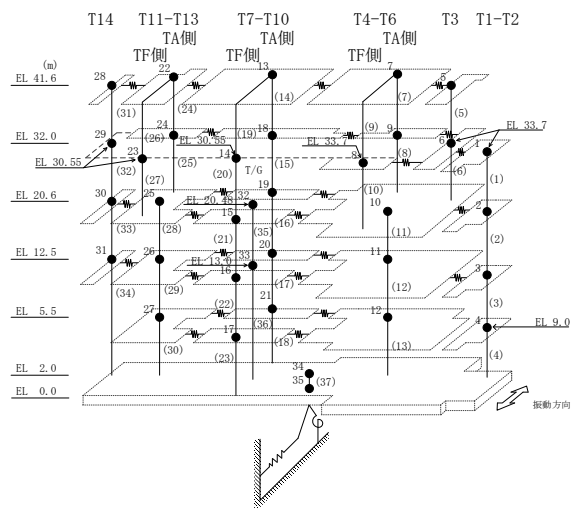
要素番号 (28)



要素番号 (29)



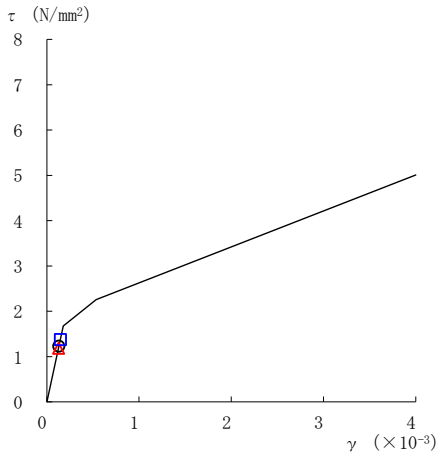
要素番号 (30)



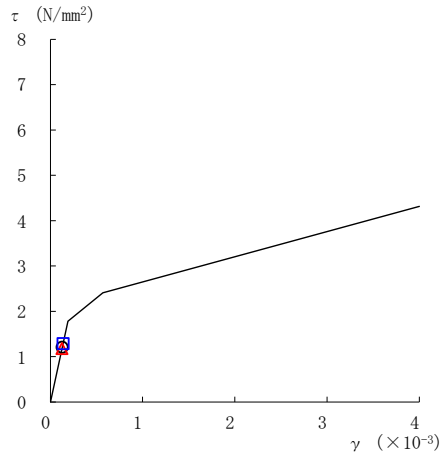
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-69(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

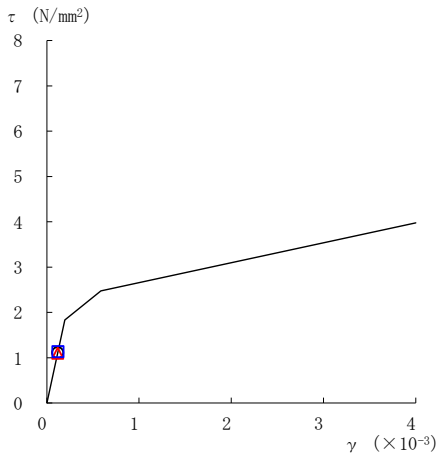
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



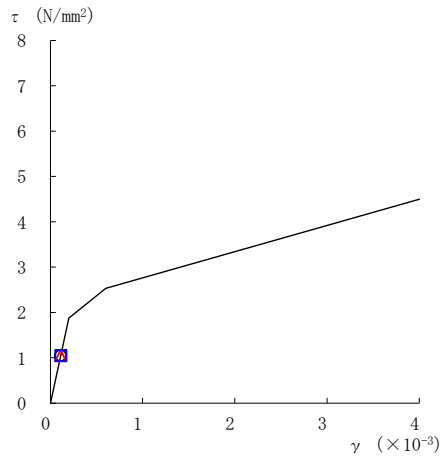
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

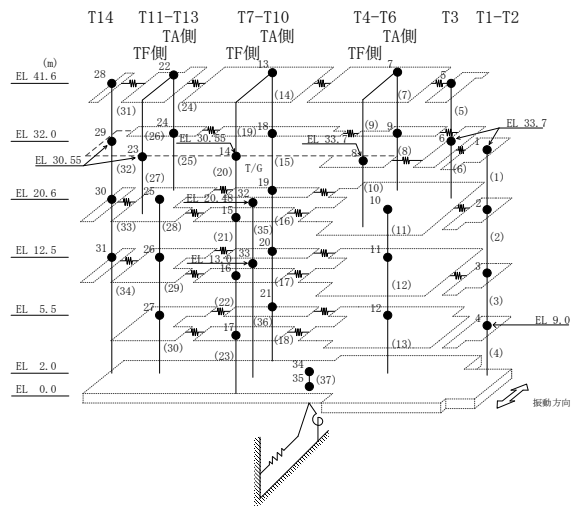
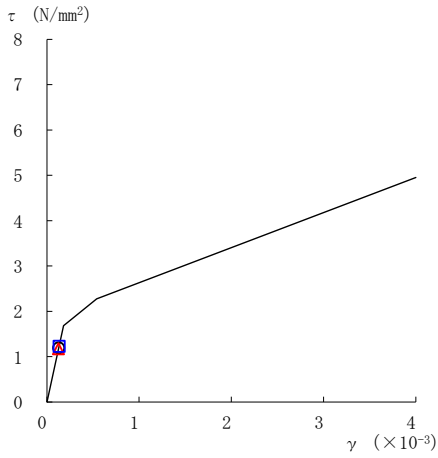
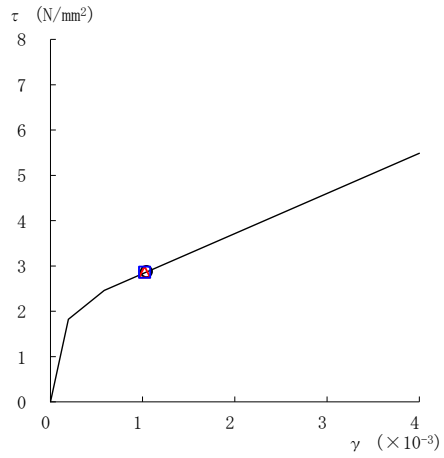


図 2-69(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

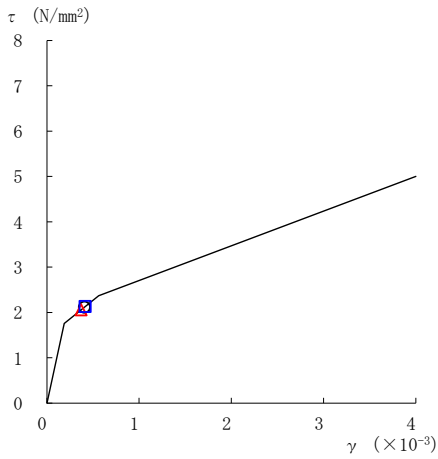
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



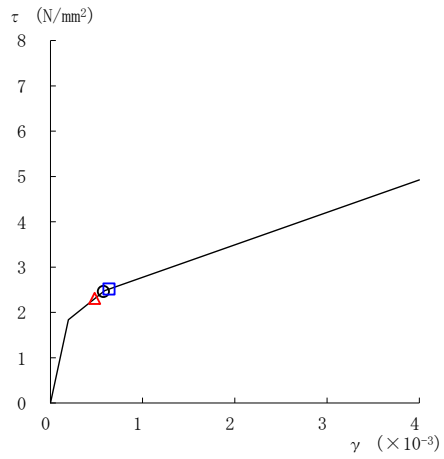
要素番号 (1)



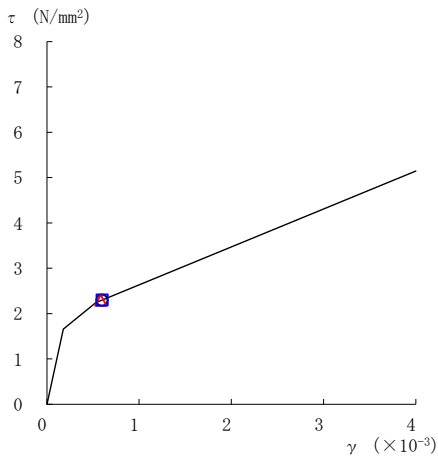
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

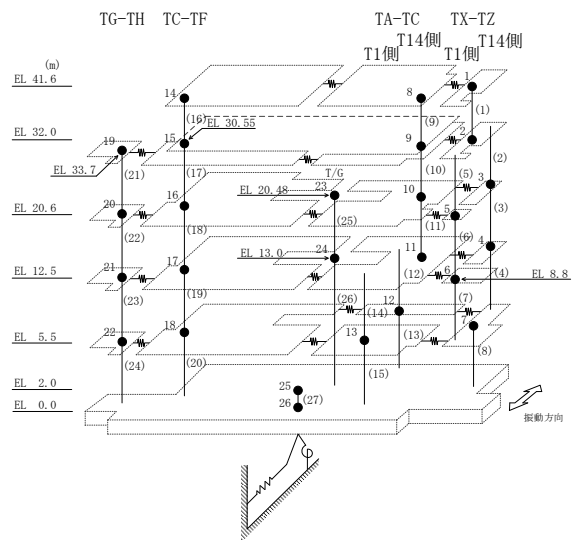
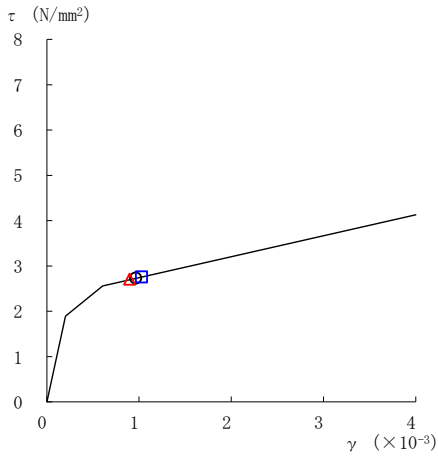
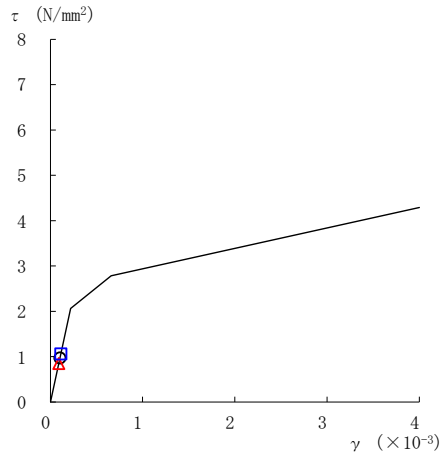


図 2-70(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

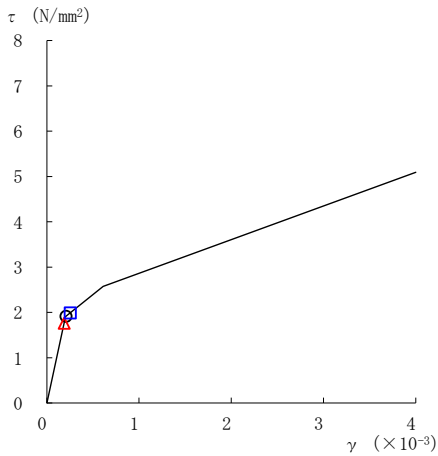
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



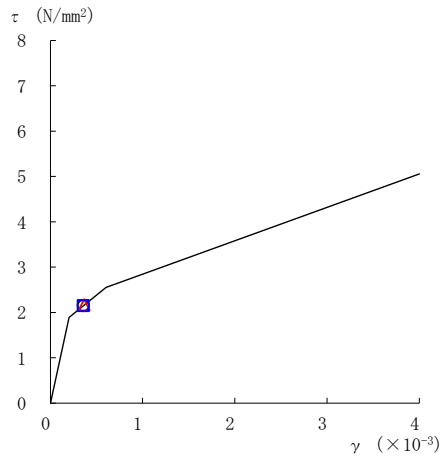
要素番号 (6)



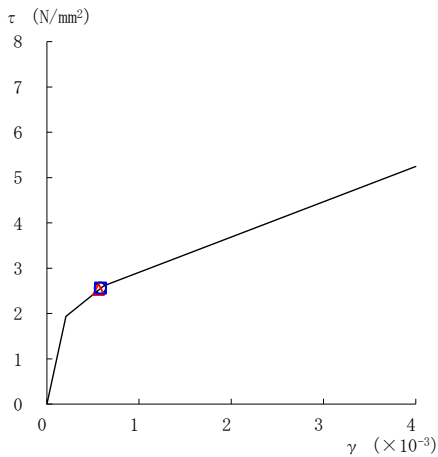
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

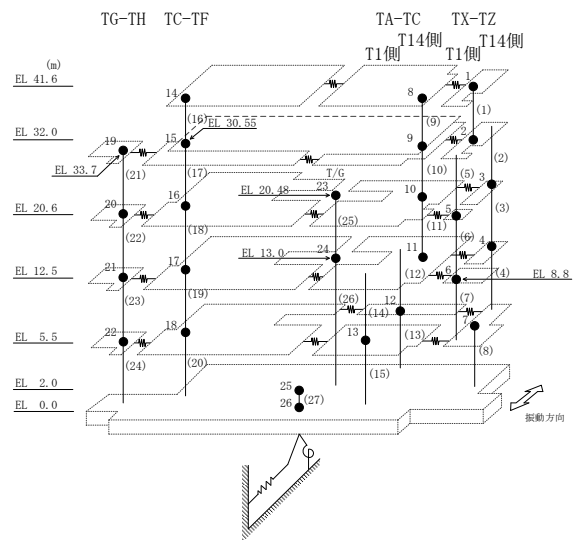
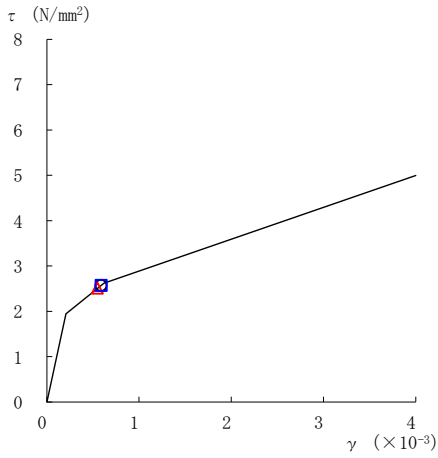
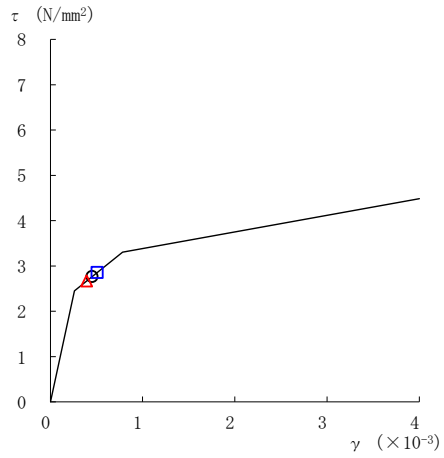


図 2-70(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, EW 方向)

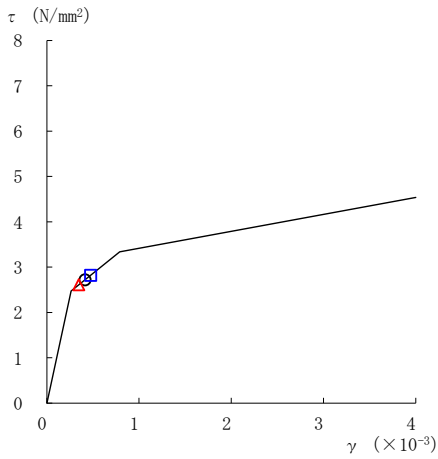
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



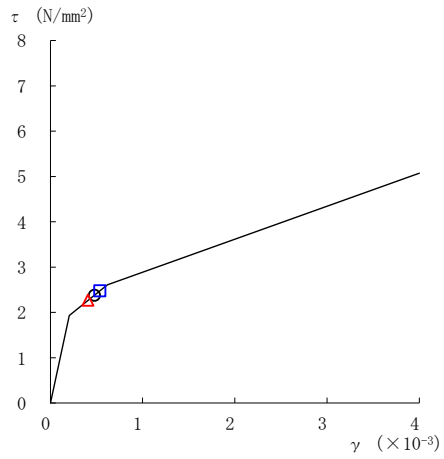
要素番号 (11)



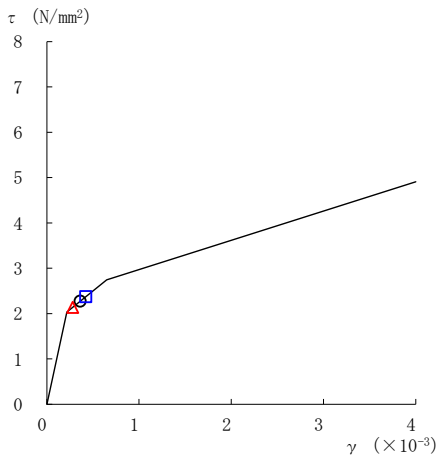
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

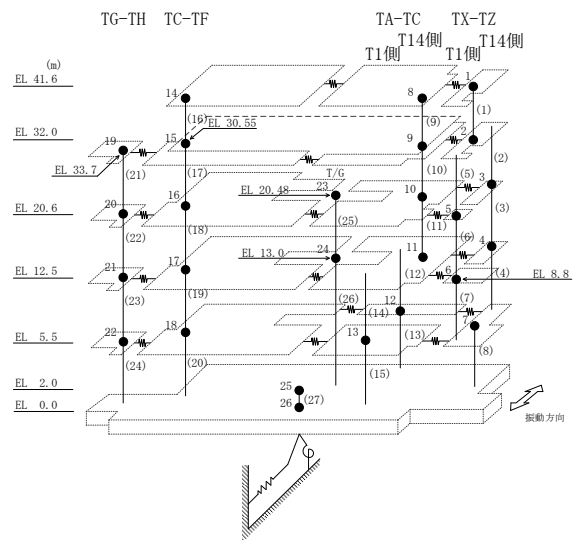
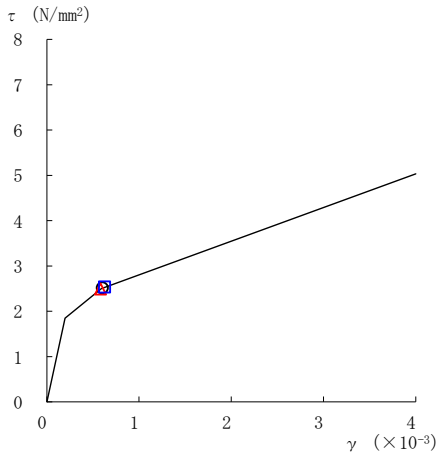
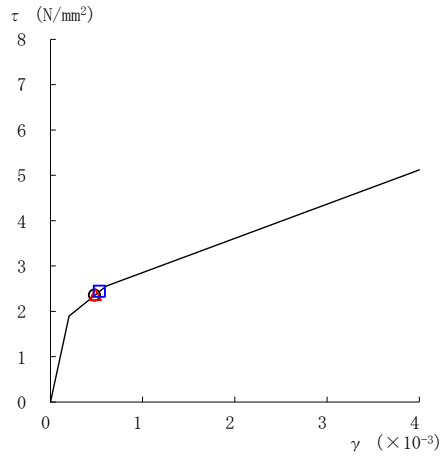


図 2-70(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-D, EW 方向)

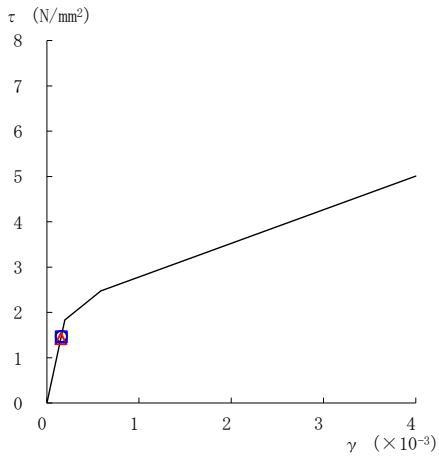
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



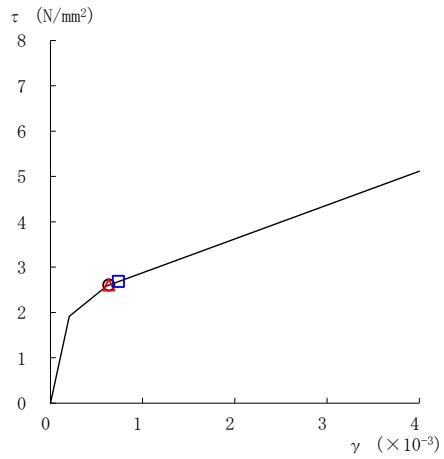
要素番号 (16)



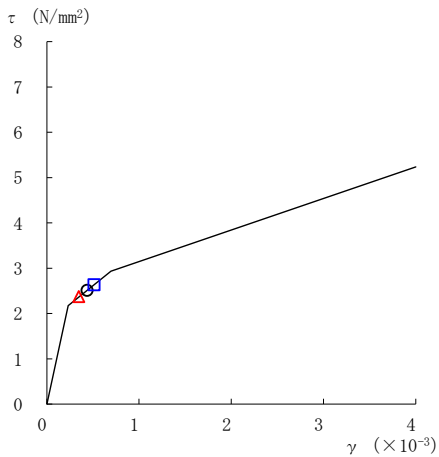
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

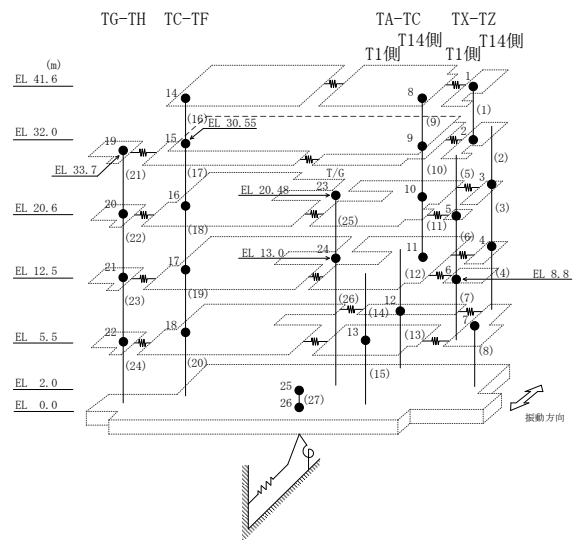
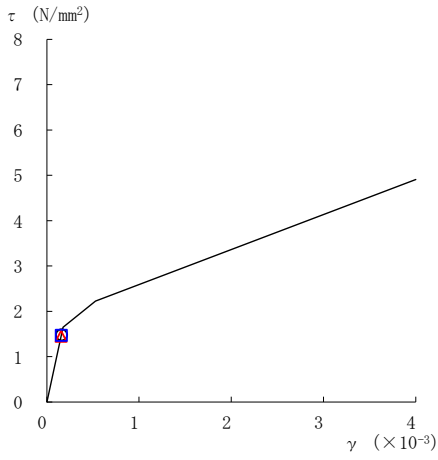
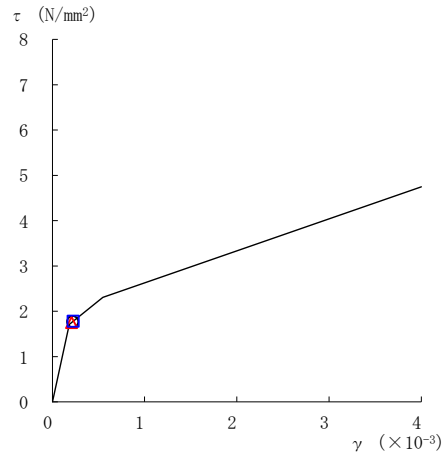


図 2-70(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, EW 方向)

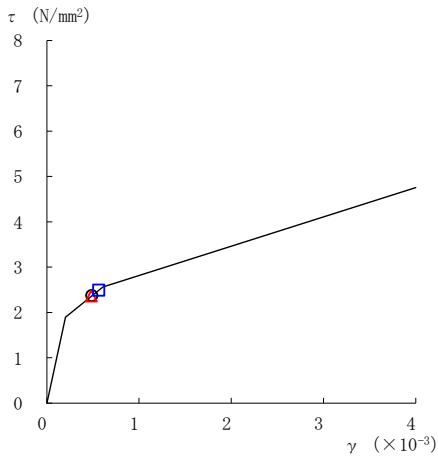
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



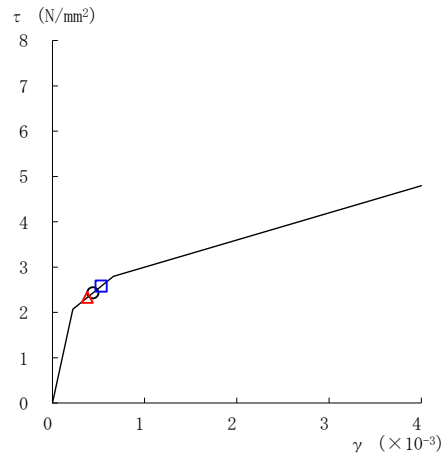
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

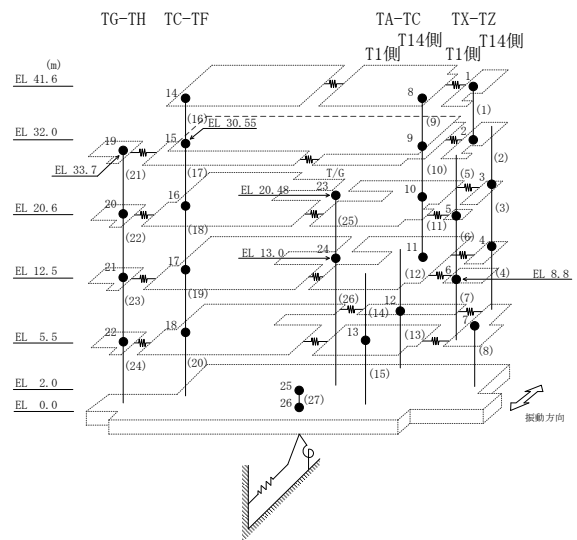
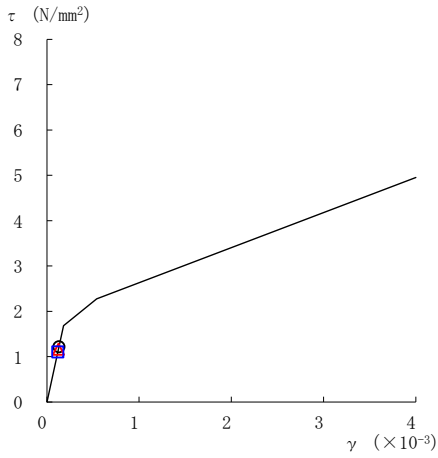
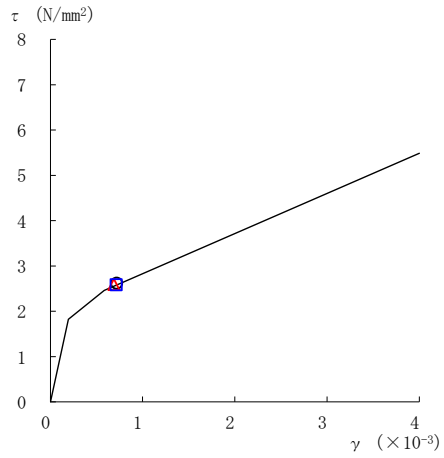


図 2-70(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, EW 方向)

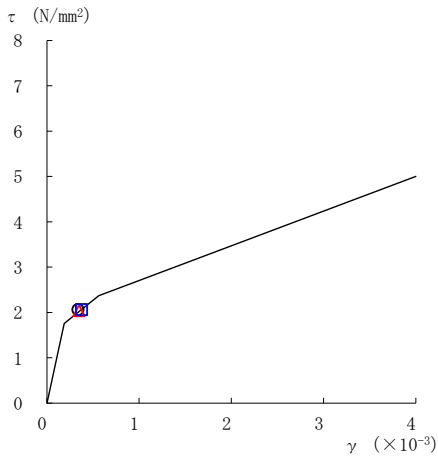
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



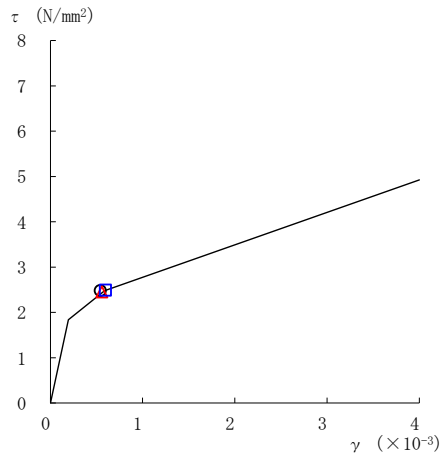
要素番号 (1)



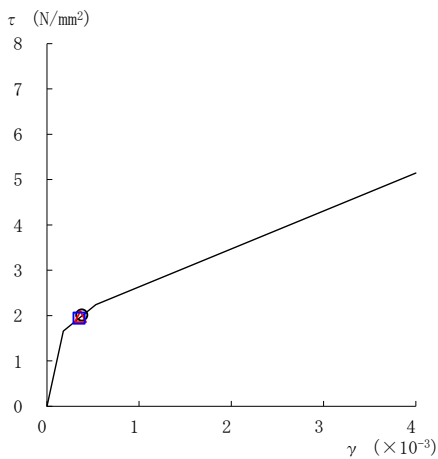
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

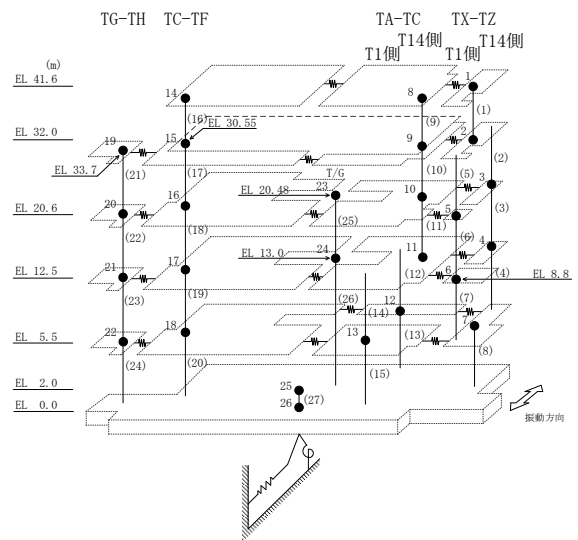
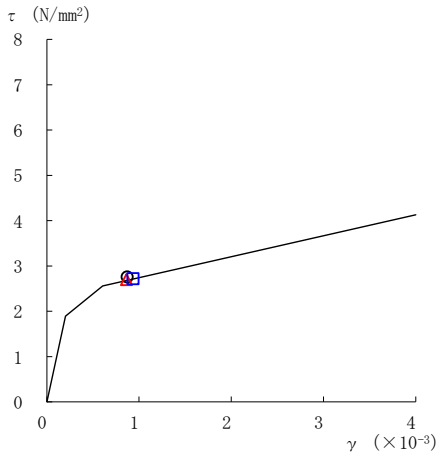
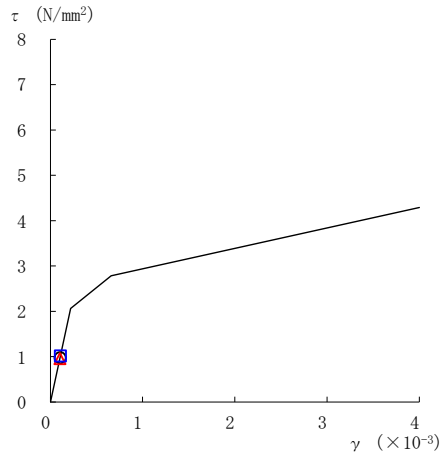


図 2-71(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

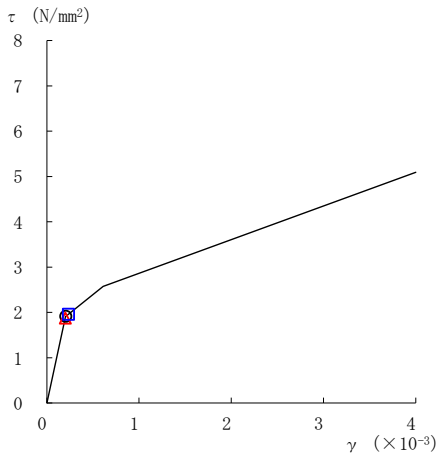
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



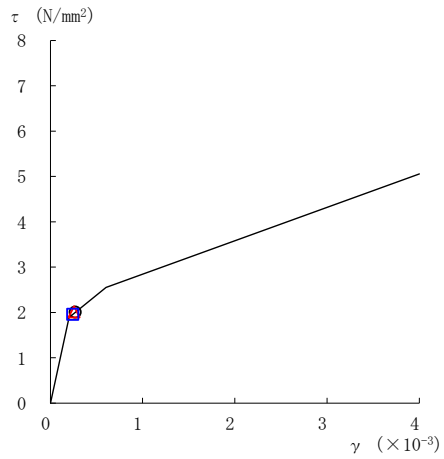
要素番号 (6)



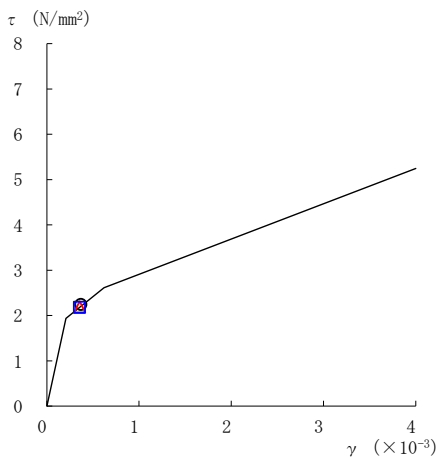
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

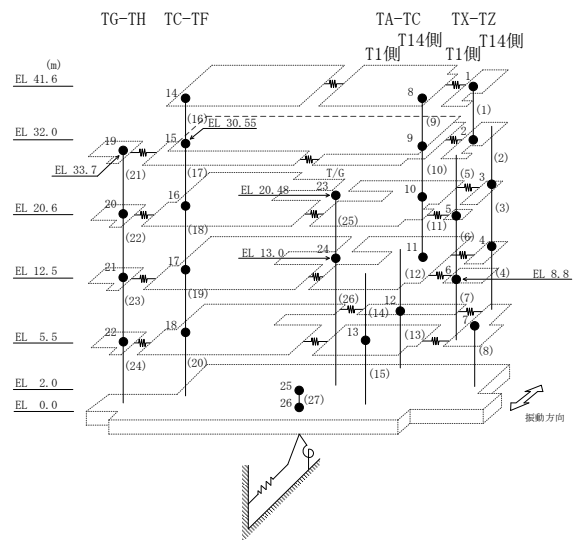
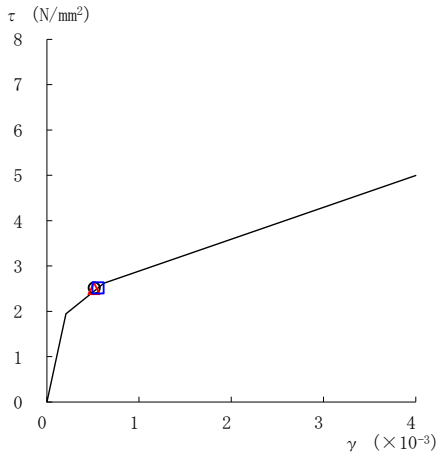
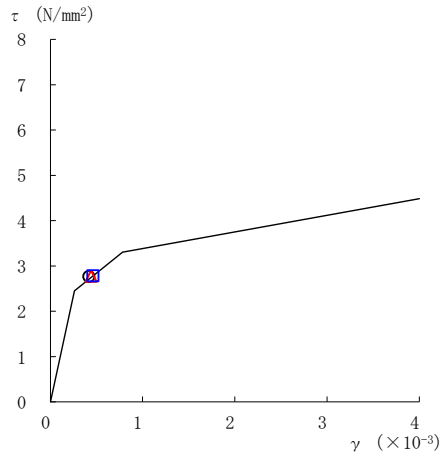


図 2-71(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

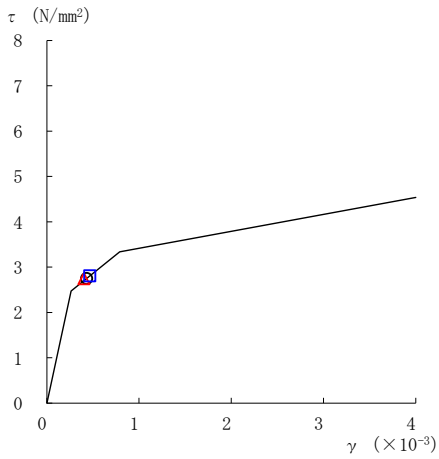
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



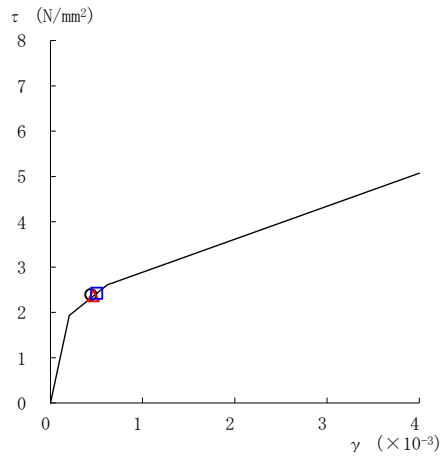
要素番号 (11)



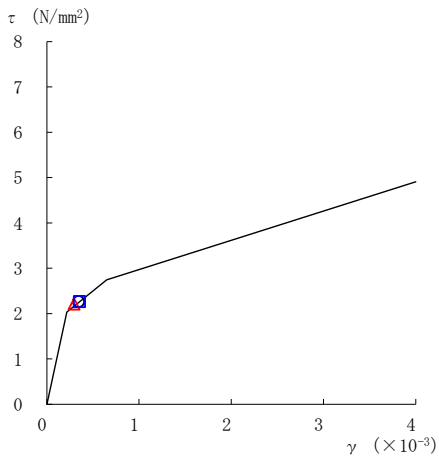
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

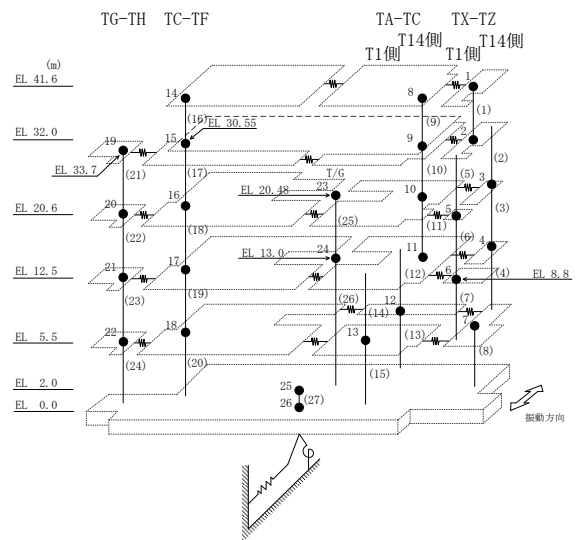
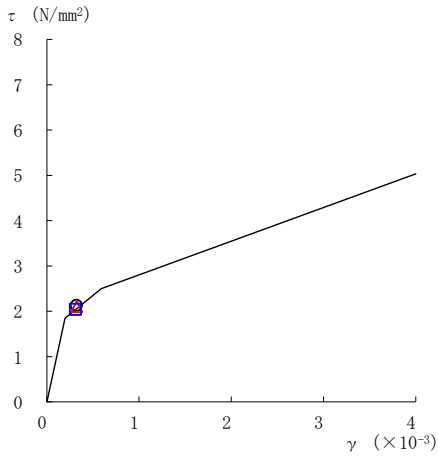
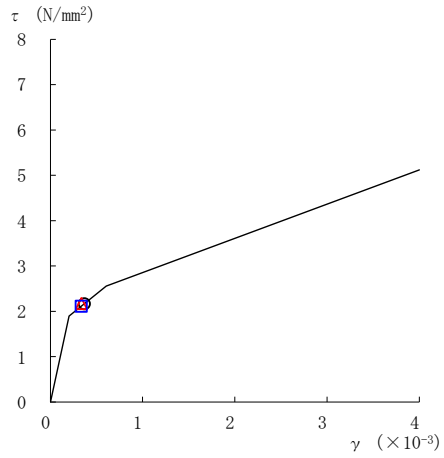


図 2-71 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

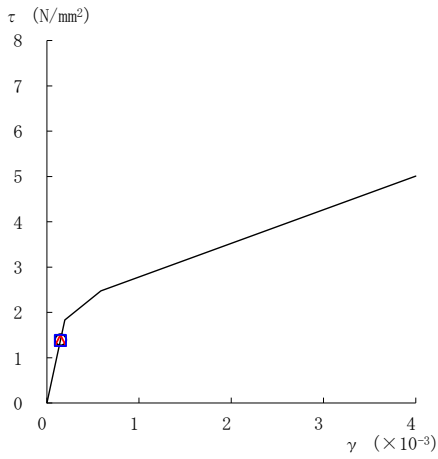
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



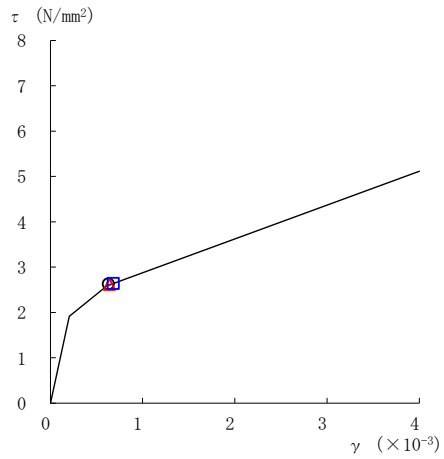
要素番号 (16)



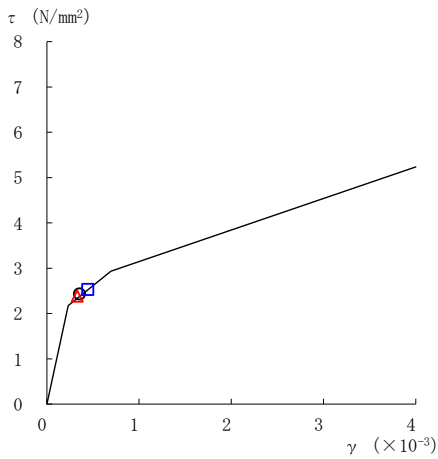
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

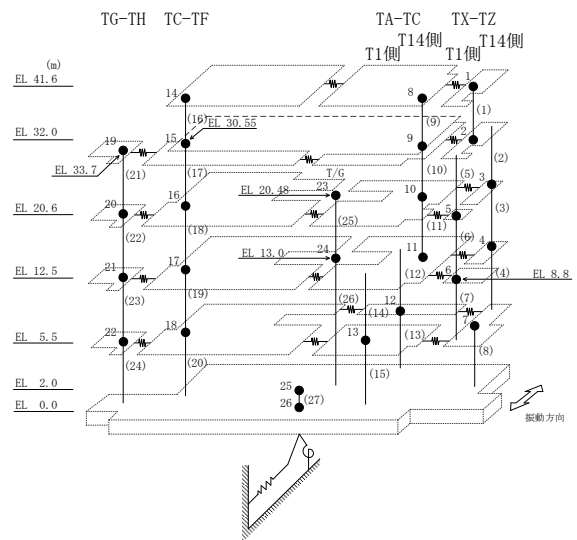
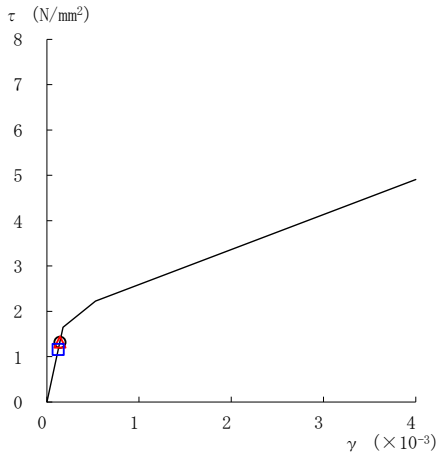
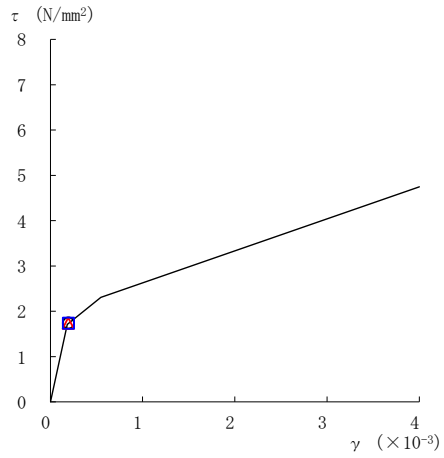


図 2-71(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

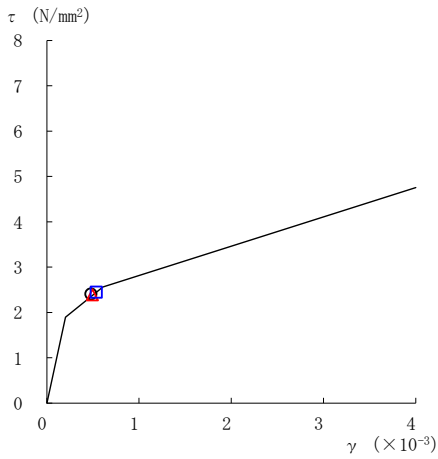
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



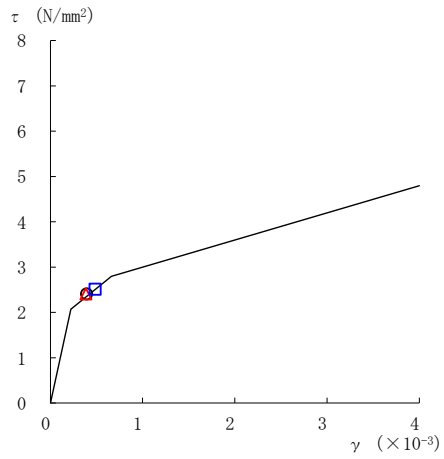
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

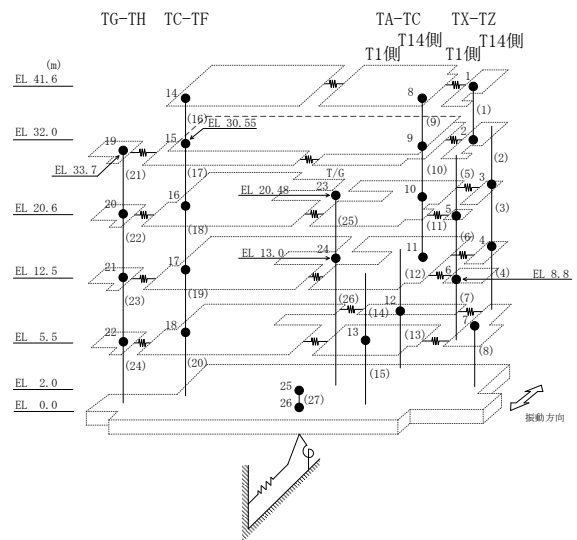
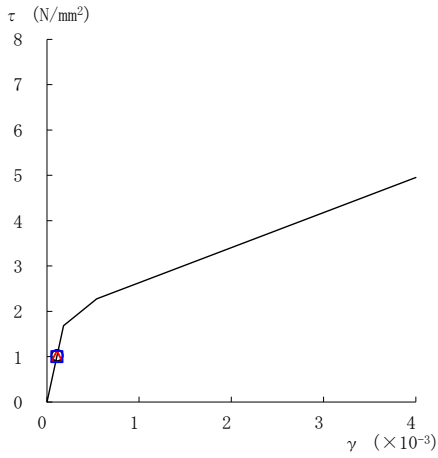
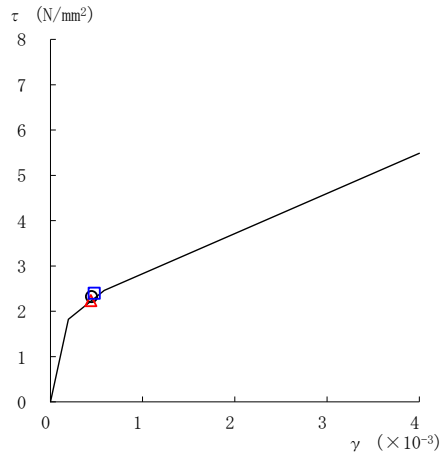


図 2-71(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

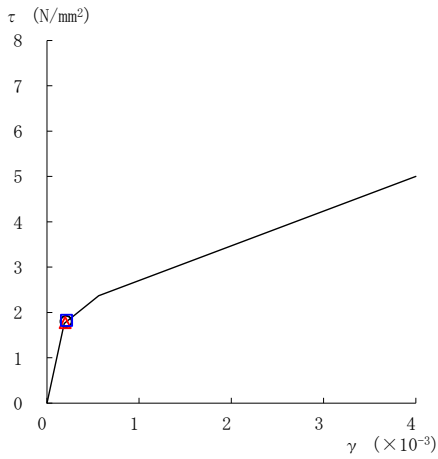
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



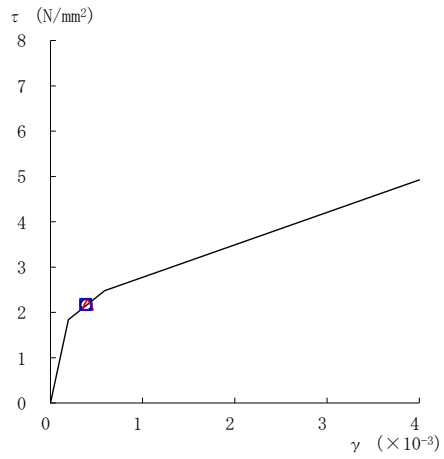
要素番号 (1)



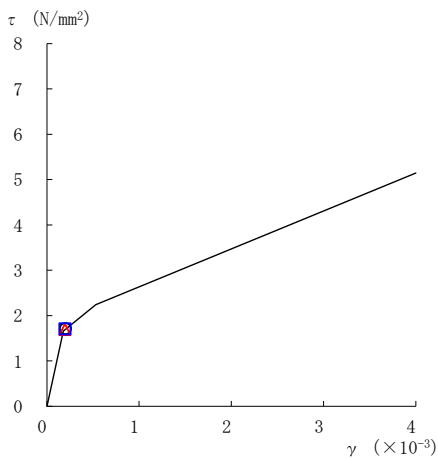
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

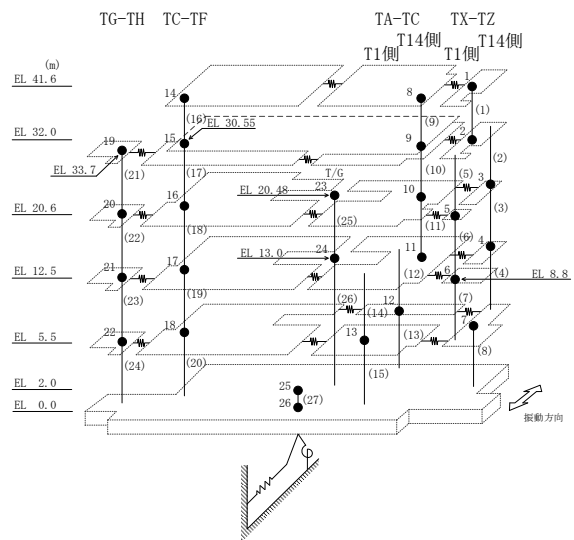
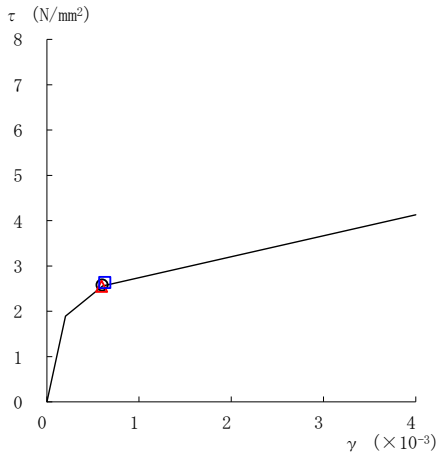
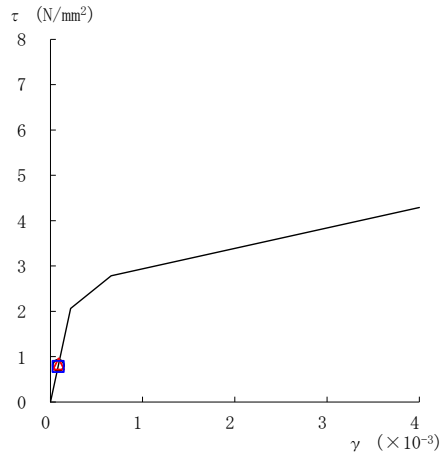


図 2-72(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, EW 方向)

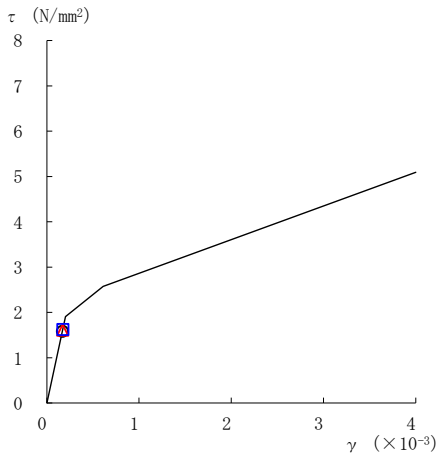
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



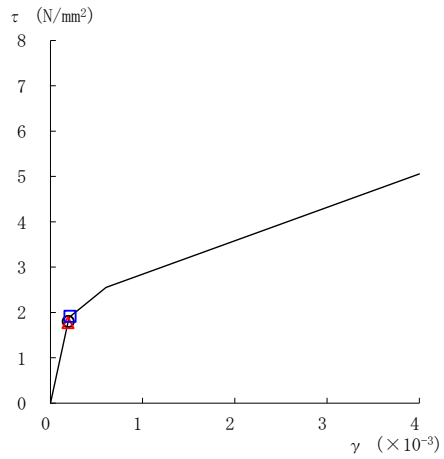
要素番号 (6)



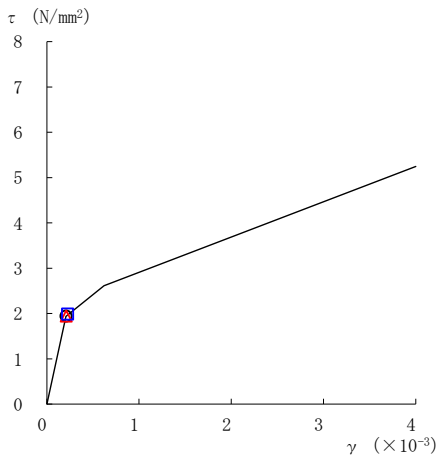
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

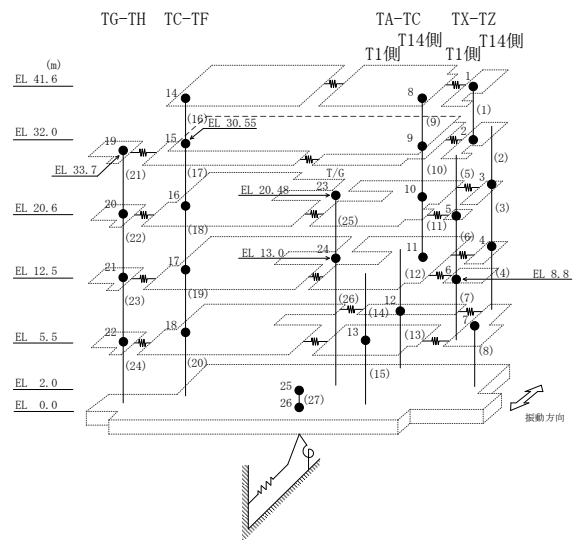
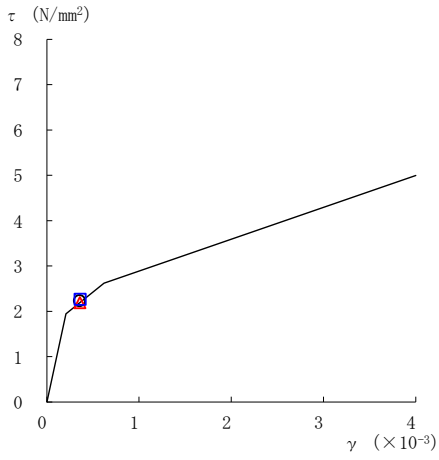
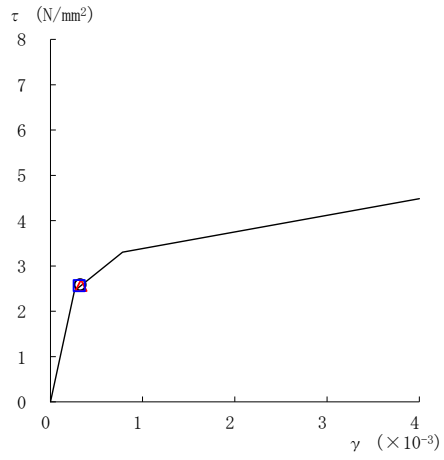


図 2-72(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 2, EW 方向)

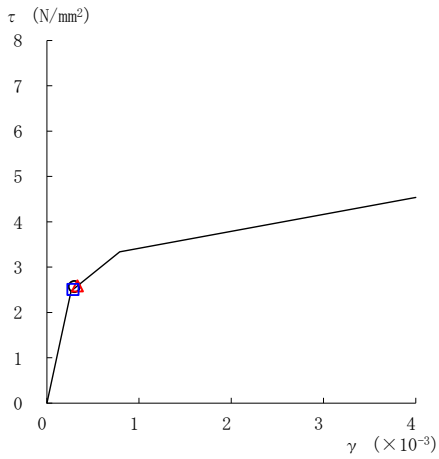
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



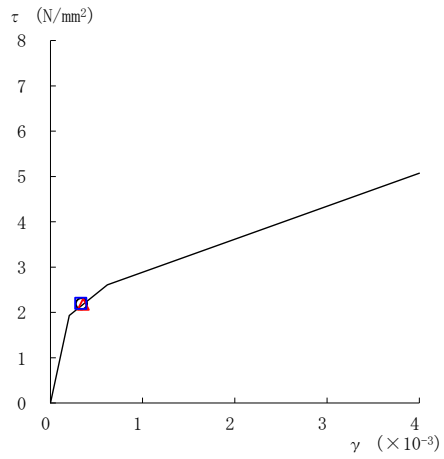
要素番号 (11)



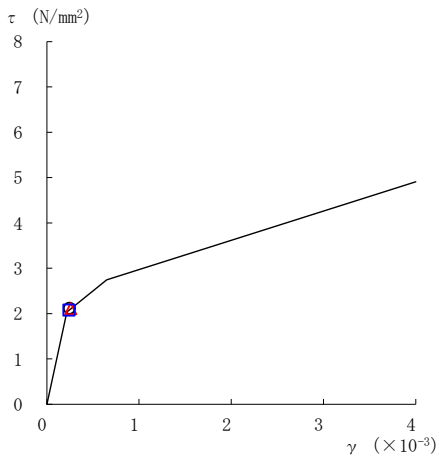
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

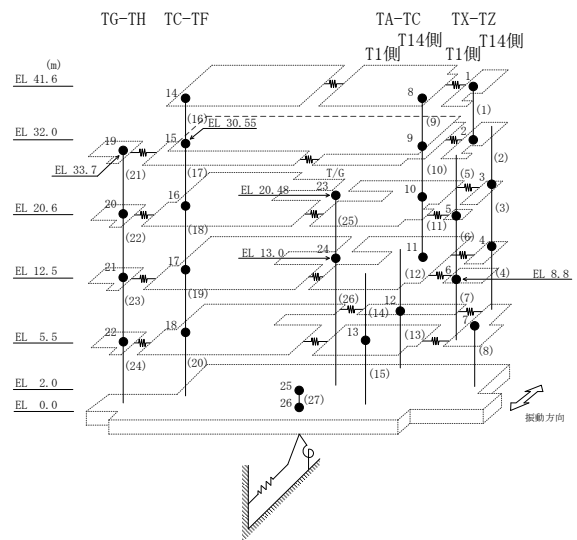
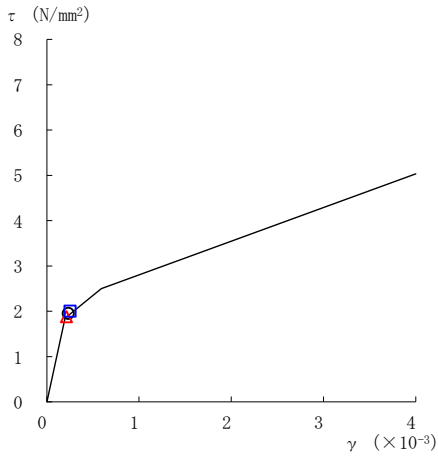
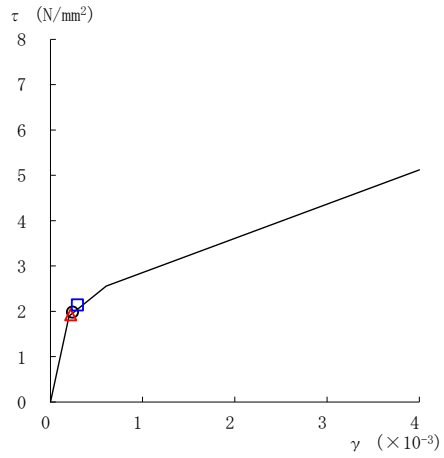


図 2-72(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, EW 方向)

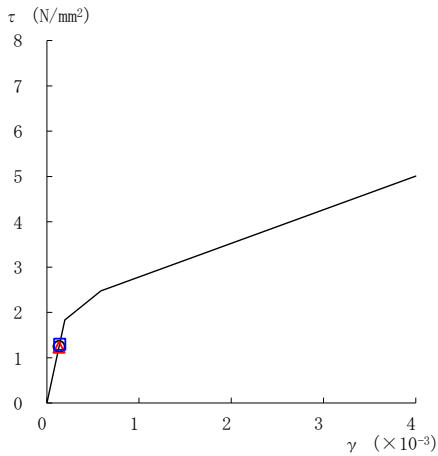
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



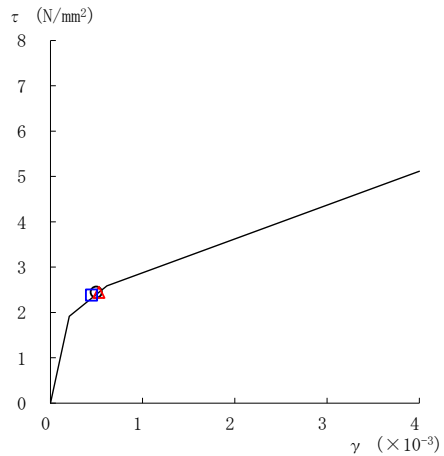
要素番号 (16)



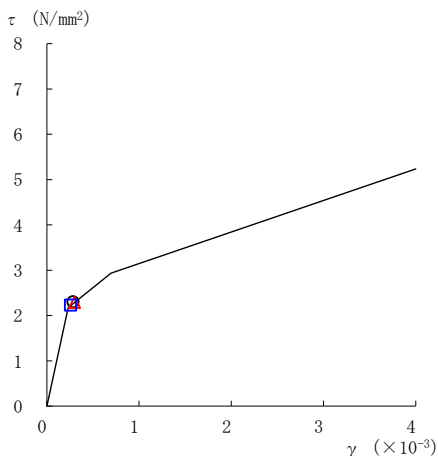
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

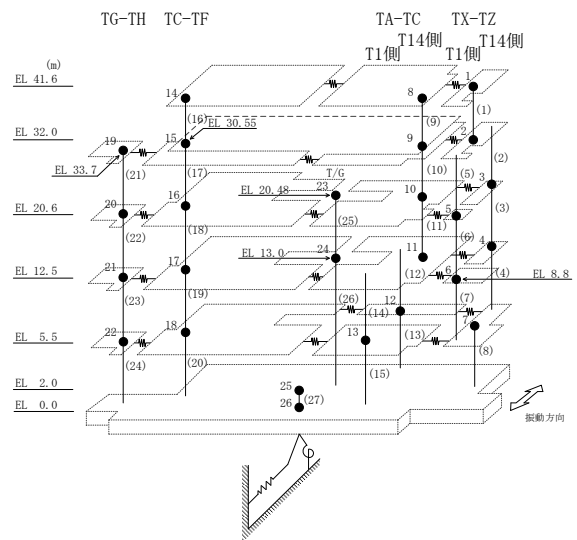
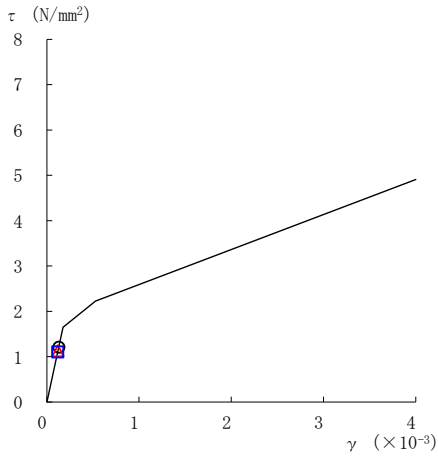
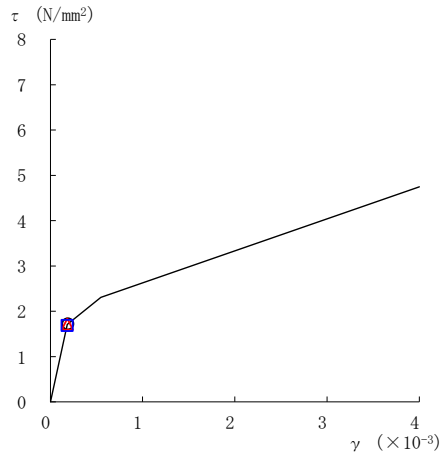


図 2-72(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, EW 方向)

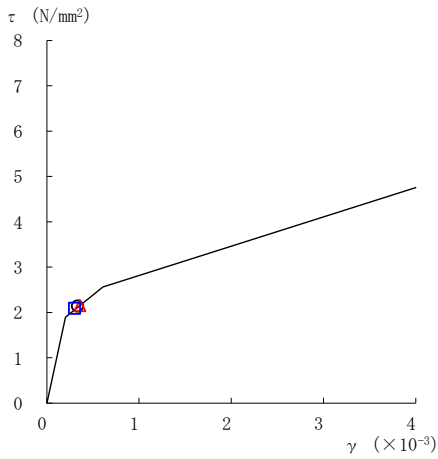
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



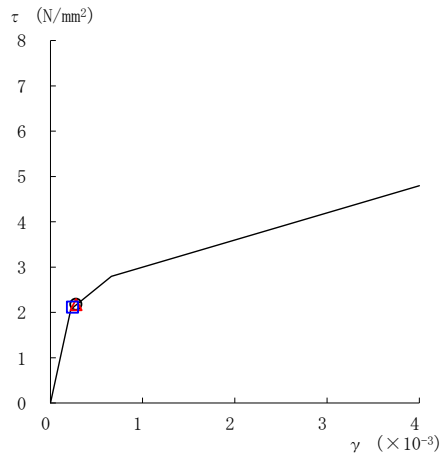
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

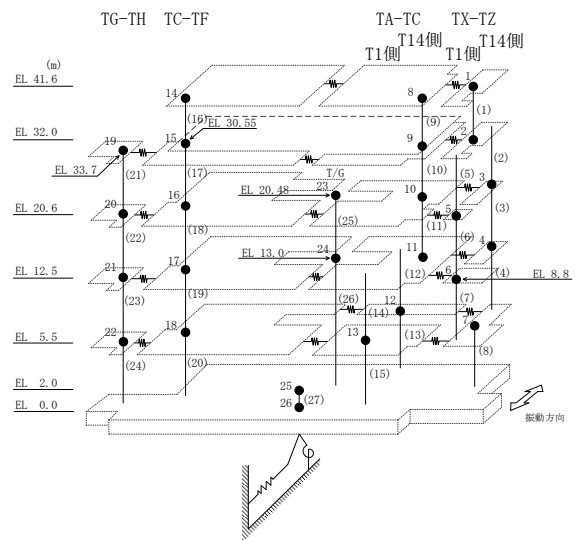
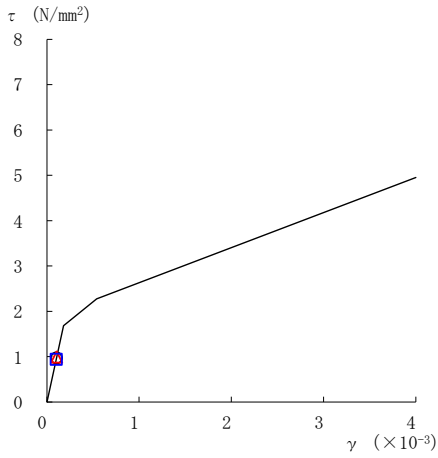
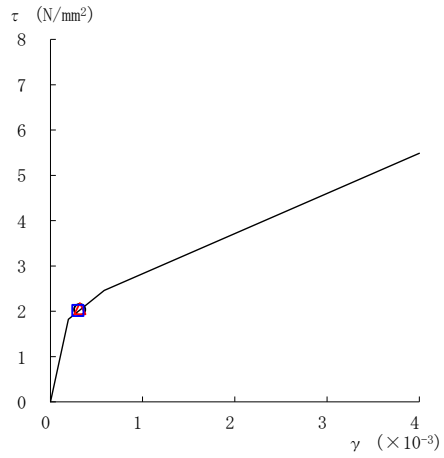


図 2-72(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, EW 方向)

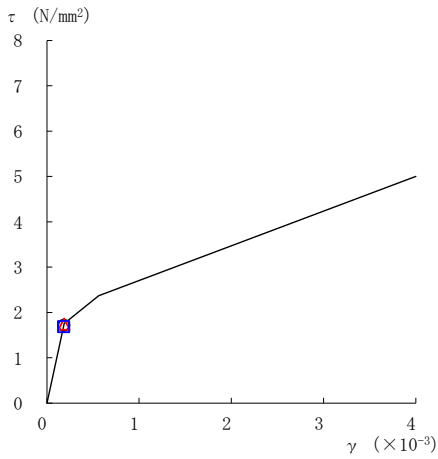
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



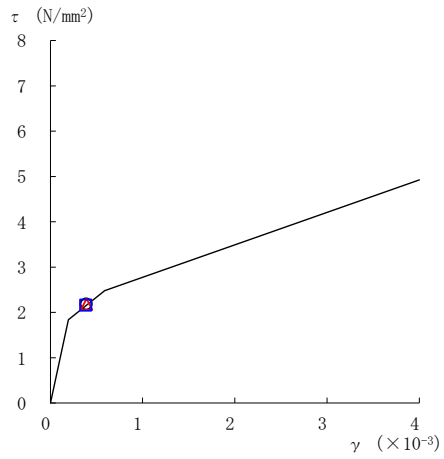
要素番号 (1)



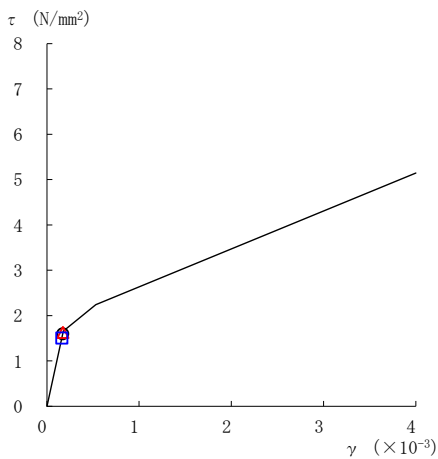
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

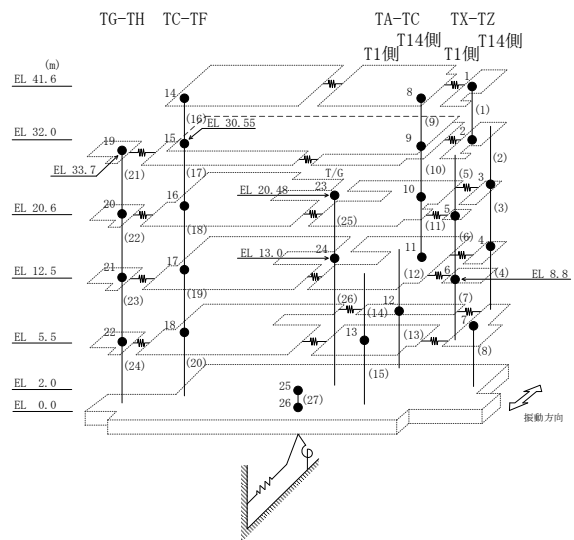
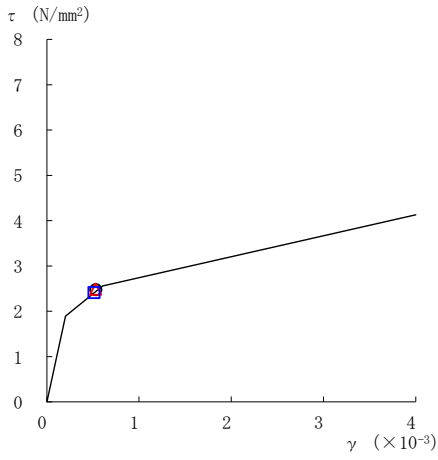
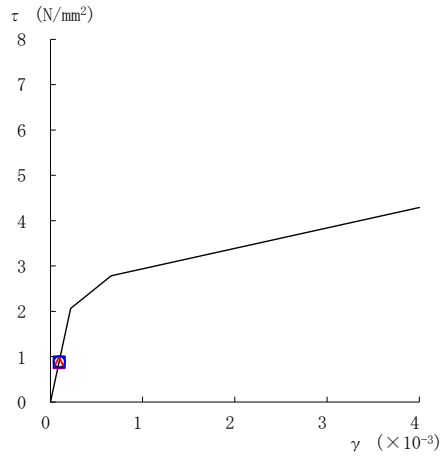


図 2-73(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

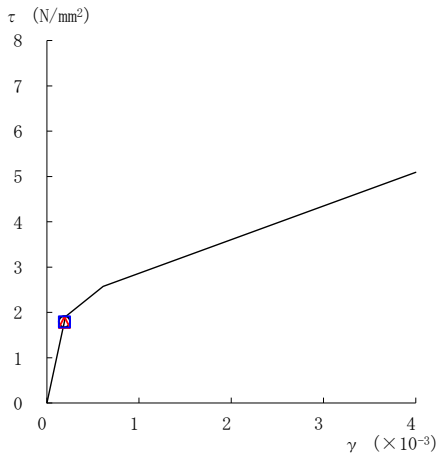
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



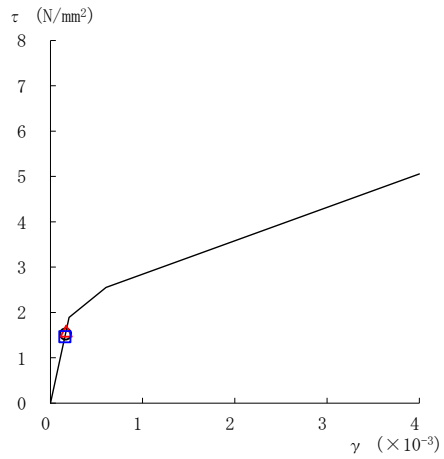
要素番号 (6)



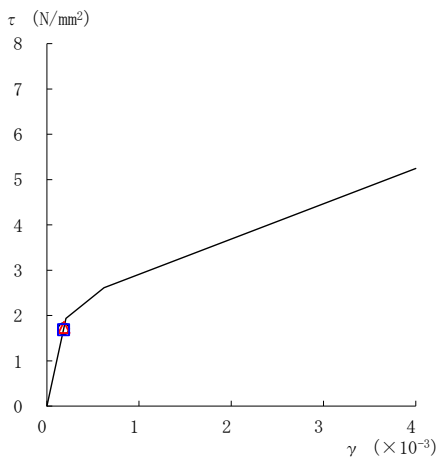
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

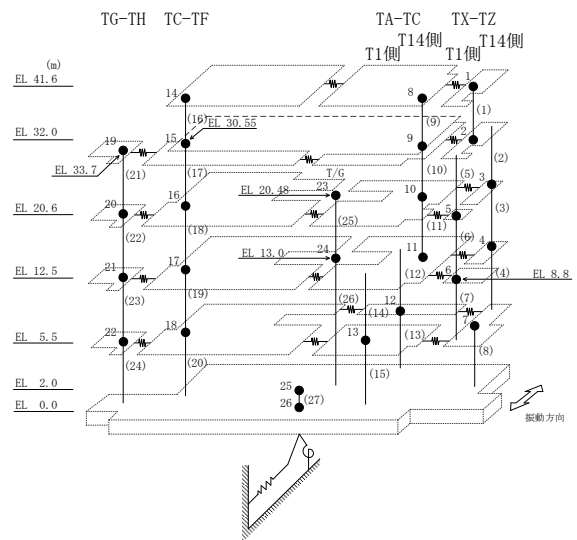
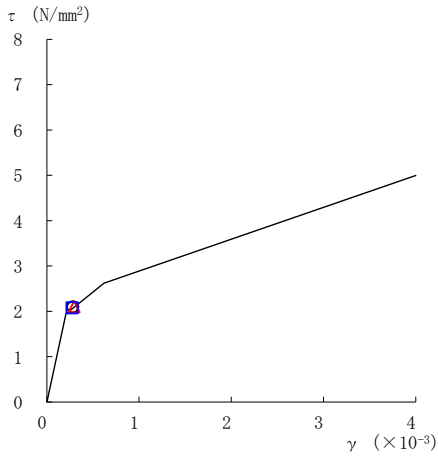
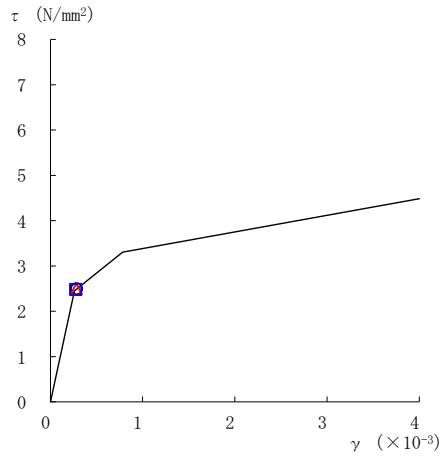


図 2-73(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

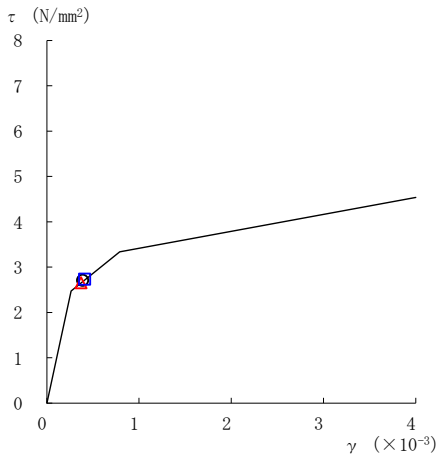
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



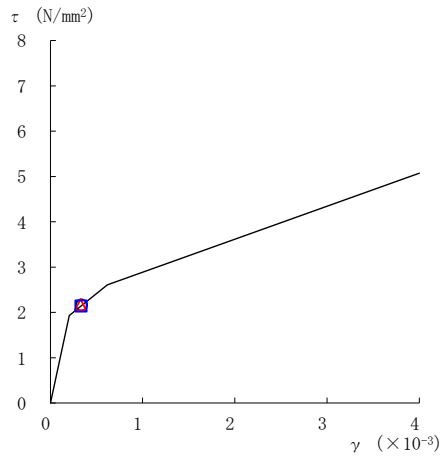
要素番号 (11)



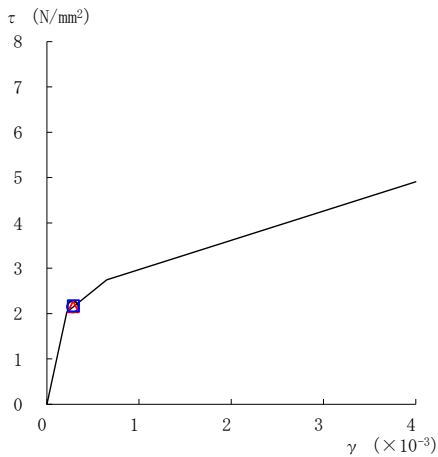
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

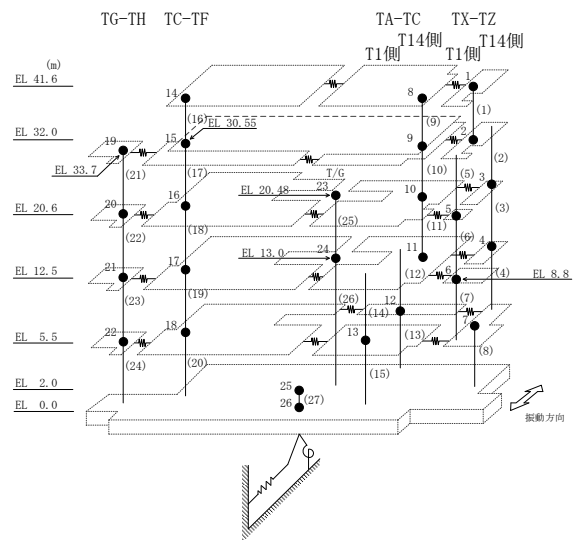
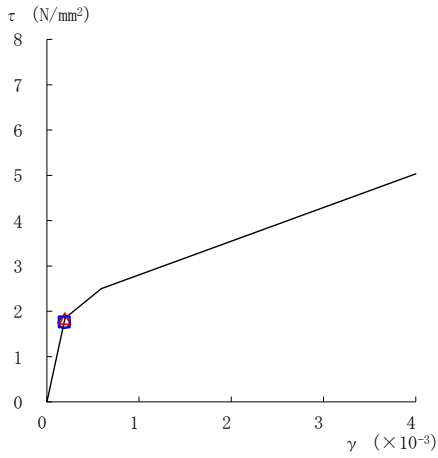
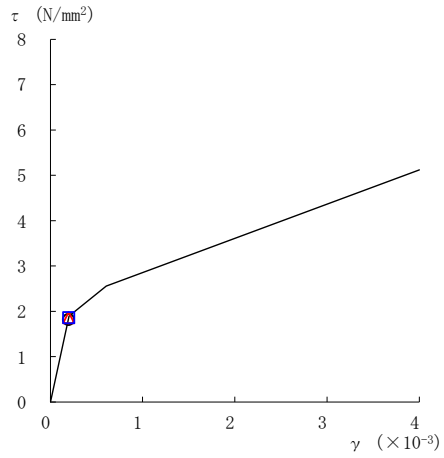


図 2-73(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

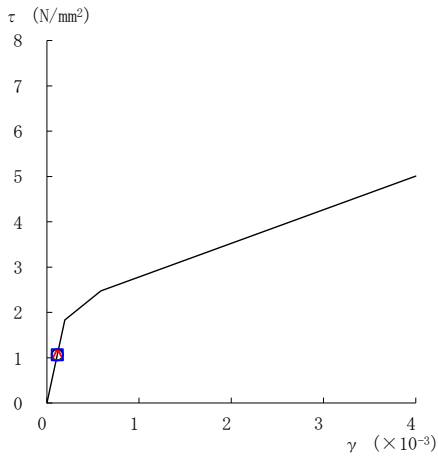
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



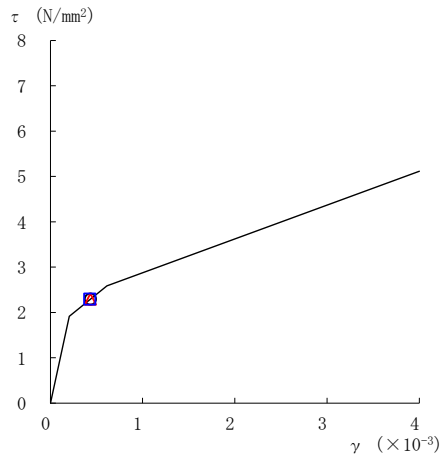
要素番号 (16)



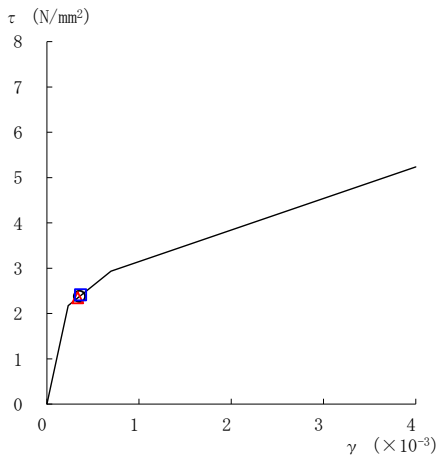
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

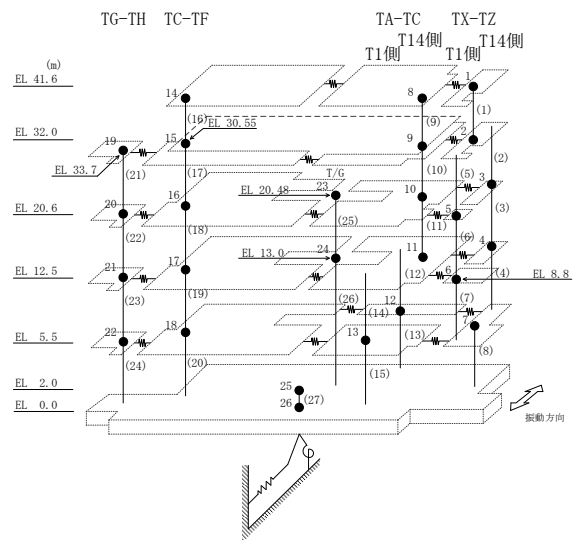
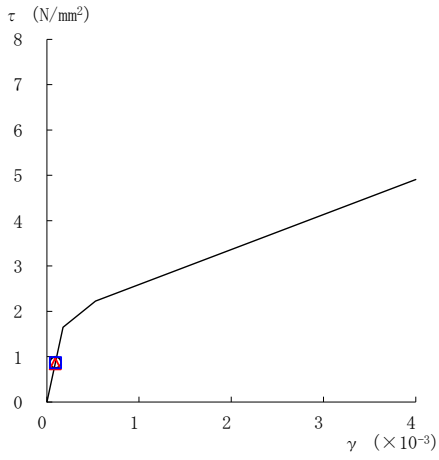
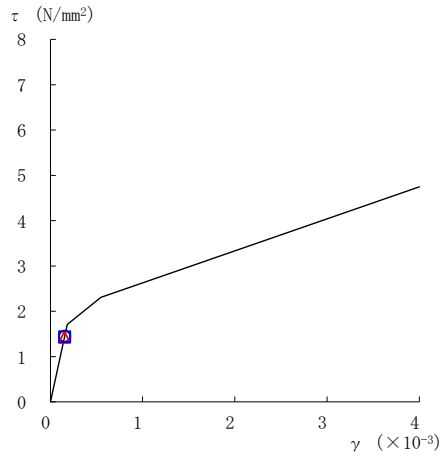


図 2-73(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

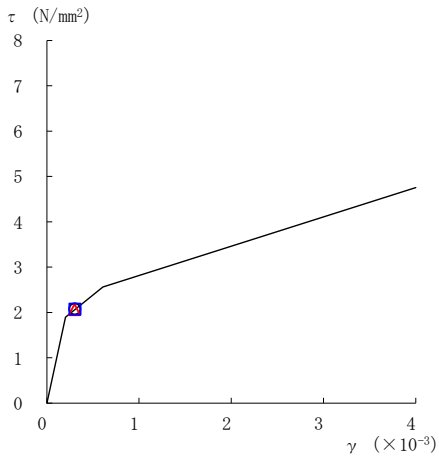
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



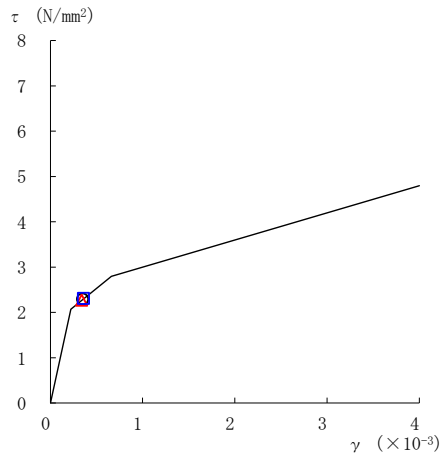
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

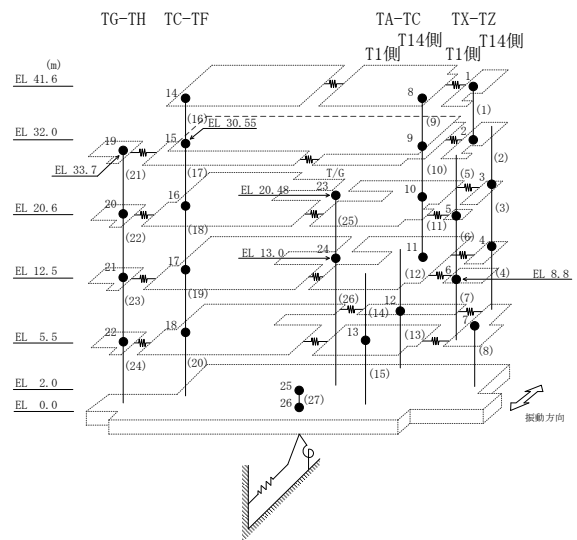
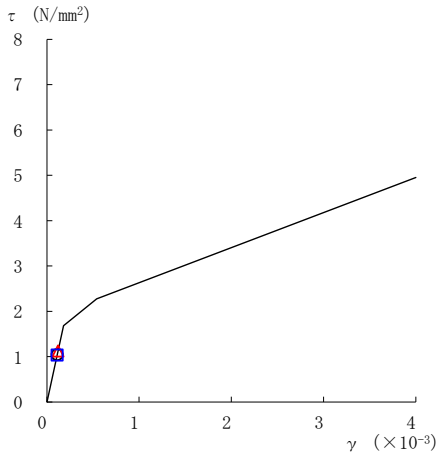
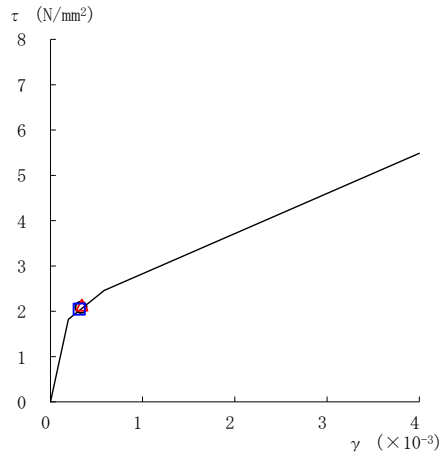


図 2-73(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

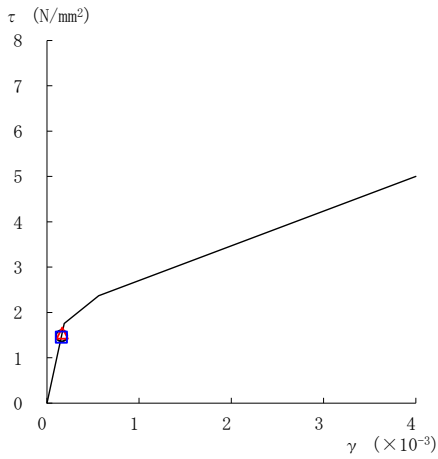
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



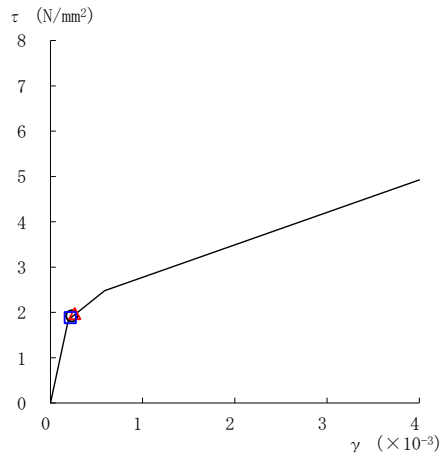
要素番号 (1)



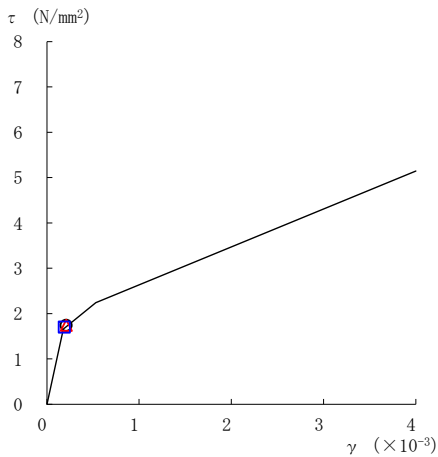
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

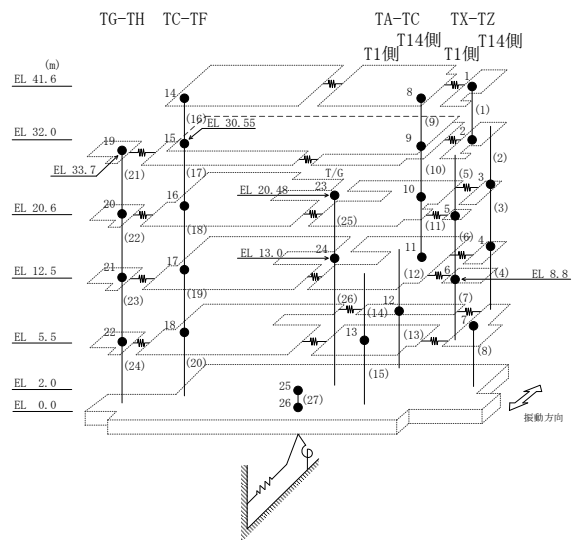
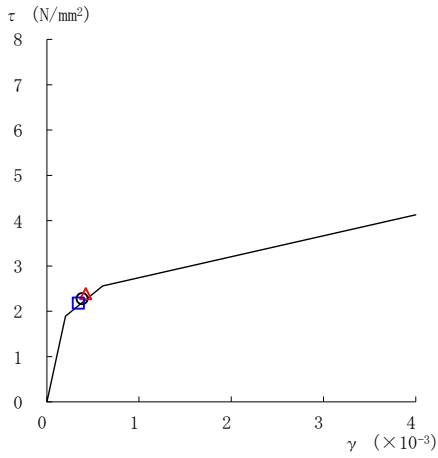
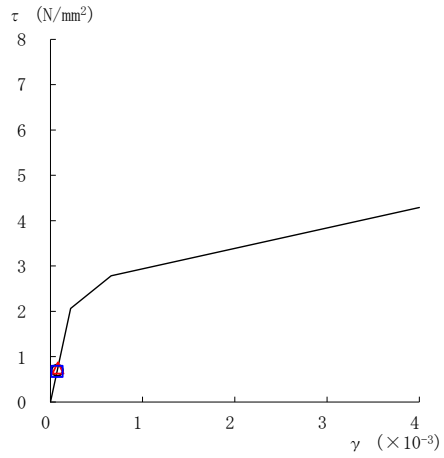


図 2-74(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

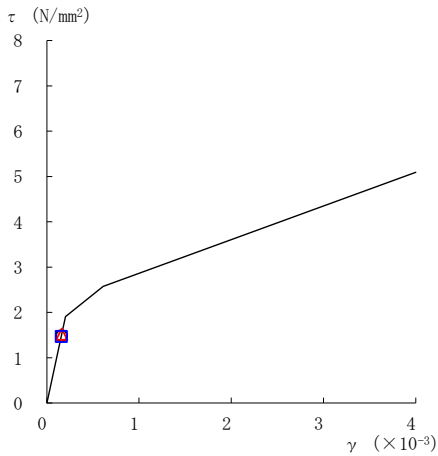
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



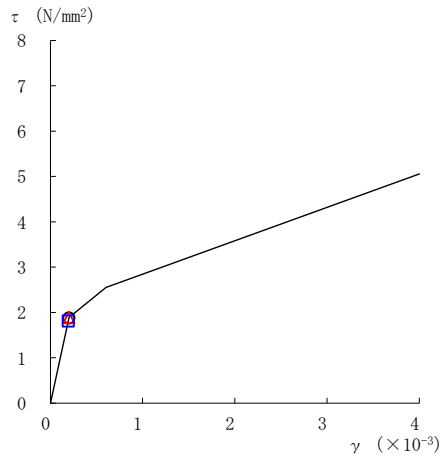
要素番号 (6)



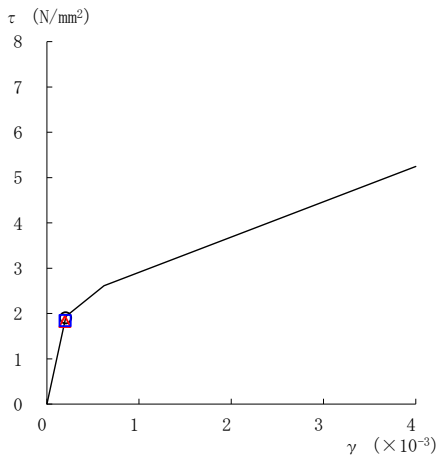
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

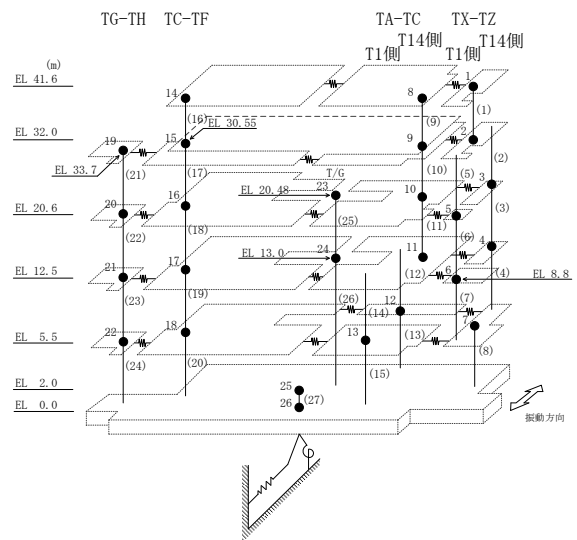
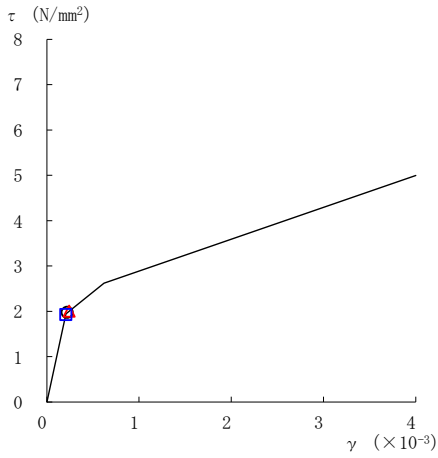
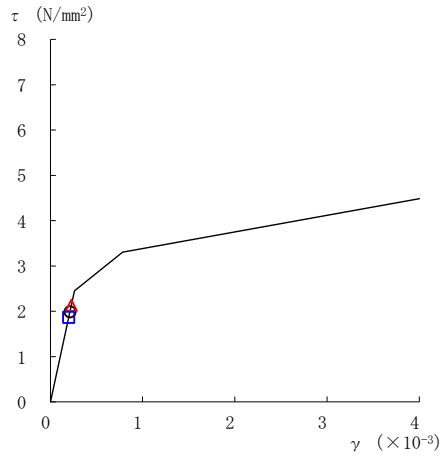


図 2-74(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-N2NS, EW 方向)

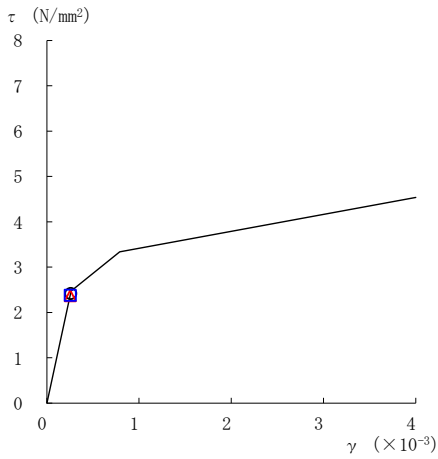
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



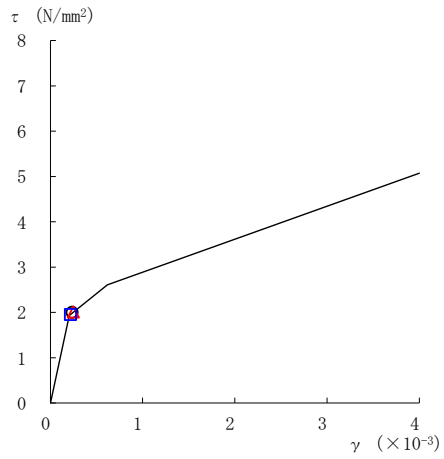
要素番号 (11)



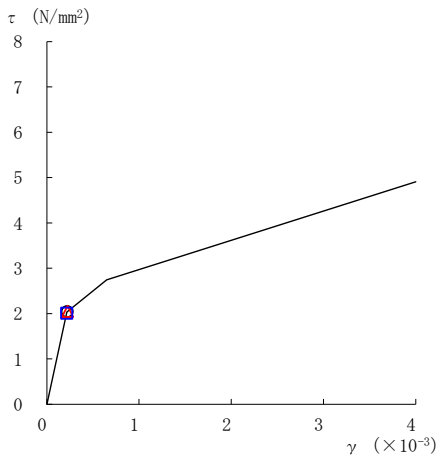
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

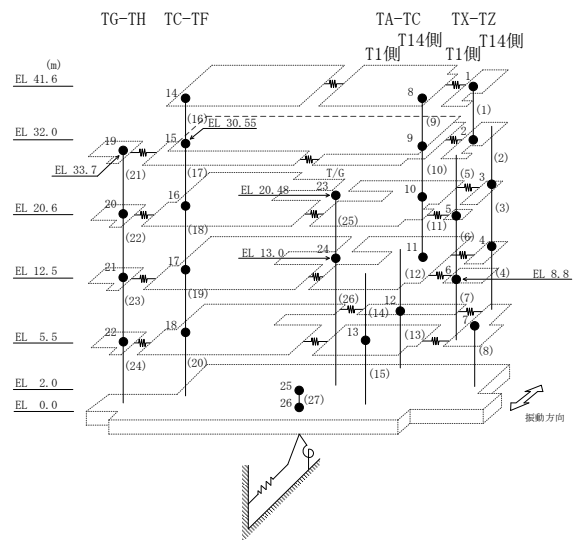
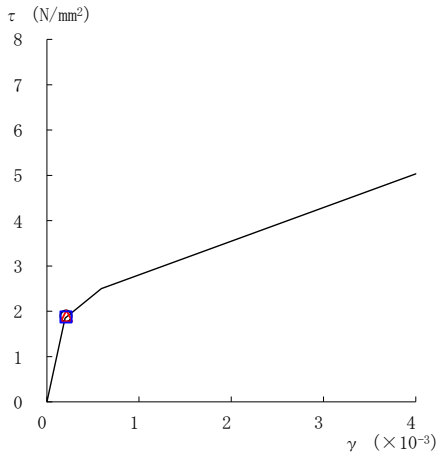
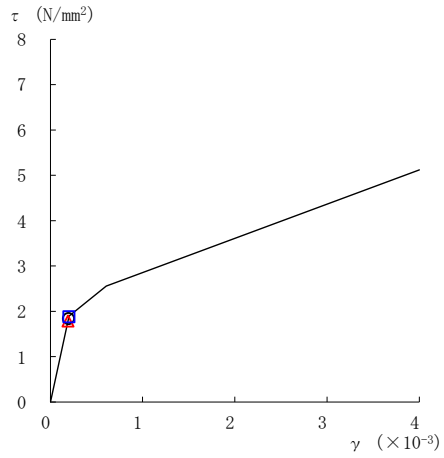


図 2-74(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

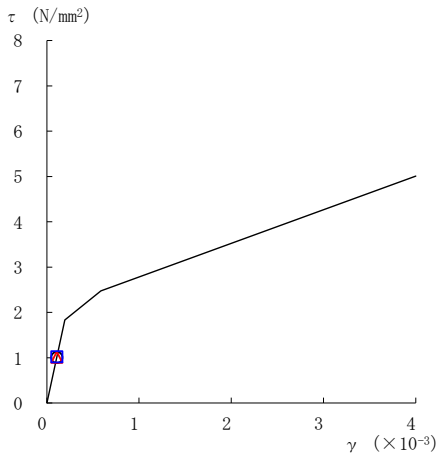
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



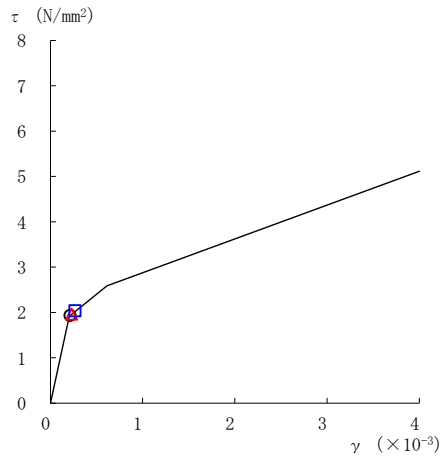
要素番号 (16)



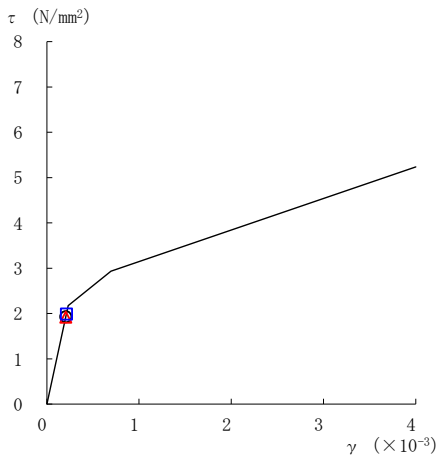
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

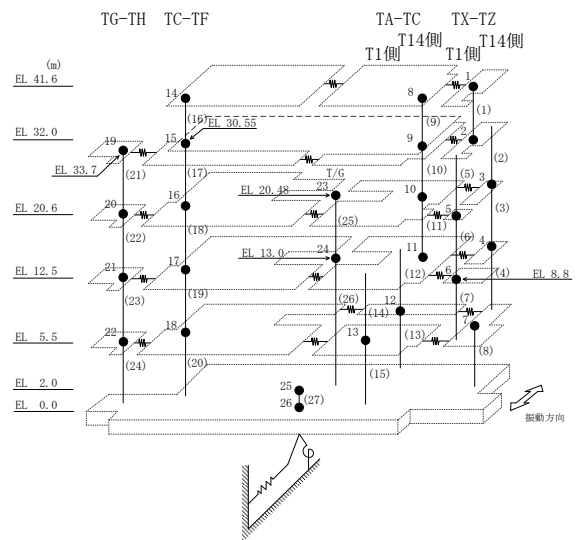
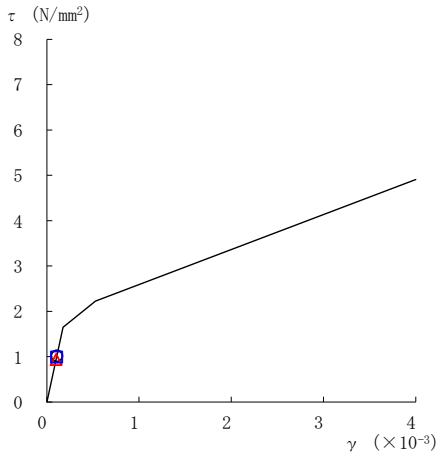
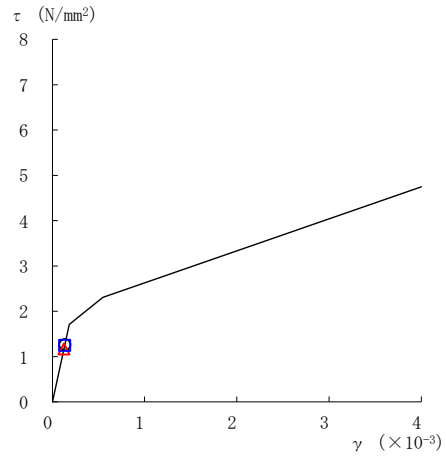


図 2-74(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

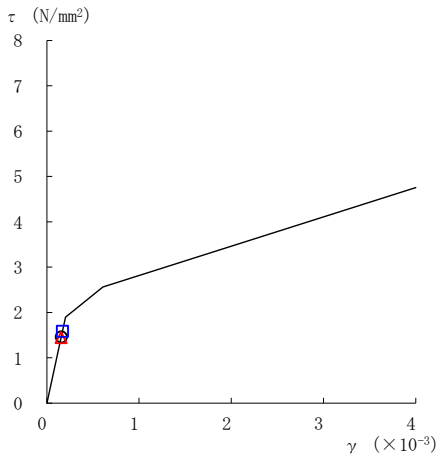
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



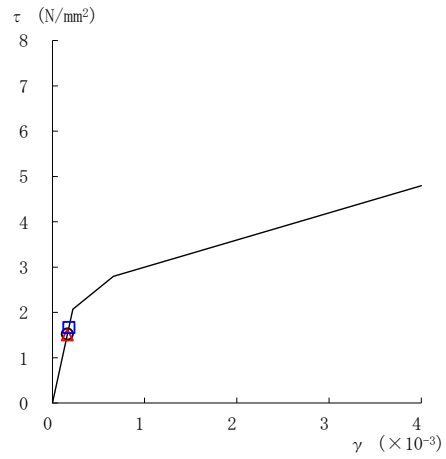
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

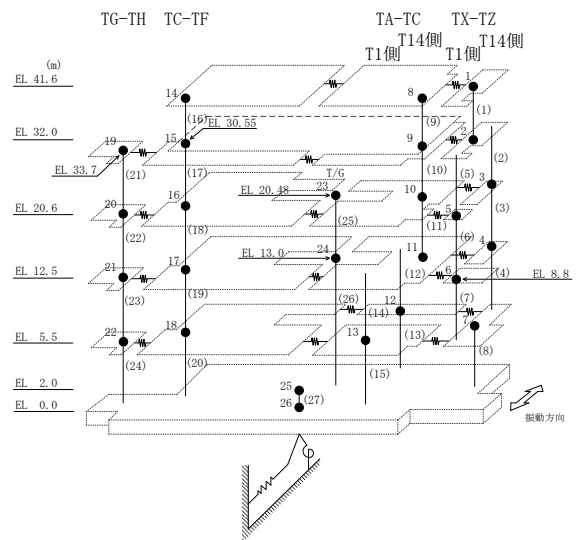
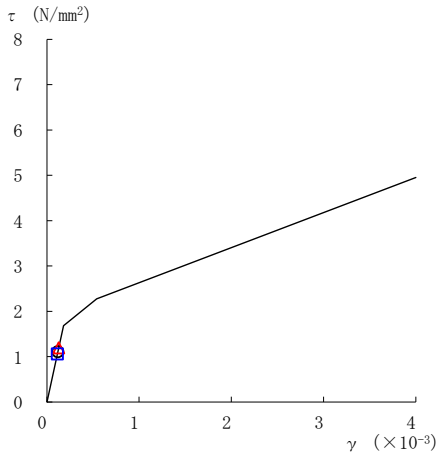
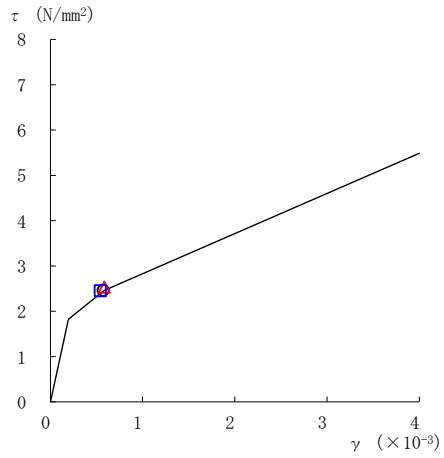


図 2-74(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

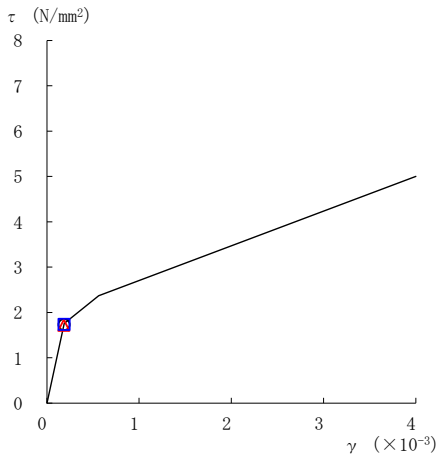
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



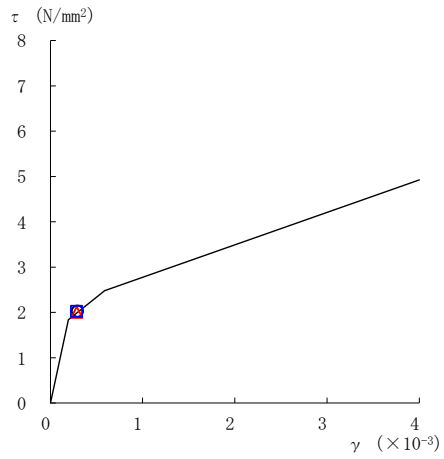
要素番号 (1)



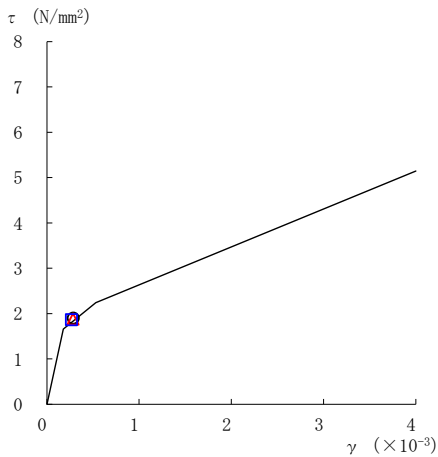
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

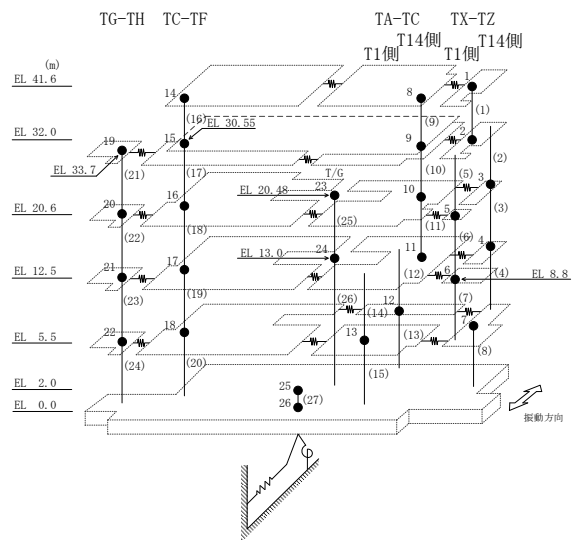
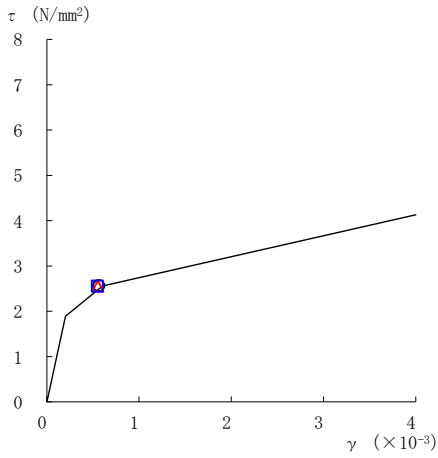
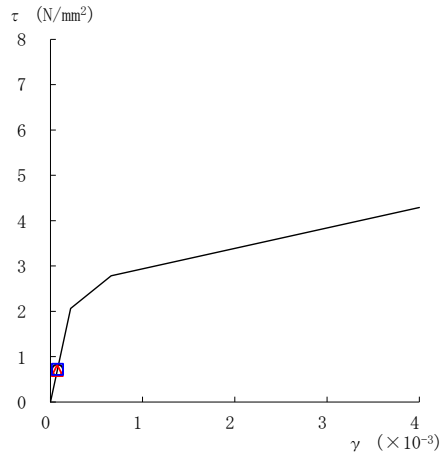


図 2-75(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

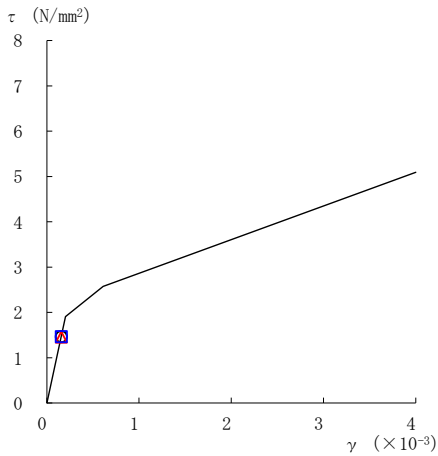
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



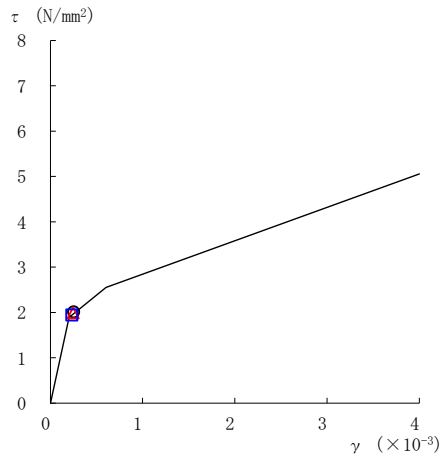
要素番号 (6)



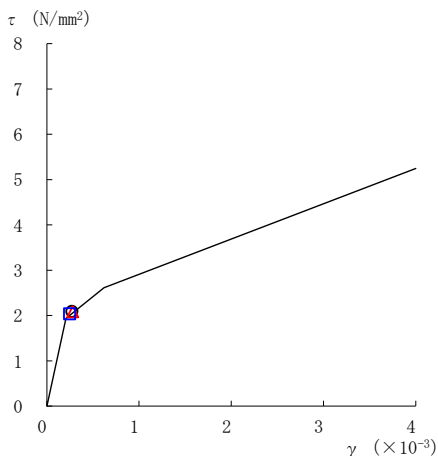
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

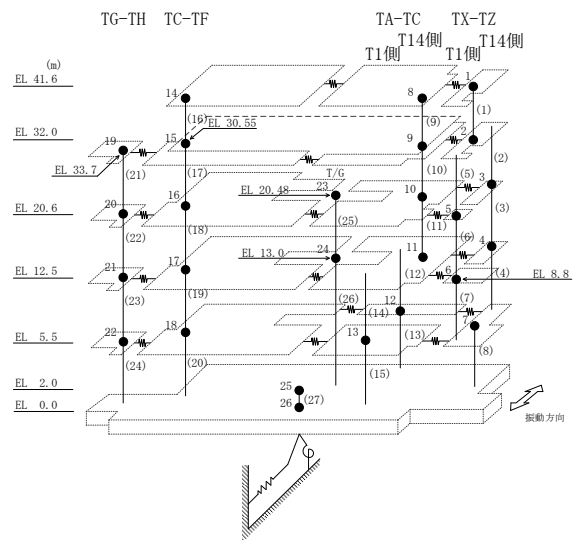
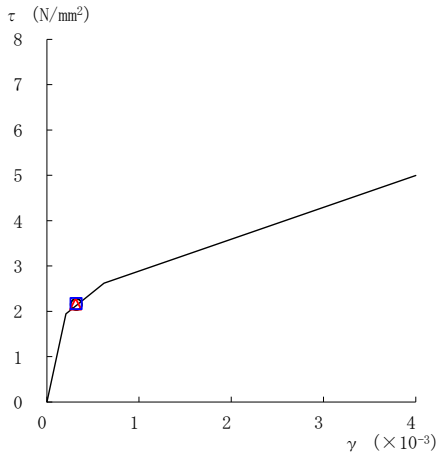
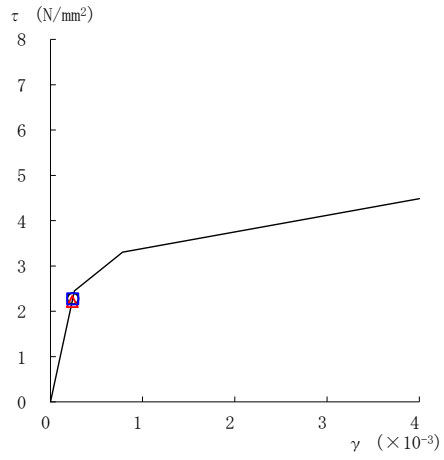


図 2-75(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-N2EW, EW方向)

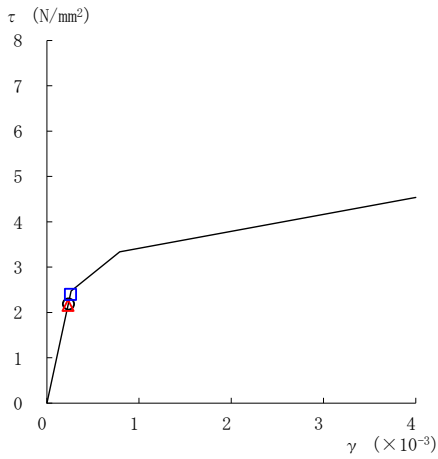
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



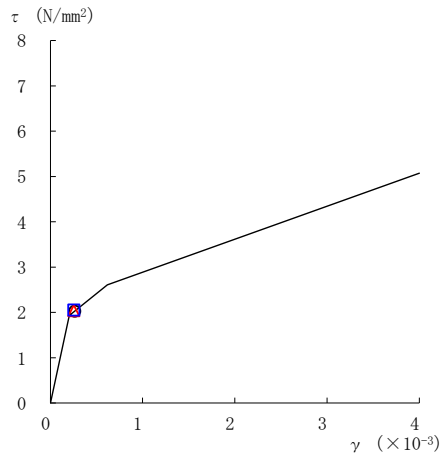
要素番号 (11)



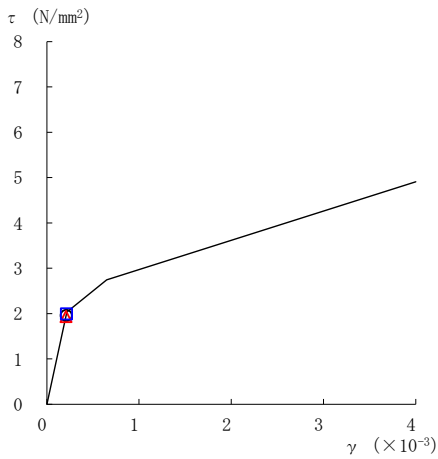
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

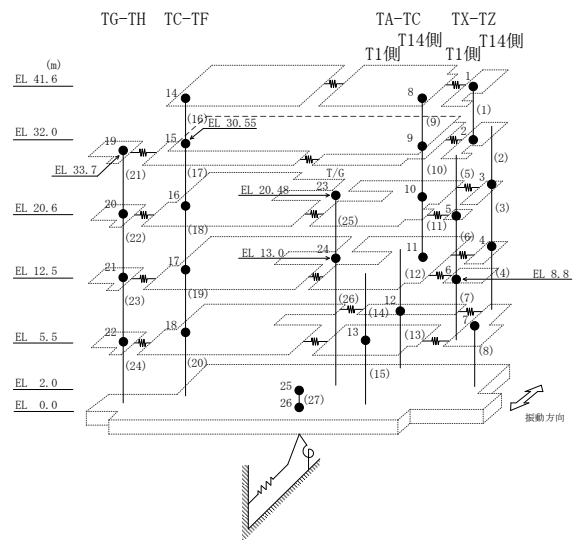
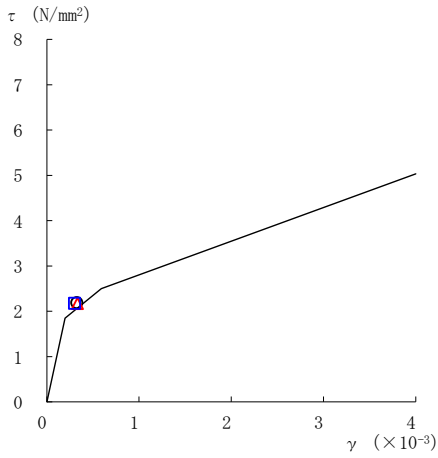
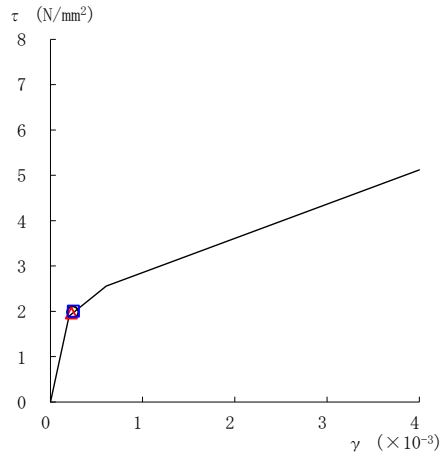


図 2-75(3) セン断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

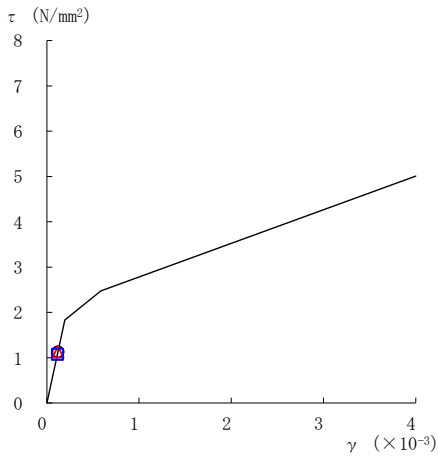
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



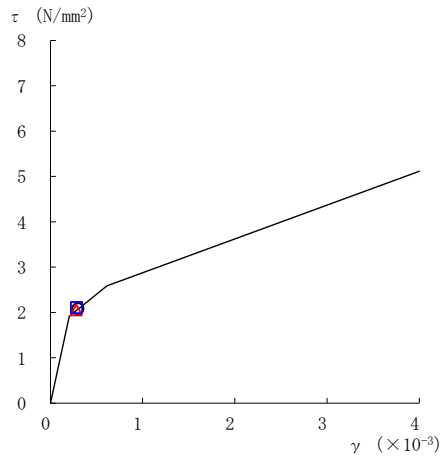
要素番号 (16)



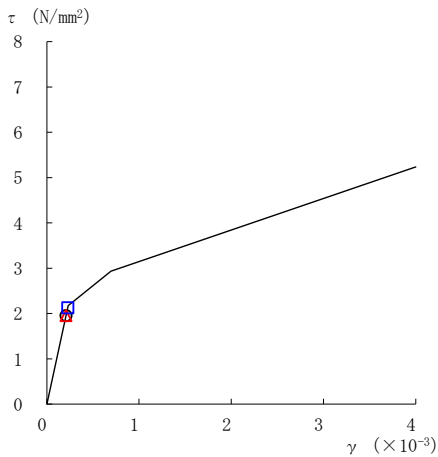
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

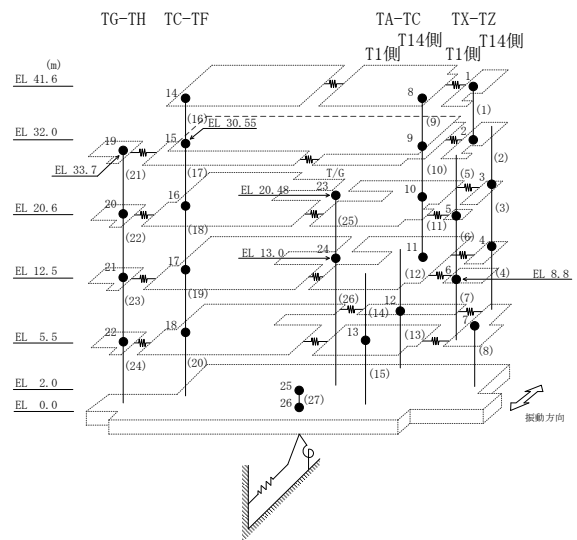
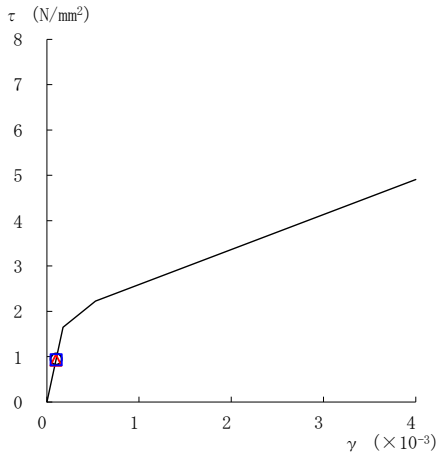
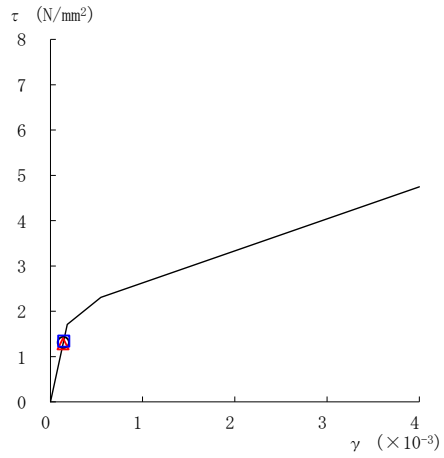


図 2-75(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

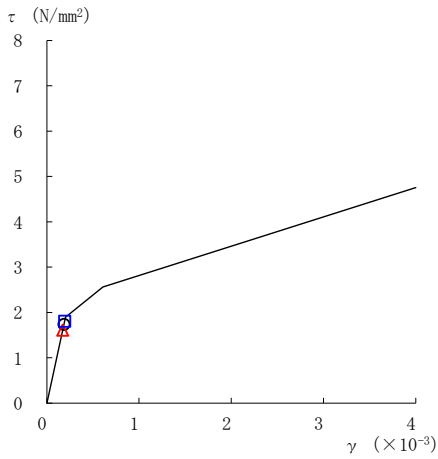
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



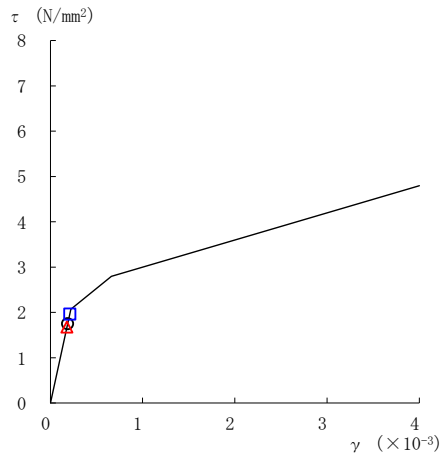
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

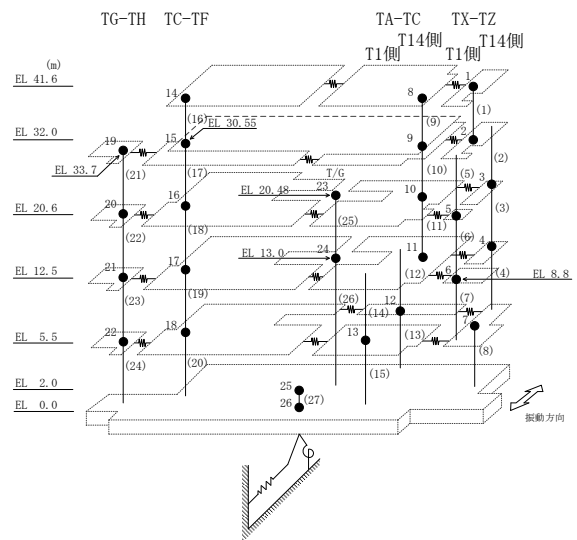


図 2-75(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

表 2-64 基準地震動 S_s による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 1)

(a) NS方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.623	21.5	99.8
$S_s - F 1$	0.523	15.0	100
$S_s - F 2$	0.558	17.7	100
$S_s - N 1$	0.640	24.7	92.3
$S_s - N 2 NS$	0.621	21.1	100
$S_s - N 2 EW$	0.593	18.9	100

(b) EW方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.518	26.4	100
$S_s - F 1$	0.514	28.7	100
$S_s - F 2$	0.503	26.4	100
$S_s - N 1$	0.484	25.1	100
$S_s - N 2 NS$	0.479	20.0	100
$S_s - N 2 EW$	0.495	22.3	100

表 2-65 基準地震動 S_s による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 2)

(a) NS方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.615	20.9	100
$S_s - F1$	0.533	15.8	100
$S_s - F2$	0.538	16.2	100
$S_s - N1$	0.623	23.4	95.4
$S_s - N2NS$	0.601	19.9	100
$S_s - N2EW$	0.583	18.5	100

(b) EW方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.512	25.8	100
$S_s - F1$	0.513	28.7	100
$S_s - F2$	0.495	25.7	100
$S_s - N1$	0.477	24.3	100
$S_s - N2NS$	0.475	20.4	100
$S_s - N2EW$	0.491	22.9	100

表 2-66 基準地震動 S_s による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 3)

(a) NS方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.643	22.9	96.5
$S_s - F1$	0.553	17.1	100
$S_s - F2$	0.573	18.6	100
$S_s - N1$	0.660	26.1	89.1
$S_s - N2NS$	0.642	22.6	97.1
$S_s - N2EW$	0.604	19.6	100

(b) EW方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.525	27.4	100
$S_s - F1$	0.518	28.0	100
$S_s - F2$	0.504	25.5	100
$S_s - N1$	0.486	25.0	100
$S_s - N2NS$	0.489	20.7	100
$S_s - N2EW$	0.499	22.5	100

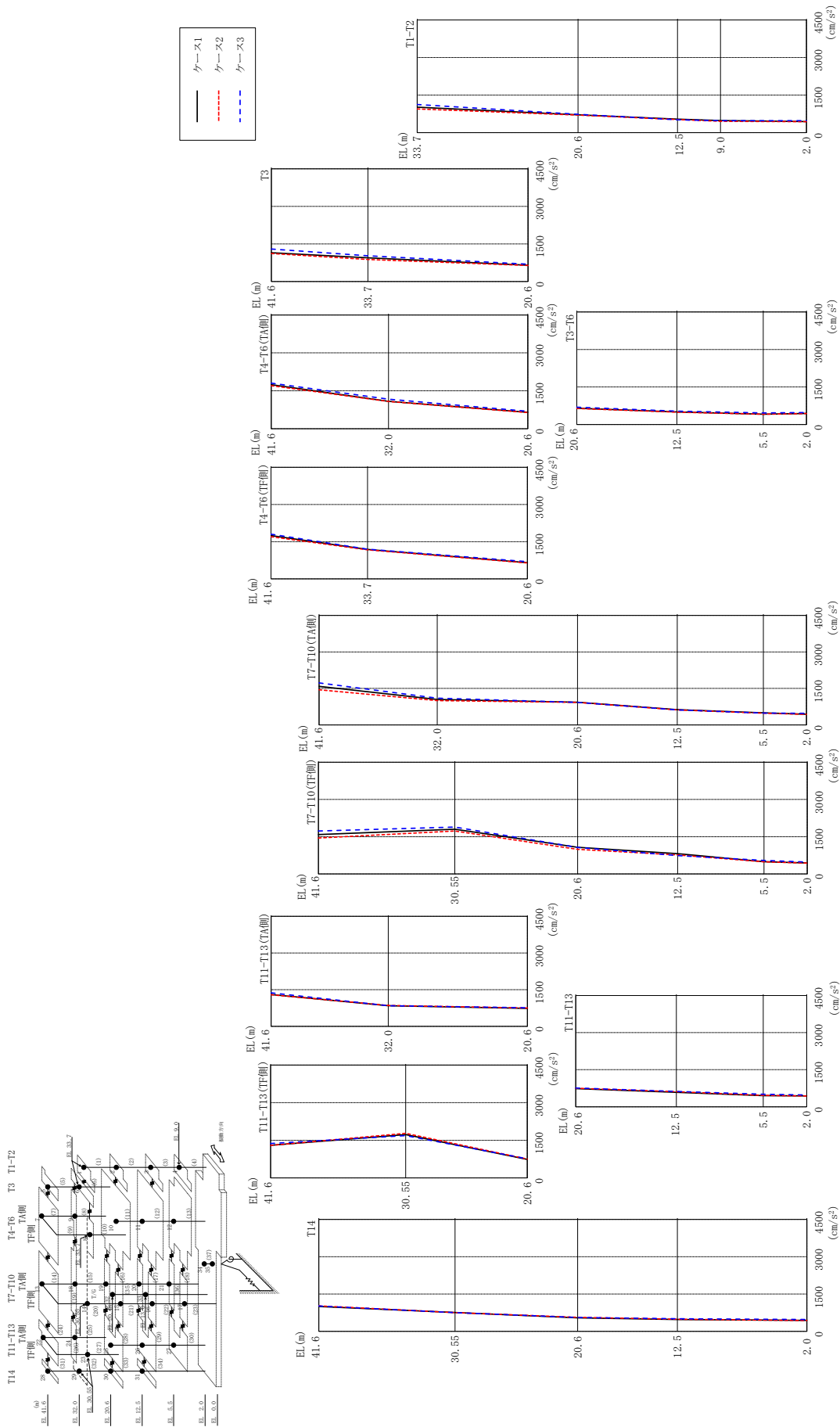
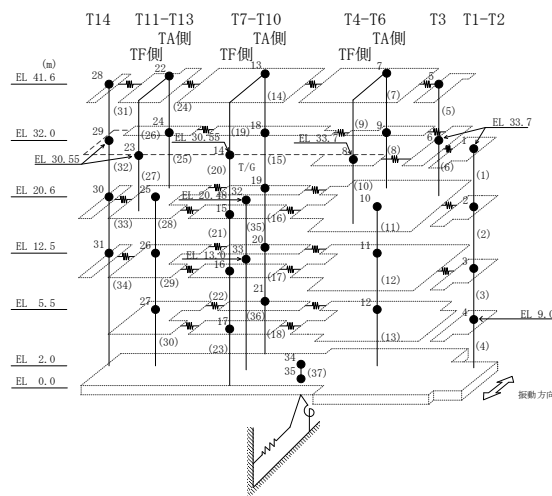


図 2-76 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d-D, NS 方向)

表 2-67 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	1014	946	1120
	20.6	2	709	702	729
	12.5	3	536	520	512
	9.0	4	480	451	478
T3	41.6	5	1145	1118	1295
	33.7	6	942	876	1024
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1745	1701	1800
	32.0	9	1080	1077	1168
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1187	1167	1196
T3-T6	20.6	10	651	639	691
	12.5	11	500	491	533
	5.5	12	411	412	462
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1586	1446	1729
	32.0	18	1048	998	1101
	20.6	19	930	927	927
	12.5	20	627	619	618
	5.5	21	497	480	485
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1800	1728	1887
	20.6	15	1071	992	1066
	12.5	16	817	766	739
	5.5	17	489	486	542
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1301	1294	1370
	32.0	24	842	856	842
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1728	1779	1687
T11-T13	20.6	25	734	749	762
	12.5	26	583	612	622
	5.5	27	451	459	506
T14	41.6	28	1001	1023	1020
	30.55	29	760	751	751
	20.6	30	540	561	559
	12.5	31	476	484	507
	2.0	34	439	434	478



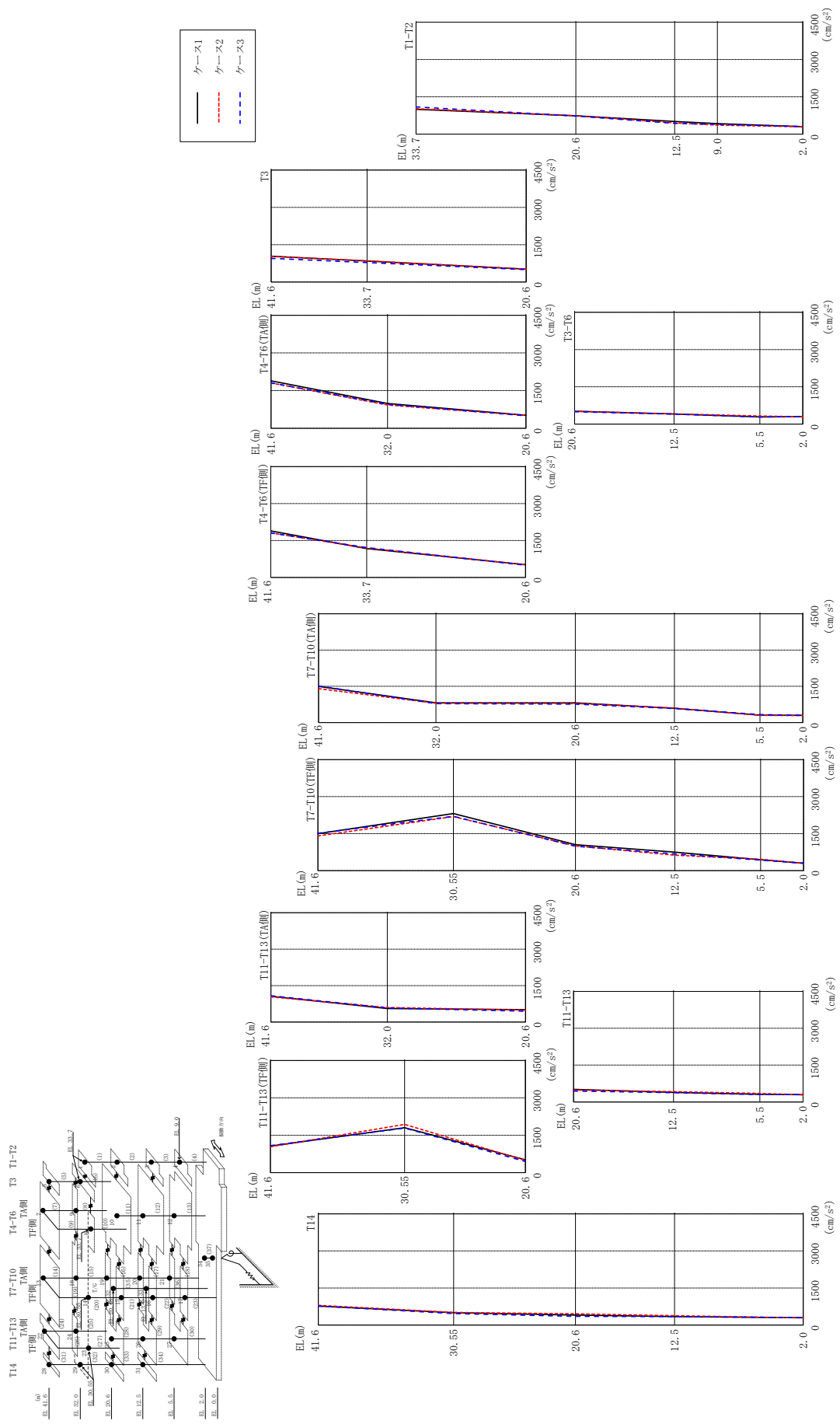
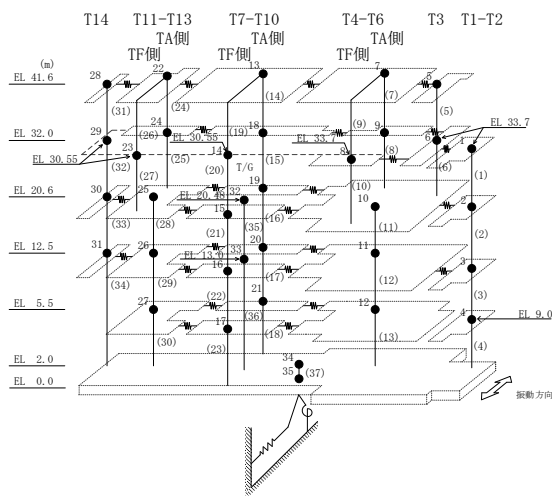


図 2-77 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

表 2-68 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	997	1022	1089
	20.6	2	734	734	725
	12.5	3	509	452	430
	9.0	4	418	357	391
T3	41.6	5	1033	1025	950
	33.7	6	842	852	780
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1889	1804	1808
	32.0	9	988	924	951
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1166	1197	1212
T3-T6	20.6	10	516	513	498
	12.5	11	405	411	402
	5.5	12	287	325	285
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1499	1404	1511
	32.0	18	815	799	783
	20.6	19	814	790	766
	12.5	20	593	600	580
	5.5	21	308	299	327
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2313	2190	2202
	20.6	15	1051	1000	991
	12.5	16	750	626	679
	5.5	17	442	460	423
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1064	1035	1083
	32.0	24	558	602	576
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1803	1934	1788
T11-T13	20.6	25	511	489	448
	12.5	26	389	422	377
	5.5	27	311	350	304
T14	41.6	28	770	798	774
	30.55	29	503	510	466
	20.6	30	404	458	354
	12.5	31	346	380	341
	2.0	34	297	292	304



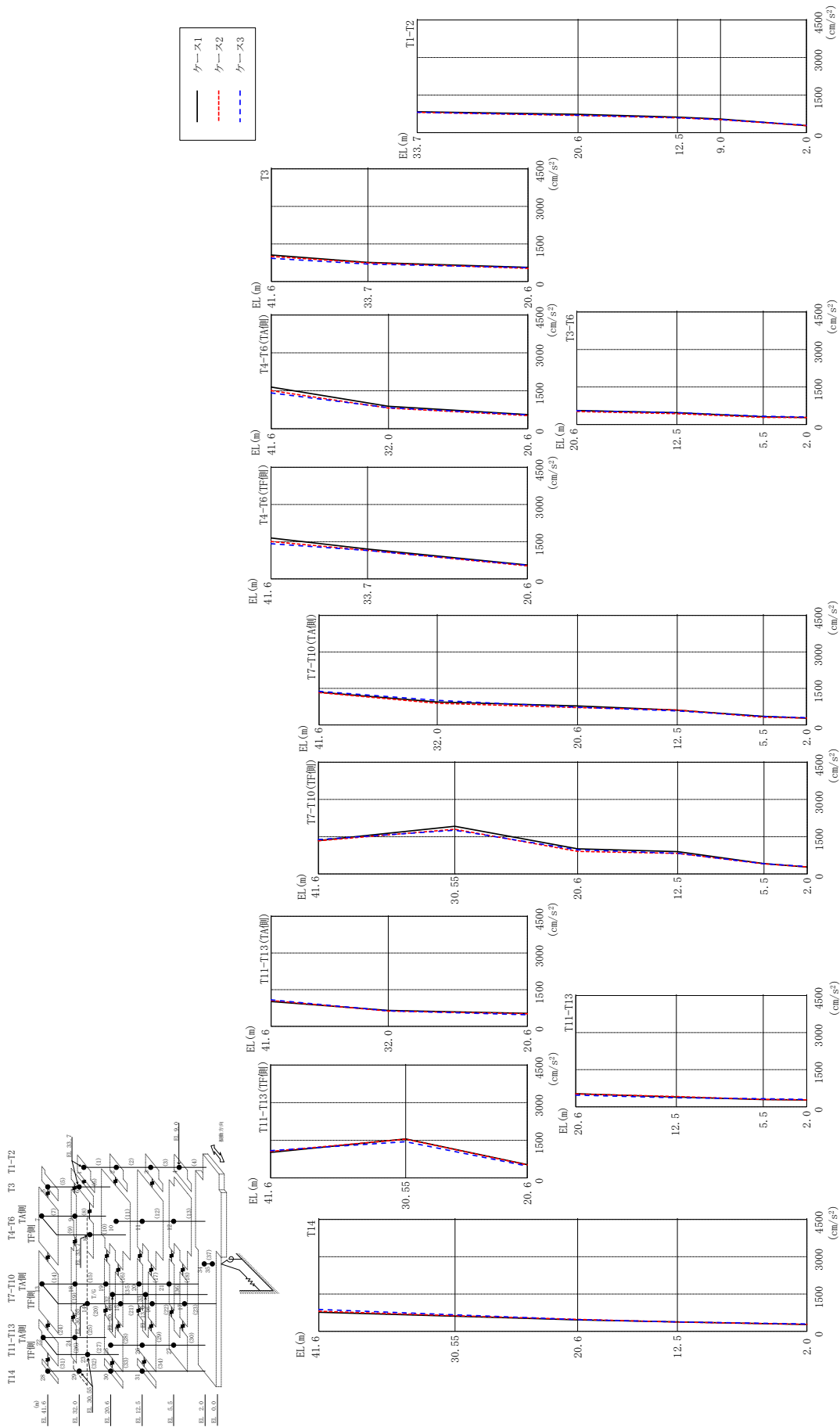
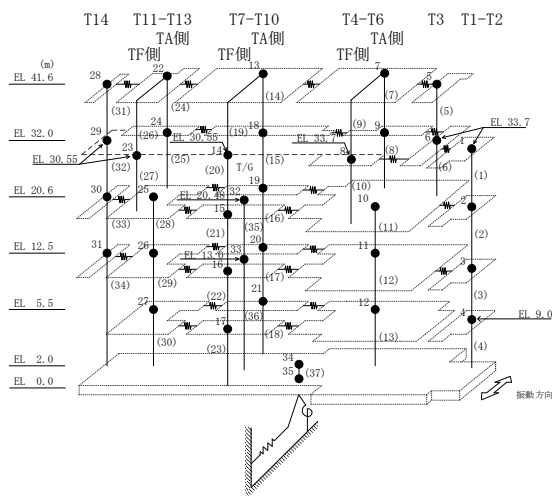


図 2-78 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

表 2-69 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	831	808	810
	20.6	2	731	687	696
	12.5	3	619	590	591
	9.0	4	543	517	524
T3	41.6	5	1055	1000	923
	33.7	6	763	738	696
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1648	1504	1414
	32.0	9	887	817	829
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1198	1148	1142
T3-T6	20.6	10	560	520	550
	12.5	11	470	430	474
	5.5	12	311	283	330
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1343	1332	1383
	32.0	18	942	891	1008
	20.6	19	781	713	725
	12.5	20	607	611	576
	5.5	21	349	314	349
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1918	1802	1761
	20.6	15	1010	908	968
	12.5	16	899	828	833
	5.5	17	416	407	409
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1014	1057	1085
	32.0	24	654	625	634
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1552	1542	1441
T11-T13	20.6	25	530	518	473
	12.5	26	393	414	365
	5.5	27	291	298	326
T14	41.6	28	767	811	881
	30.55	29	610	630	668
	20.6	30	459	483	473
	12.5	31	380	371	377
	2.0	34	278	280	297



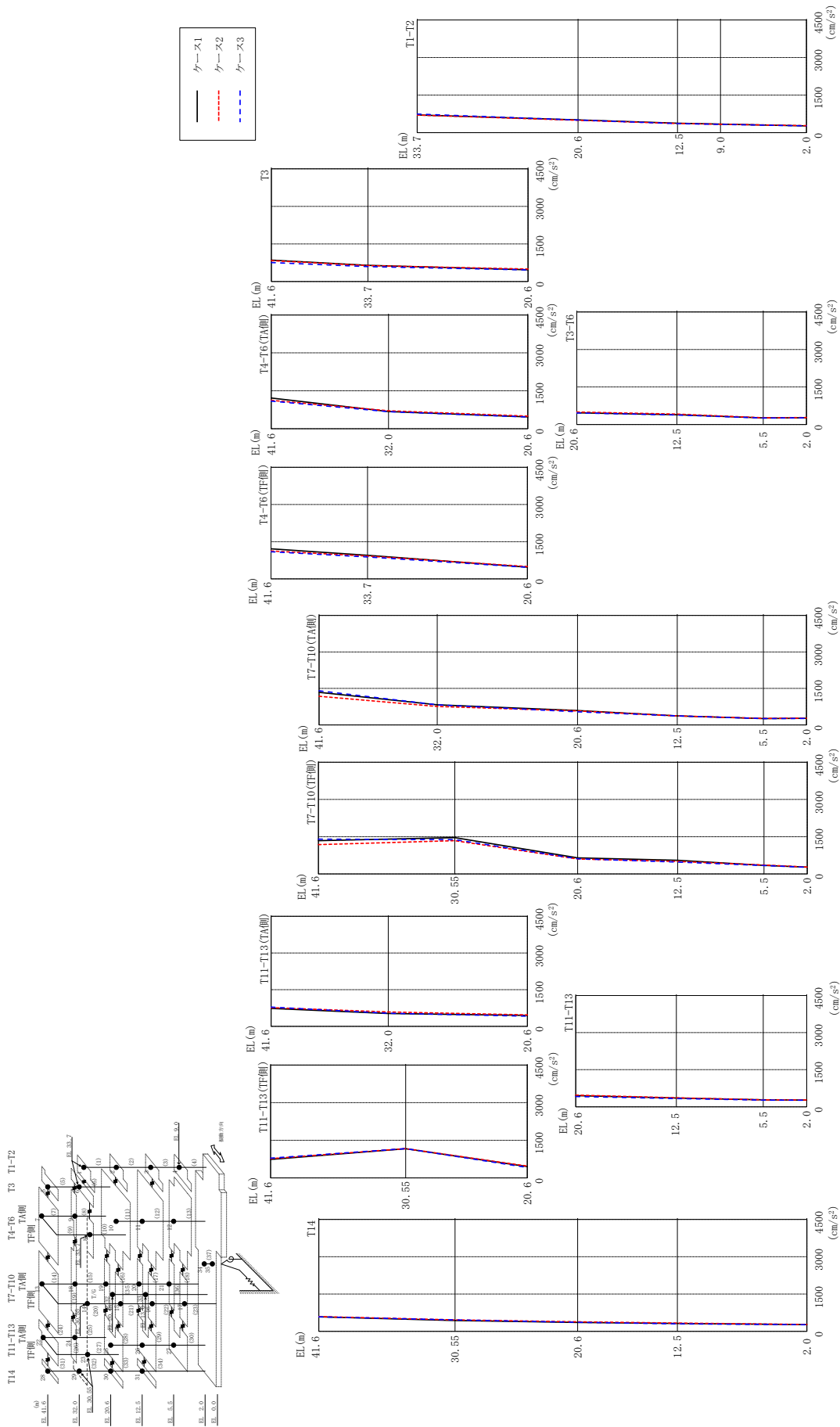
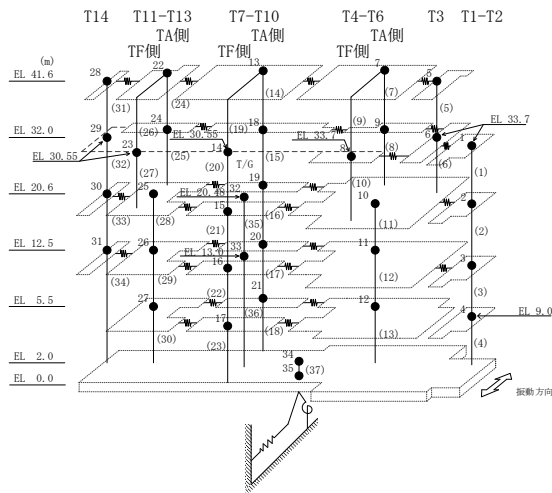


表 2-70 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	703	701	743
	20.6	2	507	493	502
	12.5	3	374	362	357
	9.0	4	341	333	329
T3	41.6	5	854	834	757
	33.7	6	646	636	592
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1212	1122	1092
	32.0	9	680	710	674
T4-T6 (TF側)	33.7	8	949	918	881
T3-T6	20.6	10	468	497	463
	12.5	11	390	414	383
	5.5	12	264	269	259
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1341	1178	1402
	32.0	18	826	760	828
	20.6	19	588	576	538
	12.5	20	372	369	370
	5.5	21	259	265	263
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1460	1339	1380
	20.6	15	648	601	612
	12.5	16	550	504	476
	5.5	17	345	360	336
T11-T13 (TA側)	41.6	22	735	767	785
	32.0	24	528	588	538
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1162	1166	1170
T11-T13	20.6	25	450	471	415
	12.5	26	352	363	331
	5.5	27	281	279	268
T14	41.6	28	582	594	582
	30.55	29	433	463	463
	20.6	30	357	385	365
	12.5	31	315	332	305
	2.0	34	270	277	266



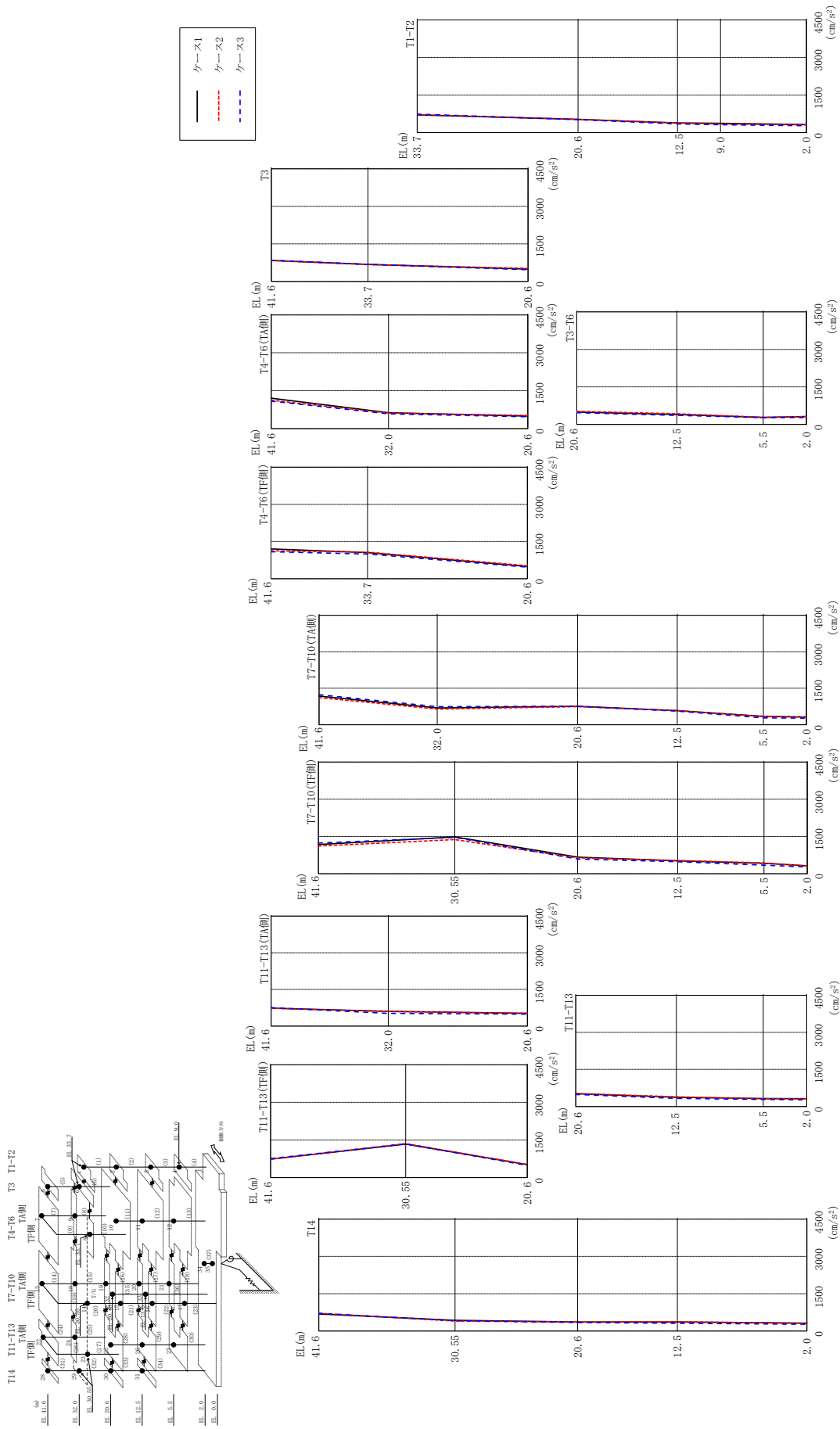
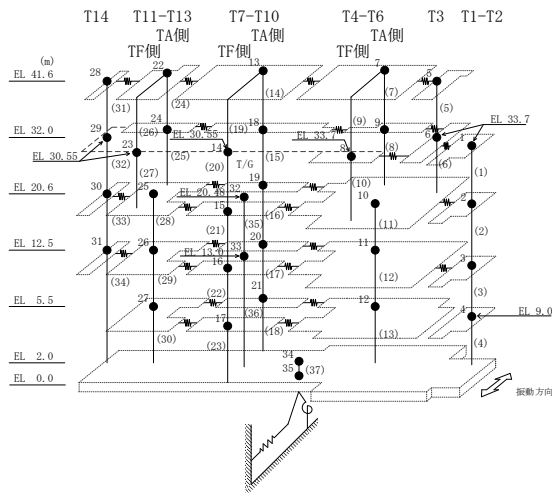


図2-80 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 Sd - N 2 EW, NS 方向)

表 2-71 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	704	719	736
	20.6	2	526	534	518
	12.5	3	386	379	344
	9.0	4	368	340	315
T3	41.6	5	836	830	841
	33.7	6	682	670	678
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1202	1123	1087
	32.0	9	628	616	585
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1052	1071	992
T3-T6	20.6	10	492	522	466
	12.5	11	396	428	360
	5.5	12	280	286	273
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1175	1112	1235
	32.0	18	693	645	745
	20.6	19	757	745	761
	12.5	20	578	582	559
	5.5	21	345	336	282
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1481	1373	1463
	20.6	15	668	633	588
	12.5	16	517	531	481
	5.5	17	419	437	342
T11-T13 (TA側)	41.6	22	737	731	757
	32.0	24	606	593	519
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1338	1354	1345
T11-T13	20.6	25	519	526	489
	12.5	26	376	393	327
	5.5	27	321	313	287
T14	41.6	28	686	718	713
	30.55	29	430	402	417
	20.6	30	362	362	341
	12.5	31	365	376	310
	2.0	34	316	309	271



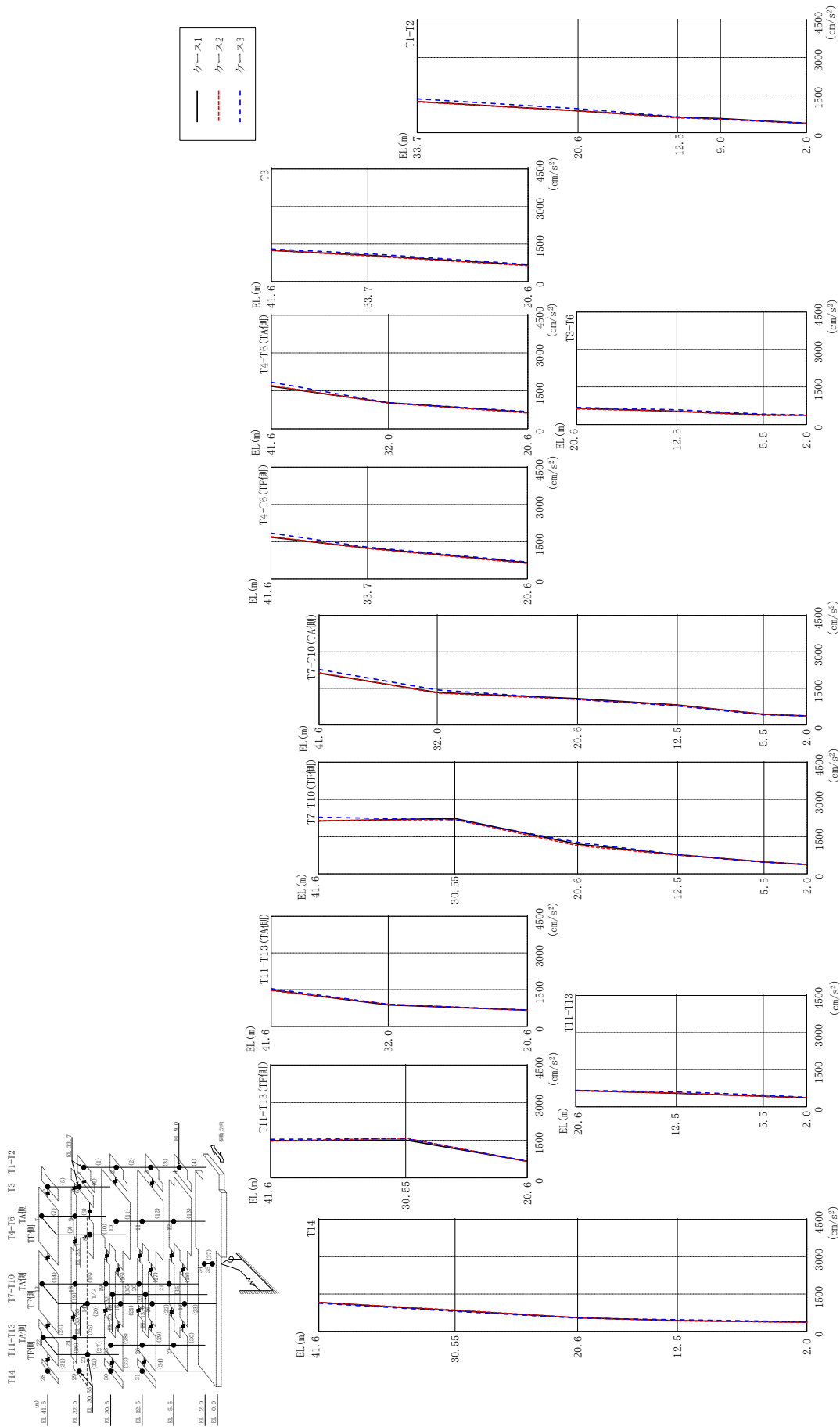
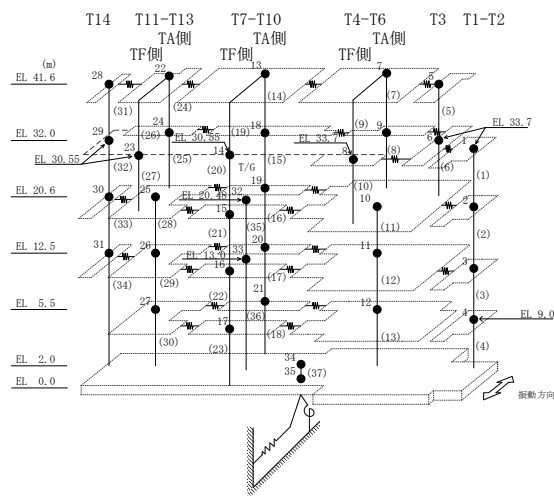


図 2-81 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

表 2-72 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	1239	1231	1346
	20.6	2	870	866	953
	12.5	3	614	588	628
	9.0	4	563	536	526
T3	41.6	5	1238	1248	1296
	33.7	6	1045	1019	1109
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1678	1700	1840
	32.0	9	1026	1011	1026
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1239	1225	1277
T3-T6	20.6	10	651	625	679
	12.5	11	530	530	588
	5.5	12	387	362	416
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2129	2143	2281
	32.0	18	1332	1313	1440
	20.6	19	1081	1044	1048
	12.5	20	821	807	778
	5.5	21	440	447	418
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2231	2189	2180
	20.6	15	1200	1138	1272
	12.5	16	767	754	780
	5.5	17	482	485	467
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1482	1466	1538
	32.0	24	875	907	901
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1506	1585	1563
T11-T13	20.6	25	664	653	669
	12.5	26	549	558	611
	5.5	27	430	419	477
T14	41.6	28	1162	1163	1132
	30.55	29	837	853	803
	20.6	30	548	550	533
	12.5	31	431	425	465
	2.0	34	369	363	383



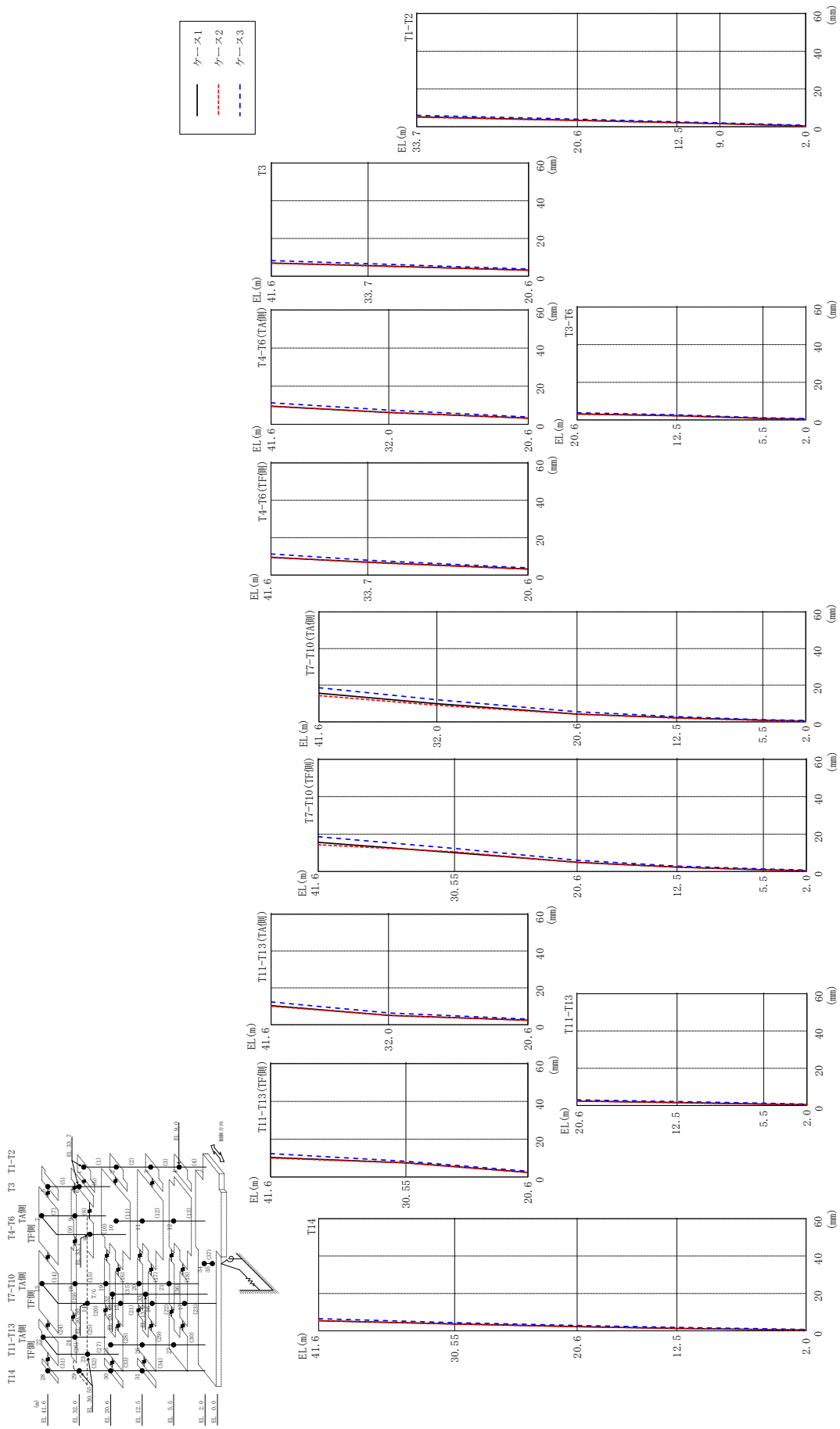
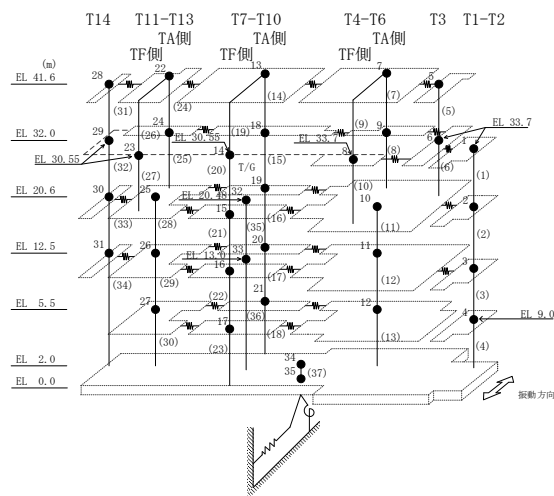


図2-82 最大応答変位 (弾性設計用地震動S d-D, NS方向)

表 2-73 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	5.26	5.04	6.06
	20.6	2	3.43	3.28	4.00
	12.5	3	2.16	2.06	2.60
	9.0	4	1.64	1.56	2.03
T3	41.6	5	6.98	6.86	8.27
	33.7	6	5.63	5.49	6.64
T4-T6 (TA側)	41.6	7	9.46	9.61	11.28
	32.0	9	6.18	6.20	7.43
T4-T6 (TF側)	33.7	8	6.87	6.70	7.95
T3-T6	20.6	10	3.21	3.11	3.83
	12.5	11	2.28	2.20	2.76
	5.5	12	0.87	0.81	1.21
T7-T10 (TA側)	41.6	13	15.60	14.29	18.61
	32.0	18	9.88	9.07	12.09
	20.6	19	4.26	4.18	5.55
	12.5	20	2.21	2.04	2.86
	5.5	21	0.90	0.75	1.18
T7-T10 (TF側)	30.55	14	10.04	10.53	12.32
	20.6	15	4.98	4.85	6.01
	12.5	16	2.38	2.33	2.90
	5.5	17	0.95	0.89	1.38
T11-T13 (TA側)	41.6	22	10.36	9.97	12.37
	32.0	24	5.10	5.11	6.41
T11-T13 (TF側)	30.55	23	7.47	7.46	8.31
T11-T13	20.6	25	2.42	2.35	3.04
	12.5	26	1.54	1.47	2.08
	5.5	27	0.77	0.69	1.25
T14	41.6	28	5.44	5.50	6.54
	30.55	29	3.70	3.65	4.41
	20.6	30	2.25	2.20	2.88
	12.5	31	1.30	1.24	1.86
	2.0	34	0.45	0.38	0.77



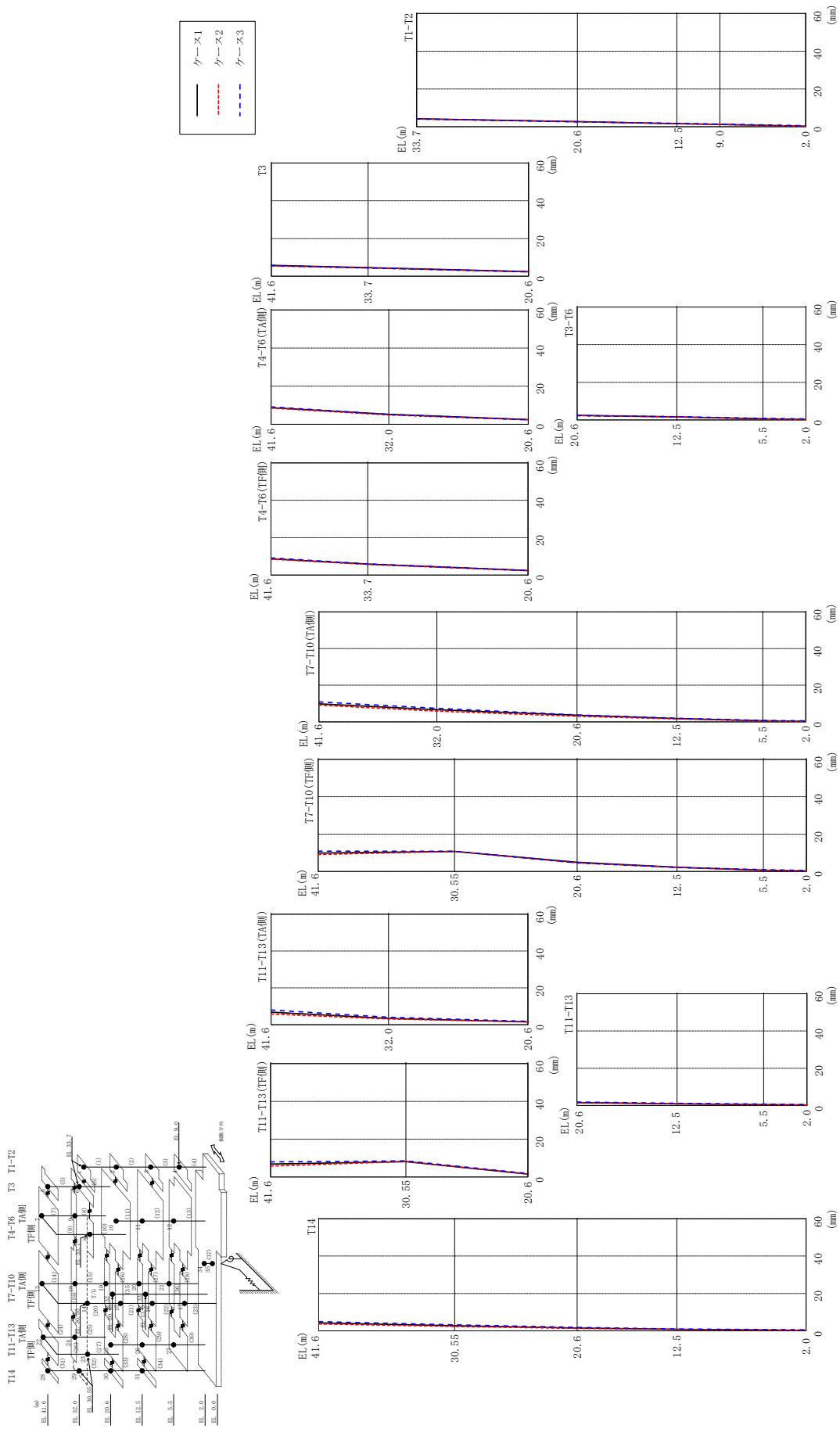
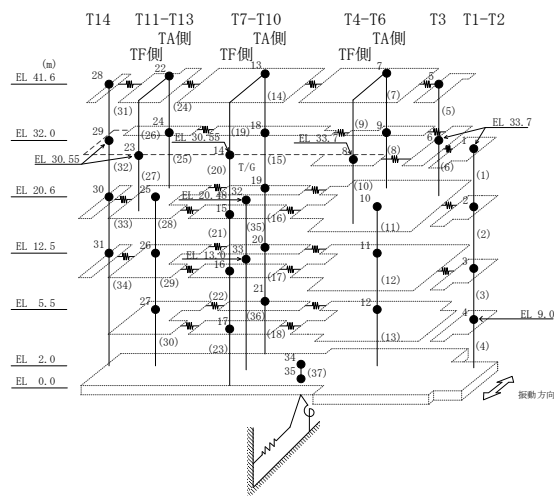


図 2-83 最大芯変位 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

表 2-74 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	4.23	4.10	4.12
	20.6	2	2.70	2.64	2.62
	12.5	3	1.65	1.60	1.76
	9.0	4	1.26	1.19	1.39
T3	41.6	5	5.81	5.45	5.65
	33.7	6	4.57	4.33	4.43
T4-T6 (TA側)	41.6	7	8.68	8.51	9.13
	32.0	9	5.21	4.86	5.15
T4-T6 (TF側)	33.7	8	5.88	5.65	5.92
T3-T6	20.6	10	2.46	2.34	2.35
	12.5	11	1.66	1.57	1.73
	5.5	12	0.64	0.54	0.85
T7-T10 (TA側)	41.6	13	9.87	9.11	10.91
	32.0	18	6.62	5.83	7.43
	20.6	19	3.60	3.10	3.80
	12.5	20	1.83	1.64	1.97
	5.5	21	0.61	0.52	0.75
T7-T10 (TF側)	30.55	14	10.78	10.76	10.86
	20.6	15	4.93	4.61	4.67
	12.5	16	2.30	2.20	2.19
	5.5	17	0.74	0.67	0.95
T11-T13 (TA側)	41.6	22	6.83	5.76	7.99
	32.0	24	3.42	3.13	4.04
T11-T13 (TF側)	30.55	23	8.11	8.20	8.50
T11-T13	20.6	25	1.54	1.53	1.83
	12.5	26	0.89	0.86	1.15
	5.5	27	0.46	0.40	0.72
T14	41.6	28	4.29	3.72	4.91
	30.55	29	2.76	2.35	3.23
	20.6	30	1.50	1.33	1.85
	12.5	31	0.85	0.74	1.01
	2.0	34	0.29	0.25	0.55



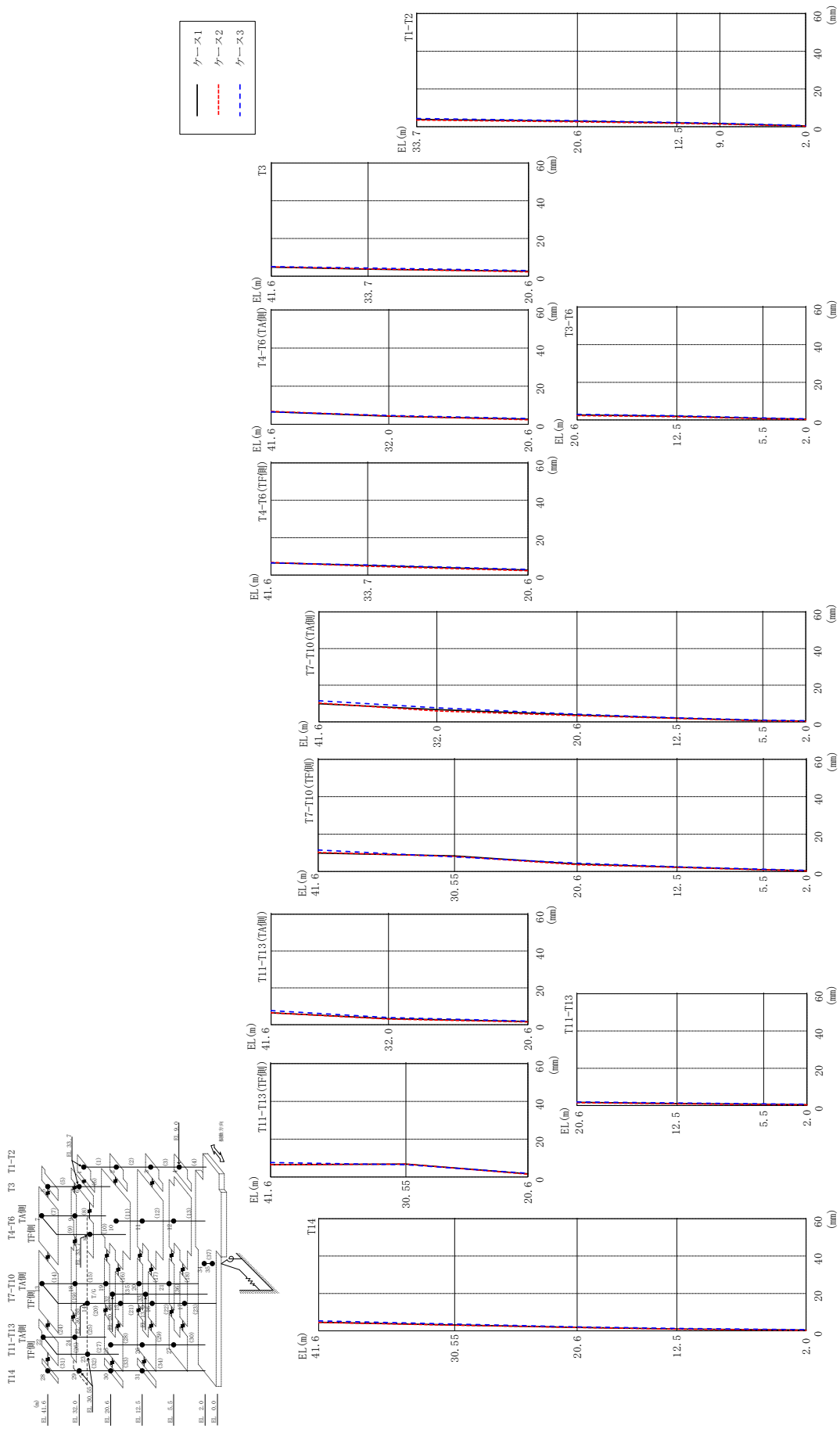
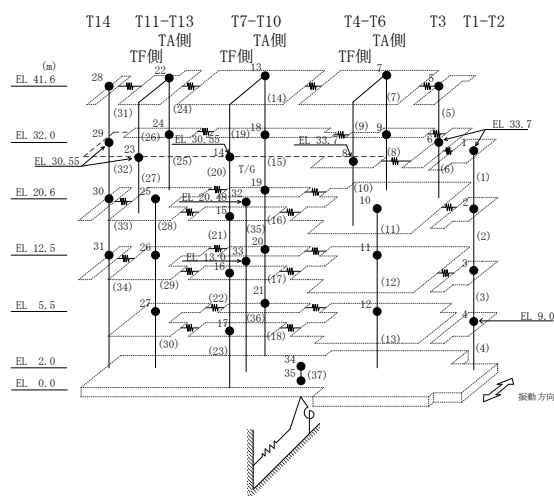


図 2-84 最大芯変位 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

表 2-75 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	3.89	3.53	4.32
	20.6	2	2.93	2.60	3.22
	12.5	3	2.04	1.76	2.27
	9.0	4	1.63	1.37	1.84
T3	41.6	5	4.82	4.94	5.08
	33.7	6	3.78	3.89	4.36
T4-T6 (TA側)	41.6	7	6.55	6.73	6.49
	32.0	9	4.21	4.37	4.61
T4-T6 (TF側)	33.7	8	5.08	4.68	5.37
T3-T6	20.6	10	2.65	2.33	2.99
	12.5	11	2.00	1.71	2.29
	5.5	12	0.85	0.63	1.09
T7-T10 (TA側)	41.6	13	9.90	10.23	11.55
	32.0	18	6.72	5.90	7.70
	20.6	19	3.75	3.41	4.20
	12.5	20	2.03	1.86	2.22
	5.5	21	0.73	0.59	0.98
T7-T10 (TF側)	30.55	14	8.34	8.08	7.82
	20.6	15	4.02	3.62	4.48
	12.5	16	2.33	2.19	2.56
	5.5	17	0.99	0.89	1.23
T11-T13 (TA側)	41.6	22	6.47	6.48	7.67
	32.0	24	3.26	3.05	3.87
T11-T13 (TF側)	30.55	23	6.85	6.82	6.48
T11-T13	20.6	25	1.72	1.48	1.93
	12.5	26	1.04	0.89	1.36
	5.5	27	0.64	0.44	0.91
T14	41.6	28	4.58	4.53	5.34
	30.55	29	3.14	3.06	3.62
	20.6	30	1.86	1.77	2.13
	12.5	31	1.00	0.91	1.31
	2.0	34	0.42	0.30	0.65



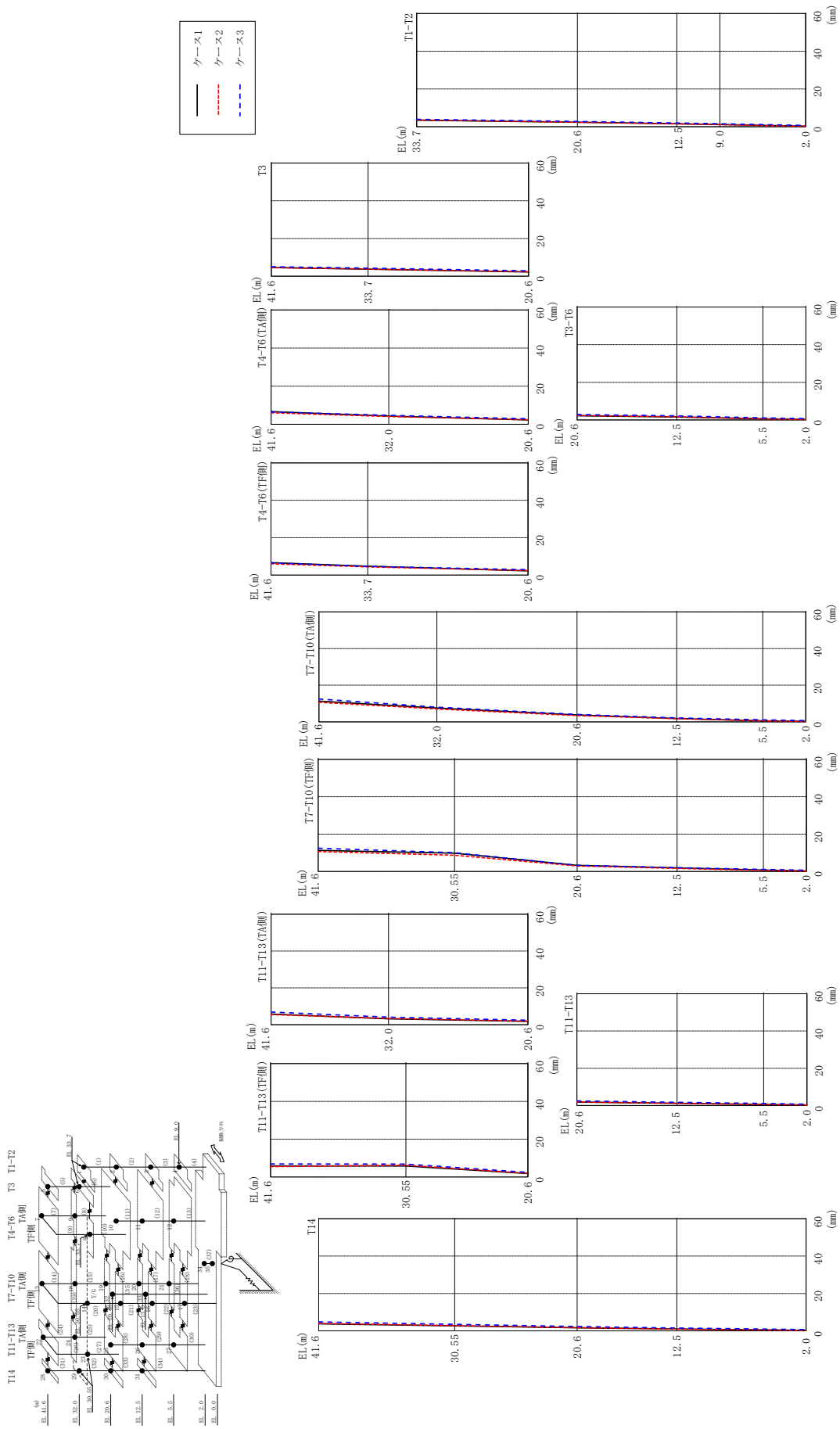
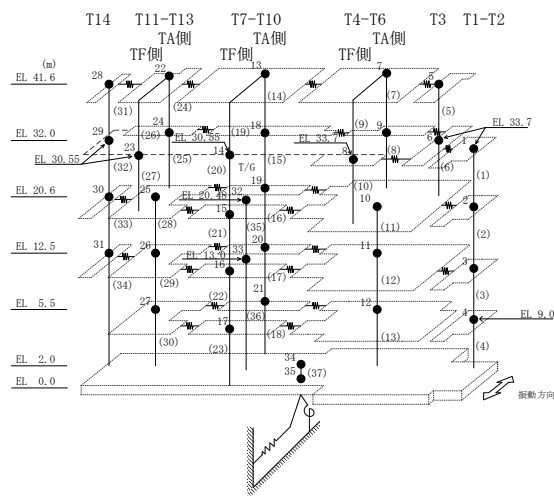


図 2-85 最大芯変位 (弾性設計用地震動 S-N 方向)

表 2-76 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	3.44	3.64	3.96
	20.6	2	2.35	2.39	2.80
	12.5	3	1.54	1.50	1.97
	9.0	4	1.20	1.12	1.60
T3	41.6	5	4.64	4.58	5.05
	33.7	6	3.72	3.84	4.27
T4-T6 (TA側)	41.6	7	6.59	5.99	6.49
	32.0	9	4.29	4.06	4.65
T4-T6 (TF側)	33.7	8	4.72	4.33	4.67
T3-T6	20.6	10	2.24	2.38	2.85
	12.5	11	1.60	1.70	2.17
	5.5	12	0.62	0.59	1.09
T7-T10 (TA側)	41.6	13	11.31	10.71	12.49
	32.0	18	7.52	7.03	8.04
	20.6	19	3.75	3.42	4.04
	12.5	20	1.85	1.72	2.17
	5.5	21	0.58	0.59	1.09
T7-T10 (TF側)	30.55	14	9.78	8.74	10.10
	20.6	15	3.30	2.94	3.32
	12.5	16	1.94	1.68	2.08
	5.5	17	0.76	0.59	1.13
T11-T13 (TA側)	41.6	22	5.80	5.50	6.88
	32.0	24	3.19	3.43	4.07
T11-T13 (TF側)	30.55	23	5.84	6.23	6.84
T11-T13	20.6	25	1.84	1.93	2.45
	12.5	26	1.15	1.18	1.69
	5.5	27	0.55	0.53	1.05
T14	41.6	28	3.76	3.99	4.80
	30.55	29	2.67	2.80	3.50
	20.6	30	1.69	1.74	2.36
	12.5	31	0.98	0.99	1.55
	2.0	34	0.27	0.23	0.69



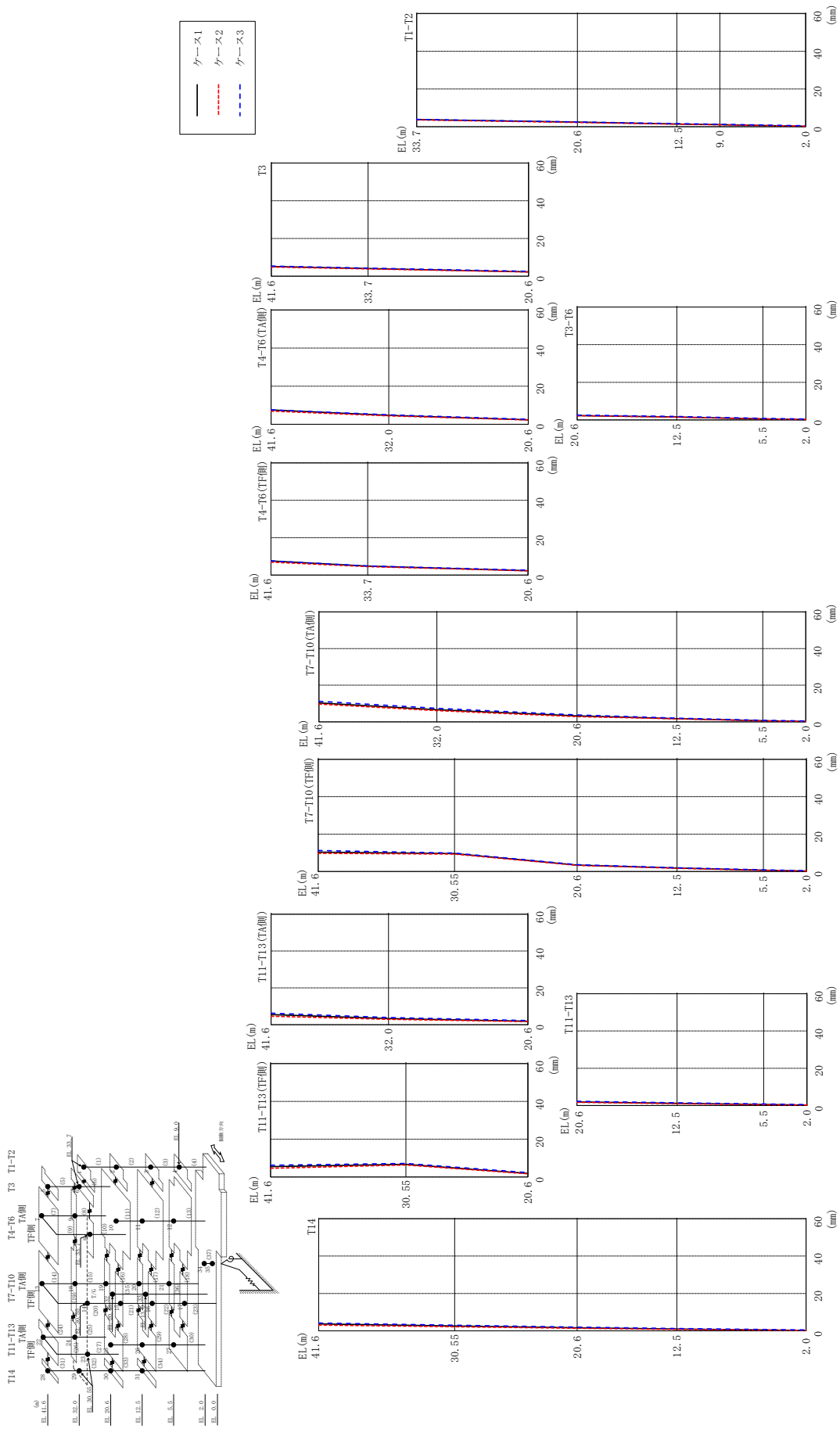
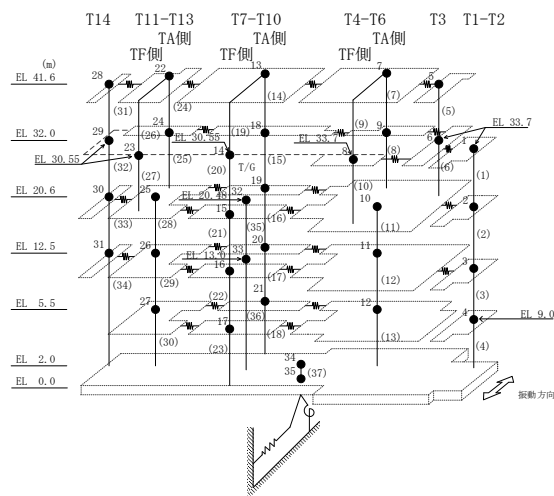


図 2-86 最大芯変位 (弾性設計用地震動 Sd - N2EW, NS 方向)

表 2-77 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	3.81	3.60	3.90
	20.6	2	2.42	2.28	2.55
	12.5	3	1.47	1.36	1.66
	9.0	4	1.09	1.04	1.30
T3	41.6	5	5.20	4.92	5.39
	33.7	6	4.11	3.92	4.30
T4-T6 (TA側)	41.6	7	7.50	6.90	7.59
	32.0	9	4.70	4.40	4.92
T4-T6 (TF側)	33.7	8	4.78	4.52	4.85
T3-T6	20.6	10	2.32	2.24	2.57
	12.5	11	1.61	1.53	1.87
	5.5	12	0.56	0.54	0.84
T7-T10 (TA側)	41.6	13	10.34	9.71	11.22
	32.0	18	6.60	6.11	7.42
	20.6	19	3.26	2.87	3.78
	12.5	20	1.76	1.70	2.01
	5.5	21	0.60	0.57	0.85
T7-T10 (TF側)	30.55	14	9.62	9.30	9.87
	20.6	15	3.46	3.33	3.64
	12.5	16	1.86	1.71	1.98
	5.5	17	0.71	0.61	0.89
T11-T13 (TA側)	41.6	22	5.50	4.60	6.23
	32.0	24	3.37	2.90	3.88
T11-T13 (TF側)	30.55	23	6.69	6.37	7.14
T11-T13	20.6	25	1.92	1.69	2.26
	12.5	26	1.16	0.98	1.46
	5.5	27	0.53	0.41	0.81
T14	41.6	28	3.73	3.13	4.22
	30.55	29	2.64	2.23	3.03
	20.6	30	1.67	1.41	2.01
	12.5	31	0.96	0.77	1.27
	2.0	34	0.23	0.28	0.47



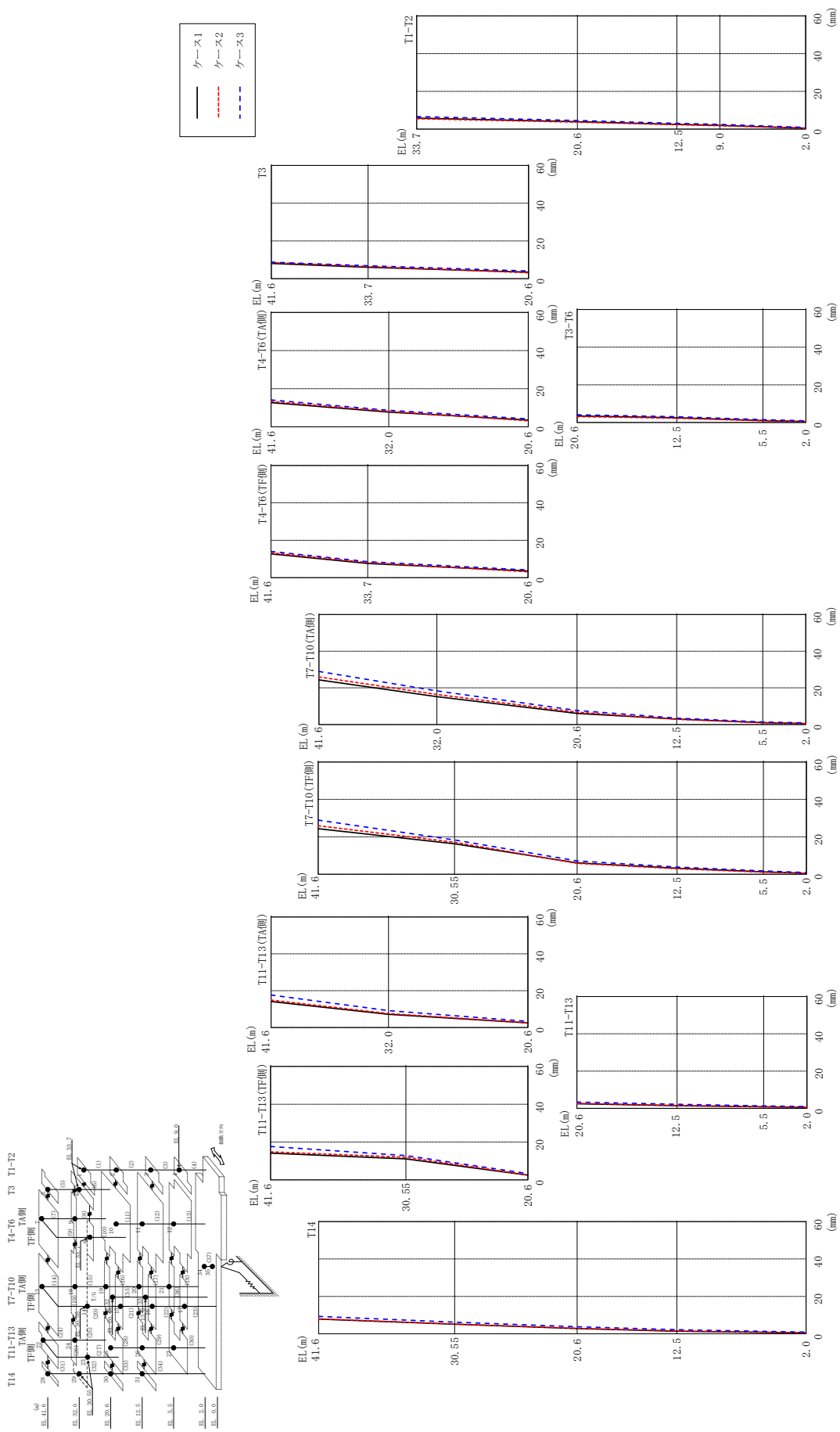
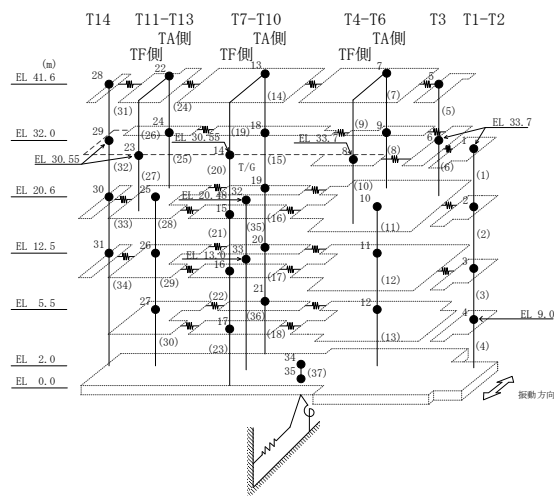


図2-87 最大応答変位 (弾性設計用地震動S d - 1, NS方向)

表 2-78 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7	1	5.82	5.54	6.64
	20.6	2	3.91	3.66	4.56
	12.5	3	2.54	2.33	3.08
	9.0	4	1.98	1.79	2.50
T3	41.6	5	8.10	8.55	8.79
	33.7	6	6.08	6.45	6.88
T4-T6 (TA側)	41.6	7	12.69	13.25	14.04
	32.0	9	7.69	8.08	8.63
T4-T6 (TF側)	33.7	8	7.57	8.02	8.55
T3-T6	20.6	10	3.51	3.16	4.12
	12.5	11	2.53	2.24	3.06
	5.5	12	1.07	0.89	1.51
T7-T10 (TA側)	41.6	13	24.34	25.95	28.94
	32.0	18	15.24	16.43	18.37
	20.6	19	6.10	6.77	7.71
	12.5	20	3.02	2.83	3.52
	5.5	21	1.02	0.90	1.41
T7-T10 (TF側)	30.55	14	16.32	17.11	18.36
	20.6	15	6.12	5.81	7.15
	12.5	16	3.27	2.95	3.89
	5.5	17	1.32	1.13	1.81
T11-T13 (TA側)	41.6	22	14.13	14.85	17.63
	32.0	24	7.14	7.56	9.17
T11-T13 (TF側)	30.55	23	11.10	11.95	12.87
T11-T13	20.6	25	2.48	2.65	3.33
	12.5	26	1.44	1.55	2.20
	5.5	27	0.79	0.80	1.28
T14	41.6	28	7.88	8.02	9.32
	30.55	29	5.14	5.19	6.28
	20.6	30	2.85	2.94	3.79
	12.5	31	1.39	1.52	2.22
	2.0	34	0.52	0.57	0.92



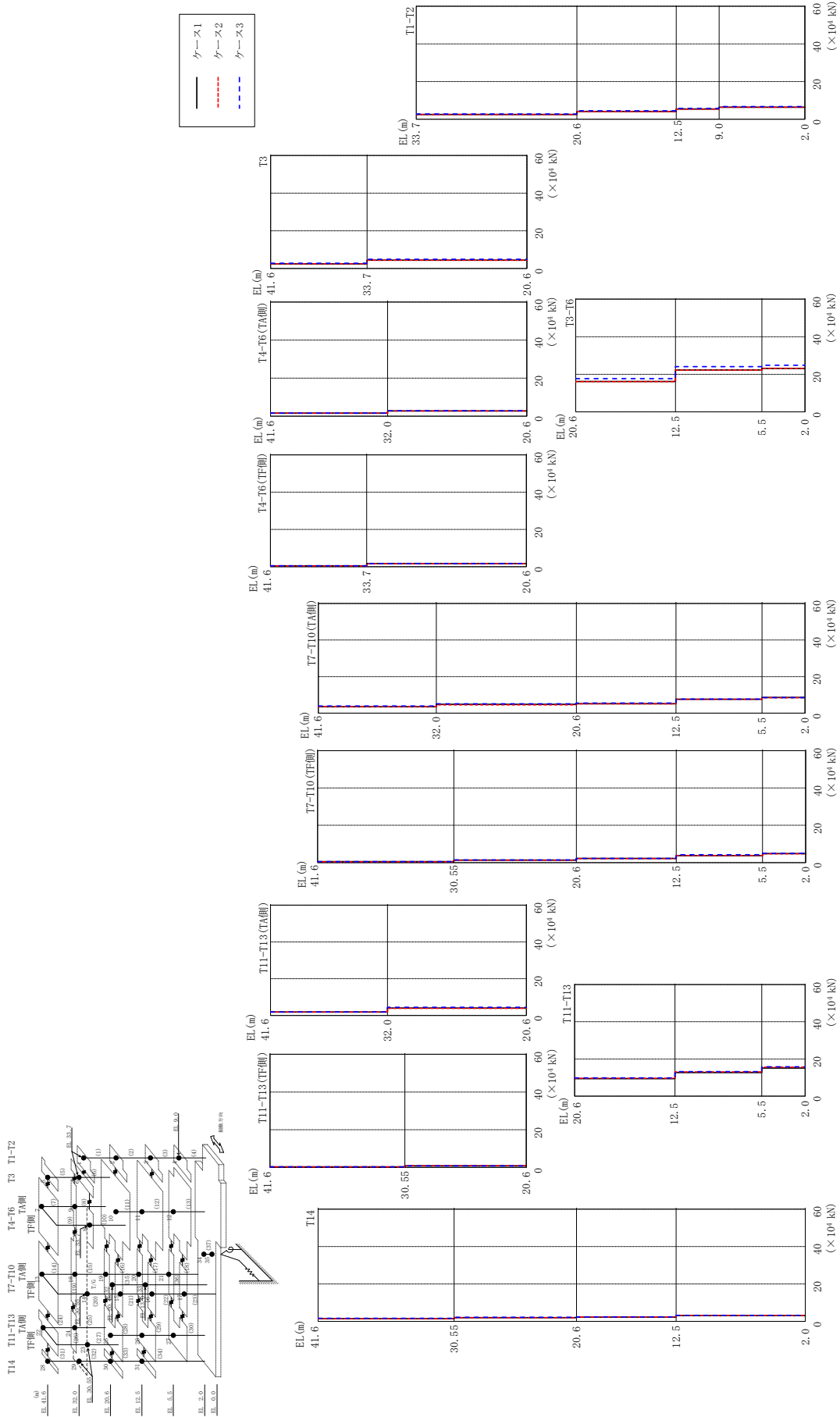
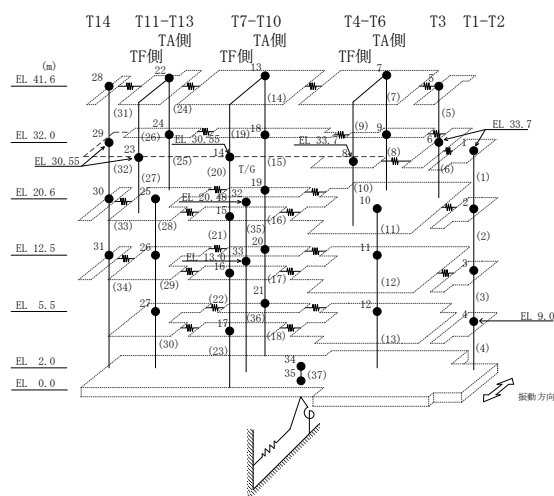


図 2-88 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

表 2-79 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	2.52	2.48	2.77
	20.6~12.5	2	4.16	4.04	4.45
	12.5~9.0	3	5.41	5.34	5.76
	9.0~2.0	4	6.37	6.33	6.73
T3	41.6~33.7	5	2.44	2.54	2.78
	33.7~20.6	6	4.39	4.38	4.90
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.53	1.58
	32.0~20.6	8	2.71	2.74	2.88
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.437	0.416	0.433
	33.7~20.6	10	1.67	1.66	1.73
T3-T6	20.6~12.5	11	16.2	16.1	17.7
	12.5~5.5	12	22.3	22.3	24.1
	5.5~2.0	13	23.1	23.2	24.8
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.54	3.59	3.90
	32.0~20.6	15	4.85	4.60	5.16
	20.6~12.5	16	5.22	5.12	5.57
	12.5~5.5	17	7.65	7.61	7.68
	5.5~2.0	18	8.60	8.46	8.52
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.507	0.481	0.562
	30.55~20.6	20	1.36	1.30	1.39
	20.6~12.5	21	2.22	2.18	2.23
	12.5~5.5	22	3.77	3.79	4.20
	5.5~2.0	23	4.85	4.71	4.99
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.87	1.88	1.99
	32.0~20.6	25	4.02	3.91	4.44
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.294	0.314	0.282
	30.55~20.6	27	0.853	0.876	0.839
T11-T13	20.6~12.5	28	9.43	9.59	9.80
	12.5~5.5	29	12.7	13.0	13.2
	5.5~2.0	30	15.1	15.6	15.8
T14	41.6~30.55	31	1.41	1.34	1.60
	30.55~20.6	32	1.97	1.94	2.17
	20.6~12.5	33	2.26	2.32	2.38
	12.5~2.0	34	3.06	3.18	3.20



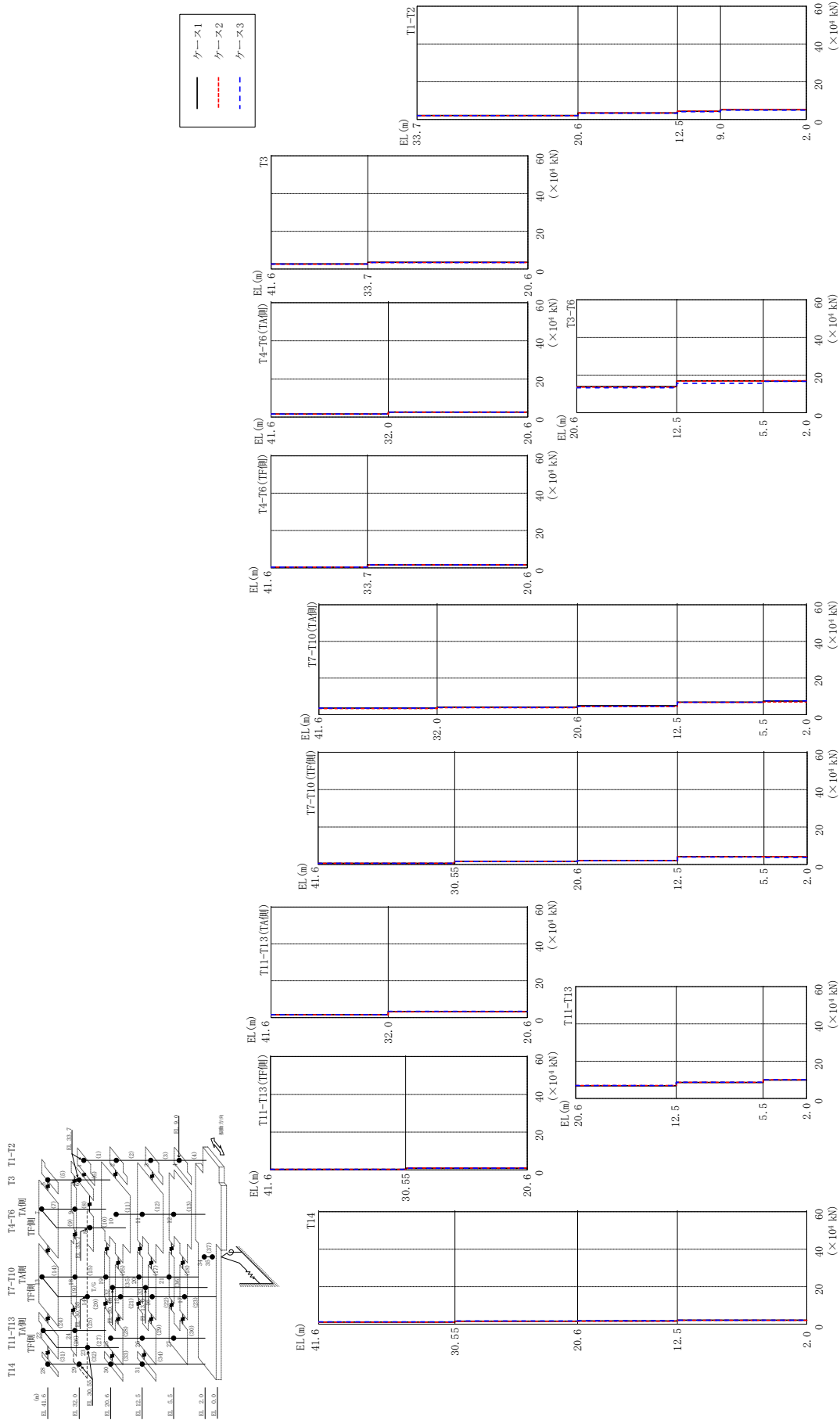
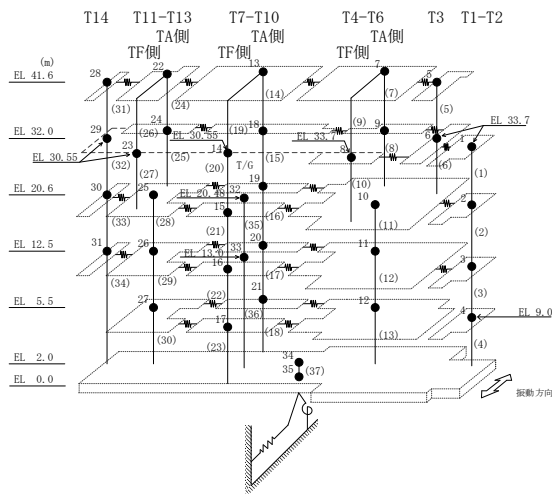


図2-89 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動Sd-F1, NS方向)

表 2-80 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	2.12	2.00	2.03
	20.6~12.5	2	3.44	3.42	3.30
	12.5~9.0	3	4.33	4.37	4.10
	9.0~2.0	4	5.12	5.26	4.95
T3	41.6~33.7	5	2.72	2.61	2.66
	33.7~20.6	6	3.62	3.43	3.44
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.55	1.61
	32.0~20.6	8	2.59	2.53	2.52
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.412	0.365	0.378
	33.7~20.6	10	1.62	1.63	1.62
T3-T6	20.6~12.5	11	13.9	13.6	13.2
	12.5~5.5	12	16.9	16.8	15.7
	5.5~2.0	13	16.8	17.0	16.7
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.62	3.41	3.61
	32.0~20.6	15	4.05	3.87	3.96
	20.6~12.5	16	4.88	4.45	4.59
	12.5~5.5	17	6.86	6.73	6.78
	5.5~2.0	18	7.41	6.95	7.54
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.608	0.571	0.577
	30.55~20.6	20	1.64	1.55	1.56
	20.6~12.5	21	2.10	2.04	2.04
	12.5~5.5	22	4.17	4.11	3.95
	5.5~2.0	23	4.07	4.14	3.77
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	1.65	1.58	1.64
	32.0~20.6	25	3.28	3.11	3.46
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.292	0.328	0.298
	30.55~20.6	27	0.906	0.959	0.903
T11-T13	20.6~12.5	28	6.81	6.92	6.90
	12.5~5.5	29	8.58	8.68	8.69
	5.5~2.0	30	9.91	10.1	10.1
T14	41.6~30.55	31	1.11	1.00	1.21
	30.55~20.6	32	1.58	1.45	1.69
	20.6~12.5	33	1.70	1.58	1.81
	12.5~2.0	34	2.07	2.06	2.10



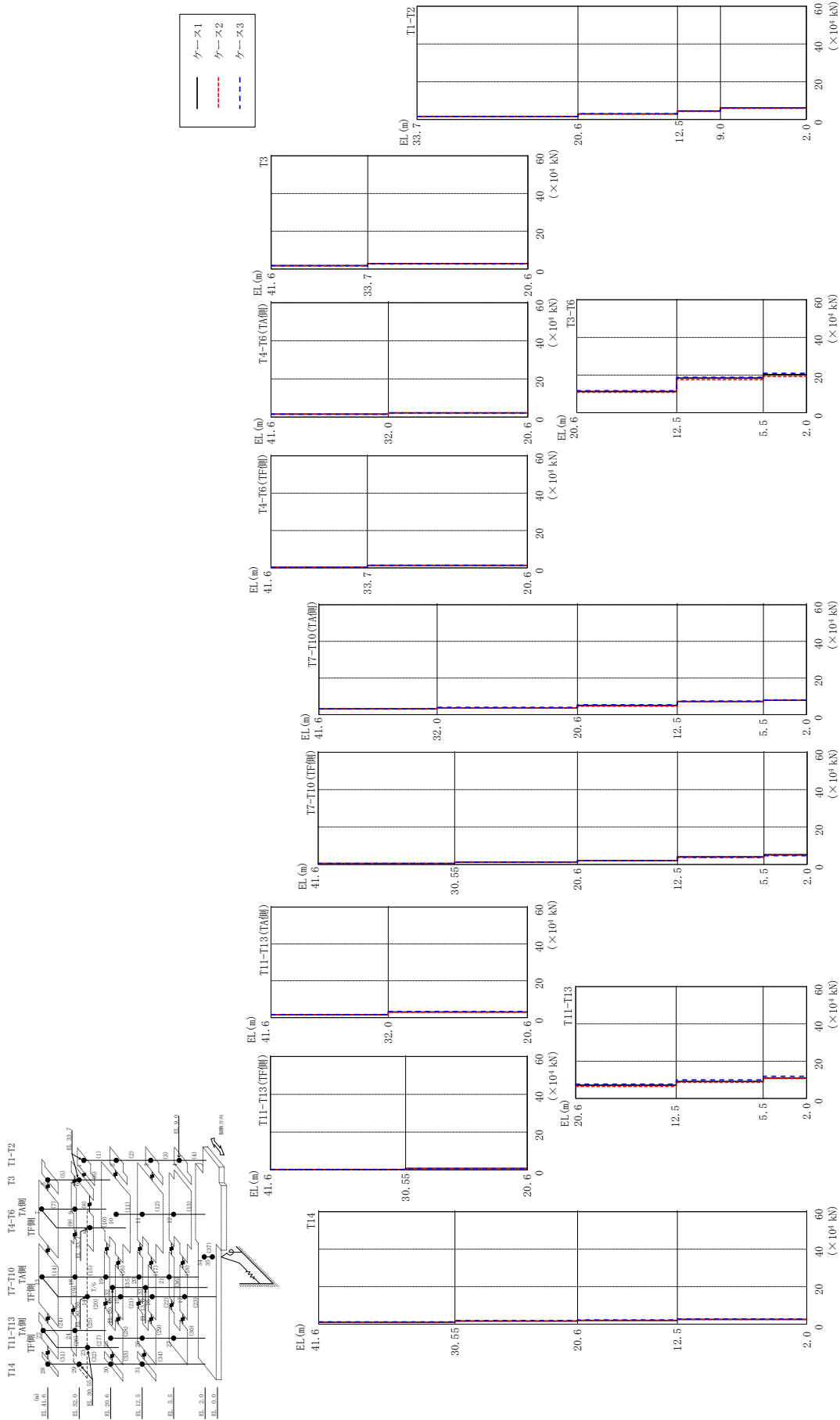
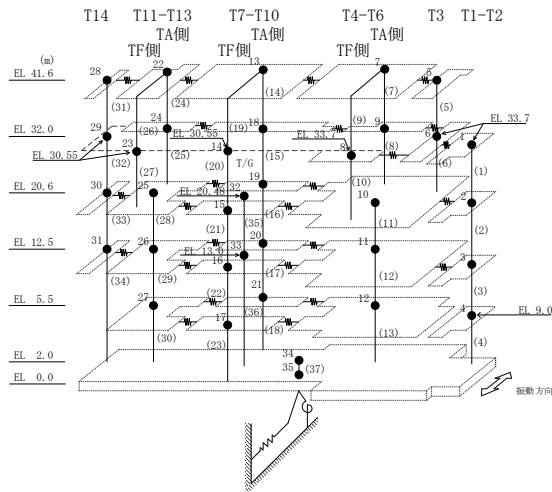


表 2-81 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	1.59	1.57	1.55
	20.6~12.5	2	2.94	2.84	3.04
	12.5~9.0	3	4.49	4.28	4.56
	9.0~2.0	4	6.19	5.90	6.19
T3	41.6~33.7	5	1.82	1.71	1.78
	33.7~20.6	6	2.89	2.84	2.71
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	1.55	1.52	1.47
	32.0~20.6	8	2.18	2.19	2.12
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.342	0.319	0.316
	33.7~20.6	10	1.37	1.31	1.34
T3-T6	20.6~12.5	11	11.3	10.9	11.7
	12.5~5.5	12	18.5	17.5	18.9
	5.5~2.0	13	20.3	19.2	20.9
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	3.31	3.19	3.23
	32.0~20.6	15	3.70	3.69	4.02
	20.6~12.5	16	5.03	4.65	5.40
	12.5~5.5	17	7.23	7.08	7.42
	5.5~2.0	18	7.94	7.89	8.08
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.553	0.512	0.531
	30.55~20.6	20	1.31	1.24	1.18
	20.6~12.5	21	2.04	1.96	2.03
	12.5~5.5	22	4.08	3.75	3.81
	5.5~2.0	23	5.27	4.89	4.73
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	1.64	1.63	1.66
	32.0~20.6	25	3.05	2.94	3.37
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.261	0.262	0.242
	30.55~20.6	27	0.772	0.765	0.721
T11-T13	20.6~12.5	28	7.16	6.47	7.68
	12.5~5.5	29	9.12	8.62	9.97
	5.5~2.0	30	10.9	10.7	11.9
T14	41.6~30.55	31	1.03	1.08	1.21
	30.55~20.6	32	1.65	1.69	1.90
	20.6~12.5	33	1.98	2.02	2.23
	12.5~2.0	34	2.52	2.55	2.76



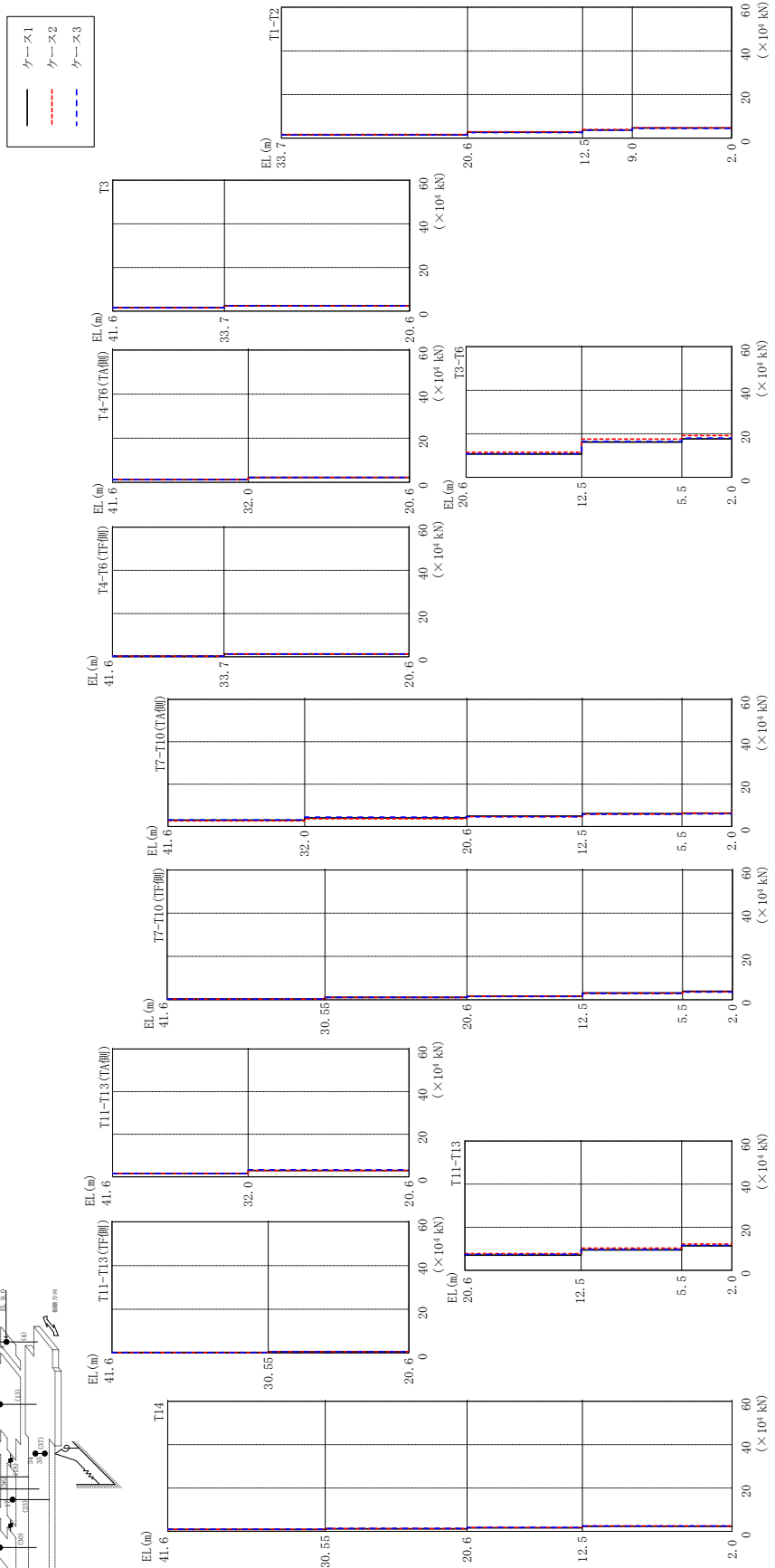
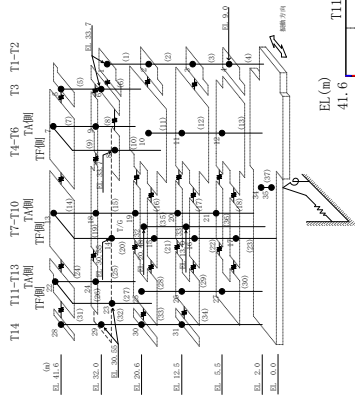
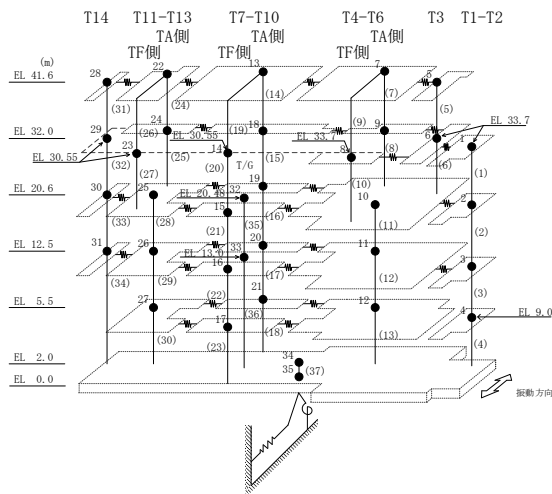


図 2-91 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

表 2-82 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	1.55	1.66	1.48
	20.6~12.5	2	2.72	2.89	2.59
	12.5~9.0	3	3.69	3.94	3.63
	9.0~2.0	4	4.64	4.73	4.43
T3	41.6~33.7	5	1.64	1.52	1.57
	33.7~20.6	6	2.51	2.37	2.46
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.19	1.18	1.21
	32.0~20.6	8	2.22	2.19	2.17
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.271	0.233	0.270
	33.7~20.6	10	1.29	1.22	1.20
T3-T6	20.6~12.5	11	10.7	11.5	10.8
	12.5~5.5	12	16.2	17.6	16.5
	5.5~2.0	13	17.7	19.2	18.0
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.06	2.70	3.13
	32.0~20.6	15	4.10	3.67	4.43
	20.6~12.5	16	4.88	4.61	4.66
	12.5~5.5	17	6.08	5.84	5.82
	5.5~2.0	18	6.24	6.40	5.97
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.324	0.302	0.297
	30.55~20.6	20	1.09	0.998	1.05
	20.6~12.5	21	1.55	1.59	1.45
	12.5~5.5	22	3.11	2.88	2.88
	5.5~2.0	23	3.86	3.61	3.57
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.56	1.54	1.57
	32.0~20.6	25	3.01	2.98	3.34
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.199	0.202	0.197
	30.55~20.6	27	0.571	0.570	0.579
T11-T13	20.6~12.5	28	7.08	7.78	7.40
	12.5~5.5	29	9.47	10.3	9.67
	5.5~2.0	30	11.4	12.2	11.6
T14	41.6~30.55	31	0.868	0.846	0.961
	30.55~20.6	32	1.16	1.27	1.34
	20.6~12.5	33	1.60	1.74	1.77
	12.5~2.0	34	2.33	2.50	2.48



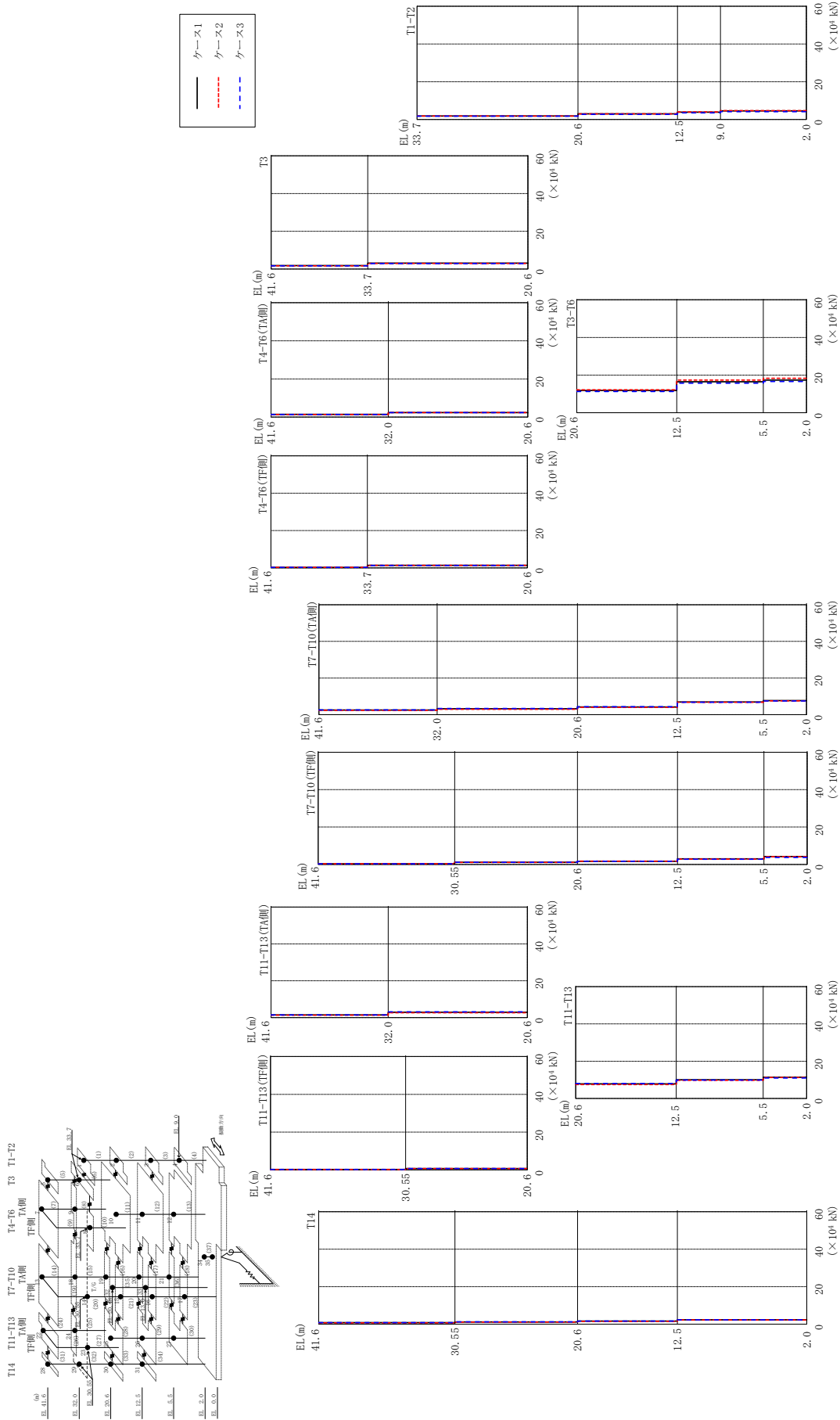


図 2-92 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 Sd-N2EW, NS 方向)

表 2-83 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	1.84	1.80	1.73
	20.6~12.5	2	3.00	3.00	2.71
	12.5~9.0	3	3.88	3.96	3.52
	9.0~2.0	4	4.55	4.67	4.10
T3	41.6~33.7	5	1.86	1.68	1.71
	33.7~20.6	6	3.15	3.02	2.93
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.38	1.31	1.33
	32.0~20.6	8	2.33	2.31	2.30
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.276	0.243	0.244
	33.7~20.6	10	1.36	1.37	1.25
T3-T6	20.6~12.5	11	11.8	12.2	11.3
	12.5~5.5	12	16.5	17.3	15.7
	5.5~2.0	13	17.4	18.3	16.6
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	2.52	2.39	2.60
	32.0~20.6	15	3.23	2.98	3.41
	20.6~12.5	16	4.23	4.00	4.37
	12.5~5.5	17	6.90	6.80	6.80
	5.5~2.0	18	7.69	7.57	7.46
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.309	0.296	0.300
	30.55~20.6	20	1.13	1.04	1.13
	20.6~12.5	21	1.70	1.78	1.68
	12.5~5.5	22	2.97	2.87	2.80
	5.5~2.0	23	4.25	4.17	3.77
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.45	1.35	1.47
	32.0~20.6	25	2.95	2.65	3.12
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.208	0.221	0.210
	30.55~20.6	27	0.680	0.679	0.684
T11-T13	20.6~12.5	28	7.84	7.46	8.01
	12.5~5.5	29	10.0	9.73	9.90
	5.5~2.0	30	11.4	11.3	11.0
T14	41.6~30.55	31	0.791	0.687	0.817
	30.55~20.6	32	1.16	1.07	1.25
	20.6~12.5	33	1.62	1.48	1.63
	12.5~2.0	34	2.34	2.25	2.29

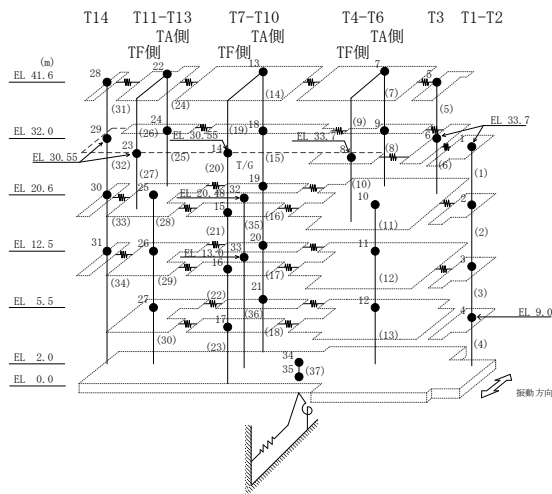
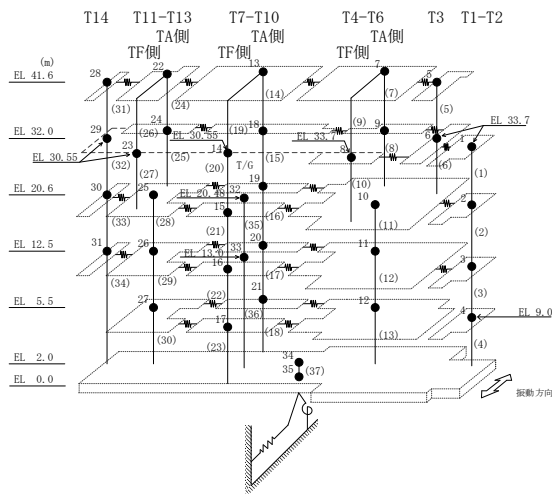


表 2-84 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	2.80	3.03	2.78
	20.6~12.5	2	4.44	4.41	4.72
	12.5~9.0	3	5.85	5.70	6.14
	9.0~2.0	4	7.34	7.14	7.61
T3	41.6~33.7	5	3.18	3.23	3.35
	33.7~20.6	6	5.15	5.34	5.15
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.66	1.70	1.84
	32.0~20.6	8	3.05	3.11	3.09
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.513	0.535	0.590
	33.7~20.6	10	1.73	1.74	1.71
T3-T6	20.6~12.5	11	16.5	17.4	17.2
	12.5~5.5	12	22.8	22.4	24.1
	5.5~2.0	13	25.5	24.0	26.8
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.96	3.92	4.15
	32.0~20.6	15	5.92	5.94	6.18
	20.6~12.5	16	6.01	5.82	5.80
	12.5~5.5	17	9.70	9.40	9.27
	5.5~2.0	18	10.9	10.7	10.4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.555	0.495	0.657
	30.55~20.6	20	1.76	1.73	1.78
	20.6~12.5	21	2.25	2.17	2.21
	12.5~5.5	22	4.64	4.57	4.70
	5.5~2.0	23	5.98	5.91	6.09
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.95	1.94	1.99
	32.0~20.6	25	5.13	5.26	5.63
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.242	0.250	0.232
	30.55~20.6	27	0.857	0.911	0.920
T11-T13	20.6~12.5	28	10.6	11.3	11.6
	12.5~5.5	29	13.5	14.4	13.9
	5.5~2.0	30	15.1	16.2	15.7
T14	41.6~30.55	31	1.98	2.08	2.35
	30.55~20.6	32	2.82	2.75	2.98
	20.6~12.5	33	3.23	3.22	3.35
	12.5~2.0	34	3.77	3.87	3.83



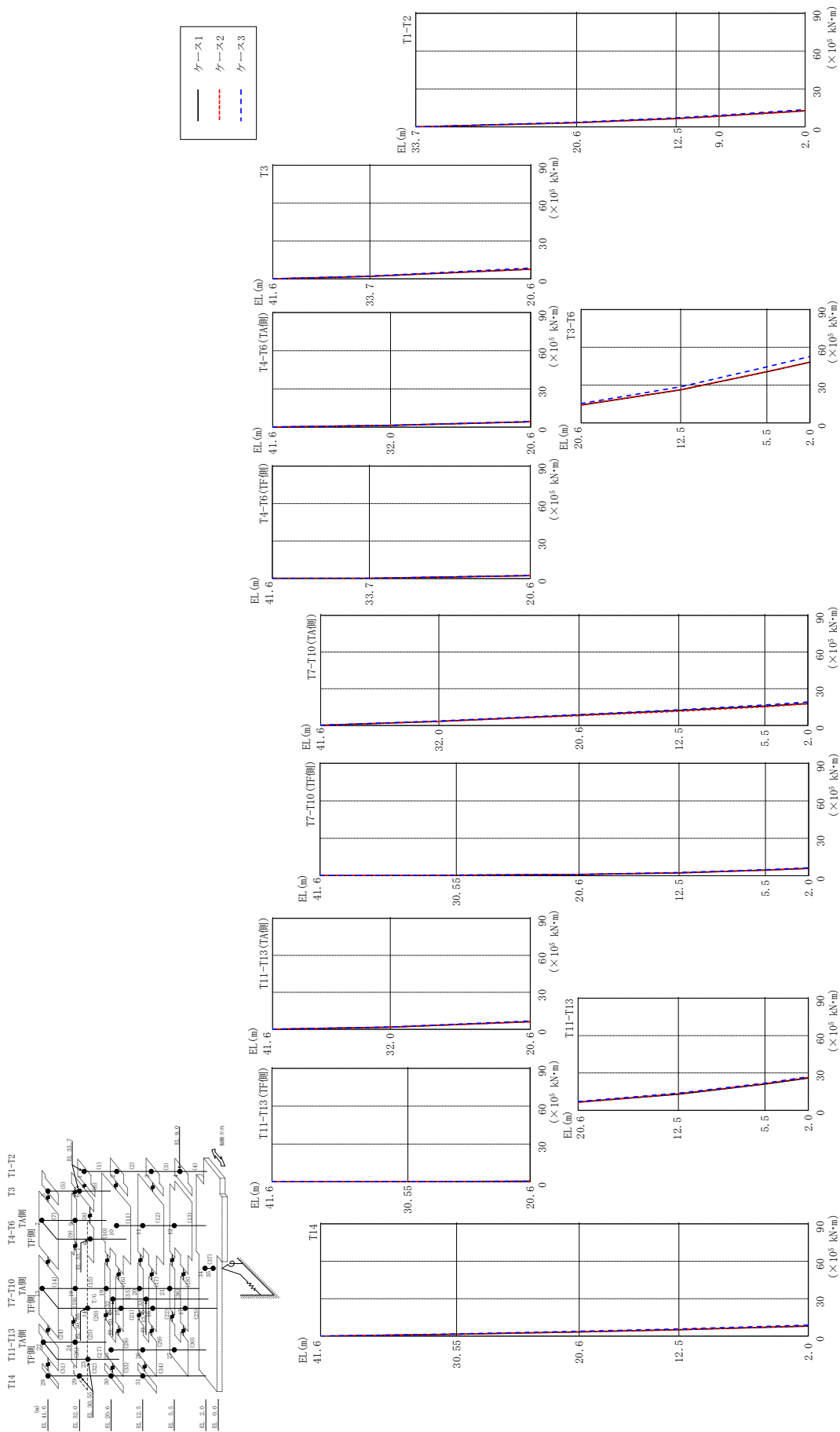


図2-94 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動Sd-D, NS方向）

表 2-85(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			3.30	3.26	3.63
	20.6~12.5	2	3.30	3.26	3.63
			6.61	6.46	7.17
12.5~9.0	3	6.61	6.46	7.17	
		8.45	8.25	9.12	
9.0~2.0	4	8.45	8.25	9.12	
		12.8	12.5	13.7	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			1.93	2.01	2.19
	33.7~20.6	6	1.93	2.01	2.19
7.61			7.70	8.57	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0999	0.0946	0.101
			1.45	1.38	1.42
	32.0~20.6	8	1.45	1.38	1.42
4.21			4.27	4.44	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.128	0.122	0.127
			0.217	0.207	0.215
	33.7~20.6	10	0.217	0.207	0.215
2.29			2.28	2.39	
T3-T6	20.6~12.5	11	14.1	14.2	15.4
			26.2	26.3	28.7
	12.5~5.5	12	26.2	26.3	28.7
			40.6	40.7	44.5
5.5~2.0	13	40.6	40.7	44.5	
		48.3	48.2	52.8	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.141	0.127	0.166
			3.32	3.38	3.66
	32.0~20.6	15	3.32	3.38	3.66
			8.47	8.01	8.90
	20.6~12.5	16	8.47	8.01	8.90
			12.2	11.6	12.8
12.5~5.5	17	12.2	11.6	12.8	
		15.8	15.3	16.8	
5.5~2.0	18	15.8	15.3	16.8	
			17.9	17.7	19.1

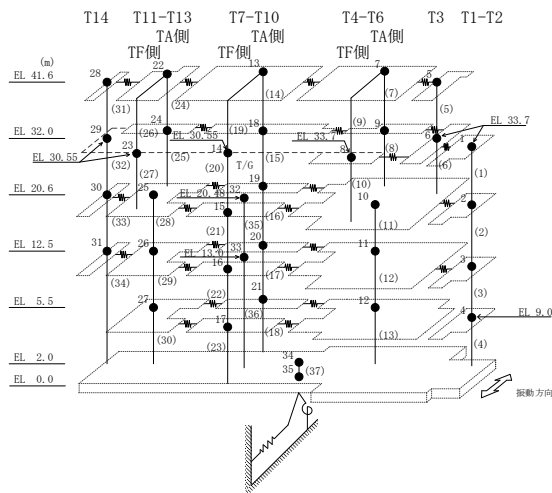
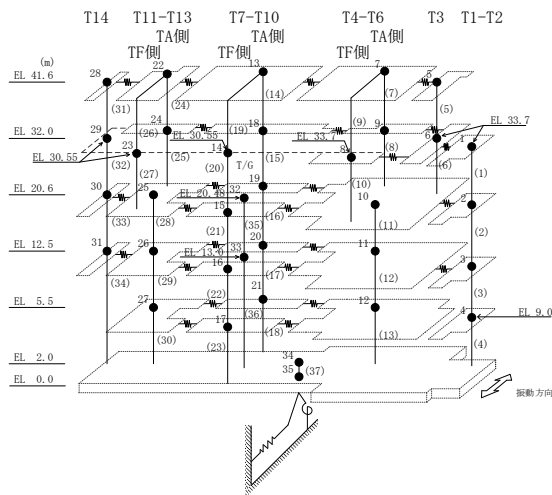


表 2-85(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.177	0.174	0.197
			0.393	0.379	0.436
	30.55~20.6	20	0.393	0.379	0.436
			0.999	0.957	1.02
	20.6~12.5	21	0.999	0.957	1.02
2.27			2.32	2.48	
12.5~5.5	22	2.27	2.32	2.48	
		4.46	4.50	4.81	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0903	0.0823	0.105
			1.73	1.74	1.82
	32.0~20.6	25	1.73	1.74	1.82
			6.23	6.08	6.70
	T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0928	0.0915
0.248				0.258	0.240
30.55~20.6		27	0.248	0.258	0.240
T11-T13	20.6~12.5	28	6.59	6.44	7.08
			13.0	13.3	13.8
	12.5~5.5	29	13.0	13.3	13.8
			21.0	21.4	21.7
	5.5~2.0	30	21.0	21.4	21.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			1.56	1.49	1.77
	30.55~20.6	32	1.56	1.49	1.77
			3.33	3.32	3.84
	20.6~12.5	33	3.33	3.32	3.84
5.09			5.16	5.76	
12.5~2.0	34	5.09	5.16	5.76	
			8.03	8.27	8.76



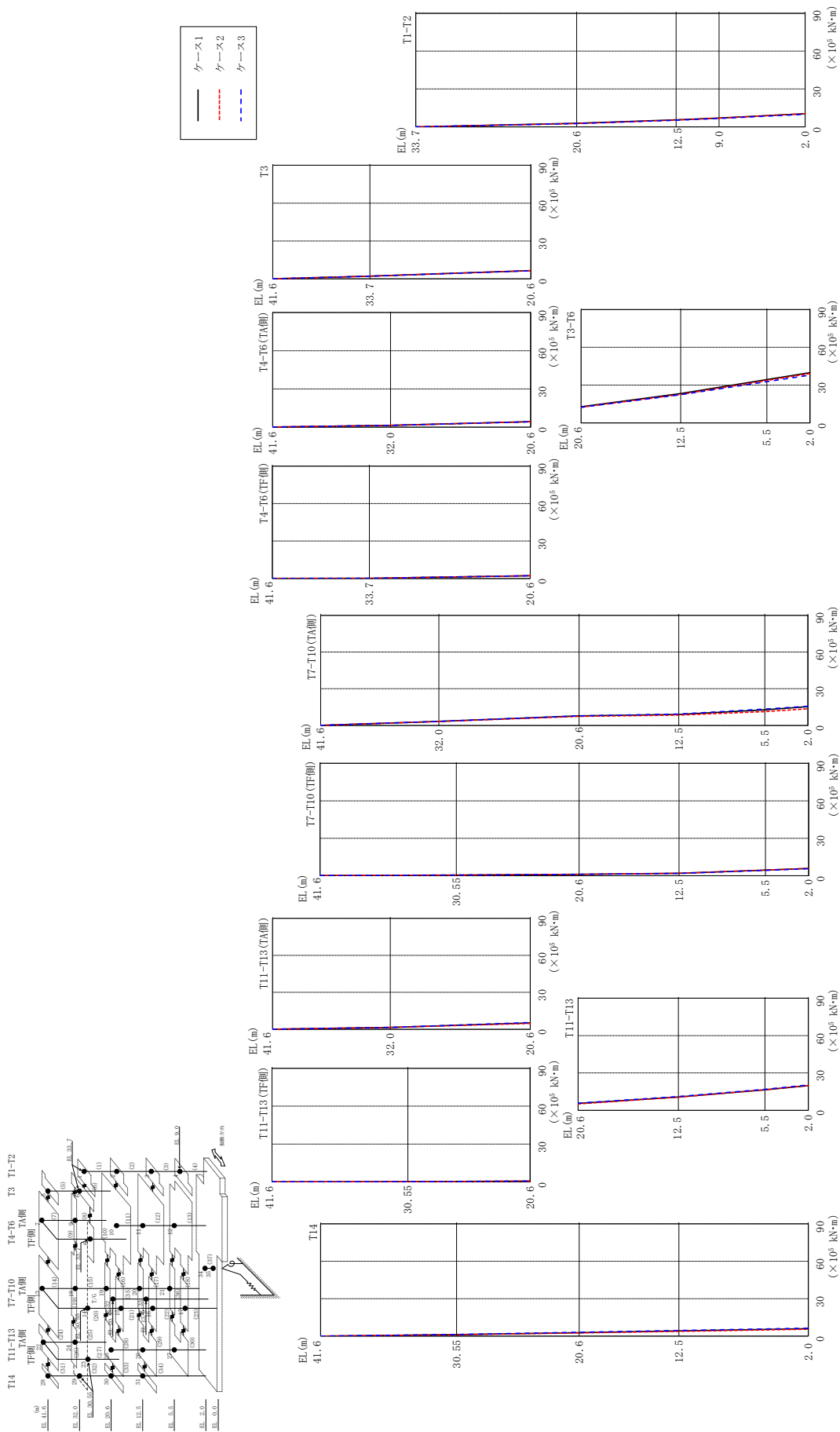


図2-95 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動Sd-F1, N S方向)

表 2-86(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			2.78	2.63	2.65
	20.6~12.5	2	2.78	2.63	2.65
			5.51	5.36	5.28
12.5~9.0	3	5.51	5.36	5.28	
		6.98	6.86	6.68	
9.0~2.0	4	6.98	6.86	6.68	
		10.4	10.4	9.93	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			2.15	2.07	2.10
	33.7~20.6	6	2.15	2.07	2.10
6.57			6.56	6.42	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.107	0.0989	0.103
			1.44	1.39	1.44
	32.0~20.6	8	1.44	1.39	1.44
4.30			4.23	4.27	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.124	0.111	0.115
			0.202	0.177	0.184
	33.7~20.6	10	0.202	0.177	0.184
2.21			2.22	2.21	
T3-T6	20.6~12.5	11	12.8	12.4	12.4
			23.3	22.6	22.4
	12.5~5.5	12	23.3	22.6	22.4
			34.4	33.7	32.8
5.5~2.0	13	34.4	33.7	32.8	
		39.9	39.1	37.9	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.120	0.115	0.116
			3.37	3.18	3.36
	32.0~20.6	15	3.37	3.18	3.36
			7.80	7.37	7.82
	20.6~12.5	16	7.80	7.37	7.82
			8.95	8.51	9.29
12.5~5.5	17	8.95	8.51	9.29	
		12.8	11.3	13.4	
5.5~2.0	18	12.8	11.3	13.4	
		15.4	13.6	15.7	

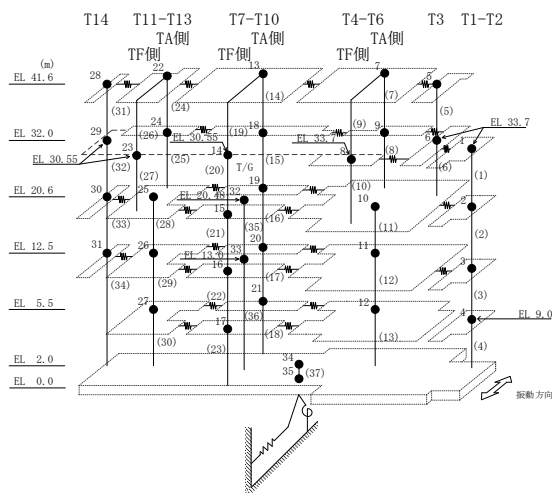
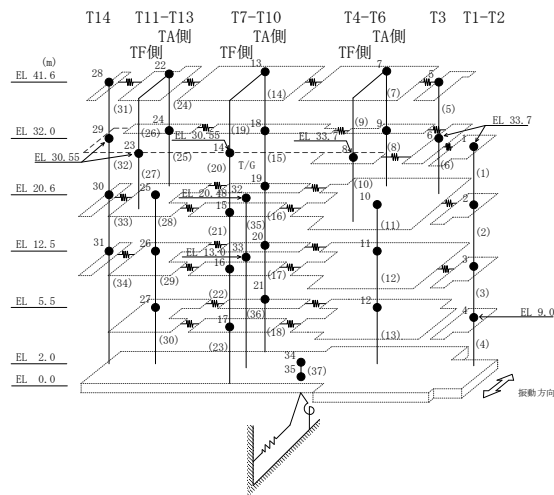


表 2-86(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.178	0.175	0.167
			0.504	0.474	0.479
	30.55~20.6	20	0.504	0.474	0.479
			1.13	1.11	1.07
	20.6~12.5	21	1.13	1.11	1.07
1.93			1.89	1.85	
12.5~5.5	22	1.93	1.89	1.85	
		4.46	4.43	4.33	
5.5~2.0	23	4.46	4.43	4.33	
		5.86	5.84	5.64	
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.0554	0.0517	0.0605
			1.56	1.50	1.54
32.0~20.6	25	1.56	1.50	1.54	
		5.18	4.80	5.44	
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.0953	0.102	0.103
			0.250	0.274	0.247
	30.55~20.6	27	0.250	0.274	0.247
0.652			0.681	0.651	
T11-T13	20.6~12.5	28	5.53	5.12	5.79
			10.6	10.5	11.1
	12.5~5.5	29	10.6	10.5	11.1
16.5			16.6	16.9	
5.5~2.0	30	16.5	16.6	16.9	
		19.9	20.0	20.4	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			1.22	1.11	1.33
	30.55~20.6	32	1.22	1.11	1.33
			2.80	2.54	3.01
20.6~12.5	33	2.80	2.54	3.01	
		4.18	3.81	4.48	
12.5~2.0	34	4.18	3.81	4.48	
		5.95	5.48	6.38	



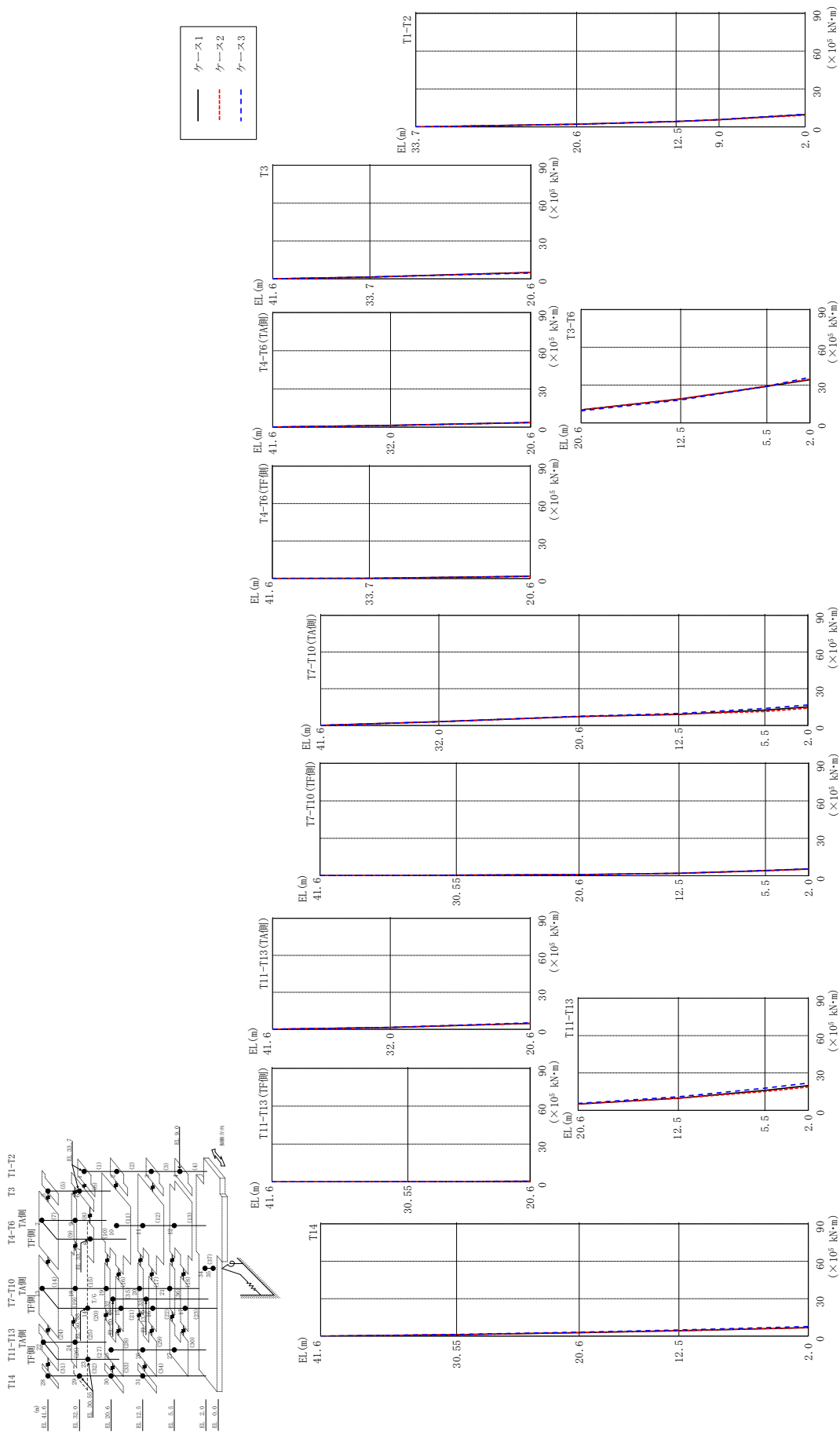


図2-96 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動Sd-F2, NS方向)

表 2-87(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			2.08	2.06	2.03
	20.6~12.5	2	2.08	2.06	2.03
			4.25	4.19	4.30
12.5~9.0	3	4.25	4.19	4.30	
		5.64	5.54	5.76	
9.0~2.0	4	5.64	5.54	5.76	
		9.70	9.25	10.0	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			1.44	1.35	1.41
	33.7~20.6	6	1.44	1.35	1.41
5.08			5.02	4.63	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0764	0.0715	0.0731
			1.42	1.39	1.34
	32.0~20.6	8	1.42	1.39	1.34
3.64			3.56	3.65	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.0993	0.0928	0.0927
			0.171	0.159	0.157
	33.7~20.6	10	0.171	0.159	0.157
1.86			1.76	1.71	
T3-T6	20.6~12.5	11	10.4	10.3	9.60
			19.0	19.1	18.2
	12.5~5.5	12	19.0	19.1	18.2
			29.0	29.4	29.1
5.5~2.0	13	29.0	29.4	29.1	
		34.3	34.8	36.2	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.0923	0.0886	0.0993
			3.09	2.97	3.05
	32.0~20.6	15	3.09	2.97	3.05
			7.30	7.17	7.54
	20.6~12.5	16	7.30	7.17	7.54
8.93			9.25	9.85	
12.5~5.5	17	8.93	9.25	9.85	
		12.5	11.4	13.9	
5.5~2.0	18	12.5	11.4	13.9	
		15.2	14.2	16.7	

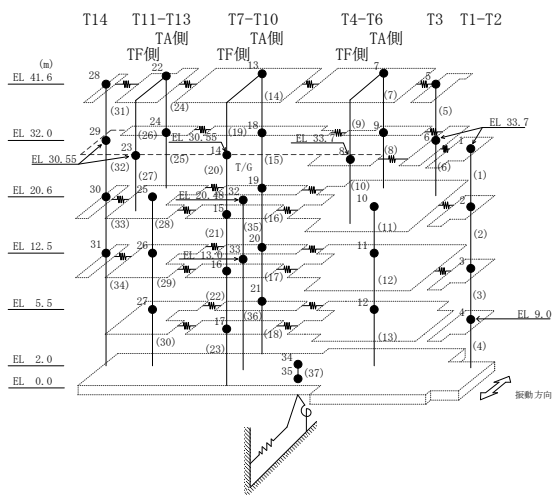
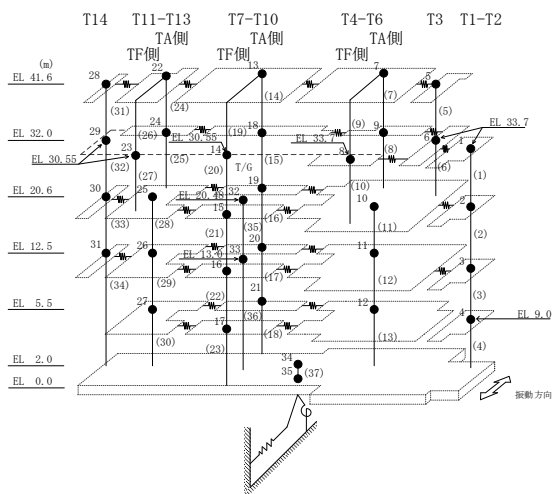


表 2-87(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.173	0.157	0.173
			0.440	0.410	0.415
	30.55~20.6	20	0.440	0.410	0.415
			0.870	0.833	0.787
	20.6~12.5	21	0.870	0.833	0.787
1.91			1.90	1.94	
12.5~5.5	22	1.91	1.90	1.94	
		4.06	3.92	4.14	
5.5~2.0	23	4.06	3.92	4.14	
		5.38	5.15	5.46	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0610	0.0624	0.0746
			1.52	1.51	1.53
	32.0~20.6	25	1.52	1.51	1.53
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0770	0.0802	0.0819
			0.221	0.221	0.205
	30.55~20.6	27	0.221	0.221	0.205
T11-T13	20.6~12.5	28	5.02	5.14	5.53
			9.74	9.62	10.8
	12.5~5.5	29	9.74	9.62	10.8
			16.0	15.1	17.8
	5.5~2.0	30	16.0	15.1	17.8
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			1.14	1.20	1.34
	30.55~20.6	32	1.14	1.20	1.34
			2.75	2.85	3.20
	20.6~12.5	33	2.75	2.85	3.20
4.30			4.40	4.95	
12.5~2.0	34	4.30	4.40	4.95	
			6.78	6.85	7.65



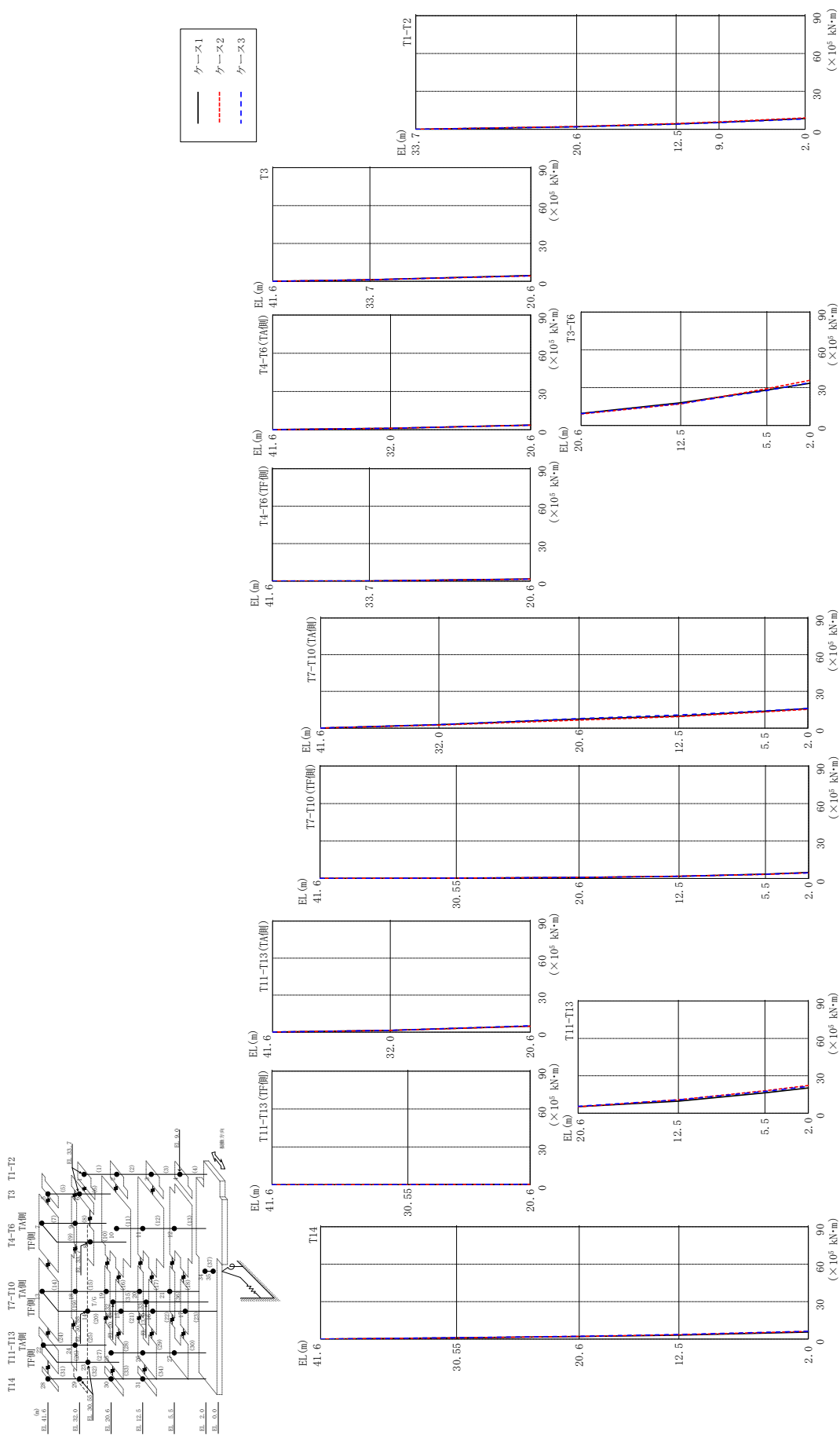


図 2-97 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

表 2-88(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			2.03	2.17	1.94
	20.6~12.5	2	2.03	2.17	1.94
			4.21	4.50	4.02
12.5~9.0	3	4.21	4.50	4.02	
		5.47	5.84	5.25	
9.0~2.0	4	5.47	5.84	5.25	
		8.46	9.03	8.22	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			1.29	1.20	1.24
	33.7~20.6	6	1.29	1.20	1.24
4.56			4.25	4.44	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0612	0.0566	0.0591
			1.08	1.07	1.11
	32.0~20.6	8	1.08	1.07	1.11
3.60			3.50	3.54	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.0781	0.0669	0.0783
			0.136	0.117	0.135
	33.7~20.6	10	0.136	0.117	0.135
1.73			1.63	1.61	
T3-T6	20.6~12.5	11	9.59	9.07	9.31
			18.0	17.1	17.4
	12.5~5.5	12	18.0	17.1	17.4
			28.1	29.2	27.7
5.5~2.0	13	28.1	29.2	27.7	
		33.4	35.8	34.0	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.106	0.0967	0.113
			2.83	2.50	2.89
	32.0~20.6	15	2.83	2.50	2.89
			7.45	6.61	7.86
	20.6~12.5	16	7.45	6.61	7.86
			9.86	9.38	10.8
12.5~5.5	17	9.86	9.38	10.8	
		13.9	13.3	14.1	
5.5~2.0	18	13.9	13.3	14.1	
		16.0	15.3	16.1	

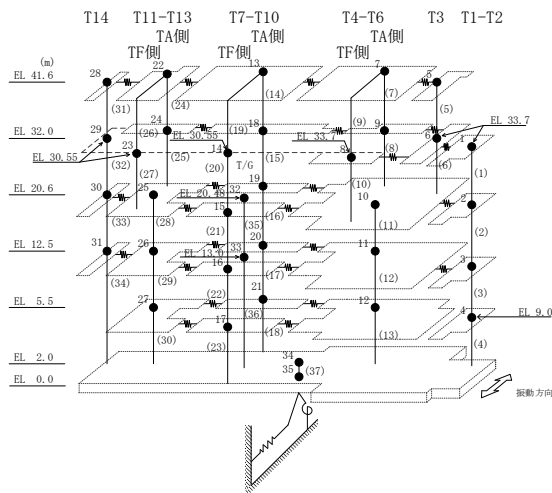
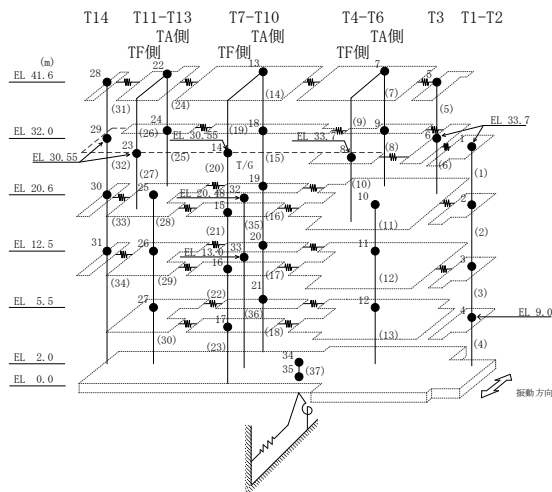


表 2-88(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.111	0.106	0.112
			0.288	0.266	0.268
	30.55~20.6	20	0.288	0.266	0.268
			0.810	0.740	0.788
	20.6~12.5	21	0.810	0.740	0.788
1.74			1.77	1.73	
12.5~5.5	22	1.74	1.77	1.73	
		3.45	3.23	3.34	
5.5~2.0	23	3.45	3.23	3.34	
		4.77	4.46	4.50	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0504	0.0494	0.0514
			1.46	1.43	1.46
32.0~20.6	25	1.46	1.43	1.46	
		4.88	4.75	5.19	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0565	0.0606	0.0595
			0.167	0.169	0.167
	30.55~20.6	27	0.167	0.169	0.167
0.401			0.399	0.410	
T11-T13	20.6~12.5	28	5.23	5.14	5.57
			9.69	10.8	10.7
	12.5~5.5	29	9.69	10.8	10.7
			16.3	18.0	17.4
5.5~2.0	30	16.3	18.0	17.4	
		20.3	22.2	21.5	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			0.959	0.935	1.06
	30.55~20.6	32	0.959	0.935	1.06
			2.03	2.11	2.26
	20.6~12.5	33	2.03	2.11	2.26
3.21			3.52	3.69	
12.5~2.0	34	3.21	3.52	3.69	
		35	5.65	6.14	6.28



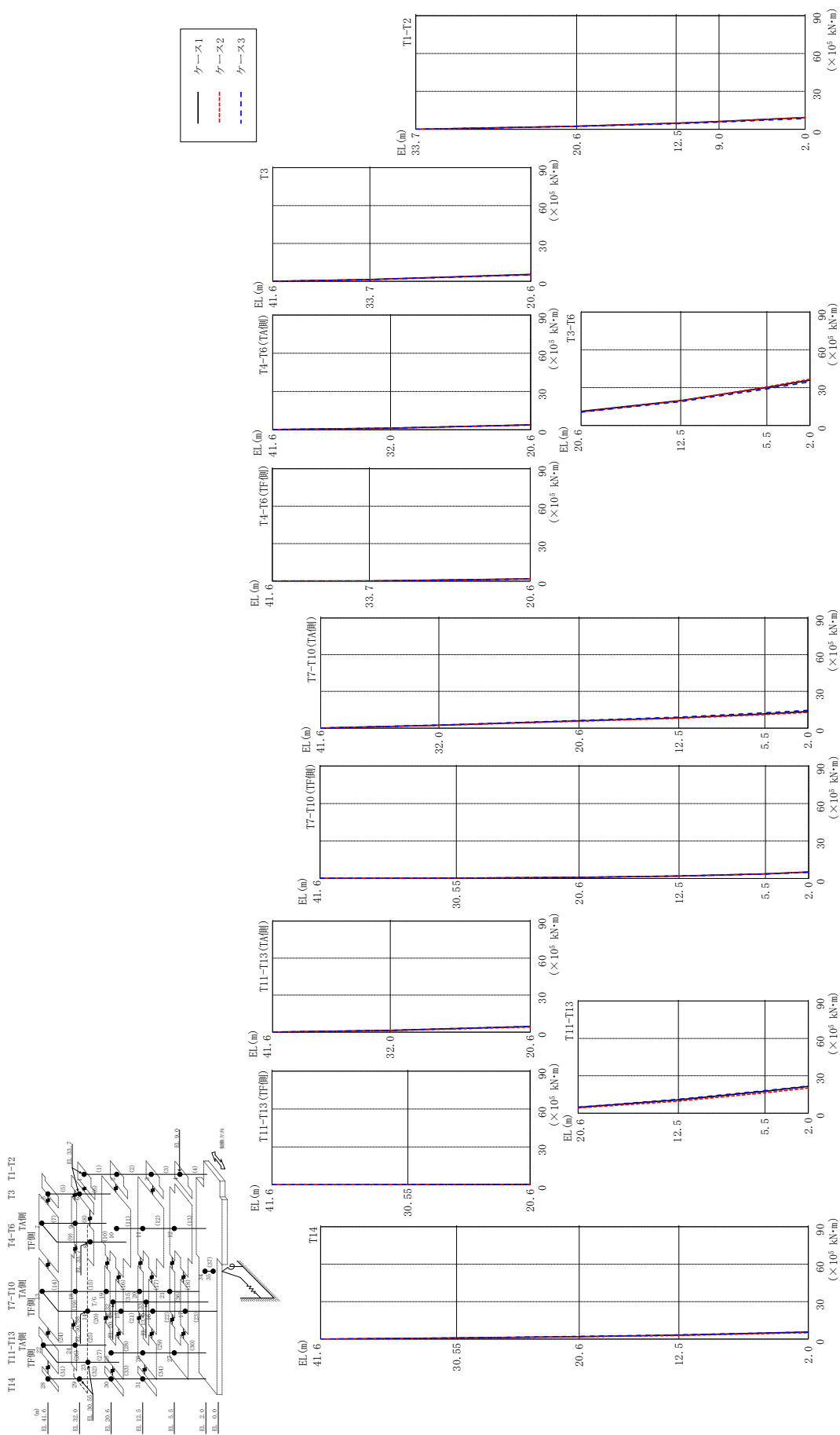


図2-98 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動Sd-N2EW, NS方向）

表 2-89(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			2.41	2.36	2.26
	20.6~12.5	2	2.41	2.36	2.26
			4.79	4.73	4.41
12.5~9.0	3	4.79	4.73	4.41	
		6.12	6.07	5.62	
9.0~2.0	4	6.12	6.07	5.62	
		9.28	9.27	8.47	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			1.47	1.33	1.35
	33.7~20.6	6	1.47	1.33	1.35
5.51			5.25	5.18	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0716	0.0635	0.0661
			1.25	1.20	1.21
	32.0~20.6	8	1.25	1.20	1.21
3.80			3.68	3.72	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.0832	0.0731	0.0740
			0.135	0.120	0.119
	33.7~20.6	10	0.135	0.120	0.119
1.87			1.81	1.69	
T3-T6	20.6~12.5	11	11.2	10.7	10.6
			19.8	19.5	18.9
	12.5~5.5	12	19.8	19.5	18.9
			30.1	30.6	29.0
5.5~2.0	13	30.1	30.6	29.0	
		36.0	36.7	34.7	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.0865	0.0762	0.0920
			2.36	2.25	2.44
	32.0~20.6	15	2.36	2.25	2.44
			5.90	5.58	6.25
	20.6~12.5	16	5.90	5.58	6.25
			8.38	8.05	9.01
12.5~5.5	17	8.38	8.05	9.01	
		11.6	11.1	12.5	
5.5~2.0	18	11.6	11.1	12.5	
			13.6	12.9	14.5

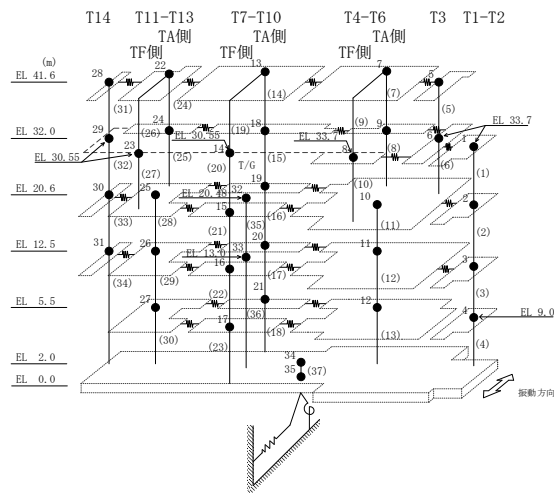
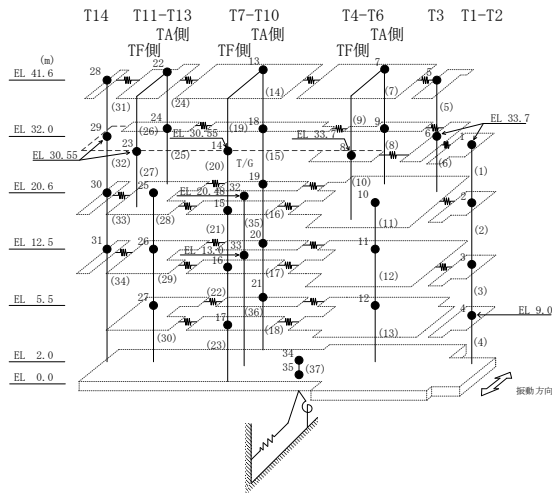


表 2-89(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.112	0.106	0.120
			0.283	0.267	0.274
	30.55~20.6	20	0.283	0.267	0.274
			0.852	0.781	0.863
	20.6~12.5	21	0.852	0.781	0.863
1.88			1.93	1.91	
12.5~5.5	22	1.88	1.93	1.91	
		3.69	3.64	3.58	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0524	0.0509	0.0570
			1.38	1.24	1.38
	32.0~20.6	25	1.38	1.24	1.38
			4.53	4.07	4.64
	T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0666	0.0633
0.184				0.190	0.185
30.55~20.6		27	0.184	0.190	0.185
T11-T13	20.6~12.5	28	4.68	4.19	4.80
			10.7	9.67	11.1
	12.5~5.5	29	10.7	9.67	11.1
			17.6	16.3	18.0
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			0.874	0.759	0.903
	30.55~20.6	32	0.874	0.759	0.903
			1.98	1.82	2.12
20.6~12.5	33	1.98	1.82	2.12	
		3.21	2.85	3.39	
12.5~2.0	34	3.21	2.85	3.39	
		5.58	5.08	5.66	



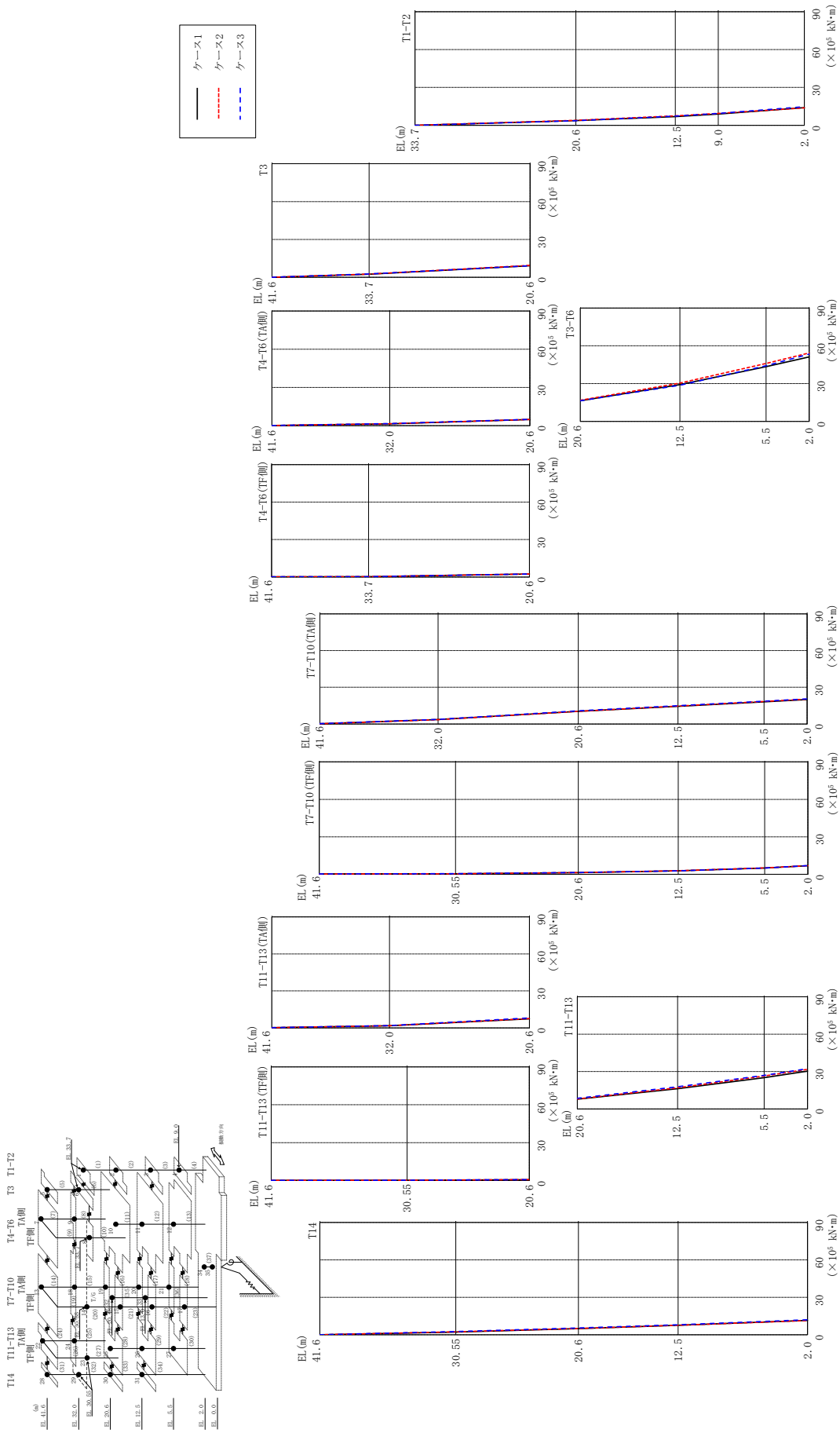


図 2-99 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

表 2-90(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00
			3.67	3.97	3.64
	20.6~12.5	2	3.67	3.97	3.64
			6.83	7.47	7.28
12.5~9.0	3	6.83	7.47	7.28	
		8.87	9.37	9.39	
9.0~2.0	4	8.87	9.37	9.39	
		14.0	13.8	14.7	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00
			2.51	2.55	2.64
	33.7~20.6	6	2.51	2.55	2.64
9.21			9.46	9.19	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.133	0.139	0.153
			1.46	1.50	1.62
	32.0~20.6	8	1.46	1.50	1.62
4.82			4.88	4.93	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.154	0.161	0.177
			0.251	0.262	0.289
	33.7~20.6	10	0.251	0.262	0.289
2.44			2.46	2.41	
T3-T6	20.6~12.5	11	16.4	16.8	16.3
			29.3	30.4	28.7
	12.5~5.5	12	29.3	30.4	28.7
			43.5	46.0	44.1
5.5~2.0	13	43.5	46.0	44.1	
		51.2	54.3	53.5	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.220	0.218	0.247
			3.60	3.55	3.74
	32.0~20.6	15	3.60	3.55	3.74
			10.3	10.3	10.8
	20.6~12.5	16	10.3	10.3	10.8
			14.4	14.6	15.0
12.5~5.5	17	14.4	14.6	15.0	
		18.1	18.4	18.7	
5.5~2.0	18	18.1	18.4	18.7	
		19.9	20.3	20.5	

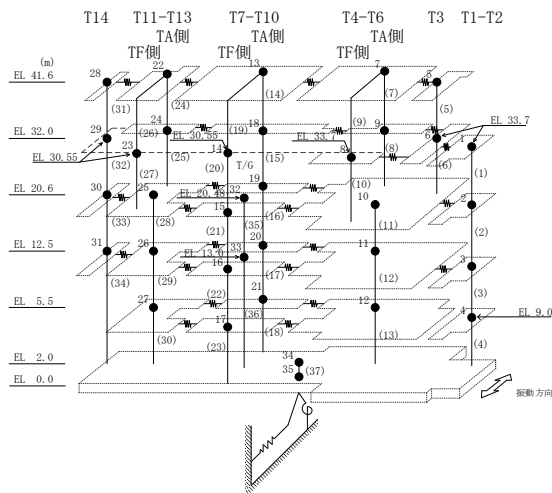
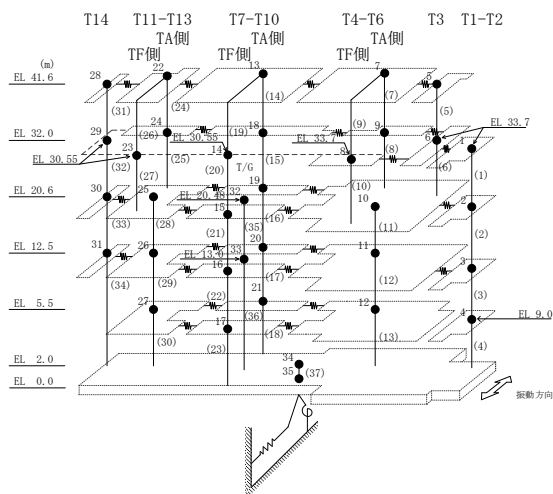


表 2-90(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.236	0.208	0.287
			0.421	0.399	0.445
	30.55~20.6	20	0.421	0.399	0.445
			1.35	1.33	1.42
	20.6~12.5	21	1.35	1.33	1.42
2.71			2.83	2.76	
12.5~5.5	22	2.71	2.83	2.76	
		5.02	5.13	4.96	
5.5~2.0	23	5.02	5.13	4.96	
			6.80	6.89	6.93
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.143	0.151	0.173
			1.76	1.76	1.78
32.0~20.6	25	1.76	1.76	1.78	
		7.38	7.54	8.10	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.118	0.125	0.137
			0.205	0.210	0.199
30.55~20.6	27	0.205	0.210	0.199	
		0.688	0.736	0.754	
T11-T13	20.6~12.5	28	7.76	7.96	8.54
			16.2	17.0	17.8
	12.5~5.5	29	16.2	17.0	17.8
			25.1	26.5	27.0
T11-T13	5.5~2.0	30	25.1	26.5	27.0
			30.3	31.7	32.3
	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00
			2.19	2.30	2.59
T14	30.55~20.6	32	2.19	2.30	2.59
			4.93	5.02	5.41
20.6~12.5	33	4.93	5.02	5.41	
		7.53	7.56	8.02	
12.5~2.0	34	7.53	7.56	8.02	
		11.4	11.4	12.0	



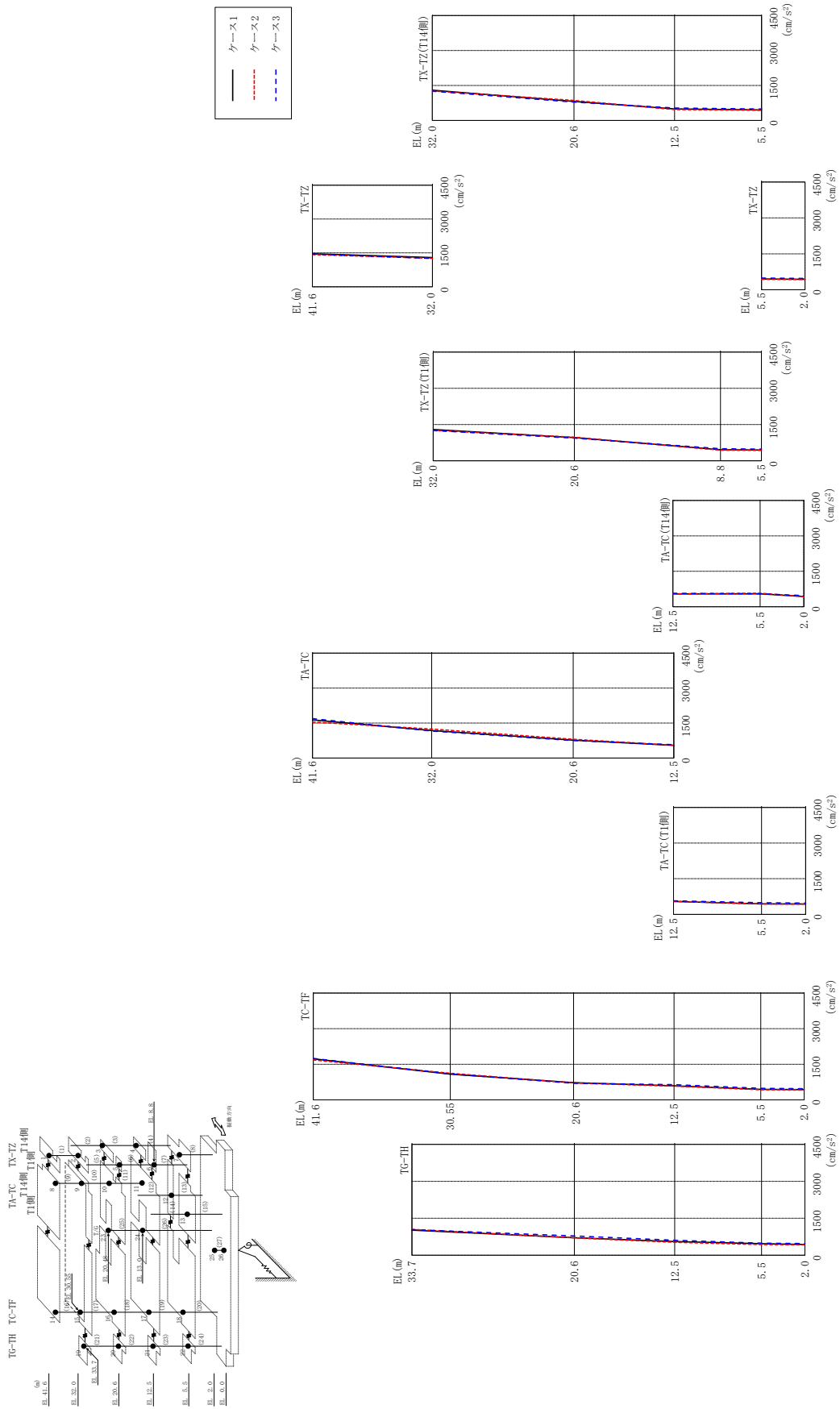
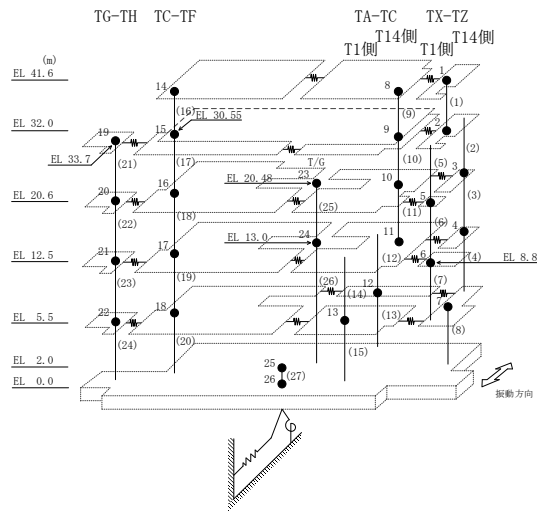


図 2-100 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - D, EW方向)

表 2-91 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	1464	1423	1447
	32.0	2	1296	1262	1255
TX-TZ (T14側)	20.6	3	813	856	784
	12.5	4	492	467	528
TX-TZ (T1側)	20.6	5	962	976	939
	8.8	6	459	441	500
TX-TZ	5.5	7	448	431	487
TA-TC	41.6	8	1636	1542	1686
	32.0	9	1177	1241	1159
	20.6	10	766	804	748
	12.5	11	541	547	569
TA-TC (T14側)	5.5	12	548	572	547
TA-TC (T1側)	5.5	13	439	436	490
TC-TF	41.6	14	1729	1680	1749
	30.55	15	1083	1122	1096
	20.6	16	727	712	700
	12.5	17	594	585	643
	5.5	18	443	430	485
TG-TH	33.7	19	1020	1052	1037
	20.6	20	709	703	782
	12.5	21	556	525	607
	5.5	22	466	433	488
	2.0	25	435	428	472



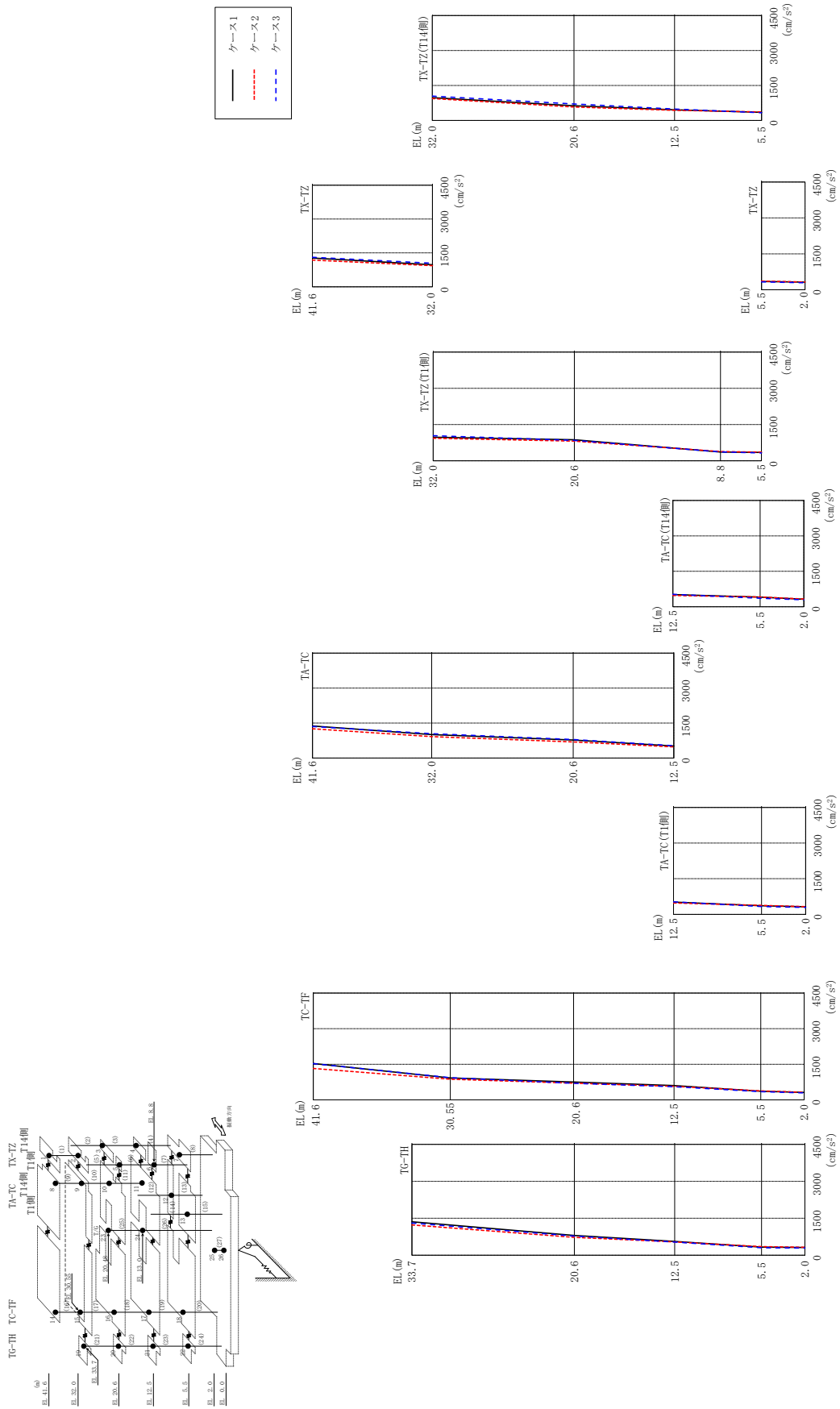
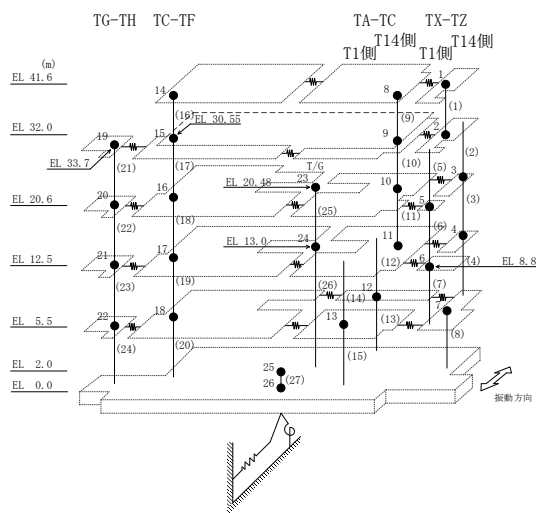


図 2-101 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 1, EW 方向)

表 2-92 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	1273	1181	1306
	32.0	2	975	938	1042
TX-TZ (T14側)	20.6	3	630	575	706
	12.5	4	453	434	489
TX-TZ (T1側)	20.6	5	874	813	848
	8.8	6	365	382	370
TX-TZ	5.5	7	346	359	326
TA-TC	41.6	8	1372	1252	1353
	32.0	9	1004	916	1044
	20.6	10	770	691	793
	12.5	11	515	475	525
TA-TC (T14側)	5.5	12	404	410	355
TA-TC (T1側)	5.5	13	362	376	329
TC-TF	41.6	14	1534	1326	1528
	30.55	15	924	872	935
	20.6	16	755	703	699
	12.5	17	604	571	554
	5.5	18	365	379	345
TG-TH	33.7	19	1356	1232	1305
	20.6	20	802	724	776
	12.5	21	559	542	534
	5.5	22	330	350	305
	2.0	25	316	323	292



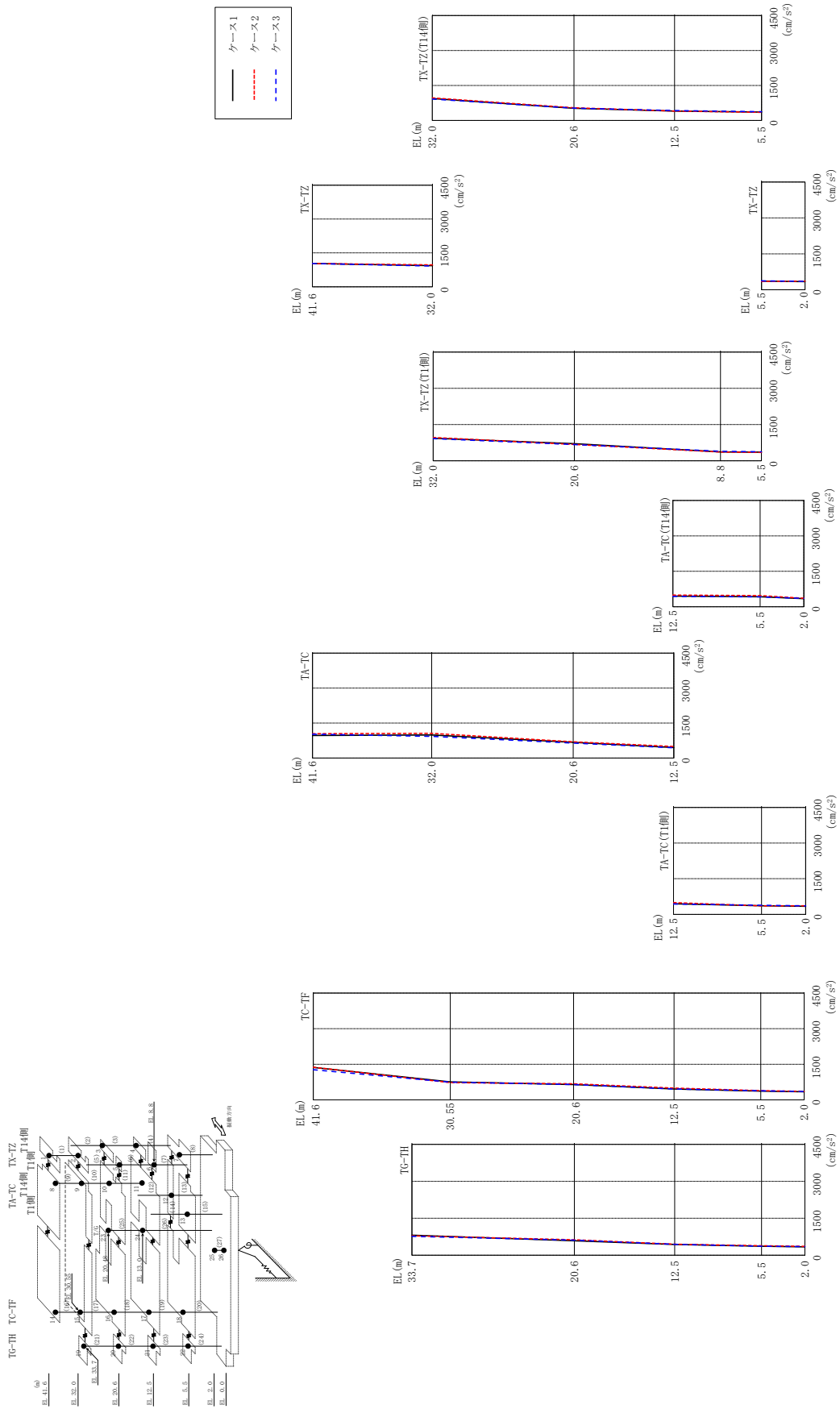
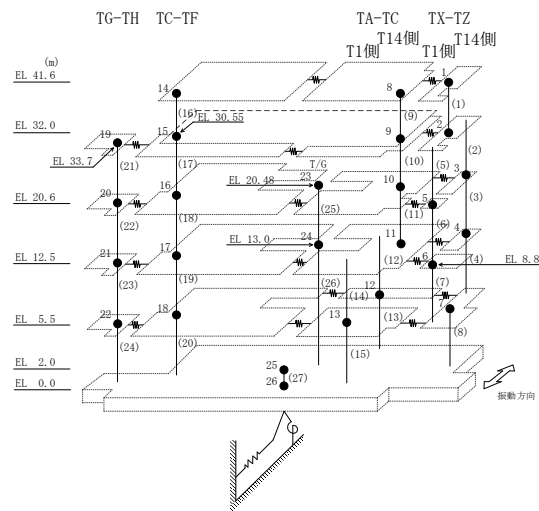


図 2-102 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 2, EW 方向)

表 2-93 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, E W方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	1030	1031	1031
	32.0	2	937	967	918
TX-TZ (T14側)	20.6	3	520	542	525
	12.5	4	400	400	424
TX-TZ (T1側)	20.6	5	710	679	673
	8.8	6	370	366	394
TX-TZ	5.5	7	359	346	372
TA-TC	41.6	8	963	1042	1018
	32.0	9	987	1057	927
	20.6	10	674	695	637
	12.5	11	448	491	436
TA-TC (T14側)	5.5	12	423	469	417
TA-TC (T1側)	5.5	13	362	356	383
TC-TF	41.6	14	1369	1376	1271
	30.55	15	756	728	749
	20.6	16	646	679	644
	12.5	17	458	497	462
	5.5	18	367	390	383
TG-TH	33.7	19	813	788	768
	20.6	20	587	627	610
	12.5	21	439	446	440
	5.5	22	366	387	366
	2.0	25	340	358	353



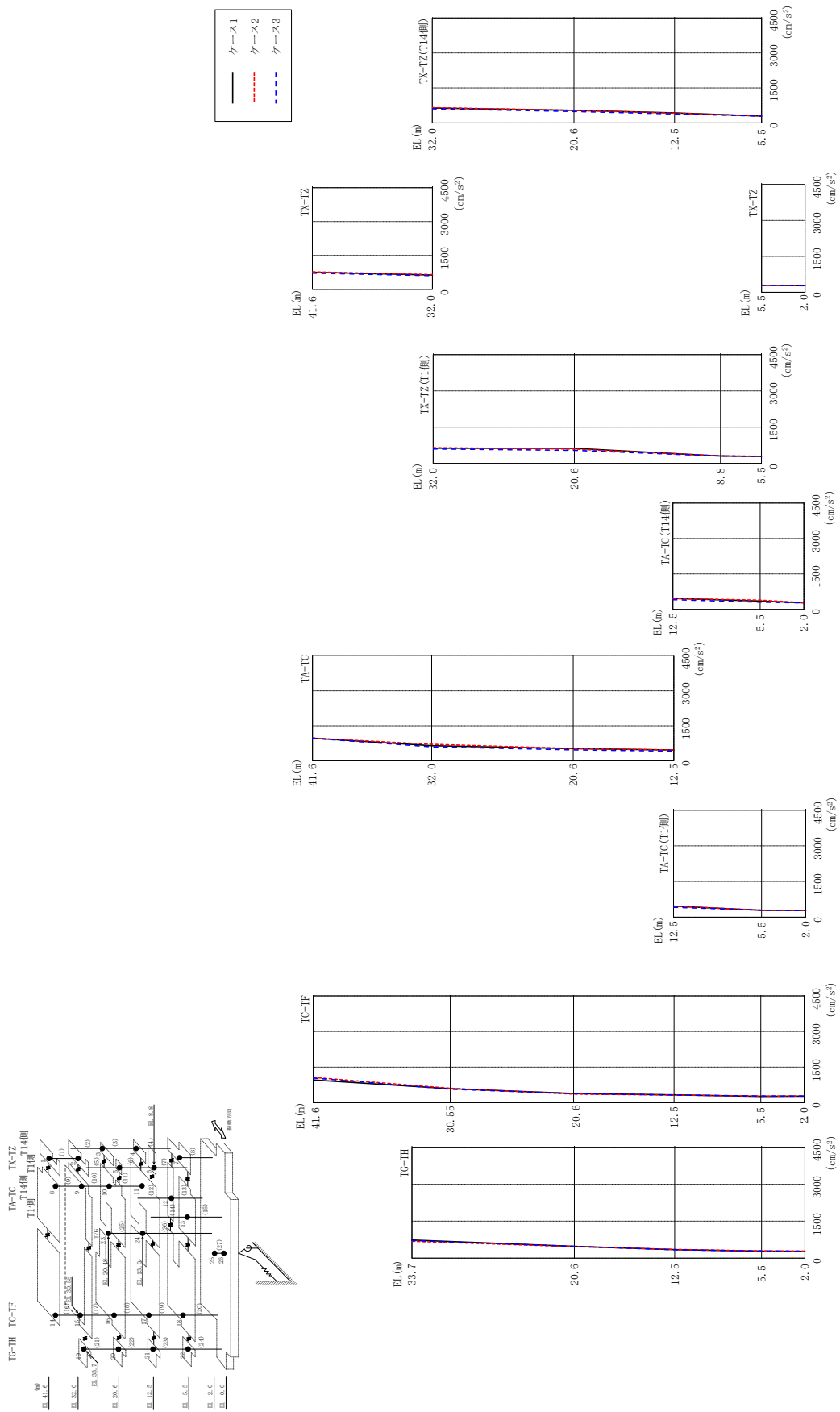
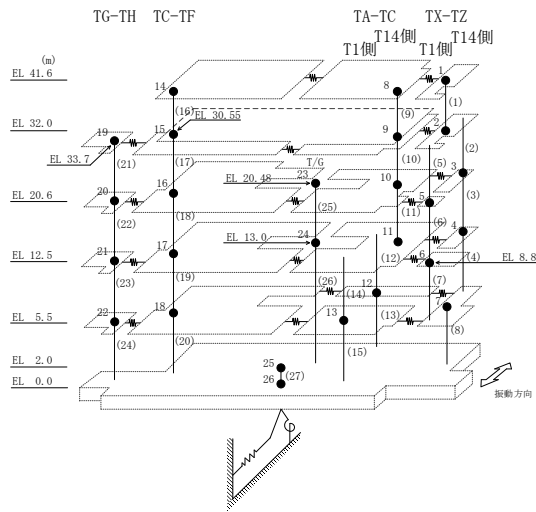


図 2-103 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

表 2-94 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	756	773	717
	32.0	2	633	652	601
TX-TZ (T14側)	20.6	3	538	534	485
	12.5	4	426	419	385
TX-TZ (T1側)	20.6	5	626	595	539
	8.8	6	308	309	305
TX-TZ	5.5	7	291	294	291
TA-TC	41.6	8	965	966	959
	32.0	9	644	705	595
	20.6	10	520	524	466
	12.5	11	463	461	414
TA-TC (T14側)	5.5	12	354	388	306
TA-TC (T1側)	5.5	13	288	293	289
TC-TF	41.6	14	963	1069	1043
	30.55	15	594	609	574
	20.6	16	388	364	384
	12.5	17	331	325	326
	5.5	18	270	281	281
TG-TH	33.7	19	734	685	715
	20.6	20	477	471	477
	12.5	21	345	357	338
	5.5	22	284	292	288
	2.0	25	278	284	277



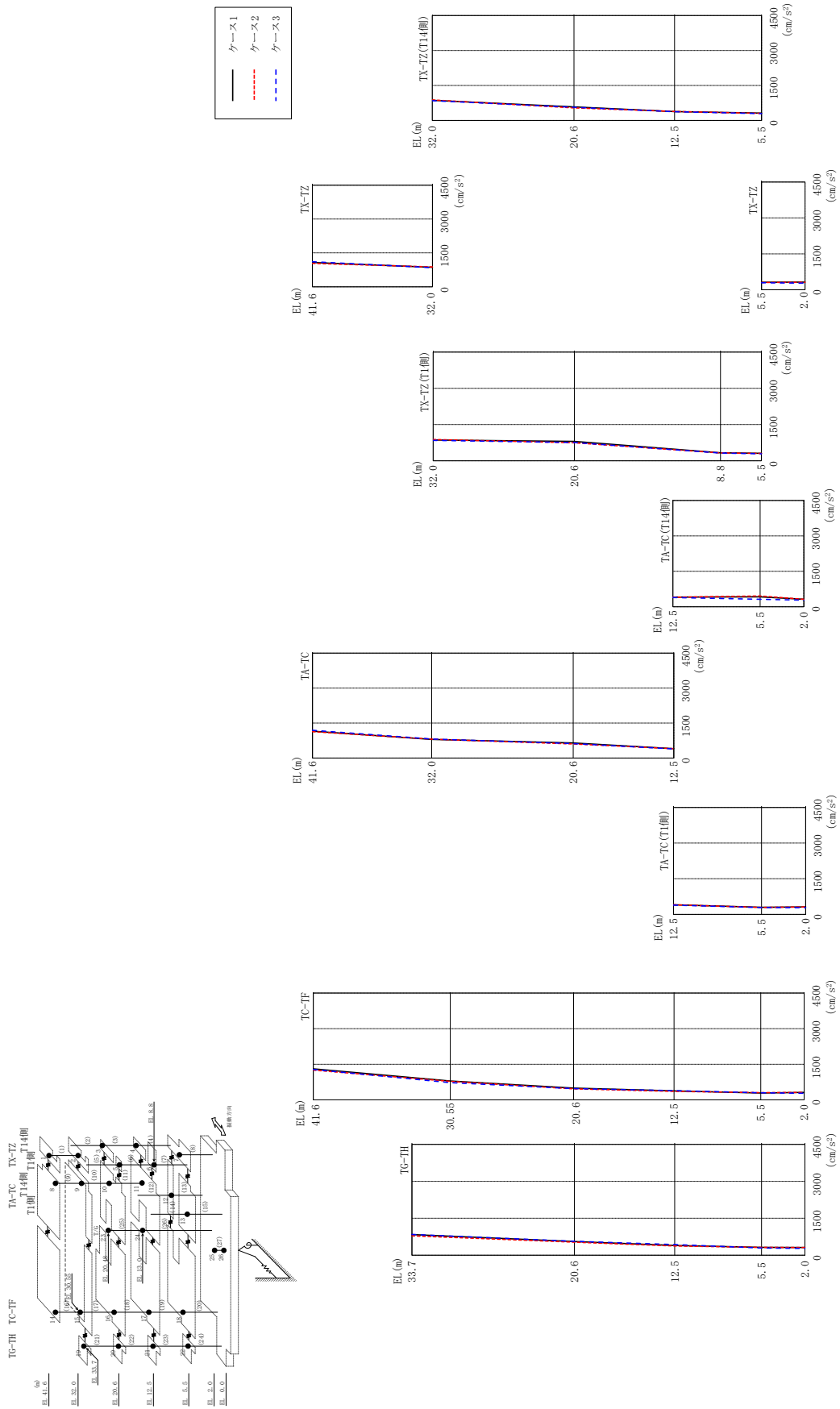
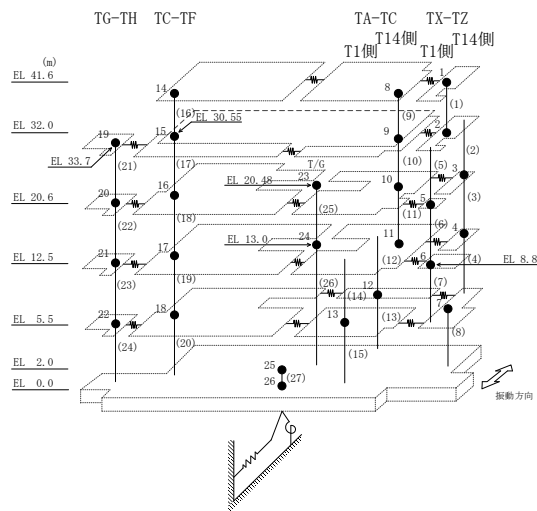


図 2-104 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - N E W, E W 方向)

表 2-95 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	1077	1038	1109
	32.0	2	861	881	845
TX-TZ (T14側)	20.6	3	580	535	563
	12.5	4	377	383	375
TX-TZ (T1側)	20.6	5	807	744	755
	8.8	6	331	327	322
TX-TZ	5.5	7	311	304	291
TA-TC	41.6	8	1152	1127	1186
	32.0	9	795	808	814
	20.6	10	643	601	617
	12.5	11	403	401	389
TA-TC (T14側)	5.5	12	419	454	315
TA-TC (T1側)	5.5	13	295	293	284
TC-TF	41.6	14	1311	1256	1281
	30.55	15	795	781	727
	20.6	16	497	465	478
	12.5	17	377	356	388
	5.5	18	291	305	300
TG-TH	33.7	19	840	787	843
	20.6	20	554	531	565
	12.5	21	397	374	435
	5.5	22	318	318	292
	2.0	25	313	314	278



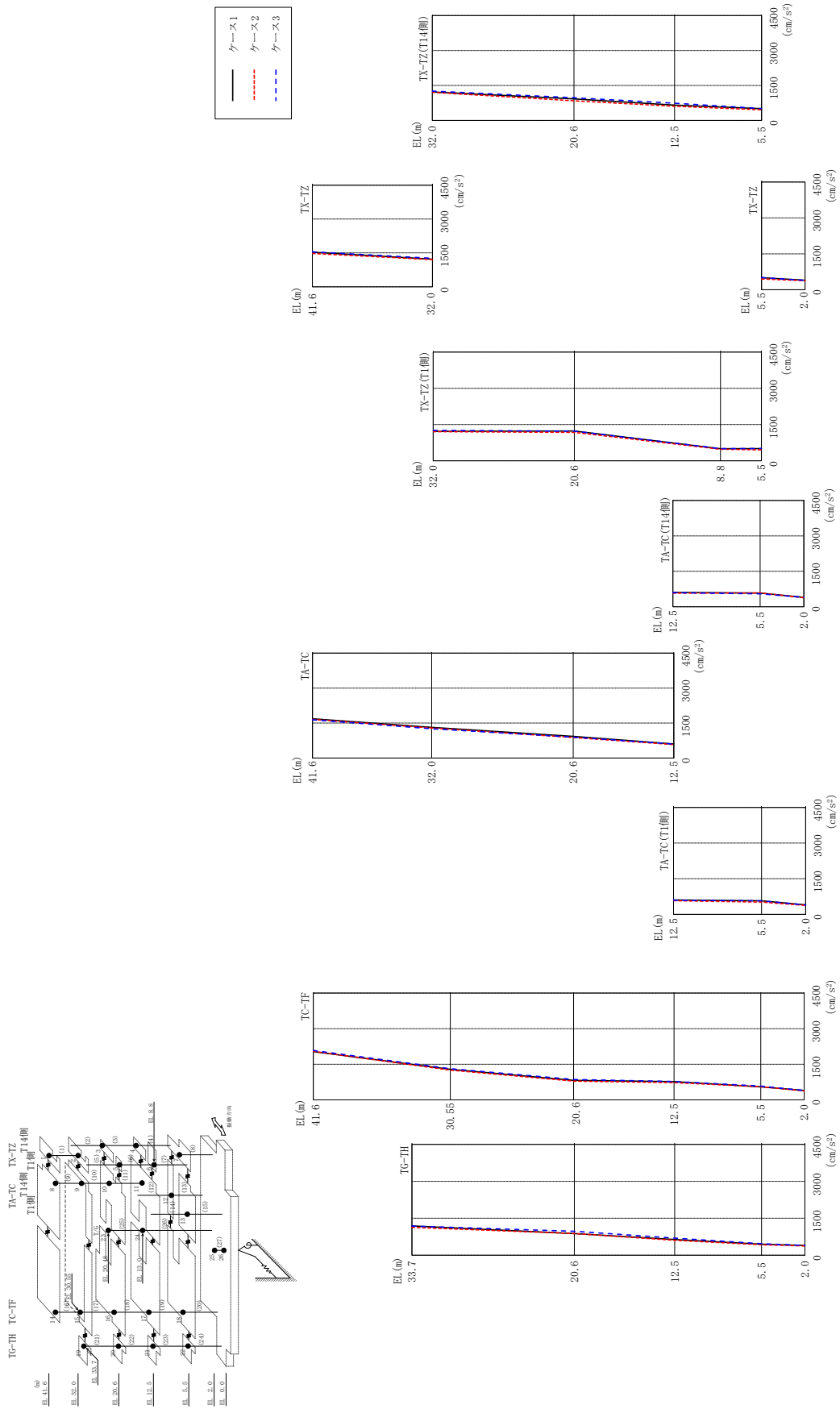
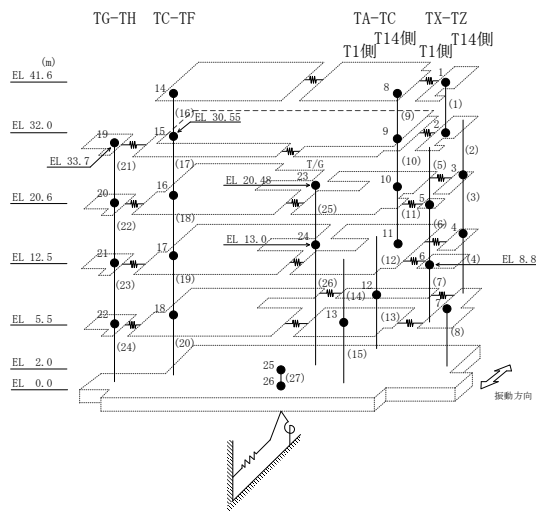


図 2-105 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW 方向)

表 2-96 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	1531	1475	1548
	32.0	2	1220	1206	1259
TX-TZ (T14側)	20.6	3	923	838	969
	12.5	4	656	606	739
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1235	1179	1227
	8.8	6	501	479	507
TX-TZ	5.5	7	505	453	509
TA-TC	41.6	8	1682	1654	1642
	32.0	9	1314	1286	1256
	20.6	10	925	879	897
	12.5	11	604	573	595
TA-TC (T14側)	5.5	12	579	583	544
TA-TC (T1側)	5.5	13	570	515	571
TC-TF	41.6	14	2037	2043	2084
	30.55	15	1285	1257	1316
	20.6	16	822	790	857
	12.5	17	770	727	776
	5.5	18	550	554	580
TG-TH	33.7	19	1189	1131	1183
	20.6	20	879	877	974
	12.5	21	637	608	697
	5.5	22	447	428	468
	2.0	25	395	377	395



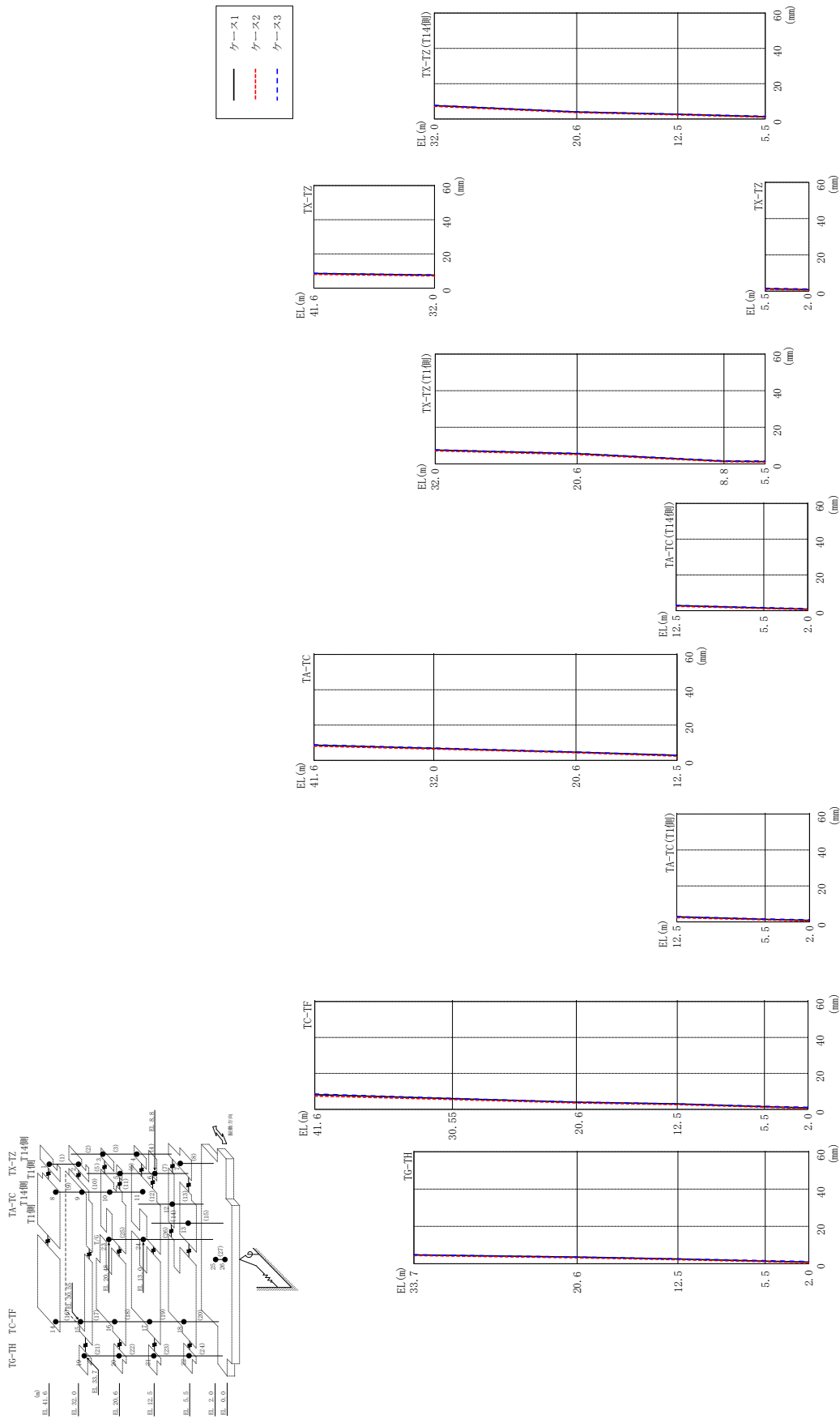
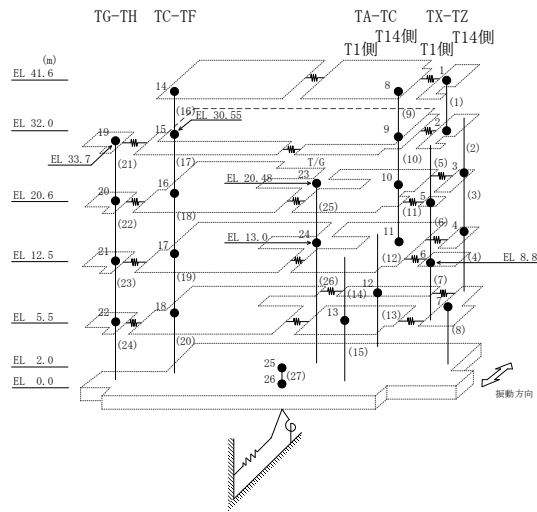


図 2-106 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - D, EW 方向)

表 2-97 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	8.55	8.04	8.68
	32.0	2	7.58	7.13	7.73
TX-TZ (T14側)	20.6	3	3.95	3.61	4.03
	12.5	4	2.67	2.26	2.72
TX-TZ (T1側)	20.6	5	5.58	5.09	5.77
	8.8	6	1.50	1.18	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.31	1.00	1.53
TA-TC	41.6	8	8.57	7.99	8.83
	32.0	9	6.81	6.45	7.03
	20.6	10	4.62	4.31	4.78
	12.5	11	2.85	2.40	2.91
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.52	1.19	1.68
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.46	1.14	1.66
TC-TF	41.6	14	8.18	7.41	8.53
	30.55	15	5.94	5.46	6.13
	20.6	16	3.95	3.52	4.01
	12.5	17	3.05	2.64	3.08
	5.5	18	1.47	1.21	1.71
TG-TH	33.7	19	4.76	4.38	4.77
	20.6	20	3.55	3.13	3.56
	12.5	21	2.51	2.16	2.62
	5.5	22	1.38	1.11	1.62
	2.0	25	0.86	0.56	1.16



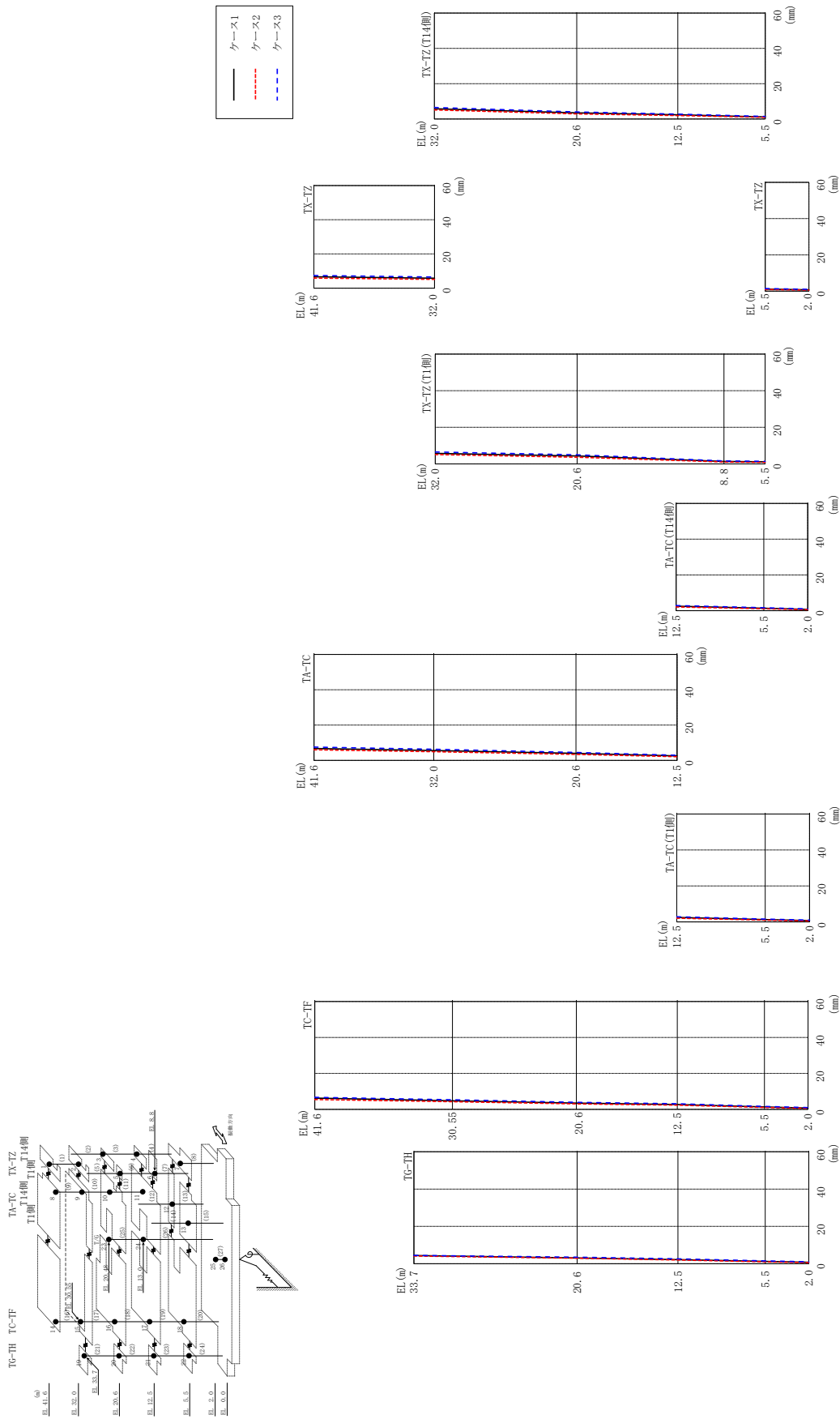
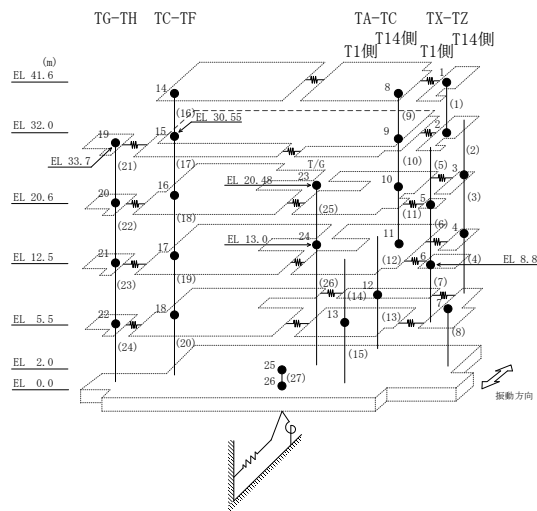


図2-107 最大応答変位 (弾性設計用地震動Sd-F1, EW方向)

表 2-98 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	6.61	5.91	7.40
	32.0	2	5.78	5.10	6.52
TX-TZ (T14側)	20.6	3	3.45	2.88	3.93
	12.5	4	2.34	1.92	2.72
TX-TZ (T1側)	20.6	5	4.33	3.65	4.96
	8.8	6	1.33	1.06	1.63
TX-TZ	5.5	7	1.15	0.89	1.44
TA-TC	41.6	8	6.72	6.00	7.49
	32.0	9	5.58	4.89	6.25
	20.6	10	3.98	3.37	4.49
	12.5	11	2.51	2.05	2.89
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.33	1.08	1.64
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.29	1.01	1.59
TC-TF	41.6	14	6.26	5.48	6.65
	30.55	15	4.76	4.23	5.30
	20.6	16	3.49	3.02	3.91
	12.5	17	2.72	2.33	3.09
	5.5	18	1.36	1.09	1.64
TG-TH	33.7	19	4.40	4.12	4.43
	20.6	20	3.08	2.94	3.51
	12.5	21	2.22	2.00	2.58
	5.5	22	1.24	1.04	1.53
	2.0	25	0.73	0.56	1.00



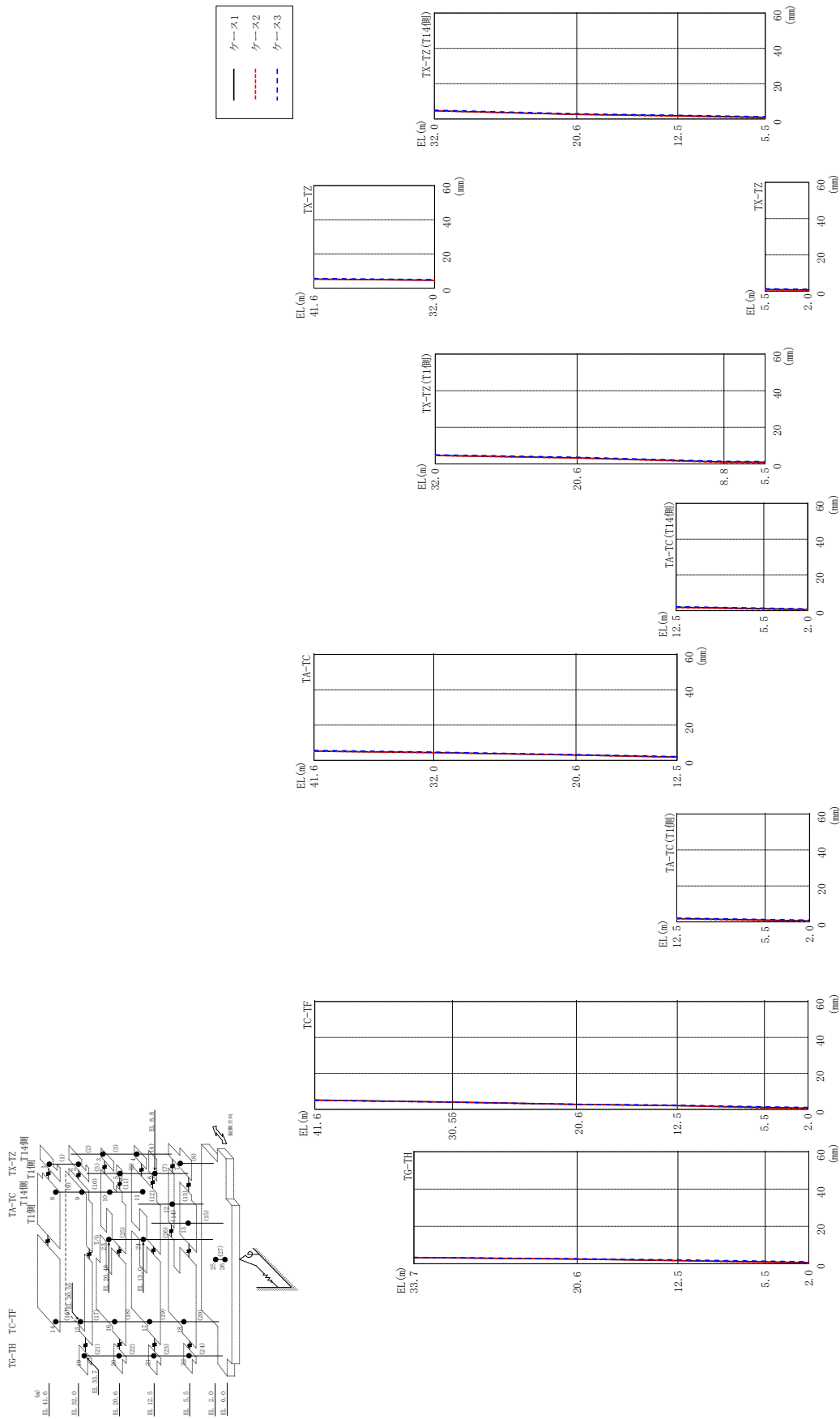
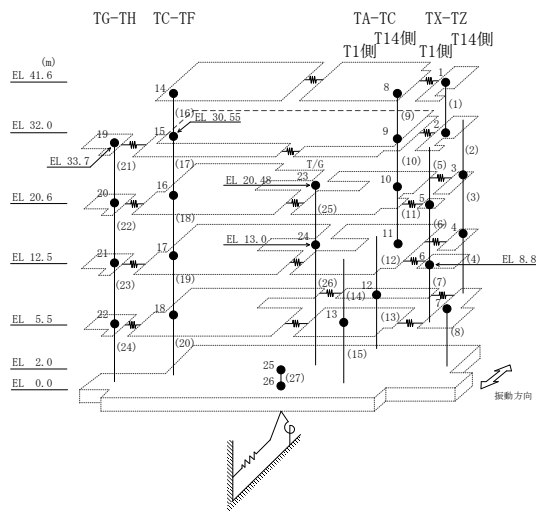


図2-108 最大応答変位 (弾性設計用地震動Sd-F2, EW方向)

表 2-99 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	5.27	5.24	5.65
	32.0	2	4.65	4.59	4.97
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.60	2.51	2.92
	12.5	4	1.80	1.56	2.08
TX-TZ (T1側)	20.6	5	3.33	3.20	3.63
	8.8	6	1.08	0.76	1.41
TX-TZ	5.5	7	0.94	0.63	1.28
TA-TC	41.6	8	5.19	5.20	5.62
	32.0	9	4.36	4.36	4.68
	20.6	10	3.00	3.00	3.25
	12.5	11	1.90	1.74	2.18
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.11	0.80	1.40
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.04	0.72	1.37
TC-TF	41.6	14	5.19	5.08	5.05
	30.55	15	4.01	3.97	3.98
	20.6	16	2.77	2.80	2.84
	12.5	17	2.04	2.06	2.33
	5.5	18	1.04	0.78	1.43
TG-TH	33.7	19	3.31	3.37	3.38
	20.6	20	2.46	2.52	2.69
	12.5	21	1.68	1.64	2.07
	5.5	22	0.99	0.70	1.37
	2.0	25	0.63	0.32	1.02



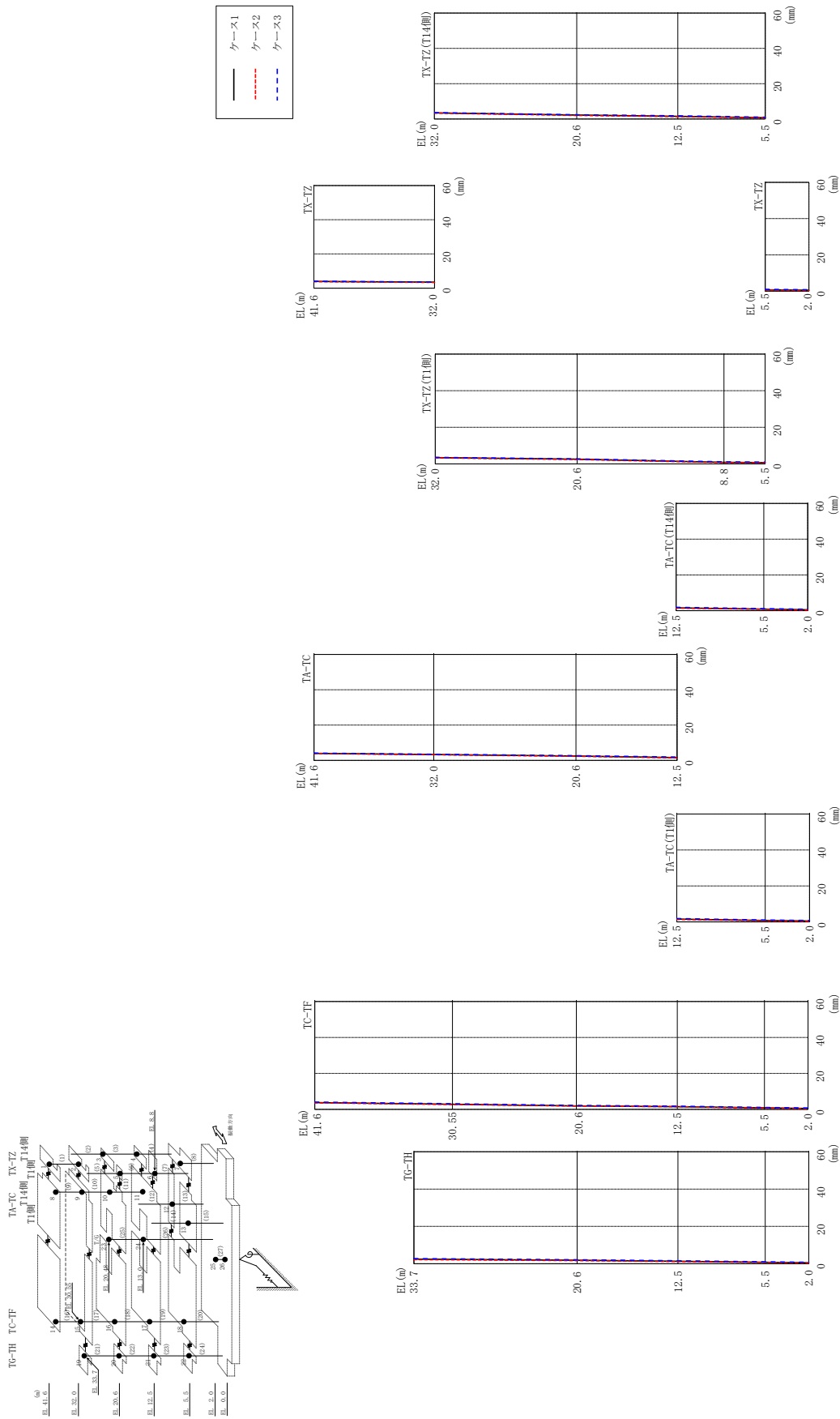
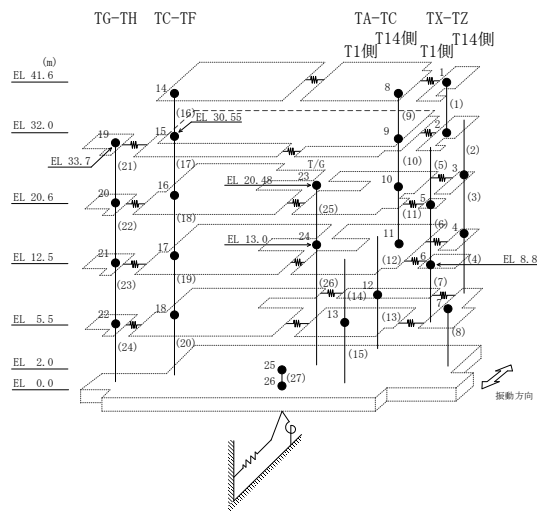


図 2-109 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

表 2-100 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	3.93	3.81	4.01
	32.0	2	3.46	3.34	3.57
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.18	2.00	2.39
	12.5	4	1.51	1.31	1.76
TX-TZ (T1側)	20.6	5	2.59	2.39	2.77
	8.8	6	0.84	0.70	1.14
TX-TZ	5.5	7	0.73	0.61	1.02
TA-TC	41.6	8	3.98	3.88	4.10
	32.0	9	3.30	3.19	3.48
	20.6	10	2.44	2.29	2.64
	12.5	11	1.60	1.41	1.85
TA-TC (T14側)	5.5	12	0.87	0.68	1.17
TA-TC (T1側)	5.5	13	0.81	0.68	1.10
TC-TF	41.6	14	3.78	3.66	4.04
	30.55	15	2.84	2.66	3.14
	20.6	16	1.93	1.84	2.22
	12.5	17	1.52	1.45	1.80
	5.5	18	0.83	0.71	1.08
TG-TH	33.7	19	2.47	2.16	2.73
	20.6	20	1.84	1.63	2.10
	12.5	21	1.33	1.18	1.58
	5.5	22	0.79	0.65	1.03
	2.0	25	0.51	0.38	0.78



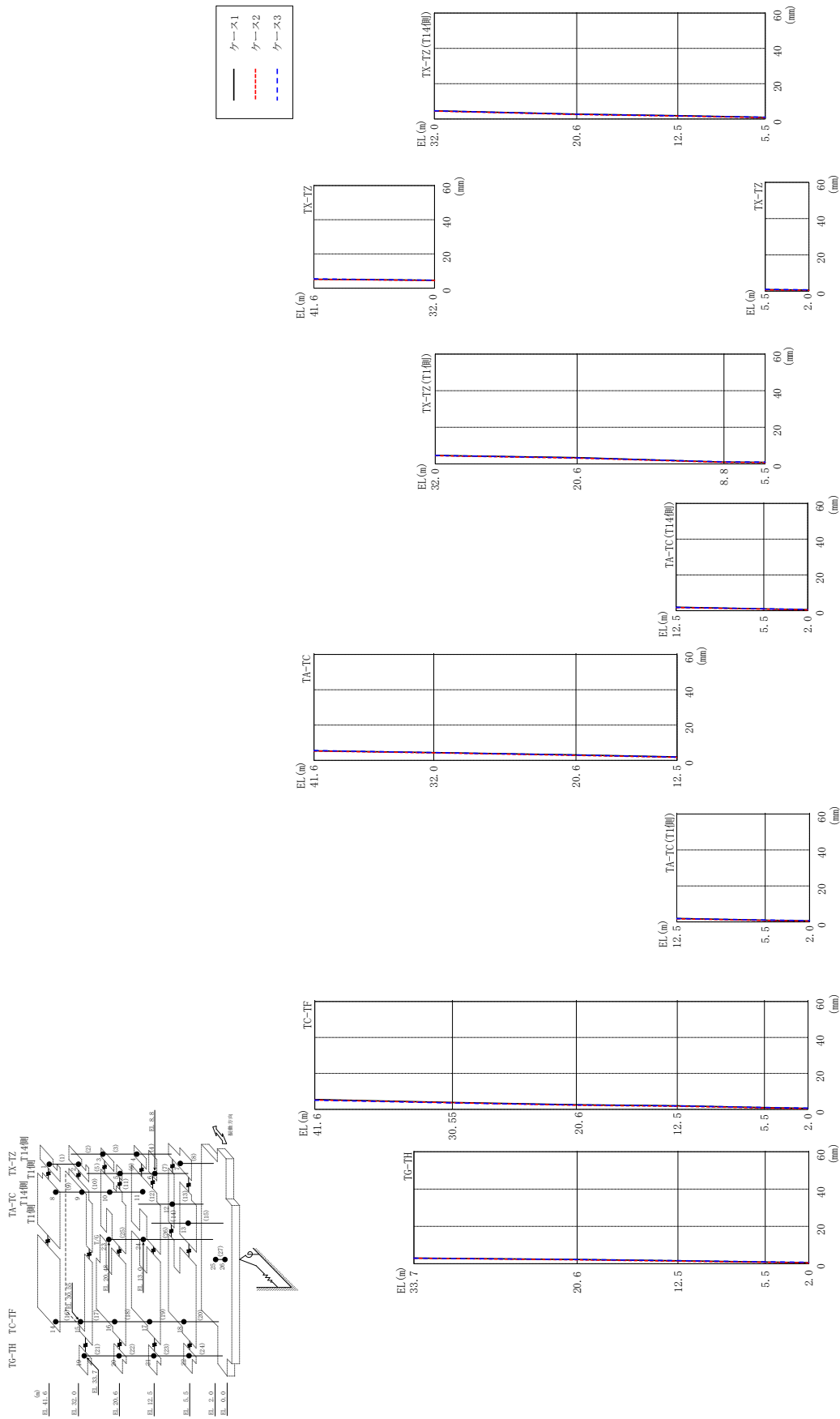
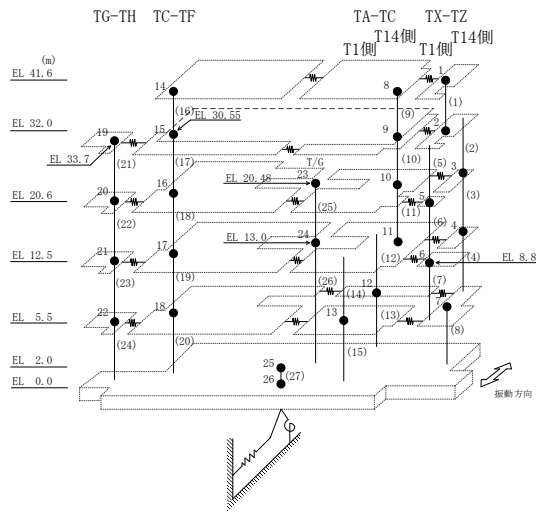


図 2-110 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

表 2-101 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	5.22	5.16	5.44
	32.0	2	4.62	4.46	4.63
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.74	2.48	2.64
	12.5	4	1.83	1.62	1.76
TX-TZ (T1側)	20.6	5	3.47	3.17	3.32
	8.8	6	1.03	0.86	1.10
TX-TZ	5.5	7	0.88	0.72	0.98
TA-TC	41.6	8	5.38	5.28	5.58
	32.0	9	4.36	4.23	4.41
	20.6	10	3.13	2.83	3.01
	12.5	11	1.94	1.72	1.84
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.00	0.84	1.09
TA-TC (T1側)	5.5	13	0.98	0.81	1.06
TC-TF	41.6	14	5.44	5.20	5.13
	30.55	15	3.81	3.68	3.55
	20.6	16	2.55	2.29	2.45
	12.5	17	1.99	1.71	1.91
	5.5	18	1.00	0.80	1.06
TG-TH	33.7	19	2.99	2.98	2.93
	20.6	20	2.23	2.07	2.27
	12.5	21	1.61	1.37	1.66
	5.5	22	0.91	0.72	1.02
	2.0	25	0.57	0.42	0.73



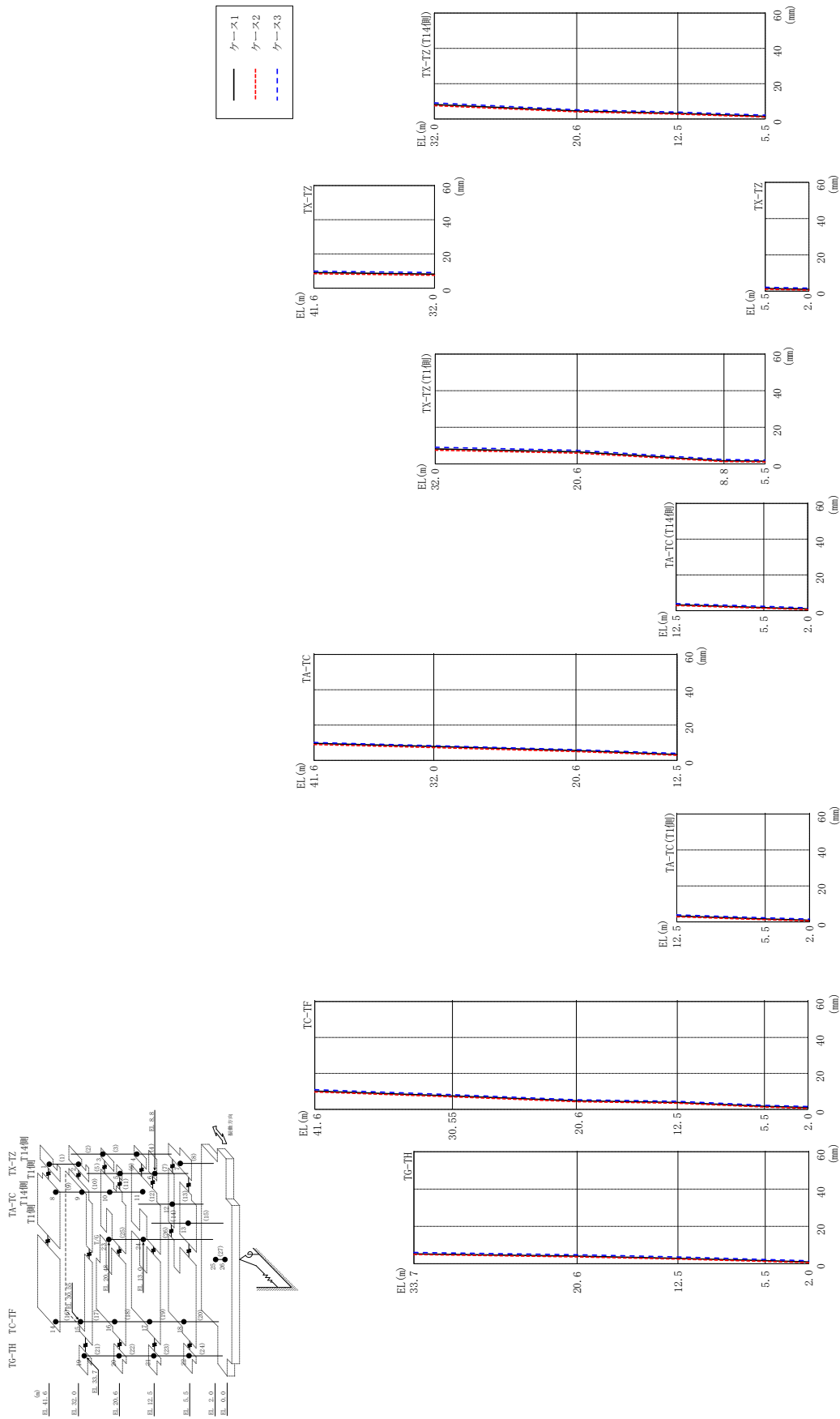
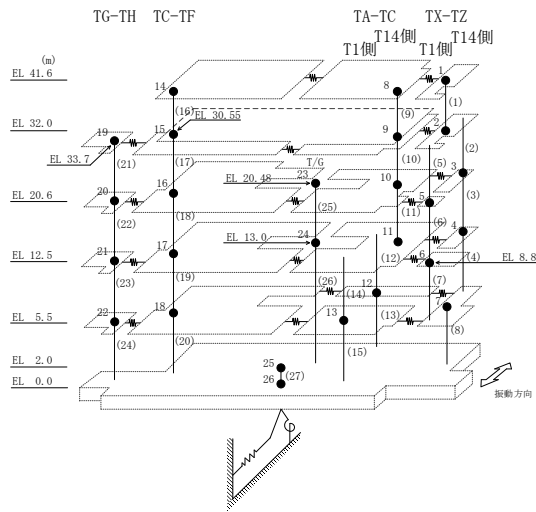


図 2-111 最大芯変位 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW 方向)

表 2-102 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6	1	9.08	8.44	9.90
	32.0	2	8.19	7.52	9.11
TX-TZ (T14側)	20.6	3	4.53	4.03	5.16
	12.5	4	3.16	2.70	3.85
TX-TZ (T1側)	20.6	5	6.58	5.89	7.46
	8.8	6	1.69	1.28	2.36
TX-TZ	5.5	7	1.48	1.07	2.12
TA-TC	41.6	8	9.60	9.00	10.10
	32.0	9	7.85	7.26	8.31
	20.6	10	5.53	4.97	6.03
	12.5	11	3.28	2.88	3.96
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.74	1.32	2.41
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.68	1.26	2.28
TC-TF	41.6	14	10.14	9.66	10.97
	30.55	15	7.44	6.96	8.18
	20.6	16	4.74	4.29	5.33
	12.5	17	3.85	3.40	4.45
	5.5	18	1.69	1.29	2.30
TG-TH	33.7	19	5.29	4.93	6.01
	20.6	20	4.03	3.64	4.79
	12.5	21	2.89	2.48	3.62
	5.5	22	1.63	1.22	2.25
	2.0	25	0.97	0.58	1.59



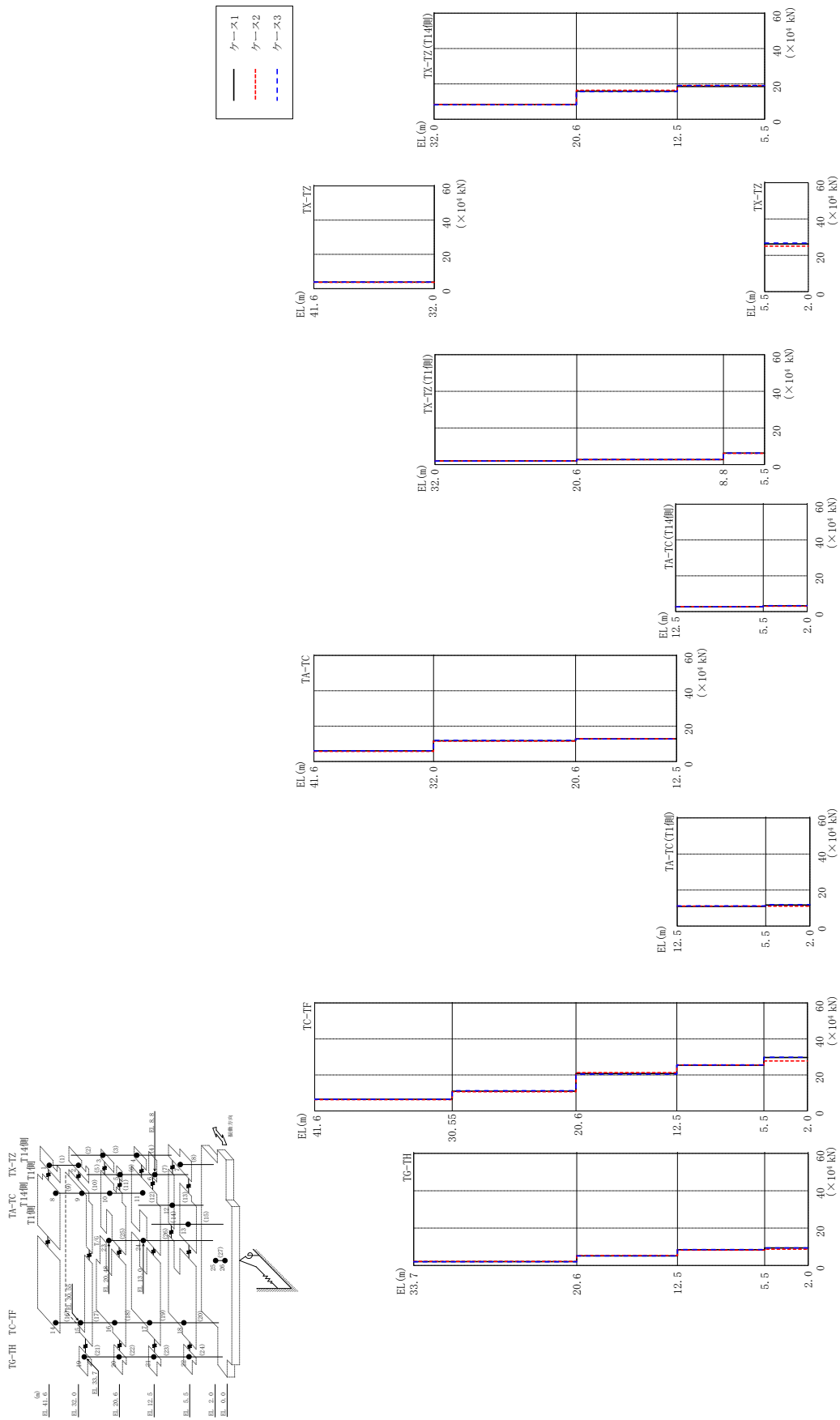
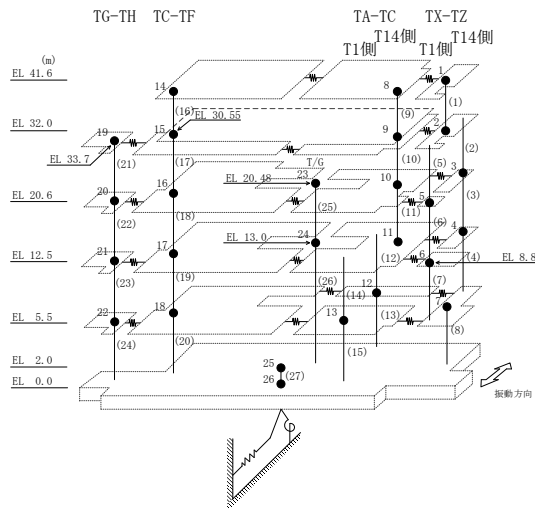


図 2-112 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - D, EW方向)

表 2-103 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.79	3.73	3.84
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.27	8.28	8.14
	20.6~12.5	3	15.8	16.3	15.6
	12.5~5.5	4	18.6	19.0	19.0
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.06	2.06	1.98
	20.6~8.8	6	2.75	2.78	2.78
	8.8~5.5	7	6.29	6.15	6.32
TX-TZ	5.5~2.0	8	26.2	25.0	26.7
TA-TC	41.6~32.0	9	6.01	5.71	6.08
	32.0~20.6	10	11.7	11.5	11.9
	20.6~12.5	11	12.8	12.8	12.7
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.69	2.80	2.68
	5.5~2.0	13	3.24	2.98	3.32
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	10.9	11.1	11.2
	5.5~2.0	15	11.6	11.0	11.9
TC-TF	41.6~30.55	16	6.44	6.28	6.45
	30.55~20.6	17	11.0	10.7	11.2
	20.6~12.5	18	20.7	21.3	20.4
	12.5~5.5	19	25.4	25.5	25.6
	5.5~2.0	20	29.7	27.7	29.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.09	2.18	2.01
	20.6~12.5	22	5.15	5.38	5.18
	12.5~5.5	23	8.44	8.24	8.53
	5.5~2.0	24	9.38	8.68	9.36



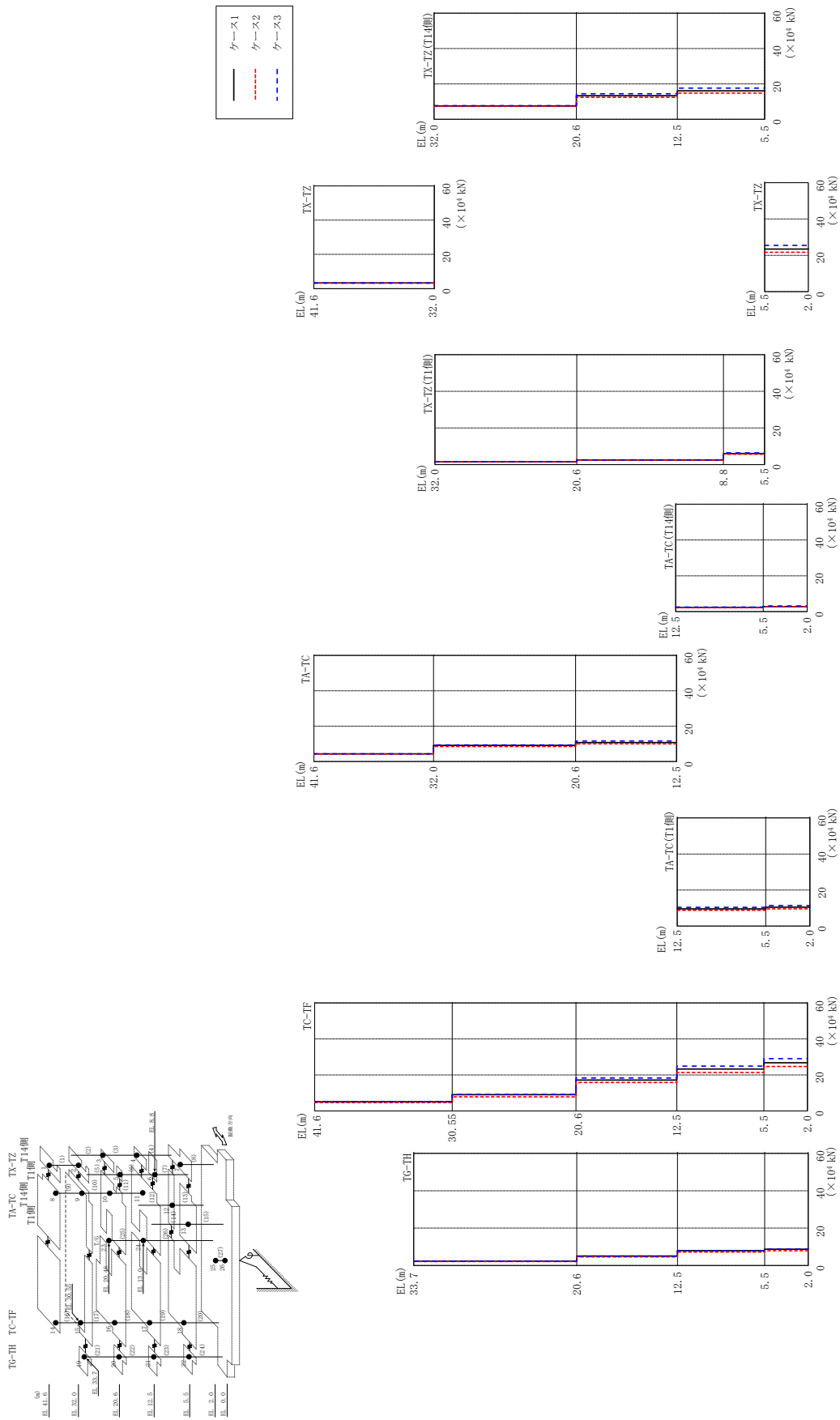
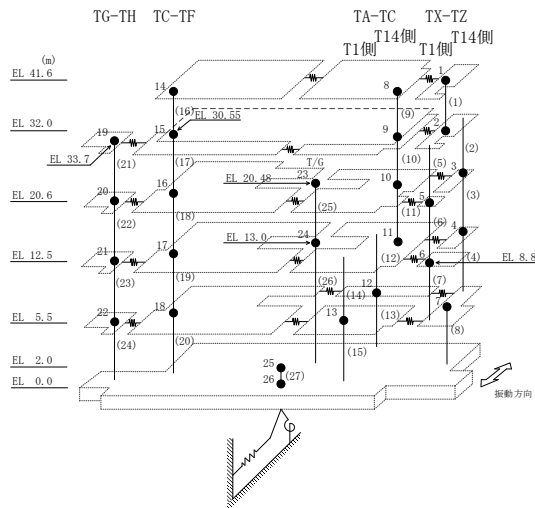


表 2-104 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.37	3.17	3.29
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	7.48	7.26	7.63
	20.6~12.5	3	13.3	12.4	14.4
	12.5~5.5	4	16.1	14.7	17.6
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.58	1.51	1.62
	20.6~8.8	6	2.56	2.50	2.64
	8.8~5.5	7	6.02	5.66	6.45
TX-TZ	5.5~2.0	8	23.4	21.7	25.5
TA-TC	41.6~32.0	9	4.34	4.16	4.33
	32.0~20.6	10	9.08	8.45	9.33
	20.6~12.5	11	10.7	9.95	11.5
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	2.33	2.13	2.51
	5.5~2.0	13	2.82	2.68	3.13
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	9.58	8.74	10.4
	5.5~2.0	15	10.5	9.56	11.4
TC-TF	41.6~30.55	16	5.12	4.61	5.16
	30.55~20.6	17	9.02	7.79	9.14
	20.6~12.5	18	17.2	15.8	18.3
	12.5~5.5	19	23.3	21.4	24.9
	5.5~2.0	20	26.8	24.7	29.0
TG-TH	33.7~20.6	21	2.32	2.09	2.23
	20.6~12.5	22	5.08	4.63	4.97
	12.5~5.5	23	7.95	7.21	7.86
	5.5~2.0	24	8.73	7.89	8.80



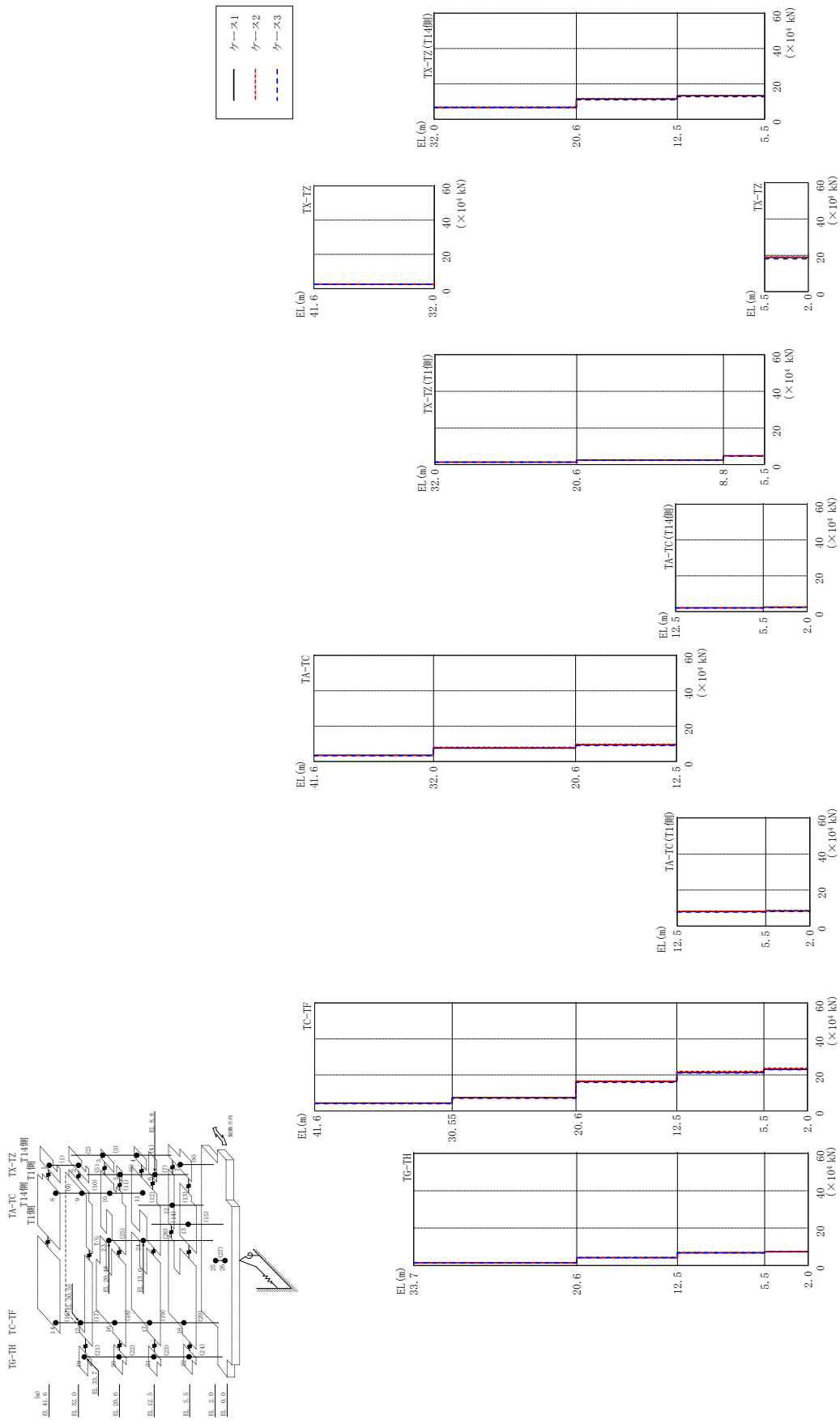
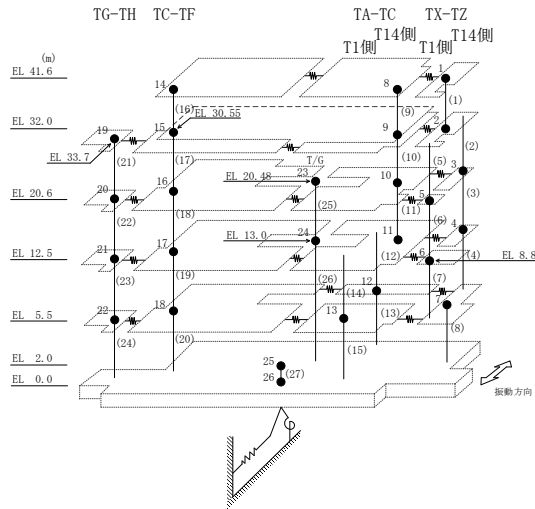


図 2-114 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - F 2, EW 方向)

表 2-105 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.60	2.65	2.60
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.67	6.83	6.61
	20.6~12.5	3	11.4	11.7	11.0
TX-TZ (T1側)	12.5~5.5	4	13.3	13.5	12.7
	32.0~20.6	5	1.34	1.41	1.35
	20.6~8.8	6	2.45	2.47	2.42
TX-TZ	8.8~5.5	7	4.87	4.87	4.66
	5.5~2.0	8	18.8	19.1	18.0
TA-TC	41.6~32.0	9	3.53	3.41	3.26
	32.0~20.6	10	7.56	8.00	7.66
	20.6~12.5	11	9.38	9.66	9.02
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	2.07	2.10	1.98
	5.5~2.0	13	2.43	2.60	2.27
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	8.07	8.24	7.73
	5.5~2.0	15	8.43	8.67	8.12
TC-TF	41.6~30.55	16	4.31	4.46	4.02
	30.55~20.6	17	7.36	7.16	7.03
	20.6~12.5	18	16.4	16.6	15.9
	12.5~5.5	19	21.4	22.0	21.0
	5.5~2.0	20	23.1	23.8	22.9
TG-TH	33.7~20.6	21	1.50	1.48	1.45
	20.6~12.5	22	4.18	4.34	4.16
	12.5~5.5	23	6.78	7.03	6.76
	5.5~2.0	24	7.33	7.58	7.33



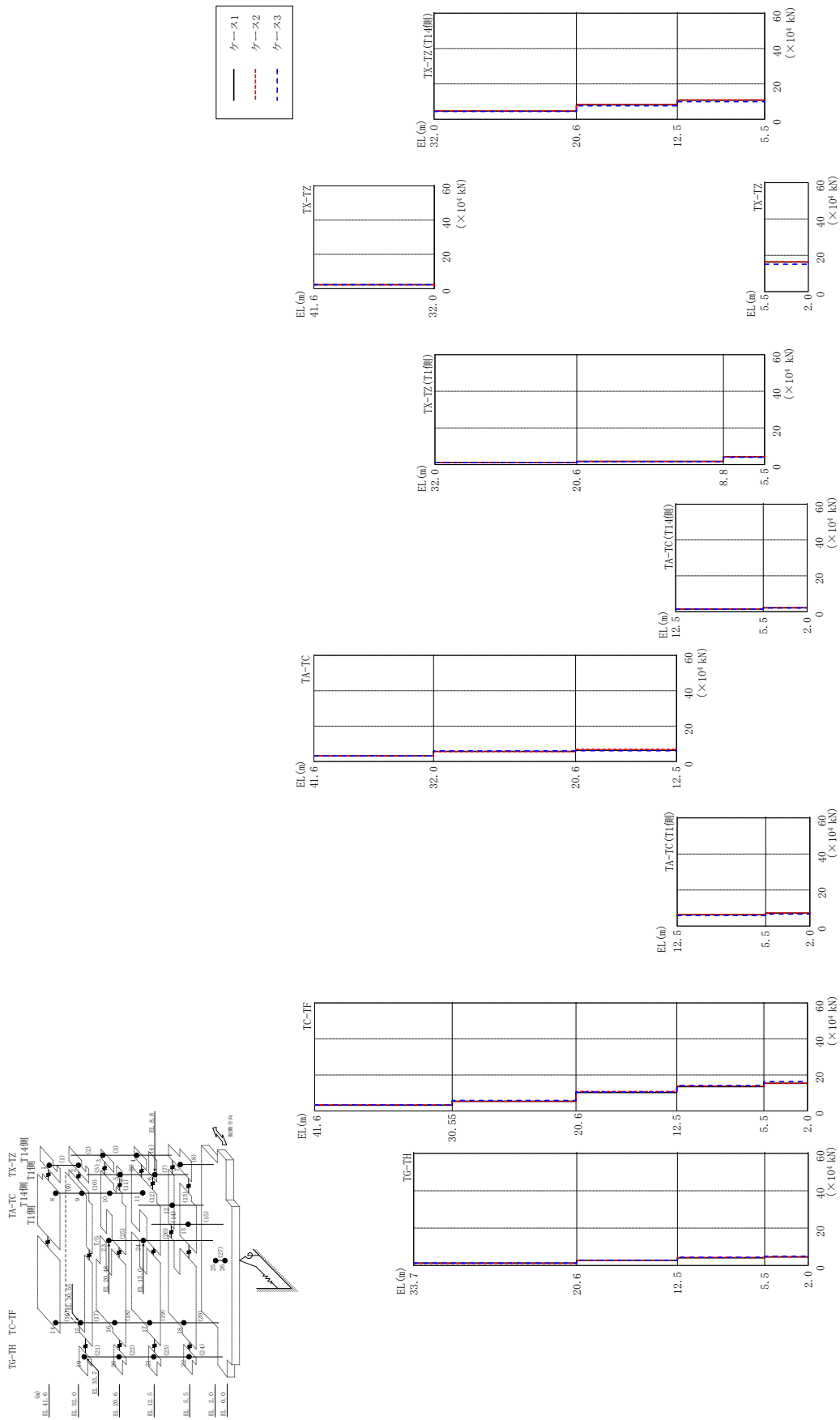
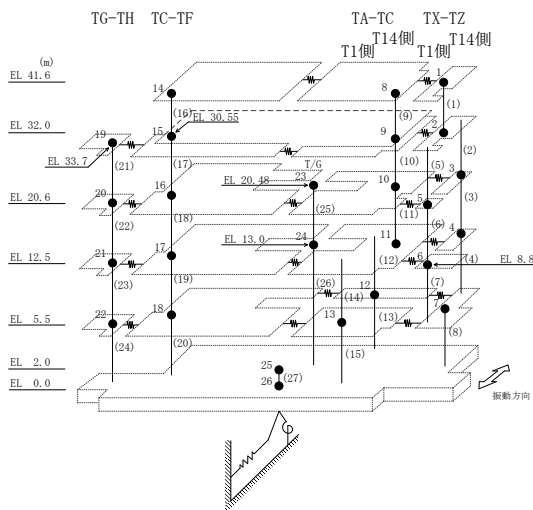


図 2-115 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, E W 方向)

表 2-106 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.30	2.23	2.29
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	4.62	4.71	4.36
	20.6~12.5	3	8.14	8.36	7.56
	12.5~5.5	4	10.7	10.9	9.94
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.11	1.11	1.08
	20.6~8.8	6	1.75	1.78	1.62
	8.8~5.5	7	4.30	4.36	4.02
TX-TZ	5.5~2.0	8	16.3	16.4	15.1
TA-TC	41.6~32.0	9	3.17	3.21	3.18
	32.0~20.6	10	5.73	5.52	6.01
	20.6~12.5	11	6.39	6.89	6.03
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	1.45	1.52	1.34
	5.5~2.0	13	2.13	2.07	1.98
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	6.29	6.39	5.83
	5.5~2.0	15	7.17	7.25	6.66
TC-TF	41.6~30.55	16	3.19	3.45	3.32
	30.55~20.6	17	5.34	5.38	5.79
	20.6~12.5	18	10.2	10.8	10.5
	12.5~5.5	19	13.5	13.8	14.1
	5.5~2.0	20	15.4	15.3	16.3
TG-TH	33.7~20.6	21	1.28	1.09	1.28
	20.6~12.5	22	2.72	2.73	2.82
	12.5~5.5	23	4.14	4.35	4.40
	5.5~2.0	24	4.62	4.62	4.96



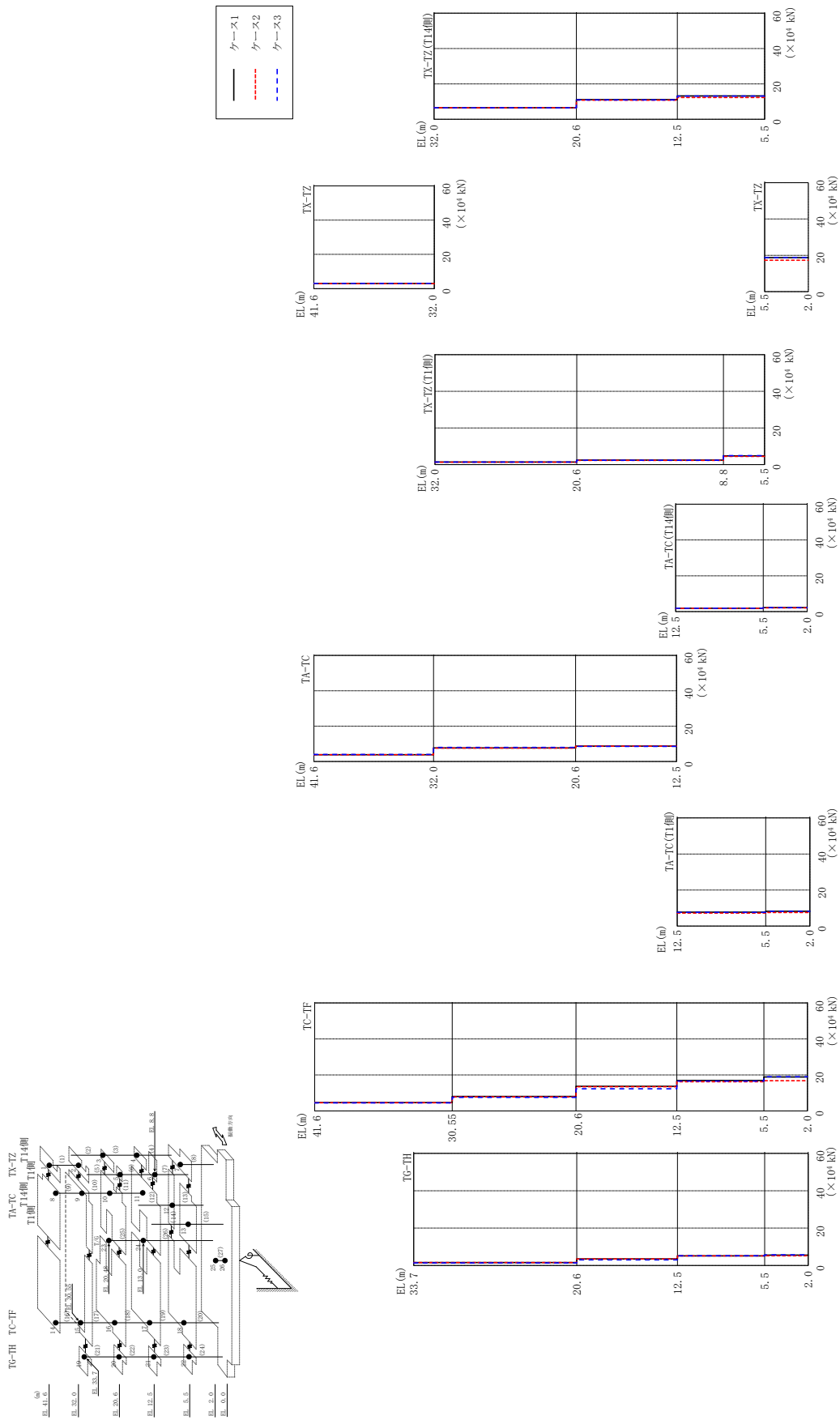
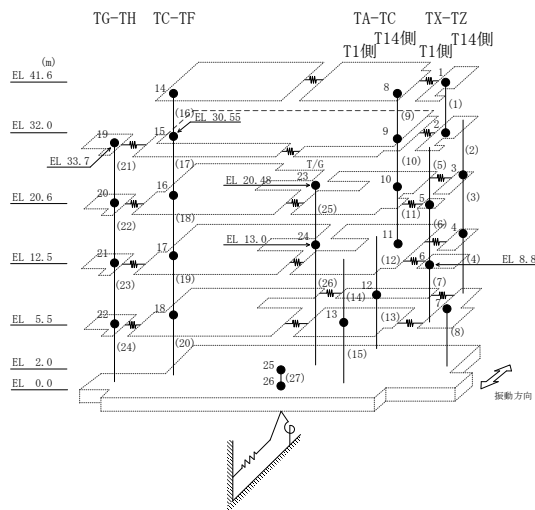


表 2-107 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.96	2.89	3.05
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.46	6.49	6.53
	20.6~12.5	3	11.0	10.8	10.9
	12.5~5.5	4	13.2	12.3	13.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.38	1.36	1.44
	20.6~8.8	6	2.44	2.33	2.42
	8.8~5.5	7	4.81	4.46	4.89
TX-TZ	5.5~2.0	8	18.7	17.3	18.8
TA-TC	41.6~32.0	9	3.85	3.78	3.97
	32.0~20.6	10	7.65	7.62	7.98
	20.6~12.5	11	8.69	8.70	8.54
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	1.87	1.79	1.84
	5.5~2.0	13	2.23	2.06	2.23
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	7.71	7.17	7.61
	5.5~2.0	15	8.18	7.52	8.16
TC-TF	41.6~30.55	16	4.65	4.53	4.48
	30.55~20.6	17	8.06	7.82	7.54
	20.6~12.5	18	13.6	13.4	12.3
	12.5~5.5	19	17.0	16.2	16.6
	5.5~2.0	20	18.8	16.8	19.0
TG-TH	33.7~20.6	21	1.59	1.55	1.38
	20.6~12.5	22	3.49	3.48	3.05
	12.5~5.5	23	5.14	5.13	5.18
	5.5~2.0	24	5.55	5.24	5.68



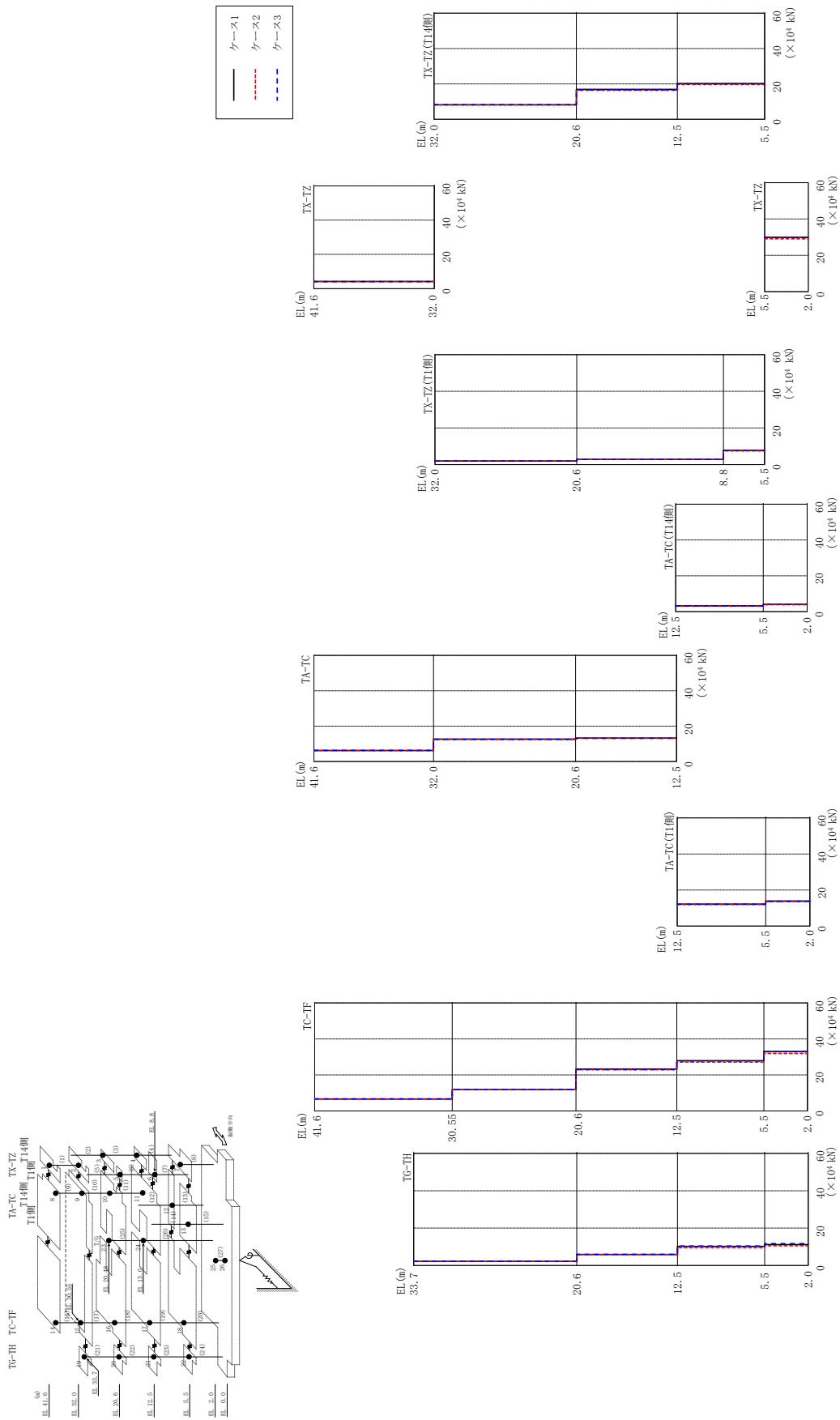
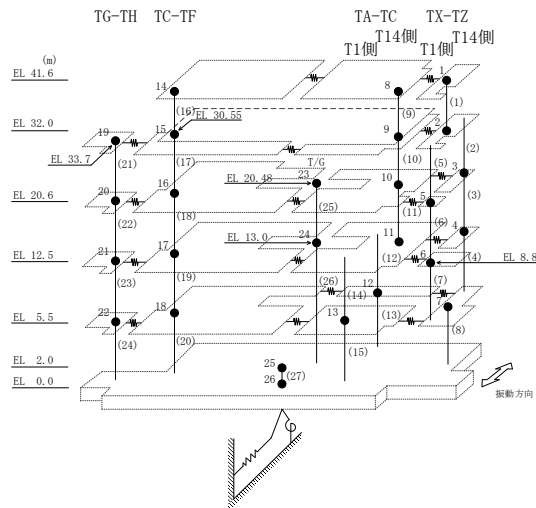


図 2-117 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW 方向)

表 2-108 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.14	4.12	4.10
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	8.19	8.11	8.23
	20.6~12.5	3	16.8	16.4	16.7
	12.5~5.5	4	20.2	19.7	20.0
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.96	1.95	1.95
	20.6~8.8	6	2.90	2.84	2.90
	8.8~5.5	7	7.80	7.48	7.79
TX-TZ	5.5~2.0	8	29.9	29.1	29.8
TA-TC	41.6~32.0	9	6.20	6.16	6.26
	32.0~20.6	10	12.6	12.4	12.5
	20.6~12.5	11	13.2	13.1	13.1
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	3.19	3.07	3.17
	5.5~2.0	13	4.06	3.86	4.14
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.0	12.1
	5.5~2.0	15	13.9	13.6	13.7
TC-TF	41.6~30.55	16	6.60	6.66	6.65
	30.55~20.6	17	11.9	11.8	11.9
	20.6~12.5	18	23.3	22.9	23.0
	12.5~5.5	19	27.9	27.1	27.7
	5.5~2.0	20	33.0	31.9	32.9
TG-TH	33.7~20.6	21	2.17	2.19	2.25
	20.6~12.5	22	5.91	5.83	5.97
	12.5~5.5	23	10.2	9.61	10.4
	5.5~2.0	24	11.2	10.6	11.7



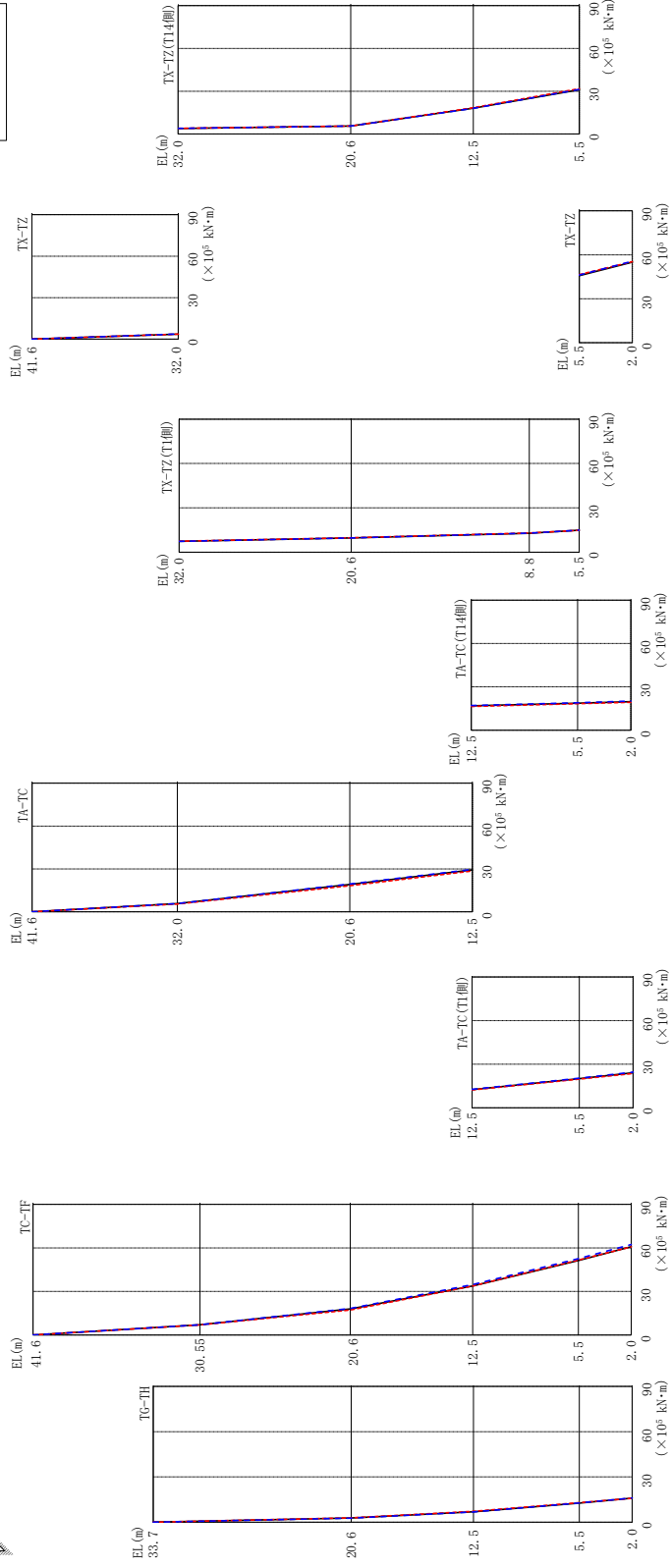
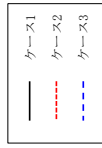
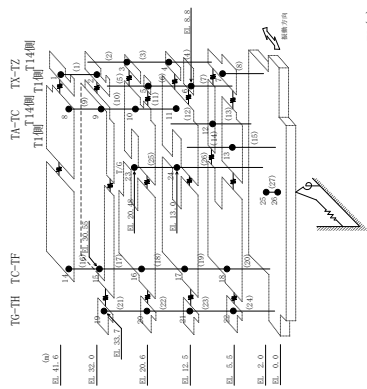


図 2-118 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

表 2-109(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			3.64	3.58	3.69
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.89	3.95	3.97
			5.55	5.59	5.59
	20.6~12.5	3	5.55	5.59	5.59
			18.1	18.4	18.0
12.5~5.5	4	18.1	18.4	18.0	
		31.0	31.8	31.3	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.39	7.48	7.41
			9.69	9.80	9.65
	20.6~8.8	6	9.69	9.80	9.65
12.9			13.0	12.9	
8.8~5.5	7	12.9	13.0	12.9	
		14.9	14.8	15.0	
TX-TZ	5.5~2.0	8	45.8	46.5	46.2
			55.0	55.3	55.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			5.77	5.48	5.84
	32.0~20.6	10	5.77	5.48	5.84
			19.1	18.2	19.4
20.6~12.5	11	19.1	18.2	19.4	
		29.3	28.6	29.7	

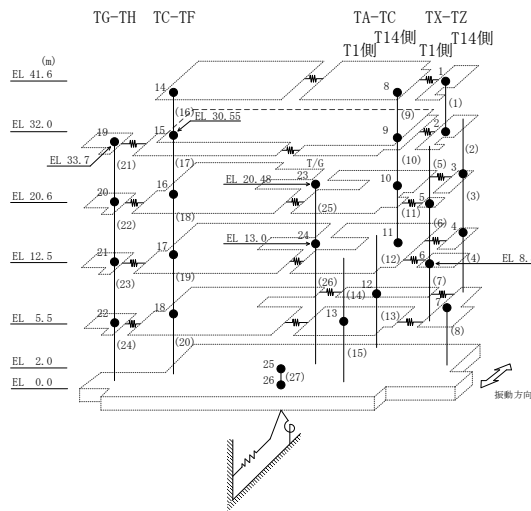
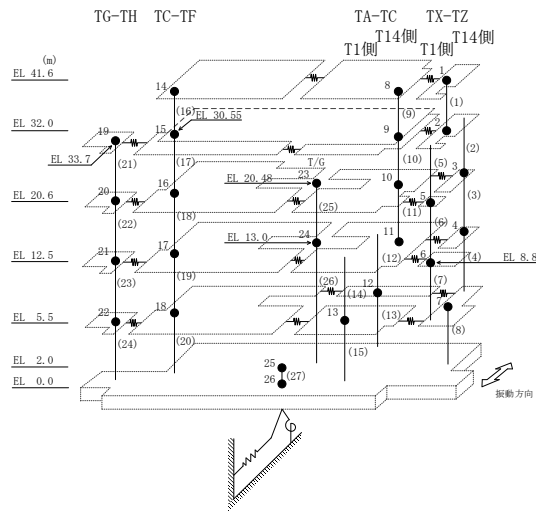


表 2-109 (2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.8 18.6	16.4 18.3	17.1 19.0
	5.5~2.0	13	18.6 19.8	18.3 19.3	19.0 20.1
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.5 20.1	12.2 19.8	12.7 20.4
	5.5~2.0	15	20.1 24.1	19.8 23.6	20.4 24.6
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.12	0.00 6.94	0.00 7.12
	30.55~20.6	17	7.12 18.0	6.94 17.3	7.12 18.3
	20.6~12.5	18	18.0 33.8	17.3 33.8	18.3 34.7
	12.5~5.5	19	33.8 51.3	33.8 51.6	34.7 52.6
	5.5~2.0	20	51.3 60.8	51.6 60.7	52.6 62.4
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.74	0.00 2.85	0.00 2.64
	20.6~12.5	22	2.74 6.91	2.85 7.21	2.64 6.83
	12.5~5.5	23	6.91 12.7	7.21 13.0	6.83 12.8
	5.5~2.0	24	12.7 16.0	13.0 15.9	12.8 16.1



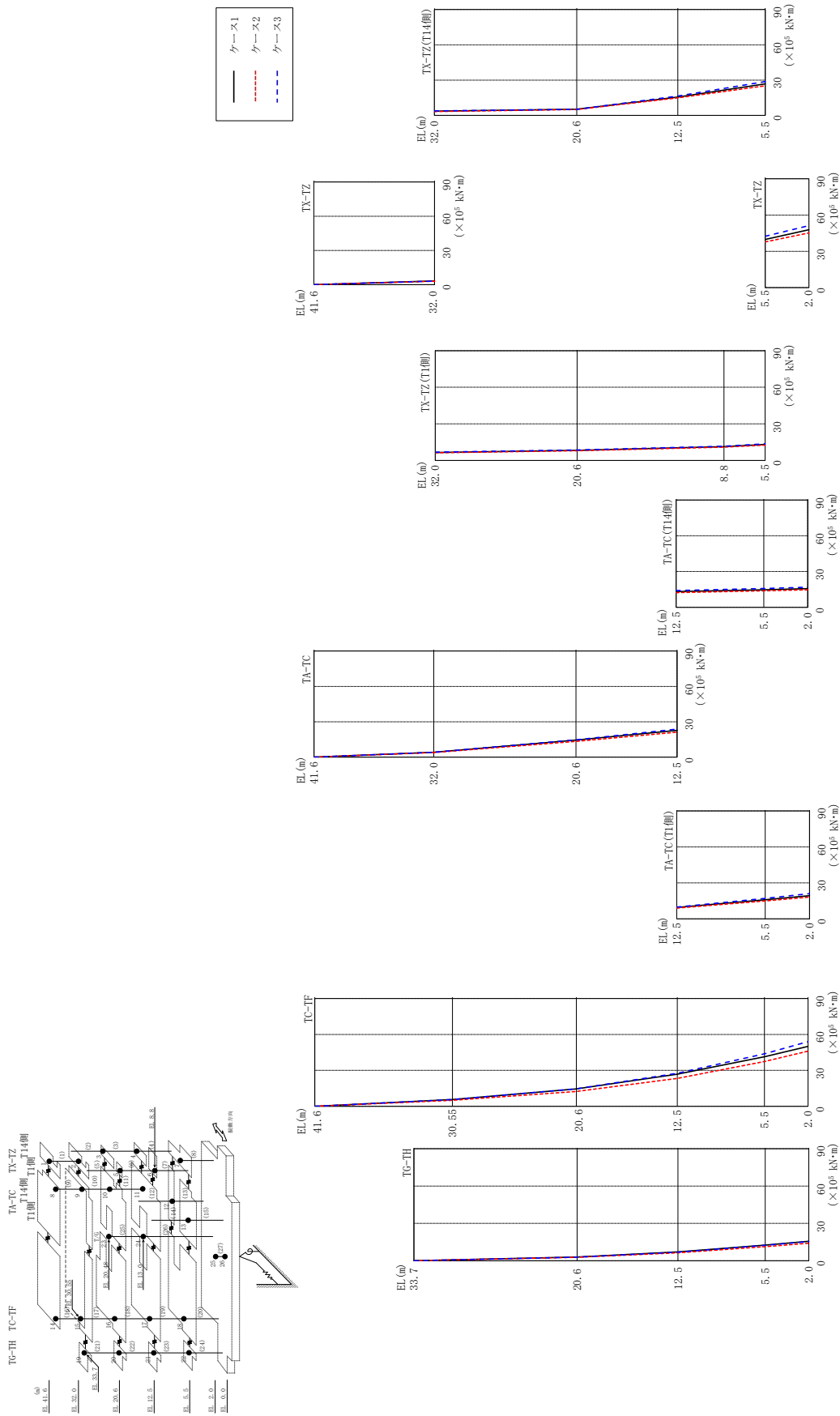


表 2-110(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			3.23	3.04	3.16
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.62	3.30	3.81
			5.21	5.06	5.13
	20.6~12.5	3	5.21	5.06	5.13
			15.6	15.0	16.4
12.5~5.5	4	15.6	15.0	16.4	
		26.8	25.2	28.7	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	6.58	6.28	6.87
			8.36	7.98	8.59
	20.6~8.8	6	8.36	7.98	8.59
11.3			10.9	11.7	
8.8~5.5	7	11.3	10.9	11.7	
		13.2	12.6	13.7	
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.8	37.9	42.5
			47.9	45.3	51.3
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			4.17	3.99	4.16
	32.0~20.6	10	4.17	3.99	4.16
14.5			13.4	14.7	
20.6~12.5	11	14.5	13.4	14.7	
		22.8	21.3	23.9	

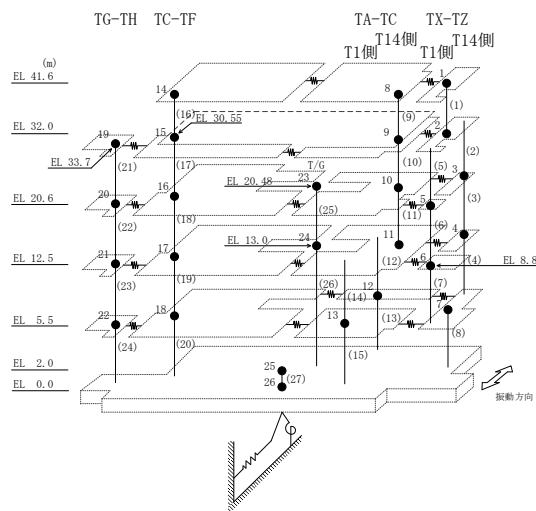
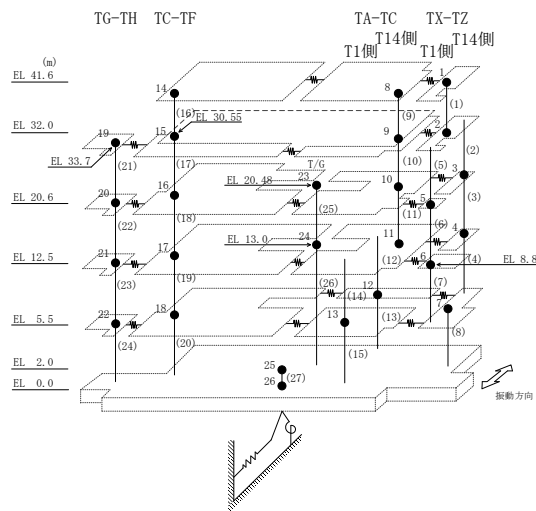


表 2-110(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	13.2 14.7	12.3 13.8	14.0 15.7
	5.5~2.0	13	14.7 15.7	13.8 14.7	15.7 16.8
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	9.56 15.9	8.93 14.9	9.88 17.1
	5.5~2.0	15	15.9 19.4	14.9 18.2	17.1 21.0
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 5.66	0.00 5.09	0.00 5.70
	30.55~20.6	17	5.66 14.5	5.09 12.4	5.70 14.7
	20.6~12.5	18	14.5 26.9	12.4 23.3	14.7 27.6
	12.5~5.5	19	26.9 41.4	23.3 37.4	27.6 43.8
	5.5~2.0	20	41.4 50.1	37.4 46.0	43.8 54.0
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 3.04	0.00 2.74	0.00 2.93
	20.6~12.5	22	3.04 7.10	2.74 6.43	2.93 6.94
	12.5~5.5	23	7.10 12.6	6.43 11.4	6.94 12.4
	5.5~2.0	24	12.6 15.6	11.4 14.1	12.4 15.4



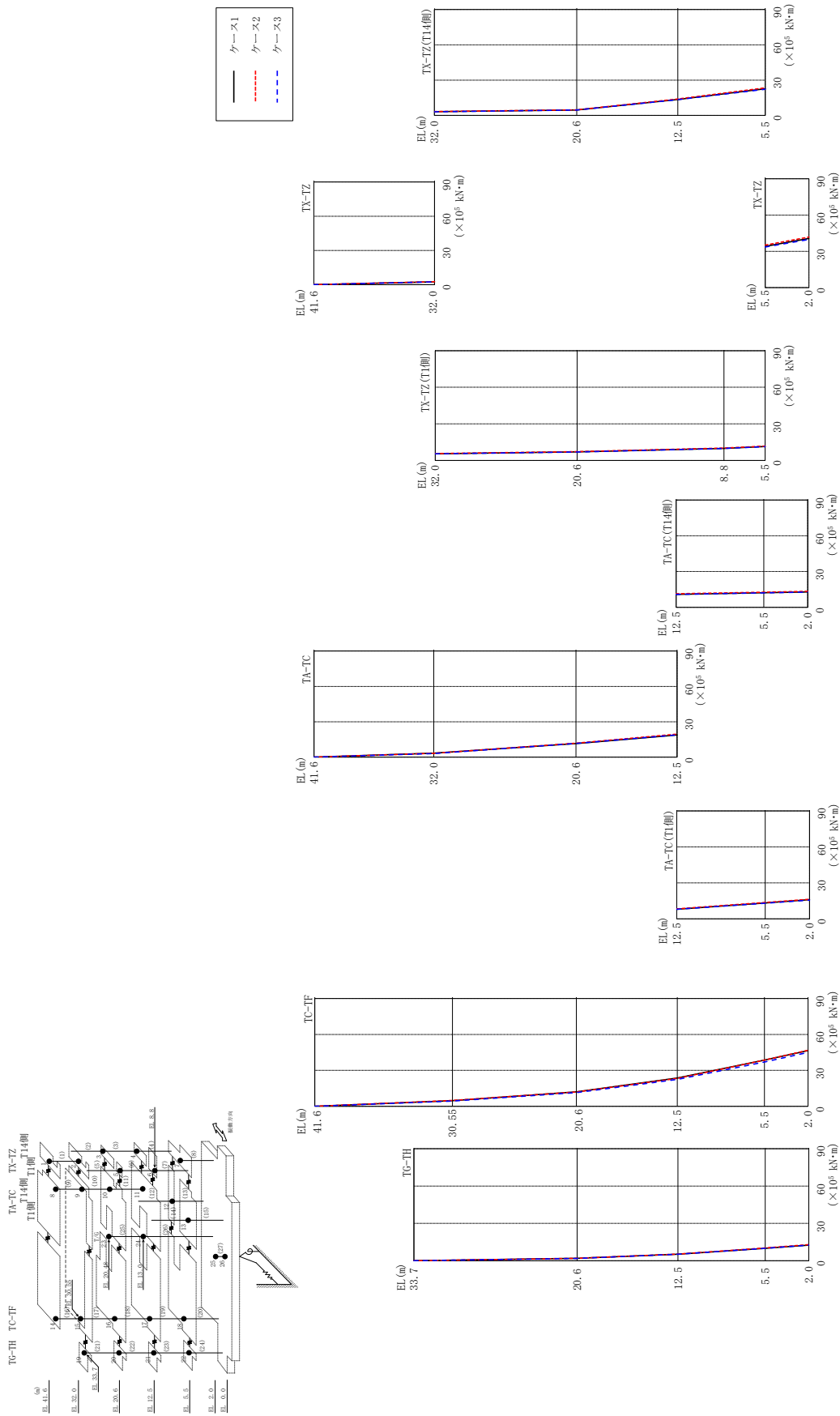


図 2-120 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - F 2, EW 方向)

表 2-111(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			2.49	2.54	2.50
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.17	3.29	3.04
			4.64	4.71	4.58
	20.6~12.5	3	4.64	4.71	4.58
			13.5	14.0	13.4
12.5~5.5	4	13.5	14.0	13.4	
		22.6	23.4	22.2	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	5.53	5.67	5.47
			7.02	7.26	7.00
	20.6~8.8	6	7.02	7.26	7.00
9.89			10.2	9.85	
8.8~5.5	7	9.89	10.2	9.85	
		11.4	11.8	11.4	
TX-TZ	5.5~2.0	8	34.1	35.2	33.6
			40.7	41.8	39.9
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			3.39	3.27	3.13
	32.0~20.6	10	3.39	3.27	3.13
11.5			11.9	11.7	
20.6~12.5	11	11.5	11.9	11.7	
		18.8	19.6	18.9	

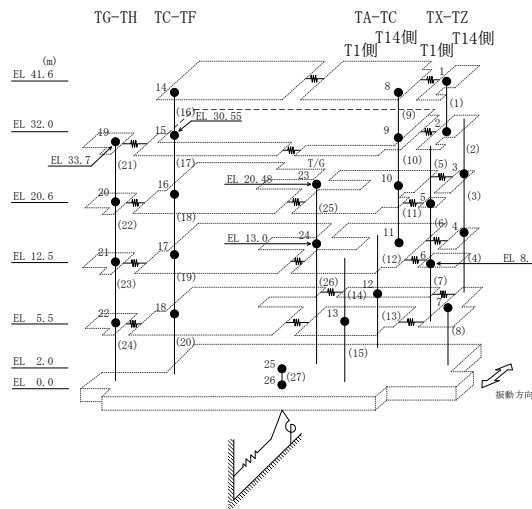
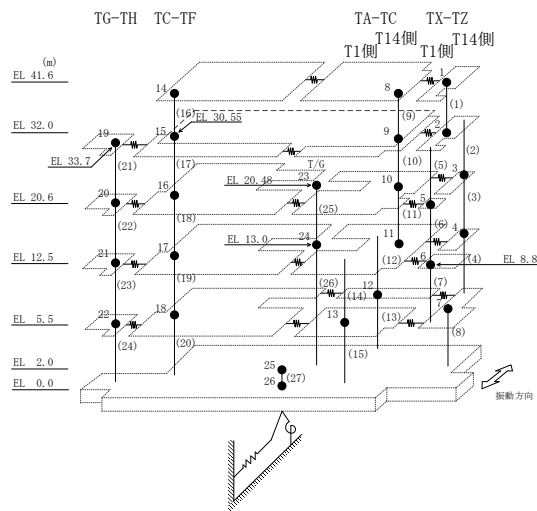


表 2-111(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	10.8 12.2	11.3 12.6	10.8 12.1
	5.5~2.0	13	12.2 12.9	12.6 13.3	12.1 12.7
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	7.97 13.2	8.32 13.6	8.06 13.0
	5.5~2.0	15	13.2 16.0	13.6 16.4	13.0 15.6
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 4.76	0.00 4.93	0.00 4.45
	30.55~20.6	17	4.76 12.1	4.93 12.0	4.45 11.4
	20.6~12.5	18	12.1 23.6	12.0 23.3	11.4 22.4
	12.5~5.5	19	23.6 38.6	23.3 38.6	22.4 37.0
	5.5~2.0	20	38.6 46.5	38.6 46.8	37.0 45.0
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 1.96	0.00 1.94	0.00 1.90
	20.6~12.5	22	1.96 5.26	1.94 5.41	1.90 5.25
	12.5~5.5	23	5.26 10.0	5.41 10.3	5.25 9.98
	5.5~2.0	24	10.0 12.6	10.3 13.0	9.98 12.5



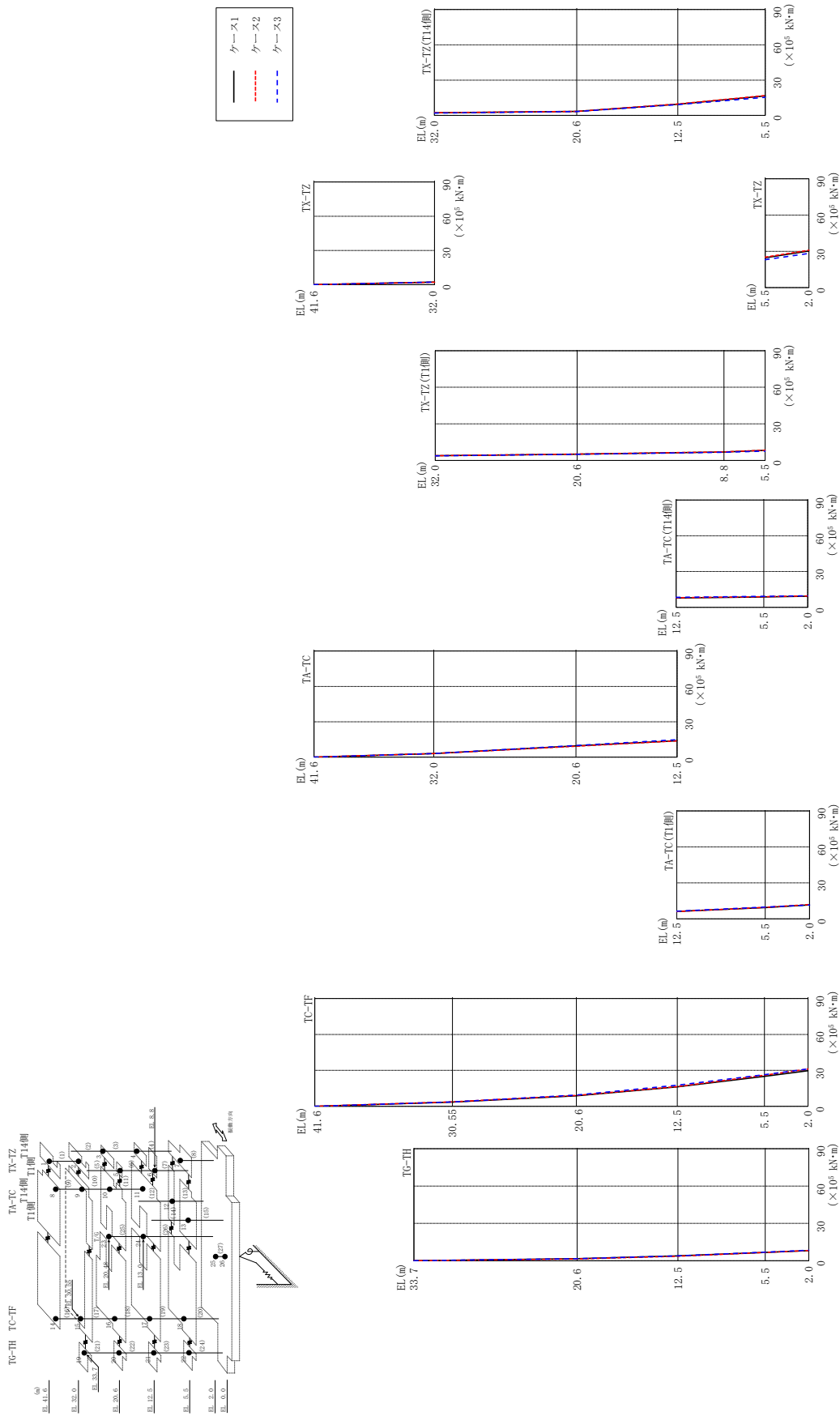


図 2-121 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

表 2-112(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			2.21	2.14	2.20
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	2.16	2.31	2.01
			3.39	3.38	3.31
	20.6~12.5	3	3.39	3.38	3.31
			9.48	9.73	9.16
12.5~5.5	4	9.48	9.73	9.16	
		16.5	16.9	15.4	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	3.89	3.96	3.84
			5.15	5.23	5.07
	20.6~8.8	6	5.15	5.23	5.07
6.95			7.11	6.71	
8.8~5.5	7	6.95	7.11	6.71	
		8.28	8.44	7.74	
TX-TZ	5.5~2.0	8	24.8	25.3	23.1
			30.3	30.9	28.3
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			3.04	3.09	3.05
	32.0~20.6	10	3.04	3.09	3.05
			9.56	9.33	9.90
			9.56	9.33	9.90
20.6~12.5	11	9.56	9.33	9.90	
		14.0	13.9	14.8	

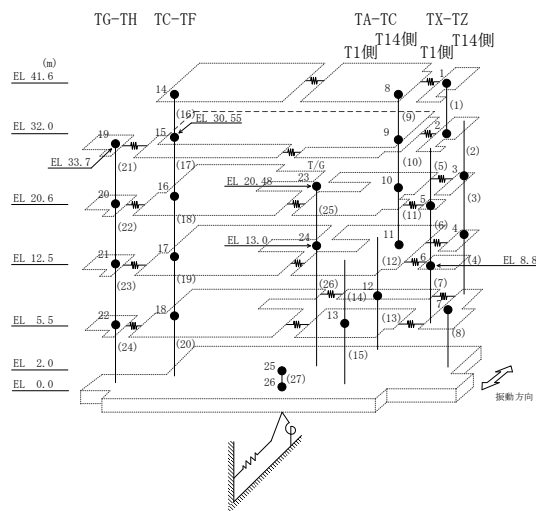
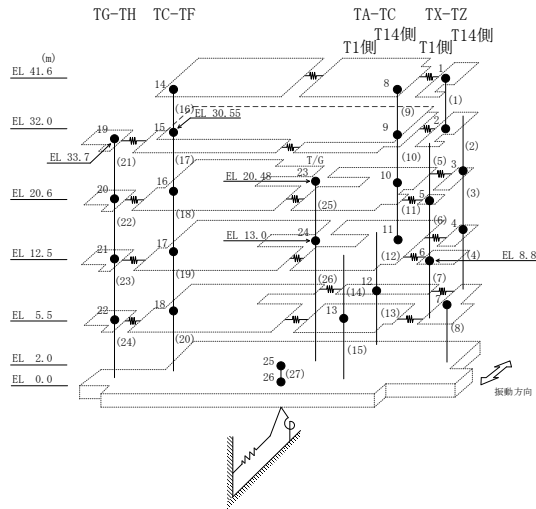


表 2-112(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	7.82 8.69	8.02 8.92	8.34 9.16
	5.5~2.0	13	8.69 9.32	8.92 9.55	9.16 9.63
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	6.21 9.40	6.08 9.66	6.44 9.79
	5.5~2.0	15	9.40 11.7	9.66 12.0	9.79 11.6
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 3.53	0.00 3.82	0.00 3.67
	30.55~20.6	17	3.53 8.78	3.82 9.15	3.67 9.40
	20.6~12.5	18	8.78 16.2	9.15 16.5	9.40 17.7
	12.5~5.5	19	16.2 25.0	16.5 26.0	17.7 26.5
	5.5~2.0	20	25.0 29.8	26.0 31.1	26.5 31.2
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 1.68	0.00 1.43	0.00 1.68
	20.6~12.5	22	1.68 3.87	1.43 3.62	1.68 3.96
	12.5~5.5	23	3.87 6.70	3.62 6.66	3.96 6.92
	5.5~2.0	24	6.70 8.19	6.66 8.27	6.92 8.50



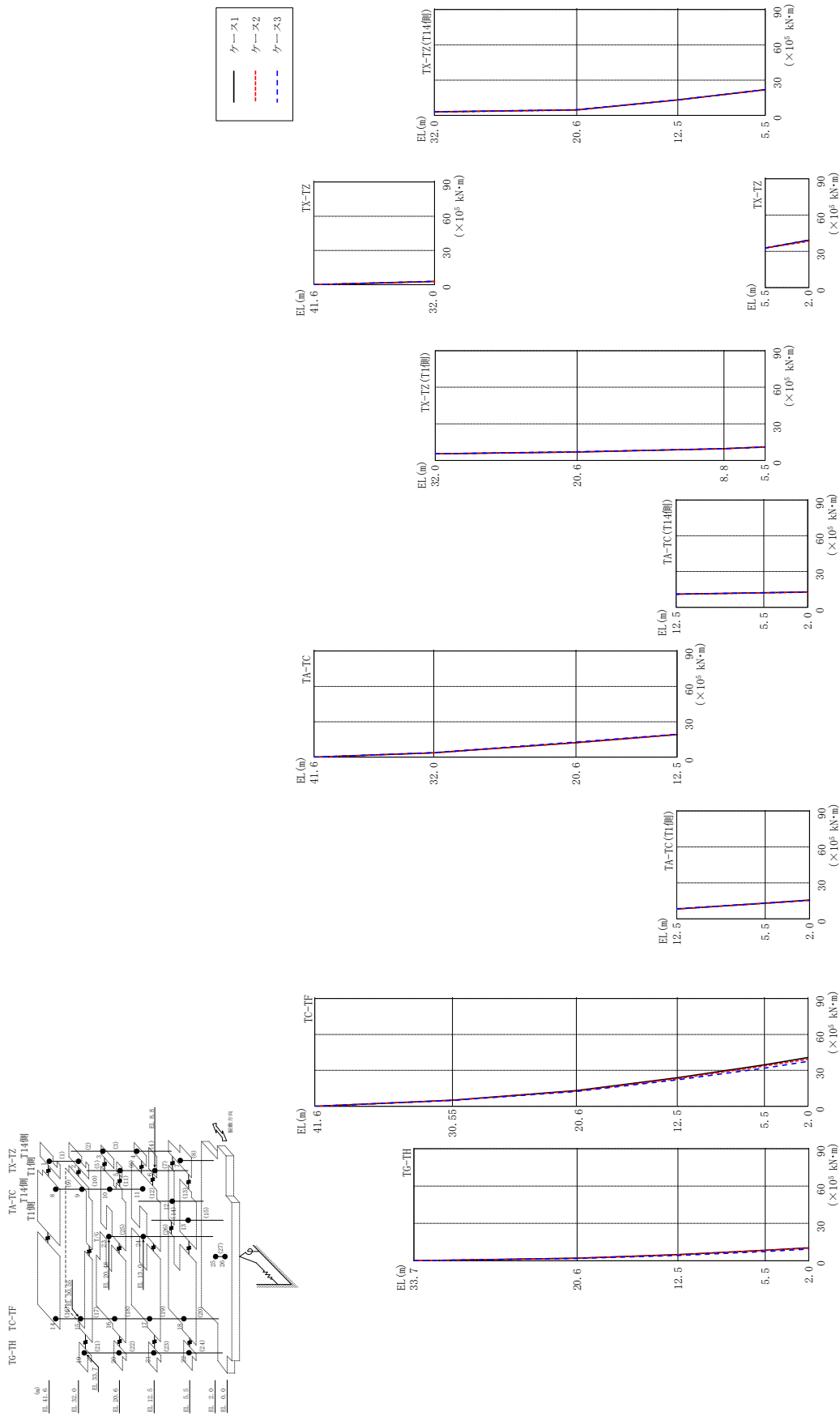


図 2-122 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW 方向)

表 2-113(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			2.84	2.77	2.93
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.05	2.89	3.01
	20.6~12.5	3	4.71	4.54	4.86
			13.2	13.2	13.2
	12.5~5.5	4	13.2	13.2	13.2
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	5.45	5.44	5.52
	20.6~8.8	6	6.97	6.97	7.16
			9.70	9.71	9.71
8.8~5.5	7	9.70	9.71	9.71	
TX-TZ	5.5~2.0	8	32.8	32.7	32.8
			39.3	38.4	39.4
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
	32.0~20.6	10	3.70	3.63	3.81
			12.3	12.2	12.9
	20.6~12.5	11	12.3	12.2	12.9
			19.2	19.1	19.5

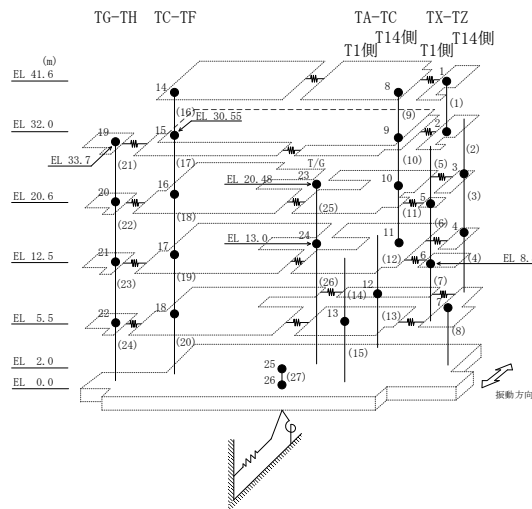
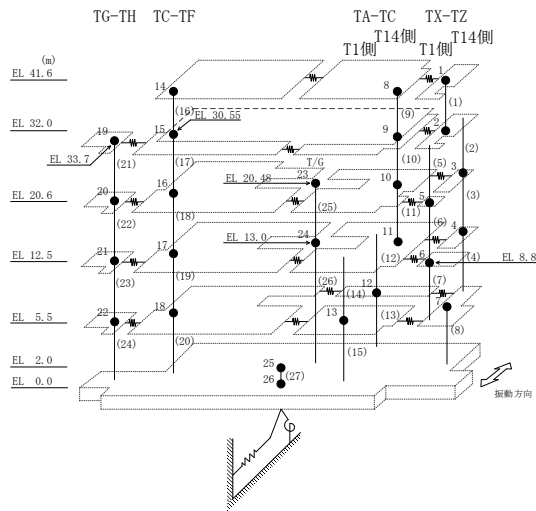


表 2-113(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	11.0 12.2	10.9 12.1	11.0 12.2
	5.5~2.0	13	12.2 12.9	12.1 12.7	12.2 12.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	8.26 13.1	8.22 13.0	8.50 13.0
	5.5~2.0	15	13.1 15.7	13.0 15.4	13.0 15.3
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 5.13	0.00 5.00	0.00 4.95
	30.55~20.6	17	5.13 13.1	5.00 12.7	4.95 12.4
	20.6~12.5	18	13.1 23.8	12.7 23.1	12.4 22.1
	12.5~5.5	19	23.8 34.7	23.1 33.7	22.1 31.9
	5.5~2.0	20	34.7 40.7	33.7 39.4	31.9 37.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.09	0.00 2.03	0.00 1.81
	20.6~12.5	22	2.09 4.91	2.03 4.84	1.81 4.28
	12.5~5.5	23	4.91 8.50	4.84 8.40	4.28 7.43
	5.5~2.0	24	8.50 10.4	8.40 10.2	7.43 9.38



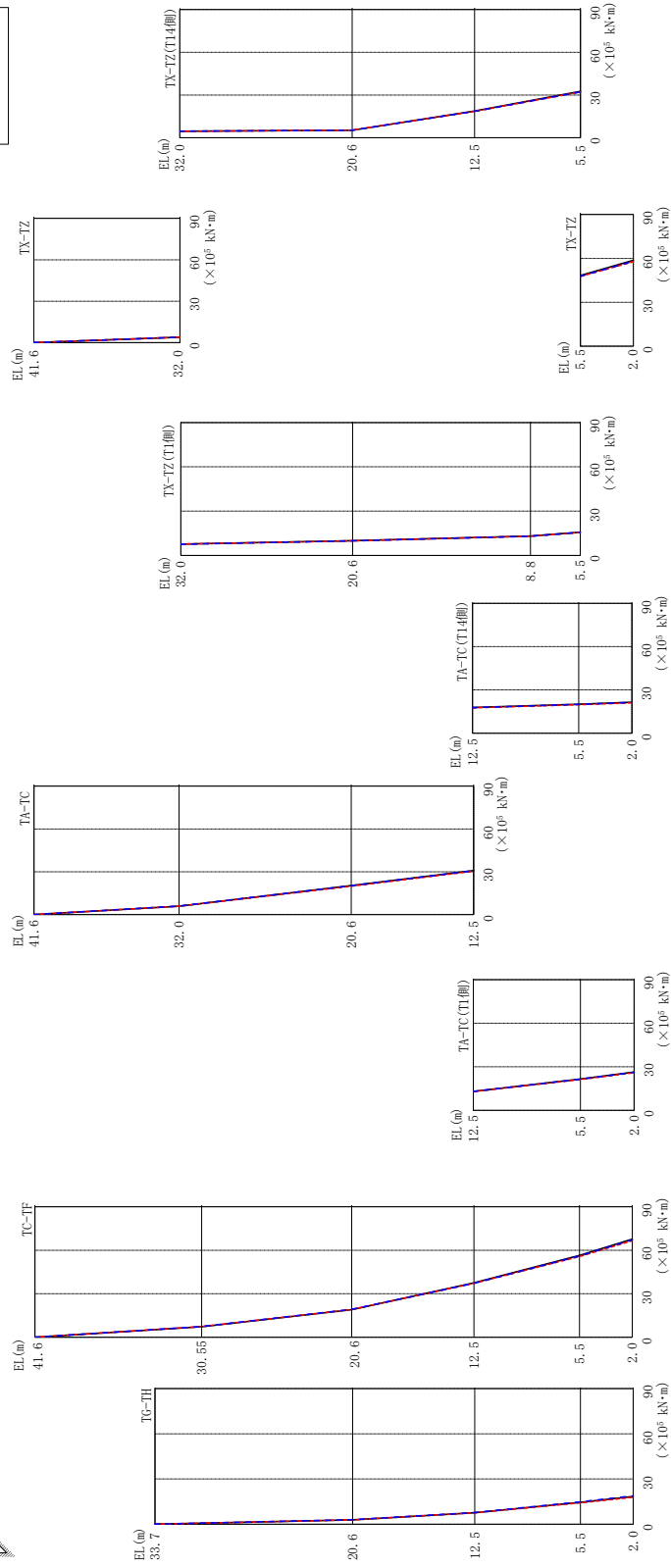
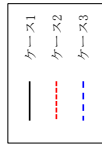
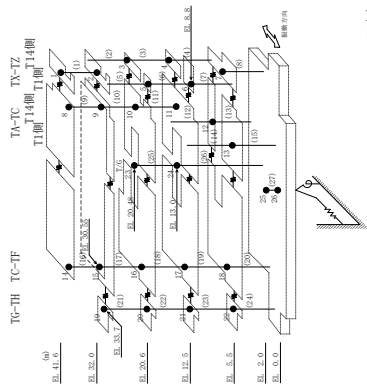


図 2-123 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

表 2-114(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00
			3.97	3.96	3.94
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	4.65	4.49	4.59
			5.24	5.42	5.24
	20.6~12.5	3	5.24	5.42	5.24
			18.8	18.5	18.5
12.5~5.5	4	18.8	18.5	18.5	
		32.6	32.2	32.2	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.73	7.67	7.62
			9.96	9.90	9.85
	20.6~8.8	6	9.96	9.90	9.85
13.2			13.1	13.1	
8.8~5.5	7	13.2	13.1	13.1	
		15.8	15.5	15.6	
TX-TZ	5.5~2.0	8	48.4	47.7	47.8
			58.7	57.8	58.0
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00
			5.95	5.92	6.01
	32.0~20.6	10	5.95	5.92	6.01
20.3			20.0	20.3	
20.6~12.5	11	20.3	20.0	20.3	
		30.9	30.5	30.8	

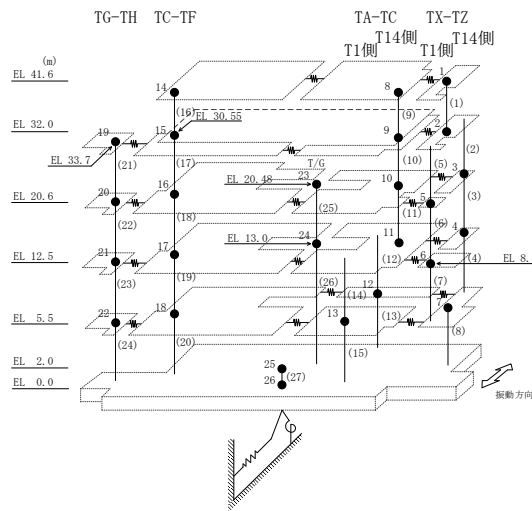
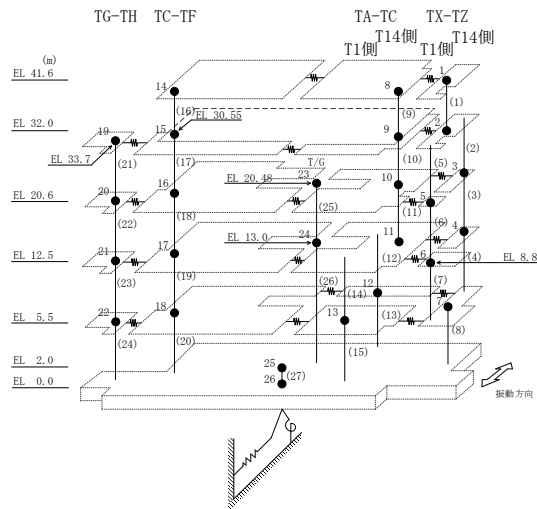


表 2-114(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)		
			ケース1	ケース2	ケース3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	17.8 20.0	17.6 19.7	17.7 19.9
	5.5~2.0	13	20.0 21.4	19.7 21.0	19.9 21.3
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.1 21.5	12.9 21.2	13.1 21.4
	5.5~2.0	15	21.5 26.3	21.2 26.0	21.4 26.2
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.29	0.00 7.36	0.00 7.35
	30.55~20.6	17	7.29 19.1	7.36 19.1	7.35 19.2
	20.6~12.5	18	19.1 37.5	19.1 37.2	19.2 37.2
	12.5~5.5	19	37.5 56.4	37.2 55.7	37.2 56.0
	5.5~2.0	20	56.4 67.7	55.7 66.6	56.0 67.1
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.85	0.00 2.87	0.00 2.95
	20.6~12.5	22	2.85 7.64	2.87 7.59	2.95 7.78
	12.5~5.5	23	7.64 14.6	7.59 14.2	7.78 14.8
	5.5~2.0	24	14.6 18.4	14.2 17.9	14.8 18.9



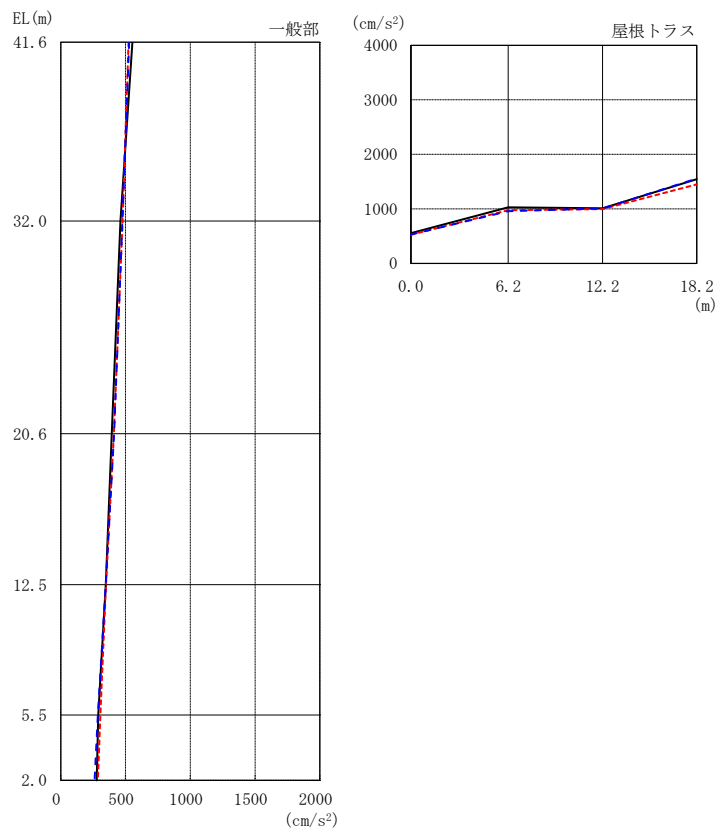
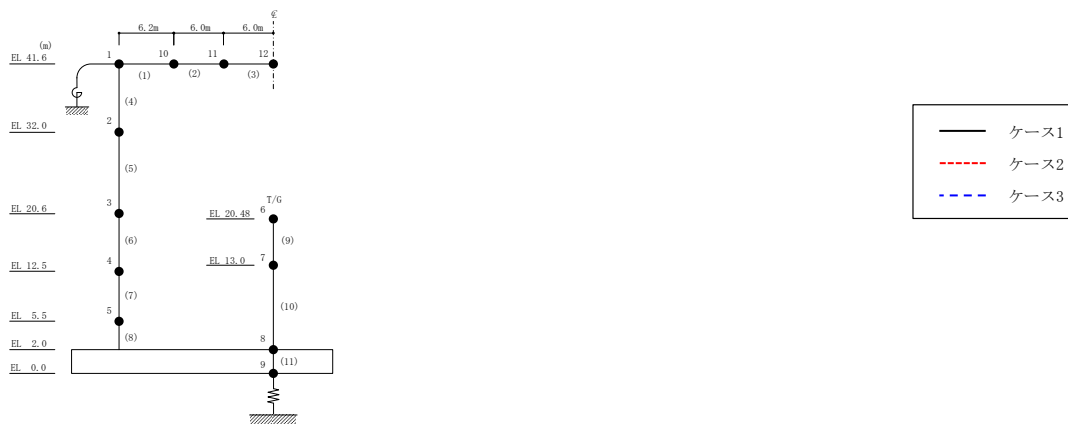
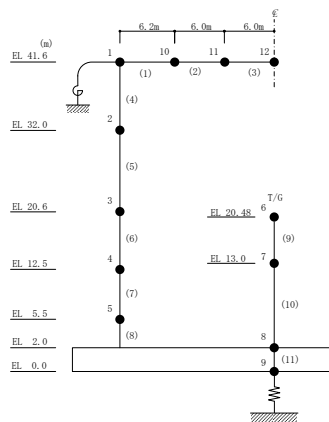


図 2-124 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

表 2-115 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	553	524	528
	32.0	2	461	477	476
	20.6	3	394	409	412
	12.5	4	348	349	348
	5.5	5	289	305	286
	2.0	8	277	287	261
屋根 トラス	0.0	1	553	524	528
	6.2	10	1030	974	957
	12.2	11	1008	994	1008
	18.2	12	1544	1450	1555

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



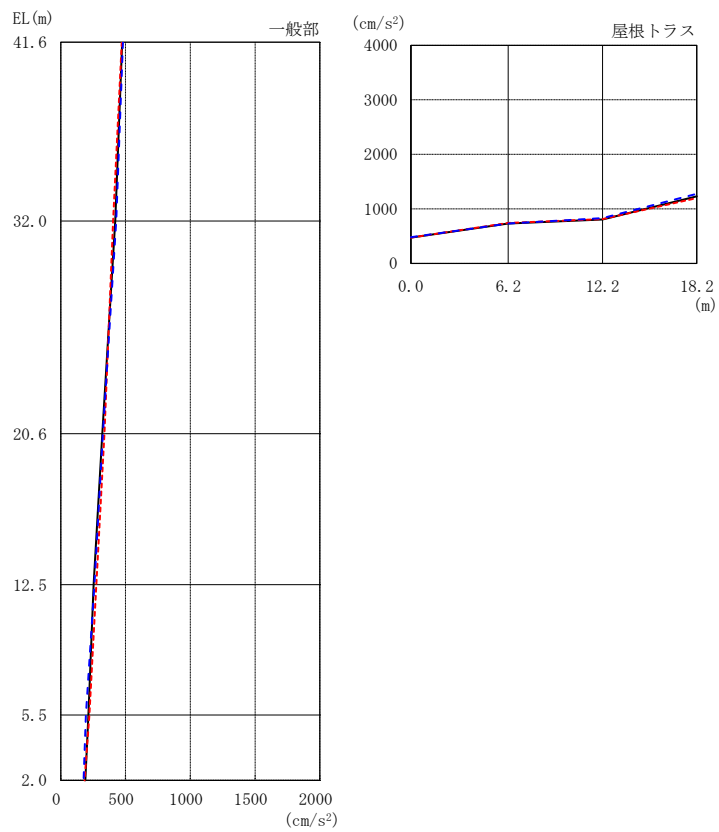
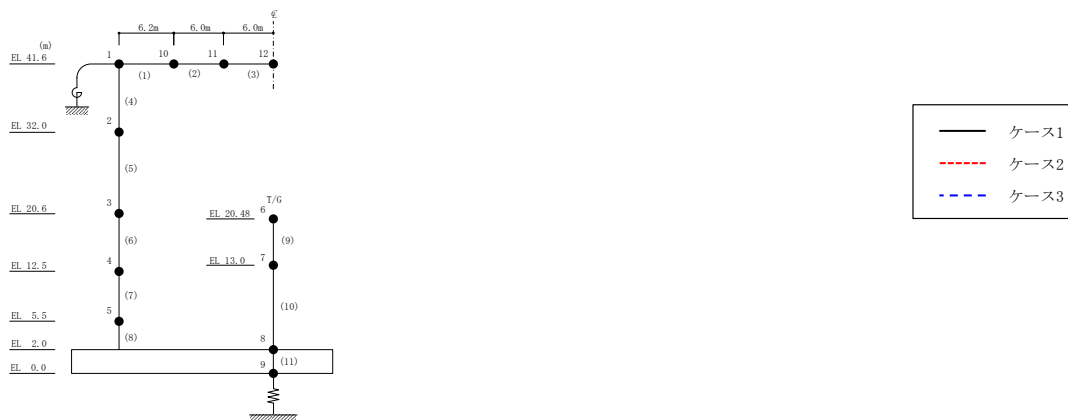
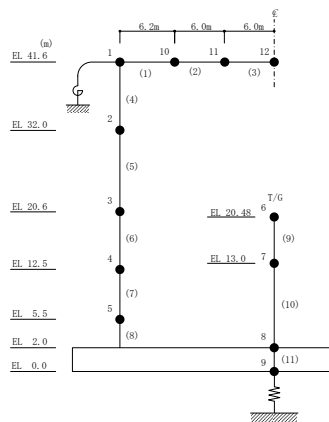


図 2-125 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

表 2-116 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	473	471	480
	32.0	2	420	404	428
	20.6	3	320	337	325
	12.5	4	253	275	260
	5.5	5	214	221	194
	2.0	8	189	183	175
屋根 トラス	0.0	1	473	471	480
	6.2	10	732	741	731
	12.2	11	805	812	829
	18.2	12	1230	1198	1275

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



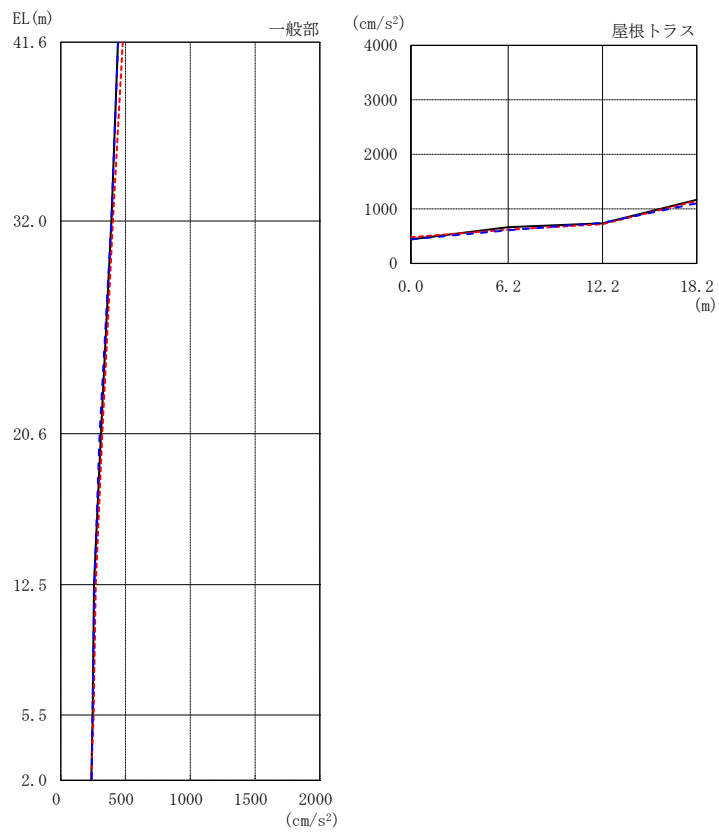
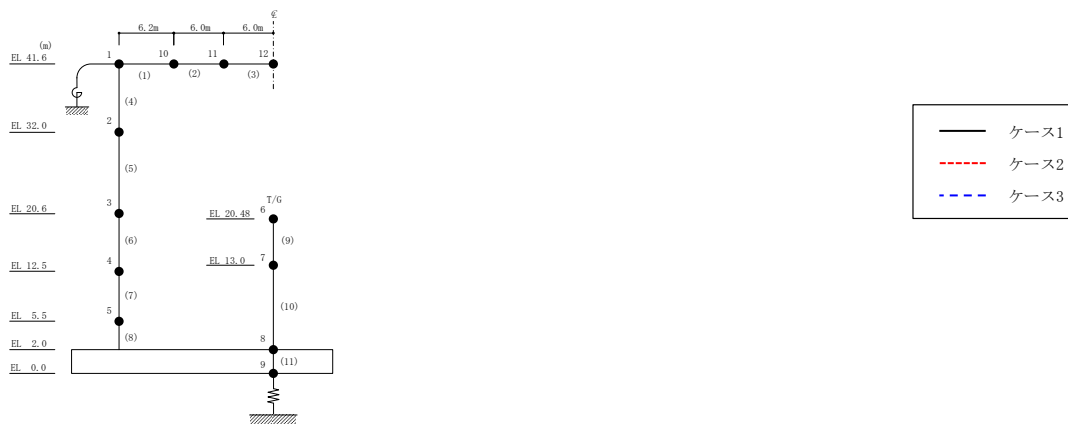
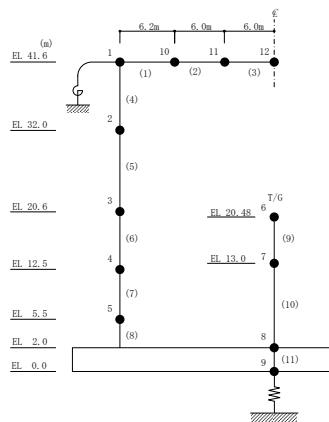


図 2-126 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

表 2-117 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	442	478	442
	32.0	2	391	402	391
	20.6	3	310	320	300
	12.5	4	257	270	259
	5.5	5	246	254	244
	2.0	8	235	235	239
屋根 トラス	0.0	1	442	478	442
	6.2	10	663	619	606
	12.2	11	735	721	744
	18.2	12	1166	1145	1104

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



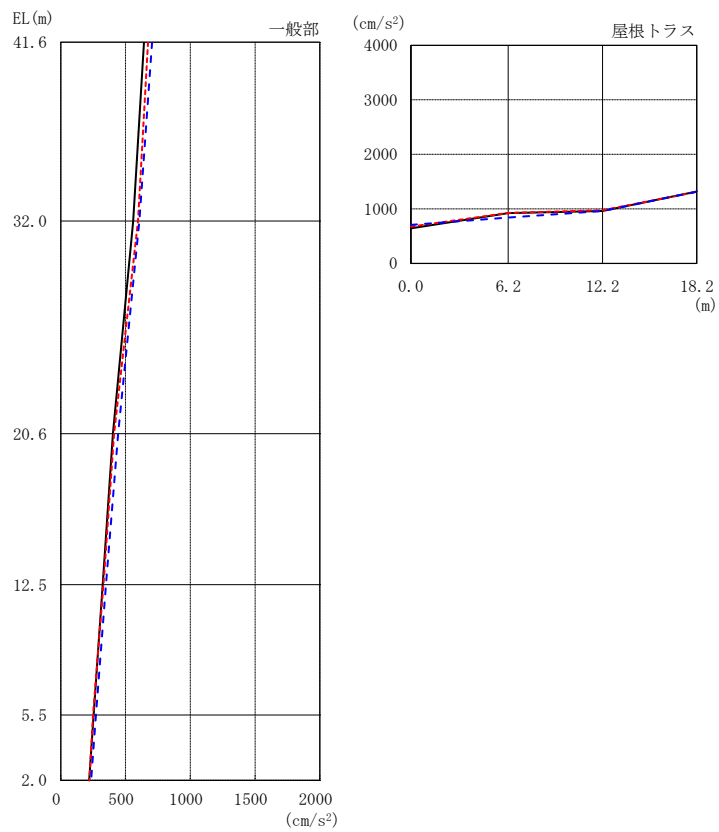
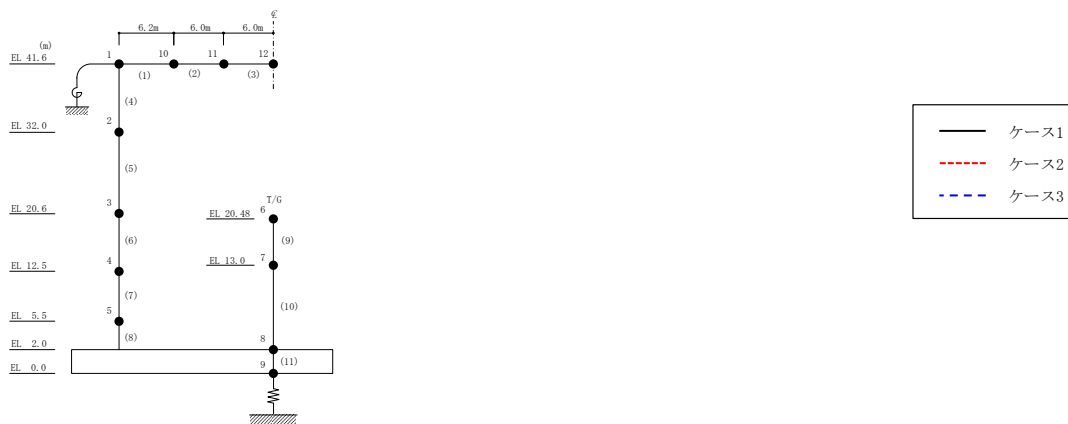
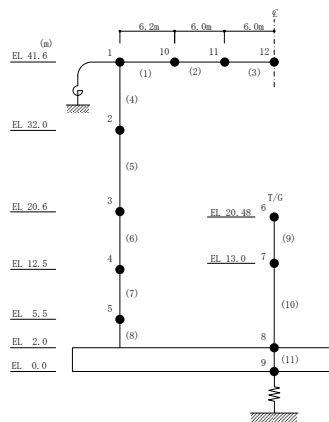


図 2-127 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

表 2-118 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	642	674	704
	32.0	2	559	596	606
	20.6	3	402	412	443
	12.5	4	324	330	349
	5.5	5	254	249	271
	2.0	8	220	220	234
屋根 トラス	0.0	1	642	674	704
	6.2	10	921	924	839
	12.2	11	962	975	959
	18.2	12	1317	1312	1315

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



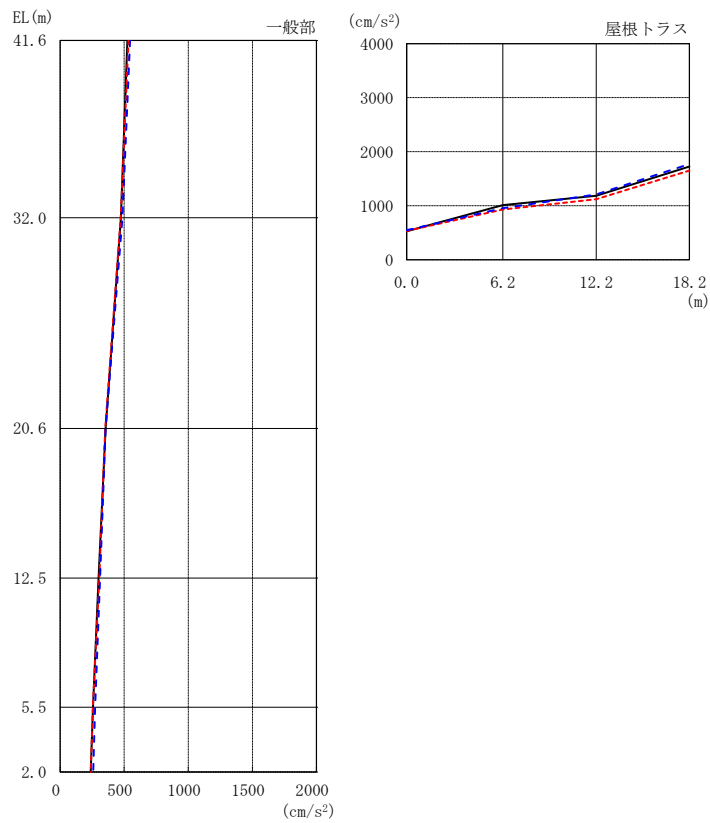
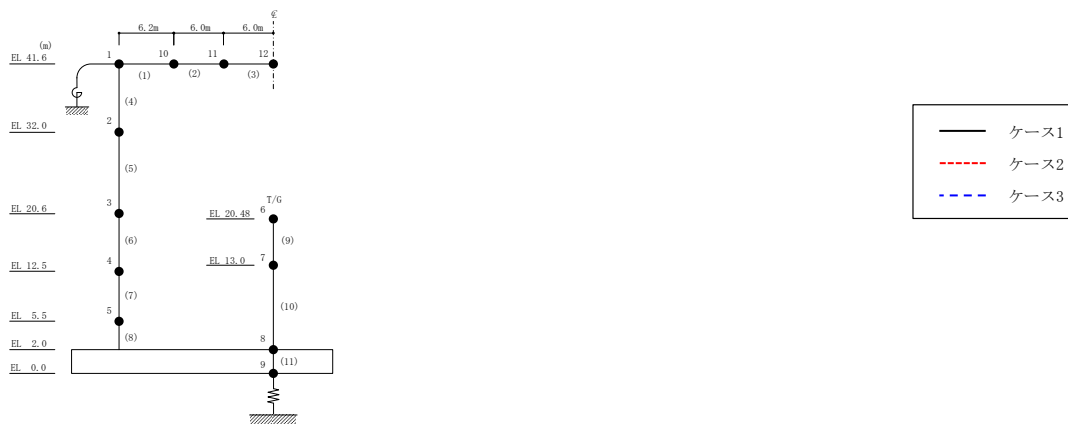
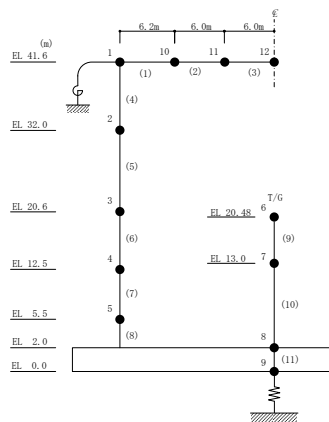


図 2-128 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

表 2-119 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	525	534	545
	32.0	2	473	473	486
	20.6	3	355	353	354
	12.5	4	300	305	311
	5.5	5	257	255	273
	2.0	8	238	238	258
屋根 トラス	0.0	1	525	534	545
	6.2	10	1011	929	952
	12.2	11	1183	1120	1209
	18.2	12	1723	1650	1771

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



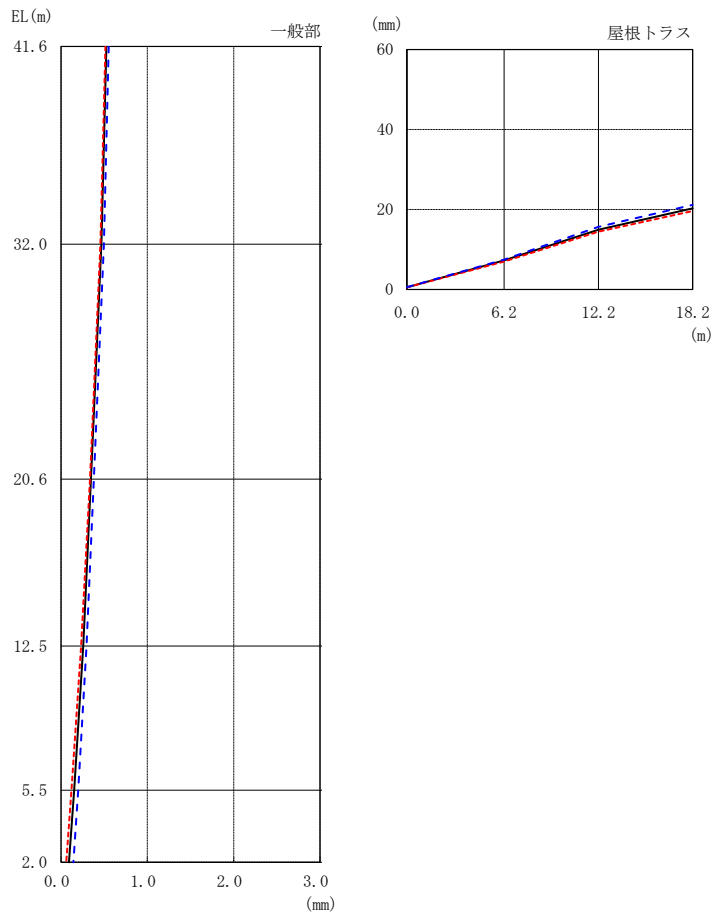
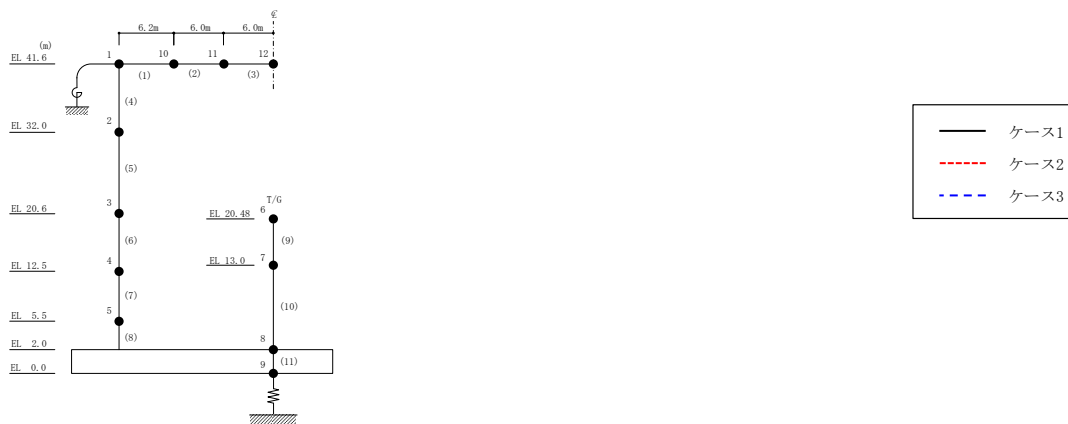
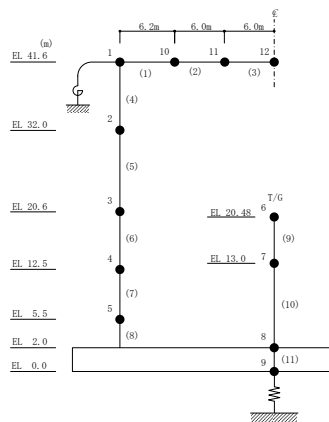


図 2-129 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

表 2-120 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	0.52	0.51	0.55
	32.0	2	0.47	0.46	0.50
	20.6	3	0.35	0.34	0.38
	12.5	4	0.26	0.23	0.30
	5.5	5	0.15	0.12	0.20
	2.0	8	0.09	0.06	0.14
屋根 トラス	0.0	1	0.52	0.51	0.55
	6.2	10	7.24	6.96	7.44
	12.2	11	14.94	14.44	15.66
	18.2	12	20.29	21.12	

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



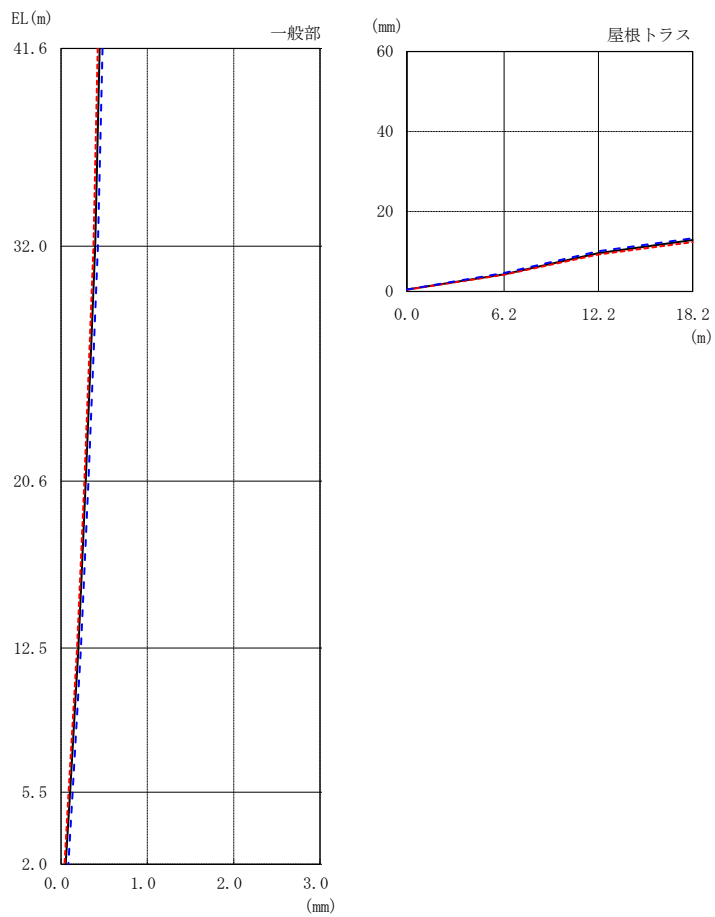
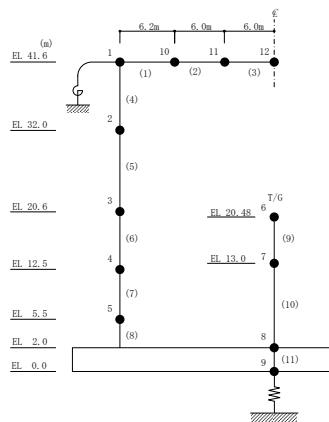


図 2-130 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

表 2-121 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	0.45	0.43	0.48
	32.0	2	0.40	0.38	0.43
	20.6	3	0.29	0.27	0.32
	12.5	4	0.20	0.18	0.23
	5.5	5	0.11	0.09	0.14
	2.0	8	0.05	0.04	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.45	0.43	0.48
	6.2	10	4.28	4.17	4.62
	12.2	11	9.60	9.23	10.04
	18.2	12	12.84	12.33	13.28

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



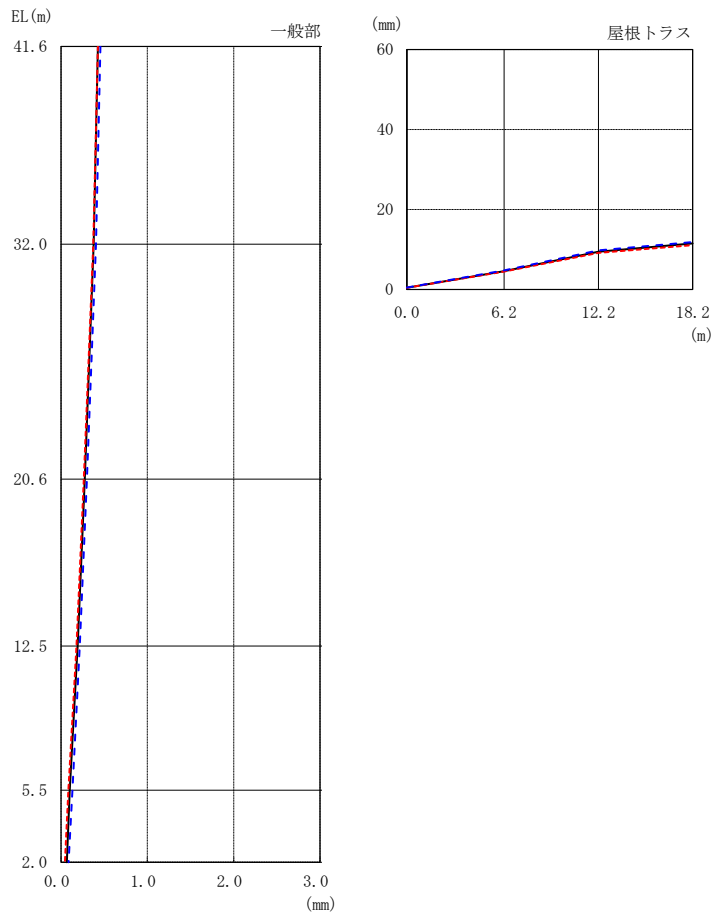
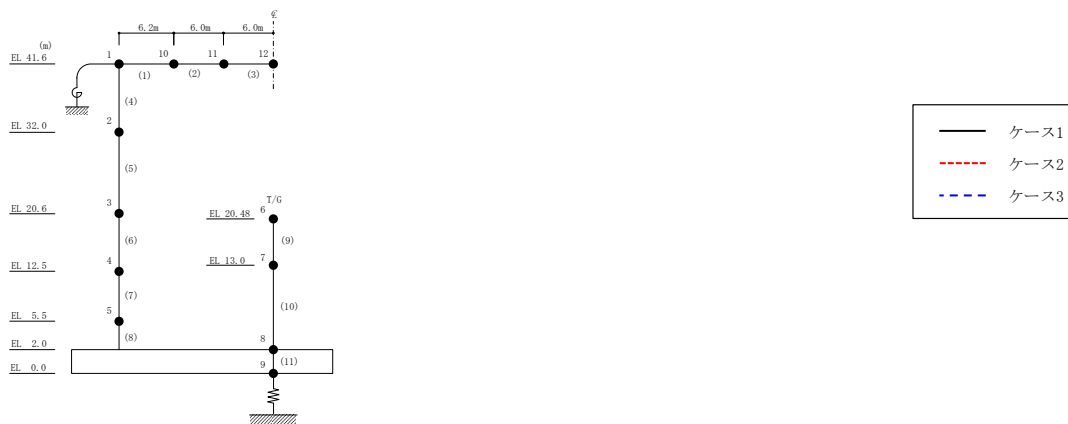
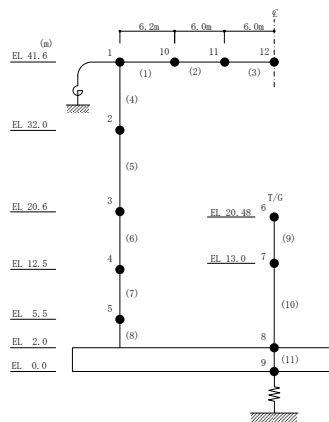


図 2-131 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

表 2-122 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	0.43	0.43	0.46
	32.0	2	0.38	0.37	0.41
	20.6	3	0.27	0.26	0.30
	12.5	4	0.19	0.18	0.22
	5.5	5	0.10	0.09	0.13
	2.0	8	0.07	0.04	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.43	0.43	0.46
	6.2	10	4.55	4.45	4.76
	12.2	11	9.42	9.15	9.75
	18.2	12	11.48	11.07	11.85

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



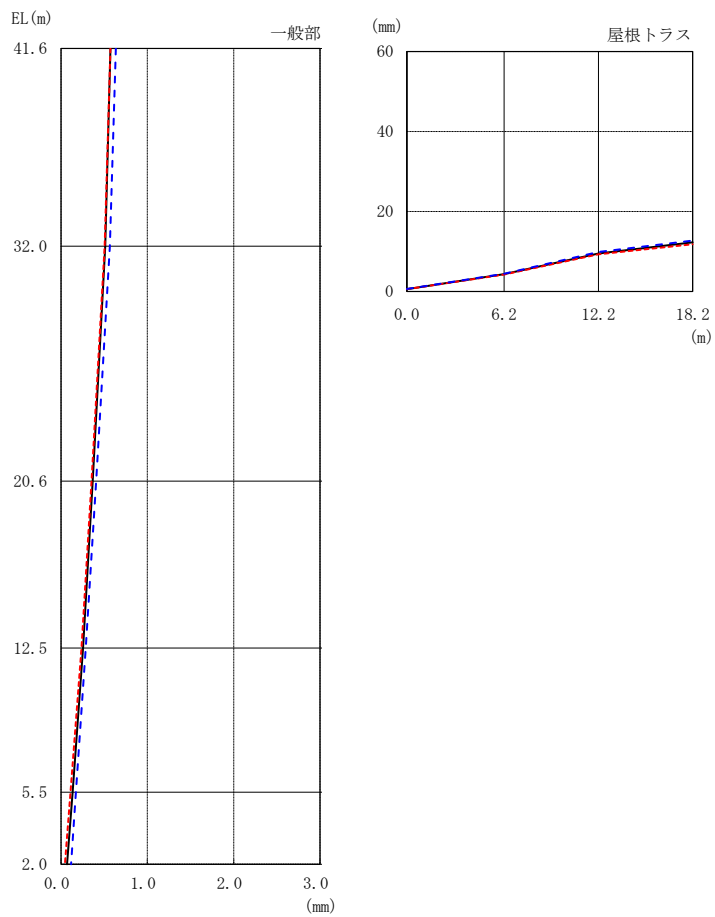
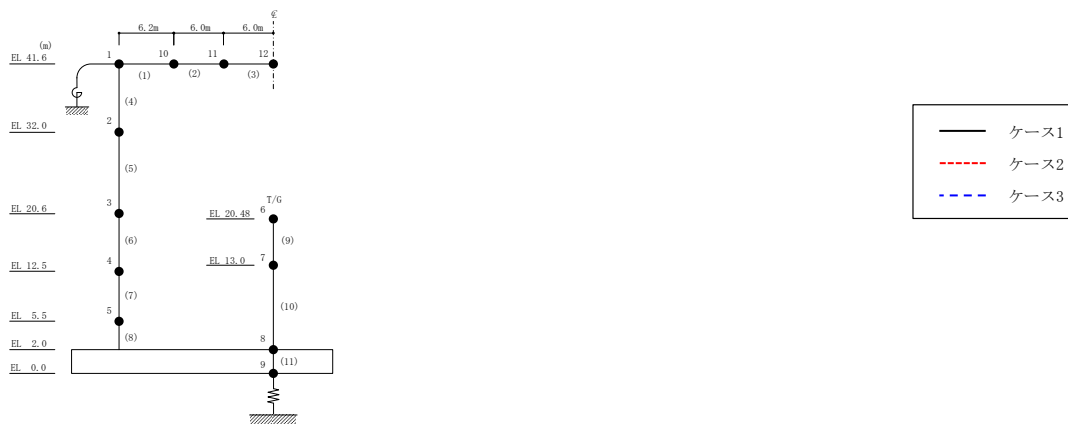
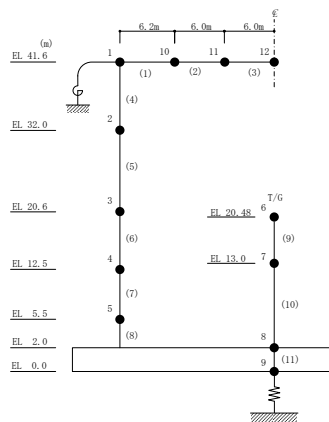


図 2-132 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

表 2-123 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	0.57	0.57	0.63
	32.0	2	0.51	0.51	0.56
	20.6	3	0.37	0.35	0.41
	12.5	4	0.26	0.24	0.29
	5.5	5	0.14	0.11	0.17
	2.0	8	0.07	0.04	0.12
屋根 トラス	0.0	1	0.57	0.57	0.63
	6.2	10	4.30	4.21	4.44
	12.2	11	9.49	9.28	9.89
	18.2	12	12.28	11.77	12.71

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



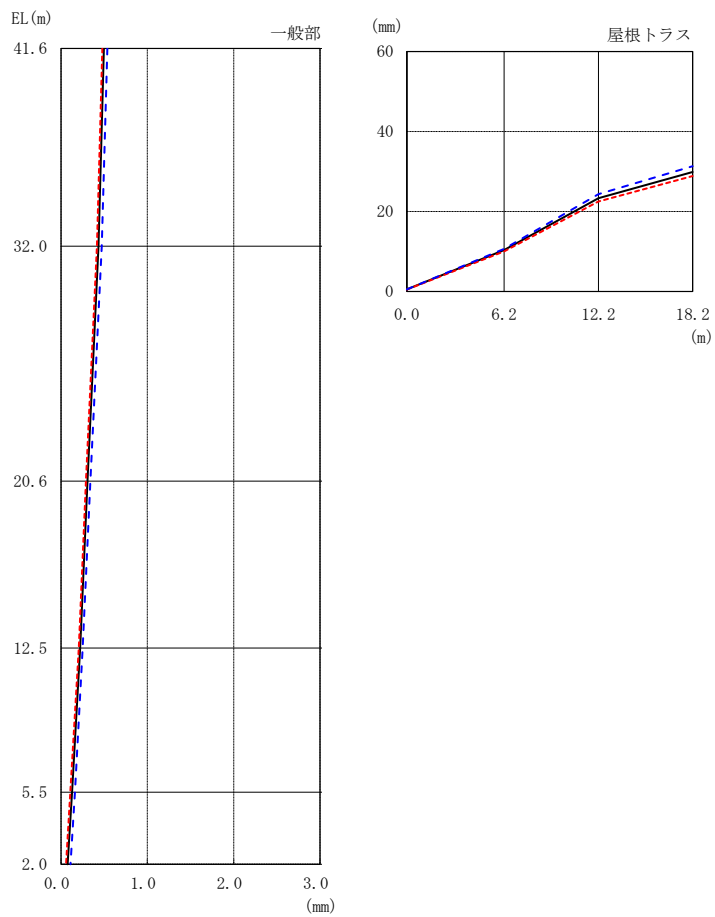
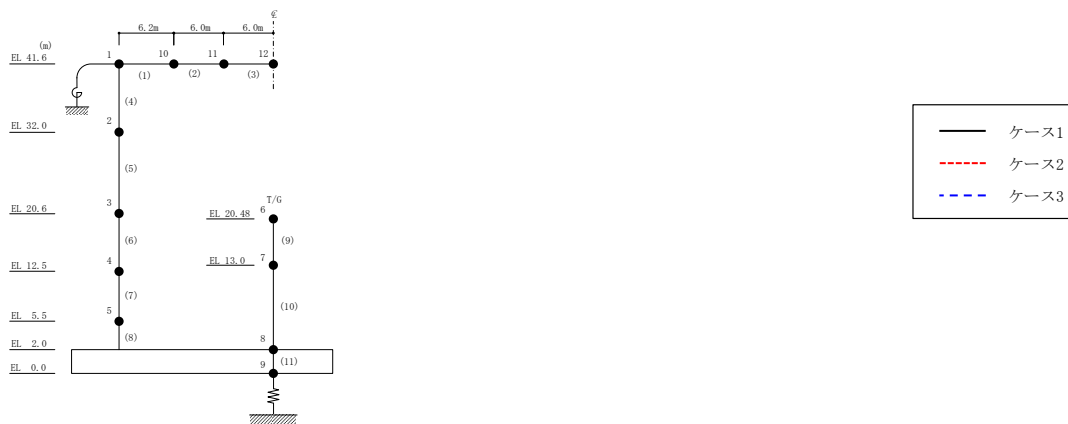
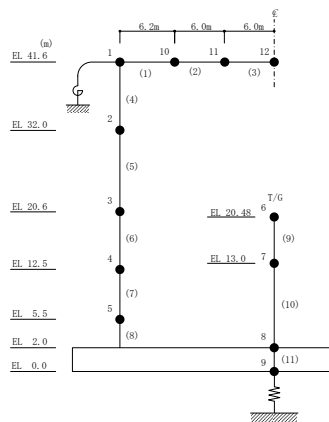


図 2-133 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

表 2-124 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6	1	0.50	0.48	0.54
	32.0	2	0.43	0.42	0.47
	20.6	3	0.31	0.29	0.34
	12.5	4	0.22	0.21	0.25
	5.5	5	0.13	0.11	0.16
	2.0	8	0.08	0.06	0.11
屋根 トラス	0.0	1	0.50	0.48	0.54
	6.2	10	10.34	10.00	10.64
	12.2	11	23.29	22.49	24.30
	18.2	12	29.86	28.84	31.32

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



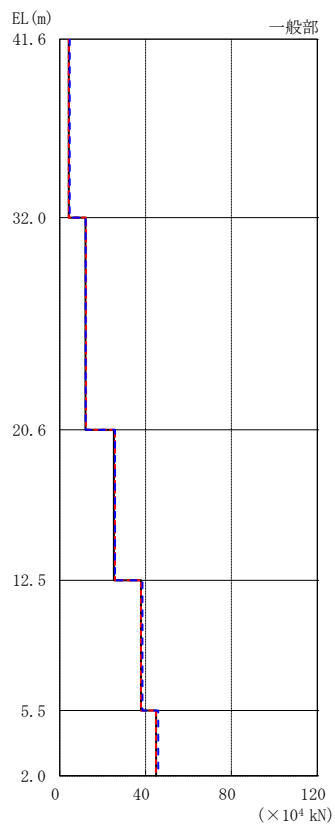
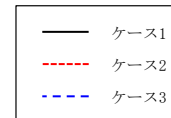
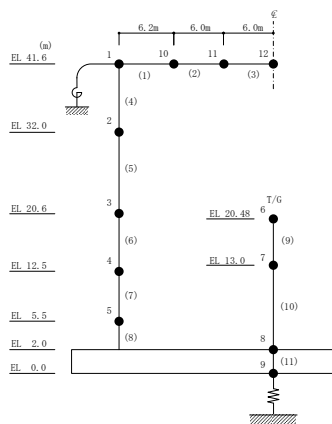
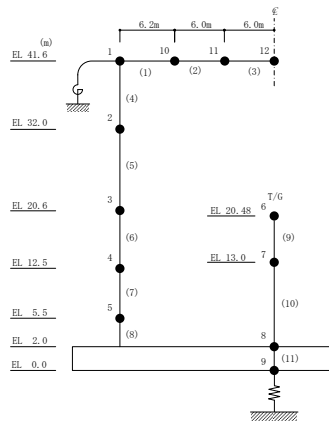


図 2-134 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

表 2-125 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	4.20	4.25	4.72
	32.0~20.6	5	12.0	12.2	12.1
	20.6~12.5	6	25.2	25.7	25.8
	12.5~5.5	7	37.9	37.9	38.6
	5.5~2.0	8	44.9	44.8	45.9



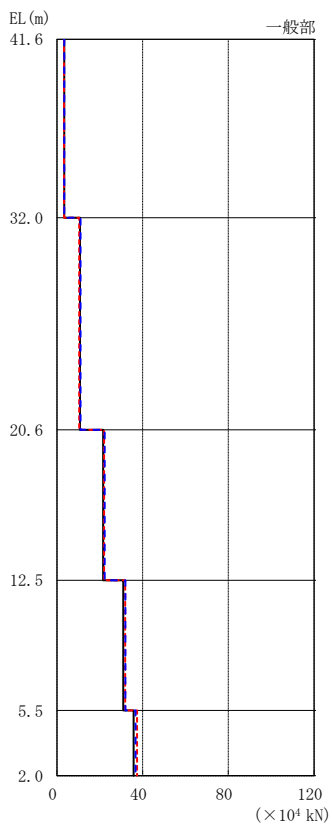
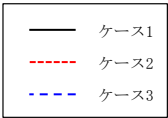
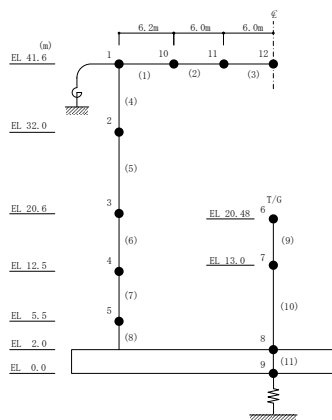
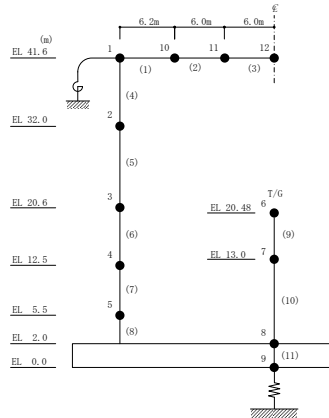


図 2-135 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

表 2-126 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	3.40	3.32	3.43
	32.0~20.6	5	10.8	10.4	11.0
	20.6~12.5	6	21.6	22.0	22.3
	12.5~5.5	7	31.0	31.8	32.0
	5.5~2.0	8	35.8	37.4	36.7



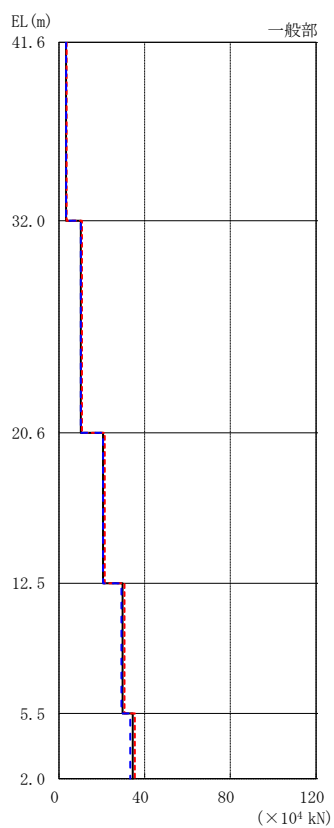
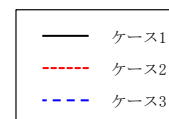
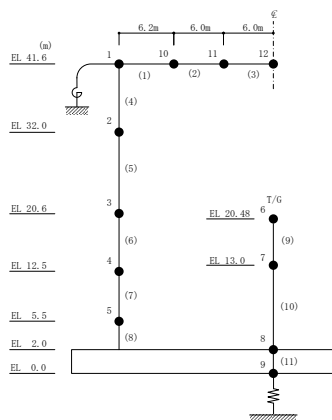
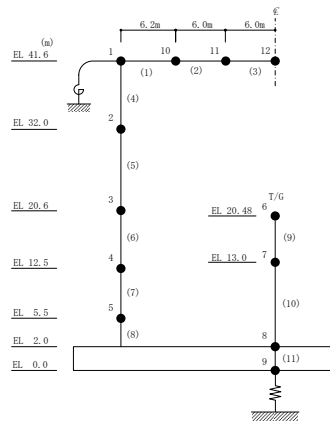


図 2-136 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

表 2-127 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	3.35	3.64	3.37
	32.0~20.6	5	10.2	10.7	10.3
	20.6~12.5	6	20.6	21.4	20.6
	12.5~5.5	7	29.7	30.6	29.2
	5.5~2.0	8	34.5	35.5	33.3



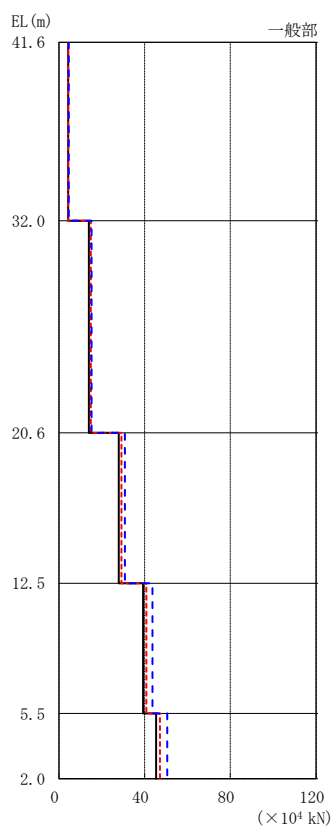
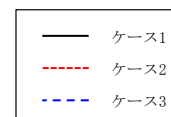
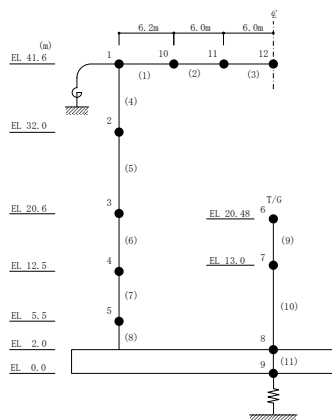
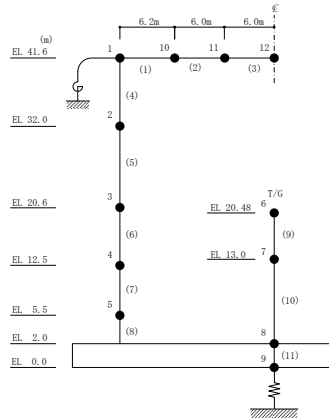


図 2-137 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

表 2-128 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	4.35	4.33	4.57
	32.0~20.6	5	13.9	14.8	15.3
	20.6~12.5	6	27.9	29.2	30.8
	12.5~5.5	7	39.2	40.8	43.7
	5.5~2.0	8	45.3	47.1	50.6



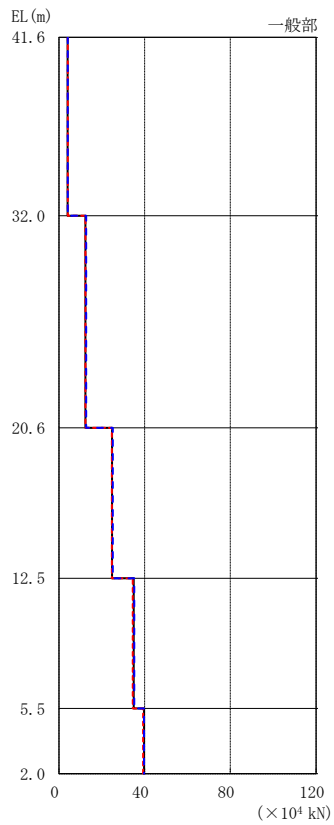
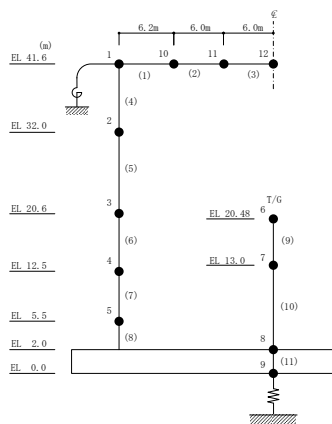
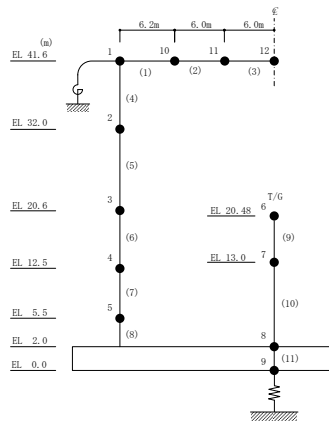


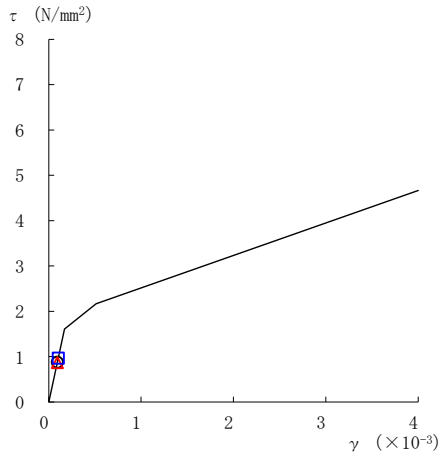
図 2-138 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

表 2-129 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

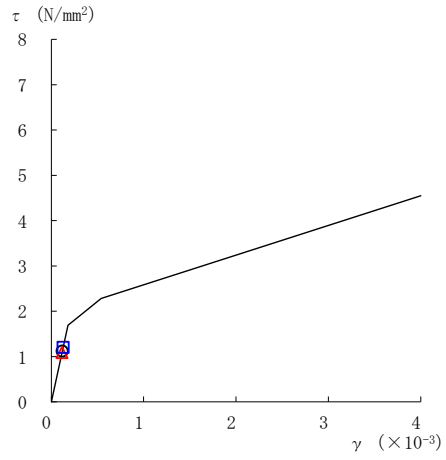
部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)		
			ケース1	ケース2	ケース3
一般部	41.6~32.0	4	4.02	4.18	4.15
	32.0~20.6	5	12.4	12.4	12.7
	20.6~12.5	6	24.8	24.7	25.1
	12.5~5.5	7	34.9	34.4	35.2
	5.5~2.0	8	39.7	39.3	39.7



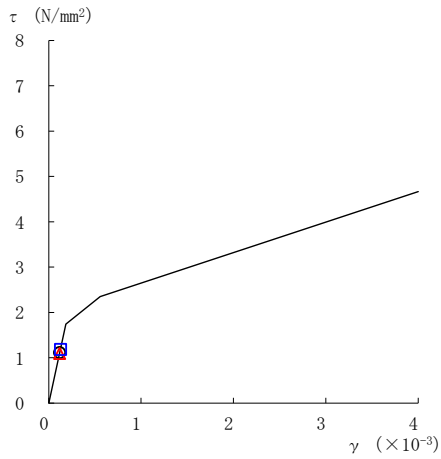
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



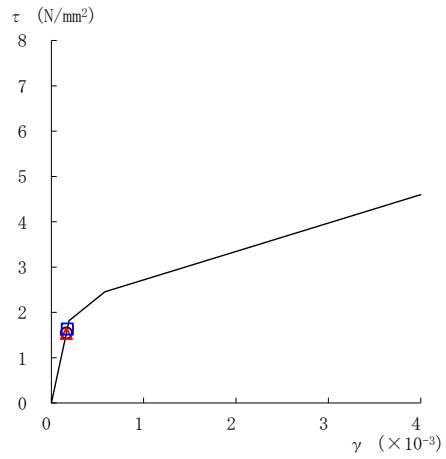
要素番号 (1)



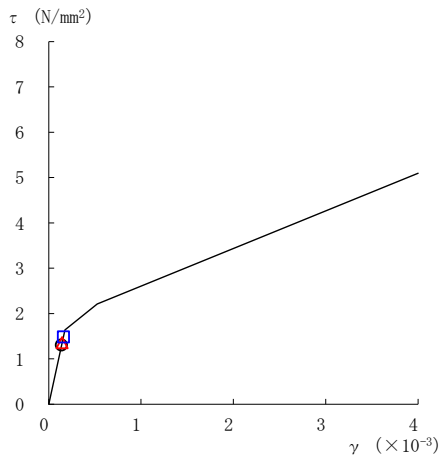
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

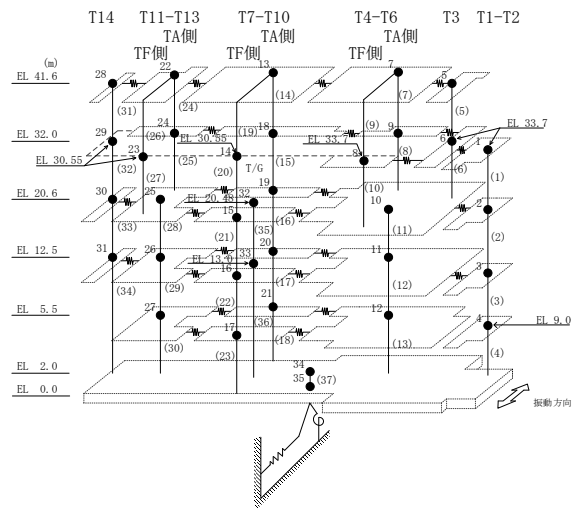
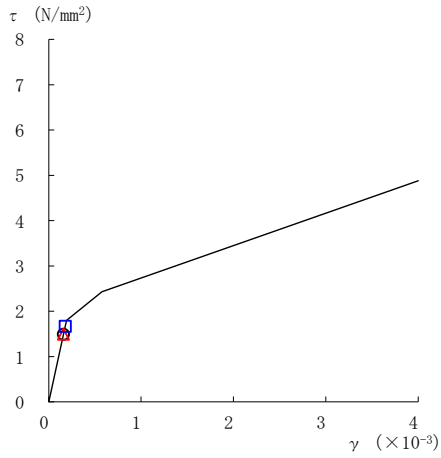
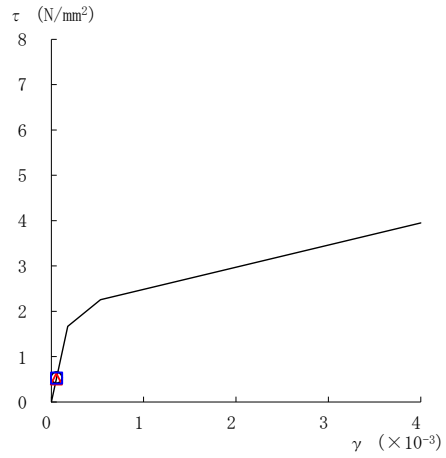


図 2-139(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

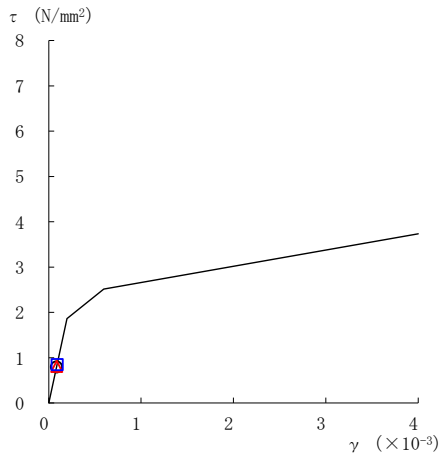
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



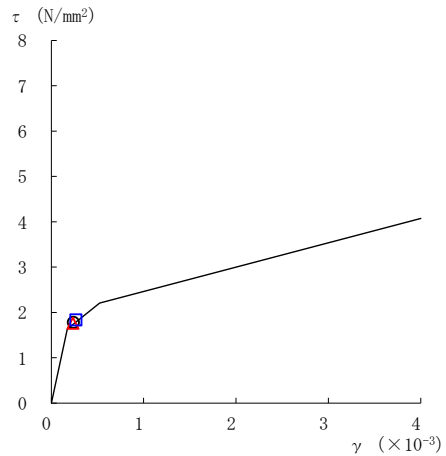
要素番号 (6)



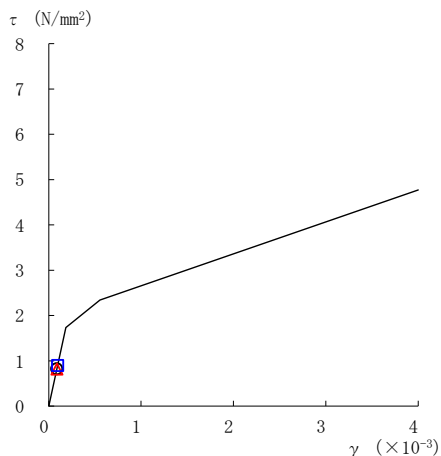
要素番号 (7)



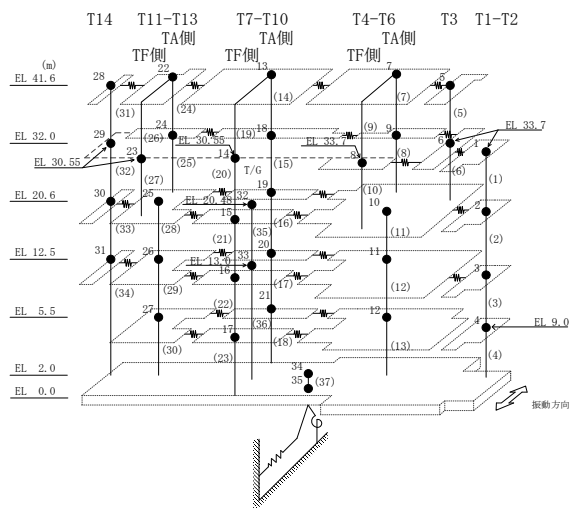
要素番号 (8)



要素番号 (10)



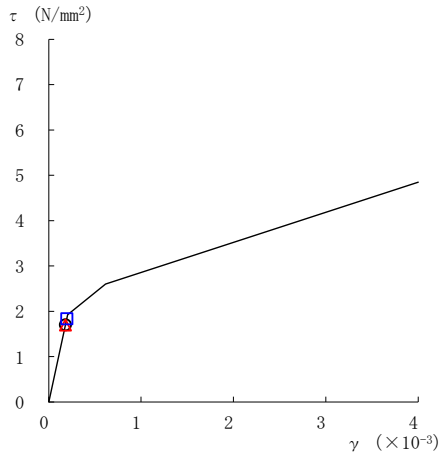
要素番号 (11)



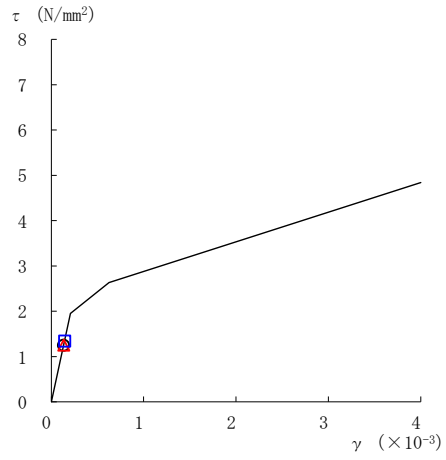
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-139(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

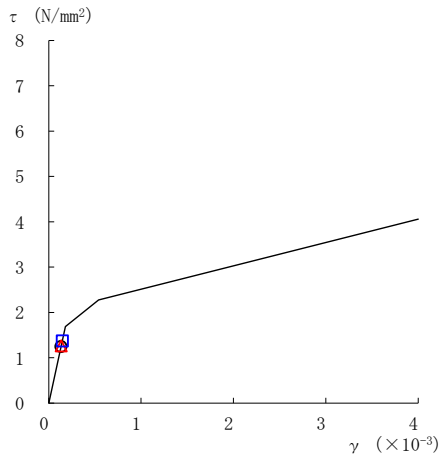
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



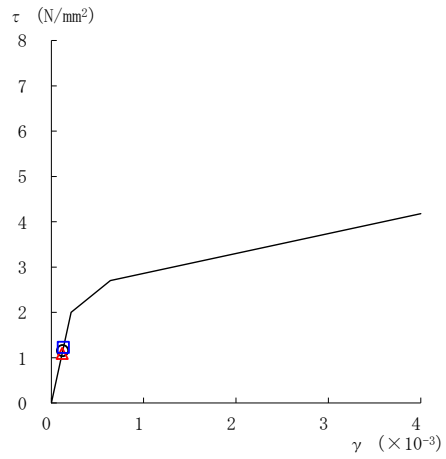
要素番号 (12)



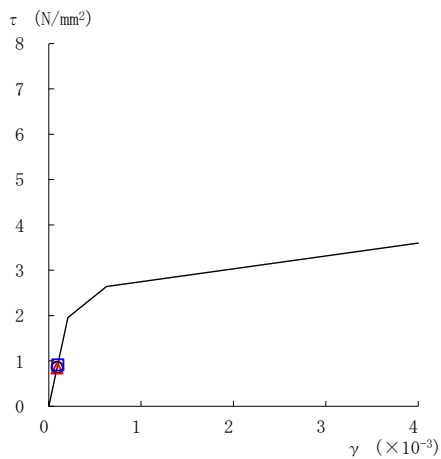
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

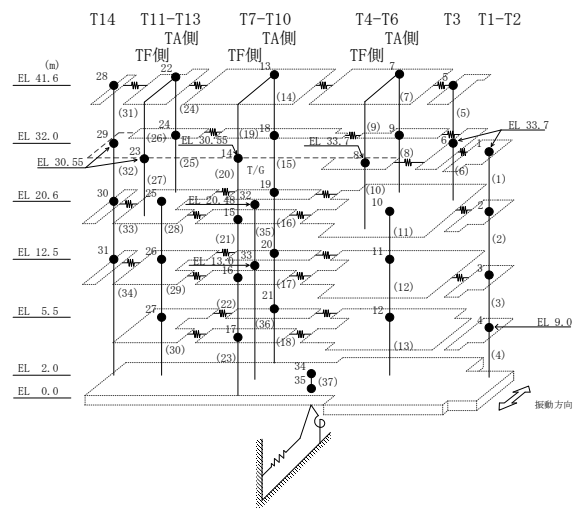
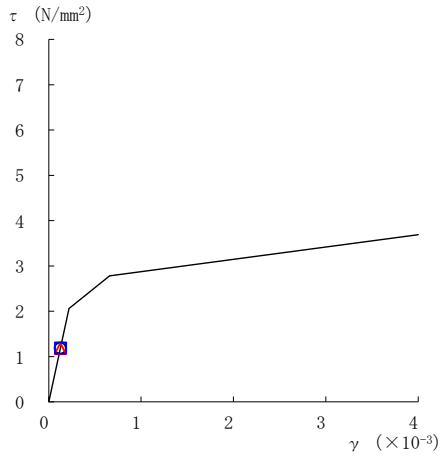
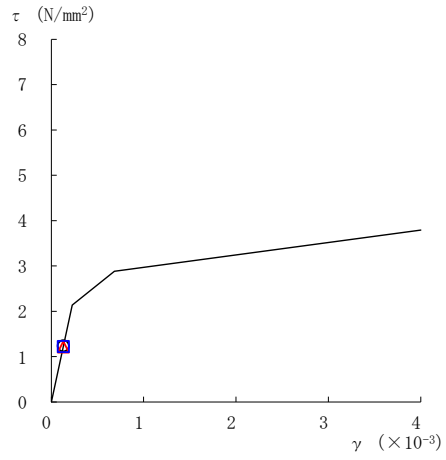


図 2-139 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

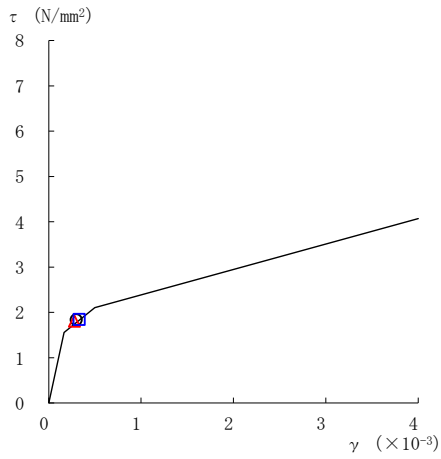
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



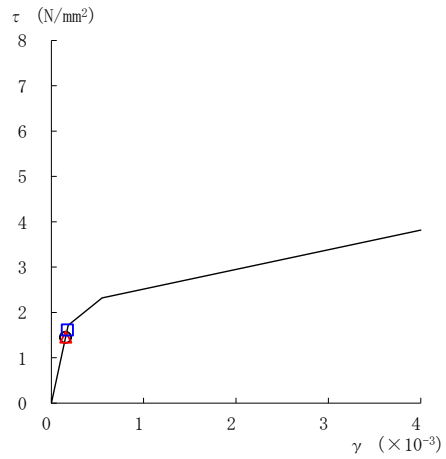
要素番号 (17)



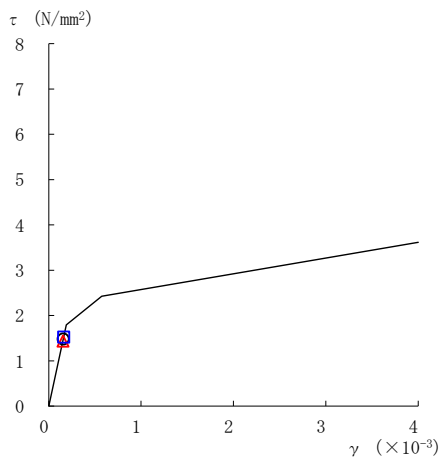
要素番号 (18)



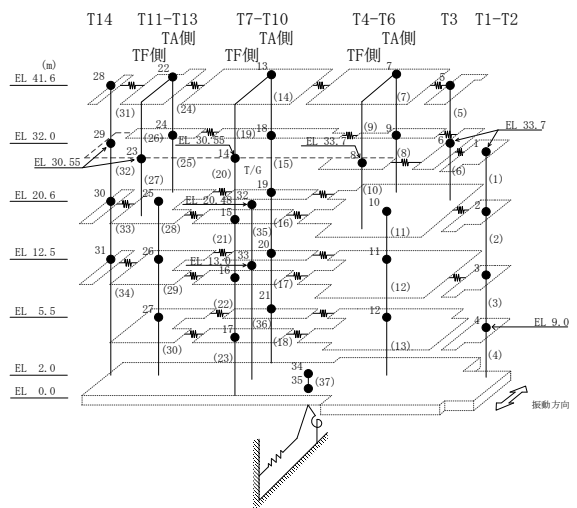
要素番号 (21)



要素番号 (22)



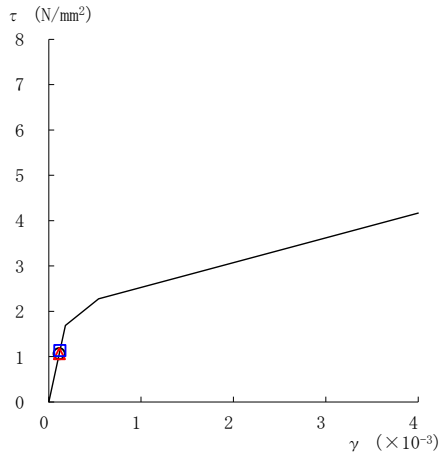
要素番号 (23)



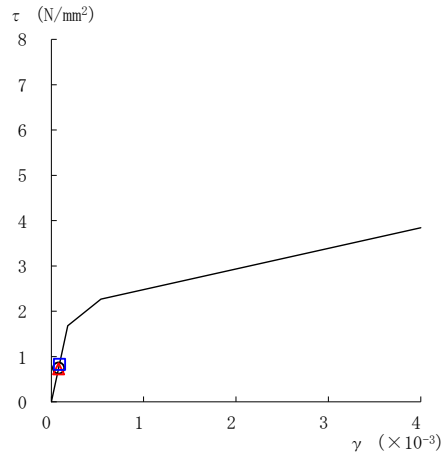
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-139(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

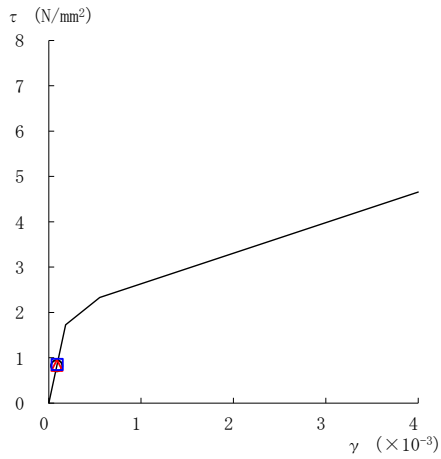
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



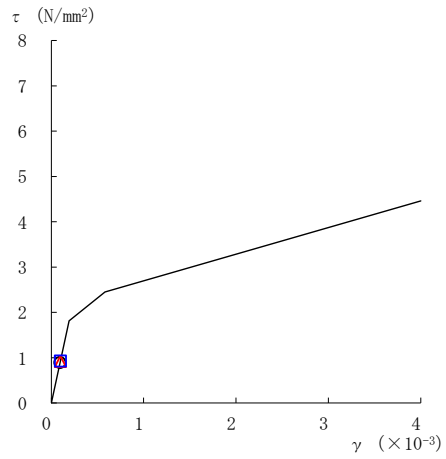
要素番号 (24)



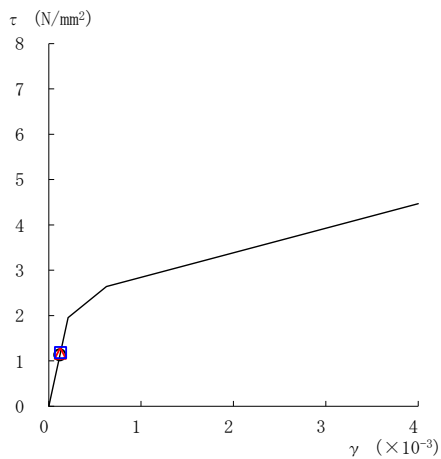
要素番号 (25)



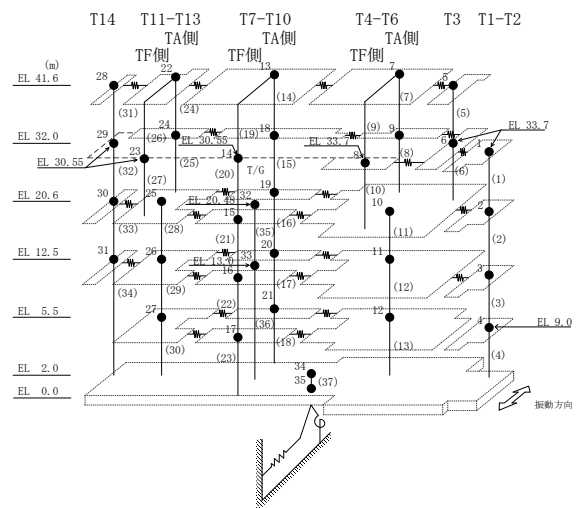
要素番号 (28)



要素番号 (29)



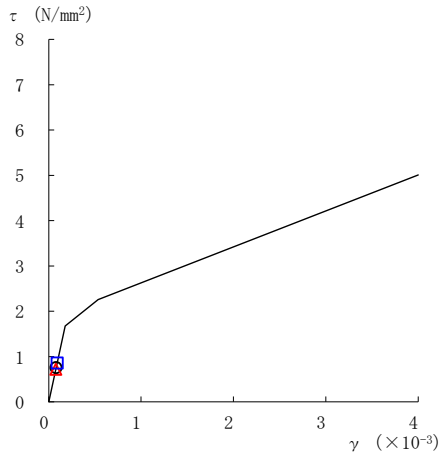
要素番号 (30)



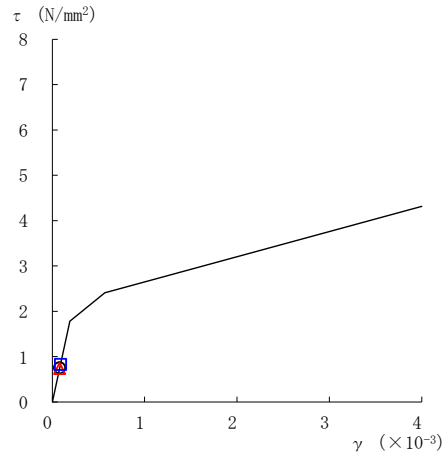
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-139(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

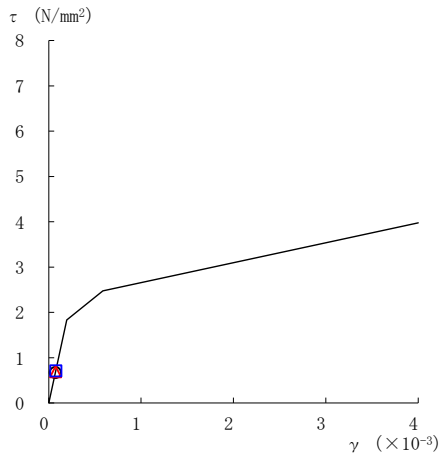
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



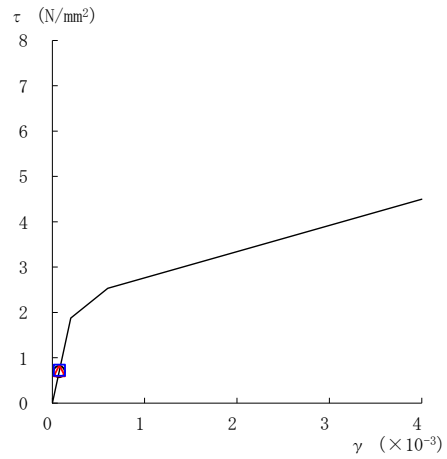
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

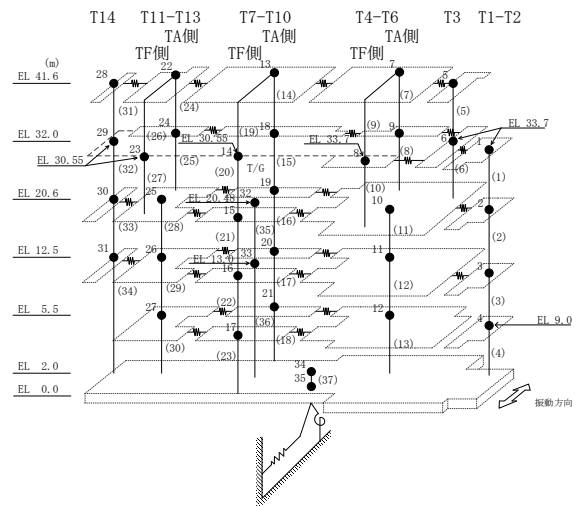
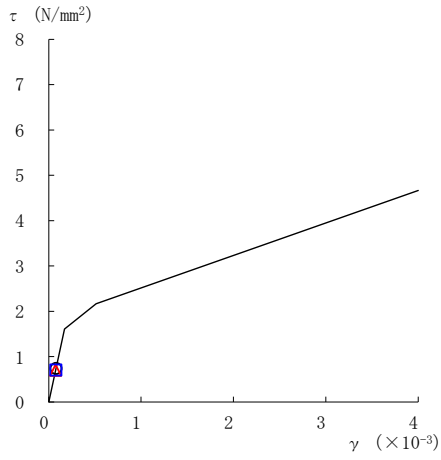
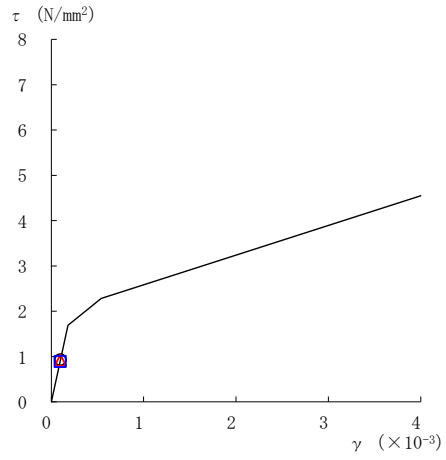


図 2-139 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

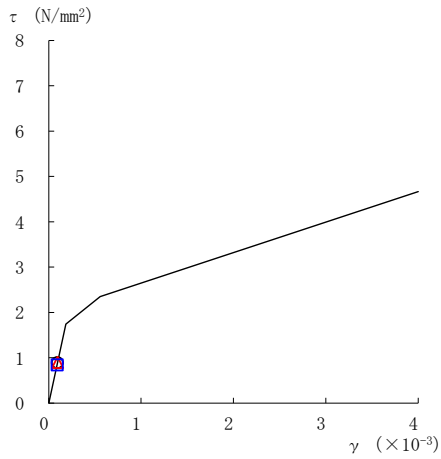
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



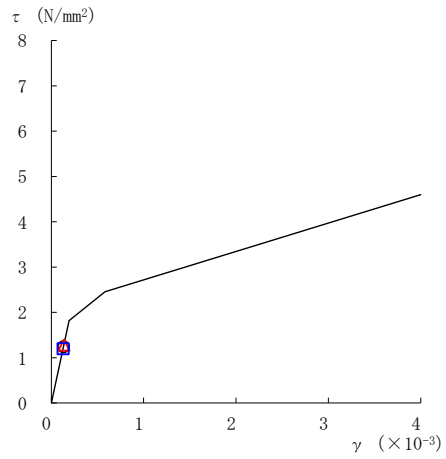
要素番号 (1)



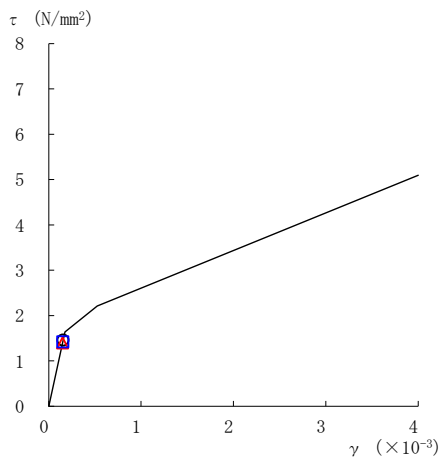
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

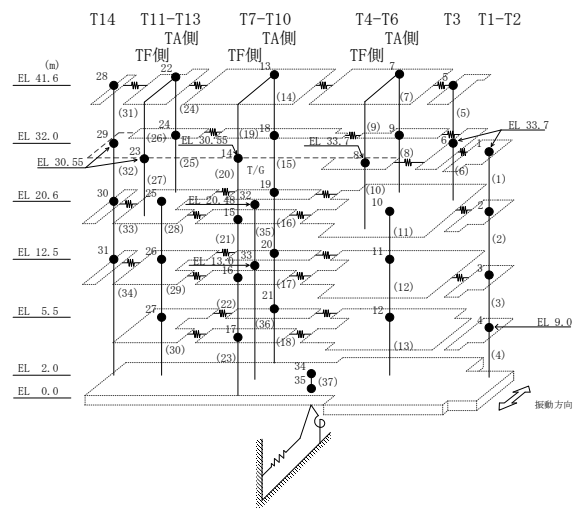
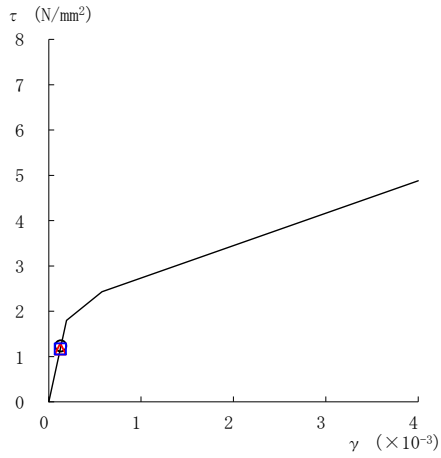
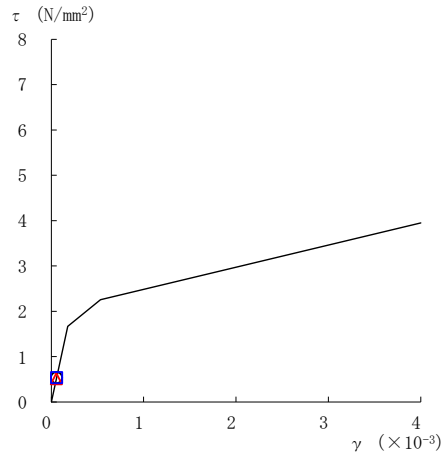


図 2-140(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

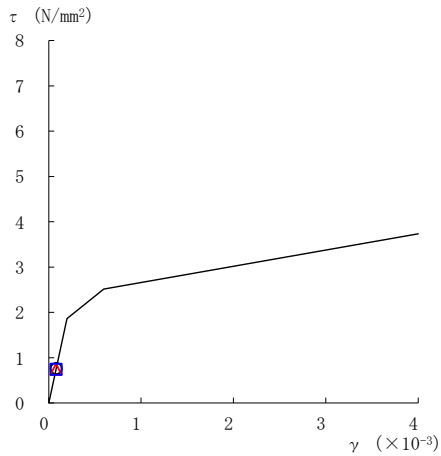
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



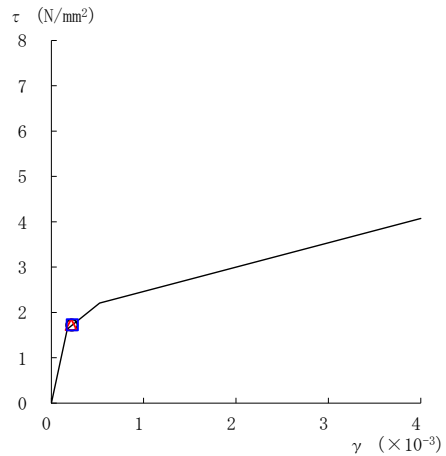
要素番号 (6)



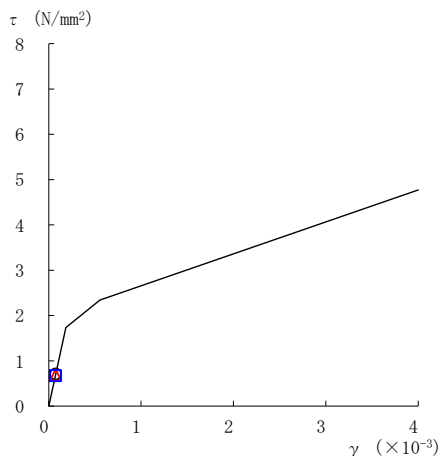
要素番号 (7)



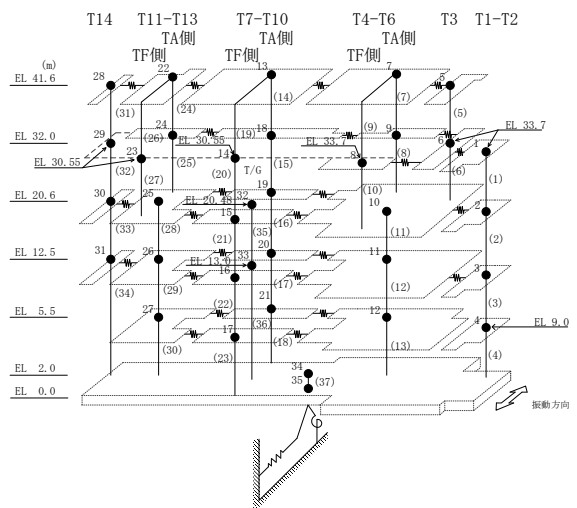
要素番号 (8)



要素番号 (10)



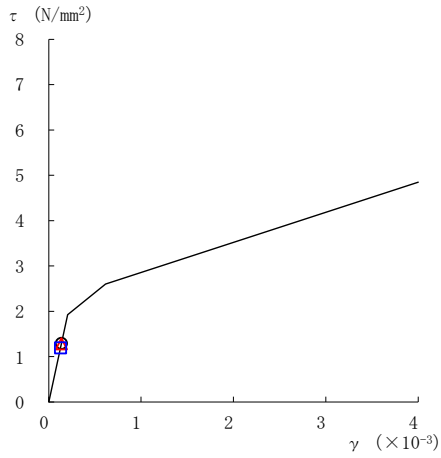
要素番号 (11)



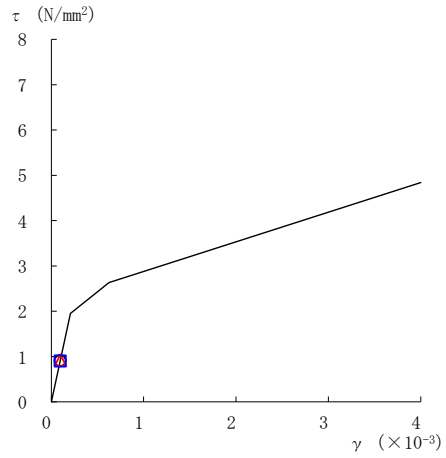
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-140(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

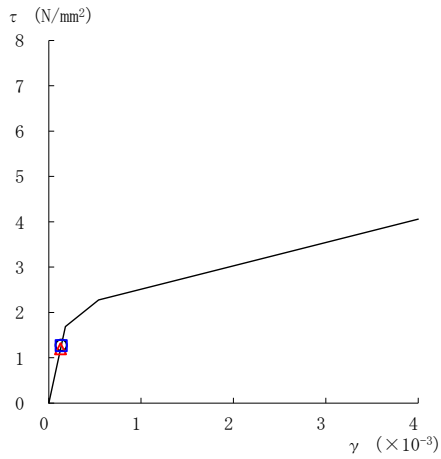
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



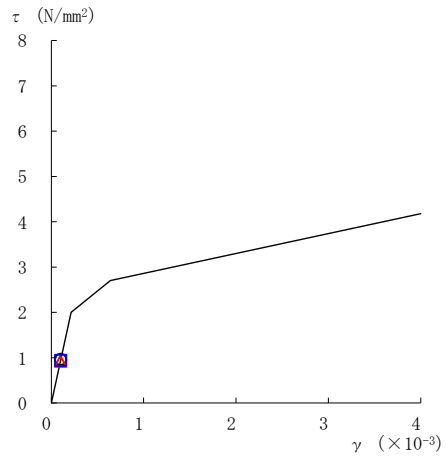
要素番号 (12)



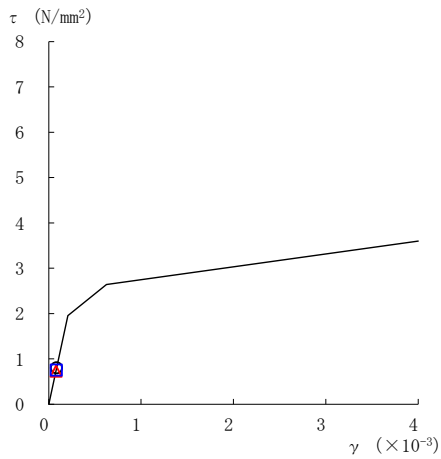
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

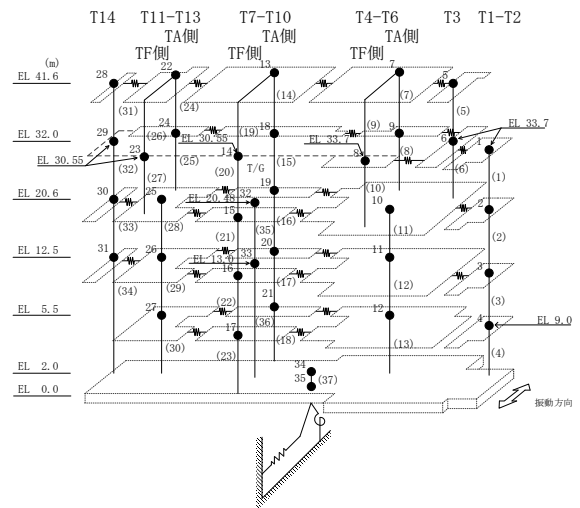
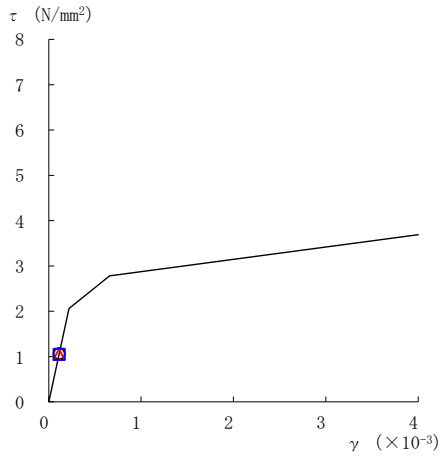
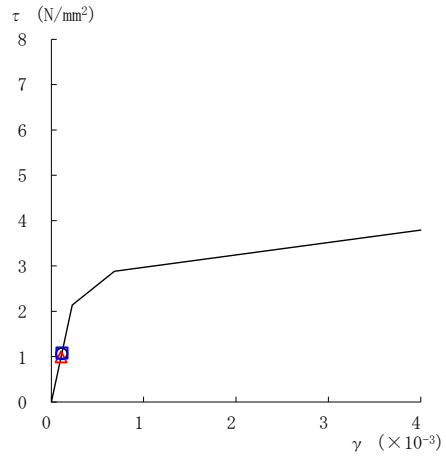


図 2-140(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

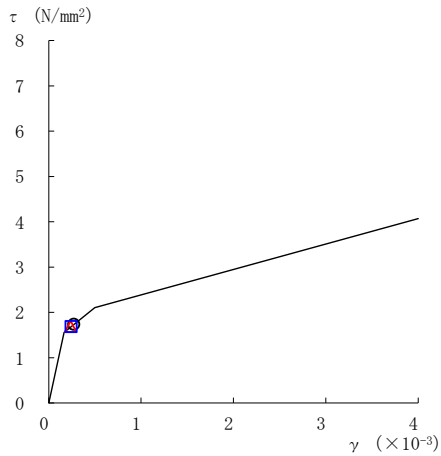
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



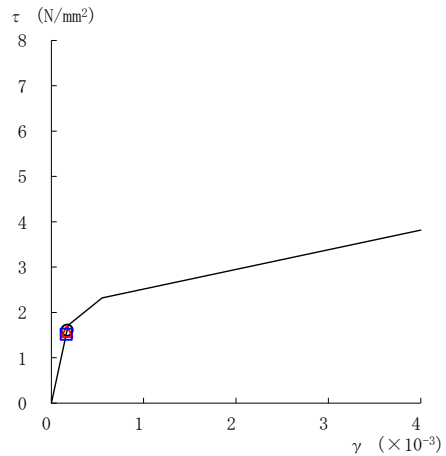
要素番号 (17)



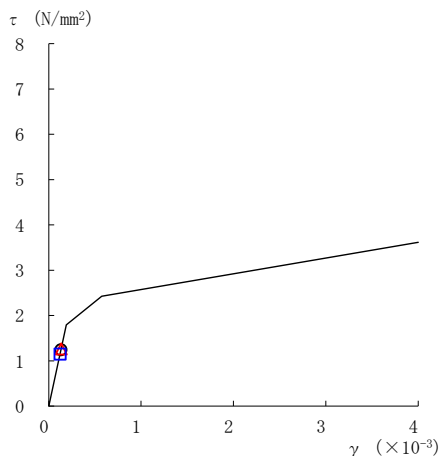
要素番号 (18)



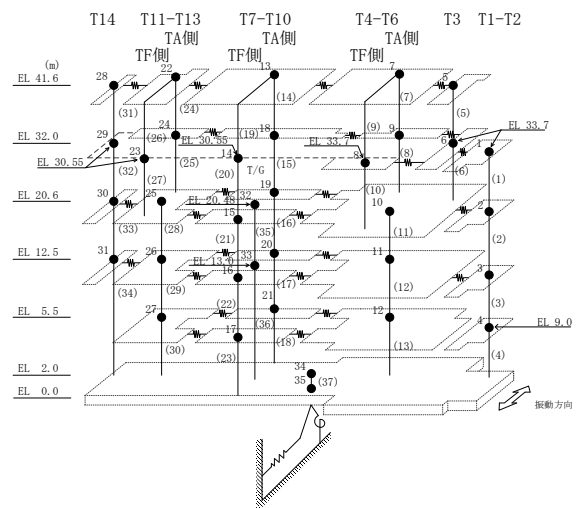
要素番号 (21)



要素番号 (22)



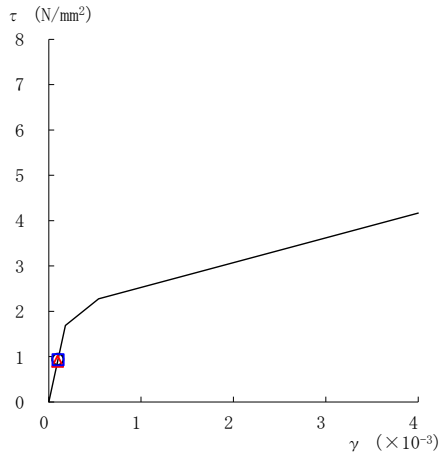
要素番号 (23)



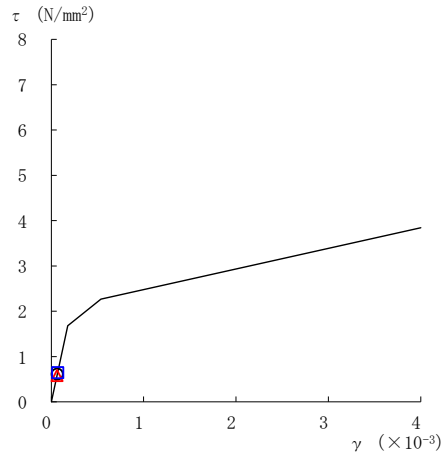
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-140(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

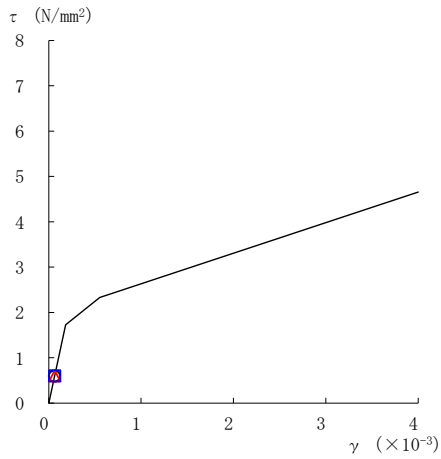
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



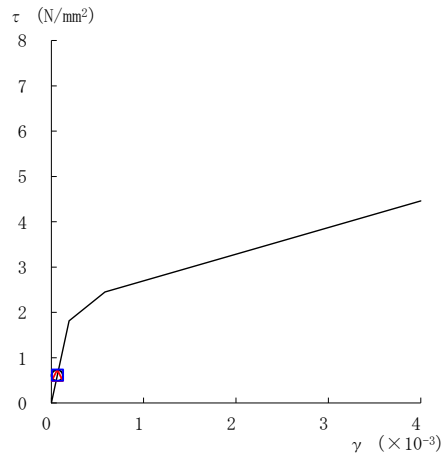
要素番号 (24)



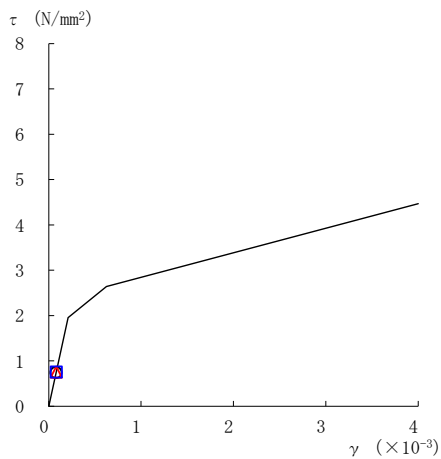
要素番号 (25)



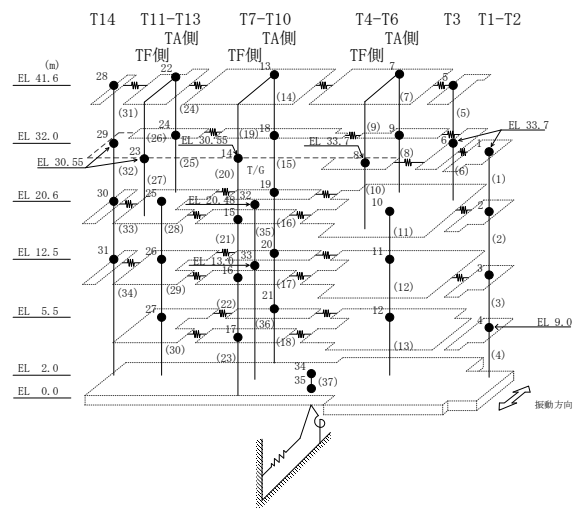
要素番号 (28)



要素番号 (29)



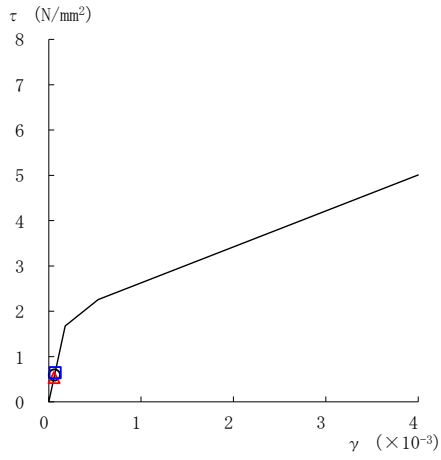
要素番号 (30)



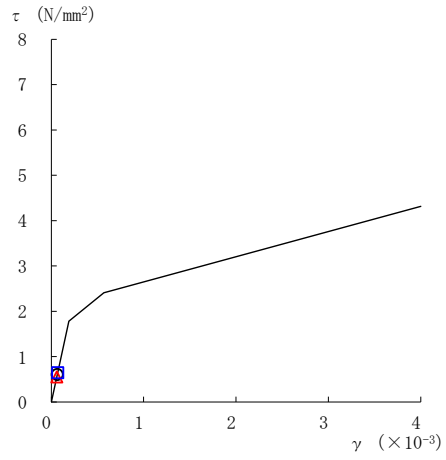
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-140(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

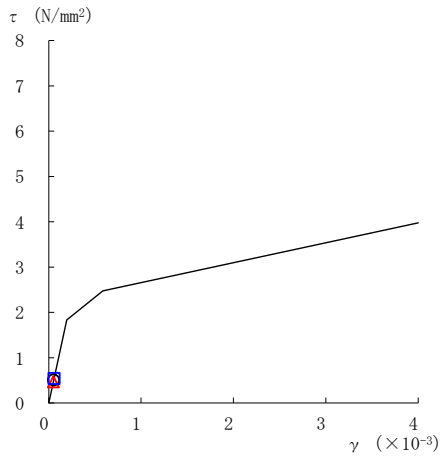
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



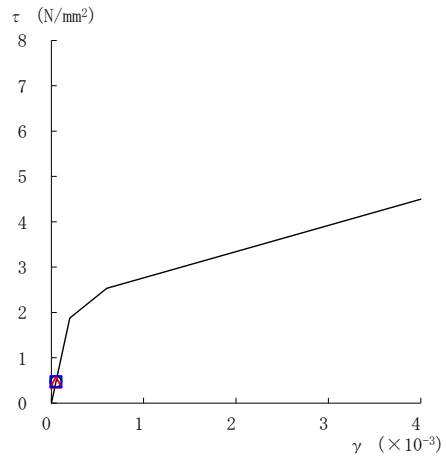
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

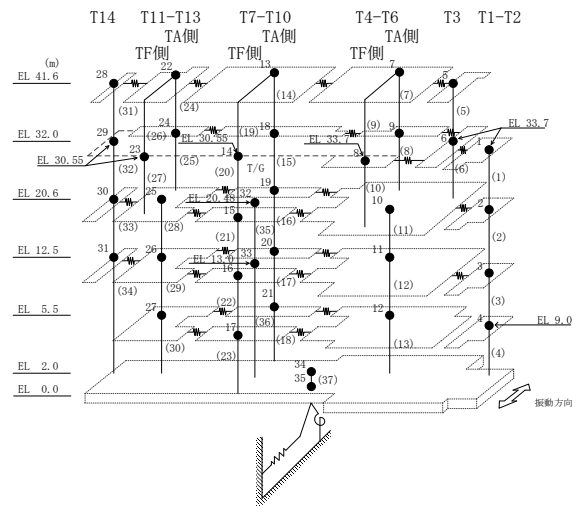
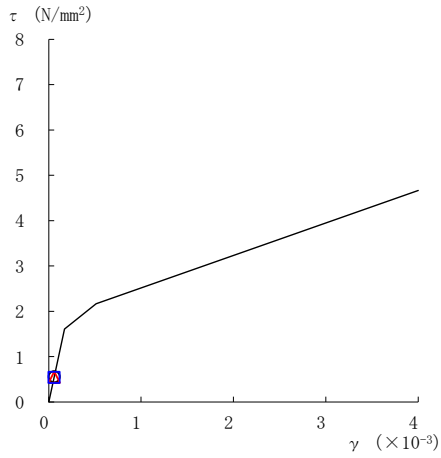
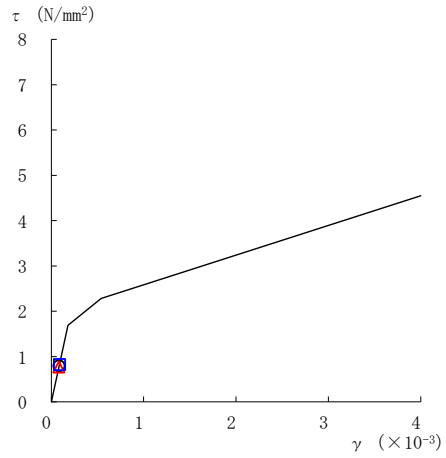


図 2-140 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

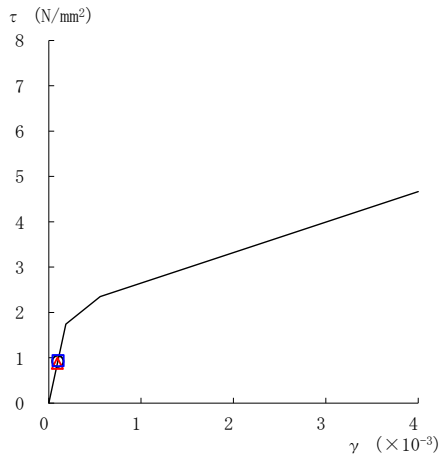
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



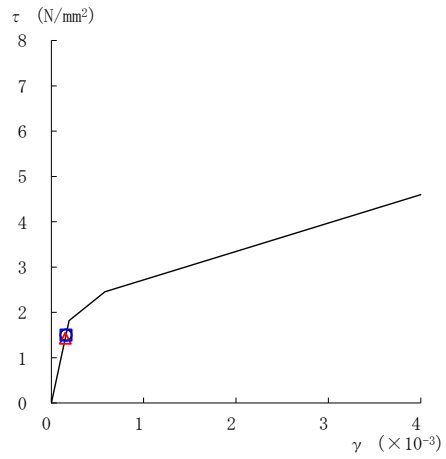
要素番号 (1)



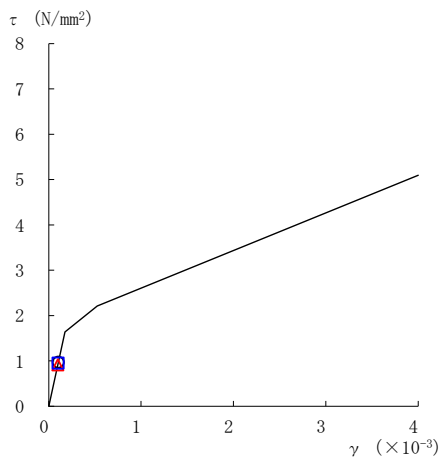
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

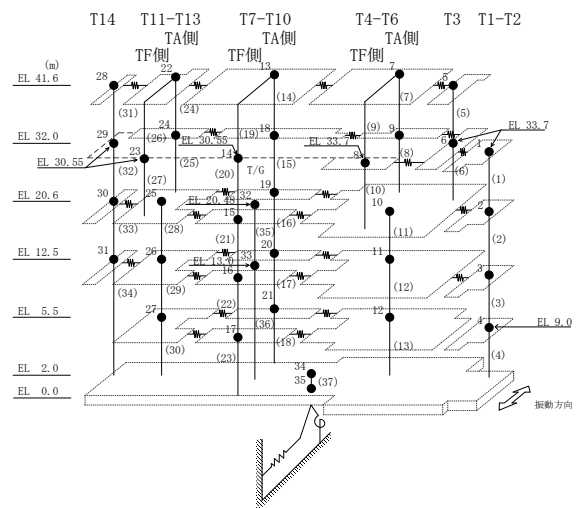
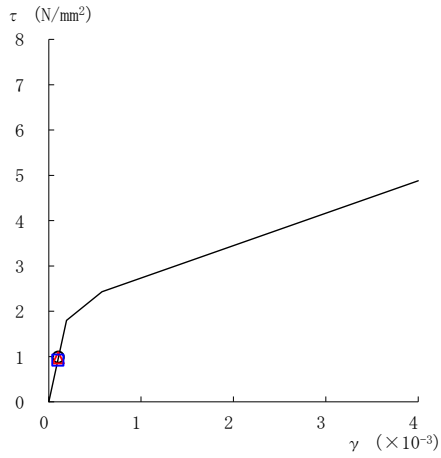
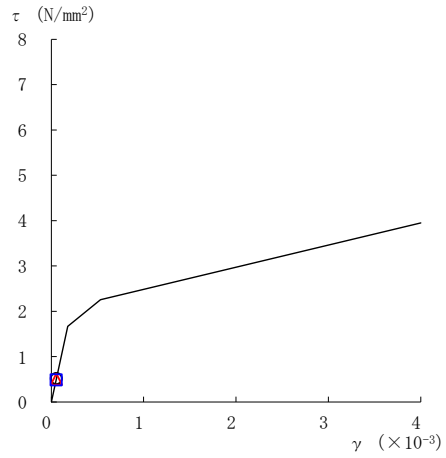


図 2-141(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

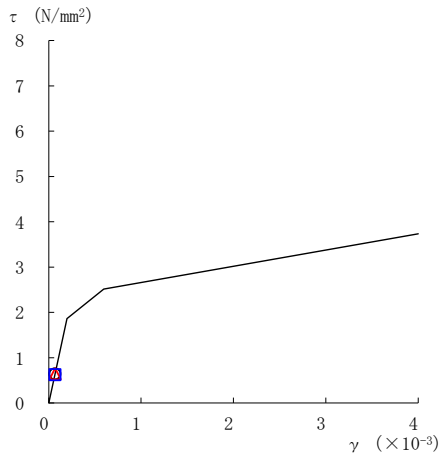
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



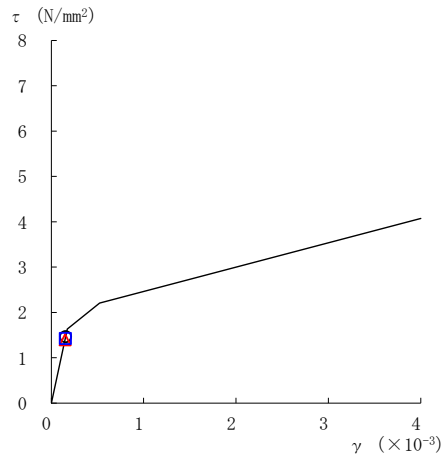
要素番号 (6)



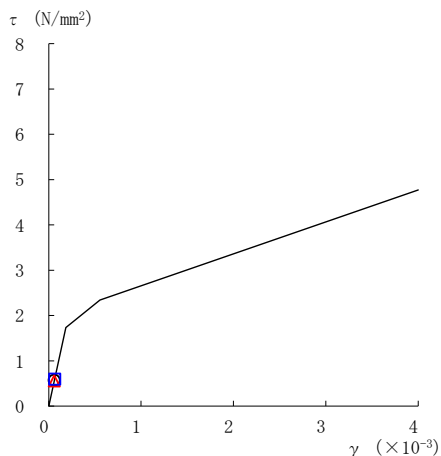
要素番号 (7)



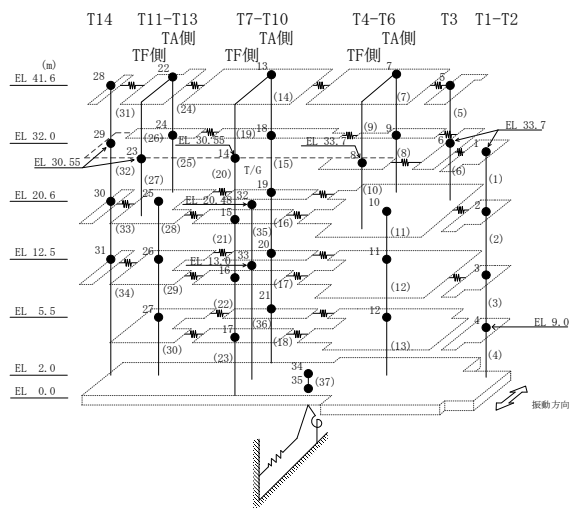
要素番号 (8)



要素番号 (10)



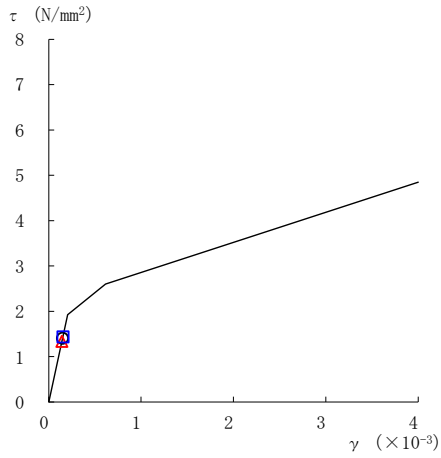
要素番号 (11)



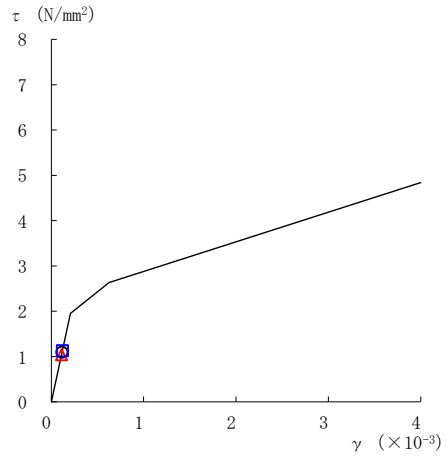
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-141 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

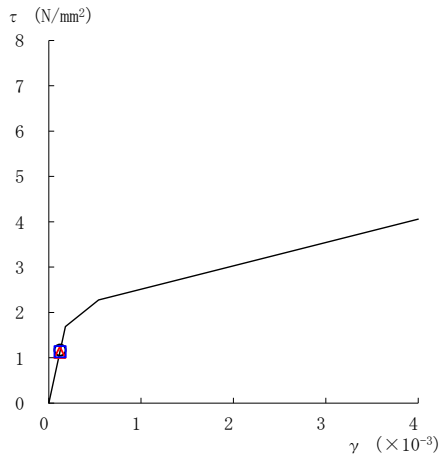
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



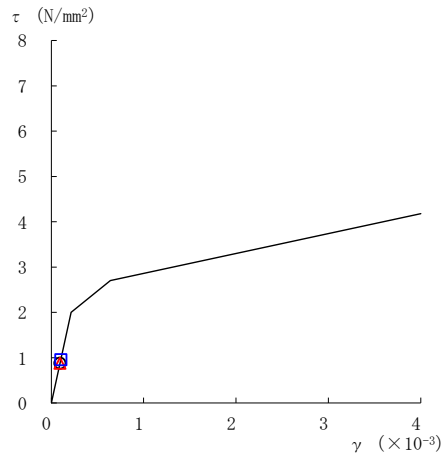
要素番号 (12)



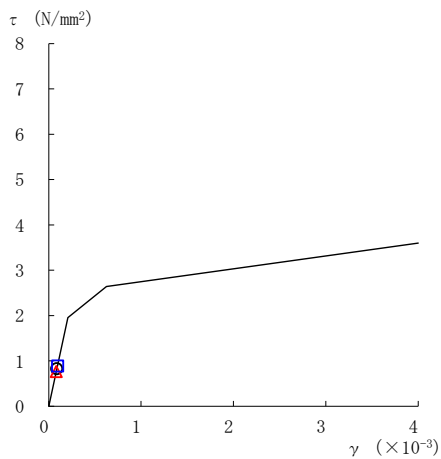
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

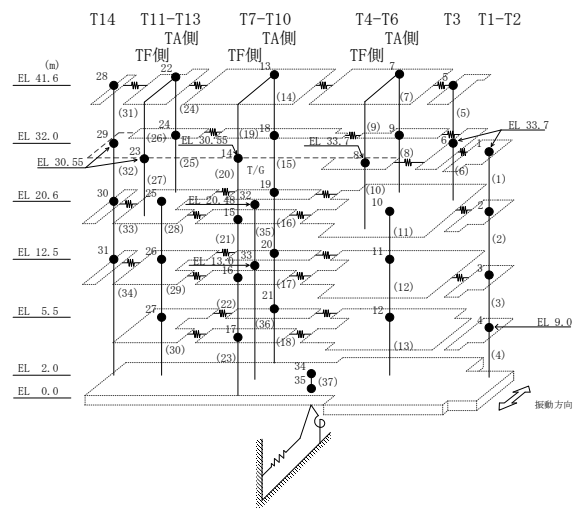
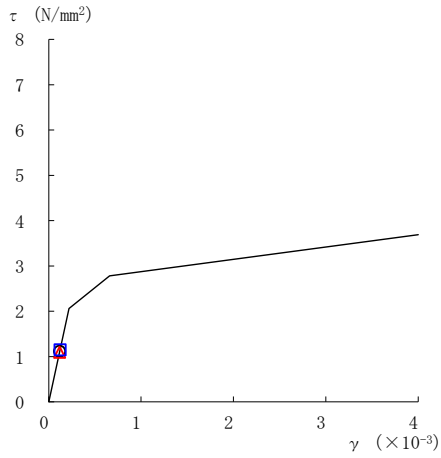
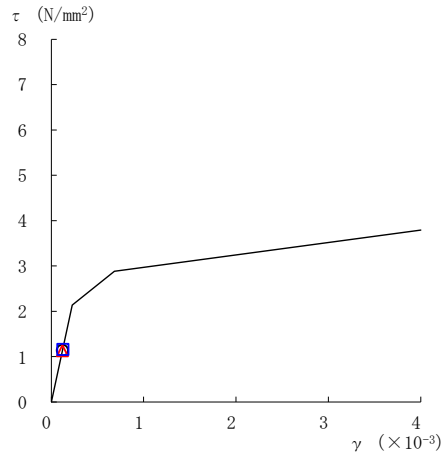


図 2-141 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

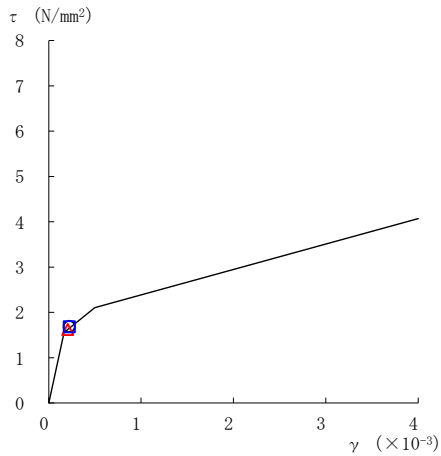
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



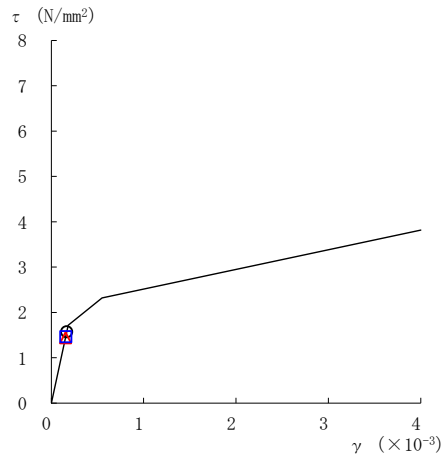
要素番号 (17)



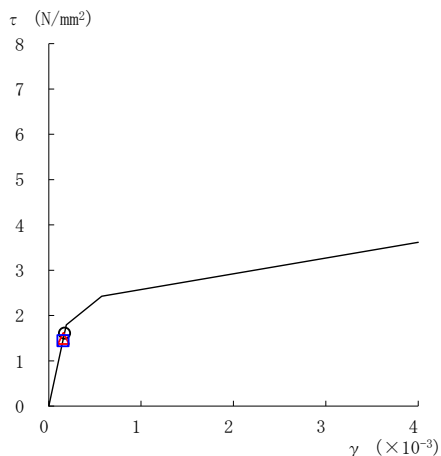
要素番号 (18)



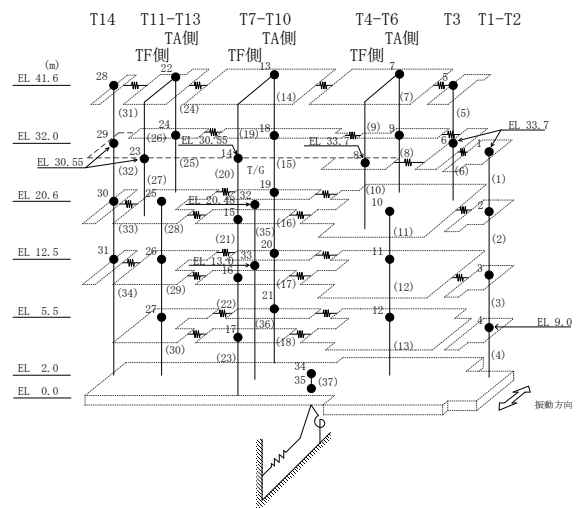
要素番号 (21)



要素番号 (22)



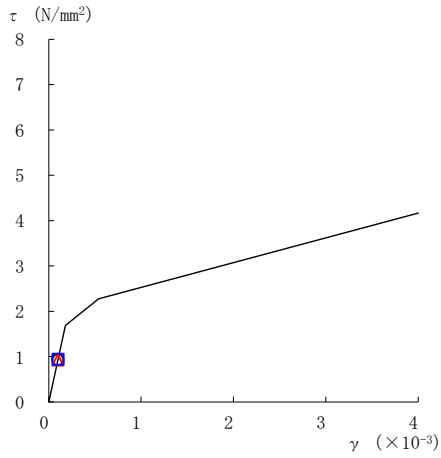
要素番号 (23)



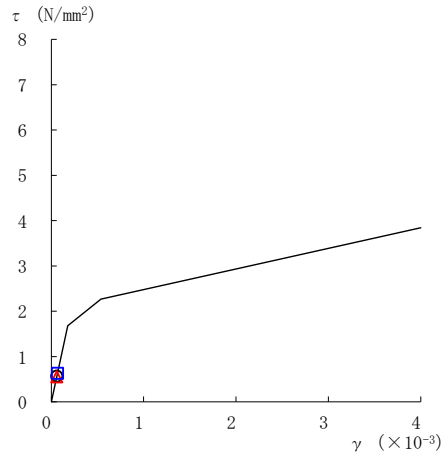
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-141(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

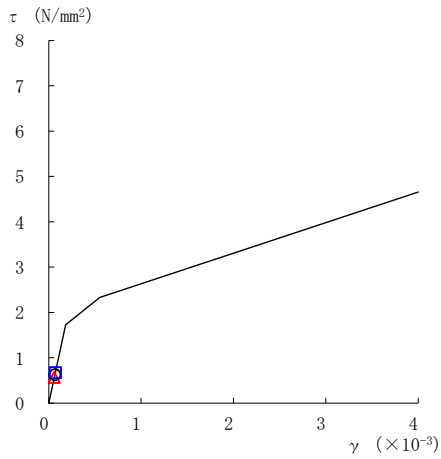
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



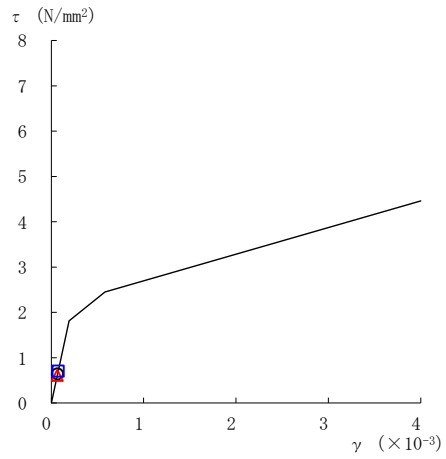
要素番号 (24)



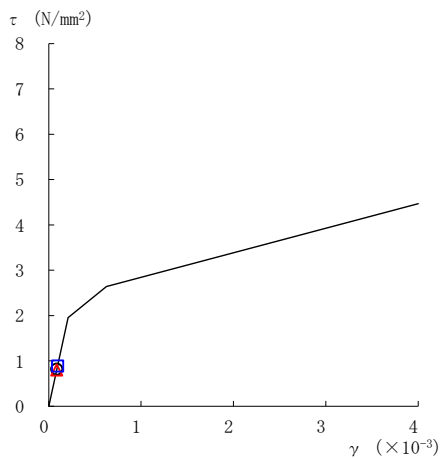
要素番号 (25)



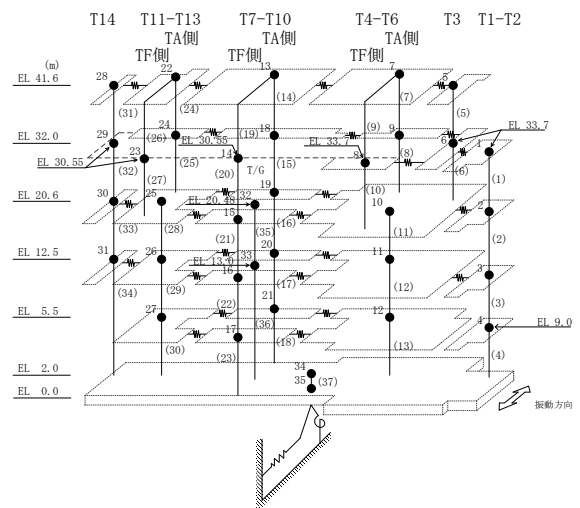
要素番号 (28)



要素番号 (29)



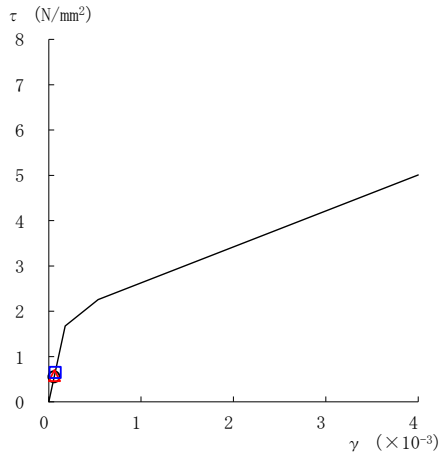
要素番号 (30)



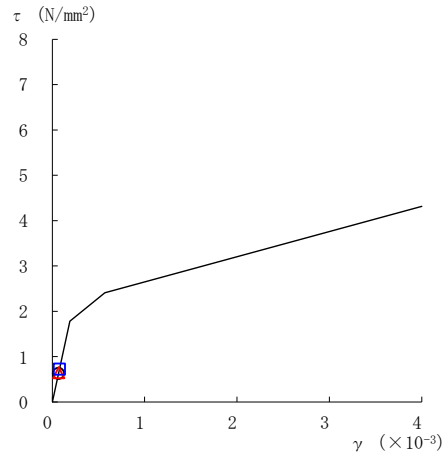
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-141 (5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

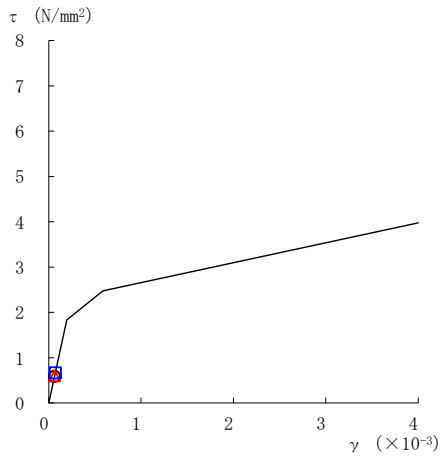
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



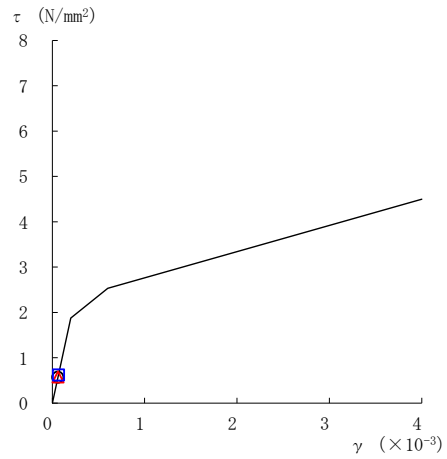
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

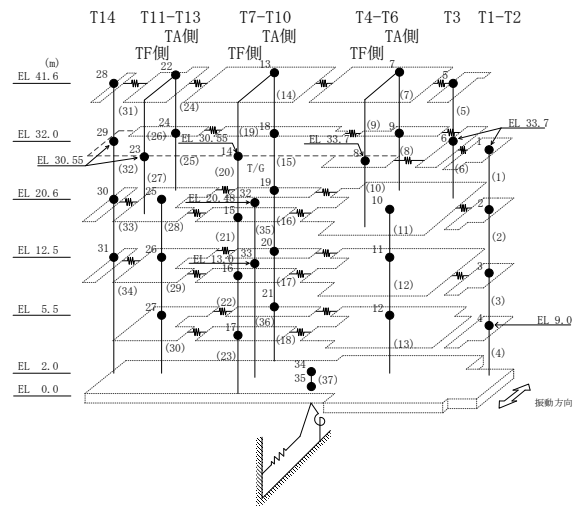
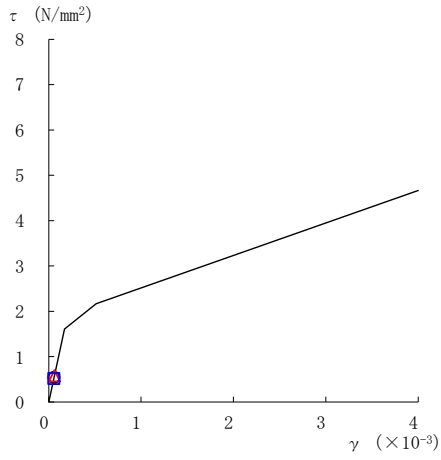
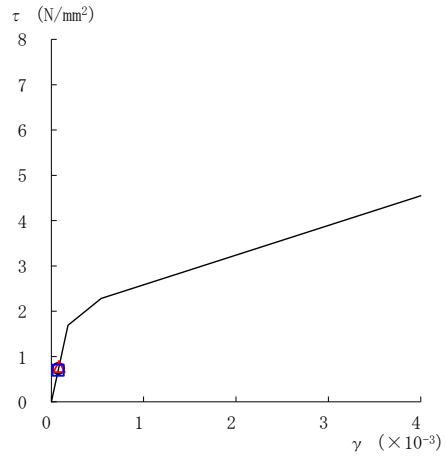


図 2-141 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

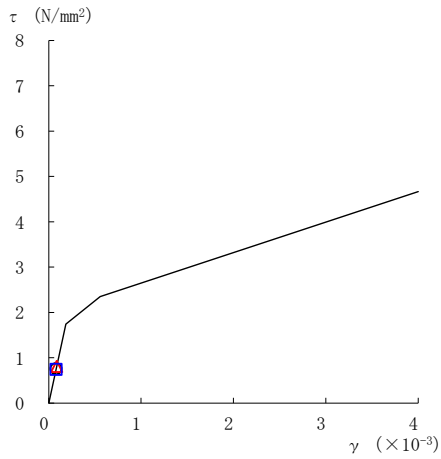
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



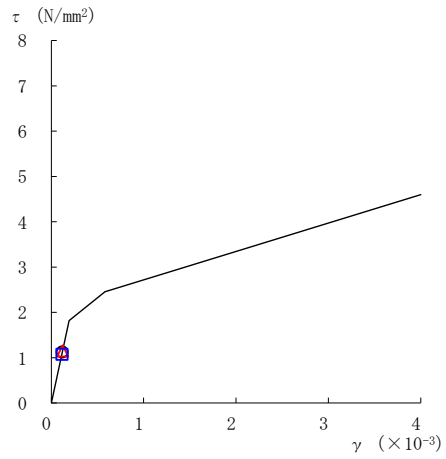
要素番号 (1)



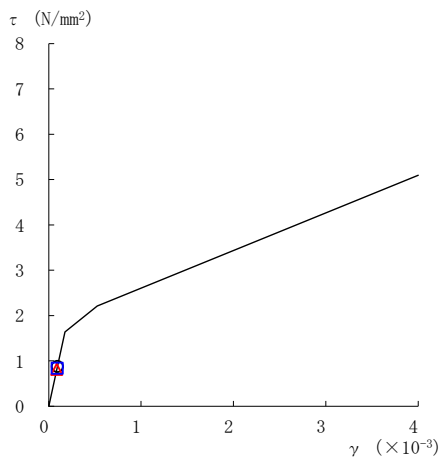
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

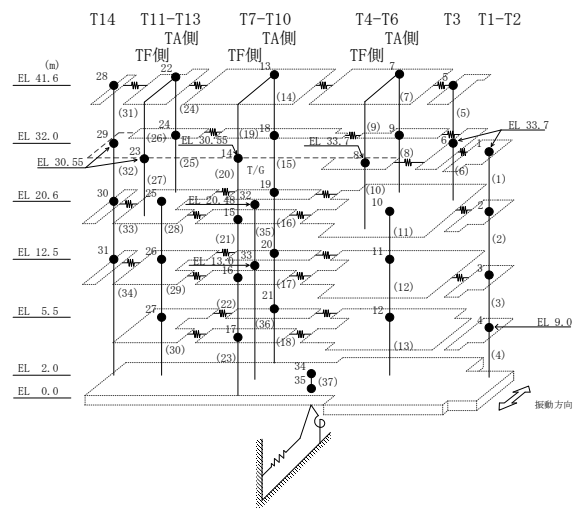
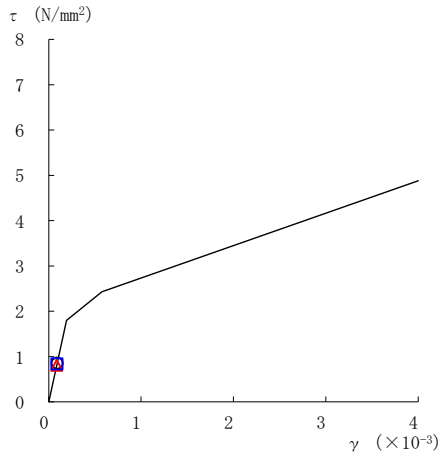
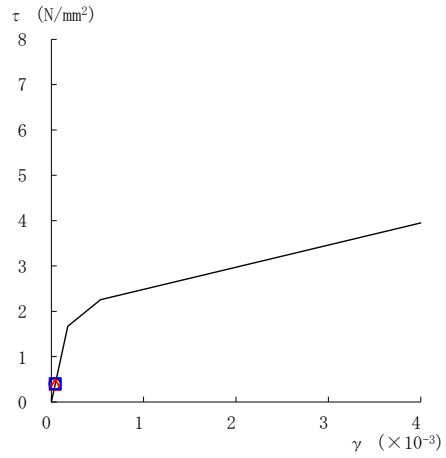


図 2-142(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

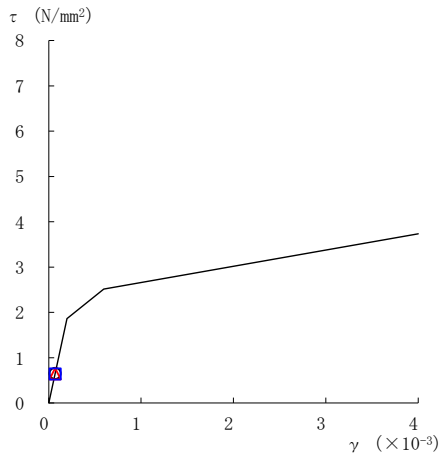
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



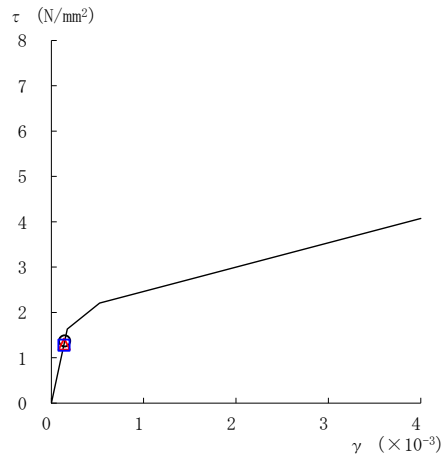
要素番号 (6)



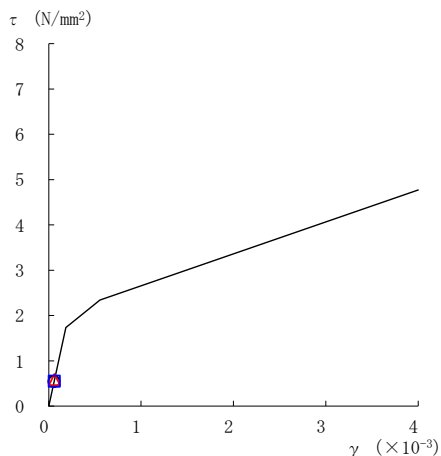
要素番号 (7)



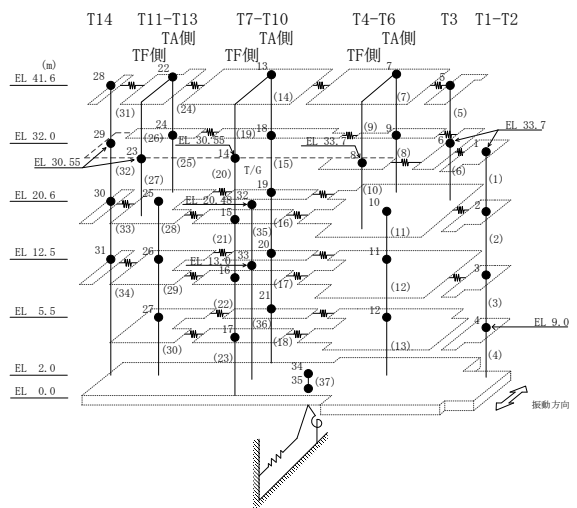
要素番号 (8)



要素番号 (10)



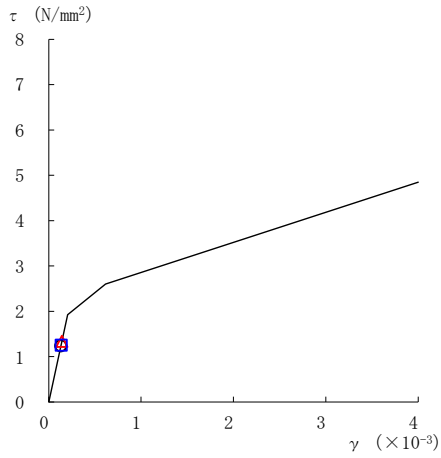
要素番号 (11)



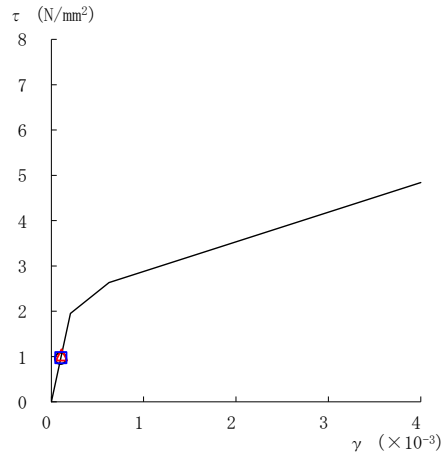
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-142(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

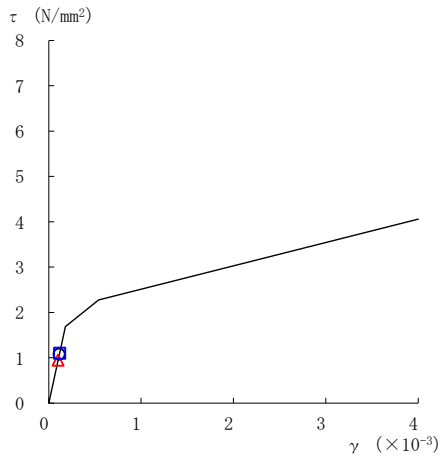
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



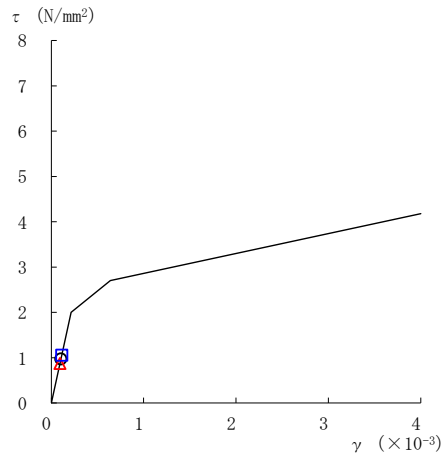
要素番号 (12)



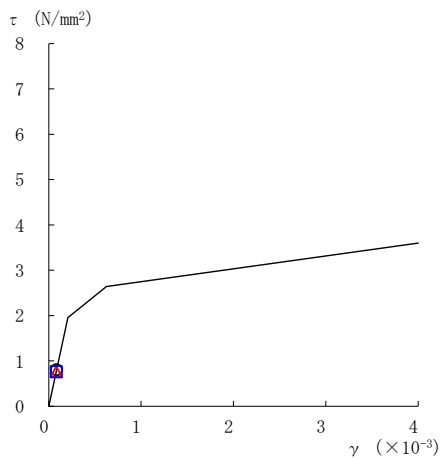
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

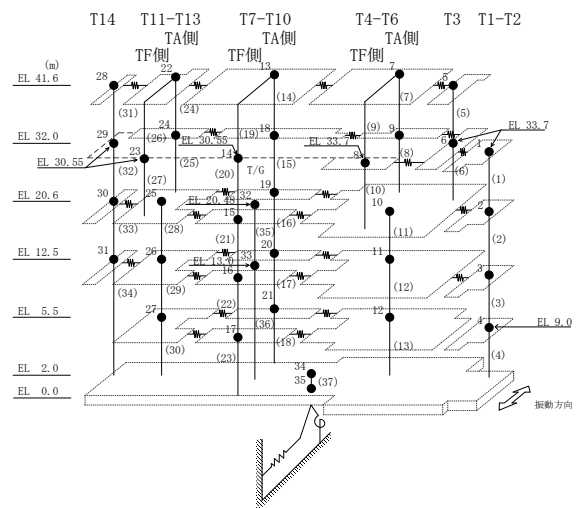
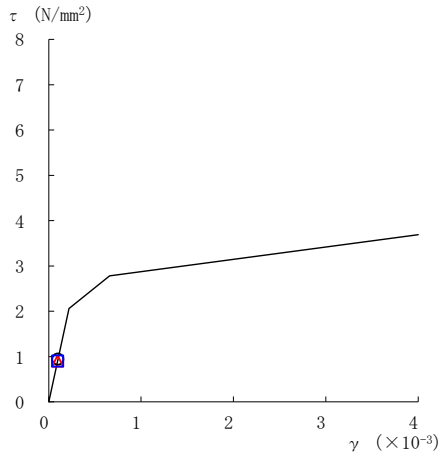
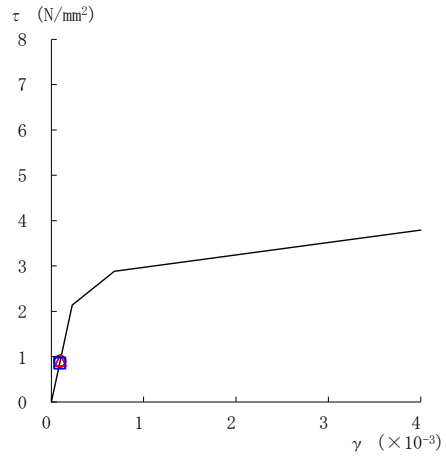


図 2-142(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

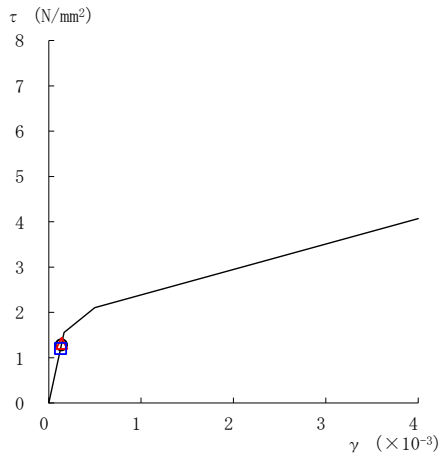
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



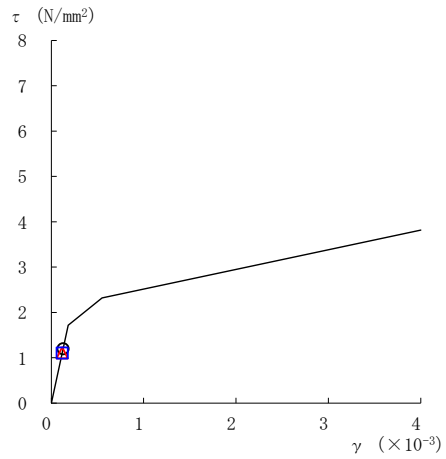
要素番号 (17)



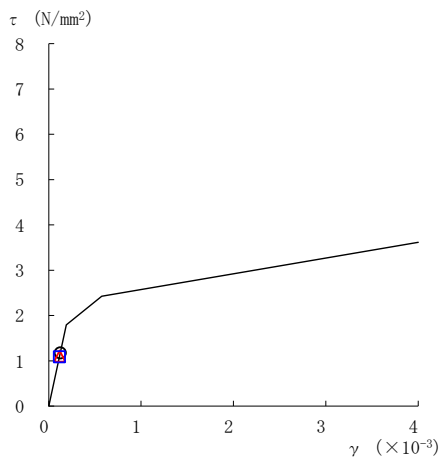
要素番号 (18)



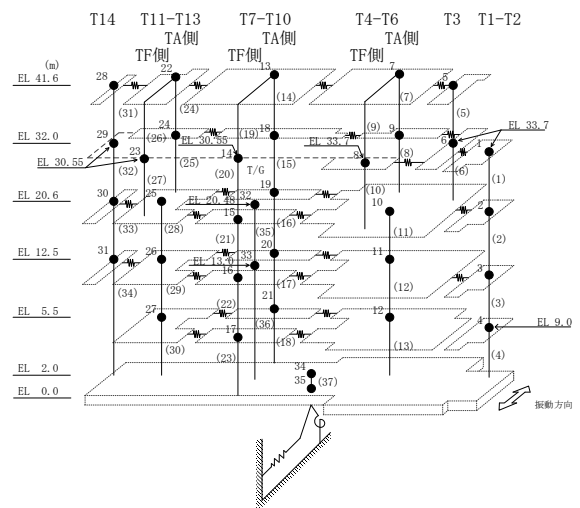
要素番号 (21)



要素番号 (22)



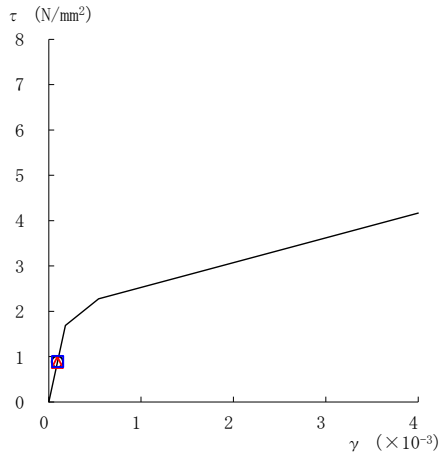
要素番号 (23)



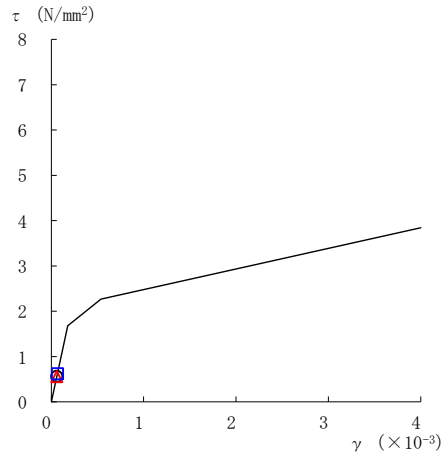
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-142(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

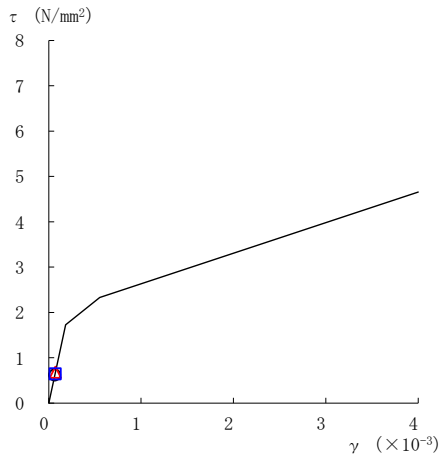
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



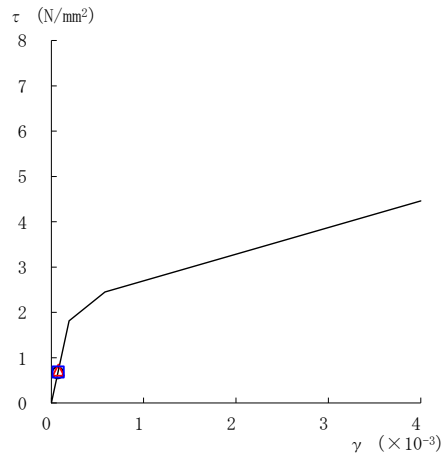
要素番号 (24)



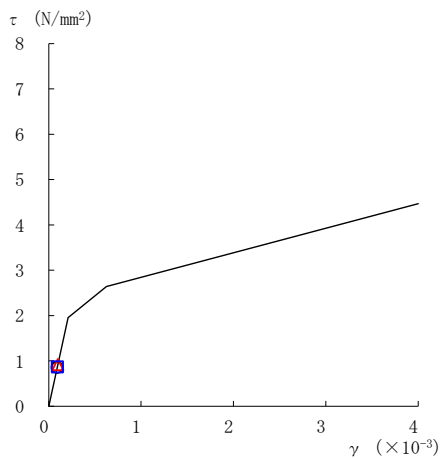
要素番号 (25)



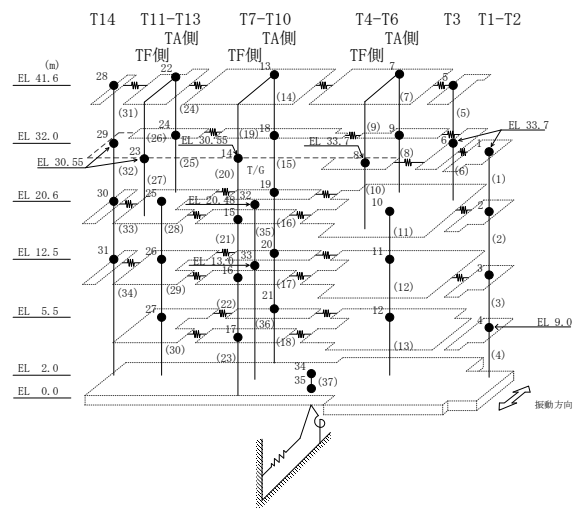
要素番号 (28)



要素番号 (29)



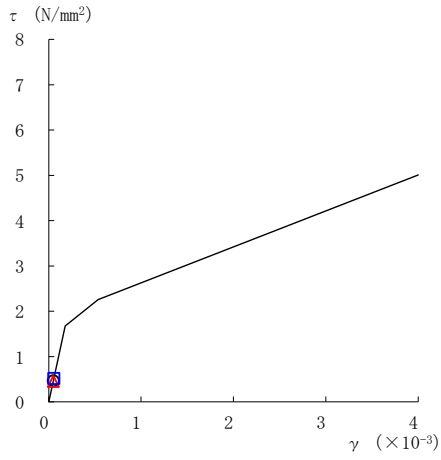
要素番号 (30)



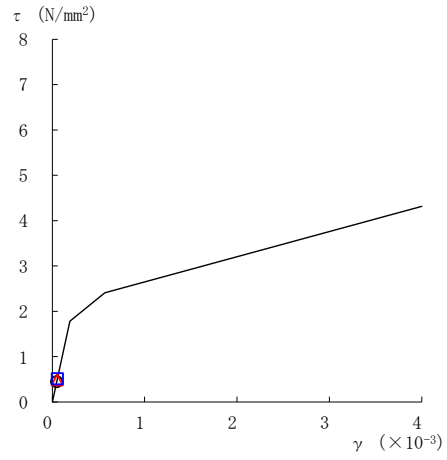
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-142(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

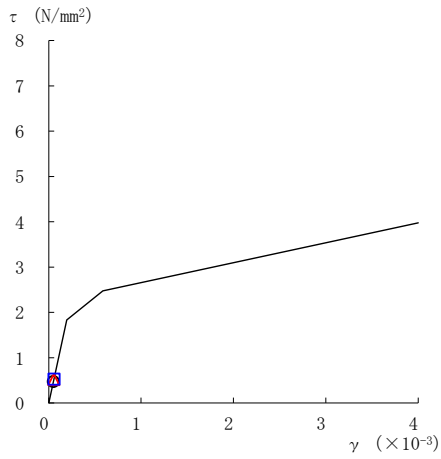
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



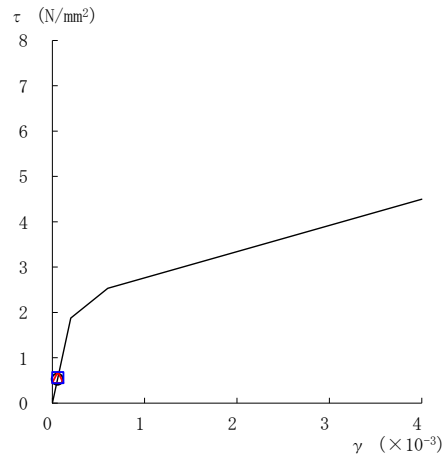
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

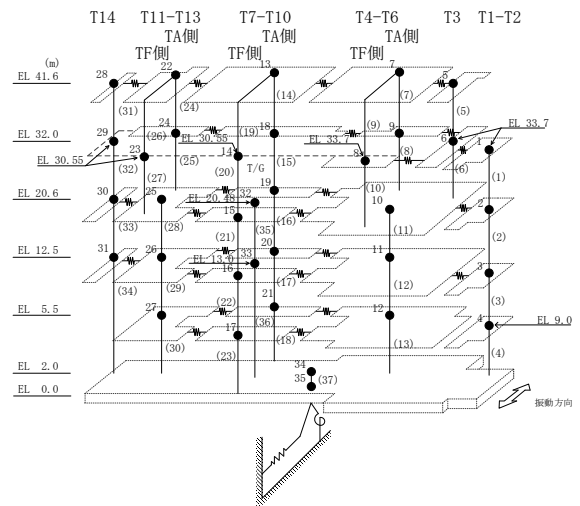
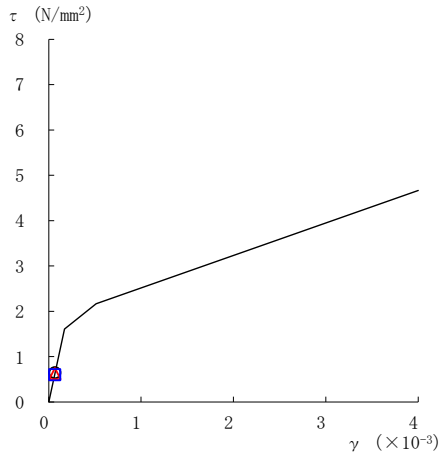
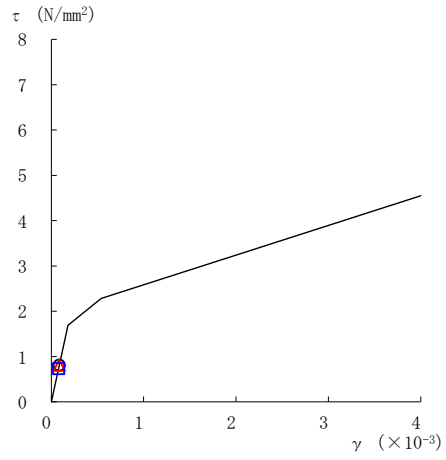


図 2-142 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

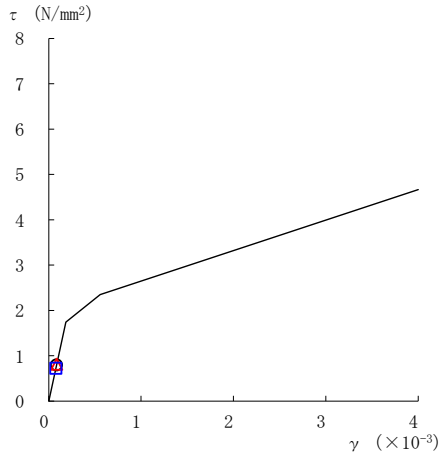
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



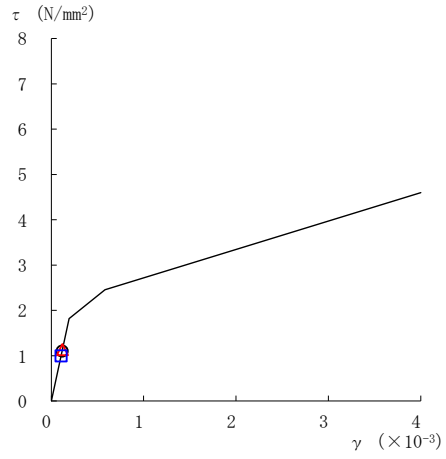
要素番号 (1)



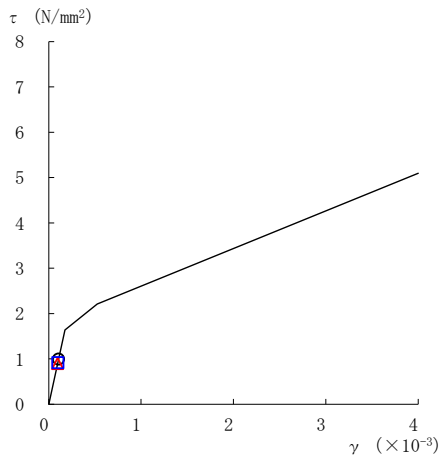
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

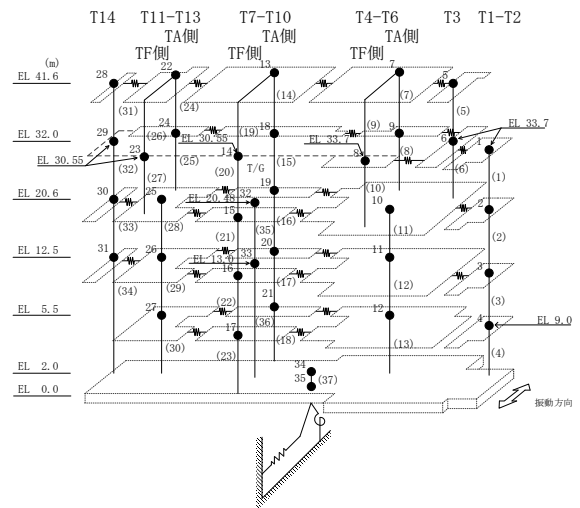
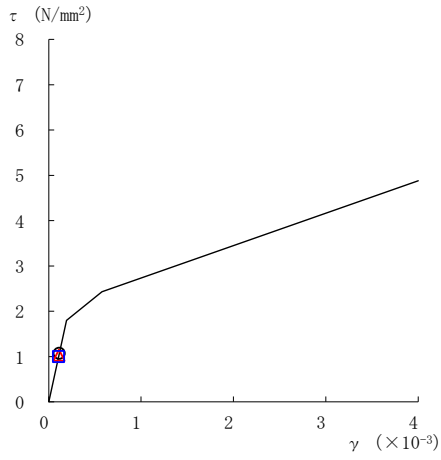
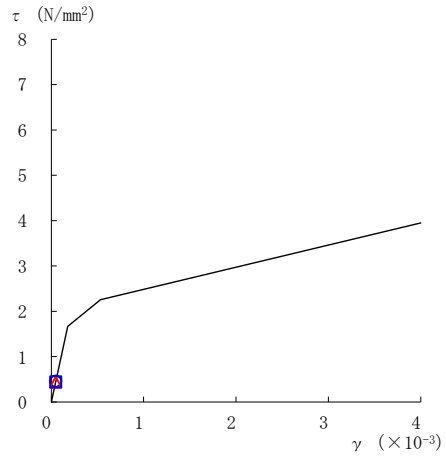


図 2-143(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

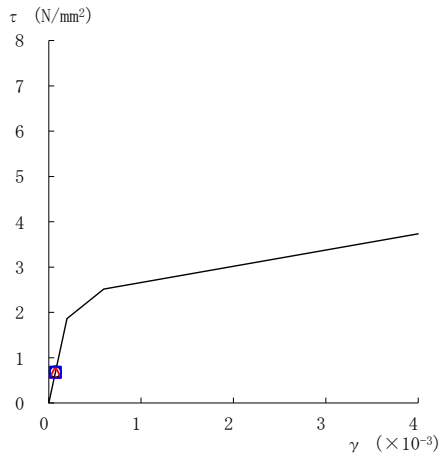
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



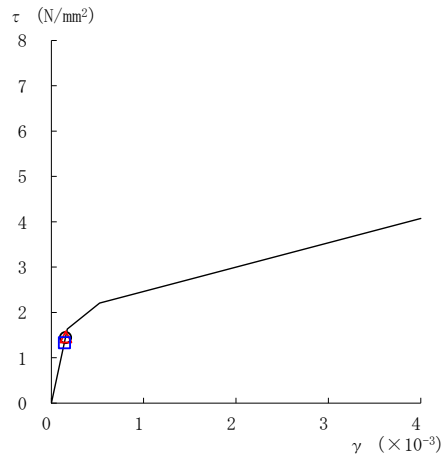
要素番号 (6)



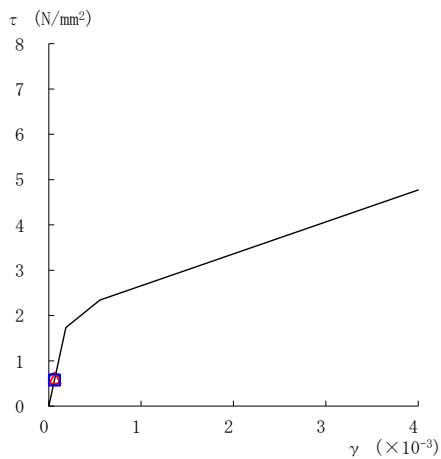
要素番号 (7)



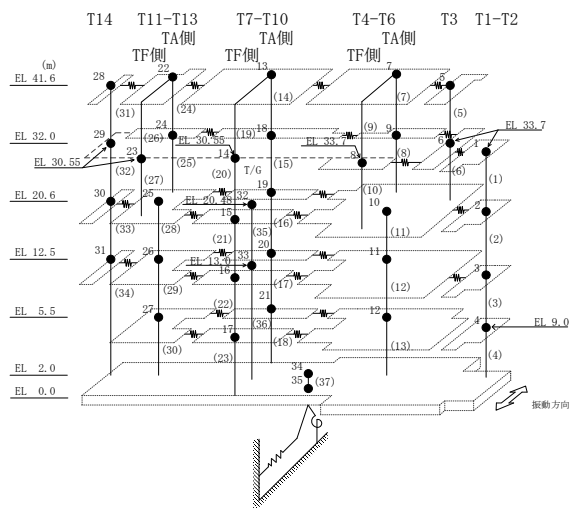
要素番号 (8)



要素番号 (10)



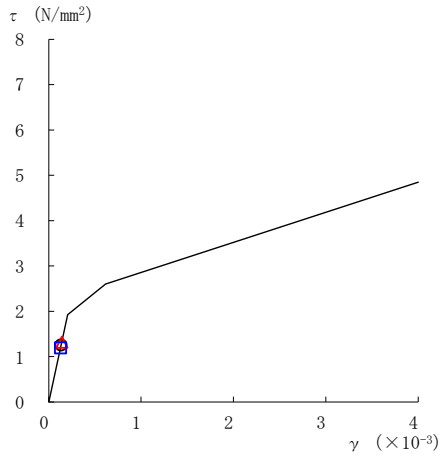
要素番号 (11)



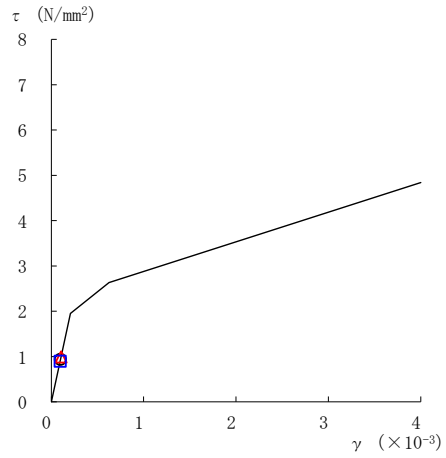
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-143 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

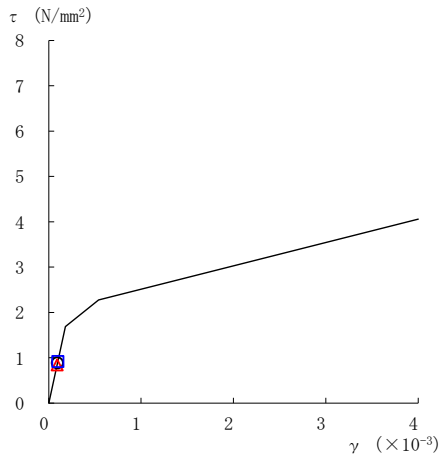
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



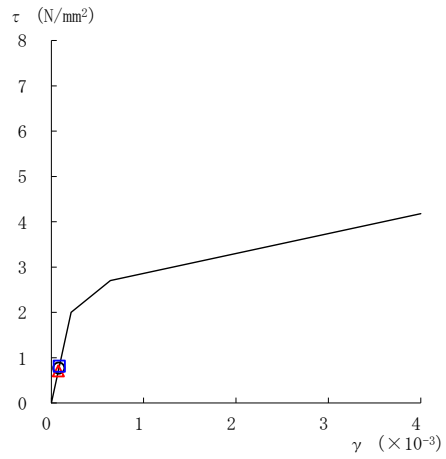
要素番号 (12)



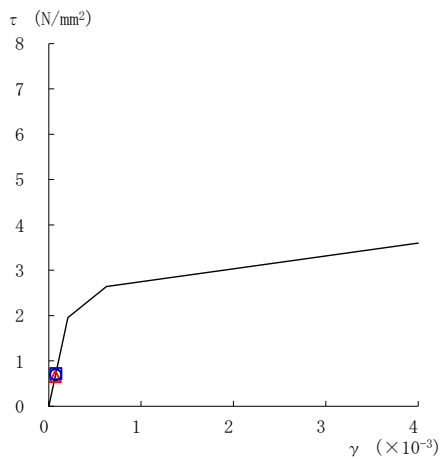
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

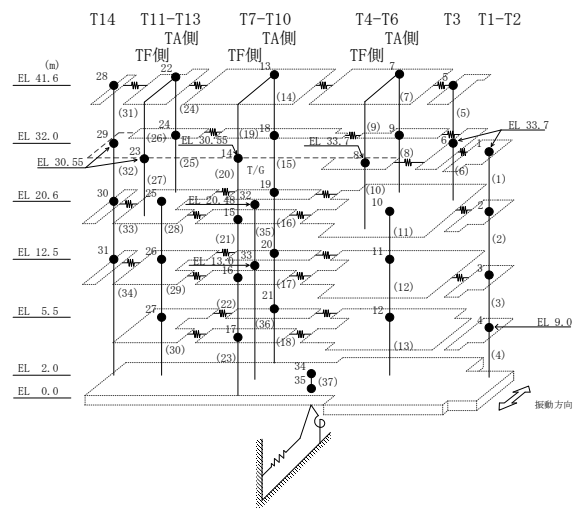
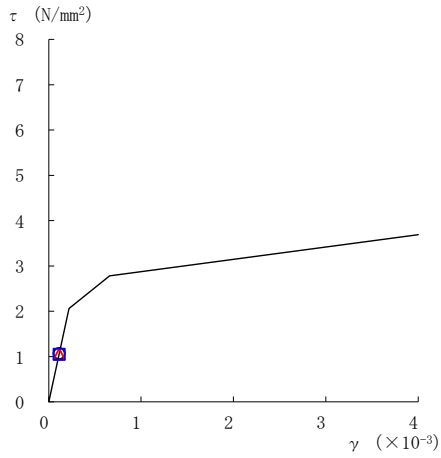
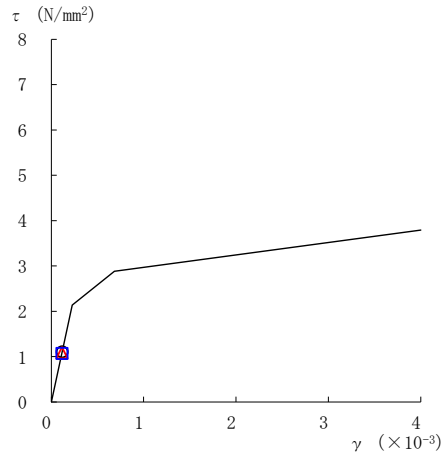


図 2-143 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

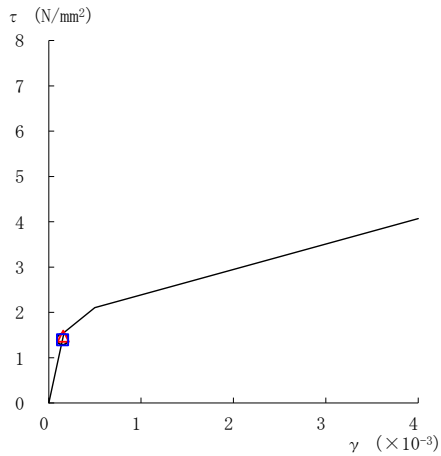
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



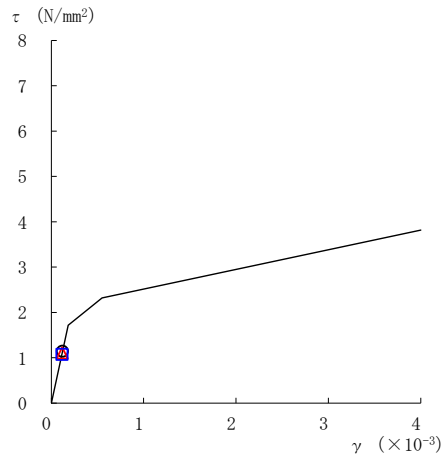
要素番号 (17)



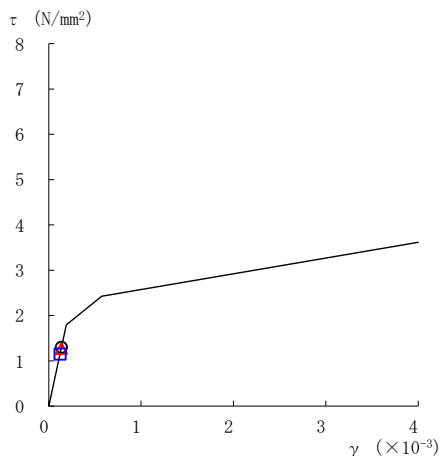
要素番号 (18)



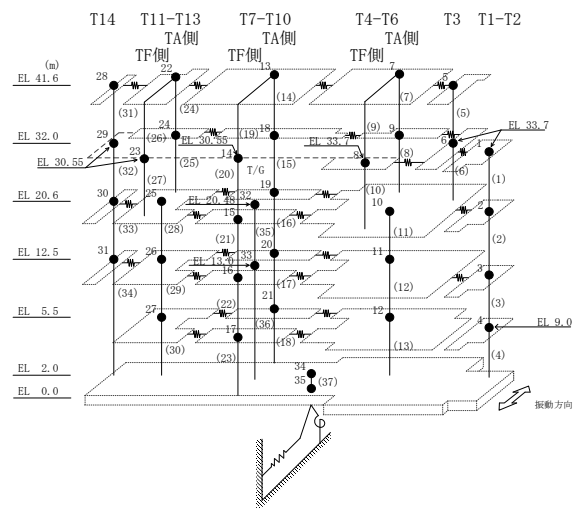
要素番号 (21)



要素番号 (22)



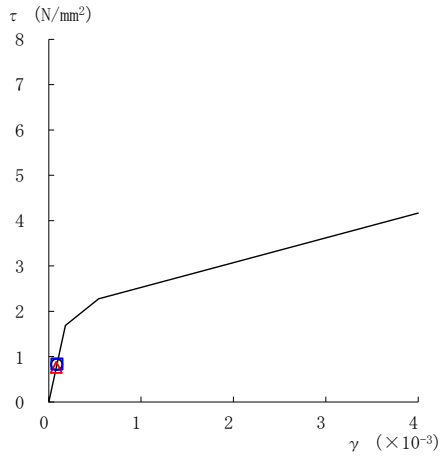
要素番号 (23)



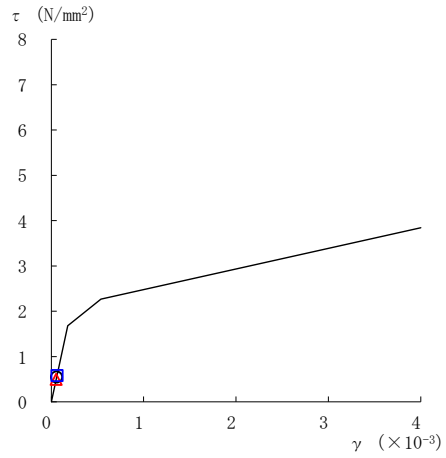
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-143(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

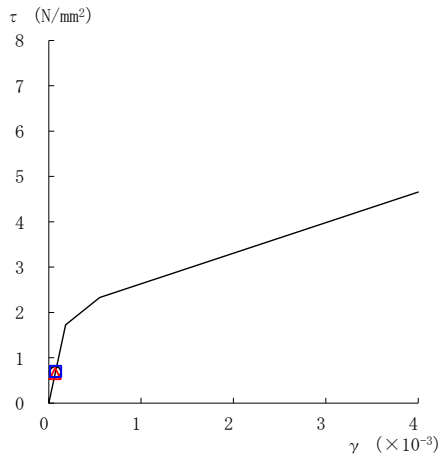
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



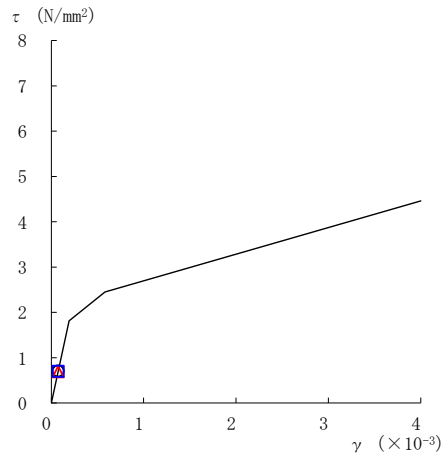
要素番号 (24)



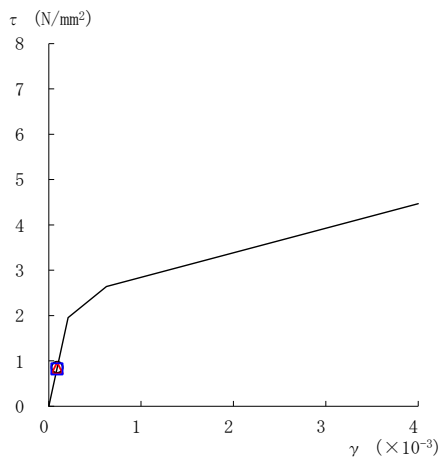
要素番号 (25)



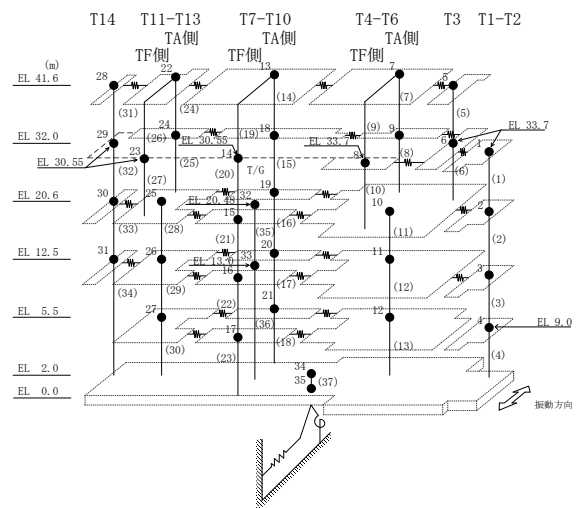
要素番号 (28)



要素番号 (29)



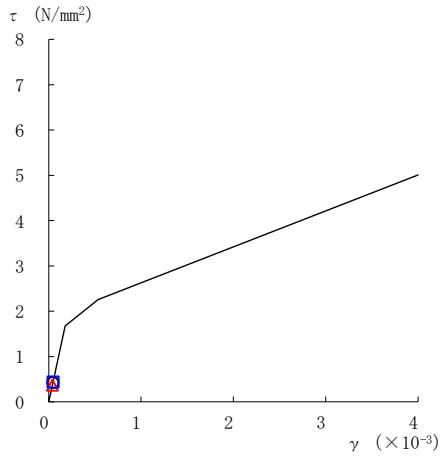
要素番号 (30)



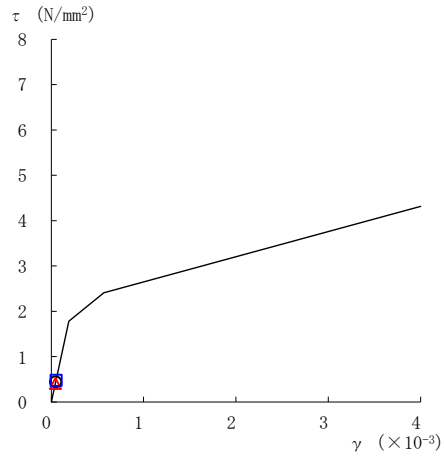
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-143(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

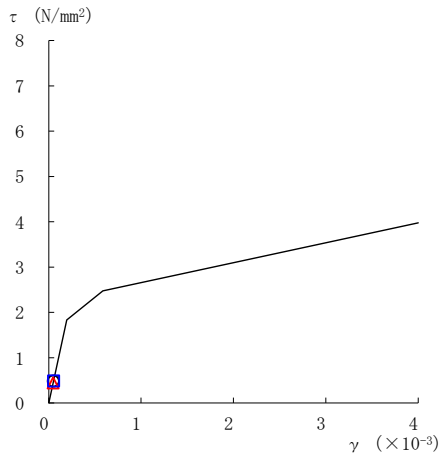
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



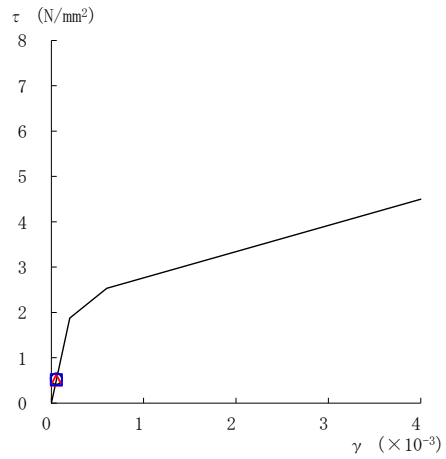
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

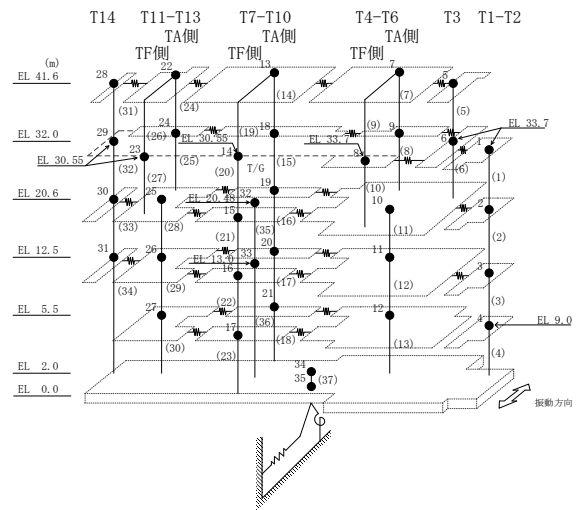
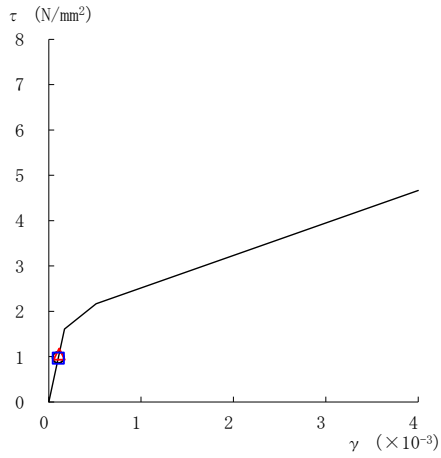
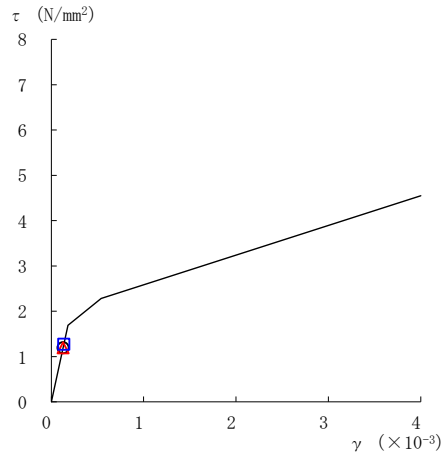


図 2-143 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

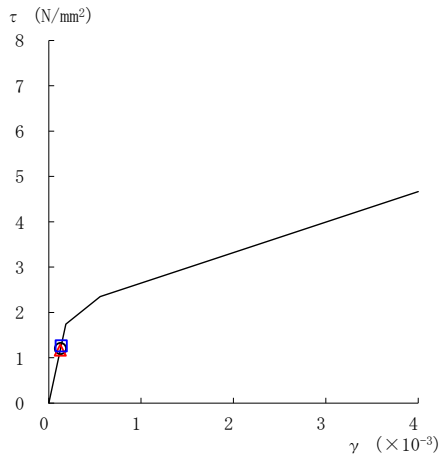
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



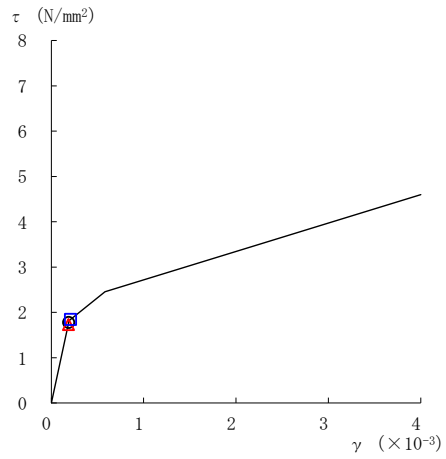
要素番号 (1)



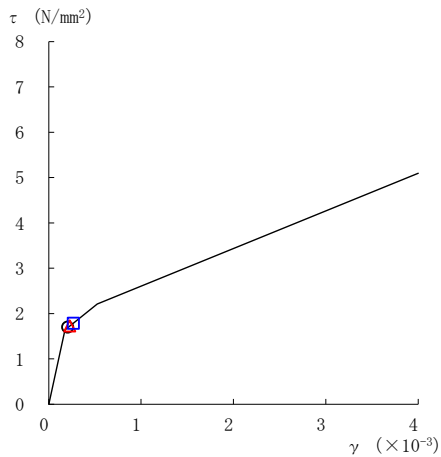
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

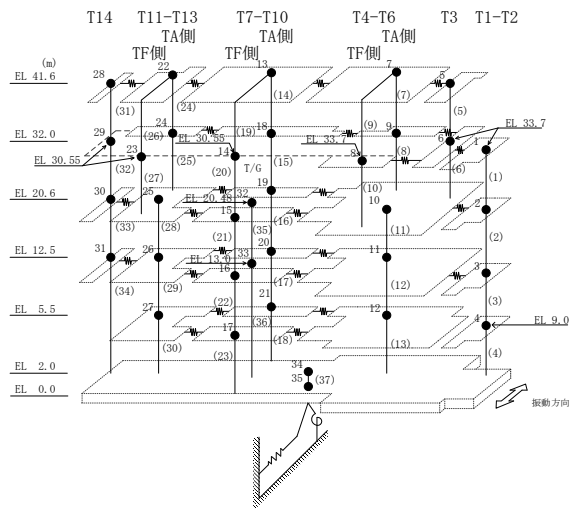
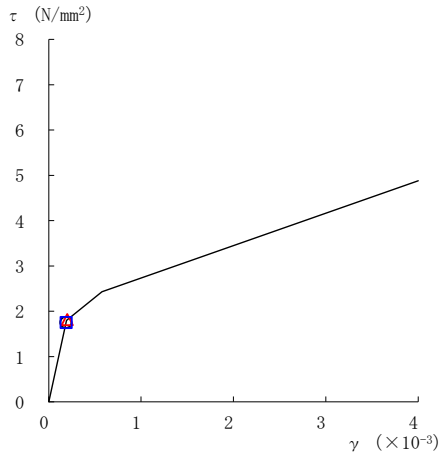
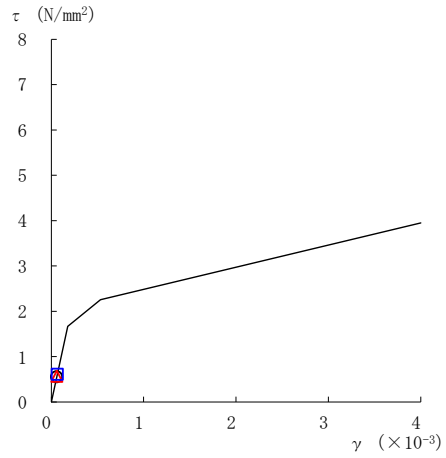


図 2-144(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

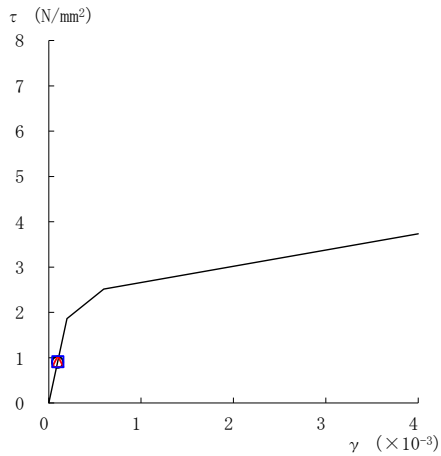
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



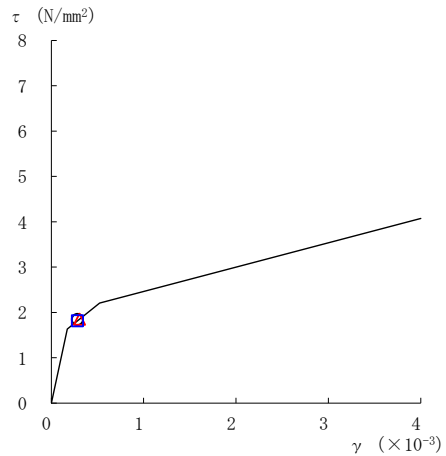
要素番号 (6)



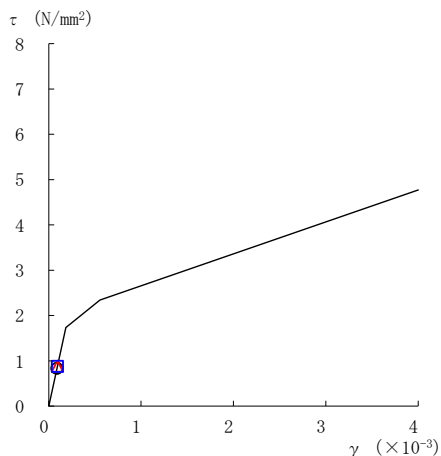
要素番号 (7)



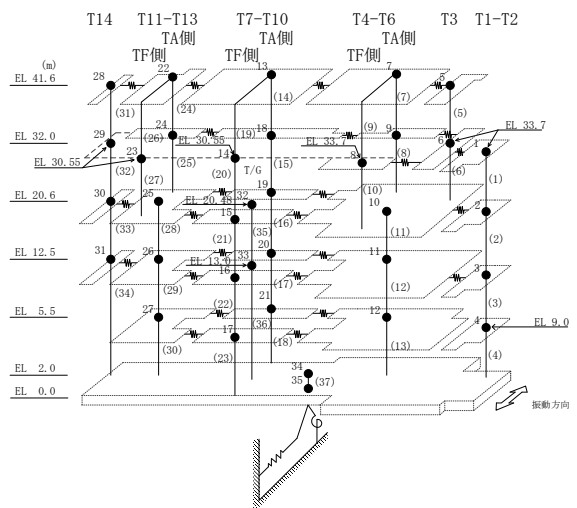
要素番号 (8)



要素番号 (10)



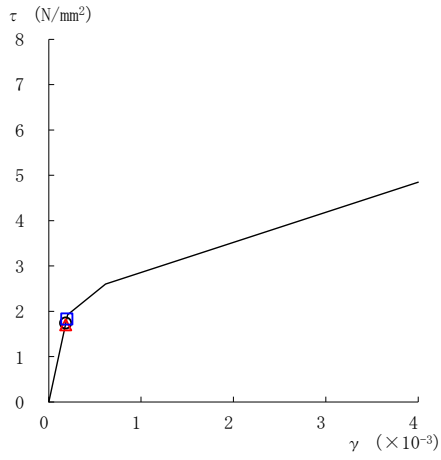
要素番号 (11)



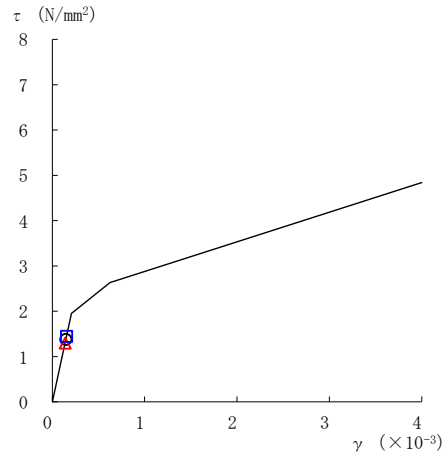
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-144 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

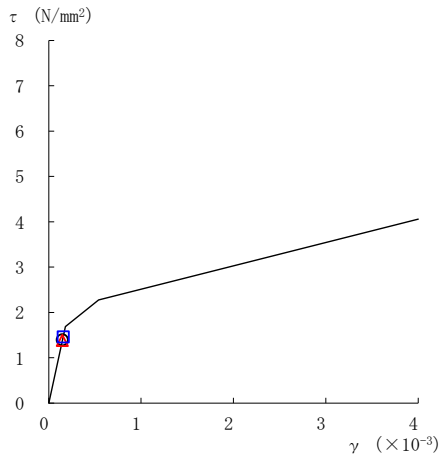
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



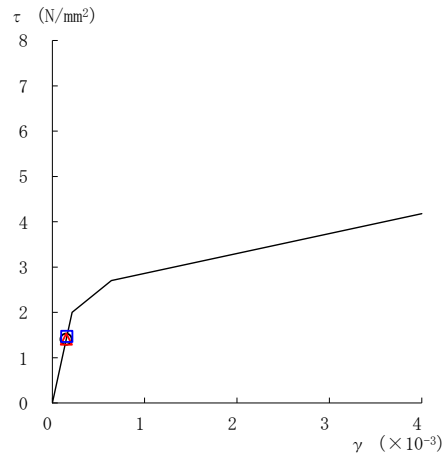
要素番号 (12)



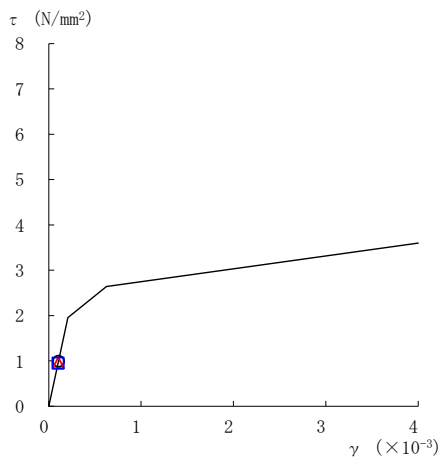
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

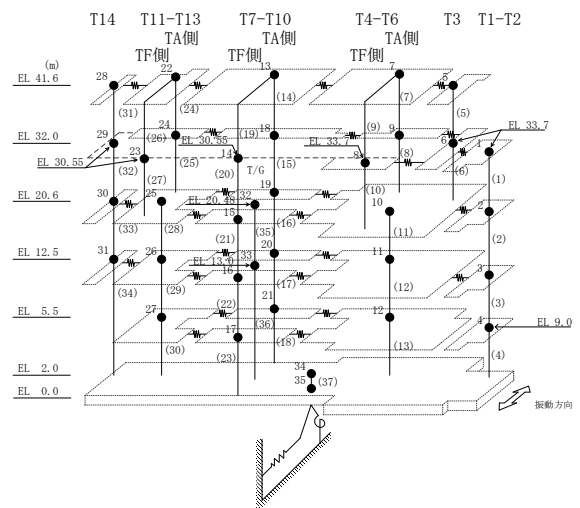
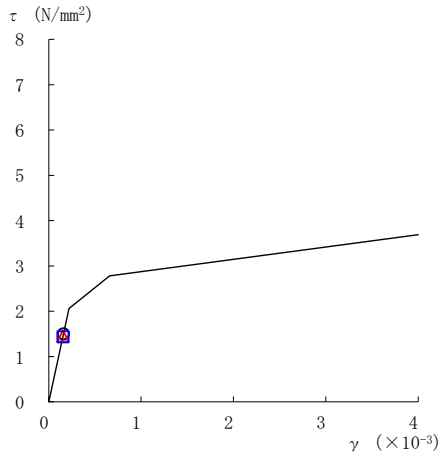
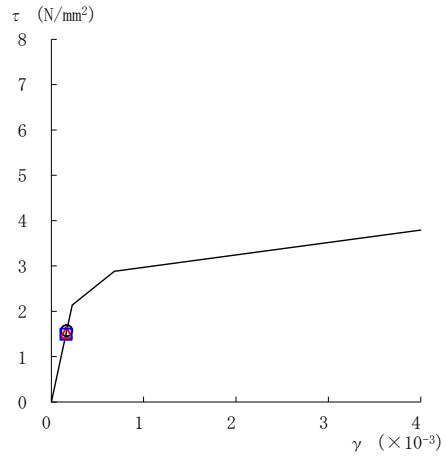


図 2-144 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

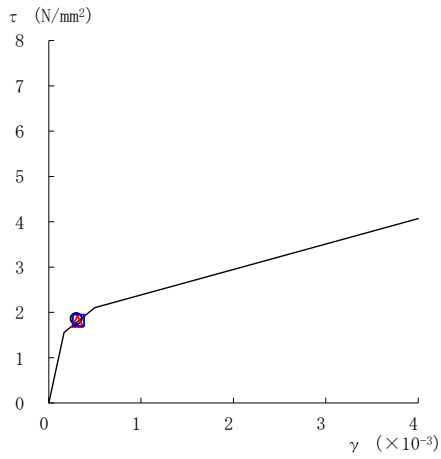
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



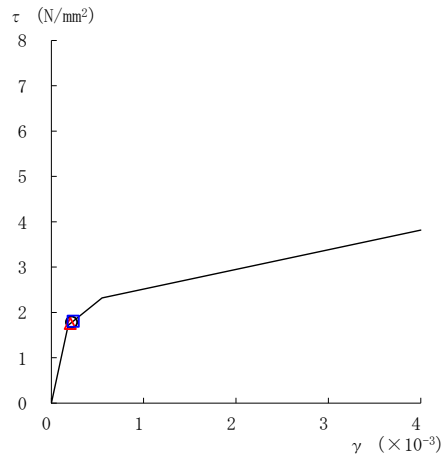
要素番号 (17)



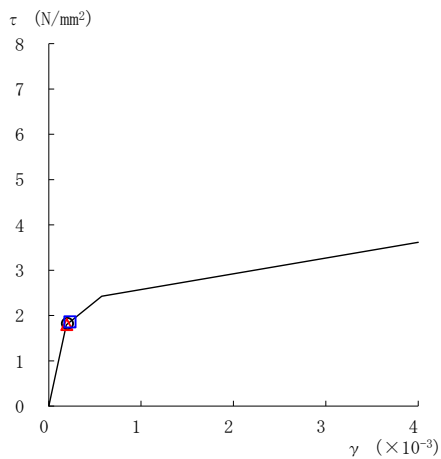
要素番号 (18)



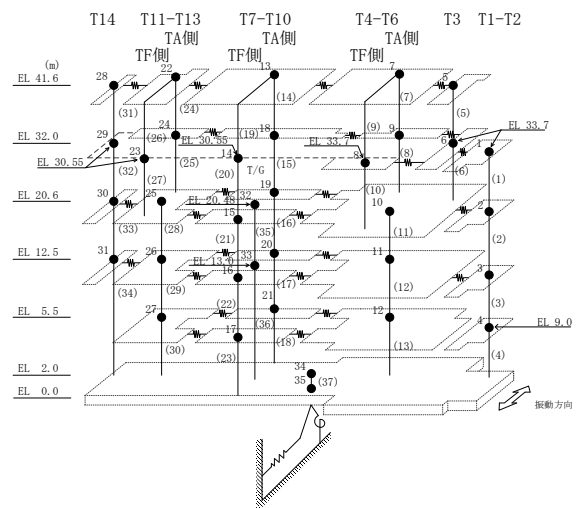
要素番号 (21)



要素番号 (22)



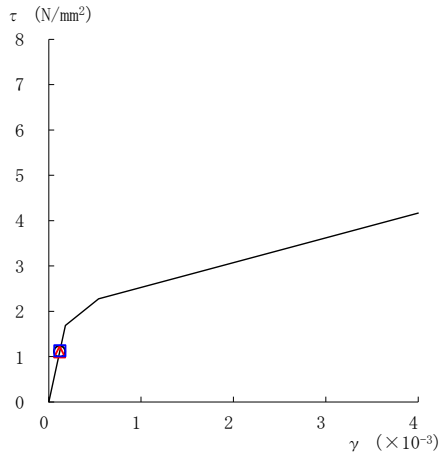
要素番号 (23)



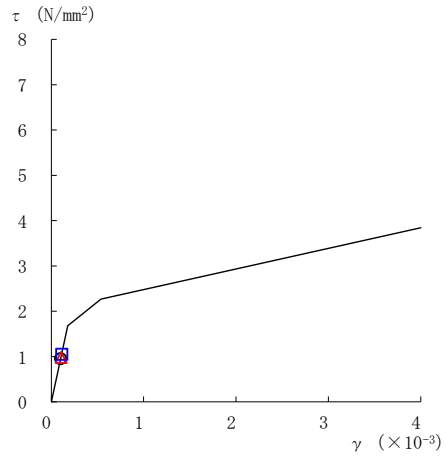
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-144(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

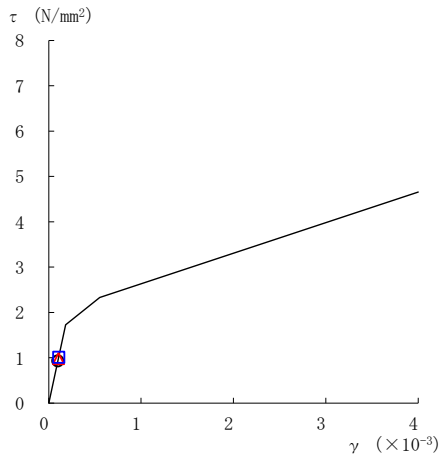
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



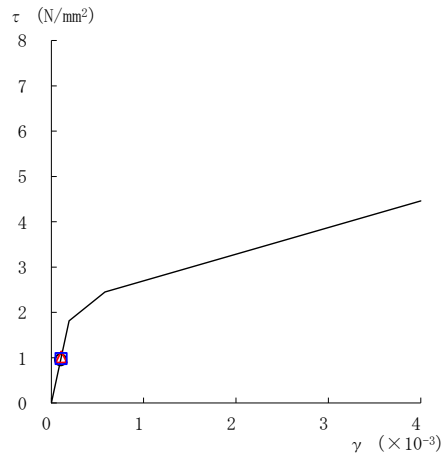
要素番号 (24)



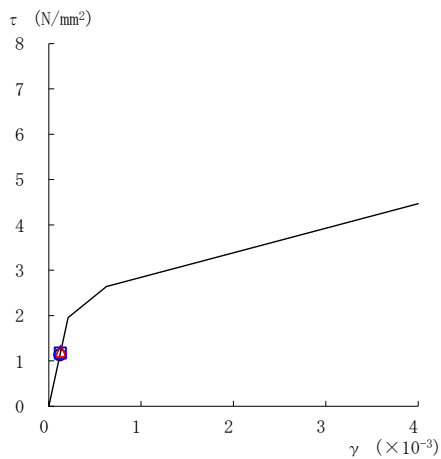
要素番号 (25)



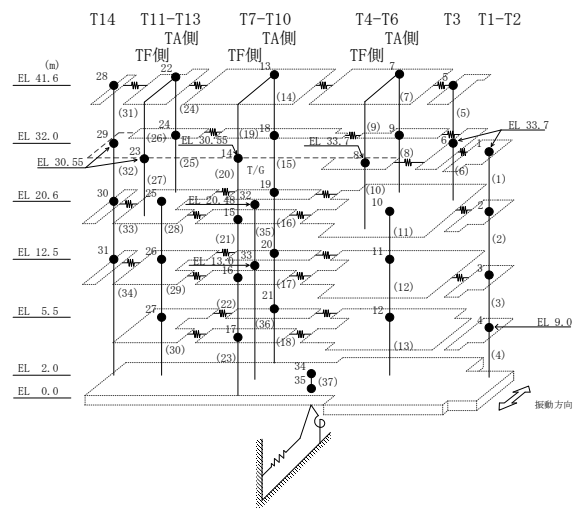
要素番号 (28)



要素番号 (29)



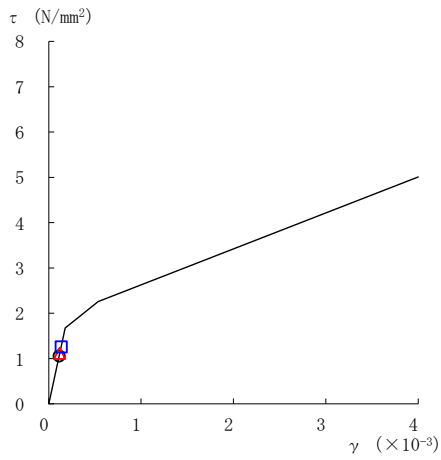
要素番号 (30)



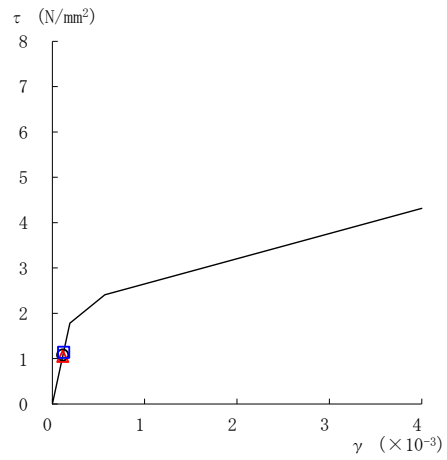
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-144(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

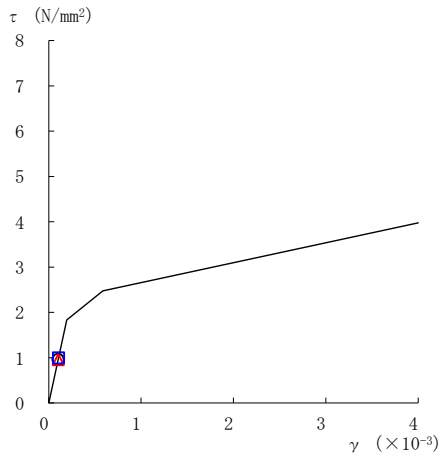
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



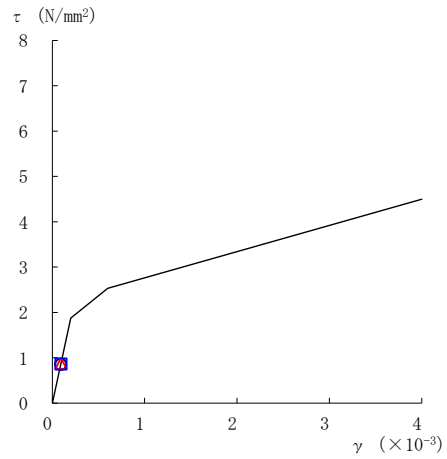
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

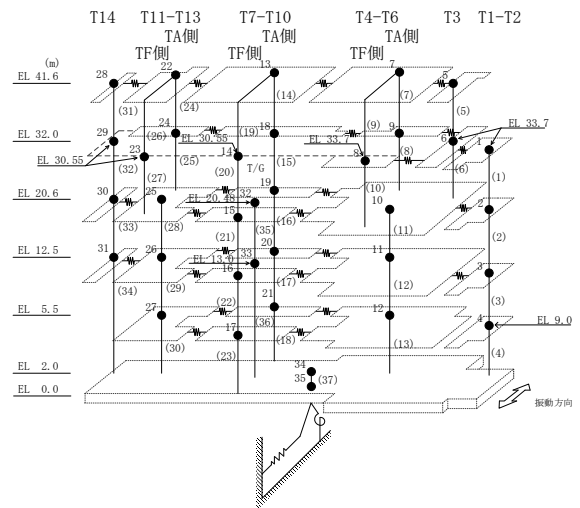
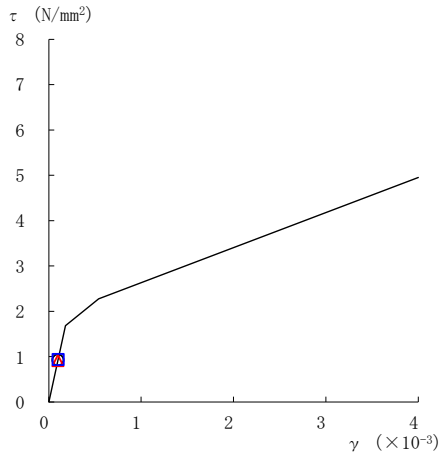
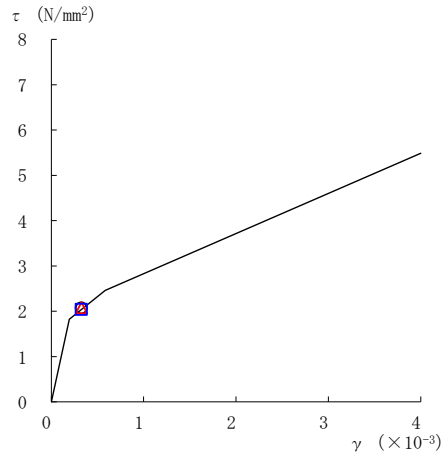


図 2-144 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

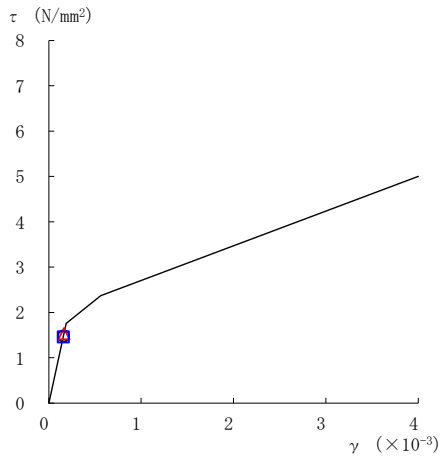
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



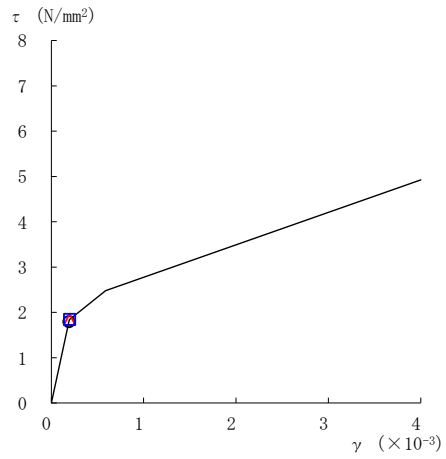
要素番号 (1)



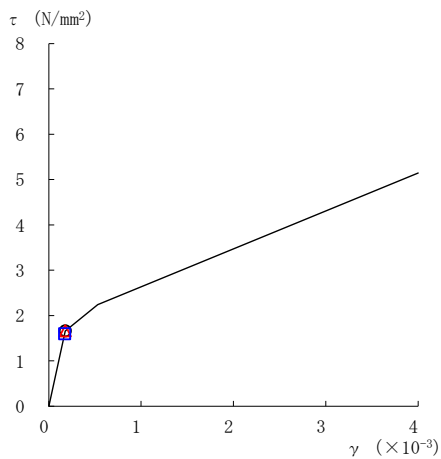
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

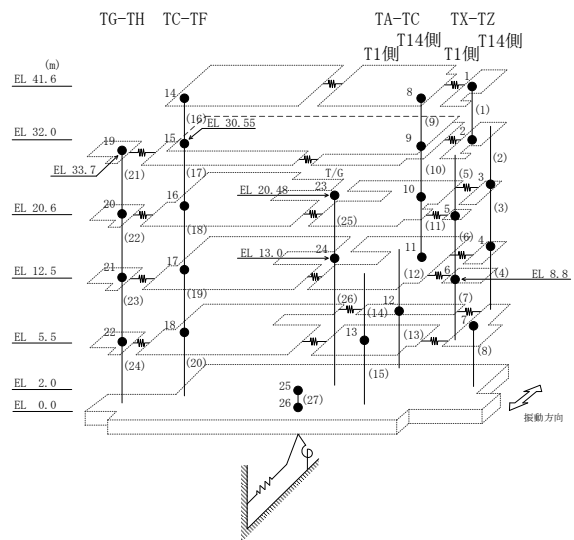
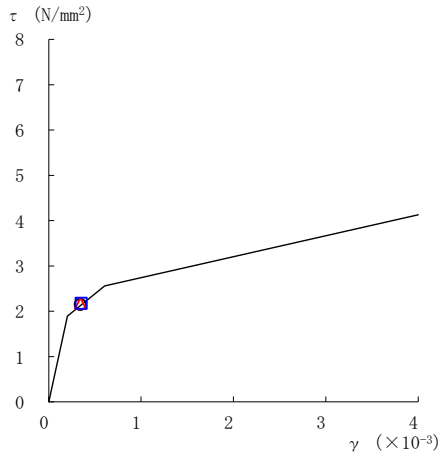
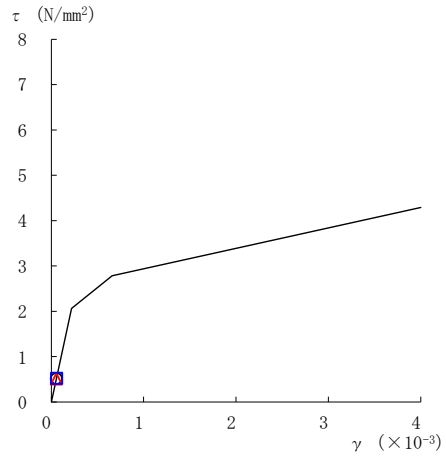


図 2-145(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

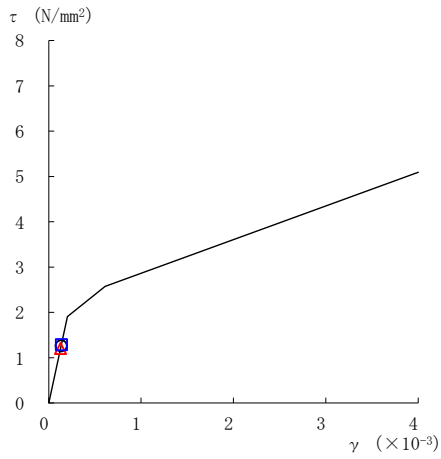
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



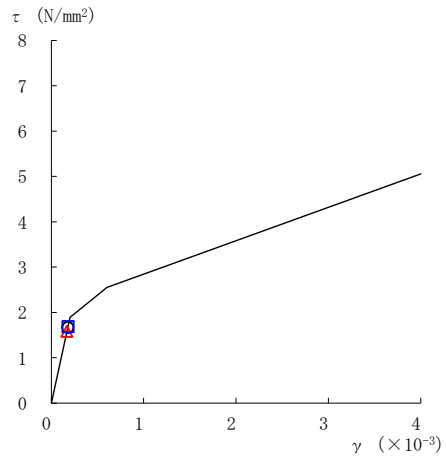
要素番号 (6)



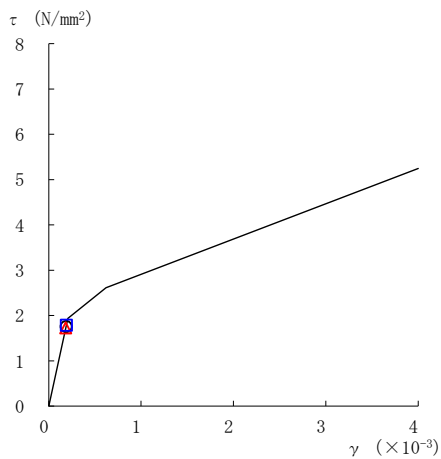
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

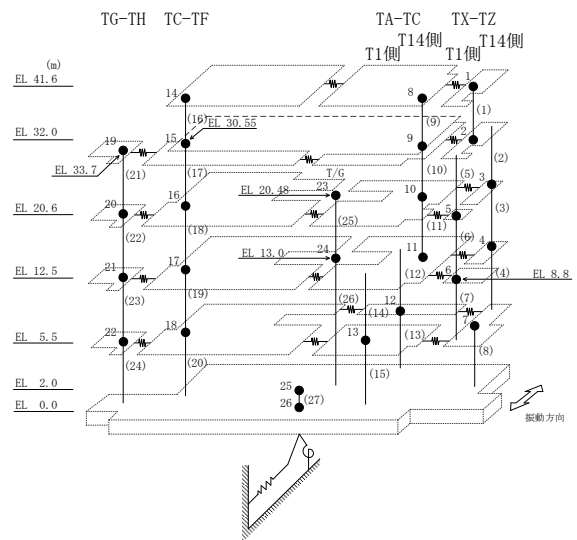
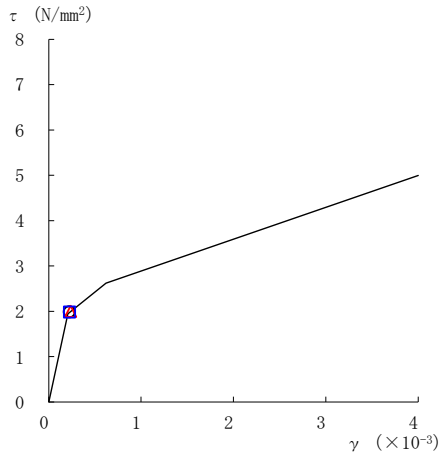
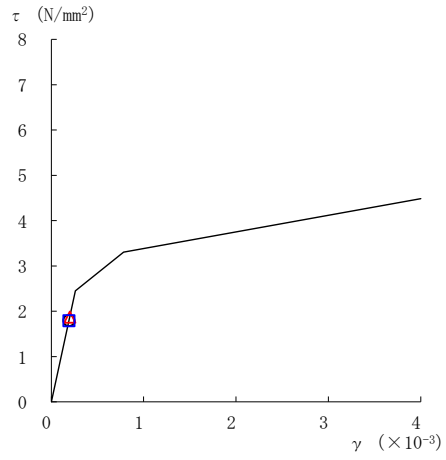


図 2-145 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

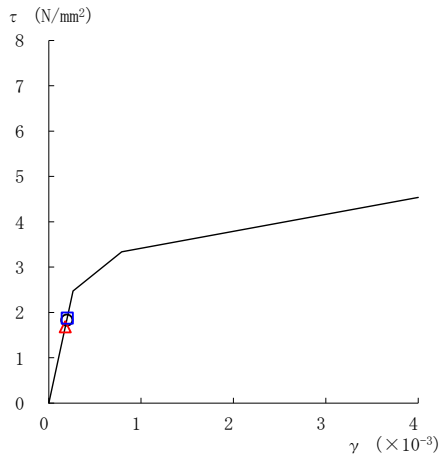
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



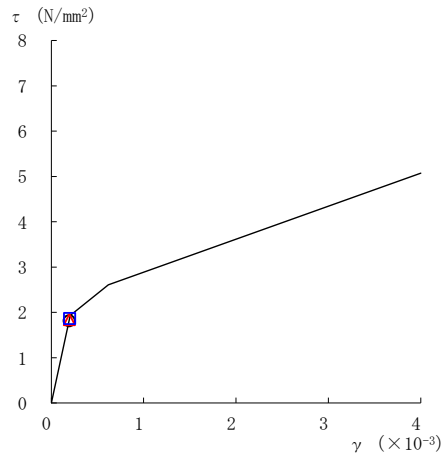
要素番号 (11)



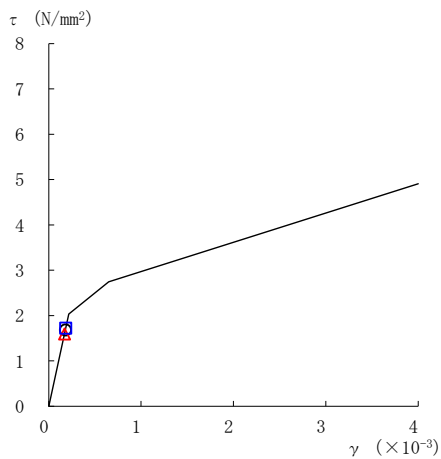
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

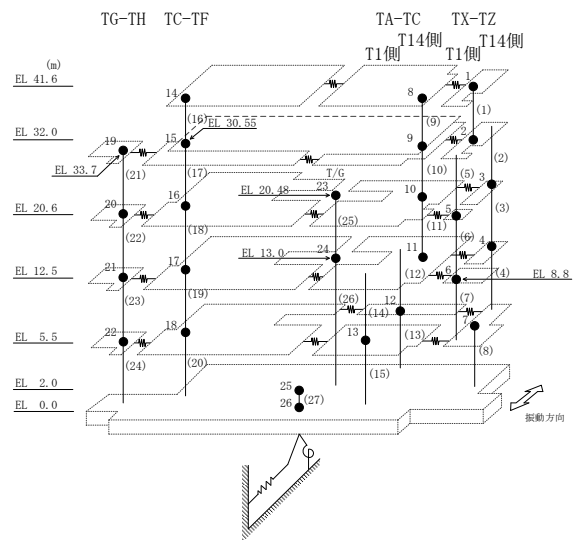
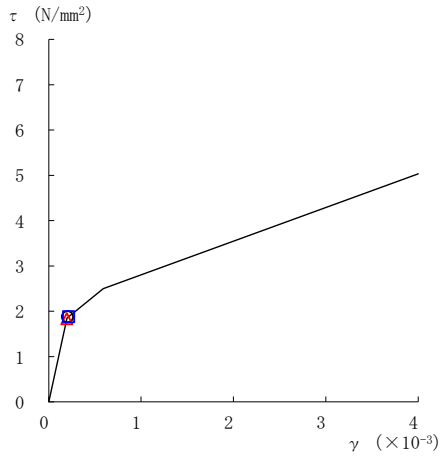
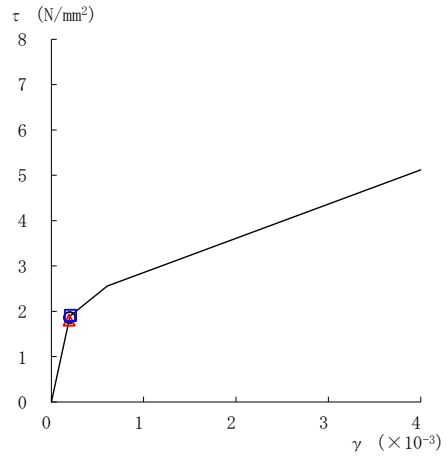


図 2-145(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

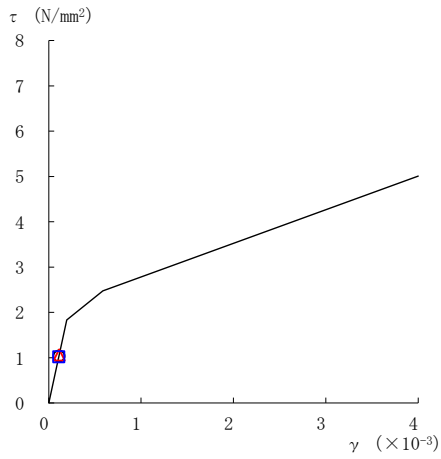
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



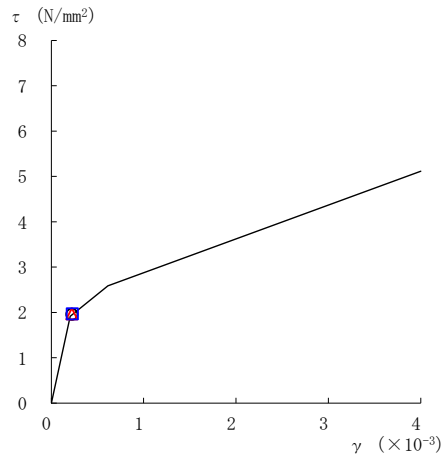
要素番号 (16)



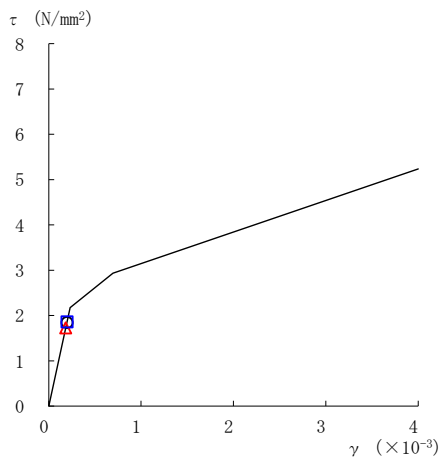
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

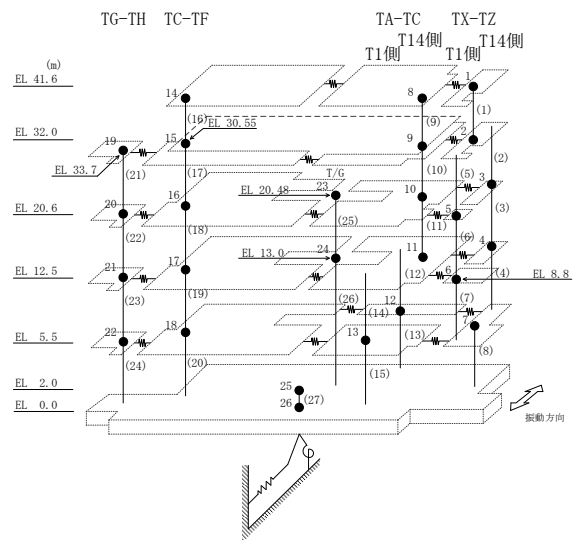
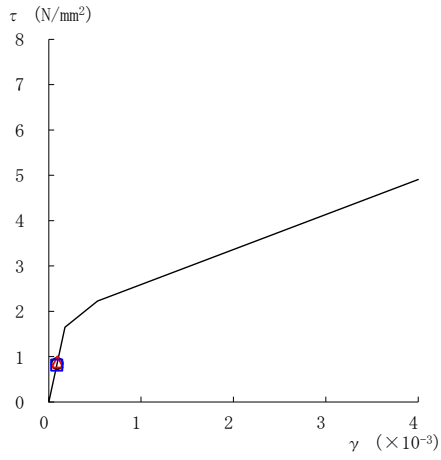
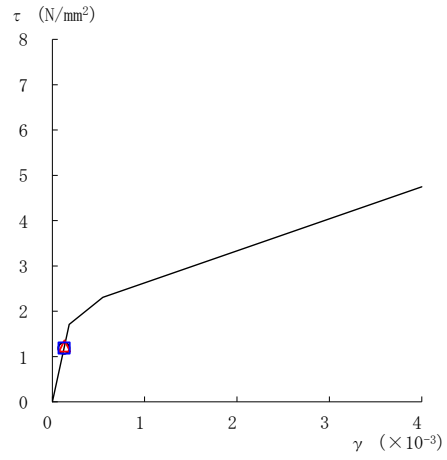


図 2-145(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

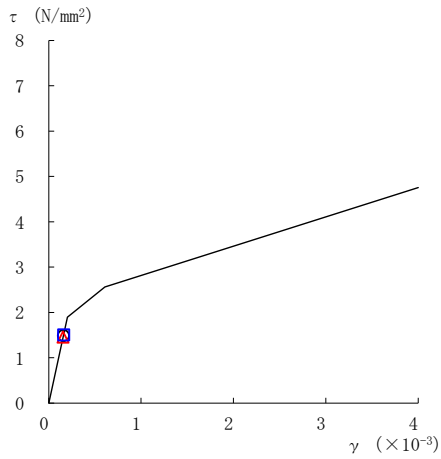
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



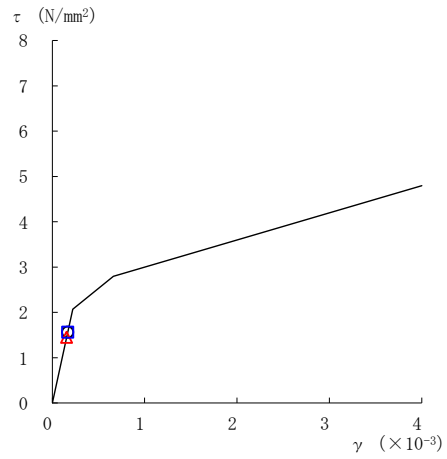
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

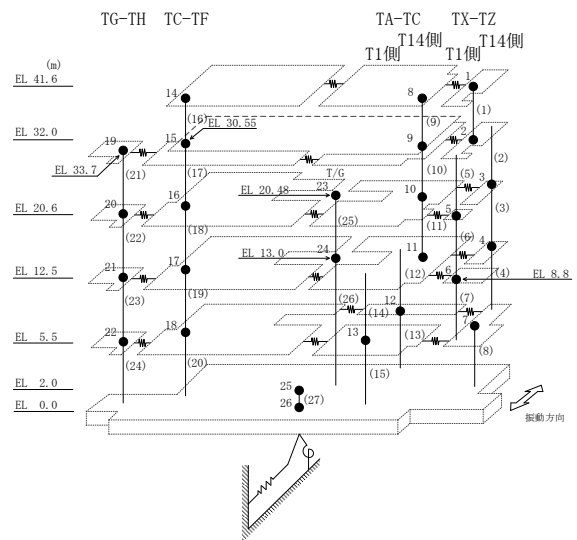
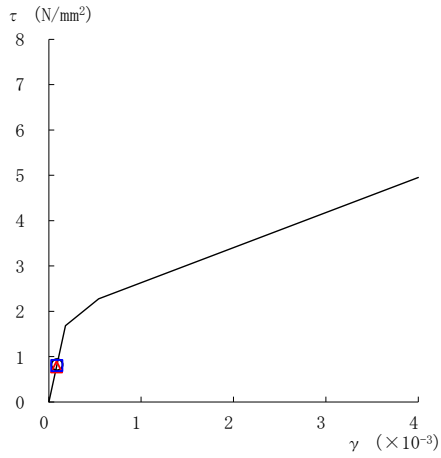
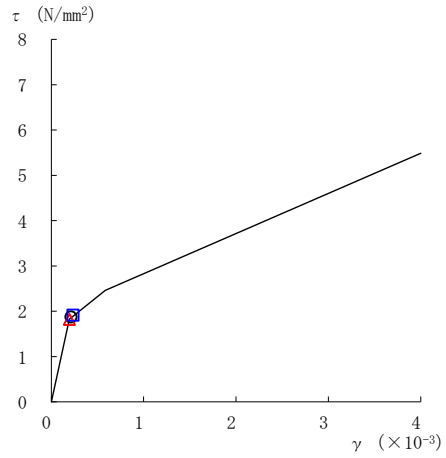


図 2-145(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

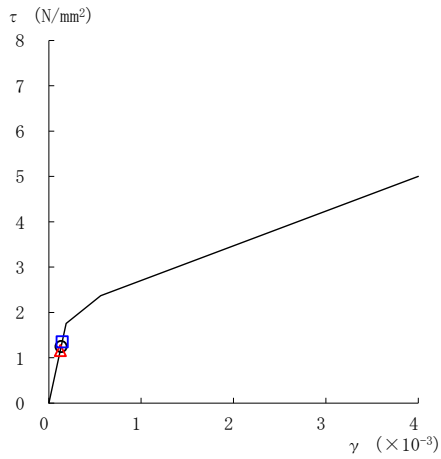
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



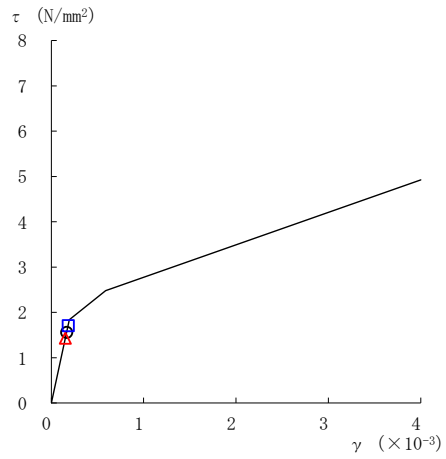
要素番号 (1)



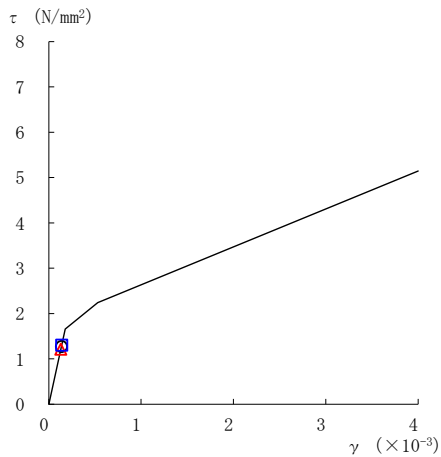
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

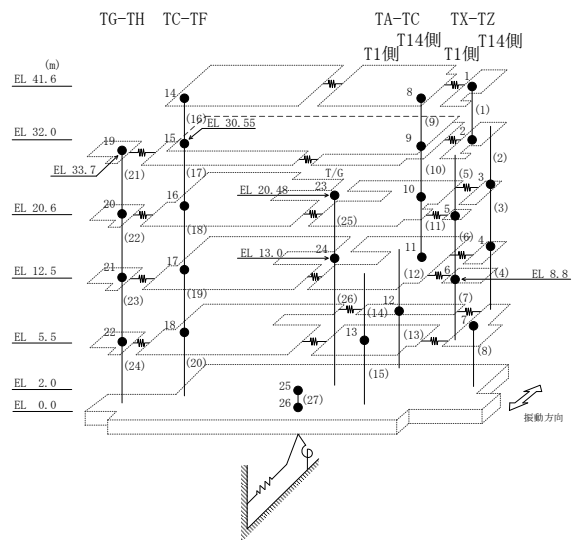
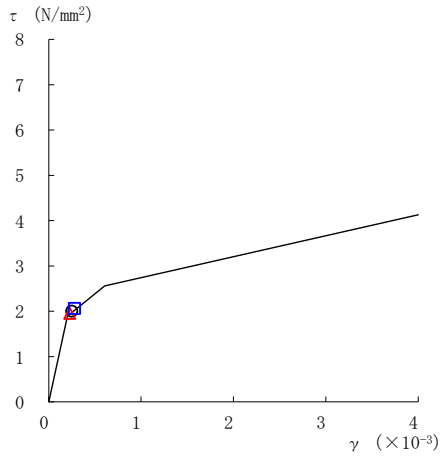
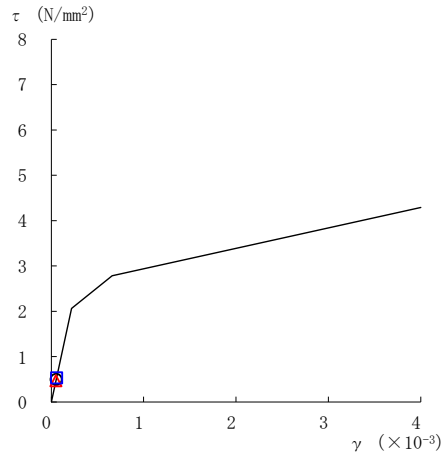


図 2-146(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, EW 方向)

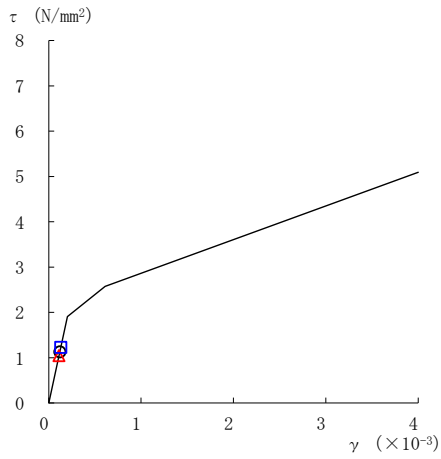
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



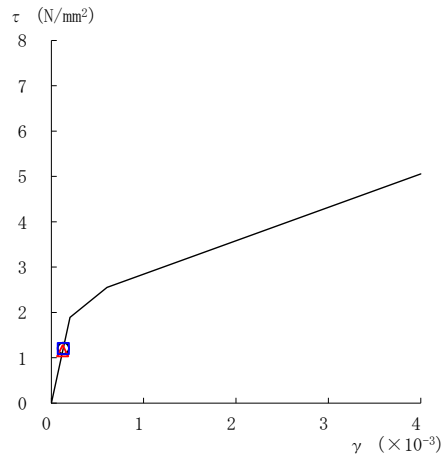
要素番号 (6)



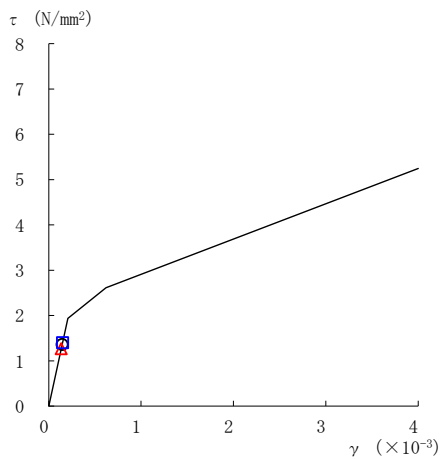
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

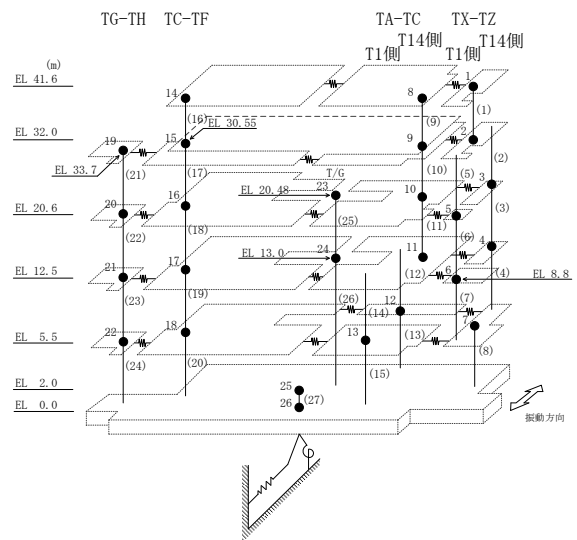
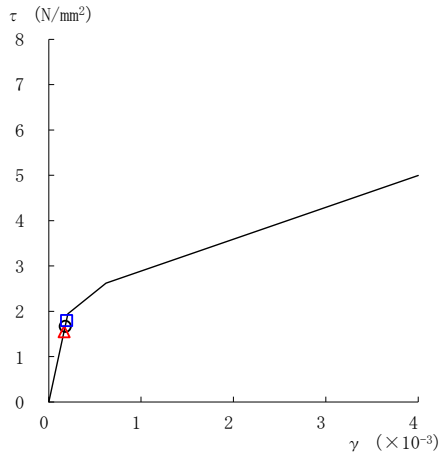
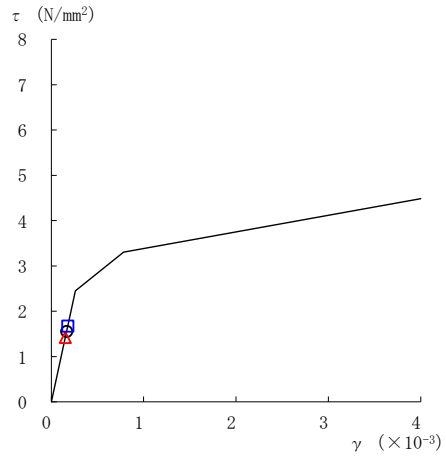


図 2-146(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

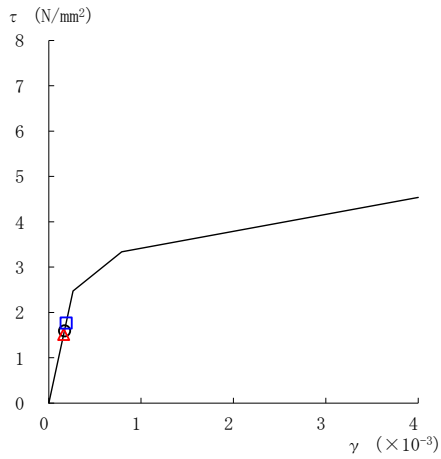
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



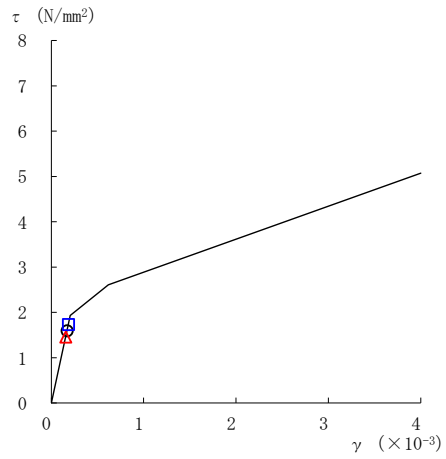
要素番号 (11)



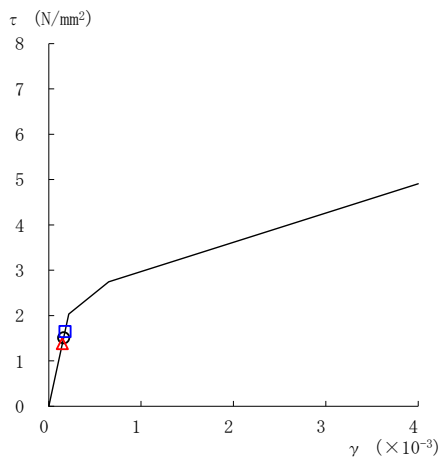
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

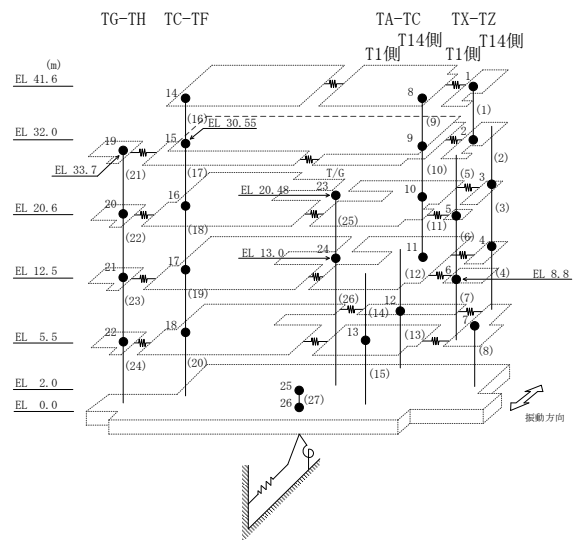
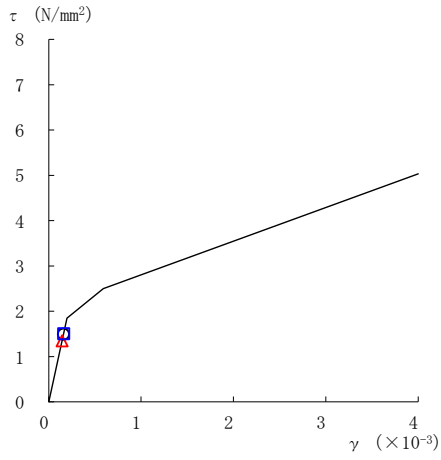
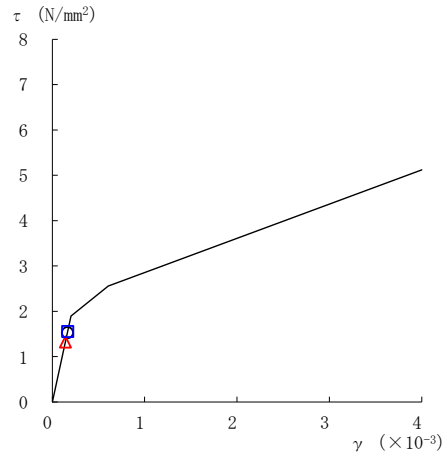


図 2-146(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

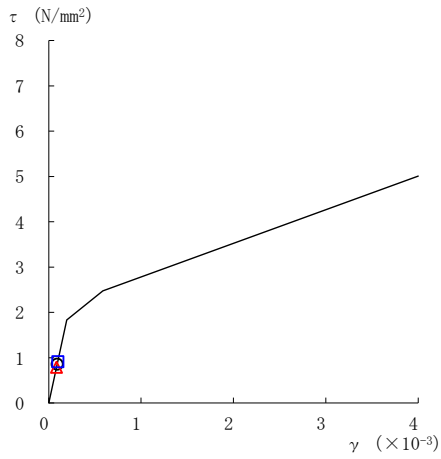
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



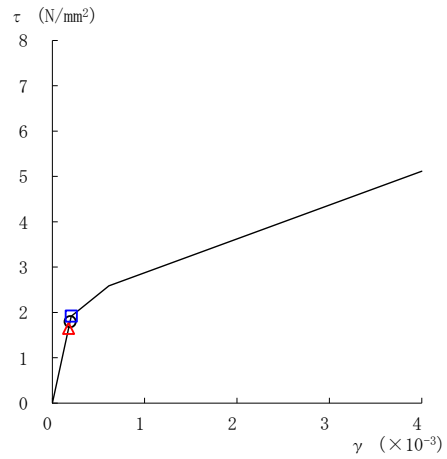
要素番号 (16)



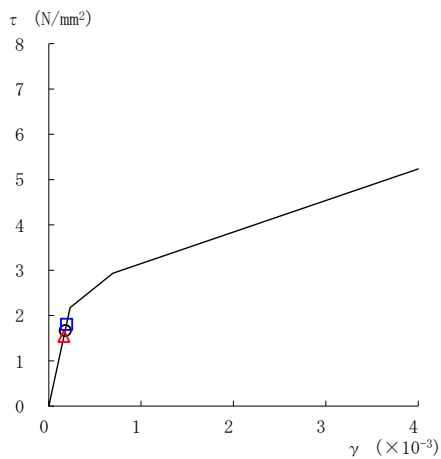
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

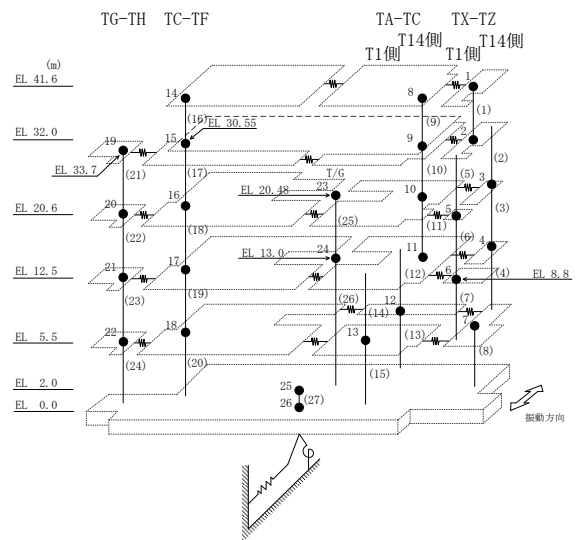
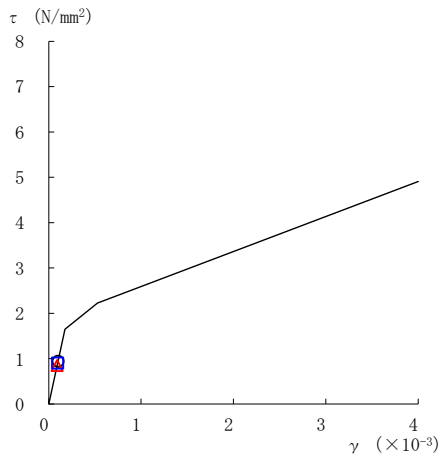
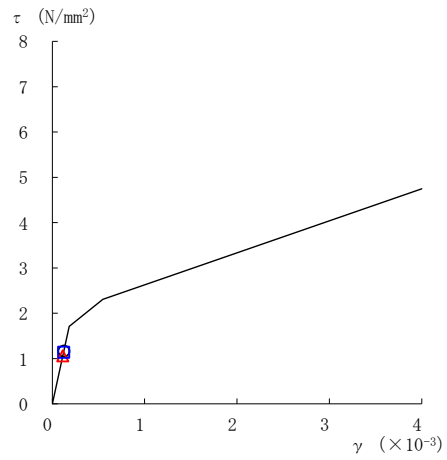


図 2-146(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

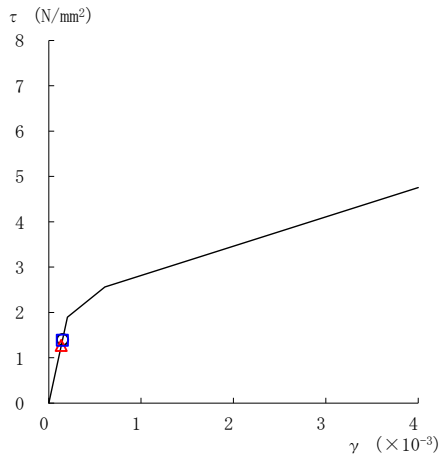
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



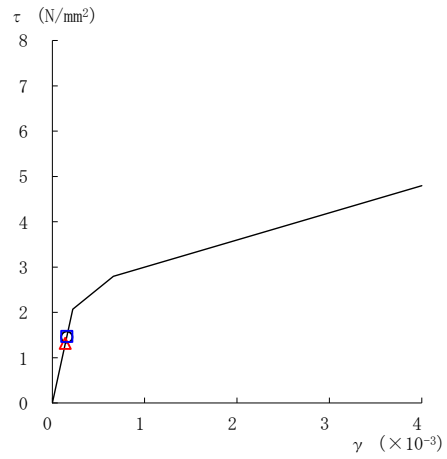
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

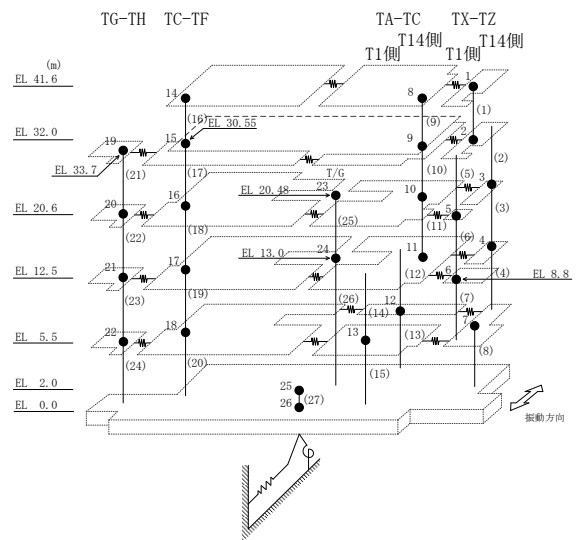
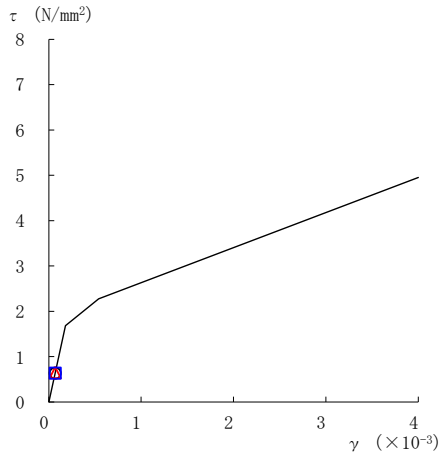
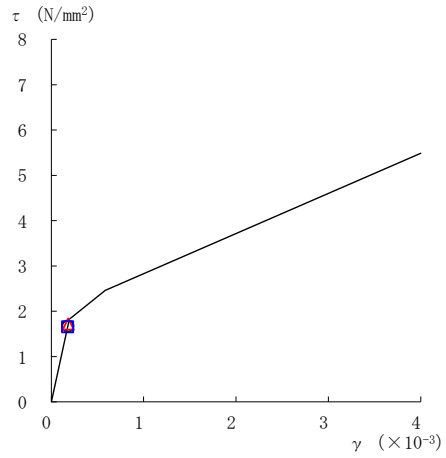


図 2-146(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

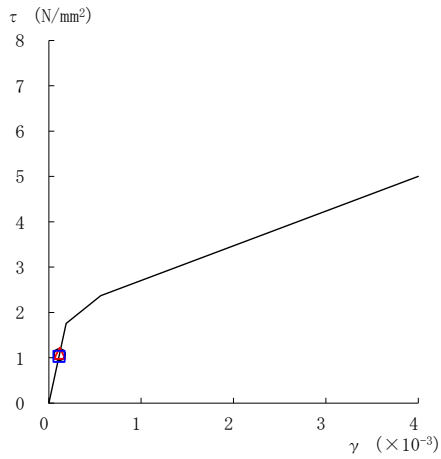
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



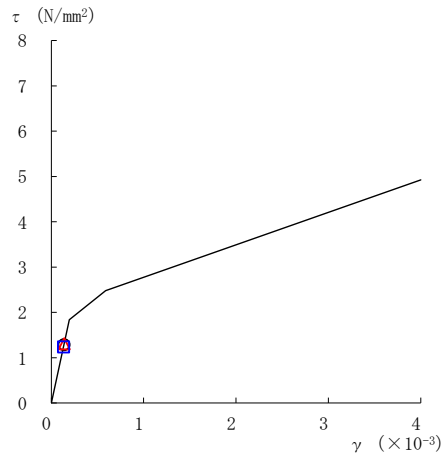
要素番号 (1)



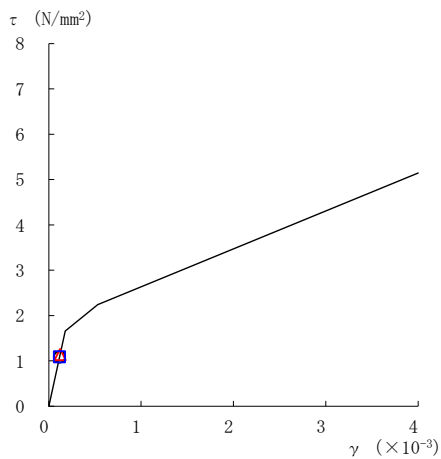
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

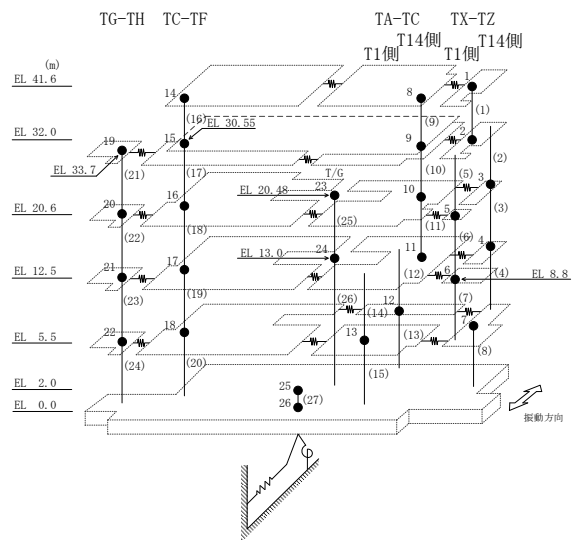
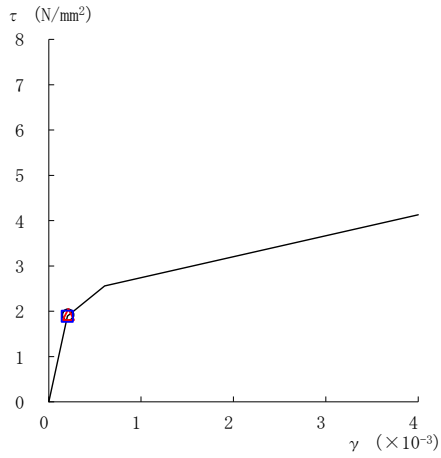
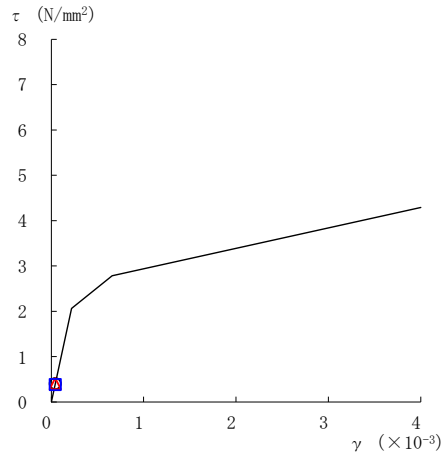


図 2-147(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

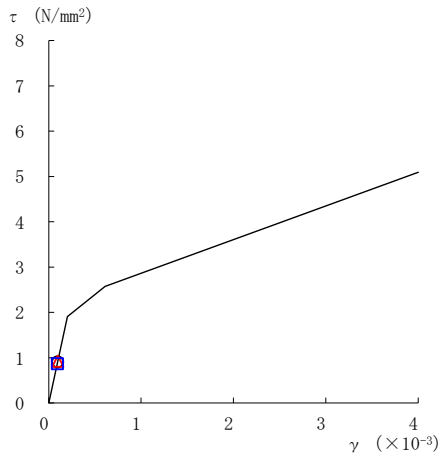
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



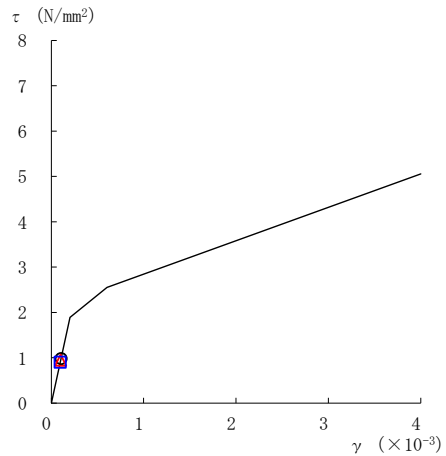
要素番号 (6)



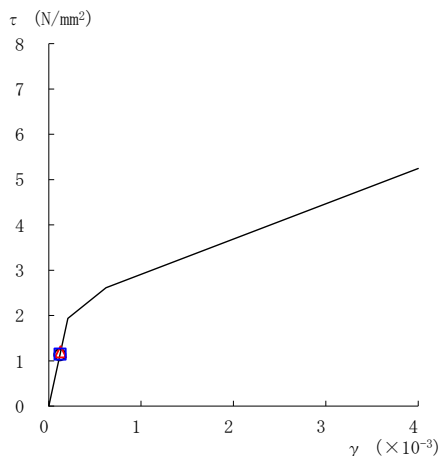
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

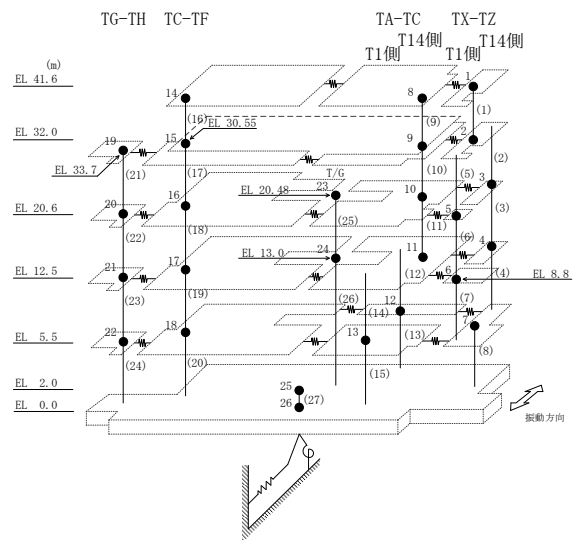
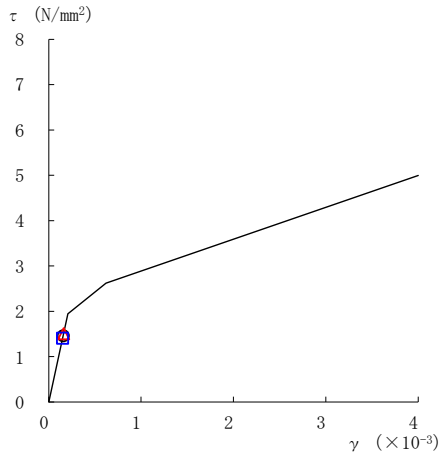
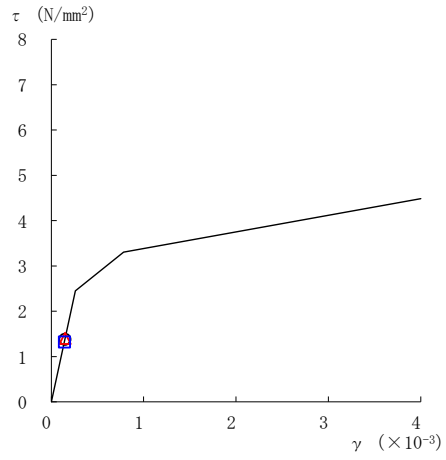


図 2-147(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

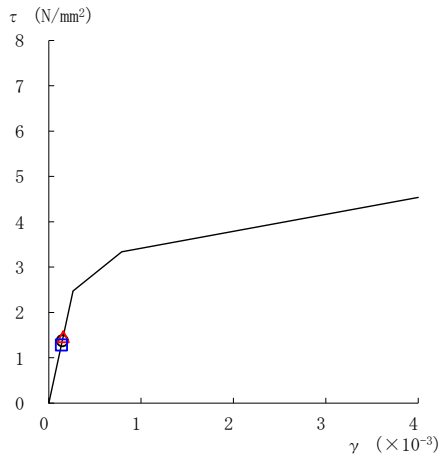
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



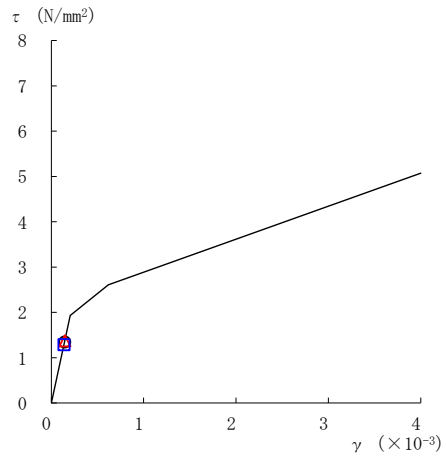
要素番号 (11)



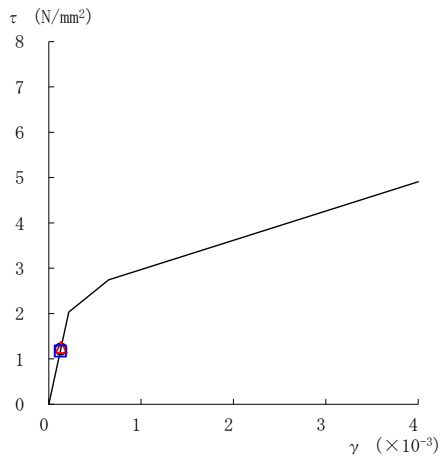
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

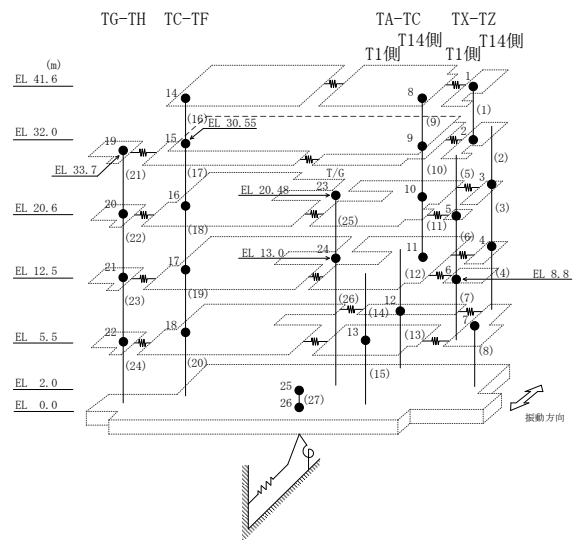
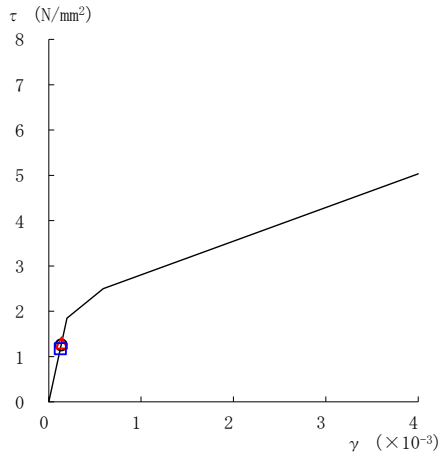
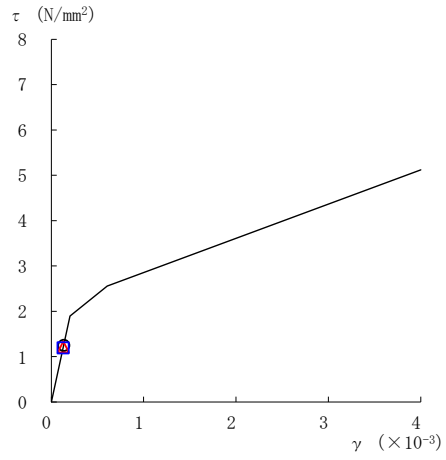


図 2-147(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, EW 方向)

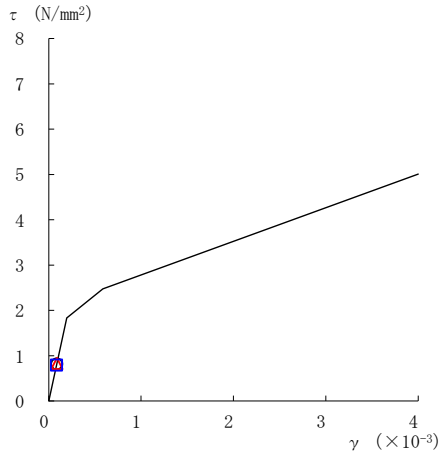
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



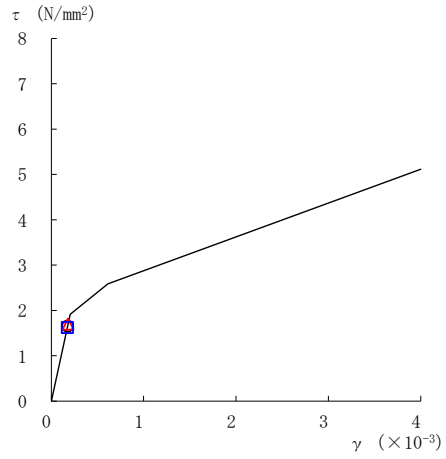
要素番号 (16)



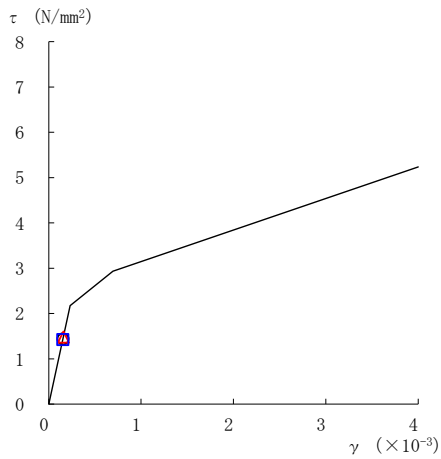
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

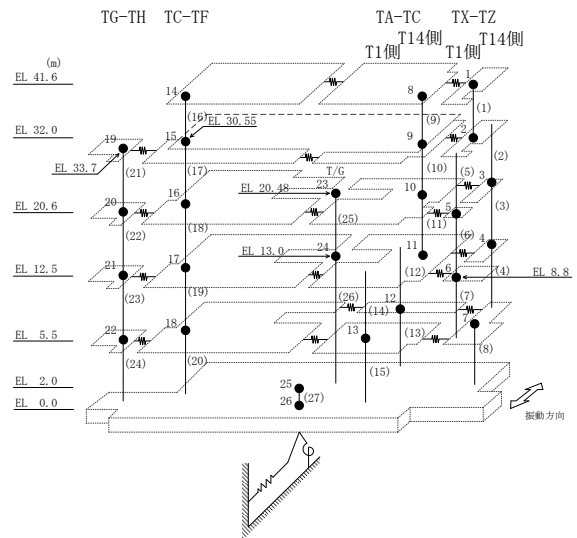
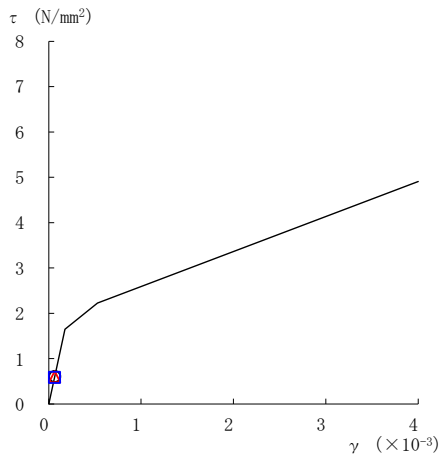
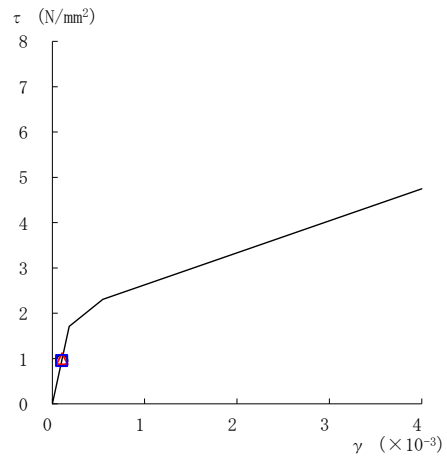


図 2-147(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

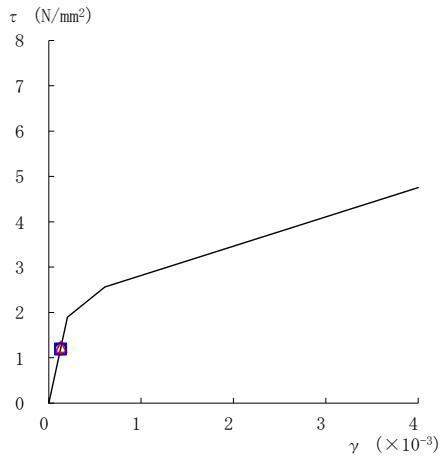
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



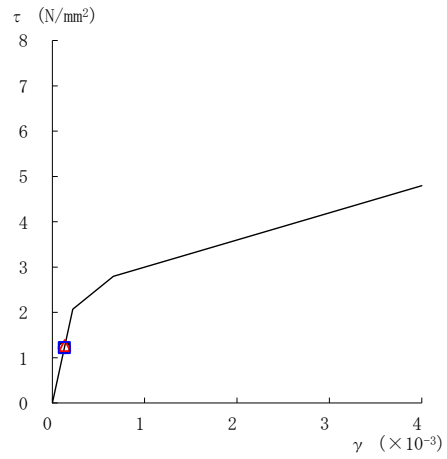
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

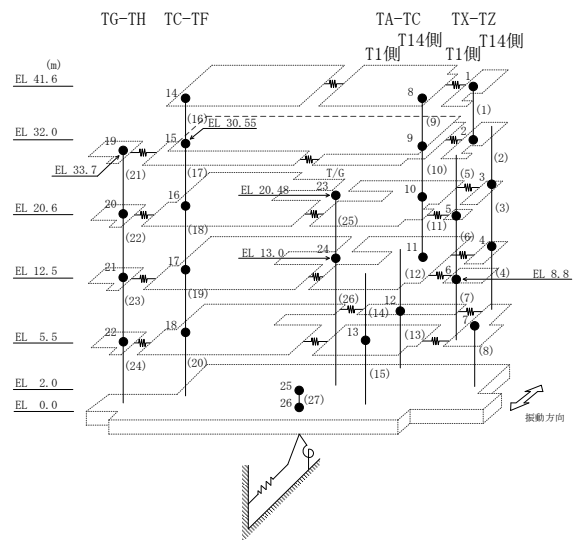
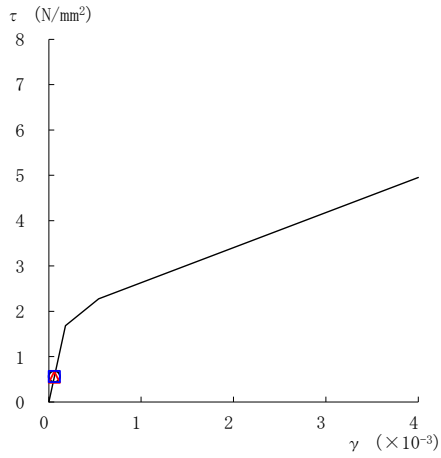
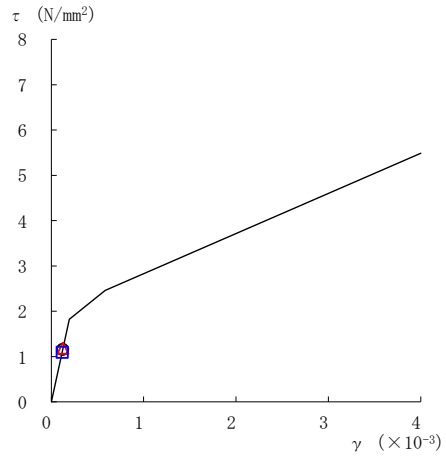


図 2-147(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

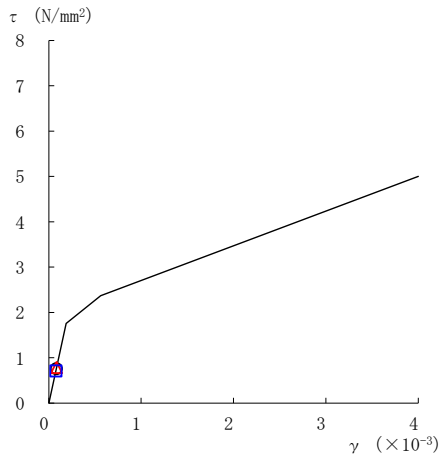
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



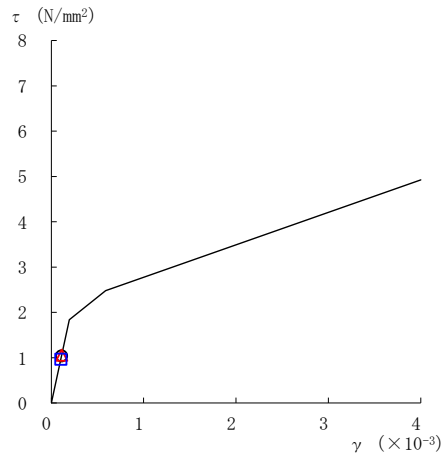
要素番号 (1)



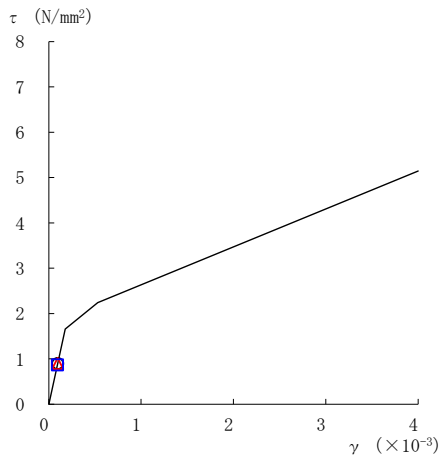
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

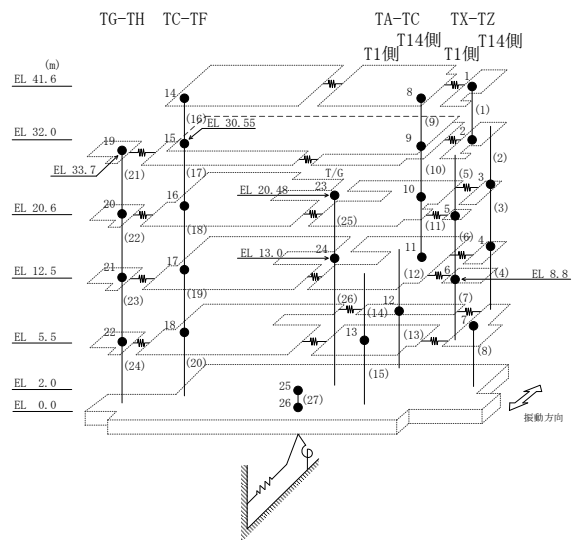
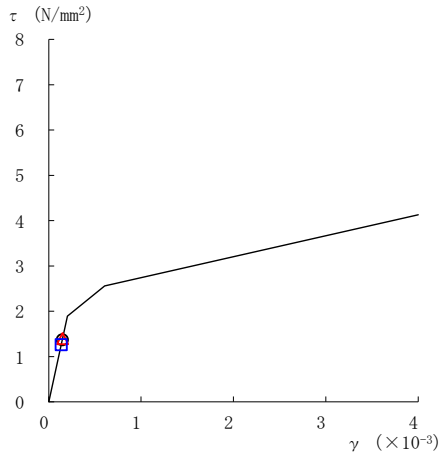
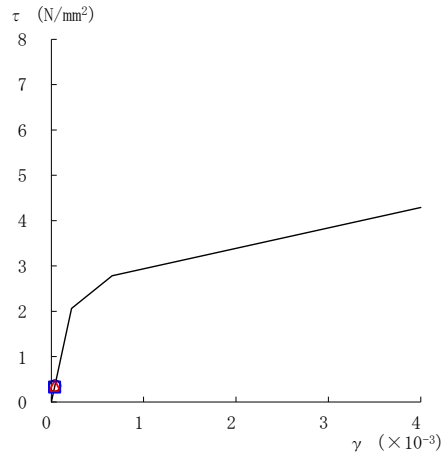


図 2-148(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

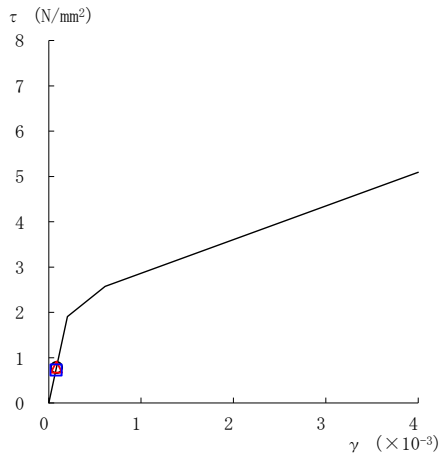
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



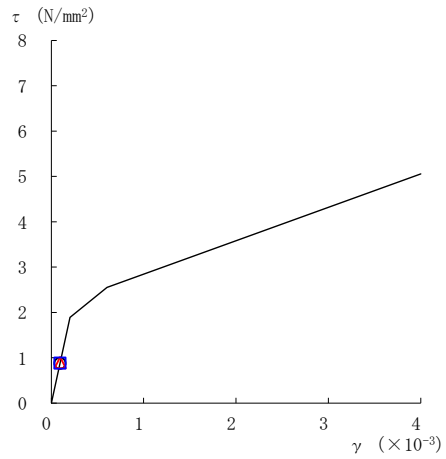
要素番号 (6)



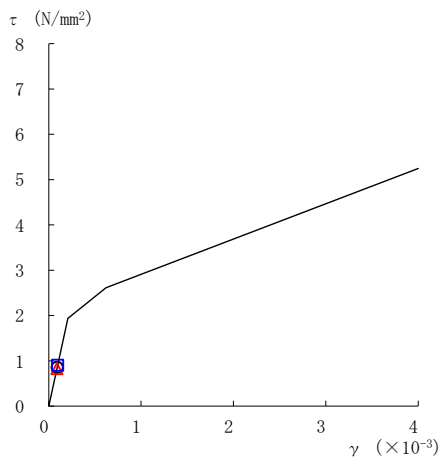
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

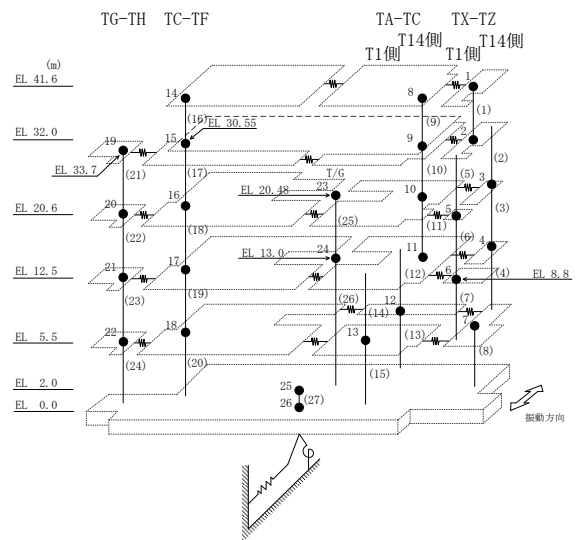
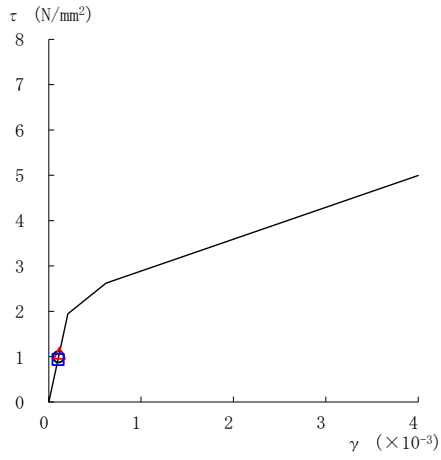
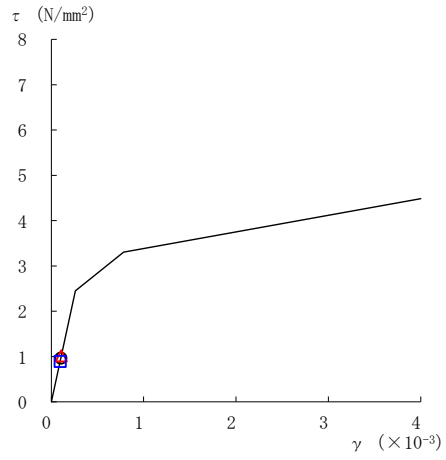


図 2-148(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

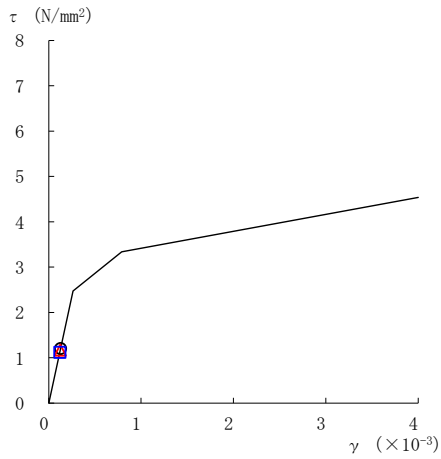
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



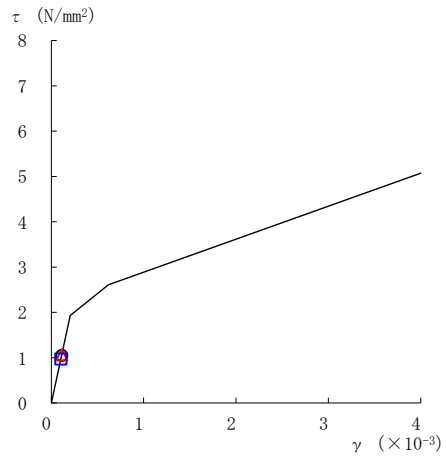
要素番号 (11)



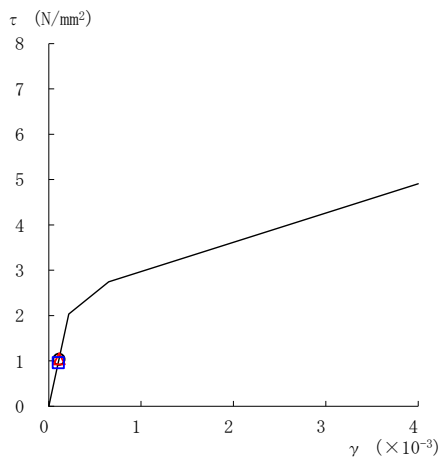
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

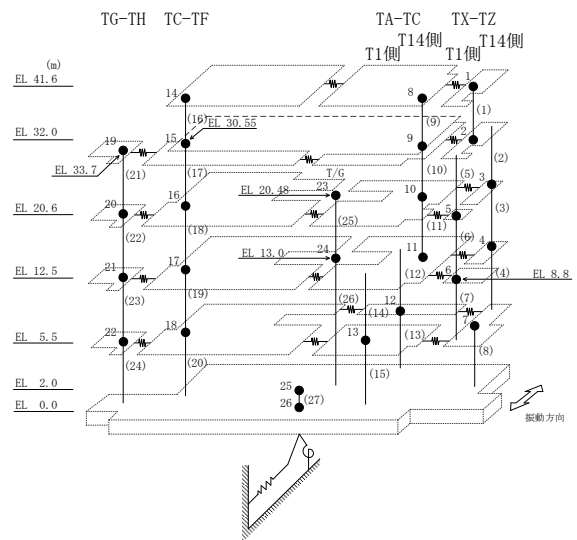
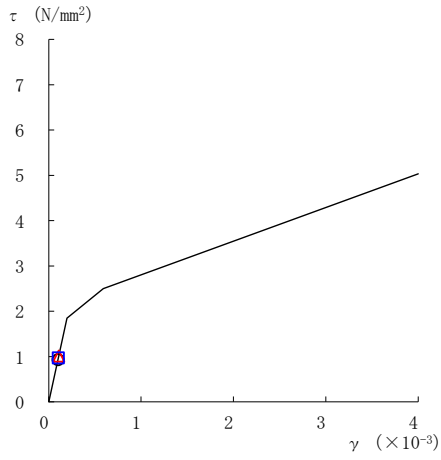
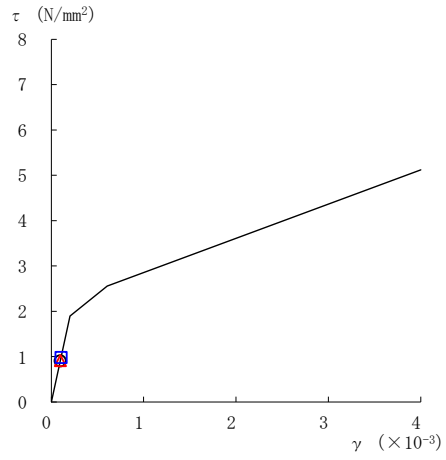


図 2-148(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

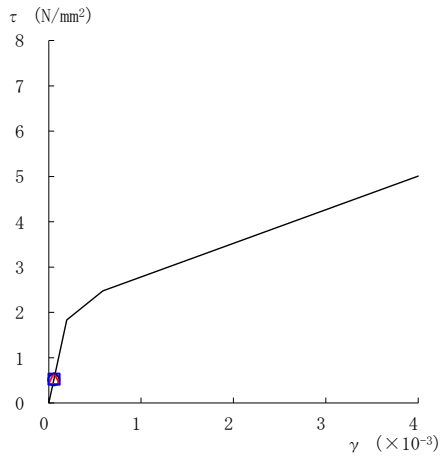
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



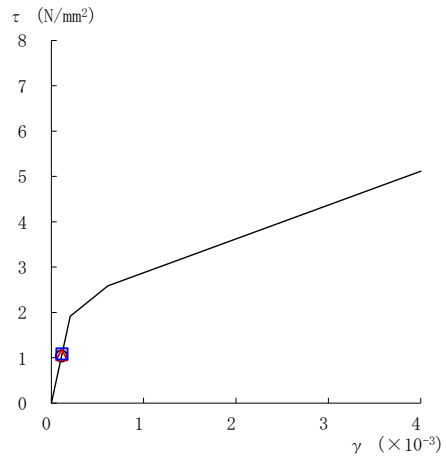
要素番号 (16)



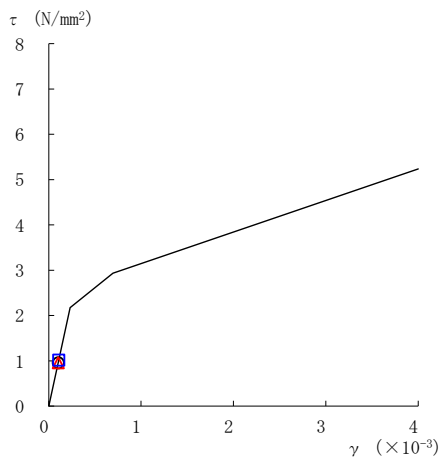
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

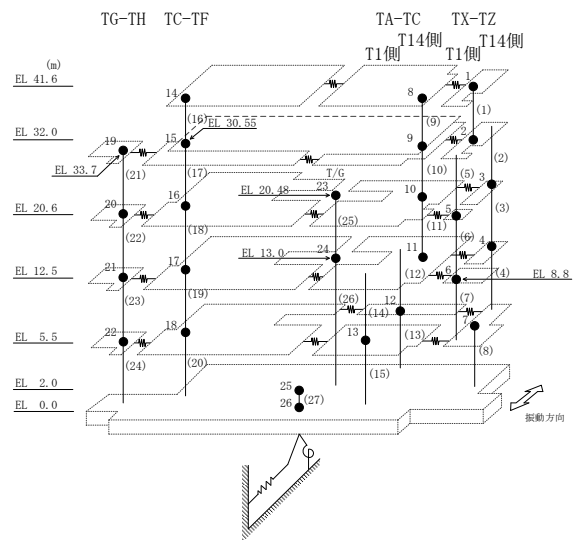
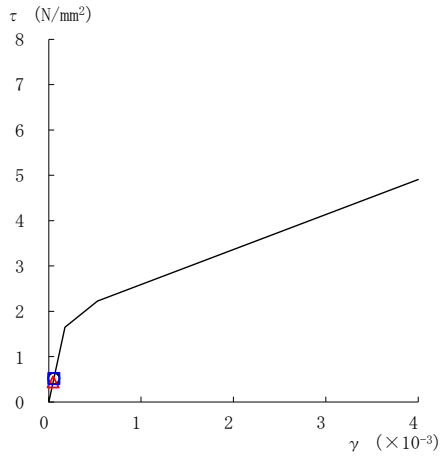
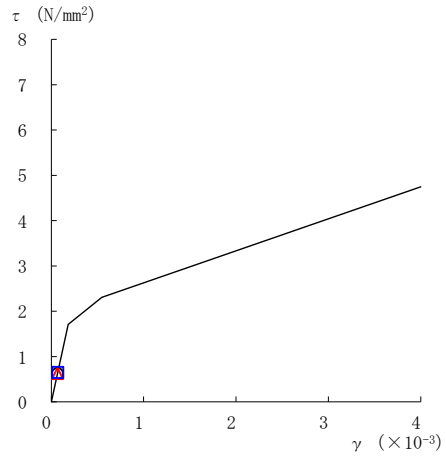


図 2-148(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

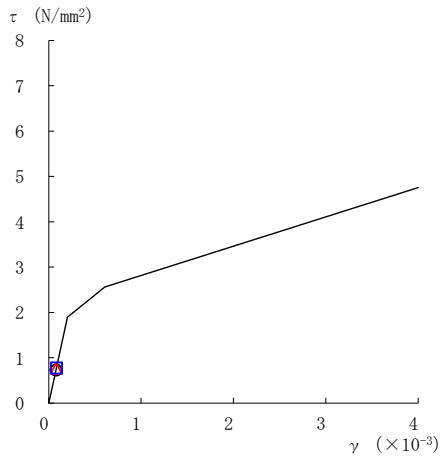
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



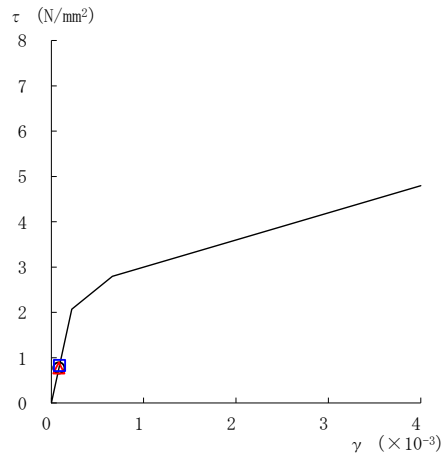
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

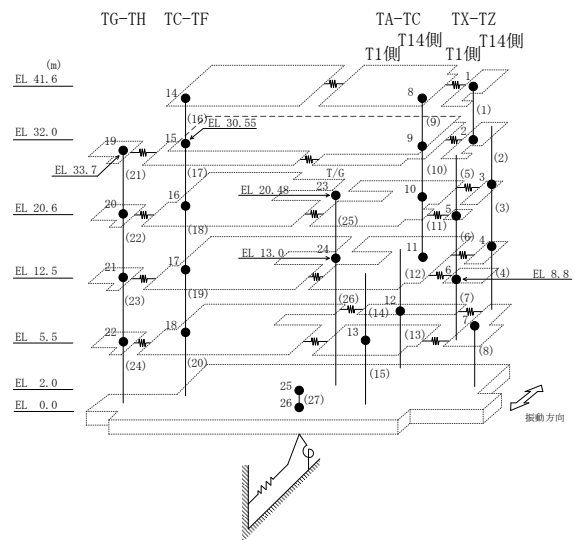
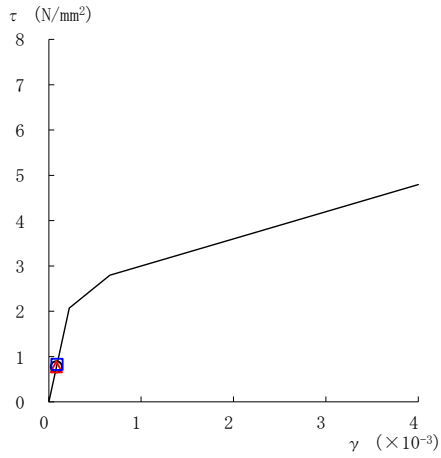
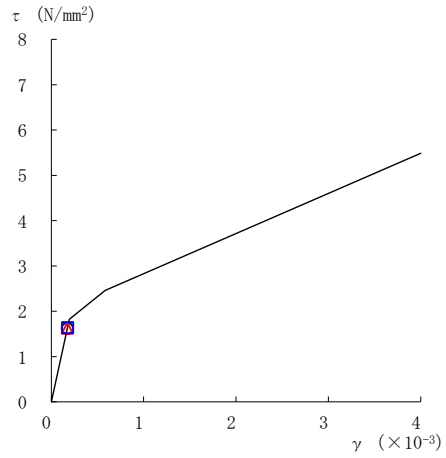


図 2-148(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW方向)

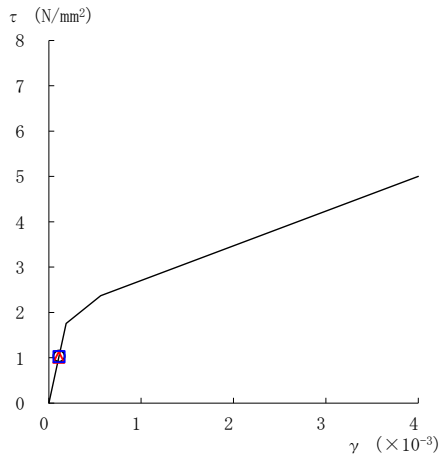
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



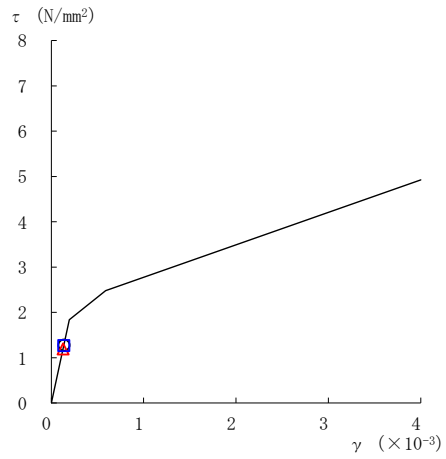
要素番号 (1)



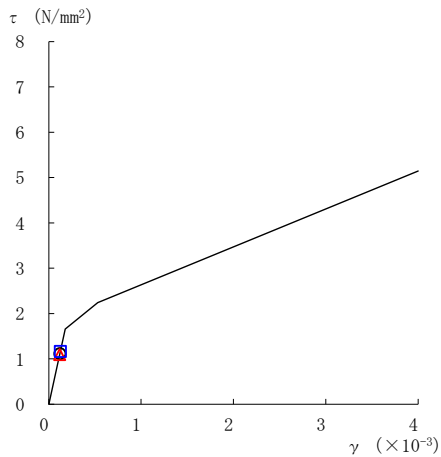
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

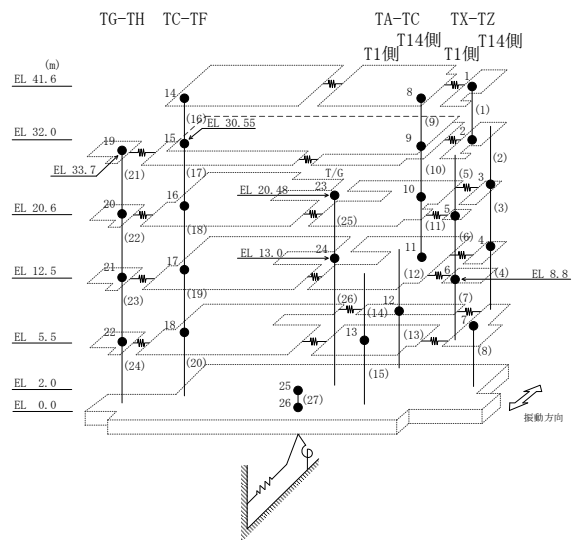
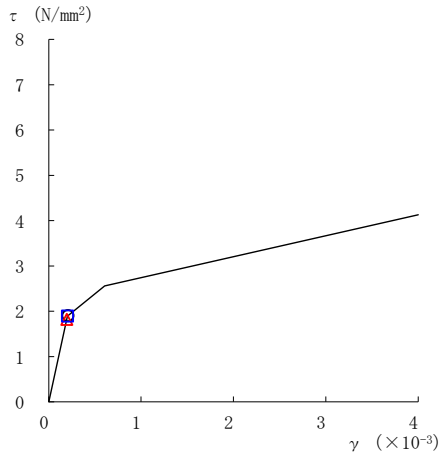
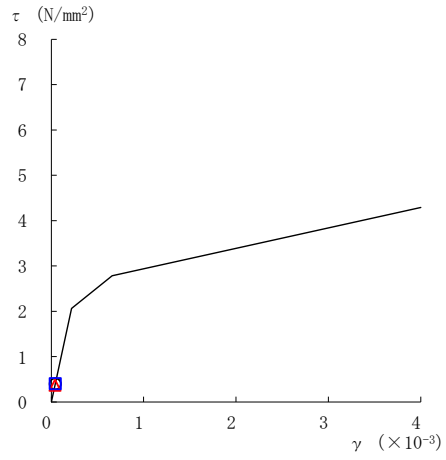


図 2-149(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

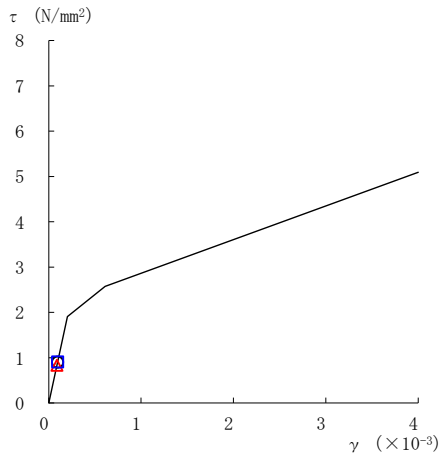
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



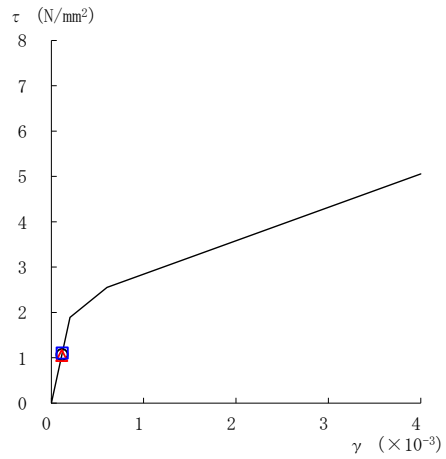
要素番号 (6)



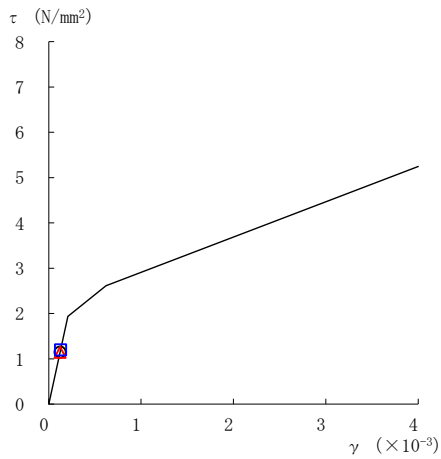
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

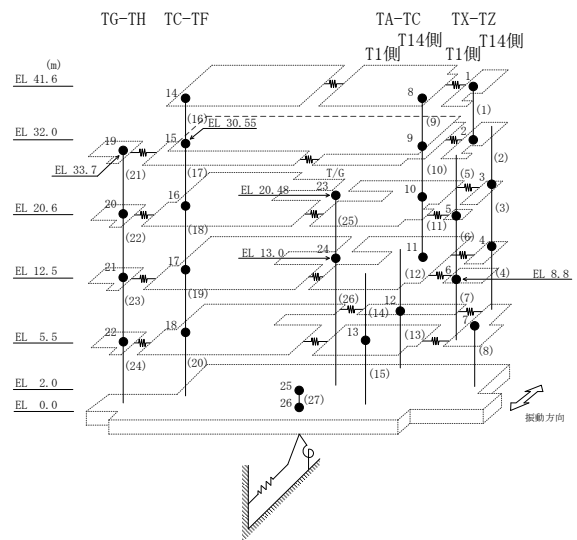
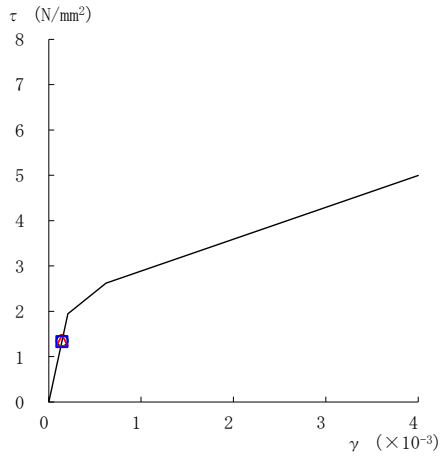
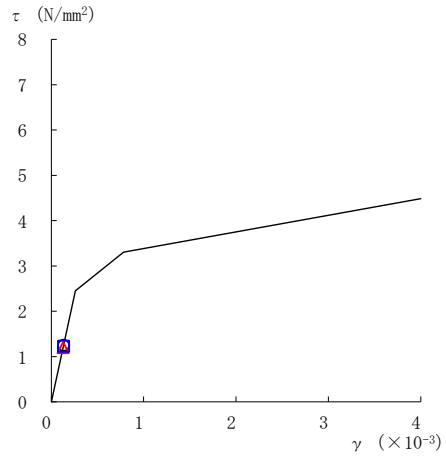


図 2-149(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

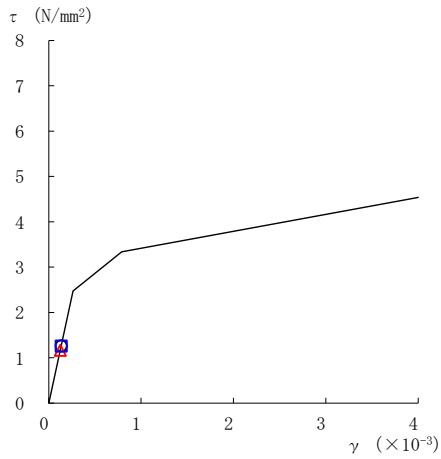
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



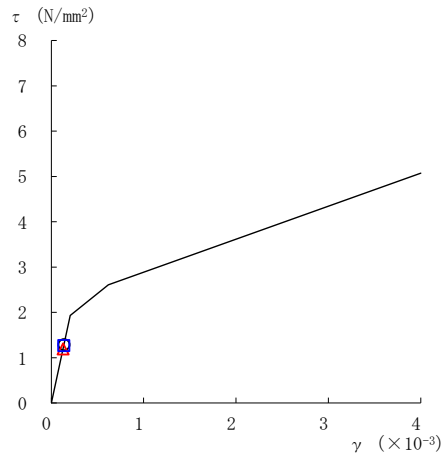
要素番号 (11)



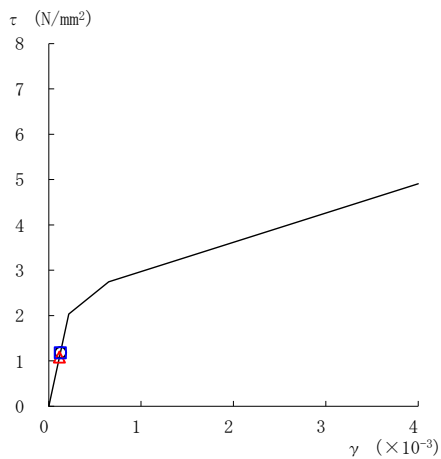
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

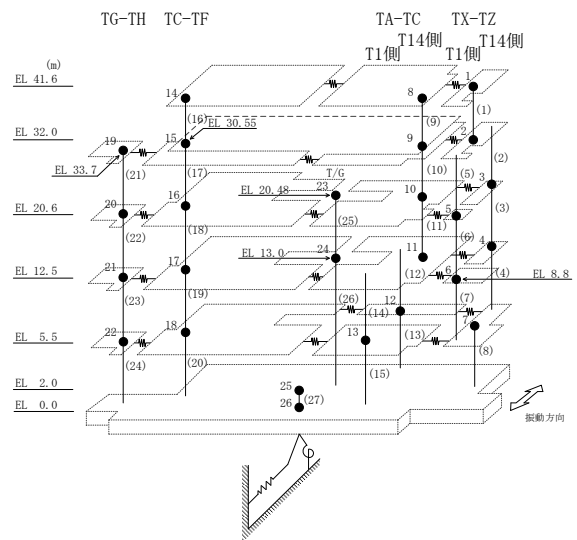
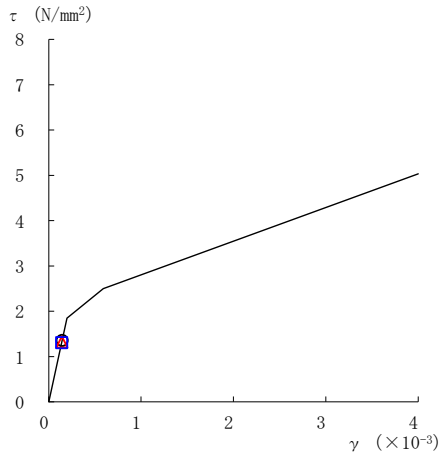
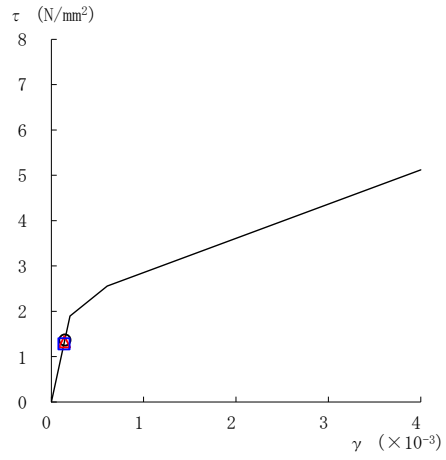


図 2-149(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

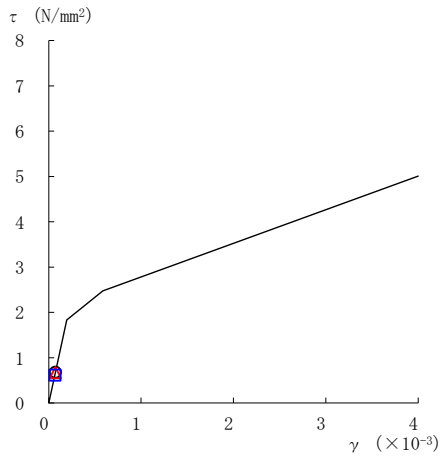
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



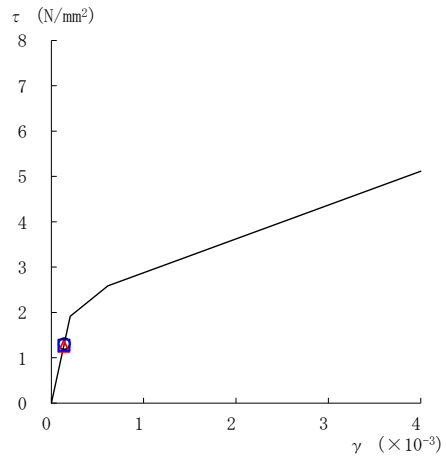
要素番号 (16)



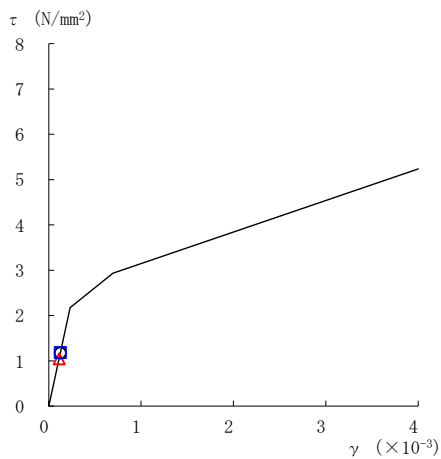
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

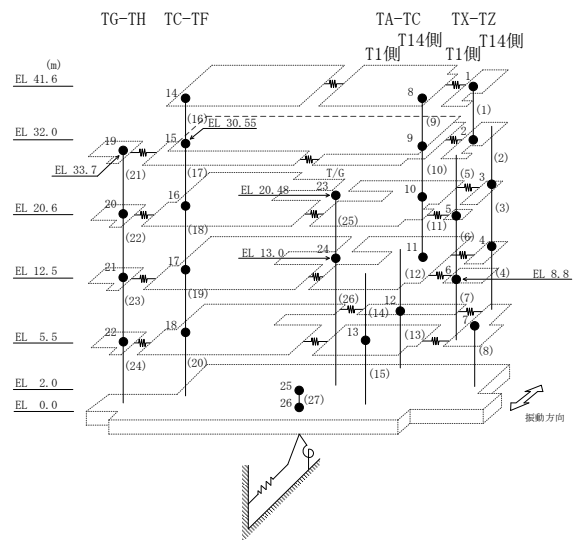
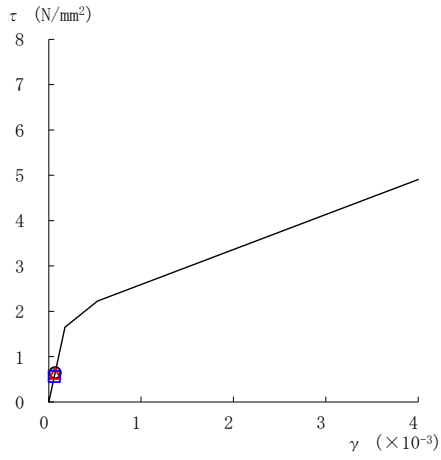
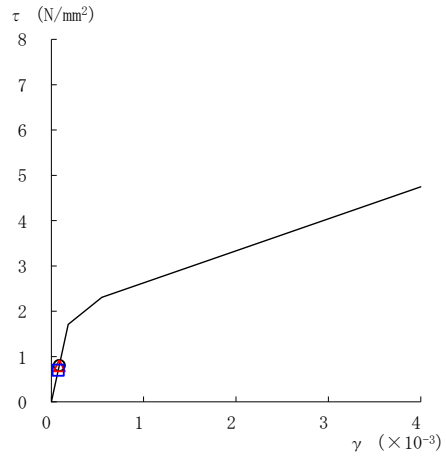


図 2-149(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

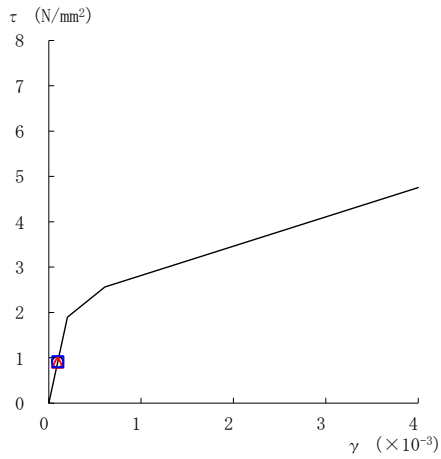
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



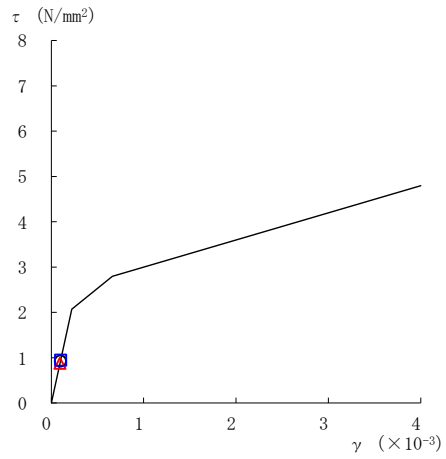
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

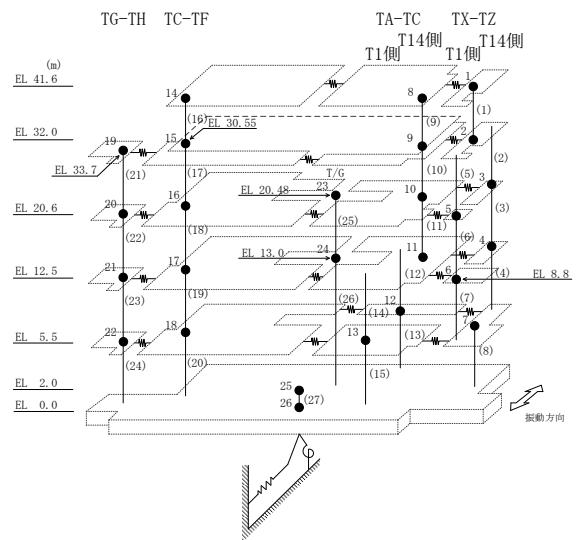
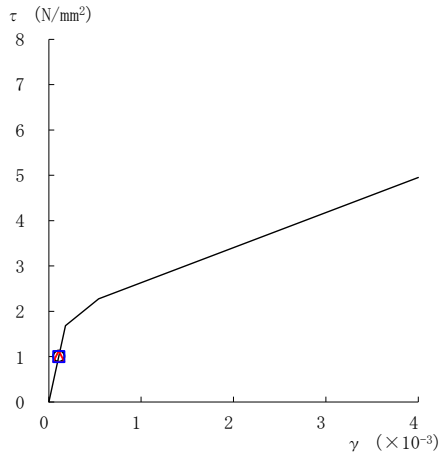
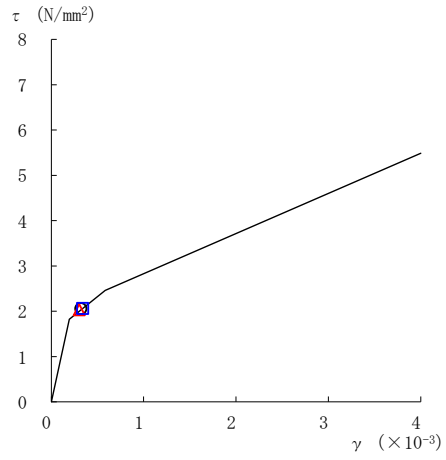


図 2-149(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

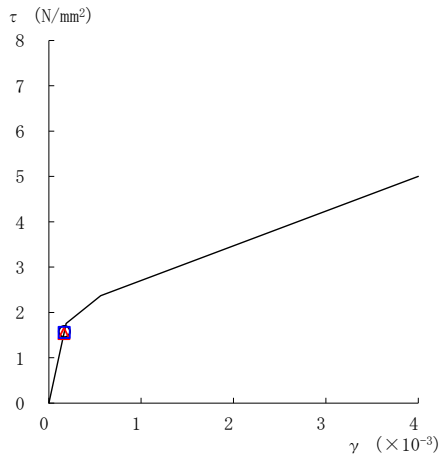
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



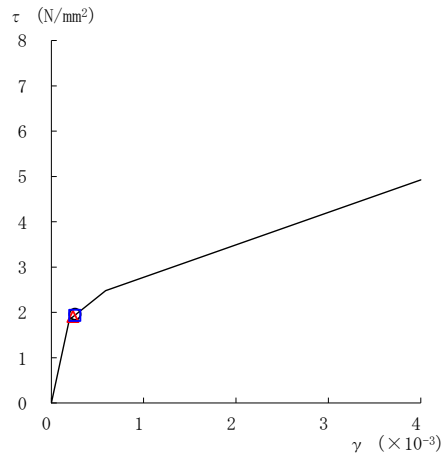
要素番号 (1)



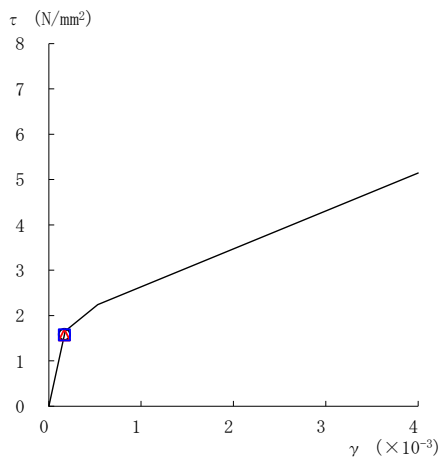
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

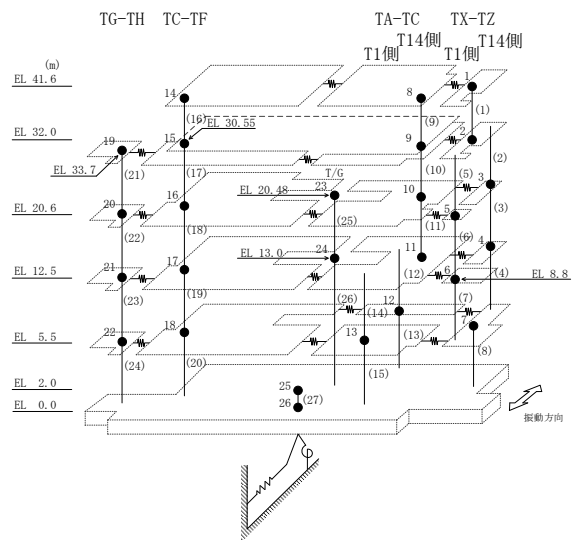
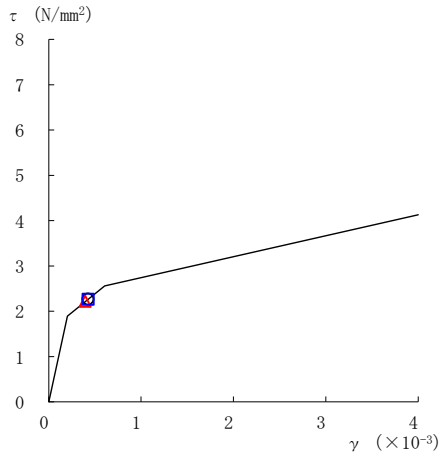
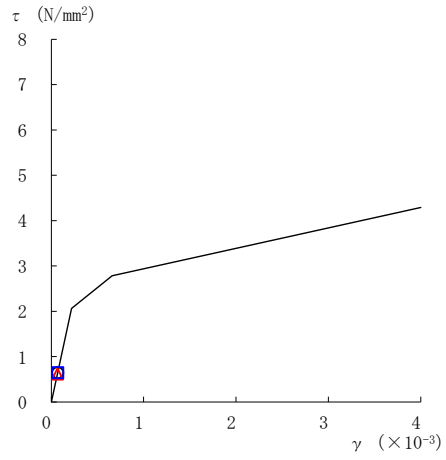


図 2-150(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

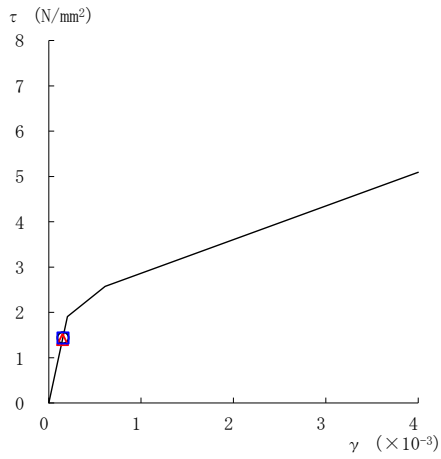
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



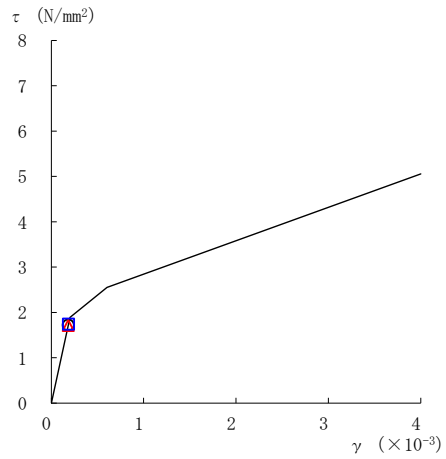
要素番号 (6)



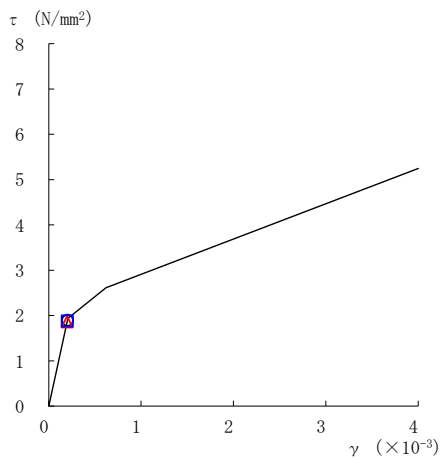
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

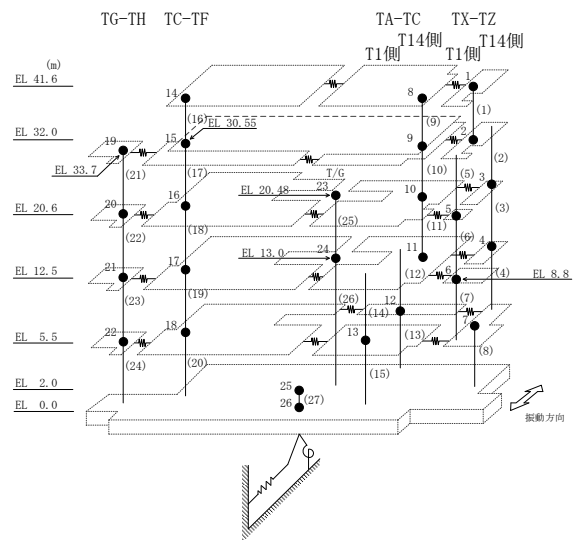
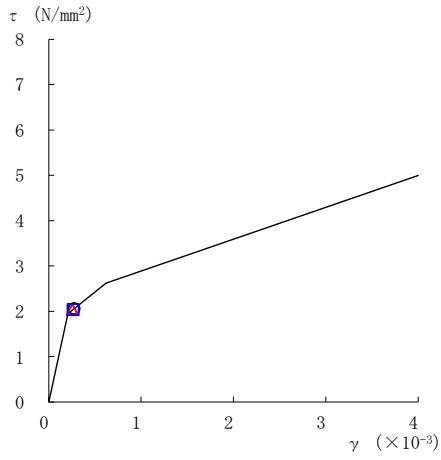
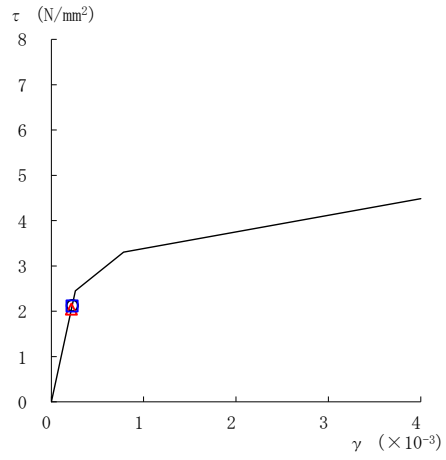


図 2-150(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

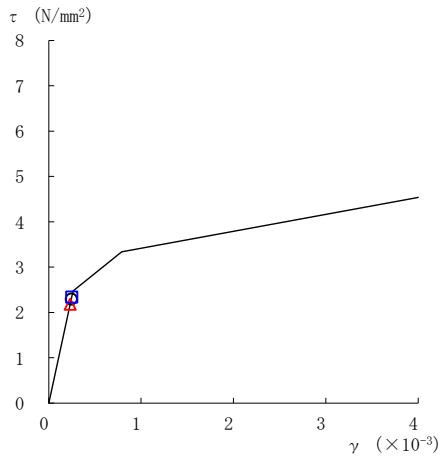
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



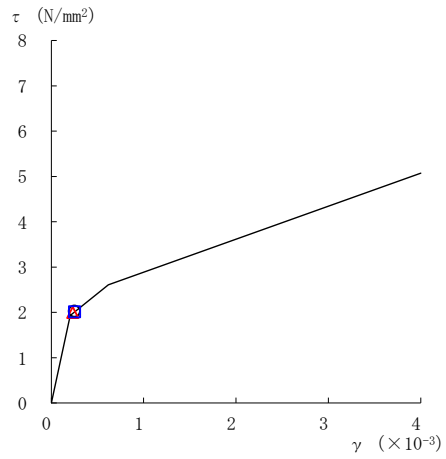
要素番号 (11)



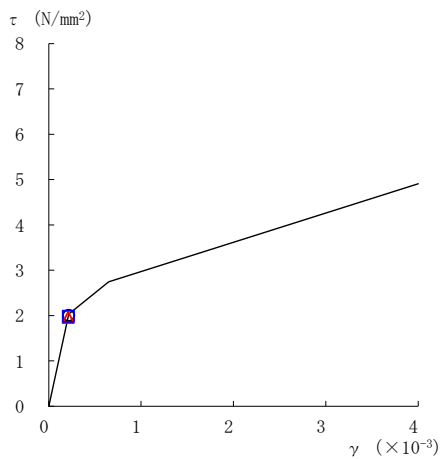
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

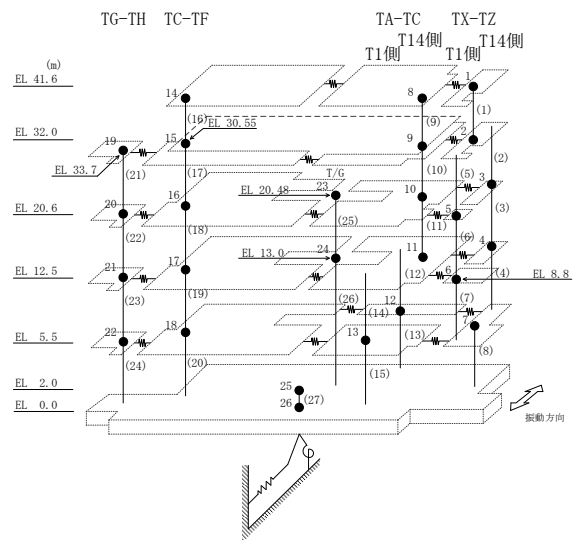
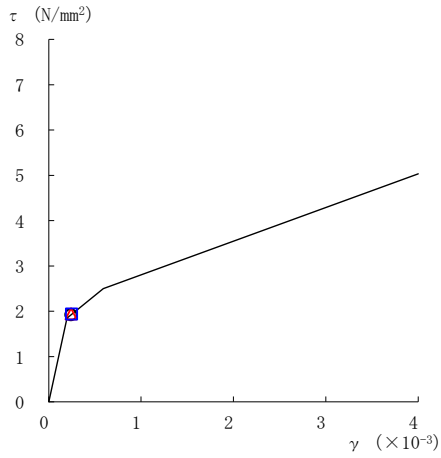
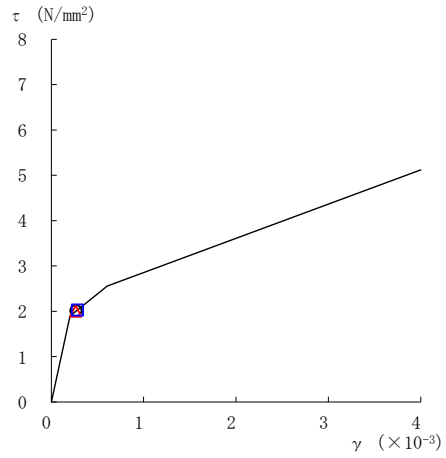


図 2-150(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

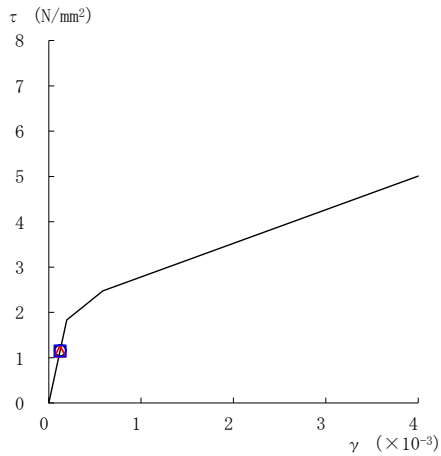
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



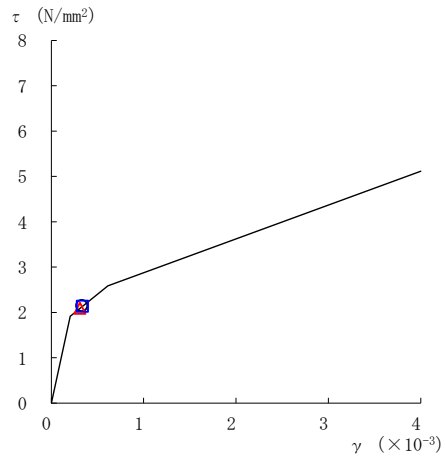
要素番号 (16)



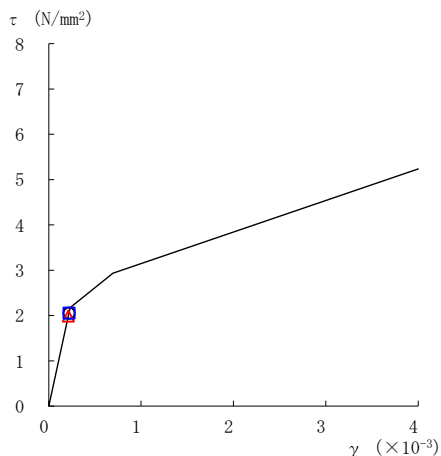
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

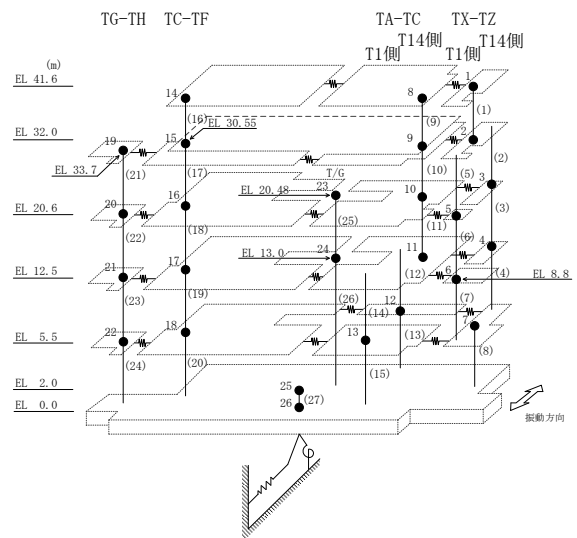
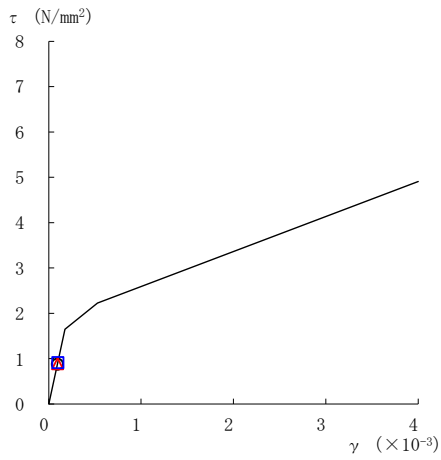
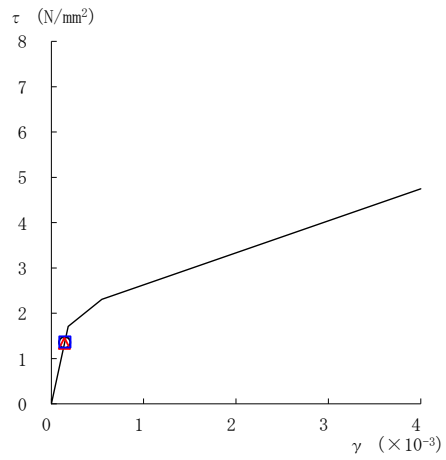


図 2-150(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

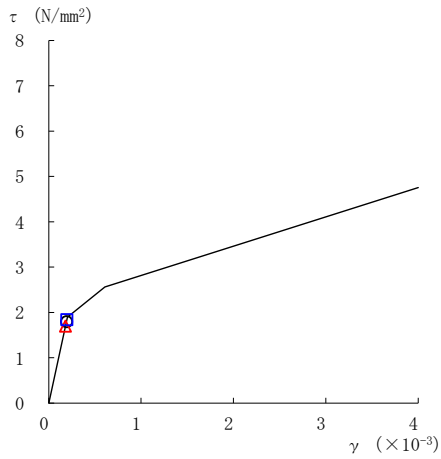
○ ケース 1 △ ケース 2 □ ケース 3



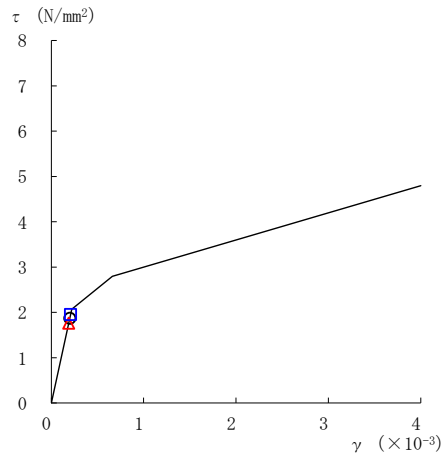
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

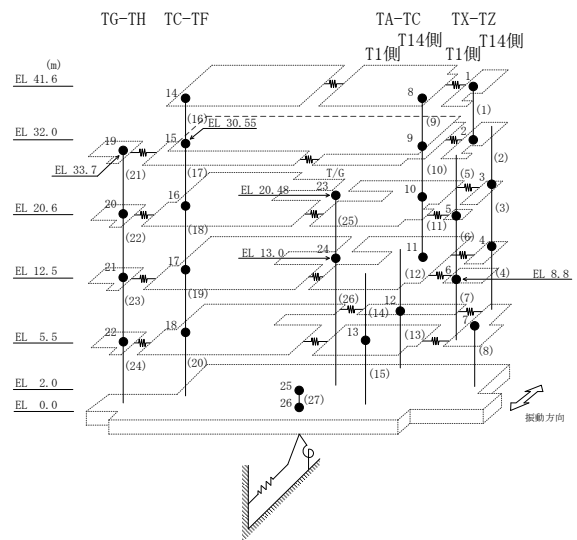


図 2-150(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

表 2-130 弾性設計用地震動 S d による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 1)

(a) N S 方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.464	11.8	100
S d - F 1	0.427	9.66	100
S d - F 2	0.409	8.20	100
S d - N 2 N S	0.444	10.4	100
S d - N 2 E W	0.453	11.1	100
S d - 1	0.511	15.9	100

(b) E W 方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.448	20.9	100
S d - F 1	0.414	17.2	100
S d - F 2	0.405	15.5	100
S d - N 2 N S	0.375	10.2	100
S d - N 2 E W	0.403	14.3	100
S d - 1	0.455	22.7	100

表 2-131 弾性設計用地震動 S d による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 2)

(a) N S 方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.471	12.4	100
S d - F 1	0.423	9.25	100
S d - F 2	0.407	8.04	100
S d - N 2 N S	0.456	11.2	100
S d - N 2 E W	0.449	10.7	100
S d - 1	0.521	16.7	100

(b) E W 方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.444	20.3	100
S d - F 1	0.407	16.2	100
S d - F 2	0.404	15.7	100
S d - N 2 N S	0.377	10.2	100
S d - N 2 E W	0.402	14.1	100
S d - 1	0.448	22.0	100

表 2-132 弾性設計用地震動 S d による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 3)

(a) NS方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.480	12.9	100
S d - F 1	0.429	9.69	100
S d - F 2	0.428	9.59	100
S d - N 2 N S	0.456	11.0	100
S d - N 2 E W	0.460	11.3	100
S d - 1	0.518	16.3	100

(b) EW方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.455	21.3	100
S d - F 1	0.426	18.6	100
S d - F 2	0.404	15.0	100
S d - N 2 N S	0.384	10.4	100
S d - N 2 E W	0.403	13.2	100
S d - 1	0.461	23.0	100

2.2 積雪荷重との組合せ

積雪荷重との組合せを考慮した基準地震動 S_s に対する地震応答解析結果を図 2-151～図 2-225 及び表 2-133～表 2-197 に、弾性設計用地震動 S_d に対する地震応答解析結果を図 2-226～図 2-300 及び表 2-198～表 2-262 に示す。

以後、基本ケースをケース 1、積雪荷重との組合せを考慮したケースをケース 4 として示す。

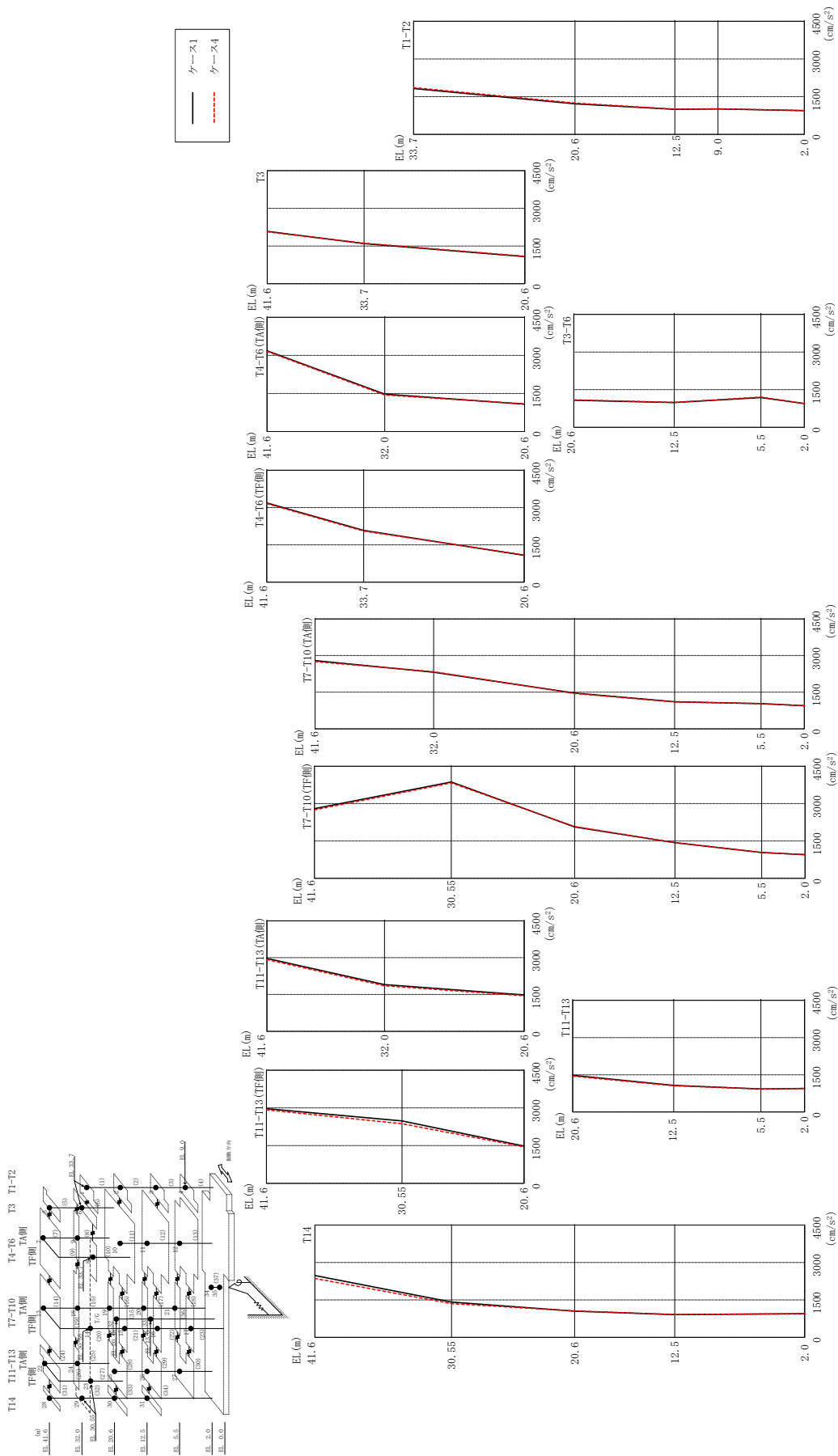
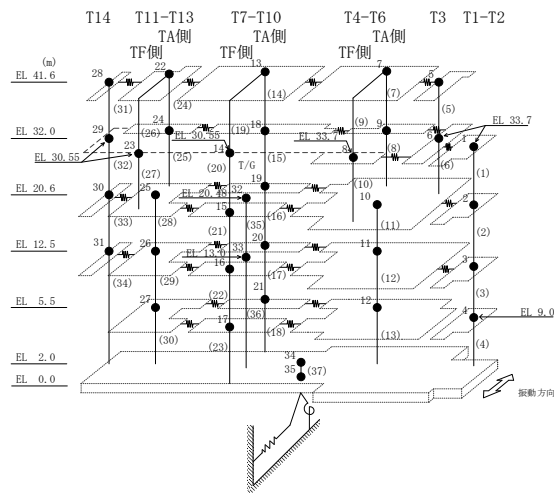


図 2-151 最大応答加速度 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

表 2-133 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, NS 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	1824	1858
	20.6	2	1217	1246
	12.5	3	995	1003
	9.0	4	1012	1014
T3	41.6	5	2085	2064
	33.7	6	1599	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	3157
	32.0	9	1476	1441
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2052
T3-T6	20.6	10	1077	1092
	12.5	11	985	994
	5.5	12	1183	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2749
	32.0	18	2319	2337
	20.6	19	1466	1449
	12.5	20	1106	1095
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3868	3832
	20.6	15	2064	2078
	12.5	16	1430	1429
	5.5	17	1037	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2969	2923
	32.0	24	1902	1857
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2482	2371
T11-T13	20.6	25	1481	1451
	12.5	26	1072	1059
	5.5	27	927	928
T14	41.6	28	2478	2363
	30.55	29	1415	1353
	20.6	30	1053	1059
	12.5	31	915	911
	2.0	34	947	948



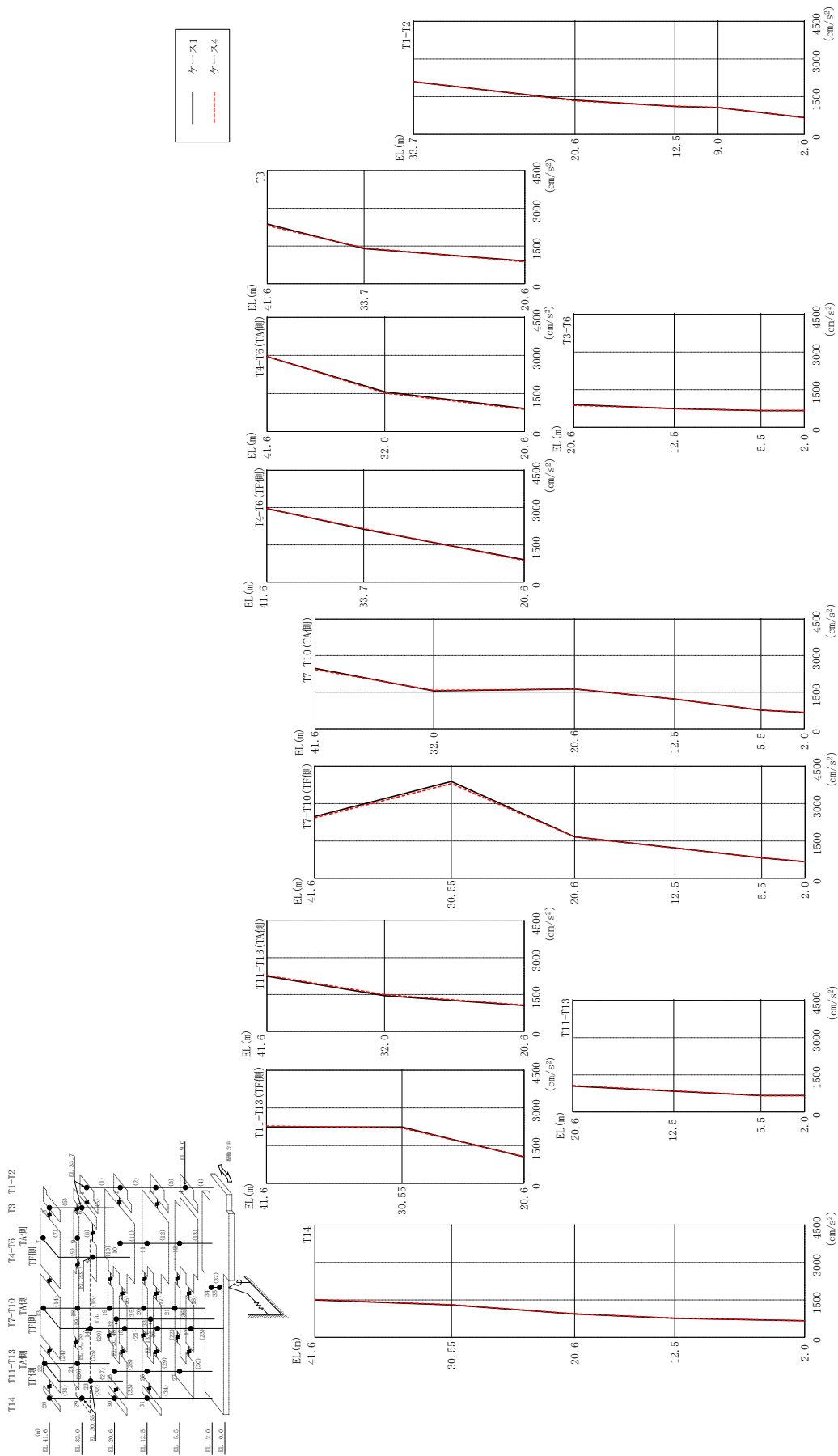
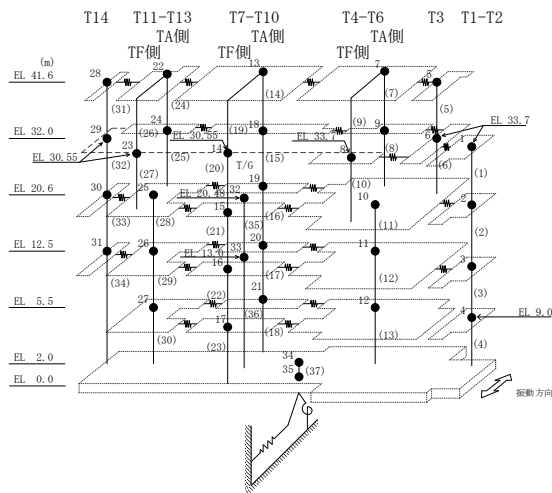


図 2-152 最大応答加速度 (基準地震動 S s - F 1, N S 方向)

表 2-134 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - F1$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	2095	2104
	20.6	2	1363	1338
	12.5	3	1113	1121
	9.0	4	1067	1071
T3	41.6	5	2376	2316
	33.7	6	1401	1425
T4-T6(TA側)	41.6	7	2958	2954
	32.0	9	1568	1521
T4-T6(TF側)	33.7	8	2125	2150
T3-T6	20.6	10	905	875
	12.5	11	740	749
	5.5	12	663	667 </td
T7-T10(TA側)	41.6	13	2475	2425
	32.0	18	1555	1571
	20.6	19	1633	1632
	12.5	20	1217	1219
T7-T10(TF側)	30.55	14	3888	3801
	20.6	15	1668	1663
	12.5	16	1219	1212
	5.5	17	823	826
T11-T13(TA側)	41.6	22	2246	2278
	32.0	24	1454	1498
T11-T13(TF側)	30.55	23	2240	2202
T11-T13	20.6	25	1048	1066
	12.5	26	839	854
	5.5	27	665	662
T14	41.6	28	1499	1518
	30.55	29	1300	1312
	20.6	30	940	943
	12.5	31	763	771
	2.0	34	667	668



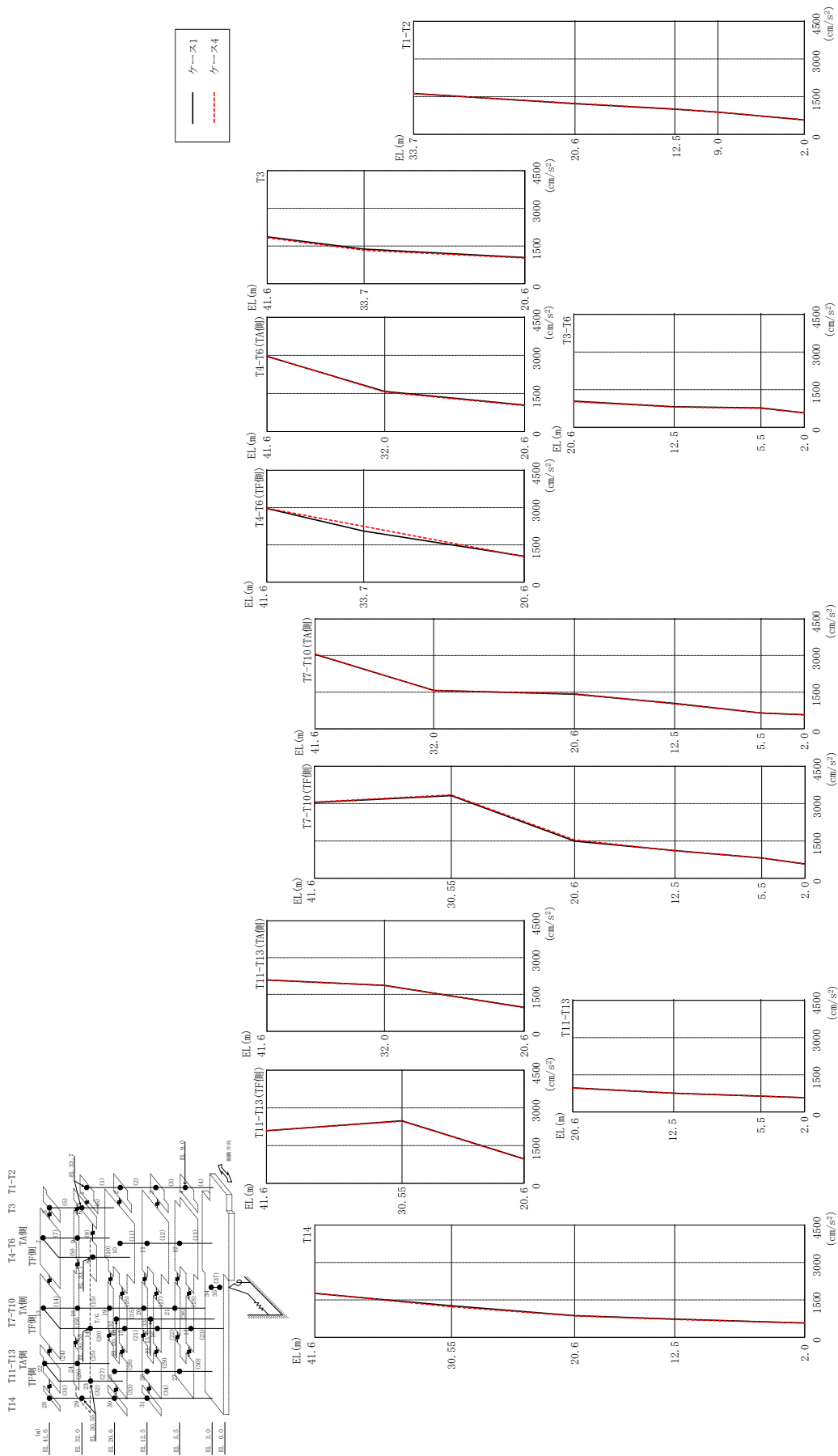
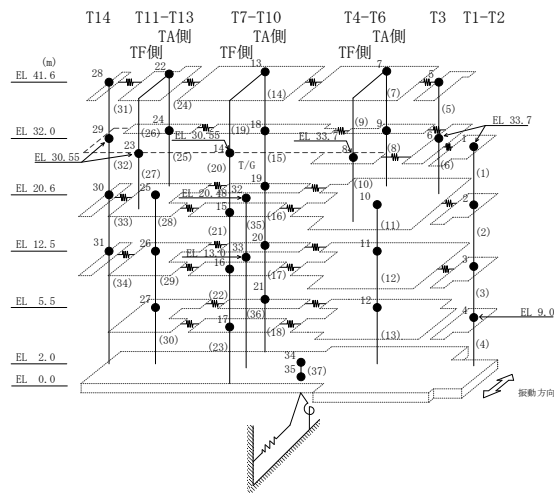


図 2-153 最大応答加速度 (基準地震動 S s - F 2, NS 方向)

表 2-135 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - F2$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	1625	1624
	20.6	2	1220	1237
	12.5	3	1003	1012
	9.0	4	887	886
T3	41.6	5	1866	1833
	33.7	6	1379	1333
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2963	2976
	32.0	9	1580	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2052	2246
T3-T6	20.6	10	1043	1023
	12.5	11	816	806
	5.5	12	774	750
T7-T10 (TA側)	41.6	13	3048	3061
	32.0	18	1574	1568
	20.6	19	1417	1438
	12.5	20	1041	1019
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3319	3350
	20.6	15	1494	1544
	12.5	16	1114	1103
	5.5	17	815	816
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2091	2095
	32.0	24	1870	1868
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2487	2474
T11-T13	20.6	25	976	963
	12.5	26	756	757
	5.5	27	640	641
T14	41.6	28	1762	1771
	30.55	29	1267	1224
	20.6	30	871	862
	12.5	31	733	720
	2.0	34	576	577



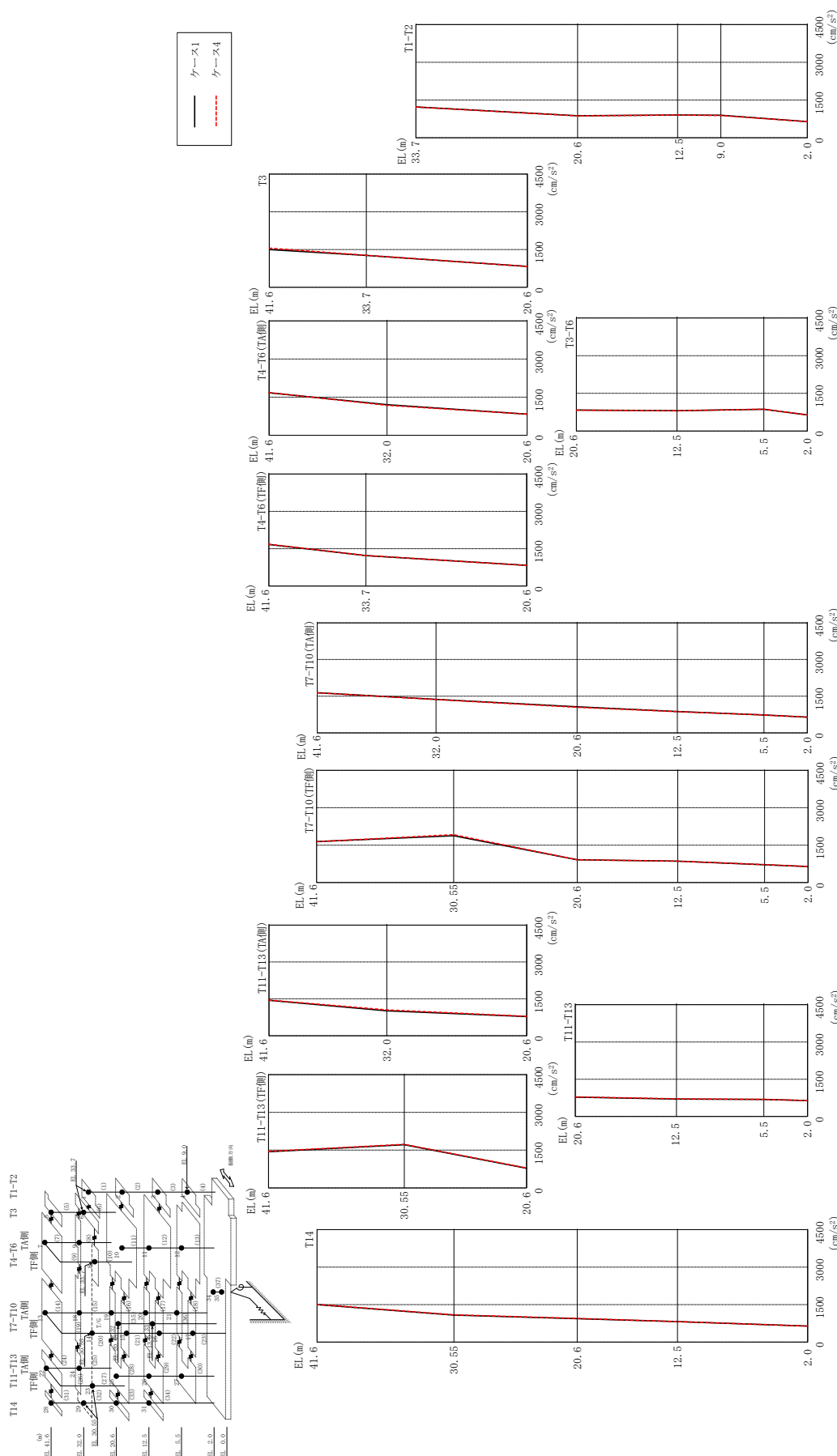
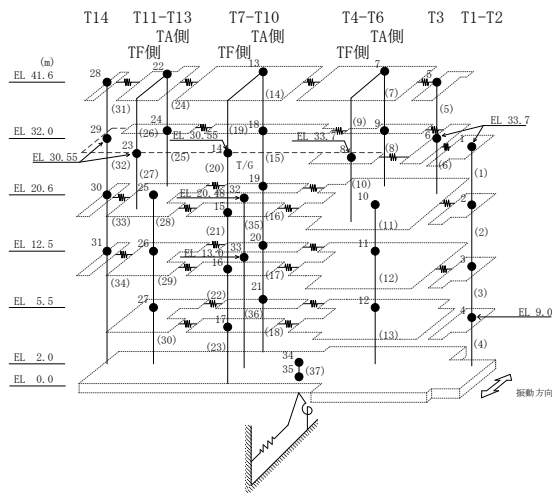


図 2-154 最大応答加速度 (基準地震動 $S_s - N1$, NS 方向)

表 2-136 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N1, NS$ 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	1224	1221
	20.6	2	874	869
	12.5	3	903	903
	9.0	4	893	886
T3	41.6	5	1503	1557
	33.7	6	1265	1272
T4-T6(TA側)	41.6	7	1670	1681
	32.0	9	1202	1176
T4-T6(TF側)	33.7	8	1224	1228
T3-T6	20.6	10	832	829
	12.5	11	807	806
	5.5	12	863	869
T7-T10(TA側)	41.6	13	1639	1637
	32.0	18	1368	1364
	20.6	19	1063	1045
	12.5	20	870	867
T7-T10(TF側)	30.55	14	1876	1920
	20.6	15	912	911
	12.5	16	858	858
	5.5	17	714	717
T11-T13(TA側)	41.6	22	1438	1451
	32.0	24	1014	1048
T11-T13(TF側)	30.55	23	1714	1732
T11-T13	20.6	25	781	792
	12.5	26	702	711
	5.5	27	685	689
T14	41.6	28	1500	1513
	30.55	29	1080	1091
	20.6	30	936	950
	12.5	31	819	823
	2.0	34	640	641



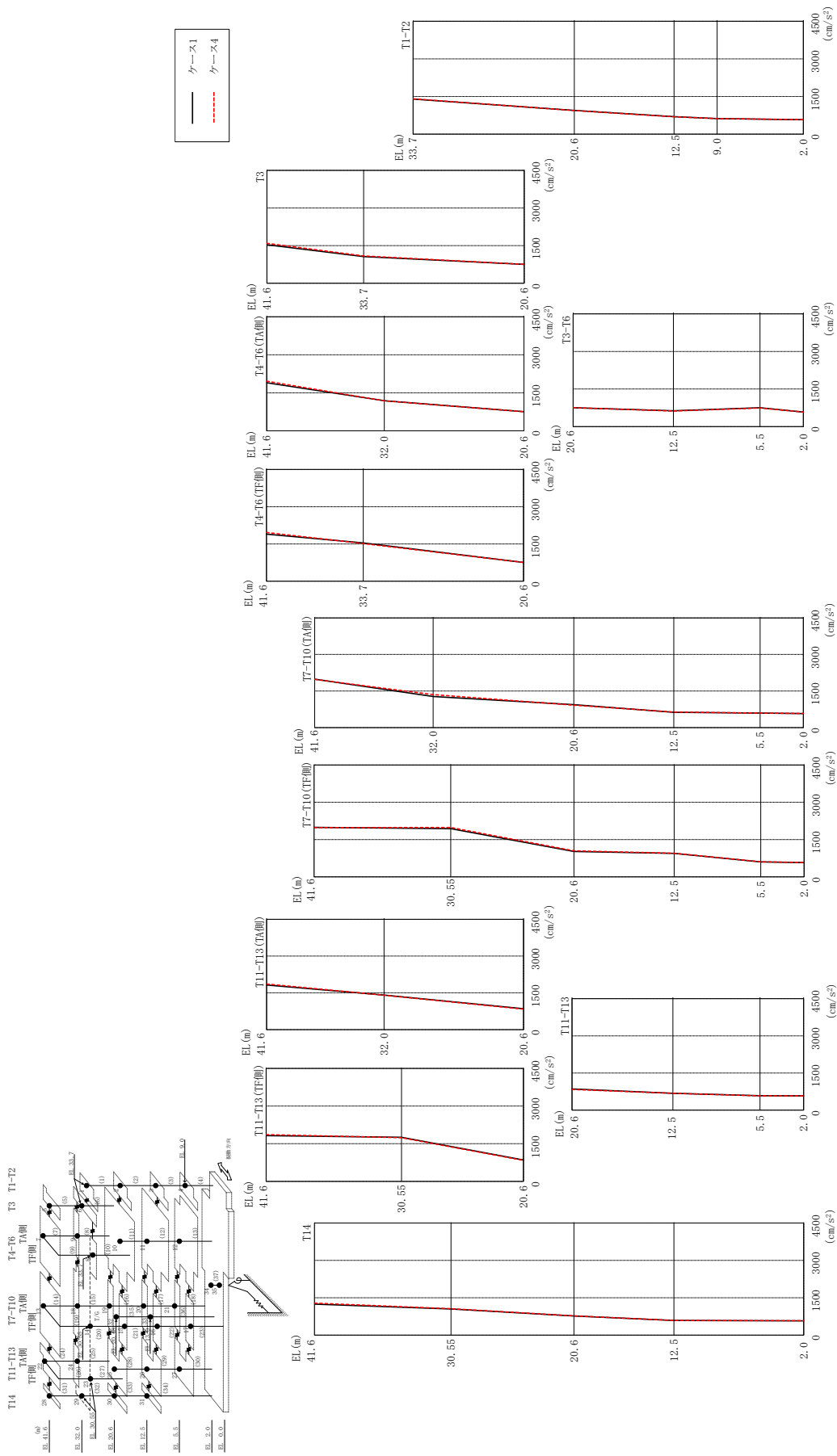
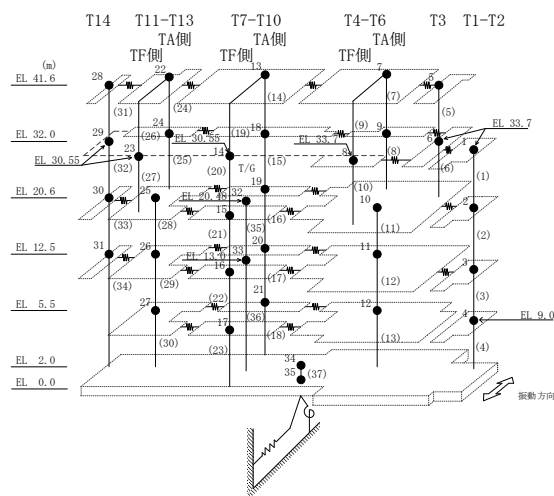


図 2-155 最大応答加速度 (基準地震動 S-N2NS, NS方向)

表 2-137 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	1396	1406
	20.6	2	943	942
	12.5	3	695	691
	9.0	4	622	618
T3	41.6	5	1536	1595
	33.7	6	1063	1089
T4-T6(TA側)	41.6	7	1896	1959
	32.0	9	1188	1184
T4-T6(TF側)	33.7	8	1540	1515
T3-T6	20.6	10	754	755
	12.5	11	628	621
	5.5	12	750	742
T7-T10(TA側)	41.6	13	1989	1979
	32.0	18	1273	1353
	20.6	19	939	921
	12.5	20	626	639
T7-T10(TF側)	30.55	14	1938	1987
	20.6	15	1020	1049
	12.5	16	945	947
	5.5	17	600	604
T11-T13(TA側)	41.6	22	1820	1863
	32.0	24	1408	1402
T11-T13(TF側)	30.55	23	1757	1741
T11-T13	20.6	25	854	838
	12.5	26	679	681
	5.5	27	581	578
T14	41.6	28	1243	1284
	30.55	29	1052	1062
	20.6	30	770	773
	12.5	31	589	588
	2.0	34	577	578



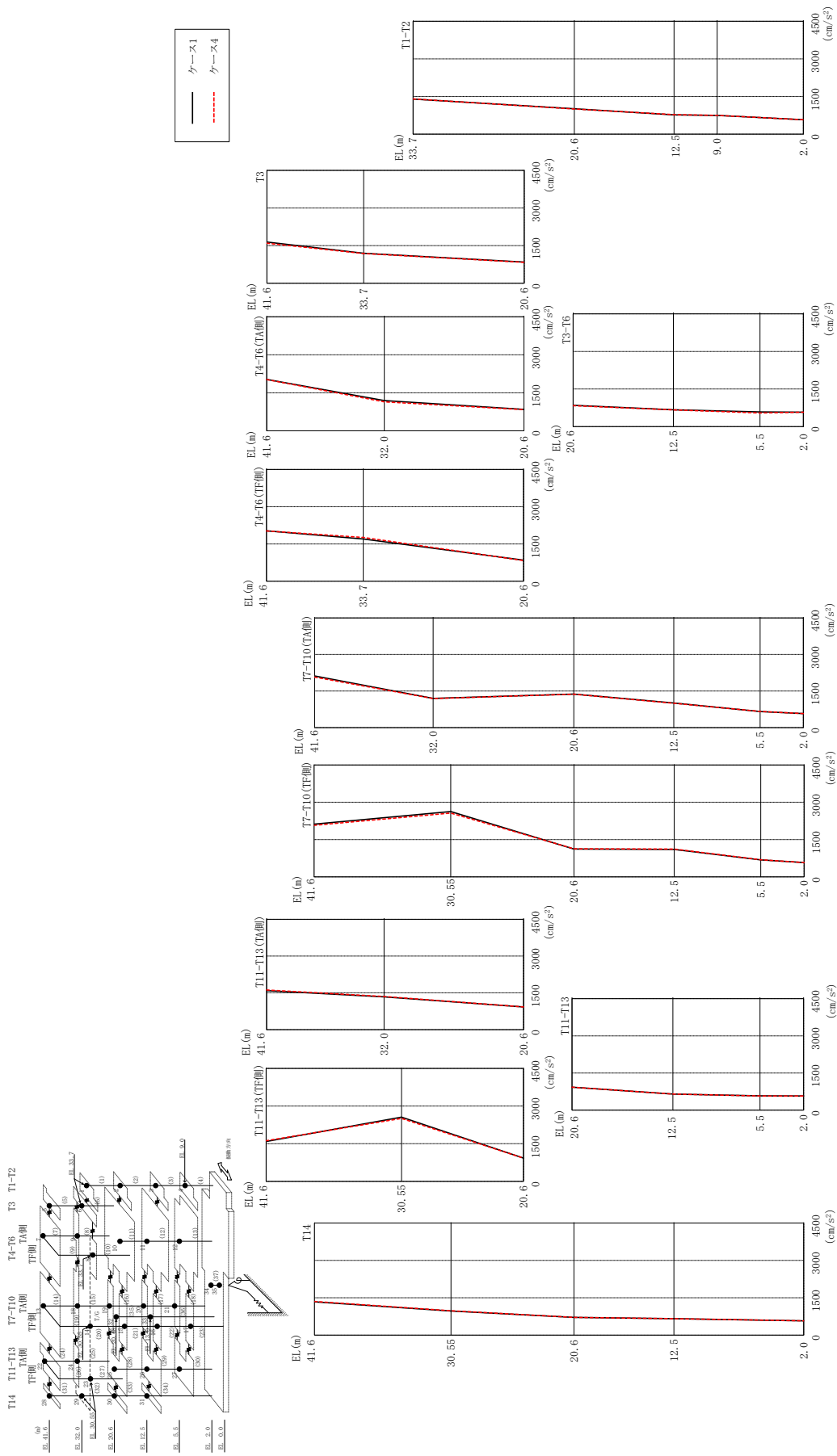
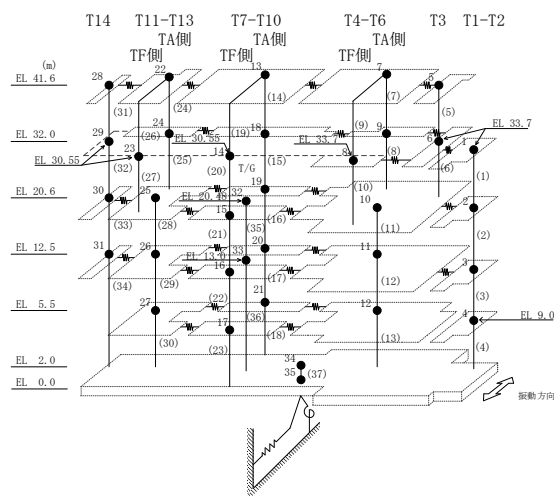


図 2-156 最大応答加速度 (基準地震動 S - N 2 EW, N S 方向)

表 2-138 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	1400	1405
	20.6	2	1012	999
	12.5	3	769	777
	9.0	4	748	746
T3	41.6	5	1642	1597
	33.7	6	1195	1187
T4-T6(TA側)	41.6	7	2031	2024
	32.0	9	1195	1145
T4-T6(TF側)	33.7	8	1699	1762
T3-T6	20.6	10	847	833
	12.5	11	669	666
	5.5	12	583	545
T7-T10(TA側)	41.6	13	2116	2072
	32.0	18	1195	1191
	20.6	19	1373	1367
	12.5	20	1009	1000
T7-T10(TF側)	30.55	14	2628	2564
	20.6	15	1117	1127
	12.5	16	1102	1116
	5.5	17	684	686
T11-T13(TA側)	41.6	22	1590	1617
	32.0	24	1338	1352
T11-T13(TF側)	30.55	23	2559	2508
T11-T13	20.6	25	927	927
	12.5	26	651	649
	5.5	27	577	574
T14	41.6	28	1340	1353
	30.55	29	970	978
	20.6	30	714	711
	12.5	31	663	662
	2.0	34	573	572



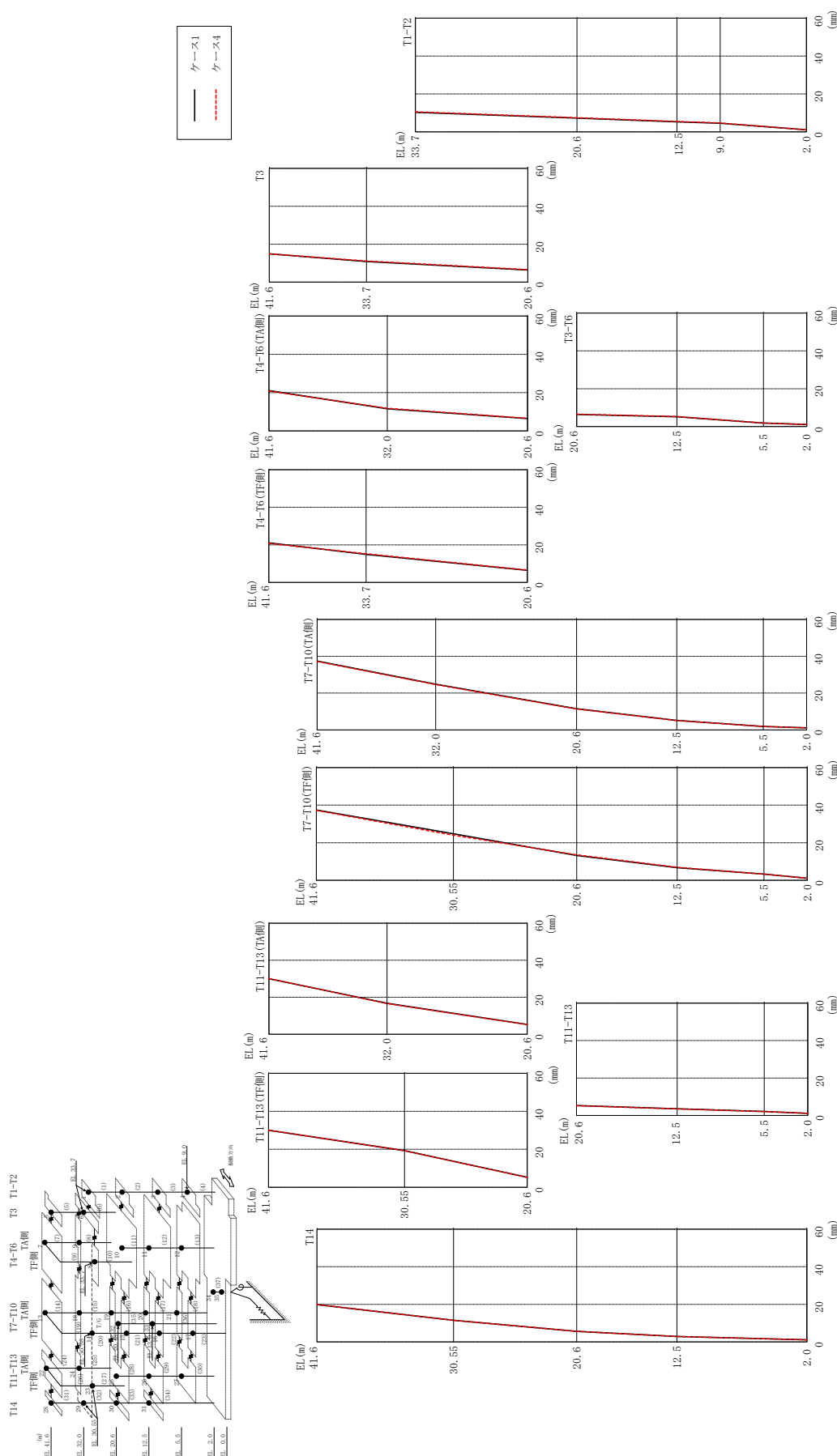
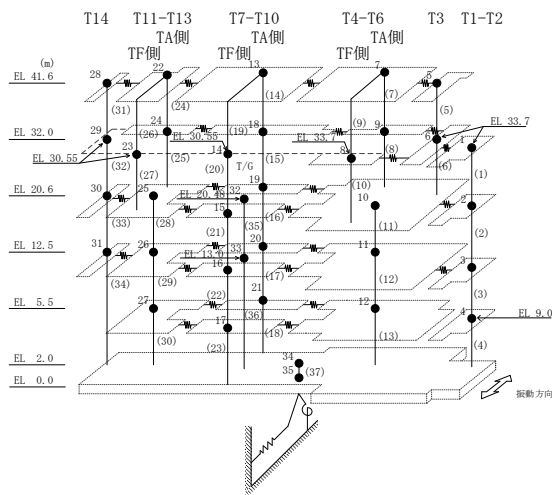


図 2-157 最大応答変位 (基準地震動 S s -D, N S 方向)

表 2-139 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	10.33	10.61
	20.6	2	7.28	7.47
	12.5	3	5.33	5.47
	9.0	4	4.57	4.70
T3	41.6	5	14.92	14.94
	33.7	6	10.87	11.16
T4-T6(TA側)	41.6	7	21.08	20.80
	32.0	9	11.54	11.78
T4-T6(TF側)	33.7	8	14.93	15.23
T3-T6	20.6	10	6.42	6.58
	12.5	11	5.22	5.35
	5.5	12	1.87	1.88
T7-T10(TA側)	41.6	13	37.40	37.20
	32.0	18	24.81	24.62
	20.6	19	11.51	11.36
	12.5	20	5.15	5.07
	5.5	21	1.88	1.90
T7-T10(TF側)	30.55	14	24.75	24.05
	20.6	15	13.26	13.54
	12.5	16	6.72	6.93
	5.5	17	3.31	3.33
T11-T13(TA側)	41.6	22	30.02	30.12
	32.0	24	16.73	16.60
T11-T13(TF側)	30.55	23	19.29	19.25
T11-T13	20.6	25	5.27	5.22
	12.5	26	3.54	3.50
	5.5	27	2.09	2.06
T14	41.6	28	19.87	19.93
	30.55	29	11.51	11.48
	20.6	30	5.66	5.61
	12.5	31	2.92	2.86
	2.0	34	1.12	1.12



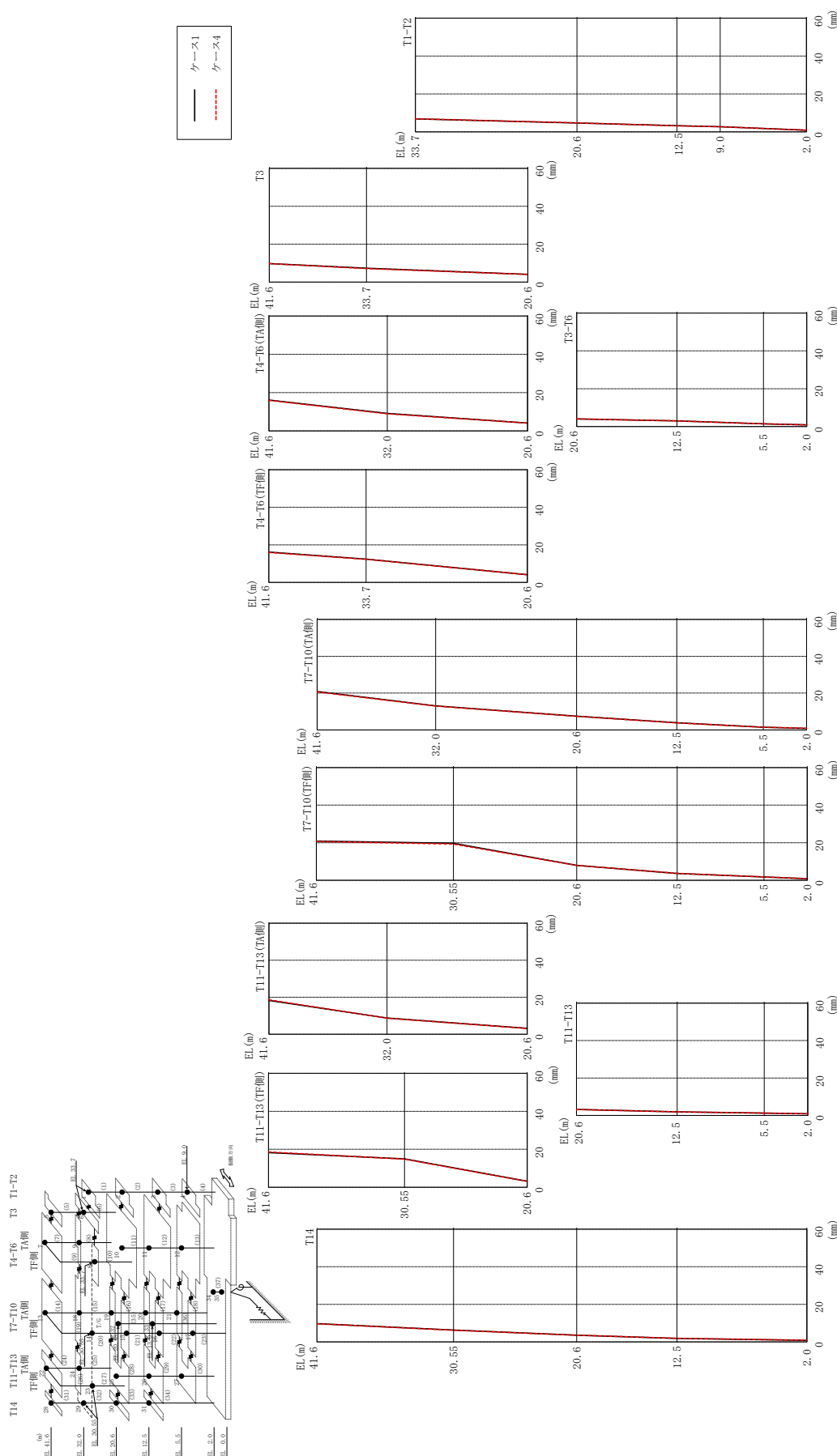
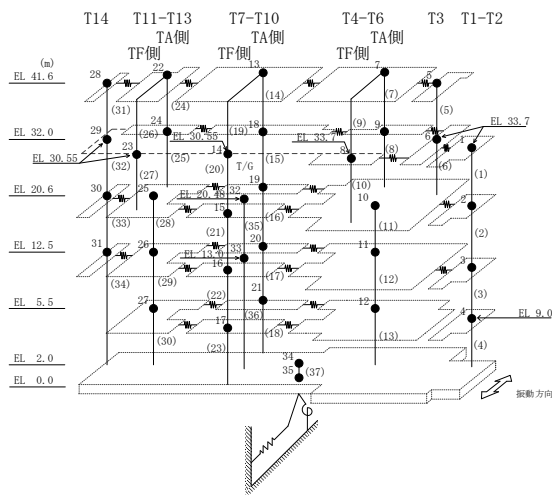


図 2-158 最大芯答変位 (基準地震動 S s - F 1, N S 方向)

表 2-140 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - F1$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	6.88	6.95
	20.6	2	4.71	4.74
	12.5	3	3.24	3.22
	9.0	4	2.74	2.71
T3	41.6	5	9.75	9.77
	33.7	6	7.35	7.12
T4-T6(TA側)	41.6	7	16.12	15.94
	32.0	9	9.11	8.89
T4-T6(TF側)	33.7	8	12.35	12.29
T3-T6	20.6	10	4.06	4.07
	12.5	11	3.04	3.04
	5.5	12	1.42	1.44
T7-T10(TA側)	41.6	13	20.90	20.64
	32.0	18	13.08	12.97
	20.6	19	7.48	7.41
	12.5	20	3.91	3.86
	5.5	21	1.46	1.47
T7-T10(TF側)	30.55	14	19.72	19.31
	20.6	15	7.96	7.95
	12.5	16	3.66	3.69
	5.5	17	1.77	1.79
T11-T13(TA側)	41.6	22	18.29	18.63
	32.0	24	8.74	8.67
T11-T13(TF側)	30.55	23	14.94	14.78
T11-T13	20.6	25	3.18	3.12
	12.5	26	1.94	1.90
	5.5	27	1.24	1.27
T14	41.6	28	9.71	9.65
	30.55	29	6.33	6.26
	20.6	30	3.61	3.56
	12.5	31	1.89	1.91
	2.0	34	0.87	0.88



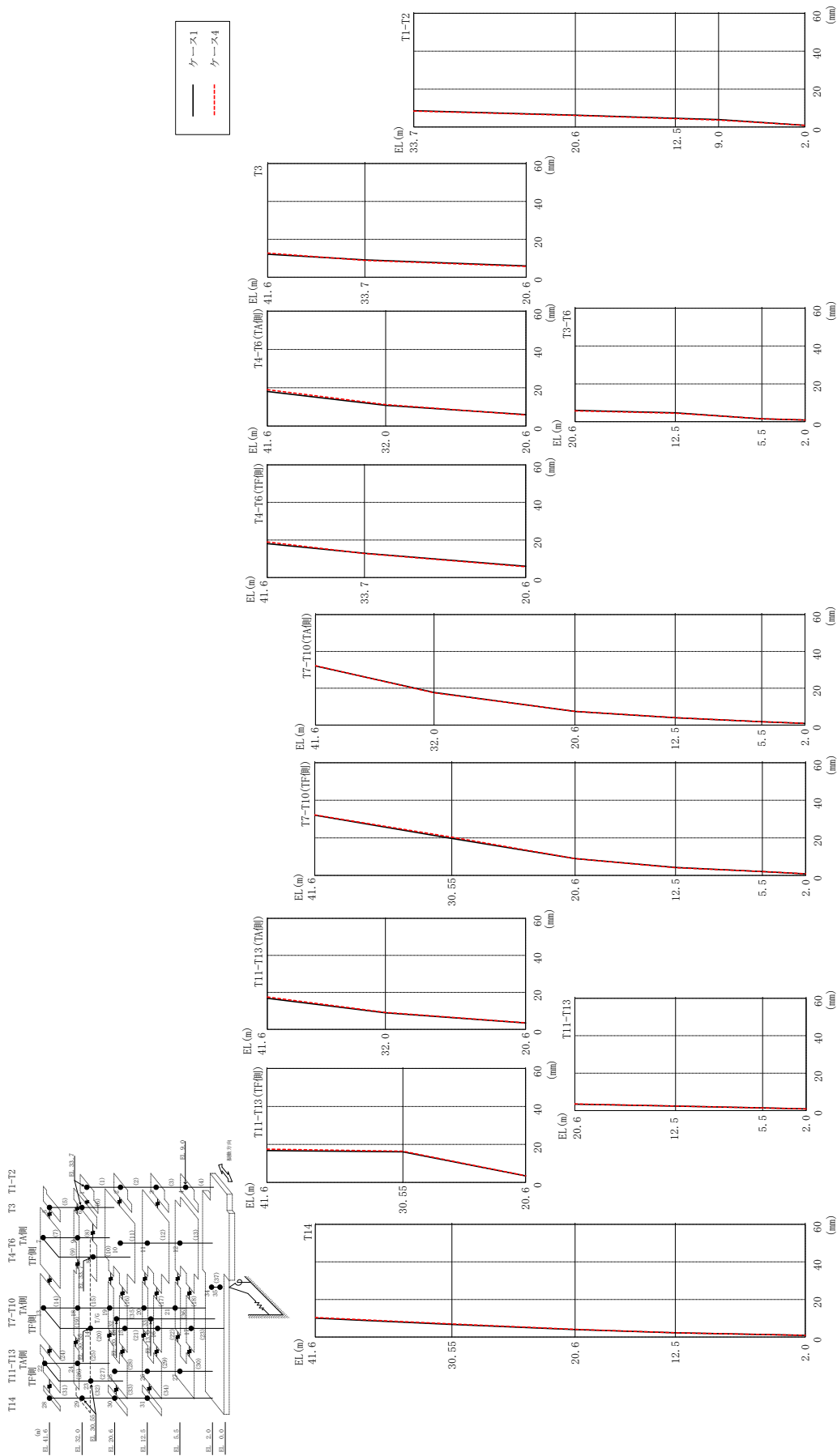
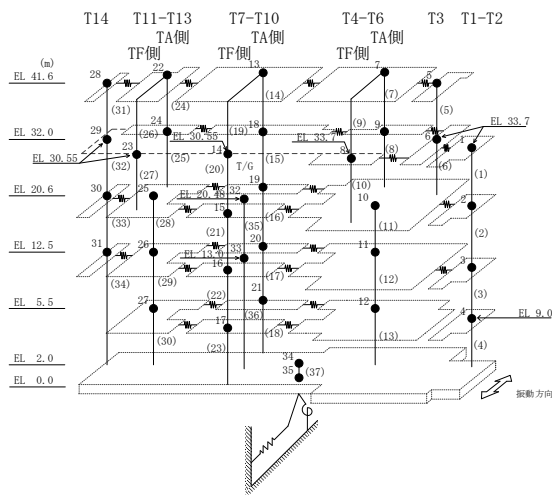


図 2-159 最大芯答変位 (基準地震動 S s - F 2, N S 方向)

表 2-141 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - F2$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	8.61	8.42
	20.6	2	6.28	6.08
	12.5	3	4.65	4.40
	9.0	4	3.96	3.70
T3	41.6	5	12.16	12.74
	33.7	6	9.17	8.92
T4-T6(TA側)	41.6	7	18.03	18.97
	32.0	9	10.79	11.21
T4-T6(TF側)	33.7	8	12.91	12.78
T3-T6	20.6	10	5.98	5.74
	12.5	11	4.74	4.48
	5.5	12	1.55	1.56
T7-T10(TA側)	41.6	13	32.08	32.20
	32.0	18	17.76	17.50
	20.6	19	7.37	7.45
	12.5	20	3.99	4.03
	5.5	21	1.79	1.80
T7-T10(TF側)	30.55	14	19.74	20.41
	20.6	15	8.99	8.99
	12.5	16	4.26	4.15
	5.5	17	2.05	2.11
T11-T13(TA側)	41.6	22	16.81	17.49
	32.0	24	8.96	9.16
T11-T13(TF側)	30.55	23	16.13	16.43
T11-T13	20.6	25	3.45	3.53
	12.5	26	2.41	2.42
	5.5	27	1.46	1.46
T14	41.6	28	10.06	10.45
	30.55	29	6.73	6.98
	20.6	30	4.01	4.14
	12.5	31	2.28	2.29
	2.0	34	0.88	0.88



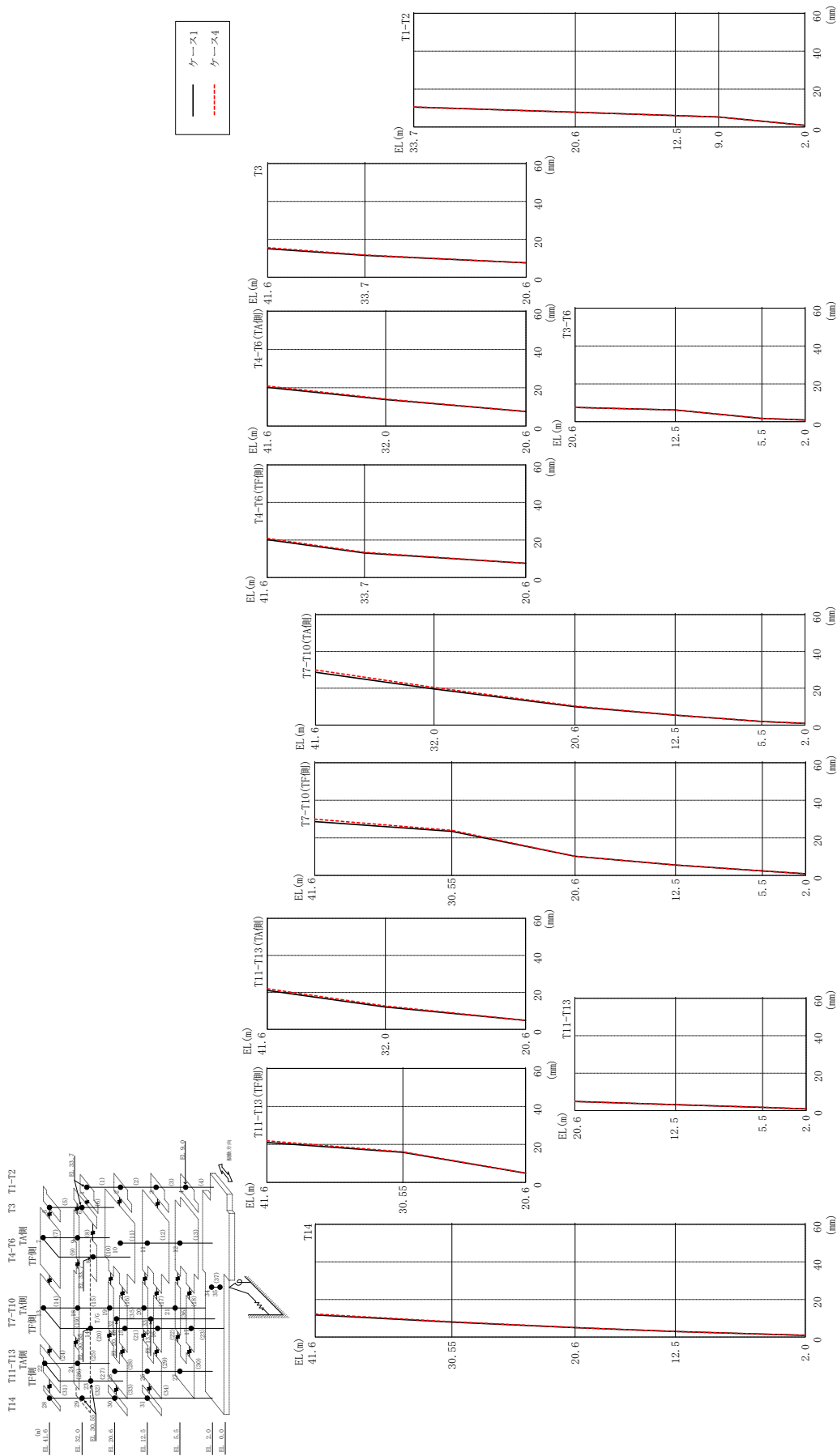
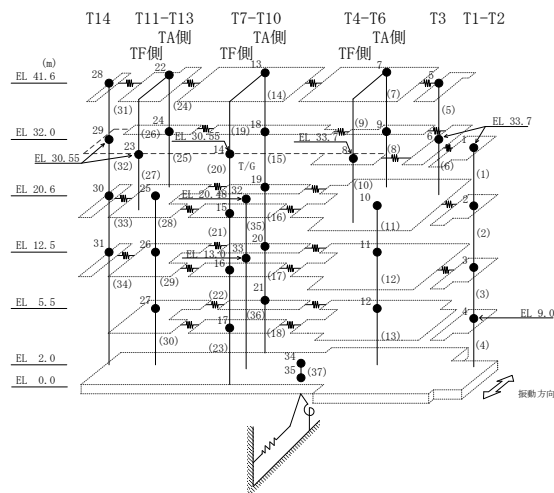


図 2-160 最大芯変位 (基準地震動 S-N 方向)

表 2-142 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - N1$, NS方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	10.49	10.57
	20.6	2	7.78	7.78
	12.5	3	6.05	6.03
	9.0	4	5.29	5.26
T3	41.6	5	15.05	15.61
	33.7	6	11.55	11.73
T4-T6(TA側)	41.6	7	20.19	20.85
	32.0	9	13.79	14.09
T4-T6(TF側)	33.7	8	13.07	13.36
	20.6	10	7.59	7.59
	12.5	11	6.21	6.20
T3-T6	5.5	12	1.74	1.78
	41.6	13	28.68	29.96
	32.0	18	19.62	20.43
	20.6	19	9.99	10.30
	12.5	20	5.35	5.43
T7-T10(TA側)	5.5	21	1.97	1.97
	30.55	14	23.50	24.05
	20.6	15	10.18	10.24
	12.5	16	5.55	5.59
	5.5	17	2.42	2.43
T7-T10(TF側)	41.6	22	21.02	21.95
	32.0	24	12.08	12.62
	30.55	23	15.80	16.13
T11-T13(TA側)	20.6	25	4.85	4.90
	12.5	26	3.14	3.17
	5.5	27	1.73	1.75
T11-T13(TF側)	41.6	28	11.78	12.23
	30.55	29	7.97	8.19
	20.6	30	5.00	5.10
	12.5	31	2.96	2.99
	2.0	34	0.89	0.88



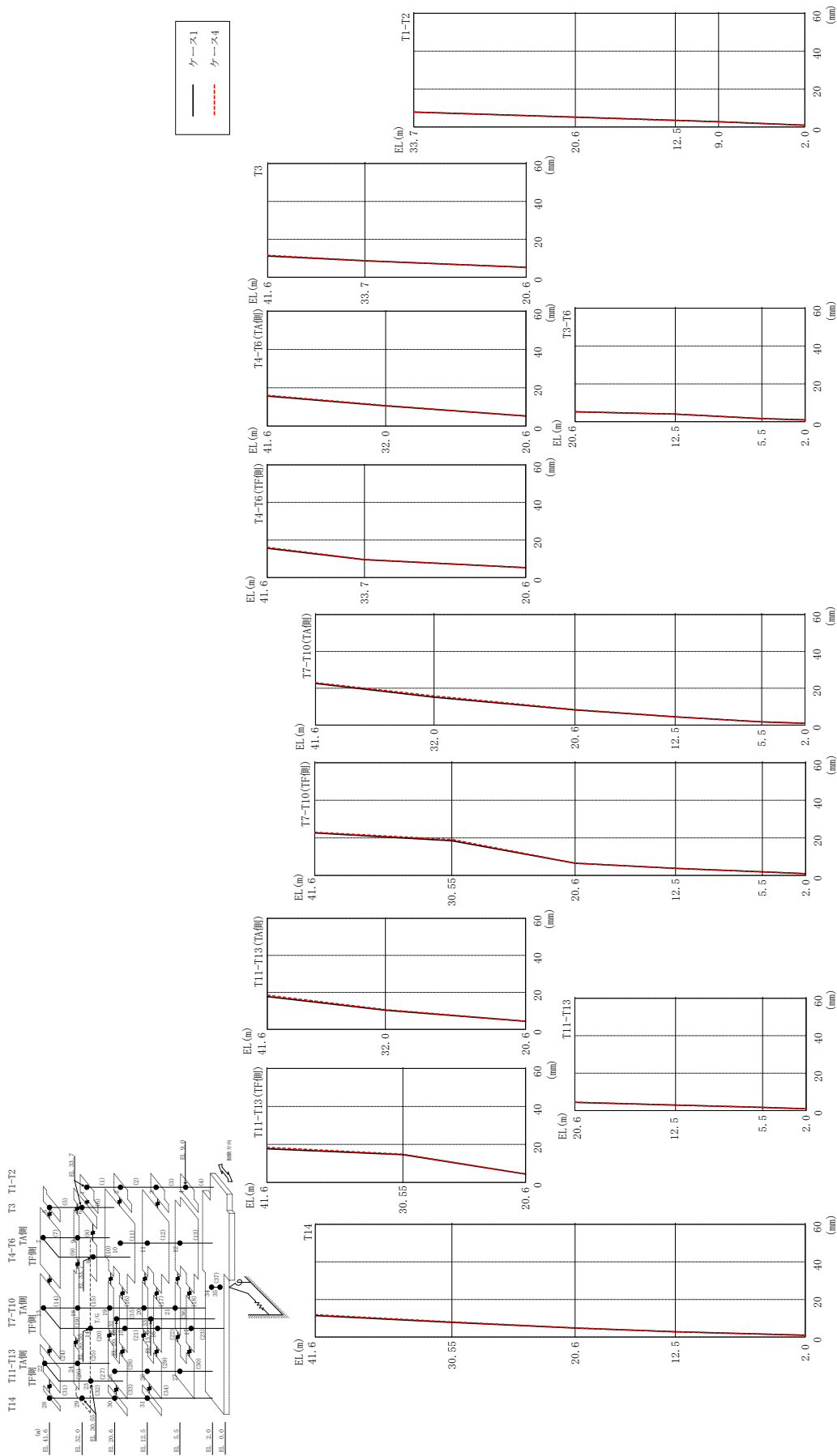
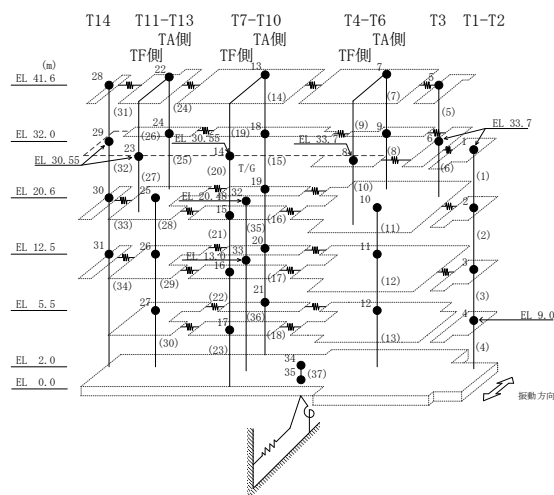


図 2-161 最大芯変位 (基準地震動 S - N 2 N S, N S 方向)

表 2-143 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	7.87	7.92
	20.6	2	5.21	5.20
	12.5	3	3.51	3.49
	9.0	4	2.82	2.79
T3	41.6	5	11.23	11.61
	33.7	6	8.68	8.77
T4-T6(TA側)	41.6	7	15.59	16.05
	32.0	9	10.49	10.69
T4-T6(TF側)	33.7	8	9.53	9.62
T3-T6	20.6	10	5.24	5.23
	12.5	11	4.04	4.03
	5.5	12	1.67	1.66
T7-T10(TA側)	41.6	13	22.63	23.02
	32.0	18	15.16	15.83
	20.6	19	8.23	8.45
	12.5	20	4.48	4.53
	5.5	21	1.75	1.74
T7-T10(TF側)	30.55	14	18.49	19.15
	20.6	15	6.52	6.61
	12.5	16	3.78	3.80
	5.5	17	1.95	1.95
T11-T13(TA側)	41.6	22	17.70	18.50
	32.0	24	10.35	10.70
T11-T13(TF側)	30.55	23	14.63	14.90
T11-T13	20.6	25	4.41	4.43
	12.5	26	2.93	2.94
	5.5	27	1.68	1.68
T14	41.6	28	11.47	11.89
	30.55	29	7.85	8.08
	20.6	30	4.81	4.89
	12.5	31	2.81	2.82
	2.0	34	0.96	0.95



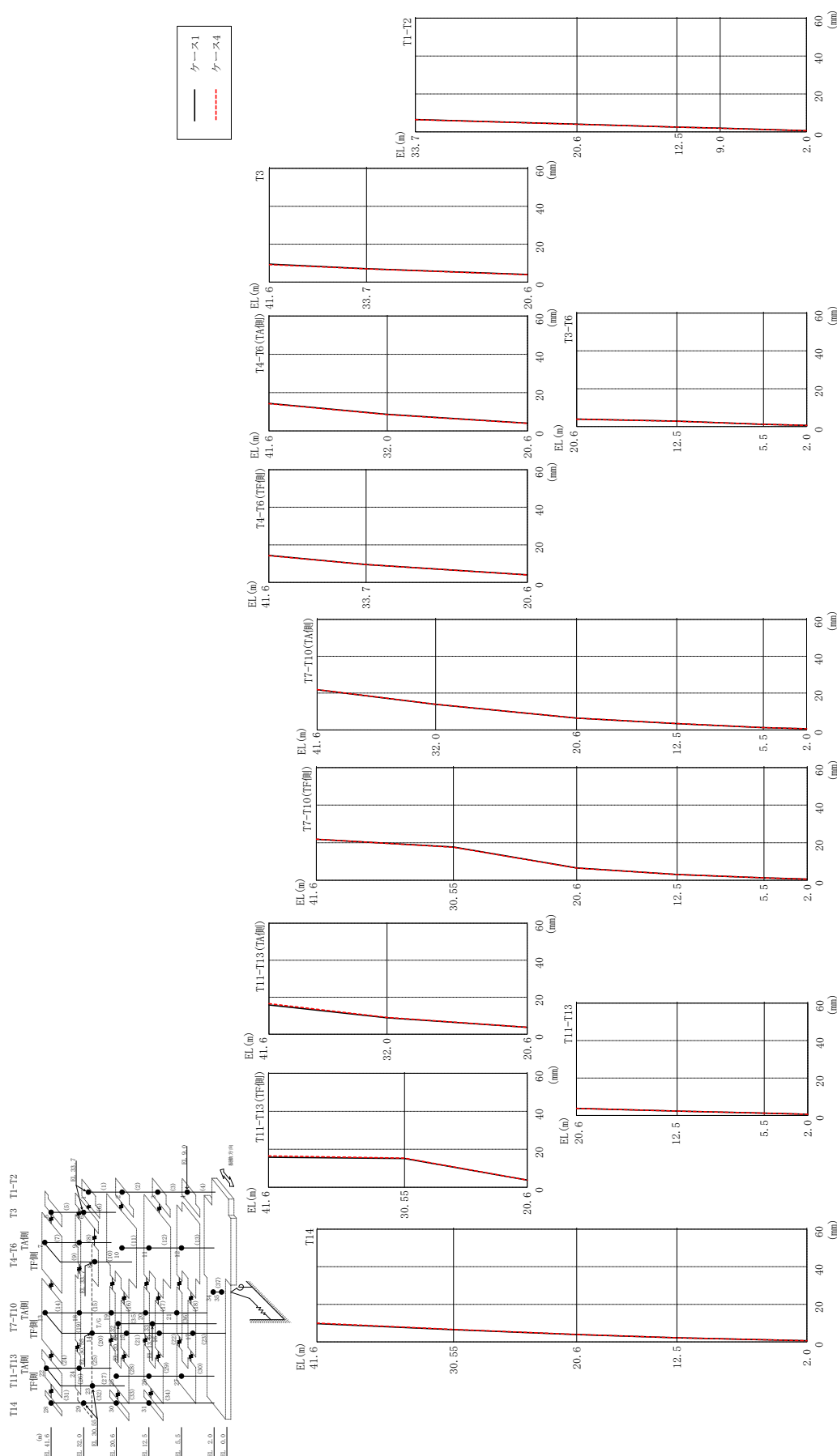
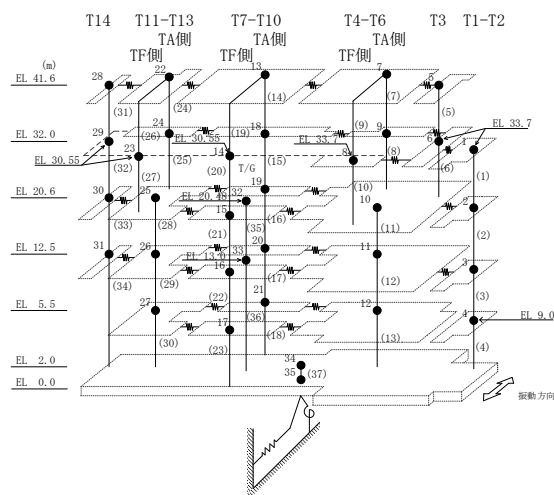


図 2-162 最大応答変位 (基準地震動 S - N 2EW, NS 方向)

表 2-144 最大応答変位一覧（基準地震動 $S_s - N 2 EW, NS$ 方向）

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	6.53	6.43
	20.6	2	4.10	4.01
	12.5	3	2.54	2.50
	9.0	4	1.95	1.93
T3	41.6	5	9.48	9.21
	33.7	6	7.11	7.00
T4-T6(TA側)	41.6	7	14.34	14.20
	32.0	9	8.61	8.48
T4-T6(TF側)	33.7	8	9.49	9.50
T3-T6	20.6	10	4.00	3.92
	12.5	11	2.88	2.82
	5.5	12	1.18	1.17
T7-T10(TA側)	41.6	13	21.82	21.91
	32.0	18	13.91	13.94
	20.6	19	6.45	6.44
	12.5	20	3.45	3.46
	5.5	21	1.24	1.24
T7-T10(TF側)	30.55	14	17.75	17.59
	20.6	15	6.62	6.55
	12.5	16	3.13	3.12
	5.5	17	1.30	1.30
T11-T13(TA側)	41.6	22	15.82	16.52
	32.0	24	8.88	9.12
T11-T13(TF側)	30.55	23	15.17	15.34
T11-T13	20.6	25	3.76	3.76
	12.5	26	2.35	2.34
	5.5	27	1.22	1.21
T14	41.6	28	9.73	10.03
	30.55	29	6.54	6.68
	20.6	30	3.92	3.97
	12.5	31	2.21	2.22
	2.0	34	0.62	0.62



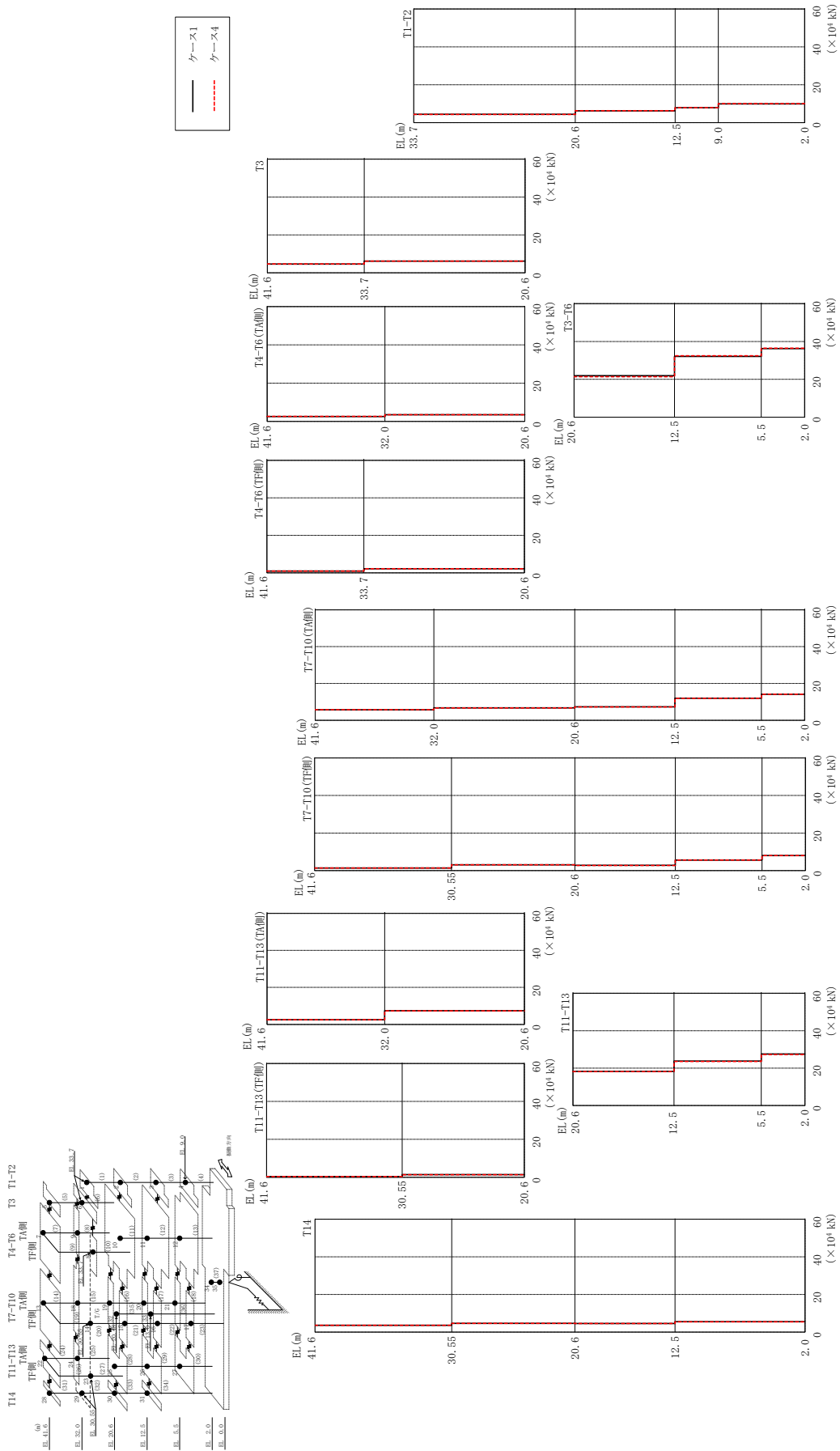
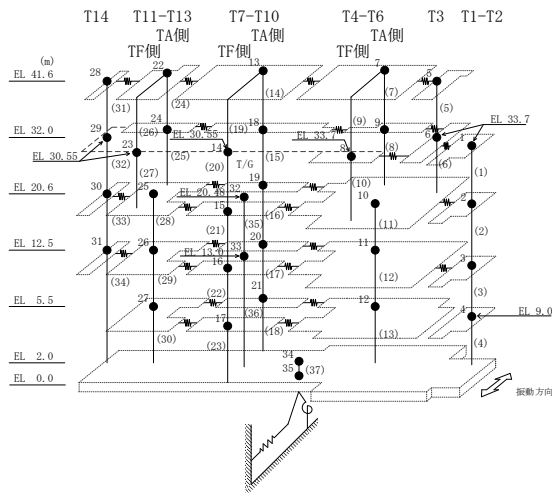


図 2-163 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

表 2-145 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - D, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	4.34
	20.6~12.5	2	6.26	6.29
	12.5~9.0	3	7.84	7.94
	9.0~2.0	4	9.87	10.0
T3	41.6~33.7	5	4.65	4.69
	33.7~20.6	6	6.21	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.61
	32.0~20.6	8	3.50	3.49
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.945	0.984
	33.7~20.6	10	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	21.4
	12.5~5.5	12	32.1	32.5
	5.5~2.0	13	36.3	36.4
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.79
	32.0~20.6	15	6.71	6.69
	20.6~12.5	16	7.29	7.22
	12.5~5.5	17	12.0	11.9
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.37
	30.55~20.6	20	3.05	3.10
	20.6~12.5	21	2.77	2.77
	12.5~5.5	22	5.59	5.64
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.57
	32.0~20.6	25	7.37	7.32
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.421	0.403
	30.55~20.6	27	1.41	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	18.3	18.1
	12.5~5.5	29	23.8	23.6
	5.5~2.0	30	27.5	27.3
T14	41.6~30.55	31	3.62	3.65
	30.55~20.6	32	4.68	4.69
	20.6~12.5	33	4.61	4.60
	12.5~2.0	34	5.54	5.47



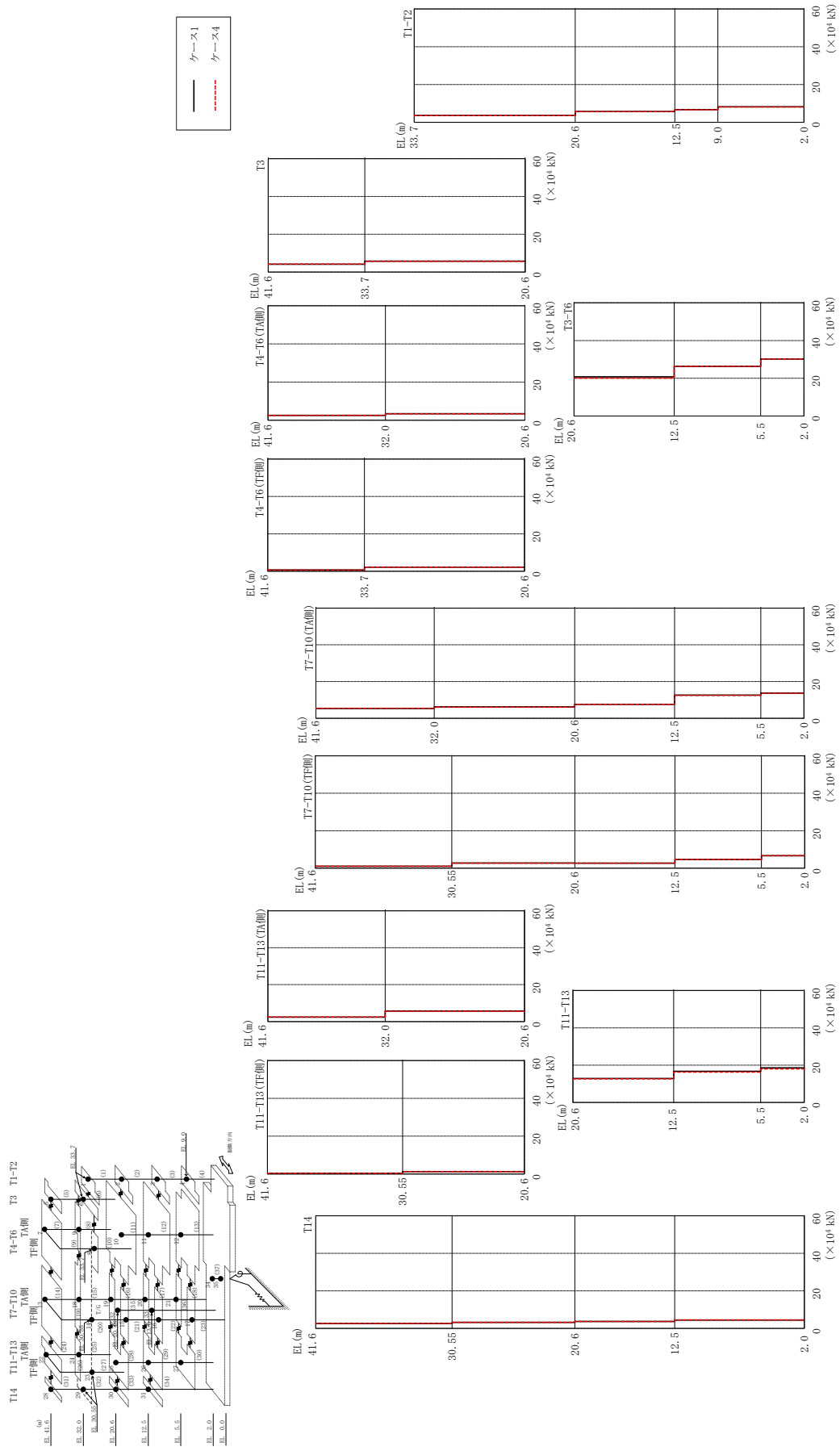
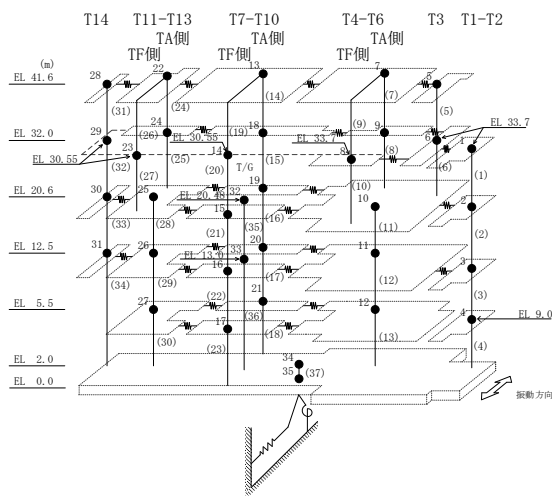


図 2-164 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - F 1, N S 方向)

表 2-146 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.55	3.57
	20.6~12.5	2	5.71	5.67
	12.5~9.0	3	6.70	6.63
	9.0~2.0	4	8.21	8.16
T3	41.6~33.7	5	4.18	4.19
	33.7~20.6	6	5.75	5.70
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.56
	32.0~20.6	8	3.44	3.36
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.711	0.693
	33.7~20.6	10	2.16	2.17
T3-T6	20.6~12.5	11	20.7	20.0
	12.5~5.5	12	26.3	26.4
	5.5~2.0	13	30.2	30.2
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.35	5.39
	32.0~20.6	15	6.18	6.05
	20.6~12.5	16	7.56	7.59
	12.5~5.5	17	12.6	12.5
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.05	1.03
	30.55~20.6	20	2.72	2.65
	20.6~12.5	21	2.66	2.65
	12.5~5.5	22	4.64	4.66
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.41	2.47
	32.0~20.6	25	5.72	5.62
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.396	0.388
	30.55~20.6	27	1.25	1.24
T11-T13	20.6~12.5	28	12.9	12.7
	12.5~5.5	29	16.7	16.3
	5.5~2.0	30	18.5	18.0
T14	41.6~30.55	31	2.67	2.70
	30.55~20.6	32	3.23	3.22
	20.6~12.5	33	3.67	3.73
	12.5~2.0	34	4.47	4.51



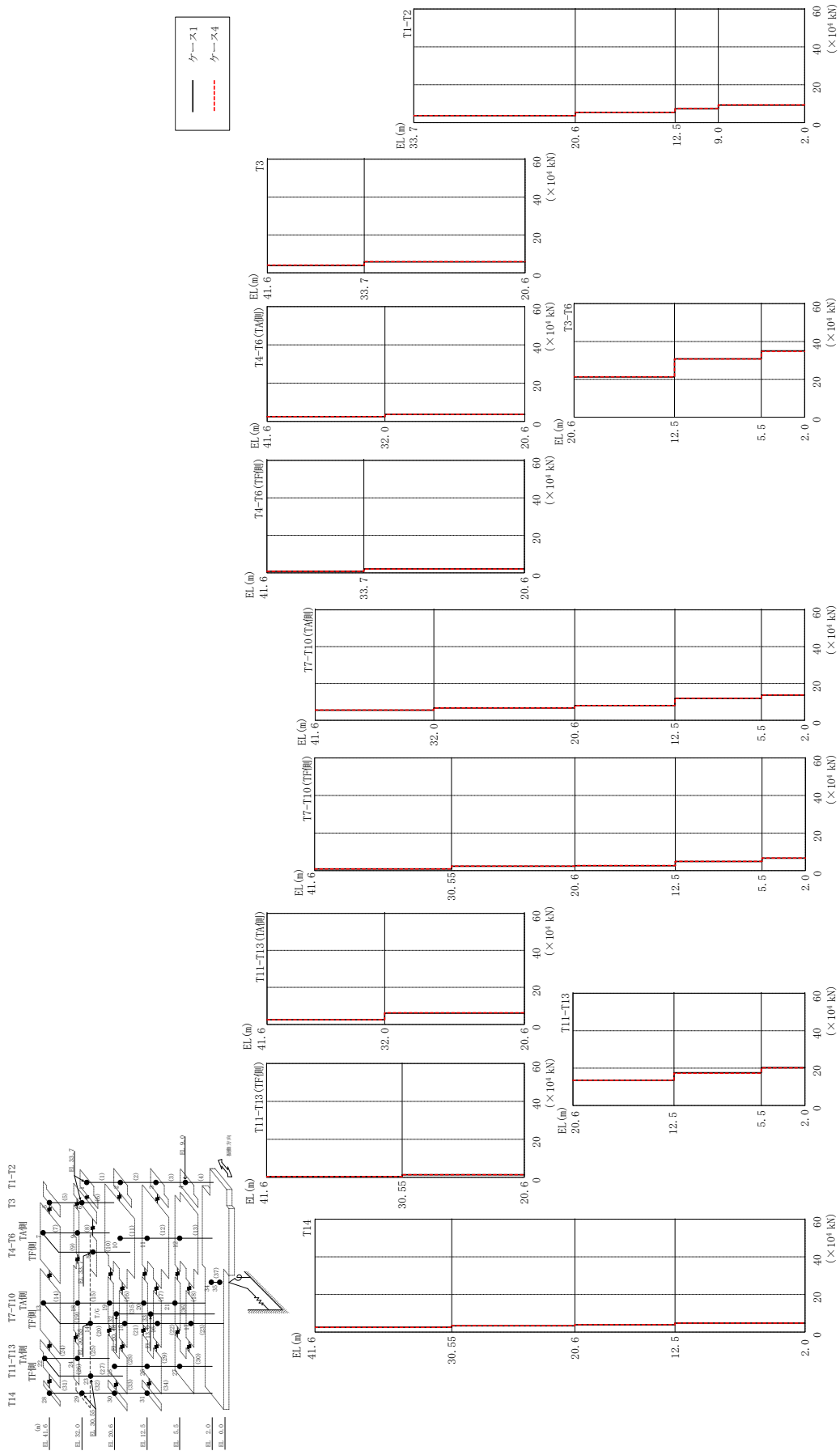
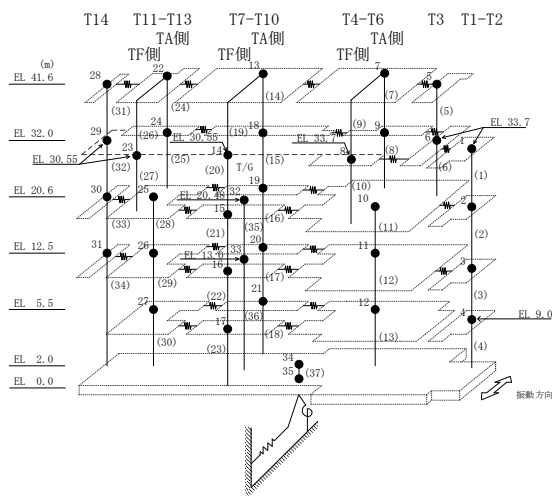


図 2-165 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - F 2, N S 方向)

表 2-147 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S_s-F2, NS方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.66	3.70
	20.6~12.5	2	5.40	5.44
	12.5~9.0	3	7.32	7.36
	9.0~2.0	4	9.28	9.38
T3	41.6~33.7	5	3.90	4.08
	33.7~20.6	6	5.77	5.94
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.44	2.46
	32.0~20.6	8	3.66	3.65
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.806	0.800
	33.7~20.6	10	2.10	2.08
T3-T6	20.6~12.5	11	21.2	21.3
	12.5~5.5	12	30.8	30.7
	5.5~2.0	13	35.0	34.7
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.46	5.58
	32.0~20.6	15	6.70	6.70
	20.6~12.5	16	8.03	8.01
	12.5~5.5	17	11.9	11.9
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.915	0.899
	30.55~20.6	20	2.33	2.38
	20.6~12.5	21	2.61	2.64
	12.5~5.5	22	4.83	4.94
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.54	2.54
	32.0~20.6	25	6.09	6.30
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.376	0.364
	30.55~20.6	27	1.34	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	13.5	13.5
	12.5~5.5	29	17.5	17.3
	5.5~2.0	30	20.3	20.2
T14	41.6~30.55	31	2.59	2.55
	30.55~20.6	32	3.35	3.41
	20.6~12.5	33	3.94	3.95
	12.5~2.0	34	4.80	4.78



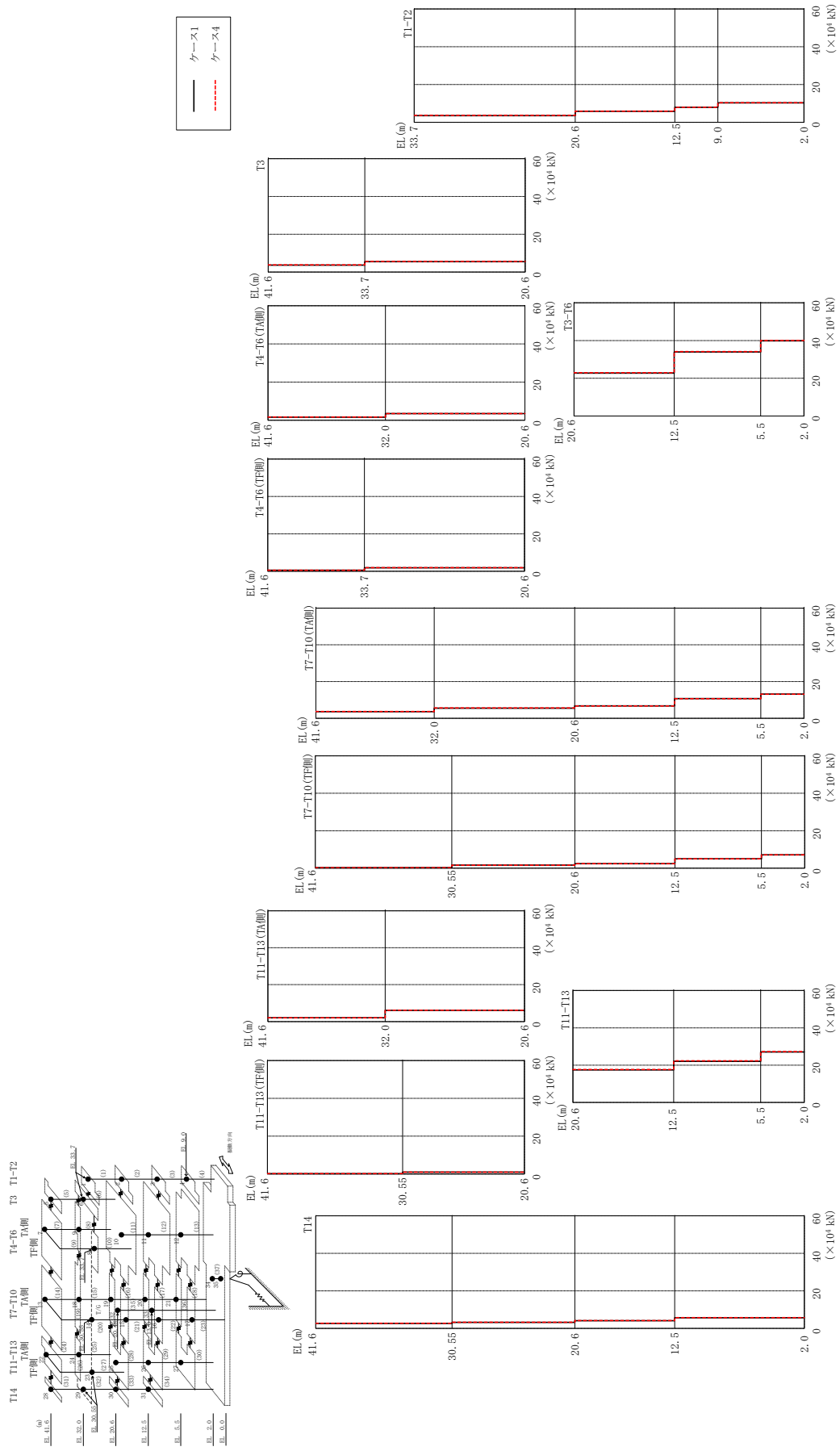
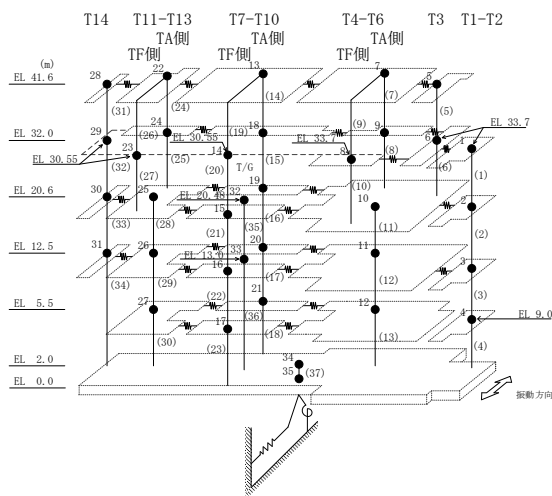


図 2-166 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

表 2-148 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.52	3.64
	20.6~12.5	2	5.80	5.89
	12.5~9.0	3	7.91	7.95
	9.0~2.0	4	10.3	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.68	3.83
	33.7~20.6	6	5.52	5.67
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.69
	32.0~20.6	8	3.49	3.48
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.541	0.571
	33.7~20.6	10	1.86	1.88
T3-T6	20.6~12.5	11	22.7	23.0
	12.5~5.5	12	33.9	34.1
	5.5~2.0	13	39.9	40.0
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.62	3.68
	32.0~20.6	15	5.50	5.60
	20.6~12.5	16	6.76	6.70
	12.5~5.5	17	10.7	10.6
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.292	0.304
	30.55~20.6	20	1.61	1.60
	20.6~12.5	21	2.38	2.39
	12.5~5.5	22	5.00	5.00
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.02	2.04
	32.0~20.6	25	6.06	6.17
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.178	0.196
	30.55~20.6	27	1.01	1.03
T11-T13	20.6~12.5	28	17.5	17.7
	12.5~5.5	29	22.1	22.3
	5.5~2.0	30	27.1	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.65	2.74
	30.55~20.6	32	3.23	3.32
	20.6~12.5	33	4.09	4.15
	12.5~2.0	34	5.70	5.75



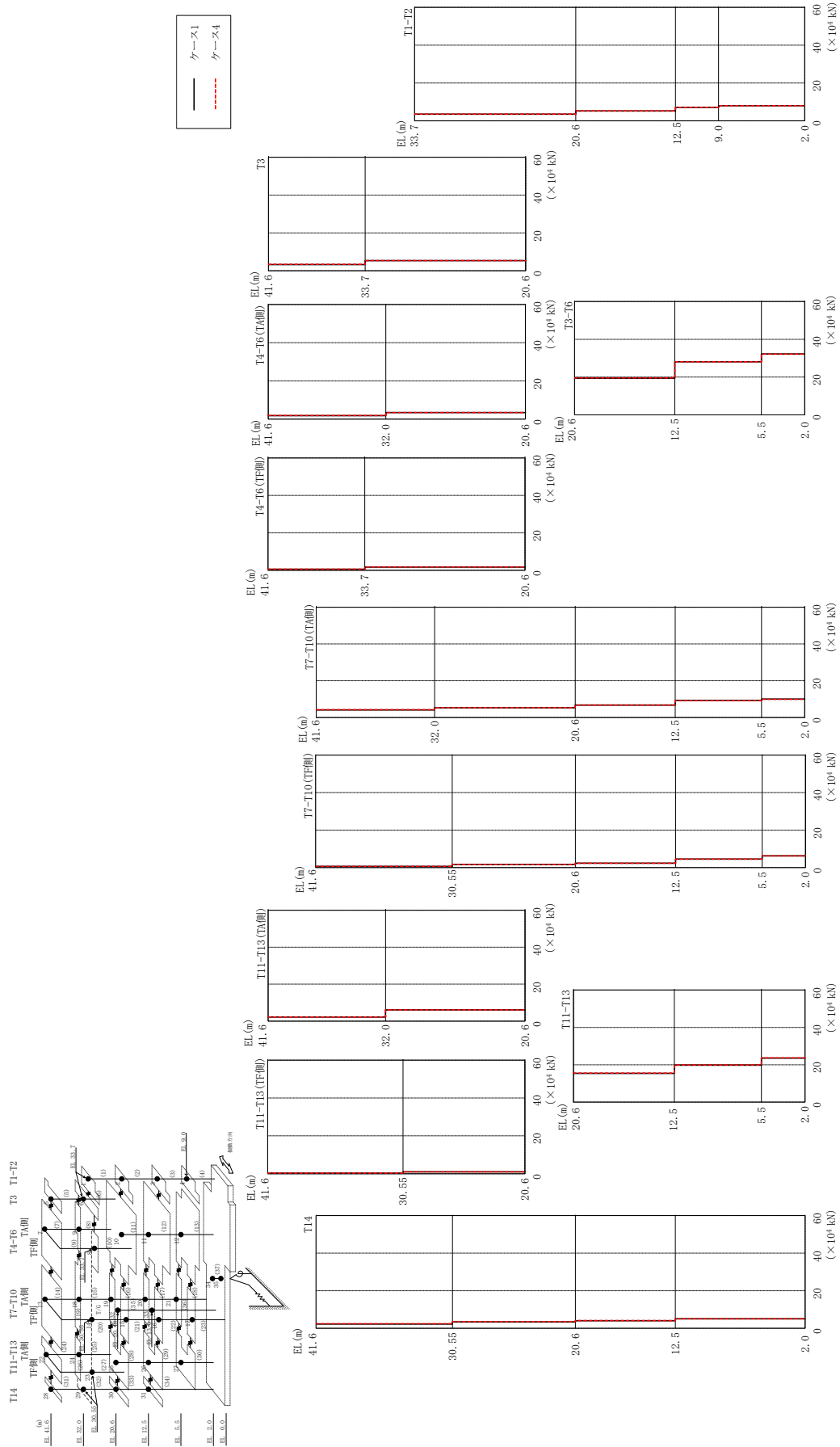
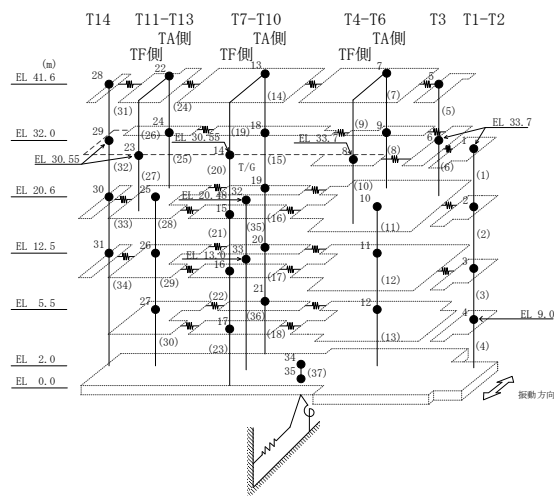


図 2-167 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

表 2-149 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, NS方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.51	3.60
	20.6~12.5	2	5.23	5.28
	12.5~9.0	3	7.10	7.12
	9.0~2.0	4	7.99	7.97
T3	41.6~33.7	5	3.27	3.38
	33.7~20.6	6	5.35	5.39
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.81	1.85
	32.0~20.6	8	3.38	3.41
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.569	0.591
	33.7~20.6	10	1.74	1.75
T3-T6	20.6~12.5	11	19.4	19.5
	12.5~5.5	12	28.1	28.1
	5.5~2.0	13	32.2	32.2
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	4.11	4.21
	32.0~20.6	15	5.31	5.37
	20.6~12.5	16	6.76	6.75
	12.5~5.5	17	9.26	9.11
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.593	0.581
	30.55~20.6	20	1.57	1.62
	20.6~12.5	21	2.30	2.34
	12.5~5.5	22	4.54	4.55
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.20	2.22
	32.0~20.6	25	6.06	6.11
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.328	0.300
	30.55~20.6	27	0.993	1.01
T11-T13	20.6~12.5	28	15.4	15.6
	12.5~5.5	29	19.8	20.0
	5.5~2.0	30	23.6	23.7
T14	41.6~30.55	31	2.30	2.44
	30.55~20.6	32	3.45	3.58
	20.6~12.5	33	4.07	4.13
	12.5~2.0	34	5.08	5.10



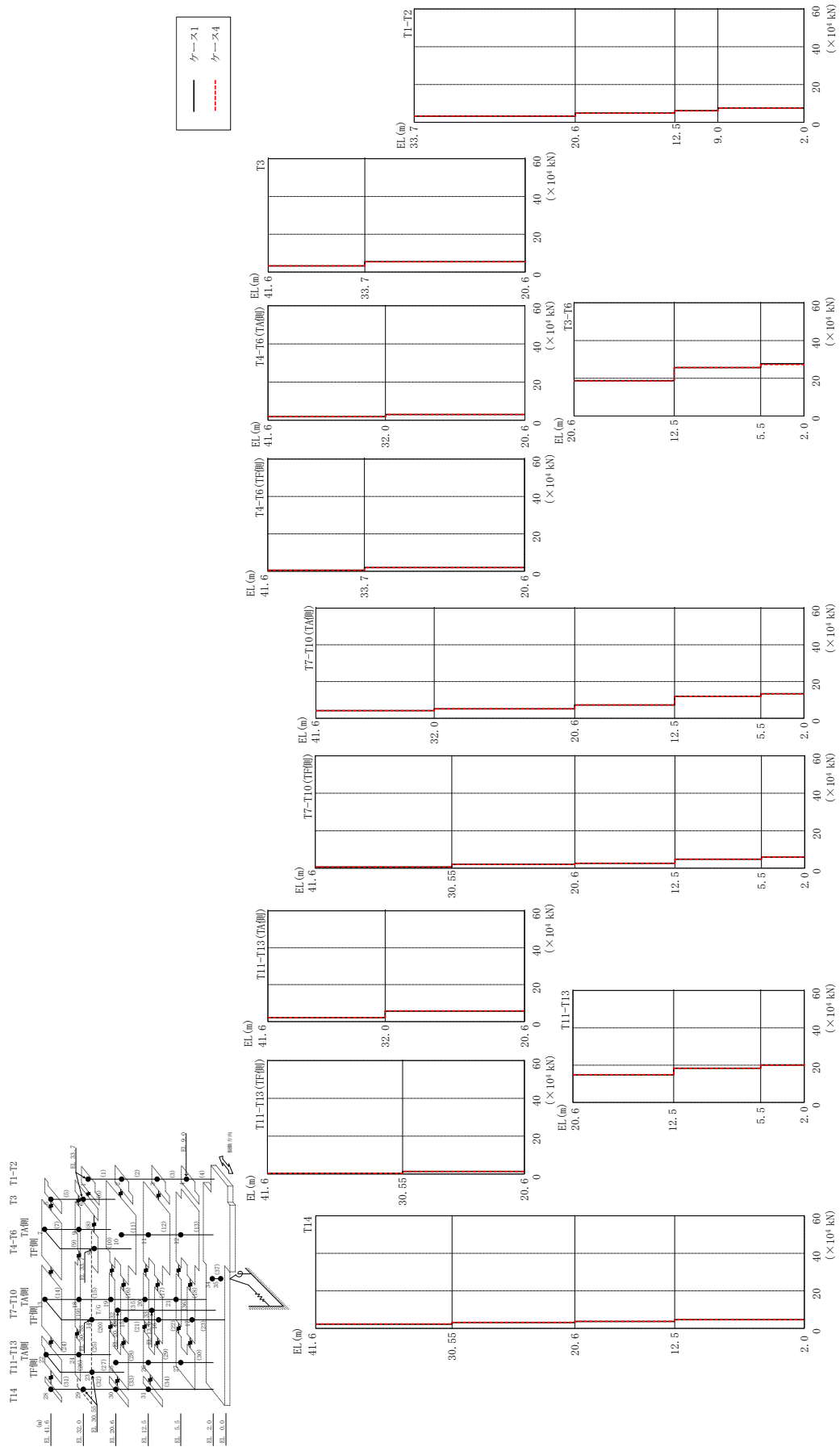
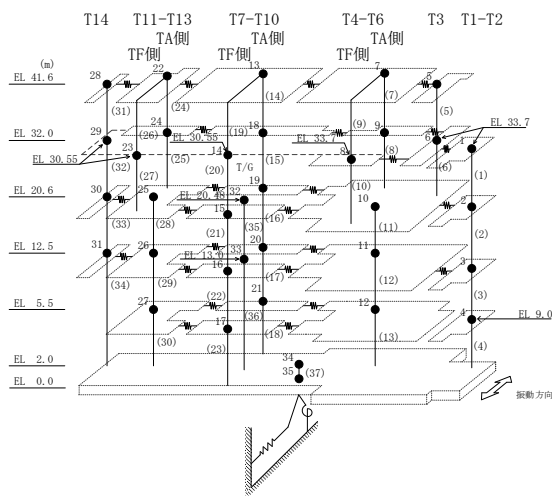


図 2-168 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 2 EW, N S 方向)

表 2-150 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.24	3.22
	20.6~12.5	2	4.88	4.79
	12.5~9.0	3	6.16	5.99
	9.0~2.0	4	7.57	7.55
T3	41.6~33.7	5	3.28	3.24
	33.7~20.6	6	5.49	5.45
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.86	1.85
	32.0~20.6	8	3.03	3.01
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.553	0.538
	33.7~20.6	10	1.98	1.93
T3-T6	20.6~12.5	11	18.7	18.6
	12.5~5.5	12	25.7	25.7
	5.5~2.0	13	27.7	27.3
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	4.13	4.16
	32.0~20.6	15	5.13	5.16
	20.6~12.5	16	7.23	7.25
	12.5~5.5	17	12.0	11.9
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.623	0.626
	30.55~20.6	20	2.04	1.99
	20.6~12.5	21	2.60	2.61
	12.5~5.5	22	4.78	4.81
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.16	2.19
	32.0~20.6	25	5.68	5.77
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.402	0.400
	30.55~20.6	27	1.34	1.32
T11-T13	20.6~12.5	28	14.9	14.9
	12.5~5.5	29	18.4	18.4
	5.5~2.0	30	20.1	20.0
T14	41.6~30.55	31	2.30	2.39
	30.55~20.6	32	3.16	3.24
	20.6~12.5	33	3.74	3.77
	12.5~2.0	34	4.64	4.64



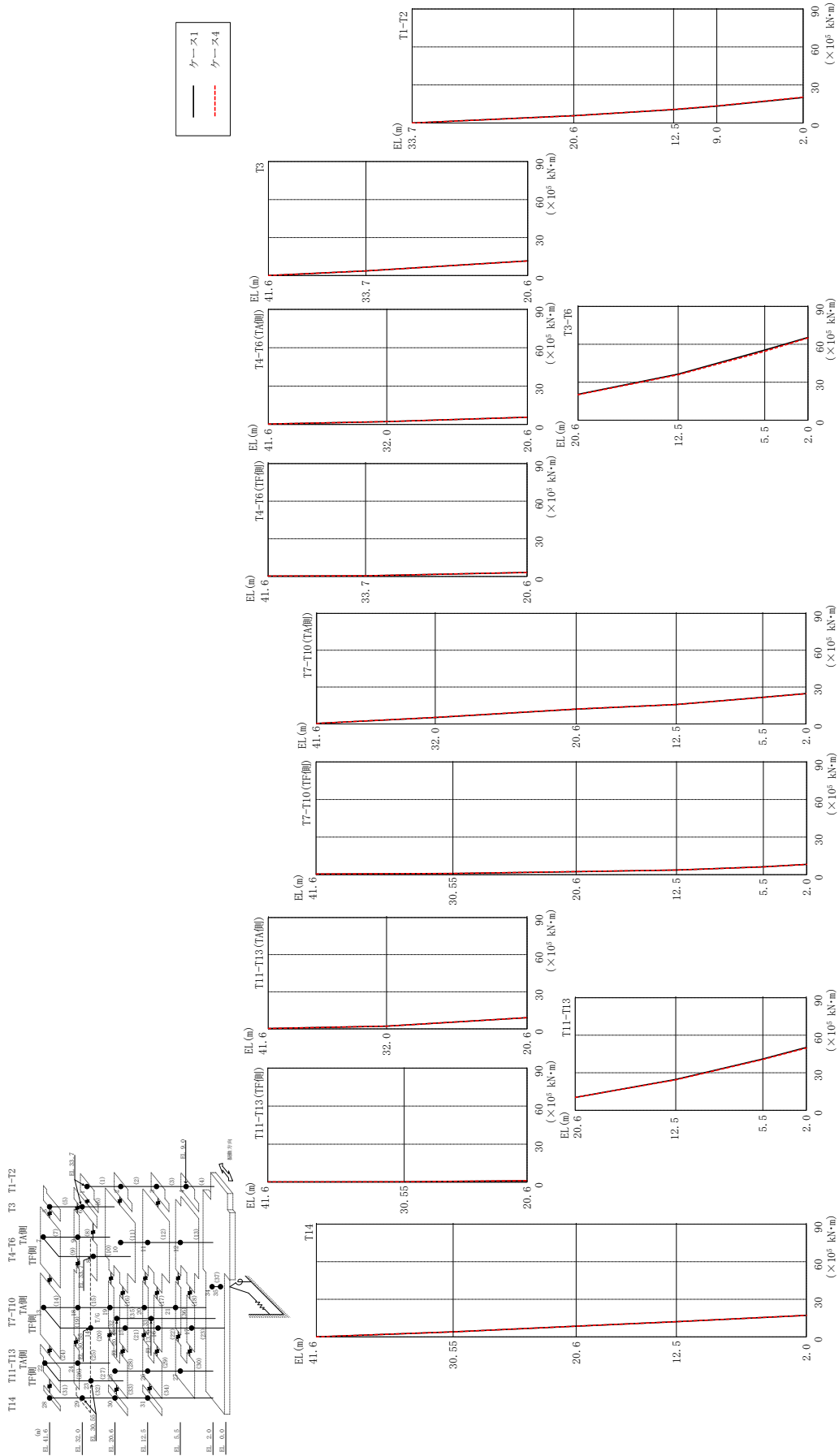


図 2-169 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S-D, N-S 方向)

表 2-151(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s-D, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			5.72	5.69
	20.6~12.5	2	5.72	5.69
			10.5	10.7
12.5~9.0	3	10.5	10.7	
		13.2	13.4	
9.0~2.0	4	13.2	13.4	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
	33.7~20.6	6	3.68	3.71
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.271
	32.0~20.6	8	2.17	2.23
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.296
	33.7~20.6	10	0.461	0.482
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	20.1
	12.5~5.5	12	36.4	35.9
	5.5~2.0	13	55.4	54.4
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.387
	32.0~20.6	15	5.24	5.32
	20.6~12.5	16	12.0	12.1
	12.5~5.5	17	15.8	15.7
	5.5~2.0	18	21.6	21.5

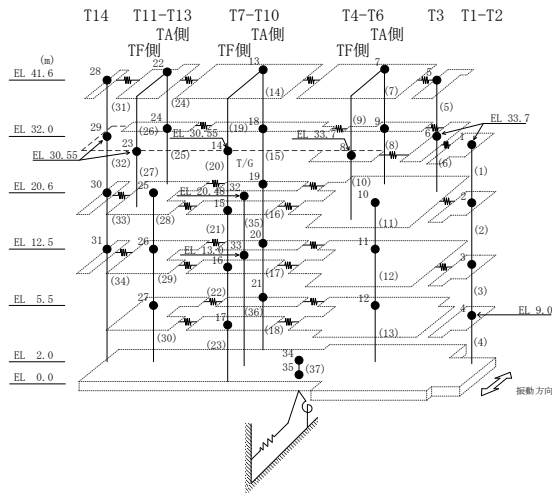
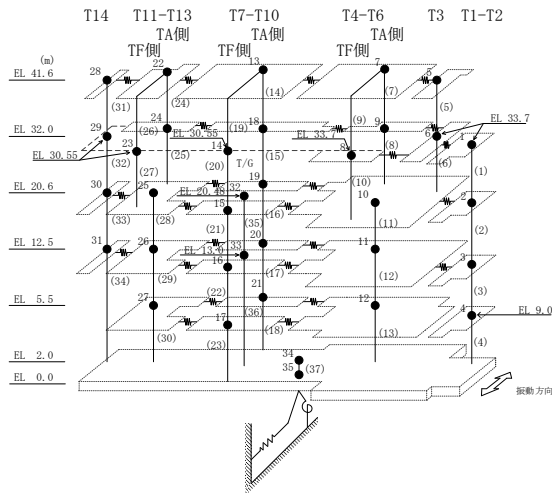


表 2-151(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s-D, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.552 0.941	0.563 0.954
	30.55~20.6	20	0.941 2.44	0.954 2.48
	20.6~12.5	21	2.44 3.78	2.48 3.74
	12.5~5.5	22	3.78 6.33	3.74 6.24
	5.5~2.0	23	6.33 8.22	6.24 8.30
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.303 2.25	0.309 2.26
	32.0~20.6	25	2.25 9.08	2.26 9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.189 0.330	0.194 0.320
	30.55~20.6	27	0.330 1.18	0.320 1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	10.3 24.6	10.3 24.4
	12.5~5.5	29	24.6 41.0	24.4 40.6
	5.5~2.0	30	41.0 50.2	40.6 49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00 4.00	0.00 4.03
	30.55~20.6	32	4.00 8.53	4.03 8.55
	20.6~12.5	33	8.53 12.2	8.55 12.2
	12.5~2.0	34	12.2 17.2	12.2 17.2



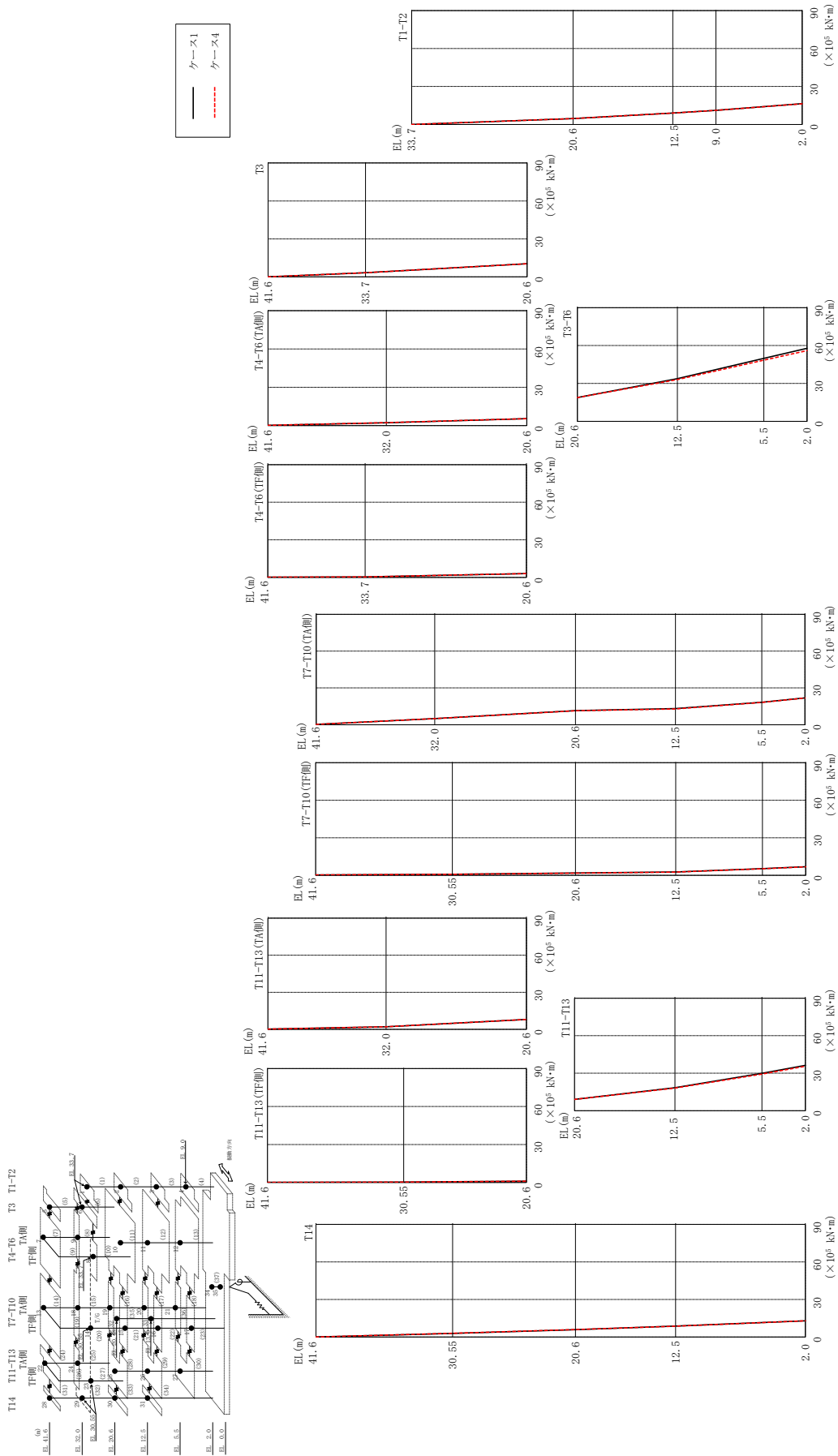


図 2-170 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

表 2-152(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 1, NS方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			4.65	4.68
	20.6~12.5	2	4.65	4.68
			8.97	9.01
12.5~9.0	3	8.97	9.01	
		11.1	11.1	
9.0~2.0	4	11.1	11.1	
		16.4	16.3	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			3.30	3.31
33.7~20.6	6	3.30	3.31	
		10.4	10.3	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.196	0.190
			2.25	2.27
32.0~20.6	8	2.25	2.27	
		5.44	5.47	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.213	0.207
			0.349	0.341
33.7~20.6	10	0.349	0.341	
		2.99	2.99	
T3-T6	20.6~12.5	11	18.8	18.8
			33.7	33.1
	12.5~5.5	12	33.7	33.1
49.9			48.4	
5.5~2.0	13	49.9	48.4	
		57.8	56.0	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.244	0.243
			4.94	4.97
	32.0~20.6	15	4.94	4.97
			11.5	11.4
	20.6~12.5	16	11.5	11.4
13.1			12.9	
12.5~5.5	17	13.1	12.9	
		18.3	18.2	
5.5~2.0	18	18.3	18.2	
		21.8	21.7	

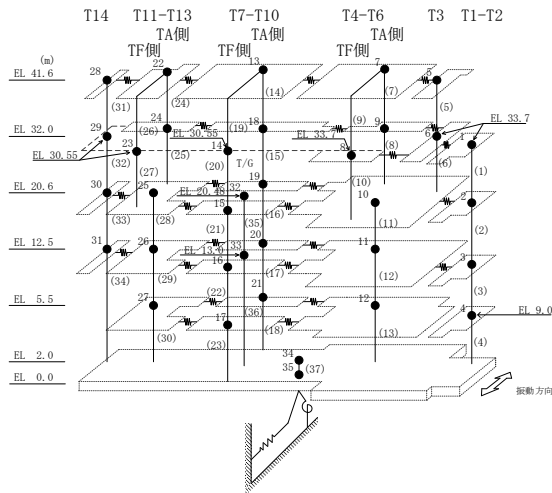
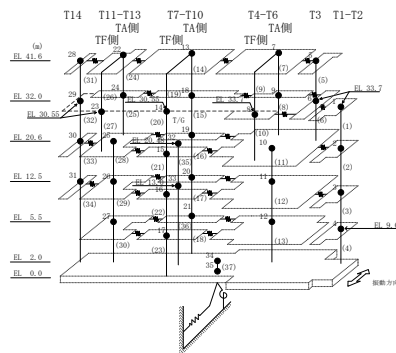


表 2-152(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 1, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.340 0.863	0.342 0.845
	30.55~20.6	20	0.863 1.86	0.845 1.84
	20.6~12.5	21	1.86 2.70	1.84 2.66
	12.5~5.5	22	2.70 5.34	2.66 5.29
	5.5~2.0	23	5.34 6.92	5.29 6.85
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.195 2.12	0.203 2.17
	32.0~20.6	25	2.12 8.04	2.17 8.05
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.139 0.303	0.136 0.296
	30.55~20.6	27	0.303 0.994	0.296 0.991
T11-T13	20.6~12.5	28	9.03 18.4	9.04 18.1
	12.5~5.5	29	18.4 29.9	18.1 29.3
	5.5~2.0	30	29.9 36.3	29.3 35.5
T14	41.6~30.55	31	0.00 2.96	0.00 2.99
	30.55~20.6	32	2.96 5.94	2.99 5.97
	20.6~12.5	33	5.94 8.73	5.97 8.71
	12.5~2.0	34	8.73 13.0	8.71 12.9



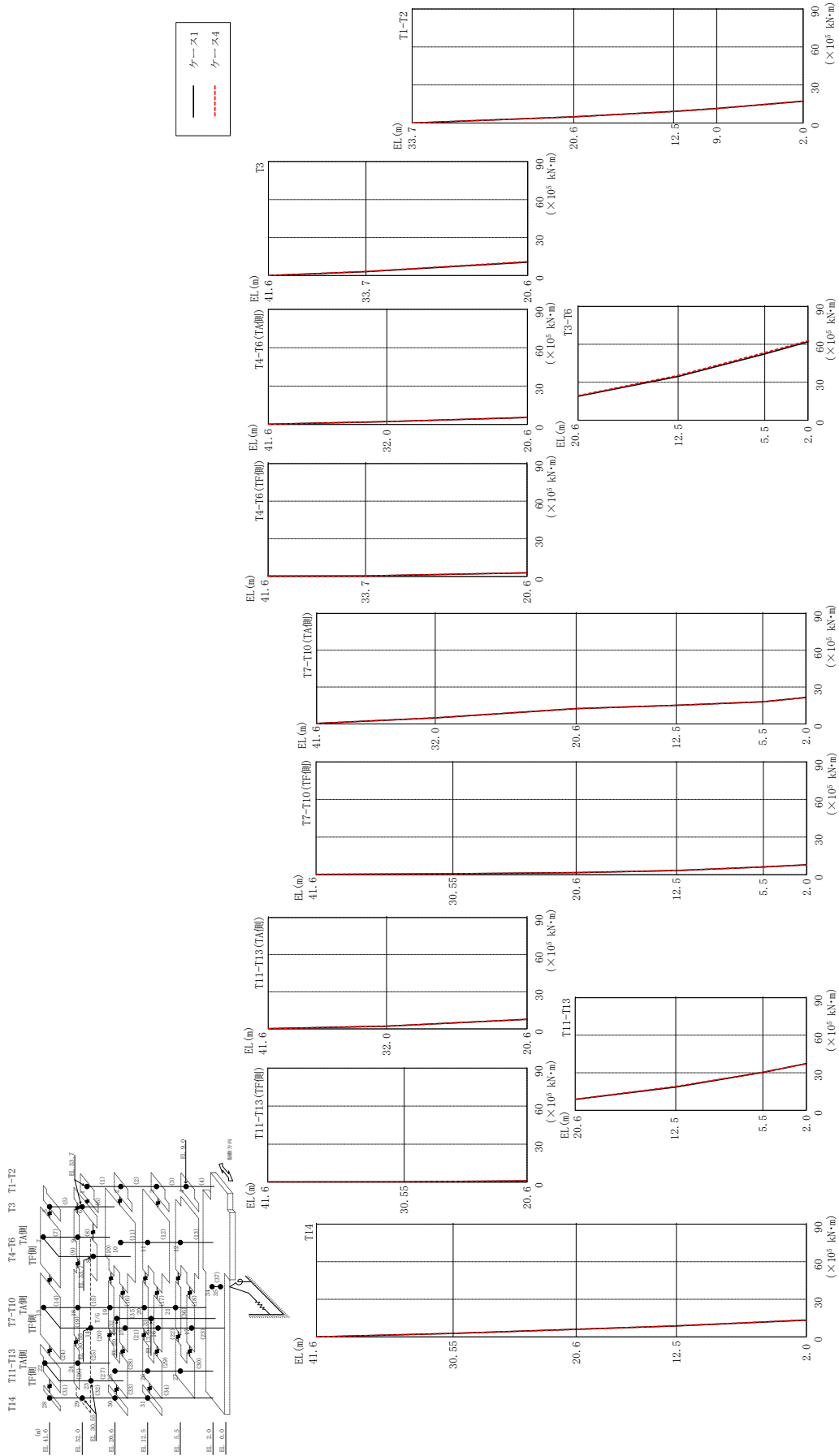


図 2-171 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - F 2, N S 方向)

表 2-153(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 2, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			4.80	4.85
	20.6~12.5	2	4.80	4.85
			9.09	9.05
12.5~9.0	3	9.09	9.05	
		11.4	11.3	
9.0~2.0	4	11.4	11.3	
		17.1	17.3	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			3.08	3.22
33.7~20.6	6	3.08	3.22	
		10.6	11.0	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.185	0.199
			2.16	2.18
32.0~20.6	8	2.16	2.18	
		5.47	5.54	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.233	0.231
			0.404	0.401
33.7~20.6	10	0.404	0.401	
		2.83	2.93	
T3-T6	20.6~12.5	11	18.9	19.4
			34.6	35.4
	12.5~5.5	12	34.6	35.4
52.4			53.5	
5.5~2.0	13	52.4	53.5	
		62.0	62.7	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.344	0.354
			4.89	5.00
	32.0~20.6	15	4.89	5.00
			12.4	12.5
	20.6~12.5	16	12.4	12.5
15.1			15.2	
12.5~5.5	17	15.1	15.2	
		18.0	18.0	
5.5~2.0	18	18.0	18.0	
		21.5	21.5	

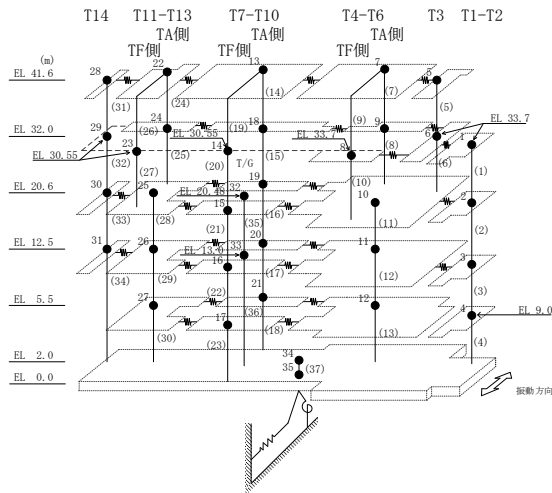
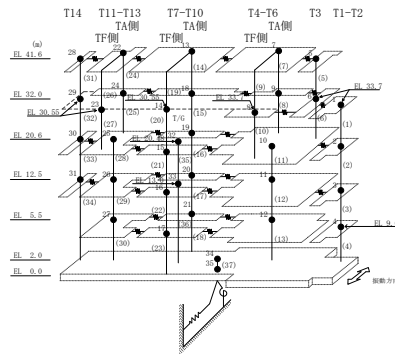


表 2-153(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 2, NS方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.289 0.752	0.308 0.749
	30.55~20.6	20	0.752 1.64	0.749 1.66
	20.6~12.5	21	1.64 3.32	1.66 3.42
	12.5~5.5	22	3.32 6.22	3.42 6.19
	5.5~2.0	23	6.22 7.93	6.19 7.88
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.230 2.21	0.230 2.21
	32.0~20.6	25	2.21 7.74	2.21 7.82
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.192 0.307	0.191 0.299
	30.55~20.6	27	0.307 1.03	0.299 1.04
T11-T13	20.6~12.5	28	8.71 18.6	8.79 19.0
	12.5~5.5	29	18.6 30.3	19.0 30.4
	5.5~2.0	30	30.3 37.3	30.4 37.3
T14	41.6~30.55	31	0.00 2.86	0.00 2.82
	30.55~20.6	32	2.86 6.11	2.82 5.98
	20.6~12.5	33	6.11 8.78	5.98 8.88
	12.5~2.0	34	8.78 13.4	8.88 13.6



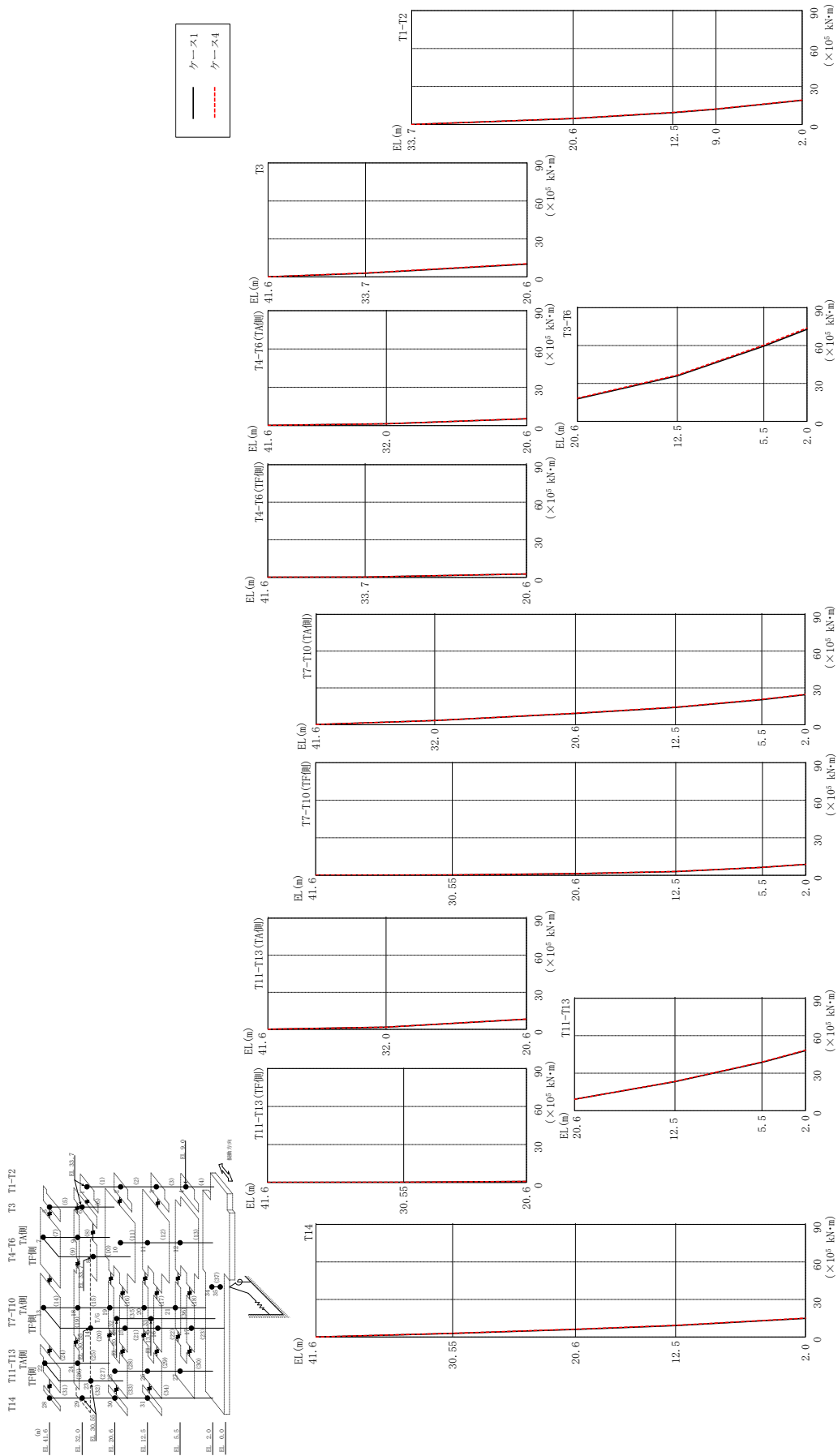


図 2-172 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

表 2-154(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			4.61	4.77
	20.6~12.5	2	4.61	4.77
			9.29	9.52
12.5~9.0	3	9.29	9.52	
		12.1	12.3	
9.0~2.0	4	12.1	12.3	
		19.0	19.3	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			2.91	3.02
33.7~20.6	6	2.91	3.02	
		10.0	10.4	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.162	0.171
			1.39	1.46
32.0~20.6	8	1.39	1.46	
		5.35	5.41	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.168	0.177
			0.260	0.274
33.7~20.6	10	0.260	0.274	
		2.68	2.72	
T3-T6	20.6~12.5	11	17.8	18.3
			36.0	36.6
	12.5~5.5	12	36.0	36.6
59.5			60.3	
5.5~2.0	13	59.5	60.3	
		72.9	73.8	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.196	0.210
			3.36	3.43
	32.0~20.6	15	3.36	3.43
			9.20	9.39
	20.6~12.5	16	9.20	9.39
14.1			14.3	
12.5~5.5	17	14.1	14.3	
		20.4	20.7	
5.5~2.0	18	20.4	20.7	
		24.4	24.7	

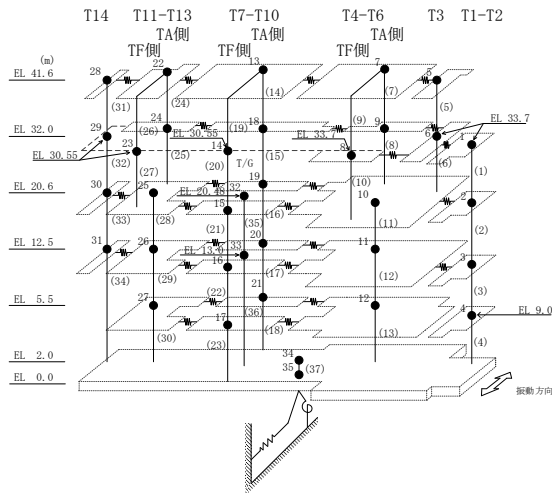
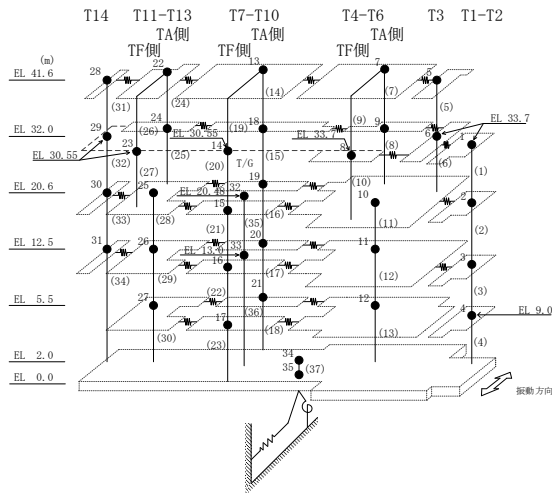


表 2-154(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.176 0.313	0.181 0.317
	30.55~20.6	20	0.313 1.34	0.317 1.33
	20.6~12.5	21	1.34 3.07	1.33 3.11
	12.5~5.5	22	3.07 6.38	3.11 6.42
	5.5~2.0	23	6.38 8.79	6.42 8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.160 1.79	0.174 1.80
	32.0~20.6	25	1.79 8.31	1.80 8.38
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.120 0.172	0.133 0.171
	30.55~20.6	27	0.172 0.836	0.171 0.855
T11-T13	20.6~12.5	28	9.08 23.2	9.15 23.4
	12.5~5.5	29	23.2 38.6	23.4 39.0
	5.5~2.0	30	38.6 48.0	39.0 48.4
T14	41.6~30.55	31	0.00 2.93	0.00 3.03
	30.55~20.6	32	2.93 6.14	3.03 6.34
	20.6~12.5	33	6.14 9.18	6.34 9.41
	12.5~2.0	34	9.18 14.9	9.41 15.1



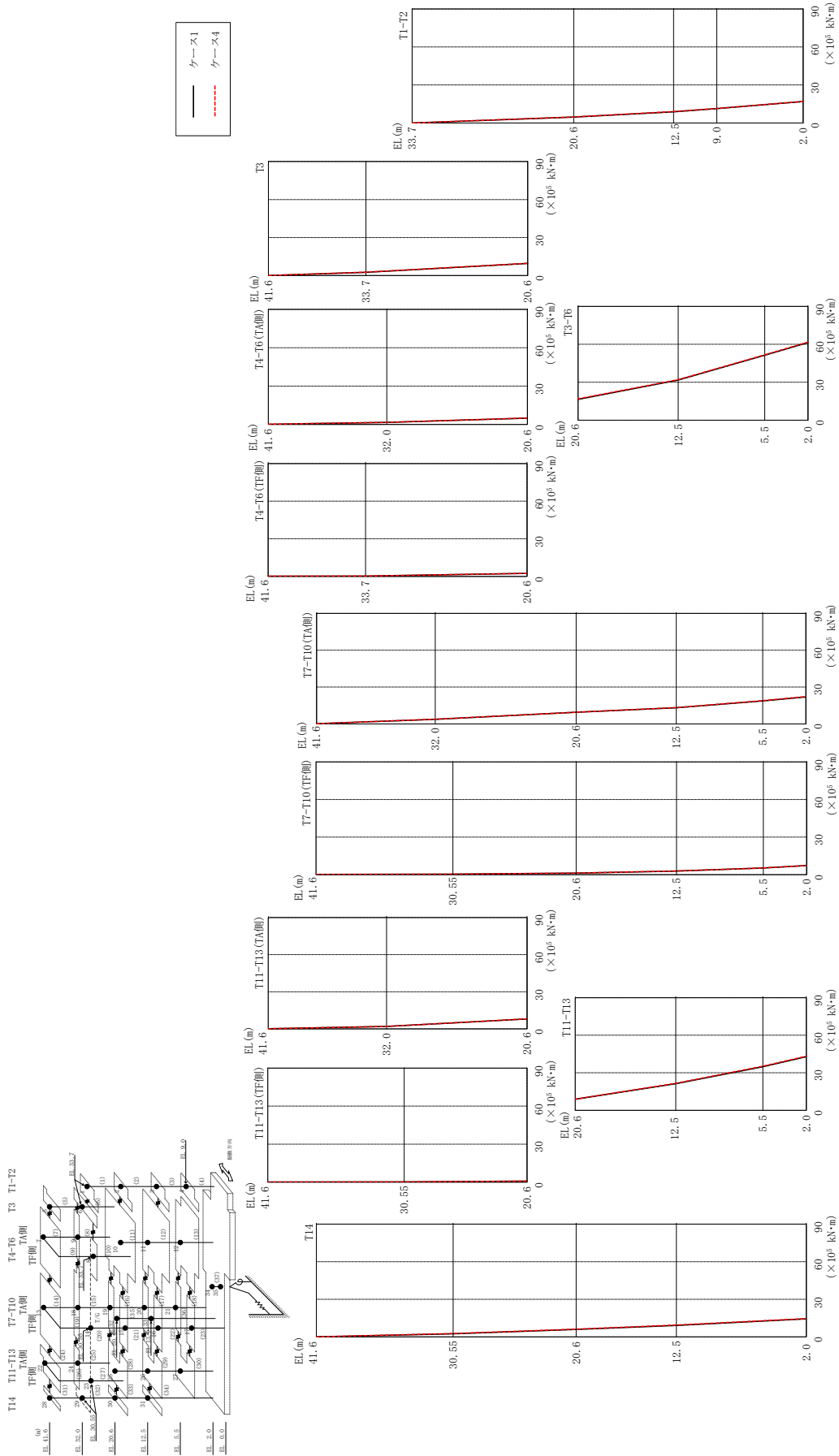


図 2-173 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - N 2 NS, NS 方向)

表 2-155(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, NS方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			4.60	4.71
	20.6~12.5	2	4.60	4.71
			8.82	8.97
12.5~9.0	3	8.82	8.97	
		11.3	11.5	
9.0~2.0	4	11.3	11.5	
		16.9	17.0	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			2.58	2.67
33.7~20.6	6	2.58	2.67	
		9.57	9.72	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.145	0.151
			1.61	1.64
32.0~20.6	8	1.61	1.64	
		4.96	5.03	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.171	0.177
			0.279	0.290
33.7~20.6	10	0.279	0.290	
		2.40	2.44	
T3-T6	20.6~12.5	11	16.5	16.8
			31.7	32.1
	12.5~5.5	12	31.7	32.1
51.3			51.7	
5.5~2.0	13	51.3	51.7	
		61.3	61.7	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.195	0.196
			3.77	3.86
	32.0~20.6	15	3.77	3.86
			9.46	9.47
	20.6~12.5	16	9.46	9.47
13.1			13.2	
12.5~5.5	17	13.1	13.2	
		18.7	18.9	
5.5~2.0	18	18.7	18.9	
		22.0	22.2	

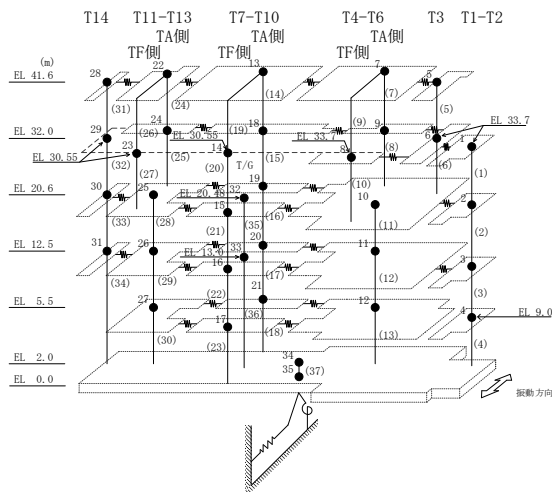
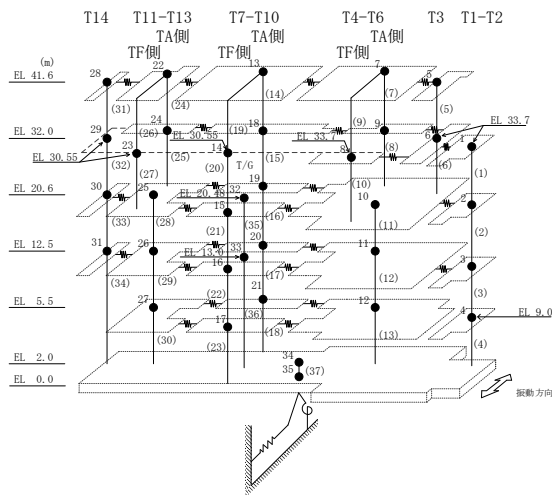


表 2-155(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.221 0.435	0.219 0.423
	30.55~20.6	20	0.435 1.22	0.423 1.28
	20.6~12.5	21	1.22 2.96	1.28 3.04
	12.5~5.5	22	2.96 5.37	3.04 5.41
	5.5~2.0	23	5.37 7.31	5.41 7.37
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.140 2.00	0.147 2.02
	32.0~20.6	25	2.00 8.02	2.02 8.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.118 0.258	0.115 0.242
	30.55~20.6	27	0.258 0.799	0.242 0.819
T11-T13	20.6~12.5	28	8.81 21.2	8.95 21.5
	12.5~5.5	29	21.2 34.9	21.5 35.2
	5.5~2.0	30	34.9 42.8	35.2 43.2
T14	41.6~30.55	31	0.00 2.54	0.00 2.70
	30.55~20.6	32	2.54 5.95	2.70 6.22
	20.6~12.5	33	5.95 9.20	6.22 9.47
	12.5~2.0	34	9.20 14.4	9.47 14.6



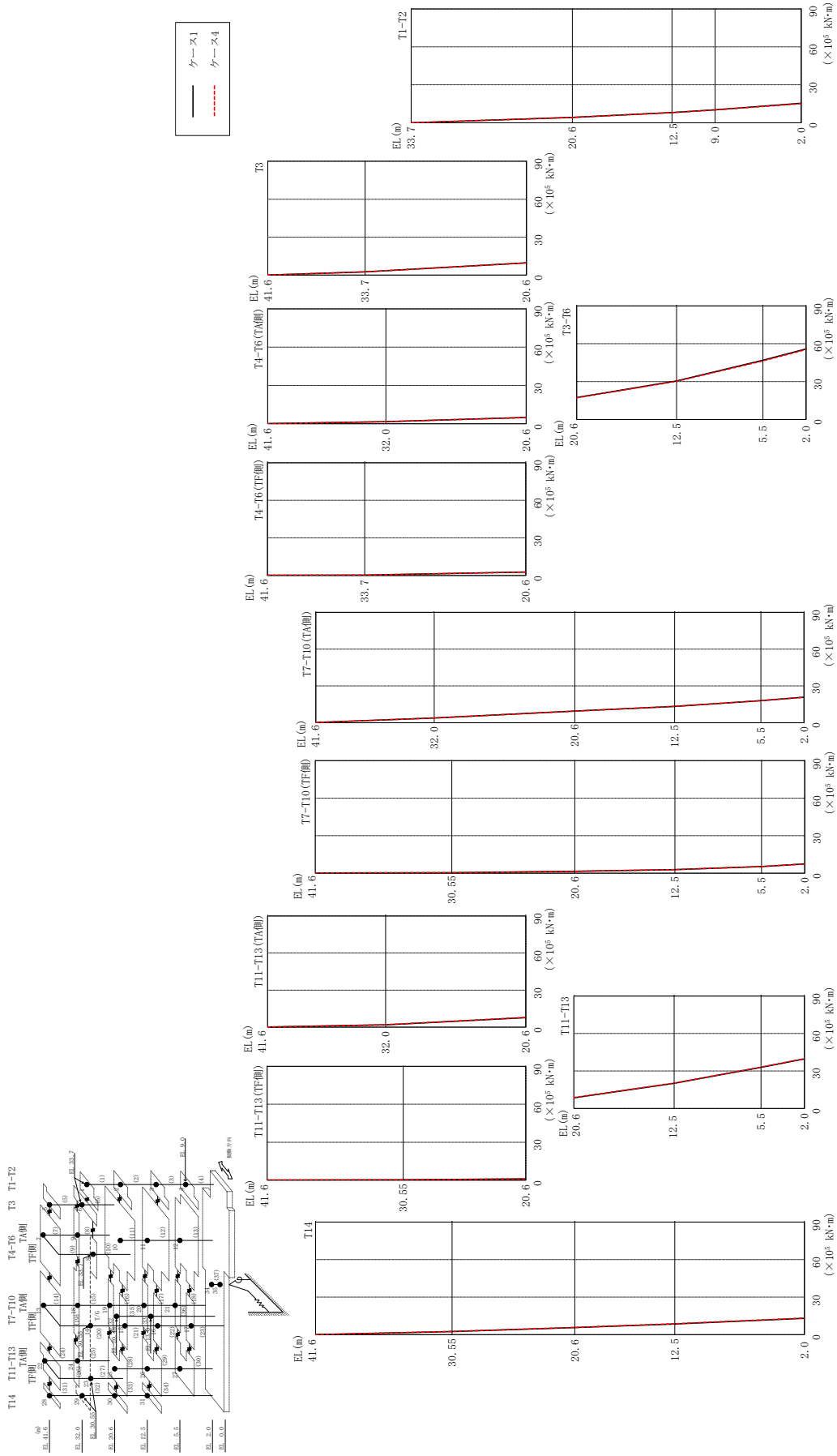


図 2-174 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - N 2 EW, N S 方向)

表 2-156 (1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			4.25	4.21
	20.6~12.5	2	4.25	4.21
			8.12	8.02
12.5~9.0	3	8.12	8.02	
		10.3	10.1	
9.0~2.0	4	10.3	10.1	
		15.4	15.1	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			2.59	2.56
33.7~20.6	6	2.59	2.56	
		9.70	9.65	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.139	0.134
			1.65	1.65
32.0~20.6	8	1.65	1.65	
		4.92	4.88	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.163	0.158
			0.274	0.267
33.7~20.6	10	0.274	0.267	
		2.76	2.70	
T3-T6	20.6~12.5	11	17.4	17.2
			30.5	30.2
	12.5~5.5	12	30.5	30.2
46.9			46.4	
5.5~2.0	13	46.9	46.4	
		55.8	55.4	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.181	0.183
			3.84	3.87
	32.0~20.6	15	3.84	3.87
			9.51	9.40
	20.6~12.5	16	9.51	9.40
13.3			13.3	
12.5~5.5	17	13.3	13.3	
		18.0	17.9	
5.5~2.0	18	18.0	17.9	
		20.8	20.7	

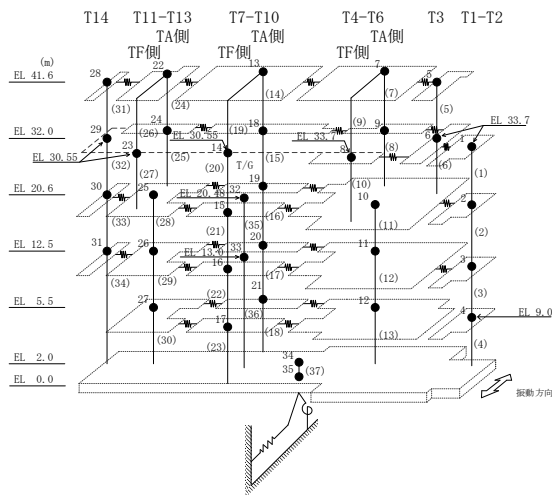
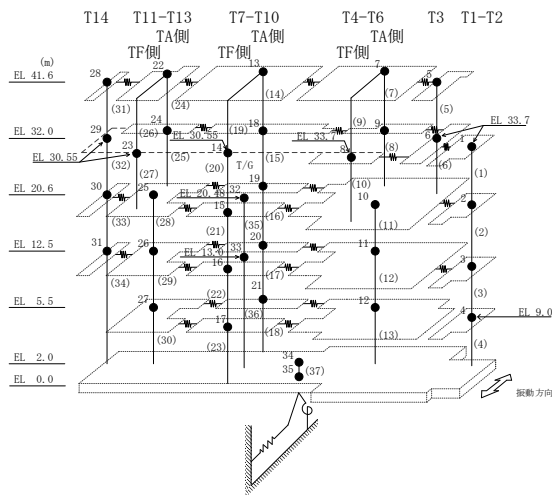


表 2-156 (2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - N 2 EW, NS$ 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.259 0.497	0.265 0.496
	30.55~20.6	20	0.497 1.56	0.496 1.52
	20.6~12.5	21	1.56 2.97	1.52 2.95
	12.5~5.5	22	2.97 5.41	2.95 5.40
	5.5~2.0	23	5.41 7.42	5.40 7.43
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.160 1.96	0.164 1.97
	32.0~20.6	25	1.96 7.74	1.97 7.92
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.145 0.334	0.144 0.325
	30.55~20.6	27	0.334 1.00	0.325 0.988
T11-T13	20.6~12.5	28	8.48 20.2	8.70 20.4
	12.5~5.5	29	20.2 32.8	20.4 33.0
	5.5~2.0	30	32.8 39.7	33.0 39.8
T14	41.6~30.55	31	0.00 2.54	0.00 2.64
	30.55~20.6	32	2.54 5.65	2.64 5.83
	20.6~12.5	33	5.65 8.54	5.83 8.74
	12.5~2.0	34	8.54 13.1	8.74 13.3



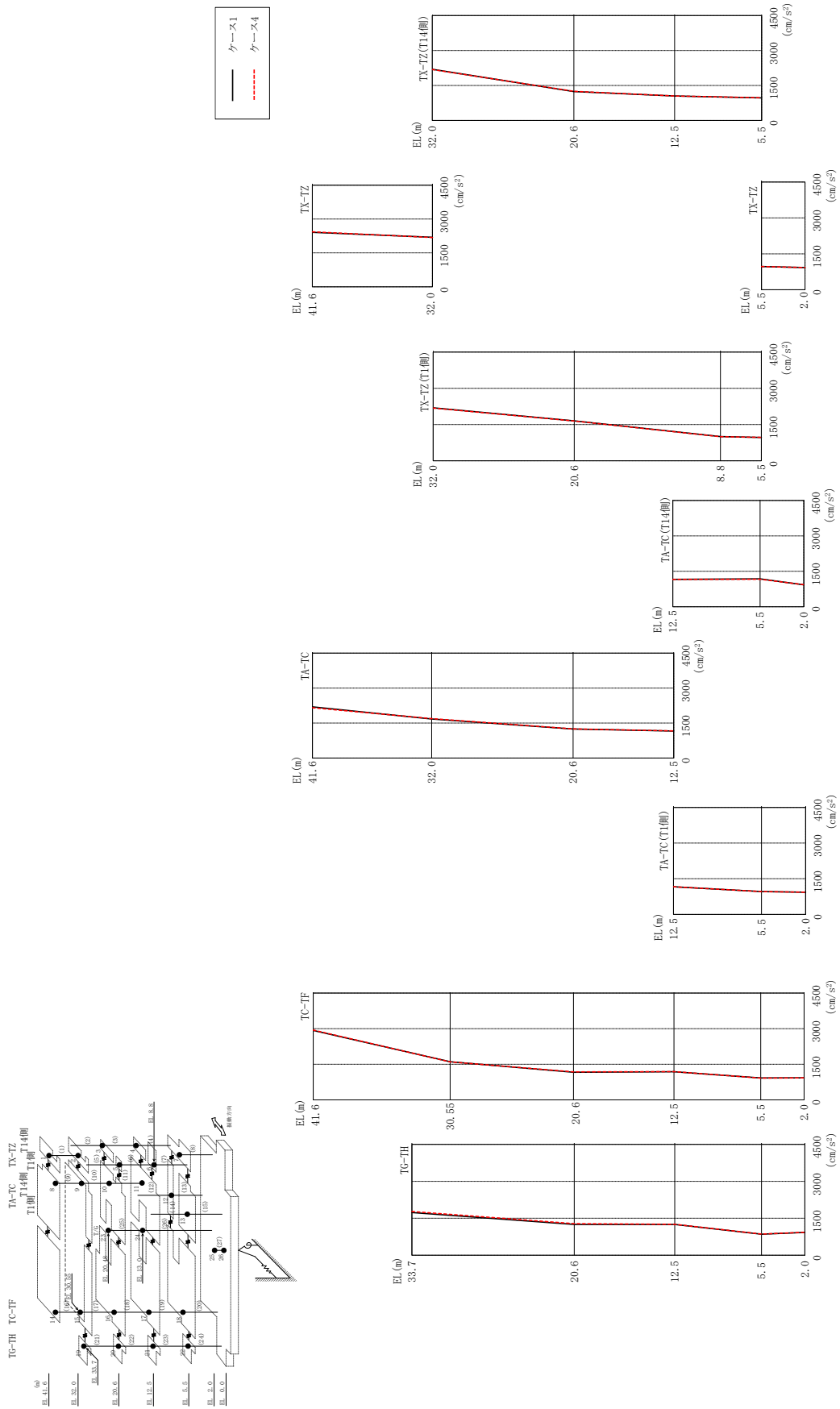
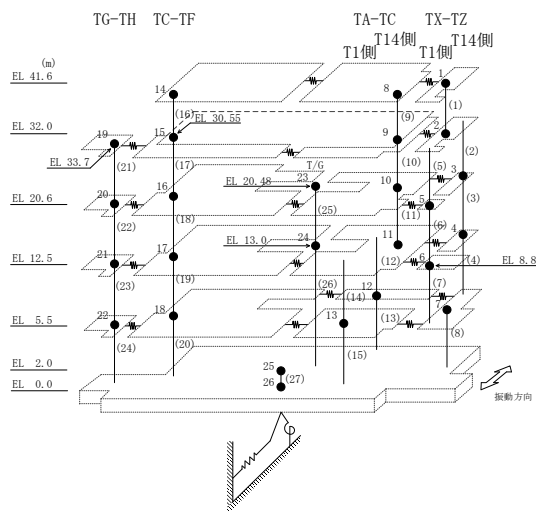


図 2-175 最大応答加速度 (基準地震動 S s - D, E W 方向)

表 2-157 最大応答加速度一覧 (基準地震動 S s - D, E W方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2410	2431
	32.0	2	2192	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1239	1246
	12.5	4	1047	1047
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1656	1651
	8.8	6	1001	999
TX-TZ	5.5	7	967	970
TA-TC	41.6	8	2194	2157
	32.0	9	1671	1686
	20.6	10	1244	1250
	12.5	11	1158	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	1179	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	959	955
TC-TF	41.6	14	2926	2942
	30.55	15	1605	1600
	20.6	16	1167	1182
	12.5	17	1185	1193
	5.5	18	921	919
TG-TH	33.7	19	1735	1773
	20.6	20	1249	1282
	12.5	21	1252	1256
	5.5	22	856	861
	2.0	25	928	930



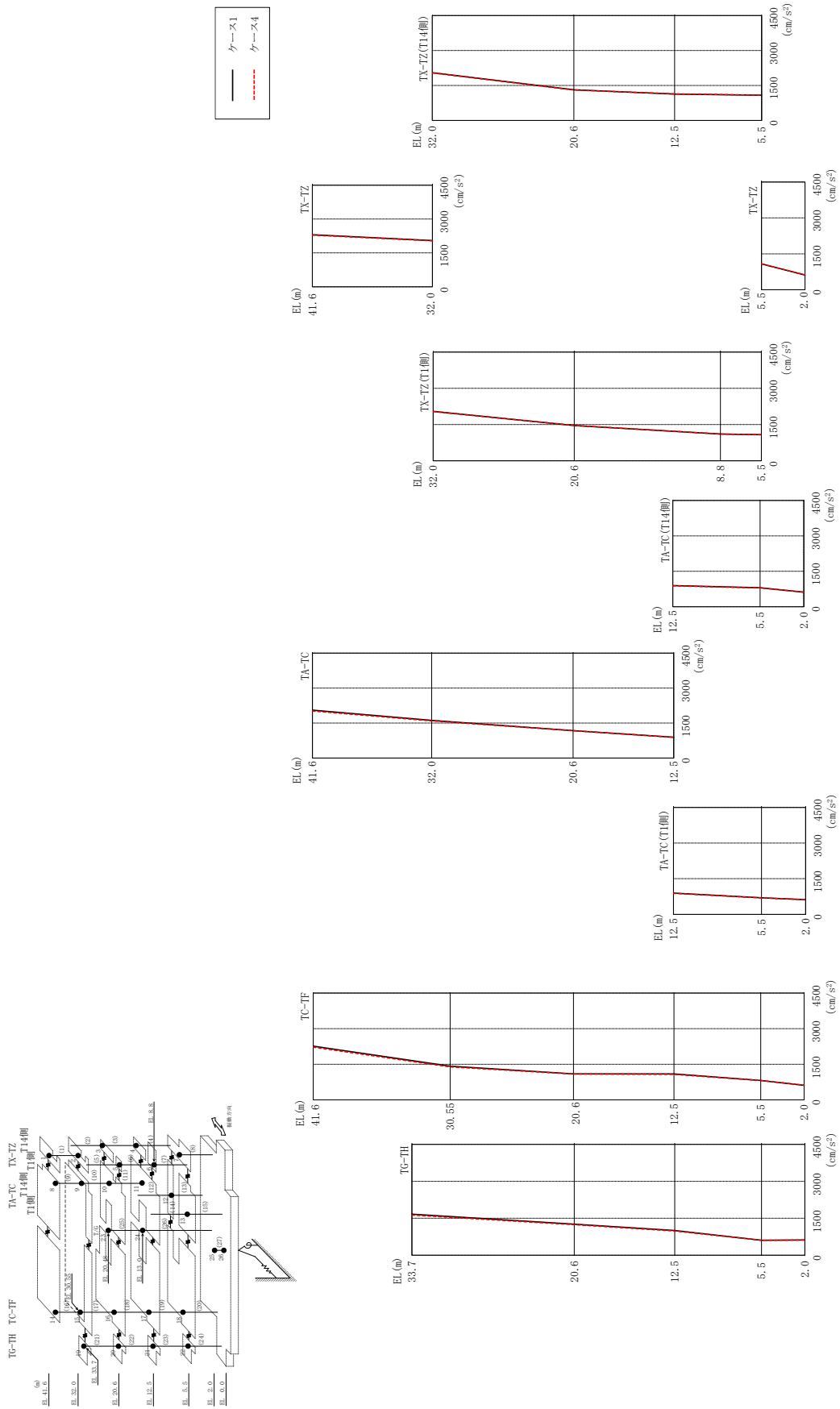
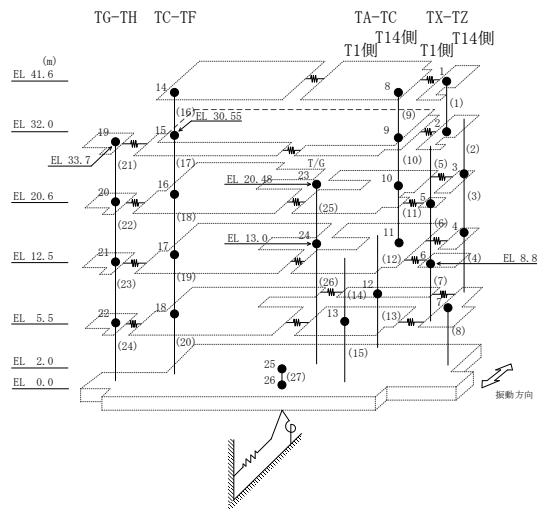


図 2-176 最大応答加速度 (基準地震動 S s - F 1, E W 方向)

表 2-158 最大応答加速度一覧（基準地震動 $S_s - F1$ ，EW方向）

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2307	2287
	32.0	2	2047	2036
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1313	1302
	12.5	4	1127	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1461	1465
	8.8	6	1106	1106
TX-TZ	5.5	7	1081	1079
TA-TC	41.6	8	2055	2016
	32.0	9	1615	1588
	20.6	10	1173	1175
	12.5	11	892	885
TA-TC (T14側)	5.5	12	803	793
TA-TC (T1側)	5.5	13	694	690
TC-TF	41.6	14	2266	2224
	30.55	15	1422	1391
	20.6	16	1097	1089
	12.5	17	1092	1076
	5.5	18	816	815
TG-TH	33.7	19	1667	1630
	20.6	20	1258	1241
	12.5	21	1003	985
	5.5	22	605	608
	2.0	25	616	618



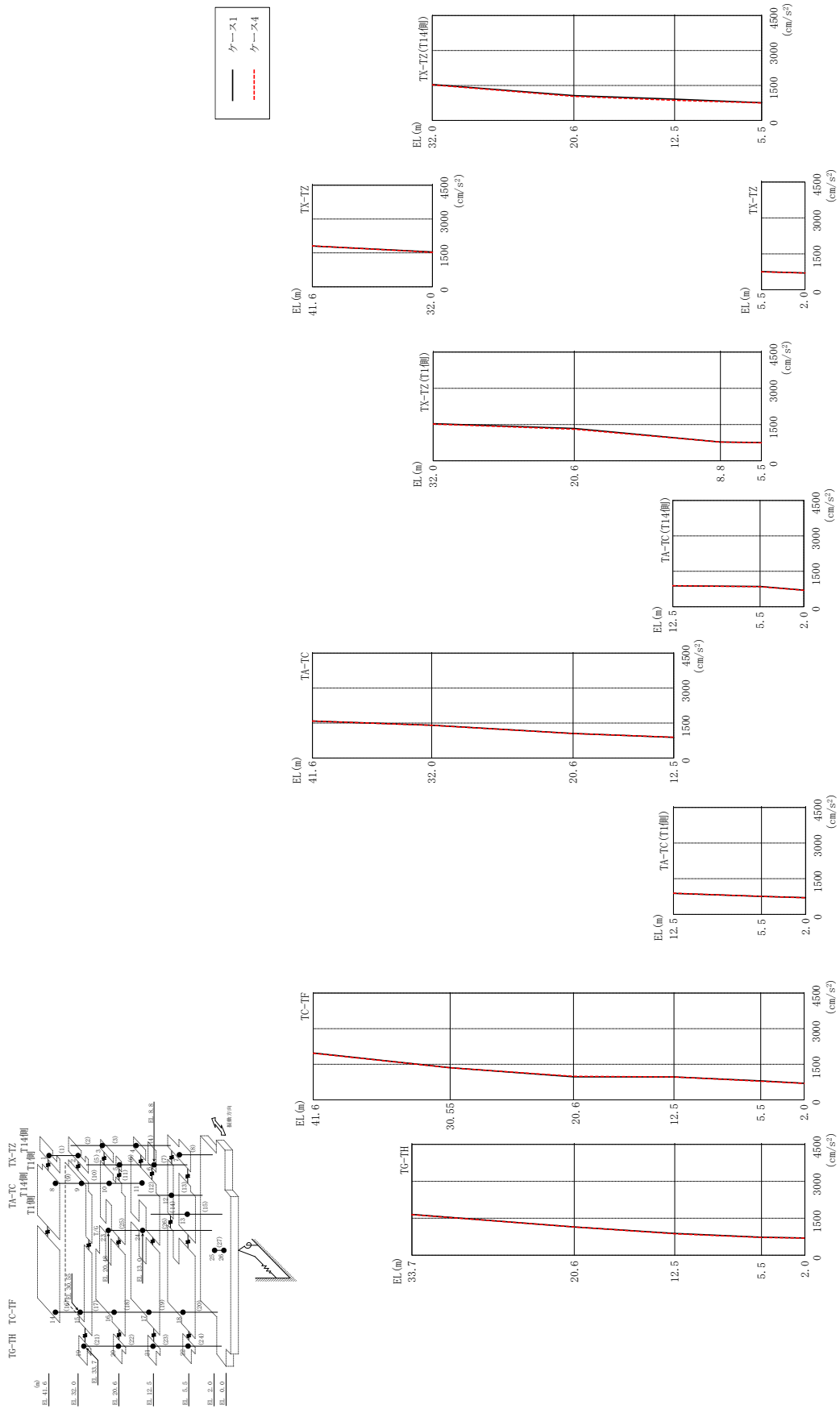
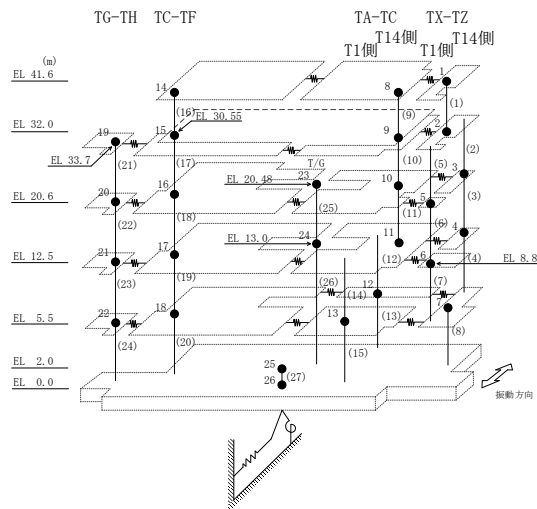


図 2-177 最大応答加速度 (基準地震動 S s - F 2, E W 方向)

表 2-159 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - F_2$, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1807	1809
	32.0	2	1541	1524
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1065	1032
	12.5	4	912	865
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1340	1306
	8.8	6	777	778
TX-TZ	5.5	7	757	746
TA-TC	41.6	8	1584	1587
	32.0	9	1407	1402
	20.6	10	1052	1045
	12.5	11	882	889
TA-TC (T14側)	5.5	12	856	848
TA-TC (T1側)	5.5	13	754	755
TC-TF	41.6	14	1978	1965
	30.55	15	1355	1350
	20.6	16	973	994
	12.5	17	967	969
	5.5	18	802	783
TG-TH	33.7	19	1656	1644
	20.6	20	1147	1148
	12.5	21	886	870
	5.5	22	732	722
	2.0	25	699	697



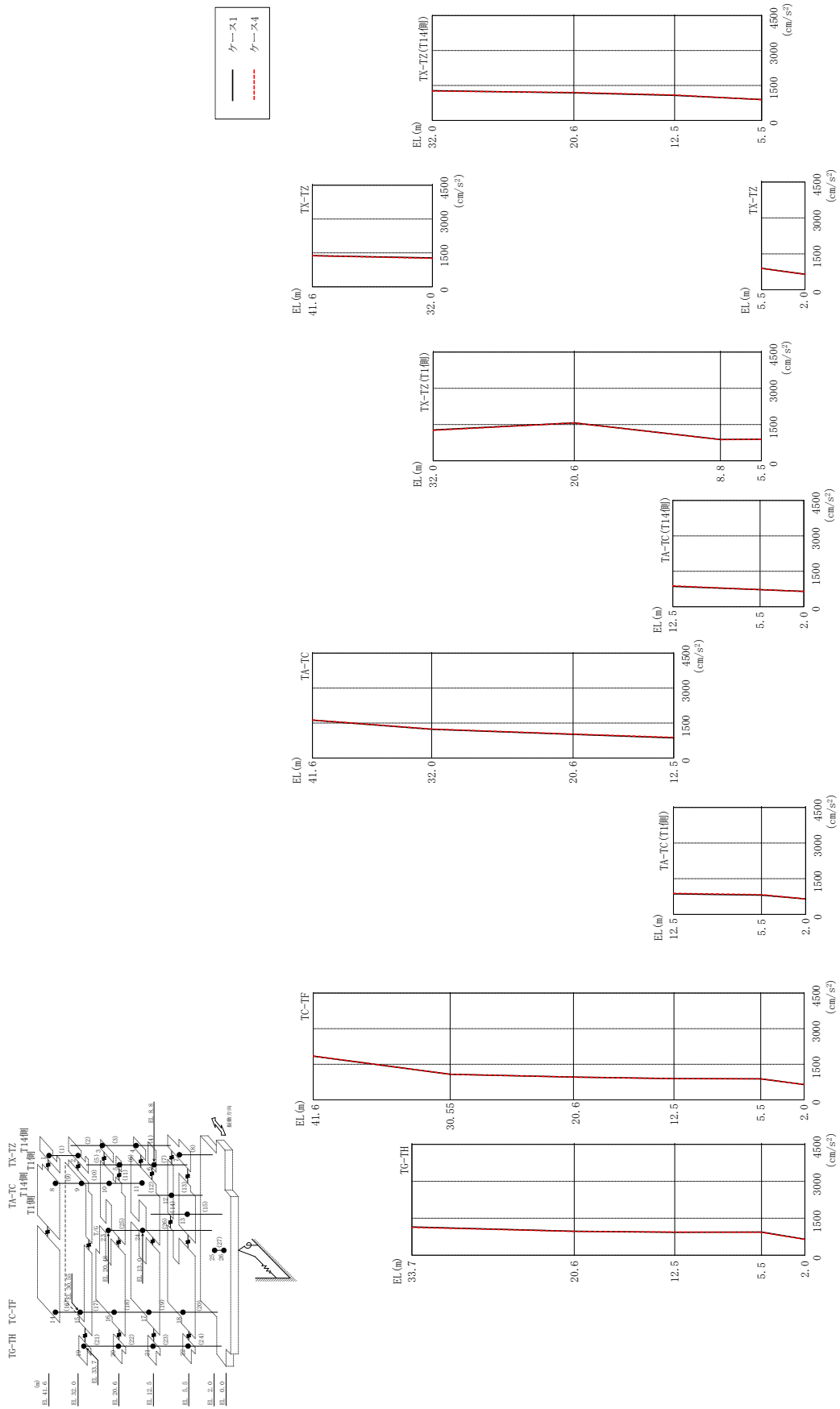
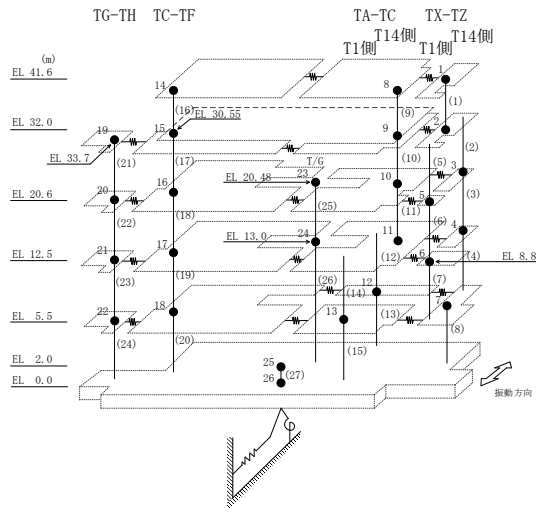


図 2-178 最大応答加速度 (基準地震動 S s - N 1, E W 方向)

表 2-160 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N1$, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1377	1373
	32.0	2	1276	1260
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1181	1200
	12.5	4	1073	1090
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1568	1570
	8.8	6	881	875
TX-TZ	5.5	7	893	888
TA-TC	41.6	8	1621	1630
	32.0	9	1232	1240
	20.6	10	1015	1026
	12.5	11	860	883
TA-TC (T14側)	5.5	12	722	721
TA-TC (T1側)	5.5	13	808	832
TC-TF	41.6	14	1843	1845
	30.55	15	1081	1080
	20.6	16	962	963
	12.5	17	895	890
	5.5	18	885	886
TG-TH	33.7	19	1145	1131
	20.6	20	970	966
	12.5	21	930	940
	5.5	22	940	933
	2.0	25	647	646



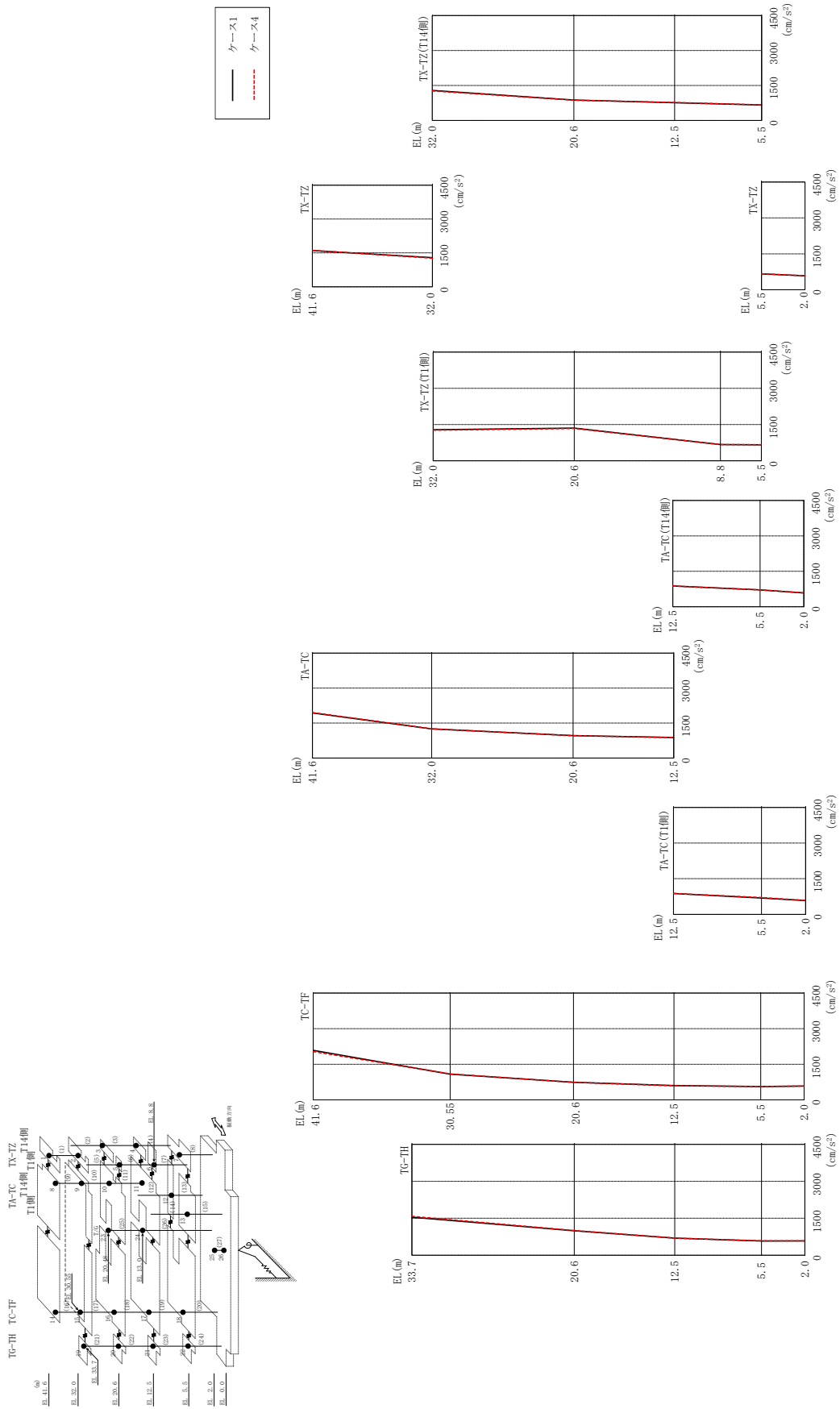
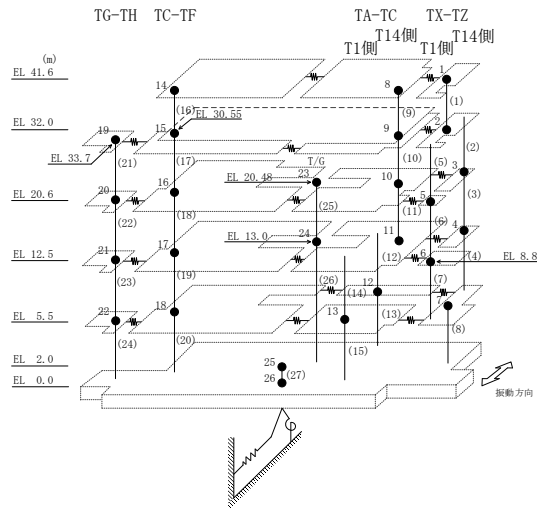


図 2-179 最大応答加速度 (基準地震動 S - N 2 N S, EW 方向)

表 2-161 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1605	1613
	32.0	2	1288	1265
TX-TZ (T14側)	20.6	3	870	867
	12.5	4	759	771
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1353	1337
	8.8	6	673	671
TX-TZ	5.5	7	660	667
TA-TC	41.6	8	1932	1948
	32.0	9	1251	1254
	20.6	10	959	957
	12.5	11	880	876
TA-TC (T14側)	5.5	12	709	711
TA-TC (T1側)	5.5	13	685	709
TC-TF	41.6	14	2085	2036
	30.55	15	1084	1094
	20.6	16	741	738
	12.5	17	606	595
	5.5	18	560	569
TG-TH	33.7	19	1543	1581
	20.6	20	993	1005
	12.5	21	695	695
	5.5	22	578	585
	2.0	25	581	583



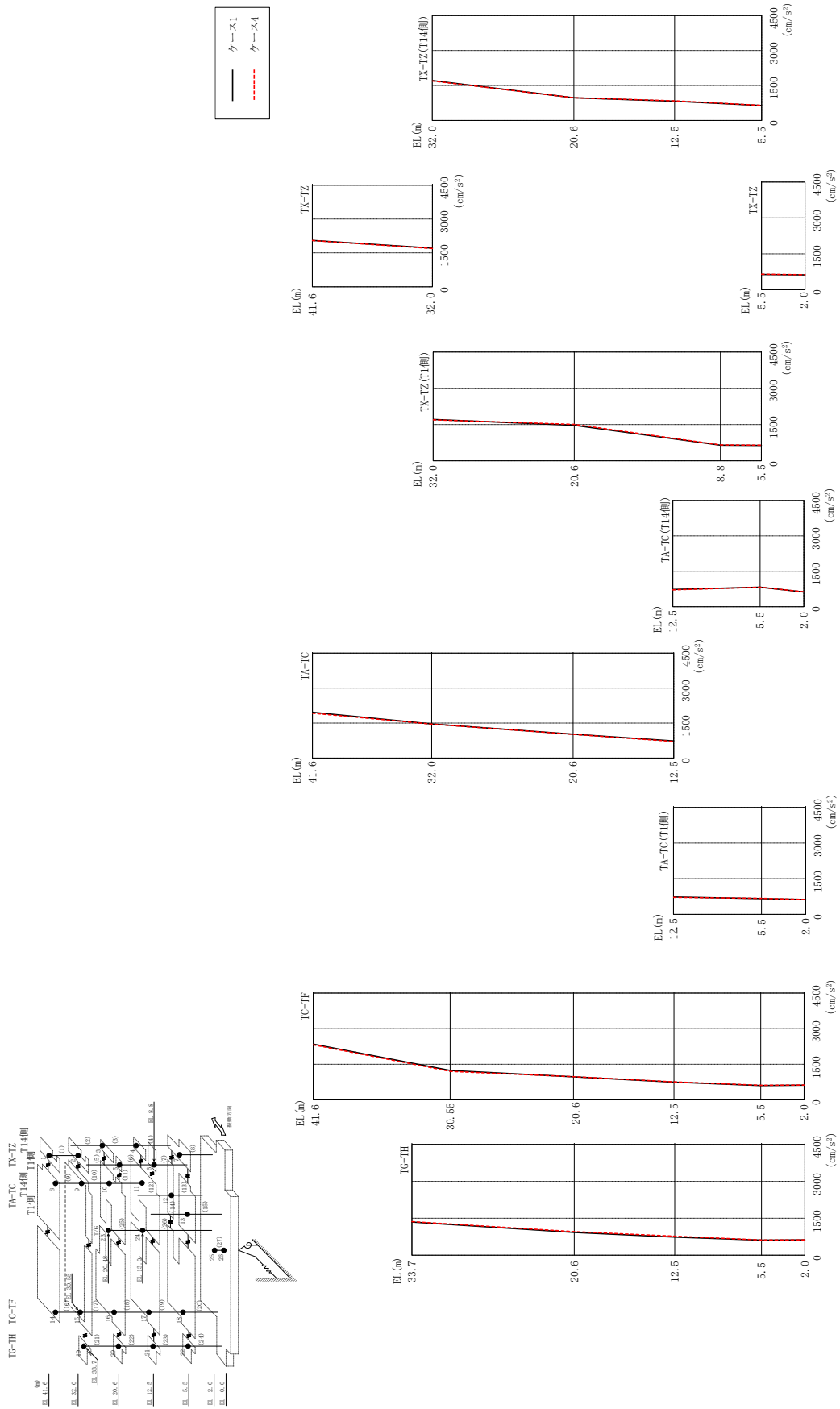
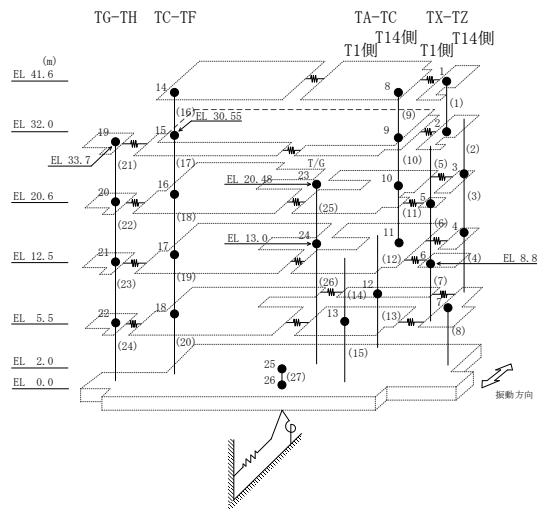


図 2-180 最大応答加速度 (基準地震動 S - N 2 EW, EW 方向)

表 2-162 最大応答加速度一覧 (基準地震動 $S_s - N 2 E W$, $E W$ 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2051	2045
	32.0	2	1709	1696
TX-TZ (T14側)	20.6	3	973	969
	12.5	4	823	838
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1468	1509
	8.8	6	649	658
TX-TZ	5.5	7	638	645
TA-TC	41.6	8	1963	1922
	32.0	9	1460	1455
	20.6	10	1019	1015
	12.5	11	730	711
TA-TC (T14側)	5.5	12	825	823
TA-TC (T1側)	5.5	13	660	667
TC-TF	41.6	14	2352	2325
	30.55	15	1239	1203
	20.6	16	972	975
	12.5	17	749	760
	5.5	18	606	617
TG-TH	33.7	19	1348	1364
	20.6	20	924	959
	12.5	21	738	770
	5.5	22	613	617
	2.0	25	622	623



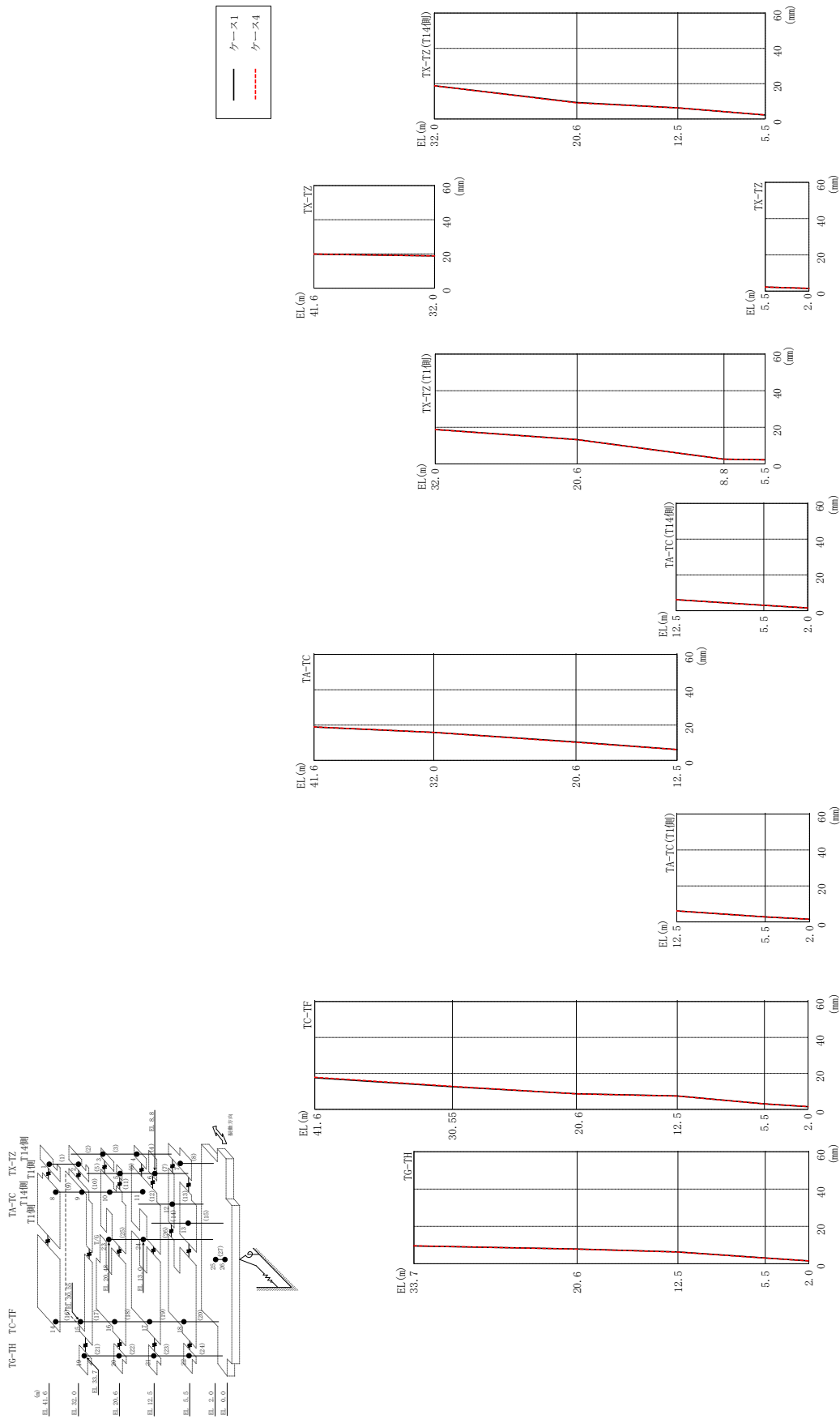
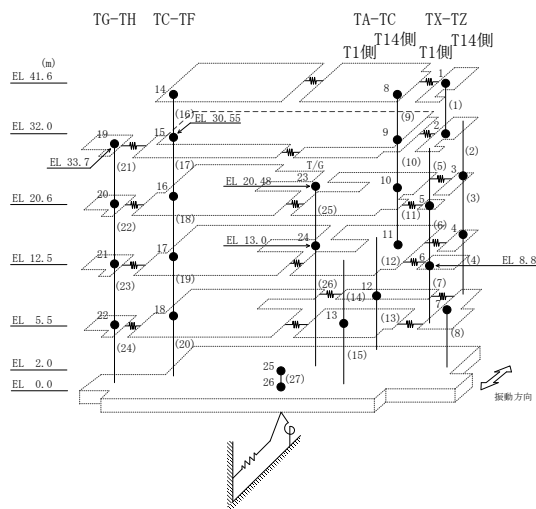


図2-181 最大応答変位 (基準地震動 S s-D, E W方向)

表 2-163 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	19.88	19.92
	32.0	2	18.85	18.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	9.31	9.12
	12.5	4	6.31	6.25
TX-TZ (T1側)	20.6	5	13.31	13.27
	8.8	6	2.60	2.63
TX-TZ	5.5	7	2.25	2.28
TA-TC	41.6	8	18.88	18.99
	32.0	9	15.87	15.85
	20.6	10	10.41	10.21
	12.5	11	6.16	6.14
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.98	3.00
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.80	2.83
TC-TF	41.6	14	17.58	17.86
	30.55	15	12.58	12.82
	20.6	16	8.69	8.63
	12.5	17	7.47	7.41
	5.5	18	3.06	3.02
TG-TH	33.7	19	9.54	9.63
	20.6	20	7.87	7.80
	12.5	21	6.31	6.23
	5.5	22	3.06	3.01
	2.0	25	1.51	1.53



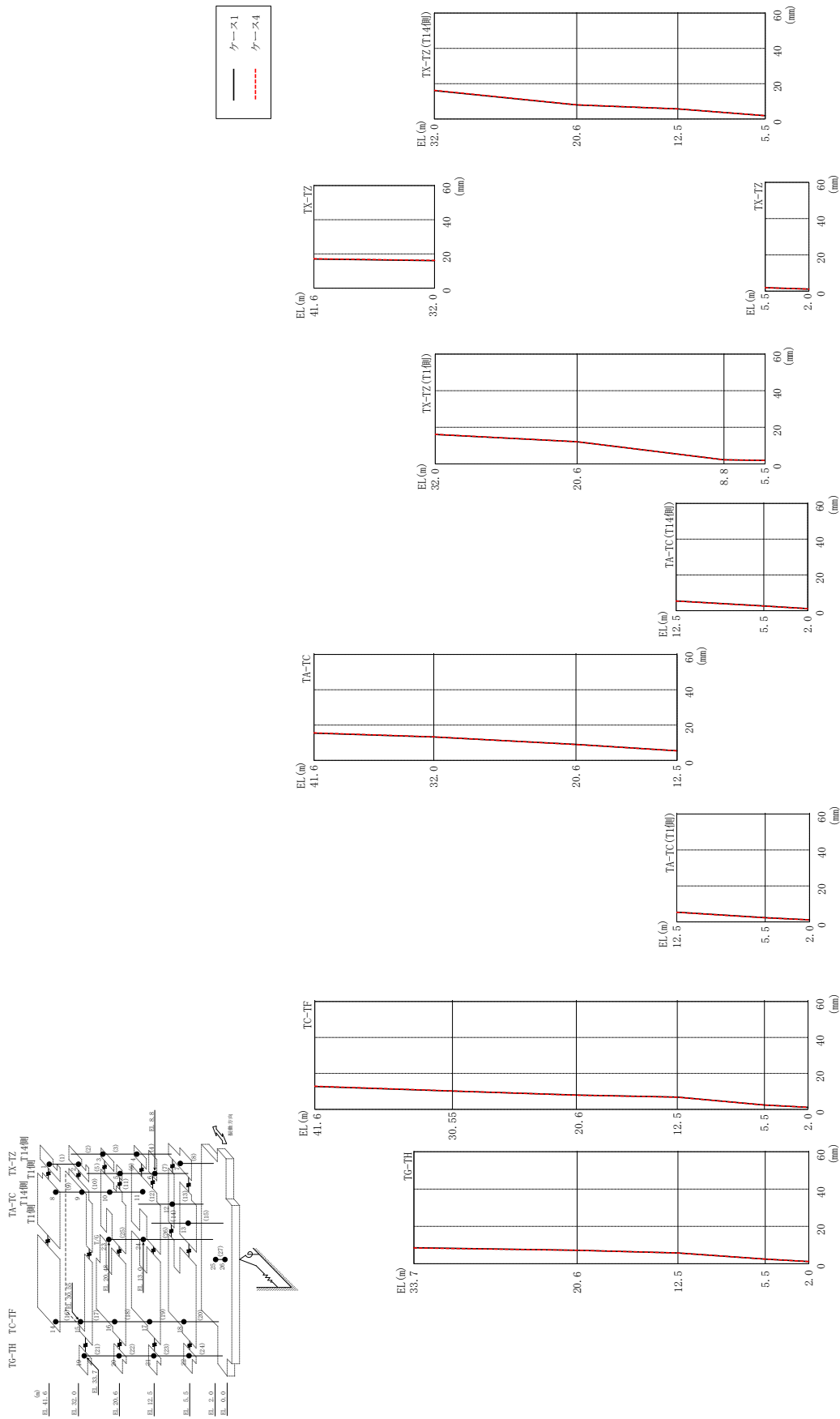
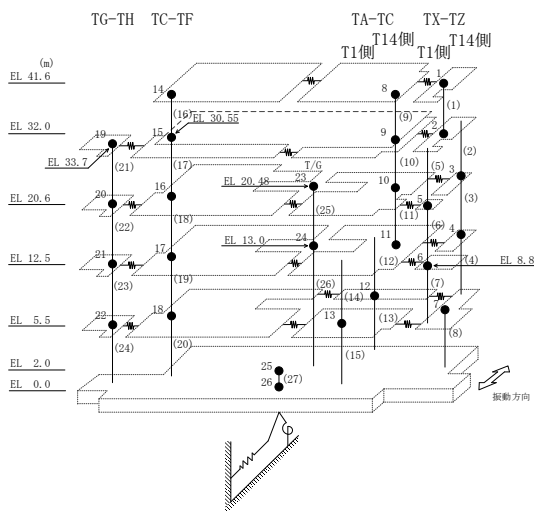


図 2-182 最大心筈変位 (基準地震動 S s - F 1, E W 方向)

表 2-164 最大応答変位一覧 (基準地震動 S_s-F 1, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	17.03	17.15
	32.0	2	16.09	16.20
TX-TZ (T14側)	20.6	3	7.98	7.99
	12.5	4	5.69	5.69
TX-TZ (T1側)	20.6	5	12.09	12.13
	8.8	6	2.24	2.23
TX-TZ	5.5	7	1.88	1.87
TA-TC	41.6	8	15.42	15.59
	32.0	9	13.24	13.32
	20.6	10	9.05	8.99
	12.5	11	5.40	5.39
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.67	2.60
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.34	2.33
TC-TF	41.6	14	12.75	12.89
	30.55	15	10.14	10.23
	20.6	16	7.94	7.93
	12.5	17	6.79	6.77
	5.5	18	2.40	2.38
TG-TH	33.7	19	8.58	8.46
	20.6	20	7.21	7.20
	12.5	21	5.78	5.76
	5.5	22	2.50	2.48
	2.0	25	1.14	1.14



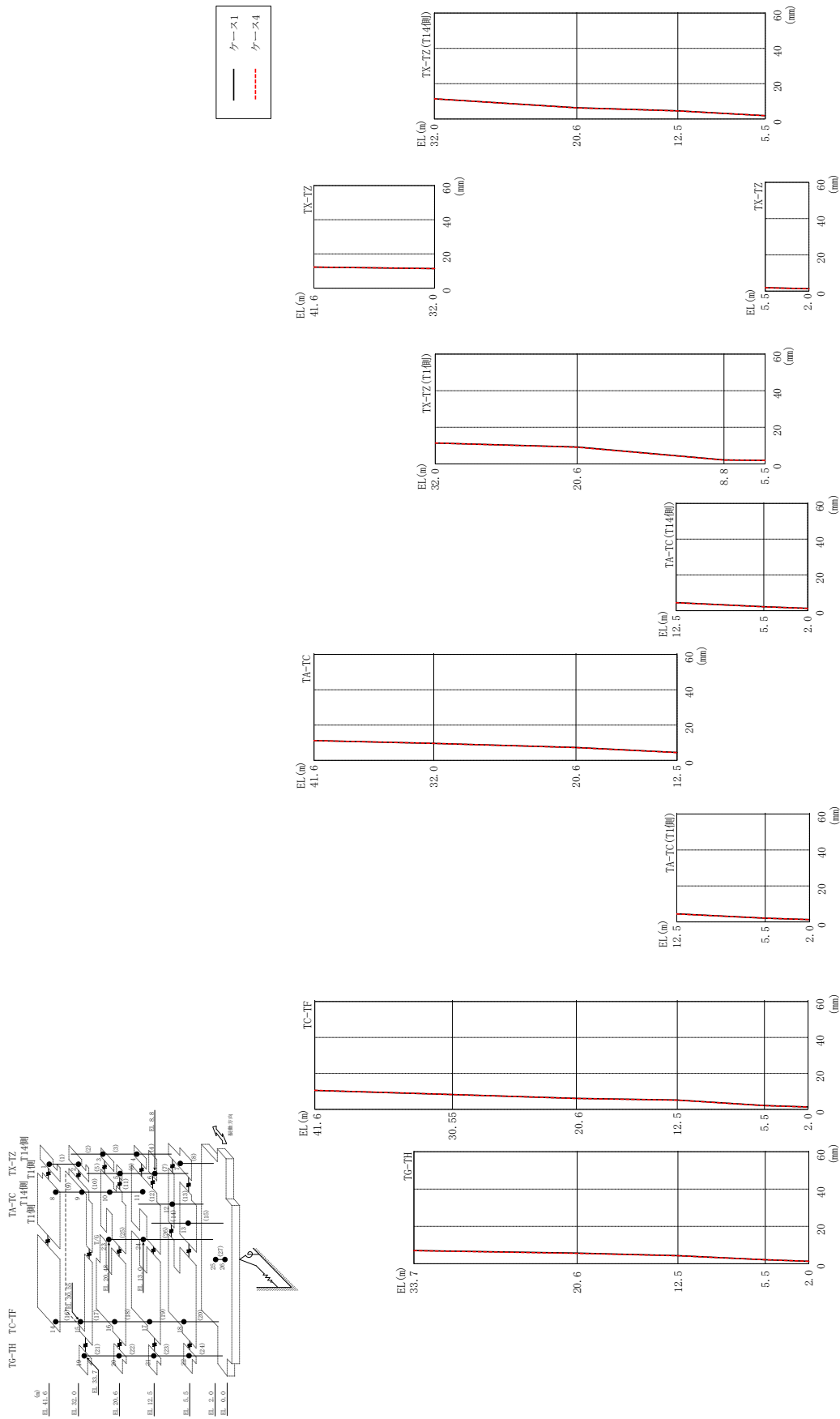
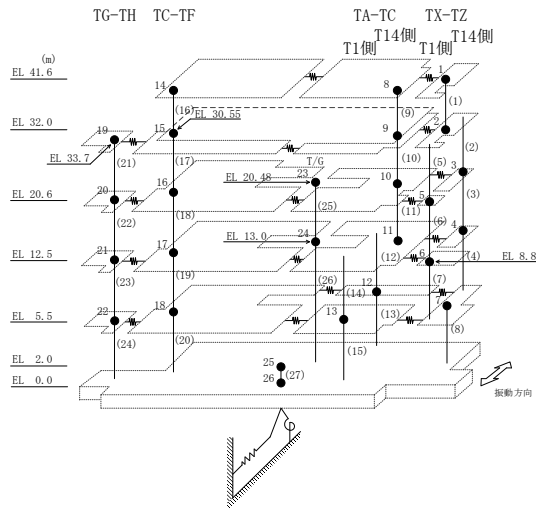


図 2-183 最大心筈変位 (基準地震動 S s - F 2, E W 方向)

表 2-165 最大応答変位一覧 (基準地震動 S_s-F 2, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	12.31	12.35
	32.0	2	11.41	11.42
TX-TZ (T14側)	20.6	3	6.33	6.27
	12.5	4	4.63	4.53
TX-TZ (T1側)	20.6	5	9.24	9.14
	8.8	6	2.15	2.15
TX-TZ	5.5	7	1.89	1.88
TA-TC	41.6	8	11.18	11.22
	32.0	9	9.60	9.59
	20.6	10	7.29	7.24
	12.5	11	4.47	4.42
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.21	2.17
TA-TC (T1側)	5.5	13	2.10	2.06
TC-TF	41.6	14	10.50	10.57
	30.55	15	8.22	8.23
	20.6	16	6.14	6.05
	12.5	17	5.18	5.09
	5.5	18	2.10	2.08
TG-TH	33.7	19	7.09	6.99
	20.6	20	5.66	5.57
	12.5	21	4.31	4.23
	5.5	22	2.15	2.13
	2.0	25	1.31	1.30



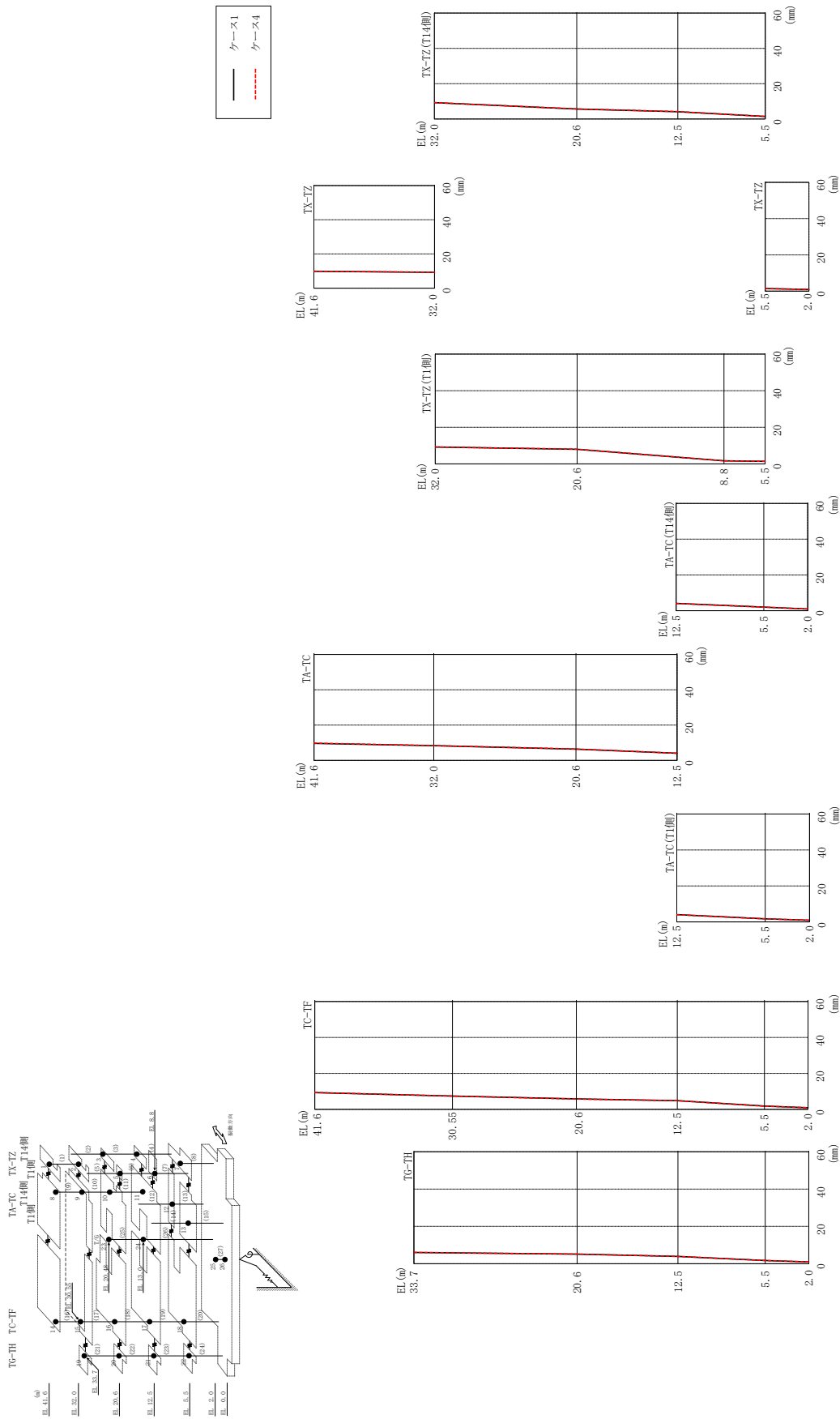
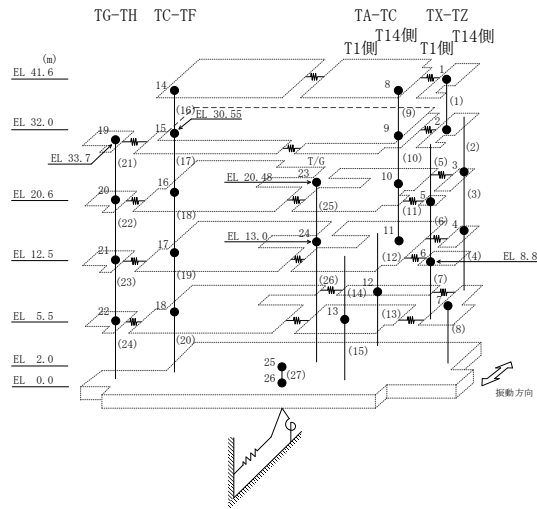


図 2-184 最大心筈変位 (基準地震動 S s - N 1, E W 方向)

表 2-166 最大応答変位一覧 (基準地震動 S_s-N1, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	9.86	9.89
	32.0	2	9.23	9.24
TX-TZ (T14側)	20.6	3	5.61	5.69
	12.5	4	4.08	4.15
TX-TZ (T1側)	20.6	5	8.00	8.06
	8.8	6	1.71	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.42	1.41
TA-TC	41.6	8	9.63	9.73
	32.0	9	8.29	8.36
	20.6	10	6.38	6.44
	12.5	11	4.05	4.02
TA-TC (T14側)	5.5	12	2.03	2.03
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.73	1.72
TC-TF	41.6	14	9.29	9.40
	30.55	15	7.36	7.39
	20.6	16	5.80	5.79
	12.5	17	4.86	4.83
	5.5	18	1.81	1.80
TG-TH	33.7	19	6.03	6.04
	20.6	20	5.12	5.12
	12.5	21	3.90	3.89
	5.5	22	1.75	1.73
	2.0	25	0.93	0.93



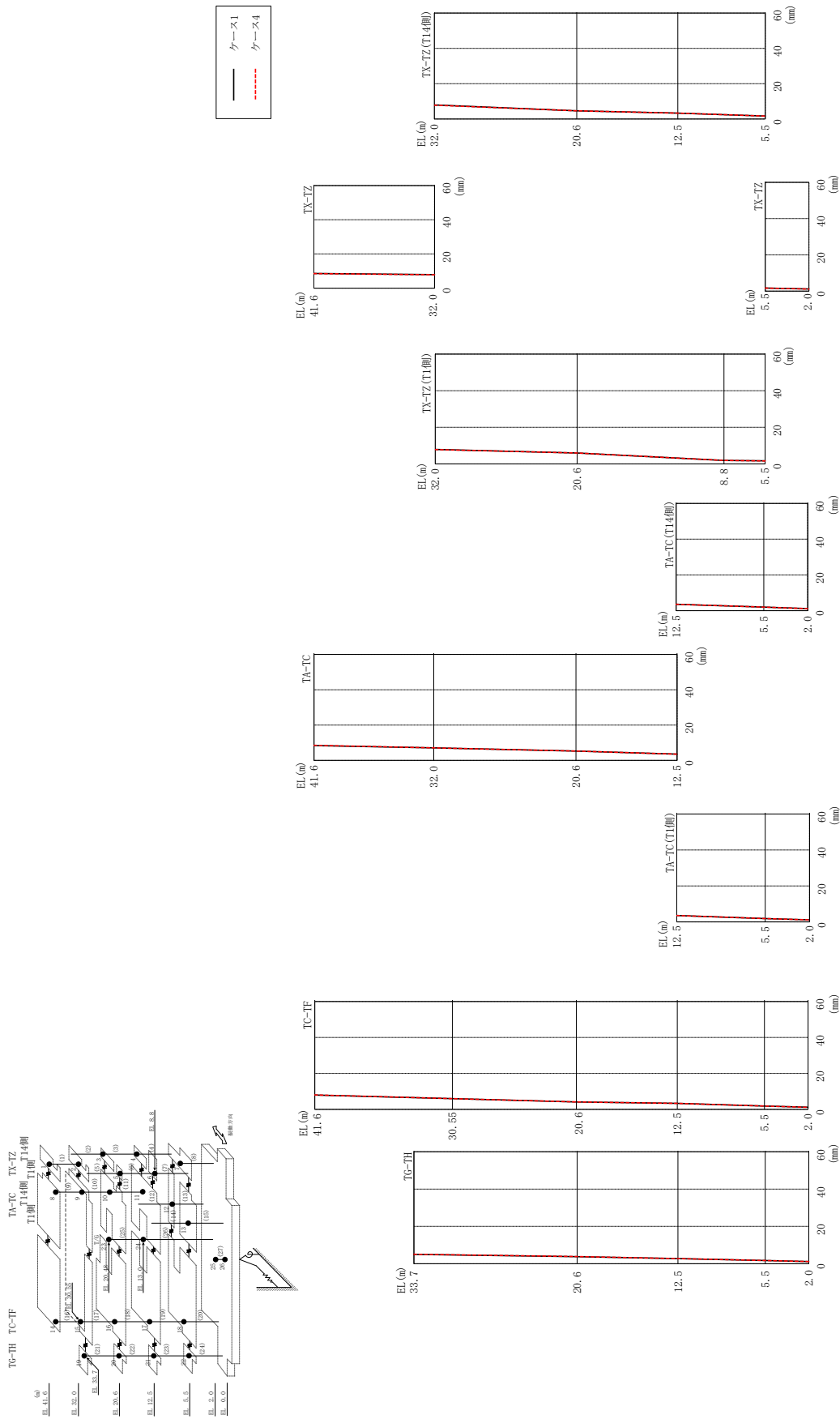
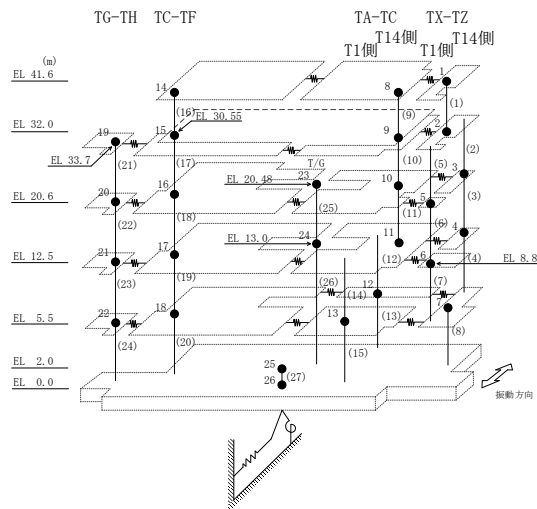


図 2-185 最大応答変位 (基準地震動 S s - N 2 N S, EW 方向)

表 2-167 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - N 2 N S$, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	8.61	8.54
	32.0	2	7.92	7.82
TX-TZ(T14側)	20.6	3	4.63	4.64
	12.5	4	3.31	3.33
TX-TZ(T1側)	20.6	5	5.98	5.95
	8.8	6	1.92	1.91
TX-TZ	5.5	7	1.67	1.66
TA-TC	41.6	8	8.36	8.51
	32.0	9	7.08	7.07
	20.6	10	5.26	5.26
	12.5	11	3.55	3.55
TA-TC(T14側)	5.5	12	2.03	2.03
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.89	1.88
TC-TF	41.6	14	8.00	8.06
	30.55	15	5.96	5.97
	20.6	16	4.15	4.15
	12.5	17	3.36	3.36
	5.5	18	1.85	1.84
TG-TH	33.7	19	5.03	5.05
	20.6	20	3.80	3.81
	12.5	21	2.77	2.78
	5.5	22	1.69	1.69
	2.0	25	1.16	1.16



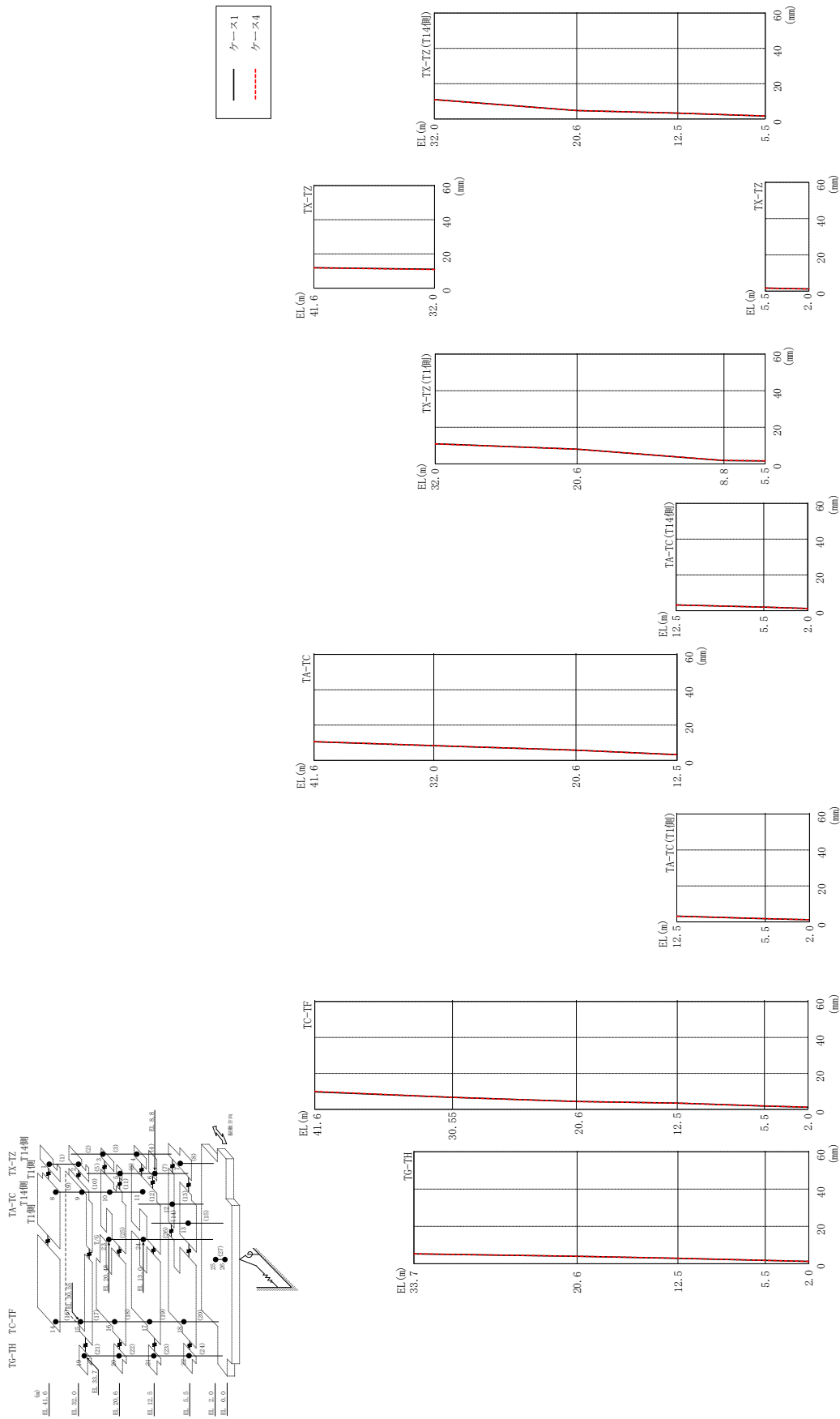
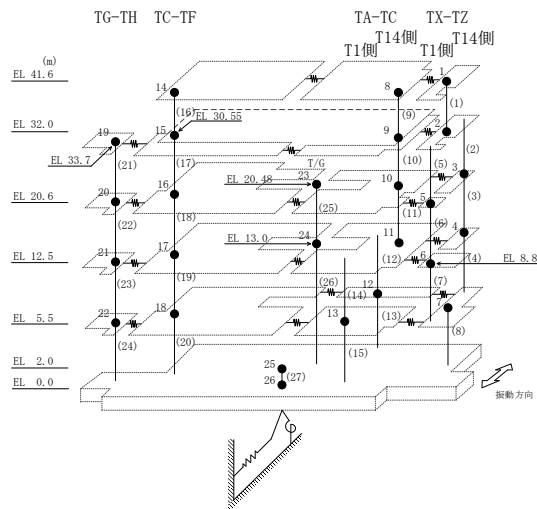


図 2-186 最大応答変位 (基準地震動 S - N 2 EW, EW 方向)

表 2-168 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - N 2 E W$, EW方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	11.94	11.87
	32.0	2	11.01	10.90
TX-TZ (T14側)	20.6	3	4.74	4.74
	12.5	4	3.30	3.30
TX-TZ (T1側)	20.6	5	8.08	8.06
	8.8	6	1.86	1.90
TX-TZ	5.5	7	1.66	1.69
TA-TC	41.6	8	10.58	10.62
	32.0	9	8.28	8.36
	20.6	10	5.76	5.77
	12.5	11	3.21	3.16
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.98	2.02
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.83	1.87
TC-TF	41.6	14	9.74	9.94
	30.55	15	6.68	6.67
	20.6	16	4.41	4.37
	12.5	17	3.49	3.48
	5.5	18	1.85	1.89
TG-TH	33.7	19	5.29	5.34
	20.6	20	3.97	3.99
	12.5	21	2.90	2.95
	5.5	22	1.78	1.81
	2.0	25	1.21	1.22



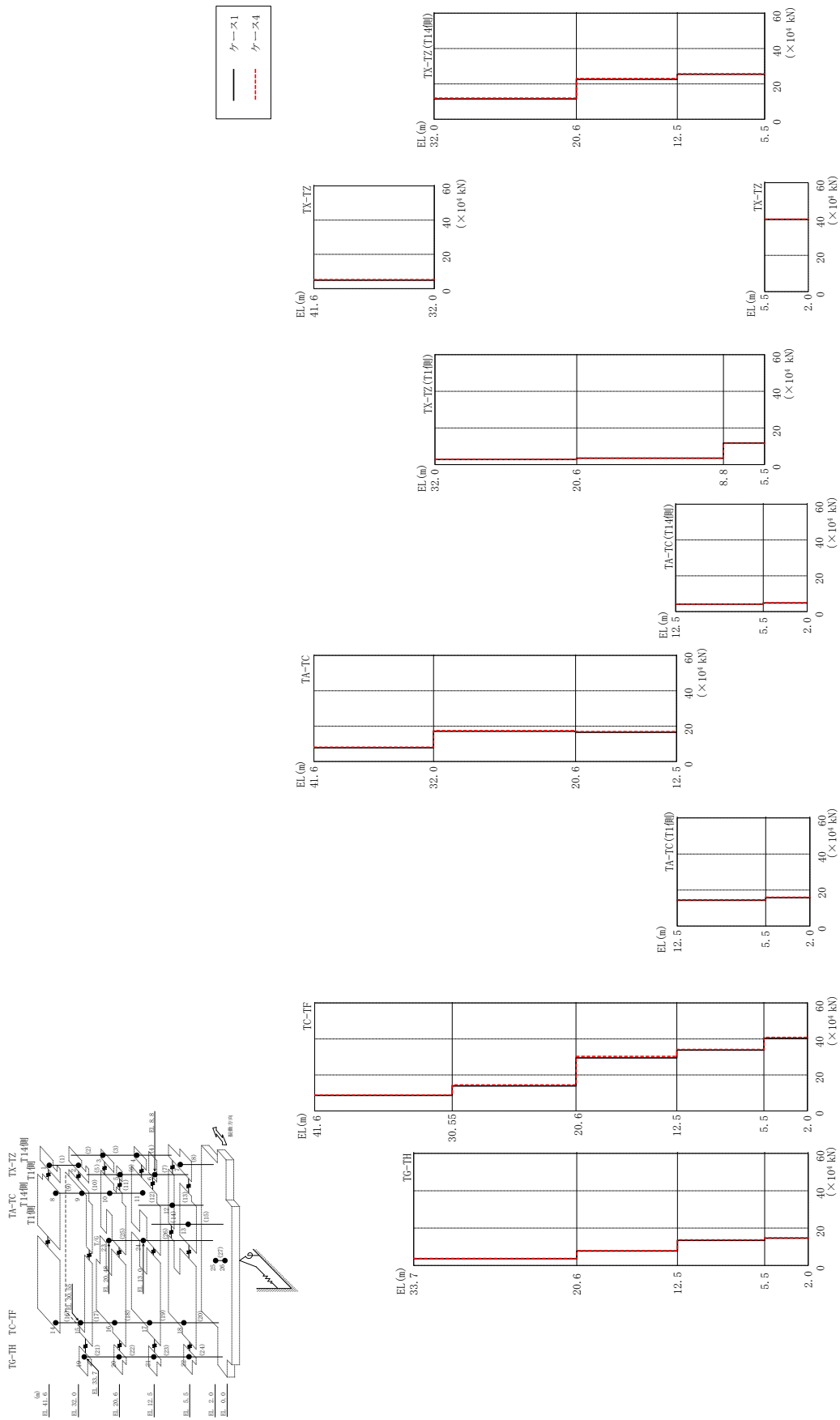
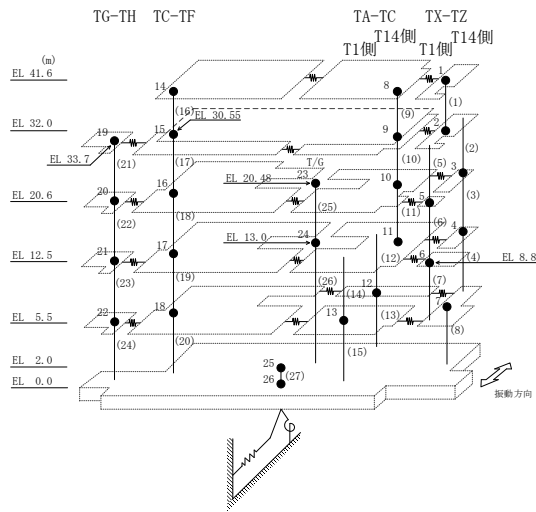


図 2-187 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - D, EW 方向)

表 2-169 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - D, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	5.25
	32.0~20.6	2	11.5	12.0
TX-TZ (T14側)	20.6~12.5	3	22.6	23.1
	12.5~5.5	4	25.4	25.7
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.50	3.57
	8.8~5.5	7	11.7	11.6
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	16.5	17.0
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.21
	5.5~2.0	13	4.82	4.91
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.3	14.6
	5.5~2.0	15	15.7	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	8.85
	30.55~20.6	17	13.9	14.4
	20.6~12.5	18	29.5	30.3
	12.5~5.5	19	33.8	34.2
	5.5~2.0	20	40.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.75
	20.6~12.5	22	7.74	7.98
	12.5~5.5	23	13.5	13.7
	5.5~2.0	24	14.6	14.8



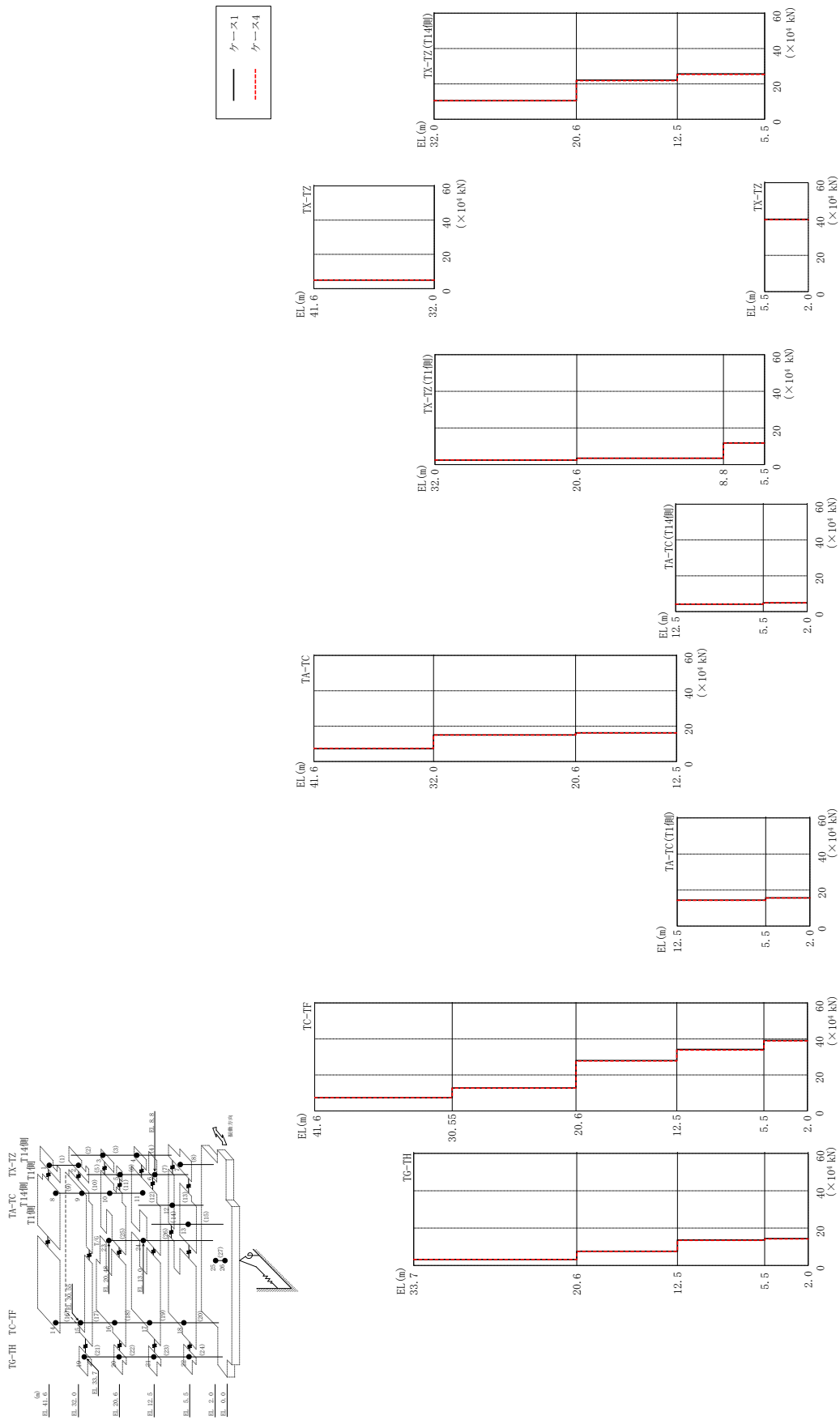
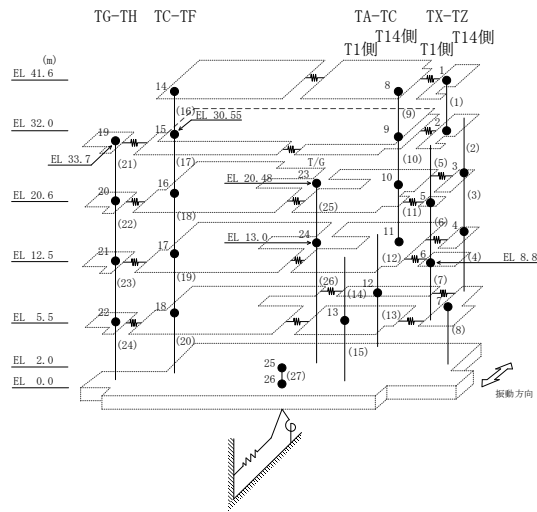


図 2-188 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

表 2-170 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.99	4.99
	32.0~20.6	2	10.5	10.5
TX-TZ (T14側)	20.6~12.5	3	22.1	21.8
	12.5~5.5	4	25.6	25.4
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.50	2.54
	20.6~8.8	6	3.53	3.50
	8.8~5.5	7	11.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.6
TA-TC	41.6~32.0	9	7.23	7.41
	32.0~20.6	10	15.0	15.0
	20.6~12.5	11	16.2	16.1
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.15
	5.5~2.0	13	4.86	4.90
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.4	14.3
	5.5~2.0	15	15.7	15.6
TC-TF	41.6~30.55	16	7.30	7.36
	30.55~20.6	17	12.8	12.7
	20.6~12.5	18	28.0	27.7
	12.5~5.5	19	34.1	33.8
	5.5~2.0	20	39.1	38.9
TG-TH	33.7~20.6	21	3.26	3.22
	20.6~12.5	22	7.60	7.57
	12.5~5.5	23	13.7	13.4
	5.5~2.0	24	14.4	14.2



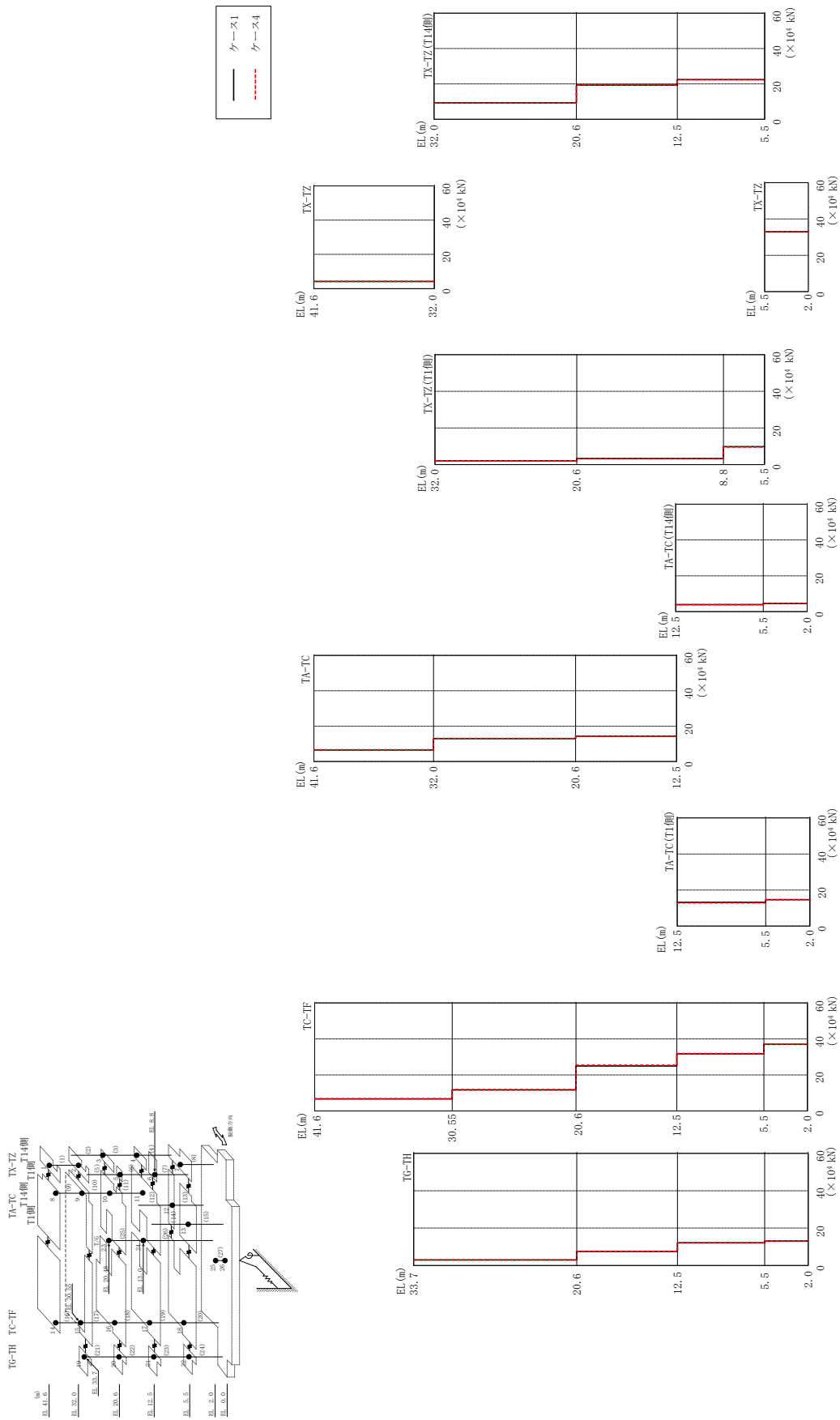
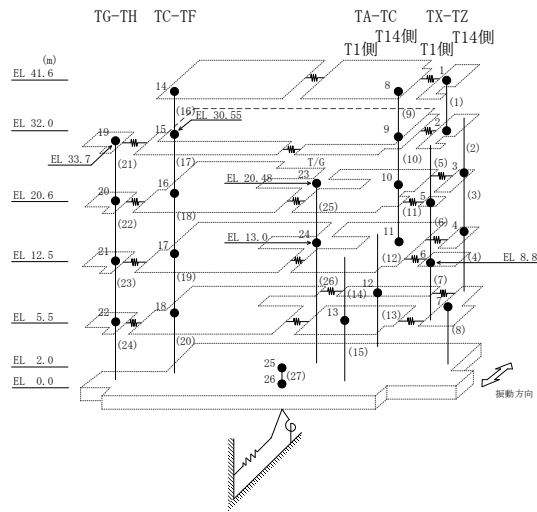


図 2-189 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - F 2, EW 方向)

表 2-171 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.20	4.22
	32.0~20.6	2	9.27	9.21
TX-TZ (T14側)	20.6~12.5	3	19.2	19.3
	12.5~5.5	4	22.4	22.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.12	2.13
	20.6~8.8	6	3.30	3.34
	8.8~5.5	7	9.79	9.61
TX-TZ	5.5~2.0	8	32.9	33.0
TA-TC	41.6~32.0	9	6.49	6.61
	32.0~20.6	10	13.0	13.0
	20.6~12.5	11	14.3	14.2
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	3.87	3.83
	5.5~2.0	13	4.55	4.54
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	13.2	12.9
	5.5~2.0	15	14.7	14.6
TC-TF	41.6~30.55	16	6.70	6.75
	30.55~20.6	17	11.7	11.9
	20.6~12.5	18	25.0	25.4
	12.5~5.5	19	31.8	31.9
	5.5~2.0	20	37.0	37.0
TG-TH	33.7~20.6	21	2.98	3.02
	20.6~12.5	22	7.51	7.60
	12.5~5.5	23	12.2	12.1
	5.5~2.0	24	13.1	13.0



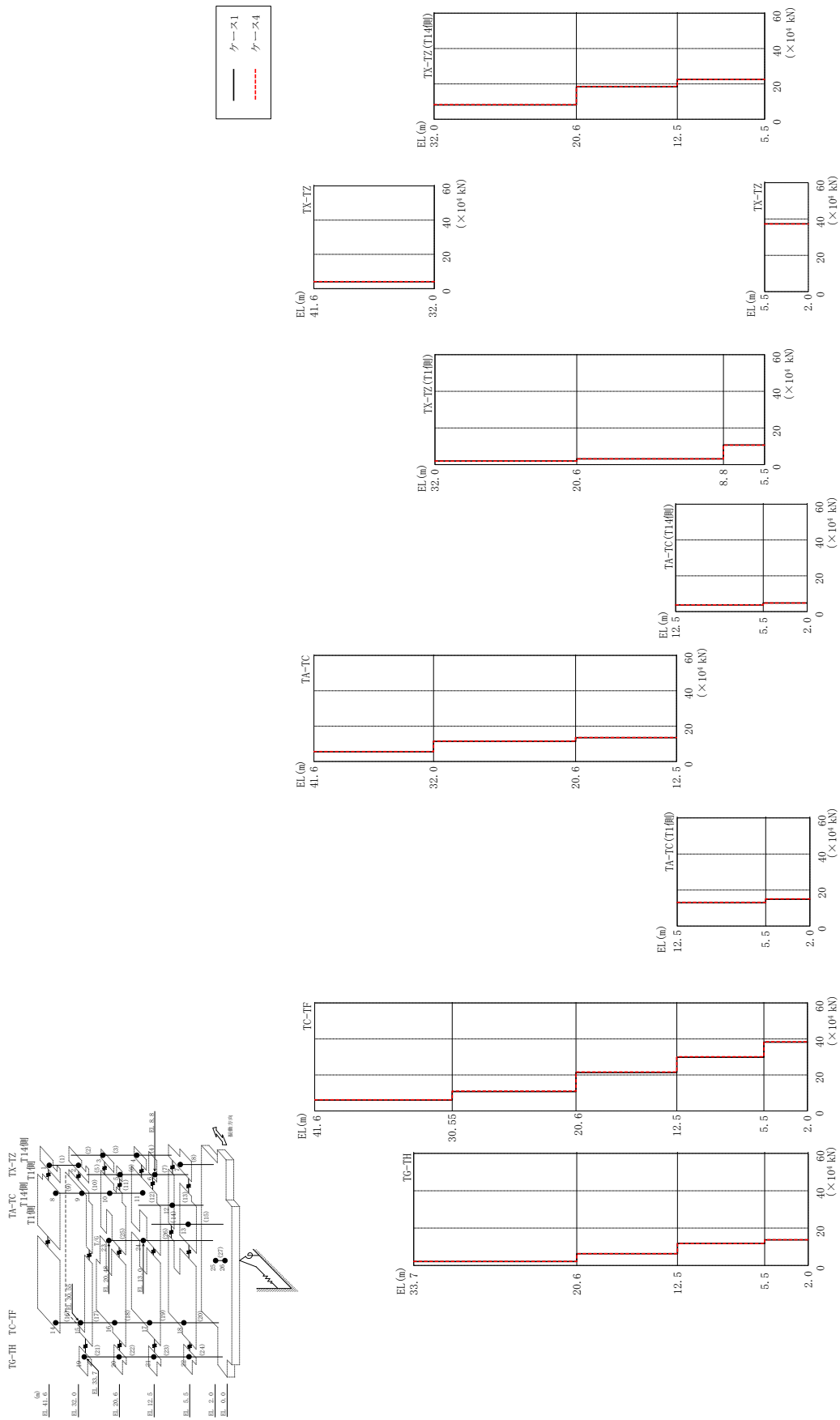
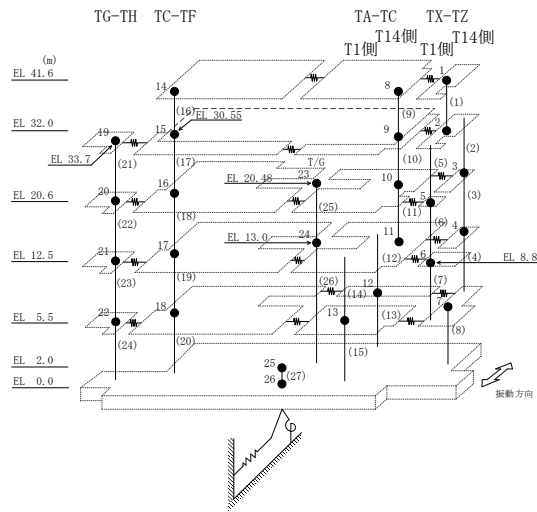


図 2-190 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

表 2-172 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - N 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.98	4.07
	32.0~20.6	2	8.12	8.21
TX-TZ (T14側)	20.6~12.5	3	18.4	18.5
	12.5~5.5	4	22.5	22.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.99	1.97
	20.6~8.8	6	3.17	3.14
	8.8~5.5	7	10.7	10.7
TX-TZ	5.5~2.0	8	37.3	37.3
TA-TC	41.6~32.0	9	5.50	5.65
	32.0~20.6	10	11.4	11.5
	20.6~12.5	11	13.5	13.5
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	3.74	3.72
	5.5~2.0	13	4.80	4.77
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	13.0	13.1
	5.5~2.0	15	14.9	15.1
TC-TF	41.6~30.55	16	6.01	6.21
	30.55~20.6	17	10.7	11.0
	20.6~12.5	18	21.4	21.6
	12.5~5.5	19	29.8	30.1
	5.5~2.0	20	38.2	38.5
TG-TH	33.7~20.6	21	2.16	2.19
	20.6~12.5	22	6.32	6.33
	12.5~5.5	23	11.8	11.7
	5.5~2.0	24	13.7	13.8



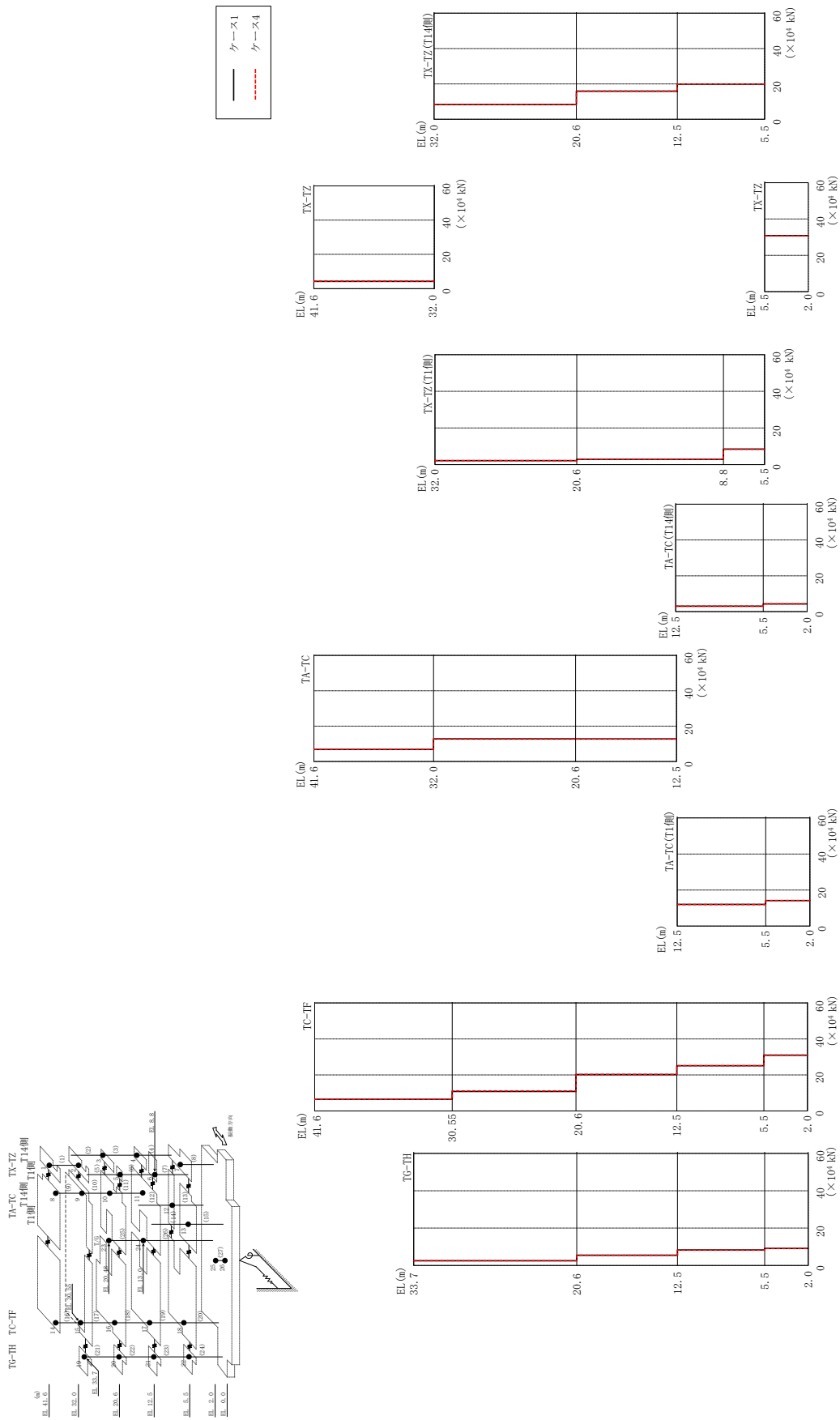
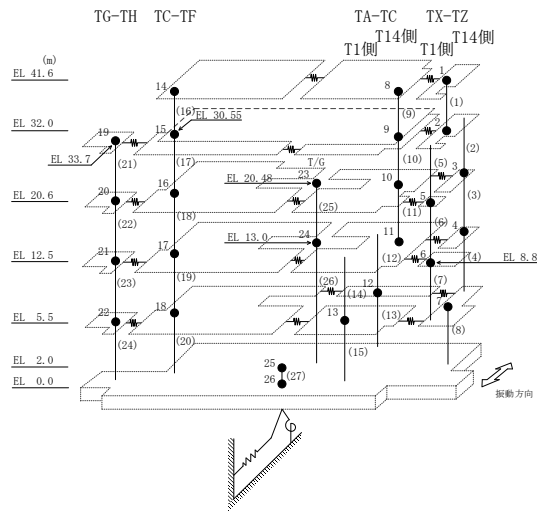


図 2-191 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 2 N S, EW 方向)

表 2-173 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - N 2 N S, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.27	4.40
	32.0~20.6	2	8.32	8.38
TX-TZ (T14側)	20.6~12.5	3	15.9	15.9
	12.5~5.5	4	19.8	19.8
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.16	2.18
	20.6~8.8	6	2.92	2.89
	8.8~5.5	7	8.45	8.43
TX-TZ	5.5~2.0	8	30.8	30.7
TA-TC	41.6~32.0	9	6.76	6.90
	32.0~20.6	10	12.7	12.9
	20.6~12.5	11	12.7	12.7
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	2.98	3.00
	5.5~2.0	13	4.28	4.28
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.0	12.0
	5.5~2.0	15	14.1	14.2
TC-TF	41.6~30.55	16	6.49	6.50
	30.55~20.6	17	10.8	11.1
	20.6~12.5	18	20.2	20.3
	12.5~5.5	19	25.1	25.1
	5.5~2.0	20	31.0	31.0
TG-TH	33.7~20.6	21	2.51	2.53
	20.6~12.5	22	5.50	5.48
	12.5~5.5	23	8.27	8.26
	5.5~2.0	24	9.14	9.15



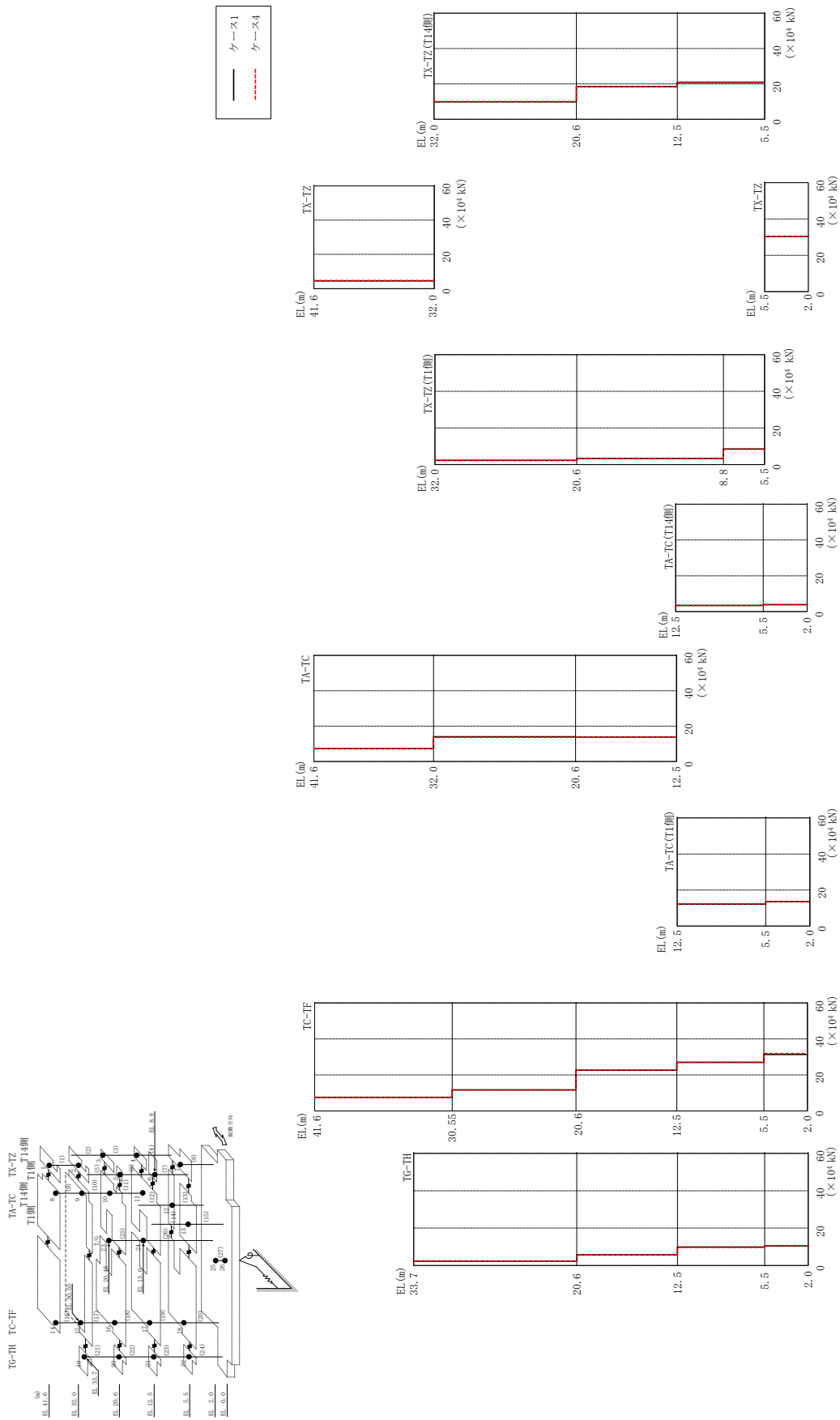
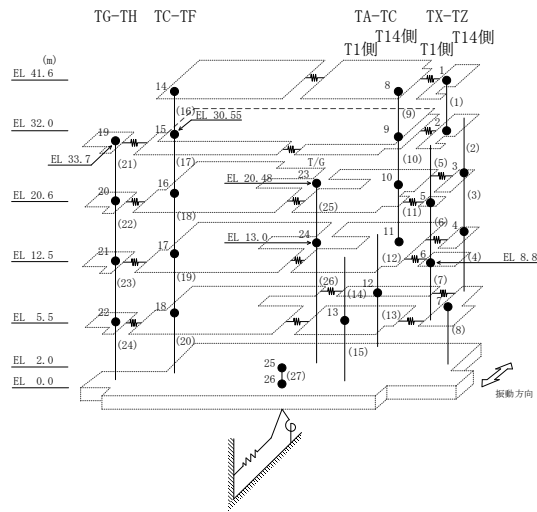


図 2-192 最大応答せん断力 (基準地震動 S s - N 2 EW, EW 方向)

表 2-174 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 S s - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.54	4.70
	32.0~20.6	2	9.83	10.0
TX-TZ (T14側)	20.6~12.5	3	18.5	18.4
	12.5~5.5	4	20.9	20.8
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.36	2.38
	20.6~8.8	6	3.28	3.25
	8.8~5.5	7	8.54	8.42
TX-TZ	5.5~2.0	8	30.4	30.3
TA-TC	41.6~32.0	9	7.26	7.32
	32.0~20.6	10	14.0	13.7
	20.6~12.5	11	13.8	13.8
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	3.42	3.37
	5.5~2.0	13	3.87	3.85
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.3
	5.5~2.0	15	13.6	13.6
TC-TF	41.6~30.55	16	7.51	7.53
	30.55~20.6	17	11.7	11.6
	20.6~12.5	18	22.6	22.7
	12.5~5.5	19	27.0	27.1
	5.5~2.0	20	31.4	31.9
TG-TH	33.7~20.6	21	2.34	2.37
	20.6~12.5	22	5.72	5.74
	12.5~5.5	23	9.86	9.70
	5.5~2.0	24	10.5	10.6



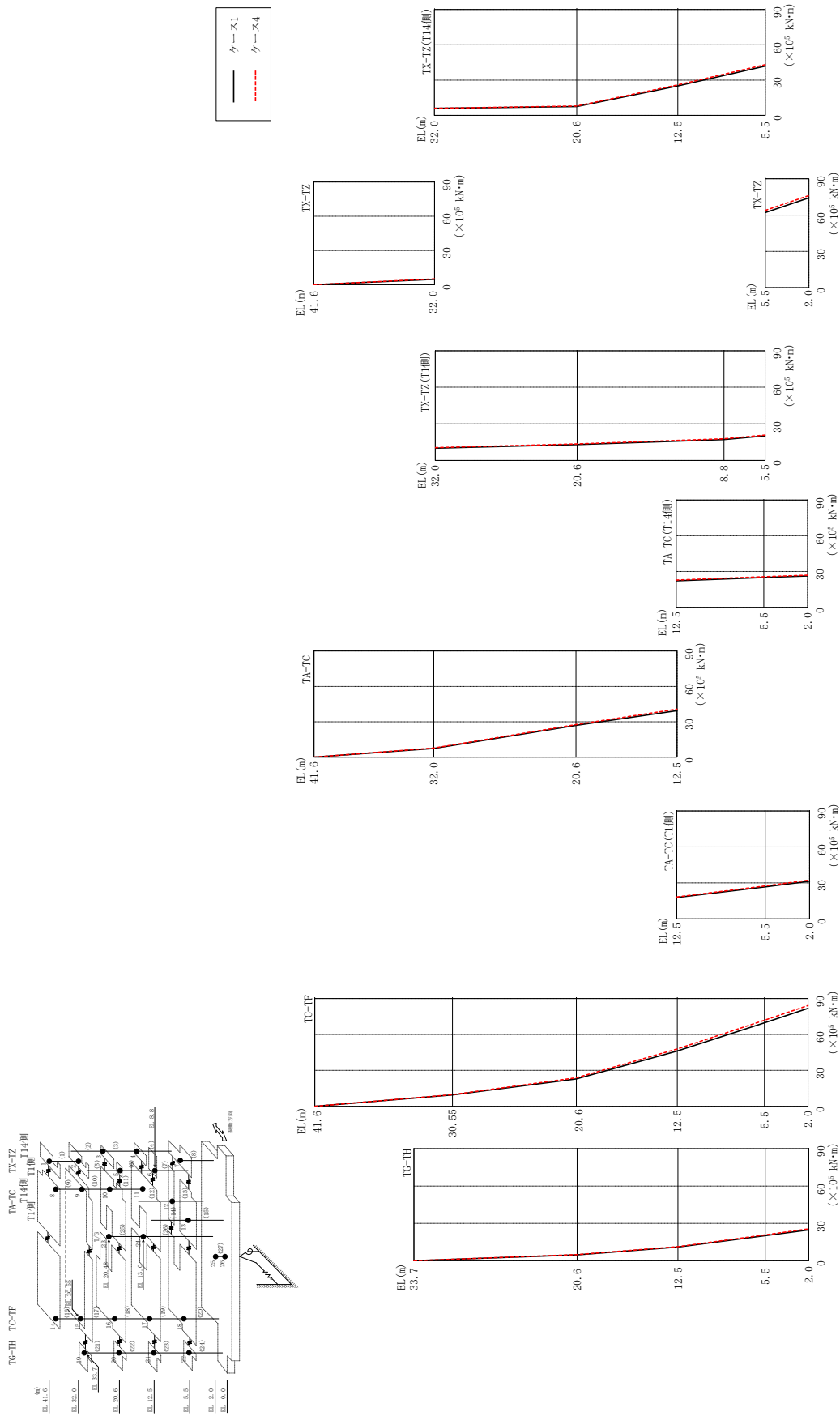


図 2-193 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S-D, EW 方向)

表 2-175(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			4.69	5.04
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.02	6.00
			7.54	7.95
	20.6~12.5	3	7.54	7.95
			25.1	25.9
12.5~5.5	4	25.1	25.9	
		41.9	43.1	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	10.1	10.6
			13.0	13.5
	20.6~8.8	6	17.1	17.7
17.1			17.7	
8.8~5.5	7	20.2	20.8	
		62.1	63.9	
TX-TZ	5.5~2.0	8	74.2	76.1
			0.00	0.00
TA-TC	41.6~32.0	9	7.44	7.74
			7.44	7.74
	32.0~20.6	10	26.9	27.6
20.6~12.5			11	26.9
				39.5

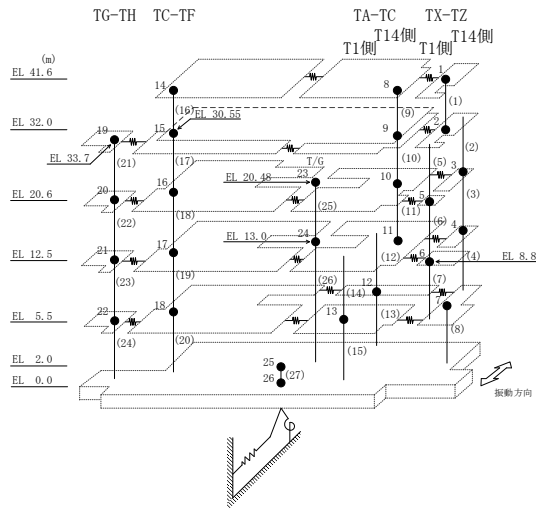
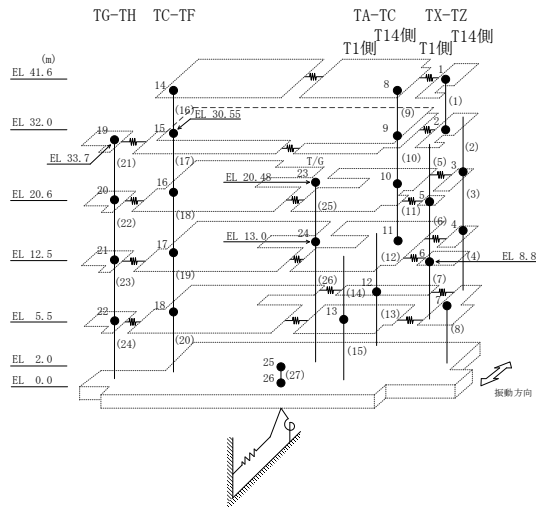


表 2-175(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - D, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	22.2 25.0	22.8 25.7
	5.5~2.0	13	25.0 26.2	25.7 26.9
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	17.8 26.6	18.3 27.4
	5.5~2.0	15	26.6 31.4	27.4 32.3
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 9.53	0.00 9.77
	30.55~20.6	17	9.53 22.9	9.77 23.9
	20.6~12.5	18	22.9 46.1	23.9 47.8
	12.5~5.5	19	46.1 69.7	47.8 71.8
	5.5~2.0	20	69.7 81.7	71.8 84.1
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 4.79	0.00 4.91
	20.6~12.5	22	4.79 11.0	4.91 11.3
	12.5~5.5	23	11.0 20.2	11.3 20.8
	5.5~2.0	24	20.2 24.8	20.8 25.6



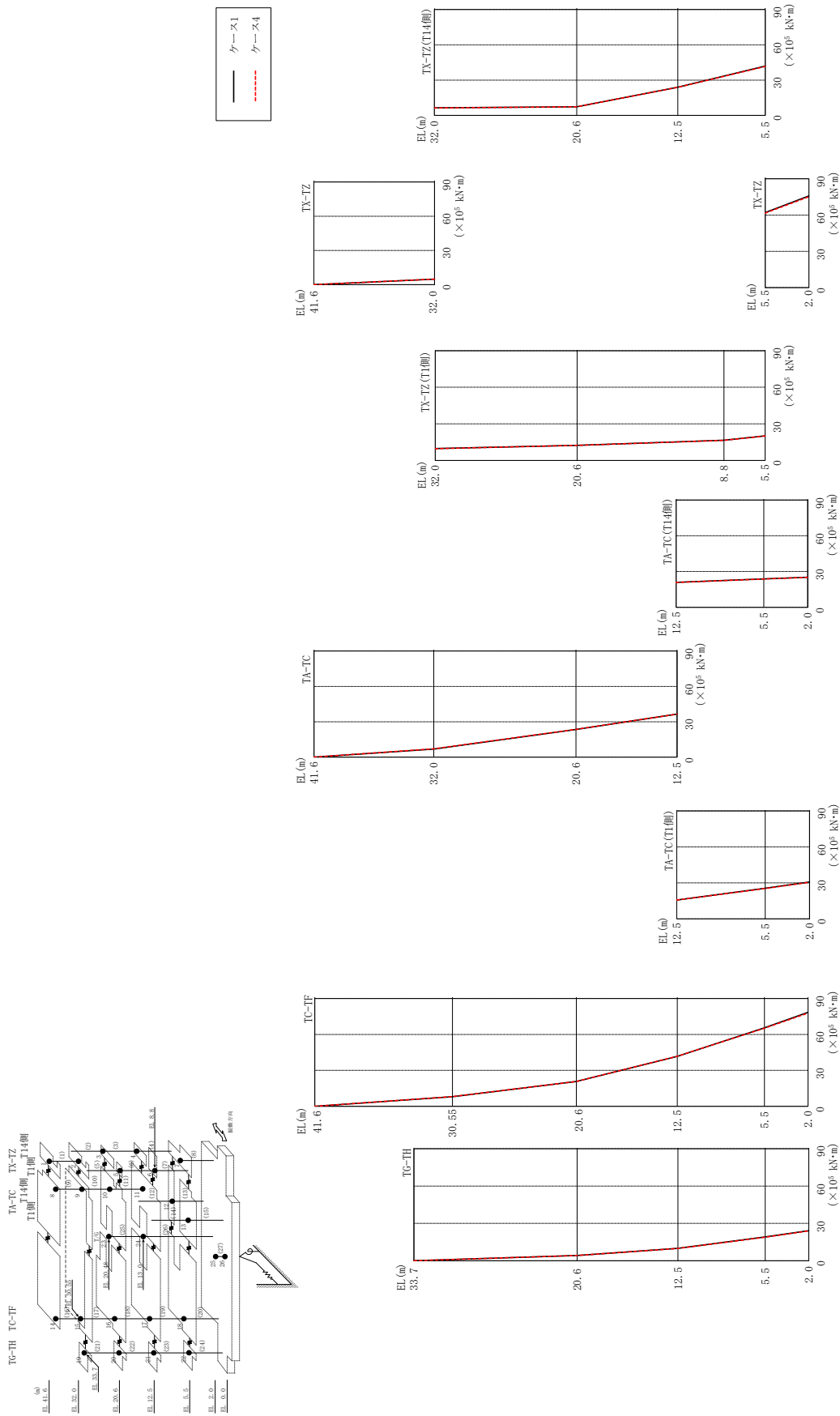


図 2-194 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

表 2-176(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			4.79	4.79
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.42	6.32
			7.30	7.29
	20.6~12.5	3	7.30	7.29
			24.0	23.9
12.5~5.5	4	24.0	23.9	
		41.9	41.6	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	9.76	9.73
			12.4	12.4
	20.6~8.8	6	16.6	16.5
16.6			16.5	
8.8~5.5	7	20.2	20.1	
		20.2	20.1	
TX-TZ	5.5~2.0	8	62.1	61.7
			75.8	75.2
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			6.94	7.11
	32.0~20.6	10	6.94	7.11
23.5			23.6	
20.6~12.5	11	23.5	23.6	
		36.6	36.5	

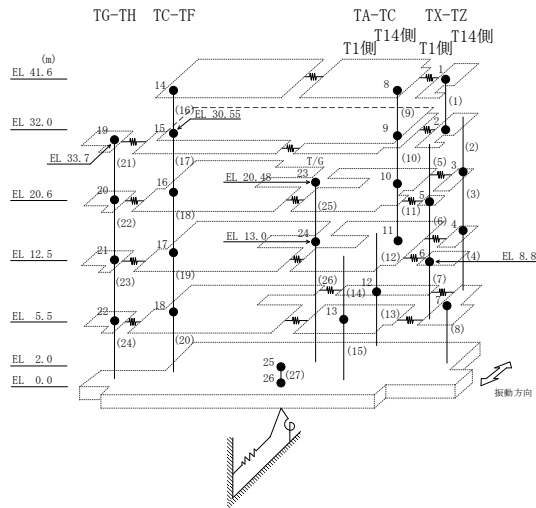
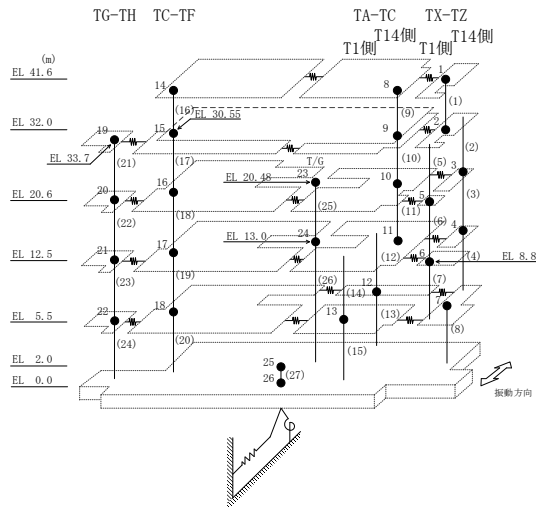


表 2-176(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	20.9 23.8	20.8 23.7
	5.5~2.0	13	23.8 25.2	23.7 25.1
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	15.7 25.5	15.7 25.3
	5.5~2.0	15	25.5 30.8	25.3 30.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 8.06	0.00 8.14
	30.55~20.6	17	8.06 20.8	8.14 20.8
	20.6~12.5	18	20.8 41.7	20.8 41.8
	12.5~5.5	19	41.7 65.5	41.8 65.2
	5.5~2.0	20	65.5 78.4	65.2 77.8
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 4.26	0.00 4.21
	20.6~12.5	22	4.26 10.0	4.21 9.84
	12.5~5.5	23	10.0 19.1	9.84 19.0
	5.5~2.0	24	19.1 24.1	19.0 24.0



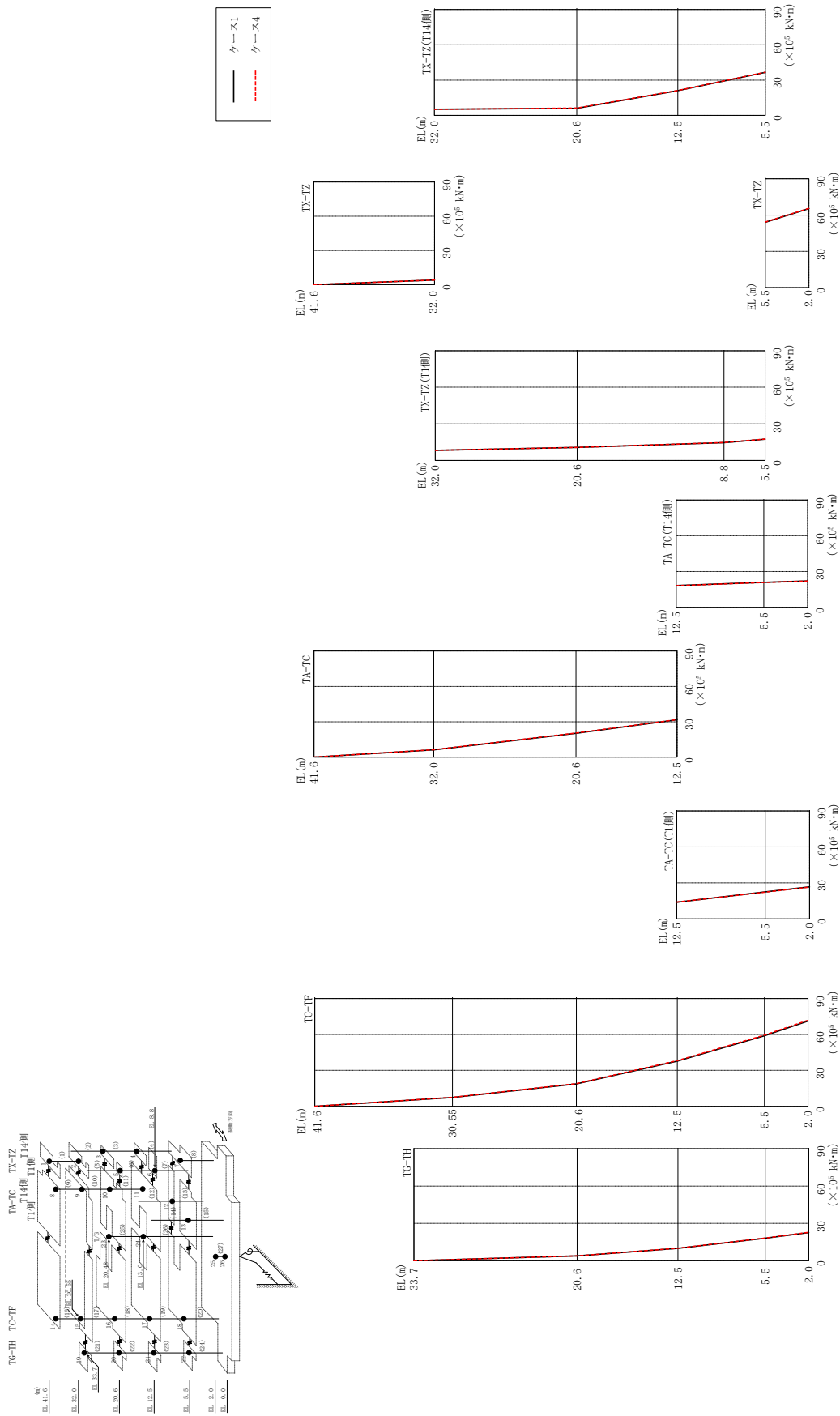


図 2-195 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - F 2, EW 方向)

表 2-177(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			4.03	4.05
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	5.25	5.10
			6.06	6.21
	20.6~12.5	3	6.06	6.21
			21.1	21.1
12.5~5.5	4	21.1	21.1	
		36.6	36.8	
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	8.35	8.35
			10.7	10.8
	20.6~8.8	6	10.7	10.8
14.6			14.7	
8.8~5.5	7	14.6	14.7	
		17.4	17.5	
TX-TZ	5.5~2.0	8	54.0	54.2
			65.4	65.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			6.23	6.35
	32.0~20.6	10	6.23	6.35
20.3			20.5	
20.6~12.5	11	20.3	20.5	
		31.7	31.8	

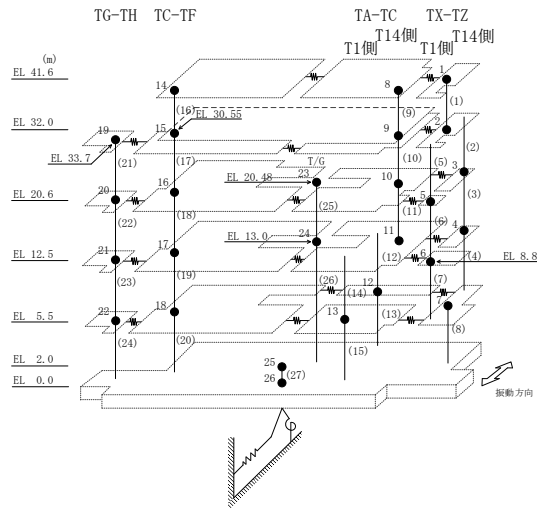
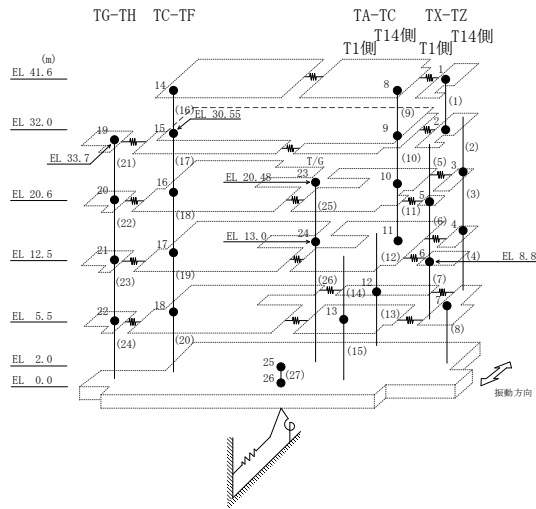


表 2-177(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - F 2, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	18.2 20.9	18.1 20.7
	5.5~2.0	13	20.9 22.1	20.7 21.9
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.9 22.5	13.9 22.3
	5.5~2.0	15	22.5 26.7	22.3 26.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.40	0.00 7.46
	30.55~20.6	17	7.40 18.7	7.46 19.0
	20.6~12.5	18	18.7 37.7	19.0 38.2
	12.5~5.5	19	37.7 58.9	38.2 59.4
	5.5~2.0	20	58.9 71.2	59.4 71.8
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 3.90	0.00 3.96
	20.6~12.5	22	3.90 9.99	3.96 10.1
	12.5~5.5	23	9.99 18.1	10.1 18.2
	5.5~2.0	24	18.1 22.7	18.2 22.8



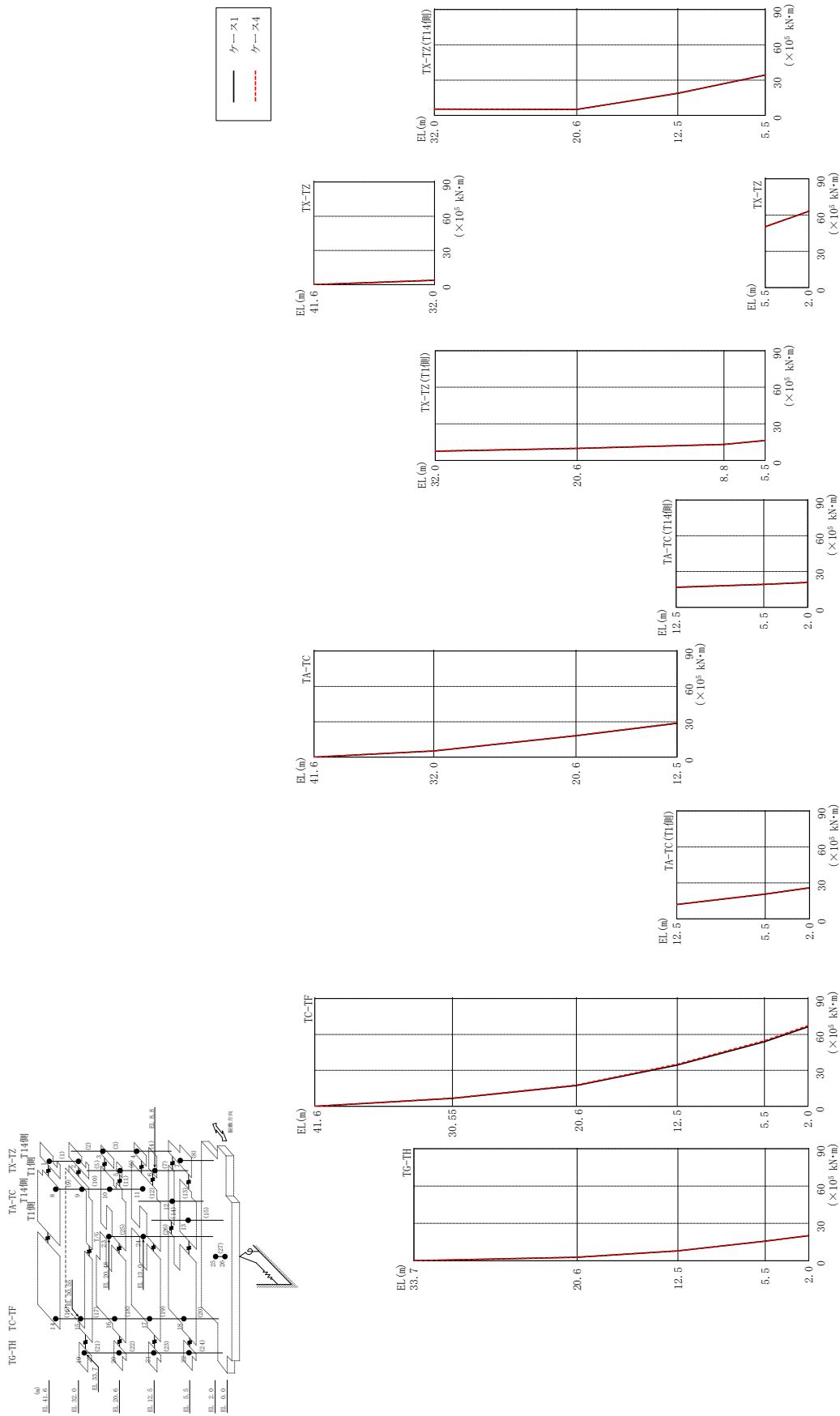


表 2-178(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			3.82	3.91
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	5.34	5.40
			5.00	5.12
	20.6~12.5	3	5.00	5.12
			18.8	18.9
12.5~5.5	4	18.8	18.9	
		34.3	34.5	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.63	7.74
			9.89	9.98
	20.6~8.8	6	9.89	9.98
13.2			13.2	
8.8~5.5	7	13.2	13.2	
		16.4	16.4	
TX-TZ	5.5~2.0	8	50.3	50.5
			63.1	63.2
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			5.28	5.42
	32.0~20.6	10	5.28	5.42
18.1			18.4	
20.6~12.5	11	18.1	18.4	
		28.7	29.0	

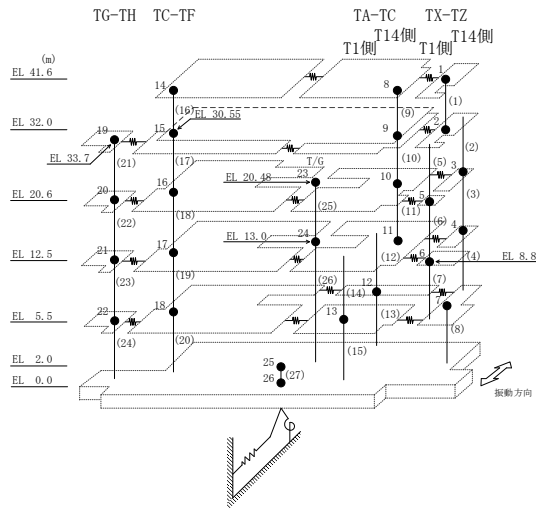
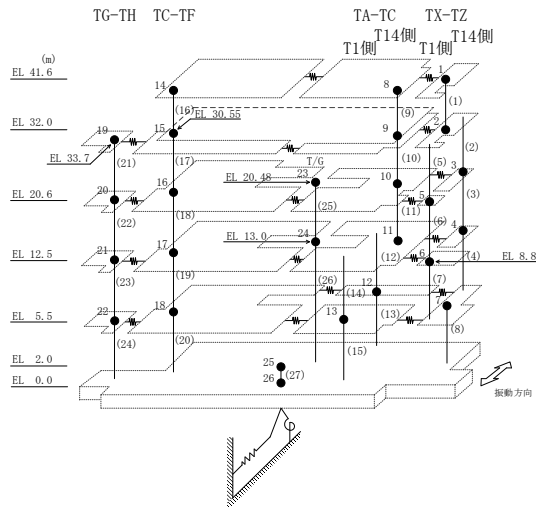


表 2-178(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.7 19.2	16.9 19.3
	5.5~2.0	13	19.2 20.8	19.3 20.9
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.0 20.7	12.1 20.8
	5.5~2.0	15	20.7 25.8	20.8 26.0
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 6.64	0.00 6.86
	30.55~20.6	17	6.64 17.3	6.86 17.8
	20.6~12.5	18	17.3 34.4	17.8 35.2
	12.5~5.5	19	34.4 53.9	35.2 54.8
	5.5~2.0	20	53.9 66.4	54.8 67.3
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.83	0.00 2.87
	20.6~12.5	22	2.83 7.95	2.87 7.99
	12.5~5.5	23	7.95 15.7	7.99 15.7
	5.5~2.0	24	15.7 20.2	15.7 20.2



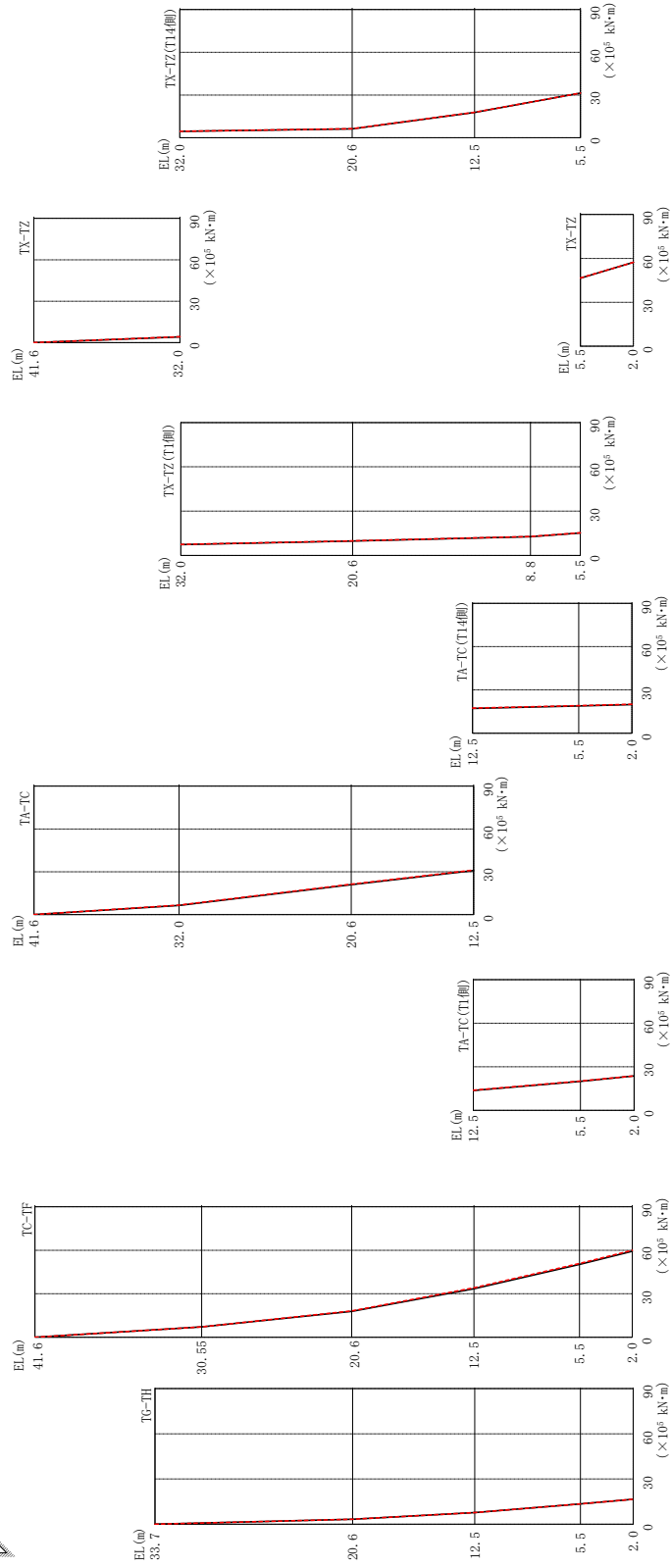
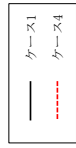
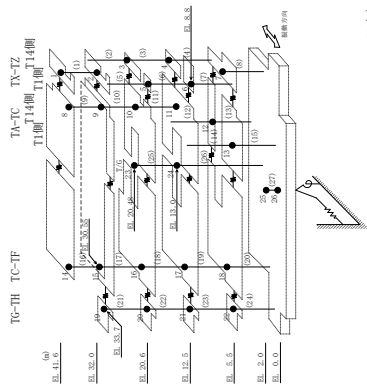


図 2-197 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S-N2NS, EW 方向)

表 2-179(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 N S, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			4.10	4.22
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	4.48	4.50
			6.23	6.34
	20.6~12.5	3	6.23	6.34
			17.8	17.9
12.5~5.5	4	17.8	17.9	
		31.3	31.3	
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	7.35	7.44
			9.73	9.85
	20.6~8.8	6	9.73	9.85
12.7			12.9	
8.8~5.5	7	12.7	12.9	
		15.2	15.3	
TX-TZ	5.5~2.0	8	46.5	46.6
			57.3	57.3
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			6.49	6.62
	32.0~20.6	10	6.49	6.62
21.0			21.3	
20.6~12.5	11	21.0	21.3	
		30.8	31.2	

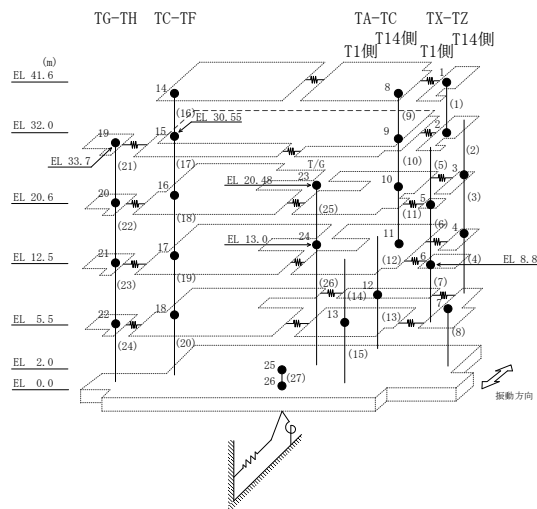
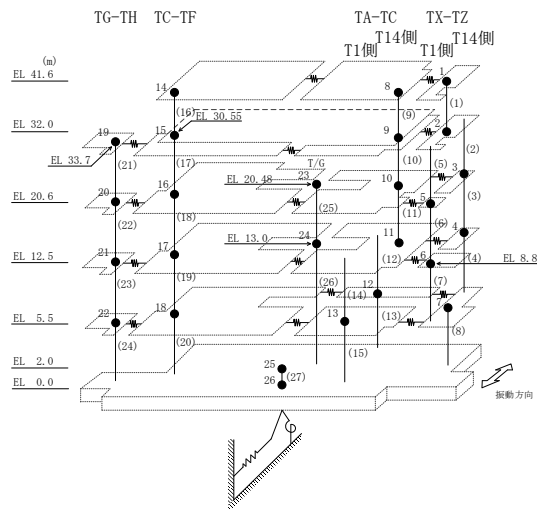


表 2-179(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	17.2 18.9	17.4 19.1
	5.5~2.0	13	18.9 19.8	19.1 20.0
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.7 20.0	13.9 20.2
	5.5~2.0	15	20.0 23.7	20.2 23.7
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.17	0.00 7.19
	30.55~20.6	17	7.17 17.9	7.19 18.2
	20.6~12.5	18	17.9 33.4	18.2 34.1
	12.5~5.5	19	33.4 50.2	34.1 50.8
	5.5~2.0	20	50.2 59.3	50.8 59.9
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 3.29	0.00 3.31
	20.6~12.5	22	3.29 7.73	3.31 7.74
	12.5~5.5	23	7.73 13.5	7.74 13.5
	5.5~2.0	24	13.5 16.6	13.5 16.6



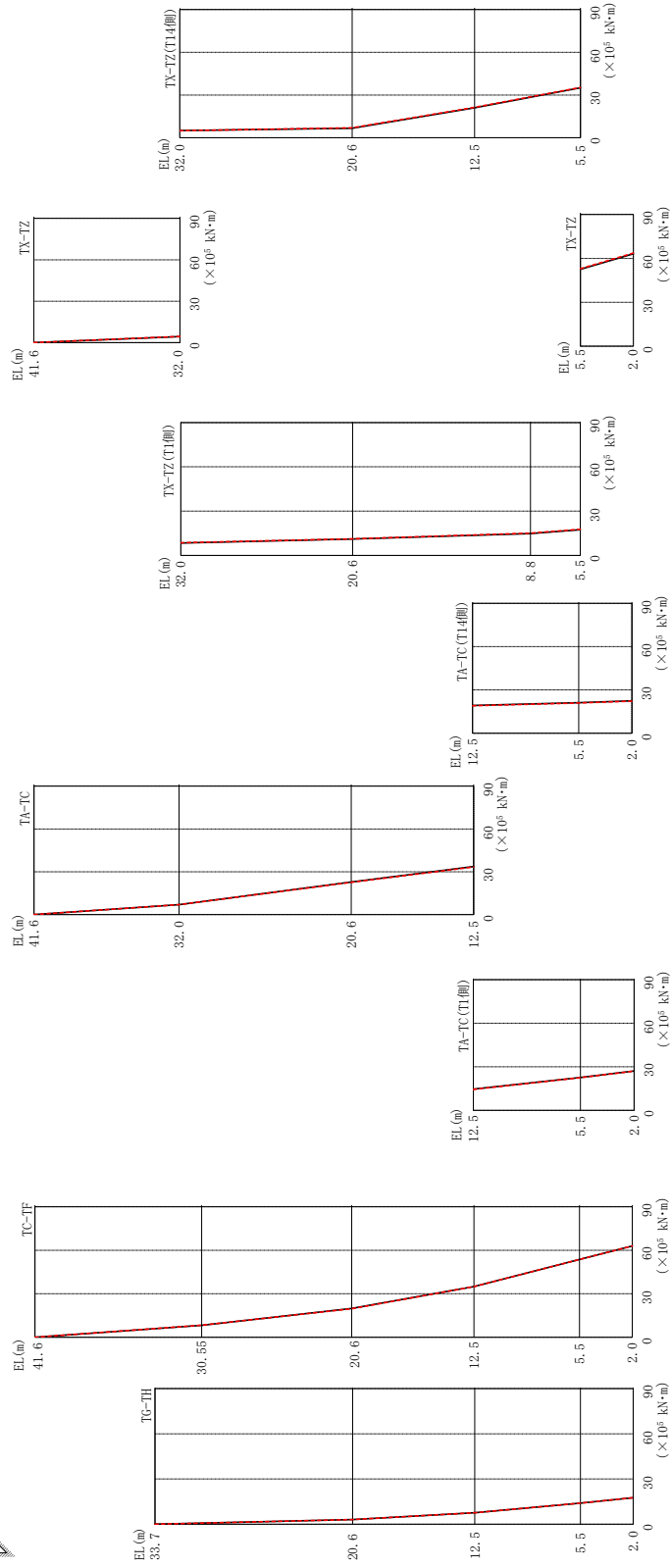
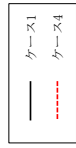
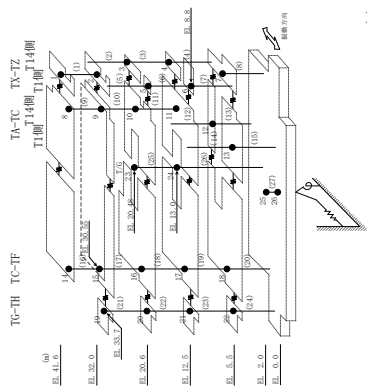


図 2-198 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - N 2 E W, E W 方向)

表 2-180(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			4.35	4.51
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	5.05	4.98
			6.65	6.95
	20.6~12.5	3	6.65	6.95
			21.1	21.3
12.5~5.5	4	21.1	21.3	
		35.1	35.3	
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	8.44	8.58
			11.1	11.3
	20.6~8.8	6	14.8	15.1
14.8			15.1	
8.8~5.5	7	17.5	17.7	
		52.5	53.0	
TX-TZ	5.5~2.0	8	63.2	63.6
			0.00	0.00
TA-TC	41.6~32.0	9	6.97	7.02
			6.97	7.02
	32.0~20.6	10	22.9	22.6
22.9			22.6	
20.6~12.5	11	22.9	22.6	
		33.8	33.3	

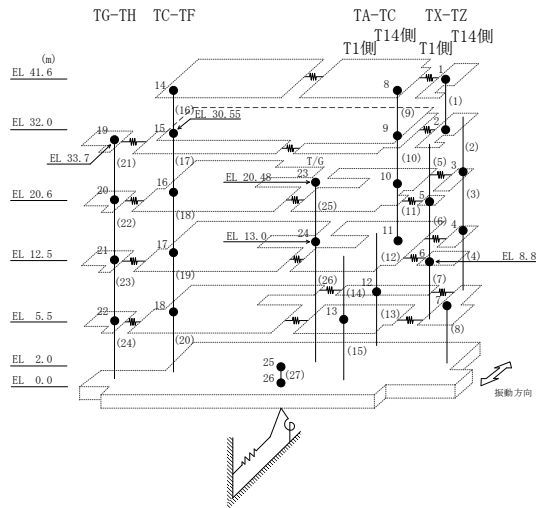
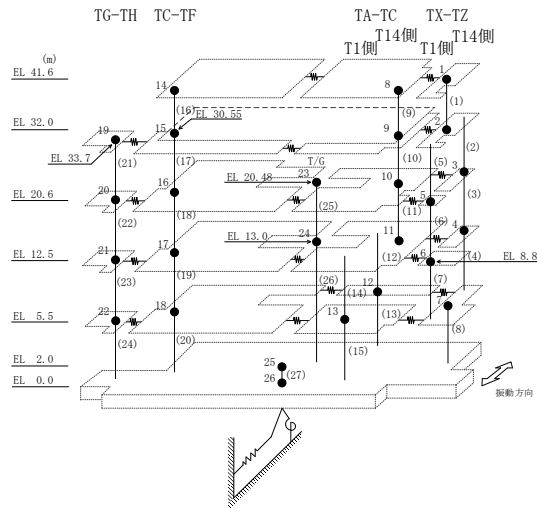


表 2-180(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	19.2 21.1	19.0 20.9
	5.5~2.0	13	21.1 22.4	20.9 22.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.7 22.7	14.5 22.5
	5.5~2.0	15	22.7 27.1	22.5 27.0
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 8.30	0.00 8.32
	30.55~20.6	17	8.30 19.9	8.32 19.7
	20.6~12.5	18	19.9 35.0	19.7 34.9
	12.5~5.5	19	35.0 53.7	34.9 53.7
	5.5~2.0	20	53.7 63.0	53.7 62.9
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 3.06	0.00 3.11
	20.6~12.5	22	3.06 7.57	3.11 7.64
	12.5~5.5	23	7.57 14.0	7.64 14.1
	5.5~2.0	24	14.0 17.7	14.1 17.6



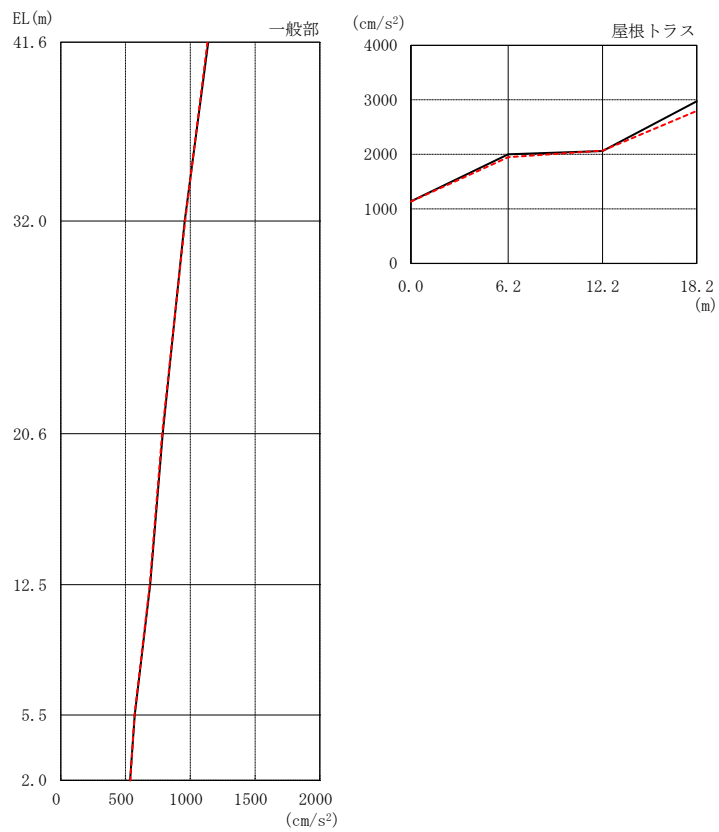
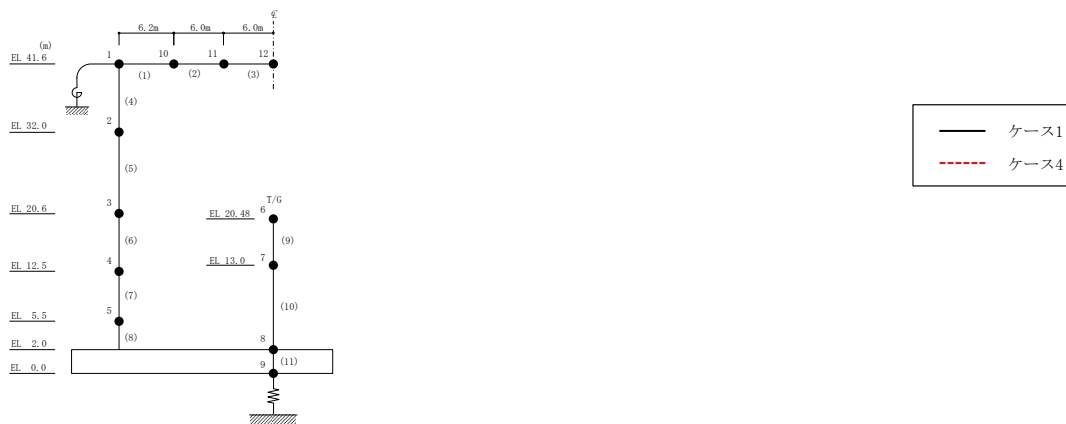
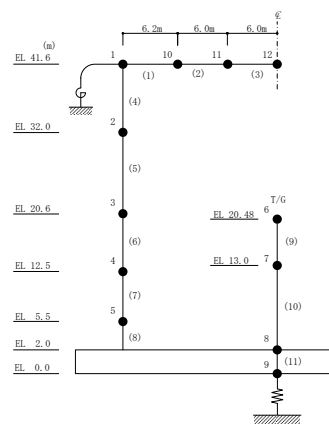


図 2-199 最大応答加速度 (基準地震動 S_s-D, 鉛直方向)

表 2-181 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s - D，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	1139	1132
	32.0	2	956	960
	20.6	3	787	783
	12.5	4	690	687
	5.5	5	571	569
	2.0	8	535	536
屋根 トラス	0.0	1	1139	1132
	6.2	10	2000	1947
	12.2	11	2060	2067
	18.2	12	2975	2797

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



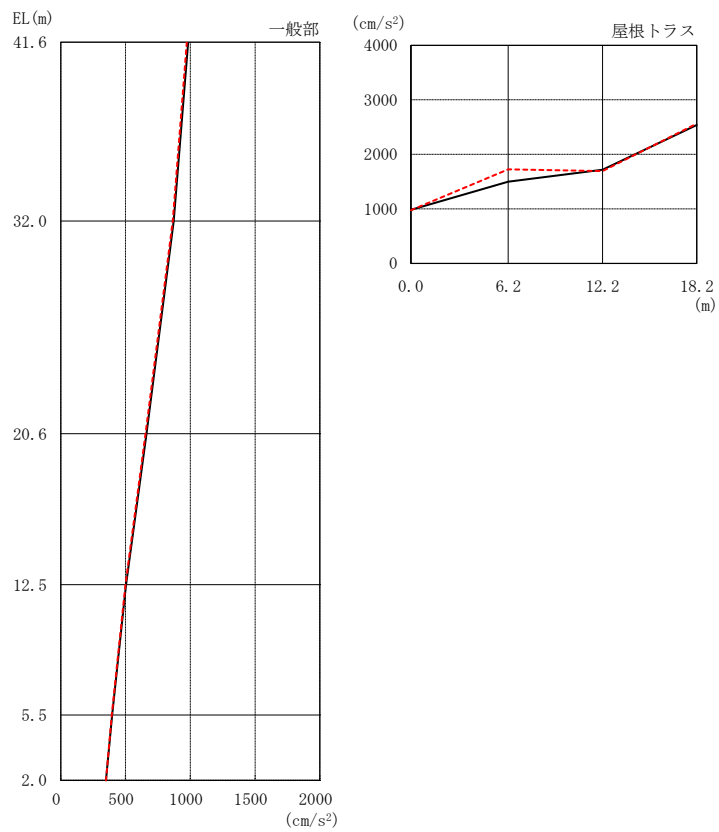
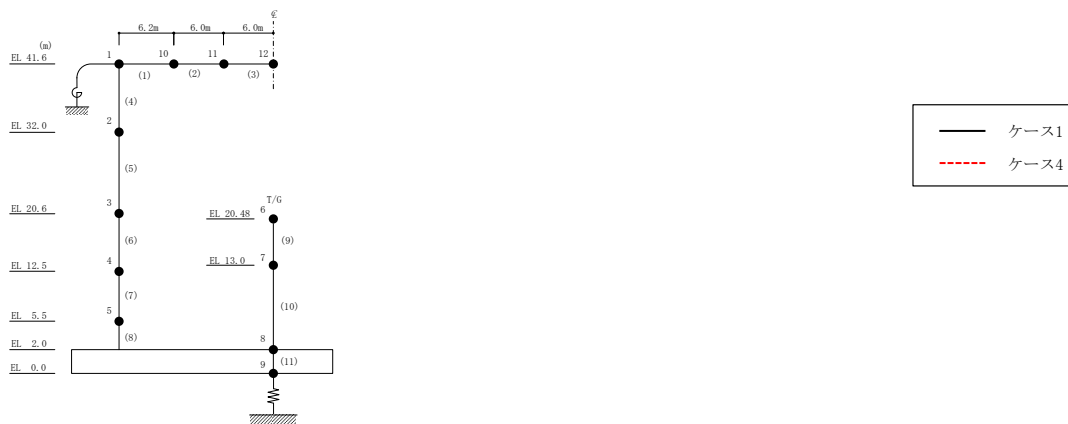
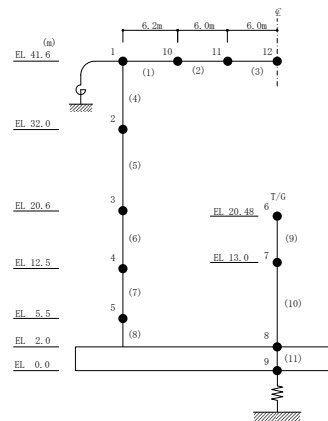


図 2-200 最大応答加速度 (基準地震動 $S_s - F_1$, 鉛直方向)

表 2-182 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s - F 1, 鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	983	974
	32.0	2	872	864
	20.6	3	661	654
	12.5	4	504	500
	5.5	5	396	394
	2.0	8	349	349
屋根 トラス	0.0	1	983	974
	6.2	10	1499	1725
	12.2	11	1716	1693
	18.2	12	2539	2562

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



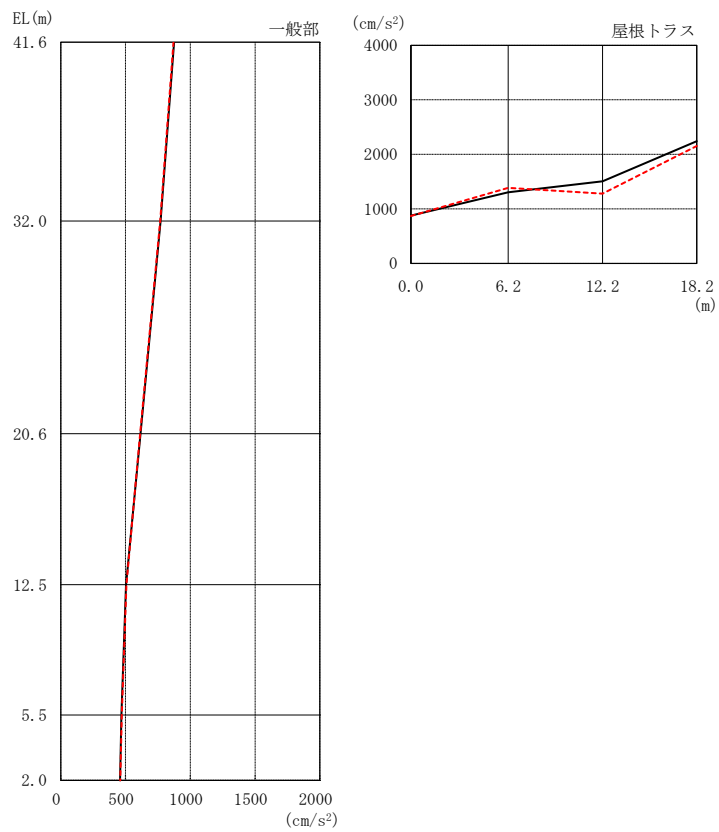
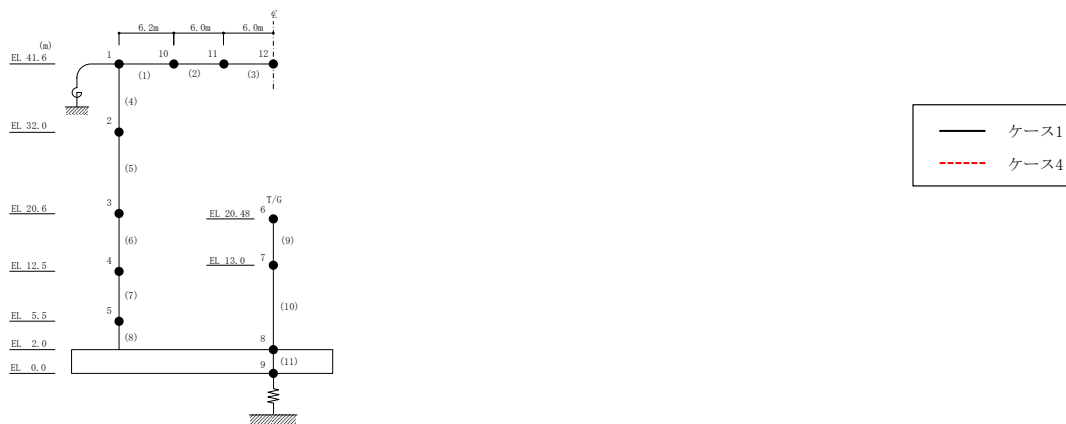
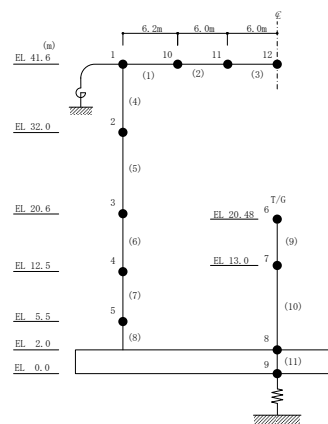


図 2-201 最大応答加速度 (基準地震動 S_s-F 2, 鉛直方向)

表 2-183 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s - F 2，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	874	870
	32.0	2	771	767
	20.6	3	615	613
	12.5	4	504	507
	5.5	5	468	470
	2.0	8	458	459
屋根 トラス	0.0	1	874	870
	6.2	10	1302	1385
	12.2	11	1507	1279
	18.2	12	2242	2151

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



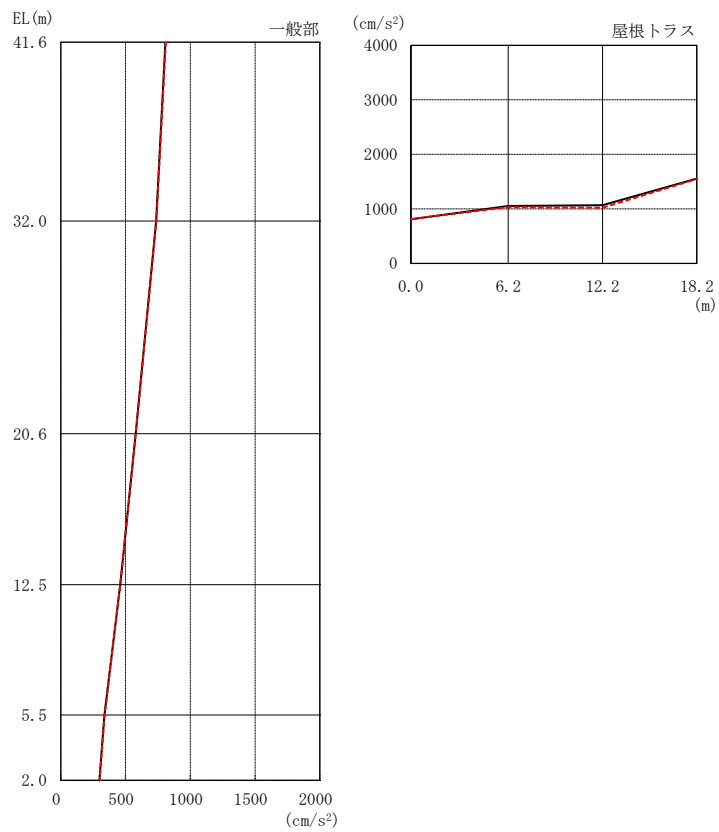
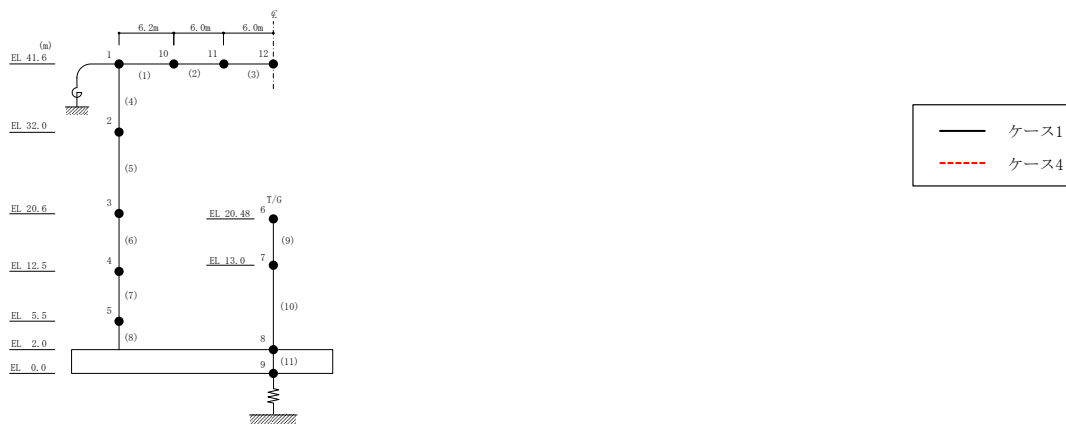
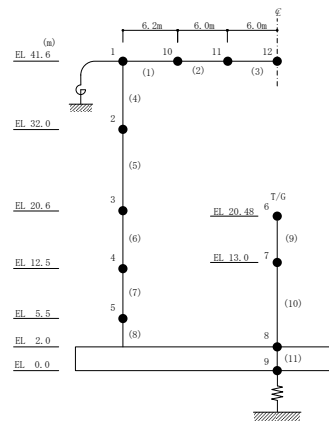


図 2-202 最大答加速度 (基準地震動 S_s-N 1, 鉛直方向)

表 2-184 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s - N 1, 鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	808	810
	32.0	2	736	738
	20.6	3	578	579
	12.5	4	459	459
	5.5	5	337	338
	2.0	8	298	299
屋根 トラス	0.0	1	808	810
	6.2	10	1054	1032
	12.2	11	1066	1022
	18.2	12	1553	1548

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



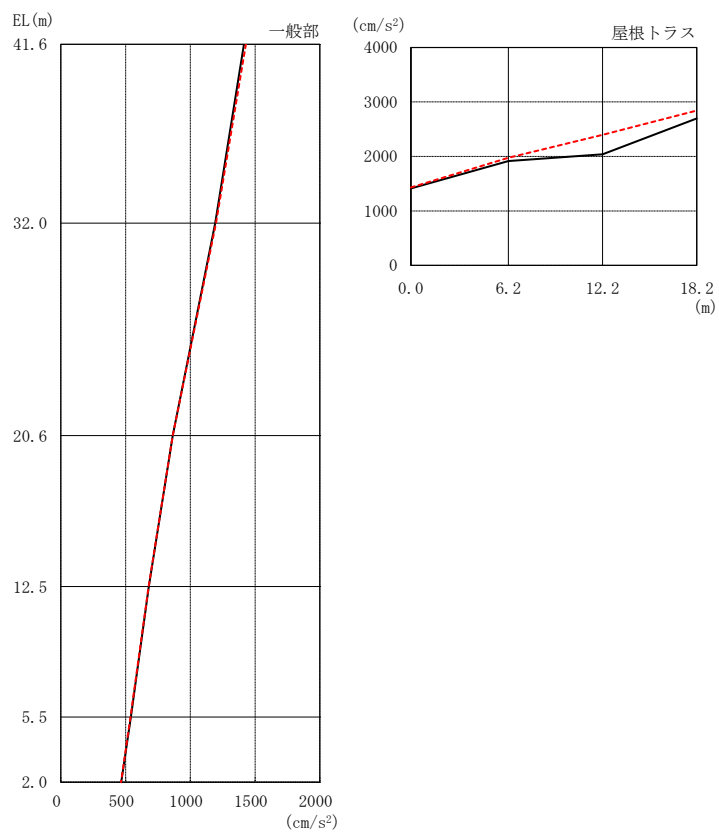
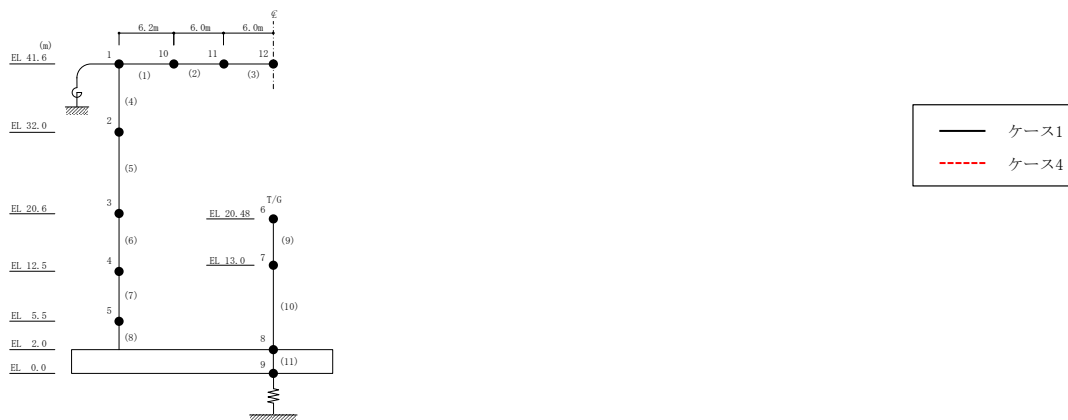
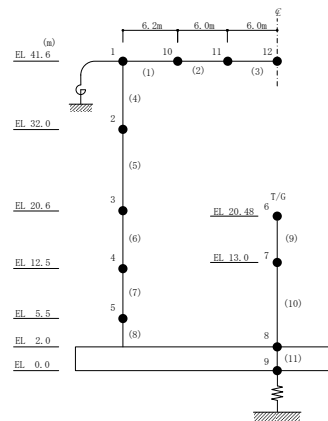


図 2-203 最大応答加速度 (基準地震動 S_s-N 2, 鉛直方向)

表 2-185 最大応答加速度一覧（基準地震動 S s - N 2，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	1413	1428
	32.0	2	1193	1198
	20.6	3	863	864
	12.5	4	680	677
	5.5	5	541	538
	2.0	8	467	464
屋根 トラス	0.0	1	1413	1428
	6.2	10	1915	1976
	12.2	11	2038	2396
	18.2	12	2697	2843

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



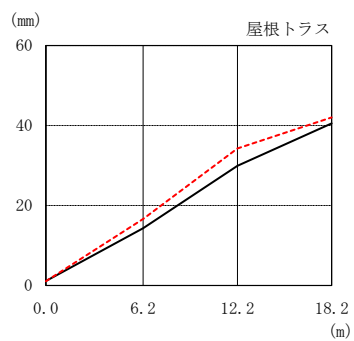
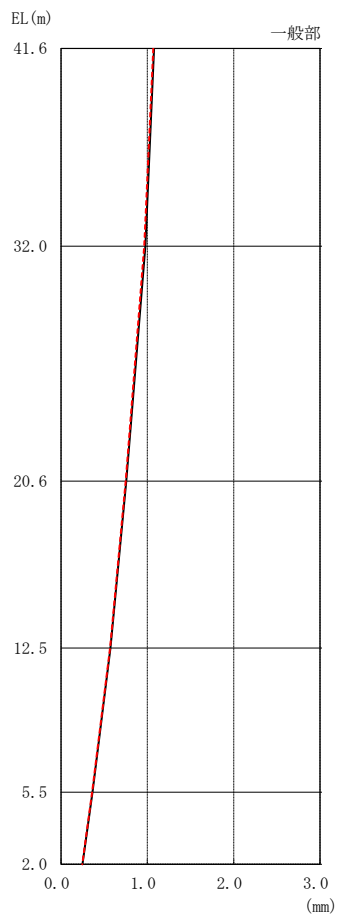
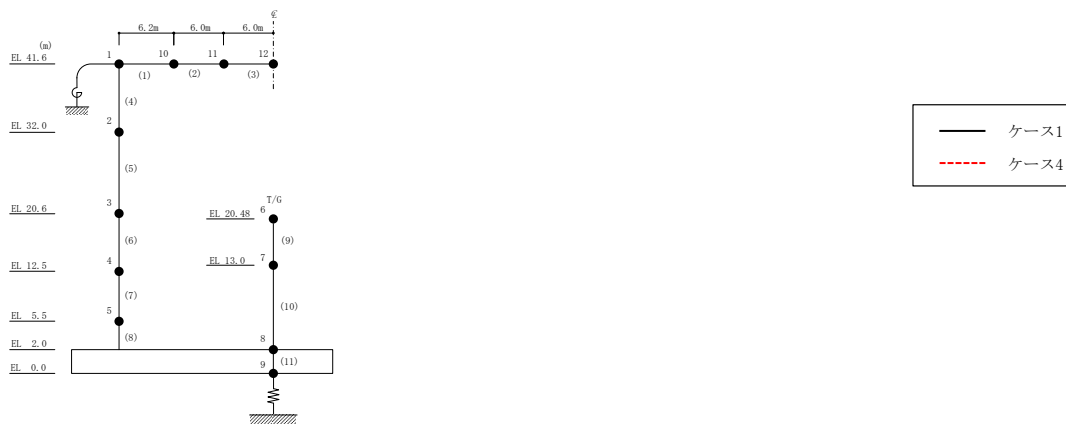
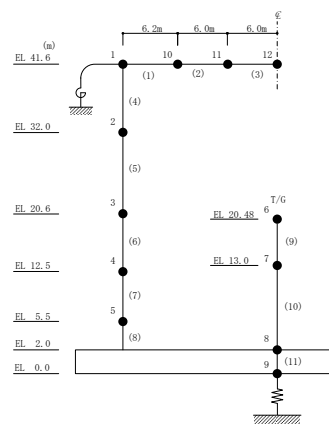


図 2-204 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - D$, 鉛直方向)

表 2-186 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	1.08	1.07
	32.0	2	0.98	0.96
	20.6	3	0.76	0.75
	12.5	4	0.57	0.57
	5.5	5	0.36	0.36
	2.0	8	0.25	0.25
屋根 トラス	0.0	1	1.08	1.07
	6.2	10	14.30	16.60
	12.2	11	29.92	34.23
	18.2	12	40.52	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



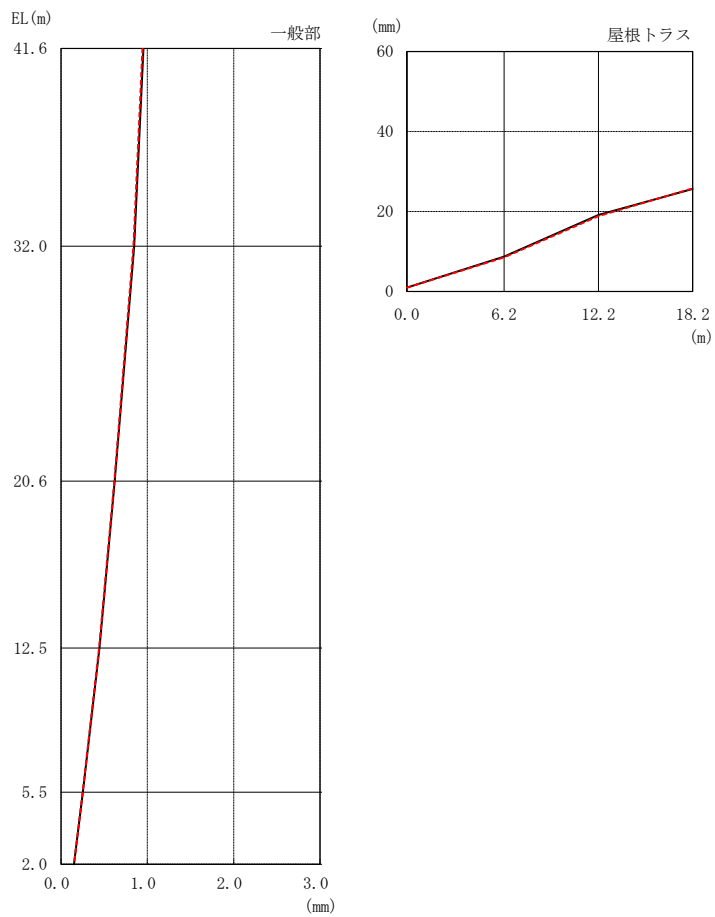
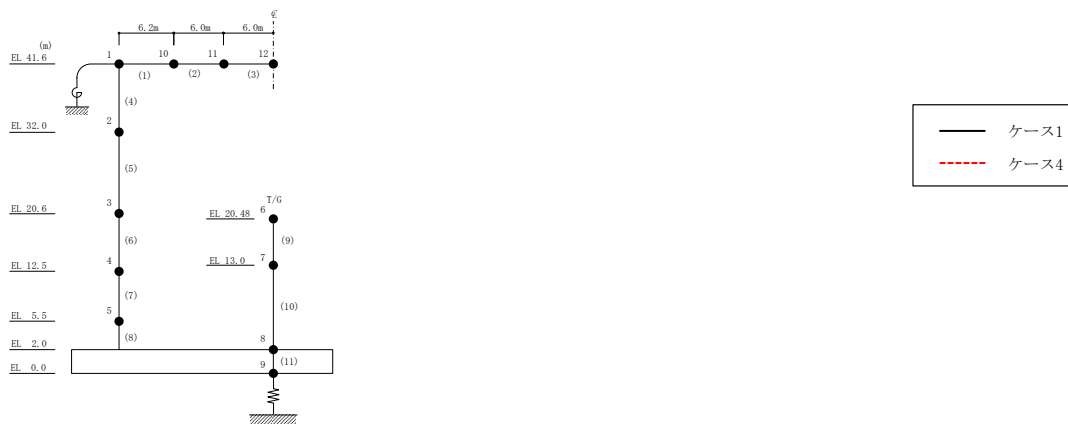
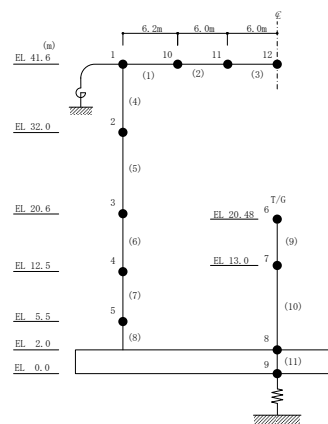


図 2-205 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - F 1$, 鉛直方向)

表 2-187 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - F 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	0.96	0.94
	32.0	2	0.85	0.84
	20.6	3	0.62	0.62
	12.5	4	0.44	0.44
	5.5	5	0.25	0.25
	2.0	8	0.15	0.15
屋根 トラス	0.0	1	0.96	0.94
	6.2	10	8.72	8.52
	12.2	11	19.12	18.85
	18.2	12	25.61	25.75

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



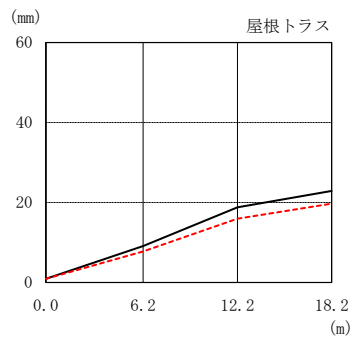
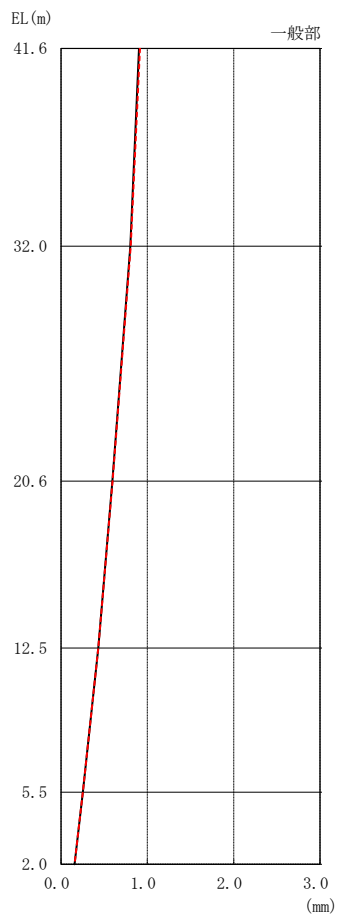
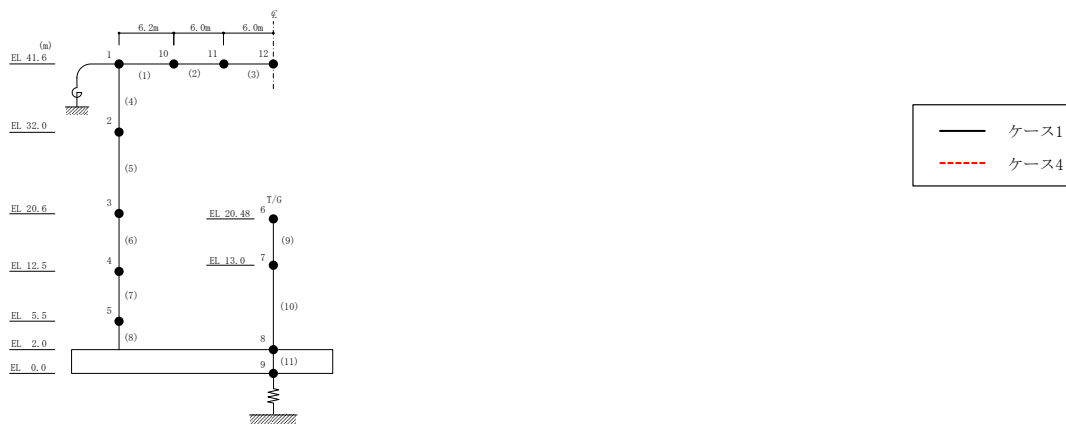
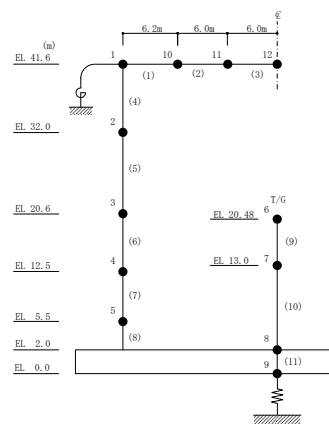


図 2-206 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - F 2$, 鉛直方向)

表 2-188 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - F 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	0.90	0.91
	32.0	2	0.80	0.81
	20.6	3	0.59	0.60
	12.5	4	0.43	0.43
	5.5	5	0.25	0.25
	2.0	8	0.16	0.16
屋根 トラス	0.0	1	0.90	0.91
	6.2	10	9.10	7.74
	12.2	11	18.80	15.93
	18.2	12	22.86	19.70

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



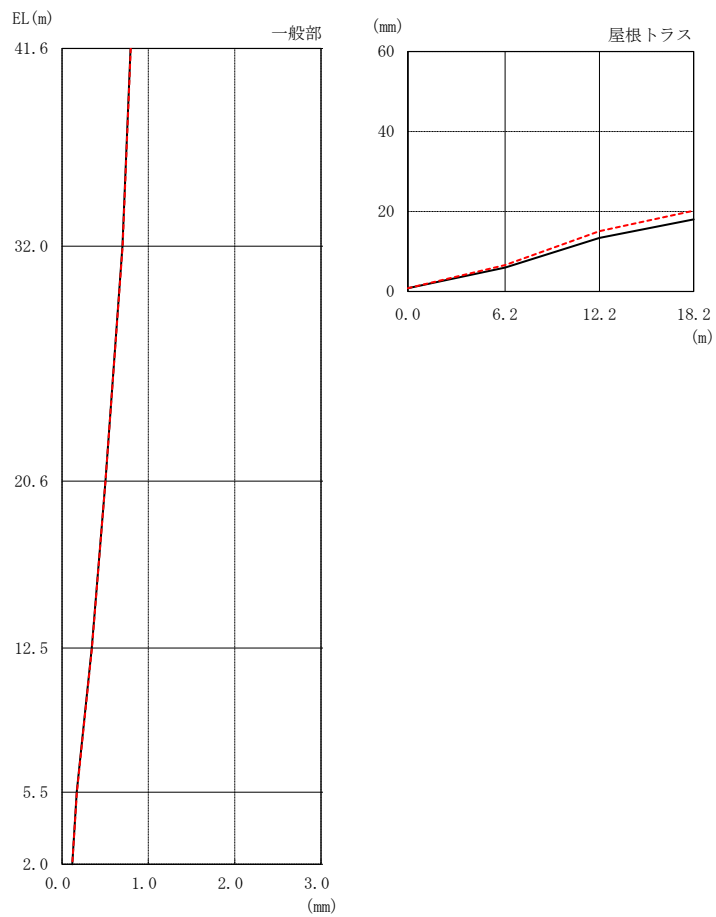
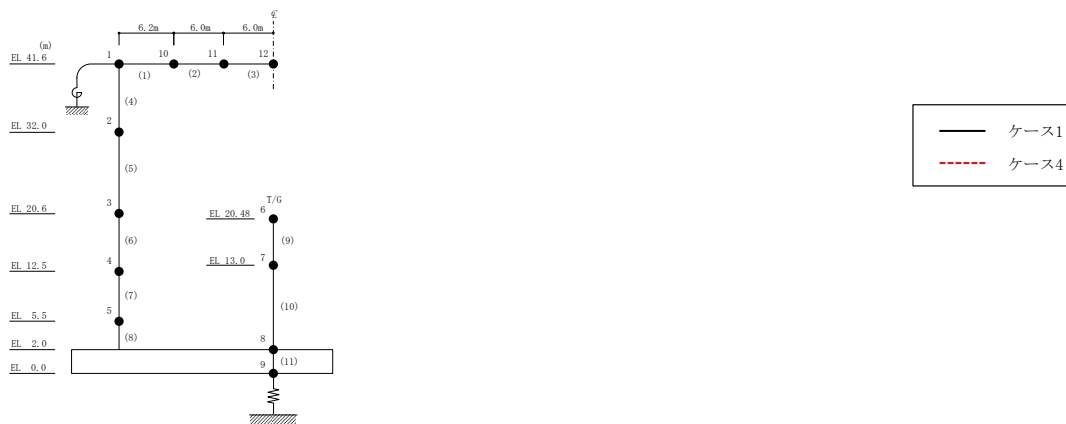
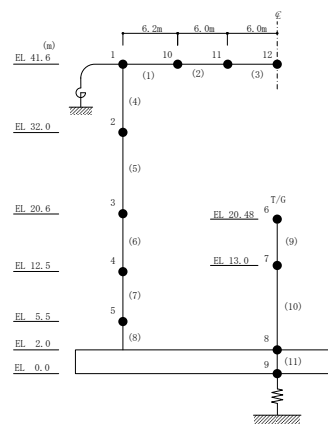


図 2-207 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - N 1$, 鉛直方向)

表 2-189 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - N 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	0.79	0.80
	32.0	2	0.70	0.70
	20.6	3	0.50	0.50
	12.5	4	0.35	0.35
	5.5	5	0.17	0.17
	2.0	8	0.12	0.12
屋根 トラス	0.0	1	0.79	0.80
	6.2	10	5.97	6.58
	12.2	11	13.37	15.08
	18.2	12	18.02	20.16

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



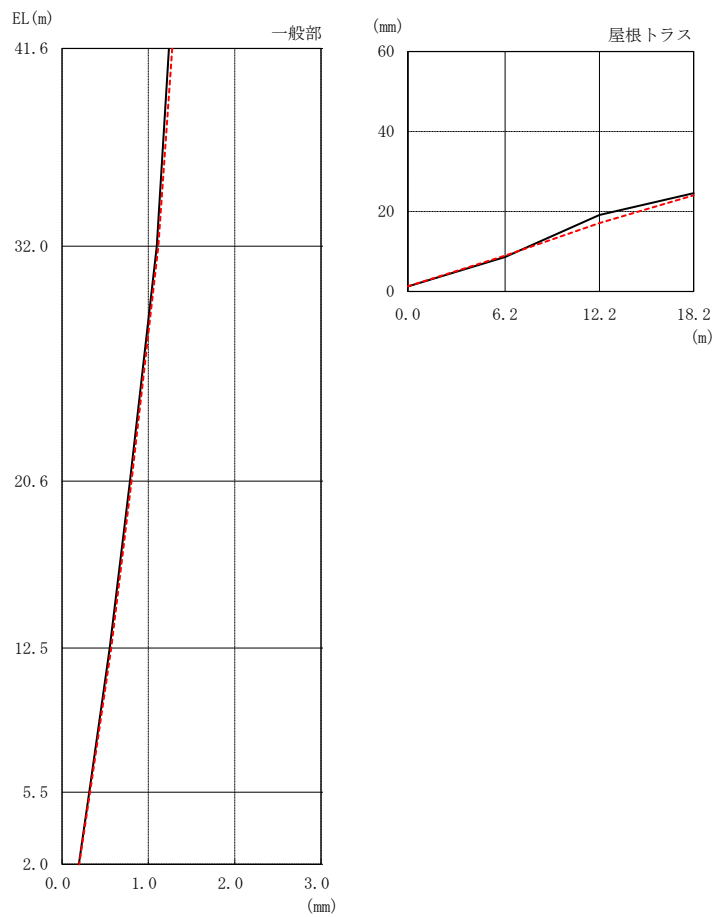
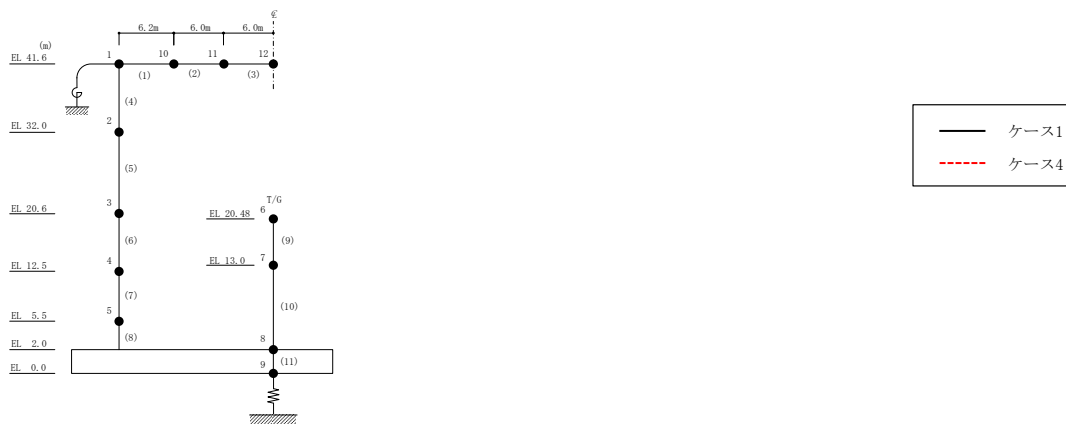
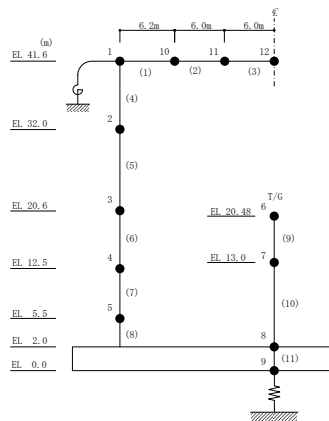


図 2-208 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - N 2$, 鉛直方向)

表 2-190 最大応答変位一覧 (基準地震動 S s - N 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	1.24	1.28
	32.0	2	1.10	1.12
	20.6	3	0.79	0.81
	12.5	4	0.55	0.57
	5.5	5	0.32	0.32
	2.0	8	0.19	0.20
屋根 トラス	0.0	1	1.24	1.28
	6.2	10	8.63	8.93
	12.2	11	19.10	17.10
	18.2	12	24.58	24.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



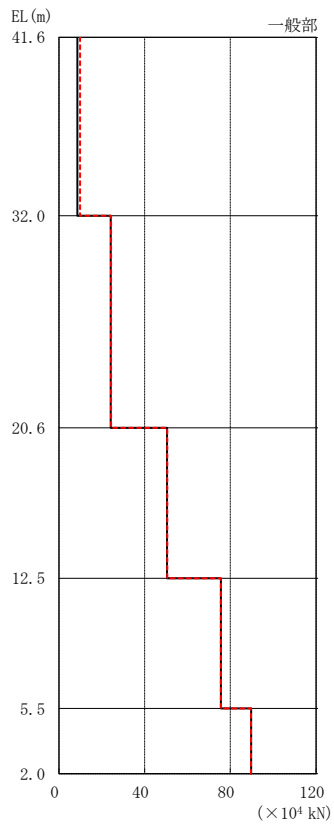
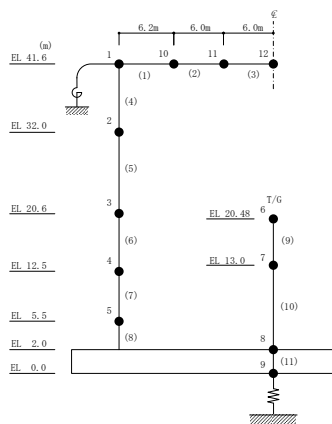
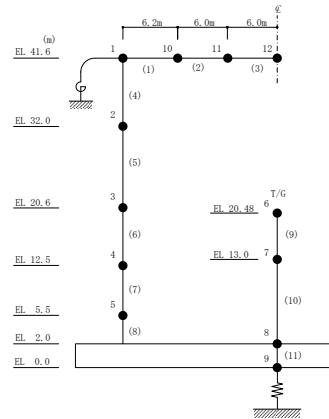


図 2-209 最大応答軸力 (基準地震動 $S_s - D$, 鉛直方向)

表 2-191 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - D, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	8.65	9.83
	32.0~20.6	5	24.2	24.4
	20.6~12.5	6	50.5	50.6
	12.5~5.5	7	75.6	75.6
	5.5~2.0	8	89.7	89.6



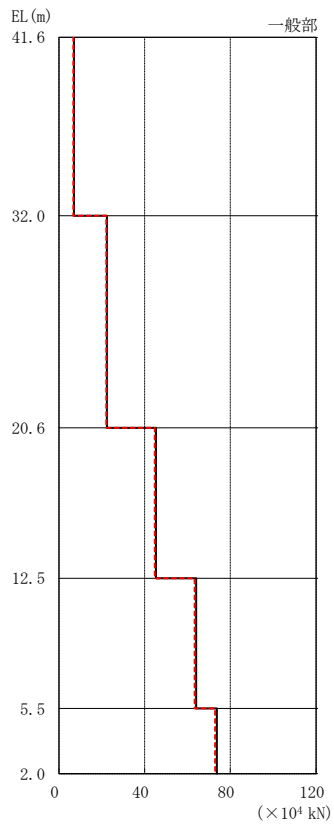
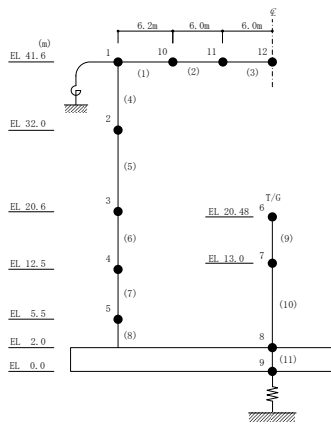
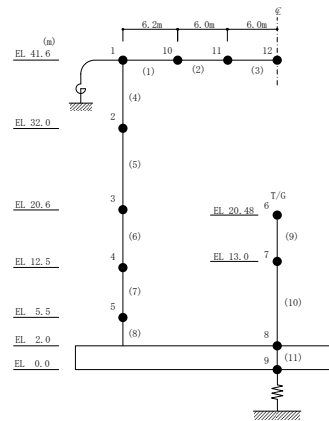


図 2-210 最大応答軸力 (基準地震動 $S_s - F_1$, 鉛直方向)

表 2-192 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - F 1, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	7.03	6.78
	32.0~20.6	5	22.4	22.1
	20.6~12.5	6	45.3	44.7
	12.5~5.5	7	64.1	63.3
	5.5~2.0	8	73.7	72.9



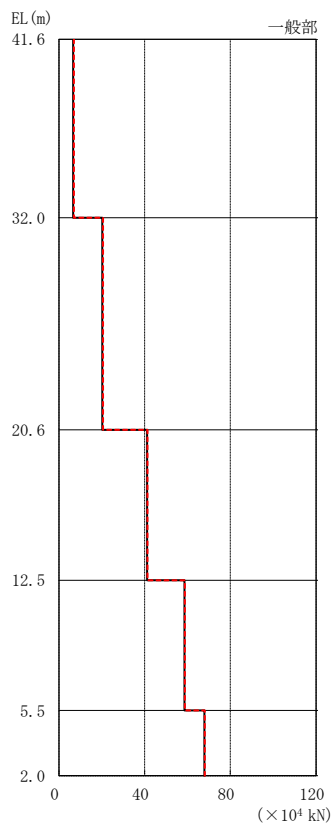
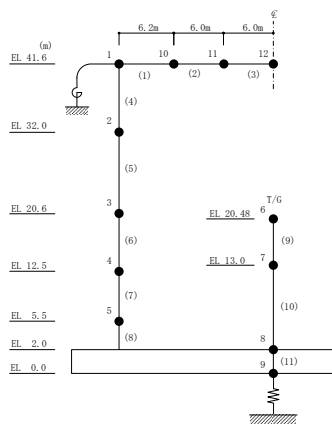
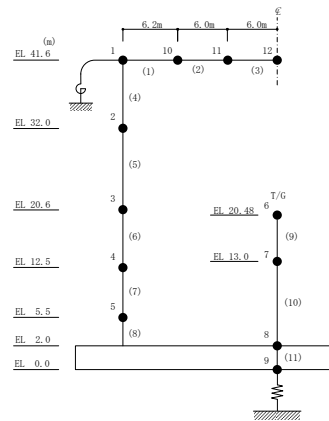


図 2-211 最大応答軸力 (基準地震動 $S_s - F_2$, 鉛直方向)

表 2-193 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - F 2, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	6.68	7.05
	32.0~20.6	5	20.3	20.6
	20.6~12.5	6	41.1	41.4
	12.5~5.5	7	58.6	58.8
	5.5~2.0	8	67.9	68.1



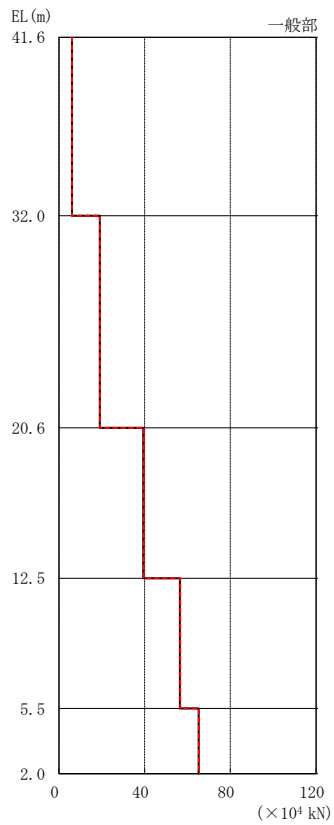
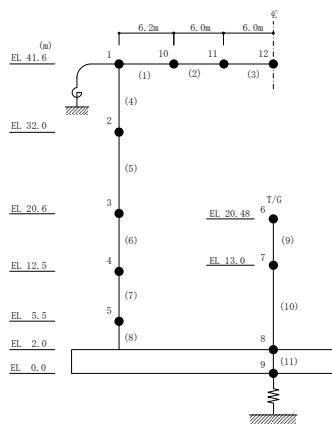
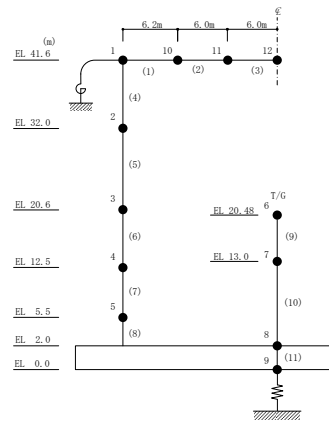


図 2-212 最大応答軸力 (基準地震動 $S_s - N 1$, 鉛直方向)

表 2-194 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - N 1, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	6.07	6.09
	32.0~20.6	5	19.1	19.2
	20.6~12.5	6	39.4	39.5
	12.5~5.5	7	56.5	56.6
	5.5~2.0	8	65.2	65.4



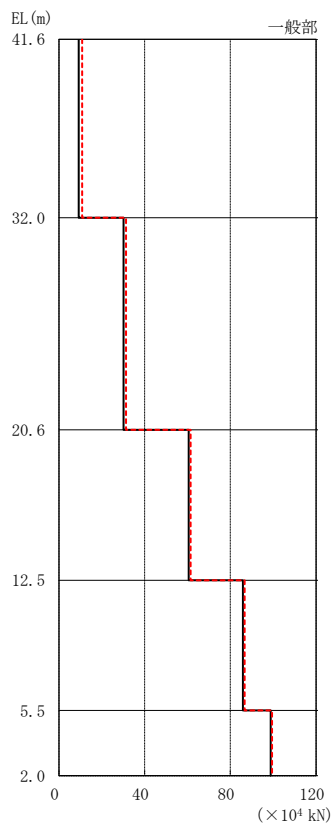
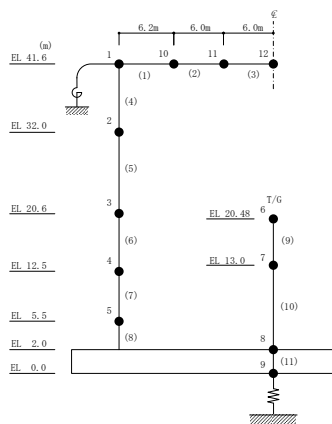
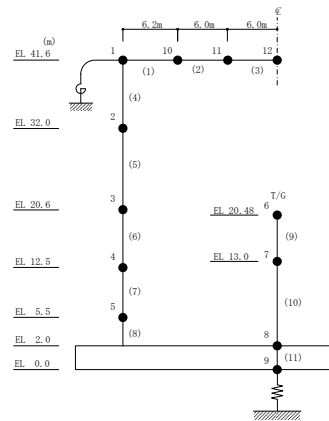


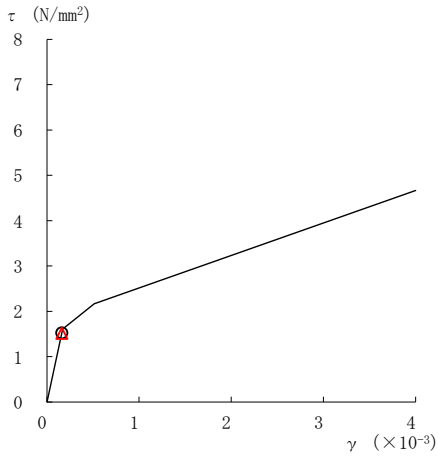
図 2-213 最大応答軸力 (基準地震動 $S_s - N 2$, 鉛直方向)

表 2-195 最大応答軸力一覧 (基準地震動 S s - N 2, 鉛直方向)

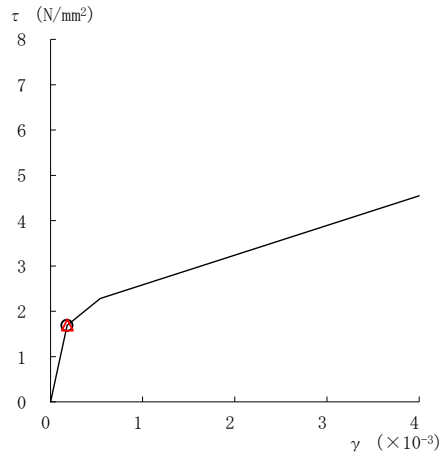
部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	9.22	10.8
	32.0~20.6	5	30.2	31.3
	20.6~12.5	6	60.6	61.5
	12.5~5.5	7	85.8	86.7
	5.5~2.0	8	98.8	99.5



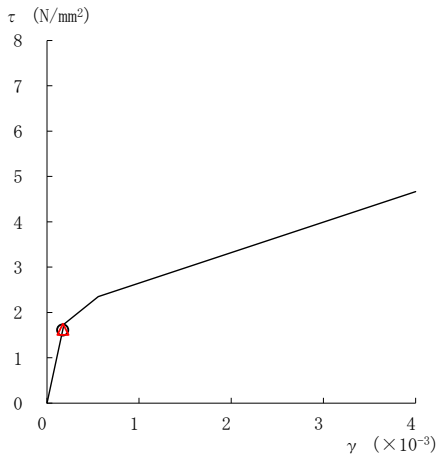
○ ケース 1 △ ケース 4



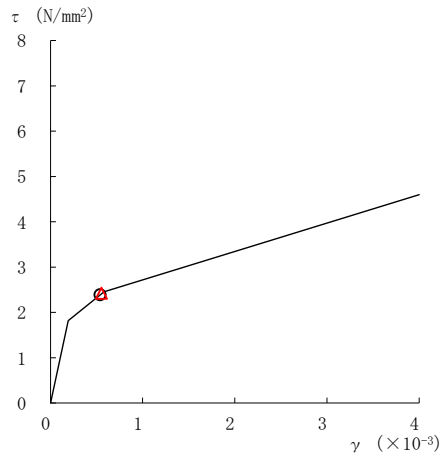
要素番号 (1)



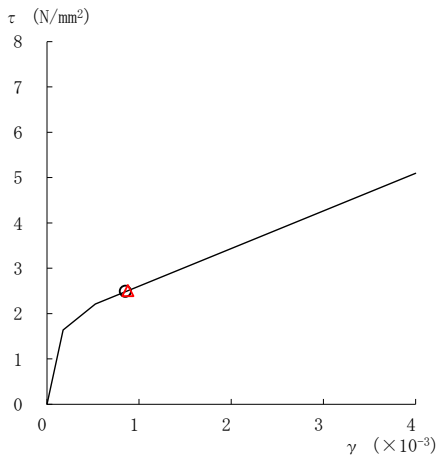
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

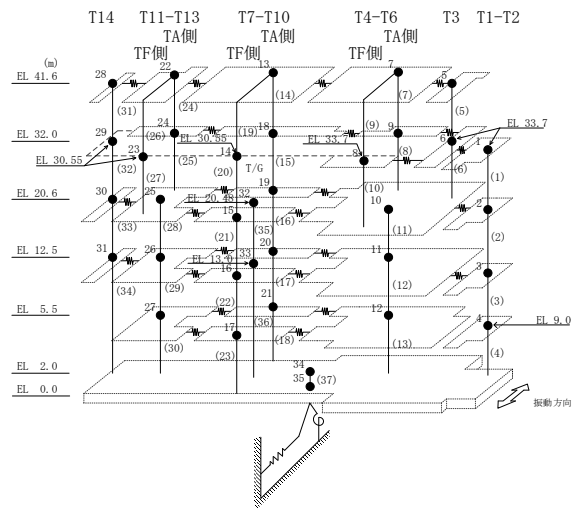
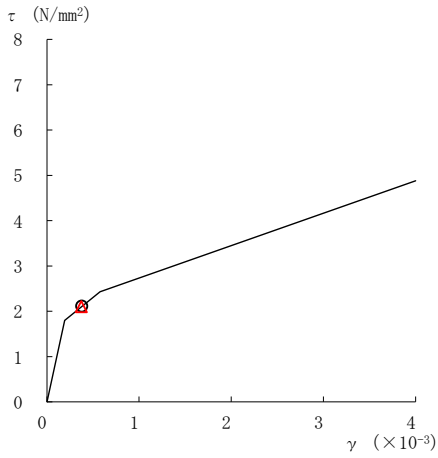
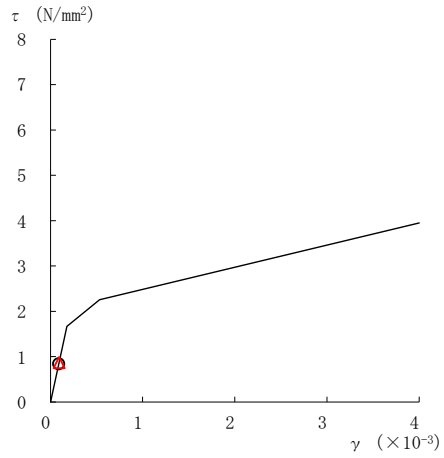


図 2-214(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

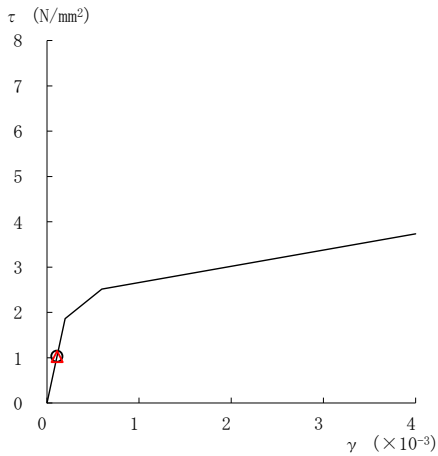
○ ケース 1 △ ケース 4



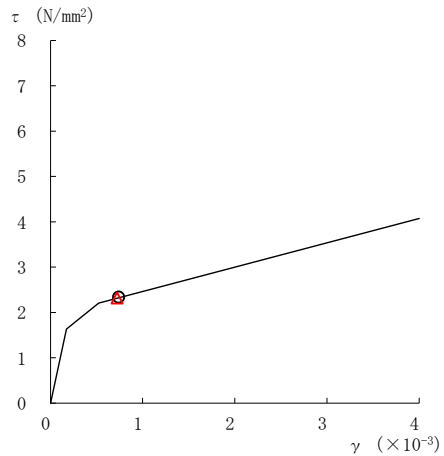
要素番号 (6)



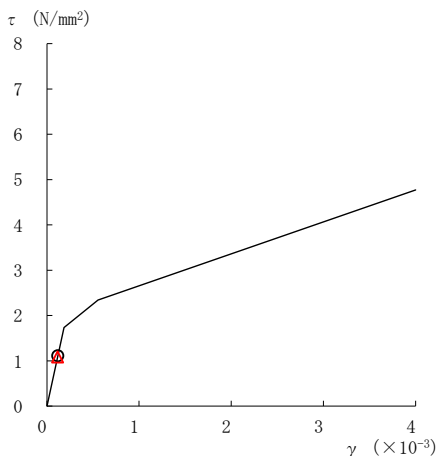
要素番号 (7)



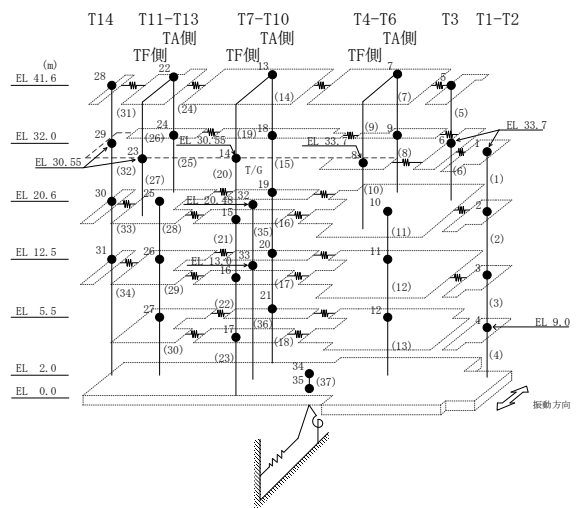
要素番号 (8)



要素番号 (10)



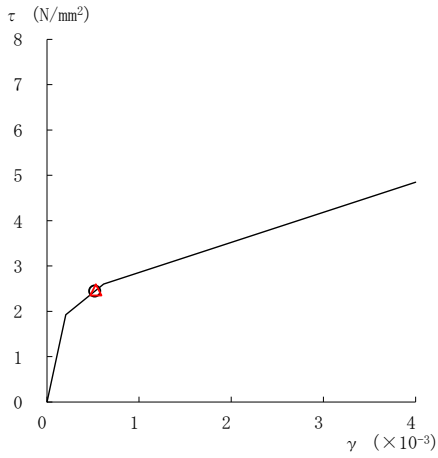
要素番号 (11)



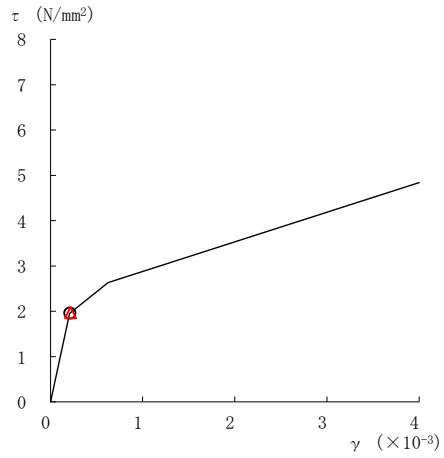
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-214(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

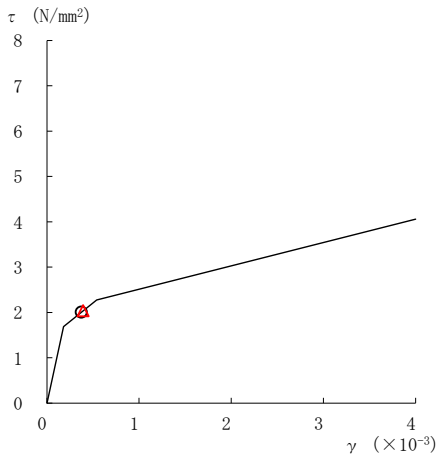
○ ケース 1 △ ケース 4



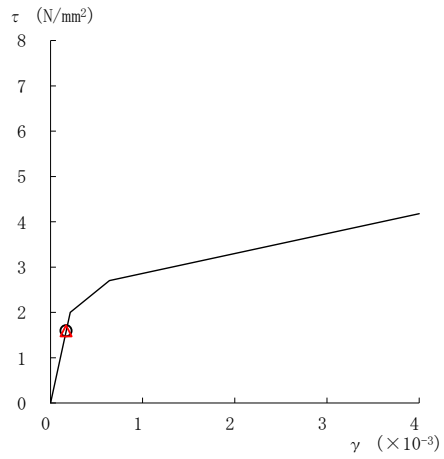
要素番号 (12)



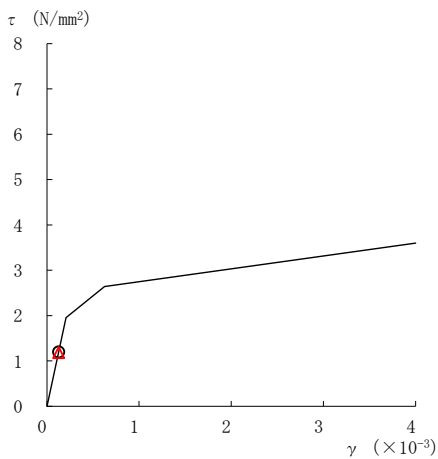
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

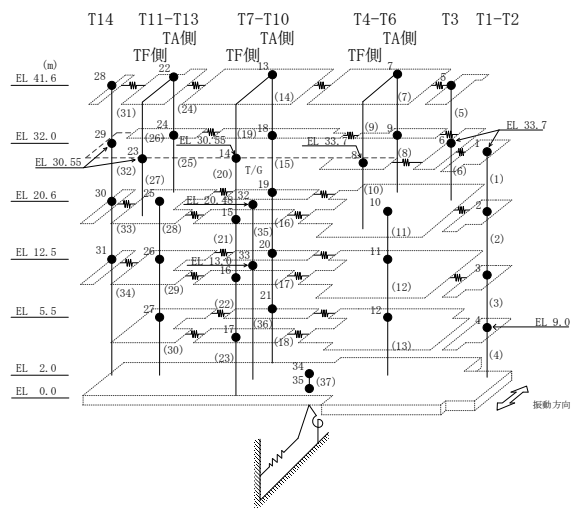
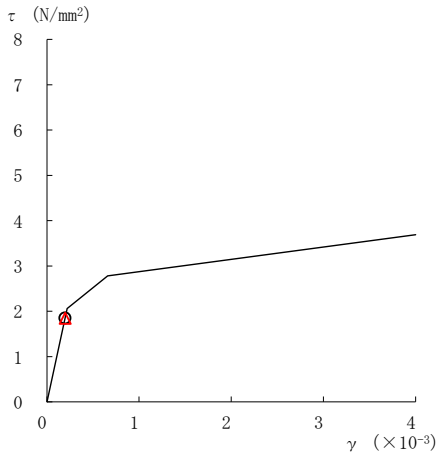
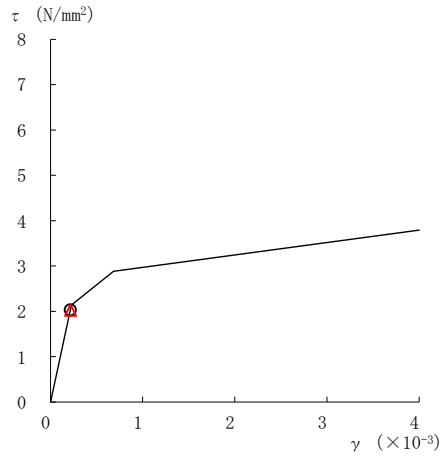


図 2-214(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

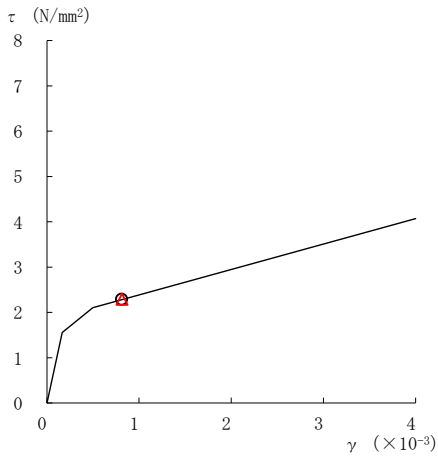
○ ケース 1 △ ケース 4



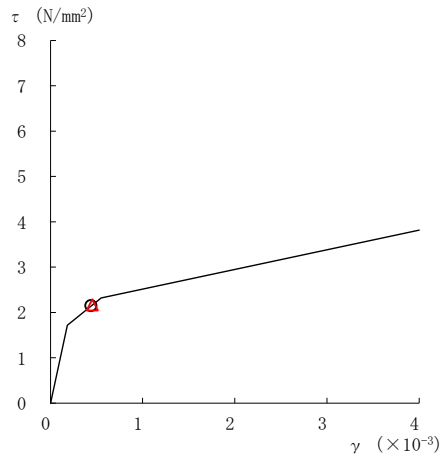
要素番号 (17)



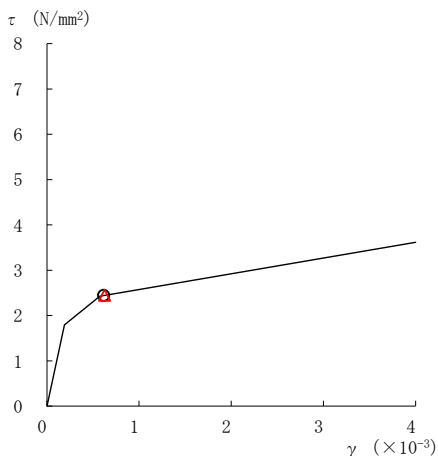
要素番号 (18)



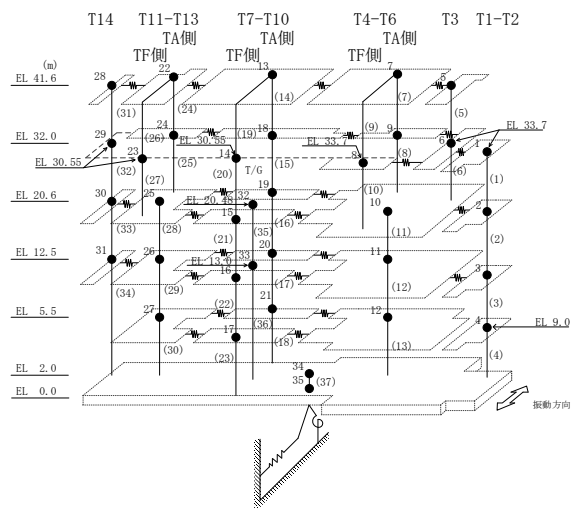
要素番号 (21)



要素番号 (22)



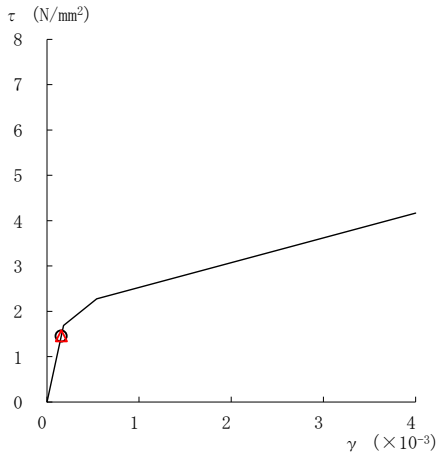
要素番号 (23)



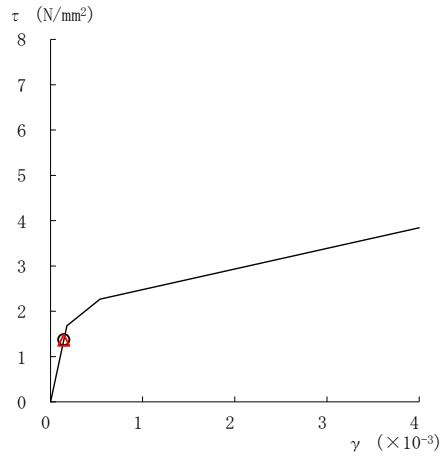
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-214(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

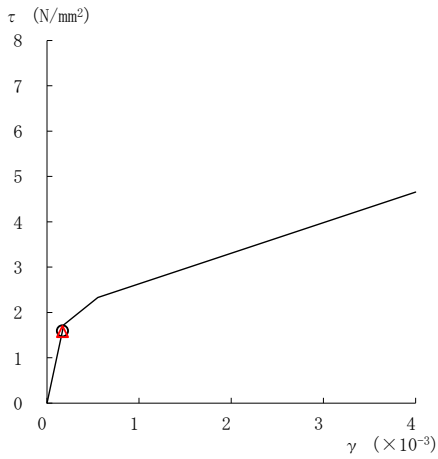
○ ケース 1 △ ケース 4



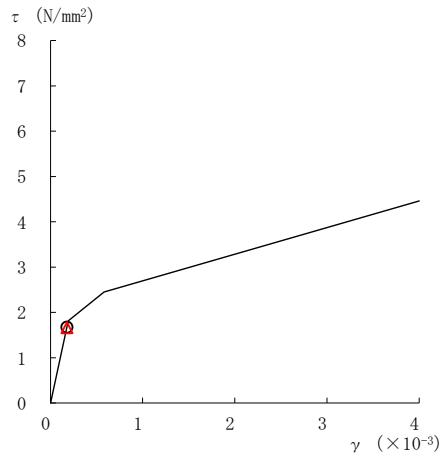
要素番号 (24)



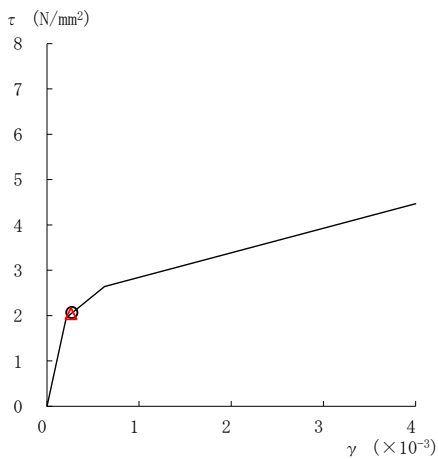
要素番号 (25)



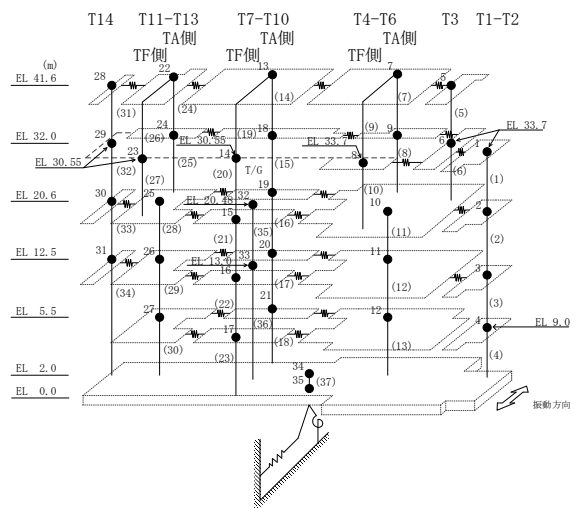
要素番号 (28)



要素番号 (29)



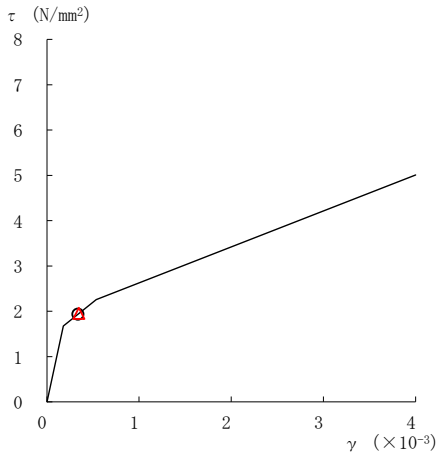
要素番号 (30)



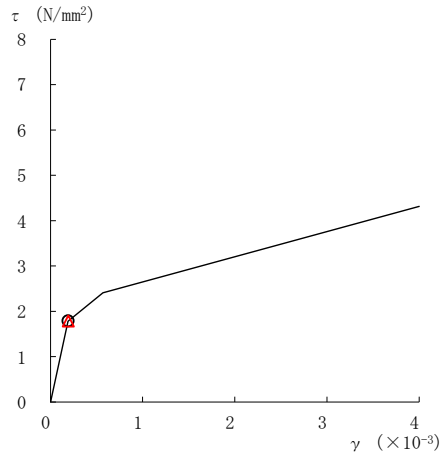
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-214(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

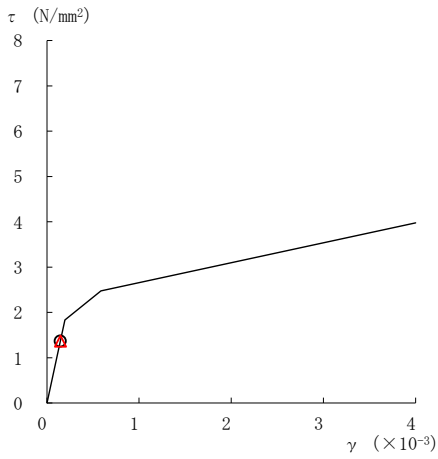
○ ケース 1 △ ケース 4



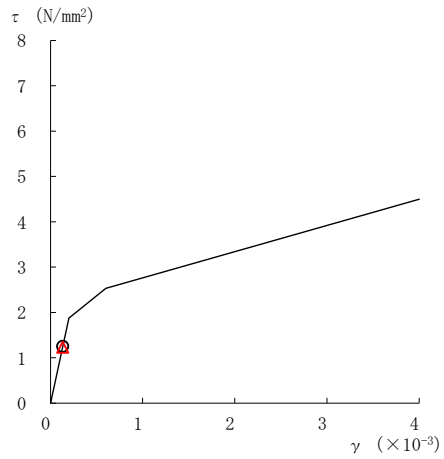
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

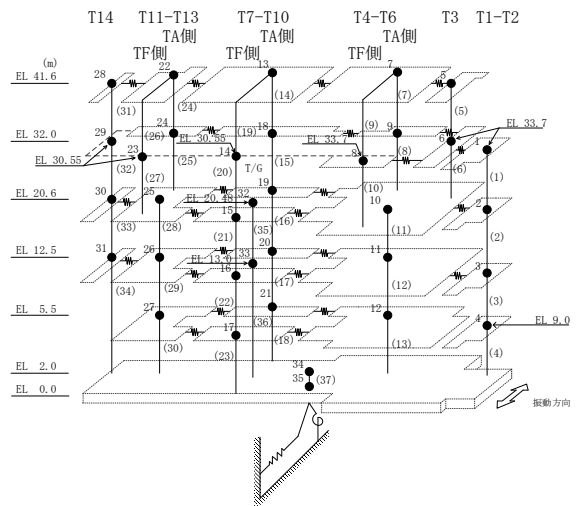
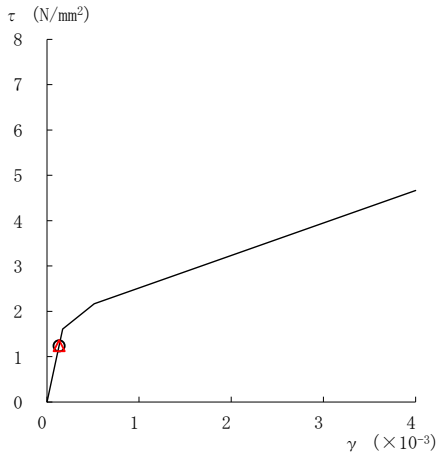
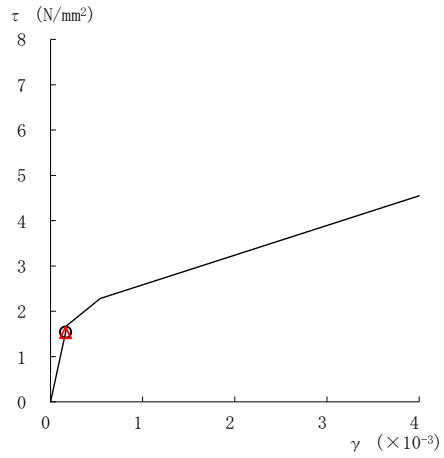


図 2-214(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, NS 方向)

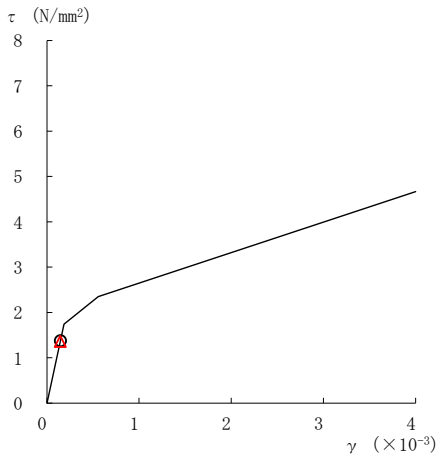
○ ケース 1 △ ケース 4



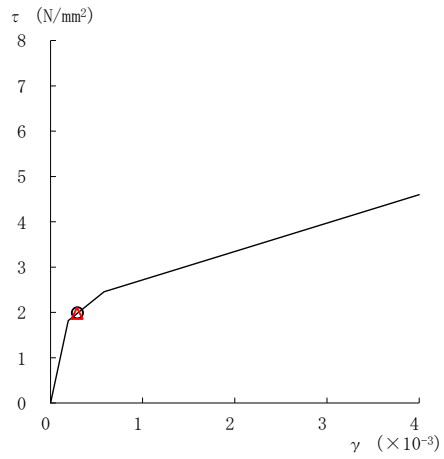
要素番号 (1)



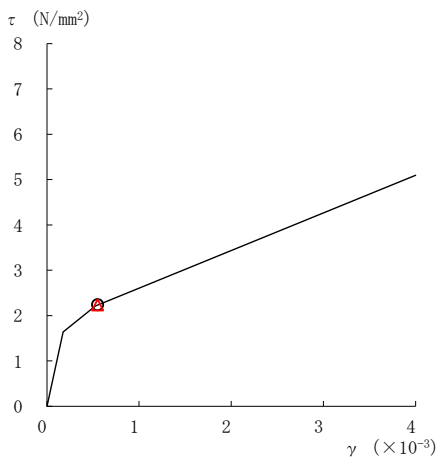
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

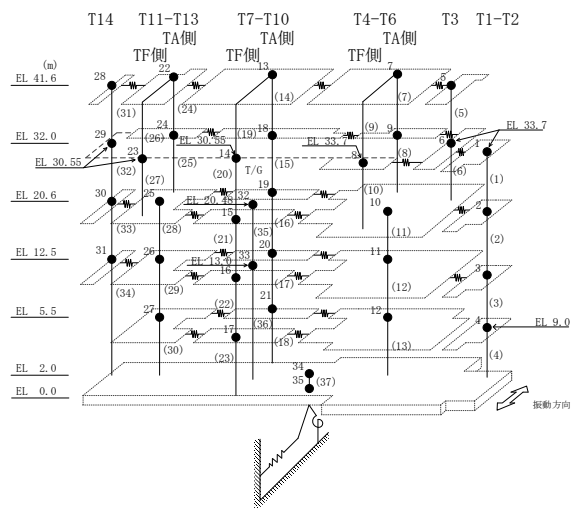
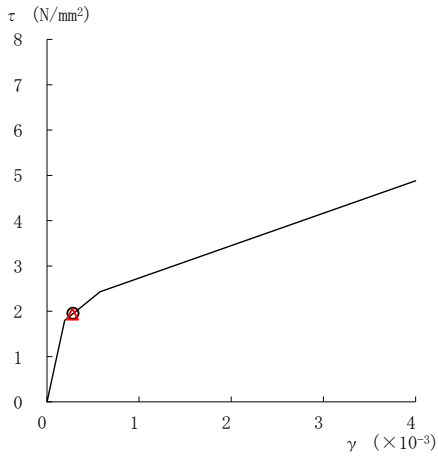
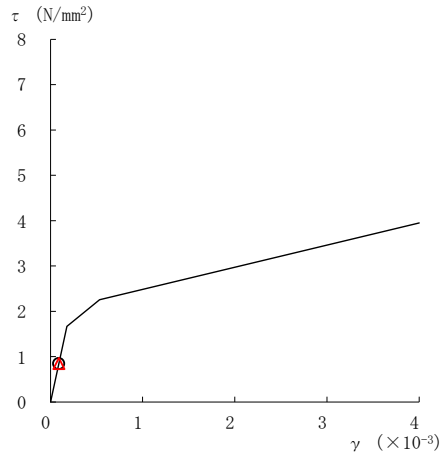


図 2-215(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

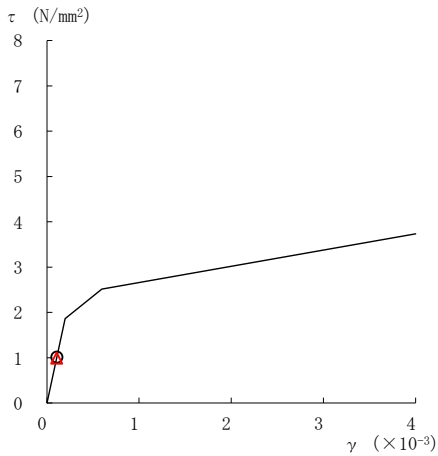
○ ケース 1 △ ケース 4



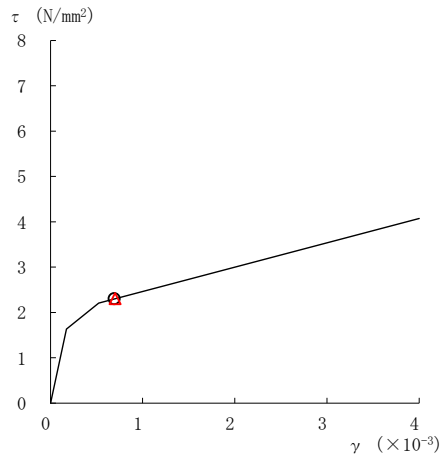
要素番号 (6)



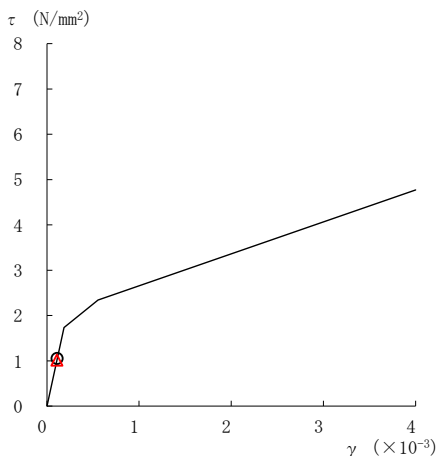
要素番号 (7)



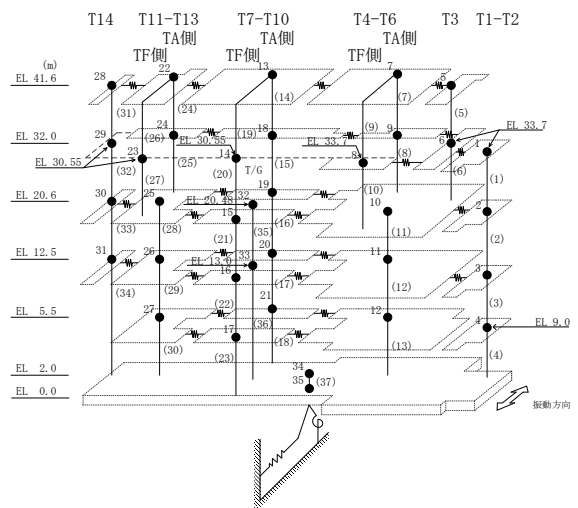
要素番号 (8)



要素番号 (10)



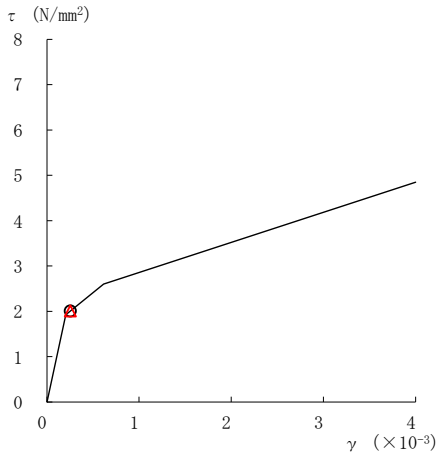
要素番号 (11)



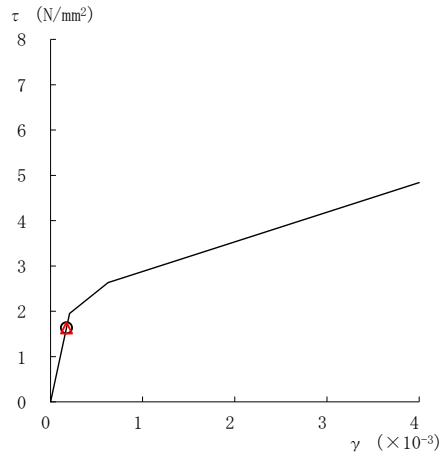
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-215(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

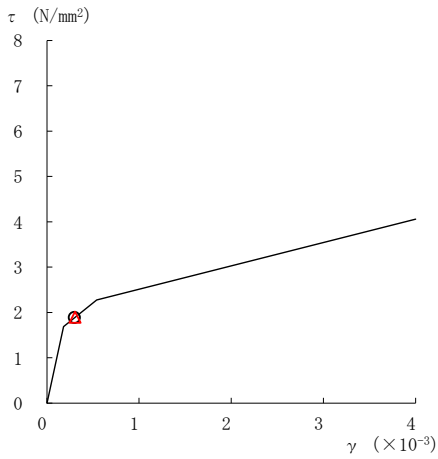
○ ケース 1 △ ケース 4



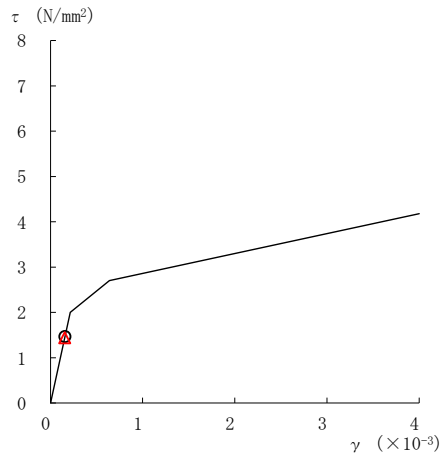
要素番号 (12)



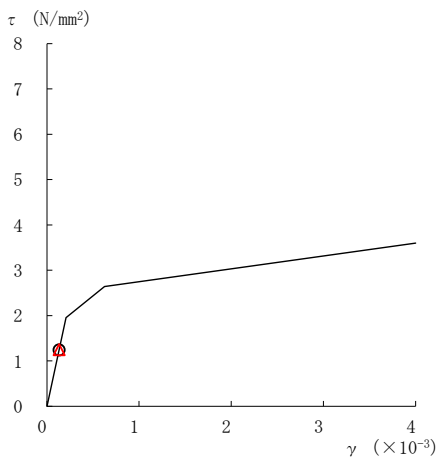
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

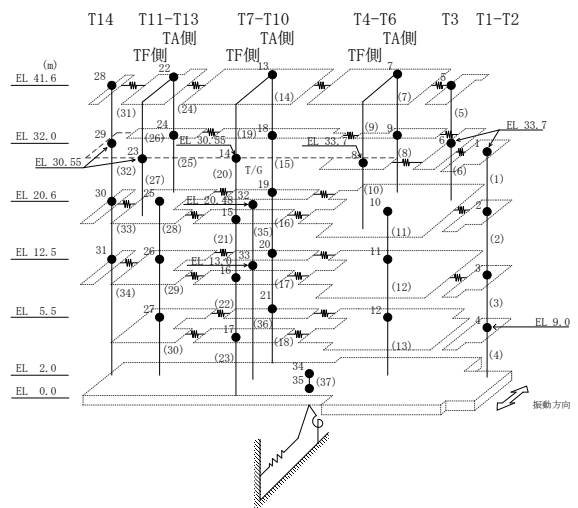
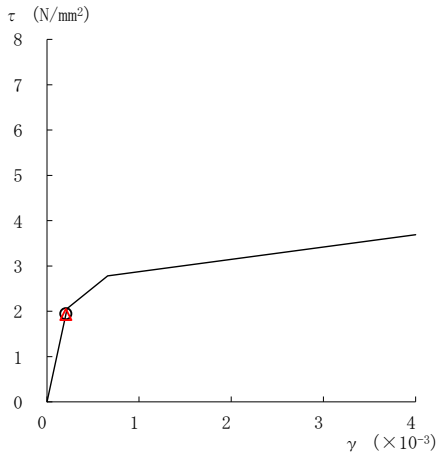
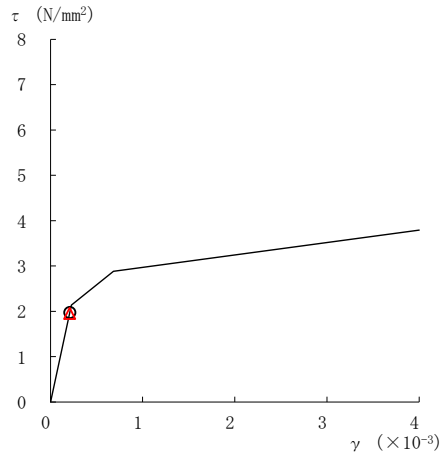


図 2-215(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

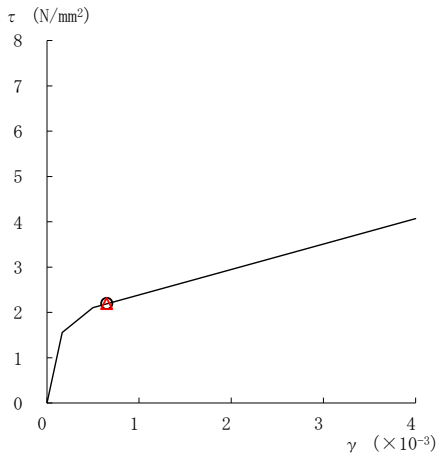
○ ケース 1 △ ケース 4



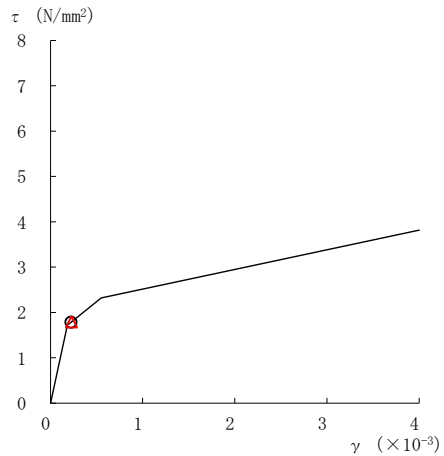
要素番号 (17)



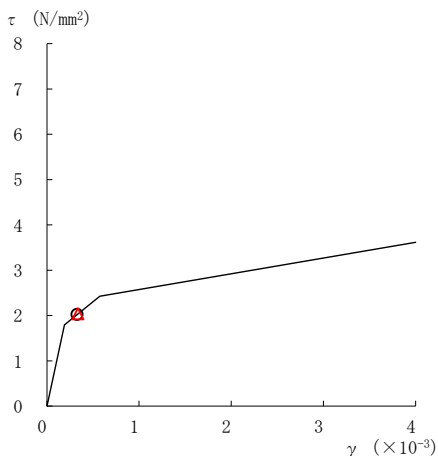
要素番号 (18)



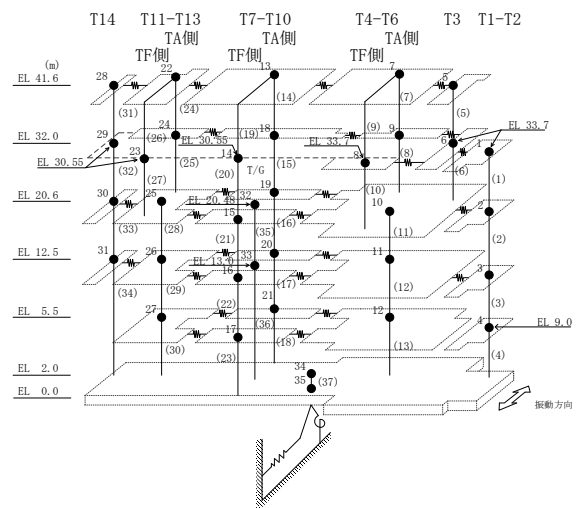
要素番号 (21)



要素番号 (22)



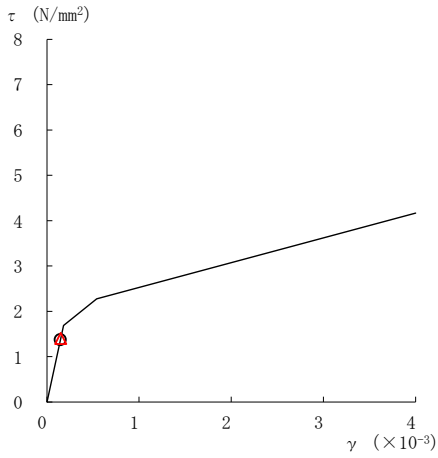
要素番号 (23)



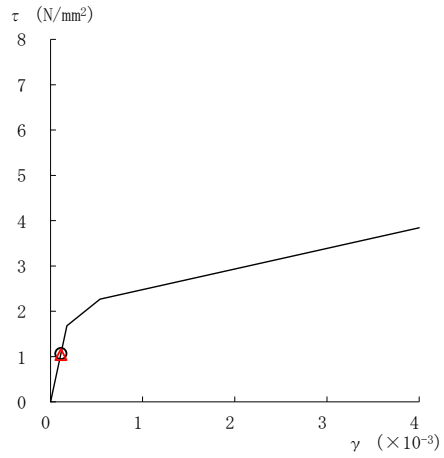
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-215(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

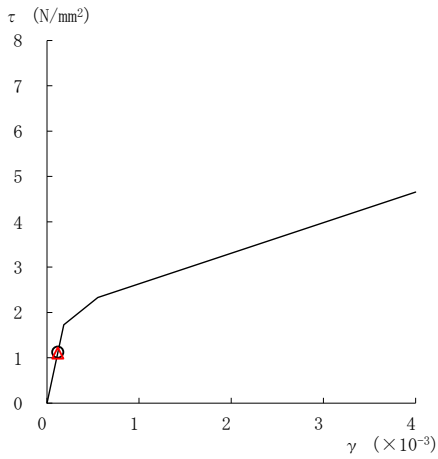
○ ケース 1 △ ケース 4



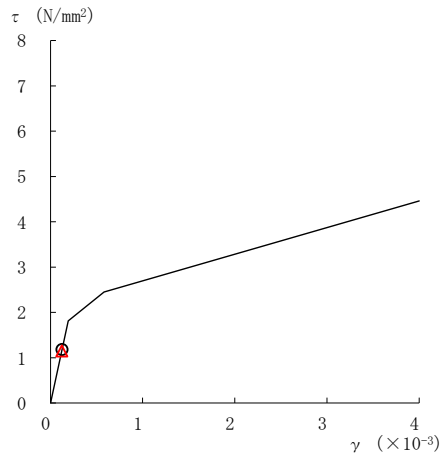
要素番号 (24)



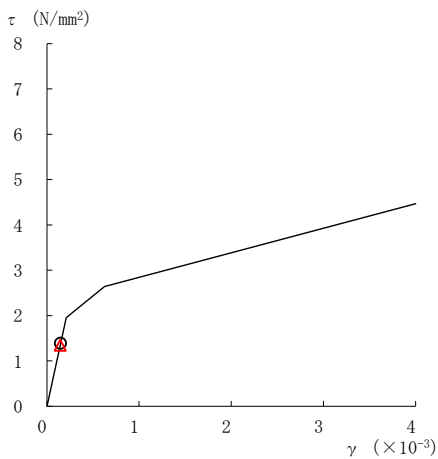
要素番号 (25)



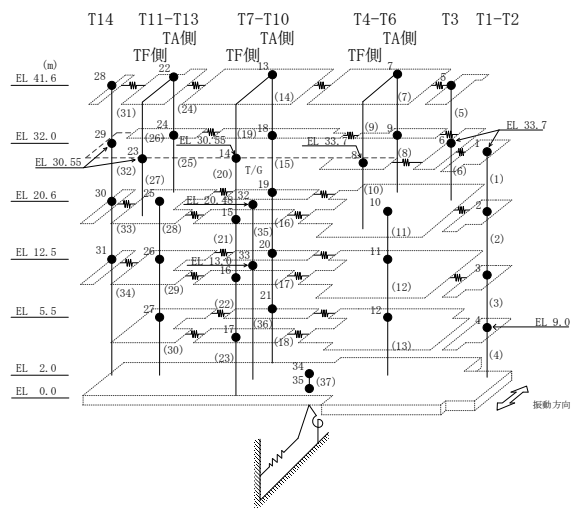
要素番号 (28)



要素番号 (29)



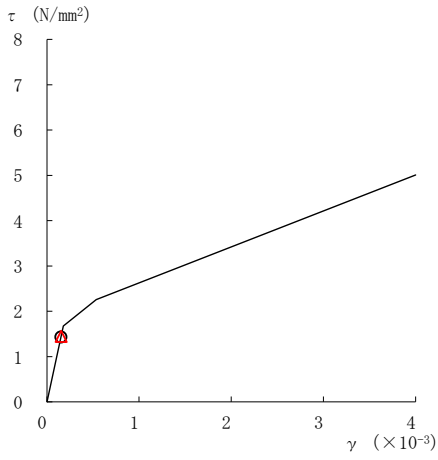
要素番号 (30)



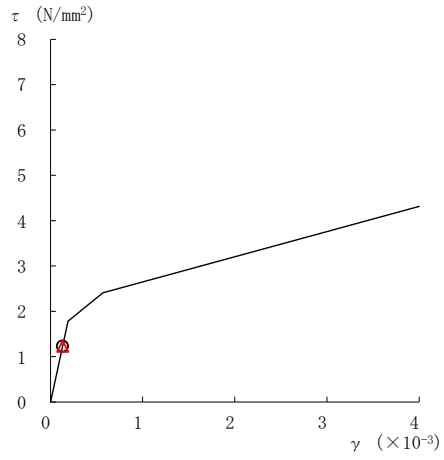
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-215(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

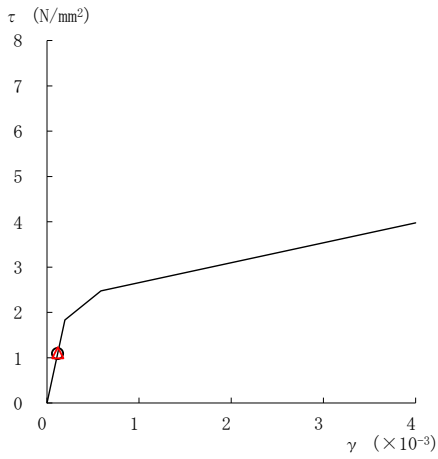
○ ケース 1 △ ケース 4



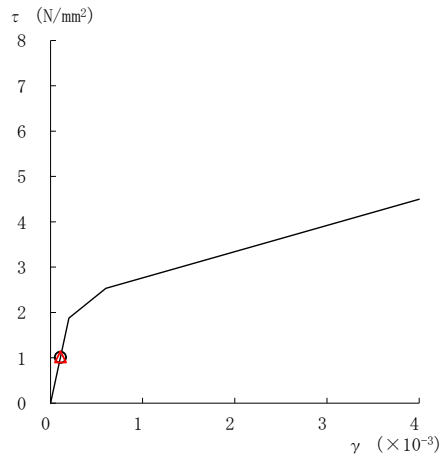
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

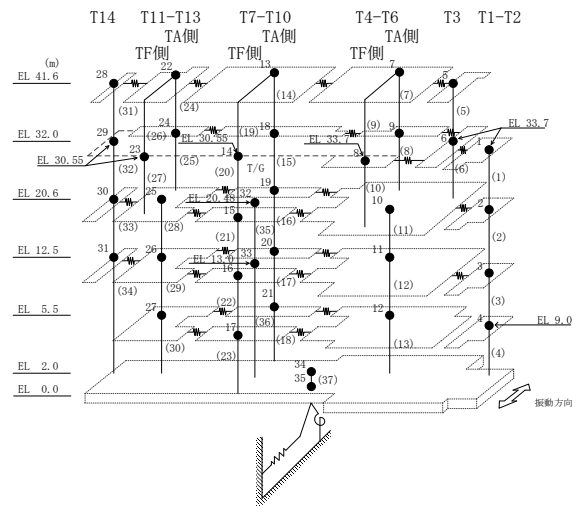
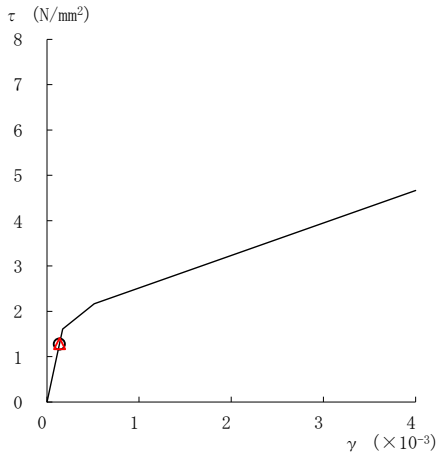
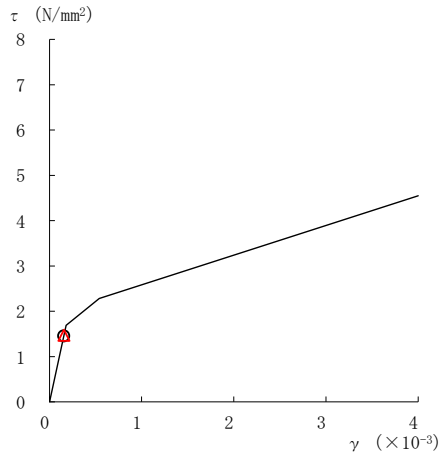


図 2-215 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, NS 方向)

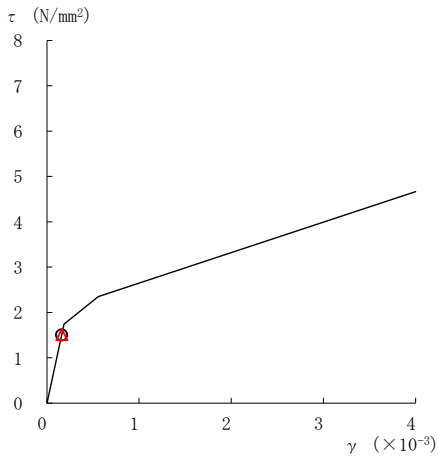
○ ケース 1 △ ケース 4



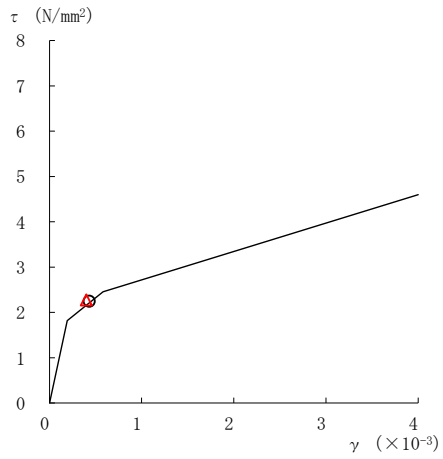
要素番号 (1)



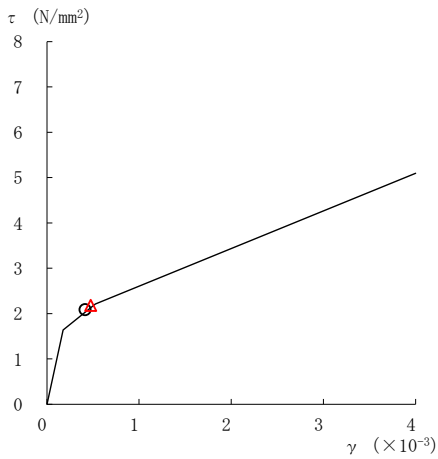
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

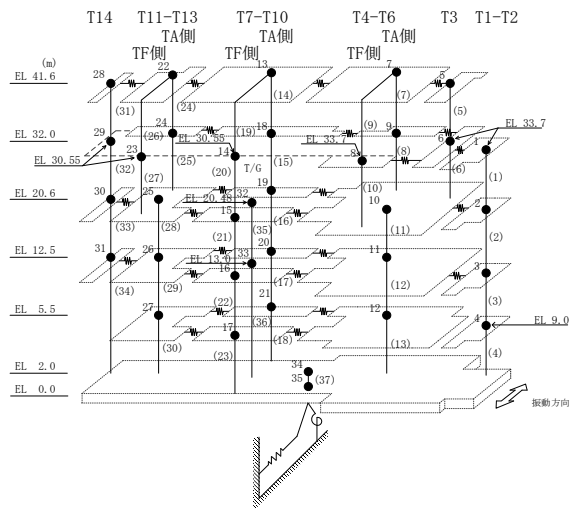
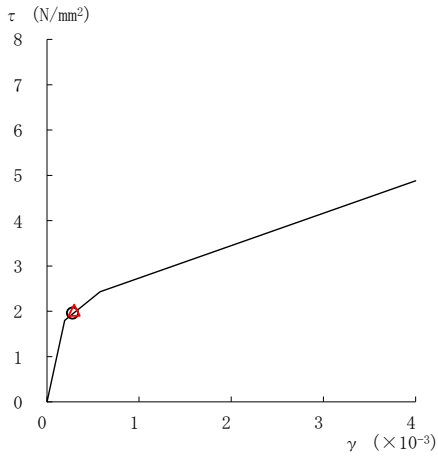
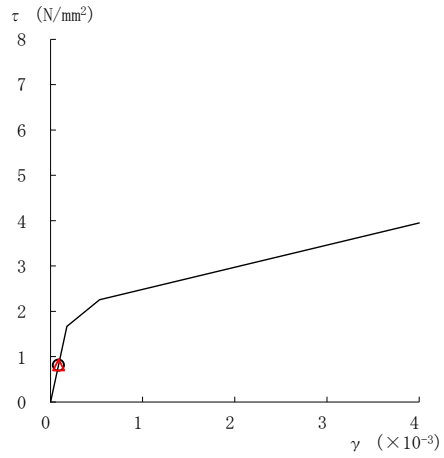


図 2-216(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, NS 方向)

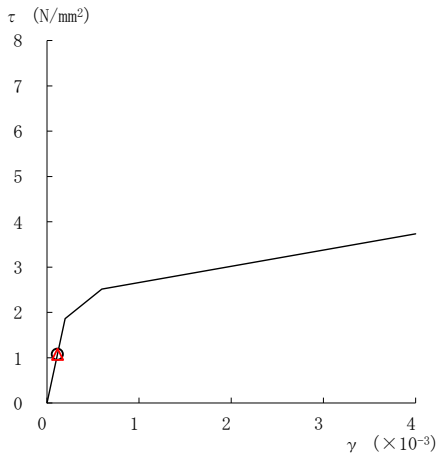
○ ケース 1 △ ケース 4



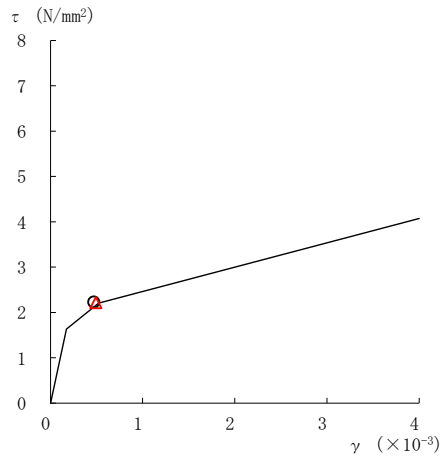
要素番号 (6)



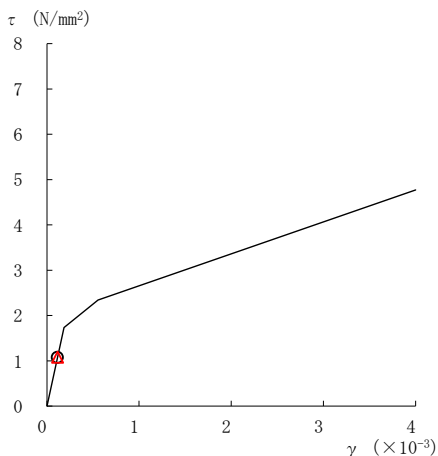
要素番号 (7)



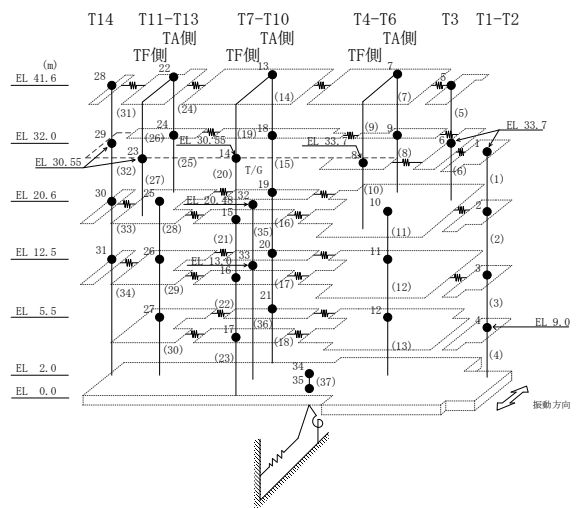
要素番号 (8)



要素番号 (10)



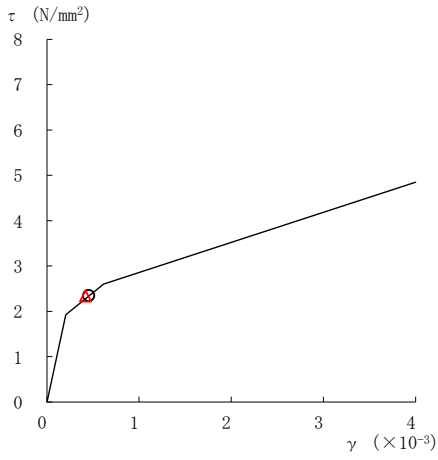
要素番号 (11)



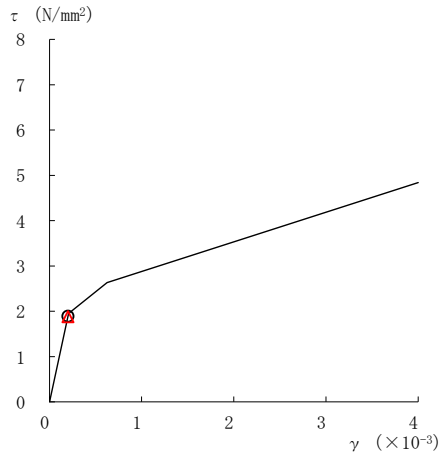
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-216(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 2, NS 方向)

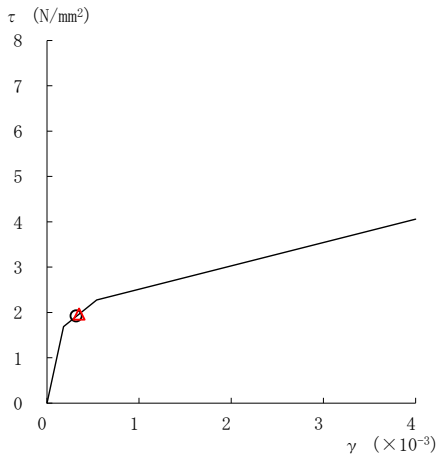
○ ケース 1 △ ケース 4



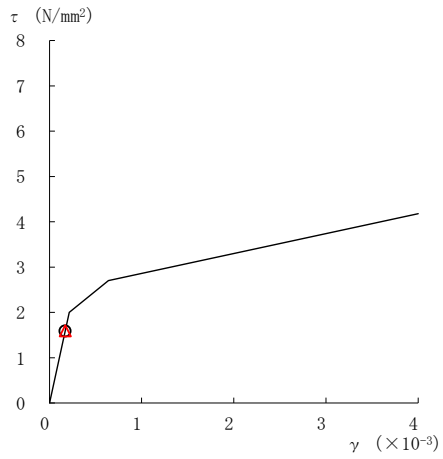
要素番号 (12)



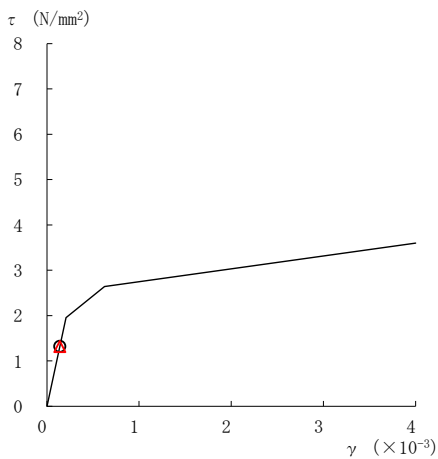
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

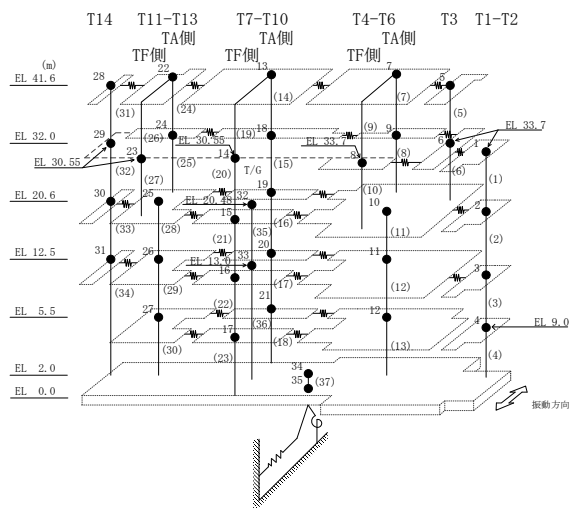
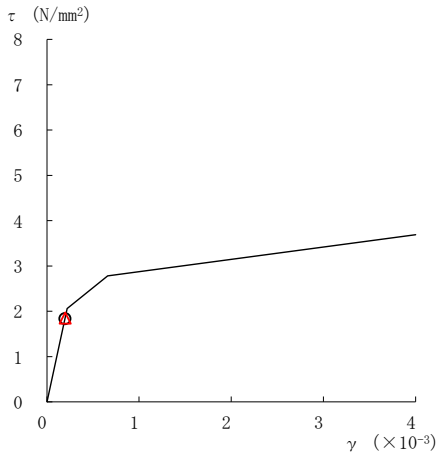
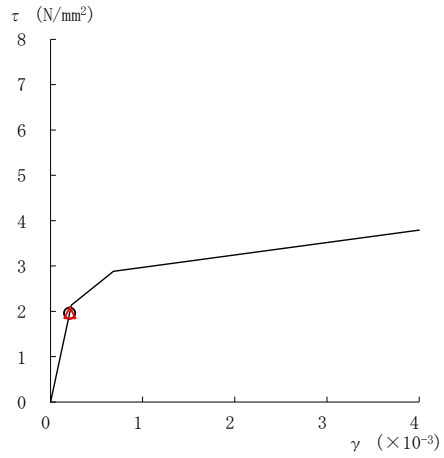


図 2-216(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, NS 方向)

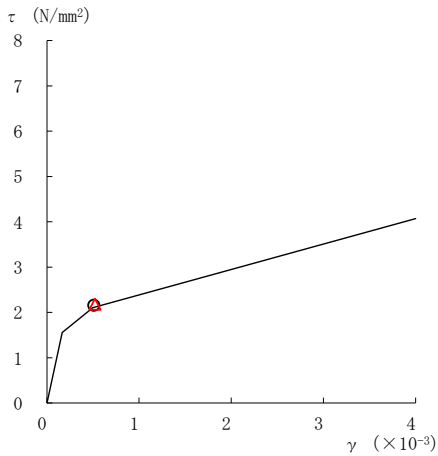
○ ケース 1 △ ケース 4



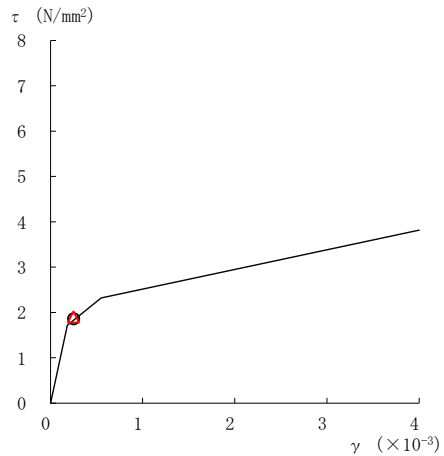
要素番号 (17)



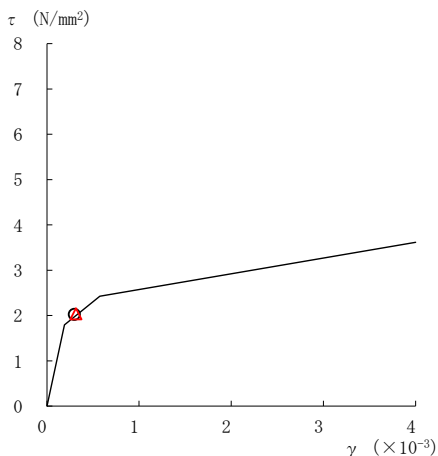
要素番号 (18)



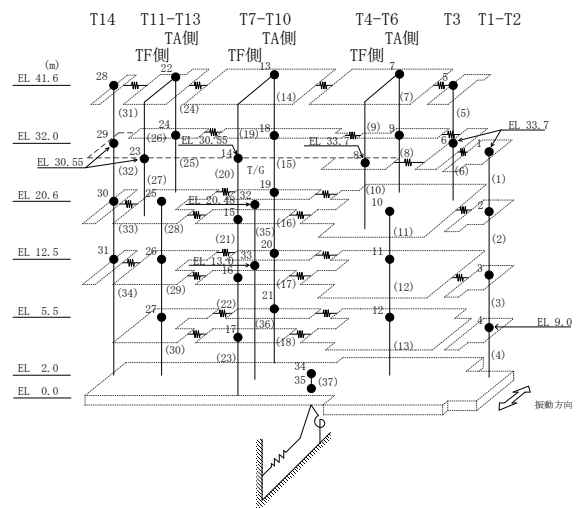
要素番号 (21)



要素番号 (22)



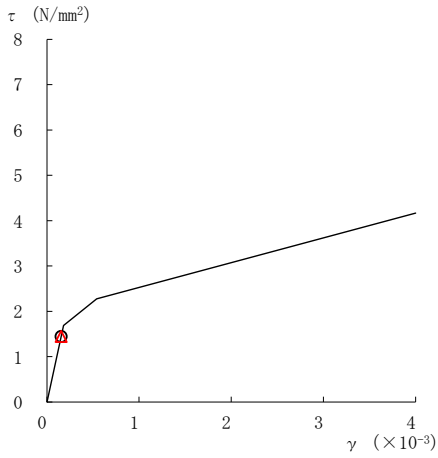
要素番号 (23)



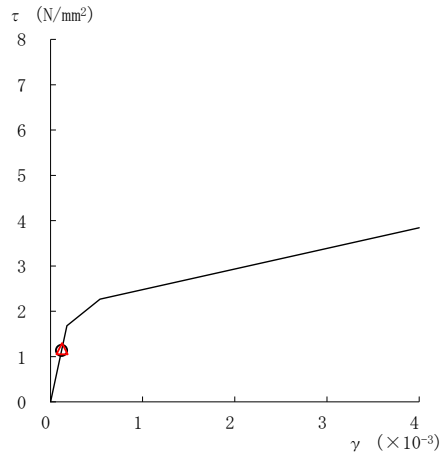
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-216(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, NS 方向)

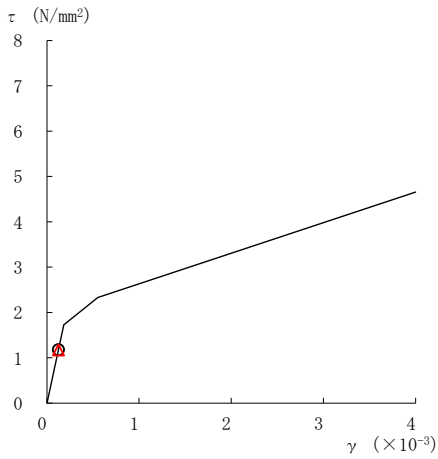
○ ケース 1 △ ケース 4



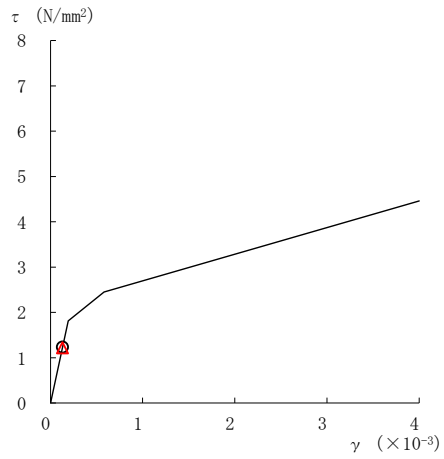
要素番号 (24)



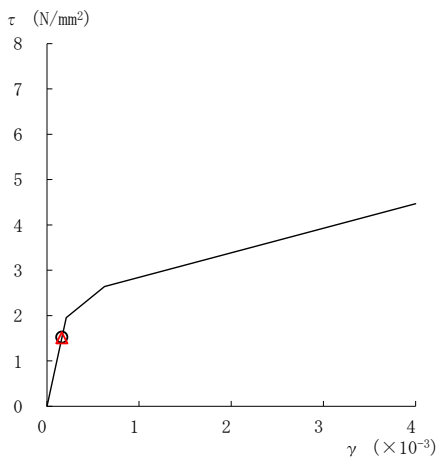
要素番号 (25)



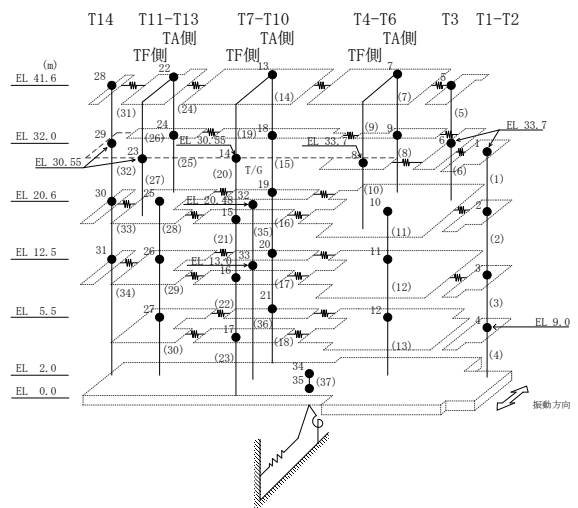
要素番号 (28)



要素番号 (29)



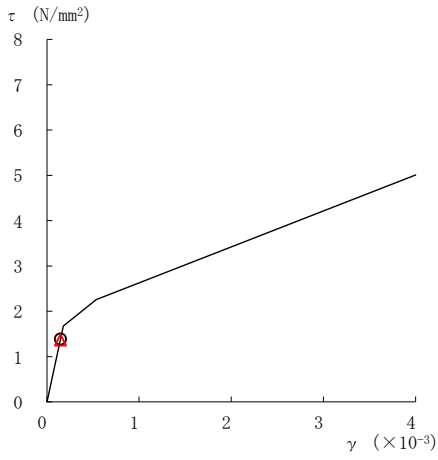
要素番号 (30)



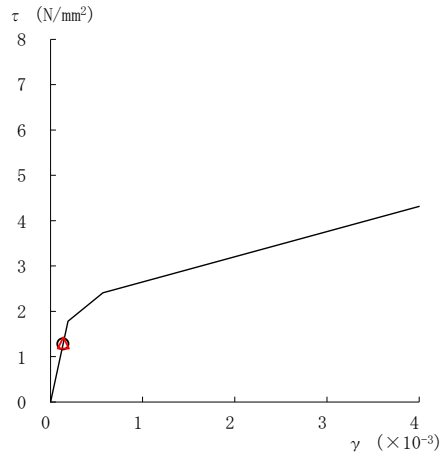
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-216(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, NS 方向)

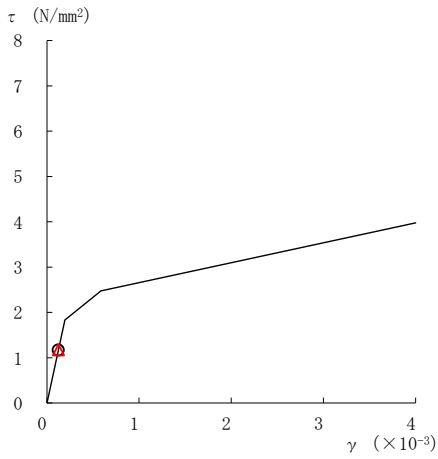
○ ケース 1 △ ケース 4



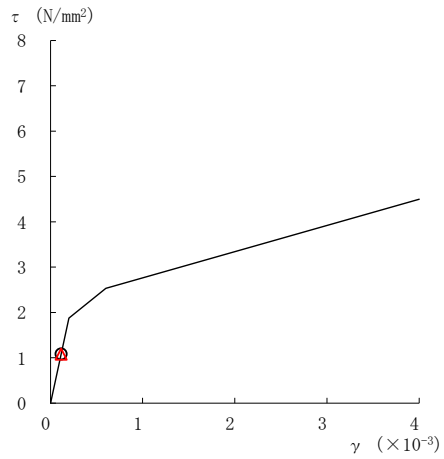
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

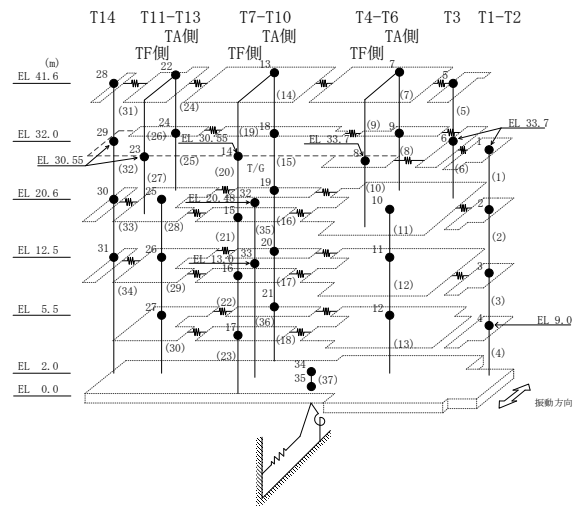
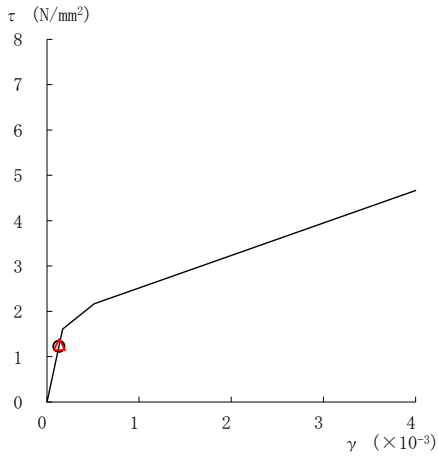
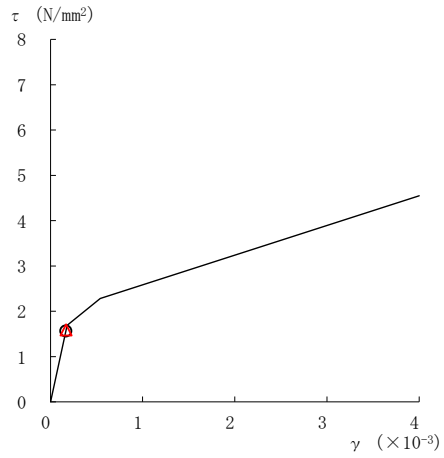


図 2-216(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 2, NS 方向)

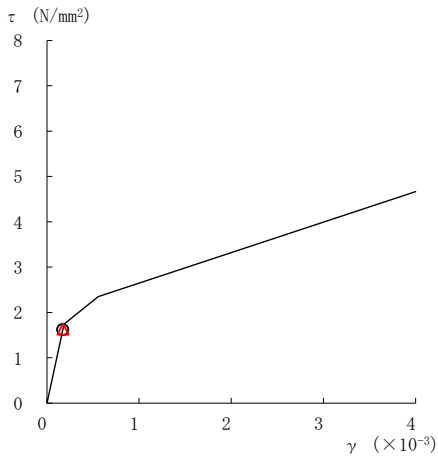
○ ケース 1 △ ケース 4



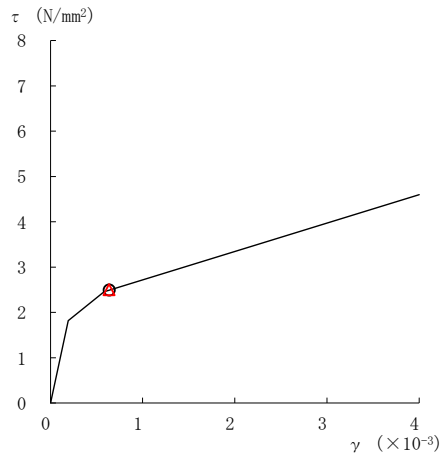
要素番号 (1)



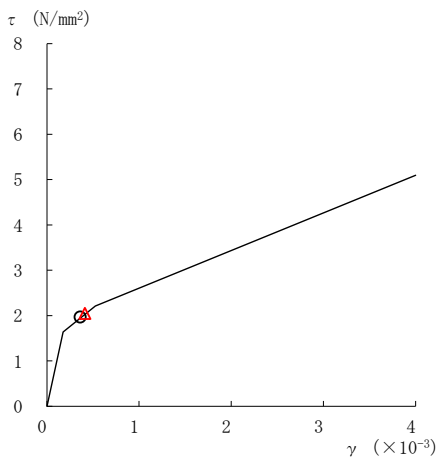
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

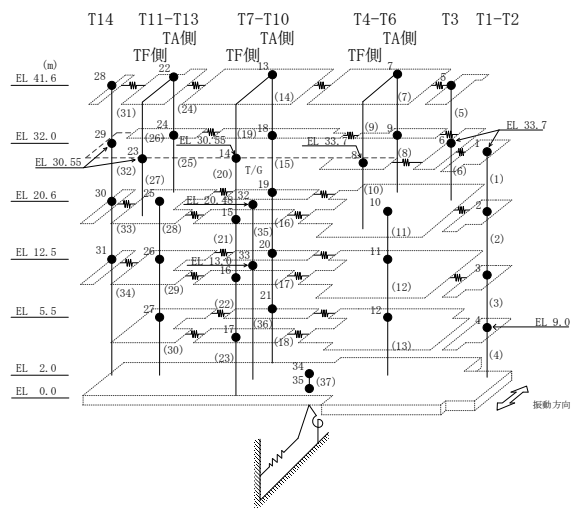
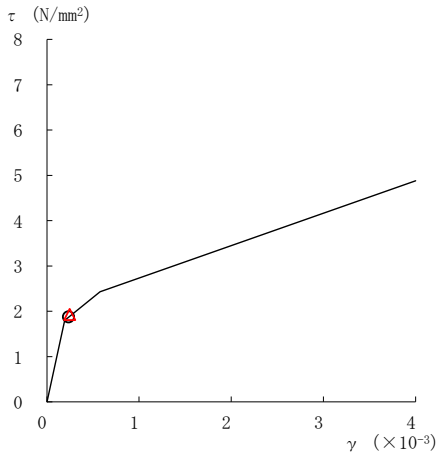
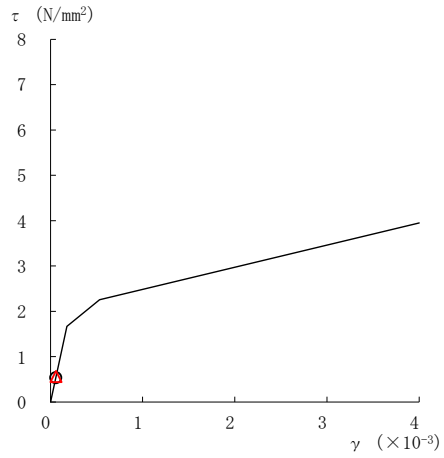


図 2-217(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

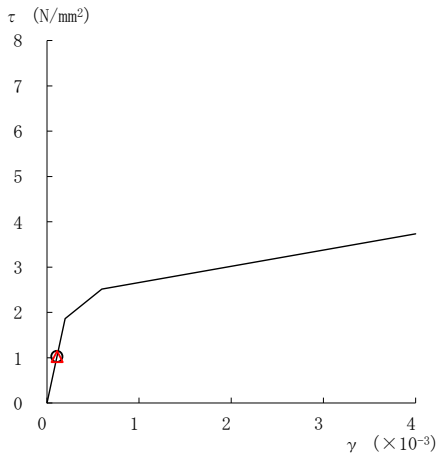
○ ケース 1 △ ケース 4



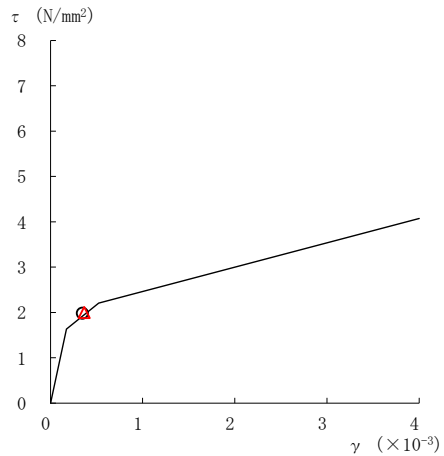
要素番号 (6)



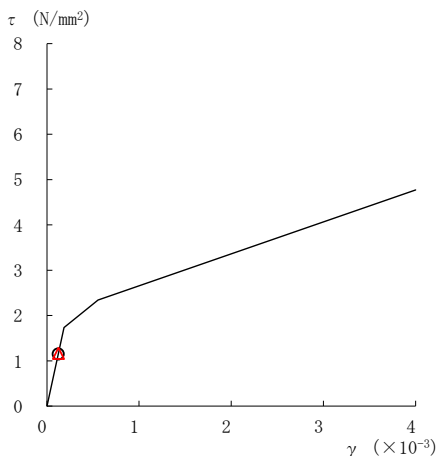
要素番号 (7)



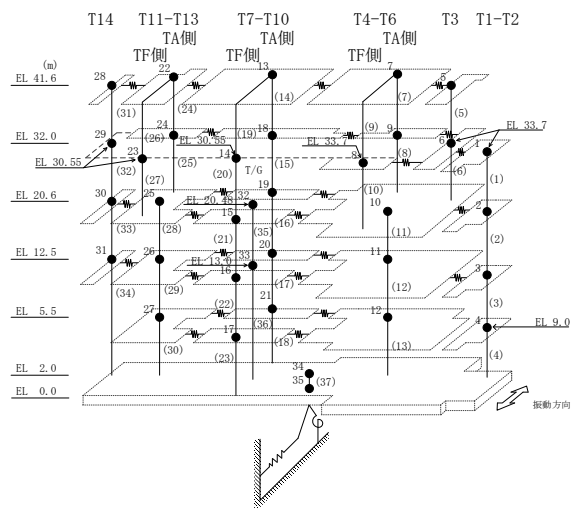
要素番号 (8)



要素番号 (10)



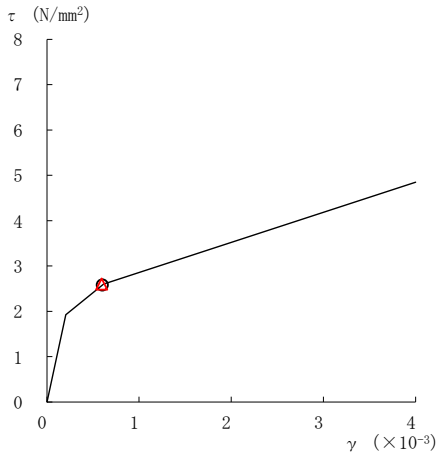
要素番号 (11)



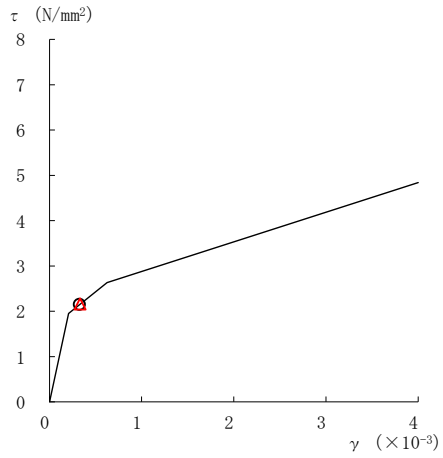
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-217(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

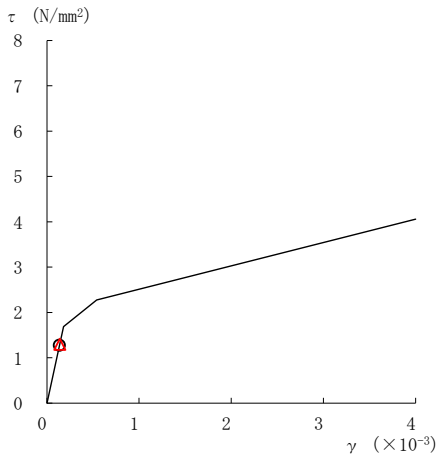
○ ケース 1 △ ケース 4



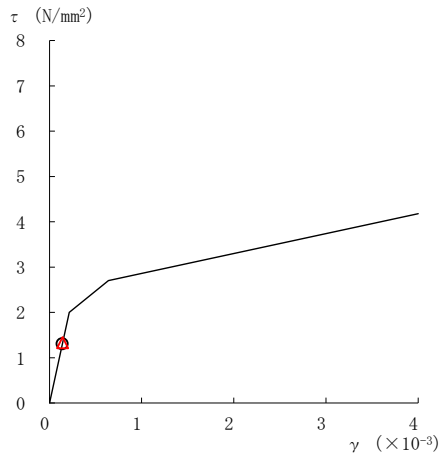
要素番号 (12)



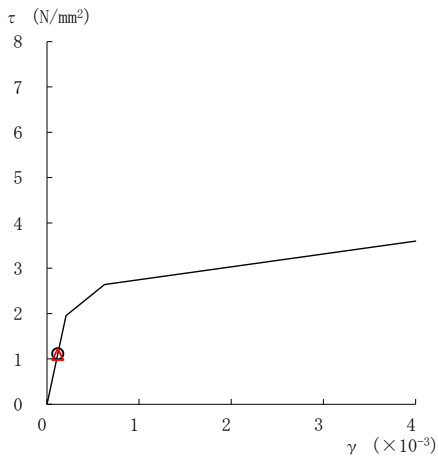
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

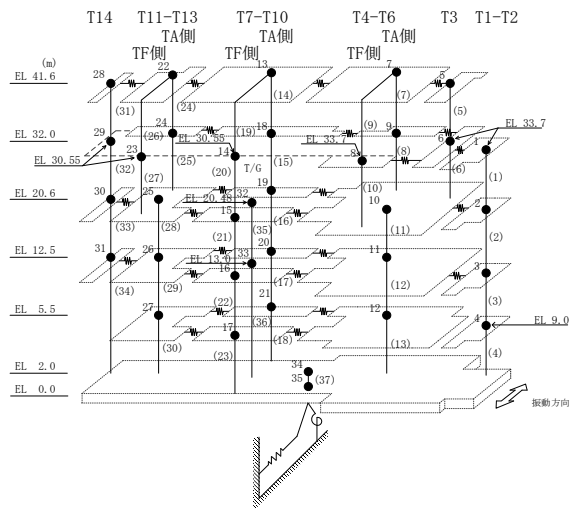
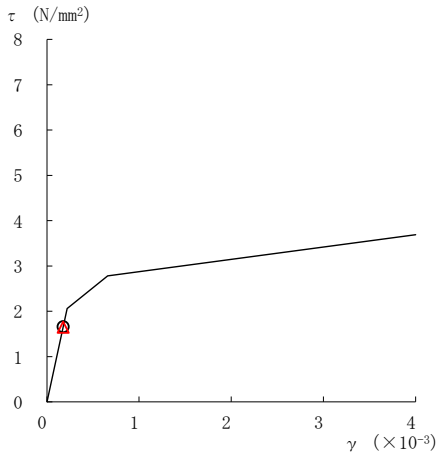
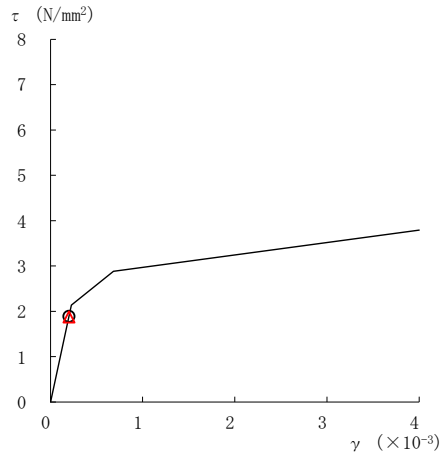


図 2-217(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

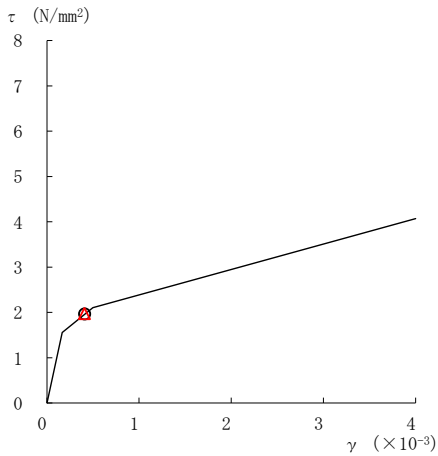
○ ケース 1 △ ケース 4



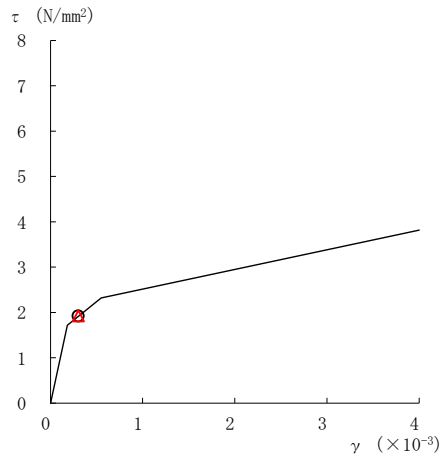
要素番号 (17)



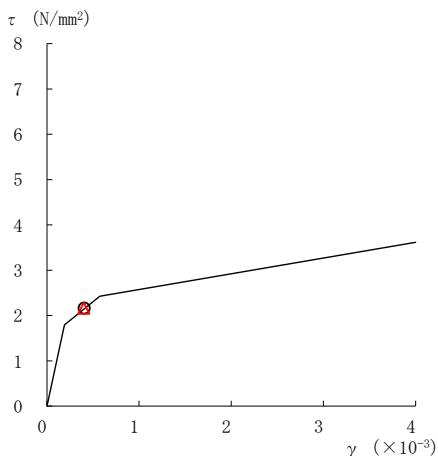
要素番号 (18)



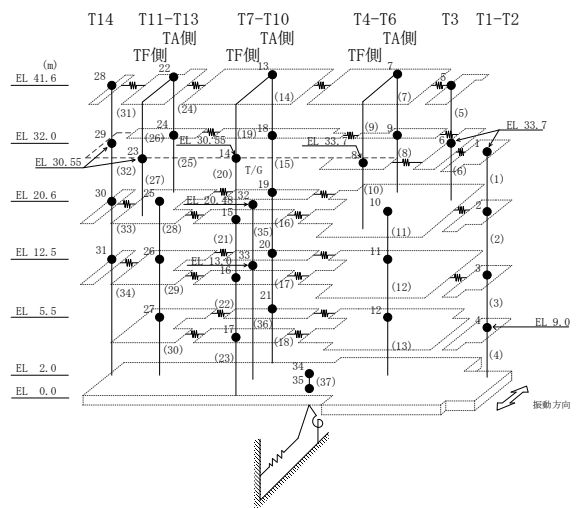
要素番号 (21)



要素番号 (22)



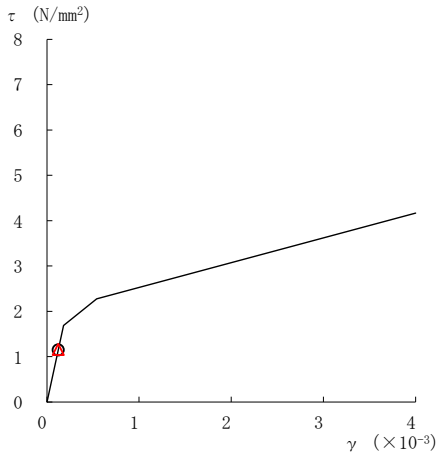
要素番号 (23)



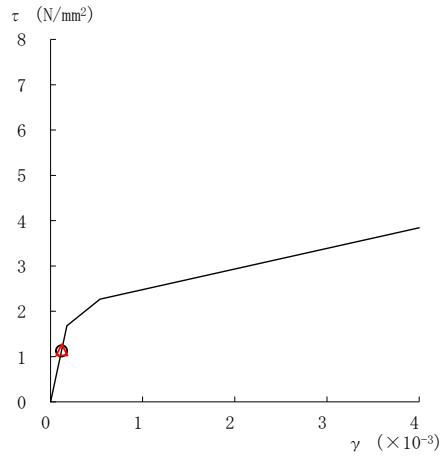
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-217(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

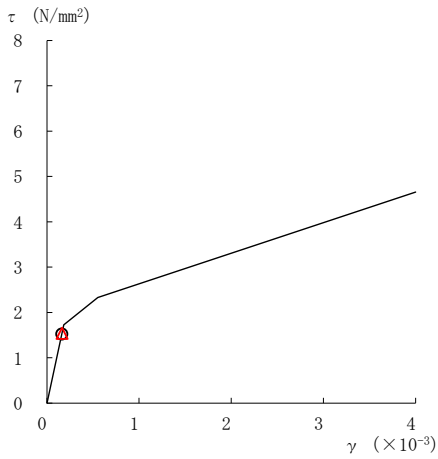
○ ケース 1 △ ケース 4



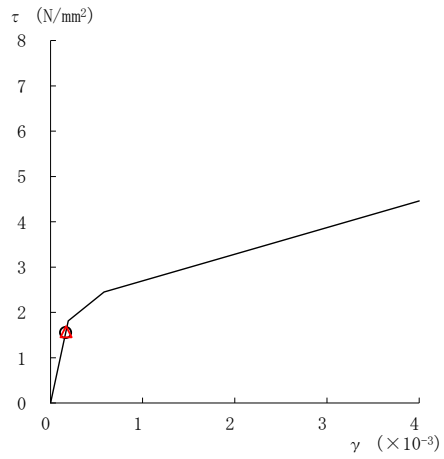
要素番号 (24)



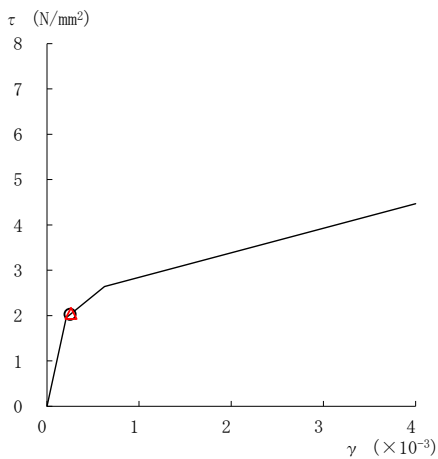
要素番号 (25)



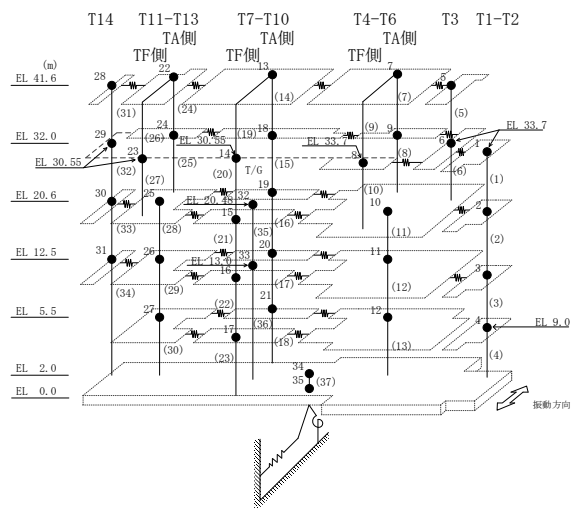
要素番号 (28)



要素番号 (29)



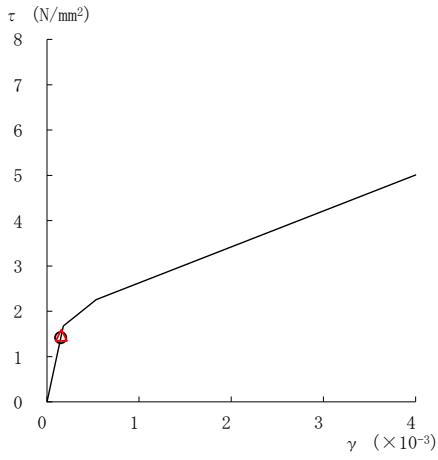
要素番号 (30)



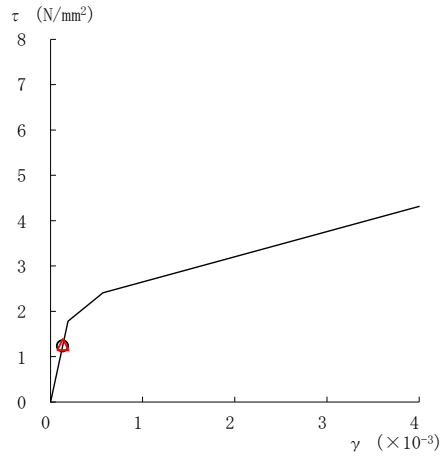
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-217(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

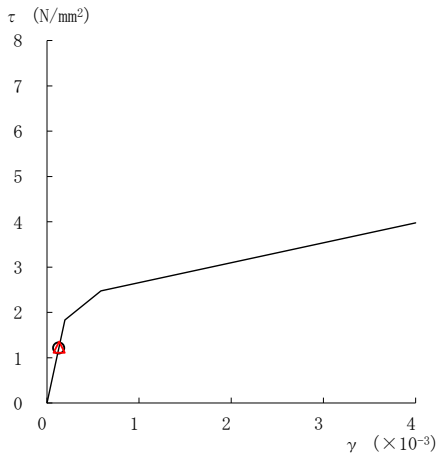
○ ケース 1 △ ケース 4



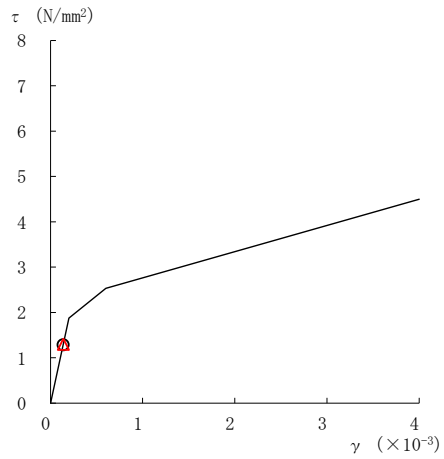
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

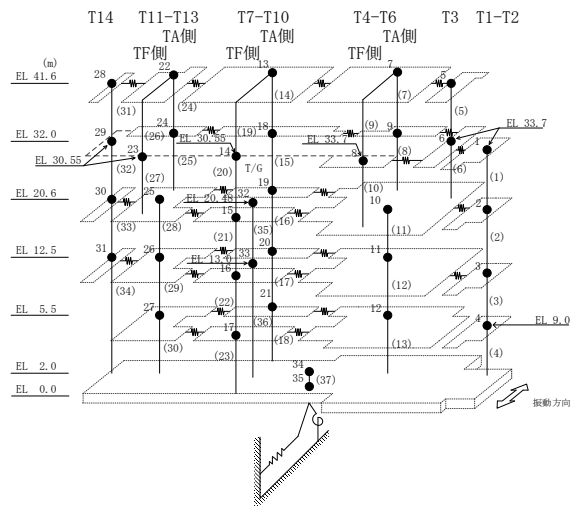
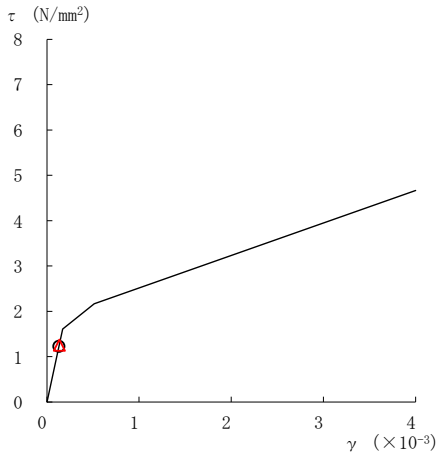
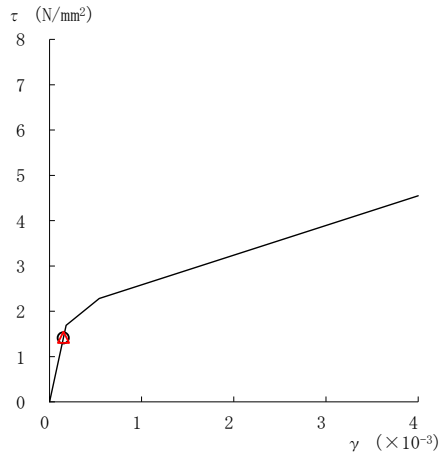


図 2-217(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, NS 方向)

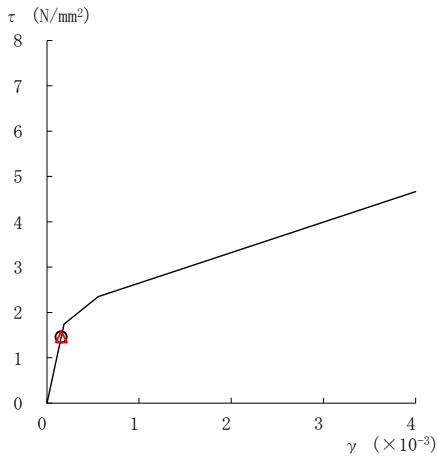
○ ケース 1 △ ケース 4



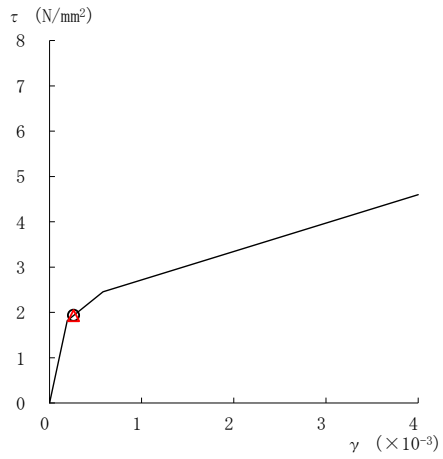
要素番号 (1)



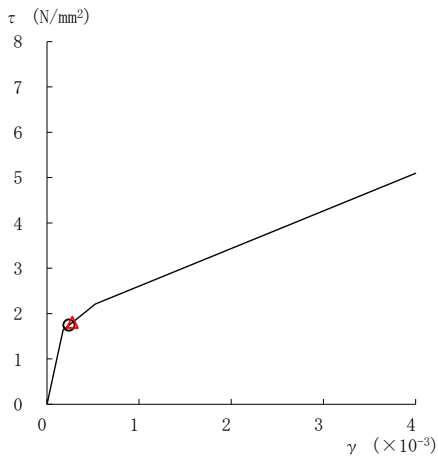
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

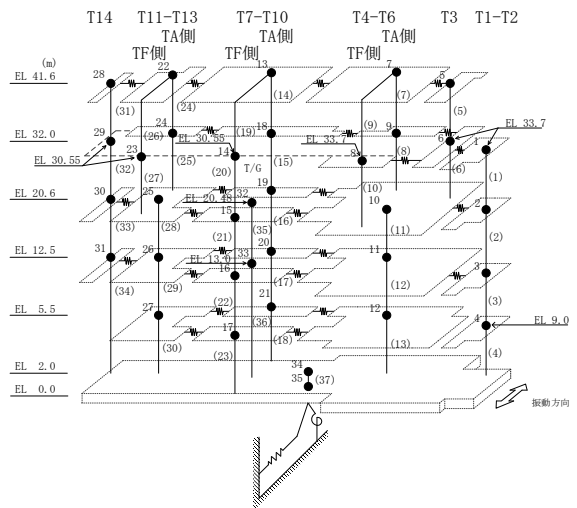
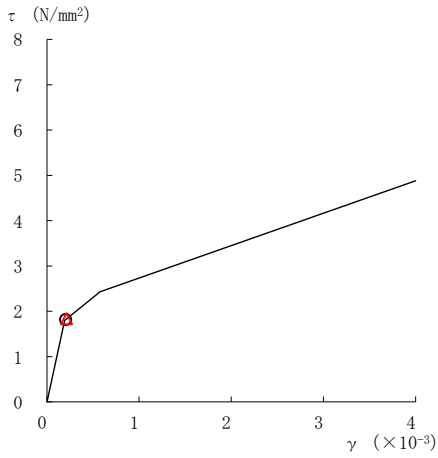
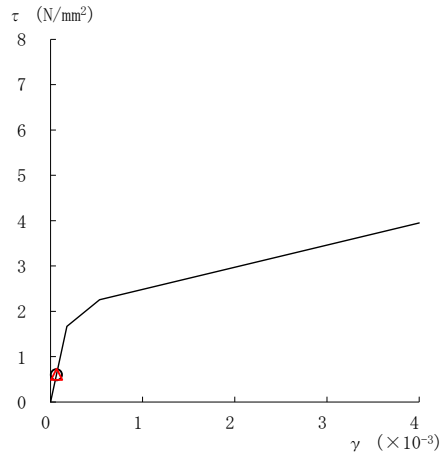


図 2-218(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

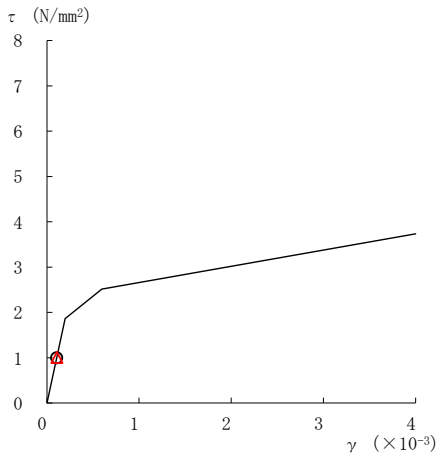
○ ケース 1 △ ケース 4



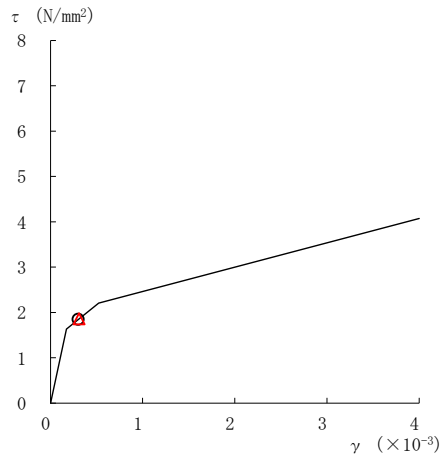
要素番号 (6)



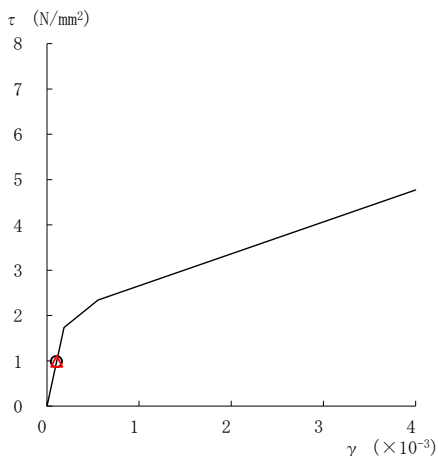
要素番号 (7)



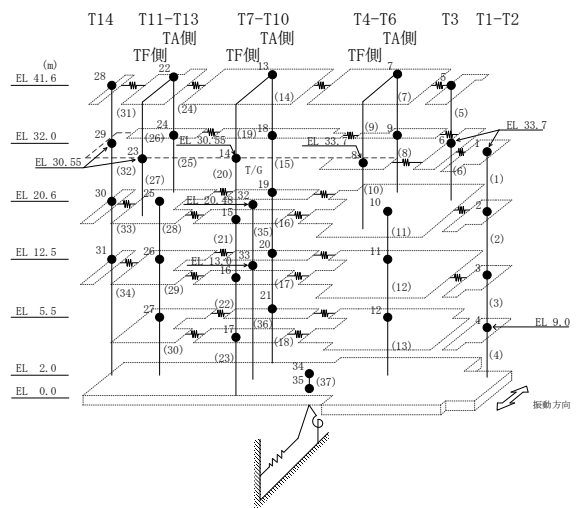
要素番号 (8)



要素番号 (10)



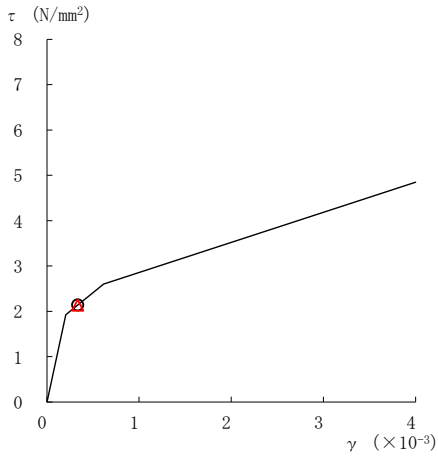
要素番号 (11)



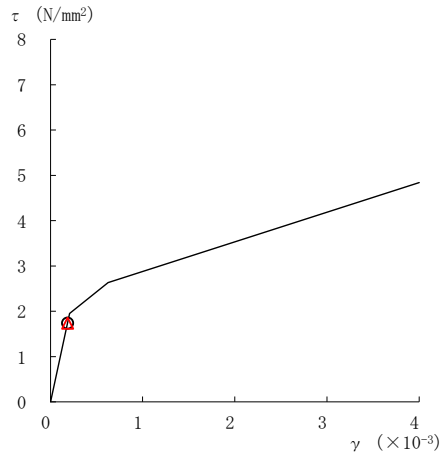
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-218(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

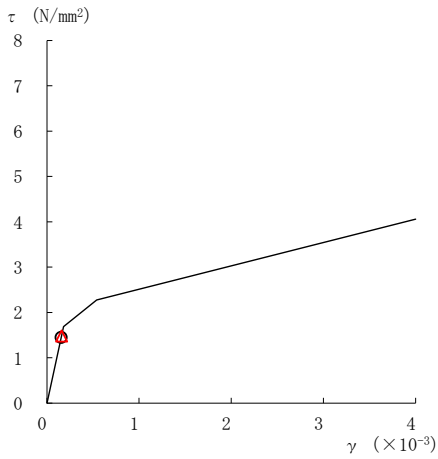
○ ケース 1 △ ケース 4



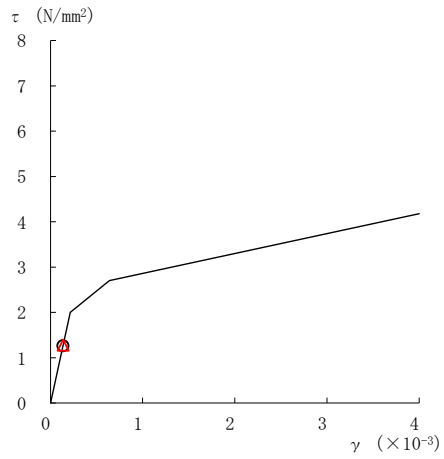
要素番号 (12)



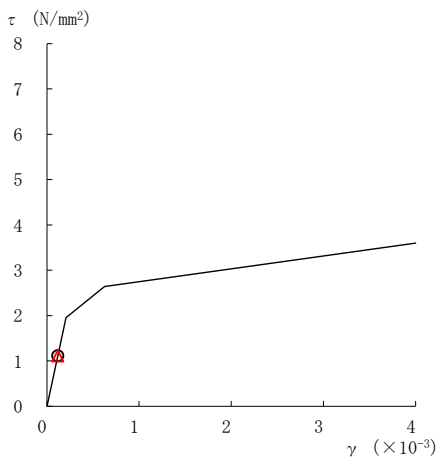
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

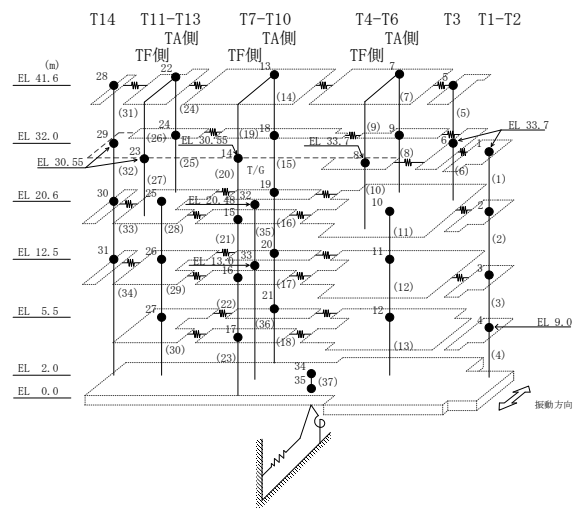
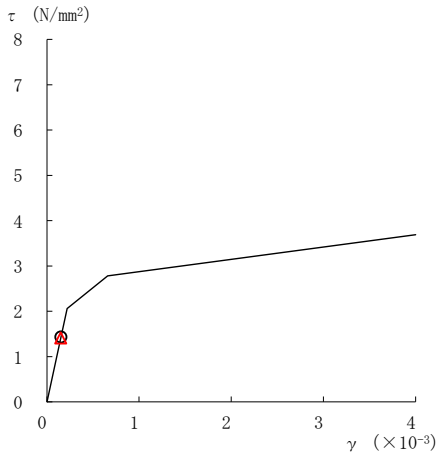
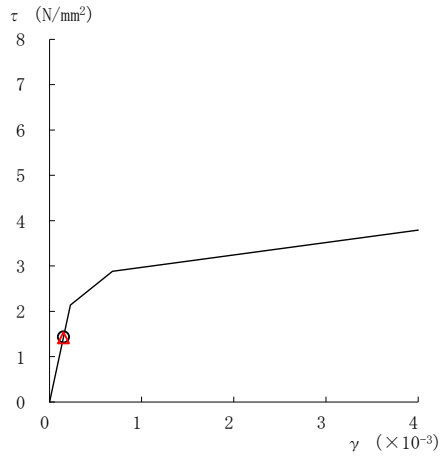


図 2-218(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

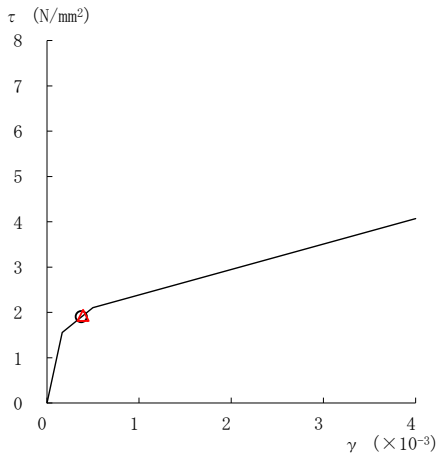
○ ケース 1 △ ケース 4



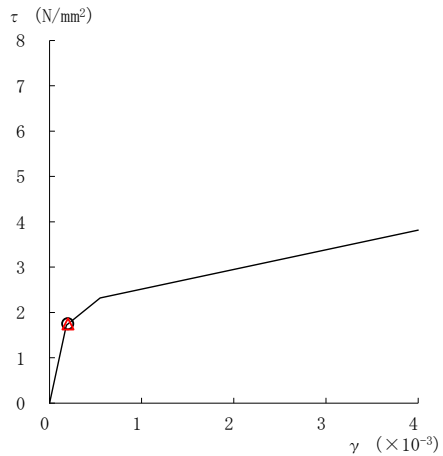
要素番号 (17)



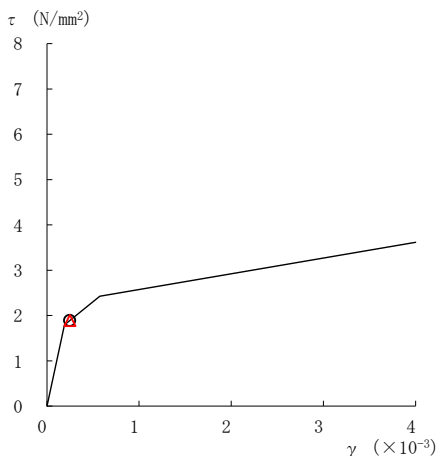
要素番号 (18)



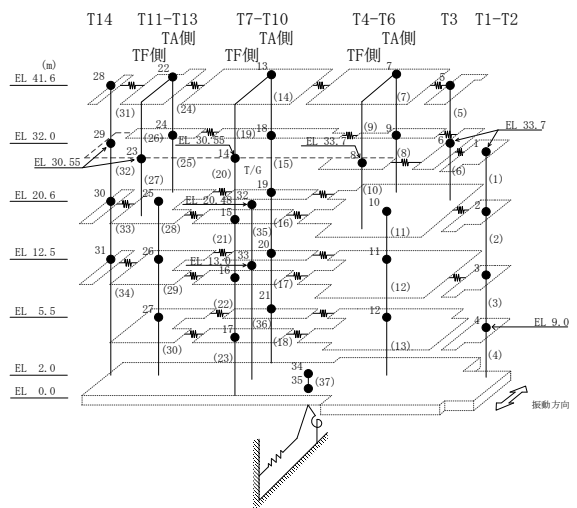
要素番号 (21)



要素番号 (22)



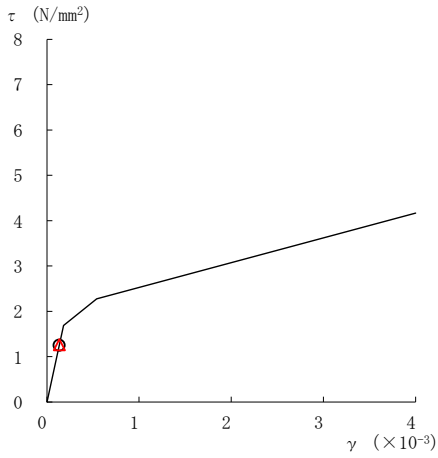
要素番号 (23)



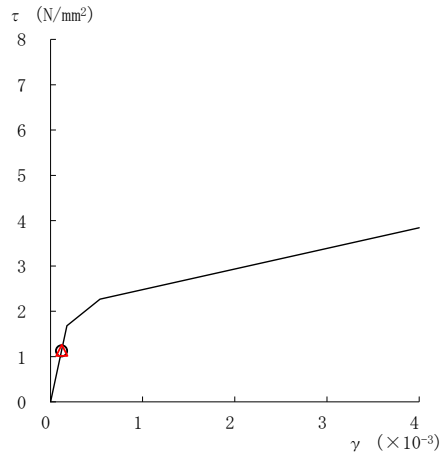
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-218(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

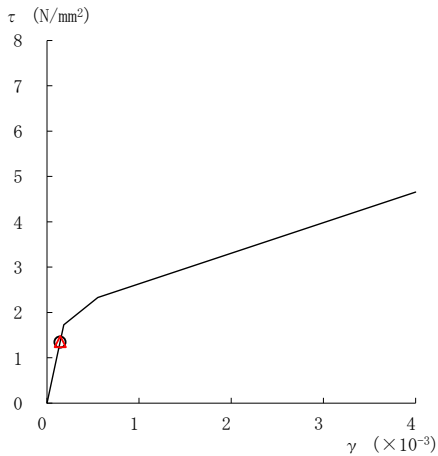
○ ケース 1 △ ケース 4



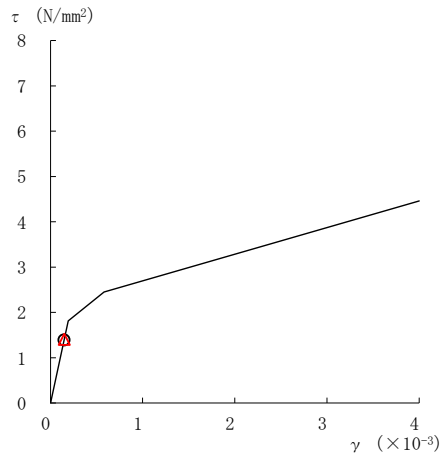
要素番号 (24)



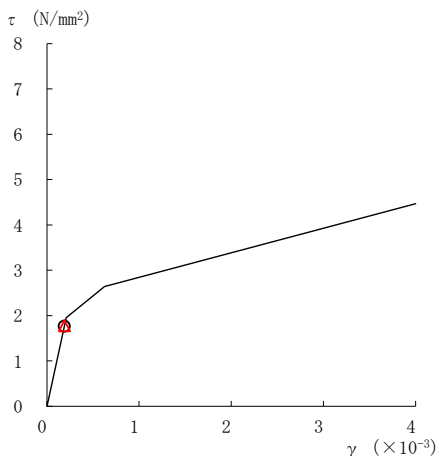
要素番号 (25)



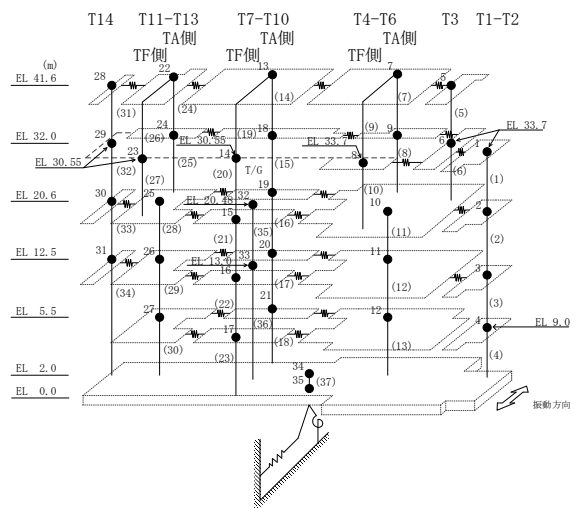
要素番号 (28)



要素番号 (29)



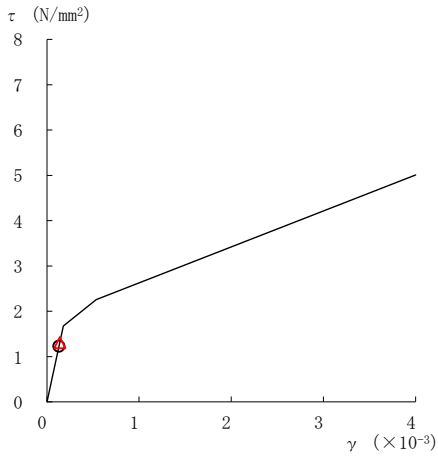
要素番号 (30)



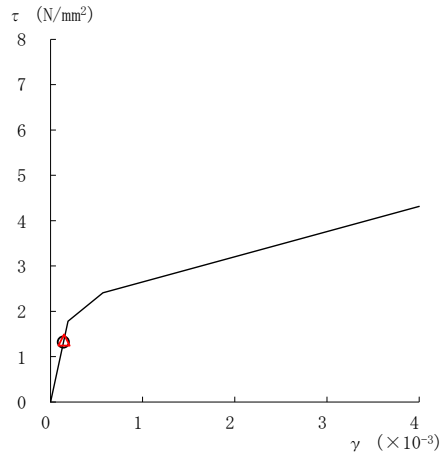
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-218(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

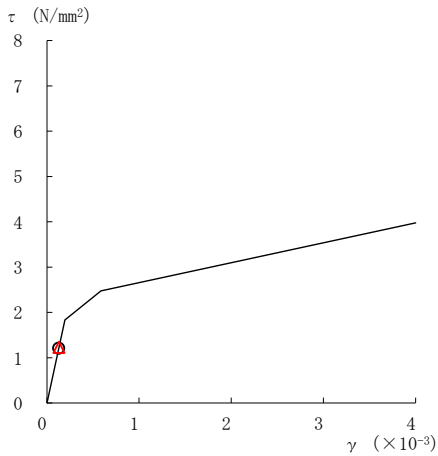
○ ケース 1 △ ケース 4



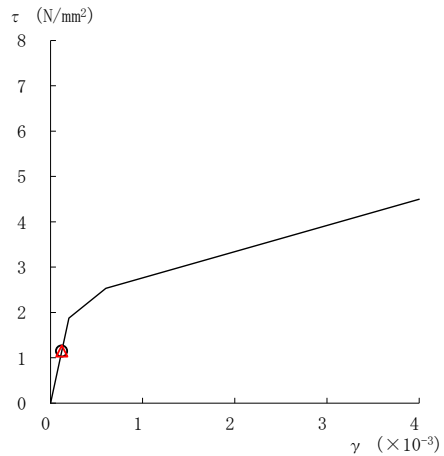
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

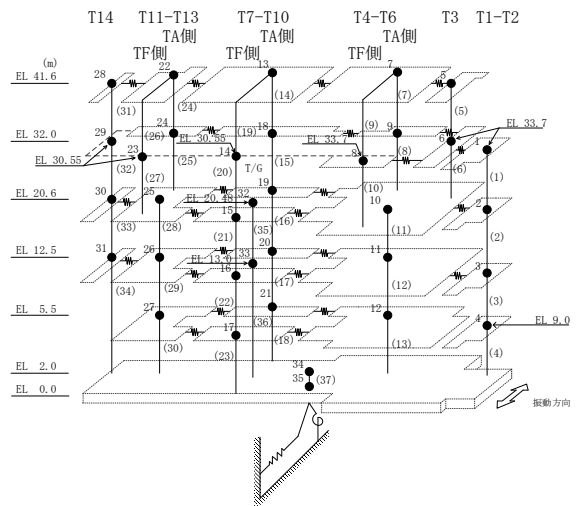
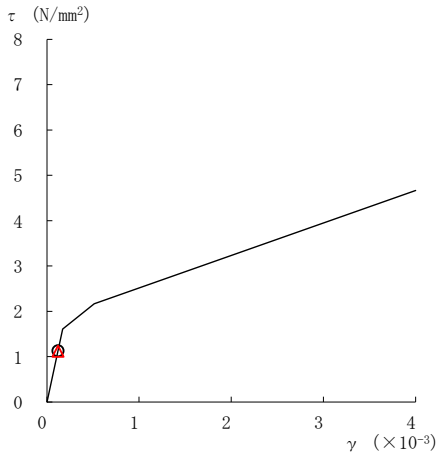
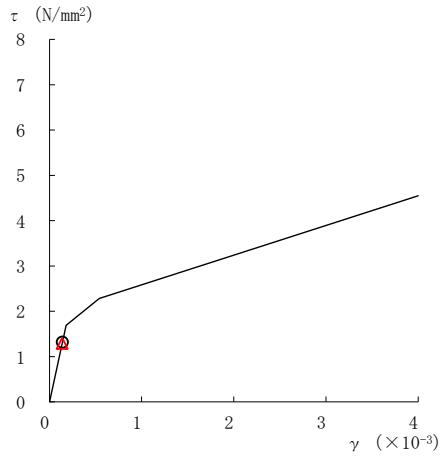


図 2-218(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, NS 方向)

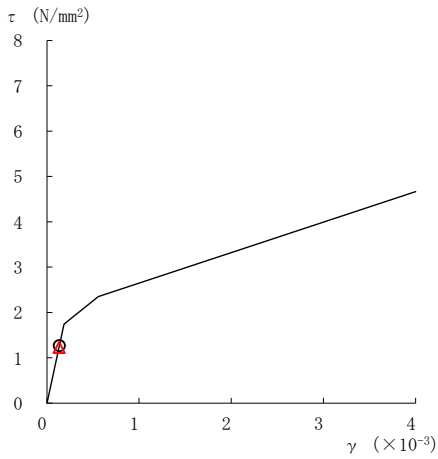
○ ケース 1 △ ケース 4



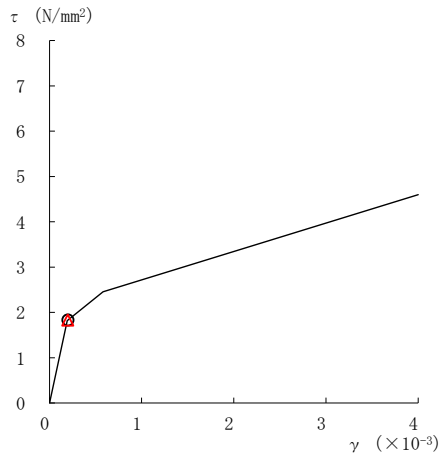
要素番号 (1)



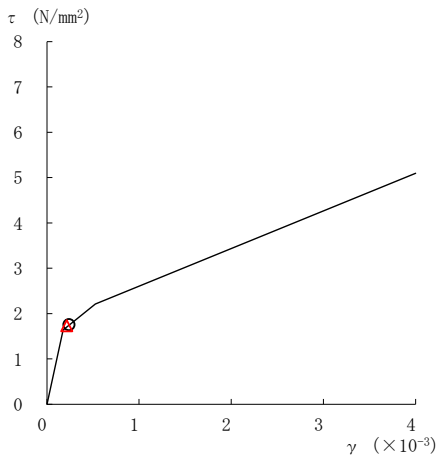
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

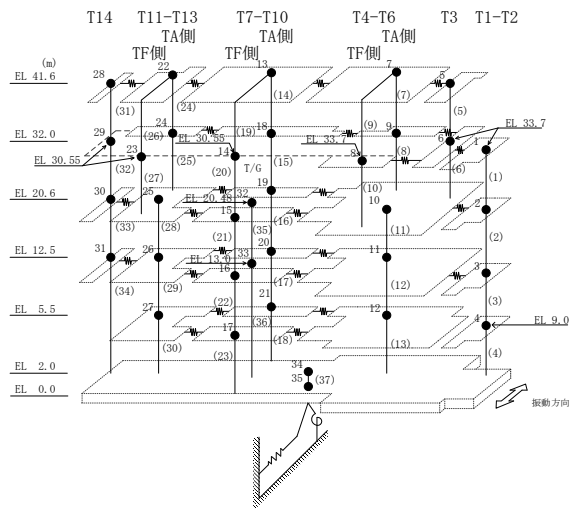
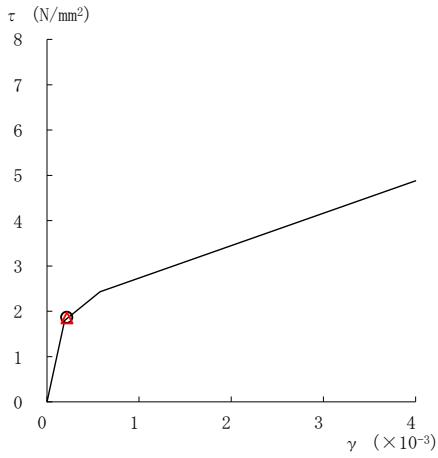
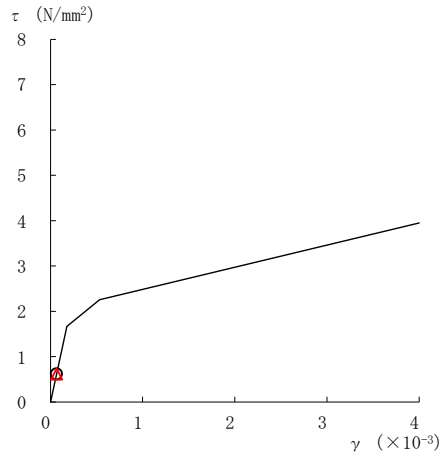


図 2-219(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

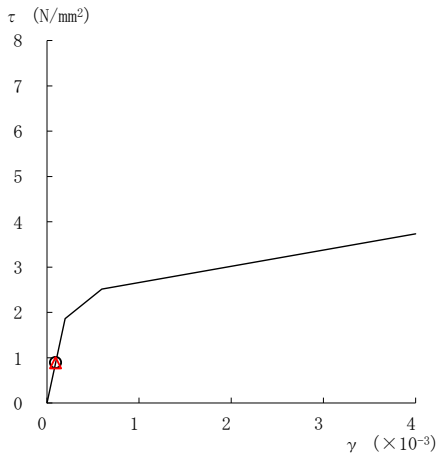
○ ケース 1 △ ケース 4



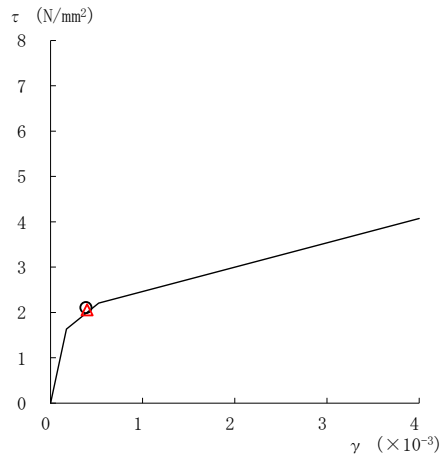
要素番号 (6)



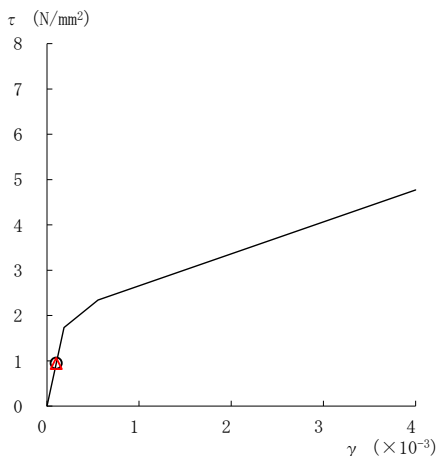
要素番号 (7)



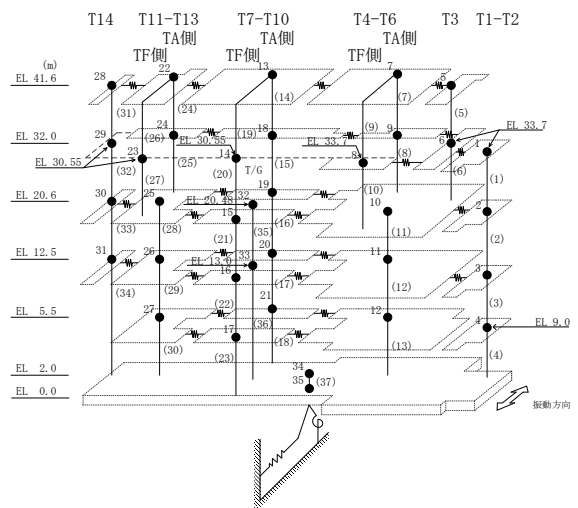
要素番号 (8)



要素番号 (10)



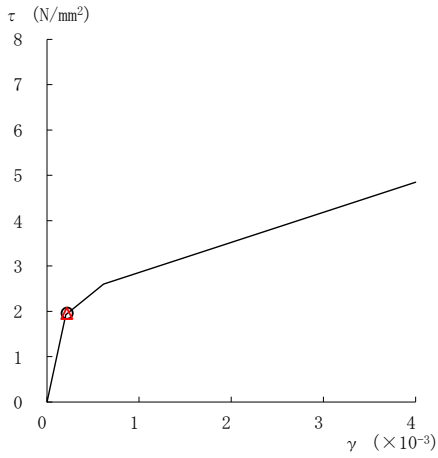
要素番号 (11)



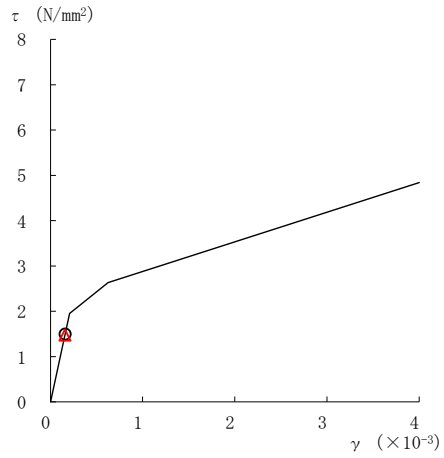
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-219(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

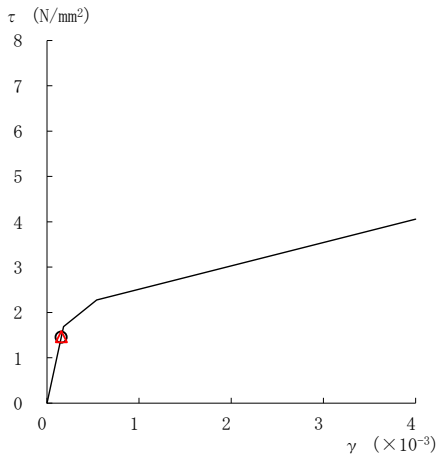
○ ケース 1 △ ケース 4



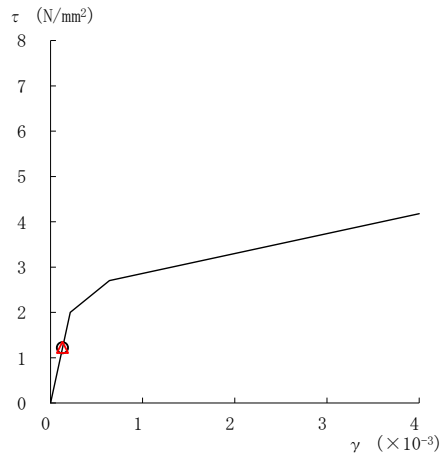
要素番号 (12)



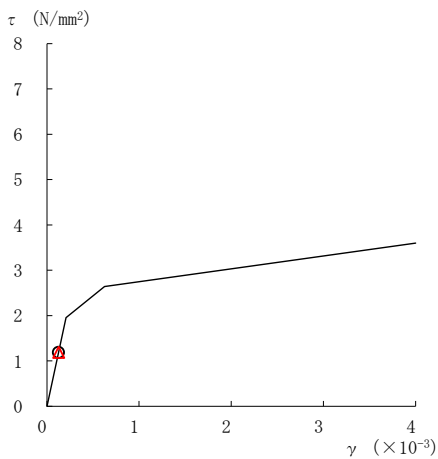
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

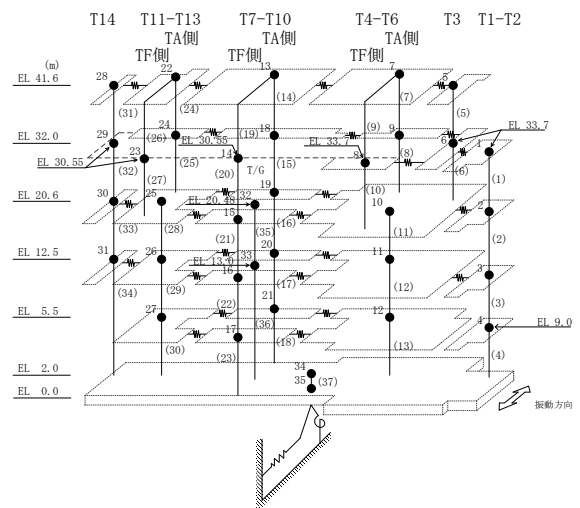
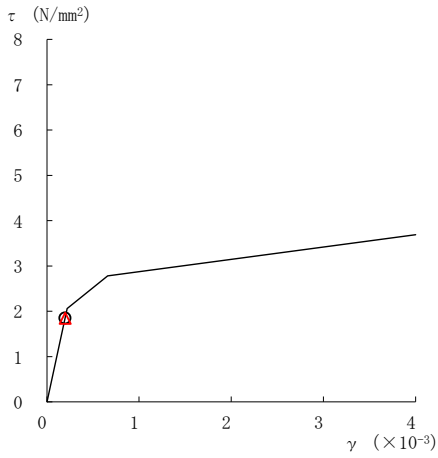
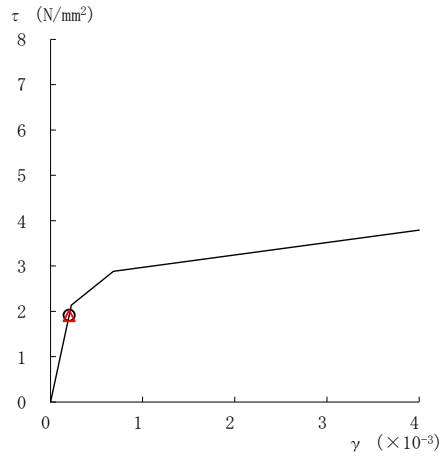


図 2-219(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

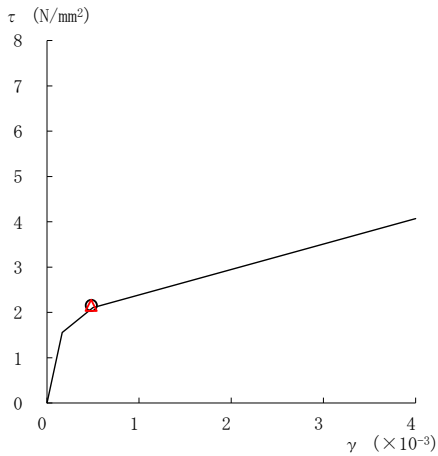
○ ケース 1 △ ケース 4



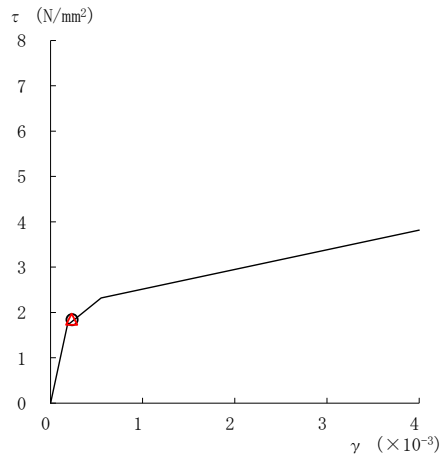
要素番号 (17)



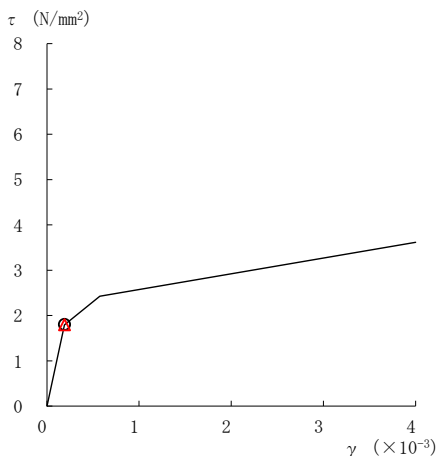
要素番号 (18)



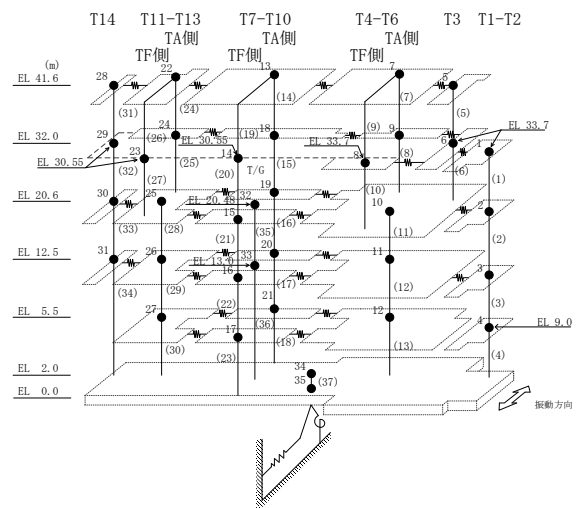
要素番号 (21)



要素番号 (22)



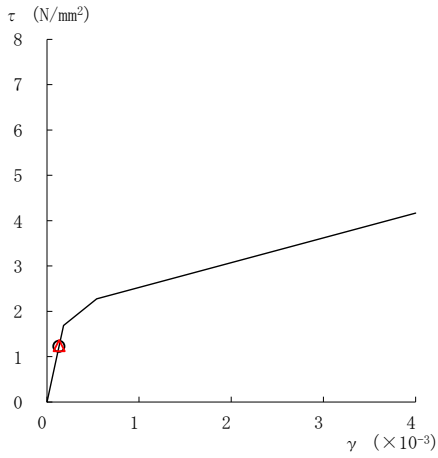
要素番号 (23)



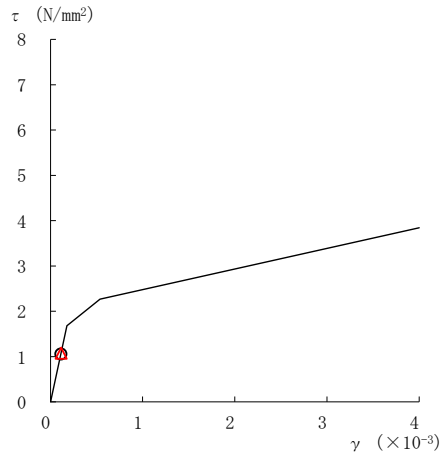
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-219(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

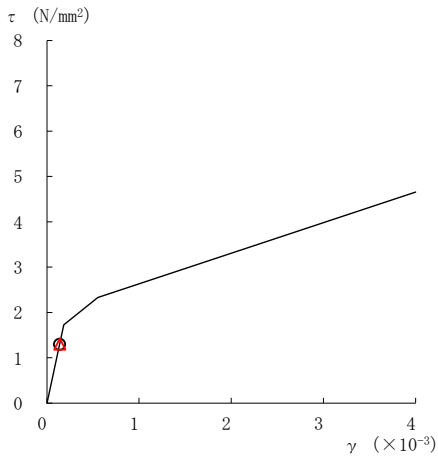
○ ケース 1 △ ケース 4



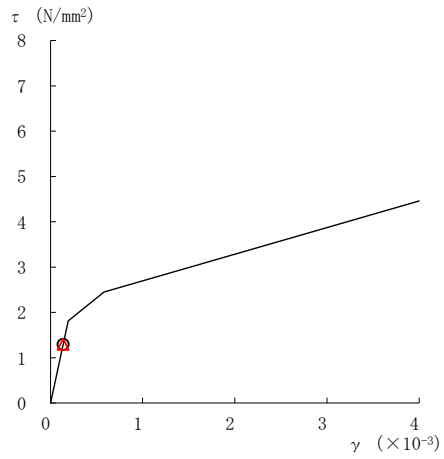
要素番号 (24)



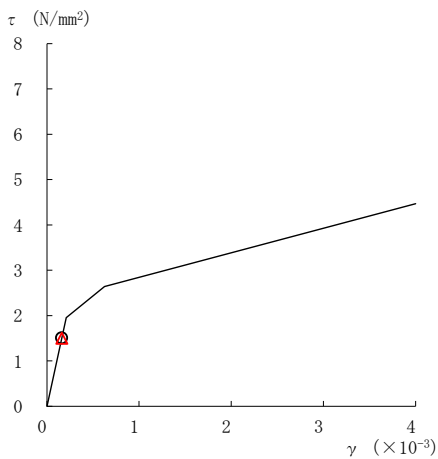
要素番号 (25)



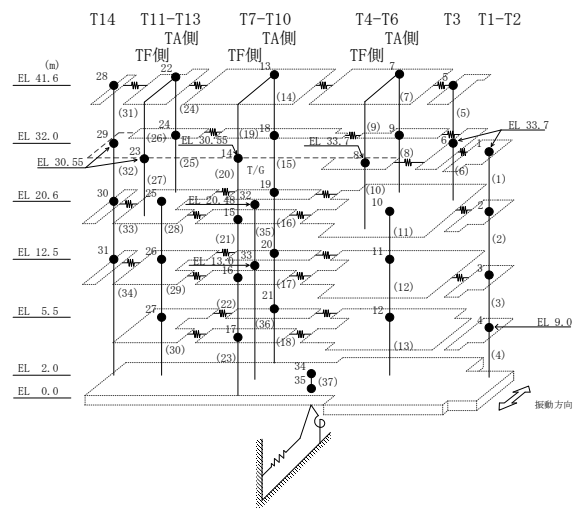
要素番号 (28)



要素番号 (29)



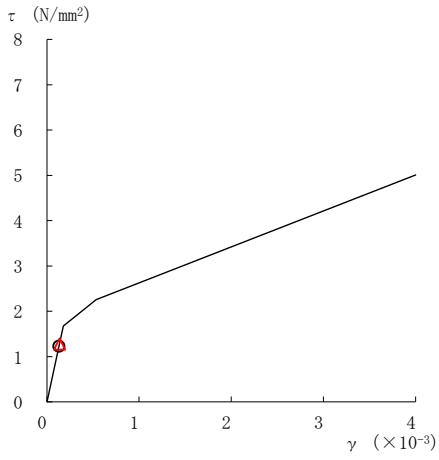
要素番号 (30)



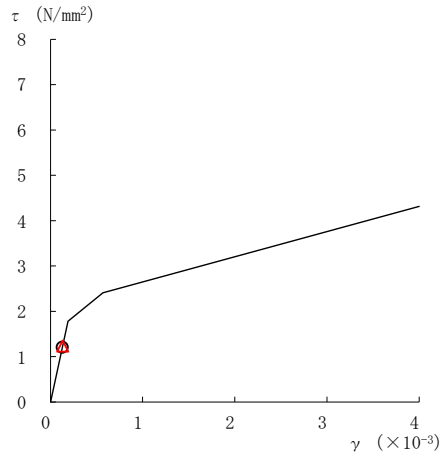
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-219(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

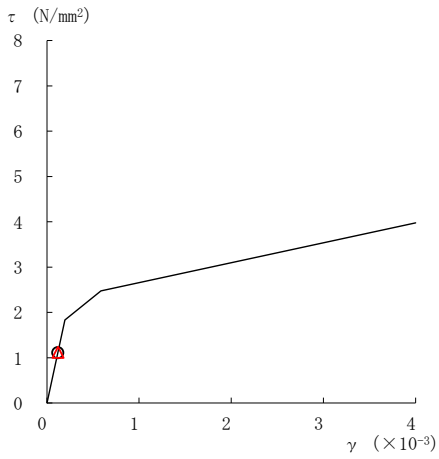
○ ケース 1 △ ケース 4



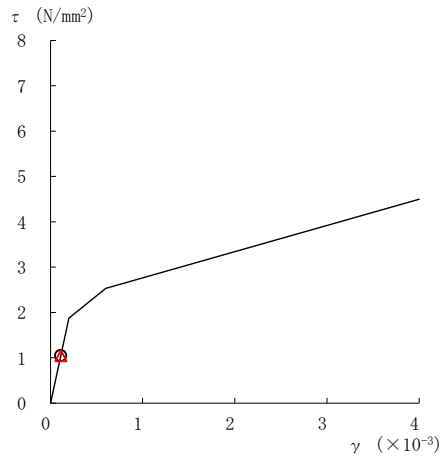
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

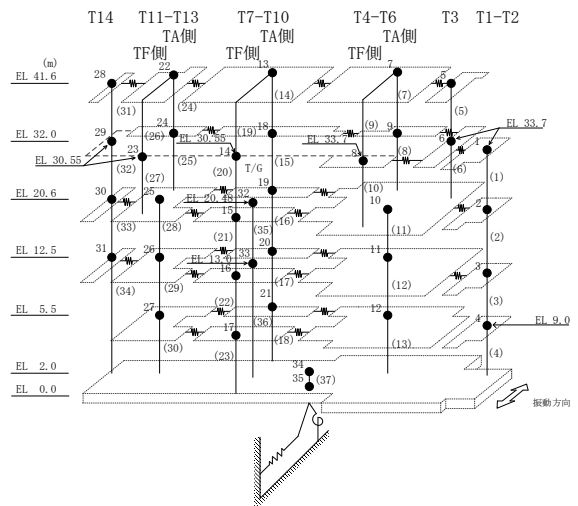
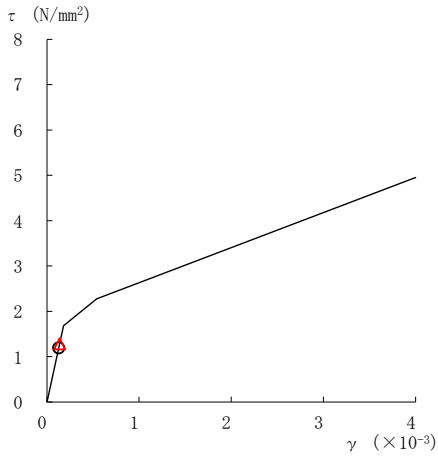
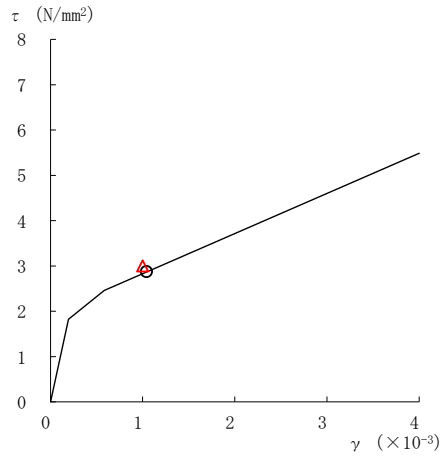


図 2-219(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW, NS$ 方向)

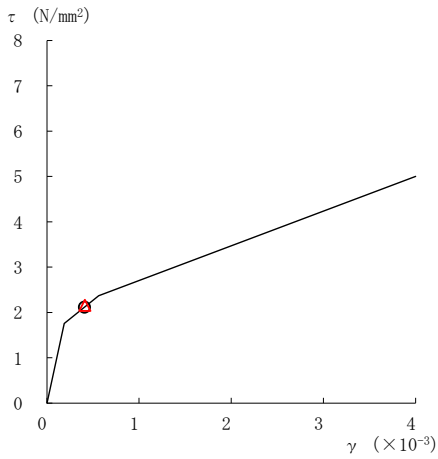
○ ケース 1 △ ケース 4



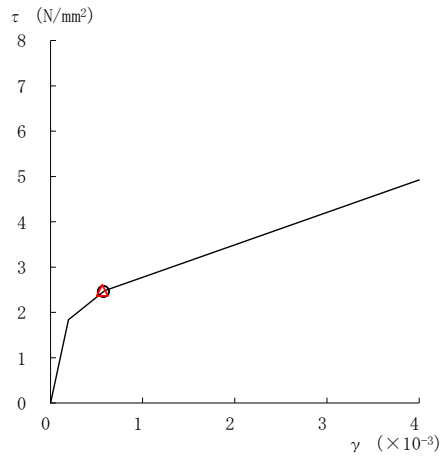
要素番号 (1)



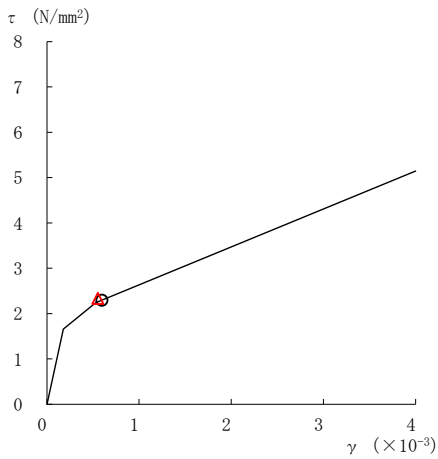
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

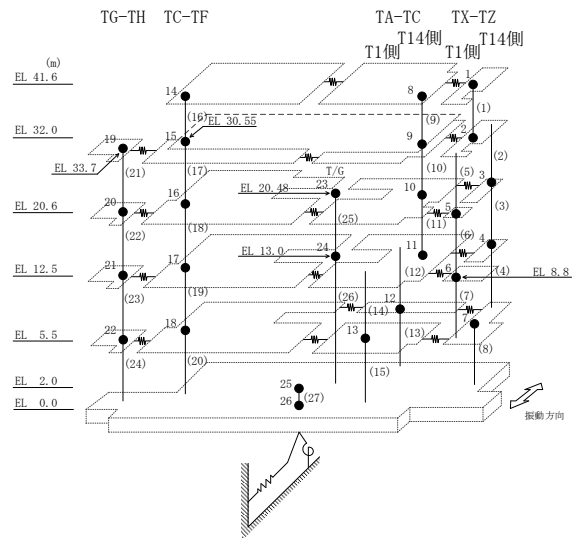
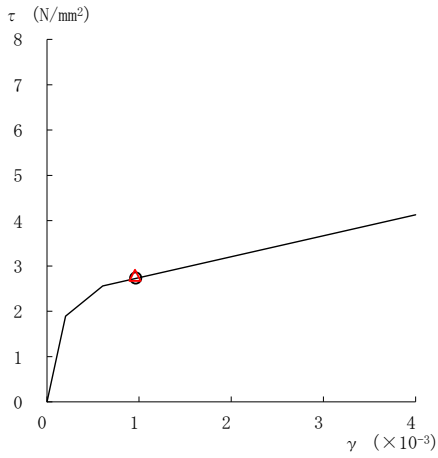
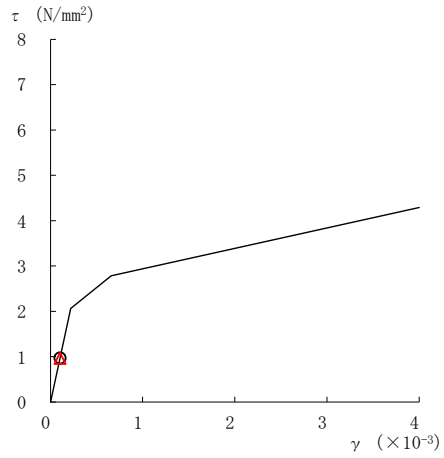


図 2-220(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-D, EW 方向)

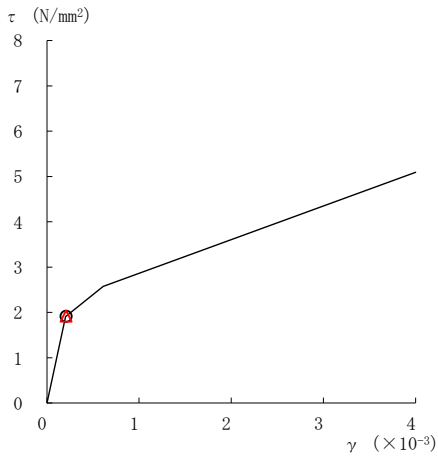
○ ケース 1 △ ケース 4



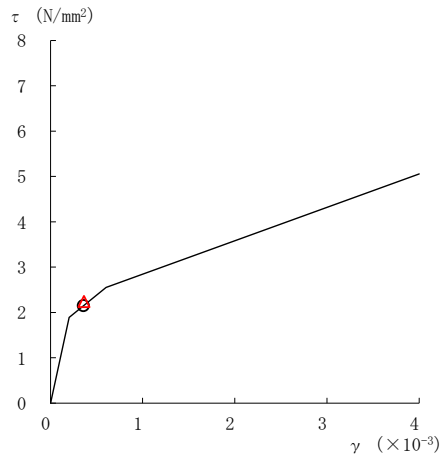
要素番号 (6)



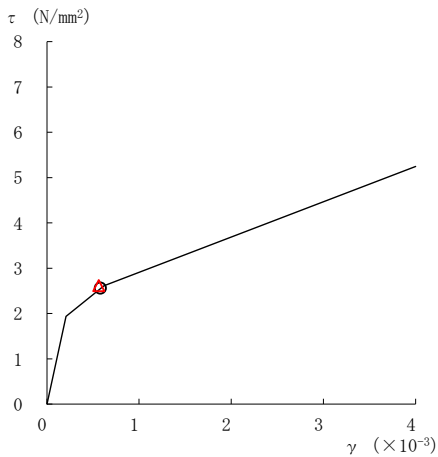
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

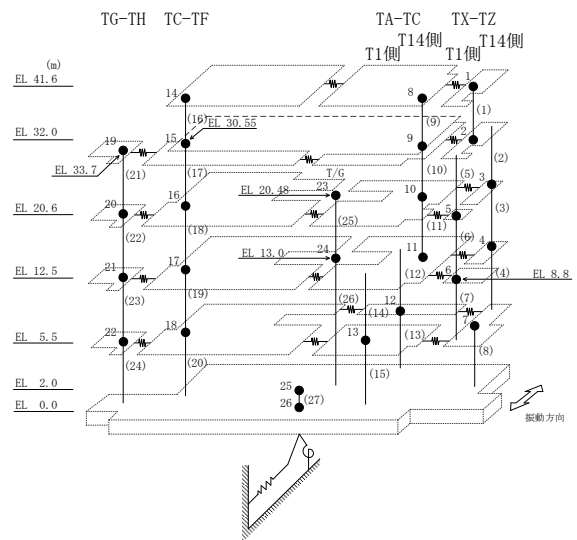
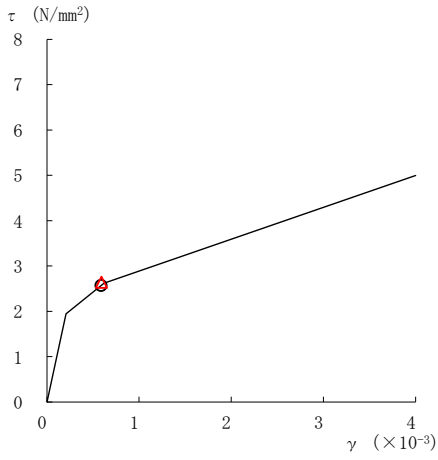
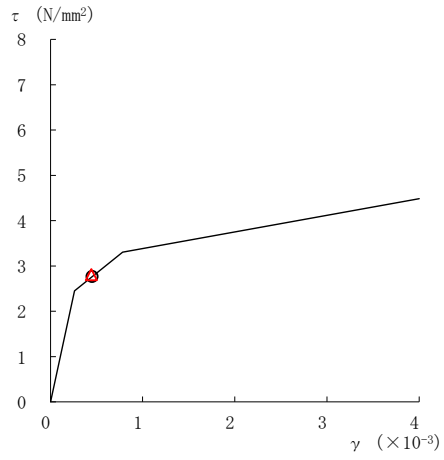


図 2-220(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, EW 方向)

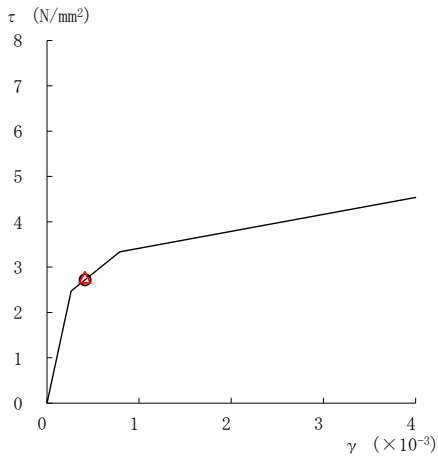
○ ケース 1 △ ケース 4



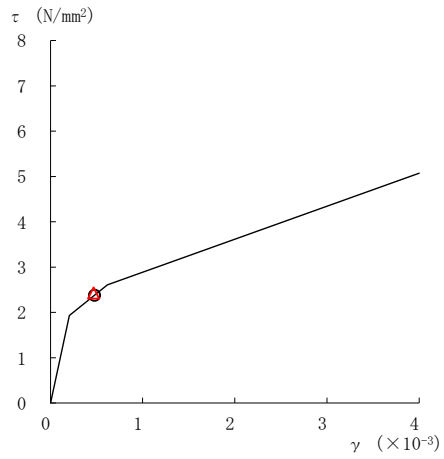
要素番号 (11)



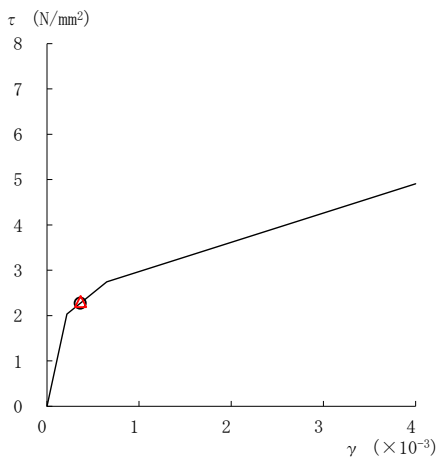
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

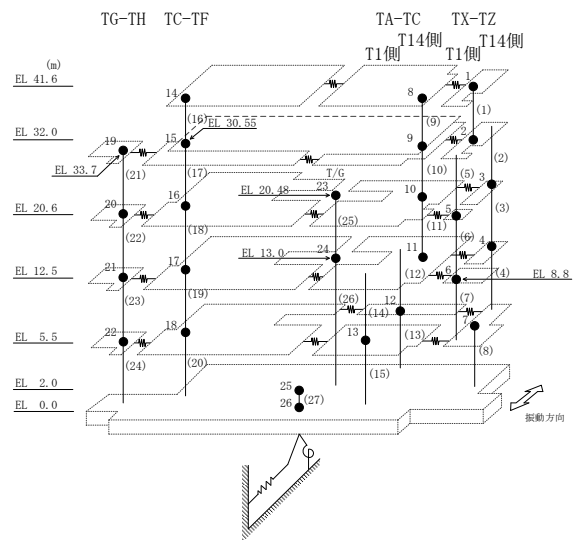
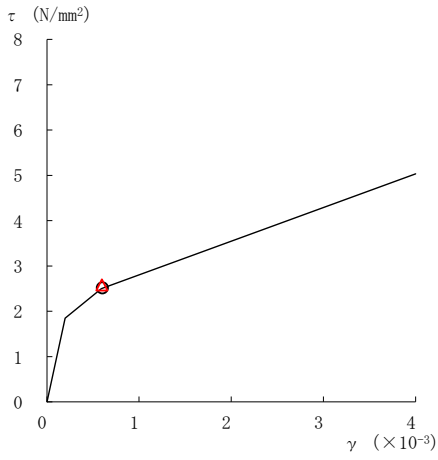
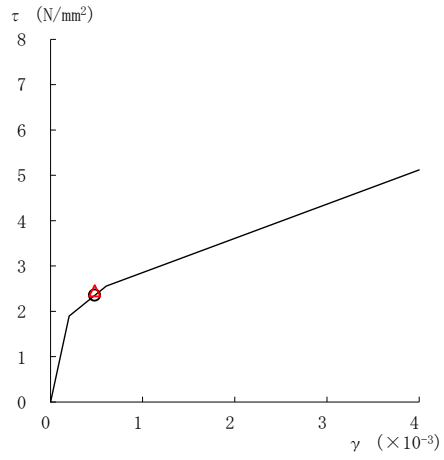


図 2-220(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-D, EW 方向)

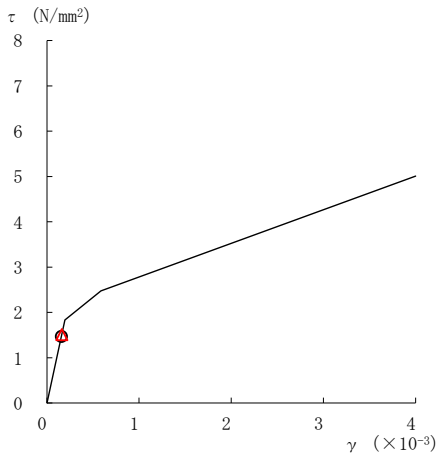
○ ケース 1 △ ケース 4



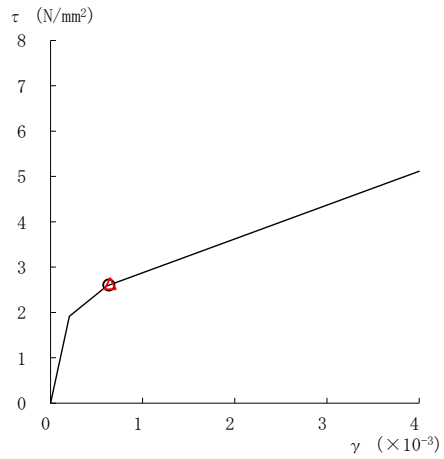
要素番号 (16)



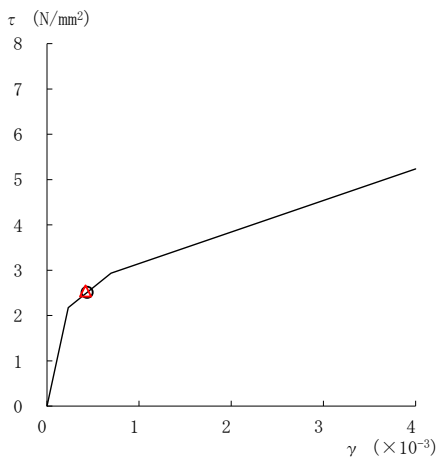
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

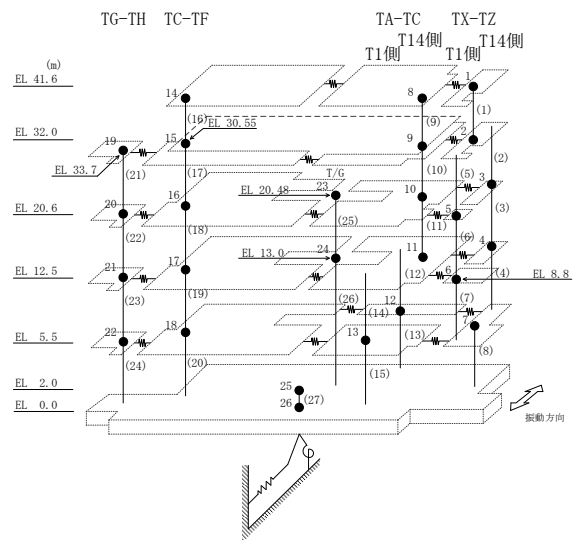
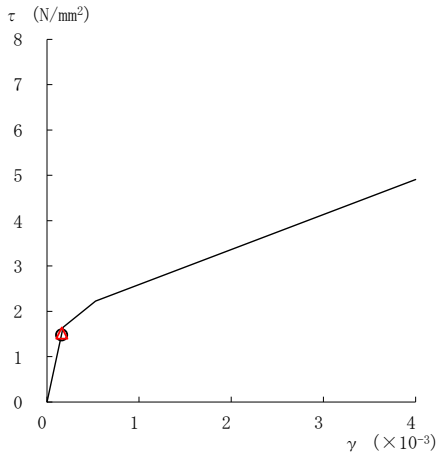
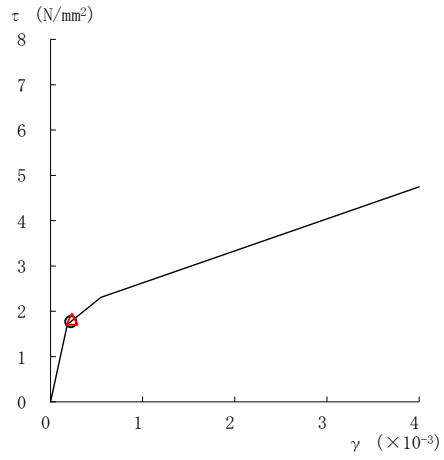


図 2-220(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, EW 方向)

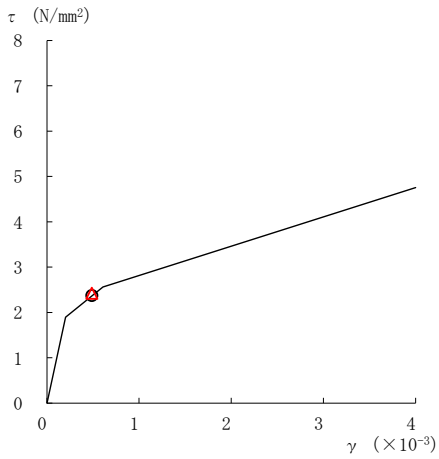
○ ケース 1 △ ケース 4



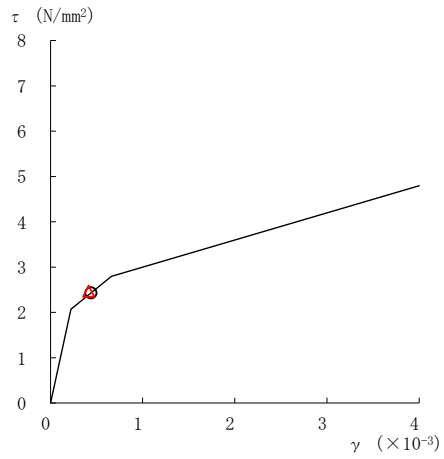
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

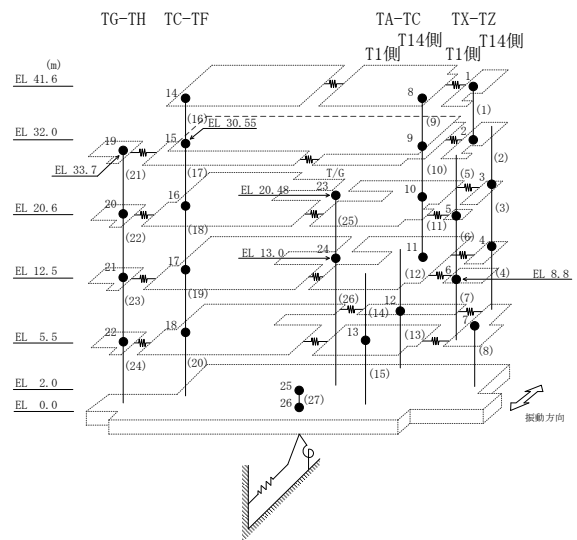
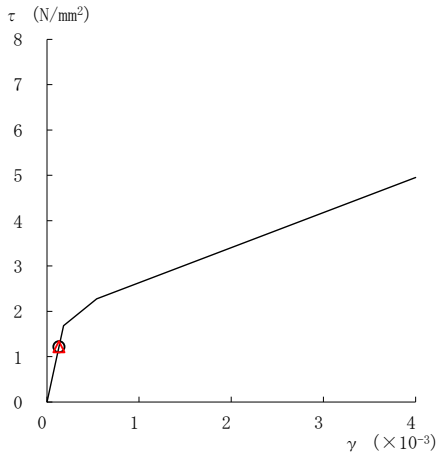
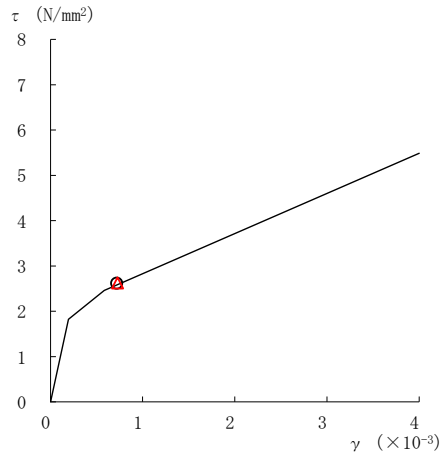


図 2-220(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - D$, EW 方向)

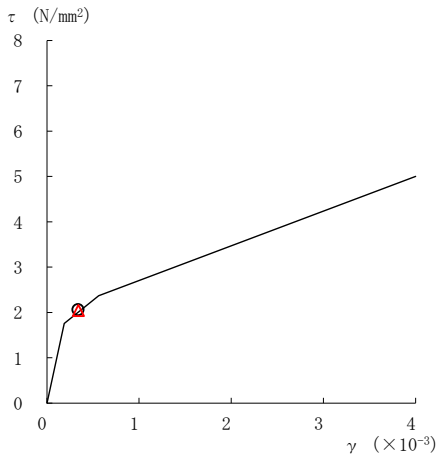
○ ケース 1 △ ケース 4



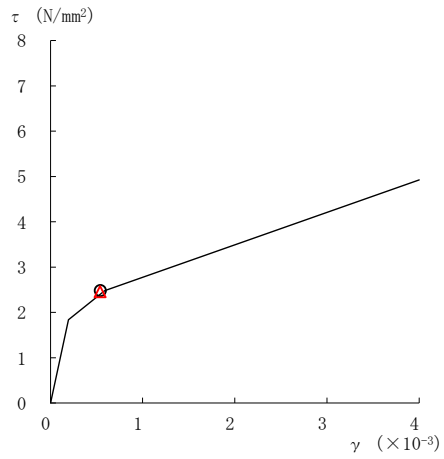
要素番号 (1)



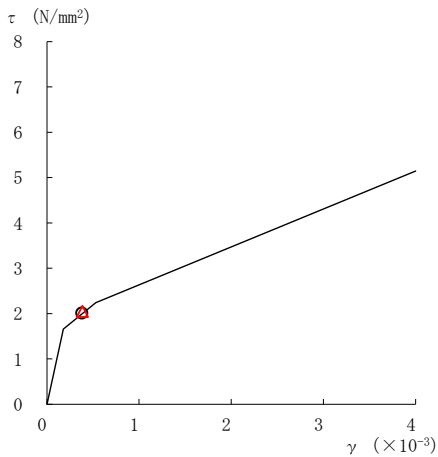
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

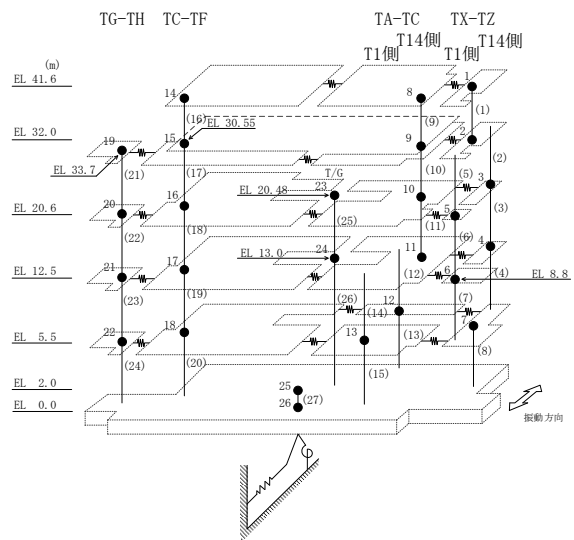
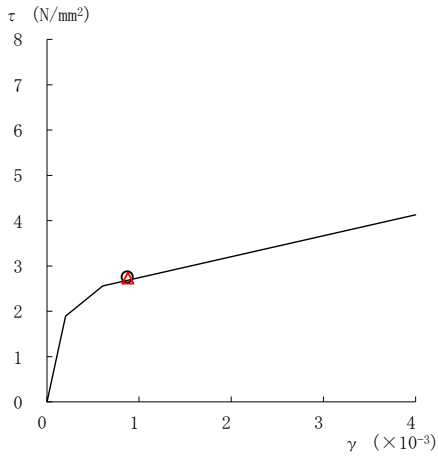
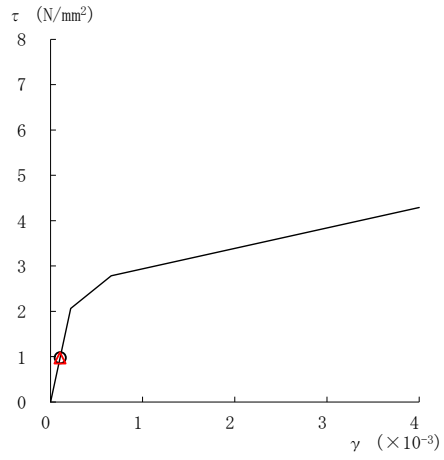


図 2-221(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

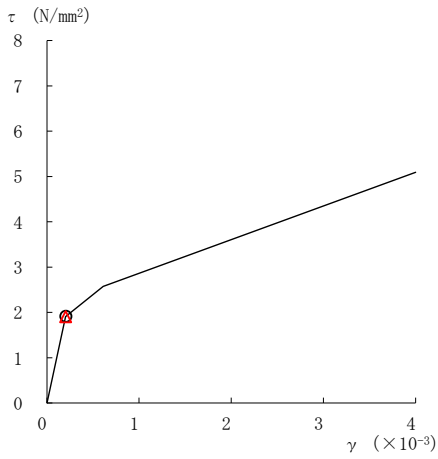
○ ケース 1 △ ケース 4



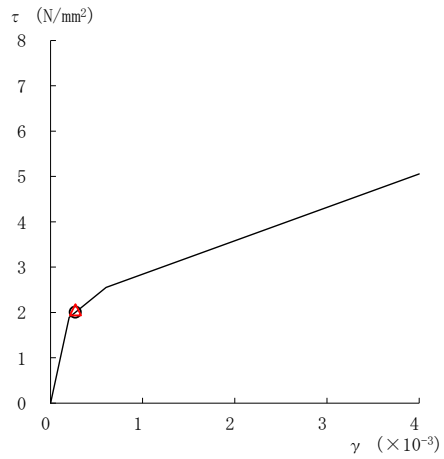
要素番号 (6)



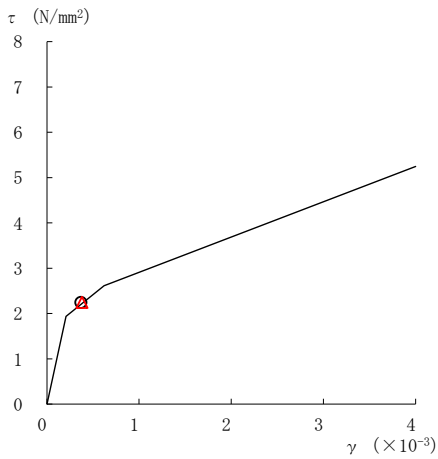
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

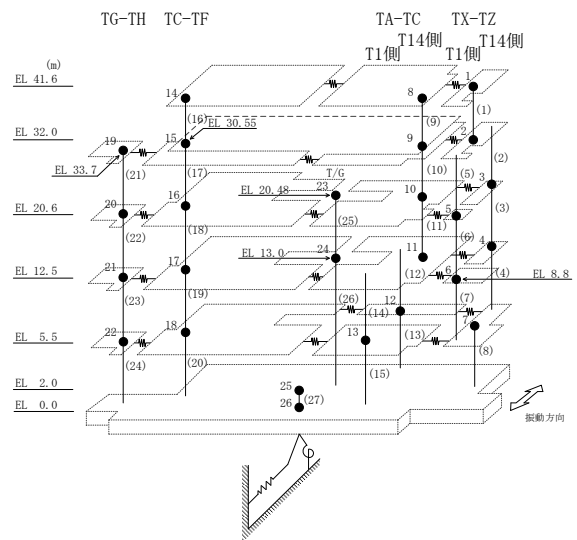
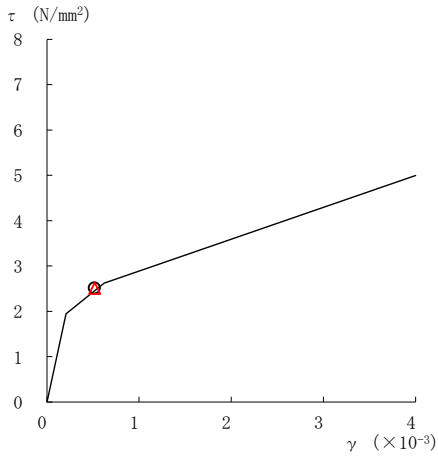
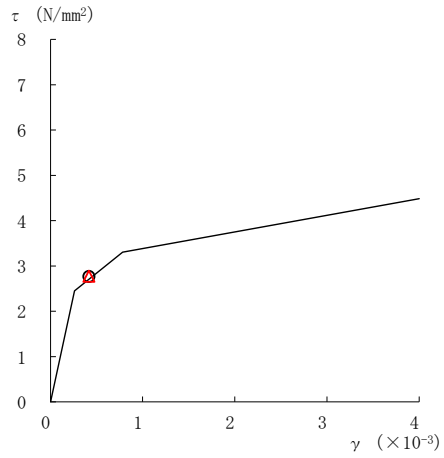


図 2-221 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

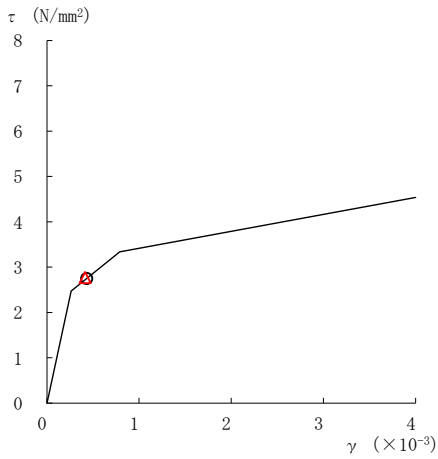
○ ケース 1 △ ケース 4



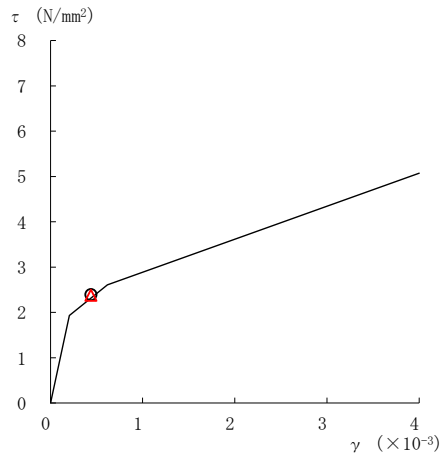
要素番号 (11)



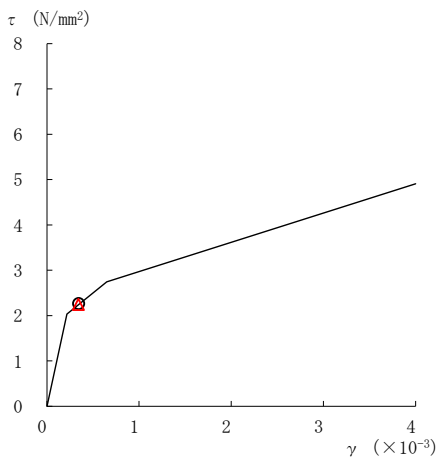
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

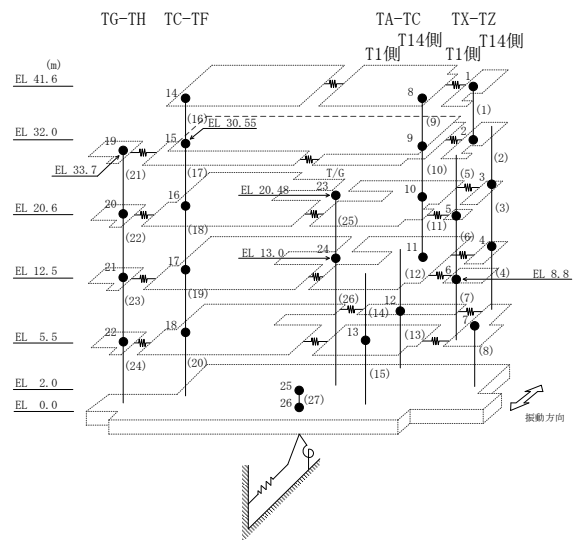
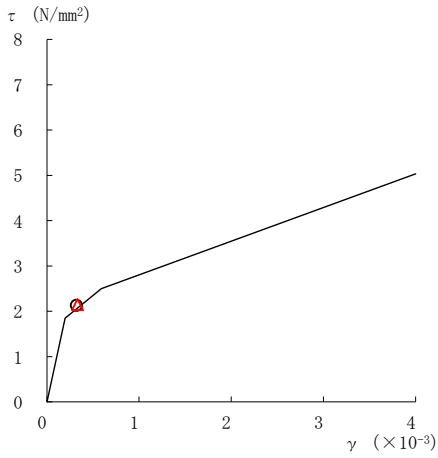
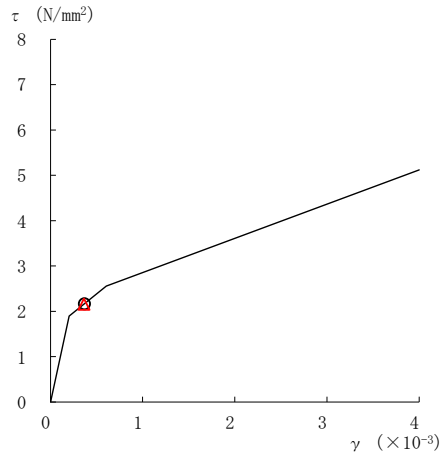


図 2-221 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 1, EW 方向)

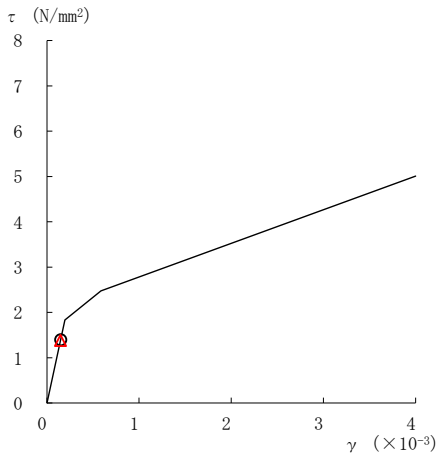
○ ケース 1 △ ケース 4



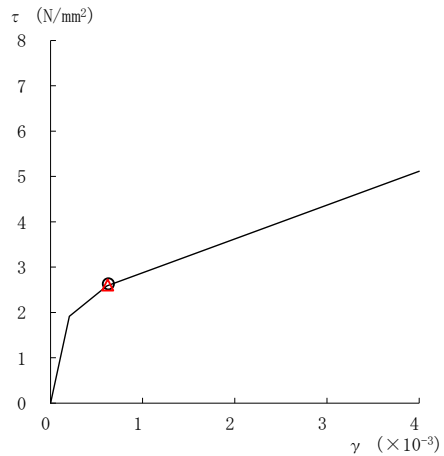
要素番号 (16)



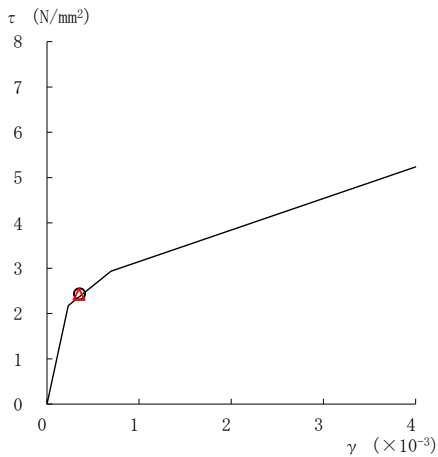
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

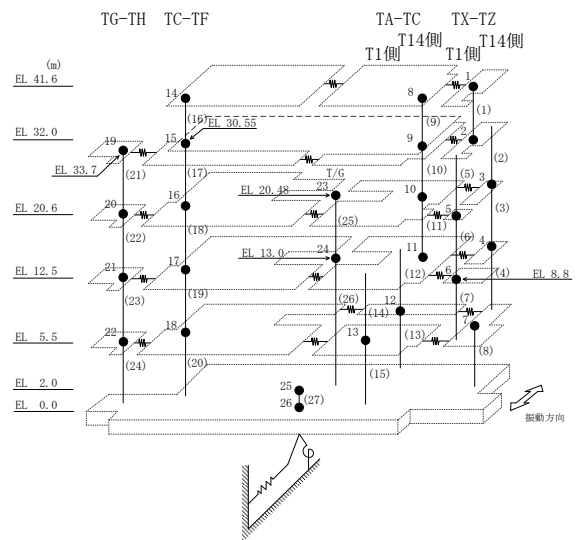
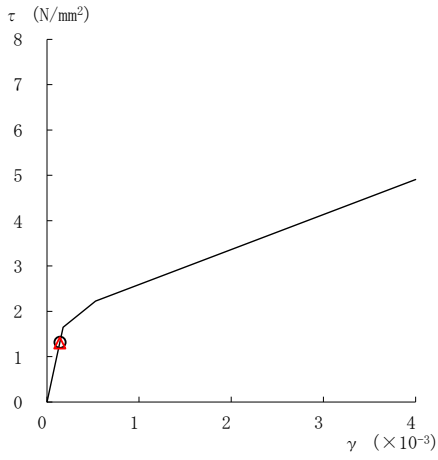
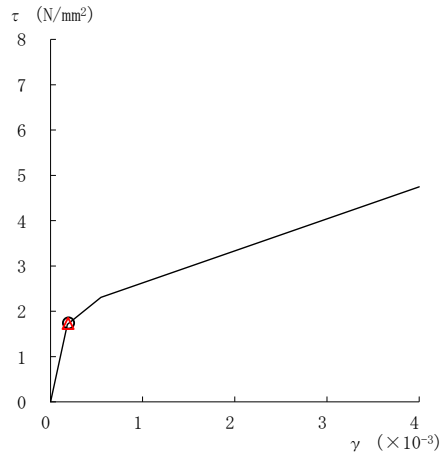


図 2-221(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

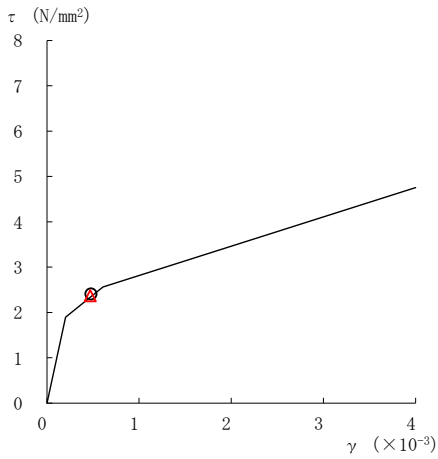
○ ケース 1 △ ケース 4



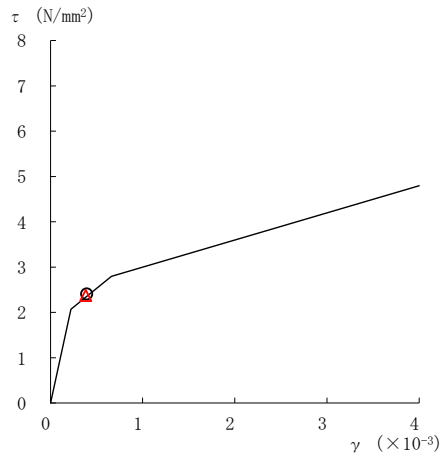
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

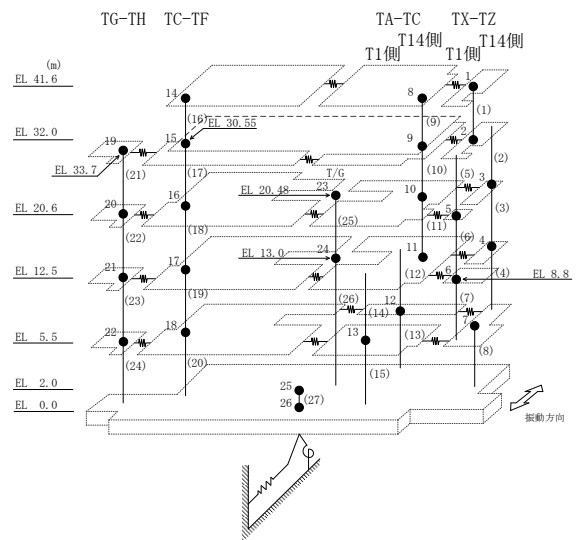
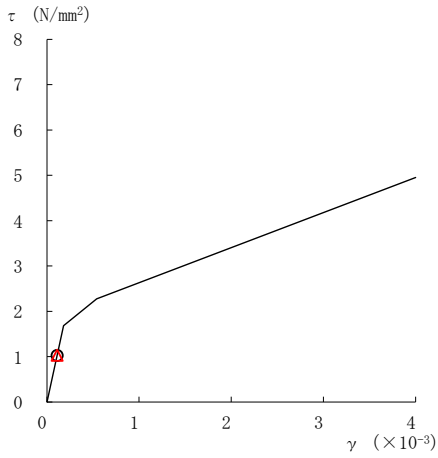
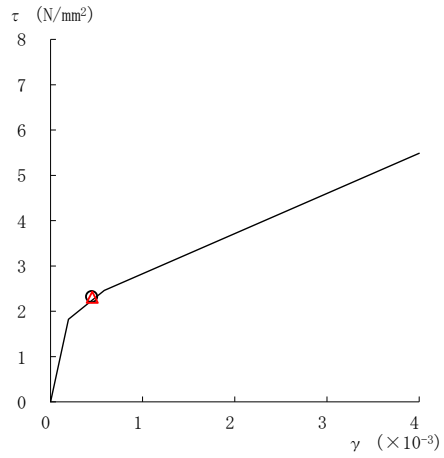


図 2-221(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 1, EW 方向)

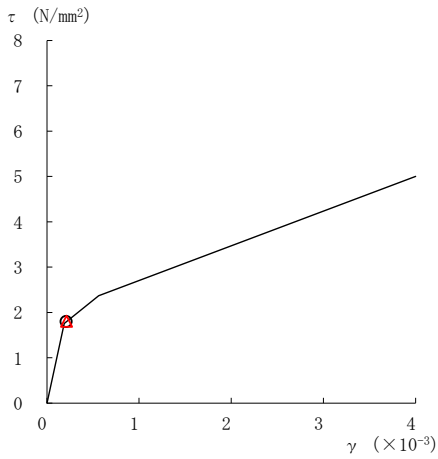
○ ケース 1 △ ケース 4



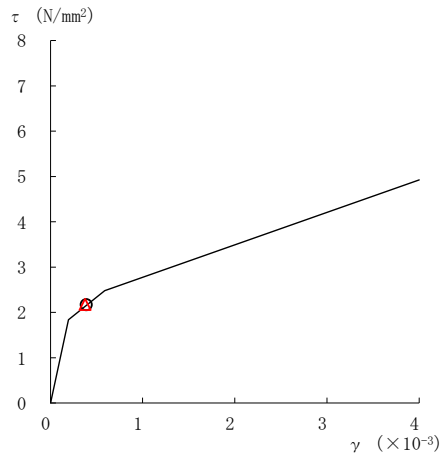
要素番号 (1)



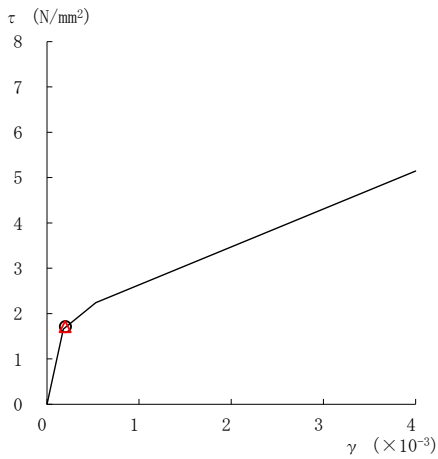
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

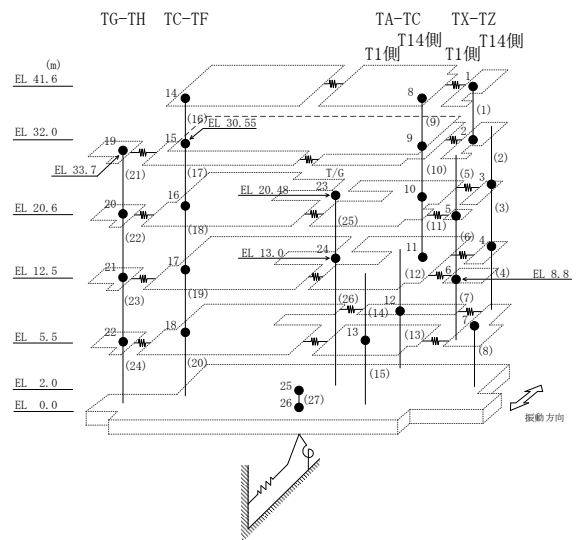
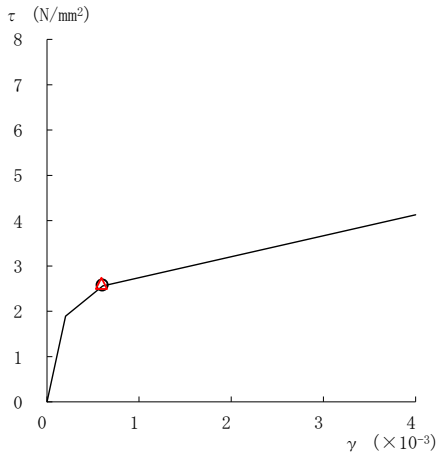
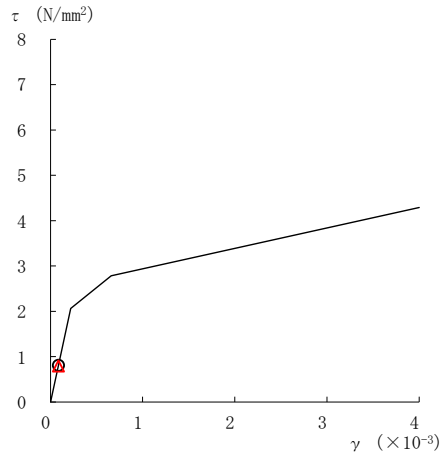


図 2-222(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, EW 方向)

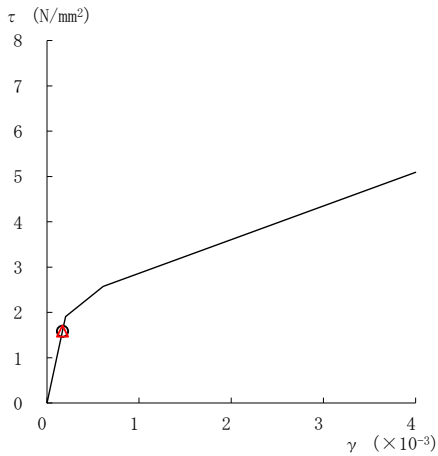
○ ケース 1 △ ケース 4



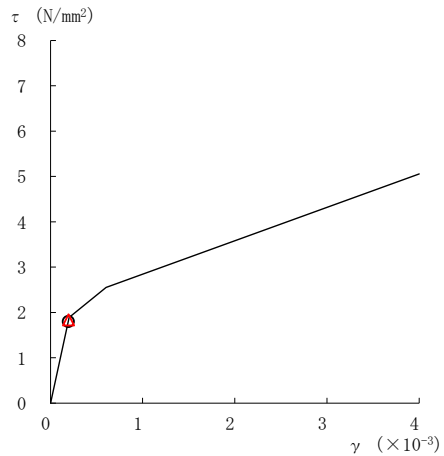
要素番号 (6)



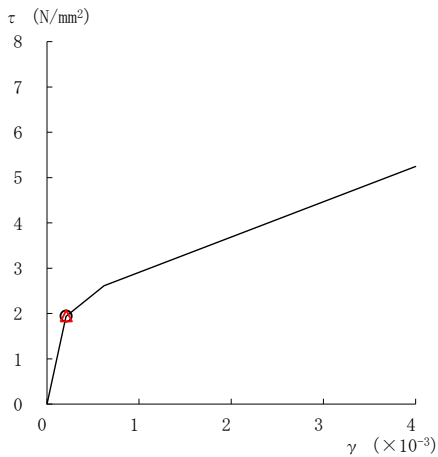
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

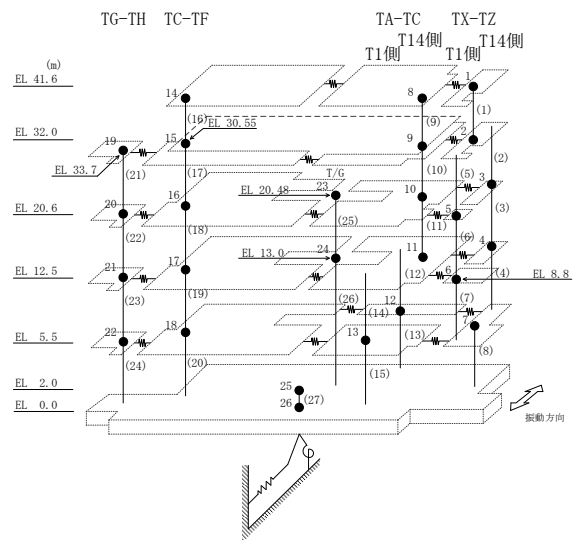
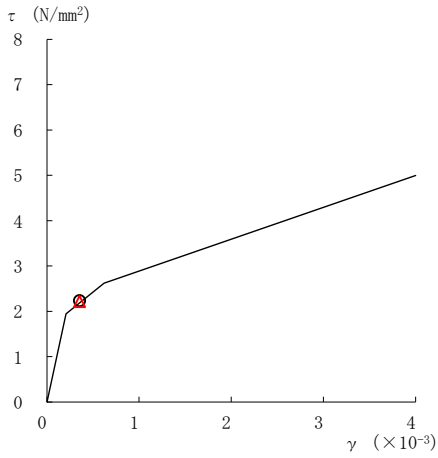
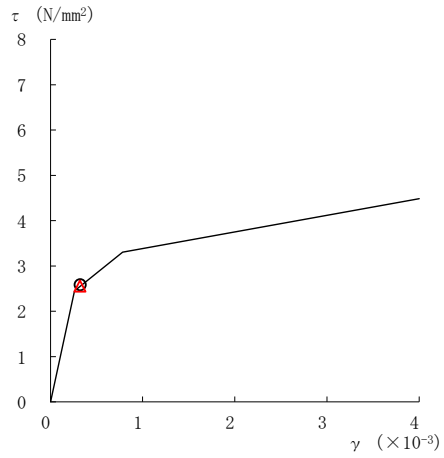


図 2-222 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - F 2, EW 方向)

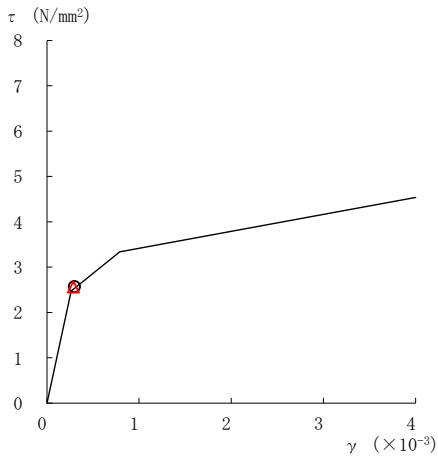
○ ケース 1 △ ケース 4



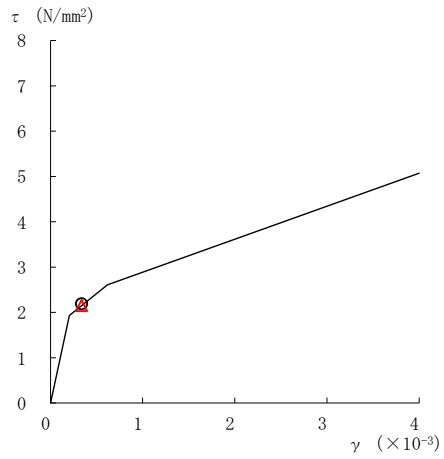
要素番号 (11)



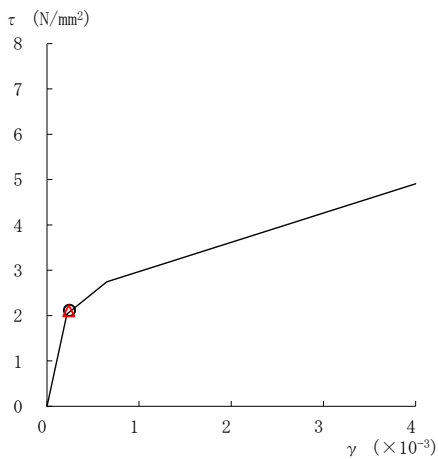
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

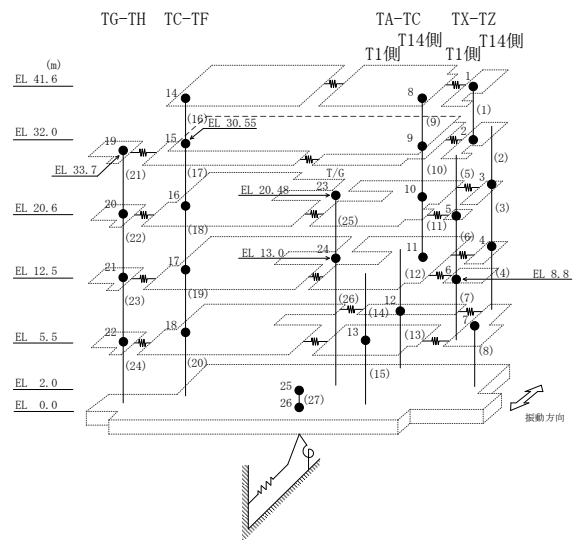
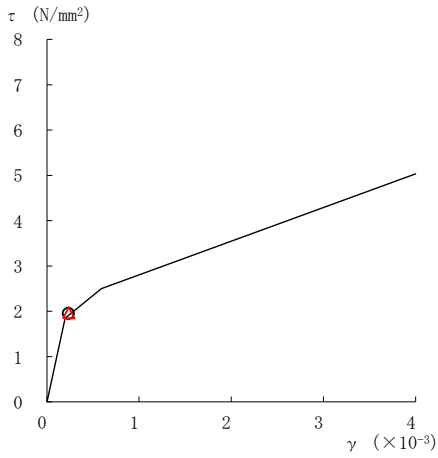
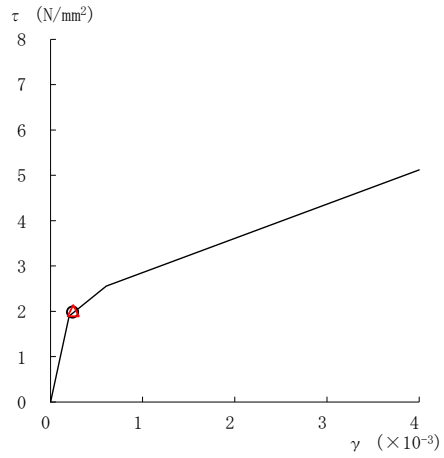


図 2-222(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, EW 方向)

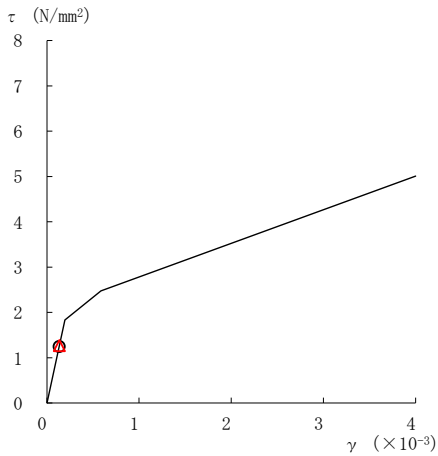
○ ケース 1 △ ケース 4



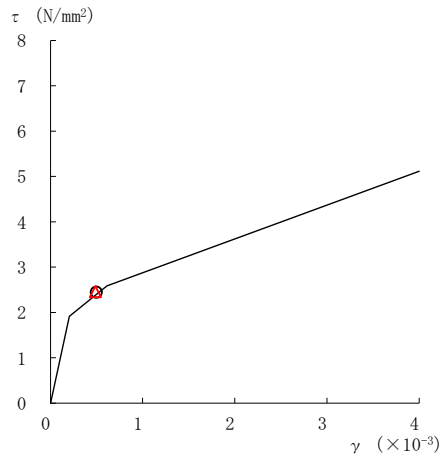
要素番号 (16)



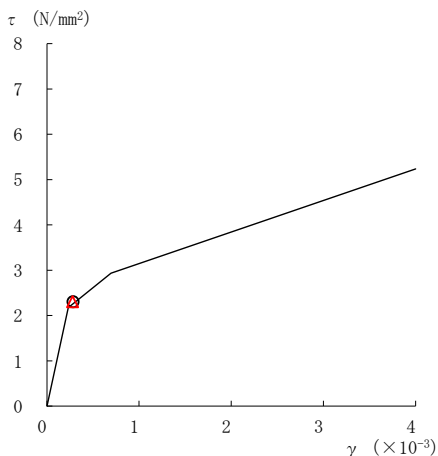
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

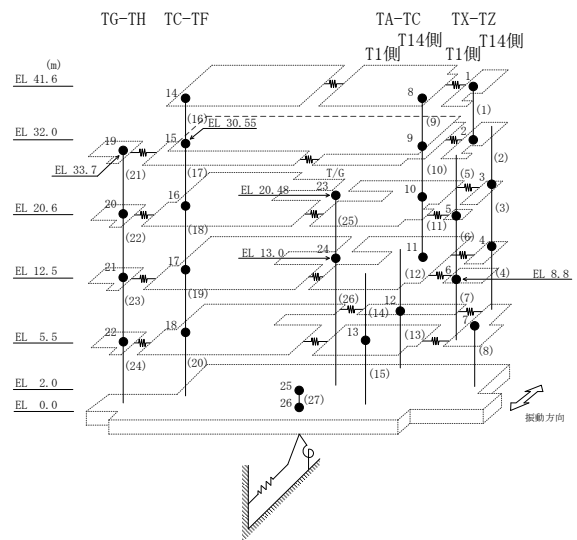
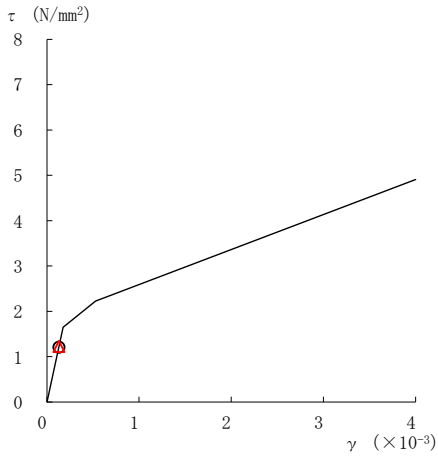
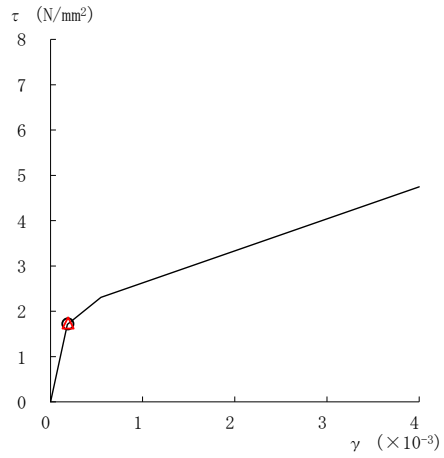


図 2-222(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, EW 方向)

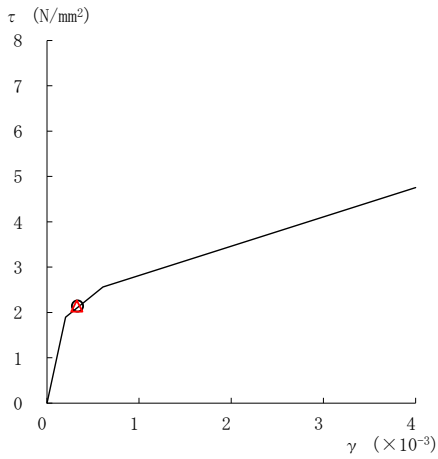
○ ケース 1 △ ケース 4



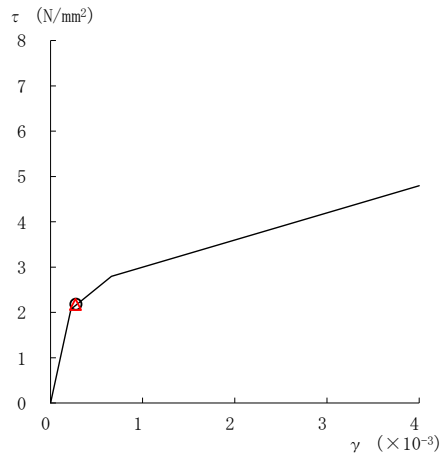
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

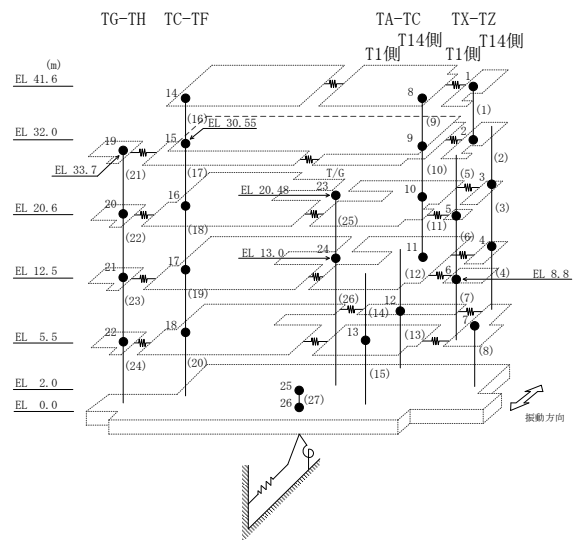
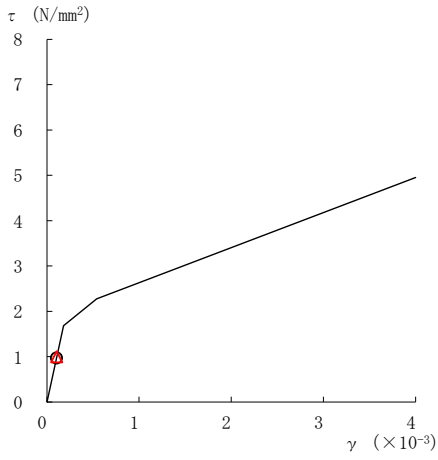
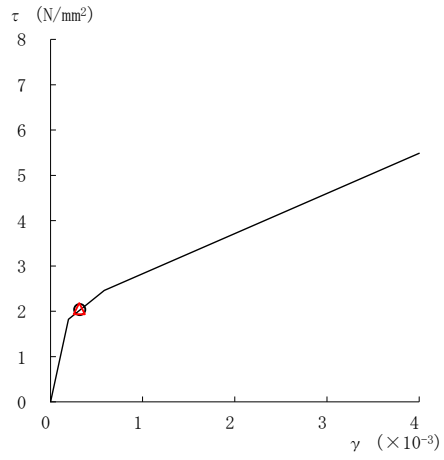


図 2-222(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-F 2, EW 方向)

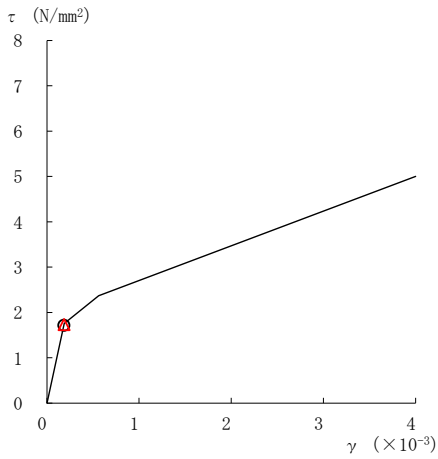
○ ケース 1 △ ケース 4



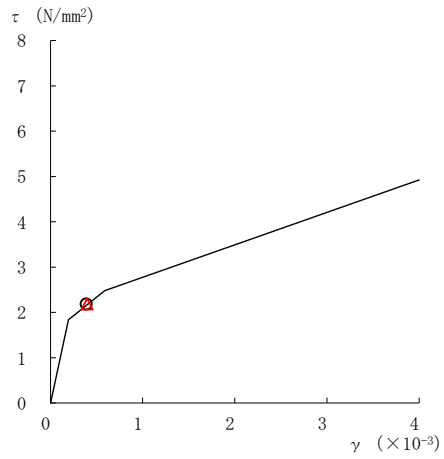
要素番号 (1)



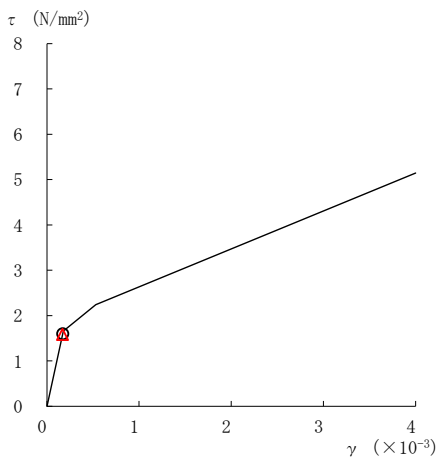
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

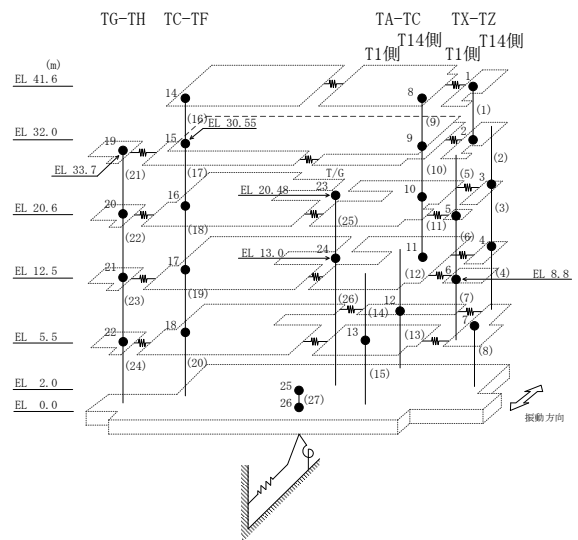
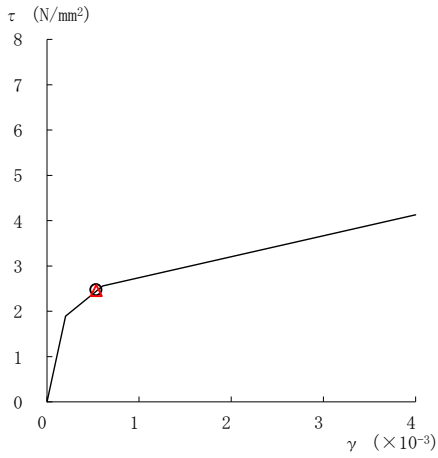
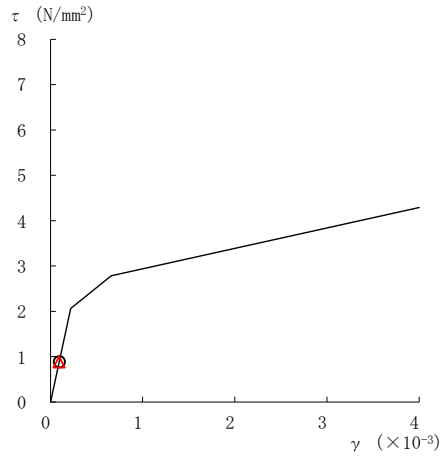


図 2-223(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

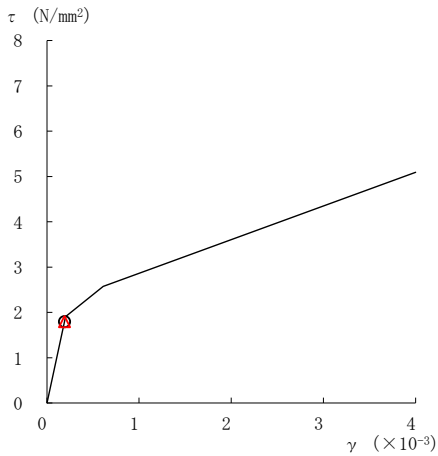
○ ケース 1 △ ケース 4



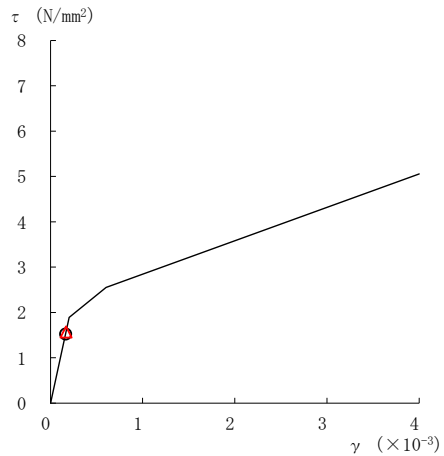
要素番号 (6)



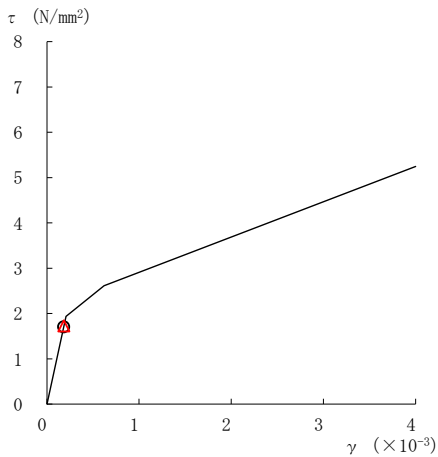
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

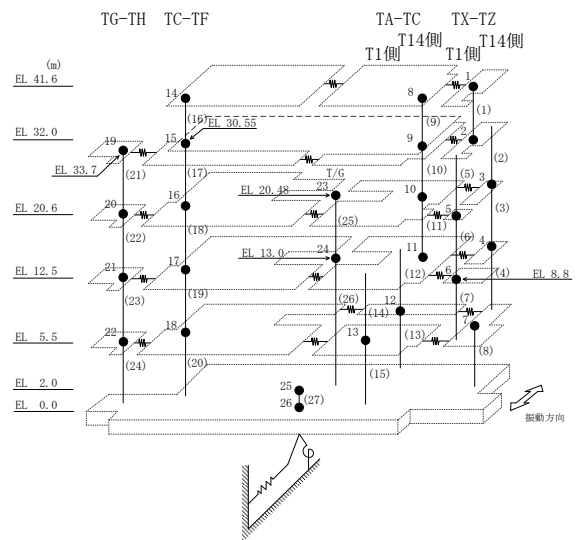
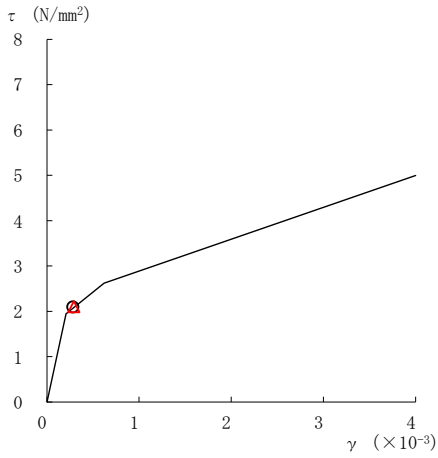
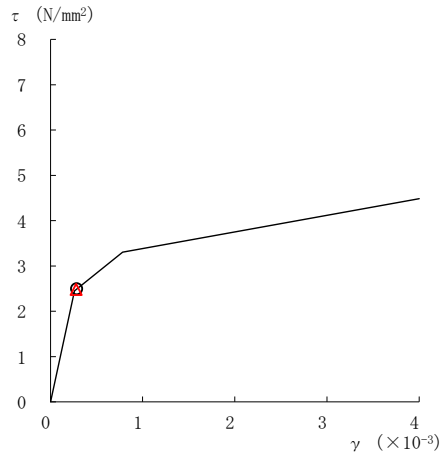


図 2-223 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

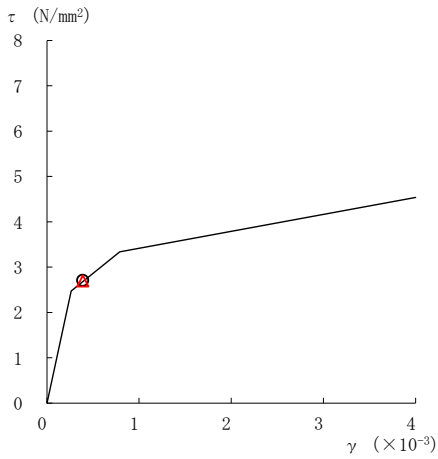
○ ケース 1 △ ケース 4



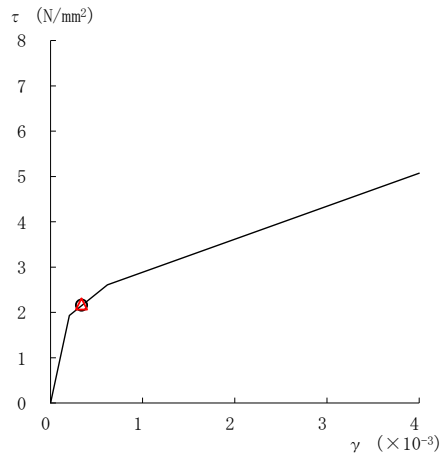
要素番号 (11)



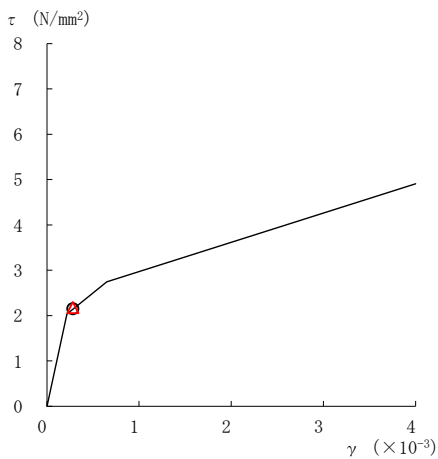
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

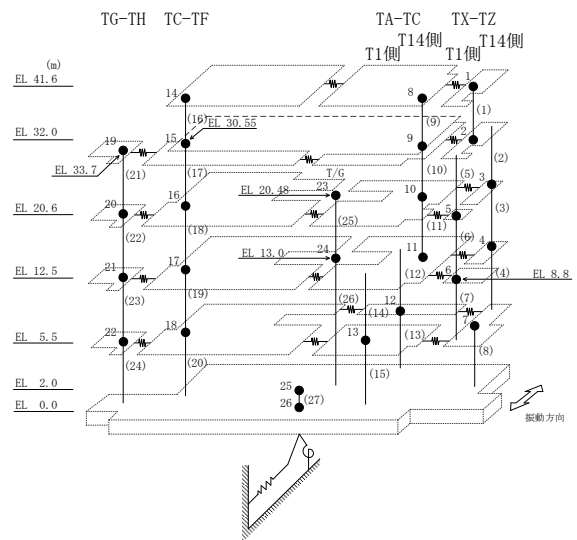
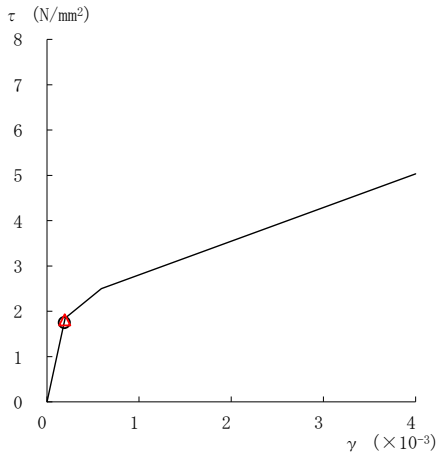
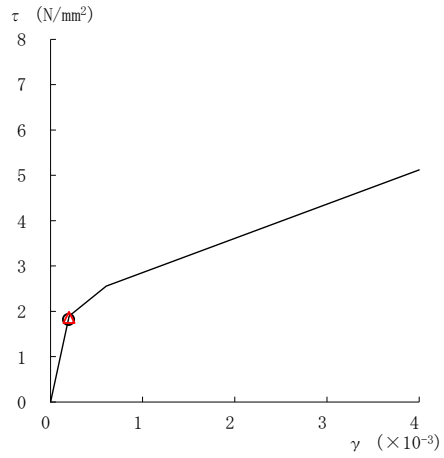


図 2-223(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

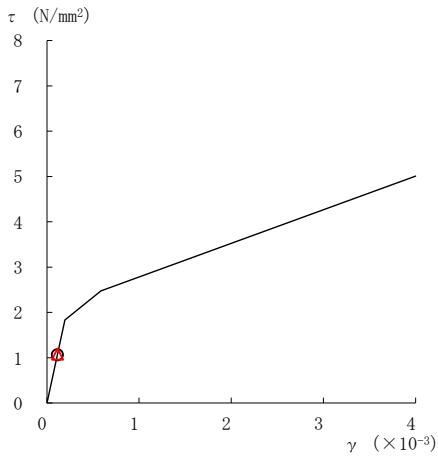
○ ケース 1 △ ケース 4



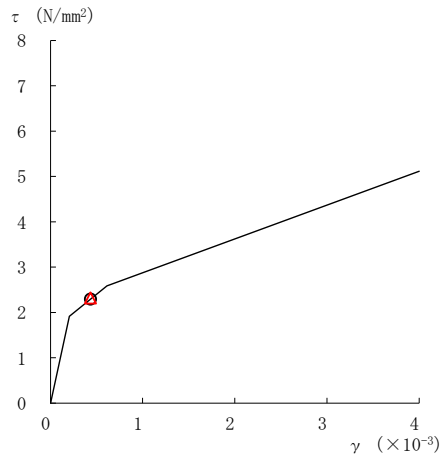
要素番号 (16)



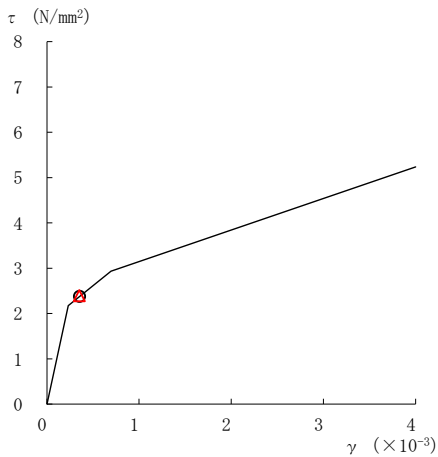
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

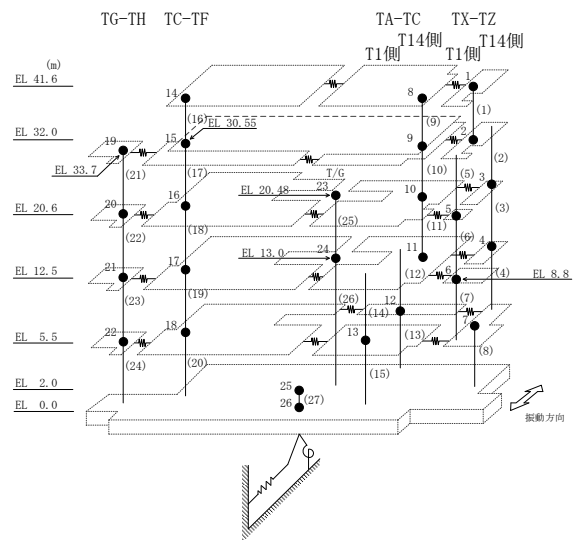
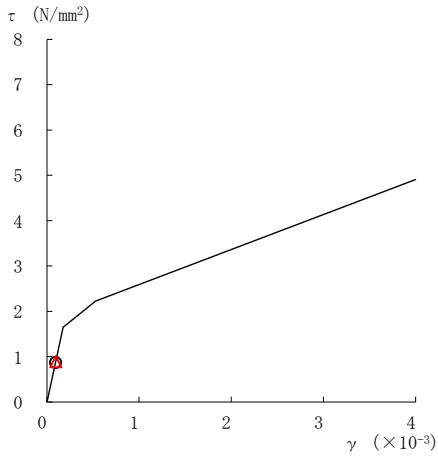
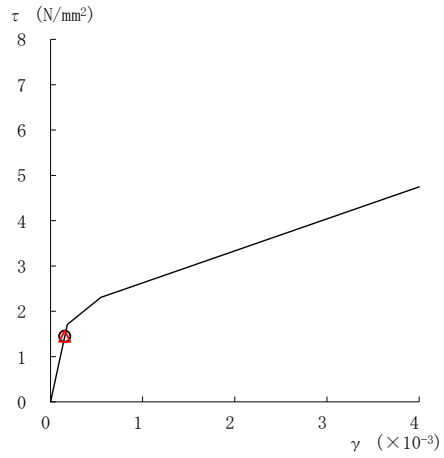


図 2-223(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

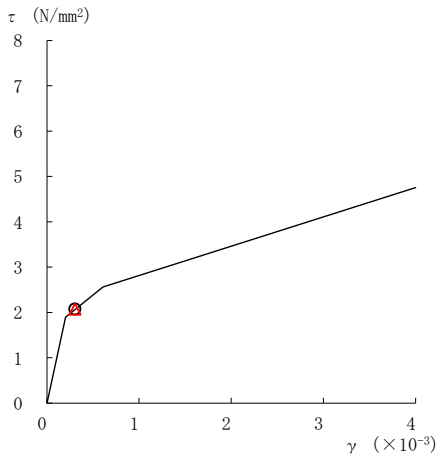
○ ケース 1 △ ケース 4



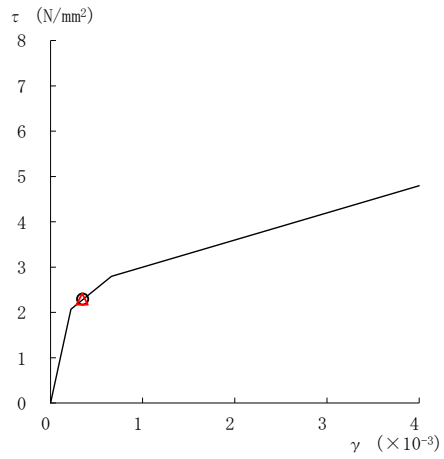
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

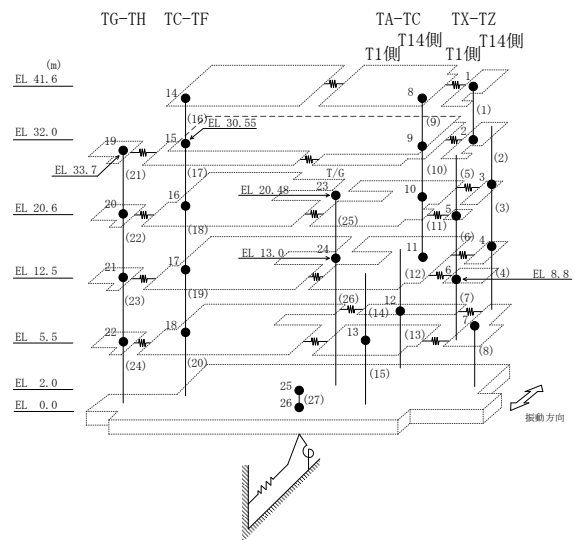
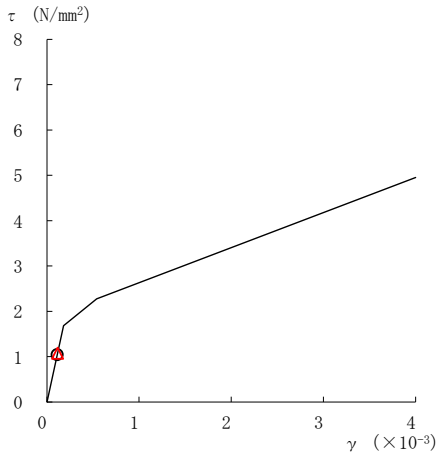
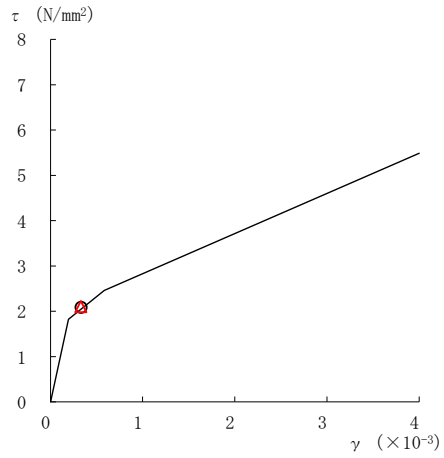


図 2-223(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S s - N 1, EW 方向)

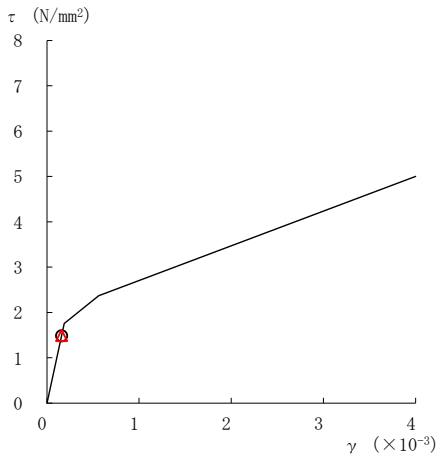
○ ケース 1 △ ケース 4



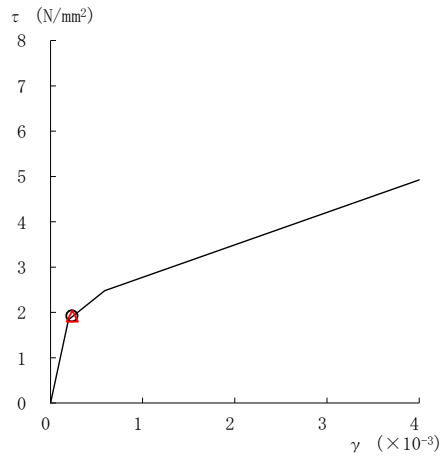
要素番号 (1)



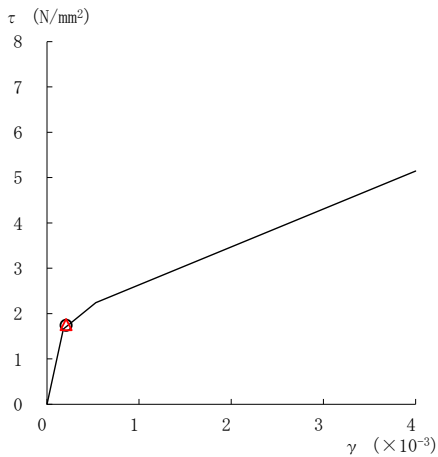
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

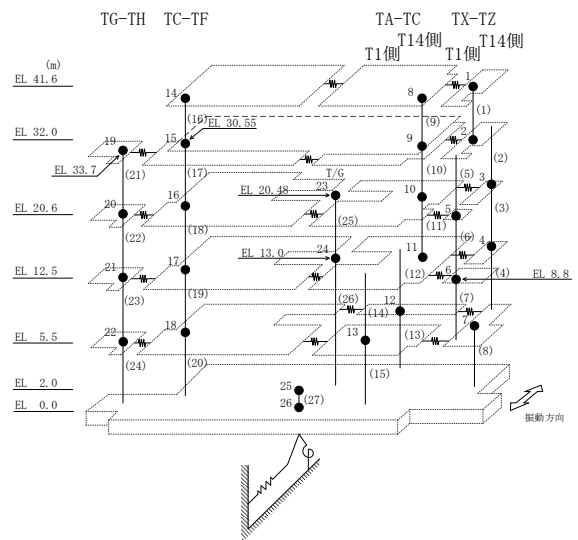
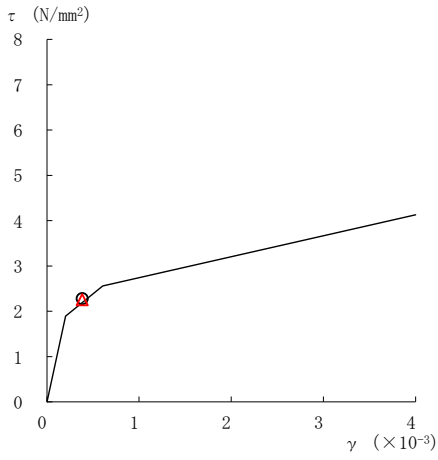
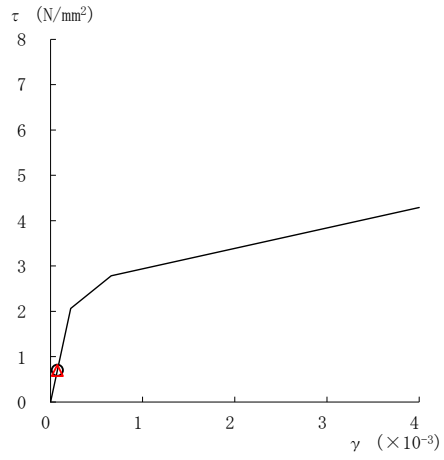


図 2-224(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

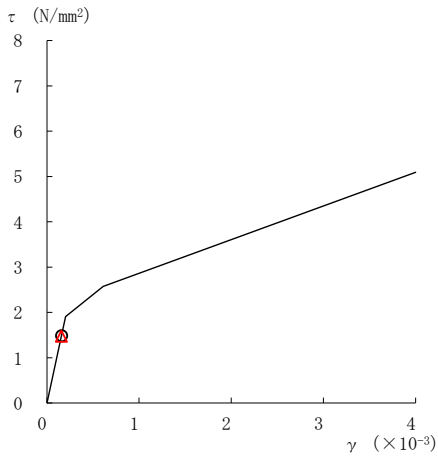
○ ケース 1 △ ケース 4



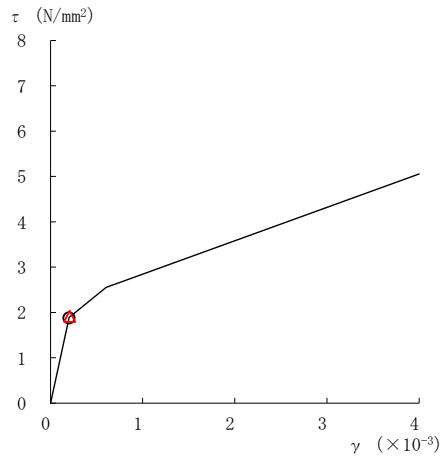
要素番号 (6)



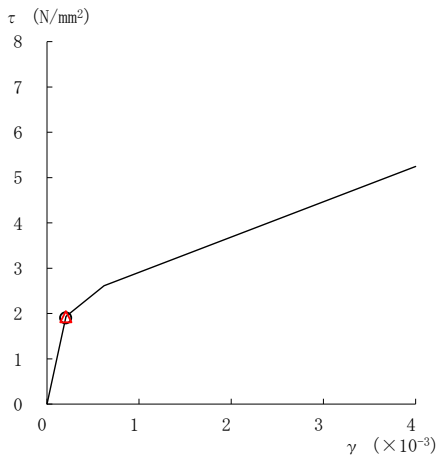
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

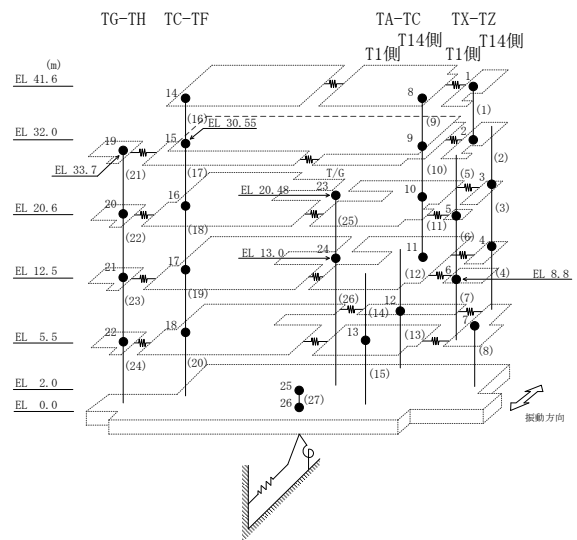
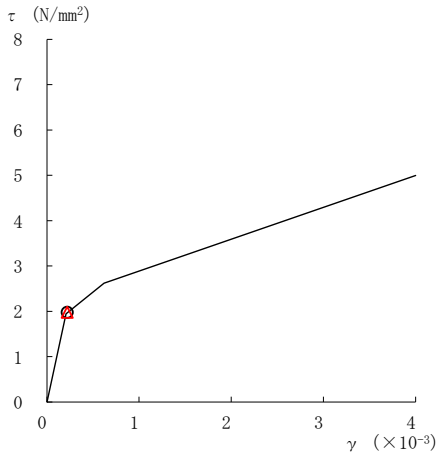
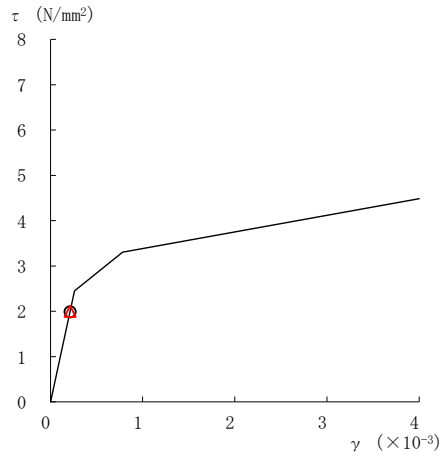


図 2-224(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

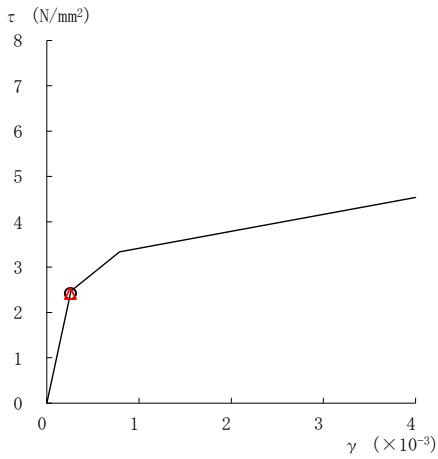
○ ケース 1 △ ケース 4



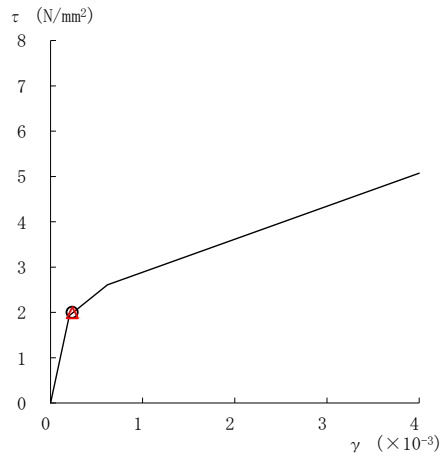
要素番号 (11)



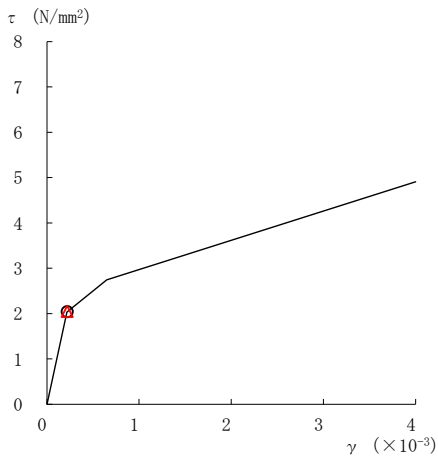
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

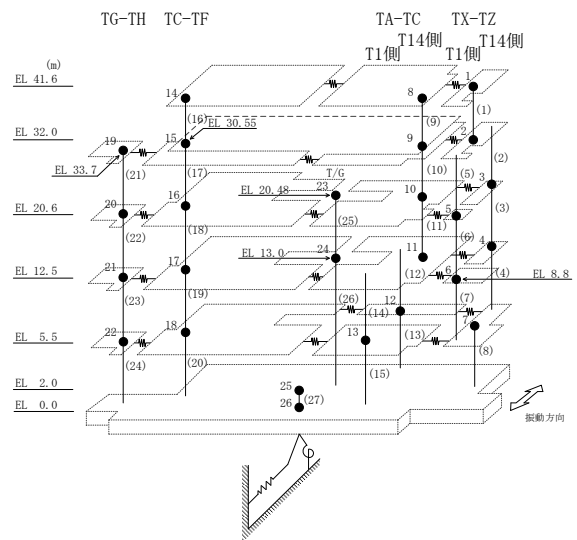
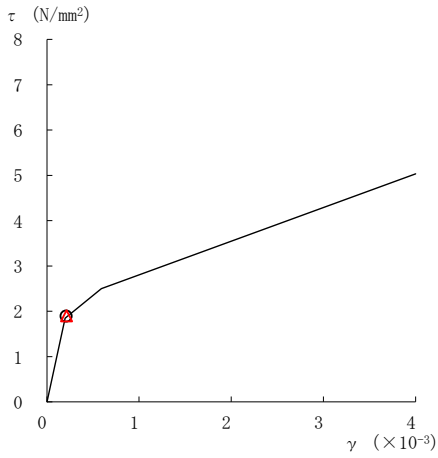
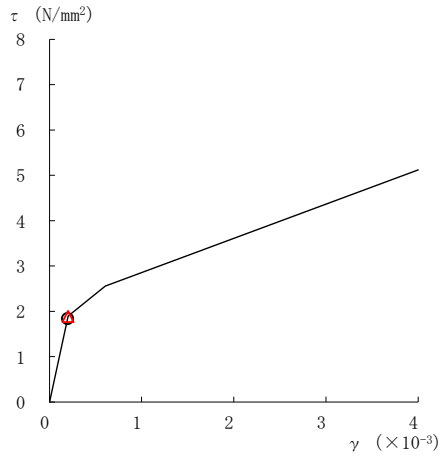


図 2-224(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

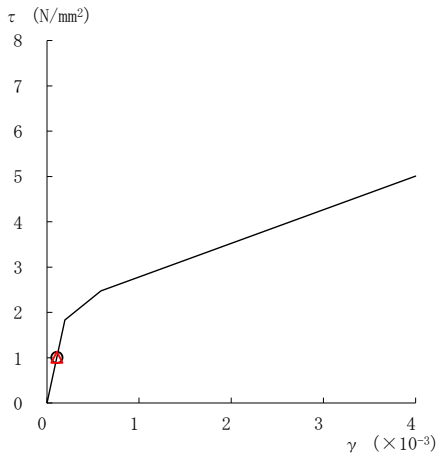
○ ケース 1 △ ケース 4



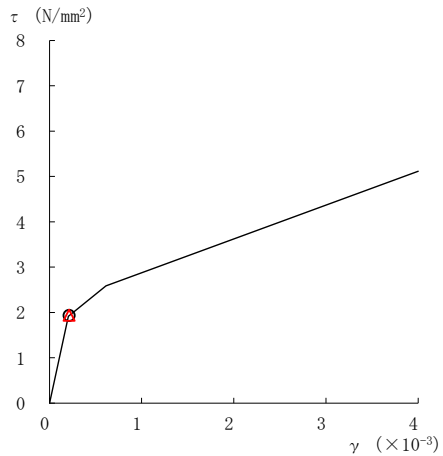
要素番号 (16)



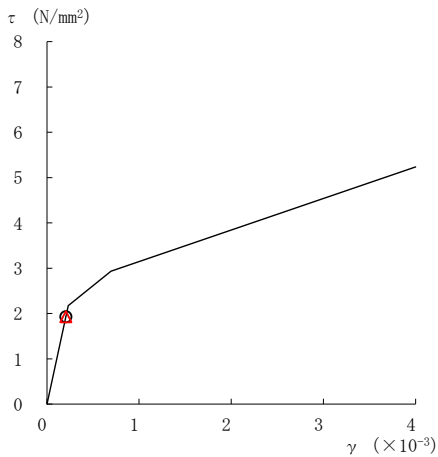
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

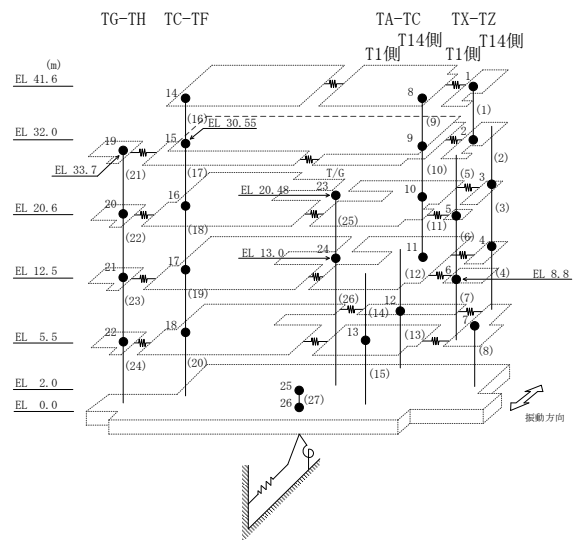
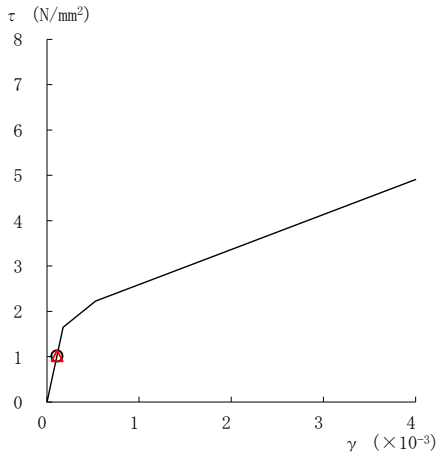
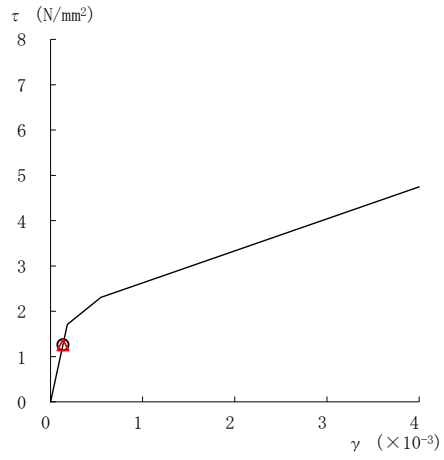


図 2-224(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

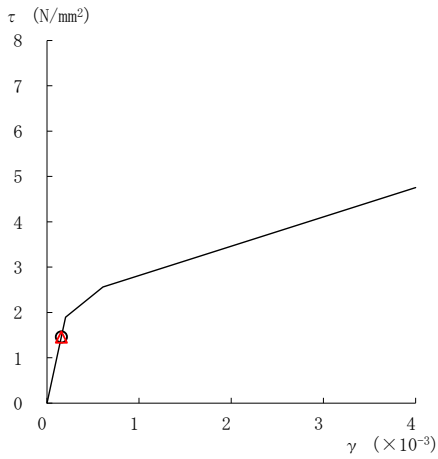
○ ケース 1 △ ケース 4



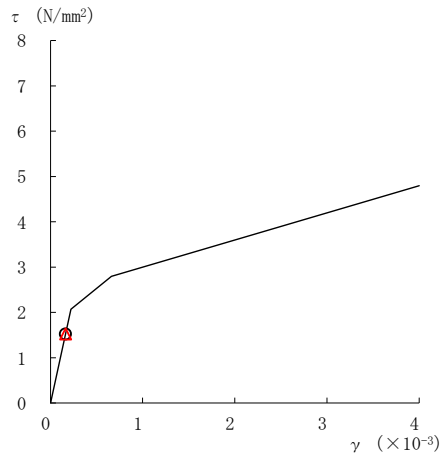
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

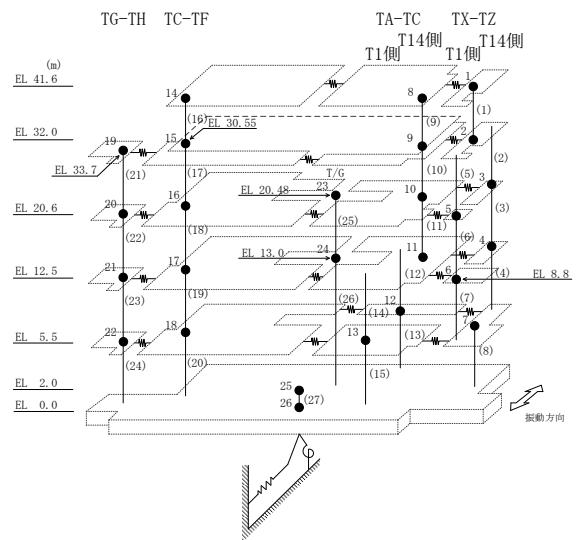
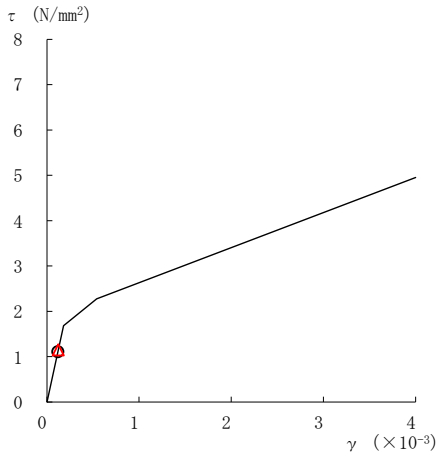
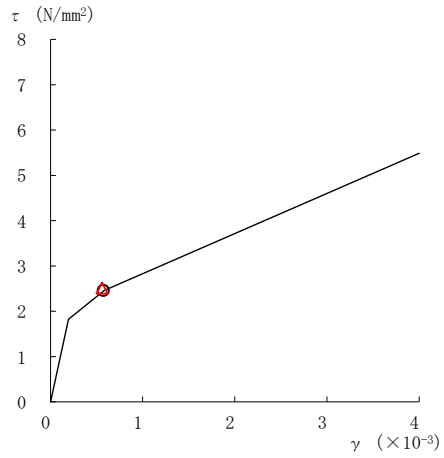


図 2-224(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2NS$, EW方向)

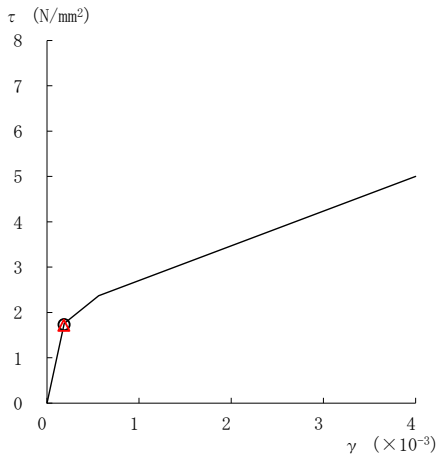
○ ケース 1 △ ケース 4



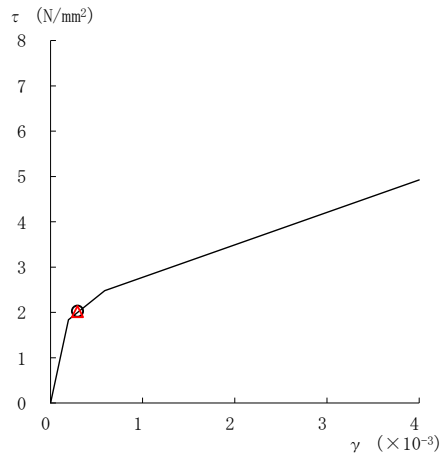
要素番号 (1)



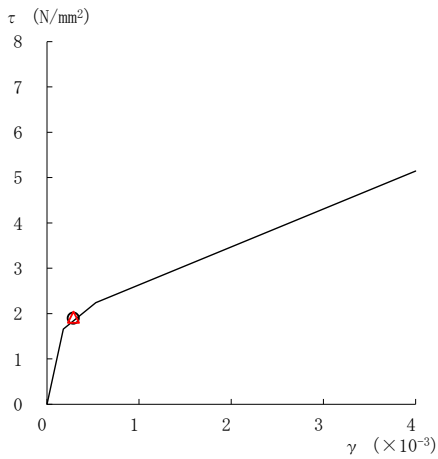
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

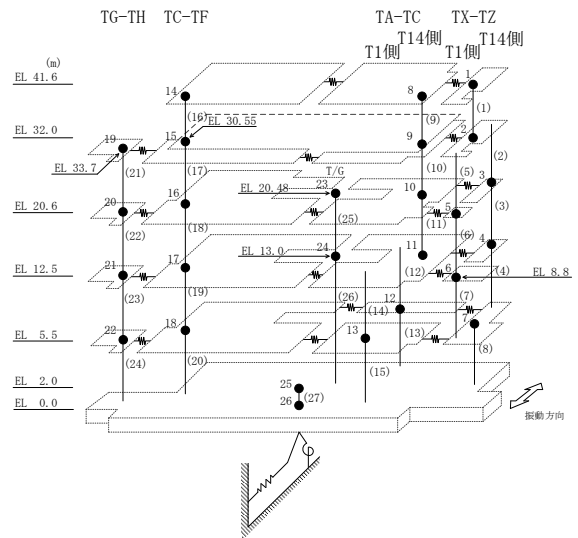
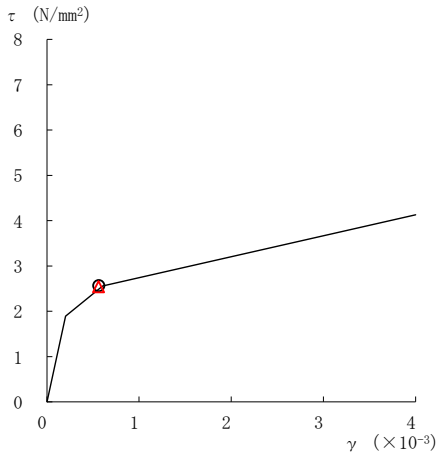
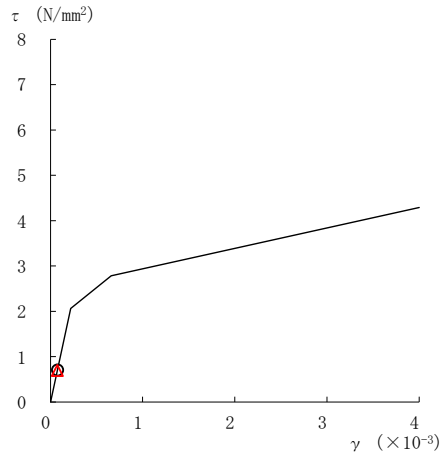


図 2-225(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

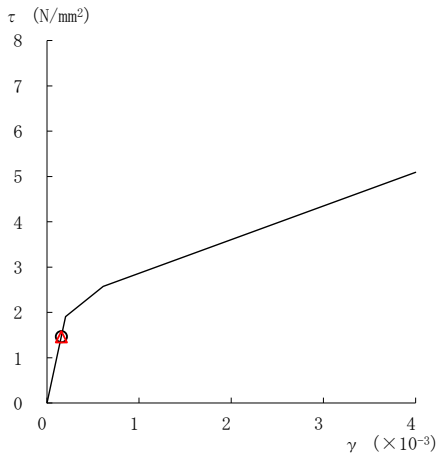
○ ケース 1 △ ケース 4



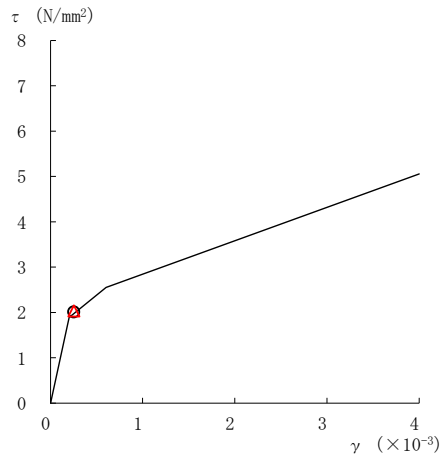
要素番号 (6)



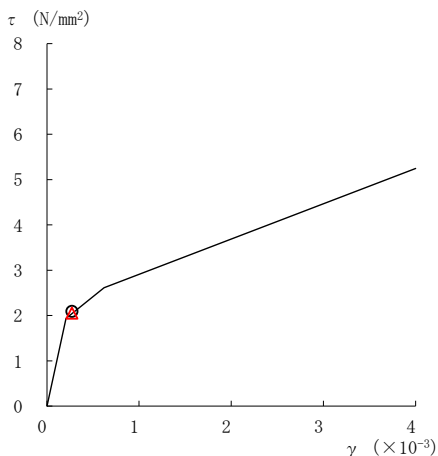
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

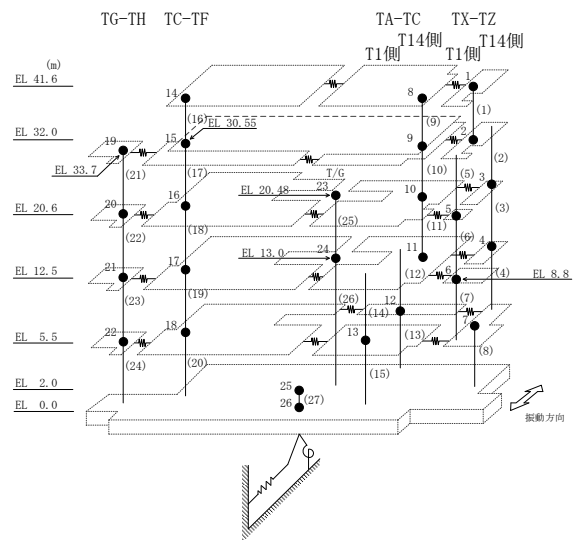
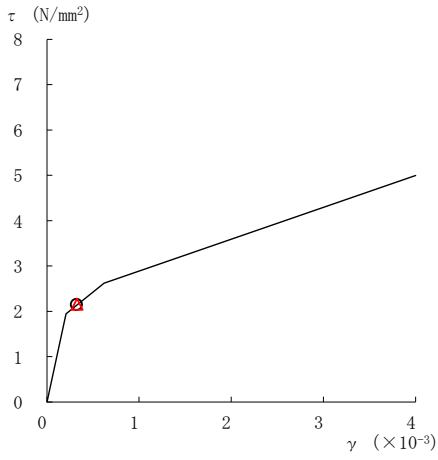
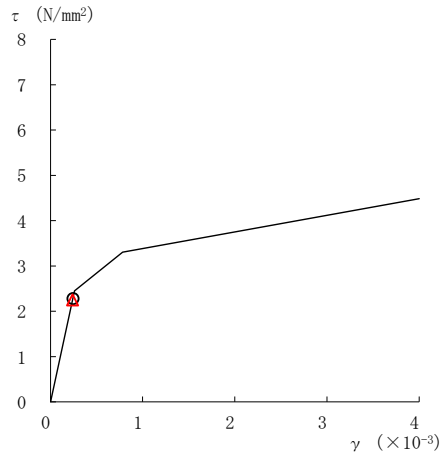


図 2-225(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

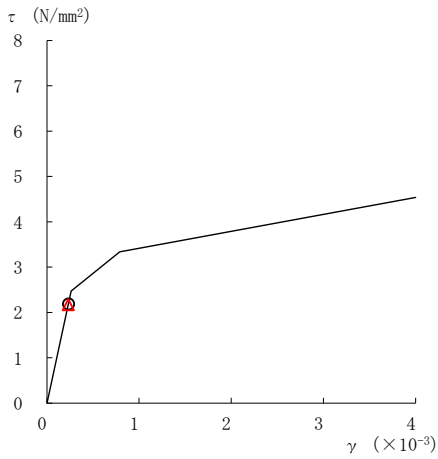
○ ケース 1 △ ケース 4



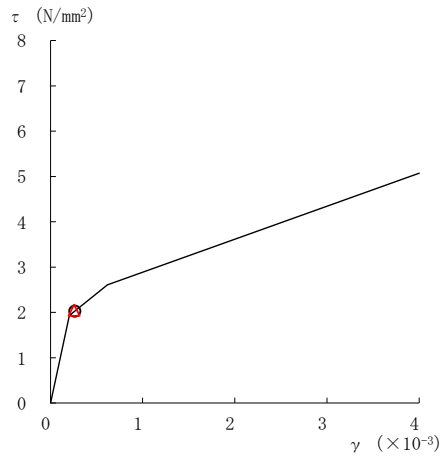
要素番号 (11)



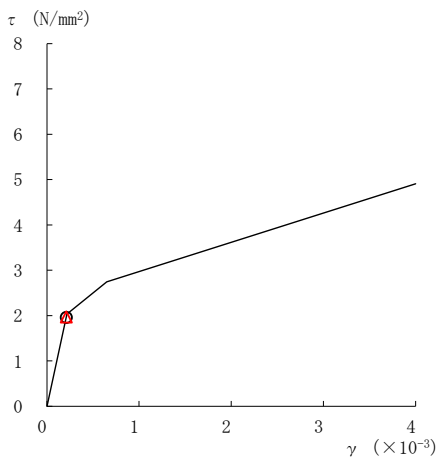
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

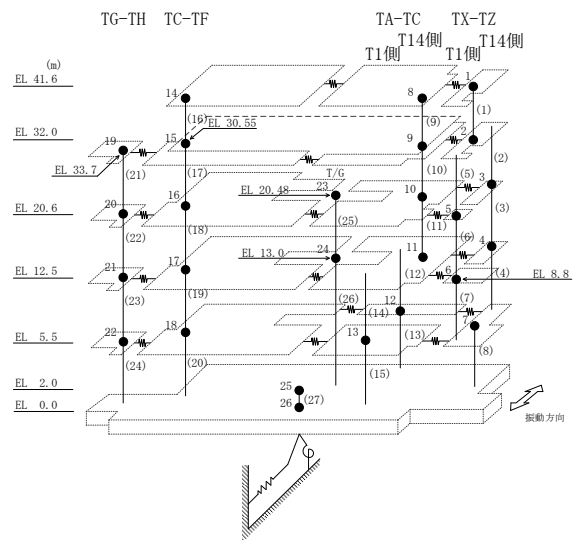
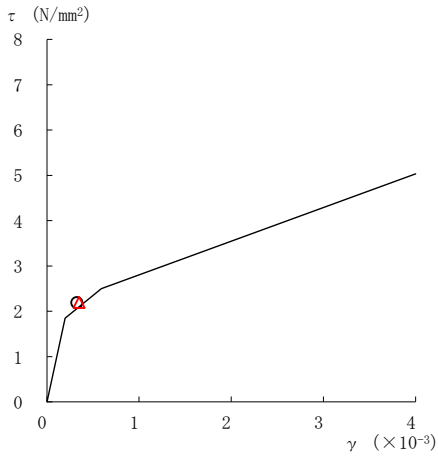
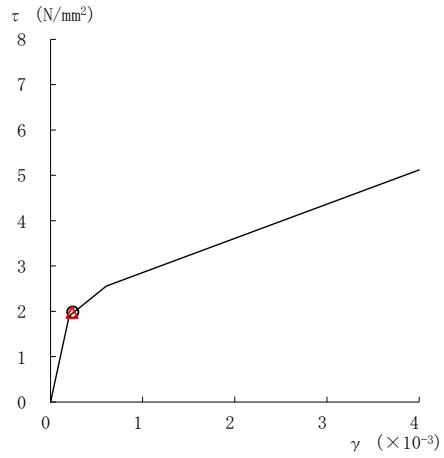


図 2-225(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

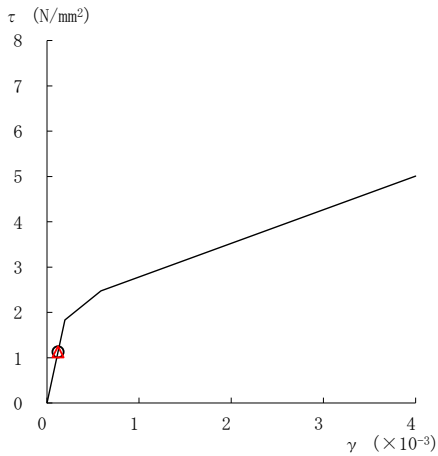
○ ケース 1 △ ケース 4



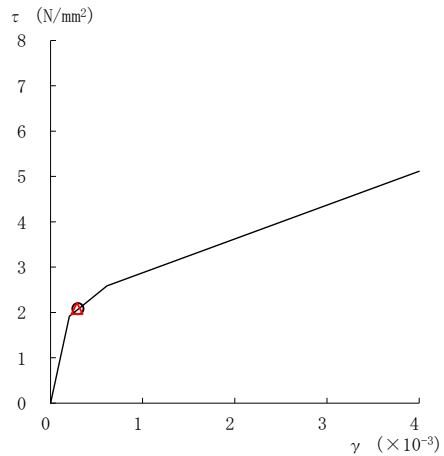
要素番号 (16)



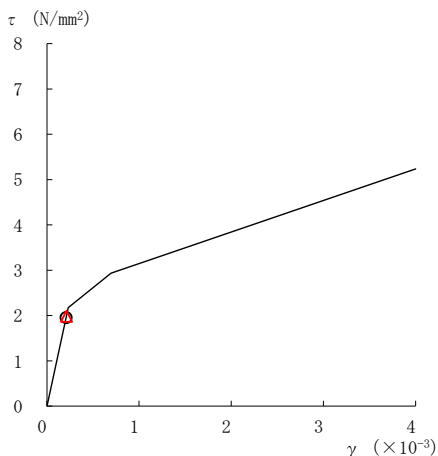
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

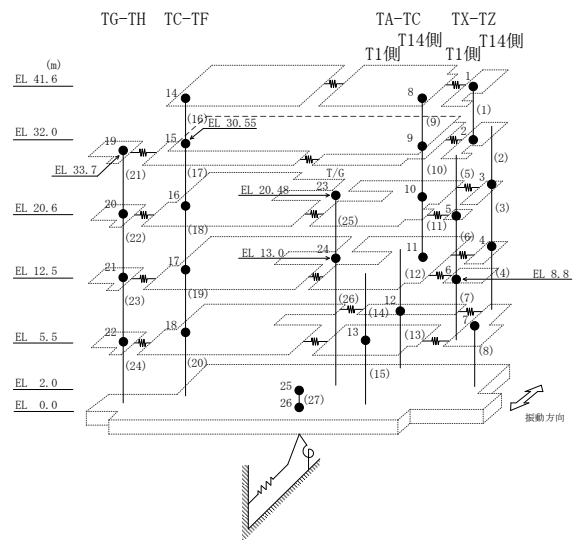
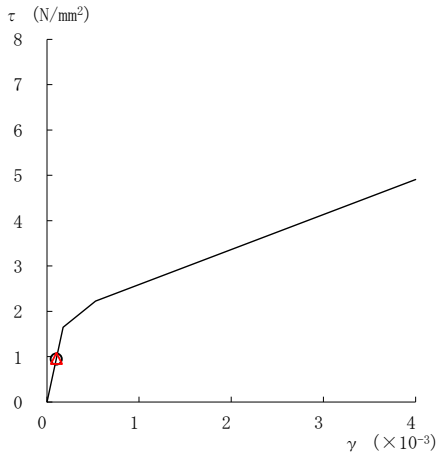
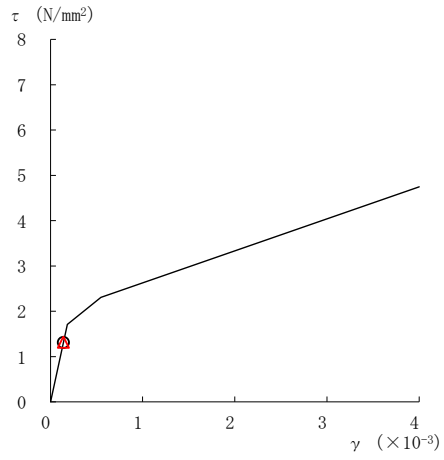


図 2-225(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 S_s-N2EW, EW方向)

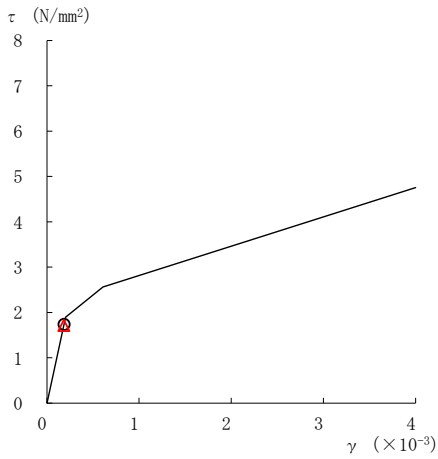
○ ケース 1 △ ケース 4



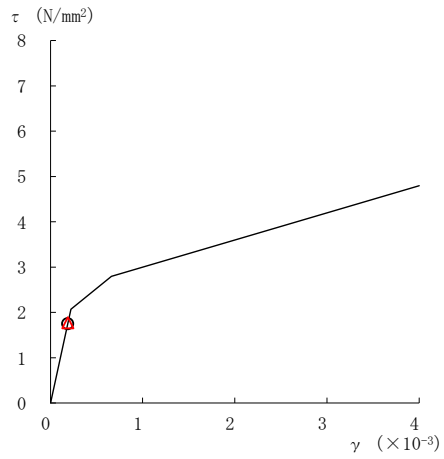
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

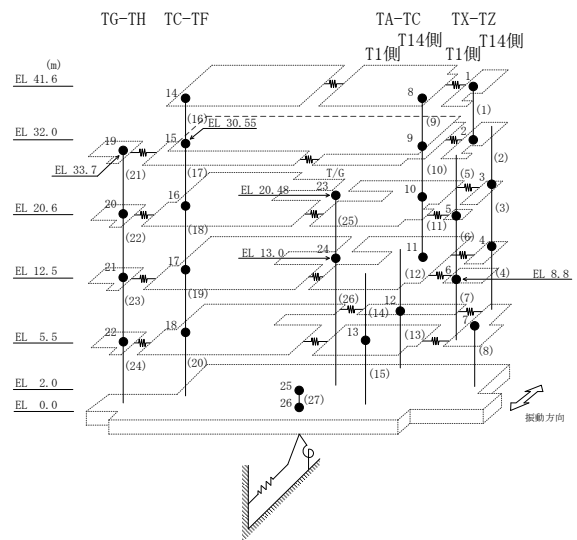


図 2-225(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(基準地震動 $S_s - N2EW$, EW方向)

表 2-196 基準地震動 S_s による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 1)

(a) NS方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.623	21.5	99.8
$S_s - F 1$	0.523	15.0	100
$S_s - F 2$	0.558	17.7	100
$S_s - N 1$	0.640	24.7	92.3
$S_s - N 2 NS$	0.621	21.1	100
$S_s - N 2 EW$	0.593	18.9	100

(b) EW方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.518	26.4	100
$S_s - F 1$	0.514	28.7	100
$S_s - F 2$	0.503	26.4	100
$S_s - N 1$	0.484	25.1	100
$S_s - N 2 NS$	0.479	20.0	100
$S_s - N 2 EW$	0.495	22.3	100

表 2-197 基準地震動 S_s による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 4)

(a) NS方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.621	21.3	100
$S_s - F1$	0.518	14.7	100
$S_s - F2$	0.564	18.1	100
$S_s - N1$	0.645	25.0	91.7
$S_s - N2NS$	0.623	21.2	100
$S_s - N2EW$	0.592	18.8	100

(b) EW方向

基準地震動 S_s	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
$S_s - D$	0.524	27.3	100
$S_s - F1$	0.513	28.5	100
$S_s - F2$	0.505	26.4	100
$S_s - N1$	0.486	25.3	100
$S_s - N2NS$	0.480	20.1	100
$S_s - N2EW$	0.497	22.4	100

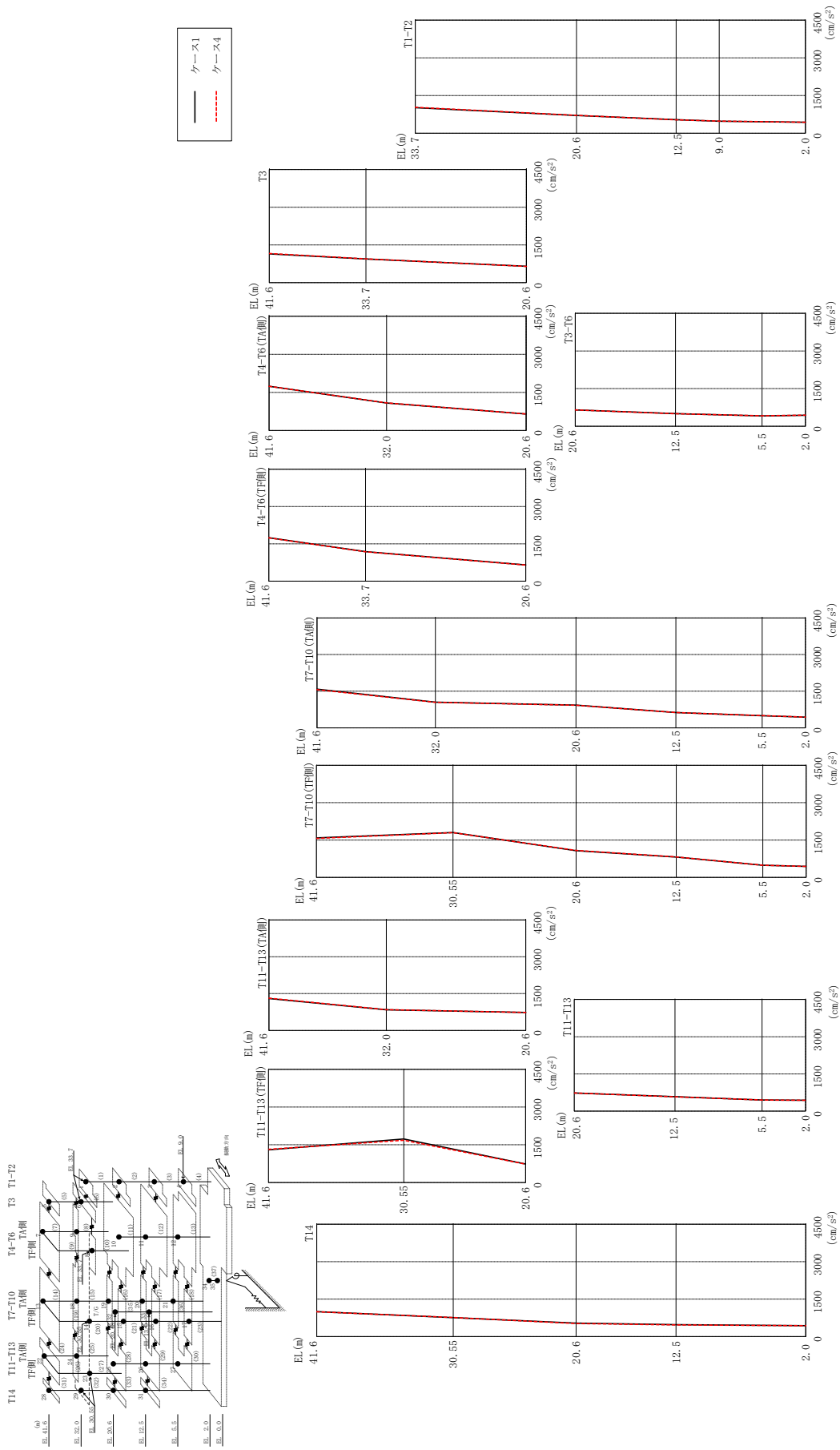
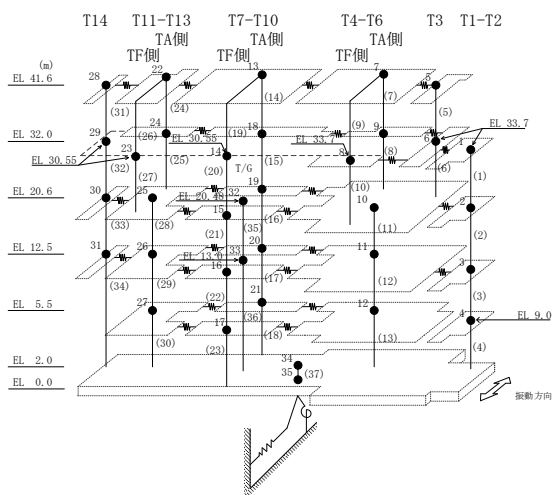


図 2-226 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

表 2-198 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	1014	1030
	20.6	2	709	711
	12.5	3	536	533
	9.0	4	480	482
T3	41.6	5	1145	1160
	33.7	6	942	948
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1745	1741
	32.0	9	1080	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1187	1180
T3-T6	20.6	10	651	648
	12.5	11	500	496
	5.5	12	411	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1586	1564
	32.0	18	1048	1043
	20.6	19	930	926
	12.5	20	627	627
	5.5	21	497	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1800	1798
	20.6	15	1071	1080
	12.5	16	817	822
	5.5	17	489	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1301	1317
	32.0	24	842	844
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1728	1679
T11-T13	20.6	25	734	731
	12.5	26	583	577
	5.5	27	451	448
T14	41.6	28	1001	995
	30.55	29	760	764
	20.6	30	540	523
	12.5	31	476	465
	2.0	34	439	439



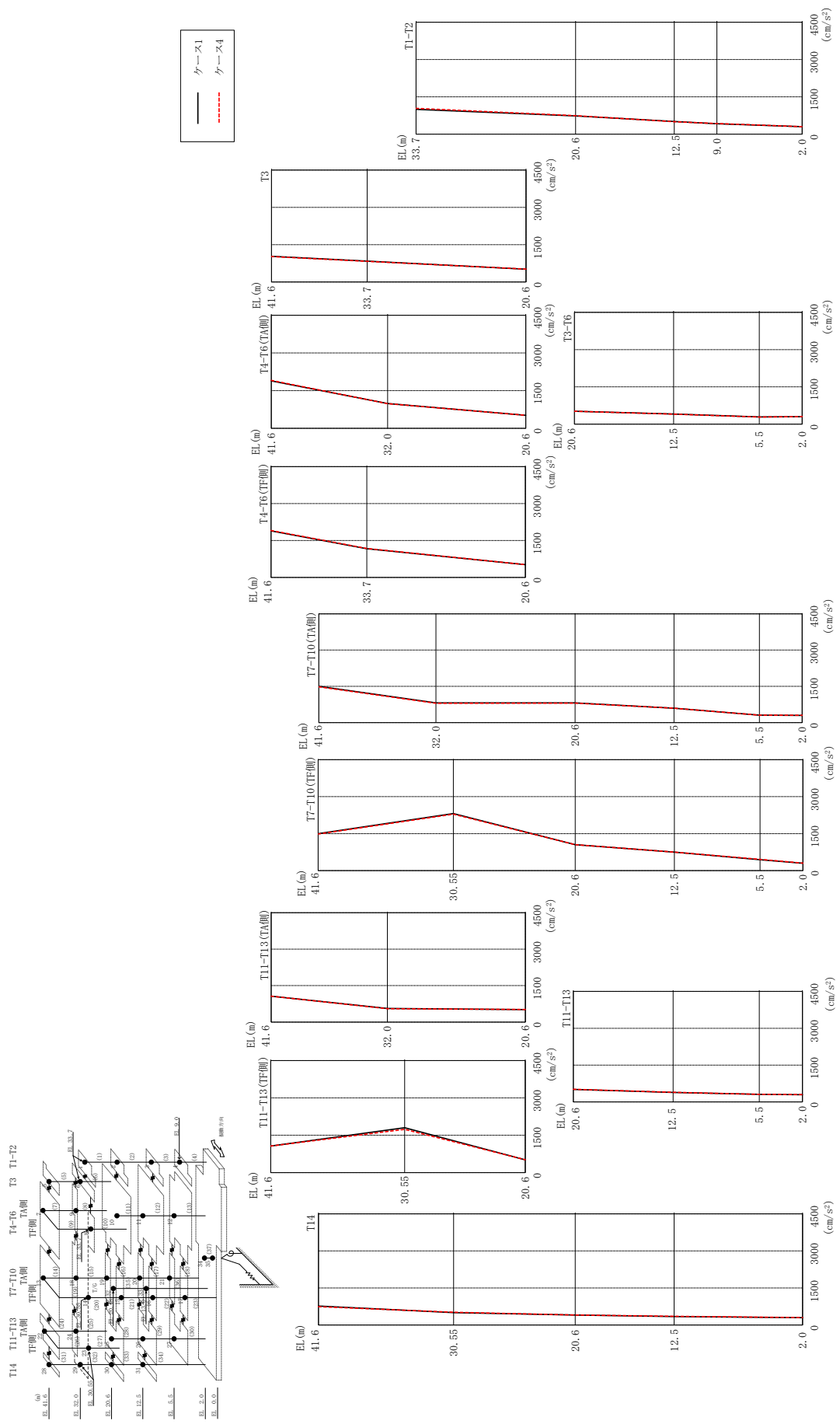
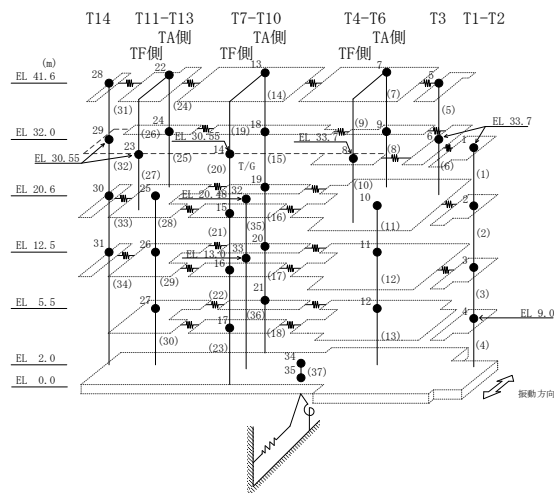


図 2-227 最大心筈加速度 (弾性設計用地震動 Sd-F1, NS 方向)

表 2-199 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	997	1035
	20.6	2	734	742
	12.5	3	509	500
	9.0	4	418	427
T3	41.6	5	1033	1024
	33.7	6	842	832
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1889	1906
	32.0	9	988	983
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1166	1176
T3-T6	20.6	10	516	520
	12.5	11	405	401
	5.5	12	287	282
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1499	1482
	32.0	18	815	801
	20.6	19	814	802
	12.5	20	593	596
	5.5	21	308	307
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2313	2288
	20.6	15	1051	1050
	12.5	16	750	747
	5.5	17	442	459
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1064	1064
	32.0	24	558	549
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1803	1734
T11-T13	20.6	25	511	517
	12.5	26	389	392
	5.5	27	311	312
T14	41.6	28	770	743
	30.55	29	503	517
	20.6	30	404	404
	12.5	31	346	353
	2.0	34	297	302



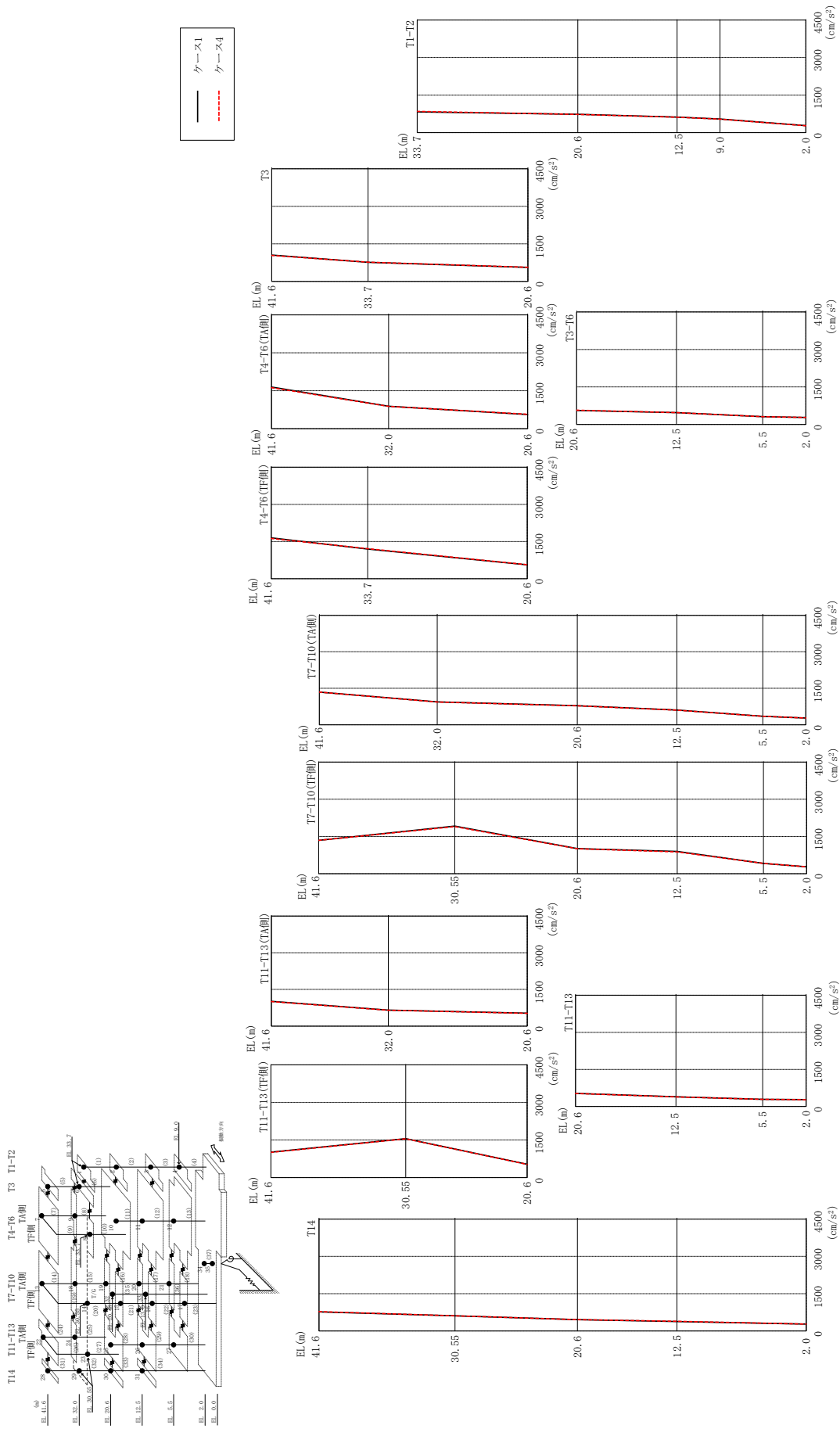
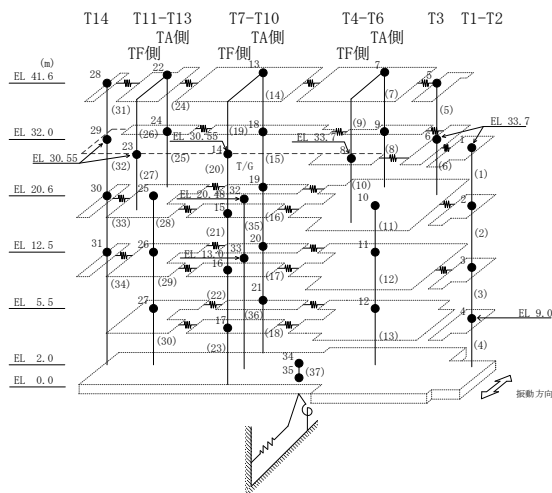


表 2-200 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	831	846
	20.6	2	731	729
	12.5	3	619	614
	9.0	4	543	537
T3	41.6	5	1055	1040
	33.7	6	763	769
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1648	1621
	32.0	9	887	882
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1198	1210
T3-T6	20.6	10	560	567
	12.5	11	470	473
	5.5	12	311	308
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1343	1343
	32.0	18	942	934
	20.6	19	781	780
	12.5	20	607	600
	5.5	21	349	349
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1918	1900
	20.6	15	1010	1005
	12.5	16	899	879
	5.5	17	416	417
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1014	1003
	32.0	24	654	648
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1552	1549
T11-T13	20.6	25	530	526
	12.5	26	393	388
	5.5	27	291	291
T14	41.6	28	767	782
	30.55	29	610	612
	20.6	30	459	459
	12.5	31	380	392
	2.0	34	278	277



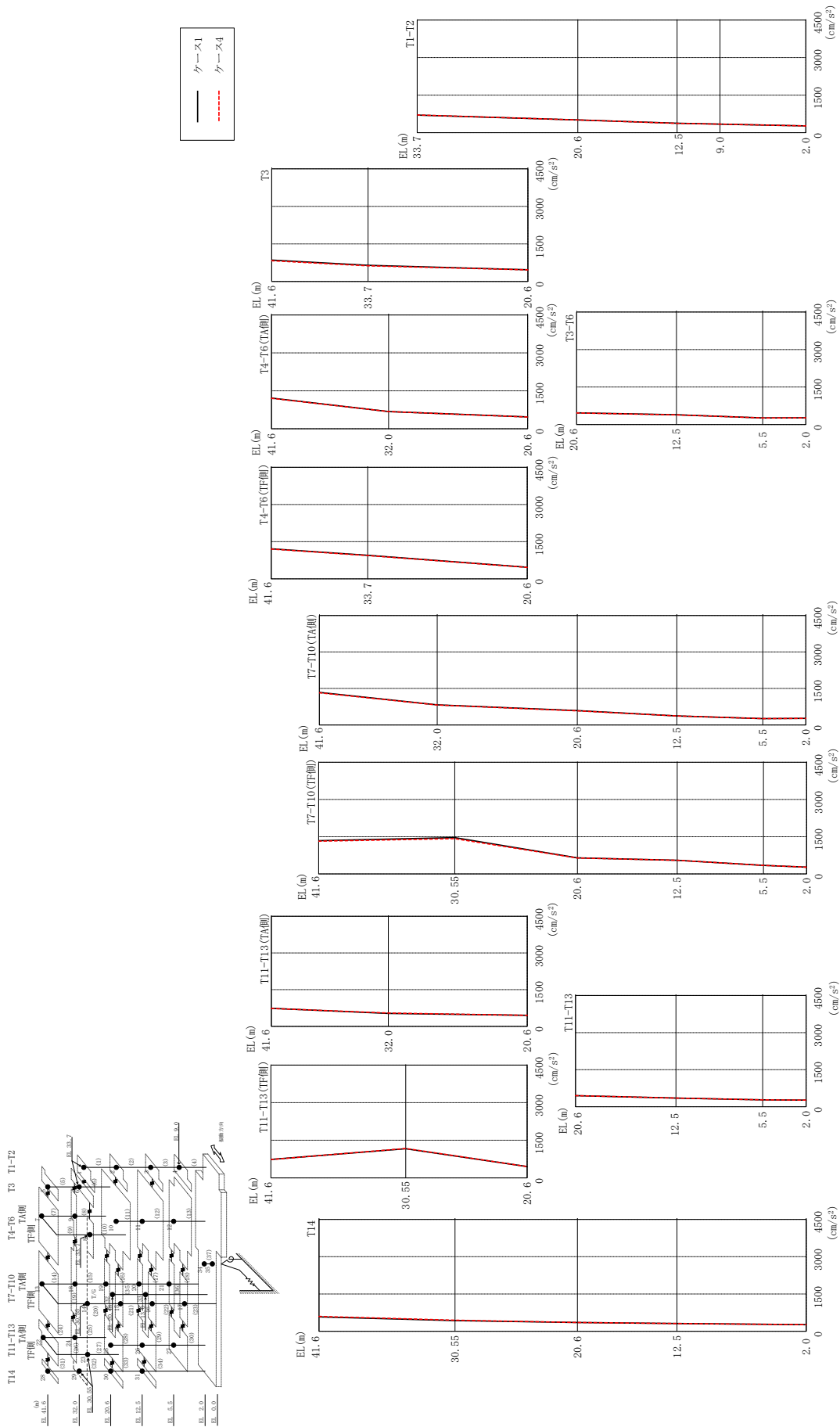
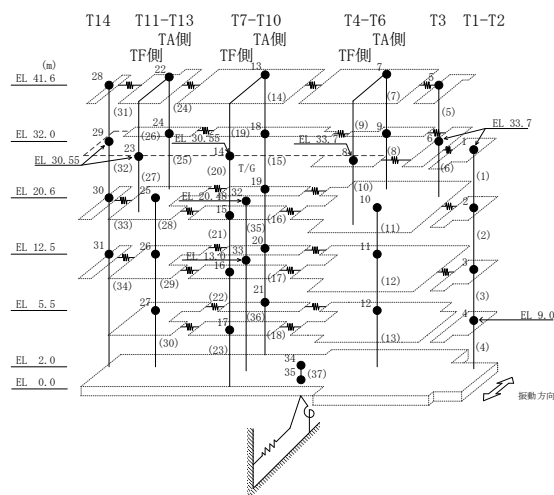


図 2-229 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 Sd-N2NS, NS 方向)

表 2-201 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)																																																																	
			ケース1	ケース4																																																																
T1-T2	33.7	1	703	706																																																																
	20.6	2	507	506																																																																
	12.5	3	374	373																																																																
	9.0	4	341	341																																																																
T3	41.6	5	854	828																																																																
	33.7	6	646	628																																																																
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1212	1204																																																																
	32.0	9	680	677																																																																
T4-T6 (TF側)	33.7	8	949	941																																																																
T3-T6	20.6	10	468	464																																																																
	12.5	11	390	386																																																																
	5.5	12	264	262																																																																
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1341	1321																																																																
	32.0	18	826	818																																																																
	20.6	19	588	577																																																																
	12.5	20	372	369																																																																
	5.5	21	259	258 </tr <tr> <td rowspan="4">T7-T10 (TF側)</td> <td>30.55</td> <td>14</td> <td>1460</td> <td>1424</td> </tr> <tr> <td>20.6</td> <td>15</td> <td>648</td> <td>642</td> </tr> <tr> <td>12.5</td> <td>16</td> <td>550</td> <td>548</td> </tr> <tr> <td>5.5</td> <td>17</td> <td>345</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T11-T13 (TA側)</td> <td>41.6</td> <td>22</td> <td>735</td> <td>732</td> </tr> <tr> <td>32.0</td> <td>24</td> <td>528</td> <td>544</td> </tr> <tr> <td>T11-T13 (TF側)</td> <td>30.55</td> <td>23</td> <td>1162</td> <td>1172</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T11-T13</td> <td>20.6</td> <td>25</td> <td>450</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>12.5</td> <td>26</td> <td>352</td> <td>351</td> </tr> <tr> <td>5.5</td> <td>27</td> <td>281</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">T14</td> <td>41.6</td> <td>28</td> <td>582</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>30.55</td> <td>29</td> <td>433</td> <td>448</td> </tr> <tr> <td>20.6</td> <td>30</td> <td>357</td> <td>357</td> </tr> <tr> <td>12.5</td> <td>31</td> <td>315</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>34</td> <td>270</td> <td>270</td> </tr>	T7-T10 (TF側)	30.55	14	1460	1424	20.6	15	648	642	12.5	16	550	548	5.5	17	345	345	T11-T13 (TA側)	41.6	22	735	732	32.0	24	528	544	T11-T13 (TF側)	30.55	23	1162	1172	T11-T13	20.6	25	450	450	12.5	26	352	351	5.5	27	281	279	T14	41.6	28	582	600	30.55	29	433	448	20.6	30	357	357	12.5	31	315	315	2.0	34	270
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1460	1424																																																																
	20.6	15	648	642																																																																
	12.5	16	550	548																																																																
	5.5	17	345	345																																																																
T11-T13 (TA側)	41.6	22	735	732																																																																
	32.0	24	528	544																																																																
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1162	1172																																																																
T11-T13	20.6	25	450	450																																																																
	12.5	26	352	351																																																																
	5.5	27	281	279																																																																
T14	41.6	28	582	600																																																																
	30.55	29	433	448																																																																
	20.6	30	357	357																																																																
	12.5	31	315	315																																																																
	2.0	34	270	270																																																																



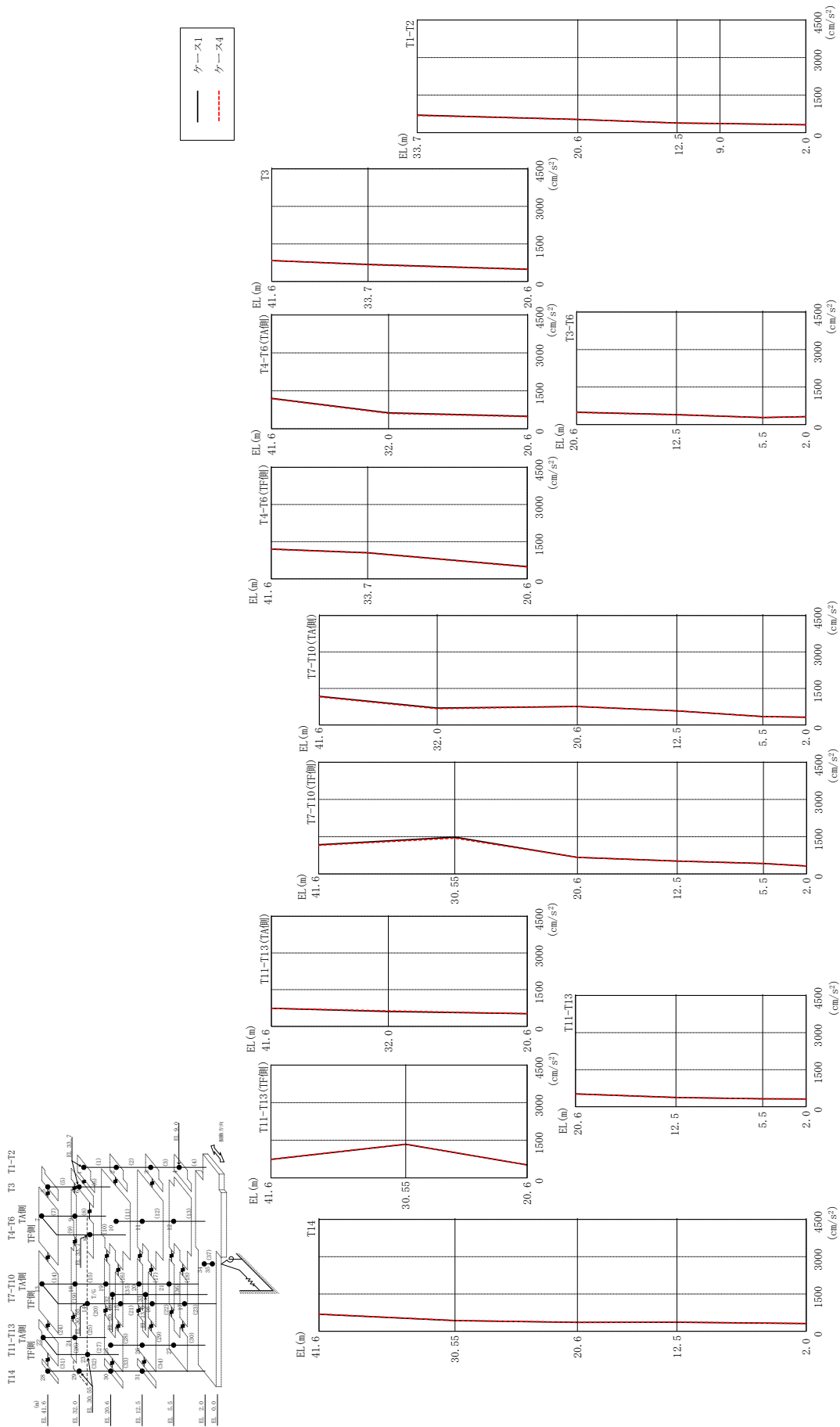
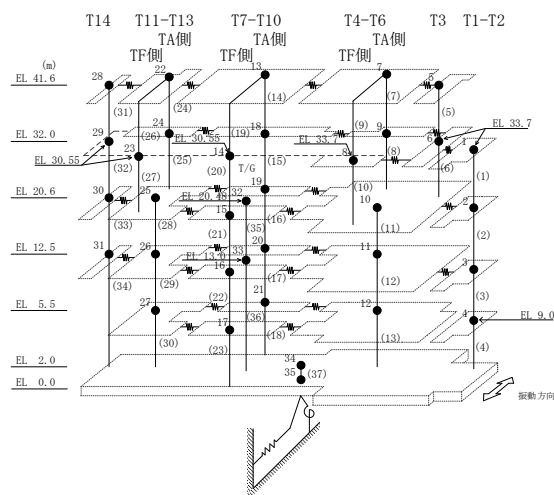


図 2-230 最大心管加速度 (弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, N S 方向)

表 2-202 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	704	689
	20.6	2	526	527
	12.5	3	386	383
	9.0	4	368	361
T3	41.6	5	836	839
	33.7	6	682	669
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1202	1190
	32.0	9	628	611
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1052	1041
T3-T6	20.6	10	492	480
	12.5	11	396	385
	5.5	12	280	279
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1175	1156
	32.0	18	693	669
	20.6	19	757	759
	12.5	20	578	577
	5.5	21	345	344
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1481	1440
	20.6	15	668	668
	12.5	16	517	515
	5.5	17	419	417
T11-T13 (TA側)	41.6	22	737	739
	32.0	24	606	631
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1338	1345
T11-T13	20.6	25	519	517
	12.5	26	376	370
	5.5	27	321	324
T14	41.6	28	686	690
	30.55	29	430	438
	20.6	30	362	362
	12.5	31	365	369
	2.0	34	316	316



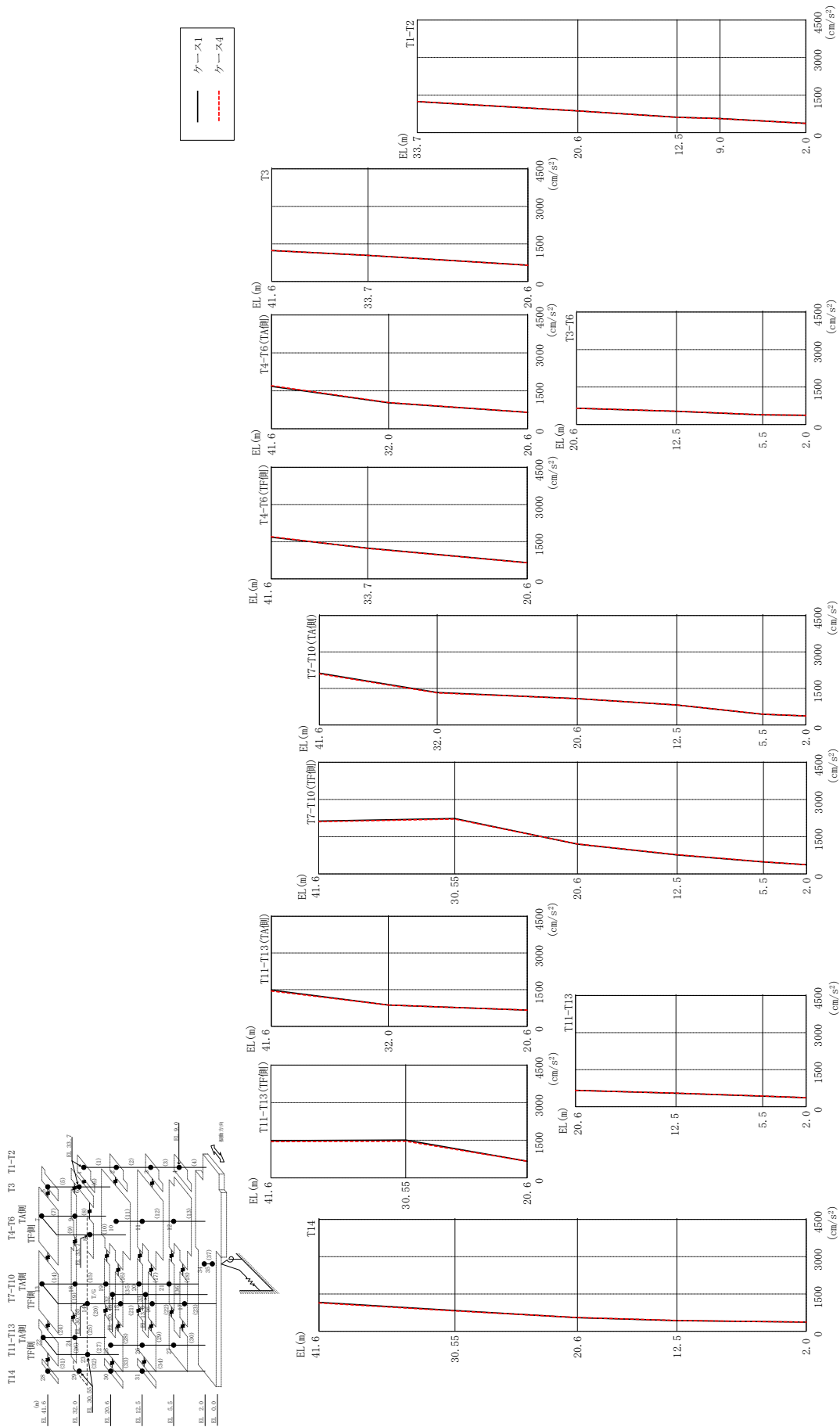
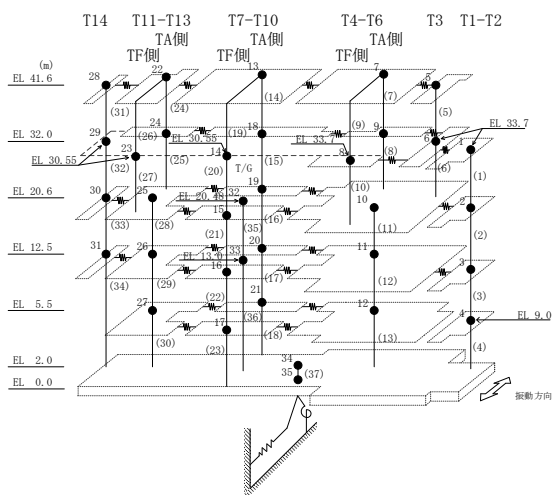


図 2-231 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

表 2-203 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	1239	1243
	20.6	2	870	870
	12.5	3	614	608
	9.0	4	563	557
T3	41.6	5	1238	1239
	33.7	6	1045	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1678	1700
	32.0	9	1026	1038
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1239	1228
T3-T6	20.6	10	651	648
	12.5	11	530	533
	5.5	12	387	389
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2129	2101
	32.0	18	1332	1316
	20.6	19	1081	1082
	12.5	20	821	821
	5.5	21	440	442
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2231	2211
	20.6	15	1200	1205
	12.5	16	767	774
	5.5	17	482	485
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1482	1444
	32.0	24	875	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1506	1463
T11-T13	20.6	25	664	662
	12.5	26	549	554
	5.5	27	430	432
T14	41.6	28	1162	1145
	30.55	29	837	821
	20.6	30	548	553
	12.5	31	431	435
	2.0	34	369	370



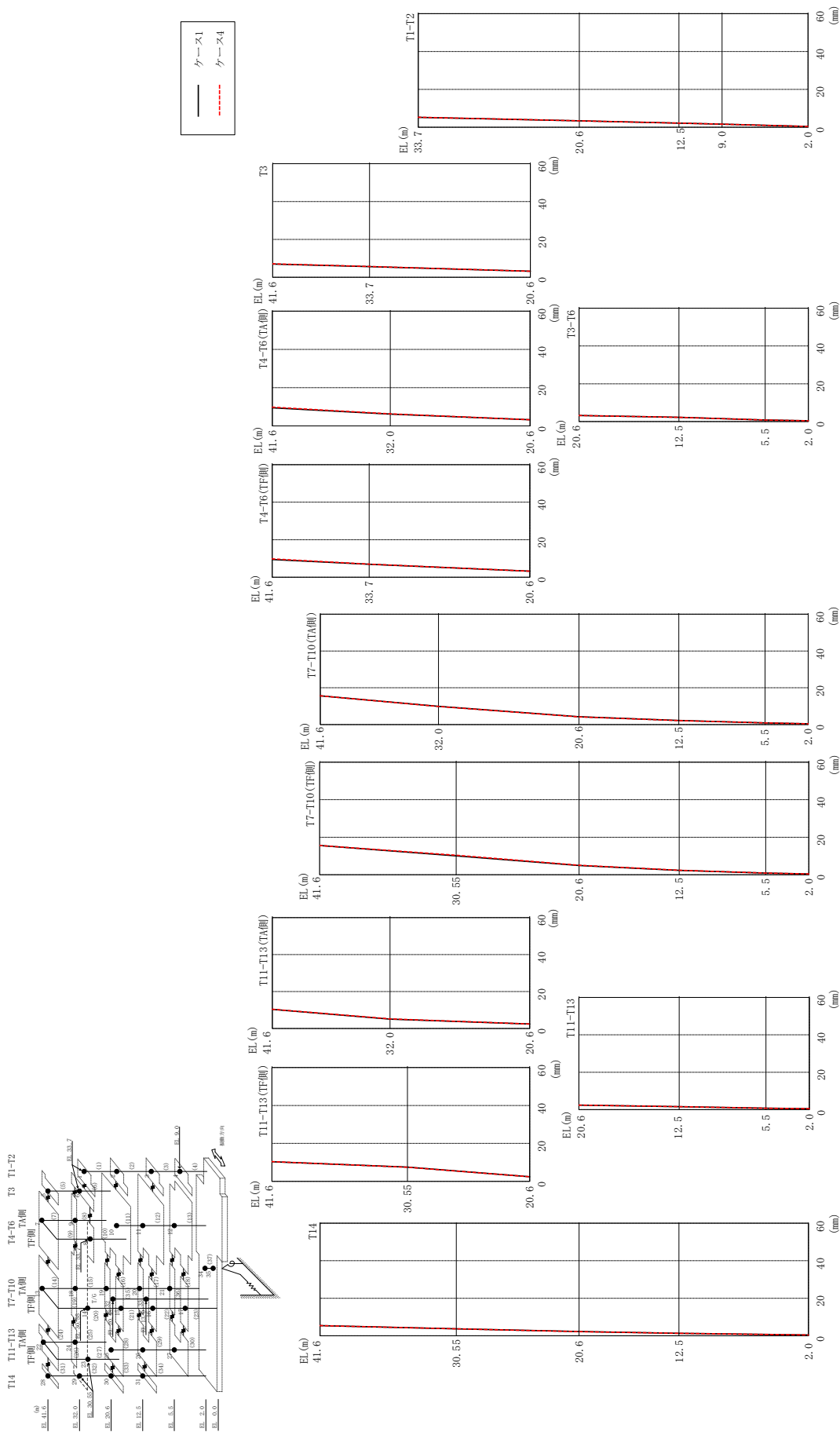
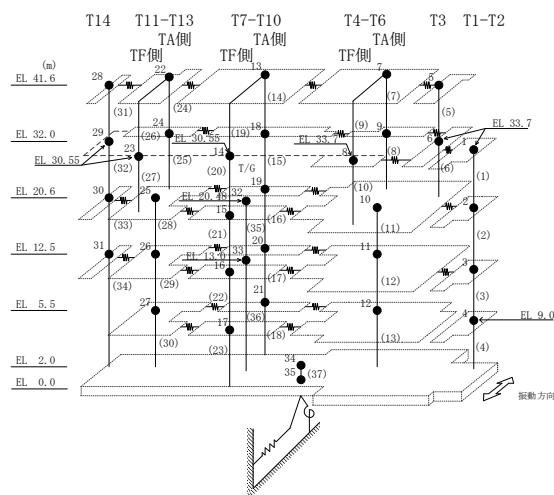


図 2-232 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

表 2-204 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	5.26	5.31
	20.6	2	3.43	3.44
	12.5	3	2.16	2.15
	9.0	4	1.64	1.63
T3	41.6	5	6.98	7.12
	33.7	6	5.63	5.71
T4-T6 (TA側)	41.6	7	9.46	9.77
	32.0	9	6.18	6.32
T4-T6 (TF側)	33.7	8	6.87	6.96
T3-T6	20.6	10	3.21	3.22
	12.5	11	2.28	2.28
	5.5	12	0.87	0.86
T7-T10 (TA側)	41.6	13	15.60	15.61
	32.0	18	9.88	9.83
	20.6	19	4.26	4.18
	12.5	20	2.21	2.20
	5.5	21	0.90	0.89
T7-T10 (TF側)	30.55	14	10.04	10.40
	20.6	15	4.98	5.06
	12.5	16	2.38	2.39
	5.5	17	0.95	0.94
T11-T13 (TA側)	41.6	22	10.36	10.39
	32.0	24	5.10	5.19
T11-T13 (TF側)	30.55	23	7.47	7.41
T11-T13	20.6	25	2.42	2.42
	12.5	26	1.54	1.54
	5.5	27	0.77	0.77
T14	41.6	28	5.44	5.45
	30.55	29	3.70	3.69
	20.6	30	2.25	2.23
	12.5	31	1.30	1.29
	2.0	34	0.45	0.45



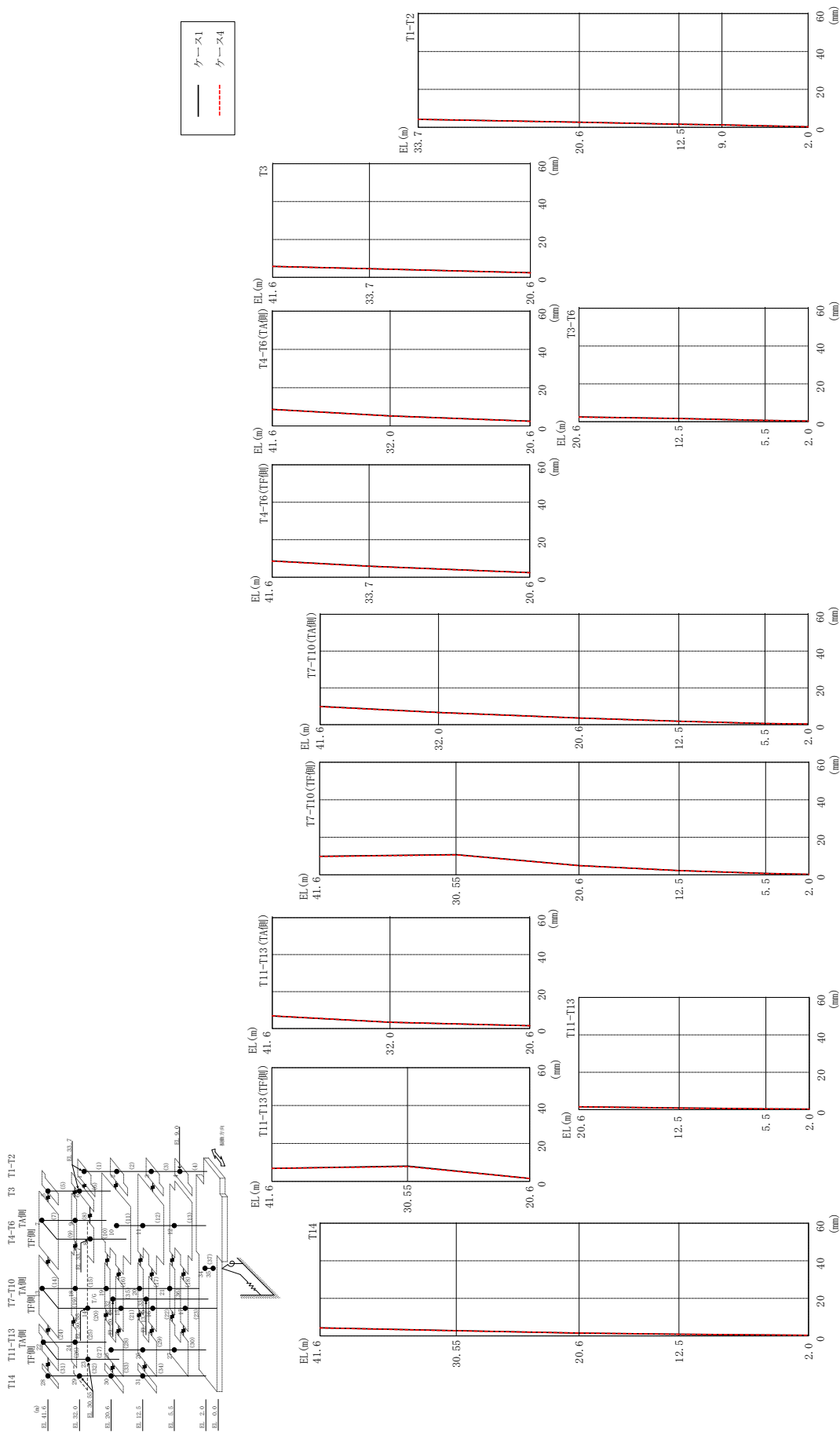
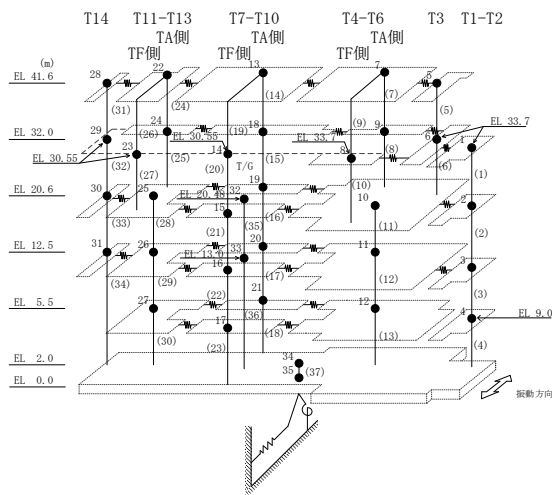


図 2-233 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

表 2-205 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	4.23	4.20
	20.6	2	2.70	2.67
	12.5	3	1.65	1.62
	9.0	4	1.26	1.26
T3	41.6	5	5.81	5.79
	33.7	6	4.57	4.53
T4-T6 (TA側)	41.6	7	8.68	8.59
	32.0	9	5.21	5.19
T4-T6 (TF側)	33.7	8	5.88	5.82
T3-T6	20.6	10	2.46	2.41
	12.5	11	1.66	1.62
	5.5	12	0.64	0.64
T7-T10 (TA側)	41.6	13	9.87	9.76
	32.0	18	6.62	6.56
	20.6	19	3.60	3.55
	12.5	20	1.83	1.80
	5.5	21	0.61	0.60
T7-T10 (TF側)	30.55	14	10.78	10.61
	20.6	15	4.93	4.86
	12.5	16	2.30	2.26
	5.5	17	0.74	0.72
T11-T13 (TA側)	41.6	22	6.83	6.86
	32.0	24	3.42	3.39
T11-T13 (TF側)	30.55	23	8.11	7.80
T11-T13	20.6	25	1.54	1.53
	12.5	26	0.89	0.87
	5.5	27	0.46	0.45
T14	41.6	28	4.29	4.22
	30.55	29	2.76	2.70
	20.6	30	1.50	1.48
	12.5	31	0.85	0.83
	2.0	34	0.29	0.29



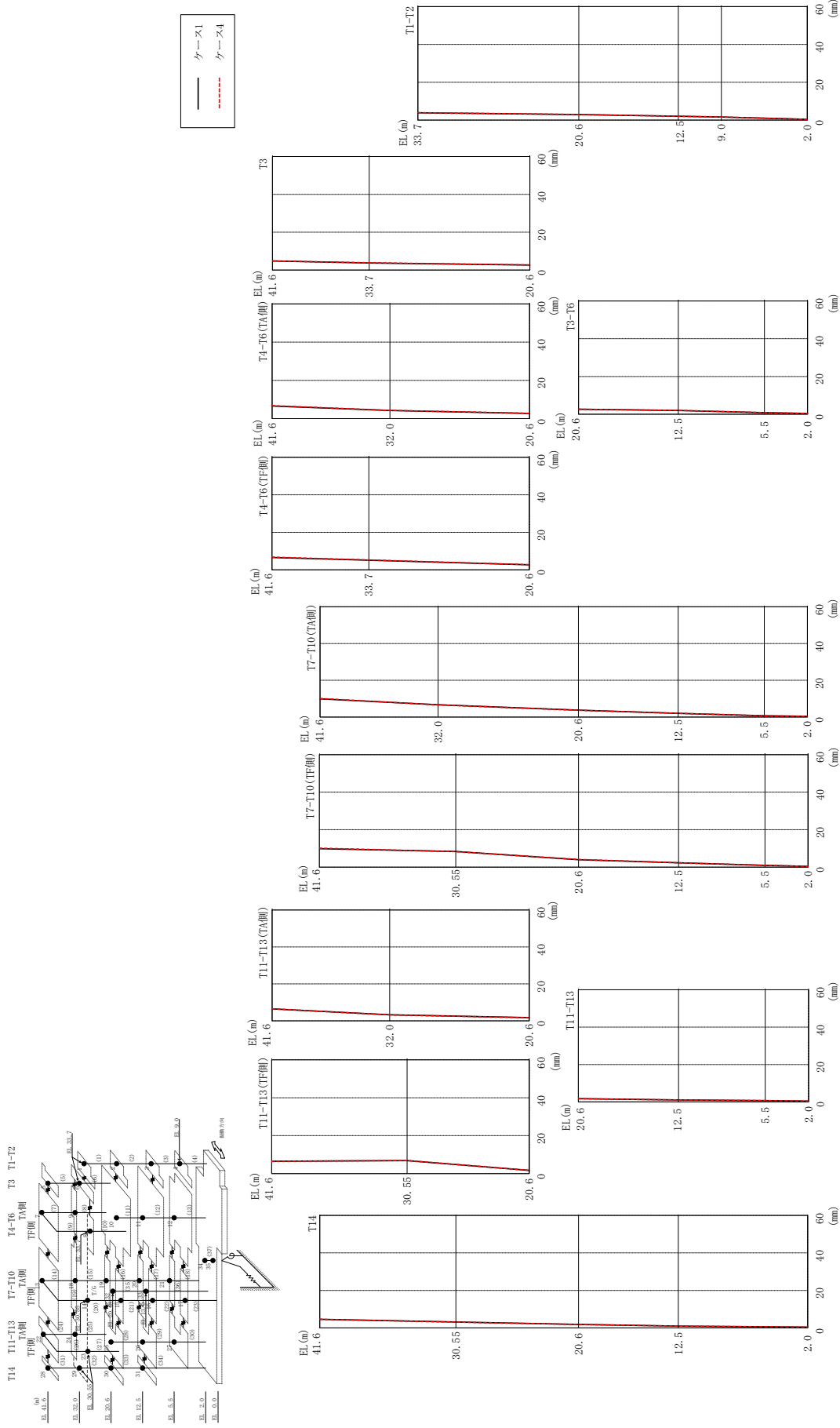
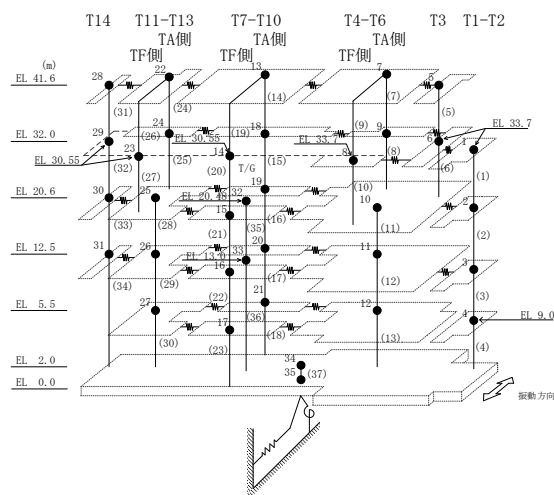


図 2-234 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

表 2-206 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.89	3.97
	20.6	2	2.93	2.97
	12.5	3	2.04	2.06
	9.0	4	1.63	1.63
T3	41.6	5	4.82	4.84
	33.7	6	3.78	3.89
T4-T6 (TA側)	41.6	7	6.55	6.73
	32.0	9	4.21	4.27
T4-T6 (TF側)	33.7	8	5.08	5.22
T3-T6	20.6	10	2.65	2.70
	12.5	11	2.00	2.03
	5.5	12	0.85	0.86
T7-T10 (TA側)	41.6	13	9.90	10.14
	32.0	18	6.72	6.66
	20.6	19	3.75	3.72
	12.5	20	2.03	2.00
	5.5	21	0.73	0.72
T7-T10 (TF側)	30.55	14	8.34	8.28
	20.6	15	4.02	4.10
	12.5	16	2.33	2.33
	5.5	17	0.99	1.00
T11-T13 (TA側)	41.6	22	6.47	6.51
	32.0	24	3.26	3.19
T11-T13 (TF側)	30.55	23	6.85	6.88
T11-T13	20.6	25	1.72	1.68
	12.5	26	1.04	1.03
	5.5	27	0.64	0.65
T14	41.6	28	4.58	4.58
	30.55	29	3.14	3.12
	20.6	30	1.86	1.84
	12.5	31	1.00	0.99
	2.0	34	0.42	0.42



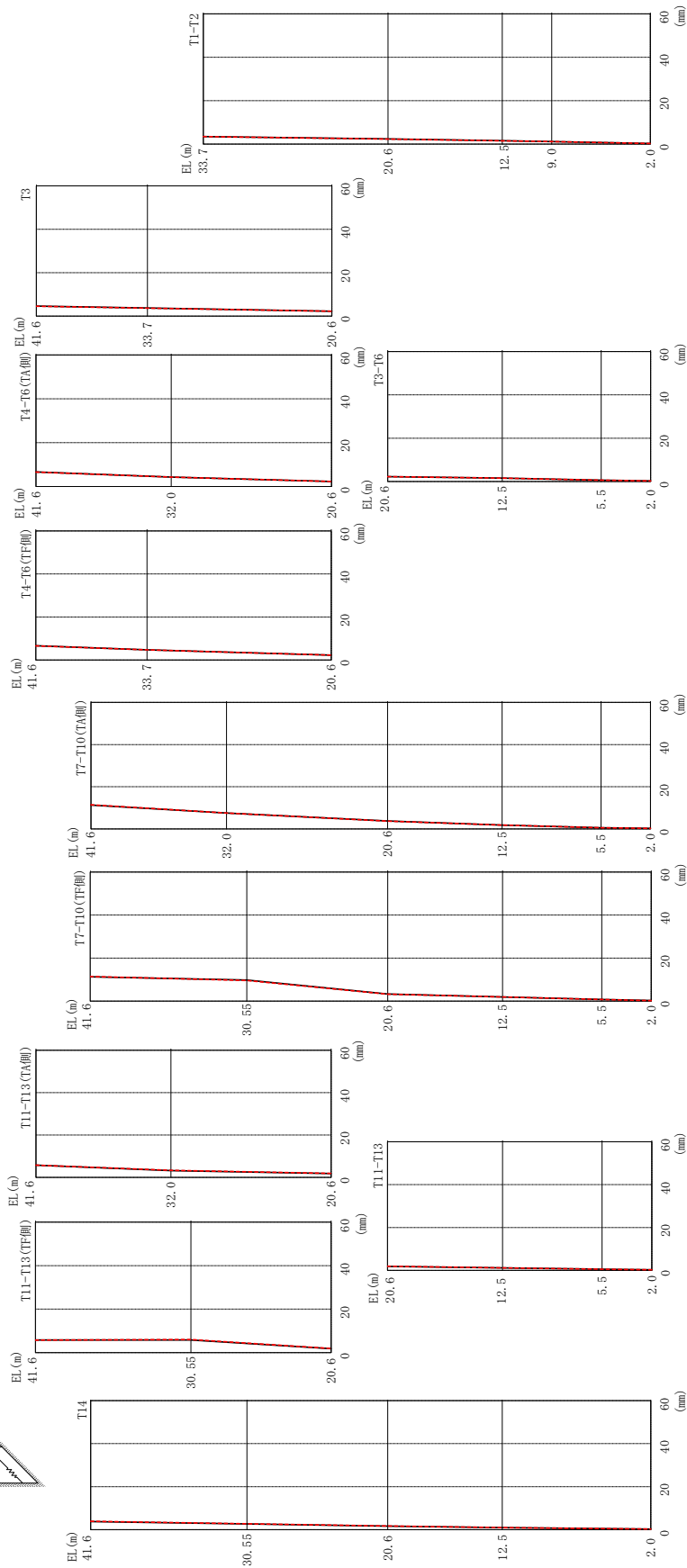
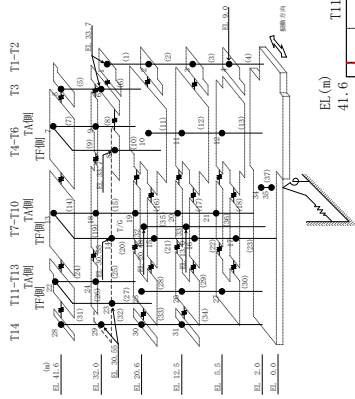
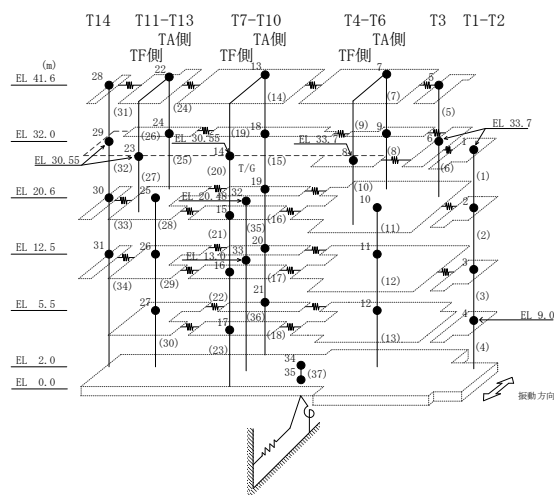


図 2-235 最大芯変位 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

表 2-207 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.44	3.49
	20.6	2	2.35	2.33
	12.5	3	1.54	1.52
	9.0	4	1.20	1.18
T3	41.6	5	4.64	4.60
	33.7	6	3.72	3.68
T4-T6 (TA側)	41.6	7	6.59	6.57
	32.0	9	4.29	4.24
T4-T6 (TF側)	33.7	8	4.72	4.68
T3-T6	20.6	10	2.24	2.26
	12.5	11	1.60	1.61
	5.5	12	0.62	0.60
T7-T10 (TA側)	41.6	13	11.31	11.45
	32.0	18	7.52	7.55
	20.6	19	3.75	3.72
	12.5	20	1.85	1.83
	5.5	21	0.58	0.59
T7-T10 (TF側)	30.55	14	9.78	9.58
	20.6	15	3.30	3.27
	12.5	16	1.94	1.93
	5.5	17	0.76	0.75
T11-T13 (TA側)	41.6	22	5.80	5.74
	32.0	24	3.19	3.32
T11-T13 (TF側)	30.55	23	5.84	6.02
T11-T13	20.6	25	1.84	1.89
	12.5	26	1.15	1.17
	5.5	27	0.55	0.56
T14	41.6	28	3.76	3.93
	30.55	29	2.67	2.77
	20.6	30	1.69	1.74
	12.5	31	0.98	1.01
	2.0	34	0.27	0.26



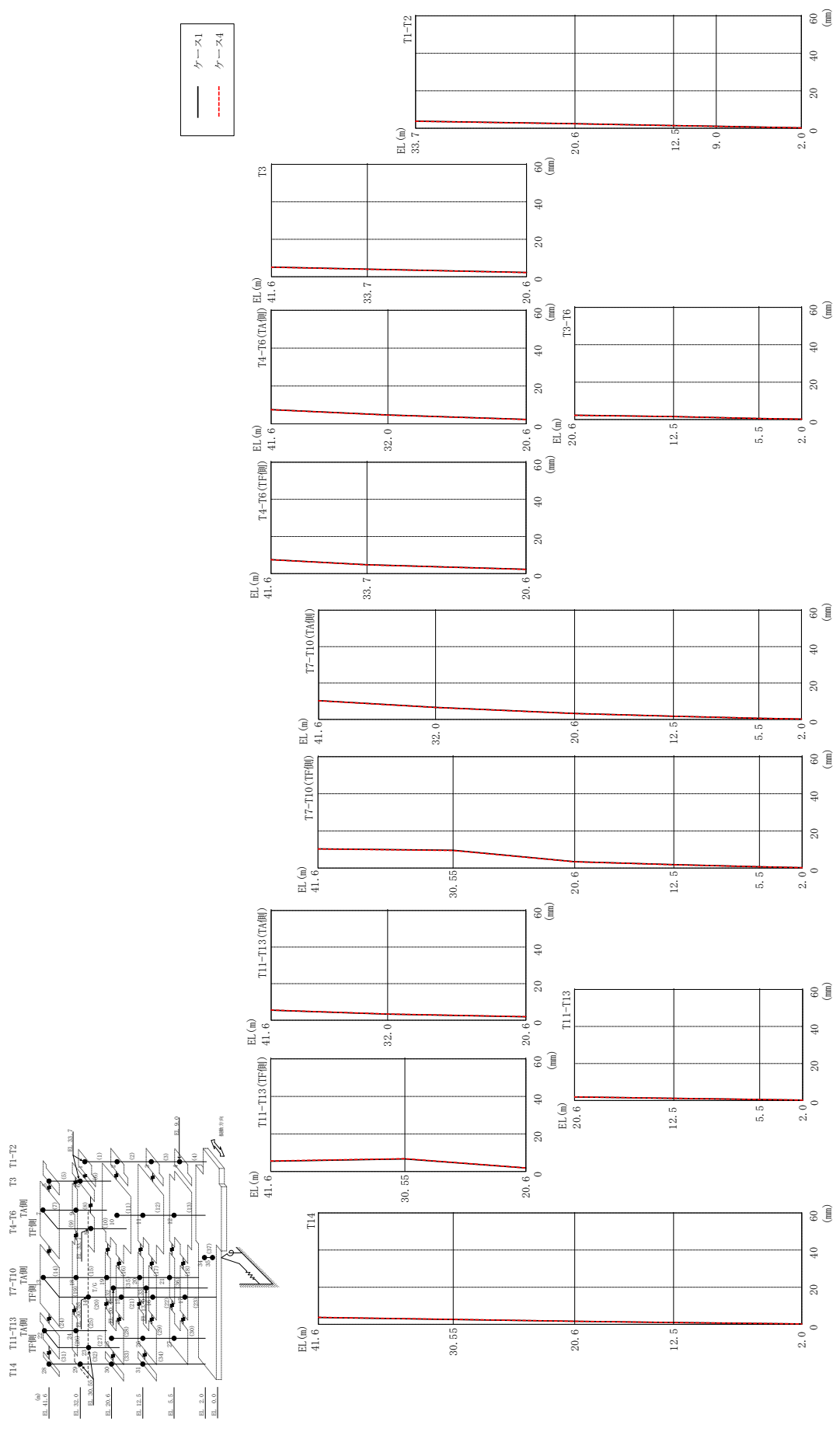
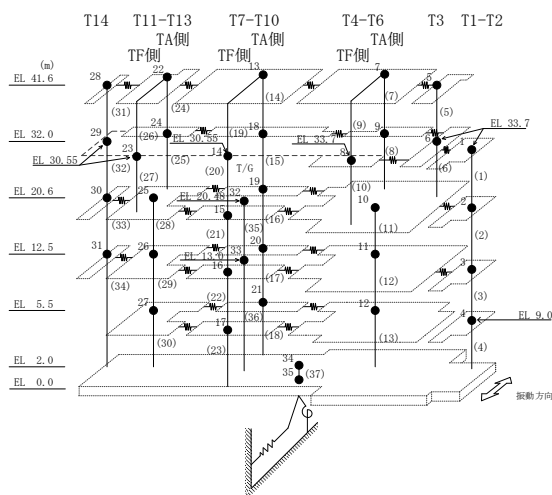


図 2-236 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

表 2-208 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.81	3.74
	20.6	2	2.42	2.36
	12.5	3	1.47	1.43
	9.0	4	1.09	1.06
T3	41.6	5	5.20	5.12
	33.7	6	4.11	4.02
T4-T6 (TA側)	41.6	7	7.50	7.45
	32.0	9	4.70	4.62
T4-T6 (TF側)	33.7	8	4.78	4.71
T3-T6	20.6	10	2.32	2.25
	12.5	11	1.61	1.56
	5.5	12	0.56	0.54
T7-T10 (TA側)	41.6	13	10.34	10.28
	32.0	18	6.60	6.54
	20.6	19	3.26	3.22
	12.5	20	1.76	1.77
	5.5	21	0.60	0.60
T7-T10 (TF側)	30.55	14	9.62	9.47
	20.6	15	3.46	3.38
	12.5	16	1.86	1.83
	5.5	17	0.71	0.70
T11-T13 (TA側)	41.6	22	5.50	5.59
	32.0	24	3.37	3.41
T11-T13 (TF側)	30.55	23	6.69	6.86
T11-T13	20.6	25	1.92	1.92
	12.5	26	1.16	1.16
	5.5	27	0.53	0.52
T14	41.6	28	3.73	3.81
	30.55	29	2.64	2.68
	20.6	30	1.67	1.69
	12.5	31	0.96	0.96
	2.0	34	0.23	0.23



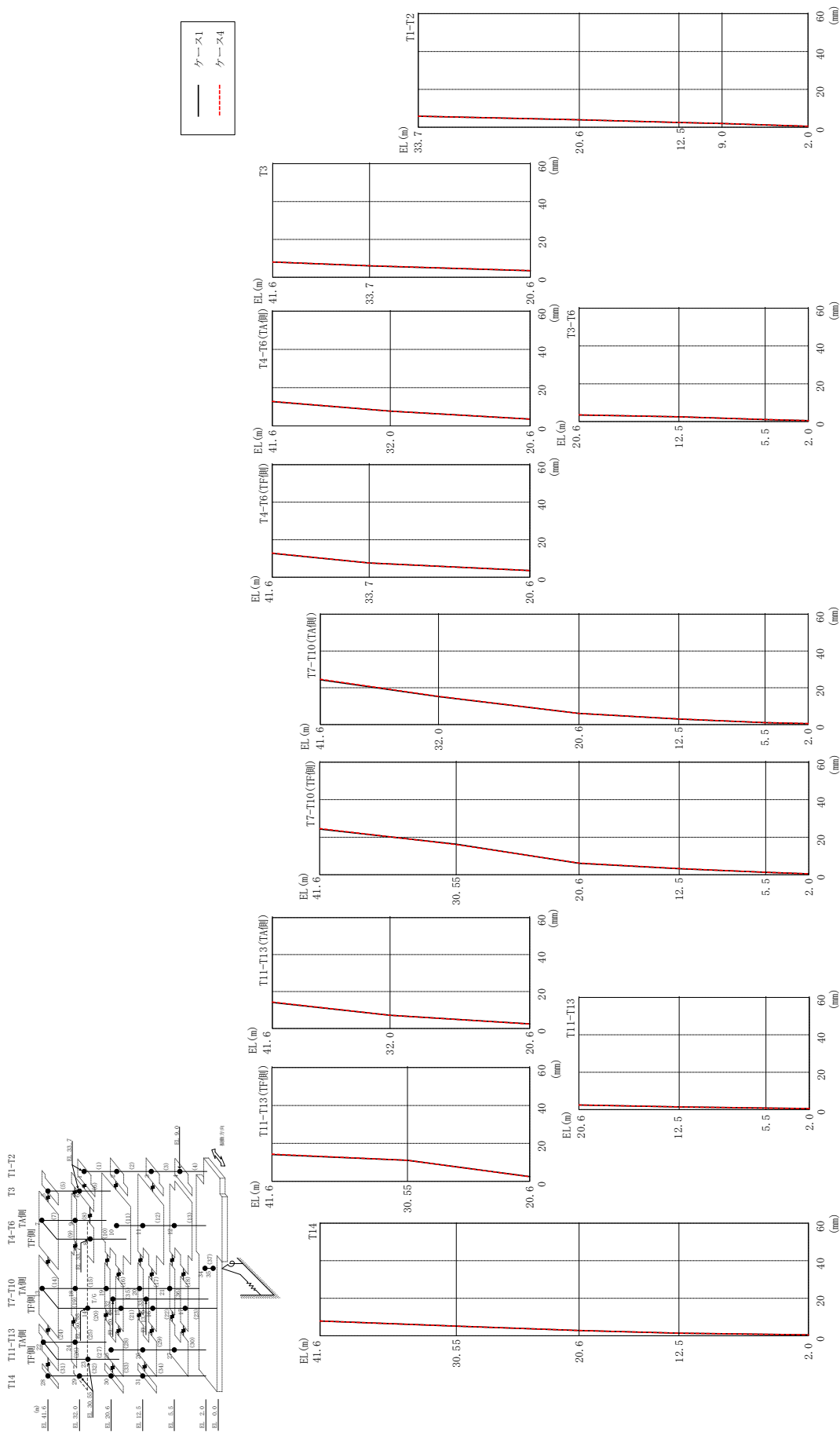
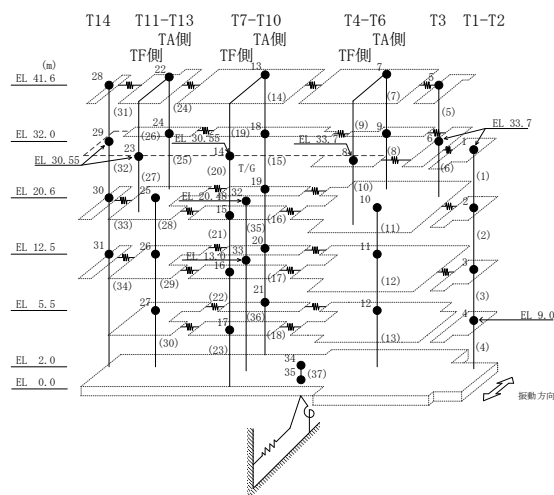


図 2-237 最大応答変位 (弾性設計用地震動 Sd-1, NS 方向)

表 2-209 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7	1	5.82	5.86
	20.6	2	3.91	3.94
	12.5	3	2.54	2.55
	9.0	4	1.98	1.99
T3	41.6	5	8.10	8.12
	33.7	6	6.08	6.13
T4-T6 (TA側)	41.6	7	12.69	12.83
	32.0	9	7.69	7.72
T4-T6 (TF側)	33.7	8	7.57	7.58
T3-T6	20.6	10	3.51	3.53
	12.5	11	2.53	2.54
	5.5	12	1.07	1.08
T7-T10 (TA側)	41.6	13	24.34	24.64
	32.0	18	15.24	15.34
	20.6	19	6.10	6.06
	12.5	20	3.02	3.05
	5.5	21	1.02	1.03
T7-T10 (TF側)	30.55	14	16.32	16.09
	20.6	15	6.12	6.24
	12.5	16	3.27	3.30
	5.5	17	1.32	1.34
T11-T13 (TA側)	41.6	22	14.13	14.33
	32.0	24	7.14	7.18
T11-T13 (TF側)	30.55	23	11.10	11.07
T11-T13	20.6	25	2.48	2.44
	12.5	26	1.44	1.44
	5.5	27	0.79	0.79
T14	41.6	28	7.88	7.90
	30.55	29	5.14	5.12
	20.6	30	2.85	2.82
	12.5	31	1.39	1.37
	2.0	34	0.52	0.53



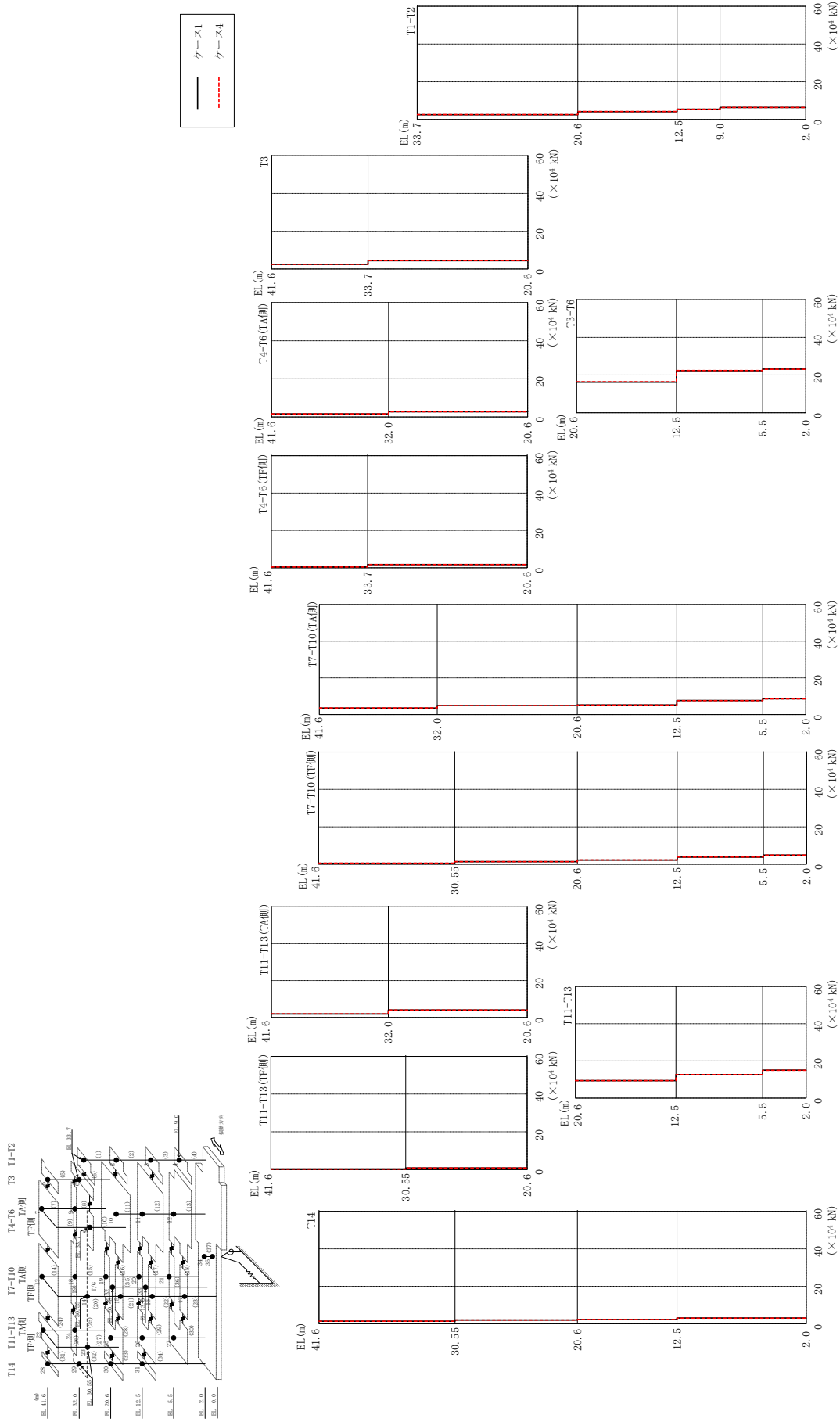
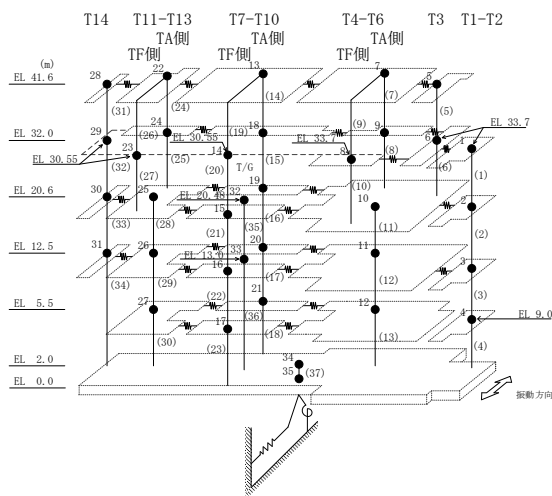


図 2-238 最大心管せん断力 (弾性設計用地震動 S_d-D, N-S 方向)

表 2-210 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.52	2.59
	20.6~12.5	2	4.16	4.20
	12.5~9.0	3	5.41	5.43
	9.0~2.0	4	6.37	6.36
T3	41.6~33.7	5	2.44	2.55
	33.7~20.6	6	4.39	4.52
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.63
	32.0~20.6	8	2.71	2.73
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.437	0.440
	33.7~20.6	10	1.67	1.69
T3-T6	20.6~12.5	11	16.2	16.4
	12.5~5.5	12	22.3	22.4
	5.5~2.0	13	23.1	23.1
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.54	3.64
	32.0~20.6	15	4.85	4.84
	20.6~12.5	16	5.22	5.15
	12.5~5.5	17	7.65	7.60
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.507	0.517
	30.55~20.6	20	1.36	1.36
	20.6~12.5	21	2.22	2.26
	12.5~5.5	22	3.77	3.80
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.87	1.92
	32.0~20.6	25	4.02	4.01
	41.6~30.55	26	0.294	0.282
	30.55~20.6	27	0.853	0.832
T11-T13	20.6~12.5	28	9.43	9.46
	12.5~5.5	29	12.7	12.6
	5.5~2.0	30	15.1	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.41	1.39
	30.55~20.6	32	1.97	2.03
	20.6~12.5	33	2.26	2.26
	12.5~2.0	34	3.06	3.02



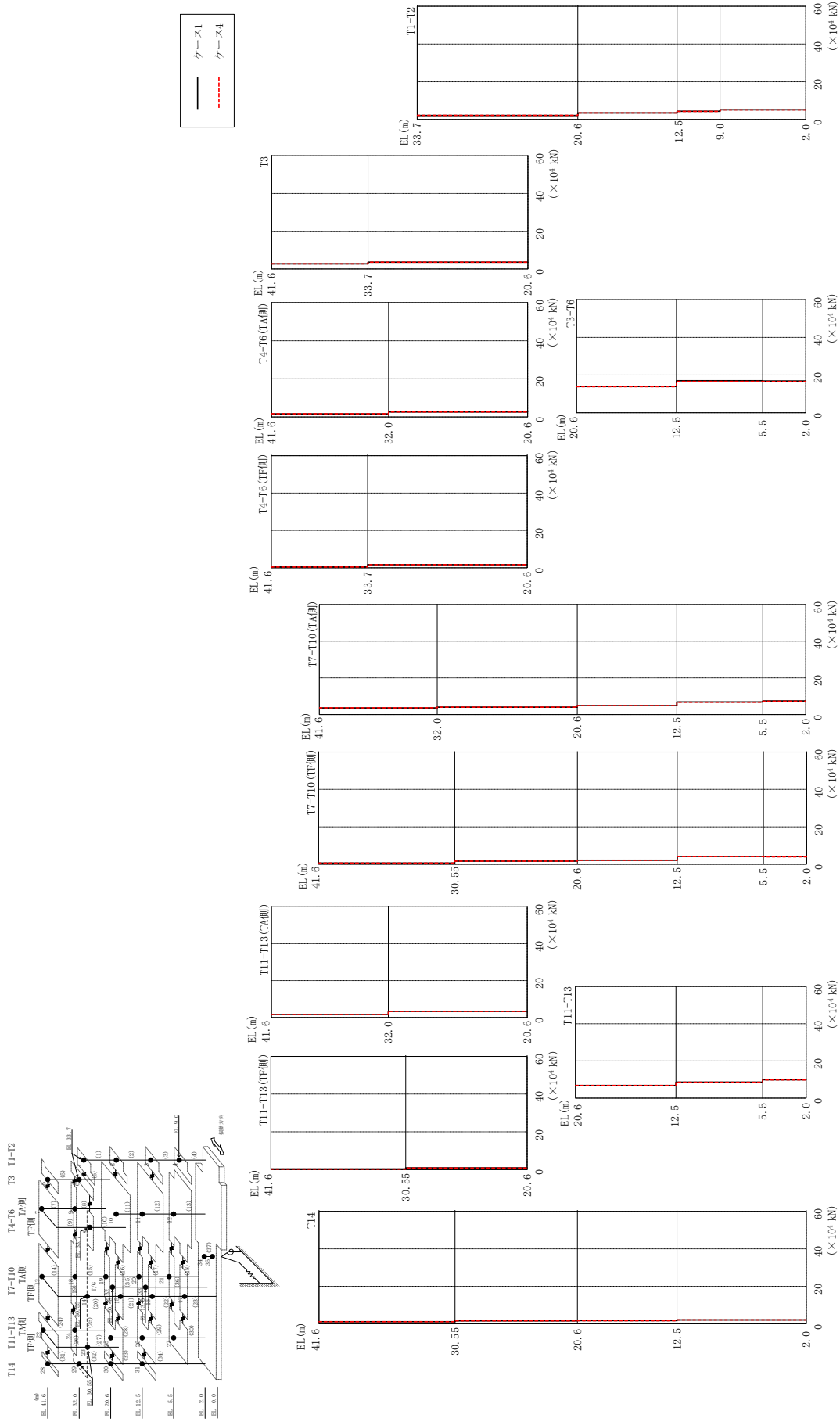
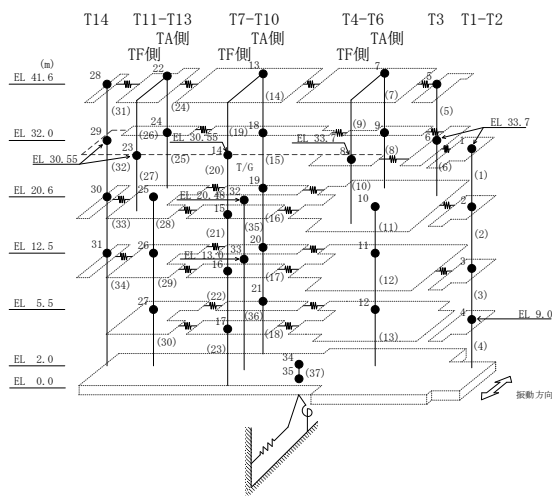


図 2-239 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 Sd-F1, NS 方向)

表 2-211 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.12	2.13
	20.6~12.5	2	3.44	3.43
	12.5~9.0	3	4.33	4.29
	9.0~2.0	4	5.12	5.07
T3	41.6~33.7	5	2.72	2.74
	33.7~20.6	6	3.62	3.64
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.66
	32.0~20.6	8	2.59	2.60
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.412	0.425
	33.7~20.6	10	1.62	1.65
T3-T6	20.6~12.5	11	13.9	13.8
	12.5~5.5	12	16.9	16.6
	5.5~2.0	13	16.8	16.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.62	3.66
	32.0~20.6	15	4.05	3.99
	20.6~12.5	16	4.88	4.83
	12.5~5.5	17	6.86	6.77
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.608	0.605
	30.55~20.6	20	1.64	1.61
	20.6~12.5	21	2.10	2.12
	12.5~5.5	22	4.17	4.12
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.65	1.66
	32.0~20.6	25	3.28	3.30
	41.6~30.55	26	0.292	0.280
	30.55~20.6	27	0.906	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	6.81	6.83
	12.5~5.5	29	8.58	8.55
	5.5~2.0	30	9.91	9.82
T14	41.6~30.55	31	1.11	1.11
	30.55~20.6	32	1.58	1.57
	20.6~12.5	33	1.70	1.67
	12.5~2.0	34	2.07	2.08



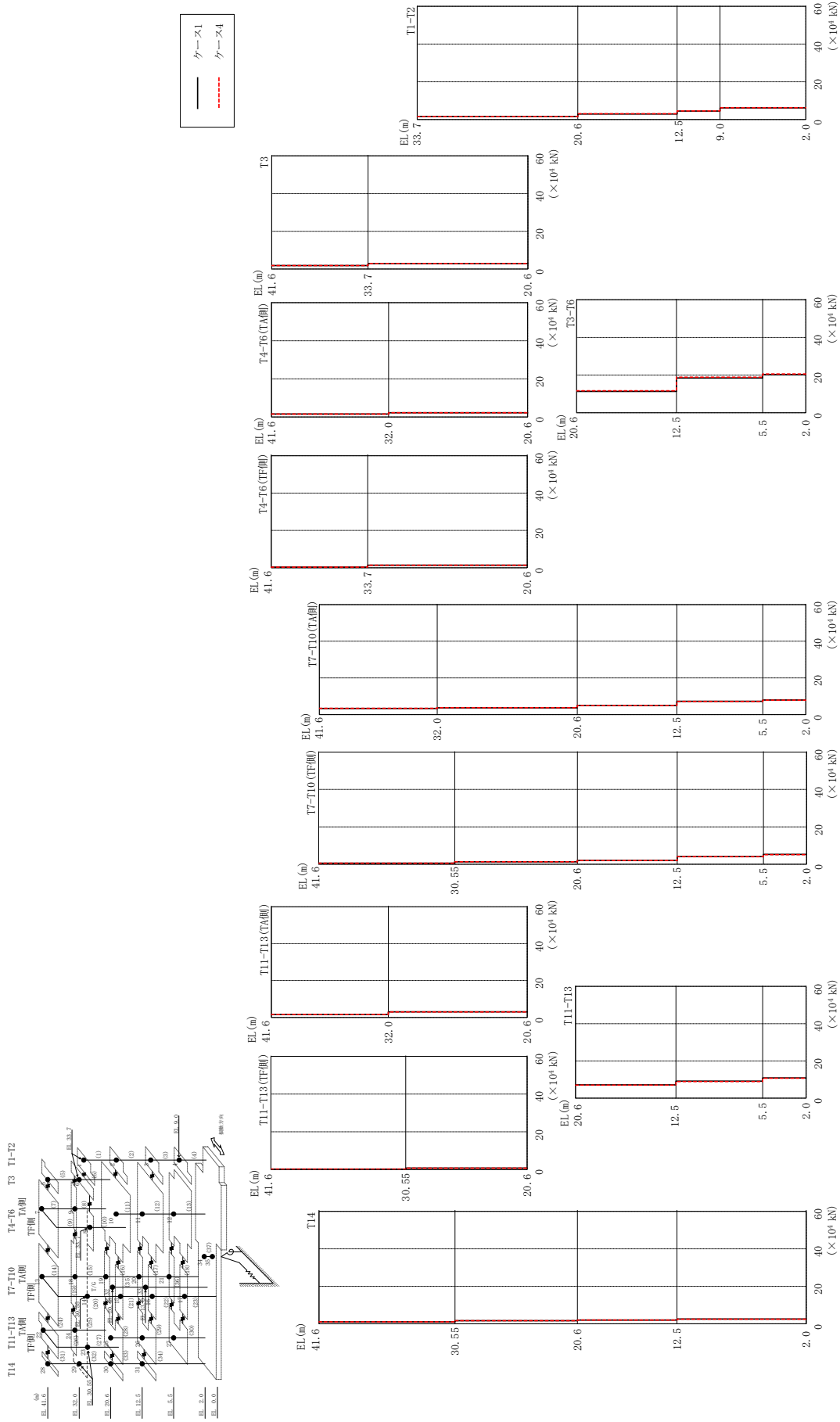
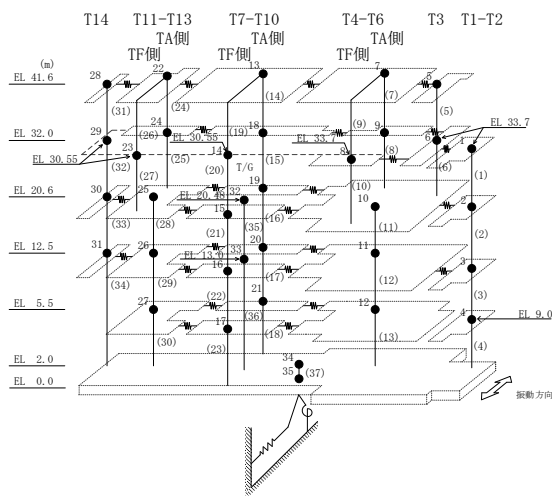


図 2-240 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

表 2-212 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.59	1.56
	20.6~12.5	2	2.94	3.02
	12.5~9.0	3	4.49	4.56
	9.0~2.0	4	6.19	6.22
T3	41.6~33.7	5	1.82	1.83
	33.7~20.6	6	2.89	2.92
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.55	1.56
	32.0~20.6	8	2.18	2.19
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.342	0.347
	33.7~20.6	10	1.37	1.38
T3-T6	20.6~12.5	11	11.3	11.7
	12.5~5.5	12	18.5	18.8
	5.5~2.0	13	20.3	20.6
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.31	3.39
	32.0~20.6	15	3.70	3.74
	20.6~12.5	16	5.03	4.96
	12.5~5.5	17	7.23	7.15
	5.5~2.0	18	7.94	7.85
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.553	0.552
	30.55~20.6	20	1.31	1.29
	20.6~12.5	21	2.04	2.01
	12.5~5.5	22	4.08	4.02
	5.5~2.0	23	5.27	5.15
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.64	1.65
	32.0~20.6	25	3.05	2.96
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.261	0.258
	30.55~20.6	27	0.772	0.773
T11-T13	20.6~12.5	28	7.16	7.01
	12.5~5.5	29	9.12	8.93
	5.5~2.0	30	10.9	10.7
T14	41.6~30.55	31	1.03	1.06
	30.55~20.6	32	1.65	1.66
	20.6~12.5	33	1.98	1.98
	12.5~2.0	34	2.52	2.49



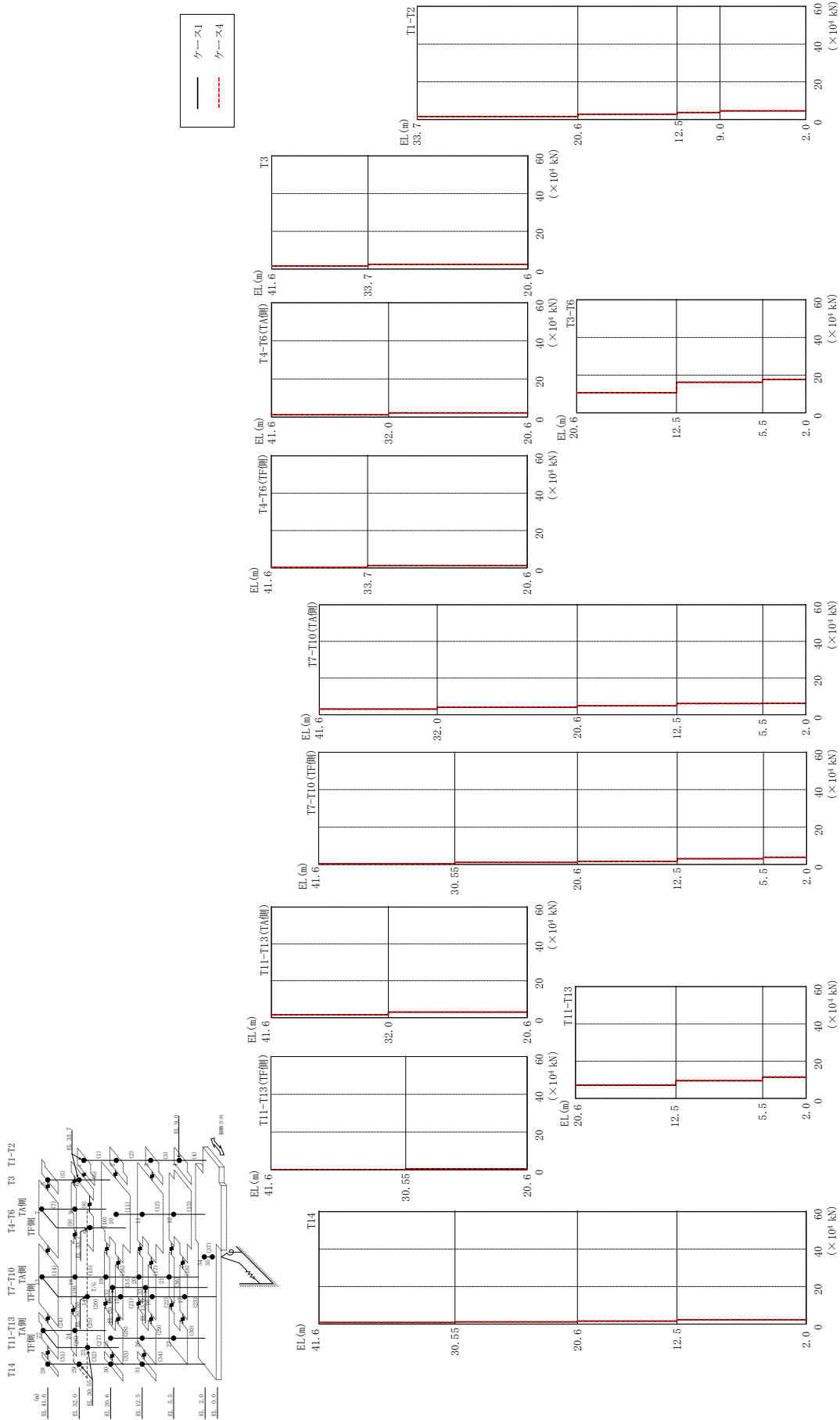
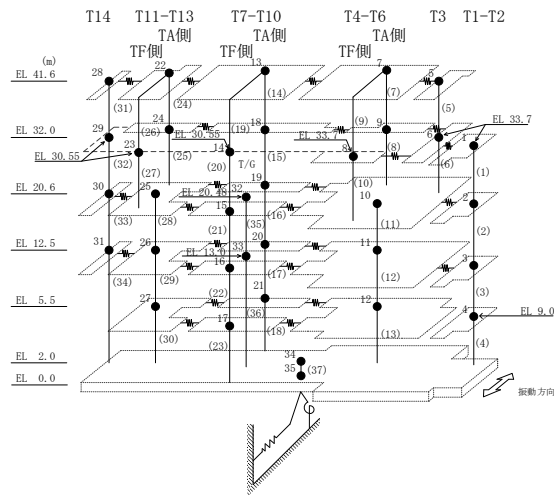


図 2-241 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 Sd-N2NS, NS 方向)

表 2-213 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.55	1.59
	20.6~12.5	2	2.72	2.75
	12.5~9.0	3	3.69	3.71
	9.0~2.0	4	4.64	4.59
T3	41.6~33.7	5	1.64	1.67
	33.7~20.6	6	2.51	2.52
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.19	1.23
	32.0~20.6	8	2.22	2.21
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.271	0.272
	33.7~20.6	10	1.29	1.29
T3-T6	20.6~12.5	11	10.7	10.7
	12.5~5.5	12	16.2	16.3
	5.5~2.0	13	17.7	17.7
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.06	3.08
	32.0~20.6	15	4.10	4.08
	20.6~12.5	16	4.88	4.83
	12.5~5.5	17	6.08	6.03
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.324	0.318
	30.55~20.6	20	1.09	1.06
	20.6~12.5	21	1.55	1.52
	12.5~5.5	22	3.11	3.10
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.56	1.56
	32.0~20.6	25	3.01	3.03
	41.6~30.55	26	0.199	0.200
	30.55~20.6	27	0.571	0.576
T11-T13 (TF側)	20.6~12.5	28	7.08	7.31
	12.5~5.5	29	9.47	9.69
	5.5~2.0	30	11.4	11.6
T14	41.6~30.55	31	0.868	0.874
	30.55~20.6	32	1.16	1.22
	20.6~12.5	33	1.60	1.66
	12.5~2.0	34	2.33	2.39



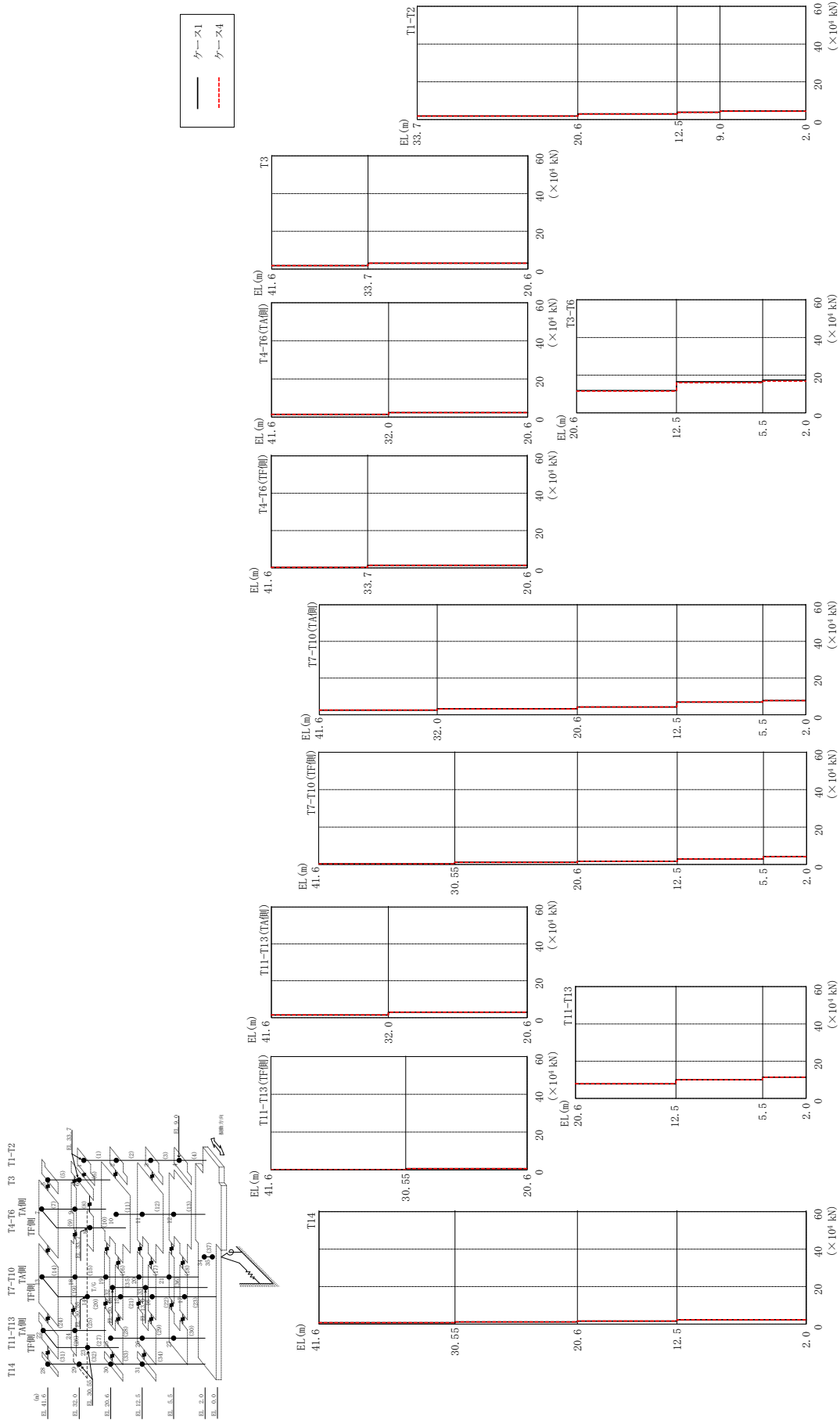
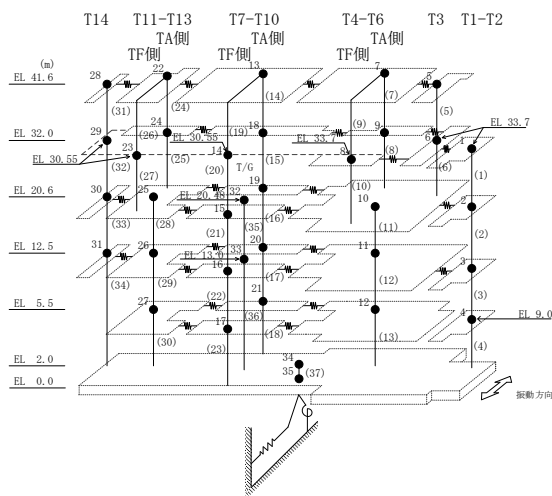


図 2-242 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 Sd-N2EW, NS 方向)

表 2-214 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.84	1.83
	20.6~12.5	2	3.00	2.94
	12.5~9.0	3	3.88	3.77
	9.0~2.0	4	4.55	4.42
T3	41.6~33.7	5	1.86	1.87
	33.7~20.6	6	3.15	3.12
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.38	1.40
	32.0~20.6	8	2.33	2.31
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.276	0.283
	33.7~20.6	10	1.36	1.36
T3-T6	20.6~12.5	11	11.8	11.5
	12.5~5.5	12	16.5	16.0
	5.5~2.0	13	17.4	16.8
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	2.52	2.53
	32.0~20.6	15	3.23	3.17
	20.6~12.5	16	4.23	4.20
	12.5~5.5	17	6.90	6.93
	5.5~2.0	18	7.69	7.71
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.309	0.301
	30.55~20.6	20	1.13	1.10
	20.6~12.5	21	1.70	1.66
	12.5~5.5	22	2.97	2.97
	5.5~2.0	23	4.25	4.20
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.45	1.47
	32.0~20.6	25	2.95	2.98
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.208	0.209
	30.55~20.6	27	0.680	0.684
T11-T13	20.6~12.5	28	7.84	7.90
	12.5~5.5	29	10.0	10.1
	5.5~2.0	30	11.4	11.4
T14	41.6~30.55	31	0.791	0.804
	30.55~20.6	32	1.16	1.19
	20.6~12.5	33	1.62	1.66
	12.5~2.0	34	2.34	2.37



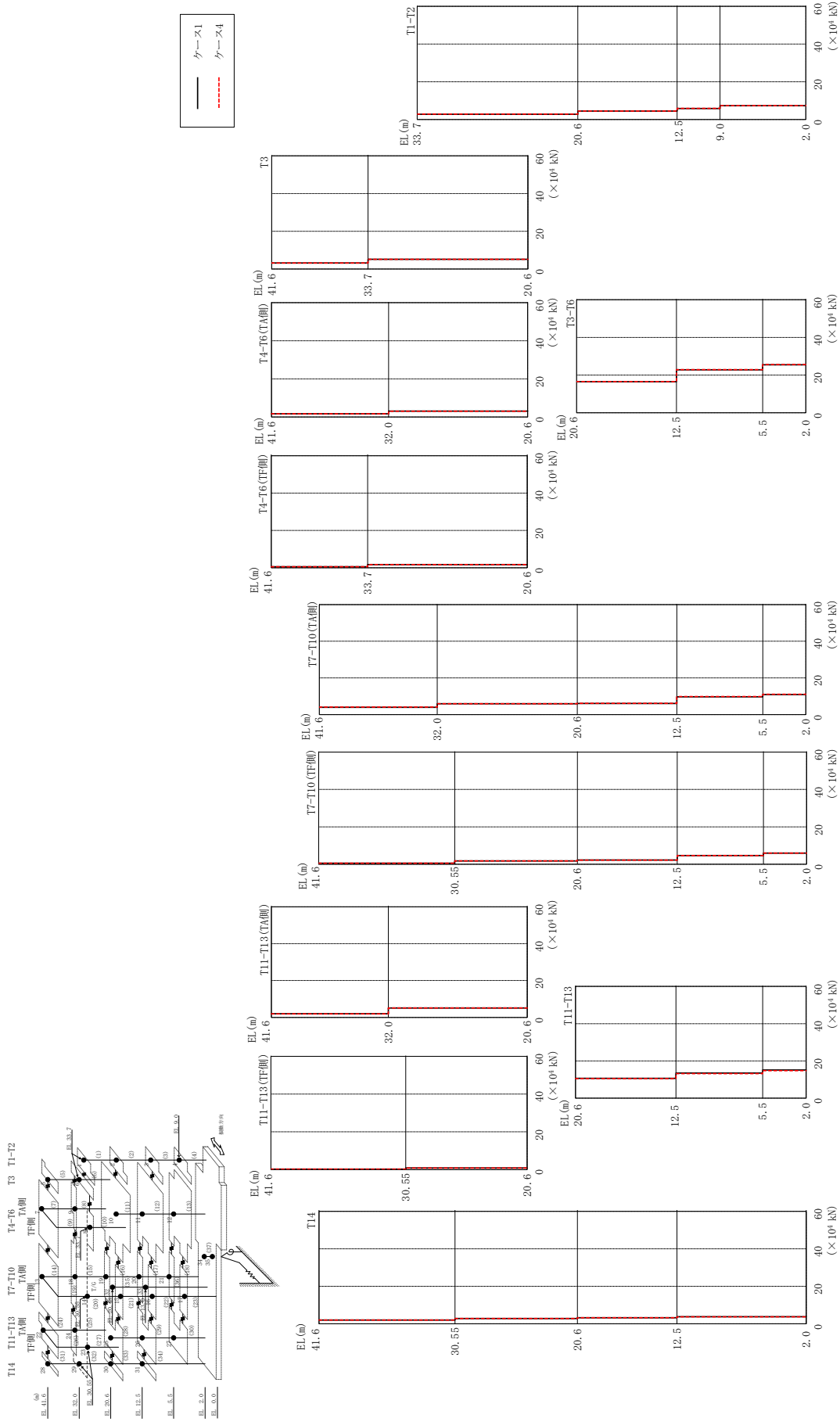
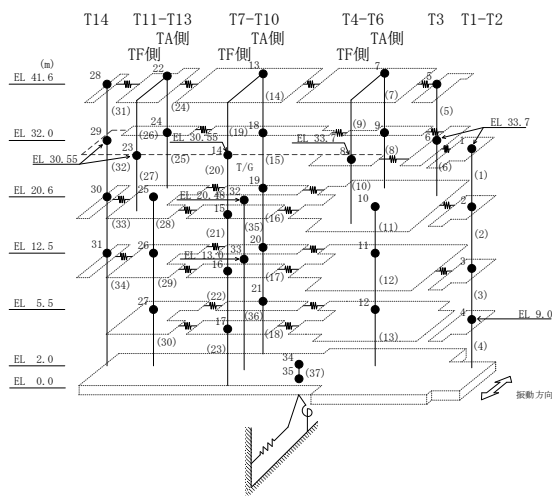


図 2-243 最大芯管せん断力 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

表 2-215 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.80	2.81
	20.6~12.5	2	4.44	4.46
	12.5~9.0	3	5.85	5.87
	9.0~2.0	4	7.34	7.36
T3	41.6~33.7	5	3.18	3.21
	33.7~20.6	6	5.15	5.18
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.66	1.68
	32.0~20.6	8	3.05	3.02
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.513	0.520
	33.7~20.6	10	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	16.5	16.5
	12.5~5.5	12	22.8	22.9
	5.5~2.0	13	25.5	25.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.96	4.06
	32.0~20.6	15	5.92	5.89
	20.6~12.5	16	6.01	6.12
	12.5~5.5	17	9.70	9.80
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.555	0.566
	30.55~20.6	20	1.76	1.75
	20.6~12.5	21	2.25	2.19
	12.5~5.5	22	4.64	4.64
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.95	1.94
	32.0~20.6	25	5.13	5.14
	41.6~30.55	26	0.242	0.226
	30.55~20.6	27	0.857	0.847
T11-T13	20.6~12.5	28	10.6	10.5
	12.5~5.5	29	13.5	13.2
	5.5~2.0	30	15.1	14.8
T14	41.6~30.55	31	1.98	2.01
	30.55~20.6	32	2.82	2.83
	20.6~12.5	33	3.23	3.22
	12.5~2.0	34	3.77	3.72



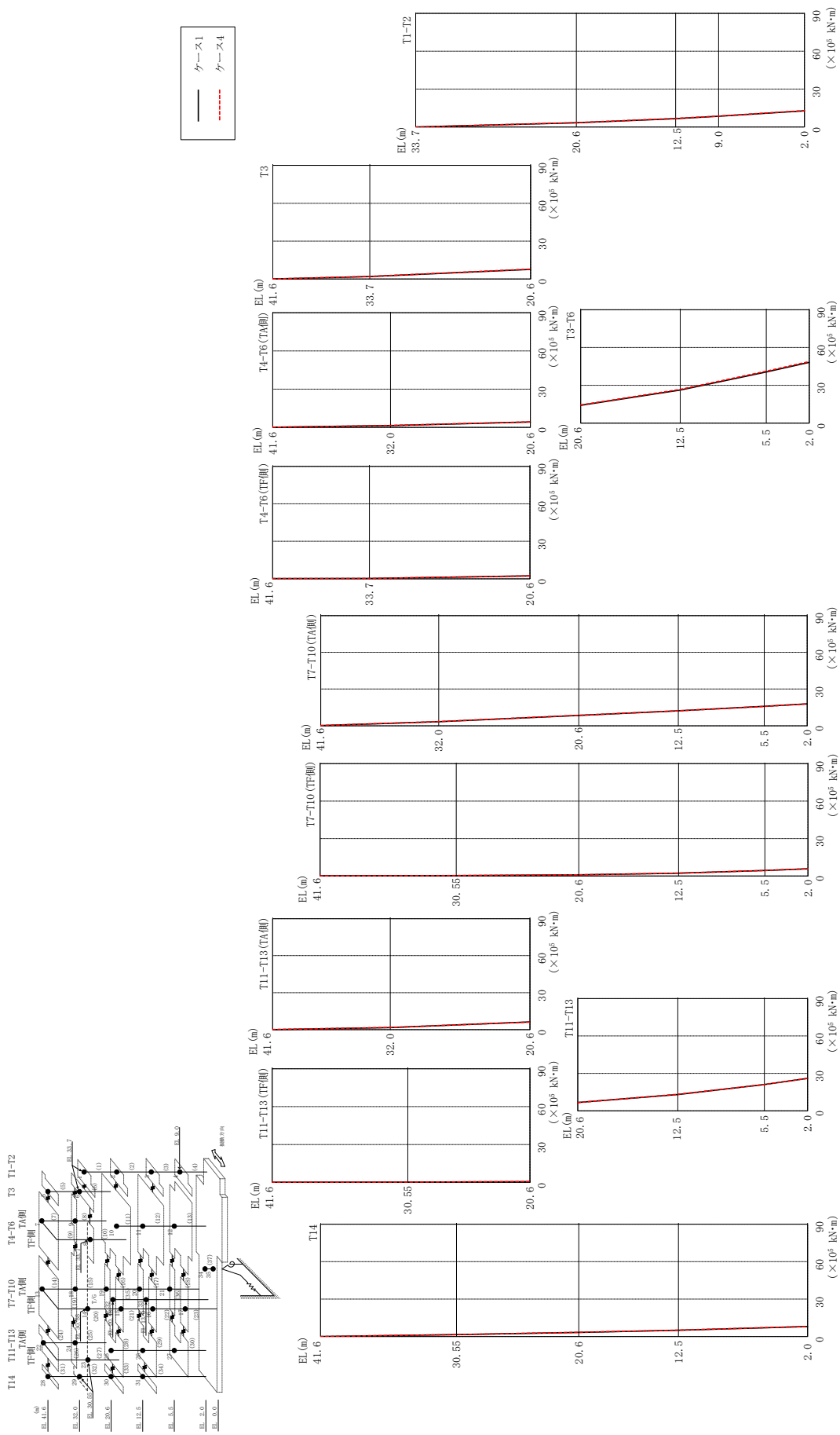


図 2-244 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

表 2-216(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			3.30	3.39
	20.6~12.5	2	3.30	3.39
			6.61	6.74
12.5~9.0	3	6.61	6.74	
		8.45	8.58	
9.0~2.0	4	8.45	8.58	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			1.93	2.01
33.7~20.6	6	1.93	2.01	
		7.61	7.87	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0999	0.0994
			1.45	1.47
32.0~20.6	8	1.45	1.47	
		4.21	4.28	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.128	0.128
			0.217	0.219
33.7~20.6	10	0.217	0.219	
		2.29	2.33	
T3-T6	20.6~12.5	11	14.1	14.5
			26.2	26.7
	12.5~5.5	12	26.2	26.7
40.6			41.2	
5.5~2.0	13	40.6	41.2	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.141	0.144
			3.32	3.42
	32.0~20.6	15	3.32	3.42
			8.47	8.53
	20.6~12.5	16	8.47	8.53
12.2			12.2	
12.5~5.5	17	12.2	12.2	
5.5~2.0	18	15.8	15.7	
			17.9	17.9

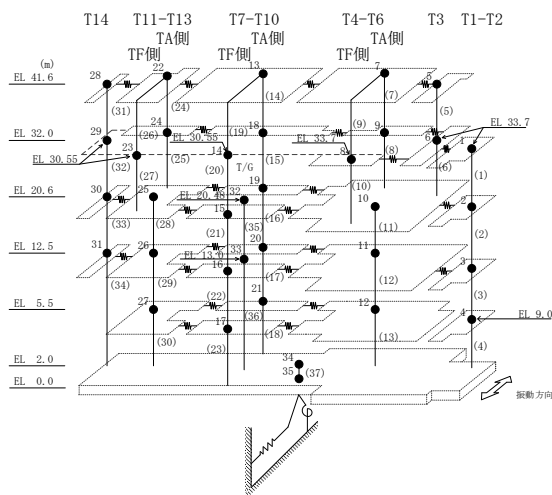
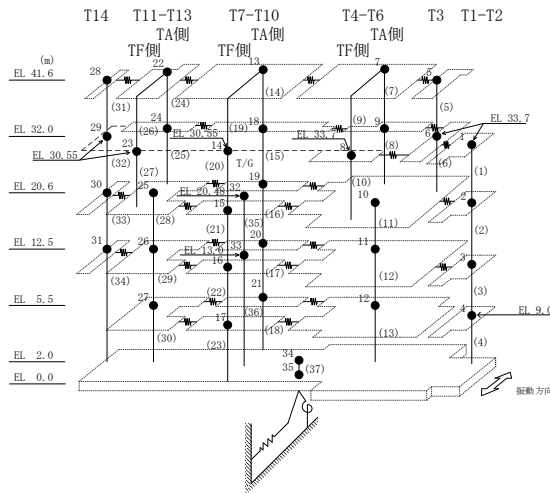


表 2-216(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.177 0.393	0.183 0.398
	30.55~20.6	20	0.393 0.999	0.398 0.991
	20.6~12.5	21	0.999 2.27	0.991 2.32
	12.5~5.5	22	2.27 4.46	2.32 4.50
	5.5~2.0	23	4.46 5.81	4.50 5.86
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0903 1.73	0.0907 1.77
	32.0~20.6	25	1.73 6.23	1.77 6.20
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0928 0.248	0.0904 0.239
	30.55~20.6	27	0.248 0.601	0.239 0.589
T11-T13	20.6~12.5	28	6.59 13.0	6.57 13.3
	12.5~5.5	29	13.0 21.0	13.3 21.1
	5.5~2.0	30	21.0 25.9	21.1 25.9
T14	41.6~30.55	31	0.00 1.56	0.00 1.53
	30.55~20.6	32	1.56 3.33	1.53 3.46
	20.6~12.5	33	3.33 5.09	3.46 5.21
	12.5~2.0	34	5.09 8.03	5.21 8.14



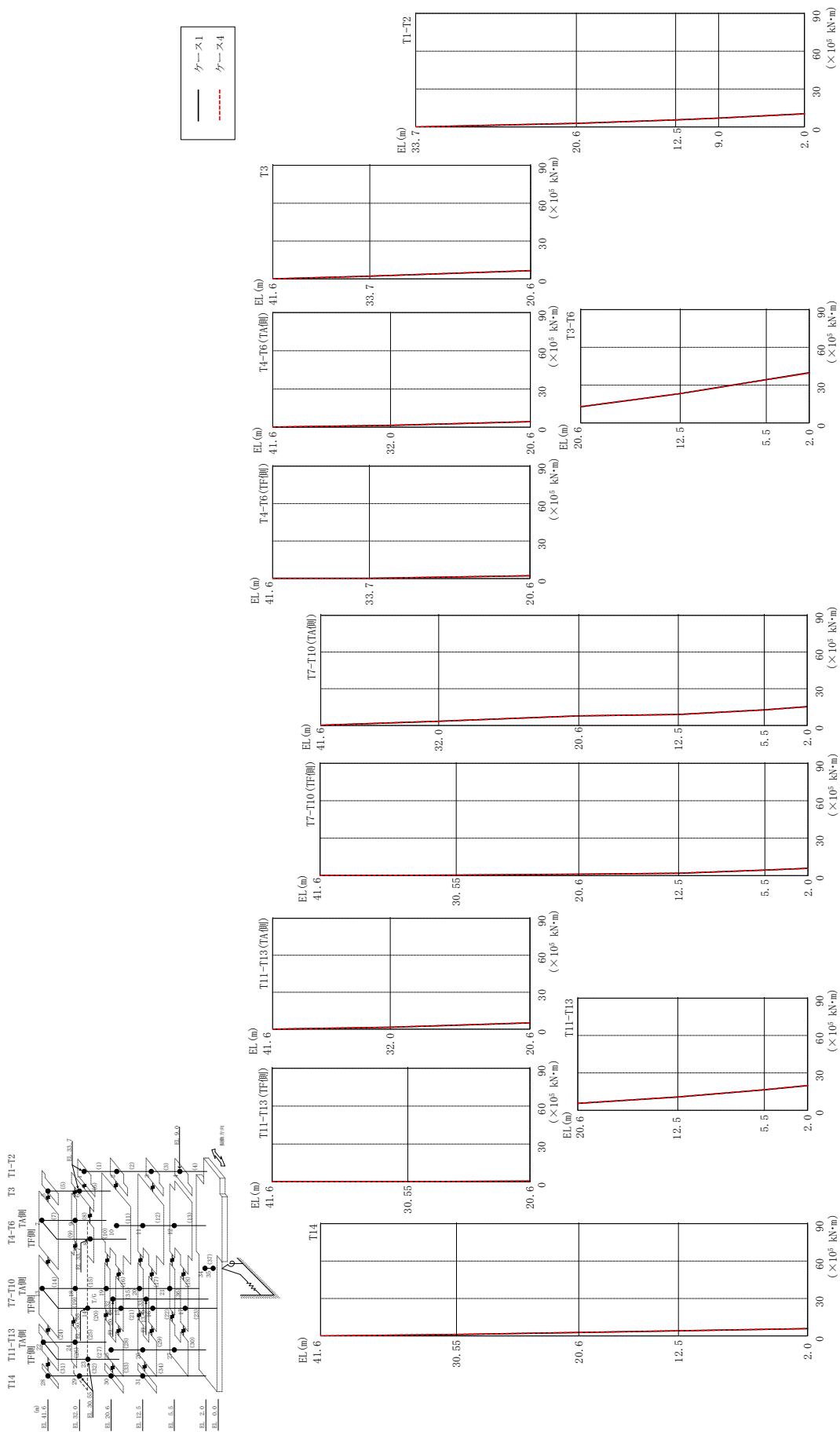


図2-245 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動Sd-F1, NS方向）

表 2-217(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			2.78	2.79
	20.6~12.5	2	2.78	2.79
			5.51	5.50
12.5~9.0	3	5.51	5.50	
		6.98	6.96	
9.0~2.0	4	6.98	6.96	
		10.4	10.3	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			2.15	2.16
33.7~20.6	6	2.15	2.16	
		6.57	6.59	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.107	0.109
			1.44	1.48
32.0~20.6	8	1.44	1.48	
		4.30	4.29	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.124	0.127
			0.202	0.209
33.7~20.6	10	0.202	0.209	
		2.21	2.26	
T3-T6	20.6~12.5	11	12.8	13.0
			23.3	23.3
	12.5~5.5	12	23.3	23.3
34.4			34.2	
5.5~2.0	13	34.4	34.2	
		39.9	39.6	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.120	0.119
			3.37	3.42
	32.0~20.6	15	3.37	3.42
			7.80	7.81
	20.6~12.5	16	7.80	7.81
8.95			8.88	
12.5~5.5	17	8.95	8.88	
		12.8	12.7	
5.5~2.0	18	12.8	12.7	
		15.4	15.2	

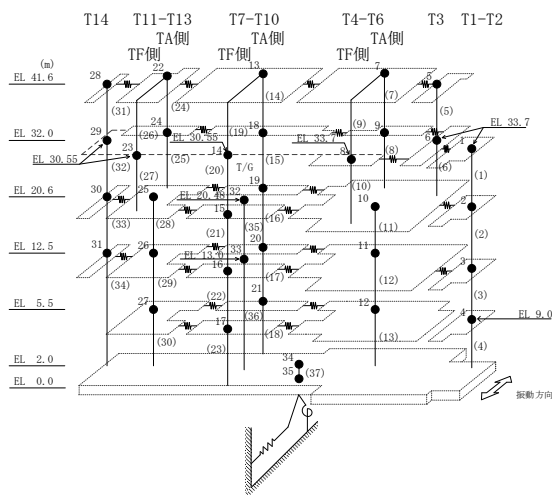
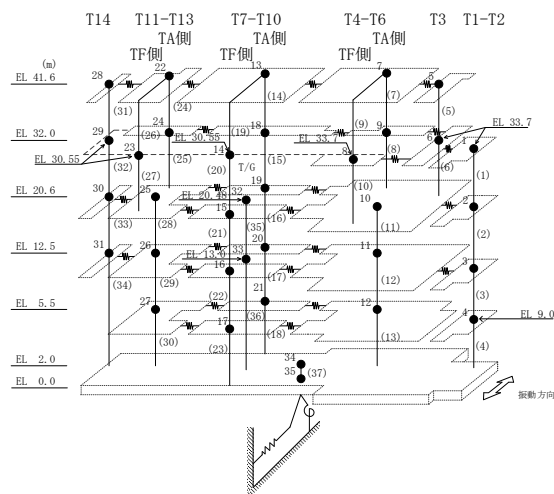


表 2-217(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.178 0.504	0.179 0.500
	30.55~20.6	20	0.504 1.13	0.500 1.11
	20.6~12.5	21	1.13 1.93	1.11 1.94
	12.5~5.5	22	1.93 4.46	1.94 4.44
	5.5~2.0	23	4.46 5.86	4.44 5.80
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0554 1.56	0.0542 1.57
	32.0~20.6	25	1.56 5.18	1.57 5.22
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0953 0.250	0.0907 0.240
	30.55~20.6	27	0.250 0.652	0.240 0.628
T11-T13	20.6~12.5	28	5.53 10.6	5.58 10.6
	12.5~5.5	29	10.6 16.5	10.6 16.6
	5.5~2.0	30	16.5 19.9	16.6 19.9
T14	41.6~30.55	31	0.00 1.22	0.00 1.23
	30.55~20.6	32	1.22 2.80	1.23 2.79
	20.6~12.5	33	2.80 4.18	2.79 4.14
	12.5~2.0	34	4.18 5.95	4.14 5.86



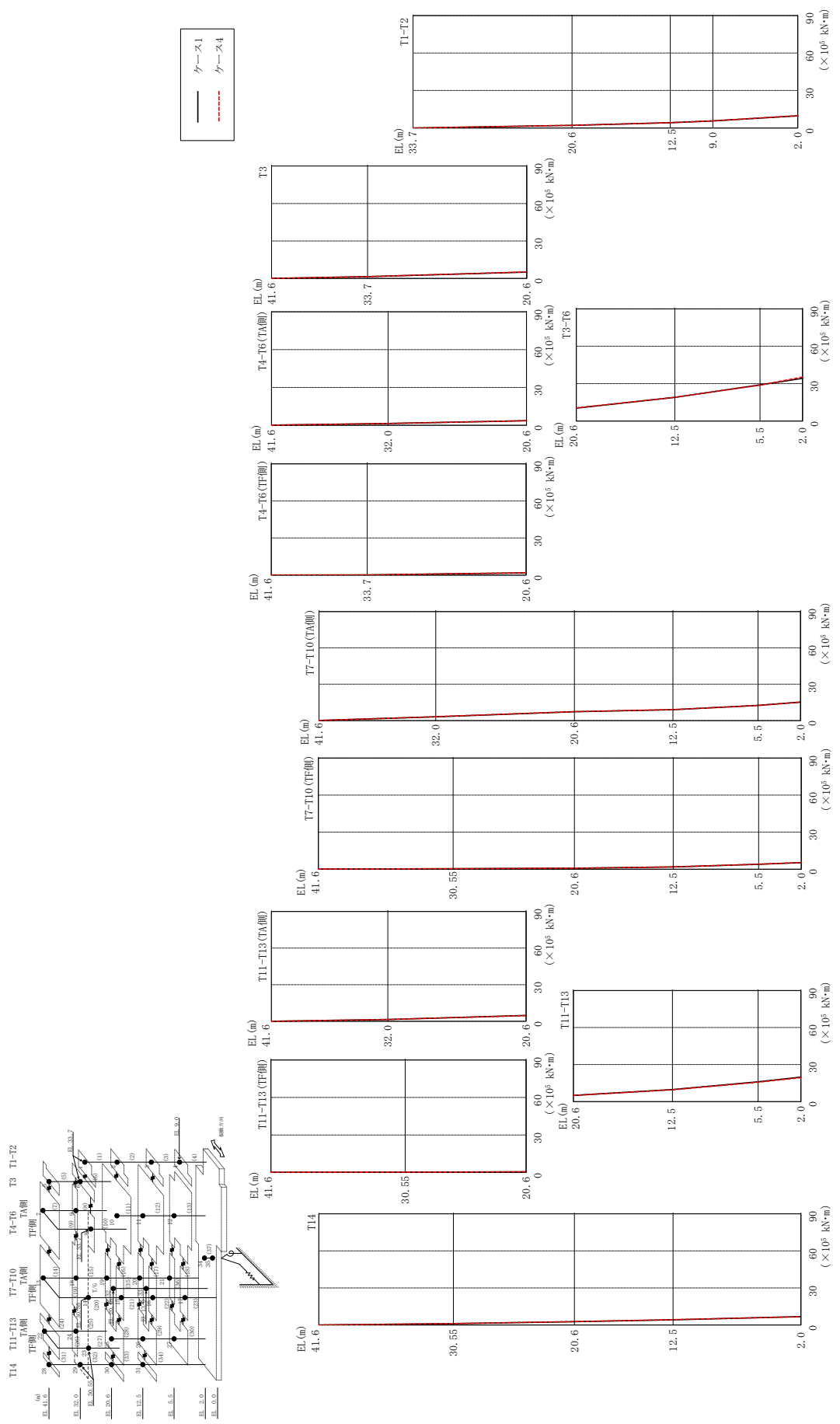


図 2-246 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

表 2-218(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			2.08	2.05
	20.6~12.5	2	2.08	2.05
			4.25	4.23
12.5~9.0	3	4.25	4.23	
		5.64	5.61	
9.0~2.0	4	5.64	5.61	
		9.70	9.88	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			1.44	1.45
33.7~20.6	6	1.44	1.45	
		5.08	5.16	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0764	0.0774
			1.42	1.42
32.0~20.6	8	1.42	1.42	
		3.64	3.64	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.0993	0.101
			0.171	0.173
33.7~20.6	10	0.171	0.173	
		1.86	1.86	
T3-T6	20.6~12.5	11	10.4	10.5
			19.0	19.0
	12.5~5.5	12	19.0	19.0
29.0			28.8	
5.5~2.0	13	29.0	28.8	
		34.3	35.3	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.0923	0.0921
			3.09	3.16
	32.0~20.6	15	3.09	3.16
			7.30	7.42
	20.6~12.5	16	7.30	7.42
8.93			9.09	
12.5~5.5	17	8.93	9.09	
		12.5	12.4	
5.5~2.0	18	12.5	12.4	
		15.2	15.1	

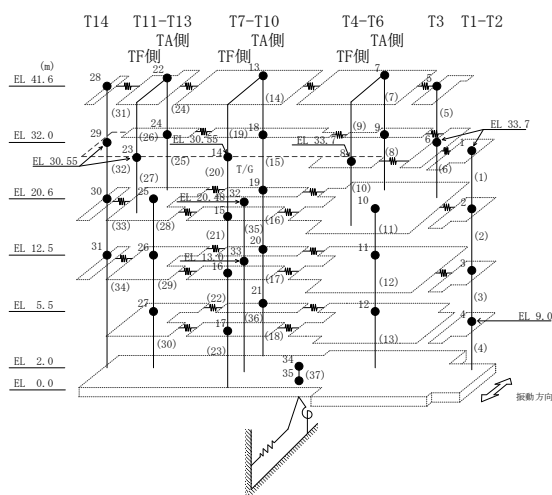


表 2-218(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.173 0.440	0.174 0.438
	30.55~20.6	20	0.440 0.870	0.438 0.857
	20.6~12.5	21	0.870 1.91	0.857 1.88
	12.5~5.5	22	1.91 4.06	1.88 4.10
	5.5~2.0	23	4.06 5.38	4.10 5.47
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0610 1.52	0.0625 1.53
	32.0~20.6	25	1.52 4.79	1.53 4.77
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0770 0.221	0.0755 0.220
	30.55~20.6	27	0.221 0.548	0.220 0.551
T11-T13	20.6~12.5	28	5.02 9.74	5.01 9.50
	12.5~5.5	29	9.74 16.0	9.50 15.7
	5.5~2.0	30	16.0 19.8	15.7 19.4
T14	41.6~30.55	31	0.00 1.14	0.00 1.17
	30.55~20.6	32	1.14 2.75	1.17 2.80
	20.6~12.5	33	2.75 4.30	2.80 4.33
	12.5~2.0	34	4.30 6.78	4.33 6.75

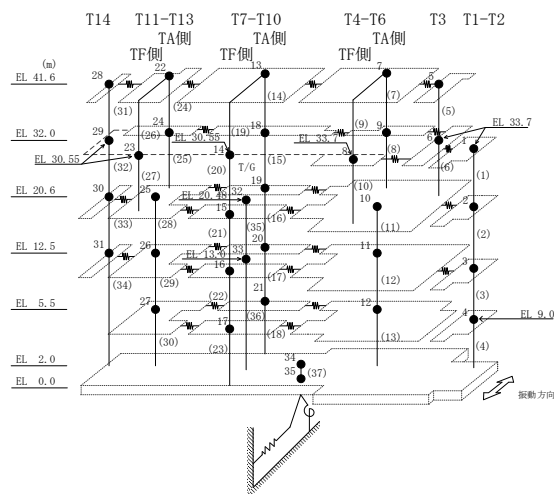


表 2-219(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			2.03	2.09
	20.6~12.5	2	2.03	2.09
			4.21	4.30
12.5~9.0	3	4.21	4.30	
		5.47	5.56	
9.0~2.0	4	5.47	5.56	
		8.46	8.55	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			1.29	1.32
33.7~20.6	6	1.29	1.32	
		4.56	4.60	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0612	0.0621
			1.08	1.11
32.0~20.6	8	1.08	1.11	
		3.60	3.62	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.0781	0.0780
			0.136	0.137
33.7~20.6	10	0.136	0.137	
		1.73	1.72	
T3-T6	20.6~12.5	11	9.59	9.63
			18.0	18.0
	12.5~5.5	12	18.0	18.0
28.1			27.9	
5.5~2.0	13	28.1	27.9	
		33.4	33.1	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.106	0.106
			2.83	2.86
	32.0~20.6	15	2.83	2.86
			7.45	7.44
	20.6~12.5	16	7.45	7.44
9.86			9.95	
12.5~5.5	17	9.86	9.95	
		13.9	13.9	
5.5~2.0	18	13.9	13.9	
		16.0	16.0	

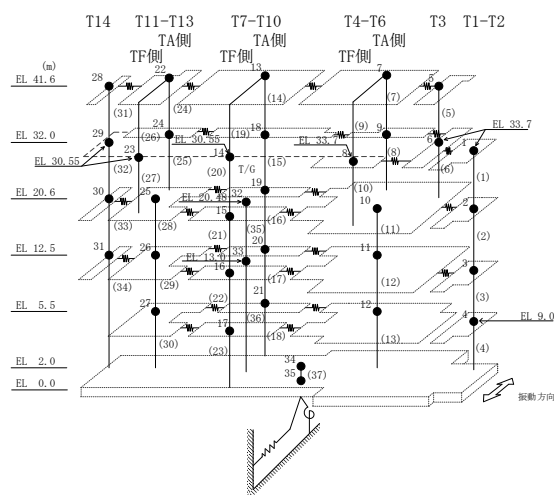


表 2-219(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.111 0.288	0.114 0.282
	30.55~20.6	20	0.288 0.810	0.282 0.791
	20.6~12.5	21	0.810 1.74	0.791 1.73
	12.5~5.5	22	1.74 3.45	1.73 3.43
	5.5~2.0	23	3.45 4.77	3.43 4.74
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0504 1.46	0.0519 1.46
	32.0~20.6	25	1.46 4.88	1.46 4.87
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0565 0.167	0.0574 0.168
	30.55~20.6	27	0.167 0.401	0.168 0.406
T11-T13	20.6~12.5	28	5.23 9.69	5.23 10.2
	12.5~5.5	29	9.69 16.3	10.2 16.9
	5.5~2.0	30	16.3 20.3	16.9 21.0
T14	41.6~30.55	31	0.00 0.959	0.00 0.966
	30.55~20.6	32	0.959 2.03	0.966 2.05
	20.6~12.5	33	2.03 3.21	2.05 3.37
	12.5~2.0	34	3.21 5.65	3.37 5.88

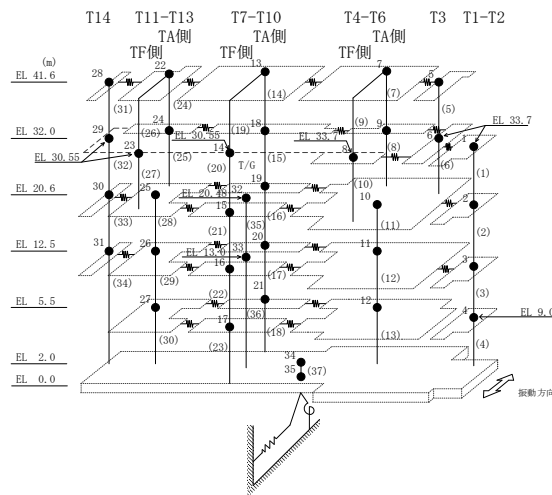


表 2-220(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			2.41	2.39
	20.6~12.5	2	2.41	2.39
			4.79	4.72
12.5~9.0	3	4.79	4.72	
		6.12	6.01	
9.0~2.0	4	6.12	6.01	
		9.28	9.10	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			1.47	1.48
33.7~20.6	6	1.47	1.48	
		5.51	5.46	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.0716	0.0725
			1.25	1.27
32.0~20.6	8	1.25	1.27	
		3.80	3.79	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.0832	0.0850
			0.135	0.138
33.7~20.6	10	0.135	0.138	
		1.87	1.86	
T3-T6	20.6~12.5	11	11.2	11.1
			19.8	19.4
	12.5~5.5	12	19.8	19.4
30.1			29.4	
5.5~2.0	13	30.1	29.4	
		36.0	35.1	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.0865	0.0869
			2.36	2.37
	32.0~20.6	15	2.36	2.37
			5.90	5.87
	20.6~12.5	16	5.90	5.87
8.38			8.32	
12.5~5.5	17	8.38	8.32	
		11.6	11.5	
5.5~2.0	18	11.6	11.5	
		13.6	13.5	

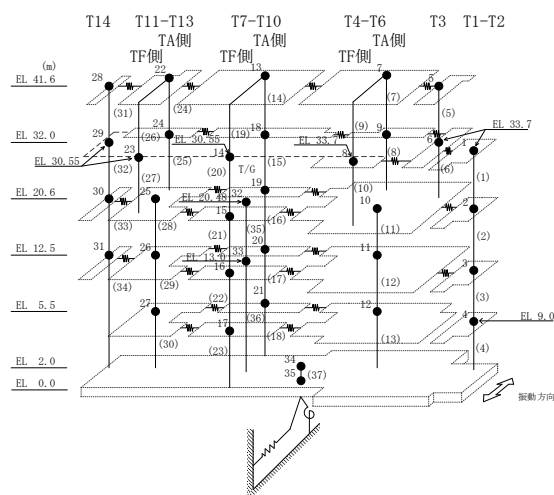
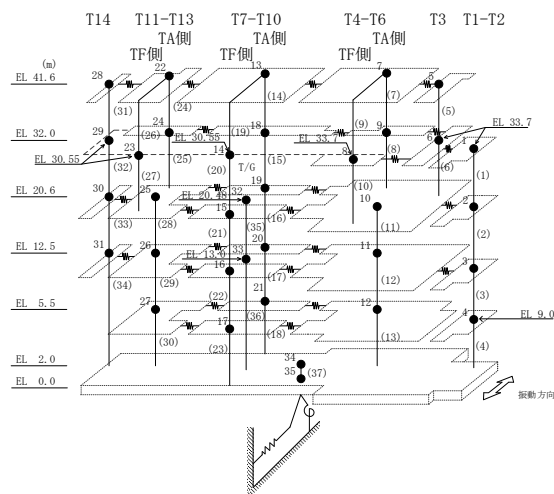


表 2-220(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, N S 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.112 0.283	0.115 0.275
	30.55~20.6	20	0.283 0.852	0.275 0.830
	20.6~12.5	21	0.852 1.88	0.830 1.84
	12.5~5.5	22	1.88 3.69	1.84 3.62
	5.5~2.0	23	3.69 5.17	3.62 5.09
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0524 1.38	0.0514 1.40
	32.0~20.6	25	1.38 4.53	1.40 4.58
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0666 0.184	0.0666 0.184
	30.55~20.6	27	0.184 0.493	0.184 0.496
T11-T13	20.6~12.5	28	4.68 10.7	4.76 10.9
	12.5~5.5	29	10.7 17.6	10.9 17.8
	5.5~2.0	30	17.6 21.4	17.8 21.7
T14	41.6~30.55	31	0.00 0.874	0.00 0.889
	30.55~20.6	32	0.874 1.98	0.889 2.03
	20.6~12.5	33	1.98 3.21	2.03 3.30
	12.5~2.0	34	3.21 5.58	3.30 5.72



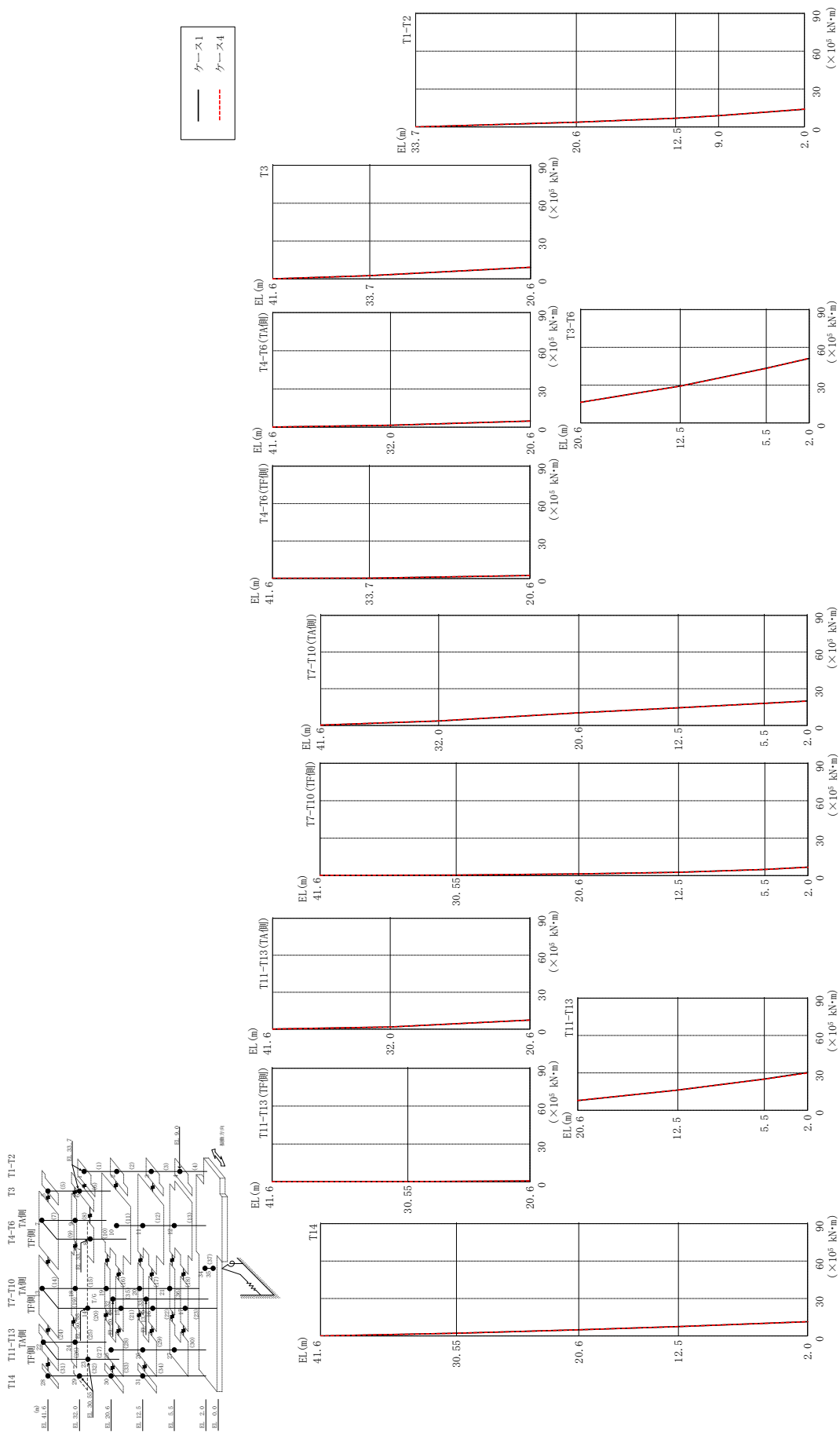


図2-249 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動Sd-1, N-S方向)

表 2-221(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, N S 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			ケース1	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			3.67	3.68
	20.6~12.5	2	3.67	3.68
			6.83	6.90
12.5~9.0	3	6.83	6.90	
		8.87	8.95	
9.0~2.0	4	8.87	8.95	
		14.0	14.1	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			2.51	2.54
33.7~20.6	6	2.51	2.54	
		9.21	9.24	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.133	0.135
			1.46	1.48
32.0~20.6	8	1.46	1.48	
		4.82	4.82	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.154	0.156
			0.251	0.255
33.7~20.6	10	0.251	0.255	
		2.44	2.42	
T3-T6	20.6~12.5	11	16.4	16.4
			29.3	29.2
	12.5~5.5	12	29.3	29.2
43.5			43.3	
5.5~2.0	13	43.5	43.3	
		51.2	51.4	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.220	0.224
			3.60	3.69
	32.0~20.6	15	3.60	3.69
			10.3	10.4
	20.6~12.5	16	10.3	10.4
14.4			14.4	
12.5~5.5	17	14.4	14.4	
		18.1	18.0	
5.5~2.0	18	18.1	18.0	
		19.9	19.8	

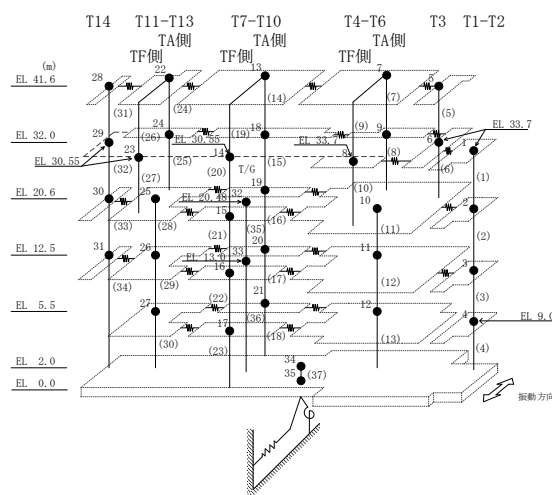
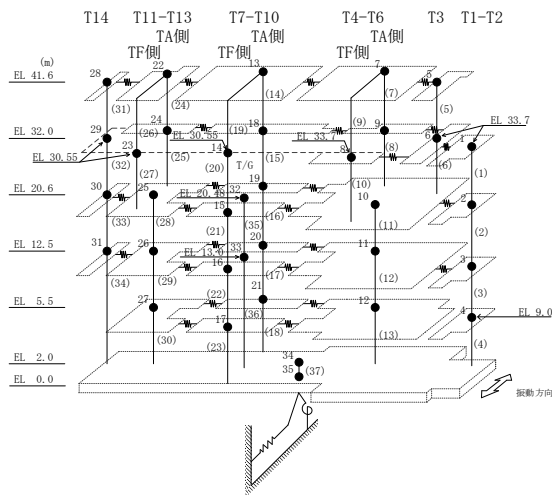


表 2-221(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.236 0.421	0.241 0.429
	30.55~20.6	20	0.421 1.35	0.429 1.34
	20.6~12.5	21	1.35 2.71	1.34 2.59
	12.5~5.5	22	2.71 5.02	2.59 4.93
	5.5~2.0	23	5.02 6.80	4.93 6.77
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.143 1.76	0.146 1.75
	32.0~20.6	25	1.76 7.38	1.75 7.45
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.118 0.205	0.119 0.192
	30.55~20.6	27	0.205 0.688	0.192 0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	7.76 16.2	7.84 16.2
	12.5~5.5	29	16.2 25.1	16.2 24.9
	5.5~2.0	30	25.1 30.3	24.9 29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00 2.19	0.00 2.22
	30.55~20.6	32	2.19 4.93	2.22 4.98
	20.6~12.5	33	4.93 7.53	4.98 7.57
	12.5~2.0	34	7.53 11.4	7.57 11.4



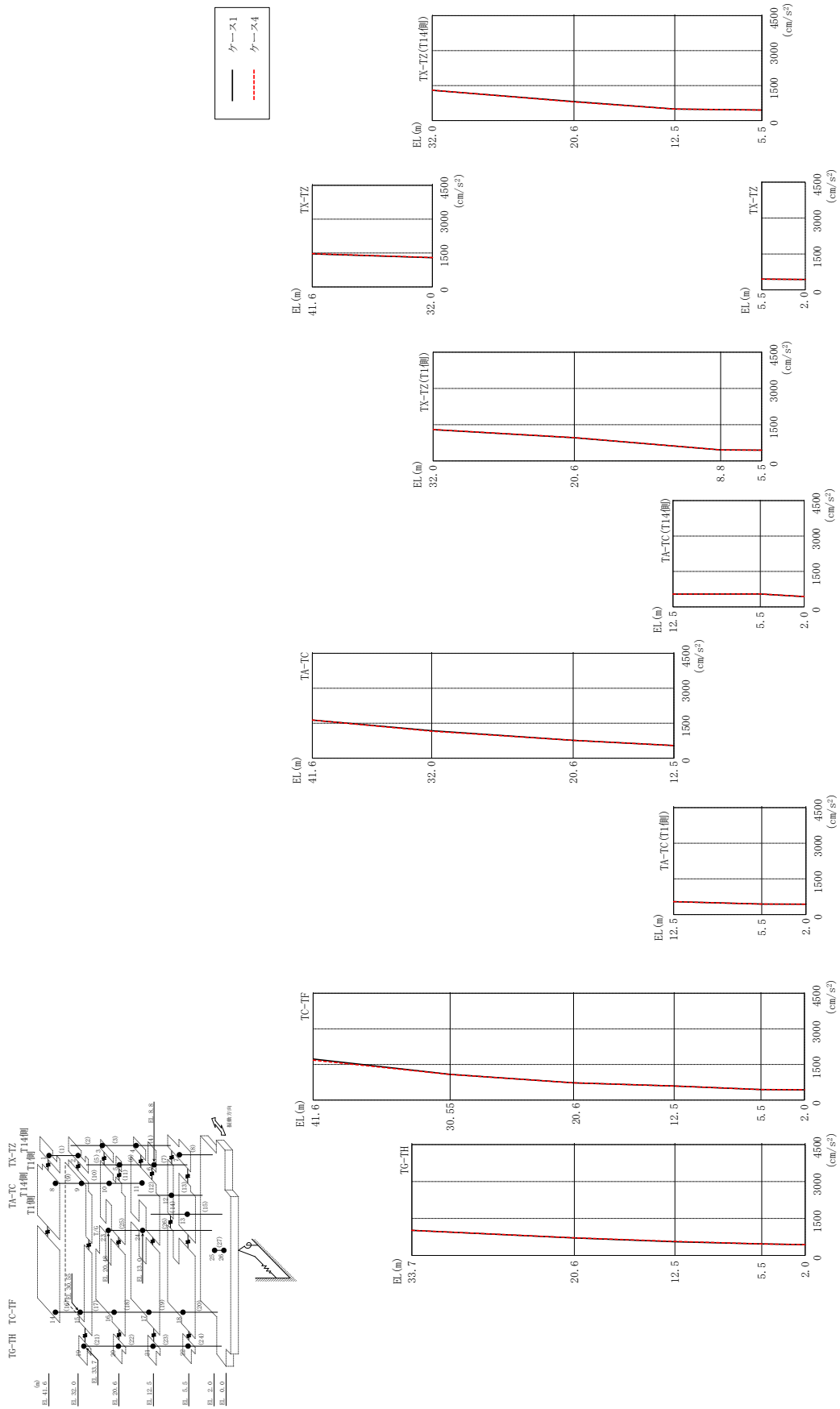
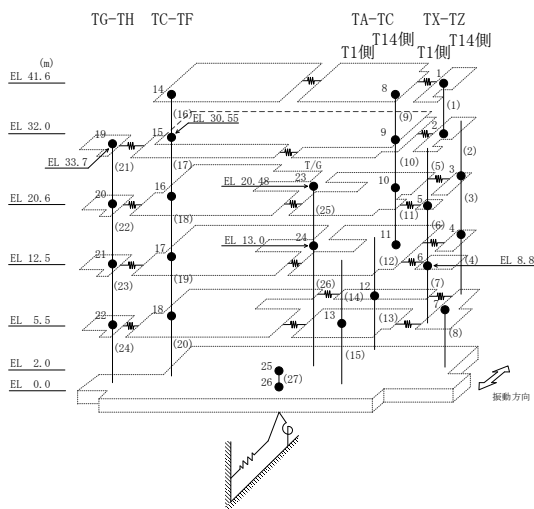


図 2-250 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

表 2-222 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, E W方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1464	1473
	32.0	2	1296	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	813	797
	12.5	4	492	490
TX-TZ (T1側)	20.6	5	962	966
	8.8	6	459	459
TX-TZ	5.5	7	448	450
TA-TC	41.6	8	1636	1635
	32.0	9	1177	1154
	20.6	10	766	765
	12.5	11	541	542
TA-TC (T14側)	5.5	12	548	547
TA-TC (T1側)	5.5	13	439	439
TC-TF	41.6	14	1729	1684
	30.55	15	1083	1079
	20.6	16	727	726
	12.5	17	594	594
	5.5	18	443	443
TG-TH	33.7	19	1020	1018
	20.6	20	709	713
	12.5	21	556	570
	5.5	22	466	468
	2.0	25	435	437



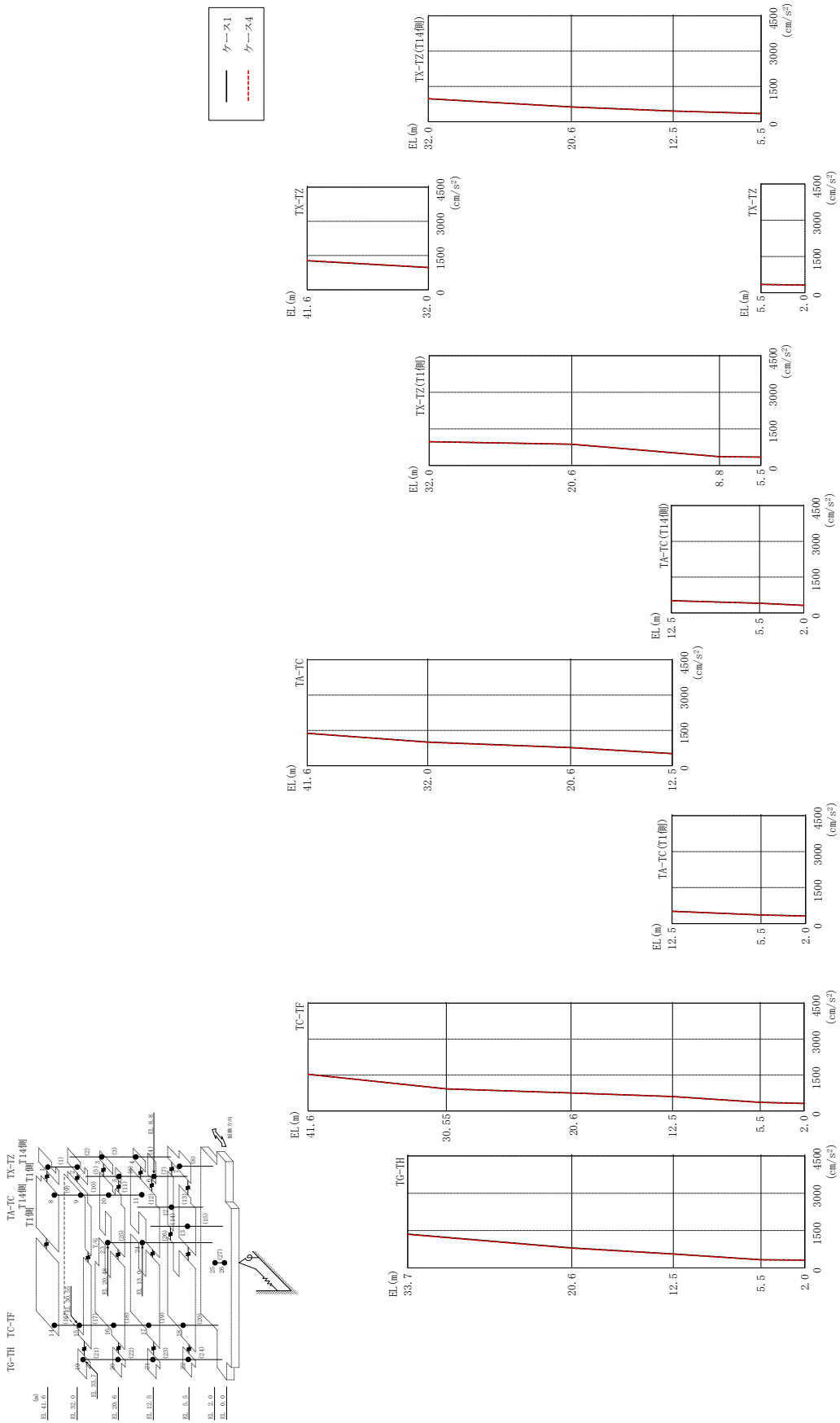
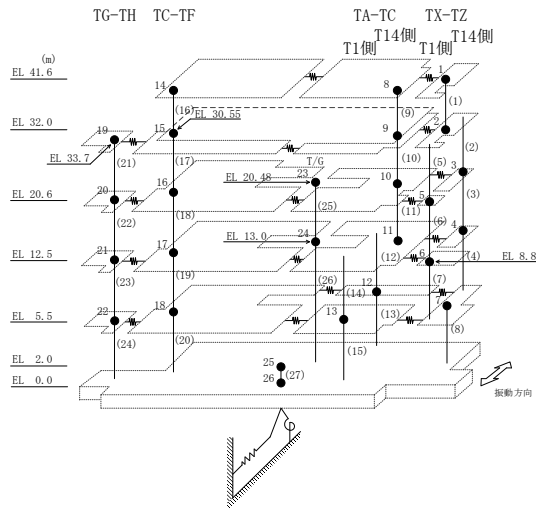


図 2-251 最大心管加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

表 2-223 最大応答加速度一覧（弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向）

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1273	1284
	32.0	2	975	979
TX-TZ (T14側)	20.6	3	630	625
	12.5	4	453	448
TX-TZ (T1側)	20.6	5	874	879
	8.8	6	365	364
TX-TZ	5.5	7	346	345
TA-TC	41.6	8	1372	1384
	32.0	9	1004	996
	20.6	10	770	767
	12.5	11	515	510
TA-TC (T14側)	5.5	12	404	403
TA-TC (T1側)	5.5	13	362	361
TC-TF	41.6	14	1534	1534
	30.55	15	924	924
	20.6	16	755	756
	12.5	17	604	603
	5.5	18	365	361
TG-TH	33.7	19	1356	1349
	20.6	20	802	793
	12.5	21	559	558
	5.5	22	330	326
	2.0	25	316	314



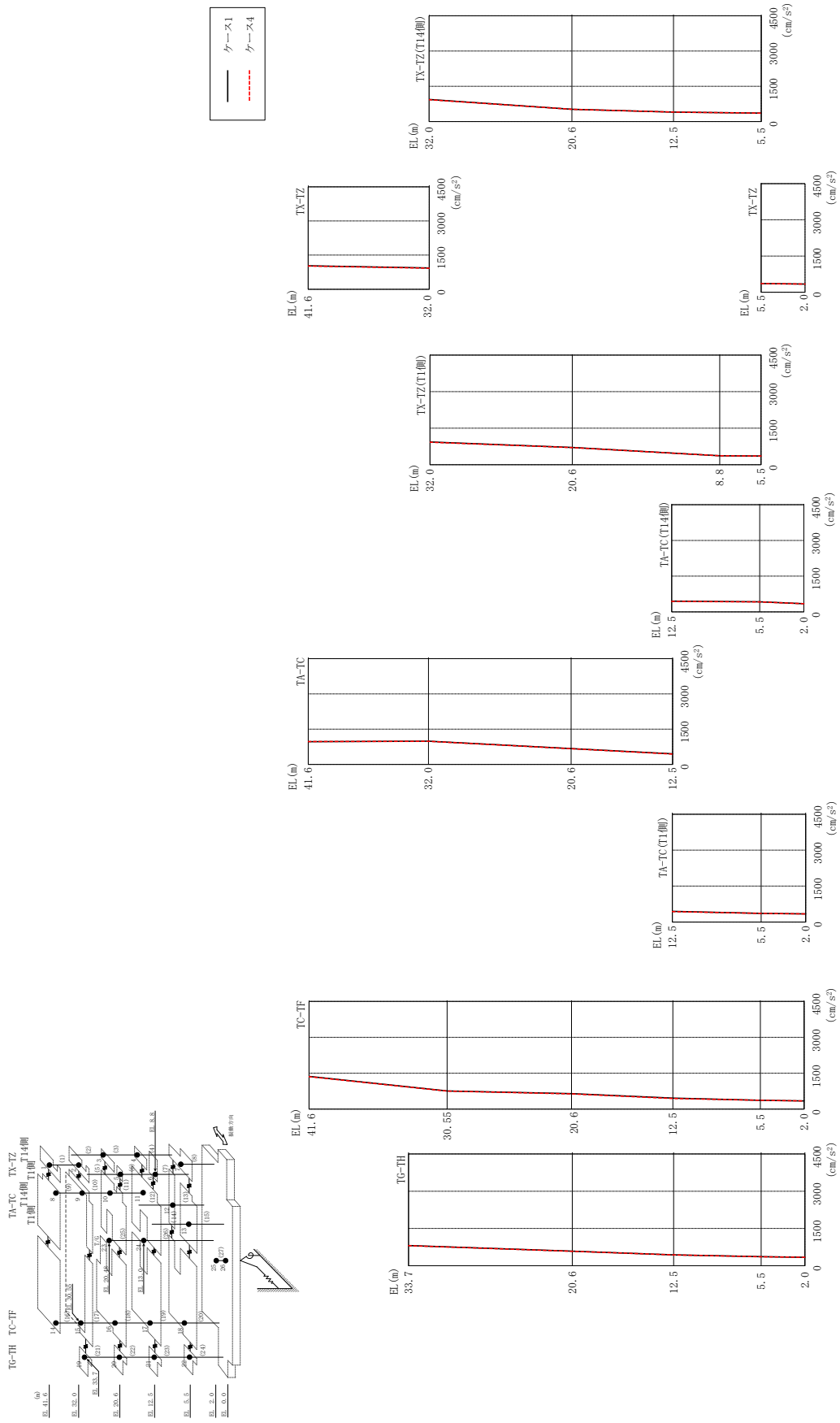
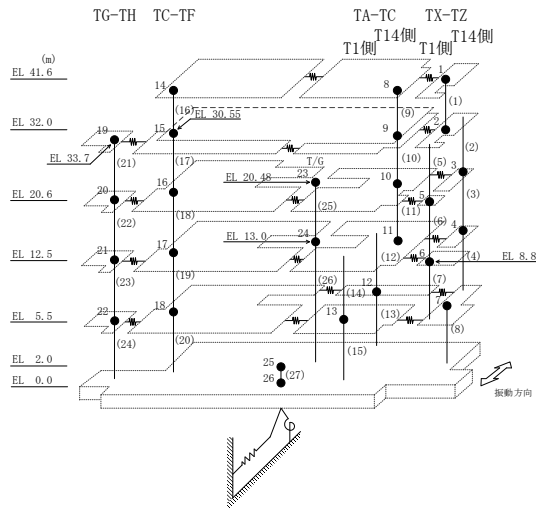


図 2-252 最大芯加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

表 2-224 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1030	1020
	32.0	2	937	926
TX-TZ (T14側)	20.6	3	520	517
	12.5	4	400	402
TX-TZ (T1側)	20.6	5	710	704
	8.8	6	370	371
TX-TZ	5.5	7	359	359
TA-TC	41.6	8	963	970
	32.0	9	987	981
	20.6	10	674	668
	12.5	11	448	437
TA-TC (T14側)	5.5	12	423	417
TA-TC (T1側)	5.5	13	362	362
TC-TF	41.6	14	1369	1354
	30.55	15	756	753
	20.6	16	646	637
	12.5	17	458	443
	5.5	18	367	369
TG-TH	33.7	19	813	809
	20.6	20	587	584
	12.5	21	439	436
	5.5	22	366	363
	2.0	25	340	340



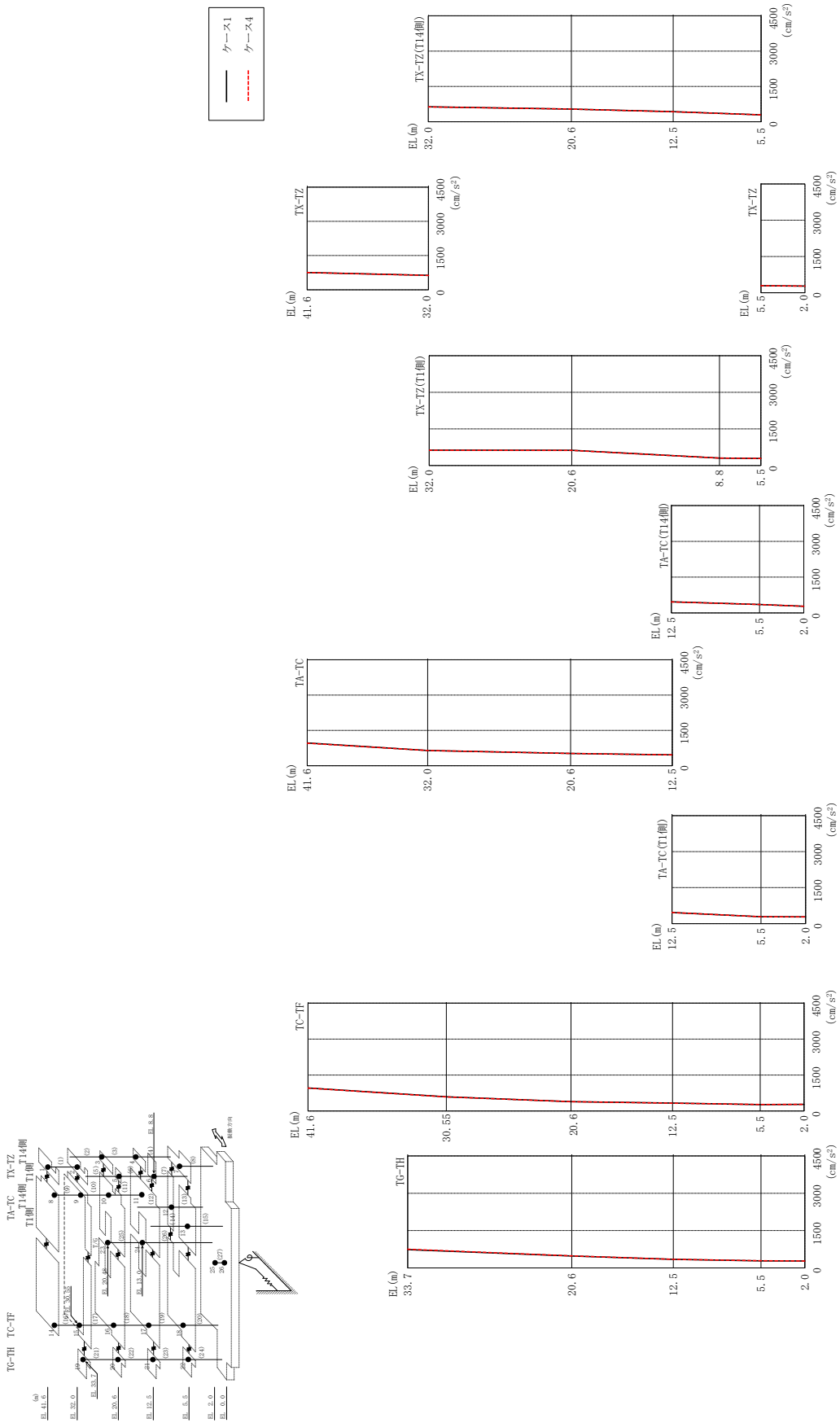
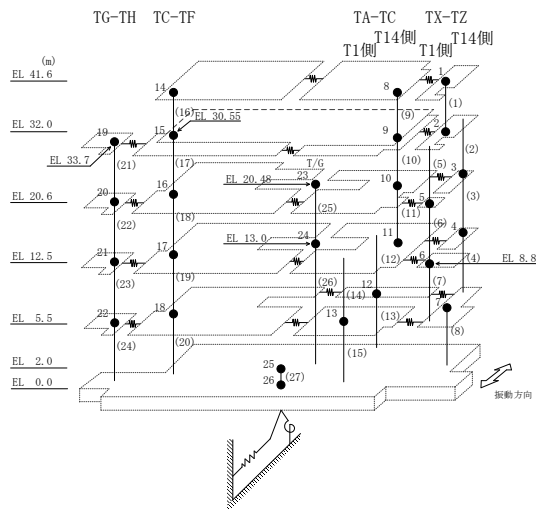


図 2-253 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

表 2-225 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, E W方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	756	754
	32.0	2	633	626
TX-TZ (T14側)	20.6	3	538	537
	12.5	4	426	423
TX-TZ (T1側)	20.6	5	626	620
	8.8	6	308	305
TX-TZ	5.5	7	291	292
TA-TC	41.6	8	965	952
	32.0	9	644	648
	20.6	10	520	522
	12.5	11	463	461
TA-TC (T14側)	5.5	12	354	355
TA-TC (T1側)	5.5	13	288	288
TC-TF	41.6	14	963	953
	30.55	15	594	587
	20.6	16	388	388
	12.5	17	331	328
	5.5	18	270	273
TG-TH	33.7	19	734	750
	20.6	20	477	482
	12.5	21	345	345
	5.5	22	284	287
	2.0	25	278	279



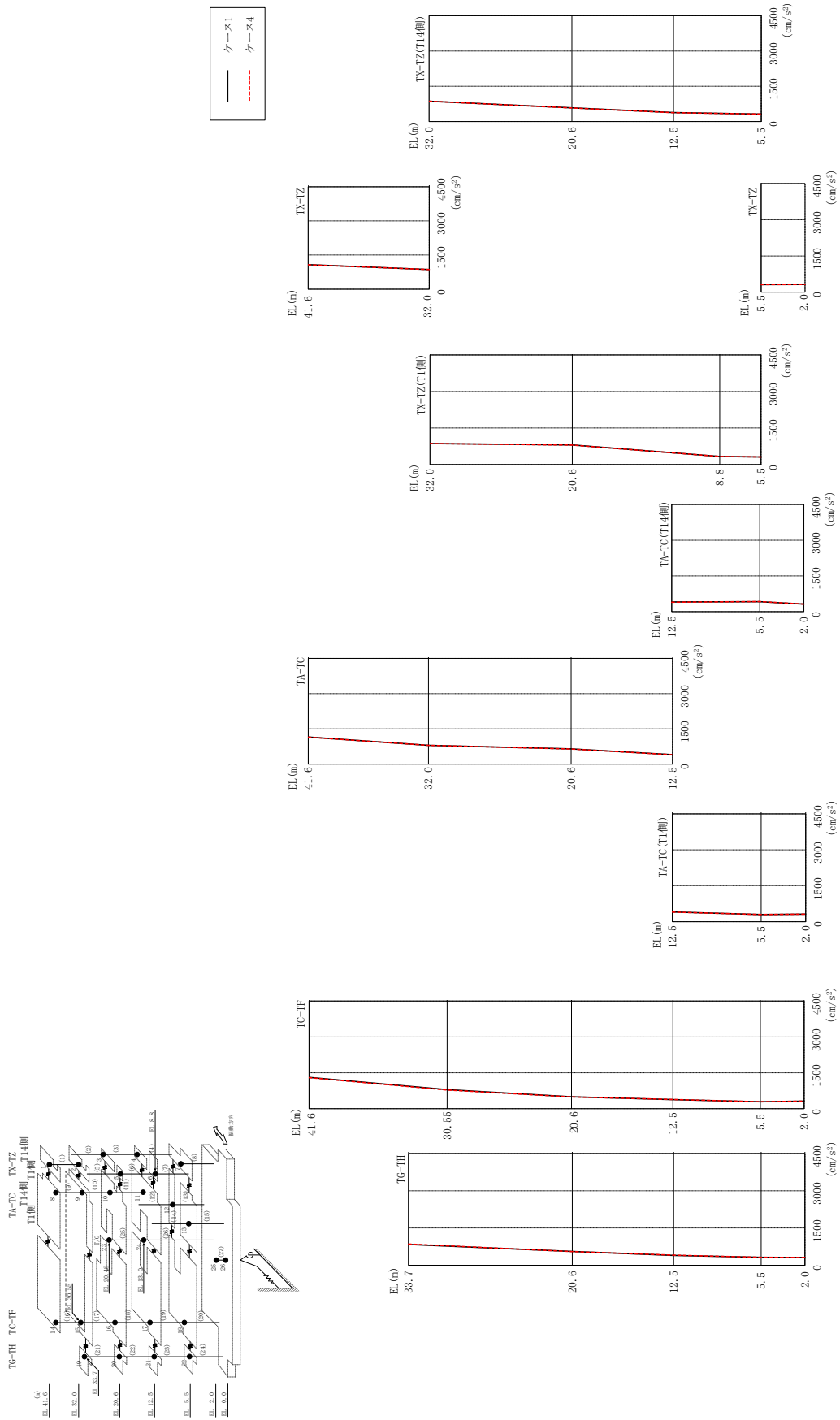
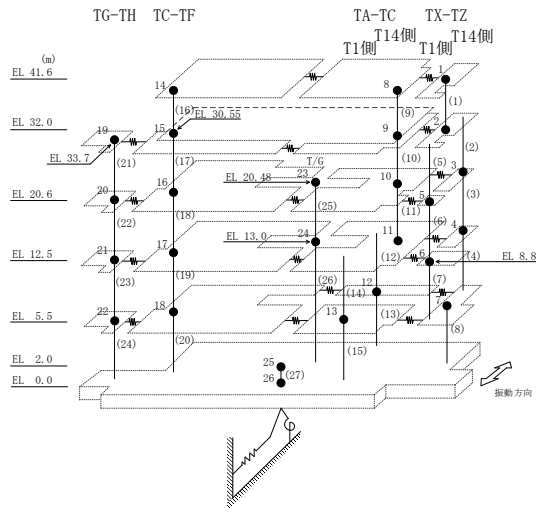


図 2-254 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW 方向)

表 2-226 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1077	1070
	32.0	2	861	861
TX-TZ (T14側)	20.6	3	580	576
	12.5	4	377	373
TX-TZ (T1側)	20.6	5	807	797
	8.8	6	331	331
TX-TZ	5.5	7	311	312
TA-TC	41.6	8	1152	1148
	32.0	9	795	796
	20.6	10	643	640
	12.5	11	403	398
TA-TC (T14側)	5.5	12	419	420
TA-TC (T1側)	5.5	13	295	296
TC-TF	41.6	14	1311	1297
	30.55	15	795	777
	20.6	16	497	491
	12.5	17	377	384
	5.5	18	291	291
TG-TH	33.7	19	840	852
	20.6	20	554	552
	12.5	21	397	405
	5.5	22	318	320
	2.0	25	313	313



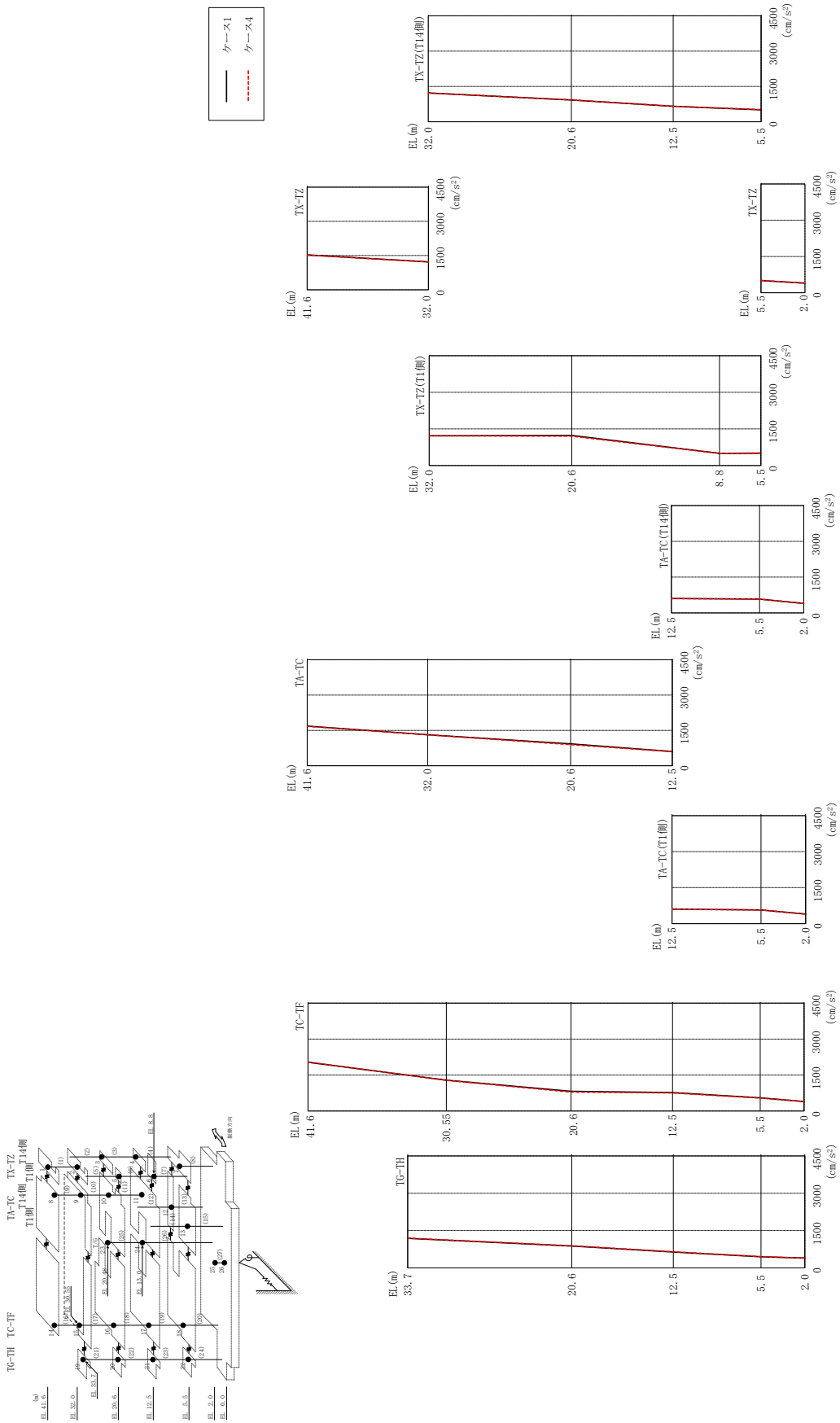
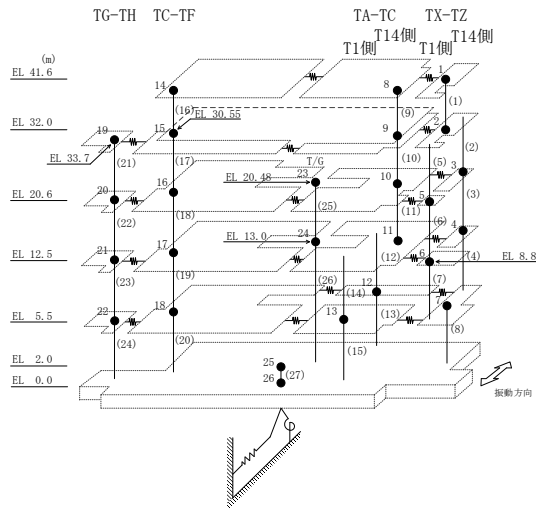


図 2-255 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

表 2-227 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, E W方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1531	1521
	32.0	2	1220	1220
TX-TZ (T14側)	20.6	3	923	925
	12.5	4	656	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1235	1204
	8.8	6	501	501
TX-TZ	5.5	7	505	516
TA-TC	41.6	8	1682	1673
	32.0	9	1314	1313
	20.6	10	925	896
	12.5	11	604	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	579	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	570	569
TC-TF	41.6	14	2037	2043
	30.55	15	1285	1280
	20.6	16	822	792
	12.5	17	770	755
	5.5	18	550	539
TG-TH	33.7	19	1189	1200
	20.6	20	879	893
	12.5	21	637	646
	5.5	22	447	451
	2.0	25	395	395



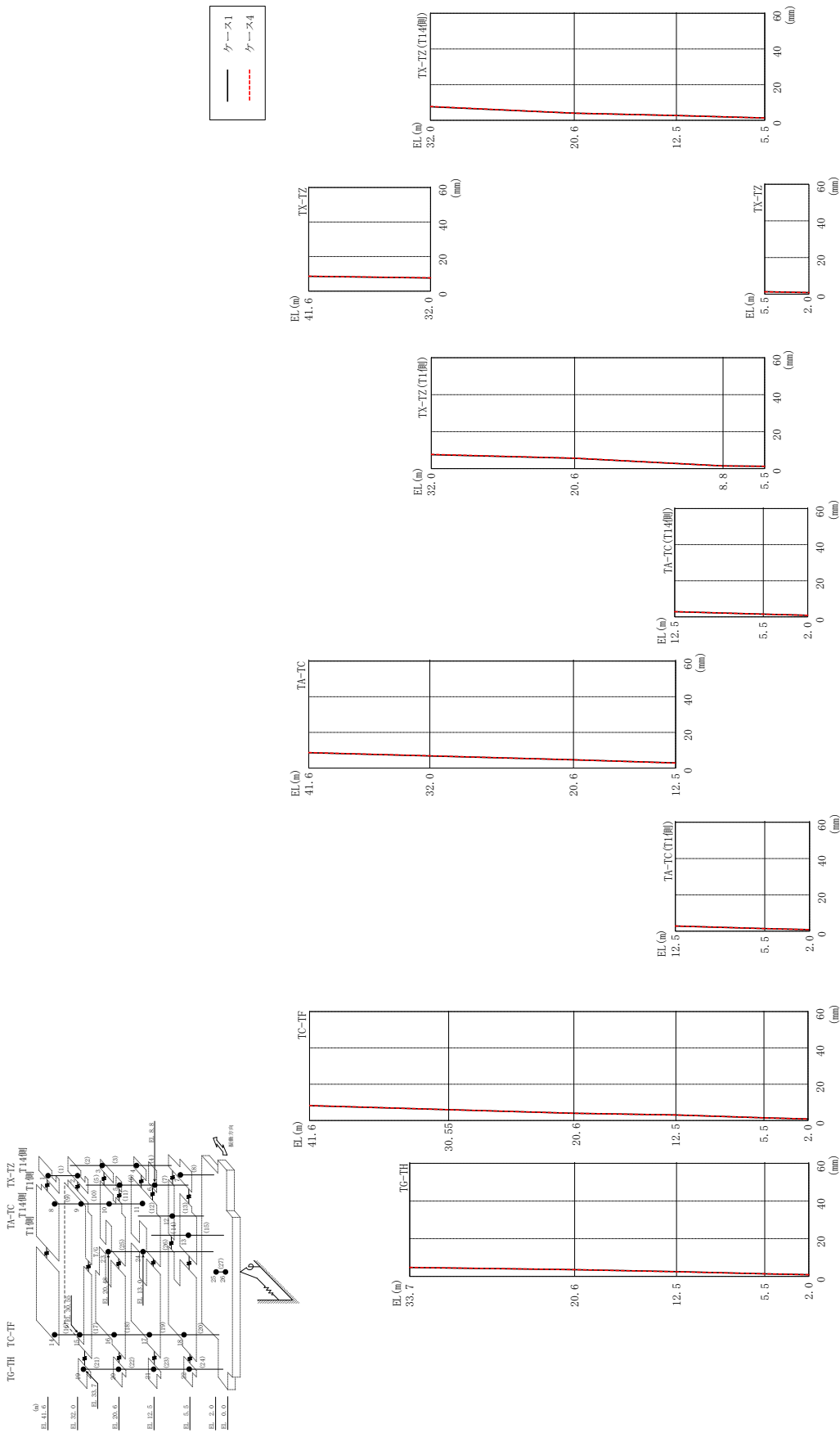
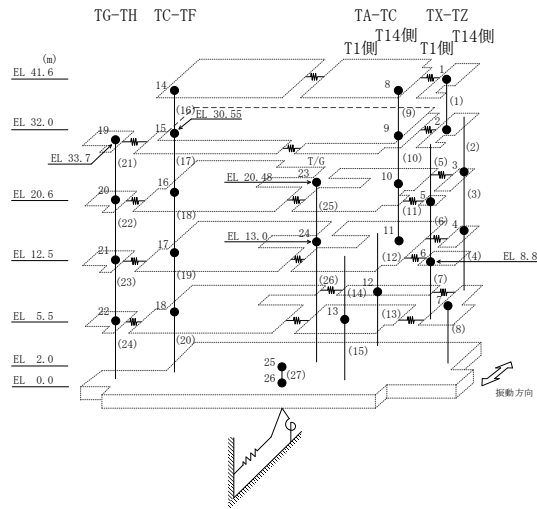


図 2-256 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - D, EW方向)

表 2-228 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	8.55	8.67
	32.0	2	7.58	7.70
TX-TZ (T14側)	20.6	3	3.95	3.94
	12.5	4	2.67	2.67
TX-TZ (T1側)	20.6	5	5.58	5.66
	8.8	6	1.50	1.50
TX-TZ	5.5	7	1.31	1.30
TA-TC	41.6	8	8.57	8.66
	32.0	9	6.81	6.85
	20.6	10	4.62	4.62
	12.5	11	2.85	2.84
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.52	1.51
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.46	1.45
TC-TF	41.6	14	8.18	8.26
	30.55	15	5.94	5.96
	20.6	16	3.95	3.94
	12.5	17	3.05	3.05
	5.5	18	1.47	1.45
TG-TH	33.7	19	4.76	4.78
	20.6	20	3.55	3.56
	12.5	21	2.51	2.50
	5.5	22	1.38	1.37
	2.0	25	0.86	0.86



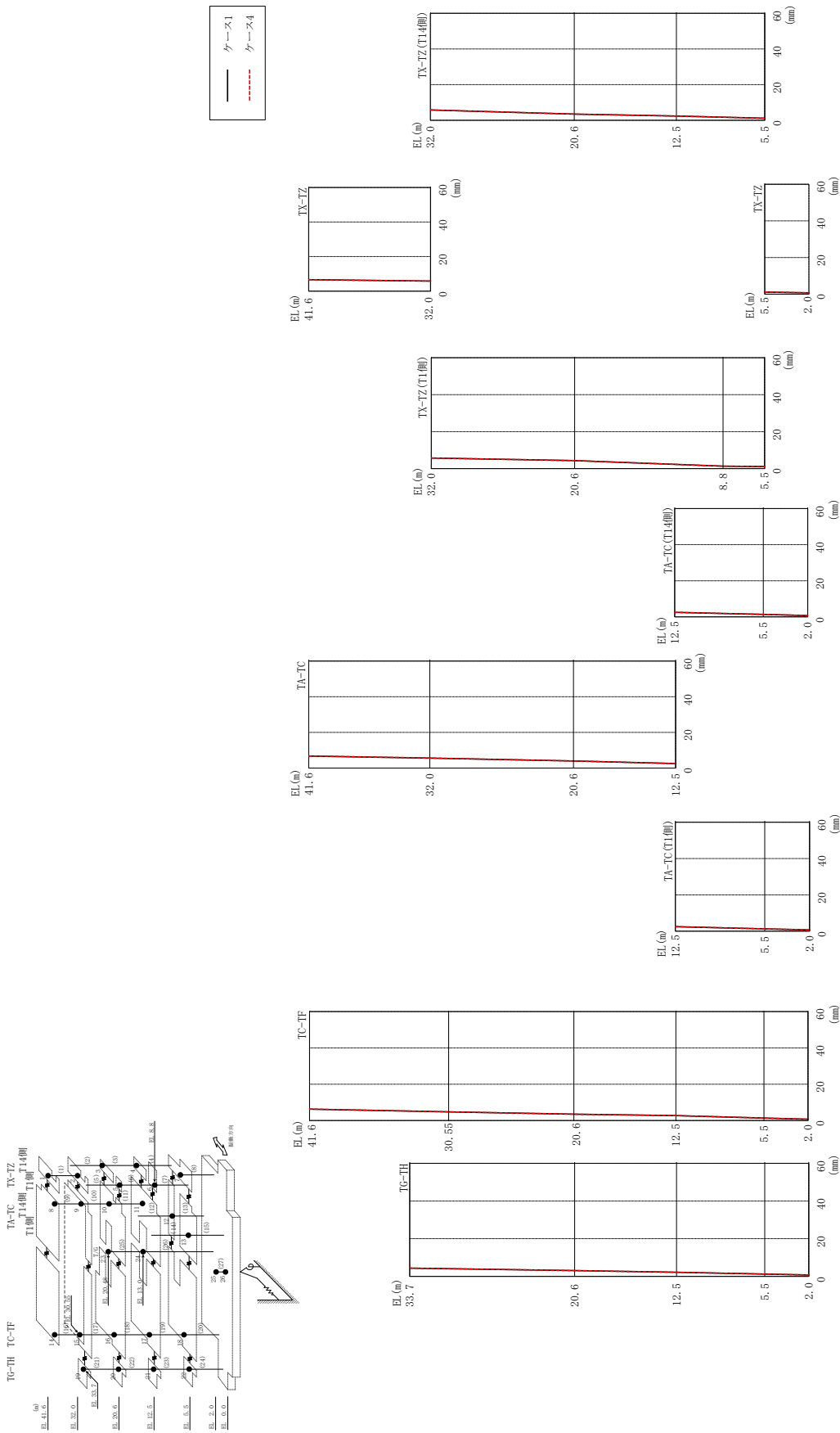
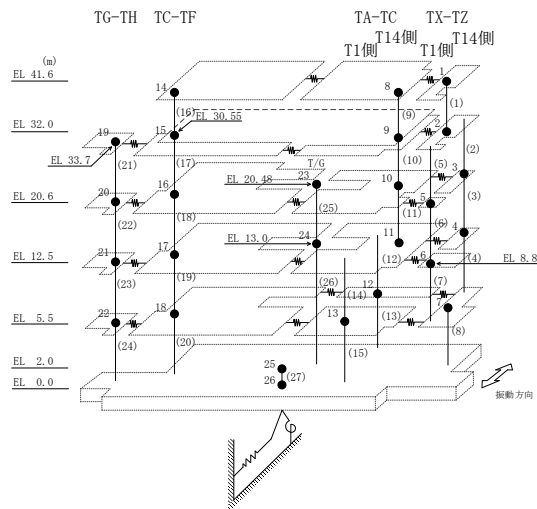


図 2-257 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - F 1, EW 方向)

表 2-229 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, E W方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	6.61	6.63
	32.0	2	5.78	5.79
TX-TZ (T14側)	20.6	3	3.45	3.45
	12.5	4	2.34	2.34
TX-TZ (T1側)	20.6	5	4.33	4.33
	8.8	6	1.33	1.33
TX-TZ	5.5	7	1.15	1.15
TA-TC	41.6	8	6.72	6.76
	32.0	9	5.58	5.60
	20.6	10	3.98	3.98
	12.5	11	2.51	2.50
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.33	1.32
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.29	1.29
TC-TF	41.6	14	6.26	6.35
	30.55	15	4.76	4.78
	20.6	16	3.49	3.48
	12.5	17	2.72	2.71
	5.5	18	1.36	1.35
TG-TH	33.7	19	4.40	4.42
	20.6	20	3.08	3.07
	12.5	21	2.22	2.21
	5.5	22	1.24	1.23
	2.0	25	0.73	0.72



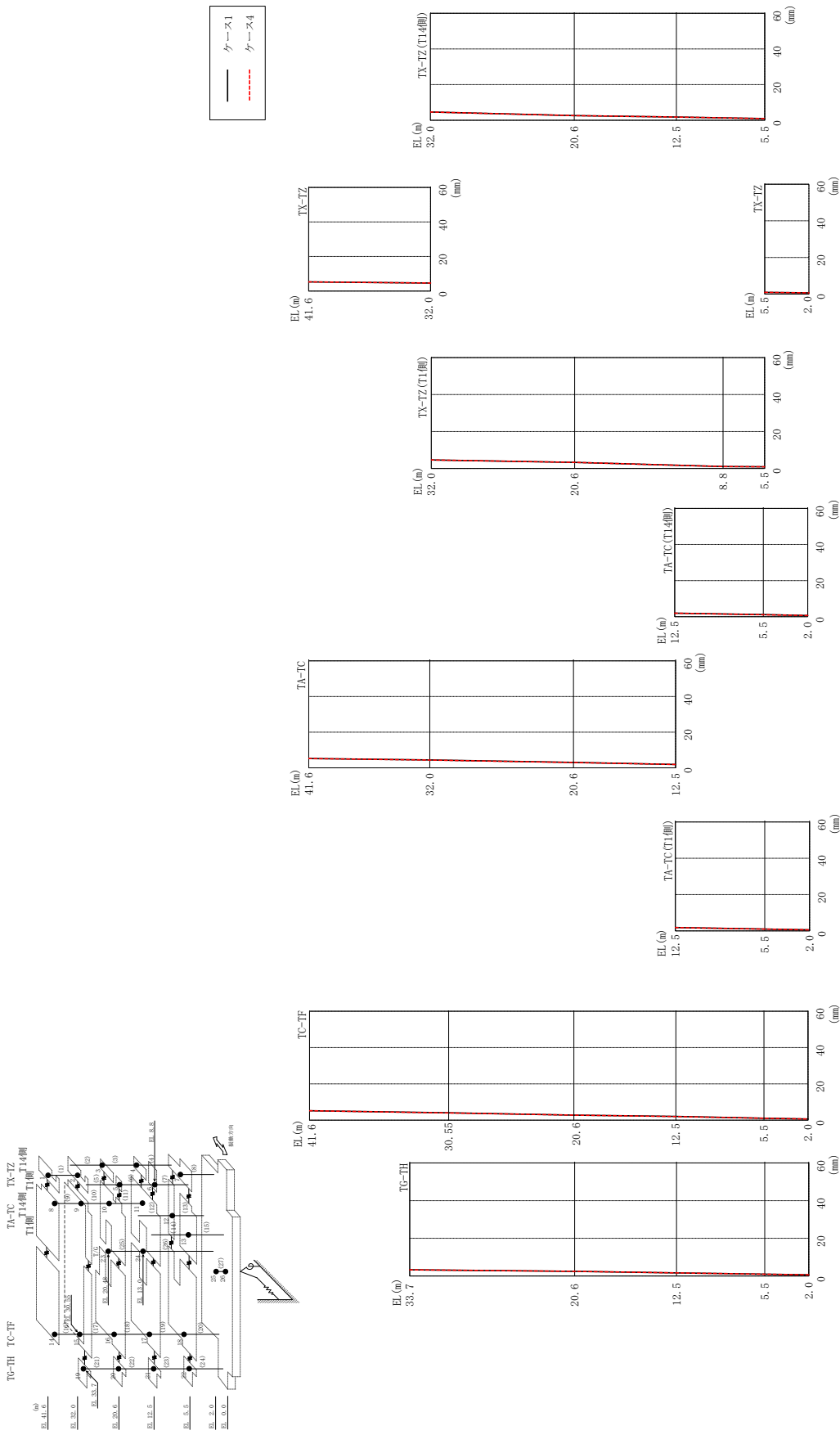
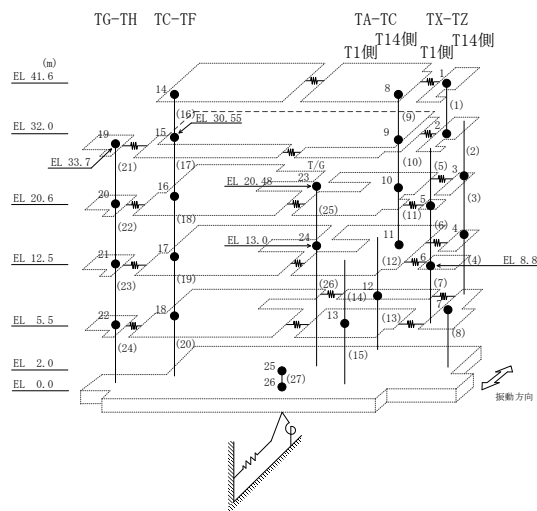


図 2-258 最大応答変位 (弾性設計用地震動 Sd-F2, EW方向)

表 2-230 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	5.27	5.26
	32.0	2	4.65	4.62
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.60	2.58
	12.5	4	1.80	1.80
TX-TZ (T1側)	20.6	5	3.33	3.30
	8.8	6	1.08	1.07
TX-TZ	5.5	7	0.94	0.94
TA-TC	41.6	8	5.19	5.19
	32.0	9	4.36	4.35
	20.6	10	3.00	2.98
	12.5	11	1.90	1.90
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.11	1.10
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.04	1.03
TC-TF	41.6	14	5.19	5.21
	30.55	15	4.01	4.01
	20.6	16	2.77	2.74
	12.5	17	2.04	2.02
	5.5	18	1.04	1.04
TG-TH	33.7	19	3.31	3.32
	20.6	20	2.46	2.45
	12.5	21	1.68	1.67
	5.5	22	0.99	0.98
	2.0	25	0.63	0.62



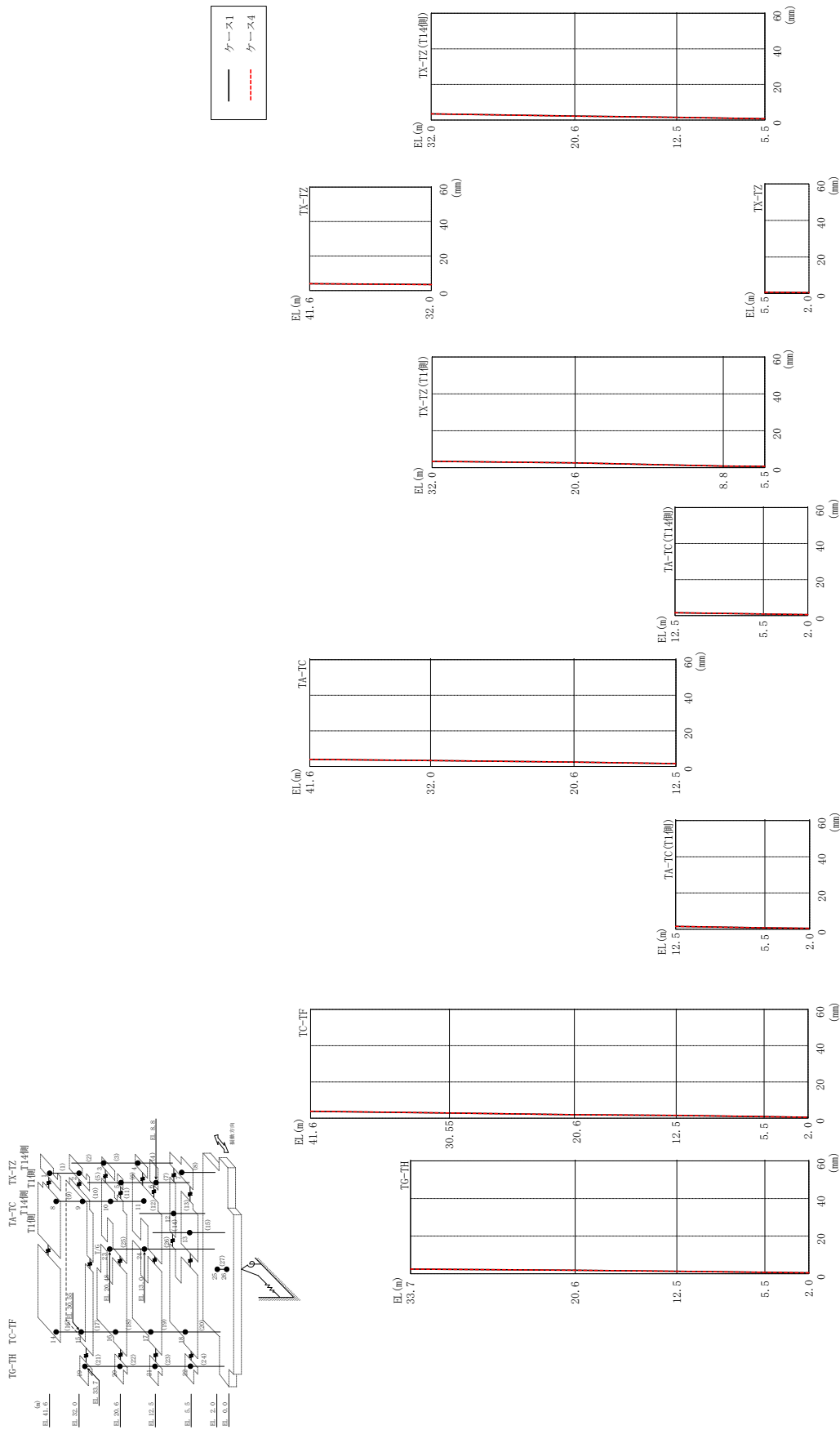


図 2-259 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

表 2-231 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, E W 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	3.93	3.91
	32.0	2	3.46	3.44
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.18	2.18
	12.5	4	1.51	1.50
TX-TZ (T1側)	20.6	5	2.59	2.58
	8.8	6	0.84	0.84
TX-TZ	5.5	7	0.73	0.73
TA-TC	41.6	8	3.98	3.96
	32.0	9	3.30	3.30
	20.6	10	2.44	2.44
	12.5	11	1.60	1.60
TA-TC (T14側)	5.5	12	0.87	0.86
TA-TC (T1側)	5.5	13	0.81	0.80
TC-TF	41.6	14	3.78	3.81
	30.55	15	2.84	2.85
	20.6	16	1.93	1.94
	12.5	17	1.52	1.52
	5.5	18	0.83	0.82
TG-TH	33.7	19	2.47	2.46
	20.6	20	1.84	1.84
	12.5	21	1.33	1.33
	5.5	22	0.79	0.79
	2.0	25	0.51	0.51

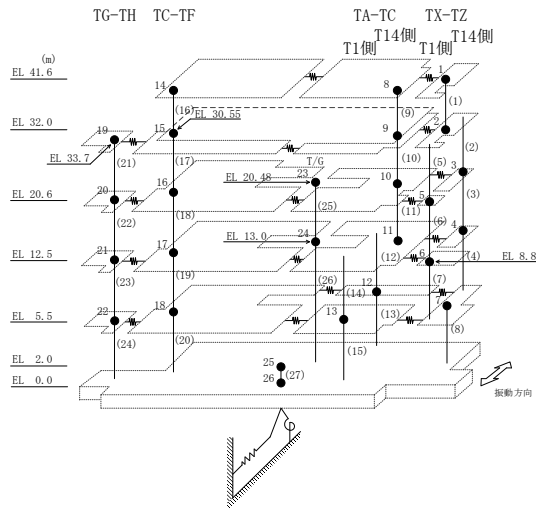
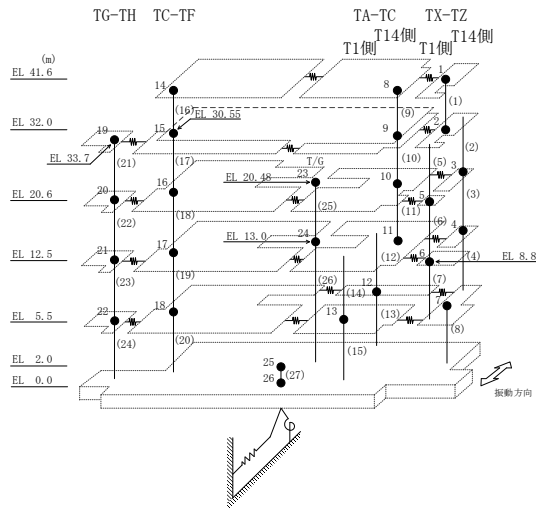


表 2-232 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	5.22	5.24
	32.0	2	4.62	4.63
TX-TZ (T14側)	20.6	3	2.74	2.74
	12.5	4	1.83	1.82
TX-TZ (T1側)	20.6	5	3.47	3.46
	8.8	6	1.03	1.02
TX-TZ	5.5	7	0.88	0.88
TA-TC	41.6	8	5.38	5.41
	32.0	9	4.36	4.38
	20.6	10	3.13	3.13
	12.5	11	1.94	1.93
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.00	0.99
TA-TC (T1側)	5.5	13	0.98	0.97
TC-TF	41.6	14	5.44	5.45
	30.55	15	3.81	3.79
	20.6	16	2.55	2.54
	12.5	17	1.99	1.97
	5.5	18	1.00	0.99
TG-TH	33.7	19	2.99	2.97
	20.6	20	2.23	2.23
	12.5	21	1.61	1.60
	5.5	22	0.91	0.91
	2.0	25	0.57	0.56



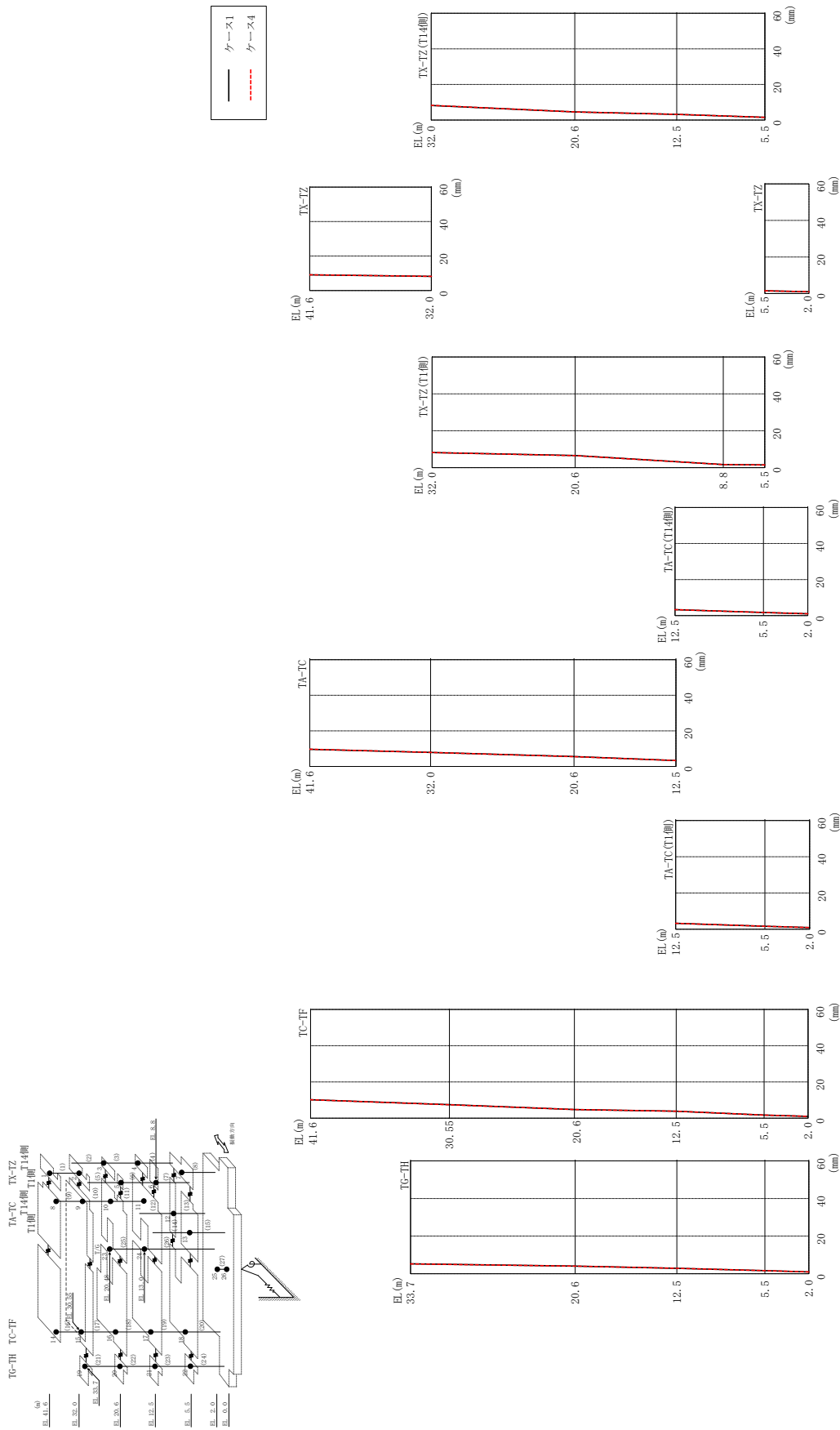
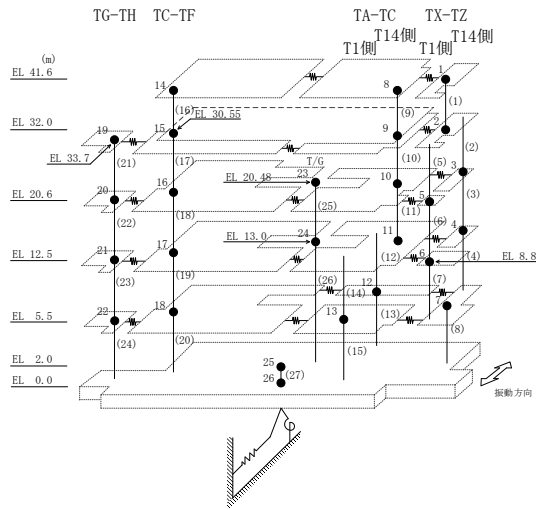


図 2-261 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

表 2-233 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6	1	9.08	9.11
	32.0	2	8.19	8.21
TX-TZ (T14側)	20.6	3	4.53	4.52
	12.5	4	3.16	3.16
TX-TZ (T1側)	20.6	5	6.58	6.52
	8.8	6	1.69	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.48	1.49
TA-TC	41.6	8	9.60	9.65
	32.0	9	7.85	7.86
	20.6	10	5.53	5.50
	12.5	11	3.28	3.30
TA-TC (T14側)	5.5	12	1.74	1.74
TA-TC (T1側)	5.5	13	1.68	1.67
TC-TF	41.6	14	10.14	10.18
	30.55	15	7.44	7.42
	20.6	16	4.74	4.75
	12.5	17	3.85	3.86
	5.5	18	1.69	1.69
TG-TH	33.7	19	5.29	5.24
	20.6	20	4.03	4.03
	12.5	21	2.89	2.91
	5.5	22	1.63	1.63
	2.0	25	0.97	0.97



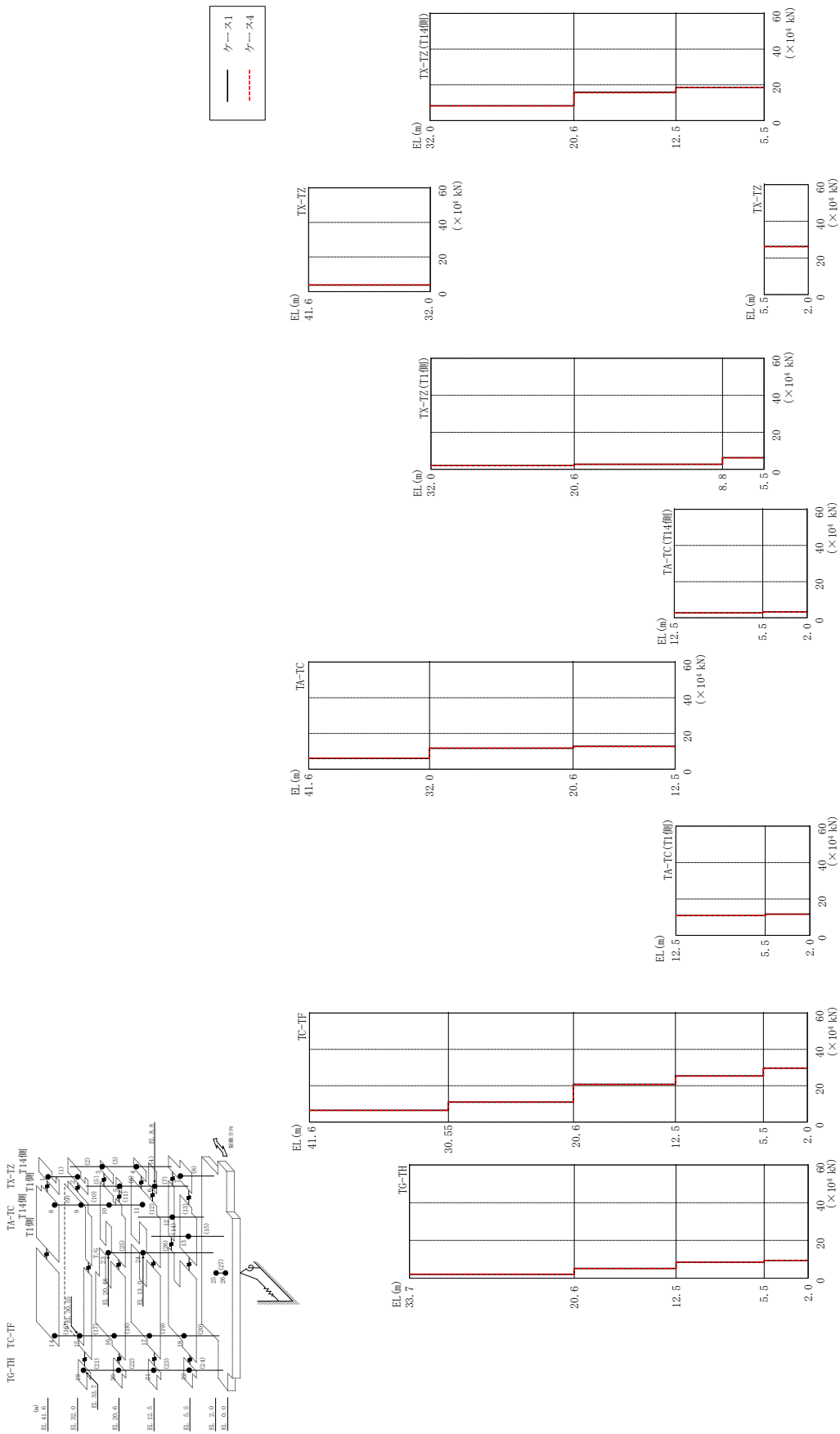
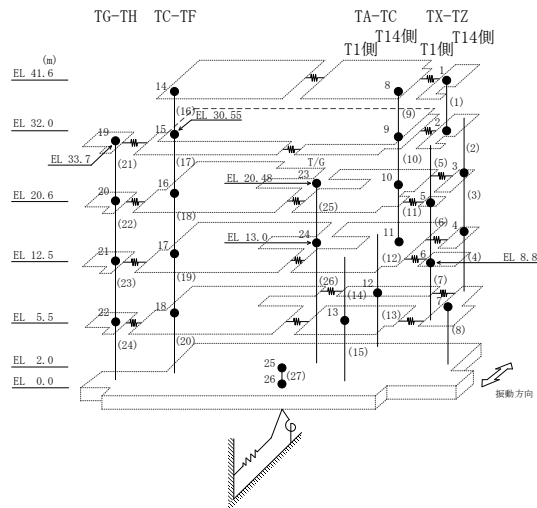


図 2-262 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

表 2-234 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.79	3.83
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	8.27	8.20
	20.6~12.5	3	15.8	15.6
	12.5~5.5	4	18.6	18.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.06	2.06
	20.6~8.8	6	2.75	2.74
	8.8~5.5	7	6.29	6.26
TX-TZ	5.5~2.0	8	26.2	26.1
TA-TC	41.6~32.0	9	6.01	6.21
	32.0~20.6	10	11.7	11.9
	20.6~12.5	11	12.8	12.6
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	2.69	2.66
	5.5~2.0	13	3.24	3.24
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	10.9	10.9
	5.5~2.0	15	11.6	11.6
TC-TF	41.6~30.55	16	6.44	6.42
	30.55~20.6	17	11.0	11.1
	20.6~12.5	18	20.7	20.7
	12.5~5.5	19	25.4	25.3
	5.5~2.0	20	29.7	29.6
TG-TH	33.7~20.6	21	2.09	2.10
	20.6~12.5	22	5.15	5.14
	12.5~5.5	23	8.44	8.47
	5.5~2.0	24	9.38	9.40



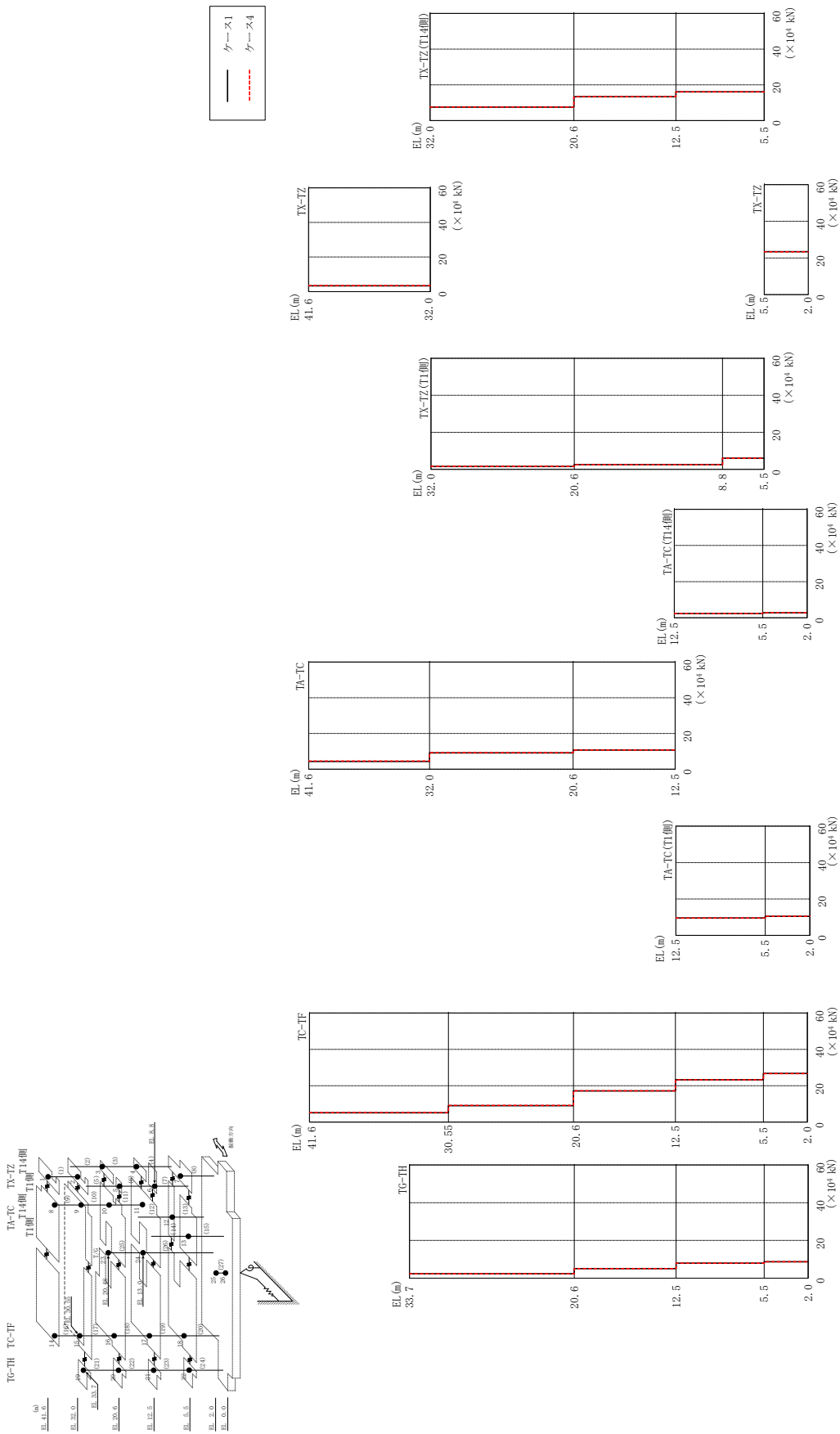
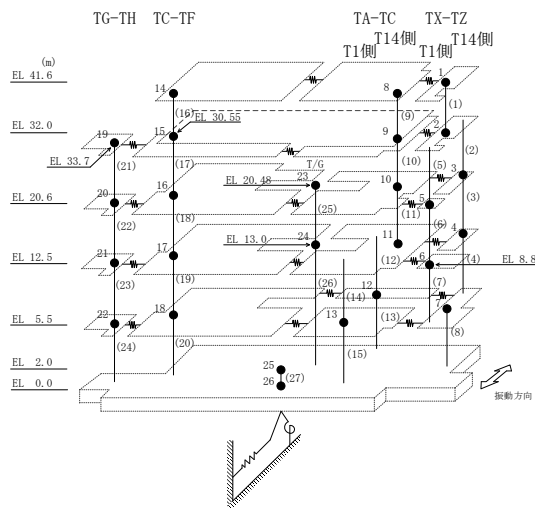


図 2-263 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - F 1, EW 方向)

表 2-235 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.37	3.46
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	7.48	7.55
	20.6~12.5	3	13.3	13.4
	12.5~5.5	4	16.1	16.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.58	1.61
	20.6~8.8	6	2.56	2.55
	8.8~5.5	7	6.02	6.00
TX-TZ	5.5~2.0	8	23.4	23.4
TA-TC	41.6~32.0	9	4.34	4.52
	32.0~20.6	10	9.08	9.22
	20.6~12.5	11	10.7	10.7
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	2.33	2.33
	5.5~2.0	13	2.82	2.83
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	9.58	9.57
	5.5~2.0	15	10.5	10.4
TC-TF	41.6~30.55	16	5.12	5.27
	30.55~20.6	17	9.02	9.15
	20.6~12.5	18	17.2	17.2
	12.5~5.5	19	23.3	23.2
	5.5~2.0	20	26.8	26.7
TG-TH	33.7~20.6	21	2.32	2.35
	20.6~12.5	22	5.08	5.09
	12.5~5.5	23	7.95	7.95
	5.5~2.0	24	8.73	8.73



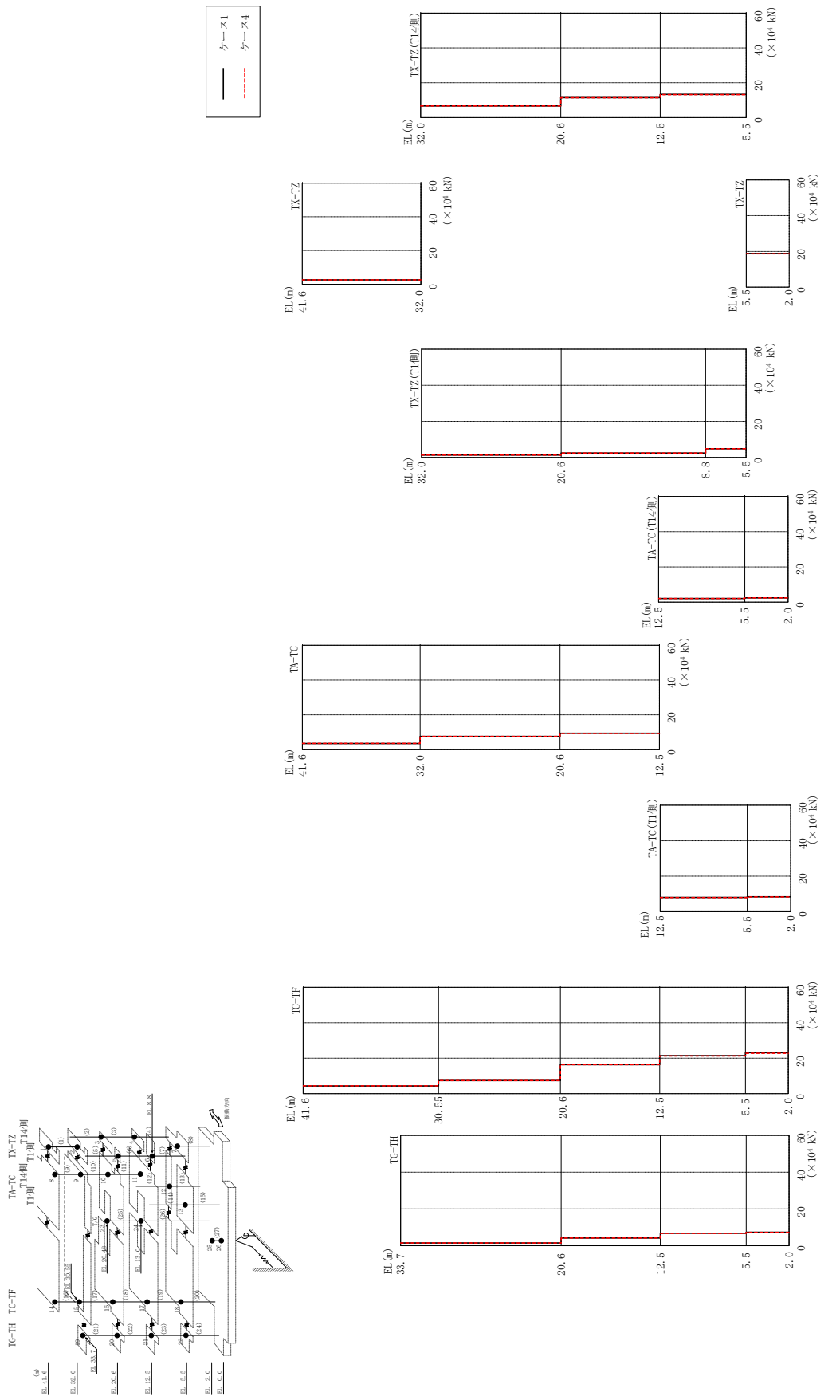


表 2-236 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.60	2.62
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.67	6.65
	20.6~12.5	3	11.4	11.4
	12.5~5.5	4	13.3	13.2
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.34	1.34
	20.6~8.8	6	2.45	2.45
	8.8~5.5	7	4.87	4.85
TX-TZ	5.5~2.0	8	18.8	18.7
TA-TC	41.6~32.0	9	3.53	3.63
	32.0~20.6	10	7.56	7.61
	20.6~12.5	11	9.38	9.36
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	2.07	2.06
	5.5~2.0	13	2.43	2.39
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	8.07	8.01
	5.5~2.0	15	8.43	8.34
TC-TF	41.6~30.55	16	4.31	4.43
	30.55~20.6	17	7.36	7.42
	20.6~12.5	18	16.4	16.3
	12.5~5.5	19	21.4	21.3
	5.5~2.0	20	23.1	22.8
TG-TH	33.7~20.6	21	1.50	1.52
	20.6~12.5	22	4.18	4.18
	12.5~5.5	23	6.78	6.73
	5.5~2.0	24	7.33	7.25

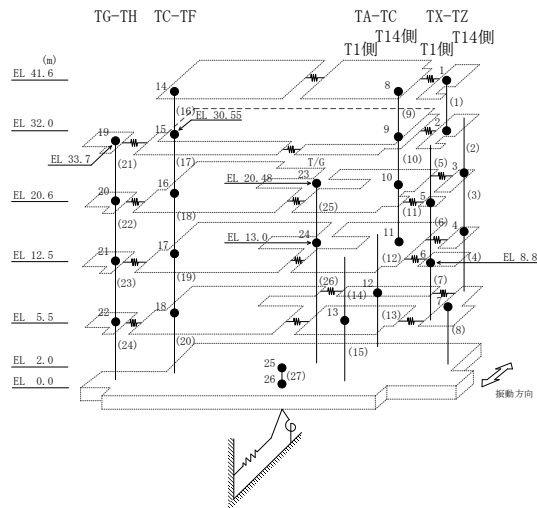
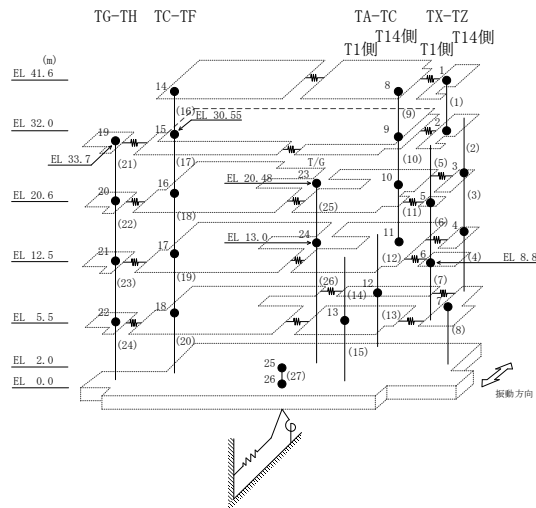


表 2-237 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.30	2.35
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	4.62	4.59
	20.6~12.5	3	8.14	8.13
	12.5~5.5	4	10.7	10.7
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.11	1.10
	20.6~8.8	6	1.75	1.75
	8.8~5.5	7	4.30	4.28
TX-TZ	5.5~2.0	8	16.3	16.2
TA-TC	41.6~32.0	9	3.17	3.26
	32.0~20.6	10	5.73	5.79
	20.6~12.5	11	6.39	6.36
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	1.45	1.45
	5.5~2.0	13	2.13	2.12
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	6.29	6.30
	5.5~2.0	15	7.17	7.17
TC-TF	41.6~30.55	16	3.19	3.29
	30.55~20.6	17	5.34	5.44
	20.6~12.5	18	10.2	10.1
	12.5~5.5	19	13.5	13.6
	5.5~2.0	20	15.4	15.4
TG-TH	33.7~20.6	21	1.28	1.30
	20.6~12.5	22	2.72	2.72
	12.5~5.5	23	4.14	4.16
	5.5~2.0	24	4.62	4.62



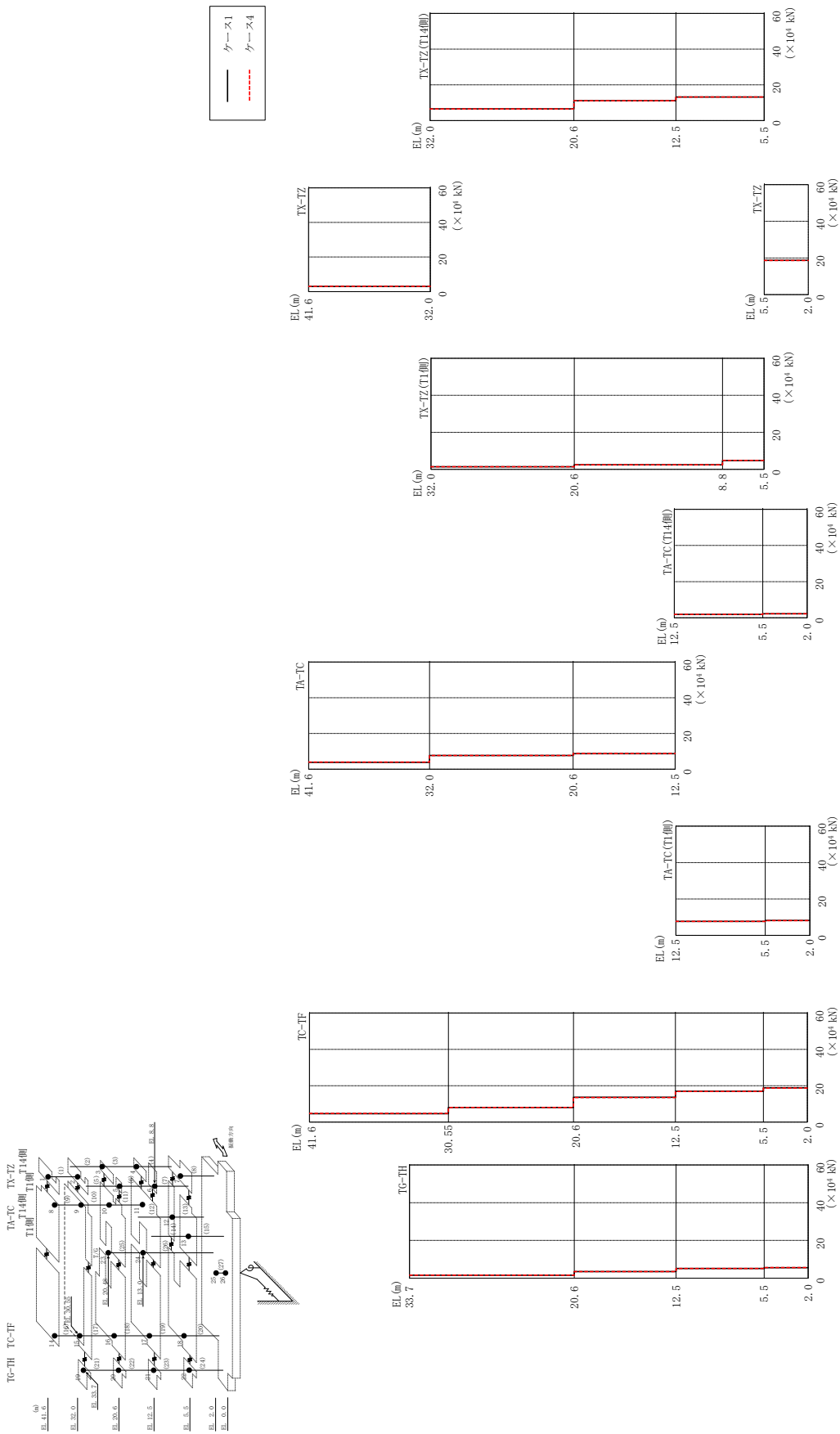
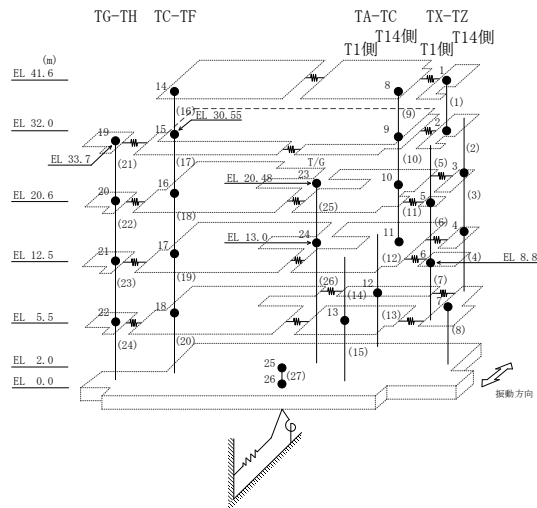


図 2-266 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

表 2-238 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.96	3.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.46	6.49
	20.6~12.5	3	11.0	11.1
	12.5~5.5	4	13.2	13.2
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.38	1.38
	20.6~8.8	6	2.44	2.44
	8.8~5.5	7	4.81	4.83
TX-TZ	5.5~2.0	8	18.7	18.6
TA-TC	41.6~32.0	9	3.85	3.94
	32.0~20.6	10	7.65	7.69
	20.6~12.5	11	8.69	8.72
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	1.87	1.87
	5.5~2.0	13	2.23	2.22
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	7.71	7.70
	5.5~2.0	15	8.18	8.15
TC-TF	41.6~30.55	16	4.65	4.72
	30.55~20.6	17	8.06	8.06
	20.6~12.5	18	13.6	13.5
	12.5~5.5	19	17.0	16.9
	5.5~2.0	20	18.8	18.7
TG-TH	33.7~20.6	21	1.59	1.59
	20.6~12.5	22	3.49	3.47
	12.5~5.5	23	5.14	5.12
	5.5~2.0	24	5.55	5.61



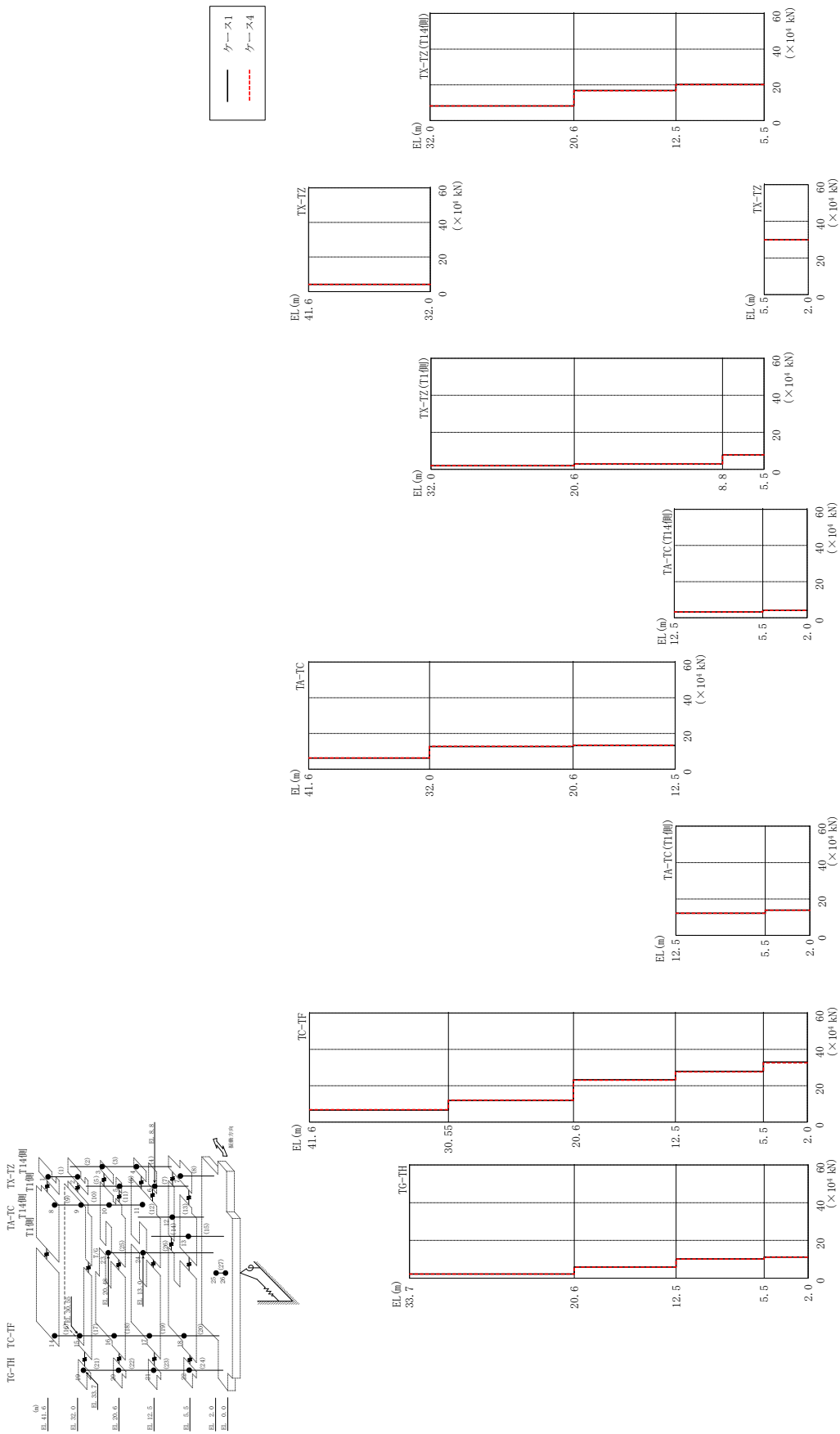
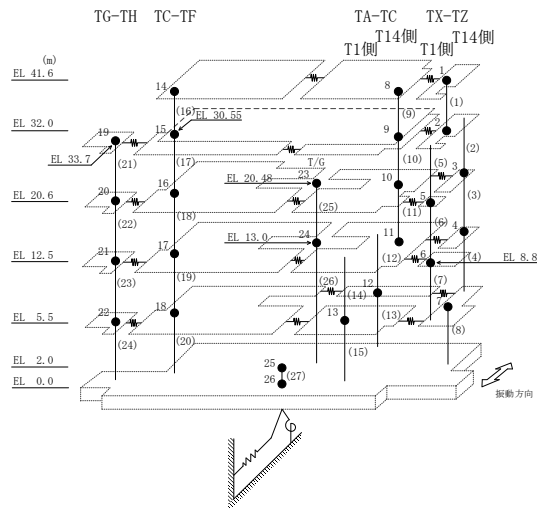


図 2-267 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

表 2-239 最大応答せん断力一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.14	4.16
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	8.19	8.14
	20.6~12.5	3	16.8	16.7
	12.5~5.5	4	20.2	20.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	1.96	2.01
	20.6~8.8	6	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	7.80	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	29.9	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	6.20	6.31
	32.0~20.6	10	12.6	12.8
	20.6~12.5	11	13.2	13.3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	3.19	3.23
	5.5~2.0	13	4.06	4.09
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.2
	5.5~2.0	15	13.9	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	6.60	6.82
	30.55~20.6	17	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	23.3	23.0
	12.5~5.5	19	27.9	27.6
	5.5~2.0	20	33.0	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	2.17	2.16
	20.6~12.5	22	5.91	5.86
	12.5~5.5	23	10.2	10.2
	5.5~2.0	24	11.2	11.1



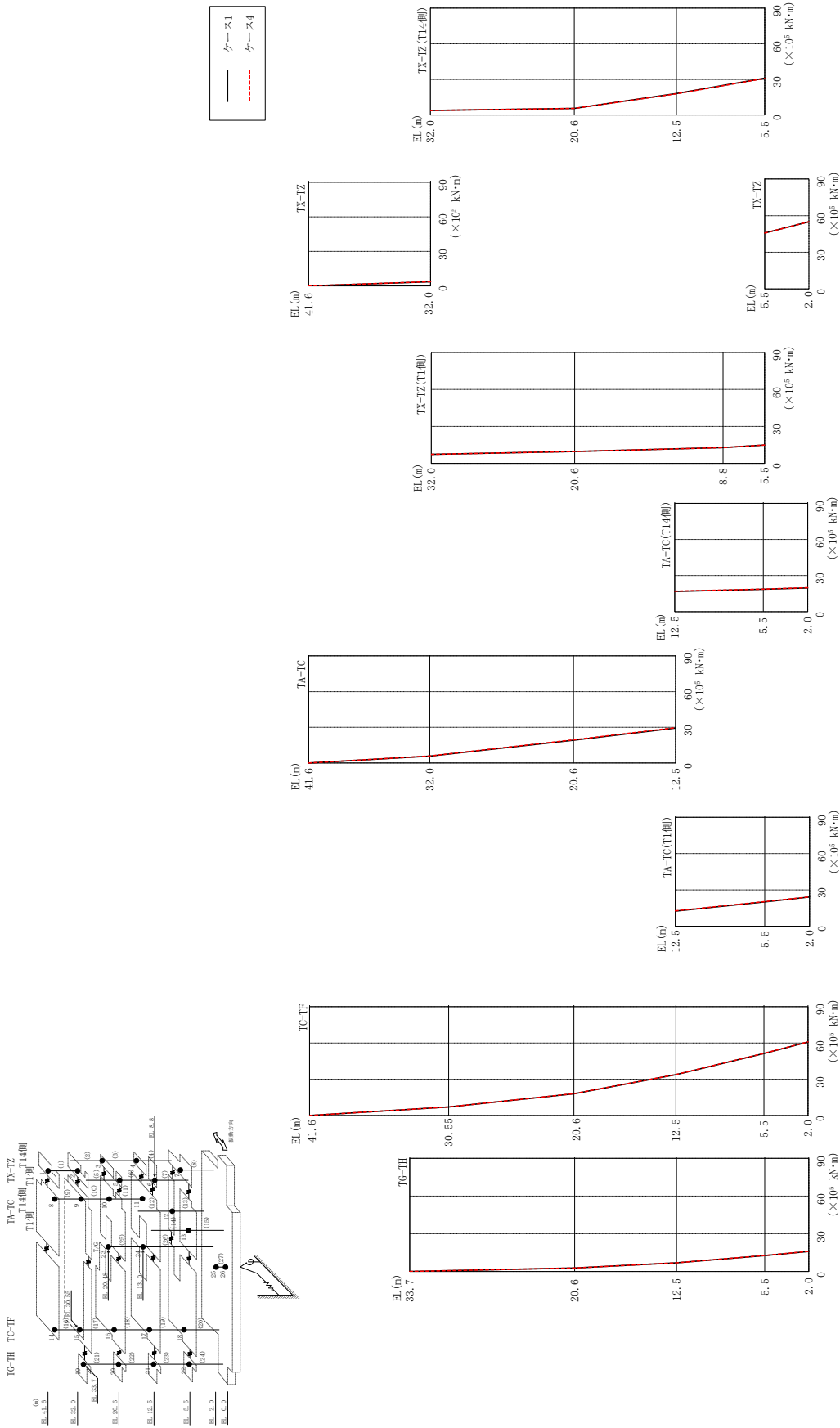


図 2-268 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d-D, EW方向)

表 2-240(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			3.64	3.68
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.89	3.84
			5.55	5.58
	20.6~12.5	3	5.55	5.58
			18.1	17.9
12.5~5.5	4	18.1	17.9	
		31.0	30.9	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.39	7.37
			9.69	9.67
	20.6~8.8	6	9.69	9.67
			12.9	12.9
8.8~5.5	7	12.9	12.9	
		14.9	14.9	
TX-TZ	5.5~2.0	8	45.8	45.8
			55.0	54.9
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			5.77	5.96
	32.0~20.6	10	5.77	5.96
			19.1	19.5
20.6~12.5	11	19.1	19.5	
		29.3	29.7	

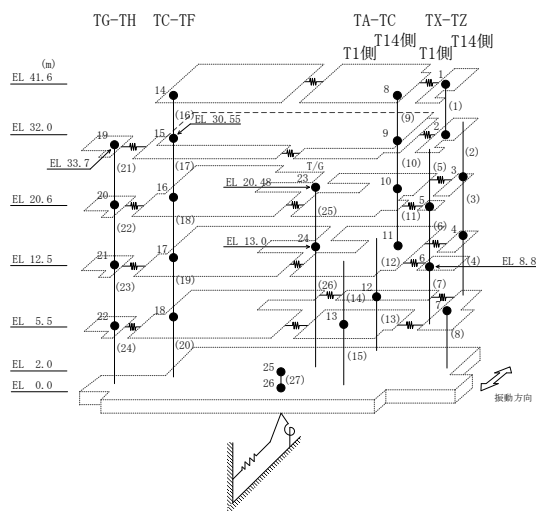
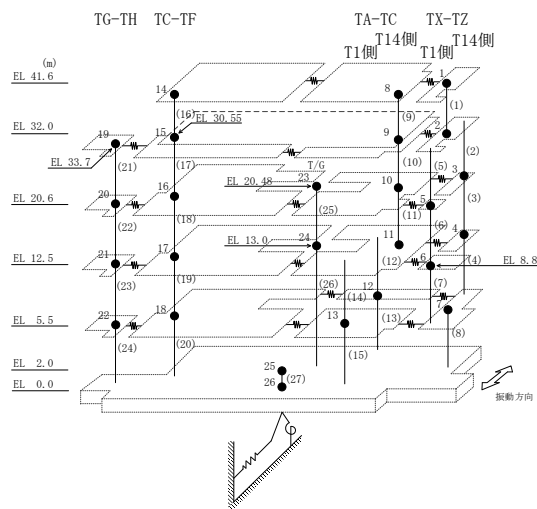


表 2-240(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.8 18.6	17.0 18.8
	5.5~2.0	13	18.6 19.8	18.8 19.9
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	12.5 20.1	12.7 20.2
	5.5~2.0	15	20.1 24.1	20.2 24.2
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.12	0.00 7.10
	30.55~20.6	17	7.12 18.0	7.10 18.1
	20.6~12.5	18	18.0 33.8	18.1 33.9
	12.5~5.5	19	33.8 51.3	33.9 51.4
	5.5~2.0	20	51.3 60.8	51.4 60.9
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.74	0.00 2.75
	20.6~12.5	22	2.74 6.91	2.75 6.90
	12.5~5.5	23	6.91 12.7	6.90 12.8
	5.5~2.0	24	12.7 16.0	12.8 16.0



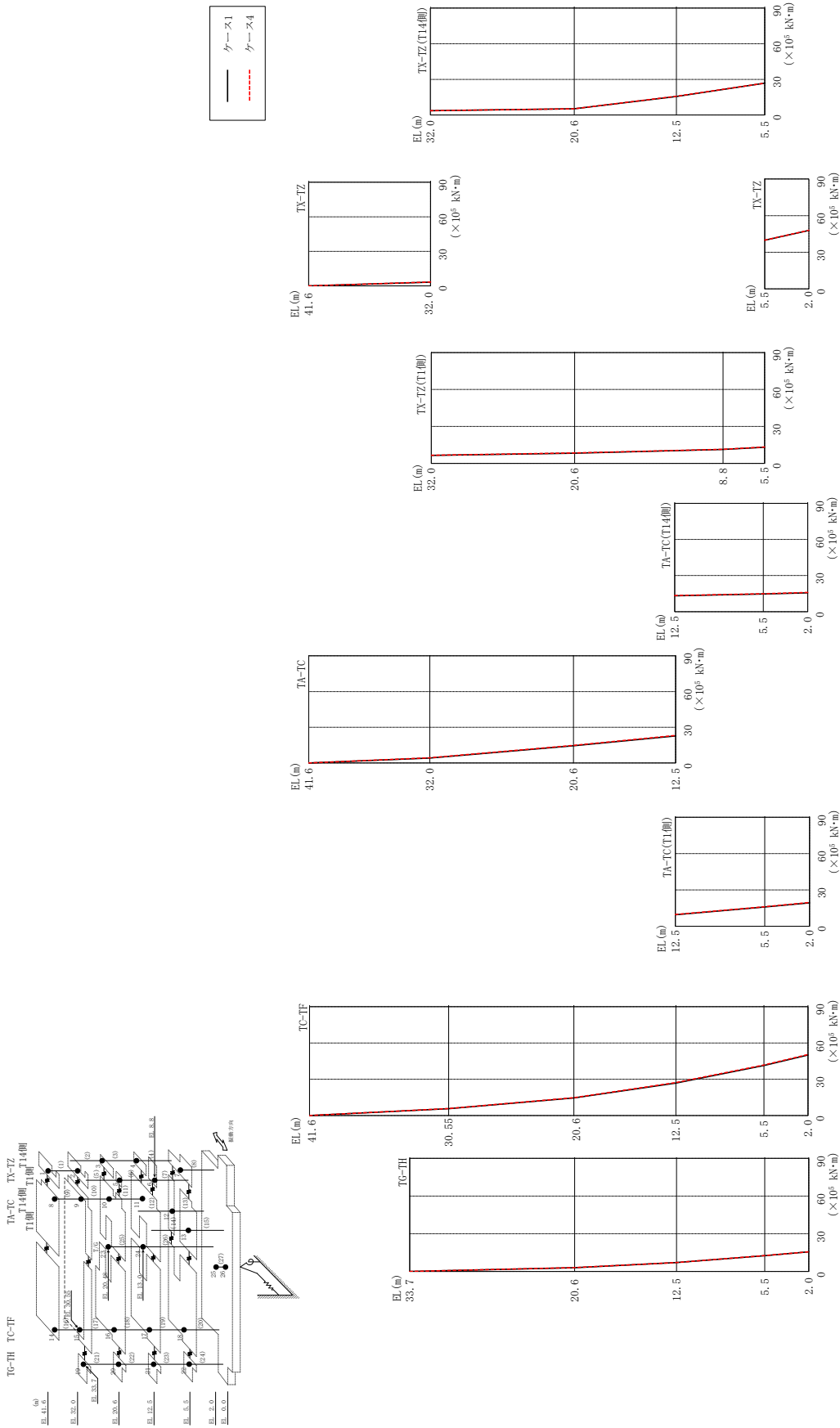


表 2-241(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			3.23	3.32
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.62	3.62
			5.21	5.29
	20.6~12.5	3	5.21	5.29
			15.6	15.8
12.5~5.5	4	15.6	15.8	
		26.8	26.8	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	6.58	6.66
			8.36	8.48
	20.6~8.8	6	8.36	8.48
			11.3	11.4
8.8~5.5	7	11.3	11.4	
		13.2	13.3	
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.8	40.0
			47.9	47.9
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			4.17	4.34
	32.0~20.6	10	4.17	4.34
14.5			14.8	
20.6~12.5	11	14.5	14.8	
		22.8	23.2	

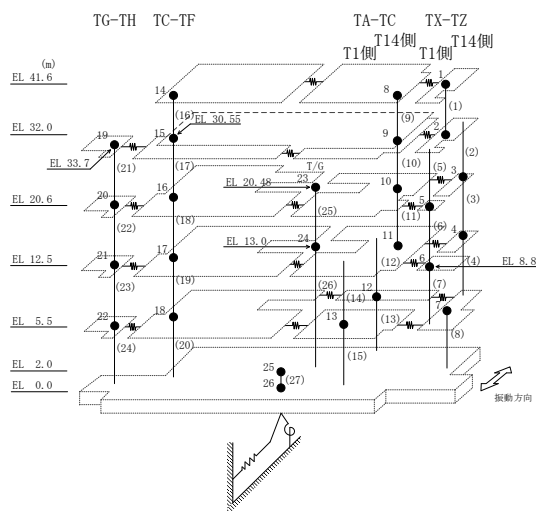
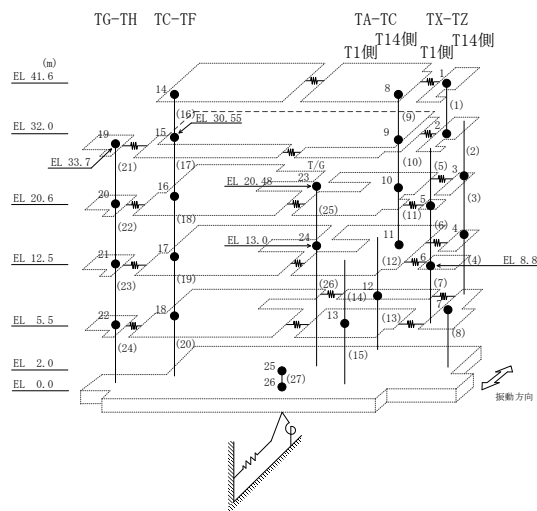


表 2-241(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	13.2 14.7	13.4 14.9
	5.5~2.0	13	14.7 15.7	14.9 15.9
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	9.56 15.9	9.76 16.1
	5.5~2.0	15	15.9 19.4	16.1 19.6
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 5.66	0.00 5.82
	30.55~20.6	17	5.66 14.5	5.82 14.8
	20.6~12.5	18	14.5 26.9	14.8 27.2
	12.5~5.5	19	26.9 41.4	27.2 41.8
	5.5~2.0	20	41.4 50.1	41.8 50.4
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 3.04	0.00 3.08
	20.6~12.5	22	3.04 7.10	3.08 7.15
	12.5~5.5	23	7.10 12.6	7.15 12.7
	5.5~2.0	24	12.6 15.6	12.7 15.7



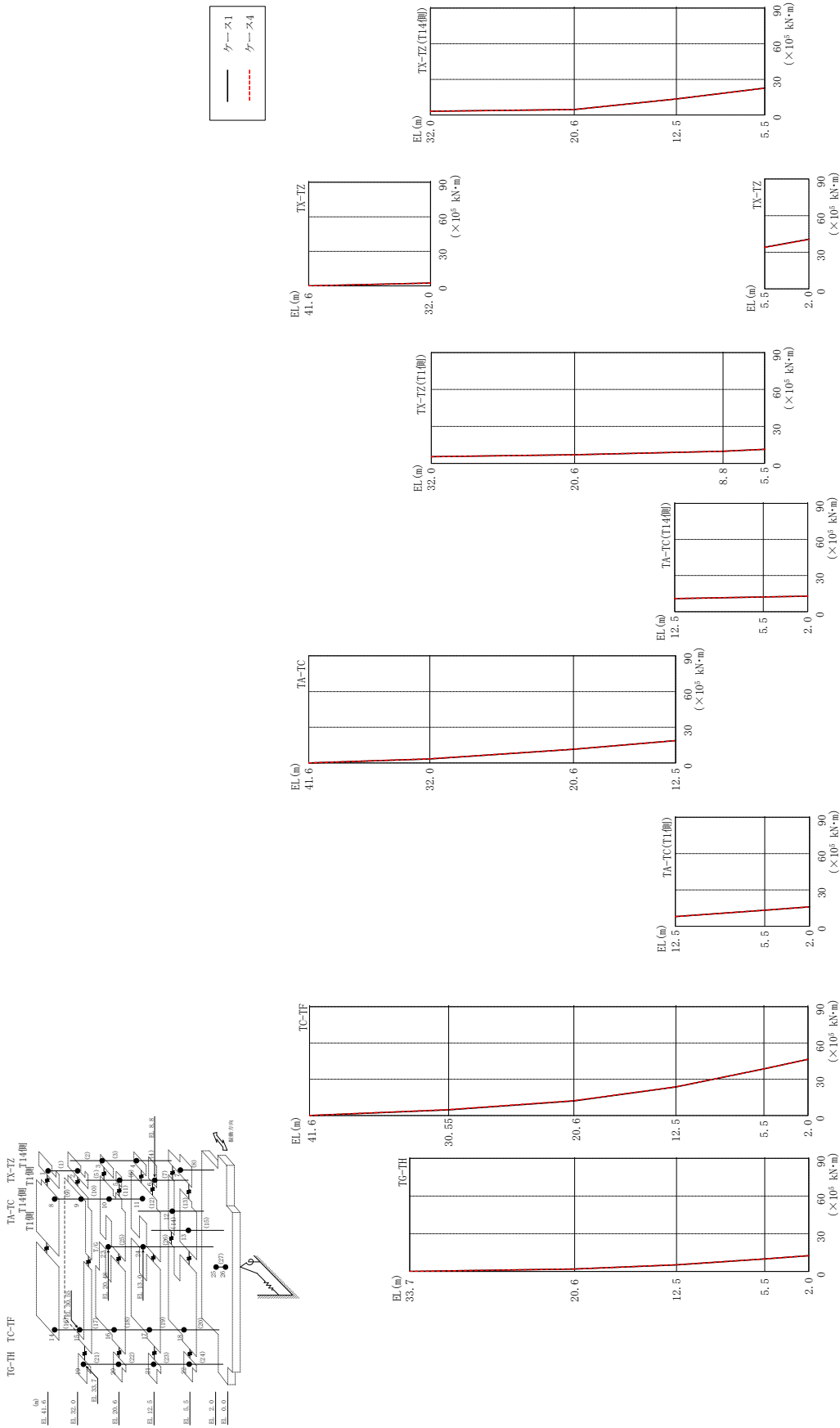


図 2-270 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - F 2, EW 方向)

表 2-242(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			2.49	2.51
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.17	3.13
			4.64	4.64
	20.6~12.5	3	4.64	4.64
			13.5	13.5
12.5~5.5	4	13.5	13.5	
		22.6	22.6	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	5.53	5.52
			7.02	7.01
	20.6~8.8	6	7.02	7.01
			9.89	9.87
8.8~5.5	7	9.89	9.87	
		11.4	11.4	
TX-TZ	5.5~2.0	8	34.1	34.0
			40.7	40.5
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			3.39	3.48
	32.0~20.6	10	3.39	3.48
11.5			11.6	
20.6~12.5	11	11.5	11.6	
		18.8	18.8	

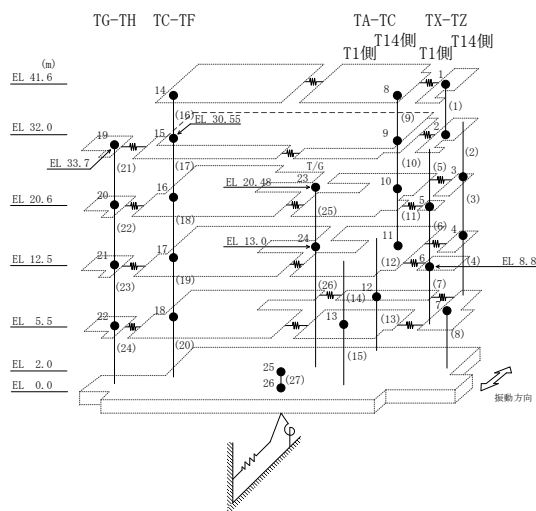
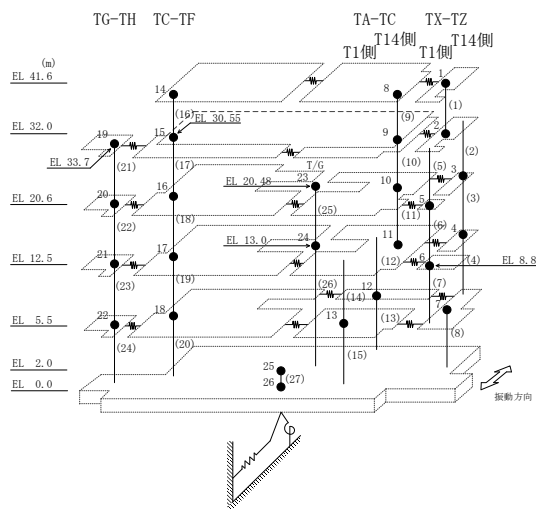


表 2-242(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	10.8 12.2	10.9 12.3
	5.5~2.0	13	12.2 12.9	12.3 12.9
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	7.97 13.2	7.99 13.2
	5.5~2.0	15	13.2 16.0	13.2 16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 4.76	0.00 4.90
	30.55~20.6	17	4.76 12.1	4.90 12.3
	20.6~12.5	18	12.1 23.6	12.3 23.7
	12.5~5.5	19	23.6 38.6	23.7 38.6
	5.5~2.0	20	38.6 46.5	38.6 46.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 1.96	0.00 2.00
	20.6~12.5	22	1.96 5.26	2.00 5.31
	12.5~5.5	23	5.26 10.0	5.31 10.0
	5.5~2.0	24	10.0 12.6	10.0 12.5



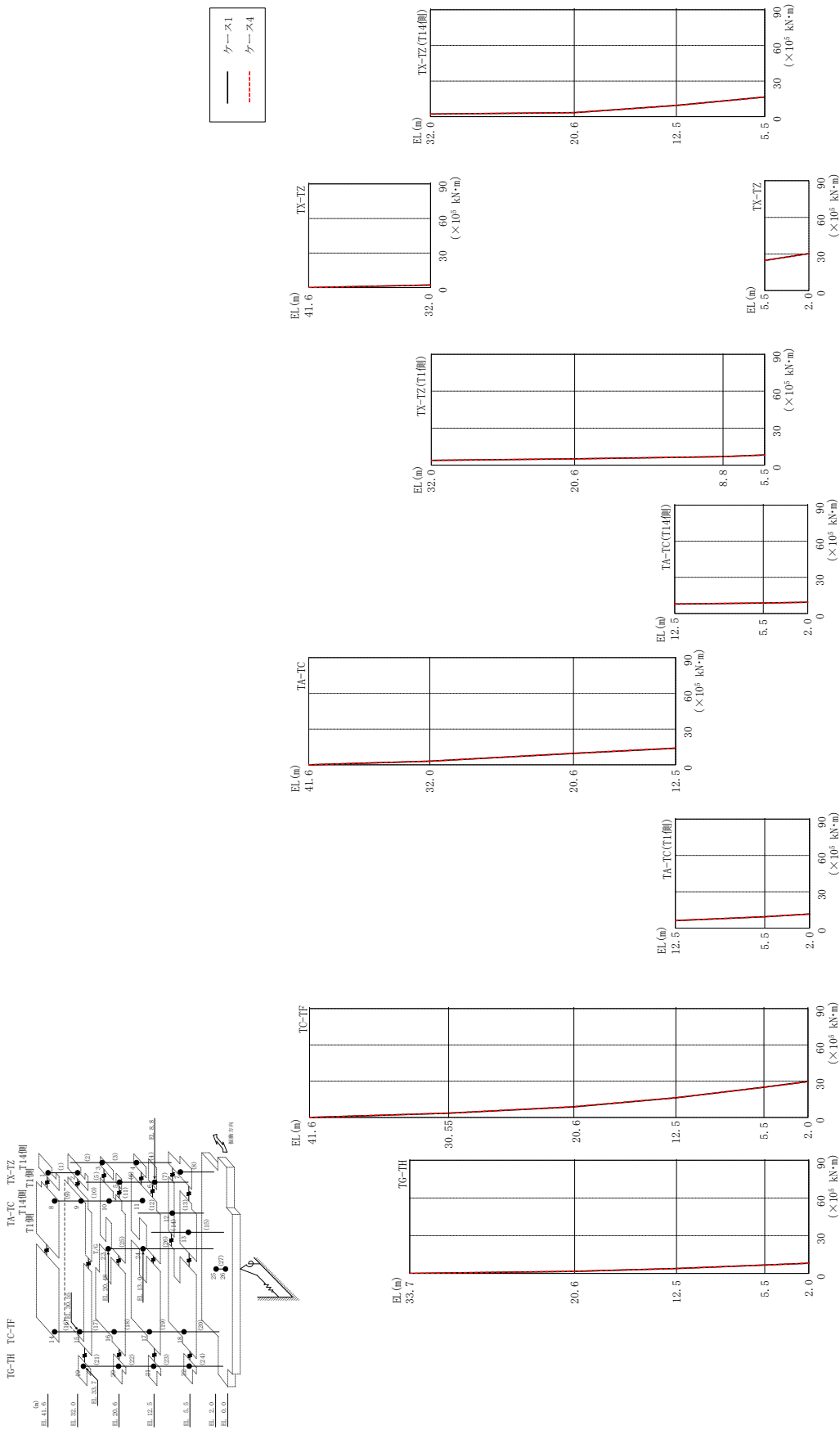


表 2-243(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			2.21	2.26
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	2.16	2.17
			3.39	3.43
	20.6~12.5	3	3.39	3.43
			9.48	9.43
12.5~5.5	4	9.48	9.43	
		16.5	16.5	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	3.89	3.87
			5.15	5.12
	20.6~8.8	6	5.15	5.12
			6.95	6.91
8.8~5.5	7	6.95	6.91	
		8.28	8.25	
TX-TZ	5.5~2.0	8	24.8	24.7
			30.3	30.3
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			3.04	3.13
	32.0~20.6	10	3.04	3.13
			9.56	9.73
20.6~12.5	11	9.56	9.73	
		14.0	14.2	

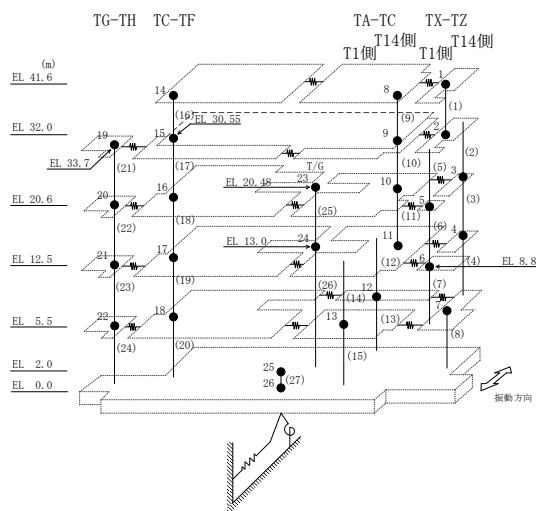
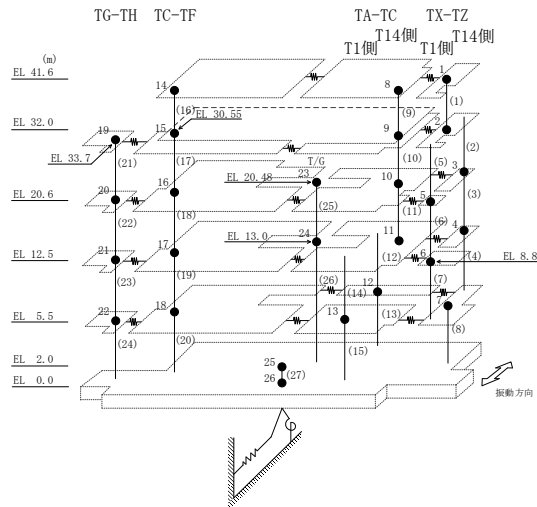


表 2-243(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	7.82 8.69	7.91 8.64
	5.5~2.0	13	8.69 9.32	8.64 9.27
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	6.21 9.40	6.26 9.36
	5.5~2.0	15	9.40 11.7	9.36 11.7
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 3.53	0.00 3.64
	30.55~20.6	17	3.53 8.78	3.64 8.99
	20.6~12.5	18	8.78 16.2	8.99 16.4
	12.5~5.5	19	16.2 25.0	16.4 24.9
	5.5~2.0	20	25.0 29.8	24.9 29.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 1.68	0.00 1.70
	20.6~12.5	22	1.68 3.87	1.70 3.89
	12.5~5.5	23	3.87 6.70	3.89 6.71
	5.5~2.0	24	6.70 8.19	6.71 8.19



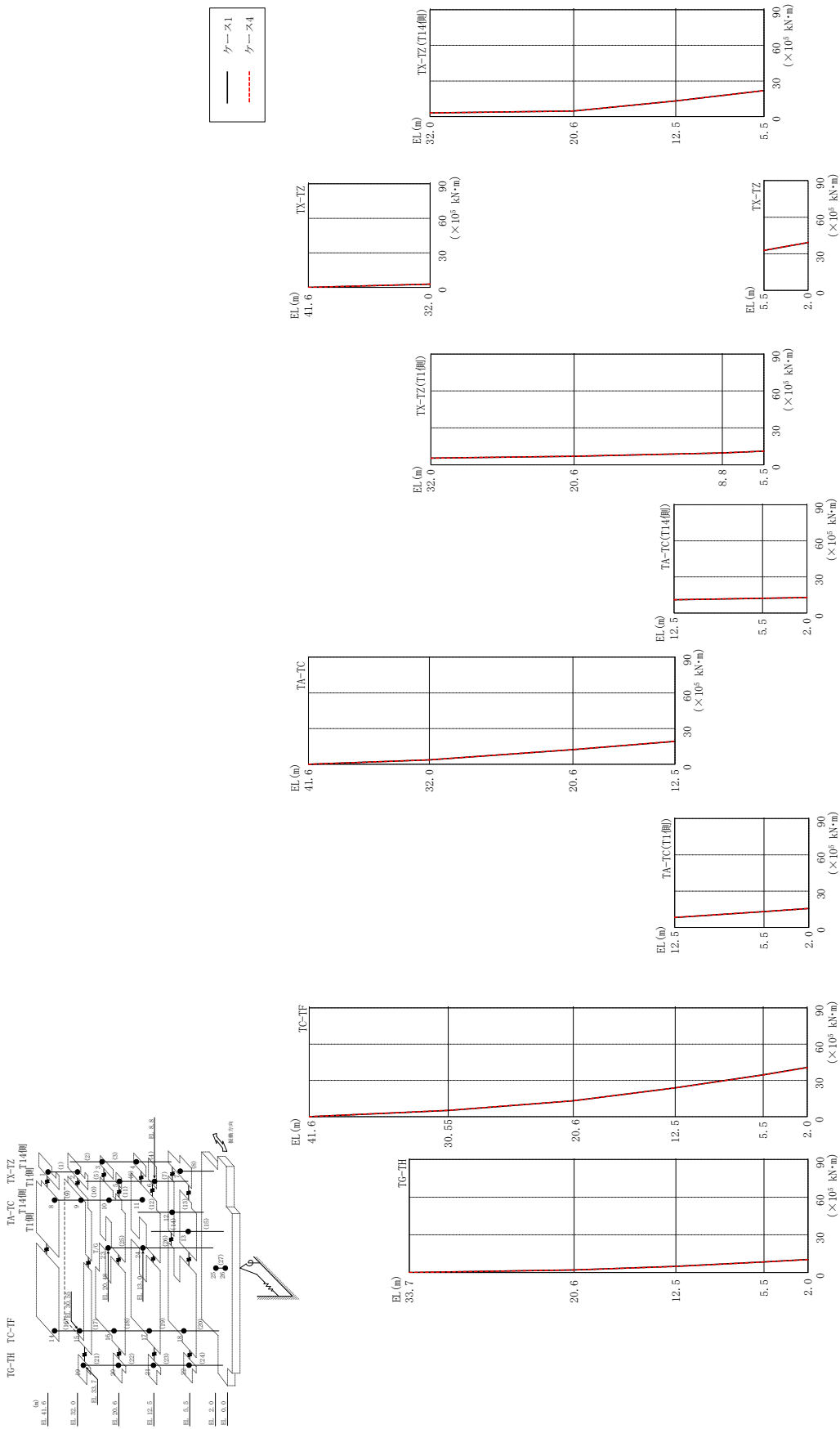


図 2-272 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

表 2-244(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			2.84	2.88
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.05	3.03
			4.71	4.73
	20.6~12.5	3	4.71	4.73
			13.2	13.2
12.5~5.5	4	13.2	13.2	
		21.9	21.9	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	5.45	5.48
			6.97	7.00
	20.6~8.8	6	6.97	7.00
9.70			9.73	
8.8~5.5	7	9.70	9.73	
		11.1	11.2	
TX-TZ	5.5~2.0	8	32.8	32.9
			39.3	39.4
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			3.70	3.78
	32.0~20.6	10	3.70	3.78
12.3			12.4	
20.6~12.5	11	12.3	12.4	
		19.2	19.4	

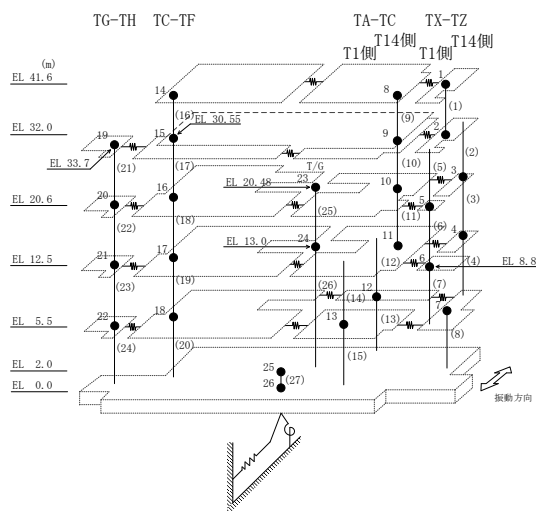
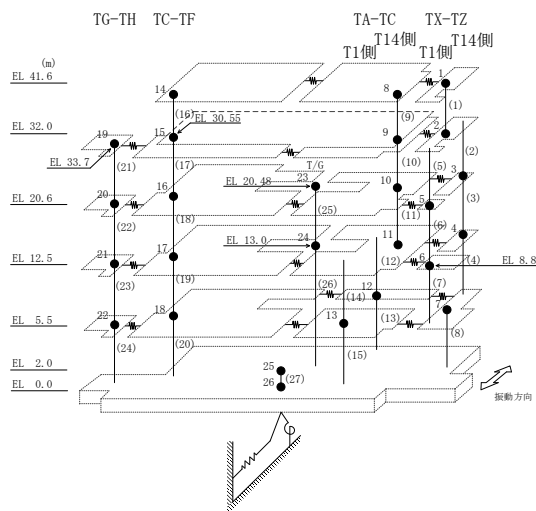


表 2-244(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	11.0 12.2	11.0 12.3
	5.5~2.0	13	12.2 12.9	12.3 12.9
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	8.26 13.1	8.31 13.1
	5.5~2.0	15	13.1 15.7	13.1 15.7
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 5.13	0.00 5.22
	30.55~20.6	17	5.13 13.1	5.22 13.2
	20.6~12.5	18	13.1 23.8	13.2 23.8
	12.5~5.5	19	23.8 34.7	23.8 34.5
	5.5~2.0	20	34.7 40.7	34.5 40.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.09	0.00 2.09
	20.6~12.5	22	2.09 4.91	2.09 4.89
	12.5~5.5	23	4.91 8.50	4.89 8.44
	5.5~2.0	24	8.50 10.4	8.44 10.3



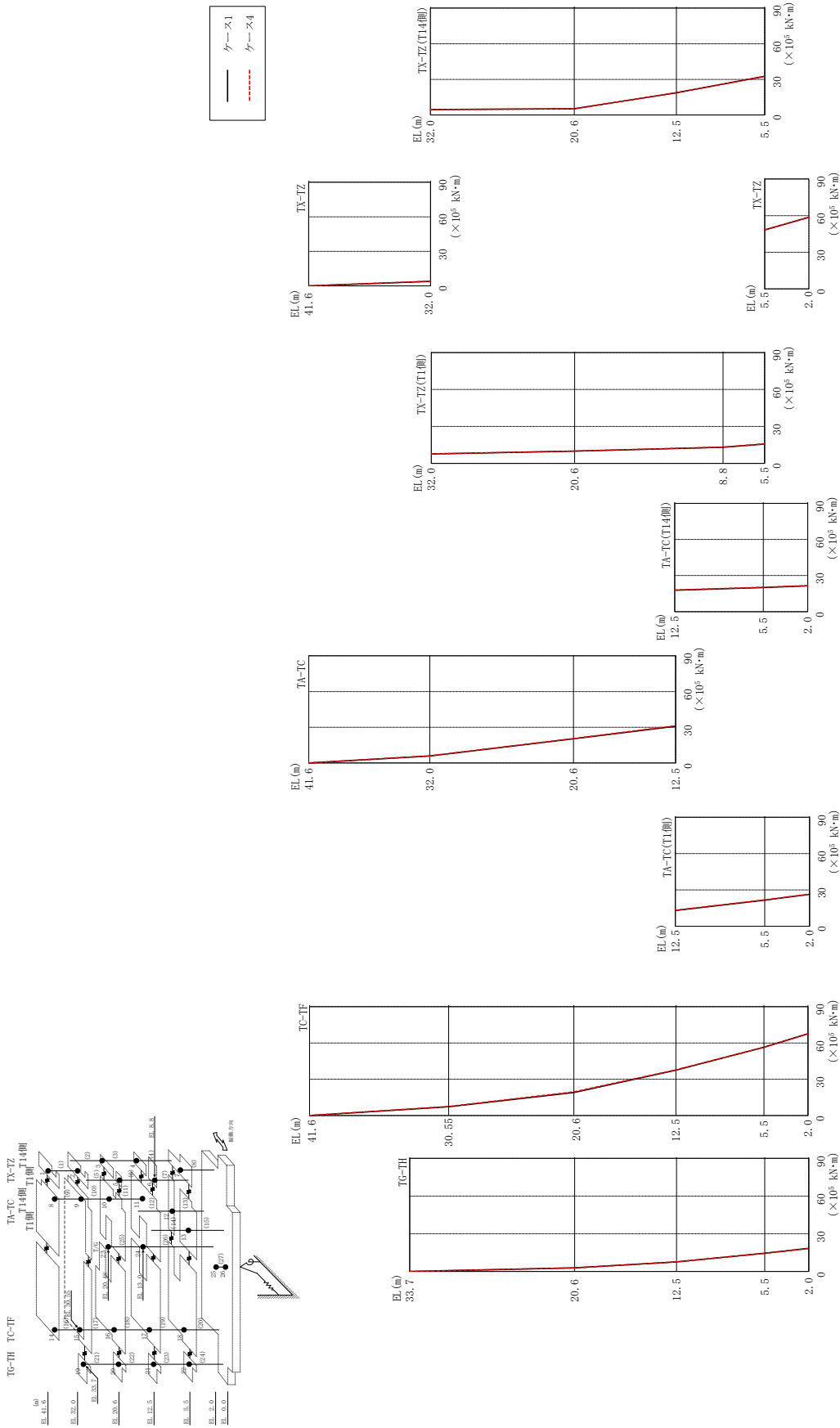


図 2-273 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d - 1, EW 方向)

表 2-245(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答 曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			ケース1	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			3.97	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	4.65	4.52
			5.24	5.29
	20.6~12.5	3	5.24	5.29
			18.8	18.7
12.5~5.5	4	18.8	18.7	
		32.6	32.5	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.73	7.66
			9.96	9.95
	20.6~8.8	6	9.96	9.95
			13.2	13.2
8.8~5.5	7	13.2	13.2	
		15.8	15.8	
TX-TZ	5.5~2.0	8	48.4	48.3
			58.7	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00
			5.95	6.06
	32.0~20.6	10	5.95	6.06
			20.3	20.6
20.6~12.5	11	20.3	20.6	
		30.9	31.3	

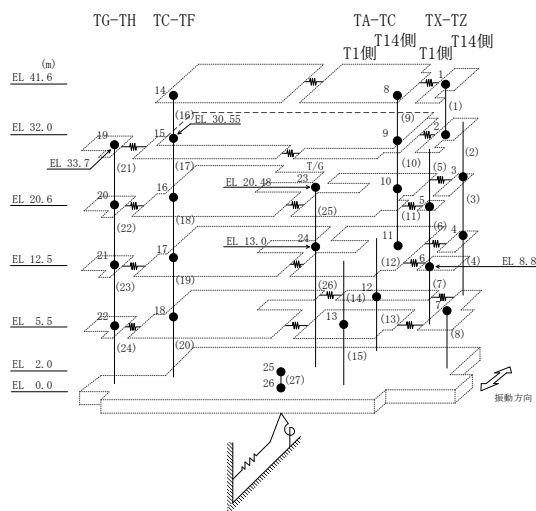
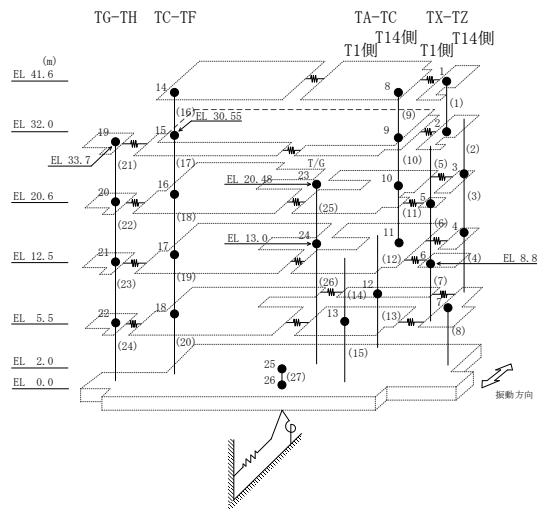


表 2-245(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, EW方向)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			ケース1	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	17.8 20.0	18.0 20.2
	5.5~2.0	13	20.0 21.4	20.2 21.6
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	13.1 21.5	13.3 21.7
	5.5~2.0	15	21.5 26.3	21.7 26.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00 7.29	0.00 7.53
	30.55~20.6	17	7.29 19.1	7.53 19.5
	20.6~12.5	18	19.1 37.5	19.5 37.8
	12.5~5.5	19	37.5 56.4	37.8 56.4
	5.5~2.0	20	56.4 67.7	56.4 67.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00 2.85	0.00 2.83
	20.6~12.5	22	2.85 7.64	2.83 7.58
	12.5~5.5	23	7.64 14.6	7.58 14.4
	5.5~2.0	24	14.6 18.4	14.4 18.3



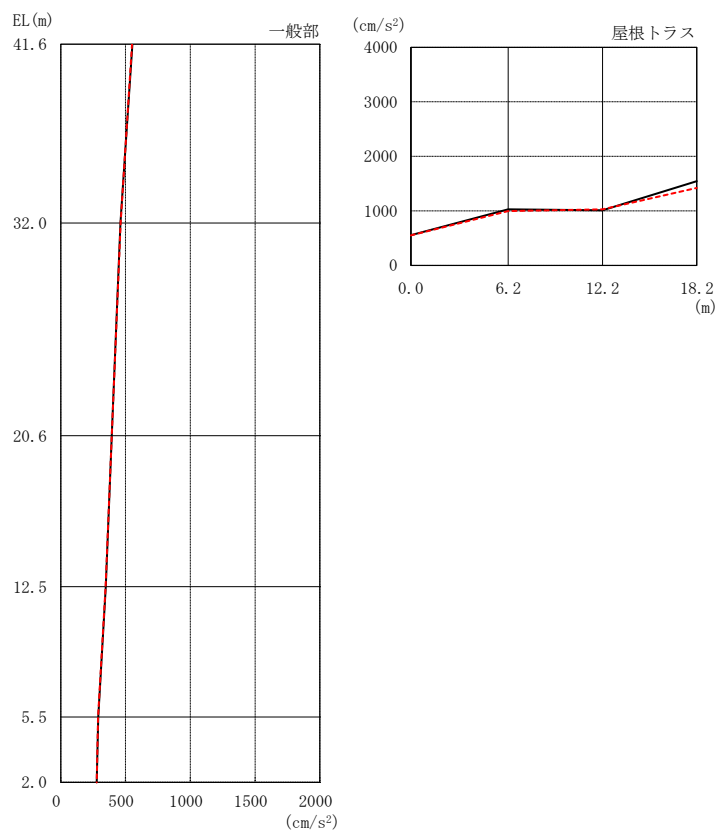
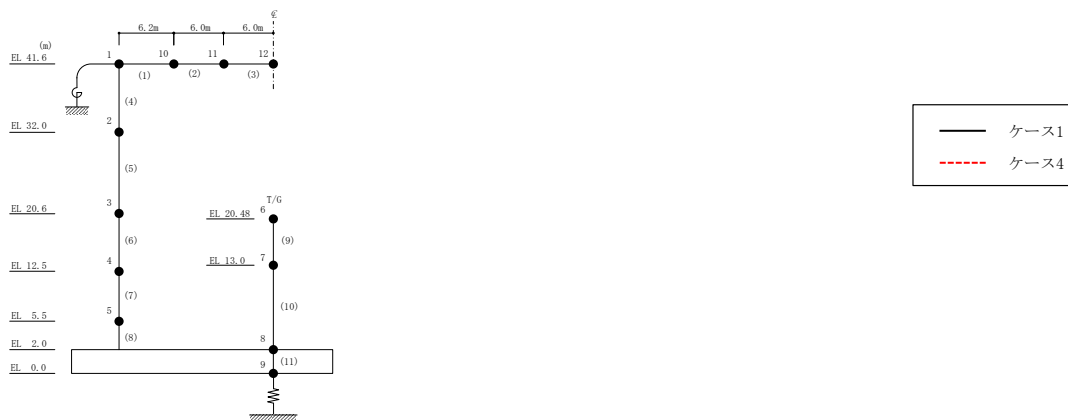
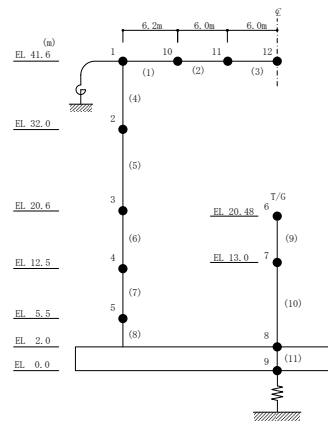


図 2-274 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

表 2-246 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	553	550
	32.0	2	461	462
	20.6	3	394	393
	12.5	4	348	346
	5.5	5	289	288
	2.0	8	277	277
屋根 トラス	0.0	1	553	550
	6.2	10	1030	996
	12.2	11	1008	1027
	18.2	12	1544	1420

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



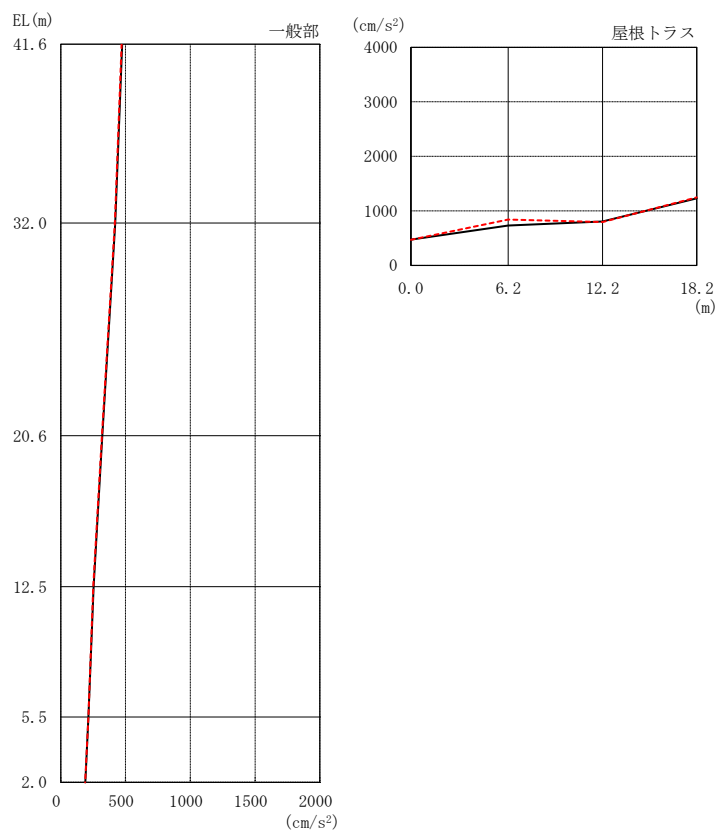
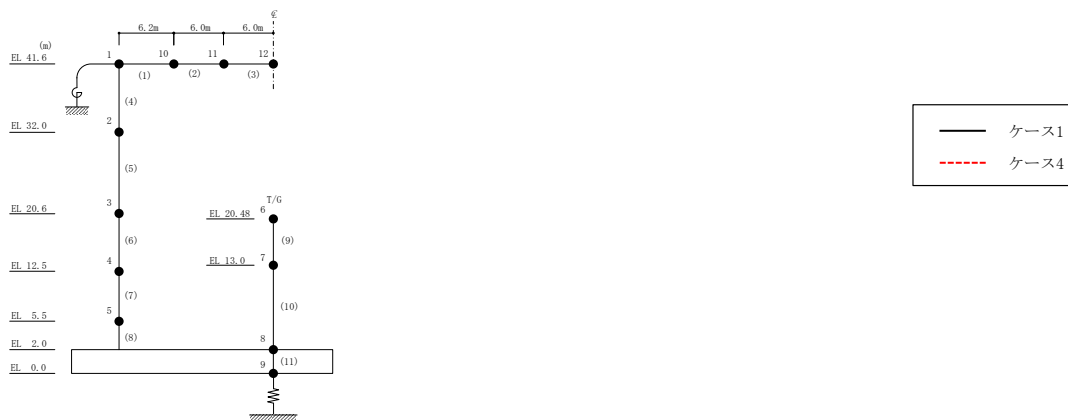
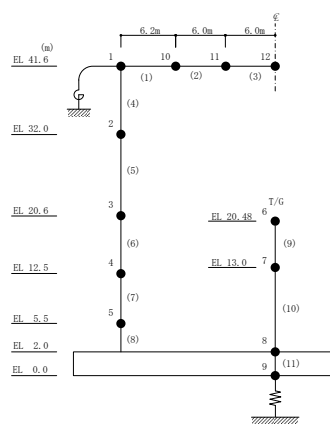


図 2-275 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

表 2-247 最大応答加速度一覧（弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	473	469
	32.0	2	420	417
	20.6	3	320	317
	12.5	4	253	251
	5.5	5	214	213
	2.0	8	189	188
屋根 トラス	0.0	1	473	469
	6.2	10	732	842
	12.2	11	805	793
	18.2	12	1230	1249

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



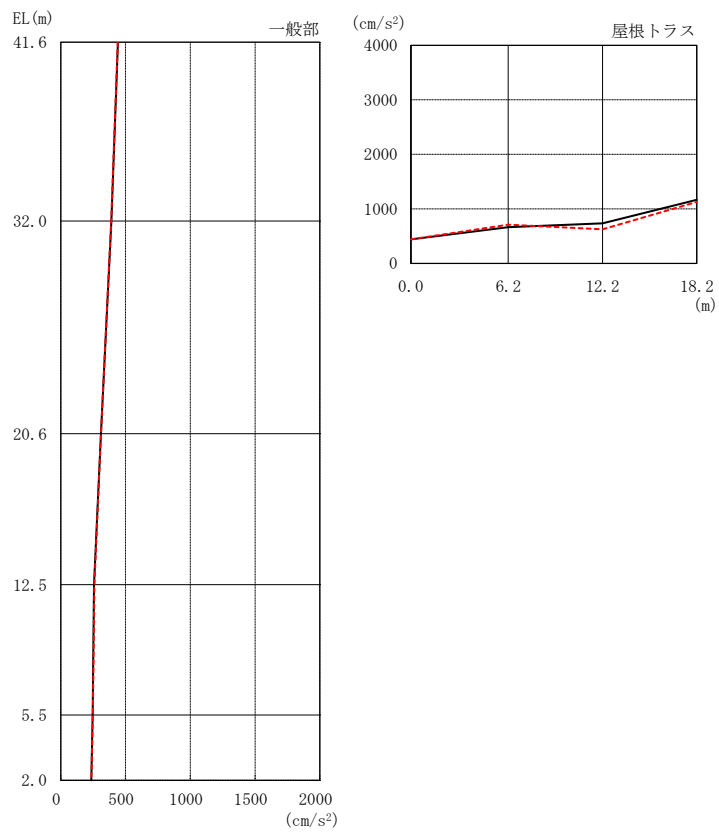
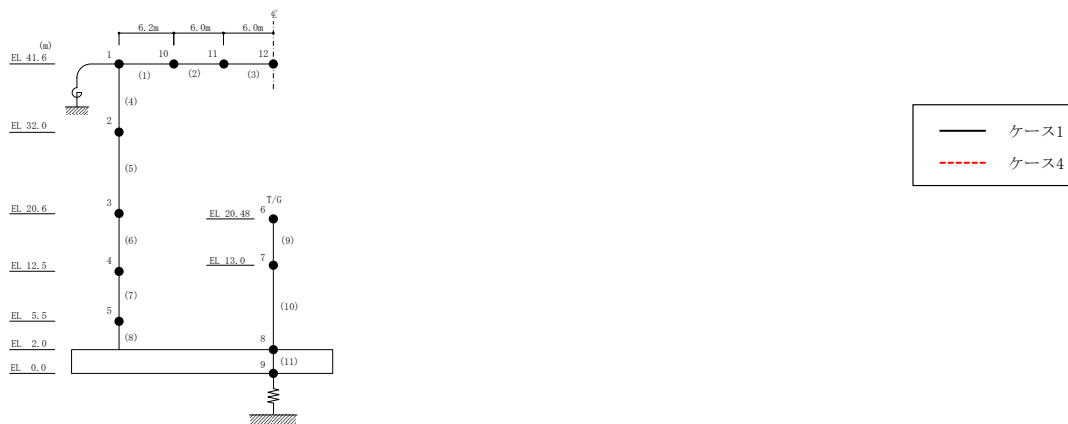
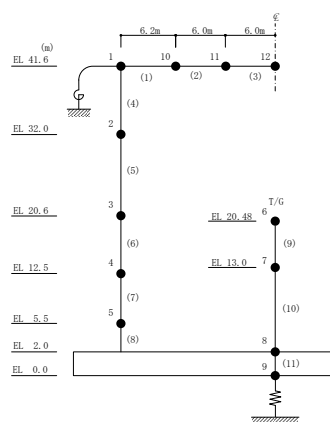


図 2-276 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

表 2-248 最大応答加速度一覧（弾性設計用地震動 S d - F 2，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	442	439
	32.0	2	391	389
	20.6	3	310	309
	12.5	4	257	259
	5.5	5	246	247
	2.0	8	235	236
屋根 トラス	0.0	1	442	439
	6.2	10	663	708
	12.2	11	735	625
	18.2	12	1166	1128

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



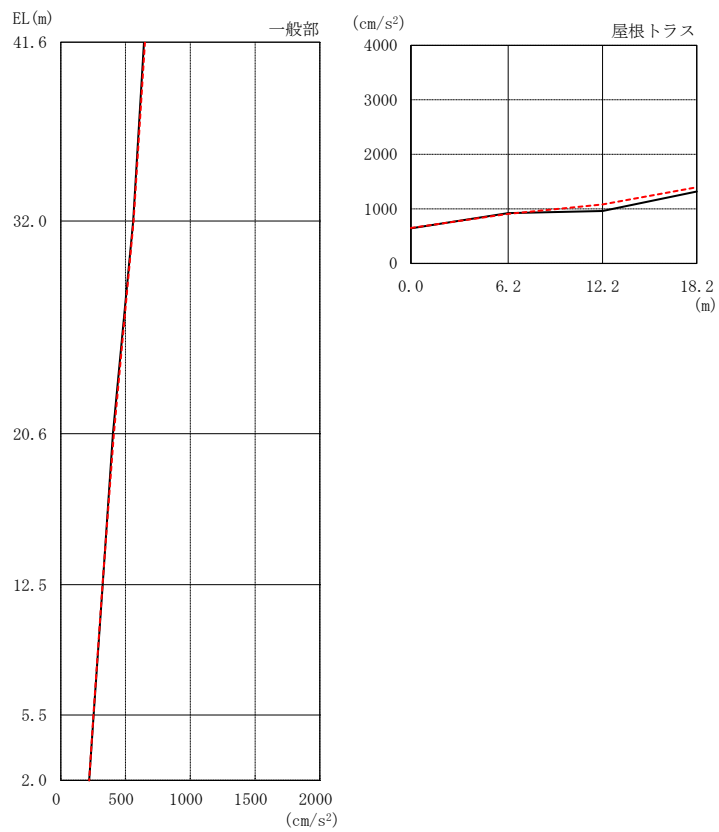
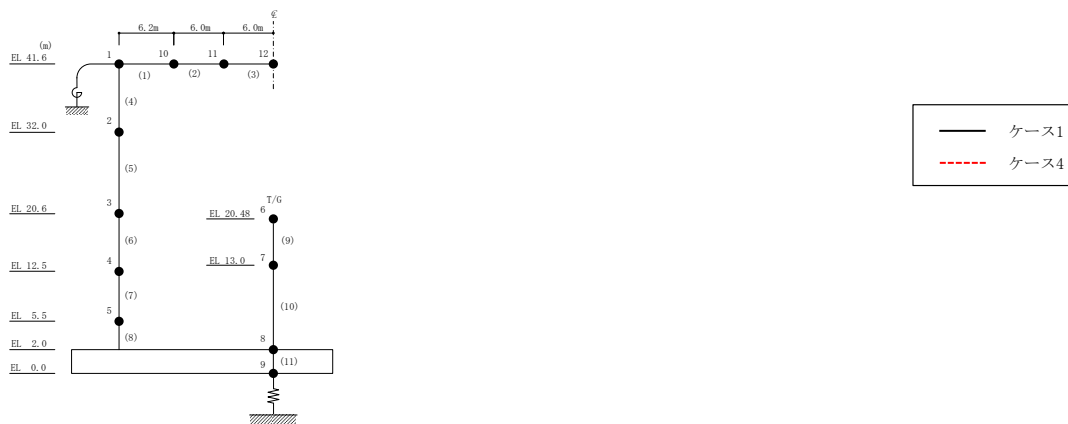
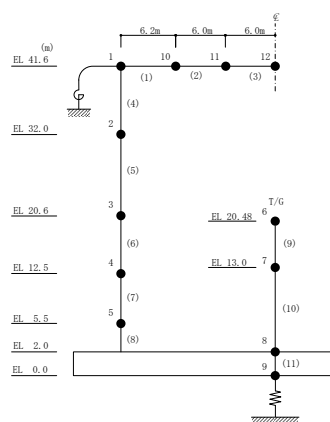


図 2-277 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

表 2-249 最大応答加速度一覧（弾性設計用地震動 S d - N 2，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	642	649
	32.0	2	559	562
	20.6	3	402	410
	12.5	4	324	322
	5.5	5	254	252
	2.0	8	220	219
屋根 トラス	0.0	1	642	649
	6.2	10	921	908
	12.2	11	962	1080
	18.2	12	1317	1394

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



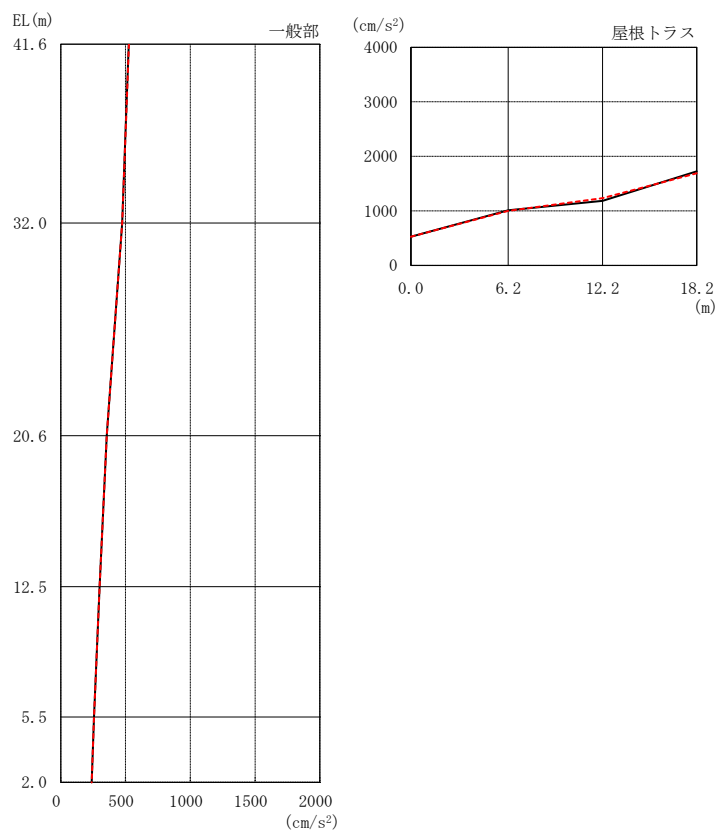
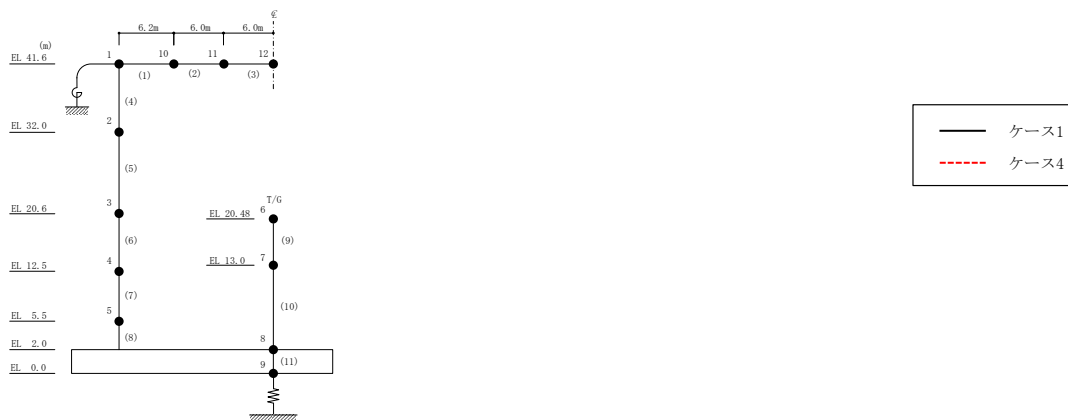
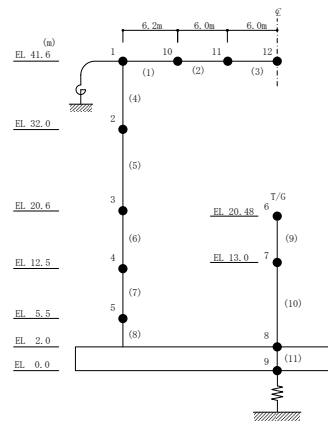


図 2-278 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

表 2-250 最大応答加速度一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	525	526
	32.0	2	473	473
	20.6	3	355	355
	12.5	4	300	300
	5.5	5	257	256
	2.0	8	238	238
屋根 トラス	0.0	1	525	526
	6.2	10	1011	999
	12.2	11	1183	1233
	18.2	12	1723	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



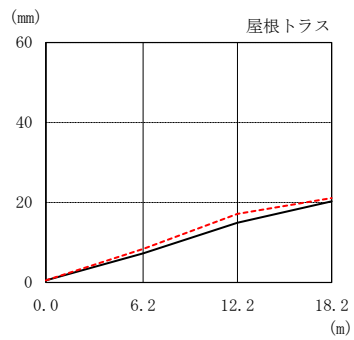
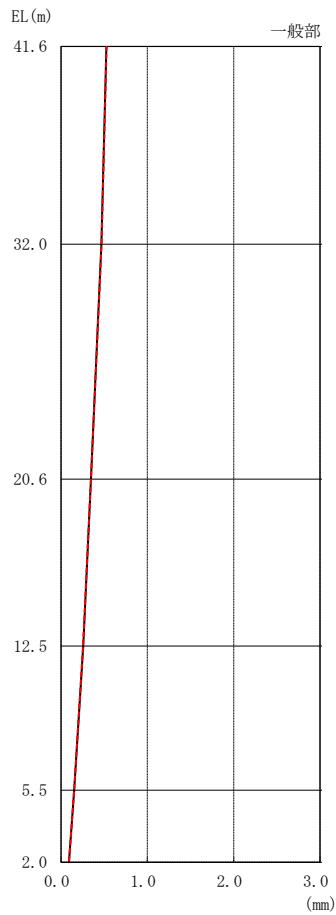
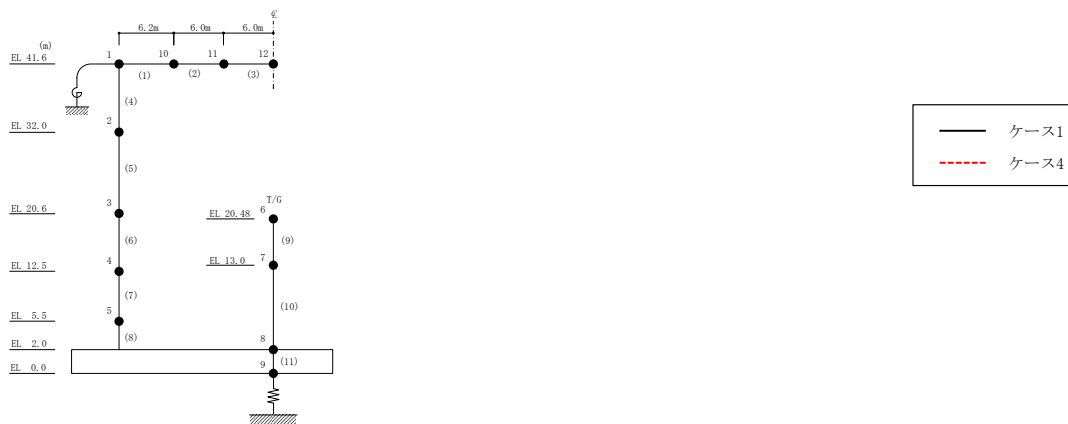
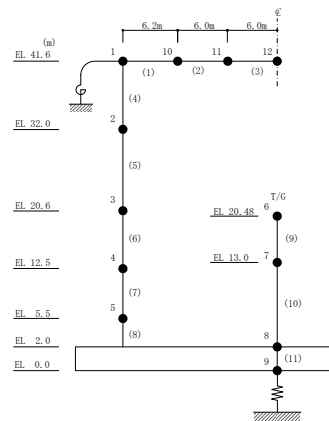


図 2-279 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

表 2-251 最大応答変位一覧（弾性設計用地震動 S d - D，鉛直方向）

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	0.52	0.53
	32.0	2	0.47	0.47
	20.6	3	0.35	0.35
	12.5	4	0.26	0.26
	5.5	5	0.15	0.15
	2.0	8	0.09	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.52	0.53
	6.2	10	7.24	8.36
	12.2	11	14.94	17.13
	18.2	12	20.29	21.11

注記*：屋根トラスは端部からの距離を示す。



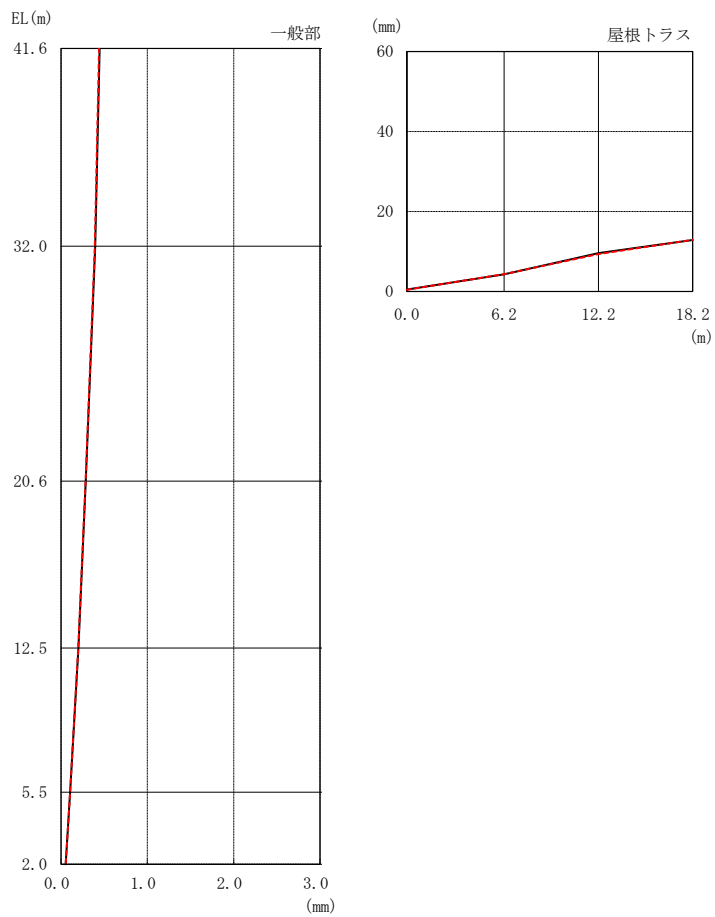
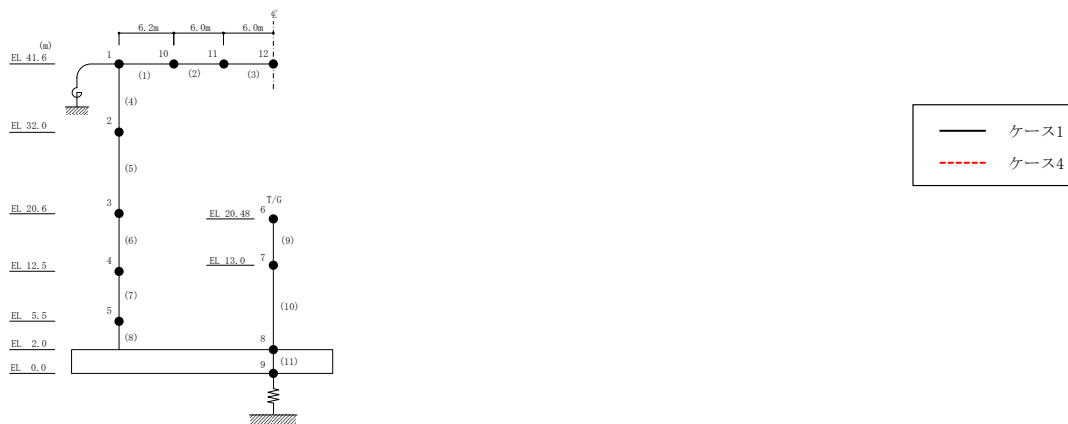
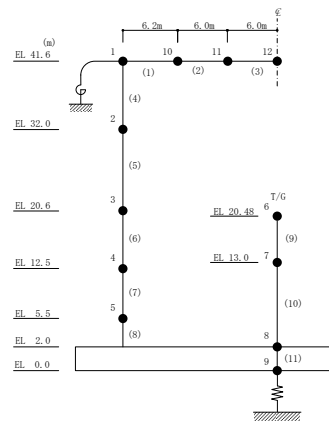


図 2-280 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

表 2-252 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	0.45	0.44
	32.0	2	0.40	0.39
	20.6	3	0.29	0.28
	12.5	4	0.20	0.20
	5.5	5	0.11	0.11
	2.0	8	0.05	0.05
屋根 トラス	0.0	1	0.45	0.44
	6.2	10	4.28	4.32
	12.2	11	9.60	9.33
	18.2	12	12.84	12.88

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



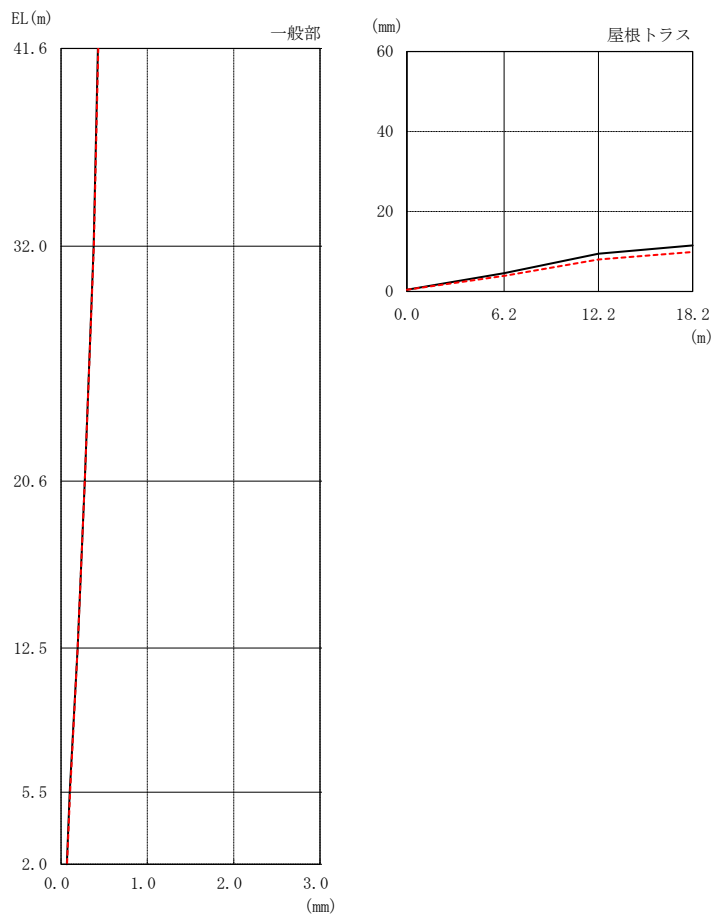
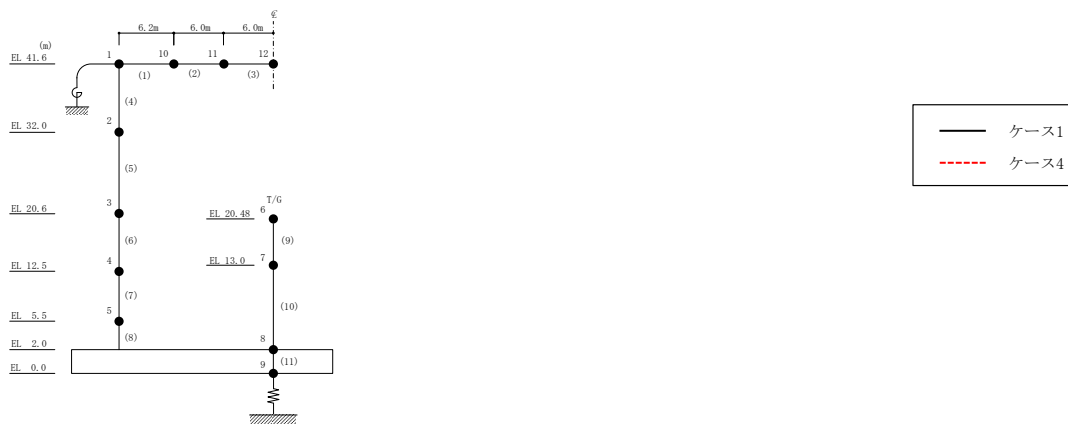
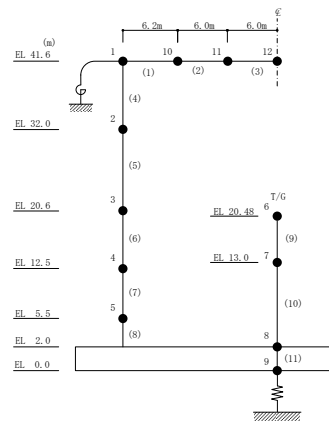


図 2-281 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

表 2-253 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	0.43	0.43
	32.0	2	0.38	0.38
	20.6	3	0.27	0.28
	12.5	4	0.19	0.19
	5.5	5	0.10	0.10
	2.0	8	0.07	0.07
屋根 トラス	0.0	1	0.43	0.43
	6.2	10	4.55	3.91
	12.2	11	9.42	7.98
	18.2	12	11.48	9.84

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



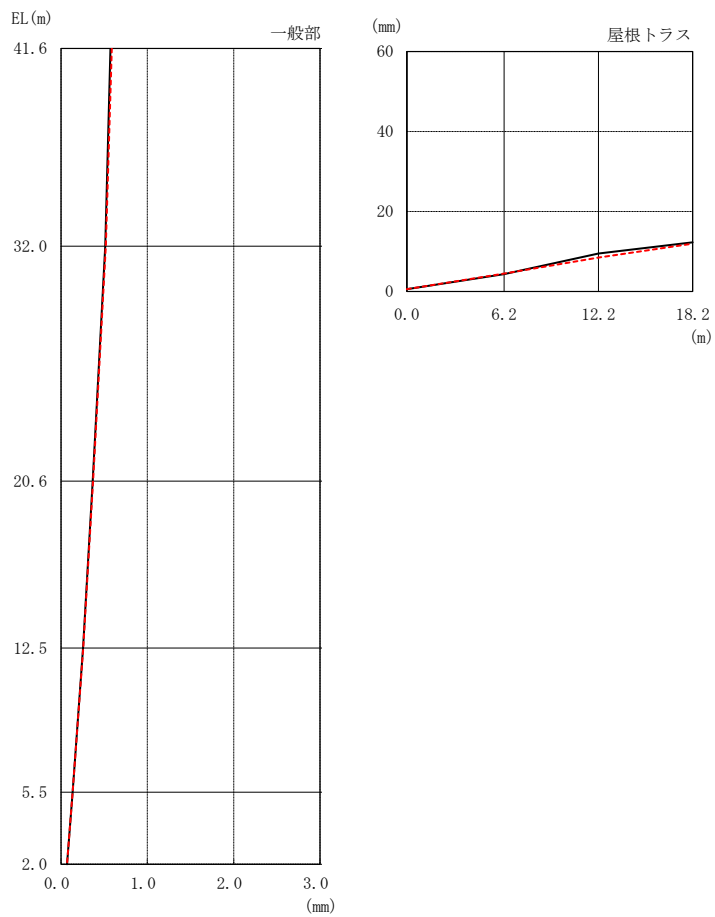
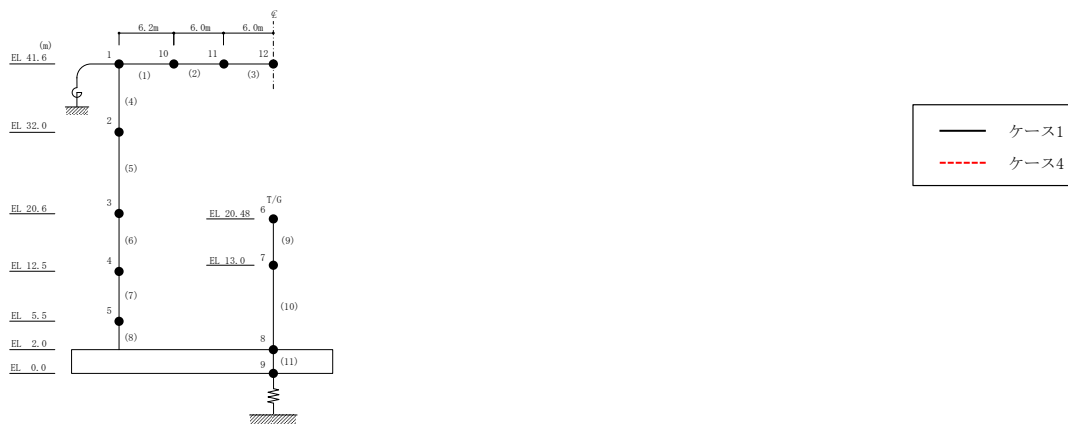
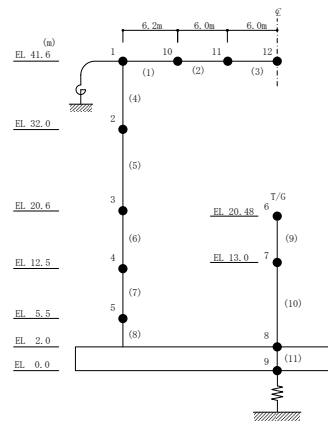


図 2-282 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

表 2-254 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	0.57	0.59
	32.0	2	0.51	0.52
	20.6	3	0.37	0.37
	12.5	4	0.26	0.26
	5.5	5	0.14	0.14
	2.0	8	0.07	0.07
屋根 トラス	0.0	1	0.57	0.59
	6.2	10	4.30	4.46
	12.2	11	9.49	8.48
	18.2	12	12.28	11.94

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



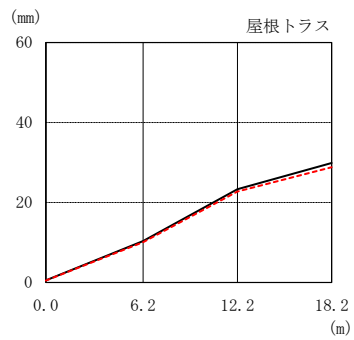
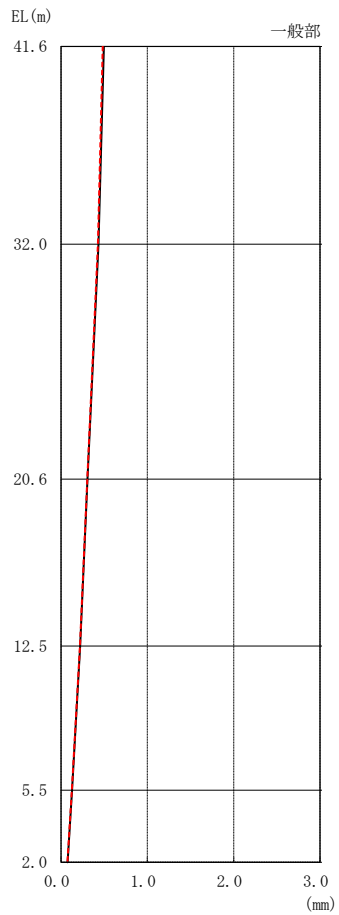
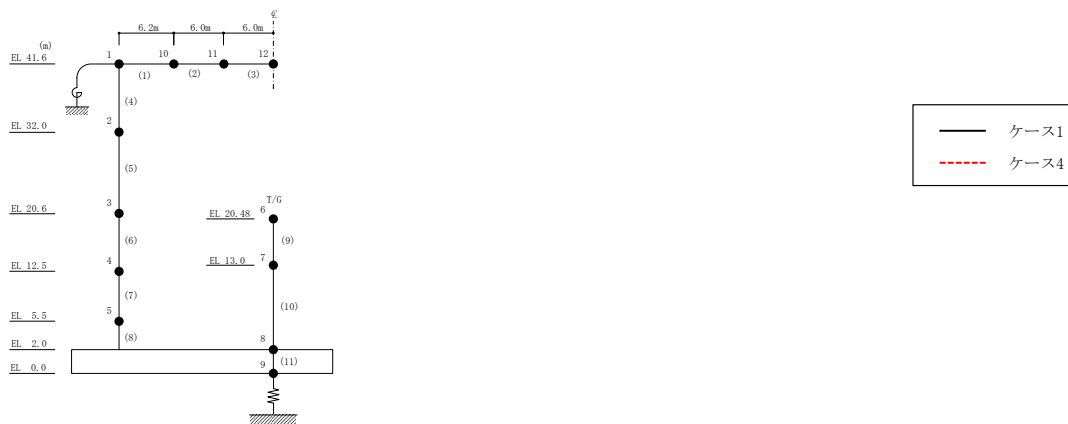
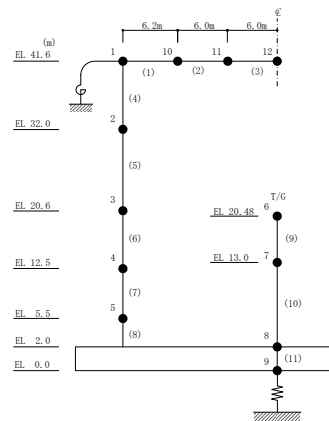


図 2-283 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

表 2-255 最大応答変位一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6	1	0.50	0.48
	32.0	2	0.43	0.43
	20.6	3	0.31	0.30
	12.5	4	0.22	0.22
	5.5	5	0.13	0.13
	2.0	8	0.08	0.07
屋根 トラス	0.0	1	0.50	0.48
	6.2	10	10.34	10.08
	12.2	11	23.29	22.75
	18.2	12	29.86	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。



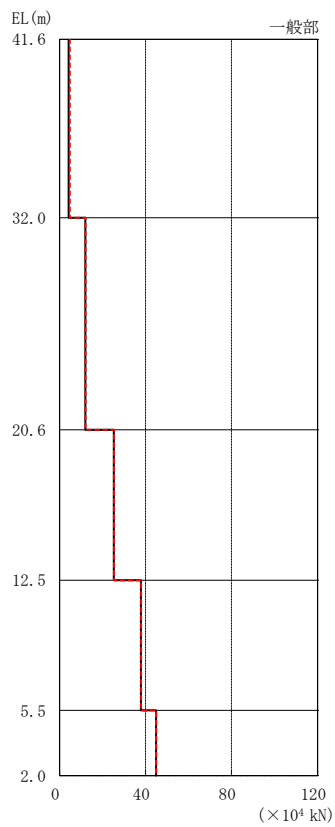
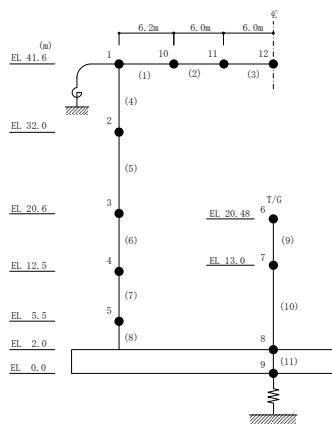
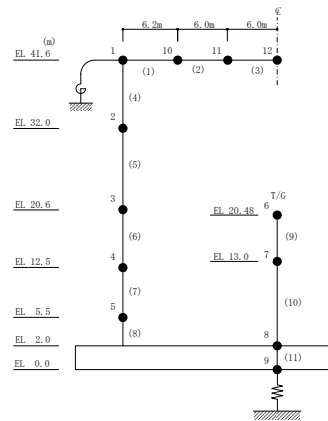


図 2-284 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - D, 鉛直方向)

表 2-256 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d-D, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.20	4.81
	32.0~20.6	5	12.0	12.1
	20.6~12.5	6	25.2	25.3
	12.5~5.5	7	37.9	37.9
	5.5~2.0	8	44.9	44.9



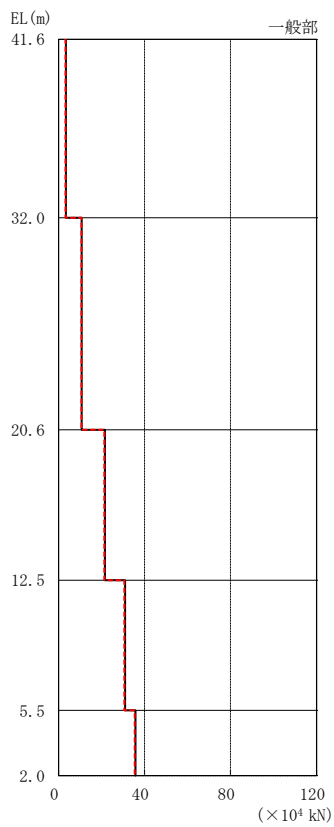
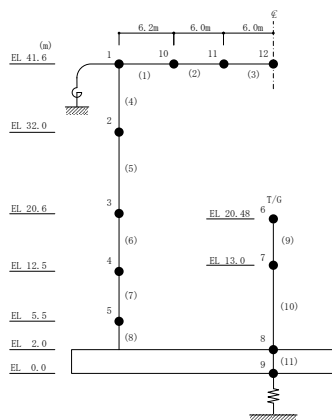
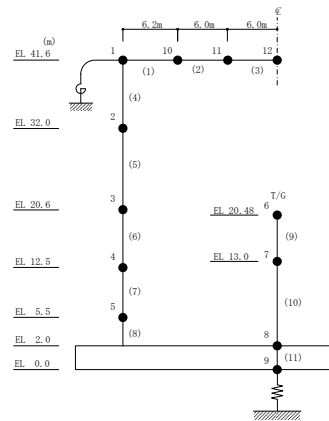


図 2-285 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

表 2-257 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 1, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	3.40	3.27
	32.0~20.6	5	10.8	10.6
	20.6~12.5	6	21.6	21.3
	12.5~5.5	7	31.0	30.6
	5.5~2.0	8	35.8	35.4



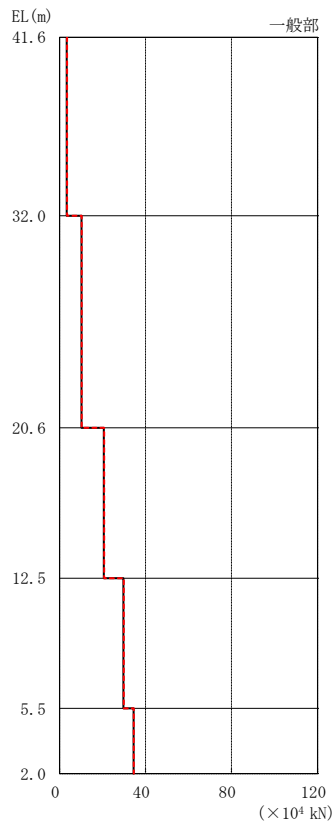
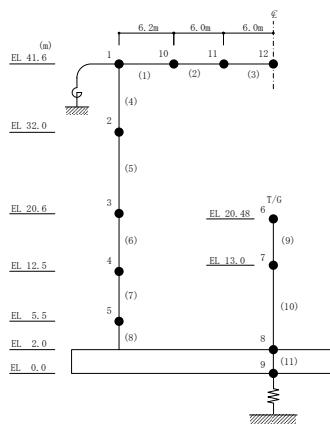
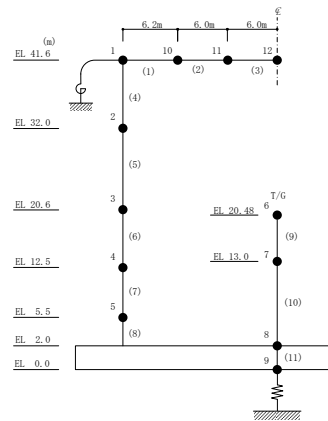


図 2-286 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

表 2-258 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - F 2, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	3.35	3.54
	32.0~20.6	5	10.2	10.4
	20.6~12.5	6	20.6	20.7
	12.5~5.5	7	29.7	29.9
	5.5~2.0	8	34.5	34.6



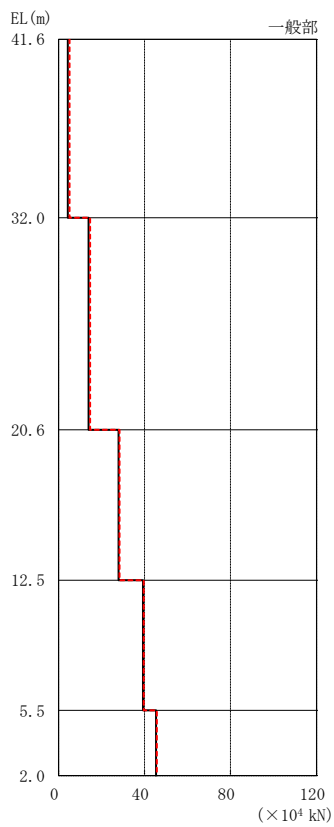
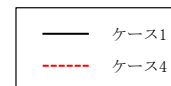
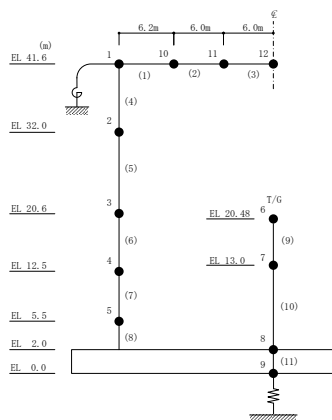
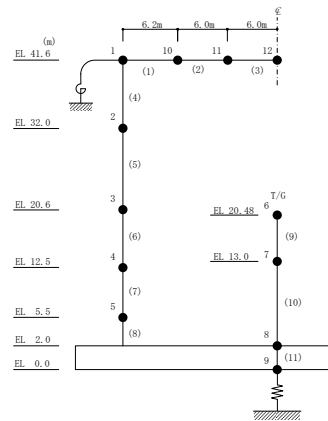


図 2-287 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

表 2-259 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - N 2, 鉛直方向)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.35	5.13
	32.0~20.6	5	13.9	14.7
	20.6~12.5	6	27.9	28.4
	12.5~5.5	7	39.2	39.7
	5.5~2.0	8	45.3	45.7



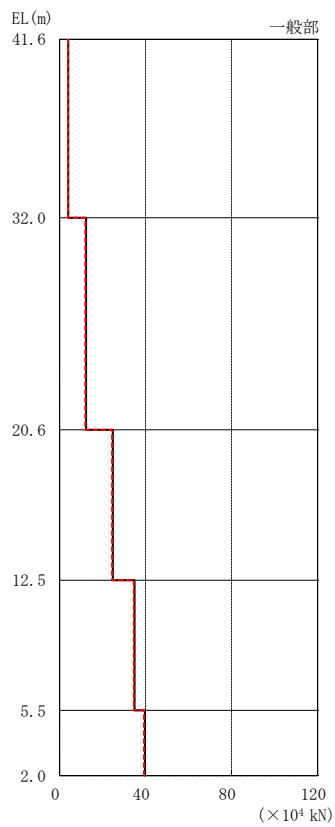
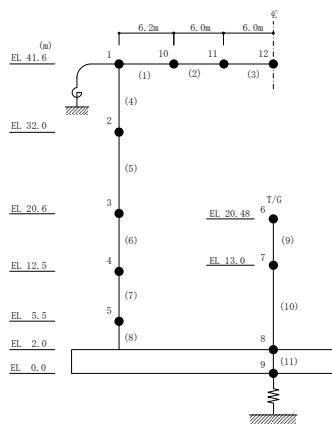
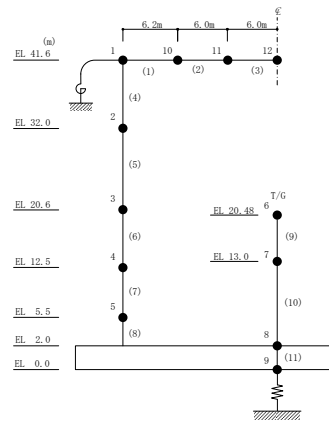


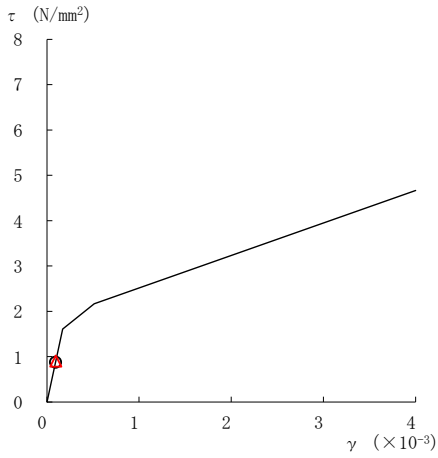
図 2-288 最大応答軸力 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

表 2-260 最大応答軸力一覧 (弾性設計用地震動 S d - 1, 鉛直方向)

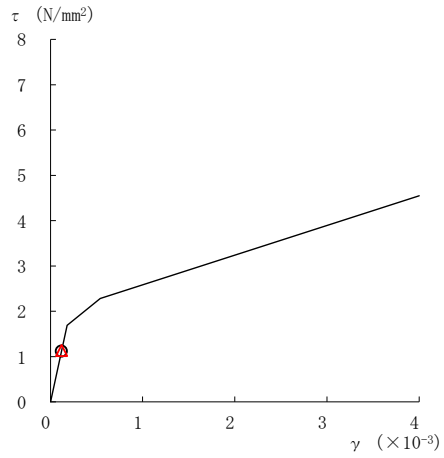
部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)	
			ケース1	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.02	4.00
	32.0~20.6	5	12.4	12.0
	20.6~12.5	6	24.8	24.5
	12.5~5.5	7	34.9	34.6
	5.5~2.0	8	39.7	39.3



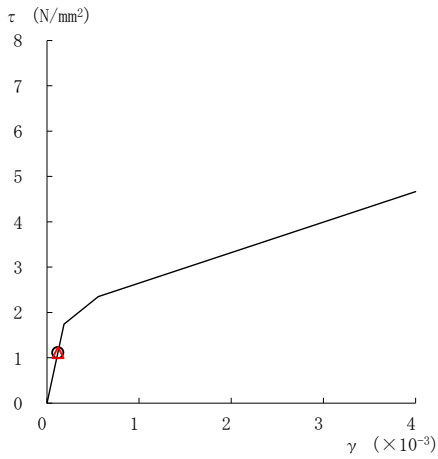
○ ケース 1 △ ケース 4



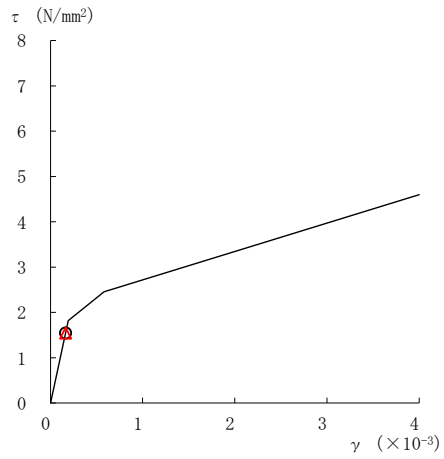
要素番号 (1)



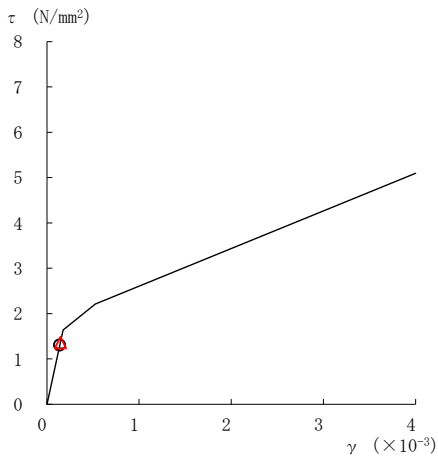
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

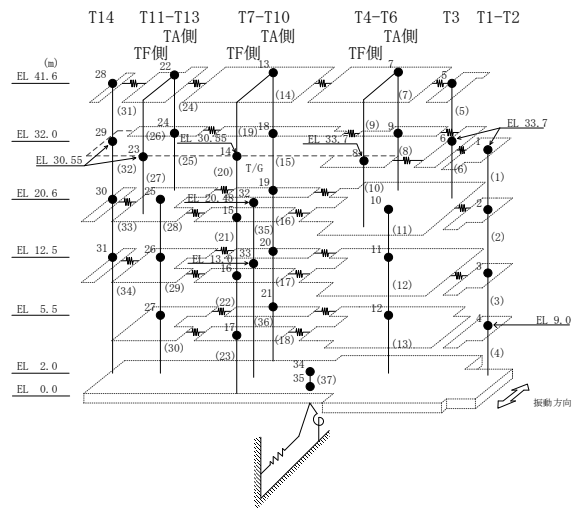
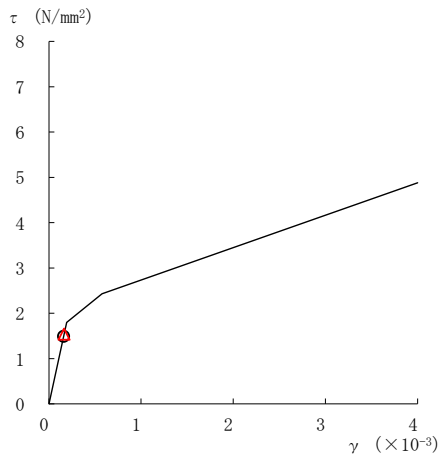


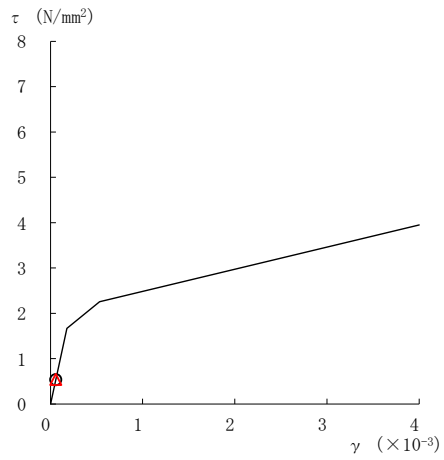
図 2-289(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

○ ケース 1

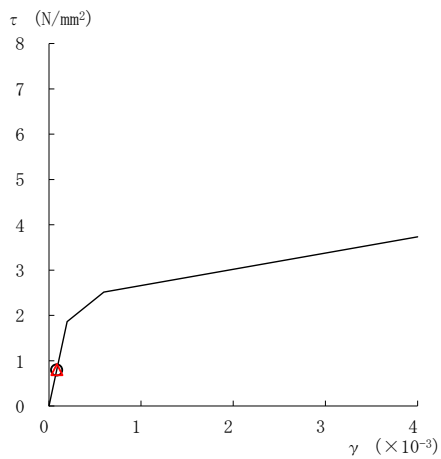
△ ケース 4



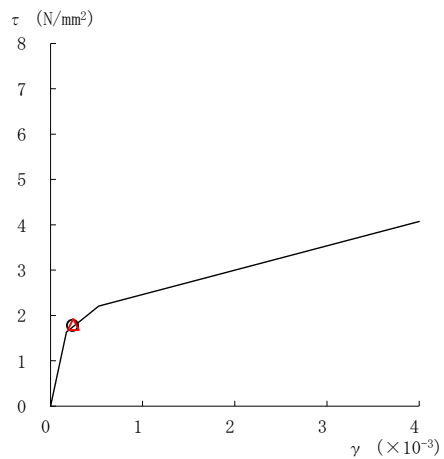
要素番号 (6)



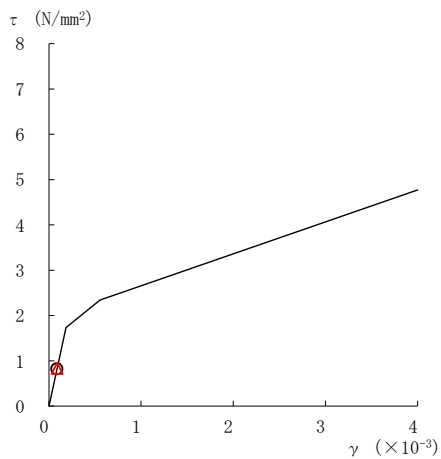
要素番号 (7)



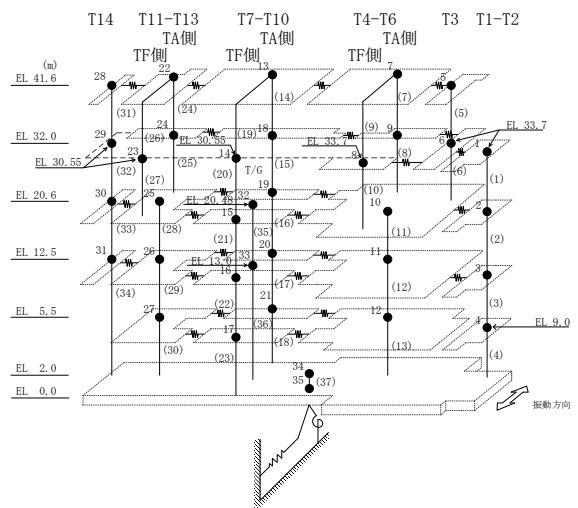
要素番号 (8)



要素番号 (10)



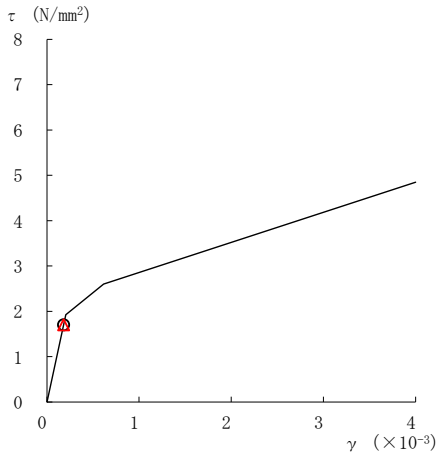
要素番号 (11)



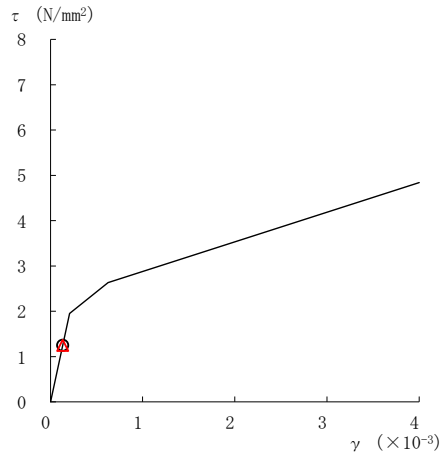
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-289(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

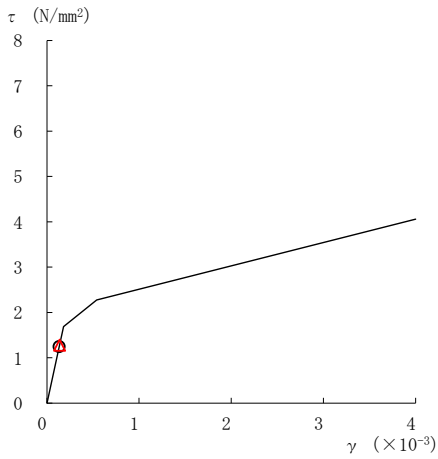
○ ケース 1 △ ケース 4



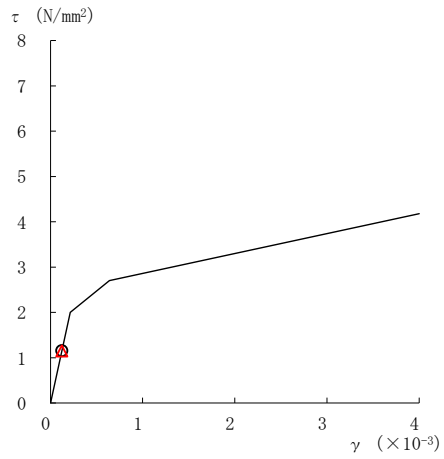
要素番号 (12)



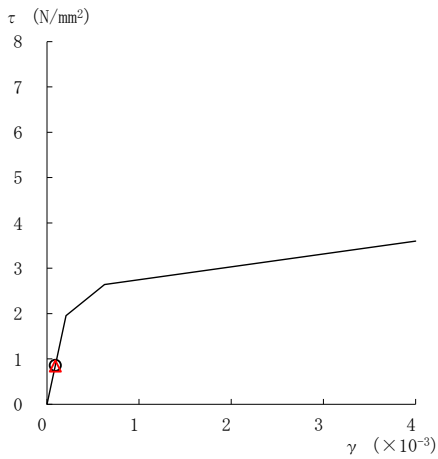
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

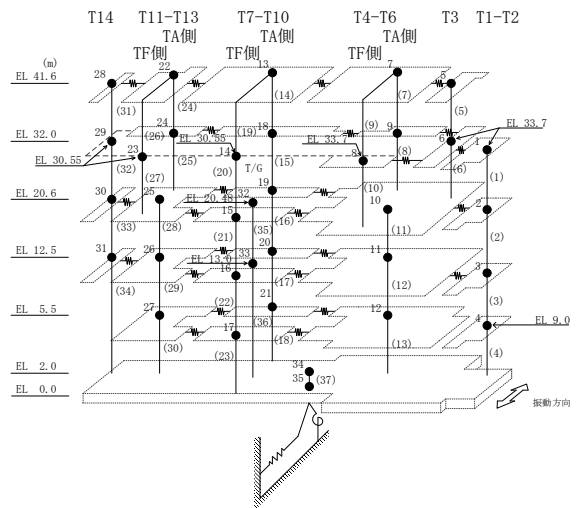
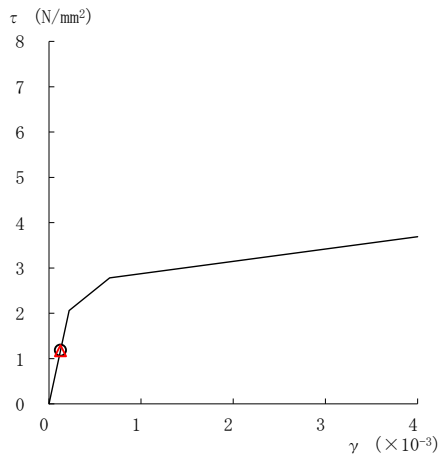


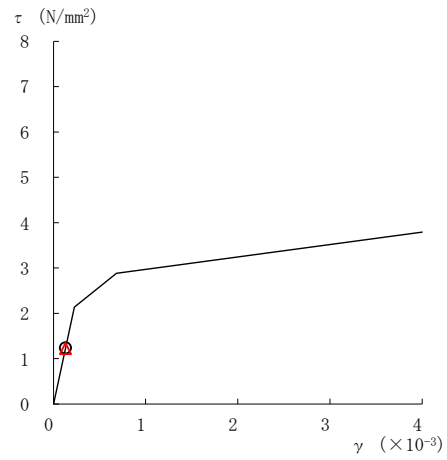
図 2-289(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

○ ケース 1

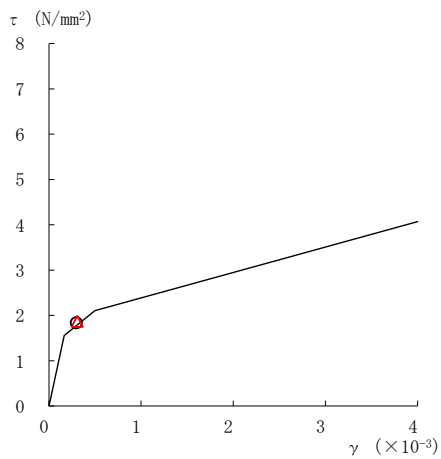
△ ケース 4



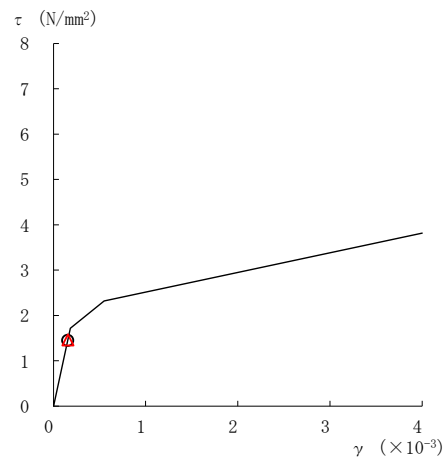
要素番号 (17)



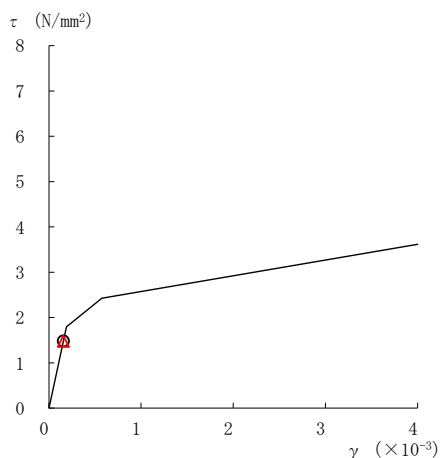
要素番号 (18)



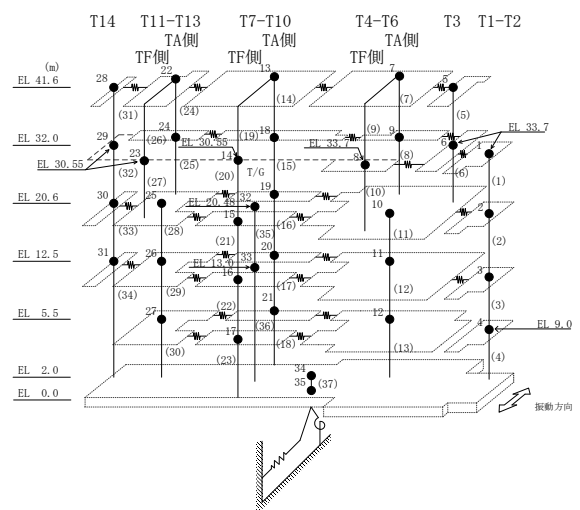
要素番号 (21)



要素番号 (22)



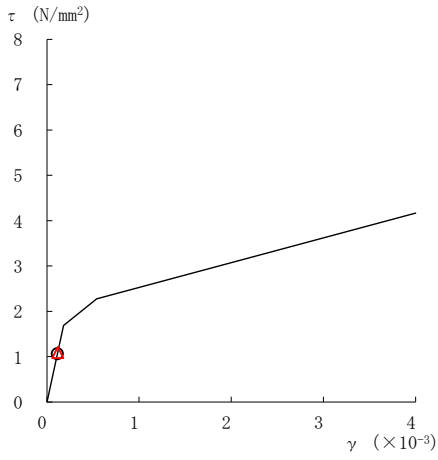
要素番号 (23)



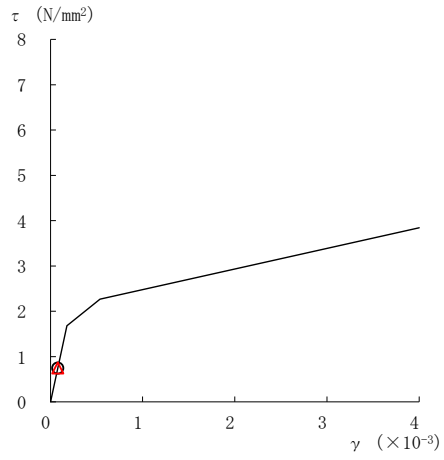
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-289(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

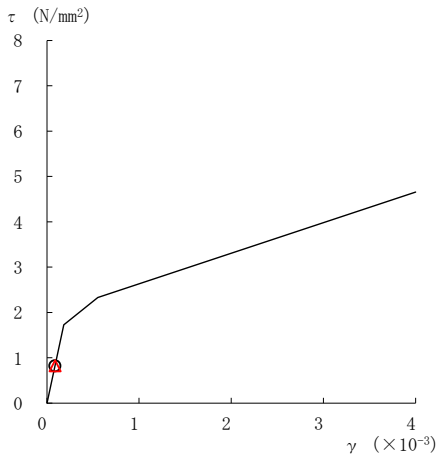
○ ケース 1 △ ケース 4



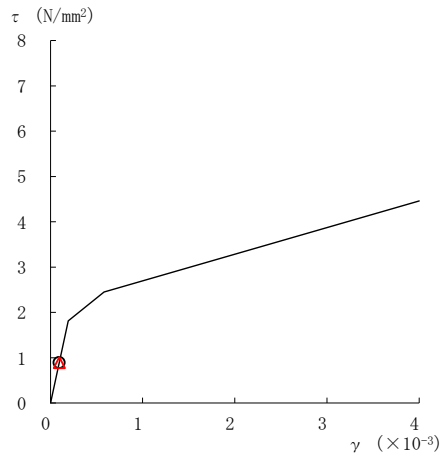
要素番号 (24)



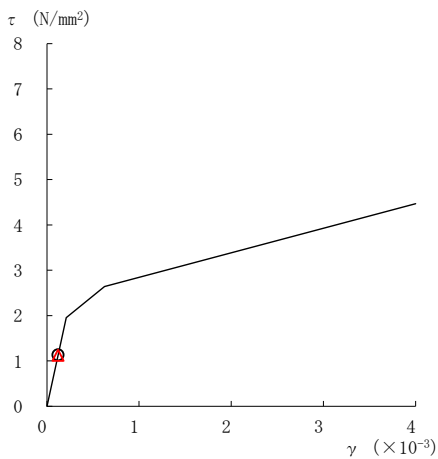
要素番号 (25)



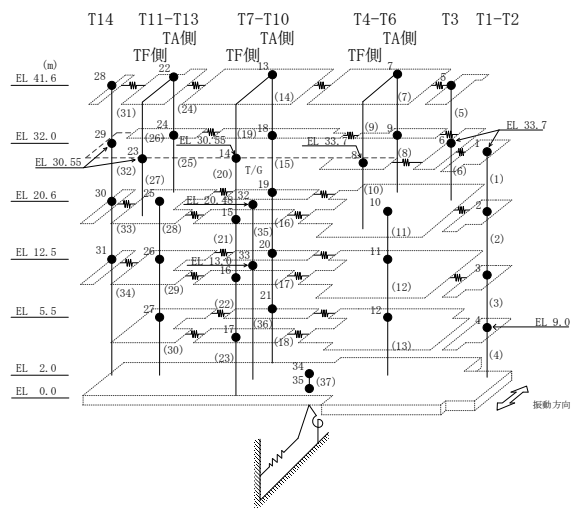
要素番号 (28)



要素番号 (29)



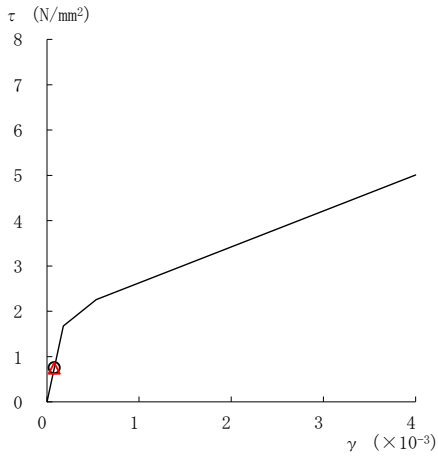
要素番号 (30)



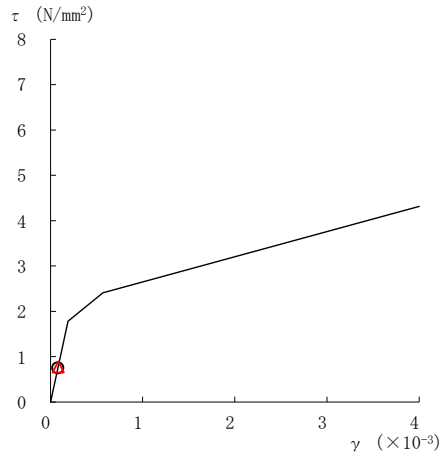
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-289(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

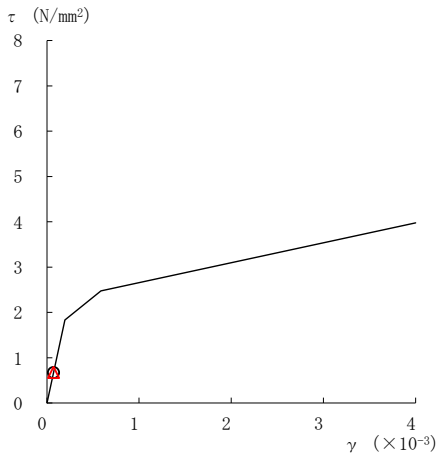
○ ケース 1 △ ケース 4



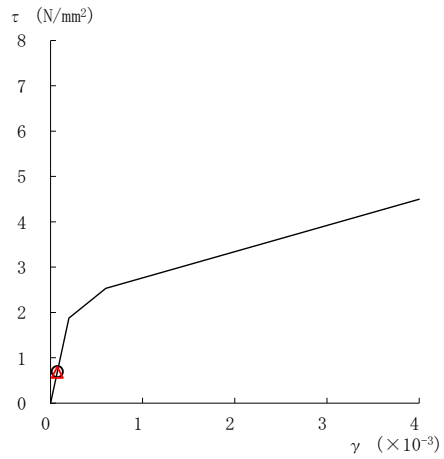
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

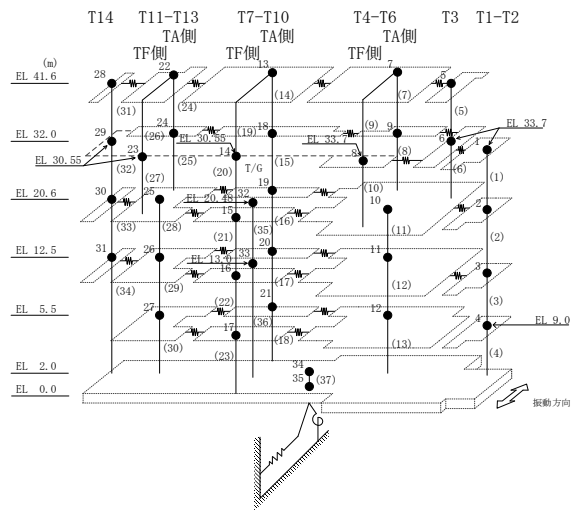
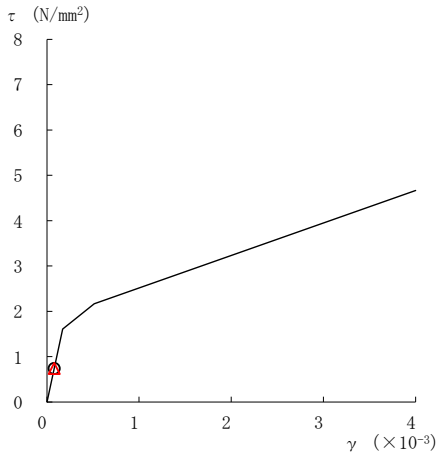
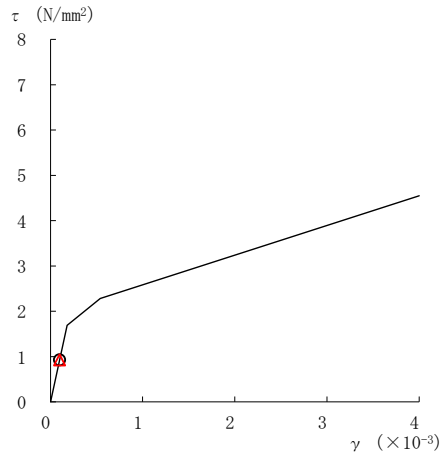


図 2-289(6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, NS 方向)

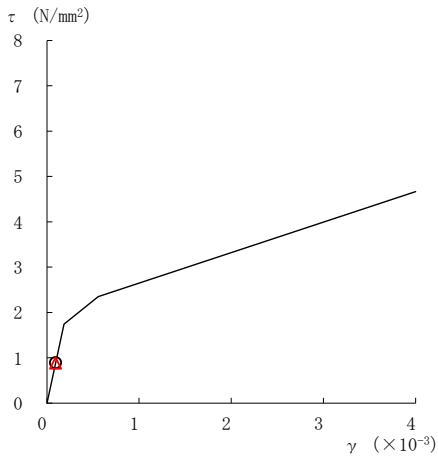
○ ケース 1 △ ケース 4



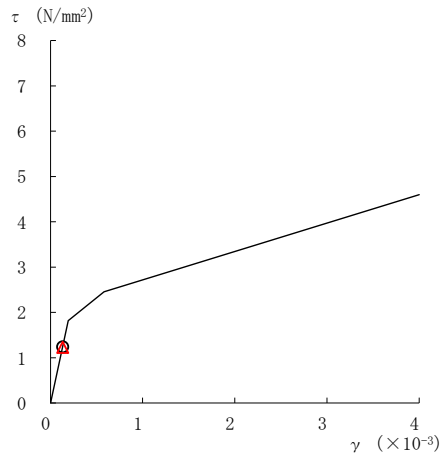
要素番号 (1)



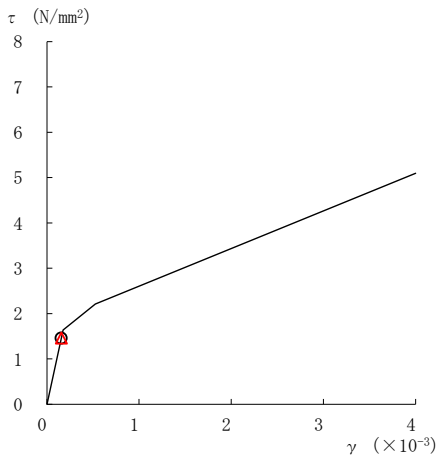
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

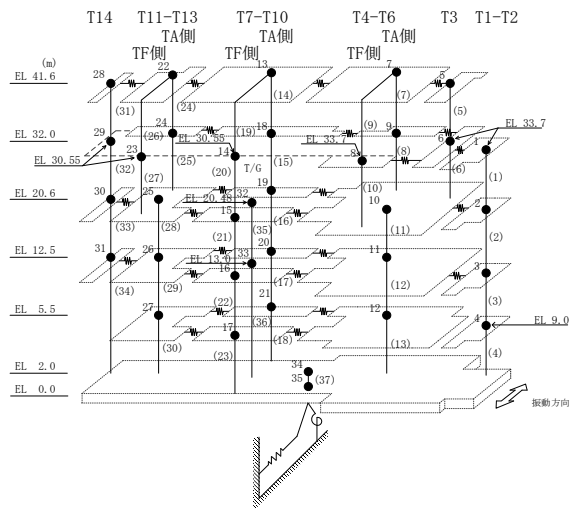
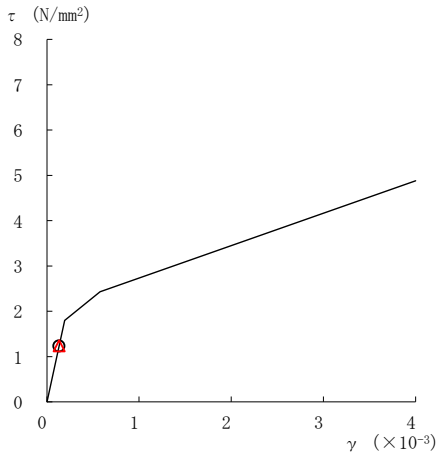
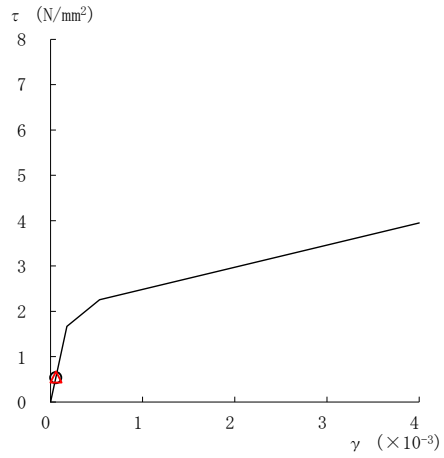


図 2-290(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

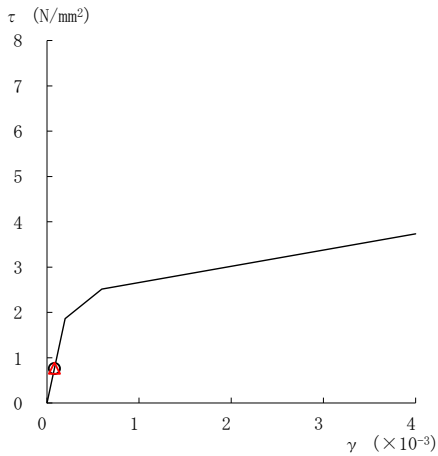
○ ケース 1 △ ケース 4



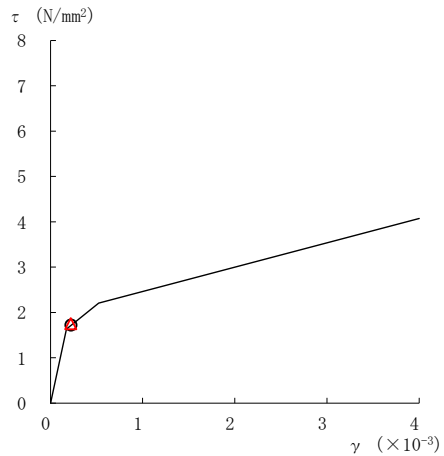
要素番号 (6)



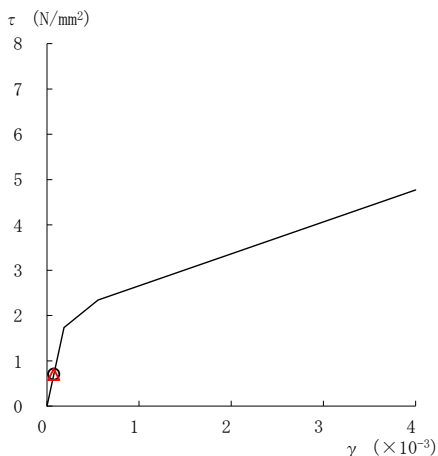
要素番号 (7)



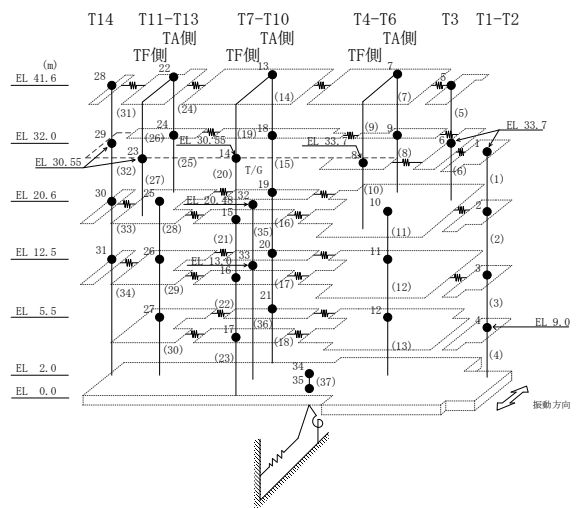
要素番号 (8)



要素番号 (10)



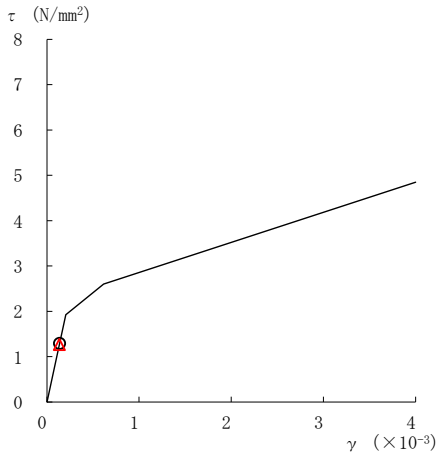
要素番号 (11)



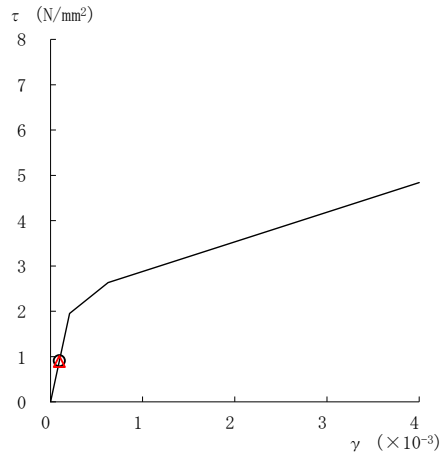
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-290 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

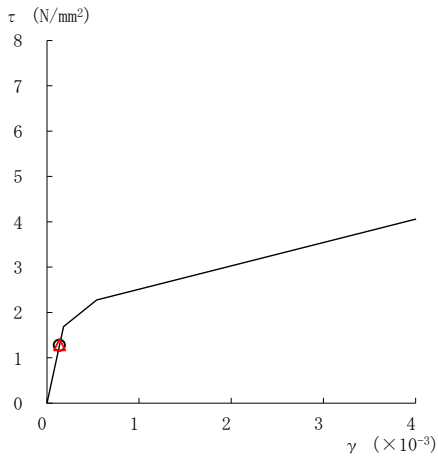
○ ケース 1 △ ケース 4



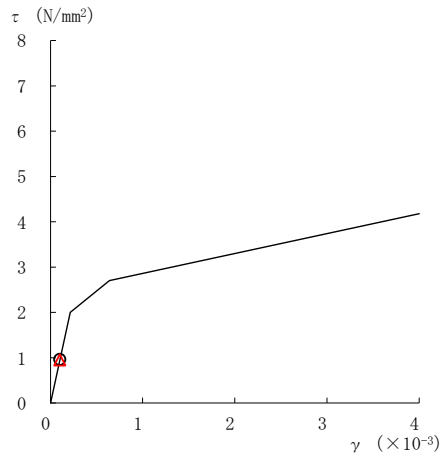
要素番号 (12)



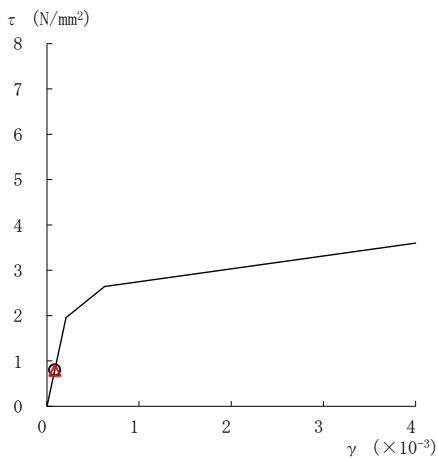
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

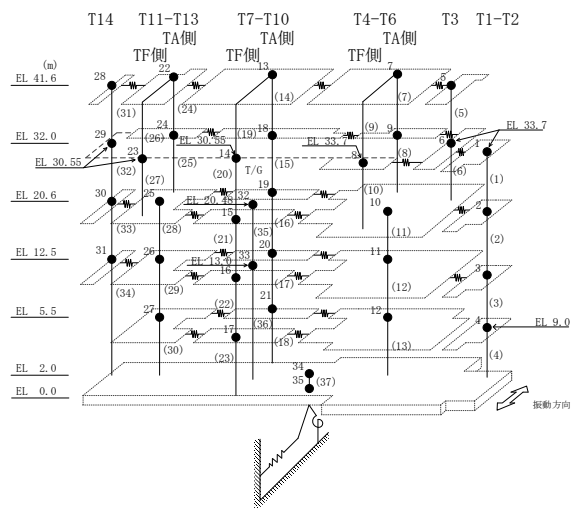
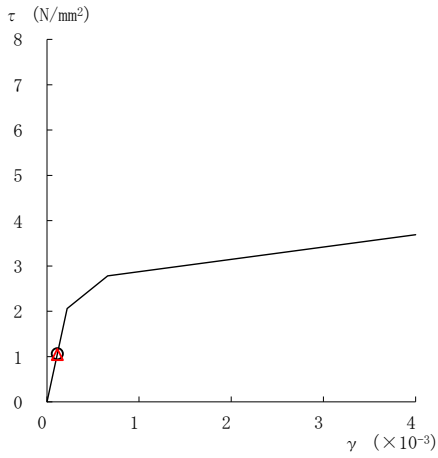
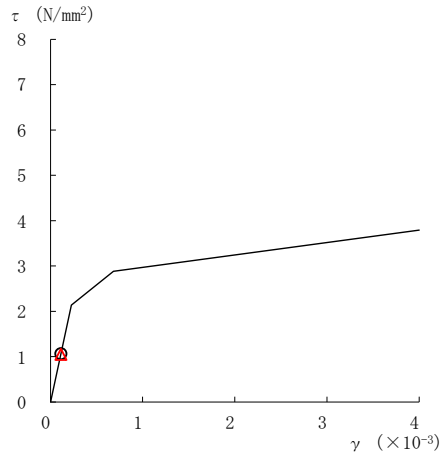


図 2-290 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

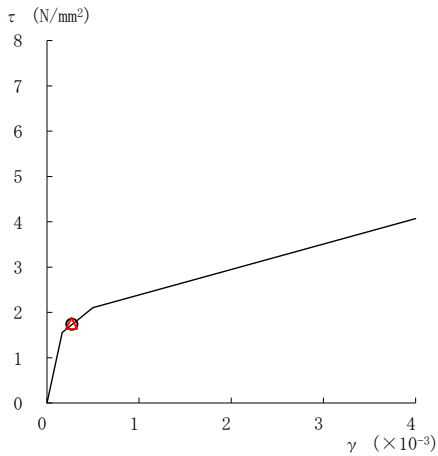
○ ケース 1 △ ケース 4



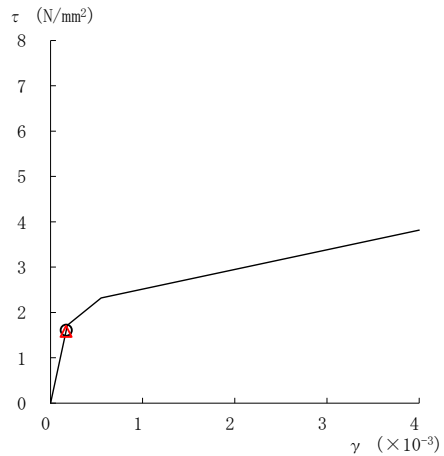
要素番号 (17)



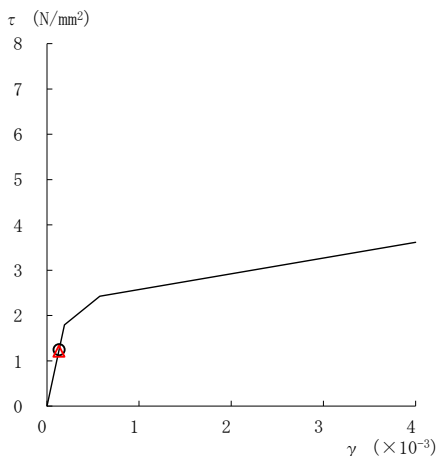
要素番号 (18)



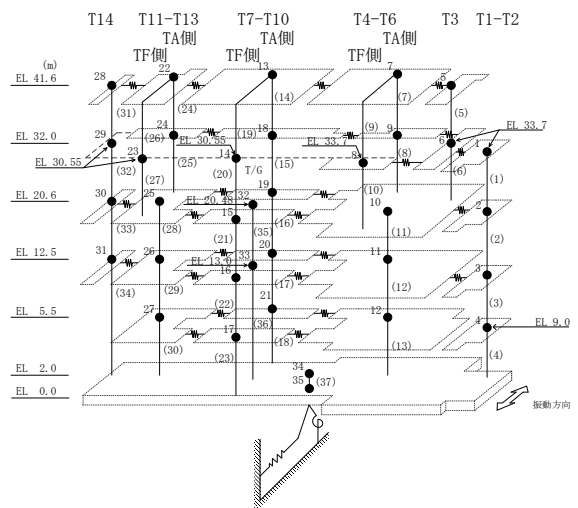
要素番号 (21)



要素番号 (22)



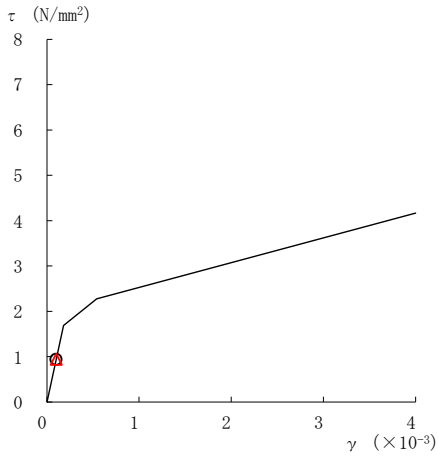
要素番号 (23)



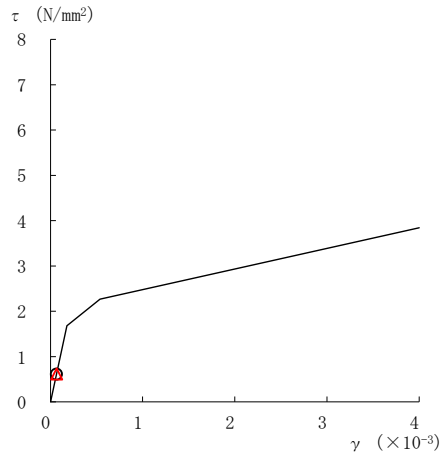
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-290(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

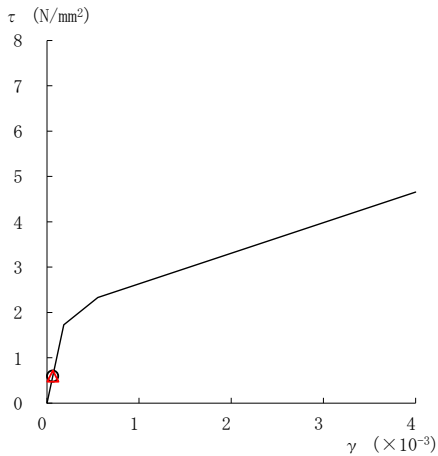
○ ケース 1 △ ケース 4



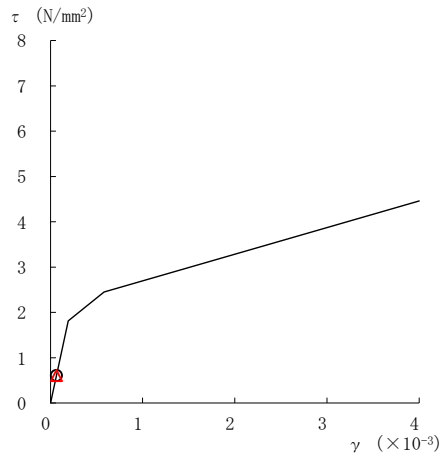
要素番号 (24)



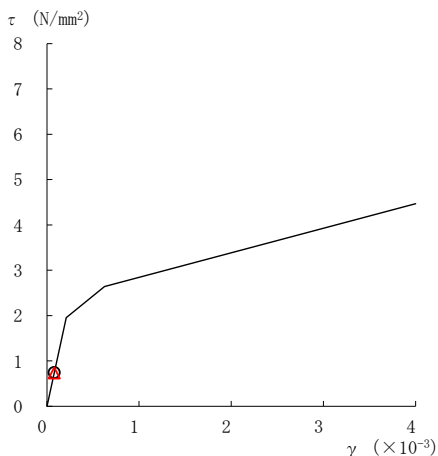
要素番号 (25)



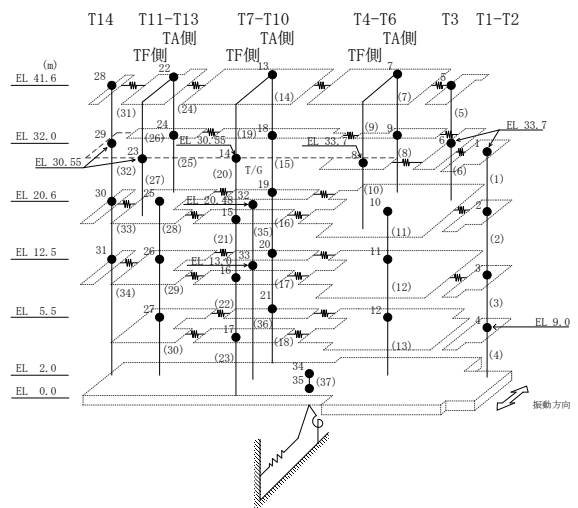
要素番号 (28)



要素番号 (29)



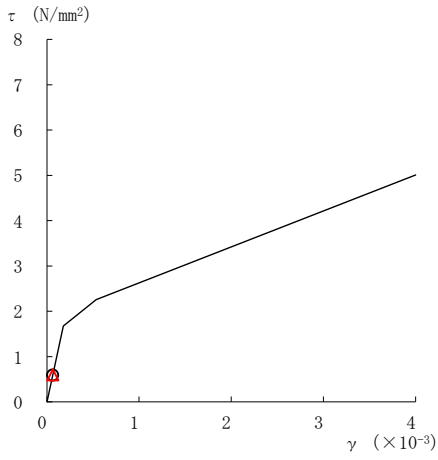
要素番号 (30)



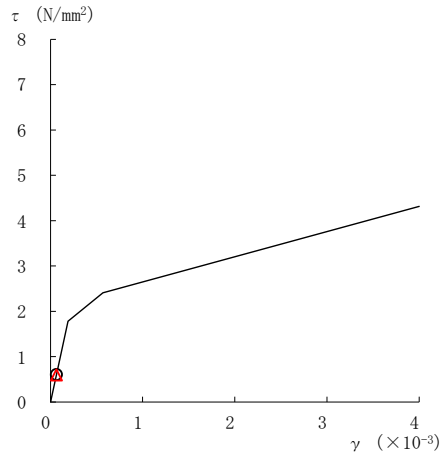
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-290(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

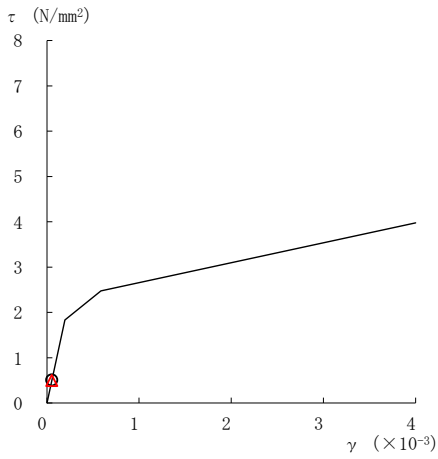
○ ケース 1 △ ケース 4



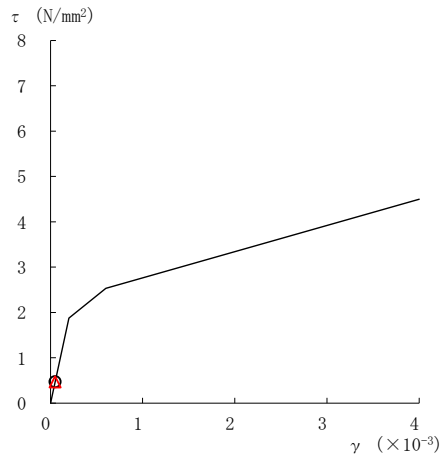
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

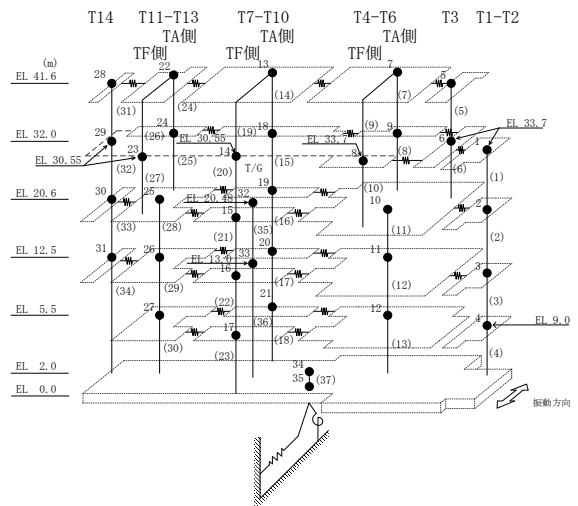
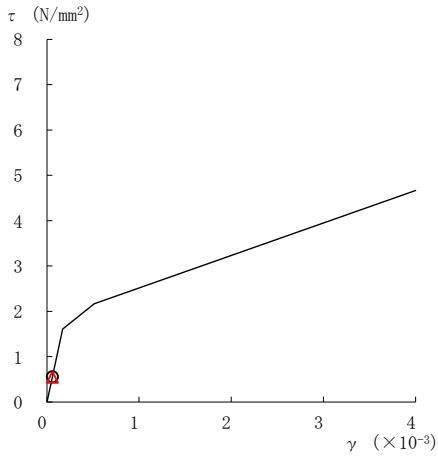
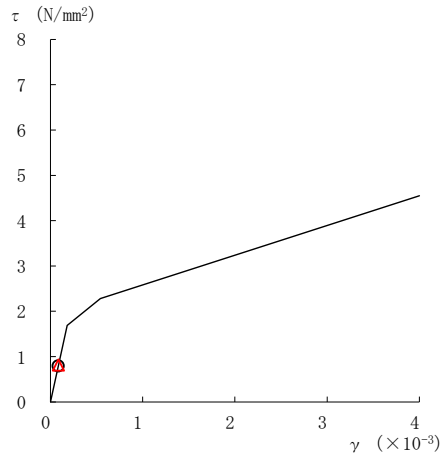


図 2-290 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, NS 方向)

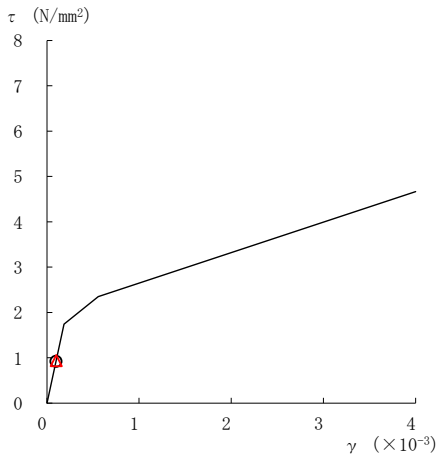
○ ケース 1 △ ケース 4



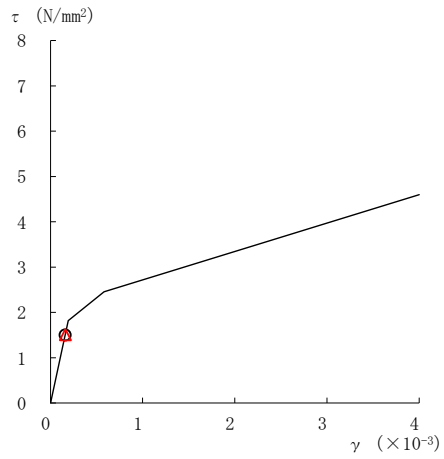
要素番号 (1)



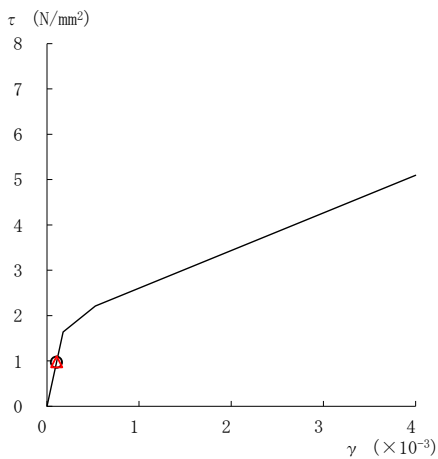
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

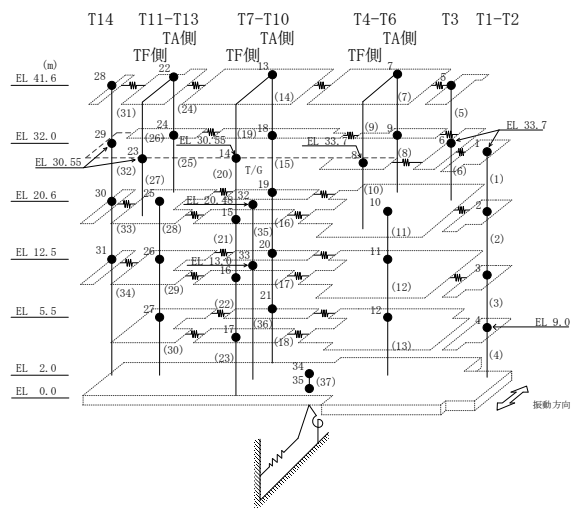
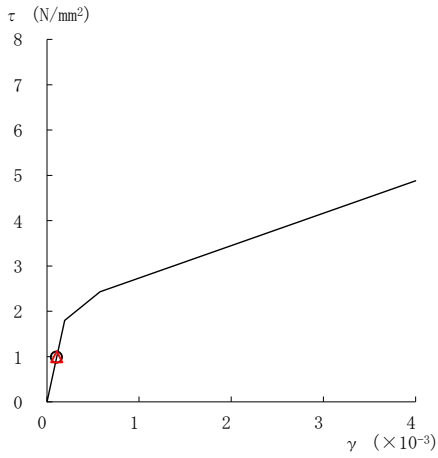
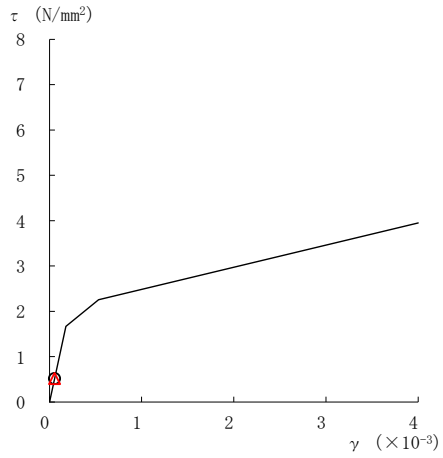


図 2-291(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

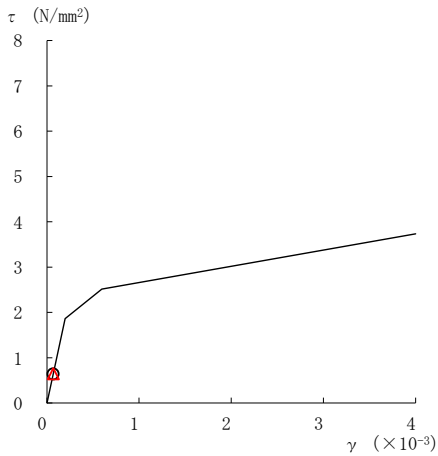
○ ケース 1 △ ケース 4



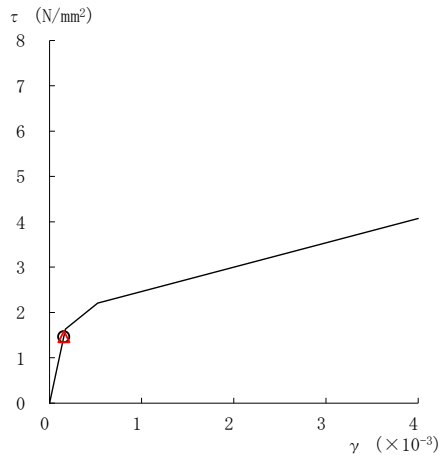
要素番号 (6)



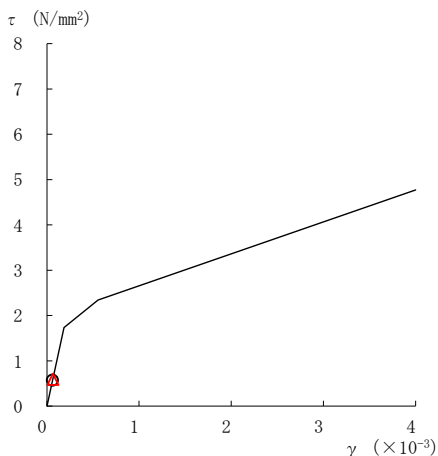
要素番号 (7)



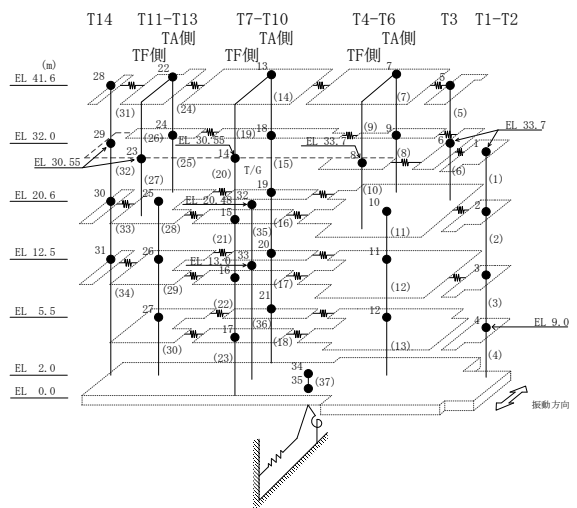
要素番号 (8)



要素番号 (10)



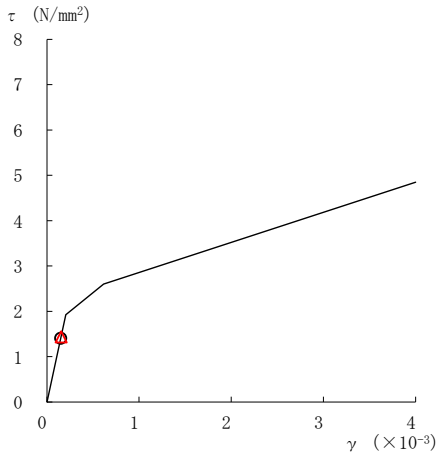
要素番号 (11)



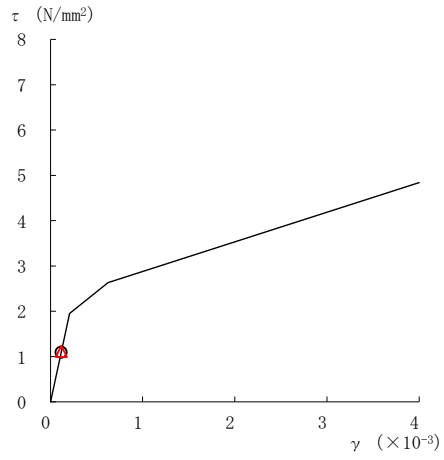
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-291 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

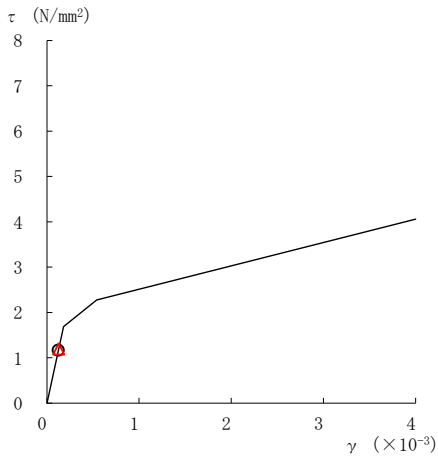
○ ケース 1 △ ケース 4



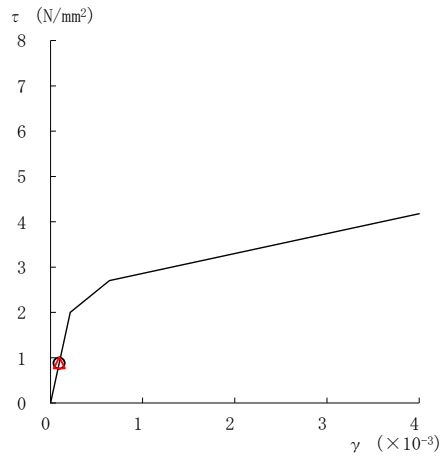
要素番号 (12)



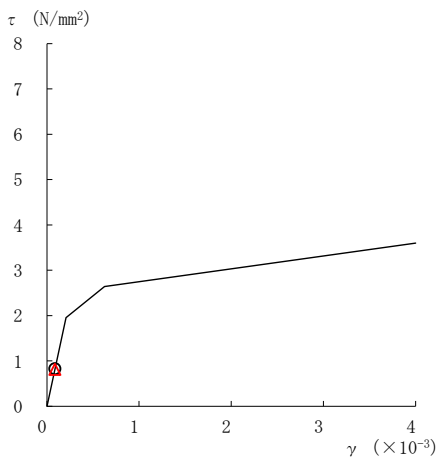
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

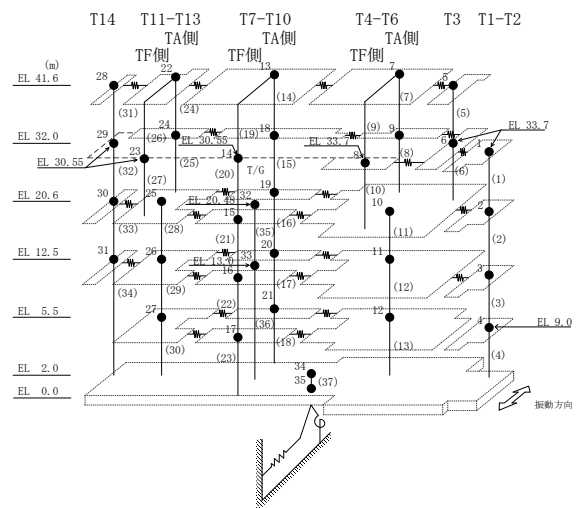
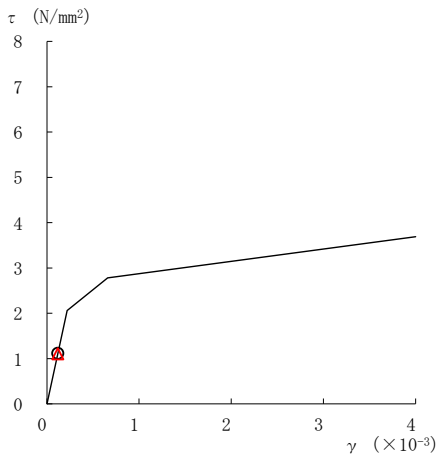


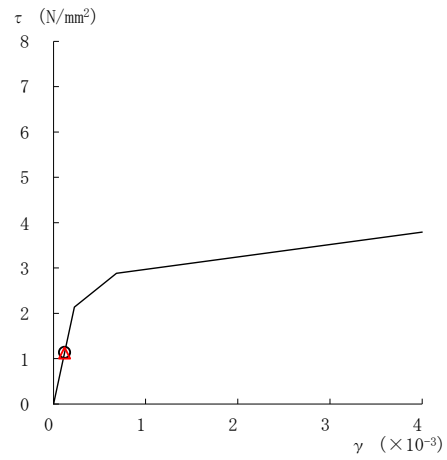
図 2-291 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

○ ケース 1

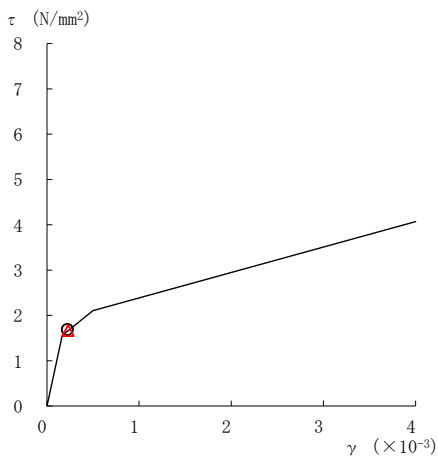
△ ケース 4



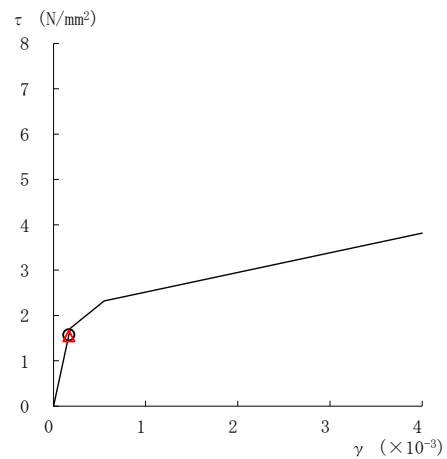
要素番号 (17)



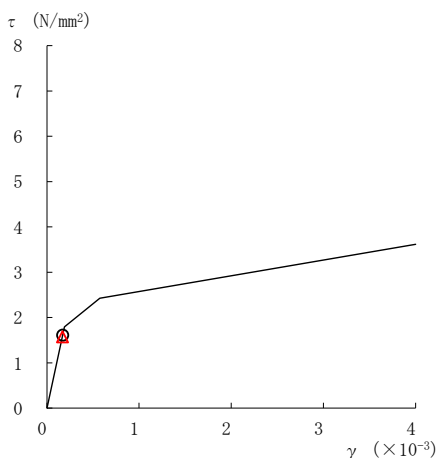
要素番号 (18)



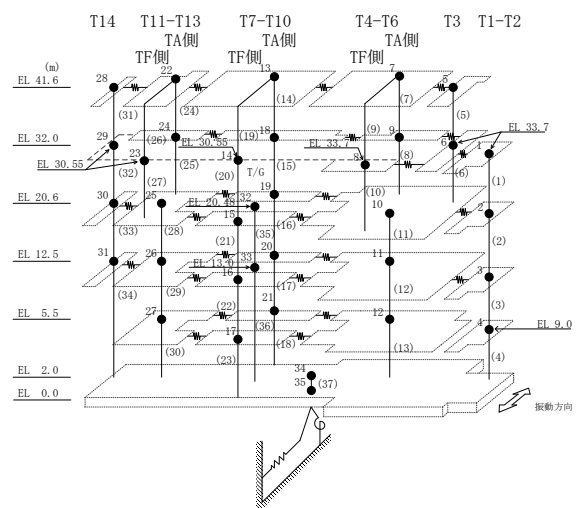
要素番号 (21)



要素番号 (22)



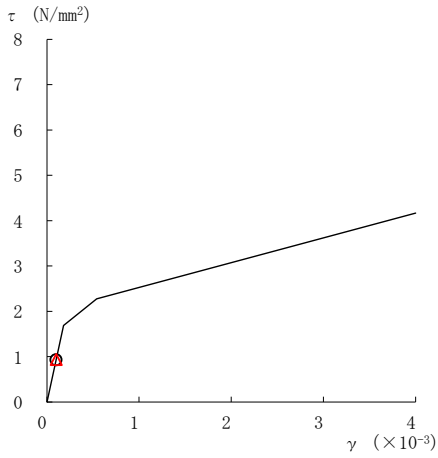
要素番号 (23)



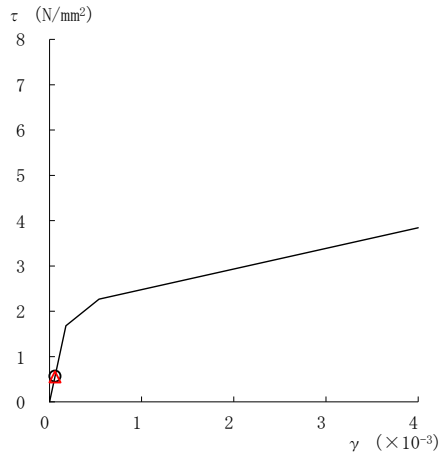
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-291(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

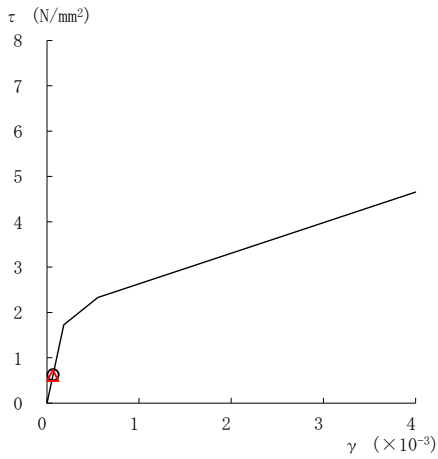
○ ケース 1 △ ケース 4



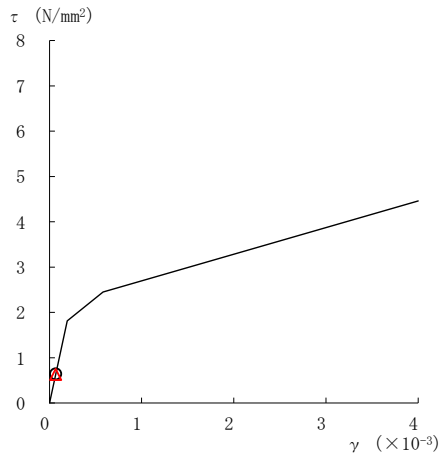
要素番号 (24)



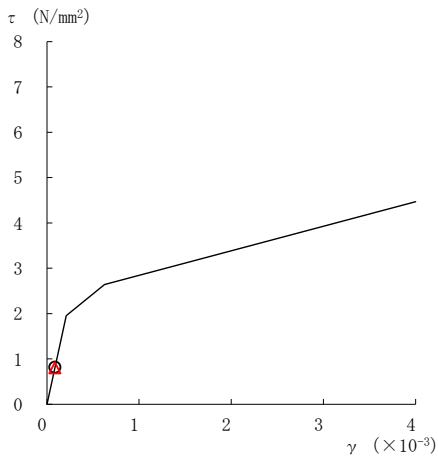
要素番号 (25)



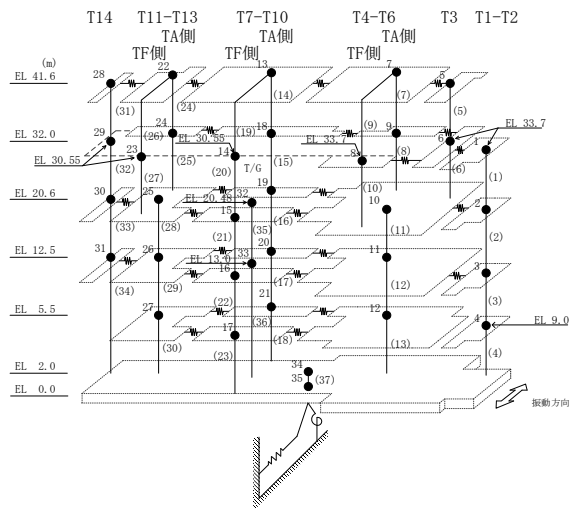
要素番号 (28)



要素番号 (29)



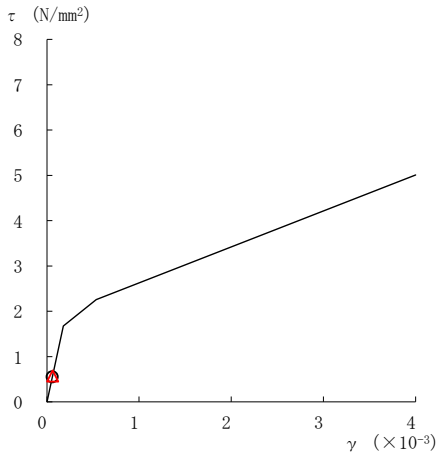
要素番号 (30)



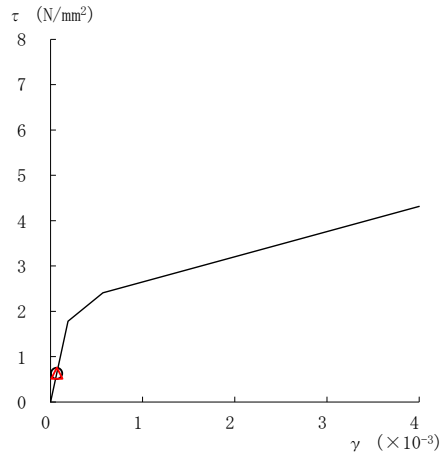
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-291 (5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

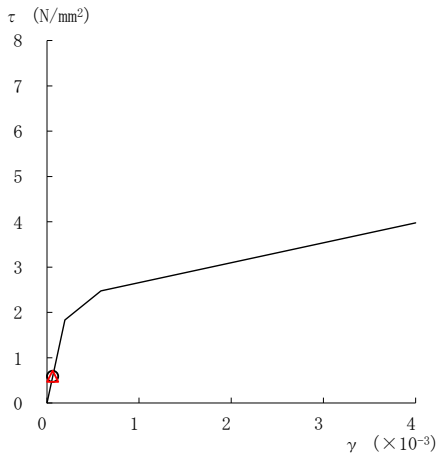
○ ケース 1 △ ケース 4



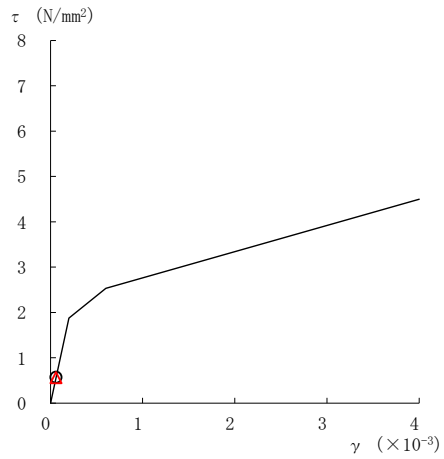
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

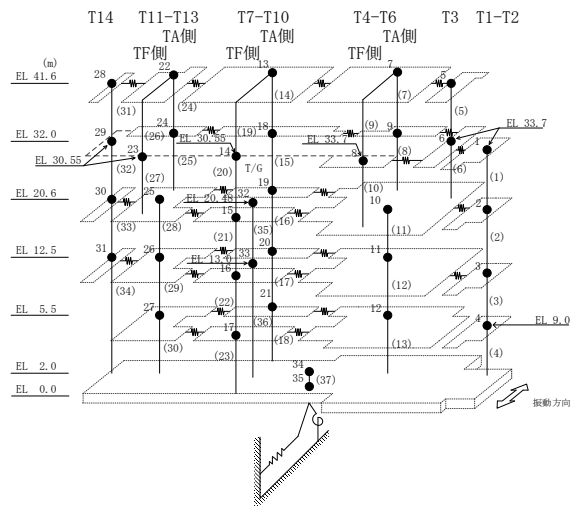
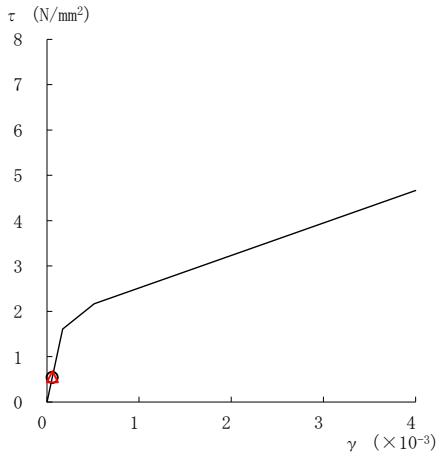
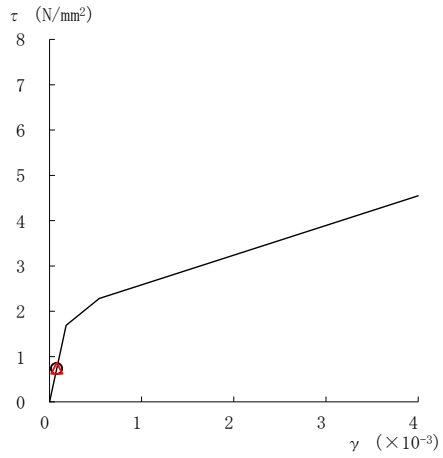


図 2-291 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, NS 方向)

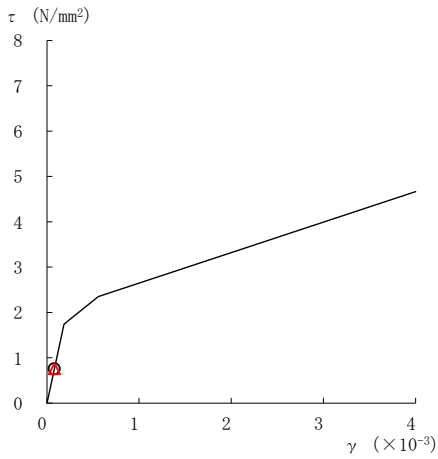
○ ケース 1 △ ケース 4



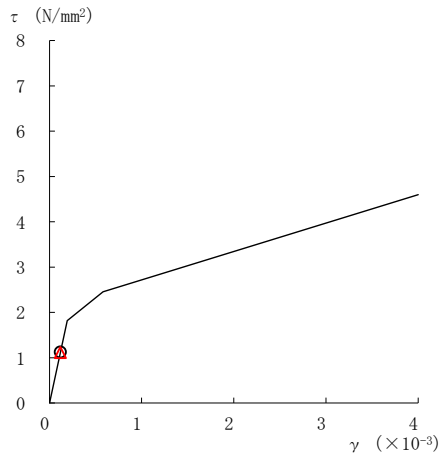
要素番号 (1)



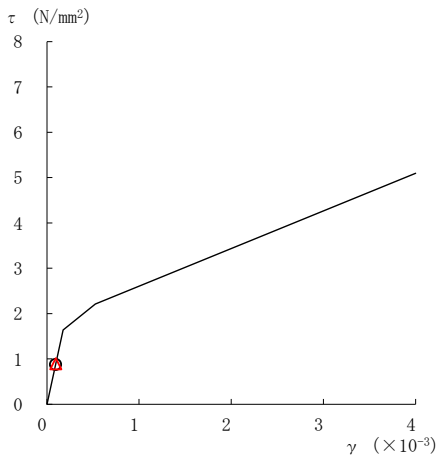
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

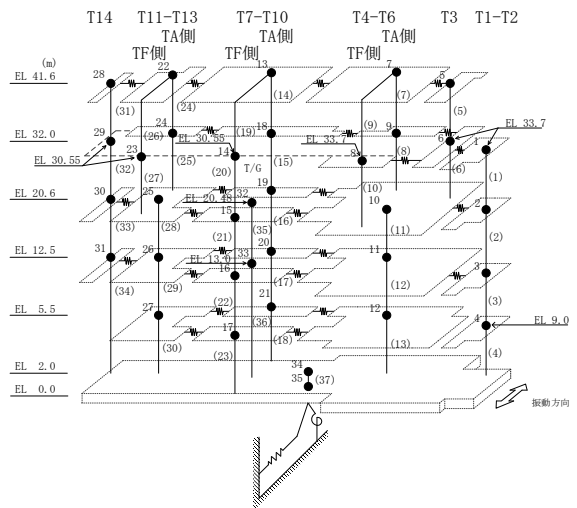
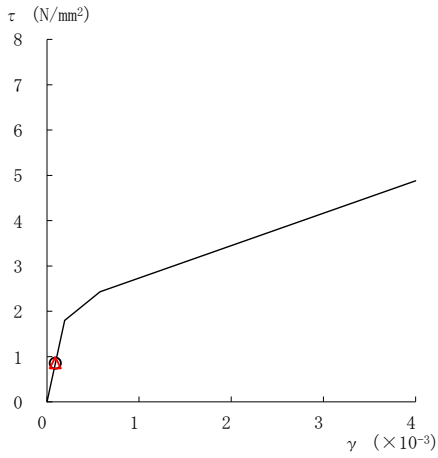
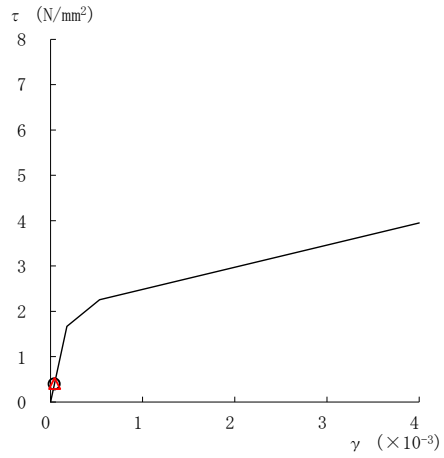


図 2-292(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

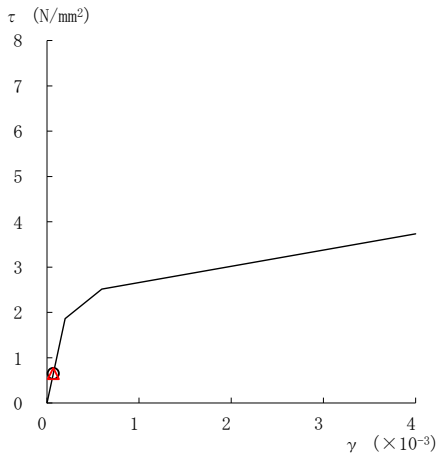
○ ケース 1 △ ケース 4



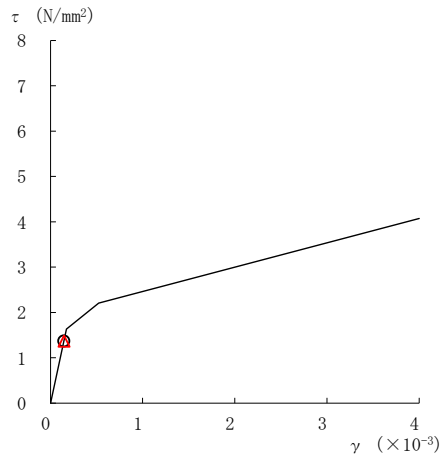
要素番号 (6)



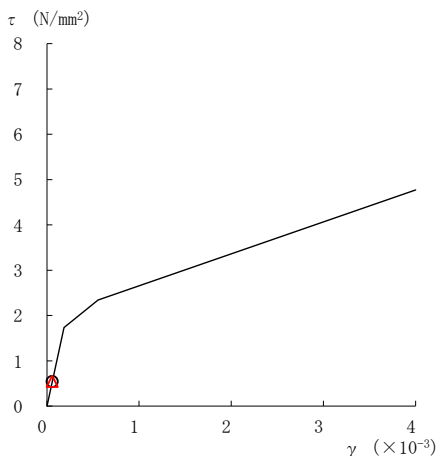
要素番号 (7)



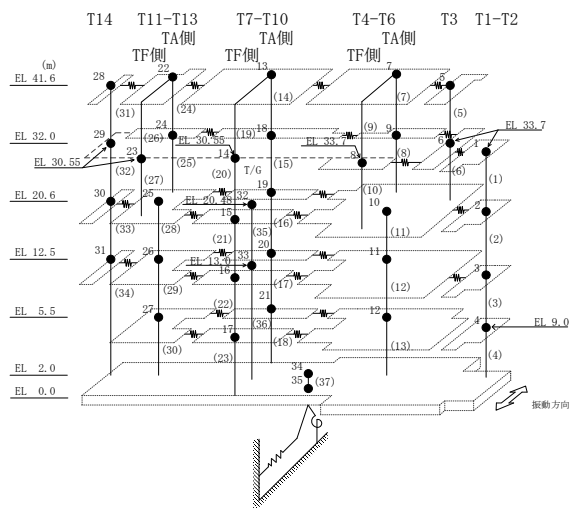
要素番号 (8)



要素番号 (10)



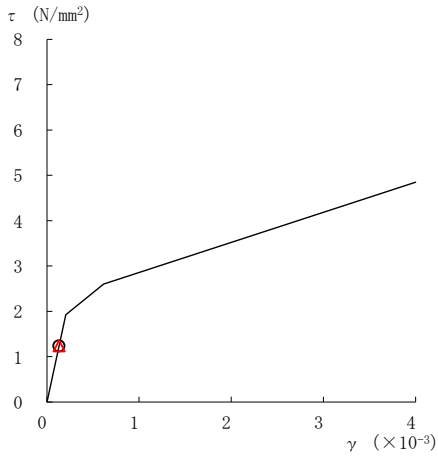
要素番号 (11)



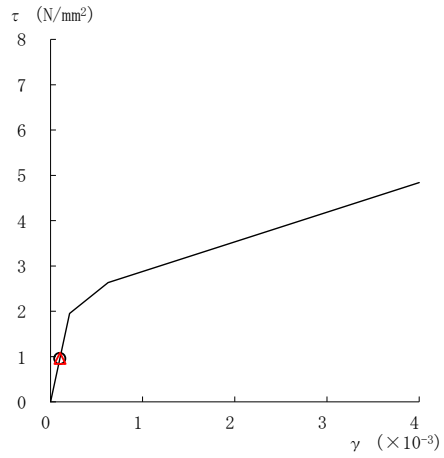
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-292(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

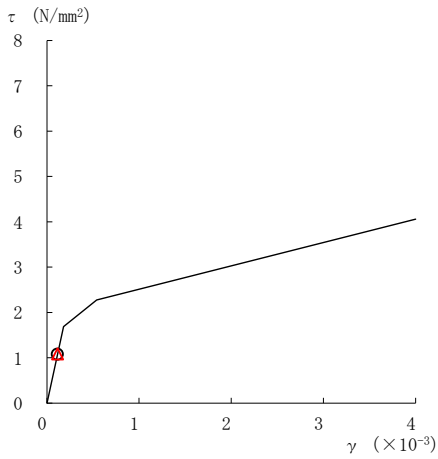
○ ケース 1 △ ケース 4



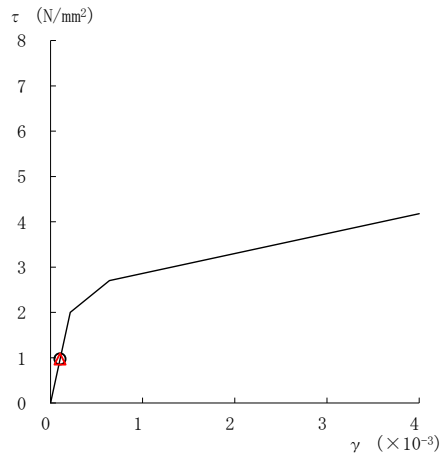
要素番号 (12)



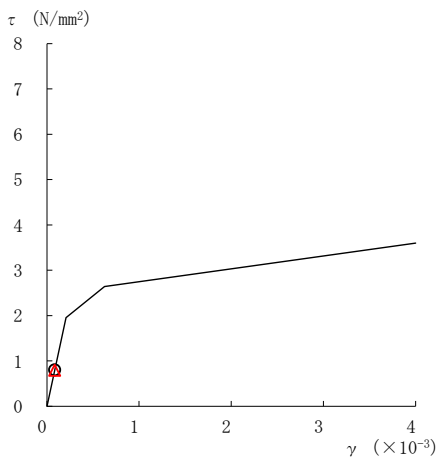
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

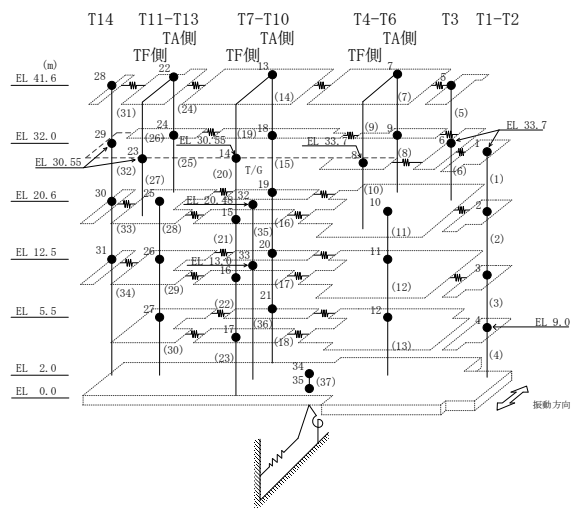
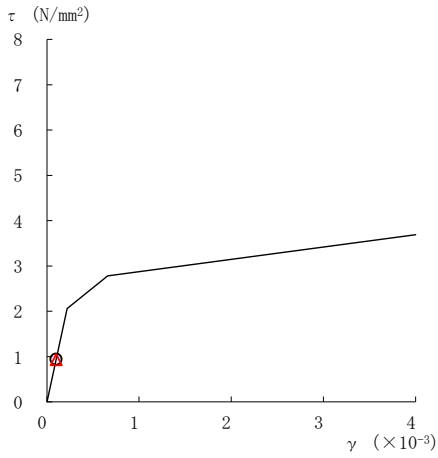
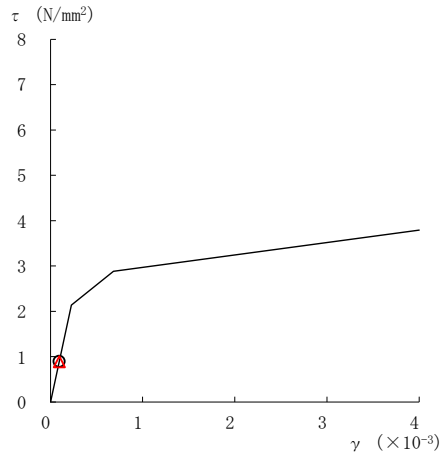


図 2-292 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

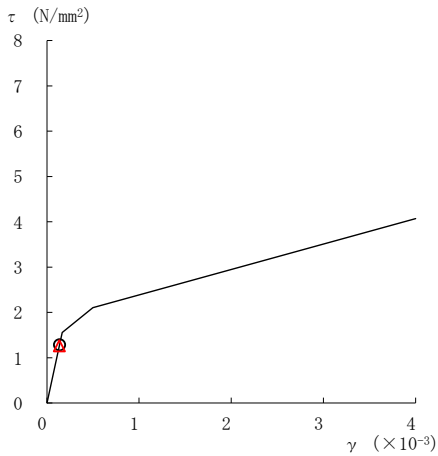
○ ケース 1 △ ケース 4



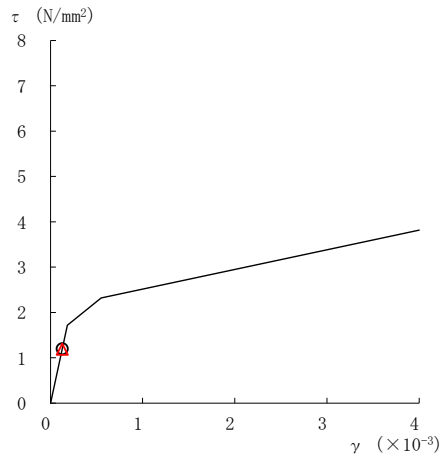
要素番号 (17)



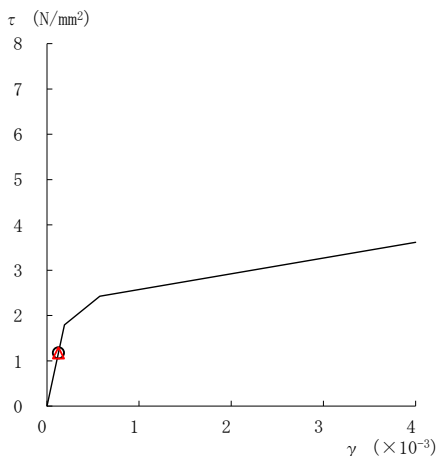
要素番号 (18)



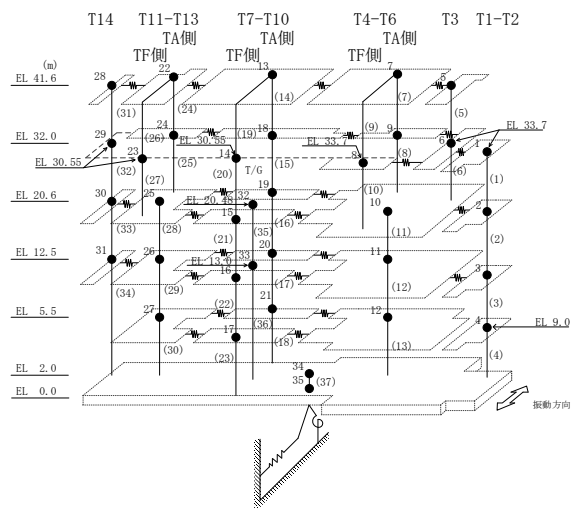
要素番号 (21)



要素番号 (22)



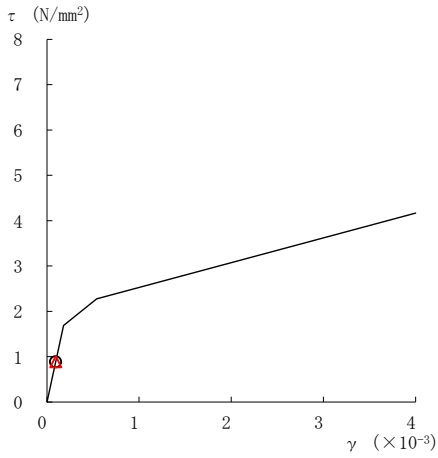
要素番号 (23)



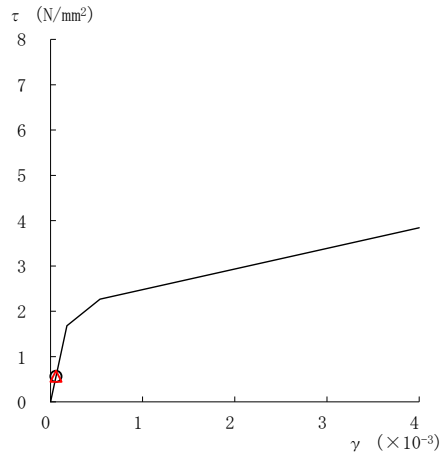
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-292(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, NS 方向)

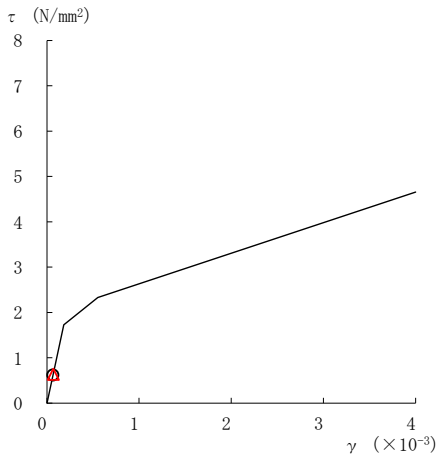
○ ケース 1 △ ケース 4



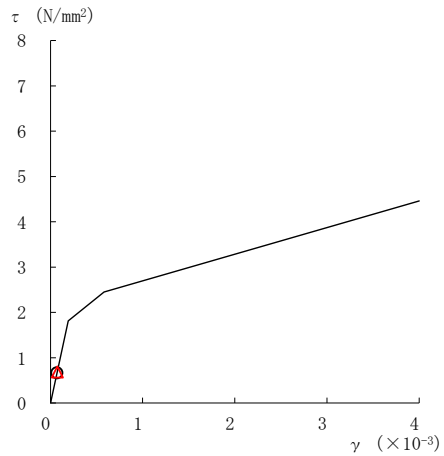
要素番号 (24)



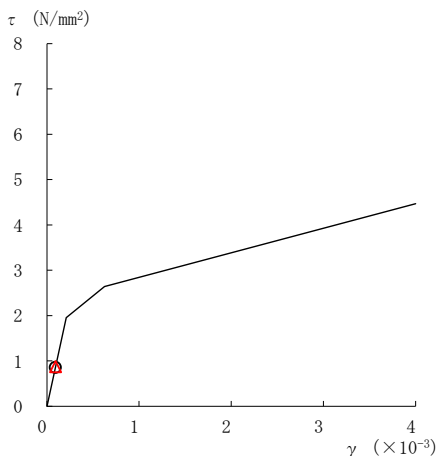
要素番号 (25)



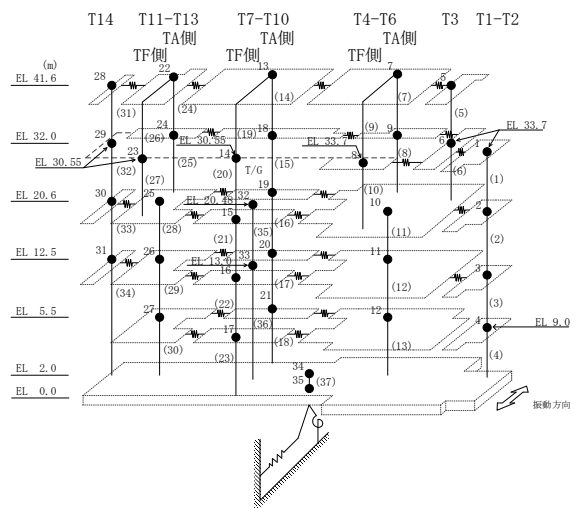
要素番号 (28)



要素番号 (29)



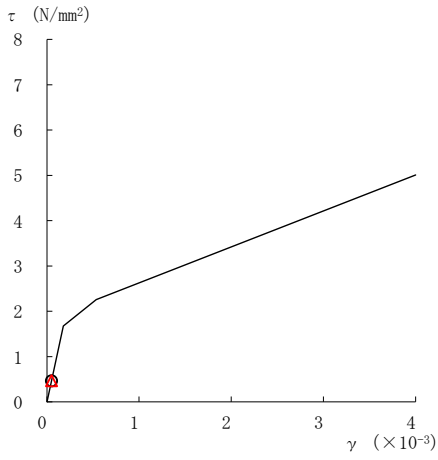
要素番号 (30)



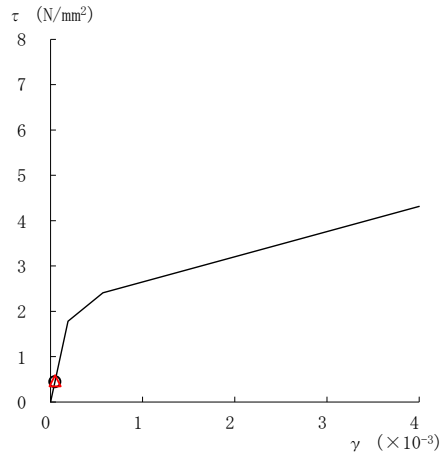
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-292(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S_d-N₂NS, NS 方向)

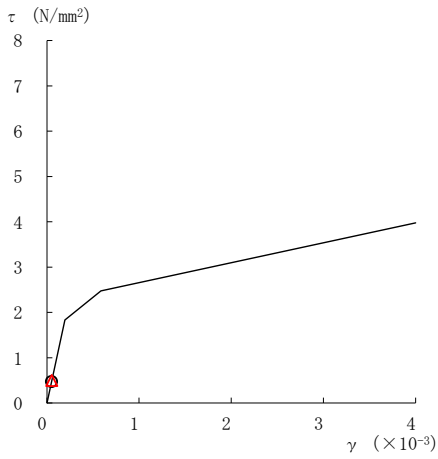
○ ケース 1 △ ケース 4



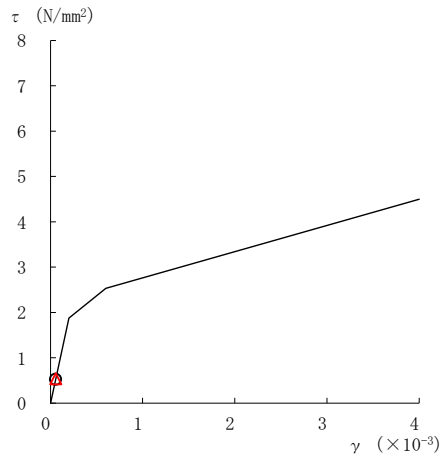
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

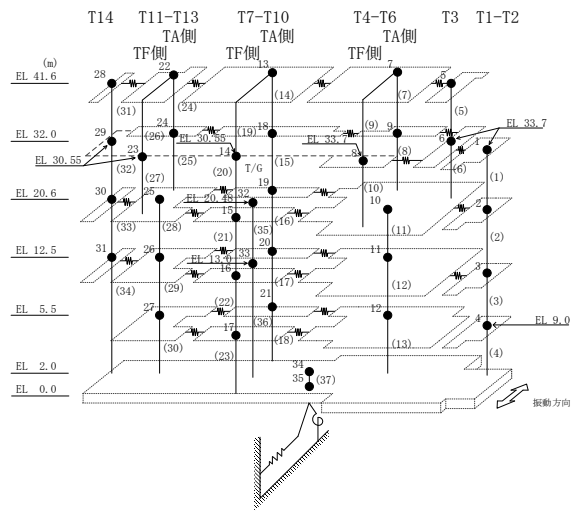
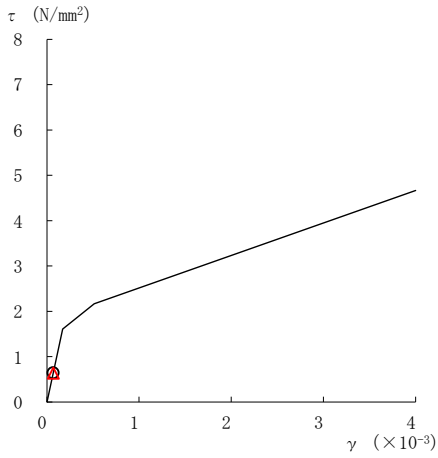
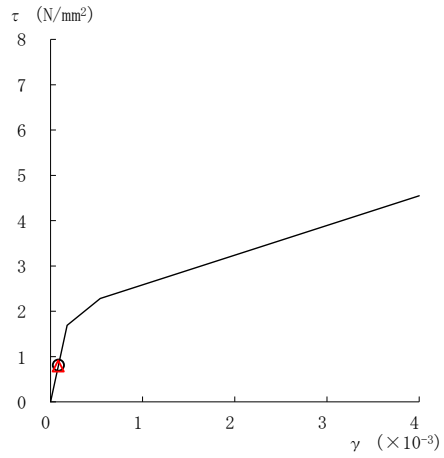


図 2-292 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, N S 方向)

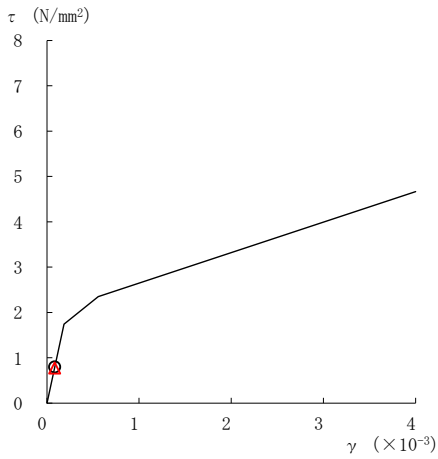
○ ケース 1 △ ケース 4



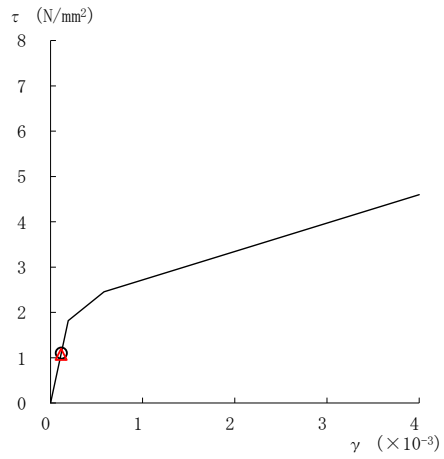
要素番号 (1)



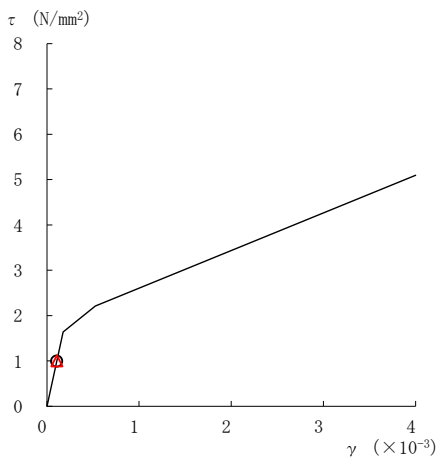
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

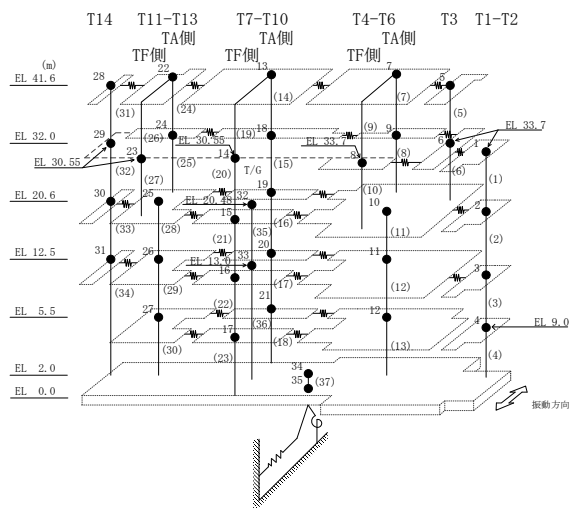
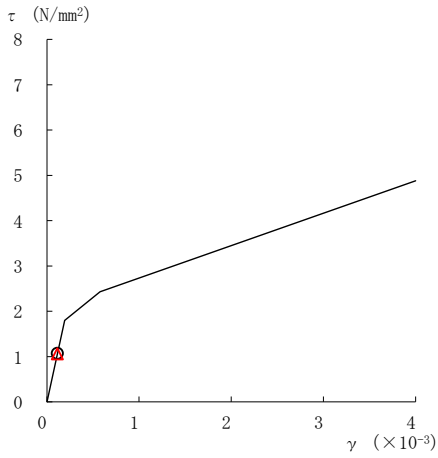
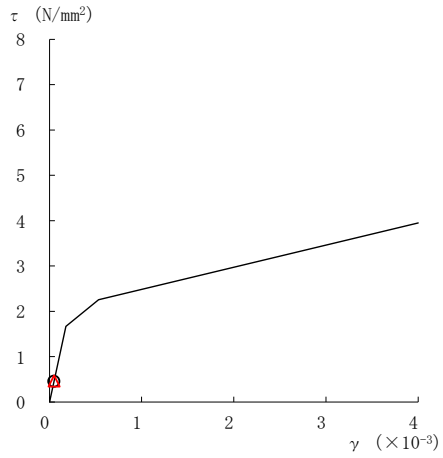


図 2-293(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

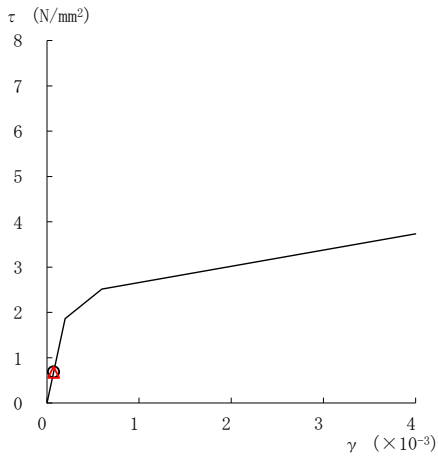
○ ケース 1 △ ケース 4



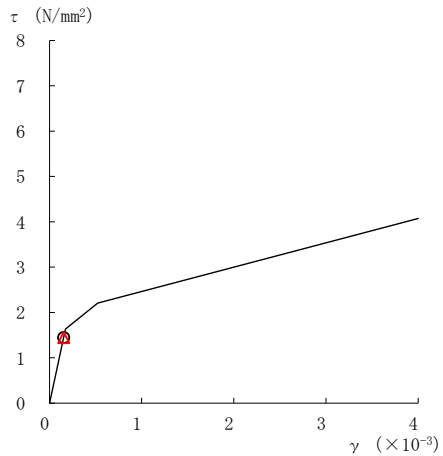
要素番号 (6)



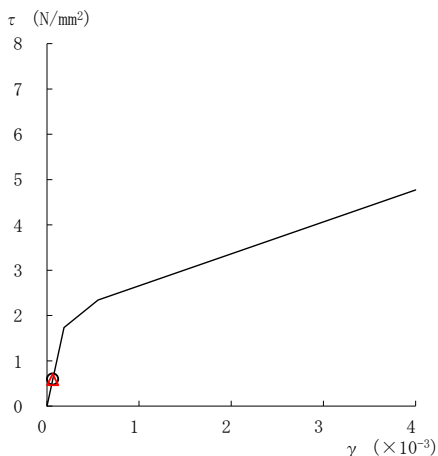
要素番号 (7)



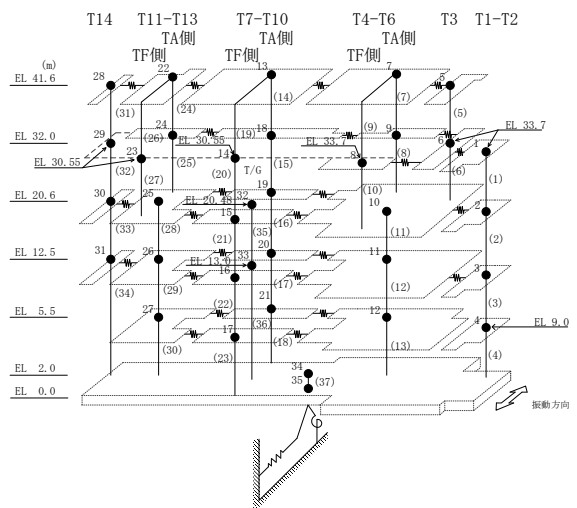
要素番号 (8)



要素番号 (10)



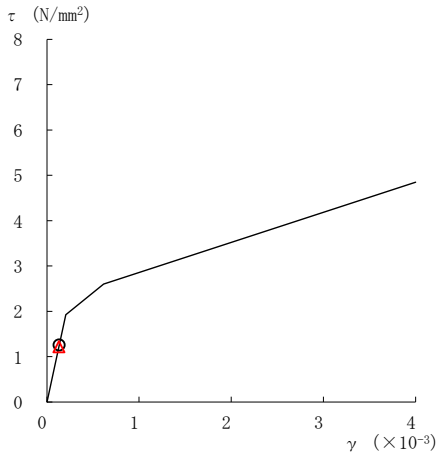
要素番号 (11)



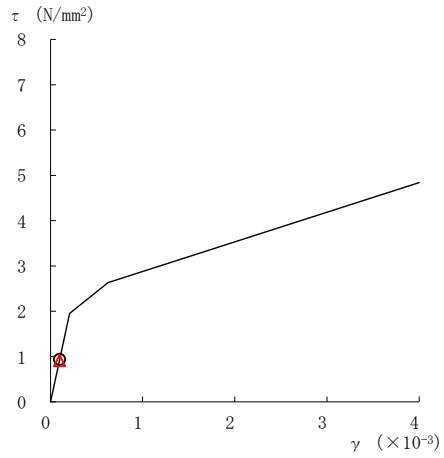
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-293 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

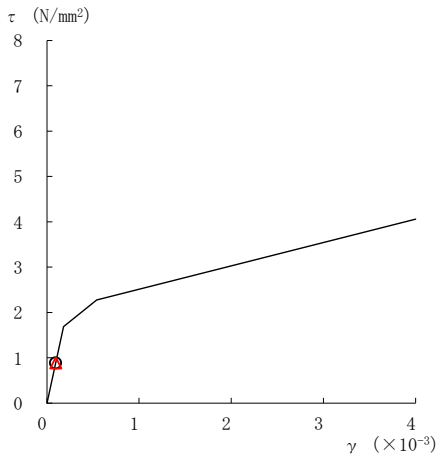
○ ケース 1 △ ケース 4



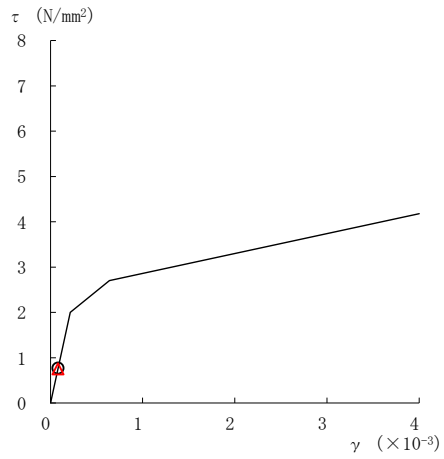
要素番号 (12)



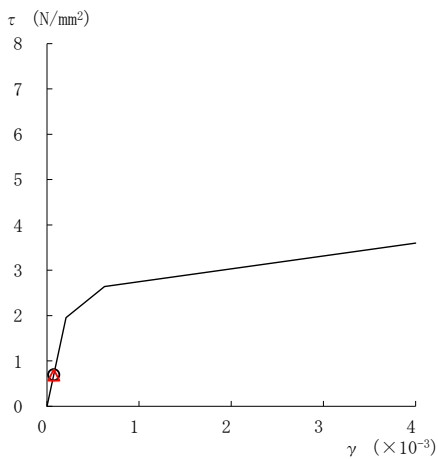
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

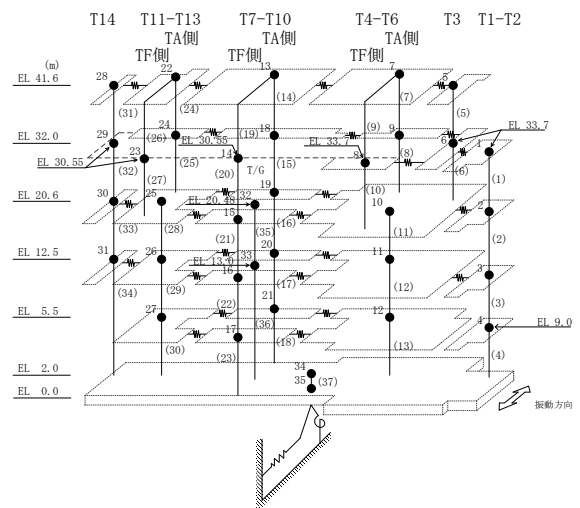
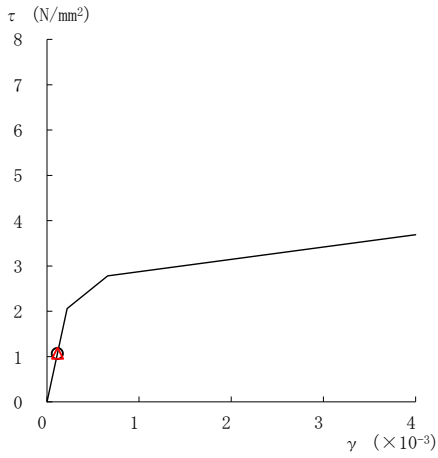
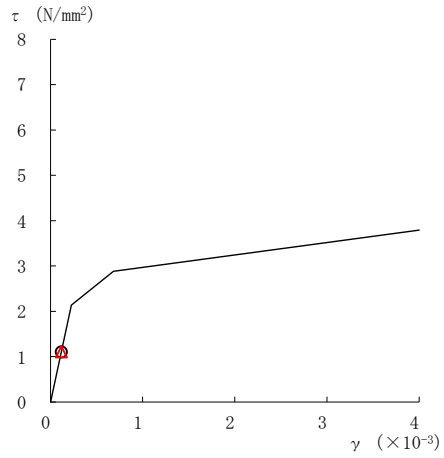


図 2-293 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

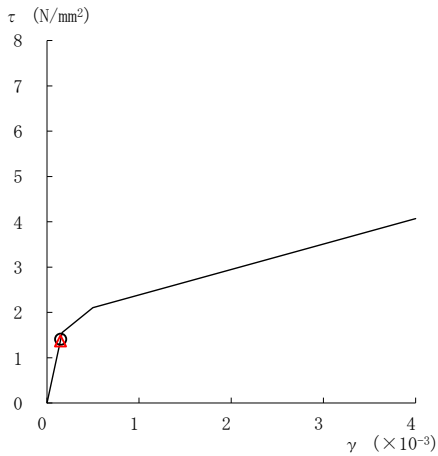
○ ケース 1 △ ケース 4



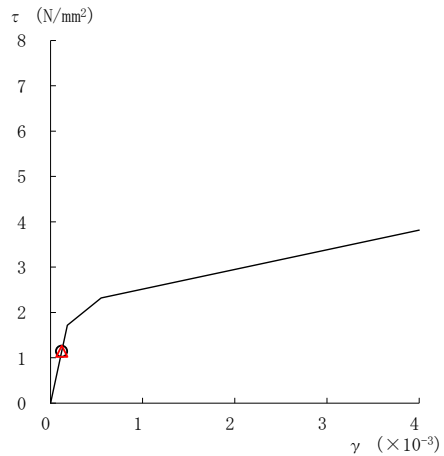
要素番号 (17)



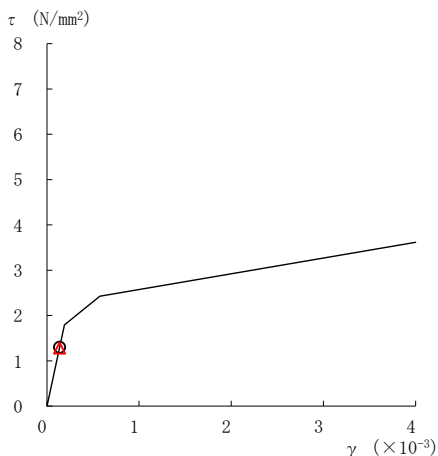
要素番号 (18)



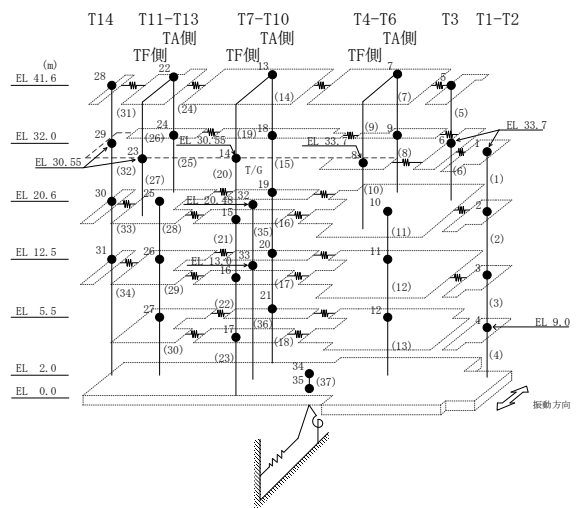
要素番号 (21)



要素番号 (22)



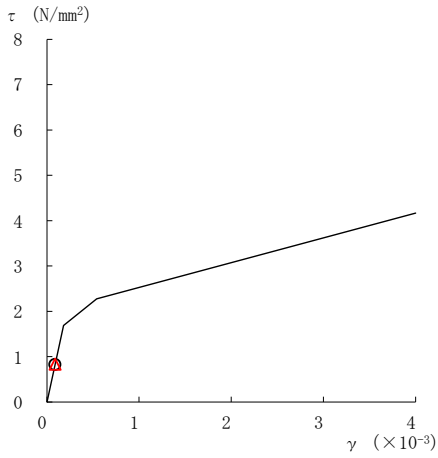
要素番号 (23)



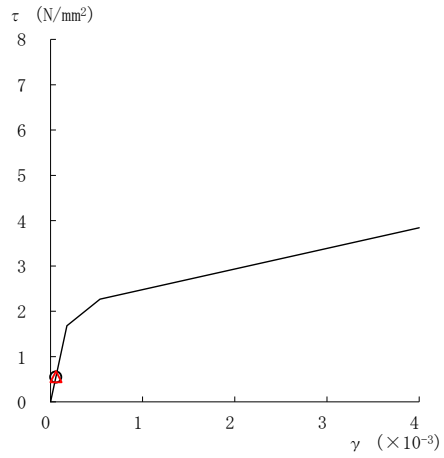
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-293(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

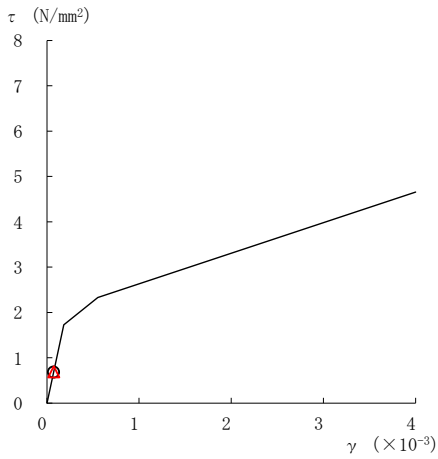
○ ケース 1 △ ケース 4



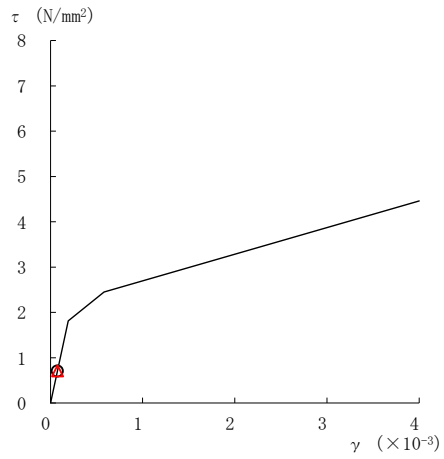
要素番号 (24)



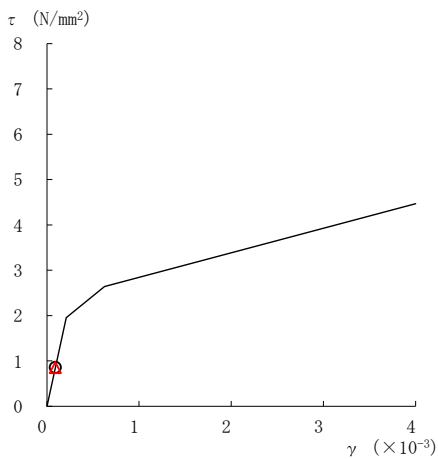
要素番号 (25)



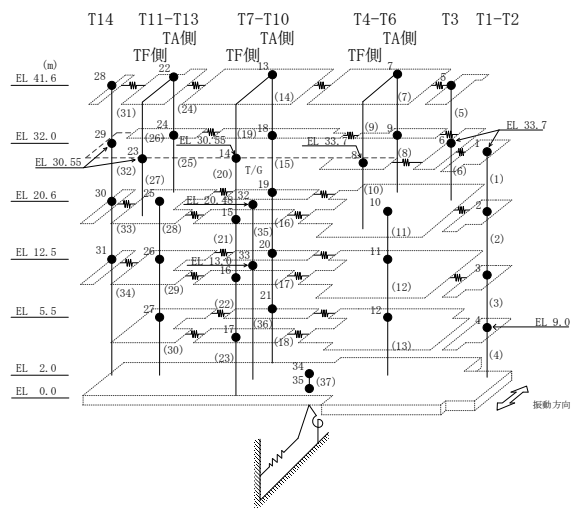
要素番号 (28)



要素番号 (29)



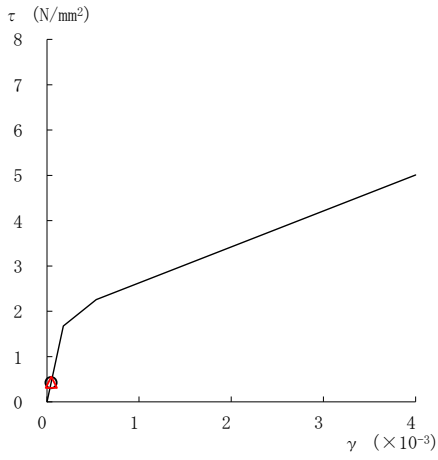
要素番号 (30)



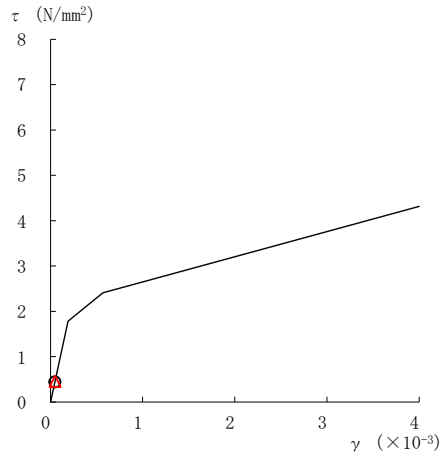
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-293(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

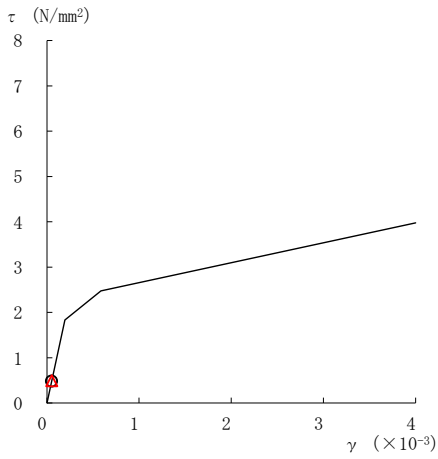
○ ケース 1 △ ケース 4



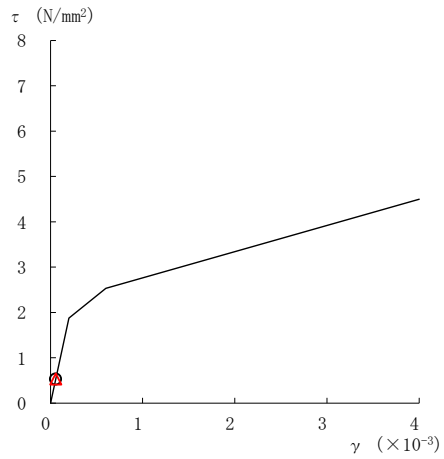
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

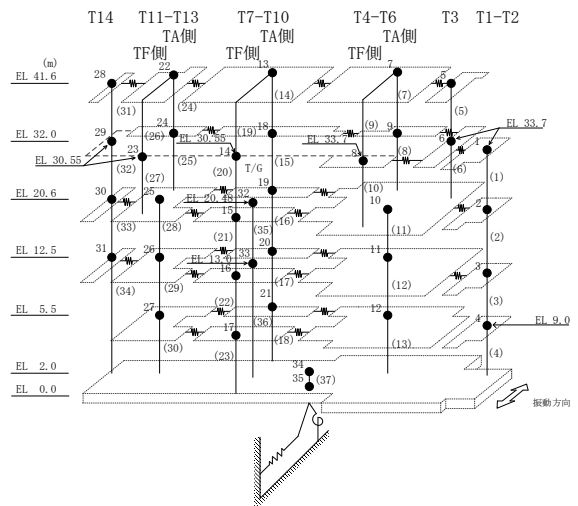
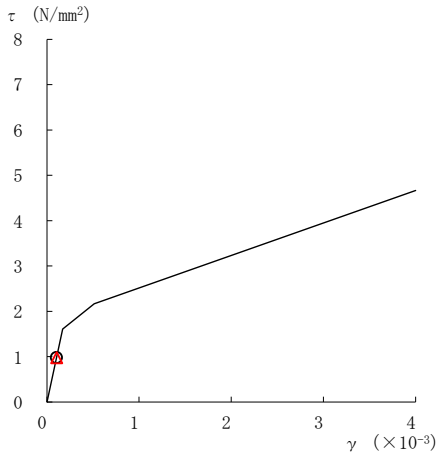
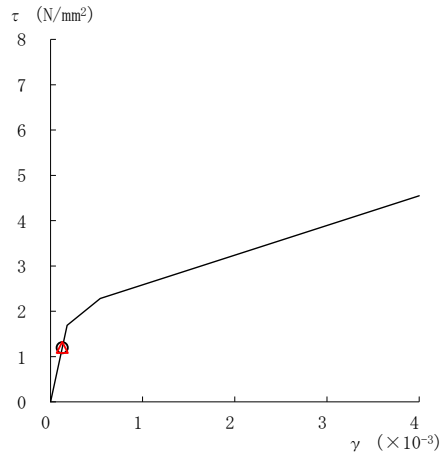


図 2-293 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, NS 方向)

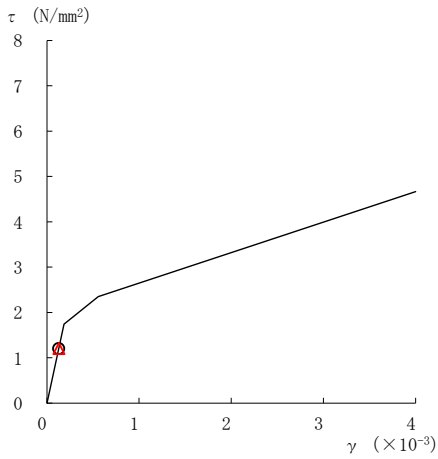
○ ケース 1 △ ケース 4



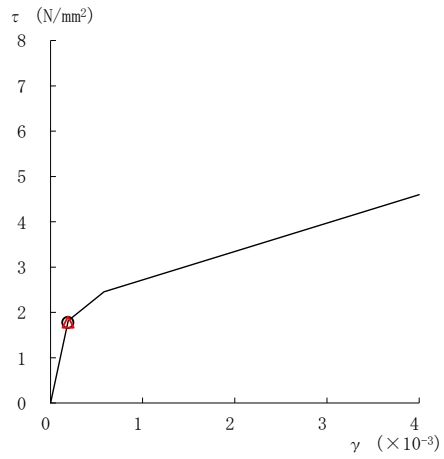
要素番号 (1)



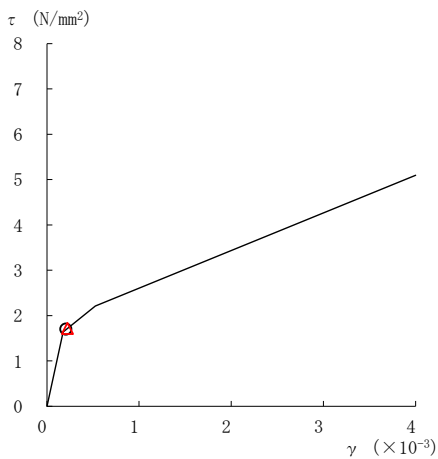
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

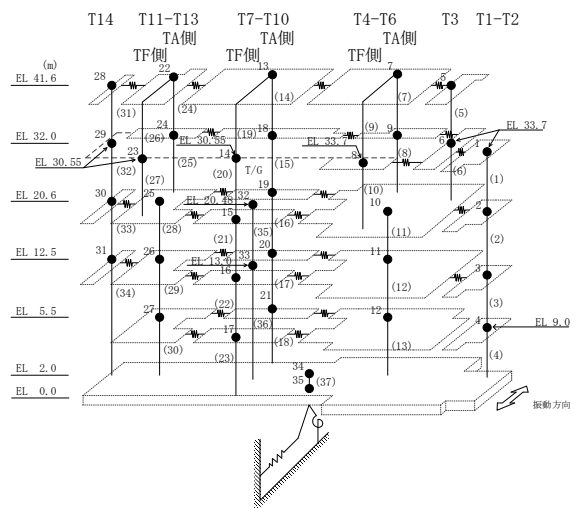
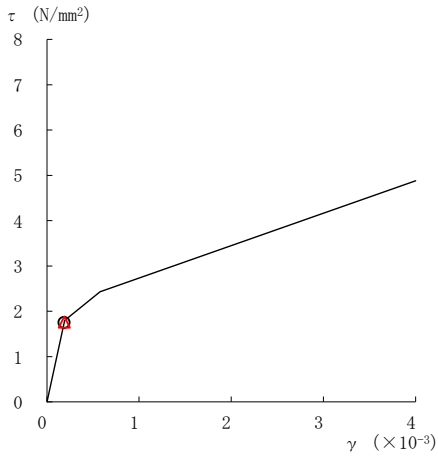
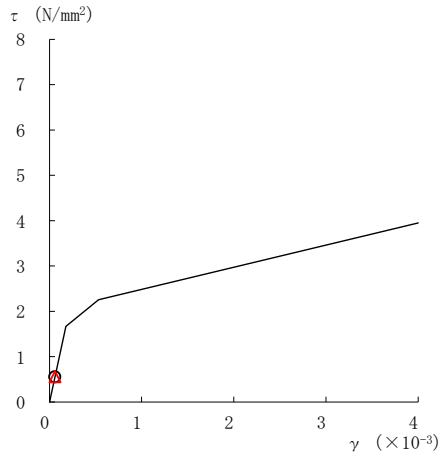


図 2-294(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

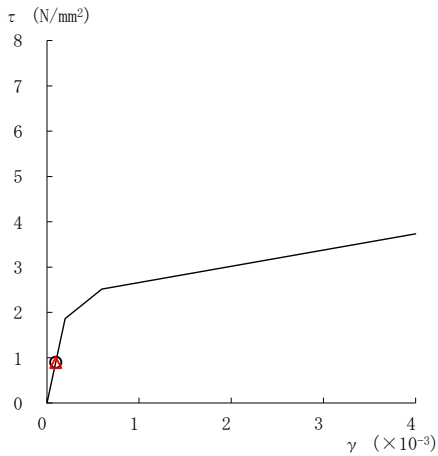
○ ケース 1 △ ケース 4



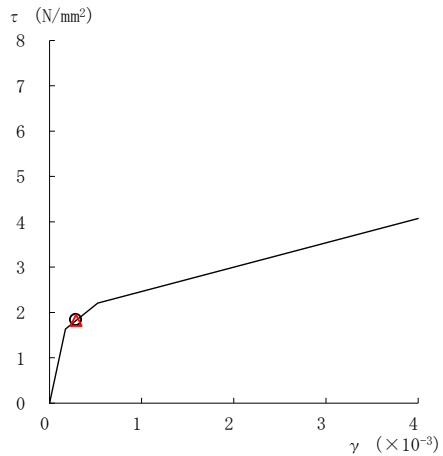
要素番号 (6)



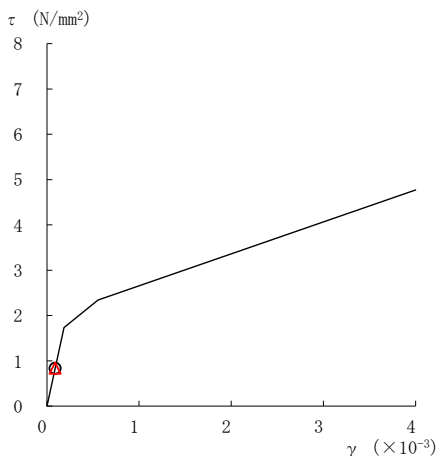
要素番号 (7)



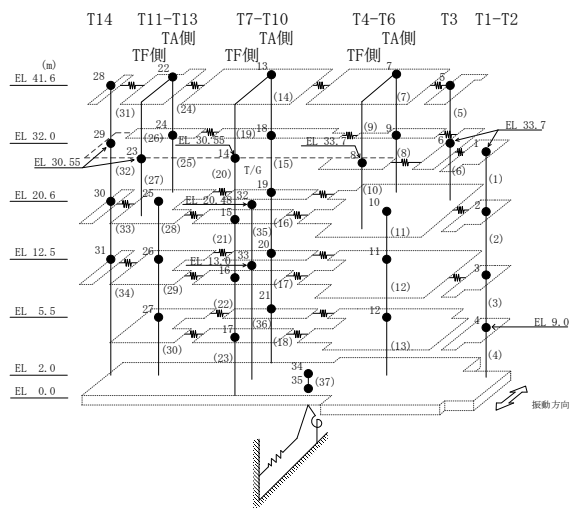
要素番号 (8)



要素番号 (10)



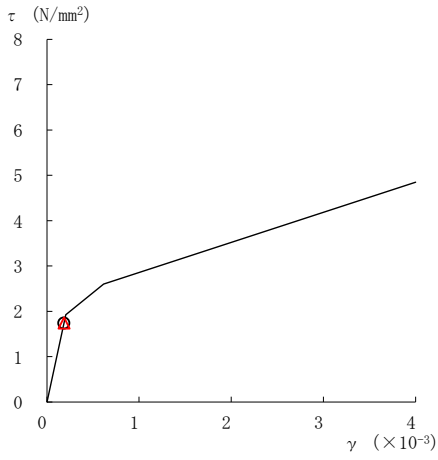
要素番号 (11)



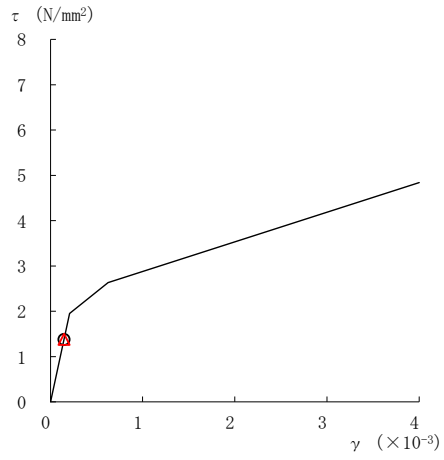
注：要素番号 9 は線形部材。

図 2-294 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

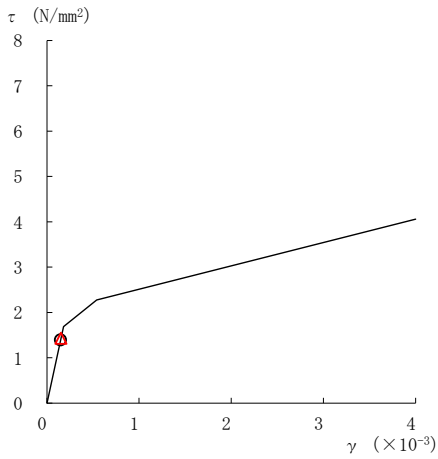
○ ケース 1 △ ケース 4



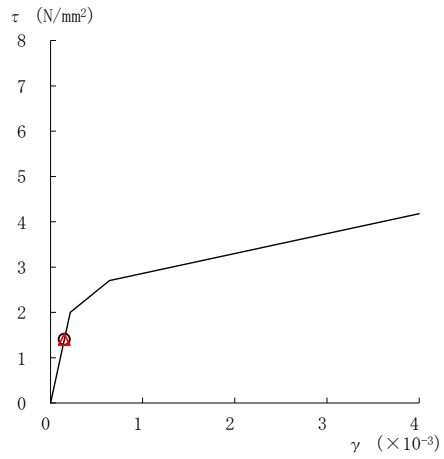
要素番号 (12)



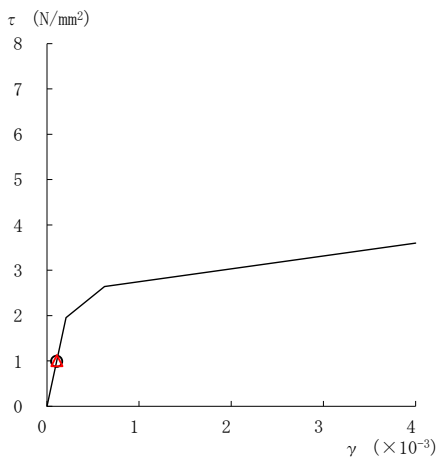
要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)



要素番号 (16)

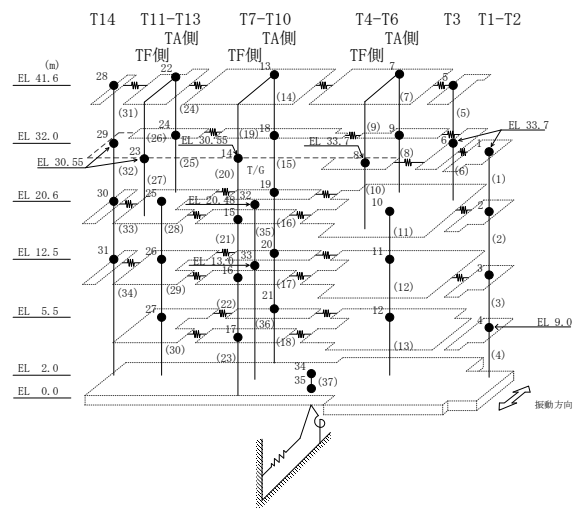
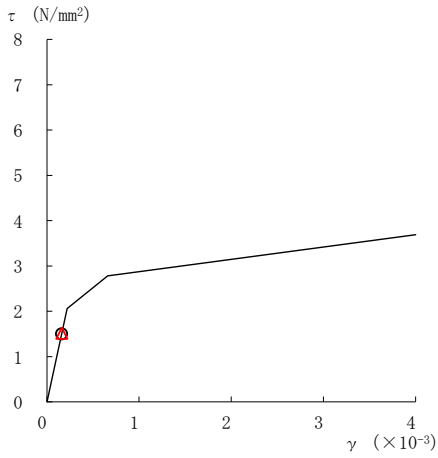


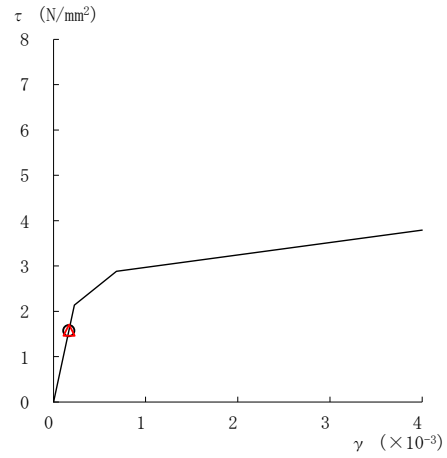
図 2-294(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

○ ケース 1

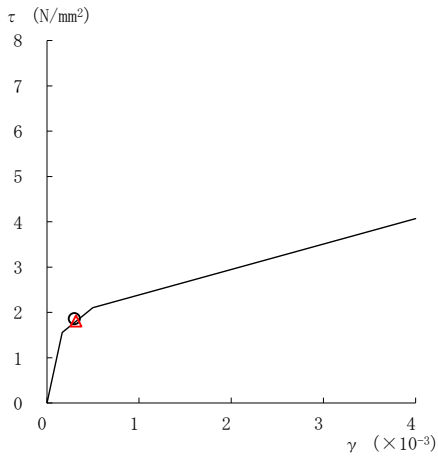
△ ケース 4



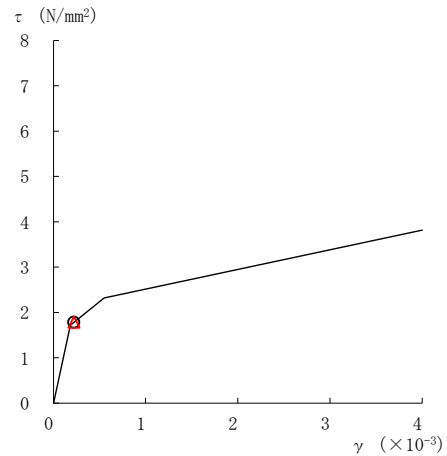
要素番号 (17)



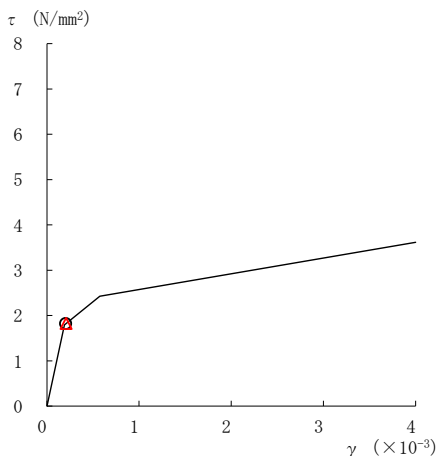
要素番号 (18)



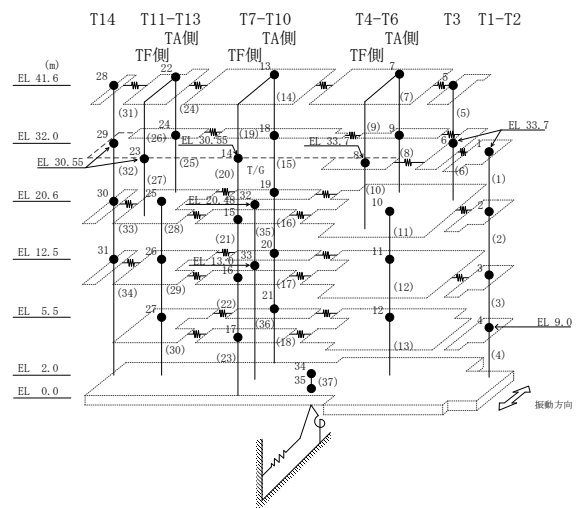
要素番号 (21)



要素番号 (22)



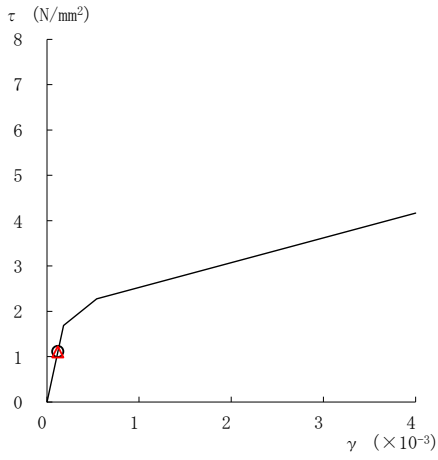
要素番号 (23)



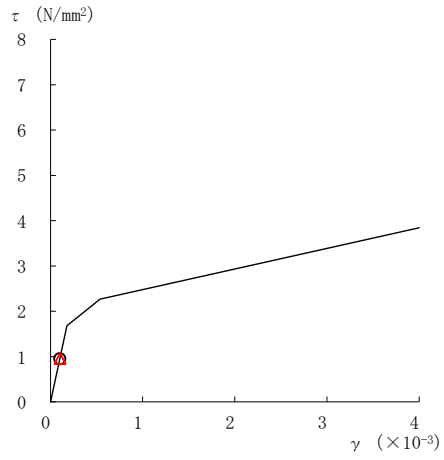
注：要素番号 19, 20 は線形部材。

図 2-294(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

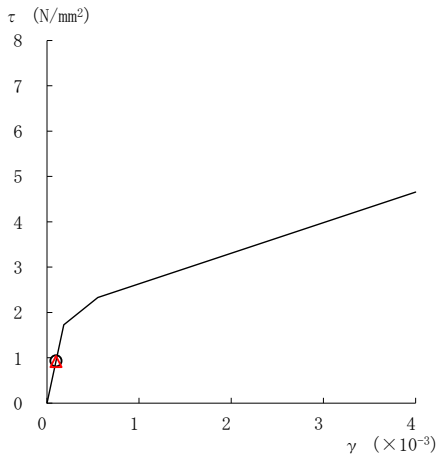
○ ケース 1 △ ケース 4



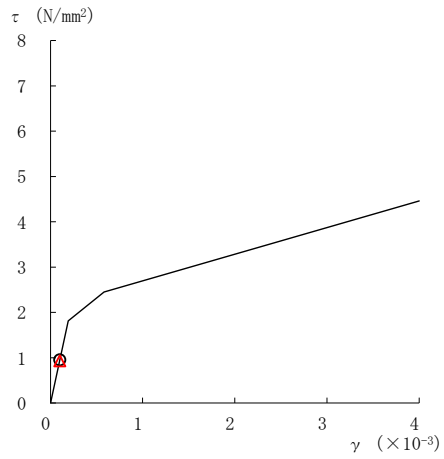
要素番号 (24)



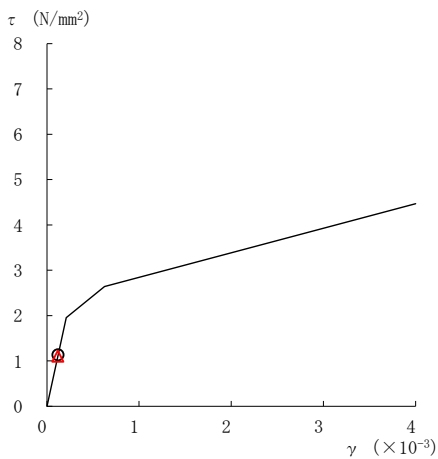
要素番号 (25)



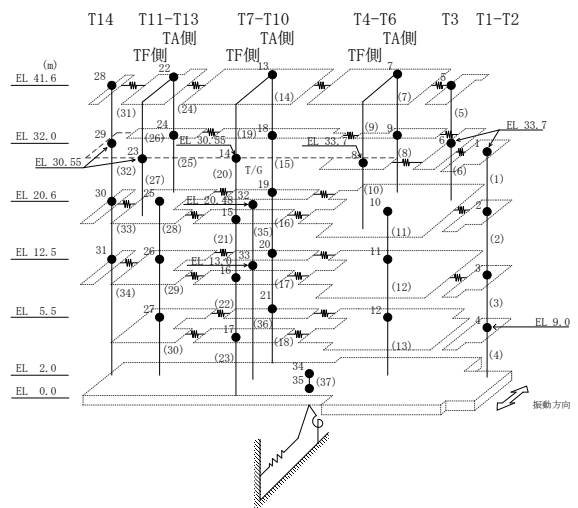
要素番号 (28)



要素番号 (29)



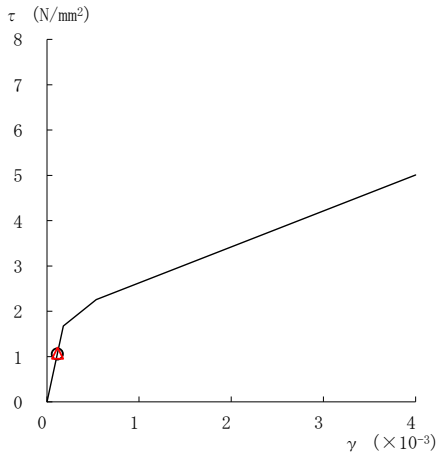
要素番号 (30)



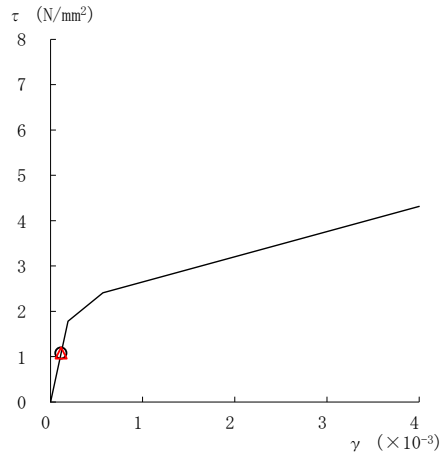
注：要素番号 26, 27 は線形部材。

図 2-294(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

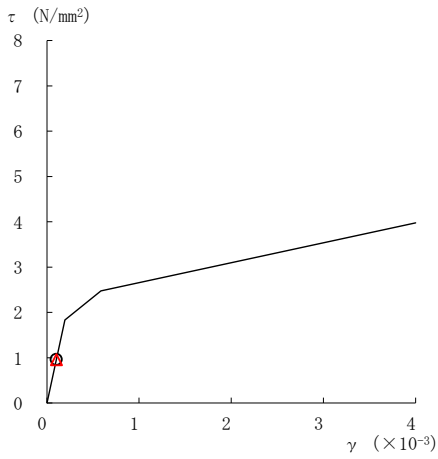
○ ケース 1 △ ケース 4



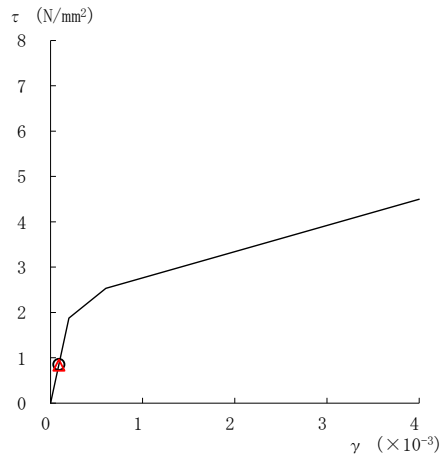
要素番号 (31)



要素番号 (32)



要素番号 (33)



要素番号 (34)

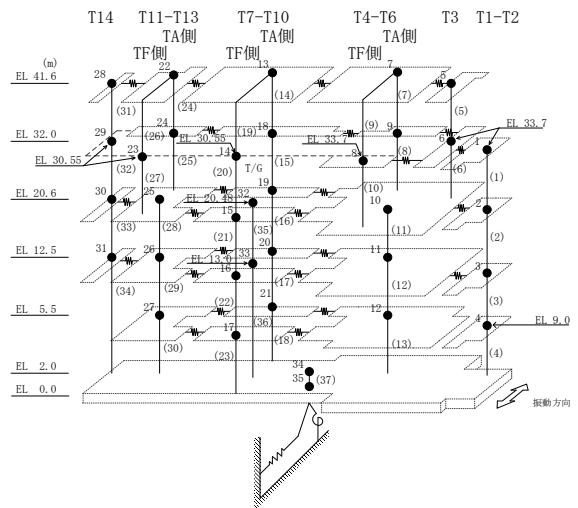
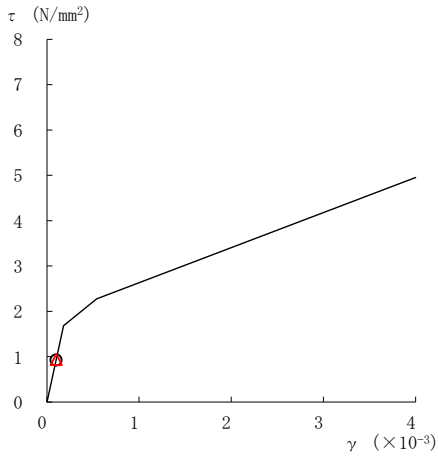
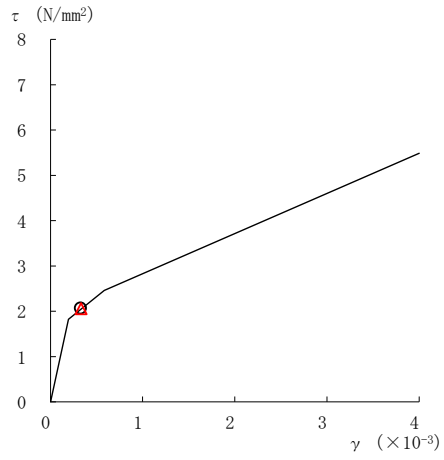


図 2-294 (6) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, NS 方向)

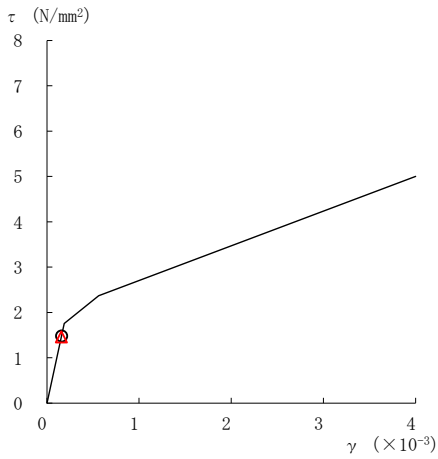
○ ケース 1 △ ケース 4



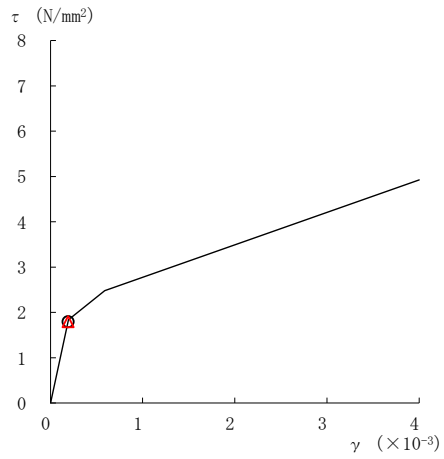
要素番号 (1)



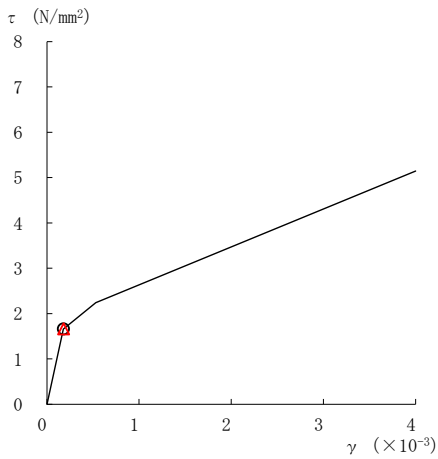
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

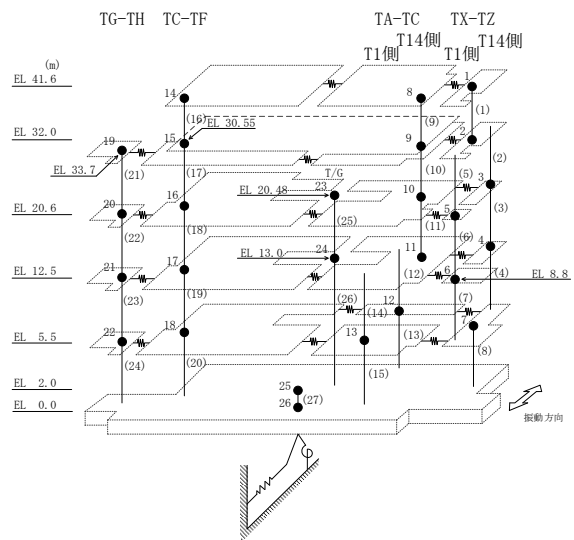
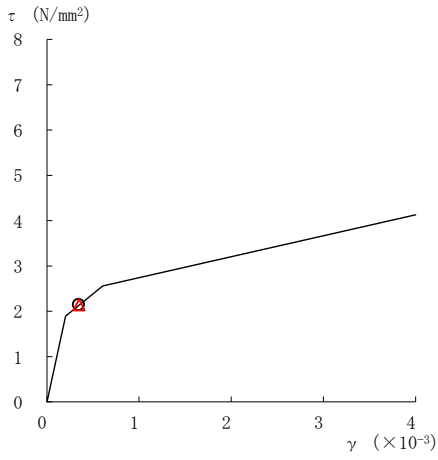
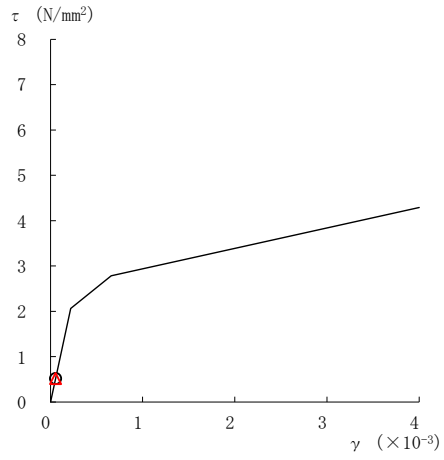


図 2-295(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

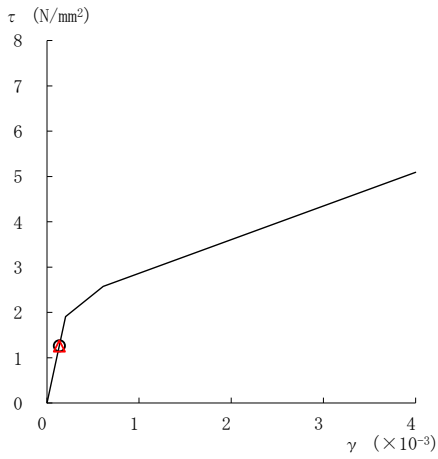
○ ケース 1 △ ケース 4



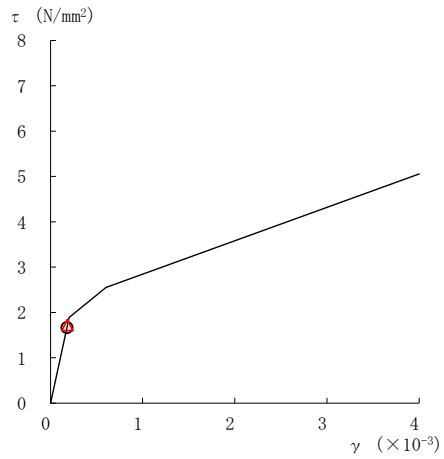
要素番号 (6)



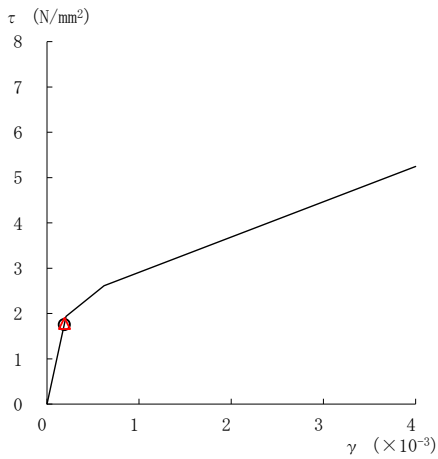
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

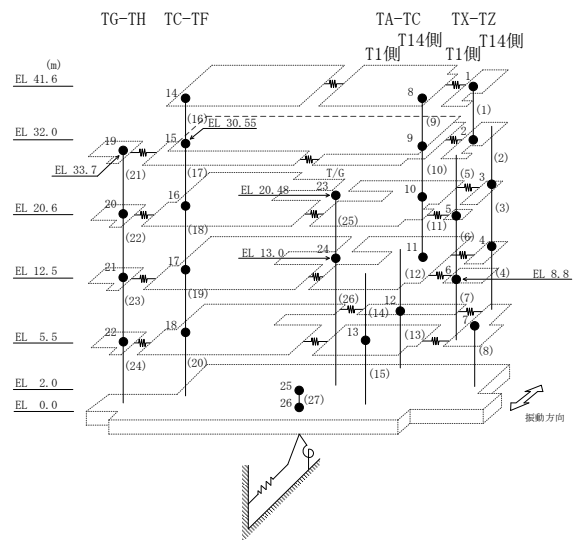
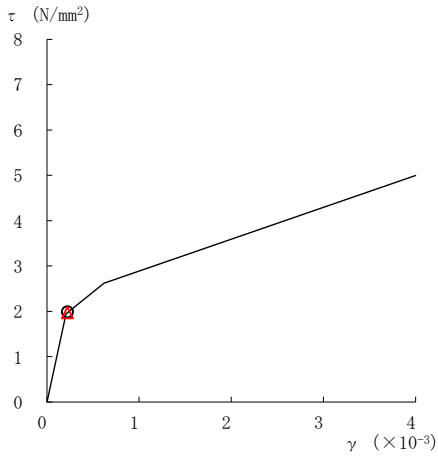
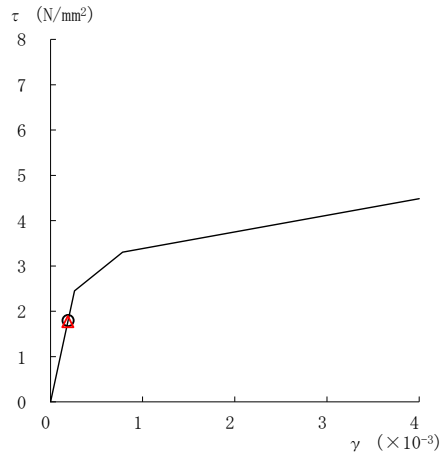


図 2-295 (2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

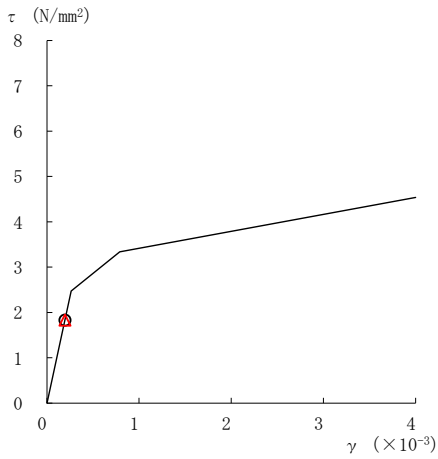
○ ケース 1 △ ケース 4



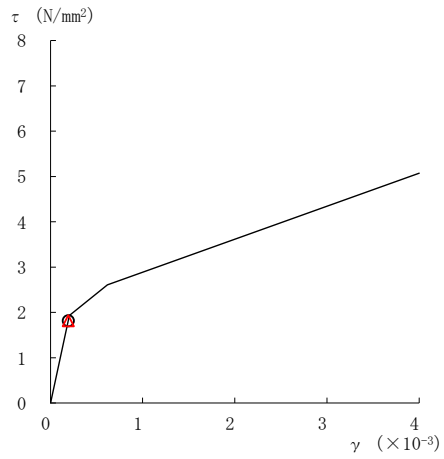
要素番号 (11)



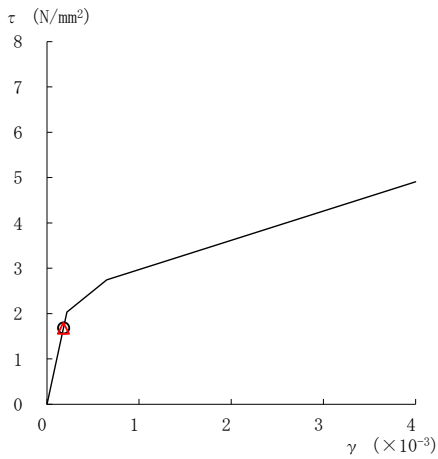
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

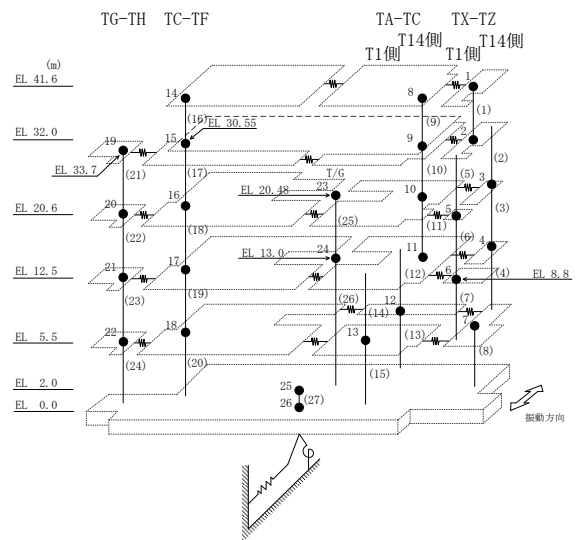
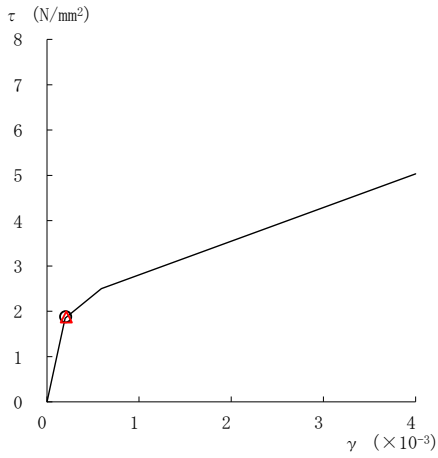
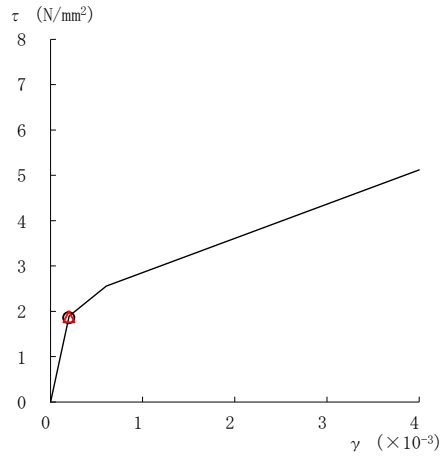


図 2-295 (3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

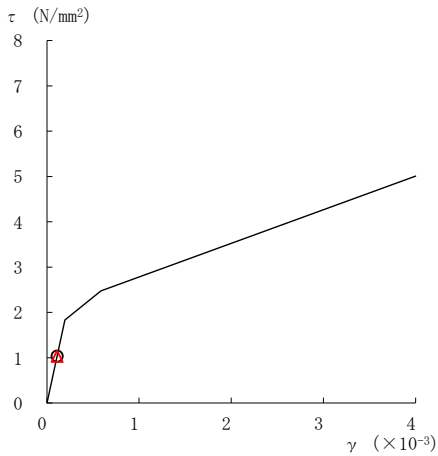
○ ケース 1 △ ケース 4



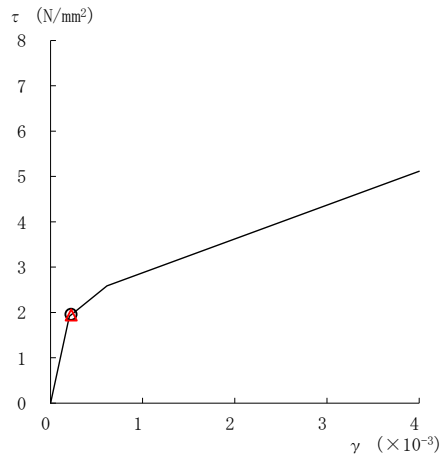
要素番号 (16)



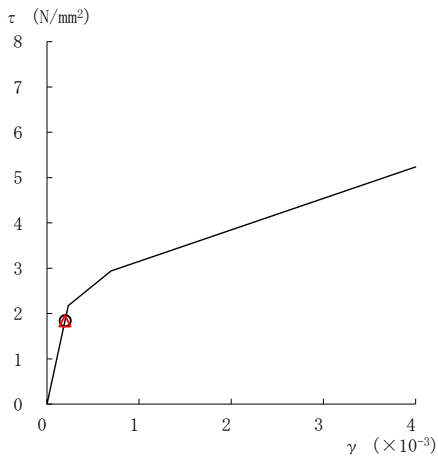
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

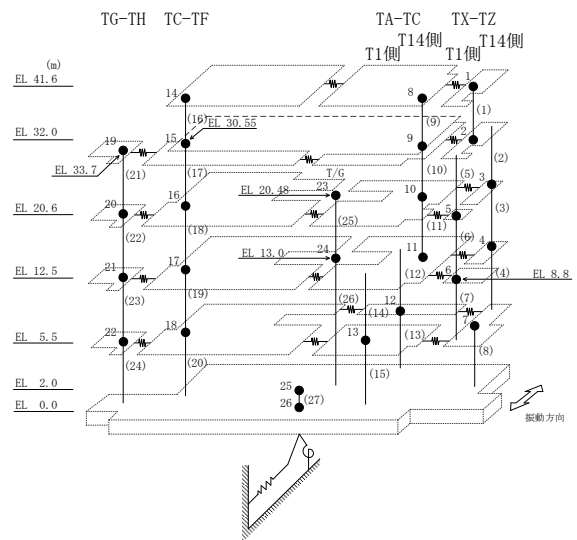
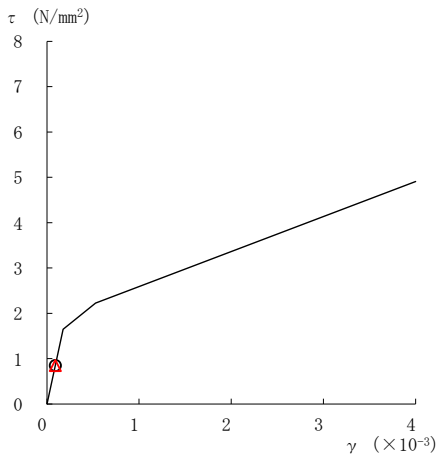
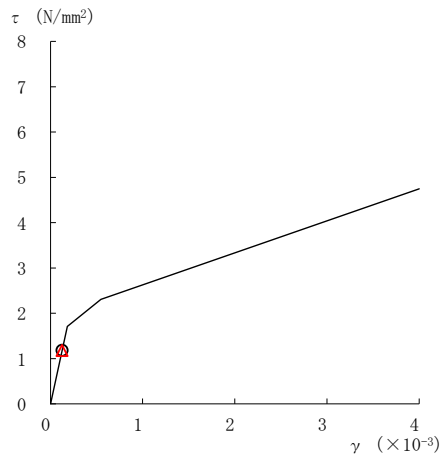


図 2-295(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

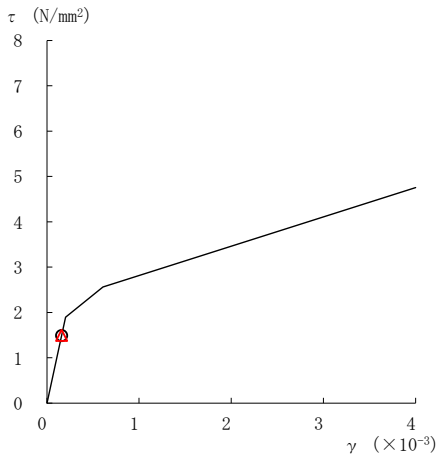
○ ケース 1 △ ケース 4



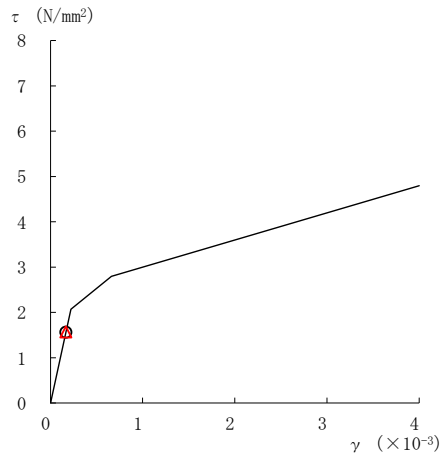
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

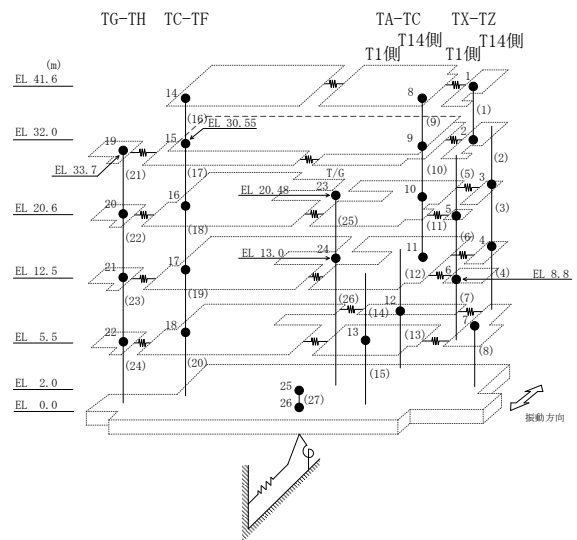
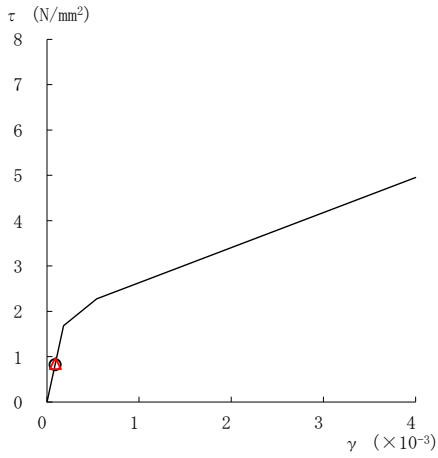
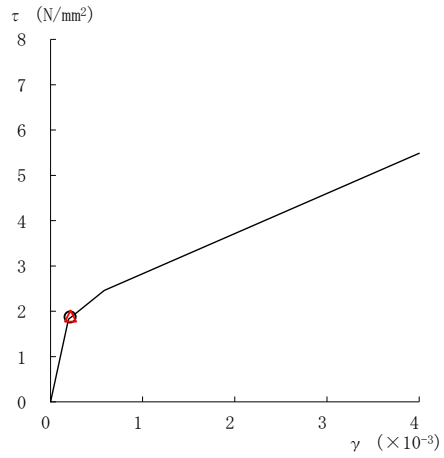


図 2-295(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - D, E W 方向)

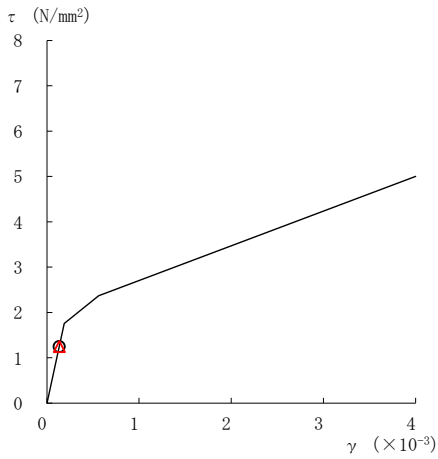
○ ケース 1 △ ケース 4



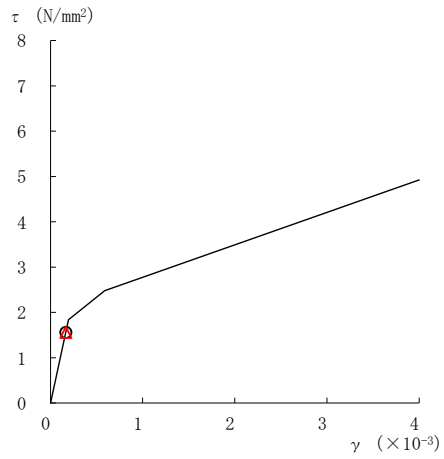
要素番号 (1)



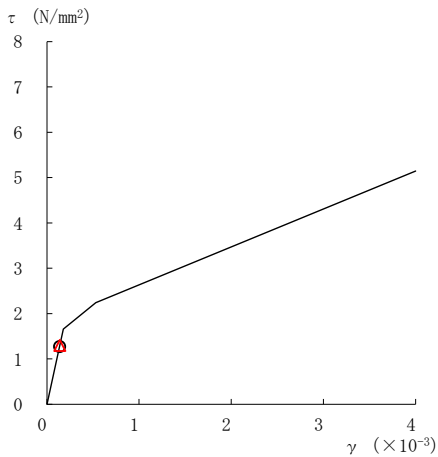
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

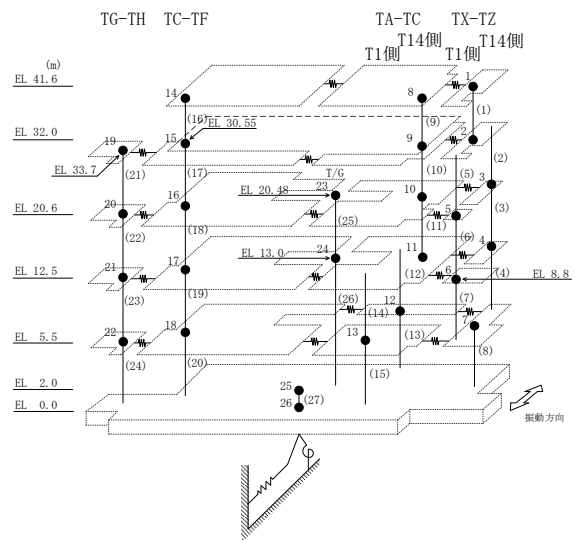
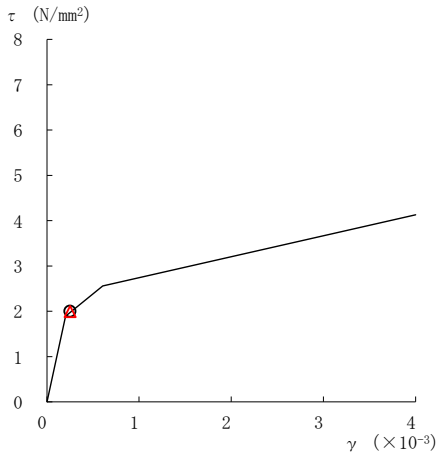
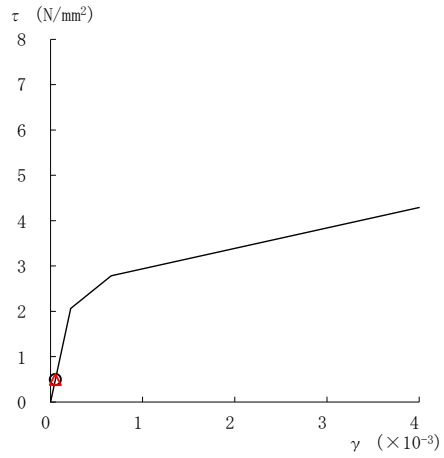


図 2-296(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, EW 方向)

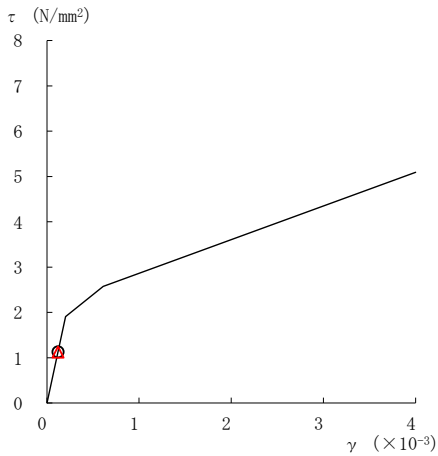
○ ケース 1 △ ケース 4



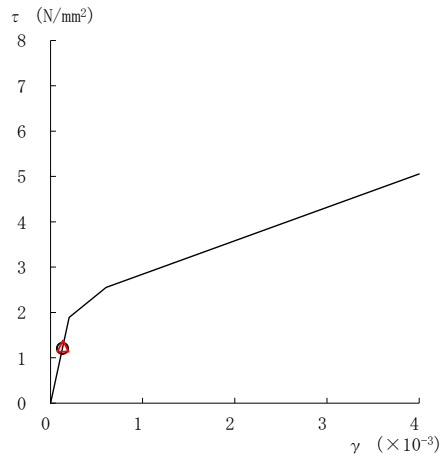
要素番号 (6)



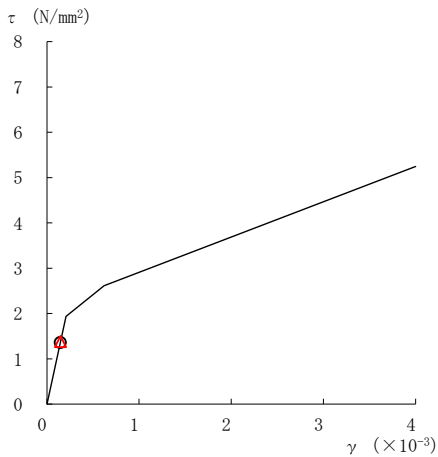
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

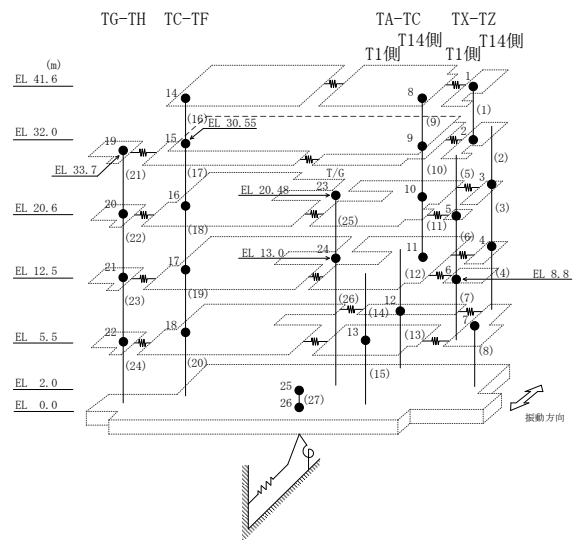
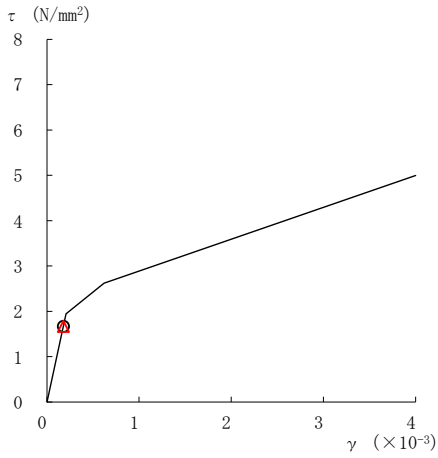
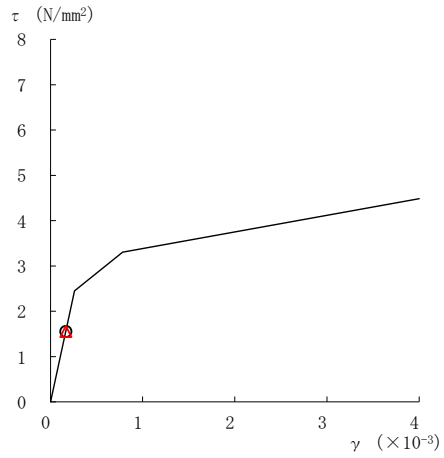


図 2-296(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

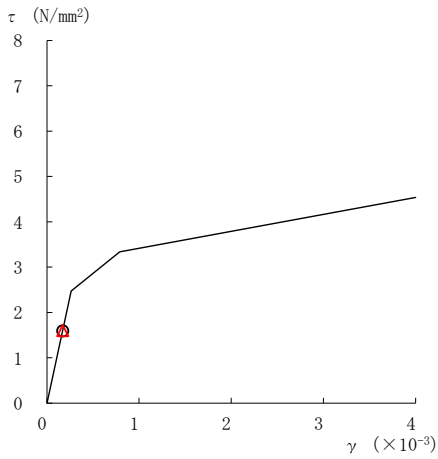
○ ケース 1 △ ケース 4



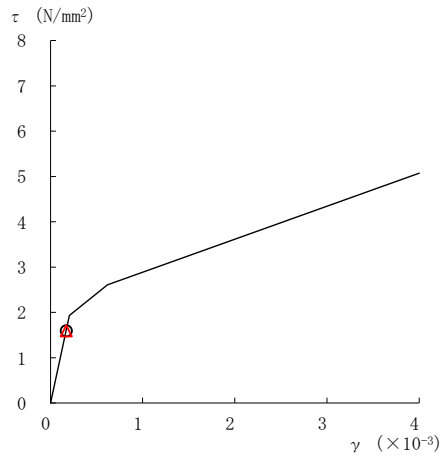
要素番号 (11)



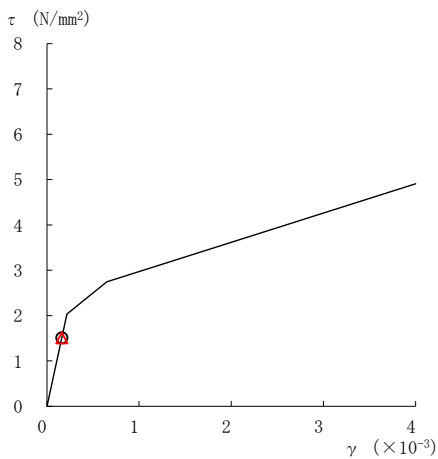
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

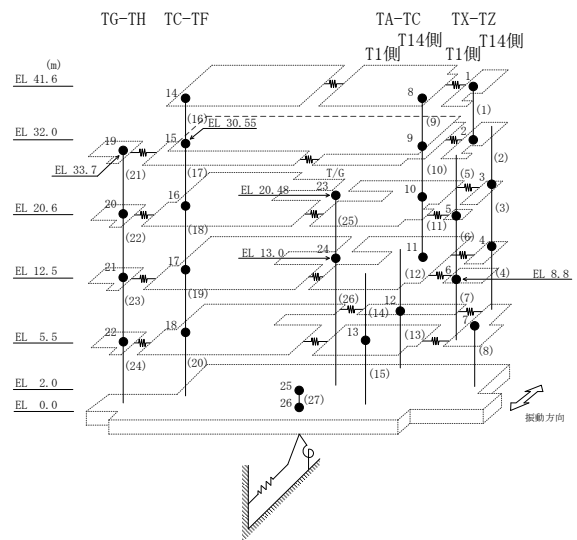
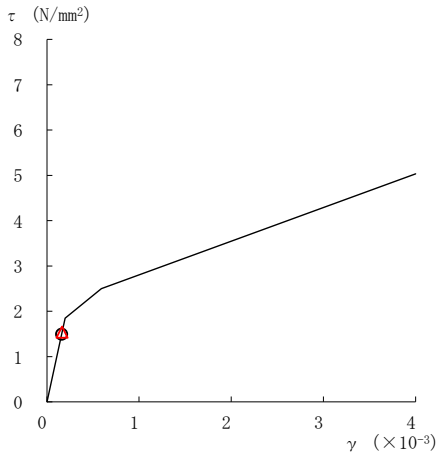
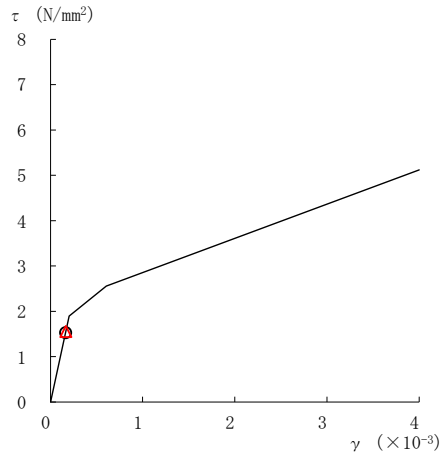


図 2-296(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

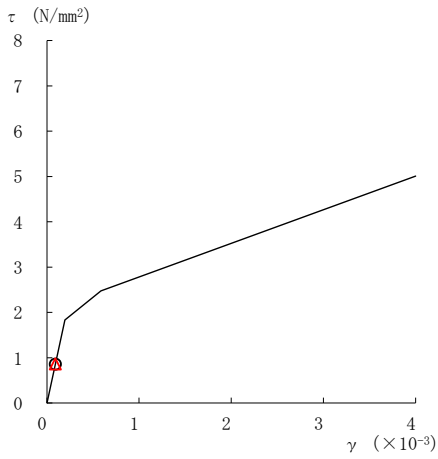
○ ケース 1 △ ケース 4



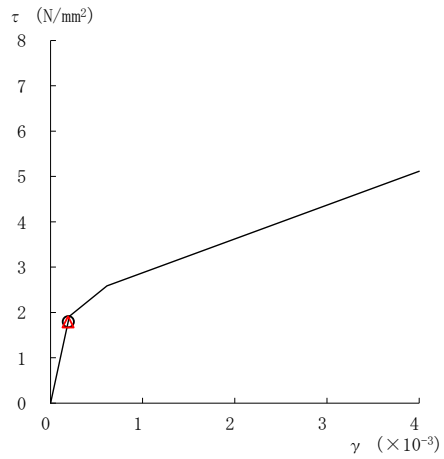
要素番号 (16)



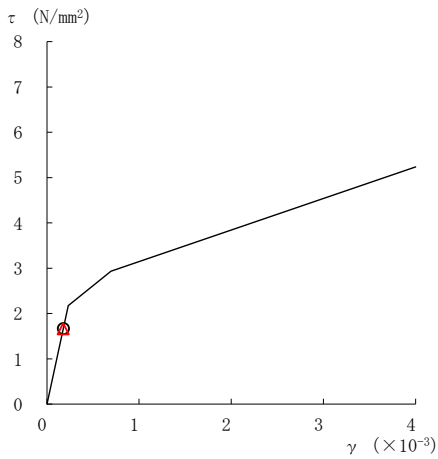
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

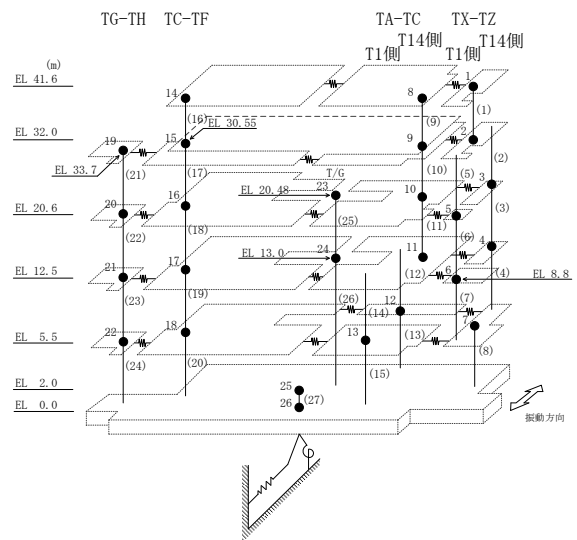
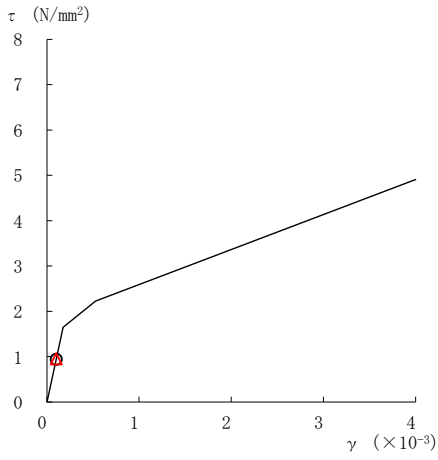
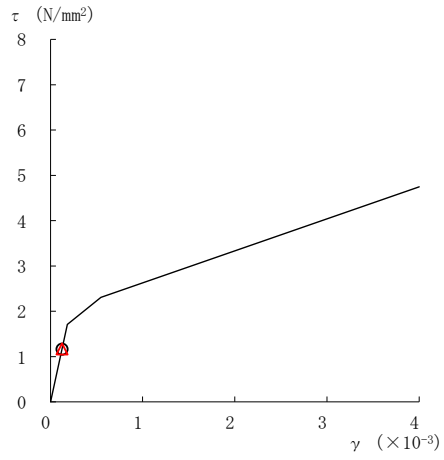


図 2-296(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, E W 方向)

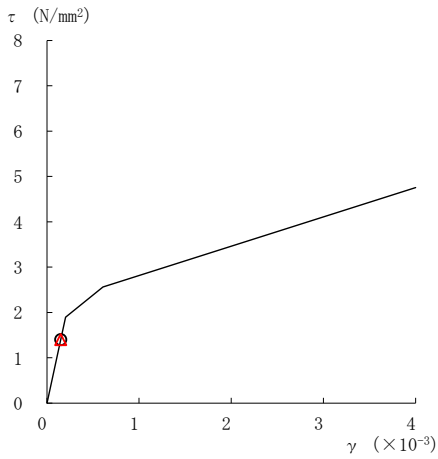
○ ケース 1 △ ケース 4



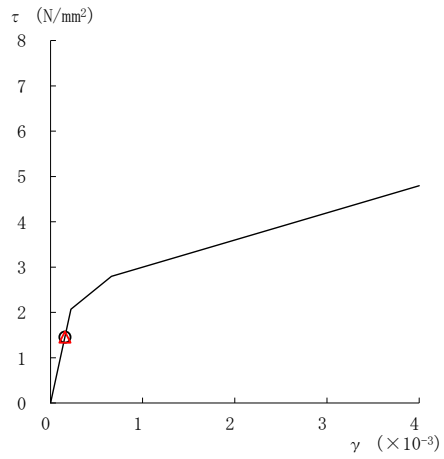
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

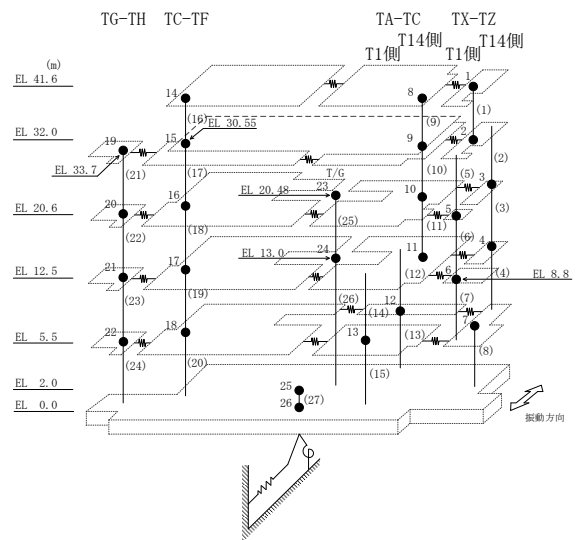
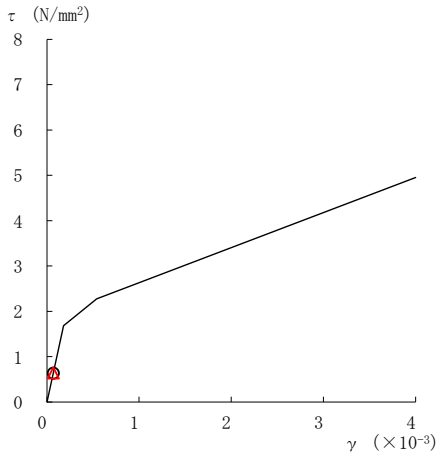
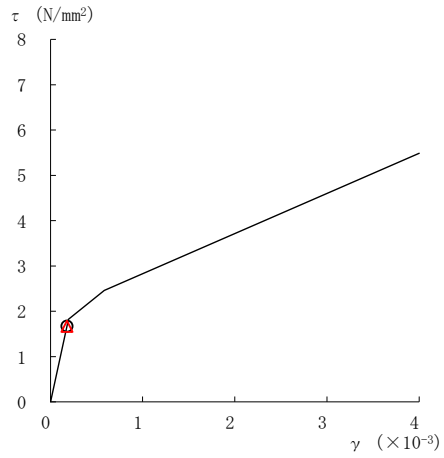


図 2-296(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 1, EW 方向)

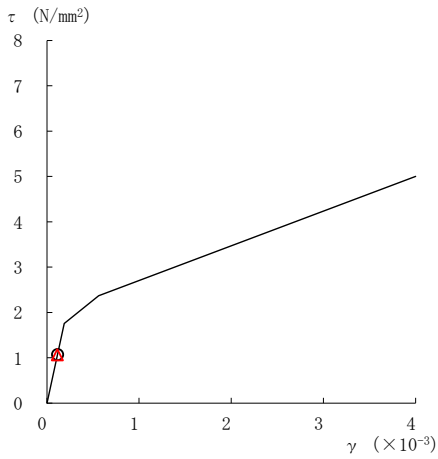
○ ケース 1 △ ケース 4



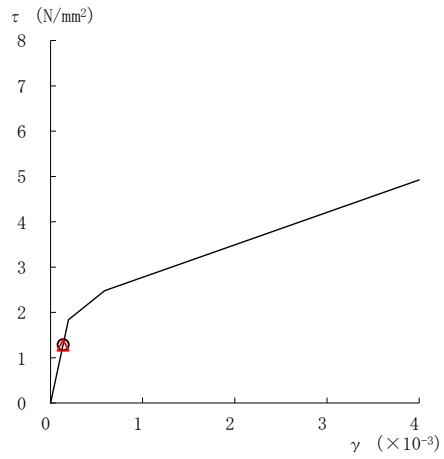
要素番号 (1)



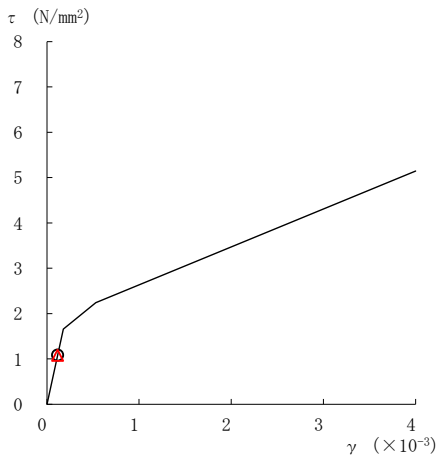
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

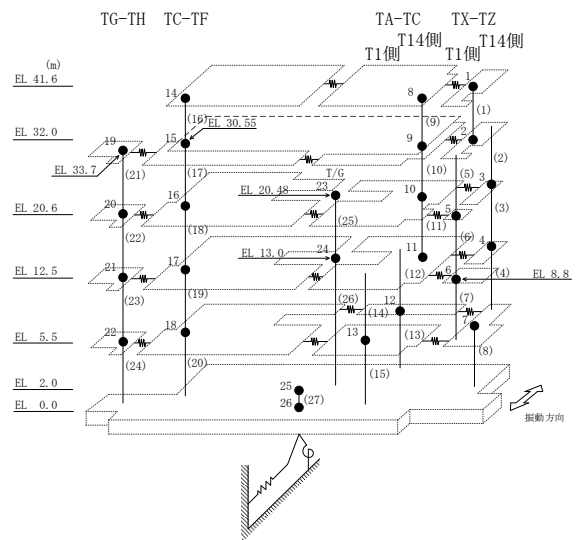
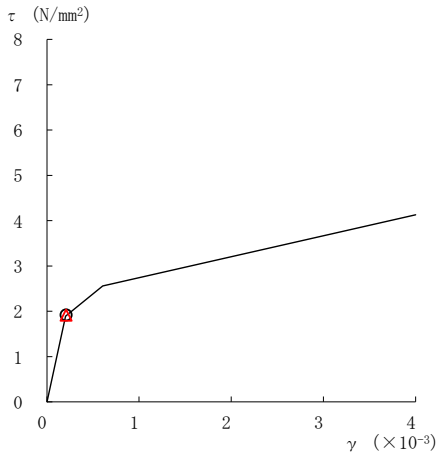
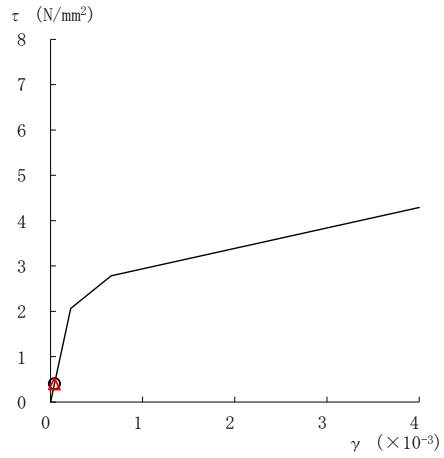


図 2-297(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

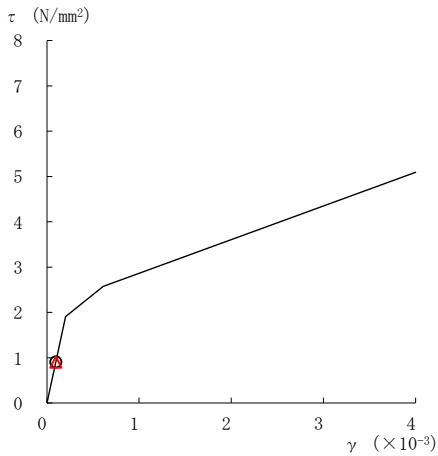
○ ケース 1 △ ケース 4



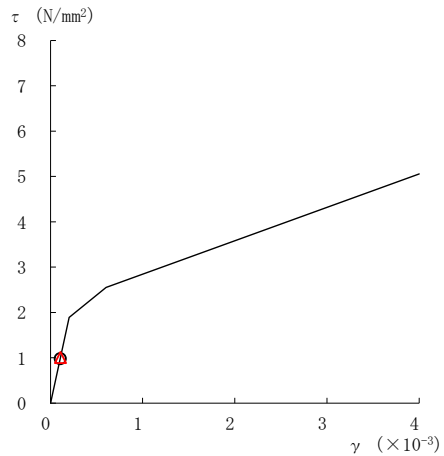
要素番号 (6)



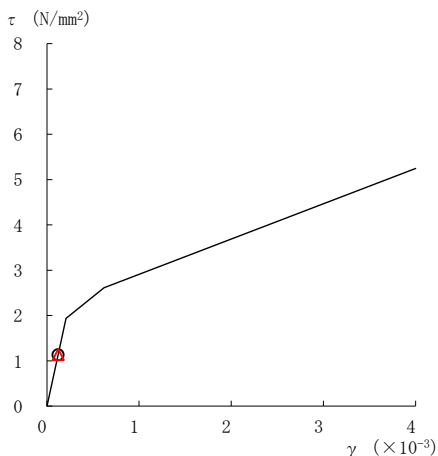
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

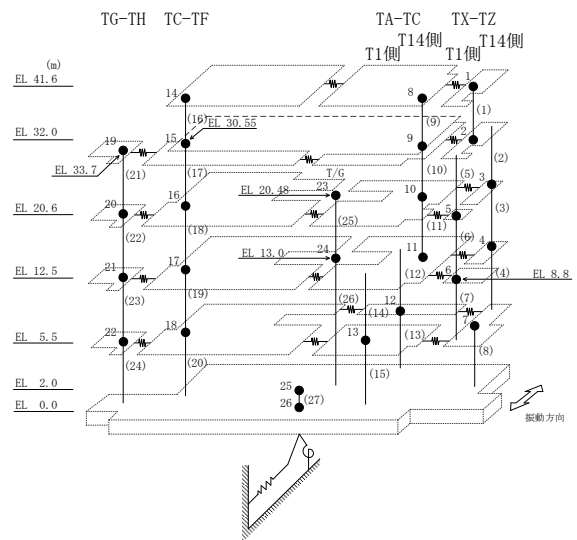
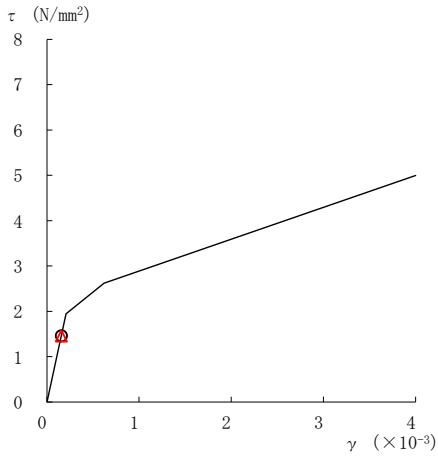
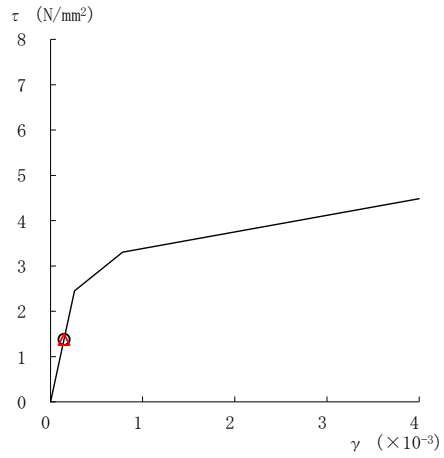


図 2-297(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

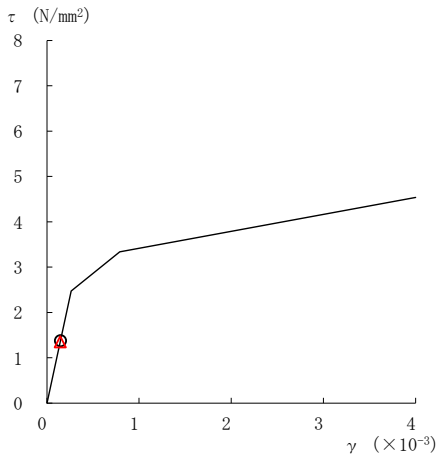
○ ケース 1 △ ケース 4



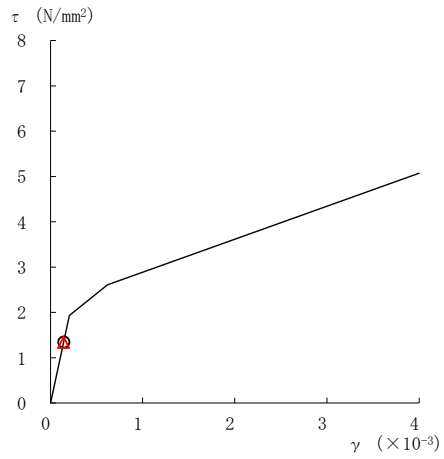
要素番号 (11)



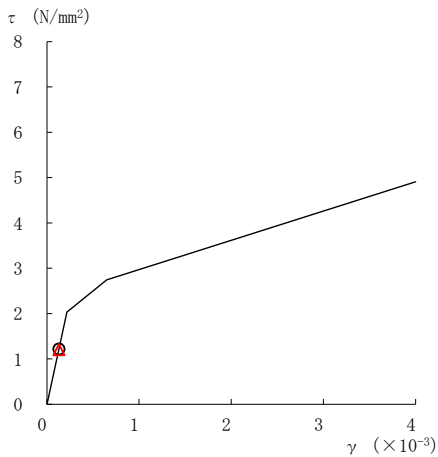
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

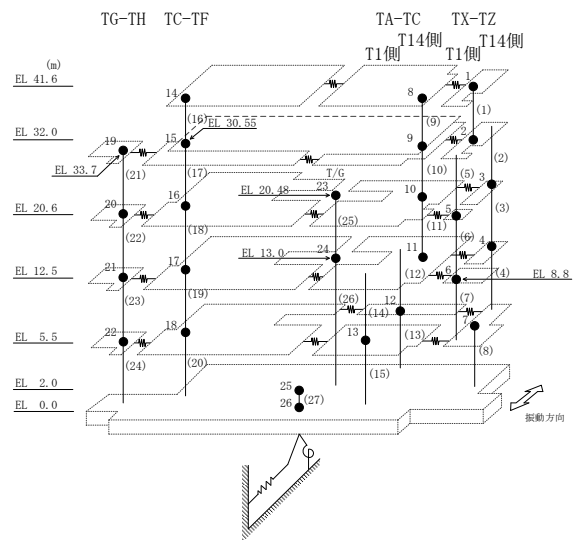
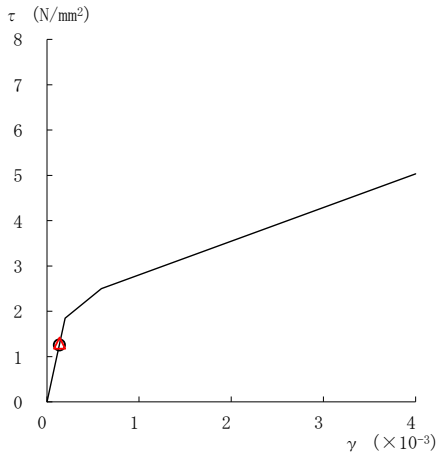
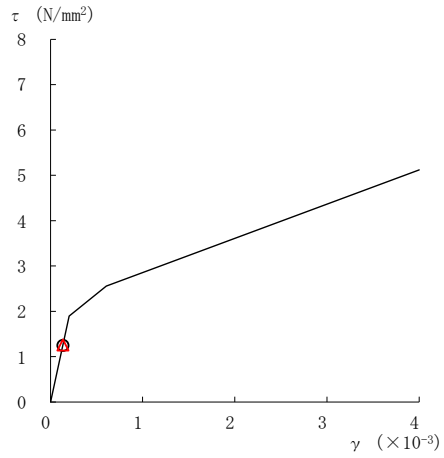


図 2-297(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

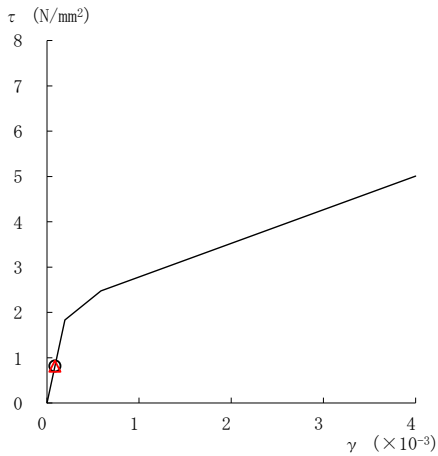
○ ケース 1 △ ケース 4



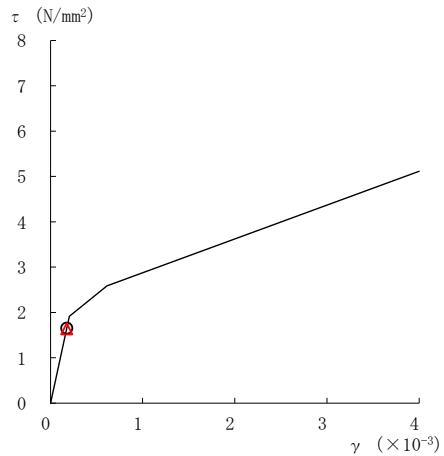
要素番号 (16)



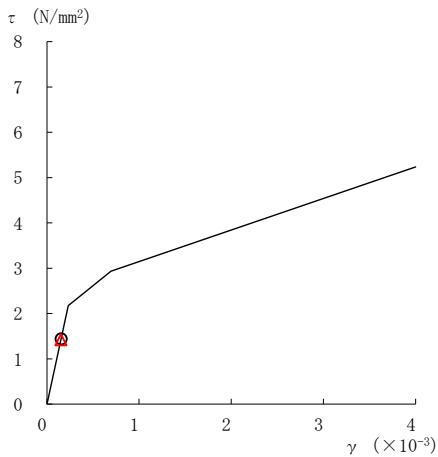
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

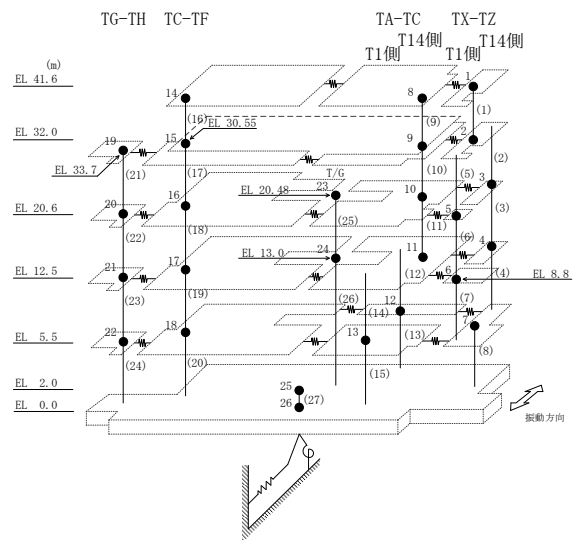
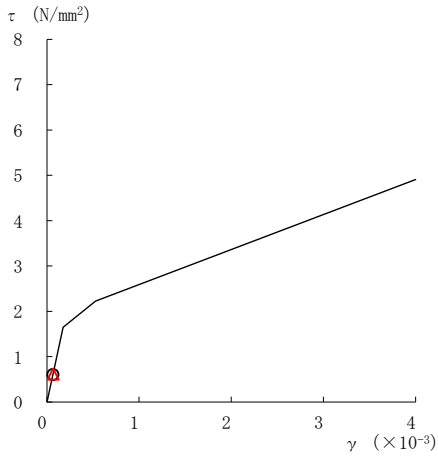
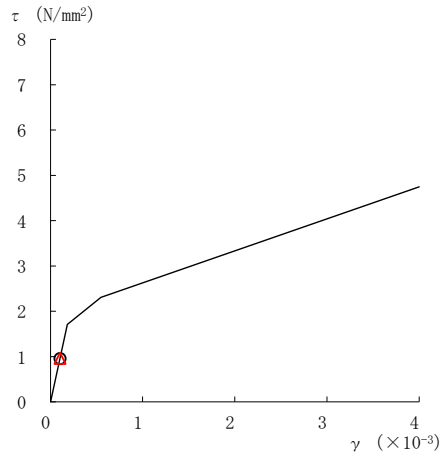


図 2-297(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, E W 方向)

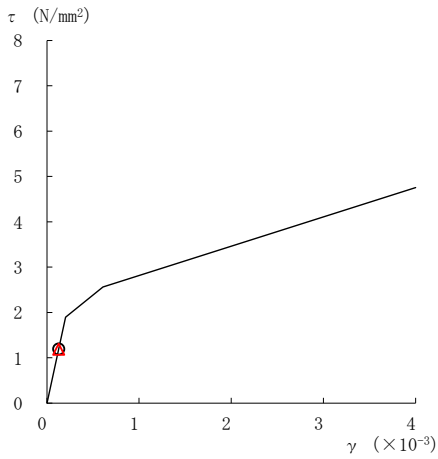
○ ケース 1 △ ケース 4



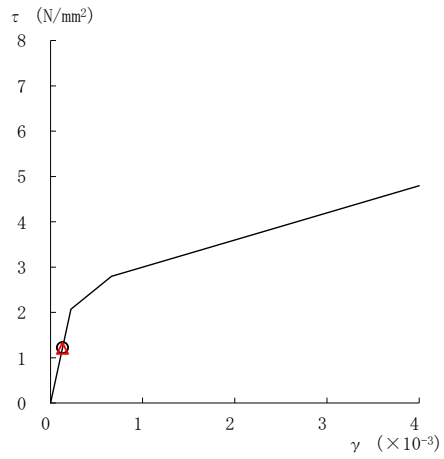
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

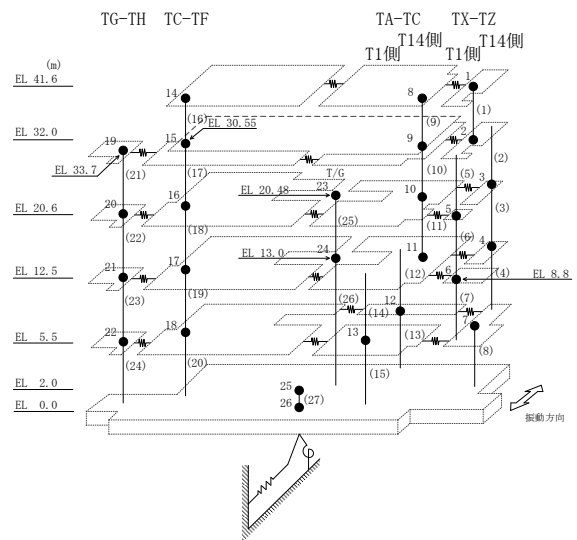
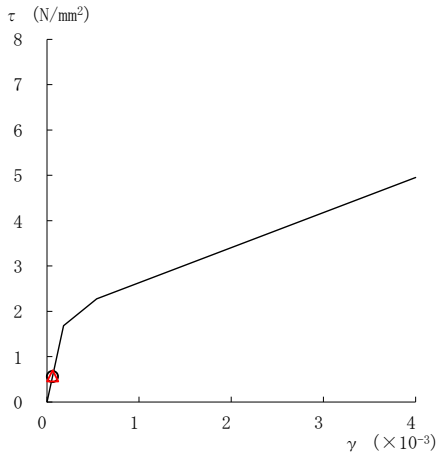
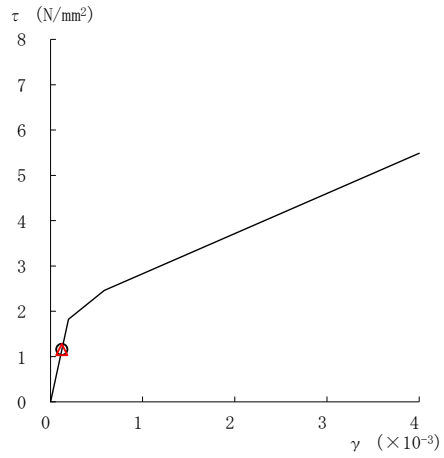


図 2-297(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - F 2, EW 方向)

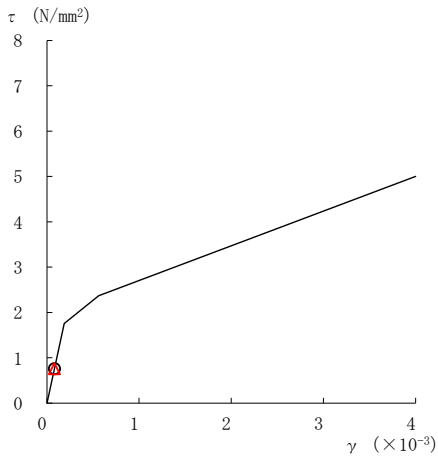
○ ケース 1 △ ケース 4



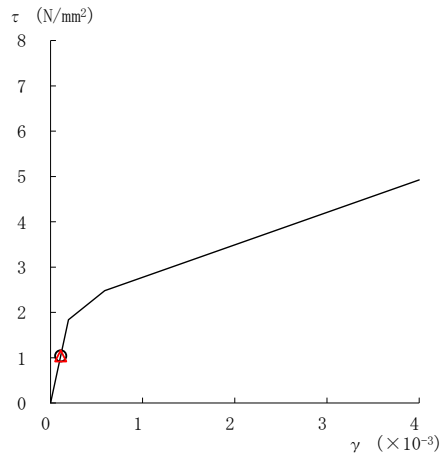
要素番号 (1)



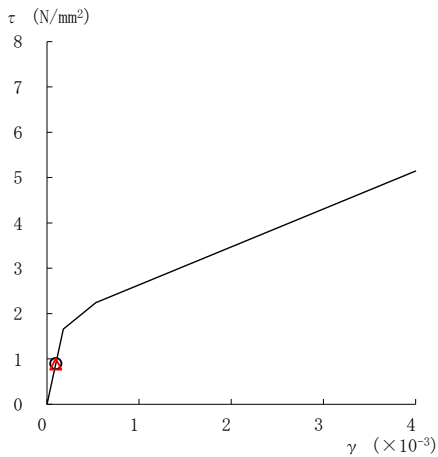
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

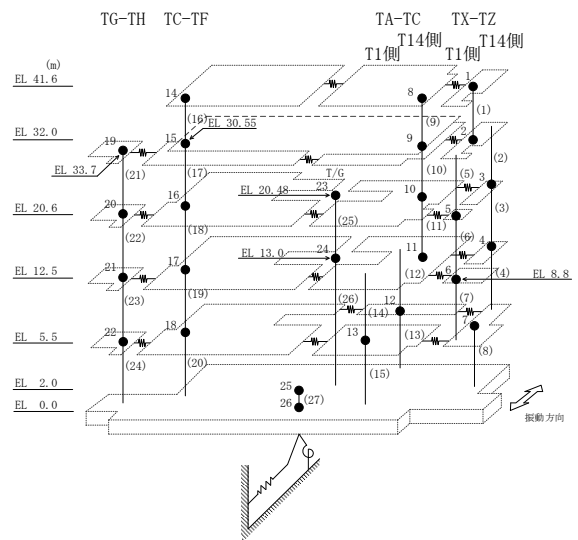
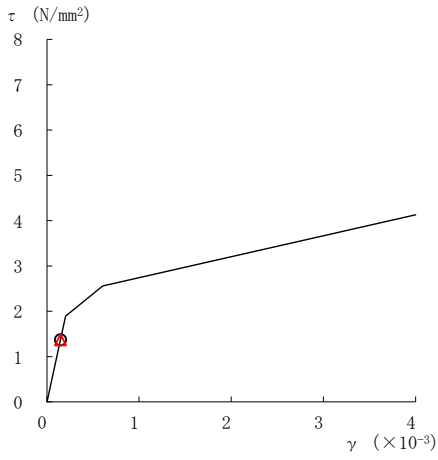
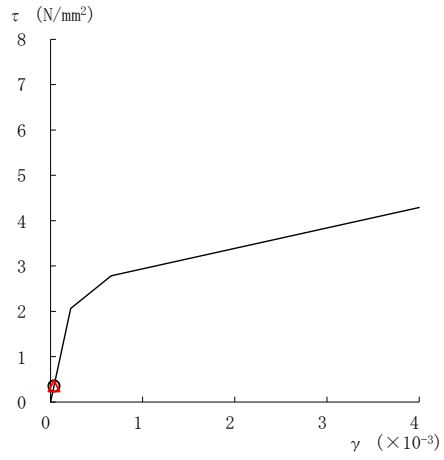


図 2-298(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 NS, EW 方向)

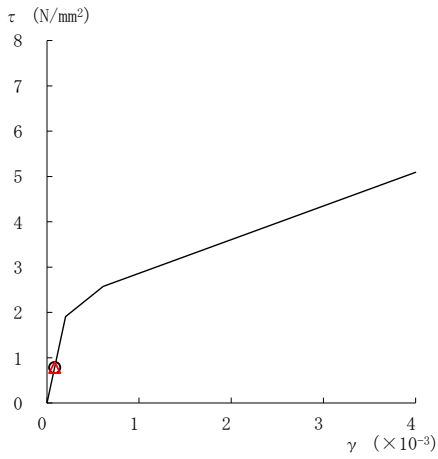
○ ケース 1 △ ケース 4



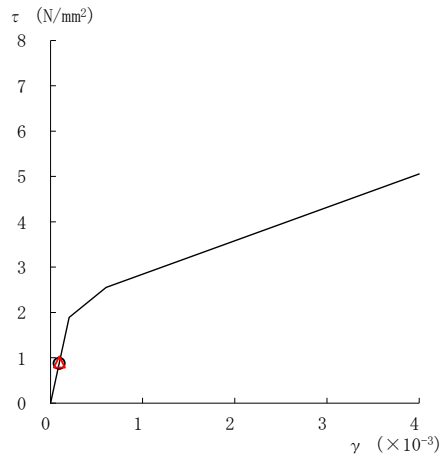
要素番号 (6)



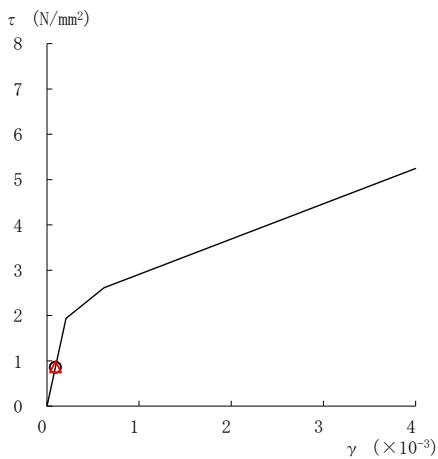
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

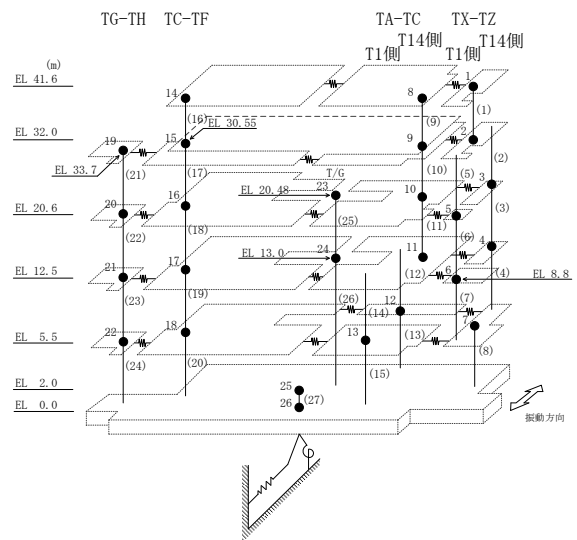
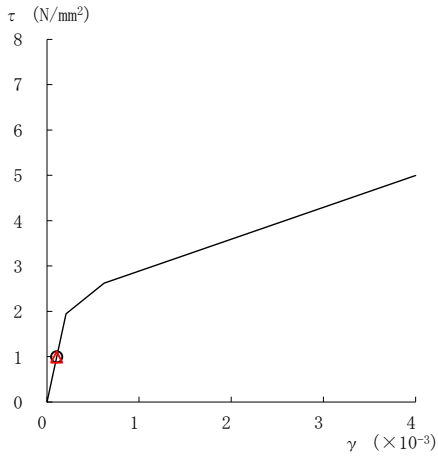
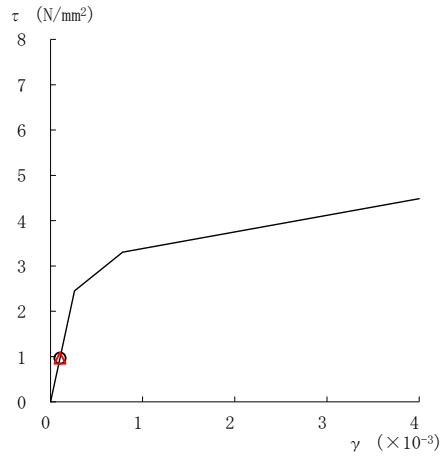


図 2-298(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

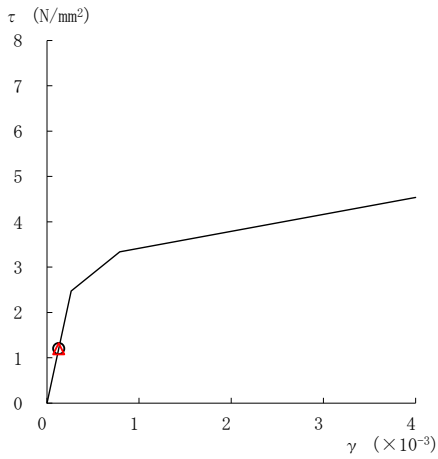
○ ケース 1 △ ケース 4



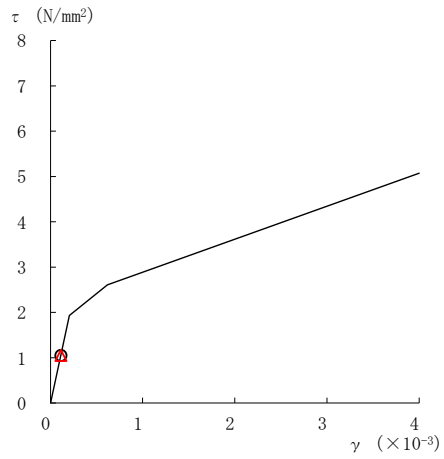
要素番号 (11)



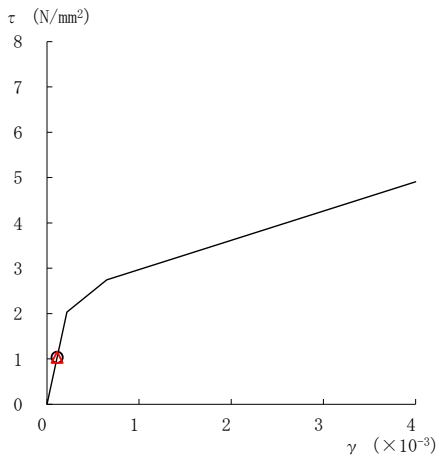
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

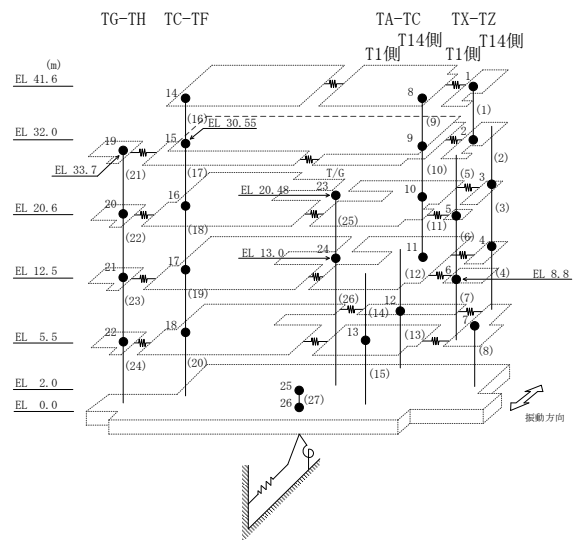
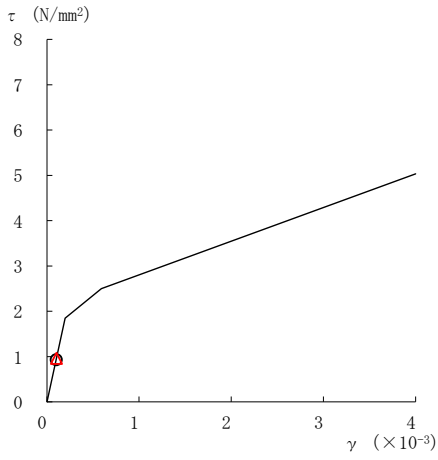
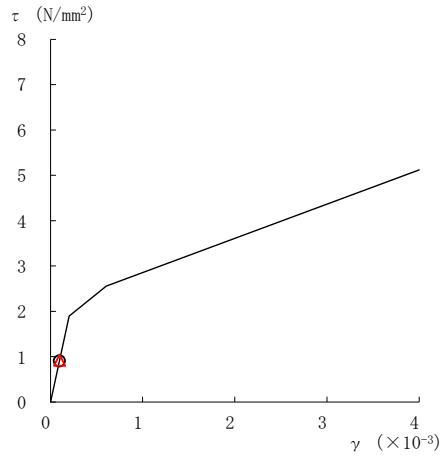


図 2-298(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

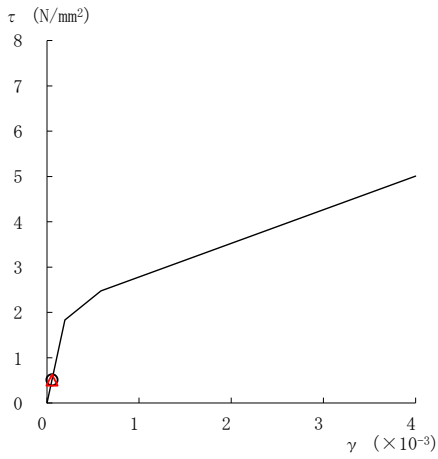
○ ケース 1 △ ケース 4



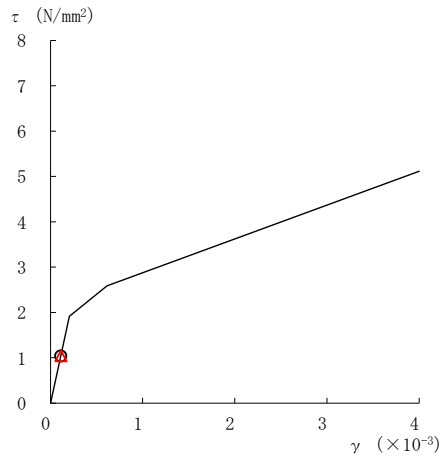
要素番号 (16)



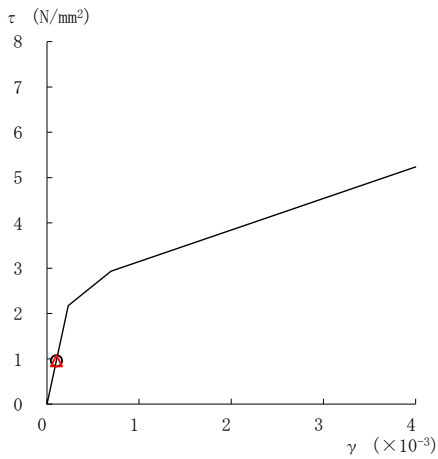
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

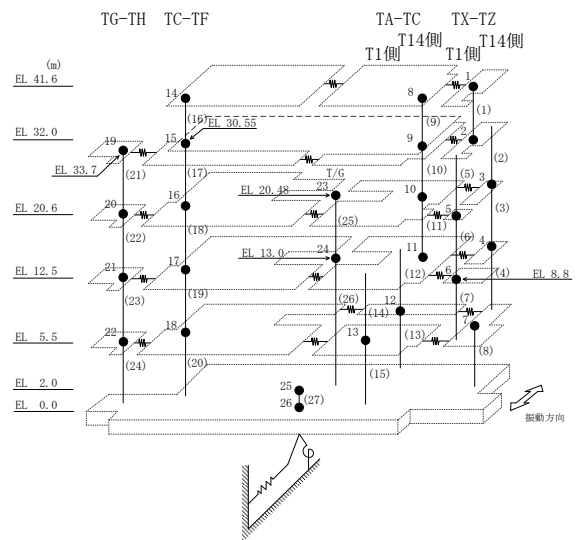
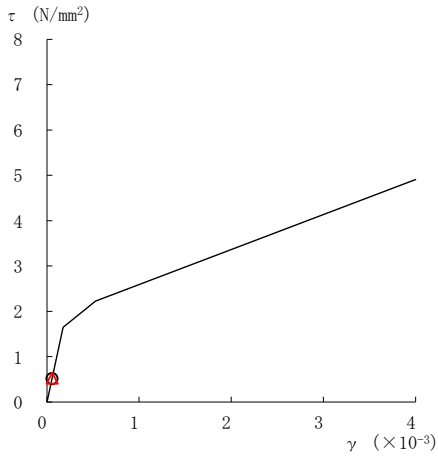
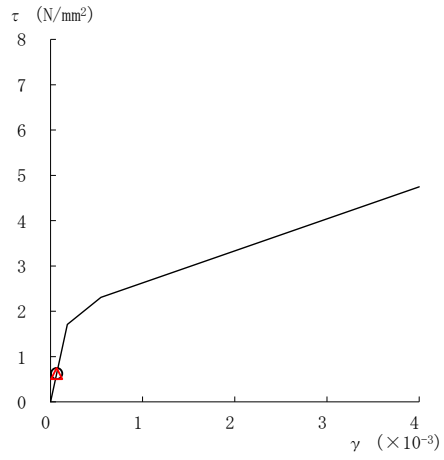


図 2-298(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

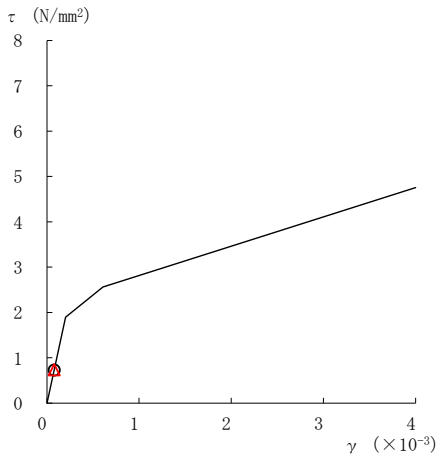
○ ケース 1 △ ケース 4



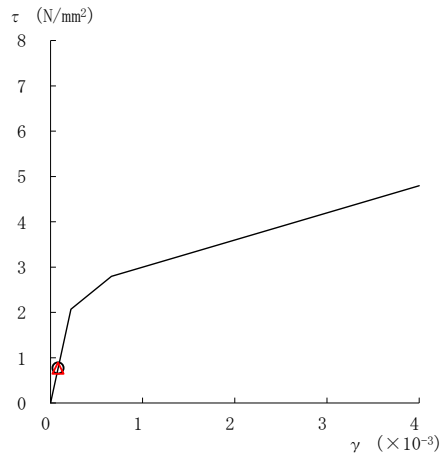
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

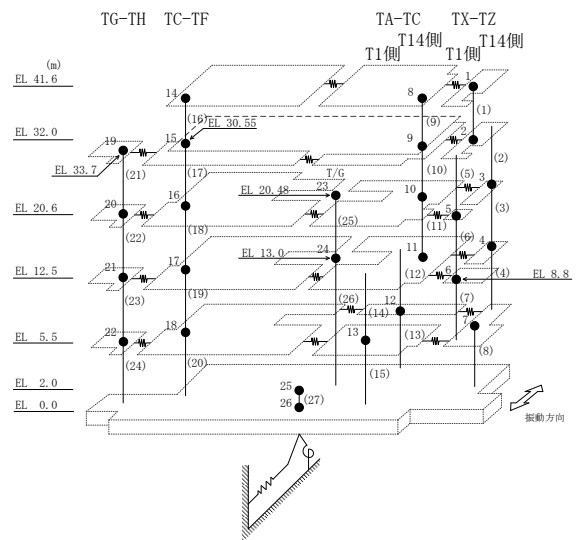
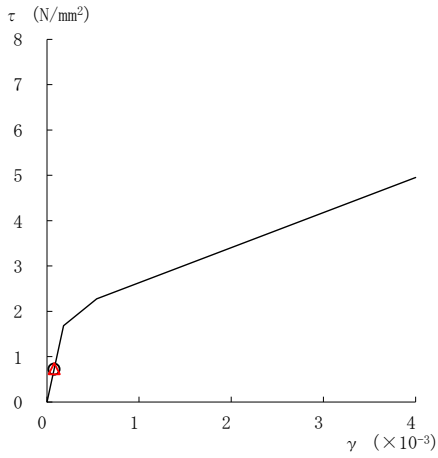
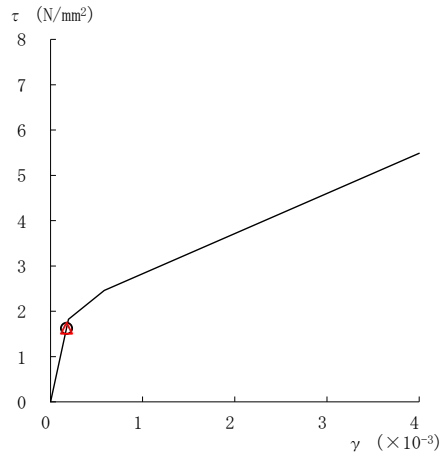


図 2-298(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 N S, EW 方向)

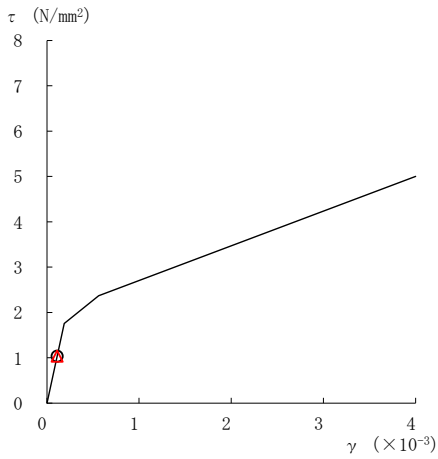
○ ケース 1 △ ケース 4



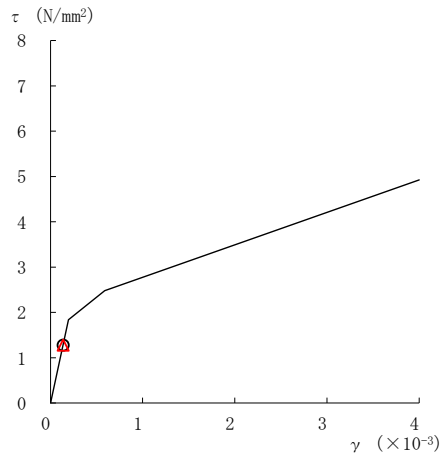
要素番号 (1)



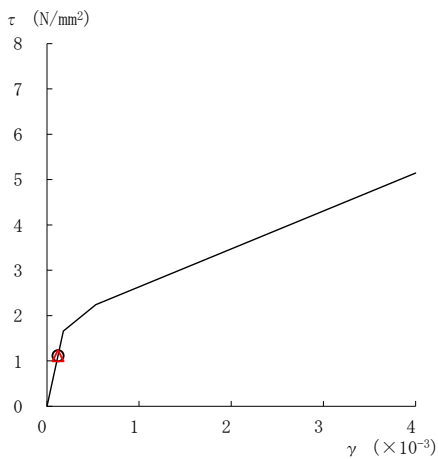
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

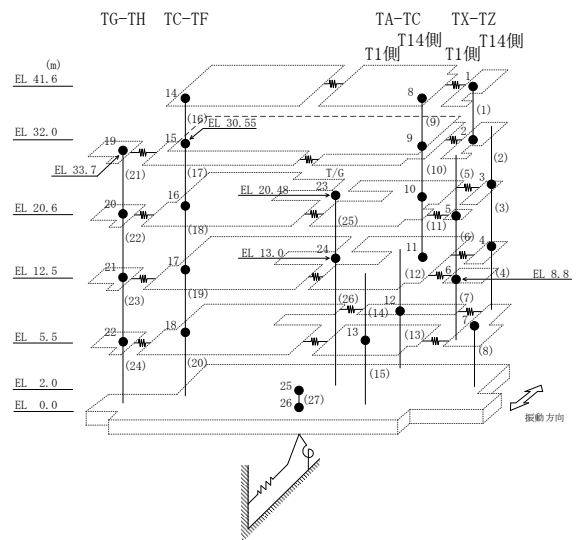
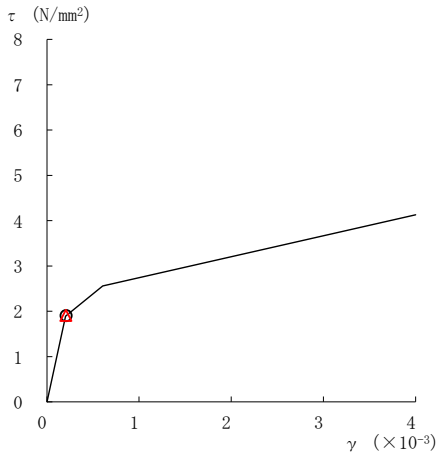
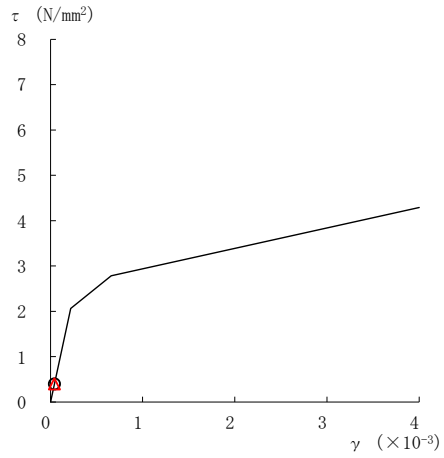


図 2-299(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

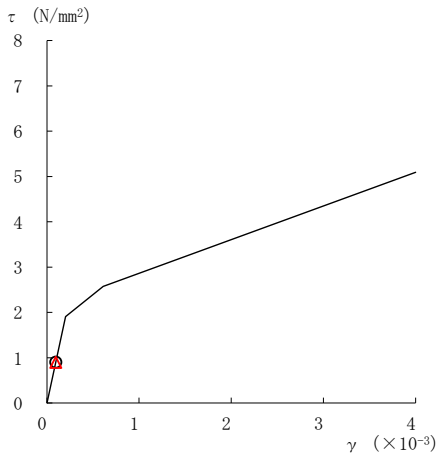
○ ケース 1 △ ケース 4



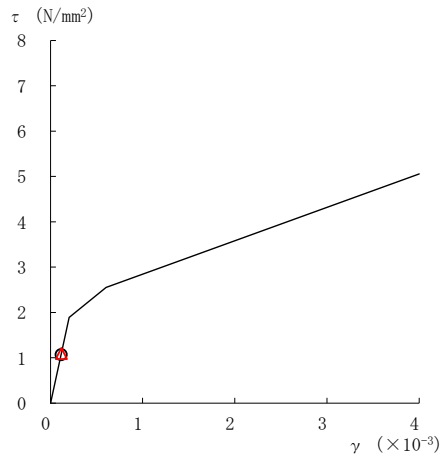
要素番号 (6)



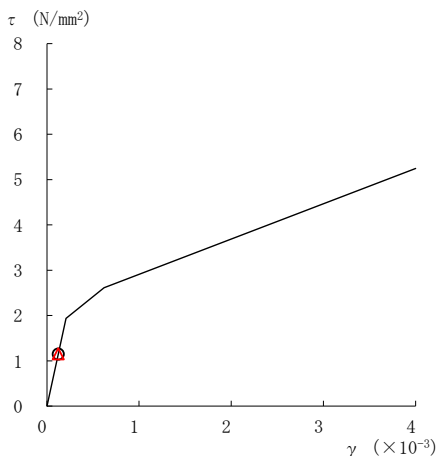
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

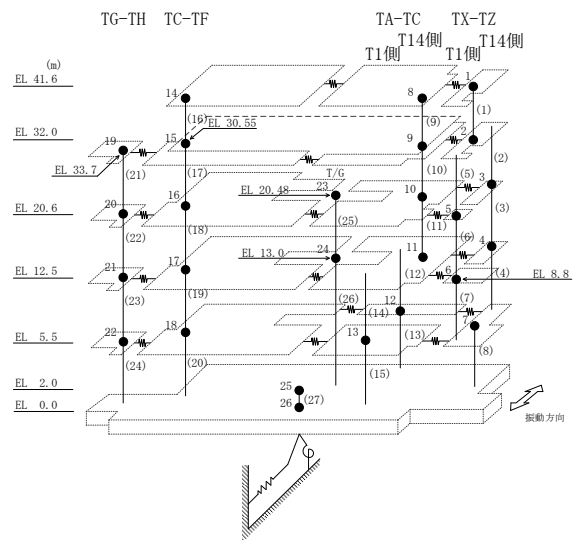
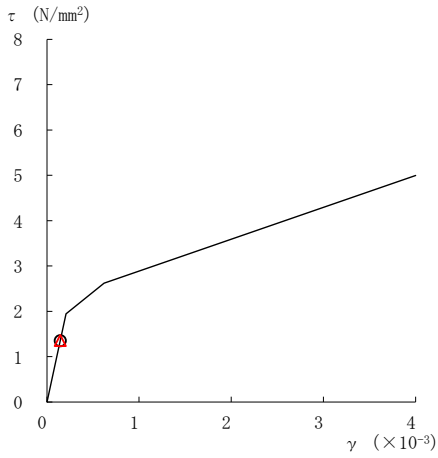
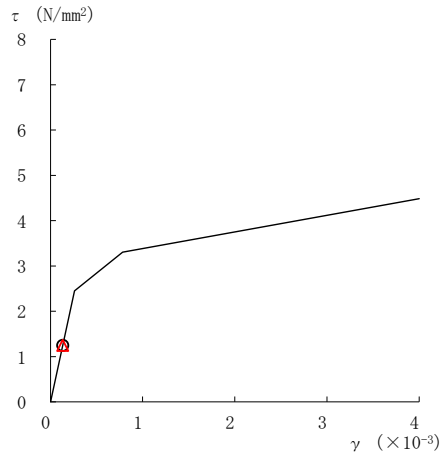


図 2-299(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

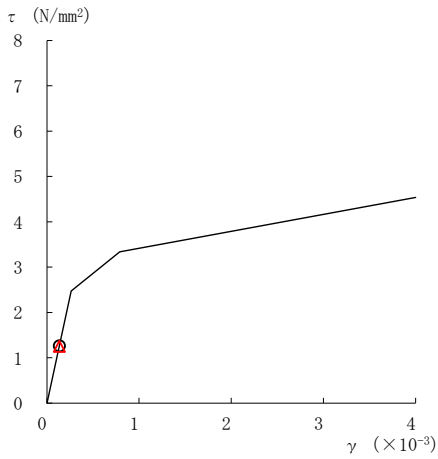
○ ケース 1 △ ケース 4



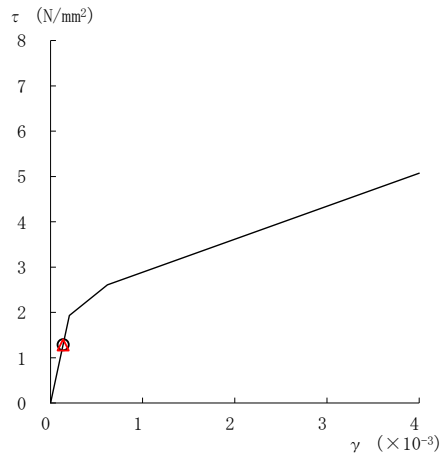
要素番号 (11)



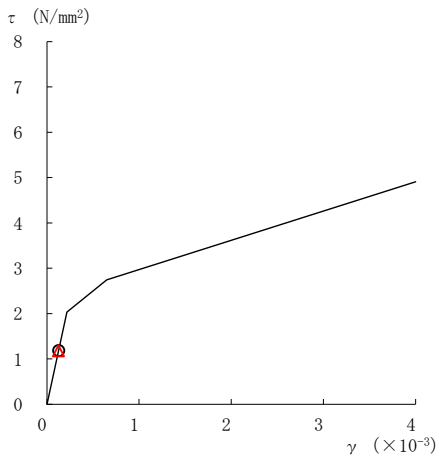
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

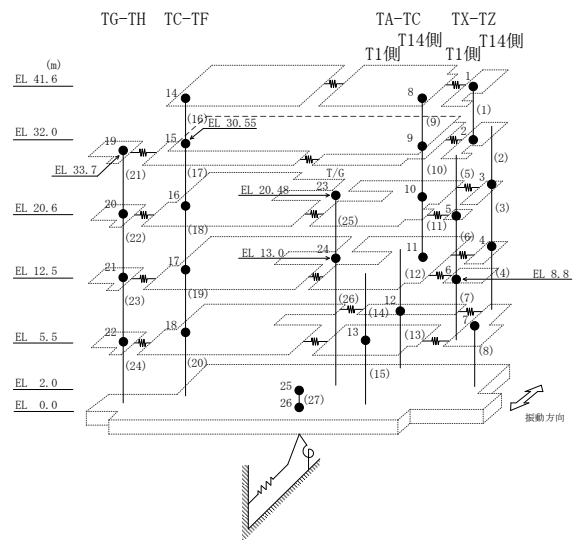
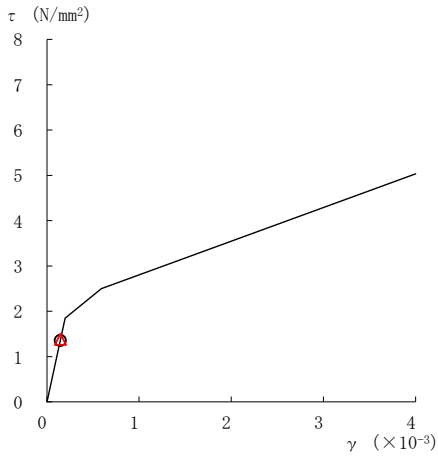
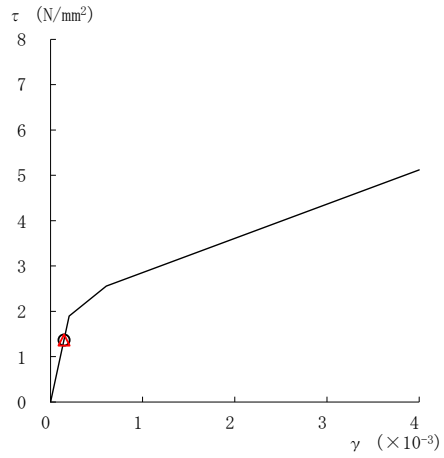


図 2-299(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

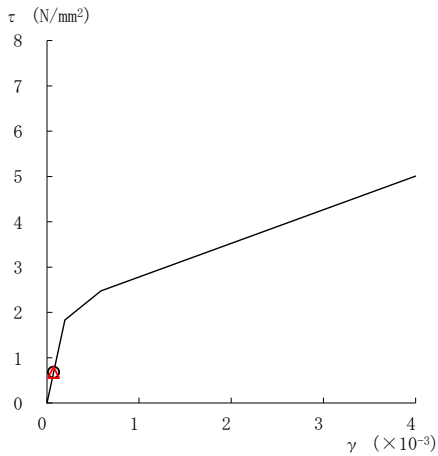
○ ケース 1 △ ケース 4



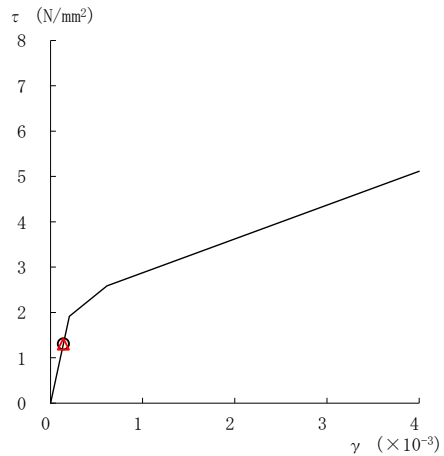
要素番号 (16)



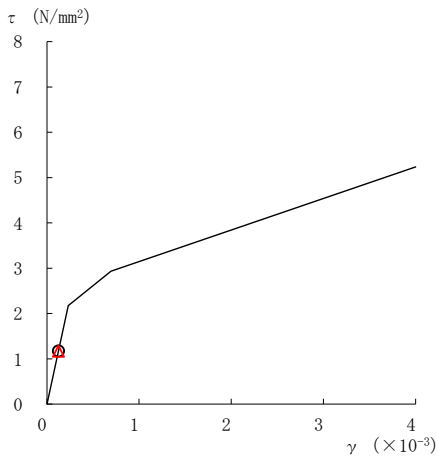
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

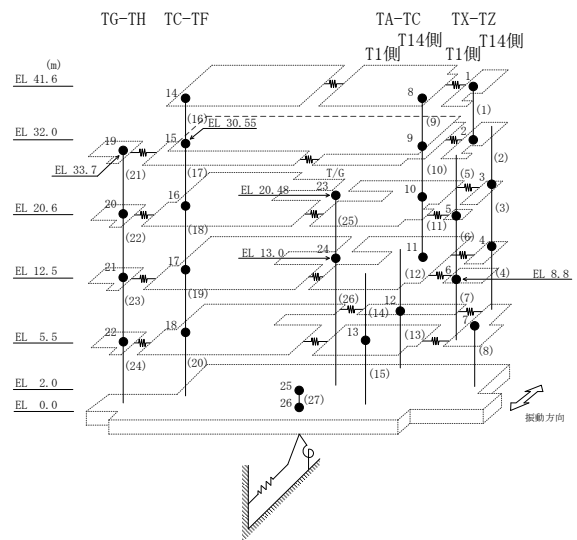
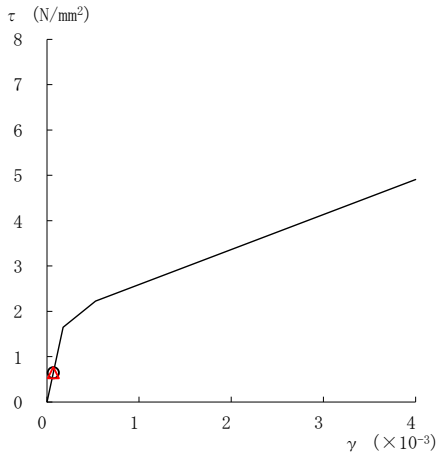
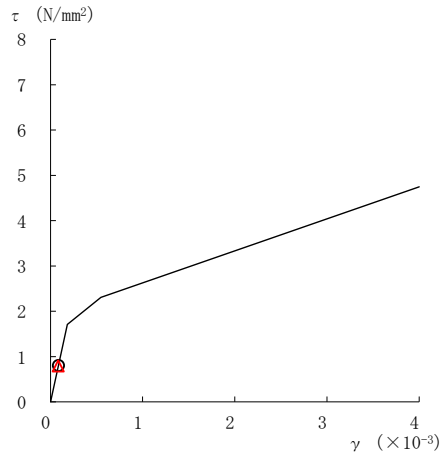


図 2-299(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 E W, E W 方向)

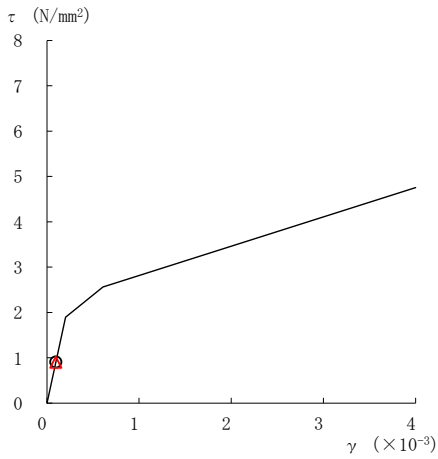
○ ケース 1 △ ケース 4



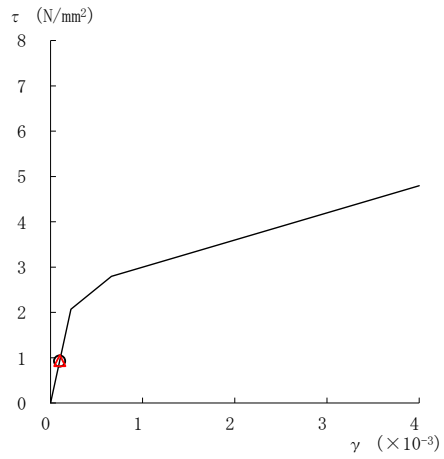
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

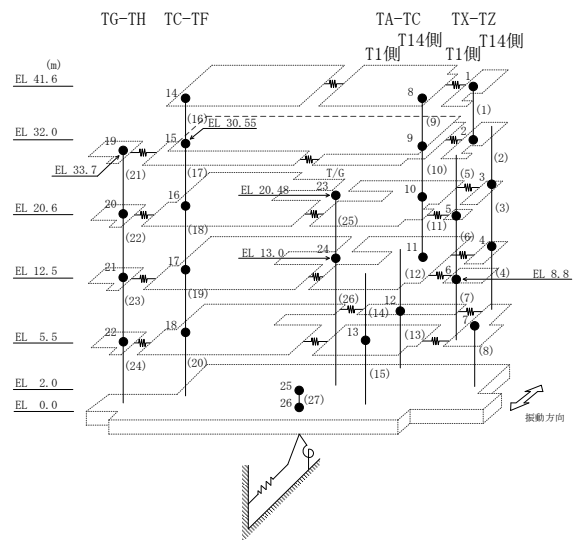
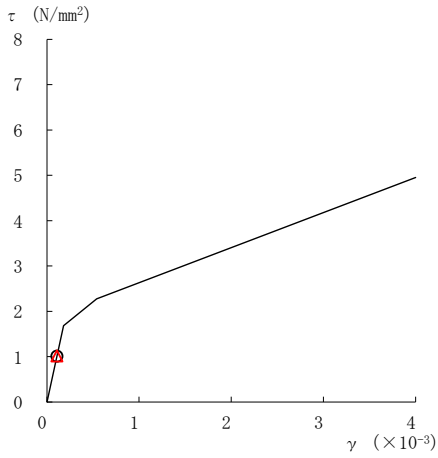
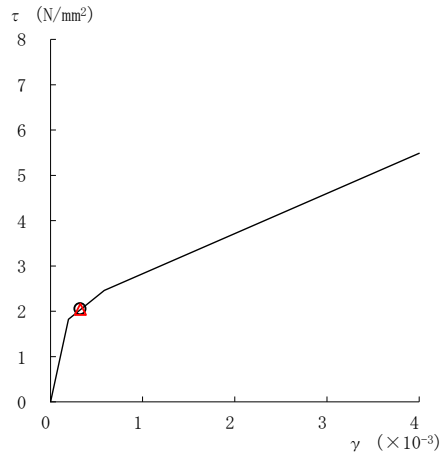


図 2-299(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - N 2 EW, EW方向)

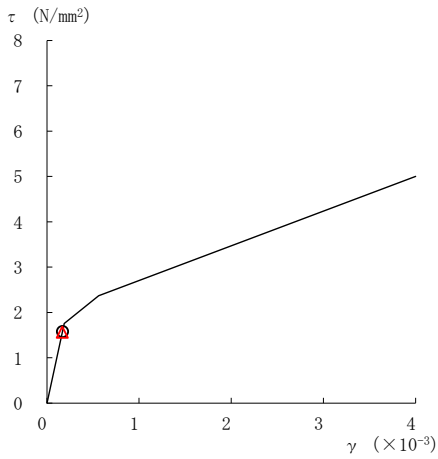
○ ケース 1 △ ケース 4



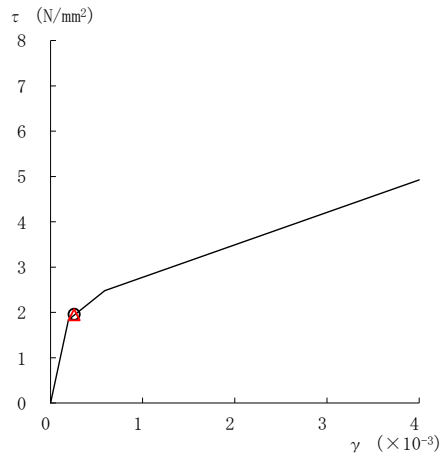
要素番号 (1)



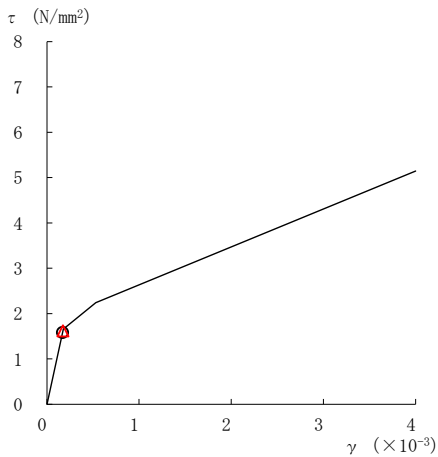
要素番号 (2)



要素番号 (3)



要素番号 (4)



要素番号 (5)

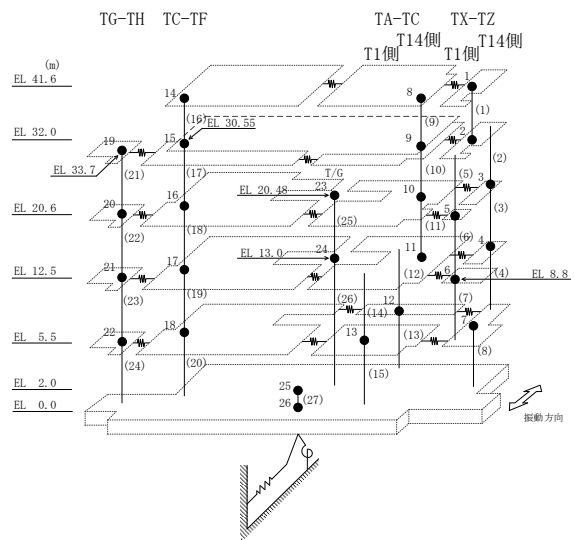
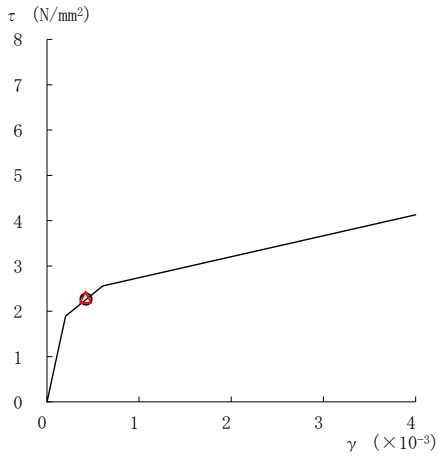
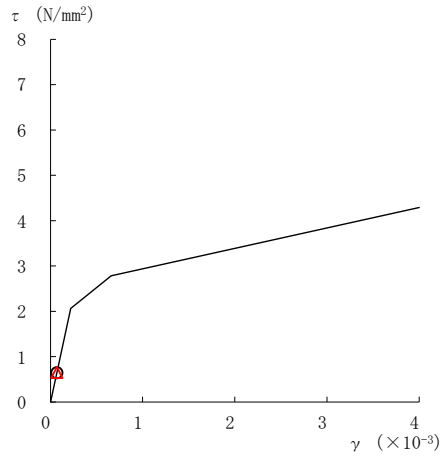


図 2-300(1) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

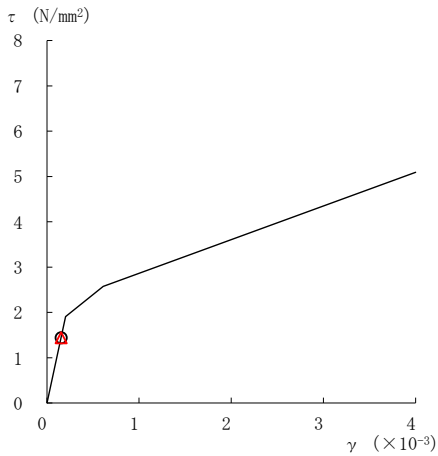
○ ケース 1 △ ケース 4



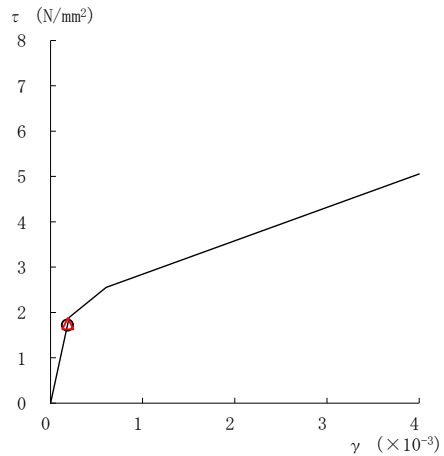
要素番号 (6)



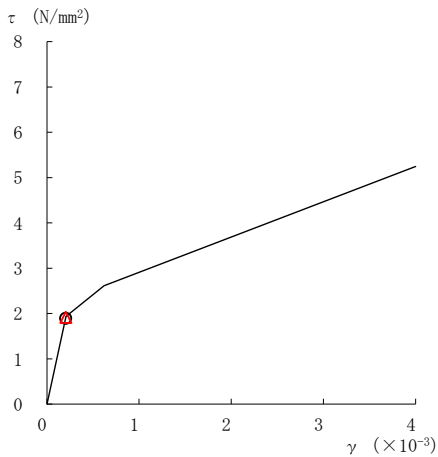
要素番号 (7)



要素番号 (8)



要素番号 (9)



要素番号 (10)

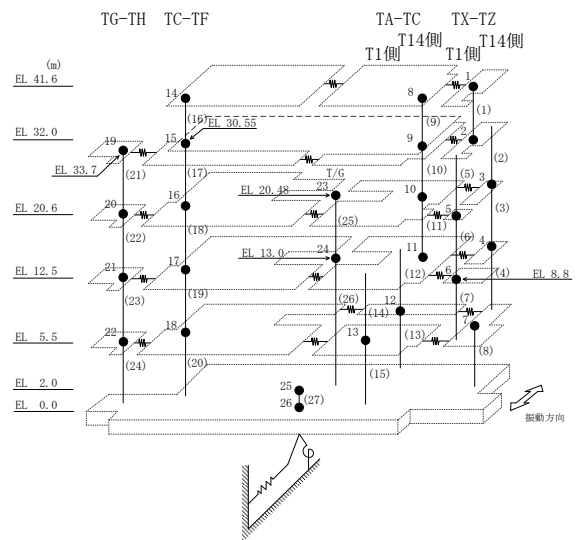
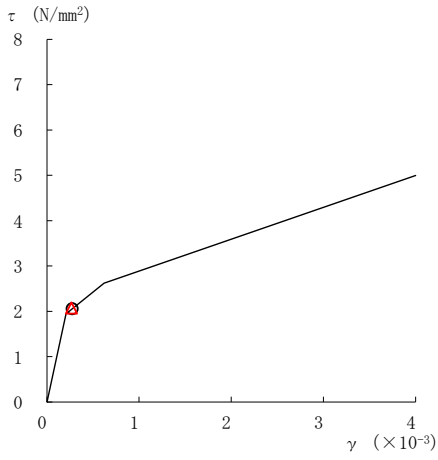
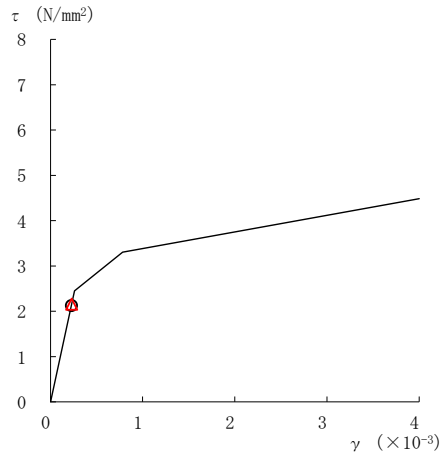


図 2-300(2) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

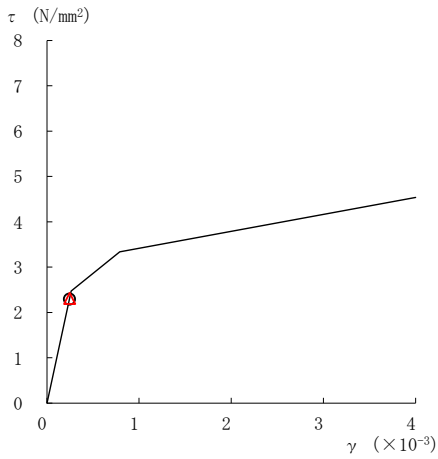
○ ケース 1 △ ケース 4



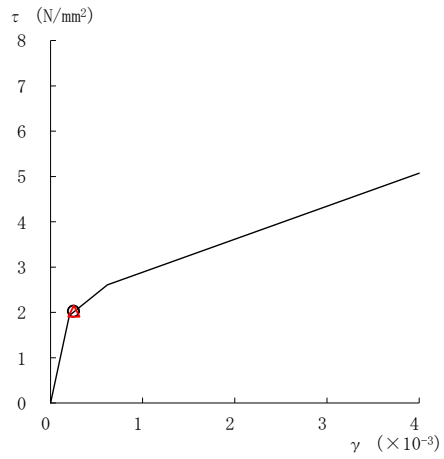
要素番号 (11)



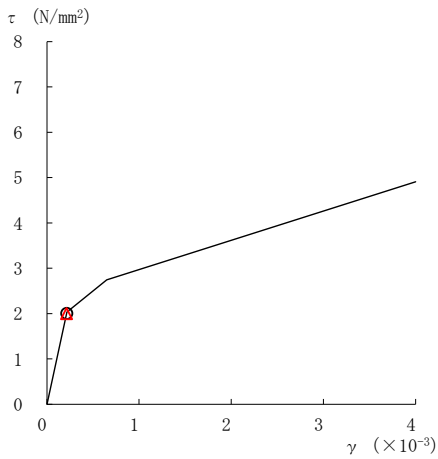
要素番号 (12)



要素番号 (13)



要素番号 (14)



要素番号 (15)

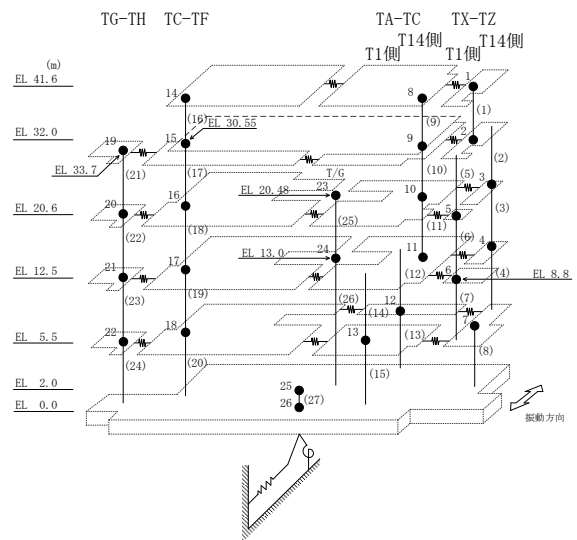
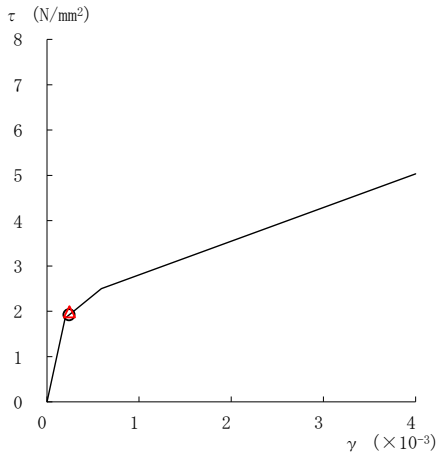
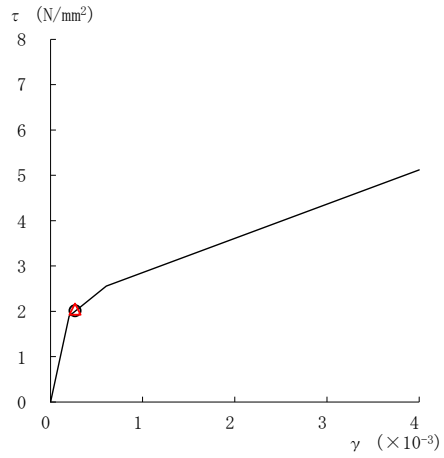


図 2-300(3) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

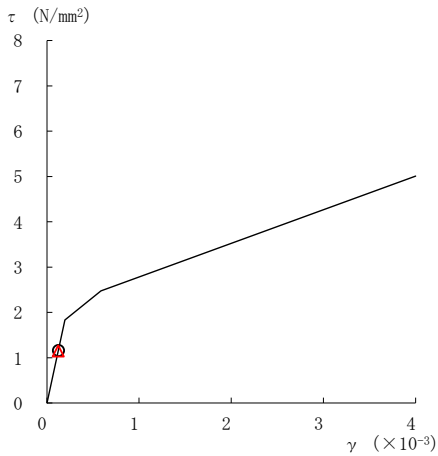
○ ケース 1 △ ケース 4



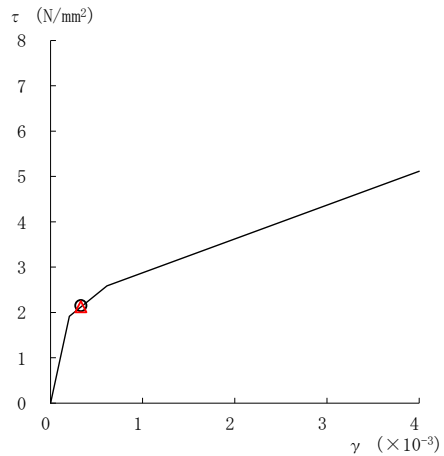
要素番号 (16)



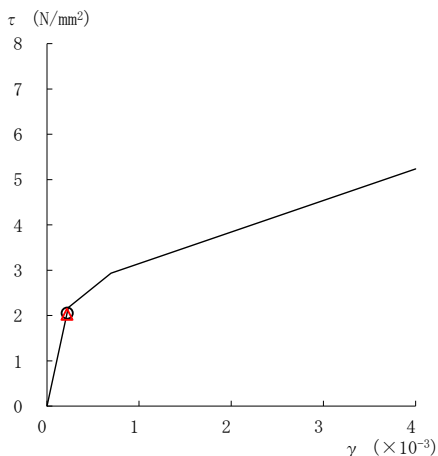
要素番号 (17)



要素番号 (18)



要素番号 (19)



要素番号 (20)

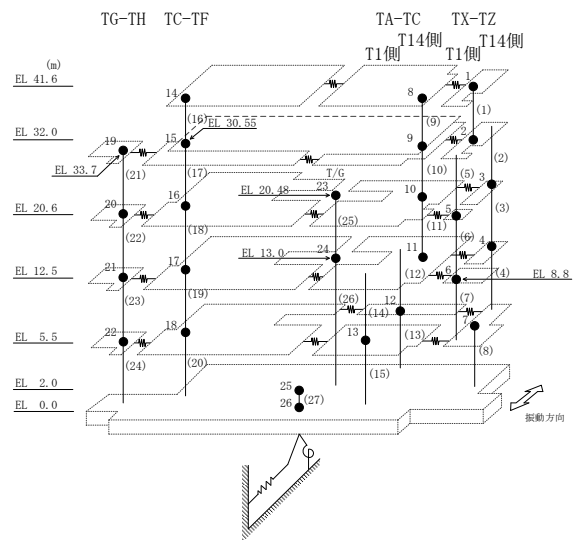
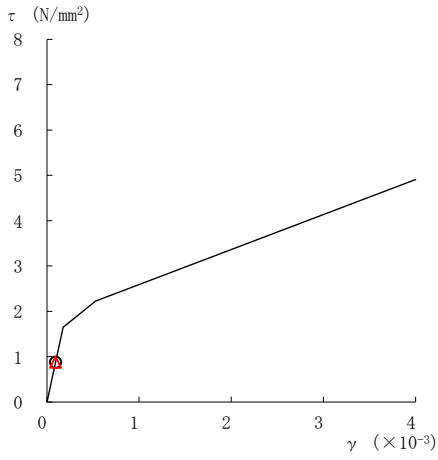
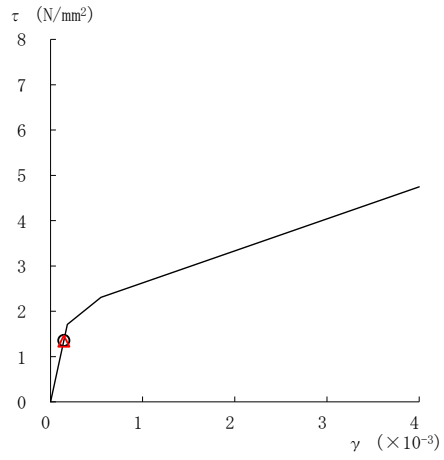


図 2-300(4) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

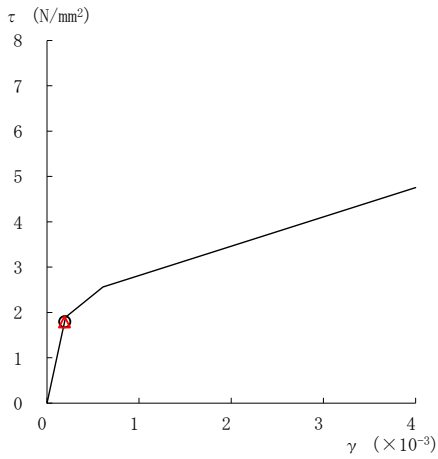
○ ケース 1 △ ケース 4



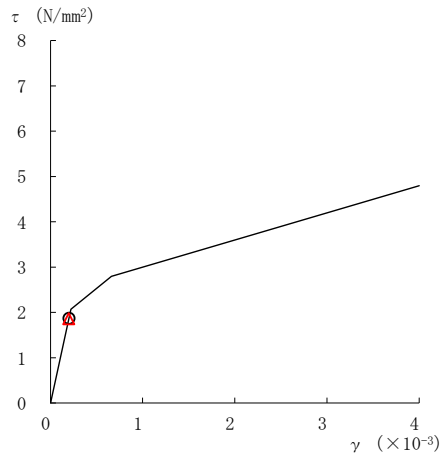
要素番号 (21)



要素番号 (22)



要素番号 (23)



要素番号 (24)

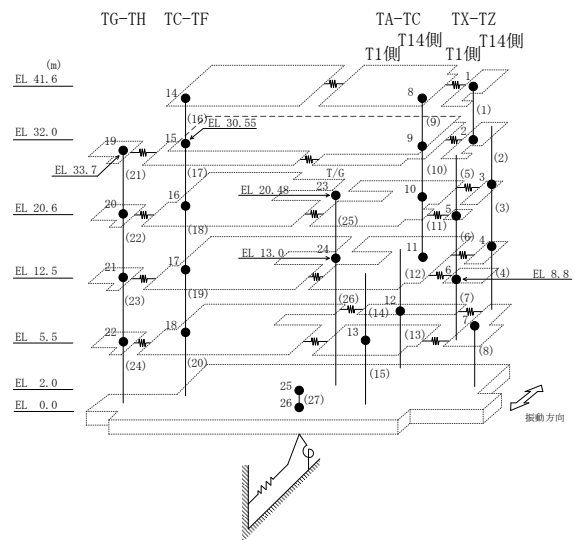


図 2-300(5) せん断スケルトン曲線上の最大応答値
(弾性設計用地震動 S d - 1, E W 方向)

表 2-261 弾性設計用地震動 S d による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 1)

(a) NS方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.464	11.8	100
S d - F 1	0.427	9.66	100
S d - F 2	0.409	8.20	100
S d - N 2 N S	0.444	10.4	100
S d - N 2 E W	0.453	11.1	100
S d - 1	0.511	15.9	100

(b) EW方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.448	20.9	100
S d - F 1	0.414	17.2	100
S d - F 2	0.405	15.5	100
S d - N 2 N S	0.375	10.2	100
S d - N 2 E W	0.403	14.3	100
S d - 1	0.455	22.7	100

表 2-262 弾性設計用地震動 S d による地震応答解析結果に基づく接地率 (ケース 4)

(a) N S 方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.464	11.8	100
S d - F 1	0.426	9.54	100
S d - F 2	0.415	8.53	100
S d - N 2 N S	0.447	10.6	100
S d - N 2 E W	0.452	11.0	100
S d - 1	0.510	15.8	100

(b) E W 方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 ($\times 10^3 \text{kN/m}^2$)	最大転倒モーメント ($\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$)	最小接地率 (%)
S d - D	0.448	21.0	100
S d - F 1	0.414	17.3	100
S d - F 2	0.406	15.5	100
S d - N 2 N S	0.376	10.2	100
S d - N 2 E W	0.404	14.3	100
S d - 1	0.455	22.7	100

3. まとめ

前章で実施した地盤物性の不確かさ及び積雪荷重との組合せを考慮した地震応答解析結果を基本ケースと併せて以下に示す。

基準地震動 S_s に対する地震応答解析結果を表 3-1～表 3-11 に、弾性設計用地震動 S_d に対する地震応答解析結果を表 3-12～表 3-22 に示す。

表 3-1(1) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1824	1794	1952	1858	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	1217	1231	1360	1246	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	995	955	992	1003	1113	999	1078	1121
	9.0	4	1012	971	929	1014	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	2085	2120	2179	2064	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1599	1563	1721	1615	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	3132	3166	3157	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1476	1486	1544	1441	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2015	2138	2052	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	1077	1061	1161	1092	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	985	956	1062	994	985	956	1062	994
	5.5	12	1183	1041	1250	1206	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2549	2983	2749	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	2319	2258	2421	2337	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1466	1528	1607	1449	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	1106	1149	1159	1095	1217	1208	1260	1219
	5.5	21	1029	980	1001	1035	1029	980	1001	1035
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3868	3746	4046	3832	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	2064	1949	2182	2078	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	1430	1428	1576	1429	1430	1428	1576	1429
	5.5	17	1037	962	1166	1037	1037	962	1166	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2969	2824	2914	2923	2969	2824	2914	2923
	32.0	24	1902	1773	2021	1857	1902	1782	2021	1868
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2482	2566	2428	2371	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	1481	1431	1524	1451	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	1072	1064	1212	1059	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	927	852	1012	928	927	852	1012	928
T14	41.6	28	2478	2378	2392	2363	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1415	1362	1470	1353	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	1053	991	1120	1059	1053	991	1120	1059
	12.5	31	915	896	934	911	915	896	934	911
	2.0	34	947	878	960	948	947	878	960	948

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-1 (2) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	2095	1995	1962	2104	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	1363	1333	1270	1338	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	1113	983	1078	1121	1113	999	1078	1121
	9.0	4	1067	944	1032	1071	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	2376	2264	2161	2316	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1401	1352	1560	1425	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2958	2935	3061	2954	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1568	1535	1439	1521	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2125	2110	2062	2150	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	905	940	955	875	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	740	722	829	749	985	956	1062	994
	5.5	12	663	668	753	667	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2475	2448	2506	2425	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1555	1486	1695	1571	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1633	1610	1744	1632	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	1217	1208	1260	1219	1217	1208	1260	1219
	5.5	21	765	732	748	768	1029	980	1001	1035
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3888	3919	3666	3801	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	1668	1680	1714	1663	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	1219	1285	1227	1212	1430	1428	1576	1429
	5.5	17	823	869	783	826	1037	962	1166	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2246	2144	2330	2278	2969	2824	2914	2923
	32.0	24	1454	1513	1529	1498	1902	1782	2021	1868
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2240	2327	2035	2202	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	1048	1044	1084	1066	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	839	837	837	854	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	665	669	649	662	927	852	1012	928
T14	41.6	28	1499	1571	1584	1518	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1300	1298	1253	1312	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	940	959	900	943	1053	991	1120	1059
	12.5	31	763	768	726	771	915	896	934	911
	2.0	34	667	667	641	668	947	878	960	948

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-1 (3) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S s, N S 方向)

(c) S s - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Ss-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1625	1715	1684	1624	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	1220	1323	1253	1237	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	1003	999	1040	1012	1113	999	1078	1121
	9.0	4	887	892	906	886	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	1866	1764	1889	1833	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1379	1339	1305	1333	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2963	2896	2887	2976	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1580	1660	1558	1554	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2052	2069	2306	2246	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	1043	1015	1079	1023	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	816	780	872	806	985	956	1062	994
	5.5	12	774	841	828	750	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	3048	2843	3236	3061	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1574	1533	1524	1568	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1417	1424	1561	1438	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	1041	1071	1134	1019	1217	1208	1260	1219
	5.5	21	649	621	680	648	1029	980	1001	1035
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3319	3300	3377	3350	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	1494	1508	1560	1544	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	1114	1212	995	1103	1430	1428	1576	1429
	5.5	17	815	821	775	816	1037	962	1166	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2091	1970	2281	2095	2969	2824	2914	2923
	32.0	24	1870	1782	1734	1868	1902	1782	2021	1868
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2487	2452	2487	2474	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	976	926	985	963	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	756	721	788	757	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	640	648	708	641	927	852	1012	928
T14	41.6	28	1762	1735	1956	1771	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1267	1246	1168	1224	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	871	898	887	862	1053	991	1120	1059
	12.5	31	733	731	712	720	915	896	934	911
	2.0	34	576	588	621	577	947	878	960	948

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-1(4) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1224	1221	1285	1221	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	874	792	950	869	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	903	892	890	903	1113	999	1078	1121
	9.0	4	893	876	878	886	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	1503	1385	1626	1557	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1265	1211	1348	1272	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1670	1618	1687	1681	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1202	1171	1188	1176	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1224	1259	1305	1228	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	832	820	879	829	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	807	787	851	806	985	956	1062	994
	5.5	12	863	833	897	869	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1639	1509	1749	1637	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1368	1244	1511	1364	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1063	1028	1138	1045	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	870	863	908	867	1217	1208	1260	1219
	5.5	21	732	713	737	730	1029	980	1001	1035
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1876	1799	1950	1920	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	912	894	937	911	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	858	829	925	858	1430	1428	1576	1429
	5.5	17	714	689	728	717	1037	962	1166	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1438	1345	1532	1451	2969	2824	2914	2923
	32.0	24	1014	1033	1141	1048	1902	1782	2021	1868
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1714	1628	1909	1732	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	781	764	789	792	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	702	671	715	711	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	685	672	726	689	927	852	1012	928
T14	41.6	28	1500	1471	1492	1513	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1080	1044	1140	1091	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	936	886	987	950	1053	991	1120	1059
	12.5	31	819	801	828	823	915	896	934	911
	2.0	34	640	648	649	641	947	878	960	948

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-1(5) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1396	1316	1431	1406	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	943	951	977	942	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	695	757	752	691	1113	999	1078	1121
	9.0	4	622	638	666	618	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	1536	1321	1737	1595	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1063	1166	1242	1089	1599	1563	1721	1615
T4-T6(TA側)	41.6	7	1896	1968	2031	1959	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1188	1163	1225	1184	1580	1660	1558	1554
T4-T6(TF側)	33.7	8	1540	1636	1572	1515	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	754	776	751	755	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	628	616	672	621	985	956	1062	994
	5.5	12	750	687	807	742	1183	1041	1250	1206
T7-T10(TA側)	41.6	13	1989	2175	2231	1979	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1273	1316	1423	1353	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	939	885	1054	921	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	626	688	753	639	1217	1208	1260	1219
	5.5	21	593	523	612	593	1029	980	1001	1035
T7-T10(TF側)	30.55	14	1938	2203	2133	1987	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	1020	1063	1138	1049	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	945	880	841	947	1430	1428	1576	1429
	5.5	17	600	624	610	604	1037	962	1166	1037
T11-T13(TA側)	41.6	22	1820	1605	1893	1863	2969	2824	2914	2923
	32.0	24	1408	1303	1195	1402	1902	1782	2021	1868
T11-T13(TF側)	30.55	23	1757	2085	1816	1741	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	854	787	862	838	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	679	655	723	681	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	581	561	623	578	927	852	1012	928
T14	41.6	28	1243	1381	1483	1284	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	1052	996	1137	1062	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	770	804	851	773	1053	991	1120	1059
	12.5	31	589	576	678	588	915	896	934	911
	2.0	34	577	551	603	578	947	878	960	948

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-1 (6) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1400	1455	1591	1405	2095	1995	1962	2104
	20.6	2	1012	1012	1119	999	1363	1333	1360	1338
	12.5	3	769	791	768	777	1113	999	1078	1121
	9.0	4	748	760	671	746	1067	971	1032	1071
T3	41.6	5	1642	1703	1585	1597	2376	2264	2179	2316
	33.7	6	1195	1197	1178	1187	1599	1563	1721	1615
T4-T6 (TA側)	41.6	7	2031	2028	2090	2024	3183	3132	3166	3157
	32.0	9	1195	1230	1215	1145	1580	1660	1558	1554
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1699	1853	1875	1762	2125	2110	2306	2246
T3-T6	20.6	10	847	806	751	833	1077	1061	1161	1092
	12.5	11	669	659	704	666	985	956	1062	994
	5.5	12	583	656	581	545	1183	1041	1250	1206
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2116	2103	2218	2072	3048	2843	3236	3061
	32.0	18	1195	1313	1202	1191	2319	2258	2421	2337
	20.6	19	1373	1341	1576	1367	1633	1610	1744	1632
	12.5	20	1009	1037	1122	1000	1217	1208	1260	1219
	5.5	21	658	740	595	662	1029	980	1001	1035
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2628	2669	2666	2564	3888	3919	4046	3832
	20.6	15	1117	1134	1208	1127	2064	1949	2182	2078
	12.5	16	1102	1037	955	1116	1430	1428	1576	1429
	5.5	17	684	741	646	686	1037	962	1166	1037
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1590	1547	1529	1617	2969	2824	2914	2923
	32.0	24	1338	1477	1252	1352	1902	1782	2021	1868
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2559	2658	2410	2508	2559	2658	2487	2508
T11-T13	20.6	25	927	887	840	927	1481	1431	1524	1451
	12.5	26	651	710	656	649	1072	1064	1212	1059
	5.5	27	577	620	570	574	927	852	1012	928
T14	41.6	28	1340	1399	1410	1353	2478	2378	2392	2363
	30.55	29	970	971	942	978	1415	1362	1470	1353
	20.6	30	714	717	685	711	1053	991	1120	1059
	12.5	31	663	729	590	662	915	896	934	911
	2.0	34	573	646	564	572	947	878	960	948

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-2(1) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Ss-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	10.33	10.18	12.50	10.61	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	7.28	7.16	9.05	7.47	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	5.33	5.24	6.77	5.47	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	4.57	4.49	5.95	4.70	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	14.92	13.93	18.16	14.94	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	10.87	10.72	13.16	11.16	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6(TA側)	41.6	7	21.08	19.63	22.86	20.80	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	11.54	11.32	14.16	11.78	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6(TF側)	33.7	8	14.93	14.46	17.55	15.23	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	6.42	6.33	8.04	6.58	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	5.22	5.16	6.66	5.35	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.87	1.56	2.50	1.88	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10(TA側)	41.6	13	37.40	32.59	41.47	37.20	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	24.81	21.60	27.66	24.62	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	11.51	9.93	12.89	11.36	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	5.15	4.41	6.03	5.07	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.88	1.52	2.74	1.90	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10(TF側)	30.55	14	24.75	22.75	25.49	24.05	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	13.26	12.62	15.51	13.54	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	6.72	6.58	8.35	6.93	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	3.31	2.86	3.97	3.33	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13(TA側)	41.6	22	30.02	26.93	33.79	30.12	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	16.73	14.76	19.10	16.60	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13(TF側)	30.55	23	19.29	17.99	20.91	19.25	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	5.27	4.45	5.70	5.22	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	3.54	2.79	3.91	3.50	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	2.09	1.53	2.58	2.06	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	19.87	17.27	23.12	19.93	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	11.51	10.34	13.14	11.48	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	5.66	4.96	6.70	5.61	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.92	2.50	3.33	2.86	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	1.12	0.79	1.83	1.12	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-2(2) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	6.88	7.18	8.25	6.95	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	4.71	4.79	5.89	4.74	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	3.24	3.07	4.32	3.22	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	2.74	2.41	3.69	2.71	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	9.75	9.73	11.90	9.77	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	7.35	7.54	9.01	7.12	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6(TA側)	41.6	7	16.12	15.97	15.31	15.94	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	9.11	9.06	9.99	8.89	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6(TF側)	33.7	8	12.35	12.28	11.52	12.29	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	4.06	3.99	5.49	4.07	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	3.04	2.87	4.30	3.04	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.42	1.06	1.89	1.44	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10(TA側)	41.6	13	20.90	19.60	22.84	20.64	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	13.08	11.43	14.54	12.97	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	7.48	6.51	8.35	7.41	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	3.91	3.37	4.40	3.86	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.46	1.10	1.78	1.47	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10(TF側)	30.55	14	19.72	19.29	19.65	19.31	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	7.96	8.23	8.74	7.95	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	3.66	3.23	4.33	3.69	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	1.77	1.51	2.31	1.79	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13(TA側)	41.6	22	18.29	15.78	19.48	18.63	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	8.74	7.92	9.65	8.67	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13(TF側)	30.55	23	14.94	14.47	15.10	14.78	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	3.18	2.67	3.70	3.12	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	1.94	1.62	2.62	1.90	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.24	0.89	1.71	1.27	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	9.71	8.74	10.09	9.65	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	6.33	5.63	6.55	6.26	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	3.61	3.26	4.09	3.56	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	1.89	1.72	2.60	1.91	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.87	0.54	1.24	0.88	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-2(3) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	8.61	7.75	9.12	8.42	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	6.28	5.64	6.72	6.08	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	4.65	4.11	5.01	4.40	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	3.96	3.46	4.30	3.70	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	12.16	10.69	14.15	12.74	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	9.17	8.11	9.66	8.92	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6(TA側)	41.6	7	18.03	16.31	20.19	18.97	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	10.79	9.85	12.30	11.21	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6(TF側)	33.7	8	12.91	11.56	13.86	12.78	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	5.98	5.25	6.31	5.74	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	4.74	4.11	5.04	4.48	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.55	1.26	1.88	1.56	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10(TA側)	41.6	13	32.08	27.53	34.92	32.20	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	17.76	14.91	19.02	17.50	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	7.37	6.59	7.70	7.45	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	3.99	3.63	4.69	4.03	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.79	1.32	2.19	1.80	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10(TF側)	30.55	14	19.74	18.02	22.28	20.41	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	8.99	7.93	9.42	8.99	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	4.26	3.66	4.52	4.15	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	2.05	1.41	2.18	2.11	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13(TA側)	41.6	22	16.81	14.85	19.41	17.49	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	8.96	6.75	9.84	9.16	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13(TF側)	30.55	23	16.13	14.23	17.46	16.43	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	3.45	2.99	4.17	3.53	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	2.41	1.96	2.82	2.42	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.46	1.06	1.75	1.46	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	10.06	8.79	11.90	10.45	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	6.73	5.70	8.07	6.98	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	4.01	3.21	4.92	4.14	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.28	1.71	2.86	2.29	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.88	0.54	1.28	0.88	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-2(4) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	10.49	9.06	12.29	10.57	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	7.78	6.54	9.22	7.78	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	6.05	4.94	7.27	6.03	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	5.29	4.24	6.43	5.26	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	15.05	12.81	17.77	15.61	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	11.55	9.93	13.57	11.73	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6(TA側)	41.6	7	20.19	17.85	22.96	20.85	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	13.79	12.08	15.88	14.09	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6(TF側)	33.7	8	13.07	11.60	15.20	13.36	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	7.59	6.44	9.01	7.59	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	6.21	5.16	7.53	6.20	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.74	1.21	2.45	1.78	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10(TA側)	41.6	13	28.68	25.49	32.81	29.96	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	19.62	17.29	22.53	20.43	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	9.99	8.79	11.62	10.30	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	5.35	4.47	6.32	5.43	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.97	1.39	2.53	1.97	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10(TF側)	30.55	14	23.50	21.15	26.06	24.05	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	10.18	8.84	11.65	10.24	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	5.55	4.70	6.87	5.59	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	2.42	1.83	3.17	2.43	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13(TA側)	41.6	22	21.02	18.01	24.41	21.95	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	12.08	10.19	14.47	12.62	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13(TF側)	30.55	23	15.80	13.99	18.09	16.13	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	4.85	3.99	5.76	4.90	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	3.14	2.43	3.96	3.17	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.73	1.14	2.44	1.75	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	11.78	9.70	14.39	12.23	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	7.97	6.58	9.71	8.19	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	5.00	4.04	6.06	5.10	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.96	2.27	3.64	2.99	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.89	0.42	1.36	0.88	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-2(5) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Ss-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	7.87	6.88	9.19	7.92	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	5.21	4.32	6.34	5.20	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	3.51	2.77	4.58	3.49	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	2.82	2.19	3.87	2.79	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	11.23	9.38	13.61	11.61	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	8.68	7.53	10.21	8.77	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6(TA側)	41.6	7	15.59	13.00	17.98	16.05	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	10.49	8.78	12.09	10.69	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6(TF側)	33.7	8	9.53	9.11	11.34	9.62	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	5.24	4.31	6.24	5.23	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	4.04	3.16	4.95	4.03	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.67	1.02	2.07	1.66	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10(TA側)	41.6	13	22.63	21.15	26.13	23.02	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	15.16	13.63	18.72	15.83	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	8.23	6.40	10.33	8.45	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	4.48	3.35	5.70	4.53	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.75	1.06	2.32	1.74	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10(TF側)	30.55	14	18.49	15.71	21.78	19.15	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	6.52	5.83	7.68	6.61	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	3.78	2.94	4.27	3.80	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	1.95	1.20	2.29	1.95	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13(TA側)	41.6	22	17.70	13.85	21.17	18.50	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	10.35	8.09	12.29	10.70	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13(TF側)	30.55	23	14.63	12.64	16.44	14.90	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	4.41	3.48	5.05	4.43	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	2.93	2.15	3.40	2.94	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.68	1.01	2.04	1.68	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	11.47	9.21	13.95	11.89	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	7.85	6.23	9.50	8.08	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	4.81	3.68	5.78	4.89	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.81	1.98	3.36	2.82	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.96	0.38	1.55	0.95	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-2(6) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	6.53	6.23	7.17	6.43	10.49	10.18	12.50	10.61
	20.6	2	4.10	3.91	5.02	4.01	7.78	7.16	9.22	7.78
	12.5	3	2.54	2.44	3.51	2.50	6.05	5.24	7.27	6.03
	9.0	4	1.95	1.85	2.90	1.93	5.29	4.49	6.43	5.26
T3	41.6	5	9.48	9.30	10.60	9.21	15.05	13.93	18.16	15.61
	33.7	6	7.11	6.86	8.00	7.00	11.55	10.72	13.57	11.73
T4-T6(TA側)	41.6	7	14.34	14.18	15.93	14.20	21.08	19.63	22.96	20.85
	32.0	9	8.61	8.49	9.86	8.48	13.79	12.08	15.88	14.09
T4-T6(TF側)	33.7	8	9.49	9.61	10.70	9.50	14.93	14.46	17.55	15.23
T3-T6	20.6	10	4.00	3.69	4.65	3.92	7.59	6.44	9.01	7.59
	12.5	11	2.88	2.58	3.48	2.82	6.21	5.16	7.53	6.20
	5.5	12	1.18	0.87	1.83	1.17	1.87	1.56	2.50	1.88
T7-T10(TA側)	41.6	13	21.82	22.01	25.72	21.91	37.40	32.59	41.47	37.20
	32.0	18	13.91	14.04	16.81	13.94	24.81	21.60	27.66	24.62
	20.6	19	6.45	6.47	8.15	6.44	11.51	9.93	12.89	11.36
	12.5	20	3.45	3.34	4.93	3.46	5.35	4.47	6.32	5.43
	5.5	21	1.24	1.12	2.29	1.24	1.97	1.52	2.74	1.97
T7-T10(TF側)	30.55	14	17.75	17.79	19.01	17.59	24.75	22.75	26.06	24.05
	20.6	15	6.62	6.54	7.23	6.55	13.26	12.62	15.51	13.54
	12.5	16	3.13	2.99	3.63	3.12	6.72	6.58	8.35	6.93
	5.5	17	1.30	0.98	1.79	1.30	3.31	2.86	3.97	3.33
T11-T13(TA側)	41.6	22	15.82	14.87	19.43	16.52	30.02	26.93	33.79	30.12
	32.0	24	8.88	8.17	10.84	9.12	16.73	14.76	19.10	16.60
T11-T13(TF側)	30.55	23	15.17	14.95	16.65	15.34	19.29	17.99	20.91	19.25
T11-T13	20.6	25	3.76	3.32	4.40	3.76	5.27	4.45	5.76	5.22
	12.5	26	2.35	1.97	2.95	2.34	3.54	2.79	3.96	3.50
	5.5	27	1.22	0.89	1.78	1.21	2.09	1.53	2.58	2.06
T14	41.6	28	9.73	9.05	11.61	10.03	19.87	17.27	23.12	19.93
	30.55	29	6.54	6.03	7.83	6.68	11.51	10.34	13.14	11.48
	20.6	30	3.92	3.51	4.83	3.97	5.66	4.96	6.70	5.61
	12.5	31	2.21	1.86	2.90	2.22	2.96	2.50	3.64	2.99
	2.0	34	0.62	0.35	1.25	0.62	1.12	0.79	1.83	1.12

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-3(1) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(a) S_s-D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	4.47	4.62	4.34	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	6.26	6.23	6.45	6.29	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	7.84	7.80	8.47	7.94	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	9.87	9.70	10.4	10.0	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	4.65	4.57	4.80	4.69	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	6.21	6.21	6.17	6.17	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.51	2.59	2.61	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.50	3.53	3.63	3.49	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.945	0.877	1.02	0.984	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	2.20	2.18	2.20	2.18	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	21.9	23.3	21.4	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	32.1	31.7	34.3	32.5	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	36.3	36.2	37.7	36.4	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.62	5.99	5.79	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	6.71	6.44	7.07	6.69	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	7.29	7.72	7.71	7.22	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	12.0	12.6	12.8	11.9	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	14.2	14.9	14.9	14.1	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.29	1.40	1.37	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	3.05	3.06	3.14	3.10	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.77	2.76	2.80	2.77	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	5.59	5.56	5.79	5.64	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	8.01	7.80	8.16	8.01	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.56	2.61	2.57	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	7.37	7.09	7.48	7.32	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.421	0.424	0.409	0.403	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.41	1.43	1.40	1.35	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	18.3	17.8	18.4	18.1	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	23.8	23.3	23.6	23.6	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	27.5	27.0	28.7	27.3	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	3.62	3.35	3.83	3.65	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	4.68	4.55	4.77	4.69	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	4.61	4.47	4.75	4.60	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	5.54	5.48	5.92	5.47	5.70	5.48	6.11	5.75

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-3(2) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(b) S_s-F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			S _s -F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.55	3.62	3.35	3.57	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	5.71	5.70	5.52	5.67	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	6.70	6.88	6.79	6.63	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	8.21	8.41	8.63	8.16	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	4.18	4.19	4.15	4.19	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.75	5.86	5.62	5.70	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.50	2.58	2.56	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.44	3.48	3.23	3.36	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.711	0.686	0.773	0.693	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	2.16	2.18	2.15	2.17	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	20.7	21.9	19.1	20.0	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	26.3	27.1	27.6	26.4	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	30.2	30.4	32.1	30.2	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.35	5.22	5.57	5.39	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	6.18	6.24	6.12	6.05	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	7.56	7.23	8.11	7.59	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	12.6	12.2	12.8	12.5	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	13.7	13.4	13.5	13.6	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.05	1.05	0.968	1.03	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	2.72	2.76	2.58	2.65	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.66	2.72	2.67	2.65	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	4.64	4.72	4.83	4.66	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	6.64	6.58	6.99	6.69	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.41	2.36	2.54	2.47	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	5.72	5.56	5.79	5.62	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.396	0.420	0.355	0.388	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.25	1.27	1.18	1.24	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	12.9	11.9	12.8	12.7	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	16.7	15.6	16.2	16.3	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	18.5	17.6	18.6	18.0	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.67	2.37	2.76	2.70	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.23	3.10	3.27	3.22	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	3.67	3.60	3.74	3.73	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	4.47	4.51	4.58	4.51	5.70	5.48	6.11	5.75

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-3(3) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(c) S_s-F2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			S _s -F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.66	3.46	3.80	3.70	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	5.40	5.39	5.46	5.44	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	7.32	6.98	7.39	7.36	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	9.28	8.95	9.46	9.38	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.90	3.59	4.07	4.08	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.77	5.55	5.83	5.94	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.44	2.30	2.59	2.46	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.66	3.50	3.60	3.65	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.806	0.676	0.864	0.800	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	2.10	1.95	2.09	2.08	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	21.2	20.6	21.1	21.3	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	30.8	29.9	31.4	30.7	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	35.0	34.3	35.6	34.7	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.46	5.31	5.67	5.58	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	6.70	6.36	6.72	6.70	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	8.03	8.00	8.03	8.01	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	11.9	11.4	12.9	11.9	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	13.6	13.1	14.7	13.7	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.915	0.921	0.893	0.899	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	2.33	2.31	2.40	2.38	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.61	2.51	2.57	2.64	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	4.83	4.94	4.70	4.94	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	6.63	6.54	6.50	6.68	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.54	2.42	2.49	2.54	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	6.09	5.42	6.40	6.30	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.376	0.398	0.364	0.364	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.34	1.29	1.37	1.35	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	13.5	12.1	14.3	13.5	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	17.5	16.0	18.4	17.3	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	20.3	18.6	21.1	20.2	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.59	2.39	2.54	2.55	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.35	3.20	3.62	3.41	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	3.94	3.68	4.04	3.95	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	4.80	4.66	5.00	4.78	5.70	5.48	6.11	5.75

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-3(4) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(d) S_s-N1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			S _s -N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.52	3.30	3.80	3.64	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	5.80	5.46	6.12	5.89	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	7.91	7.59	8.39	7.95	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	10.3	10.0	10.6	10.3	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.68	3.42	3.94	3.83	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.52	5.40	5.74	5.67	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.52	1.70	1.69	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.49	3.35	3.53	3.48	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.541	0.484	0.596	0.571	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	1.86	1.83	1.91	1.88	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	22.7	21.9	23.6	23.0	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	33.9	32.8	34.8	34.1	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	39.9	38.4	40.9	40.0	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.62	3.42	3.89	3.68	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	5.50	5.36	5.63	5.60	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	6.76	6.64	7.06	6.70	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	10.7	10.5	11.1	10.6	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	13.2	12.9	13.6	13.1	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.292	0.277	0.323	0.304	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	1.61	1.50	1.68	1.60	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.38	2.38	2.43	2.39	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	5.00	4.87	5.21	5.00	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	7.08	6.94	7.33	7.09	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.02	1.91	2.02	2.04	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	6.06	5.89	6.37	6.17	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.178	0.154	0.228	0.196	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.01	0.944	1.13	1.03	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	17.5	16.4	18.2	17.7	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	22.1	21.1	23.5	22.3	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	27.1	25.8	28.5	27.3	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.65	2.37	2.87	2.74	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.23	2.93	3.57	3.32	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	4.09	3.83	4.34	4.15	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	5.70	5.45	6.11	5.75	5.70	5.48	6.11	5.75

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-3(5) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - N2NS$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.51	3.44	3.64	3.60	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	5.23	5.24	5.42	5.28	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	7.10	6.94	7.37	7.12	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	7.99	7.93	8.54	7.97	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.27	3.13	3.60	3.38	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.35	5.26	5.50	5.39	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.81	1.70	1.81	1.85	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.38	3.21	3.55	3.41	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.569	0.496	0.650	0.591	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	1.74	1.81	1.81	1.75	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	19.4	19.1	20.4	19.5	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	28.1	27.5	29.5	28.1	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	32.2	31.6	33.3	32.2	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	4.11	4.15	4.42	4.21	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	5.31	5.76	5.58	5.37	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	6.76	6.58	7.19	6.75	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	9.26	9.19	9.99	9.11	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	9.99	9.81	10.7	9.88	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.593	0.541	0.571	0.581	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	1.57	1.65	1.76	1.62	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.30	2.23	2.46	2.34	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	4.54	4.53	4.61	4.55	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	6.20	6.03	6.24	6.19	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.20	2.14	2.17	2.22	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	6.06	5.37	6.14	6.11	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.328	0.367	0.282	0.300	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	0.993	1.04	1.07	1.01	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	15.4	14.1	16.4	15.6	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	19.8	18.5	21.1	20.0	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	23.6	22.1	25.4	23.7	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.30	2.01	2.72	2.44	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.45	3.06	3.85	3.58	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	4.07	3.76	4.34	4.13	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	5.08	4.78	5.44	5.10	5.70	5.48	6.11	5.75

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-3(6) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - N2EW$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	3.24	3.15	3.03	3.22	4.37	4.47	4.62	4.34
	20.6~12.5	2	4.88	4.92	4.74	4.79	6.26	6.23	6.45	6.29
	12.5~9.0	3	6.16	6.27	6.07	5.99	7.91	7.80	8.47	7.95
	9.0~2.0	4	7.57	7.62	7.62	7.55	10.3	10.0	10.6	10.3
T3	41.6~33.7	5	3.28	3.32	3.38	3.24	4.65	4.57	4.80	4.69
	33.7~20.6	6	5.49	5.40	5.43	5.45	6.21	6.21	6.17	6.17
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.86	1.86	1.90	1.85	2.54	2.51	2.59	2.61
	32.0~20.6	8	3.03	3.07	3.09	3.01	3.66	3.53	3.63	3.65
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.553	0.532	0.563	0.538	0.945	0.877	1.02	0.984
	33.7~20.6	10	1.98	1.91	1.95	1.93	2.20	2.18	2.20	2.18
T3-T6	20.6~12.5	11	18.7	18.9	18.5	18.6	22.7	21.9	23.6	23.0
	12.5~5.5	12	25.7	25.8	25.4	25.7	33.9	32.8	34.8	34.1
	5.5~2.0	13	27.7	28.0	27.1	27.3	39.9	38.4	40.9	40.0
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	4.13	4.15	4.40	4.16	5.70	5.62	5.99	5.79
	32.0~20.6	15	5.13	5.25	5.47	5.16	6.71	6.44	7.07	6.70
	20.6~12.5	16	7.23	7.11	7.99	7.25	8.03	8.00	8.11	8.01
	12.5~5.5	17	12.0	12.1	13.2	11.9	12.6	12.6	13.2	12.5
	5.5~2.0	18	13.3	13.6	14.4	13.3	14.2	14.9	14.9	14.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.623	0.623	0.631	0.626	1.35	1.29	1.40	1.37
	30.55~20.6	20	2.04	2.06	2.08	1.99	3.05	3.06	3.14	3.10
	20.6~12.5	21	2.60	2.51	2.56	2.61	2.77	2.76	2.80	2.77
	12.5~5.5	22	4.78	4.69	4.61	4.81	5.59	5.56	5.79	5.64
	5.5~2.0	23	5.90	5.92	5.56	5.89	8.01	7.80	8.16	8.01
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.16	2.08	2.08	2.19	2.56	2.56	2.61	2.57
	32.0~20.6	25	5.68	5.38	5.90	5.77	7.37	7.09	7.48	7.32
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.402	0.399	0.388	0.400	0.421	0.424	0.409	0.403
	30.55~20.6	27	1.34	1.38	1.28	1.32	1.41	1.43	1.40	1.35
T11-T13	20.6~12.5	28	14.9	14.5	14.6	14.9	18.3	17.8	18.4	18.1
	12.5~5.5	29	18.4	17.9	17.9	18.4	23.8	23.3	23.6	23.6
	5.5~2.0	30	20.1	20.1	19.6	20.0	27.5	27.0	28.7	27.3
T14	41.6~30.55	31	2.30	2.21	2.57	2.39	3.62	3.35	3.83	3.65
	30.55~20.6	32	3.16	3.09	3.37	3.24	4.68	4.55	4.77	4.69
	20.6~12.5	33	3.74	3.70	3.82	3.77	4.61	4.47	4.75	4.60
	12.5~2.0	34	4.64	4.62	4.64	4.64	5.70	5.48	6.11	5.75

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(1) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, NS方向)

(a) S_s-D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.72	5.86	6.05	5.69	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	5.72	5.86	6.05	5.69	5.72	5.86	6.05	5.69
			10.5	10.5	11.2	10.7	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	10.5	10.5	11.2	10.7	10.5	10.5	11.2	10.7
			13.2	13.2	14.0	13.4	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	13.2	13.2	14.0	13.4	13.2	13.2	14.0	13.4
			20.1	20.0	21.2	20.4	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.68	3.61	3.79	3.71	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	3.68	3.61	3.79	3.71	3.68	3.61	3.79	3.71
			11.6	11.4	11.4	11.5	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.250	0.280	0.271	0.264	0.250	0.280	0.271
			2.17	2.16	2.23	2.23	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	2.17	2.16	2.23	2.23	2.25	2.21	2.29	2.27
			5.68	5.63	5.72	5.68	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.266	0.306	0.296	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.461	0.427	0.498	0.482	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.461	0.427	0.498	0.482	0.461	0.427	0.498	0.482
			3.17	3.12	3.16	3.15	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	20.0	19.9	20.1	20.4	20.0	19.9	20.1
			36.4	36.3	36.7	35.9	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	36.4	36.3	36.7	35.9	36.4	36.3	37.4	36.6
			55.4	54.8	58.1	54.4	59.5	57.2	61.4	60.3
5.5~2.0	13	55.4	54.8	58.1	54.4	59.5	57.2	61.4	60.3	
		65.4	64.4	69.5	65.0	72.9	70.1	75.4	73.8	
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.341	0.454	0.387	0.385	0.341	0.454	0.387
			5.24	5.19	5.44	5.32	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	5.24	5.19	5.44	5.32	5.24	5.19	5.44	5.32
			12.0	11.7	12.7	12.1	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	12.0	11.7	12.7	12.1	12.4	12.0	12.7	12.5
			15.8	15.3	16.4	15.7	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	15.8	15.3	16.4	15.7	15.8	15.3	16.4	15.7
			21.6	20.9	22.0	21.5	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	21.6	20.9	22.0	21.5	21.6	20.9	22.0	21.5
			24.7	24.0	25.1	24.6	24.7	24.0	25.3	24.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(2) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS方向)

(a) S_s-D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.552	0.522	0.581	0.563	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.941	0.912	0.973	0.954	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	0.941	0.912	0.973	0.954	0.941	0.912	0.973	0.954
			2.44	2.41	2.58	2.48	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	2.44	2.41	2.58	2.48	2.44	2.41	2.58	2.48
			3.78	3.65	3.87	3.74	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	3.78	3.65	3.87	3.74	3.78	3.65	3.87	3.74
			6.33	6.28	6.50	6.24	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	6.33	6.28	6.50	6.24	6.38	6.28	6.55	6.42
			8.22	8.11	8.72	8.30	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.303	0.281	0.344	0.309	0.303	0.281	0.344	0.309
			2.25	2.22	2.23	2.26	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	2.25	2.22	2.23	2.26	2.25	2.22	2.23	2.26
			9.08	8.96	9.18	9.08	9.08	8.96	9.18	9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.189	0.178	0.222	0.194	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.330	0.343	0.313	0.320	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.330	0.343	0.313	0.320	0.334	0.350	0.316	0.325
			1.18	1.13	1.22	1.19	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	10.3	10.1	10.4	10.3	10.3	10.1	10.4	10.3
			24.6	23.9	24.7	24.4	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	24.6	23.9	24.7	24.4	24.6	23.9	24.7	24.4
			41.0	40.1	40.4	40.6	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	41.0	40.1	40.4	40.6	41.0	40.1	40.4	40.6
			50.2	49.2	49.6	49.7	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.00	3.70	4.23	4.03	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	4.00	3.70	4.23	4.03	4.00	3.70	4.23	4.03
			8.53	8.12	8.96	8.55	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	8.53	8.12	8.96	8.55	8.53	8.12	8.96	8.55
			12.2	11.7	12.5	12.2	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	12.2	11.7	12.5	12.2	12.2	11.7	12.5	12.2
			17.2	16.7	17.7	17.2	17.2	16.7	17.7	17.2

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(3) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.65	4.74	4.39	4.68	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.65	4.74	4.39	4.68	5.72	5.86	6.05	5.69
			8.97	8.95	8.36	9.01	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	8.97	8.95	8.36	9.01	10.5	10.5	11.2	10.7
			11.1	11.2	10.7	11.1	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	11.1	11.2	10.7	11.1	13.2	13.2	14.0	13.4
			16.4	16.9	16.6	16.3	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.30	3.31	3.28	3.31	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	3.30	3.31	3.28	3.31	3.68	3.61	3.79	3.71
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.196	0.188	0.200	0.190	0.264	0.250	0.280	0.271
			2.25	2.21	2.28	2.27	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	2.25	2.21	2.28	2.27	2.25	2.21	2.29	2.27
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.213	0.205	0.229	0.207	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.349	0.337	0.382	0.341	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.349	0.337	0.382	0.341	0.461	0.427	0.498	0.482
T3-T6	20.6~12.5	11	18.8	19.0	18.5	18.8	20.4	20.0	19.9	20.1
			33.7	34.9	30.7	33.1	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	33.7	34.9	30.7	33.1	36.4	36.3	37.4	36.6
5.5~2.0	13	49.9	52.5	47.2	48.4	59.5	57.2	61.4	60.3	
		49.9	52.5	47.2	48.4	59.5	57.2	61.4	60.3	
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.244	0.250	0.265	0.243	0.385	0.341	0.454	0.387
			4.94	4.83	5.11	4.97	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	4.94	4.83	5.11	4.97	5.24	5.19	5.44	5.32
			11.5	11.6	11.6	11.4	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	11.5	11.6	11.6	11.4	12.4	12.0	12.7	12.5
			13.1	13.5	12.9	12.9	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	13.1	13.5	12.9	12.9	15.8	15.3	16.4	15.7
			18.3	17.6	18.9	18.2	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	18.3	17.6	18.9	18.2	21.6	20.9	22.0	21.5
			21.8	21.3	22.7	21.7	24.7	24.0	25.3	24.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(4) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.340	0.319	0.362	0.342	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.863	0.864	0.802	0.845	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	0.863	0.864	0.802	0.845	0.941	0.912	0.973	0.954
			1.86	1.88	1.83	1.84	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	1.86	1.88	1.83	1.84	2.44	2.41	2.58	2.48
			2.70	2.79	2.77	2.66	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	2.70	2.79	2.77	2.66	3.78	3.65	3.87	3.74
			5.34	5.38	5.42	5.29	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	5.34	5.38	5.42	5.29	6.38	6.28	6.55	6.42
			6.92	6.97	7.08	6.85	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.195	0.171	0.224	0.203	0.303	0.281	0.344	0.309
			2.12	2.10	2.22	2.17	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	2.12	2.10	2.22	2.17	2.25	2.22	2.23	2.26
			8.04	7.83	8.17	8.05	9.08	8.96	9.18	9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.139	0.144	0.131	0.136	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.303	0.324	0.267	0.296	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.303	0.324	0.267	0.296	0.334	0.350	0.316	0.325
			0.994	0.985	0.962	0.991	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	9.03	8.81	9.13	9.04	10.3	10.1	10.4	10.3
			18.4	17.6	18.8	18.1	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	18.4	17.6	18.8	18.1	24.6	23.9	24.7	24.4
			29.9	28.2	29.9	29.3	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	29.9	28.2	29.9	29.3	41.0	40.1	40.4	40.6
			36.3	34.3	36.2	35.5	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.96	2.62	3.05	2.99	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.96	2.62	3.05	2.99	4.00	3.70	4.23	4.03
			5.94	5.53	6.14	5.97	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	5.94	5.53	6.14	5.97	8.53	8.12	8.96	8.55
			8.73	8.33	8.73	8.71	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	8.73	8.33	8.73	8.71	12.2	11.7	12.5	12.2
			13.0	12.6	13.0	12.9	17.2	16.7	17.7	17.2

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(5) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.80	4.53	4.98	4.85	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.80	4.53	4.98	4.85	5.72	5.86	6.05	5.69
			9.09	8.78	9.37	9.05	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	9.09	8.78	9.37	9.05	10.5	10.5	11.2	10.7
			11.4	11.1	11.7	11.3	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	11.4	11.1	11.7	11.3	13.2	13.2	14.0	13.4
			17.1	16.4	17.3	17.3	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.08	2.83	3.21	3.22	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	3.08	2.83	3.21	3.22	3.68	3.61	3.79	3.71
			10.6	10.1	10.9	11.0	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.185	0.157	0.200	0.199	0.264	0.250	0.280	0.271
			2.16	2.06	2.29	2.18	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	2.16	2.06	2.29	2.18	2.25	2.21	2.29	2.27
			5.47	5.38	5.51	5.54	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.233	0.195	0.250	0.231	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.404	0.340	0.433	0.401	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.404	0.340	0.433	0.401	0.461	0.427	0.498	0.482
			2.83	2.74	2.88	2.93	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	18.9	18.1	19.1	19.4	20.4	20.0	19.9	20.1
			34.6	33.5	35.4	35.4	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	34.6	33.5	35.4	35.4	36.4	36.3	37.4	36.6
			52.4	51.5	53.4	53.5	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	52.4	51.5	53.4	53.5	59.5	57.2	61.4	60.3
			62.0	61.0	62.9	62.7	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.344	0.302	0.375	0.354	0.385	0.341	0.454	0.387
			4.89	4.80	5.07	5.00	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	4.89	4.80	5.07	5.00	5.24	5.19	5.44	5.32
			12.4	12.0	12.6	12.5	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	12.4	12.0	12.6	12.5	12.4	12.0	12.7	12.5
			15.1	14.3	15.3	15.2	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	15.1	14.3	15.3	15.2	15.8	15.3	16.4	15.7
			18.0	17.1	18.3	18.0	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	18.0	17.1	18.3	18.0	21.6	20.9	22.0	21.5
			21.5	21.3	21.7	21.5	24.7	24.0	25.3	24.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(6) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.289	0.269	0.316	0.308	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.752	0.750	0.749	0.749	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	1.64	1.55	1.64	1.66	2.44	2.41	2.58	2.48
			1.64	1.55	1.64	1.66	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	3.32	3.10	3.41	3.42	3.78	3.65	3.87	3.74
			3.32	3.10	3.41	3.42	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	6.22	6.04	6.13	6.19	6.38	6.28	6.55	6.42
			6.22	6.04	6.13	6.19	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	7.93	7.85	7.87	7.88	8.79	8.59	9.08	8.84
			0.230	0.200	0.235	0.230	0.303	0.281	0.344	0.309
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.21	2.12	2.16	2.21	2.25	2.22	2.23	2.26
			2.21	2.12	2.16	2.21	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	7.74	6.96	7.96	7.82	9.08	8.96	9.18	9.08
0.192			0.176	0.195	0.191	0.192	0.178	0.222	0.194	
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.307	0.331	0.293	0.299	0.334	0.350	0.316	0.325
			0.307	0.331	0.293	0.299	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	1.03	0.967	1.07	1.04	1.18	1.13	1.22	1.19
8.71			7.84	8.98	8.79	10.3	10.1	10.4	10.3	
T11-T13	20.6~12.5	28	18.6	16.0	19.5	19.0	24.6	23.9	24.7	24.4
			18.6	16.0	19.5	19.0	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	30.3	27.2	32.4	30.4	41.0	40.1	40.4	40.6
			30.3	27.2	32.4	30.4	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	37.3	33.7	39.7	37.3	50.2	49.2	50.0	49.7
0.00			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
T14	41.6~30.55	31	2.86	2.64	2.81	2.82	4.00	3.70	4.23	4.03
			2.86	2.64	2.81	2.82	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	6.11	5.77	6.25	5.98	8.53	8.12	8.96	8.55
			6.11	5.77	6.25	5.98	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	8.78	8.44	9.33	8.88	12.2	11.7	12.5	12.2
			8.78	8.44	9.33	8.88	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	13.4	12.5	14.3	13.6	17.2	16.7	17.7	17.2
			13.4	12.5	14.3	13.6	17.2	16.7	17.7	17.2

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(7) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.61	4.32	4.97	4.77	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.61	4.32	4.97	4.77	5.72	5.86	6.05	5.69
			9.29	8.74	9.90	9.52	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	9.29	8.74	9.90	9.52	10.5	10.5	11.2	10.7
			12.1	11.4	12.8	12.3	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	12.1	11.4	12.8	12.3	13.2	13.2	14.0	13.4
			19.0	17.9	20.2	19.3	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.91	2.70	3.11	3.02	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	2.91	2.70	3.11	3.02	3.68	3.61	3.79	3.71
			10.0	9.70	10.5	10.4	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.162	0.145	0.179	0.171	0.264	0.250	0.280	0.271
			1.39	1.32	1.45	1.46	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	1.39	1.32	1.45	1.46	2.25	2.21	2.29	2.27
			5.35	5.13	5.44	5.41	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.168	0.150	0.185	0.177	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.260	0.232	0.286	0.274	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.260	0.232	0.286	0.274	0.461	0.427	0.498	0.482
			2.68	2.61	2.76	2.72	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	17.8	16.9	18.5	18.3	20.4	20.0	19.9	20.1
			36.0	34.5	37.4	36.6	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	36.0	34.5	37.4	36.6	36.4	36.3	37.4	36.6
			59.5	57.2	61.4	60.3	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	59.5	57.2	61.4	60.3	59.5	57.2	61.4	60.3
			72.9	70.1	75.4	73.8	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.196	0.173	0.227	0.210	0.385	0.341	0.454	0.387
			3.36	3.19	3.61	3.43	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	3.36	3.19	3.61	3.43	5.24	5.19	5.44	5.32
			9.20	8.93	9.56	9.39	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	9.20	8.93	9.56	9.39	12.4	12.0	12.7	12.5
			14.1	13.6	14.6	14.3	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	14.1	13.6	14.6	14.3	15.8	15.3	16.4	15.7
			20.4	19.8	21.1	20.7	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	20.4	19.8	21.1	20.7	21.6	20.9	22.0	21.5
			24.4	23.8	25.3	24.7	24.7	24.0	25.3	24.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(8) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - N1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.176	0.150	0.199	0.181	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.313	0.311	0.317	0.317	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	0.313	0.311	0.317	0.317	0.941	0.912	0.973	0.954
			1.34	1.23	1.40	1.33	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	1.34	1.23	1.40	1.33	2.44	2.41	2.58	2.48
			3.07	2.95	3.20	3.11	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	3.07	2.95	3.20	3.11	3.78	3.65	3.87	3.74
			6.38	6.20	6.55	6.42	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	6.38	6.20	6.55	6.42	6.38	6.28	6.55	6.42
			8.79	8.59	9.08	8.84	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.160	0.140	0.193	0.174	0.303	0.281	0.344	0.309
			1.79	1.70	1.79	1.80	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	1.79	1.70	1.79	1.80	2.25	2.22	2.23	2.26
			8.31	8.11	8.51	8.38	9.08	8.96	9.18	9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.120	0.104	0.151	0.133	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.172	0.171	0.190	0.171	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.172	0.171	0.190	0.171	0.334	0.350	0.316	0.325
			0.836	0.770	0.938	0.855	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	9.08	8.83	9.36	9.15	10.3	10.1	10.4	10.3
			23.2	22.0	23.9	23.4	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	23.2	22.0	23.9	23.4	24.6	23.9	24.7	24.4
			38.6	36.7	40.2	39.0	41.0	40.1	40.4	40.6
5.5~2.0	30	38.6	36.7	40.2	39.0	41.0	40.1	40.4	40.6	
		48.0	45.7	50.0	48.4	50.2	49.2	50.0	49.7	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.93	2.62	3.17	3.03	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.93	2.62	3.17	3.03	4.00	3.70	4.23	4.03
			6.14	5.51	6.71	6.34	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	6.14	5.51	6.71	6.34	8.53	8.12	8.96	8.55
			9.18	8.33	10.0	9.41	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	9.18	8.33	10.0	9.41	12.2	11.7	12.5	12.2
			14.9	13.9	15.9	15.1	17.2	16.7	17.7	17.2

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(9) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , NS 方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.60	4.50	4.76	4.71	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.60	4.50	4.76	4.71	5.72	5.86	6.05	5.69
			8.82	8.72	9.11	8.97	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	8.82	8.72	9.11	8.97	10.5	10.5	11.2	10.7
			11.3	11.1	11.7	11.5	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	11.3	11.1	11.7	11.5	13.2	13.2	14.0	13.4
			16.9	16.6	17.6	17.0	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.58	2.47	2.84	2.67	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	2.58	2.47	2.84	2.67	3.68	3.61	3.79	3.71
			9.57	9.08	10.0	9.72	11.6	11.4	11.4	11.5
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.145	0.124	0.167	0.151	0.264	0.250	0.280	0.271
			1.61	1.52	1.63	1.64	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	1.61	1.52	1.63	1.64	2.25	2.21	2.29	2.27
			4.96	4.63	5.25	5.03	5.68	5.63	5.72	5.68
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.171	0.148	0.195	0.177	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.279	0.244	0.320	0.290	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.279	0.244	0.320	0.290	0.461	0.427	0.498	0.482
			2.40	2.44	2.53	2.44	3.17	3.12	3.16	3.15
T3-T6	20.6~12.5	11	16.5	15.8	17.3	16.8	20.4	20.0	19.9	20.1
			31.7	30.7	33.2	32.1	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	31.7	30.7	33.2	32.1	36.4	36.3	37.4	36.6
			51.3	49.9	53.7	51.7	59.5	57.2	61.4	60.3
	5.5~2.0	13	51.3	49.9	53.7	51.7	59.5	57.2	61.4	60.3
			61.3	59.4	64.9	61.7	72.9	70.1	75.4	73.8
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.195	0.212	0.237	0.196	0.385	0.341	0.454	0.387
			3.77	3.88	4.02	3.86	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	3.77	3.88	4.02	3.86	5.24	5.19	5.44	5.32
			9.46	9.47	10.2	9.47	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	9.46	9.47	10.2	9.47	12.4	12.0	12.7	12.5
			13.1	13.6	13.6	13.2	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	13.1	13.6	13.6	13.2	15.8	15.3	16.4	15.7
			18.7	18.2	20.1	18.9	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	18.7	18.2	20.1	18.9	21.6	20.9	22.0	21.5
			22.0	20.7	23.8	22.2	24.7	24.0	25.3	24.7

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(10) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(e) S_s - N2NS

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.221	0.235	0.233	0.219	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.435	0.446	0.429	0.423	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	0.435	0.446	0.429	0.423	0.941	0.912	0.973	0.954
			1.22	1.24	1.40	1.28	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	1.22	1.24	1.40	1.28	2.44	2.41	2.58	2.48
			2.96	2.82	3.16	3.04	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	2.96	2.82	3.16	3.04	3.78	3.65	3.87	3.74
			5.37	5.27	5.66	5.41	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	5.37	5.27	5.66	5.41	6.38	6.28	6.55	6.42
			7.31	7.06	7.58	7.37	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.140	0.134	0.168	0.147	0.303	0.281	0.344	0.309
			2.00	1.92	1.98	2.02	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	2.00	1.92	1.98	2.02	2.25	2.22	2.23	2.26
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	8.02	7.23	8.34	8.14	9.08	8.96	9.18	9.08
			0.118	0.131	0.124	0.115	0.192	0.178	0.222	0.194
	30.55~20.6	27	0.258	0.285	0.236	0.242	0.334	0.350	0.316	0.325
			0.258	0.285	0.236	0.242	0.334	0.350	0.316	0.325
	T11-T13	20.6~12.5	28	0.799	0.755	0.874	0.819	1.18	1.13	1.22
8.81				7.91	9.19	8.95	10.3	10.1	10.4	10.3
12.5~5.5		29	21.2	19.2	22.4	21.5	24.6	23.9	24.7	24.4
			34.9	32.0	37.0	35.2	41.0	40.1	40.4	40.6
5.5~2.0	30	34.9	32.0	37.0	35.2	41.0	40.1	40.4	40.6	
		42.8	39.5	45.6	43.2	50.2	49.2	50.0	49.7	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.54	2.22	3.01	2.70	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.54	2.22	3.01	2.70	4.00	3.70	4.23	4.03
			5.95	5.20	6.77	6.22	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	5.95	5.20	6.77	6.22	8.53	8.12	8.96	8.55
			9.20	8.25	10.1	9.47	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	9.20	8.25	10.1	9.47	12.2	11.7	12.5	12.2
			14.4	13.2	15.5	14.6	17.2	16.7	17.7	17.2

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(11) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(f) S_s - N 2 EW

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.25	4.13	3.97	4.21	5.72	5.86	6.05	5.69
	20.6~12.5	2	4.25	4.13	3.97	4.21	5.72	5.86	6.05	5.69
			8.12	8.01	7.56	8.02	10.5	10.5	11.2	10.7
	12.5~9.0	3	8.12	8.01	7.56	8.02	10.5	10.5	11.2	10.7
			10.3	10.2	9.55	10.1	13.2	13.2	14.0	13.4
	9.0~2.0	4	10.3	10.2	9.55	10.1	13.2	13.2	14.0	13.4
			15.4	15.4	14.4	15.1	20.1	20.0	21.2	20.4
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.59	2.62	2.67	2.56	3.68	3.61	3.79	3.71
	33.7~20.6	6	2.59	2.62	2.67	2.56	3.68	3.61	3.79	3.71
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.139	0.137	0.143	0.134	0.264	0.250	0.280	0.271
			1.65	1.65	1.68	1.65	2.25	2.21	2.29	2.27
	32.0~20.6	8	1.65	1.65	1.68	1.65	2.25	2.21	2.29	2.27
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.163	0.157	0.166	0.158	0.285	0.266	0.306	0.296
			0.274	0.264	0.279	0.267	0.461	0.427	0.498	0.482
	33.7~20.6	10	0.274	0.264	0.279	0.267	0.461	0.427	0.498	0.482
T3-T6	20.6~12.5	11	17.4	17.1	17.5	17.2	20.4	20.0	19.9	20.1
			30.5	30.4	30.7	30.2	36.4	36.3	37.4	36.6
	12.5~5.5	12	30.5	30.4	30.7	30.2	36.4	36.3	37.4	36.6
5.5~2.0	13	46.9	47.5	47.2	46.4	59.5	57.2	61.4	60.3	
		46.9	47.5	47.2	46.4	59.5	57.2	61.4	60.3	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.181	0.173	0.204	0.183	0.385	0.341	0.454	0.387
			3.84	3.86	4.12	3.87	5.24	5.19	5.44	5.32
	32.0~20.6	15	3.84	3.86	4.12	3.87	5.24	5.19	5.44	5.32
			9.51	9.33	9.76	9.40	12.4	12.0	12.7	12.5
	20.6~12.5	16	9.51	9.33	9.76	9.40	12.4	12.0	12.7	12.5
			13.3	13.4	13.8	13.3	15.8	15.3	16.4	15.7
	12.5~5.5	17	13.3	13.4	13.8	13.3	15.8	15.3	16.4	15.7
			18.0	18.1	18.6	17.9	21.6	20.9	22.0	21.5
	5.5~2.0	18	18.0	18.1	18.6	17.9	21.6	20.9	22.0	21.5
			20.8	20.9	21.5	20.7	24.7	24.0	25.3	24.7

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-4(12) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, NS 方向)

(f) S_s - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.259	0.253	0.279	0.265	0.552	0.522	0.581	0.563
			0.497	0.508	0.499	0.496	0.941	0.912	0.973	0.954
	30.55~20.6	20	0.497	0.508	0.499	0.496	0.941	0.912	0.973	0.954
			1.56	1.57	1.59	1.52	2.44	2.41	2.58	2.48
	20.6~12.5	21	1.56	1.57	1.59	1.52	2.44	2.41	2.58	2.48
			2.97	2.91	3.04	2.95	3.78	3.65	3.87	3.74
	12.5~5.5	22	2.97	2.91	3.04	2.95	3.78	3.65	3.87	3.74
			5.41	5.44	5.50	5.40	6.38	6.28	6.55	6.42
	5.5~2.0	23	5.41	5.44	5.50	5.40	6.38	6.28	6.55	6.42
			7.42	7.42	7.32	7.43	8.79	8.59	9.08	8.84
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.160	0.149	0.178	0.164	0.303	0.281	0.344	0.309
			1.96	1.93	1.85	1.97	2.25	2.22	2.23	2.26
	32.0~20.6	25	1.96	1.93	1.85	1.97	2.25	2.22	2.23	2.26
			7.74	7.53	8.20	7.92	9.08	8.96	9.18	9.08
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.145	0.148	0.157	0.144	0.192	0.178	0.222	0.194
			0.334	0.350	0.316	0.325	0.334	0.350	0.316	0.325
	30.55~20.6	27	0.334	0.350	0.316	0.325	0.334	0.350	0.316	0.325
			1.00	1.03	0.983	0.988	1.18	1.13	1.22	1.19
T11-T13	20.6~12.5	28	8.48	8.24	9.04	8.70	10.3	10.1	10.4	10.3
			20.2	19.7	20.5	20.4	24.6	23.9	24.7	24.4
	12.5~5.5	29	20.2	19.7	20.5	20.4	24.6	23.9	24.7	24.4
			32.8	32.0	32.9	33.0	41.0	40.1	40.4	40.6
	5.5~2.0	30	32.8	32.0	32.9	33.0	41.0	40.1	40.4	40.6
			39.7	38.7	39.6	39.8	50.2	49.2	50.0	49.7
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.54	2.44	2.84	2.64	4.00	3.70	4.23	4.03
	30.55~20.6	32	2.54	2.44	2.84	2.64	4.00	3.70	4.23	4.03
			5.65	5.46	6.19	5.83	8.53	8.12	8.96	8.55
	20.6~12.5	33	5.65	5.46	6.19	5.83	8.53	8.12	8.96	8.55
			8.54	8.32	9.13	8.74	12.2	11.7	12.5	12.2
	12.5~2.0	34	8.54	8.32	9.13	8.74	12.2	11.7	12.5	12.2
			13.1	12.9	13.7	13.3	17.2	16.7	17.7	17.2

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-5(1) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2410	2403	2388	2431	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	2192	2195	2184	2184	2192	2195	2184	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1239	1137	1246	1246	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	1047	967	1019	1047	1127	1087	1184	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1656	1579	1582	1651	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	1001	917	1066	999	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	967	889	1103	970	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	2194	2145	2107	2157	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1671	1643	1714	1686	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1244	1259	1249	1250	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	1158	1100	1057	1159	1158	1100	1057	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	1179	1179	1066	1165	1179	1179	1066	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	959	1051	962	955	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	2926	2865	3125	2942	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1605	1683	1625	1600	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	1167	1202	1231	1182	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	1185	1153	1178	1193	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	921	863	929	919	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1735	1682	1678	1773	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	1249	1247	1381	1282	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	1252	1161	1309	1256	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	856	892	939	861	940	1002	939	933
	2.0	25	928	865	941	930	928	865	941	930

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-5(2) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2307	2257	2173	2287	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	2047	2016	2053	2036	2192	2195	2184	2184
TX-TZ(T14側)	20.6	3	1313	1252	1409	1302	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	1127	1087	1184	1137	1127	1087	1184	1137
TX-TZ(T1側)	20.6	5	1461	1386	1518	1465	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	1106	1072	1130	1106	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	1081	1041	1115	1079	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	2055	2069	1948	2016	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1615	1605	1604	1588	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1173	1157	1249	1175	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	892	888	832	885	1158	1100	1057	1159
TA-TC(T14側)	5.5	12	803	810	725	793	1179	1179	1066	1165
TA-TC(T1側)	5.5	13	694	750	714	690	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	2266	2267	2205	2224	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1422	1426	1393	1391	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	1097	1047	1138	1089	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	1092	1080	1121	1076	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	816	789	800	815	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1667	1733	1482	1630	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	1258	1210	1319	1241	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	1003	962	1070	985	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	605	613	629	608	940	1002	939	933
	2.0	25	616	623	605	618	928	865	941	930

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-5(3) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1807	1730	1762	1809	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	1541	1502	1613	1524	2192	2195	2184	2184
TX-TZ(T14側)	20.6	3	1065	1107	1033	1032	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	912	915	856	865	1127	1087	1184	1137
TX-TZ(T1側)	20.6	5	1340	1334	1351	1306	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	777	818	776	778	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	757	850	735	746	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	1584	1640	1609	1587	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1407	1447	1414	1402	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1052	1036	1098	1045	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	882	864	861	889	1158	1100	1057	1159
TA-TC(T14側)	5.5	12	856	949	827	848	1179	1179	1066	1165
TA-TC(T1側)	5.5	13	754	704	757	755	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	1978	1852	2211	1965	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1355	1403	1431	1350	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	973	986	977	994	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	967	996	946	969	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	802	827	759	783	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1656	1498	1619	1644	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	1147	1050	1169	1148	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	886	869	903	870	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	732	783	702	722	940	1002	939	933
	2.0	25	699	719	683	697	928	865	941	930

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-5(4) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1377	1407	1307	1373	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	1276	1288	1213	1260	2192	2195	2184	2184
TX-TZ (T14側)	20.6	3	1181	1196	1170	1200	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	1073	1085	1083	1090	1127	1087	1184	1137
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1568	1535	1487	1570	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	881	891	832	875	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	893	897	845	888	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	1621	1683	1533	1630	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1232	1254	1242	1240	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1015	1052	988	1026	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	860	893	891	883	1158	1100	1057	1159
TA-TC (T14側)	5.5	12	722	770	782	721	1179	1179	1066	1165
TA-TC (T1側)	5.5	13	808	845	842	832	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	1843	1751	1857	1845	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1081	1075	1177	1080	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	962	956	969	963	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	895	882	899	890	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	885	902	909	886	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1145	1091	1135	1131	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	970	975	1011	966	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	930	959	954	940	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	940	1002	922	933	940	1002	939	933
	2.0	25	647	663	647	646	928	865	941	930

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-5(5) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1605	1575	1547	1613	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	1288	1413	1225	1265	2192	2195	2184	2184
TX-TZ(T14側)	20.6	3	870	932	915	867	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	759	860	756	771	1127	1087	1184	1137
TX-TZ(T1側)	20.6	5	1353	1379	1279	1337	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	673	794	678	671	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	660	752	662	667	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	1932	2033	1860	1948	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1251	1403	1147	1254	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	959	1005	917	957	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	880	872	870	876	1158	1100	1057	1159
TA-TC(T14側)	5.5	12	709	812	690	711	1179	1179	1066	1165
TA-TC(T1側)	5.5	13	685	706	670	709	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	2085	1930	2066	2036	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1084	1166	1158	1094	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	741	743	734	738	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	606	639	621	595	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	560	537	619	569	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1543	1363	1444	1581	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	993	912	975	1005	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	695	683	705	695	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	578	571	641	585	940	1002	939	933
	2.0	25	581	554	617	583	928	865	941	930

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-5(6) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			Ss-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	2051	2076	1977	2045	2410	2403	2388	2431
	32.0	2	1709	1719	1683	1696	2192	2195	2184	2184
TX-TZ(T14側)	20.6	3	973	1040	932	969	1313	1252	1409	1302
	12.5	4	823	754	801	838	1127	1087	1184	1137
TX-TZ(T1側)	20.6	5	1468	1297	1236	1509	1656	1579	1582	1651
	8.8	6	649	709	698	658	1106	1072	1130	1106
TX-TZ	5.5	7	638	672	687	645	1081	1041	1115	1079
TA-TC	41.6	8	1963	2034	1835	1922	2194	2145	2107	2157
	32.0	9	1460	1454	1476	1455	1671	1643	1714	1686
	20.6	10	1019	1078	968	1015	1244	1259	1249	1250
	12.5	11	730	741	760	711	1158	1100	1057	1159
TA-TC(T14側)	5.5	12	825	1002	713	823	1179	1179	1066	1165
TA-TC(T1側)	5.5	13	660	685	713	667	959	1051	962	955
TC-TF	41.6	14	2352	2268	2493	2325	2926	2865	3125	2942
	30.55	15	1239	1176	1267	1203	1605	1683	1625	1600
	20.6	16	972	996	983	975	1167	1202	1231	1182
	12.5	17	749	742	845	760	1185	1153	1178	1193
	5.5	18	606	635	679	617	921	902	929	919
TG-TH	33.7	19	1348	1235	1351	1364	1735	1733	1678	1773
	20.6	20	924	858	966	959	1258	1247	1381	1282
	12.5	21	738	723	819	770	1252	1161	1309	1256
	5.5	22	613	693	639	617	940	1002	939	933
	2.0	25	622	657	654	623	928	865	941	930

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-6(1) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	19.88	19.50	20.33	19.92	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	18.85	18.47	19.37	18.79	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ(T14側)	20.6	3	9.31	7.47	10.73	9.12	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	6.31	5.02	7.29	6.25	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ(T1側)	20.6	5	13.31	11.82	14.74	13.27	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	2.60	2.06	3.15	2.63	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	2.25	1.75	2.78	2.28	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	18.88	17.73	19.16	18.99	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	15.87	14.18	15.98	15.85	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	10.41	8.69	11.83	10.21	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	6.16	4.81	7.12	6.14	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC(T14側)	5.5	12	2.98	2.23	3.51	3.00	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC(T1側)	5.5	13	2.80	2.03	3.32	2.83	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	17.58	16.41	17.79	17.86	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	12.58	11.69	13.42	12.82	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	8.69	7.20	10.08	8.63	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	7.47	6.01	8.82	7.41	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	3.06	2.14	3.63	3.02	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	9.54	8.46	11.12	9.63	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	7.87	6.71	9.37	7.80	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	6.31	5.08	7.62	6.23	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	3.06	2.14	3.69	3.01	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.51	1.08	1.96	1.53	1.51	1.08	2.00	1.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-6(2) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s, EW方向)

(b) S_s-F1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	17.03	16.66	18.61	17.15	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	16.09	15.84	17.81	16.20	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ(T14側)	20.6	3	7.98	7.96	9.72	7.99	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	5.69	5.32	6.62	5.69	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ(T1側)	20.6	5	12.09	11.83	13.86	12.13	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	2.24	1.95	2.80	2.23	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.88	1.62	2.41	1.87	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	15.42	15.10	16.54	15.59	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	13.24	13.04	14.77	13.32	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	9.05	8.95	10.71	8.99	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	5.40	4.94	6.36	5.39	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC(T14側)	5.5	12	2.67	2.29	3.13	2.60	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC(T1側)	5.5	13	2.34	1.98	2.81	2.33	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	12.75	12.74	13.86	12.89	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	10.14	9.87	11.77	10.23	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	7.94	7.33	9.24	7.93	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	6.79	6.23	7.97	6.77	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	2.40	2.03	3.13	2.38	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	8.58	8.42	9.92	8.46	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	7.21	6.89	8.74	7.20	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	5.78	5.32	7.10	5.76	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	2.50	2.05	3.31	2.48	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.14	0.97	1.67	1.14	1.51	1.08	2.00	1.53

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-6(3) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s, EW方向)

(c) S_s-F2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	12.31	11.40	12.97	12.35	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	11.41	10.58	12.06	11.42	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ(T14側)	20.6	3	6.33	5.65	6.79	6.27	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	4.63	4.02	5.10	4.53	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ(T1側)	20.6	5	9.24	8.52	9.94	9.14	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	2.15	1.56	2.70	2.15	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.89	1.30	2.50	1.88	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	11.18	10.39	12.12	11.22	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	9.60	8.76	10.20	9.59	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	7.29	6.58	7.79	7.24	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	4.47	3.87	4.93	4.42	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC(T14側)	5.5	12	2.21	1.74	2.77	2.17	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC(T1側)	5.5	13	2.10	1.53	2.67	2.06	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	10.50	10.20	12.39	10.57	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	8.22	8.08	9.63	8.23	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	6.14	5.87	6.84	6.05	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	5.18	4.88	5.79	5.09	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	2.10	1.48	2.72	2.08	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	7.09	6.52	7.90	6.99	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	5.66	5.03	6.29	5.57	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	4.31	3.72	4.84	4.23	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	2.15	1.53	2.71	2.13	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.31	0.73	2.00	1.30	1.51	1.08	2.00	1.53

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-6(4) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s, EW方向)

(d) S_s-N1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	9.86	9.42	10.13	9.89	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	9.23	8.80	9.45	9.24	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ(T14側)	20.6	3	5.61	5.19	6.03	5.69	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	4.08	3.67	4.51	4.15	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ(T1側)	20.6	5	8.00	7.51	8.26	8.06	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	1.71	1.35	2.15	1.70	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.42	1.16	1.84	1.41	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	9.63	9.22	10.00	9.73	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	8.29	7.89	8.64	8.36	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	6.38	5.98	6.74	6.44	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	4.05	3.54	4.47	4.02	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC(T14側)	5.5	12	2.03	1.54	2.52	2.03	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.73	1.32	2.11	1.72	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	9.29	8.87	9.73	9.40	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	7.36	6.87	7.78	7.39	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	5.80	5.29	6.24	5.79	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	4.86	4.36	5.30	4.83	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	1.81	1.44	2.30	1.80	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	6.03	5.46	6.53	6.04	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	5.12	4.65	5.66	5.12	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	3.90	3.47	4.43	3.89	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	1.75	1.41	2.24	1.73	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	0.93	0.75	1.21	0.93	1.51	1.08	2.00	1.53

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-6(5) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	8.61	8.67	8.76	8.54	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	7.92	8.00	7.99	7.82	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ(T14側)	20.6	3	4.63	4.36	5.12	4.64	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	3.31	3.02	3.85	3.33	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ(T1側)	20.6	5	5.98	6.22	6.59	5.95	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	1.92	1.50	2.54	1.91	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.67	1.23	2.32	1.66	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	8.36	8.08	8.74	8.51	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	7.08	6.79	7.33	7.07	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	5.26	4.98	5.67	5.26	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	3.55	3.15	4.07	3.55	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC(T14側)	5.5	12	2.03	1.54	2.67	2.03	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.89	1.44	2.51	1.88	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	8.00	7.40	8.44	8.06	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	5.96	5.33	6.39	5.97	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	4.15	3.67	4.69	4.15	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	3.36	2.89	3.93	3.36	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	1.85	1.37	2.49	1.84	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	5.03	4.43	5.30	5.05	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	3.80	3.29	4.27	3.81	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	2.77	2.32	3.39	2.78	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	1.69	1.31	2.35	1.69	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.16	0.79	1.81	1.16	1.51	1.08	2.00	1.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-6(6) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s, EW方向)

(f) S_s-N2EW

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S _s -N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	11.94	12.11	11.86	11.87	19.88	19.50	20.33	19.92
	32.0	2	11.01	11.14	10.94	10.90	18.85	18.47	19.37	18.79
TX-TZ(T14側)	20.6	3	4.74	4.71	5.24	4.74	9.31	7.96	10.73	9.12
	12.5	4	3.30	3.28	4.09	3.30	6.31	5.32	7.29	6.25
TX-TZ(T1側)	20.6	5	8.08	7.98	8.16	8.06	13.31	11.83	14.74	13.27
	8.8	6	1.86	1.47	2.74	1.90	2.60	2.06	3.15	2.63
TX-TZ	5.5	7	1.66	1.25	2.49	1.69	2.25	1.75	2.78	2.28
TA-TC	41.6	8	10.58	10.77	10.48	10.62	18.88	17.73	19.16	18.99
	32.0	9	8.28	8.41	8.51	8.36	15.87	14.18	15.98	15.85
	20.6	10	5.76	5.66	5.96	5.77	10.41	8.95	11.83	10.21
	12.5	11	3.21	3.21	4.15	3.16	6.16	4.94	7.12	6.14
TA-TC(T14側)	5.5	12	1.98	1.53	2.84	2.02	2.98	2.29	3.51	3.00
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.83	1.42	2.68	1.87	2.80	2.03	3.32	2.83
TC-TF	41.6	14	9.74	9.51	9.87	9.94	17.58	16.41	17.79	17.86
	30.55	15	6.68	6.19	6.88	6.67	12.58	11.69	13.42	12.82
	20.6	16	4.41	4.30	5.31	4.37	8.69	7.33	10.08	8.63
	12.5	17	3.49	3.38	4.53	3.48	7.47	6.23	8.82	7.41
	5.5	18	1.85	1.38	2.72	1.89	3.06	2.14	3.63	3.02
TG-TH	33.7	19	5.29	4.79	5.77	5.34	9.54	8.46	11.12	9.63
	20.6	20	3.97	3.68	4.73	3.99	7.87	6.89	9.37	7.80
	12.5	21	2.90	2.57	3.81	2.95	6.31	5.32	7.62	6.23
	5.5	22	1.78	1.34	2.62	1.81	3.06	2.14	3.69	3.01
	2.0	25	1.21	0.73	1.96	1.22	1.51	1.08	2.00	1.53

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-7(1) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	4.80	5.03	5.25	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	11.5	11.4	11.4	12.0	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	22.6	22.0	22.8	23.1	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	25.4	23.8	26.0	25.7	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.84	2.85	2.89	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.50	3.46	3.53	3.57	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	11.7	10.3	12.8	11.6	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	36.6	41.3	39.8	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	7.80	7.75	8.06	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	17.1	16.9	17.1	17.5	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	16.5	16.1	16.5	17.0	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.00	4.29	4.21	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.82	4.62	4.99	4.91	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	14.3	13.6	14.9	14.6	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	15.7	14.8	16.4	16.0	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	8.54	8.69	8.85	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	13.9	14.0	14.4	14.4	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	29.5	28.5	29.3	30.3	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	33.8	33.8	34.8	34.2	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	40.4	38.1	42.4	40.8	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.59	3.63	3.75	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	7.74	7.64	7.78	7.98	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	13.5	13.4	14.1	13.7	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	14.6	14.0	15.5	14.8	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-7(2) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S s, EW方向)

(b) S s - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Ss-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.99	4.76	4.53	4.99	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	10.5	10.3	10.3	10.5	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	22.1	21.8	22.0	21.8	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	25.6	25.3	25.7	25.4	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.50	2.45	2.41	2.54	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.53	3.45	3.48	3.50	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	11.8	11.6	12.3	11.8	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.0	40.7	39.6	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	7.23	7.26	7.05	7.41	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	15.0	14.6	14.6	15.0	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	16.2	16.1	16.2	16.1	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.16	4.17	4.15	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.86	4.86	4.97	4.90	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	14.4	14.2	14.6	14.3	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	15.7	15.3	15.7	15.6	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	7.30	7.20	7.00	7.36	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	12.8	12.8	12.4	12.7	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	28.0	27.7	27.8	27.7	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	34.1	34.0	34.3	33.8	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	39.1	38.3	40.7	38.9	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	3.26	3.27	2.86	3.22	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	7.60	7.59	7.57	7.57	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	13.7	13.6	13.9	13.4	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	14.4	14.4	15.0	14.2	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-7(3) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.20	4.11	4.09	4.22	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	9.27	8.92	9.57	9.21	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	19.2	19.0	19.5	19.3	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	22.4	22.5	22.5	22.5	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.12	2.10	2.12	2.13	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.30	3.26	3.37	3.34	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	9.79	10.2	9.52	9.61	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	32.9	33.4	33.7	33.0	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	6.49	6.40	6.89	6.61	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	13.0	13.0	13.3	13.0	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	14.3	14.1	14.5	14.2	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.87	3.85	3.85	3.83	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.55	4.58	4.44	4.54	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.2	13.1	13.2	12.9	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	14.7	14.6	14.4	14.6	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	6.70	6.44	6.86	6.75	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	11.7	11.3	12.6	11.9	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	25.0	24.8	26.0	25.4	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	31.8	31.7	30.9	31.9	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	37.0	36.8	35.8	37.0	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.98	2.80	2.73	3.02	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	7.51	7.48	7.38	7.60	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	12.2	12.2	11.9	12.1	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	13.1	13.0	12.7	13.0	14.6	14.4	15.5	14.8

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-7(4) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S s, EW方向)

(d) S s - N 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Ss-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.98	4.06	3.86	4.07	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.12	8.20	8.05	8.21	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	18.4	18.6	18.0	18.5	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	22.5	22.5	22.3	22.5	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.99	2.02	1.87	1.97	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.17	3.18	3.09	3.14	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	10.7	10.5	10.7	10.7	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	37.3	36.9	37.2	37.3	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	5.50	5.73	5.27	5.65	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	11.4	11.6	11.2	11.5	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	13.5	13.5	13.3	13.5	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.74	3.73	3.72	3.72	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.80	4.70	4.84	4.77	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.0	13.0	12.9	13.1	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	14.9	14.9	15.0	15.1	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	6.01	6.29	6.05	6.21	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	10.7	11.0	11.0	11.0	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	21.4	21.6	21.4	21.6	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	29.8	29.7	29.8	30.1	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	38.2	37.7	38.8	38.5	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.16	2.09	2.14	2.19	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	6.32	6.24	6.26	6.33	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	11.8	11.7	11.8	11.7	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	13.7	13.6	13.9	13.8	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-7(5) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.27	4.60	4.23	4.40	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.32	8.52	8.16	8.38	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	15.9	16.5	15.6	15.9	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	19.8	20.4	19.4	19.8	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.16	2.16	2.11	2.18	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	2.92	3.06	2.79	2.89	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	8.45	9.07	8.15	8.43	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	30.8	31.6	30.5	30.7	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	6.76	6.78	6.52	6.90	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	12.7	12.2	12.3	12.9	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	12.7	12.9	12.4	12.7	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.98	3.20	2.79	3.00	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	4.28	4.19	4.21	4.28	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.0	12.1	11.7	12.0	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	14.1	14.2	13.9	14.2	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	6.49	6.52	6.43	6.50	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	10.8	10.5	11.1	11.1	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	20.2	20.3	20.5	20.3	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	25.1	25.5	26.4	25.1	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	31.0	30.9	32.0	31.0	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.51	2.31	2.45	2.53	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	5.50	5.10	5.45	5.48	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	8.27	8.21	8.99	8.26	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	9.14	9.02	9.99	9.15	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-7(6) 最大応答せん断力一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.54	4.89	4.34	4.70	4.99	4.89	5.03	5.25
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	9.83	10.1	9.78	10.0	11.5	11.4	11.4	12.0
	20.6~12.5	3	18.5	18.3	18.5	18.4	22.6	22.0	22.8	23.1
	12.5~5.5	4	20.9	20.7	20.9	20.8	25.6	25.3	26.0	25.7
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.36	2.33	2.31	2.38	2.85	2.84	2.85	2.89
	20.6~8.8	6	3.28	3.27	3.27	3.25	3.53	3.46	3.53	3.57
	8.8~5.5	7	8.54	8.43	8.74	8.42	11.8	11.6	12.8	11.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	30.4	30.2	30.4	30.3	39.7	39.0	41.3	39.8
TA-TC	41.6~32.0	9	7.26	7.19	7.01	7.32	7.75	7.80	7.75	8.06
	32.0~20.6	10	14.0	13.9	13.6	13.7	17.1	16.9	17.1	17.5
	20.6~12.5	11	13.8	13.9	13.9	13.8	16.5	16.1	16.5	17.0
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.42	3.32	3.41	3.37	4.15	4.16	4.29	4.21
	5.5~2.0	13	3.87	3.82	4.25	3.85	4.86	4.86	4.99	4.91
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.2	12.3	12.3	14.4	14.2	14.9	14.6
	5.5~2.0	15	13.6	13.4	13.8	13.6	15.7	15.3	16.4	16.0
TC-TF	41.6~30.55	16	7.51	7.44	7.46	7.53	8.62	8.54	8.69	8.85
	30.55~20.6	17	11.7	11.6	11.8	11.6	13.9	14.0	14.4	14.4
	20.6~12.5	18	22.6	22.5	21.5	22.7	29.5	28.5	29.3	30.3
	12.5~5.5	19	27.0	26.7	27.3	27.1	34.1	34.0	34.8	34.2
	5.5~2.0	20	31.4	31.4	34.2	31.9	40.4	38.3	42.4	40.8
TG-TH	33.7~20.6	21	2.34	2.27	2.31	2.37	3.66	3.59	3.63	3.75
	20.6~12.5	22	5.72	5.60	5.86	5.74	7.74	7.64	7.78	7.98
	12.5~5.5	23	9.86	9.13	10.2	9.70	13.7	13.6	14.1	13.7
	5.5~2.0	24	10.5	10.1	11.8	10.6	14.6	14.4	15.5	14.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(1) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, E W方向)

(a) S_s-D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.69	4.60	4.83	5.04	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.02	5.75	6.30	6.00	6.42	6.47	6.47	6.32
			7.54	7.36	7.75	7.95	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	7.54	7.36	7.75	7.95	7.54	7.36	7.75	7.95
			25.1	24.7	25.1	25.9	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	25.1	24.7	25.1	25.9	25.1	24.7	25.1	25.9
			41.9	40.7	42.3	43.1	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	10.1	9.81	10.2	10.6	10.1	9.81	10.2	10.6
			13.0	12.9	13.1	13.5	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	13.0	12.9	13.1	13.5	13.0	12.9	13.1	13.5
			17.1	17.0	17.2	17.7	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	17.1	17.0	17.2	17.7	17.1	17.0	17.2	17.7
			20.2	19.5	20.5	20.8	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	62.1	60.1	62.8	63.9	62.1	61.2	62.8	63.9
			74.2	71.7	76.6	76.1	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			7.44	7.49	7.44	7.74	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	7.44	7.49	7.44	7.74	7.44	7.49	7.44	7.74
			26.9	26.7	26.6	27.6	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	26.9	26.7	26.6	27.6	26.9	26.7	26.6	27.6
			39.5	39.7	39.7	40.7	39.5	39.7	39.7	40.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(2) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(a) S_s-D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	22.2	21.9	22.3	22.8	22.2	21.9	22.3	22.8
			25.0	24.3	25.1	25.7	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	25.0	24.3	25.1	25.7	25.0	24.3	25.1	25.7
			26.2	25.5	26.4	26.9	26.2	25.5	26.4	26.9
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	17.8	17.8	17.4	18.3	17.8	17.8	17.4	18.3
			26.6	26.0	26.7	27.4	26.6	26.0	26.7	27.4
	5.5~2.0	15	26.6	26.0	26.7	27.4	26.6	26.0	26.7	27.4
			31.4	30.6	31.5	32.3	31.4	30.6	31.5	32.3
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			9.53	9.43	9.60	9.77	9.53	9.43	9.60	9.77
	30.55~20.6	17	9.53	9.43	9.60	9.77	9.53	9.43	9.60	9.77
			22.9	23.1	23.8	23.9	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	22.9	23.1	23.8	23.9	22.9	23.1	23.8	23.9
			46.1	45.2	45.6	47.8	46.1	45.2	45.6	47.8
	12.5~5.5	19	46.1	45.2	45.6	47.8	46.1	45.2	45.6	47.8
			69.7	68.2	67.5	71.8	69.7	68.2	67.5	71.8
5.5~2.0	20	69.7	68.2	67.5	71.8	69.7	68.2	67.5	71.8	
		81.7	79.9	81.5	84.1	81.7	79.9	81.5	84.1	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.79	4.70	4.76	4.91	4.79	4.70	4.76	4.91
	20.6~12.5	22	4.79	4.70	4.76	4.91	4.79	4.70	4.76	4.91
			11.0	10.9	10.9	11.3	11.0	10.9	10.9	11.3
	12.5~5.5	23	11.0	10.9	10.9	11.3	11.0	10.9	10.9	11.3
			20.2	19.8	20.2	20.8	20.2	19.8	20.2	20.8
	5.5~2.0	24	20.2	19.8	20.2	20.8	20.2	19.8	20.2	20.8
			24.8	24.3	25.4	25.6	24.8	24.3	25.4	25.6

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(3) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.79	4.56	4.34	4.79	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.42	6.47	6.47	6.32	6.42	6.47	6.47	6.32
			7.30	7.18	6.80	7.29	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	7.30	7.18	6.80	7.29	7.54	7.36	7.75	7.95
			24.0	23.5	23.6	23.9	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	24.0	23.5	23.6	23.9	25.1	24.7	25.1	25.9
			41.9	41.2	41.5	41.6	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	9.76	9.61	9.33	9.73	10.1	9.81	10.2	10.6
			12.4	12.2	12.0	12.4	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	12.4	12.2	12.0	12.4	13.0	12.9	13.1	13.5
			16.6	16.3	16.1	16.5	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	16.6	16.3	16.1	16.5	17.1	17.0	17.2	17.7
			20.2	20.0	19.9	20.1	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	62.1	61.2	61.3	61.7	62.1	61.2	62.8	63.9
			75.8	74.9	75.1	75.2	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.94	6.97	6.77	7.11	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	6.94	6.97	6.77	7.11	7.44	7.49	7.44	7.74
			23.5	23.2	22.6	23.6	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	23.5	23.2	22.6	23.6	26.9	26.7	26.6	27.6
			36.6	35.9	35.5	36.5	39.5	39.7	39.7	40.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(4) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	20.9	20.6	20.3	20.8	22.2	21.9	22.3	22.8
			23.8	23.5	23.1	23.7	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	23.8	23.5	23.1	23.7	25.0	24.3	25.1	25.7
			25.2	25.1	24.5	25.1	26.2	25.5	26.4	26.9
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	15.7	15.3	15.2	15.7	17.8	17.8	17.4	18.3
			25.5	25.3	24.7	25.3	26.6	26.0	26.7	27.4
	5.5~2.0	15	25.5	25.3	24.7	25.3	26.6	26.0	26.7	27.4
			30.8	30.6	29.8	30.5	31.4	30.6	31.5	32.3
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			8.06	7.96	7.74	8.14	9.53	9.43	9.60	9.77
	30.55~20.6	17	8.06	7.96	7.74	8.14	9.53	9.43	9.60	9.77
			20.8	20.7	20.1	20.8	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	20.8	20.7	20.1	20.8	22.9	23.1	23.8	23.9
			41.7	41.5	40.1	41.8	46.1	45.2	45.6	47.8
	12.5~5.5	19	41.7	41.5	40.1	41.8	46.1	45.2	45.6	47.8
			65.5	65.3	61.9	65.2	69.7	68.2	67.5	71.8
	5.5~2.0	20	65.5	65.3	61.9	65.2	69.7	68.2	67.5	71.8
			78.4	78.5	76.1	77.8	81.7	79.9	81.5	84.1
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.26	4.29	3.75	4.21	4.79	4.70	4.76	4.91
	20.6~12.5	22	4.26	4.29	3.75	4.21	4.79	4.70	4.76	4.91
			10.0	10.0	9.79	9.84	11.0	10.9	10.9	11.3
	12.5~5.5	23	10.0	10.0	9.79	9.84	11.0	10.9	10.9	11.3
			19.1	19.0	18.3	19.0	20.2	19.8	20.2	20.8
	5.5~2.0	24	19.1	19.0	18.3	19.0	20.2	19.8	20.2	20.8
			24.1	24.0	23.4	24.0	24.8	24.3	25.4	25.6

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(5) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.03	3.95	3.93	4.05	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	5.25	5.18	5.42	5.10	6.42	6.47	6.47	6.32
			6.06	5.90	5.95	6.21	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	6.06	5.90	5.95	6.21	7.54	7.36	7.75	7.95
			21.1	20.5	21.4	21.1	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	21.1	20.5	21.4	21.1	25.1	24.7	25.1	25.9
			36.6	35.6	36.8	36.8	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	8.35	8.12	8.49	8.35	10.1	9.81	10.2	10.6
			10.7	10.4	10.8	10.8	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	10.7	10.4	10.8	10.8	13.0	12.9	13.1	13.5
			14.6	14.2	14.8	14.7	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	14.6	14.2	14.8	14.7	17.1	17.0	17.2	17.7
			17.4	16.8	17.6	17.5	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	54.0	52.3	54.2	54.2	62.1	61.2	62.8	63.9
			65.4	63.1	65.7	65.6	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.23	6.15	6.61	6.35	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	6.23	6.15	6.61	6.35	7.44	7.49	7.44	7.74
			20.3	20.2	21.7	20.5	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	20.3	20.2	21.7	20.5	26.9	26.7	26.6	27.6
			31.7	31.4	33.2	31.8	39.5	39.7	39.7	40.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(6) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	18.2	18.1	18.8	18.1	22.2	21.9	22.3	22.8
	5.5~2.0	13	20.9	20.7	21.4	20.7	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	13.9	13.6	14.5	13.9	17.8	17.8	17.4	18.3
	5.5~2.0	15	22.5	22.4	22.9	22.3	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			7.40	7.11	7.58	7.46	9.53	9.43	9.60	9.77
	30.55~20.6	17	7.40	7.11	7.58	7.46	9.53	9.43	9.60	9.77
			18.7	18.0	20.1	19.0	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	18.7	18.0	20.1	19.0	22.9	23.1	23.8	23.9
			37.7	37.7	40.9	38.2	46.1	45.2	45.6	47.8
12.5~5.5	19	37.7	37.7	40.9	38.2	46.1	45.2	45.6	47.8	
		58.9	58.6	62.3	59.4	69.7	68.2	67.5	71.8	
5.5~2.0	20	58.9	58.6	62.3	59.4	69.7	68.2	67.5	71.8	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.90	3.66	3.58	3.96	4.79	4.70	4.76	4.91
	20.6~12.5	22	3.90	3.66	3.58	3.96	4.79	4.70	4.76	4.91
			9.99	9.71	9.52	10.1	11.0	10.9	10.9	11.3
	12.5~5.5	23	9.99	9.71	9.52	10.1	11.0	10.9	10.9	11.3
			18.1	17.7	17.6	18.2	20.2	19.8	20.2	20.8
5.5~2.0	24	18.1	17.7	17.6	18.2	20.2	19.8	20.2	20.8	
			22.7	22.2	21.9	22.8	24.8	24.3	25.4	25.6

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(7) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.82	3.90	3.71	3.91	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	5.34	5.33	5.23	5.40	6.42	6.47	6.47	6.32
			5.00	5.13	4.91	5.12	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	5.00	5.13	4.91	5.12	7.54	7.36	7.75	7.95
			18.8	18.9	18.6	18.9	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	18.8	18.9	18.6	18.9	25.1	24.7	25.1	25.9
			34.3	34.5	33.8	34.5	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.63	7.69	7.60	7.74	10.1	9.81	10.2	10.6
			9.89	9.97	9.73	9.98	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	9.89	9.97	9.73	9.98	13.0	12.9	13.1	13.5
			13.2	13.3	13.0	13.2	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	13.2	13.3	13.0	13.2	17.1	17.0	17.2	17.7
			16.4	16.5	16.1	16.4	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	50.3	50.6	49.7	50.5	62.1	61.2	62.8	63.9
			63.1	63.2	62.4	63.2	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.28	5.50	5.06	5.42	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	5.28	5.50	5.06	5.42	7.44	7.49	7.44	7.74
			18.1	18.5	17.8	18.4	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	18.1	18.5	17.8	18.4	26.9	26.7	26.6	27.6
			28.7	29.1	28.3	29.0	39.5	39.7	39.7	40.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(8) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	16.7	16.9	16.5	16.9	22.2	21.9	22.3	22.8
	5.5~2.0	13	19.2	19.4	19.0	19.3	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.0	12.1	11.8	12.1	17.8	17.8	17.4	18.3
	5.5~2.0	15	20.7	20.9	20.4	20.8	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.64	6.95	6.68	6.86	9.53	9.43	9.60	9.77
	30.55~20.6	17	6.64	6.95	6.68	6.86	9.53	9.43	9.60	9.77
			17.3	17.8	17.6	17.8	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	17.3	17.8	17.6	17.8	22.9	23.1	23.8	23.9
			34.4	35.0	34.9	35.2	46.1	45.2	45.6	47.8
12.5~5.5	19	34.4	35.0	34.9	35.2	46.1	45.2	45.6	47.8	
		53.9	54.4	54.2	54.8	69.7	68.2	67.5	71.8	
5.5~2.0	20	53.9	54.4	54.2	54.8	69.7	68.2	67.5	71.8	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.83	2.73	2.80	2.87	4.79	4.70	4.76	4.91
	20.6~12.5	22	2.83	2.73	2.80	2.87	4.79	4.70	4.76	4.91
			7.95	7.78	7.87	7.99	11.0	10.9	10.9	11.3
	12.5~5.5	23	7.95	7.78	7.87	7.99	11.0	10.9	10.9	11.3
			15.7	15.5	15.6	15.7	20.2	19.8	20.2	20.8
5.5~2.0	24	15.7	15.5	15.6	15.7	20.2	19.8	20.2	20.8	
			20.2	20.0	20.1	20.2	24.8	24.3	25.4	25.6

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(9) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(e) $S_s - N2NS$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			$S_s - N2NS$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.10	4.42	4.06	4.22	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	4.48	4.74	4.39	4.50	6.42	6.47	6.47	6.32
			6.23	6.34	5.98	6.34	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	6.23	6.34	5.98	6.34	7.54	7.36	7.75	7.95
			17.8	18.3	17.5	17.9	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	17.8	18.3	17.5	17.9	25.1	24.7	25.1	25.9
			31.3	32.1	30.7	31.3	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.35	7.60	7.30	7.44	10.1	9.81	10.2	10.6
			9.73	9.68	9.68	9.85	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	9.73	9.68	9.68	9.85	13.0	12.9	13.1	13.5
			12.7	12.9	12.7	12.9	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	12.7	12.9	12.7	12.9	17.1	17.0	17.2	17.7
			15.2	15.7	14.8	15.3	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	46.5	47.8	45.1	46.6	62.1	61.2	62.8	63.9
			57.3	58.9	55.7	57.3	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.49	6.51	6.26	6.62	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	6.49	6.51	6.26	6.62	7.44	7.49	7.44	7.74
			21.0	20.4	20.3	21.3	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	21.0	20.4	20.3	21.3	26.9	26.7	26.6	27.6
			30.8	29.3	30.3	31.2	39.5	39.7	39.7	40.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(10) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s, EW方向)

(e) S_s-N2NS

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			S _s -N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	17.2	16.2	17.0	17.4	22.2	21.9	22.3	22.8
	5.5~2.0		18.9	17.9	18.7	19.1	25.0	24.3	25.1	25.7
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.7	13.2	13.3	13.9	17.8	17.8	17.4	18.3
	5.5~2.0		20.0	19.4	20.0	20.2	26.6	26.0	26.7	27.4
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			7.17	7.20	7.10	7.19	9.53	9.43	9.60	9.77
	30.55~20.6	17	7.17	7.20	7.10	7.19	9.53	9.43	9.60	9.77
			17.9	17.6	18.1	18.2	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	17.9	17.6	18.1	18.2	22.9	23.1	23.8	23.9
			33.4	32.0	34.2	34.1	46.1	45.2	45.6	47.8
12.5~5.5	19	33.4	32.0	34.2	34.1	46.1	45.2	45.6	47.8	
		50.2	49.0	51.1	50.8	69.7	68.2	67.5	71.8	
5.5~2.0	20	50.2	49.0	51.1	50.8	69.7	68.2	67.5	71.8	
		59.3	58.4	61.5	59.9	81.7	79.9	81.5	84.1	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.29	3.03	3.21	3.31	4.79	4.70	4.76	4.91
	20.6~12.5	22	3.29	3.03	3.21	3.31	4.79	4.70	4.76	4.91
			7.73	7.16	7.62	7.74	11.0	10.9	10.9	11.3
	12.5~5.5	23	7.73	7.16	7.62	7.74	11.0	10.9	10.9	11.3
			13.5	12.6	13.4	13.5	20.2	19.8	20.2	20.8
5.5~2.0	24	13.5	12.6	13.4	13.5	20.2	19.8	20.2	20.8	
		16.6	15.4	16.8	16.6	24.8	24.3	25.4	25.6	

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(11) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S_s , EW方向)

(f) $S_s - N2EW$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			S_s-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.35	4.70	4.17	4.51	4.79	4.70	4.83	5.04
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	5.05	4.98	4.99	4.98	6.42	6.47	6.47	6.32
			6.65	6.70	6.53	6.95	7.54	7.36	7.75	7.95
	20.6~12.5	3	6.65	6.70	6.53	6.95	7.54	7.36	7.75	7.95
			21.1	21.5	21.0	21.3	25.1	24.7	25.1	25.9
	12.5~5.5	4	21.1	21.5	21.0	21.3	25.1	24.7	25.1	25.9
			35.1	35.4	35.1	35.3	41.9	41.2	42.3	43.1
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	8.44	8.68	8.35	8.58	10.1	9.81	10.2	10.6
			11.1	11.3	11.0	11.3	13.0	12.9	13.1	13.5
	20.6~8.8	6	11.1	11.3	11.0	11.3	13.0	12.9	13.1	13.5
			14.8	15.1	14.7	15.1	17.1	17.0	17.2	17.7
	8.8~5.5	7	14.8	15.1	14.7	15.1	17.1	17.0	17.2	17.7
			17.5	17.8	17.2	17.7	20.2	20.0	20.5	20.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	52.5	53.2	52.4	53.0	62.1	61.2	62.8	63.9
			63.2	63.8	62.8	63.6	75.8	74.9	76.6	76.1
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			6.97	6.90	6.73	7.02	7.44	7.49	7.44	7.74
	32.0~20.6	10	6.97	6.90	6.73	7.02	7.44	7.49	7.44	7.74
			22.9	22.7	22.2	22.6	26.9	26.7	26.6	27.6
	20.6~12.5	11	22.9	22.7	22.2	22.6	26.9	26.7	26.6	27.6
			33.8	33.7	32.9	33.3	39.5	39.7	39.7	40.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-8(12) 最大応答曲げモーメント一覧表 (基準地震動 S s, EW方向)

(f) S s - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Ss-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	19.2	19.2	18.8	19.0	22.2	21.9	22.3	22.8
			21.1	21.1	20.8	20.9	25.0	24.3	25.1	25.7
	5.5~2.0	13	21.1	21.1	20.8	20.9	25.0	24.3	25.1	25.7
			22.4	22.3	22.0	22.2	26.2	25.5	26.4	26.9
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	14.7	14.6	14.2	14.5	17.8	17.8	17.4	18.3
			22.7	22.7	22.3	22.5	26.6	26.0	26.7	27.4
	5.5~2.0	15	22.7	22.7	22.3	22.5	26.6	26.0	26.7	27.4
			27.1	27.1	26.7	27.0	31.4	30.6	31.5	32.3
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			8.30	8.22	8.24	8.32	9.53	9.43	9.60	9.77
	30.55~20.6	17	8.30	8.22	8.24	8.32	9.53	9.43	9.60	9.77
			19.9	19.7	19.6	19.7	22.9	23.1	23.8	23.9
	20.6~12.5	18	19.9	19.7	19.6	19.7	22.9	23.1	23.8	23.9
			35.0	35.5	34.3	34.9	46.1	45.2	45.6	47.8
	12.5~5.5	19	35.0	35.5	34.3	34.9	46.1	45.2	45.6	47.8
			53.7	52.4	51.8	53.7	69.7	68.2	67.5	71.8
	5.5~2.0	20	53.7	52.4	51.8	53.7	69.7	68.2	67.5	71.8
			63.0	61.2	61.3	62.9	81.7	79.9	81.5	84.1
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.06	2.98	3.02	3.11	4.79	4.70	4.76	4.91
	20.6~12.5	22	3.06	2.98	3.02	3.11	4.79	4.70	4.76	4.91
			7.57	7.24	7.76	7.64	11.0	10.9	10.9	11.3
	12.5~5.5	23	7.57	7.24	7.76	7.64	11.0	10.9	10.9	11.3
			14.0	13.2	14.8	14.1	20.2	19.8	20.2	20.8
	5.5~2.0	24	14.0	13.2	14.8	14.1	20.2	19.8	20.2	20.8
			17.7	16.6	18.8	17.6	24.8	24.3	25.4	25.6

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-9(1) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	1139	1076	1121	1132	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	956	981	1012	960	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	787	828	821	783	863	840	878	864
	12.5	4	690	706	689	687	690	706	691	687
	5.5	5	571	583	579	569	571	583	579	569
	2.0	8	535	549	532	536	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	1139	1076	1121	1132	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	2000	2011	2008	1947	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	2060	2021	2068	2067	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	2975	2903	3059	2797	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性+ σ ,

ケース3 : 地盤物性- σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-9(2) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	983	968	1046	974	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	872	828	931	864	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	661	653	683	654	863	840	878	864
	12.5	4	504	541	547	500	690	706	691	687
	5.5	5	396	418	410	394	571	583	579	569
	2.0	8	349	352	363	349	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	983	968	1046	974	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	1499	1470	1465	1725	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	1716	1643	1693	1693	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	2539	2450	2514	2562	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性+ σ ,

ケース3 : 地盤物性- σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-9(3) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	874	920	944	870	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	771	778	844	767	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	615	623	677	613	863	840	878	864
	12.5	4	504	523	552	507	690	706	691	687
	5.5	5	468	487	495	470	571	583	579	569
	2.0	8	458	459	458	459	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	874	920	944	870	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	1302	1319	1256	1385	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	1507	1475	1526	1279	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	2242	2231	2361	2151	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性+ σ ,

ケース3 : 地盤物性- σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-9(4) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	808	808	834	810	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	736	730	754	738	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	578	575	587	579	863	840	878	864
	12.5	4	459	453	469	459	690	706	691	687
	5.5	5	337	336	336	338	571	583	579	569
	2.0	8	298	309	300	299	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	808	808	834	810	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	1054	1059	985	1032	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	1066	1044	1035	1022	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	1553	1518	1550	1548	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性+ σ ,

ケース3 : 地盤物性- σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-9(5) 最大応答加速度一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(e) $S_s - N2$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s^2)							
			$S_s - N2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	1413	1332	1447	1428	1413	1332	1447	1428
	32.0	2	1193	1155	1215	1198	1193	1155	1215	1198
	20.6	3	863	840	878	864	863	840	878	864
	12.5	4	680	662	691	677	690	706	691	687
	5.5	5	541	519	527	538	571	583	579	569
	2.0	8	467	443	440	464	535	549	532	536
屋根 トラス	0.0	1	1413	1332	1447	1428	1413	1332	1447	1428
	6.2	10	1915	2002	1817	1976	2000	2011	2008	1976
	12.2	11	2038	1988	2027	2396	2060	2021	2068	2396
	18.2	12	2697	2618	2705	2843	2975	2903	3059	2843

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性+ σ ,

ケース3 : 地盤物性- σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-10(1) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	1.08	1.05	1.16	1.07	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	0.98	0.94	1.05	0.96	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.76	0.69	0.81	0.75	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.57	0.51	0.64	0.57	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.36	0.29	0.44	0.36	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.25	0.17	0.33	0.25	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	1.08	1.05	1.16	1.07	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	14.30	13.86	15.00	16.60	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	29.92	28.90	31.17	34.23	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	40.52	39.23	42.10	42.01	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-10(2) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.96	0.90	1.02	0.94	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	0.85	0.80	0.91	0.84	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.62	0.58	0.67	0.62	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.44	0.41	0.49	0.44	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.25	0.21	0.31	0.25	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.15	0.10	0.25	0.15	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	0.96	0.90	1.02	0.94	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	8.72	8.37	9.08	8.52	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	19.12	18.49	20.15	18.85	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	25.61	24.63	26.74	25.75	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性+ σ ,

ケース3 : 地盤物性- σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-10(3) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.90	0.85	0.95	0.91	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	0.80	0.75	0.84	0.81	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.59	0.54	0.61	0.60	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.43	0.38	0.44	0.43	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.25	0.20	0.29	0.25	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.16	0.12	0.21	0.16	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	0.90	0.85	0.95	0.91	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	9.10	8.81	9.48	7.74	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	18.80	18.25	19.65	15.93	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	22.86	22.10	23.96	19.70	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-10(4) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			S_s-N1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.79	0.77	0.94	0.80	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	0.70	0.68	0.84	0.70	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.50	0.48	0.64	0.50	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.35	0.32	0.48	0.35	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.17	0.15	0.30	0.17	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.12	0.07	0.20	0.12	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	0.79	0.77	0.94	0.80	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	5.97	5.75	6.10	6.58	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	13.37	13.01	13.93	15.08	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	18.02	17.41	18.67	20.16	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-10(5) 最大応答変位一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(e) $S_s - N2$

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			$S_s - N2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	1.24	1.16	1.36	1.28	1.24	1.16	1.36	1.28
	32.0	2	1.10	1.03	1.22	1.12	1.10	1.03	1.22	1.12
	20.6	3	0.79	0.74	0.90	0.81	0.79	0.74	0.90	0.81
	12.5	4	0.55	0.51	0.66	0.57	0.57	0.51	0.66	0.57
	5.5	5	0.32	0.26	0.40	0.32	0.36	0.29	0.44	0.36
	2.0	8	0.19	0.13	0.30	0.20	0.25	0.17	0.33	0.25
屋根 トラス	0.0	1	1.24	1.16	1.36	1.28	1.24	1.16	1.36	1.28
	6.2	10	8.63	8.46	9.18	8.93	14.30	13.86	15.00	16.60
	12.2	11	19.10	18.42	19.96	17.10	29.92	28.90	31.17	34.23
	18.2	12	24.58	23.72	25.46	24.01	40.52	39.23	42.10	42.01

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性+ σ ,

ケース3 : 地盤物性- σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-11(1) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(a) $S_s - D$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - D$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	8.65	8.54	9.48	9.83	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	24.2	24.8	24.2	24.4	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	50.5	52.3	51.3	50.6	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	75.6	77.0	76.5	75.6	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	89.7	91.0	90.9	89.6	98.8	91.6	99.7	99.5

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-11(2) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(b) $S_s - F1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - F1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	7.03	6.86	7.45	6.78	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	22.4	21.5	23.9	22.1	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	45.3	44.1	47.6	44.7	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	64.1	63.0	67.7	63.3	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	73.7	73.4	77.9	72.9	98.8	91.6	99.7	99.5

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-11(3) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(c) $S_s - F2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - F2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	6.68	7.00	7.25	7.05	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	20.3	20.8	22.2	20.6	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	41.1	41.4	44.9	41.4	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	58.6	59.4	63.8	58.8	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	67.9	68.7	73.3	68.1	98.8	91.6	99.7	99.5

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-11(4) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(d) $S_s - N1$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - N1$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	6.07	6.07	6.25	6.09	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	19.1	19.0	19.6	19.2	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	39.4	39.2	40.2	39.5	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	56.5	56.0	57.6	56.6	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	65.2	64.6	66.1	65.4	98.8	91.6	99.7	99.5

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-11(5) 最大応答軸力一覧表 (基準地震動 S_s , 鉛直方向)

(e) $S_s - N2$

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 ($\times 10^4$ kN)							
			$S_s - N2$				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	9.22	9.17	9.68	10.8	9.22	9.17	9.68	10.8
	32.0~20.6	5	30.2	29.3	31.0	31.3	30.2	29.3	31.0	31.3
	20.6~12.5	6	60.6	58.4	61.5	61.5	60.6	58.4	61.5	61.5
	12.5~5.5	7	85.8	81.8	86.6	86.7	85.8	81.8	86.6	86.7
	5.5~2.0	8	98.8	91.6	99.7	99.5	98.8	91.6	99.7	99.5

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,

ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは基準地震動 S_s の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-12(1) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1014	946	1120	1030	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	709	702	729	711	870	866	953	870
	12.5	3	536	520	512	533	619	590	628	614
	9.0	4	480	451	478	482	563	536	526	557
T3	41.6	5	1145	1118	1295	1160	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	942	876	1024	948	1045	1019	1109	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1745	1701	1800	1741	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	1080	1077	1168	1089	1080	1077	1168	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1187	1167	1196	1180	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	651	639	691	648	651	639	691	648
	12.5	11	500	491	533	496	530	530	588	533
	5.5	12	411	412	462	414	411	412	462	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1586	1446	1729	1564	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	1048	998	1101	1043	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	930	927	927	926	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	627	619	618	627	821	807	778	821
	5.5	21	497	480	485	499	497	480	485	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	1800	1728	1887	1798	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	1071	992	1066	1080	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	817	766	739	822	899	828	833	879
	5.5	17	489	486	542	489	489	486	542	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1301	1294	1370	1317	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	842	856	842	844	875	907	901	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1728	1779	1687	1679	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	734	749	762	731	734	749	762	731
	12.5	26	583	612	622	577	583	612	622	577
	5.5	27	451	459	506	448	451	459	506	448
T14	41.6	28	1001	1023	1020	995	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	760	751	751	764	837	853	803	821
	20.6	30	540	561	559	523	548	561	559	553
	12.5	31	476	484	507	465	476	484	507	465
	2.0	34	439	434	478	439	439	434	478	439

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-12(2) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	997	1022	1089	1035	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	734	734	725	742	870	866	953	870
	12.5	3	509	452	430	500	619	590	628	614
	9.0	4	418	357	391	427	563	536	526	557
T3	41.6	5	1033	1025	950	1024	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	842	852	780	832	1045	1019	1109	1044
T4-T6 (TA側)	41.6	7	1889	1804	1808	1906	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	988	924	951	983	1080	1077	1168	1089
T4-T6 (TF側)	33.7	8	1166	1197	1212	1176	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	516	513	498	520	651	639	691	648
	12.5	11	405	411	402	401	530	530	588	533
	5.5	12	287	325	285	282	411	412	462	414
T7-T10 (TA側)	41.6	13	1499	1404	1511	1482	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	815	799	783	801	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	814	790	766	802	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	593	600	580	596	821	807	778	821
	5.5	21	308	299	327	307	497	480	485	499
T7-T10 (TF側)	30.55	14	2313	2190	2202	2288	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	1051	1000	991	1050	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	750	626	679	747	899	828	833	879
	5.5	17	442	460	423	459	489	486	542	489
T11-T13 (TA側)	41.6	22	1064	1035	1083	1064	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	558	602	576	549	875	907	901	872
T11-T13 (TF側)	30.55	23	1803	1934	1788	1734	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	511	489	448	517	734	749	762	731
	12.5	26	389	422	377	392	583	612	622	577
	5.5	27	311	350	304	312	451	459	506	448
T14	41.6	28	770	798	774	743	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	503	510	466	517	837	853	803	821
	20.6	30	404	458	354	404	548	561	559	553
	12.5	31	346	380	341	353	476	484	507	465
	2.0	34	297	292	304	302	439	434	478	439

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-12(3) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	831	808	810	846	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	731	687	696	729	870	866	953	870
	12.5	3	619	590	591	614	619	590	628	614
	9.0	4	543	517	524	537	563	536	526	557
T3	41.6	5	1055	1000	923	1040	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	763	738	696	769	1045	1019	1109	1044
T4-T6(TA側)	41.6	7	1648	1504	1414	1621	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	887	817	829	882	1080	1077	1168	1089
T4-T6(TF側)	33.7	8	1198	1148	1142	1210	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	560	520	550	567	651	639	691	648
	12.5	11	470	430	474	473	530	530	588	533
	5.5	12	311	283	330	308	411	412	462	414
T7-T10(TA側)	41.6	13	1343	1332	1383	1343	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	942	891	1008	934	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	781	713	725	780	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	607	611	576	600	821	807	778	821
	5.5	21	349	314	349	349	497	480	485	499
T7-T10(TF側)	30.55	14	1918	1802	1761	1900	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	1010	908	968	1005	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	899	828	833	879	899	828	833	879
	5.5	17	416	407	409	417	489	486	542	489
T11-T13(TA側)	41.6	22	1014	1057	1085	1003	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	654	625	634	648	875	907	901	872
T11-T13(TF側)	30.55	23	1552	1542	1441	1549	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	530	518	473	526	734	749	762	731
	12.5	26	393	414	365	388	583	612	622	577
	5.5	27	291	298	326	291	451	459	506	448
T14	41.6	28	767	811	881	782	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	610	630	668	612	837	853	803	821
	20.6	30	459	483	473	459	548	561	559	553
	12.5	31	380	371	377	392	476	484	507	465
	2.0	34	278	280	297	277	439	434	478	439

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-12(4) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	703	701	743	706	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	507	493	502	506	870	866	953	870
	12.5	3	374	362	357	373	619	590	628	614
	9.0	4	341	333	329	341	563	536	526	557
T3	41.6	5	854	834	757	828	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	646	636	592	628	1045	1019	1109	1044
T4-T6(TA側)	41.6	7	1212	1122	1092	1204	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	680	710	674	677	1080	1077	1168	1089
T4-T6(TF側)	33.7	8	949	918	881	941	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	468	497	463	464	651	639	691	648
	12.5	11	390	414	383	386	530	530	588	533
	5.5	12	264	269	259	262	411	412	462	414
T7-T10(TA側)	41.6	13	1341	1178	1402	1321	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	826	760	828	818	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	588	576	538	577	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	372	369	370	369	821	807	778	821
	5.5	21	259	265	263	258	497	480	485	499
T7-T10(TF側)	30.55	14	1460	1339	1380	1424	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	648	601	612	642	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	550	504	476	548	899	828	833	879
	5.5	17	345	360	336	345	489	486	542	489
T11-T13(TA側)	41.6	22	735	767	785	732	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	528	588	538	544	875	907	901	872
T11-T13(TF側)	30.55	23	1162	1166	1170	1172	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	450	471	415	450	734	749	762	731
	12.5	26	352	363	331	351	583	612	622	577
	5.5	27	281	279	268	279	451	459	506	448
T14	41.6	28	582	594	582	600	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	433	463	463	448	837	853	803	821
	20.6	30	357	385	365	357	548	561	559	553
	12.5	31	315	332	305	315	476	484	507	465
	2.0	34	270	277	266	270	439	434	478	439

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-12(5) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	704	719	736	689	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	526	534	518	527	870	866	953	870
	12.5	3	386	379	344	383	619	590	628	614
	9.0	4	368	340	315	361	563	536	526	557
T3	41.6	5	836	830	841	839	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	682	670	678	669	1045	1019	1109	1044
T4-T6(TA側)	41.6	7	1202	1123	1087	1190	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	628	616	585	611	1080	1077	1168	1089
T4-T6(TF側)	33.7	8	1052	1071	992	1041	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	492	522	466	480	651	639	691	648
	12.5	11	396	428	360	385	530	530	588	533
	5.5	12	280	286	273	279	411	412	462	414
T7-T10(TA側)	41.6	13	1175	1112	1235	1156	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	693	645	745	669	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	757	745	761	759	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	578	582	559	577	821	807	778	821
	5.5	21	345	336	282	344	497	480	485	499
T7-T10(TF側)	30.55	14	1481	1373	1463	1440	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	668	633	588	668	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	517	531	481	515	899	828	833	879
	5.5	17	419	437	342	417	489	486	542	489
T11-T13(TA側)	41.6	22	737	731	757	739	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	606	593	519	631	875	907	901	872
T11-T13(TF側)	30.55	23	1338	1354	1345	1345	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	519	526	489	517	734	749	762	731
	12.5	26	376	393	327	370	583	612	622	577
	5.5	27	321	313	287	324	451	459	506	448
T14	41.6	28	686	718	713	690	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	430	402	417	438	837	853	803	821
	20.6	30	362	362	341	362	548	561	559	553
	12.5	31	365	376	310	369	476	484	507	465
	2.0	34	316	309	271	316	439	434	478	439

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-12(6) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	1239	1231	1346	1243	1239	1231	1346	1243
	20.6	2	870	866	953	870	870	866	953	870
	12.5	3	614	588	628	608	619	590	628	614
	9.0	4	563	536	526	557	563	536	526	557
T3	41.6	5	1238	1248	1296	1239	1238	1248	1296	1239
	33.7	6	1045	1019	1109	1044	1045	1019	1109	1044
T4-T6(TA側)	41.6	7	1678	1700	1840	1700	1889	1804	1840	1906
	32.0	9	1026	1011	1026	1038	1080	1077	1168	1089
T4-T6(TF側)	33.7	8	1239	1225	1277	1228	1239	1225	1277	1228
T3-T6	20.6	10	651	625	679	648	651	639	691	648
	12.5	11	530	530	588	533	530	530	588	533
	5.5	12	387	362	416	389	411	412	462	414
T7-T10(TA側)	41.6	13	2129	2143	2281	2101	2129	2143	2281	2101
	32.0	18	1332	1313	1440	1316	1332	1313	1440	1316
	20.6	19	1081	1044	1048	1082	1081	1044	1048	1082
	12.5	20	821	807	778	821	821	807	778	821
	5.5	21	440	447	418	442	497	480	485	499
T7-T10(TF側)	30.55	14	2231	2189	2180	2211	2313	2190	2202	2288
	20.6	15	1200	1138	1272	1205	1200	1138	1272	1205
	12.5	16	767	754	780	774	899	828	833	879
	5.5	17	482	485	467	485	489	486	542	489
T11-T13(TA側)	41.6	22	1482	1466	1538	1444	1482	1466	1538	1444
	32.0	24	875	907	901	872	875	907	901	872
T11-T13(TF側)	30.55	23	1506	1585	1563	1463	1803	1934	1788	1734
T11-T13	20.6	25	664	653	669	662	734	749	762	731
	12.5	26	549	558	611	554	583	612	622	577
	5.5	27	430	419	477	432	451	459	506	448
T14	41.6	28	1162	1163	1132	1145	1162	1163	1132	1145
	30.55	29	837	853	803	821	837	853	803	821
	20.6	30	548	550	533	553	548	561	559	553
	12.5	31	431	425	465	435	476	484	507	465
	2.0	34	369	363	383	370	439	434	478	439

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-13(1) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	5.26	5.04	6.06	5.31	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	3.43	3.28	4.00	3.44	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	2.16	2.06	2.60	2.15	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.64	1.56	2.03	1.63	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	6.98	6.86	8.27	7.12	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	5.63	5.49	6.64	5.71	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6(TA側)	41.6	7	9.46	9.61	11.28	9.77	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	6.18	6.20	7.43	6.32	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6(TF側)	33.7	8	6.87	6.70	7.95	6.96	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	3.21	3.11	3.83	3.22	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	2.28	2.20	2.76	2.28	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.87	0.81	1.21	0.86	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10(TA側)	41.6	13	15.60	14.29	18.61	15.61	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	9.88	9.07	12.09	9.83	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	4.26	4.18	5.55	4.18	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	2.21	2.04	2.86	2.20	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	0.90	0.75	1.18	0.89	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10(TF側)	30.55	14	10.04	10.53	12.32	10.40	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	4.98	4.85	6.01	5.06	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	2.38	2.33	2.90	2.39	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	0.95	0.89	1.38	0.94	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13(TA側)	41.6	22	10.36	9.97	12.37	10.39	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	5.10	5.11	6.41	5.19	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13(TF側)	30.55	23	7.47	7.46	8.31	7.41	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	2.42	2.35	3.04	2.42	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.54	1.47	2.08	1.54	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.77	0.69	1.25	0.77	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	5.44	5.50	6.54	5.45	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	3.70	3.65	4.41	3.69	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	2.25	2.20	2.88	2.23	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	1.30	1.24	1.86	1.29	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.45	0.38	0.77	0.45	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-13(2) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	4.23	4.10	4.12	4.20	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	2.70	2.64	2.62	2.67	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	1.65	1.60	1.76	1.62	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.26	1.19	1.39	1.26	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	5.81	5.45	5.65	5.79	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	4.57	4.33	4.43	4.53	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6(TA側)	41.6	7	8.68	8.51	9.13	8.59	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	5.21	4.86	5.15	5.19	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6(TF側)	33.7	8	5.88	5.65	5.92	5.82	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	2.46	2.34	2.35	2.41	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	1.66	1.57	1.73	1.62	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.64	0.54	0.85	0.64	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10(TA側)	41.6	13	9.87	9.11	10.91	9.76	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	6.62	5.83	7.43	6.56	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	3.60	3.10	3.80	3.55	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	1.83	1.64	1.97	1.80	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	0.61	0.52	0.75	0.60	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10(TF側)	30.55	14	10.78	10.76	10.86	10.61	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	4.93	4.61	4.67	4.86	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	2.30	2.20	2.19	2.26	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	0.74	0.67	0.95	0.72	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13(TA側)	41.6	22	6.83	5.76	7.99	6.86	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	3.42	3.13	4.04	3.39	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13(TF側)	30.55	23	8.11	8.20	8.50	7.80	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	1.54	1.53	1.83	1.53	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	0.89	0.86	1.15	0.87	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.46	0.40	0.72	0.45	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	4.29	3.72	4.91	4.22	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	2.76	2.35	3.23	2.70	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	1.50	1.33	1.85	1.48	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	0.85	0.74	1.01	0.83	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.29	0.25	0.55	0.29	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-13(3) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.89	3.53	4.32	3.97	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	2.93	2.60	3.22	2.97	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	2.04	1.76	2.27	2.06	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.63	1.37	1.84	1.63	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	4.82	4.94	5.08	4.84	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	3.78	3.89	4.36	3.89	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6(TA側)	41.6	7	6.55	6.73	6.49	6.73	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	4.21	4.37	4.61	4.27	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6(TF側)	33.7	8	5.08	4.68	5.37	5.22	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	2.65	2.33	2.99	2.70	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	2.00	1.71	2.29	2.03	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.85	0.63	1.09	0.86	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10(TA側)	41.6	13	9.90	10.23	11.55	10.14	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	6.72	5.90	7.70	6.66	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	3.75	3.41	4.20	3.72	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	2.03	1.86	2.22	2.00	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	0.73	0.59	0.98	0.72	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10(TF側)	30.55	14	8.34	8.08	7.82	8.28	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	4.02	3.62	4.48	4.10	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	2.33	2.19	2.56	2.33	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	0.99	0.89	1.23	1.00	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13(TA側)	41.6	22	6.47	6.48	7.67	6.51	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	3.26	3.05	3.87	3.19	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13(TF側)	30.55	23	6.85	6.82	6.48	6.88	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	1.72	1.48	1.93	1.68	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.04	0.89	1.36	1.03	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.64	0.44	0.91	0.65	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	4.58	4.53	5.34	4.58	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	3.14	3.06	3.62	3.12	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	1.86	1.77	2.13	1.84	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	1.00	0.91	1.31	0.99	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.42	0.30	0.65	0.42	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-13(4) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.44	3.64	3.96	3.49	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	2.35	2.39	2.80	2.33	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	1.54	1.50	1.97	1.52	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.20	1.12	1.60	1.18	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	4.64	4.58	5.05	4.60	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	3.72	3.84	4.27	3.68	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6(TA側)	41.6	7	6.59	5.99	6.49	6.57	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	4.29	4.06	4.65	4.24	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6(TF側)	33.7	8	4.72	4.33	4.67	4.68	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	2.24	2.38	2.85	2.26	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	1.60	1.70	2.17	1.61	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.62	0.59	1.09	0.60	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10(TA側)	41.6	13	11.31	10.71	12.49	11.45	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	7.52	7.03	8.04	7.55	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	3.75	3.42	4.04	3.72	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	1.85	1.72	2.17	1.83	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	0.58	0.59	1.09	0.59	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10(TF側)	30.55	14	9.78	8.74	10.10	9.58	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	3.30	2.94	3.32	3.27	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	1.94	1.68	2.08	1.93	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	0.76	0.59	1.13	0.75	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13(TA側)	41.6	22	5.80	5.50	6.88	5.74	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	3.19	3.43	4.07	3.32	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13(TF側)	30.55	23	5.84	6.23	6.84	6.02	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	1.84	1.93	2.45	1.89	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.15	1.18	1.69	1.17	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.55	0.53	1.05	0.56	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	3.76	3.99	4.80	3.93	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	2.67	2.80	3.50	2.77	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	1.69	1.74	2.36	1.74	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	0.98	0.99	1.55	1.01	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.27	0.23	0.69	0.26	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-13(5) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	3.81	3.60	3.90	3.74	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	2.42	2.28	2.55	2.36	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	1.47	1.36	1.66	1.43	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.09	1.04	1.30	1.06	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	5.20	4.92	5.39	5.12	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	4.11	3.92	4.30	4.02	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6(TA側)	41.6	7	7.50	6.90	7.59	7.45	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	4.70	4.40	4.92	4.62	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6(TF側)	33.7	8	4.78	4.52	4.85	4.71	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	2.32	2.24	2.57	2.25	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	1.61	1.53	1.87	1.56	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	0.56	0.54	0.84	0.54	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10(TA側)	41.6	13	10.34	9.71	11.22	10.28	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	6.60	6.11	7.42	6.54	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	3.26	2.87	3.78	3.22	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	1.76	1.70	2.01	1.77	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	0.60	0.57	0.85	0.60	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10(TF側)	30.55	14	9.62	9.30	9.87	9.47	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	3.46	3.33	3.64	3.38	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	1.86	1.71	1.98	1.83	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	0.71	0.61	0.89	0.70	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13(TA側)	41.6	22	5.50	4.60	6.23	5.59	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	3.37	2.90	3.88	3.41	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13(TF側)	30.55	23	6.69	6.37	7.14	6.86	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	1.92	1.69	2.26	1.92	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.16	0.98	1.46	1.16	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.53	0.41	0.81	0.52	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	3.73	3.13	4.22	3.81	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	2.64	2.23	3.03	2.68	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	1.67	1.41	2.01	1.69	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	0.96	0.77	1.27	0.96	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.23	0.28	0.47	0.23	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-13(6) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7	1	5.82	5.54	6.64	5.86	5.82	5.54	6.64	5.86
	20.6	2	3.91	3.66	4.56	3.94	3.91	3.66	4.56	3.94
	12.5	3	2.54	2.33	3.08	2.55	2.54	2.33	3.08	2.55
	9.0	4	1.98	1.79	2.50	1.99	1.98	1.79	2.50	1.99
T3	41.6	5	8.10	8.55	8.79	8.12	8.10	8.55	8.79	8.12
	33.7	6	6.08	6.45	6.88	6.13	6.08	6.45	6.88	6.13
T4-T6(TA側)	41.6	7	12.69	13.25	14.04	12.83	12.69	13.25	14.04	12.83
	32.0	9	7.69	8.08	8.63	7.72	7.69	8.08	8.63	7.72
T4-T6(TF側)	33.7	8	7.57	8.02	8.55	7.58	7.57	8.02	8.55	7.58
T3-T6	20.6	10	3.51	3.16	4.12	3.53	3.51	3.16	4.12	3.53
	12.5	11	2.53	2.24	3.06	2.54	2.53	2.24	3.06	2.54
	5.5	12	1.07	0.89	1.51	1.08	1.07	0.89	1.51	1.08
T7-T10(TA側)	41.6	13	24.34	25.95	28.94	24.64	24.34	25.95	28.94	24.64
	32.0	18	15.24	16.43	18.37	15.34	15.24	16.43	18.37	15.34
	20.6	19	6.10	6.77	7.71	6.06	6.10	6.77	7.71	6.06
	12.5	20	3.02	2.83	3.52	3.05	3.02	2.83	3.52	3.05
	5.5	21	1.02	0.90	1.41	1.03	1.02	0.90	1.41	1.03
T7-T10(TF側)	30.55	14	16.32	17.11	18.36	16.09	16.32	17.11	18.36	16.09
	20.6	15	6.12	5.81	7.15	6.24	6.12	5.81	7.15	6.24
	12.5	16	3.27	2.95	3.89	3.30	3.27	2.95	3.89	3.30
	5.5	17	1.32	1.13	1.81	1.34	1.32	1.13	1.81	1.34
T11-T13(TA側)	41.6	22	14.13	14.85	17.63	14.33	14.13	14.85	17.63	14.33
	32.0	24	7.14	7.56	9.17	7.18	7.14	7.56	9.17	7.18
T11-T13(TF側)	30.55	23	11.10	11.95	12.87	11.07	11.10	11.95	12.87	11.07
T11-T13	20.6	25	2.48	2.65	3.33	2.44	2.48	2.65	3.33	2.44
	12.5	26	1.44	1.55	2.20	1.44	1.54	1.55	2.20	1.54
	5.5	27	0.79	0.80	1.28	0.79	0.79	0.80	1.28	0.79
T14	41.6	28	7.88	8.02	9.32	7.90	7.88	8.02	9.32	7.90
	30.55	29	5.14	5.19	6.28	5.12	5.14	5.19	6.28	5.12
	20.6	30	2.85	2.94	3.79	2.82	2.85	2.94	3.79	2.82
	12.5	31	1.39	1.52	2.22	1.37	1.39	1.52	2.22	1.37
	2.0	34	0.52	0.57	0.92	0.53	0.52	0.57	0.92	0.53

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-14(1) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.52	2.48	2.77	2.59	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	4.16	4.04	4.45	4.20	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	5.41	5.34	5.76	5.43	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	6.37	6.33	6.73	6.36	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	2.44	2.54	2.78	2.55	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	4.39	4.38	4.90	4.52	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.53	1.58	1.63	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.71	2.74	2.88	2.73	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.437	0.416	0.433	0.440	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.67	1.66	1.73	1.69	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	16.2	16.1	17.7	16.4	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	22.3	22.3	24.1	22.4	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	23.1	23.2	24.8	23.1	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.54	3.59	3.90	3.64	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	4.85	4.60	5.16	4.84	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	5.22	5.12	5.57	5.15	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	7.65	7.61	7.68	7.60	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	8.60	8.46	8.52	8.53	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.507	0.481	0.562	0.517	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.36	1.30	1.39	1.36	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	2.22	2.18	2.23	2.26	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	3.77	3.79	4.20	3.80	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	4.85	4.71	4.99	4.84	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.87	1.88	1.99	1.92	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	4.02	3.91	4.44	4.01	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.294	0.314	0.282	0.282	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.853	0.876	0.839	0.832	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	9.43	9.59	9.80	9.46	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	12.7	13.0	13.2	12.6	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	15.1	15.6	15.8	15.0	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.41	1.34	1.60	1.39	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.97	1.94	2.17	2.03	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	2.26	2.32	2.38	2.26	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	3.06	3.18	3.20	3.02	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-14(2) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.12	2.00	2.03	2.13	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	3.44	3.42	3.30	3.43	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	4.33	4.37	4.10	4.29	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	5.12	5.26	4.95	5.07	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	2.72	2.61	2.66	2.74	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	3.62	3.43	3.44	3.64	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.61	1.55	1.61	1.66	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.59	2.53	2.52	2.60	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.412	0.365	0.378	0.425	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.62	1.63	1.62	1.65	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	13.9	13.6	13.2	13.8	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	16.9	16.8	15.7	16.6	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	16.8	17.0	16.7	16.5	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.62	3.41	3.61	3.66	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	4.05	3.87	3.96	3.99	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	4.88	4.45	4.59	4.83	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	6.86	6.73	6.78	6.77	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	7.41	6.95	7.54	7.31	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.608	0.571	0.577	0.605	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.64	1.55	1.56	1.61	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	2.10	2.04	2.04	2.12	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	4.17	4.11	3.95	4.12	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	4.07	4.14	3.77	3.97	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.65	1.58	1.64	1.66	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	3.28	3.11	3.46	3.30	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.292	0.328	0.298	0.280	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.906	0.959	0.903	0.872	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	6.81	6.92	6.90	6.83	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	8.58	8.68	8.69	8.55	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	9.91	10.1	10.1	9.82	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.11	1.00	1.21	1.11	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.58	1.45	1.69	1.57	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	1.70	1.58	1.81	1.67	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	2.07	2.06	2.10	2.08	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-14(3) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.59	1.57	1.55	1.56	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	2.94	2.84	3.04	3.02	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	4.49	4.28	4.56	4.56	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	6.19	5.90	6.19	6.22	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	1.82	1.71	1.78	1.83	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	2.89	2.84	2.71	2.92	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.55	1.52	1.47	1.56	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.18	2.19	2.12	2.19	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.342	0.319	0.316	0.347	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.37	1.31	1.34	1.38	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	11.3	10.9	11.7	11.7	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	18.5	17.5	18.9	18.8	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	20.3	19.2	20.9	20.6	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.31	3.19	3.23	3.39	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	3.70	3.69	4.02	3.74	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	5.03	4.65	5.40	4.96	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	7.23	7.08	7.42	7.15	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	7.94	7.89	8.08	7.85	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.553	0.512	0.531	0.552	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.31	1.24	1.18	1.29	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	2.04	1.96	2.03	2.01	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	4.08	3.75	3.81	4.02	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	5.27	4.89	4.73	5.15	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.64	1.63	1.66	1.65	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	3.05	2.94	3.37	2.96	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.261	0.262	0.242	0.258	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.772	0.765	0.721	0.773	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	7.16	6.47	7.68	7.01	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	9.12	8.62	9.97	8.93	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	10.9	10.7	11.9	10.7	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.03	1.08	1.21	1.06	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.65	1.69	1.90	1.66	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	1.98	2.02	2.23	1.98	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	2.52	2.55	2.76	2.49	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-14(4) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.55	1.66	1.48	1.59	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	2.72	2.89	2.59	2.75	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	3.69	3.94	3.63	3.71	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	4.64	4.73	4.43	4.59	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	1.64	1.52	1.57	1.67	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	2.51	2.37	2.46	2.52	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.19	1.18	1.21	1.23	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.22	2.19	2.17	2.21	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.271	0.233	0.270	0.272	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.29	1.22	1.20	1.29	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	10.7	11.5	10.8	10.7	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	16.2	17.6	16.5	16.3	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	17.7	19.2	18.0	17.7	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.06	2.70	3.13	3.08	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	4.10	3.67	4.43	4.08	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	4.88	4.61	4.66	4.83	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	6.08	5.84	5.82	6.03	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	6.24	6.40	5.97	6.18	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.324	0.302	0.297	0.318	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.09	0.998	1.05	1.06	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	1.55	1.59	1.45	1.52	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	3.11	2.88	2.88	3.10	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	3.86	3.61	3.57	3.84	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.56	1.54	1.57	1.56	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	3.01	2.98	3.34	3.03	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.199	0.202	0.197	0.200	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.571	0.570	0.579	0.576	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	7.08	7.78	7.40	7.31	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	9.47	10.3	9.67	9.69	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	11.4	12.2	11.6	11.6	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	0.868	0.846	0.961	0.874	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.16	1.27	1.34	1.22	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	1.60	1.74	1.77	1.66	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	2.33	2.50	2.48	2.39	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-14(5) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	1.84	1.80	1.73	1.83	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	3.00	3.00	2.71	2.94	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	3.88	3.96	3.52	3.77	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	4.55	4.67	4.10	4.42	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	1.86	1.68	1.71	1.87	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	3.15	3.02	2.93	3.12	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.38	1.31	1.33	1.40	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	2.33	2.31	2.30	2.31	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.276	0.243	0.244	0.283	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.36	1.37	1.25	1.36	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	11.8	12.2	11.3	11.5	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	16.5	17.3	15.7	16.0	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	17.4	18.3	16.6	16.8	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	2.52	2.39	2.60	2.53	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	3.23	2.98	3.41	3.17	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	4.23	4.00	4.37	4.20	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	6.90	6.80	6.80	6.93	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	7.69	7.57	7.46	7.71	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.309	0.296	0.300	0.301	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.13	1.04	1.13	1.10	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	1.70	1.78	1.68	1.66	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	2.97	2.87	2.80	2.97	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	4.25	4.17	3.77	4.20	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.45	1.35	1.47	1.47	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	2.95	2.65	3.12	2.98	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.208	0.221	0.210	0.209	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.680	0.679	0.684	0.684	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	7.84	7.46	8.01	7.90	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	10.0	9.73	9.90	10.1	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	11.4	11.3	11.0	11.4	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	0.791	0.687	0.817	0.804	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	1.16	1.07	1.25	1.19	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	1.62	1.48	1.63	1.66	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	2.34	2.25	2.29	2.37	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を
 表示。

表 3-14(6) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	2.80	3.03	2.78	2.81	2.80	3.03	2.78	2.81
	20.6~12.5	2	4.44	4.41	4.72	4.46	4.44	4.41	4.72	4.46
	12.5~9.0	3	5.85	5.70	6.14	5.87	5.85	5.70	6.14	5.87
	9.0~2.0	4	7.34	7.14	7.61	7.36	7.34	7.14	7.61	7.36
T3	41.6~33.7	5	3.18	3.23	3.35	3.21	3.18	3.23	3.35	3.21
	33.7~20.6	6	5.15	5.34	5.15	5.18	5.15	5.34	5.15	5.18
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	1.66	1.70	1.84	1.68	1.66	1.70	1.84	1.68
	32.0~20.6	8	3.05	3.11	3.09	3.02	3.05	3.11	3.09	3.02
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.513	0.535	0.590	0.520	0.513	0.535	0.590	0.520
	33.7~20.6	10	1.73	1.74	1.71	1.72	1.73	1.74	1.73	1.72
T3-T6	20.6~12.5	11	16.5	17.4	17.2	16.5	16.5	17.4	17.7	16.5
	12.5~5.5	12	22.8	22.4	24.1	22.9	22.8	22.4	24.1	22.9
	5.5~2.0	13	25.5	24.0	26.8	25.5	25.5	24.0	26.8	25.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	3.96	3.92	4.15	4.06	3.96	3.92	4.15	4.06
	32.0~20.6	15	5.92	5.94	6.18	5.89	5.92	5.94	6.18	5.89
	20.6~12.5	16	6.01	5.82	5.80	6.12	6.01	5.82	5.80	6.12
	12.5~5.5	17	9.70	9.40	9.27	9.80	9.70	9.40	9.27	9.80
	5.5~2.0	18	10.9	10.7	10.4	11.1	10.9	10.7	10.4	11.1
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.555	0.495	0.657	0.566	0.608	0.571	0.657	0.605
	30.55~20.6	20	1.76	1.73	1.78	1.75	1.76	1.73	1.78	1.75
	20.6~12.5	21	2.25	2.17	2.21	2.19	2.25	2.18	2.23	2.26
	12.5~5.5	22	4.64	4.57	4.70	4.64	4.64	4.57	4.70	4.64
	5.5~2.0	23	5.98	5.91	6.09	5.98	5.98	5.91	6.09	5.98
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	1.95	1.94	1.99	1.94	1.95	1.94	1.99	1.94
	32.0~20.6	25	5.13	5.26	5.63	5.14	5.13	5.26	5.63	5.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.242	0.250	0.232	0.226	0.294	0.328	0.298	0.282
	30.55~20.6	27	0.857	0.911	0.920	0.847	0.906	0.959	0.920	0.872
T11-T13	20.6~12.5	28	10.6	11.3	11.6	10.5	10.6	11.3	11.6	10.5
	12.5~5.5	29	13.5	14.4	13.9	13.2	13.5	14.4	13.9	13.2
	5.5~2.0	30	15.1	16.2	15.7	14.8	15.1	16.2	15.8	15.0
T14	41.6~30.55	31	1.98	2.08	2.35	2.01	1.98	2.08	2.35	2.01
	30.55~20.6	32	2.82	2.75	2.98	2.83	2.82	2.75	2.98	2.83
	20.6~12.5	33	3.23	3.22	3.35	3.22	3.23	3.22	3.35	3.22
	12.5~2.0	34	3.77	3.87	3.83	3.72	3.77	3.87	3.83	3.72

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(1) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.30	3.26	3.63	3.39	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	3.30	3.26	3.63	3.39	3.67	3.97	3.64	3.68
			6.61	6.46	7.17	6.74	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	6.61	6.46	7.17	6.74	6.83	7.47	7.28	6.90
			8.45	8.25	9.12	8.58	8.87	9.37	9.39	8.95
	9.0~2.0	4	8.45	8.25	9.12	8.58	8.87	9.37	9.39	8.95
			12.8	12.5	13.7	12.9	14.0	13.8	14.7	14.1
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.93	2.01	2.19	2.01	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	1.93	2.01	2.19	2.01	2.51	2.55	2.64	2.54
			7.61	7.70	8.57	7.87	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.0999	0.0946	0.101	0.0994	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.45	1.38	1.42	1.47	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.45	1.38	1.42	1.47	1.46	1.50	1.62	1.48
			4.21	4.27	4.44	4.28	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.128	0.122	0.127	0.128	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.217	0.207	0.215	0.219	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.217	0.207	0.215	0.219	0.251	0.262	0.289	0.255
			2.29	2.28	2.39	2.33	2.44	2.46	2.41	2.42
T3-T6	20.6~12.5	11	14.1	14.2	15.4	14.5	16.4	16.8	16.3	16.4
			26.2	26.3	28.7	26.7	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	26.2	26.3	28.7	26.7	29.3	30.4	28.7	29.2
			40.6	40.7	44.5	41.2	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	40.6	40.7	44.5	41.2	43.5	46.0	44.5	43.3
			48.3	48.2	52.8	48.8	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.141	0.127	0.166	0.144	0.220	0.218	0.247	0.224
			3.32	3.38	3.66	3.42	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	3.32	3.38	3.66	3.42	3.60	3.55	3.74	3.69
			8.47	8.01	8.90	8.53	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	8.47	8.01	8.90	8.53	10.3	10.3	10.8	10.4
			12.2	11.6	12.8	12.2	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	12.2	11.6	12.8	12.2	14.4	14.6	15.0	14.4
			15.8	15.3	16.8	15.7	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	15.8	15.3	16.8	15.7	18.1	18.4	18.7	18.0
			17.9	17.7	19.1	17.9	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(2) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.177	0.174	0.197	0.183	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.393	0.379	0.436	0.398	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.393	0.379	0.436	0.398	0.504	0.474	0.479	0.500
			0.999	0.957	1.02	0.991	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	0.999	0.957	1.02	0.991	1.35	1.33	1.42	1.34
			2.27	2.32	2.48	2.32	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	2.27	2.32	2.48	2.32	2.71	2.83	2.76	2.59
			4.46	4.50	4.81	4.50	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	4.46	4.50	4.81	4.50	5.02	5.13	4.96	4.93
			5.81	5.89	6.35	5.86	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0903	0.0823	0.105	0.0907	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.73	1.74	1.82	1.77	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.73	1.74	1.82	1.77	1.76	1.76	1.82	1.77
			6.23	6.08	6.70	6.20	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0928	0.0915	0.102	0.0904	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.248	0.258	0.240	0.239	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.248	0.258	0.240	0.239	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.601	0.616	0.595	0.589	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	6.59	6.44	7.08	6.57	7.76	7.96	8.54	7.84
			13.0	13.3	13.8	13.3	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	13.0	13.3	13.8	13.3	16.2	17.0	17.8	16.2
			21.0	21.4	21.7	21.1	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	21.0	21.4	21.7	21.1	25.1	26.5	27.0	24.9
			25.9	26.5	26.9	25.9	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.56	1.49	1.77	1.53	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	1.56	1.49	1.77	1.53	2.19	2.30	2.59	2.22
			3.33	3.32	3.84	3.46	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	3.33	3.32	3.84	3.46	4.93	5.02	5.41	4.98
			5.09	5.16	5.76	5.21	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	5.09	5.16	5.76	5.21	7.53	7.56	8.02	7.57
			8.03	8.27	8.76	8.14	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(3) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)								
			Sd-F1				最大値				
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			2.78	2.63	2.65	2.79	3.67	3.97	3.64	3.68	
	20.6~12.5	2	2.78	2.63	2.65	2.79	3.67	3.97	3.64	3.68	
			5.51	5.36	5.28	5.50	6.83	7.47	7.28	6.90	
	12.5~9.0	3	5.51	5.36	5.28	5.50	6.83	7.47	7.28	6.90	
			6.98	6.86	6.68	6.96	8.87	9.37	9.39	8.95	
	9.0~2.0	4	6.98	6.86	6.68	6.96	8.87	9.37	9.39	8.95	
			10.4	10.4	9.93	10.3	14.0	13.8	14.7	14.1	
	T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				2.15	2.07	2.10	2.16	2.51	2.55	2.64	2.54
		33.7~20.6	6	2.15	2.07	2.10	2.16	2.51	2.55	2.64	2.54
				6.57	6.56	6.42	6.59	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.107	0.0989	0.103	0.109	0.133	0.139	0.153	0.135	
			1.44	1.39	1.44	1.48	1.46	1.50	1.62	1.48	
	32.0~20.6	8	1.44	1.39	1.44	1.48	1.46	1.50	1.62	1.48	
			4.30	4.23	4.27	4.29	4.82	4.88	4.93	4.82	
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.124	0.111	0.115	0.127	0.154	0.161	0.177	0.156	
			0.202	0.177	0.184	0.209	0.251	0.262	0.289	0.255	
	33.7~20.6	10	0.202	0.177	0.184	0.209	0.251	0.262	0.289	0.255	
			2.21	2.22	2.21	2.26	2.44	2.46	2.41	2.42	
T3-T6	20.6~12.5	11	12.8	12.4	12.4	13.0	16.4	16.8	16.3	16.4	
			23.3	22.6	22.4	23.3	29.3	30.4	28.7	29.2	
	12.5~5.5	12	23.3	22.6	22.4	23.3	29.3	30.4	28.7	29.2	
			34.4	33.7	32.8	34.2	43.5	46.0	44.5	43.3	
	5.5~2.0	13	34.4	33.7	32.8	34.2	43.5	46.0	44.5	43.3	
			39.9	39.1	37.9	39.6	51.2	54.3	53.5	51.4	
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.120	0.115	0.116	0.119	0.220	0.218	0.247	0.224	
			3.37	3.18	3.36	3.42	3.60	3.55	3.74	3.69	
	32.0~20.6	15	3.37	3.18	3.36	3.42	3.60	3.55	3.74	3.69	
			7.80	7.37	7.82	7.81	10.3	10.3	10.8	10.4	
	20.6~12.5	16	7.80	7.37	7.82	7.81	10.3	10.3	10.8	10.4	
			8.95	8.51	9.29	8.88	14.4	14.6	15.0	14.4	
	12.5~5.5	17	8.95	8.51	9.29	8.88	14.4	14.6	15.0	14.4	
			12.8	11.3	13.4	12.7	18.1	18.4	18.7	18.0	
	5.5~2.0	18	12.8	11.3	13.4	12.7	18.1	18.4	18.7	18.0	
			15.4	13.6	15.7	15.2	19.9	20.3	20.5	19.8	

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(4) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.178	0.175	0.167	0.179	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.504	0.474	0.479	0.500	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.504	0.474	0.479	0.500	0.504	0.474	0.479	0.500
			1.13	1.11	1.07	1.11	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	1.13	1.11	1.07	1.11	1.35	1.33	1.42	1.34
			1.93	1.89	1.85	1.94	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	1.93	1.89	1.85	1.94	2.71	2.83	2.76	2.59
			4.46	4.43	4.33	4.44	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	4.46	4.43	4.33	4.44	5.02	5.13	4.96	4.93
			5.86	5.84	5.64	5.80	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0554	0.0517	0.0605	0.0542	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.56	1.50	1.54	1.57	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.56	1.50	1.54	1.57	1.76	1.76	1.82	1.77
			5.18	4.80	5.44	5.22	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0953	0.102	0.103	0.0907	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.250	0.274	0.247	0.240	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.250	0.274	0.247	0.240	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.652	0.681	0.651	0.628	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	5.53	5.12	5.79	5.58	7.76	7.96	8.54	7.84
			10.6	10.5	11.1	10.6	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	10.6	10.5	11.1	10.6	16.2	17.0	17.8	16.2
			16.5	16.6	16.9	16.6	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	16.5	16.6	16.9	16.6	25.1	26.5	27.0	24.9
			19.9	20.0	20.4	19.9	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.22	1.11	1.33	1.23	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	1.22	1.11	1.33	1.23	2.19	2.30	2.59	2.22
			2.80	2.54	3.01	2.79	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	2.80	2.54	3.01	2.79	4.93	5.02	5.41	4.98
			4.18	3.81	4.48	4.14	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	4.18	3.81	4.48	4.14	7.53	7.56	8.02	7.57
			5.95	5.48	6.38	5.86	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(5) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.08	2.06	2.03	2.05	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	2.08	2.06	2.03	2.05	3.67	3.97	3.64	3.68
			4.25	4.19	4.30	4.23	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	4.25	4.19	4.30	4.23	6.83	7.47	7.28	6.90
			5.64	5.54	5.76	5.61	8.87	9.37	9.39	8.95
9.0~2.0	4	5.64	5.54	5.76	5.61	8.87	9.37	9.39	8.95	
		9.70	9.25	10.0	9.88	14.0	13.8	14.7	14.1	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.44	1.35	1.41	1.45	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	1.44	1.35	1.41	1.45	2.51	2.55	2.64	2.54
			5.08	5.02	4.63	5.16	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.0764	0.0715	0.0731	0.0774	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.42	1.39	1.34	1.42	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.42	1.39	1.34	1.42	1.46	1.50	1.62	1.48
			3.64	3.56	3.65	3.64	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.0993	0.0928	0.0927	0.101	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.171	0.159	0.157	0.173	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.171	0.159	0.157	0.173	0.251	0.262	0.289	0.255
			1.86	1.76	1.71	1.86	2.44	2.46	2.41	2.42
T3-T6	20.6~12.5	11	10.4	10.3	9.60	10.5	16.4	16.8	16.3	16.4
			19.0	19.1	18.2	19.0	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	19.0	19.1	18.2	19.0	29.3	30.4	28.7	29.2
			29.0	29.4	29.1	28.8	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	29.0	29.4	29.1	28.8	43.5	46.0	44.5	43.3
			34.3	34.8	36.2	35.3	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.0923	0.0886	0.0993	0.0921	0.220	0.218	0.247	0.224
			3.09	2.97	3.05	3.16	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	3.09	2.97	3.05	3.16	3.60	3.55	3.74	3.69
			7.30	7.17	7.54	7.42	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	7.30	7.17	7.54	7.42	10.3	10.3	10.8	10.4
			8.93	9.25	9.85	9.09	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	8.93	9.25	9.85	9.09	14.4	14.6	15.0	14.4
			12.5	11.4	13.9	12.4	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	12.5	11.4	13.9	12.4	18.1	18.4	18.7	18.0
			15.2	14.2	16.7	15.1	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(6) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.173	0.157	0.173	0.174	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.440	0.410	0.415	0.438	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.440	0.410	0.415	0.438	0.504	0.474	0.479	0.500
			0.870	0.833	0.787	0.857	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	0.870	0.833	0.787	0.857	1.35	1.33	1.42	1.34
			1.91	1.90	1.94	1.88	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	1.91	1.90	1.94	1.88	2.71	2.83	2.76	2.59
			4.06	3.92	4.14	4.10	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	4.06	3.92	4.14	4.10	5.02	5.13	4.96	4.93
			5.38	5.15	5.46	5.47	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0610	0.0624	0.0746	0.0625	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.52	1.51	1.53	1.53	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.52	1.51	1.53	1.53	1.76	1.76	1.82	1.77
			4.79	4.84	5.27	4.77	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0770	0.0802	0.0819	0.0755	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.221	0.221	0.205	0.220	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.221	0.221	0.205	0.220	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.548	0.542	0.514	0.551	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	5.02	5.14	5.53	5.01	7.76	7.96	8.54	7.84
			9.74	9.62	10.8	9.50	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	9.74	9.62	10.8	9.50	16.2	17.0	17.8	16.2
			16.0	15.1	17.8	15.7	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	16.0	15.1	17.8	15.7	25.1	26.5	27.0	24.9
			19.8	18.7	21.9	19.4	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.14	1.20	1.34	1.17	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	1.14	1.20	1.34	1.17	2.19	2.30	2.59	2.22
			2.75	2.85	3.20	2.80	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	2.75	2.85	3.20	2.80	4.93	5.02	5.41	4.98
			4.30	4.40	4.95	4.33	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	4.30	4.40	4.95	4.33	7.53	7.56	8.02	7.57
			6.78	6.85	7.65	6.75	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(7) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.03	2.17	1.94	2.09	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	2.03	2.17	1.94	2.09	3.67	3.97	3.64	3.68
			4.21	4.50	4.02	4.30	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	4.21	4.50	4.02	4.30	6.83	7.47	7.28	6.90
			5.47	5.84	5.25	5.56	8.87	9.37	9.39	8.95
	9.0~2.0	4	5.47	5.84	5.25	5.56	8.87	9.37	9.39	8.95
			8.46	9.03	8.22	8.55	14.0	13.8	14.7	14.1
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.29	1.20	1.24	1.32	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	1.29	1.20	1.24	1.32	2.51	2.55	2.64	2.54
			4.56	4.25	4.44	4.60	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.0612	0.0566	0.0591	0.0621	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.08	1.07	1.11	1.11	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.08	1.07	1.11	1.11	1.46	1.50	1.62	1.48
			3.60	3.50	3.54	3.62	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.0781	0.0669	0.0783	0.0780	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.136	0.117	0.135	0.137	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.136	0.117	0.135	0.137	0.251	0.262	0.289	0.255
			1.73	1.63	1.61	1.72	2.44	2.46	2.41	2.42
T3-T6	20.6~12.5	11	9.59	9.07	9.31	9.63	16.4	16.8	16.3	16.4
			18.0	17.1	17.4	18.0	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	18.0	17.1	17.4	18.0	29.3	30.4	28.7	29.2
			28.1	29.2	27.7	27.9	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	28.1	29.2	27.7	27.9	43.5	46.0	44.5	43.3
			33.4	35.8	34.0	33.1	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.106	0.0967	0.113	0.106	0.220	0.218	0.247	0.224
			2.83	2.50	2.89	2.86	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	2.83	2.50	2.89	2.86	3.60	3.55	3.74	3.69
			7.45	6.61	7.86	7.44	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	7.45	6.61	7.86	7.44	10.3	10.3	10.8	10.4
			9.86	9.38	10.8	9.95	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	9.86	9.38	10.8	9.95	14.4	14.6	15.0	14.4
			13.9	13.3	14.1	13.9	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	13.9	13.3	14.1	13.9	18.1	18.4	18.7	18.0
			16.0	15.3	16.1	16.0	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(8) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.111	0.106	0.112	0.114	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.288	0.266	0.268	0.282	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.288	0.266	0.268	0.282	0.504	0.474	0.479	0.500
			0.810	0.740	0.788	0.791	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	0.810	0.740	0.788	0.791	1.35	1.33	1.42	1.34
			1.74	1.77	1.73	1.73	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	1.74	1.77	1.73	1.73	2.71	2.83	2.76	2.59
			3.45	3.23	3.34	3.43	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	3.45	3.23	3.34	3.43	5.02	5.13	4.96	4.93
			4.77	4.46	4.50	4.74	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0504	0.0494	0.0514	0.0519	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.46	1.43	1.46	1.46	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.46	1.43	1.46	1.46	1.76	1.76	1.82	1.77
			4.88	4.75	5.19	4.87	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0565	0.0606	0.0595	0.0574	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.167	0.169	0.167	0.168	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.167	0.169	0.167	0.168	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.401	0.399	0.410	0.406	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	5.23	5.14	5.57	5.23	7.76	7.96	8.54	7.84
			9.69	10.8	10.7	10.2	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	9.69	10.8	10.7	10.2	16.2	17.0	17.8	16.2
			16.3	18.0	17.4	16.9	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	16.3	18.0	17.4	16.9	25.1	26.5	27.0	24.9
			20.3	22.2	21.5	21.0	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.959	0.935	1.06	0.966	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	0.959	0.935	1.06	0.966	2.19	2.30	2.59	2.22
			2.03	2.11	2.26	2.05	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	2.03	2.11	2.26	2.05	4.93	5.02	5.41	4.98
			3.21	3.52	3.69	3.37	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	3.21	3.52	3.69	3.37	7.53	7.56	8.02	7.57
			5.65	6.14	6.28	5.88	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(9) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, NS 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.41	2.36	2.26	2.39	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	2.41	2.36	2.26	2.39	3.67	3.97	3.64	3.68
			4.79	4.73	4.41	4.72	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	4.79	4.73	4.41	4.72	6.83	7.47	7.28	6.90
			6.12	6.07	5.62	6.01	8.87	9.37	9.39	8.95
	9.0~2.0	4	6.12	6.07	5.62	6.01	8.87	9.37	9.39	8.95
			9.28	9.27	8.47	9.10	14.0	13.8	14.7	14.1
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.47	1.33	1.35	1.48	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	1.47	1.33	1.35	1.48	2.51	2.55	2.64	2.54
			5.51	5.25	5.18	5.46	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.0716	0.0635	0.0661	0.0725	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.25	1.20	1.21	1.27	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.25	1.20	1.21	1.27	1.46	1.50	1.62	1.48
			3.80	3.68	3.72	3.79	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.0832	0.0731	0.0740	0.0850	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.135	0.120	0.119	0.138	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.135	0.120	0.119	0.138	0.251	0.262	0.289	0.255
			1.87	1.81	1.69	1.86	2.44	2.46	2.41	2.42
T3-T6	20.6~12.5	11	11.2	10.7	10.6	11.1	16.4	16.8	16.3	16.4
			19.8	19.5	18.9	19.4	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	19.8	19.5	18.9	19.4	29.3	30.4	28.7	29.2
			30.1	30.6	29.0	29.4	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	30.1	30.6	29.0	29.4	43.5	46.0	44.5	43.3
			36.0	36.7	34.7	35.1	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.0865	0.0762	0.0920	0.0869	0.220	0.218	0.247	0.224
			2.36	2.25	2.44	2.37	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	2.36	2.25	2.44	2.37	3.60	3.55	3.74	3.69
			5.90	5.58	6.25	5.87	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	5.90	5.58	6.25	5.87	10.3	10.3	10.8	10.4
			8.38	8.05	9.01	8.32	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	8.38	8.05	9.01	8.32	14.4	14.6	15.0	14.4
			11.6	11.1	12.5	11.5	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	11.6	11.1	12.5	11.5	18.1	18.4	18.7	18.0
			13.6	12.9	14.5	13.5	19.9	20.3	20.5	19.8

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(10) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.112	0.106	0.120	0.115	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.283	0.267	0.274	0.275	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.283	0.267	0.274	0.275	0.504	0.474	0.479	0.500
			0.852	0.781	0.863	0.830	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	0.852	0.781	0.863	0.830	1.35	1.33	1.42	1.34
			1.88	1.93	1.91	1.84	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	1.88	1.93	1.91	1.84	2.71	2.83	2.76	2.59
			3.69	3.64	3.58	3.62	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	3.69	3.64	3.58	3.62	5.02	5.13	4.96	4.93
			5.17	5.05	4.90	5.09	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.0524	0.0509	0.0570	0.0514	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.38	1.24	1.38	1.40	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.38	1.24	1.38	1.40	1.76	1.76	1.82	1.77
			4.53	4.07	4.64	4.58	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.0666	0.0633	0.0714	0.0666	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.184	0.190	0.185	0.184	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.184	0.190	0.185	0.184	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.493	0.485	0.495	0.496	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	4.68	4.19	4.80	4.76	7.76	7.96	8.54	7.84
			10.7	9.67	11.1	10.9	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	10.7	9.67	11.1	10.9	16.2	17.0	17.8	16.2
			17.6	16.3	18.0	17.8	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	17.6	16.3	18.0	17.8	25.1	26.5	27.0	24.9
			21.4	20.1	21.8	21.7	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.874	0.759	0.903	0.889	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	0.874	0.759	0.903	0.889	2.19	2.30	2.59	2.22
			1.98	1.82	2.12	2.03	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	1.98	1.82	2.12	2.03	4.93	5.02	5.41	4.98
			3.21	2.85	3.39	3.30	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	3.21	2.85	3.39	3.30	7.53	7.56	8.02	7.57
			5.58	5.08	5.66	5.72	11.4	11.4	12.0	11.4

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を
 表示。

表 3-15(11) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.67	3.97	3.64	3.68	3.67	3.97	3.64	3.68
	20.6~12.5	2	3.67	3.97	3.64	3.68	3.67	3.97	3.64	3.68
			6.83	7.47	7.28	6.90	6.83	7.47	7.28	6.90
	12.5~9.0	3	6.83	7.47	7.28	6.90	6.83	7.47	7.28	6.90
			8.87	9.37	9.39	8.95	8.87	9.37	9.39	8.95
	9.0~2.0	4	8.87	9.37	9.39	8.95	8.87	9.37	9.39	8.95
			14.0	13.8	14.7	14.1	14.0	13.8	14.7	14.1
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.51	2.55	2.64	2.54	2.51	2.55	2.64	2.54
	33.7~20.6	6	2.51	2.55	2.64	2.54	2.51	2.55	2.64	2.54
			9.21	9.46	9.19	9.24	9.21	9.46	9.19	9.24
T4-T6(TA側)	41.6~32.0	7	0.133	0.139	0.153	0.135	0.133	0.139	0.153	0.135
			1.46	1.50	1.62	1.48	1.46	1.50	1.62	1.48
	32.0~20.6	8	1.46	1.50	1.62	1.48	1.46	1.50	1.62	1.48
			4.82	4.88	4.93	4.82	4.82	4.88	4.93	4.82
T4-T6(TF側)	41.6~33.7	9	0.154	0.161	0.177	0.156	0.154	0.161	0.177	0.156
			0.251	0.262	0.289	0.255	0.251	0.262	0.289	0.255
	33.7~20.6	10	0.251	0.262	0.289	0.255	0.251	0.262	0.289	0.255
			2.44	2.46	2.41	2.42	2.44	2.46	2.41	2.42
T3-T6	20.6~12.5	11	16.4	16.8	16.3	16.4	16.4	16.8	16.3	16.4
			29.3	30.4	28.7	29.2	29.3	30.4	28.7	29.2
	12.5~5.5	12	29.3	30.4	28.7	29.2	29.3	30.4	28.7	29.2
			43.5	46.0	44.1	43.3	43.5	46.0	44.5	43.3
	5.5~2.0	13	43.5	46.0	44.1	43.3	43.5	46.0	44.5	43.3
			51.2	54.3	53.5	51.4	51.2	54.3	53.5	51.4
T7-T10(TA側)	41.6~32.0	14	0.220	0.218	0.247	0.224	0.220	0.218	0.247	0.224
			3.60	3.55	3.74	3.69	3.60	3.55	3.74	3.69
	32.0~20.6	15	3.60	3.55	3.74	3.69	3.60	3.55	3.74	3.69
			10.3	10.3	10.8	10.4	10.3	10.3	10.8	10.4
	20.6~12.5	16	10.3	10.3	10.8	10.4	10.3	10.3	10.8	10.4
			14.4	14.6	15.0	14.4	14.4	14.6	15.0	14.4
	12.5~5.5	17	14.4	14.6	15.0	14.4	14.4	14.6	15.0	14.4
			18.1	18.4	18.7	18.0	18.1	18.4	18.7	18.0
	5.5~2.0	18	18.1	18.4	18.7	18.0	18.1	18.4	18.7	18.0
			19.9	20.3	20.5	19.8	19.9	20.3	20.5	19.8

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-15(12) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, N S 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
T7-T10(TF側)	41.6~30.55	19	0.236	0.208	0.287	0.241	0.236	0.208	0.287	0.241
			0.421	0.399	0.445	0.429	0.504	0.474	0.479	0.500
	30.55~20.6	20	0.421	0.399	0.445	0.429	0.504	0.474	0.479	0.500
			1.35	1.33	1.42	1.34	1.35	1.33	1.42	1.34
	20.6~12.5	21	1.35	1.33	1.42	1.34	1.35	1.33	1.42	1.34
			2.71	2.83	2.76	2.59	2.71	2.83	2.76	2.59
	12.5~5.5	22	2.71	2.83	2.76	2.59	2.71	2.83	2.76	2.59
			5.02	5.13	4.96	4.93	5.02	5.13	4.96	4.93
	5.5~2.0	23	5.02	5.13	4.96	4.93	5.02	5.13	4.96	4.93
			6.80	6.89	6.93	6.77	6.80	6.89	6.93	6.77
T11-T13(TA側)	41.6~32.0	24	0.143	0.151	0.173	0.146	0.143	0.151	0.173	0.146
			1.76	1.76	1.78	1.75	1.76	1.76	1.82	1.77
	32.0~20.6	25	1.76	1.76	1.78	1.75	1.76	1.76	1.82	1.77
			7.38	7.54	8.10	7.45	7.38	7.54	8.10	7.45
T11-T13(TF側)	41.6~30.55	26	0.118	0.125	0.137	0.119	0.118	0.125	0.137	0.119
			0.205	0.210	0.199	0.192	0.250	0.274	0.247	0.240
	30.55~20.6	27	0.205	0.210	0.199	0.192	0.250	0.274	0.247	0.240
			0.688	0.736	0.754	0.687	0.688	0.736	0.754	0.687
T11-T13	20.6~12.5	28	7.76	7.96	8.54	7.84	7.76	7.96	8.54	7.84
			16.2	17.0	17.8	16.2	16.2	17.0	17.8	16.2
	12.5~5.5	29	16.2	17.0	17.8	16.2	16.2	17.0	17.8	16.2
			25.1	26.5	27.0	24.9	25.1	26.5	27.0	24.9
	5.5~2.0	30	25.1	26.5	27.0	24.9	25.1	26.5	27.0	24.9
			30.3	31.7	32.3	29.9	30.3	31.7	32.3	29.9
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.19	2.30	2.59	2.22	2.19	2.30	2.59	2.22
	30.55~20.6	32	2.19	2.30	2.59	2.22	2.19	2.30	2.59	2.22
			4.93	5.02	5.41	4.98	4.93	5.02	5.41	4.98
	20.6~12.5	33	4.93	5.02	5.41	4.98	4.93	5.02	5.41	4.98
			7.53	7.56	8.02	7.57	7.53	7.56	8.02	7.57
	12.5~2.0	34	7.53	7.56	8.02	7.57	7.53	7.56	8.02	7.57
			11.4	11.4	12.0	11.4	11.4	11.4	12.0	11.4

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,
 ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を
 表示。

表 3-16(1) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1464	1423	1447	1473	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	1296	1262	1255	1300	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	813	856	784	797	923	856	969	925
	12.5	4	492	467	528	490	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	962	976	939	966	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	459	441	500	459	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	448	431	487	450	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	1636	1542	1686	1635	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	1177	1241	1159	1154	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	766	804	748	765	925	879	897	896
	12.5	11	541	547	569	542	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	548	572	547	547	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	439	436	490	439	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	1729	1680	1749	1684	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	1083	1122	1096	1079	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	727	712	700	726	822	790	857	792
	12.5	17	594	585	643	594	770	727	776	755
	5.5	18	443	430	485	443	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	1020	1052	1037	1018	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	709	703	782	713	879	877	974	893
	12.5	21	556	525	607	570	637	608	697	646
	5.5	22	466	433	488	468	466	433	488	468
	2.0	25	435	428	472	437	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-16(2) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1273	1181	1306	1284	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	975	938	1042	979	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	630	575	706	625	923	856	969	925
	12.5	4	453	434	489	448	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	874	813	848	879	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	365	382	370	364	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	346	359	326	345	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	1372	1252	1353	1384	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	1004	916	1044	996	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	770	691	793	767	925	879	897	896
	12.5	11	515	475	525	510	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	404	410	355	403	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	362	376	329	361	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	1534	1326	1528	1534	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	924	872	935	924	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	755	703	699	756	822	790	857	792
	12.5	17	604	571	554	603	770	727	776	755
	5.5	18	365	379	345	361	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	1356	1232	1305	1349	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	802	724	776	793	879	877	974	893
	12.5	21	559	542	534	558	637	608	697	646
	5.5	22	330	350	305	326	466	433	488	468
	2.0	25	316	323	292	314	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-16(3) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1030	1031	1031	1020	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	937	967	918	926	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	520	542	525	517	923	856	969	925
	12.5	4	400	400	424	402	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	710	679	673	704	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	370	366	394	371	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	359	346	372	359	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	963	1042	1018	970	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	987	1057	927	981	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	674	695	637	668	925	879	897	896
	12.5	11	448	491	436	437	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	423	469	417	417	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	362	356	383	362	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	1369	1376	1271	1354	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	756	728	749	753	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	646	679	644	637	822	790	857	792
	12.5	17	458	497	462	443	770	727	776	755
	5.5	18	367	390	383	369	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	813	788	768	809	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	587	627	610	584	879	877	974	893
	12.5	21	439	446	440	436	637	608	697	646
	5.5	22	366	387	366	363	466	433	488	468
	2.0	25	340	358	353	340	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-16(4) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	756	773	717	754	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	633	652	601	626	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	538	534	485	537	923	856	969	925
	12.5	4	426	419	385	423	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	626	595	539	620	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	308	309	305	305	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	291	294	291	292	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	965	966	959	952	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	644	705	595	648	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	520	524	466	522	925	879	897	896
	12.5	11	463	461	414	461	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	354	388	306	355	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	288	293	289	288	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	963	1069	1043	953	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	594	609	574	587	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	388	364	384	388	822	790	857	792
	12.5	17	331	325	326	328	770	727	776	755
	5.5	18	270	281	281	273	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	734	685	715	750	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	477	471	477	482	879	877	974	893
	12.5	21	345	357	338	345	637	608	697	646
	5.5	22	284	292	288	287	466	433	488	468
	2.0	25	278	284	277	279	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-16(5) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1077	1038	1109	1070	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	861	881	845	861	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	580	535	563	576	923	856	969	925
	12.5	4	377	383	375	373	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	807	744	755	797	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	331	327	322	331	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	311	304	291	312	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	1152	1127	1186	1148	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	795	808	814	796	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	643	601	617	640	925	879	897	896
	12.5	11	403	401	389	398	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	419	454	315	420	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	295	293	284	296	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	1311	1256	1281	1297	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	795	781	727	777	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	497	465	478	491	822	790	857	792
	12.5	17	377	356	388	384	770	727	776	755
	5.5	18	291	305	300	291	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	840	787	843	852	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	554	531	565	552	879	877	974	893
	12.5	21	397	374	435	405	637	608	697	646
	5.5	22	318	318	292	320	466	433	488	468
	2.0	25	313	314	278	313	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-16(6) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	1531	1475	1548	1521	1531	1475	1548	1521
	32.0	2	1220	1206	1259	1220	1296	1262	1259	1300
TX-TZ (T14側)	20.6	3	923	838	969	925	923	856	969	925
	12.5	4	656	606	739	657	656	606	739	657
TX-TZ (T1側)	20.6	5	1235	1179	1227	1204	1235	1179	1227	1204
	8.8	6	501	479	507	501	501	479	507	501
TX-TZ	5.5	7	505	453	509	516	505	453	509	516
TA-TC	41.6	8	1682	1654	1642	1673	1682	1654	1686	1673
	32.0	9	1314	1286	1256	1313	1314	1286	1256	1313
	20.6	10	925	879	897	896	925	879	897	896
	12.5	11	604	573	595	597	604	573	595	597
TA-TC (T14側)	5.5	12	579	583	544	580	579	583	547	580
TA-TC (T1側)	5.5	13	570	515	571	569	570	515	571	569
TC-TF	41.6	14	2037	2043	2084	2043	2037	2043	2084	2043
	30.55	15	1285	1257	1316	1280	1285	1257	1316	1280
	20.6	16	822	790	857	792	822	790	857	792
	12.5	17	770	727	776	755	770	727	776	755
	5.5	18	550	554	580	539	550	554	580	539
TG-TH	33.7	19	1189	1131	1183	1200	1356	1232	1305	1349
	20.6	20	879	877	974	893	879	877	974	893
	12.5	21	637	608	697	646	637	608	697	646
	5.5	22	447	428	468	451	466	433	488	468
	2.0	25	395	377	395	395	435	428	472	437

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-17(1) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	8.55	8.04	8.68	8.67	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	7.58	7.13	7.73	7.70	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ(T14側)	20.6	3	3.95	3.61	4.03	3.94	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	2.67	2.26	2.72	2.67	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ(T1側)	20.6	5	5.58	5.09	5.77	5.66	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.50	1.18	1.70	1.50	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.31	1.00	1.53	1.30	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	8.57	7.99	8.83	8.66	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	6.81	6.45	7.03	6.85	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	4.62	4.31	4.78	4.62	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	2.85	2.40	2.91	2.84	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC(T14側)	5.5	12	1.52	1.19	1.68	1.51	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.46	1.14	1.66	1.45	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	8.18	7.41	8.53	8.26	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	5.94	5.46	6.13	5.96	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	3.95	3.52	4.01	3.94	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	3.05	2.64	3.08	3.05	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.47	1.21	1.71	1.45	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	4.76	4.38	4.77	4.78	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	3.55	3.13	3.56	3.56	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	2.51	2.16	2.62	2.50	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	1.38	1.11	1.62	1.37	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.86	0.56	1.16	0.86	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-17(2) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	6.61	5.91	7.40	6.63	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	5.78	5.10	6.52	5.79	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ(T14側)	20.6	3	3.45	2.88	3.93	3.45	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	2.34	1.92	2.72	2.34	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ(T1側)	20.6	5	4.33	3.65	4.96	4.33	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.33	1.06	1.63	1.33	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.15	0.89	1.44	1.15	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	6.72	6.00	7.49	6.76	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	5.58	4.89	6.25	5.60	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	3.98	3.37	4.49	3.98	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	2.51	2.05	2.89	2.50	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC(T14側)	5.5	12	1.33	1.08	1.64	1.32	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.29	1.01	1.59	1.29	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	6.26	5.48	6.65	6.35	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	4.76	4.23	5.30	4.78	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	3.49	3.02	3.91	3.48	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	2.72	2.33	3.09	2.71	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.36	1.09	1.64	1.35	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	4.40	4.12	4.43	4.42	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	3.08	2.94	3.51	3.07	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	2.22	2.00	2.58	2.21	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	1.24	1.04	1.53	1.23	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.73	0.56	1.00	0.72	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を
 表示。

表 3-17(3) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	5.27	5.24	5.65	5.26	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	4.65	4.59	4.97	4.62	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ(T14側)	20.6	3	2.60	2.51	2.92	2.58	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	1.80	1.56	2.08	1.80	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ(T1側)	20.6	5	3.33	3.20	3.63	3.30	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.08	0.76	1.41	1.07	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	0.94	0.63	1.28	0.94	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	5.19	5.20	5.62	5.19	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	4.36	4.36	4.68	4.35	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	3.00	3.00	3.25	2.98	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	1.90	1.74	2.18	1.90	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC(T14側)	5.5	12	1.11	0.80	1.40	1.10	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.04	0.72	1.37	1.03	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	5.19	5.08	5.05	5.21	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	4.01	3.97	3.98	4.01	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	2.77	2.80	2.84	2.74	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	2.04	2.06	2.33	2.02	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.04	0.78	1.43	1.04	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	3.31	3.37	3.38	3.32	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	2.46	2.52	2.69	2.45	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	1.68	1.64	2.07	1.67	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	0.99	0.70	1.37	0.98	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.63	0.32	1.02	0.62	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-17(4) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	3.93	3.81	4.01	3.91	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	3.46	3.34	3.57	3.44	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ(T14側)	20.6	3	2.18	2.00	2.39	2.18	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	1.51	1.31	1.76	1.50	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ(T1側)	20.6	5	2.59	2.39	2.77	2.58	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	0.84	0.70	1.14	0.84	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	0.73	0.61	1.02	0.73	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	3.98	3.88	4.10	3.96	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	3.30	3.19	3.48	3.30	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	2.44	2.29	2.64	2.44	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	1.60	1.41	1.85	1.60	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC(T14側)	5.5	12	0.87	0.68	1.17	0.86	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC(T1側)	5.5	13	0.81	0.68	1.10	0.80	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	3.78	3.66	4.04	3.81	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	2.84	2.66	3.14	2.85	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	1.93	1.84	2.22	1.94	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	1.52	1.45	1.80	1.52	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	0.83	0.71	1.08	0.82	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	2.47	2.16	2.73	2.46	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	1.84	1.63	2.10	1.84	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	1.33	1.18	1.58	1.33	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	0.79	0.65	1.03	0.79	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.51	0.38	0.78	0.51	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-17(5) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	5.22	5.16	5.44	5.24	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	4.62	4.46	4.63	4.63	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ(T14側)	20.6	3	2.74	2.48	2.64	2.74	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	1.83	1.62	1.76	1.82	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ(T1側)	20.6	5	3.47	3.17	3.32	3.46	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.03	0.86	1.10	1.02	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	0.88	0.72	0.98	0.88	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	5.38	5.28	5.58	5.41	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	4.36	4.23	4.41	4.38	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	3.13	2.83	3.01	3.13	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	1.94	1.72	1.84	1.93	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC(T14側)	5.5	12	1.00	0.84	1.09	0.99	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC(T1側)	5.5	13	0.98	0.81	1.06	0.97	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	5.44	5.20	5.13	5.45	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	3.81	3.68	3.55	3.79	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	2.55	2.29	2.45	2.54	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	1.99	1.71	1.91	1.97	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.00	0.80	1.06	0.99	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	2.99	2.98	2.93	2.97	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	2.23	2.07	2.27	2.23	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	1.61	1.37	1.66	1.60	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	0.91	0.72	1.02	0.91	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.57	0.42	0.73	0.56	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-17(6) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6	1	9.08	8.44	9.90	9.11	9.08	8.44	9.90	9.11
	32.0	2	8.19	7.52	9.11	8.21	8.19	7.52	9.11	8.21
TX-TZ(T14側)	20.6	3	4.53	4.03	5.16	4.52	4.53	4.03	5.16	4.52
	12.5	4	3.16	2.70	3.85	3.16	3.16	2.70	3.85	3.16
TX-TZ(T1側)	20.6	5	6.58	5.89	7.46	6.52	6.58	5.89	7.46	6.52
	8.8	6	1.69	1.28	2.36	1.70	1.69	1.28	2.36	1.70
TX-TZ	5.5	7	1.48	1.07	2.12	1.49	1.48	1.07	2.12	1.49
TA-TC	41.6	8	9.60	9.00	10.10	9.65	9.60	9.00	10.10	9.65
	32.0	9	7.85	7.26	8.31	7.86	7.85	7.26	8.31	7.86
	20.6	10	5.53	4.97	6.03	5.50	5.53	4.97	6.03	5.50
	12.5	11	3.28	2.88	3.96	3.30	3.28	2.88	3.96	3.30
TA-TC(T14側)	5.5	12	1.74	1.32	2.41	1.74	1.74	1.32	2.41	1.74
TA-TC(T1側)	5.5	13	1.68	1.26	2.28	1.67	1.68	1.26	2.28	1.67
TC-TF	41.6	14	10.14	9.66	10.97	10.18	10.14	9.66	10.97	10.18
	30.55	15	7.44	6.96	8.18	7.42	7.44	6.96	8.18	7.42
	20.6	16	4.74	4.29	5.33	4.75	4.74	4.29	5.33	4.75
	12.5	17	3.85	3.40	4.45	3.86	3.85	3.40	4.45	3.86
	5.5	18	1.69	1.29	2.30	1.69	1.69	1.29	2.30	1.69
TG-TH	33.7	19	5.29	4.93	6.01	5.24	5.29	4.93	6.01	5.24
	20.6	20	4.03	3.64	4.79	4.03	4.03	3.64	4.79	4.03
	12.5	21	2.89	2.48	3.62	2.91	2.89	2.48	3.62	2.91
	5.5	22	1.63	1.22	2.25	1.63	1.63	1.22	2.25	1.63
	2.0	25	0.97	0.58	1.59	0.97	0.97	0.58	1.59	0.97

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-18(1) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.79	3.73	3.84	3.83	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.27	8.28	8.14	8.20	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	15.8	16.3	15.6	15.6	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	18.6	19.0	19.0	18.5	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	2.06	2.06	1.98	2.06	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.75	2.78	2.78	2.74	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	6.29	6.15	6.32	6.26	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	26.2	25.0	26.7	26.1	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	6.01	5.71	6.08	6.21	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	11.7	11.5	11.9	11.9	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	12.8	12.8	12.7	12.6	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.69	2.80	2.68	2.66	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	3.24	2.98	3.32	3.24	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	10.9	11.1	11.2	10.9	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	11.6	11.0	11.9	11.6	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	6.44	6.28	6.45	6.42	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	11.0	10.7	11.2	11.1	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	20.7	21.3	20.4	20.7	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	25.4	25.5	25.6	25.3	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	29.7	27.7	29.8	29.6	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	2.09	2.18	2.01	2.10	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	5.15	5.38	5.18	5.14	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	8.44	8.24	8.53	8.47	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	9.38	8.68	9.36	9.40	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-18(2) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	3.37	3.17	3.29	3.46	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	7.48	7.26	7.63	7.55	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	13.3	12.4	14.4	13.4	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	16.1	14.7	17.6	16.1	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.58	1.51	1.62	1.61	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.56	2.50	2.64	2.55	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	6.02	5.66	6.45	6.00	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	23.4	21.7	25.5	23.4	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	4.34	4.16	4.33	4.52	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	9.08	8.45	9.33	9.22	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	10.7	9.95	11.5	10.7	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.33	2.13	2.51	2.33	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	2.82	2.68	3.13	2.83	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	9.58	8.74	10.4	9.57	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	10.5	9.56	11.4	10.4	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	5.12	4.61	5.16	5.27	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	9.02	7.79	9.14	9.15	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	17.2	15.8	18.3	17.2	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	23.3	21.4	24.9	23.2	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	26.8	24.7	29.0	26.7	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	2.32	2.09	2.23	2.35	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	5.08	4.63	4.97	5.09	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	7.95	7.21	7.86	7.95	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	8.73	7.89	8.80	8.73	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-18(3) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.60	2.65	2.60	2.62	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	6.67	6.83	6.61	6.65	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	11.4	11.7	11.0	11.4	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	13.3	13.5	12.7	13.2	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.34	1.41	1.35	1.34	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.45	2.47	2.42	2.45	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	4.87	4.87	4.66	4.85	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	18.8	19.1	18.0	18.7	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	3.53	3.41	3.26	3.63	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	7.56	8.00	7.66	7.61	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	9.38	9.66	9.02	9.36	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	2.07	2.10	1.98	2.06	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	2.43	2.60	2.27	2.39	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	8.07	8.24	7.73	8.01	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	8.43	8.67	8.12	8.34	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	4.31	4.46	4.02	4.43	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	7.36	7.16	7.03	7.42	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	16.4	16.6	15.9	16.3	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	21.4	22.0	21.0	21.3	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	23.1	23.8	22.9	22.8	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	1.50	1.48	1.45	1.52	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	4.18	4.34	4.16	4.18	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	6.78	7.03	6.76	6.73	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	7.33	7.58	7.33	7.25	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-18(4) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.30	2.23	2.29	2.35	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	4.62	4.71	4.36	4.59	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	8.14	8.36	7.56	8.13	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	10.7	10.9	9.94	10.7	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.11	1.11	1.08	1.10	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	1.75	1.78	1.62	1.75	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	4.30	4.36	4.02	4.28	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	16.3	16.4	15.1	16.2	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	3.17	3.21	3.18	3.26	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	5.73	5.52	6.01	5.79	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	6.39	6.89	6.03	6.36	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	1.45	1.52	1.34	1.45	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	2.13	2.07	1.98	2.12	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	6.29	6.39	5.83	6.30	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	7.17	7.25	6.66	7.17	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	3.19	3.45	3.32	3.29	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	5.34	5.38	5.79	5.44	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	10.2	10.8	10.5	10.1	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	13.5	13.8	14.1	13.6	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	15.4	15.3	16.3	15.4	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	1.28	1.09	1.28	1.30	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	2.72	2.73	2.82	2.72	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	4.14	4.35	4.40	4.16	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	4.62	4.62	4.96	4.62	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-18(5) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	2.96	2.89	3.05	3.00	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	6.46	6.49	6.53	6.49	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	11.0	10.8	10.9	11.1	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	13.2	12.3	13.1	13.2	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.38	1.36	1.44	1.38	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.44	2.33	2.42	2.44	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	4.81	4.46	4.89	4.83	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	18.7	17.3	18.8	18.6	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	3.85	3.78	3.97	3.94	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	7.65	7.62	7.98	7.69	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	8.69	8.70	8.54	8.72	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	1.87	1.79	1.84	1.87	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	2.23	2.06	2.23	2.22	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	7.71	7.17	7.61	7.70	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	8.18	7.52	8.16	8.15	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	4.65	4.53	4.48	4.72	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	8.06	7.82	7.54	8.06	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	13.6	13.4	12.3	13.5	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	17.0	16.2	16.6	16.9	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	18.8	16.8	19.0	18.7	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	1.59	1.55	1.38	1.59	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	3.49	3.48	3.05	3.47	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	5.14	5.13	5.18	5.12	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	5.55	5.24	5.68	5.61	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-18(6) 最大応答せん断力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.14	4.12	4.10	4.16	4.14	4.12	4.10	4.16
TX-TZ(T14側)	32.0~20.6	2	8.19	8.11	8.23	8.14	8.27	8.28	8.23	8.20
	20.6~12.5	3	16.8	16.4	16.7	16.7	16.8	16.4	16.7	16.7
	12.5~5.5	4	20.2	19.7	20.0	20.1	20.2	19.7	20.0	20.1
TX-TZ(T1側)	32.0~20.6	5	1.96	1.95	1.95	2.01	2.06	2.06	1.98	2.06
	20.6~8.8	6	2.90	2.84	2.90	2.96	2.90	2.84	2.90	2.96
	8.8~5.5	7	7.80	7.48	7.79	7.88	7.80	7.48	7.79	7.88
TX-TZ	5.5~2.0	8	29.9	29.1	29.8	29.9	29.9	29.1	29.8	29.9
TA-TC	41.6~32.0	9	6.20	6.16	6.26	6.31	6.20	6.16	6.26	6.31
	32.0~20.6	10	12.6	12.4	12.5	12.8	12.6	12.4	12.5	12.8
	20.6~12.5	11	13.2	13.1	13.1	13.3	13.2	13.1	13.1	13.3
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	3.19	3.07	3.17	3.23	3.19	3.07	3.17	3.23
	5.5~2.0	13	4.06	3.86	4.14	4.09	4.06	3.86	4.14	4.09
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.0	12.1	12.2	12.2	12.0	12.1	12.2
	5.5~2.0	15	13.9	13.6	13.7	13.8	13.9	13.6	13.7	13.8
TC-TF	41.6~30.55	16	6.60	6.66	6.65	6.82	6.60	6.66	6.65	6.82
	30.55~20.6	17	11.9	11.8	11.9	12.1	11.9	11.8	11.9	12.1
	20.6~12.5	18	23.3	22.9	23.0	23.0	23.3	22.9	23.0	23.0
	12.5~5.5	19	27.9	27.1	27.7	27.6	27.9	27.1	27.7	27.6
	5.5~2.0	20	33.0	31.9	32.9	32.6	33.0	31.9	32.9	32.6
TG-TH	33.7~20.6	21	2.17	2.19	2.25	2.16	2.32	2.19	2.25	2.35
	20.6~12.5	22	5.91	5.83	5.97	5.86	5.91	5.83	5.97	5.86
	12.5~5.5	23	10.2	9.61	10.4	10.2	10.2	9.61	10.4	10.2
	5.5~2.0	24	11.2	10.6	11.7	11.1	11.2	10.6	11.7	11.1

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,
 ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(1) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.64	3.58	3.69	3.68	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.89	3.95	3.97	3.84	4.65	4.49	4.59	4.52
			5.55	5.59	5.59	5.58	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	5.55	5.59	5.59	5.58	5.55	5.59	5.59	5.58
			18.1	18.4	18.0	17.9	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	18.1	18.4	18.0	17.9	18.8	18.5	18.5	18.7
			31.0	31.8	31.3	30.9	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.39	7.48	7.41	7.37	7.73	7.67	7.62	7.66
			9.69	9.80	9.65	9.67	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	9.69	9.80	9.65	9.67	9.96	9.90	9.85	9.95
			12.9	13.0	12.9	12.9	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	12.9	13.0	12.9	12.9	13.2	13.1	13.1	13.2
			14.9	14.8	15.0	14.9	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	45.8	46.5	46.2	45.8	48.4	47.7	47.8	48.3
			55.0	55.3	55.6	54.9	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.77	5.48	5.84	5.96	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	5.77	5.48	5.84	5.96	5.95	5.92	6.01	6.06
			19.1	18.2	19.4	19.5	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	19.1	18.2	19.4	19.5	20.3	20.0	20.3	20.6
			29.3	28.6	29.7	29.7	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(2) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	16.8	16.4	17.1	17.0	17.8	17.6	17.7	18.0
	5.5~2.0		18.6	18.3	19.0	18.8	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	18.6	18.3	19.0	18.8	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0		19.8	19.3	20.1	19.9	21.4	21.0	21.3	21.6
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	15	12.5	12.2	12.7	12.7	13.1	12.9	13.1	13.3
	5.5~2.0		20.1	19.8	20.4	20.2	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			7.12	6.94	7.12	7.10	7.29	7.36	7.35	7.53
	30.55~20.6	17	7.12	6.94	7.12	7.10	7.29	7.36	7.35	7.53
			18.0	17.3	18.3	18.1	19.1	19.1	19.2	19.5
	20.6~12.5	18	18.0	17.3	18.3	18.1	19.1	19.1	19.2	19.5
			33.8	33.8	34.7	33.9	37.5	37.2	37.2	37.8
	12.5~5.5	19	33.8	33.8	34.7	33.9	37.5	37.2	37.2	37.8
			51.3	51.6	52.6	51.4	56.4	55.7	56.0	56.4
	5.5~2.0	20	51.3	51.6	52.6	51.4	56.4	55.7	56.0	56.4
			60.8	60.7	62.4	60.9	67.7	66.6	67.1	67.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.74	2.85	2.64	2.75	3.04	2.87	2.95	3.08
	20.6~12.5	22	2.74	2.85	2.64	2.75	3.04	2.87	2.95	3.08
			6.91	7.21	6.83	6.90	7.64	7.59	7.78	7.58
	12.5~5.5	23	6.91	7.21	6.83	6.90	7.64	7.59	7.78	7.58
			12.7	13.0	12.8	12.8	14.6	14.2	14.8	14.4
	5.5~2.0	24	12.7	13.0	12.8	12.8	14.6	14.2	14.8	14.4
			16.0	15.9	16.1	16.0	18.4	17.9	18.9	18.3

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(3) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.23	3.04	3.16	3.32	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.62	3.30	3.81	3.62	4.65	4.49	4.59	4.52
			5.21	5.06	5.13	5.29	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	5.21	5.06	5.13	5.29	5.55	5.59	5.59	5.58
			15.6	15.0	16.4	15.8	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	15.6	15.0	16.4	15.8	18.8	18.5	18.5	18.7
			26.8	25.2	28.7	26.8	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	6.58	6.28	6.87	6.66	7.73	7.67	7.62	7.66
			8.36	7.98	8.59	8.48	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	8.36	7.98	8.59	8.48	9.96	9.90	9.85	9.95
			11.3	10.9	11.7	11.4	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	11.3	10.9	11.7	11.4	13.2	13.1	13.1	13.2
			13.2	12.6	13.7	13.3	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.8	37.9	42.5	40.0	48.4	47.7	47.8	48.3
			47.9	45.3	51.3	47.9	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			4.17	3.99	4.16	4.34	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	4.17	3.99	4.16	4.34	5.95	5.92	6.01	6.06
			14.5	13.4	14.7	14.8	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	14.5	13.4	14.7	14.8	20.3	20.0	20.3	20.6
			22.8	21.3	23.9	23.2	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(4) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	13.2	12.3	14.0	13.4	17.8	17.6	17.7	18.0
	5.5~2.0		14.7	13.8	15.7	14.9	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	14.7	13.8	15.7	14.9	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0		15.7	14.7	16.8	15.9	21.4	21.0	21.3	21.6
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	9.56	8.93	9.88	9.76	13.1	12.9	13.1	13.3
	5.5~2.0		15.9	14.9	17.1	16.1	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	30.55~20.6		5.66	5.09	5.70	5.82	7.29	7.36	7.35	7.53
TC-TF	30.55~20.6	17	5.66	5.09	5.70	5.82	7.29	7.36	7.35	7.53
	20.6~12.5		14.5	12.4	14.7	14.8	19.1	19.1	19.2	19.5
TC-TF	20.6~12.5	18	14.5	12.4	14.7	14.8	19.1	19.1	19.2	19.5
	12.5~5.5		26.9	23.3	27.6	27.2	37.5	37.2	37.2	37.8
TC-TF	12.5~5.5	19	26.9	23.3	27.6	27.2	37.5	37.2	37.2	37.8
	5.5~2.0		41.4	37.4	43.8	41.8	56.4	55.7	56.0	56.4
TC-TF	5.5~2.0	20	41.4	37.4	43.8	41.8	56.4	55.7	56.0	56.4
			50.1	46.0	54.0	50.4	67.7	66.6	67.1	67.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	20.6~12.5		3.04	2.74	2.93	3.08	3.04	2.87	2.95	3.08
TG-TH	20.6~12.5	22	3.04	2.74	2.93	3.08	3.04	2.87	2.95	3.08
	12.5~5.5		7.10	6.43	6.94	7.15	7.64	7.59	7.78	7.58
TG-TH	12.5~5.5	23	7.10	6.43	6.94	7.15	7.64	7.59	7.78	7.58
	5.5~2.0		12.6	11.4	12.4	12.7	14.6	14.2	14.8	14.4
TG-TH	5.5~2.0	24	12.6	11.4	12.4	12.7	14.6	14.2	14.8	14.4
			15.6	14.1	15.4	15.7	18.4	17.9	18.9	18.3

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(5) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)								
			Sd-F2				最大値				
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	2.49	2.54	2.50	2.51	3.97	3.96	3.94	4.00	
			3.17	3.29	3.04	3.13	4.65	4.49	4.59	4.52	
	20.6~12.5	3	4.64	4.71	4.58	4.64	5.55	5.59	5.59	5.58	
			4.64	4.71	4.58	4.64	5.55	5.59	5.59	5.58	
			13.5	14.0	13.4	13.5	18.8	18.5	18.5	18.7	
			13.5	14.0	13.4	13.5	18.8	18.5	18.5	18.7	
12.5~5.5	4	22.6	23.4	22.2	22.6	32.6	32.2	32.2	32.5		
		5.53	5.67	5.47	5.52	7.73	7.67	7.62	7.66		
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.02	7.26	7.00	7.01	9.96	9.90	9.85	9.95	
			7.02	7.26	7.00	7.01	9.96	9.90	9.85	9.95	
	20.6~8.8	6	9.89	10.2	9.85	9.87	13.2	13.1	13.1	13.2	
			9.89	10.2	9.85	9.87	13.2	13.1	13.1	13.2	
	8.8~5.5	7	11.4	11.8	11.4	11.4	15.8	15.5	15.6	15.8	
			11.4	11.8	11.4	11.4	15.8	15.5	15.6	15.8	
TX-TZ	5.5~2.0	8	34.1	35.2	33.6	34.0	48.4	47.7	47.8	48.3	
			40.7	41.8	39.9	40.5	58.7	57.8	58.0	58.6	
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			3.39	3.27	3.13	3.48	5.95	5.92	6.01	6.06	
	32.0~20.6	10	3.39	3.27	3.13	3.48	5.95	5.92	6.01	6.06	
			11.5	11.9	11.7	11.6	20.3	20.0	20.3	20.6	
			11.5	11.9	11.7	11.6	20.3	20.0	20.3	20.6	
			18.8	19.6	18.9	18.8	30.9	30.5	30.8	31.3	

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(6) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	10.8	11.3	10.8	10.9	17.8	17.6	17.7	18.0
	5.5~2.0		13	12.2	12.6	12.1	12.3	20.0	19.7	19.9
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	12.2	12.6	12.1	12.3	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0		15	12.9	13.3	12.7	12.9	21.4	21.0	21.3
TC-TF	41.6~30.55	16	7.97	8.32	8.06	7.99	13.1	12.9	13.1	13.3
	30.55~20.6		17	13.2	13.6	13.0	13.2	21.5	21.2	21.4
TG-TH	33.7~20.6	21	13.2	13.6	13.0	13.2	21.5	21.2	21.4	21.7
	20.6~12.5		18	16.0	16.4	15.6	16.0	26.3	26.0	26.2
TC-TF	12.5~5.5	19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	5.5~2.0		20	4.76	4.93	4.45	4.90	7.29	7.36	7.35
TG-TH	33.7~20.6	21	4.76	4.93	4.45	4.90	7.29	7.36	7.35	7.53
	20.6~12.5		22	12.1	12.0	11.4	12.3	19.1	19.1	19.2
TG-TH	12.5~5.5	23	12.1	12.0	11.4	12.3	19.1	19.1	19.2	19.5
	5.5~2.0		24	23.6	23.3	22.4	23.7	37.5	37.2	37.2
TG-TH	33.7~20.6	21	23.6	23.3	22.4	23.7	37.5	37.2	37.2	37.8
	20.6~12.5		22	38.6	38.6	37.0	38.6	56.4	55.7	56.0
TG-TH	12.5~5.5	23	38.6	38.6	37.0	38.6	56.4	55.7	56.0	56.4
	5.5~2.0		24	46.5	46.8	45.0	46.5	67.7	66.6	67.1
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	20.6~12.5		22	1.96	1.94	1.90	2.00	3.04	2.87	2.95
TG-TH	12.5~5.5	23	1.96	1.94	1.90	2.00	3.04	2.87	2.95	3.08
	5.5~2.0		24	5.26	5.41	5.25	5.31	7.64	7.59	7.78
TG-TH	33.7~20.6	21	5.26	5.41	5.25	5.31	7.64	7.59	7.78	7.58
	20.6~12.5		22	10.0	10.3	9.98	10.0	14.6	14.2	14.8
TG-TH	12.5~5.5	23	10.0	10.3	9.98	10.0	14.6	14.2	14.8	14.4
	5.5~2.0		24	10.0	10.3	9.98	10.0	14.6	14.2	14.8
TG-TH	33.7~20.6	21	12.6	13.0	12.5	12.5	18.4	17.9	18.9	18.3
	20.6~12.5		22	12.6	13.0	12.5	12.5	18.4	17.9	18.9

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ, ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(7) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.21	2.14	2.20	2.26	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	2.16	2.31	2.01	2.17	4.65	4.49	4.59	4.52
			3.39	3.38	3.31	3.43	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	3.39	3.38	3.31	3.43	5.55	5.59	5.59	5.58
			9.48	9.73	9.16	9.43	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	9.48	9.73	9.16	9.43	18.8	18.5	18.5	18.7
			16.5	16.9	15.4	16.5	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	3.89	3.96	3.84	3.87	7.73	7.67	7.62	7.66
			5.15	5.23	5.07	5.12	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	5.15	5.23	5.07	5.12	9.96	9.90	9.85	9.95
			6.95	7.11	6.71	6.91	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	6.95	7.11	6.71	6.91	13.2	13.1	13.1	13.2
			8.28	8.44	7.74	8.25	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	24.8	25.3	23.1	24.7	48.4	47.7	47.8	48.3
			30.3	30.9	28.3	30.3	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.04	3.09	3.05	3.13	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	3.04	3.09	3.05	3.13	5.95	5.92	6.01	6.06
			9.56	9.33	9.90	9.73	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	9.56	9.33	9.90	9.73	20.3	20.0	20.3	20.6
			14.0	13.9	14.8	14.2	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(8) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(d) S d - N 2 N S

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2NS				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	7.82	8.02	8.34	7.91	17.8	17.6	17.7	18.0
	5.5~2.0		8.69	8.92	9.16	8.64	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	8.69	8.92	9.16	8.64	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0		9.32	9.55	9.63	9.27	21.4	21.0	21.3	21.6
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	15	6.21	6.08	6.44	6.26	13.1	12.9	13.1	13.3
	5.5~2.0		9.40	9.66	9.79	9.36	21.5	21.2	21.4	21.7
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.53	3.82	3.67	3.64	7.29	7.36	7.35	7.53
	30.55~20.6	17	3.53	3.82	3.67	3.64	7.29	7.36	7.35	7.53
			8.78	9.15	9.40	8.99	19.1	19.1	19.2	19.5
	20.6~12.5	18	8.78	9.15	9.40	8.99	19.1	19.1	19.2	19.5
			16.2	16.5	17.7	16.4	37.5	37.2	37.2	37.8
	12.5~5.5	19	16.2	16.5	17.7	16.4	37.5	37.2	37.2	37.8
			25.0	26.0	26.5	24.9	56.4	55.7	56.0	56.4
	5.5~2.0	20	25.0	26.0	26.5	24.9	56.4	55.7	56.0	56.4
			29.8	31.1	31.2	29.5	67.7	66.6	67.1	67.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1.68	1.43	1.68	1.70	3.04	2.87	2.95	3.08
	20.6~12.5	22	1.68	1.43	1.68	1.70	3.04	2.87	2.95	3.08
			3.87	3.62	3.96	3.89	7.64	7.59	7.78	7.58
	12.5~5.5	23	3.87	3.62	3.96	3.89	7.64	7.59	7.78	7.58
			6.70	6.66	6.92	6.71	14.6	14.2	14.8	14.4
	5.5~2.0	24	6.70	6.66	6.92	6.71	14.6	14.2	14.8	14.4
			8.19	8.27	8.50	8.19	18.4	17.9	18.9	18.3

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(9) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, EW方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.84	2.77	2.93	2.88	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	3.05	2.89	3.01	3.03	4.65	4.49	4.59	4.52
			4.71	4.54	4.86	4.73	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	4.71	4.54	4.86	4.73	5.55	5.59	5.59	5.58
			13.2	13.2	13.2	13.2	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	13.2	13.2	13.2	13.2	18.8	18.5	18.5	18.7
			21.9	21.7	21.9	21.9	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	5.45	5.44	5.52	5.48	7.73	7.67	7.62	7.66
			6.97	6.97	7.16	7.00	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	6.97	6.97	7.16	7.00	9.96	9.90	9.85	9.95
			9.70	9.71	9.71	9.73	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	9.70	9.71	9.71	9.73	13.2	13.1	13.1	13.2
			11.1	11.0	11.0	11.2	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	32.8	32.7	32.8	32.9	48.4	47.7	47.8	48.3
			39.3	38.4	39.4	39.4	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.70	3.63	3.81	3.78	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	3.70	3.63	3.81	3.78	5.95	5.92	6.01	6.06
			12.3	12.2	12.9	12.4	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	12.3	12.2	12.9	12.4	20.3	20.0	20.3	20.6
			19.2	19.1	19.5	19.4	30.9	30.5	30.8	31.3

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(10) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(e) S d - N 2 E W

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)							
			Sd-N2EW				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	11.0	10.9	11.0	11.0	17.8	17.6	17.7	18.0
			12.2	12.1	12.2	12.3	20.0	19.7	19.9	20.2
TA-TC(T1側)	5.5~2.0	13	12.2	12.1	12.2	12.3	20.0	19.7	19.9	20.2
			12.9	12.7	12.7	12.9	21.4	21.0	21.3	21.6
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	8.26	8.22	8.50	8.31	13.1	12.9	13.1	13.3
			13.1	13.0	13.0	13.1	21.5	21.2	21.4	21.7
TA-TC(T1側)	5.5~2.0	15	13.1	13.0	13.0	13.1	21.5	21.2	21.4	21.7
			15.7	15.4	15.3	15.7	26.3	26.0	26.2	26.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.13	5.00	4.95	5.22	7.29	7.36	7.35	7.53
	30.55~20.6	17	5.13	5.00	4.95	5.22	7.29	7.36	7.35	7.53
			13.1	12.7	12.4	13.2	19.1	19.1	19.2	19.5
	20.6~12.5	18	13.1	12.7	12.4	13.2	19.1	19.1	19.2	19.5
			23.8	23.1	22.1	23.8	37.5	37.2	37.2	37.8
12.5~5.5	19	23.8	23.1	22.1	23.8	37.5	37.2	37.2	37.8	
		34.7	33.7	31.9	34.5	56.4	55.7	56.0	56.4	
5.5~2.0	20	34.7	33.7	31.9	34.5	56.4	55.7	56.0	56.4	
		40.7	39.4	37.5	40.5	67.7	66.6	67.1	67.5	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.09	2.03	1.81	2.09	3.04	2.87	2.95	3.08
	20.6~12.5	22	2.09	2.03	1.81	2.09	3.04	2.87	2.95	3.08
			4.91	4.84	4.28	4.89	7.64	7.59	7.78	7.58
	12.5~5.5	23	4.91	4.84	4.28	4.89	7.64	7.59	7.78	7.58
			8.50	8.40	7.43	8.44	14.6	14.2	14.8	14.4
5.5~2.0	24	8.50	8.40	7.43	8.44	14.6	14.2	14.8	14.4	
		10.4	10.2	9.38	10.3	18.4	17.9	18.9	18.3	

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+ σ ,
 ケース3: 地盤物性- σ , ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(11) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.97	3.96	3.94	4.00	3.97	3.96	3.94	4.00
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	4.65	4.49	4.59	4.52	4.65	4.49	4.59	4.52
			5.24	5.42	5.24	5.29	5.55	5.59	5.59	5.58
	20.6~12.5	3	5.24	5.42	5.24	5.29	5.55	5.59	5.59	5.58
			18.8	18.5	18.5	18.7	18.8	18.5	18.5	18.7
	12.5~5.5	4	18.8	18.5	18.5	18.7	18.8	18.5	18.5	18.7
			32.6	32.2	32.2	32.5	32.6	32.2	32.2	32.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	7.73	7.67	7.62	7.66	7.73	7.67	7.62	7.66
			9.96	9.90	9.85	9.95	9.96	9.90	9.85	9.95
	20.6~8.8	6	9.96	9.90	9.85	9.95	9.96	9.90	9.85	9.95
			13.2	13.1	13.1	13.2	13.2	13.1	13.1	13.2
	8.8~5.5	7	13.2	13.1	13.1	13.2	13.2	13.1	13.1	13.2
			15.8	15.5	15.6	15.8	15.8	15.5	15.6	15.8
TX-TZ	5.5~2.0	8	48.4	47.7	47.8	48.3	48.4	47.7	47.8	48.3
			58.7	57.8	58.0	58.6	58.7	57.8	58.0	58.6
TA-TC	41.6~32.0	9	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			5.95	5.92	6.01	6.06	5.95	5.92	6.01	6.06
	32.0~20.6	10	5.95	5.92	6.01	6.06	5.95	5.92	6.01	6.06
			20.3	20.0	20.3	20.6	20.3	20.0	20.3	20.6
	20.6~12.5	11	20.3	20.0	20.3	20.6	20.3	20.0	20.3	20.6
			30.9	30.5	30.8	31.3	30.9	30.5	30.8	31.3

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-19(12) 最大応答曲げモーメント一覧表 (弾性設計用地震動 S d, E W 方向)

(f) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
TA-TC(T14側)	12.5~5.5	12	17.8	17.6	17.7	18.0	17.8	17.6	17.7	18.0
			20.0	19.7	19.9	20.2	20.0	19.7	19.9	20.2
	5.5~2.0	13	20.0	19.7	19.9	20.2	20.0	19.7	19.9	20.2
			21.4	21.0	21.3	21.6	21.4	21.0	21.3	21.6
TA-TC(T1側)	12.5~5.5	14	13.1	12.9	13.1	13.3	13.1	12.9	13.1	13.3
			21.5	21.2	21.4	21.7	21.5	21.2	21.4	21.7
	5.5~2.0	15	21.5	21.2	21.4	21.7	21.5	21.2	21.4	21.7
			26.3	26.0	26.2	26.5	26.3	26.0	26.2	26.5
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			7.29	7.36	7.35	7.53	7.29	7.36	7.35	7.53
	30.55~20.6	17	7.29	7.36	7.35	7.53	7.29	7.36	7.35	7.53
			19.1	19.1	19.2	19.5	19.1	19.1	19.2	19.5
	20.6~12.5	18	19.1	19.1	19.2	19.5	19.1	19.1	19.2	19.5
			37.5	37.2	37.2	37.8	37.5	37.2	37.2	37.8
	12.5~5.5	19	37.5	37.2	37.2	37.8	37.5	37.2	37.2	37.8
			56.4	55.7	56.0	56.4	56.4	55.7	56.0	56.4
	5.5~2.0	20	56.4	55.7	56.0	56.4	56.4	55.7	56.0	56.4
			67.7	66.6	67.1	67.5	67.7	66.6	67.1	67.5
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			2.85	2.87	2.95	2.83	3.04	2.87	2.95	3.08
	20.6~12.5	22	2.85	2.87	2.95	2.83	3.04	2.87	2.95	3.08
			7.64	7.59	7.78	7.58	7.64	7.59	7.78	7.58
	12.5~5.5	23	7.64	7.59	7.78	7.58	7.64	7.59	7.78	7.58
			14.6	14.2	14.8	14.4	14.6	14.2	14.8	14.4
	5.5~2.0	24	14.6	14.2	14.8	14.4	14.6	14.2	14.8	14.4
			18.4	17.9	18.9	18.3	18.4	17.9	18.9	18.3

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,
 ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-20(1) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向)

(a) S d - D

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	553	524	528	550	642	674	704	649
	32.0	2	461	477	476	462	559	596	606	562
	20.6	3	394	409	412	393	402	412	443	410
	12.5	4	348	349	348	346	348	349	349	346
	5.5	5	289	305	286	288	289	305	286	288
	2.0	8	277	287	261	277	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	553	524	528	550	642	674	704	649
	6.2	10	1030	974	957	996	1030	974	957	999
	12.2	11	1008	994	1008	1027	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1544	1450	1555	1420	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-20(2) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(b) S d - F 1

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	473	471	480	469	642	674	704	649
	32.0	2	420	404	428	417	559	596	606	562
	20.6	3	320	337	325	317	402	412	443	410
	12.5	4	253	275	260	251	348	349	349	346
	5.5	5	214	221	194	213	289	305	286	288
	2.0	8	189	183	175	188	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	473	471	480	469	642	674	704	649
	6.2	10	732	741	731	842	1030	974	957	999
	12.2	11	805	812	829	793	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1230	1198	1275	1249	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-20(3) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(c) S d - F 2

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	442	478	442	439	642	674	704	649
	32.0	2	391	402	391	389	559	596	606	562
	20.6	3	310	320	300	309	402	412	443	410
	12.5	4	257	270	259	259	348	349	349	346
	5.5	5	246	254	244	247	289	305	286	288
	2.0	8	235	235	239	236	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	442	478	442	439	642	674	704	649
	6.2	10	663	619	606	708	1030	974	957	999
	12.2	11	735	721	744	625	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1166	1145	1104	1128	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性 + σ ,

ケース3 : 地盤物性 - σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-20(4) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(d) S d - N 2

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	642	674	704	649	642	674	704	649
	32.0	2	559	596	606	562	559	596	606	562
	20.6	3	402	412	443	410	402	412	443	410
	12.5	4	324	330	349	322	348	349	349	346
	5.5	5	254	249	271	252	289	305	286	288
	2.0	8	220	220	234	219	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	642	674	704	649	642	674	704	649
	6.2	10	921	924	839	908	1030	974	957	999
	12.2	11	962	975	959	1080	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1317	1312	1315	1394	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-20(5) 最大応答加速度一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(e) S d - 1

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	525	534	545	526	642	674	704	649
	32.0	2	473	473	486	473	559	596	606	562
	20.6	3	355	353	354	355	402	412	443	410
	12.5	4	300	305	311	300	348	349	349	346
	5.5	5	257	255	273	256	289	305	286	288
	2.0	8	238	238	258	238	277	287	261	277
屋根 トラス	0.0	1	525	534	545	526	642	674	704	649
	6.2	10	1011	929	952	999	1030	974	957	999
	12.2	11	1183	1120	1209	1233	1183	1120	1209	1233
	18.2	12	1723	1650	1771	1690	1723	1650	1771	1690

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性 + σ ,

ケース3 : 地盤物性 - σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-21(1) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(a) S d - D

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.52	0.51	0.55	0.53	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.47	0.46	0.50	0.47	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.35	0.34	0.38	0.35	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.26	0.23	0.30	0.26	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.15	0.12	0.20	0.15	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.09	0.06	0.14	0.09	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.52	0.51	0.55	0.53	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	7.24	6.96	7.44	8.36	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	14.94	14.44	15.66	17.13	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	20.29	19.61	21.12	21.11	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-21(2) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(b) S d - F 1

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.45	0.43	0.48	0.44	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.40	0.38	0.43	0.39	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.29	0.27	0.32	0.28	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.20	0.18	0.23	0.20	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.11	0.09	0.14	0.11	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.05	0.04	0.09	0.05	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.45	0.43	0.48	0.44	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	4.28	4.17	4.62	4.32	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	9.60	9.23	10.04	9.33	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	12.84	12.33	13.28	12.88	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-21(3) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(c) S d - F 2

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.43	0.43	0.46	0.43	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.38	0.37	0.41	0.38	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.27	0.26	0.30	0.28	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.19	0.18	0.22	0.19	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.10	0.09	0.13	0.10	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.07	0.04	0.09	0.07	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.43	0.43	0.46	0.43	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	4.55	4.45	4.76	3.91	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	9.42	9.15	9.75	7.98	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	11.48	11.07	11.85	9.84	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-21(4) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(d) S d - N 2

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.57	0.57	0.63	0.59	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.51	0.51	0.56	0.52	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.37	0.35	0.41	0.37	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.26	0.24	0.29	0.26	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.14	0.11	0.17	0.14	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.07	0.04	0.12	0.07	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.57	0.57	0.63	0.59	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	4.30	4.21	4.44	4.46	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	9.49	9.28	9.89	8.48	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	12.28	11.77	12.71	11.94	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注 1 : ケース 1 : 工認モデル (基本ケース), ケース 2 : 地盤物性 + σ ,

ケース 3 : 地盤物性 - σ , ケース 4 : 積雪

注 2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-21(5) 最大応答変位一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(e) S d - 1

部位	EL* (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6	1	0.50	0.48	0.54	0.48	0.57	0.57	0.63	0.59
	32.0	2	0.43	0.42	0.47	0.43	0.51	0.51	0.56	0.52
	20.6	3	0.31	0.29	0.34	0.30	0.37	0.35	0.41	0.37
	12.5	4	0.22	0.21	0.25	0.22	0.26	0.24	0.30	0.26
	5.5	5	0.13	0.11	0.16	0.13	0.15	0.12	0.20	0.15
	2.0	8	0.08	0.06	0.11	0.07	0.09	0.06	0.14	0.09
屋根 トラス	0.0	1	0.50	0.48	0.54	0.48	0.57	0.57	0.63	0.59
	6.2	10	10.34	10.00	10.64	10.08	10.34	10.00	10.64	10.08
	12.2	11	23.29	22.49	24.30	22.75	23.29	22.49	24.30	22.75
	18.2	12	29.86	28.84	31.32	28.78	29.86	28.84	31.32	28.78

注記* : 屋根トラスは端部からの距離を示す。

注1 : ケース1 : 工認モデル (基本ケース), ケース2 : 地盤物性+ σ ,

ケース3 : 地盤物性- σ , ケース4 : 積雪

注2 : ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-22(1) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(a) S d - D

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-D				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.20	4.25	4.72	4.81	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	12.0	12.2	12.1	12.1	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	25.2	25.7	25.8	25.3	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	37.9	37.9	38.6	37.9	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	44.9	44.8	45.9	44.9	45.3	47.1	50.6	45.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-22(2) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(b) S d - F 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-F1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	3.40	3.32	3.43	3.27	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	10.8	10.4	11.0	10.6	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	21.6	22.0	22.3	21.3	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	31.0	31.8	32.0	30.6	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	35.8	37.4	36.7	35.4	45.3	47.1	50.6	45.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-22(3) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(c) S d - F 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-F2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	3.35	3.64	3.37	3.54	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	10.2	10.7	10.3	10.4	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	20.6	21.4	20.6	20.7	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	29.7	30.6	29.2	29.9	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	34.5	35.5	33.3	34.6	45.3	47.1	50.6	45.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-22(4) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(d) S d - N 2

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-N2				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.35	4.33	4.57	5.13	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	13.9	14.8	15.3	14.7	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	27.9	29.2	30.8	28.4	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	39.2	40.8	43.7	39.7	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	45.3	47.1	50.6	45.7	45.3	47.1	50.6	45.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

表 3-22(5) 最大応答軸力一覧表 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向)

(e) S d - 1

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)							
			Sd-1				最大値			
			ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
一般部	41.6~32.0	4	4.02	4.18	4.15	4.00	4.35	4.33	4.72	5.13
	32.0~20.6	5	12.4	12.4	12.7	12.0	13.9	14.8	15.3	14.7
	20.6~12.5	6	24.8	24.7	25.1	24.5	27.9	29.2	30.8	28.4
	12.5~5.5	7	34.9	34.4	35.2	34.6	39.2	40.8	43.7	39.7
	5.5~2.0	8	39.7	39.3	39.7	39.3	45.3	47.1	50.6	45.7

注1: ケース1: 工認モデル (基本ケース), ケース2: 地盤物性+σ,

ケース3: 地盤物性-σ, ケース4: 積雪

注2: ハッチングは弾性設計用地震動 S d の各ケースの最大値のうち最も大きい値を表示。

別紙 4 床ばねの諸元及び非線形性を考慮した解析

目 次

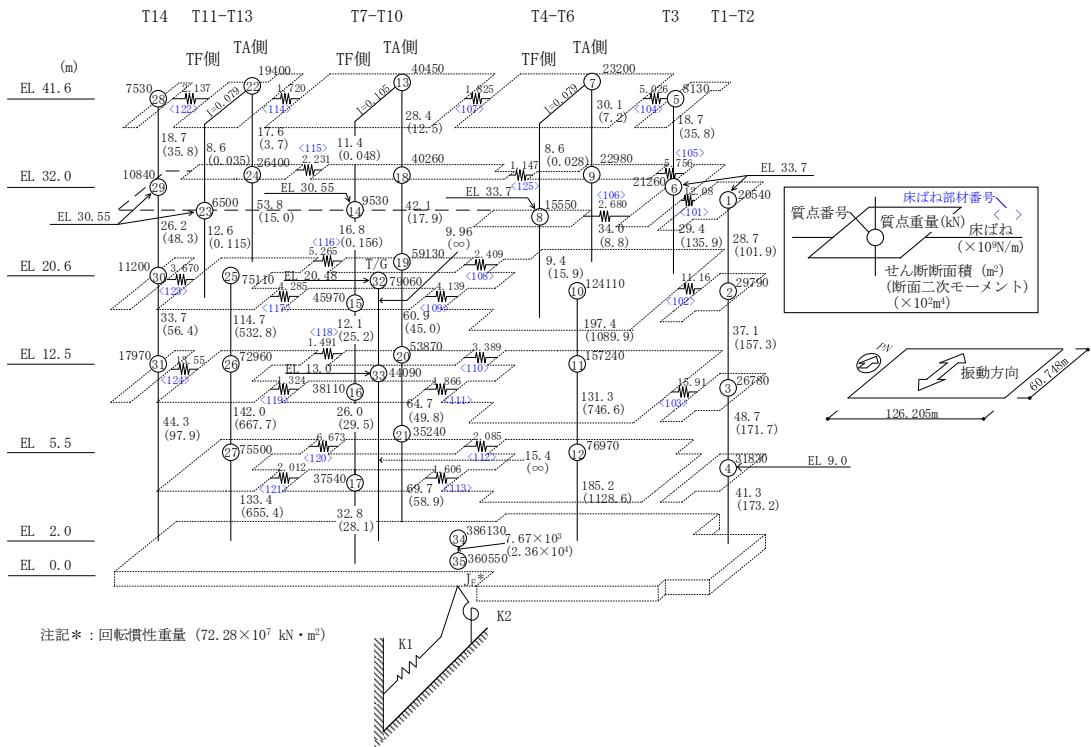
1. 概要	別紙 4-1
1.1 床ばねの諸元について	別紙 4-1
1.2 床ばねの応答解析	別紙 4-5
2. 床ばねを非線形ばねとした場合の検討	別紙 4-10
2.1 概要	別紙 4-10
2.2 検討に用いる地震波及び地震応答解析モデル	別紙 4-10
2.3 非線形特性の設定	別紙 4-10
2.4 床ばねを非線形ばねとした場合の解析結果	別紙 4-13

1. 概要

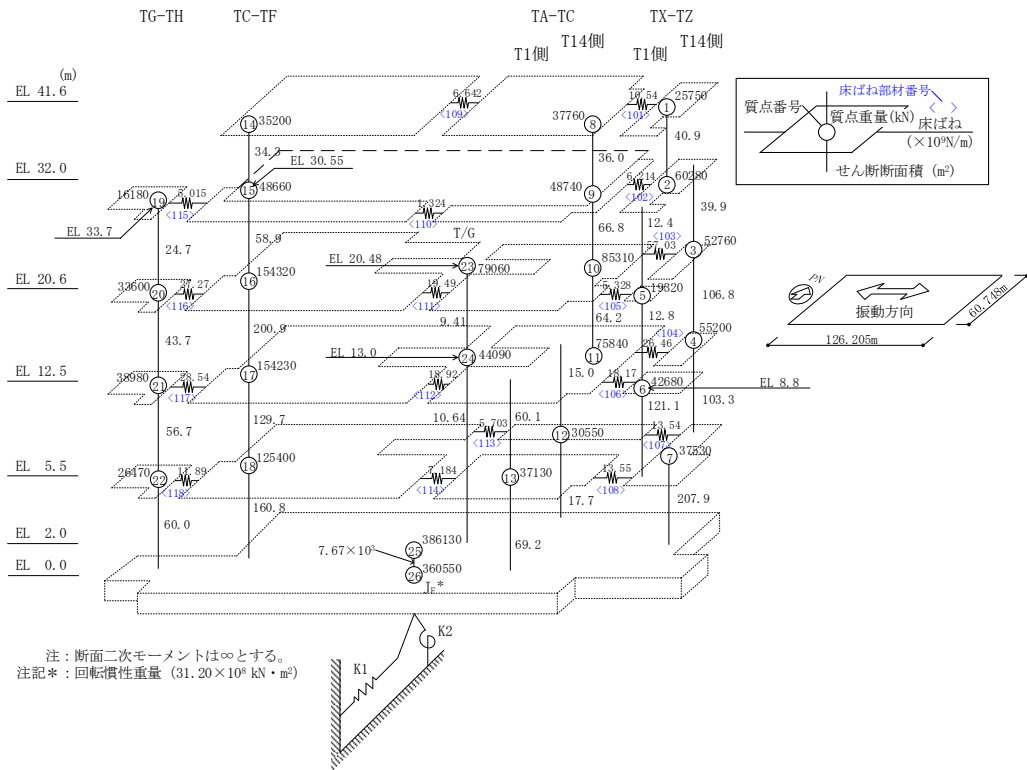
本資料は、タービン建物の地震応答解析モデルの床ばねを線形でモデル化していることから、床ばねの諸元及び機能維持要求エリアにおける応答結果を確認し、その適用性について確認する。

1.1 床ばねの諸元について

タービン建物の地震応答解析モデル（水平方向）を図 1-1 に示す。床ばねのせん断応力度－せん断ひずみ関係（ $\tau - \gamma$ 関係）は線形でモデル化しており、表 1-1 のとおり設定している。



(a) NS方向



(b) EW方向

図 1-1 地震応答解析モデル (水平方向)

表 1-1(1) 床ばねのばね定数

(a) N S 方向

EL (m)	床ばね 部材番号	床ばね ($\times 10^6$ kN/m)
41.6	104	5.026
	107	1.825
	114	1.720
	122	2.137
33.7, 32.0	101	12.08
	105	5.756
	106	2.680
	115	2.231
	125	1.147
20.6	102	11.16
	108	2.409
	109	4.139
	116	5.265
	117	4.285
	123	3.670
12.5	103	15.91
	110	3.389
	111	1.866
	118	1.491
	119	1.324
	124	13.55
5.5	112	2.085
	113	1.606
	120	6.673
	121	2.012

表 1-1(2) 床ばねのばね定数

(b) E W方向

EL (m)	床ばね 部材番号	床ばね ($\times 10^6$ kN/m)
41.6	101	10.54
	109	6.642
33.7, 32.0	102	6.214
	110	1.324
	115	5.015
20.6	103	57.03
	105	5.328
	111	19.49
	116	27.27
12.5	104	26.46
	106	18.17
	112	18.92
	117	28.54
5.5	107	13.54
	108	13.55
	113	5.703
	114	7.184
	118	11.89

1.2 床ばねの応答解析

基準地震動 $S_s - D \sim S_s - N2EW$ の基本ケースにおける機能維持要求エリアの床ばねの最大応答せん断ひずみを算出し、表 1-2 及び表 1-3 に示す。また、「原子力発電所耐震設計技術指針 J E A G 4 6 0 1 - 1991 追補版((社)日本電気協会)」(以下「J E A G 4 6 0 1 - 1991 追補版」という。)に基づきせん断スケルトン曲線の第 1 折点を算出し、基準地震動 $S_s - D \sim S_s - N2EW$ の基本ケースにおける最大応答せん断ひずみと比較を行った結果を表 1-4 及び表 1-5 に示す。

表 1-4 及び表 1-5 より、NS 方向における EL 20.6m の床ばね、EW 方向における EL 20.6m~EL 12.5m の一部の床ばねにおいて、 γ_1 (0.162×10^{-3}) を上回るせん断ひずみが生じていることを確認した。

表 1-2 床ばねの最大応答せん断ひずみ (NS 方向)

EL (m)	床ばね 番号	最大応答せん断ひずみ ($\times 10^{-3}$)						最大値
		S s - D	S s - F 1	S s - F 2	S s - N 1	S s - N 2 NS	S s - N 2 EW	
20.6	109	0.166	0.122	0.101	0.062	0.065	0.073	0.166
	116	0.233	0.147	0.145	0.171	0.135	0.111	0.233
	117	0.305	0.208	0.170	0.147	0.115	0.139	0.305
	123	0.133	0.069	0.076	0.041	0.056	0.056	0.133
12.5	103	0.032	0.029	0.026	0.018	0.027	0.025	0.032
	110	0.098	0.082	0.098	0.060	0.061	0.069	0.098
	111	0.047	0.043	0.041	0.029	0.031	0.029	0.047
	118	0.089	0.067	0.056	0.064	0.051	0.048	0.089
	119	0.116	0.051	0.076	0.065	0.044	0.046	0.116
	124	0.055	0.037	0.039	0.025	0.025	0.029	0.055
5.5	112	0.031	0.031	0.033	0.016	0.022	0.028	0.033
	113	0.036	0.020	0.014	0.017	0.011	0.009	0.036
	120	0.045	0.043	0.034	0.020	0.025	0.029	0.045
	121	0.047	0.023	0.026	0.025	0.017	0.017	0.047

注 1 : 機能維持要求エリアにおける床ばねの応答結果を示す。

注 2 : ハッチングは最大値を示す。

表 1-3 床ばねの最大応答せん断ひずみ (E W方向)

EL (m)	床ばね 番号	最大応答せん断ひずみ ($\times 10^{-3}$)						最大値
		S s - D	S s - F 1	S s - F 2	S s - N 1	S s - N 2 N S	S s - N 2 E W	
20.6	103	0.125	0.116	0.098	0.081	0.062	0.091	0.125
	105	0.106	0.074	0.055	0.043	0.038	0.064	0.106
	111	0.173	0.100	0.067	0.031	0.052	0.075	0.173
	116	0.045	0.050	0.047	0.045	0.036	0.038	0.050
12.5	104	0.051	0.032	0.034	0.020	0.019	0.023	0.051
	106	0.233	0.208	0.155	0.154	0.107	0.115	0.233
	112	0.110	0.072	0.053	0.041	0.029	0.035	0.110
	117	0.062	0.069	0.058	0.058	0.034	0.043	0.069
5.5	107	0.064	0.065	0.035	0.055	0.029	0.025	0.065
	108	0.048	0.047	0.024	0.029	0.020	0.017	0.048
	113	0.028	0.019	0.014	0.013	0.011	0.012	0.028
	114	0.023	0.012	0.012	0.013	0.009	0.010	0.023
	118	0.011	0.011	0.009	0.007	0.008	0.007	0.011

注 1 : 機能維持要求エリアにおける床ばねの応答結果を示す。

注 2 : ハッチングは最大値を示す。

表 1-4 セン断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 1 折点) との比較 (NS 方向)

EL (m)	床ばね 番号	コンクリート 設計基準強度 F c (N/mm ²)	せん断 弾性係数 G ($\times 10^3$ N/mm ²)	せん断 断面積 A s (m ²)	τ_1 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	S s - D ~ S s - N 2 E W 基本ケースの 最大応答せん断ひずみ ($\times 10^{-3}$)
20.6	109	23.5	9.38	19.60	1.52	0.162	0.166
	116			20.06			0.233
	117			17.30			0.305
	123			7.83			0.133
12.5	103			41.93			0.032
	110			14.94			0.098
	111			8.37			0.047
	118			6.73			0.089
	119			5.89			0.116
	124			24.95			0.055
5.5	112			5.52			0.033
	113			7.47			0.036
	120			12.57			0.045
	121	7.37	0.047				

注 1 : 機能維持要求エリアにおける床ばねの応答結果を示す。

注 2 : ハッチングは γ_1 を上回る値を示す。

表 1-5 セン断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, 第 1 折点) との比較 (EW 方向)

EL (m)	床ばね 番号	コンクリート 設計基準強度 F_c (N/mm ²)	せん断 弾性係数 G ($\times 10^3$ N/mm ²)	せん断 断面積 A_s (m ²)	τ_1 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	S _s -D~ S _s -N 2 EW 基本ケースの 最大応答せん断ひずみ ($\times 10^{-3}$)
20.6	103	23.5	9.38	68.68	1.52	0.162	0.125
	105			23.29			0.106
	111			48.11			0.173
	116			54.54			0.050
12.5	104			36.04			0.051
	106			29.85			0.233
	112			46.32			0.110
	117			57.51			0.069
5.5	107			18.41			0.065
	108			16.63			0.048
	113			14.01			0.028
	114			17.21			0.023
	118	24.70	0.011				

注 1 : 機能維持要求エリアにおける床ばねの応答結果を示す。

注 2 : ハッチングは γ_1 を上回る値を示す。

2. 床ばねを非線形ばねとした場合の検討

2.1 概要

今回工認モデルにおける床ばねの設定の妥当性を確認する目的で、非線形性を考慮した床ばねを用いた地震応答解析を行い、その応答結果を確認する。

2.2 検討に用いる地震波及び地震応答解析モデル

表 1-4 及び表 1-5 より、NS 方向及びEW 方向の機能維持要求エリアの一部の床ばねにおいて第 1 折点を越える最大応答せん断ひずみが生じていることを確認した。

また、表 1-2 及び表 1-3 より基準地震動 $S_s - D \sim S_s - N 2 EW$ の最大応答せん断ひずみは、NS 方向で 0.305×10^{-3} ($S_s - D$, 床ばね番号 117), EW 方向で 0.233×10^{-3} ($S_s - D$, 床ばね番号 106) であり、いずれも基準地震動 $S_s - D$ において最大値を生じていることから、工認モデルに対して非線形ばねを用いた地震応答解析での検討ケースは、基準地震動 $S_s - D$ の NS 方向モデル及びEW 方向モデルに対して実施する。このとき、すべての床ばねを非線形ばねとする。

2.3 非線形特性の設定

鉄筋コンクリート造スラブの非線形特性は、「J E A G 4 6 0 1 - 1991 追補版」の鉄筋コンクリート造耐震壁のせん断スケルトンの評価式を基に設定し、評価結果を表 2-1 及び表 2-2 に示す。

表 2-1 せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, NS 方向)

EL (m)	床ばね 番号	τ_1 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6	104	1.52	0.162	2.05	0.486	5.07	4.00
	107						
	114						
	122						
32.0	101					2.64	
	105						
	106						
	115						
	125						
20.6	102					2.52	
	108						
	109						
	116						
	117						
	123						
12.5	103					2.50	
	110						
	111						
	118						
	119						
	124						
5.5	112	2.35					
	113						
	120						
	121						

表 2-2 せん断スケルトン曲線 ($\tau - \gamma$ 関係, EW方向)

EL (m)	床ばね 番号	τ_1 (N/mm ²)	γ_1 ($\times 10^{-3}$)	τ_2 (N/mm ²)	γ_2 ($\times 10^{-3}$)	τ_3 (N/mm ²)	γ_3 ($\times 10^{-3}$)
41.6	101	1.52	0.162	2.05	0.486	5.07	4.00
	109						
32.0	102					2.64	
	110						
	115						
20.6	103					2.52	
	105						
	111						
	116						
12.5	104					2.50	
	106						
	112						
	117						
5.5	107					2.35	
	108						
	113						
	114						
	118						

2.4 床ばねを非線形ばねとした場合の解析結果

今回工認モデル及び床ばねに非線形性を考慮した地震応答解析モデル（以下「床ばね非線形モデル」という。）の応答値の比較結果を示す。最大応答加速度，最大応答変位，最大応答せん断力，最大応答曲げモーメント，耐震壁の最大応答せん断ひずみ及び床ばねの最大応答せん断ひずみを表 2-3～表 2-14 に，機能維持要求エリアの床応答スペクトルを図 2-1～図 2-10 に示す。

各応答成分の比較から，耐震壁の最大応答せん断ひずみは部分的に今回工認モデルと比較して床ばね非線形モデルの方が大きいものの 2.0×10^{-3} 以下であり，全体的に今回工認モデルが床ばね非線形モデルを概ね包絡していることから，タービン建物の耐震性に与える影響は小さいことを確認した。

また，機能維持要求エリアにおける床ばねの最大応答せん断ひずみは，NS 方向の EL 20.6m にて最大値 0.392×10^{-3} （床ばね番号 117）（ 2.0×10^{-3} 以下）であり，耐震性に問題がないことを確認した。

機能維持要求エリアにおける最大応答加速度及び床応答スペクトルについては，全体的に今回工認モデルが床ばね非線形モデルを概ね包絡していることを確認した。なお，一部の質点（例：NS 方向床応答スペクトル 質点 11，固有周期 0.13s 付近）で今回工認モデルと比較して床ばね非線形モデルの方が大きくなるため，設計に用いている震度及び床応答スペクトルとの比較を実施した。

設計用条件と床ばね非線形モデルの震度の比較結果を表 2-15 に，床応答スペクトルの比較結果を図 2-11 に示す。なお，震度については今回工認評価に適用する EL 20.6m 以下の標高について比較を実施し，床応答スペクトルについては図 2-5 に示す床応答スペクトルのピーク付近で今回工認モデルの応答を上回る質点（質点 11，15，16，31）に対して，設計用床応答スペクトルとの比較を実施する。また，床応答スペクトルの減衰定数は，耐震裕度の比較的小さい配管系の主要な減衰である 2.0%を代表とする。

表 2-15 及び図 2-11 に示すとおり，床ばね非線形モデルの応答は概ね設計用条件に包絡されることから，機器・配管系の耐震性に与える影響はないことを確認した。

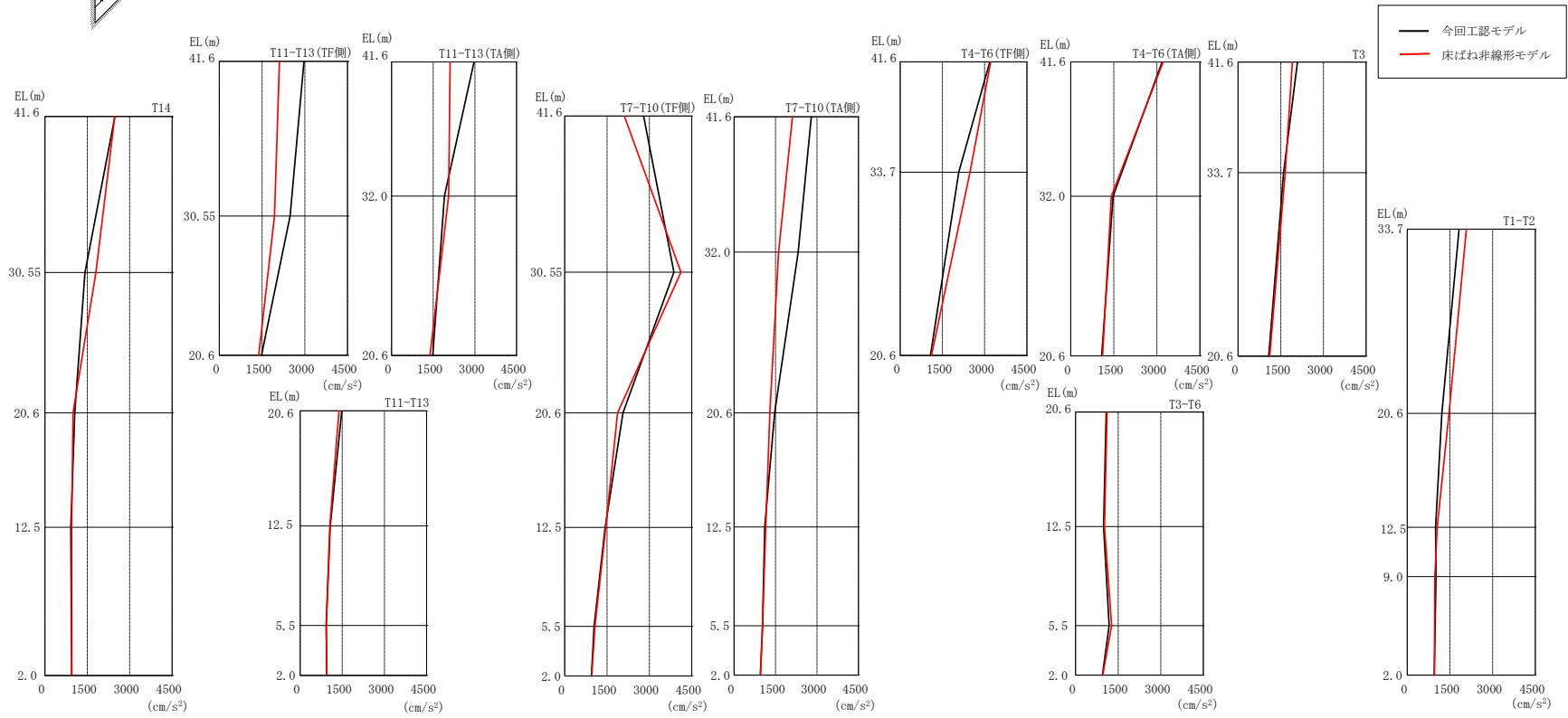
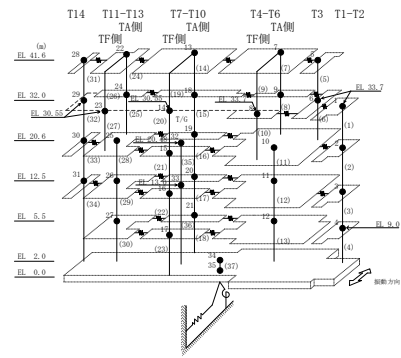
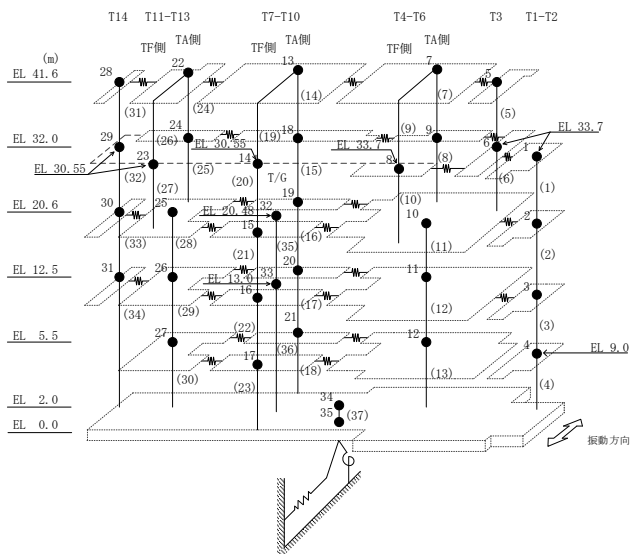


図 2-1 最大応答加速度（基準地震動 S s - D，NS 方向，基本ケース）

表 2-3 最大応答加速度一覧（基準地震動 $S_s - D$ ，NS 方向，基本ケース）

部位	EL (m)	質点番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			今回工認モデル	床ばね非線形モデル
T1-T2	33.7	1	1824	2077
	20.6	2	1217	1466
	12.5	3	995	1054
	9.0	4	1012	968
T3	41.6	5	2085	1906
	33.7	6	1599	1659
T4-T6 (TA側)	41.6	7	3183	3215
	32.0	9	1476	1414
T4-T6 (TF側)	33.7	8	2078	2477
T3-T6	20.6	10	1077	1110
	12.5	11	985	1018
	5.5	12	1183	1270
T7-T10 (TA側)	41.6	13	2795	2109
	32.0	18	2319	1610
	20.6	19	1466	1293
	12.5	20	1106	1145
	5.5	21	1029	1027
T7-T10 (TF側)	30.55	14	3868	4120
	20.6	15	2064	1870
	12.5	16	1430	1451
	5.5	17	1037	1067
T11-T13 (TA側)	41.6	22	2969	2110
	32.0	24	1902	2058
T11-T13 (TF側)	30.55	23	2482	1938
T11-T13	20.6	25	1481	1384
	12.5	26	1072	1055
	5.5	27	927	930
T14	41.6	28	2478	2469
	30.55	29	1415	1804
	20.6	30	1053	991
	12.5	31	915	946
	2.0	34	947	955

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。



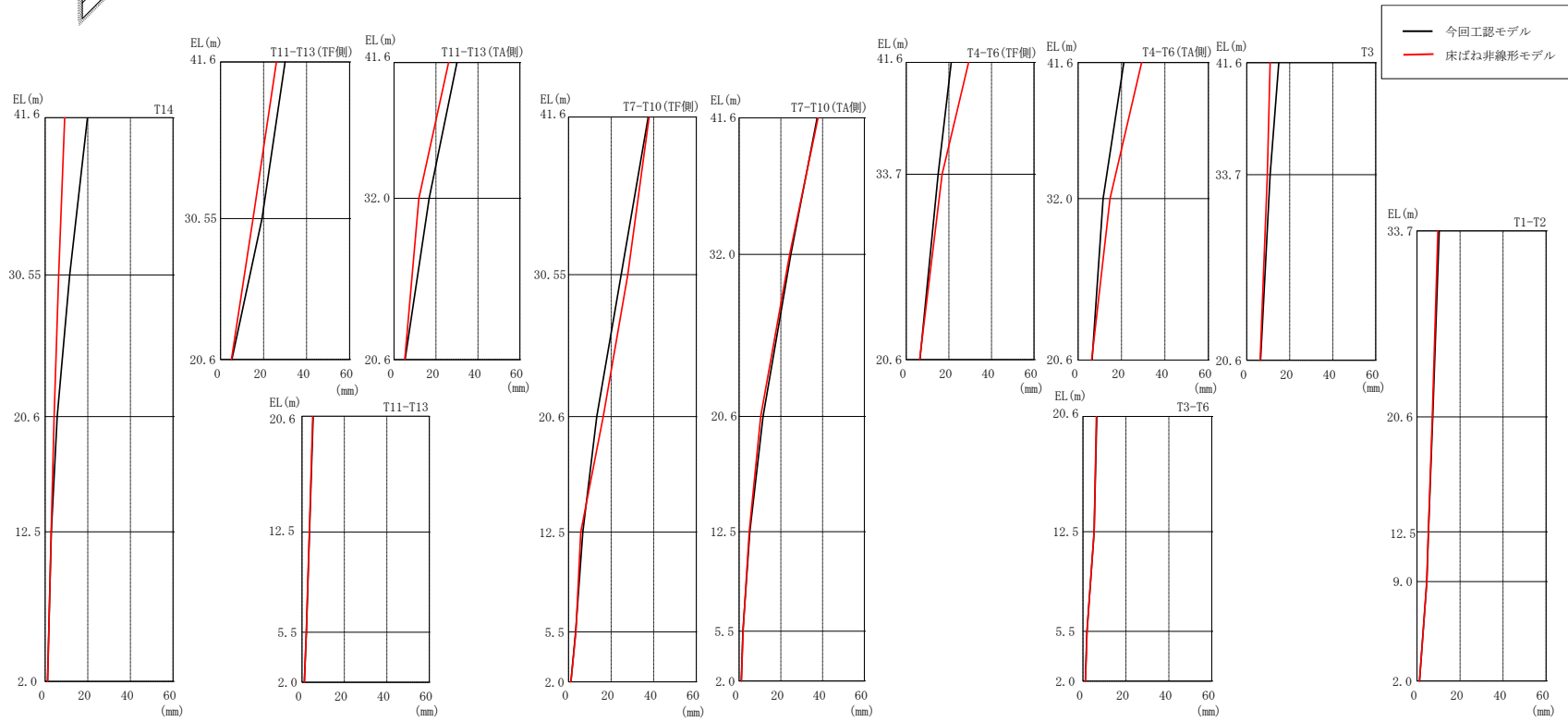
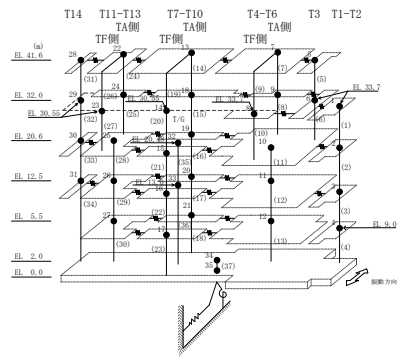
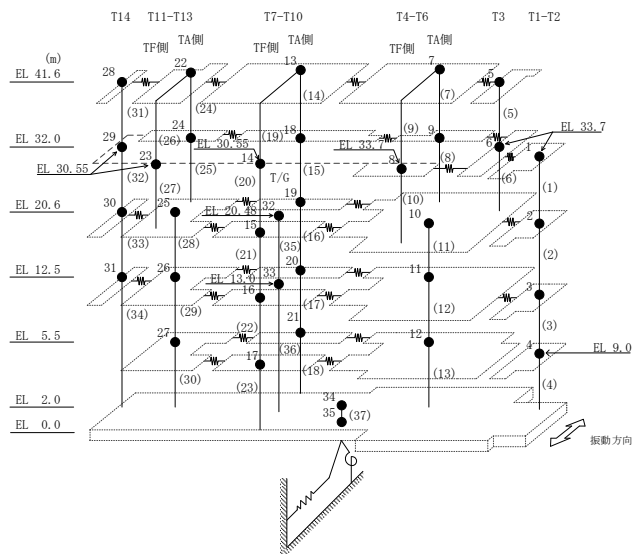


図 2-2 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - D$, NS 方向, 基本ケース)

表 2-4 最大応答変位一覧 (基準地震動 $S_s - D$, NS 方向, 基本ケース)

部位	EL (m)	質点番号	最大応答変位 (mm)	
			今回工認モデル	床ばね非線形モデル
T1-T2	33.7	1	10.33	9.71
	20.6	2	7.28	7.07
	12.5	3	5.33	5.22
	9.0	4	4.57	4.49
T3	41.6	5	14.92	10.90
	33.7	6	10.87	9.58
T4-T6 (TA側)	41.6	7	21.08	29.27
	32.0	9	11.54	14.73
T4-T6 (TF側)	33.7	8	14.93	16.83
T3-T6	20.6	10	6.42	6.27
	12.5	11	5.22	5.25
	5.5	12	1.87	1.94
T7-T10 (TA側)	41.6	13	37.40	37.84
	32.0	18	24.81	24.25
	20.6	19	11.51	10.36
	12.5	20	5.15	4.92
	5.5	21	1.88	1.94
T7-T10 (TF側)	30.55	14	24.75	27.84
	20.6	15	13.26	16.28
	12.5	16	6.72	5.74
	5.5	17	3.31	3.49
T11-T13 (TA側)	41.6	22	30.02	25.99
	32.0	24	16.73	11.87
T11-T13 (TF側)	30.55	23	19.29	15.08
T11-T13	20.6	25	5.27	5.10
	12.5	26	3.54	3.45
	5.5	27	2.09	2.03
T14	41.6	28	19.87	9.18
	30.55	29	11.51	6.35
	20.6	30	5.66	4.17
	12.5	31	2.92	2.79
	2.0	34	1.12	1.15

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。



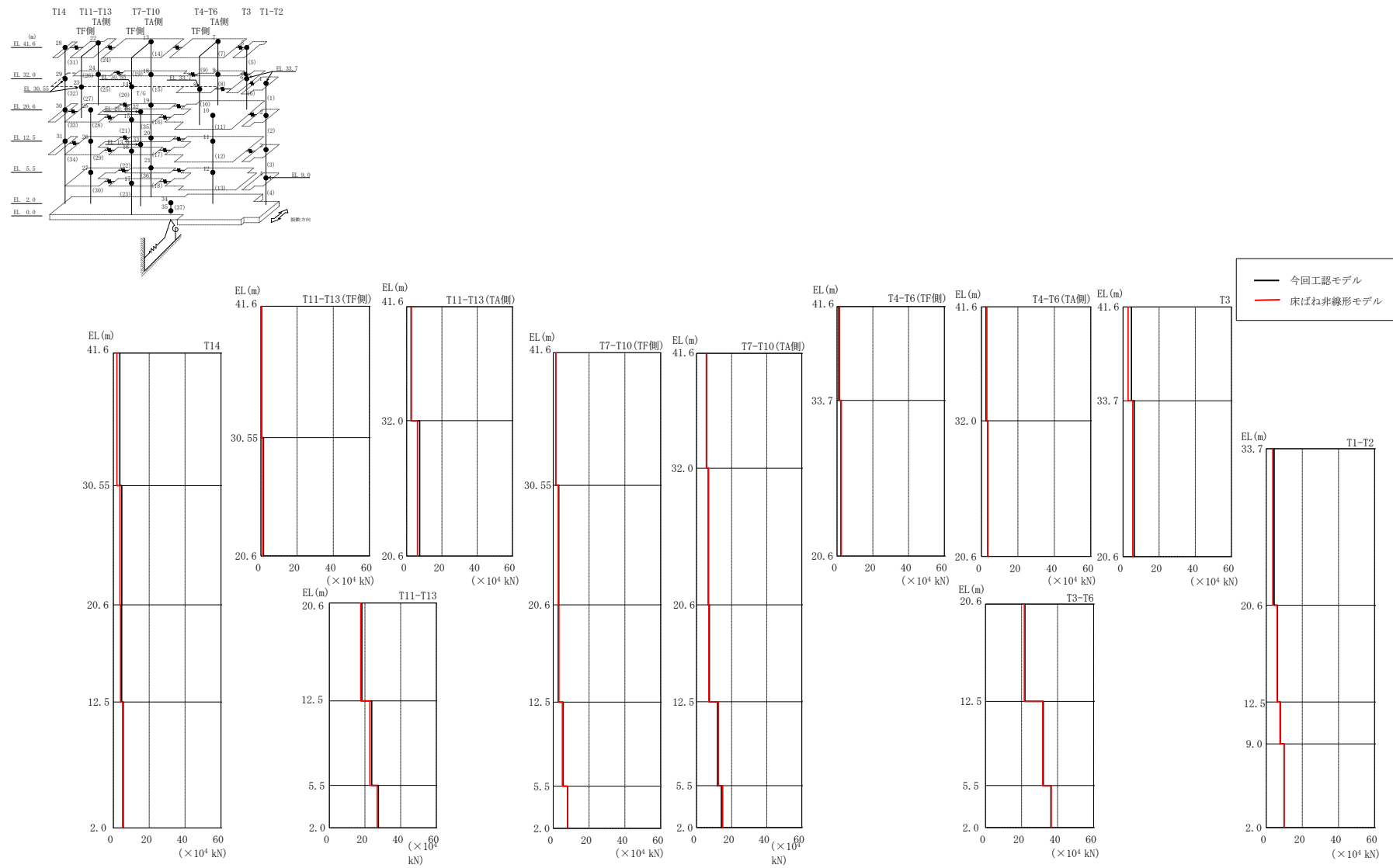
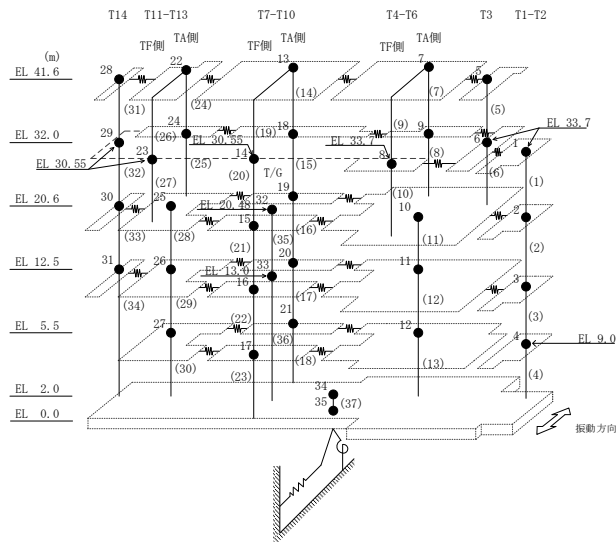


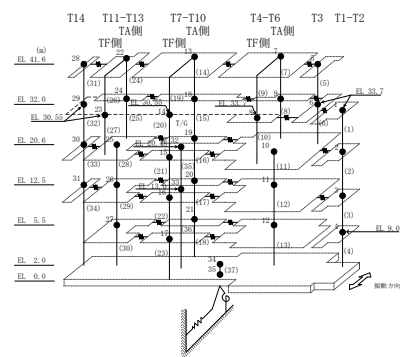
図 2-3 最大応答せん断力 (基準地震動 $S_s - D$, NS 方向, 基本ケース)

表 2-5 最大応答せん断力一覧 (基準地震動 $S_s - D$, NS 方向, 基本ケース)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			今回工認 モデル	床ばね非線形 モデル
T1-T2	33.7~20.6	1	4.37	3.63
	20.6~12.5	2	6.26	6.04
	12.5~9.0	3	7.84	7.61
	9.0~2.0	4	9.87	9.91
T3	41.6~33.7	5	4.65	2.84
	33.7~20.6	6	6.21	5.43
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	2.54	2.99
	32.0~20.6	8	3.50	3.36
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.945	1.44
	33.7~20.6	10	2.20	2.36
T3-T6	20.6~12.5	11	21.9	21.5
	12.5~5.5	12	32.1	31.8
	5.5~2.0	13	36.3	36.5
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	5.70	5.56
	32.0~20.6	15	6.71	6.92
	20.6~12.5	16	7.29	6.95
	12.5~5.5	17	12.0	12.5
	5.5~2.0	18	14.2	14.9
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	1.35	1.43
	30.55~20.6	20	3.05	2.83
	20.6~12.5	21	2.77	3.15
	12.5~5.5	22	5.59	5.10
	5.5~2.0	23	8.01	8.03
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	2.56	2.61
	32.0~20.6	25	7.37	6.14
T11-T13 (TF側)	41.6~30.55	26	0.421	0.342
	30.55~20.6	27	1.41	1.00
T11-T13	20.6~12.5	28	18.3	17.6
	12.5~5.5	29	23.8	22.8
	5.5~2.0	30	27.5	26.8
T14	41.6~30.55	31	3.62	1.98
	30.55~20.6	32	4.68	3.66
	20.6~12.5	33	4.61	4.03
	12.5~2.0	34	5.54	5.16

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。





別紙 4-20

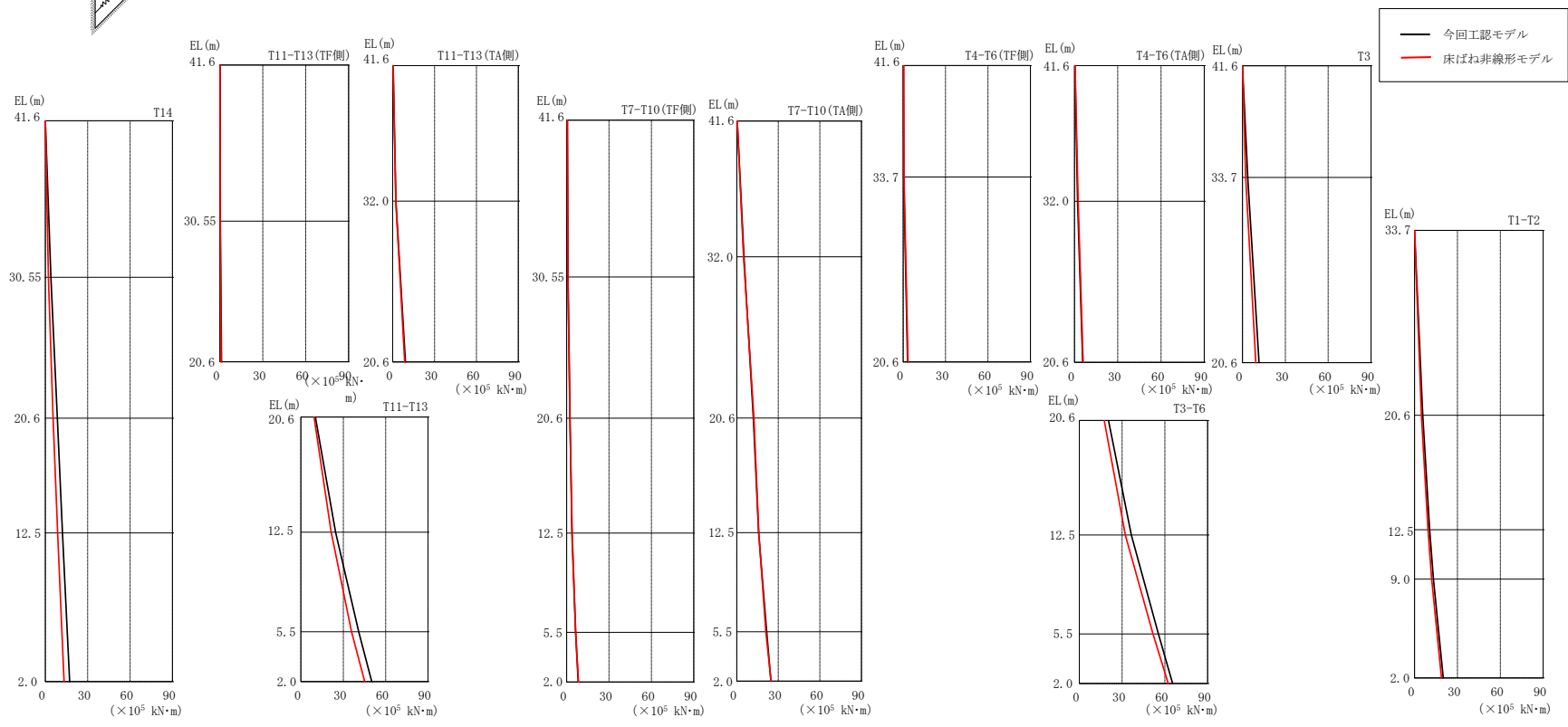


図 2-4 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s - D, NS 方向, 基本ケース)

表 2-6(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 $S_s - D$, NS 方向, 基本ケース)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN \cdot m)	
			今回工認モデル	床ばね非線形モデル
T1-T2	33.7~20.6	1	0.00	0.00
			5.72	4.75
	20.6~12.5	2	5.72	4.75
			10.5	9.41
12.5~9.0	3	10.5	9.41	
		13.2	12.0	
9.0~2.0	4	13.2	12.0	
		20.1	18.9	
T3	41.6~33.7	5	0.00	0.00
			3.68	2.24
	33.7~20.6	6	3.68	2.24
11.6			9.30	
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.264	0.393
			2.17	2.54
32.0~20.6	8	2.17	2.54	
		5.68	5.94	
T4-T6 (TF側)	41.6~33.7	9	0.285	0.429
			0.461	0.706
	33.7~20.6	10	0.461	0.706
3.17			3.47	
T3-T6	20.6~12.5	11	20.4	17.5
			36.4	32.2
	12.5~5.5	12	36.4	32.2
			55.4	51.7
5.5~2.0	13	55.4	51.7	
		65.4	62.3	
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.385	0.408
			5.24	4.94
	32.0~20.6	15	5.24	4.94
			12.0	12.4
	20.6~12.5	16	12.0	12.4
			15.8	15.9
12.5~5.5	17	15.8	15.9	
		21.6	21.0	
5.5~2.0	18	21.6	24.7	

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。

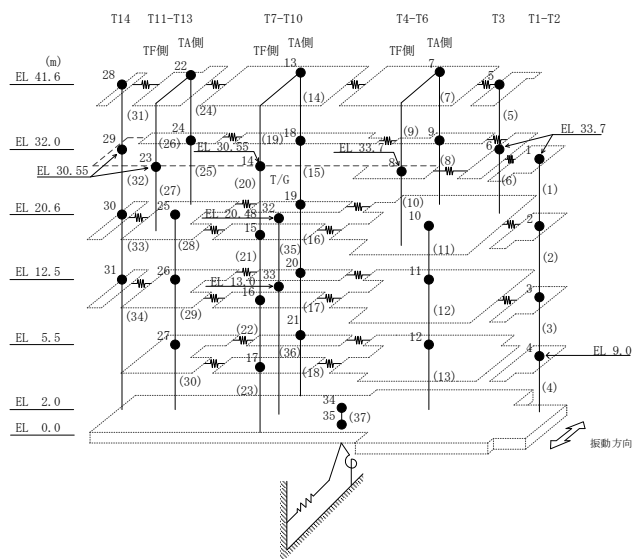


表 2-6(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S_s-D, NS 方向, 基本ケース)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁵ kN・m)	
			今回工認モデル	床ばね非線形モデル
T7-T10 (TF側)	41.6~30.55	19	0.552	0.580
			0.941	1.00
	30.55~20.6	20	0.941	1.00
			2.44	2.27
	20.6~12.5	21	2.44	2.27
3.78			3.97	
12.5~5.5	22	3.78	3.97	
		6.33	6.49	
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.303	0.278
			2.25	2.24
	32.0~20.6	25	2.25	2.24
			9.08	8.55
	41.6~30.55	26	0.189	0.181
0.330			0.283	
30.55~20.6	27	0.330	0.283	
		1.18	0.849	
T11-T13	20.6~12.5	28	10.3	9.35
			24.6	21.4
	12.5~5.5	29	24.6	21.4
41.0			35.8	
T14	41.6~30.55	31	0.00	0.00
			4.00	2.19
	30.55~20.6	32	4.00	2.19
8.53			5.52	
20.6~12.5	33	8.53	5.52	
		12.2	8.76	
12.5~2.0	34	12.2	8.76	
		17.2	13.3	

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。

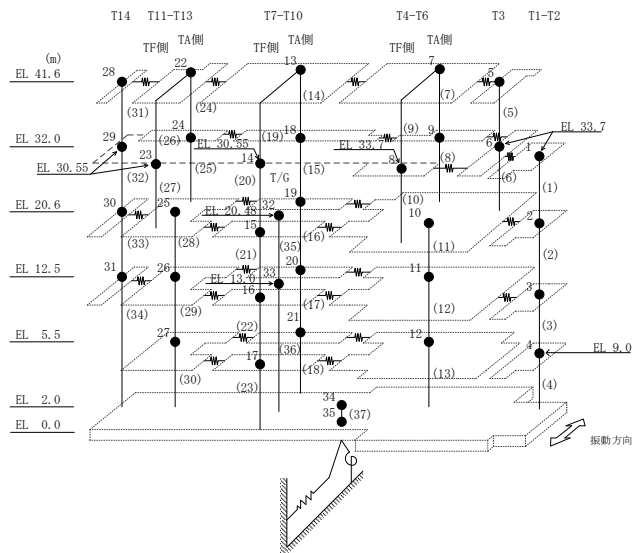


表 2-7 最大応答せん断ひずみ一覧（耐震壁）（基準地震動 S s - D，NS 方向，基本ケース）

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断ひずみ (×10 ⁻³)	
			今回工認モデル	床ばね非線形モデル
T1-T2	33.7~20.6	1	0.16	0.13
	20.6~12.5	2	0.18	0.17
	12.5~9.0	3	0.17	0.17
	9.0~2.0	4	0.54	0.54
T3	41.6~33.7	5	0.85	0.16
	33.7~20.6	6	0.38	0.22
T4-T6 (TA側)	41.6~32.0	7	0.09	0.11
	32.0~20.6	8	0.11	0.11
T4-T6 (TF側)	33.7~20.6	10	0.74	1.06
T3-T6	20.6~12.5	11	0.12	0.12
	12.5~5.5	12	0.52	0.50
	5.5~2.0	13	0.21	0.22
T7-T10 (TA側)	41.6~32.0	14	0.37	0.34
	32.0~20.6	15	0.17	0.18
	20.6~12.5	16	0.13	0.12
	12.5~5.5	17	0.20	0.21
	5.5~2.0	18	0.22	0.23
T7-T10 (TF側)	20.6~12.5	21	0.81	1.37
	12.5~5.5	22	0.44	0.33
	5.5~2.0	23	0.62	0.64
T11-T13 (TA側)	41.6~32.0	24	0.16	0.16
	32.0~20.6	25	0.15	0.12
T11-T13	20.6~12.5	28	0.17	0.16
	12.5~5.5	29	0.18	0.17
	5.5~2.0	30	0.27	0.24
T14	41.6~30.55	31	0.34	0.11
	30.55~20.6	32	0.19	0.15
	20.6~12.5	33	0.15	0.13
	12.5~2.0	34	0.13	0.12

注 1：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。

注 2：要素番号 9, 19, 20, 26, 27 は線形部材。

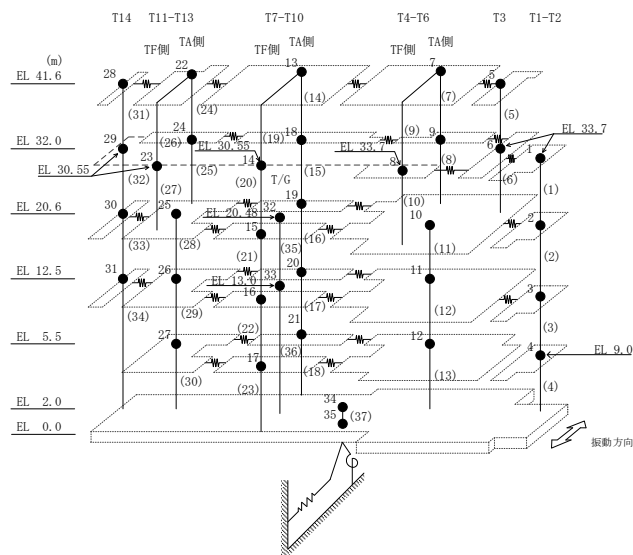
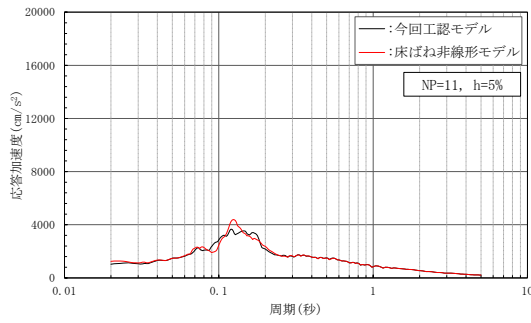


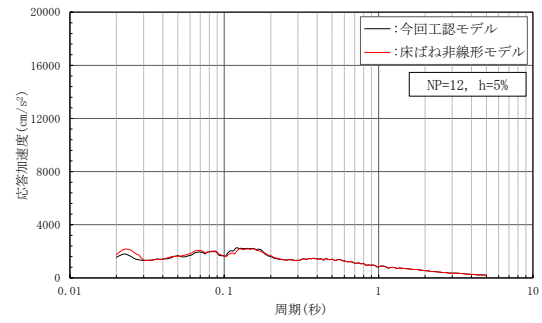
表 2-8 最大応答せん断ひずみ一覧（床ばね）（基準地震動 S_s-D, NS 方向, 基本ケース, 床ばね非線形モデル）

EL (m)	床ばね 番号	最大応答せん断 ひずみ ($\times 10^{-3}$)
41.6	104	1.569
	107	0.957
	114	0.500
	122	1.060
32.0	101	0.174
	105	0.705
	106	0.811
	115	0.386
	125	0.565
20.6	102	0.057
	108	0.194
	109	0.271
	116	0.227
	117	0.392
	123	0.104
12.5	103	0.032
	110	0.112
	111	0.099
	118	0.073
	119	0.095
	124	0.052
5.5	112	0.029
	113	0.041
	120	0.038
	121	0.048

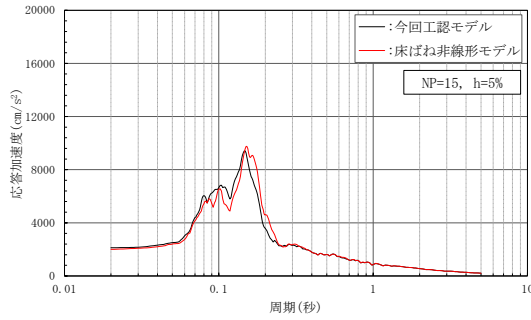
注：ハッチングは機能維持要求エリア対象のものを示す。



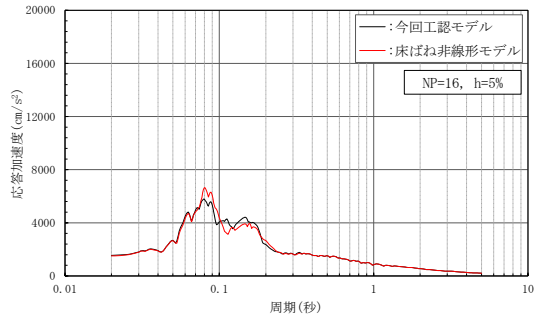
(a) 質点 11



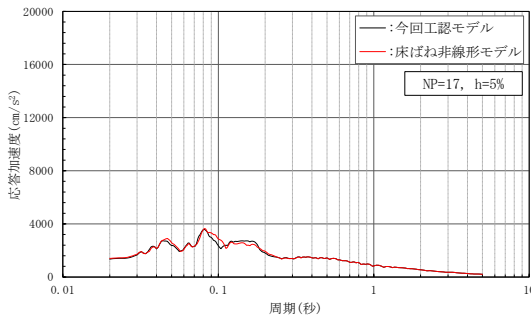
(b) 質点 12



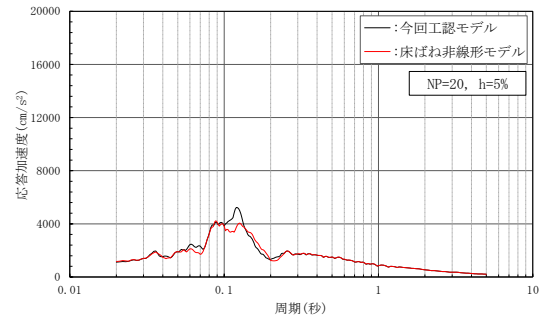
(c) 質点 15



(d) 質点 16

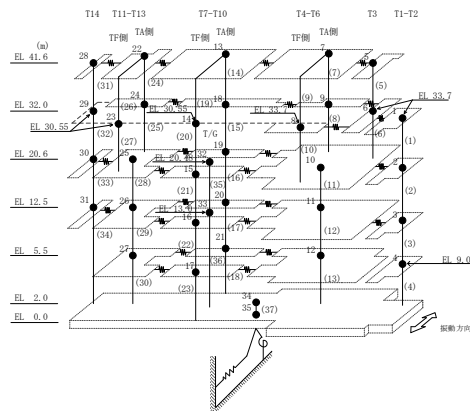


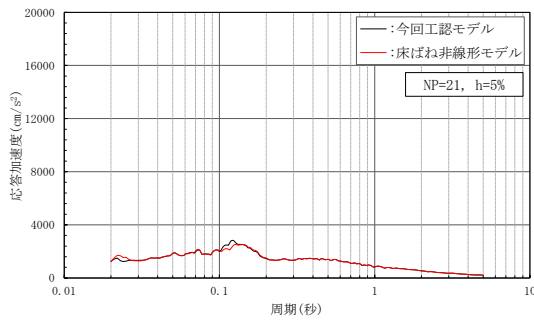
(e) 質点 17



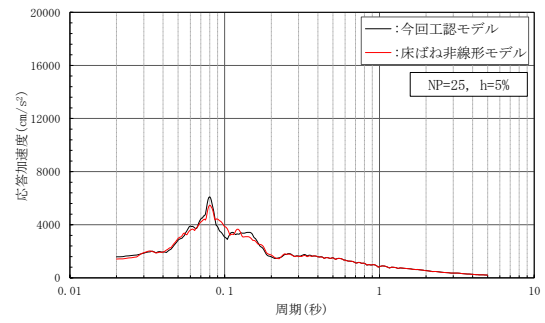
(f) 質点 20

図 2-5(1) 床応答スペクトル (基準地震動 S s-D, NS 方向, 基本ケース, h = 5%)

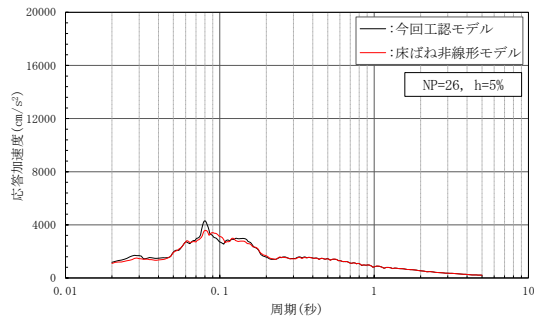




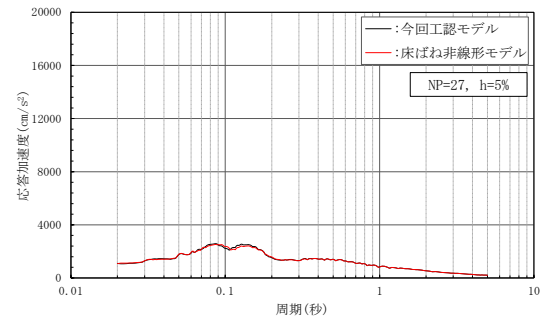
(g) 質点 21



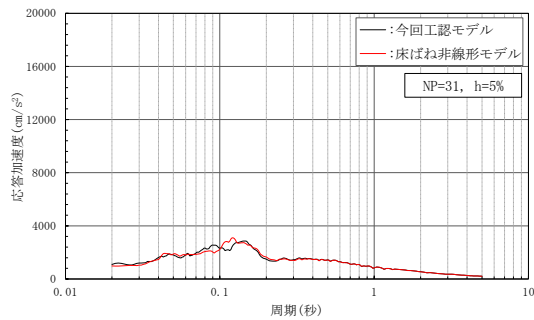
(h) 質点 25



(i) 質点 26

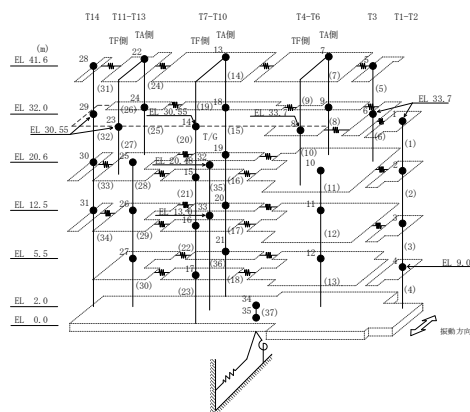


(j) 質点 27



(k) 質点 31

図 2-5(2) 床応答スペクトル (基準地震動 S s-D, NS 方向, 基本ケース, $h = 5\%$)



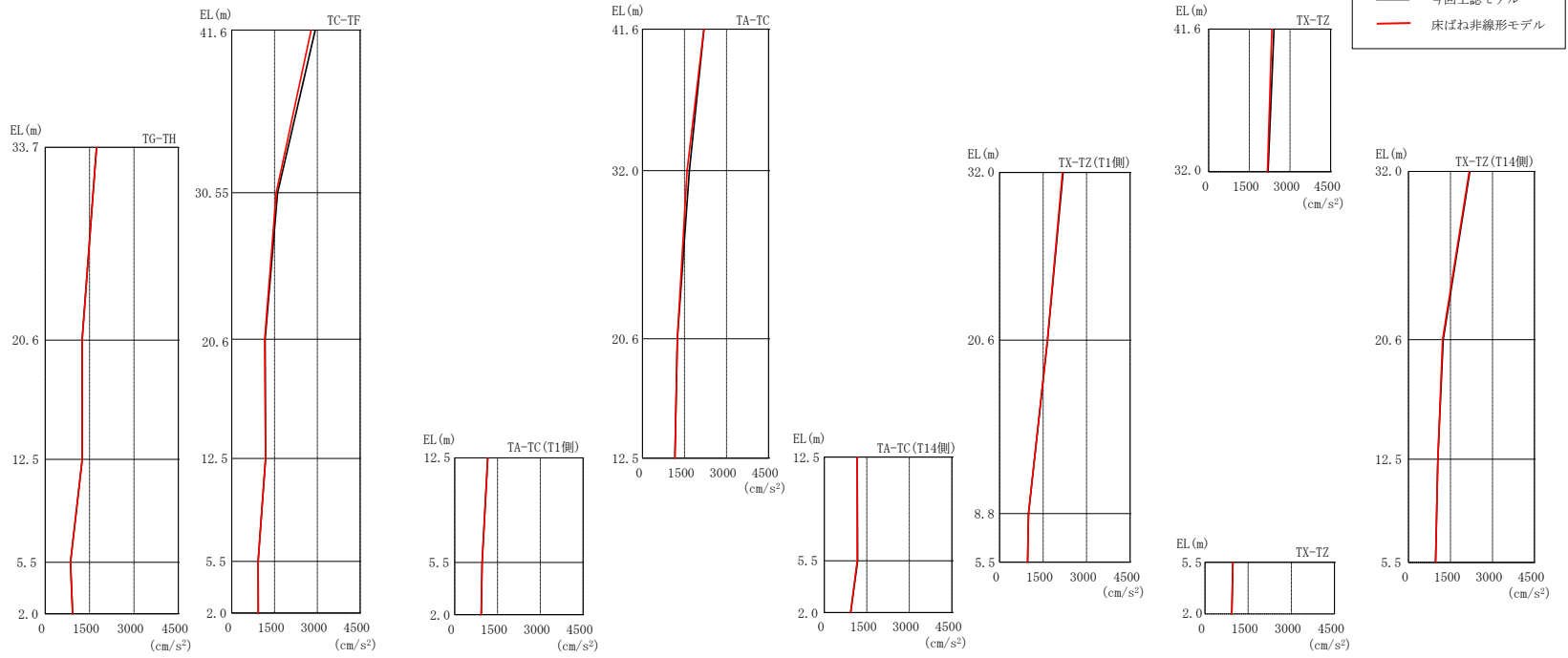
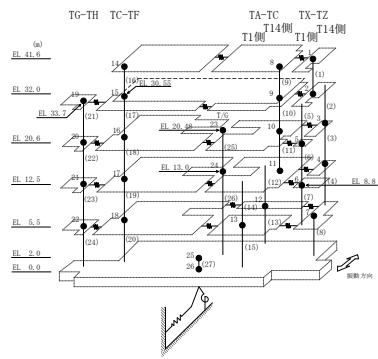
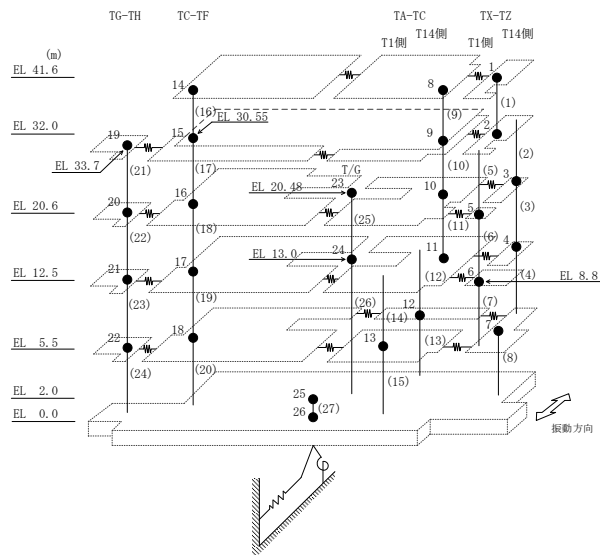


図 2-6 最大応答加速度（基準地震動 S s - D, EW方向, 基本ケース）

表 2-9 最大応答加速度一覧（基準地震動 S_s-D，EW方向，基本ケース）

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答加速度 (cm/s ²)	
			今回工認 モデル	床ばね非線形 モデル
TX-TZ	41.6	1	2410	2332
	32.0	2	2192	2171
TX-TZ(T14側)	20.6	3	1239	1219
	12.5	4	1047	1047
TX-TZ(T1側)	20.6	5	1656	1647
	8.8	6	1001	1001
TX-TZ	5.5	7	967	967
TA-TC	41.6	8	2194	2190
	32.0	9	1671	1590
	20.6	10	1244	1244
	12.5	11	1158	1158
TA-TC(T14側)	5.5	12	1179	1159
TA-TC(T1側)	5.5	13	959	959
TC-TF	41.6	14	2926	2780
	30.55	15	1605	1556
	20.6	16	1167	1155
	12.5	17	1185	1185
	5.5	18	921	921
TG-TH	33.7	19	1735	1735
	20.6	20	1249	1250
	12.5	21	1252	1252
	5.5	22	856	856
	2.0	25	928	928

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。



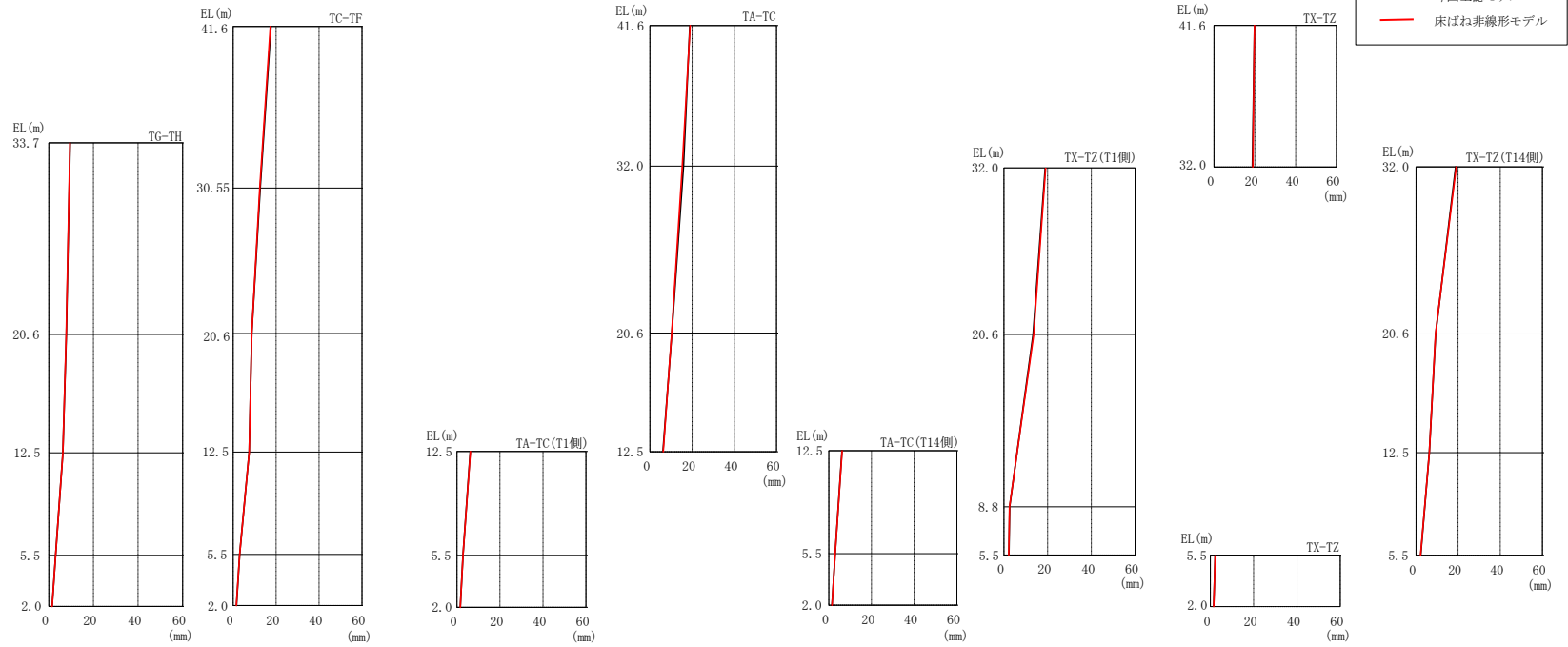
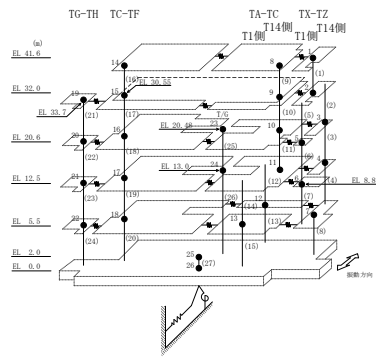
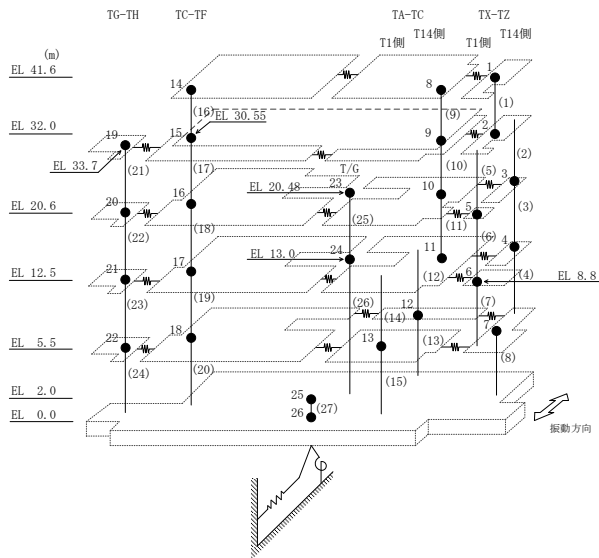


図 2-7 最大応答変位 (基準地震動 $S_s - D$, EW方向, 基本ケース)

表 2-10 最大応答変位一覧（基準地震動 S s - D， E W方向， 基本ケース）

部位	EL (m)	質点 番号	最大応答変位 (mm)	
			今回工認 モデル	床ばね非線形 モデル
TX-TZ	41.6	1	19.88	19.90
	32.0	2	18.85	19.08
TX-TZ(T14側)	20.6	3	9.31	9.25
	12.5	4	6.31	6.30
TX-TZ(T1側)	20.6	5	13.31	13.58
	8.8	6	2.60	2.52
TX-TZ	5.5	7	2.25	2.21
TA-TC	41.6	8	18.88	19.06
	32.0	9	15.87	15.31
	20.6	10	10.41	10.34
	12.5	11	6.16	6.28
TA-TC(T14側)	5.5	12	2.98	2.98
TA-TC(T1側)	5.5	13	2.80	2.80
TC-TF	41.6	14	17.58	17.33
	30.55	15	12.58	12.36
	20.6	16	8.69	8.64
	12.5	17	7.47	7.42
	5.5	18	3.06	3.04
TG-TH	33.7	19	9.54	9.48
	20.6	20	7.87	7.82
	12.5	21	6.31	6.28
	5.5	22	3.06	3.04
	2.0	25	1.51	1.50

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。



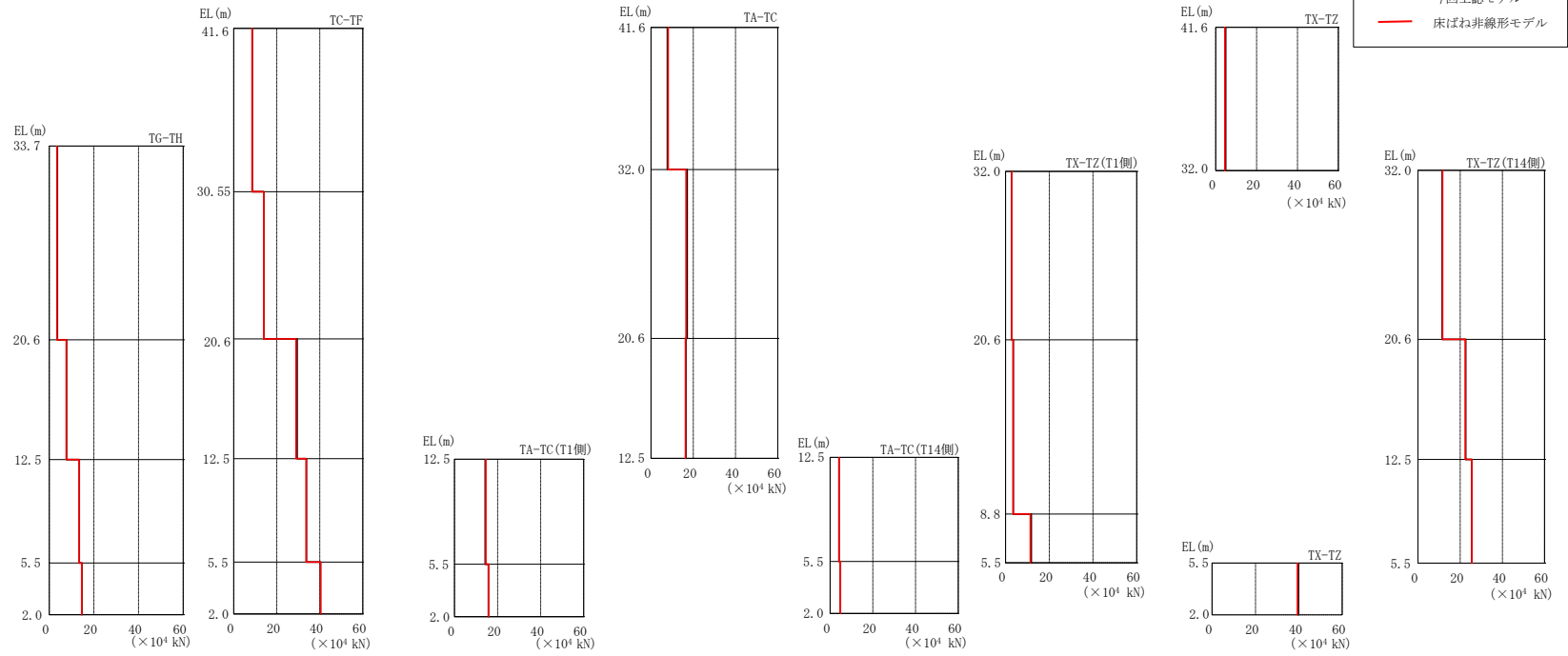
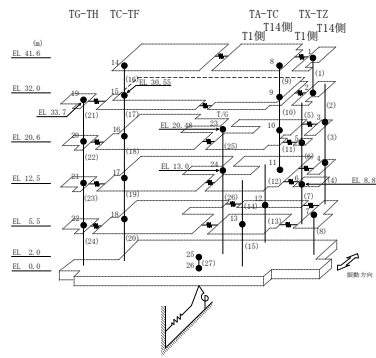
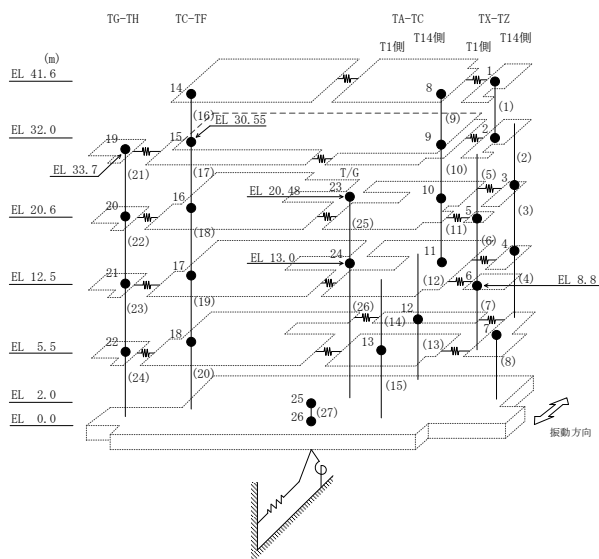


図 2-8 最大応答せん断力 (基準地震動 S_s-D, EW 方向, 基本ケース)

表 2-11 最大応答せん断力一覧（基準地震動 S s - D， E W 方向， 基本ケース）

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答せん断力 ($\times 10^4$ kN)	
			今回工認 モデル	床ばね非線形 モデル
TX-TZ	41.6~32.0	1	4.88	4.54
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	11.5	11.6
	20.6~12.5	3	22.6	22.4
	12.5~5.5	4	25.4	25.5
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	2.85	2.90
	20.6~8.8	6	3.50	3.51
	8.8~5.5	7	11.7	11.4
TX-TZ	5.5~2.0	8	39.7	39.3
TA-TC	41.6~32.0	9	7.75	8.09
	32.0~20.6	10	17.1	16.6
	20.6~12.5	11	16.5	16.3
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	4.15	4.21
	5.5~2.0	13	4.82	4.83
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	14.3	14.5
	5.5~2.0	15	15.7	15.8
TC-TF	41.6~30.55	16	8.62	8.50
	30.55~20.6	17	13.9	14.0
	20.6~12.5	18	29.5	29.0
	12.5~5.5	19	33.8	33.7
	5.5~2.0	20	40.4	40.4
TG-TH	33.7~20.6	21	3.66	3.41
	20.6~12.5	22	7.74	7.64
	12.5~5.5	23	13.5	13.4
	5.5~2.0	24	14.6	14.6

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。



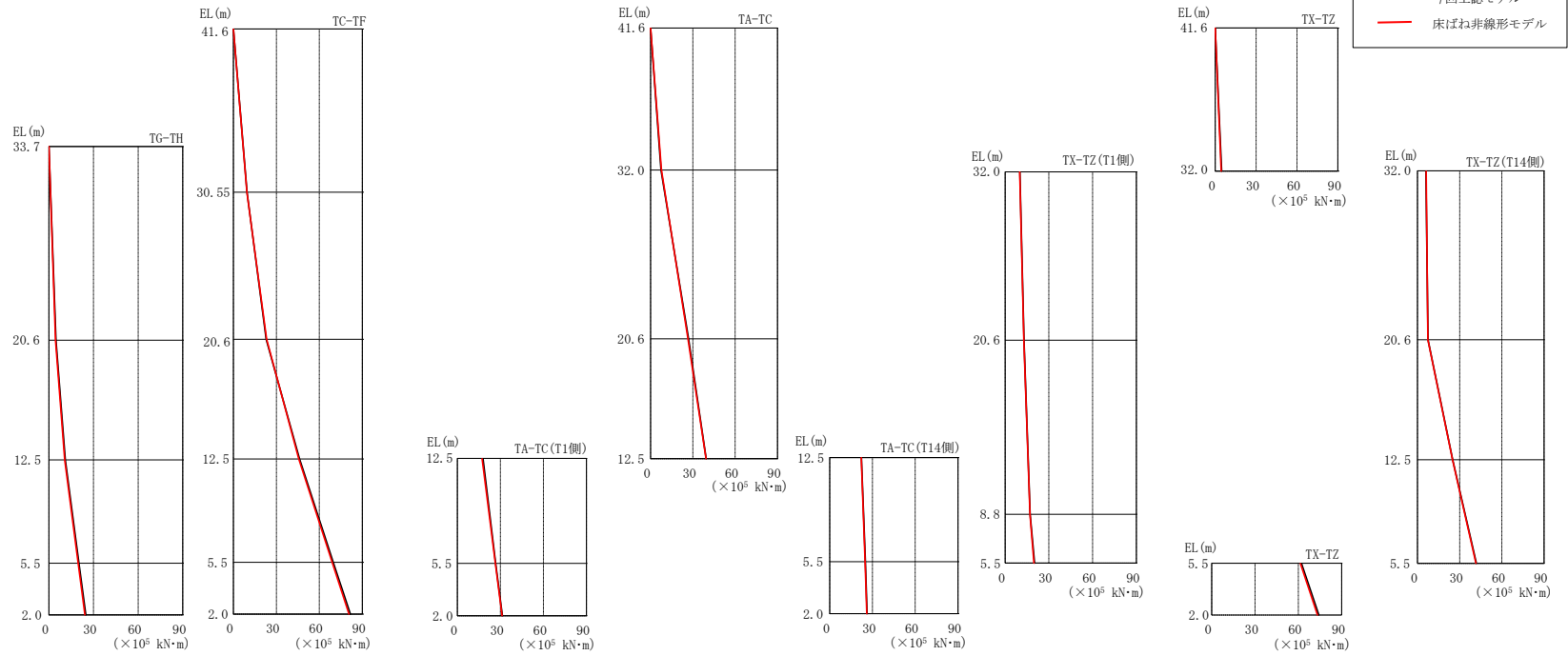
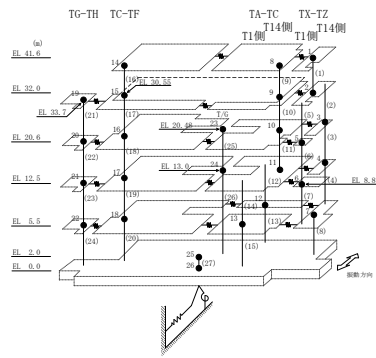


図 2-9 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S_s-D, EW方向, 基本ケース)

表 2-12(1) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - D, E W 方向, 基本ケース)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN·m)	
			今回工認モデル	床ばね非線形モデル
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.00	0.00
			4.69	4.36
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	6.02	6.23
	20.6~12.5	3	7.54	7.38
			7.54	7.38
			25.1	24.9
12.5~5.5	4	25.1	24.9	
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	10.1	9.96
	20.6~8.8	6	13.0	12.9
			17.1	17.0
8.8~5.5	7	17.1	17.0	
TX-TZ	5.5~2.0	8	20.2	19.8
			62.1	61.4
TA-TC	41.6~32.0	9	74.2	73.2
			7.44	7.76
	32.0~20.6	10	7.44	7.76
			26.9	26.5
20.6~12.5	11	26.9	26.5	
		39.5	39.3	

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。

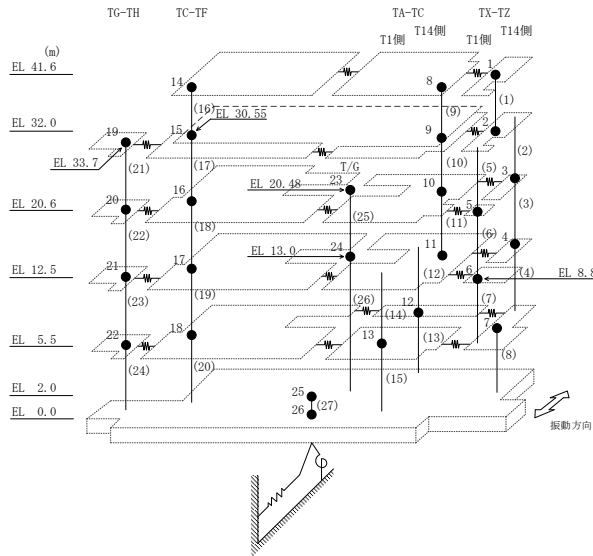


表 2-12(2) 最大応答曲げモーメント一覧 (基準地震動 S s - D, E W方向, 基本ケース)

部位	EL (m)	要素 番号	最大応答曲げモーメント ($\times 10^5$ kN・m)	
			今回工認 モデル	床ばね非線形 モデル
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	22.2	22.1
			25.0	24.8
	5.5~2.0	13	25.0	24.8
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	17.8	17.2
			26.6	26.4
	5.5~2.0	15	26.6	26.4
TC-TF	41.6~30.55	16	0.00	0.00
			9.53	9.39
	30.55~20.6	17	9.53	9.39
			22.9	23.2
	20.6~12.5	18	22.9	23.2
			46.1	45.6
12.5~5.5	19	46.1	45.6	
		69.7	68.9	
5.5~2.0	20	69.7	68.9	
TG-TH	33.7~20.6	21	0.00	0.00
			4.79	4.47
	20.6~12.5	22	4.79	4.47
			11.0	10.7
	12.5~5.5	23	11.0	10.7
20.2			19.7	
5.5~2.0	24	20.2	19.7	
			24.8	24.2

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。

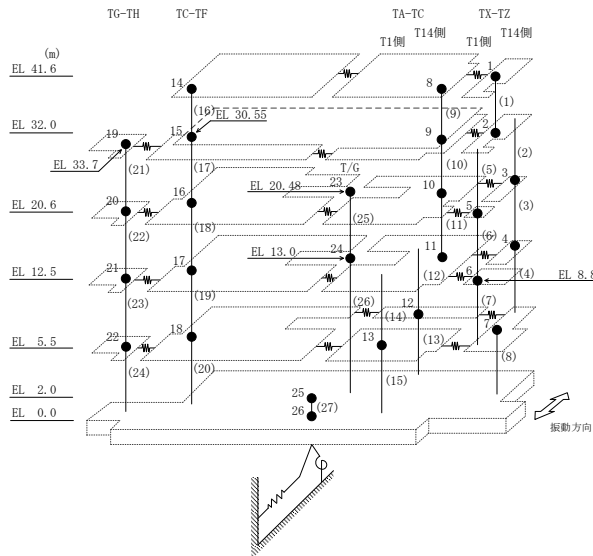


表 2-13 最大応答せん断ひずみ一覧 (耐震壁) (基準地震動 $S_s - D$, EW方向, 基本ケース)

部位	EL (m)	要素番号	最大応答せん断ひずみ ($\times 10^{-3}$)	
			今回工認モデル	床ばね非線形モデル
TX-TZ	41.6~32.0	1	0.13	0.12
TX-TZ (T14側)	32.0~20.6	2	1.04	1.09
	20.6~12.5	3	0.41	0.39
	12.5~5.5	4	0.57	0.58
TX-TZ (T1側)	32.0~20.6	5	0.60	0.64
	20.6~8.8	6	0.96	0.99
	8.8~5.5	7	0.10	0.10
TX-TZ	5.5~2.0	8	0.21	0.20
TA-TC	41.6~32.0	9	0.36	0.41
	32.0~20.6	10	0.58	0.53
	20.6~12.5	11	0.59	0.57
TA-TC (T14側)	12.5~5.5	12	0.45	0.47
	5.5~2.0	13	0.41	0.42
TA-TC (T1側)	12.5~5.5	14	0.48	0.50
	5.5~2.0	15	0.36	0.36
TC-TF	41.6~30.55	16	0.60	0.57
	30.55~20.6	17	0.48	0.49
	20.6~12.5	18	0.16	0.15
	12.5~5.5	19	0.63	0.63
	5.5~2.0	20	0.44	0.43
TG-TH	33.7~20.6	21	0.16	0.15
	20.6~12.5	22	0.22	0.21
	12.5~5.5	23	0.49	0.48
	5.5~2.0	24	0.44	0.43

注：ハッチングは今回工認モデル，床ばね非線形モデルの最大応答値のうち大きい値を表示。

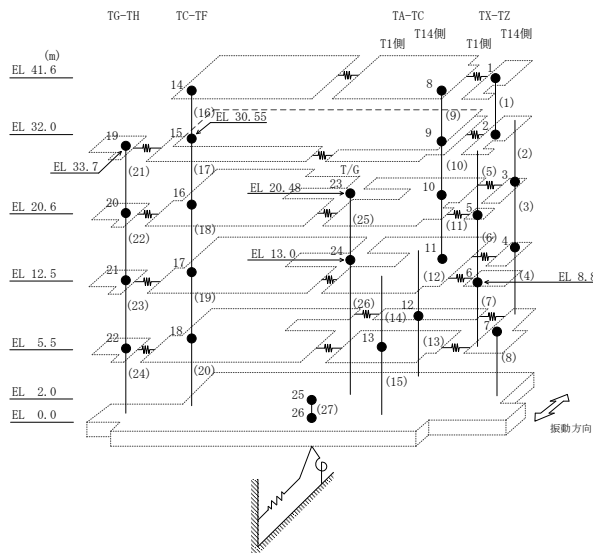
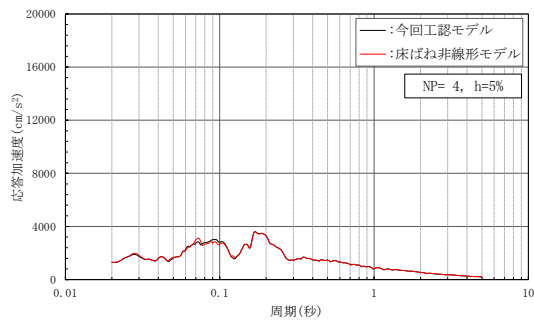


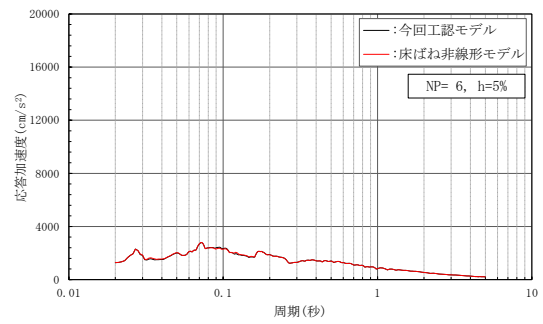
表 2-14 最大応答せん断ひずみ一覧 (床ばね) (基準地震動 $S_s - D$, EW方向, 基本ケース, 床ばね非線形モデル)

EL (m)	床ばね 番号	最大応答せん断 ひずみ ($\times 10^{-3}$)
41.6	101	0.238
	109	0.408
32.0	102	0.630
	110	0.254
	115	0.245
20.6	103	0.119
	105	0.117
	111	0.173
	116	0.045
12.5	104	0.051
	106	0.250
	112	0.100
	117	0.062
5.5	107	0.064
	108	0.053
	113	0.026
	114	0.023
	118	0.011

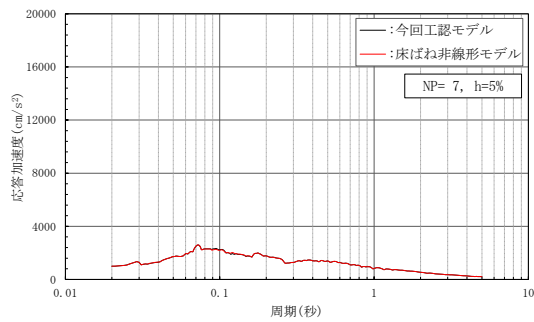
注：ハッチングは機能維持要求エリア対象のものを示す。



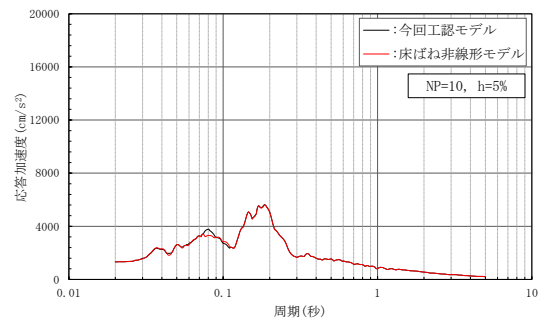
(a) 質点 4



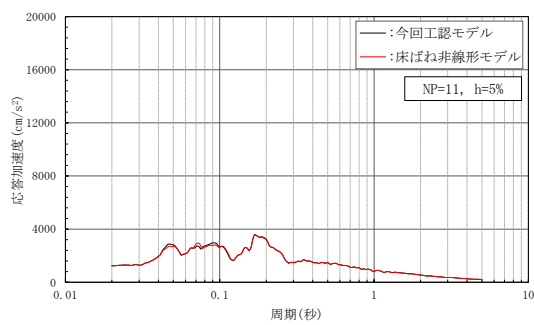
(b) 質点 6



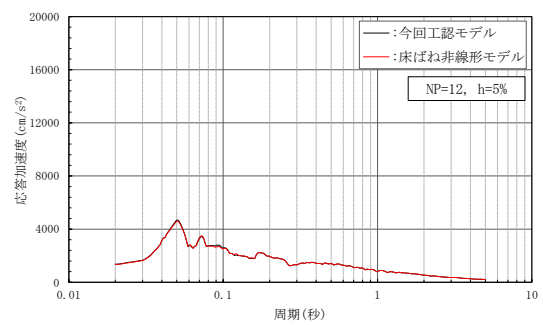
(c) 質点 7



(d) 質点 10

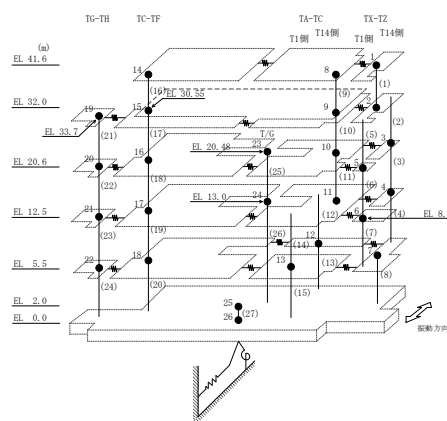


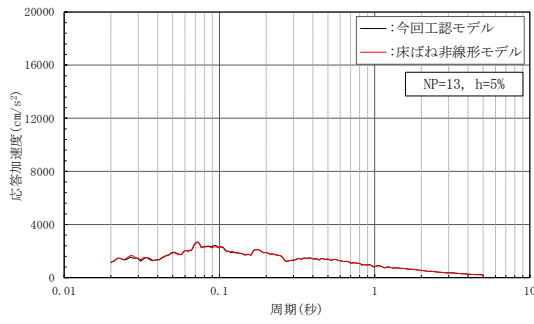
(e) 質点 11



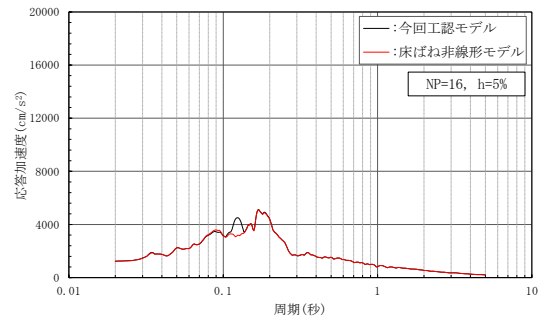
(f) 質点 12

図 2-10(1) 床応答スペクトル (基準地震動 $S_s - D$, EW方向, 基本ケース, $h = 5\%$)

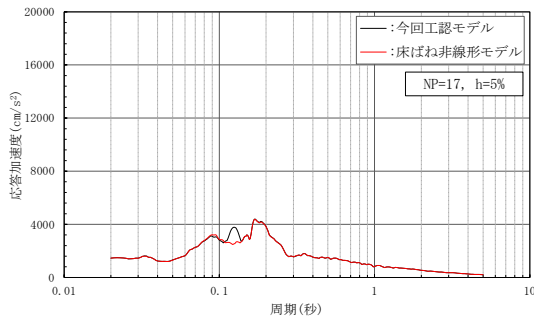




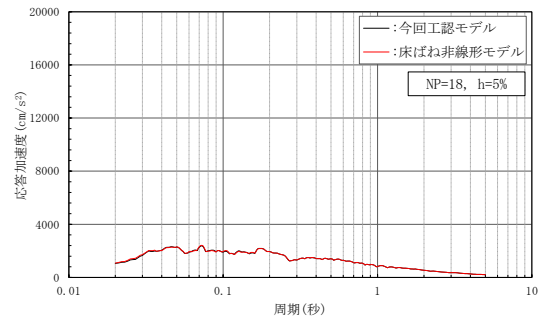
(g) 質点 13



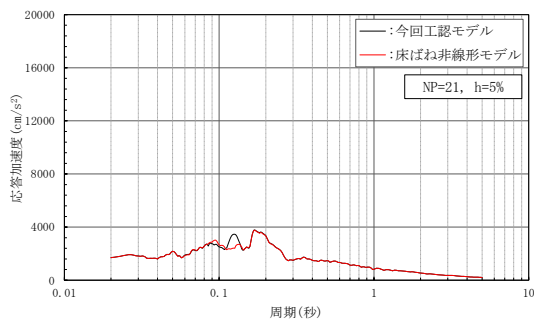
(h) 質点 16



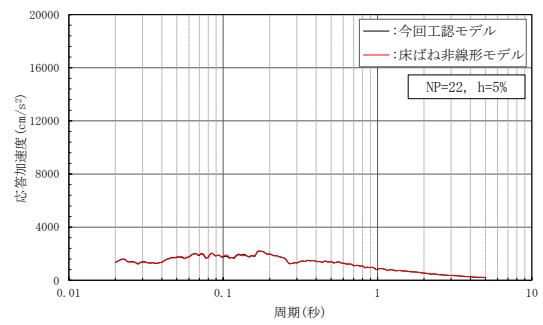
(i) 質点 17



(j) 質点 18



(k) 質点 21



(l) 質点 22

図 2-10(2) 床応答スペクトル (基準地震動 $S_s - D$, EW方向, 基本ケース, $h = 5\%$)

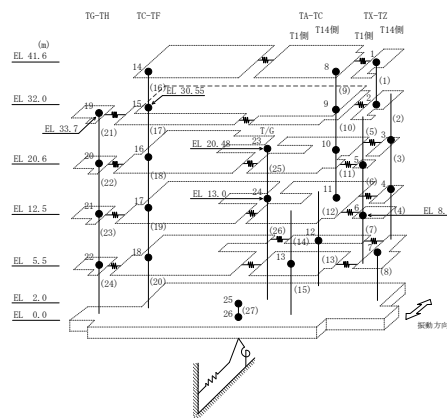


表 2-15 (1/2) 設計用条件との震度比較 (水平方向 (NS))

構造物名	質点番号	標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			比率	
	NS 方向		① 設計用 I	② 設計用 II	③ 床ばね非線形 モデル ($S_s - D$)	③/①	③/②
タービン 建物	2, 10, 15, 19, 25, 30	20.600	2.23	3.17	1.91	0.86	0.61
	3, 11, 16, 20, 26, 31	12.500	1.61	2.19	1.48	0.92	0.68
	4	9.000	1.09	1.64	0.99	0.91	0.61
	12, 17, 21, 27	5.500	1.28	1.82	1.30	1.02	0.72
	34	2.000	0.98	1.46	0.98	1.00	0.68

表 2-15 (2/2) 設計用条件との震度比較 (水平方向 (EW))

構造物名	質点番号	標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			比率	
	EW 方向		① 設計用 I	② 設計用 II	③ 床ばね非線形 モデル ($S_s - D$)	③/①	③/②
タービン 建物	3, 5, 10, 16, 20	20.600	1.69	2.54	1.68	1.00	0.67
	4, 11, 17, 21	12.500	1.34	1.92	1.28	0.96	0.67
	6	8.800	1.16	1.70	1.03	0.89	0.61
	7, 12, 13, 18, 22	5.500	1.21	1.82	1.19	0.99	0.66
	25	2.000	0.96	1.43	0.95	0.99	0.67

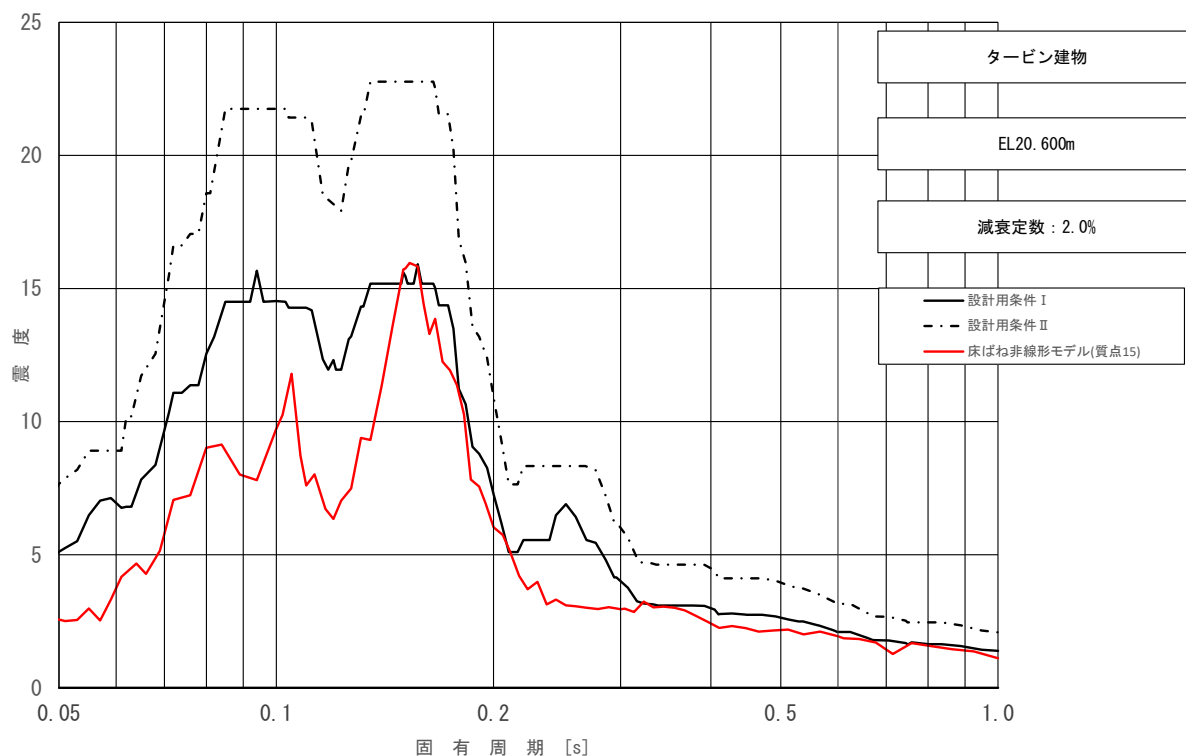


図 2-11 (1/2) 設計用条件との床応答スペクトル比較
(水平方向 (NS) : タービン建物 EL20.600m)

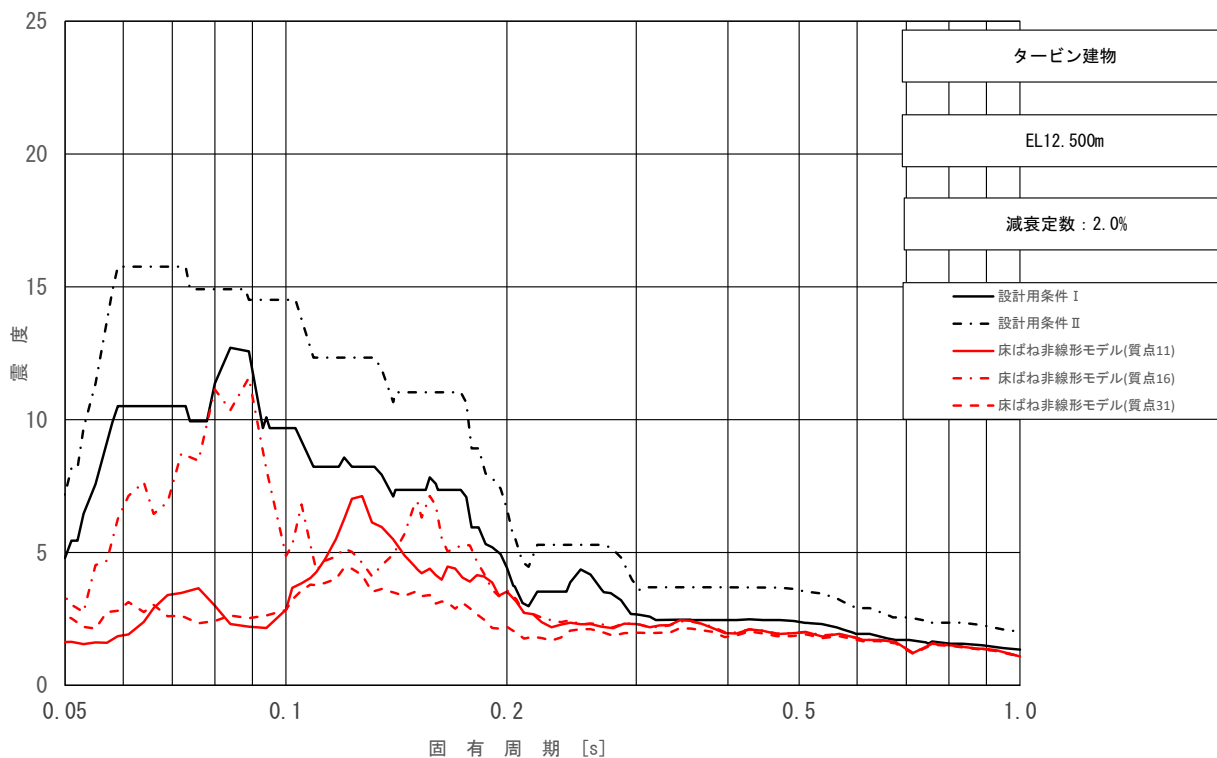


図 2-11 (2/2) 設計用条件との床応答スペクトル比較
(水平方向 (NS) : タービン建物 EL12.500m)

別紙5 タービン建物と蒸気タービンの基礎の相対変位
について

目 次

1. 概要	別紙 5-1
2. 相対変位の確認	別紙 5-2
2.1 タービン建物と蒸気タービンの基礎のクリアランス	別紙 5-2
2.2 相対変位の確認	別紙 5-6

1. 概要

本資料は、VI-2-2-7「タービン建物の地震応答計算書」の地震応答解析結果のうち、タービン建物と蒸気タービンの基礎の相対変位に着目し、タービン建物と蒸気タービンの基礎の衝突の有無及びその影響を確認するものである。

2. 相対変位の確認

2.1 タービン建物と蒸気タービンの基礎のクリアランス

タービン建物の概略平面図を図 2-1 に、地震応答解析モデル（水平方向）を図 2-2 に示す。蒸気タービンの基礎は図 2-1 及び図 2-2 に示すとおり、タービン建物の中央に位置しており、周囲をタービン建物の柱、はり及び床スラブに囲まれている。

タービン建物と蒸気タービンの基礎には 50mm 以上のクリアランスがある。

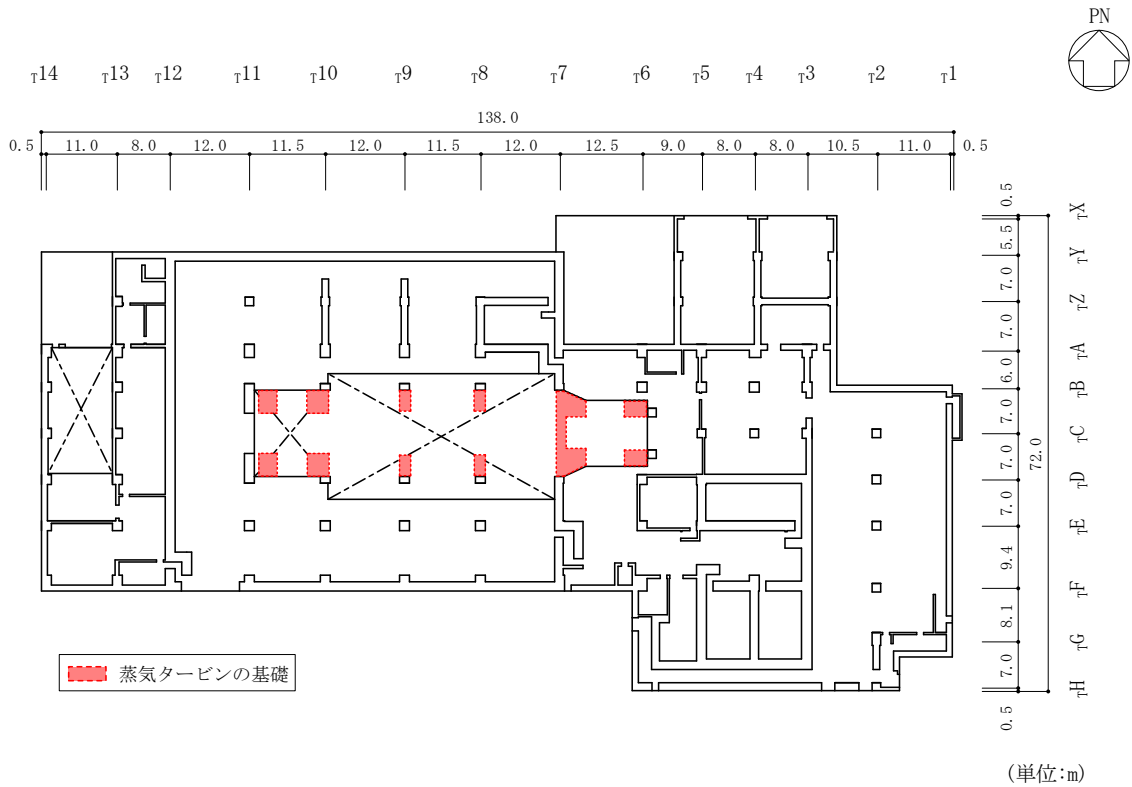


図 2-1(1) タービン建物の概略平面図 (EL 12.5m)

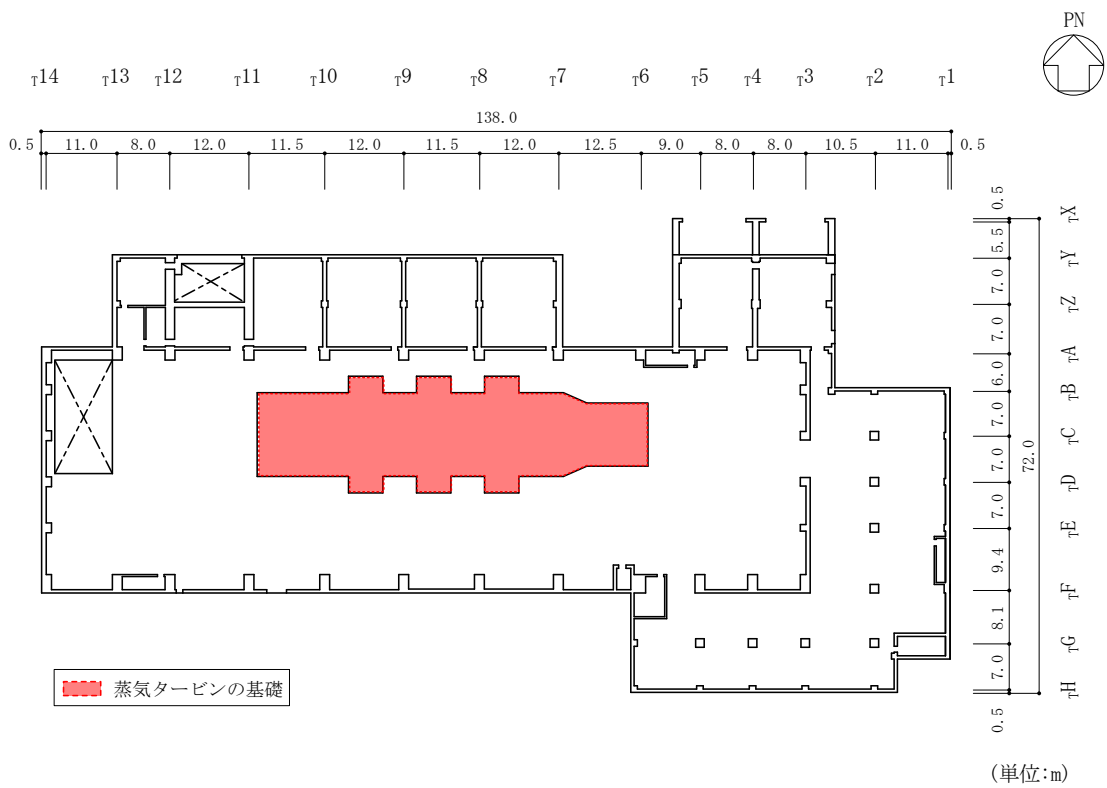


図 2-1(2) タービン建物の概略平面図 (EL 20.6m)

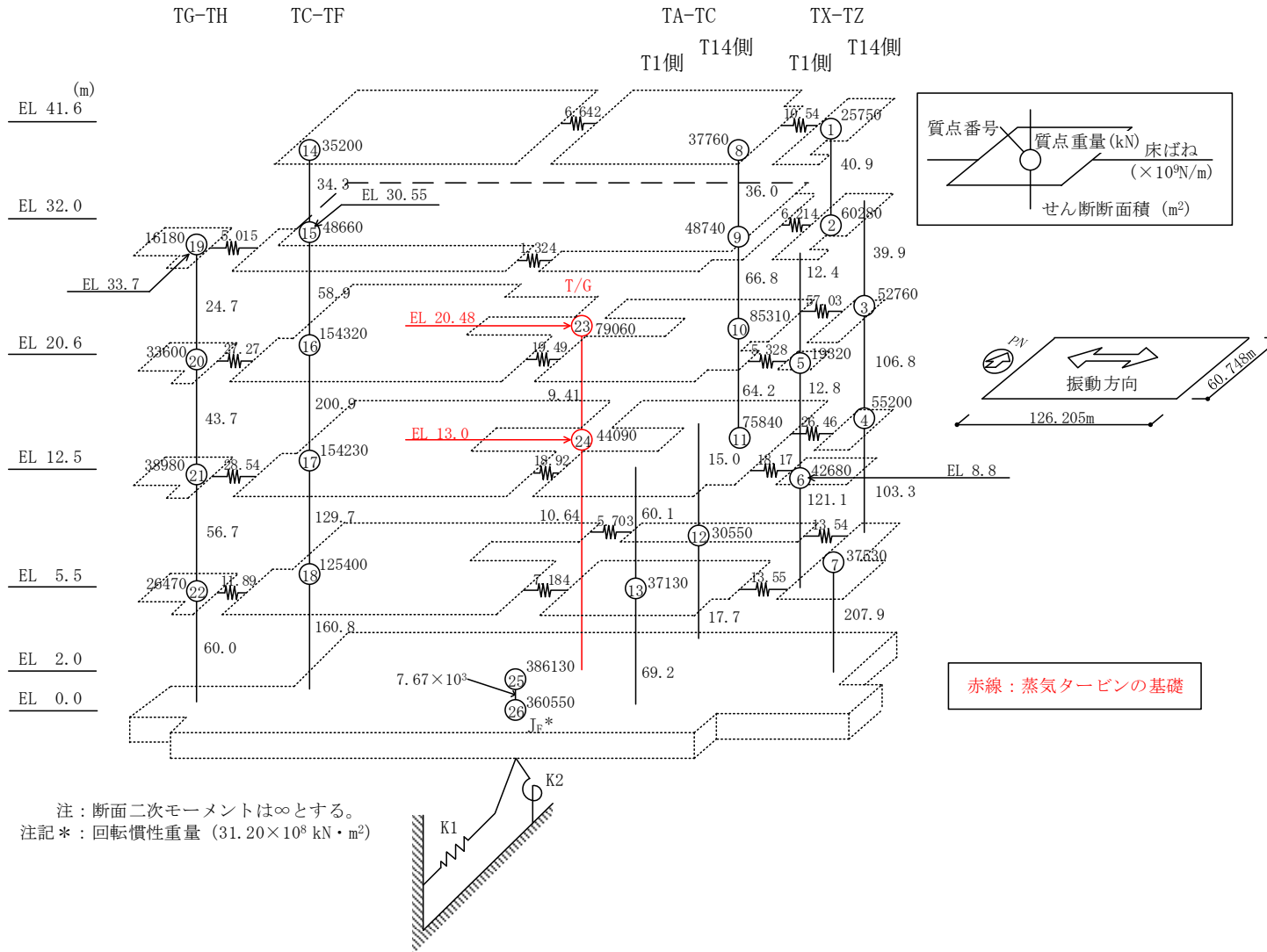


図 2-2(2) 地震応答解析モデル (EW方向)

2.2 相対変位の確認

基準地震動 $S_s - D \sim S_s - N2EW$ に基づく基本ケースの相対変位の結果を整理し、基本ケースの相対変位の結果より、最も相対変位が大きい地震動について、材料物性の不確かさを考慮した解析による相対変位の結果を整理する。以後、基本ケースをケース 1、地盤物性を標準地盤 $+\sigma$ としたケースをケース 2、地盤物性を標準地盤 $-\sigma$ としたケースをケース 3、積雪荷重との組合せを考慮したケースをケース 4 として示す。

水平方向の地震応答解析結果に基づき、タービン建物と蒸気タービンの基礎の相対変位を確認する。NS 方向は EL 20.6m におけるタービン建物質点 (No. 10, 15, 19, 25) と EL 20.48m における蒸気タービンの基礎質点 (No. 32) の間及び EL 12.5m におけるタービン建物質点 (No. 11, 16, 20, 26) と EL 13.0m における蒸気タービンの基礎質点 (No. 33) の間、EW 方向は EL 20.6m におけるタービン建物質点 (No. 10, 16) と EL 20.48m における蒸気タービンの基礎質点 (No. 23) の間及び EL 12.5m におけるタービン建物質点 (No. 11, 17) と EL 13.0m における蒸気タービンの基礎質点 (No. 24) の間、それぞれの水平方向の相対変位を求めた。表 2-1 に基本ケース (ケース 1) におけるタービン建物と蒸気タービンの基礎の相対変位を示す。また、相対変位の大きい基準地震動 $S_s - N1$ について、材料物性の不確かさを考慮した場合のタービン建物と蒸気タービンの基礎の相対変位を表 2-2 に示す。

なお、衝突発生の有無を確認する目的から、簡便にタービン建物と蒸気タービンの基礎のレベル差については考慮せず水平方向の差分をとっている。

基準地震動 $S_s - N1$ に対する材料物性の不確かさを考慮した場合の最大相対変位は 29.19mm (EW 方向, ケース 3) であり、クリアランスである 50mm を超えないことを確認した。

表 2-1 基本ケース（ケース 1）のタービン建物と蒸気タービンの基礎の相対変位

(a) NS方向

EL (m)	質点番号		相対変位 (mm)					
	建物	T/G	Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW
20.6	10	32	17.89	12.65	14.32	19.02	17.72	10.51
	15		17.38	14.47	14.98	16.71	16.51	8.22
	19		15.23	10.24	12.85	16.66	16.05	9.01
	25		19.22	12.28	13.92	22.12	18.78	11.25
12.5	11	33	9.53	7.17	8.21	9.35	9.53	5.85
	16		10.27	7.65	7.84	10.01	9.76	5.45
	20		8.22	6.04	7.69	10.46	9.37	5.75
	26		10.10	6.43	7.65	12.72	10.44	6.55

注：ハッチングは最大値を示す。

(b) EW方向

EL (m)	質点番号		相対変位 (mm)					
	建物	T/G	Ss-D	Ss-F1	Ss-F2	Ss-N1	Ss-N2NS	Ss-N2EW
20.6	10	23	24.32	18.16	22.94	27.49	23.08	24.35
	16		23.21	17.76	21.89	27.25	22.83	24.10
12.5	11	24	14.81	10.77	14.02	18.01	15.05	15.78
	17		14.72	12.10	14.48	17.27	14.97	15.53

注：ハッチングは最大値を示す。

表 2-2 材料物性の不確かさを考慮した場合のタービン建物と
蒸気タービンの基礎の相対変位（基準地震動 S s - N 1）

(a) NS方向

EL (m)	質点番号		相対変位 (mm)			
	建物	T/G	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
20.6	10	32	19.02	18.75	19.77	18.97
	15		16.71	16.63	17.29	16.57
	19		16.66	16.38	17.23	16.28
	25		22.12	21.43	23.14	21.98
12.5	11	33	9.35	9.47	9.54	9.34
	16		10.01	9.94	10.20	9.95
	20		10.46	10.16	11.03	10.31
	26		12.72	12.36	13.27	12.63

注：ハッチングは最大値を示す。

(b) EW方向

EL (m)	質点番号		相対変位 (mm)			
	建物	T/G	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
20.6	10	23	27.49	26.17	29.19	27.41
	16		27.25	25.93	28.95	27.22
12.5	11	24	18.01	17.09	19.12	18.00
	17		17.27	16.36	18.36	17.26

注：ハッチングは最大値を示す。